



Title	和愛辞典：草稿版
Author(s)	太田, 満
Citation	1-890
Issue Date	2022-12-20
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/87707
Type	research report
Note	整理: 太田満遺稿整理保存会 ; レイアウト・序 丹菊逸治
File Information	Mitsuru Oota_Japanese-Ainu Dictionary(Draft Ver.)_.pdf



[Instructions for use](#)

和 愛 辞 典

Sísamitak-Aynuitak-Eonnekunnep

太田 満

Oota Mitsuru

草 稿 版

Ciietokenuyep

太田満遺稿整理保存会

北海道大学アイヌ・先住民研究センター

アイヌ・先住民言語アーカイブプロジェクト報告書 2022

和 愛 辞 典

Sisamitak-Aynuitak-Eonnekunnep

太田 満

Oota Mitsuru

草稿版

Ciietokenuyep

太田満遺稿整理保存会

北海道大学アイヌ・先住民研究センター

アイヌ・先住民言語アーカイブプロジェクト報告書 2022

序

本書は太田満（1967 年生まれ。2020 年歿）氏が独力で編纂した日本語＝アイヌ語辞典である。氏自身が調査した石狩方言を中心とし、必要に応じて調査結果および先行文献から幌別・空知・八雲・浦河・天塩・十勝・名寄・沙流・樺太など各地の語彙を収録している。また古文献からも語彙を収める。見出し語数 12500、用例や語法の解説も付されている。世界初の本格的和愛辞典といってよいであろう。

編纂時期は 1990 年代後半から 2010 年代にかけてと思われる。周知のとおり氏は同世代では比類なきアイヌ語話者であり、文法・語彙に精通した稀代の研究者であった。北海道大学アイヌ・先住民研究センター設立前の 2007 年に行われたシンポジウム「アイヌ研究の現在と未来」の参加者であり、その記録集ともいえる同センター編『アイヌ研究の現在と未来』（北海道大学出版会刊 2010 年）の執筆者の一人でもある。

氏は 2020 年に急死する直前まで辞書編纂作業を続けておられた。遺された原稿は作業の途上とはいえほぼ完成稿であり、下手に手を入れずそのまま出版することが最善と思われた。できれば商業出版物にして一般の学習者の手に渡りやすいようにしたいとも考えたが具体的な案もなく、ご遺族に相談してまずは 2022 年に草稿版をアイヌ・先住民研究センター報告書として刊行することになった。いずれどこかの出版社が商業出版してくださるのであればそれにこしたことはないが、その場合にはある程度の校訂作業が必要になるであろうし、まずは氏の遺稿をそのまま刊行しておきたかったのも理由の一つである。このような次第により、本書は品詞等を略表記にしたほかは原則として遺稿のままである。重複項目の削除・略号表記・誤字脱字の訂正および版下作製は丹菊が行った。

本書には膨大な量の新語案（造語案）が含まれている。新語案はあくまで案であり、一般に通用している（あるいは通用するようになる）とは限らない。だが、氏の提案による新語のうち imerukampi「E メール」などはすでに定着しつつあるといってもよいだろうし、他の新語案も今後のアイヌ語復興運動において大いに参考となるであろう体系的なものである。本書が氏の望んだように学習者の助けとなれば幸いである。

最後になったが、太田満氏の活動を長年支えてこられ、今回の刊行を許可してくださったご家族に感謝の意を表したい。

この辞書の使い方

発音の注意 アクセント

石狩方言にはアクセントによる区別が存在するが、その多くは規則的なものである。
つまり、第一音節が

① 閉音節の場合は第一音節に（例： yáy·nu ）

② 開音節の場合は第二音節に（例： o·mán ）

アクセントを持つ。これらについては本書中にアクセントの位置は示さない。

また「一般的な人は／が」を意味する人称接辞 an= によって形成される単語については

an·e·rá·nak·pe の如く第三音節にアクセントを持つ場合がある。

こういう単語は一方で

an·é·ra·nak·pe とも発音される。これは前者が an=eranak pe という名詞句として意識されているのに対して後者は既に一つの単語として意識されているからと考えられる。これについても特に必要な場合を除きアクセントの位置は示さず、アクセントの位置は使用者によって選択するものとする。

以上のもの以外の ú·na などという不規則なアクセントを持つものについては úna と表記する。

（太田満）

略 号

用いた略号は以下である。

太田満原稿表記 本書での略号

(新語)	(新)	<完全動詞>	[完動]
<名詞>	[名]	<連動詞>	[連動]
<名詞：数詞>	[名：数詞]	<連自動詞>	[連自]
<名詞：連体詞>	[名・連体]	<連他動詞>	[連他]
<名詞、副詞>	[名・副]	<接続動詞>	[接続動詞]
<固有名詞>	[固名]	<副詞>	[副]
<場所名詞>	[場名]	<副詞：疑問>	[副：疑問]
<場所>	[場名]	<副助詞>	[副助]
<場所名詞：副詞>	[場名・副]	<接続助詞>	[接助]
<場所名詞：数詞>	[場名：数詞]	<終助詞>	[終助]
<場所名詞、副詞>	[場名・副]	<後置詞>	[後置]
<(場所)名詞>	[名(場名)]	<後置副詞>	[後副]
<位置名詞>	[位名]	<連体詞>	[連体]
<形式名詞>	[形式名]	<指示連体詞>	[指示連体]
<代名詞>	[代名]	<接頭辞>	[接頭]
<代名詞：不定>	[代名：不定]	<接尾辞>	[接尾]
<代名詞：疑問>	[代名：疑問]	<語根>	[語根]
<指示代名詞>	[指示代名]	<人称接辞>	[人称]
<不定代名詞>	[不定代名]	<擬声語>	[擬声]
<自動詞>	[自]	<間投詞、自動詞>	[間投・自]
<自動詞、間投詞>	[自・間投]	<連体詞、副助>	[連体・副助]
<自動詞、名詞>	[自・名]	<連体詞：数詞>	[連体：数詞]
<他動詞>	[他]	<連体詞：疑問>	[連体：疑問]
<他動詞、助動詞>	[他・助動]	(表現)	ママ
<0項動詞>	[0動]	(複数)	ママ

注 記

① 他動詞の目的語数

本書の品詞表記では目的語を1つとる他動詞(2項動詞)と、目的語を2つとる他動詞すなわち複他動詞(3項動詞)とを区別していない。だが、後者については、

[他]〜から〜を取り去る *kouk* (複数 *kouyna*)

[他](人)に〜を取らせる *ukte* (複数 *uynare*) (新)

[他]〜を直す *utapke* (石狩): [他](場所)で〜を直す *eutapke* (新)

のように「〜から〜を」「(人)に〜を」「(場所)で〜を」を用いるなどして目的語を2つとることが説明されている。

② 新語について

本書では伝統的生活の中で用いられていた意味からの転用、使用例が少ない他動詞形などについて、いわば作例であることを示す場合にも「新語」として扱っている。略記は「(新)」である。厳密に言えばそれらは新語ではないが、原稿のままとした。

③ 「(表現)」について

本書では複数の語からなる表現についてしばしば「(表現)」と付されている。

④ 方言表記

本書は原則として現在の旭川地域での氏の調査結果をもとにした石狩方言の辞書だが、他の地域の語彙・表現も含まれている。それらは「(空知)」「(十勝)」などのように地域名で表記されている。

⑤ アクセント表記

「この辞書の使い方 発音の注意 アクセント」にあるように、原則として第一音節の例外的な高アクセント母音はアクセント記号を付した *á é í ó ú* と表記してある。原稿ではしばしば同記号の脱落が見られるが、あえて訂正せず原稿のままとした。

⑥ 「●」記号

原稿には「カボチャ」「コナラ」「ザノニア」「パームシベット」の4項目の学名の前に「●」という記号が付されている。これはおそらく学名の後日検討のための備忘を目的とした記号と思われるが定かではない。これはそのまま残した。

⑦ 原稿ファイルについて

本書の原稿は太田満氏が亡くなる前に丹菊に送っていた電子ファイルである。ファイルは Microsoft Access Database 形式で拡張子は.mdb、ファイル名は「決定版 A03 アイヌ語登録管理_v2.2(和愛辞典)」、ファイルサイズはおよそ 6.8MB である。

項目数は 12501 数だが、1 項目は重複があったため削除した。また、「へそくり」の項目については日本語見出しが欠けていたため丹菊が補った。

(丹菊逸治)

ああ ①(感動して発する声)[間投]ああ a (石狩)、[間投] aa (石狩): ②(悲しみ、嘆きにより発する声)[間投]ああ haypo (石狩): 「あなた、ああ!」 “Hoku, haypo!”: ③(痛い時などに発する声)[間投]ああ haí-yá (石狩)、[間投] haí-yó (石狩): ④(相手の発言に納得して) [間投]ああそうだね ohayne (沙流)、[間投] owayne (静内)

あー ①(疲れた時に発する声)[間投]あー haeya (石狩): 「あー、疲れたな!」 “Haeya, ku=sinki mana (> umana)!”: ②(感動したり嘆きの声として)[間投]あー a (石狩)、[間投] aa (石狩): ③0[間投]あー a (石狩): (表現)あーびっくりした awe etonton (石狩): ④(言葉の繋ぎ)[間投]あー a (石狩)

アーカンソー [場名](アメリカ合衆国の州名)アーカンソー州 Arkansas-mosir (新)※(州都は「リトルロック」)

アークトセカ (植物)[名](キク科)アークトセカ属 arxutoteka-cise (新): [名]アークトセカの茎葉 arxutoteka (新)※(学名より。別名「ワタハナグルマ」): [名]アークトセカの花 arxutoteka-apappo (新)

ああっ [間投](間違えなど何かに気付いた時に発する声)ああっ! aapap (石狩)

アーティチョーク →「チョウセンアザミ(朝鮮薊)」を見よ

アーモンド (植物)[名](サクラ属)アーモンドの茎 armondoni (新): [名]アーモンドの花 armondoni-apappo (新): [名]アーモンドの果実 armondonikaop (新): [名]アーモンドの種子 armondopi (新): [名]アーモンドの仁、及びそれを加工した食品 armondo (新)※(英語): [自]アーモンドグリーン色になる、である armondo-esiwnin (新): [他]～をアーモンドグリーンにする armondo-esiwninte (新): [名]アーモンドグリーン色 armondo-esiwnin-iro (新)

あい(1)(愛) ①(親子、師弟間などの慈愛としての)[名]愛 iomap (新): [自]人愛する iomap (新): [他](人)を愛する omap (石狩): [他](人)に(人)を愛させる omapka (omapte) (新): [自]愛し合う uomap (新): ②(好意としての)[名]愛 ieramasuy (ieramasu) (新): [自]人愛する ieramasuy (ieramasu) (新): [他](人)を愛する eramasuy (eramasu) (石狩): [他](人)に(人)を愛させる eramasuyka (eramasuka) (新): [他] eramasuy (eramasure) (新): [自]愛し合う ueramasuyre (ueramasu) (新): ③(異性間の)[名]愛 iosiknuka (iosiknoka) (新)、

[名] ikateomare (新): [自]人愛する iosiknuka (iosiknoka) (新): [自] ikateomare (新): [他](人)を愛する osiknuka (osiknoka) (石狩): [他] kateomare (石狩): [他](人)に(人)を愛させる osiknukaka (osiknukare) (新): [他] kateomareka (kateomarere) (新): [自]愛し合う uosiknuka (uosiknoka) (新): [自] ukateomare (新): ④(異性が身も心も求める)[名]愛 iosikkote (新): [自]愛する iosikkote (新): [他](人)を愛する osikkote (石狩): [他](人)に(人)を愛させる osikkoteka (osikkotere) (新): [自]愛し合う uosikkote (新)

アイ(2)(藍) ①(植物)[名](イヌタデ属)アイの茎葉 aytante (新)※(別名「アイタデ」): [名]アイから採った染料、藍 ay (新)※(日本語): ②[自]藍色になる、である ayne (新)、[自] áy-irone (新): [他]～を藍色にする、藍染にする ayneka (aynere) (新): [他] áy-ironeka (-irone) (新): [名]藍色 ay (新)、[名] áy-iro (新)

アイアイ (動物)[名](曲鼻猿亜目)アイアイ科 áiy-apa (新): [名]アイアイ属 áiy-cise (新): [名]アイアイ áiy (新)

アイアンブルー [自]アイアンブルー色になる、である kunnekan-ia (新): [他]～をアイアンブルー色にする kunnekan-iaoka (-eaore) (新): [名]アイアンブルー色 kunnekan-ia-iro (新)

あいいん(愛飲) (表現)～を愛飲する ～ eramasuy wa ku ranke (新)

アイウシ ①[名]アイウシ áyus (石狩)、[名]アイウシ文様、棘付文様 áyus-sirki (石狩): 片面だけの物も対称形になっている物もこう呼ぶが、後者を特に uwotkikir と呼ぶ事もある。: ②[名]アイウシウレンモレウ áyus-urenmorew (石狩)、[名]アイウシウレンモレウ文様、棘付双渦巻文様 áyus-urenmorew-sirki (石狩): シクウレンモレウの輪郭だけで内部を刺繍せず、トランプのスペード形にした文様。: ③[名]アイウシモレウ文様、棘付渦巻文様 áyusmorew-sirki (石狩): 棘の付いた渦巻文様。

アイオワ [場名](アメリカ合衆国の州名)アイオワ州 Aiowa-mosir (新)※(州都は「デスモイネ」)

あいか(哀歌) ①[名]哀歌 iyohayocis (沙流): ②(聖書)[名]哀歌 Éha (新)(ヘブライ語)

アイカメラ [名]アイカメラ sikkamera (新)※(目・カメラ)

あいかわらず(相変わらず) [副]相変わらず

ramma (石狩、天塩)、[副] isenramte (沙流)：(表現)相変わらず ramma kane (石狩)：(表現)相変わらず、続けざまに uepaki ta (石狩)：(表現)(前述の内容を受け)相変わらずその様にする kanna néno iki (石狩)

アイキャッチャー [名]アイキャッチャー sikosittarirep (新)※(自分に注目させる物)

あいきょう(愛郷)(表現)愛郷心 yaykotaneramasuy kewtum(-u) (新)：(表現)愛郷心を持つ yaykotaneramasuy kewtum kor (新)

あいこく(愛国) [名]愛国者 ekasikormosir-eoripakkur (新)、[名] yaysinricikormosir-eoripakkur (新)、[名] yayunmosir-eoripakkur (新)、[名] patriot (新)※(英語)：(表現)愛国心 ekasikormosir-eoripak kewtum(-u) (新)、(表現) yaysinricikormosir-eoripak kewtum(-u) (新)、(表現) yayunmosir-eoripak kewtum(-u) (新)、[名] patriotizum (新)※(英語)：(表現)愛国心を持つ ekasikormosir-eoripak kewtum kor (新)、(表現) patriotizum kor (新)

あいさつ(挨拶) ① [名]挨拶 uerankarap (石狩)：[名]人への挨拶 ierankarap (新)：[自]人に挨拶する ierankarap (石狩)：[自]挨拶を交わす uerankarap (石狩)：[他](人)に挨拶する erankarap (石狩) ※(本来は男同士の行為を指す言葉だが、今後は性別、やり方を問わず挨拶一般を指す事とする。)：② [自](男が同性に対し)正式に挨拶する ikoyaytakkar (新)：[自](男同士が)正式に挨拶を交わす ukoyaytakkar (石狩)、[自] ukoyayekurekarpa (天塩)：[他](男が同性の人)に正式に挨拶する koyaytakkar (石狩)：③ [自](男が同性に対して)拝礼して挨拶する onkami (石狩、天塩)：[自](男同士が)拝礼し挨拶し合う ukoonkami (石狩)：[他](男が同性の人)に拝礼し挨拶する koonkami (石狩、天塩)：④ [自]人の手をとって挨拶する iekap (新)：[自]手を取り合って挨拶する uekap (石狩)：[他](人)の手をとり挨拶する ekap (石狩、天塩)：[自]両手を合わせて擦って挨拶する tekinupa (八雲)：[自]頭や手を擦り合って挨拶する umusa (八雲)：⑤ [自](女が同性である)人の手をとって挨拶する itekruyruye (新)：[自](女同士が)手を取り合って挨拶する utekruyruye (石狩)：[他](女が同性の人)の手をとり挨拶する tekeruyruye (新)：⑥ [自](女が同性の人)の手をとり撫で擦って挨拶する iruyruye (iruyruwe) (新)：[自](女同士が)手をと

撫で擦り合って挨拶する uruyruye (uruyruwe) (石狩)：[他](女が同性の人)の手をとり撫で擦って挨拶する ruuyruye (ruyruwe) (石狩)：[間投]女性同士が挨拶で発する声 hí-yá (石狩)：⑦(石狩以外の地で見られる女性同士の特殊な挨拶の仕方)で[自]挨拶する raymek (幌別)、[自] raymik (沙流)：⑧ [自](和風に)頭を下げて挨拶する hepoki (新) ※(幌別)：[自]互いに頭を下げて挨拶する ukohepoki (新)：[他](和風に人)に頭を下げて挨拶する kohepoki (新)

あいさびいろ(藍錆色) [自]藍錆色になる、である aysipop-irone (新)：[他]～を藍錆色にする aysipop-ironeka (-ironere) (新)：[名]藍錆色 aysipop-iro (新)

アイシャドー [名]アイシャドー sikkur (新) ※(目・影)

あいしょう(愛称) [名]愛称 ponre (沙流)

あいじょう(愛情)(表現)(異性間の)愛情 iosiknuka kewtum(-u) (新)、(表現) uosiknuka kewtum(-u) (新)：(表現)～への愛情 ～ osiknuka kewtum(-u) (新)：(表現)(人類愛的な)愛情 ieramasuy kewtum(-u) (新)、(表現) ueramasuy kewtum(-u) (新)：(表現)(親子師弟間の)愛情 iomap kewtum(-u) (新)、(表現) uomap kewtum(-u) (新)

あいじるし(合印) [名](旗指物、武器などに付ける)合印 ueramanitokpa (新)※(認識し合う印)

あいじん(愛人) [名]愛人 cipankemat (萱野)、[名] cipantemat (萱野)、[名] ponmaci (新)

あいず(合図) ① [自]合図する yáka (石狩)：[他]～に関して合図する eyaka (新)：[他](場所)で合図する eyaka (新)：[他]～に合図する、～と共に合図する koyaka (新)：[他](原因、手段)で合図する、～に関して合図する oyaka (新)：[他](人)に合図させる yákare (新)：[自]自分で、一人で合図する yaykoyaka (新)：[自]互いに合図する、合図し合う ukoyaka (新)：② (相手の行動を促す)[自]目で合図する rarepuni (石狩)、[自] rareyaka (沙流)：[他]～に目で合図する korarpuni (新)：[他](人)に目で合図させる rarepunire (新)：③(竿の先に着物などを付け)[自] inusuk (八雲)：[他]～に合図する koinusuk (新)：[他](人)に合図させる inusukte (新)

アイスクリーム [名]アイスクリーム rupuskurim (新)、[名] je rato (新)※(伊語)

アイスグリーン [自]アイスグリーン色になる、である konru-esiwnin (新): [他]~をアイスグリーン色にする konru-esiwninte (新): [名]アイスグリーン色 konru-esiwnin-iro (新)

アイスショー [名]アイスショー cikonruka-enukarape (新)※(氷の上で人に見せる物)

アイスボックス [名]アイスボックス iyamkasupop (新)、[名] iyamtesupop (新)

アイスランド ①[場名](国名)アイスランド共和国 Isrando Ukotankoremisir (新)※(首都は「レイキャビーク」): [場名](国名の通称として)アイスランド Islando (新): [名]アイスランド人、国民 israndounkur (新): [名]アイスランド語 israndounkur-itak (新): ②[場名](地名)アイスランド島 Isrando-poysir (新)

あいせき(相席) [自]人と相席する ikoitakoa (新): [他]~と相席する koitakoa (新): [他]相席する ukoitakoa (新)

アイゼン [名]アイゼン amusnupuriker(i) (新)

あいた(あ痛) [間投](痛い時にあげる声)あ痛 ayo (石狩)、[間投] hayo (石狩)

あいだ(間) (1)①[位名](空間的、時間的に)~の間 utur(長形 -u、-uke、-ke) (表現)~の間に utur(長形 -u、-uke、-ke) ta (石狩)※(雅語表現としては長形の uturu(-ke、-ke)が後置副詞的に用いられる。): (表現)~の間に、を挟む、入れる、置く ~ utur(長形 -u、-uke、-ke)… omare (石狩)、(表現)~ ukoutur(長形 -u、-uke、-ke)… omare (石狩): ②[位名](時間的に)~の間 rapok(長形 -i、-ike) (石狩): 「私が知人と話している間に君は何処に行ったの?」

“Ku=amkir kur tura ukoitak=as rapok ta neyne e=oman ruwe ?”: (2)[後副](期間を示し)~の間 mosma (石狩)、[後副](雅語) rapoki (石狩): 「私が留守の間君はここで暮したら良いですよ。」

“ Ku=ohasinne mosma te ta e=an yak pirka na . ”

あいだがら(間柄) [位名](人)の間柄 utur(長形 -u、-uke、-ke) (石狩)

あいたっ(あ痛っ) [間投](痛い時にあげる声)あ痛っ! Hayyo (石狩、天塩)、[間投] hayyo (石狩)

アイダホ [場名](アメリカが州国の州名)アイダホ州 Aydahow-mosir (新)※(州都は「ボイジー」)

あいつ (1)(軽蔑、憎悪などを込め、あるいは目上の者が目下の者を具体的に指し示し)①(話者より遠い人を指し)[指示代名]あいつ

taampe (石狩): [指示代名]あいつら tokaype (新): ②(話者より遥かに遠い人を指し)[指示代名]あいつ toampe (新): [指示代名]あいつら tookaype (新): ③(既に話題にされたりして相手が知っている人を指し)あいつ néampe (石狩)、[指示代名] néap (新): [指示代名]あいつら néokaype (新)、[指示代名] nérokpe (新): (2)(軽蔑、憎悪などを込め罵り言葉として)[指示代名]あいつ eneampe (石狩): [指示代名]あいつら eneokaype (石狩)

あいづち(相槌) [名]相槌 hetce (石狩): [自]相槌を入れる hetce (石狩): [他](人)に相槌を入れさせる hetcere (石狩)

あいづま(相妻) [名]相妻 utusmat(-ci) (石狩): [他]~の相妻となる tuste (沙流): (表現)(雅)山の神の娘が私の相妻となる kimun menoko i=tuste (久保寺)

アイヅユキマス(会津雪鱒)(魚介)[名](コレゴマス属)アイヅユキマス aizu-upascep (新)、[名] peret (新)※(学名)

あいてついろ(藍鉄色) [自]藍鉄色になる、である aykunnekani-irone (新): [他]~を藍鉄色にする aykunnekani-ironeka (-ironere) (新): [名]藍鉄色 aykunnekani-iro (新)

アイドル [自]アイドルである sikosittaripayar (新)※(自分に人の注目を集める): (表現)アイドル歌手 sikosittaripayar upopokur (新)、(表現) sikosittaripayar sinotcakikur (新): [名]アイドル sikosittaripayarkur (新): (表現)スーパーアイドル iakkari sikosittaripayar kur (新)、(表現) súper sikosittaripayar kur (新): [名]アイドル男性 sikosittaripayar okkayo (新): [名]アイドル女性 sikosittaripayar menoko (新)

アイナメ(鮎並) (魚介)[場名](カサゴ目)アイナメ亜目 sirpok-mokotan (新): [名]アイナメ科 sirpok-apa (新): [名]アイナメ亜科 (新): [名]アイナメ属 sirpok-cise (新): [名]アイナメ亜目、アイネメ科及びアイナメ属の魚類の総称 sirpok (新): [名]アイナメ sirpok (長万部)※(方言「アブラコ」): [名]スジアイナメ rumaype (虻田): [名]オクシュレビウス亜科 oksirebius-moapa (新): [名]オフイドン亜科 ofidon-moapa (新): [名]ザニオレビス亜科 zaniorepis-moapa (新): [名]ホッケ亜科 nispok-moapa (新)

アイヌ ①[名](北海道アイヌの自称としての)アイヌ yaunkur (石狩): ②[名](新しい言葉として和人に対する北海道、樺太、千島

に先住した民族の仮の総称としての)アイヌ Aynu (全国)※(但しこれは和人に対する自称、あるいは日本の占領統治下旧土人として先の三地域の住民をひっくるめた日本語「アイヌ」から便宜上用いられている言葉。とはいえ基本的に同文化同言語を持つ民族の総称かない以上、各地域のアイヌの子孫達の合意によって民族名が決定されるべきだが、既に長らくアイヌ自身によって用いられ、国際的にも広く認知された"aynu"を民族名としても良いだろう。当書ではこの仮の新しい民族名の表記を"Aynu"とする。尚、民族名決定に際しては日本の行政や和人の干渉を避け、短慮や個人的利益によって民族の根幹を汚さぬように充分配慮し、三者が同等の立場でそれが行われる事を切に希望する。): ③(表現(アイヌ内で民族の定義等正式に決定されるまでの)アイヌ aynu sekor a=ye utar (新): ④[名](社団法人北海道アイヌ協会の略称として)アイヌ協会 Aynu-uekarpau (新)※(略号 AU): ⑤[名](旭川アイヌ協議会の略称として)アイヌ協議会 Aynu-euyepnuus (新)※(略称 AE)

アイヌゴ(アイヌ語) [名]アイヌ語 Aynuitak (石狩): [名](アイヌにとっての)アイヌ語 ankóritak (石狩)、[名] anutáriiposse (新): (表現)アイヌ語を使う Aynuitak eiwanke (石狩): (表現)アイヌ語で話す Aynuitak ani itak (石狩): (表現)アイヌ語で会話する Aynuitak ani ukoitak (石狩): [名]アイヌ語学習 Aynuitak-eyaypakasnu (新)、[名] Aynuitak-eupakasnu ((新)): [名]アイヌ語教育 Aynuitak-eipakasnu (新): [場名]アイヌ語教室 Aynuitak-eupakasnuusi (新)、[場名] Aynuitak-eukokampinuyeu (新): [名]アイヌ語禁止 Aynuitak-eeckikise (新): [名]アイヌ語研究 Aynuitak-yaykokekerka (新): [名]アイヌ語使用 Aynuitak-eiwanke (新): [名]アイヌ語普及 Aynuitak-pirasa (新)

アイヌぶんか(アイヌ文化) [名]アイヌ文化 Aynupuri (新): (法律)[名]アイヌ文化振興法 Aynupuripirasa-irenka (新): [名]アイヌ文化普及 Aynupuri-pirasa (新): [名]公益財団法人アイヌ文化振興研究推進機構 utarpirkare-cikorataynupikir Aynupuripirasa-Aynupuripekerka-eikasuy-ciikirikarkarpe (-cinuataynupikir-) (新)※(略号 UCIAAEC)

あいねず(藍鼠) [自]藍鼠色になる、である aykounaus (新): [他]～を藍鼠色に染める aykounausi (aykounauste) (新): [名]藍鼠色 aykounaus-iro (新)

あいので(合いの手) [名]合いの手 hetce (石狩): 「君の合いの手は上手だ。」“Hetce e=easkay .”: [自]合いの手を入れる hetce (石狩): 「君の合いの手は素晴らしい。」“E=hetce hawe pirka .”: [他](人)に合いの手を入れさせる hetceka (hetcere) (新)

あいはかる(相計る) [自]相計る unisuk (石狩): 「…八つの村が相計って…」… tupesan kotan unisuk wa…」(砂沢クラ)英雄詞曲

アイビーグリーン [自]アイビーグリーン色になる、である ívi-esiwnin (新): [他]～をアイビーグリーン色にする ívi-esiwninte (新): [名]アイビーグリーン色 ívi-esiwnin-iro (新)

あいぶ(愛撫) [自]愛撫する ihenkotpa (新): [他]～を愛撫する henkotpa (石狩): [他](人)に～を愛撫させる henkotpare (新): [他]自分で、一人で～を愛撫する yaykohenkotpa (新): [他]皆で～を愛撫する ukohenkotpa (新): [他]人～を愛撫させる henkotpayar (新): [自]人に自分を愛撫させる sihenkotpayar (新): [自]自分で自分を愛撫する yayhenkotpa (新): [自]愛撫し合う uhenkotpa (新)

アイブリ(合鰯) (魚介)[名](ブリモドキ亜科)アイブリ属 esuprotkiapa-cise (新): [名]アイブリ esuprotkiapa (新)

アイボリー ①[自]アイボリー色になる、である ívorine (新)※(英語)、[自] eturacisikitene (新): [他]～をアイボリー色にする ívori-neka (-nere) (新)、[他] eturacisikite-neka (-nere) (新): [名]アイボリー色 ívori-iro (新)、[名] eturacisikite-iro (新): ②[自]アイボリーブラック色になる、である ponepas-ekunne (新): [他]～をアイボリーブラック色にする ponepas-ekunneka (-ekunnere) (新): [名]アイボリーブラック色 ponepas-ekunne-iro (新)

アイボルト [名]アイボルト iatte-pinnecinoyep (新)※(「つりボルト」とも)

あいまい(曖昧) [名]曖昧さ homar (新)、[名] aimay (新)※(日本語): [自]曖昧になる、である homar (新)、[自] aimayne (新): [他]～について曖昧になる、である ehomar (新)、[他] eaimayne (新): [他]～を曖昧にする homare (homarka) (新)、[他] aimaynere (新): (表現)曖昧な言い方をする itak homare (新): [副]曖昧に homanno (新)、[副] aimayneno (新)

アイマラ [名]アイマラ人 aymaranekur

(新): [名]アイマラ語 *aymaritak* (新)※
(南米のペルー共和国、ボリビア共和国の公用語)

あいみるちや(藍海松茶) [自]藍海松茶色になる、である *aymiruca-irone* (新): [他]～を藍海松茶色に染める *aymiruca-ironeka (-ironere)* (新): [名]藍海松茶色 *aymiruca-iro* (新)※(日本語)

あいりきゅう(藍利休) [自]藍利休色になる、である *ayrikiyu-irone* (新): [他]～を藍利休色に染める *ayrikiyu-ironeka (-ironere)* (新): [名]藍利休色 *ayrikiyu-iro* (新)※(日本語)

アイルランド ①[場名](国名)アイルランド *Éra* (新)※(首都は「ダブリン」): [名]アイルランド人 *éraunkur* (新): [名]アイルランド語 *éraunkuritak* (新)※(「ゲール語」、「アイルランド・ゲール語」とも): ②[場名](地名)アイルランド島 *Éra-ponsir* (新): ③[名]アイルランド共和国軍 *Éra Ukotankoremosir kor tumiutar* (新)※(1919～69年。英語略称 IRA)。英語語略称 IRA): [名]IRA 暫定派 *Ietokoyki Éra Ukotankoremosir kor tumiutar* (新)※(1969～現在。英語 Provisional IRA): [名]コンテニューイテ IRA *Kontinuyti Éra Ukotankoremosir kor tumiutar* (新)※(1986～現在。英語 CIRA)[名]リアル IRA *Síno Éra Ukotankoremosir kor tumiutar* (新)※(1997～現在。英語略称 RIRA)

あいろう(隘路) (表現)隘路 *hupne ru(-we)* (石狩)

アイロン [名]アイロン *yomrarpap* (新)、[名] *iron* (新)※(英語より): (表現)～にアイロンをかける *yomrarpap ani ~ rarpa* (新)

アインスタニウム (科学)[名]アインスタニウム *ainsteynium* (新)※(原子番号99番。元素記号 Es)

あう(会う) ①[自]人と会う *inukar* (新): [他](人)と会う *nukar* (石狩): [他](場所)で(人)と会う *enukar* (新): [他]～と共に(人)と会う *konukar* (新): [他](原因、手段)で(人)と会う *onukar* (新): [他](人)を(人)に合わせる *nukare* (新): [他]自分で、一人で(人)と会う *yaykonukar* (新): [他]互いに、皆で(人)と会う *ukonukar* (新): [他]ちょっと(人)と会う *nukattek* (新): [他]人に(人)と合わせる、会わせてもらう *nukarar* (新): [自](互いに)会う *unukar* (石狩): 「また会いましょう。」 “Suy unukar=an ro!”: [他](ある人どうし)を合わせる *unukare* (新): [自](ある人達皆が)会う *ukouekarire* (石狩): ②

(遭遇)[自]人とばったり会う、会う *ikoekari (ikoykari)* (新): [他]～とばったり会う *koekari* (石狩): [自]互いにばったり会う *ukoekari (ukoykari)* (石狩)

あう(合う) [他](人)に合う *kotom* (新): [他]～について(人)に合う *ekotom* (新): [他](時、場所)に(人)に合う *ekotom* (新): [他]～と共に(人)に合う *kokotom* (新): [他](原因、手段)で(人)に合う *okotom* (新): [他]～を(人)に合わせる *kotomka* (新)

あえぐ(喘ぐ) [自]喘ぐ *tasmak* (石狩): (表現)喘ぎ声 *tasmak hawe* (新): [他](場所)で喘ぐ *etasmak* (新): [他](人)に喘がせる *tasmakka (tasmakte)* (新): (表現)(疲れのあまり息切れし)小鳥が喘ぐようである *cikappo tasmak sikopayar* (幌別)

あえん(亜鉛) (化学)[名]亜鉛 *zinkum* (新)※(原子番号30番。元素記号 Zn)

あお(青) ①(色彩に関して)[自]青くなる、青い *áo* (新)※(日本語より)、[自] *siwnin* (石狩)※(本来 *siwnin* だけで良いのだが、今後はっきりと色を区別する時には先の言葉を用いる): [名]青色 *áoiro* (新): [他]～を青くする *áooka (áore)* (新)、[他] *siwninka (siwninte)* (新): [自]真っ青になる、である *áoono (áosiwninno)* (新)、[自] *pirkaao (pirka-aosiwnin)* (新): ②(植物に関して)[自](実が熟してなくて)青い *hu* (石狩): 青い果実 *hu nikaop* (新)

あおあお(青々) [自](植物が)青々とする、している *hu* (石狩): [他]～を青々とさせる *húka (húre)* (新)

あおあざ(青痣) [名]青痣 *kemotok* (石狩)

アオイガイ(葵貝) (魚介)[場名](タコ目)アオイガイ上科 *seynuatkorpe-apapa* (新): [名]アオイガイ科 *seynuatkorpe-apa* (新): [名]アオイガイ属 *seynuatkorpe-cise* (新): [名]アオイガイ *seynuatkorpe* (新)※(別名「カイダコ」): [名]タコブネ *cipoatkorpe* (新): [名]チヂミタコブネ *rúkunnecipoatkorpe* (新): [名]チビタコブネ *mocipoatkorpe* (新)

アオウオ(青魚) (魚介)[名](コイ科)アオウオ属 *siwnincep-cise* (新): [名]アオウオ *siwnincep* (新)

アオウミガメ(青海亀) (動物)[名]アオウミガメ属 *kunneecinkew-cise* (新): [名]アオウミガメ *kunneecinkew* (新)※(幌別方言 *kunneecinke* より): [名]クロウミガメ *kurokecinkew* (新)

あおかし(青褐) [自]青褐色になる、である *áokaci-irone* (新): [他]～を青褐色に染める *áokaci-ironeka (-ironere)* (新): [名]

青褐色 áokaci-iro (新)※(日本語)

あおき(青黄) [自]青黄色になる、である áokosikerpepeus (新)、[自] áokoipeus (新)： [他]～青黄色を色にする áokosikerpepeusi (áokosikerpepeuste) (新)、[他] áokoipeusi (áokoipeuste) (新)： [名]青黄色 áokosikerpepeus-iro (新)、[名] áokoipeus-iro (新)

アオキ(青木) (植物)[名](ミズキ科)アオキ属 siwnunni-cise (新)： [名]アオキの茎 siwninni (新)： [名]ヒメアオキの茎 mosiwninni (新)

あおぐ(仰ぐ) [自]仰ぐ hetesu (複数 hetespa) (新)： [他]～を仰ぐ kohetsu (複数 kohetspa) (新)： [他](場所)から仰ぐ ohetsu (複数 ohetspa) (新)： [他](人)に仰がせる hetesure (複数 hetespare) (新)： [自]パッと仰ぐ hetestekka (新)： [他]～をパッと仰ぐ kohetestekka (新)： [自]顎を突き出し仰いでいる nottarara (石狩)、[自] nottesusu (沙流)

あおぐ(扇ぐ) ①(一回の動作、あるいは回数を意識せず)[他]～を扇ぐ paru (石狩)： [他](手段)で～を扇ぐ oparu (新)： [他](人)に～を扇がせる parure (新)： (表現)～の全体を扇ぐ ～ tuymaparu hankeparu (石狩)： ②(複数回の動作)[他]～を扇ぐ paruparu (石狩)、[他] parpa (石狩)： [他](人)に～を扇がせる parupare (新)、[他] parpa (新)： [自]自分を人に扇がせる siparpayar (新)： ③[他]～を静かに扇ぐ ratciparu (新)： [他](道具)で～を静かに扇ぐ eratciparu (石狩)

あおくさ(青草) [名](有用な)青草 húkina (石狩)： [名](無用な)青草 húmun (石狩)

アオサギ(青鷺) (鳥)[名](サギ亜科)アオサギ属 petcaewak-cise (新)： [名]アオサギ petcaewak (釧路)： [名]オオアオサギ sípetcaewak (新)： [名]オニアオサギ síporo-petcaewak (新)： [名]シロハラサギ honiretar-petcaewak (新)： [名]ナンベイアオサギ koypokamerika-petcaewak (新)： [名]マダガスカルサギ madagašíkara-petcaewak (新)： [名]ムラサキサギ pewrekina-sinritpeus-petcaewak (新)

あおざめる(蒼ざめる) [自]顔色が蒼ざめる oiporoposo (美幌)： (表現)顔色が蒼ざめる nanu siwnin (石狩)： (表現)顔色が蒼ざめて水に漬けたコンブのようである iporo woro kompu an=esikopayar (新)※(幌別)： 「手紙を読む君の顔は蒼ざめて水に漬けたコンブのようであった。」 “ Kampi e=nukar

kor e=iporo woro kompu an=esikopayar .”

アオジャコウアゲハ(青麝香揚羽) [名](キシタアゲハ族)アオジャコウアゲハ属 áomusku-kitomarewrew-cise (新)： [名]アオジャコウアゲハ áomusku-kitomarewrew (新)： [名]ウラベニアオジャコウアゲハ rapupokhure-áomusku-kitomarewrew (新)

あおじゅうごごう(青15号) [自]青15号になる、である 15pene-aone (asiknep-ikasma-wampene-aone) (新)： [他]～を青15号にする 15pene-aoneka (yérownere) (新)： [名]青15号色 15pene-ao-iro (新)

あおじろい(蒼白い) ①[自]蒼白くなる、蒼白い worokompune (新)、[自] máteksiwnin (新)： [他]～を蒼白くする worokompuneka (worokompunere) (新)、[他] máteksiwninka (máteksiwninte) (新)： ②[自]顔色が青白く弱々しい rerek (幌別)

あおしろつるばみ(青白椽) [自]青白椽色になる、である kóji-irone (新)、[自] toytacir-irone (新)： [他]～を青白椽色に染める kóji-ironeka (-ironere) (新)、[他] toytacir-ironeka (-ironere) (新)： [名]青白椽色 kóji-iro (新)、[名] toytacir-iro (新)

アオスジアゲハ(青条揚羽) (昆虫)[名](アゲハチョウ亜科)アオスジアゲハ族 áoruun-kitomarewrew-utar (新)： [名]アオスジアゲハ属 áoruun-kitomarewrew-cise (新)： [名]アオスジアゲハ áoruun-kitomarewrew (新)： [名]アカネタイマイ cikutapekotope-kitomarewrew (新)※(溢れた牛乳揚羽)： [名]アガメデスタイマイ agamedes-osiromaupas-kitomarewrew (新)： [名]アゲテスオナガタイマイ agestes-saratanne-ruun-kitomarewrew (新)： [名]アサクラアゲハ emuskor-kitomarewrew (新)： [名]アフリカマダラタイマイ afrika-osiromaupas-kitomarewrew (新)※(アフリカ万年雪揚羽)： [名]アボタイマイ apo-ruun-kitomarewrew (新)： [名]アリステウスオナガタイマイ aristes-saratanne-ruun-kitomarewrew (新)： [名]アルマンソールタイマイ armansor-osiromaupas-kitomarewrew (新)： [名]イサベルコモンタイマイ meek-sirkio-kitomarewrew (新)： [名]ウォーレスタイマイ wóres-sirkio-kitomarewrew (新)： [名]オオアカネタイマイ sícikutapekotope-kitomarewrew (新)： [名]オオアサクラアゲハ siémuskor-kitomarewrew (新)：

[名]オオオナガタイマイ sísaratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]オオゴマダラタイマイ síkaparamipmi-kitomarewrew (新): [名]オナガコモンタイマイ saratanne-sirkio-kitomarewrew (新): [名]オビモンタイマイ húrekani-sirkio-kitomarewrew (新): [名]キミドリマダラタイマイ pewresiwnin-sirkio-kitomarewrew (新): [名]クロマダラタイマイ adamastor-osiromaupas-kitomarewrew (新): [名]ゲロンタイマイ geron-aoruun-kitomarewrew (新): [名]コオナガコモンタイマイ mosaratanne-sirkio-kitomarewrew (新): [名]コドルスタイマイ sikerpepeusruun-kitomarewrew (新): [名]ゴマダラタイマイ kaparamipmi-kitomarewrew (新): [名]コモンタイマイ siwniysirkio-kitomarewrew (新): [名]シセンオオアサクアラゲハ sícuan-siemuskor-kitomarewrew (新): [名]シロマダラタイマイ kirimanjaroupas-kitomarewrew (新)※(キリマンジャロ雪揚羽。Graphium philonoe): [名]シロマダラタイマイ surawesi-kaparamipmi-kitomarewrew (新)※(Graphium encelades): [名]セラムタイマイ seram-aosirkio-kitomarewrew (新): [名]セレベスオナガタイマイ serebes-saratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]セレベスミカダゲハ serebes-aosirkio-kitomarewrew (新): [名]タイワンタイマイ taywan-sirkio-kitomarewrew (新): [名]ヂウカリオンタイマイ deukarion-kaparamipmi-kitomarewrew (新): [名]ドルクスオオオナガタイマイ dorkus-sisaratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]ハルカゼアゲハ paykar-emsikor-kitomarewrew (新): [名]ヒトスジタイマイ retanruun-kitomarewrew (新): [名]フィディアスタイマイ fidias-sirkio-kitomarewrew (新): [名]フィリピンオナガタイマイ firipin-saratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]フィリピンマダラタイマイ firipin-kaparamipmi-kitomarewrew (新): [名]ブラウンタイマイ buraun-sirkio-kitomarewrew (新): [名]ベニモンタイマイ kesorapuhure-kitomarewrew (新): [名]ヘリグロタイマイ rapparukunne-kitomarewrew (新): [名]ミイロタイマイ reirosirkio-kitomarewrew (新): [名]ミカダゲハ áosirkio-kitomarewrew (新): [名]ミロンタイマイ miron-aoruun-kitomarewrew (新): [名]モクセイアゲハ timur-

emuskor-kitomarewrew (新): [名]アメリカオナガタイマイ属 amerika-saratanne-ruun-kitomarewrew-cise (新): [名]カギバアゲハ属 aprap-kitomarewrew-cise (新): [名]シロオナガタイマイ属 rerarsaratanne-ruun-kitomarewrew-cise (新): [名]スソビキアゲハ属 sarasitanne-ruun-kitomarewrew-cise (新): [名]テングアゲハ属 etutanne-kitomarewrew-cise (新): [名]ホソオオナガタイマイ属 ánesaratanne-ruun-kitomarewrew-cise (新): [名]マネシタイマイ属 ieyukar-sirkio-kitomarewrew-cise (新): [名]ヨーロッパタイマイ属 europa-simosinruun-kitomarewrew-cise (新)

あおずみ(青墨) [自]青墨色になる、である áosumi-irone (新): [他]～を青墨色にする áosumi-ironeka (-ironere) (新): [名]青墨色 áosumi-iro (新)

アオダイショウ(青大将) (動物)[名](ナメラ属)アオダイショウ kinasutunkur (石狩)、[名] kenasunkur (石狩)、[名] kinasutunkamuy (天塩): [名]アオダイショウのアルビノ種、シロヘビ retarkinasutunkur (新)、[名] retarkamuy (新)

あおたけ(青竹) [名]青竹 húsitop (新): [自]青竹色になる、である húsitopne (húsitopirone) (新): [他]～を青竹色にする húsitopneka (húsitopnere) (新): [名]青竹色 húsitop-iro (新)

アオダモ(青櫛) (植物)[名](トネリコ属)アオダモの茎 iwani (H)※(コバノトネリコとも)

あおっぱな(青っ渕) [名]青っ渕 etor(-i) (石狩)、[名] eturat(-ci) (幌別)

あおに(青丹) [自]青丹色になる、である siwnintoy-irone (新): [他]～を青丹色にする siwnintoy-ironeka (-ironere) (新): [名]青丹色 siwnintoy-iro (新)

あおにび(青鈍) [自]青鈍色になる、である áowenunaus (新): [他]～を青鈍色にする áowenunausi (áowenunauaste) (新): [名]青鈍色 áowenunaus-iro (新)

あおば(青葉) [名]青葉 húham(-u) (石狩)

アオバズク(青葉木鳶) (鳥)[名](フクロウ科)アオバズク属 hóciko-cise (新): [名]アオバズク ahunrasampe (石狩)、[名] hóciko (天塩)※(鳴き声:「お母さんお婆ちゃん」 húci totto)

アオバト(緑鳩) (鳥)[名](ハト科)アオバト属 wáwocise (新): [名]アオバト属の鳥類の総称 wáwo (新): [名]アオバト wáwo (千歳)、[名] eao (eyao) (天塩)※(鳴き声 wawo、eao あるいは eyao など)

アオミズ(青みず)(植物)[名](ミズ属)アオミズの
茎葉 minci (沙流)、[名] ninci (幌別)、
[名] mósikina (天塩)

あおみどり(青緑)[自] 青緑になる、である
áokosiwnin (新)： [名] ～を青緑にする
áokosiwninka (áokosiwninte) (新)： [名]
青緑色 áokosiwnin-iro (新)

あおむけ(仰向け)[副] 仰向けに kuttokono
(石狩)： [自] 仰向けになる kuttetu (H)：
[他] ～を仰向けにする kuttetu (新)：
[自] パッと仰向けになる kuttetek (新)：
[自] 仰向けに寝る kuttoko (H)： (表現) 仰
向けに寝る kuttokono hotke (石狩)：
[自] 仰向けに倒れて足を宙にばたつかせる
cinkankari (幌別)、[自]
makacinkanhokus (幌別)： [自] 顔が仰
向けになる ekuttetu (新)： [自] 顔を仰
向けに hekuttetu (新)： (表現) 顔を仰
向けに nan(u) kuttetu (新)

あおむし(青虫)(昆虫)[名] 青虫 siwninkikir
(八雲)、[名] kinakikir (天塩)

あおむらさき(青紫)[自] 青紫になる、である
áokoikinapeus (新)、[自] vioret (新)※
(英語)： [他] ～を青紫にする
áokoikinapeusi (áokoikinapeuste) (新)、
[他] vioretka (viorete) (新)： [名] 青
紫色 áokoikinapeus-iro (新)、[名]
viorecero (新)

アオリイカ(障泥烏賊)(魚介)[名](ヤリイカ科)
アオリイカ属 úniham-epetpetke-cise
(新)： [名] アオリイカ úniham-epetpetke
(新)： [名] アメリカアオリイカ amerika-
uniham-epetpetke (新)： [名] オーストラ
リアアオリイカ austoraria-uniham-
epetpetke (新)

アガ[名](地名)アガ川 Aga-pet (新)※(シベ
リアを流れる川)： [場名](ロシア連邦シベリ
ア連邦管区の構成主体名)アガ・ブリヤート自
治管区 Agin-Buriatiya-sieyayetunusiwor
(新)※(首府は「アギンスコエ」)

あか(1)(赤)[自] 赤くなる、赤い húre (石狩)：
[他] ～を赤くする húreka (húre) (新)：
[自] 真っ赤になる、真っ赤である húreno
(石狩)、[自] pirkahure (新)： (表現) 真っ
赤になる、である pirka húre (石狩)：
[名] 赤色 húreiro (新)

あか(2)(垢)[名] 垢 tur(i、u) (石狩)： [自]
垢が付いていない tursak (石狩)： [自] 垢
まみれになる、である túrus (石狩)

あか(亜科)(分類)[名] 亜科 moapa (新)

アカイカ(赤烏賊)(魚介)[名](スルメイカ亜目)ア
カイカ科 húreepetpetke-apa (新)： [名]
アカイカ亜科 húreepetpetke-moapa
(新)： [名] アカイカ属 húreepetpetke-cise

(新)： [名] アカイカ húreepetpetke (新)：
[名] アメリカオオアカイカ属 amerikapor-
hureepetpetke-cise (新)： [名] シラボシ
イカ属 retarkeso-epetpetke-cise (新)：
[名] スジイカ属 tuoepetpetke-cise (新)：
[名] トビイカ属 hopuni-epetpetke-cise
(新)： [名] トビイカ hopunietpetpetke
(新)： [名] ニセアカイカ
cihureepetpetkekopa (新)： [名] ヤセトビ
イカ属 sattekhopuni-epetpetke (新)：
[名] ヤセトビイカ sattekhopuni-epetpetke
(新)： [名] アメリカヤセトビイカ
arsiatuysattekhopunietpetke (新)：
[名] スルメイカ亜科 siepetpetke-moapa
(新)： [名] マツイカ亜科 ireksuepetpetke-
moapa (新)※(学名 illex)

アカウニ(赤海胆)(魚介)[名](オオバフンウニ科)
アカウニ属 húrenona-cise (新)： [名] ア
カウニ húrenona (新)

アカウミガメ(赤海亀)(動物)[名](ウミガメ科)
アカウミガメ属 húreecinkew-cise (新)：
[名] アカウミガメ húreecinkew (新)※(幌
別方言の hureecinke より)

アカエイ(赤鯺)(魚介)[名](トビエイ目)アカ
エイ科 aykotcep-apa (新)： [名] アカエイ
属 aykotcep-cise (新)： [名] アカエイ
aykotcep (長万部)

アカエゾマツ(赤蝦夷松)(植物)[名](トウヒ属)
アカエゾマツ cikapsunku (天塩)、[名]
húresunku (美幌)

アカエリトリバネアゲハ(赤襟鳥羽揚羽)
[名](キシタアゲハ族)アカエリトリバネア
ゲハ属 okusutuhure-cikaprapmarewrew-
cise (新)： [名] アカエリトリバネアゲハ
okusutuhure-cikaprapmarewrew (新)：
[名] パラワンアカエリトリバネアゲハ
parawan-okusutuhure-cikaprapmarewrew
(新)

アカガイ(赤貝)(魚介)[名](フネガイ科)アカ
ガイ属 síkemsey-cise (新)： [名] アカガイ
síkemsey (新)： [名] アメリカアカガイ
amerikakemsey (新)： [名] クイチガイサ
ルボウ arkeporokemsey (新)： [名] クマ
サルボウ saburoukemsey (新)： [名] サ
ルボウガイ yayankemsey (新)： [名] ハ
ゴロモガイ firipinkemsey (新)： [名] マ
ルサルボウ sikarikemsey (新)※(別名「サ
トウガイ」)

アカガシ(赤檜)(植物)[名](コナラ属)アカガ
シ亜属 síriyahamuskomni-cise (新)： [名]
アカガシの茎 síriyahamuskomni (新)※
(別名「オオガシ」など)： [名] アラカシの茎
kunne-riyahamuskomni (新)： [名] イチ
ガシの茎 húre-riyahamuskomni (新)：

[名]ウラジロガシの茎 sirpokiretar-riyahamuskomni (新): [名]オキナワウラジロガシの茎 rucusirpokiretar-riyahamuskomni (新): [名]クウェルクス・アウストログラウカの茎 koypokkunne-riyahamuskomni (新): [名]Q. アルギロトリカの茎 kuytow-riyahamuskomni (新): [名]Q. アルビカリスの茎 (新): [名]Q. イェンセニアナの茎 poro-riyahamuskomni (新): [名]Q. エディタエの茎 koypokatuyya-riyahamuskomni (新): [名]Q. ガオリゴンゲンシスの茎 káorikon-riyahamuskomni (新)※(高黎貢桤): [名]Q. キリアリスの茎 tekepon-riyahamuskomni (新): [名]Q. クシザンゲンシスの茎 bú-riyahamuskomni (新)※(チベット桤): [名]Q. ケヴァリエリの茎 nisewekunne-riyahamuskomni (新): [名]Q. コウアンゲンシスの茎 kuansi-riyahamuskomni (新)※(広西桤): [名]Q. シチョウレンシスの茎 sícou-riyahamuskomni (新)※(西嶠桤): [名]Q. ジンフエンシスの茎 tinhu-riyahamuskomni (新)※(鼎湖桤): [名]Q. スマトラナの茎 sumatra-riyahamuskomni (新): [名]Q. ダシネンシスの茎 tásin-riyahamuskomni (新)※(大新桤): [名]Q. タロネンシスの茎 táron-riyahamuskomni (新)※(独龍桤): [名]Q. ティアロシヤニカの茎 tiaoruošan-riyahamuskomni (新)※(吊羅山桤): [名]Q. デラヴァイーの茎 sikerpepeus-riyahamuskomni (新): [名]Q. ナンチュアニカの茎 nancuan-riyahamuskomni (新)※(南川桤): [名]Q. スビウムの茎 yunšan-riyahamuskomni (新)※(雲山桤): [名]Q. ハイナニカの茎 haynan-riyahamuskomni (新)※(海南桤): [名]Q. パンキロマの茎 kamihure-riyahamuskomni (新): [名]Q. フナネンシスの茎 húnán-riyahamuskomni (新)※(湖南桤): [名]Q. ヘルフェリアナの茎 tekenumaus-riyahamuskomni (新): [名]Q. メイフアシャンシスの茎 meyhuašan-riyahamuskomni (新)※(梅花山桤): [名]Q. モツオエンシスの茎 métok-riyahamuskomni (新)※(チベット語。墨脱桤): [名]Q. モリーの茎 taywan-riyahamuskomni (新): [名]Q. ラメロサの茎 himaraya-riyahamuskomni (新): [名]Q. ルンマイエンシスの茎 ronmay-riyahamuskomni (新)※(龍邁桤): [名]Q. レクスの茎 niseweporo-riyahamuskomni

(新): [名]Q. ロンギヌクスの茎 nisewetanne-riyahamuskomni (新): [名]シラカシの茎 kamiretar-riyahamuskomni (新)※(別名「クロガシ」): [名]ツクバネガシの茎 epuyetanne-riyahamuskomni (新): [名]ハナガガシの茎 tanne-riyahamuskomni (新)※(別名「サツマガシ」)

アカガシラサギ(赤頭鷲) (鳥)[名](サギ亜科)アカガシラサギ属 ehure-petcakoas-cise (新): [名]アカガシラサギ ehure-petcakoas (新): [名]カンムリサギ eusraputanne-petcakoas (新)

アカカミアリ(赤咬蟻) [名](トフシアリ属)アカカミアリ amerikatumituar-itunnap (新)※(アメリカ軍蟻)

アカカンバ(赤樺) (植物)[名](カバノキ属)アカカンバの茎 húretatni (新)

あかき(赤黄) [自]赤黄色になる、である húre-kosikerpepeus (新)、[自] húre-koipeus (新): [他]~赤黄を色にする húre-kosikerpepeusi (-kosikerpepeuste) (新)、[他] húre-koipeusi (-koipeuste) (新): [名]赤黄色 húre-kosikerpepeus-iro (新)、[名] húre-koipeus-iro (新)

アカギ(赤木) (植物)①[名](トウダイグサ科)アカギ属 akakini-cise (新): [名]アカギの茎 akakini (新)※(おもろそうし「あかき」): ②[名](ムクロジ科)アカギモドキ属 ciakakinikopa-cise (新): [名]アカギモドキの茎 ciakakinikopa (新)

あかぎれ(駢) ①[自]手があかぎれる tekeperke (石狩): ②[自]足があかぎれる ureperke (天塩)

あかくちば(赤朽葉) [自]赤朽葉色になる、である húrekomam-irone (新): [他]~を赤朽葉色にする húrekomam-ironeka (-ironere) (新): [名]赤朽葉色 húrekomam-iro (新)

アカグツ(赤苦津) (魚介)[場名](アンコウ目)アカグツ亜目 húrecupperaysok-mokotan (新): [場名]アカグツ上科 húrecupperaysok-apapa (新): [名]アカグツ科 húrecupperaysok-apa (新): [名]アカグツ属 húrecupperaysok-cise (新): [名]アミメフウリュウオ属 siksirkiorumperaysokkatkorpe-cise (新): [名]イガフウリュウオ属 iwanayusrumperaysokkatkorpe-cise (新): [名]ソコグツ属 asamcupperaysok-cise (新): [名]フウリュウオ属 rumperaysokkatkorpe-cise (新): [名]ムシフウリュウオ属 péraysokkatkorpe-cise (新): [名]ユメソコグツ属

pákestukasamcupperaysok-cise (新):
[場名] チョウチンアンコウ上科
suneperaysok-apapa (新): [場名] フサア
ンコウ上科 kasupperaysok-apapa (新)

あかくみ(滄汲み) [名] 滄汲み wakkakep(-i) (石狩): [自] 滄汲みする wakkake (石狩): [他] (人) に滄汲みさせる wakkakere (新)

あかげ(赤毛) [名] 赤毛 húreotop(-i) (石狩): (表現)(細面で顎がしゃくれた醜い顔の描写として) 直毛、赤毛、長い下顎、下顎の途中でぞっくり切り揃えられており、身に着けた飾り物で辛うじて少しは見られる pépes otop húre otop tanne noyap noyap hontomo cikoetuyapa ikoro kusu ween pirkapo ki kane an (知里)

アカゲザル(赤毛猿) (動物)[名](マカク属) アカゲザル húrenumaussaru (新)

あかご(赤子) [名] 赤子 síuspe (sispe) (石狩)、[名] pompe (石狩)、[名] pontennep (天塩)、[名] pópo (天塩)、[名] poysion (天塩)、[名] poysiontak(-i) (石狩)、[名] poysiuspe (poysispe) (石狩)、[名] sion (石狩)、[名] siontak (石狩)、[名] yarpe (石狩)、[名] osus (天塩)、[名] síus (十勝)、[名] (雅) numattomuspe (天塩)、[名] teynepe (天塩)、[名] tennep (宗谷)、[名] mosospe (浦河)、[名] pón-ayay (八雲): [名] 少し笑うようになった赤子 áyay (八雲): [名] (雅) 歯が二本生えただけの赤ん坊 tunimakumpe (石狩): [自] (赤子が乳などを求めて) 首を回し口を向ける kutnoye (幌別): [自] (赤子が) 舌を出している seykokke (幌別): (表現)(赤子に) 抱き癖がつく sikismayar eramus (幌別): [自] (赤子が) 眠りながら泣く mokorkocis (幌別): (表現) 眠りながら泣く mokor kane (kor) cis (新): [自] (赤子が) 眠りながら笑う ehaminare (幌別): [自] (赤子が) 眠りながら笑ったり手を動かしたりする ehaturasinot (幌別): [自] (赤子が) 夜にいつまでも眠らない iantasare (幌別): (表現) 赤子の頃から sinta ka wano (石狩): (表現) 赤子の頃から～の許婚とされる sinta ka wano an=ereskakar (石狩): (表現)(悪人が罪もない人に易々と害を与えるなど) 赤子の手をひねる ekatcinokkew kar (石狩)、(表現) ekatcisapa kar (石狩)

あかこう(赤香) [自] 赤香色になる、である húre-hurasikay-irone (新): [他] ～を赤香色に染める húre-hurasikay-ironeka (-ironere) (新): [名] 赤香色 húre-hurasikay-iro (新)

アカコウモリ(赤蝙蝠) (動物)[名](ヒナコウモ

リ科) アカコウモリ族 húrekapap-utar (新): [名] アカコウモリ属 húrekapap-cise (新): [名] アカコウモリ cupkaun-hurekapap (新): [名] イエローコウモリ koypokun-sikerpepeuskapap (新): [名] エバナカコウモリ onumaus-hurekapap (新): [名] シモフリアカコウモリ taskuru-hurekapap (新): [名] ラシウルス・アトラトウス (新): [名] L. インスタリス kubaun-sikerpepeuskapap (新): [名] L. インテルメディウス koykaun-sikerpepeuskapap (新): [名] L. エグリグルス síhurekapap (新): [名] L. カスタネウス (新): [名] L. クサンシヌス cuppkun-sikerpepeuskapap (新): [名] L. セミノルス seminore-hurekapap (新): [名] L. デゲリドウス jamaykaun-hurekapap (新): [名] L. バリウス argwntinaun-hurekapap (新): [名] L. ブフェイフェリ pufeifer-hurekapap (新): [名] L. ブラキオティス garapagosun-hurekapap (新): [名] L. プロッセビリー cuppokun-hurekapap (新): [名] L. ミノル moyo-hurekapap (新)

あかさび(赤錆) ① [名] 赤錆 húresipopi (新): [自] 赤錆る、赤錆ている húresipop (新): ② [自] 赤錆色になる、である húresipop-irone (新): [他] ～を赤錆色にする húresipop-ironeka (-ironere) (新): [名] 赤錆色 húresipop-iro (新)

あかザラメ(赤ザラメ) [名] 赤ザラメ húrerupne-topenota (新)

あかし(証) ①(証拠として)[名] 証 cioipekerek (新): ②(宗教的行為として)[名] 証 ipekere (新)

アカシデ(赤四手) (植物)[名](クマシデ属) アカシデの茎 húreepuykoryarkapar (新)

アカシヨウビン(赤翡翠) (鳥)[名](ヤマシヨウビン属) アカシヨウビン uyuyke (石狩)

あかずみ(赤墨) [自] 赤墨色になる、である húresumi-irone (新): [他] ～を赤墨色にする húresumi-ironeka (-ironere) (新): [名] 赤墨色 húresumi-iro (新)

あかだいたい(赤橙) [自] 赤橙色になる、である húre-nikap-irone (新): [他] ～を赤橙色にする húre-nikap-ironeka (-ironere) (新): [名] 赤橙色 húre-nikap-iro (新)

あかちゃ(赤茶) [自] 赤茶色になる、である húreca-irone (新)、[自] húreyam-irone (新)、[自] húreuparus-irone (新)、[自] húreuparus (新): [他] ～を赤茶色にする húreca-ironeka (-ironere) (新)、[他] húreyam-ironeka (-ironere) (新)、[他] húreuparus-ironeka (-ironere) (新)、[他]

uparuste (新): [名]赤茶色 húreca-iro (新)、[名] húreyam-iro (新)、[名] húreuparus-iro (新)

あかちゃん(赤ちゃん) → 「赤子」を見よ: [場名] 赤ちゃんポスト siuspeosurai (sispeosurai) (新)

あかつき(暁) [名]暁 pekennisat (新): (表現)暁 peker nisat (八雲): (表現)暁になる pekennisat (peker nisat) ek (新)

あがつたりさがつたり(上がったり下がったり) [自](地形が)穏やかに上がったり下ったりしている ramamke (石狩)

あかとう(赤糖) [名] 赤糖 húretopenota (新)

あがなう(贖う) [自]贖う iyaytasare (新)、[自] ikikraye (新): [他]～を贖う yaytasare (新)、[連他] kasi-raye (kayay) (新)、[他] kikiraye (新): (表現)～を贖う kiki raye (B): [他](原因、手段)で贖う (新)、[他] okikiraye (新): [他](人)に～を贖わせる yayasare (新)、[他] kikirayere (新): [名]贖いの行為 ciyaytasare (新)、[名] ikikraye (新): [名]贖いの品 ciyaytasarep(i) (新)、[名] kik(i) (沙流)

アカネ(茜) ①(植物)[名](キク亜綱)アカネ目 akanepunkar-kotan (新): [名]アカネ科 akanepunkar-apa (新): [名]アカネ属 akanepunkar-cise (新): [名]アカネの茎 akane-punkar (新): [名]アカネの葉 akane-ham (新): [名]アカネの花 akane-apappo (新): [名]アカネの果実 akane-punkarkaop (新): [名]アカネの根 akane (新): ②[自]茜色になる、である akanepus (新)※(日本語): [他]～を茜染する、茜色にする akanepus (akanepuste) (新): [名]茜色 akanepus-iro (新)

あかはな(赤鼻) [自]赤鼻になる、である etuhure (新)

アカハラ(赤腹) → 「マルタ(丸太)(2)」を見よ

アカフルーツヘラコウモリ(赤フルーツ篋蝙蝠) (動物)[名](ヘラコウモリ科)アカフルーツヘラコウモリ亜科 húrenikaope-hametukapap-moapa (新): [名]アカフルーツヘラコウモリ属 húrenikaope-hametukapap-cise (新): [名]アカフルーツヘラコウモリ húrenikaope-hametukapap (新): [名]アルティベウス属 níkaope-hametukapap-cise (新): [名]アルドプス属 níkaun-hametukapap-cise (新): [名]アルドプス・ニコルシ níkaun-hametukapap (新): [名]イパネマヘラコウモリ属 ipanema-hametukapap-

cise (新): [名]イパネマヘラコウモリ ipanema-hametukapap (新): [名]エンキスセネス属 cokorate-nikaope-hametukapap-cise (新): [名]エンキスセネス・ハルティー cokorate-nikaope-hametukapap (新): [名]カオジロヘラコウモリ属 eretar-hametukapap-cise (新): [名]キミミコウモリ属 kisarasikerpepeus-kapap-cise (新): [名]ケンショウヘラコウモリ属 taptomtep-hametukapap-cise (新): [名]ケンショウヘラコウモリ taptomtep-hametukapap (新): [名]シロスジコウモリ属 ruunkapap-cise (新): [名]シロヘラコウモリ属 retarhametukapap-cise (新): [名]シロヘラコウモリ retarhametukapap (新): [名]ストウルニラ属 kúkwesikerpepeus-kapap-cise (新): [名]スファエロニクテリス属 ariprietukapap-cise (新): [名]スファエロニクテリス・トクソフィルム ariprietukapap (新): [名]テントコウモリ属 kucakarkapap-cise (新): [名]バンピロデス属 síruonankorkapap-cise (新): [名]バンピロデス・カラッキオリ síruonankorkapap (新): [名]ヒダヘラコウモリ属 nankasi-nikonikokapap-cise (新): [名]ヒダヘラコウモリ nankasi-nikonikokapap (新)※(髭々顔蝙蝠): [名]フィロプス属 kúbaun-fikuskaopekapap-cise (新): [名]フィロプス・ファルカトゥス kúbaun-fikuskaopekapap (新): [名]フルーツヘラコウモリ属 jamaykaun-fikuskaope-hametukapap-cise (新): [名]フルーツヘラコウモリ jamaykaun-fikuskaope-hametukapap (新): [名]メソフィラ属 makkonner-hametukapap-cise (新): [名]メソフィラ・マッコネリ makkonner-hametukapap (新)

アカボウクジラ(赤坊鯨) (動物)[名](ハクジラ亜目)アカボウクジラ科 cikapetuhumpe-apa (新): [名]アカボウクジラ亜科 cikapetuhumpe-moapa (新): [名]アカボウクジラ属 cikapetuhumpe-cise (新): [名]アカボウクジラ cikapetuhumpe (新): [名]ツチクジラ亜科 sícikapetuhumpe-moapa (新): [名]トックリクジラ亜科 tokkurihumpe-moapa (新)

アカボヤ(赤海鞘)(魚介)[名](マボヤ科)アカボヤ húrehoya (新)

アカマツ(赤松)(植物)[名](マツ属)アカマツの茎 húretotonup (新)※(別名「メマツ」)

あかみ(赤身) ①(獣肉)[名]赤身 húrekam(i) (新): ②(魚肉)[名]赤身 húremim(i) (新)

あかむらさき(赤紫) [自]赤紫になる、である
hatpeus (新)※(ブドウ汁が付く)、[自]
purpura (新)※(羅語): [他]~を赤紫にす
る hatpeusi (新)、[他] purpuraka
(purpurare) (新): [名]赤紫色
hatpeusiro (新)、[名] purpurairo (新)

あからがお(赤ら顔) [自]赤ら顔になる、である
nanuhure (屈斜路): (表現)~が赤ら顔に
なる、である ~nanu hure (新)

あかり(明かり) ① [名]明かり nipek(-i) (石狩)、[名](雅) tompi (石狩)、[名](雅) kantompi (石狩): (表現)火の明かり ape nipeki (石狩): [名](雅)火の明かり apekantompi (石狩): ②(松明などの灯火)(表現)明かりをつける、灯す sune kar (石狩)、(表現) sune uhuyka (石狩): 今後蠟燭などに関しても用いる。: ③(灯台、ランプなどの灯火)(表現)明かりをつける、灯す ratcaku kar (新)、(表現) ratcaku uhuyka (幌別): 今後電灯などに関しても用いる。

あがりうお(上がり魚) [名]上がり魚 rikincep (石狩): [名]上がり魚を獲る梁 rikincepkoykiuray (石狩)

あがる(上がる) ①(高い所に)[自]上がる rikin(複数 rikip) (石狩): [他](場所)に上がる erikin(複数 erikip) (石狩)、[他] korikin(複数 korikip) (石狩): [他]~と共に上がる korikin(複数 korikip) (新)、[他] turarikin(複数 turarikip) (新): (表現)~と共に上がる tura wa rikin(複数 rikip) (石狩)、(表現) tura(-no) rikin(複数 rikip) (石狩): [他](場所)から上がる orikin(複数 orikip) (新): [他](原因、手段)で上がる orikin(複数 orikip) (新): [他](供物が天の神)に上がる orikin (石狩): [自]ぱっと上がる rikosma (石狩): [他](場所)にぱっと上がる korikosma (石狩): ②(水中、あるいは水上から陸上に)[自]上がる yan(複数 yap) (石狩): [他](場所)に上がる eyan(複数 eyap) (新)、[他] koyan(複数 koyap) (石狩): [他]~と共に上がる koyan(複数 koyan) (新)、[他] turayan(複数 turayap) (新): (表現)~と共に上がる tura wa yan(複数 yap) (石狩)、(表現) tura(-no) yan(複数 yap) (石狩): [他](場所)から上がる oyan(複数 oyap) (新): [他](原因、手段)で上がる oyan(複数 oyap) (新): [自]さっと上がる yantek (新): ③(声について)[自]上がる rikunitara (沙流): (表現)死者を泣き弔う声が上がる rayciskar hawe rikunitara (沙流): [他](中相)~が上がる ciyaykoyante (新): (表現)むせび泣きの声

が上がる ciscimimse ciyaykoyante (新)

あかるく(明るく) [0動]辺りが明るくなる、明るい sirpeker (石狩): [自](場所)が明るくなる、明るい sirkopeker (沙流): [自](人)が辺りを明るくする sirpekerka (sirpekere) (新): [他](人)が(場所)を明るくする sirkopekerka(sirkopekere) (新): 「私は電灯を点けて部屋を明るくした。」

“Ratcaku ku=kar wa tumpu ku=sirkopekerka.”: [自]明るくなる、明るい peker (石狩): [自]パッと明るくなる pekettek (新): [他]~を明るくする pekerka(pekere) (新): 「私は電灯を点けて部屋の中を明るくした。」“Ratcaku ku=kar wa tumpu oske ku=pekerka.”: [他]~をパッと明るくする pekettekka (新): [自]明るくなるのを待つ sirpekettere (新): ①[名]明かるみ nipek(-i) (石狩): (表現)火の明かるみ ape nipeki (石狩)

あかれんが(赤煉瓦) [名]赤煉瓦 hure-sumatoy (新)

あかんたい(亜寒帯) [名]亜寒帯 rumean-sisso(rumean-sirso) (新)

アカントシキオス (植物)[名](ウリ科)アカントシキオス属 otaatuyuripunkar-cise (新): [名]アカントシオス・ホリドゥスの茎 otaatuyuripunkar (新)、[名]その果実 otaatuyuri (新)、[名]その種子 otaatuyuripi (新)※(通称「からたち瓜」): [名]アカントシキオス・ナウディニアヌスの茎 parorcire-otaatuyuripunkar (新)

アカントロデウス (魚介)[名](コイ科タナゴ亜科)アカントロデウス属 akantorhodeus-cise (新)※(学名)

あき(秋) [名]秋 cuk (石狩): (表現)秋になる、なっている cuk an (石狩): (表現)秋になると cuk an kor (石狩): [0動]秋になる、なっている sitcuk (新)※(千歳): [自]秋を待つ cuktere (新): [自]秋になるのを待つ sitcuktere (新): [自]秋の実りが良い harukar (石狩): (表現)瓜半月が出れば秋の実りが良い askepet-amamnum an kor harukar=an etokus (石狩)

あきち(空地) [場名]空地 ohausi (新)

アキノキリンソウ(秋の麒麟草) (植物)[名](キク科)アキノキリンソウ属 konkanikuwakikukina-cise (新): [名]アキノキリンソウの茎葉 konkanikuwakikukina (新)、[名]その花 konkanikuwakiku (新)※(ヨウシュアキノキリンソウの変種。別名「アワダチソウ」): [名]アオヤギバナの茎葉 petsamun-konkanikuwakikukina (新): [名]イッス

ン キ ン カ の 茎 葉 yakusima-konkanikuwakikukina (新): [名]オオアキノキリンソウの茎葉 poro-konkanikuwakikukina (新): [名]オオアワダチソウの茎葉 repun-konkanikuwakikukina (新): [名]キリガミネアキノキリンソウの茎葉 nitatun-konkanikuwakikukina (新)※(ミヤマアキノキリンソウの変種): [名]セイタカアワダチソウの茎葉 keweri-konkanikuwakikukina (新): [名]ミヤマアキノキリンソウの茎葉 metotun-konkanikuwakikukina (新)※(ヨウシュアキノキリンソウの変種): [名]ヨウシュアキノキリンソウの茎葉 europa-konkanikuwakikukina (新)

アキノノゲシ(秋野芥子) (植物)[名](キク科)アキノノゲシ属 aynumukkina-cise (新): [名]アキノノゲシの茎葉 aynumukkina (新)※(パチェラー辞典に Ainumuk とあるが muk は他の植物名でも根に関して使われている。ただしこの植物の根を利用した記録はない。一応を aynumuk 根と解し茎葉名を造語): [名]エゾムラサキニガナの茎葉 epewrekinapeus-aynumukkina (新): [名]ケムラサキニガナの茎葉 numaus-epewrekinapeus-aynumukkina (新)※(ムラサキニガナの変種): [名]ミヤマアキノノゲシの茎葉 metotus-aynumukkina (新): [名]ムラサキニガナの茎葉 samor-epewrekinapeus-aynumukkina (新): [名]ヤマニガナの茎葉 kimunaynukina (新): [名]レタスの茎 imokorehamikkew (新)、[名]その葉 imokoreham (新)※(別名「チシャ」)

あきや(空家) [名]空家 ohacise (石狩): (表現)空家になる、なっている cise oha (新): (表現)空家にする cise ohare (新)

あきらか(明らか) [自]明らかになる、である peker (石狩): [他]~の点で明らかになる、である、(場所)で明らかになる、である epeker (新): [他]~に対して明らかになる、である、~と共に明らかになる、である kopeker (石狩): [他](原因、手段)で明らかになる、である opeker (新): [他]~を明らかにする pekere (pekerka) (新): [自]充分明らかになる pekenno (pekennu) (新): [自]完全に明らかになる、である oarpeker (arpeker) (新): [自]ぱつと明らかになる pekettek (新): [他]~をぱつと明らかにする pekettekka (新): [自]明らかになる sipekere (sipekerka) (新): [自]ぱつと明らかになる sipekettekka (新): [自]隠された事を明らかにする

cioseskepek (新): [他]~について隠された事を明らかにする ecioiseskepek (新): [副]明らかに sonno (石狩)、[副] sino (石狩)、[副] pekenno (新)

あきらめ(諦め) ①[自]諦める ramkikkar (新): [自]物事を諦める ieramkikkar (新): [自]人を諦める uneramkikkar (新): [他]~を諦める eramkikkar (石狩): [他](場所)で~を諦める eeramkikkar (新): [他]~と共に~を諦める koeramkikkar (新): [他](原因、手段)で~を諦める oeramkikkar (新): [他](人)に~を諦めさせる eramkikkare (新): [他]~を自分で諦める eyayramkikkar (石狩): [他]~を皆で諦める euramkikkar (新): [他]完全に~を諦める oareramkikkar (areramkikkar) (新): ②[自]諦めて立ち去る yayeikesuy (石狩): [他]~を諦めて立ち去る eyayeikesuy (石狩): [他](場所)に諦めて立ち去る、~と共に諦めて立ち去る koyayeikesuy (新): [他](場所)から諦めて立ち去る、(原因、手段)で諦めて立ち去る oyayeikesuy (新): [他](人)に諦めて立ち去らせる yayeikesuyre (新)

あきる(飽きる) [他]~に飽きる umiwen (新): 石狩の語形は umen だが、「~しにくい」と紛らわしいため、この意味では天塩の語形を使用する。: 「あなた私に飽きたの?」

“Es=en=umiwen ruwe?”: [助動]~(するの)に飽きる umiwen (新): 「私は遊びに飽きた。」“Ku=sinot umiwen.”: ②[自]飽き飽きする iumiwenno (iumiwenno) (新): [他]~に飽き飽きする umiwenno (umiwenno) (新): ③[自]飽きっぽい iumiwenus (新)

アキレスけん(アキレス腱) [名]アキレス腱 cikinrit-ci (石狩)、[場名] kettumke (石狩)

アギンスコエ [場名](アガ・ブリヤート自治管区の首府名)アギンスコエ Aginsukoe (新)

あく(悪) [名]悪 wen (新)

あく(灰汁) ①[名]灰汁 únawakka (新): ②[自]灰汁色になる、である únawakka-irone (新): [他]~を灰汁色にする únawakka-ironeka (ironere) (新): [名]灰汁色 únawakka-iro (新)

あく(開く) [自]開く makke (石狩)、[自]cak (天塩): [自]パツと開く maktek (新): [自](自動ドアのように)開く yaymaka (石狩): [自](風などで)自然に開く simaka (新): [他](中相)~が開く cimaka (石狩): (表現)入り口が開く apa cimaka (石狩): (表現)(雅)(恭しく腰を低

くして戸口の蓆をめくり入ろうとする者が
あり)下の方から入り口が開く ramno kane
apa cimaka (沙流)

あく(空く) [自]空く、空いている oha (石
狩): [自]パッと空く ohatek (新): [自]
自然に空く siohare (新)

アクアグリーン [自]アクアグリーン色になる、
である wakka-esiwnin (新): [他]~をア
クアグリーン色にする wakka-esiwninte
(新): [名]アクアグリーン色 wakka-
esiwnin-iro (新)

アクアブルー [自]アクアブルー色になる、であ
る wakka-irone (新): [他]~をアクア
ブルー色にする wakka-ironeka (-irone)
(新): [名]アクアブルー色 wakka-iro
(新)

アクアマリン ①(鉱石)[名]アクアマリン
akuamarine (新)※(英語)、[名]
atuywakka(-suma) (新): ②[自]アクア
マリン色になる、である akuamarinene
(atuywakkanene) (新): [他]~をアクア
マリン色にする akuamarine-neka (-nere)
(新)、[名] atuywakka-neka (-nere) (新):
[名]アクアマリン色 akuamarine-iro (新)、
[名] atuywakka-iro (新)

あくうん(悪運) [自]悪運にみまわれる、みま
われている mawkowen (石狩)、[自]
moniwen (新): [他]~に関して悪運にみ
まわれる、みまわれている emawkowen
(新)、[他] emoniwen (新): [他](原因、手
段)で悪運にみまわれる、みまわれている
omawkowen (新)、[他] omoniwen (新):
[他](人)を悪運にみまわせる mawkowente
(mawkowenka) (新)、[他] moniwente
(moniwenka) (新): [助動]~するのに悪
運にみまわれる、みまわれている ewen
(石狩)

あくかんじょう(悪感情) [他]~に悪感情を抱
く weneyaykopeker (新): [他](人)に~
に悪感情を抱かせる weneyaykopekere
(新): [他]~に皆が悪感情を抱く
eukowen-eyaykopeker (石狩)

あくぎょう(悪行) [名]悪行 wempuri (新)、
[名] wenkarpe (新): (表現)悪行を重ね
る ramma wempuri kor (新)、(表現)
wenkarpe kar ranke (新)

あくじ(悪事) [名]悪事 wempuri (石狩)、
[名] wenkarpe (石狩): [自]悪事をはた
らく wempurikor (石狩)、[自] iwenkar
(新)

アクシスジカ(アクシス鹿)(動物)[名](シカ科)ア
クシスジカ属 aksisyuk-cise (新): [名]
アクシスジカ aksisyuk (新)

あくしゅう(悪習)[名]悪習 wempuri (石狩)

あくしゅう(悪臭)[名]悪臭 wenhura (石狩):
(表現)悪臭がする wenhura at (石狩):
(表現)悪臭を発する wenhura atte (新)、
(表現) wenhura kor (新)

あくじょ(悪女) ①(犯罪者から行いの悪い者
まで)[名]悪女 wempurikor-menoko (新)、
[名] pawcikor-menoko (石狩): ②(心が
けの悪い者で、意地悪する者など①より深刻
でない者を含み)[名]悪女 wenkewtumkor-
menoko (石狩)、[名] kewtumuwen-
menoko (石狩)

あくしん(悪心) [名]悪心 wenkewtum(-u)
(石狩): (表現)悪心を抱く wenkewtum
kor (石狩): [自]悪心を抱く
wenkewtumkor (石狩)

あくしん(悪神) [名]悪神 wenkamuy (石
狩)、[名] nitnekamuy (石狩)

あくせい(悪政) [名]悪政 kotankorwen
(新)、[名] yupkeirenkakor (新): [自]悪
政を敷く kotankorwen (新)、[自]
yupkeirenkakor (新)

あくせいしゅよう(悪性腫瘍) [名]悪性腫瘍
numasup (天塩)

あくたい(悪態) [自]悪態をつく
wenkuraspa (石狩): [他](場所)で悪態を
つく ewenkuraspa (新): [他](人)に対し
て悪態をつく kowenkuraspa (新):
[他](原因、手段)で悪態をつく
owenkuraspa (新)

アクチニウム(化学)[名]アクチニウム
aktinium (新)※(原子番号89番。元素記号
Ac)

あくどう(悪童) [名]悪童 apapaekatei (石
狩)

あくとく(悪徳) [名]悪徳 hoiyo (石狩)、[名]
wempuri (石狩): [自]悪徳行為を行う
hoiyo (石狩)、[自] wempurikor (石狩)

あくにん(悪人) ①(犯罪者から行いの悪い人
まで)[名]悪人 wempuri-korkur (石狩):
[名](悪)悪人 wempuri-korpe (石狩)、[名]
wempuri-korampe (複 数
wempurikorokaype) (新)、[名]
pawcikorpe (石狩)、[名] puri-wempe
(新): ②(心がけの悪い人で、意地悪する人
など①より深刻でない者を含み)[名]悪人
wenkewtum-korkur (石狩): [名](悪)悪人
wenkewtum-korpe (石狩)、[名]
wenkewtum-korampe (複数 wenkewtum-
korokaype) (新)、[名] kewtumu-wempe
(新)

あくび(欠伸) [名]欠伸 mawsuk (石狩)、[名]
mawsup (石狩): [自]欠伸をする
mawsuk (石狩)、[自] mawsok (天塩):
[自]欠伸を催す simawsukte (新)

あくま(悪魔) [名]悪魔 nitnep (新)、[名]satan (新)※(ヘブライ語)、[名] mára (新)※(サンスクリット語)

あくむ(悪夢) [名]悪夢 wencinita (石狩)、[名] wentarap(i) (石狩): [自]悪夢を見る wencinita (新)、[自] wentarap (新)

あくよう(悪用) [自]ものを悪用する iweneiwanke (新): [他]～を悪用する weneiwanke (新): [他](場所)で～を悪用する eweneiwanke (新): [他]～と共に～を悪用する koweneiwanke (新): [他](原因、目的)で～を悪用する oweneiwanke (新): [他](人)に～を悪用させる weneiwankere (新): [他]自分で、一人で～を悪用する yaykoweneiwanke (新): [他]互いに、皆で～を悪用する ukoweneiwanke (新): [他]完全に～を悪用する oarweneiwanke (arweneiwanke) (新): [他]充分に～を悪用する weneiwankeno (weneiwankenu) (新): [他]思い切り、むちゃくちゃ～を悪用する、悪用しまくる toykoweneiwanke (新): [他](中相)～が悪用される ciweneiwanke (新)

アクラ [場名](ガーナ共和国の首都名)アクラ Akra (新)

あぐら(胡坐) [自]胡坐をかく kirousereke (石狩)、[自] kirousi (石狩)、[自] kiruosere (石狩): 「胡坐をかいて座ってください。」 “Kirousi wa rok yan!”: [自]胡坐をかいて座る kiroserea (石狩)、[自] kirousirea (石狩): (表現)胡坐をかいて座る kirousi wa a (石狩): (表現)美しい女を自分の胡坐を組んだ足のの上に枕させる pirka menoko sikirkewka-eomare (幌別)

あぐらばな(胡坐鼻) [自]胡坐鼻である etukapteke (屈斜路): (表現)胡坐鼻である enkoro teyke (幌別)

あくりよく(握力) [名]握力 itekkoyuputum(-i) (新)

アクロン [場名](オハイオ州の都市名)アクロン Akron (新)

あけがた(明け方) [名]明け方 nisat (十勝)、[名] nisatpeker (天塩)、[名] nisat-utspa (宗谷): (表現)明け方に nisat otta (十勝)

あげざげ(上げ下げ) [他]～を上げ下げする taritari (石狩): (表現)イクパスイを上げ下げする pasuy taritari (釧路): (表現)～を上げ下げする ～ rikoraye raoraye (石狩): [他](人)に～を上げ下げさせる tarirarire (新)

あけのみょうじょう(明けの明星) (宇宙)[名]明けの明星 Nisatcaot (H)

アゲハチョウ(揚羽蝶) (昆虫)[名](チョウ目)アゲハチョウ科 kitomarewrew-apa (新): [名]アゲハチョウ亜科 kitomarewrew-moapa (新): [名]アゲハチョウ属 kitomarewrew-cise (新): [名]ナミアゲハ yayan-kitomarewrew (新)、[名]kitomarewrew (石狩)※(「アゲハ」とも): [名]アオネアゲハ rapsutusiwnin-kitomarewrew (新): [名]アカネアゲハ rapsutuhure-kitomarewrew (新): [名]アスコリウスアゲハ askorius-kitomarewrew (新): [名]アフリカオナシアゲハ afrika-sarsak-kitomarewrew (新): [名]アメリカキアゲハ amerika-kitomarewrew (新): [名]アルビヌスモンキアゲハ arbinus-nokao-kitomarewrew (新): [名]アントニオモンキアゲハ antonio-nokao-kitomarewrew (新): [名]アンドロニカスアゲハ andoronikus-kutkor-kitomarewrew (新): [名]イスワラモンキアゲハ iswara-nokao-kitomarewrew (新): [名]イチモンジアゲハ zoroastres-kutkor-kitomarewrew (新): [名]イナズマモンキアゲハ imaru-nokao-kitomarewrew (新): [名]ウスイロトラフアゲハ cantonruo-kitomarewrew (新): [名]ウッドフォルディメスアカモンキ wuddofordo-kitomarewrew (新): [名]エスペランザアゲハ esperanza-kitomarewrew (新): [名]エチオピアルリアゲハ itio-pia-rurikutkor-kitomarewrew (新): [名]エピフォルバスルリアゲハ epiforbas-rurikutkor-kitomarewrew (新): [名]オオオビモンアゲハ síkutnokao-kitomarewrew (新): [名]オオクジャクアゲハ sikesorap-kitomarewrew (新): [名]オオサカハチアゲハ síafrikaunnispa-kitomarewrew (新): [名]オオシロモンアゲハ síretannokao-kitomarewrew (新): [名]オオタスキアゲハ síuotkonkani-kitomarewrew (新): [名]オオルリアゲハ siruri-kitomarewrew (新): [名]オオルリオビアゲハ sirurikutkor-kesorap-kitomarewrew (新): [名]オキナワカラスアゲハ rucu-paskur-kitomarewrew (新): [名]オスジロアゲハ pinnepiretar-kitomarewrew (新): [名]オナガアゲハ saratanne-kitomarewrew (新): [名]オナガベニモンクロアゲハ saratanne-hurenokao-kitomarewrew (新): [名]オナガルリアゲハ saratanne-rurikutkor-kitomarewrew (新): [名]オナシアゲハ sarsak-kitomarewrew (新): [名]オナシカラアゲハ sarsak-paskur-kitomarewrew

(新): [名]オナシモンキアゲハ sarsak-nokao-kitomarewrew (新): [名]オビモンアゲハ kutnokao-kitomarewrew (新): [名]オリバズスルリアゲハ oribazus-rurikutkor-kitomarewrew (新): [名]オレゴンキアゲハ oregon-kitomarewrew (新): [名]カナダトラフアゲハ kanadatontro-uitomarewrew (新): [名]カラスアゲハ paskur-kitomarewrew (新): [名]ガラマスアゲハ garamas-kitomarewrew (新): [名]ガリエナスアゲハ garienus-kutkor-kitomarewrew (新): [名]カリブアゲハ karibe-kitomarewrew (新): [名]カルナルリモンアゲハ kanna-kesopap-kitomarewrew (新): [名]カロプスルリアゲハ karopus-rurikutkor-kitomarewrew (新): [名]ガンブリシウスアゲハ gamburasius-kitomarewrew (新): [名]キアゲハ sikerpepeus-kitomarewrew (新): [名]キオビアゲハ sikerpepeus-kutkor-kitomarewrew (新): [名]キオビミツオアゲハ sikerpepeus-resarkor-kitomarewrew (新): [名]キノルタアゲハ kinortakutkor-kitomarewrew (新): [名]キマダラマルバネアゲハ sirkio-enukar-kitomarewrew (新): [名]クジャクアゲハ kesorap-kitomarewrew (新): [名]クスノキアゲハ ihurakusni-marewrew (新): [名]クロアゲハ kunne-kitomarewrew (新): [名]グロススミスアゲハ gurosesumis-sarsak-kitomarewrew (新): [名]ケブカイチモンジアゲハ yayan-kutkor-kitomarewrew (新): [名]コウトウカラスアゲハ atuyya-kesorap-kitomarewrew (新): [名]コルシカキアゲハ korsika-kitomarewrew (新): [名]サカハチアゲハ afrikaunnispane-kitomarewrew (新): [名]サタスペスアゲハ sataspes-nokao-kitomarewrew (新): [名]サモアモンキアゲハ samoa-nokao-kitomarewrew (新): [名]ザルモキシスオアゲハ afrikakormat-kitomarewrew (新): [名]シナカラスアゲハ atuyya-paskur-kitomarewrew (新): [名]ジャマイカタスキアゲハ jamaika-uotkonkani-kitomarewrew (新): [名]ジョルダンアゲハ jordan-kitomarewrew (新): [名]シロオビアゲハ retarkutkor-kitomarewrew (新): [名]シロモンアゲハ retannokao-kitomarewrew (新): [名]スンバアオネアゲハ sumba-rapsutusiwnin-kitomarewrew (新): [名]セレベスアゲハ serebes-nokao-kitomarewrew (新): [名]タイワンカラスアゲハ taiwan-paskur-

kitomarewrew (新): [名]タイワンモンキアゲハ taiwan-nokao-kitomarewrew (新): [名]タカネキアゲハ utariinne-kitomarewrew (新): [名]タカネクジャクアゲハ kurisna-kesorap-kitomarewrew (新): [名]タスキアゲハ uotkonkani-kitomarewrew (新): [名]チャパネアゲハ uparus-kitomarewrew (新): [名]チモールアゲハ timor-rapsutuhure-kitomarewrew (新): [名]デラランディキオビアゲハ derarandi-kutkor-kitomarewrew (新): [名]テンジクアゲハ india-orupus-kitomarewrew (新)※(インドの凍結樞の揚羽): [名]トガリイチモンジアゲハ rapueen-kitomarewrew (新): [名]トラフアゲハ tonruo-kitomarewrew (新): [名]ドルーリーオオアゲハ afrikakorkur-kitomarewrew (新): [名]ナガサキアゲハ nagasaki-nokao-kitomarewrew (新): [名]ニシトラフアゲハ cuppokamerika-tonruo-kitomarewrew (新): [名]ニセシロオビアゲハ sunkeiretarkutkor-kitomarewrew (新): [名]ネッタイモンキアゲハ sirseseksirsoun-nokao-kitomarewrew (新): [名]パプアアゲハ papua-kitomarewrew (新): [名]パプアシロオビアゲハ hrúesirkiomaciretarkutkor-kitomarewrew (新): [名]パラメデスアゲハ maramedes-ihurakusni-marewrew (新): [名]ヒッパソニアゲハ hippason-kitomarewrew (新): [名]ヒメタスキアゲハ mouotkani-kitomarewrew (新): [名]フィジーモンキアゲハ fijinokao-kitomarewrew (新): [名]ブーテスアゲハ bootes-ouhuy-kitomarewrew (新): [名]フォーベシアゲハ sumatrarapsutuhure-kitomarewrew (新): [名]フォルカスミドリアゲハ forokas-siwnin-kitomarewrew (新): [名]フタオトラフアゲハ tusarkor-tonruo-kitomarewrew (新): [名]フトオカリブアゲハ sararuwekaribe-kitomarewrew (新): [名]フトオビアゲハ ruwekutkor-kitomarewrew (新): [名]フトオビルリアゲハ ruwerurikutkor-kitomarewrew (新): [名]ブラギアタスアゲハ puragiatus-kutkor-kitomarewrew (新): [名]ブロミウスアオオビアゲハ buromius-rurikutkor-kitomarewrew (新): [名]ベニオビマルバネアゲハ húrenokao-rapuenukar-kitomarewrew (新): [名]ベニボシクロアゲハアゲハ húrekeso-kunne-kitomarewrew (新): [名]ベニモンクロアゲハ húrenokao-kunne-kitomarewrew (新): [名]ベニモンタスキアゲハ paeon-

uotkonkani-kitomarewrew (新): [名]ヘ
ラオアゲハ saraperane-kitomarewrew
(新): [名]ヘラニクスアゲハ heranikus-
kitomarewrew (新): [名]ペリクレスアオ
ネアゲハ perikres-rapsutusiwnin-
kitomarewrew (新): [名]ヘリボシルリア
ゲハ keso-rapsutusiwnin-kitomarewrew
(新): [名]ヘリングアゲハ heringu-
kitomarewrew (新): [名]ホシボシアゲハ
austoraria-kaparamipmi-kitomarewrew
(新): [名]ホソオビイチモンジアゲハ
ánekutkor-kitomarewrew (新): [名]ホソ
オビクジャクアゲハ ánerurikutkor-
kitomarewrew (新): [名]ホソオビシロモ
ンアゲハ ánekutkor-retannokao-
kitomarewrew (新): [名]ホッポアゲハ
hoppo-kesorap-kitomarewrew (新): [名]
マッキンノニオオアゲハ makkinnon-
kitomarewrew (新): [名]マルバネサカハ
チアゲハ cuppokafrikaun-nispane-
kitomarewrew (新): [名]マルバネルリア
ゲハ niwkaredonia-ruri-kitomarewrew
(新): [名]マンゴウラアゲハ mangoura-
kitomarewrew (新): [名]ミツオアゲハ
resarkor-kitomarewrew (新): [名]ミツオ
トラフアゲハ resarkor-tonruo-
kitomarewrew (新): [名]ミナミカラスア
ゲハ koypok-paskur-kitomarewrew
(新): [名]ミヤマカラスアゲハ
metotumpaskur-kitomarewrew (新):
[名]ミンドロカラスアゲハ mindoro-
paskur-kitomarewrew (新): [名]メスア
カモンキアゲハ húresirkiomaci-nokao-
kitomarewrew (新): [名]メスクロキアゲ
ハ kunne-sikerpepeus-kitomarewrew
(新): [名]モンキアゲハ nokao-
kitomarewrew (新): [名]モンキマルバネ
アゲハ sikerpepeus-rapuenukar-
kitomarewrew (新): [名]ヨーロッパキア
ゲハ europa-kitomarewrew (新): [名]
ルソンカラスアゲハ ruson-rurinokao-
kitomarewrew (新): [名]ルリアゲハ
rurikutkor-kitomarewrew (新): [名]ルリ
オビアゲハ rurikutkor-kesorap-
kitomarewrew (新): [名]ルリシタアゲハ
rurinokao-kitomarewrew (新): [名]ルリ
モンアゲハ paris-kesorap-
kitomarewrew (新): [名]レックスマダラ
アゲハ reksu-kaparamipmi-
kitomarewrew (新): [名]レテノールアゲ
ハ ouhuy-kitomarewrew (新): [名]ロウ
イアゲハ sínagasaki-nokao-
kitomarewrew (新): [名]ワタナベアゲハ
taywan-ouhuy-kitomarewrew (新): [名]

フトオアゲハ属 taywan-ouhuyrapus-
kitomarewrew-cise (新): [名]マネシアゲ
ハ属 ieyukar-kitomarewrew-cise (新):
[名]アオスジアゲハ族 áoruun-
kitomarewrew-utar (新): [名]キシタアゲ
ハ族 konkanimakunrap-kitomarewrew-
utar (新): [名]ウスバアゲハ亜科
pekenrapus-kitomarewrew-moapa (新):
[名]ウラギンアゲハ亜科 méxiko-
kitomarewrew-moapa (新)

アゲハモドキ(揚羽擬) (昆虫)[名](カギバガ上
科)アゲハモドキガ科 cikitomarewrew-
kopa-apetumpe-apa (新): [名]アゲハモ
ドキ属 cikitomarewrew-kopa-cise (新):
[名]アゲハモドキ cikitomarewrew-kopa
(新)

アケビ(木通) (植物)[名](キンボウゲ目)アケビ
科 akebini-apa (新): [名]アケビ属
akebini-utar (新): [名]アケビの茎
akebini (新)、[名] iwaysuyrekpooni
(新): [名]アケビの実 abebi (新)※(日本
語より): [名] iwaysuyrekpoonikaop
(新)

アケビコノハ (昆虫)[名](エウドキマ属)アケビ
コノハ iwaysuyrekpo-onneike (新):
[名]アケビコノハの幼虫 iwaysuyrekpo
(幌別)

あけぼの(曙) (表現)曙 nisat ek hi (新)、(表
現) nisat rikin hi (新): [自]曙色になる、
である rikinnisacirone (新): [他]～を曙
色にする rikinnisacironeka
(rikinnisacironere) (新): [名]曙色
rikinnisaciro (新)

アケボノアゲハ(曙揚羽) [名](キシタアゲハ
族)アケボノアゲハ属 nisatmusk-
kitomarewrew-cise (新): [名]アケボノア
ゲハ nisatmusk-kitomarewrew (新):
[名]オオハゲタカアゲハ sieretarmusk-
kitomarewrew (新): [名]キヒロハゲタカ
アゲハ puriapus-eretarmusk-
kitomarewrew (新): [名]シロモンハゲタ
カアゲハ retannokao-eretarmusk-
kitomarewrew (新): [名]セジロアケボ
ノアゲハ firipin-nisatmusk-kitomarewrew
(新): [名]ムモンアケボノアゲハ
kapaprap-musk-kitomarewrew (新)

あげもの(揚物) [名]揚物 citotop (新)、[名]
citotoipe (新)

あける(開ける) [他]～を開ける maka (石
狩)、[他] cakke (天塩)、[他](雅語)
komaka (石狩): 「私は戸を開け部屋の中
に入った。"Apa ku=maka wa tumpu onnay
ta ku=ahun."」: [他](場所)で～を開ける
emaka (新): ～と共に～を開ける

komaka (新): [他](原因、手段)で～を開ける
omaka (新): [他](人)に～を開けさせる
makare (新): [他]～をパッと開ける
maktekka (新): [他]人に～を開けさせる
simakareyar (新): 「あなたは箱に何が入ってるか知っていてひとに蓋を開けさせたの?」
“Supop oske nep o ya es=eraman wa puta es=simakareyar ruwe?”

あける(空ける) ①(何かを空っぽに、あるいは容器の中に液体を)[他]～を空ける ohare (石狩): 「私は樽の中に柄杓の水を空けて置いた。」
“Ontaro oske ta pisakku o wakka ku=ohare wa ku=are.”: [他](場所)で～を空ける eohare (新): [他](場所)へ～を空ける koohare (新): [他]～と共に～を空ける koohare (新): [他](原因、手段)で～を空ける oohare (新): [他](人)に～を空けさせる oharere (新): ②(容器から液体を)[他]～を空ける kuta (空知、天塩): [他](場所)で～を空ける ekuta (新): [他](場所)へ～を空ける kokuta (新): [他]～と共に～を空ける kokuta (新): [他](原因、手段)で～を空ける okuta (新): [他](人)に～を空けさせる kutare (新): [自]水を空ける wakkakuta (新): [他]～をサッと一度に全部を空ける ota (旭川): [他]～を静かに少しずつ空ける kuta (旭川)

あげる(上げる) ①(高い所に上げる動作を表し)[他]～を上げる rikinte (複数 rikipte) (石狩)、[他] rikinke (複数 rikipte) (天塩): 「屋根の上にお前は私の靴を放り上げた。」
“Ku=keri e=sura wa cisekitay ka ta e=rikinte.”: (表現)上に～を上げる erikasi rikinte (複数 rikipte) (石狩)、(表現) rik ta rikinte (複数 rikipte) (石狩): (表現)下から～を上げる orasi rikinte (複数 rikipte) (石狩): [他](場所)に～を上げる erikinte (複数 erikipte) (石狩)、[他] korikinte (複数 korikipte) (石狩): [他]～と共に～を上げる korikinte (複数 korikipte) (新): [他](場所)から～を上げる、(原因、手段)で～を上げる orikinte (複数 orikipte) (新): [他](人)に～を上げさせる rikinkere (新): [他]～をさっと上げさせる rikintekka (新)、[他] rikosmare (新): ②[自]頭を上げる hetari (石狩): [他]～へ頭を上げる kohetari (石狩): [自]ぱつと顔を上げる hetattek (石狩): ③(声について)[自]声を上げる hawki (石狩)、[他] hawkor (石狩): [他]～の声を上げる hawekor (石狩): [他](特定の表現で声)を上げる yaykoyante (石狩)、[他](雅)

koyaykoyante (石狩): (表現)むせび泣きの声が上げる ciscimimse yaykoyante (新)

あける(明ける) ①(夜が)[0動]明ける sirpeker (石狩): [自](場所)の夜が明ける sirkopeker (新): ②(新しい年、季節になる)[自]明ける an (石狩): (表現)年が明ける asirpa an (石狩)

あげる(揚げる) ①(水中、水上、あるいは船より陸への動作を示し)[他]～を揚げる yanke (複数 yapte) (石狩): [他](場所)に～を揚げる koyanke (複数 koyapte) (石狩): [他]～と共に～を揚げる koyanke (複数 koyapte) (新): [他](場所)から～を揚げる oyanke (複数 oyapte) (新): [他](原因、手段)で～を揚げる oyanke (新語 oyapte): [他]～をサッと揚げる yantekka (新): ②(高温の油で調理する事を示し)[他]～を揚げる toto (天塩)

あご(顎) [名]顎、顎の骨 notkew(-e) (石狩)、[名] notkir(-i) (幌別): [名](合成語の要素として)顎 not (石狩): [名]上顎 kannanotkew(-e) (幌別): [名]下顎 poknanotkew(-e) (幌別)、[名](雅) noyap(-i) (石狩): [名]顎の先 noyap(-i) (石狩): (表現)顎の先 notkew(-e) etuhu (石狩): [名]顎髭 notkewrek(-i) (石狩): [自]顎がしゃくれている notkittesusu (沙流): (表現)顎が長い noyapitanne (新): [他]～に顎杖をつく notomare (石狩): (表現)顎杖をつく teknikor notomare (幌別): (表現)刀の柄に顎を置く emus sannipi notomare (幌別): [他](兜の緒などを顎に締める notkoyupu (石狩): [自]顎を突き出し上を向いている nottarara (石狩)、[自] nottesusu (沙流): [自]顎をしゃくる notoyaka (新): [他]～の方に顎をしゃくる konotoyaka (新): (表現)(思案に暮れ)膝頭に顎を埋める kokkasapa notomare (幌別)

あこう(亜綱) (分類)[名]亜綱 mopet (新)

あごひげ(顎髭) [名]顎髭 notkewrek(-i) (石狩): [自]顎髭が生えている notkewrekus (新): (表現)～の顎に髭が黒々としている ～ notkiri kurun kane an (沙流)

アゴヒゲアザラシ(顎髭海豹) (動物)[名](アザラシ科)アゴヒゲアザラシ属 porop-cise (新): [名]アゴヒゲアザラシ porop (樺太)※(タライカ): タライカ方言における区別は1歳 porop-amuspe、2歳 sinepaci-yanka、3歳 tupa-ci-yanka、4歳 tepa-ci-yanka、5歳以上 porop、雄の成獣 pinneporop、雌の成獣 matneporop であ

る。

アコヤガイ(阿古屋貝) (魚介)[名](ウグイスガイ科)アコヤガイ属 *ikorse-y-cise* (新): [名]アコヤガイ *ikorsey* (新): [名]ベニコチョウガイ *húreikorsey* (新): [名]クロチョウガイ *kunneikorsey* (新): [名]シロチョウガイ *retarikorsey* (新): [名]モスソアコヤガイ *arafrakorsey* (新)

あさ(朝) [名・副]朝 *kunnano* (石狩)、[名・副] *kunneywa* (天塩): 本来は朝早く「暗いうちから」の意味: (表現)朝になる、である *kunnano an* (石狩): (表現)朝になって、朝になると *kunnano an kor* (石狩): [副]朝早く *tunas kunnano* (新)、[副] *sonno kunnano* (新)※(本来が「暗い頃」つまり早朝なのだが、生活の推移によってこの様に表現することにする): [自]朝を待つ *kunnanotere* (新): [自]朝になるのを待つ *sirpekettere* (新)

アサ(麻) (植物)[名](クワ科)アサ属 *asa-cise* (新): [名]アサの茎葉 *asa* (新)※(日本語より)、[名]その茎 *asaikkew* (新)、[名] *asanit* (新)、[名]その皮から採る繊維 *asahay* (新)、[名]その葉 *asaham* (新)、[名]その種子 *asapi* (新)※(別名「タイマ」、「タイマソウ」)

あざ(痣) [名]痣、黒痣 *kunnekes(i)* (石狩): (表現)痣が〜にできる *kunnekes o* (石狩): [名](生まれつきの)痣 *porokunnekes(i)* (石狩): [名]赤痣 *húrekes(i)* (新)

あさあけ(浅緋) [自]浅緋色になる、である *ohak-sisamhure* (新): [他]〜を浅緋色に染める *ohak-sisamhureka* (*ohak-sisamhurere*) (新): [名]浅緋色 *ohak-sisamhure-iro* (新)

あさかぜ(朝風) [名]朝風 *kunnano-rera* (新)、[名] *kunneywa-rera* (新)

あさき(浅黄) [自]浅黄になる、である *caysikerpepeus* (*cánipeus*) (新)、[自] *paysikerpepeus* (*pánipeus*) (新): [他]〜を浅黄に染める *caysikerpepeusi* (*cánipeus*) (新)、[他] *paysikerpepeusi* (*pánipeus*) (新): [名]浅黄色 *caysikerpeus-iro* (*cánipeus-iro*) (新)、[名] *paysikerpeus-iro* (*pánipeus-iro*) (新)

あさぎ(浅葱) [自]浅葱になる、である *asanki* (新)※(日本語): [他]〜を浅葱に染める *asankika* (*asankire*) (新): [名]浅葱色 *asanki-iro* (新)

あさきはなだ(浅縹) [自]浅縹色になる、である *ohak-ittonesumpeus* (新): [他]〜を浅縹色に染める *ohak-ittonesumpeusi* (*ohak-ittonesumpeuste*) (新): [名]浅縹色

ohak-ittonesumpeus-iro (新)

アサギマダラ(浅黄斑) (昆虫)[名](マダラチョウ亜科)アサギマダラ属 *asanki-kaparamipmi-marewrew* (新): [名]アサギマダラ *asanki-kaparamipmi-marewrew* (新)

あさく(浅く) ①(水深に関して)[自]浅くなる、浅い *ohak* (石狩)※(対義語は"oho"): [自]合成語の構成要素として)浅い *hak* (石狩)※(対義語は"oo"): [0動]辺りが浅くなる、浅い *sírohak* (新): [自](場所)で辺りが浅くなる、浅い *sirkohak* (新): ②(地形に関して)[自]浅くなる、浅い *kasre* (沙流)※(対義語は"rawne")

あさせ(浅瀬) [名](波が立つ)浅瀬 *utka* (石狩): [名]浅瀬 *keperpe* (沙流): [名]石地の浅瀬 *suma-keperpe* (沙流): [名]砂地の浅瀬 *ota-keperpe* (沙流)

アサダ(鉄木) (植物)[名](カバノキ科)アサダ属 *seykapar-cise* (新): [名]アサダの茎 *seykapar* (屈斜路)※(別名「ハネカワ」、「ミノカブリ」): [名]アメリカアサダの茎 *amerika-seykapar* (新): [名]オーストラリア・カルピンフォリアの茎 *europa-seykapar* (新): [名]O. キソセンシスの茎 *teksas-seykapar* (新): [名]O. クノウルトンの茎 *nowruton-seykapar* (新): [名]O. レーデリアナの茎 *ťecian-seykapar* (新)※(浙江鉄木)

あさって(明後日) [場名・副]明後日 *oyasim* (石狩)

あさなぎ(朝風) [名]朝風 *kunnano-noto* (新): (表現)朝風ぐ *kunnano-noto an* (新)

あさひ(旭) (表現)旭 *hetuku cup* (石狩)、(表現) *rikin cup* (石狩)

あさひかわアイヌきょうぎかい(旭川アイヌ協議会) [名]旭川アイヌ協議会 *Asankarun-Aynueuyepnuus* (新)※(略号 AAE)

アザミ(薊) (植物)[名](キク科)アザミ属 *ancami-cise* (新): [名]アザミの茎葉 *ancami* (幌別)、[名]その茎 *ayuskuttar* (石狩)、[名]その葉 *ancamiham* (新)、[名]その花 *ancami-apappo* (新): [名]アメリカオニアザミの茎葉 *repuonne-ancami* (新)※(別名「セイヨウオニアザミ」): [名]オニアザミの茎葉 *onne-ancami* (新): [名]キセルアザミの茎葉 *kiseri-ancami* (新)※(「マアザミ」などとも): [名]サワアザミの茎葉 *náyus-ancami* (新): [名]タカアザミの茎葉 *keweri-ancami* (新): [名]タチアザミの茎葉 *hetesu-ancami* (新): [名]ノアザミの茎葉 *núpus-ancami* (新): [名]ハマアザミの茎葉 *masarus-*

ancami (新): [名]モリアザミの茎葉
nitayus-ancami (新): [名]ヤマアザミの
茎葉 umma-ancami (幌別)

あさみどり(浅緑) [自]浅緑色になる、である
ohak-siwnin (新): [他]～を浅緑色に染め
る ohak-siwninte (新): [名]浅緑色
ohak-siwnin-iro (新)

あざやか(鮮やか) [副]鮮やかに anukanno
(K)

アザラシ(海豹) (動物)[場名](イヌ亜目)アザラ
シ上科 tukar-apapa (新): [名]アザラシ
科 tukar-apa (新): [名]アザラシ科の動
物の総称 tukar (石狩): [名]アゴヒゲア
ザラシ属 porop-cise (新): ウェッデルア
ザラシ属 weddettukar-cise (weddertukar-
cise) (新): [名]カニクイアザラシ属
amuspeetukar-cise (新): [名]ゴマフアザ
ラシ属 pákuy-cise (新): [名]ズキンアザ
ラシ属 koncikottukar-cise
(koncikortukar-cise) (新): [名]ゾウアザ
ラシ属 eturacicitukar-cise (新): [名]ハ
イイロアザラシ属 manaustukar-cise
(新): [名]ヒョウアザラシ属 kesotukar-
cise (新): モンクアザラシ属
monaxostukar-cise (新): [名]ロスアザラ
シ属 rostukar-cise (新): [名]アシカ科
etaspe-apa (新): [名]セイウチ科 soh-
apa (新)

アサリ(浅蜊) (魚介)[名](マルスダレガイ科)ア
サリ属 ciuri-cise (新): [名]アサリ
ciuri ((幌別): [名]ヒメアサリ mociuri
(新)

アザレア ①[自]アザレア色になる、である
azarea-ehure (新)、[自] azarea-irone
(新): [他]～をアザレア色にする azarea-
ehureka (-ehurere) (新)、[他] azarea-
ironeka (-ironere) (新): [名]アザレア色
azarea-hure-iro (新)、[名] azarea-iro
(新): ②[自]アザレアピンク色になる、であ
る azarea-eruhure (新)、[自] azarea-
epinku (新): [他]～をアザレアピンク色
にする azarea-eruhureka (azarea-
ruhurere) (新)、[他] azarea-epinkuka (-
epinkure) (新): [名]アザレアピンク色
azarea-eruhure-iro (新)、[名] azarea-
epinku-iro (新)

あざわらう(嘲笑う) [自]嘲笑う wenmina
(石狩): [他]～を嘲笑う ewenmina (石
狩)、[他] eoaynene (石狩)、[他] emina
(石狩): [他]～と共に嘲笑う kowenmina
(新): [他](原因、手段)で嘲笑う owenmina
(新): [自]一人で嘲笑う yaykowenmina
(新): [自](皆)共に嘲笑う ukowenmina
(新)

アシ(芦)→「ヨシ(葭)」を見よ

アジ(鯔) (魚介)[名](スズキ目)アジ科 aji-apa
(新): [名]アジ亜科 aji-moapa (新):
[名]イトヒキアジ属 sitokiipe-cise (新):
[名]オキアジ属 repunaji-cise (新): [名]
オニアジ属 cepnepatkepaji-cise (新):
[名]ギンガメアジ属 sirokanikampiaji-cise
(新): [名]クボアジ属 atropusaji-cise
(新): [名]クラカケヒラアジ属
kuraokaparaji-cise (新): [名]クロアジモ
ドキ属 cimanakatuokopaaji-cise (新):
[名]コガネシマアジ属 konkaniruoaji-cise
(新): [名]シマアジ属 rúoaji-cise (新):
[名]パントラブス属 pantorabus-cise
(新): [名]ヒシカイワリ属 pekampenoka-
seyperep-cise (新): [名]ヒラマナアジ属
etuyaji-cise (新): [名]ホソヒラアジ属
sikerpepeus-pisoyaji-cise (新): [名]マア
ジ属 yayanaji-cise (新): [名]マテアジ属
mateaji-cise (新): [名]マブタシマアジ属
sikkapkoraji-cise (新): [名]ムロアジ属
kusayaneaji-cise (新): [名]メアジ属
sikiporoaji-cise (新): [名]モンツキヒラア
ジ属 eenukaraji-cise (新): [名]ヨロイア
ジ属 hayokpeaji-cise (新): [名]イケカツ
オ亜科 cisampakopaaji-moapa (新):
[名]コバンアジ亜科 kobanaji-moapa
(新): [名]ブリモドキ亜科
atuyeipakasnu-cep-moapa (新)

あし(足) ①[名](生物の)足全体、(動物の)後足
cikir-(i) (石狩): [名](器物の)足 kema
(石狩): 石狩はじめ十勝、美幌などでは人の
足も獣の足も cikir を用いるのに対し、八雲、
幌別、沙流、天塩などでこれは専ら獣の足に
ついて用い、人の足は kema と言うが、石狩
でこれは器物についてのみを指す。宗谷、樺
太ではどちらの足も kema と言うようであ
る。尚 inecikinne 「四つん這いで」という言
葉がある事から、獣の足4本を cikir と言え
るが、人間の身体に例えて tek 「前足」、cikir
「後足」と表現する事もある。: [名]
urencikir-(i) (新): (表現)両足 uekari
cikir-(i) (石狩): ②(足の部位)[場名]股間
ciutur-(u) (石狩): [名]腿 om-(i) (石
狩): [名]大腿骨 ompone (石狩): [名]
膝 kokka (石狩): [名]膝頭 kokkasapa
(石狩): [場名]膝頭より足首までの膝
utcikama-mekka(-si, -sike) (石狩): [名]
脛 utcikama (石狩): [名]足首
urekut-(i) (石狩): [名]足首の関節
ureikra (石狩): [名]足首の関節部
urekutnin-(i) (石狩): [名]踝
cikirtokom-(i) (石狩): [名]足の脈どころ
cikirsampe (石狩): [名]足首より先の足

ure (石狩)、[名] paraure (石狩)、[名] paracikir(-i) (石狩): [名]踵 kesup(-i) (石狩): [場名]足の甲 uremekka(-si、-sike) (石狩)、[場名] cikirmekka(-si、-sike) (石狩): [場名]足の裏 ureasam(-a) (石狩)、[場名] cikirasam(-a) (石狩): [名]足の指 urepet(-ci) (石狩)、[名] ureaskepet(-ci) (石狩): [名]足の外縁部 urepisoy(-e) (H)

あじ(味) ①[名]味 kéra (石狩): (表現)味がある(=美味しい) kéra an (石狩): (表現)味が良くなる、良い kéra pirka (石狩): (表現)味が悪くなる、悪い kéra wen (石狩): ②[名]味(特に塩味) rur (所属形 ruri) (天塩): (表現)味が良くなる、良い ruri pirka (天塩): (表現)味が悪くなる、悪い ruri wen (天塩): (表現)味がしょっぱくなる、しょっぱい ruriyupke (天塩): ③[他]~の味がする rak (石狩): (表現)甘い味がする tópen rak (沙流): (表現)魚の味がする(=魚臭い) cep rak (沙流): (表現)土の味がする toy rak (沙流)

アジア [場名](地名)アジア Ázia (新): (表現)アジア諸国 Ázia uyru usa ankormosir (新)

アジアゴールデンキャット (動物)[名](ネコ亜科)アジアゴールデンキャット属 áziaun-konkanimekot-cise (新): [名]アジアゴールデンキャット áziaun-konkanimekot (新): [名]ボルネオヤマネコ bonneoun-konkanimekot (新)

アジアスイギユウ(アジア水牛) (動物)[名](ウシ族)アジアスイギユウ属 áziaworumpeko-cise (新): [名]アジアスイギユウ azia-worumpeko (新): [名]スイギユウ yayan-worumpeko (新)、[名] cireska-worumpeko (新): [名]マウンテンアノア kimun-moworumpeko (新)、[名] kimun-anoa (新): [名]ミンドロスイギユウ mindoro-moworumpeko (新)、[名] tamaraw (新)※(別名「タマラオ」): [名]ローランドアノア rauysirun-moworumpeko (新)、[名] rauysirun-anoa (新)

アジアゾウ(亜細亜象) (動物)[名](ゾウ科)アジアゾウ属 ázia-siporoeturacici-cise (新): [名]アジアゾウ azia-siporoeturacici (新): 亜種: [名]インドゾウ bárat-siporoeturacici (新): [名]シリアゾウ suriya-siporoeturacici (新)※(絶滅): [名]スマトラゾウ sumatra-siporoeturacici (新): [名]セイロンゾウ simhadipa-siporoeturacici (新): [名]ボルネオゾウ bonneo-siporoeturacici (新)

あしあと(足跡) [名](所属形)~の足跡 ruwe (石狩): (表現)クマの足跡 eper ruwe (石狩): (表現)~の足跡がある ruwe an (石狩): [名](所属形)~の新しい足跡 asinruwe (石狩): [名](所属形)~の古い足跡 huskoruwe (石狩): [他]~の足跡を追う ruwekaripa (石狩): (表現)~の足跡を追う ruwe kari (石狩)

アシカ(海驢) (動物)[名](アザラシ上科)アシカ科 etaspe-apa (新): [名]アシカ亜科 etaspe-moapa (新): [名]アシカ属 asika-apa (新): [名]カリフォルニアアシカ kariforniaetaspe (新): [名]ニホンアシカ asika (新)※(日本語): [名]オタリア属 otaria-cise (新): [名]トド属 etaspe-cise (新): [名]ニュージーランドアシカ属 aotearoaetaspe (新): [名]オットセイ亜科 unew-moapa (新)

アシガバート [場名](トルクメニスタンの首都)アシガバート Asgabat (新)

あしがはやい(足が速い) [自]足が速い pikan (石狩)、[自] nitan (石狩): ※(nitán は足だけでなく行動そのものが速い事を示す。): [他]~と共に足が速い kopikan (新)、[他] konitan (新): [他](原因、手段)で足が速い opikan (新)、[他] onitan (新): [他]~の足を速くする pikante (新)、[他] nitante (新)

あしくび(足首) [名]足首 urekut(-ci) (石狩)、[名] urekuci (石狩): [名]足首の関節 urekutnin(-i) (石狩)、[名] ureikra (石狩)

あじくらべ(味比べ) [自]人と味比べする ikeranu (新)、[自] ikerapakte (新): [他](人)と味比べする kéranu (新)、[他] kérapakte (新): [他](場所)で(人)と味比べする ekeranu (新)、[他] ekerapakte (新): [他](原因、手段)で(人)と味比べする okeranu (新)、[他] okerapakte (新): [他](人)を(人)と味比べさせる kéranure (新)、[他] kérapaktere (新): [自]互いに味比べする ukeranu (新)、[他] ukerapakte (新): [他](場所)で互いに味比べする eukeranu (新)、[他] eukerapakte (新): [他](原因、手段)で互いに味比べする oukeranu (新)、[他] oukerapakte (新): [他](人)を互いに味比べさせる ukeranure (新)、[他] ukerapaktere (新)

あした(明日) [場名・副]明日 nisatta (石狩)、[副] nisattano (石狩): (表現)明日になると nisatta an kor (石狩): [場名]明日の日 nisattaanto (新)

アシタバ(明日葉) (植物)[名](シシウド属)アシタバ

バの茎葉 *sisamcisuye* (新)

アシナガアリ(脚長蟻) (昆虫)[名](フタフシアリ亜科)アシナガアリ属 *cikiritanne-itunnap-cise* (新): [名]アシナガアリ *cikiritanne-itunnap* (新): [名]イソアシナガアリ *pisuncikiritanne-itunnap* (新): [名]ヤマトアシナガアリ *yayancikiritanne-itunnap* (新)

アシナガバチ(脚長蜂) (昆虫)[名](スズメバチ科)アシナガバチ亜科 *kásoya-moapa* (新): [名]アシナガバチ属 *kásoya-cise* (新): [名]キアシナガバチ *yayankasoya* (新): [名]キボシアシナガバチ *siwnincisekor-kasoya* (新): [名]コアシナガバチ *ponkasoya* (新): [名]セグロアシナガバチ *seturukunne-kasoya* (新): [名]トガリフタモンアシナガバチ *nokkewe-sikerpepus-kasoya* (新): [名]フタモンアシナガバチ *tucupnokakor-kasoya* (新): [名]ヤマトアシナガバチ *sisamkasaya* (新): [名]チビアシナガバチ属 *roparidia-kasoya-cise* (新): [名]ホソアシナガバチ属 *ánekasoya-cise* (新)

あしのうら(足の裏) ① [場名]足の裏 *ureasam-(a)* (石狩)、[場名] *cikirasam-(a)* (石狩): (表現)(臆病にも)白い足の裏を見せて逃げ去る *cikirasama (ureasama) retar kane sietaye* (新)※(樺太): ②(熊の)[場名]足の裏 *kerep-urepok-(i)* (美幌)、[場名] *uretoy-(e)* (美幌): [名]足の肉 *urearu* (石狩)

あしのゆび(足の指) [名]足の指 *urepet-(ci)* (石狩)、[名] *ure-askepet-(ci)* (石狩): [名]足の親指 *poro-urepet-(ci)* (新)、[名] *onne-urepet-(ci)* (新): [名]足の人差し指 *yaka-urepet-(ci)* (新): [名]足の中指 *noskiun-urepet-(ci)* (新): [名]足の薬指 *ponurepet-tutanu-urepet-(ci)* (新)、[名] *iotutanu-urepet-(ci)* (新): [名]足の小指 *pón-urepet-(ci)* (新)

あじみ(味見) [自]味見する *isapke* (新): [他]～を味見する *sapke* (新): [他](場所)で～を味見する *esapke* (新): [他]～と共に～を味見する *kosapke* (新): [他](原因、手段)で～を味見する *osapke* (新): [他](人)に～を味見させる *sapkere* (新): [他]自分で、一人で～を味見する *yaykosapke* (新): [他]皆で、互いに～を味見する *ukosapke* (新): [他]すっかり～を味見する *oassapke (assapte)* (新): [他]人に～を味見させる *sapkeyar* (新)

アジュマーン [場名](アラブ首長国連邦の首長国名)アジュマーン *Ájuman* (新)

あじわう(味わう) [他]～を味わう *rak* (石

狩): (表現)(空腹に何かを口にしたら味が体に染みいるように感じるのを表し)私の心の隅々が食物を味わいながら *ay=sampe pake ay=sampe kese ipe rak kane* (石狩): [他](人)に～を味あわせる *rakte* (新)

あしをからめる(足を絡める) [他]～に自分の足を絡める *ocinkonoye* (幌別): (表現)～の脛に我が足を絡め仰のけに地面に押し倒す *pokin-ncikiri an=ocinkonoye kuttokono an=sirekatta* (新)※(幌別)

あしをばたつかせる(足をばたつかせる) ①(暴れて)[自]足(や尾)をばたつかせる *hotappa* (石狩)、[自] *cihotappare* (石狩)、[自] *hocikacika* (沙流): [他](場所)で足をばたつかせる *ehotappa* (新): [他]～と共に足をばたつかせる *kohotappa* (新): [他](原因、手段)で足をばたつかせる *ohotappa* (新): [他]～に足をばたつかせる *hotappare* (新)、[他] *hocikacikare* (沙流): ②(だだをこねて)[自]座り込んで足をばたつかせてだだをこねる *hokerekere* (沙流): [他]～と共に座り込んで足をばたつかせてだだをこねる *kohokerekere* (沙流): (表現)座り込んで泣いて足をばたつかせてだだをこねる *cis ne an pe kohokerekere* (沙流): [自]座り込んで泣いて足をばたつかせてだだをこねる *ciskohokerekere* (沙流): ③(暴れる訳ではなく足を曲げ伸ばしする)[自]足をばたつかせる *hopayepaye* (沙流)

アズキ(小豆) ①(植物)[名](ササゲ属)アズキの茎葉 *antoki-kina* (新): [名]アズキの種子(豆) *antoki* (石狩): ②[自]小豆色になる、である *antoki-irone (antukine)* (新): [他]～を小豆色にする *antoki-ironeka (antoki-ironere)* (新): [名]小豆色 *antoki-iro* (新)

アズキナ(小豆菜) →「ユキザサ(雪笹)」を見よ
アズキナシ(小豆梨) (植物)[名](バラ科)アズキナシ属 *cikapsetanni-cise* (新): [名]アズキナシの茎 *cikapsetanni* (石狩): [名]アズキナシの実 *cikapsetar* (石狩): [名]ウラジオノキ *samoruscikapsetanni* (新)

あずける(預ける) [他]～を預ける *anu* (石狩): 現在まで確認されている用例では目的語は人であるが、今後物についても使う。: [他](場所)で～を預ける *eanu* (新): [他]～に～を預ける *koanu* (石狩): (表現)…から～を預かる … *orowa ~ an=koanu* (新): 「私は姉からその子を預かった(=私は姉にその子を預けられた)。」 *“Ku=saha orowa poho enci=koanu .”*: [他]～と共に～を預ける *koanu* (新): [他]～のために～を預ける、(手段)で～を預ける *oanu*

(新): [他](人)に～を預けさせる anure
 (新): [他]自分で、一人で～を預ける yaykoanu (新): [他]皆で、互いに～を預ける ukoanu (新): [他]すっかり～を預ける oaranu (aranu) (新): [他]一時的に～を預ける irukaypoanu (新): (表現)一時的に～を預ける irukaypo anu (新): [他]人に～を預けさせる anuyar (新)
アズサ(梓) (植物)[名](カバノキ属)アズサの茎 azusatatni (新)、[名] karimpatatni (新)※(「ミズメザクラ」、「ヨグソミネバリ」とも): [名]梓弓 azusaku (新)
アスタチン (化学)[名]アスタチン astatum (新)※(原子番号 85 番。元素記号 At)
アスタナ [場名](カザフスタン共和国の首都名)アスタナ Astana (新)
アステカ (歴史)[場名](国名)アステカ帝国 Asteka (新)※(首都「チノティトラン」)
アストラハン ①[場名](ロシア連邦南部連邦管区の構成主体名)アストラハン州 Astoraxani-purovince (新): [場名](アストラハン州の州都名)アストラハン Astoraxani (新): ②(歴史)[場名]アストラハン汗国 Astoraxani Xankormosir (新)※(1466頃-1556年)
アスナロ(罌櫨) (植物)[名](ヒノキ亜科)アスナロ属 retarhinoki-cise (新): [名]アスナロの茎 retarhinoki (新): [名]ヒノキアスナロの茎 koypokretarhinoki (新)※(別名「ヒバ」)
アスファルト [名]アスファルト annumpe (新)※(黒膠)、[名] asfarto (asfatto) (新)※(英語): [名]アスファルト混合物、アスファルト合材 cikoipoye-annumpe (新)、[名] cikoipoye-asfarto (cikoipoye-asfatto) (新): [名]天然アスファルト siantennumpe (新)、[名] sianten-asfarto (sianten-asfatto) (新)
アズマザサ(東笹) (植物)[名](タケ亜科)アズマザサ属 tókio-mouras-cise (新): [名]アズマザサの枝葉 tókio-mouras (新): [名]クリオザサの枝葉 tanegasima-mouras (新): [名]コガシアズマザサの枝葉 kogasimouras (新): [名]サドザサの枝葉 sado-mouras (新): [名]シオバラザサの枝葉 obara-mouras (新): [名]ジョウボウザサの枝葉 jobo-mouras (新): [名]スエコザサの枝葉 sueko-mouras (新): [名]タンゴシノチクの枝葉 tango-mouras (新): [名]ハコネシノの枝葉 hakone-mouras (新): [名]ヒシュウザサの枝葉 hida-mouras (新): [名]ヒメスズタケの枝葉 cicap-mouras (新): [名]ミドウシノの枝葉 mido-mouras (新): [名]ミヤギザサの枝葉

miyagi-mouras (新)※(ヒシュウザサの変種。別名「ヤブザサ」): [名]ヤマキタダケの枝葉 yamakita-mouras (新)
アスマラ [名](エトルリアの首都名)アスマラ Asmera (新)
アスンシオン [場名](パラグアイ共和国の首都名)アスンシオン Asunsion (新)
あせ(汗) [名]汗 poppe (石狩): [自]汗をかく poppenu (石狩): [連動]全身汗だくになる kasi-wakkakus (ka-wakkakus) (石狩): (表現)私は全身汗だくになる en=ka-wakkakus (石狩)、(表現)お前は全身汗だくになる e=kasi-wakkakus (石狩)、(表現)彼女は汗だくになる kasi-wakkakus (石狩): [自]汗をあまりかかない poppeeniste (新)、[自] pópeniste (沙流): [自]汗をかきやすい、汗っかきである poppeehapur (新)、[自] pópehapur (沙流)
アゼスゲ(畔菅) (植物)[名](スゲ属)アゼスゲの茎葉 uncakina (石狩)
アゼトウナ(畔唐菜、畔冬菜) (植物)[名](キク科)アゼトウナ属 siatuyusamusmun-cise (新): [名]アゼトウナの茎葉 siatuyusamusmun (新): [名]コヘラナレンの茎葉 moheranarenni (新): [名]ヘラナレンの茎葉 heranarenni (新): [名]ホソバワダンの茎葉 hamuane-wadanmun (新): [名]ワダンの茎葉 wadanmun (新)
あせも(汗疹) [名]汗疹 nietu (幌別)、[名] siratsirat (屈斜路): [自]汗疹が一面に出る rurutcline (沙流)
アゼルバイジャン [場名](国名)アゼルバイジャン共和国 Azerbaijan Ukotankoremosir (新)※(首都は「バクー」): [場名](国名の通商として)アゼルバイジャン Azerbaijan (新): [名]アゼルバイジャン人、国民 azerbaijanunkur (新): [名](民族として)アゼルバイジャン人 azerbaijanrirarkur (新): [名]アゼルバイジャン語 azerbaijanrirarkuritak (新): (歴史)[場名](ソ連邦の構成国名)アゼルバイジャン・ソヴィエト社会主義共和国 Azerbaijan Soviet Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1936-91年。アイヌ語の略称は "Azerbaijan SUU".): (歴史)[場名](国名)アゼルバイジャン民主共和国 Azerbaijan Urenkasapte Ukotankoremosir (新)※(1918-20年)
あぜんえんみやく(亜前縁脈) [名](虫の翅の)亜前縁脈 parurkeunraprit-turasip(-i) (新)
あそうぎ(阿僧祇) ①[場名]阿僧祇 ikkes (新)※(10の56乗): [場名]十阿僧祇 wánikkas (新): [場名]百阿僧祇

atuytaikkese (新): [場名] 千阿僧祇
wánatuytaikkese (新): ②[連体]阿僧祇の
ikkese (新)、[連体] ikkese (新): [連体]
十阿僧祇の wánikkese (新)、[連体]
wánikkese (新): [連体] 百阿僧祇の
atuytaikkese (新)、[連体] atuytaikkese
(新): [連体] 千阿僧祇の
wánatuytaikkese (新)、[連体]
wánatuytaikkese (新)

あぞく(亜属) (分類)[名] 亜属 mocise (新)

あそこ (1)(話者より遠い場所を指し示し)①
[代名]あそこ taan (石狩): (表現)あそこ
で、あそこに taan ta (石狩): (表現)あそ
こへ taan ene (新): (表現)あそこから
taan wa(-no) (新): (表現)あそこまで
taan pakno (新): (表現)あそこを taan
peka (新): 「あそこを見てごらんさい。」
“Taan ene inkar yan!”: ②[代名]あそこ
taaner (taanero) (石狩): 「見てごらん。
あそこが赤くなってるよ。」“Inkar ya!
Taanero hure wa.”: [連体]あそこの
taan (石狩)※(これは「あそこにある」
taan ta an を用いても良い): (2)(話者より遙か
遠い場所を指し示し)①[代名]あそこ toan
(石狩): ②[代名]あそこ toaner (taanero)
(新): [副] toni (石狩): [指示連体]あそ
この toan (石狩)※(これは「あそこにある」
toan ta an を用いても良い): (3)(既に話
題にされるなど相手が知っている場所に触
れ)①[指示代名]あそこ ney (ne hi) (石
狩): (表現)あそこで、あそこに ney (ne
hi) ta (石狩): (表現)あそこへ neyne
(石狩): (表現)あそこから ney (ne hi)
wa(-no) 「あそこまで ney (ne hi) pak(-
no) (石狩): (表現)あそこにある、あそこ
の ney ta an (ne hi ta an) (石狩): ②
[代名]あそこ neani (石狩): (1)~(3)に
関して指示代名詞①は後置詞、後置副詞と用
いられ単独では用いられない。それに対し②
は「あそこが」とか「あそこを」と主語や目
的語として単独で用いられる。

アゾフ [名](地名)アゾフ海 Azof-atuy (新)

あそぶ(遊ぶ) ①[名]遊び sinot (石狩):
[自]遊ぶ sinot (石狩): [他](場所)で遊ぶ
esinot (新): [他]~と遊ぶ kosinot
(新): [他](原因、手段)で遊ぶ esinot (石
狩)、[他] osinot (新): [他](人)を遊ばせ
る sinotte (新)、[他] sinotka (新):
[自]自分で、一人で遊ぶ yaykosinot (新)、
[自] yaysinotte (新): [自]皆で、共に遊
ぶ ukosinot (新)、[自] usinotte (新):
[自]遊びまくる toykosinot (新): [名]遊
び人 toykosinotkur (新): [名](特に大人
の遊びの)遊び人 hoiyo (新): [場名]遊び

場 sinotusi (美幌): ②[自]遊びに行く、
来る sinewe (石狩): [他](場所)で遊びに
行く、来る esinewe (新): [他](場所)へ遊
びに行く、来る kosinewe (石狩): [他]~
と共に遊びに行く、来る kosinewe (新):
[他](原因、手段)で遊びに行く、来る
osinewe (新): [他](人)を遊びに行かせる、
来させる sineweka (sinewere) (新)

あたいるく(亜大陸) [場名] 亜大陸
poyisepmosir(-i) (新)、[名]
ponkontinento (新)

あたえる(与える) [他](人)に物を与える ikore
(新): [他](人)に~を与える kóre (複数
kórpore) (石狩)※(複数形は雅語文体で用
いられる): [他](場所)で(人)に~を与える
ekore (新): [他]~と共に(人)に~を与え
る kokore (新): [他](原因、手段)で(人)
に~を与える ekore (石狩)、[他] okore
(新): [他]一人で(人)に~を与える
yaykokore (新): [他]皆(共に)(人)に~を
与える ukokore (新): [他]滅茶苦茶(人)に
~を与える toykokore (新): [他]人に~
を与える korar (石狩)

あたかも →「ように」を見よ

あたたか(暖か、温か) ①(人が心地よい温
度)[0動]気候、気温が暖くなる、暖かい
sirpopke (石狩): [自](場所)が暖くなる、
暖かい sirkopopke (新): [自]暖くなる、
暖まる、暖かい popke (石狩): [副]暖か
く popke (石狩): 「今日は寒いから暖か
くして寝るんだよ。」“Tanto mean kusu
popkeno e=mokor nankor.”: ②(料理や液
体に関して)[自]温くなる、温い sesek (石
狩): 「私達は温かいミルクを飲んで暖ま
った。」“Sesek pekotope ci=ku wa popke=as.”

あたためる(暖める、温める) ①(快適な温
度に)[他]~を暖める popkeka (石狩)、[他]
popkere (新): 「赤ん坊が寒がっているの
で私は懷で暖めた。」“Sispe merayke kusu
mour oske ta ku=popke.”: ②(料理や液
体に関して)[他]~を温める sesekka (石
狩)、[他] sesekte (新)

アダックス (動物)[名](ブルーバック族)アダッ
クス属 addaksu-cise (新): [名]アダッ
クス addaksu (新)

あだな(渾名) [名]渾名 ponre (沙流)

あたま(頭) ①[名]頭 sapa (石狩)、[名]
pake (páke) (石狩)、[名] key(-he) (天
塩): ②(語構成要素として)[場名]頭 pa
(石狩)、[名] kimuy (石狩)、[名] rum (石
狩): [位名]~の頭 pa(長形-ke) (石狩):
[接頭](主に動詞に接頭して項の数を1つ減
らして)頭 he- (石狩): he+tuku(を突き
出す)→hetuku「昇る」: [接頭](主に動詞

に接頭し項の数を変えず)～の頭 e- (石狩): e+us (が～に付く)→ eus 「～の頭が～に付く」: [名](人)の頭の皮 sapakap(-u) (幌別): [名](動物)の頭の皮 saparus(-i) (幌別): [場名]頭のとっぺん kankitay(-e) (石狩)、[場名] pákitay(-e) (石狩)、[名] páokannasi (石狩)、[場名](雅) ekimuyka(-si, -sike) (幌別): [自]頭が良くなる、良い ramatkor (石狩)、[自] ramuan (石狩)、[自] pakepirka (石狩): [自]頭が悪くなる悪い ramuisam (石狩)、[自] sapawen (石狩)

あたまたたきぼう(頭叩き棒) [名](魚)の頭叩き棒 ipakikni (石狩)、[名] isapakikni (石狩)、[名] sapakikni (新)

あたまでっかち(頭でっかち) (表現)頭でっかちである sapa poro (幌別)、(表現) páke poro (美幌)

あたまもと(頭元) [後副]～の頭元で、頭元に eusi (石狩): 「私の頭元で鳥が鳴く。」 “En=eusi cikap rek .”

あたまをかめる(頭を屈める) [他](場所)へ頭を屈める heusi (沙流): [他](場所)へ何度も頭を屈める heusiheusi (沙流): 「私は鍋の下へ何度も屈め屈めし火を吹いた。」 “Su corpok ku=heusiheusi wa uku .”

あたまをつっこむ(頭を突っ込む) [他]～の先に頭を突っ込む epaeotke (石狩): 「…彼がどうするか私は見たくて自分の片方の袖口に頭を突っ込み、横になりいたが…」 “nekon iki a [>ya] an=nukan [>an=nukar] rusuy kusu an=mipi attusa an=epaeotke hotke=an oka=an rok pe …” (杉村キナラブク)神謡

アダム (聖書)[名]アダム Adam (新)※(神が最初に創造したという人間)

あたらしく(新しく) [自]新しくなる、新しい asir (石狩): [他](場所)で新しくなる、新しい easir (新): [他]～と共に新しくなる、新しい koasir (新): [他](原因、手段)で新しくなる、新しい oasir (新): [他]～を新しくする asirka (asire) (新): [他]充分新しくなる、新しい asinno (asinnu) (新): [他]すっかり新しくなる、新しい oarasir (arasir) (新): [他]ものすごく新しくなる、新しい toykoasir (新): [自]パッと新しくなる asittek (新): [他]～をパッと新しくする asittekka (新): [副]新しく asinno (石狩)

あたり(辺り) [場名](目に見える限り漠然とした空間を指し)辺り sir(-i) (石狩): 自動詞の主語となり、「天気」、「気温」とも訳される。この辞書では「+自動詞」の形式を一語とみなし「0項動詞(完全動詞)」と分類する。

Sir + peker (明るくなる、なっている)→ sirpeker 「辺りが明るくなる、夜が明ける」、sir + pirka (良くなる、良い)→ sirpirka 「天気が良くなる、良い」、sir + popke (暖くなる、暖かい)→ sirpopke 「気温が暖くなる、暖かい」。こういう0項動詞が自動詞となる時は sirkopeker 「(場所)の夜が明ける」のように sir と自動詞の間に接頭辞 ko- が付く。: [場名](ある行為や状況が及ぶ範囲を指し)辺り sittukari (沙流): (表現)辺りが静まり返る attukari cikistekka (沙流): [自]辺りを～(な様子)にする、辺りが～(な様子、光景、景色)になる sirkar (沙流): 「私達が見ると、崖の下野原一面花が咲き乱れ、辺りはこの世にいるとは思えぬ景色だった。」 “Inkar=as ayke kut corpok ta nup an wa kurkasike apapp toykopiraskepa wa aynumosir ta okay=as sekor yaynu=as ka somo ki no sirkar=an .”

あたる(当たる) ① [自]人に当たる untomosma (新): [自]物に当たる itomosma (新): [連他]～に当たる tomo-osma (tom-osma) (石狩): 「君の投げた雪玉が私の顔に当たった。」 “Upastaktak eak wa ku=nanu tomo-osma .”: [自](複数のものが)互いに当たる utomosma (新): [他]～に当たる osma (石狩): 「石が私の手に当たった。」 “Suma ku=teke osma .”: (表現) cotca の受け身を用いる(直訳すると「～に当てられる」): 「彼は突然銃をぶっぱなし私に当たった。」 “Nisapno teppo ani toytukan wa enci=cotca .”: (表現)動物が自分の意志で弓などに当たる(受け止める)という雅語的な言い回しで、動物を主語にして他動詞 yaypekare を用いる。本来は「…彼が私を射たので私はそれに自ら当たり…」 “i=cotca kusu an=yaypekare …” と表現された。: ②(雨や風や日光などに関して)[他]～に当たる kar (石狩): 「私は雨に当たって衣服がぐしょ濡れだよ」 “Ruyampe ku=kar wa ku=mi p époso wa .”: (表現)川の流れ、川波が当たる ciw kar (沙流): ③(くじに関して)[他]～に当たる epeka (沙流)

あちこち [位名]～のあちこち piskan (長形 -i, -ike) (石狩): 「～のあちこちで、に」 piskan ta 「～のあちこちへ」 piskan ene 「～のあちこちから」 piskan wa (wano): [連体]～のあちこちの piska (石狩): 「そのあちこちのむらで」 piska kotan ta (石狩): (表現) hanke ～ tuyma ～ の形式で同じ名詞を繰り返す、あちこちに存在するものを表す(石狩): 「あちこちの村から若者がやってきた。」 “Hanke kotan wa tuyma kotan wa pewre utar

arki .”

あちら ①(場所)[代名]あちら taan (石狩)、
[代名] taani (新): 「あちらをご覧ください。」
“Taan ene inkar yan !”: (表現)決してあちらこちら振り返る事なく一刻も早く～の許にたどり着く senne toni senne tani kohosari somo ki nopo ciki ta heta ～
kosirepa (久保寺 13): [連体]あちらの taan (石狩): (表現)あちらの方、殿方 tokay nispá (新): (表現)あちらの(ご婦人 tokay katkemat (新): (表現)あちらの方々 tokay utar (新): ②(水面を挟んだ)[場名]あちら側 ikus (ikuske) (八雲): [自]あちら側にある、いる ikusun (石狩): [名]あちら側にいる人 ikusunkur (石狩): [位名]～のあちら側 kus (長形-ke) (石狩、天塩): 空間的關係のみならず、“ikusunkur” が「敵」を意味するように、心理的に自分達と対極の關係も表す。

あつく(厚く) [自]厚くなる、厚い ironne (石狩)※(対義語は kapar): [他](場所)で厚くなる、厚い eironne (新): [他]～と共に厚くなる、厚い koironne (新): [他](原因、手段)で厚くなる、厚い oironne (新): [他]～を厚くする ironneka (ironnere) (新): [自]充分厚くなる、厚い ironneno (ironnenu) (新): [自]完全に厚くなる、厚い oarironne (arironne) (新): [自]ひどく厚くなる、厚い toykoironne (新): [副]厚く ironne(-no) (新)

あつく(熱く、暑く) ①(気候、気温が)[0 動]暑くなる、暑い sissesek (sirssek) (石狩): 「今日は暑いから海に行くつもりです。」
“Tanto sissesek kusu atuysam ene ku=san kusune na .”: [自](場所)の気候、気温が暑くなる、暑い sirkosesek (新): ②(人や物が)[自]熱(暑)くなる、熱(暑)い sesek (石狩): 「日に焼かれて岩肌も砂も熱い。」
“Sikus cire wa sirar kasi ka ota ka sesek .”、
「暑いなあ。早く泳ぎに行こう。」
“Ku=sesek humi ! Hempano ma=an kusu paye=an ro !”: [他]～を熱くする sesekka (石狩): 「昔は鍋が無いと小石を熱くしてフキの葉で煮たそうだ。」
“Teeta su isam kor poysuma an=sesekka wa korham ani isuwe=an yak a=ye .”: [他](場所)で熱(暑)くなる、熱(暑)い esesek (新): [他]～と共に熱(暑)くなる、熱(暑)い kosesek (新): [他](原因、手段)で熱(暑)くなる、熱(暑)い osesek (新): [他]～を熱(暑)くする sesekka (新): [自]充分に熱(暑)くなる、熱(暑)い sesekno (seseknu) (新): [自]すっかり熱(暑)くなる、熱(暑)い oassesek (assesek) (新): [自]ものすごく熱(暑)く

なる、熱(暑)い toykosesek (raysesek、weysesek) (新): [副]熱(暑)く sesek(-no) (新)

あつけ(呆気) [自]呆気にとられる epaskantarara (沙流): (表現)呆気にとられている epaskantarara wa an (沙流)

あつけしょう(厚化粧) [自]厚化粧する yaykanrui (新): [他](人)を厚化粧させる yaykanrui (新)

あつし(厚司) [名]オヒョウニレの繊維を織った布 attus (石狩): [名]オヒョウニレの繊維を織った布で作った着物 attus (石狩)、[名] iyoattus (石狩): [名]厚司機 attuskarpe (石狩): [名]箆 wossa (石狩): [名]綜紵 kamakap (石狩): [名]経糸の端を巻き付ける棒 atkisma (石狩): [名]杼 attuspera (石狩): [名](コタンカラカムイの着る)裾の焦げた厚司 ouhuy nikapattus (石狩)

アッシュグレイ [自]アッシュグレイ色になる、である únaegurey (新)、[自] asgurey (新): [他]～をアッシュグレイ色にする únaegureyka (-egureyre) (新)、[他] asgureyka (asgureyre) (新): [名]アッシュグレイ色 únaegurey-iro (新)、[名] asgurey-iro (新)

あつぷあつぷ [自]あつぷあつぷする etampu (etampo) (石狩)

アップルグリーン [自]アップルグリーン色になる、である sísetar-esiwnin (新): [他]～をアップルグリーン色にする sísetar-esiwninte (新): [名]アップルグリーン色 sísetar-esiwnin-iro (新)

アップロード [自]アップロード irikinke (新)、[自] iaprowdo (新): [他]～をアップロードする rikinke (新)、[他] aprowdo (新): [他](場所)で～をアップロードする erikinke (新)、[他] eaprowdo (新): [他](場所)に～をアップロードする、～と共にアップロードする korikinke (新)、[他] koaprowdo (新): [他](場所)から～をアップロードする、(原因、手段)で～をアップロードする orikinke (新)、[他] oaprowdo (新): [他](人)に～をアップロードさせる rikinkere (新)、[他] aprowdore (新)

あつまる(集まる) ①[自]集まる uekari (複数 uekarpa) (石狩)、[自] sineatki (石狩): [他](場所)に集まる euekari (複数 euekarpa) (新): [他](場所)へ集まる kouekari (複数 kouekarpa) (天塩): [他]～と共に集まる kouekari (複数 kouekarpa) (新): [他](原因、手段)で集まる ouekari (複数 ouekarpa) (新): [自]

人を集める unuekarire (複数 unuekarpore) (新): [自]人やものを集める iuekarire (複数 iuekarpore) (新): [他]～を集める uekarire (複数 uekarpore) (石狩): 「私は綺麗な小石を沢山集めた。」 “Pirka poysuma poronno ku=uekarire .”, 「私は仲間を集めた。」

“Ku=utari ku=uekarpore .”: [他](場所)で～を集める euekarire (複数 euekarpore) (新): [他](場所)へ～を集める kouekarire (複数 kouekarpore) (新): [他]～と共に～を集める kouekarire (複数 kouekarpore) (新): [他](原因、手段)で～を集める ouekarire (複数 ouekarpore) (新)、[他] euekarire (石狩): 「私は甘い言葉、嘘の言葉でこの人達を集めたのだ。」

“Topenitak sunkeitak tanokay utar ku=ouekarpore .”: ②[自](摘まれた穂が)ポロポロ集まってくる uecurusse (uecururse) (新)※(沙流): (表現)手の上にポロポロ集まって来る tek tuyka ta amampus uecurusse (新)※(沙流): [自](犬が)集まってくる eucururke (沙流)※(久保寺神謡 17): ③[自]自分の許に人を集める isiorotte (新): [他]自分の許に(人)を集める siorotte (新)※(沙流)

あつやき(厚焼き) [他]～を厚焼きにする ironnema (新): (表現)～を厚焼きにする ironne(-no)～ma (新): [名]厚焼き玉子 ciironnema-nok (新): (表現)厚焼き玉子 ironne(-no) an=má nok (新)

あつりょく(圧力) ①[名](一方向からかかる)圧力 ioptuyetum(-i) (新): [名](多方向からの)圧力 inumpatum(-i) (新)

アツロタクシス (植物)[名](ヒノキ科)アツロタクシス亜科 tasmania-hinoki-moapa (新): [名]アツロタクシス属 tasmania-hinoki-cise (新): [名]アツロタクシス・クブレソイデスの茎 motasmania-hinoki (新): [名]アツロタクシス・セラギノイデスの茎 sitasmania-hinoki (新): [名]アツロタクシス・ラクシフォリアの茎 raksiforia-hinoki (新)

あて(当て) [自]人を当てにする inisuk (天塩): [他](人)を当てにする nisuk (石狩): 「私を当てにしては駄目だよ。」 “E=en=nisuk yak wen na .”: [他](場所)で(人)を当てにする enisuk (新): [他]～について(人)を当てにする konisuk (新): [他](原因、手段)で(人)を当てにする onisuk (新)

アディゲ [場名](ロシア連邦南部連邦管区の構成主体名)アディゲ共和国 Adigeya Ukotankoremosir (新)※(首都は「マイコー

プ」): [場名](国名の通称としての)アディゲ Adigeya (新): [名]アディゲ人 adigekur (新): [名]アディゲ語 adigekur-itak (新) **アディスアベバ** [場名](エチオピア連邦民主共和国の首都名)アディスアベバ Adis-abeba (新)

あてな(宛名) (表現)宛名 uni newa re (新): 「あなたが私の宛名を書き込んだんですね? “Ku=uni newa ku=rehe nuye kur an=ne ruwe an?”

アテネ [場名](ギリシャ共和国の首都名)アテネ Atina (新): (歴史)[場名](古代ギリシャの都市国家名)アテナイ Atenay (新)

あてる(当てる) ①(投射射撃などにより)[自]人や物に当てる icotca (新): [他]～に当てる cotca (石狩): 「ここに当てたら何か良い物をあげるよ。」 “Teor e=cotca yakun nepka pirka p e=kore=an na .”: [他](場所)で～に当てる ecotca (新): [他]～と共に～に当てる kocotca (新): [他](原因、手段)で～に当てる ocotca (新): [他](人)に～に当てさせる cotcare (新): [他]自分で、一人で～に当てる yaykocotca (新): [他]互いに、皆で～に当てる ukocotca (新): [他]思い切り～に当てる toykocotca (石狩)、[他] sirkocotca (沙流): ②[他]～に物を当てる itomosmare (新): (表現)～に…を当てる ～tom(長形-o、-oke)…osmare (新): ③(雨や風に関して)[他]～を～に当てる káre (石狩): [他]～を風に当てる rérakare (新): 「…私の小さい乳房を私は出し、それを風に当て…」 “…an=kor pon totto ay=sanasanke an=rerakare…” (杉村キナラブク)神謡

あと(後) ①(ある状態、行動の時間的関係を示し)[位名]～の後 oka (長形-ke) (石狩): (表現)その後 okake ta (石狩): (表現)その後 ne oka ta (石狩): 「私の前にあなたが話してくれ。その後私が話すから。」 “En=etoko es=itak nankor . Okake ta ku=itak kusune .”: ②(順番を示し)[後副]～の後に tutanu (石狩): (表現)一人後に sinen tutanu (石狩): [連体]～の後の～ tutanu (石狩): 「あの女性の後の男性が呼ばれたら準備して下さい。」 “Taan menoko tutanu okkayo an=tak ciki etokooyki yan !”

あと(跡) ①(足跡や何かを行った痕跡)[名](通例所属形で)～の跡 ruwe (石狩): ②(河川や建築物があった痕跡)[名]跡 kot(-ci) (石狩)

あとあし(後足) ①[名](動物の)後足 cikir(-i) (石狩)、[名] omcikir(-i) (十勝): [名](熊の)後足 omkir(-i) (天塩): ②[名]後足の

骨(肢骨と脛骨) pómppone (屈斜路)

あとかたづけ(後片付け) [自]ものを後片付けする iokaukao (新): [他]~を後片付けする okaukao (新): [他](場所)で~を後片付けする eokaukao (新): [他]~と共に~を後片付けする kookaukao (新): [他](原因、手段)で~を後片付けする ookaukao (新): [他](人)に~を後片付けさせる okaukaore (新): [他]自分で、一人で~を後片付けする yaykookaukao (新): [他]互いに、皆で~を後片付けする ukookaukao (新): [他]すっかり~を後片付けする oarokaukao (arokaukao) (新): [他](中相)~が後片付けされる ciokaukao (新)

あとから(後から) [後副]~の後から ósi (石狩)、[後副] ósino (石狩): 「私の後からあなたが出発したんですね?」 “En=osi es=paye hawe?”: [他]~の後から行く ósioman (複数 ósipaye) (新)、[他] ósoman (複数 óspaye) (新): [他]~の後から来る ósiek (複数 ósiarki) (石狩)、[他] ósek (複数 ósarki) (石狩)※(複数形の実例は未確認): [副]後から iosi (石狩)

アトグラム [名](重さの単位)アトグラム attoguram (新)※(単位記号"ag")

あとすぐ(後すぐ) [後副](動詞句+接続助詞の後)~(した)その後すぐに nani (石狩)[後副] naani (石狩): 「あの男がやって来たすぐ後にとんでもない事が起こった。」 “Nea okkayo ek kor nani yupkep an.”

あとずさる(後退る) [自]後退る homakociwe (石狩)、[自] homakoraye (石狩)、[自] ohorkaapkas (沙流): [他](場所)で後退る ehomakociwe (新)、[他] ehomakoraye (新)、[他] eohorkaapkas (新): [他](場所)へ後退る kohomakociwe (新)、[他] kohomakoraye (新)、[他] koohorkaapkas (新): [他]~と共に後退る kohomakociwe (新)、[他] kohomakoraye (新)、[他] koohorkaapkas (新): [他](場所)から後退る ohomakociwe (新)、[他] ohomakoraye (新)、[他] oohorkaapkas (新): [他](原因、手段)で後退る ohomakociwe (新)、[他] ohomakoraye (新)、[他] oohorkaapkas (新): [他](人)に後退らせる homakociwre (新)、[他] homakorayere (新)、[他] ohorkaapkaste (新)

あとで(後で知る) [助動]後で知る、後で分かる awan (石狩): 「彼は知らないうちに眠ってしまったと後で知るのであった。」 “Somo mokor kunak ramu ayke mokor awan.”

あとにひく(後に引く) [他](音)を後に引く siokote (石狩): 「宇宙船が爆音を後に引きながら宇宙へと上昇して行く。」

“Sikantocip pattek humi siokote kane sikanto or rikosma wa paye.”

あとのしんぱい(後の心配) (自分が去った後のことなど) [自]後の心配をする siokaenisomap (新)、[自] siokaepotara (沙流)、[自] siruokaepotara (沙流): [他]~について後の心配をする esiokaenisomap (新): [他](人)に対して後の心配をする kosiokaenisomap (新): [他](原因、手段)で後の心配をする osiokaenisomap (新): [他](人)に後の心配をさせる siokaenisomapte (新)、[他] siokaepotarare (新)

あとばらやむ(後腹病む) [自](産後に)後腹病む iosiarka (石狩)

アトメートル [名](長さの単位)アトメートル attometre (新)※(単位記号は"am")

アトランタ [場名](アメリカ合衆国ジョージア州の州都名)アトランタ Atranta (新)

アドリア [名]アドリア海 Adoriatiko-atuy (新)

アトリットル [名](体積の単位)アトリットル attoritre (新)※(単位記号は"al")

あとを(後を追う) ①(時間的空間的に一緒に)[自](人が)獲物の後を追う inospa (石狩)※(人が人を追う場合にも使われる): 「私はその後を追ったが逃がしてしまった。」

“Ku=inospa korka iorawki.”: [自]人の後を追う unnospa (石狩)※(これまでの用例で主語は動物だが、今後は人についても可とする): 「大きなクマが人の後を追った。」

“Poro eper unnospa.”: [他]~の後を追う nospa (石狩): [他]~に~の後を追わせる nospare (新): ②(時間的空間的に

離れて)[他]~の後を追う ruwekari (新): (表現)~の後を追う ~ ruwe kari (石狩): [他](人)に~の後を追わせる ruwekarire (新): [他]~の後を追って行く ósioman (複数 ósipaye) (新)、[他] ósoman (複数 óspaye) (新): [他]~の後を追って来る ósiek (複数 ósiarki) (石狩)、[他] ósek (複数 ósarki) (石狩): 「私は彼の後を追って来ていた。」 “Ku=osiek kor an.” (三浦タマイリ): ③(こっそりと)[自]人の後を追う ikuyra (新): [他]~の後を追う kuyra (石狩): [他](人)に~の後を追わせる kuyrare (新): ④[他]~の後追い心中する ósiyayrayke (新)

あとをし(後を慕う) ①(離別や死別に際して)[自]後を慕う ioskor (新): [他](人)の後を慕う oskor (新): [他](人)に(人)の

後を慕わせる (新): (表現) ~の後を慕って泣く ~ oskor wa cis (新)、[他] ~ oka(長形-ke) ta cis (新)

あな(穴) ①[名]穴 puy(-e) (石狩)、[名]suy(-e) (石狩)※(沙流、千歳方言では「自然に開いているいる穴」puy と「人為的に開けられた穴」suy の使い分けがあるが、石狩では区別しない): 「穴から覗く」puy(suy) kari otanu (石狩)、「穴を塞ぐ」puy(suy) seske (石狩): [自]~に穴が開いている suyoma(複数 suyo) (石狩)、[自] puyoma(複数 puyo) (新)、[自] siopusi(複数 siopuspa) (新): 「この箱に穴が開いている。」“Tan supop suyoma.”: [他]~に穴を開ける opusi(複数 opuspa) (石狩)、[他] poye (天塩: 「私は障子に穴を開けてそこから覗いた。」“Kampiapa ku=opusi wa suy kari ku=otanu.”: [他]~に沢山穴を開ける kopoyrototke (石狩): (表現)穴を掘る toy ouri (石狩)、(表現) toy poye (天塩): (表現)(イオマンテでクマが前足で)穴を掘る sir ouri (石狩)※(不幸の兆): ②[自](恥ずかしくて)穴があったら入りたいと思う yaynikorosma (石狩): [他]~の事で穴があったら入りたいと思う eyaynikorosma (石狩): 「私は自分のずるさが恥ずかしくて穴があったら入りたい。」“Ku=wenkewtumu ku=eyaynikorosma.”

アナアブ(穴蟻) (昆虫)[名](ハエ亜目)アナアブ科 tóparparsiraw-apa (新)

アナグマ(穴熊) (動物)[名](イタチ科)アナグマ亜科 toyouriyuk-moapa (新): [名]アナグマ属 toyouriyuk-cise (新): [名]アナグマ toyouriyuk (新): 亜種[名]ニホンアナグマ samorun-toyouriyuk (新): [名]ヨーロッパアナグマ europaun-toyouriyuk (新): [名]イタチアナグマ属 sáciri-toyouriyuk-cise (新): [名]ブタバナアナグマ属 putaetukor-toyouriyuk-cise (新): [名]ブタバナアナグマ putaetukor-toyouriyuk (新)

アナゴ(穴子) (魚介)[場名](ウナギ目)アナゴ亜目 hámo-mokotan (新): ①[名]アナゴ科 hámo-apa (新): [名]クロアナゴ亜科 kunnehamo-moapa (新): [名]チンアナゴ亜科 ipokashamo-moapa (新): [名]ホンメダマアナゴ亜科 sísikiporohamo-moapa (新): [名]アナゴ科以下の魚類の総称 hámo (新): ②[名]ウミヘビ科 tannephamo-apa (新): ③[名]クズアナゴ科 eenhamo-apa (新): ④[名]シギウナギ科 emakkanep-cise (新): ⑤[名]ノコバウナギ科 nokonimakitanneipe-cise (新): ⑥ハモ科 sísamhamo (新): ⑦

[名]フサアナゴ科 tumushamo (新): ⑧

[名]ヘラアナゴ科 perahamo (新): ⑨

[名]ホラアナゴ科 ohohamo-apa (新)

あなた (丁寧な言葉として)①[代名]あなた esokay (石狩)、[代名] anokay (石狩)、[代名] esiokay (石狩)※(一部の後置副詞や副助詞と共に、あるいは強調としてのみ用いられる): 「あなたも召し上がられますか?

“Esokay ka es=e rusuy ruwe an? (= Anokay ka an=e rusuy ruwe an?)”: ②[人称](主格)あなたが es= (石狩)、[人称](自動詞の主格) =an (石狩)、[人称](他動詞の主格) an= (石狩): (表現)あなたが座る(自動詞) an=rok = rok=an (石狩): (表現)あなたが私を見る(他動詞) es=en=nukar = en=nukar=an (石狩): (表現)あなたが私達を見る es=un=nukar = un=nukar=an (石狩): (表現)あなたが彼を見る es=nukar = an=nukar (石狩): [人称](所有格)あなたの es= (石狩)、[人称] an= (石狩): (表現)あなたの顔 es=nanu = an=nanu (石狩): [人称](目的格)あなたを、あなたに es= (石狩)、[人称] i= (石狩): (表現)私があなたを見る es=nukar=an = i=nukar=an (石狩): (表現)私達があなたを見る es=nukar=as = i=nukar=as (石狩): (表現)彼があなたを見る es=nukar = i=nukar (石狩): (表現)あなたが見られる es=nukar=an = i=nukar=an (石狩)

あなた(あなた方) ①(丁寧な言葉として)[代名]あなた方 esokay (石狩)、[代名] anokay (石狩)、[代名] esiutar (esiutari) (石狩)、[代名] esiokay (石狩)※(一部の後置副詞や副助詞と共に、あるいは強調としてしか用いられない): 「あなた方のように私達も自分の国を持ちたい。」“Esokay neno ciokay ka mosir ci=kor rusuy.”、「あなた方は酷い。」

“Esokay es=kewtumuwen na!”: ②[人称](主格)あなた方が es= (石狩)、[人称](自動詞の主格) =an (石狩)、[人称](他動詞の主格) an= (石狩): (表現)あなた方が座る(自動詞) es=rok = rok=an (石狩): (表現)あなた方が私を見る(他動詞) es=en=nukar = en=nukar=an (石狩): (表現)あなた方が私達を見る es=un=nukar = un=nukar=an (石狩): (表現)あなた方が彼を見る es=nukar = an=nukar (石狩): [人称](所有格)あなた方の es= (石狩)、[人称] an= (石狩): (表現)あなた方の顔 es=nanu = an=nanu (石狩): [人称](目的格)あなた方を、あなた方に es= (石狩)、[人称] i= (石狩): (表現)私があなた方を見る es=nukar=an =

i=nukar=an (石狩): (表現)私達があなた方を見る es=nukar=as = i=nukar=as (石狩): (表現)彼があなた方を見る es=nukar = i=nukar (石狩): (表現)あなた方が見られる es=nukar=an = i=nukar=an (石狩)

アナツバメ(穴燕)(鳥)[名](アマツバメ科)アナツバメ族 póruruyampecikap-utar (新): (Aerodramus)[名]インドシヨクヨウアナツバメ b́aratporu-ruyamepicikap (新): [名]オオアナツバメ poroporu-ruyamepicikap (新): [名]ジャワアナツバメ jawaporuruyamepicikap (新): [名]シヨクヨウアナツバメ maskareneporu-ruyamepicikap (新): [名]ヒマラヤアナツバメ himarayaporu-ruyamepicikap (新): (Collocalia)[名]コビトアナツバメ iyottaponiwe-poruruyamepicikap (新): [名]シロハラアナツバメ pekerporu-ruyamepicikap (新): [名]ドウクツアナツバメ atusaurepicepekerporuruyamepicikap (新): (Hydrochous)[名]オニアナツバメ síporoporu-ruyamepicikap (新): (Schoutedenapus)[名]エンピアマツバメ suxouteden-ruyamepicikap (新): [名]コンゴエンピアマツバメ kongosuxouteden-ruyamepicikap (新)

アナディリ[場名](ロシア連邦極東連邦管区チュクチ自治管区の首府名)アナディリ Anadiri (新)

アナトリア[名]アナトリア半島 Anatoria-sirekanray (新)

アナポリス[場名](アメリカ合衆国メリーランド州の州都名)アナポリス Anapolis (新)

あに(兄)[名]兄 yup(yúpi、yúpo) (石狩)※(肉親だけでなく親しい年上の男性、あるいは恋人も指す): 「私の兄」は空知、天塩で"ku=yupi"旭川で"ku=yupo"、また呼びかけの言葉としては何れの地域でも"ku=yupo"。: [名]兄上様 yuptionoke (石狩): [自]兄と弟、妹である uyupikor (沙流): [自]弟と兄、姉である uakikor (新): [自]妹と兄である uturesikor (新)、[自](雅)utureskor (沙流)、[自]umatapakor (沙流)

あね(姉)[名]姉 sa(所属形 sáha、sápo) (石狩)※(肉親だけではなく親しい年上の女性も指す): 「私の姉」は天塩で"ku=saha"旭川で"ku=sapo"空知でその両方を用いる。また呼びかけの言葉としては何れの地域も"ku=sapo"。: [名](雅語)妻から見た夫の実の女兄弟 cisekossapo (石狩): [自]姉と弟、妹である usakor (沙流): [自]弟と兄、

姉である uakikor (新): [自]妹と姉である umatakikor (沙流)

あねったい(亜熱帯)[名]亜熱帯 rusirsese-sisso(rusisese-sirso) (新)

あの(1)①(話者より遠い人や物を指し示し)[連体]あの taan(複数 tokay) (石狩): (表現)あの家 taan cise (石狩)、(表現)あの真に尊き神(敬語) tokay sipase kamuy (石狩): [代名]あの人 taankur (石狩): [代名]あの人達 taan-utar (石狩)、[代名]tokay-utar (新): (表現)あの人達 taan ta okay utar (石狩): ②(話者より遙かに遠い人や物を指し示し)[連体]あの toan(複数 tookay) (石狩)※(複数形は新語): [代名]あの人 toankur (石狩): [代名]あの人達 toan-utar (石狩)、[代名]tookay-utar (新): (表現)あの人達 toan ta okay utar (石狩): ③(既に話題にされるなど相手が知っている人や物に触れ)[連体]あの ne (石狩)、[連体]néa(複数 nérok) (石狩)、[連体]néan(複数 néokay) (石狩)、[連体]néwaan(複数 néwaokay) (石狩): ①～③に関して複数には神や人以外にはほとんど使われてこなかったが、今後は物に関しても使って良いものとする。なお敬語表現として単数の神や人に使われてきた。: [代名](既に話題になるなどして相手が知っている)あのこと néampa (石狩)、[代名]néwaampe (石狩): [代名]あの人 nékur (石狩)、[代名]néakur (石狩)、[代名]néankur (石狩)、[代名](雅)néwaankur (新): [代名]あの人達 néa-utar (石狩)、[代名]nérok-utar (石狩)、[代名]néan-utar (néokay-utar) (新)、[代名](雅)néwaan-utar (néwaokay-utar) (新)

あの(2)[間投](言葉の繋ぎとして)あの、あのー mo (石狩)、[間投]ano (石狩)

アノウラ(動物)[名](シタナガコウモリ亜科)アノウラ属 hosakhametukapap-cise (新): [名]アノウラ・カウディフェル oponhametukapap (新): [名]A. カデナイ kadena-hosakhametukapap (新): [名]A. クルトラタ handorey-hosakhametukapap (新): [名]A. ゲオフロイー jefrowa-hosakhametukapap (新): [名]A. フィストウラタ kuttarpapuskor-hametukapap (新): [名]A. ラティデンス venezueraun-hosakhametukapap (新): [名]A. ルイス マヌエリ ruis-manuer-hosakhametukapap (新)

あのよ(あの世)[場名]あの世 kannamosir (石狩)、[場名]oomanmosir (石狩)、[場名]poknakotan(i) (天塩): 「あの世」 sinrit

utar osini mosir (石狩): その他旭川には★という言葉もある。しかしかつて死者は地下の世界に行くと考えられていたものが現在はキリスト教の影響によるものか、今ではかつて神の国とされていた kannamosir 「天上の世界」に行くものとされており、そのためか、あるいは poknasir 「地獄」という言葉からの連想か現在は「地獄」の意味の持ったため今後は専らその意味で用いる事にする。: (表現)先祖たちが歩んだあの世への道 ekasitoyru hucitoyru (石狩)

アバカン [場名](ロシア連邦シベリア連邦管区ハカス共和国の首都名)アバカン Abakan (新)

あばた(痘痕) [名]痘痕 nikoni-tupir(-i) (石狩)、[名] ikoni-tupir(-i) (沙流)、[名] kamuy-tupir(-i) (屈斜路)

アバチャ [名](地名)アバチャ山 Avacanupuri (新): [名]アバチャ湾 Avacausor (新)※(ロシア連邦カムチャッカ)

あははー [間投](笑い声)あははー ahaha (石狩): 「うや、あははー！」 “Ayapo ahaha !”

アバヒ (動物)[名](インドリ科)アバヒ属 avahi-cise (新): [名]アバヒ avahi (新)

アハブ (聖書)[名]アハブ Axabu (新)※(イスラエル王国第7代王)

あばら(肋) ①[名]肋 ut(-ci) (石狩): [名]第一肋骨 tekusi (屈斜路): [名]肋の一番下の骨 pónut(-ci) (石狩): [名]熊の太い肋 ruweut(-ci) (幌別): [名]熊の細い肋 ánenut(-ci) (新): [名]子熊の肋 móut(-ci) (千歳): [名](魚の)肋 téhur (天塩): ②[名]肋骨 utpone (石狩)、[名](雅)utnit(-ci) (沙流): [名]胸に付いている肋骨 tekusnit(-ci) (西別): ③[名]肋骨 sére (屈斜路)、[名] toarkam (屈斜路): [名] piyekam(-i) (石狩)※(クマの上半身の肉): [名]肋の脂肪組織 sérekirpo (屈斜路)

アバルトヘイト [名]アバルトヘイト iumosmaanu (新)※(隔離)、[名]apartoheit (新)※(アフリカンス語)

あばれる(暴れる) [自](手足をバタバタさせて)暴れる hotappa (石狩): [他](場所)で暴れる ehotappa (新): [他]~と共に暴れる kohotappa (新): [他](原因、手段)で暴れる ohotappa (新): [他](人)を暴れさせる hotappare (新): [自]自分で、一人で暴れる yaykohotappa (新): [自]互いに、皆で暴れる ukohotappa (新)

アビ(阿比) (鳥)[場名](新顎上目)アビ目 abikotan (新): [名]アビ科 abi-apa (新): [名]アビ属 abi-cise (新): [名]アビ abi

(新)※(日本語): [名]オオハム síabi (新): [名]シロエリオオハム tuysamretarsiabi (新): [名]ハシグロアビ etukunneabi (新): [名]ハシジロアビ eturetarabi (新): [名]コリユンボーデス属 korimboides-cise (新): [名]ガビエラ属 gaviera-cise (新)

アピア [場名](サモア独立国の首都名)アピア Apia (新)

アビシャグ (聖書)[名]アビシャグ Avişagu (新)※(晩年のダビデ王に仕えた少女)

アビジャン [場名](コートジボワール共和国の旧首都名)アビジャン Abijan (新)

アブ(虻) [場名](ハエ亜目)アブ上科 rapucupke-apapa (新): [名]アブ科 rapucupke-apa (新): [名]アブ亜科 rapucupke-moapa (新): [名]アブ科の昆虫の総称 rapucupke (石狩)、[名] siraw (幌別): [名]アカウシアブ sísrav (幌別): [名]ウシアブ uparussiraw (千歳): [名]ゴマフアブ ponrapucupke (石狩): [名]シロフアブ retanruunsiraw (新): [名]ヤマトアブ yamatosiraw (新): [名]クリュソプス亜科 sírapapucupke-moapa (新): [名]メクラアブ sírapapucupke (屈斜路): [名]パンゴニア亜科 pangonia-moapa (新): [名]マルガタアブ kesosikkorsiraw (新): [名]アウストレブティス科 austeroreptis-apa (新): [名]シギアブ科 ánekikiritanne-siraw-apa (新): [名]スペインア科 supania-apa (新): タムユラアブ(フトシギアブ)科 (新): [名]ナガラアブ科 ciwasiosiraw (新)

アフアル [名]アフアル人 afarkur (新): [名]アフアル語 afarkuritak (新)

アフガニスタン [場名](国名)アフガニスタン・イスラム共和国 Afganistan Isram Ukotanoremosir (新)※(首都は「カブール」): [場名](国名の通称として)アフガニスタン Afganistan (新): [名](国民としての)アフガニスタン人 afganistanunkur (新): [名](バシュトゥーン人の別名)アフガン人 afgankur (新): [名](アフガニスタンの通貨)アフガニー afgani (新)

アブサロム [名]アブサロム Ábuşarom (Apşarom) (新)※(ダビデの子)

アブジャ [場名](ナイジェリア連邦共和国の首都名)アブジャ Abuja (新)

アブセットボルト [名]アブセットボルト ekerasine-cinoyepo (新)※(「アブセット小ねじ」など)

あぶない(危ない) ①[自](危険をもたらすものを主語に)危ない iyaykipte (石狩): ②[自](人が)危ない目に会う yayhomsu (沙

流)： [他](人)を危ない目に遭わせる
yayhomsure (新)

あぶら(脂) [名](クマなど獣の)脂 kirpo (石狩) [名] kirpu (八雲)： [名](クジラ、イルカの)脂 rika (石狩)： [自]脂っこい、脂がのっている piye (石狩)： [名]脂ののった肉 piyekam(-i) (石狩)： [自]脂気がない aye (H)

あぶら(油) ①[名]油 sum(-i) (石狩)： 本来は動物、魚類に由来するものだが、今後は植物性のものも含める。： [名]アザラシの油 tukassum(-i) (新)： [名]魚油 cepsum(-i) (美幌)： [名]クマの油 kamuysum(-i) (石狩)： [名]植物油 písun(-i) (新)： [名]てんぷら油 itotosum(-i) (新)： [名]ニンジン油 herokisum(-i) (新)： [名]油色 súmiro (新)： [自]油色になる、である súmirone (新)： ②[名](植物性を含めぬ)油 ke (天塩)： [名]アザラシ、トドの油 kamuyke (樺太)： [名]魚油 cepke (北千島)： ③[名]固形の油 rupussum(-i) (美幌) [名] ruprupsesum(-i) (幌別) [名] takmanesum(-i) (幌別)： [名]液状の油 rúsum(-i) (幌別)： [名]油しぶき sumkiskis(-i) (幌別)： [名]油入れ tuypise (石狩) [名] súmop (新)： ④ [自]物を油で揚げる itoto (新)： [他]～を油で揚げる toto (天塩) [他](人)に～を油で揚げさせる totore (新)

あぶらあせ(脂汗) [名]脂汗 nupoppe (幌別)： [自]脂汗をかく nupoppenu (幌別)

アブラガニ(油蟹) (魚介) [名] (タラバガニ属) アブラガニ cihotemtemkopa (新)

アブラコウモリ(油蝙蝠) (動物) [名] (ヒナコウモリ科) アブラコウモリ属 sumkapap-utar (新)： [名] アブラコウモリ属 sumkapap-cise (新)： [名] アブラコウモリ yayan-sumkapap (新) ※ (別名「イエコウモリ」)： [名] インドアブラコウモリ indiaun-sumkapap (新)： [名] オガサワラアブラコウモリ ogasawaraun-sumkapap (新)： [名] ビピストレルス・アエロ garguesnupuriun-sumkapap (新)： [名] P. アダムシ adamsu-sumkapap (新)： [名] P. イネクススペクタトゥス aeren-sumkapap (新)： [名] P. ウェストラリス austorariakoypokun-sumkapap (新)： [名] P. クーリー kur-sumkapap (新)： [名] P. ケイロニクス seyronun-sumkapap (新)： [名] P. コリヌス sipapuaun-sumkapap (新)： [名] P. ステノブテルス rapuane-sumkapap (新)： [名] P. デセルティ otaatuyun-sumkapap (新)： [名] P. テヌス iyottapon-sumkapap (新)： [名]

P. ナスス poniwne-sumkapap (新)： [名] P. ナスルス natusius-sumkapap (新)： [名] P. ハナキ ribiyaun-sumkapap (新)： [名] P. パテルクルス popanupuriun-sumkapap (新)： [名] P. バプアヌス mopapuaun-sumkapap (新)： [名] P. ビグマエウス soprano-sumkapap (新) ※ (ソプラノ油蝙蝠)： [名] P. ピピストレルス repun-sumkapap (新)： [名] P. ヘスペリドゥス afrikaun-sumkapap (新)： [名] P. ペルミクストゥス dar-es-saraamun-sumkapap (新)： [名] P. マデレンシス madeyraun-sumkapap (新)： [名] P. ミナハッサエ minahassaun-sumkapap (新)： [名] P. ムライー xuristomasun-sumkapap (新)： [名] P. ヤバニクス koypokaziaun-sumkapap (新)： [名] P. ラケイー madagašikaraun-sumkapap (新)： [名] P. ルエツペリー savannaun-sumkapap (新)： [名] P. ルスティクス sikopop-sumkapap (新)： [名] P. ワツツイ wat-sumkapap (新)： [名] モリアブラコウモリ nitayorun-sumkapap (新)： [名] スコトゾウス属 dormerkapap-cise (新)： [名] スコトゾウス・ドルメリ dormerkapap (新)： [名] パラストレルス属 amerikacuppokun-sumkapap-cise (新)： [名] パラストレルス・ヘスペルス amerikacuppokun-sumkapap (新)： [名] ペリミオティス属 amerikacupkaun-sumkapap-cise (新)： [名] ペリミオティス・スブフラブス amerikacupkaun-sumkapap (新)： [名] ヤマコウモリ属 kimunkapap-cise (新)： [名] ユビプトコウモリ属 urepeciruwe-kapap-cise (新)

あぶらぬき(油抜き) [自] 油抜きをする isumiuk (複数 isumiyna) (新)： [他]～の油抜きをする sumiuk (複数 sumiyna) (新)： [他](人)に～の油抜きをさせる sumiukte (複数 sumiynare) (新)

アブラハム (聖書) [名] アブラハム Áburaham (Apraham) (新)： ユダヤ人やアラブ人の祖先。改名前は Áburam (Apram)： (宗教) [名] (イスラム教に於ける五大預言者) イブラヒーム Íbrahim (Ibrahim) (新)

アブラハヤ(油鮠) (魚介) [名] (ウグイ亜科) アブラハヤ属 tóotuyatki-cise (新)： [名] アブラハヤ ratustootuyatki (新)： [名] タカハヤ makunratustootuyatki (新)： [名] チャイニーズミノー atuyyatootuyatki (新)： [名] ヤチウグイ tóotuyatki (新) [名] tóceppo (天塩)

アブラボテ(脂ボテ) (魚介) [名] (タナゴ亜科) アブラボテ属 rapsutramramituk-cise (新)：

[名]アブラボテ rapsutramramituk (新):
 [名]ミヤコタナゴ tokioseyor-koisankep
 (新): [名]ヤリタナゴ ópipeseyor-
 koisankep (新)
アブラミス(魚介)[名](コイ科)アブラミス亜科
 apramis-moapa (新): [名]アブラミス属
 apramis-cise (新): [名]ブルーブリーム
 šineť (新)※(ロシア語): [名]ブリッカ
 gustera (新)※(ロシア語): [名]ブリーム
 reš (新)※(ロシア語): [名]コクレン属
 yoncep-cise (新): [名]ハクレン属
 riencep-cise (新)
アフリカ [場名](地名)アフリカ Afrika
 (新): [場名]アフリカ大陸 Afrika-
 sisepmosir (新): [場名]アフリカ・ユーラ
 シア大陸 Afrika-Eurasia-sisepmosir
 (新): (表現)アフリカ諸国 Afrika uyru
 usa ankormosir (新)
アフリカーンス [名]アフリカーンス語
 afrikaansu-itak (新)
アフリカキンセンカ(アフリカ金盞花)(植物)
 [名](キク科)アフリカキンセンカ属
 afrika-nupurkikukina-cise (新): [名]ア
 フリカキンセンカの茎葉 afrika-
 nupurkikukina (新)、[名]その花 afrika-
 nupurkiku (新)※(別名「ディモルフオセ
 カ」)
アフリカゴールデンキャット(動物)[名](ネコ亜
 科)アフリカゴールデンキャット属
 afrikaun-konkanimekot-cise (新): [名]ア
 フリカゴールデンキャット afrikaun-
 konkanimekot (新)
アフリカスイギュウ(アフリカ水牛)(動物)
 [名](ウシ属)アフリカスイギュウ属
 afrikaworumpeko-cise (新): [名]アフリ
 カスイギュウ afrika-worumpeko (新):
 亜種[名]アカスイギュウ húre-worumpeko
 (新): [名]ケープクロスイギュウ
 kapeunkunne-worumpeko (新)
アフリカセンザンコウ(アフリカ穿山甲)(動物)
 [名](センザンコウ科)アフリカセンザンコ
 ウ属 afrikaun-ramramitunnapep-cise
 (新): [名]オオセンザンコウ poro-
 ramramitunnapep (新): [名]オナガセン
 ザンコウ otanne-ramramitunnapep
 (新): [名]キノボリセンザンコウ nímu-
 ramramitunnapep (新): [名]サバンナセ
 ンザンコウ savanna-ramramitunnapep
 (新)
アフリカゾウ(アフリカ象)(動物)[名](ゾウ科)ア
 フリカゾウ属 afrika-siporoeturacici-cise
 (新): [名]アフリカゾウ afrika-
 siporoeturacici (新): [名]マルミミゾウ
 sikarikisarkor-siporoeturacici (新)

アフリカパンノキ(植物)[名](クワ科)トレク
 リア属 afrika-kasipanoni-cise (新):
 [名]アフリカパンノキの茎 afrika-
 kasipanoni (新)、[名]その果実 afrika-
 nikaopan (新)
アフリカリンサン(動物)[名](ジャコウネコ
 科)アフリカリンサン属 tumamatanne-
 omawkusmekot-cise (新): [名]アフリカ
 リンサン tumamatanne-omawkusmekot
 (新)※(学名): [名]ライトンリンサン
 cupka-tumamatanne-omawkusmekot (新)
アプリコット [自]アプリコット色になる、であ
 る ancu-irone (新)、[自] aprikot (新):
 [他]～をアプリコット色にする ancu-
 ironeka (-ironere) (新)、[他] aprikotka
 (apurikote) (新): [名]アプリコット色
 ancu-iro (新)、[名] aprikot-iro (新)
あふれる(溢れる)①(水に関して)[自]溢れる
 ika (石狩): [他]～を溢れさせる ikaka
 (ikare) (新): ②(特に川に関して)[自]溢
 れる eika (石狩): [他]～を溢れさせる
 eikaka (eikare) (新): [自]どっと溢れる
 eputtek (石狩): [他]～をどっと溢れさせ
 る eputtekka (新)
あべこべ [副]あべこべに ehorka (沙流):
 (表現)下着をあべこべに穿く rauncimip
 ehorka us (新)
アベスター[名]アベスター語 avestaitak
 (新)
アベル(聖書)[名](人名)アベル Haver (新)
 ※(アダムトエバの子でカインの弟)
アペンド(コンピューター)[名]アペンド
 iappendo (新)、[名] appendo (新): [自]
 アペンドする iappendo (新)、[自] ihousi
 (新): [他]～をアペンドする appendo
 (新)※(英語)、[他] housi (新)
アポイ[名]アポイ岳 Apoy-nupuri (新)※
 (様似町にある山の名): (植物)[名](アザミ
 属)アポイアザミの茎葉 apoyancami
 (新): [名](カバノキ属)アポイカンバの茎
 apoytatni (新)※(別名「ヒダカカンバ」):
 [名](ササ属)アポイザサの枝葉 apoy-uras
 (新)
アホウドリ(信天翁)(鳥)[名](ミズナギドリ目)
 アホウドリ科 oskampe-apa (新): [名]キ
 タアホウドリ属 koykaun-oskampe-cise
 (新): [名]アホウドリ oskampe (幌別)、
 [名] repunsiratki-kamuy (石狩): [名]ハ
 イイロアホウドリ属 uparus-oskampe-cise
 (新): [名]モリモーク属 tarassarxe-cise
 (新)※(学名): [名]ワタリアホウドリ属
 payekay-oskampe-cise (新)
アボブラ(植物)[名](ウリ科)アボブラ属
 amazonkaboca-cise (新): [名]アボブラ・

テヌイフォリアの茎 amazonkaboca-punkar (新)、[名]その果実 amazonkaboca (新)、[名] abobura (新)、[名]早期採取の果実 pewre amazonkaboca (新)、[名] aboburinia (新)

アマ(亜麻) ①(植物)[名](フクロウソウ目)アマ科 amakina-apa (新)：[名]アマ属 amakina-cise (新)：[名]アマの茎葉 amakina (新)、[名] ama (新)※(日本語)：[名]アマの種子 amapi(-ye) (新)：[名]亜麻仁油 amapisum (新)：[名]アマの茎から採る繊維 ama (新)、[名] amahay (新)：[名]アマの繊維を原料とする織物の総称 rinen (新)※(英語)：②[自]亜麻色になる、である ama-irone (新)：[他]～を亜麻色にする ama-ironeka (-ironere) (新)：[名]亜麻色 ama-iro (新)

あま(海女) [名]海女 irarkarmat (新)、[名] irarkarmenoko (新)

あまいろ(天色) [自]天色になる、である kanto-irone (新)：[他]～を天色にする kanto-ironeka (-ironere) (新)：[名]天色 kanto-iro (新)

あまえる(甘える) [自]甘える siponere (石狩)：[他](人)に甘える kosiponere (石狩)：[他](原因、手段)で甘える osiponere (新)：[他](人)を甘やかす siponerere (新)：[自]自分で、一人で甘える yaykosiponere (新)：[自]自分を甘やかす yaysiponerekar (新)：[自]皆で甘える、甘え合う ukosiponere (新)：[自]甘やかし合う usiponerere (新)

アマガエル(雨蛙) (動物)[名](カエル亜目)アマガエル科 kekekeke-apa (新)：[名]アマガエル亜科 kekekeke-moapa (新)：アマガエル属 kekekeke-cise (新)：[名]ニホンアマガエル kekekeke (新)：[自・間投]コケコケと鳴く、あるいはその声 kekekeke (新)：[名]ハロウエルアマガエル rucukekekeke (新)：[名]ホエアマガエル mikmikkokekeke (新)：[名]アノテカ属 anoteka-cise (新)：[名]アパラシフェノドン属 aparasfenodon-cise (新)：[名]アブラストディスクス属 aprastodiskus-cise (新)：[名]アルゲンテオヒュラ属 argenteohira-cise (新)：[名]イシトモヒュラ属 istomohira-cise (新)：[名]イタボテヒュラ itapotihira-cise (新)：[名]エクセロドンタ属 ekserodontacise (新)：[名]エクノミオヒュラ属 eknomiohira-cise (新)：[名]オステオケファルス属 osteokefarus-cise (新)：[名]カラドラヒュラ属 xaratrahira-cise (新)：[名]クセノヒュラ属 kusenohira-cise

(新)：[名]コリュトマンティス属 koritomantis-cise (新)：[名]コオロギガエル属 korkoseterkeipe-cise (新)：[名]スカルトヒュラ属 sukartohira-cise (新)：[名]スキナクス属 sukinaksu-cise (新)：[名]ズツキガエル属 ekapuskokekeke-cise (新)：[名]スファエノルヒュンクス属 sufaenorhinxus-cise (新)：[名]スミリスカ属 sumiriska-cise (新)：[名]テプイヒュラ属 tepuihira-cise (新)：[名]デンドロプソフス属 dendoropsofus-cise (新)：[名]ドゥエルマノヒュラ属 duermanohira-cise (新)：[名]ドクアマガエル属 surkukokekeke-cise (新)：[名]トタテガエル属 apustaasikohekeke-cise (新)：[名]トラロコヒュラ属 torarokohira-cise (新)：[名]ニユクティマンティス属 niktimantis-cise (新)：[名]ヒュブシボアス属 hipsiboas-cise (新)：[名]ヒュロスキルトウス属 hiroskirtus-cise (新)：[名]ヘラクチガエル属 peraparkorkokekeke (新)：[名]ボケマンノヒュラ属 bokemannohira-cise (新)：[名]プセウダクティス属 puseudakris-cise (新)：[名]プセウディス属 puseudis-cise (新)：[名]プトコヒュラ属 putixohira-cise (新)：[名]フエロデテス属 firoidites-cise (新 megastomahira 語)：[名]プレクトロヒュラ属 purektorohira-cise (新)：[名]プロメリオヒュラ属 buromeriohira-cise (新)：[名]メガストマトヒュラ属 megastomahira-cise (新)：[名]ミュエルシオヒュラ属 miersiohira-cise (新)：[名]リュサプス属 risapsus-cise (新)：[名]オセアニアアマガエル亜科 oseaniakohekeke-moapa (新)：[名]ツノアマガエル亜科 kirawuskohekeke-moapa (新)：[名]ネコメアマガエル亜科 mékotsikkorkokekeke-moapa (新)

あまがさ(雨傘) [名]雨傘 ruyampekasa (新)：(表現)雨傘をさす ruyampekasa eiwanke (新)

あまがっぱ(雨合羽) [名]雨合羽 kórur (新)：本来は言葉通り素材は蓑の葉だが今後は関係なくこの語を使う。

あまく(甘く) [自]甘くなる、甘い tópen (石狩)：[他](場所)で甘くなる、甘い etopen (新)：[他]～と共に甘くなる、甘い kotopen (新)：[他](原因、手段)で甘くなる、甘い otopen (新)：[他]～を甘くする tópenka (tópente) (新)：[名]甘いもの tópeppe (石狩)

あまくだる(天下一) (表現)天下る kanto orwano ciranke (石狩)：[名](神への敬称

として)天下った神 *cirankekamuy* (石狩)、
[名]天下ったお方 *cirankepito* (石狩)
あまぐも(雨雲) [名]雨雲 *ruyampen* (天
塩)、[名] *kamuynis* (石狩)、[名]
kamuyniskur (石狩)、[名] *kamuysinis*
(石狩)
アマサギ(鉛鷺) (鳥)[名](サギ亜科)アマサギ属
enupurwakkaposo-petcakoas-cise (新):
[名] アマサギ *enupurwakkaposo-*
petcakoas (新)
あまづっぱい(甘酸っぱい)[自]甘酸っぱくなる、
甘酸っぱい *tópen-kosupkake* (新)、[自]
supkake-kotopen (新): [他]~を甘酸っぱ
くする *tópen-kosupkakeka* (*tópen-*
kosupkakere) (新)、[他] *supkake-*
kotopenka (*supkake-kotopente*) (新):
[自]完全に甘酸っぱくなる、甘酸っぱい
oatopen-kosupkake (*atopen-kosupkake*)
(新)、[自] *oassupkake-kotopen*
(*assupkake-kotopen*) (新): [自]充分甘酸
っぱくなる、甘酸っぱい
tópenkosupkakeno (*tópenkosupkakenu*)
(新)、[自] *supkake-kotopenno* (*supkake-*
kotopennu) (新): [自]滅茶苦茶酸っぱく
なる、酸っぱい *toykotopen-kosupkake*
(新)、[自] *toykosupkake-kotopen* (新):
[副]甘酸っぱく *tópen-kosupkakeno* (新)、
[副] *supkake-kotopen* (新)
アマゾン [場名](アマゾン熱帯雨林の略とし
て)アマゾン *Amazon* (新): [名](地名)ア
マゾン川 *Amazon-pet* (新): [場名]アマ
ゾン熱帯雨林 *Amazon-sisirseseksirsoun-*
ruyampenitay (*-siseseksissoun-*
ruyampenitay) (新)
アマゾンカワイルカ(アマゾン河海豚) (動
物)[場名](ハクジラ亜目)アマゾンカワイルカ
上科 *amazompetorun-tannu-apapa* (新):
[名] アマゾンカワイルカ科
amazompetorun-tannu-apa (新): [名]ア
マゾンカワイルカ属 *amazompetorun-*
tannu-cise (新): [名]アマゾンカワイルカ
amazompetorun-tannu (新): [名]アラグ
アイアンリバードルフィン
araguiapetorun-tannu (新): [名]ボリビ
アカワイルカ *boriviapetorun-tannu*
(新): [名]ラプラタカワイルカ科
puratapetorun-tannu-apa (新)
アマゾンツリーグレープ (植物)[名]ポウロウ
マ属 *pourouma-cise* (新): [名]アマゾン
ツリーグレープの茎 *amazon-hatni* (新)、
その果実 *amazon-nikaohat* (新)
あまだれ(雨垂れ)[名]雨垂れ *nokipe* (石狩):
(表現)雨垂れが落ちる *nokipe cik* (石狩)
アマチャヅル(甘茶蔓) (植物)[名](ウリ科)アマ

チャヅル属 *cánepunkar-cise* (新): [名]
アマチャヅルの茎 *cánepunkar* (新):
[名]アマチャヅルの葉 *cánepunkarham*
(新)
あまったんごうもう(亜末端剛毛) [名](虫の)
亜末端剛毛 *mosanke-nistenuma* (新)
アマツバメ(雨燕)(鳥)[場名](新顎上目)アマツバ
メ目 *ruyampecikap-kotan* (新): [場名]
アマツバメ亜目 *ruyampecikap-mokotan*
(新): [名]アマツバメ科 *ruyampecikap-*
apa (新): [名]アマツバメ属
ruyampecikap-cise (新): [名]アマツバメ
ruyampecikap (石狩): [名]ヒメアマツバ
メ *moruyampecikap* (新): [名]ヨーロッ
パアマツバメ *europa-ruyampecikap*
(新): [名]カエト°ラ属 *ikkewisi-*
ruyampecikap-cise (新): [名]キューセロ
イデス属 *amerika-ruyampecikap-cise*
(新): [名]タコルミス属 *yasisamun-*
ruyampecikap-cise (新): [名]パニユプテ
イラ属 *aptocikapiskonruyampecikap-cise*
(新): [名]ハリオアマツバメ属 *kémisi-*
ruyampecikap-cise (新): [名]アナツバメ
族 *póruuyampecikap-utar* (新): [名]カ
ンムリアマツバメ科 *sapaumpekon-*
ruyampecikap (新): [場名]ズクヨタカ亜
目 *hócikoerorokki-mokotan* (新): [場
名]ハチドリ亜目 *soyacikap-mokotan* (新)
アマニユウ(甘ニユウ) (植物)[名](シシウド属)
アマニユウの葉柄 *cisuye* (石狩)、[名]
cihuye (石狩)
あまのがわ(天の川) [名] 天 の 川
Iskarpetnoka (石狩)、[名] *Petnoka* (石
狩)、[名] *Petnokanociw* (蝦夷記)
あまみ(甘味) [名]甘味 *tópenkera* (新):
[自]甘味がある *tópenkerakor* (新): [他]
~に甘味を与える *tópenkerakore* (新)
あまもり(雨漏り)[0動]雨漏りする *sirapa*
(石狩): 「雨漏りしてるぞ。バケツ持って来
てくれ。」*“Sirapa na ! Nitus koek ya !”*
[自](家などが)雨漏りする *apa* (石狩):
この家雨漏りするな。早く屋根修理しない
と。」*“Tan cise apa ru an a . Tunasno*
cisekitay ku=utapke yakeas .”
あまりに(余りに)[副]余りに(～しすぎる)
eikos (石狩)、[副] *kasuno* (石狩)、[副]
wenkasuyno (沙流)、[副] *wenkasuno*
(*wenkasu*) (沙流): 「余り頑張りすぎ
ると人に虐められるよ。」*“Eikos e=arikiki*
yakun e=koyki=an na .”: (表現)余りにも
不思議である *eikos kane sirki* (石狩):
「余りにも不思議で、ただごとではない。」
“*Eikos kane sirki, earikinne sirki somo*
ne .”(砂沢クラ): (表現)余りに～の気性が

激しすぎる ki ruy maskin ~ puri yupke kaspá (沙流): (表現)余り～ない eikos somo+動詞 (石狩): 「私は余り酒を飲まない。」“Eikos somo ku=iku.”: [副]余りにひどく(～しすぎる) onramukasu (沙流)

あまる(余る) [自]余る ikasma (石狩): [他](場所)で余る eikasma (新): [他]～と共に余る koikasma (新): [名](原因、手段)で余る oikasma (新): [他]～を余す kasma (石狩)、[他] ekasma (石狩): [他](場所)で～を余す ekasma (新): [他]～と共に～を余す kokasma (新): [他](原因、手段)で～を余す okasma (新): [他](人)に～を余らせる kasmare (新): [他](中相)～が余される cikasma (新)

あみ(網) [名]網 ya (石狩): (表現)網を編む ya oske (石狩): (表現)網を修繕する ya utapke (新): (表現)網を仕掛ける ya ama (石狩): (表現)網を引く ya etaye (天塩)

あみえださいく(編枝細工) [自]編枝細工を作る cáoioske (新): [他]～を編枝細工で作る cáoioske (新): [名]編枝細工 cicaoskep (新)

あみばり(編針) [名]編針 ioskekem(i) (新)、[名] cioioskekem(i) (新)

あみばり(網針) [名]網針 apatana (石狩)

あみひきば(網曳場) [場名]網曳場 yáusi (石狩)

あみひも(編紐) [名]編紐 tar(a) (石狩)

あみぶくろ(編袋) [名]編袋 saranip (石狩): (表現)編袋を編む saranip oske (石狩)

あみぼう(編棒) [名]編棒 ioskenitpo (新)、[名] cioioskenitpo (新)

あみめ(網目) [名]網目 sik(i) (石狩)、[名] puy(e) (石狩): (表現)網目の小さい網 sikihi pon ya (石狩): (表現)網目の細かい網 puye noka ya (石狩): (表現)網目の広い網 puye sep ya (石狩): [名]網目文様 siksirki (石狩)、[名] sik (石狩)

あむ(編む) ①[自]莫莖編みする itese (石狩): [他](莫莖)を編む tese (石狩): (表現)(莫莖)を一段編む assos atte (新)、(表現) arsos atte (沙流): [他](人)に～を編ませる tesere (新): ②(簾など)[他]～を編む etese (石狩): [他](人)に～を編ませる etesere (新): ③(網、編袋などに関して)[自]吊るし編みする ioske (石狩): [他]～を吊るし編みする oske (石狩)※(今後はセーター等を編む事もこの語を用いる事とする): [他](人)に～を吊るし編みさせる oskere (新): ④(箆に関して)[他]～を編む kar (幌別): [他](人)に～を編ませ

る káre (新)

アムール ①[場名](ロシア連邦極東連邦管区の構成主体名)アムール州 Amur-purovince (新)※(州都は「ブラゴヴェシチンスク」): ②[名]アムール川 Santapet (新)、[名] Amur-pet (新)※(ロシア語)、[名] Heyron-pet (新)※(中国語)

アムステルダム [場名](オランダ王国の首都名)アムステルダム Amusteddá (新)

アムハラ [名]アムハラ人 amharakur (新): [名]アムハラ語 amharakur-itak (新): [名]アムハラ文字 amharakur-itakitokpa (新)※(ゲエズ文字とも)

あめ(飴) [名]飴 ame (新)※(日本語): [名]飴細工(の技術) iameokar (新): [名]飴細工(で作られたもの) ciameokarpe (新): [自]飴色になる、である ame-irone (新): [他]～を飴色に染める ame-ironeka (-ironere) (新): [名]飴色 ame-iro (新)

あめ(雨) [名]雨 ruyampe (石狩)※(「大雨」は apto): (表現)雨が降る ruyampe as (石狩)、(表現) ruyampe ran (石狩): (表現)雨が激しく降る ruyampe ruy (石狩)、(表現) ruyampe yupke (石狩): (表現)風雨が激しくなる、なっている kamuyruyampe kamuyrera yupke (石狩): [名]雨が降って地上に溜まり流れる水 ruyampeto (天塩)

アメイロアリ(飴色蟻) (昆虫)[名](ヤマアリ亜科)アメイロアリ属 ameiroitunnáp-cise (新): [名]アメイロアリ ameiroitunnáp (新): [名]サクラアリ karimpaniitunnáp (新)

アメジスト [名]アメジスト ametisto (新)※(英語): [自]アメジスト色になる、である ametisto-irone (新): [他]～をアメジスト色にする ametisto-ironeka (-ironere) (新): [名]アメジスト色 ametisto-iro (新)

アメマス(両鰐) (魚介)[名](イワナ属)アメマス tukusis (石狩)、[名] tukus (石狩)※(別名「エゾイワナ」)

アメリカ ①[場名](国名)アメリカ合衆国 Amerika Ukosineatkimosir (新)※(首都は「ワシントンD・C」): [場名](アメリカ合衆国の略称、あるいは南北アメリカ大陸を合わせた名称として)アメリカ Amerika (新): [名]アメリカ人、国民 amerikaunkur (新): [名]アメリカ英語 amerikaingurandoitak (新): [名]アメリカ・ドル amerika-dorar (新): ②[場名]アメリカ大陸 Amerika-sisepmosir (新)

アメリカアナグマ(アメリカ穴熊) (動物)[名](イタチ科)アメリカアナグマ亜科 amerikaun-toyouriyuk-moapa (新): [名]アメリカアナグマ属 amerikaun-

toyouriyuk-cise (新): [名]アメリカアナグマ amerikaun-toyouriyuk (新)

アメリカゴムノキ (植物)[名](クワ科)アメリカゴムノキ属 amerikagumni-cise (新): [名]カスティリア・ウレイの茎 káuco-gumni (新): [名]パナマゴムノキ pánama-gumni (新)※(別名「パナマラバーツリー」)

アメリカタイマイ (昆虫)[名](アオスジアゲハ族)アメリカオナガタイマイ属 amerika-saratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]キイロオナガタイマイ sikerpepeus-saratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]キミドリオナガタイマイ pewresiwnin-saratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]トラフタイマイ tunro-saratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]ヒメキミドリオナガタイマイ mopewresiwnin-saratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]マルカンディキイロオナガタイマイ markandi-sikerpepeus-saratanne-ruun-kitomarewrew (新)

アメリカヌマジカ(アメリカ沼鹿) (動物)[名](シカ科)アメリカヌマジカ属 saroruyyuk-cise (新): [名]アメリカヌマジカ saroruyyuk (新)

アメリカボウフウ(アメリカ防風) (植物)[名](セリ科)アメリカボウフウ属 tópenupewkina-cise (新): [名]アメリカボウフウの茎葉 tópenupewkina (新)、[名]アメリカボウフウの根茎 tópenupew (新)※(別名「パースニップ」、「シロニンジン」など)

アメリカシウム (科学)[名]アメリカシウム americium (新)※(原子番号95番。元素記号 Am)

あめる [自]あめる nipopke (八雲): [他]～をあめさせる nipokere (新)

アメンボ(水馬) (昆虫)[場名](カメムシ亜目)アメンボ下目 pékaocarse-kotankes (新): [場名]アメンボ上科 pékaocarse-apapa (新): [名]アメンボ科 pékaocarse-apa (新): [名]アメンボ亜科 pékaocarse-moapa (新): [名]アメンボ pékaocarse (屈斜路): [名]エゾコセアカアメンボ moseturuhure-pekaocarse (新): [名]オオアメンボ poropekaocarse (新): [名]コセアカアメンボ samor-moseturuhure-pekaocarse (新): [名]ハネナシアメンボ rapsak-pekaocarse (新): [名]ババアメンボ okotne-pekaocarse (新): [名]ヒメアメンボ mopekaocarse (新): [名]ヤスマツアメンボ naypekaocarse (新): [名]ウミアメンボ亜科 atuykaocarse-moapa

(新): [名]カタビロアメンボ科 parapekaohoyupu-apa (新): [名]サンゴアメンボ科 sangupekaohoyupu-apa (新): [場名]イトアメンボ上科 kápekaopkas-apapa (新): [場名]ケシミズカメムシ上科 entonum-pekahurawenkikir-apapa (新): [場名]ミズカメムシ上科 pékahurawenkikir-apapa (新): [名]ミズギワカメムシ群 tósamhurawenkikir-topa (新)

あもく(亜目) (分類)[場名]亜目 mokotan (新)

アモス (聖書)[名](人名)アモス Amos (新)※(預言者): [名]アモス書 Amos-kampisos (新)

あもん(亜門) (分類)[場名]亜門 moserke (新)

あやうく(危うく) [副]危く～(し)かける naani (石狩)、[副] naanipo (石狩): 「私は危くしにかけた。」“Naani (Naanipo) ku=ray .”: (表現)危く～(し)かける naani (nani) ponko (石狩): 「…危く彼女の旦那が死ぬところだった…」“…naani ponko kor nisa isam…” (砂沢クラ)

あやしむ(怪しむ) [自]怪しむ ioyamokte (石狩): [他]～を怪しむ oyamokte (石狩): [他]～と共に～を怪しむ kooyamokte (新): [他](原因、手段)で～を怪しむ ooyamokte (新): [他](人)に～を怪しませる oyamoktere (新)

あやす [他](子)をあやす turasinot (石狩): (表現)(子)をあやす ramu suye (沙流): [自]子をあやす póturasinot (新): [他](泣く子)をあやす nusaske (美幌)

あやぶむ(危ぶむ) [自]危ぶむ ieyam (新)、[自] asanap (沙流): [他]～を危ぶむ eyam (沙流)、[他] koasanap (沙流): 「お前が俺のことを大嫌いになったんじゃないかと危ぶんだよ。」“E=en=kopan kuni ku=eyam wa .”: [他](人)に～を危ぶませる eyamte (新)、[他] asanapte (新): [他]死ぬほど～を危ぶむ raykoeyam (新): [他]滅茶苦茶～を危ぶむ toykoeyam (新): [他](人)について～を危ぶむ esitomakar (石狩): 「私達は彼が失敗しないか危ぶんでいる。」“Hayta kunip ci=esitomakar kor okay=as .”

あやまち(過ち) [名]過ち haytaru (石狩)、[名] hayta (新)、[名] uhayta (新)

あやまり(誤り) ①[名]誤り hayta (石狩)、[名] uhayta (新): (表現)誤り hayta ru (石狩): [自]誤る、誤っている uhayta (石狩)、[自] hayta (石狩): (表現)～を言い誤る ～ ye uhayta (石狩): [他・助動]～

を誤る ehayta (euhayta) (新): [他](場所)で誤る ehayta (eutayta) (新): [他]〜と共に誤る kohayta (kouhayta) (新): [他](原因、手段)で誤る ohayta (ouhayta) (新): [他]〜を間違えさせる uhaytare (新)、[他] haytare (新): ②[自]誤る、誤っている wen (石狩)

あやまる(謝る) [自]謝る yayapapu (石狩)、[自] yayunaske (石狩): 「私が悪かったので謝りますよ。」 “Ku=wen wakusu ku=yayapapu ru un .” (門野トサ): [他]〜について謝る eyayapapu (新)、[他] eyayunaske (新): [他](場所)で謝る eyayapapu (新)、[他] eyayunaske (新): [他](人)に謝る、〜と共に謝る koyayapapu (新)、[他] koyayunaske (新): [他](原因、手段)で謝る oyayapapu (新)、[他] oyayunaske (新): [他](人)に謝らせる yayapapure (新)、[他] yayunaskere (新): [他]互いに謝る、皆で謝る ukoyayapapu (新)、[他] ukoyayunaske (新): [他]人(人)に謝らせる koyayapapuyar (新)、[他] koyayunaskeyar (新): [自]人を自分に謝らせる sikoyayapapuyar (新)、[自] sikoyayunaskeyar (新): [自]人に言われて不承不承認る siapapu (新)

アヤメ(菖蒲) ① [名](ユリ目)アヤメ科 cepukotekina-apa (新): [名]アヤメ属 cepukotekina-cise (新): [名]アヤメの茎葉 cepukotekina (十勝)、[名] kakkokmun (美幌): [名]アヤメの花 kampinuye-apappo (阿寒)、[名] kampinuye-nonno (幌別)、[名] icaniw-apappo (足寄)、[名] mursaki (長万部): ②[自]菖蒲色になる、である kampinuyep-irone (新): [他]〜を菖蒲色に染める kampinuyep-ironeka (-ironere) (新): [名]菖蒲色 kampinuyep-iro (新)※(中国語)

あら [間投](驚いた時にあげる声)あら、あらっ ayapo (áyapo) (石狩)、[間投] iyahoy (iyahoy) (釧路)、[間投] atcompon (釧路)、[間投] acikacika (石狩): [間投]あらっ ayayapo (石狩): (表現)あらあらあらあらまあ大変だ ke ke ke ke iyohay (沙流)

あら(粗) ①[名]魚の粗 cepsapa (石狩): ②(表現)人の粗 an=kar pe wenike (新)、(表現) an=kor puri wenike (新): 「人の粗ばかりを探すのはやめてください。」

“An=kar pe wenike patek eciki uwampare yan !”

あらあらしく(荒々しく) [自]荒々しくなる、

荒々しい yupke (石狩)、[自] niwen (石狩): [他]〜を荒々しくする yupkere (yupkeka) (新)、[他] niwente (新): [副]荒々しく yupkeno (石狩)、[副] yupke (石狩): 「私は荒々しく愛撫された。」

“Yupkeno enci=henkotpa .”

あらいがき(洗柿) [自]洗柿色になる、である cihuraypa-kaki-irone (新): [他]〜洗柿色に染める cihuraypa-kaki-ironeka (-ironere) (新): [名]洗柿色 cihuraypa-kaki-iro (新)

アライグマ(洗熊)(動物)[名](イタチ上科)アライグマ科 ihurayeyuk-apa (新): [名]アライグマ属 ihurayeyuk-cise (新): [名]アライグマ ihurayeyuk (新): [名]カニクイアライグマ amuspee-ihurayeyuk (新): [名]グアドループアライグマ guaderowpe-ihurayeyuk (新): [名]コズメルアライグマ koumerun-ihurayeyuk (新): [名]トレマリアアライグマ roresmariaun-ihurayeyuk (新): [名]バルバドスアライグマ barbadosun-ihurayeyuk (新)※(絶滅?): [名]オリngo属 oringo-cise (新): [名]カコミスル属 kakomisru-cise (新): [名]キンカジュウ属 potos-cise (新): [名]ハナグマ属 nanutanne-ihurayeyuk-cise (新): [名]ヤマハナグマ属 kimunnanutanne-ihurayeyuk-cise (新)

あらいしゅ(洗朱) [自]朱になる、である cihuraypa-sumaohure (新): [他]〜を朱にする、朱に染める cihuraypa-sumaohureka (-ohurere) (新): [名]朱色 cihuraypa-sumaohure-iro (新)

あらいそ(荒磯) [名]荒磯 weysirar(-i) (新)

あらう(洗う) [自]ものを洗う ihuraye (新): [他]〜を洗う huraye (石狩): [他](場所)で〜を洗う ehuraye (新): [他]〜と共に〜を洗う kohuraye (新): [他](原因、手段)で〜を洗う ohuraye (新): [他](人)に〜を洗わせる hurayere (新)

あらく(粗く) ①(粒が)[自]粗くなる、粗い rupne (石狩): [他]〜を粗くする rupneka (rupnere) (新): [自]かなり粗くなる、粗い rupneno (rupnenu) (新): [自]ものすごく粗くなる、粗い toykorupne (新): ②(網の目が)[自]粗くなる、粗い ukattuyma (石狩): [他]〜を粗くする ukattuymaka (ukattuymare) (新): [自]かなり粗くなる、粗い ukattuymano (ukattuymanu) (新): [自]ものすごく粗くなる、粗い toykokuattuyma (新)

アラコウモリ(荒蝙蝠)(動物)[名](コウモリ目)アラコウモリ科 isounkapap-apa (新): [名]アラコウモリ属 isounkapap-cise

(新): [名]オオアラコウモリ *siisounkapap*
 (新)※(別名「インドアラコウモリ」): [名]
 コアラコウモリ *moisounkapap* (新):
 [名]カルディオデルマ属
sampenokaetukor-isounkapap-cise (新):
 [名]カルディオデルマ・コル
sampenokaetukor-isounkapap (新): [名]
 マクロデルマ属 *austorariaun-*
isounkapap-cise (新): [名]オーストラリ
 アオオアラコウモリ *austorariaun-*
isounkapap (新): [名]ラヴィア属
sikerpepeus-isounkapap-cise (新): [名]
 キバネアラコウモリ *sikerpepeus-*
isounkapap (新)

あらし(嵐) [名]嵐 *kamuyrera* (石狩)、
 [名](雅) *kamuykaw* (石狩)、[名]
kamuyruiampe (石狩)、[名] *apto* (石
 狩): (表現)嵐が激しくなる、嵐が荒れ狂っ
 ている *kamuyrera yupke* (石狩)、(表現)
kamuykaw yupke (石狩)、(表現)
kamuyruiampe kamuyrera yupke (石狩):
 [名]子が生まれた時の嵐 *pokauspe* (幌別)

あらず(荒らす) [他]～を荒らす *wente* (石
 狩): (表現)村を荒らす *kotan wente* (石
 狩)

アラスカ ①[場名](アメリカ合衆国の州名)ア
 ラスカ州 *Araska-mosir* (新)※(州都は「ジ
 ュノー」): ②[名]アラスカ半島 *Araska-*
sirekanray (新)

あらずじ(粗筋) (表現)粗筋 *oruspe ipehe*
 (新): (表現)この神話の粗筋 *tan oyna*
ipehe (新)

あらそう(争う) [名]争い *ukoyki* (石狩):
 [他]～と争う *koyki* (石狩): [他]～と～
 を争わせる *koykire* (新): [自]互いに争
 う *ukoyki* (石狩): [他](場所)で互いに争
 う *eukoyki* (新): [他](原因)のために互
 いに争う *koukoyki* (新): [他](原因、手
 段)で互いに争う *oukoyki* (新): [他]～を
 互いに争わせる *ukoykire* (新)

あらぞめ(退紅) [自]退紅になる、である
onne-ruhure (新): [他]～を退紅にする
onne-ruhureka (新): [名]退
 紅色 *onne-ruhure-iro* (新)

あらためる(改める) ①(新しくする事)[自]物事
 を改める *iasirka* (新): [他]～
 を改める *asirka* (新): [他](場
 所)で～を改める *easirka* (新):
 [他]～と共に～を改める *koasirka*
 (新): [他](原因、手段)で～を改
 める *oasirka* (新): [他](人)に
 ～を改めさせる *asirkare* (新):
 [他]人に～を改める *asirkayar* (新):
 [他]自分で、一人で～を改める

yaykoasirka (新): [他]互い
 に、皆で～を改める *ukoasirka* (新):
 [他]完全に～を改める *oasirka*
 (新): [他]充分～を改める *asirkano*
 (新): [他]大いに～を改める *toykoasirka*
 (新): [他](中相)～が改まる
ciasirka (新): [副]改めて
asinno (石狩): (表現)また改めて *suy*
asinno (新): ②(良くする事)[他]～を改め
 る *pirkare* (石狩)、[他](人)に～を改めさせ
 る *pirkarere* (新): ③(改善する事)[他]～
 を改める *asirpirkare* (新): [他](人)に～
 を改めさせる *asirpirkarere* (新)

あらぬすがた(あらぬ姿) (元の姿とかけ離れた
 ひどい容姿となる事)[自]あらぬ姿になっ
 ている *sirkakor* (沙流): [他](人)をあら
 ぬ姿にする *sirkakore* (沙流)

アラバマ [場名](アメリカ合衆国の州名)アラ
 バマ州 *Arabama-mosir* (新)※(州都は「モ
 ンゴメリー」)

アラビア ①[場名](アラビア半島とその周辺
 地域を漠然と指す言葉として)アラビア
Arabiya (新): [名]アラビア半島
Arabiya-sirekanray (新): [名]アラビア海
Arabiya-atuy (新): [名]アラビア砂漠
Arabiya-otaatuy (新): ②[名]アラビア語
arbikur-itak (新): [名]アラビア文字
arbikur-itakitokpa (新): [名]アラビア数
 字 *arabikur-ipiskiitokpa* (新): [名]アラ
 ビア馬 *arabiya-umma* (新)

アラブ ①[場名](国名)アラブ首長国連邦
Arabiya Ukosineatki-amirkormosir (新)※
 (首都は「アブダビ」): [場名](国名の略称と
 して)首長国連邦 *Ukosineatki-*
amirkormosir (新): [名]アラブ首長国連
 邦国民 *ukosineatki-amirkormosirunkur*
 (新): ②アラブ人 *arabikur* (新)

アラフラ [名]アラフラ海 *Arafura-atuy*
 (新)

アララト ①[名]アララト山 *Ararat-nupuri*
 (新): ②[名]アララト盆地 *Ararat-sisirkot*
 (新)

あられ(霰) [名]霰 *kawkaw* (石狩)、[名](雅
 語) *kanciw* (石狩)

あらわ(露) [自]露になる、なっている *sara*
 (石狩): [自]～の頭、顔、先端が露になる、
 なっている *esara* (新): [自]～の尻、性
 器、端が露になる、なっている *osara* (石
 狩): [他]～を露にする *sarare* (沙流):
 [他]("iporo"を目的語として)～(の顔色)を露
 にする *yaysankere* (石狩): (表現)怒り
 の顔色を露にする *iruska iporo*

yaysankere (石狩): (表現)その顔面に憤りを露にする kor wempuri enantuyka otte (石狩): [副]露に úseno (石狩): (表現)露になる úseno sipusu (新): (表現)～を露にする úseno pusu (新)

あらわす(現す) [他](隠れていて見えなかった誰か、何かが姿)を現す sarare (沙流): [他]合成語の構成要素として何処か目に見えぬ所から誰か、何かが姿「を現す」の意味で用いられる pusu (石狩): si(自分)+pusu → sipusu 「浮かび上がる」

あらわす(表す) ①(意志や感情を表情や仕草、言葉などで表す事)[他]～を表す yaysankere (新): (表現)遺憾の意を表す yayerampokiwen kewtumu yaysankere (新)、(表現) kor yayerampokiwen kewtum (新): (表現)敬意を表す oripak kewtumu yaysankere (新)、(表現) kor oripak kewtum yaysankere (新): ②(ある物事がある形式で表す事をし)[他]～を表す saraka (新): (表現)Aの記号で～を表す A sekor an itokpa ani ~ saraka (新)、A itokpa ani ~ saraka (新)

あらわれる(現れる) ①(存在を問題として)[自]現れる、現れている an (複数 okay) (石狩)、[自] siante (新)、[自] saún (新): 「何時か英雄達が現れ我々の領土を取り戻してくれるだろうよ。」“Hemparka rametok utar okay wa an=kor iwor i=kohosipire nankor na .”: ②(視覚を問題として)[自]現れる、現れている sara (石狩)、[自] saún (新): 「雪が融けて土が現れた。」“Upas nin wa toy sara .”: ③①、②分けずに[自]パッと現れる cisaekatta (沙流)、[自] saekatta (新)

アラン [名]アラン語 aranunkur-itak (新) ※(ロマンス諸語中オック諸語ガスコーニュ語の方言)

あらんかぎり(あらん限り)(表現)あらん限り an pakno (石狩): 「私はあらん限り踏ん張った。」“An pakno ku=siyuppa .”

アリ(蟻)(昆虫)①[名](スズメバチ上科)アリ科 itunnap-apa (新): [名]アケボノアリ亜科 huskotoywaitunnap-cise (新): [名]アルマジロアリ亜科 armadiroitunnap-moapa (新): [名]カギバラアリ亜科 oratkiitunnap-moapa (新): [名]カタアリ亜科 kapunisteitunnap (新): [名]キバハリアリ亜科 síkitekemkoritunnap-moapa (新): [名]クシフタフシアリ亜科 kiraytuikomaitunnap-moapa (新): [名]クビレハリアリ亜科 íkokemkoritunnap (新): [名]クビレムカシアリ亜科 íkohuskoitunnap-moapa (新): [名]グン

タイアリ亜科 topattumiitunnap-moapa (新): [名]サシハリアリ亜科 arkakemkoritunnap-moapa (新): [名]サスライアリ亜科 kotaysakitunnap-moapa (新): [名]チガイハリアリ亜科 oyakemkoritunnap-moapa (新): [名]デコメハリアリ亜科 sikitukkemkoritunnap-moapa (新): [名]ノコギリハリアリ亜科 nokokemkoritunnap-moapa (新): [名]ハリアリ亜科 kemkoritunnap-moapa (新): [名]ハリルハリアリ亜科 (新): [名]ヒメサスライアリ亜科 mokotaysakitunnap-moapa (新): [名]フタフシアリ亜科 tuikomaitunnap-cise (新): [名]マルティアリス亜科 ciapkastenociwitunnap-moapa (新): [名]ムカシアリ亜科 huskoitunnap-moapa (新): [名]ヤマアリ亜科 aspaitunnap-moapa (新): [名]ルイサスライアリ亜科 kotaysakitunnapnoampe-cise (新): ② [名]アリ科の昆虫の総称 itunnap (石狩): [名]アリの巣 itunnapcise (石狩)、[場名] itunnapkotan (石狩): [名]アリの卵 itunnapnok (礼文): [名]アリの繭 itunnapamam (幌別): [名]女王アリ itunnapkatkemat (新): [名]働きアリ monraykeitunnap (新): [名]羽アリ rápusitunnap (幌別): [自]アリに刺される itunnapcotea (幌別): [自]アリに噛まれる itunnape (沙流)

アリアケシラウオ(有明白魚)(魚介)[名](シラウオ科)アリアケシラウオ属 ariake-rayraycep-cise (新): [名]アリアケシラウオ ariake-rayraycep (新)

アリエルルス(動物)[名](ヒナコウモリ科)アリエルルス属 arieruruskapap-cise (新): [名]アリエルルス・アウレオコラリス ráoun-arieturuskapap (新): [名]A. キルクムダトゥス konkaniseturkor-arieturuskapap (新): [名]A. クブロスス húrekani-arieturuskapap (新): [名]A. ソキエタティス marayun-arieturuskapap (新): [名]A. トルクアトゥス taywanun-arieturuskapap (新)

ありがとう(有難う) [間投]有難い hápap (石狩)※(日常気軽に言える感謝の言葉という): 「…有難い、と私は言ってオンカミいたしましょうぞ…」“… Hápap , sekor ku=ye kor ukoonkami=an na …”(石山アツミヤシクル)会釈の辞: [間投]有難うございます iyayraykere (石狩): [間投]有難うございます、拝礼します ionkamire (石狩)※(砂沢ト°アカンノは間投詞としては ionkamiere、自動詞としては ionkamire と

使い分けているようである)

アリクイ(蟻喰) (動物)[場名](有毛目)アリクイ
亜目 itunnapep-mokotan (新): [名]オオ
アリクイ科 siitunnapep-apa (新): [名]
ヒメアリクイ科 moitunnapep-apa (新)

アリゲーター (動物)[名](ワニ科)アリゲーター
科 arigator-apa (新): [名]アリゲーター
亜科 arigator-moapa (新): [名]アリゲ
ーター属 arigator-cise (新): [名]アメリカ
アリゲーター amerikaarigator (新):
[名]ヨウスコウアリゲーター
atuyyaarigator (新): [名]カイマン亜科
kayman-moapa (新): [名]カイマン属
kayman-cise (新): [名]クロカイマン属
kunnekayman-cise (新): [名]コビトカイ
マン属 mokayman-cise (新)

ありさま(有様) ①[名]有様 sirki (石狩):
「(～する)有様である」 sirki an (石狩):
[助動](～する)有様である sirki (石狩):
(表現)雅(～する)有様 sirki sir (石狩):
②[名]有様 kat-(u) (石狩): 物語で有様
を描写する時に katu ene an hi (ihi)「その
有様はこうである」という表現の後に具体的
な叙述がされる。これは ruwe ene an hi
(ihi)で言い換えができる。: ③[形式名](～
する)有様 siri (石狩)、[形式名] sir (石
狩)、[形式名] ruwe (石狩)、[形式名] ru
(石狩): (表現)(～する)有様である siri an
(石狩)、(表現) sir an (石狩): 厳密には空
知方言で siri、ruwe、旭川方言で sir、ru
であるが今後どちらを用いても良いとする。

アリスブルー [自]アリスブルーになる、である
áris-ao (新)、[自] áris-burune (新):
[他]～をアリスブルーにする áris-aoka (-
aore) (新)、[他] áris-buruneka (-
burunere) (新): [名]アリスブルー色
áris-aairo (新)、[名] áris-buruiro (新)

アリゾナ [場名](アメリカ合衆国の州名)アリ
ゾナ州 Arizona-mosir (新)※(州都は「フ
ェニックス」)

ありったけ(表現)ありったけ an pakno (石
狩): 「ありったけの宝物を私は貴方に差し
上げましょう。」“Ikor an pakno es=kore=an
kusu ne .”

ありのまま[副]ありのまま siannopo (沙
流): (表現)ありのまま an koraci (天塩):
「ありのままに言えば君にはこの仕事は向
かない。」“An koraci ku=ye yakun tan
monrayke es=eaykap ruwe ne .”

ありふれた ①[連体]ありふれた úse (石狩):
(表現)ありふれている úse an (複数 okay)
(新): (表現)ありふれたファッション úse
siyuk (新): (表現)ありふれた事
úseampe (新): (表現)ありふれた場所

úseani (新): ②[連体]ありふれてつまら
ない eru (石狩): (表現)ありふれてつま
らない eru an (複数 okay) (新): (表現)あ
りふれてつまらない話 eru oruspe (新):
(表現)ありふれてつまらない事 eruampe
(新)

アリューシャン [場名]アリューシャン列島
Ariwşan-ikinpepaysir (新)

ある(或る) [連体]或る sine (石狩)、[連体]
sinean (石狩): (表現)或る年 sinean pa
(石狩)、(表現)或る日 sinean to (石狩):
(表現)或る～は…また或る～は… sine
～ anakne(anak) … sine ～ anakne(anak)
… (石狩): 「或る男は遊びたいと思い、或
る男はただ一つの愛に生きたいと思った。」

“Sine okkayo usaokay menoko tura sinot
rusuy wa sine okkayo anakne matkor
rusuy .”: [場名]或る時 sineani (石狩):
[副]或る時に sineanita (sineanta) (石
狩): [副]或る時から sineaniwa
(sineaniwano) (石狩): [場名]或る所
sineani (石狩)、[場名] sineanusi(-ke)
(新): [副]或る所に sineanita (sineanta)
(石狩): [副]或る所から sineaniwa
(sineaniwano) (石狩): [不定代名]或る人
sinen (石狩): 誰がやったのか特定しない
場合不定人称代名詞、を用いて paye=an「あ
る人が行く」、an=ki「ある人が～をする」と
いう表現がある: [不定代名]或る物、或る事
sinep (新)、[不定代名] sineampe (新)

ある(在る) ①[自]在る an (複数 okay) (石
狩): (表現)沢山在る poronno an (石狩):
[他](場所)に在る ean (複数 eokay) (石
狩): 普通は otta +an(複数 okay)の形を
使う。: ②[他](場所)に在る un (石狩):
多くの場合 rep-un-kotan(沖・に在る・村＝
外国の村、外国)のように合成語の構成要素と
して使われてきたが、今後は単独でも使って
良いものとする。: (表現)～が在る所 名詞
+uni (石狩): [他](場所)に沢山在る us
(石狩): un と同じく合成語の構成要素とし
て使われる。: (表現)～が沢山在る所 名詞
+usi (石狩): ③[他](模様や傷などが場所
に在る oma (石狩): [他](模様や傷など
が漠然と複数)に在る o (石狩): ④(雅語
として、村や家などに関して)[他](中相)～が
在る cisireasi (石狩)、[他](中相)
cisireanu (沙流)

ある(有る) [他]～が有る kor (石狩): 「私
には夫も子も有る。」“Hoku ka po ka
ku=kor .”

アルカリ (化学)[名]アルカリ arkari (新)
※(英語): [自]アルカリ性になる、である
arkarine (新): [他](場所)でアルカリ性に

なる、である earkarine (新): [他]〜と共にアルカリ性になる、である koarkarine (新): [他](原因、手段)でアルカリ性になる、である oarkarine (新): [他]〜をアルカリ性にする arkarineka (arkarinere) (新): [自]完全にアルカリ性になる、である oararkarine (ararkarine) (新)

あるきまわる(歩き回る) [自] 歩き回る omanan (複数 payekay, payokay) (石狩): (表現)林の中を歩き回る nitay orpeka omanan (石狩): [他](場所)を歩き回る eomanan (複数 epayekay, epayokay) (石狩): [他](場所)へ歩き回る koomanan (複数 kopayekay, kopayokay) (新): [他]〜と共に歩き回る koomanan (複数 kopayekay, kopayokay) (新): [他](場所)から歩き回る oomanan (複数 opayekay, opayokay) (新): [他](原因、手段)で歩き回る oomanan (複数 opayekay, opayokay) (新): [他](人)を歩き回らせる (複数 payekayre, payokayre) (新): [自]自分で、一人で歩き回る yaykoomanan (新): [自]皆で歩き回る ukopayekay (ukopayokay) (新): [自]滅茶苦茶歩き回る toykoomanan (複数 toykopayekay, toykopayokay) (新)

あるく(歩く) ①(歩行を示し)[自]歩く apkas (石狩): (表現)裸足で歩く kessakno apkas (石狩): [他](場所)を歩く eapkas (新): [他](場所)へ歩く koapkas (石狩): [他]〜と共に歩く koapkas (石狩)、[他] turaapkas (新): (表現)〜と共に歩く tura wa apkas (石狩)、[他] tura(-no) apkas (石狩): [他](場所)から歩く oapkas (新): [他](人)を歩かせる apkaste (石狩): (表現)歩きづらい (石狩): [名]歩きにくい沢 orowennay (石狩): [名]歩きやすい沢 oropirkanay (石狩): ②(一緒に行動する事を示し)[自]人と一緒に歩く itura (石狩): [自]一緒に歩く utura (石狩): [他]〜と歩く tura (石狩): [自]一緒に歩きたい uturapirka (新): (表現)一緒に歩きたい utura rusuy (新): [自]一緒に歩きたくない uturawen (石狩): (表現)一緒に歩きたくない utura etoranne (新)、(表現) somo utura rusuy (新)

アルゴン (化学)[名]アルゴン argon (新)※(原子番号 18 番。元素記号 Ar)

あるじ(主) [名]主 nispaa (石狩)、[名] siankur (金): (表現)〜の主 ~ kor nispaa (石狩)、(表現) ~ kor kur (石狩): (表現)私の主 ku=kor nispaa (石狩): [名]家の主 cisekorkur (石狩)、[名]

cisekonnipa (石狩)

アルジェリア [場名](国名)アルジェリア民主人民共和国 Jazair Urenkasapte Utarikor Ukotankoremosir (新): [場名](国名の略称として)アルジェリア Jazair (新): [名]アルジェリア人 jazairunkur (新): [場名](アルジェリア民主人民共和国の首都名)アルジェ Jazair-si (新)

アルゼンチン [場名](国名)アルゼンチン共和国 Arxentina Ukotankoremosir (新)※(首都は「ブエノスアイレス」): [国名](国名の略称として)アルゼンチン Arxentina (新): [名]アルゼンチン人、国民 arxentinaunkur (新)

アルソミトラ (植物)[名](ウリ科)アルソミトラ属 sirapuspioppunkar-cise (新)※(ハネフクベ属、マクロザノニア属とも): [名]ハネフクベの茎葉 sirapuspioppunkar (新)、[名]その果実 sirapuspiop (新)、[名]その種子 rapuspi (新)

アルタイ ①[場名](ロシア連邦シベリア連邦管区の構成主体名)アルタイ共和国 Attay Ukotankoremosir (新)※(首都は「ゴルノ・アルタイスク」): [名]アルタイ人 attaykur (新): [名]アルタイ語 attaykur-itak (新): ②[場名](ロシア連邦シベリア連邦管区の構成主体名)アルタイ地方 Attay-sirkes (新)※(首府は「バルナウル」): ③[名](地名)アルタイ山脈 Attay-ikinnenuhuri (新)

アルタイル [名]アルタイル(鷲座の α 星) Cikusakur (アイヌの星)

あるだけ (表現)あるだけ an pakno (石狩): 「あるだけそれを僕に下さい。」“An pakno en=kore yan !”

アルティベウス (動物)[名](アカフルーツヘラコウモリ亜科)アルティベウス属 nikaopehametukapap-cise (新): [名]アルティベウス・アズテクス asteka-nikaopehametukapap (新): [名]A. アンデルセン andersen-nikaopehametukapap (新): [名]A. アンブルス handorey-nikaopehametukapap (新): [名]A. イノピナトゥス (新): [名]A. インコミタトゥス puyne-nikaopehametukapap (新): [名]A. オブスクルス kurok-nikaopehametukapap (新): [名]A. キネレウス gervais-nikaopehametukapap (新): [名]A. グノムス nomnikaopehametukapap (新)※(ノーム果実喰葉鼻蝙蝠): [名]A. グラウクス sirokani-nikaopehametukapap (新): [名]A. コンコロル rúsak-nikaopehametukapap (新): [名]A. トルティクス torteka-

nikaopehametukapap (新): [名]A. ヒル
ストウス numaus-nikaopehametukapap
(新): [名]A. ファエオティス monikaope-
hametukapap (新): [名]A. フィンブリア
トウス ciparurkarkar-
nikaopehametukapap (新): [名]A. フラ
テルクルス ekuadorun-
nikaopehametukapap (新): [名]A. プラ
ニロストリス amazonun-
nikaopehametukapap (新): [名]A. ボゴ
テンシス bogotaun-nikaopehametukapap
(新): [名]A. リトゥラトウス sínikaope-
hametukapap (新): [名]A. ロセンベルギ
rosembergu-nikaopehametukapap (新):
[名]A. ワトソニ watson-
nikaopehametukapap (新): [名]ジャマイ
カフルーツコウモリ jamaykaun-
nikaopehametukapap (新): [名]ヒラバナ
フルーツコウモリ surinameun-
nikaopehametukapap (新)
アルデバラン (宇宙)[名]アルデバラン
Uraycasikunnociw (アイヌの星)※(牡牛座
のα星)
アルバ [場名](オランダ王国の自治地域)アル
バ Aruba (新)
アルバータ [場名]カナダの州名()アルバータ州
Arbata-purovince (新)※(州都は「エドモン
トン」)
アルバイト [自]アルバイトする
ponmonrayke (新)、[自] monrayketek
(新): [他](場所)でアルバイトする
eponmonrayke (新)、[他] emonrayketek
(新): [他]〜と共にアルバイトする
koponmonrayke (新)、[他]
komonrayketek (新): [他](原因、手段)で
アルバイトする oponmonrayke (新)、[他]
omonrayketek (新): [他](人)にアルバイ
トさせる ponmonraykere (新)、[他]
monrayketekka (新)
アルパカ (動物)[名](ビクーニャ属)アルパカ
arpaka (新)※(西語)
アルバカーキ [場名](アメリカ合衆国ニューメ
キシコ州の都市名)アルバカーキ Arbakaki
(新)
アルバニア [場名](国名)アルバニア共和国
Suciparia Ukotankoremosir (新)※(首都
「ティナナ」): [場名](国名の略称として)アル
バニア Suciparia (新): [名]アルバニ
ア人、国民 sucipariaunkur (新): [名]アル
バニア人 suciparatkur (新): [名]アル
バニア語 suciparatkuritak (新): (歴
史)[場名]アルバニア社会主義人民共和国
Suciparia Ureskaussamun Utarikor
Ukotankoremosir (新)※(1976-92

年。改称): (歴史)[場名]アルバニア人民共和
国 Suciparia Utarikor Ukotankoremosir
(新)※(1946-76年。改称): (歴史)[場
名]アルバニア王国 Suciparia
Yaykomosirkorkurkormosir (新)※(192
8-46年。王制廃止): (歴史)[場名]アルバ
ニア公国 Suciparia Purincekormosir
(新)※(1914-25年。共和制移行)

アルバニー [場名](アメリカ合衆国ニューヨー
ク州の州都名)アルバニー Arbani (新)

アルバム [名]アルバム arbum (新)※(英
語)

アルハンゲリスク [場名](ロシア連邦北西連
邦管区の構成主体名)アルハンゲリスク州
Arxangerisku-purovince (新): [場名](ア
ルハンゲリスク州の州都名)アルハンゲリス
ク Arxangerisku (新)

アルプス [名]アルプス山脈 Arpes-
ikinnenupuri (新)※(羅語): [場名](地名)
アルプス Arpes (新)、[名] Arpen (新)※
(独語)

アルマジロ (動物)[名](被甲目)アルマジロ科
hayokyuk-cise (新)、[名] armadiro-cise
(新): [名]オオアルマジロ属 síhayokyuk-
cise (新)、[名] siarmadiro-cise (新):
[名]ケナガアルマジロ属 numatanne-
hayokyuk-cise (新)、[名] numatanne-
armadiro-cise (新): [名]ココンオビアル
マジロ属 sinepesankutkor-hayokyuk-cise
(新)、[名] sinepesankutkor-armadiro-cise
(新): [名]スベオアルマジロ属
oatusahayokyuk-cise (新)、[名]
oatusaarmadiro-cise (新): [名]チャコア
ルマジロ属 mohayokyuk-cise (新)、[名]
moarmadiro-cise (新): [名]ピチアルマジ
ロ属 pici-hayokyuk-cise (新)、[名] pici-
armadiro-cise (新): [名]ヒメアルマジロ
属 ruhure-mohayokyuk-cise (新)、[名]
ruhure-moarmadiro-cise (新): [名]ミツ
オビアルマジロ属 rekutkor-hayokyuk-cise
(新)、[名] rekutkor-armadiro-cise (新):
[名]ムツオビアルマジロ属 iwankutkor-
hayokyuk-cise (新)、[名] iwankutkor-
armadiro-cise (新)

アルミニウム (化学)[場名]アルミニウム
aruminium (新)※(原子番号13番。元素記
号 Al)

アルメニア [場名](国名)アルメニア共和国
Hayastan Ukotankoremosir (新)※(首都
「エレバン」): [場名](国名の略称として)アル
メニア Hayastan (新): [名]アルメニ
ア人、国民 haystanunkur (新): [名]アル
メニア人 haykur (新): [名]アルメニ
ア語 haykuritak (新): [名]アルメニア

文字 haykur-itakitoppa (新): (歴史)[場名](ソ連邦の構成国名)アルメニア・ソビエト社会主義共和国 Armeniya Soviet Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1936-1991年。略称は ArmeniyaSUU): [場名]大アルメニア王国 Poro Hayku (新)、[場名]古代アルメニア王国 Husko Hayku (新)※(紀元前190-428)

あれ ①(話者より遠い物を指し示し)[代名]あれ taampe (石狩): 目に見える物を指し示す例しか見られぬが、今後話者に時間的になど遠く感じられる物事にも用いても良いとする。: ②(話者より遙か遠い物を指し示し)[代名]あれ toampe (石狩): ③(既に話題になるなどして相手が知っている物事に触れ)[代名]あれ néap (石狩)、[代名]néampe (石狩)、[代名](雅語) néwaampe (石狩): 物事について従来は単複の区別をしなかったが、今後「あれら」を tokaype、néokpe、néokaype 等と表現しても良いとする。: 「あの」の複数「あれら」は「あの」を見よ

アレウト [名]アレウト人 unangankur (unangan) (新): [名]アレウト語 unangankur-itak (unangan-itak) (新)

アレチアザミ(荒地薊) (植物)[名](キク科)アレチアザミ属 wennupancami-cise (新): [名]アレチアザミの茎葉 wennupancami (新): [名]エゾノキツネアザミの茎葉 yaun-wennupancami (新)

アレチウリ(荒地瓜) (植物)[名](ウリ科)アレチウリ連 iriuripunkar-utar (新): [名]アレチウリ亜連 iriuripunkar-moutar (新): [名]アレチウリ属 iriuripunkar-cise (新): [名]アレチウリの茎 ankopán-iriuripunkar (新)、[名]その果実 ankopán-iriuri (新): [名]シキオス・アルプスの茎 retar-iriuripunkar (新) [名]シキオス・マクロフィリスの茎 metotun-iriuripunkar (新)

あれっ [間投](意外な事を知って驚き)あれっ ke (沙流)

あれの(荒野) [名]荒野 wennup (新)

アレルギー [名]アレルギー、アレルギー反応 ikamakasuy (新)、[名] siyeyekamakasuy (新)、[名] arergie (新)※(英語): [自]アレルギー反応を起こす ikamakasuy (新)、[自] siyeyekamakasuy (新)、[自] arergiekor (新): [他](人)にアレルギー反応を起こさせる ikamakasuyre (新): [他]人にアレルギー反応を起こさせる ikamakasuyyar (新): [名]アレルゲン ikamakasuyyarpe (新)、[名] siyeyekamakasuyyarpe (新)、[名] arergen (新)※(英

語)

アレロパシー [名]アレロパシー ukosihumnuyar (新)、[名] areropati (新)※(英語。「他感作用」とも)

アワ(粟) (植物)[名](エノコログサ属)アワの種子 munciro (H)、[名] aynuamam (H): [名]うるち粟 sipuskep (H): [名]もち粟 ritempe (H): [名]夏アワ kompukarusi (幌別): [名]秋アワ cukmunciro (新)

あわ(泡) ①[名](波の上の白い)泡 koysum (石狩): [名] wakkakoysum (石狩): ②[自]泡立つ pop (石狩): (表現)(発酵した)酒が泡立っている sake pop kor an (石狩): [他]～を泡立たせる poppe (新): [名]沸騰した泡 poppise (沙流): (表現)泡がぼこぼこ沸きたつ poppise cihetukure (沙流): ③[自]ブクブク泡立つ kuyuyse (石狩)

あわく(淡く) ①(目に見える物に関して)[自]淡くなる、淡い homar (石狩): [他]～を淡くする homare (homarka) (新): [副]淡く homanno (天塩)、[副] homar (石狩)、[副] homaritarar (天塩): (表現)淡く homar kane (石狩): [自]淡くなっていく cancanke (石狩): [自]全体がぼんやり淡くなっていく uecancanke (石狩): ②(味や色に関して)[自]淡くなる、淡い can (石狩)、[自] pan (石狩)※(対義語は): cancanke に見るように can、pan は①の範囲を含む。: 「淡い赤である」など具体的色彩に関して matek-hure というが、今後 matek を「中間色である」の意味で用いるため、can-hure、pan-hure と表現する。: [他]～を淡くする cante (canka) (新)、[他] pante (panka) (新)

あわさる(合わさる) [自]合わさる ueus (石狩): (表現)アイヌの海、外国人の海が合わさる所から yaunkur-atuy repunkur-atuy ueus hi wa (石狩)

あわせる(合わせる) ①(複数のものを足し加える意味で)[他]～を合わせる ukotama (石狩): 「三つと二つを合わせると五つになる」 “Rep tup an=ukotama wa asiknep ne an.”: [他]～に～を合わせる kotama (新): ②(複数のものを接しさせるの意味で)[他]～を合わせる ueusi (新): [他]～に～を合わせる eusi (新): ③(複数のものを一つにする意味で)[他]～を合わせる ukosinepneka (ukosinepnere) (新): [他]～に～を合わせる kosinepneka (sinepnere) (新): ④(あるものを別なものと適合させるという意味で)[他]～に合わせる yaykotomka (新): [他]～に～を合わせる kotomka (新)

あわてる(慌てる) ①[自]慌てる kimatek (石狩)、[自] yaykimatekka (石狩): [他]～に慌てる ekimatek (石狩): [他]～と共に慌てる kokimatek (新): [他]～を慌てさせる kimatekka (石狩): [自]皆で慌てる ukimatekka (新): [副]慌てて ekenkeci (石狩): (表現)慌てて働く ekenkeci monrayke (石狩): (表現)慌てて話す ekenkeci itak (石狩): ②[自]慌ててわあわあ騒ぐ ukopop (美幌)

アワビ(鮑)(魚介)[名]鮑 aype (幌別): 生物の分類は「ミミガイ(耳貝)」を見よ。

アワブキ(泡吹)(植物)[名](ムクロジ目)アワブキ属 kuyuyseni-cise (新): [名]アワブキの茎 kuyuyseni (新): [名]ミヤマハハソの茎 cikappoperohamuskuyuyseni (新) ※(別名「ミヤマハウソ」): [名]ヤマビワの茎 setabiwani (新): アオカズラ属 rurinikaoppunkar-cise (新): [名]アオカズラの茎 rurinikaoppunkar (新): [名]アオカズラの果実 rurinikaop (新): [名]オフィオカリオン属 ofiokaryon-cise (新)

アワフキムシ(泡吹虫)(昆虫)[場名](セミ型下目)アワフキムシ上科 nonkikir-apapa (新): [名]アワフキムシ科 nonkikir-apa (新): [名]シロオビアワフキ retarkutkonnonkikir (新): [名]テングアワフキ etuteskenonkikir (新): [名]ハマベアワフキ pisunnonkikir (新): [名]モンキアワフキ retarkesononkikir (新): [名]コガシラアワフキムシ科 sapaponnonkikir-apa (新): [名]トゲアワフキムシ科 aykonnonkikir-apa (新): [名]ヨコバイ科 yakipopo (新)

あわゆき(淡雪)[名]淡雪 kaparupas (石狩)

あわれ(哀れ、憐れ)[自]哀れである inunukas (石狩): [間投]哀れ iokunnuka (石狩)、[間投] inunukaski (石狩): [自]人を憐れむ ierampokiwen (新)、[自] ierampokinu (新)、[自] ikemnu (石狩): (表現)(雅)憐れみの心を抱く ikemnu kewtum yaykorpore (石狩): [他]～を哀れむ erampokiwen (石狩)、[他] erampokinu (石狩)、[他] kemnu (石狩): (表現)憐れな者 an=erampokiwen pe (石狩): [名]哀れな人 cierampokiwenkur (新)、[名] cierampokinukur (新)、[名] inunukaskur (新): [他](人)に～を哀れませる erampokiwente (新)、[他] erampokinure (新)、[他] kemnure (新): [自]人の憐を誘う sierampokiweyyar (新)、[自] sierampokinuyar (新)、[自] sikemnuyar

(新)

あん(館)[名]館 anko (新)※(日本語)

あんか(行火)[名]行火 urepopkerek(-popkekap) (新): [名]電気行火 imeru-urepopkerek(-popkekap) (新)

アンカラ[場名](トルコ共和国の首都名)アンカラ Ankara (新)

アンガラ[名]アンガラ川 Angara-pet (新)

アンカレッジ[場名](アメリカ合衆国アラスカ州バロウ郡)アンカレッジ Anxorage (新)

アンキしょう(安徽省)[場名](中華人民共和国の省名)安徽省 Anhuy-purovince (新)

あんきょ(暗渠)[名]暗渠 ciseske-cikannay (新)、[名] ciseskenay (新)

アングロ・サクソン[名]アングロ・サクソン人 angrosaksonkur (新)

あんけん(案件)[名]案件 cikarkorampe (新)、[名] cikarkaneampe (cikarkanampe) (新)

あんごう(暗号)[名]暗号、暗号化 inummakkuste (新)、[名] irammakkuste (新): [名]暗号、暗号化されたもの cieinumakkustep (新)、[名] cieirammakkustep (新): [自]暗号化する inummakkuste (新)、[自] irammakkuste (新): [他]～を暗号化する einummakkuste (新)、[他] cieinummakuste (新): [名]暗号通貨 cieinummakuste-cieiwankeikor (cieirammakkuste-) (新)、[名] cieinummakuste-ikor (cieirammakkuste-) (新)

アンコウ(鮫鯨)(魚介)[場名](硬骨魚綱)アンコウ目 péraysok-kotan (新): [場名]アンコウ亜目 péraysok-mokotan (新): [名]アンコウ科 péraysok-apa (新): [名]アンコウ属 péraysok-cise (新): [名]アンコウ péraysok (幌別): [名]キアンコウ属 síperaysok-cise (新): [名]スレダニア属 kurkiporoperaysok-cise (新): [名]ヒメアンコウ属 moperaysok-cise (新): [場名]アカグツ亜目 húrecupperaysok-mokotan (新): [場名]カエルアンコウ亜目 sinucep-mokotan (新)

あんこうしょく(暗紅色)[自]暗紅色になる、である kunnehure (新): [他]～を暗紅色にする kunnehureka (kunnehurere) (新): [名]暗紅色 kunnehure-iro (新)

あんこく(暗黒) ①(広い範囲が)[動]暗黒になる、である oarsirkunne (oassirkunne) (石狩): [自](場所)が暗黒になる、である eoarsirkunne (eassirkunne) (新): [自]～と共に暗黒になる、である kooarsirkunne (koassirkunne) (新):

[自](原因、手段)で暗黒になる、である
oarsirkunne (ooassirkunne) (新): [自]
〜が(場所)を暗黒にする oarsirkunneka
(ooassirkunneka) (新)、[他]
oarsirkunnere (ooassirkunnere) (新): ②
(色などに関して)[自]暗黒色になる、である
oarkunne (新): [他]〜を暗黒色にする
oarkunneka (oarkunnere) (新): [名]暗
黒色 oarkunne-iro (新)

アンゴラ [場名](国名)アンゴラ共和国
Angora Ukotankoremosir (新): [場名](国
名の通称として)アンゴラ Angora (新):
[名]アンゴラ人、国民 angoraunkur (新)

あんさつ(暗殺) [自]人を暗殺する
ikurorera yke (新): [他]〜を暗殺する
kurorera yke (新): (表現)〜を暗殺する
kuror ta ~ rayke (新)、(表現)
yayukaono ~ rayke (新): [他](人)に〜
を暗殺させる kurorera ykere (新): [名]
暗殺者 ikurorera ykekur (新)

あんざん(暗算) [自]暗算する
iramepiskikar (新): [他](人)に暗算させ
る iramepiskikar (新): [他]〜を暗算させ
る ramepiskikar (新): [他](人)に〜を
暗算させる rameepiskikare (新)

あんしん(安心) [自]安心する ramsinne
(新)、[自] ramsinnu (石狩): [他]〜につ
いて安心する、している eramsinne (石
狩)、[他] eramsinnu (石狩): [他]〜と共
に安心する koramsinne (新)、[他]
koramsinnu (新): [他](原因、手段)で安心
する oramsinne (新)、[他] oramsinnu
(新): [他](人)を安心させる ramsinneka
(ramsinnere) (新)、[他] ramsinnure
(新): [自]ほんとに安心する yaykemusu
(石狩)

あんず(杏子) (植物)[名](サクラ属)アンズの茎
ancuni (新): [名]アンズの花 ancuni-
apappo (新): [名]アンズの果実 ancu
(新): [自]アプリコット色になる、である
ancu-irone (新): [他]〜をアプリコット色
にする ancu-ironeka (-irone) (新):
[名]アプリコット色 ancu-iro (新)

あんせい(安静) [他](病人)を安静にさせる
moyre (新): [他](場所)で(病人)を安静に
させる komoyre (沙流): 「私を寝床で安
静にしておいてください。」“Sotki kasi
en=komoyre wa en=kore yan .”

あんぜん(安全) [自]安全である
iyaykiptesak (新)※(危険・を欠く):
[他](場所)で安全である ei yaykiptesak
(新): [他]〜に対して安全である
koiyaykiptesak (新): [他]〜と共に安全で
ある koiyaykiptesak (新): [他](原因、手

段)で安全である oi yaykiptesak (新):
[他]〜を安全にする iyaykiptesakka (新)、
[他] pirkare (新): [自]安全になる、安全
である pirka (石狩): [副]安全に
iyaykiptesakno (新)、[副] pirkano (新)
あんぜんそうち(安全装置)[名]安全装置、セーフ
ティ iyaykiptesakkap (新)

アンダーライン →「かせん(下線)」を見よ

アンタナリボ★ [場名](マダガスカル共和国の
首都名)アンタナリボ Antanarivo (新)

アンチモン(化学)[名]アンチモン
antimonium (新)※(原子番号51番。元素
記号 Sb)

あんてい(安定) [自](建物や精神状態が)安定
する、している siroma (石狩): [他](場
所)で安定する、している esiroma (新):
[他]〜と共に安定する、している kosiroma
(新): [他](原因、手段)で安定する、してい
る osiroma (新): [他]〜を安定させる
siromare (新)

アンティグア ①[場名](国名)アンティグア・バ
ーブーダ Antigua newa Barbuda (新)※
(首都は「セントジョンズ」): [名]アンティ
グア・バーブーダ人 antigua-newa-
barbudaunkur (新): ②[場名](カリブ海東
部の島名)アンティグア島 Antigua-poysir
(新)

アンティル[場名](地名)アンティル諸島
Antiria-usapoysir (新)※(羅語): [場名](地
名)大アンティル諸島 Poroantiria-
usapoysir (新): [場名](地名)小アンティル
諸島 Pónantiria-usapoysir (新)

アンデス [名](地名)アンデス山脈 Andes-
ikinnenupuri (新)※(西語): [名]アンデス
文明 Andes-cisimaciyane (新)

**アンテノールジャコウアゲハ(アンテノール麝
香揚羽)** [名](キシタアゲハ族)アンテノール
ジャコウアゲハ属 antenor-musku-
kitomarewrew-cise (新): [名]アンテノー
ルジャコウアゲハ antenor-musku-
kitomarewrew (新)

あんてん(暗転) [0動](光っていた)周囲が光
を失い暗転する sirekurok (石狩): 「周
囲が光を失い暗転して全然生きた心地もな
いくらいあたりが暗くなった。」“Sirekurok
wa ponno ka ku=siknu hi ka isam pakno
sirekurok .”

アンドラ [場名](国名)アンドラ公国
Andora Purincekormosir (新): [場名](国
名の略称として)アンドラ Andora (新):
[名]アンドラ人、国民 andoraunkur (新):
[場名](アンドラ公国の首都名)アンドララヴ
ィラ Andoraravera (新)

アントワープブルー[自]アントワープブルーに

なる、である antowerpen-eao (新)、[自] antowerpen-eburu (新)：[他]～をアントワーブブルーにする antowerpen-eaoka (-eaore) (新)、[他] antowerpen-eburuka (-eburure) (新)：[名]アントワーブブルー色 antowerpen-eao-iro (新)、[名] antowerpen-eburu-iro (新)

あんな ①(比較、例示して)(表現)あんなに toampe néno (新)：(表現)あんな toampe néno an (複数 okay) (新)：②(既に述べられるなど話し手と聞き手で了解されるものについて)[後副]あんなに néno (石狩)：(表現)あんな néno an (複数 okay) (石狩)：(表現)あんな人 néno an kur (石狩)：(表現)あんな人たち néno okay utar (石狩)：(表現)あんな者 néno an pe (石狩)：(表現)あんな者達 néno okay pe (新)：(表現)あんな物、あんな事 néno an pe (石狩)：③(話し手のイメージで)[副]あんなに ene (石狩)：(表現)あんなに ene un suy (沙流)。(表現) enepo un suy (沙流)：「お前たちはあんなにも分からないものか?」「Ene un suy es=erampetek hi?」、「この国の人たちはあんなにも無礼なのか?」「Enepo un suy tan mosir un utar somoyaykatanu ruwe?」：[連体]あんな enean (複数 enekay) (石狩)：[連体](悪) あったら enan (石狩)：[間投](悪)あんな奴 enean (石狩)：[間投](悪) icakkere (沙流)：[間投](悪) icaka (沙流)：[間投](悪)あんな奴ら enekaype (石狩)：[間投](悪)あったら奴 enampe (石狩)：[間投](悪)あんな物、あんな事 eneampe (石狩)：[間投](悪)あったら物、あったら事 enampe (石狩)

あんない(案内) [自]人を案内する sireipakasnu (新)：[他](場所)に人を案内する esireipakasnu (新)：[他]～と共に人を案内する kosireipakasnu (新)：[他](原因、手段)で人を案内する osireipakasnu (新)：[他](人)に案内させる sireipakasnure (新)：[他](人)を案内する sireipakasnu (新)：[他](場所)に(人)を案内する esireipakasnu (新)：[他](人)に(人)を案内させる sireipakasnure (新)：[他]自分で、一人で(人)を案内する yaykosireipakasnu (新)：[他]互いに、皆で(人)を案内する ukosireipakasnu (新)：[他](中相)(人)が案内される cisireipakasnu (新)：[他]人に(人)を案内させる、してもらう sireipakasnu (新)：[自]人に自分を案内させる sisireipakasnu (新)：[自]案内し合う usireipakasnu (新)：[名]案内書、ガイドブック

sireipakasnukampis (新)：[場名]案内所 sireipakasnuusi (新)：[名]案内人、ガイド sireipakasnukur (新)※(「案内書」、「案内所」、「案内人」などに関して、例えば「～の案内書」と言いたい場合は eipakasnukampis あるいは esireipakasnukampis の前に必要な名詞を加える。「コンピューター案内書」→ imerunoype + eipakasnukampis、esireikampis = imerunoype-eipakasnukampis、imerunoype-esireipakasnukampis)

あんにたがえ(案内に違え) (表現)～は案内に違え～ oro katkiko ~ iki wa (石狩)：「君は私を待つと思ってたよ。君ときたら案内に違えて帰宅したんだ。」“Es=en=tete, sekor ku=yaynu na. Es=oro katkiko es=iki wa es=cisekohosipi wa ene an hi ya?”

アンバー [自]アンバー色になる、である amber-irone (新)：[他]～をアンバー色にする amber-ironaka (-ironere) (新)：[名]アンバー色 amber-iro (新)

あんび(鞍鼻) [自]鞍鼻である etukopociske (樺太)※(鶴城)

あんぶ(暗部) (表現)暗部 kunne serke (新)、(表現) kurok serke (新)、(表現) kunne hi (新)、(表現) kurok hi (新)

あんぶ(鞍部) [名](山の鞍部) rúcis (石狩)

アンマン [場名](ヨルダン・ハシミテ王国の首都名)アンマン Amman (新)

アンモナイト [名]アンモナイト ammonite (新)※(英語)：(魚介)[名](頭足綱)アンモナイト亜綱 ammonite-mopet (新)：[場名]アンモナイト目 ammonite-kotan (新)

あんりよくしよく(暗緑色) [自]暗緑色になる、である kunnesiwnin (新)：[他]～を暗緑色にする kunnesiwninte (新)：[名]暗緑色 kunnesiwnin-iro (新)

い(位) [場名]位 sóuni (新)：(表現)一位 sine sóuni (新)：[名]一位 sinep (新)

い(胃) ①[名]胃 yospe (石狩)：②[名](クマの)胃 mawap(-i) (釧路)、[名] pise (幌別)※(樺太ではアザラシやトドの物)：[名](サケの)胃 ipepise (石狩)：③[名]胃の病気 yospe-tasum(-i) (新)、[名] sampe-tasum(-i) (沙流)：(表現)胃の辺りが痛い yospe sam(長形-a、-ake) arka (新)：[名]胃の辺りの痛み pisearka (美幌)：(表現)胃が痛い yospe arka (新)：[名]胃の痛み yospe-arka (新)、[名] sampe-arka (沙流)：[自]胃の具合が悪い yospetusmak (新)、[自] sampe-tusmak (沙流)：[自]胃が悪くて胸やけがする yospe-ekoyki (新)、[自] sampe-ekoyki

(沙流)：(表現)胃が悪くて胸やけがする
yospe satsatke (新)、(表現) sampe
satsatke (幌別)：[名]胃の内容物
yospeorop (新)

いあつ(威圧) [自]威圧する ikurorarikar
(新)：[他]～を威圧する kurorarikar
(新)：[他](人)に～を威圧させる
kurorarikar (新)

いあてる(射当てる) [自]人や物に射当てる
icotca (新)：[他]～に射当てる cotca
(石狩)：「私は大きな鹿に射当てようとし
た。」“Poru yuk ku=cotca kusu ku=iki.”：
[他](場所)で～に射当てる ecotca (新)：
[他]～と共に～に射当てる kocotca (新)：
[他](原因、手段)で～に射当てる ocotca
(新)：[他](人)に～に射当てさせる cotcare
(新)：[他]自分で、一人で～に射当てる
yaykocotca (新)：[他]互いに、皆で～に射
当てる ukocotca (新)：[他]～に思い切り
射当てる toykocotca (石狩)：[他]～に矢
竹を射当てる toppispare (沙流)：[他]～
に矢を射当てる aypispare (新)

いいえ [間投](否定を示し)いいえ somo (石
狩)：「いいえ、違います。」“Somo, somo
ne.”

いいおく(言い置く) [自]言い置く itakmuye
(複数 itakmuypa) (新)：[他]～について
言い置く eitakmuye (複数 eitakmuypa)
(新)：[他](人)に言い置く koitakmuye (複
数 koitakmuypa) (沙流)：[他](原因、手
段)で言い置く oitakmuye (複数
oitakmuypa) (新)：[他](人)に言い置か
せる itakmuyere (複数 itakmuypare) (新)

いいかい [間投](発話の際に相手の注意を促
し)いいかい、いいですか tan (石狩)：
「いいですか、今言うからよく聞いて下さい
よ。」“Tan tane ku=ye ciki pirka nu wa
en=kore yan !”

いいかえす(言い返す) [自]人に言い返す
iekariitak (新)：[他](人)に言い返す
ekariitak (新)：(表現)(人)に言い返す
ekariitak (石狩)：「お前が俺に言い返す
のかい。お前も偉くなったもんだ。」
“En=ekari e=itak he ! Eani e=nispane
ruwe ? !”：[他]～について(人)に言い返す
eekariitak (新)：[自](人)に人に言い返さ
せる iekariitakte (新)：[他](人)に(人)に
言い返させる ekariitakte (新)：[他](人)
に～について(人)に言い返させる
eekariitakte (新)

いいがかり(言い掛かり) [自]言い掛かりをつ
ける sunkecaranke (石狩)：(表現)(雅)言
い掛かりをつける sunkecaranke
yaykokarkar (石狩)：[他]～について言い

掛かりをつける esunkecaranke (新)：
[他](人)に言い掛かりをつける
kosunkecaranke (石狩)：[他](手段)で言
い掛かりをつける osunkecaranke (新)：
[他](人)に言い掛かりをつけさせる
sunkecarankere (新)

いいかげん(いい加減) (表現)いい加減に～す
るのを止める、～するのはいい加減にしろ
pakno+動詞の命令形 (久保寺18)：「泣
くのはいい加減にして下さいよ。」“Pakno cis
wa i=korpore yan .”

いいかた(言い方) [名]言い方 iposse (石狩)、
[名] iporse (沙流)：[自](副詞を伴って、
～な)言い方をする parokor (石狩)：(表
現)上手い言い方をする pirka parokor
(新)：(表現)酷い言い方をする wen
parokor (新)：(表現)誤魔化した言い方を
する、あやふやな言い方をする sunkeno
parokor (新)：(表現)論理的な言い方をす
る、しっかりした言い方をする siroma
parokor (新)：(表現)非論理的な言い方を
する、首尾一貫しない言い方をする、まずい
言い方をする otcine parokor (新)

いいきかせる(言い聞かせる) [自]人に言い聞か
せる itomoitak (新)、[自] ikaspaotte
(新)：[連他](人)に言い聞かせる tomo-
oitak (tom=oitak) (石狩)、[他] kaspaoite
(沙流)：(表現)私が彼に言い聞かせる
tomo=ku=oitak (石狩)：(表現)私がお前に
言い聞かせる e=tom=ku=oitak (石狩)：
[自]自分に言い聞かせる yaytomoitak
(新)、[自] yaykaspaotte (新)

いいきみだ(いい気味だ) [間投]いい気味だ
parasekor (沙流)※(発音はパラセコ)

イーシードル(ECドル) [名]EC ドル C K
dorar (新)、[名] E C dorar (新) →
「ひがしカリブ・ドル(東カリブ・ドル)」参照

イイズナ(飯綱) (動物)[名](イタチ科)イイズナ
mosaciri (新)：亜種[名]キタイイズナ
yaun-mosaciri (新)※(別名「コエゾイタ
チ」)：[名]ニホンイイズナ samorun-
mosaciri (新)

イイダコ(飯蛸) (魚介)[名](マダコ属)イイダコ
amamkoratkorpe (新)

いいつける(言いつける) [自]人に言いつける
ikaspaotte (新)：[他](人)に言いつける
kaspaoite (沙流)：[他](場所)で(人)に言い
つける ekaspaotte (新)：[他]～と共に
(人)に言いつける kokaspaotte (新)：
[他](原因、手段)で(人)に言いつける
okaspaotte (新)：[他](人)に(人)に言いつ
けさせる kaspaoitere (新)

いいとしをした(いい年をした) (表現)いい年
をした tane pakno an (石狩)、(表現)

pakno an (石狩)

いいなあ [間投](羨ましがって)いいなあ
aynupata (石狩)、[間投] icipa-icipa (石狩)

いいなずけ(許嫁)[他](人)を許嫁として育てる
ureskakkar (石狩): (表現)許嫁の男性
an=ureskakkar kur (石狩): (表現)許嫁の女性
an=ureskakkar menoko (石狩): (表現)許嫁同士
an=ureskakkar utar (石狩): [他](人)を(人)の許嫁として育てる
ereskakkar (石狩): 「揺り籠にある時から(赤子の頃から)お前はこの娘の許嫁として育てられたのだ。」
“Sinta ka wano tan menoko e=ereskakkar=an ruwe ne.”: [他](男と女)を互いに許嫁として育てる
ukoreska (石狩)、[他] uereska (石狩): (表現)許嫁同士
an=ukoreska utar (石狩)

いいまかす(言い負かす) [自]言い負かされる
itakehokus (石狩): [自]人を言い負かす
iitakehokuste (新): [他](人)を言い負かす
itakehokuste (石狩): [他]~に関して(人)を言い負かす
eitakehokuste (新): [他](場所)で(人)を言い負かす
eitakehokuste (新): [他]~を共に(人)を言い負かす
koitakehokuste (新): [他](原因、手段)で(人)を言い負かす
oitakehokuste (新): [他]完全に(人)を言い負かす
oaritakehokuste (aritakehokuste) (新): [他]無茶苦茶(人)を言い負かす
toykoitakehokuste (新)

イメール(Eメール) [名] Eメール
imerukampi (新): (表現)Eメールを作成する
imerukampi nuye (新): (表現)Eメールを送信する
imerukampi omante (新): (表現)Eメールを受信する
imerukampi uk (新)

いいん(委員) [名] 委員 ciirenkakorekur (新): [名] 委員会 ciirenkakorekur-uekarpa (新)

いう(言う) ①[自]言う itak (石狩)、[自]hawki (石狩)、[自]hawkor (石狩)、[自]hawean (複数 haweokay) (石狩)、[自]hawan (複数 hawokay) (石狩): (表現)何れも直接話法で誰かの発話の引用の後に「～と言う」という意味で sekor itak、sekor hawki、sekor hawkor、sekor hawean と使えるが、他の文では専ら itak が使われる。但し今後は他も使えるものとする。: 『私は綺麗じゃないわ』、と君は言うけどとても綺麗だよ。 “《 Ku=pirka ka somo ki 》, sekor e=itak korka sonno e=pirka ru un .”: [他](人)に言わせる itakte (石狩): [他](人)に言う ye (石狩)、[他]~を言う ye (石狩): 「私は君にだけ言いたい。」

“Esokay patek e=ye=an rusuy .”, 「本当の事を彼は言う。」
“Sonnoampe ye .”, 「同じ事を私は君に言うよ。」
“Unenoampe es=ekota ku=ye .”: (表現)直接話法として「私は行く」とよあんたは言った」
ku=oman wa sekor e=ye と「文+ sekor + itak」の形式で使われる他、間接話法として「あんたは来ると言った」
e=ek yak e=ye のように「動詞句+ yak + ye」の形式で使われる。他から得た情報を直接引用する場合、情報の提供者を明かしたくないか、あるいは多くの人が言っているなど特定できない場合、「家が完成したって言う」
cise an=kar okere sekor hawas のように「文+ sekor + hawas」の形式、間接引用する場合はと「動詞句+ yak + a=ye」の形式を使う。(この yak a=ye について an=ye や、ay=ye の形が確認されず助動詞として yakaye と表記する場合もある。): (表現)~するよう言う、~すべきと言う
動詞句+ kuni + ye (石狩): 「早く仕事を終わるように私は君に言う。」

“Tunasno monrayke es=okere kuni ku=ye .”, 「早く行くべきだと私は君に言う。」

“Tunasno es=paye kuni ku=ye .”: (表現)「きっと~だろうと言う」
動詞句+ kunak (kuni)+ ye (石狩): 「明日はきっと晴れるだろうと君は言った。」
“Nisatta sirpirka kunak es=ye (= Nisatta sirpirka kuni es=ye .): (表現)言う言葉もない、言う言葉も見つからない
ene ye hi ka isam (石狩): 「その女性は怒って私を睨みつけたが、私は悪い事をしたと思って言う言葉も見つからなかった。」
“Nea menoko iruska wa en=kosikkeruru kor an korka ku=ki katu wen sekor ku=yaynu kusu ene ku=ye hi ka isam .” [他](人)に(人)へ言わせる
yére (石狩): [0動](sekor と共に不特定の誰かが)言う
hawas (石狩): ②[自]地方の言葉で言う iposse (iporse) (新): [他]~を地方の言葉で言う posse (porse) (新): [他](人)に地方の言葉で言わせる ipossere (iporsere) (新): ③[自]一方の言う事を他方がよく聞く、互いに言うことをよく聞く
uitaknu (沙流)

いうなれば(言うなれば) (表現)これは言うなれば tampe rékor (沙流)

いえ(家) ①[名]家 cise (石狩): (表現)私の家 “ku=kor cise” と “ku=cise” の両方がある (石狩): (表現)家の戸口 cise apa (石狩): (表現)家の表、前 cise kotca(-ke) (石狩): (表現)家の裏、後 cise osmak(-e) (石狩): (表現)家の裏から cise osi (石狩): [場名]家の横 cisewe (石狩): [名]家の壁 cisetumam(-a) (石狩): (表現)家の壁

cise tumama (石狩): [場名]家の屋根
 cisekitay(-e、-ke) (石狩): [名]笹葺家
 urascise (石狩)、[名]萱葺家
 sarkikitaycise (石狩)、[名]樹皮葺家
 yarkitaycise (石狩)、[名]半地下式の家
 toycise (石狩)※(樺太などで作られたもの):
 [間投](烈風で家がバラバラになる音)ガラガラ
 keusi (石狩): [名]家の守り神
 cisekorkamuy (石狩): (表現)(雅)家が潰れ
 かかっている cise ka konna koraynatara
 (沙流): ②[自]家を建てる cisekar (石
 狩): (表現)家を建てる cise kar (石狩)、
 (表現) cise asi (石狩): [他](人)のために
 家を建てる ecisekar (石狩): [他](場所)
 に家を建てる ecisekar (新): [他]〜と共
 に家を建てる kocisekar (新): [他](原因、
 手段)で家を建てる ocisekar (新):
 [他](人)に家を建てさせる cisekare (新):
 [自]自分で、一人で家を建てる
 yaykocisekar (新): [自]皆で家を建てる
 ukocisekar (新): ③[自]家を持つ
 cisekor (石狩): (表現)家を持つ cise kor
 (石狩)

いえあり(家蟻) [名]黒い家蟻 aspaitunnap
 (石狩)※(ムネボソアリ)

いえじ(家路) ①(表現)家路 hosipi (複数
 hosippa) hontom(-o) (石狩)、(表現)
 hosipi (複数) rutom(-o) (新): ②[自]家路
 につく cisekohosipi (石狩): [他](人)を
 家路につかせる cisekohosipire (新): ③
 [自]家路を急ぐ yayosakanke (天塩):
 [他](人)に家路を急がせる yayosakankere
 (新)

いえで(家出) [自]家出する ciseoikesuy
 (新): (表現)家出する kor cise orwa
 ikesuy (新)

いえのと(家の外) (表現)家の外 soy(長形-
 ke) (石狩): [自]家の外に出る asin(複
 数 asip) (石狩、天塩)、[自] esoyne (石
 狩、天塩)、[自] soyne (天塩)、[自]
 sisoynaraye(複数 sisoynaraypa) (新):
 沙流方言などでは複数形として"soyompa"
 がある。: (表現)家の外に出る soy(長形-ke)
 ta(ene) asin(複数 asip) (石狩、天塩)、(表
 現) soy ta soyne (天塩): [自]急に家の外
 に出る soyekatta (石狩)、[自]
 cisoyekatta (石狩): [自]パッと家の外に
 出る soyosma (石狩)、[自] esoykosanu
 (石狩): [自]家の外に飛び出す soyoterke
 (石狩): [自](大勢で一時に)どっと家の外に
 出る cisoyokuta (石狩)、[自] sisoyokuta
 (新): [他]〜を家の外に出す asinke(複数
 asipte) (石狩、天塩)、[他] soynaraye(複
 数 soynaraype) (沙流): (表現)〜を家の

外に出す soy(長形-ke) ta(ene) asinke(複
 数 asipte) (石狩、天塩): [他](全て、ある
 いは大量の誰か、何か)をどっと家の外に出す
 soyokuta (石狩)

いえのなか(家の中) (表現)家の中 cise oske
 (石狩)、(表現) cise onnay(長形-ke) (石狩)、
 (表現) cise iwor (天塩): [自]家の中に入
 る ahun(複数 ahup) (石狩)、[自]
 siawnaraye(複数 siawnaraypa) (新):
 (表現)家の中に入る cise oske ta(ene)
 ahun(複数 ahup) (石狩)、(表現) cise
 onnay(長形-ke) ta(ene) ahun(複数 ahup)
 (石狩): [他]〜を家の中に入れる sunke
 (複数 ahupte) (石狩)、[自] awnaraye(複
 数 awnaraypa) (沙流): (表現)〜を家の中
 に入れる cise oske ta(ene) ahunke(複
 数 ahupte) (石狩)、(表現) cise onnay(長
 形-ke) ta(ene) ahunke(複数 ahupte) (石
 狩): [自](神窓から)肉を家の中に運び込む
 ikokamahupte (石狩): [他](人)と一緒に
 神窓より肉を家の中に入れる
 kokamahupte (石狩): こうして迎え入れ
 るのはクマなどパセカムイだけ。シカなどは
 人の出入口から"ahunke"「〜を入れる」する。

いえぶろ(家風呂) [名]家風呂
 ciseoruntompuri (新)

いえぼこり(家埃) [名]家埃、家の埃ごみ
 koponci (石狩)

イエメン [場名](国名)イエメン共和国
 Yaman Ukotankoremosir (新): [場名](国
 名の略称として)イエメン Yaman (新):
 [名]イエメン人 yamanunkur (新)

イエロー [自]イエローになる、である
 yérow (新): [他]〜をイエローにする
 yérowka(yérowre) (新): [名]イエロー色
 yérow-iro (新)

イエローオーカー →「おうどいろ(黄土色)」

②を見よ

イエローグリーン [自]イエローグリーンにな
 る、である pewre-siwnin (新): [他]〜を
 イエローグリーンにする pewre-siwninka
 (pewre-siwninte) (新): [名]イエローグ
 リーン色 pewre-siwnin-iro (新)

イエローナイフ [場名](カナダのノースウェス
 ト準州の州都名)イエローナイフ
 Yérownife (新)

いおう(硫黄) ①(鉱物)[名]硫黄 iwaw(-e)
 (H): ②(化学)[名]硫黄 iwaw (新)※(原子
 番号16番。元素記号S): ③[自]硫黄色に
 なる、である iwaw-irone (新): [他]〜を
 硫黄色にする iwaw-ironaka(-ironere)
 (新): [名]硫黄色 iwaw-iro (新)

イオニア [名]イオニア海 Ionia-atuy (新):
 [場名]イオニア諸島 Ionia-usapoysir (新)

イオル ①(アイヌ本来のもの)[名](生業を営むための土地、領土、私有地としての)イオル iwor (石狩)、[名] ihor (石狩): ②(日本政府が推し進める施設)[名]イオル sunkeiwor (新)、[名] tonokariwor (新)

イカ(烏賊) [名]イカ epetpetke (八雲)→生物としての分類は「じゅうわんけいじょうもく(十腕形上目)」を見よ: [名]漏斗 conko (新): [名]ゲソ epetpetkecikir(i) (新): [名]吸盤 tomtom(-i) (新): [名]触腕 tomtomustek(-e) (新): [名]腕 tek(-e) (新): [名]顔(頭) sapa (新): [名]鰭 rap(-u) (新): [名]胴(外套膜) konci (新): [名]外套膜 ikawaikamukap (新): [名]イカの骨(貝殻の痕跡である甲骨) setaaw (虻田): [名]イカ墨 epetpetkepaspe (新): [名]墨袋 sumipise (新): [名]平衡石 siupaksinnekasuma (新): [名]イカゴロ(中腸腺) tuy(-e) (新)

いが(毬) [名](クリなどの)毬 rayta (八雲)

いがい(以外) [後副]～以外に emosma (石狩): (表現)～以外の emosma an (複数 okay) (石狩): (表現)～以外の人 emosma an kur (石狩): (表現)～以外の人達 emosma okay utar (石狩): (表現)～以外の物、事 emosma an pe (石狩)

いかい(位階) [場名]位階 sóuni (新)

いかい(異界) [場名]異界 oyamosir (新)

イガイ(貽貝) (魚介)[場名](翼形亜綱)イガイ目 paskutto-kotan (新): [名]イガイ科 paskutto-apa (新): [名]イガイ属 paskutto-cise (新): [名]イガイ paskutto (新): [名]エゾイガイ yaumpaskutto (新): [名]キタノムラサキイガイ mopewrekinapeuspaskutto (新): [名]ムラサキイガイ pewrekinapeuspaskutto (新): [名]ヨーロッパイガイ europapaskutto (新): [名]アディピコラ属 adipikora-cise (新): [名]スエヒロマユガイ yasiunrarpaskutto (新): [名]アミユグダルム属 amikdarum-cise (新): [名]スリツヤホトトギス raraksisamkakkoksey (新): [名]アルヴェラ属 arvera-cise (新): [名]コキザミガイ momamesey (新): [名]イシカディウム属 isxadium-cise (新): [名]ソリカエリイガイ teseskepaskutto (新): [名]イシマテ属 isimate-cise (新): [名]イダス属 idas-cise (新): [名]キザミバマユガイ onnerarpaskutto (新): [名]ウルメラ属 urumera-cise (新): [名]ウルマヒバリガイ urumakitocirposey (新): [名]オオマユイガイ属 pororarpaskutto-cise (新):

[名]カワヒバリガイ属 petkitocirposey-cise (新): [名]クジャクガイ属 kesorapsey (新): [名]グレガリエラ属 guregarieracise (新): [名]チヂミタマエガイ yonimkeapanne (新): [名]コロミュティルス属 xoromitirus-cise (新): [名]ナナイロイガイ ciripaskutto (新): [名]シギノハシガイ属 tamarapaskutto-cise (新): [名]シンカイヒバリガイ属 atuyohoyumpaskutto-cise (新): [名]スキゲヒバリガイ属 numaponkitocirposey-cise (新): [名]スタベリア属 sutaveria-cise (新): [名]ナンヨウイガイ koyopokatuyupaskutto (新): [名]ソラメン属 soramen-cise (新): [名]キサガイモドキ sarampepukurusey (新): [名]ダクリュディウム属 dakridium-cise (新): [名]キタノヒバリガイ cupkakitocirposey (新): [名]タマエガイ属 apanne (新): [名]チゴキザミガイ属 náyomamesey-cise (新): [名]トリコミユ属 torixomia-cise (新): [名]ケガイ numauspaskutto (新): [名]ヌリマクラ属 ussiuseninuype-cise (新): [名]ヒバリガイ属 kitocirposey-cise (新): [名]ピラシア属 virasisia-cise (新): [名]カザリツヤタマエガイ rarakapanne (新): [名]ベントモデオロス属 bentomodiorus-cise (新): [名]ゲイコツマユイガイ humeponeunrarpaskutto (新): [名]ホトトギスガイ属 sisamkakkoksey-cise (新): [名]マユイガイ属 rarpaskutto (新): [名]ミドリイガイ属 siwnimpaskutto-cise (新): [名]モディオラトゥス属 modioratus-cise (新): [名]サザナミマクラ koyrireninuype (新)

いかいよう(胃潰瘍) [自]胃潰瘍 yospeor-suyoma (yospeossuyoma) (新): [自]胃潰瘍になっている yospeor-puyoma (yospeossuyoma) (新)

いかく(位格) (言語)[名]位格 usikerewke (新)※(場所格)

いがく(医学) [名]医学 itusaka-eampehunar (新)、[名] itusare-eampehunar (新): [名]医学者 itusaka-eampehunarkur (新)、[名] itusare-eampehunarkur (新)

いかす(生かす) ①(発話書自身こ行為として)[他]～を生かす、生き延びさせる siknuka (石狩): 「お前を生かしてやるから、これからは自分を大切にしろ。」 “E=siknuka=an kusu tane wano yayeyamno an ya !”: ②(発話者以外の行為として)[他]～を生かす、生き延びさせる siknure (石狩): 「私達は神に生かされている。」 “Kamuy i=siknure wa okay=an .”:

③①、②の用法の区別なく)[他]～を生かす、生き延びさせる tusare (石狩)

いかせる(行かせる) [他]～を行かせる omante (複数 payere) (石狩): 「私は子供をお使いに行かせた。」 “Ku=kor ekatci ihok kusu ku=omante .”: (表現)行かせる oman (複数 paye) + kunine + iki (石狩): 「あの人が急いでるようだから先に行かせたらしい。」 “Taankur tunas rusuy kotom siran kusu i=etoko ene oman kunine iki=an yak pirkā .”

いがた(鋳型) [場名]鋳型 nokaor(-o) (新)

いかに(筏) [名]筏 nites(-i) (石狩)

いかなる(如何なる) [連体]如何なる nekonan (石狩): (表現)(雅)如何なる神であっても大勢いるのが女神である inki kamuy inki pito ne wa ne yakka poronno an pe kamuy katkemat ne (久保寺): [副]如何なる時も inantapakno (石狩): 「如何なる時も私達は一緒だよ。」 “Inantapakno uturano okay=an kusune na .”

いかに(如何に) (表現)如何に～であっても ehuyke ~ (沙流)、(表現) ehuyke pakno ~ (沙流): 「如何にお前が子供であろうが厳しく罰せられるだろうよ。」 “Ehuyke (= Ehuyke pakno) ekatci e=ne yakka e=wempanakte=an nankor na .”

いがむ [自]いがむ niwen (石狩): [自]牙を剥き出しにしていがむ nikasasa (石狩): (表現)～が鼻の脇あたりを後ろに引き付けいがむ ~ makun nirus kosietaye (沙流)

いかり(怒り) [名]怒り iruska (石狩): (表現)怒りが激しい iruska ruy (新): [他]～の怒りを買う sikoiruska (石狩): 「あなたの怒りを買ってはまずいので私は黙っていました。」 “Es=sikoiruska=an yak wen kusu mosmano ku=an .”: (表現)私達に激しい怒りが湧きあがる(二つの激しい狂気の風、三つの激しい狂気の風が私に顔をもたげる) tu wen kinramaw re wen kinramaw i=koetari (石狩): (表現)私達には訳が分からなくなるほど怒りがこみ上げる turus kinra ne i=kohopuni (沙流): [自]怒り狂う kinrakor (石狩)、[自] kinrane (石狩): [他]～について怒り狂う ekinrakor (石狩): [他](人)に対して怒り狂う kokinrakor (新): [他](人)を怒り狂わせる kinrakore (新)、[他] kinraneka (kinranere) (新)

いかり(錨) [名]錨 kayte (JK)、[名] kayta (K): (表現)錨を下ろす kayte ante (JK): (表現)錨を上げる kayte pusu (JK): [名]錨鎖 kaytetus (JK)

イカリソウ(碓草) (植物)[名](メギ科)イカリソウ属 kaytekina-cise (新): [名]イカリソウの茎葉 kaytekina (新)、[名] ipawcikorekina (新)※(生薬「和淫羊藿」): [名]エビメディウム・アルピニウムの茎葉 arpes-kaytekina (新): [名]E. ウーシェンの茎葉 wūšan-kaytekina (新)※(巫山碓草): [名]E. エロンガトウムの茎葉 nicitanne-kaytekina (新): [名]E. プベスケンスの茎葉 hamuane-kaytekina (新): [名]E. プレビコルヌムの茎葉 sampenokakor-hamus-kaytekina (新): [名]オオイカリソウの茎葉 poro-kaytekina (新): [名]オオバイカリソウの茎葉 hamuporo-kaytekina (新): [名]キバナイカリソウの茎葉 esikerpepeus-kaytekina (新): [名]クモイイカリソウの茎葉 iwa-kaytekina (新): [名]トキワイカリソウの茎葉 riyahamus-kaytekina (新): [名]バイカイカリソウの茎葉 ume-kaytekina (新): [名]ヒゴイカリソウの茎葉 higo-kaytekina (新): [名]ホザキノイカリソウの茎葉 sīpawcikorekina (新)※(生薬「淫羊藿」): [名]ヤチマタイカリソウの茎葉 eporokaytekina (新)

いかる(怒る) [自]怒る iruska (石狩)、[自] siante (石狩): (表現)怒りの気持ち怒りの腹立ちの気持ちを抱く iruska kewtum siante kewtum yaykorpore (石狩): [他](人)に怒る koiruska (石狩): [他](人)を怒らせる iruskare (石狩): [他]～の事で怒る ruska (新): [他]～の事で(人)に怒る koruska (石狩): (表現)私の心臓がめらめら怒りの炎を上げる ku=atte sampe en=korikiparse kane (新)※(沙流)

イカルイト [場名](カナダのヌナブト準州の州都名)イカルイト Ikarit (新)

いがん(胃癌) [名]胃癌 yospeo-wenhup(-i) (新): (表現) yospe wenhup o (新)

いぎ(異議) ①[名]異議 oyayaynu (新): (表現)異議がある oyayaynu kor (新): (表現)異議がない oyayaynu sak (新): 「異議あり。」 “Oyayaynu an .”, 「異議なし」 “Oyayaynu isam .”: ②[自]異議がある oyayaynukor (新)、[他]～について異議がある eoyayaynukor (新): [他]～に対して異議がある kooyayaynukor (新): [他]～と共に意義がある kooyayaynukor (新): [他](原因)で異議がある ooyayaynukor (新): [自]異議がない oyayaynusak (新): [他]～に関して異議がない eoyayaynusak (新): [他]に対して異議がない kooyayaynusak (新): ③[自]異議を唱える oyayaynuye (新): [他]～について

て異議を唱える eoyayaynuye (新):
[他](人)に異議を唱えさせる oyayaynuwere
(oyayaynuyek) (新)

いき(息) [名] 息 tas(-u) (石狩)、[名](雅)
maw(-e) (石狩)

いきいき(生き生き) [自] 生き生きとする、して
いる hu (石狩): [他]~を生き生きとさ
せる hūka (hūre) (新)

いきかう(行き交う) (表現)(慌ただしく働く人
達が行ったり来たりしすれ違う様子の描写)
忙しく行き交う、忙しく馳せ違う earutom
ta terke kane (沙流)

いきかえる(生き返る) [自] 生き返る
kannasiknu (新)、[自] siknu (石狩):
[他](発話者の行為として)~を生き返らせる
kannasiknuka (新): [他](発話者以外の行
為として)~を生き返らせる kannasiknure
(新)

いきがとまる(息が止まる) [自] 息が止まる
tasutuy (石狩): [他](場所)で息が止まる
etasutuy (新): [他]~と共に息が止まる
kotasutuy (新): [他](原因、手段)で息が止
まる otasutuy (新): [他]~の息を止める
tasutuye (新): [自] ずっと息が止まる、す
ぐに息が止まる tasutuytek (新): [自] 何
度も息が止まる tasutuytuy (新): [自] 皆
の息が止まる utasutuy (新): [自] 自分
で、一人で息を止める yaytasutuye (新):
[自] 互いに、皆で息を止める utasutuye
(新): (表現)わが息が止まりそうになる
an=takne-tasu koininninse (koininniyse)
an=tanne-tasu kosituriri (新)※(幌別)

いきき(行き来) [自] 行き来する omanan (複
数 payekay、payokay) (石狩): [他](人)
を行き来させる omanante (複
数 payekayre、payokayre) (新): [自] 互い
に行き来する ukopayekay (石狩)、[自]
ukopayokay (新): [他](人)を互に行き
来させる ukopayekayre (ukopayokayre)
(新)

いきさき(行先) (表現)行先 eoman kunihi
(新): 「出かける時には行先をはっきり告げ
てください。」“Es=asip hi ta es=eoman
kunihi pirkano ye wa en=kore yan!”:
従来は「私の夫の行き先も分からない。」と言
う時 “Ku=kor kur neyne oman ya ka
ku=erampetek.”と表現したので、先の例文
も “Es=asip hi ta neyne es=paye kuni ye wa
en=kore yan!” とする事が可能

いきどおる(憤る) [自] 憤る siiruska (石狩)、
[自](雅語) cariruskare (石狩): (表現)憤
る sonno iruska (石狩): [他]~について
憤る siiruska (新): [他](場所)で憤る
esiiruska (新): [他](人)に対して憤る

kosiiruska (新): [他]~と共に憤る
kosiiruska (新): [他](人)を憤らせる
siiruskare (新)、[他] cariruskarekar
(新)

いきなり ①[副]いきなり nisapno (石狩)、
[副] nisap (天塩): ②[副]いきなり
ekuskono (ekuskonno) (石狩)、[副]
ekuskonna (天塩)、[副](雅語)
monekuskono (monekuskonno) (石狩)※
(nisapno も ekuskono も予想外の事態の発
生に用いられれば同じ意味なのだが、前者が
客観的描写に用いる事ができるのに対し、後
者は驚きの感情を込められる点で違いがあ
る): ③[接尾](擬声、擬態の語根に接尾して
一回態の自動詞を形成し)いきなり~する -
kosanu (石狩)、[接尾] -kosampa (石狩)
※(今日まで -kosampa の使用例は石狩方言
で稀であるが、今後はどちらを用いても良い
とする。): ray(動かなくなる事を意味する
語根) + kosanu → raykosanu =
raykosampa 「いきなり静まりかえる」

いきのこる(生き残る) [自] 生き残る
onumposo (石狩)、[自](雅語) enumposore
(新): [他]~を生き残らせる onumposore
(新): [自] 自分だけ生き残る、一人だけ生
きる yayonumposore (新): [自] 皆が生
き残る uonumposore (新)

いきのね(息の根) [自] 人の息の根を止める
itastuye (新): [他](人)の息の根を止める
tastuye (石狩): [他](場所)で(人)の息の根
を止める etastuye (新): [他][他]~と共
に(人)の息の根を止める kotastuye (新):
[他](原因、手段)で(人)の息の根を止める
otastuye (新): [他](人)に(人)の息の根を
止めさせる tastuyere (新): [他] 完全
に(人)の息の根を止める oattastuye
(attastuye) (新): [他]一瞬で~の息の根
を止める tastuyekka (新)

いきのびる(生き延びる) [自] 生き延びる
siknu (石狩): [他](発話者が)(人)を生き延
びさせる siknuka (石狩): [他](発話者以
外が)(人)を生き延びさせる siknure (石
狩): [他](発話者かそれ以外か関係なく)(人)
を生き延びさせる tusare (石狩)

いきもの(生物) [名] 生物 sikhup (石狩)

いきょう(異境) [場名] 異境 oyapmosirk(-
e) (新)

いきょう(異教) [名] 異教 oyaieisokor (新):
[名] 異教徒 oyaieisokorkur (新)

いきょう(異郷) [場名] 異郷 oyapkotan(-u)
(新)、[場名] oyapmosir(-i) (石狩)

イギリス [場名](国名)グレートブリテンおよ
び北部アイルランド連合王国 Poro Buriten
newa Koykaun Éra Ukosineatki-

yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(首都は「ロンドン」。アイヌ語での略号は UYM) : [場名](国名の通称として)イギリス Ukosieatki-mosirkorkurkor-mosir (新) : (表現)イギリス人、国民 UYM un kur (新)、[名] buritenunkur (新) : [名]英語 inguriskuritak (ingurisita) (新) : [場名](1949年以降の)イギリス連邦 Ukot Usamosir (新) : (歴史)[場名](1949年以前の)イギリス連邦 Ukosineatki-yaykomosirunkur-kormosir Kot Usamosir (新) : [名](イギリスの通貨単位「ポンド」を他国のものと区別するため使う)イギリス・ポンド UYM-paundo (新) : 通貨単位は£。補助通貨ペニー(複数ペンス)で1ポンド=100ペンス。1971年までは1ポンド=20シリング=240ペンス。また「ギニー(=21シリング)、「クラウン」(=5シリング)、「フローリン=3シリング)、「グロート」(4ペンス)も用いられた。アイヌ語は①ポンド páundo、②シリング siringu、③ペニー péni、④ギニー gíni、⑤クラウン kuraun、⑥フローリン furorin、⑦グロート gurout

いきりょう(生霊) [名] 生霊 sikhupito (石狩) : [名](東の天へ鳴動しながら昇っていく蘇るべき)生霊 tusakamuy (石狩)

いきる(生きる) ①[自]生きる sikhup (石狩) : [他](場所)で生きる esikhup (新) : [他]〜と共に生きる kosukup (新) : [他](原因、手段)で生きる osikhup (新) : [自]自分で、一人で生きる yaykosikhup (新) : [自]互いに、皆で生きる ukosikhup (新) : [自]長く生きる sikhup-etanne (屈斜路) : (表現)長く生きる tanne sikhup (新) : [自]短く生きる sikhup-etakne (屈斜路) : (表現)短く生きる takne sikhup (新) : ②[自]生きている sikhnu (石狩) : [他](場所)で生きている esikhnu (新) : [他]〜と共に生きている kosikhnu (新) : [他](原因、手段)で生きている osikhnu (新) : [自]自分で、一人で生きている yaykosikhnu (新) : [自]互いに、皆で生きている ukosikhnu (新)

いきをきらす(息を切らす) (表現)息を切らす hése hawe taknatara (幌別)、(表現) hésekan tuytuy (幌別)

いきをする(息をする) [自]息をする hese (石狩) : (表現)(ハーッと)長く息をする tanne hese (石狩)、(表現)全く息ができない oarhese eaykap (石狩) : [名]一瞬、少し息をする hesetek (新) : [自](ハッハッと)続けて息をする hesehese (石狩)

いきをはく(息を吐く) [自]は一つと息を吐く taspere (石狩)

いきをひきとる(息を引き取る) [自]息を引き取る mawtuy (石狩) : (表現)息を引き取る mawe tuy (石狩)

いく(行く) [自]行く oman (複数 paye) (石狩) : 山から麓、あるいは海への移動について日本語で「行く」と言う時には san (複数 sap)が使われる。 : (表現)行きつつある oman kane an (複数 paye kane okay) (石狩)、(表現) oman kor an (複数 paye kor okay) (石狩) : (表現)行っている oman wa an (複数 paye wa okay) (石狩) : (表現)行ってしまう oman (複数 paye) wa isam (石狩) : (表現)行ってしまう oman (複数 paye) wa oarisam (石狩) : (表現)一日後に行く、一日遅れて行く sine to iosi oman (複数 paye) (石狩) : (表現)最後に行く iotta iosi oman (複数 paye) (石狩) : (表現)最初に行く hoski oman (複数 paye) (石狩) : (表現)〜と一緒に行く、〜を連れて行く ~ tura wa oman (複数 paye) (石狩)、(表現) ~ tura(no) oman (複数 paye) (石狩) : (表現)〜に乗って行く ~ o wa oman (複数 paye) (石狩) : (表現)〜の後から行く ~ osi oman (複数 paye) (石狩) : (表現)〜のそばに行く、〜に近寄る ~ samake ene (samakene) oman (複数 paye) (石狩) : (表現)〜のために行く、〜しに行く 動詞句+kusu oman (複数 paye) (石狩) : (表現)引越す osir tura oman (複数 paye) (石狩) : (表現)〜を迎えに行く ~ ekari oman (複数 paye) (石狩) : (表現)他所へ行く oyak ene oman (複数 paye) (石狩) : (表現)〜して行く 動詞句(+wa)+ oman (複数 paye) (石狩)※(主語の単複に関係なくを使う人もいる) : 「…家の中から燃えて行き…」 “… cise oske wa uhuy wa oman …”、 “…神々はみな…それを採りに潜って行き…” “…kamuy opitta … newaampe rarkar paye …”(両例文杉村キナラブクの神謡より) : ①[他](場所)に行く eoman (複数 epaye) (石狩)、②[他] kooman (石狩)、③[他] ooman (石狩)、[他] osiraye (複数 osiraypa) (沙流) : 日常会話では例えば「札幌に行く」は Satporo ene oman と後置詞を使ったり Satporo ekota oman と後置副詞を使う他、①も使われるが②、③は雅語的文章や決まった成句の中にのみ現れる。 : [他]〜と共に行く kooman (複数 kopaye) (新)、[他] turaoman (複数 turapaye) (石狩)※(但し複数形として予想される turapaye は未確認) : [他](場所)から行く ooman (複数 opaye) (新) : [他](原因、手段)で行く ooman (複数 opaye) (新)

いくさ(戦) [名]戦 tumi (石狩)、[名](雅) tumunci (石狩): (表現)戦に飛び込む tumunci kohopuni (石狩): [名]戦神 tumuncikamuy (石狩): [名]戦人 tumikorkur (新): [名]戦船 tumicip (石狩)

いくじ(育児) [自]育児する pompereska (新)、[自] pomporeska (新): (表現)育児する síuspe (sispe, pompe, poysiuspe, poysispe, sion, siontak, yarpe) reska (石狩)、(表現) (pontennep, pópo, poysion, osus, numattomuspe, tennep) reska (天塩): [他](場所)で育児する epompereska (epomporeska) (新): [他]~と育児する kopompereska (kopomporeska) (新): [他](原因、手段)で育児する opompereska (opomporeska) (新): [他](人)に育児させる pompereskare (pomporeskare) (新): [自]自分で、一人で育児する yaykopompereska (yaykopomporeska) (新): [自]互いに、皆で育児する ukopompereska (ukopomporeska) (新): [自]人に育児させる、してもらう pompereskayar (pomporeskayar) (新): [名]育児室 pompereska-tumpu (pomporeska-tumpu) (新): [名]育児日記 pompereska-kampi (pomporeska-kampi) (新): (表現)育児日記を付ける pompereska-tokampi (pomporeska-kampi) nuye (新): [自]育児休暇をとる、育児休業する pompereska-osini (pomporeska-osini) (新): (表現)育児休暇をとる、育児休業する pompereska (pomporeska) kusu sini (新): [自]育児放棄する pompereska-osura (pomporeska-osura) (新): (表現)育児放棄する pompereska (pomporeska) osura (新)

いくせい(育成) [自]人を育成する ireska (石狩)、[自] iresu (複数 irespa) (石狩): [他]~を育成する reska (石狩)、[他] resu (複数 respa) (石狩): [他](場所)で~を育成する ereska (新): [他](目的)のために~を育成する ereska (石狩): [他]~と共に~を育成する koreska (新): [他](原因、手段)で~を育成する oreska (新): [他](人)に~を育成させる reskare (新)、[他] resure (複数 respare) (新): [他]自分で、一人で~を育成する yaykoreska (新): [他]互いに、皆で~を育成する ukoreska (新): [他]人に~を育成させる、してもらう reskayar (新): [自]人に自分を育成してもらう sireskayar (新): [自]自分で自分を育成する yayreska (新)、[自] yayresu (新): [自]

互いに育成し合う ureska (石狩)、[自] urespa (新)

いくせいそう(幾星霜) (表現)幾星霜 sakpa iwan pa matapa iwan pa (石狩)

いくつ(幾つ) ①(疑問)[代名]幾つ hampakpe (石狩): 「あなたは幾つ欲しいのですか？」

“Hampakpe es=konusuy ya ?”: (表現) 幾つでも hampakpe ne yakka (石狩): 「幾つでもいいからちょうだい。」

“Hampakpe ne yakka pirka kusu en=kore ya !”: [代名:不定]幾つか hampakpeka (石狩): 「幾つか腐ってる。」“Hampakpeka munin .”: ②(疑問)[連体]幾つの hampak (石狩): 「幾つ赤い花が咲いて

る?” “Hampak húreapappo sipirasa ruwe an ?”: (表現)幾つの~があっても ~ hampakpe an yakka (新)、(表現) hampak ~ an yakka (新): 「幾つ間違いがあっても君を許そう。」“Es=hayta p hampakpe an yakka es=sittekka=an kusune .”: (表現) 幾つの~か hampak ~ ka (石狩): 「幾つかの石が私に当たった。」“Hampak suma ka en=osma .”: ③(表現)(年齢を尋ね)あなたは幾つですか Neypak es=pa an a ? (石狩)、(表現) Es=paha nep ka ne wa ? (石狩)、(表現) Es=paha hampakpe an (新)

※(沙流より)、(表現) Es=paha nempak pa an ? (新)※(沙流より)

いくど(幾度) ①(疑問)[副]幾度 hampakpuy (石狩): 「幾度あなた達は私達をだますのか ?」 “Esokay hampakpuy es=un=kosunke ?”: ②(不定:特定できない、あるいはしたくない)[副]幾度か hampakpuyka (新): 「幾度かこういう事があった。」“Hampakpuyka tampe neno an pe an .”: ③(不定:任意の)(表現)幾度でも hampakpuy ne yakka (新): 「幾度でも言うからな。」“Hampakpuy ne yakka ku=ye kusune na .”: ④(複数回)[副]幾度も iwaysuy (石狩): (表現)幾度も幾度も kanna kanna (石狩)、(表現) tusuy resuy (石狩): (表現)幾度も幾度も tuno iwaysuy (石狩): [後副]~を幾度も繰り返し rayranke (石狩): 「彼は大きいため息をつきそれを幾度も繰り返し酒を飲んだ。」

“Sonno tanne hese kane rayranke iku .”

いくにち(幾日) ①(表現)幾日 hampak to (石狩): 「幾日ここに滞在されますか？」

“Hampak to es=tóri ya ?”: ②(表現)幾日でも hampak to ne yakka (石狩): 「幾日でも君を待つよ。」“Hampak to ne yakka e=tere=an wa .”: ③(表現)幾日か hampak to ka (石狩): 「幾日かして私は出かけた。」“Hampak to ka siran kor

ku=oman .”

いくにん(幾人) ① [代名：疑問] 幾人 hempakiw (石狩)：「この戦いで一体幾人死んだのか？」“Tan tumi otta hempakiw ta ray ruwe an ?”：②[代名：不定] 幾人か hempakiwka (石狩)：「幾人か私は知っている。」“Hempakiwka ku=amkir .”：③(表現) 幾人でも hempakiw ne yakka (新)

イクパスイ[名]イクパスイ ikupasuy (石狩、天塩)、[名] tukipasuy (空知)：(表現)イクパスイを上げ下げする pasuy taritari (釧路)：[名]イクパスイの先端に彫る舌 pasuyrumpe (空知)、[名] sampe (空知)、[名] parumpe (旭川)：[名]キケウシパスイ kikeuspasuy (旭川)：(表現)(神の国に行ったトゥキとイクパスイが伝言を伝える常套句)窓の框の上で大きなトゥキ(に酒が満たされているので)その上に乗せられたイクパスイが漂い、キケウシパスイが伝言の冒頭を解き明かし、伝言の結末を伝え収めながら、何度も行きつ戻りつし伝言を伝える puyarsikrapka ta poro tuki kampasuykan momnatara kikeuspasuy sonko pake wa pita kane sonko kese wa atte kane yayosipi ranke sonko ye (沙流)

いくばん(幾晩) ①(表現) 幾晩 hempak ukuran (石狩)：「幾晩たったのかも私には分からなかった。」“Hempak ukuran siran ya ka ku=erampetek .”：②(表現) 幾晩か hempak ukuran ka (新)：③(表現) 幾晩でも hempak ukuran ne yakka (新)

いくもう(育毛) [自] 育毛する otopreska (新)：[名] 育毛剤 otopreskap (新)、[名] otopreska-kusuri (新)

いくら(幾ら) ①(表現)(値段を尋ね) 幾ら Nep pak(no) an na ? (J K)：「これは幾らですか？」“Tampe nep pak an na ?”、「この値が幾らでも買います。」“Tampe ataye nep pak yakka ku=hok kusune .”：②[副] 幾らか nep poka (沙流)：「幾らか干肉があったから私は持ってきた。」“Sakankep nep poka an kusu ku=korek .”

いくらしても (表現)いくら～しても、いくら～でも nekon+動詞句+yakka (石狩)、(表現) eikos+動詞句+yakka (石狩)、(表現) ehuyne+動詞句+yakka (沙流)、(表現) ehuyne pakno+動詞句+yakka (沙流)：「いくら私達が忠告してもお前は聞きもしない。」“Pirka kunip nekon ci=ye yakka e=nu ka somo ki .”、「いくら沢山食べてもあなたふとらないわねえ。」“Eikos es=ipe yakka somo es=kamus siri !”、「いくらあなたが金持ちでも永遠に生きられない。」“Ehuyke nispa es=ne yakka neypakno

es=siknu eaykap .”

いけ(池)[名]池 to (石狩)：(地理)[名]池 moto (新)：地理学的に例えば「猿沢の池」と言う時“sarusawa-moto”を正式なものとするが、通称としては“sarusawato”でも良いとする。

いけいれんが(異形煉瓦) [名] 異形煉瓦 oyakatkor-sumatoy (新)

イケカツオ(生鰹)(魚介)[名](アジ科)イケカツオ亜科 cisampakopaaaji-moapa (新)：[名]イケカツオ属 cisampakopaaaji-cise (新)：[名]イケカツオ cisampakopaaaji (新)：[名]ミナミイケカツオ paropon-cisampakopaaaji (新)：[名]オオクチアジ属 paroporooji-cise (新)：[名]スジイケカツオ属 pisoyerewke-cisampakopaaaji-cise (新)

いけどり(生捕り)[他]～を生捕りにする uk (複数 uyna) (石狩)：この語だけで生死がはっきりせぬ場合、例えば cep somo rayke no uk 「魚を殺さずに生捕りにする」などと表現する。：[他](人)に～を生捕りさせる ukte (複数 uynare) (新)

いけにえ(生贄) [名] 生贄 cikamuy-koresiknup (新)、[名] ciikoresiknup (新)：[自] 生贄となる cikamuy-koresiknupne (新)、[自] ciikoresiknupne (新)：[他]～を生贄とする cikamuy-koresiknupnere (新)、[他] ciikoresiknupnere (新)

いけのま(池の間)(鐘の部分名称)[場名]池の間 cuppa(-ke) (新)

イケマ(牛皮消) (植物)[名](ガガイモ科)イケマ属 ikemapunkar-cise (新)：[名]イケマの茎 ikemapunkar (新)：[名]イケマの果実 ikemaepuy(-ke) (新)、[名] pénupepuy (美幌)：[名]イケマの根 ikema (石狩)、[名](雅語) pénup (石狩)：[名]イケマのお守り pénuprekutumpe (石狩)：[名] ア マ ミ イ ケ マ amamiikemapunkar (新)：[名]コイケマの茎 sisamikemapunkar (新)

いける(埋ける) [他](火)を灰に埋ける úna (沙流)：(表現)埋火 ciuna ape (沙流)

いけん(意見) [名]意見 sapaoruspe (新)、[名] pákeoruspe (pakeoruspe) (新)：(表現)言いたい意見 ye rusuy pe (新)：(表現)言うべき意見 ye kunip ye (新)：(表現)意見を言う sapaoruspe (pákeoruspe, pakeoruspe) ye (新)

いこう(以降) [位名](存在、状態、動作の時間的關係を示し)～以降 oka(長形 -ke) (石狩)：(表現)それ以降に okake ta (石狩)、(表現) ne oka(長形 -ke) ta (石狩)

いこう(意向) [名]意向 irenka (石狩): 「誰の意向でお前はあんな事をしたんだ?」 “Nen ireka e=nu wa ene an pe e=ki ya?”

いこう(衣桁) [名]衣桁 kencay (石狩): (表現)上の衣桁、下の衣桁 ranke kakencay rikun kencay (石狩)

いこうちゃ(威光茶) [自]威光茶色になる、である ikowca-irone (新): [他]～を威光茶色にする、染める ikowca-ironeka (-ironere) (新): [名]威光茶色 ikowa-iro (新)

いこく(異国) [場名]異国 aroyamosir (K)、[場名] oyapmosir(-i) (新)、[場名] oyapkotan(-u) (新)

いちょうしょう(胃誇張症) [名]胃誇張症 ipepise-kandida-osiye (新): [自]胃誇張症に罹る ipepise-kandida-osiye (新)

いざ [間投](行動を促し)いざ ke (久保寺): (表現)(行動を促し)いざいざ hokure kane (okure kane) (石狩)、(表現) kéke hetak (久保寺)、(表現) kéke kunak (久保寺)、(表現) keeke heta (胆振:久保寺): (表現)いざ、さらば ke hetakne (久保寺)

いさせる(居させる) [他](人)を居させる ante (複数 okayre) (新)

イザヤ(聖書) [名](人名) yeşayahu (新)※(預言者): [名]イザヤ書 yeşayahu-kampisos (新)

いざる → 「しっこう(膝行)」を見よ

いさん(胃酸) [名]胃酸 yospeorope (新): [自]胃酸過多である enispeus (沙流)、[自] enispaus (幌別)

いさん(遺産) [名]遺産 cihoppaataynup (cihoppap) (新): [自]遺産相続する cihoppaataynupuk (cihoppapuk) (新): (表現)遺産を相続する cihoppaataynup (cihoppap)uk (新)

いし(意志) [名]意志 irenka (石狩): [他]～の意志である renkayne (石狩): 「これが私の意志だから貧乏になっても仕方がない。」 “Tampe anakne ku=renkayne kusu ku=wen yakka ene ku=kar hi ka isam .”: [後副]～の意志で renkayne (沙流)

いし(石) [名]石 suma (石狩): (表現)大きな石 poro suma (石狩): (表現)小石、砂利 nokan suma (石狩): (表現)目の細かい小石、目の細かい砂利 pon suma (石狩)

イシイルカ(石海豚) (動物)[名](ネズミイルカ科)イシイルカ属 isirkiotuwayuk-cise (新): [名]イシイルカ isirkiotuwayuk (新)※(鰐模様の鼠海豚)

いしうす(石臼) [名]石臼 sumanisu (新)

イジェフスク [場名](ロシア連邦ヴォルガ連邦管区ウドムルト共和国の首都名)イジェフスク Ijefsuk (新)

いしおの(石斧) [名]石斧 sumamukar (新)

いしがき(石垣) [名]石垣 sumakaki (新)

いしかり(石狩) [場名]石狩川 Iskar (石狩): [名]石狩川の神 iskarpetkamuy (石狩)、[名] wakkauskamuy (石狩): [場名]石狩川河口 Iskarputu (石狩): [名]石狩川河口の神 iskarputunkamuy (石狩): [名]石狩川流域の人 iskarunkur (石狩): [名]石狩川下流の人 paratouunkur (石狩): [名]石狩川中流の人 sórapciunkur (石狩)、[名] pániunkur (石狩): [名]石狩川上流の人 péniunkur (石狩): [名](アイヌ語)石狩方言 iskarunkuriporse (新): [名]石狩暦 iskarunkur-tonukarpe (新)※(ハウカセが松前藩に独立宣言した1699年を元年とする。2015年は石狩暦346年)

イシカリワカサギ(石狩公魚) (魚介)[名](ワカサギ属)イシカリワカサギ iskartokikar (新)

いしき(意識) ①[名]意識 ram(-u) (新): ②[自]意識を失う yayeramuskar (石狩): (表現)意識を失いそうになる nani yayeramuskar (新)、(表現) kempuy pakno yayerisakarun (石狩): [他](人)の意識を失わせる yayeramuskarere (新): [他]全く～の意識を失う attaraye (幌別): (表現)どう立つべきか全く意識を失う ene as kunip attaraye (沙流): ③[自]意識が戻る yayerisakarun (石狩)、[自] yayramuan (石狩): (表現)かすかに意識が戻る kemsuy pakno yaynu (石狩)、(表現) kemsuy pakno yayerisakarun (石狩): [他](人)の意識を回復させる yayerisakarunte (新)、[他] yayramuante (新): ④[自]意識が高い ikosiramsikte (新): [他]～に対して意識が高い kosiramsikte (新): ⑤[自]意識が低い ikosiramhaytare (新): [他]～に対して意識が低い kosiramhaytare (新)

イシダイ(石鯛) (魚介)[名](スズキ亜科)イシダイ科 kompucep-apa (新): [名]イシダイ属 kompucep-cise (新): [名]イシダイ kompucep (新): [名]イシダイの幼魚 kompuceppo (白老): [名]老成したイシダイの雄 parokunne (新): [名]イシガキダイ koypokkompucep (新): [名]老成したイシガキダイの雄 paroretar (新): [名]キンダイ kinday (新)※(イシダイとイシガキダイの交配種)

イシノミ(石蚤) (昆虫)[場名](昆虫綱)イシノミ目 terkeuyep-apa (新): [名]イシノミ科 terkeuyep-apa (新): [名]セイヨウイシノミ属 repunterkeuyep-cise (新): [名]セイヨウイシノミモドイ属 cirepunterkeuyepkopa-cise (新): [名]ハ

スロンドイシノミ属 *hasrundoterkeuype-cise* (新): [名]ヒメイシノミ属 *moterkeuype-cise* (新): [名]ヤマトイシノミ属 *yayanterkeuype-cise* (新): [名]メイネルテラ科 *meinertera-apa* (新)

いしづみ(碑) [名] 碑 *cioiesikaruysuma* (新)、[名] *cioiesikarumpe* (新)

イシミカワ(紅板帰) (植物)[名](イスタデ属)イシミカワの茎葉 *unkeremun* (足寄): 本来同属のミゾソバと区別しなかったが、今後は同じく区別しない千歳の *unkerekina* をミゾソバ、足寄の *unkeremun* をイシミカワとする。

いじめる(虐める) ①(肉体的に)[自]人を虐める *ikoyki* (新): [他]～を虐める *koyki* (石狩): [他](場所)で～を虐める *ekoyki* (新): [他]～と共に～を虐める *kokoyki* (新): [他](原因、手段)で～を虐める *okoyki* (新): [他](人)に～を虐めさせる *koykire* (新): [他]自分で、一人で～を虐める *yaykokoyki* (新): [他]皆で～を虐める *ukokoyki* (新): [他]滅茶苦茶～を虐める (新): ②(精神的に)[自]人を虐める *iepoko* (新): [他](人)を虐める *epoko* (石狩): [他](人)に(人)を虐めさせる *epokore* (新)

いしや(医者) [名]医者 *itusakakur* (新)、[名] *itusarekur* (新)、[名] *isa* (石狩)

いしやり(石槍) [名]石槍 *sumaop* (新)

いしゅう(異臭) [名] *wenhura* (石狩): (表現)異臭がする *wenhura at* (石狩)

いじゅう(移住) ①[自]人を移住させる *untupte* (新): [他](人)を移住させる *tupte* (新): [他](場所)へ移住させる *kotupte* (新): [他]～と共に～を移住させる *kotupte* (新): [他](場所)から移住させる *otupte* (新): [他](原因、手段)で～を移住させる *otupte* (新): ②[自]移住する *yaytupte* (新): [他](場所)へ移住する *koyaytupte* (新): [他](場所)から移住する *oyaytupte* (新): ③[自]皆で移住する *utupte* (新): [他](場所)へ皆で移住する *koutupte* (新): [他](場所)から皆で移住する *outupte* (新)

いしゆく(萎縮) [自]萎縮する *sicupu* (複数 *sicuppa*) (石狩)、[自] *cupke* (新): [自]ぱっと萎縮する *sicuptekka* (新)、[自] *cuptek* (新): [自]完全に萎縮する *oassicupu* (*assicupu*) (新)、[自] *oarcupke* (*arcupke*) (新): [他]～を萎縮させる *cupu* (複数形 *cuppa*) (石狩): [他]瞬間的に～を萎縮させる *cuptekka* (新): [他]完全に～を萎縮させる *oatcupu* (複数 *oatcuppa*) (新)、[他] *atcupu* (複数

atcuppa) (新)

いじゅつ(医術) [名] 医術 *untusakaeyki* (新)、[名] *untusareeyki* (新)

いしょ(遺書) [名]遺書 *cihoppakampi* (新)

いじょう(以上) [後副]～以上、～以上に *akkari* (*akkarino*) (石狩): 「僕以上に君を愛してる者はいないよ。 “En=akkari e=osikkote p anakne oarisam na .”: (表現)～以上である *akkari* (*akkarino*) an (複数 *okay*) (石狩)

いしょう(衣装) ①(衣服以外装身具を含む)[名]衣装 *siyuk* (石狩): ②(衣服のみ)[名] *imi* (石狩)、[名] *cimip* (石狩)、[名] *anmip* (*amip*) (石狩)

いしょういれ(衣装入) [名]女性の衣装や装身具を入れる大型のカバン、あるいは行李、箱 *ketusi* (*ketus*) (石狩): [名]母系伝来の衣装入 *sutketusi* (*-ketus*) (石狩): [名]若者向けの派手な衣装入 *pewreketus(-i)* (石狩): [名]年寄向けの地味な衣装入 *onneketusi* (*-ketus*) (石狩): [名]衣装入を縛る紐 *ketusimurir* (*ketus-*) (石狩)

いじょうじたい(異常事態) (表現)異常事態 *páse kunip* (石狩): (表現)異常事態が起こる、である *páse kunip an* (新)、(表現) *sawre kunip somo ne* (石狩)、(表現) *earikinne sirki somo ne* (石狩)

いしょく(移植) [自]移植する *itupte* (新): [他]～を移植する *tupte* (新): [他]～へ～を移植する *kotupte* (新): [他]～から～を移植する *otupte* (新): [他](原因、手段)で～を移植する *otupte* (新): [他](人)に～を移植させる *tupteka* (*tuptere*) (新)

いじわる(意地悪) [自]意地悪する *iramkoyki* (新): [他](人)に意地悪する *ramkoyki* (石狩): [他](人)に(人)に対して意地悪させる *ramkoykire* (新): [名]意地悪女 *pawcikormenoko* (石狩)

いじん(偉人) [名] 偉人 *sínispanekur* (*sinonispanekur*) (新)、[名] *kamuyneankur* (石狩)

いしん(威信) [名]威信 *cieinisukpe* (新): (表現)威信を失う *cieinisukpe sak* (新): (表現)威信を高める *cieinisukpe rikinte* (新)、(表現) *cieinisukpe tomtte* (新)

いす(椅子) [名]椅子 *ikum* (八雲)、[名] *cieosorusip* (新)※(十勝)、[名] *kasi-cioosorusip* (新)※(幌別): (表現)椅子に腰掛ける *ikum ka-oosorusi* (*ka-eosorusi*) (新)、(表現) *ciesorusip* (*kasi-cioosorusip*) *ka-oosorusi* (*ka-eosorusi*) (新): 但し、今後“*ikum ka ta a*”、“*kasi-cioosorusip ka ta a*”のような表現が広まればそれもととする。: [名]座椅子 *sóikum* (新): [名]ソファー

sofa (新): [名]長椅子 tanne-ikum
(新): [名]ベンチ benci (新)
イスタンブール [場名](トルコ共和国の都市名)イスタンブール Istanbul (新)
イスパニョーラ [場名](地名)イスパニョーラ島 Espaniora-poysir (新)
イズハハコ(伊豆母子) (植物)[名](キク科)イズハハコ属 izuhahako-cise (新): [名]イズハハコの茎葉 izuhahako (新): [名]アレチノギクの茎葉 buenosayres-nupkikukina (新): [名]オオアレチノギクの茎葉 sumatra-nupkikukina (新): [名]ヒメムカシヨモギの茎葉 mohopunirusuype (新)
いずみ(泉) [名]泉、泉池 mem-(i) (石狩)
イスラエル [場名](国名)イスラエル国 Israer Mosir (新)※(首都は「エルサレム」): [名](国名の通称、あるいはヤコブの別名として)イスラエル Israer (新): [名](国籍について)イスラエル人 israerunkur (新): [名](宗教的民族の名称として) israerikur (新): (歴史)[場名](国名)北イスラエル王国 Koykaun Israer-yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(「イスラエル王国」とも。紀元前721滅亡): (歴史)[場名](国名)イスラエル王国 Israer-yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(紀元前930年頃に北の「北イスラエル王国」と南の「ユダ王国」に分裂): (表現)イスラエルの十二支族 tupikasma wan Israer sanike (新): (表現)イスラエルの民 Israer poho utar (新)
イスラマバード [場名](パキスタン・イスラム共和国の首都名)イスラマバード Isramabado (新)
イスラム [名]イスラム、(イスラム教) isram (新): [名]ムスリム、(イスラム教徒) musrim (新): [名]イスラム暦 musrimkor-tonukarpe (新)
いずれにしても(何れにしても) (表現)何れにしても inampe sama iki yakka (石狩)
いせい(異性) [名]異性 oyahopurikorkur (新): [自]異性である oyahopurikor (新): [自]異性同士である uoyahopurikor (新)
いせいじん(異星人) ①(住人の意味で)[名]異星人 oyanociwunkur (新)、[名] oyanociworunkur (新): ②(来訪者の意味で)[名] oyanociwoekkur (新)
いせつじょうもく(異節上目) ①(動物)[場名](哺乳綱)異節上目 oyaikrakorpe-kotampa (新): [場名]被甲目 hayokpekorpe-kotan (新): [場名]有毛目 numakorpe-kotan (新): ②(生物)[名]異節類 oyaikrakorpe-utar (新)

イゼベル (聖書)[名]イゼベル Izever (新)※(イスラエル王国7代国王アハブの妻)
いぜん(以前) [位名]〜より以前 etok (長形-o) (石狩): (表現)〜より以前に etok (長形-o) ta (石狩): [副]以前 teeta (石狩)、[副] husko (石狩): (表現)以前 teeta (石狩): (表現)以前、以前は teeta anakne (石狩): (表現)以前から teeta wano (石狩): (表現)以前のように husko neno (石狩): [連体]以前の teetaan (石狩)、[連体] teeta (石狩)
いぜん(依然) (表現)依然として teeta an hi néno (新)、(表現) an koraci (十勝)
いそ(磯) [名]磯 sirar-(i) (H)
いそいで(急いで) ①[副](動作、時間に関して)早く tunasno (tunas) (石狩)、[副] orotunasno (石狩)、[副] hempano (石狩): ②(速く走って)[副]急いで pikanno (石狩): ③(相手を急かして)[間投]急いで hokure (okure) (石狩)
いそうろう(居候) ①(他人のところで面倒を見てもらう人)[名]居候 iotuyekur (新)、[名](悪口) iotuyep (石狩): ②(共同体のメンバーとして認められるまで誰かに面倒を見てもらう人)[名]居候 iorunkur (沙流)※(生活の面倒は必ずしも全面的に面倒見ってもらうわけではなく、寄食先の手伝いをして働く。)
いそがしい(忙しい) [自]忙しい montapi (石狩)、[自] monkoan (幌別): [他](場所)で忙しい emontapi (新): [他]〜と共に忙しい komontapi (新): [他](原因)で忙しい omontapi (新): [他](人)を忙しくさせる montapire (石狩): [自]自分で、一人で忙しい yaykomontapi (新): [自]互いに、皆で忙しい ukomontapi (新): [自]滅茶苦茶忙しい toykomontapi (新): [自]忙しく働いている yaymonsak (yaymoysak) (沙流): [自]忙しい、仕事が終わらない monasap (沙流): (表現)(慌ただしく働く人達が行ったり来たりしすれ違う様子の描写)忙しく行き交う、忙しく馳せ違う earutom ta terke kane (沙流): [他](雅)〜のために忙しく立ち働く eyaytomta-terke (沙流): (表現)酒を造ろうと忙しく立ち働く sakekar kuni eyaytomta-terke kane (沙流): (表現)我は忙しく立ち働いて(我は飢えた鳥になり) mawa tori ne mawa cikap ne yaykar=an kane (幌別)
いそがせる(急がせる) [自]人を急がせる untunaska (新): [自]物事を急がせる itunaska (新): [他]〜を急がせる tunaska (石狩): [他]〜をちょっと急がせ

る tunastekka (新): [他]～を減茶苦茶
急がせる toykotunaska (新): [他](人)に
仕事を急がせる monosnure (新)

イソギンチャク(磯巾着) (魚介)[名]イソギン
チャク heunnay (樺太): [場名][六放サ
ンゴ亜綱]イソギンチャク目 heunnay-
kotan (新): [場名]古磯巾着亜目
huskoheunnay-mokotan (新): [場名]新
磯巾着亜目 asirheunnay-mokotan (新):
[名]ウスアカイソギンチャク科
rúhureheunnay-apa (新): [名]ウメボシ
イソギンチャク科 húreheunnay-apa
(新): [名]オヨギイソギンチャク科
maheunnay-apa (新): [名]カザリイソギ
ンチャク科 iciwhetunnay-apa (新):
[名]クビカザリイソギンチャク科
yantoneheunnay-apa (新): [名]クラゲイ
ソギンチャク科 tunruheunnay-apa (新):
[名]コンボウイソギンチャク科
situheunnay-apa (新): [名]セイタカイソ
ギンチャク科 keweriheunnay-apa (新):
[名]セトノモイソギンチャク科
setoheunnay-apa (新): [名]ダーリアイソ
ギンチャク科 dariaheunnay-apa (新):
[名]タテジマイソギンチャク科
ruoheunnay-apa (新): [名]ナガイソギン
チャク科 tanneheunnay-apa (新): [名]
ナゲナワイソギンチャク
cieakharkikaheunnay-apa (新): [名]ニチ
リンイソギンチャク科
níawtekkorheunnay-apa (新): [名]ハタ
ゴイソギンチャク科 iyantokorheunnay-
apa (新): [名]ハナブサイソギンチャク科
okokkoheunnay-apa (新): [名]ヒダベリ
イソギンチャク科 niknikoheunnay-apa
(新): [名]ホウザワイソギンチャク科
usorunheunnay-apa (新): [名]マミレイ
ソギンチャク科 teyakaushheunnay-apa
(新): [名]ムシモドキギンチャク科
kikinheunnay-apa (新): [名]ヨウサイ
イソギンチャク科 aureriana-apa (新):
[名]内腔亜目 nisaop-mokotan (新): [名]
カワリギンチャク科 oyaheunnay-apa
(新): [名]ヤツバカワリギンチャク科
tupesantapsutkoroyaheunnay-apa (新):
[名]プチュコダクテイス亜目 putixodaktis-
mokotan (新): [名]プチュコダクテイス・パト
ウラ paturaheunnay (新)

いそぐ(急ぐ) ①[自]急ぐ yaytunaska (石
狩): [他]～を急ぐ eyaytunaska (新):
[他](場所)へ急ぐ koyaytunaska (新):
[他](原因、手段)で急ぐ oyaytunaska (新):
[自]皆で急ぐ utunaska (新): ②[他]慌て
て急ぐ yaykimatekka (石狩): ③[自]急

いで行く、急いで帰る yayosakanke (天
塩): ④[他](気を利かせて)～に急いで来る
koniwasnu (石狩)

イソツツジ(磯躑躅) (植物)[名](ツツジ科)イソ
ツツジ属 haspo-cise (新): [名]イソツツ
ジの茎葉 haspo (石狩)、[名] tomamas
(胆振): [名]カラフトイソツツジの茎葉
nuhca (樺太)※(白浦、真岡): [名]ヒメイ
ソツツジの茎葉 mohaspo (新)

いた(板) [名]板 ita (石狩)

いだい(偉大) [自]偉大になる、偉大である
sípase (石狩)、[自] kamuyne (新): [他]
～を偉大にする sípaseka (sípasere) (新)、
[他] kamuyner (kamuyneka) (新)

いたい(遺体) [名]遺体 araysir(-i) (石狩):
[名]遺体を包む莫蔭 yattuy (天塩)、[名]
ponkina (天塩)、[名] citarpe (天塩):
[名]遺体を包んだ莫蔭を閉じる紐 murir-at
(石狩): [名]遺体を覆う布 ponekamup
(石狩)、[名] raykurkasikamurep (石狩):
[名]遺体の顔にかけける布 nankamup (石
狩): [名]遺体を家から出す時の戸口
wénapa (wen apa) (石狩)

いたい(痛い) [自](痛い場所を主語に)痛い
arka (石狩): 「私は手が痛い。」“Ku=teke
arka.”: [間投]痛い hai yo (石狩)、[間
投] hai (石狩)、[間投] ayo (hayo) (石
狩): [間投]痛い痛い ayo ayo (石狩):
[間投]あいたたた itasasa (石狩): 「ああ、
いたたた!」“Hai yo, itasasa!”

いたく(委託) [自]委託する irenkakore
(新): [他]～の事を人に委託する
eiirenkakore (新): [他](原因、手段)で人
に委託する oiirenkakore (新): [他](人)
に委託する irenkakore (新)

いだく(抱く) (表現)～の気持ちを抱く 主格
の人称を伴わぬ動詞句 + kewtum
yaykorpore (石狩): (表現)怒りの気持ち
を抱く iruska kewtum yaykorpore (石
狩): 「今ここであなた様へ感謝の気持ちを
抱きつつ祈りの言葉を申上げるのですよ。」
“Tane anakne tan te otta es=koyayrayke
kewtum ku=yaykorpore kor innoitak
ku=ki haw tapan na.”

いたずら(悪戯) ①(人が)[自]人に悪戯する
irara (石狩): [他](人)に悪戯させる
irarare (新): [他](人)に悪戯する rara
(石狩): ②(怪物など人以外が)[自]人に悪戯
する irammokka (石狩): [他](人)に悪戯
する rammokka (石狩)

いただきます ①[間投](1. 他所さまから何か
貰った時に iyayraykere の後に言う、2.
食事の時特に女性や子供が言う、3. カムイ
ノミの時バケシを受け取った女性がト。キ

を上下させて言う)いただきます hunna (石狩)※(1～3の意味で成人男性は特有の咽喉音を出す、その後にも良い): ②[間投](～ wa inu の表現で飲食を勧められていただきます inu (石狩): 「-この団子を食べてごらん。-いただきます。」 “- Tan sito e wa inu . - Inu .”, 「-お茶どうぞ。-いただきます。」 “- Usew inu . - Inu .”

イタチ(鼬)(動物)[場名](クマ下目)イタチ上科 *sáciri-apapa* (新): イタチ科 *sáciri-apa* (新): [名]イタチ亜科 *sáciri-moapa* (新): [名]イタチ属 *sáciri-cise* (新): [名]アマゾンイタチ *amazonun-saciri* (新): [名]アルタイイタチ *artayun-saciri* (新): [名]イイズナ *mosacir* (新)※(別名「コエゾイタチ」): [名]インドネシアヤマイタチ *indonešiakimun-saciri* (新): [名]オコジョ *sácir* (釧路)、[名] *upascironnup* (石狩)※(別名「エゾイタチ」、「ヤマイタチ」): [名]オナガオコジョ *saratanne-saciri* (新): [名]キバライタチ *honisikerpepeus-saciri* (新): [名]クロアシイタチ *cikirikunne-saciri* (新): [名]コロンビアイタチ (新): [名]ステップケナガイタチ (新): [名]セスジイタチ *setururuo-saciri* (新): [名]タイリクイタチ *santaun-sacir* (新)※(別名「シベリアイタチ」、「チョウセンイタチ」): [名]ニホンイタチ *samorun-sacir* (新)、[名] *sisamsacir* (新): [名]ハダシイタチ *urecikinne-saciri* (新): [名]フェレット *feret* (新)※(ヨーロッパケナガイタチの亜種): [名]ミンク *minku* (新)※(別名「アメリカミンク」): [名]ヨーロッパケナガイタチ *europaun-saciri* (新): [名]ヨーロッパミンク *europaun-minku* (新): [名]クズリ属 *kuciri-cise* (新): [名]グリソン属 *gurison-cise* (新): [名]グリソンモドキ属 *cigurisonkopa-cise* (新): [名]ゾリラ属 *ruosaciri-cise* (新): [名]ゾリラモドキ属 *ciuosacirikopa-cise* (新): [名]タイラ属 *tayra-cise* (新): [名]タイラ *tayra* (新)※(西語): [名]テン属 *hoynu-cise* (新): [名]マダライタチ属 *sirkiosaciri-cise* (新): [名]マダライタチ *sirkio-saciri* (新): [名]アナグマ亜科 *toyouriyuk-moapa* (新): [名]アメリカアナグマ亜科 *amerikauntoyouriyuk-moapa* (新): [名]カワウソ亜科 *esaman-moapa* (新): [名]ラーテル亜科 *sosyatopempeesaciri-moapa* (新): [名]アライグマ科 *ihurayeyuk-apa* (新): [名]スカンク科 *sukunku-apa* (新): [名]レッサーパンダ科 *mékoteper-apa* (新)

イタチアナグマ(鼬穴熊)(動物)[名](アナグマ亜科)イタチアナグマ属 *sáciritoyouriyuk-cise* (新): [名]シナイタチアナグマ *atuyyaun-saciritoyouriyuk* (新): [名]ジャワアナグマ *javaun-saciritoyouriyuk* (新): [名]ビルマイタチアナグマ *miyammaun-saciritoyouriyuk* (新): [名]ベトナムイタチアナグマ *vetnamun-saciritoyouriyuk* (新): [名]ボルネオイタチアナグマ *bonneoun-saciritoyouriyuk* (新)

イタチキツネザル(鼬狐猿)(動物)[名](キツネザル上科)イタチキツネザル科 *sácirisumarisaru-apa* (新): [名]イタチキツネザル属 *sácirisumarisaru-cise* (新): [名]イタチキツネザル *sácirisumarisaru* (新): [名]アカオイタチキツネザル *sarahure-sacirisumarisaru* (新): [名]メガラダピス属 *megaradapis-cise* (新)※(絶滅)

イタドリ(虎杖)(植物)[名](タデ属)イタドリ属 *ikokuttar-cise* (新): [名]イタドリの茎 *moikokuttar* (新): [名]オオイタドリの茎 *ikokuttar* (石狩)、[名]オオイタドリの葉 *ineham* (新)※(それ(尻拭き)になる葉)、[名]オオイタドリの若い茎 *irureh* (新)、[名]オオイタドリの茎葉 *hahpas* (樺太): [名]ベニイタドリの茎 *húreapappoikokuttar* (新)※(別名「メイゲツソウ」、「イタドリ」のシノニム)

いたのま(板の間)[名]板の間 *itasotumpu* (新)

いたばり(板張)[名]板張の家 *itacise* (石狩): [名]板張の船 *itaomacip* (H): [場名]板張の床 *itaso* (石狩)

イタボガキ(板甫牡蠣)(魚介)[名](カキ目)イタボガキ科 *repunkurpisas-apa* (新): [名]イタボガキ属 *repunkurpisas-cise* (新): [名]イタボガキ *sísampisas* (新): [名]オリンピックオイスター *orimpiapisas* (新): [名]サビガキ *sipoprepunkurpisas* (新): [名]ブラフオイスター *burafpisas* (新): [名]マッドオイスター *austorariapisas* (新): [名]ヨーロッパヒラガキ *repunkurpisas* (新)※(別名「ヨーロッパガキ」): [名]オハグログガキ属 *pánaypisas-cise* (新): [名]オハグログガキ *pánaypisas* (新): [名]コーラルロック *ikoropisas* (新): [名]シドニーロックオイスター *sidoneynispapisas* (新): [名]ピクノドンタ属 *piknodonta-cise* (新): [名]マガキ属 *sípisas-cise* (新)

いたむ(傷む)[自](食料品が)傷む *hosse* (石狩)、[自] *horse* (沙流)

いたむ(痛む) ①(体の内部より)[自]痛む arka (石狩): 主語は"ku=teke arka"「私の手が痛い」など痛い部分で、"ku=arka"となると「私は病気になる」の意味になるので注意。本来は内部からの痛みだが、現在では特に区別しない場合この語を用いるようになっている。: 「痛み」と言う場合は例えば「私の手の痛み」は"ku=teke arka humi"とか ku=teke iunin humi"とか状況に合わせて動詞を選んで表現する。: (表現)死ぬほど痛む ray pakno arka (新)、(表現) ray tura uneno arka (新)※(樺太白浦): ②(外傷や打撲により)[自]痛い iunin (石狩)※(主語は痛い部分だけでなく ku=iunin 「私は痛い」と言える。): ③(突然ズキッと)[自]痛む nitkus (幌別)※(主語は痛い部分): ④(ズキズキと)[自]痛む tasara (石狩)※(主語は痛い部分): ⑤(針を刺すように)[自]チクチク痛む sikayus (天塩)、[自] sikayeus (幌別)※(主語は痛い部分): 「私の横っ腹が針を刺すようにチクチク痛む。」
"Ku=tempoki sikayus ."

いためる(炒める)[自]炒める、炒め料理をする sumosuke (新): [他]～を炒める esumosuke (新): [他]～と一緒に炒める kosumosuke (新): [他](原因、手段)で炒める osumosuke (新): [他](人)に炒めさせる sumosukere (新)

イタヤガイ(板屋貝)(魚介)[場名](翼形亜綱)イタヤガイ目 itaakketek-kotan (新): [場名]イタヤガイ上科 itaakketek-apapa (新): [名]イタヤガイ科 itaakketek-apa (新): [名]イタヤガイ属 itaakketek-cise (新): [名]イタヤガイ itaakketek (新): [名]カズウネイタヤ nayoitaakketek (新): [名]シナイタヤ atuyyaakketek (新): [名]ハナイタヤ apappoakketek (新): [名]ヨーロッパホタテ europaakketek (新): [名]エクスケリクラミウス属 eksukerixuramis-cise (新): [名]チヒロガイ ceppoawnki (新): [名]エゾキンチャクガイ属 aykapsey-cise (新): [名]カミオニシキ属 yaunkanikosonte-cise (新): [名]キンチャクガイ属 sisamaykapsey-cise (新): [名]クリュプトペクテン属 akketekpo-cise (新): [名]ツキヒガイ属 umureksey-cise (新): [名]パティノペクテン属 araskaakketek-cise (新): [名]アラスカホタテ araskaakketek (新): [名]ヒオウギ属 iwaniroawanki-cise (新): [名]ペドウム属 pedum-cise (新): [名]ウミギクモドキ cikikuseykopa (新): [名]ホタテガイ属 akketek-cise (新): [名]ウミギクガイ科 kikusey-apa (新):

[名]エントリウム科 entorium-apa (新): [名]ワタゾコツキヒガイ科 atuyksamumureksey-apa (新): [場名]イシガキ上科 sumapisas-apapa (新): [名]ギンパクイシガキ sirokanisirpokisumapisas (新): [場名]ナミマガシワ上科 atuykomam-apapa (新): [場名]ネズミノテ上科 erumunteke-apapa (新): [場名]ミノガイ上科 minosey-apa (新)

イタヤカエデ(板屋楓)(植物)①[名](カエデ属)イタヤカエデの茎 tópeni (tópenni) (石狩): ②(イタヤカエデの細別)[名]アカイタヤの茎 húhamuhuretopeni (新): [名]イトマキイタヤの茎 peciruwetopeni (新): [名]ウラジロイタヤ sirpokiretartopeni (sirpokirettopeni) (新): [名]エゾイタヤの茎 nitattopeni (美幌): [名]エンコウイタヤの茎 pecianetopeni (新): [名]オオエゾイタヤの茎 hamuporonitattopeni (新): [名]オニイタヤの茎 hamuporotopeni (新): [名]タイシヤクイタヤの茎 taysakutopeni (新)

いたらしめる(至らしめる)[他](場所)に(人)を至らしめる epare (沙流): (表現)(雅)健康に～を至らしめる tumasnu hi ~ epare (沙流)

いたらぬ(至らぬ)[連体]至らぬ atanan (石狩)、[連体] canan (石狩): (表現)至らない人間 atanan aynu (石狩)、(表現) canan aynu (石狩)

イタリア ①[場名](国名)イタリア共和国 Itaria Ukotankoremosir (新)※(首都は「ローマ」): [場名]((国名)、あるいはイタリア半島の略称として)イタリア Itaria (新): [名]イタリア人、国民 itariaunkur (新): [名]イタリア語 itariaunkur-itak (新): ②(歴史)[場名]イタリア王国 Itaria Yaykomosirunkorkur-kormosir (新)※(①1861ー1946年、②1805ー1814): [場名]イタリア王国 Itariaun-yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(神聖ローマ帝国のイタリア領域): ③[場名](地名)イタリア半島 Itaria-sirekanray (新)

いたる(至る)[他](場所)に至る cipakte (沙流)、[他](雅) ciepakte (久保寺): (表現)山頂に到る nupuri tapka cipakte (沙流): [他](人)を(場所)に至らせる cipaktere (新): [他]人を(場所)に至らせる cipakteyar (新)

いたるところ(至る所)[位名]～の至る所 piskan(長形-i、-ike) (石狩): (表現)～の至る所へ ~ piskani ene (piskanene) (石狩): (表現)～の至る所に ~ piskani ta

(piskanta) (石狩): (表現)~の至る所から ~ piskani wa (piskani wano) (石狩)

いたわりあう(労り合う) [自] 労 り 合 う ueyam (石狩)、[自] uerampokinnu (石狩)、[自] uekataratki (石狩): [他]~を労り合わせる ueyamte (新)、[他] uerampokinnure (新)、[他] uekataratkire (新): [副] 労り合って ueyamno (石狩)、[副] uerampokinno (石狩)、[副] uekataratki (石狩)

いたん(異端) [自] 異 端 になる、である ikiriwen (新): [他]~を異端にする ikiriwente (新): [他](中相)~が異端にされる ciikiriwente (新): (表現)~を異端視する ikiriwenkur ne ~ nukar (新): [名]異端児 ikiriwen ekatci (新): [名]異端者 ikiriwenkur (新): [名]異端審問 ikiriwenkur-eampepekerka (新): (表現)異端派 ikiriwen utar tura hike (新)、(表現) ikiriwenkur ne hike (新)

いち(1)(一) [名]一 sinep (石狩): [連体]一の sine (石狩)

いち(位置) (表現)~の位置 uyru hi (新): 「私は船の位置を確認した。」「Cip uyru hi ku=eraman .」: [他](場所)に位置する uyru (石狩): [他](場所)に~を位置させる uyruke (石狩)

いちい(一位) (表現)一位 sine sóuni (新): [名]一位 sinep (新)

イチイ(樺) (植物)[名](マツ目)イチイ科 rarmani-apa (新): [名]イチイ属 rarmani-cise (新): [名]イチイの茎 rarmani (石狩)、[名] kúneni (石狩)※(別名「アララギ」、「オンコ」)、[名]イチイの果実 rarmanihurep (新)、[名] aeppo (幌別): [名]インドイチイの茎 himarayaramani (新)※(別名「ヒマラヤスギ」): [名]カナダイチイの茎 kanadararmani (新): [名]キャラボクの茎 sisamrarmani (新): [名]スマトランユーの茎 sumatraramani (新): [名]タイヘイヨウイチイ siatuyrarmani (新): [名]チュウゴクイチイの茎 atuyyaramani (新): [名]フロリダユーの茎 furoridararmani (新): [名]メキシカンユーの茎 mexikorarmani (新): [名]ヨーロッパイチイの茎 europararmani (新)

いちいん(一員) [名]一員 sinen(-e) (新): (表現)家族の一員 sinecise-unutar (ureskautar) sinene (新)

いちがつ(一月) [名]一月 cinomicup (旭川)、[名] inomocup (石狩)、[名] toytanne (栗山): [名](クマが生まれる)十二月末から一月末の期間 iwanreyeupun (石狩):

[名](シャチが生まれる)一月末から二月にかけての期間 iwantaskuru (石狩)

いちがん(一丸) [自]一丸となる sinetakne (新): [他]~を一丸とする sinetaknere (sinetakneka) (新)

イチゴ(苺) (植物)①[名]苺の茎葉 húrepkina (新): [名]苺の果実 húrep (石狩、浦河)※(実際は果実ではなく花托)→生物としての分類は「オランダイチゴ(オランダ苺)」、「キイチゴ(木苺)」を見よ.: [名]苺柄 húrepnoka (新): [名]苺ミルク tópeushurep (新): [自]苺の味がする húreprak (新): [自]苺狩りをする húrepkar (新): ②[自]苺色になる、である húrep-irone (新): [他]~を苺色にする húrep-ironeka (-ironere) (新): [名]苺色 húrep-iro (新): ③[名]イチゴ状果 húrepne-ikaop(-i) (新)

イチジク(無花果) (植物)①[名](クワ科)イチジク属 fikus-cise (新): [名]イチジクの茎 fikus (新)、[名] apapposaknikaopni (新)、[名]その果実 fikuskaop (新)、[名] apapposaknikaop (新): [名]アコウの茎 esuptomofikus (新)※(フィクス・スペルバの亜種): [名]イタビカズラの茎 fkuspunkar (新): [名]イヌビワの茎 setafikus (新): [名]インドゴムノキの茎 sígumni (新): [名]インドボダイジュの茎 sinoirenka-eramanni (新)※(別名「テンジクボダイジュ」): [名]エジプトイチジクの茎 aigiptos-fikus (新): [名]オオイタビの茎 pumirafikuspunkar (新)※(学名より): [名]オオバアコウの茎 hamuporo-esuptomo-fikus (新): [名]オオバイヌビワの茎 hamuporo-setafikus (新): [名]ガジュマルの茎 gajumaru (新): [名]カシワバゴムノキの茎 afrika-gumni (新): [名]カンテンイタビの茎 ayyuzu-punkar (新)、[名]その果実 ayyuzu (新)※(中国語。別名「オーギョーチ」)。オオイタビの変種): [名]ギランイヌビワの茎 gíran-setafikus (新)※(別名「コニシビワ」): [名]クリシュナボダイジュの茎 kurişna-sinoirenka-eramanni (新)※(ベンガルボダイジュの園芸品種): [名]ケイヌビワの茎 numaus-setafikus (新): [名]コウトウイヌビワの茎 pewrehamuhure-setafikus (新): [名]ハマイヌビワの茎 pisun-setafikus (新): [名]ヒメイタビの茎 mofikus-punkar (新): [名]フィクス・アルティシマの茎 síri-fikus (新): [名]F・ウンベラータの茎 sikuskasa-fikus (新): [名]F・スペルバの茎 hamranke-fikus (新): [名]ベンガルボダイジュの茎 bengar-sinoirenka-eramanni (新)※(琉球語。別名

「バンヤジュ」など)：[名]ベンジャミンの茎 *benjamina* (新)※(別名「シダレガジュマル」、「ベンジャミンゴムノキ」など)：[名]ホソバムクイヌビワの茎 *hamuanehepursetafikus* (新)：[名]ムクイヌビワの茎 *hepurseta-fikus* (新)：②[名]イチジク状果 *fikuskaopne-ikaop(-i)* (新)

いちじてき(一時的) [副]一時的に *irukaypo* (新)

いちじるしく(著しく) ①[副]著しく *sonno* (石狩)、[副] *sino* (石狩)：「私達の生活状況は著しく悪化している。」“*Sukup=an katu sonno wen sirki* .”：②接頭辞“*sí-*”を動詞に接頭させる事によってある動作、状態が著しい事を表す。： *sí+pase*(重い) → *sípase* 「著しく(とても)尊い」：③状態の自動詞の後に *kane* を使う事によってその状態が継続している事を表し、その結果その状態が著しい事が浮き彫りにされる。： *sik* 「いっぱいである」 → *sik kane* : *kane* を副助詞に分類する方言もあるが、石狩方言では *sikkanere* 「～をいっぱいにする」という他動詞が存在する事からも、助動詞とも考えられる。：その他、状態の継続が状態が著しい事が浮き彫りにされるものとして接尾辞 *-natara*、*-itara* によって形成される動詞がある。： *pase*(「重い」の語根) + *itara* → *paseitar* 「重々しく＝とても丁寧に」：④[副](他より)著しく *etakasure* (沙流)：(表現)～に人一倍大笑いする *etakasure emina kaspa* (沙流)

いちぞく(一族) [名]一族 *utar(-i)* (石狩)：(表現)イナウの刻印、ラウンクツの形状を共有する一族 *sine ikir kor utar* (石狩)：[場名]一族で立場が上の者 *yayutarpa(-ke)* (新)：[場名]一族で立場が下の者 *yayutarkes(-e)* (新)：[自]一族になる、である *utanne* (石狩)：[他]～の一族になる、である *eutanne* (石狩)、[他] *koutanne* (石狩)

いちだん(一団) [名]一団 *sineikir(-i)* (石狩)、[名] *sine ikir(-i)* (石狩)：[自]一団となる、なっている *sineikinne* (新)：[副]一団となって *sineikinne* (石狩)、[副] *sineikinneno* (新)

いちだん(一段) (莫蔭の)[名]一段編む *assos* (新)、[名] *arsos* (沙流)：(表現)(莫蔭)を一段編む *assos atte* (新)、(表現) *arsos atte* (沙流)

いちど(一度) ①(回数を示し)[名・副]一度 *arsuy* (天塩)、[名・副] *assuy* (石狩)：(表現)もう一度 *na arsuy* (*na assuy*) (天塩)：「もう一度言って下さい。」“*Na arsuy* (= *assuy*) *ye wa en=kore yan* .”：(表現)

一度も～ない *arsuy* (*assuy*) + 否定文 (新)※(石狩方言では *assuy*)：「私は一度もあなたに会った事はないよ。」“*Arsuy* (= *Assuy*) *ka somo es=nukar=an pe ne na* .”：②(温度、経緯度、角度などを表し)[名・副]一度 *sine ipak* (新)、[名] *sine dekree* (新)、[名] *sinep* (新)：「気温が一度上がった。」

“*Mean-sirsese* (= *Temperature*) *sine ipak cierikinte* .”、「体温が一度下がった。」

“*Netopa-yam-sesek* (= *Netopa-temperature*) *sine ipak cieranke* .”：③[副]一度に *ear* (石狩)：「こんな仕事、私は一度に終えてしまふよ。」“*Enean monrayke* , *kuani anakne ear ku=okere yakne easkay pe ne na* .”： *ear* + 自動詞 + *ne* の形式で「一度～して」という副詞を形成。： *ear+inu+ne* → *earinune* 一度聞いて

いちにち(一日) ①[場名・副]一日 *sineto* (石狩)：(表現)一日が終わる *sineto siokere* (石狩)：(表現)一日が経つ *sineto siran* (石狩)：(表現)一日後に *sineto iosi* (石狩)：(表現)一日中 *sineto epitta* (*epittano*) (石狩)、(表現) *to epitta* (石狩)：(表現)一日中、昼夜 *kunne tókam* (石狩)：(表現)一日半 *to emko etutko* (沙流)：(表現)一日前に *sineto etok ta* (石狩)：尚、一日の時間帯に関する旭川の言葉は以下の通り *ankes* 夜明け(午前3時頃) *nisat* 夜明け(空が明るんでくる頃) *cuprikin* 日の出 *kunnano* 朝 *tókam* 昼 *tónoski* 正午(12時頃) *tókes* 夕方(3～6時頃) *cúpahun* 日没 *onuman* 夕方、晩、夜 *ukuran* 夜 *annoski* 深夜。：②[場名・副](合成語の構成要素として)一日 *itto* (石狩)：[副]一日で *ittone* (石狩)：[自]一日で大きくなる *ittotuk* (石狩)：(表現)ぐんぐん大きくなる、育つ *ittotuk pokon poro* (石狩)：③(表現)(着いた日泊まり)中一日過ごして *sineto tóri* (沙流)

いちにんまえ(一人前) ①(成長に関して)[自]一人前になる、なっている *sukup* (石狩)、[自] *rupne* (石狩)：(表現)一人前の男 *sukup okkayo* (石狩)：(表現)一人前の女 *sukup menoko* (天塩)：[他](人)を一人前にする *sukupte* (新)、[他] *rupneka* (*rupnere*) (新)：②(分量に関して)(表現)一人前 *sinen atarimaye* (沙流)、(表現) *sinen+動詞+kunip* (新)：「一人前いくらですか？」“*Sinen atarimaye nep pakno an na?*”、「鹿汁一人前下さい。」“*Yukrur sinen e kuni yukrur en=kore yan!*”

いちば(市場) [場名]市場 *iei yokusi* (新)、[名] *market* (新)※(英語)

いちばん(一番) ①[副]一番～ iyotta (石狩): (表現)一番良くなる、良い iyotta pirka (石狩): (表現)一番悪くなる、悪い iyotta wen (石狩): ②[場名]一番初め atpake (石狩): (表現)一番はじめから atpake wa (wano) (石狩): (表現)一番初めに iyotta hoski(-no) (石狩)、(表現) atpake ta (石狩): ③[場名]一番終り atkes(-e) (新): (表現)一番終りから、終りに iyotta iosi (石狩)

いちばんこ(一番粉) [名](オオウバユリの根から採る)一番粉 sūrup (石狩)

いちばんたいせつ(一番大切) [名]一番大切な物 ikkew(-e) (石狩): (表現)一番大切な宝物 ikor ikkewe (石狩)

いちばんとしようえ(一番年上) (表現)一番年上になる、である iyotta páporo (新)、(表現) iyotta poro (新): (表現)一番年上の iyotta kiyanne (石狩): (表現)一番年上の男 iyotta páporo okkayo (新)、(表現) iyotta kiyannekur (新): (表現)一番年上の女 iyotta páporo menoko (新)、(表現) iyotta kiyanne menoko (新): (表現)一番年上の息子 iyotta kiyanne po (新): (表現)一番年上の娘 iyotta kiyanne matnepo (新): [名]一番年上の兄の子 maktairiwak(-i) (天塩)

いちばんとした(一番年下) (表現)一番年下になる、である iyotta pápon (新)、(表現) iyotta pon (石狩): (表現)一番年下の iyotta poniwne (新): (表現)一番年下の男 iyotta pápon okkayo (新)、(表現) iyotta ponkur (石狩)、(表現) iyotta poniwnnekur (新): (表現)一番年下の女 iyotta pápon menoko (新)、(表現) iyotta poniwne menoko (新): (表現)一番年下の息子 iyotta poniwne po (新): (表現)一番年下の娘 iyotta poniwne matnepo (新)

いちぶ(一部) [場名]一部、一部分 poyserke (新)、[場名] sinesereke (新)

いちめい(一命) [自]一命を取り留める onumposo (石狩)、[自](雅語) enumposore (石狩)

いちめん(一面) [後副]～の一面に epitta (epittano) (石狩): 「私が見ると夜空一面に星がきらめいている。」“Ku=inkar kor kunne nisor peka epitta nociw nipekiat kane siran.”: [位名]～の上一面 kurka(-si, -sike, -ske) (石狩): 「野原一面に雪が積もった。」“Nup kurka ta upas sirari.”

いちもん(一門) [名]一門 utar(-i) (石狩)、[名] apa (石狩)、[名] ir(-i) (石狩): [自]一門である uirkar (H)、[自]uapakor (新)※(K): [名]一門衆

uirkarutar(-i) (新)、[名] uapakorutar(-i) (新): [他]～の一門である irkar (幌別)、[他] apakor (新)

いちゃつく [他]いちゃつく usi (久保寺): (表現)昼夜彼と彼女は笑い合っている kunne tokap uemina wa usi kane okay (新)※(沙流)

イチョウ(銀杏) (植物)[名]イチョウ綱 ico-pet (新): [場名]イチョウ目 ico-kotan (新): [名]イチョウ科 ico-apa (新): [名]イチョウ属 ico-cise (新): [名]イチョウの茎 ico (新)※(日本語): [名]イチョウの種子 ginnan (新)※(日本語): (表現)～を銀杏切りにする icohanne tuye (複数 tuypa) (新)

いちれつ(一列) [名] sineikir(-i) (石狩): [名](合成語の構成要素として)一列 ir (石狩): [自]一列になる、なっている sineikinne (石狩): [自]さっと一列になる sineikinnetek (新): [他]～を一列にする sineikinneka (sineikinnere) (新): [他]～をさっと一列にする sineikinnetekka (新): [副]一列に sineikinne (石狩): (表現)一列に並んで立つ(人や獣) ikinne roske (新): (表現)一列に並んで立つ(物) ikinne as (新): [他]～を一列ずつと叩き斬る ittatakar (石狩): 「…弟の幣場の上手に私が行って見たものは、山に向かって立つ幣が一列ずつと叩き切れ、浜に向かって立つ幣が一列ずつと叩き切れ…」“…an=akihi inawsampa ta pate=an ki wa inkar=an ruwe ekimun as pe an=ittatakar episun as pe an=ittatakar …”(杉村キナラブック)神謡

いつ(何時) ①(疑問)[副]何時 hempar (hempara) (石狩): (表現)何時から hempar (hempara) wa(-no) (石狩): (表現)何時まで hempar (hempara) pak(-no) (石狩): 「あなたは何時私達の所へおみえになりますか?」“Un=ekota hempar es=arki ruwe an?”: ②(不定:特定できない、あるいはしたくない)[副]何時か hemparka (hemparaka) (石狩)、[副] hempattaka (石狩)、[副] hempar (hempara) (石狩): ③(不定:任意の)(表現)何時でも hempar ne yakka (hempannakka) (石狩)、(表現) hempara ne yakka (hemparanakka) (石狩)、(表現) ney ne yakka (neynakka) (石狩): [副]何時でも neypaknoka (石狩)、[副] inantapakno (石狩)

いっか(一家) [名]一家 sineciseunutar(-i) (天塩)、[名] ureskakur (新)、[名] ureskautar(-i) (新): (表現)一家心中する sineciseunutar ukoyayrayke (新)

いつか(五日) [場名]五日 asikneto (石狩)

いつかい(一回) ①[名・副]一回 assuy (石狩)、[名] arsuy (天塩)：(表現)もう一回 na assuy (石狩)、(表現) na arsuy (天塩)：(表現)一回も～しない assuy poka (arsuy poka)+否定文 (新)：②[副]一回で ear (石狩)：ear+自動詞+ne の形式で「一回～して」という副詞を形成。：ear+inkar(見る)+ne → earinkanne 一回見て：③擬音、擬態の語根に -kosanu あるいは -kosampa という接尾辞を付加し「一回～する(急に～する)」という意味の一回態の動詞を形成。(石狩方言として -kosampa は稀)：pus(パンという音)+kosanu → puskosanu = puskosampa 「一回パンと鳴る(急にパンと鳴る)」

いつかい(一階) (表現)一階 sine kay (新)：(表現)一階に sine kay ka ta (新)

イッカク(一角) (動物)[名](マイルカ上科)イッカク科 kitetannu-apa (新)：[名]イッカク属 kitetannu-cise (新)：[名]イッカク kitetannu (新)、[名] sinekitetannu (新)：[名]シロイルカ属 mónihumpe-cise (新)

いつくしむ(慈しむ) [自]慈しむ iekataratki (新)、[自] iomap (新)、[自] ierampokinu (新)、[自] ierampokiwen (新)：[他]～を慈しむ ekataratki (石狩)、[他] omap (石狩)、[他] erampokinu (石狩)、[他] erampokiwen (石狩)、[他](雅語) koerampokinu (石狩)

いっこ(一個) [名]一個 sinep (石狩)：(表現)団子一個 sito sinep (石狩)：[連体]一個の sine (石狩)：(表現)一個の団子 sine sito (石狩)

いっこう(一項) (言語)[名]一項 sinesupop (新)：[自]一項である sinesupopkor (新)：[名]一項動詞 sinesupopkor-moykeitak (新)、[名] sinesupopkorpe (新)

いっこく(一刻) (表現)一刻も早く hetak hokure (etak okure) (石狩)、(表現) hokure hokure (okure okure) (石狩)、(表現) hetak ta usa (沙流)、(表現) hetak ta heta (沙流)、(表現) keke hetak (沙流)、(表現) ciki ta heta (沙流)：(表現)決してあちらこちら振り返る事なく一刻も早く～の許にたどり着く senne toni senne tani kohosari somo ki nopo ciki ta heta ~ kosirepa (久保寺 13)

いっこんぞめ(一斤染) [自]一斤染になる、である ikkinzome (新)：[他]～を一斤染に染める ikkinzomere (新)：[名]一斤染色 ikkinzome-iro (新)

いっしゅ(一種) [他]～の一種である katkor (沙流)：「この草はキク属の一種である。」

“Tan kina kikukina-cise otta an pe katkor.”

いっしゅう(一蹴) [他]～を一蹴する ureecaritek (新)：[他](人)に～を一蹴させる ureecaritekka (新)

いっしゅうかん(一週間) (表現)一週間 sine tósay (新)

いっしょう(一生) (表現)一生の間に、一生の中で, sukup tuyka ta (石狩)：(表現)一生ずっと sukup epitta(-no) (石狩)：[副]一生涯 sukupeturpak (幌別)：(表現)一生涯 sukup kes pakno (新)

いっしょうけんめい(一生懸命) [副]一生懸命 arikikino (石狩)：[自]一生懸命する arikiki (石狩)：[他]一生懸命～をする earikiki (石狩)、[他] koarikiki (石狩)：[他](人)に～を一生懸命させる earikikire (新)、[他] koarikikire (新)

いっしょに(一緒に) (1)①[他]～と一緒に行動する tura (石狩)：「一緒に歩く」、「一緒にいる」などもこの一語で表現可能。：[後副]～と一緒に tura(-no) (石狩)、[後副](雅) koetunankar (石狩)、[副](雅) koeturenno (沙流)：[接頭](動詞、位置名詞)に接頭しその語の項の数を一つ増やし～と一緒に ko- (石狩)：ko(～と一緒に)+e(～を食べる) → koe「～と一緒に～を食べる」：②[自]人と一緒に行動する itura (石狩)：[副]人と一緒に itura(-no) (新)：[接頭](動詞、位置名詞)に接頭しその語の項の数を变えず人と一緒に iko- (石狩)：③[自]二人、あるいはそれ以上で一緒に行動する、皆で一緒に行動する utura (石狩)：[副]二人一緒に、皆一緒に utura(-no) (石狩)：[接頭](動詞、位置名詞)に接頭しその語の項の数を变えず二人一緒に、皆一緒に uko- (石狩)：(2)[自]一緒に行動したくない uturawen (石狩)：(表現)一緒に行動したくない utura etoranne (新)、(表現) somo utura rusuy (新)

いっしょにあがる(一緒に上がる) ①(高い所に)[他]～と一緒に上がる korikin (複数 korikip) (新)、[他] turarikin (複数 turarikip) (新)：(表現)～と一緒に上がる tura wa rikin (複数 rikip) (石狩)、(表現) tura(-no) rikin (複数 rikip)：②(水中や船から陸に)[他]～と一緒に上がる koyan (複数 koyan) (新)、[他] turayan (複数 turayap) (新)：(表現)～と一緒に上がる tura wa yan (複数 yap) (石狩)、(表現) tura(-no) yan (複数 yap) (石狩)

いっしょにいきる(一緒に生きる) ①[自]一緒

に生きる、暮らす、いる ukookay (新)、[自] uturaokay (新): (表現)一緒に生きる、暮らす、いる utura(-no)okay (石狩): [他] ~と一緒に生きる、暮らす、いる koan (複数 kookay) (新)、[他] turaokay (新): (表現)~と一緒に生きる、暮らす、いる tura(-no)okay (石狩): ②[自]一緒に生きる、生活する、育つ ureska (石狩)、[自] ukosukup (新)、[自] uturasukup (新): (表現)一緒に生きる、生活する、育つ utura(-no)strup (新): [他]~と一緒に生きる、生活する、育つ kosukup (新)、[他] turasukup (新): ③一緒に生きる、生き延びる usiknuka (新)、[自] uturasiknu (新): (表現)一緒に生きる、生き延びる utura(-no)siknu (新): [他]~と一緒に生きる、生き延びる kosiknu (新)

いっしょにいく(一緒に行く) (1)①[他]~と一緒に行く kooman (複数 kopaye) (新)、[他] turaoman (複数 turapaye) (石狩)※(複数形として予想されるは turapaye 未確認)、[他] koiramasi (新): (表現) tura wa oman (複数 paye) (石狩)、(表現) tura(-no) oman (複数 paye) (石狩): ②[自]人と一緒に行く ikooman (複数 ikopaye) (新)、[自] ituraoman (複数 iturapaye) (新): (表現) itura wa oman (複数 paye) (新)、(表現) itura(-no) oman (複数 paye) (新): ③[自]二人、あるいはそれ以上で一緒に行く ukopaye (新)、[自] uturapaye (新)、[自] ukoiramuasipa (石狩): (表現) utura wa paye (石狩)、(表現) utura(-no)paye (石狩): 「一緒にいきましょう。」“Uturano paye=an rok !”、“Ukoiramuasipa=an ro !”: (2)(山から麓や浜、上流から下流に)[他]~と一緒に行く kosan (複数 kosap) (新)、[他] turasan (複数 turasap) (石狩): (表現) tura wa (複数 sap) (石狩)、(表現) tura(-no) san (複数 sap) (石狩): (3)(陸へ船などで)[他]~と一緒に行く koyan (複数 koyap) (新)、[他] tutayan (複数 turayap) (新): (表現) tura wa yan (複数 yap) (石狩)、(表現) tura(-no) yan (複数 yap) (石狩)

いっしょにうごく(一緒に動く) ①[自]一緒に動く ukomoy moyke (新): [他]~と一緒に動く komoy moyke (新): [自]一緒にヒクヒク動く ukoyupyupke (石狩): 「~の襟首と肩先がヒクヒク動く」 okusutu tapsutu ukoyupyupke (石狩)※(幌別では狩に出た夫が大熊を獲ってそれを迎える予兆): ②(一緒に行動する意味で)[自]一緒に動く itura (石狩)、[自] utura (石狩):

[他]~と一緒に動く tura (石狩)

いっしょにおりる(一緒に下りる、降りる) ①(高い所から)[他]~と一緒に下りる koran (複数 korap) (新)、[他] turaan (複数 turarap) (新): (表現) tura wa ran (複数 rap) (石狩)、(表現) tura(-no) ran (複数 rap) (石狩): ②(山から麓や山、上流から下流へ)[他]~と一緒に下りる kosan (複数 kosap) (新)、[他] turasan (複数 turasap) (石狩)※(複数形として予想される turasap は目下未確認): (表現) tura wa san (複数 sap) (石狩)、(表現) tura(-no) san (複数 sap) (石狩): ③(乗物から)[他]~と一緒に下りる koasin (複数 koasip) (新)、[他] turaasin (複数 turaasip) (新): (表現)~から一緒に下りる orwa(-no) tura wa asin (複数 asip) (新)、(表現) orwa(-no) tura(-no) asin (複数 asip) (新): 船や飛行機から降りる場合 yan (複数 yap) を用いても良いものとする

いっしょにかえる(一緒に帰る) [他]~と一緒に帰る kohosipi (複数 kohosippa) (新)、[他] turahosipi (複数 turahosippa) (新): (表現) tura wa hosipi (複数 hosippa) (石狩)、(表現) tura(-no) hosipi (複数 hosippa) (石狩)

いっしょにくる(一緒に来る) (1)①[他]~と一緒に来る koek (複数 koarki) (新)、[他] turaek (複数 turaarki) (石狩)※(単数形として予想される turaek は未確認): (表現) tura wa ek (複数 arki) (石狩)、(表現) tura(-no) ek (複数 arki) (石狩): ②[自]人と一緒に来る ikoek (複数 ikoarki) (新)、[自] ituraek (複数 ituraarki) (新): (表現) itura wa ek (複数 arki) (新)、(表現) itura(-no) ek (複数 arki) (新): ③[自]二人、あるいはそれ以上で一緒に来る ukoarki (新)、[自] uturaarki (新): (表現) utura wa arki (新)、(表現) utura(-no) arki (新): (2)(山から麓や浜、あるいは上流から下流に)[他]~と一緒に来る kosan (複数 kosap) (新)、[他] turasan (複数 turasap) (石狩): (表現) tura wa san (複数 sap) (石狩)、(表現) tura(-no) san (複数 sap) (石狩): (3)(船などで陸へ)[他]~と一緒に来る koyan (複数 koyap) (新)、[他] turayan (複数 turayap) (新): (表現) tura wa yan (複数 yap) (石狩)、(表現) tura(-no) yan (複数 yap) (石狩)

いっしょにでる(一緒に出る) [他]~と一緒に出る koasin (複数 koasip) (新)、[他] turaasin (複数 turaasip) (新): (表現)

tura wa asin (複数 asip) (石狩)、(表現)
tura(no) asin (複数 asip) (石狩)

いっしょにねる(一緒に寝る)①[自]一緒に寝る、横になる uturahotke (石狩): (表現)一緒に寝る utura(no)hotke (石狩): [他]～と寝る、横になる turahotke (新): (表現)～と一緒に寝る tura(no) hotke (石狩): ②[自]一緒に寝る、眠る ukomokor (新): (表現)一緒に寝る utura(no)mokor (石狩): [他]～と一緒に寝る komokor (新): (表現)～と一緒に寝る tura(no) mokor (石狩)

いっしょにはいる(一緒に入る) [他]～と一緒に入る (複数) koahun (新語 koahup)、[他] turaahun (複数 turaahup) (新): (表現) tura wa ahun (複数 ahup) (石狩)、(表現) tura(no) ahun (複数 ahup) (石狩)

いっしょにもつ(一緒に持つ) ①[他]～と～と一緒に持つ ukoani (複数 ukoampa) (石狩): 「私は銀の弓と金の矢と一緒に持って外に出た。」 “Sirokaniku konkaniay ku=ukoani wa ku=asin.”: ②(所有関係を示し)[他]～と～と一緒に持つ ukokor (新): 「私は古いのと新しいのを一緒に持っている。」 “Onnep asirpe ku=ukokor.”

いっすい(一睡) [名]一睡 mokorkiskis(-i) (幌別): (表現)一睡の中に mokorkiskis ka(長形-si, -sike) ta (新)

いっそう(一層) ①[副]一層 na (石狩): 「私は一層頑張りますよ。」 “Na ku=arikiki kusu ne na.”: [副](naの強調として)いっそう naa (石狩): (表現)一層一層 na na (石狩): (表現)(naの強調として)一層いっそう naa naa (石狩): ②[副](他より)一層 etakasure (沙流): 「お前は人より一層頑張らねばならぬ。」 “Eani anakne etakasure e=arikiki kuni.”

いったい(一体) ①[副助](強めとして)一体 ta (石狩)、[副助](雅語) namne (石狩): 「一体君は何を言いたいのかね?’ “Nep ta e=ye rusuy ya?”、“…一体何処で聞き耳を立てているのやら…” “… neyta namne kisattarara okay nankor…”英雄詩曲: ②(自分や誰かの言った事に納得するため)(表現)一体何 nep un (石狩)、(表現) nep un tap (石狩): 「私は腹が立ったが一体何を母が言ったかと思って我慢した。」 “Ku=iruska korka nep un tap ku=kor totto ye hawe a, sekor ku=yaynu kusu ku=yaysiporore.”

いったい(一帯) [場名]一帯 so (石狩): (表現)猟場の山々一帯に iwor so ka ta (石狩)、(表現) iwor so kurka ta (石狩): [後

副]～の一帯に、～の周り一帯に okari (石狩): 「夜になるとこの街の一帯に蝙蝠が来る。」 “Kunne an kor tan maciya okari kapap arki.”

いったいか(一体化) [自]一体化する、している sinepne (新): [他]～に一体化する kosinepne (新): (表現)～に一体化する ~un wa sinepne (新)、(表現) ~ us wa sinepne (新): [他](原因、手段)で一体化する osinepne (新): [他]～を一体化させる sinepneka (sinepnere) (新)

いっちょくせん(一直線) [副]一直線に kuwanno (石狩)、[副] herukuwanno (沙流): (表現)一直線に伸びる kuwanno (herukuwanno) oman (新)

いっつ(五つ) [名]五つ asiknep (石狩): (表現)星五つ nociw asiknep (新): [連体]五つの asikne (石狩): (表現)五つの星 asikne nociw (新): [副]五つに asiknepne (新)

いってきかせる(言って聞かせる) [自]人に言っ て聞かせる ihumkekar (新)、[自] unhumkekar (新): [他](人)に言っ て聞かせる humkekar (新): [他]～について(人)に言っ て聞かせる ehumkekar (石狩): 「私は君達に今私達がなすべき事について言っ て聞かせよう。」 “Tane an=ki kunip es=ehumkekar=an kusune na.”

イッテルビウム (化学)[名]イッテルビウム itterbium (新)※(原子番号70番。元素記号 Yb)

イットリウム (化学)[名]イットリウム ittorium (新)※(原子番号39番。元素記号 Y)

いっぱい(一杯) ①(満杯の意味で)[自](場所)が一杯になる、である sik (石狩): 「私はお腹一杯です。」 “Ku=honi sik.”: [他](場所)が～で一杯になる、である esik (石狩): 「倉の中が魚で一杯だった。」 “Pu oske cep esik.”: [他](場所)を一杯にする sikte (新): [他](場所)を～で一杯にする esikte (石狩)、[他] sikkanere (石狩): 「私は船内を商品で一杯にした。」 “Cip oske cihoki ku=esikte.” [副]一杯に sikno (石狩): (表現)(場所)一杯に sik kane (石狩): 「家一杯に人が集まった。」 “Cise sik kane aynu uekarpa.”: ②(一杯の分量を表し)(表現) 椀一杯の汁 sine itanki or o rur (新)

いっばん(一般) [連体]一般的な yayan (石狩): [名]一般人 yayankur (天塩)、[名] yayan aynu (yayanaynu) (天塩): [名]一般論 yayan yaynu (新)

いっぴき(一匹) [連体]一匹の sine (石狩): (表現)一匹の魚 sine cep (新): [名]一匹

sinep (石狩): (表現)魚一匹 cep sinep (新)

いっぴん(逸品) [名]逸品 sisakpe (石狩)

いっぷく(一服) [名](煙草の)一服 pa (H): (表現)煙草一服 tampaku sine pa (H)

いっば(一步) [名]一步 sine apkas (新): (表現)一步前へ進む sine apkas ne sietok ene oman (複数 paye) (新)

いっぼう(一方) ①(二つに分けたもの、二つで一組のもの、あるいは見做すものに関して)[場名]一方 arke (石狩): 「お前が紐を切ったら一方は長すぎるし一方は短すぎるよ。」“At e=tuye kor arke tanne kasuy wa arke takne kasuy na .”: ②(手足など身体の部位に関して)[連体]一方の oar (石狩): ③(対になったものに関して)[連体]一方の ear (石狩): ④(②、③の意味で専ら合成語の構成要素として)[連体]一方の ar (石狩): ⑤(比較の表現として)一方の～は…もう一方の～は… sine ~ anakne (anak) … sine ~ anakne (anak) … (石狩): 「一方の人は山に行きたいし一方の人は海に行きたい。」“Sinen anakne kim ta oman rusuy korka sinen anakne pis ta san rusuy .”: ⑥[名]一方が険しい山 tapkut (石狩)

いつまでも(何時までも) [副]何時までも inantapakno (石狩)、[副] neytapakno (石狩)、[副] neypakno (石狩): 「あなたの言葉を何時までも忘れないでしょう。」“Es=ye itak neypakno somo ku=oyra nankor .”

いつも(何時も) [副]何時も ramma (石狩): (表現)何時も ramma kane (石狩): (表現)何時も何時も ramma ramma (石狩): (表現)何時も変わりなく ramma kane katkor kane (石狩): (表現)何時ものように ramma néno (石狩): [副](雅語。前に起こった事態を受け、同じ事態が繰り返される事を示し)何時ものように isenramkora (石狩)、[副](雅)isenramkorak (沙流): (表現)(雅)何時ものように isenram sekor (石狩)、[副](雅)senram sekor (久保寺より)、[副](雅)isenram kusu (久保寺より)

いつもする(何時もする) [助動](本動詞の表す動作が常時行われる事を示し)何時も～する us (石狩): otta hotke us hi (そこに・寝る・何時もする・所)→「寝床」、turepta-us-nay (オオウバユリの鱗茎を掘り採る・何時もする・沢)→空知地方の川の名。: [助動](目下専ら地名中に用いられ)何時も～する ot (留萌): rur-mo-ot-pe (潮・静かである・何時もする・もの)→留萌地方の地名。

いつわって(偽って) [副]偽って sunkeno (石狩): (表現)偽って sunke wa (石狩): 「私は偽って二人の女性と結婚した。」“Ku=sunke wa tu menoko ku=kor .”

いてつく(凍てつく) [自]凍てつく rupus (石狩): [他](場所)で凍てつく erupus (新): [他]～と共に凍てつく korupus (新): [他](原因、手段)で凍てつく orupus (新): [他]～を凍てつかせる rupuska (沙流): [自]充分凍てつく rupusno (rupusnu) (新): [自]すっかり凍てつく oanrupus (anrupus) (新): [自]ひどく凍てつく toykorupus (新)、[自] rayrupus (新): [自]忽ち凍てつく rupustek (新): [自]一人、一つだけが凍てつく yayrupus (新): [自]全てが凍てつく urupuska (新)

イテリメン [名]イテリメン人 iterimenkur (iterimen) (新)※(旧称「カムチャダール人」): [名]イテリメン語 iterimenkur-itak (iterimen-itak) (新)※(旧称「カムチャダール語」)

いでん(遺伝) [自]遺伝する siuste (新): [他]～に遺伝する、～と共に遺伝する kosiuste (新): (表現)～へ遺伝する ~ekota siuste (新): (表現)～と共に遺伝する ~tura(-no)siuste (新): [他](原因、手段)で遺伝する osiuste (新): [他]自分で、単独で遺伝する yaykosiuste (新): [他]共に遺伝する ukosiuste (新): [名]遺伝学 siuste-eampehunar (新)

いでんし(遺伝子) [名]遺伝子 ciosiustep (新)、[名] géne (新)※(英語): [名]遺伝子型 ciosiustepkat(-u) (新)、[名] génotipe (新)※(英語)

いど(緯度) [名]緯度 ahunka (新): [名]北緯 koykaahunka (新)、[名]南緯 koypokahunka (新)

いど(井戸) [名]井戸 simpuy (石狩)

いと(糸) [名]糸 ka (石狩): (表現)糸を撚る、紡ぐ ka eka (石狩): (表現)糸を紡ぐ ka kar (新): (表現)糸を巻く ka saye (石狩): [名]糸の結び目 kásinkop (石狩): (表現)(沢山の糸を撚っている様を描写し)二つの糸の結び目、三つの糸の結び目をどんどん撚りおろし重ねている tu kásinkop re kásinkop ukaeranke kor an (石狩)

イトアメンボ(糸水馬) (昆虫)[場名](アメンボ下目)イトアメンボ上科 kápekaopkas-apapa (新): [名]イトアメンボ科 kápekaopkas-apa (新): [名]イトアメンボ kápekaopkas (新): [名]ヒメイトアメンボ mokápekaopkas (新)

イトウ(伊富魚) (魚介)[名](サケ亜科)イトウ属 (新): [名]イトウ ciray (石狩)、[名]

operaipe (天塩)、[名] yayattecep (天塩): [名]アムールイトウ santa-ciray (新)※(別名「タイメン」): [名]コウライイトウ coson-ciray (新): [名]チョウコウイトウ atuyya-ciray (新)※(別名「ヨウスコウイトウ」): [名]ドナウイトウ danubius-ciray (新)※(別名「フッヘン」): ②(表現)イトウが〜に群来する ciray ot (地名)

いどう(移動) [自](人などが自分の足で)移動する yayraye (複数 yayraypa) (新): [自](何らかの手段を使って、あるいはひとりで)に移動する siraye (複数 siraypa) (新): [他]〜を移動させる raye (複数 raypa) (石狩): 目下合成語の構成要素として見出されるが今後単独でも使う: [他](場所)に〜を移動させる oraye (複数 oraypa) (石狩)、[他] koraye (複数 koraypa) (新)

いときりば(糸切り歯) [名]糸切り歯 sikite (石狩)、[名] sinimak (天塩)

いとくず(糸屑) [名]糸屑 kásit (石狩)、[名] káuype (沙流)

いとぐるま(糸車) [名]糸車 kákarkarip (新)

いとこ(従兄弟、従姉妹) [名]従兄弟 irwak(-i) (石狩): [名]従兄弟 irwaknekur (新)、[名] irpaknekur (石狩): [名]従兄 irwakyup(irwakyupi (石狩)yupo) (新): [名]従弟 irwakak(-i) (新): [名]従姉 irwaksa(irwaksaha、irwaksapo) (新)、[名] irpaksapo (石狩): [名](男にとって)従姉妹 irwaktures(-i) (新)、[名](女にとって)従妹 irwakmatak(-i) (新)

イトスギ(糸杉) ①(植物)[名](イトスギ属の総称として)イトスギの木 kupressus (新)※(別名「セイヨウヒノキ」、「サイプレス」): ②[名](ヒノキ亜科)イトスギ属 kupresussus-cise (新): [名]ホソイトスギ sikipressus (新)※(別名「イタリアイトスギ」): [名]アラスカヒノキの茎 alaska-kupressus (新): [名]アリゾナイトスギの茎 kapukapar-kupressus (新)※(「ウスカワアリゾナイトスギ」): [名]オオイトスギの茎 himaraya-kupressus (新): [名]カシミールイトスギの茎 kasmir-kupressus (新): [名]サハラサイプレスの茎 sahara-kupressus (新): [名]シダレイトスギの茎 tekeratki-kupressus (新): [名]センコウハクの茎 atuyya-kupressus (新): [名]チベットサイプレスの茎 búkupressus (新): [名]モントレイトスギの茎 monterey-kupressus (新)

いとどこ(糸底) [名]糸底 tokom(-i) (石狩)

いとだま(糸玉) [名]糸玉 kátak(-u) (石狩)

いとおむぎ(糸紡ぎ) [自]糸紡ぎをする kákar (新)、[自] kayka (kaeka) (新): (表現)糸紡ぎをする ka kar (新): [名]糸紡ぎ機 ciokakarpe (新): [名]糸紡ぎ車 kákarkarip (新)

いとなむ(営む) (事業に関して)[他]〜を営む kor (新): (表現)建設業を営む ikaroyki-epirkausi kor (新)

イトバショウ(糸芭蕉) (植物)[名](バショウ目)イトバショウの茎 úni (新)※(琉球語「ウー」)。別名「リュウキュウバショウ」): [名]イトバショウの繊維 úniat (新)

イトヒキアジ(糸引鯨) (魚介)[名](アジ科)イトヒキアジ属 sitokiipe-cise (新): [名]イトヒキアジ sitokiipe (知里): [名]ウマヅラアジ ummanankorsitokiipe (ummananukossitokiipe) (新)

いとまき(糸巻き) ①[名]糸巻き kásayep (石狩)、[名] kákuttar (新)※(ボビン): [名]糸巻き木、糸巻き棒 kánit(-ci) (石狩): [自]糸巻きをする kásaye (石狩): (表現)糸巻きをする ka saye (石狩): ②(弦楽器の)[名]糸巻き kácimpe (新)※(ペグ): [名](トンコリの)糸巻き kisaru (樺太)

いとより(糸燃り) [自]糸燃りする kayka (káeka) (石狩): (表現)糸燃りをする ka eka (石狩): [他](人)に糸燃りさせる kaykare (káekare) (新)

いなか(田舎) [名]田舎 inaka (新)※(日本語)

いなく [自]いなくなる、いない isam (石狩): (表現)〜のいない所で ~ arke ta (沙流)、(表現) ~ isam hi ta (石狩): 「私達のいない所であの娘達ごはん食べてたわよ。」“I=arke (Isam=an hi) ta ne menoko utar ipe na.”

いなづま(稲妻) [名]稲妻、稲光 imeru (石狩): (表現)稲妻が光る、稲光する imeru at (石狩): (表現)サッと稲妻が走る imeru matkosanu (石狩): (表現)パッと稲光する imeru makkosanu (新): (表現)パツパツと何度も稲光する imeru maknatara (新): [名]稲光と共にカラカラ鳴る雷 kuttarkamuyhum (石狩)

いにん(委任) [自]委任する iirenkakore (新): [他](人)に委任する irenkakore (新): [他]〜に関して(人)に委任する eirenkakore (新): [他]〜と共に(人)に委任する koirenkakore (新): [他](原因、手段で)(人)に委任する oirenkakore (新)

イヌ(犬) ①(動物)[場名](ネコ目)イヌ亜目 seta-mokotan (新): [場名]イヌ下目 seta-kotankes (新): [名]イヌ科 seta-apa (新): [名]イヌ属 seta-cise (新):

[名]アビシニアジャッカル itiopiyaun-jakkar (新): [名]アメリカアカオオカミ amerikaunhure-horkew (新): [名]イエイス cireskaseta (石狩)※(タイリクオオカミの亜種): [名]キンイロジャッカル konkani-jakkar (新): [名]コヨーテ koyote (新): [名]セグロジャッカル seturukunne-jakkar (新): [名]タイリクオオカミ yayan-horkew (新): [名]ヨコスジジャッカル utossamaruo-jakkar (新): [名]オオミミギツネ属 kisaraporosumari-cise (新): [名]オオミミギツネ kisaraporo-sumari (新): [名]カニクイキツネ属 amuspeesumari-cise (新)※(カニクイヌ属とも): [名]カニクイキツネ amuspee-sumari (新): [名]キツネ属 sumari-cise (新): [名]クルペオギツネ属 kurpeosumari-cise (新)※(パンパスギツネ属とも): [名]コミミヌ属 kisattakneseta-cise (新): [名]コミミヌ kisattakne-seta (新): [名]タテガミオオカミ属 otopushorkew-cise (新): [名]タテガミオオカミ otopus-horkew (新): [名]タヌキ属 moyuk-cise (新): [名]ドール属 hùrehorkew-cise (新): [名]ドール hùre-horkew (新)※(別名「アカオオカミ」): [名]ハイイロギツネ属 manaussumari-cise (新): [名]フオー克蘭ドオオカミ属 forkurandounhorkew-cise (新): [名]フオー克蘭ドオオカミ forkurandounhorkew (新)※(絶滅): [名]ヤブイヌ属 hastayseta-cise (新): [名]ヤブイヌ hastayseta (新): [名]リカオン属 riaon-cise (新): [名]リカオン rikaon (新): [名]クマ下目 eper-kotankes (kimunkamuy-kotankes) (新): ②(イエイスの品種)[名]秋田犬 akita-seta (新): [名]樺太犬 karahto-haski (新): [名]グレイハウンド gureyhaundo (新): [名]シェパード şeperdo (新): [名]スバニエル supanier (新): [名]スピッツ supit (新): [名]津軽犬 t ugaru-seta (新): [名]テリア terier (新): [名]ブルドッグ burdok (新): [名]ポインター pointer (新): [名]北海道犬 yaun-seta (新): [名]ヨークシャーテリア yorkuşire-terier (新): ③(年齢、性別などによる名称)[名](雅語)犬 reyep (H): [名](戸口にいる飼犬として)犬 apacampe (美幌)、[名] apacapunki (美幌)、[名] apapunki (美幌): [名](動物から見た)犬 nimakitara (石狩): [名]仔犬 cócopo (石狩)、[名] pon seta (poyseta) (石狩)、[名] posta (石狩): [名]老犬 onne-seta (石狩):

[名]一歳の犬 posta (樺太: タライカ): [名]二歳の犬 írpacap (樺太: タライカ): [名]三歳の犬 túpacap (樺太: タライカ): [名]死んで神になった犬 woywoy (樺太: 白浦): [名]雄犬 pinne-seta (石狩): [名]雌犬 matne-seta (石狩): [名]黒犬 kunne-seta (石狩): [名]白犬 retar-seta (石狩): [名]赤犬 hùre-seta (石狩): [名]灰犬 manaus-seta (H): [名]虎斑のある犬 tunro-seta (H): [名]ぶち犬 sirkio-seta (石狩)、[名] keso-seta (H): [名]むく犬 hepur-seta (H): [名]額まで鼻筋の通った犬 ekitruoma-seta (天塩): [名]鼻が黒い犬 etukunne-seta (天塩): [名]鼻の白い犬 eturetar-seta (天塩): [名]両目の上に星模様のある犬 tusiko-seta (H): [名]額に髪を分けたような模様のある犬 hecimio-seta (H): [名]尻尾が短い、あるいは無い犬 otuy-seta (H) ④(関連語彙)[名]犬の毛皮 setaur (H): [名]犬の餌 setaep (石狩): [名]犬の餌入れ setanima (石狩): [名]犬の檻 setaset (新): [名]犬小屋 setacise (新): [名]犬の首輪 setarekutunkarip (新): [名]犬の首縄 setatar (新): [間投詞・自]ワンと吠える声、あるいはワンと吠える mik (石狩)、[間投詞・自] mek (石狩、天塩): [間投]クンクン鳴く声 niwniw (石狩): [自]クンクン鳴く niwniwse (石狩): [間投]遠吠えする声 wo (石狩): [自]遠吠えする wóse (石狩): [間投]いがんで吠える声 yawyaw (石狩): [自]いがんで吠える yawyawse (石狩): [自]いがむ niwen (石狩): [間投]人が犬を呼ぶ声 cóco (石狩)

イヌイット [名]イヌイット ínuitkur (新)、[名] ínuit (新)※(カナダの先住民): [名]イヌクティトゥット語 ínukutitut-itak (新)

イヌエンゴサク(犬延胡索)(植物)[名](メギ科)イヌエンゴサク属 setatomakina-cise (新): [名]レオンテイケ・アルタイカの茎葉 artay-setatomakina (新): [名]L. ミクロリンカの茎葉 setatomakina (新)

イヌガヤ(犬樫) (植物)[名](マツ科)イヌガヤ科 anatni-apa (新): [名]イヌガヤ属 anatni-cise (新): [名]イヌガヤの茎 sisamanatni (新): [名]タイワンイヌガヤの茎 taywananatni (新): [名]ハイイヌガヤの茎 anatni (天塩)※(イヌガヤの変種。別名「アイズイヌガヤ」): [名]アメントタクスス属 mekotposarunanatni-cise (新): [名]キャットキンユー mekotposarunanatni (新): [名]タイワン

キ ャ ッ ト キ ン ュ ー の 茎
taywanmekotposarun (新): [名]ユンナン
キ ャ ッ ト キ ン ュ ー の 茎
yunnanmekotposarun (新): [名]カヤ属
síanatni-cise (新)

いぬく(射抜く) (表現)～を矢で射抜く ～
otta ay ahunke (石狩)、(表現) ～ or ay
koahunke (新)

イスコリヤナギ(犬行李柳)(植物)[名](ヤナギ属)
イスコリヤナギの茎 uraysusu (有珠)、
[名] urasusu (石狩)、[名] situskor (十
勝)

イスタデ(犬夢) (植物)[名](タデ科)イスタデ属
yayantante-cise (新): [名]イスタデの茎
yayantante (新): [名]アイの茎葉
aytante (新)※(別名「アイタデ」): [名]ア
キノウナギツカミの茎葉 cukcitanne-
okismap (新): [名]アラゲタデの茎葉
daytowtante (新): [名]イシミカワの茎葉
unkere mun (足寄): [名]ウナギツカミの
茎葉 citanne-cepokismap (新): [名]エ
ゾノミズタデの茎葉 pekampemun (新)※
(Cより): [名]オオイスタデの茎葉
porotante (新): [名]オオケタデの茎葉
poroorepun-tante (新): [名]オオネバリタ
デの茎葉 porounkotuk-tante (新): [名]
サイコクヌカボ kansaynukabo (新):
[名]サクラタデの茎葉 karimpani-
apappotante (新): [名]サナエタデの茎葉
toytatante (新): [名]シロバナサクラタデ
retarkarimpani-apappotante (新): [名]
タニソバの茎葉 somounkerekina (新):
[名]ツルソバの茎葉 kompey-
topempeomun (新): [名]ナガバノウナギ
ツカミの茎葉 hamutanne-citanne-
okismap (新): [名]ナツノウナギツカミの
茎 (新): [名]ニオイタデの茎葉
húranutante (新): [名]ヌカボタデの茎葉
samorunnukabo (新): [名]ハナタデの茎
葉 numaustante (新)※(別名「ヤブタ
デ」): [名]ヒメタデの茎葉 motante
(新): [名]ヒメツルソバの茎葉
mokompey-topempeomun (新): [名]ホソ
バノウナギツカミの茎葉 hamuane-
citanne-okismap (新): [名]ボントクタ
デの茎葉 amamtoysamus-tante (新):
[名]ママコノシリヌグイの茎葉 ikerekina
(新): [名]ミゾソバの茎葉 unkerekina
(千歳): [名]ミヤマタニソバの茎葉
apappoponuncakina (新): [名]ヤナギタ
デの茎葉 ikoetante (新)※(別名「タデ」):
[名]ヤナギヌカボの茎葉 nukabo (新)※
(日本語): [名]ヤノネグサの茎葉
petcamustante (新)

イスピアット [名]イスピアット ínupiakkur
(新)、[名] ínupiak (新)※(アラスカの先住
民)

イヌマキ(犬槭) (植物)[名](マツ目)イヌマキ科
maki-apa (新): [名]イヌマキ属 maki-
cise (新)※(日本語。「マキ科、マキ属」とも):
[名]イヌマキの茎 yayanmaki (新): [名]
ラカンマキの茎 ironnemaki (新): [名]
アクモピュレ属 fijimaki-cise (新): [名]
アフロカルプス属 afrikamaki-cise (新):
[名]エダハマキ属 cikapepomaki-cise
(新): [名]エダハマキの茎 cikapepomaki-
cise (新): [名]サクセゴタエ属
patagoniamaki-cise (新): [名]スンダカル
プス属 sundamaki-cise (新): [名]ダク
リュカルプス属 dakrikarpus-cise (新):
[名]ダクリュディウム属 dakridium-cise
(新): [名][名]ナギ属 nagi-cise (新):
[名]ナギの茎 nagi (新)※(日本語): [名]
パラシタクシス属 iounkarmaki-cise (新)
※(寄生する横): [名]ハロカリュプス属
aotearoamaki-cise (新): ファルカティフ
オリウム属 iyokpehamusmaki-cise (新):
[名]フィロクラドゥス属
hamkatkotcausmaki-cise (新): [名]プル
ムノビチュス属 apappomaki-cise (新):
[名]マノアオ属 manoaomaki-cise (新):
[名]ミクロカクリュス属 reyemaki-cise
(新): [名]ミクロストロボス属
numinokanmaki-cise (新): [名]ラガロス
トロボス属 huonmaki-cise (新): [名]レ
トロフュルム属 onumpomaki-cise
(新): [名]レピドタムヌス属 nitatmaki-
cise (新)

いねむり(居眠り)[自](こっくりこっくりと)居
眠りする hesuye(複数 hesuyupa) (石狩):
[他](人)を居眠りさせる hesuyere (複数
hesuypare) (新)

イノシシ(猪) (動物)[場名](鯨偶蹄目)イノシシ
亜目 nupputa-mokotan (新): [名]イノ
シシ科 nupputa-apa (新): [名]イノシシ
属 nupputa-cise (新): [名]イノシシ
nupputa (新): [亜種][名]ニホンイノシシ
nipponun-nupputa (新): [名]リュウキュ
ウイノシシ rucuun-nupputa (新): [名]
コビトイノシシ monupputa (新): [名]
スス・ケビフロンズ visayaun-nupputa
(新): [名]S. ケレベンシス serebesun-
nupputa (新): [名]S. ティモレンシス
timorun-nupputa (新): [名]S. ブックレ
ントゥス indocinaun-nupputa (新):
[名]スンダイボイノシシ javaun-nupputa
(新): [名]ヒゲイノシシ rékus-nupputa
(新): [名]フィリピンヒゲイノシシ

piripinasun-nupputa (新): [名] プタ
puta (石狩)、[名] cireskaputa (新):
[名] イボイノシシ属 tomtomonupputa-cise
(新): [名] カワイノシシ属
petcamunnupputa-cise (新): [名] バビルサ
属 babirusa-cise (新): [名] モリイノシシ
属 nitayorunnupputa-cise (新): [名] ペ
ッカリー科 pekari-apa (新)

いのち(命) ①[名] 命 ramat(-ci) (石狩): ②
[自] 命を失くす ramatcak (石狩)、[自]
ramatsak (新): [他] ~の命を奪う
ramatcakka (新)、[他] ramatsakka
(新): ③[自] 命を得る ramatkor (新)、
[自] siramatkore (新): [他] (人)に命を与
える、授ける ramatkore (石狩): ④[他]
~を命の次に大切にする
eyaykasikamuykore (天塩)

いのちびろい(命拾い) [自] 命拾いする
yaykewkor (沙流): [自] 命拾いしたと思
いホットする yaykewehomsu (沙流)

いのり(祈り) ①[名] 祈り inomi (新): ②
[名] 祈詞 inonnoitak (石狩): [自] 祈詞を
唱える inonnoitak (石狩): [他] ~に祈詞
を唱える nonnoitak (石狩)、[他] (雅)
kononnoitak (石狩)、[他] (雅) ekononno
(石狩): [他] (叱責、脅迫のため) ~に強く祈
詞を唱える toykononnoitak (石狩): ③
[自] (神が) 人の祈りを聞く ihuminu (石
狩): [他] ~の祈りを聞く huminu (新)

いのる(祈る) [自] 神に祈る kamuynomi
(石狩)、[自] inomi (石狩): [他] ~につ
いて神に祈る ekamuynomi (石狩)、[他]
einomi (新): [自] 自分で、一人で神に祈
る ukoinomi (新): [自] 心の中で神に祈
る isampenomi (石狩) [他] ~に祈る
nomi (石狩): [他] ~について~に祈る
enomi (新): [他] (場所)で~に祈る
enomi (新): [他] ~と共に~に祈る
konomi (新): [他] (原因、手段)で~に祈る
onomi (新): [他] 自分で、一人で~に祈る
yaykonomi (新): [他] 互いに、皆で~に祈
る ukonomi (新): [他] 心の中で~に祈る
sampenomi (石狩)

イノンド (植物) [名] (セリ科) イノンド属
şevit-cise (新): [名] イノンドの茎葉
şevit (新)※(ヘブライ語)、[名] イノンドの種
şevitpi (新)

いばしょ(居場所) [場名] 居場所 úsi (石狩):
(表現) 私の居場所 ku=kor úsi (石狩)

いばる(威張る) [自] 威張る pakesar
(pakisar) (石狩): [他] ~を笠に着て威張
る epakesar (epakisar) (石狩): [他] (人)
に対して威張る kopakesar (kopakisar)

(新): [他] (人)を威張らせる pakesare
(pakisare) (新)

いびき(鼾) [名] 鼾 etoro (石狩): [自] 鼾を
かく etoro (石狩): [他] (人)に鼾をかか
せる etorore (新): (表現) ~の鼾の聲は剥
がれる音を立て続ける ~ etoro have
mesrorotke (幌別): (表現) ~の鼾の聲の
騒々しさは凶事に大勢があげる雄たけびの
如く騒々しい ~ ki etoro yupkep haw
kunne uhaw ta royse (幌別)

いふ(畏怖) [名] 畏怖 oripak (石狩): (表現)
畏怖の念を覚える oripak kewtum
yaykorpore (石狩): [自] 畏怖する
oripak (石狩): (表現) 畏怖しつつ oripak
kane (石狩)、(表現) oripak kor (石狩)、
(表現) oripak tura (石狩): [他] ~を畏怖
する eoripak (石狩)、[他] kooripak (天
塩): [他] ~と共に畏怖する kooripak
(新): [他] (原因、手段)で畏怖させる
ooripak (新): [他] (人)に畏怖させる
oripakte (新): [副] 畏怖して oripakno
(石狩): [後副] ~を畏怖して eoripakno
(新)

いふうどうどう(威風堂々) [自] 威風堂々として
いる ikurerari (沙流)

イブキトラノオ(伊吹虎の尾) (植物) [名] (タデ
科) イブキトラノオ属 upashudemun-cise
(新): [名] イブキトラノオの茎葉
upashudemun (新): [名] クリユキフデ
の茎葉 riktaupashudemun (新): [名] ハ
ルトラノオの茎葉 samorupashudemun
(新): [名] ムカゴトラノオの茎
tamaepuykorupashudemun (新)

イブキボウフウ(伊吹防風) (植物) (セリ科) イブ
キボウフウ属 upewkinacise (新): [名]
イブキボウフウの茎葉 upewkina (新)、
[名] イブキボウフウの根 upew (H): [名]
ハマイブキボウフウの茎葉
masarusupewkina (新)

いふく(衣服) [名] 衣服 anmíp (石狩)、[名]
cimip (石狩)、[名] imi (石狩)、[名]
mip(-i) (石狩)、[名] cimikunip (石狩):
「私の衣服」はそれぞれ ku=kor anmip、
ku=kor cimip、ku=kor imi あるいは
ku=imi、ku=mipi、ku=kor cimikunip:
「衣服を着る」 anmip mi など、「衣服を脱
ぐ」 anmip ama など: [自] 衣服を着る
imi (石狩)、[自] (雅) imup (石狩)

いぶす(燻す) [自] 燻す uparusi (新): [他]
~を燻す euparusi (新): [他] ~と共に燻
す kouparusi (新): [他] (原因、手段)で燻
す ouparusi (新): [他] (人)に燻させる
uparusire (新)

いへき(胃壁) [名] 胃壁 yospetumam(-a)

(新)

いぼ(疣) [名]疣 érumtomtom(-i) (石狩)、[名] érumtampu (天塩)： [名](一生残る)疣 tomtom(-i) (天塩)： [名](外傷や病気で一時的にできる)疣 érumtama (天塩)

イボイノシシ(疣猪) (動物)[名](イノシシ科)イボイノシシ属 tomtomonupputa-cise (新)： [名]イボイノシシ tomtomonupputa (新)： [名]ケープイボイノシシ kapeuntomtomonupputa (新)

いま(今) [場名・副]今 tane (石狩)： (表現)今は、今や、最早 tane anakne (石狩)、(表現)(雅) tane ne kusu (沙流)、(表現) tane awa (沙流)： (表現)今にも今にも(～しそう)、ほどなく tane tane (沙流)： (表現)今まで、これまで tane pakno (石狩)： [副]今から、これから téwano (石狩)： (表現)今から、これから tane wano (石狩)： (表現)今初めて tane easir (石狩)： [副]今しがた、今やと tanepo (石狩)、[副] tap (天塩)： (表現)今やと tanepo tap (沙流)、(表現) tanepo tap ta (沙流)： (表現)今の今まで tap tasi (沙流)、(表現) tanepo tapne (沙流)： (表現)今頃になって tane pakita (沙流)： (表現)今にして分かるが～だ orowaciki ～ awan (石狩)、(表現) oroyaciki ～ awan (石狩)： 「今にして分かるが、あの男は私達に嘘をついていたのだ。」 “Orowaciki neankur i=kosunke awan .”

いましめ(戒め) [名]戒め cieicakasnu (cieipakasnu) (新)： [自]戒める icakasnu (ipakasnu) (新)： [他]～について人を戒める eicakasnu (eipakasnu) (新)： [他](人)を戒める cakasnu (天塩)、[他] pakasnu (石狩)： [他]～について(人)を戒める eckakasnu (天塩)、[他] epakasnu (石狩)： [他]～と共に(人)を戒める kocakasnu (kopakasnu) (新)： [他](原因、手段)で(人)を戒める ocakasnu (opakasnu) (新)： [他](人)に(人)を戒めさせる caksnure (pakasnure) (新)： [他]自分で、一人で(人)を戒める yaykocakasnu (yaykopakasnu) (新)： [他]皆で(人)を戒める ukocakasnu (ukopakasnu) (新)： [他]充分(人)を戒める caksnuno (pakasnuno) (新)、[他] caksnunu (pakasnunu) (新)： [他]しっかり(人)を戒める pirkapakasnu (pirkakakasnu) (新)： [他]真剣に(人)を戒める ramkocakasnu (ramkopakasnu) (新)： [他]がっちり(人)を戒める、ぎゅーぎゅー(人)を戒める toykocakasnu (toykopakasnu) (新)： [他]完璧に(人)を戒める eatcakasnu

(earpakasnu) (新)： [他](人)を酷く戒める wencakasnu (新)、[他] wempakasnu (石狩)： [他]～を酷く戒める ewencakasnu (新)、[他] ewempakasnu (石狩)

いまよう(今様) [自]今様になる、である imayowne (新)： [他]～を今様色に染める imayow-neka (-nere) (新)： [名]今様色 imayow-iro (新)

いみ(意味) [名]意味 itaknum(-i) (沙流)： (表現)言葉の意味 itak ramu (八雲)、(表現) itak oro us pe (新)： (言語)[名]意味格 itaknum-rewke (新)

いみことば(忌言葉) [名]忌言葉 semeitak (天塩)

イム [名]イム imu (石狩)： [自]イムする imu (新)： [他](場所)でイムする eimu (新)： [他]～と共にイムする koimu (新)： [他](原因、手段)でイムする oimu (新)、[他] eimu (沙流)： [他](人)をイムさせる imure (石狩)

イメージ [名]イメージ yayramorenokakar (新)、[名] image (imagine) (新)※(英語)： [自]イメージする yayramorenokakar (新)、[自] image (imagine) (新)： [他]～をイメージする eimage (eimage) (新)： [他]～と共にイメージする koyayramorenokakar (新)、[他] koimage (koimage) (新)： [他](原因、手段)でイメージする oyayramorenokakar (新)、[他] oimage (oimage) (新)： [他](人)にイメージさせる yayramorenokakare (新)、[他] imagere (imaginere) (新)

いも(芋) [名]芋 imo (石狩)： [名]芋焼酎 imoparkarpe (新)： [名]芋団子 imosito (新)： [名]芋の滓 imosit (石狩)： [名]芋の澱粉 imoirup (新)： [名]芋餅 imomoci (新)： [自]芋掘りをする imoouri (新)： (表現)芋を掘る imo ouri (石狩)、(表現) imo yanke (八雲)

いもうと(妹) ①[名](兄にとっての)妹 tures(-i) (石狩)、[名] matapa (幌別)： (表現)私の妹(常) ku=kottures (ku=kor tures)、(表現)(雅) ku=tures (石狩)： ②[名](姉にとっての)妹 matak(-i) (石狩)： (表現)私の妹 ku=mataki (石狩)： [自]兄と弟、妹である uyupikor (沙流)： [自]姉と弟、妹である usakor (沙流)： [自]妹と兄である uturesikor (新)、[自] utureskor (沙流)、[自] umatapakor (沙流)： [自]妹と姉である umatakikor (沙流)

いもねじ(芋ねじ) [名]芋ねじ hesak-pinnecinoyep (新)※(「ホーローセット」、「止めねじ」、「六角穴付き止めねじ」など)：

[名] ボタンボルト karus-pinnecinoyep
(新)※(「六角穴付きボタンボルト」、「ボタン
キャップ」とも)： [名] Uボルト U-noka-
pinnecinoyep (新)※(「U字ボルト」とも)：
[名] 六角ボルト yayampinnecinoyep (新)、
[名] iwaysikkewkor-pinnep (新)： (表現)
六角ボルト iwaysikkewkor pinnecinoyep
(新)： [名] 六角穴付きボルト konci-
pinnecinoyep (新)※(「キャップボルト」、
「キャップスクリュー」、「ソケットスクリュー」
とも)： (表現) 六角穴付きボルト
iwaysikkewkor puyo koncikor pinnecinoyep
(新)： [名] 六角穴付き皿ボルト akam-
pinnecinoyep (新)※(「皿キャップ」、「皿ボ
ルト」とも)： (表現) 六角穴付き皿ボルト
iwaysikkewkor puyo akamun pinnecinoyep
(新)

いもの(鋳物) [名] 鋳物 cinokaorokarpe
(新)

いや(1)(嫌) ①[他]～を嫌がる、～が嫌である
etoranne (石狩)、[他] eranak (石狩)：
(表現) 嫌な事 an=erának pe (石狩)：「子
供の頃私は勉強が嫌だった。」“Ku=pon hi ta
kampinuye ku=etoranne .”、「何かを勧めら
れたりして嫌だ。」“Ku=etoranne !”、「あ
なたが私を嫌がっているのは本当かい？」

“Es=en=eranak yak a=ye p sonnoampe ne
ya ?”： [助動]～(する事)が嫌である
etoranne (石狩)：「お前は怠けてゴミ出し
さえ嫌がるんだな。」“E=toranne wa
e=munasinke poka etoranne ru an na .”：
②[他]～が絶対嫌である、～を拒否する
kopan (石狩)：「私達は和人の手先を嫌が
った。」“Sisam eiwanke p ci=kopan .”： [助
動]～(する事)が絶対嫌である kopan (石
狩)：「人間として金のために同族を売る事
は絶対嫌だ。」“Aynu ku=ne wa ikor ku=uk
kusu ku=kor anutari ku=osura kopan .”：

③[他](体調の悪さや面倒で)～を嫌がる、～が
嫌である nukuri (石狩)：「疲れている
からこの仕事は嫌だよ。」“Ku=sinki kusu
tan monrayke ku=nukuri hum an .”： [助
動]～(する事)が嫌である nukuri (石狩)：

「足が痛くて歩くのは嫌だ。」“Ku=cikiri
arka wa ku=apkas nukuri .”： ④[他]～が
嫌だと思う kiumwen (kiwmen) (石狩)：
「あの人は酔って卑猥な話ばかりするから
飲み会が嫌だと思う。」“Neokay utar
ihoski kor hoye patek ki kusu ikuso
ku=kiumwen .”： [助動]～(する事)が嫌だ
と思う kiumwen (kiwmen) (石狩)：「お
前は人の悪口ばかり言うから僕はお前と話
をするのが嫌だと思うんだよ。」“Eani
anakne e=iohaykekar patek ki kusu

e=koitak=an kiwmen na .”

いや(2) ①[間投](否定、拒否の表現として)否
somo (石狩)：「—君はすごいな。—いや
—、運が良かったのさ。」— Askaykur e=ne
ruwe ! — Somo , ku=mawkopirka ru
un .”、「—一緒に行こうよ。—いや、私一人
で行くよ。」— Uturano paye=an ro ! —
Somo ! Sinenne ku=oman na .”： ②[間
投](禁止の表現として)嫌 eciki (石狩)、[間
投]嫌一つ ecikki (石狩)：「嫌。こっちへ
来ないで。」“Eciki ! En=ekota ek !”

いやいやする(1)(嫌々する) [他]嫌々～をする
kiumwen (kiwmen) (石狩)：「本当に私
は行きたくなかったけれど仕方がないので
嫌々ながらついて行きました。」“Sonno
ku=oman etoranne korka ene ku=kar hi ka
isam kusu ku=kiumwen kor ku=itura .”

いやいやをする ①(嫌悪、拒否を示し全身
で)[自]いやいやをする simuyappa (石狩)、
[自] eyuppayappa (屈斜路)： ②(頭を振
って)[自]いやいやをする keysuyesuye
(新)

いやがらせ(嫌がらせ) [自]人に嫌がらせをす
る ioramsakka (石狩)、[自] iramkoyki
(石狩)： [他](人)に嫌がらせをする
oramsakka (石狩)、[他] ramkoyki (石
狩)： [他](人)に(人)に嫌がらせをさせる
oramsakkare (新)、[他] ramkoykire
(新)： [自]嫌がらせをし合う uoramsakka
(石狩)、[自] uramkoyki (新)

いやしい(卑しい) [自]卑しくなる、卑しい
iyasi (新)※(日本語)： [自]人を卑しめる
iiasika (iiasire) (新)： [他](人)を卑し
める iyasika (iyasire) (新)： [他](場所)
で(人)を卑しめる eiyasika (eiyasire)
(新)： [他]～と共に(人)を卑しめる
koiyasika (koiyasire) (新)： [他](原因、
手段)で(人)を卑しめる oiiasika (oiyasire)
(新)： [自]自らを卑しめる yayiyasika
(yayiyasire) (新)： [自]卑しめ合う
uiyasika (uiyasire) (新)

いやす(癒す) [自]人を癒す itemka (石狩)：
(表現)癒しの風 itemka maw (石狩)：
[他](人)を癒す temka (石狩)： [他](場所)
で(人)を癒す etemka (新)： [他]～と共に
(人)を癒す kotemka (新)： [他](原因、手
段)で(人)を癒す otemka (新)： [他](人)に
(人)を癒させる temkare (新)

いやらしい(嫌らしい) [名](悪口として)嫌らし
い奴 owenkisituye (石狩)

イヤリング [名]イヤリング ninkari (石狩)：
(表現)イヤリングを付ける ninkari kor
(石狩)： (表現)イヤリングを下げる
ninkari ratkire (石狩)： (表現)イヤリング

を外す ninkari ama (石狩)

いよいよ(愈々) 副]いよいよ tane (石狩)、
[副] óikesne (沙流): (表現)いよいよ
tane anakne (石狩)、(表現) tane ne kusu
(沙流)

いよう(囲蛹) [名](虫の)囲蛹 kapseykorpo
(新)

いらい(依頼) ①(助力、援助の)[自]依頼する
inisuk (天塩)、[自] ikoinene (新):
[他](人)に依頼する nisuk (石狩)、[他]
koinene (石狩): [他]〜に関して(人)に依
頼する enisuk (新)、[他] ekoinene
(新): [他](原因、手段)で(人)に依頼する
onisuk (新)、[他] okoinene (新):
[他](人)に(人)に依頼させる nisukte (新)、
[他] koinenere (新): ②(相談を持ち掛け
た上での)[自]依頼する ikoramkor (石
狩): [他]〜について依頼する eikoramkor
(石狩): [他](人)に依頼する koramkor
(石狩): [他]〜について(人)に依頼する
ekoramkor (新): [他](原因、手段)で(人)に
依頼する okoramkor (新): [他](人)に
(人)に依頼させる koramkore (新)

イラク [場名](国名)イラク共和国 Irak
Ukotankoremosir (新)※(首都は「バクダッ
ド」): [場名](国名の略称として)イラク
Irak (新): [名]イラク人、国民
irakunkur (新): (歴史)[場名](国名)イラク
王 国 Irak Yaykomosirkorkur-korkosir
(新)※(1921-58年)

イラクサ(刺草) ①(植物)[場名](古生花植物亜
綱)イラクサ目 iririp-kotan (新): [名]イ
ラクサ科 iririp-apa (新): [名]イラクサ
属 iririp-cise (新): [名]イラクサの茎葉
yayan-iririp (新): [名]ウルティカ・イン
キサの茎葉 cima-iririp (新)※(焼く刺草):
[名]U. カンナビナの茎葉 saramperu-iririp
(新)※(シルクロード刺草): [名]U. フェロ
クスの茎葉 ongaonga (新)※(マオリ語):
[名]U. マッサイカの茎葉 masai-iririp
(新): [名]ウンナンイラクサの茎 yunnan-
iririp (新): [名]エゾイラクサの茎葉
iririp (石狩)、[名] ipisisip (幌別)、[名]そ
の枯茎 móse (H)、[名]それから採る繊維
hay (石狩)、[名] ikaray (幌別): [名]コ
バノイラクサの茎 hamupon-iririp
(新): [名]セイヨウイラクサの茎 repun-
iririp (新): [名]ナガバイラクサの茎葉
hamutanne-iririp (新): [名]ヒメイラクサ
の茎葉 morepun-iririp (新): [名]ホソバ
イラクサの茎 hamuane-iririp (新):
[名]アウストラリナ属 austorarina-cise
(新): [名]アストロサラムス属
astorotaramus-cise (新): [名]アボリエラ

属 aboriera-cise (新): [名]アルキボエメ
リア属 arxiboemeria-cise (新): [名]イ
ラノキ属 iririni (新): [名]ウライソウ属
úraymun-cise (新): [名]ウレラ属
urera-cise (新): [名]ウワバミソウ属
húrearkesiyonihamus-cise (新): [名]オ
オバヒメマオ属 yambaru-maopunkar-cise
(新): [名]オベティア属 obetia-cise (新):
[名]カテンソウ属 apapporapsakmun-cise
(新): [名]カマバイニア属 xamabainia-
cise (新): [名]カラムシ属 máo-cise
(新): [名]キフロフス属 kiforofus-cise
(新): [名]ギラルディニア属 girarinia-cise
(新): [名]ギロタエニア属 girotaenia-cise
(新): [名]ゲスノウイニア属 gesnouinia-
cise (新): [名]コウッサポア属
koussapoa-cise (新): [名]サルコクラミス
属 sarkoxramis-cise (新): [名]サルコピ
レア属 sarkopirea-cise (新): [名]サンシ
ョウソウ属 húrekaripmun-cise (新):
[名]セクロピア属 kekropia-cise (新):
[名]ソレイロリア属 pompenupe-cise
(新): [名]チョクザキミズ属
ecokoneminci-cise (新): [名]ツルマオ属
reyemao-cise (新): [名]ディスコクニデ属
diskoknide-cise (新): [名]ディディモンド
クサ属 didimondoksa-cise (新): [名]ト
ウカルディア属 toukardia-cise (新):
[名]ドログエティア属 dorogueta-cise
(新): [名]ヌノマオ属 síkasiretarpeoni-
cise (新): [名]ネオディステモン属
neodistemon-cise (新): [名]ネラウディア
属 maoroa-cise (新)※(ハワイ語): [名]
ノソクニデ属 notoknide-cise (新): [名]
ヘミスティルス属 hemistirus-cise (新):
[名]ハドノキ属 nitkor-kasiretarpeoni-cise
(新): [名]ヒカゲミズ属 icorpokminci-cise
(新): [名]フェナックス属 fenaksu-cise
(新): [名]フォルッスカオレア属
wadiiririp-cise (新): [名]ヘスペロクニデ
属 karifonnia-metotuniririp-cise (新):
[名]ペテロティエラ属 peterotiera-cise
(新): [名]ポイキロスベルムム属
poikirospermum-cise (新): [名]ポウロウ
マ属 pourouma-cise (新): [名]マウーテ
ィア属 maoutia-cise (新): [名]ミズ属
minci-cise (新): [名]ミリアンスス属
miriantus-cise (新): [名]ミリオカルパ属
koypokamerika-iriripni-cise (新): [名]ム
カゴイラクサ属 pónipisisip-cise (新):
[名]ムサンガ属 musanga-cise (新): [名]
メタトロフィス属 metatrofis-cise (新):
[名]メニスコギネ属 meniskogine-cise
(新): [名]ヤナギイチゴ属 húrepsusu-cise

(新): [名]ルーッセリア属 rousseria-cise
 (新): [名]レウコシケ属 ineruuniririp-cise (新)※(四脈刺草属): [名]クワ科 turepni-apa (新): [名]トチュウ科 tocuni-apa (新): [名]ニレ科 cikisani-apa (新): [名]ロイブテレア科 tekusipsipni-apa (新): [名]ロイブテレア・キリアンサの茎 tekusipsipni (新)※(杉菜木): ②[自]刺草を刈り取る mósekar (石狩)
いらない(要らない) (表現)～が要らない somo konrusuy (石狩)、(表現) konrusuy etoranne (新)、(表現)～が要りもしない konrusuy ka somo ki (石狩)、: [自]要らぬ事をする concak (沙流): [自]要らぬ貧乏をする wenrusuy (石狩)
イラノキ(咬人狗)(植物)[名](イラクサ科)イラノキ属 iririni-cise (新): [名]イラノキの茎 iririni (新)※(別名「イラクサノキ」): [名]コウトウイラノキの茎 kóto-iririni (新): [名]デンドロクニデ・エクスケルサの茎 austeraria-iririni (新): [名]D. シヌアタ india-iririni (新): [名]D. フォティノフィラの茎 hamurarak-iririni (新): [名]D. ペルタタの茎 jeraton-iririni (新)※(ジェラトン咬人狗): [名]D. メイユニアナの茎 ripa-iririni (新)※(リパの咬人狗): [名]D. モロイデスの茎 turepnihamkor-iririni (新)
イラワジ [場名](地名)イラワジ川 Irawadi(-pet) (新)※(1989年「エーヤワディー川」と改称)
イラン [場名](国名)イラン・イスラム共和国 Iran Isram Ukotankoremosir (新)※(首都は「テヘラン」): [場名](国名の通称として) Iran (新): [名]イラン人、国民 iranunkur (新): [名](民族名としての)イラン人 irankur (新)※(「ペルシャ人」): [名]イラン語群 iran-itaktopa (新)
いりえ(入江) [名]入江 moy (石狩): [名]入江から吹く風 tomaripis (蝦夷記)
いりぐち(入口) [名]入口 ahunapa (新): [場名]入口周辺 ahunapasam(-a、-ake) (新): [名]出入口 apa (石狩): (表現)入り口が開く apa cimaka (石狩): (表現)(恭しく腰を低くして戸口の蓆をめくり入ろうとする者が有り)下の方から入り口が開く ramno kane apa cimaka (沙流)
イリジウム(化学)[名]イリジウム iridium (新)※(原子番号77番。元素記号 Ir)
イリノイ [場名](アメリカ合衆国の州名)イリノイ州 Irinoy-mosir (新)※(州都名は「スプリングフィールド」)
いりょう(医療) [名]医療 itemka (新):

[自]医療行為を行う itemka (新): (表現)医療行為を行う itemka kar (新): [名]医療用ベット itemka-amset (新)、[名]ikaoyki-amset (新)
いる(居る) ①[自]居る an (複数 okay) (石狩): (表現)一人で居る sinenne an (石狩)、(表現) sinen ne wa an (石狩): (表現)沢山居る poronno an (poronno okay) (石狩)※(単数複数両方が使われる): (表現)～と居る tura(-no)okay (石狩): (表現)居る限り an pakno (沙流): 「私はこの場に居る限りの人に感謝の言葉を述べます。」
 “ Tan te ta aynu an pakno ku=koyayraykeitak hawe ne .”: [他](場所)にいる ean (複数) (石狩)※(普通は otta +an(複数 okay)の形を用いる): [他]～と共に居る koan (複数 kookay) (新): [他](原因、手段)で居る oan (複数 ookay) (新): ②[他](場所)に居る un (石狩): (表現)～が居る所 名詞+uni (石狩): [他](場所)に沢山居る us (石狩): (表現)～が沢山居る所 名詞+usi (石狩)
いる(射る) ①[他](弓で)～を射る tukan (石狩): [他](場所)で～を射る etukan (新): [他]～と共に～を射る kotukan (新): [他](場所)から～を射る、(原因、手段)で～を射る otukan (新): [他](人)に～を射させる tukante (新): [他](弓で)～を射まくる toytukan (石狩): ②[自]～を仕掛け弓が射る kúkan (石狩): ③[自]射る ak (石狩): 目下構成要素としてのみ確認されるが今後は単独でも使うものとする。: [他](矢)を射る eak (石狩): [他](人)に(矢)を射させる eakte (新)
いる(煎る) [自]ものを煎る ipattarka (新): [他]～を煎る pattarka (沙流): [他](人)に～を煎らせる pattarkare (新): [他]完全に～を煎る oarpattarka (arpattarka) (新): [他](中相)～が煎られる cipattarka (沙流): (表現)煎り豆 cipattarka mame (沙流)
いる(鑄る) [自]物を鑄る inokaorokar (新): [他]～を鑄る nokaorokar (新): [他](場所)で～を鑄る enokaorokar (新): [他]～と共に～を鑄る konokaorokar (新): [他](原因、手段)で～を鑄る onokaorokar (新): [他](人)に～を鑄させる nokaorokare (新)
いるい(衣類) [名]衣類 cimikunipso (新)
イルカ(海豚)(動物)[名]イルカ koykaisepo (石狩)、[名] tannu(tannuy) (胆振)、[名]tannup (新)、[名] terkep (石狩) → 生物としての分類は「アマゾンカワイルカ(アマゾン川海豚)」、「カワイルカ(インド川海豚)」、

「ネズミイルカ(鼠海豚)」、「マイルカ(真海豚)」、「ヨウスコウイルカ(揚子江海豚)」などを見よ： [名] 白い海豚 retar tannu (retattannu) (新)※(イッカク科の種「シロイルカ」は mónihumpe)： (表現)海豚の群 tannu-ciwas (沙流)

イルクーツク [場名](ロシア連邦シベリア連邦管区の構成主体名)イルクーツク州 Irkutuk-purovince (新)： [場名](イルクーツク州の州都名)イルクーツク Irkutuk (新)

イルミネーション [名]イルミネーション imerunipekinoka (新)、[名] irmination (新)※(英語)

いれずみ(刺青) [名]刺青 sinuye (H)※(他の地域では口の周囲や手に入れる刺青すべてをこう言うが、旭川では手に入れるものを指す。)： [名]完成した口の周囲の大きな刺青 pánay (石狩)： [名]入れている途中の口の周囲の小さい刺青 poysinuye (石狩)： [名](昔の女性では)口の刺青の端 pákisar(-a) (石狩)： (表現)口の刺青の端に嘲笑を浮かべる ~ pákisara moy moyke (石狩)： [自]口の刺青の端に嘲笑を浮かべる epaminare (石狩)： [自]刺青を入れる sinuye (石狩)

いれもの(入れ物) [名]入れ物 iomap (新)、[名] iop (新)： (表現)~の入れ物 名詞 + omap (op) (新)： cioinuyep (筆記用具) + omap (op) → cioinuyepomap (cioinuyepop) 「筆入れ」

いれる(入れる) ①(家の中など広がりのある場所に)[他]~を入れる ahunke (複数 ahupte) (石狩)： 「知らない人を家に入れてはだめよ。」“E=eramuskare kur cise onnay ta eiki ahunke ya !”，「私達は部屋に新しい家具を入れた。」“Tumpu oske ta asir ciseorumpu ci=ahunke .”： [他](場所)に~を入れる koahunke (複数 koahupte) (石狩)： [他](場所)から~を入れる oahunke (複数 oahupte) (新)： [他](原因、手段)で~を入れる oahunke (複数 oahupte) (新)： [他](人)に~を入れさせる ahunkere (複数 ahuptere) (石狩)②(容器や袋に)[他](場所)に物を入れる io (石狩)※(iomare は専ら酒「を杯に注ぐ」の意味で使われる)： [他](場所)に~を入れる omare (石狩)、[他] o (石狩)： 「私は魚を獲って袋に入れた。」“Cep ku=koyki wa pukuru oske ku=omare (= ku=o).”，「鍋が煮えたら中に塩を入れます。」“Su ci kor oro sippo an=omare (= an=o).”，「酒注ぎに酒を入れて酌をする。」“Etunup or tonoto an=o wa an=iomare .”： ③(混入の意味で)[他]~を

入れる ukopoye (石狩)、[他] ukakuo (石狩)： [他]~に~を入れる kopoye (石狩)、[他] kakuo (石狩)： 「新しい米に古い米を混ぜて新米と言って売ってはいけない。」“Asir amam husko amam an=kopoye wa asir amam sekor itak=an kane an=eyyok yak wen .”

いれわすれる(入れ忘れる) [他]~を入れ忘れる ahunkeoyra (石狩)： 「…私達の子牛は晩に入れ忘れられ、外で寝ていた。」“… ci=korporon peko onuman an=ahunkeoyra , soy ta hotke wa an .” (砂沢クラ)

いろ(色) ①[名]色 iro (幌別)： (表現)~に色を塗る iro usi (新)： 今後「名詞+irone」で「~色になる、~色である」という自動詞、「名詞+ironeka」あるいは「名詞+ironere」で「~を~色にする」という他動詞を形成するものとする。： ②(顔色)[名]色 ipor(-o) (石狩)[名]顔色 ipor(-o) (石狩)： (表現)~の事で~の色を露わにする iporo eyaysankere (石狩)： 「お前の恋人の生存の報にお前は歓喜の色を露わにした。」

“E=yupo siknu sekor an sonko sonno pirka e=iporo e=eyaysankere .”「お前は怒りの色を露にした。」“Wen e=iporo e=eyaysankere .”： (表現)怒りの色が浮かぶ、浮かんでいる iporo wen (石狩)： (表現)(怒りで)~は色をなくすが如きである ~ iporo katkan isam kane (幌別)： (表現)顔に驚きの色を浮かべる homatu ipor eun kane (幌別)： [自](驚き)色を失う oiporoposo (美幌)： (表現)~が色黒である ~ nanu kunne (新)、(表現) ~ iporo kunne (新)、(表現)(雅) ~ iporo kokunne (幌別)： (表現)~が色白である ~ nanu retar (屈斜路)、(表現) ~ iporo retar (新)： [場名]妖魔のような色白の顔 kosimpuy-nanka (新)※(幌別)： [自]妖魔のような色白な顔である kosimpuy-kosirkikor (新)※(沙流)

いろいろ(色々) [連体・副助]色々な usa (石狩)： 「色々な肉やら山菜やら」は“usa kam usa rataskep”と“kam usa rataskep usa”の二通りの表現が可能： [連体]色々な usaan (石狩)、[連体] usaokay (石狩)※(人や動物に関しては usaoky が抽象的な事に関しては usaan が用いられるが魚介類、植物や物に関してはそのどちらでもいい)： [名]色々な人 usaokayutar (石狩)： [名]色々な奴、色々なもの(動物) usaokaype (石狩)： [名]色々な物 usaampe (石狩)、[名] usaokaype (石狩)： [名]色々な事 usaampe (石狩)： [名]本当に色々な事 usausaampe (石狩)

いろいろし(色漆)[名]色漆 iro-ussi (新)

イロコ (植物)[名](クワ科)ミリキア属
irokuturepni-cise (新): [名]イロコの茎
nupuriroko-turepni (新)、[名] nupur-
iroko (新)※(別名「カンバラ」、「アフリカン
チーク」): [名]ミリキア・レギアの茎
regiairoko-turepni (新)

イロゴイ(色鯉) (魚介)[名]色鯉 iro-samocep
(新)※(観賞用の変種)

イロハモミジ(いろは紅葉)(植物)[名](カエデ属)
イロハモミジの茎 sísamiatopeni (新)

いわ(岩)[名]岩 sirar(-i) (石狩)

いわあな(岩穴) [名]岩穴 sirarporu (石
狩): [名](熊が入るような)岩穴 sirarcise
(sirarcise) (石狩): [名](狸が入るような)
岩穴 ukaop (石狩)

いわう(祝う) [自]祝う isokopuntek (新)※
(獲物を歓迎する): [他]～を祝う
eisokopuntek (新): [他](場所)で～を祝う
eeisokopuntek (新): [他]～と共に～を祝
う koeisokopuntek (新): [他](原因、手
段)で～を祝う oeisokopuntek (新):
[他](人)に～を祝わせる eisokopuntekka
(新): [他]自分で、一人で～を祝う
eyaykoisokopuntek (新): [他]互いに、皆
で～を祝う eukoisokopuntek (新): [他]
心から～を祝う eramko-isokopuntek
(新): [他]思い切り～を祝う toyko-
eisokopuntek (新): [他]人に～を祝わせる
eisokopuntekar (eisokopuntekyar) (新):
[名]祝い cioisokopuntekpe (新)、[名]
iway(-e) (沙流)

いわがけ(岩崖) [名]岩崖 kut(-u) (石狩):
[名]切り立った岩崖 wenkut (石狩): [名]
樹木が生い茂った岩崖の上部、岩崖の上部の
出っ張り kutkip (石狩): [名]水際の岩崖
pes(-i) (石狩)

イワシクジラ(鰐鯨) (動物)[名](ナガスクジラ
属)イワシクジラ sínokorhumpe (H)

いわしぐも(鰐雲)[名]鰐雲 iwasiniskur (新)、
[名] iwasinis (新)

イワセントウソウ(岩仙洞草) (植物)[名](セリ
科)イワセントウソウ属
metotusciowrenkinakopa-cise (新): [名]
イワセントウソウの茎葉
metotusciowrenkinakopa (新)

イワナ(岩魚) (魚介)[名](サケ亜科)イワナ属
húrekeso-cise (新): [名]イワナ
húrekeso (石狩)、[名] húrekes (石狩):
[名]アメマス tukusis (石狩)、[名] tukus
(石狩)※(イワナの亜種): [名]オショロコマ
osorkoma (C): [名]カワサバ
kikrappoye-hurekeso (新)※(イワナとヤマ
メの雑種): [名]カワマス amerika-

hurekeso (新)※(別名「ブルックトラウ
ト」): [名]キリクチ kirikuci (新): [名]
ゴギ gogi (新)※(イワナの亜種): [名]サ
ザンドリーバーデン amerika-osorkoma
(新)※(オショロコマの亜種): [名]サルベリ
ヌス・エバスス doitcurando-hurekeso
(新): [名]サルベリヌス・エルギティクス
eligigitgin-hurekeso (新)※(湖名): [名]サ
ルベリヌス・ウンブラ arpes-hurekeso
(新): [名]サルベリヌス・キリエンシス
kirin-hurekeso (新)※(湖名): [名]サルベ
リヌス・タラネツィ taraneţ-hurekeso
(新)※0: [名]ジャガートラウト sícape-
hurekeso (新)※(イワナとカワマスの雑
種): [名]タイガートラウト tunro-
hurekeso (新)※(カワマスとブラウントラ
ウトとの雑種): [名]ニッコウイワナ
nikkohurekedo (新)※(イワナの亜種):
[名]ブルトラウト peko-hurekeso (新):
[名]ホッキョクイワナ koykakes-hurekeso
(新)※(別名「アークティックチャー」): [名]
ミヤペイワナ tóosorkoma (新)※(オショ
ロコマの亜種): [名]ヤマトイワナ
samorun-hurekeso (新)※(イワナの亜種):
[名]レイクトラウト amerika-tohurekeso
(新)

イワノボ [場名](ロシア連邦中央連邦管区の
構成主体名)イワノボ州 Ivanovo (新):
[場名](イワノボ州の州都)イワノボ Ivanovo
(新)

いわや(岩屋) [名]岩屋 sirarcise (sirarcise)
(石狩)

いわやま(岩山) [名]岩山 iwa (H): [名]
木の生えぬ岩山、丸い岩山 cis(-i) (天塩)

いわゆる(所謂) (表現)これは所謂 tampe
rékor (沙流)

イワヨモギ(岩蓬)(植物)[名](ヨモギ属)イワヨモ
ギの茎 nupunnoyanit (新): [名]イワヨ
モギの葉 nupunnoya (足寄)、[名]
kamuykamarusa (樺太大泊)

いわりよくしょう(岩緑青)[名]岩緑青 suma-
sipophurekani (新)

いん(印)[名]印 cioputuye-itokpa (新)、[名]
itokpa (新): [名]印影 cioputuye-
itokparu(-we) (新)、[名] itokparu(-we)
(新)

いんかく(因格) (言語)[名]因格 motorewke
(新)

いんかく(陰核) [名]陰核 poksampe (新)※
(樺太白浦、[名] menokoci(-ye) (浦河)、
[名] kuritoris (新)※(独語)、[名] kamiasi
(石狩)、[名] aswampe (幌別): [名]陰核
亀頭 poksampepapa (新)、[名] menokocisapa
(新)、[名] isampeikkew(-

e) (新)、[名](隠語) kamiasisampe (新):
[名]陰核包皮 poksampekap(-u) (新):
[名]陰核脚 poksampesut(-u) (新)
いんきんたむし(陰金田虫)[名]陰金田虫
omayayke-siyeye (新)※(沙流): [自]陰金
田虫に罹る omayayke-siyeye (新)
インク[名]インク paspe (新)、[名] inku
(新)※(英語): [名]水性インク wakkaoru-
paspe (新)、[名] wakkaorup (新): [名]
油性インク sumoru-paspe (新)、[名]
sumorup (新)
イングーシ[場名](ロシア連邦北カフカース連
邦管区の構成主体名)イングーシ共和国
Inguşetiya Ukotankoremosir (新)※(首都
は「マガス」): [場名](国名の通称として)イン
グーシ Inguşetiya (新): [名]イングー
シ人 gargaykur (新): [名]イングーシ語
gargaykuritak (新)
インクブルー[自]インクブルーになる、である
inku-eao (新): [他]～をインクブルーにす
る inku-eaoka (-eaore) (新): [名]インク
ブルー色 inku-eao-iro (新)
イングランド[場名](イギリスの構成国の一つ)
イングランド Ingurando (新)※(首都は
「ロンドン」): [名]イングランド人
inguriskur (inguris) (新): (歴史)[場
名](国名)イングランド王国 Ingurando
Yaykamosirkorkurkormosir (新)※(177
0年スコットランド王国と連合し「グレート
ブリテン王国」となる): (歴史)[場名](国名)
イングランド共和国 Ingurando
Ukotankoremosir (新)※(1649-60
年)
いんけい(陰茎)[名]陰茎 ci(-ye) (石狩)
→その詳細な分類は「だんせいき(男性器)」を
見よ: [名]陰茎亀頭 cisapa (幌別)、[名]
cípake (屈斜路): [名]陰茎包皮 cikap(-
u) (H): [名]陰茎体部 cínepake (幌
別): [名]陰茎根部 cíkursut(-u) (幌別):
[名](動物の)陰茎骨 cípone (新)※(樺太白
浦)[自]陰茎が大きくなる、大きい oporo
(石狩): [自]大きな陰茎を持っている
ummacikor (沙流): [自]陰茎が小さくな
る、小さい opon (石狩): [自]陰茎が長く
なる、長い otanne (石狩): [自]陰茎が短
くなる、短い otakne (石狩): [自]陰茎が
固くなる、固い oniste (新): [自]陰茎が
勃起する ohepuni (幌別): [自]陰茎がピ
ンピンに勃起する ohepumpuni (幌別):
[自](勃起した)陰茎がブラブラする
oracinracin (天塩): [自]陰茎が射精する
owen (H): [自](勃起していた)陰茎が萎え
る omawposo (樺太): [自]陰茎がだらり
と垂れている oratki (幌別)

いんご(隠語)[名]隠語 itakmakkuste (沙
流): (表現)隠語で言う itakmakkuste ani
ye (沙流): [自]隠語を使う
itakmakkuste (沙流)
いんこう(咽喉)[名]咽喉 rekut(-ci) (石
狩): [名]咽喉結節 korkori (石狩)
インサート(映画、あるいはコンピューター用
語として)[名]インサート iinsetto (新)、
[名] insetto (inserto) (新): [自]インサ
ートする iinsetto (新)、[自]
iuturuuiomare (新): [他]～をインサート
する insetto (新)※(英語)、[他]
iuturuomare (新): [他](場所)にインサ
ートする ikoinsetto (新)、[他]
iuturuomare (新)、[他] iukouturuomare
(新): [他]～に～をインサートする
koinsetto (新)、[他] uturuomare (新)
いんさつ(印刷)[自]印刷する ioiopotuye
(新): [他](手段)で印刷する ioiopotuye
(新): [他]～を印刷する ioiopotuye (新):
[他](場所)で～を印刷する eioiopotuye
(新): [他](場所)に～を印刷する
koioiopotuye (新): [他]～と共に～を印刷
する koioiopotuye (新): [他](手段)で～
を印刷する oopotuye (新): [他](人)に～
を印刷させる ioiopotuyere (新): [場名]
印刷会社 ioiopotuye-tomisapusi (新)、[場
名] ioiopotuye-uipereusi (新): [名]印刷
機 cioiopotuyep (新): [名]印刷業
ioiopotuye-epirkausi (新)
インジウム(化学)[名]インジウム indium
(新)※(原子番号49番。元素記号 In)
いんしゅ(飲酒)[自]飲酒する iku (石狩):
[他](場所)で飲酒する eiku (新): [他]～
と共に飲酒する koiku (新): [他](原因、
手段)で飲酒する oiku (新): [他](人)に飲
酒させる ikure (新)
いんせき(隕石)[名]隕石 anciras(-i、-u)
(美幌)、[名] kanciras(-u) (美幌)
インターナショナルオレンジ(表現)インターナ
ショナルオレンジ色になる、である
usamosirunkurkor níkap-irone (新)、(表
現) usamosirunkuror órange-irone (新)
インターネット[名]インターネット
intennet (新): (表現)インターネットで買
い物をする intennet otta ihok (新): (表
現)インターネットで情報を検索する
intennet otta cieranrusuype hunar
(新): (表現)インターネットで犯罪に巻き込
まれる intennet otta rorumpe or osma
(新): (表現)インターネットを悪用する
intennet weneiwanke (新): (表現)インタ
ーネットを遮断する intennet tuye (新):
(表現)インターネットを接続する intennet

sikote (新): (表現)インターネットを楽しむ intennet okiroroan (新): (表現)インターネットを使う、活用する intennet eiwanke (新)

インダス [名](地名)インダス川 Sindu-pet (新)※(サンスクリット語): [場名](地名)インダス Sindu (新): [名]インダス文明 Sindu-cisimaciyane (新)

インチョン(仁川) [場名](大韓民国の都市名)仁川広域市 Incon-sepsirserkesi (-sisserkesi) (新): [場名](都市の通称あるいは地名として)仁川 Incon (新)

インディアナ [場名](アメリカ合衆国の州名)インディアナ州 Indiana-mosir (新)※(州都は「インディアナポリス」): [場名](州名の通称として)インディアナ Indiana (新): [場名]インディアナポリス Indianapolis (新)

インディアンイエロー [自]インディアンイエロー色になる、である bengar-eipeus (新)、[自] pekokuyus (新): [他]～をインディアンイエロー色にする、染める bengar-eipeusi (-eipeuste) (新)、[他] pekokuyusi (pekokuyuste) (新): [名]インディアンイエロー色 bengar-eipeus-iro (新)、[名] pekokuyus-iro (新)

インディアンレッド [自]インディアンレッド色になる、である bengar-ehure (新): [他]～をインディアンレッド色にする、染める bengar-ehureka (-ehurere) (新): [名]インディアンレッド色 bengar-ehure-iro (新)

インディギルカ [場名]インディギルカ川 Indigirka(-pet) (新)※(シベリアを流れる川の名)

インディゴ [名](染料)インディゴ indigo (新)※(英語): [自]インディゴ色になる、である indigone (新)、[自] indigo-irone (新): [他]～をインディゴ色にする、インディゴ染めする indigo-neka (-nere) (新): [名]インディゴ色 indigo (新)、[名] indigo-iro (新)

インド ①[場名](国名)インド Bárat (新)※(首都は「ニューデリー」): [名]インド人、国民 báratunkur (新): ②[場名](歴史的なインド諸国家や独立以前の植民地の領域、インド亜大陸と周辺地域を含めた広域の地名として)インド India (新): [名](②の意味の土地に住む人の意味で)インド人 indiaunkur (新): ③[場名]インド亜大陸 India-poysisepmosir (新): ④[場名]インド洋 India-siatuy (新)

いんとう(咽頭) [名]咽頭 oarkut(-ci) (新)、[名] arkut(-ci) (新)※(片方ののど): [場

名]上咽頭 oarkutpa (arkutpa) (新)、[場名] oarkutpake (arkutpake) (新): [場名]中咽頭 oarkutnoski (新)、[場名] arkutnoski (新): [場名]下咽頭 oarkutkes(-e) (新)、[場名] arkutkes(-e) (新)

いんとうかじょ(隠頭花序) [名]隠頭花序 enuynak-apappoomakat (eesina-) (新)

いんどうわたし(引導渡し) [自]引導渡しをする ioitakkote (空知)、[名] araysirkoitak (旭川): [他]～に引導渡しをする oitakkote (新): [名]引導渡しの言葉 araysirkoitak (石狩)、[名] oitakkote (天塩): (表現)引導渡しの言葉を言う oitakkote ye (天塩)

いんとく(隠匿) (表現)～を隠匿 wenkewtumkor (wempurikor) wa esina (nuynak, ukao) (新): (表現)(人)に～を隠匿させる wenkewtumkor (wempurikor) wa esinare (esinare, nuynakte, ukaore) (新): (表現)完全に～を隠匿する wenkewtumkor (wempurikor) wa oaresina (oannuynak, oarukao, anesina, annuynak, anukao) (新)

インドシナ ①[場名](地名)インドシナ半島 Indocina-sirekanray (新): ②(歴史)[場名]フランス領インドシナ Fransu kor Indocina (新)※(1887-1954年、現在のベトナム、ラオス、カンボジアを合わせた領域に存在)

インドネシア [場名](国名)インドネシア共和国 Indoneśia Ukotankoremosir (新)※(首都は「ジャカルタ」): [場名](国名の通称として)インドネシア Indoneśia (新): [名]インドネシア人、国民 indoneśiaunkur (新): [名]インドネシア語 indoneśiaunkuritak (新)

インドマメジカ(インド豆鹿) (動物)[名](マメジカ科)インドマメジカ属 kesoerumyuk-cise (新): [名]インドマメジカ suriranka-kesoerumyuk (新): [名]モスキオラ・インディカ india-kesoerumyuk (新): [名]M. カティグレ sikepepeusruo-erumyuk (新)

インドリ (動物)[名](キツネザル上科)インドリ科 indori-pa (新): [名]インドリ属 indori-cise (新): [名]インドリ indori (新): [名]アバヒ属 avahi-cise (新): [名]シファカ属 sifaka-cise (新)

いんのう(陰囊) [名]陰囊 nokkap(-u) (石狩): [名]陰囊と睾丸 nok(-i) (石狩): [名]陰囊水腫 nokiporo-siyeye (新)、[名] nokiporo (石狩): [自]陰囊水腫に罹る、罹

っている nokiporo-siyeye (新)
インパネスコート [名]インパネスコート
 invennes-ikawaikamup (新)、[名]
 invennes (新)
インパラ (動物)[名](ウシ科)インパラ亜科
 impara-moapa (新): [名]インパラ属
 impara-cise (新): [名]インパラ impara
 (新): 亜種[名]アンゴラインパラ
 angoraun-impara (新)※(カオグロインパ
 ラ): [名]ケープインパラ kapeun-
 impara (新)
いんふ(陰阜) [名]陰阜 enkip(i) (天塩)
いんぶ(陰部) [場名]陰部 honkes(e) (石
 狩): [接頭]陰部 ho- (H): ho+numa
 (体毛) → honuma 「陰毛」: [接頭]〜の
 陰部 o- (H): o+tontone (なめし革であ
 る) → otontone 「陰部に毛が全くない」:
 [名]無毛の陰部 pépe (天塩): [自]陰部に
 毛が全くない otontone (石狩)
いんぶん(韻文) [名]韻文 rirkoritaksay(e) (新)※(律動がある文)
いんべい(隠蔽) (表現)〜を隠蔽する
 wenkewtumkor (wempurikor) wa seske
 (新): (表現)(人)に〜を隠蔽させる
 wenkewtumkor (wempurikor) wa seske
 (新): (表現)〜を完全に隠蔽する
 wenkewtumkor (wempurikor) wa oasseske
 (asseske) (新)
いんぼう(陰謀) [名]陰謀 wenrenkap(i) (沙流): (表現)陰謀を企てる wenrenkap
 kar (新): (表現)陰謀を(人)に及ぼす
 wenrenkap kóre (新)
いんもう(陰毛) [名]陰毛 honuma (石狩):
 (表現)陰毛を剃る honuma memke (新):
 [自]陰毛がなくなる、ない otontone (石
 狩): [自]陰毛が全くなくなる、全くない
 oarotontone (arotontone) (新): [自]陰毛
 がない honumasak (胆振): [自]陰毛が
 濃くなる、濃い oironne (石狩): [自]陰
 毛が生え揃う、揃っている okunne (新):
 (表現)(雅)陰毛が生え揃う程に我は成長した
 okunne pakno yayomante=an (新)※(樺
 太): (表現)(雅)今やつと陰毛が生え揃う程
 に我は成長した tanepo tap ta okunne
 pakno yaysukupte=an (新)※(樺太): (表
 現)(雅)(陰毛が生え揃って)今こそは我小袖を
 一物の根元に(隠すため)押し込む程に我はな
 りつつ tane anakne an=mi kosonte
 sisisutpo an=oranrani pakno okay=an kor
 (新)※(沙流)
いんよう(飲用) [他]〜を飲用する ku (石
 狩): [名]飲用水 cikueaskaywakka (新):
 (表現)飲用水 an=ku easkay wakka (新)
いんりょう(飲料) [名]飲料 cikup (新): [名]

飲料水 cikuwakka (新)
いんりょく(引力) [名]引力 uetayetum(i) (新): (表現)万有引力の法則 nep ne yakka
 uetaye irenka (新)
ウ(鵜) (鳥)[名](カツオドリ目)ウ科 urir-apa
 (新): [名]ウ属 urir-cise (新): [名]ウミ
 ウ urir (石狩): [名]カワウ
 pétorunurir (新): [名]チシマウガラス
 paskururir (新): [名]ヒメウ káurir
 (M): [名]ミクロカルボ属 mikrokarmo
 (新): [名]コビトウ mourir (新): [名]
 レウコカルボ属 reukokarmo (新): [名]
 キバナウ sikisiwninurir (新)
ウィーン [場名](オーストリア共和国の首都
 名)ウィーン Vin (新)
ウイキョウ(茴香)(植物)[名](セリ科)ウイキョウ
 属 fenner-cise (新): [名]ウイキョウの茎
 葉 fenner (新)※(英語)
ウイグル [名]ウイグル人 uygurkur
 (uygur) (新): [名]ウイグル語
 uygurkur-itak (uygur-itak) (新)
ういご(初子) [名]初子 atpakesikopo (新)
ウィスコンシン [場名](アメリカ合衆国の州
 名)ウィスコンシン州 Wiskonšin-mosir
 (新)※(州都は「マディソン」)
ウィスタリア ③[自]ウィスタリア色になる、で
 ある wisteria-irone (新)、[自] húji-irone
 (新): [他]〜をウィスタリア色にする
 wisteria-ironeka (-ironere) (新)、[他]
 húji-ironeka (-ironere) (新): [名]ウィス
 タリア色 wisteria-iro (新)、[名] húji-iro
 (新)
ウィスラー [場名](カナダのブリティッシュコ
 ロンビア州の都市名)ウィスラー Wisra
 (新)
ウィチタ [場名](アメリカ合衆国カンザス州
 の都市名)ウィチタ Wícita (新)
ウィニペグ [場名](カナダのマニトバ州の州都
 名)ウィニペグ Winipek (新)
ウィルス [名]ウィルス vírus (新)※(英語)
ウィルタ [名]ウィルタ orokko (樺太)、[名]
 uirta (新)※(ウィルタ語): [名]ウィルタ語
 uirtaitak (新)
ウィルミントン [場名](アメリカ合衆国などの
 都市、村の名など)ウィルミントン
 Wirminton (新)
ウイングナット [名]ウイングナット rápus-
 matnecinoyp (新)※(「蝶ナット」とも)
ウイングボルト [名]ウイングボルト rápus-
 pinnecinoyp (新)※(「蝶ボルト」とも)
ウィントフック [場名](ナミビア共和国の首都
 名)ウィントフック Vintohuk (新)
ウィンワード [場名](地名)ウィンワード諸島
 Winwardo-usapoysir (新)

ウールオイル [名] ウールオイル
hicičikiskisum (新): [名]精製したウール
オイル ranorin (新)

うえ(飢え) ①[自]飢える cepnoye (石狩):
[他](場所)で飢える ecepnoye (新): [他]
〜と共に飢える kocepnoye (新): [他](原
因、手段)で飢える、〜に飢える ocepnoye
(新): [他](人)を飢えさせる cepnoyere
(新): [自]飢えて痩せる cepsatke (新)※
(樺太新聞)、[自] yaykocaruwen (新)※(樺
太新聞): [自]飢えて弱り歩く事もままなら
ず這い回る kemesirus (石狩): ②[自]飢
え死にする cepekot (石狩)、[自]
kemekot (石狩): [他](人)を飢え死にさせ
る cepekote (新)、[他] kemekote (新)

うえ(上)(1) ①[位名]〜の接触した上、〜の上
ka(長形 -si、-sike) (石狩): 「その板の
上にこれを置いてこれを置いたらいい。」
“Taan ita ka ta tampe e=ama wa kasike ta
tampe e=ama yak pirka .”: ②[位名]〜の
広範囲の上、〜の上一面 kurka(長形 -si、
-sike) (石狩): 「地上一面に雪が積もる。」

“Mosir so kurka ta upas sirari .”: [場名]
自分の上 sikurka (沙流): (表現)(クマが
人の所に客に行くため)普段着の汚い毛皮を
(脱ぎ)奥へやり、美しい毛皮を取り出し自分
の上に広げる wen rusihi maknaraye
pirka rusihi sanasanke sikurka sam
kopirasa (新): ③[位名]〜のすぐ上
tuyka(長形 -si、-sike) (石狩): 「戸のす
ぐ上に蜂が巣を作った。」“Apa tuyka ta soya
cisekar .”: ④[位名]〜の離れた上
enka(長形 -si、-sike) (石狩): 「私の頭
上に星が輝く。」“En=enka ta nociw nipeki
at .”: ⑤[位名]〜の峰の上 mekka(長形 -
si、-sike) (石狩): 「私達は刀の峰でした
たか打たれた。」“Emus mekka yupkeno
unci=kikkik .”: ⑥[位名]〜の突き出た上
tapka(長形 -si、-sike) (石狩): 「突き出
した崖の上に一人の女が立っていた。」“Kut
kipka ta sine menoko as wa an .”: ⑦[位
名]〜の頂上 tapka(長形 -si、-sike) (石
狩): 「私は山の頂上にたどり着いた。」

“Nupuri tapka ta ku=sirepa .”: ⑧[位
名](斜めになった)〜の上 rewka(長形 -si、
-sike) (沙流): 「傾いだ木の上が苔むして
いた。」“Ni rewka ta nirus us .”: ⑨[位
名](積み重なった)〜の上 uka(長形 -si、
-ike) (石狩): (表現)〜の上にもう一つ、〜
の上に積み重ねて ~ uka ta (石狩): (表
現)〜の上にもう一つ〜を置く、〜の上に〜を
重ねる ~ uka ta ama (石狩): 「私は本
をどんどん積み重ねていった。」“Kampisos
uka ta ku=ama ranke .”: (2)[場名]上、

高い所 rik(-i) (石狩): [自]上を向く、上
に向かう herikasi (新): [他]〜を上に向
ける、向かわせる (新): [副]上を向いて、
上へ herikasi(-no) (石狩): (表現)上に上
がる rik ta rikin(複数 rikip) (石狩)、(表
現) herikasi rikin(複数 rikip) (石狩):
[自]上から向かって来る horikasi (新):
[他]〜を上から向かって来させる
horikasire (新): [副]上から horikasi(-
no) (新): (表現)上から下る horikasi(複
数 rap) (石狩): [連体]上の kanna (石
狩)※(対義語に raun があるが、常套句中で
は ranke が用いられる): [連体]上の方の
kanna (石狩)※(対義語は pokna):
[名](合成語の構成要素として)上 kan (石
狩): [副](合成語の構成要素として)上へ
kanna (石狩): 対義語は“kanna”。:
kanna+mosir(国) → kannamosir 「天国」

ウェーキ [場名](地名)ウェーキ島 Wéik-
poysir (新)※(太平洋のマーシャル諸島に属
する島)

ウェールズ [場名](イギリスの構成国の一つ)ウ
ェールズ Kamri (新)、[場名] Wéirzu
(新)※(首都は「カーディフ」): [名]ウェ
ールズ人 kamriesukupkur (新): [名]ウェ
ールズ語 kamriesukupkur-itak (新)

ウェストバージニア [場名](アメリカ合衆国の
州名)ウェストバージニア州
Westovirginia-mosir (新)※(州都「チャール
ストン」)

ウェッデルアザラシ(ウェッデル海豹) (動
物)[名](アザラシ科)ウェッデルアザラシ属
weddertukar-cise (weddettukar-cise)
(新): [名]ウェッデルアザラシ
weddertukar (weddettukar) (新)※(英語
より)

うえにあげる(上に上げる) ①[他]〜を上によ
る riknarikinte (新)、[他] riknarikinke
(新): (表現)上に〜を上げる herikasi
rikinte(複数 rikipte) (石狩)、(表現) rik
ta rikinte(複数 rikipte) (石狩): [他](場
所)に〜を上による eriktarikinte (石
狩): [他](場所)に〜を上による、〜と共に
〜を上による koriknarikinte (新):
[他](場所)から〜を上による、(原因、手段)
で〜を上による oriknarikinte (新):
[他](人)に〜を上によるさせる
riknarikinkere (新): [他](中相)〜が上に
上げられる ciriknarikinte (新): ②(水中、
水上、船上から)[他]〜を上による
yanayanke (新): [他](場所)に〜を上によ
る、〜と共に〜を上による
koyanayanke (新): [他](場所)から〜を上
による、(原因、手段)で〜を上による

oyanayanke (新): [他]〜が上に上がる
ciyannayanke (新)

うえにうごかす(上に動かす) [他]〜を上を動かす、上に移動させる rikoraye (複数 rikoraypa) (石狩)、[他] kannaraye (複数 kannaraypa) (石狩)、[他] kannare (石狩): (表現)トゥキを上げ下げする tuki rikoraye raoraye (石狩): 「赤いランプが点いたらこのレバーを上を動かして下さい。」

“Hure ratcaku nipeki at ciki tan nit rikoraye yan.”: [他](場所)で〜を上を動かす erikoraye (複数 erikoraypa) (新)、[他] ekannaraye (複数 ekannaraypa) (新): [他]〜と共に〜を上を動かす korikoraye (複数 korikoraypa) (新)、[他] kokannaraye (複数 kokannaraypa) (新): [他](原因、手段)で〜を上を動かす orikoraye (複数 orikoraypa) (新)、[他] okannaraye (複数 okannaraypa) (新): [他](人)に〜を上を動かさせる rikorayere (複数 rikoraypare) (新)、[他] kannarayere (複数 kannaraypare) (新): [他]自分で、一人で〜を上を動かす yaykorikoraye (複数 yaykorikoraypa) (新)、[他] yaykokannaraye (複数 yaykokannaraypa) (新): [他]互いに、皆で〜を上を動かす ukorikoraye (複数 ukorikoraypa) (新)、[他] ukokannaraye (複数 ukokannaraypa) (新): [他](中相)〜が上へ遣られる cikannaraye (cikannare) (石狩): (表現)(大風により)上の海が下に遣られ、下の海が上に遣られる kanna atuy cipoknaraye pokna atuy cikannaraye (cikannare) (石狩)

ウェリントン [場名](ニュージーランドの首都名)ウェリントン Poneke (新)※(マオリ語)、[場名] Wérinton (新)

うえる(植える) [自]ものを植える ietoyta (新): [他]〜を植える etoyta (石狩): [他](場所)に〜を植える eetoyta (新): [他]〜と共に〜を植える koetoyta (新): [他](原因、手段)で〜を植える oetoyta (新): [他](人)に〜を植えさせる etoytare (新)

ウェルウィッチア (植物)[名](グネツム目)ウェルウィッチア科 werwitcia-apa (新): [名]ウェルウィッチア属 werwitcia-cise (新): [名]ウェルウィッチア werwitcia (新)※(別名「サバクオモト」「キノウテンガイ」)、[名] otaatuyiknepakompu (新)

うえをむく(上を向く) [自]上を向く hetesu (複数 hetespa) (新): [他](場所)で上を向く ehetsesu (複数 ehetsespa) (新): [他](場所)の方へ上を向く kohetsesu (複数

kohetsespa) (新): [他]〜と共に上を向く kohetsesu (複数 kohetsespa) (新): [他](原因、手段)で上を向く ohetsesu (複数 ohetsespa) (新): [他](人)に上を向かせる hetesure (複数 hetespare) (新): [自]パッと上を向く hetestekka (新)

うおいちば(魚市場) [場名] 魚市場 cepeiyokusi (新)、[名] cepmarket (新)

ウォーターバック (動物)[名](リードバック亜科)ウォーターバック属 kóbus-cise (新)※(学名)、[名] kobayukpeko-cise (新): [名]ウォーターバック wakka-kobus (新)、[名] wakka-kobayukpeko (新): [名]ウベンバリーチュエ upembaun-recue (新): [名]コーブ yayan-kobus (新)、[名] kobayukpeko (新)※(コバ羚羊): [名]ナイルリーチュエ nírún-recue (新): [名]ブークー púku (新): [名]リーチュエ koypokun-recue (新)、[名] récue (新)

ウォーターベット [名]ウォーターベット wakkao-amset (新)

うおざ(魚座) (宇宙)[名]魚座 Cepso (Cep) (新)

ウォン [名](大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の通貨単位)ウォン won (新): 補助通貨「チョン」は新しいアイヌ語で con。1KRW = 100チョン: [名]韓国ウォン hankok-won (新): [名]北朝鮮ウォン coson-won (新)

うか(羽化) [自]羽化する siseypere (沙流)

うがい [他]〜をうがいはする osopsop (幌別): [他](原因、手段)で〜をうがいはする oosopsop (新): [他](人)に〜をうがいはさせる osopsop (新): [自]咽喉のうがいはする rekutosopsop (新): (表現)〜の咽喉をうがいはする ~ rekuci osopsop (幌別): [名]うがい薬 rekutosopsoppe (新)、[名] rekutosopsop-kusuri (新)、[名] ciorekut-osopsoppe (新)

うかがう(窺う) [自]窺う ehewpa (石狩)、[自] awoinkar (天塩): (表現)戸口の所からちらちら顔を出して窺う apa or ne hi tuyetuye wa ehewpa (新)※(久保寺神謡17): [他]〜を窺う otanu (石狩): [他](場所)で〜を窺う eotanu (新): [他]〜と共に〜を窺う kootanu (新): [他](原因、手段)で〜を窺う ootanu (新): [他](人)に〜を窺わせる otanure (新)

うかびあがる(浮かび上がる) ① (ひとりに) [自]浮かび上がる sipusu (石狩): [他]〜を浮かび上がらせる sipasure (新): [他](中相)浮かび上がる cisipasure (石狩): (表現)二つの人影三つの人影が浮かび上がる tu aynukurmam re aynukurmam

cisipusure (石狩): ②(自力で)[自]浮かび上がる yaypusu (新): [他](人)を浮かび上がらせる yaypusure (新)

うかべる(浮かべる) [他](場所)に～を浮かべる

otte (石狩): 「私は小さな木の皮船を水に浮かべた。」 “Pon yarcip peka ku=otte .”

ウガンダ [場名](国名)ウガンダ共和国 Uganda Ukotankoremosir (新)※(首都は「カンパラ」): [場名](国名の通称として) Uganda (新): [名]ウガンダ人、国民 ugandaunkur (新): [名]ガンダ族 ganda-utar (新)

うき(浮標) [名]浮標 apa (沙流): [名]堅穴式住居に住んだ者が使っていたという浮標 menokoapa (武四郎)

うきうき(浮き浮き) (表現)浮き浮きする katka konna caknatara (沙流): 「彼とのデートの日がきて私は浮き浮きする。」 “Ku=kor okkayo ku=nukar to an wa ku=katka konna caknatara .”

うきぶくろ(浮袋) [名]浮袋 isipusurepise (新): [名](魚の)浮袋 pise (石狩)、[名] poppise (屈斜路)

うきわ(浮輪) [名]浮輪 pékankep (新)、[名] pékaotpe (新)

うく(浮く) ①(表現)～の上に浮く ka(長形・si、-sike) ot (新): ②[自]水に浮く pékanke (石狩)、[自] pékaot (天塩)

ウグイス(鶯) ①(鳥)[名](スズメ目)ウグイス科 pópakeciw-apa (新): [名]ウグイス属 pópakeciw-cise (新): [名]ウグイス pópakeciw (石狩)、[名] pópokeciw (天塩)、[名] pópokociw (八雲)、[名] uyuykecir (十勝): ②[自]鶯色になる、である pópakeciw-irone (新): [他]～を鶯色にする、鶯色に染める pópakeciw-ironeka (-ironere) (新): [名]鶯色 pópakeciw-iro (新): [自]鶯茶色になる、である pópakeciwca-irone (新): [他]～を鶯茶色にする、鶯色に染める pópakeciwca-ironeka (-ironere) (新): [名]鶯茶色 pópakeciwca-iro (新)

ウグイスガイ(鶯貝) (魚介)[場名](カキ目)ウグイスガイ上科 pópakeciwsey-apapa (新): [名]ウグイスガイ科 pópakeciwsey-apa (新): [名]ウグイスガイ属 pópakeciwsey-cise (新): [名]ウグイスガイ pópakeciwsey (新): [名]トゲトサカノウグイスガイ aypopakeciwsey (新): [名]フクラスズメ kámus-popakeciwsey (新): [名]マベ penguinsey (新): [名]ミドリシマウグイス siwninrucu-popakeciwsey (新): [名]モンウグイスガイ nokao-popakeciwsey (新): [名]アコヤガイ属

ikorseycise (新): [名]シュモクガイ科 esanikorseycise-apa (新): [名]シュモクガイ esanikorseycise (新): [名]プルヴィニテス科 purvinites-apa (新): [名]マクガイ科 kaparseycise-apa (新): [名]マクガイ kapassey (kaparseycise) (新)

ウクライナ [場名](国名)ウクライナ Ukraina (新)※(首都は「キエフ」): [名]ウクライナ人、国民 ukrainaunkur (新): [名]ウクライナ人 ukrainetkur (新): [名]ウクライナ語 ukrainetkuritak (新): (歴史)[場名](ソ連邦の構成国)ウクライナ・ソビエト社会主義共和国 Ukraina Ureskaussamun Sovet Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1937-1991年。首都は「キエフ」略称はUkrainaSUU): (歴史)[場名](ソ連邦の構成国)ウクライナ社会主義ソビエト共和国 Ukraina Ureskaussamun Sovet Ukotankoremosir (新)※(首都は「ハリコフ」、後に「キエフ」。): (歴史)[場名](国名)ウクライナ・ソビエト共和国 Ukraina Sovet Ukotankoremosir (新)※(1918-1991年。首都は「ハリコフ」): (歴史)[場名](国名)ウクライナ人民共和国 Ukraina Utarikor Ukotankoremosir (新)※(1917-1991年。反ボリシェビキの「ウクライナ人民共和国」に対抗して作られる。首都「ハリコフ」。後に改称): (歴史)[場名](国名)西ウクライナ人民共和国 Cupkaun Ukraina Utarikor Ukotankoremosir (新)※(1918-2014年。首都「リヴォフ」。ポーランド共和国に併合): (歴史)[場名](国名)ウクライナ人民共和国 Ukraina Utarikor Ukotankoremosir (新)※(1917-2014年。反ボリシェビキの組織ラーダが建国。首都は「キエフ」。現在の「ウクライナ」に繋がる国家とされる)

うけ(釜) [名](築漁で仕掛ける)釜 rawomap (raomap) (石狩)

うけおう(請負う) ①(仕事などについて)[他]～を請け負う uk (複数 uyna) (新): [他](人)に～を請け負わせる ukte (複数 uynare) (新): ②(歴史)[自](江戸期の蝦夷地で場所を)請負う huntauk (新): [他](人)に請負わせる huntaukte (新)

うけとめる(受け止める) [他](投げられたもの)を受け止める péka (石狩): [他](場所)で～を受け止める epeka (新): [他](場所)から～を受け止める kopeka (石狩): [他](原因、手段)で～を受け止める opeka (新): [他](人)に～を受け止めさせる pékare (新)

うけとる(受け取る) [他]受け取る uk (複数 uyna) (石狩): 「昨日私は君からのEメール

ルを受け取った。」“Numan es=omante imerukampi ku=uk.”: [他](場所)で～を受け取る euk (複数 euyna) (新): [他]～と共に～を受け取る kouk (複数 kouyna) (新): [他](場所)から～を受け取る ouk (複数 ouyna) (新): [他](原因、手段)で～を受け取る ouk (複数 ouyna) (新): [他](人)に～を受け取らせる ukte (複数 uynare) (新): [他]自分で、一人で～を受け取る yaykouk (複数 yaykouyna) (新): [他]互いに、皆で～を受け取る ukouk (複数 ukouyna) (新): [他]滅茶苦茶～を受け取る toykouk (複数 toykouyna) (新)

うける(受ける) ①(受け取る事を示し)[他]～を受ける uk (複数 uyna) (石狩): [他](人)に～を受けさせる ukte (複数 uynare) (新): ②(受け止める事を示し)[他]～を受ける péka (石狩): [他](場所)から～を受ける kopeka (石狩): [他](人)に～を受けさせる pékare (新): ③(承諾する事を示し)[自]受ける ése (石狩): [他]～を受ける eese (石狩): [他](人)に受けさせる éseka (ésere) (新): ④(承知する事を示し)[自]受ける irenkanu (新): [他]～を受ける eirenkanu (新): [他](人)に受けさせる irenkanure (新)

うごかす(動かす) ①[他]～を動かす moye (石狩)※(単独の用例はないが今後単独でも用いる): [他](場所)で～を動かす emoye (新): [他]～と共に～を動かす komoye (新): [他](原因、手段)で～を動かす omoye (新): [他](人)に～を動かさせる moyere (新): [他]～を何度も動かす moyemoye (新)、[他] moymoye (新): [他]～をちょっと動かす、一瞬動かす moytekka (新): ②(移動させるという意味で)[他]～を動かす raye (複数 raypa) (石狩)※(単独の用例はないが今後単独でも用いる): [他](場所)で～を動かす eraye (複数 eraypa) (新): [他](場所)へ～を動かす oraye (複数 koraypa) (石狩)、[他] koraye (複数 koraypa) (新): [他]～と共に～を動かす koraye (複数 koraypa) (新): [他](場所)から～を動かす oaye (複数 oraypa) (新): [他](原因、手段)で～を動かす oraye (複数 oraypa) (新): [他](人)に～を動かさせる rayere (複数 raypare) (新): [他]～を何度も動かす、ぐいぐい動かす rayeraye (新)、[他] rayraye (新): [他]～をちょっと動かす、一瞬動かす raytek (新): [他](人)に～をちょっと動かさせる raytekka (新): [他]～を上を動かす rikoraye (複数 rikoraypa) (石狩)、[他]

kannaraye (複数 kannaraypa) (石狩): [他]～を下に動かす raoraye (複数 raoraypa) (石狩)、[他] poknaraye (複数 poknaraypa) (石狩): [他]～を前に動かす saoraye (複数 saoraypa) (新)、[他] sanaraye (複数 sanaraypa) (新): [他]～を後ろに動かす makoraye (複数 makoraypa) (石狩)、[他] maknaraye (複数 maknaraypa) (石狩)、[他] makaraye (複数 makaraypa) (石狩)

ウコギ(五加) (植物)[名](セリ目)ウコギ科 eninkeni-apa (新): [名]ウコギ属 eninkeni-cise (新): [名]エゾウコギの茎 nitatsokoni (美幌): [名]ケヤマウコギの茎 eninkeni (石狩): [名]コシアブラの茎 koturusinni (石狩): [名]トゲナシエゾウコギの茎 aysak-nitatsokoni (新): [名]ヒメウコギの茎 atuyya-nitatsokoni (新): [名]ミヤマウコギの茎 metotus-eninkeni (新): [名]ヤマウコギの茎 kímus-eninkeni (新): [名]カクレミノ属 répetkor-hamus (新): [名]カミヤツデ属 kampi-arwampetkor-hamus-cise (新): [名]キツタ属 nípunkar-cise (新): [名]タカノツメ属 sícikapamus-cise (新): [名]タラノキ属 sewatni-cise (新): [名]ツタヤスデ属 arwampetkor-hamuspunkar-cise (新): [名]トチバニンジン属 kusuri-upewkina-cise (新): [名]ハリギリ属 ayusni-cise (新): [名]ハリブキ属 cisewatnikopa-cise (新): [名]フカノキ属 şetrera-cise (新): [名]ヤツデ属 arwampetkor-hamus-cise (新)

うごく(動く) ①[自]動く moymoyke (石狩): 「何か動いている。」“Nepka moymoyke kor an.”: [他](場所)で動く emoymoyke (新): [他]～と共に動く komoymoyke (新): [他](原因、手段)で動く omoymoyke (新): [自]一人で動く yaymoye (新): [自]皆で動く umoye (新): [自]ちょっと動く、一瞬動く moytek (新): [自]ひとりでに動く simoye (石狩): ②(移動するという意味で)[他]自分で動く yayraye (複数 yayraypa) (新): [自]ひとりでに動く siraye (複数 siraypa) (新): ③[自]じっと動かない tustek (石狩): [他](場所)でじっと動かない etustek (新): [他](物事)に対してじっと動かない kotustek (石狩): [他]～と共にじっと動かない kotustek (新): [他](原因)でじっと動かない otustek (新): [他](人)をじっと動かないようにする tustekka (新): [副]じっと動かずに tustekno (石狩): [他](雅)(金縛りにあったように)じっと動か

ない castustekka (沙流)、[他] ciasitusitekka (久保寺): (表現)私は今日一日ずっと戸口でじっと動かずにいる tanto tóri apa otta ciasitustekka a=ki (久保寺)

ウコン(鬱金) (植物)[名](シャウガ科)ウコン属 úkonkina-cise (新): [名]ウコンの茎葉 úkonkina (新): [名]ウコンの根、鬱金 úkon (新)※(日本語)、[名] turmerik (新)※(英語)、[名] cúk-ukon (新): [名]ガジュツ(紫鬱金)の根、莖朮 gájut (新)、[名] wáit-turmerik (新)、[名] sák-ukon (新): [名]キョウオウの根、姜黄 kioow (新)、[名] wayrut-turmerik (新)、[名] paykar-ukon (新): [名]クルクマ・アウストラシカの根 austoraraia-kurkuma (新): [名]クルクマ・アリスマティフォリアの茎葉 kurkuma-nispa (新)、[名] patuma (新)※(タイ語より。クルクマ、クルクマ・シャローム、タイチューリップなど): [名]クルクマ・アングスティフィリアの根 tikur (新)※(ヒンディー語): [名]クルクマ・ウェンユジンの根 wén-ukon (新)※(中国語温鬱金): [名]クルクマ・クワンシネンシス kuansi-ukon (新): [名]クルクマ・コモサの根 póat-ukon (新): [名]クルクマ・ザントリザの根 tumurawak (temurawak) (新)※(インドネシア語): [名]クルクマ・トレリイの茎葉 kurkuma-moyremat (新): [名]クルクマ・ファエオカウリス pengajut (新)※(中国語「蓬莪朮」): [名]クルクマ・プラカシャの根 purakaša-ukon (新): [名]クルクマ・ロスコエアナの茎葉 bama-ikor (新): [名]ハナウコンの茎葉 táyikor (新)※(クルクマ・ペティオラタ): [名]ブラックターメリックの根 kunne-ukon (新)、[名] burak-turmerik (新): [名]マンゴージンジャーの根 mango-ginger (-jinja) (新)※(英語): ②[自]ウコン色になる、である úkompeus (新): [他]～をウコン色にする、ウコン染めする úkompeusi (kompeuste) (新): [名]ウコン色 úkompeus-iro (新)

ウサギギク(兎菊) (植物)[名](キク科)ウサギギク属 isepokisarkikukina-cise (新): [名]エゾウサギギクの茎葉 isepokisarkikukina (新)※(別名「キングルマ」): [名]オオウサギギクの茎葉 poro-isepokisarkikukina (新)※(別名「カラフトキングルマ」): [名]チョウジギクの茎葉 cójo-isepokisarkikukina (新)

ウサギコウモリ(兔蝙蝠) (動物)[名](ヒナコウモリ科)ウサギコウモリ族 isepokapap-utar (新): [名]ウサギコウモリ属 isepokapap-

cise (新): [名]ウサギコウモリ europaun-isepokapap (新): [名]ニホンウサギコウモリ yaun-isepokapap (新): [名]プレコティス・アウストリアクス manaus-isepokapap (新): [名]P. アルピヌス arpesun-isepokapap (新): [名]P. クリスティー kuristi-kisaraporokapap (新): [名]P. コロンバトビキ varkanun-isepokapap (新): [名]P. サルドウス sardiniaun-isepokapap (新): [名]P. ストレルコビ sutrerkof-isepokapap (新): [名]P. タイバヌス taywanun-kisaraporokapap (新): [名]P. テネリッファエ kanariaun-kisaraporokapap (新): [名]P. パレンシス itioiyaun-kisaraporokapap (新): [名]イディオニクテリス属 arenkisaraporokapap-cise (新): [名]イディオニクテリス・フィロティス aren-kisaraporokapap (新)※(アレン大耳蝙蝠): [名]エウデルマ属 kesokapap-cise (新): [名]エウデルマ・マクラトゥム kesokapap (新): [名]オトニクテリス属 otaatuyun-isepokapap-cise (新): [名]オトニクテリス・ヘムプリキー otaatuyun-isepokapap (新): [名]コリノリヌス属 kisaraporokapap-cise (新): [名]チチコウモリ属 kisaruousskapap-cise (新)

ウシ(牛) ①(動物)[場名](鯨偶蹄目)ウシ亜目 peko-mokotan (新): [場名]真反芻下目 sihorkaipep-kotankes (新): [名]ウシ科 peko-apa (新): [名]ウシ亜科 peko-moapa (新): [名]ウシ族 peko-utar (新): [名]ウシ属 peko-cise (新): [名]ウシ cireskapeko (新)、[名] yayampeko (新)、[名] peko (H)※(オーロックスから分かれた家畜牛): [名]オーロックス peko-maktaekasi (新)※(滅びた家畜牛の原種): [名]ガウル gaur (新)※(英語。別名「インドヤギウ」): [名]コーブレイ kampucea-peko (新)※(カンボジア牛): [名]コブウシ tokomkorpeko (新)※(オーロックスから分かれた家畜牛。別名「ゼビュー」など): [名]バンテン banten (新)※(インドネシア語): [名]ヤク yak (新)※(チベット語): [名]アジアスイギウ属 aziaworumpeko-cise (新): [名]アフリカスイギウ属 afrikaworumpeko-cise (新): [名]サオラ属 saora-cise (新): [名]パイゾン属 yayreskapeko-cise (新): [名]ニルガイ族 nirgay-utar (新): [名]ブッシュバック族 hastayorkoyukpeko-utar (新): [名]インバラ亜科 impara-moapa (新): [名]ダイカー亜科 dúker-moapa (新): [名]ハーテビースト亜科

eawpasuyukpeko-moapa (新): [名]ブラックバック亜科 kunneyukpeko-moapa (新) [名]ブルーバック亜科 áoummapeko-moapa (新): [名]ヤギ亜科 yági-moapa (新): [名]リードバック亜科 redunka-moapa (新): [名]リーボック亜科 perea-moapa (新): [名]ローラルアンテローブ亜科 sipoyukpeko-moapa (新): [名]エダツノレイヨウ科 tekeukopipekokirawnup-apa (新)※(ブロングホーン科とも): [名]キリン科 giraffa-apa (新): [名]シカ科 yuk-apa (新): [名]ジャコウジカ科 opokay-apa (新): [場名]マメジカ下目 érumyuk-kotankes (新): ②[名]ウシ類の総称 peko (H)、[名] sukodena (北千島): [名]雄牛 pinne-peko (新): [名]雌牛 matne-peko (新): [名]仔牛 pekopo (新)、[名] pompeko (新): [名]野牛 yayreska-peko (新): [名]家畜牛、飼牛 cireska-peko (新): ③[名]牛乳 pekotope (石狩): [名]牛肉 pekokam (新)、[名] pekoharu (新): [名]牛の毛皮 pekour (新): [名]牛革 pekotonto (新)

うしお(潮) [名](雅語)潮 rur(i) (石狩)

うしお(潮) ①(海流)[名]潮 ciw (八雲)、[名] atuyciw (八雲)、[名] atuymom (新): ②(海水)[名]潮 rur (天塩): ③(潮汐)[名] 潮 siraruysir (新)※(岩の様子)

うしなう(失う) ①(所有に関して)[自]物を失う isak (新): [他]～を失う sak (石狩): [他](場所)で～を失う esak (新): [他]～と共に～を失う kosak (新): [他](原因、手段)で～を失う osak (新): [他](人)に～を失わせる sakka (新): [他]完全に～を失う oassak (assak) (新): ②(過失や遅滞により)[自]失う iorawki (石狩): [他]～を失う orawki (石狩): [他](人)に～を失わせる orawkire (新): ③(物を落として)[自]物を落として失う ieohatcir (新): [他]～を落として失う eohatcir (石狩): ④(感覚に関して)[他]～を失う turaynu (石狩): [他](人)に～を失わせる turaynure (新): [他](人)に～を落として失わせる eohatcire (新): ⑤[自]人を失って悲しむ unoskor (新): [自]物を失って悲しむ ioskor (新): [他]～を失って悲しむ oskor (石狩): [他](人)を～を失って悲しませる oskore (新)

うじむし(蛆虫) [名]蛆虫 mosospe (石狩): [自]蛆虫がわく sirpopo (沙流): (表現)蛆虫がわく mosospe o (H)

うしろ(後ろ) ①(静止した誰か何かの空間的位置関係を示し)[位名]～の後ろ osmak(長形-

e) (石狩)※(対義語は "kotca"): 「その家の後ろには大きなエゾマツが生えていた。」

“Ne cise osmak ta poro sunku as kane an .”, 「岩に腰掛け休む私達の後ろに夕闇が迫っていた。」 “Sirar ka=ci=eosorusi wa sini=as kane inkar=as kane okay=as rapok ta un=osmake ta sirkunne .”: [場名]自分後ろ siosmak (石狩): 「私達は立ち止ると一斉に自分の後ろを振り返った。」

“Roski=as kor siosmak ene usikirpare .”: (表現)後ろを振り返る siosmak ene sikiru (複数 sikirpa) (新): ②(運動する誰か何かの空間的位置関係を示し)[位名]～の後ろ oka(長形-ke) (石狩)※(対義語は"etok"):

「私が森の中を行くと、突然私の後ろで何か物音がした。」 “Nitay tum ta ku=oman kor ekuskono en=oka ta nepka humi as .”: [場名]自分の後ろ sioka (石狩): 「巨大な邸宅の中を私は次々と自分の前のドアを押し開け自分の後ろで閉めながら進んだ。」

“Siporo cise onnay ta ku=apkas kor tu apusta re apusta sietok ene ku=optuye wa ku=maka wa sioka ene ku=nimpa wa seske kane ku=oman .”: (表現)(運動した状態で)後ろを振り返る sioka ene sikiru (複数 sikirpa) (新): ③[後副]～の後ろから ósi (ósino) (石狩): 「お前は俺の後ろから来たらしい。」 “Eani anak en=osi e=ek yak pirka .”

うしろだて(後盾) [名]後盾 sermak (石狩): (表現)私の後盾 ku=kor sermak (新): [位名]～の後盾 sermakorke (石狩): (表現)私の後盾 en=sermakorke (石狩): [自]後盾になる isermakus (石狩)、[自] isermakka (新): [他]～の後盾になる séremakkus (石狩)、[他] sermakka (石狩): [他]～を～の後盾にする sermakkusi (新)、[他] sermakkare (新): [他]～を自分の後盾にする sisermakkusi (新)、[他] sisermakkare (新): 以上本来は守護神について言うが、今後比喩的に人や組織に関しても用いる。

うしろにうごかす(後ろに動かす) [他]～を後ろに動かす、後ろに移動させる makoraye (複数 makoraypa) (石狩)、[他] maknaraye(複数 maknaraypa) (新)、[他] mákaraye (複数 mákaraypa) (石狩): [他](場所)で～を後ろに動かす emakoraye (複数 emakoraypa) (新)、[他] emaknaraye (複数 emaknaraypa) (新): [他]～と共に～を後ろに動かす komakoraye (複数 komakoraypa) (新)、[他] komaknaraye (複数 komaknaraypa) (新): [他](原因、手段)で～を後ろに動かす

omakoraye (複数 omakoraypa) (新)、[他] omaknaraye (複数 omaknaraypa) (新): [他](人)に～を後ろに動かさせる makorayere (複数 makoraypare) (新)、[他] maknarayere (複数 maknaraypare) (新): [他]自分で、一人で～を後ろに動かす yaykomakoraye (複数 yaykomakoraypa) (新)、[他] yaykomaknaraye (複数 yaykomaknaraypa) (新): [他]互いに、皆で～を後ろに動かす ukomakoraye (複数 ukomakoraypa) (新)、[他] ukomaknaraye (複数 ukomaknaraypa) (新): [他](中相)～が後ろに動かされる、後ろに遣られる cimakoraye (石狩): 「突然寝室の戸が後ろに遣られた。」 “Monekuskono tumpu apa cimakoraye .”

うしろにさがる(後ろに下がる) [自]後ろに下がる homakociwe (石狩)、[自] homakoraye (石狩)

うしろまえ(後ろ前) [副]後ろ前に ehorka (沙流): (表現)靴を後ろ前に履く keri ehorka us (新)

うしろむきに(後ろ向きに) [副]後ろ向きに horka (石狩)、[副] horkano (新): [自]後ろ向きに進む horkaoman (複数 horkapaye) (新)、[自] horka (新): [他]～を後ろ向きに進ませる horkaomante (複数 horkapayere) (新)、[他] horkare (horkaka) (新): [自]後ろ向きに歩く horkaapkas (沙流): [他](人)を後ろ向きに歩かせる horkaapkaste (新)

うす(白) [名]白 nísu (石狩)

うず(渦) [名]渦 moy (石狩)、[名] wakkapiri (天塩): [名](特に地名中で)渦、渦流 sup(i) (石狩)、[名] pir(i) (H): (表現)海の大渦 atuy kor simpuy (石狩)、(表現) rur kor simpuy (石狩)※(かつては怪物の国に繋がるとされた)

うすあい(薄藍) [自]薄藍色になる、である cán-ayne (pán-) (新)、[自] cán-ay-irone (pán-) (新): [他]～を薄藍色にする c án-ayneka (pán-) (新)、[他] cán-aynere (pán-) (新): [名]薄藍色 cán-ay (pán-) (新)、[名] cán-ay-iro (pán-) (新)

うすあお(薄青) [自]薄青色になる、である cán-ao (pán-) (新): [他]～を薄青色にする c án-aoka (pán-) (新)、[他] cán-aore (pán-) (新): [名]薄青色 cán-ao-iro (pán-) (新)

うすいろ(薄色) ①(紅花の)[自]薄色になる、である sican-hure (span-) (新): [他]～を薄色にする、染める sican-hureka (sípann-) (新)、[他] sican-hurere (sípann-) (新): [名]薄色 sican-hure-

iro (sípann-) (新): ②(紫根の)[自]薄色になる、である cán-ikinapeus (pán-) (新): [他]～を薄色にする、染める c án-ikinapeusi (pán-) (新)、[他] cán-ikinapeuste (pán-) (新): [名]薄色 cán-ikinapeus-iro (pán-) (新)

ウスイロイルカ(薄色海豚)(動物)[名](セツパリイルカ亜科)ウスイロイルカ属 sicanhure-tannu-cise (sípanhure-) (新): [名]ウスイロイルカ sicanhure-tannu (sípanhure-) (新): [名]アフリカウスイロイルカ afrika-sicanhure-tannu (-sípanhure-) (新): [名]シナウスイロイルカ cína-sicanhure-tannu (-sípanhure-) (新)

うすく(薄く) ①(味や色に関して)[自]薄くなる、薄い can (石狩)、[自] pan (石狩)※(対義語は"nupur"): 色に関して石狩方言で「薄い赤である」を"mátekture"と表現するが、"matek"を専ら「中間色である」の意味で用いるため、新たに"canhure"、あるいは"panhure"と表現するものとする。): [他]～を薄くする canka (cante) (新)、[他] panka (pante) (新): [自]ちょっと薄くなる、一瞬で薄くなる cantek (新)、[自] pantek (新): [他]～をちょっと薄くする、一瞬で薄くする cantekka (新)、[他] pantekka (新): [自]滅茶苦茶薄くなる toykocan (新)、[自] toykopan (新): (視覚に関して)[副]薄く homar (石狩)、[副] homanno (天塩)、[副] homaritarara (天塩): (表現)薄く homar kane (石狩): (味覚、嗅覚に関して)[副]薄く pecanno (石狩)、[副] canno (新)、[副] panno (新): ②(汁や粥に関して)[自]薄い、薄くなる pecakaka (石狩)、[自] pecan (石狩)、[自] hawke (天塩)※(対義語は"siratek"): [他]～を薄くする pecakakare (新)、[他] pecanka (pecante) (新): ③(ものの厚さに関して)[自]薄くなる、薄い kapar (石狩)※(対義語は"ironne"): [他]～を薄くする kaparka (kapare) (新): [自]ちょっと薄くなる、一瞬で薄くなる kapattek (新): [他]～をちょっと薄くする、一瞬で薄くする kapattekka (新): [副]薄く kapanno (新): ④(氷に関して)[自]薄くなる、薄い hapur (石狩): 「氷が薄いから上を渡っちゃいけませんよ。」 “Konru hapur kusu eciki kasi kus yan .”

うずく(疼く) [自](傷口などが)疼く tasara (石狩)

うすくれない(薄紅) ①(薄い赤色を指し)[名]薄紅 ruhure-iro (新)、[名] cánhure-iro (pán-) (新): [自]紅に染まる、染まっている ruhure (石狩)、[自] cán-hure (pán-) (新)

(新): [他]〜を紅に染める ruhureka (-hurere) (新)、[他] cán-hureka (pán-) (新)、[他] cán-hurere (pán-) (新): ②(薄い紅(べに)色)[名]薄紅 cán-ihurekap-iro (pán-) (新): [自]薄紅に染まる、染まっている cán-ihurekap-ironere (pán-) (新): [他]〜を薄紅に染める cán-ihurekap-ironere (pán-) (新)、[他] cán-ihurekap-ironere (pán-) (新)

うすぐんじょう(薄群青) [自]薄群青色になる、である can-repun-ao (pan-) (新): [他]〜を薄群青色にする、染める can-repun-aoka (pan-) (新)、[他] can-repun-aore (pan-) (新): [名]薄群青色 can-repunao-iro (pan-) (新)

うすこう(薄香) [自]薄香色になる、である cán-hurasikay-ironere (pán-) (新): [他]〜を薄香色に染める cán-hurasikay-ironere (pán-) (新)、[他] cán-hurasikay-ironere (pán-) (新): [名]薄香色 cán-hurasikay-iro (pán-) (新)

うすこうばい(薄紅梅) [自]薄紅梅色になる、である cán-hureume-ironere (pán-) (新): [他]〜を薄紅梅色に染める cán-hureume-ironere (pán-) (新)、[他] cán-hureume-ironere (pán-) (新): [名]薄紅梅色 cán-hureume-iro (pán-) (新)

うすずみいろ(薄墨色) [自]薄墨色になる、である campas-ironere (pampas-) (新): [他]〜を薄墨色に染める campas-ironere (pampas-) (新)、[他] campas-ironere (pampas-) (新): [名]薄墨色 campas-iro (pampas-) (新)

うすだいだい(薄橙) [自]薄橙色になる、である runikap-ironere (pan-) (新): [他]〜を薄橙色にする、染める runikap-ironere (pan-) (新)、[他] cannikap-ironere (pan-) (新)、[他] can-nikap-ironere (pan-) (新): [名]薄橙色 runikap-iro (pan-) (新)、(新) can-nikap-iro (pan-) (新)

うすたまごいろ(薄卵色) [自]薄卵色になる、である can-nokorocup-ironere (pan-) (新): [他]〜を薄卵色に染める can-nokorocup-ironere (pan-) (新)、[他] can-nokorocup-ironere (pan-) (新): [名]薄卵色 can-nokorocup-iro (pan-) (新)

ウスチオルダ [場名](ロシア連邦シベリア連邦管区の構成主体名)ウスチオルダ・ブリヤート自治管区 Ustiorda-Buriatiya-sieyayetunusiwor (新): [場名](ウスチオルダ・ブリヤート自治管区の首府名)ウスチオルディンスキー Ustiordinsukii (新)

うすちゃ(薄茶) [自]薄茶色になる、である

can-ca-ironere (pan-) (新): [他]〜を薄茶色に染める can-ca-ironere (pan-) (新)、[他] can-ca-ironere (pan-) (新): [名]薄茶色 can-ca-iro (pan-) (新)

うすで(薄手) [自]薄手である kapar (石狩): [名]薄手の物 kaparpe (石狩): [名]薄手のシントコ kapatsintoko (石狩): (表現)薄手の膳 kaparpe otcike (石狩): (表現)薄手の椀 kaparpe itanki (石狩): かつて「薄手の物」は珍重されたので「高級品」という意味合いも持つ

うすにびいろ(薄鈍色) [自]薄鈍色になる、である ruwenuna-ironere (新): [他]〜を薄鈍色に染める ruwenuna-ironere (ironere) (新): [名]薄鈍色 ruwenuna-iro (新)

うすねず(薄鼠) [自]薄茶色になる、である cán-unaus (pán-) (新): [他]〜を薄茶色に染める cán-unausi (pán-) (新)、[他] cán-unause (pán-) (新): [名]薄茶色 cán-unaus-iro (pán-) (新)

ウスバアゲハ(薄羽揚羽) (昆虫)[名](アゲハチョウ科)ウスバアゲハ亜科 pekenrapus-kitomarewrew-moapa (新): [名]ウスバアゲハ族 pekenrepus-kitomarewrew-utar (新): [名]ウスバアゲハ属 pekenrepus-kitomarewrew-cise (新): [名]ウスバシロチョウ pekenrapus-kitomarewrew (新)※(別名「ウスバアゲハ」): [名]アカボシウスバ húrekeso-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]アクティウスウスバ aktius-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]アポロウスバシロチョウ aporo-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]アポロニウスウスバ aporonius-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]アルタイウスバ artay-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]オオアカボシウスバ síhurekeso-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]オオアメリカウスバ síamerika-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]オオマルバネウスバ sírapuenukar-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]ウスバキチョウ sikepepus-pekenrapus-kitomarewrew (新)※(別名「キイロウスバアゲハ」): [名]クロホシウスバ kunnekeso-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]タイリクヒメウスバ sísepmosir-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]チェクニウスバ cukeni-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]テンシャンウスバ tienšan-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]ノルトマンウスバ nordoman-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]ヒマラヤウスバ himaraya-pekenrapus-kitomarewrew

(新): [名]ヒメウスバシロチョウ yaumpekenrapus-kitomarewrew (新)※(別名「ヒメウスバアゲハ」): [名]マルバネウスバ rapuenukar-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]ミヤマウスバ metotus-pekenrapus-kitomarewrew (新): [名]イランアゲハ属 iran-kitomarewrew-cise (新): [名]イランアゲハ iran-kitomarewrew (新): [名]ギフチョウ族 gihu-kitomarewrew-utar (新): [名]タイスアゲハ族 apapposay-kitomarewrew-utar (新)

ウスバジャコウアゲハ(薄羽麝香揚羽) [名] (キシタアゲハ族)ウスバジャコウアゲハ属 pekenrapus-muskukitomarewrew-cise (新): [名]ウスバジャコウアゲハ pekenrapus-muskukitomarewrew (新)

うすはないろ(薄花色) [自]薄花色になる、である cán-iapappo-irone (pán-) (新): [他]～を薄花色に染める cán-iapappo-ironeka (pán-) (新)、[他] cán-iapappo-ironere (pán-) (新): [名]薄花色 cán-iapappo-iro (pán-) (新)

うすはなだ(薄縹) [自]薄縹色になる、である cán-ittonesumpeus (pán-) (新): [他]～を薄縹色に染める cán-ittonesumpe-usi (-uste) (新)、[他] pán-ittonesumpeusi (-uste) (新): [名]薄縹色 cán-ittonesumpeus-iro (pán-) (新)

ウスヒザラガイ(薄火皿貝) (魚介)[場名](新ヒザラガイ目)ウスヒザラガイ亜目 kaparmeyo-mokotan (新): [名]ウスヒザラガイ科 kaparmeyo-apa (新): [名]ハコダテヒザラガイ muy (新)※(別名「エゾヒザラガイ」): [名]ヒメマダラヒザラガイ mohurekaparmeyo (新)

ウズベキスタン [場名](国名)ウズベキスタン共和国 Ózubekistan Ukotankoremosir (新)※(首都は「タシケント」): [場名](国名の通称として)ウズベキスタン Ózubekistan (新): [名]ウズベキスタン人、国民 ózubekistanunkur (新): [名](民族としての)ウズベク人 ózubekkur (新): [名]ウズベク語 ózubekkuritak (新): (歴史)[場名](ソ連邦の構成国の一つ)ウズベク・ソビエト社会主義共和国 Úzubek Soviet Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(アイヌ語の略称は Úzubek SSR)

ウスベニニガナ(薄紅苦菜) (植物)[名](キク科)ウスベニニガナ属 emiriakikukina-cise (新): [名]ウスベニニガナの茎葉 emiriakikukina (新): [名]ベニニガナの茎葉 hùreemiriakikukina (新)

うずまき(渦巻) ①[名]渦巻、渦流 moy (石

狩)、[名] sup(-i) (石狩): (表現)海の大渦 atuy kor simpuy (石狩)、(表現) rur kor simpuy (石狩)※(かつては怪物の国に繋がるとされた): [名]川が渦巻いた所 petmoy (石狩): ②[名]渦巻文様 morew (石狩)、[名] morew-sirki (石狩)※(普通はアイヌ語のモレウと呼ばれる片側だけのものを "earmorew"、対になっているものを "urenmorew"、それにシクが付いたものを "sikurenmorew"、モレウに棘のついたものを "ayusmorew"、シクウレンモレウの形だが、渦巻の先にシクを付けず中抜き状のものを "ayusurenmorew"、その曲線部を尖らせ全体を角状にしたものを "sikkewnuurenmorew"、四角の渦巻を "sikkewnumorew"、また刺繍線の先端部を丸めたものを "morewetoko" と呼ぶ)

うずまく(渦巻く) [自]渦巻く hopoye (石狩): (表現)(川瀬の)波が渦巻く ciw hopoye (石狩): [他]～を渦巻かせる hopoyere (新): [名]川が渦巻いた所 petmoy (石狩): [自]風が渦巻き音をたてる mawkururu (沙流): [自]水流が渦巻き音をたてる ciwkururu (沙流)

うすみどり(薄緑) [自]薄緑色になる、である caysiwnin (paysiwnin) (新): [他]～を薄緑色にする、染める caysiwninka (paysiwninka) (新)、[他] caysiwninte (paysiwninte) (新): [名]薄緑色 caysiwnin-iro (paysiwnin-) (新)

うずみび(埋火) (表現)埋火 ciuna ape (沙流)

うすもの(薄物) [名](塗り物や着物などの)薄物 kaparpe (石狩): かつてこういう品は珍重されたため立派な所有物の限定詞として用いられる: [名]薄物の立派な膳 kaparpe-otcike (石狩): [名]薄物の立派な酒杯 kaparpe-tuki (石狩): [名]薄物の立派な椀 kaparpe-itanki (新)

うすやき(薄焼き) [他]～を薄焼きにする kaparma (新): (表現)～を薄焼きにする kapar (kapanno) ~ ma (新): [名]薄焼き玉子 cikaparma-nok (新): (表現)薄焼き玉子 kapar (kapanno) an=má nok (新)

ウスユキソウ(薄雪草) (植物)[名](キク科)ウスユキソウ属 muysasmatkina-cise (新): [名]ウスユキソウの茎葉 muysasmatkina (新)、[名]その花 muysasmat (新)※(ムイサシマツ草): [名]オオヒラウスユキソウの茎葉 opira-muysasmatkina (新)※(ハヤチネウスユキソウの変種): [名]カワカミウスユキソウの茎葉 taywan-muysasmatkina (新): [名]コウライウス

ユキソウの茎葉 kórin-muysasmatkina (新): [名]セイヨウスユキソウ europa-muysasmatkina (新)、[名] éderwais (新)、[名]その花 europa-muysasmat (新)、[名] éderwais-apappo (新)※(別名「エーデルワイス」など): [名]チシマウスユキソウの茎葉 cupka-muysasmatkina (新): [名]ハヤチネウスユキソウの茎葉 hayacine-muysasmatkina (新): [名]ヒメウスユキソウの茎葉 momuysasmatkina (新)※(別名「コマウスユキソウ」): [名]ホソバナウスユキソウの茎葉 eane-muysasmatkina (新)※(ミヤマウスユキソウの変種): [名]ミネウスユキソウの茎葉 situun-muysasmatkina (新)※(ウスユキソウの変種): [名]ミヤマウスユキソウの茎葉 metotun-muysasmatkina (新)※(別名「ヒナウスユキソウ」): [名]レブンウスユキソウの茎葉 yaun-muysasimatkina (新)※(別名「エゾウスユキソウ」)

うすらばか(薄ら馬鹿) [自]薄ら馬鹿である rúhayta (石狩): [間投]薄ら馬鹿 rúhayta (石狩)

うすらばげ(薄ら禿) [自]薄ら禿ている romkor (天塩)

ウスリー [名](地名)ウスリー川 Ussuri-pet (新)※(アムール川支流): [場名](ロシア連邦極東連邦管区沿海地方の都市名)ウスリースク Ussurisuk (新)

ウスリーシロサケ(ウスリー白鮭) (魚介)[名](コレゴヌス属)ウスリーシロサケ wakaso (樺太真岡)

うすれる(薄れる) ①(視界に関して)[自]薄れる、薄れている homar (石狩): [他]～を薄れさせる homarka (homare) (新): [自]ちょっと薄れる、一瞬で薄れる homattek (新): [他]～をちょっと薄れさせる、一瞬で薄れさせる homattekka (新): [自]薄れていく cancanke (新): [自]全体がぼんやり薄れていく uecancanke (石狩): ②(味や色に関して)[自]薄れる、薄れている can (石狩)、[自] pan (石狩): [自]ちょっと薄れる、一瞬で薄れる cantek (新)、[自] pantek (新)

うそ(嘘)[名]嘘 sunke (石狩): [自]嘘をつく sunke (石狩): [他]～に関して嘘をつく esunke (新): [他](場所)で嘘をつく esunke (新): [他](人)に嘘をつく kosunke (石狩): [他]～と共に嘘をつく kosunke (新): [他](原因、手段)で嘘をつく osunke (新): [他](人)に嘘をつかせる sunkere (sunkeka) (新): [自]嘘をつきまくる、嘘ばかりつく sunkerotke (石狩): [自]滅茶苦茶嘘をつく toykosunke (新):

[副]嘘をついて sunkeno (石狩): [名]嘘をつく人 sunkekur (石狩): [名]嘘つき sunkep (石狩): ②[自]嘘をつかない sunkesak (石狩): [他](人)に嘘をつかせない sunkesakka (新): [副]嘘をつかずに sunkesakno (石狩)

うどうむどう(有象無象) [名]有象無象 usaokaype (新)

うた(歌)[名]歌 sinotca (石狩)、[名] upopo (石狩)※(それぞれ特定の様式を持った歌謡の一ジャンルだが、歌一般を広く指しても使う場合旭川の老人は専ら upopo を用いていた。ただ現在でも女性の古式舞踊を行う機会が多いうえ upopo が「歌」と同時に「踊り」も指すため、混乱を避ける意味で今後は sinotca の使用を推奨したい): [名]歌声 hawkutcam (石狩)

ウダイカンバ(鶺鴒松明樺) (植物)[名](カバノキ属)ウダイカンバの茎 sitatni (天塩): [名]ウダイカンバの樹皮 sitat (天塩)、[名] karimpatat (十勝)

うたう(歌う) [自]歌う sinotcaki (石狩)、[自] upopo (石狩): (表現)歌う声が高く漏れ聞こえる sinotcaki haw rikoikuske (沙流): [他](場所)で歌う esinotcaki (新): [他]～を歌う esinotcaki (新): [他](人)のために歌う kosinotcaki (新): [他]～と共に歌う kosinotcaki (新): [他](原因、手段)で歌う osinotcaki (新): [他](人)に歌わせる sinotcakire (新): [自]自分で、一人で歌う yaysinotcakire (新): [自]互いに、皆で歌う usinotcakire (新): [自]一人のために歌う yaykosinotcaki (新): [自]皆のために歌う ukosinotcaki (新): [自]心をこめて歌う ramkosinotcaki (新): [自]歌いまくる toykosinotcakipa (新)、[自] raysinotcakipa (新): (表現)歌が～の咽喉の奥底より妙なる調べで歌われる sinotca ~ eraunkuci kamuy noye (沙流)

うたう(謡う) [他](神謡、英雄詞曲などを)謡う sákoye (H)※(節なしで語る事は"rúcaye"、"rúpaye")

うたがう(疑う) [自]疑う umpepka (umpipka) (新): [他]～を疑う eumpepka (石狩)、[他] eumpipka (天塩): [他]～と共に疑う koumpepka (新): [他](原因、手段)で疑う oumpepka (新): [他](人)に疑わせる umpepkare (umpipkare) (新): [自]激しく疑う toykopepka (新): [自]自分を疑う yaypepka (新): [自]疑い合う upepka (新): [自]物事を疑う ielumpepka (新): [他]自分で、一人で～を疑う

yaykoeumpepka (新): [他]互いに、皆で
～を疑う ukoeumpepka (新): [他]人に～
を疑わせる eumpepkayar (新): [自]人
に自分を疑わせる sieumpepkayar (新):
[名]疑り踊 satcepsike (石狩)

うたかた(泡沫) [名]泡沫 koysum (石狩)

うたげ(宴) [名]宴 iku (石狩)、[名] uikure
(新): (表現)宴がたけなわとなる iku
noski kooman (石狩): (表現)宴がお開き
となる iku kes an (石狩): [自]宴を催す
iku (石狩)、[自] uikure (新): [名]重要
な宴会 maratto (marapto) (石狩): 本
来熊送りの際の宴会だが、今後は大切な客人
を迎える宴会にもこの語を使う。: (表現)皆
で豪華な宴を催す maratto ukomaktekka
(沙流)、(表現) maratto ukoante (沙流)

ウタリきょうかい(ウタリ協会) [名](北海道ウ
タリ協会の略称として)ウタリ協会 utari-
uekarpaus (新)※(略称 UU)

うちあうおと(打ち合う音)(刀などの刃が打ち
合うカチッ、キン、チャンなどの音。以下カ
チッで代表させる)[間投]カチッ kit (石
狩): [間投]カチッカチッ kitkit (新):
[自]カチッと音がする kitce (kitse) (新):
[自]カチッカチッと音がする kitkitce
(kitkitse) (新): [自](一回)カチッと鳴る
kitkosanu (石狩)、[自] kitkosampa
(新): [自]カチッカチッと頻りに鳴る
cikitrototo (石狩)、[自] kitrototke (新):
[自]カチッカチッと何度も音がする
kicitatki (新): [自]カチッカチッと続けて
鳴る kitnatara (新): [自](瞬間的に)カチ
ッと鳴る kittek (新)

うちあがる(打ち上がる) [他](中相)～が打ち
上がる ciyanke (新): [他]～を打ち上げ
る yanke (石狩)

うちあてる(打ち当てる) [他](何かを投げたり
撃ったりして)～に打ち当てる cotca (石
狩)

うちかつ(打ち勝つ) [自]打ち勝つ iepetturasi
(新): [他]～に打ち勝つ epetturasi (石
狩)

うちがわ(内側) [位名]～の内側 awna(長形-
ke) (沙流)

うちくだく(打ち砕く) (表現)～を打ち砕く
kikkik wa perpa (新): (表現)～に～を打
ち砕かせる kikkikte wa perpare (新):
(表現)人に～を打ち砕かせる kikkikyar wa
perpayar (新): (表現)～を激しく打ち砕
く toykokikkik wa toykoperpa (新)

うちくるぶし(内踝) [名]内踝 ritkaket (石
狩)

うちこむ(打ち込む) [自]物事にわき目もふらず
打ち込む ikoaresirus (新): [他]～にわ

き目もふらず打ち込む koaresirus (石狩)、
[他] kosineani-enutomom (沙流): (表
現)～が宝器の面を彫刻し、宝刀の鞘を彫刻す
る、これにばかりわき目もふらず打ち込む
tomikanuye sirkanuye tampe patek ～
koaresirus (石狩)、(表現) tomikanuye
sirkanuye tampe patek ～ kosineani-
enutomom (沙流): (表現)～が針仕事にば
かりわき目もふらず打ち込む kemeyki
patek ～ kosineani-enutomom (沙流)

うちとける(打ち解ける) ①[自]人に打ち解け
る iosiknuka (新): [他](人)に打ち解け
る osiknuka (石狩): [他](人)に(人)に打
ち解けさせる osiknukaka (kosiknukare)
(新): [自]互いに打ち解ける uosiknuka
(新): ②[自]打ち解けない yaykatanu
(天塩): [他](人)に打ち解けさせない
yaykatanuka (yaykatanure) (新):
[他](人)に打ち解けない koyaykatanu
(新): [自]互いに打ち解けない
ukoyaykatanu (新)

うちぼり(内堀) [名]内堀 awun pécir (新)

うちまかす(打ち負かす) [他]～を打ち負かす
annokar (沙流): (表現)すっかり打ち負か
される、一方的に打ち負かされる ar
annutara (沙流)

うちまくる(撃ちまくる) [他](鉄砲で)～を撃
ちまくる toytukan (石狩): [他](人)に～
を撃ちまくらせる toytukante (新)

うちみ(打身) [名]打身 ciototcep (新)、[名]
ura (樺太白浦): [自]打身で腫れる totce
(沙流): [自]打身でうっ血する kémotot
(沙流)

うちモンゴル(内モンゴル)[場名](中華人民共和
国の自治区名)内モンゴル自治区 Awtaan
Mongorkur-sieyayetunusiwor (新)

うちゅう(宇宙) [名]宇宙 rikunkanto (石
狩)、[名] sikanato (石狩)、[名] síniskanto
(石狩)、[名] cosmos (新)※(英語): [名]宇
宙人 rikunkantooekkur (新): [名]宇宙
船 sikanatocip (新)、[名] rikunkantocip
(新): [名]宇宙線 sikantokiay (新)、[名]
rikunkantokiay (新)

うちょうてん(有頂天) [他](雅)～に有頂天にな
る eanuramu-sirapipi (沙流)

うちわ(団扇) [名]団扇 iparpap (新)

うつ(撃つ) ①[他](弓や銃で)～を撃つ tukan
(石狩): [他](場所)で～を撃つ etukan
(新): [他]～と共に～を撃つ kotukan
(新): [他](原因、手段)で～を撃つ otukan
(新): [他](人)に～を撃たせる tukante
(tukanka) (新): [他]～を滅茶苦茶撃つ
toytukan (石狩): ②[他](鉄砲)を撃つ
pattekka (石狩): (表現)鉄砲を撃つ

teppo pattekka (石狩)

うつつ(鬱々) [自] 鬱々とする
sirammukka (新): [他](場所)で鬱々とする
esirammukka (新): [他]~と共に鬱々とする
kosirammukka (新): [他](原因、手段)で鬱々とする
osirammukka (新): [他](人)に鬱々とさせる
sirammukkare (sirammukkaka) (新)

うっかりする [自] うっかりする
yaykoeramunin (yaykoeramnin) (石狩)、
[自] yaykoeramewnin (沙流): [他]~に関してうっかりする
eyaykoeramunin (eyaykoyramnin) (新): [他](場所)でうっかりする
eyaykoeramunin (eyaykoeramnin) (新): [他]~と共にうっかりする
koyaykoeramunin (koyaykoeramnin) (新): [他](原因、手段)でうっかりする
oyaykoeramunin (oyaykoeramnin) (新): [他](人)にうっかりさせる
yaykoeramuninka (yaykoyramninka) (新)

うっかりはなす(うっかり放す) [他]~をうっかり放す
opici (新)※(天塩方言としては項数不明)

ウツギ(空木) [名](ユキノシタ科)ウツギ属
kinnenin-cise (新): [名]ウツギの茎
kinnenin (新)※(ノリウツギを意味する樺太方言を転用): [名]アオコウツギの茎
hamironupur-mokinnenin (新)※(ヒメウコギの変種): [名]ウメウツギの茎
umekinnenin (新): [名]ウラジロウツギの茎
isirpokiretar-kinnenin (新): [名]オオシマウツギの茎
oosima-kinnenin (新): [名]オキナワヒメウツギの茎
rucu-kinnenin (新)※(オオシマウツギの変種): [名]コウツギの茎
pon-kinnenin (新): [名]シマヒメウツギの茎
taywan-kinnenin (新): [名]チョウセンウツギの茎
coson-kinnenin (新): [名]トウウツギの茎
apappopon-kinnenin (新): [名]ヒメウツギの茎
mokinnenin (新): [名]ブンゴヒメウツギの茎
bungomokinnenin (新): [名]マルバウツギの茎
hamuenukar-kinnenin (新): [名]マルバコウツギの茎
hamuenukar-ponkinnenin (新): [名]ヤエヤマウツギの茎
yaeyama-kinnenin (新)

うつくしいおと(美しい音) [名] 美しい音
may(e) (石狩)※(本来金属製のものが触れ合う音): [自]美しい音が響き渡る
mayun (石狩)、[自] uetunuyse (uetununse) (石狩): [自]一回美しい音が響く
maykosanu (新)、[自] maykosampa (新): [自]頻りに美しい音がする
mayrototke (新)、[自] cimayrototo (新): [自]美しい音が響き続

ける
mayunatara (新): [自]ちょっと美しい音がする、一瞬美しい音がする
maytek (新): [他]~をにちょっと美しい音をさせる
maytekka (新)

うつくしいようぼう(美しい容貌) ①(顔、体型全体に関して)[場名]美しい容貌
siretok (石狩): (表現)お前の美しい容貌
e=kor siretok (石狩): [自]容貌が美しい
siretokkor (石狩): [名]美しい容貌の人
siretokkorkur (石狩): [名]美しい容貌の女性
siretokkormat (新)、[名] siretokkormenoko (新): ②(顔に関して)[場名]美しい顔
nanetok (石狩)、[名] pirkanan(-u) (石狩): [自]顔が美しい
nanetokkor (石狩)、[自] nanupirka (石狩)、[自] pirkanankor (新)

うつくしく(美しく) [自]美しくなる、美しい
pirka (石狩): [他](場所)で美しくなる、美しい
epirka (新): [他]~と共に美しくなる、美しい
kopirka (新): [他](原因、手段)で美しくなる、美しい
opirka (新): [他]~を美しくする
pirkare (新): [自]自分で、一人で美しくなる、美しい
yaykopirka (新): [自]互いに、皆で美しくなる、美しい
ukopirka (新): [自]とても美しくなる、美しい
sipirka (新): (表現)とても美しくなる、美しい
sonno pirka (石狩): [自]充分美しくなる、美しい
pirkano (pirkanu) (新): [自]激しく美しくなる、美しい
pirkaruy (新): [自]一瞬で美しくなる
pirkatek (新): [他]~を一瞬で美しくする
pirkatekka (新): [自]減茶苦茶美しくなる、美しい
toykopirka (新): [副]美しく
pirkano (石狩)、[副] irammakaka (irammakakano) (石狩)、[副](雅語) pirka (石狩): [副]とても美しく
wenko (石狩)、[副] sipirkano (新): (表現)とても美しく
sonno pirkano (石狩): [自]ちょっと美しい
pirkapo (幌別): (表現)ちょっと美しい
ponno pirka (石狩)

うつし(写し) [名]写し
ciattuptep (新)、[名] ciuptep (新)

うつす(移す) ①(人や物に関して)[他]~を移す
tupte (tukte) (石狩): [他](場所)に~を移す
kotupte (新): [他]~と共に~を移す
kotupte (新): [他](原因、手段)で~を移す
otupte (新): [他](人)に~を移させる
tupteka (tuptere) (新): ②(病気に関して)[他]~を移す
turseka (tusseka) (新)、[他] tursere (tussere) (新): [他](場所)で~を移す
eturseka (etusseka) (新): [他](人)に~を移す
koturseka (katusseka) (新): [他](人)から~を移す
oturseka

(otusseka) (新): [他](原因、手段)で～を移す oturseka (otusseka) (新): [他](人)に～を移させる tursekare (tussekare) (新)

うつす(映す) [自]映す kuttupte (新)※(影を移す): [他]～を映す ekuttupte (新)、[他] kuritupte (新): [他](場所)に映す、～と共に映す kokuttupte (新): [他](原因、手段)で～を映す okuttupe (新): [他](人)に映させる kuttuptere (新)

うつす(写す) ①(文書などに関して)[他]～を写す tupte (新)、[他] attupte (新): [他](場所)で～を写す etupte (eattupte) (新): [他](場所)に～を写す kotupte (koattupte) (新): [他]～と共に～を写す kotupte (koattupte) (新): [他](原因、手段)で～を写す otupte (oattupte) (新): [他](人)に～を写させる tuptere (新)、[他] attuptere (新): ②(写真や映像に関して)[他]～を写す nokauk (新): [他](場所)で～を写す enokauk (新): [他]～と共に～を写す konokauk (新): [他](原因、手段)で～を写す onokauk (新): [他](人)に～を写させる nokaukte (新)

うつびょう(鬱病) [名] 鬱病 sirammukkasiyeye (新): [自]鬱病となる sirammukkasiyeye (新)

うつぶし(空五倍子) ① [名] 空五倍子 kikittokom (新)、[名] kikitakuppe (新): ② [自] 空五倍子色になる、である kikittokom-irone (新): [他]～を空五倍子に染める kikittokom-ironeka (-ironere) (新): [名] 空五倍子色 kikittokom-iro (新)

うつむく(俯く) [自]俯く hepokiki (沙流): [他](人)を俯かせる hepokikire (新)

うつる(移る) ①(人や動物の移動に関し)[自]移る yaytupte (yaytunkte) (石狩): [他](場所)へ移る koyaytupte (新): [他]～と共に移る koyaytupte (新): [他](場所)から移る oyaytupte (新): [他](原因、手段)で移る oyaytupte (新): [他](人)を移らせる yaytupteka (yaytuptere) (新): [自]皆で移る tupte (新): ②(病気にに関して)[自]移る turse (新)、[自] tusse (石狩): [他](場所)で移る eturse (etusse) (新): [他]～に移る koturse (kotusse) (新): [他]～と共に移る koturse (kotusse) (新): [他]～から移る oturse (otusse) (新): [他](原因、手段)で移る oturse (otusse) (新)

うつる(映る) [自]映る siekuntupte (新): [他](場所)に映る、～と共に映る kosiekuttupte (新): [他](原因、手段)で映

る osiekuttipte (新)

うで(腕) ①(上膊、肘から上)[名] 腕 makuntapsut(-u) (石狩)、[名] tapsut(-u) (石狩): ②(下膊、肘から下)[名] 腕 sanketapsut(-u) (石狩)、[名] santapsut(-u) (石狩)、[名] santek(-e) (石狩)、[名] amunin(-i) (胆振): ③(上膊、下膊の全体)[名] 腕 tapsut(-u) (石狩)、[名] tektumam(-a) (十勝)、[名] amuy (天塩): [名](合成語の構成要素として)腕 tek(-e) (石狩)[名] tem (石狩): [場名] 腕と肋の間の肉 temritusi (屈斜路): [名] 腕の動脈 temrit(-ci) (屈斜路): ④[位名]～の腕の中 temnikor(長形-o) (石狩): [場名]自分の腕の中 sitemnikor(-o) (石狩): ⑤[名]腕の筋肉 tapsutkam(-i) (新)、[場名] temnikor(-o) (石狩): ⑥[位名]～の腕の下 tempok(長形-i、-ike) (石狩): (表現)素早い攻撃で抜刀の姿が見えず音のみする様子を描写し)～の腕の下がちゃらりと鳴る tempok konna carkosanu (石狩): (表現)攻撃をかかわすため)～の腕の下を掻い潜る tempok(長形-i、-ike) kus (沙流)

うでがたつ(腕が立つ) [自]腕が立つ askay (石狩): [他]～の腕が立つ easkay (石狩): [自](武器の扱いに関して)腕が立つ tameaskay (石狩)

うできき(腕利き) [名](物作りに関して)腕利き askaykur (石狩): [名](猟に関して)腕利き tameaskaykur (石狩)

うでくみ(腕組み) (表現)腕組みする sikotcake ta teke utasare (屈斜路): 「私達は腕組みしながらお前を待った。」“Sikotcake ta ci=teke ci=utasare kane e=tere=as.”

うでくらべ(腕比べ) [自]人と腕比べする ikoramnukar (新)、[自] irampakte (新): [他](人)と腕比べする koramnukar (新)、[他] rampakte (新): [他](場所)で(人)と腕比べする ekoramnukar (新)、[他] erampakte (新): [他](原因、手段)で(人)と腕比べする okoramnukar (新)、[他] orampakte (新): [他](人)を(人)と腕比べさせる koramnukare (新)、[他] rampaktere (新): [自]互いに腕比べする ukoramnukar (沙流)、[他] urampakte (新): [他](場所)で互いに力比べする eukoramnukar (新)、[他] eurampakte (新): [他](原因、手段)で互いに腕比べする oukoramnukar (新)、[他] ourampakte (新): [他](人)を互いに腕比べさせる ukoramnukare (新)、[他] urampaktere (新)

うでげ(腕毛) [名]腕毛 tapsutusnuma (新)、

[名] tapsutnuma (新)
うでにだく(腕に抱く) [他][他]～を自分の腕に抱く sitemnikoroani (石狩): [他](人)に～を自分の腕に抱かせる sitemnikoroanire (石狩)
うでまき(腕巻) [名] 腕巻 amuykarip(-i) (天塩)
うでまくら(腕枕) ①(人に)[自]人に腕枕する itemnikoreninuy (新): [他](人)に腕枕する temnikoreninuy (新): [他](人)に(人)に腕枕させる temnikoreninuyte (新): ②(自分で)[自]腕枕する yaytekeninuy (新): [他](人)に手枕させる yaytekeninuyte (新)
うでわ(腕輪) [名] 金属製の腕輪 tekunkani (石狩): (表現)腕輪を付ける tekunkani kor (石狩): (表現)腕輪を外す tekunkani ama (石狩): [名] 木製の腕輪 tekunni (石狩)
ウド(独活) (植物)[名](タラノキ属)ウドの茎葉 cimakina (新): [名] ウドの新芽 sewatkuttar (天塩): [名] ウドの枯茎 sewat (天塩)
ウドムルト [場名](ロシア連邦ボルガ連邦管区)の構成主体名)ウドムルト共和国 Udomurtiya Ukotankoremosir (新)※(首都は「イジェフスク」): [名] ウドムルト人 udomurtokur (新)※(旧称「ポチャーク人」): [名] ウドムルト語 udomurtokuritak (新)※(旧称「ポチャーク語」)
うどん(饅頭) [名] うどん udon (新)※(日本語): [名] うどん粉 udonko (新)
うなされる(斃される) [自] 斃される mokottemure (石狩): [自] 斃されウーンと長く唸る ottukar (幌別)
うなじ(項) [名] 項 oksut(-u) (石狩): [名] okkew(-e) (石狩): [名](合成語の構成要素として) ok(-i) (石狩)
うなづく(頷く) (表現)喜びを表し(人)に何度も頷く otu henkuror ore henkuror ~ koanu (koari, koanukar) (沙流)
うなだれる(項垂れる) [自] 項垂れる hepokiki (沙流): [他](人)を項垂れさせる hepokikire (新)
うなばら(海原) ①[名] 海原 atuyso (石狩): ②(人や神が生活する)[名] 海原 repuyso (沙流): (表現)海原 repun iworso (沙流)
うなる(唸る) ①(苦しくて)[自]唸る temu (石狩): [自] nuwap (幌別): (表現)(雅)我は高く低く唸り続ける ta ruy nuwap hawke nuwap an=uturare (新)※(幌別): [他](人)を唸らせる temure (temuka) (新): [他] nuwapte (新): ②(痛くて)[自]

唸る kéciw (天塩): [他](人)を唸らせる kéciwre (kéciwka) (新): ③(感心して)唸る humki (石狩): [他](人)を唸らせる humkire (新): ③(驚かれて)[自]ウーンと長く唸る ottukar (幌別): ④(クマに関して)(表現)飼いグマが唸っているようだ kor eper haweaste hawas (新)※(美幌): (表現)クマが掌を舐めながら唸る tekkotoro kemkem-kohaweas (美幌): [自]クマが低い唸り声を発する tomonke (美幌)
うね(畝) [名] 畝 ruro (沙流): [名] pinay (静内): (表現)畝を作る ruro kar (沙流): (表現) pinay kar (静内)
うねじょうたてばり(畝状堅堀) [名] 畝状堅堀 urenka-aspecir (新)
うねぼり(畝堀) [名] 畝堀 urenka-tumpukor-pecir (新)
うのはな(卯の花) ①[名] 卯の花 kinneni-apappo (-nonno) (新): ②[自]卯の花色になる、である kinneni-apappo-irone (新): [他]～を卯の花色にする kinneni-apappo-ironeka (-ironere) (新): [名] 卯の花色 kinneni-apappo-iro (新)
うばう(奪う) ①(盗む)[自]奪う ikka (石狩): [自](雅語) eska (石狩): [他]～を奪う eikka (石狩): (表現)他人の妻を奪う oya menoko eikka (石狩): (表現)他人の夫を奪う oya okkay eikka (新): [他]～から奪う koikka (石狩): (人)に奪わせる ikkare (新): [他]～から～を奪う koeikka (石狩): [自]奪い合う ukoikka (新): [他]～を奪い合う ukoeikka (eukoikka) (新): [他]～を奪い尽くす areikka (新): [他] oareikka (新): ②(力づくで)[自]物を奪う iuk (新): [自]人を奪う unuk (新): [他]～を奪う uk (複数 uyna) (石狩): [他]～から～を奪う kouk (複数 kouyna) (石狩): 「和人が我々から北海道を奪った。」“Sisam Yaunmosir un=kouk .”: [他](人)に～を奪わせる ukte (複数 uynare) (新): [他]～を奪い合う ukouk (複数 ukouyna) (石狩): [他] ukoehunara (幌別): 「私達は子猫を奪い合って可愛がった。」“Ponmekot ci=ukouk wa ci=henkotpa .”: [他]～を奪い尽くす aruk (複数 aruyna) (新): [他] oaruk (複数 oaruyna) (新): ③[他](人)を殺して(人)から奪う korayke (石狩): 「お前は私の妻を殺し私から奪ったのだ。」“Eani anak ku=macihi e=en=korayke ruwe ne na !”
ウパス(箭毒木) (植物)[名](クワ科)ウパス属 surkuturepni-cise (新): [名] ウパスの茎 surkuturepni (新): [名] upasni (新)※

(別名「ウパスの木」)

ウバメガシ(姥目樫) (植物)[名](コナラ属)ウバメガシ節 binco-riyahamuskomni-korpe (新): [名]ウバメガシの茎 binco-riyahamuskomni (新)※(備長樫。別名「イマメガシ」、「ウマメガシ」など)

ウファ [場名](ロシア連邦ボルガ連邦管区バシコルトスタン共和国の首都)ウファ Ufa (新)

うぶげ(産毛) [名]産毛 ritennuma (幌別)、[名] yarpenuma (屈斜路)

ウボル [場名]ウボル島 Uporu-poysir (新)※(サモア独立国の島名)

ウマ(馬) ① (動物)[場名](哺乳綱)ウマ目 umma-kotan (新)※(奇蹄目とも): [場名]ウマ上科 umma-apapa (新): [名]ウマ科 umma-apa (新): [名]ウマ属 umma-cise (新): [名]ウマ亜属 umma-mocise (新): [名]ウマ umma (石狩)、[名] rosot (千島): [名]ノウマ núpumma (新): 亜種 [名]ターパン tarpan (新)※(絶滅): [名]モウコウマ mongorun-umma (新): [名]グレーピーシマウマ亜属 áneruoumma-mocise (新): [名]シマウマ亜属 ruoumma-mocise (新): [名]ロバ亜属 rumma-mocise (新): [場名]サイ上科 etukasikirawumpe-apapa (新): [場名]バク上科 báku-apapa (新): ② [名]雄馬 pinne-umma (新): [名]雌馬 matne-umma (新): [名]仔馬 ummapo (新)、[名] pónumma (新): ③ (関連語彙)[名]馬肉 ummakam (新)、[名] ummaharu (新): [名]馬の毛皮 ummaur (新): [名]馬革 ummatonto (新): [名]馬の女性器 umma-samampe (幌別): (表現)馬に乗る umma o (石狩): (表現)馬を駆る umma paste (新): (表現)馬を繋ぐ umma sirkote (石狩): [間投]人が馬を呼ぶ声 pópopopo (浦河)

うまい(上手い) [自]上手い askay (石狩): 「いやー、上手いもんだ!」“Ayapo, e=askay ruwe!”: [他]～が上手い easkay (石狩): 「貴方はアイヌ語が上手い。」“Aynuitak es=easkay.”: [助動](～する事)が上手い easkay (石狩): 「貴方はアイヌ語で話すのが上手い。」“Aynuitak ani es=itak easkay.”

うまい(美味しい) [自]美味しくなる、美味しい kéraan (新)、[自] kérapirka (新)、[自] pirka (石狩): (表現)美味しい肉 pirka kam (石狩): (表現)美味しい kéra an (石狩)、(表現) kéra pirka (石狩): [他]～を美味しくする kéraante (新)、[他] kérapirkare (新)

うまいことをいう(上手い事を言う)[他]～のものを騙し取ろうと上手い事を言う mokmoki (沙流): [他]～の～を騙し取ろうと上手い事を言う komokmoki (沙流)

うまく(上手く) ① [副]上手く pirkano (石狩)、[副] pirka (石狩)、[副] askayno (新): ② [自]運が良くて上手いく monipirka (石狩): [他]運が良くて～がうまくいく emonipirka (石狩): ③ [自]運が悪くて上手いくかない moniwen (新): [他]運が悪くて～が上手いくかない emoniwen (新)

ウマヅラコウモリ(馬面蝙蝠) (動物)[名](ケンシヨウコウモリ族)ウマヅラコウモリ属 ekanitucine-kapap-cise (新): [名]ウマヅラコウモリ ekanitucine-kapap (新)※(金槌頭蝙蝠)

ウマノミツバ(馬之三葉) (植物)[名](セリ科)ウマノミツバ亜科 ummamicipa-moapa (新): [名]ウマノミツバ属 ummamicipa-cise (新): [名]ウマノミツバ ummamicipa (新): [名]クロバナウマノミツバ apappokunne-ummamicipa (新): [名]ヒメウマノミツバ moummamicipa (新)

うまみ(旨味) [名]旨味 pirkakera (新): [自]旨味がある pirkakerakor (新): [他]～に旨味を与える pirkakerakore (新): [名]旨味調味料 ipirkakerakorep (新)

うまる(埋まる) [自]埋まる sikaseske (新): [他](場所)に埋まる esikaseske (新): [他]～と共に埋まる kosikaseske (新): [他](原因、手段)で埋まる osikaseske (新): [名]草に埋まる sikinamuntumomare (新): [自]ごみに埋まる sipanamuntumomare (新)、[自]sikoponcimuntumomare (新): [自]砂に埋まる siotatumomare (新): [自]土に埋まる sitoymomomare (新)

うまれかわる(生まれ変わる) [自]生まれ変わる yaykatcipi (石狩): (表現)～に生まれ変わる ～ ne yaykatcipi (新): [他](場所)で生まれ変わる eyaykatcipi (石狩): [他](原因、手段)で生まれ変わる oyaykatcipi (新): [他]～を生まれ変わらせる yaykatcipire (新): [他]～の生まれ変わりである kokke (幌別): [自](赤子が舌を出してる様を言い)貝の生まれ変わりである seykokke (幌別)

うまれる(生まれる) [自]生まれる siko (石狩): [他](場所)で生まれる esiko (新): [他]～と共に生まれる kosiko (新): [他](原因)で生まれる esiko (石狩): [他]～から生まれる、(原因、手段)で生まれる

osiko (新): [名]生まれたままの姿
sikokat(-u) (新): [自]生まれたままの姿になる、である sikokatune (新): [自]二人で互いに、皆で生まれたままの姿になる ukosikokatune (新)

うみ(海) ①(地理的概念としての)[名]海 atuy (石狩): (表現)海が風いている atuy tontek (石狩): (表現)海の上 atuy ka(長形-si、-sike) (石狩)、(表現) atuy kurka(長形-si、-sike) (石狩): (表現)海の底 atuy asama (石狩): (表現)海の港 atuy tomari (石狩): (表現)海辺 atuy sam(長形-a、-ake) (石狩)、(表現) atuy teksam(長形-a、-ake) (石狩): [場名]海の上 atuy pa(-ke) (石狩)※(東の海): [場名]海の下 atuy kes(-e) (石狩)※(西の海): ②(生活の場としての)[場名]海 rep (石狩): [連体]海の repun (石狩): [自]海に向かう erepun (新): [他]~を海に行かせる、向かわせる erepunke (erepunka、erepunte) (新): [副]海に向かって、海へと herepasi (石狩): [自]海から来る orepun (新): [他]~を海から来させる orepunka (石狩)、[他] orepunte (新): [副]海から horepasi (石狩): [自]海を切り裂きすすい進む herurotuy pa-kocasse (新)、[自] herurotuy pa-kocasse casse (新)

うみ(膿) [名]膿 ye (石狩): (表現)膿が集まる ye kuy (八雲): (表現)膿が出る ye asin (石狩): [自]膿が出る yénu (石狩): [他]~から膿が出る oyenu (新): [自]膿を出す yéasinke (複数 yéasipte) (新): [他]~から膿を出す oyeasinke (複数 oyeasipte) (新): (表現)膿んで口がつく hup o wa par o (新冠): (表現)できものが膿んで口がつく par o wa yénu (新冠): [名]膿の芯 yésapa (沙流)、[名] hupsinrit(-ci) (沙流)、[名] yésikay(-e) (沙流)

うみからせめる(海から攻める) [自]海から攻める、(敵が)海から攻めて来る tumiyanke (石狩): [他]~を海から攻める etumiyanke (新): [他]~と共に海から攻める kotumiyanke (新): [他](原因、手段)で海から攻める otumiyanke (新): [他](人)に海から攻めさせる tumiyankeka (tumiyankere) (新)

ウミギクガイ(海菊貝) (魚介)[名](イタヤガイ上科)ウミギクガイ科 kikusey (新): [名]ウミギクガイ kikusey (新): [名]アズキイロメンガイ pirkahure-ancamiapappo (新): [名]アメリカシヨウジョウガイ amerika-ancamiapappo (新): [名]ウニメ

ンガイ ancamiapappo (新): [名]ウミダリアガイ dariaapappo (新): [名]コシロトゲウミギク (新): [名]シロウミギクガイ retarkikusey (新): [名]センニンシヨウジョウ sisam-ancamiapappo (新): [名]ダイオウシヨウジョウ síporo-ancamiapappo (新): [名]チリボタン yaun-ancamiapappo (新): [名]トゲナガシヨウジョウカズラ ayetanne-ancamiapappo (新): [名]ネコジタウミギク hùre-anamiapappo (新): [名]メンガイ koyok-ancamiapappo (新): [名]メンガイモドキ cikoyok-ancamiapappokopa (新): [名]ヤスリメンガイ sipsipikikusey (新)

うみせんやません(海千山千) [名]海千山千(である事) ioattoykoamkirap (iattoykoamkirap) (新): [名]海千山千(の人) ioattoykoamkirakur (iattoykoamkirakur) (新): [自]海千山千である ioattoykoamkir (iattoykoamkir) (新): [他]~に関して海千山千である oattoykoamkir (attoykoamkir) (新)

ウミツバメ(海燕) (鳥)[名](ミズナギドリ目)ウミツバメ科 sirwentecikap-apa (新): [名]ウミツバメ亜科 sirwentecikap-moapa (新): [名]ウミツバメ属 sirwentecikap-cise (新): [名]クロウミツバメ kunnesirwentecikap (新): [名]クロコシジロウミツバメ hidejimasirwentecikap (新): [名]ハイイロウミツバメ únaussirwentecikap (新): [名]ヒメクロウミツバメ mokunnesirwentecikap (新): [名]ヒメウミツバメ属 europasirwentecikap-cise (新): [名]アシナガウミツバメ亜科 (新): [名]アシナガウミツバメ属 cikiritannesirwentecikap-cise (新): [名]シロハラウミツバメ属 honiretarsirwentecikap-cise (新)

うみどり(海鳥) [名]海鳥 atuycikap (美幌)

うみにすむ(海に住む) [連体]海に住む repun (石狩): (表現)海(の広い上)に住む atuy kurka(長形-si、-sike) ta an (複数 okay) (新): (表現)海(の上)に住む atuy ka(長形-si、-sike) ta an (複数 okay) (新): (表現)海(の中)に住む atuy tum(長形-ke) ta an (複数 okay) (新): (表現)海(の底)に住む atuy asam(長形-a) ta an (複数 okay) (新)

うみにでる(海に出る) (交易や漁のため)[自]海に出る repun (石狩): [他](人)を海に出す repunka (石狩)、[他] repunte (新)

うみのかみ(海の神) [名]海の神 atuykorkamuy (石狩)、[名] repunkamuy

(石狩)

うみのむこう(海の向こう)[位名]への海の向こう atuymak(長形-ke) (石狩): (表現)私がいる所から海の向こう en=atuymak (石狩): (表現)海の向こう atuy mak (atuy makke) (新)

うみべ(海辺) [場名] 海辺 atuysam(atuysama、atuysamake) (石狩)、[場名] russam(russama、russamake) (天塩)

ウミヘビ(2)(海蛇) (魚介)[名](アナゴ亜目)ウミヘビ科 tannephamo-apa (新): [名]ウミヘビ亜科 tannephamo-moapa (新): [名]ウミヘビ属 tannephamo-cise (新): [名]アリス属 aripsu-cise (新): [名]アプラトフィス属 apratofis-cise (新): [名]アプログナトドン属 aproknotodon-cise (新): [名]イクチュアプス属 ixtiapus-cise (新): [名]エキオフィス属 exiofis-cise (新): [名]エタドフィス属 etadofis-cise (新): [名]エビプス属 evipsu-cise (新): [名]オフィスルス属 ofisurus-cise (新): [名]カエクラ属 kaekura-cise (新): [名]カラロフィア属 kararofia-cise (新): [名]キスュリアス属 kusirias-cise (新): [名]キルカエクラ属 kirkaekura-cise (新): [名]キルヒムラエナ属 kirhinuraena-cise (新): [名]クアッシレムス属 kuassiremus-cise (新): [名]クセストキルス属 kusestoxirus-cise (新): [名]ケルトミクチュス属 kertomixtis-cise (新): [名]ゴイシウミヘビ属 panteratannephamo (新): [名]ゴマウミヘビ属 apterixtus-cise (新): [名]スキュタリクチュス属 sukitarixtis-cise (新): [名]スティクトルヒヌス属 sutiktorhinus-cise (新): [名]ダロフィス属 darofis-cise (新): [名]ハクテンウミヘビ属 ramnostoma-cise (新): [名]バスカニクチュス属 baskanixtis-cise (新): [名]パラレタルクス属 (新): [名]ヒモウミヘビ属 attannephamo (新): [名]ヒュファロフィス属 hifarofis-cise (新): [名]フクロフィクトゥス属 firofixtus-cise (新): [名]ヒレアナゴ属 rapkortannephamo-cise (新): [名]ファエノモナス属 faenomonas-cise (新): [名]ブラキュソモフィス属 buraxisomofis-cise (新): [名]ヘメルヒヌス属 hemerorhinus-cise (新): [名]ヘルペトイキトゥス属 herpetoixtis-cise (新): [名]ホタテウミヘビ属 rapasitannephamo-cise (新): [名]マルポリオフィス属 marvoriofis-cise (新): [名]ムラサキウミヘビ属 seturukunnehuretannephamo-cise

(新): [名]ユイルカラ属 iirkara-cise (新): [名]リノフィクトゥス属 rinofixtus-cise (新): [名]ルトウレンケリュス属 ruturenxeris-cise (新): [名]レイウラヌス属 reiuranus-cise (新): [名]レウロファルス属 reurofarus-cise (新): [名]レタルクス属 retarxus-cise (新): [名]レトゴレオス属 retogoreos-cise (新): [名]レプテンケリュス属 reptenxeris-cise (新): [名]ニンギョウアナゴ亜科 imokhamo-moapa (新)

うみをわたる(海を渡る) [自]海を渡る atuytomotuye (石狩): (表現)海を渡る atuy tomotuye (石狩): [他](場所)で海を渡る eatuytomotuye (新): [他](場所)へ海を渡る、～と共に海を渡る koatuytomotuye (新): [他](場所)から海を渡る、(原因、手段)で海を渡る oatuytomotuye (新): [他](人)に海を渡らせる atuytomotuyere (新)

うむ(産む) ①(子を出産する事を示し)[他]～を産む yaykosanke (石狩): [他](人)に～を産ませる yaykosankere (新): ②(子を持つ事を示し)[他]～を産む kor (石狩): [他](人)に～を産ませる kóre (新)、[他] kórar (新): [他]二人で～を産む ukokor (新): [自]子を産む pókor (石狩): [自]二人で子を産む ukopokor (新)

うむ(膿む)[自]膿む yénu (石狩)、[自] yéot (石狩): [他]～を膿ませる yénure (新)、[他] yéotte (新)

ウメ(梅)(植物)[名](サクラ属)ウメの茎 umeni (新): [名]ウメの花 umeni-apappo (-nonno) (新)、[名](合成語の要素として) ume (新): [名]ウメの果実 ume (新)※(日本語)

うめぞめ(梅染) ①(染色について)[自]梅染する iumeosime (新): [他]～を梅染する umeosime (新): [他]～を赤梅染する húre-umeosime (新): [他]～を黒梅染する kunne-umeosime (新): ②(現代の特定の色について)[自]梅染色になる、である ciumeosime-irone (新): [他]～を梅染色にする ciumeosime-ironeka (-ironere) (新): [名]梅染色 ciumeosimep-iro (新)

うめねず(梅鼠) [自]梅鼠色になる、である ume-unaus (新)、[自] ume-korukunne (新): [他]～を梅鼠色に染める ume-unausi (-nauste) (新)、[他] ume-korukunneka (-korukunnere) (新): [名]梅鼠色 ume-unaus-iro (新)、[名] ume-korukunne-iro (新)

うめぼし(梅干し)[名]梅干し cisatkeume (新)

ウメボシイソギンチャク(梅干磯巾着) (魚介)[名](イソギンチャク目)ウメボシイソギンチャク科 *húreheunnay-apa* (新): [名]ウメボシイソギンチャク *húreheunnay* (新): [名]アオホシイソギンチャク *aonociwheunnay* (新): [名]アンズイソギンチャク *anzuheunnay* (新): [名]イシワケイソギンチャク *aneheunnay* (新): [名]オオイソギンチャク *tomomiporoheunnay* (新): [名]キタオオイソギンチャク *yauntomtomiporoheunnay* (新): [名]クロガネイソギンチャク *kunnehkaniheunnay* (新): [名]コモチイソギンチャク *pókorheunnay* (新): [名]スナイソギンチャク *otaheunnay* (新): [名]ダイコンイソギンチャク *tanneretarheunnay* (新): [名]ヒオドシイソギンチャク *húrehayokpeheunnay* (新): [名]ヒメイソギンチャク *moheunnay* (新): [名]フトウデイソギンチャク *tekeruweheunnay* (新): [名]ベリルイソギンチャク *yayanheunnay* (新): [名]ミドリイソギンチャク *siwninheunnay* (新): [名]ミナミウメボシイソギンチャク *koypokhureheunnay* (新): [名]ヨロイイソギンチャク *hayokpeheunnay* (新)

うめる(埋める) ①(表現)～を埋める *～kasi(-ke) seske* (石狩): [他]～を埋める *kasiseske* (新): [他](人)に～を埋めさせる *kasiseskeka (kasiseskere)* (新): ②(表現)土中に～を埋める *tuytum omare* (天塩)、(表現) *toytum o* (新): [他]土中に～を埋める *toytumo* (新)、[他] *toytumomare* (新): [他]草の中に～を埋める *kinamuntumo* (新)、[他] *kinamuntumomare* (新): [他]ごみの中に～を埋める *koponcimuntumo* (新)、[他] *koponcimuntumomare* (新): [他]砂の中に～を埋める *otatumo* (新)、[他] *otatumomare* (新): [他]泥の中に～を埋める *teyakatumo* (新)、[他] *teyakatumomare* (新): ③(火種に関して)[自]火種を埋める *ierao* (新): [他](火種)を埋める *erao* (石狩): ④(遺体に関して)[自]遺体を埋める *ietoytuye* (新): [他](遺体になった人)を埋める *etoytuye* (石狩)

うやうやく(恭しく) [副]恭しく *oripakno* (石狩)、[副] *paseitara (pasetara)* (石狩)、[副] *pasenopo* (石狩): (表現)恭しく *oripak kane* (石狩)、(表現) *oripak tura(-no)* (石狩)、(表現) *paseitara (pasetara)*

(石狩)、(表現) *oripak kor* (石狩): [後副]～に対して恭しく *eoripakno* (新)、[後副] *kooripakno* (新)、[後副] *kopaseitara (kopasetara)* (新): (表現)(雅)何度も何度も掌を上下させ恭しく拝礼する *tu páse aske re páse aske epumpa kane onkami* (石狩)、(表現)(雅) *tu ray onkami re ray onkami ukakuste (uturare)* (沙流)

うやまう(敬う) [自]敬う *oripak* (石狩): [他]～を敬う *eoripak* (石狩)、[他] *kooripak* (天塩): [他]～と共に敬う *kooripak* (新): [他](原因、手段)で敬う *ooripak* (新): [他](人)に敬わせる *oripakka (oripakte)* (新): [自]自分を敬う *yayeoripak (yaykooripak)* (新): [自]敬い合う *ueoripak (ukooripak)* (新): [自]心から敬う *ramkooripak* (新): [自]死ぬほど敬う *rayoripak* (新): [自]充分敬う *oripakno (oripaknu)* (新): [自]激しく敬う *oripakruy* (新): [自]滅茶苦茶敬う *toykooripak* (新): [副]敬って *oripakno* (新): (表現)敬って *oripak kane* (石狩)、(表現) *oripak kor* (石狩)、(表現) *oripak tura(-no)* (石狩): [後副]～を敬って *eoripakno* (新)、[後副] *kooripakno* (新)

うら(裏) ①(莫産など平面的なものの)[場名]裏、裏側、裏面 *sirpok(-i, -ike)* (石狩): (表現)裏地にする布 *sirpok ne p* (沙流): ②(立体的なものの)[位名](家など)の裏、裏側 *oka(長形-ke)* (石狩): (表現)家の裏 *cise oka(-ke)* (石狩): ③(体の部位などの背面)[位名](頭や耳など)の裏、裏側 *ommake* (石狩): (表現)耳の裏側 *kisar ommake* (石狩): ④(底)[位名](足など)の裏、裏側 *asam(長形-a)* (石狩): (表現)足の裏 *cikir asam(-a)* (石狩)、*ure asam(-a)* (天塩): ⑤(何かに密着したものや一部になったものの)[位名]～の裏、裏側 *tuypok(長形-i, -ike)* (天塩): (表現)手(全体)の裏側(下側) *tek tuypok* (沙流): (表現)(傾いだ)木の裏側(下側) *ni tuypok* (沙流)

ウライソウ(烏来麻) (植物)[名](イラクサ科)ウライソウ属 *úraymun-cise* (新): [名]ウライソウの茎葉 *úraymun* (新): [名]セキモンウライソウの茎葉 *sekimon-uraymun* (新)

うらおもて(裏表) [名]裏表 *herakora* (美幌) ※(C 2 p. 552): (表現)裏表がある *herakora an* (新)

うらがえず(裏返す) [自](着物などが)裏返る *hokus* (天塩): [他]～を裏返す、裏返しにする *okus* (沙流)、[他] *hokuste* (新): (表現)着物を裏返して着る *imi okus wa mi*

(新): [他](人)に～を裏返しにさせる
okuste (新)、[他] hokustere (新):
[自](葬儀の際家族が)裏返しに着物を着る
hokus-imi (天塩)

ウラギンアゲハ(裏銀揚羽)(昆虫)[名](アゲハチョウ科)ウラギンアゲハ亜科 méxiko-kitomarewrew-moapa (新): [名]ウラギンアゲハ属 méxiko-kitomarewrew-cise (新): [名]ウラギンアゲハ méxiko-kitomarewrew (新)

ウラジーミル ①[場名](ロシア連邦中央連邦管区の構成主体名)ウラジーミル州 Vuradimir-purovince (新): [場名](ウラジーミル州の州都名)ウラジーミル Vuradimir (新): ②[歴史][場名](国名)ウラジーミル大公国 Vuradimir Sínodukekormosir (新): [場名](国名)ウラジーミル・スズダリ公国 Vuradimir-Suzudari Dúkekormosir (新)

ウラジオストーク [場名](ロシア連邦極東連邦管区沿海地方の首府名)ウラジオストーク Vuradivostok (新)

ウラジカフカース [場名](ロシア連邦南部連邦管区北オセチア共和国の首都名)ウラジカフカース Vuradikafkas (新)

ウラジロエノキ(裏白櫻)(植物)[名](ニレ科)ウラジロエノキの茎 hamusirpokitarenoki-cise (新): [名]ウラジロエノキの茎 hamusirpokitarenoki (新): [名]キリエノキの茎 kí-enoki (新)※(別名「コバフンギ」): [名]トレマ・アングステイフォリアの茎 ponhamusirpokitarenoki (新): [名]T. ミクランタの茎 jamayka-enoki (新): [名]T. ラマルキアナの茎 cuppokindonenoki (新)

ウラジロタデ(裏白蓼)(植物)[名](オンタデ属)ウラジロタデの茎 amamkuttar (幌別)※(別名「ウラジロイタドリ」): [名]ウラジロタデの果実 kuttaramam (幌別): [名]ウラジロタデの若い茎 irureh (樺太)※(真岡): [名]ウラジロタデの枯茎 tuhkuh (樺太)※(真岡)

ウラジロノキ(裏白の木)(植物)[名](アズキナシ属)ウラジロノキの茎 samoruscikapsetanni (新)

うらなう(占う) ①[自]占う niok (石狩)※(伝統的にはキツネの頭骨などを用いる「投げ占いをする」事だが、今後は他民族のものを含め占い全般を指すものとする): [他](場所)で占う eniok (新): [他]～に関して占う、～に尋ね占う、～で占う koniok (石狩): [他](原因、手段)で占う oniok (新): [他](人)に占わせる niokka (niokte) (新):

②[自]キツネの頭骨を用いて投げ占いをする kamuykoniok (石狩): [名]送りの儀式で用いる占い用の木幣 iok (石狩)

うらばやなぎ(裏葉柳) [自]裏葉柳色になる、である susuham-sirpok-ironere (新): [他]～を裏葉柳色に染める susuham-sirpok-ironeka (-ironere) (新): [名]裏葉柳色 susuham-sirpok-iro (新)

うらむ(恨む) [自]人を恨む、物事を恨む iepoko (新): [他]～を恨む epoko (石狩): [他](場所)で～を恨む eepoko (新): [他]～と共に～を恨む koepoko (新): [他](原因、手段)で～を恨む oepoko (新): [他](人)に～を恨ませる epokore (epokoka) (新): [自]自分を恨む yayepoko (新): [自]恨み合う uepoko (新): [他]滅茶苦茶～を恨む toykoepoko (新)

うらやましい(羨ましい) [自]羨ましいと思う、羨ましがる ikoytupa (石狩): [他]～を羨ましいと思う eikoytupa (石狩): [他](場所)で羨ましいと思う eikoytupa (新): [他]～と共に羨ましいと思う koikoytupa (新): [他](原因、手段)で羨ましいと思う oikoytupa (新): [他](人)に羨ましがらせる ikoytupare (新): [他]自分で、一人で～を羨ましいと思う yaykoeikoytupa (新): [他]互いに、皆で～を羨ましいと思う ukoeikoytupa (新): [他]激しく～を羨ましいと思う toykoeikoytupa (新): [他]人に～を羨ましがらせる eikoytupayar (新): [自]人に自分を羨ましく思わせる sieikoytupayar (新): [自]羨ましがり合う ukoikoytupa (新): [間投]羨ましいな aynupata (石狩)

ウラル ①[場名](ロシア連邦の行政区名)ウラル連邦管区 Urar-ukosineatkimosirkor-iwor (新)※(本部は「エカテリンブルグ」): ②[場名](地名)ウラル川 Urar-pet (新): [名](地名)ウラル山脈 Urar-ikinnenupuri (新)

ウラン(化学)[名]ウラン uranium (新)※(原子番号92番。元素記号 U)

ウラン・ウデ [場名](ロシア連邦シベリア管区ブリヤート共和国の首都名)ウラン・ウデ Uran-ude (新)

ウランバートル [場名](モンゴル国の首都)ウランバートル Urambator (新)

ウリ(瓜)(植物)①[名]瓜類の茎 uripunkar (新): [名]ウリ類の果実 uri (新)※(日本語): [名]ウリ類の種子 uripi (新): ②[場名](古生花被亜綱)ウリ目 uripunkar-kotan (新): [名]ウリ科 uripunkar-apa (新): [名]カボチャ亜科 kabocapunkar-

moapa (新): [名]ザノニア亜科 zania-
moapa (新): ③[名]ウリ状果 urine-
ikaop(i) (新)

うりあげ(売上) (商業)①(売る事)[自]ものを売
上げる ieiyok (新): [他]～を売上げる
eiyok (石狩): [他](人)に～を売上げさせる
eiyokte (新): ②(売り尽くす)(表現)～を売
上げる ～ eiyok okere (新): ③(売って
ある総計金額を得る)[他]～を売上げる
ieiyokouk (新): 「今週わが社は5千万円
を売上げました。」“Tan tósay otta ci=un
tomisapusi otta asikne wanatuyta-moikne
yen an=ieiyokouk ruwe ne .”: [他](人)に
～を売上げさせる ieiyokoukte (新):
[名]売上、売上金額、売上高 ieiyokoukikor
(新)、[名] ieiyokoukpe (新): [名]売上傳
票 ieiyokoukpe-surip (新)

うりきる(売り切る) [他]～を売り切る
eyyokokere (新)、[自] eiyokokere (新):
(表現)～全てを売り切る ～opitta eiyok
(eiyok) okere (新)、(表現) ～ opitta
eyyok (eiyok) wa okere (新): [他](人)に
～を売り切らせる eyyokokerere
(eyyokokereka) [他] eiyokokerere
(eiyokokereka) (新)

うりきれ(売り切れ) [自] 売 り 切 れ る
cieyyokokere (新)

ウリヤノフスク [場名](ロシア連邦ボルガ連邦
管区の構成主体名)ウリヤノフスク州
Uriyanofsuk-purovince (新): [場名](ウリ
ヤノフスク州の州都名)ウリヤノフスク
Uriyanofsuk (新)

うる(売る) [自]ものを売る ieiyok (ieyyok)
(新)、[自] ieihok (新): [他]～を売る
eiyok (eyyok) (石狩)、[他] eihok (天塩):
[他](場所)で～を売る eeiyok (eeyyok)
(新)、[他] eeihok (新): [他]～に～を売る、
～と共に～を売る koeiyok (koeyyok)
(新)、[他] koeihok (新): [他](原因、手段)
で～を売る oeiyok (oeyyok) (新)、[他]
oeihok (新): [他](人)に～を売らせる
eiyokte (eyyokte) (石狩)、[他] eihokte
(新): [他]自分で、一人で～を売る
yaykoeiyok (yaykoeyyok) (新)、[他]
yaykoeihok (新): [他]皆で、共に～を売る
ukoeiyok (ukoeyyok) (新)、[他] ukoeihok
(新): [他]うまく～を売る ieiyokno
(eiyoknu) (新)、[他] eyyokno (eyyoknu)
(新)、[他] eihokno (eihoknu) (新): [他]
～を売りまくる toykoeiyok (toykoeyyok)
(新)、[他] toykoeihok (新): [他]人に～を
売らせる、売ってもらう eiyokar (eyyokar)
(新)

うるおす(潤す) [自]潤う、潤っている

pirkateyne (新): [他]～を潤す
pirkateyneka (pirkateynere) (新): [他]
～と共に～を潤す kopirkateyneka
(kopirkateynere) (新): [他](原因、手段)
で～を潤す opirkateyneka
(opirkateynere) (新): [他](人)に～を潤
わせる pirkateyneka (pirkateynere)
(新)

うるかす [自]うるける toyre (石狩):
[他]～をうるかす toyre (石狩)、[他]
toyreka (toyre) (新)

ウルグアイ [場名](国名)ウルグアイ東方共和国
Uruguay Cupkaun Ukotankoremosir (新)
※(首都は「モンテビデオ」): [場名](国名の
略称として)ウルグアイ Uruguay (新):
[名]ウルグアイ人、国民 uruguayunkur
(新)

うるさい(煩い) [自]煩い iranakka
(iranaka) (石狩)、[自] irampotare (天
塩)、[自] wenruy (天塩): [他](人)に煩く
させる iranakka (iranakaka) (新)、[他]
iranakkare (iranakare) (新): [間投]煩
い iranakka (iranaka) (石狩)、[間投]
irampotarare (沙流)、[副] iramsitnere
(沙流): [副](気短に)煩く sakan (沙流):
(表現)(鳥が短気に)煩く鳴く声が賑やかであ
る sakan rek hawe pepun (沙流)

ウルサン(蔚山) [場名](大韓民国の都市名)蔚
山広域市 Ursan-sepsisserkesi (-
sepsirserkesi) (新): [場名](通称として)
蔚山 Ursan (新)

ウルシ(漆) ①(植物)[名](ムクロジ目)ウルシ科
ussini-apa (新): [名]ウルシ属 ussini-
cise (新): [名]ウルシの茎 siussini
(新): [名]ウルシの果実 siussinikaop
(新): [名]ツタウルシの茎 ussipunkar
(H): [名]ヌルデの茎 nurude (新):
[名]ヌルデの果実 nurudekaop (新):
[名]ハゼノキの茎 nírownepni (新): [名]
ハゼノキの果実 nírownep (新): [名]ヤ
マウルシの茎 ussini (長万部): [名]アナ
カルディウム属 kaşunatni-cise (新):
[名]カイノキ属 kampinuyeni-cise (新):
[名]カシューナットノキ属 kaşunatni-cise
(新): [名]サンショウモドキ属
cisaşokopa-cise (新): [名]チャンチンモ
ドキ属 cicancinkopa-cise (新): [名]ハグ
マノキ属 supuyaotni-cise (新): [名]マ
ンゴー属 mangoni-cise (新): ②[名](塗
料として)漆 ussi (石狩): (表現)漆が塗
られた物 ussi an=usi p (石狩): (表現)漆
が剥げる ussi pitce (石狩): (表現)漆を
～に塗る ussi usi (石狩): [自]漆にかぶ
れる ussika (幌別)、[自] ussikokka

(新)※(屈斜路)

ウルシニア (植物) [名] (キク科) ウルシニア属
uršiniakina-cise (新): [名] ウルシニア・ア
ネソイデスの茎葉 yayan-uršiniakina
(新)、[名] その花 yayan-uršinia (新):
[名] U. スペキオサの茎葉 poro-uršiniakina
(新)

うるちまい(粳米) [名] 粳米 sipuskeamam(-a)
(新)

ウルドゥー [名] ウルドゥー語 úruduitak
(新)

ウルトラマリン [自] ウルトラマリン色になる、
である utoramarine (utoramarine-
buru) (新)、[自] repun-ao (orepun-)
(新): [他] ~をウルトラマリン色にする
utoramarine-neka (-nere) (新)、[他]
utoramarine-buruka (-burure) (新)、[他]
repun-aoka (orepun-) (新)、[他] repun-
aore (orepun-) (新): [名] ウルトラマリン
色 utoramarine-iro (-buru-) (新)、[名]
repunao-iro (orepun-) (新)

うるみ(潤) [自] うるみ色になる、である
cihureka-ussi-irone (新): [他] ~をうるみ
色にする、染める ciureka-ussi-ironaka (-
ironere) (新): [名] うるみ色 cihureka-
ussi-iro (新)

ウルムチ(烏魯木齊) [場名] (新疆ウイグル自治
区の首府名) ウルムチ Urumci (新)

うれしい(嬉しい) ① [自] 嬉しくなる、嬉しい
kiroroan (複数 kirorookay) (石狩): [他]
~が嬉しい ekiroan (複数 ekiroorookay)
(石狩): [他] ~と共に嬉しい kokiroroan
(複数 kokirorookay) (新): [他] (原因、手
段)で嬉しい okiroroan (複数 okirorookay)
(新): [他] (人)を嬉しくさせる kiroroante
(複数 kirorookayre) (新): [自] 一人で嬉
しい yaykiroroante (新): [他] 皆で嬉し
い ukiroroante (石狩): ② (予想外の事
で) [自] 嬉しい yaykopuntek (石狩): [他]
~が嬉しい eyaykopuntek (石狩): [他]
~と共に嬉しい koyaypuntek (新):
[他] (原因、手段)で嬉しい oyaykopuntek
(新): [他] (人)を嬉しくする
yaykopuntekka (新): ③ [副] 嬉しい事に
iisoneka (石狩): 「今年は嬉しい事に沢山
金を稼げた。」 “Tampa anakne iisoneka
poronno ikor ku=uk easkay .”

ウレンモレウ [名] ウレンモレウ urenmorew
(石狩)、[名] ウレンモレウ文様、双渦巻文様
urenmorew-sirki (石狩)※(対称形の渦巻文
様)

うろ(洞) [名] 洞 nisacise (nisatcise) (石狩):
[名] 洞のある木 níopnip (石狩)

うろこ(鱗) [名] 鱗 ramram(-i) (石狩):

[自] 鱗がある ramramus (新)

ウロコアリ(鱗蟻) (昆虫) [名] (フタフシアリ亜科)
ウロコアリ属 ramramitunnap-cise (新):
[名] ウロコアリ ramramitunnap (新):
[名] オオウロコアリ pororamramitunnap
(新): [名] キタウロコアリ
yaunramramitunnap (新): [名] ヒメウロ
コアリ moramramitunnap (新): [名] ホ
ンウロコアリ síramramitunnap (新)

ウロコイカ(鱗烏賊) (魚介) [名] (スルメイカ亜
目) ウロコイカ科 ramramepetpetke-apa
(新): [名] ウロコイカ属
ramramepetpetke-cise (新): [名] ウロコ
イカ ramramepetpetke (新): [名] ミナ
ミヤワライカ koyokoramramepetpetke
(新): [名] ヤワライカ
arsiatuyramramepetpetke (新)

うわあご(上顎) [名] 上顎、上顎の骨
kannanotkew(-e) (幌別)

うわおび(上帯) [名] 上帯 rikunkut(-ci)
(新)

うわがき(上書き) ① (コンピューターに関し
て) [自] 上書きする ikasinuye (新): [他]
~を上書きする kasinuye (新): (表現)
~を上書き保存する ~ kasinuye wa anu
(ama) (新): [他] (場所)に~を上書きする
kokasinuye (新): [他] (人、PC)に~を上書
きさせる kasinuyere (新): ② (手紙や書
物に関して) [自] 上書きする isirkakonuye
(新): [他] ~を上書きする sirkakonuye
(新): [他] (場所)に上書きする
isirkasikonuye (新): [他] (場所)に~を上
書きする sirkasikonuye (新)

うわぎ(上着) [名] 上着 ikawa-amip (石狩)、
[名] kanna-cimip (新)、[名] ikaoimi
(新): (表現) 私の上着 ku=mi ikawa-amip
(kanna-cimip、ikaoimi) (新)、(表現)
ikawa ku=mi p (新)、(表現) en=ka wa
ku=mip (新): (表現) 上着を着る ikawa-
amip mi (新): (表現) 上着を脱ぐ ikawa-
amip ama (新)

うわぐすり(黼) [名] 黼 cicirepuspe (新)、
[名] cicirepkap(-u) (新)

うわくちびる(上唇) [名] 上唇 kannacapus(-i)
(石狩)、[名] kannapapus(-i) (石狩)、[名]
orikasicapus(-i) (石狩)、[名]
orikasipapus(-i) (石狩)、[名]
orikasipatoy (天塩)

うわぐつ(上靴) [名] 上靴 ciseker(-i) (新):
(表現) 上靴を履く ciseker(-i) us (新):
(表現) 上靴を脱ぐ ciseker(-i) ama (新)

うわさ(噂) ① [名] 噂 asur(-u) (石狩)、[名]
uepeker (石狩): (表現) 噂になる asur as
(石狩): (表現) ~が噂になる asuru as

(沙流): (表現)良い噂が立つ *pirka asur as*
 (石狩): (表現)悪い噂が立つ *wen asur as*
 (石狩): (表現)(雅)彼女が美人との神の噂が立つ *siretok asur kamuy asur ne cihopunire* (沙流): (表現)噂に聞かぬ者 *asur orke motek kunip* (石狩): (表現)全く噂に聞かぬ者 *tu asur orke re asur orke motek kunip* (石狩)※(立派な英雄を形容する表現。誰にも素性を知られぬ事が靈力を強めると考えるからこの表現がある。): [自]噂になる *siasuraste* (石狩)、[自] *asuruas* (新): [自]大いに噂になる *siarasuraste* (石狩): [自]噂する *asuraste* (新): [他]～の噂をする *easuraste* (新): [他](場所)で噂する *easuraste* (新): [他]～と共に噂する *koasuraste* (新): [他](原因、手段)で噂する *oasuraste* (新): [他](人)に噂させる *asurastere* (新): [自]互いに噂する *ukoasuraste* (新): [自]人の噂をする *unasuruaste* (新): ②(不確実、事実無根の)[名]噂 *páhaw(-e)* (沙流): (表現)根も葉もない噂が立つ *páhaw as* (沙流): [自]噂する *páhawaste* (新): [他]～の噂をする *páhaweaste* (新): [自](事実無根の)噂をばら撒く *páhawcari* (複数 *páhawcarpa*) (新): [他](事実無根の)～の噂をばら撒く *epahawcari* (複数 *ephawecarpa*) (新)

うわさをきく(噂を聞く) ① [自] 噂を聞く *asunnu* (新): 「噂を聞く」 *asur nu* (新): [他]～の噂を聞く *asurunu* (新): 「～の噂を聞く」 *asuru nu* (新): [他]～の噂に耳を傾ける *asurukokanu* (新): ②(不確実な、事実無根の)[自] 噂を聞く *páhawnu* (新): 「噂を聞く」 *páhaw nu* (新): [他]～の噂を聞く *páhawenu* (新): 「～の噂を聞く」 *páhawe nu* (新): (表現)風の噂で聞けば～と聞く *sem as páhawpo cikarire wa inu ayke ~ sekor inu* (沙流)

うわさをしらない(噂を知らない) [自] 噂を知らない *asureaspa* (沙流): [自]互いに噂を知らない、皆が噂を知らない *ukoasureaspa* (新): [自]全く噂を知らない *oasureaspa* (新): [他]～の噂を知らない *asurueaspa* (新)

うわっ [間投](驚いた時に発する言葉)うわっ *áya* (石狩)、[間投] *ayapo* (石狩)、[間投] *iyahoy* (釧路)

うわばき(上履き) [名] 上履き *ciseuspe* (新) ※(家履物): (表現)上履きを履く *ciseuspe us* (新): (表現)上履きを脱ぐ *ciseuspe ama* (新)

ウワバミソウ(蟒蛇草) (植物)[名](イラクサ科)ウワバミソウ属 *húrearkesiyonihamus-cise* (新): [名]ウワバミソウの茎葉 *húre-arkesiyonihamus* (新)、[名] *tamaepuyepuykorminci* (新)※(別名「ミズナ」、「アカミズ」)。E. インボルクラトゥムの変種): [名]アマミサンショウソウの茎葉 *amami-arkesiyonihamus* (新): [名]エラントステマ・グランデの茎葉 *austorariaporo-arkesiyonihamus* (新): [名]E. ルゴスムの茎葉 *arotearoa-arkesiyonihamus* (新): [名]クニガミサンショウヅルの茎葉 *yambaru-arkesiyonihamus* (新): [名]ヒメウワバミソウの茎葉 *mohure-arkesiyonihamus* (新): [名]ヒメトキホコリの茎葉 *moarkesiyonihamus* (新): [名]ホソバノキミズの茎葉 *poro-arkesiyonihamus* (新)※(別名「オオキミズ」): [名]ヤマトキホウシの茎葉 *arkesiyonihamus* (新)※(別名「アオミズナ」): [名]ヨナクニトキホコリの茎葉 *yonakuni-arkesiyonihamus* (新): [名]ランダイミズの茎葉 *rantay-arkesiyonihamus* (新)

うわぶた(上蓋) [名] 上蓋 *kankaputa* (石狩)、[名] *kamputa* (沙流): (表現)上蓋を開ける *kankaputa maka* (新): (表現)～の上蓋を閉じる *kankaputa ~ usi* (新): (表現)上蓋をめくり取る *kankaputa mesu* (複数 *mespa*) (新)

うわべ(上辺) [位名]～の上辺 *ka*(長形-*si*、-*sike*) (石狩): 「初めて会った人の上辺が良くても信用してはいけない。“*Eas an=nukar kur kasi pirka yakka somo an=eisokor nankor .*”

ウワミズザクラ(上溝桜) [名](サクラ属)ウワミズザクラの茎 *yayankikinni* (新): [名]ウワミズザクラの花 *yayankikinni-apappo* (新): [名]ウワミズザクラの果実 *yayankikinni-epuy(-ke)* (新)、[名] *yayankikin* (新)

うわわっ [間投](驚いた時に発する言葉)うわわっ *ayayapo* (石狩)

うん(運) ① [自] 運が良くなる、良い *mawkopirka* (石狩)、[自] *monipirka* (新): [他]～に関して運が良くなる、良い *emawkopirka* (新)、[他] *emonipirka* (石狩): (原因、手段)で運が良くなる、良い *omawkopirka* (新)、[他] *omonipirka* (新): [他](人)の運を良くする *mawkopirkare*(*mawkopirkaka*) (新)、[他] *monipirkare*(*monipirkaka*) (新): [助動]～するのに運が良くなる、良い *epirka* (石狩): ② [自] 運が悪くなる、悪い

mawkowen (石狩)、[自] moniwen (新): [他]～に関して運が悪くなる、悪い emawkowen (新)、[他] emoniwen (新): [他](原因、手段)で運が悪くなる、悪い omawkowen (新)、[他] omoniwen (新): [他](人)の運を悪くする mawkowente (mawkowenka) (新)、[他] moniwerte (moniwenka) (新): [助動]～するのに運が悪くなる、悪い ewen (石狩)

ウンウンオクチウム (化学)[名]ウンウンオクチウム únunoktium (新)※(原子番号 118 番。元素記号 Uuo)

ウンウンセプチウム (化学)[名]ウンウンセプチウム únunseptium (新)※(原子番号 117 番。元素記号 Uus)

ウンウントリウム (化学)[名]ウンウントリウム únuntorium (新)※(原子番号 113 番。元素記号 Uut)

ウンウンペンチウム (化学)[名]ウンウンペンチウム unumpentium (新)※(原子番号 115 番。元素記号 Up)

うんが(運河) [名]運河 irurapet (新)

うんじょうや(運上屋) (歴史)[名]運上屋 unco (宗谷): [場名]運上元 uncoor (uncor) (新)

うんそう(運送) [自]物を運送する irura (新): [他]～を運送する rura (新): [他](場所)で～を運送する erura (新): [他](場所)へ～を運送する korura (石狩): [他]～と共に～を運送する korura (新): [他](原因、手段)で～を運送する orura (新): [他](人)に～を運送させる rurare (ruraka) (新): [名]運送業 iruramonrayke (新): [名]運送船 iruracip (新): [名]特設運送船 citumicipnere-iruracip (新): [名]運送料 iruraatay(-e) (新)

うんちん(運賃) [名]運賃 unruraatay(-e) (新): (表現)運賃を払う unruraatay kar (新): (表現)運賃が高くなる、高い unruraatay yupke (新): (表現)運賃が安くなる、安い unruraatay hawke (新)

ウンデーネ [名](精霊の名)ウンデーネ undine (新)※(独語)

うんてん(運転) [自]運転する iraye (複数 iraypa) (新): [他]～を運転する raye (複数 raypa) (新): [他](場所)で～を運転する eraye (複数 eraypa) (新): [他](場所)に～を運転する koraye (複数 raypa) (新): [他]～と共に～を運転する koraye (複数 koraypa) (新): [他](場所)から～を運転する oraye (複数 oraypa) (新): [他](原因、手段)で～を運転する oraye (複数 oraypa) (新): [他](人)に～を運転させる

rayere (複数 raypare) (新): [名]運転手 irayekur (新): [名]運転席 irayeso (新)、[名] cieirayeso (新)

うんどう(運動) ①(物理)[名]運動 moyke (新): [自]運動する moyke (新): [他](場所)で運動する emoyke (新): (場所)へ運動する komoyke (新): [他]～と共に運動する komoyke (新): [他](原因、手段)で運動する omoyke (新): [他]～を運動させる moye (石狩)、[他] moyka (新): [自]単独で運動する yaymoye (yaymoyka) (新): [自]全てが運動する umoye (umoyka) (新): [自]少し運動する moytek (新): [他]～を少し運動させる、一瞬運動させる moytekka (新): [自]充分運動する moykeno (moykenu) (新): [自]激しく運動する moykeruy (新): [自]ひとりでに運動する simoye (simoyka) (新): ②(運動の継起、継続に注目して)[自]何度も運動する moymoyke (新): [他]～を何度も運動させる moymoye (moymoyka) (新): [自]単独で何度も運動する yaymoymoye (yaymoymoyka) (新): [自]全てが何度も運動する umoymoye (umoymoyka) (新): [自]充分運動する moymoykeno (moymoykenu) (新): [自]激しく運動する moymoykeruy (新): [自]ひとりでに何度も運動する simoymoye (simoymoyka) (新): ③(社会的行動で)[他]～の運動をする koarikiki (新): [助動]～する運動をする koarikiki (新): [名]運動家 ikoarikikikur (新): [名](悪口として)運動家 turekorpe (新)※(二つの名を持つ奴): ④(体操する事)[自]運動する yayriterite (沙流)、[自] yaykatante (沙流): [他](場所)で運動する eyayriterite (新)、[他] eyaykatante (新): [他]～と共に運動する koyayriterite (新)、[他] koyaykatante (新): [他](原因、手段)で運動する oyayriterite (新)、[他] oyaykatante (新): [他](人)に運動させる yayriteritere (新)、[他] yaykatantere (新): [他]～の運動をする riterite (新)、[他] eyaykatante (新):

ウunnanしょう(雲南省) [場名](中華人民共和国の省名)雲南省 Yunnan-purovince (新)

うんぱん(運搬) [自]物を運搬する irura (新): [他]～を運搬する rúra (石狩): [他](場所)で～を運搬する erura (新): [他](場所)へ～を運搬する korura (新): [他]～と共に～を運搬する korura (新): [他](原因、手段)で運搬する orura (新): [他](人)に～を運搬させる rúrare (新):

[他]人に～を運搬させる *rúrayar* (新):
[名]運搬機 *cioururap* (新): [名]運搬車
irurakaripkorpe (新): [名]運搬人
irurakur (新): [名]運搬費 *iruraatay(-e)*
(新)

ウンピョウ(雲豹)(動物)[名](ヒョウ亜科)ウンピョウ属 *niskursicape-cise* (新): [名]ウンピョウ *niskursicape* (*niskussicape*) (新): [名]ボルネオウンピョウ *bonneoun-niskursicape* (*bonneoun-niskussicape*) (新)

ウンム・アルカイワイン [場名](アラブ首長国連邦の首都名)ウンム・アルカイワイン *Um-arkaywain* (新)

うんめい(運命) (表現)～の運命 *etok(-o) ta siantep* (新): 「我々の運命は好転するだろう。」*“I=etok ta siantep pirkankor.”*

うんも(雲母) (鉱物)[名]雲母 *mikep* (新)

え(3) [間投](疑問を表し)え? *a* (石狩)

え(絵) [名]絵 *noka* (石狩)、[名]*cinuyenoka* (新)、[名]*piktura* (新)※(羅語): (表現)絵を描く *noka nuye* (新)

え(柄) [名]柄 *nit(-ci)* (石狩): (表現)自在鉢の柄 *marek nicihi* (石狩)

えいえん(永遠) [自]永遠である *siokeresak* (新): [他]～を永遠にする *siokeresakka* (新): [自]完全に永遠である *oassiokeresak(assiokeresak)* (新): [副]永遠に *siokeresakno* (新): [自]復活なき永遠の死に到る *eanray* (石狩): [他]～を復活なき永遠の死に至らしめる *annorayke* (石狩)

えいが(映画) [名]映画 *cimoyenoka* (新)、[名]*fírum* (新)※(仏語): (表現)映画を作る *cimoyenoka kar* (新): (表現)映画を撮る *cimoyenoka nokauk* (新)、(表現)*cimoyenoka uk* (新): (表現)映画を見る *cimoyenoka nukar* (新): [名]映画館 *cimoyenokacise* (新)、[名]*sínema* (新)※(仏語)

えいか(穎果) (植物)[名]穎果 *amam-ikaop(-i)* (新): [名](合成語の構成要素として)穎果 *amam(-a)* (H)

えいかく(鋭角) [場名]鋭角 *sieeysikkew(-e)* (新): [位名]～の鋭角 *eeysikkew(長形-e)* (新)

えいきゅう(永久) [自]永久である *siokeresak* (新): [他]～を永久のものとする *siokeresakka* (新): [副]永久に *siokeresakno* (新)

えいぎょう(営業) [自]営業する *iepirkausikor* (新): (表現)営業する *iepirkausi kor* (新): [他]～を営業する *ieipirkausikor* (新): [他](場所)で営業する

ieipirkausikor (新): [他]～と共に営業する *koiepirkausikor* (新): [他](原因、手段)で営業する *oiepirkausikor* (新): [他](人)に営業させる *iepirkausikore* (新): [自]自分で、一人で営業する *yaykoiepirkausikor* (新): [自]皆で、共に営業する *ukoiepirkausikor* (新)

えいきょう(影響) [自]影響を受ける *koyrari* (新)※(波が寄せる): [他]～から影響を受ける *okoyrari* (新): [他]～に影響する、影響を与える *koyrarire* (新): [他](手段)で～に影響を与える *okoyrarire* (新): [他](中相)～が影響される *cikoyrarire* (新): [自]影響される *sikoyrarire* (新): [他]～に影響される *osikoyrarire* (新): [自]何度も影響を受ける *koyrarpa* (新): [他]何度も～に影響する、影響を与える *koyrarpape* (新): [他](中相)何度も～が影響される *cikoyrarpape* (新): [自]何ども影響される *sikoyrarpape* (新)

えいご(英語) [名]英語 *inguriskuritak* (*ingurisitak*) (新): [名]イギリス英語 *buriten-inguriskuritak* (*buriten-ingurisitak*) (新): [名]アメリカ英語 *amerika-inguriskuritak* (*amerika-ingurisitak*) (新)

えいこう(曳航) (表現)～を曳航する *nimpa wa oman* (複数 *paye*) (新): (表現)～に～を曳航させる *nimpa wa omante* (複数 *payere*) (新)

えいこう(栄光) [名]栄光 *siotompe* (新)、[名]*siomikep* (新)

えいしゃ(映写) [自]映写する *kuttupte* (新)※(影を移す): [他]映写する *ekuttupte* (新): [他](場所)に映写する、～と共に映写する *kokuttupte* (新): [他](原因、手段)で～を映写する *okuttupte* (新): [他](人)に映写させる *kuttuptere* (新): [名]映写機 *ciokuttuptep* (新): [名]映写技師 *kuttupteeaskaykur* (新)

えいせい(衛星) (宇宙)[名]衛星 *pakusanociw* (新)、[名]*saterite* (新)※(英語): (表現)自然衛星 *ciearante pakusanociw* (新): (表現)人口衛星 *an=kar pakusanociw* (新)

えいせん(曳船) [名]曳船 *cipnimpacip* (新)

えいぞう(映像) [名]映像 *ciekuttuptep* (新)

えいゆう(英雄) ①[名]英雄 *rametokkorkur* (石狩)、[場名]*rametok* (石狩): 石狩などの *yukar* に登場する少年英雄は *Poyyaumpe*、十勝、釧路などの *sakorpe* では *Ponotasutunkur* が代表的: (表現)(名乗りの常套句)我こそは言葉の遅き者を言葉

を言う前斬る勇者、言葉の早き者は言葉の途中で斬る勇者なるぞ anokay anak itak moyre kur itak etoko tuye rametok itak tunas kur itak hontomo tuye rametok an=ne ruwe tapan na (石狩): [場名]神の如き英雄 kamuyrametok (石狩): ②[名]英雄詞曲 yúkar (石狩): [自]英雄詞曲を謡う yúkar (石狩): [名]神の如き英雄詞曲 kamuyyukar (石狩)

えいよう(栄養) [名]栄養 iresup (新): [名] 栄養学 iresupeampehunar (新): [名] 栄養学者 iresupeampehunarkur (新): [名] 栄養士 iresuperamankur (新): (表現)〜が栄養失調でやつれた姿 cepiporo oma siri (石狩): 「お前の栄養失調でやつれた姿を私は見て可愛そうに思った。」“Cepiporo e=oma sir ku=nukar tek e=erampokiwen=an.”

えいり(営利) [名]営利 ciepirka (新): (表現)営利目的で ciepirka kusu (新): [名] 営利団体 ciepirkaikir-(i) (新): (法律)[名] 営利法人 ciepirka-irenkaaynu (新)

えいり(鋭利) [自]鋭利になる、鋭利である een (石狩)、[自] etueen (石狩): (表現)鋭利な刃物 een makiri (石狩)、(表現) etueen makiri (石狩): [他]〜を鋭利にする eenke (石狩)、[他] etueenke (新): [他](人)に〜を鋭利にさせる eenkere (新)、[他] etueenkere (新)

エウドキマ(昆虫) [名](ヤガ上科)エウドキマ属 asuraspe-cise (新): [名]アケビコノハ iwaysuyrekpo-onneike (新): [名]アケビコノハの幼虫 iwaysuyrekpo (幌別)

エウモプス(動物) [名](オヒキコウモリ科)エウモプス属 kisarasep-honimpakapap-cise (新): [名]エウモプス・アウリペンドゥルス kunne-kisarasep-honimpakapap (新): [名]E. ウンデルウオーディ underwoot-kisarasep-honimpakapap (新): [名]E. グラウキヌス wagner-kisarasep-honimpakapap (新): [名]E. ダッベネイ poro-kisarasep-honimpakapap (新): [名]E. トルンブリ korombiaun-kisarasep-honimpakapap (新): [名]E. パタゴニクス patagoniaun-kisarasep-honimpakapap (新): [名]E. ハンサエ sambon-kisarasep-honimpakapap (新): [名]E. フロリダヌス furoridaun-kisarasep-honimpakapap (新): [名]E. ペロティス cuppokun-kisarasep-honimpakapap (新): [名]E. ボナリエンス bonariun-kisarasep-honimpakapap (新): [名]ギアナオヒキコウモリ guianaun-kisarasep-

honimpakapap (新)

えー ①[間投](不満を表して)えー paw (石狩)※(「パウ」、「パーウ」は口調次第): [間投](不満を表し)えーもうっ pawpaw (石狩)、[間投] pawpawpaw (石狩): 「えーもうっ、何してんのよ?」“Pwapawpaw! Nep he e=ki a?” ②[間投](疑問を表して)えー i (静内)※(「イー」と延す): 「えー? 何だって?」“I? Nekon tata?”: [間投](言葉の繋ぎとして)えー e (石狩、天塩)※(「エ」、「エー」は口調次第): 「えーそれから食事して、えーそれから何したかな?」“E orwano ku=ipe wa e orwa nep ku=ki ru ya?”

エーヤワディー [名](地名)エーヤワディー川 Éyawadi-pet (新)※(1989年「イラワジ川」より改称)

ええん(会厭) [名]会厭、会厭軟骨 rekpone (屈斜路)

エガイ(鰐貝) (魚介)[名](フネガイ科)エガイ属 rékussey-cise (新): [名]エガイ rékussey (新): [名]アメリカエガイ amerikarekussey (新): [名]オオハナエガイ pororuhurerekussey (新): [名]カリガネエガイ kuytoprekussey (新): [名]スノメエガイ senkakirekussey (新): [名]ベニエガイ kunnehurerekussey (新): [名]ミナミノカリガネエガイ koypokkuytoprekussey (新): [名]メキシコエガイ mexikorekussey (新)

えがく(描く) [自]ものを描く inuye (新)、[自] nokanuye (新): [他]〜を描く nuye (複数 nuypa) (石狩)、[他] enokanuye (石狩): [他](場所)で〜を描く enuye (新)、[他] eenokanuye (新): [他](場所)に〜を描く nuyekar (石狩)、[他] koenokanuye (新): [他]〜と共に〜を描く konuye (新)、[他] koenokanuye (新): [他](原因、手段)で〜を描く onuye (新)、[他] onokanuye (新): [他](人)に〜を描かせる nuyere (新)、[他] nokanuyere (新)

エカテリンブルグ [場名](ロシア連邦ウラル連邦管区の本部でスベドロフスク州の州都の名)エカテリンブルグ Ekaterimburgu (新)

えき(液) [名]液 pe (石狩)

えき(駅) [場名]駅 kisaratkiusi (新)、[場名] ekisaratkiusi (新)

えきか(液化) [自]液化する、している péne (新): [他]〜を液化させる péneka (pénere) (新): [自]完全に液化する、している oarpene (arpenene) (新): [他]完全に〜を液化する oarpeneka (oarpenene)

(新)、[他] arpeneka (arpenere) (新)
えきか(液果) (植物)[名]液果 péocikaop(i) (新)
エキサイゼリ(益斎芹) (植物)[名](セリ科)エキサイゼリ属 sárusseri-cise (新): [名]エキサイゼリの茎葉 sárusseri (新)
えきじょう(液状) [名]液状 pékat (新): [自]液状になる、である péne (石狩)、[自]pénésinne (新): [他]～を液状にする péneka (pénere) (新)、[他] pésinneka (pésinnere) (新): [名]液状の油 rúsum(i) (幌別)
えきそう(液槽) [名]液槽 péshintoko (新)
えきたい(液体) [名]液体 pénesir (新): [自]液体になる、である péne (新): [他]～を液体にする péneka (pénere) (新)
えきたいばいち(液体培地) [場名]液体培地 péneiuaatereusi (新): [場名]pénecieiuaatereusi (新)
えきひ(液肥) [名]液肥 isukuptepe (新)、[名] toyorumpesukuptepe (新)
エクアドル [場名](国名)エクアドル共和国 Ekuador Ukotankoremosir (新)※(首都「キト」): [場名](国名の通称として)エクアドル Ekuador (新): [名]エクアドル人、国民 ekuadorunkur (新)
エクサグラム [名](重さの単位)エクサグラム eksaguram (新)※(単位記号"Eg")
エクサバイト [名](情報量の単位)エクサバイト eksabait (新)※(単位記号"EB")
エクサメートル [名](長さの単位)エクサメートル eksametre (新)※(単位記号は"Em")
エクサリットル [名](体積の単位)エクサリットル eksaritre (新)※(単位記号"El")
エクスピバイト [名](情報量の単位)エクスピバイト eksubibait (新)※(単位記号は"EiB")
エクセル (コンピュ)[名](コンピューターソフトの名)エクセル ekcer (ekser) (新)
えくぼ(笑窪) [名]笑窪 makoyanke (石狩): (表現)笑窪ができる makoyanke kotne (石狩)
えぐりとる(袂り取る) [自]物を袂り取る ca (新): [他]～を袂り取る ca (石狩): (表現)～を袂り取る notakkonoye wa ca (新): [他](場所)で～を袂り取る eca (新): [他]～と共に～を袂り取る koca (新): [他](場所)から～を袂り取る、(原因、手段)で～を袂り取る oca (新): [他](人)に～を袂り取らせる cáre (新): [他]人に～を袂り取らせる cayar (新)
エクリュベージュ [自]エクリュベージュ色になる、である cisomoretarkap-irone (cisomoretarep-) (新)、[自] ekrubeyju

(新): [他]～をエクリュベージュ色にする cisomoretarkap-ironeka (cisomoretarep-irone) (新)、[他] cisomoretarep-ironeka (-re) (新): [名]エクリュベージュ色 ekrubeyjuka (ekrubeyjure) (新)、[名] ekrubeyju-iro (新)
えぐる(袂る) [自]ものを袂る isoypa (新): [他]～を袂る soypa (沙流): [他](場所)で～を袂る esoypa (新): [他]～と共に～を袂る kosoypa (新): [他](原因、手段)で～を袂る osoypa (新): [他](人)に～を袂らせる soypare (新): [他]自分で、一人で～を袂る yaykosoypa (新): [他]互いに、皆で～を袂る ukosoypa (新): [他]完全に～を袂る oassoypa (assoypa) (新): [他]充分に～を袂る nosoypa (新): [他]思い切り～を袂る toykosoypa (新): [他](中相)～が袂られる cisoypa (新): [自]袂れる sisoypa (新)
えさ(餌) [名]餌 ep(i) (石狩): (表現)鳥の餌 cikap epi (石狩): cikaep のように名詞+ep で「～の餌」と一つの名詞にしたリ cikap e p と名詞句にするのが一般的: [名](家畜の)餌入れ kitci (沙流): [名]熊の餌を入れる食器 eperoiep (石狩)、[名] setusnima (石狩)
エジプト [場名](国名)エジプト・アラブ共和国 Arabiutarkor Misru Ukotankoremosir (新)※(首都は「カイロ」): [場名](国名の略称、西暦639年のイスラームによる征服後の国や土地の名として)エジプト Misru (新): [場名](古代の国家やそれから連続するものと見た場合の)エジプト Miṭraim (新)※(ヘブライ語)、[場名] Aiguptos (新)※(希語): [名]エジプト人、国民 misuruunkur (新): [名]エジプト人 miṭraimunkur (新)、[名] aiguptosunkur (新): [名]エジプト語 miṭraimunkuritak (新)、[名] aiguptosunkuritak (新)
エジプトマングース(動物) [名](マングース科)エジプトマングース属 misruun-manguste-cise (新): [名]エジプトマングース misruun-manguste (新): [名]アカマングース ehure-manguste (新): [名]インドトビイロマングース b́aratun-manguste (新): [名]カニクイマングース amuspee-manguste (新): [名]クビワマングース oksuturetar-manguste (新): [名]クロスジマングース kunneruo-manguste (新): [名]ジャワマングース javaun-manguste (新): [名]チビオマングース saratakne-manguste (新): [名]ハイイロマングース manaus-manguste (新): [名]ハナナガマングース etutanne-

- manguste (新): [名]ファイリマングース repun-manguste (新)
- エジンバラ** [場名](イギリスのスコットランドの首都名)エジンバラ Edimbara (新)、[場名] Dun-eden (新)※(スコットランド・ゲール語)
- エステル** (聖書)[名](人名) Ester (新): [名]エステル記 Ester-kampisos (新)
- エストニア** [場名](国名)エストニア共和国 Estoniya Ukotankoremosir (新)※(首都は「タリン」): [場名](国名)エストニア Estoniya (新): [名]エストニア人、国民 estoniyaunkur (新): [名]エストニア人 estikur (新): [名]エストニア語 estikuritak (新): (歴史)[場名](旧ソ連邦の構成国名)エストニア・ソビエト社会主義共和国 Estoniya Soviet Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1940-91年)
- エズラ** (聖書)[名](人名)エズラ Ėzura (Esra) (新)※(祭司): [名]エズラ記 Ėzura-kampisos (新)
- エゼキエル** (聖書)[名](人名)エゼキエル Yexezuker (Yexesker) (新)※(預言者): [名]エゼキエル書 Yexezuker-kampisos (新)
- エゾウコギ**(蝦夷五加) (植物)[名](ウコギ属)エゾウコギの茎 nitatsokoni (美幌)
- エゾオグルマ**(蝦夷小車) (植物)[名](キオン属)エゾオグルマの茎 purakina (樺太真岡)※(別名「ハマオグルマ」)
- エゾギク**(蝦夷菊) (植物)[名](キク科)エゾギク属 cinakikukina-cise (新): [名]エゾギクの茎 cinakikukina (新)、[名]その花 cinakiku (新)
- エゾキンチャクガイ**(蝦夷巾着貝) (魚介)[名](イタヤガイ科)エゾキンチャクガイ属 aykapsey-cise (新): [名]エゾキンチャクガイ aykapsey (幌別)
- エゾコウゾリナ**(蝦夷顔剃菜) (植物)[名](キク科)エゾコウゾリナ属 mékotkisarkikukina-cise (新): [名]エゾコウゾリナの茎 apoymekotkisarkikukina (新)、[名]その花 apoymekotkisar (新): [名]オウゴンソウの茎 atuyya-mekotkisarkikukina (新): [名]ヒメブタナの茎 momekotkisararakunawkina (新): [名]ブタナの茎 mékotkisararakunawkina (新)※(別名「タンボボモドキ」)
- エゾニュウ**(蝦夷ニュウ) (植物)[名](シシウド属)エゾニュウの葉柄 siwkina (石狩)、[名]エゾニュウの茎 porokutu (十勝)
- エゾネマガリ**(蝦夷根曲) (植物)[名]エゾネマガリの茎 top (石狩)、[名] ayustop (石狩)、[名] rumnetop (天塩)、[名] opnetop (沙流): [名]エゾネマガリの葉 tó pam (幌別): [名]エゾネマガリの枝葉 topto (C): [名]エゾネマガリの若芽 topto (石狩): [名]エゾネマガリの花 tó papappo (新): [名]エゾネマガリの実 topepuy (長万部)、[名] kamuy-amam (幌別)※(チシマザサの変種)
- エゾノウワミズザクラ**(蝦夷上溝桜) (植物)[名](サクラ属)エゾノウワミズザクラの茎 kikinni (石狩): [名]エゾノウワミズザクラの花 kikinni-apappo (新): [名]エゾノウワミズザクラの果実 kikinni-epuy(-ke) (石狩)、[名] kikin (天塩)
- エゾノシシウド**(蝦夷猪独活) (植物)[名](セリ科)エゾノシシウド属 cikapasiwkina-cise (新): [名]エゾノシシウドの茎 cikapasiwkina (樺太)※(白浜): [名]エゾヤマゼンコの茎 metotussiwkina (新): [名]ミヤマゼンコの茎 samormetotuscikapsiwkina (新)
- エゾノタウコギ**(蝦夷田五加木) (植物)[名](センダングサ属)エゾノタウコギの茎 iscikarakina (樺太真岡)
- エゾノチチコグサ**(蝦夷父子草) (植物)[名](キク科)エゾノチチコグサ属 pikatakikukina-cise (新): [名]エゾノチチコグサの茎 pikatakikukina (新)
- エゾノミズタデ**(蝦夷水蓼) (植物)[名](イヌタデ属)エゾノミズタデの茎 pekampemun (新)※(分類アイヌ語辞典の知里説採用)
- エゾノヨロイグサ**(蝦夷鎧草) (植物)[名](シシウド属)エゾノヨロイグサの茎 setasiwkina (B)
- エゾボウフウ**(蝦夷防風) (植物)[名](セリ科)エゾボウフウ属 yaumpohu-cise (新): [名]エゾボウフウの茎 yaumpohu (新): [名]イワミツバの茎 monaxossiwkina (新)
- エゾマツ**(蝦夷松) (植物)[名](トウヒ属)エゾマツの茎 sunku (石狩)、[名] sísunku (B): [名]エゾマツの樹皮 sunkuyar (H): [名]エゾマツの根 sunkusinrit (新)、[名] meciroh (樺太真岡)
- エゾユズリハ**(蝦夷譲葉) [名]エゾユズリハの茎 riyahamus (天塩): [名]エゾユズリハの葉 riyaham (石狩)
- エゾヨモギ**(蝦夷蓬) (植物)[名](ヨモギ属)エゾヨモギの茎 noyanit (幌別)、[名] matnenoynit (幌別)※(別名「オオヨモギ」、「ヤマヨモギ」): [名]エゾヨモギの葉 noya (石狩)、[名] matnenoya (幌別)、[名] kamarusa (樺太大泊)※(その他に石

狩で nupunnoya とも言うが「イワヨモギ」と重複するため項目から外す): [名]エゾヨモギの根 noyasinrit (幌別): [名](別名)ヤマヨモギの葉 kimunnoya (幌別)

えだ(枝) [名]枝 tek(-e) (石狩): [名]木の枝 nitek(-e) (石狩): (表現)木の枝 ni teke (石狩): [名]葉の付いた枝 catek(-e) (石狩): [名]細枝 ca (石狩)

えだげ(枝毛) [名](髪)の枝毛 otopaw(-e) (新): [名](髯)の枝毛 rékaw(-e) (新)

えだざわ(枝沢) [名]枝沢 poronay (石狩): [名]poronay から更に枝分かれした枝沢 ponnay (石狩)

エダツノレイヨウ(枝角羚羊) (動物)[名](ウシ亜目)エダツノレイヨウ科 tekeukopekokirawnup-apa (新): [名]エダツノレイヨウ属 tekeukopekokirawnup-cise (新): [名]エダツノレイヨウ tekeukopekokirawnup (新)※(枝分かれした牛角を持つもの。別名「ブロングホーン」)

えだわかれ(枝分かれ) ①[自]枝分かれする ukohopi (ukopi) (石狩): (表現)木が三又に枝分かれする ni repne teke ukohopi (ukopi) (石狩): [自]沢山枝分かれする epetpetke (八雲): ②(合成語の構成要素として)枝分かれ aw(-e) (石狩)

エチオピア [場名](国名)エチオピア連邦民主共和国 Itiopiya Ukosineatki Urenkasapte Ukotankoremosir (新)※(首都は「アディスアベバ」): [場名](国名の通称として)エチオピア Itiopiya (新): [名]エチオピア人、国民 itiopiyaunkur (新)

えっ [間投](意外な事を知って驚き)えっ ke (沙流)

えっきょう(越境) [自]越境する iuturakkari (新): [他]～を越境する eiuturakkari (新): (表現)～を越境する ～ kari iuturakkari (新): [他](人)に越境させる iuturakkarire (新)

エックスせん(エックス線) [名]エックス線 eksu-kiay (新)

えっけん(越権) (表現)越権する、越権、越権行為 ciunkore tum akkari (新)

えっとう(越冬) [自]越冬する riya (石狩): [他]～を越冬させる riyare (新)

エデン (聖書)[場名](地名) Eden (新): [場名](地名)エデンの園 Eden-mintar (新): [場名]エデンの園の東 Eden-mintar cupkasike (新)

エドヒガン(江戸彼岸) (植物)(サクラ属)[名]エドヒガンの茎 edohigan (新): [名]エドヒガンの花 edohigan-apappo (新)

エドモントン [場名](カナダのアルバータ州の

州都名)エドモントン Edomonton (新)

エニセイ [名](地名)エニセイ川 Enisey-pet (新)※(ロシア連邦のシベリアを流れる川)

エノキ(榎) (植物)[名](ニレ科)エノキ属 sisamenoki-cise (新): [名]エノキの茎 sisam-enoki (新): [名]アメリカエノキの茎 amerika-enoki (新): [名]エゾエノキの茎 yaun-enoki (新): [名]カンサイエノキの茎 kansai-enoki (新)※(エゾエノキの茎): [名]クワノハエノキの茎 rucu-enoki (新): [名]ケルティス・アフリカナの茎 afrika-enoki (新): [名]C. エーレンベルギアナの茎 otaatuy-enoki (新): [名]C. タラの茎 tara-enoki (新): [名]C. テヌイフォリアの茎 georgia-enoki (新): [名]C. トゥールネフォルティエの茎 oriento-enoki (新): [名]C. ミルドブラエディーの茎 natar-enoki (新)※(ナタール榎): [名]C. ラエビガタの茎 topempe-enoki (新): [名]C. レティクラタの茎 hamuyoyomke-enoki (新): [名]コウトウエノキの茎 firipin-enoki (新): [名]コバノチョウセンエノキの茎 hamuponkorin-enoki (新): [名]シズイエノキの茎 íneapappocikor-enoki (新): [名]シダレエノキの茎 tekeratki-enoki (新)※(品種): [名]タイワンエノキの茎 taiwan-enoki (新): [名]チョウセンエノキの茎 kórin-enoki (新): [名]トウエノキの茎 bunge-enoki (新): [名]ナガバエゾエノキの茎 hamutanneyaun-enoki (新)※(エゾエノキの変種): [名]ナンヨウエノキの茎 koypokun-enoki (新): [名]ヨーロッパエノキの茎 europa-enoki (新)

エバ (聖書)[名]エバ Xava (新)※(ヘブライ語。最初に創造されたという女性)

エビ(海老) (魚介)[名]十脚目の中でヤドカリ下目とカニ下目を除いた動物の総称 opompaki (opompake) (石狩)

えびら(簾) [名]簾 áyop (石狩)、[名]ikayop (石狩)、[名]pus (沙流): [名]紐付きの簾 táruskarop (石狩): [自](矢を取り出し射るため)簾を傾ける puskosikirpa (沙流)、[自]puskohewehewe (沙流)

エファテ [場名](地名)エファテ島 Efate-poysir (新)※(バヌアツ共和国の首都「ポートビラ」がある)

エブロン [名]エブロン repunmaytari (新)、[名]maytari (石狩)

えへー (喜び感心して)[自]えへーと言って笑う ehese (石狩): [他]～についてえへーと言って笑う eehese (新): [他](人)にえへーと言って笑わせる ehesere (新):

[間投]えへー ehe (石狩)
エベン [名]エベン人 evenkur (even) (新)
 ※(旧称「ラムート人」): [名]エベン語 evenkuritak (evenitak) (新)※(旧称「ラムート語」)
エベンキ [名]エベンキ人 evenki (新): [名]エベンキ語 evenkiitak (新): (歴史)[場名](ロシア連邦シベリア連邦管区の旧構成主体名)エベンキ自治管区 Evenkisiyayetunusiwor (新)※(1977-91年まではソ連邦。2007年クラスノヤルスク地方に合併。首府「トーラ」): [場名](先の通称)エベンキヤ Evenkiya (新)
えほん(絵本) [名]絵本 nokakampis (新)
エメラルド [名]エメラルド emeraddo (emerardo) (新)※(英語)
エモーション [名]エモーション sipaste-kewtum(-u) (新)、[名] sicaste-kewtum(-u) (新)、[名] emotion (新)※(英語)
えもの(獲物) ①[名](熊など狩猟の対象になる大型の獣を指し)獲物 iso (石狩): [名](狸や貂など小型の獣を指し)獲物 iyo (石狩): [名]神である獣の死骸、獲物 súmaw (石狩)※(自然死しているものもこう呼ぶ): [名]狩の獲物である獣の死骸 teksakpe (石狩): [名](成果として動物に限らず)獲物 raka (新): ②(表現)獲物が授かる(獲物がある) iso ciranke (新)、(表現) iso cisanke (新): ③[自]獲物がない rakasak (石狩): (表現)獲物がない oroisamno (oroisam) an (石狩)、(表現) rakaha isam (新)、(表現) raka sak (新): [副]獲物がなく、獲物もなく oroisamno (oroisam) (石狩): 「…若者が二人獲物があった喜びの声を上げて下りて来た。そこに一人の男、獲物もない男が一緒になり…」 “okkaypo tun sikoyayrenka wa san . Neyta sine okkay, oroisam an okkay itura…” (杉村キナラブック)説話: 「…ここまで私が狩りをして獲物もなく家に帰れぬ…」 “u tan te pakno ekimne=an wa oroisamno cisekohosipi=an eaykap …” (砂沢クラ)英雄詞曲: [名]獲物がない人 rakasakkur (石狩): ④(表現)～が獲物を授ける ～ iso sanke (石狩): (表現)～が獲物を天から授ける ～ iso ranke (石狩): (表現)～が獲物である鹿を天から授ける ～ yuk ranke (石狩): [名]獲物を授ける神 isoanikamuy (空知): [名]獲物である鹿を天から下ろす神 yukattekamuy (旭川): ⑤[自]獲物(特に熊)を獲る iraye (複数 irayepa) (石狩)、[自] irawe (石狩)
えもの(得物) [名]得物 notakkorpe (石狩)
えもんかけ(衣紋掛) ①(衣桁)衣紋掛

kakencay (石狩): (表現)下の衣紋掛上の衣紋掛に～を掛ける ranke kakencay rikun kakencay eattekar (石狩): ②[名](ハンガー)衣紋掛 emonkake (石狩): (表現)衣紋掛に～を掛ける emonkake eattekar (新): (表現)衣紋掛を吊るす emonkake atte (新)
えら(鰓) [名]鰓 cepkurki (石狩)、[名] cephe (石狩)、[名] kurki (幌別): [名]鰓蓋 mokkew(-e) (天塩)、[名] notarap(-i、-u) (幌別): [名]サケの鰓蓋 mokkewpone (天塩): [名]鰓肉 notamim(-i) (幌別)
えらく(偉く) [自]偉くなる、偉い páse (石狩)、[自] kamuyne (新): [他]～を偉くする páseka (pásere) (新)、[他] kamuyneka (kamuynera) (新): [名]偉い人 sínispanekur (sínonispanekur) (新)、[名] kamuyneankur (石狩): [名]偉い男 tonon (石狩): [名]偉い女 tonomat (石狩)
えらぶ(選ぶ) [自]人や物を選ぶ inumke (新): [自]人を選ぶ unnumke (新): [他]～を選ぶ numke (石狩)、[他] enumkekar (石狩): [他](場所)で～を選ぶ enumke (新): [他]～と共に～を選ぶ konumke (新): [他](原因、手段)で～を選ぶ onumke (新): [他](人)に～を選ばせる numkere (新): [他]自分で、一人で～を選ぶ yaykonumke (新)、[他] yaynumkere (新): [他]皆で～を選ぶ ukonumke (新)、[他] unumkere (新): [他]すっかり～を選ぶ oanumke (annumke) (新): [他](中相)～が選ばれる cinumke (新): [他]人に～を選ばせる、選んでもらう numkeyar (新): [自]人に自分を選ばせる sinumkeyar (新): [自]自分で自分を選ぶ yaynumke (新): [自]選ぶ合う unumke (新)
えり(襟) [名](着物の襟) nuysam(-a) (石狩)、[名] kotpar(-o) (幌別): [名]襟の前 iri (八雲): [名]襟の後 oksuy (沙流): [位名]～の襟 tuysam(長形-a) (石狩)
えりくび(襟首) [名]襟首 oksut(-u) (石狩)、[名] okkew(-e) (石狩): [名](合成語の構成要素として)襟首 ok(-i) (石狩)
エリス ①(宇宙)[名](太陽系の準惑星の名)エリス Eris (新): ②[場名](地名)エリス諸島 Eris-usapoysir (新)※(ツバル領の島々)
エリスタ [場名](ロシア連邦南部連邦管区カラムイク共和国の首都名)エリスタ Erista (新)
エリトリア [場名](国名)エリトリア国 Eritra Mosir (新)※(首都は「アスマラ」): [場

名](国名の通称として)エリトリア Eritra (新): [名]エリトリア人、国民 eritraunkur (新)

エリブルス [場名](地名)エリブルス山 Eriburus-nupuri (新)※(コーカサスの最高峰)

えりまき(襟巻) [名]襟巻 nuysamumpe (新)、[名] mafra (mufrer) (新)※(英語)

エリマキツネザル(襟巻狐猿) (動物)[名](キツネザル科)エリマキツネザル属 nuysamumpekor-sumarisaru-cise (新): [名]アカエリマキツネザル húrenuysamumpekor-sumarisaru (新): [名]クロシロエリマキツネザル retannuysamumpekor-sumarisaru (新)※(別名「エリマキツネザル」)

エルサルバドル [場名](国名)エルサルバドル共和国 Ersarvador Ukotankoremosir (新)※(首都は「サンサルバドル」): [場名](国名の通称として)エルサルバドル Ersarvador (新): [名]エルサルバドル人、国民 ersarvadorunkur (新)

エルサレム [場名](イスラエル国の首都名)エルサレム Yeršaraim (新)

エルティシ [名](地名)エルティシ川 Irtis-pet (新)※(オビ川の支流名)

エルドラド [場名](南米にあると信じられた伝説の黄金郷、あるいはアメリカ合衆国アーカンソー州の都市名)エルドラド Er-dorado (新)

エルパソ [場名](アメリカ合衆国テキサス州エルパソ郡の都市名)エルパソ Erpaso (新)

エルビウム (化学)[名]エルビウム erbium (新)※(原子番号68番。元素記号 Er)

エルフ [名](妖精の名)エルフ erfen (新)※(独語)、[名] arfar (新)※(アイスランド語)

エレバン [場名](アルメニア共和国の首都名)エレバン Erevan (新)

エレミア (聖書)[名](人名)エレミヤ Irmeyahu (新)※(預言者): [名]エレミヤ書 Irmeyahu-kampis (新)

エロほん(エロ本) [名]エロ本 erokampis (新)、[名] hokampis (新)、[名] pórunkampis (新)

えん(円) ①(形状)[名]円 sikarip (新): [名]円形 sikarinoka (石狩): ②(日本国の通貨単位)[名]円 yen (新)

えんか(演歌) [名]演歌 enka (新)※(日本語)

えんかい(宴会) [名]宴会 iku (石狩)、[名]uikure (新): (表現)宴会がたけなわとなる iku noski kooman (石狩): (表現)宴会が開きとなる iku kes an (石狩): (表現)宴会芸 ikuso ka ta an=inukare p (新):

[自]宴会する iku (石狩)、[自]uikure (新): [名]重要な宴会 maratto (marapto) (石狩): 本来熊送りの際の宴会だが、今後は大切な客人を迎える宴会にもこの語を使う。: (表現)皆で豪華な宴会を催す maratto ukomaktekka (沙流)、(表現)maratto ukoante (沙流): (表現)私は人間の捧げる酒、人間の捧げるイナウで宴会を絶やす事無く暮らす aynusake aynuina an=esocupu ka somo ki no okay=an (新)※(沙流)

えんかい(沿海) ①[場名]沿海 atuysam (atuysama、atuysamake) (石狩)、[場名]russam (russama、russamake) (天塩): ②[場名](ロシア連邦極東連邦管区の構成主体名)沿海地方 Atuysamun-sirkes (新)※(首府は「ウラジオストーク」)

えんかい(縁海) (海洋)[名]縁海 iparurkeatuy (新)

えんかい(遠海) [名]遠海 tuymaatuy (新): (表現)遠海 tuyma atuy (石狩)

えんがん(沿岸) [場名]沿岸 yásam(-a、-ake) (新)

えんき(延期) (表現)～の日を延期する ～ to tuymaka (tuymare) (新): (表現)～の日を…日延期する … etok ene ～ to tuymaka (tuymare) (新): 「今年は浜益のカムイノミが一か月延期された。」“Tampa anakne Tomisampet ehoi kamuy nomi sine cup etok ene tuymaka .”

えんぎ(演技) [自]演技する isiki (新)(i-si-ki 物事を・本当に・行う): [他](人)に演技させる isiki (新): (表現)演技指導する isiki eipakasnu (新): (表現)(人)の演技指導する isiki epakasnu (新)

えんげ(嚥下) [自]ものを嚥下する inuku (新): [他]～を嚥下する nuku (石狩): [他](人)に～を嚥下させる nukure (新): [他](中相)～が嚥下される cinuku (新)

えんげき(演劇) [名]演劇 ieyukarkanru (新)、[名] simpaya (石狩)、[名] durama (新)※(希語): (表現)演劇を見る ieyukarkanru (durama) nukar (新)、(表現) simpaye nukar (石狩)、(表現) simpaya otta inkar (石狩)

えんこ(円弧) (数学)[名]円弧 karipserke (新): [名]優弧 sikaripserke (新): [名]劣弧 mokaripserke (新)

えんこう(円光) [名]円光 sikari-nipeki (新)、[名] nipeki-karip (新): [名]二重円光 tusikari-nipeki (新)、[名] tunipeki-karip (新)

えんこん(怨恨) [名]怨恨 iepoko (新)

えんしゅう(演習) ①(教育)[名]演習 ikioinkar

(新)、[名] seminar (新)※(英語): [自]演習する ikioinkar (新): ②(軍事)[名]演習 tumikoroinkar (新): [自]演習する tumikoroinkar (新)

えんじょ(援助) [自]人を援助する、援助に行く、来る ikaopas (石狩)、[自] ikaopiwiki (新): [他](人)を援助する、援助に行く、来る kasi-opas (ka-opas) (石狩)、[他] kasiopas (石狩): [連他] kasi-opiwiki (ka-opiwiki) (石狩)、[他] kasiopiwiki (新): [他](人)に(人)を援助させる、援助に行かせる、来させる kasiopaste (新)、[他] kasiopiwikire (新): [自]援助し合う ukaopas (新)、[自] ukaopiwiki (新)

えんじる(演じる) [自]演じる ieyukarkar (新): [他]～を演じる eyukarkar (新): (表現)～を演じて…する ～ eyukarkar wa … ki (新)、(表現) ～ newa … ki (新): [他](場所)で～を演じる eeyukarkar (新): [他]～と共に～を演じる koeyukarkar (新): [他](原因、手段)で～を演じる oeyukarkar (新): [他](人)に～を演じさせる eyukannore (新): [他]自分で、一人で～を演じる yaykoeyukarkar (新): [他]互いに、皆で～を演じる ukoeyukarkar (新): [他]完璧に～を演じる oareyukarkar (areyukarkar) (新): [他]人に～を演じさせる eyukarkarar (新): [自]人に自分を演じさせる sieyukarkarar (新): [自]自分を演じる yayeyukarkar (新): [自]演じ合う、全てを演じる ueyukarkar (新)

エンジン [名]エンジン tumsankep (新)、[名] enjin (engine) (新)※(英語)

えんしんりょく(遠心力) [名]遠心力 soykoietayetum(i) (新)

えんすいかじょ(円錐花序) [名]円錐花序 pusaus-apappoomakat (新)

えんせき(宴席) [場名]宴席 ikuso (石狩)

えんそ(塩素) (化学)[名]塩素 sippomotopo (新)※(原子番号 17番。元素記号 Cl)

えんそう(演奏) [自]楽器を演奏する irekte (irette) (新): [他]～を演奏する rekte (rette) (石狩): [他](場所)で～を演奏する erekte (erette) (新): [他]～と共に～を演奏する korekte (korette) (新): [他](原因、手段)で～を演奏する orekte (orette) (新): [他](人)に～を演奏させる rektete (rettere) (新): [他]自分で、一人で～を演奏する yayrektete (yayrettere) (新): [他]皆で～を演奏する urektete (urettete) (新): [他]素晴らしく～を演奏する rekteno (retteno) (新)、[他] rektenu (rettenu) (新): [他]心を込めて～を演奏

する ramkorekte (ramkorette) (新): [他]激しく～を演奏する rekteruy (retteruy) (新): [他]減茶苦茶～を演奏する toykorekte (toykorette) (新)

えんちょう(延長) ①(物の長さや距離、あるいは時間に関して)[自]延長する itanneka (itannere) (新): [他]～を延長する tanneka (石狩)、[他] tannere (新): [他](場所)で～を延長する etanneka (etannere) (新): [他]～と共に～を延長する kotanneka (kotannere) (新): [他](原因、手段)で～を延長する otanneka (otannere) (新): [他](人)に～を延長させる tannekaka (tannekare) (新)、[他] tannereka (tannerere) (新): ②(時間に関して)[自]延長する iohorka (iohore) (新): [他]～を延長する ohorka (ohore) (新): [他](場所)で～を延長する eohorka (eohore) (新): [他]～と共に～を延長する koohorka (koohore) (新): [他](原因、手段)で～を延長する oohorka (oohore) (新): [他](人)に～を延長させる ohorkaka (ohorkare) (新)、[他] ohoreka (ohore) (新)

えんばん(円盤) [名]円盤 akam (H)

えんぴつ(鉛筆) [名]鉛筆 nikamkotcioinuyep (新)、[名] nikamkorinuyep (新)

えんぴふく(燕尾服) [名]燕尾服 aptocikapiskorpe (新)、[名] aptocikapiskorimi (新)

エンブレム [名]エンブレム sirosi (新)、[名] emburem (新)※(英語)

えんボルガれんぼうかんく(沿ボルガ連保管区) [場名](ロシア連邦の行政区名)沿ボルガ連保管区 Vorgaturasi-ukosineatkimosir-ivor (新)※(本部は「ニジニ・ノブコロド」)

えんまく(煙幕) [名]煙幕 iesnasupuya (新)、[名] inuynaksupuya (inuynasupuya) (新): (表現)煙幕を張る iesnasupuya atte (新)、(表現) inuynaksupuya (inuynasupuya) atte (新)

えんもん(縁紋) [名](虫の翅の)縁紋 rapparurunkes(i) (新)

えんりょ(遠慮) ①(気を使って)[自]遠慮する ieyaykarap (新)、[自] ieyaynunuka (新): [他]～を遠慮する eyaykarap (石狩)、[他] eyaynunuka (石狩): 「遠慮せずにお召し上がったらよろしいですよ(貴方はこれを食べる事を遠慮せずに召し上がったらいいますよ)。」 “Tampe e hi es=eyaykarap somo ki no es=e yak pirka na .” : [他](人)に～を遠慮させる eyaykarapte (新)、[他] eyaynunukare

(新): [副]遠慮して *ieyaykarapno* (新):
 [副]遠慮なく、遠慮せず *ieyaykarapsakno*
 (新): ②(敬って)[自]遠慮する *oripak* (石狩):
 [他](人)に遠慮する、～を遠慮する *eoripak* (石狩)、[他] *kooripak* (天塩):
 [他](人)に遠慮させる *oripakte* (*oripakka*)
 (新): [副]遠慮して *oripakno* (新): [副]
 遠慮なく、遠慮せず *oripaksakno* (新):
 ③(礼儀正しく)[自]遠慮する *yaykatanu*
 (石狩)、[自] *yayenukuri* (沙流)、[自]
heyokisakno (沙流): [他](人)に遠慮する
koyaykatanu (石狩)、[他] *koyayenukuri*
 (新): [他](人)に遠慮させる *yaykatanure*
 (新)、[他] *yayenukurire* (新): [自]遠慮
 がない *somoyaykatanu* (石狩): [他](人)
 に遠慮がない *kosomoyaykatanu* (石狩):
 [副]遠慮なく *heyokisakno* (沙流): 「遠
 慮なくお入りなさい。」*Heyokisakno ahupte*
yan.」

お(1)(尾) ①(動物の)[名]尾 *sar(-a)* (石狩):
 (表現)尾を振る *sar suye* (複数 *suypa*)
 (石狩): [名](熊などの)小さい尾 *poysar(-*
a) (石狩)※(これだけで「クマの尾を指す場
 合もある): [名]クマの尾 *okiska* (石狩)、
 [名] *ciosuy(-e)* (屈斜路): [名]尾の先端
séretopsi (幌別): [名]尾の骨 *sarmotot(-*
ci) (幌別): ②(鳥の)[名]尾 *ois(-i)* (石
 狩)、[名] *is(-i)* (H): ③(鯨や魚の)[名]尾
atkoci (*atkocike*) (石狩)、[名] *sar(-a)*
 (石狩): [自](水中で)尾をはたはた動かす
sarerarke (沙流): (表現)何度も尾をはた
 はた動かす *sarerarke ranke* (沙流): ④
 (合成語の構成要素)[名](鳥や魚の)尾 *is*
 (石狩): [接頭]尾 *ho-* (石狩): [接頭]～
 の尾 *o-* (石狩)

お(2)(緒) [名](兜の)緒 *rampet(-ci)* (石狩)
 ※(概念形は未確認): (表現)金の兜の緒
kánipaykasa rampeci (石狩): [他](兜)の
 緒を締める *notkoyupu* (石狩)、[他]
rekutkoyupu (石狩)

おい(甥) [名]甥 *karku* (石狩)、[名] *karkur*
 (石狩): (表現)私の甥 *ku=karku*
 (*ku=karkur*) (石狩): [名]一番上の兄の
 子 *maktairwak(-i)* (天塩)

おいおい [自]おいおい言う *óyoyse* (新):
 [自]おいおいと泣く *ciskoyoyse* (石狩):
 [自]おいおいと笑う *minaekoyoyse* (石狩)

おいかけっこ(追い駆けっこ) [自]追い駆けっ
 ことを *unospa* (石狩)

おいかぜ(追風) [名]追風 *iosirera* (石狩)

おいこす(追い越す) [自]人やものを追い越す
iakkari (新): [他]～を追い越す *akkari*
 (石狩): 「追い越し禁止。」*“Sietok ta oman*
pe eciki akkari yan!」: (表現)～を追い越

す ～ *kotca*(長形・*ke*) *osma* (幌別):
 [他](場所)で～を追い越す *eakkari* (新):
 [他]～と共に～を追い越す *koakkari* (新):
 [他](原因、手段)で～を追い越す *oakkari*
 (新): [他](人)に～を追い越させる
akkarire (石狩): [後副]～を追い越して
akkari(-no) (石狩): (表現)～を追い越し
 て行く *akkari(-no) oman* (複数 *paye*)
 (石狩)

おいしい(美味しい) [自]美味くなる、美味し
 い *kéraan* (石狩)、[自] *kérapirka* (石
 狩)、[自] *pirka* (石狩): (表現)美味しく
 なる、美味しい *kéra an* (石狩)、(表現)
kéra pirka (石狩): (表現)美味しい食事
pirkaipe (石狩): [他](場所)で美味しくな
 る、美味しい *ekeraan* (新)、[他]
ekerapirka (新): [他]～と共に美味しくな
 る、美味しい *kokeraan* (新)、[他]
kokerapirka (新): [他](原因、手段)で美味
 しくなる、美味しい *okeraan* (新)、[他]
okerapirka (新): [他](人)に美味しくさせ
 る *kéraante* (新)、[他] *kérapirkare*
 (新)

おいだす(追い出す) [自]人を追い出す
iokewe (複数 *iokewpa*) (新)、[自] *iasinke*
 (複数 *iasipte*) (新): [他]～を追い出す
okewe (複数 *okewpa*) (石狩)※(複数形は沙
 流)、[他] *kewe* (石狩)、[他] *asinke* (複数
asipte) (石狩)、[他] *eyomak* (天塩):
 [他](場所)へ～を追い出す *kookewe* (複数
kookewpa) (新)、[他] *koasinke* (複数
koasipte) (新)、[他] *eniwcinne* (沙流):
 [他](場所)から～を追い出す *ookewe* (複数
ookewpa) (新)、[他] *oasinke* (複数
oasipte) (新): [他](人)に～を追い出させ
 る *okewere* (複数 *okewpare*) (新)、[他]
asinkere (複数 *asiptere*) (新)

おいつく(追いつく) [自]人やものに追いつく
ioskoni (複数 *ioskompa*) (新): [他]人に
 追いつく *unoskoni* (複数 *unoskompa*)
 (新): [他]～に追いつく *oskoni* (複数
oskompa) (石狩)、[他] *osikoni* (幌別):
 [他](場所)で～に追いつく *eoskoni* (複数
eoskompa) (新): [他]～と共に～に追いつ
 く *kooskoni* (複数 *kooskompa*) (新):
 [他](原因、手段)で～に追いつく *ooskoni* (複
 数 *ooskompa*) (新): [他](人)に～に追いつ
 つかせる *oskonire* (複数 *oskompare*)
 (新): [他]自分で、一人で～に追いつく
yayoskonire (複数 *yayoskompare*) (新):
 [他]皆で～に追いつく *uosikonire* (複数
uoskompare) (新)

おいていく(置いて行く) [自]人や物を置いて
 行く *ihoppa* (新): [自]人を置いて行く

unhoppa (新): [他]~を置いていく
 hoppa (石狩): 「今日私は家に子供を置いて行った。」 “Tanto cise otta ku=pohoku=hoppa.”、「貴重品を部屋に置いて行ってはいけませんよ。」 “Tumpu otta es=kor sisakpe somo es=hoppa nankor na!”:
 (場所)に~を置いて行く ehoppa (新):
 [他]~と共に~を置いて行く kohoppa (新): [他](原因、手段)で~を置いて行く ohoppa (新): [他](人)に~を置いて行かせる hoppare (新)

おいてきぼり(置いてきぼり) (表現)置いてきぼりとなる、置いてきぼりにされる
 an=hoppa (石狩): 「いつも私は兄に置いてきぼりにされる。」 “Ramma ku=yupiorowa enci=hoppa.”

おいはらう(追い払う) ①[自]人を追い払う
 iokewe (複数 iokewpa) (新): [他]~を追い払う okewe (複数 okewpa) (石狩)※(複数形は沙流方言)、[他] kewe (石狩): [他](場所)で~を追い払う eokewe (複数 eokewpa) (新): [他](場所)へ~を追い払う kookewe (複数 kookewpa) (新): [他]~と共に~を追い払う kookewe (複数 kookewpa) (新): [他](場所)から~を追い払う okewe (複数 okewpa) (新): [他](原因、手段)で~を追い払う okewe (複数 okuwpa) (新): [他](人)に~を追い払わせる okewere (複数 okewpare) (新): [他]完全に~を追い払う oarokewe (複数 oarokewpa) (新)、[他] arokewe (複数 arokewpa) (新): [他]ひどく~を追い払う toykookewe (新): ②[他]~を叩いて追い払う niunte (沙流): [間投](犬や猫を追いかける声)しっしっ esi (沙流)

おいぼれ(老いぼれ) [名](悪)老いぼれ onnep (石狩)

おいまわす(追い回す) [他]~を追い回す
 toykonospa (石狩)、[他] toynospakar (石狩)、[他] toynospa (石狩)

オイミヤコン [場名](ロシア連邦極東連邦管区サハ共和国の村名)オイミヤコン Oymiakon (新)

オイラート [名]オイラート部 xarimagu-utar (新)※(15-18世紀モンゴル高原で有力だった部族連合): [名]オイラート人 xarimagukur (新): [名]オイラート語 xarimagukur-itak (新)

オイル [名]オイル sum (石狩)、[名] óir (新)※(英語)

おいる(2)(老いる) [自]老いる、老いている
 onne (石狩): [他](場所)で老いる、老いている eonne (石狩): [他]~と共に老いる、老いている koonne (新): [他](原因、手

段)で老いる、老いている oonne (新): [他](人)を老いさせる onneka (onnere) (新): [自]自分で、一人で yaykoonne (新): [自]共に、皆で老いる、老いている ukoonne (石狩): [自]凄く老いる、老いている toykoonne (新): [自]老いて腰が曲がる hekaye (天塩)

おう(王) ①[名]王 yaykomosirkorkur (新)、[名] mosirkorkur (新): [名](東洋の)王 wan (新)※(中国語): [名](イスラーム圏の)王 súrtan (新)※(アラビア語): [名](西洋の)王 kingu (新)※(英語): ②[名]王家、王室 mosirkorkur utari (新)

おう(追う) ①(直接追い駆ける)[自]人や獲物を追う、追いかける inospa (石狩): [自]人を追う unnospa (石狩): [他]~を追う nospa (石狩)、[他] keseampa (久保寺)、[他] kesampa (萱野)、[連他] kese-ampa (kes-ampa) (沙流): [他](場所)で~を追う enospa (新): [他](場所)へ~を追う、~と共に~を追う konospa (新): [他](場所)から~を追う onospa (新): [他](原因、手段)で~を追う、(場所)から~を追う onospa (新): [他](人)に~を追わせる nospare (新): [他]~を激しく追う toykonospa (石狩)、[他] toynospa (石狩)、[他] toynospakar (石狩): [他]~に自分を追わせる sinospare (新): (表現)(雅)追う者が私を捕まえようとするが何度も失敗し、何度も掴まえ損ねる i=oka ne an pe hayta hayta tespa tespa (沙流): ②(追跡する)[自]追う ikari (新): [他]~を追う kari (石狩): (表現)~の跡を追う ~ruwe kari (石狩): [他](場所)で~を追う ekari (新): [他]~と共に~を追う kokari (新): [他](原因、手段)で~を追う okari (新): [他](人)に~を追わせる karire (新)

おう(負う) ①(人を背負う)[自]人を負う ikay (新): [他]~を負う kay (石狩): [他](人)に~を負わせる kayte (新): [自]子を負う pakkay (石狩): ②(物や死体、縛り上げられるなどして動けぬ人を背負う)[自]人や物を負う ise (新): [他]~を負う se (石狩): [他](人)に~を負わせる sére (石狩): ③(利益に関して)[他]~に負う、負っている epirka (石狩): ④(負債に関して)[他]~を負う uk (石狩): [自]負債を負う sóuk (石狩): (表現)負債を負う cihosipirekuniso uk (新)、(表現) so uk (新)

おういん(押印) [自]押印する
 itokpaoputuye (新): [他](場所)に押印する eitokpaoputuye (新): [他]~と共に押

印する koitokpaoputuye (新): [他](原因、手段)で押印する oitokpaoputuye (新): [他](人)に押印させる itokpaoputuyere (新): [自]自分で、一人で押印する yaykoitokpaoputuye (新): [自]互いに、皆で押印する ukoitokpaoputuye (新)

おうえん(応援) [名](行為)応援 ikoorosutke (新): [名](人)応援 ikoorosutkekur (新): [自]応援する orosutke (萱): [他](場所)で応援する eorosutke (新): [他]~と共に応援する koorosutke (新): [他](原因、手段)で応援する oorosutke (新): [他](人)を応援させる orosutkere (新): [自]人を応援する ikoorosutke (萱): [他](人)を応援する koorosutke (静内): [他](人)に(人)を応援させる koorosutkere (新): [他]自分で、一人で~を応援する yaykokoorsutke (新): [他]互いに、皆で~を応援する ukokoorsutke (新): [他]思い切り~を応援する raykoorsutke (新): [他]人に~を応援させる、応援してもらう koorosutkeyar (新): [自]人に自分を応援させる、応援してもらう sikoorsutkeyar (新): [自]自分を応援する yaykoorsutke (萱): [自]応援し合う ukoorsutke (新): [他]思い切り応援する toykoorsutke (新): (表現)応援価格 ikoorosutke atay (新): (表現)応援団 ikoorosutkekur topaha (新)

おうかくまく(横隔膜) [名] 横隔膜 kaparkam(-i) (幌別)

おうかん(王冠) [名] 王冠 mosirkorkur-sapaumpe (新)、[名] konkani-sapaumpe (新)、[名] kuraun (新)※(英語)

おうぎ(扇) [名] 扇 awanki (石狩): [名] 扇形 awankinoka (石狩): [名](魔法の)金の扇 konkani-awanki (石狩): [名] 招魂の扇 ramattak-awanki (石狩)※(蘇生の力がある魔法の扇)

オウギハクジラ(扇齒鯨) (動物)[名](トックリクジラ亜科)オウギハクジラ属 awankisikitehumpe-cise (新): [名]オウギハクジラ awankisikite-humpe (新): [名]アカボウモドキ cicikapetuhumpekopa (新): [名]イチョウハクジラ icosikitehumpe (新): [名]コブハクジラ notkewetuk-awankisikitehumpe (新): [名]タイヘイヨウオウギハクジラ siatuy-awankisikitehumpe (新): [名]ニューゼーランドオオギハクジラ arotearoa-awankisikitehumpe (新): [名]ハブスオオギハクジラ ponnonotkewetuk-awankisikitehumpe (新): [名]バハモン ドオオギハクジラ robinson-kurusow-

awankisikitehumpe (新)※(ロビンソン・クルーソー扇齒鯨): [名]ヒガシアメリカオオギハクジラ cupkaamerika-awankisikitehumpe (新): [名]ピグミーオウギハクジラ peru-awankisikitehumpe (新)※(ペルー扇齒鯨): [名]ヒモハクジラ áneawanki-sikitehumpe (新): [名]ペリンオウギハクジラ perin-awankisikitehumpe (新): [名]ミナミオウギハクジラ nimakiinne-awankisikitehumpe (新): [名]ヨーロッパオウギハクジラ eouropa-awankisikitehumpe (新)

おうこく(王国) [場名] 王国 yaykomosirkorkur-kormosir(-i) (新)、[場名] mosirkorkur-kormosir(-i) (新)

おうごん(黄金) [名] 黄金 konkani (石狩)、[名](雅語) káni (石狩) → 「かね(金)」を参照

おうじ(王子) [名] 王子 mosirkorkurpo (新)、[名] purince (新)※(英語): [名] 後継に定められた王子 yaykomosirkorpo (新)

おうし(牡牛) ①[名] 牡牛 pinnepeko (新): ②(宇宙)[場名] 牡牛座 Pinnepeko(-so) (新): [名] 牡牛座のα星 Uraycasikunnociw (アイヌの星)※(「アルデバラン」)

おうじょ(王女) [名] 王女 mosirkorkur-matnepo (新)、[名] purinces (新)※(英語): [名] 後継に定められた王女 yaykomosirkor-matnepo (新)

おうだん(横断) [他]~を横断する tomotuye (石狩): [他](人)に~を横断させる tomotuyere (新): [後副]~を横断して tomotuye (新): [名] 横断歩道 itomotuye-apkasru(-we) (新)

おうだん(黄痘) [名] 黄痘 sikerpesiyeye (新): [自]黄痘が出る ikerpesiyeye (新)、[自] sikerpekewkor (新)

おうど(黄土) ①[名] 黄土 sikerpeustoy (新)、[名] ipeustoy (新): ②[自]黄土色になる、である sikerpepeustoy-irone (新)、[自] ipeustoy-irone (新): [他]~を黄土色にする sikerpepeustoy-ironeka (-ironere) (新)、[他] ipeustoy-ironeka (-ironere) (新): [名] 黄土色 sikerpepeustoy-iro (新)、[名] ipeustoy-iro (新)

おうと(嘔吐) [自]嘔吐する atu (石狩): [他]~を嘔吐する eatu (石狩): [他](場所)に嘔吐する eatu (新): [他]~と共に嘔吐する koatu (新): [他](原因、手段)で嘔吐する oatu (新): [他](人)に嘔吐させる ature (新)

おうふく(往復) [自]往復する kari (石狩):

「今月私達は大阪と東京を何度も往復する事になる。」“Tancup otta Ósaka ene Tokio ene tusuy resuy kari=as kunip ne .” [他]〜と共に往復する kokari (新): [他](原因、手段)で往復する okari (新): [他](人)に往復させる karire (新)

オウムガイ(鸚鵡貝) (魚介)[名](頭足綱)オウムガイ亜綱 nautirus-mopet (新): [場名]オウムガイ目 nautirus-kotan (新): [名]オウムガイ科 nautirus-apa (新): [名]オウムガイ属 nautirus-cise (新): [名]オウムガイ nautirus (新)※(羅語)

おうらい(往来) [自]往来する ukopayekay (石狩)、[自] ukopayokay (新): [他](人)を往来させる ukopayekayre (ukopayokayre) (新)

オウリョクコウ(鴨緑江) [名](地名)鴨緑江 Yáru-pet (新)※(中国と北朝鮮の国境をなす川)

おえつ(嗚咽) [名]嗚咽 ciscimimse (石狩): (表現)少女の嗚咽の聲が上がる ponmenoko ciscimimse yaykohopuni (石狩)

おえる(終える) [自]物事を終える iokere (新): [他]〜を終える okere (石狩): [他](場所)で〜を終える eokere (新): [他]〜と共に〜を終える kookere (新): [他](原因、手段)で〜を終える ookere (新): [他](人)に〜を終えさせる okerere (okereka) (新): [他]自分で、一人で〜を終える yaykookere (新): [他]皆で〜を終える ukookere (新): [他]充分に〜を終える okereno (okerenu) (新): [他]完全に〜を終える arokere (新): [他]滅茶苦茶〜を終える toykookere (新): [助動]〜する事を終える okere (石狩)

おお [間投](強い驚きの声)おお o (石狩)、[間投] óya (石狩): [間投] oyaya (石狩): [自]おおと言う óse (新)、[自] óyase (新): [自] oyyase (新)

オオアザミ(大薊) (植物)[名](キク科)オオアザミ属 miriamancami-cise (新): [名]オオアザミの莖葉 miriamancami (新)、[名]その種子 miriamkusuri (新)※(別名「マリアアザミ」)

オオブラコウモリ(大油蝙蝠) (動物)[名](ヒナコウモリ科)オオブラコウモリ属 sísumkapap-cise (新): [名]クロオオブラコウモリ yaun-sisumkapap (新): [名]コウライイオオブラコウモリ yayan-sisumkapap (新): [名]ヒブスゴ・アラビクス arabiyaun-sisumkapap (新): [名]H. アリエル otaatuyun-sisumkapap (新): [名]H. アンキエタエ anxietasumkapap (新): [名]H. アンソニー

antoni-sisumkapap (新): [名]H. インブリカトゥス cairone-sisumkapap (新): [名]H. エイセントラウティ eisentoraut-sisumkapap (新): [名]H. カドルナエ kadorna-sisumkapap (新): [名]H. キツケネリ kitxener-sisumkapap (新): [名]H. クラッスルス esep-sisumkapap (新): [名]H. プルベラトゥス atuyyaun-sisumkapap (新): [名]H. ボデンヘイメリ bodenheimer-sisumkapap (新): [名]H. ボルデルマンニ vorderman-sisamkapap (新): [名]H. マクロティス kisaraporo-sisumkapap (新): [名]H. ムスキルス érumşikopayar-sisumkapap (新): [名]H. ヨッフレイ joffure-sisumkapap (新): [名]H. ロプフルス miyanmaun-sisumkapap (新):

おおあめ(大雨) [名]大雨 apto (石狩)、[名] yupkeruyampe (新)、[名] pororuyampe (新): (表現)大雨が降る ruyampe yupke (石狩)、(表現) apto as (新)

オオアリ(大蟻) (昆虫)[名](ヤマアリ亜科)オオアリ属 kamuyitunnap-cise (新): [名]カラフトクロオオアリ karaptoeperitunnap (新): [名]クロオオアリ eperitunnap (石狩): [名]ケブカクロオオアリ numauskamuyitunnap (新): [名]ミカドオオアリ kunnehurekamuyitunnap (新): [名]ムネアカオオアリ kamuyitunnap (足寄): [名]ヨツボシオオアリ inenociwkamuyitunnap (新)

オオアリクイ(大蟻喰) (動物)[名](アリクイ亜目)オオアリクイ科 siitunnapep (新): [名]オオアリクイ属 situnnapep-cise (新): [名]オオアリクイ siitunnapep (新): [名]コアリクイ属 haykannuitunnapep-cise (新)※(中型蟻喰)

オオアルマジロ(大アルマジロ) (動物)[名](アルマジロ科)オオアルマジロ属 síhayokyuk-cise (新): [名]オオアルマジロ síhayokyuk (新): [名] síarmadiro (新)

おーい ①(ホトウイパの時に発する声)[間投]おーい tentena poku (石狩): ②(山の中で人を呼ぶ声)[間投]おーい katci (JK)

おおい(覆い) [名]覆い cioikamup (新)、[名] cioiseskep (新)

おおいかくす(覆い隠す) [自]物を覆い隠す iseske (新): [他]〜を覆い隠す seske (石狩): [他](人)に〜を覆い隠させる seskere (seskeka) (新)

おおいかぶせる(覆い被せる) [他]〜に覆い被せる、〜を覆い被せる ikamure (新): [他]〜に〜を覆い被せる kamure (石狩): [他]〜に覆い被さる kamu (石狩): 「私

の母は私に覆い被さり、私を守って死んだ・”
“Ku=unuhu en=kamu wa en=epunkine wa
mosirhoppa .”

おおいそぎで(大急ぎで) [副] 大急ぎで
situnasno (situnas) (新): (表現)大急ぎ
で sonno (sino) tunasno (tunas) (石狩)、
(表現) sonno (sino) hempano (新)

おおいぬ(大犬) ①[名]大犬 poroseta (新):
②(宇宙)[名]大犬座 Poroseta(-so) (新):
[名]大犬座のα星 Sirius (新)※(「シリウ
ス」)

おおう(覆う) ①(何かに何かを被せて覆う事を
示し)[自]あたりを覆う sirkamu (石狩):
[自]物を覆う ikamu (新): [他]～を覆う
kamu (新): [他](場所)で～を覆う
ekamu (新): [他]～と共に～を覆う
kokamu (新): [他](原因、手段)で～を覆う
okamu (新): [他]～に～を覆わせる
kamure (石狩): ②(覆って何かを塞いだり
隠したりする事を示し)[自]物を覆う
iseske (新): [他]～を覆う seske (石
狩): 「お前の唇で私の唇を覆っておくれ。」

“E=papusi ani ku=papusi seske ya .”:
[他](場所)で～を覆う eseske (新): [他]
～と共に～を覆う koseske (新): [他](原
因、手段)で～を覆う oseske (新):
[他](人)に～を覆わせる seskere (新):
[他]自分で、一人で～を覆う yaykoseske
(新): [他]皆で～を覆う ukoseske (新)

おおいだ(大枝) [名]大枝 sínitek(-e) (天
塩)、[名] poronitek(-e) (新): [名]先端に
長い枝が沢山付いた立木の太枝 níaw(-e)
(天塩)

オオオニバス(大鬼蓮) (植物)[名](スイレン科)
オオオニバス属 sía 1 1 8
yuspekaotukpeikkew-cise (新): [名]オ
オオニバスの根茎 síayuspekaotukpe-
inrit (新)、[名]その葉
síayuspekaotukpe-ham (新)、[名]その花
茎 síayuspekaotukpe-ikkew (新)、[名]そ
の花 síayuspekaotuk-apappo (新)、[名]
その果実 síayuspekaotukpeop (新):
[名]パラグアイオオオニバスの花茎
paraguay-síayuspekaotukpe-ikkew (新)

オオカサモチ(大傘持) (植物)[名](セリ科)オオ
カサモチ属 túnikaomap-cise (新): [名]
オオカサモチの茎 túnikaomap (幌別)※
(別名「オニカサモチ」)

オーガスタ [場名](アメリカ合衆国メイン州の
州都名)オーガスタ Áugusta (新)

おおかぜ(大風) [名]大風 pororera (石狩)、
[名] kamuyrera (石狩)、[名](雅語)
kamuykaw (石狩): (表現)大風が吹く
pororera as (石狩): (表現)大風が吹き荒

れる pororera yupke (石狩)、(表現)
kamuyrera yupke (石狩)、(表現)
kamuykaw yupke (石狩)

オオカミ(狼) ①(動物)[名](イヌ属)アメリカア
カオオカミ amerikaunhure-horkew
(新): [名]タイリクオオカミ yayan-
horkew (新): 亜種[名]アラスカオオカミ
araskaun-horkew (新)※(別名「シンリンオ
オカミ」): [名]アラビアオオカミ
arabiyaun-horkew (新): [名]イエエヌ
cireska-seta (新): [名]イタリアオオカミ
romaun-horkew (新): [名]インドオオカ
ミ cuppokun-horkew (新): [名]エジプ
トオオカミ aigiptosun-horkew (新):
[名]エジプトオオカミ yaun-horkew (新)、[名]
horkew (石狩)※(絶滅): [名]カスピオオカ
ミ kaskasun-horkew (新): [名]グレート
プレーンズオオカミ síporonupun-horkew
(新): [名]シベリアオオカミ síbirun-
horkew (新)※(別名「ツンドラオオカミ」):
[名]シンリンオオカミ nitayorun-horkew
(新): [名]ディンゴ dingo (新): [名]ニ
ホンオオカミ samorun-horkew (新)※(絶
滅): [名]ハイイロオオカミ manaus-
horkew (新): [名]ホッキョクオオカミ
koykaun-horkew (新): [名]メキシコオ
オカミ mexikoun-horkew (新): [名]ヨー
ロッパオオカミ europaun-horkew (新)※
(別名「チョウセンオオカミ」、「シベリアオ
オカミ」など): [名]ロシアオオカミ rošiaun-
horkew (新): →その他イヌ属以外でオ
オカミと呼ばれる(動物)は「イヌ(犬)」を見よ
②(関連語彙)[名]狼神 horkew-kamuy (石
狩)、[名] nupuripaun-kamuy (胆振、日高)、
[名] nupuripakor-kamuy (幌別)、[名]
onrupus-kamuy (釧路)、[名] wóse-kamuy
(H): [間投]遠吠えの声 wo (石狩): [自]
遠吠えする wóse (石狩): [間投]吠える
声 yawyawse (石狩): [自]吠える
yawyawse (石狩)

おおきく(大きく) ①(一般的に)[自]大きくなる、
大きい poro (石狩)※(対義語は"pon"):
(表現)大きな熊 poro eper (石狩): [他]～
を大きくする porore (石狩)、[他] poroka
(新): 「一体誰が国の負債を大きくしたの
か?」“Mosir kor cihosipirekuniso nen ta
porore ya ?”: [他](人)に～を大きくさせ
る pororere (新)、[他] porokare
(poroka) (新): [連体]大きい sían (石
狩)、[連体] síanno (石狩): 「大きい火箸」
sían aepasuy (石狩): [接頭]大きい sí-
(石狩)、[接頭] sino (石狩): ②(生物に関
して、物に関しては比喩的に)[自]大きくなる、
大きい onne (石狩)※(対義語は"pewre"):

(表現)年取った大熊 onne eper (石狩):
 (表現)大きい沢 onne nay (石狩): [他]~
 を大きくする onneka (onnere) (新):
 「私は豚を育ててここまで大きくしたんだ。」

“Putaku=reska wa tampe pakno ku=onnere.”: [他](人)に~を大きくさせる onnekare (新)、[他] onnerere (新):
 ③(成長や粒の大きさに関して)[自]大きくする、大きい rupne (石狩)※(対義語は“nokan”): (表現)粒の大きい胡桃 rupne nínun (新): 「あなたの子供はもう大きいでしょ?」 “Es=poho tane anakne rupne ruwe?”: [他]~を大きくする rupneka (rupnere) (新): 「私達がお前を大きく(一人前に)したんだからな。」 “Ciokaye=rupnere=as na.”、「その肥料を用いて苺の粒を大きくする。」 “Taan toyorumpesukuptep an=eiwanke wa húrep an=rupnere.”: [他](人)に~を大きくさせる rupnekare (新)、[他] rupnerere (新): ④(布や紙など平面的な物に関して)[自]大きくなる、大きい sep (石狩)※(対義語は“hupne”): (表現)大きな紙 sep kampi (新): [他]~を大きくする sepka (septe) (新): 「この写真もっと大きくできるかい?」 “Tan ciunnoka na es=septe ruwe?”: [他](人)に~を大きくさせる sepkare (新)、[他] septe (新)

おおきな(大きな) [名]大きな窪地 sikot(-ci) (H): [名]大きな川 poropet (石狩): [名]大きな沢 poronay (石狩)、[名] onnenay (石狩)、[名] naynetopake (石狩): [場名]大きな島 poromosir (石狩)、[場名] poropaysir (新)、[場名] porosir (新): [名]大きな谷 poropinay (新)、[名] sikot(-ci) (H): [名]大きな棘 ciay(-e) (H)、[名] cay (石狩): [名]大きな町 poromaciya (新)、[名] símaciya (新): [場名]大きな村 porokotan(-u、-i) (石狩)※(物語では“innokotan”「人口の多い村」と対で使われる)、[場名] sikotan(-u、-i) (新): [名]大きな山 poronupuri (新)、[名] sinupuri (石狩)

オーク (植物)[名]オーク komni (新)、[名] óuk (新)※(英語): [名]オーク材 komni (新)、[名] óukni (新): [名]オークリーフ komniham (新)、[名] óukham (新)

おおく(多く) ①[自]多くなる、多い poro (石狩): [副]多く poronno (石狩): (表現)多くいる、ある poronno an (石狩): (表現)(特に人や動物に関して)多くいる poronno okay (石狩): 多くする、多くなる → 「ふやす(増やす)」、「ふえる(増える)」を見よ: ②(人口、人数に関して)[自]多くな

る、多い inne (石狩): 単独の用例では人の数に関してだが、合成語の構成要素としては生物や物が多い意味で使われている。

"poro"の意味が多いことを考えると今後生物や物が「多くなる」、「多い」の意味でも使用する。: ③(汁に関して)多い a (沙流):

④[自]思ったより多くなる、多い oipean (沙流)

おおぐい(大食い) [名]大食い iperuykur (石狩)、[名] kemaste (石狩): [自]大食いである iperuy (石狩)

おおぐち(大口) [自]大口を開ける hása (石狩): [他]~に大口を開けさせる hása (hása) (新)

おおぐま(大熊) ①[名]大熊 poroep (石狩): ②(宇宙)大熊座 Poroep(-so) (新): [名](北斗七星)大熊座のα、β、γ、δ、ε、ζ、η星 Cinukarkur (アイヌの星)、[名] Upoponociw (アイヌの星)、[名] Smayekunnociw (Samaekunnociw) (アイヌの星): [名]大熊座のα、β、γ、ε、ζ、η星 Iwamponnociw (アイヌの星): [名]大熊座のα、β、γ、δ星 Supnenociw (アイヌの星): [名]大熊座のγ、δ、ε、ζ、η星 Kúnociw (アイヌの星): [名]大熊座のα、β星 Aynociw (アイヌの星)

オーランド [場名](ニューランドの都市名)オーランド Áukrando (新): [場名](アメリカ合衆国の幾つかの都市)オーランド Óukrando (新)

おおげさ(大げさ) [自]大げさになる、である poro (新): [他]~を大げさにする porore (新): [自]物事を大げさに言う iporoye (B): [他]~を大げさに言う poroye (新): [他](人)に~を大げさに言わせる poroyere (新): (表現)大げさに言う kasio wa itak (B): [自]大げさに行う iporoki (新): [他]~を大げさに行う poroki (新)

オオコウモリ(大蝙蝠) (動物)[名](コウモリ目)オオコウモリ科 sikapap-apa (新): [名]オオコウモリ亜科 sikapap-moapa (新): [名]オオコウモリ属 sikapap-cise (新): [名]アドミラルティオオコウモリ adomirartiun-sikapap (新): [名]アンダーセンオオコウモリ makiraun-sikapap (新): [名]アンボンオオコウモリ ambonun-sikapap (新): [名]インドオオコウモリ indiaun-sikapap (新): [名]ウアランオオコウモリ kosraeun-sikapap (新): [名]オオミミオオコウモリ kisaraporo-sikapap (新): [名]オーストラリアオオコウモリ austorariaun-sikapap (新): [名]オガサワラオオコウモリ

ogasawaraun-sikapap (新): [名]オキナワ
オオコウモリ rucuun-sikapap (新):
[名]カリリンオオコウモリ karorinun-
sikapap (新): [名]ギリアードオオコウモ
リ giriardo-sikapap (新): [名]ギンイロ
オオコウモリ sirokani-sikapap (新):
[名]クビワオオコウモリ rekutumpe-
sikapap (新): [名]クマオオコウモリ
mauritusun-sikapap (新): [名]クリイロ
オオコウモリ piripinasunmanaus-
sikapap (新): [名]クロオオコウモリ
kunne-sikapap (新): [名]クロヒゲオオコ
ウモリ rekikunne-sikapap (新): [名]ク
ロミミオオコウモリ kisarkunne-sikapap
(新): [名]コモロオオコウモリ
komorounsikapap (新): [名]サモアオオ
コウモリ samoaun-sikapap (新): [名]サ
ンタクルーズオオコウモリ temotuun-
sikapap (新): [名]ジャワオオコウモリ
sikapap-tono (新): [名]セイシェルオオコ
ウモリ seyserun-sikapap (新): [名]セラ
ムオオコウモリ seramun-sikapap (新):
[名]ソロモンオオコウモリ soromonun-
sikapap (新): [名]ソロモンヒメオオコウ
モリ poniwnesoromonun-sikapap (新):
[名]テミングオオコウモリ temminku-
sikapap (新): [名]トクダオオコウモリ
guamun-sikapap (新)※(絶滅): [名]トン
ガオオコウモリ tongaun-sikapap (新):
[名]ニコバルオオコウモリ nikobarun-
sikapap (新): [名]ニューカレドニアオオ
コウモリ niwkaredoniaun-sikapap (新):
[名]ニューギニアオオコウモリ geervinku-
usorun-sikapap (新): [名]ニューヘブリ
デンスオオコウモリ vanuatuun-sikapap
(新): [名]パーシーオオコウモリ persiun-
sikapap (新): [名]ハイイロオオコウモリ
manaus-sikapap (新): [名]ハイガシラオ
オコウモリ emanaus-sikapap (新): [名]
ハウエンスオオコウモリ ontonjavaun-
sikapap (新): [名]パニコロオオコウモリ
vanikoroun-sikapap (新): [名]パラオオ
オコウモリ beraun-sikapap (新)※(絶
滅): [名]パルマスオオコウモリ
parmasun-sikapap (新): [名]ハレギオオ
コウモリ citomte-sikapap (新): [名]バ
ンクスオオコウモリ bankusun-sikapap
(新): [名]ピーターオオコウモリ
vanikoroun-sikapap (新): [名]ビズマー
クオオコウモリ bismarkuun-sikapap
(新): [名]ヒメオオコウモリ
moesumarinekapap (新): [名]ビルマオオ
コウモリ mianmaun-sikapap (新): [名]
プテロプス・アルエンシス aruun-sikapap

(新): [名]P. アルダブレレンシス
ardaburaun-sikapap (新): [名]P. アレノ
ルム mooknesamoaun-sikapap (新)※(絶
滅): [名]P. カピストラトゥス
bismarkuun-eturatuki-sikapap (新):
[名]P. コックシ sioknesamoaun-sikapap
(新)※(絶滅): [名]P. ケイエンシス
kéyun-sikapap (新): [名]P. レンネリ
rennerun-sikapap (新): [名]P. ワラケイ
surawesiun-eruosikapap (新): [名]ペン
バオオコウモリ pemaun-sikapap (新):
[名]ホリイオオコウモリ mobarauun-
sikapap (新)※(別名「パラオオコウモ
リ」): [名]マスカリンオオコウモリ
oknemauritusun-sikapap (新)※(絶滅):
[名]マスクオオコウモリ eturatuki-
sikapap (新): [名]マダガスカルオオコウ
モリ madagaśikaraun-sikapap (新):
[名]マハガンオオコウモリ mahaganun-
sikapap (新): [名]マリアナオオコウモリ
marianaun-sikapap (新): [名]ムナジロオ
オコウモリ cúkun-sikapap (新)※(チュー
ク大蝙蝠): [名]メガネオオコウモリ
sikipokor-sikapap (新): [名]モルッカオオ
コウモリ morukkaun-sikapap (新):
[名]ヤップオオコウモリ yapun-sikapap
(新): [名]ライルオオコウモリ rayre-
sikapap (新): [名]ロドリゲスオオコウモ
リ ródorigesun-sikapap (新): [名]ロン
ボクオオコウモリ rombokun-sikapap
(新): [名]キツネオオコウモリ属
esarunesikapap-cise (新): [名]コバフル
ーツコウモリ属 nimakipoysikapap-cise
(新): [名]コバフルーツコウモリ
nimakipoysikapap (新): [名]ストライプ
フルーツコウモリ属 ruosikapap-cise
(新): [名]ストローオオコウモリ属
tamaresikapap-cise (新): [名]スンダオオ
コウモリ属 sundauysikapap-cise (新):
[名]デスマロペクス属 rapuretarsikapap-
cise (新): [名]デスマロペクス・ミクロレ
ウコブテルス rapuretar-sikapap (新):
[名]D. レウコブテルス ponrapuretar-
sikapap (新): [名]ミリミリ属 fijiun-
esarunesikapap-cise (新): [名]ミリミリ・
アクロドンタ fijiun-esarunesikapap
(新): [名]ケンショウコウモリ亜科
taptomtekapap-moapa (新): [名]コバナ
フルーツコウモリ亜科 etupon-
nikaopekapap-moapa (新): [名]シタナガ
フルーツコウモリ亜科 awetanne-
nikaopekapap-moapa (新)※(シタナガオオ
コウモリ亜科とも): [名]テングフルーツコ
ウモリ亜科 kuttaretu-nikaopekapap-

moapa (新): [名]ハルリュエシアフルーツコウモリ亜科 harpiia-nikaopekapap-moapa (新): [名]ルーセットオオコウモリ亜科 rousettesikapap-moapa (新)

おおごえ(大声) ①[名]大声 porohaw(-e) (石狩)※(合成語の構成要素としては haw(-e) だけで「大声」となる事がある): [副]大声で esara(-no) (新)※(目下合成語の構成要素としてのみ確認されるが、今後単独でも用いる): (表現)大声で porohaw(-e) ani (石狩): ②[他](人)へ大声で言う、～(の事)を大声で言う esaraye (新): [他](人)に(人)へ大声で言わせる、(人)に～(の事)を大声で言わせる esarayere (新): ③[自]大声で(朗々と)祈る esarakamuynomi (沙流): [自]大声で泣く parapararak (石狩)、[自]esaracis (沙流): [他](人)を大声で泣かせる paraparakte (paraparakka) (新)、[他]esaraciste (新): [自]大声で話す esaraitak (石狩): [他]～について大声で話す、言う eesaraitak (新): [他](人)に大声で話させる esaraitakte (新): [自]大声で独り言を言う yaykoesaraitak (新): [自]大声で会話する ukoesaraitak (新): [自]滅茶苦茶大声で話す tuykoesaraitak (新): [自]大声を出す hawesanke (石狩): [他]～について大声を出す ehawesanke (新): [他](場所)で大声を出す ehawesanke (新): [他]～と共に大声を出す kohawesanke (新): [他](原因、手段)で大声を出す ohawesanke (新): [他](人)に大声を出させる hawesankere (新): [自]自分で、一人で大声を出す yaykohawsanke (新): [自]皆で、共に大声を出す ukohawsanke (新)

おおざけ(大酒) [自]大酒を飲む ikuruy (石狩)

おおしお(大潮) (表現)大潮になる cup sikari sirarha (sirara) (新)※(沙流方言より)

オオズアリ(大頭蟻) (昆虫)[名](フタフシアリ亜科)オオズアリ属 eporoitunnap-cise (新): [名]オオズアリ eporoitunnap (新): [名]アズマオオズアリ yauneporositunnap (新)

オオスズメウリ(大雀瓜) (植物)[名](ウリ科)オオスズメウリ亜連 repuncikapnokuripunkar-moutar (新): [名]オオスズメウリ属 repuncikapnokuripunkar-cise (新): [名]オオスズメウリの茎 repuncikapnokuripunkar (新)、[名]その果実 repuncikapnokuri (新)※(別名「キバナノカラスウリ」)

オースティン [場名](アメリカ合衆国テキサス州の州都名)オースティン Áustin (新)

オーストラリア ①[場名](国名)オーストラリア連邦 Áustoria Ukot Usamosir (新)※(首都は「キャンベラ」): [場名](国名の通称として)オーストラリア Áustoria (新): [名]オーストラリア人、国民 áustoriaunkur (新): ②[場名](地名)オーストラリア大陸 Áustoraria-sisepmosir (新)

オーストリア ①[場名](国名)オーストリア共和国 Esterreix Ukotankoremosir (新)※(首都は「ウィーン」): [場名](国名の通称として)オーストリア Esterreix (新): [名]オーストリア人、国民 esterreixunkur (新): ②(歴史)[場名](国名)帝国議会において代表される諸王国および諸邦ならびに神聖なるイシュトバーン王冠の諸邦 Ipawetenkekurkormosir-eyaytunus-uekarpa otta an=yaykoikawanere Usamosirkorkurkormosir newa Usamosir newa Usa-majar-Istovan-mosirkorkursapaumpe-mosir (新)※(1867-1918年): [場名](先の国名の通称として)オーストリア・ハンガリー帝国 Esterreix-Majar Ipawetenkekurkormosir (新): [場名](国名)オーストリア帝国 Esterreix Ipawetenkekurkormosir (新)

おおぜい(大勢) [名]大勢 inneikir(-i) (石狩)、[名] inneutar(-i) (新): [自]大勢になる、である inne (石狩): [他]～を大勢にする innere (inneka) (新): [副]大勢で inneno (石狩)、[副] inneikinne (inneikinneno) (新)

おそうじ(大掃除) ①(広い範囲を)[自]大掃除 sittoykoaskaneka (sittoykoaskaneka) (新)、[自] sittoykoaskannere (sittoykoaskanere) (新)、[自] sittoykopirkare (新): [他](人)に大掃除させる siraskanekare (sittoykoaskanekare) (新)、[他] sittoykoaskannerere (sittoykoaskanerere) (新)、[他] sittoykopirkare (新): ②(特定の対象を)[自]大掃除する itoykoaskaneka (itoykoaskaneka) (新)、[自] itoykoaskannere (itoykoaskanere) (新)、[自] itoykopirkare (新): [他]～を大掃除する toykoaskaneka (siraskaneka) (新)、[他] toykoaskannere (toykoaskanere) (新)、[他] toykopirkare (石狩): [他](人)に～を大掃除させる toykoaskanekare (toykoaskanekare) (新)、[他] toykoaskannerere (toykoaskanerere) (新)、[他] itoykopirkare (新): [他]自分で、一人で

～を大掃除する yaykotoykoaskaneka (yaykotoykoaskaneka) (新)、[他] yaykotoykoaskannere (yaykotoykoaskanere) (新)、[他] yaykotoykopirkare (新): [他]互いに、皆で～を大掃除する ukotoykoaskaneka (ukotoykoaskaneka) (新)、[他] ukotoykoaskannere (ukotoykoaskanere) (新)、[他] ukotoykopirkare (新): [他]～が大掃除される citoykoaskaneka (citoykoaskaneka) (新)、[他] citoykoaskannere (citoykoaskanere) (新)、[他] citoykopirkare (新)

おおぞん(大損) ① [自] 大損する toykostonoki (新): [他]～を大損する etoykostonoki (新): [他](場所)で大損する etoykostonoki (新): [他]～と共に大損する kotoykostonoki (新): [他](原因)で大損する otokostonoki (新): [自]自分で、一人で大損する yaykotoykostonoki (新): [自]互いに、皆で大損する ukotoykostonoki (新): [自]完全に大損をする oattoykostonoki (attoykostonoki) (新): [自]人に大損させる itoykostonokire (新): [他](人)に大損させる toykostonokire (新): [他](人)に(原因)で大損させる otokostonokire (新)

オオツノシカ(大角鹿)(動物)[名](シカ科)メガロケロス属 megarokeros-cise (新)※(絶滅): [名]オオツノジカ kirawesiporoyuk (新)※(絶滅)

おおつぶ(大粒) [名]大粒 rupnenum(i) (新): [自]大粒である rupne (石狩)、[自] numus (沙流): (表現)～の粒が大きい ~ numi rupne (石狩): [名]大粒の涙 nupunnupe (新)、[名] nukunnupe (石狩): (表現)二つ、三つと沢山の大粒の涙を流す tu nukunnupe re nukunnupe yaykoranke (石狩)

おおどおり(大通り) [名]大通り sipararu (sinoparraru) (新)

オートジャイロ [名]オートジャイロ autojiro (新)※(英語)

オートバイ [名]オートバイ simoye-tukaripkorpe (新)、[名] baik (新)※(英語)

オートボルタ (歴史)[場名](国名)オートボルタ Hote-vorta Ukotankoremosir (新)※(1984年に「ブルキナファソ」と改称)

オーバーライト [自]オーバーライトする ikasinuye (新): [他]～をオーバーライトする kasinuye (新): (表現)～をオーバーライト、セーブする ~ kasinuye wa anu(ama) (新): [他](場所)に～をオーバ

ーライトする kokasinuye (新): [他](人、PC)に～をオーバーライトさせる kasinuyere (新):

オオバザサ(大葉笹)(植物)[名](ササ属)オオバザサの茎葉 hamuporo-uras (新)※(別名「ホロマンザサ」)

オオバセンキュウ(大葉川芎)(植物)[名](シシウド属)オオバセンキュウの茎葉 mosiwkina (石狩)、[名] pawcikina (石狩)、[名]オオバセンキュウの根 múnusi (天塩)※(別名「エゾオオバセンキュウ」)

オオバヒメマオ(大葉姫苧麻)(植物)[名](イラクサ科)オオバヒメマオ属 yambaru-maopunkar-cise (新): [名]オオバヒメマオの茎葉 yambaru-maopunkar (新)※(別名「ヤンバルツルマオ」)

オオバヤナギ(大葉柳)(植物)[名](ヤナギ科)オオバヤナギ属 toysusu (新): [名]オオバヤナギの茎 húretoysusu (新)※(別名「アカヤナギ」): [名]カラフトオオバヤナギの茎 toysusu (十勝): [名]トカチヤナギの茎 cupni (浦河)、[名] cisni (樺太)※(オオバヤナギの変種)

おおばん(大判) [名]大判 óban (新)

オオハンゴンソウ(大反魂草)(植物)[名](キク科)オオハンゴンソウ属 síoromun-cise (新): [名]オオハンゴンソウの茎葉 síoromun (新)※(別名「キヌガサハンゴンソウ」): [名]アラゲハンゴンソウの茎葉 numaus-sioromun (新)※(ルドベキア・ヒルタの品種): [名]テンニンギクモドキの茎葉 etuironu-sioromun (新): [名]ミツバオオハンゴンソウの茎葉 repetkorhamus-sioromun (新): [名]ヤエザキハンゴンソウの茎葉 eyomomke-sioromun (新)※(オオハンゴンソウの変種。別名「ハナガサギク」): [名]ルドベキア・オキシデンタリスの茎葉 cuppok-sioromun (新): [名]ルドベキア・カリフォルニカの茎葉 karifonniasioromun (新): [名]ルドベキア・ヒルタの茎葉 kunnesiknum-sioromun (新): [名]ルドベキア・ピンナタの茎葉 pinnatasioromun (新): [名]ルドベキア・フルギダの茎葉 furgida-sioromun (新): [名]ルドベキア・マキシマの茎葉 maksimasioromun (新)

オオヒレアザミ(大鱧薊)(植物)[名](キク科)オオヒレアザミ属 poroceprapusancami-cise (新): <[名]ゴロツキアザミの茎葉(新): [名]オノボルドウム・イリリクムの茎葉 iririaporoceprapusancami (新): [名]ゴロツキアザミの茎葉 wataporoceprapusancami (新)

おおひろま(大広間) [名]大広間 síseptumpu

(新)
おおぶくろ(大袋)(表現)大袋 poro pukuru
 (石狩): [名]大袋 totta (沙流): (表現)
 大袋一つのクリを平らげてしまう yam
 sine totta e wa isam (沙流)
オーブダ (歴史)[場名](ハンガリーにあった都
 市名)オーブダ Óbuda (新)※(1873年
 ペストと合併して「ブダペスト」となる)
おおぶり(大降り)[自]大降りになる、になっ
 ている ruy (石狩)、[自] yupke (石狩):
 (表現)雨が降りになる、になっている
 ruyampe ruy (石狩)、(表現) ruyampe
 yupke (石狩)
おおべや(大部屋)[名]大部屋 porotumpu
 (新)
おおぼん(大盆)[名]大盆 poronima (石狩)
おおまた(大股)[自]大股で歩く ocinakkari
 (石狩)
おおむかし(大昔)[場名]大昔 sínoteeta (新):
 [副]大昔、大昔に sínoteeta (新): [副]大
 昔から huskotoywa(-no) (石狩)、[副]
 sínoteetawa(-no) (新)
オオムラサキ(大紫)(昆虫)[名](コムラサキ亜
 科)オオムラサキ属 sípewrekinapeus-
 marewrew-cise (新): [名]オオムラサキ
 sípewrekinapeus-marewrew (新)
オームリ (魚介)[名](コレゴス属)オームリ
 ómuri (新): (表現)オームリの燻製
 uparus ómuri (新): (表現)オームリの塩
 漬 sippooro ómuri (新): (表現)オームリ
 の樽 ómuri ontaro (新)
オオモミジ(大紅葉)(植物)[名]オオモミジの茎
 upasetoranneiwatopeni (新)
オオモミジガサ(大紅葉傘)(植物)[名](キク科)オ
 オモミジガサ属 sitopenihamkasakorpe-
 cise (新): [名]オオモミジガサの茎葉
 sitopenihamkasakorpe (新)
おおもり(大盛)[名]大盛 porosonapi (石
 狩)、[名] raysonapi (沙流): (表現)～を
 大盛にする ～porosonapi(-hi) kar (新):
 (表現)大盛を～に出す porosonapi ～
 kopuni (新)
オオヤマザクラ(大山桜)(植物)[名](サクラ属)
 オオヤマザクラの茎 karimpani (石狩)※
 (別名「エゾヤマザクラ」): [名]オオヤマザ
 クラの花 karimpani-apappo (新): [名]
 オオヤマザクラの果実 karimpaniepuy(-
 ke) (新): [名]オオヤマザクラの樹皮
 karimpa (石狩)
オオヤマネコ(大山猫)(動物)[名](ネコ亜科)オ
 オヤマネコ属 tukci-cise (新): [名]ヨー
 ロッパオオヤマネコ tukci (樺太:多来加)
 ※(別名「シベリアオオヤマネコ」): [名]カ
 ナダオオヤマネコ kanadaun-tukci (新):

[名]スペインオオヤマネコ espaniaun-
 tukci (新)※(別名「イベリアオオヤマネ
 コ」): [名]ボブキャット amerikaun-tukci
 (新)
おおゆき(大雪)[名]大雪 poroupas (石狩):
 (表現)大雪が降る upas poro (石狩)、(表現)
 upas yupke (石狩)
おおよろこび(大喜び)①(表現)大喜びする
 sonno kiroroan (複数形 kirorookay) (石
 狩): (表現)～に大喜びする sonno
 ekiroroan (石狩): ②(表現)(予想外、ある
 いは予想以上の事に)大喜びする sonno
 yaykopuntek (石狩): (表現)(予想外、ある
 いは予想以上の物事に)大喜びする sonno
 eyaykopuntek (新): ③(表現)(人)に何度
 も顔いて大喜びする otu henkuror ore
 henkuror ～ koanu (koari, koanukar)
 (沙流)
オールドローズ(植物)[名]オールドローズ
 onneroz (新)※(1867年以前のバラの
 園芸種)
おおわらい(大笑い)[自]大笑いする
 mínakoyaykus (石狩)、[自] toykomina
 (新): [他]～を大笑いさせる
 mínakoyaykuste (新)、[他] toykominare
 (新): [他]～を大笑いする
 eminakoyaykus (新)、[他] etoykomina
 (新): [他]～を～について大笑いさせる
 eminakoyaykuste (新)、[他]
 etoykominare (新)
オカ[名](地名)オカ川 Oka-pet (新)※(ロシ
 ア連邦を流れるボルガ川支流、あるいはアン
 ガラ川支流)
おか(1)(丘)[名]丘 ponnupuri (石狩)、[名]
 hur(-u) (石狩)、[名] takkup (天塩)、[名]
 ori (天塩): [名]丘が切れ落ちている所
 hurtuy (石狩): [名](一段高くなりハマナ
 スなどが生える海岸の)砂丘 hunki (石狩)
おか(2)(陸)[場名]陸 ya (石狩)、[場名] yáke
 (石狩): [自]陸に上がる ya (複数 yap)
 (石狩): [他]～を陸に上げる yanke (複数
 yapte) (石狩): [連体]陸の yaun (石狩)、
 [連体](常套句中 répo と対で) yáo (yao)
 (石狩): (表現)(炉の中の燵を奥へやったり
 手前へやったりしながら物思いに耽る様を
 描写した常套句) yáo usat répoomante
 répo usat yáoranke (石狩)、(表現) yáo
 usat réporaye répo usat yáoraye (石狩)
おかえし(お返し)①(善意には善意で、悪意には
 悪意で)[自]人にお返しする itasa (石狩):
 [他](人)にお返しする tasa (石狩):
 [他](場所)で(人)にお返しする etasa (新):
 [他](原因)に対して(人)にお返しする
 kotasa (新): [他]～と共に(人)にお返しす

る kotasa (新): [他](手段)で(人)にお返しする otasa (新): [他](人)に(人)にお返しさせる tasare (新): [自]お返しし合う utasa (新): [他]心を込めて~にお返しする ramkotasa (新): [他]憎しみを込めて(人)にお返しする wenramkotasa (新): [他]充分(人)にお返しする tasano (tasanu) (新): ②(善意に対するお礼として)[自]お返しする pirkaramhosipire (新): [他](人)にお返しさせる pirkaramhosipirere (新): [他](人)にお返しする pirkaramotasa (新)、[他]kopirkaramhosipire (新): [他](人)に(人)にお返しする pirkaramotasare (新): [自]お返しし合う ukopirkaramhosipire (新)、[自]upirkaramotasa (新)

おかげ(お蔭) ①[後副]~のお蔭で renkayne (石狩)※(目的語は主格)、[後副] koinkar (石狩): (表現)~のお蔭で、お蔭だから 名詞、動詞+keray kusu (石狩)※(沙流方言では keray が単独で用いられる他、kus keray と反対になる)、(表現)~のお蔭で、お蔭だから 名詞+renkayne kusu (石狩): (表現)~のお蔭で 名詞+irenka ne (石狩): (表現)神様のお蔭で kamuy renkayne (石狩)、(表現) kamuy koinkar (石狩)、(表現) kamuy keray kusu (石狩)、(表現) kamuy irenka ne (石狩): (表現)私のお蔭で、お蔭だから ku=renkayne kusu (石狩): (表現)~があるお蔭で、お蔭だから an keray kusu (石狩): ②(不幸の結果)[副]お蔭で emkosama (沙流)

おかしい (表現)おかしい、奇妙だ katkiko an (石狩): [自]おかしいと思う ioyamokte (石狩): [他]~をおかしいと思う oyamokte (石狩): [他]~と共に~をおかしいと思う kooyamokte (新): [他](原因、手段)で~をおかしいと思う ooyamokte (新): [他](人)に~をおかしいと思わせる oyamoktere (新)

おかしい(可笑しい) [自]可笑しい minarusuy (新): (表現)可笑しい mina rusuy (石狩): [他]~が可笑しい eminarusuy (新): (表現)~が可笑しい emina rusuy (石狩)

おかず [名]おかず ikoep (石狩): [他]~をおかずにする ikoe (石狩): [他]~をおかずに~を食べる koe (石狩)

おかだま(丘珠) [場名] 丘珠 Okkaytamacarpa (地名)※(本来は札幌市丘珠あたりにあった川の名)

おかね(お金) [名]お金 ikor (石狩)※(以前は icen が使われていたが、今は避けられている。今後 icen は「小銭」の意味で使う事

にする): (表現)お金が足りない ikor hayta (石狩): (表現)お金がない ikor isam (石狩): (表現)お金が全くない ikor oarisam (石狩)

オカピ (動物)[名](キリン科)オカピ属 okapicise (新): [名]オカピ okapi (新)

おがむ(拝む) [自]拝む onkami (石狩)※(浦河、釧路など道東では"onkamuy"): [他](場所)で拝む eonkami (新): [他](手段)で拝む eonkami (石狩): (表現)この尊き酒杯、神酒で拝む tan páse tuki kamuy-askor eonkami (石狩): [他]~を拝む koonkami (石狩): [他](原因、手段)で拝む oonkami (新): [他](人)に拝ませる onkamire (新): [自]拝み合う、皆で拝む uoonkami (石狩): (表現)(拜んで)何度も恭しく手を揉む otu sanaske ore sanaske uenoye (沙流): (表現)(拜んで)何度も恭しく手を上下する tu páse aske re páse aske epumpa (石狩)

オカメザサ(阿亀笹) (植物)[名](タケ亜科)オカメザサ属 sípontop-cise (新): [名]オカメザサの茎 sípontop (新)、[名]オカメザサの葉 sípontopham (新): [名]シバタエ・キネンシス atuyya-sipontop (新): [名]シバタエ・チャンシャネンシス canšan-sipontop (新): [名]シバタエ・ナンピンゲンシス nampin-sipontop (新)

オガラバナ(麻幹花) (植物)[名](カエデ属)オガラバナの茎 matnetopeni (美幌)

おがわ(小川) [名]小川 pompet (石狩)

おき(沖) ①[場名]沖 rep (石狩)、[場名]repke (新): [名]沖合 repunkur-atuy (石狩): ②[自]沖に行く、沖に向かう repun (石狩)、[自]erepun (新): [他]~を沖に行かせる、向かわせる repunka (石狩)、[他]repunte (新)、[他]erepunka (erepunte) (新): [副]沖に herepasi (石狩): ③[自]沖から来る orepun (新): [他]~を沖から来させる orepunka (orepunte) (新): [副]沖から horepasi (石狩): ④[連体]沖の repun (石狩)、[連体](常套句中 yáo と対で) répo(repo) (石狩): ⑤[他]~を沖にやる répoomante (石狩)、[他]réporaye (複数 reporaypa) (石狩): (表現)(炉の中の燵を奥へやったり手前へやったりしながら物思いに耽る様を描写した常套句) yáo usat répoomante répo usat yáoranke (石狩)、(表現) yáo usat réporaye répo usat yáoraye (石狩): ⑥[他]~を沖へ流す repunka (石狩): [他](中相)~が沖へ流される cirepunka (石狩): ⑦[他]~をぐっと沖へ出す、沖へ引っ張る repekatta (沙流)

おき(燠) [名] 燠 usat (石狩): (表現) 炉の中の燠を奥へやったり手前へやったりしながら物思いに耽る様を描写した常套句 yao usat repoomante repo usat yaoranke (石狩)、(表現) yao usat reporaye repo usat yaoraye (石狩)

おきあがる(起き上がる) [自] 起き上がる hopunire (複数 hopumpa) (石狩): [他](場所)で起き上がる ehopunire (複数 ehopumpa) (新): [他]〜と共に起き上がる kohopunire (複数 kohopumpa) (新): [他](原因、手段)で起き上がる ohopunire (複数 ohopumpa) (新): [他]〜を起き上がらせる hopunire (複数 hopumpare) (新): [自]ぱつと起き上がる、ちょっと起き上がる hopuntek (新): [他]〜をぱつと起き上がらせる、ちょっと起き上がらせる hopuntekka (新): [自]ぱつと起き上がる matkosanu (石狩)、[自] matkosampa (新): [他]〜をぱつと起き上がらせる matkosanure (新)

オキアジ(沖鯨) (魚介)[名](アジ科)オキアジ属 repunaji-cise (新): [名] オキアジ repunaji (新)

オキゴンドウ(沖巨頭) (動物)[名](シャチ亜科)オキゴンドウ属 kunnerepunkamuy-cise (新): [名] オキゴンドウ kunnerepunkamuy (新)※(別名「キュウリゴンゴウ」、「シャチモドキ」)

おきつかぜ(沖津風) [名] 沖津風 orepunrera (石狩)

おきて(掟) [名] 掟 irenka (石狩): (表現) 掟が厳しい irenka yupke (石狩): (表現) 掟が緩い irenka hawke (新)

オキナエビスガイ(翁恵比須貝) (魚介)[名](古腹足目)オキナエビスガイ科 atuykorkamuykotanuysey-apa (新): [名] オキナエビスガイ属 atuykorkamuykotanuysey-cise (新): [名] オキナエビス atuykorkamuykotanuysey (新): [名] ベニオキナエビス húreatuykorkamuykotanuysey (新): [名] ヒメオキナエビス属 moatuykorkamuykotanuysey-cise (新): [名] リュウグウオキナエビスガイ属 siatuykorkamuykotanuysey-cise (新)

オキナワスズメウリ(沖縄雀瓜) (植物)[名](ウリ科)オキナワスズメウリ属 okinawasurkuuripunkar-cise (新): [名] オキナワスズメウリの茎葉 okinawasurkuuripunkar (新)、[名] その果実 okinawasurkuuri (新)

おきにいり(お気に入り) (表現) お気に入りの

人 ku=eramasuy (ku=ramasu) kur (新)、(表現) ku=eyaykopuntek kur (新): (表現) お気に入りの物 ku=eramasuy (ku=ramasu) pe (新)、(表現) ku=eyaykopuntek pe (新)

おきのどくにお気の毒に [間投] お気の毒に yaynumen (石狩)、[間投] inunukaski (石狩): 「お気の毒に、あなた病気をしたそうだね。」 “Yaynumen, es=siyeye yak a=ye!”

おぎゃあおぎゃあ [自](赤子がおぎゃあおぎゃあと泣く rayayayse (石狩): [間投](赤子が泣く声)おぎゃあおぎゃあ owaa-owaa (幌別)

おきやくさま(お客) [名] お客様 marapto (maratto) (新): [名] 男性客 nispa (新): [名] 女性客 katkemmat (新)

おきる(起きる) ①(立ち上がる意味で)[自] 起きる hopuni (複数 hopumpa) (石狩): [他](場所)で起きる ehopuni (複数 ehopumpa) (新): [他]〜と共に起きる kohopuni (複数 kohopumpa) (新): [他](原因、手段)で起きる ohopuni (複数 ohopumpa) (新): ②(目を覚ます意味で)[自] 起きる mos (石狩)、[自](雅語) yaymososo (石狩): [他](場所)で起きる emos (新): [他]〜と共に起きる komos (新): [他](原因、手段)で起きる omos (新)

おく(奥) ①[位名]〜の奥 mak(長形-ke) (石狩)※(長形は沙流方言より): (表現)〜の奥に mak ta (石狩): [連体]奥の、奥にある makun (石狩): [自]奥へ向かう hemakasi (新): [副]奥へ向かって、奥へ hemakasi (新): [自]奥から来る homakasi (新): [副]奥から homakasi (新): [位名]〜のその奥 imak(長形-ake) (石狩): 「あの剥げ山のその奥に小さな沼がある。」 “Toan soskenupuri imak ta pon to an.”: [後副]〜のその奥に imak (石狩): ②(港湾に関して)[位名]〜の奥 asam(長形-a) (石狩): ③(穴に関して)[自]奥に向かう herawasi (新): [副]奥へ向かって、奥へ herawasi (石狩): [自]奥から来る horawasi (新): [副]奥から horawasi (新): ④[他]〜を奥へやる makoraye (石狩)、[他] maknaraye(makaraye) (新): [他]〜と共に〜を奥へやる komakoraye (新)、[他] komaknaraye (komakaraye) (新): [他](原因、手段)で〜を奥へやる omakoraye (新)、[他] omaknaraye (omakaraye) (新): [他](人)に〜を奥へやらせる makorayere (新)、[他] maknarayere

(makarayere) (新): [他](中相)〜が奥にやられる cimaknaraye (cimakaraye) (石狩)

おく(億) ①[名]億人 iknen (新): [名]十億人 wániknen (新): [名]百億人 atuytaiknen (新): [名]千億人 wánatuytaiknen (新): ②[名]億、億匹、億個など ik (新)※(10の8乗): (表現)一億一千百十一万一千百十一 sinep ikasma wampe ikasma sine atuyta ikasma sine wánatuyta ikasma sine moik ikasma sine wanmoik ikasma sine atuytamoik ikasma sine wánatuytamoik ikasma sine ik (新): [名]十億 wánik (新): [名]百億 atuytaik (新): [名]千億 wánatuytaik (新): ③[連体]億の ikne (新)、[連体] ik (新): (表現)一億人の女性 ikne menoko (ik menoko) (新)、(表現)一億匹の魚 ikne cep (ik cep) (新)、(表現)一億年 ikne pa (ik pa) (新): [連体]十億の wánikne (新)、[連体] wánik (新): [連体]百億の atuytaikne (新)、[連体] atuytaik (新): [連体]千億の wánatuytaikne (新)、[連体] wánatuytaik (新)

おく(置く) ①[自]物を置く ianu (新)、[自]iare (複数 irokte < irotte) (新)、[自]iama (新): [他]〜を置く anu (石狩)、[他] áre (複数 rokte < rotte) (石狩)、[他] ama (新)※(石狩方言では ama が最も一般的だが多義性故、今度 anu、áre を用いるようにしたい。以降派生形は anu に代表させる): [他](場所)に〜を置く eanu (新): [他]〜と共に〜を置く koanu (新): [他](原因、手段)で〜を置く oanu (新): [他](人)に〜を置かせる anure (新): [他]ぱっと〜を置く anutek (新): [他](人)にぱっと〜を置かせる anutekka (新): (表現)一か所に〜を置く sinean hi ta (sineanta) ~ anu (áre) (新)、(表現)sinean hi ta (sineanta) ~ ama (石狩): (表現)…の上に〜を置く … ka(長形-si、-sike) ta ~ anu (áre、ama) (新): (表現)…のそば、(横)に〜を置く … sam(長形-a、-ake) ta ~ anu (áre、ama) (新): (表現)〜を並べて置く usam ta ~ anu (áre、ama) (新): (表現)(雅)〜が宝壇の上に置かれる ioikir kurka cianukar (沙流): ②(容器の中に入れるや何かの上に載せるなどと言ひ換えられる)[他](場所)に〜を置く omare (石狩)、[他] o (石狩)※(場所に相当する言葉が名詞の場合位置名詞 or(長形-o)をその後に置く): [他]〜と共に(場所)に〜を置く koomare (新)、[他] koo (新): [他](原因、手段)で(場所)に〜を置く oomare

(新)、[他] oo (新): [他](人)に(場所)に〜を置かせる omare (新)、[他] ore (新)

おくがい(屋外) (場所)屋外 cise soy(長形-ke) (石狩): (表現)屋外で、屋外に cise soy(長形-ke) ta (石狩): (表現)屋外へ cise soy(長形-ke) ene (石狩): (表現)屋外から cisesoyke wa (石狩): [自]屋外に出る asin (複数 asip) (石狩、天塩)、[自]esoyne (石狩、天塩)、[自] soyne (天塩)、[自] sisoynaraye (複数 sisoynaraypa) (石狩): 沙流方言などでは複数形として "soyompa" がある。: (表現)屋外に出る soy(長形-ke) ta (ene) asin (複数 asip) (石狩、天塩)、(表現) soy ta soyne (天塩): [自]急に屋外に出る soyekatta (石狩)、[自] cisoyekatta (石狩): [自]パッと屋外に出る soyosma (石狩)、[自] esoykosanu (石狩): [自]屋外に飛び出す soyoterke (石狩): [自](大勢で一時に)どっと屋外に出る cisoyokuta (石狩)、[自] sisoyokuta (新): [他]〜を屋外に出す asinke (複数 asipte) (石狩、天塩)、[他] soynaraye (複数 soynaraypa) (沙流): (表現)〜を屋外に出す soy(長形-ke) ta (ene) asinke (複数 asipte) (石狩、天塩): [他](全て、あるいは大量の誰か、何か)をどっと屋外に出す soyokuta (石狩)

おくがた(奥方) [名]奥方 katkemat (石狩) ※(日本語と違い、妻に敬意を持っていれば他人に彼女の事を言う時使ってもおかしくない): (表現)私の奥方 ku=kor katkemat (石狩)

おくしり(奥尻) [場名](地名)奥尻島 Ikusir (新)、[場名] Ikusuysir (Ikusunsir) (新)

おくっていく(送って行く) [自]人を送って行く、来る irura (新): [他](人)を送って行く、来る rúra (石狩): [他](場所)へ送って行く、来る korura (石狩): [他](原因、手段)で(人)を送って行く、来る orura (新): [他](人)に(人)を送って行かせる、来させる rúrare (新): [他]人に〜を送って行かせる、来させる rúrayar (新): [自]人に行き送って行ってもらふ、来てもらふ sirurayar (新)

オクテット(コンピュ) [名]オクテット oktet (新)※(英語)

おくない(屋内) (表現)屋内 cise oske (石狩)、(表現) cise onnay(長形-ke) (石狩): [自]屋内に入る ahun (複数 ahup) (石狩)、[自] siawnaraye (複数 siawnaraypa) (新): (表現)屋内に入る cise oske ta (ene) ahun (複数 ahup) (石狩)、(表現) cise onnay(長形-ke) ta (ene) ahun (複数 ahup) (石狩): [他]〜を屋内に入れる sunke (複数 ahupte) (石狩)、[自] awnaraye (複数

awnaraypa) (沙流): (表現)~を屋内に入れる cise oske ta (ene) ahunke (複数 ahupte) (石狩)、(表現) cise onnay(長形) ta (ene) ahunke (複数 ahupte) (石狩): [自](神窓から)肉を屋内に運び込む ikokamahupte (石狩): [他](人)と一緒に神窓より肉を屋内に入れる kokamahupte (石狩): こうして迎え入れるのはクマなどパセカムイだけ。シカなどは人の出入口から "ahunke"「~を入れる」する。

おくのて(奥の手) [名]奥の手 kerepnoye (新)、[名] irurekap (新): 二つの語は共に矢毒の中で最強だが肉を痛めるので普段使わないもので、そこから見出しの意味に転用: 「普段のやり方でどうしようもないので、私は奥の手を使った。」"Ene ku=iki neno ku=ki yakka ene ku=kar hi ka isam kusu kerepnoye ku=eivanke ."

おくば(奥歯) [名]奥歯 makunnimak(i) (石狩)、[名] ikuynimak(i) (石狩)

おくび(嘘) [自]嘘が出る ikmawre (石狩)、[自] sekorke (天塩)

おくびょう(臆病) [自]臆病である ramusak (石狩)、[自] turamsak (天塩): [他]~に関して臆病である eramusak (新)、[他] eturamsak (新): [他]~と共に臆病である koramusak (新)、[他] koturamsak (新): [他](原因)で臆病である oramusak (新)、[他] oturamsak (新): [他](人)を臆病にさせる ramusakka (新)、[他] turasakka (新): [名]臆病な人 ramusakkur (石狩): [名]臆病者 ramusakpe (石狩): (表現)臆病者 cikirasama (ureasama) retar pe (新)

おくやま(奥山) [名]奥山 metot (石狩)、[名](雅) iwor (ihor) (石狩): (表現)奥山を越える metot oika (石狩): (表現)二つの奥山越えて三つの奥山越えてそこに飛ぶ tu metot oika re metot oika ehopuni (石狩): [名]奥山、奥山一体 metotso (metotco) (石狩)、[名] kimuyso (石狩)、[名](雅) iworso (石狩): (表現)奥山で kimuyso ka ta (沙流): (表現)奥山を歩く kimuyso kurka koapkas (石狩)

オクラホマ ①[場名](アメリカ合衆国の州名)オクラホマ州 Okrahoma-mosir (新): ②[場名](オクラホマ州の州都名)オクラホマシティ Okrahomašiti (新)

おくりぼう(送り棒) [名](厚司織の)送り棒 ahunkani (石狩)

おくりをする(送りをする) [自](飼い熊など)神の送りをする iomante (石狩)、[自] kamuy-opuni (空知): [他]~の送りをする omante (石狩)、[他] opuni (空知): [他]

しっかり~の送りをする pirkaopuni (空知): [他](イナウや供物など)と共に~の送りをする koopuni (空知): [他](頭骨を祀り)~の送りをする hopunika (opunika) (旭川): [他](山へ持って行って頭骨など)の送りをする opunire (旭川): [他](犬や道具類)の送りをする iwakte (石狩)

おくる(送る) ①(人から神や先祖に、あるいは人から人に物を送る事)[自]物を送る ieikra (新): [他]~を送る eikra (石狩): 「…色々な山菜でも何でも私は彼が去った後から(神の国へ)送る…」 "...usa okay rataskep nakka nep nakka osi an=eikra..." (杉村キナラブック)説話、「明日お前が私に金を送ってくれればいい。」 "Nisatta en=ekota ikor e=eikra yakun pirka .": [他](場所)で~を送る eeikra (新): [他](場所)へ~を送る、~と共に~を送る koeikra (新): [他](原因、手段)で~を送る oeikra (新): [他](人)に~を送らせる eikrare (新): ②(人や物を送る事)[自]人や物を送る iomante (新): [他]~を送る omante(複数 payere) (石狩): 「私は休みもなく賃金も安いとんでもない職場に送り込まれた。」

"Otta sini=an ka eaykap no puma ka pon usi ta , sonno ayapo neno an monraykeusi ta enci=omante .", 「一通の手紙を私は送りますよ。」 "Sine kampi ku=omante na ." (石山アツミヤシクル)手紙: [他](場所)へ~を送る koomante (新): [他]~と共に~を送る koomante (新): [他](原因、手段)で~を送る oomante (新): [他](人)に~を送らせる omantere (新): ③(去る人を送る事)[自]人を送る irura (unrura) (新): [他](人)を送る rúra (石狩): 「最近では悪戯する人がうろついているって言うから、あんたは女の子だから私在家まで送るよ。」

"Naun irarakur omanan yak a=ye kusu eani anakne menoko e=ne kusu e=kor cise ekota e=rura=an na .": [他](場所)へ~を送る korura (石狩): [他]~と共に~を送る korura (新): [他](原因、手段)で~を送る orura (新): [他](人)に~を送らせる rúrare (新): [他]人に~を送らせる rúrayar (新): [自]人に自分を送ってもらう sirurayar (新)

おくる(贈る) [他]~を贈る o m a n t e (石狩)、[他] siramkoomante (新): [他](人)に~を贈る koomante (新)、[他] eunkerayte (幌別): [自]贈り物を貰う unkeray (沙流): [他](贈り物として)~を貰う eunkeray (沙流): [名]贈り物 ciomantep (新)、[名] cieunkeraype (新)、[名] puresento (新)※(英語)

オグルマ(小車) (植物)[名](キク科)オグルマ属
karippokikukina-cise (新): [名]オグルマ
の茎葉 karippokikukina (新)、[名]その花
karippokiku (新): [名]オオグルマの茎葉
okusurine-karipkipikukina (新): [名]カ
セ ソ ウ の 茎 葉 hamusirasirak-
karippokikukina (新): [名]ホソバオグル
マ の 茎 葉 hamuane-karippokikukina
(新)※(オグルマの亜種): [名]ミズギクの茎
葉 nitatun-karippokikukina (新): [名]
ヨウシュオグルマの茎葉 repun-
karippokikukina (新)※(オグルマの亜種)

おくれる(遅れる) ①(行動が遅くて)[自]遅れる、
遅れている moyre (石狩): [他](場所)に
遅れる emoyre (新): [他]〜と共に遅れ
る komoyre (新): [他](原因、手段)で遅
れる omoyre (新): [他]〜を遅らせる
moyreka (moyrere) (新): (場所)で〜を
遅らせる emoyreka (emoyrere) (新):
〜と共に〜を遅らせる komoyreka
(komoyrere) (新): [他](原因、手段)で〜
を遅らせる omoyreka (omoyrere) (新):
[他]減茶苦茶〜を遅らせる toykomayreka
(toykomoyrere) (新): [副]遅れて
moyre(-no) (石狩): 「貴方はいつも遅れ
てくるなあ。」“Ramma es=moyre wa es=arki
ru an a .”: ②(時間に間に合わなかったり、
誰か何かに差をつけられる事を示し)[自]遅
れる、遅れをとる iorawki (iorawke) (石
狩): [他]〜に遅れる、遅れをとる orawki
(石狩)、[他] orawke (天塩): [他](場所)で
〜に遅れる、遅れをとる eorawki
(eorawke) (新): [他]〜と共に〜に遅れる、
遅れをとる koorawki (koorawke) (新):
[他](原因、手段)で〜に遅れる、遅れをとる
oorawki (oorawke) (新): [他](人)を〜に
遅れさせる、遅れをとらせる orawkire
(orawkere) (新): [他]自分で、一人で〜
に遅れる、遅れをとる yaykoorawki
(yaykoorawke) (新): [他]互いに、皆で〜
に遅れる、遅れをとる ukoorawki
(ukoorawke) (新): [他]減茶苦茶〜に遅
れる、遅れをとる toykoorawki
(toykoorawke) (新): ③(誰か何かの後に
行動する事を示し)[副]遅れて iosi (石狩):
[後副]〜から遅れて osi (石狩): 「君の乗
った電車が発し、私の乗った電車は5分そ
れから遅れて出発した。」“E=o imerukisa
oman wa ku=o imerukisa asikne pun osi
oman .”

おけ(桶) [名]桶 pon ontaro (天塩)、[名]
sisamnitus (新): [名](白樺の皮の)桶
nitus (石狩)

オケラ(白朮) (植物)[名](キク科)オケラ属

ukera-cise (新): [名]オケラの茎葉
ukera (新)※(根は漢方薬「白朮」): [名]オ
オバナオケラの茎葉 eporoukera (新):
[名]ホソバオケラの茎葉 hamuaneukera
(新)※(根は漢方薬「蒼朮」)

オコジョ (動物)[名](イタチ属)オコジョ
sácir (釧路)、[名] upascironnup (石狩):
亜種[名]エゾオコジョ yaun-sacir (新)※
(別名「エゾイタチ」): [名]ホンドオコジョ
samorun-sacir (新)※(別名「ヤマイタチ」)

おこす(起こす) ①(横になったものを立たせ
るの意味で)[他]〜を起こす asi (複数
roski) (新): [他](場所)で〜を起こす
easi (複数 eroski) (新): [他]〜と共に〜
を起こす koasi (複数 koroski) (新):
[他](原因、手段)で〜を起こす oasi (複数
oroski) (新): [他](人)に〜を起こさせる
asire (複数 roskire) (新): ②(人を立ち上
がらせる意味で)[他](人)をを起こす
hopunire (複数 hopumpare) (新):
[他](人)に(人)を起こさせる hopunirere (複
数 hopumparere) (新): ③(体などの部位
に関して)[他]〜を起こす puni (複数
pumpa) (石狩): (表現)〜が自分の上半身
を起こす noski pakno hepuni (沙流)、(表
現) yaypeyserke ~ puni (新): (表現)
〜が…の上半身を起こす … peyserke ~
puni (新): [他](人)に〜を起こさせる
punire (複数 pumpare) (新): ④(眠りか
ら目を覚まさせる意味で)[他]〜を起こす
mososo (石狩): [他](人)に〜を起こさせる
mososore (新): ⑤(ある事態を生じさせる
意味で)[他] ante (新): [他](人)に〜を起
こさせる antere (新)

おこす(興す) [他](国などを興す) kar (新):
(表現)国を興す mosir kar (新): [他](人)
に〜を興させる káre (新): [他]自分で、
一人で〜を興す yaykokar (新): [他]互
いに、皆で〜を興す ukokar (新): [他]人
に〜を興させる karar (新)

おこす(熾す) [自]火を熾す apeare (石狩):
(表現)火を熾す ape áre (石狩): [他](火)
を熾す áre (新): [他](場所)で(火)を熾す
eare (新): [他]〜と共に(火)を熾す
koare (新): [他](原因、手段)で(火)を熾す
oare (新): [他](人)に(火)を熾させる
árere (新)

おごそか(厳か) [連体]厳かな ratci (石狩):
(表現)厳かな祭礼 ratci newsar (石狩):
[副]厳かに ratcitara (石狩)

おこってでていく(怒って出て行く) [自]怒って
出て行く ikesuy (石狩): [他]〜と共に怒
って出て行く koikesuy (新): [他](場所)
から怒って出て行く oikesuy (新):

[他](原因、手段)で怒って出て行く oikesuy (新): [他](人)を怒って出て行かせる ikesuyre (新)

おこない(行い) (表現)~の行い ~ kor puri (石狩)、(表現) ~ ki p (石狩): 「以前お前の行いが悪かったと人は言う。」 “Teeta e=kor a puri wen yak a=ye .”: [自]行いが良い pirkapurikor (石狩): [自]行いが悪い wempurikor (石狩)

おこりじょうご(怒り上戸) [名]酔うと短気になる酒癖 sake-sakanram(-i) (沙流)、[名] iku-sakanram(-i) (新): [自]怒り上戸である sakesakanramkor (新)、[自] ikusakanramkor (新): [名]怒り上戸 sakesakanram-korkur (新)、[名] ikusakanram-korkur (新)

おこりっぽい(怒りっぽい) [自]怒りっぽい etucikere-kewtumkor (新): [他](人)を怒りっぽくする etucikere-kewtumkore (新): [名]怒りっぽい性格 etucikere-kewtum(-u) (新): [名]怒りっぽい人 etucikere (萱)

おこる(1)(起こる) [自]起こる、起こっている an (石狩)、[自] siante (新)、[自] saun (新): 日本語の「起こる」が必ずしも先の語で表せるとは限らないので注意: 「事件は会議室で起きてるんじゃない! 現場でおこってるんだ!」 “Rorumpe anak cieukoitakkartumpu otta an somo ne! Sino otta an hi ta an ruwe ne!”: [他](場所)で起こる ean (新)、[他] esaun (新): [他]~と共に起こる koan (新)、[他] kosaun (新): [他](原因、手段)で起こる oan (新)、[他] osaun (新)

おこる(怒る) [自]怒る iruska (石狩)、[自](雅) siante (石狩): (表現)(雅)怒りの気持ち腹立ちの気持ちを抱く iruska kewtum yaykorpore (石狩): (表現)(雅)怒りの気持ちを抱く iruska kewtum siante kewtum yaykorpore (石狩): [他](人)に対して怒る koiruska (石狩): [他](何かの事)で怒る ruska (石狩): [他](何かの事)で(人)に対して怒る koruska (石狩): [自]滅茶苦茶怒る toykoiruska (新): [他](人)を怒らせる iruskare (石狩): [他](人)に対して(人)を怒らせる koiruskare (新): [他](何かの事)で(人)を怒らせる ruskare (新): [他](人)に対して(何かの事)で(人)を怒らせる koruskare (新): [他]自分に対して(人)を怒らせる sikoiruska (石狩): [自]皆を怒らせる uiruskare (新): [他](何かの事)で皆を怒らせる uruskare (新): (表現)私の心臓がめらめら怒りの炎を上げる ku=atte

sampe en=korikiparse kane (新)※(沙流)

おさ(長) [名]長 netopa (netopake) (石狩)、[名] sapanekur (石狩): [自]長になる、である sapane (石狩): [他](場所)で長になる、である esapane (石狩): [他](原因、手段)で長になる、である osapane (新): [他](人)を長にする sapanere (sapaneka) (新)

おさ(箴) [名](厚司織に使う)箴 wossa (石狩)

おさえ(綜紵) [名](厚司織に使う)綜紵 pekaunni (石狩)

おさえつける(押さえ付ける) ①(平らにするため)[他]~を押さえ付ける rari (複数 rarpa) (石狩): ②(両手で動かないように)[他]~を押さえ付けもる kisma (石狩): [他]~をぐっと押さえ付ける sirekatta (沙流)

おさえる(押える、抑える) ①(物に何らかの力や重みを加える事を示し)[他]~を押える rari (複数 rarpa) (石狩): [他](場所)で~を押える erari (複数 erarpa) (新): [他]~と共に~を押える korari (複数 korarpa) (新): [他](原因、手段)で~を押える orari (複数 orarpa) (新): [他](人)に~を押えさせる rarire (複数 rarpore) (新): ②(両手で動かないようにする事を示し)[他]~を押さえる kisma (石狩): [他](人)に~を押さえさせる kismare (新): [自]自分を押える yaykismare (新): [自]皆を押さえる ukismare (新): [他]自分で、一人で~を押える yaykokisma (新): [他]互いに、皆で~を押える ukokisma (新): [他]しっかり~を押える toykokisma (新): ③(体の一部に手を当てる事を示し)[他]~を押える temka (石狩): [他](人)に~を押えさせる temkaka (新)、[他] temkare (新): ④(痛みに関して)[他]~を抑える rari (複数 rarpa) (石狩): (表現)痛みを抑える arka rari (石狩)

おさなく(幼く) [自]幼くなる、幼い pon (石狩)、[自] nokan (石狩): 幼くなるは物理的にはないが、今後」あの人は偉そうにしてるけど、家では幼くなって奥さんに甘えているんだって。” “Neakur tono neno iki kane an korka kor cise otta pon wa kor menoko kosiponere yak a=aye .” などと使っていく。

おさなご(幼子) [名]幼子 pompo (新)、[名] pompe (石狩)

おさなづま(幼妻) [名](雅語)幼妻 turesmat(-ci) (石狩)、[名](雅語) tures(-i) (石狩)

おさめる(治める) [自]治める yayetunus (千歳): [他]~を治める eyayetunus (新)、[他] kor (石狩): [他](場所)で治める

eyayetunus (新): [他]〜と共に治める
 koyayetunus (新): [他](原因、手段)で治める
 oyayetunus (新): [他](人)に治めさせる
 yayetunuska (yayetunuste) (新)、
 [他] yayetunuskar (新): [自]自分で、一人で治める
 yaykoyayetunus (新): [自]互いに、皆で治める ukoyayetunus (新)
おさん(お産) [自]お産する usapte (石狩)、
 [自] nuwap (沙流)
おし(唾) [名]唾、唾である事 somoitak (石狩):
 [名]唾、唾の人 somoitakkur (新):
 [名]唾、唾である者 somoitakpe (石狩):
 [自]唾である somoitak (石狩)
おじ(叔父、伯父、小父) ①(父の兄)[名]おじ
 kewsut(-u) (石狩)※(父の弟について不明だが、当面こちらも kewsut としておく):
 (母の男兄弟)[名]おじ acapo (石狩): [名]
 叔父 poroaca (天塩): [名]伯父 pónaca (天塩):
 [名](雅語)叔父、伯父 kewsut(-u) (石狩)、
 [名] aca (石狩)※(天塩では常用語も aca):
 ②(血縁がない年上の男性)[名]小父 acapo (石狩)
おしあてる(押し当てる) [他](場所)に〜を押し当てる
 rarire (石狩)※(tekrarire「〜を手で押し当てる」の構成要素)、
 [他] rarikar (新): [他](人)に(場所)に〜を押し当てさせる
 rarikare (新)
おいしい(惜しい) [間投](物惜しみして)惜しい
 cikari (石狩)※(今後チャンスを逃して惜しいと言う時にも使う事とする)
おじさん(お爺さん) ①(親族名称)[名]お爺さん
 ékasi (石狩、天塩): (表現)私のお爺さん
 ku=kor ékasi (石狩): [名](常)お爺さん
 henke (天塩): ②(老翁)[名]お爺さん
 ékasi (石狩)、[名] onnekur (石狩)、
 [名] cóca (天塩)、[名] onneaca (天塩):
 [名](悪)爺 onnep (石狩)
おしえる(教える) ①[自]人を教える ipakasnu
 (石狩)、[自] icakasnu (新): [他](人)を教える
 pakasnu (石狩)、[他] cakasnu (天塩)、
 [他] cakoko (浦河、十勝): [他]〜について(人)を教える epakasnu (石狩)、
 [他] ecakasnu (天塩)、[他] ecakoko (浦河、十勝):
 [他](場所)で(人)を教える epakasnu (ecakasnu) (新):
 [他]〜と共に(人)を教える kopakasnu (kocakasnu) (新):
 [他](原因、手段)で(人)を教える opakasnu (ocakasnu) (新):
 [他](人)に(人)を教えさせる pakasnure(cakasnure) (新):
 [他]自分で、一人で(人)を教える yaykopakasnu (yaykocakasnu) (新):
 [他]皆で(人)を教える ukopakasnu (ukocakasnu) (新):
 [他]充分(人)を教える pakasnuno (cakasnuno) (新)、
 [他] pakasnunu

(cakasnunu) (新): [他]しっかり(人)を教える
 pirkapakasnu (pirkakakasnu) (新):
 [他]真剣に(人)を教える ramkopakasnu (ramkocakasnu) (新):
 [他]がっちり(人)を教える、ぎゅーぎゅー(人)を教える
 toykopakasnu (toykocakasnu) (新):
 [他]完璧に(人)を教える earpakasnu (eatcakasnu) (新):
 [他]ほとんど(人)を教えない、ろくに(人)を教えない
 canampakasnu (canancakasnu) (新):
 ②[自]全く知らない事を教える yayrap (新):
 [他]〜について全く知らない事を教える eyayrap (新):
 [他](人)に全く知らない事を教える koyayrap (新):
 [他]〜について(人)に全く知らない事を教える ekoyayrap (美幌):
 [他](人)に全く知らない事を教えさせる yayrapka (yayrapte) (新):
 [名]教え cieyayrappe (新)、
 [名] yayrap (新)

おじけづく(怖気づく) [自]怖気づく ramucuptek (石狩):
 [他](場所)で怖気づく eramucuptek (新):
 [他]〜と共に怖気づく koramucuptek (新):
 [他](原因、手段)で怖気づく oramucuptek (新):
 [他](人)を怖気づかせる ramucuptekka (新):
 [副]怖気づく事なく ramucupteksakno (新)

おしこむ(押し込む) [他]〜を(場所)に押し込む oranrani (沙流):
 (表現)(雅)(陰毛が生え揃って)今こそは我小袖を一物の根元に(隠すため)押し込む程に我はなりつつ tane anakne an=mi kosonte sisisutpo an=oranrani pakno okay=an kor (新)※(沙流)

おしずらす(押しずらす) [他]〜を押しずらす rutu (石狩):
 [他](場所)で〜を押しずらす erutu (新):
 [他]〜と共に〜を押しずらす korutu (新):
 [他](原因、手段)で〜を押しずらす orutu (新):
 [他](人)に〜を押しずらさせる ruture (新):
 [他]自分で、一人で〜を押しずらす yaykorutu (新):
 [他]互いに、皆で〜を押しずらす ukorutu (新):
 [他]すっかり〜を押しずらす oanrutu (anrutu) (新):
 [他]思い切り〜を押しずらす toykorutu (新):
 [他]人にも押しずらさせる、してもらおう rutuyar (新):
 [他]ぱっと〜を押しずらす ruttekka (新):
 [他]〜をぐいぐい押しずらす rututu (石狩)、
 [他] ruturetu (新)、
 [他] ruttutu (石狩)

おしたおす(押し倒す) [自]地面に押し倒される cisirekatta (新):
 [他]〜を地面に押し倒す sirekatta (幌別):
 (表現)〜の脛に我が足を絡め仰のけに地面に押し倒す pokin-neikiri an=ocinkonoye kuttokono

an=sirekatta (新)※(幌別): [自]ベットの上に押し倒される cisetkaekatta (新): [他]~をベットの上に押し倒す setkaekatta (新): [自]床(ゆか)に押し倒される cisokaekatta (新): [他]~を床に押し倒す sókaekatta (新)

おしつける(押し付ける) [自]ものをぐっと押し付ける isirekatta (新): [他]~をぐっと押し付ける sirekatta (沙流): (表現)(雅)床に~をぐっと押し付ける amso kata ~ sirekatta (沙流)

おしっこ [名](幼児語)おしっこ sísi (石狩) ※(女性もこの語を使った): (表現)おしっこする sísi ki (石狩)

おしつぶす(押し潰す) [他]~を押し潰す yaku(複数 yakpa) (石狩): (場所)で~を押し潰す eyaku(複数 eyakpa) (新): [他]~と共に~を押し潰す koyaku(複数 koyakpa) (新): [他](原因、手段)で~を押し潰す oyaku(複数 oyakpa) (新): [他](人)に~を押し潰させる yakure(複数 yakpare) (新): [他]自分で、一人で~を押し潰す yaykoyaku(複数 yaykoyakpa) (新): [他]互いに、皆で~を押し潰す ukoyaku(複数 ukoyakpa) (新): [他]完全に~を押し潰す oaryaku(複数 oaryakpa) (新)、[他] aryaku(複数 aryakpa) (新): [他]滅茶苦茶~を押し潰す toykoyaku(複数 toykoyakpa) (新): [他]人に~を押し潰させる、押し潰してもらう yakuyar(複数 yakpayar) (新): [自]人に自分を押し潰させる siyakuyar(複数 siyakpayar) (新): [他]ぱっと~を押し潰す yaktekka (新)

おしのける(押し退ける) (表現)人を押し退ける ioputuye wa isisamkoraye (複数 ioputuywa wa isisamkoraypa) (新): (表現)(人)を押し退ける oputuye wa sisamkoraye (複数 oputuywa wa sisamkoraypa) (新): 「私は通行人を押し退けてその男を追った。」“Ru ka peka apkas utar ku=oputuywa wa ku=sisamkoraypa kane ne okkayo ku=nospa .”

おしひらく(押し開く) [他]~を押し開く masa (石狩)※(目下単独の用例は見られぬが今後使っていく): [他](場所)で~を押し開く emasa (新): [他]~を共に押し開く komasa (新): [他](原因、手段)で~を押し開く omasa (新): [他](人)に~を押し広げさせる masare (新): [他]~をぐいぐい押し開く masasa (石狩)、[他] masamasa (新)

おしべ(雄蕊) [名]雄蕊 pinne-apappoci (新)

おしぼり(お絞り) [名]お絞り tekaskannep

(新)、[名] tekpirpap (新)

おしむ(惜しむ) ①(人に与えたくない事を示し)[自]物を惜しむ ieunara (iemnara) (新)、[自] iniskupa (新)、[自] cikari (石狩)、[自] cipepta (石狩): [他]~を惜しむ eunara (emara) (石狩)、[他] niskupa (石狩)、[他] ecikari (石狩): [他](人)に~を惜しませる eunarare (emnarare) (新)、[他] niskupare (新)、[他] ecikarire (新): [自]食べ物を惜しむ、惜しんで隠す ipecikari (石狩): ②(後悔する事を示し)[他]~を惜しむ eosiwen (天塩): [他](人)に~を惜しませる eosiwente (新): ③(亡くした人、失くした物に関して)[自]人や物を惜しむ ioskor (新): [他]~を惜しむ oskor (石狩)※(石狩方言では目下物に関しての用例はないが、今後他方言に倣ってこの意味も加える): [他](人)に~を惜しませる oskore (新)

おしやぶり [名]おしやぶり tekkotpe (石狩)

おしやべり [自]おしやべりである paroruy (沙流): (表現)燃え尻の火が炉縁に燃え移るぞ(こいつはおしやべりだからあまり詳しくいうなという意味の隠語) apekes oyao na (沙流)

おしやる(押し遣る) [他]~を押し遣る rutu (石狩): [他]~をぐいぐい押し遣る ruttutu (石狩) → 詳細は「おしずらす(押しずらす)」を見よ

おしやれ [自]おしやれする yaykarkar (石狩): [他](人)におしやれさせる yaykarkare (新): [自]皆でおしやれする ukoyaykarkar (新)

おじょうさま(お嬢様) [名] お嬢様 sasusirmenoko (石狩)

オシヨロコマ (魚介)[名](イワナ属)オシヨロコマ osorkoma (C)※(別名「カラフトイワナ」)

オジロジカ(尾白鹿) (動物)[名](シカ科)オジロジカ属 oretaryuk-cise (新): [名]オジロジカ oretaryuk (新): [名]オグロジカ okunneyuk (新)※(ミュールジカの亜種): [名]ミュールジカ ummaunukorpeyuk (新)

おす(押す) [他]~を押す oputuye (複数 oputuywa) (新)※(複数形は沙流方言より)、[他] opituye (天塩): (表現)(静止した)~の背中を押す ~ osmak(長形-e) wa(-no) oputuye(複数 oputuywa) (新): (表現)(動く)~の背中を押す ~ oka(長形-ke) wa(-no) oputuye(複数 oputuywa) (新): [他](場所)で~を押す eoputuye(複数 eoputuywa) (新): [他](場所)へ~を押す kooputuye(複数 kooputuywa) (新): [他]

～と共に～を押す kooputuye (複数 kooputuypa) (新): [他](原因、手段)で～を押す ooputuye (複数 ooputuypa) (新): [他](人)に～を押させる oputuyere (複数 oputuypare) (新): [他]自分で、一人で～を押す yaykooputuye (複数 yaykooputuypa) (新): [他]互いに、皆で～を押す ukooputuye (ukooputuypa) (新): [他]ぱっと～を押す oputuytek (新): [他]ぱっと(人)に～を押させる oputuytekka (新): [他]ひどく～を押す toykooputuye (toykooputuypa) (新): [他]指で～を押す askepetooputuye (複数 askepetooputuypa) (新)

おす(雄) [名](抽象的な)雄 pinnep(-i) (新): [自]雄になる、である pinnepne (新): [連体]雄の pinne (石狩): 多くの生物では「pinne+生物名」で「雄の～」を表すが、中には熊、鹿など主要な獣や鮭などの魚などのように性別(年齢)による特別な語彙を持つものがあるので注意。

おすい(汚水) [名]汚水 icakkerewakka (新): [名]汚水槽 icakkerewakkaop (新)

おすそわけ(お裾分け) [名]お裾分け imek (石狩): [自]お裾分けする imekani (石狩)、[自] imekanu (石狩)、[自] ipuni (石狩): [自]～をお裾分けする eimekani (新)、[他] eimekanu (新)、[他] eipuni (新): [他](人)にお裾分けする imekkan (石狩)、[他] koimekani (新)、[他] koimekanu (新)、[他] koipuni (新): [他]～と共にお裾分けする koimekani (新)、[他] koimekanu (新)、[他] koipuni (新): [他](原因、手段)でお裾分けする oimekani (新)、[他] oimekanu (新)、[他] oipuni (新): [他](人)にお裾分けさせる imekanire (新)、[他] imekanure (新)、[他] ipunire (新)

オスマン (歴史)[場名](国名)オスマン帝国 Osman Ipawetenkekurkormosir (新)※(1299-1922年。首都は「イスタンブール」): [名]オスマン家 Osman utar (新)※(王朝の開祖オスマン・ベイに因む): [名]オスマン語 osmanitak (新)

オスミウム [名]オスミウム osmium (新)※(原子番号76番。元素記号 Os)

オスロー [場名](ノルウェー王国の首都)オスロー Osro (新)

オセアニア [場名](地名)オセアニア Oseania (新)

オセアニアアマガエル (動物)[名](アマガエル科)オセアニアアマガエル亜科 oseaniakoekokep-moapa (新): [名]アメガエル属 austorarianikoekokep (新):

[名] キュクロラナ属 wakkasakrusuykoekokep-cise (新): [名] ニュクティミュステス papuakoekokep-cise (新)

おせじ(お世辞) [名]お世辞の言葉 panoreitak (新): [名] panore (萱): [自]お世辞を言う panore (新): [他]～についてお世辞を言う epanore (新): [他](場所)でお世辞を言う epanore (新): [他](人)にお世辞を言う kopanore (新): [他]～と共にお世辞を言う kopanore (新): [他](原因、手段)で、お世辞を言う opanore (新): [他](人)にお世辞を言わせる panore (新): [自]自分で、一人でお世辞を言う yaykopanore (新): [自]互いに、皆でお世辞を言う ukopanore (新): (表現)お世辞が上手い panore easkay (萱): [名]お世辞を言う人 panorekur (新): [名]お世辞を言う奴 panorep (萱)

オセツト [名]オセツト人 osetinkur (新): [名]オセツト語 osetinkur-itak (新)

オセロット (動物)[名](ネコ亜科)オセロット属 okerot-cise (新): [名]オセロット okerot (新): [名]コドコド kodokodo (新): [名]コロコロ korokoro (新)※(英語): [名]ジャガーネコ mojuagar (新)※(別名「タイガーキャット」): [名]ジョフロイネコ geofroy-mekot (新): [名]パンタナルネコ pantanar-mekot (新): [名]パンパスネコ pajero-mekot (新)※(パジェロ猫)、[名] pampas-mekot (新): [名]マーゲイ margay (新)※(英語)、[名] nimu-okerot (新)※(木登りオセロット)

おせん(汚染) [自]物を汚染する iicakkereka (iicakkerere) (新): [他]～を汚染する icakkereka (icakkerere) (新)、[他] icakkere (石狩): [他](場所)で～を汚染する eicakkereka (eicakkerere) (新): [他]～と共に～を汚染する koicakkereka (koicakkerere) (新): [他](原因、手段)で～を汚染する oicakkereka (oicakkerere) (新): [他](人)に～を汚染させる icakkerekare (新): [他]ひどく～を汚染する toykoicakkereka (toykoicakkerere) (新): [自]汚染される siicakkereka (siicakkerere) (新): [他](中相)汚染される ciicakkereka (ciicakkerere) (新)

おそいかかる(襲いかかる) [自]襲いかかる hopuni (複数 hopumpu) (新): [他](場所)で襲いかかる ehopuni (複数 ehopumpu) (新): [他]～に襲いかかる kohopuni (複数 kohopumpu) (石狩): [他]～と共に襲いかかる kohopuni (複数 kohopumpu) (新): [他](原因、手段)で襲いかかる ohopuni

(ohopumpa) (新): [他](人)に襲いかからせる hopunire (hopumpare) (新): [自]自分で、一人で襲いかかる yaykohopuni (複数 yaykohopumpa) (新): [自]皆で襲いかかる ukohopumpa (新): [自]ぱっと襲いかかる hopuntek (新): [他]ぱっと(人)に襲いかからせる hopuntekka (新): [他]激しく襲いかかる toykohopuni (複数 toykohopumpa) (新)

おそう(襲う) ①[他]～を襲う kocorawki (石狩)、[他] koyki (石狩): [他](場所)で～を襲う ekocorawki (新): [他]～と共に～を襲う kokocorawki (新): [他](原因、手段)で～を襲う okocorawki (新): [他](人)に～を襲わせる kocorawki (新): [他]自分で、一人で～を襲う koyaykocorawki (新): [他]皆で～を襲う koukocorawki (新): [他]激しく～を襲う kotoykocorawki (新): ②(男が女を性的に)[他](婉曲的に)襲う rara (石狩)、[他] ki (石狩)

おそく(遅く) [自]遅いになる、遅い moyre (石狩): 石狩川筋では動作の速度も時間についてもこの語を使う: 「私は食べるのが遅い。」"Ku=ipe moyre .", 「もう遅いから泊っていきなさい。」"Tane moyre kuses=rewsi yak pirka .": [自](生まれつき)足が遅い siwente (石狩): 怪我などで言う場合「走れない」"hoyupu eaykap"、"歩けない" "apkas eaykap"などと言う。今後「走るのが遅い」"hoyupu moyre"、"歩くのが遅い" "apkas moyre"と言ってもいいだろう: (表現)遅かれ早かれ moyre tunas (石狩): [他]～を遅くする moyreka (天塩)、[他] moyrere (新): [他](人)に～を遅くさせる moyrekare (新): [副]遅く moyre(-no) (石狩): [名]足が遅い人 siwentekur (新)

おそれる(1)(恐れる) [自]恐れる isitoma (石狩)、[自] ihoma (新): [他]～を恐れる sitoma (石狩)、[他] homa (石狩): [他](場所)で～を恐れる esitoma (新): [他]～と共に～を恐れる kositoma (新): [他](原因、手段)で～を恐れる ositoma (新)、[他] esitomakar (石狩): [他](人)に～を恐れさせる sitomare (石狩)、[他] homare (新): [他]自分で、一人～を恐れる yaykositoma (新): [他]互いに、皆で～を恐れる ukositoma (新): [他]死ぬほど～を恐れる raysitoma (新): (表現)死ぬほど恐れる ray pakno sitoma (新): [他]涙を流して～を恐れる ciskositoma (新): [他]悲鳴を上げて～を恐れる rayaykositoma (新): [他]滅茶苦茶～を恐れる toykositoma (新)

おそれる(2)(畏れる) [自]畏れる oripak (石狩): [他]～を畏れる eoripak (石狩)、[他] kooripak (天塩): [他]～と共に畏れる kooripak (新): [他](原因、手段)で畏れる ooripak (新): [他](人)に恐れさせる oripakka (oripakte) (新): [他]自分で、一人～を畏れる yaykoooripak (新): [自]皆で～を畏れる ukoooripak (新): [自]心から畏れる ramkoooripak (新): [他]死ぬほど畏れる rayoripak (新): [自]充分畏れる oripakno (oripaknu) (新): [自]強く畏れる toykoooripak (新): [副]畏れて oripakno (新): (表現)畏れて oripak kane (石狩)、(表現) oripak kor (石狩)、(表現) oripak tura(-no) (石狩): [後副]～を畏れて eoripakno (新)、[後副] kooripakno (新): [他](中相)畏れ多い cieoripak (cikooripak) (新): [他](中相)とても畏れ多い cisieoripak (cisikooripak) (新): (表現)畏れ多い物 a=koooripak pe (天塩)

おそろしい(恐ろしい) ①(人を主語にして)[自]恐ろしい isitoma (石狩): [他]～が恐ろしい sitoma (石狩)、[他] homa (石狩): 「私はお前が恐ろしい。」"E=sitoma=an .": [他](中相)恐ろしい cisitoma (新)、[他](中相) cihoma (石狩): (表現)恐ろしい an=sitomare (ay=isitomare) (石狩): (表現)恐ろしい人間 an=homa aynu (石狩): ②(物事を主語にして)[自・間投]恐ろしい oyoyopo (石狩)、[自] iisitomare (新): 「全く恐ろしい姿だぞ!」"Oyoyopo ta siri ne na!": ③[自]恐ろしい目に遭う yaykemusi (石狩)

おだいに(お大事に) ①(病氣の人に対する言葉)(表現)(目上などへの丁寧な言葉)お大事にして下さい yayeyamna okay wa en=kore yan (石狩): (表現)(目下の相手への言葉) yayeyam ya (石狩)、(表現) yayeyamna an ya (石狩): (表現)(女同士や大人から子供への言葉)お大事にね yayeyam ani (石狩)、(表現)(石狩): ②(くしゃみした人にかける言葉)[間投]お大事に sikoncikor (石狩)、[間投] sikotaci (石狩)

おたまじゃくし(お玉杓子) ①(調理器具「お玉」)[名]お玉杓子 esikarikasup (新)、[名] kasup (石狩): ②(カエルの幼生)[名]オタマジャクシ ekasupne (石狩)

おだやか(穏やか) ①(天候気候について)[自]穏やかになる、穏やかである hawke (石狩)、[自] tontek (石狩): (表現)風が穏やかになる、である rera hawke (石狩)、(表現)海が穏やかになる、である atuy tontek (石狩): [他]～を穏やかにする hawkeka

(hawkere) (新)、[他] tontekka (新):
 ②(性格について)[自]穏やかになる、穏やかである hawkere (石狩)、[自] siroma (石狩): [他]～を穏やかにする hawkeka (hawkere) (新)、[他] siromare (新):
 ③(雅語表現として)[副]穏やかに ratcitara (ratciitara) (石狩): [連体]穏やかな ratci (石狩): (表現)穏やかな気持ち ratci keytum (石狩)、(表現)(子熊の)穏やかな遊び ratci sinot (石狩)、(表現)穏やかな暮らし ratci sukup (石狩): ④[副]穏やかに hawkeno (石狩)、[副] hawkere (石狩): (表現)穏やかに語る hawkere(-no) (石狩)

おたる(小樽) [場名]小樽 Otarunnay (石狩)、[場名] Otausnay (石狩)

オタワ [場名](カナダの首都名)オタワ Ottawa (新)

おちあい(落合) [場名](川の合流点)落合 peteukopi (石狩)、[名] petanu (石狩)、[名] petaw(-e) (新): (表現)(雅)二股になった川があり、川尻が出会う所に tupetne pet an pétouekari hi ta (新)

おちこむ(落ち込む) (表現)(気分が)落ち込む katka konna rennatara (沙流): 「私は落ち込んで食事したくもない。」“Ku=katka konna rennatara wa ku=ipe rusuy ka somo ki.”

おちついている(落ち着いている) ①(性格に関して)[自]落ち着いている oukurkire (石狩)、[自] siroma (石狩)、[自] siromatara (沙流): [他](人)を落ち着かせる oukurkire (新)、[他] siromare (新):
 ②(心の状態に関して)[自]落ち着いている siroma (石狩)、[自] siromatara (沙流)、[自] ramositciwre (沙流): [他](人)を落ち着かせる siromare (新)、[他] ramositciwrere (新): [自]自分の心を落ち着かせる yaysittekka (沙流): [他]～に関して自分の心を落ち着かせる eyaysittekka (新): ③(機嫌をとって心を落ち着けさせる)[自]気が落ち着く siramritenka (新)、[自] siramukarkar (新): [自]人の気を落ち着かせる iramritenka (新)、[自] iramukarkar (新): [他]～の気を落ち着かせる ramritenka (八雲)、[他] ramukarkar (美幌): [他](人)に～の気を落ち着けさせる ramritenkare (新)、[他] ramukarkare (新): [自]気を落ち着け合う uramritenka (新)、[自] uramukarkar (新): ④[自]落ち着いて考える kewtumositciwre (石狩): [他]～を落ち着いて考える ekewtumositciwre (新): [他](人)に落ち着

いて考えさせる kewtumositciwrere (新)
おちぶれる(落ちぶれる) [自]落ちぶれる yaywente (石狩): [他](場所)で落ちぶれる eyaywente (新): [他]～と共に落ちぶれる koyaywente (新): [他](原因、手段)で落ちぶれる oyaywente (新): [他](人)を落ちぶれさせる yaywentere (新)、[他] yaywentekar (新): [他]自分で、一人でおちぶれる yaykoyaywente (新): [他]互いに、皆で落ちぶれる ukoyaywente (新): [他]ひどく落ちぶれる toykoyaywente (新): [名]落ちぶれた人 yaywentekur (天塩)

おちる(落ちる) ①(人や物に関して)[自]落ちる hatcir (石狩)、[自] hácir (天塩): [他](場所)で落ちる ehacir (新): [他](場所)へ落ちる kohatcir (新): [他]～と共に落ちる kohatcir (新): [他](場所)から落ちる、(原因、手段)で落ちる ohatcir (新): ②(水滴、滝、花や葉に関して)[自]落ちる ran (複数 rap) (石狩): ③(水滴に関して)[自](滴り)落ちる cik (石狩): ④(滝に関して)[自]落ちる ratki (石狩): ⑤(花や葉、土や箕にかけられた物などに関して)[自](切れ)落ちる、(箕にかけられ)落ちる tuy (石狩): ⑥[自]滑り落ちる、(吹き)飛んで落ちる、(何かに付いていた物が)取れて落ちる tusse (石狩)、[自] turse (沙流)

おっ [間投](驚いた時に発する声)おっ hot (幌別)※(こう声を発した後"sietuuyna"「自分の鼻を掴む」という)

おつきさま(お月様) [名] お月様 kunnecupkamuy (石狩)、[名] cupkamuy (十勝): 「六つの村を越えて額を突き出してるもの何だ?」「お月様」「Iwan kotan kama kip etukka p nep ta an?」「Cupkamuy .」(謎々: 幌別)、六つの山を越えて見ているのは何だ?」「お月様。」「Iwan nupuri oika inkar pe nep ta an?」「Cupkamuy .」(謎々: 十勝)

おっと(夫) ①[名]夫 hoku (石狩)、[場名](雅)sopa (石狩): (表現)～の夫 ～ kor kur (石狩): [自]夫を持つ、夫がいる hokukor (石狩): [自]夫がいない hokusak (石狩): [名](雅)夫の女兄弟 cisekossapo (石狩): ②(呼びかけ)[名]夫 hokunispa (石狩)、[名] síhoku (石狩): (表現)～の夫 ～ konnispa (石狩)、(表現)(雅)～ ante hoku (石狩)、(表現)～ hekote hoku (沙流)

オットセイ(鰐甲鰐) (動物)[名](アシカ科)オットセイ亜科 unew-moapa (新): [名]オットセイ亜科の動物の総称 unew (八雲): [名]キタオットセイ属 koykaununew-cise (新): [名]キタオットセイ koykaununew

(新): [名]ミナミオットセイ属
 koypokunnew-cise (新): [名]ナンキョク
 オットセイ koypokkesunew (新)

おっぱい ①(幼児語で乳房を指し)[名]おっぱい totto (石狩): ②(幼児語で乳汁を指し)[名]おっぱい mamma (石狩): (表現)おっぱいを飲む mamma ku (石狩)

おつゆ(お汁) [名]お汁の全体、あるいは具 rur(-i) (石狩): [名](具がない)お汁、煮汁 ohaw(-e) (石狩): 石狩川筋では例外はあるが先のようになるが、沙流、鶴川、千歳、浦河などでは反対に ohaw が具、rur が汁なる。: (表現)お汁をいただく rur e (石狩): (表現)お汁をすする ohaw ni (石狩): (表現)お汁を飲む ohaw ku (石狩): [名]熊汁 kamuyrur (石狩): [名]鹿汁 yukrur (石狩): [名]鮭汁 ceprur (石狩): [名]三平汁 sampeohaw (八雲): [名]冷汁 yamaw (浦河): [名]豚汁 putarur (新)

おでき [名](幼児語として)おでき pópo (天塩)

おでこ [名]おでこ kipturu-tokse (新)※(幌別)、[名] enoypur-kotanas (新)※(沙流): [自]おでこである kipturu-tokse (新)、[自] enoypur-kotanas (新)

おてん(汚点) (表現)汚点 hayta hi (新)、(表現) yayicakkereka hi (新)

おてんとさま(お天道様) [名]お天道様 pinnehasinawkor-oynakamuy (石狩)、[名] cupkamuy (石狩)

おと(音) ①(風や雷その他の物音に関して)[名]音 hum(-i) (石狩)※(言語の音については本来であろうが、専門用語などでを使う事とする): (表現)～の音がする ～ humi as (humas) (石狩)、(表現)～の音をたてる ～ humi aste (新): (表現)～の音がしている ～ humi an (新): ②(虫の鳴き声や楽器が出す音に関して)[名]音 haw(-e) (石狩): 音楽について歌声と分ける時には hum を用いるものとする。: (表現)～の音がする ～ hawe as (hawas) (石狩)、(表現)～の音を奏でる ～ hawe aste (表現): (表現)～の音がしている ～ hawe an (新): ③(楽器に関して)[自](楽器の)音が良くなる、良い humipirka (新): [自](楽器の)音が悪くなる、悪い humiwen (新): ④(演奏に関して)[自]音が良くなる良い rekhawepirka (新): [自]音が悪い torosse (石狩)

おとうと(弟) ①[名]弟 ak(-i) (石狩): ②弟殿 ak-tonoke (石狩)※(①、②共に親しい年下の男性にも用いられる): (表現)わが弟殿 ku=aki-tonoke (石狩): [自]兄と弟、

妹である uyupikor (沙流): [自]姉と弟、妹である usakor (沙流): [自]弟と兄、姉である uakikor (新)

おとこ(男) ①(性別として女に対する)[名]男 okkay (石狩)、[名] aynu (石狩): [形式名]男 kur (石狩): ②(一人前になってから老人になるまでの)[名]男 okkayo (石狩): 男の～という表現は okkaypo 「男の子」のように okkay+名詞の形で作られる。

おとこきょうだい(男兄弟) [名]男兄弟 irwak(-i) (石狩)、[名] irpak (石狩): [自]男兄弟がいない yayirwakikor (石狩): [名]男兄弟がいない男 yayirwakikorkur (石狩)

おとこのこ(男の子) [名]男の子 okkaypo (石狩)、[名] okkayohekatci (okkayohekatci) (石狩)、[名] hekatci (ekatci) (石狩)、[名] hekaci (天塩)、[名] opususke (天塩): [名]立ち歩きできるようになった幼い男の子 pónekatci (pónékaci) (石狩)、[名]立ち歩きできるようになってから5歳位までの男の子 poysi (石狩)、[名]立ち歩きできるようになってから10歳位までの男の子 hekatci (hekaci) (石狩)、[名]7、8～10歳位の男の子 sekaci (天塩)、[名]陰毛が生えだす年齢の男の子 okunneekatci (okunneekaci) (石狩)、[名]10～15歳位までの男の子 porookkayhekaci (天塩): [名]男の子と女の子一人ずつ utureskorpo (沙流): (表現)男の子と女の子一人ずつ授かる utureskorpo an=ekasinukar (新)

おとこやま(男山) [場名]男山 pinnesir (石狩)

オトコヨモギ(男蓬) (植物)[名](ヨモギ属)オトコヨモギの茎 pinnenoyanit (新): [名]オトコヨモギの葉 pinnenoya (幌別)

おとしあな(落とし穴) [名]落とし穴 puyka (新)、[名] suyka (新)※(穴)

おとしあみ(陥網) [名]陥網 kutu (天塩)※(築の出口に付けられた網)

おとしなくす(落として失くす) [自]物を落として失くす ieohatcir (新): [他]～を落として失くす eohatcir (石狩): [他](人)に～を落として失くさせる eohatcire (新)

おどす(脅す) ①(脅迫する)[自]脅す sieoripakar (新)※(八雲)、[自] sioripakar (天塩): [他](場所)で脅す esieoripakar (新): [他]～と共に脅す kosieoripakar (新): [他](原因、手段)で脅す osieoripakar (新): [他](人)を脅す sieoripakte (新): [他](人)に(人)を脅させる sieoripakte (新): [自]脅し合う usieoripakte (新): ②(相手が驚くような事をして)[自]人を脅す siekimatekar (十勝): [他](人)を脅す

siekimatekka (新)※(沙流): [他](人)に(人)脅させる sikimatekkare (新)

おとす(落とす) ①(人や物に関して)[自]人、あるいは物を落とす ihatcire (新): [他]～を落とす hatcire (石狩)、[他] hácire (天塩): [他](場所)で～を落とす ehatcire (新): [他](場所)へ～を落とす kohatcire (新): [他]～と共に～を落とす kohatcire (新): [他](場所)から～を落とす ohatcire (新): [他](原因、手段)で～を落とす ohatcire (新): [他](人)に～を落とさせる hatcirere (新): [他]自分で、一人で～を落とす yaykohatcire (新): [他]互いに、皆で～を落とす ukohatcire (新): [他]思い切り～を落とす toykohatcire (新): ②(水滴、花や葉などに関して)[他]～を落とす ranke (複数 rapte) (石狩): [他](人)に～を落とさせる rankere (複数 raptere) (新): ③(水滴に関して)[他]～を(滴り)落とす cikka (石狩): [他](人)に～を(滴り)落とさせる cikcare (新): ④(花や葉、土や箕にかけられた物に関して)[他]～を切って落とす、～をもいで落とす、(箕にかけて)～をふり落とす tuyte (石狩): [他](人)に～を切って落とさせる tuytere (新): ⑤[他]～を滑り落とす、～を(吹き)飛ばして落とす、～を取れて落とす tusseka (石狩)、[他] tursere (沙流): [他](人)に～を滑り落ちさせる tussekare (新)、[他] turserere (新)

おととい(一昨日) [場名・副] 一昨日 hoskiannuman (hoskianuman) (石狩)、[場名・副] hoskinuman (天塩)、[場名・副] hoskianto (天塩)

おとし(一昨年) [連体] 一昨年の síhoskian (新)※(沙流): [場名] 一昨年 síhoskiampa (新): (表現) 一昨年 hoskiampa etoko ta an pa (天塩)

おとな(1)(大人) ①[名] 大人の男 rupnekur (石狩)、[名] poroaynu (石狩)、[名] porokur (天塩)、[名] sukup-okkayo (石狩)、[名] sukupkur (石狩): ②[名] 大人の女 poromenoko (石狩)、[名] sukupmenoko (天塩): ③[自] 大人になる、である rupne (石狩)、[自] poro (石狩): [他](人)を大人にする rupneka (rupnere) (新)、[他] porore (poroka) (新)、[他] sukupte (新): [自] 大人になる、成長する sukup (石狩)

おとな(乙名) (歴史)[名] 乙名、大将、酋長 ottena (石狩)、[名] kotankor ottena (石狩)※(「首長」を意味する言葉として kotankorkur とか sapanekur 等があり、これらは物語に語られるように、力量ある者が

同族の支持を得てなるものだったろう。それに対し ottena はアイヌ共同体を支配するため本来和人が押し付けたものだった。つまり 18 世紀初め松前藩による場所請負制が成立する中、「役夷人(後に役土人)」として「乙名」、「脇乙名」、「小使」、「土産取」という職制が設けられたのである。この「役夷人(役土人)」制はシャクシャイン指導の対和抵抗戦争やロシア南下に伴い二期にわたって蝦夷地が幕府直轄領化された後も残され明治に至った。その当時、上川の総乙名は(門野)クーチンコロであった。乙名は基本的に世襲とされていたが、明治 5、6 年頃、クーチンコロは村人を集め合議の元に(川村)モノクテに総乙名の地位を譲った。和人の意図とは別に、圧力さえなければ世襲制を廃し得たアイヌの意識は、ottena と kotankorkur 等の言葉の混同にも窺い知事ができる。その後日本政府は「役土人」制を廃止、今日に至っている。)

おとなしく(大人しく) [自] 大人しくなる、大人しい ramuhawke (石狩): (表現) ～が大人しくなる、大人しい ～ramu hawke (石狩): [他](場所)で大人しくなる、大人しい eramuhawke (新): [他]～と共に大人しくなる、大人しい koramuhawke (新): [他](原因、手段)で大人しくなる、大人しい oramuhawke (新): [他](人)を大人しくさせる ramuhawkeka (ramuhawkere) (新): [他](通常 haw(-e)、hum(-i))を目的語として騒々しいのを大人しくさせる more (石狩): 「子供達がうるさいから私は大人しくさせた。」“Ekattar iranaka kusu humi ku=more.”: [自] 大人しくする yayramuhawkeka (yayramuhawkere) (新)

おとめ(乙女) [名] 乙女 pewremenoko (石狩)、[名] ponmenoko (石狩)、[名] menokopo (天塩)

おとめざ(乙女座) (宇宙)[場名] 乙女座 Ieramuskaremenoko(-so) (新): [名] 乙女座の α 星(スピカ) Horkewnociw (アイヌの星)、[名] Supika (新)

おともなく(音もなく) [副] 音もなく humsakno (天塩): [副] 全く音もなく ohumkisakno (石狩)

オトモプス(動物) [名](オヒキコウモリ科)オトモプス属 kisaraporo-numaussenkaki-kapap-cise (新): [名] オトモプス・ウロウトニ urouton-numaussenkaki-kapap (新): [名] O. セクンドゥス hayman-numaussenkaki-kapap (新): [名] O. パプエンシス kisaraporo-numaussenkaki-kapap (新): [名] O. フォルモスス javaun-numaussenkaki-kapap (新): [名]

○ マダガスカリエンシス
madagašikaraun-honimpakapap (新):
[名] ○. ヨンストネイ jonston-
numausenkaki-kapap (新): [名] ジャイ
アントオオミミオヒキコウモリ
martiensen-honimpakapap (新)

おどる(1)(躍る) [自] 躍る terke (石狩):
[他] ~を躍らせる terkere (複数 terkerpa)
(石狩): [他] ~の先を躍らせる eterkere
(複数 eterkerpa) (石狩)、[他] eterkekar
(石狩): (表現)(激しく切りつける様の常套
句)二つの激しい太刀影、三つの激しい太刀影
の切っ先を躍らせる tu yupke tamkur re
yupke tamkur terekere (eterkerpa、
eterkekar) (石狩)

おどる(2)(踊る) [名] 踊り rimse (石狩)※
(八雲、幌別、帯広、名寄などでは"rimse"だけ
で「輪舞」も意味するようだが、旭川で「輪
舞」は"sokariwpopo"と言う。現在まで踊りも
歌も"upopo"と言う事が多いが、二つを分け
て「踊り」という時、伝統的なものもその他
のものも全て rimse に代表させる。): [自]
踊る rimse (石狩)、[自] horippa (天
塩): [他](人)を踊らせる rimseka
(rimsere) (新): [自] 歌い踊る upopo
(石狩): [他](人)を歌い踊らせる upopore
(新)

おとる(劣る) [自] 劣る ipokaski (新): [他]
~の点で劣る eipokaski (石狩): [他] ~
と共に劣る koipokaski (新): [他](原因、
手段)で劣る oipokaski (新): [他] ~を劣
らせる ipokaskire (新): [自] ひどく劣る
toykoipokasi (新): [他] ~に劣る
pokaski (新): [他] ~の点で~に劣る
epokaski (新)

おとろえる(衰える) ①(体力に関して)[自] 衰え
ている kewossak (石狩): [他](場所)で衰
えている ekewossak (新): [他] ~と共に
衰えている kokewossak (新): [他](原因、
手段)で衰えている okewossak (新):
[他] ~を衰えさせる kewossakka (新):
[自] すっかり衰えている oarkewossak
(arkewossak) (新): ②(勢力に関し
て)[自] 衰える sicupu (複数 sicuppa) (石
狩)、[自] yaywente (石狩): [他](場所)で
衰える ecupu (複数 ecuppa) (新): [他]
~と共に衰える kocupu (複数 kocuppa)
(新): [他](原因、手段)で衰える osicupu
(複数 osicuppa) (新): [他] ~を衰えさせ
る sicupure (複数 sicuppare) (新): [自]
すっかり衰える oassicupu (複数
oassicuppa) (新)、[自] assicupu (複数
assicuppa) (新)

おどろかす(驚かす) ① [他](人)を驚かす

ramutuyka (石狩)、[他] osserkere (新):
[他] ~について(人)を驚かす、~で(人)を驚か
す eramutuyka (新)、[他] eosserkere
(新): ② [他](人)を驚き慌てさせる
kimatekka (石狩): [他] ~について(人)を
驚き慌てさせる、~で(人)を驚き慌てさせる
ekimatekka (新): ③ [他](人)に人を驚き感
心させる ierayapte (新): [他](人)に(人)
を驚き感心させる erayapte (新)

おどろく(驚く) ① [自] 驚く ramutuy (石
狩)、[自] osserke (石狩): 「ああ、驚い
た。」"Ayapo, ku=ossерke!": [他] ~に驚
く eramutuy (石狩)、[他] eosserke (石
狩)、[他] eramokte (石狩): [自] 自分で驚
く yayeosserke (石狩): [自] 驚いて魂が
飛び出さぬよう鼻を掴む sietuuyuna (幌
別): (表現)(驚いた時の描写として)鼻を掴
み口を掴み sietuuyuna siparuyna (幌別):
(表現)魂が飛び出さぬ鼻を押掴まえて驚く
etu uk kane osserke (石狩): ② 驚き慌て
る kimatek (石狩): [他] ~に驚き慌てる
ekimatek (石狩): ③ [自] 驚き感心する
ierayap (新): [他] ~に驚き感心する
erayap (石狩): [間投] 驚いたなあ
irayapka (石狩): ④ [名] あつと驚くような
人、物、事 ayapo (石狩): 「あの若者が
二人、あつと驚くような有様をして…」"…
nea okkayo tun, ayapo neno okay kane okay
tek …" (杉村キナラブック) 説話、「…あんなあ
つと驚く事があつたって言う村へ私を彼ら
に連れて行かせるって言うのか。」「… enean
ayapo an kotan awan kotan ene i=turare
awan na?» (杉村キナラブック) 説話

おとをたてる(音をたてる) ① [自] 音をたてる、音
を出す humaste (新)、[自] humki (石
狩)※(目下合成語の構成要素としてのみ確認
されるが、今後は単独でも用いていく。):
[他] ~に音をたてさせる、出させる
humastere (新)、[他] humkire (新):
[他] ~の音をたてさせる、出す humiaste
(新): [他] ~に~の音をたてさせる、出させ
る humiastere (新): ② [自] 音をたてな
い、出さない humsak (石狩): [他] ~に
音をたてさせる、出させる humsakka
(新): [他] ~の音をたてない、出さない
humisak (新): [他] ~に~の音をたてさせ
ない、出させない humisakka (新)

オナガアゲハ(尾長揚羽) (昆虫)[名](アゲハチ
ョウ属) オナガアゲハ saratanne-
kitomarewrew (新)

オナガザル(尾長猿) (動物)[名](直鼻猿亜目)オ
ナガザル科 saratannesaru-apa (新):
[名] オナガザル亜科 saratannesaru-moapa
(新): [名] オナガザル属 (新): [名] アレン

モンキー属 arenopitekus-cise (新): [名]
 グラダヒヒ属 teropitekus-cise (新):
 [名]サバンナモンキー xurorokebus-cise
 (新): [名]タラポアン属 miopitekus-cise
 (新): [名]バタスモンキー属 eritrokebus-
 cise (新): [名]ヒヒ属 hihi-cise (新):
 [名]マカク属 makaka-cise (新): [名]ア
 カゲザル húrenumaussaru (新): [名]カ
 ニクイザル amuspeesaru (新): [名]シ
 シオザル réosarakorsaru (新): [名]ニホ
 ンザル sísamsaru (新): [名]ベニガオザ
 ル nanuhuresaru (新): [名]マンガベイ
 属 kerkokebus-cise (新)※(学名より):
 [名]マンドリル属 mandorirus-cise (新):
 [名]ルングウェセブス属 runguwekebus-
 cise (新): [名]ロフェセブス属
 rofokebus-cise (新): [名]コロブス亜科
 korobus-moapa (新): [名]コロブス属
 korobus-cise (新)※(学名より): [名]アカ
 コロブス属 húrekorobus-cise (新): [名]
 コノハザル属 níhamsaru-cise (新): [名]
 シシバナザル属 etusepsaru-cise (新):
 [名]テングザル属 eturacicisaru-cise (新):
 [名]ハヌマンラングール属 hamuman-cise
 (新): [名]メンタワイシシバナザル属
 mentawaietusepsaru-cise (新): [名]ラン
 グール属 rangur-cise (新)※(英語より))

オナガフルーツコウモリ(尾長フルーツ蝙蝠)

(動物)[名](シタナガフルーツコウモリ亜科)
 オナガフルーツコウモリ属 otanne-
 nikaopekapap-cise (新): [名]オナガフル
 ツコウモリ otanne-nikaopekapap
 (新): [名]ニューカレドニアハナフルーツコ
 ウモリ niwkaredoniaun-apappo-
 nikaopekapap (新)

おながれ(お流れ) [名]お流れ pakes(-e、-i)
 (石狩): (表現)〜にお流れを渡す pakes
 ~ kore (石狩): [自](家に持ち帰るため器
 に)酒のお流れの飲み残しを容器に空ける
 iometu (石狩)

おなじ(同じ) ①(二つ以上のものの形、状態、
 性質を比較した類似を示し)[副]同じく、同じ
 様に uneno (石狩): [後副]〜と同じく、
 〜と同じ様に néno (石狩): 雅語として
 「〜の如くに」は"koraci": (表現)同じで
 ある、同じ様な uneno an (石狩): 「こ
 れはこれらと全く同じである。」"Tampe
 tanokaype sonno uneno an .", 「これは私の
 祖父からもらった煙管ですが、貴方も同じ様
 な煙管を持っているんですって?」"Tampe
 ku=kor ekasi en=kore kiseri ne . Esokay ka
 uneno an kiseri es=kore hawe?": (表現)〜
 と同じである、〜と同じ様な néno an (石
 狩): ②(二つ以上のものの大きさや量を比

較した同程度、同量を示し)[副]同じく
 upakno (石狩)、[副] upak (石狩、天塩):
 [後副]〜と同じく、〜と同じに pakno (石
 狩)、[後副] pak (石狩): (表現)同じであ
 る upak an (石狩): [自]同じである
 upak (石狩): ③[副]同じ〜で、同じ〜同士
 で uneno (石狩): 「同じ神同士で歓談し
 たらいいのです。」"Uneno kamuy
 uenewsar yak pirka ruwe ne .": (表現)同
 じ〜で、同じ〜同士で heru + 名詞 + ne
 (石狩): 「同じアイヌ同士で争い合っ
 てはいけない。」"Heru Aynu ne ukoyki yak
 wen .": ④[後副](雅)(前述の内容を受けて)
 〜と同じように arikoraci (石狩): 「先
 生が先にアイヌ語で言って、それから私達が
 それと同じに言う。」"Ipakasnukur aynu
 itak ani hoski ye orano arikoraci ci=ye ."

オナシアゲハ(尾無揚羽) (昆虫)[名]オナシア
 ゲハ sarsak-kitomarewrew (sassak-
 kitomarewrew) (新)

オナシケンショウコウモリ(尾無肩章蝙蝠)

(動物)[名](ケンショウコウモリ族)オナシケ
 ンショウコウモリ属 hosak-
 taptomtepkapap-cise (新): [名]オナシケ
 ンショウコウモリ buettikoferhosak-
 taptomtepkapap (新): [名]ドブソンオナ
 シケンショウコウモリ dóbusonhosak-
 taptomtepkapap (新): [名]フランク
 ショウコウモリ furankethosak-taptomtepkapap (新)

オナシフルーツコウモリ(尾無フルーツ蝙蝠)

(動物)[名](コバナフルーツコウモリ亜科)オ
 ナシフルーツコウモリ属 hosak-
 nikaopekapap-cise (新): [名]オナシフル
 ツコウモリ yayan-hosaknikaopekapap
 (新): [名]ジャワオナシフルーツコウモリ
 javaun-hosaknikaopekapap (新): [名]タ
 イオナシフルーツコウモリ táyun-
 hosaknikaopekapap (新): [名]ミンダナ
 オオナシフルーツコウモリ nuysamaretar-
 hosaknikaopekapap (新)

オナニー [名]オナニー yayokoyki (新)、
 [名] yayonuyanuya (新): [自]オナニー
 する yayokoyki (天塩)、[自]
 yayonuyanuya (新): [他](場所)でオナニ
 ーする eyayokoyki (新): [他]〜とオナ
 ニーする koyayokoyki (新): [他](原因、
 手段)でオナニーする oyayokoyki (新):
 [他](人)にオナニーさせる yayokoykire
 (新)、[他](新): [自]相互に、皆でオナニ
 ーする ukoyaykoyki (新): [自]人にオナニ
 ーさせる、してもらう yaykoykiyar (新):
 [自]性具を使ってオナニーする ioyaykoyki
 (新)

オナモミ(巻耳) (植物)[名](キク科)オナモミ属 *ikarpupukikukina-cise* (新): [名]オナモミの茎葉 *ikarpupukikukina* (新)、[名]その花 *ikarpupukiku* (新)、[名]その果実 *ikarpupuceppo* (新): [名]イガオナモミの茎葉 *afrika-ikarpupukikukina* (新): [名]オオオナモミの茎葉 *poro-ikarpupukikukina* (新): [名]トゲオナモミの茎葉 *ayus-ikarpupukikukina* (新)

オニアジ(鬼鰐) (魚介)[名](アジ科)オニアジ属 *cepnepatkeajir-cise* (新): [名]オニアジ *cepnepatkepaji* (新)

オニタビラコ(鬼田平子) (植物)[名](キク科)オニタビラコ属 *poro-ciepotokisokina* (新): [名]オニタビラコの茎葉 *poro-ciepotokisokina* (新): [名]イワヤクシソウの茎葉 *iwayakusikina* (新)※(別名「ナガバヤクシソウ」): [名]クサノオウバノギクの茎葉 *kútun-yakusikina* (新): [名]ハナヤクシソウの茎葉 *cituye-yakusikina* (新): [名]ヤクシソウの茎葉 *yakusikina* (新)

オニバス(鬼蓮) (植物)[名](スイレン科)オニバス属 *ayuspekaotukpeikkew-cise* (新): [名]オニバスの根茎 *ayuspekaotukpesinrit* (新)、[名]その葉 *ayuspekaotukpeham* (新)、[名]その花茎 *ayuspekaotukpe-ikkew* (新)、[名]その花 *ayuspekaotukpe-apappo* (新)、[名]その果実 *ayuspekaotukpe-op* (新)

おね(尾根) [名]尾根 *sítu* (石狩)、[名] *tu* (石狩): (表現)尾根 *sítu ikkewe* (石狩)、(表現) *tu ikkewe* (石狩): [場名]尾根の端 *sítuohonkes(-e, -eke)* (石狩)、[場名] *sítukes(-e, -eke)* (石狩)、[場名] *túohonkes(-e, -eke)* (石狩): [位名]〜の尾根、(何か)の尾根状のもの *mekka*(長形・*si, sike*) (石狩): [名]尾根の上に更にぼこっと突き出た山 *tútumuspe* (天塩)

おねじ(雄螺子) [名]雄ねじ *pinnecinoyep* (新)

おの(斧) [名]斧 *mukar* (石狩)

おば ①[名](常用語として父母の女兄弟)伯母、叔母 *unarpe* (石狩): [名]若いおば *poysapo* (天塩): ②[名](血縁のない年上の女性に対する)小母さん *unarpe* (石狩)、[名] *rupnemat* (石狩)

おばあさん(お婆さん) ①(親族名称)[名]お婆さん *huci* (石狩、天塩): (表現)私のお婆さん *ku=kor huci* (石狩): [名](合成語の構成要素として)お婆さん *sut(-ci)* (石狩): ②(老婆)[名]お婆さん *huci* (石狩、天塩)、[名] *rupnemat* (天塩)

オパール [名]オパール *opar* (新)

おはぐろ(鉄漿) [自]鉄漿をする *nimakkunneka* (新)

おばけ(お化け) [名]お化け *apapa* (石狩)

オバデヤ (聖書)[名](人名)オバデヤ *Obadia* (新)※(預言者): [名]オバデヤ書 *Obadia-kampisos* (新)

おばね(尾羽) [名]尾羽 *ois(-i)* (石狩)

オビ [名](地名)オビ川 *Obi-pet* (新)※(ロシア連邦のシベリアを流れる川)

おび(帯) ①[名]帯 *kut(-ci)* (石狩): ②[自]帯を締める *kutkor* (石狩): [他](人)に帯を締めさせる *ekutkore* (新): [他](帯)を締める *kor* (石狩): (表現)帯を締める *kut ekutkor* (石狩)、(表現) *kut kor* (石狩): [他]〜を帯に締める *ekutkor* (石狩): [他](場所)に〜を帯に締める *ekutkore* (石狩): ②[自](男が)低く帯を締める *oramkutkor* (石狩): [他]〜を重ねて帯を締める *ukomuye* (石狩)、[他] *ukoekutkor* (沙流): ③[自](結婚前の女性が乳の下あたりの)高く帯を締める *orikutkor* (石狩): ④(表現)帯締め之音 *kutkor sasum* (新)、(表現) *yaykutkore sasum* (新): (表現)女が帯締めする音がする *maci kutkor sasum an* (新): [間投]サアッ *sas* (新): [間投]サーッサーッ *sassas* (新): [自](一回)サーッサーッ音がする *saskosanu* (新)、[自] *saskosampa* (新): [自]サアッサーッと頻りに音がする *cisasrototo* (新)、[自] *sasrototke* (新): [自]サアッサーッと何度も音がする *sásasatki* (新): [自]サアッサーッと音がし続ける *sasnatara* (沙流): ⑤(表現)帯を解く *kut pitapita* (石狩)、(表現) *kut pitata* (石狩): ⑥[他](刀)を帯に差す *kutpokeciw* (石狩)、[他] *kutpokeciwre* (石狩)

オヒキコウモリ(尾引蝙蝠)(動物)[名](コウモリ目)オヒキコウモリ科 *honimpakapap-apa* (新): [名]オヒキコウモリ亜科 *honimpakapap-moapa* (新): [名]オヒキコウモリ属 *honimpakapap-cise* (新): [名]オヒキコウモリ *europaun-honimpakapap* (新): [名]スミイロオヒキコウモリ *ra-touce-honimpakapap* (新): [名]タダリダ・アウストラリス *retanruo-honimpakapap* (新): [名]T. アエギプティアカ *misruun-honimpakapap* (新): [名]T. クボリエンシス *niwginiaun-honimpakapap* (新): [名]T. ブラシエンシス *mexikoun-honimpakapap* (新): [名]T. フルミナンス *madagašíkaraun-sephonimpakapap* (新): [名]T. ベントラリス *siáfrikaun-honimpakapap* (新):

[名] T. ロバタ keniaun-kisaraporo-honimpakapap (新): [名] エウモプス属 kisarasep-honimpakapap-cise (新): [名] オトモプス属 kisaraporo-numaussenkakikapap-cise (新): [名] カエレフォン属 monumaussenkakikapap-cise (新): [名] キノモプス属 kinnamon-esetanekapap-cise (新): [名] ケイロメレス属 atusahonimpakapap-cise (新): [名] ケイロメレス・パルビデンス surawesiun-atusahonimpakapap (新): [名] ハダカオヒキコウモリ atusahonimpakapap (新): [名] サウロミス属 robertu-ekaparkapap-cise (新): [名] サウロミス・ペトロフィルス robertu-ekaparkapap (新): [名] ニクティノモプス属 siamerikaun-honimpakapap-cise (新): [名] プラティモプス属 petersu-ekaparkapap-cise (新): [名] ピーターズヒラガシラオヒキコウモリ petersu-ekaparkapap (新): [名] プロモプス属 sapaumpekor-numaussenkakikapap-cise (新): [名] プロモプス・セントラリス sapaumpekor-numaussenkakikapap (新): [名] P. ナストゥス uparus-numaussenkakikapap (新): [名] ミオブテルス属 daubenton-honimpakapap-cise (新): [名] ミオブテルス・ウィトレイ witrey-honimpakapap (新): [名] M. ダウベントニー daubenton-honimpakapap (新): [名] モプス属 marayuun-honimpakapap-cise (新): [名] モルモプテルス属 mauritius-honimpakapap-cise (新): [名] モロッソス属 numaussenkakikapap-cise (新): [名] モロッソプス属 poniwne-esetanekapap-cise (新): [名] トモペアス亜科 enukarkisarkapap-utar (新): [名] トモペアス属 enukarkisarkapap-cise (新): [名] トモペアス・ラブス enukarkisarkapap (新)

おひさしぶり(お久しぶり) [間投] お久しぶり setakko (石狩): [間投] (挨拶の言葉として) お久しぶり ikatay (浦河): [間投] (女同士の挨拶として) お久しぶり hí-yá (石狩)

おひさま(お日様) [名] お日様 cupkamuy (石狩)、[名] sirpeketcupkamuy (石狩)、[名] tokamcupkamuy (石狩)

おひざもと(御膝元) [名] 御膝元 temkor(-o) (沙流): 「私の子熊は川上を治める首領の御膝元に怒って逃げ込んだ。」 “Ku=kor pewrep petpenikonnispa koikesuy.”

おひつ(御櫃) [名] 御櫃 amamhitu (新)、[名]

hitu (新)

オヒョウニレ(オヒョウ楡) (植物) [名] (ニレ属) オヒョウニレの茎 atni (H): [名] その樹皮 at(-ci) (H)、[名] opiw (樺太: 白浦): [名] その樹皮から採った繊維 at(-ci) (H): [名] その繊維を撚った糸 atka (石狩): [自] その樹皮を剥ぎ採る atkar (石狩)、[自] atkep (沙流)

オヒョウモモ(楡桃) (植物) [名] (サクラ属) オヒョウモモの茎 atnihamussimomani (新) ※(別名「シベリアザクラ」): [名] オヒョウモモの花 anihamussimomani-apappo (新)

オビリンサン(帯リンサン) (動物) [名] (ネコ亜目) オビリンサン科 mékotsaha-apa (新): [名] オビリンサン属 mékotsaha-cise (新): [名] オビリンサン ruo-mekotsaha (新): [名] プチリンサン keso-mekotsaha (新)

おびる(佩びる) [他] (刀) を佩びる mut (石狩)

おびれ(尾鰭) [名] 尾鰭 atkoci (atkocike) (石狩) ※(石狩ではその他「尾鰭の根元の肉」を意味する)、[名] sar(-a) (石狩): [名] (稀) サケの尾鰭 op (石狩)

おふせ(御布施) [名] 御布施 uekayka (静内)

おぶつ(汚物) [名] 汚物 icakkerep (新)、[名] ciecakkep (新)

おべっか [他] (人) におべっかを使っている、おべっかを使ってだます kopenmukeanean (沙流)

おぼえ(覚え) ①(経験として) [他] ～に覚えがある amkir (石狩)、[他] kir (石狩): 「この顔に覚えがあったら 1 1 0 番。」 “Tan nanu es=amkir yakne No.110 (itokpa - wampe ikasma atuyta) eimeruitak wa un=kore yan!” : [他] ～に覚えがない eramuskare (erameskari) (石狩)、[他] (雅) koeramuskare (koerameskari) (石狩): 「そんな紙切れに覚えはないよ。」 “Enean kampipo ku=eramuskare na!” : ②[他] (知識として) ～を覚える、覚えている eraman (eramuan) (複数 eramuokay) (石狩) ※(他動詞だが、単複は主語の数になるので注意)、[他] (雅) koeraman (koeraman) (石狩): [他] (人) に～を覚えさせる eramante (eramuante) (複数 eramuokayre) (石狩): [他] (知識として) ～を覚えなない、覚えていない erampetek (石狩)、[他] (雅) koerampetek (石狩): [他] ～に～を覚えさせない erampetekka (新): ③(記憶として) [他] ～を覚えている esikarun (eskarun) (石狩): 「私が覚えている事を言ったのです。」 “Ku=esikarun hi ku=ye ruwe ne.”、「私は

もう何も覚えてません。」“Tane nepka somoku=esikarun.”: ④(感じる事)[他]～を覚える nu (石狩)、[他](雅) yaynupare (新): (表現)空腹を覚える iperusuy hum(-i) yaynupare (新)

オホーツク [名]オホーツク海 Oxotku-atuy (新)、[名] Cupka-atuy (新)

おぼしい(思しい) (表現)～と思しい an=arkotomka (新): (表現)～と思しい人 an=arkotomka kur (新): 「チウセレスと思しい人が立っている。」“Ciwseresu an=arkotomka kur as kane an.”: (表現)～と思しい者、物 an=arkotomka p (新)

おぼれる(溺れる) [自] 溺れる etampu (etampo) (石狩): [他]～を溺れさせる etampure (etampore) (新): [自](川など)水に落ちて溺れる worosma (石狩)

オマーン [場名](国名)オマーン国 Uman Sartankormosir (新)※(首都は「マスカット」): [場名](国名の通称として)オマーン Uman (新): [名]オマーン人、国民 umanunkur (新)

おまえ(お前) ①[代名]お前 eani (石狩)※(一部の後置副詞や副助詞と共に、あるいは強調としてのみ用いられる): 「お前も行きたいの? “Eani ka e=oman rusuy?”、“お前ときたら嘘つきだな。”“Eani sunkep e=ne na.”: ②[人称](主格)お前が e= (石狩): (表現)お前が座る e=a (石狩): (表現)お前が私を見る e=en=nukar (石狩): (表現)お前が私達を見る e=un=nukar (石狩): (表現)お前が彼を見る e=nukar (石狩): [人称](所有格)お前の e= (石狩): (表現)お前の顔 e=nanu (石狩): [人称](目的格)お前を、お前に e= (石狩): 私がお前を見る e=nukar=an (石狩): (表現)私達が私前を見る e=nukar=as (石狩): (表現)彼がお前を見る e=nukar (石狩): (表現)お前が見られる e=nukar=an (石狩)

おまえたち(お前達) ①[代名]お前達 esokay (石狩)、[代名] esiutar (esiutari) (石狩)、[代名] esiokay (石狩)※(一部の後置副詞や副助詞と共に、あるいは強調としての用いられる): 「お前達にだけこれをあげるんだよ。」“Esokay patek tampe es=kore=an na.”: ②[人称](主格)お前達が es= (石狩): (表現)お前達が座る(自動詞) es=rok (石狩): (表現)お前達が私を見る(他動詞) es=en=nukar (石狩): (表現)お前達が私達を見る es=un=nukar (石狩): (表現)お前達が彼を見る es=nukar (石狩): [人称](所有格)お前達の es= (石狩): (表現)お前達の顔 es=nanu (石狩): [人称](目的格)お前達を、お前達に es= (石狩): (表

現)私がお前達を見る es=nukar=an (石狩): (表現)私達がお前達を見る es=nukar=as (石狩): (表現)彼がお前達を見る es=nukar (石狩): (表現)お前達が見られる es=nukar=an (石狩)

おまけ [名]おまけ ciikotamkep (新): [他]～におまけを付ける、物に～をおまけに付ける ikotamke (新): [他]～に～をおまけに付ける kotamke (沙流): [他](人)に～に～をおまけに付けさせる kotamkere (新): [後副]～のおまけに ikotamke(-no) (新)

オマハ [場名](アメリカ合衆国ネブラスカ州の都市名)オマハ Omaha (新)

おまもり(お守り) [名]お守り cinunukap (石狩)、[名] ikonnop (石狩)、[名] nonno (石狩): [他](人)に(物)をお守りとして与える ekasikamuykore (石狩): 「私は君に一つの指輪をお守りにあげよう。」“Sine askepetunkani e=ekasikamuykore=an na.

おまる [名]おまる ketup (新)※(樺太鶴城)

オミ [名]オミ川 Omi-pet (新)※(ロシア連邦を流れるオビ川水系エルティシ川の支流)

オムシャ [名]オムシャ omsa (新)

オムスク [場名](ロシア連邦シベリア連邦管区の構成主体名)オムスク州 Omsk-purovince (新): [場名](オムスク州の州都名)オムスク Omsuk (新)

おむつ [名]おむつ yarpe (石狩)、[名] siyaykep (石狩)

おもい(1)(思い、想い) [名]思い、想い yaynu (石狩): [名] iramu (石狩)

おもいうかべる(思い浮かべる) [自]思い浮かべる yaykokeker (石狩): [他]～を思い浮かべる eyaykokeker (石狩): [他](場所)で思い浮かべる eyaykokeker (新): [他]～と共に思い浮かべる koyaykokeker (新): [他](原因、手段)で思い浮かべる oyaykokeker (新): [他](人)に思い浮かべさせる yaykokekere (新)

おもいきり(思い切り) ①「思い切り～する」という表現をする場合、動詞に接頭辞 toyko-を用い、toyko+cotca (～に当てる) → toykocotca 「～に思い切り当てる、ぶつける」などとする。似た意味の接頭辞 sirko- が用いられる場合もあると思われる。また石狩川筋には toyko- と同じ用法の接頭辞 toy-があるが、これは toykotukan 「(鉄砲)を思い切り打ちまくる」、toytukan 「(樽や人)を思い切りぶっ飛ばす」のように同じ動詞に接頭しても意味が少し違う例が見られる。: ②[他]～を思い切り叩く、殴る esirsitayki (esissitayki) (石狩)、[他] toykokikkik (石狩): [他](人)に～を思い切り叩かせる、

殴らせる esirsitaykire (esissitaykire)
(新)、[他] toykokikkikre (新)： [自]思い
切り殴り合う uesirsitayki (uesissitayki)
(新)、[自] utoykokikkik (新)

おもいだす(思い出す) ①(忘れていた事に関し
て)[他]～を思い出す eyaykopeker (石
狩)： [自]全てをはっきり思い出す
ueyaykopeker (石狩)： ②(忘れずに覚えて
いた事に関して)[他]～を思い出す
esikarun (eskarun) (石狩)

おもいつく(思いつく) [自]思いつく iramu
(石狩)： [他]～を思い付く ramu (石狩)：
どう考えても～を思い付かない ene ～
ramu hi ka isam (石狩)： (場所)で～を思
いつく(新)： [他]～と共に～を思いつく
(新)： [他](原因、手段)で～を思いつく(新)：
[他](人)に～を思いつかせる(新)： [自]全て
を思いつく uramu (新)： [自]ぱっと思
いつく ramtek (新)： [他]～をぱっと思
いつく ramtekka (新)

おもいめぐらせる(思い巡らせる) [自]あれこ
れ思い巡らせる yaykosiramsuypa (石
狩)： [他]～についてあれこれ思い巡らせる
eyayko-siramsuypa (新)： [自](雅)じっく
りとあれこれ思い巡らせる yaykotuyma-
siramsuypa (石狩)

おもう(思う、想う) [自]思う、想う yaynu
(石狩)、[自] iramu (石狩)： (表現)～と思
う 文+sekor+yaynu (石狩)、(表現)～み
たいに思う 動詞句+pokon+yaynu (石
狩)： 「俺(私)のようにお前(あなた)思ってる
かい(恋の告白の決まり文句)。」 “ Ku=ani
nen e=yaynu ru ka ? ” (門野トサ)、「あの
人は悪い奴だなと私は思う。」 “ Neakur
kewtumwempe ne na, sekor ku=yaynu . ”、
「私は夢を見ているように思った。」
“ Ku=cinita pokon ku=yaynu . ”： [他]～
を思う、想う ramu (石狩、天塩)： (表
現)(想像、推定を表し)～だろうと思う 動詞
句+kunak+ramu (石狩)、(表現)(想像、推
定を表し)～だろうと思う 動詞句+kuni+
ramu (石狩)、(表現)(意志を表し)～しよう
と思う、(期待を表し)～すべきと思う 動詞
句+kuni+ramu (石狩)： 「いつも君の事
を想っているよ。」 “ Ramma e=ramu=an
kane an wa . ”、「君が来るだろうと私は思っ
た。」 “ E=ek kunak ku=ramu . ”、「明日私は
そこに行こうと思う。」 “ Nisatta ekota
ku=oman kuni ku=ramu . ”、「明日君は来る
べきだと私は思う。」 “ Nisatta e=ek kuni
ku=ramu . ”

おもえる(思える)(表現)～のように思える 動
詞句+kotom esanniyo (石狩)： 「…私は
今にも死にそうに思えた…」 “ tane anakne

ray=an kotom an=esanniyo … ” 神謡：
[他](中相)～と思える ciesanniyo (石狩)：
「…金属の音チャリンと思え彼が言うのは
こうである…」 “ … u kani mayun
ciesanniyo itak hawe ene okay hi … ” (杉
村キナラブク)神謡

おもく(重く) ①[自]重くなる、重い páse
(石狩)： [他](場所)で重くなる、重い epase
(新)： [他]～と共に重くなる、重い kopase
(新)： [他](原因、手段)で重くなる、重い
opase (新)： [他]～を重くする páseka
(pásere) (新)： [他](人)に～を重くさせる
pásekare (páserere) (新)： [自]滅茶苦茶
重くなる toykopase (新)： [副]重く
páse (石狩)、[副] páseno (新)、[副]
pásenopo (石狩)： [副]重く重く
páseitara (pásetara) (石狩)： ②[自]体重
が重くなる、重い kewepase (新)： [他]
～の体重を重くする kewepaseka
(kewepasere) (新)

おもさ(重さ) [名]重さ páseru(we) (新)：
(表現)重さを計る páseru pákari (新)：
[他]～を手にとって重さを計る koskoso
(久保寺)※(他動詞と扱うのは新語)

おもしろい(面白い) [自]面白い、面白いと思う
ramasuy (石狩)、[自] kiroroan (複数
kirorookay) (石狩)： (表現)面白いという
気持ちを抱く ramasuy kewtum
yaykorpore (新)： [他]～が面白い、～を面
白いと思う eramasuy (erasasu) (石狩)、
[他] ekiroroan (複数 ekirorookay) (石
狩)： 「それよりもっと面白いものはない
の？」 “ Na akkarino an=erasasuy pe isam
ruwe ? ”： [他](人)を面白がらせる、(人)に
面白いと思わせる eramasuyre
(erasasure) (新)、[他] kiroroante (複数
kirorookayre) (新)： (表現)(雅語表現で何
か素晴らしい情景の描写を結び)私は面白く
心楽しい an=rámasu an=uésuye (新)※
(沙流、幌別)

おもちゃ(玩具) [名]玩具 esinotpe (石狩)：
[名]玩具の矢 sinot-ay (石狩)： [名]玩具
の弓 sinotku (石狩)： [他]～を玩具にす
る esinot (石狩)： [他](人)に～を玩具に
させる esinotte (新)

おもて(表) ①(莫藎などに関して)[場名]表
sirka(長形 -si、-sike) (石狩)： ②(建物
の)[位名]～の表 soy(ke) (石狩)

おもてがき(表書き) [自]表書きする
isirkakonuye (新)： [他]～を表書きする
sirkakonuye (新)： [他](場所)に表書きす
る isirkasikonuye (新)： [他](場所)に～
を表書きする sirkasikonuye (新)

おもなが(面長) [名]面長の顔 es (石狩)：

[自]面長である esne (新)、[自]nankoeane (新)※(幌別)、[自]nankewtanne (新冠): (表現)面長である noyapi tanne (幌別)

おもや(母屋) [名]母屋 porocise (石狩) → 「ほんけ(本家)」を参照

おもりいし(鍾石) [名]鍾石 pit (石狩)

おや(親) ①[名]親 onneike (石狩)、[場名]ous(-i) (石狩)、[場名] ouske (石狩)、[名]sinrit(-ci) (石狩)、[名](雅語)oussikkew(-e) (石狩): [名]親達(雅) onnewtar(-i) (石狩): ②[自]親になる、である onneikene (新)、[自] ouskene (新): [自]親である poro (石狩): ③[名]親不孝者 kimaypa (浦河)

おやこ(親子) [名]親子 upokor utar (沙流): [自]父親と子である uonakor (沙流より): [自]母親と子である uunukor (沙流): [自]息子と親である、親子である upokor (沙流): [自]娘と親である umatnepokor (沙流)

おやすみなさい (表現)おやすみなさい Apunno sini yan! (石狩)、(表現) Pirkano yaysinire yan! (石狩)、(表現) Pirkano mokor yan! (石狩)、(表現)よい夢を Yaytakarkokanu yan! (静内)

おやつ(お八つ) [名]お八つ iutureep (新)、[名] ipeutureep (新)

おやまあ [間投]おやまあ ayapo (áyapo) (石狩)、[間投] aayapo (石狩)、[間投]iyahoy (íyahoy) (釧路)、[間投] iyahoy sittopare (釧路)、[間投] iyohay (沙流)、[間投] iyokay sitomare (沙流)

おやゆび(親指) [名]親指 onneaskepet(-ci) (石狩)、[名] poroaskepet(-ci) (天塩)、[名] ruweaskepet(-ci) (石狩)

オヨギイソギンチャク(遊泳磯巾着)(魚介)[名](イソギンチャク目)オヨギイソギンチャク科 maheunnay-apa (新): [名]オヨギイソギンチャク maheunnay (新): [名]カニハサミイソギンチャク ampayayakorheunnay (新)

およぐ(泳ぐ) ①(人や動物に関して)[自]泳ぐ ma (石狩): (表現)泳いで行く ma wa oman (複数 paye) (新): (表現)二つの波、三つの波をたて泳ぐ otu ma kaykay ore ma kaykay uospare (久保寺・15): [他](場所)で泳ぐ ema (新): [他](場所)へと泳ぐ koma (新): ~と共に泳ぐ koma (新): [他](場所)から泳ぐ oma (新): [他](原因、手段)で泳ぐ oma (新): [他](人)を泳がせる máre (新): ②(魚に関して)[自]泳ぐ oman (複数 paye) (石狩)

およそ(凡そ) (時間的、数量的に近い事を表

し)[後副]凡そ~(くらい) pakno (pak) (石狩): (表現)凡そ三日 re to pakno (石狩): (表現)凡そ百個、百匹、百人 atuyta pakno (石狩): (表現)凡そ百匹、百人いる atuyta pakno okay (石狩)

オランウータン (動物)[名](ヒト科)オランウータン属 pongo-cise (新): [名]オランウータン属の動物の総称 pongo (新)※(学名より): [名]スマトラオランウータン buruneipongo (新): [名]ボルネオオランウータン borneopongo (新)

オランダ ①[場名](国名)オランダ王国 Nédenrando Yaykomosirkorkorkormosir (新)※(首都は「アムステルダム」): [場名](国名の通称として)オランダ Nédenrando (新): [名]オランダ人、国民 nédenrandounkur (新): [名]オランダ語 nédenrandounkuritak (新): ②[場名]オランダ領アンティル Nédenrando kor Antir (新)※(首都は「ウィレムスタッド」)

オランダゼリ(阿蘭陀芹) (植物)[名](セリ科)オランダゼリ属 parsurey-cise (新): [名]オランダゼリの茎葉 parsurey (新)※(英語。学名。別名「パセリ」): [名]イタリアンパセリの茎葉 purettemoro (新)※(イタリア語)

オランダセンニチ(阿蘭陀千日) (植物)[名](キク科)オランダセンニチ属 pasxanokkina-cise (新)※(スピランテス属とも): [名]オランダセンニチの茎葉 pasxanokkina (新)、[名] pasxanok (新)※(復活大祭卵草。別名「エッグボール」、「ハトウガラシ」): [名]キバナオランダセンニチの茎葉 konkaninokkina (新)

オランダミツバ(阿蘭陀三葉) (植物)[名](セリ科)オランダミツバ属 sereri-cise (新): [名]オランダミツバの茎葉 sereri (新)※(英語。別名「セロリ」)

おり(折) [名](料理を詰めるための)折 ipeomarep (新)、[名] ori (新)※(日本語): [名](詰めた料理を含めた全体の)折 ipeomarep (新): [名]鮎折 susiomarep (新): [名]菓子折 topempeomarep (新)

おり(檻) [名]檻 set(-ci) (石狩): [他]檻をぶち破る、ぶち壊す setcattektek (沙流): [名]檻を組む木 setni (石狩)

オリオン (宇宙)①[場名]オリオン座 Orion(-so) (新): ②[固名]オリオン座の三つ星(δ 、 ϵ 、 ζ 星) Iutaninociw (アイヌの星)、[名] Reneskunnociw (アイヌの星): ③[固名]オリオン座の小三つ星(θ 、 ι 星、M42) Parakionociw (アイヌの星): ④[固名]オリオン座の三つ星と小三つ星 Okancinociw (アイヌの星)

おりこむ(折り込む) [他](内側に着物の袖)を折り込む komo (石狩): (表現)袖を内側に織り込む cinki komo (石狩)

おりたたむ(折り畳む) [自]物を折り畳む ikomo(複数 ikompa) (新): [他]～を折り畳む komo(複数 kompa) (石狩): [他]～と共に～を折り畳む kokomo(複数 kokompa) (新): [他](原因、手段)で～を折り畳む okomo(複数 okompa) (新): [他](人)に～を折り畳ませる komore(複数 kompare) (新): [他]すっかり～を折り畳む oarkomo(複数 oarkompa) (新)、[他]arkomo(複数 arkompa) (新): [名]折り畳み式ベット cikomo-amset (新)

オリックス(動物)[名](ブルーバック族)オリックス属 oriksu-cise (新): [名]オリックス yayan-oriksu (新)※(別名「ゲムズボック」): [名]アラビアオリックス arabiyaun-oriksu (新): [名]シロオリックス retar-oriksu (新): [名]ペイサオリックス beisa-oriksu (新)

オリビ(動物)[名](ブラックバック族)オリビ亜族 oribi-moutar (新): [名]オリビ属 oribi-cise (新): [名]オリビ oribi (新)※(英語)

おりふし(折節) [名]折節 sáke(-he) (石狩)

おりまげる(折り曲げる) [自]物を折り曲げる ikomo(複数 ikompa) (新): [他]～を折り曲げる komo(複数 kompa) (新): [他](場所)で～を折り曲げる ekomo(複数 ekompa) (新): [他]～と共に～を折り曲げる kokomo(複数 kokompa) (新): [他](原因、手段)で～を折り曲げる okomo(複数 okompa) (新): [他](人)に～を折り曲げさせる komore(複数 kompare) (新)

おりめ(折目) [名]折目 nik (石狩): [位名]～の折目の間 nikor(長形 -o) (石狩)

おりもの(下り物) [名]産後の下り物 ossiran (幌別)

オリョール [場名](ロシア連邦中央連邦管区の構成主体名)オリョール州 Orior-purovince (新): [場名](オリョール州の州都名) Orior (新)

おりる(下りる) ①(垂直、あるいは垂直に近い姿勢で低い所へ、あるいは空から地上などへ、また乗物から)[自]下りる ran(複数 rap) (石狩): (表現)下へ下りる erasi ran(複数 rap) (石狩): (表現)上から下りる orikasi ran(複数 rap) (石狩): (表現)崖を伝って下りる kut pesno ran(複数 ran) (石狩): (表現)木を伝って下りる ni opes ran(複数 rap) (石狩): [他](場所)に下りる eran(複数 erap) (石狩)、[他] koran(複数 korap) (石狩): [他]～と共に下りる

(複数) (新): [他](神によって何かが天からある場所)に下りる、降りる oran (石狩): [他](場所)から下りる (複数) (新): [他](原因、手段)で下りる (複数) (新): [自](天から地上、海上から海底に)下りる horaye (石狩): [他](天から地上、海上から海底に)下りる kohoraye (石狩): ②(山から家や浜、山の上から下、川筋に上流から下流、支流から本流に)[自]下りる san(複数 sap) (石狩): [他](場所)に下りる kosan(複数形 kosap) (石狩): [名]下りる道 ruesan (石狩): ③(山や家から川や沢あるいは浜など水辺に)[自]下りる ran(複数形 rap) (石狩)※(特に水を汲みに行く時は常に ran が用いられる。)

オリngo(動物)[名](アライグマ科)オリngo属 oringo-cise (新): [名]アレンオレンゴ aren-oringo (新): [名]ウェスランローランドオリngo cuppokunrowrando-oringo (新): [名]オリngitt mooringo (新): [名]フサオオリngo koypokun-oringo (新)

オリンピア [場名](アメリカ合衆国ワシントン州の州都名)オリンピア Orimpia (新)

おる(2)(織る) [自]織る isitayki (天塩)、[自]ioske (石狩): [他]～を織る sitayki (天塩)、[他] oske (石狩): 石狩方言では"oske"が「～を編む」、「～を織る」の双方を意味するが、今後は意味をはっきり伝えるため"sitayki"を使うのが好ましい。: [自]厚司を織る attuskar (石狩)

おる(折る) ①[自]物を折る ikaye(複数 ikaypa) (新): [他]～を折る kaye(複数 kaypa) (石狩): [他](場所)で～を折る ekaye(複数 ekaypa) (新): [他]～と共に～を折る kokaye(複数 kokaypa) (新): [他](原因、手段)で～を折る okaye(複数 okaypa) (新): [他](人)に～を折らせる kayere(複数 kaypare) (新): [他]自分で、一人で～を折る yaykokaye(複数 yaykokaypa) (新): [他]互いに、皆で～を折る ukokaye(複数 ukokaypa) (新): [他]完全に～を折る oarkaye(複数 oarkaypa) (新)、[他] srkaye(複数 arkaypa) (新): [他]思い切り～を折る toykokaye(複数 toykokaypa) (新): [他](中相)～が折られる cikaye(複数 cikaypa) (新): [他]人に～を折らせる、折ってもらう kayeyar(複数 kaypayar) (新): [他]～をぼきっと折る kaytekka(石狩): [他](何本もまとめて小枝などを)ボキボキ折る kekke (石狩、天塩): ②(折り曲げる事を示し)[自]物を折る ikomo(複数 ikompa) (新): [他]～を折る komo

(複数 kompa) (石狩): [他](人)に～を折らせる komore (複数 kompare) (新)

オレオムンネア (植物)[名](クルミ科)オレオムンネア属 hamuuyakus-nesko-cise (新): [名]オレオムンネア・プテロカルパの茎 hamuuyaus-nesko (新): [名]オレオムンネア・メキシカナの茎 mexiko-seyekapannesko (新)

オレゴン [場名](アメリカ合衆国の州名)オレゴン州 Oregon-mosir (新)※(州都は「セラム」)

おれなみ(折波) [名]折波 kay (石狩): [名]幾重にもなった折波 kaykay (石狩)

おれまがる(折れ曲がる) [自]折れ曲がる komke (石狩): [自]ぱっと折れ曲がる komtek (新)

おれる(折れる) [自]折れる kay (石狩): (表現)(強風が吹き荒れ木々の倒れる様の描写として)折れたいものはその幹の中程がバリバリと鳴り続け、折れたくないものは根こそぎ皆傾いていく kay rusuy pe suptomorke cikawrototo kay kopan pe osiritturano ukomewke wa paye (石狩)、(表現)折れたいものはボキボキと折られ、折れたくないものは根こそぎ飛ばされて行く kay rusuy pe cikoekekke kay niwkis pe sinrit tura cikohopitare (石狩): [他](場所)で折れる ekay (新): [他]～と共に折れる kokay (新): [他](場所)から折れる、(原因、手段)で折れる okay (新): [自]ぱきと折れる kaytek (石狩): [自]～の先端が折れる ekay (新): [自]～の末端が折れる okay (新): [自]ボキボキ折れる kaykay (新)、[自] sikoekekke (新): [他]～をボキボキ折る kekke (石狩): [他](中相) cikoekekke (石狩)

オレンジいろ(オレンジ色) [自]オレンジ色になる、である níkap-irone (新)、[自] órange-irone (新): [他]～をオレンジ色にする níkap-ironeka (-ironere) (新)、[他] órange-ironeka (-ironere) (新): [名]オレンジ色 níkapiro (沙流)、[名] órange-iro (新)

オレンブルグ [場名](ロシア連邦沿ヴォルガ連邦管区の構成主体名)オレンブルグ州 Oremburgu-purovince (新): [場名](オレンブルグ州の州都名)オレンブルグ oremburgu (新)

おろか(愚か) [自]愚かになる、愚かである oramsak (石狩)、[自] ramuisam (石狩)、[自] ramatsak (ramatak) (石狩): [名]愚か者 oramsakkur (新): [名](悪口として)愚か者 oramsakampe (oramsakpe) (新): (表現)愚かにならずに、馬鹿な真似は

なされずに ikaneypeka ciwenkoramusak no (石狩)

おろしかさねる(下ろし重ねる) [他](燃った糸)をどんどん下ろし重ねる ukaeranke (石狩): (表現)二つの糸の結び目、三つの糸の結び目をどんどん下ろし重ねる tu kasinkop re kasinkop ukaeranke (石狩)

おろす(2)(墮ろす) [自]子を墮ろす hoke (新): [他]～を墮ろす ehoke (新): [他](人)に子を墮ろさせる hokere (新)

おろす(下す) ①(空から地上など高い所から低い所に、あるいは乗物から)[他]～を下ろす ranke (複数 rapte) (石狩): (表現)下に～を下ろす erasi ranke (複数 rapte) (石狩)、(表現) ra ta ranke (複数 rapte) (石狩): (表現)上から～を下ろす orikasi ranke (複数 rapte) (石狩): [他](場所)へ～を下ろす eranke (複数 erapte) (石狩)、[他] koranke (複数 korapte) (新): [他]～と共に～を下ろす koranke (複数 korapte) (新): [他](場所)から～を下ろす oranke (複数 orapte) (新): [他](原因、手段)で～を下ろす oranke (複数 orapte) (新): [他](神が天からある場所)に～を下ろす oranke (石狩): [他](場所)から～を下ろす oranke (複数 orapte) (新): [他](原因、手段)で～を下ろす oranke (複数 orapte) (新): [他](人)に～を下ろさせる rankere (複数 raptere) (新): [他]自分で、一人で～を下ろす yaykoranke (複数 yaykorapte) (新): [他]互いに、皆で～を下ろす ukoranke (複数 ukorapte) (新): [他]完全に～を下ろす oanranke (複数 oanrapte) (新)、[他] anranke (複数 anrapte) (新): [他]物凄く～を下ろす toykoranke (複数 toykorapte) (新): [他](中相)～が下ろされる ciranke (複数 cirapte) (新): [他]人に～を下ろさせる、下してもらう rankeyar (複数 raptereyar) (新): [他]下に～を下ろす ráanaranke (複数 ráanarapte) (新): ②(山から村や浜、山の上から下、川筋に上流から下流、支流から本流に、あるいは預金を)[他]～を下ろす sanke (複数 sapte) (石狩): [他] kórasan (複数 kórasap) (石狩): [他](人)に～を下ろさせる sankere (複数 saptere) (新): ③(山から麓、家から川や浜など水辺へ動けぬ人や物を)[他]～を下げる kóranan (複数 kórarap) (石狩): [他](人)に～を下げさせる kórananke (複数 kórarapte) (新): ④[他](炉にある鍋や焼けた魚など)を下ろす yanke (複数 yapte) (石狩): [他](人)に～を下ろさせる yankere (複数 yaptere) (新):

おわり(終わり) [位名]への終り kes(長形 -e、-eke) (石狩): [位名](時間的に)終り、最後 atkes (天塩)※(対義語は"atpak"): (表現) 終りに、最後に atkes ta (新)

おわる(終わる) [自]終わる siokere (石狩): [自]物事を終わらせる iokere (新): [他]〜を終わらせる okere (石狩): [他](人)に〜を終えさせさせる okerere (新): [他]人に〜を終えさせさせる okereyar (新): [他][他](直接手を下さず)〜を終わらせる siokerere (siokereka) (新)

おんいん(音韻) ①(言語)[名]音韻 hawhum(-i) (新): [名]音韻表記 hawhumoinuye (新): [名]音韻論 hawhum-eampehunar (新): (言語)[名]音韻学 teetawano-cinaitak-hawhum-eampehunar (新)

おんか(音価) (音楽)[名]音価 itokpaatay(-e) (新)

おんがく(音楽) [名]音楽 kisarkiroroantep (新)、[名] ciokisarkiroroantep (新)、[名] musika (muzika) (新)

おんしゅ(温湿布) [名] 温 湿 布 ipopkekanimaw (ipopkerenimaw) (新): [自] 冷 湿 布 を する ipopkekanimawkar (ipokere-) (新)、[自] yayma (樺太白浦): [他]〜に冷湿布する epopkekanimawkar (新): [他]〜と共に冷湿布する koipopkekanimawkar (新): [他](原因、手段)で冷湿布する oipopkekanimawkar (新): [他](人)に冷湿布させる ipopkekanimawkare (新)

おんすい(温水) ① [名] 温 水 sésekwakka (新)、[名] cisesekka-wakka (新): (表現) 温水 ay=sésekkak wakka (石狩): [名] 温水器 wakkaseseckap (新): ②(飲用の)[名]温水 úsew (石狩)、[名] úsey (天塩): [名] 温水器 úsewkarpe (新)、[名] ciousewkarpe (新)

おんせい(音声) ①[名]音声 haw(-e) (石狩)、[名] hawkutcam (石狩): ②(言語)[名]音声 itakhaw(-e) (新): [名]音声表記 itakhawoinuye (新): [名]音声学 itakhaw-eampehunar (新): [名]音声学 itakhaw-eampehunarkur (新)

おんせつ(音節) [名]音節 húmik(-i) (新): [名]開音節 yaymaka-humik(-i) (新): [名]閉音節 yayseske-humik(-i) (新)

おんせん(温泉) [名]温泉 kamuy-tompuri (石狩)、[名] yu (石狩)、[名] tompuri (石狩)、[名] kamuy-usey(-e) (石狩)、[名] séseki (北見): [名]温泉水 kamuy-usew(-usey) (新)、[名] (kamuy-)tomuri-wakka [名] yu (新): (表現)天然温泉 siante (cianté) tompuri (新)、(表現) siante

(cianté) yu (新)

おんそ(音素) (言語)[名]音素 hawhum(-i) (新): [名]音素表記 hawhumoinuye (新)

おんたい(温帯) [名]温帯 sirpopke-sisso (sirpopke-sirso) (新)

オンタデ(御蓼) (植物)[名](タデ科)オンタデ属 kamuysiruskuttar-cise (新): [名]オンタデの茎 kamuysiruskuttar (新)※(別名「イワタデ」): [名]ウラジロタデの茎 amamkutar (幌別)※(別名「ウラジロイタドリ」)、[名]ウラジロタデの果実 kuttaramam (幌別)、ウラジロタデの若い茎 irureh (樺太)、[名]ウラジロタデの枯茎 tuhkuh (樺太)※(真岡): [名]オヤマソバの茎葉 kamuysirussompakina (新): [名]ヒメイワタデの茎 mokamuysiruskuttar (新)

オンタリオ [場名](カナダの州名)オンタリオ州 Ontario-purovince (新)※(州都は「トロント」)

おんど(温度) [名]温度 sesekru(-we) (新)※(熱い・事実)、[名] temperature (新)※(英語の temperature より): (表現)温度が上がる sesekru cirikinte (新)、(表現) sesekru rikin (新): (表現)温度が下がる sesekru ciranke (新)、(表現) sesekru ran (新): (表現)温度を上げる sesekam rikinte (新): (表現)温度を下げる sesekru ranke (新): (表現)温度を計る sesekru pakari (新): [名]水温 wakka-sesekru (新)、[名] wakka-temperature (新): [名]体温 netopa-sesekru (新)、[名] netopa-temperature (新): [名]気温 sisseseckru (新)、[名] temperature (新): [名]室温 tumpuoro-sisseseckru (新)、[名] tumpuoro-temperature (新): 「水温が5度上がった。」 "Wakka-sesekru 5" (asikne ipak、asikne dekru、asiknep) cirikinte (rikin)."

おんど(音頭) [自]音頭をとる hoskioman (複数 hoskipaye) (石狩)

おんどく(音読) [自]音読する ioroitak (新): [連他]〜を音読する oro-óitak (石狩)、[他] oroitak (美幌): 「私はいつも本を音読する。」 "Ramma kampsis oro=ku=oitak." : [他](人)に〜を音読させる oroitakte (新): [他]人に〜を音読させる oroitakar (oroitakyar) (新)

おんどけい(温度計) [名] 温 度 計 sesekrupakarip (新)、termometer (新)※(英語): [名](気温を計る)温度計 sisseseckrupakarip (新): [名]水温計 wakka-sesekrupakarip (新): [名]体温計 netopa-sesekrupakarip (新): [名]油温計 sum-sesekrupakarip (新): [名]乾湿温度

計 (新): [名]最高温度計 (新): [名]最低温度計 (新): [名]自記温度計 (新): [名]地中温度計 (新): [名]排気温度計 (新): [名]一次温度計 (新): [名]二次温度計 (新): [名]液柱温度計 (新): [名]ガリレオ温度計 garireoerakor sesekrupakarip (新): [名]サーモテープ (新): [名]抵抗温度計 (新): [名]バイメタル式温度計 tukaniita-sesekrupakarip (新): [名]非接触式温度計 cikeresak-sesekpakarip (新)

おんな(女) ①(性別として男に対する)[名]女 menoko (石狩)、[名](雅) mataynu (石狩): [名](合成語の構成要素として)女 mat-(ci) (石狩): ②[名](一人前になってから老婆になるまでの)女 menoko (石狩): [名]立派な女 katkemat (石狩): [名]嫁入り前の若い女 ponmenoko (石狩): [名](陰部に白い毛がまばらに生えている)夫を不幸にする女 iwentemat-(ci) (石狩)、[名]性交の際大きく目を見開き夫を睨む夫を不幸にする女 isikecire-iwentemat-(ci) (石狩): ③[連体]女の matne (石狩)

おんなのこ(女の子) [名]女の子 matnekaci (matneekaci) (石狩)、[名] matkaci (天塩)、[名] ponmenoko (石狩)、[名] menokopo (石狩): [名]女の子達 matnekattar (石狩): [名](品のない言葉として)女の子 operkep (天塩)、[名] operke (石狩)、[名] oper (石狩): [名]立ち歩きできるようになった幼い女の子 operkep (石狩)、[名]立ち歩きできるようになってから 8 才くらいまでの女の子 pónoperke (石狩)、[名] 7、8 才～10 才くらいまでの女の子 matnekaci (天塩)、[名] 10～15、6 才くらいまでの女の子 poromatnekaci (天塩): [名]男の子と女の子一人ずつ utureskorpo (沙流): (表現)男の子と女の子一人ずつ授かる utureskorpo an=ekasinukar (新)

おんなやま(女山) [場名]女山 matnesir (石狩)

か ①(疑問)[終助](文末<通常動詞句の後>に置かれ)～か ya (石狩): 石狩川筋の音声資料では y 音が落ち a と聞こえることが多い。また ne ya → na、an ya → ana という縮音形も多用される。この語は原則として動詞句の後に用いられるが、中空知の出身者は形式名詞 hi、p(pe) などの形式名詞で形成される名詞句の後に副助詞として用いる事がある。また口語としては別項に挙げる ruwe、hawe などを用いる事が多い。→「の」を見よ: 「…どういいう苦労話を彼女らがしたのだろうか?」「…nekonan ikopepka ki ya?」(砂沢クラ)、「…どう言ったものか?」「…

nekon a=ye p ya?」(門野トサ): [接助]～か～ 動詞句+ya～ (石狩): 中空知の出身者は「かも」「ya ka」を「yakka」と発音する事が多い。また門野トサ フチの資料には「Nekon a=ye p ne ya ru ne?」、「… nekon a=ye p ne ya ru ka ku=erampetek .」などこの ya の後に更に形式名詞の ru が続く例が幾つも確認できるが、目下詳細不明である。また杉村キナラブック フチの資料には「… ene an i ya…」という例も確認できるが、これには「…ene an i ne ya…」の例もあり、ne の脱落、省略と考えられるがあるいは副助詞に分類されるのかも知れない: 「それをどう言ったか彼が言っている。」「Neampe nekon a=ye ya ye hawas .」 「それをどう言ったか彼が言っている。」(門野トサ): [副助](話者が関心を持つ語句の後に置かれ疑問を表し)～か、～かい he (空知): ya が専ら動詞の後に用いるのに対し he は様々な語の後に用いる事ができるので、話者の関心が一体どこにあるのかをはっきり示せる。尚「h」の脱落する当方言では e が直前の子音と連続して発音されるので注意が必要: 「最初に言ったものって何の村ってかい?」

「Hoski a=ye p nep kotanu he?」(門野トサ)、「『hurepet』があるってあるだろ?」「《hurepet》 an pe ne an he?」(門野トサ)、「『ikasma』ってあるんだってかい」「《ikasma》 sekor an pe ne haw he?」、「『repunkotan』ってかい?」「《repunkotan》, sekor he?」(門野トサ)、「これか?」「Tampe he?」、「何かね?」「Nep he (Nepe)?」: ②(勧誘)[終助]～(しよう)か rok (旭川)、[終助] ro (空知)、[終助](雅) na (石狩): 「食事にしようか。」「Ipe=an rok .」: ③(これから自分がしようとしている事を言語化し)[終助]～(しよう)か、かな so (沙流): 「食事にしようか。」「Ku=ipe so .」、「頭が痛いから今日は行かないかな。」「Ku=sapa arka kusu tanto somo ku=oman so .」

が(1)(1)(格助詞)①日本語で「人が歩く」「aynu apkas」、「山が美しい」「nupuri pirka」など動作や状態の主体を示したり「キツネはネズミが食べたい」「sumari érum e rusuy」のように要求や願望の対象を示す格助詞の「が」はすぐ後のアイヌ語文で明らかなようにアイヌ語にそれに相当する標識はない。但し人称接辞は「私が歩く」ku=apkas では主格を、「あの人は私が嫌いだ」taankur en=etoranne では目的格をとる: ②受身において「ネズミが食べられる」érum an=e」という行為の対象を示す格助詞の「が」に関して①と同様その標識はない。この時動詞は不定人称の人

称接辞"an="をとる。また「私が嫌われる」
"enci=etoranne (= en=etoranne=an)"では
目的格との複合形となる。: ③複数のもの
を比較したり強調する場合の「が」→「は」
を見よ: (2)(逆接)①[接助](単純に逆接を示
し)~(する)が、~(した)が korka (石狩)、
[接助](韻文で) korkayki (石狩): 「今頑
張っているがアイヌ語ができない。」“Tane
ku=arikiki korka Aynuitak ku=eaykap .”、
「昨日私はそこに行ったが君はいなかった。」
“Numan ku=oman korka e=isam .”: こ
の意味では「=(して)も」を意味する“yakka”
に置き換え可能な場合がある。: ②(表現)あ
る行動を行った結果、予測や期待に反する動
作や状態があった事を示し) 動詞句+a (複
数 rok) korka (石狩)※(実際には複数の場
合も圧倒的に単数の形式が用いられる事が
多い)、(表現) 動詞句+ a p (複数 rok pe)
(石狩): 「私は頑張ったがアイヌ語はできな
い。」“Ku=arikiki (= a p ,) Aynuitak
ku=eaykap .”、「私達がそこに行ったが君は
いなかった。」“Ekota paye=as rok korka (=
rok pe ,) e=isam .”

ガ(1)(蛾) (虫)[名]ガ類の成虫の総称
apeetumpe (apetumpe) (石狩)

か(科) (分類)[名]科 apa (新): [場名]上科
apapa (新): [名]亜科 moapa (新)

ガー [名]ガー人 gákur (新)※(西アフリカ
のガーナ共和国の国名の元になったと言わ
れる): [名]ガー語 gákuritak (新)

カーキ [自]カーキ色になる、である káki
(新)※(英語)、[自] panaus (新)※(土埃に塗
れる): [他]~をカーキ色にする kákika
(kákire) (新)、[他] panausi (新): [名]
カーキ色 kákiiro (新)、[名] panausiro
(新)

かあさん(母さん) ①(自分の母親を示し)[名]母
さん totto (石狩)、[名] hapo (石狩)、
[名] mamma (天塩): (表現)私の母さん
ku=kottotto (ku=kor totto) (石狩)、(表現)
ku=kor hapo (石狩): ②(自分の妻を示
し)[名]母さん mat(-ci) (石狩)、[名]
menoko (石狩): (表現)私の母さん ku=kor
maci (ku=kor macihi) (石狩)、(表現)
ku=kor menoko (石狩)

カーソンシティ [場名](アメリカ合衆国ネバダ
州の州都名)カーソンシティ Karsonsíti
(新)

カーディフ [場名](イギリスのウェールズの首
都名)カーディフ Kádif (新)

カーテン ①[名]カーテン iotpe (新)、[名]
iorotpe (新): (表現)カーテンを開ける
iotpe (iorotpe) maka (新): (表現)カーテ
ンを閉める iotpe (iorotpe) seske (新):

(表現)カーテンを引く iotpe (iorotpe)
nimpa (新): ②(窓の)[名]カーテン
puyarotpe (新)、[名] puyarorotpe (新)

カード [名]カード yar(-i) (新)

ガーナ [固名](国名)ガーナ共和国 Gána
Ukotankoremosir (新)※(首都は「アクラ」):
[固名](国名の通称として)ガーナ Gána
(新): [名]ガーナ人、国民 gánaunkur
(新)

カーフェリー [名]カーフェリー
anopkoikusacip (新)

ガーベラ (植物)[名](キク科)ガーベラ属
gerberkina-cise (新): [名]ガーベラの茎葉
yayangerberakina (新)、[名]その花
yayangerbera (新)※(別名「アフリカセンボ
ンヤリ」、「オオセンボンヤリ」など)

カーボベルデ [場名](国名)カーボベルデ共和国
Káboverde Respuprika (新)※(首都は「ブ
ライア」): [場名](国名の通称として)カーボ
ベルデ Káboverde (新): [名]カーボベル
デ人、国民 káboverdeunkur (新)

カーボン [名]カーボンインク pásinku
(新): [名]カーボン紙 paskampi (新)

カーリーヘア [名]カーリーヘア komkomse-
otop(-i) (幌別)

ガン (鐘などの鳴る音)[間投]カーン、ガーン
kan (新): [間投]カーンカーン、ガーンガ
ーン kankan (新): [自]ガンと鳴る
kánse (káyse) (新): [他]~をガンと鳴
らす kánseka (káyseka) (新)、[他]
kánsere (káysere) (新): [自]ガンガン
鳴る kankanse (kankayse) (新):
[他]~をガンガン鳴らす kankanseka
(kankayseka) (新)、[他] kankansere
(kankaysere) (新): [自]ガンと一回鳴
る kankosanu (新)、[自] kankosampa
(新): [自]ガンガンと頻りに鳴る
cikanrototo (新)、[自] kanrototke (新):
[自]ガンガンと何回も鳴る kananatki
(新): [自]ガンガンと鳴り続ける
kannatara (新): [自]一瞬ガンと鳴る
kanteke (新)

ガンジー ①[場名](イギリスの王室保護領名)
ガンジー区 Ganzi-ikawarinetonokori
(新)※(首都は「セント・ピーター・ポート」):
②[場名]ガンジー島 Ganzi-poysir (新)

かい(2)(回) [名・副]~回 連体詞(数詞など)+
suy (石狩): [名・副]何回 hempaksuy
(石狩)、[名・副]二回 tusuy (石狩)

かい(下位) [場名]下位 makuysouni (新):
(表現)下位 makun souni (新): [連体]下
位の makuysoun (新): [名]下位者
makuysounkur (新)

かい(会) ①[名]会 uekarpa (石狩): [名]会

員 ieutannekur (新)、[名] uekarpakur (新)、[名] utar(-i) (新): (表現)新規会員
asir utar(-i) (新): ②(何かを楽しむため
の)[名]会 uenewsar (石狩)

かい(界) ①[場名]界 mosir(-i) (石狩)、[場
名] kotan(-u) (石狩): ②(分類)[場名]界
mosir (新): [場名]動物界 cikoykipmosir
(新): [場名]植物界 sinritkorpemosir
(新): [場名]上界 rikunmosir (新): [場
名]亜界 noskiunmosir (新): [場名]下界
raunmosir (新)

かい(階) [名]階 kay (新)※(日本語「階」):
(表現)二階 tu kay (新): (表現)二階に
tu kay ka ta (新): (表現)～階建ての～
kay kor (新)

かい(貝) [名]貝 sey(-e) (石狩)

かい(甲斐) [名]甲斐 raka (新): (表現)甲斐
がある rakaha an (新): (表現)甲斐がな
い rakaha isam (新): [副]甲斐もなく
oroisamno (新)、[副] oroisam (新): 「私
達は甲斐もなく帰った。」“Oroisamno
(Oroisam) hosippa=as.”

がい(垓) ①[名]垓人 ikiknen (新): [名]十垓
人 wánikiknen (新): [名]百垓人
atuytaikiknen (新): [名]千垓人
wánatuytaikiknen (新): ②[名]垓、垓匹、
垓個など ikik (新)※(10の20乗):
[名]十垓 wánikik (新): [名]百垓
atuytaikik (新): [名]千垓
wánatuytaikik (新): ③[連体]垓の
ikikne (新)、[連体] ikik (新): [連体]十
垓の wánikikne (新)、[連体] wánikik
(新): [連体]百垓の atuytaikikne (新)、
[連体] atuytaikik (新): [連体]千垓の
wánatuytaikikne (新)、[連体]
wánatuytaikik (新)

かい(權) [名]權 asnap (石狩): [自]權で漕
ぐ asna (石狩)

かいあく(改悪) [自]物事を改悪する
iasirwente (新): [他]～を改悪する
asirwente (新): [他](場所)で～を改良す
る easirwente (新): [他]～と共に～を改
悪する koasirwente (新): [他](原因、手
段)で～を改悪する oasirwente (新):
[他](人)に～を改悪させる asirwentere
(新): [他]自分で、一人で～を改悪する
yaykoasirwente (新): [他]互いに、皆で～
を改悪する ukoasirwente (新)

ガイアナ [場名](国名)ガイアナ共同共和国
Gúyana Ukasuy Respuprika (新)※(首都
は「ジョージタウン」): [場名](国名の略称
として)ガイアナ Gúyana (新): [名]ガイ
アナ人、国民 gúyanaunkur (新)

かいおうせい(海王星) (宇宙)[名](太陽系の八

番惑星名)海王星 Atuykorkamuynociw
(新)、[名] Neptunus (新)※(羅語)

かいおんせつ(開音節) [名]開音節 yaymaka-
humik(-i) (新)

かいが(絵画) [名]絵 noka (石狩)、[名]
cinuyenoka (新)、[名] pictura (新)※(羅
語)

かいが(開花) [他]～を開花させる
epirasakar (新): [他](中相)～が開花する
ciepirasakar (石狩)

がいが(外貨) [名]外貨 repunikonnep (新)、
[名] repunikor (新): [名]外貨為替
repunikorutasare (新): [名]外貨準備
reunikorkor (新): [名]外貨預金
repunikoranu (新)、[名] repunikorama
(新)

がいが(蓋果) [名]蓋果 putao-ikaop(-i) (新)

かいがい(海外) [場名]海外 repunmosir
(石狩): [連体]海外の repun (石狩)

かいがいしく [自]かいがいしく働く
niwasnu (石狩): [他](場所)でかいがいし
く働く eniwasnu (新): [他]～に対し
かいがいしく働く koniwasnu (石狩): [他]
～と共にかいがいしく働く koniwasnu
(新): [他](原因)でかいがいしく働く
oniwasnu (新): [自]自分で、一人で
かいがいしく働く yaykoniwasnu (新): [自]
互いに、皆でかいがいしく働く
ukoniwasnu (新): [他]人に～に対し
かいがいしく働かせる koniwasnuyar (新):
[自]人に自分に対してかいがいしく働か
せる sikoniwasnuyar (新):

かいかく(改革) [自]物事を改革する
iasirpikare (新): [他]～を改革する
asirpikare (新): [他](場所)で～を改革
する easirpikare (新): [他]～と共に～を
改革する koasirpikare (新): [他](原因、
手段)で～を改革する oasirpikare (新):
[他](人)に～を改革させる asirpikarere
(新): [他]人に～を改革させる
asirpikareyar (新): [他]自分で、一人で
～を改革する yaykoasirpikare (新):
[他]互いに、皆で～を改革する
ukoasirpikare (新): [他]完全に～を改革
する oasirpikare (arasirpikare)
(新): [他]充分～を改革する
asirpikareno (asirpikarenu) (新): [他]
大いに～を改革する toykoasirpikare
(新): [他](中相)～が改革される
ciasirpikare (新): [他]人に～を改革さ
せる asirpikareyar (新)

がいかく(外角) [場名]外角 soyuysikkew(-
e) (新)

かいがら(貝殻) [名]貝殻 sey(-e) (石狩)

かいかん(快感) ①[名]快感 pirkahum(-i) (新)、[名] pirkayaynum(-i) (新): ②[自]快感を得る pirkahumnu (新)、[自] pirkayaynumnu (新): [他](場所)で快感を得る epirkahumnu (新)、[他] epirkayaynumnu (新): [他]〜と共に快感を感じる kopirkahumnu (新)、[他] kopirkayaynumnu (新): [他](原因、手段)で快感を得る opirkahumnu (新)、[他] opirkayaynumnu (新): [他]〜に快感を与える pirkahumnure (新)、[他] pirkayaynumnure (新): ③[自]快感が大きくなる、大きい pirkahumiporo (新): [他](人)の快感を大きくする pirkahumiporoka (pirkahumiporore) (新): ④[自]快感が小さくなる、小さい pirkahumipon (新): [他](人)の快感を小さくする pirkahumiponka (pirkahumiponte) (新): ⑤[自]快感が高まる pirkahumirikin (新): [他](人)の快感を高める pirkahumirikinte (新)

かいがん(海岸) [場名] 海岸 atuysam (atuysama、atuysamake) (石狩)、[場名] russam (russama、russamake) (天塩)

かいぎ(会議) [自]会議する ukoitakkar (新)、[自] ukoramkor (新): [他](場所)で会議をする eukoitakkar (新)、[他] eukoramkor (新): [他]〜と共に会議する koukoitakkar (新)、[他] koukoramkor (新): [他](原因、手段)で会議する、〜に関して会議する oukoitakkar (新)、[他] oukoramkor (新): [他](人)に会議させる ukoitakkar (新)、[他] ukoramkore (新): [名]会議室 cieukoitakkarustumpu (新)、[名] cieukoramkorustumpu (新): [場名]会議場、会議所 ukoitakkarusi (新)、[場名] ukoramkorusi (新)

かいきげっしょく(皆既月食) (表現)皆既月食になる kunnecup ray (石狩)

かいきせん(回帰線) [場名] 回帰線 peketcupsokes (新): [場名]北回帰線 koykaun-peketcupsokes (新): [場名]南回帰線 koypokun-peketcupsokes (新)

かいきにっしょく(皆既日食) (表現)皆既日食になる cup ray (石狩)、(表現) sirpeketcup ray (新)、(表現) tókam sirkunne (石狩)

カイギウ(海牛)(動物)[場名](哺乳綱)海牛目 atuyepko-kotan (新)※(ジュゴン目とも): [名]ジュゴン科 zannuyyu-apa (新): [名]マナティー科 manatee-apa (新)

かいきゅう(階級) ①(社会的階級)[名]階級 so (新)、[名] kuras (新)※(英語): ②(位階など)[名]階級 sóuni (新)、[名] so (新):

③(生物学、分類学上の)[場名]階級 so (新)、[名] ranku (新)※(英語)

かいきよ(開渠) [名]開渠 cimaka-cikannay (新)、[名] cikananay (新)

かいきょう(海峡)[名]海峡 uturkeatuy(-e) (屈斜路)

かいぐま(飼熊) [名]飼熊 an=réska kamuy (石狩)、[名] an=réska eper (石狩)、[名](雅語) cireskap (石狩)

かいぐん(海軍) [名]海軍 atuyuntum (新)

かいけん(会見) [他]〜と会見する nukar (石狩): [他](場所)で〜と会見する enukar (新): [他]〜と共に〜と会見する konukar (新): [他](原因、手段)で〜と会見する onukar (新): [他]〜を〜と会見させる nukare (石狩): [自]会見する unukar (石狩)、[自] ukouekarire (石狩): [他](人達)を会見させる unukare (新)

がいけん(外見) ①[名]外見 kat(-u) (石狩) ※(今日までの用例では husko kat ne「元の姿(外見)に戻る」、eperkat ne「クマの姿(外見)になる」などで、「私の姿(外見)」という用例は見られないが、今後は ku=katu、あるいは ku=kor kat と表現する事も可とする。): [自](副詞と共に用いられ)外見をする、外見をしている katkor (石狩): 「君は外見を繕っているが中身がバレバレだよ。」“Pirkano e=katkor korka e=oske an=eraman pe ne na .”: [他]〜の外見をする katukor (新): 「何で君はそんなびっくりする様なひどい外見をしてるんだ?’’ “Nepkusu ene ayapo e=katukor ru an a ?”: ②[位名]〜の外見 ka(長形 -si、-sike) (石狩): 「昨日私の所に来た人の外見は裕福そうな人だった。」“Numan ek kur kasi nipa neno an kur ne .”

かいご(介護) [自]人を介護する ikahuye (新): [連他]〜を介護する kasi-huye (kahuye) (新)※(幌別方言の「〜を看病する」より): (表現)私が君を介護する e=ka=ku=huye (新): (表現)私は母を介護する ku=kor totto kasi=ku=huye (新): [他](人)に人を介護させる ikahuyere (新): [他](人)に自分を介護させる sikhuyere (新): [自]介護してもらう sikhuyeyar (新): [自]互いに介護し合う、皆を看病する ukahuye (新): [名]介護士 ikahuyekur (新): [名]介護用品 cioikahuyep (新): [名]介護用ベット ikahuye-amset (新)

カイコウ(海口) [場名](中華人民共和国海南省の省都)海口 Haykow (新)

がいこう(外交) [名]外交 oyamosirkoitak (新)、[名] oyakotankoitak (新): [自]外

交する oyamosirkoitak (新)、[自] oyakotankoitak (新): [自]外交させる oyamosirkoitakte (新)、[自] oyakotankoitakte (新): [名]外交官 oyamosirkoitakkur (新)、[名] oyakotankoitakkur (新): [名]外交関係 ukooyamosirkoitak (新): (表現)外交関係を築く ukooyamosirkoitak kar (新): (表現)外交関係を絶つ ukooyamosirkoitak uska (新): [名]外交辞令 oyamosirkoitakkurpuri (新)、[名] oyakotankoitakkurpuri (新)

がいこく(外国) [場名] 外国 repunkotan (石狩)、[場名] oyamosir (新): [連体] 外国の repun (石狩)、[連体] oyamosirun (新): [名] 外国人 repunkur (石狩)、[名] repun-aynu (石狩)、[名] oyamosirunkur (新): [名] 外国の領海 repunkur-atuy (石狩)

がいこつ(骸骨) [名] 骸骨 kaysey(-e) (石狩): [名] 人の骸骨 aynukaysey(-e) (石狩)

かいざいく(貝細工) (植物)[名](キク科)カイザイク属 ciseyokarpemun-cise (新): [名] カイザイクの茎葉 ciseyokarpemun (新)、[名] その花 ciseyokarpe (新)

かいし(開始) [自] 開始する heasi (幌別)、[自] siheasire (新): [他](場所)で開始する eheasi (新): [他]〜と共に開始する koheasi (新): [他](原因、手段)で開始する oheasi (新): [他]〜を開始する heasire (幌別): [他](場所)で〜を開始する eheasire (新): [他]〜と共に〜を開始する koheasire (新): [他](原因、手段)で〜を開始する oheasire (新): [他]〜に〜を開始させる heasirere (新): [他]自分で、一人で〜を開始する yaykoheasire (新): [他]共に、皆で〜を開始する ukoheasire (新)

かいしゃ(会社) [場名] 会社 tomisapusi (新)、[場名] uipereusi (新)、[名] kompani (新)※(英語): (表現)私が所有する会社 ku=kor tomisapusi (新): (表現)私が勤める会社 ku=un tomisapusi (新)

かいじゅう(怪獣) [名] 怪獣 kamiasi (新)、[名] monster (新)※(英語)

かいじゅう(懐柔) [自] 懐柔する isisameaskar (新): [他]〜を懐柔する sisameaskar (新): [他](人)に〜を懐柔させる sisamaskare (新)

かいじゅう(海獣) [名] 海獣 atuykauncikoykip (天塩)、[名] repuncikoykip (八雲)

がいしゅつ(外出) [自] 外出する asin (複数 asip) (石狩)、[自] esoyne (石狩)、[自] soyne (天塩)※(沙流方言などでは複数形と

して"soyompa"の形がある。): [他](場所)で外出する oasin (複数 oasip) (新): [他](場所)へ外出する koasin (複数形 koasip) (新): [他](場所)から外出する oasin (複数 oasip) (石狩): [他](原因、手段)で外出する oasin (複数 oasip) (新): [他](人)を外出させる oasinke (複数 oasip) (新)、[他] esoyneka (esoyne) (新)[自] soyneka (soynere) (新): [自] 自分で、一人で外出する yaykoasin (複数 yaykoasip) (新)、[自] yaykoesoyne (新): [自] 互いに、皆で外出する ukoasin (複数 ukoasip) (新)、[自] ukoesoyne (新):

かいしゅん(買春) [自] 買春する hohok (新): [他]〜を買春する ohok (新)

かいしょ(会所) (歴史)[名] 会所 kayso (浦河)、[名] kuhayso (八雲): [場名] 会所元 kaysor (浦河)

かいじょう(海上) [場名] 海上 atuyka(atuykasi、atuykasike) (石狩)、[場名] atuykurka(atuykurkasi、atuykurkasike) (石狩): [0動] 海上火災が起こる atuykauhuy (新)

がいしょう(外傷) [名] 外傷 soyumpir(-i) (新)

かいしょう(甲斐性) ① [自] 甲斐性がある isoun(ison) (新)、[自] ipekor (新)、[自] rakakor (新): [名] 甲斐性がある人 isounkur(isonkur) (新): ② [自] 甲斐性がない ipesak (新)、[自] rakasak (新): [名] 甲斐性なし ipesakkur (石狩)、[名] rakasakkur (石狩)、[名] wenkur (石狩): (悪口として)[名] 甲斐性なし ipesakpe (ipesappe) (石狩)、[名] rakasakpe (石狩)、[名] wempe (石狩)

かいず(海図) [名] 海図 atuyrunoka (新)

かいすい(海水) [名] 海水 atuywakka (石狩): [場名] 海水域 atuywakkausike (新): [名] 海水魚 atuywakka-tumuncep (新)

かいぜん(改善) [自] 物事を改善する iasirpikare (新): [他]〜を改善する asirpikare (新): [他](場所)で〜を改善する easirpikare (新): [他]〜と共に〜を改善する koasirpikare (新): [他](原因、手段)で〜を改善する oasirpikare (新): [他](人)に〜を改善させる asirpikarere (新): [他]自分で、一人で〜を改善する yaykoasirpikare (新): [他]互いに、皆で〜を改善する ukoasirpikare (新)

かいせん(海戦) [名] 海戦 atuytumi (新)

がいせん(外線) [名] 外線 soykusru (新)

かいせん(疥癬) [名] 疥癬 paraki-omayayke

(新): [自]疥癬にかかる parki-omayayke (新)

かいそ(改鼠) [自] 改 鼠 す る
iikkakokannakar (新): [他]~を改鼠する
ikkakokannakar (新): [他](場所)で~を改鼠する
eikkakokannakar (新): [他]~と共に~を改鼠する
koikkakokannakar (新): [他](原因、手段)で~を改鼠する
oikkakokannakar (新): [他](人)に~を改鼠させる
ikkakokannakare (新): [他]自分で、一人で~を改鼠する
yaykoikkakokannakar (新): [他]互いに、皆で~を改鼠する
ukoikkakokannakar (新)

かいそう(回想) [自]回想する iesikarun (ieskarun) (新)、[自] usaanapkosikiru (新): [他]~を回想する esikarun (eskarun) (石狩)、[他] eusaanapkosikiru (新): [他]人に~を回想させる esikarunte (eskarunte) (石狩)、[他] eusaanapkokirure (新)

かいぞう(改造) [自]改造する ikannakar (新): [他]~を改造する kannakar (新): [他](場所)で~を改造する ekannakar (新): [他]~と共に~を改造する kokannakar (新): [他](原因、手段)で~を改造する okannakar (新): [他](人)に~を改造させる kannakare (新): [他]自分で、一人で~を改造する yaykokannakar (新): [他]互いに、皆で~を改造する ukokannakar (新): [他]完全に~を改造する oarkannakar (arkannakar) (新): [他]充分~を改造する kannakanno (kannakannu) (新): [他]物凄く~を改造する toykokannakar (新): [他]~を魔改造する kannauekar (新): [名]改造空母 cikannakar-sintakotcip (新)

がいそう(外装) (表現)~の外装をする ~ soy(長形-ke) tomtte (新)

かいぞく(回族) [名]回族 húikur (新)

かいぞく(海賊) ①[名]海賊 atuykaoikkakur (新)、[名] atuyka-ikkakur (新)、[名] cipoikkakur (新)、[名] atuykaoikkap (新): [名]海賊行為 atuykaoikka (金): [自]海賊行為を行う atuykaoikka (新): [名]海賊旗 Jóri Rójer (新)※(英語)、[名]旗 topattumicip-inusukpe (新): [名]海賊船 atuykaoikkacip (新)、[名] topattumicip (新): ②(集団として)[名]海賊行為 repun-topattumi (新): (表現)海賊行為を行う repun-topattumi sanke (新)、(表現) topattumi yanke (新)

かいたい(解体) ①(動物に関して)[自]獲物を解体する iri (石狩): [他]~を解体する

ri (石狩): [他](人)に~を解体させる ríre (新): [名]イオマンテで解体の際脂と共に食べる団子 irisito (石狩): ②(機械などに関して)[他]~を解体する hecawere (新)※(本来は「(衣服)を解す」の意味。): [他](場所)で~を解体する ehecawere (新): [他]~と共に~を解体する kohecawere (新): [他](原因、手段)で~を解体する ohecawere (新): [他](人)に~を解体させる hecawerere (新)

かいだん(会談) (表現)~と~が会談する ~ ~unukar wa ukoitak (新): (表現)~と会談する ~ nukar wa koitak (新)

かいだん(階段) [名]階段 sirusnikar (新)、[名] níkar (石狩): (表現)階段を上る sirusnikar kari rikin (複数 rikip) (新)、(表現)階段を下りる sirusnikar kari ran (複数 rap) (新)

かいちゅう(懷中) [名]懷中 ussor(-o) (石狩)、[名] upsor(-o) (石狩): [他]~を懷中に入れる ussoromare (upsoromare) (石狩): [他](刀)を懷中に吞む honturasire (石狩): [名]懷中電灯 imeru-sune (新): (表現)懷中電灯を点ける imeru-sune kar (新): (表現)懷中電灯を消す imeru-sune uska (新)

かいちゅう(海中) [場名]海中 atuytum(-u、-ke) (石狩)

がいちょうどう(外聴道) [名] 外 聴 道 kisarsuy(-e) (石狩)、[名] kisassuy(-e) (石狩)、[名] kisarpuy(-e) (石狩)

かいてい(海底) [場名]海底 atuyasam(-a) (石狩): [名]海底ケーブル atuyasam-harika (新)、[名] atuyasam-keybur (新): [名]海底ケーブル敷設船 atuyasamharika-turiricip (新)

かいてん(回転) ①[自]回転する sikari (石狩)、[自] kari (石狩): [他](場所)で回転する esikari (石狩)、[他] ekari (石狩)、[他] okari (石狩): [他]~と共に回転する kosikari (新)、[他] kokari (新): [他](原因、手段)で回転する osikari (新)、[他] okari (新): [他]~を回転させる sikarire (石狩)、[他] kari (石狩): [他](人)に~を回転させる karire (新): [名]回転ベット sikari-amset (新): [自]自分で、一人で回転する yaykosikari (新)、[自] yaykokari (新): [他]自分で、一人で~を回転させる yaykosikarire (新)、[他] yaykokari (新): [自]皆で、共に回転する ukosikari (新)、[自] ukokari (新): [他]皆で、共に~を回転させる ukosikarire (新)、[他] ukokari (新): [自]完全に回転する oassikari (assikari) (新)、[自] oarkari (arkari) (新)

(新): [他]完全に～を回転させる
oassikarire (assikarire) (新)、[他]
oarkari (arkari) (新): ②[自]ぐるぐる回転
する sikarikari (石狩)、[自] karikari
(石狩)、[自] sikannatki (天塩): [他](場
所)でぐるぐる回る esikarikari (新)、[他]
ekarikari (新): [他]～と共にぐるぐる回
転する kosikarikari (新)、[他]
kokarikari (新): [他](原因、手段)でぐる
ぐる回転する osikarikari (新)、[他]
okarikari (新): [他]～をぐるぐる回転さ
せる sikarikarire (新)、[他] karikari
(新): [他](人)に～をぐるぐる回転させる
karikarire (新)

かいてんよく(回転翼) [名]回転翼 karirap
(新)、[名] karikarirap (新): [名]回転翼
航空機、回転翼機 karirapkossinta
(karirapkorsinta) (新)、[名]
karikarikossinta (karikarikorsinta) (新):
[名]オートジャイロ autojiro (新)※(英
語): [名]複合ヘリコプター
ikokariraporikimpe (新): [名]ヘリコプタ
ー kariraporikimpe (新)、[名]
herikopter (新)※(英語)

かいとう(1)(回答) [自]回答する itasaitak
(石狩): (表現)正しく回答する oupekano
itasaitak (新): (表現)間違った回答をする
hayta (uhayta) wa itasaitak (新): (表
現)早く回答する tunasno itasaitak (新):
(表現)出鱈目に回答する etarka itasaitak
(新): [他]～について回答する eitasaitak
(新): [他](場所)で回答する eitasaitak
(新): [他](人)に回答する koitasaitak
(新): [他]～と共に回答する koitasaitak
(新): [他](原因、手段)で回答する
oitasaitak (新): [他](人)に回答させる
itasaitakte (新): [自]即座に回答する
itasaitaktek (itasaitattek) (新): [自]自
分で回答する、独力で回答する
yaykoitasaitak (新): [他]皆で回答する、
回答し合う ukoitasaitak (新)

かいとう(解答) [名](行為)解答 ipitakar
(新): [名]解答、解答されたもの
cipitakarpe (新): [自]解答する ipitakar
(新): [他](問題)に解答する pitakar
(新): (表現)正しく(問題)に解答する
oupekano pitakar (新): (表現)出鱈目に
(問題)に解答する etarka pitakar (新):
(表現)間違つて(問題)に解答する hayta wa
pitakar (新): [他](場所)で(問題)に解答す
る epitakar (新): [他]～と共に(問題)に
解答する kopitakar (新): [他](原因、手
段)で(問題)に解答する opitakar (新):
[他](人)に(問題)に解答させる pitakare

(新): [他]自分で、一人で(問題)に解答する
yaykopitakar (新): [他]互いに、皆で(問
題)に解答する ukopitakar (新): [他](問
題)に全て正しく解答する arpitakar (石
狩): [他]人に(問題)に解答させる
pitakarakar (新)

かいとう(回頭) [自]回頭する hekari (石
狩)、[自] hekomo (石狩): [他](場所)で回
頭する ehekari (新)、[他] ehekomo
(新): [他]～へ回頭する kohekari (新)、
[他] kohekomo (新): [他]～と共に回頭
する kohekari (新)、[他] kohekomo
(新): [他](原因、手段)で回頭する ohekari
(新)、[他] ohekomo (新): [他]～に回頭
させる hekarire (新)、[他] hekomore
(新): [自]一気に回頭する earhekari
(新)、[自] earhekomo (新): [自]一斉回
頭する ukohekari (新)、[自] ukohekomo
(新)

かいとう(怪盗) [名]怪盗 ikkanokur (新)

がいとう(外套) [名]外套 imikaomip (新)、
[名] ikaomip (新): [名]毛皮の外套 ur
(石狩)

かいどう(街道) [名]街道 cikususru (新)、
[名] cikususi (新)

がいとう(該当) [他]～に該当する epeka
(沙流): [他](場所)で～に該当する eepeka
(新): [他]～と共に～に該当する koepeka
(新): [他](原因、手段)で～に該当する
oepeka (新): [他]～を～に該当させる
epekare (新)

がいとうまく(外套膜) [名](軟体動物の)外套膜
ikawaikamukap-(u) (新)

カイン(海南) ①[場名](中華人民共和国の省
名)海南省 Haynan-purovince (新): ②
[場名](地名)海南島 Haynan-poysir (新)

がいねん(概念) [名] 概 念
cinoypeoreeramampe (新)、[名] koncepto
(新)※(英語): [自]概念化する
inoypeoreeraman (新): [他]～を概念化す
る noypeoreeraman (新): [他]～に～を
概念化させる inoypeoreeramante (新):
[他](中相)～が概念化される
cinoypeoreeraman (新): (文法)[名]概念形
cinoypeoreeramankat-(u) (新): [名]概念
地図、概念マップ cinoypeoreeramampe-
sinnoka (新)、[名] cinoypeoreeramampe-
map (新)

カイノキ(楷樹) (植物)[名](ウルシ科)カイノキ
属 kampinuyeni-cise (新): [名]カイノ
キの茎 kampinuyeni (新)※(別名「ランシ
ンボク」など): [名]テレピンノキの茎
terebinni (新): [名]ピスタチオの茎
pistacioni (新)

かいひ(回避) [自]回避する ihayta (新)、
[自] iyaykakamakar (新): [他]～を回避
する hayta (石狩)、[他] yaykakamakar
(新): 「そいつが殴りかかってきたが私はそ
れを回避した。」 “Neap en=kik kusu iki
korka ku=hayta .”: [他](場所)で～を回避
する ehayta (新)、[他] eyaykakamakar
(新): [他]～と共に～を回避する kohayta
(新)、[他] koyaykakamakar (新):
[他](原因、手段)で～を回避する ohayta
(新)、[他] oyaykakamakar (新): [他](人)
に～を回避させる haytare (新)、[他]
yaykokamakare (新)

がいびこう(外鼻孔) [名]外鼻孔 enkor(i)
(石狩)

がいぶ(外部) [位名]～の外部 soy(長形-ke)
(石狩): (表現)～の外部へ soy(長形-ke)
ene (石狩)(表現)～の外部へ、外部で
soy(長形-ke)ta (石狩): (表現)～の外部か
ら soy(長形-ke)wa(-no) (石狩): [副]外
部に esoyne (新)、[副] eson (石狩)、[副]
sisoynaraye (石狩): [連体]外部の
soyun (新): [名]外部生殖器 soyun-
ciouattep(i) (新)

かいぶつ(怪物) [名]怪物 kamiasi (石狩):
[名]悪い怪物 wenkamiasi (石狩)

かいほう(介抱) [自]人を介抱する ikaoyki
(石狩)、[自] itemka (石狩): [連他](人)を
介抱する kasi-oyki (ka-oyki) (石狩)、[他]
temka (石狩): (表現)私が君を介抱する
e=ka=ku=oyki = e=kasioyki=an (石狩)、
(表現) 私が私の弟を介抱する ku=aki
kasi=ku=oyki = ku=aki ku=kasioyki (表
現): [他] temkare (新)

かいほう(解放) [自]人を解放する itusakar
(新)、[自] iyayrenkanure (新): [他]～を
解放する tusakar (新)※(蘇生する+kar)、
[他] yayrenkanure (新): [他]～に関し
て～を解放する etusakar (新)、[他]
eyayrenkanure (新): [他](場所)で～を解
放する etusakar (新)、[他]
eyayrenkanure (新): [他]～と共に～を解
放する kotusakar (新)、[他]
koyayrenkanure (新): [他]～から～を解
放する otusakar (新)、[他]
oyayrenkanure (新): [他](人)に～を解放
させる tusakare (新)、[他]
yayrenkanurere (新): [他]自分で、一人で
～を解放する yaykotusakar (新)、[他]
yaykoyayrenkanure (新): [他]互いに、皆
で～を解放する ukotusakar (新)、[他]
ukoyayrenkanure (新): [他]完全に～を
解放する oattusakar (attusakar) (新)、
[他] oaryayrenkanure (aryayrenkanure)

(新): [他](中相)～が解放される citusakar
(新)、[他](中相) ciyayrenkanure (新):
[他]人に～を解放させる、してもらう
tusakarar (新)、[他] yayrenkanureyar
(新): [自]人に自分を解放してもらう
situsakarar (新)、[自]
siyayrenkanureyar (新): [自]自分で自分
を解放する yaytusakar (新): [自]皆を
解放する、解放し合う utusakar (新)、[自]
uyayrenkanure (新)

かいぼう(解剖) [自]解剖する icuppusi (美
幌): [他]～を解剖する eicuppusi (新):
[他](人)に～を解剖させる eicuppusire
(新): [名]解剖学 icuppusi-oampehunar
(新)

かいほう(快方) [自](病気が)快方に向かう
riten (石狩)、[自] pirka (石狩)

かいぼう(海防) [自]海防する
yásamepunkine (新): [他]～に海防させ
る yásamepunkinere (新): [名]海防艦
yásamepunkinecip (新): [名]海防戦艦
yásamepunkine-situmicip (新)

かいむらさき(貝紫) [自]貝紫になる、である
huskohatpeus (新)、[自] sípurpura (新)、
[自] huskopurpura (新): [他]～を貝紫
にする hatpeusi (新)、[他] sípurpuraka
(sípurpurare) (新)、[他]
huskopurpuraka (新): [名]貝紫色
huskohatpeus-iro (新)、[名] sípurpura-
iro (新)huskopurpura-iro

かいめい(解明) [自]解明する ipitakar
(新): [他]～を解明する pitakar (新):
[他](場所)で～を解明する epitakar (新):
[他]～と共に～を解明する kopitakar
(新): [他](原因、手段)で～を解明する
opitakar (新): [他](人)に～を解明させる
pitakare (新): [他]さっと～を解明する
pitkattek (新): [他]自分で、一人で～を解
明する yaykopitakar (新): [他]互いに、
皆で～を解明する ukopitakar (新): [他]
～を完全に解明する arpitakar (石狩):
[他]充分に～を解明する pitakanno
(pitakannu) (新): [他]人に～を解明させ
る pitakarar (新)

かいめん(海面) [名]海面 atuyso (石狩):
(表現)海面に atuyso ka(長形-si、-sike)
(石狩)、(表現) atuyso kurka(長形-si、-sike)
(石狩)

かいもの(買物) [自]買物をする ihok (石
狩): [他](場所)で買物をする eihok (新):
[他]～と一緒に買物をする koihok (新):
[他](原因、手段)で買物をする oihok (新):
[他](人)に買物をさせる (新): [名]買物籠
anhokpeop (新)、[名] cihokpeop (新):

[名]買物袋 anhocpepukuru (新)、[名] cihokpepukuru (新)
かいよう(海洋) [名]海洋 atuy(-e) (石狩)
かいよう(潰瘍) [自]～が潰瘍になっている suyoma (複数 suyo) (新)、[自] puyoma (複数 puyo) (新)
がいらい(外来) [自]外来する orepun (新): [名]外来生物 orepun sikunup (新): [名]外来種 orepunike (新)
かいりゅう(海流) [名]海流 atuymom (新)
かいりょう(改良) [自]物事を改良する iasirpikare (新): [他]～を改良する asirpikare (新): [他](場所)で～を改良する easirpikare (新): [他]～と共に～を改良する koasirpikare (新): [他](原因、手段)で～を改良する oasirpikare (新): [他](人)に～を改良させる asirpikarere (新): [他]自分で、一人で～を改良する yaykoasirpikare (新): [他]互いに、皆で～を改良する ukoasirpikare (新)
がいりんせん(外輪船) [名]外輪船 karipkotcip (新)
カイロ [場名](エイプト・アラブ共和国の首都) カイロ Káhira (新)
かいろ(懷炉) [名]懷炉 upsor-popkerep(-popkekap) (新)
かいろ(海路) [名]海路 atuyru(-we) (新)
かいわ(会話) [名]会話 ukoitak (新): [自]会話する ukoitak (石狩): (表現)アイヌ語で会話する aynuitak ani ukoitak (石狩)、(表現)外人と会話する repunkur tura (turano) ukoitak (石狩): [他](場所)で会話する eukoitak (新): [他]～と会話する koitak (石狩): [他](原因、手段)で会話する oukoitak (新): [他](人)に会話させる ukoitakte (新)
カイン (聖書)[名]カイン Káin (新)※(アダムとエバの長男)
かいんとう(下咽頭) [名]下咽頭 oarkutkes(-e) (新)、[場名] arkutkes(-e) (新)
かう(飼う) [他]～を飼う reska (石狩)、[他]resu (複数 respa) (石狩): [他](場所)で～を飼う ereska (新): [他](目的)のために～を飼う ereska (新): [他]～と共に～を飼う koreska (新): [他](原因、手段)で～を飼う oreska (新): [他](人)に～を飼わせる reskare (新)、[他] resure (複数 respare) (新): [自]動物を飼う cikoykipreska (新)、[自] cikoykipresu (複数 cikoykiprespa) (新)
かう(買う) [他]～を買う hok (石狩): [他](場所)で～を買う ehok (新): [他]～と一緒に～を買う kohok (新): [他](原因)で～を買う ohok (新): [他](手段)で

～を買う ehokkar (石狩): 「私はクレジットカードで服を買った。」 “Ikonesospo amip ku=ehokkar .”: [他](人)に～を買わせる hokte (hotte) (新)
かえしぬい(返し縫) [自]返し縫する iukawkaw (新): [他]～を返し縫する ukawkaw (新): [他](人)に～を返し縫させる ukawkawre (新)
かえす(帰す、返す) ①[自]人や物を帰す、返す ihosipire (複数 ihosipare) (新): [自]人を帰す、返す unhosipire (複数 unhosipare) (新): [他](人)を帰す、(物)を返す hosipire (複数 hosipare) (石狩): 「…全員を私は生き返らせて帰すつもりだから…」 “…opitta an=siknuka wa an=hosipare kusu ne kus…” (杉村キナラブック)神謡、「お金をお前に貸したのにまだ返しもしない。」 “Ikor e=esoseyar=an korka na e=hosipire ka somo ki .”: [他](人)の元に(人)を帰す、(場所)に(人)を帰す、(人)に(物)を返す、(場所)に(物)を返す kohosipire (複数 kohosipare) (石狩): [他]～と共に～を帰す、返す kohosipire (複数 kohosipare) (新): [他](原因、手段)で～を帰す、返す ohosipire (複数 ohosipare) (新): [他]自分で、一人で[他](人)を帰す、(物)を返す yaykohosipire (複数 yaykohosipare) (新): [他]互いに、皆で[他](人)を帰す、(物)を返す ukohosipire (複数 ukohosipare) (新): [他](中相)[他](人)が帰される、(物)が返される cihosipire (複数 cihosipare) (新): [他]人に[他](人)を帰してもらう、(物)を返してもらう hosipireyar (複数 hosipareyar) (新): [自][他]人に自分を帰してもらう sihosipireyar (複数 sihosipareyar) (新): ②(借金に関して)[自]借金を返す soataykar (沙流): (表現)借金を返す soatay kar (石狩)、(表現) ikor hosipire (新)
かえって(却って) [副]却って onene (石狩)、[副] eikasu (天塩)、[副] oikasu (天塩)、[副] orehetopo (沙流): (表現)却って直ぐに nani onene (石狩): (表現)却って悪くなる、なっている eikasu wen (天塩)、(表現) oikasu wen (天塩): (表現)(雅)却って悪いぞ waka wen na (久保寺)
カエデ(楓) (植物)[名](ムクロジ目)カエデ科 tópeni-apa (新): [名]カエデ属 tópeni-cise (新): [名]イタヤカエデの茎 tópeni (tópeni) (石狩): [名]イロハモミジの茎 sísamiwatopeni (新): [名]ウリカエデの茎 ruotopeni (新): [名]ウリハダカエデの茎 urikapkortopeni (urikapkottopeni) (新): [名]エゾイタヤの茎 nitattopeni

(美幌): [名] オオモミジの茎 upasetoranneiwatopeni (新): [名] オガラバナの茎 matneiwatopeni (美幌): [名] カジカエデの茎 kajitopeni (新): [名] カラコギカエデの茎 otatopeni (千歳): [名] クスノハカエデの茎 riyahamustopeni (新): [名] サトウカエデの茎 kánadatopeni (新): [名] チドリノキの茎 cidorinoki (新): [名] トウカエデの茎 atuyyatopeni (新): [名] ハウチワカエデの茎 retatopeni (十勝): [名] ハナノキの茎 hananoki (新): [名] ヒトツバカエデの茎 petcakhmustopeni (新): [名] ホソエカエデの茎 tekeanetopeni (新): [名] メグスリノキの茎 sikkusuritopeni (新): [名] ヤマモミジの茎 iwatopeni (H): [名] キンセンセキ属 dipteronia (新): [名] キンセンセキの茎 dipteronia (新)※(「金銭槭」): [名] ウンナンキンセンセキ yunnandipteronia (新)

カエル(蛙) (動物)[名] 蛙 terkep (新)、[名] pikki (新)※(本来「エゾアカガエル」を指すが今後はカエル類の総称として用いていく)→生物としての分類は「むびもく(無尾目)」を見よ: [名] カエルの卵 terkephoma (terkepoma) (新)、[名] カエルの卵 pikkihoma (pikkioma) (新): [名] オタマジャクシ ekasupne (石狩)

かえる(換える) [他] ~を他のものと換える itasare (新): [他] ~を~と換える tasare (石狩): [他] (場所)で~を~と換える etasare (新): [他] ~と共に~を~と換える kotasare (新): [他] (原因、手段)で~を~と換える otasare (新): [他] (人)に~を~を換えさせる tasarekar (新)、[他] tasarere (新): [他] ~を相互に換える、~を全て換える utasare (新)

かえる(帰る) [自] 帰る hosipi (複数 hosippa) (石狩)、[自] (雅) iwak (石狩): 「私は家に帰る。」“Ku=kor cise otta ku=hosipi.”: [他] ~と共に帰る、~を連れて帰る ehosipi (複数 ehosippa) (新): [他] (場所)へ帰る kohosipi (複数 kohosippa) (石狩)、[他] (雅) koiwak (石狩): [他] (原因、手段)で帰る ohosipi (複数 ohosippa) (新): [自] 自分で、一人で帰る yaykohosipi (複数 yaykohosippa) (新)、[自] yayhosipire (石狩): [自] 皆で帰る ukohosippa (新)、[自] uhosippare (石狩)

かえる(代える、替える) ①(交代させるという意味で)[他] (人)を他の人に代える ionuytasare (新)、[自] iosakarire (新)、[自] itaspore (新): [他] (人)を(人)に代える onuytasare (新)、[他] osakarire

(新)、[他] taspore (新): ②(代理にするという意味で)[他] (人)を他の人に代える、他の人の代理とする ikawarinere (新): [他] (人)を(人)に代える、代理とする kawarinere (新)

かえる(変える) ①(何かを別なものに)[他] ~を~に変える nére (新)、[他] néka (新): [他] (場所)で~を~に変える enere (新): [他] ~と共に~を~に変える konere (新): [他] (原因、手段)で~を~に変える onere (新): [他] (人)に~を~に変えさせる nérere (新)、[他] nékare (新): [他] ぱつと、瞬間的に~を~に変える nétékka (新): [他] 完全に~を~に変える oannere (annere) (新): [他] 充分~を~に変える néreno (nérenu) (新): [他] 減茶苦茶~に変える toykone (新): [他] ~を自分の意志で~に変える yaykonere (新): [他] ~を自然に~に変える sikonere (新): [他] ~を互いに、皆~に変える ukonere (新): ②(変か前の状態を意識しつつ)[自] ~を他のものに変える uesinnayka (usinnayre) (新): [自] ~を別なものに変える uoyapneka (uoyapnere) (新): ③(姿形に関して)[自] ~を別の姿形に変える oyakatneka (oyakatnere) (新): (表現)…を~に変える ~ ne … katnere (新): ④(気持ちに関して)[他] ~を~のものに変える ehosire (eosire) (新)

カエルアンコウ(蛙鮫鱈) (魚介)[場名](アンコウ目)カエルアンコウ亜目 sinucep-mokotan (新): [名] カエルアンコウ科 sinucep-apa (新): [名] カエルアンコウ属 sinucep-cise (新): [名] カエルアンコウ sinucep (新)※(旧名「イザリウオ」): [名] イロカエルアンコウ iwanironesinucep (新): ウルマカエルアンコウ urumasinucep (新): [名] エナガカエルアンコウ nicitannesinucep (新): [名] オオモンカエルアンコウ porokesosinucep (新): [名] カスリカエルアンコウ ohakiunsinucep (新): [名] クマドリカエルアンコウ tunrosinucep (新): [名] ソウシカエルアンコウ atuymunnennoansinucep (新): [名] ヒメヒラタカエルアンコウ mokaparsinucep (新): [名] ベニカエルアンコウ húresinucep (新): [名] ボンボリカエルアンコウ tumussinucep (新): [名] ムチカエルアンコウ múcisinucep (新): [名] ロケットカエルアンコウ rocketsinucep (新): [名] カエルアンコウモドキ属 cisinucepkopa-cise (新): [名] カエルアンコウモドキ cisinucepkopa (新): [名] ハ

ナオコゼ属 atuykatopenraorunsinucep-
apa (新): [名]テトラブラキウム科
inetekuscep-apa (新): [名]ブラキオーニ
クテュス科 apkascep-apa (新): [名]ロ
フィクテュス科 kiraysinucep-apa (新)

カエレフォン (動物)[名](オヒキコウモリ科)カ
エレフォン属 monumaussenkakikapap-
cise (新): [名]カエレフォン・アロイシー
サバウディアエ aburuzzi-duke-
honimpakapap (新): [名]C. アンソルゲ
イ ansorge-honimpakapap (新): [名]C.
カピニ capin-honimpakapap (新): [名]
C. ガラグリ garager-honimpakapap
(新): [名]C. ソロモニス soromonun-
honimpakapap (新): [名]C. ショルトリ
ドゲイ sortrijji-honimpakapap (新):
[名]C. トメンシス santomeun-
honimpakapap (新): [名]C. ニゲリアエ
nigerun-honimpakapap (新): [名]C. ビ
ビットタ keso-honimpakapap (新):
[名]C. プミラ ponafrikaun-
honimpakapap (新): [名]C. プレグラエ
fijiun-numaussekkakikapap (新): [名]C.
ベンメレニ bemmeren-honimpakapap
(新): [名]C. マヨル tanzaniaun-
honimpakapap (新): [名]C. ヨビメナ
kunnekohure-honimpakapap (新): [名]
C. ヨベンシス fijiun-honimpakapap
(新): [名]C. ヨホレンシス johorun-
honimpakapap (新): [名]C. ルッサタ
kamerounun-honimpakapap (新): [名]
C. レウコガステル gurandidier-
honimpakapap (新): [名]ヒダクチオヒキ
コウモリ papusiyomo-honimpakapap
(新)

かえんこう(火焰光) [名]火焰光 isermako-
apenipeki (新)

かお(顔) [名]顔 nan(-u) (石狩): (表現)顔
が蒼ざめる、蒼ざめている nanu siwnin
(石狩): (表現)顔が赤くなる、なっている
nanu húre (石狩): (表現)顔がしわだらけ
である nanu ukoyoyomke (新)、(表現)
nanu ukoyomiyomik (幌別): [自]顔がと
ても美しい nanetokkor (石狩): [自]顔
が長い esne (新)、[自] nankoeane (新)
※(幌別)、[自] nankewtanne (新冠): (表
現)顔が長い noyapi tanne (幌別): [自]
顔が丸い nanko-sikannatki (幌別)、[自]
nusikannatki (新冠): [自]顔が良くなる、
顔が良い nanupirka (石狩): [自]顔が悪
くなる、悪い nanuwen (石狩): [自]顔が
悪い ipokas (epokas) (石狩)、[自]
sirkasak (H): (表現)～の顔中に怒りの色
が充ちる kor wen iporo enantuykasi-

ekustatki (石狩): (表現)顔を洗う nanu
huraye (石狩): (表現)嘘をついても顔に
書いてある sunke yakka etumekkasi ta
kurihi an (幌別): [名]顔の表皮
nankap(-u) (幌別)

かおいろ(顔色) [名]顔色 ipor(-o) (石狩):
[自]顔色が蒼ざめる oiporoposo (美幌):
(表現)～の顔色が蒼ざめる ~nanu siwnin
(石狩): (表現)顔色蒼ざめ水に漬けたコンブ
のようである iporo woro kompu
an=esikopayar (新)※(幌別): [自]顔色が
青白く弱々しい rerek (幌別): [自]顔色
が赤くなる、赤い nanuhure (屈斜路):
(表現)～の顔色が赤くなる、赤い ~nanu
húre (新): (表現)～の顔色が黒い ~
nanu kunne (新)、(表現) ~ iporo kunne
(新)、(表現)(雅) ~iporo kokunne (幌別):
(表現)～の顔色が白い ~nanu retar (屈
斜路)、(表現) ~ iporo retar (新): (表現)
～の事で～の顔色を露わにする iporo
eyaysankere (石狩): 「お前の恋人の生存
の報にお前は歓喜の色を露わにした。」

“E=yupo siknu sekor an sonko sonno pirka
e=iporo e=eyaysankere.”: (表現)①顔色
が悪くなる、悪い②怒りの色が浮かぶ、浮か
んでいる iporo wen (石狩): (表現)(怒り
で)～の顔色の有様はなきに等しい ~
iporo katkan isam kane (幌別): [名](雅)
顔の上部(額の周辺)の顔色 kánipor (H):
(表現)顔の上部の顔色がさっと蒼ざめる
kánipor ka ta raykosampa (H): [名](雅)
顔の下部(口から顎辺り)の顔色 raunipor(-
o) (H)

かおおい(顔覆い) [名](死者の)顔覆い(布)
nankamup (石狩)

かおかち(顔貌) [場名]顔貌 nanka(-si、-
sike) (H)、[場名] sirka(-si、-sike) (石
狩)

カオジロヘラコウモリ(顔白篋蝙蝠) (動
物)[名](アカフルーツヘラコウモリ亜科)カオ
ジロヘラコウモリ属 eretarhametu-kapap-
cise (新): [名]カオジロヘラコウモリ
numaus-eretarhametu-kapap (新): [名]
アンティルカオジロヘラコウモリ
guaderoupeun-eretarhametu-kapap (新):
[名]キロデルマ・サルビニ sarvin-
eretarhametu-kapap (新): [名]C. ドリ
アエ burazirun-eretarhametu-kapap
(新): [名]C. トリニタトゥム moeretar-
hametu-kapap (新)

かおつき(顔つき) [名]顔つき ipor(-o) (石
狩): (表現)勇者らしく勇者の顔つきに顔つ
きがきりりとしている rametok sóne
rametok-ipor eipottum-niwnatara (幌別)

かおのかがやき(顔の輝き) [名] 顔の輝き
nannipeki (石狩): (表現)顔の美しさを形容し顔の輝きは天体の如く nannipeki rikomap sinne (石狩)

かおり(香り) [名] 香り hura (石狩): (表現)香りを嗅ぐ hura nu (石狩): (表現)香りがする hura at (石狩)

かおをあげる(顔を上げる) [自] 顔を上げる
hetari (石狩): [他](場所)へ顔を上げる
kohetari (石狩): [他](人)に顔を上げさせる
hetarire (新): [自]パッと顔を上げる
hetattek (石狩)

かおをあらう(顔を洗う) (表現)顔を洗う
nanu huraye (石狩): 「私は自分の顔を洗う。」
“Ku=nanu ku=huraye.”: [自]顔を洗う
yaynanuhuraye (新)、[自] ewonne (幌別): [自]顔をじゃぶじゃぶ洗う
nancopopo (新)

かおをかす(顔を隠す) [他]〜に顔を隠す、〜で顔を隠す
nankamure (石狩)、[他] nanomare (nanuomare) (石狩): (表現)太陽が山に顔を隠す→太陽が沈む
cup sir nankamure (石狩)

かおをしかめる(顔をしかめる) ①[自]顔をしかめる
etuyonini (石狩)、[自] nanuyoni (石狩)、[自] nimakaka (幌別)、[自] niasis (新)※(幌別): [他](痛みなどに顔をしかめる
oetuyoni (新)、[他] onanuyoni (新): [他](人)に顔をしかめさせる
etuyonire (新)、[他] nanuyonire (新)、[他] nimakakare (新)、[他] niasiste (新): [名]しかめた顔
nirus-(i) (沙流)、[名] siyoninan-(u) (新): ②(痛みで)[自]顔をしかめる
nankapkay (新): [他](人)に顔をしかめさせる
nankapkayte (新): (表現)ひどく顔をしかめる(二つの乾いた顔の皮三つの乾いた顔の皮を背負わせ合う)
tu sat nankap re sat nankap ukaykire (幌別)

かおをそむける(顔を背ける) [自]顔を背ける
notku (沙流)、[自] hekuste (沙流): [他](原因)で顔を背ける
ehekuste (沙流): [自]大きく顔を背ける
tuymanotkus (沙流): (表現)大きく顔を背け嫌悪の情を表しながら
tuymanotkus konotteikus raypa kane (沙流)

かおをそる(顔を剃る) [自]顔を剃る
simemke (石狩)

かおをだす(顔を出す) [自]顔を出す
hetuku (複数 hetukpa) (石狩)、[自] etuk (石狩)

かおをみあわせる(顔を見合わせる) (表現)(互いに)顔を見合わせる
uekota inkar (石狩)

かおをむける(顔を向ける) [自]顔を向ける
inantuyere (新)、[自] ikohenoye (新):

[他]〜に顔を向ける
nantuyere (石狩)、[他] kohenoye (沙流): [他](人)に〜に顔を向けさせる
nantuyerere (新)、[他] kohenoyere (新)

かが(花芽) (植物)[名]花芽
apappoepuy-(e) (新)

がが(雅歌) (聖書)[名]雅歌
Usasinotca un sinotca (新)

かかえる(抱える) ①[自]物を抱える、抱え上げる
iani (複数 iampa) (新): [他]〜を抱える、抱え上げる
ani (複数 ampa) (石狩): [他](場所)で〜を抱える、抱え上げる
eani (複数形 eampa) (石狩): [他](場所)に抱え上げる
koani (複数形 koampa) (石狩): [他]〜と共に〜を抱える、抱え上げる
koani (複数形 koampa) (新): [他](原因、手段)で〜を抱える、抱え上げる
oani (複数形 oampa) (新): [他](人)に〜を抱えさせる、抱え上げさせる
anire (複数 ampare) (新): [他]〜を片手で抱える、抱え上げる
attekeani (複数 attekeampa) (新): ②(両手で)[他]両手で〜を抱える
temnikor (沙流)、[他] utekeani (複数 utekeampa) (新): [他](人)に両手で〜を抱えさせる
temnikore (沙流)、[他] utekeanire (複数 utekeampare) (新)

かがく(下顎) [場名](魚の)下顎
notpok (沙流): [場名]下顎縫合部
notpokkoci (新)

かがく(科学) [名]科学
páseicampehunar (新)

かかと(踵) [名]踵
kesup-(i) (石狩)

かがみ(鏡) [名]鏡
yaykunnukarpe (H): (表現)鏡で自分を見る
yaykunnukarpe ka ta yaynukar (新)

かがむ(屈む) ①[自](一回、瞬間的に)屈む
hotku (hokku) (天塩): [他](場所)で屈む
ehotku (ehokku) (新): [他]〜と共に屈む
kohotku (kohokku) (新): [他](原因、手段)で屈む
ohotku (ohokku) (新): ②[自]何度も屈む、一定時間屈む
hotkuku (hokkuku) (石狩): ③[自](トイレで)屈む
osottukuku (石狩)

かがめる(屈める) ①[他](一回、あるいは瞬間的に)〜を屈める
hotkure (hokkure) (石狩): [他](場所)で〜を屈める、(場所)に〜を屈める
ehotkure (ehokkure) (新): [他]〜と共に〜を屈める
kohotkure (kohokkure) (新): [他](原因、手段)で〜を屈める
ohotkure (ohokkure) (新): ②[他]〜を何度も屈める、〜を一定時間屈める
hotkukure (hokkukure) (石狩): ③[他](場所)へ頭を屈める
heusi (沙流): [他](場所)へ何度も頭を屈める
heusiheusi (沙流): 「私は鍋の下へ何度も屈め屈めし火

を吹いた。”“Su corpok ku=heusiheusi wa uku .”

かがやく(輝く) ①[名]輝き nipek(-i) (石狩)※(単独では通例所属形のみ): [自]輝く、輝いている nipekne (石狩): [他]～を輝かせる nipekneka (nipekinere) (新): [他](場所)で輝く、輝いている enipekne (新): [他]～と共に輝く、輝いている konipekne (新): [他](原因、手段)で輝く、輝いている onipekne (新): (表現)輝く、輝いている nipeki an (石狩)、(表現) nipeki at (天塩): ②(キラキラ、ピカピカなどと継続して)[名]輝き mike (石狩): [自]輝く mike (石狩)、[自] mikemike (新)、[自] maknatara (石狩)、[自] masatara (石狩)、[自] tomnatara (沙流): [他](場所)で輝く emike (新): [他]～と共に輝く komike (新): [他](原因、手段)で輝く emike (石狩)、[他] omike (新): 「クリステルの顔の輝きにスタジオの中が輝いていた。」“Kurister nannipeki sutadio onnay emike kane an .”: [他]～を輝かす mikeka (mikere) (新): [0 動] 辺りが輝く sirmaknatara (石狩): ③(キラリ、ピカリなど一回)[自]輝く tom (石狩)、[自] makkosanu (石狩): [他]～を輝かす tomtte (石狩)

かがりび(篝火) [名]篝火 ciosune (新): (表現)篝火を灯す ciosune áre (新)、(表現) ciosune uhuyka (新)

かかる(掛かる) ①[自](枝や鉤などに何かが)掛かる at (石狩): 「…私が手作りした脚絆が上から掛かっている…」“…an=tekekar a hos orikasi at kanan ru ne…”(杉村キナラブック)説話: [他](場所)に掛かる eat (新): [他]～と共に掛かる koat (新): [他](原因、手段)で掛かる oat (新): ②[自](梯子が)掛かる as (石狩): ③[自](橋)が架かる siatte (新): ④[他](罫)に掛かる etara (石狩): 「ウサギが罫にかかる。」“Isepo ka etara .”

かかわる(関わる) ①(因果関係)[自]物事と関わる ikot (新): [他]～と関わる kot (新): [他]～と～を関わたせる kote (新): [自](時間的、空間的、因果的)～の将来、～の先、～の予想される結果が関わる ekot (新)、[他](時間的、空間的、因果的)～の将来、～の先、～の結果と～を関わたせる ekote (新): [自](時間的、空間的、因果的)～の過去、～の後、～の原因が関わる okot (新)、[他](時間的、空間的、因果的)～の過去、～の後、～の原因と～を関わたせる okote (新): [自]相互に関わる、関わり合う ukot (新): [他]～を相互に関わたせる ukote

(新): [自](時間的、空間的、因果的)～の将来、～の先、～の予想される結果が相互に関わる eukot (新)、[他](時間的、空間的、因果的)～の将来、～の先、～の結果と～を相互に関わたせる eukote (新): [自](時間的、空間的、因果的)～の過去、～の後、～の原因が相互に関わる oukot (新)、[他](時間的、空間的、因果的)～の過去、～の後、～の原因と～を相互に関わたせる oukote (新): ②(人間関係)[名]人との関わり iemawne (新): [名]関わり合い uemawne (新): [自]人と関りを持つ iemawne (沙流): [他](人)と関りを持つ emawne (新): [他](人)に(人)と関りを持たせる emawnere (新): [自]互いに関りを持つ、関わり合う uemawne (新): [位名]～の関り合い(間柄) ukoutur(長形-u、-ke) (新): ③(人や物事に注意を向ける)[他]～に関わる ekottanu (B): 「あの人はいつも私達に関わろうとする。」“Neankur ramma kane un=ekottanu rusuy .”「ほっとけ、私のする事に関わろうとしないでくれよ。」“Ku=ki p eciki ekottanu ya !”

かかん(花冠) [名]花冠 apappo-eumpe (新)※(花の頭に付くもの): [名]花冠筒 kuttanne-apappo-eumpe (新)

カキ(牡蠣) ①[名]カキ pisas (幌別): ②(魚介)[場名](翼形亜綱)カキ目 pisas-kotan (新)※(イタボガキ目あるいはウグイスガイ目とも): [場名]カキ上科 pisas-apapa (新): [名]イタボガキ科 repunkurpisas-apa (新): [名]ベッコウガキ科 perkenopisas-apa (新): [場名]ウグイスガイ上科 pópakeciw-apapa (新): [場名]ハボウキガイ上科 rapmunnuyp-apapa (新)

がき(餓鬼) ①[名](仏教用語として)餓鬼 iperayramat (新): ②[名](子供に対する罵り言葉として)餓鬼 okunnep (天塩)

かぎ(鍵) ①[名]鍵 imakanop (新)、[名]cioimakanop (新)、[名]key (新)※(英語): ②[他]～の鍵を開ける iomaka (新): [他](人)に～の鍵を開けさせる iomakare (新): (表現)戸の鍵を開ける imakanop (cioimakanop) ani apusta maka (新)、(表現) imakanop (cioimakanop) apusta omaka (新): ③[他]～に鍵を掛ける ioseske (新): [他](人)に～に鍵を掛けさせる ioseskere (新): (表現)戸に鍵を掛ける iseskenop (cioiseskenop) ani apusta seske (新)、(表現) iseskenop (cioiseskenop) apusta oseske (新):

かきあげる(掻き上げる) [他]～を掻き上げる emakoraye (複数 emakoraypa) (新)、[他]

emaknaraye (複数 emaknaraypa) (新): [他](場所)へ～を掻き上げる koemakoraye (複数 koemakoraypa) (新)、[他] koemaknaraye (複数 koemaknaraypa) (新): [他](人)に～を掻き上げさせる emakoraye (複数 emakoraypare) (新)、[他] emaknarayere (複数 emaknaraypare) (新): (表現)～の髪を掻き上げる ～otopi emakoraye (新)、(表現)～otopi emaknaraye (新): [自]自分の髪を掻き上げる yayotopi-emakoraye (複数 yayotopi-emakoraypa) (新)、[他] yayotopi-emaknaraye (複数 yayotopi-emaknaraypa) (新)

かきあわせる(掻き合わせる) [他](着物)を掻き合わせる yaykocuppa (石狩)、[他](雅語) ukote (石狩)

かきいろ(柿色) [自] 柿色になる、である kaki-irone (新): [他]～柿色に染める kaki-ironeka (-ironere) (新): [名] 柿色 kaki-iro (新)

かきうつす(書き写す) [自] 書き写す itekotupte (新): [他]～を書き写す tekotupte (新): [他](人)に～を書き写させる tekotupteka (tekotuptere) (新)

かきおこす(掻き起す) [他](灰に埋けた火)を掻き起す pusu (複数 puspa) (沙流): (表現)埋火(うずみび)を掻き起す ciuna ape pusu (複数 puspa) (沙流)

かきしぶ(柿渋) [名] 柿渋 kaki-niwrotkip (新): [自] 柿渋色になる、である kakiniwrotkipus (新): [他]～柿渋色に染める kakiniwrotkipusi (kakiniwrotkipuste) (新): [名] 柿渋色 kakiniwrotkipus-iro (新)

かきだす(掻き出す) [他]～を掻き出す ke (石狩): (表現)水を掻き出す wakka ke (石狩)

かきちらす(掻き散らす) (爪で)[他]～を掻き散らす carikar (新): [他]～と共に～を掻き散らす kocarikar (沙流)

かきなおす(書き直す) [自] 書き直す ikannanuye (新): [他]～を書き直す kannanuye (新): [他](場所)に～を書き直す kokannanuye (新): [他](人)に～を書き直させる kannanuyere (新)

かきね(垣根) [名] 垣根 kaki (石狩)

カキノキ(柿の木) [場名] カキノキ目 kakini-kotan (新): [名] カキノキ科 kakini-apa (新): [名] カキノキ属 kakini-chise (新): [名] カキノキの茎 kakini (新): [名] カキノキの葉 kakiniham (新): [名] カキノキの花 kakini-apappo (新): [名] カキノキの果実 kaki (新): [名] カキノキの種

kakipi(-ye) (新): [名] 甘柿 tópen-kaki (新): [名] 渋柿 niwrotki-kaki (新): [名] 干し柿 satkaki (新): [名] 柿渋 kaki-niwrotkip (新): [名] 柿蒂(してい)、柿のへた kakiso (新)

かきのこす(書き残す) [自] 物事を書き残す inuyeama (新)、[自] inuyeanu (新): [他]～を書き残す nuyeama (新)、[他] nuyeanu (新): [他](場所)で～を書き残す enuyeama (新)、[他] enuyeanu (新): [他]～と共に～を書き残す konuyeama (新)、[他] konuyeanu (新): [他](原因、手段)で～を書き残す onuyeama (新)、[他] onuyeanu (新): [他](人)に～を書き残させる nuyeamare (新)、[他] nuyanure (新): [他] 自分で、一人で～を書き残す yaykonuyeama (新)、[他] yaykonuyeanu (新): [他] 互いに、皆で～を書き残す ukonuyeama (新)、[他] ukonuyeanu (新): [他] 完全に～を書き残す oannuyeama (annuyeama) (新)、[他] oannuyeanu (annuyeanu) (新)

カギバアゲハ(鉤羽揚羽) (昆虫)[名](アオスジアゲハ族)カギバアゲハ属 aprap-kitomarewrew-cise (新): [名] カギバアゲハ aprap-kitomarewrew (新): [名] ギアスアゲハ gias-aprap-kitomarewrew (新): [名] スキロンアゲハ uparurus-aprap-kitomarewrew (新)

カギハシハチドリ(鉤嘴蜂鳥) (鳥)[名](ハチドリ科)カギハシハチドリ亜科 ipoyehurekaniisi-soyacikap-moapa (新): [名] カギハシハチドリ属 ipoyehurekaniisi-soyacikap-cise (新): [名] アゴヒゲハチドリ属 kunnerekus-soyacikap-cise (新): [名] オジロユミハチドリ属 isiretarekune-soyacikap (新): [名] カマハシハチドリ属 iyokpeetu-soyacikap (新): [名] ノコハシハチドリ属 nokoetu-soyacikap-cise (新): [名] ユミハシハチドリ属 kúetu-soyacikap-cise (新)

かぎばり(鉤針) [名] 鉤針 apkem(-i) (新)

かきまぜる(掻き混ぜる) [自] ものを掻き混ぜる iukopoye (新): [他]～を掻き混ぜる ukopoye (石狩): [他](場所)で～を掻き混ぜる eukopoye (新): [他]～と共に～を掻き混ぜる koukopoye (新): [他](原因、手段)で掻き混ぜる oukopoye (新): [他](人)に～をかき混ぜさせる ukopoyere (新)

かきむしる(掻き巻る) [自] 掻き巻る yaykikikiki (新)、[自] toykoyaykiki (新): [他]～を掻き巻る kikikiki (新)、[他] toykokiki (新)

かきやくせん(貨客船) [名] 貨客船
sikekoaynururacip (新)

かきゆう(下級) [場名] 下級 makuyssouni
(新): (表現)下級 makun sóuni (新):
[連体]下級の makuyssoun (新): [名]下級
者 makuyssounkur (新)

かきわけ(掻き分ける) [他]〜を掻き分ける
cimi (複数 cimpa) (石狩): 「私は高い草
を掻き分けて山の奥へと進んだ。」“Ri mun
ku=cimpa kane mak ta ku=oman.”:
[他](場所)で〜を掻き分ける ecimi (複数
ecimpa) (新): [他]〜と共に〜を掻き分け
る kocimi (複数 kocimpa) (新): [他](原因
、手段)で〜を掻き分ける ocimi (複数
ocimpa) (新): [他](人)に〜を掻き分けさ
せる cimire (複数 cimpare) (新)

かぐ(家具) [名] 家具 ciseorumpe (石狩)、
[名] ciseop (新)

かく(格)(言語)①[名]格 rewke (新): [自]格
変化する rewke (新): [他]〜を格変化さ
せる rewe (新): ②[名]意味格
itaknum-rewke (新): [名]因格 moto-
rewke (新): [名]共格 iturap-rewke
(新): [名]具格 cieiwankep-rewke (新):
[名]欠格 cisakpe-rewke (新): [名]呼格
cihotuyapakarpe-rewke (新): [名]向格
cieyaypekarep-rewke (新): [名]降格
cikorampe-rewke (新): [名]時格
nipekkunrewke (新): [名]斜格 cirewep
(新): [名]主格 ikip-rewke (新): [名]出
格 cioasimpe-rewke (新): [名]処格
usike-rewke (新): [名]昇格
cikorikimpe-rewke (新): [名]上格
ikaumpe-rewke (新): [名]所有格
cikorpe-rewke (新): [名]生格 ous-
rewke (新): [名]接格 ciumpe-rewke
(新): [名]絶対格 earan-rewke (新)、[名]
aysinisterep-rewke (新): [名]前置格
saumpe-rewke (新): [名]造格
cieiwankepr-ewke (新): [名]属格 ous-
rewke (新): [名]対格 cikip-rewke
(新): [名]奪格 ciikoukpe-rewke (新):
[名]着格 cikorikimpe-rewke (新): [名]
直格 oupekarp-rewke (新): [名]通格
unenoampe-rewke (新): [名]到格
cikosirepap-rewke (新): [名]内格
iorumpe-rewke (新): [名]入格
cikoahumpe-rewke (新): [名]能格
nepkaki-rewke (新): [名]文法格
itakirenka-rewke (新): [名]変格 cinep-
rewke (新): [名]分格 serke-rewke
(新): [名]目的格 cikosirepakunip-rewke
(cikosirepap-rewke) (新): [名]与格
iunkore-rewke (新): [名]様格

inenoampe-rewke (新): [名]離格
ciehosip-rewke (新)

かく(核)①(中心)[名]核 inoskiump (新)、
[場名] inoski(-ke) (新): ②(原子核)[名]
核 inoskiump (新)、[名] nukreus (新)
※(英語): [名]核爆弾 inoskiump-
pustekpe (新)

かく(角)[場名]角 nokasikkew(-e) (新)、[場
名] isikkew(-e) (新): [位名]〜の角
sikkew(長形 -e) (石狩)

かく(額)[名](虫)の額 kiputur(-u) (新)

かく(欠く) [他]〜を欠く sak (石狩):
[他](場所)で〜を欠く esak (新): [他]〜
と共に〜を欠く kosak (新): [他](原因、
手段)で〜を欠く osak (新)

かく(斯く)①(具体的な動作状態を示し)[副]斯
く tapne (石狩)、[副] tapneno (石狩):
②(直前の発言内容を受けて)[後副]斯く
sekor (石狩): (表現)斯くいう〜、斯くあ
る〜 sekora ~ (石狩): (表現)斯くし
て sekora awa (sekora rokwa) (石
狩): (表現)斯くあらん sekora kuni
(石狩): (表現)斯くあれど sekora korka
(石狩): (表現)斯くありても sekora ne
yakka (sekora nakka、sekora anakka)
(石狩): (表現)斯くあれば sekora ne
yakun (sekora nakun、sekora anakun)
(石狩): (表現)斯く斯くこういうものです
sekora an sekora tapampe ka sir (石狩):
(表現)斯くあるなり sekora ruwe (石狩)

かく(書く) [自]ものを書く inuye (複数
inuypa) (新): [他]〜を書く nuye (複数
nuypa) (石狩): (表現)紙に字を書く、手
紙を書く kampi nuye (石狩): [他](場所)
に〜を書く nuyekar (石狩)、[他] enuye
(複数 enuypa) (新): [他]〜と共に〜を書
く konuye (複数 konuypa) (新):
[他](原因、手段)で〜を書く onuye (複数
onuypa) (新): [他](人)に〜を書かせる
nuyere (複数 nuypare) (新): [他]自分で、
一人で〜を書く yaykonuye (複数
yaykonuypa) (新): [他]互いに、皆で〜を
書く ukonuye (複数 ukonuypa) (新):
[他]完全に〜を書く oannuye (複数
oannuypa) (新)、[他] annuye (複数
annuypa) (新): [他]思い切り〜を書く
toykonuye (複数 toykonuypa) (新): [他]
人に〜を書かせる、書いてもらう nuyeyar
(複数 nuypayar) (新): [自]文字を書く
itakitoppa nuye (itakitokpanuye) (新)

かく(掻く)①(痒い所など)[自]掻く yaykiki
(石狩): [他]〜を掻く kiki (石狩):
[他](原因、手段)で〜を掻く okiki (新):
[他](人)に〜を掻かせる kikire (新): ②

(雪や水など)[他]～を掻く ke (石狩):
[他](場所)で～を掻く eke (新): [他]～と
共に～を掻く koke (新): [他](原因、手
段)で～を掻く oke (新): [他](人)に～を
掻かせる kére (新): [自]雪掻きをする
kaske (石狩)

かぐ(嗅ぐ) [自]臭い(匂い)を嗅ぐ inu (新):
「私が臭いを嗅いでみると草木の花の臭い
が明るい庭に満ちていた。」 “Ku=inu kor
niapappo munapappo húraha peker mintar
onnay ta ekustatki wa an .”: [他](臭い、
匂い)を嗅ぐ nu (石狩): (表現)臭い(匂
い)を嗅ぐ húra nu (石狩)、(表現)～の臭い
(匂い)を嗅ぐ húra (húraha) nu (石狩)

がく(萼) [名]萼 herapso (新)、[名]
apapporapso (新)※(花卉の座): [名]萼片
herapsonit(-ci) (新)、[名]
apapporapsonit(-ci) (新)

がくおん(楽音) [名]楽音 haw(-e) (石狩)

かくか(核果) (植物)[名]核果 ikkew-ikaop(-
i) (新)

かくか(角果) (植物)[名]角果 sikkewkor-
ikaop(-i) (新)

かくかくしかじか(斯く斯く云々) (表現)斯く
斯く云々 tapne tapne (石狩): (表現)斯
く斯く云々という事を～に伝える tapne
tapne an hi ~ kouste (石狩): (表現)斯
く斯く云々と～に言う tapne tapne ~ ye
(石狩)

がくかせんえん(顎下腺炎) [名]顎下腺炎
kurkietuk (石狩): [自]顎下腺炎になっ
ている(顎のリンパ腺が腫れる) kurkietuk (石
狩)

かくぎり(角切り) (表現)～を角切りにする
ínepsikkewkorpe ne tuye (複数 tuypa)
(新)

かくげん(格言) [名]格言 ramuanitak (新)

かくご(覚悟) [自]覚悟する
yayramusiromare (新): [他]～を覚悟す
る eyayramusiromare (新): [他](人)に
に覚悟させる yayramusiromarere (新):
[自]互いに覚悟する、皆で覚悟する
ukoyayramusiromare (新)

かくざい(角材) [名]角材 sikkewkonni
(新)、[名] sikkewnuni (新)、[名] kaku
(沙流)

かくしどり(隠し撮り) [自]隠し撮りする
iyayesisanokauk (新): [他]～を隠し撮り
する yayesisanokauk (新): [他](人)に
～を隠し撮りさせる yayesisanokaukte
(新)

がくしゅう(学習) ①[自]学習する kampinuye
(石狩)、[自] iyukarkar (新): [他]～を学
習する ekampinuye (石狩)、[他]

yúkarkar (新): [他](場所)で学習する
ekampinuye (新): [他]～と共に学習する
kokampinuye (新): [他](原因、手段)で学
習する okampinuye (新): [他](人)に学
習させる kampinuyere (新): [自]充分学
習する kampinuyeno (kampinuyenu)
(新): [自](良)がっちり学習する、(悪)がりが
り学習する toykokampinuye (新): [自]
しっかり学習する pirkakampinuye (新):
[自]真剣に学習する ramkokampinuye
(新): [自]完璧に学習する earkampinuye
(新): [自]ろくに学習しない
wenkampinuye (新)、[自]
canankampinuye (新): ②[自]自ら、一人
で学習する yaypakasnu (新)、[自]
yaykokampinuye (新)、[自]
yaykoiyukarkar (新): ③[自]互いに、皆で
学習する upakasnu (新)、[自]
ukokampinuye (新)、[自] ukoiyukarkar
(新)

かくす(隠す) [他]～を隠す esina (石狩)、
[他] nuynak (nuyna) (石狩)、[他] ukao
(石狩): [他](場所)で～を隠す esina
(新)、[他] enuynak (enuyna) (新)、[他]
eukao (新): [他](場所)に～を隠す
koesina (新)、[他] konuynak (konuyna)
(新)、[他] koukao (新): [他]～と共に～
を隠す koesina (新)、[他] konuynak
(konuyna) (新)、[他] koukao (新):
[他](原因、手段)で～を隠す oesina (新):
[他] onuynak (onuyna) (新)、[他]
oukao (新): [他](人)に～を隠させる
esinare (新)、[他] nuynakte (新)、[他]
nuynare (新)、[他] ukaore (新): [他]完
全に～を隠す oaresina (aresina) (新)、
[他] oannuynak (annuynak) (新)、[他]
oarukao (arukao) (新)

かくせい(覚醒) [自]覚醒する yaymososo
(石狩): [他]～を覚醒させる mososo (石
狩): [名]覚醒剤 imososokusuri (新)

かくだい(拡大) ①[自]拡大する iporore
(新): [他]～を拡大する porore (石狩)、
[他] poroka (新): [他](場所)で～を拡大
する eporore (新): [他]～と共に～を拡大
する koporore (新): [他](原因、手段、
目的)で～を拡大する oporore (新):
[他](人)に～を拡大させる pororere
(porokare) (新): [自]自ら拡大する
yayporore (新): [自]自然に拡大する
siporore (新): ②(布や紙など平面的な物
に関して)[自]ものを拡大する isepka
(isepte) (新): [他]～を拡大する sepka
(septe) (新): [他](誰か)に～を拡大させ
る sepkare (septere) (新)

かくちょう(拡張) [自]拡張する ipirasa (新): [他]~を拡張する pirasa (石狩): [他](場所)で~を拡張する epirasa (新): [他](場所)へ~を拡張する kopirasa (新): [他]~と共に~を拡張する kopirasa (新): [他](原因、手段)で~を拡張する opirasa (新): [他](人)に~を拡張させる pirasare (新): [自]自然に拡張する、拡張される sipirasa (新)

かくていしんこく(確定申告) [自]確定申告する yaymosirkemneikor-orayke (新)

かくと(殻斗) (植物)[名]殻斗 nisewitanki (新): [名]殻斗果 nisewne-ikaop(-i) (新)

かくど(角度) [場名] isikkew (-e) (新): [位名]~の角度 sikkew (長形 -e) (新): (表現)図形の角度 noka sikkew (新)

かくぼう(角棒) [名]角棒 sikkewkonnit(-ci) (新)、[名] sikkewnunit(-ci) (新)

カクミガン(角実樫) (植物)[名](ブナ科)カクミガン属 resikkewkonnisewo-cise (新): [名]トリゴノバラヌス・ヴェルティキラタの茎 marayu-resikkewkonnisewo (新): [名]T. エクスケルサの茎 korombia-resikkewkonnisewo (新)※(コロムボバラヌス属とも): [名]T. ドイチャンゲンシスの茎 doycan-resikkewkonnisewo (新)※(フォルマノデンドロン属とされることも)

かくめい(革命) [名]革命 iarkiru (新)、[名]revorution (新)※(仏語): [自]革命を起こす iarkiru (新)、[自] revorutionkar (新): [他]~に対し革命を起こす arkiru (新)、[他] korevolutionkar (新): [他]~と共に革命を起こす koiarkiru (新)、[他] koreorutionkar (新): [他](原因、手段)で革命を起こす oiarkiru (新)、[他] orevorutionkar (新): [他](人)に革命を起こさせる iarkirure (新)、[他] revorutionkare (新)

がくもん(学問) ①[名]学問 ieampehunar (新): ②(大学までの基礎的)[名]iekampinuye (新)

かくらん(霍乱) [名]霍乱 sihapapu (天塩)

かくり(隔離) [自]隔離する iumosmaanu (新): [他]~を隔離する umosmaanu (新): [他](場所)で~を隔離する eumosmaanu (新): [他]~と共に~を隔離する koumosmaanu (新): [他]~から隔離する、(原因、手段)で~を隔離する oumosmaanu (新): [他](人)に~を隔離させる umosmaanure (新)

カクレミノ(隠蓑) (植物)[名](ウコギ科)カクレミノ属 répetkorhamus-cise (新): [名]カクレミノの茎 répetkorhamus (新)

かくれる(隠れる) ①[自]隠れる yayukao (石

狩)、[自] yaynuynak (天塩): [他](場所)に隠れる eyayukao (新)、[他] eyaynuynak (新): [他]~と共に隠れる koyayukao (新)、[他] koyaynuynak (新): [他](原因、手段)で隠れる oyayukao (新)、[他] oyaynuynak (新): [他](人)を隠れさせる yayukaore (新)、[他] yaynuynakka (yaynuynakte) (新): [自]完全に隠れる aryayukao (arayukao) (新)、[自] aryaynuynak (araynuynak) (新): [自]皆で隠れる unuynak (新): [自]ひとりでに隠れる siukao (新)、[自] sinuynak (新): ②[副]隠れて yayukaono (石狩): 隠れている yayukaono an (複数 okay) (石狩): [副]皆で隠れて unuynakno (新): 皆で隠れている unuynakno okay (新)

かくれんぼ [自]かくれんぼをする uenuynak (石狩)

かげ(陰) [位名]~の陰 sempir(長形-i、-ke) (石狩): (表現)~の陰に顔を隠す ~ sempir(長形 -i、-ke) nanomare (nnuomare) (石狩)

かげ(影) [名]影 kur(-i) (石狩)、[名](雅語) kurmam(-a) (石狩): (表現)~の影が映っている ~ kuri an (石狩): [自]~に影がさす kurun (石狩): (表現)(上空を飛ぶものが日光を遮り)~の上に影がさす ~ enka(長形-si、-sike) kurun (石狩)

がけ(崖) ①[名]土崖 pira (石狩): [場名]土崖の間 pirautur (pirauturu、pirauturke) (石狩): ②[名]岩崖、断崖絶壁 kut(-i、-u) (石狩): [場名]岩崖の間 kututur (kututuru、kututurke) (天塩): ③[名](特に水際の)岩崖 pes(-i) (石狩): [名](川岸の)断崖、絶壁 nisey (石狩): (表現)断崖、絶壁の縁、あるいはそこについた路 nisey páru (長形-rke) (石狩)、(表現) nisey páru (長形-rke) (沙流): [名]水際にそそり立つ崖 kipir (H): ④[名]崖になった土手 toska (石狩): ⑤[名]崖の切れ目に入っていくような沢 hunnoskiomanay (石狩)

かけい(家系) [名]家系 ikir(-i) (石狩): [名]家系図 ikirkampi (新)

がけくずれ(崖崩れ) ①(土崖に関して)[完動]崖が土砂崩れになる toyrututke (新): (表現)崖が土砂崩れになる toy rututke (石狩): ②<岩崖に関して>[完動]崖崩れになる sirarsoske (sirassoske) (新)

かげぐち(陰口) [自]人の陰口を言う isempiroitak (十勝)、[自] usempiroitak (石狩)、[自] iohaykar (石狩): [連他](人)の陰口を言う sempiri-óitak (sempir-

óitak) (石狩)、[他] sempirioitak (新)、
[他] ohaykar (新): [他]~について(人)の
陰口を言う esempiroitak (新)、[他]
eohaykar (新): [他](人)に人の陰口を言わ
せる isempiroitakte (新)、[他]
usempiroitakte (新)[他] iohaykare
(新): [他](人)に(人)の陰口を言わせる
sempirioitakte (新)、[他] ohaykare (新)

かけごと(賭事) [名]賭事 pakutci (新)、[名]
gambur (新)※(英語): [自]賭事をする
pakutciki (沙流)、[自] gamburki (新):
[他](人)に賭事をさせる pakutcikire (新)、
[他] gamburkire (新)

かけこむ(駆け込む) [自]駆け込む rawoterke
(石狩): [他](場所)に駆け込む
korawoterke (新): [他]~と共に駆け込む
korawoterke (新): [他](原因、手段)で駆
け込む orawoterke (新): [他](人)に駆け
込ませる rawoterkere (新): [自]サッと
駆け込む rawosma (石狩): [他](場所)に
サッと駆け込む korawosma (石狩)

かけざん(掛算) [名]掛算 piskipsipuskere
(新): [自]掛算する piskipsipuskere (新)

かげになる(陰になる) [自]陰になる
kurototke (石狩): 「あの木の下が陰にな
っているから少し休もう。」“Nea ni
corpokike kurototke kane an kusu ponno
sini=an rok!”

かげぼうし(影法師) [名]影法師 aynu-
kurmam(-a) (石狩): (表現)幾つもの影法
師が浮かび上がる tu aynu-kurmam re
aynu-kurmam cisipusure (石狩)

かけみち(懸路) (表現)断崖の縁についた自然
の懸路 nisey páru (長形-rke) (石狩)、(表
現) nisey páru (長形-rke) (沙流): :
(表現)(表現)断崖につけられた人工の懸路
an=kar nisey páru (páru) (長形-rke) (新)

かける(掛ける、懸ける、架ける) ①[他]~を
掛ける、懸ける、架ける atte (石狩):
[他](場所)に~を掛ける eatte (新)、[他]
eattekar (石狩)※(合成語の構成要素として
は otte も現れる。): [他]~と共に~を掛
ける koatte (新): [他](原因、手段)で~
を掛ける oatte (新): [他](人)に~を掛け
させる attere (新): ②(梯子などに関し
て)[他]~を掛ける asi (複数 roski) (新):
③(霧などに関して)[他](場所)に~を掛ける
otte (石狩): ④(布団などに関して)[他](布
団など)を掛ける mi (石狩): [他]~に~
を掛ける komi (新): [他](原因、手段)で
~を掛ける omi (新): [他](人)に~を掛け
させる míre (新): [他]自分に~を掛け
る yaykomi (新): ⑤[自]電話を掛ける
imeruitak (新)、[自] terefonki (新):

[他](人)に電話を掛ける koimeruitak (新)、
[他] koterefonki (新): [他](電話番号)に
掛ける eimeruitak (新)、[他] eterefonki
(新): ⑥[他](計算で)~を掛ける ukotama
(石狩) 名詞(数詞)+連体詞(数詞)+suy +
an=ukotama wa+名詞(数詞)+ne an の形
で使われる。: 「二掛ける三は六である。」

“Tup re suy an=ukotama wa iwampe ne
an.”: ⑦(液体を何かに掛ける意味で)[他]
~をたらたら掛ける cirirka (新): [他]~
に~をたらたら掛ける kocirirka (新):
[他]~をぼたぼた掛ける cikka (石狩):
[他]~に~をぼたぼた掛ける kocikka
(新): [他]~に水をぶっ掛ける
kowakkake (沙流): [他]~にお汁をぶっ
掛ける koohawke (新)、[他] korurke
(沙流)

かける(欠ける) ①(刃物などに関して)[自]欠
ける meske (石狩): 「もうナイフ(の刃)
が欠けた。」“Tane makiri (notaku)
meske.”: ②[他]~が欠ける、欠けている
sak (石狩): 「君が欠けるとメンバーが足
りなくなる。」“E=sak=as yakne ci=utari
hayta.”: [自]誰か、何か欠ける、欠けてい
る usak (沙流): 「誰か欠けたら私達大
変だ。」“Usak=an yak wen.”

がけをこえておちる(崖を越えて落ちる) [自]
崖を越え落下する ekutoyka (石狩): 「…
(追いかけてきた)クマは崖を越え落下し、転
がり、すぐ逃げていきました。」“… eper
ekutoyka, karkase, nani kira wa oman.”
(砂沢クラ)

かげん(下弦) [名]下弦の月 nincup (天塩)
かこ(過去) [位名]~の過去 oka(長形 -ke)
(新): 「何故お前は私の過去を詮索するん
だ?’’“Nepkusu en=okake ta e-ihunar?”:
[場名]自分の過去 sioka (新): 「私はい
つも自分の過去ばかり振り返っている。」
“Ramma sioka ene patek ku=inkar kane
ku=an.”

がご(雅語) [名]雅語 atomteitak (石狩):
雅語については①常用語“mi”に対し“mup”な
ど特殊な語彙を用いるもの、②
“es=en=epunkine”「あなたが私を守る」に対
して“ci-epunkine es=en=ekarkar”「守護した
まう事を汝は我に為す」の様に複雑な表現を
するもの、③“epunkine”「~を守る」に対
して同じ意味で“koepunkine”と虚辞接頭辞
“ko-”や“koonkami”「~に拝礼する」に対
して同じ意味で“ekoonkami”と虚辞接頭辞“e-”
を用いるものがある。この虚辞接頭辞は
“koekasinukar”「~を授ける」、
“ekoparparse”「ギラキラする」の様に“koe-”
あるいは“eko-”の形式で重複している場合

もある。本書では特に②、③を雅語としている。

かご(駕籠) [名]駕籠 kago (新)※(日本語): (表現)駕籠を担ぐ kago eunkoani (新)

かご(籠) ①(物を入れて背負ったりする)[名]籠 tekko (K): ②(鳥などを入れる)籠 set (H): (表現)籠の鳥 set un cikap (新)

かこい(囲い) [名]囲い cási (石狩)、[名] kaki (幌別)

かこう(下降) [自]下降する ran (複数形 rap) (石狩、天塩): [他](場所)で下降する eran (複数 erap) (石狩): [他](場所)へ下降する koran (複数 korap) (石狩): [他] ~と共に下降する koran (複数 korap) (新): [他](原因、手段)で下降する oran (複数 orap) (新): [他] ~を下降させる ranke (複数 rapte) (石狩): [他](場所)へ ~を下降させる koranke (複数 korapte) (新)

かこう(化合) (化学)[名]化合 cimotopoukote (新)、[名] ciukote (新)、[名] ukot (新): [自]化合する ukot (新)、[他](中相) ciukote (新): [他] ~と化合する kot (新)、[他](中相) cikote (新): [他](原因、手段)で化合する oukot (新)、[他](中相) cioukote (新): [他] ~を化合させる ukote (新): [他] ~と ~を化合させる kote (新): [名]化合物 ciukotep (新)、[名] ukotpe (新)

かこう(加工) [自]加工する ikar (新): [他] ~を加工する kar (石狩): [他](場所)で ~を加工する ekar (新): [他] ~と共に ~を加工する kokar (新): [他](原因、手段)で ~を加工する ekar (石狩)、[他] okar (新): [他](人)に ~を加工させる káre (石狩)

かこう(河口) [場名]河口 petput (petpuci、petputu) (石狩): [位名] ~の河口 put (長形-ci、-u) (石狩): [名]河口に岩がある川 osirannepet (石狩): [名]河口に土崖がある川 opiraspet (石狩)

がごう(雅号) [名]雅号 citomtere (新)、[名] antómtère (新)

かこつける(託ける) [自]人や物事に託ける ikaoytak (新): [自]人に託ける unkaoytak (新)[連他] ~に託ける kasi-oytak (ka-o-y tak) (石狩): (表現)私は彼に託ける kasi=ku=oytak (石狩): (表現)お前は私に託ける en=ka=oytak (石狩)

カコミスル(動物) [名](アライグマ科)カコミスル属 kakomisru-cise (新): [名]カコミスル kakomisru (新)※(英語): [名]クロアシカコミスル cikirikunne-kakomisru (新)

かこむ(囲む) ①(円く)[他] ~を囲む ukosaykare (石狩)、[他] oikarari (天塩): [他](人)に ~を囲ませる ukosaykarere (新)、[他] oikararire (新): ②(集まって)[他] ~を囲む kouekarpa (天塩): [他](人)に ~を囲ませる kouekarpare (新)

かさ(笠) [名]笠 kasa (新)※(日本語)

かさ(傘) [名]傘 kasa (新)※(日本語): (表現)傘をさす kasa eiwanke (新): [名]雨傘 ruyampekasa (新): [名]日傘 sikuskasa (新)

かさ(暈) [名](太陽や月にかかる)暈 cise (石狩): (表現)太陽が暈を被る cup cise kamu (石狩): [完動]太陽あるいは月に暈がかかる cupcisekor (H)

かさ(瘡) [名]瘡 cima (石狩)、[名] ras(-u) (幌別): (表現)(頭)に瘡がたかる cima o (石狩)、(表現) cima us (石狩): [自]瘡だらけである erasraske (幌別)、[自] eraskamu (幌別): [自]頭一面に瘡がたかる yanraskamu (沙流): [自]瘡が落ちた所が禿げている kéyo (H): [自]瘡を剥ぐ cimapiru (幌別): (表現)瘡を剥ぐ cima piru (複数 pirpa) (新): [名]瘡が乾いて生じる細粉 mana (幌別): 「白い瘡が砕けて瘡粉ができる。」「Retatcima kóne wa manaha an .」: (表現)(瘡が治って)皮が剥げる kapu sipita (沙流)

がさい(画才) [場名]画才 hundeetok (新)

カサガイ(笠貝) (魚介)[場名](腹足綱)カサガイ目 kasasey-kotan (新): [名]ユキノカサガイ科 hupsey-apa (新): [名]シロガサガイ科 retarkasasey-apa (新): [名]ヨメガサガイ科 ohawkasasey-apa (新)

かさがた(笠形) (鐘の部分名称)[名]笠形 kasakatkorpe (新)

かさなりつらなる(重なり連なる) (表現)(漆器などの宝物が多い様の描写がなされた後に続け)その上に首領の佩料が重なり連なり enkasike nispamutpe arsannotkarari (石狩): 立派な太刀が連なり掛かる様子の描写に於いて、沙流のワカルパ翁は "santuka"、あるいは"sannipka"「柄頭(つかがしら)」を、また幌別の金成イメカス嬬は"sanatkan"「下げ紐」を用いる。Sannotka もその何れかと考えられるが、杉村キナラブク嬬の発音からすると、元来"santuka"「柄頭」である可能性が高い。また"sanno"の"no"については"o t u"、"ore"を以って対句をなしていた名残とも考えられる。

かさなる(重なる) ①(人や物が)[自]重なる、重なり合う ukaoma (複数 ukaomapa、ukaomampa) (石狩): 「戦場一面に死骸

が重なり合った。」“Rorumpe mintar kurka ta araysir ukaomapa .”、「その森の中には大きな倒木が重なり合っていた。」“Ne nitay tum ta poro samamni ukaoma .”：②(ヘビなどが群がり)[自]重なる、重なり合う ukamukka (石狩)：「私の上にびっくりする程重なり合っていたヘビも全てパツといなくなって…」“… i =ka peka ayapo umukka a muntumumpe ka opittano oarisam tek…」(杉村キナラブック)説話：③(崖や巨石が)[他](中相)重なる、重なり合う cieuerok (新)：④(男女が)[自]重なり合っている ukaan (石狩)

ガザニア (植物)[名](キク科)ガザニア属 gazaniakina-cise (新)：[名]クンショウギクの茎葉 yayan-gazaniakina (新)、[名]その花 yayan-gazania (新)※(別名「ガザニア」)：[名]カザニア・クレブシアの茎葉 arkarari-gazaniakina (新)：[名]G. セルマリスの茎葉 namibia-gazaniakina (新)：[名]G. リネアリスの茎葉 ikor-gazaniakina (新)

かさにくる(笠に着る) [他]～を笠に着て威張る epakesar (epakisar) (石狩)：「あの人は自分の地位を笠に着て威張る。」“Néakur anakne kor so epakesar .”

かさねぎ(重ね着) [自]重ね着する imiutomciwre (新)、[自] iutomciwre (新)：[他]～を重ね着する utomciwre (石狩)：[他]～を重ね着し帯を締める ukomuwe (石狩)

かさねる(重ねる) ①(表現)～の上に～を重ねる uka ta ama (石狩)、(表現) uka ta anu (石狩)：(表現)～の上に～を重ねる ka (長形 -si、-sike) ta ama (石狩)、(表現)～の上に～を重ねる ka (長形 -si、-sike) ta anu (新)：②(人や物に関して)[他]～を重ねる、重ね合わせる ukaomare (新)：③[他]～を重ねて埋める ukamukkare (新)：④(巨石などに関して)[他]を重ねる uerokte (uerotte) (新)：⑤(動作に関して)[他・助動]を重ねる ukakuste (石狩)：(表現)～の動作を重ねる ru+ukakuste (石狩)：(表現)二つの舞姿、三つの舞姿を重ねる tu otapkan-ru re otapkan-ru ukakuste (石狩)：⑥[他](物語の常套句中で礼拝する手や言葉)を重ねる、連ねる epumpa (石狩)：(表現)(恭しく掌を上下しオンカミする動作を描写し)二つの重き手、三つの重き手を重ねつつ tu pase aske re pase aske epumpa kane (石狩)：⑦(男女に関して)[他]を重ねる ukaante (新)

カザフスタン [場名](国名)カザフスタン共和国 Kazakustan Ukotankoremosir (新)※(首都

はアスタナ)：[場名](国名の通称として)カザフスタン Kazakustan (新)：[名]カザフスタン人、国民 kazakustanunkur (新)：[名]カザフ人 kazakkur (新)：[名]カザフ語 kazakkuritak (新)：(歴史)[場名](国名)カザフ・ソヴィエト社会主義共和国 Kazax Soviet Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1936-91年。ソ連邦の旧構成国の一つ。ソ連邦崩壊後に独立。アイヌ語の略称は“Kazax SSR”)

かさぶた(瘡蓋) [名]瘡蓋 cima (石狩)：(表現)～に瘡蓋が一つ出来る cima oma (新)：(表現)～に瘡蓋が沢山できる cima o (石狩)、(表現) cima us (石狩)：[自]瘡蓋になる cimakampa (石狩)：(表現)全身の傷が瘡蓋になる arkam piri cimakampa (石狩)：[自]瘡蓋を剥ぐ cimapiru (幌別)：(表現)瘡蓋を剥ぐ cima piru (複数 pirpa) (新)

カサブランカ [場名](モロッコ王国の都市名)カサブランカ Darbayda (新)、[場名] Kasaburanka (新)

かざほろし(風痺) [自]風痺が出る kamkakar (幌別)

かざりいた(飾板) [名](タマサイにつける金属製の)飾板 sitoki (石狩)：(表現)飾板の紐の数が多く立派な首飾り at erikin sitoki (石狩)

かざる(飾る) ①[他]～を飾る mutkore (石狩)：(表現)家(の中)を飾る cise (oske) mutkore (石狩)：[他](場所)で～を飾る emutkore (新)：[他]～と共に～を飾る komutkore (新)：[他](原因、手段)で～を飾る omutkore (新)：[他](人)に～を飾らせる mutkorere (新)：②(比喩的に)[他]～を飾る tomte (天塩)

カザン [場名](ロシア連邦沿ヴォルガ連邦管区タタールスタン共和国の首都名)カザン Kazani (新)：(歴史)[場名]カザン汗国 Kazan Xankormosir (新)※(1437(8?)-1552年。キプチャク汗国系の国。モスクワ大公国に併合されて消滅。)

かざん(火山) [名]火山 uhuyunupuri (石狩)、[場名] uhuysir (石狩)

かし(下翅) (昆虫)[名]下翅 poknarap(-u) (新)

かし(可視) [名]可視光線 inkareaskay-kiyay (新)

かじ(火事) [名]火事 uhuy (石狩)：[自]火事になる uhuy (石狩)：[0動]家が火事になる cisewhuy (新)、[0動] siruhuy (石狩)：(表現)家が火事になる cise uhuy (石狩)：[0動]山火事になる、野火が出る siruhuy (石狩)：(表現)山火事になる

nupuri uhuy (石狩): (表現)野火が出る
nup uhuy (石狩)

かし(華氏) [名]華氏 fárenheit (新)、[名] fárenheitkarpe (新)※(略号 F): (表現)華氏 10度 wan fárenheit-ipak (新)、(表現) wan fárenheit-dekre (新)、(表現) wan fárenheitkarpe (新)

かし(菓子) [名]菓子 kuwas (八雲、帯広)、[名] tópeppe (石狩): [名](幼児語)菓子 umay (沙流): [名]菓子折 kuwasomarep (新)、[名] tópeppeomarep (新)

がし(餓死) [自]餓死する cepekot (石狩)、[自] kemekot (石狩): [他](場所)で餓死する ecepekot (新)、[他] ekemekot (新): [他]〜と共に餓死する kocepekot (新)、[他] kokemekot (新): [他]〜を餓死させる cepekotte (新)、[他] kemekotte (新)

カシ(樫) [名]樫の木 riyahamuskomni (新)、[名] kasi (新)※(日本語): [名]樫材 riyahamuskomni (新)、[名] kasini (新)

かじきとう(加持祈祷) [自]加持祈祷する ikotunas (幌別): [他](場所)で加持祈祷する eikotunas (新): [他]〜に関して加持祈祷する oikotunas (新): [他](人)に加持祈祷させる ikotunaska (新)

かしこい(賢い) [自]賢い ramuan (複数形 ramuokay) (石狩)、[自] ramkor (天塩): [他](人)を賢くする ramuante (複数形 ramuokayre) (新)、[他] ramkore (新): [名]賢い人 ramuankur (石狩)

かしこまる(畏まる) [自]畏まる yaykatanu (石狩): [他](人)に畏まる koyaykatanu (石狩): [他](人)に畏まらせる yaykatanure (新): (表現)襟首の上に足をつけんばかりに畏まっている okkewkasi koyayrarire okay (沙流)、(表現) okkewkata cinirarire okay (沙流)

かじつ(果実) ①[名]果実 ikaop(i) (新): [名]イチゴ状果 húrepne-ikaop(i) (新): [名]イチジク状果 fikuskaopne-ikaop(i) (新): [名]ウリ状果 urine-ikaop(i) (新): [名]顕果 amam-ikaop(i) (新): [名]液果(漿果) péocikaop(i) (新): [名]蓋果 putao-ikaop(i) (新): [名]核果(石果) ikkew-ikaop(i) (新): [名]角果 sikkewkor-ikaop(i) (新): [名]殻斗果(どんぐり状果) nisewne-ikaop(i) (新): [名]乾果 sácikaop(i) (新): [名]キイチゴ状果 níkaohurepne-ikaop(i) (新): [名]偽果 sunke-ikaop(i) (新): [名]堅果 niste-ikaop(i) (新): [名]孔開蒴果 púyociperpa-ikaop(i) (新): [名]蒴果 ciperpa-ikaop(i) (新): [名]真正液果

sípeocikaop(i) (新): [名]節果 íkomame-ikaop(i) (新): [名]瘦果 sattek-ikaop(i) (新): [名]袋果 pukuru-ikaop(i) (新): [名]多肉果 kámus-ikaop(i) (新): [名]豆果(莢果) mame-ikaop(i) (新): [名]ナス状果 nasune-ikaop(i) (新): [名]ハス状果 pékasoyaciseoropne-ikaop(i) (新): [名]バラ状果 mawne-ikaop(i) (新): [名]複合果 uekari-ikaop(i) (新): [名]分離果 ciumosmaan-ikaop(i) (新): [名]閉果 ciseske-ikaop(i) (新): [名]胞果 ukokapkor-ikaop(i) (新): [名]翼果 rapus-ikaop(i) (新): [名]裂開果 makke-ikaop(i) (新): ②[名]木に成る果実の総称 níkaop(níkaop) (石狩): [名]草に成る有用な果実の総称 kinakaop (新): [名]草に成る果実の総称 múnkaop (新)

かしや(貨車) [名]貨物列車 sikeikinneanop (新): [名](一台の)無蓋の貨車 wágon (新)※(英語): [名](一台の)有蓋の貨車 ciseskewagon (新)

かじや(鍛冶屋) [名]鍛冶屋 kánikikkur (K)、[名] kánikarkur (K)、[名] kánuci (K)

かしゅ(歌手) [名]歌手 upopokur (新)、[名] sinotcakikur (新): (表現)アイドル歌手 sikosittaripayar upopokur (新)、(表現) sikosittaripayar sinotcakikur (新): [名]女性歌手 upopo menoko (新)、[名] sinotcaki menoko (新): [名]男性歌手 upopo okkayo (新)、[名] sinotcaki okkayo (新)

カシューナッツ (植物)[名](ウルシ科)カシューナットノキ属 kaşunatni-cise (新): [名]カシューナットノキの茎 kaşunatni (新): [名]カシューナットノキの果柄 kaşunatumpe (新): [名]カシューナットノキの果実 kaşunatnikaop (新): カシューナットノキの果実の殻 kaşunatsey (新): [名]カシューナットノキの果実の仁、カシューナッツ kaşunat (新)

ガジュツ(莢朶) (植物)[名](ウコン属)ガジュツの莖葉 gájutkina (新): [名]ガジュツ(紫鬱金)の根 gájut (新)、[名] wáit-turmerik (新)、[名] sák-ukon (新)

かじょ(花序) [名]花序 apappoomakat(u) (新)、[名] nonnoomakat(u) (新): [名]隠頭花序 enuynak-apappoomakat(eesina-) (新): [名]円錐花序 pusaus-apappoomakat (新): [名]繖状花序 marine-apappoomakat (新): [名]さそり型花序 iyoppene-apappoomakat (新):

[名] 散形花序 kasane-apappoomakat (新): [名] 散房花序 pusacari-apappoomakat (新): [名] 集散花序 usamumpekor-apappoomakat (新): [名] 小穂 pompus (新): [名] 穂状花序 pusne-apappoomakat (新): [名] 総状花序 pusane-apappoomakat (新): [名] 単頂花序 sinekitaykeumpekor-apappoomakat (新): [名] 頭状花序 sapane-apappoomakat (pakene-) (新): [名] 肉穂花序 kampus-apappoomakatu (新): [名] 杯状花序 tukine-apappoomakat (新): [名] 尾状花序 sanne-apappoomakat (新)※(sanne > sar-ne): [名] 複集散花序 usamumpekorpa-apappoomakat (新): [名] 複総状花序 pusaus-apappoomakat (新): [名] 無限花序 siokeresak-apappoomakat (sikessak-) (新): [名] 有限花序 siokerekor-apappoomakat (sikeskor-) (新)

かしょう(過小) [自] 過小である ponkasuy (新)

かじょう(過剰) (表現) 過剰に～する 動詞 + kasuy (kaspā) (石狩): 石狩方言では特定の口承文芸の表現にのみ "kaspā" が現れる。: 「牛肉が市場へ過剰に供給される。」 “ Pekokam iei yokusi an=kkopumpa kasuy .”: (表現) ～を過剰に行う 名詞 + ki + kasuy (kaspā) (新)

かじょうがき(簡条書き) (表現) 簡条書きする iusamomare wa inuye (新): (表現) ～を簡条書きする ～ usamomare wa nuye (新): (表現) 簡条書きされたもの an=usamomare wa an=nuyé p (新)

かじる(齧る) ①(歯を立ててこそげる事を指し)[自] 何度も齧る ikepekepu (新)、[自] ikepeke (新): [他] ～を何度も齧る kepekepu (石狩)、[他] kepeke (石狩): ②(口に銜えて歯を立てたり、虫などが牙で挿む事を指し)[自](一回) 齧る ikupa (新): [他](一回) ～を齧る kupa (石狩): [自] 何度も齧る ikupapa (石狩): [他] ～を何度も齧る kupapa (石狩)

カシワ(柏) (植物)[名](コナラ属) カシワの茎 komni (石狩)、[名] síkomni (天塩)、[名] tunni (túni) (幌別)※(但し túnni の語は今後「モンゴリナラ」の意味で使う事とする)、[名] その殻斗 nisew-itanki (H)、[名] nisew (H)、[名] sínisew (天塩): [名] カシワモドキの茎 cikomnikopa (新)※(ミズナラとの雑種): [名] コガシワの茎 komnikopoyke-cikappoperoni (新)※(コナラとの雑種): [名] ホソバガシワの茎 hamuane-komni (新)※(ミズナラとの雑種)

かしん(下唇) [名] 下唇 orikasipapus(i-) (新): [名] 下唇枝、下唇鬚 orikasipapusrek(i-) (新)

かしん(家臣) [名] 家臣 pakusakur (新)

ガス [名] ガス gas (新)※(英語)

かず(数) [名] 数 cipiskip (新)

かず(糟) [名] 糟 sit(-ci) (石狩): [名] 芋の糟 imosit (石狩)

かす(貸す) ①(使って減らぬ物に関して)[自] ものを人に貸す ieirusa (新): [他] を人に貸す eirusa (石狩): [他] ～を(人)に貸す erusa (石狩): 「私はあんたにこの本を貸したくない。」 “ Tan kampisos some=erusa=an rusuy .”: ②(使うと無くなりもとの物で返せぬ物に関して)[自] ものを人に貸す ieisoseyar (新)、[自] ieisoukte (新): [他] ～を人に貸す iesoseyar (新)、[他] iesoukte (新): [他] ～を(人)に貸す esoseyar (石狩)、[他] esoukte (天塩): 「私達に少しでもお金を貸していただけると有難いのですが。」 “ Ponso ne yakka ikor es=un=esoseyar yak pirka .”

カストリーズ [場名](セントルシアの首都) カストリーズ Kastories (新)

かずのこ(数の子) [名] 数の子 herokihoma (erokioma) (石狩)

カズハゴンドウ(数歯巨頭) (動物)[名](ゴンドウクジラ亜科) カズハゴンドウ属 emeronnnerokom-cise (新): [名] カズハゴンドウ emeronnnerokom (新)※(その頭メロンである巨頭鯨)

カスピ [名](地名) カスピ海 Kaspia-atuy (新)、[名] Xazar-atuy (新)

カスミザクラ(霞桜) (植物)[名](サクラ属) カスミザクラの茎 yayurarottekarimpani (新): [名] カスミザクラの花 yayurarottekarimpani-apappo (新)

かすむ(霞む) [自] 霞む、霞んでいる homar (石狩): [他] ～を霞ませる homarka (homare) (新): [副] 霞んで homar (石狩)、[副] homanno (天塩)、[副] homaritarā (天塩): (表現) 霞んで homar kane (石狩): [自] 霞んでいく cancanke (新): [自] 全体がぼんやり霞んでいく uecancanke (石狩)

かすれる(掠れる) [自] (疲などがからんで) 声が掠れる opiyo (天塩): (表現) 擦れ声 opiyo hawe (新)

かぜ(風) [名] 風 réra (石狩)、[名](雅語) maw(-e) (石狩): (表現) 風が吹く réra as (石狩): (表現) 風がそよ吹く réra hawke (石狩): (表現) 風が吹き荒れる réra yupke (石狩): (表現) 大風が吹き荒れる poro réra yupke (石狩): (表現) (英雄が飛行す

る様を描写し)ぼんやりとした神の風の上に私は風を絡ませる homar kamuymaw sirka an=mawnoyere (石狩): [他]~を風に当てる rérakare (石狩): 「…私の小さい乳房を私は出しそれを風に当て…」 “an=kor pon totto ay=sánasanke an=rérakare…” (杉村キナラブック)神謡: [他](髪)が(場所)に風に靡く oreraparu (石狩): 「…神の女の顔の前に頭髮が風に靡き絹の小袖が風にはためき…」 “kamuymenoko u nankotcake kimuyotopi oreraparu u sarampekosonte oreraparu…” (杉村キナラブック)神謡: [名]風の女神 pikatanitnekamuy (石狩)

かぜ(風邪) [名]風邪 omkekar (石狩): [自]風邪をひく omkekar (石狩): [他](場所)で風邪をひく eomke (新): [他]~と共に風邪をひく koomkekar (新): [他](原因)で風邪をひく eomkekar (石狩)、[他]oomkekar (新): [他](人)に風邪をひかせる omkekare (新): (表現)風邪で声が潰れる omke ani rekuci otampuus (新)※(樺太): (表現)風邪で咽喉が痒い omke ani rekuci mayamaya (mayamayak) (新)※(屈斜路): [名]風邪の神 omke-kamuy (天塩)

かせい(化性) (表現)~化性である ~suy o (新): (表現)一化性である assuy o (新): (表現)二化性である tusuy o (新)

かせい(化生) ①(形を変えて生まれる)[自]化生する oyakatkosiko (新): ②(変質形成)[自]化生する toykooyakatne (新)

かせい(火星) (宇宙)[名](太陽系の四番惑星名)火星 Ciapkastenociw (アイヌの星)、[名]Marsu (新)

かせき(化石) [名]化石 sumanep(i) (新): (表現)生きた化石 siknu sumanep (新): [自]化石となる、なっている sumane (新): (表現)魚の化石 sumane cep (新)

かせぎ(稼ぎ) ①[名]稼ぎ iso (石狩): ②[自]稼ぎがある isoun(ison) (石狩): (表現)~に稼ぎがある ~otta iso an (新): [他](場所)で稼ぎがある eisoun (eison) (新): [他]~と共に稼ぎがある koisoun(koisoun) (新): [他](原因、手段)で稼ぎがある oisoun(oison) (新): [名]稼ぎがある人 isounkur (isonkur) (石狩) (新): ③[自]稼ぎがない ipesak (石狩)、[自]isosak (新): (表現)~に稼ぎがない ~otta iso isam (新): [他](場所)で稼ぎがない eipesak (新): [他](原因、手段)で稼ぎがない oipesak (新): [名]稼ぎがない人 ipesakkur (石狩): ④[自]日雇いをする yayeyyok (沙流): [名]稼ぎ人

yayeyyokkur (沙流)

かせぐ(稼ぐ) [自]稼ぐ isouk (複数形 isouyna) (新): (表現)稼ぐ iso uk (複数 uyna) (新): [他](場所)で稼ぐ eisouk (複数 eisouyna) (新): [他]~と共に稼ぐ koisouk (複数 koisouyna) (新): [他](原因、手段)で稼ぐ oisouk (複数 oisouyna) (新)、[他] epirka (石狩): [他](人)に稼がせる isoukte (複数 isouynare) (新): [場名]稼ぎ場 cieisoukusi (新)

かぜにはためく(風にはためく) ①[他](小袖などが(場所)に風にはためく oreraparu (石狩): 「…神の女の顔の前に頭髮が風に靡き絹の小袖が風にはためき…」 “kamuymenoko u nankotcake kimuyotopi oreraparu u sarampekosonte oreraparu…” (杉村キナラブック)神謡: ②[間投](擬声語。何かが風に揺らされはためく音)サラ、パタ、パタ sep (H): [自]サラ、パタ、パタと鳴る sepkosanu (新)、[自] sepkosampa (新): [自]サラサラ、パタパタ、パタパタと頻りに鳴る ciseprototo (新)、[自] seprototke (新): [自]サラサラ、パタパタ、パタパタと鳴る sepeptki (新): [自]サラサラ、パタパタ、パタパタと鳴り続ける sepnatara (新)

かぜのうわさ(風の噂) (表現)風の噂に聞こえて来る sem as páhawpo cikirire wa inu (沙流): 「風の噂に聞こえて来たのは君が結婚して幸せに暮らしているということだ。」

“Sem as páhawpo cikirire wa ku=inu ayke e=hokukor wa pirkano e=an sektor ku=inu.”

かぜのたより(風の便り) (表現)風の便りに聞く cikap oro peka inu (樺太): (表現)風の便りに~を聞く cikap oro peka nu (樺太)

ガゼル (動物)[名](ブラックバック族)ガゼル属 gazera-cise (新): [名]エドミガゼル édomi-gazera (新): [名]コウジョウセンガゼル sarakunne-gazera (新): [名]サンドガゼル arabiya-gazera (新): [名]スベックガゼル supeke-gazera (新): [名]チンカラ cinkara (新): [名]ドルカスガゼル dorkas-gazera (新): [名]マウンテンガゼル sigazera (新): [名]リムガゼル rim-gazera (新)

かぜをきる(風を切る) [自]風を切る mawca (新): 「黒き鎧の勇者の振る刀が風を切った。」 “Kunne hayokpe mi rametok suye tam mawca.”: [自]風を切り裂きぐんぐん飛ぶ hemawotuypa-kotusse (新)、[自] hemawotuypa-kotussetusse (新): 「飛行機の編隊が風を切り裂きぐんぐん飛んで行

く。」“Sinta saye heworotuypa-kotusse wa paye.”

かせん(下線) [名]下線 poknaru(-we) (新): [自]下線を引く ipoknanaye (複数 ipoknanaypa) (新)、[自]poknarunokakar (新): [他]～に下線を引く poknanaye (複数 ponanaypa) (石狩)、[他] epoknarunokakar (新)、[他] korunokakar (新): [他]～と共に～に下線を引く kopoknanaye (複数 kopoknanaypa) (新)、[他] kopoknarunokakar (新): [他](原因、手段)で～に下線を引く opoknanaye (複数 opoknanaypa) (新)、[他] okopoknarunokakar (新): [他](人)に～に下線を引かせる poknanayere (複数 poknanaypare) (新)、[他] poknarunokakare (新): (表現)下線部 an=poknanaye hi (新)、(表現) an=kopoknanokakar hi (新)

がせんし(画仙紙) [名]画仙紙 hunteetok-kampi (新)、[名] suan-kampi (新)※(宣紙)

かそう(火葬) [自]火葬する iuhuyka (新)、[自] araysiruhuyka (新): [他]～を火葬する uhuyka (新): [他](場所)で～を火葬する euhuyka (新): [他]～と共に～を火葬する kouhuyka (新): [他](原因、手段)で～を火葬する ouhuyka (新): [場名]火葬場 iuhuykausi (新)、[場名] araysiruhuykausi (新)

かそうじゅんようかん(仮装巡洋艦) [名]仮装巡洋艦 ikatkatcastumicic (ikatkar-castumicic) (新)

かそうつつか(仮想通貨) [名]仮想通貨 cieinummakuste-cieiwankeikor (cieirammakuste-) (新)、[名] cieinummakuste-ikor (cieirammakuste-) (新)

かぞえる(数える) [自]数を数える ipiski (ipiske) (石狩): [他]～を数える piski (piske) (石狩): [他](場所)で～を数える episki (episke) (新): [他]～と共に～を数える kopiski (kopiske) (新): [他](原因、手段)で～を数える opiski (opiske) (新): [他](人)に～を数えさせる piskire (piskere) (新)

かそく(加速) [自]ものを加速する itunaska (新): [他]～を加速する tunaska (石狩): [他](場所)で加速する etunaska (新): [他](場所)へ加速する kotunaska (新): [他]～と共に加速する kotunaska (新): [他](原因、手段)で加速する otunaska (新): [他](人)に～を加速させる

tunaskare (新): [自]自ら加速する yaytunaska (石狩)

かぞく(家族) [名]家族 sinecise-unutar(-i) (天塩)、[名] ureskautar(-i) (新): (表現)家族の一員 sinecise-unutar (ureskautar) sinene (新)

ガソリン [名]ガソリン satnosum (新)、[名] satnosumasum (新)、[名] gasorine (新)※(英語): [名]ガソリンエンジン satnosum-tumsankep (新)、[名] satnosum-engine (新)※(英語)

かた(型) [名]型 kat(u) (新)、[名] noka (新)、[名] tipe (新)※(英語)

かた(肩) ①[名](人間の肩) kúkw(-e) (石狩)、[名] takup(-i) (天塩): [名]片方の肩 arkukew(-e) (新)、[名] attakup(-i) (新): [名]両肩 urenkukew(-e) (新)、[名] urentakup(-i) (新): (表現) uekari kúkw(-e) (新)、(表現) uekari takup(-i) (新): ②[名](動物の)前足の付け根 tapkir(-i) (石狩): [名]片方の前足の付け根 attapkir(-i) (新): [名]両方の前足の付け根 urentapkir(-i) (新): (表現) uekari tapkir(-i) (新): ③(合成語の構成要素として)[名]肩 tap(-u) (石狩): [名]片方の肩 attap (石狩): ④[場名]肩の上 tapka(-si、-sike) (石狩)、[場名] tapmekka(-si、-sike) (沙流): [名]肩の筋肉 tapkam(-i) (新)、[名] taperakam(-i) (新)※(樺太): [名]肩の脂肪層 tapkirpo (新)、[名] puskirpo (屈斜路)

かたあし(片足) [名]片足 atcicir(-i) (石狩): [自]片足で立つ atcikireas (複数 atcikireroski) (新): (表現)片足で立つ atcikinne as (複数 roski) (新)

カタアリ (昆虫)[名](アリ科)カタアリ亜科 kapunisteitunnap-moapa (新): [名]カタアリ属 kapunisteitunnap-cise (新): [名]シベリアカタアリ sibirikapunisteitunnap (新): [名]アルゼンチンアリ属 arxentinaitunnap-cise (新): [名]コヌカアリ属 nakanitunnap-cise (新): [名]ヒラフシアリ属 ikikapkeitunnap-cise (新): [名]ルリアリ属 soyakoykiitunnap-cise (新)

カタル [場名](国名)カタル国 Katar Mosir (新)※(首都は「ドーハ」): [場名](国名の通称として)カタル Katar (新): [名]カタル人、国民 katarunkur (新)

かだい(過大) [自]過大である porokasuy (新)

かたがお(片顔) [名]片顔 oannan(-u) (新)[名] annan(-u) (幌別)、[場名] oannanor(-o、-ke) (新)、[場名] annanorke

(幌別)

かたく(花托) [名]花托 apapposo (新)※
(「花床」とも)

かたく(硬く、固く、堅く) ①[自]硬くなる、硬い
(固くなる、固い) niste (石狩)※(対義語は
"hapur"): [他](場所)で硬くなる、硬い
eniste (新): [他]〜と共に硬くなる、硬い
koniste (新): [他](原因、手段)で硬くなる、
硬い oniste (新): [他]〜を硬くする、固
くする nisteka(nistere) (新): [自]瞬間
的に硬くなる、硬い nistetek (新): [自]
充分に硬くなる、硬い nisteno (nistenu)
(新): [自]完全に硬くなる、硬い oanniste
(新): [自]かちかちに硬くなる、硬い
síniste (新)、[自] toykoniste (新): [自]
陰茎が硬くなる、硬い oniste (新): [名]
硬い土 nistetoy (石狩): (表現)海を渡る
ため魔力や魔法のアイテムによって)海を硬
い土に変える atuy nistetoy ne kar (石
狩): ②(土や粥など柔らかいものが)[自]硬
くなる、硬い siratek (石狩): [他]〜を硬
くする siratekka (新): [名]硬い土
siratektoy (石狩): ③(丈夫である事を示
し)[自]堅くなる、堅い nisuramne (石狩)、
[自] nisuwamne (天塩)、[自] niste (石
狩)※(対義語は hapur): [他]〜を堅くする
nisuramneka (nisuramnere) (新)、[他]
nisuwamneka (nisuwamnere) (新)、[他]
nisteka (nistere) (新)

かたくち(片口) [名]片口 etunup (石狩)※
(注ぎ口のついた木製の片口酒注ぎ。旭川近郊
では柄のついた柄杓型のものを特にこう呼
んだと言われるが、現在ではどんな物でも
etunup と呼ぶ)

かたくりこ(片栗粉) [名]片栗粉 eskerimrim-
irup (新)、[名] hatakanko-irup (新)

かたくるしい(堅苦しい) [自] 堅 苦 しい
yaykatanukasuy (新)

かたさき(肩先) [場 名] 肩 先 tapkes(-e)
(H)

かたそで(片袖) [名]片袖 attusa (石狩):
(表現)(寝ながら隣の様子を窺うため、布団代
わりに被った着物の)片袖に頭を突っ込む
attusa epaotke (石狩)

かたたたき(肩叩き) [名] 肩 叩 き
yaytapukikkikpe (新)

かたち(形) ①(平面的な形象やイメージに関し
て)[名]形 noka (石狩): (表現)形がある
noka an (新): (表現)〜の形がある
nokaha an (新): (表現)形がない noka
isam (新): (表現)〜の形がない nokaha
isam (新): [自]形を持つ nokakor
(新): (表現)形を持つ noka kor (新):
(表現)〜の形を持つ nokaha kor (新):

[自]形を持たない nokasak (新): (表現)
形を持たない noka sak (新): (表現)〜の
形を持たない nokaha sak (新): (表現)
満月の形 sikaricup noka (石狩): [自]形
を作る nokakar (新): [自]物の形を作る
ienokakar (新): [他]〜の形を作る
enokakar (新): (表現)〜の形を作る ~
nokaha kar (石狩): [他](場所)で〜の形を
作る eenokakar (新): [他]〜と共に〜の
形を作る koenokakar (新): [他](原因、
手段)で〜の形を作る oenokakar (新):
[他](人)に〜の形を作らせる enokakare
(新): [他]自分で、一人で〜の形を作る
eyaykonokakar (新): [他]互いに、皆で〜
の形を作る eukonokakar (新): ②(刺繍
の模様などに関して)[名]形 sirki (石狩):
③(立体的な形象や方法などに関して)形
kat(-u) (石狩): (表現)形がある (新):
(表現)〜の形がある katu an (新): (表
現)形がない kat kor (新): (表現)〜の形
がない katu isam (新): [自]形を持つ
katkor (石狩): (表現)形を持つ kat kor
(新): (表現)〜の形を持つ katu kor (新):
[自]形を持たない katsak (katsak) (新):
(表現)形を持たない kat sak (新): (表現)
〜の形を持たない katu sak (新): [自]形
を作る katkar (新): [自]物の形を作る
iekatkar (新): [他]〜の形を作る
ekatkar (新): [他](場所)で〜の形を作る
eekatkar (新): [他]〜と共に〜の形を作る
koekatkar (新): [他](原因、手段)で〜の形
を作る oekatkar (新): [他](人)に〜の形
を作らせる ekatkare (新): [他]自分で、
一人で〜の形を作る eyaykokatkar (新):
[他]互いに、皆で〜の形を作る eukokatkar
(新)

かたづけ(片付け) [自]ものを片付ける iukao
(新)、[自] isitcanure (新): [他]〜を片付
ける ukao (石狩)、[他] sitcanure (沙
流): [他](場所)で〜を片付ける eukao
(新)、[他] esitcanure (新): [他]〜と共に
〜を片付ける koukao (新)、[他]
kositcanure (新): [他](原因、手段)で〜を
片付ける oukao (新)、[他] ositcanure
(新): [他](人)に〜を片付けさせる ukaore
(新)、[他] sitcanurere (新): [他]自分で、
一人で〜を片付ける yaykougao (新)、[他]
yaykositcanure (新): [他]互いに、皆で〜
を片付ける ukougao (新)、[他]
ukositcanure (新): [他]すっかり〜を片付
ける oarukao (arukao) (新)、[他]
oassitcanure (assitcanure) (新): [他]思
い切り〜を片付ける toykougao (新)、[他]
toykositcanure (新): [他](中相)〜が片付

けられる ciukao (新)、[他] cisitcanure (新): [自]片付く siukao (新)、[他] sisitcanure (新)

かたて(片手) ①[名]片方の手 attek(-e) (石狩、天塩)、[名](雅語) oattek(-e) (石狩): [名]片方の手の指先 attekpet(-ci) (石狩): ②[自]ものを片手で持つ iattekeani (複数 iattekeampa) (新): [他]～を片手で持つ attekeani (複数 attekeampa) (新): [他](人)に～を片手で持たせる attekeanire (複数 attekeampare) (新): ③[自]人やものを片手で押さえる iattekekisma (新): [他]～を片手で押さえる attekekisma (新): [他](人)に～を片手で押さえさせる attekekismare (新): ④[自]人やものを片手で持ち上げる iattekepuni (複数 iattekepumpa) (新): [他]～を片手で持ち上げる attekepuni (複数 attekepumpa) (新): [他](人)に～を片手で持ち上げさせる attekepuni (複数 attekepumpare) (新)

かたな(刀) ①[名]武器となる本物の刀 emus(-i) (石狩)、[名](雅) mutpe (石狩)、[名](雅) notakkorpe (石狩): [名](合成語の構成要素として)刀 tam (石狩): (表現)(和人のように)刀を帯に差す emus kutpokeciw (石狩): (表現)(刀下げ紐で)刀を佩く emus mut (石狩): [場名]刀の柄頭 emusnitpa(-ke) (新)、[場名] emusnitsapa (emusnitcapa) (新): [名]刀の柄 emus(-ci) (石狩): [名]刀の鐔 emusseppa (沙流): [場名]刀の鞘 emussirki (石狩): [名]刀の刀身 emusipe (新): [名]刀の刃 emusnotak(-u) (新): [場名]刀の切先 tametok(-o) (石狩): [名]刀に添えられている小刀 tamtomuspe (沙流): ②(表現)わが佩刀の錆とお前はなだらうよ an=mut emus notakkasike eyaytaraye p e=ne nankor na (石狩): ③[他]～を刀で斬る、斬り落とす tametuye (石狩): (表現)刀で～を斬る emus ani ~ tuye (複数 tuypa) (新): [他]～の頭を刀で斬り落とす etametuye (石狩): ④[他]～に刀で斬りかかる tamesisire (沙流): ⑤[自]刀を構える tamkiru (石狩): [他]～に刀を構える tamkokiru (石狩): [自]互いに刀を構える ukotamkiru (新): ⑥[自]刀を振る tamani (石狩)、[自] tamsuye (新): [他]～に刀を振る kotamani (石狩)、[他] tamkosuye (石狩): 「…同じく六回彼は私に刀を振るい…」 “…upak iwaysuy i=tamkosuye…” (杉村キナラブック) 婦女詞曲: [自]互いに、皆で刀を振る ukotamani (新)、[自] ukotamsuye (新)

かたなかじ(刀鍛冶) [名]刀鍛冶 tamkarkur (新)、[名] tamekanikikkur (新)、[名] tamkikkur (新)

かたなきず(刀傷) [名]刀傷 tampir(-i) (沙流)
かたなさげひも(刀下げ紐) [名]刀下げ紐 emustar(-a) (石狩)、[名] emus-at (石狩)、[名] itaskoat (沙流): (表現)刀下げ紐を吊る emustar kor (新): (表現)刀下げ紐を外す emustar ama (新)

かたなのさや(刀の鞘) [場名](柄や鞘を含む)刀の表面、刀の鞘 emussirka (石狩)、[場名] emuska (石狩): (表現)(コタンカラカムイの佩く)焦げた刀の鞘 ouhuy emussirka (石狩): (表現)(物語の常套句として男の日常生活を表し)宝の表彫り、刀の鞘彫りをする tomika nuye emuska nuye (石狩): [場名](刀の)鞘 sirka (石狩)

かたにかつぐ(肩に担ぐ) ①[他]～を肩に担ぐ esitapkoani (石狩)、[他] esitapkaani (沙流): [他](人)に～を肩に担がせる esitapkoanire (新)、[他] esitapkaanire (新): ②[他]～を肩に垂らして担ぐ esitapkokomo (石狩)、[他] sietapkokomo (石狩、[他] esitapkakomo (沙流): [他](人)に～を肩に担がせる esitapkokomore (新)、[他] esitapkakomore (新): (表現)死体を肩に垂らして担ぐ araysir esitapkokomo (sietapkokomo) (石狩)

かたばねじょうぬい(片羽状繻) [名]片羽状繻 earohoru (石狩)※(刺繻の仕方の一つで、鎖繻の手法を用いて一方が欠けた片羽状にしていくもの)

かたはば(肩幅) [自]肩幅が狭い penram-kohupne (新): [自]肩幅が広い penram-kosep (幌別)

かたひざ(片膝) [名]片膝 arkokka (新): [自](女性の正しい座り方として)片ひざ立ちで座る kokkaea (石狩)

かたほう(片方) (一つのものを二つに分けたもの、二つで一組の、あるいは一組と見なすものに関して)①[場名]片方、片側、片面 arke (石狩): 「…扇の片面に寒空の絵が描かれ、扇のもう片面には猛暑の絵が描かれ…」 “…awanki arke menis noka a=nuyekar awanki arke sikus noka a=nuyekar …” (砂沢クラ) 英雄詞曲: ②[場名](体などの)片方 asserke (石狩): [連体](手足など身体部位に関して)片方の oar (石狩): ③[連体](対になるものに関して)片方の、片側の、片面の ear (石狩): ④[連体](②、③の用法で)片方の、片側の、片面の ar (石狩)※(②、③に比べ専ら合成語の構成要素として用いられる): ⑤[自]片方だけ出る、出ている

rusara (屈斜路): (表現)への鞆丸が片方出る、出ている ~ noki rusara (屈斜路): [自]片方だけ出る rusan (複数 rusap) (新)、[自] ruasin (複数 ruasip) (新)

かたまり(塊) ①[名]塊 tak(-u) (石狩): (表現)灰の塊 una taku (石狩): ②[名]球状の塊 num(-i) (石狩)、[名] rup(-i) (幌別): (表現)への硬い球状の塊 siratek numi (石狩): [自]塊になっている ruprupse (幌別): [他]~を塊にする ruprupse (新): ③[名]何かが集まったような塊、積み重なったような塊 takma (石狩): (表現)草の塊 mun takma (石狩): [自]塊になる、である takmane (幌別): [他]~を塊にする takmanere (takmaneka) (新): [自]完全に塊になる、である oattakmane (attakmane) (新)

かたむいて(傾いて) ①[副](上、先が)傾いて ehewkeno (石狩): ②[副](下が)傾いて ohewkeno (新): ③[自](崖に生えた木が)傾いて生えている etapapa (石狩): 「崖の上に小さいイタヤカエデの木が傾いて生えていた。」“Kut enka ta pon topeni etapapa.”: ④[位名]傾いた~の上 rewka (長形-si、-sike) (沙流): 「傾いた木の上がすっかり苔むしていた。」“Ni rewka ta oar nirus us kane an.”: ⑤[位名]傾いた~の下 rewpok (長形-i、-ike) (沙流): 「傾いた木の下に私は横たわった。」“Ni rewpok ta ku=hotke.”

かたむく(傾く) ①(図形など上下関係なく)[自]傾く hewke (石狩): ②(上の方、頭などが)[自]傾く ehewke (石狩): [他](場所)で傾く eehewke (新): [他](場所)へ傾く koehewke (新): [他]~と共に傾く koehewke (新): [他](場所)から傾く oehewke (新): [他](原因、手段)で傾く oehewke (新): [自]どんどん傾く ehewkeehewke (新)、[自] ehewewke (新): ③(下の方が)[自]傾く ohewke (八雲): ④(木が)[自]傾く hotku (天塩): [自](大風邪などで根元が)めくれてひどく傾く mewke (石狩)

かたむける(傾ける) ①(上の方、先端、頭などに関して)[他]~を傾ける ehewe (複数 ehewpa) (石狩): [他](場所)で~を傾ける eehewe (複数 eehewpa) (新): [他](場所)へ~を傾ける koehewe (複数 koehewpa) (新): [他]~と共に~を傾ける koehewe (複数 koehewpa) (新): [他](場所)から~を傾ける oehewe (複数 oehewpa) (新): [他](原因、手段)で~を傾ける oehewe (複数 oehewpa) (新): [他](人)に~を傾けさせる ehewere (複数 ehewpare) (新): [他]

~をどんどん傾ける ehewewe (複数 ehewewpa) (新): ②(下の方に関して)[他]~を傾ける ohewe (複数 ohewpa) (新)

かため(片目) [名]片目 arsik(-i) (石狩)、[名] assik(-i) (新)

かためん(片面) ①[位名]~の片面 arkotor(長形 -o、-ke) (石狩): ②(顔の)[名]片面 oannan(-u) (新)[名] annan(-u) (幌別)、[場名] oannanor(-o、-ke) (新)、[場名] annanorke (幌別)

かたやげんぼり(片葉研堀) [名]片葉研堀 arasameenke-pecir (新)

かたゆき(堅雪) [名]堅雪 úka (石狩): (表現)堅雪になる úka as 堅雪になる (石狩): 「堅雪になると歩く事ができる。」“Úka as kor apkas=an easkay.”、「堅雪の上で私達は遊ぶ。」“Úka ka ta sinot=as.”: [名]カラスが歩ける程の堅雪 paskur-uka (石狩): [名]イヌが歩ける程の堅雪 seta-uka (石狩)

かたりあう(語り合う) [自]語り合う ukoitak (石狩)、[自] uye (石狩): [他]~について語り合う eukoitak (石狩): [他](場所)で語り合う eukoitak (新): [他]~と共に語り合う koitak (石狩): (表現) tuta(-no)ukoitak (石狩): [他](原因、手段)で語り合う oukoitak (新): [他](人)を語り合わせる ukoitakte (新)

カタルーニャ [場名](スペインの自治州名)カタルーニャ Katarunia (新)※(州都は「パルセロナ」): [名]カタルーニャ語 kataruniaunkur-itak (新)

かたわら(傍ら) [位名]~の傍ら sam(長形 -a、-ake) (石狩、天塩): [位名]~のすぐ傍ら teksam(長形 -a、-ake) (石狩)、[位名] tessam(長形 -a、-ake) (石狩)、[位名](雅) tekisam(長形 -a、-ake) (石狩)

かたわれ(片割れ) ①(壊れた器やひとまりの物から分かれた)[場名]片割れ serke (石狩): ②(仲間の一人の意味で)[名]片割れ utar (所属形 utari) (石狩)

かたをたたく(肩を叩く) ①(一回)[他](一回)~の肩を叩く tapukik (新): (表現)~の肩を叩く ~ kukewe kik (新): ②(何回も)[他]~の肩を叩く tapukikkik (新): (表現)~の肩を叩く ~ kukewe kikkik (新): [他](人)に自分の肩を叩かせる yaytapukikkikkite (新)

かたをなぐる(肩を殴る) [他](物)で~の肩を殴る etapkositayki (石狩)、[他] etapkokik (石狩)

かたをならべる(肩を並べる) [自]肩を並べる utaperari (石狩): 「八つの村の主たる者だけ肩を並べ酒を飲んで言う事は…」“…tupesan kotan utarpa patek utaperari iku

haw ene oka i …” (砂沢クラ)英雄詞曲：
[他]～に肩を並べる taperari (新)

かたをもむ(肩を揉む) [他]～の肩を揉む
taputempatempa (新)：(表現)～の肩を揉む
～ kukewe tempatempa (新)[他](人)
に肩を揉ませる yaytaputempatempare
(新)

かたをよせる(肩を寄せる)[他]～に肩を寄せる
tápusi (新)：[他](人)に～に肩を寄せさせる
tápusire (新)：[自](互いに)肩を寄せ合う
utapusi (新)

かち(価値) [名]価値 atay(-e) (石狩)：(表現)
価値がある ataye an (新)、(表現) atay kor
(新)：(表現)価値がない ataye isam (新)、
(表現) atay sak (新)

かちく(家畜) [名]家畜 cireska-cikoykip
(新)、[名] cireskap (新)

カチッ [間投](刀などの刃が打ち合う音)カチッ
kit (石狩)：[間投]カチッカチッ kitkit
(新)：[自]カチッと音がする kitse (kitce)
(新)：[自]カチッカチッと音がする kitkitse
(kitkitce) (新)：[自](一回)カチッと鳴る
kitkosanu (石狩)、[自] kitkosampa (新)：
[自]カチッカチッと頻りに鳴る cikitrototo
(石狩)、[自] kitrototke (新)：[自]カチッカチッと
何度も音が鳴る kicitatki (新)：[自]カチッカ
チッと続けて鳴る kitnatara (新)：[自]
(瞬間的に)カチッと鳴る kittek (新)

かちのこる(勝ち残る) [自]勝ち残る
iattukari-enumposore (新)：[他]～に勝ち
生き残る attukari-enumposore (石狩)：
[他](人)に～に勝ち生き残らせる attukari-
enumposore (石狩)

かちわし(徒歩渡) [場名]徒歩渡 cikasuyusi
(新)、[場名] cikasuyusike (新)

カチン [間投](刀などの刃など金属が打ち合う音)
カチン kin (新)、[間投] kacin (新)：[間投]
カチンカチン kinkin (新)、[間投] kacinkacin
(新)：[自]カチンと音がする kiyse (新)、
[自] kaciye (新)：[自]カチンカチンと音がする
kinkiyse (新)、[自] kacinkacinse (新)：
[自](一回)カチンと鳴る kinkosanu (石狩)、
[自] kinkosampa (新)、[自] kacinkosanu (新)、
[自] kacinkosampa (新)：[自]カチンカチンと
頻りに鳴る cikinrototo (新)、[自] kinrototke
(新)、[自] cikinrototo (新)、[自] kacinrototke
(新)：[自]カチンカチンと何度も音が鳴る
kininatki (新)、[自] kacininatki (新)：
[自]カチンカチンと続けて鳴る kinnatara
(新)、[自] kacinitar (新)：[自](瞬間的に)
カチンと鳴る kintek (新)、[自](瞬間的に)
カチンと鳴る kacintek

(新)

かつ(勝つ) ①(資質などについて)[自]勝つ
ikaun (新)：[他]～の点で勝つ eikaun
(石狩)：[他]～と共に勝つ koikaun (新)：
[他][他](人)に勝たせる ikaunte (新)：
[他]～の点で～に勝つ ekaun (新)：
[他](人)に～の点で～に勝たせる ekaunte
(新)：②(凌駕する意味で)[自]勝つ ikus
(新)：[他]～に勝つ kus (石狩)：
[他](人)に～に勝たせる kuste (新)：③
(戦いについて)[自]勝つ iepetturasi (新)：
[他]～に勝つ epetturasi (石狩)：[他](場所)
で～に勝つ eepetturasi (新)：[他]～と
共に～に勝つ koepetturasi (新)：
[他](原因、手段)で～に勝つ oepetturasi
(新)：[他](人)に～に勝たせる epetturasire
(新)：[他]自分で、一人で～に勝つ
yaykoepetturasi (新)：[他]互いに、皆で～
に勝つ ukoepetturasi (新)：[他]完全に～に
勝つ oarepetturasi (arepetturasi) (新)：
[他]充分～に勝つ epetturasino (epetturasinu)
(新)：[他]～に勝ちまくる toykoepetturasi
(新)：[他]己に勝つ yayepetturasi (新)

カツオクジラ(鯨) (動物)[名](ナガスクジラ属)
カツオクジラ tumototushumpe (新)

カツオドリ(鰹鳥)(鳥)[場名](信頸上目)カツオドリ
目 tumototuscikap-kotan (新)：[名]カツオドリ
科 tumototuscikap-apa [名]カツオドリ属
tumototuscikap-cise (新)：[名]カツオドリ
tumototuscikap (新)：[名]アオアシカツオドリ
cikiriaotumototuscikap (新)：[名]アオツラ
カツオドリ nanuaotumototuscikap (新)：
[名]アカアシカツオドリ cikirihuretumototuscikap
(新)：[名]ペルーカツオドリ perutumototuscikap
(新)：[名]シロカツオドリ属 sapasikerpepeustumototuscikap-cise
(新)：[名]モモグロカツオドリ属 omikunnetumototuscikap-cise
(新)：[名]ウ科 urir-cise (新)：[名]グンカンドリ科
topattomicikap (新)：[名]ヘビウ科 tannepurir-cise
(新)

がっかり [自]がっかりする yaypira (沙流)、
[自] yayerampokiwen (静内)、[自] yayerampokin
(yayerampokin) (新)：[他]～についてがっかりする、
(場所)でがっかりする eyaypira (新)、[他]
eyayerampokiwen (新)：[他]～に対してがっかりする、
～と共にがっかりする koyaypira (新)、[他]
koyayerampokiwen (新)：[他](原因、手段)でがっかりする
oyaypira (新)、[他] oyayerampokiwen

(新): [他](人)をがっかりさせる yaypirare (新)、[他] yayerampokiwiwente (新)、[他] yayerampokinure (新): [自]全くがっかりする oaryaypira (aryaypira) (新)、[自] oaryayerampokiwen (aryayerampokiwen) (新): [自]減茶苦茶がっかりする toykoyaypira (新)、[自] toykoyayrampokiwen (新): [自]皆で、互いにながかりする uerampokiwen (新)、[自] uerampokinu (新)

がっき(楽器) [名]楽器 ciohumastep (新)

かつぐ(担ぐ) [他]～を担ぐ、担ぎ上げる ani (複数 ampa) (石狩): [他](場所)に～を担ぐ eani (複数 eampa) (石狩)、[他] koani (複数 koampa) (石狩): [他]～と共に～を担ぐ koani (複数 koampa) (新): [他](原因、手段)で～を肩に担ぐ oani (複数 oampa) (新): [他](人)に～を担がせる anire (複数 ampare) (新): [他]自分で、一人で～を担ぐ yayeani (新): [他]皆で～を担ぐ ueani (新): [他](二人で)～を担ぐ eunkoani (石狩): (表現)駕籠を担ぐ kago eunkoani (新): (表現)神輿を担ぐ mikosi eunkoani (新)

かけ(脚気) [名]脚気 huptasum(i) (石狩)、[名] cikir-huptasum(i) (新): [自]脚気に罹る huptasum (新)、[自] cikir-huptasum (新)

かけつ(咯血) [自]咯血する paroikus (幌別)、[自] paro-kemkus (新): (表現)咯血する paro kem kus (幌別)

かっこ(確固) [自]確固としている oaysinisteka (aysinisteka) (新)、[自] oaysinistere (aysinistere) (新): [他](場所)で確固としている eoaysinisteka (eaysinisteka) (新)、[他] eoaysinistere (eaysinistere) (新): [他]～に対して確固としている、～と共に確固としている koaysinisteka (koaysinisteka) (新)、[他] koaysinistere (koaysinistere) (新): [他](原因、手段)で確固としている ooaysinisteka (oaysinisteka) (新)、[他] ooaysinistere (oaysinistere) (新): [他]～を確固たるものとする oaysinistekare (aysinistekare) (新)、[他] oaysinisterere (aysinisterere) (新)

かっこう(格好) ①[名]格好 kat(-u) (石狩): (表現)～の格好になる、格好である 名詞+kat ne (石狩)、(表現)～ katu ne (新): (表現)～の格好をする 名詞+kat kor (新)、(表現)～ katu kor (新): [自]人間の格好をする aynukatkor (石狩): (表現)～の格好が変である ～ katu an (石狩): ②(副詞と共に用いられ)[自]格好を

する katkor (石狩): [他]～の格好をする katukor (新): [他](場所)で～の格好をする ekatukor (新): [他]～と共に～の格好をする kokatukor (新): [他](原因、手段)で～の格好をする okatukor (新): [他](人)に～の格好をさせる katukore (新): [他]自分で、一人で～の格好をする yaykokatukor (新): [他]互いに、皆で～の格好をする ukokatukor (新): ③[自]同じ格好をする、格好をしている sinekatkor (新): [他]同じ～の格好をする、格好をしている sinekatukor (新): ④[自]格好が良くなる、良い katupirka (新): (表現)～の格好が良い ～ katu pirka (石狩): [他](原因、手段)で格好が良くなる、良い ekatupirka (ekatpirka) (石狩)、[他] okatupirka (新): [他](人)を格好良くさせる katupirkare (新): [自]格好をつける、つけている yaykatupirka (新): [他](人)に格好をつけさせる yaykatupirkare (新): [自]皆で格好をつける、つけている ukatupirka (新): [他](人)に皆で格好をつけさせる ukatupirkare (新): ⑤[自]格好が悪くなる、格好が悪い katuwen (新): (表現)～の格好が悪くなる、悪い ～ katu wen (石狩): [他](人)の格好を悪くさせる katuwente (新): [自]自分の格好が悪くなる、悪い yaykatuwen (新): [他](人)に格好が悪くさせる yaykatuwente (新): [自]皆の格好が悪くなる、悪い ukatuwen (新): [他](人)全員の格好を悪くする ukatuwente (新): [名]格好が悪い奴、格好が悪い物 katuampe (石狩)、[名] katuwempe (新)

がっこう(学校) [場名]学校 ipakasnuusi (新)、[場名] cieipakasnuusi (新): [場名] 初等学校 atpakeun-cieipakasnuusi (新): [場名] 中等学校 noskiun-cieipakasnuusi (新): [場名] 高等学校 rikun-cieipakasnuusi (新): [場名] 小学校 atpakeun-ipakasnuusi (新): [場名] 中学校 noskiun-ipakasnuusi (新): [場名] 高校 rikun-ipakasnuusi (新): (歴史)[名] アイヌ小学校 aynugakko (石狩): (歴史)[名](小学校より)上の学校 sisamgakko (石狩): 1880～1940年代まで道内各地にアイヌ小学校があり、そこでは教育とは名ばかりの非行が行われていたが、逆境の中でも向学心に燃えるアイヌの少年少女は多かった。彼らが夢見たのはまともな教育が受けられる和人の通う高等教育機関であった。しかし経済的理由もさることながら、それらの学校側の差別と偏見によって、能力ある者も非常に困難だった事は荒井和子フチ

の証言からも明らかである。

カッコウアザミ(郭公薊) (植物)[名](キク科)カ
ッコウアザミ属 kakkokancami-cise (新)
※(アゲラタム属とも): [名]カッコウアザミ
の茎葉 kakkokancami (新)※(別名「アゲ
ラタム」): [名]オオカッコウアザミの茎葉
poro-kakkokancami (新)※(別名「ムラサキ
カッコウアザミ」)

かつしゃ(滑車) [名]滑車 tumkorkarip
(新)、[名] tumnukarip (新)

がっしゅうこく(合衆国) [場名]合衆国
ukosineatkimosir (新): [固名]アメリカ合
衆国 Amerika Ukosineatkimosir (新)

かつじょう(割譲) [他] ~ を割譲する
serkekore (新): [他] ~ に ~ を割譲する
serkekore (新): (表現) ~ に領土を割譲す
る mosir ~ serkekore (新): (表現) ~ に
~ の領土を割譲させる mosir serkekore
kar (新): [他] ~ に ~ に ~ を割譲させる
serkeyaykorekar (新)、[他] serkekorere
(新)

がっしょう(合唱) [自]合唱する usinotcakire
(新): [他] ~ を合唱する eusinotcakire
(新): [他](場所)で合唱する eusinotcakire
(新): [他] ~ と共に合唱する
kousinotcakire (新): [他](原因、手段)で
合唱する ousinotcakire (新): [他](人)に
合唱させる usinotcakireka
(usinotcakirere) (新)

かつしよく(褐色) [自]褐色になる、である
uparusirone (新)、[自] uparus (新):
[他] ~ を褐色にする uparusironeka
(uparusironere) (新)、[他] uparusi
(新): [名]褐色 uparusiro (新)

がつつく [自]がつつく iperuy (石狩):
(表現)がつつく ruyno ipe (新): (表現) ~
にがつつく ruyno e (新)

かつて ①[副]かつて teeta (石狩): (表現)
かつて teeta anakne (石狩)、(表現)
teeta kane (石狩): ②[連体]かつての
teeta (石狩)、[連体] teetaan (石狩)

かつて(勝手) ①[副](自分)勝手に
yayrenkayne (石狩)、[副] yayrenka (石
狩)、[副] yayrenkano (天塩): 「あいつ
は勝手に何でもして、失敗すれば側にいる人
を責める。」 “Neampe yayreyne nep ne
yakka ki ayne hayta yakun sama ta an kur
apapu.”: ②[自]勝手に行く yayomante
(新): [他](人)を勝手に行かせる
yayomantere (新): ③[自]勝手に来る
yayaekte (新): [他](人)を勝手に来させる
yayektere (新): ④[自]勝手に出る
yayasinke (新): [他](人)を勝手に出す
yayasinkere (新): ⑤[自]勝手に入る

yayahunke (石狩): [他](人)を勝手に入ら
せる yayahunkere (新)

かつどう(活動) ①[自]活動する moymoyke
(新): [他](場所)で活動する emoymoyke
(新): [他] ~ と共に活動する komoymoyke
(新): [他](原因、手段)で活動する
omoymoyke (新): [自]一人で活動する
yaymoymoye (新): [自]皆で活動する
umoymoye (新): [自]ちょっと活動する
moytek (新): [自]充分活動する
moymoykeno (moymoykenu) (新): [自]
激しく活動する moymoykeruy (新):
[自]減茶苦茶活動する toykomoymoyke
(新): [他] ~ を活動させる moymoye
(新): [他] ~ をちょっと活動させる
moytekka (新): ②(社会的行動の意味
で)[他] ~ の活動をする koarikiki (新):
[助動] ~ する活動をする koarikiki (新):
[名]活動家 ikoarikikikur (新):
tumikopan(反戦) + koarikikikur →
umikopankoarikikikur 「反戦活動家」:
[名](悪口)活動家 turekorpe (新)※(二つ名
を持つ奴)

かっぱ(河童) [名]河童 osoynep (石狩)

かつら(髪) [名]かつら sapauspe (新)、
[名](悪) sunkeotop(i) (新)

かつらく(滑落) ①(足などを滑らせ高い所か
ら)[自]滑落する turse (新)、[自] tusse
(石狩): [他](場所)に滑落する koturse
(kotusse) (新): [他] ~ と共に滑落する
koturse (kotusse) (新): [他](場所)から
滑落する oturse (otusse) (新): [他](原
因、手段)で滑落する eturse (新)、[他]
etusse (石狩)、[他] oturse (otusse)
(新): [他] ~ を滑落させる tursaka
(tusseka) (新)、[他] tursere (tussere)
(新): ②(斜面を)[自]ザザーッと音を立て滑
落する carasse (carase) (石狩)

かつれい(割礼) [自]割礼を受ける
hooesere (新)※(陰部で契約する):
[他](人)に割礼を受けさせる hooeserere
(新): [自]割礼を施す ihooesere-
eoripakte (新): [他] ~ に割礼を施す
hooesere-eoripakte (新): [名]割礼を行
う人 ihooesere-eoripaktekur (新)、[名]
móher (新)※(ヘブライ語)

カテゴリー [名]カテゴリー sónep (新)、[名]
kategori (新)※(英語)

カテンソウ(花点草) (植物)[名](イラクサ科)カ
テンソウ属 apapporapsakmun-cise (新):
[名]カテンソウの茎葉 apapporapsakmun
(新)

かど(角) [場名]角 soyuysikkew (-e) (石狩):
「その白い家の角を左に曲がって下さい。」

“ Taan retar cise soyuysikkewe ta eharkison es=sikirpa wa es=paye nankor .”

かとう(下等) [場名] 下等 makuyssouni (新): (表現) 下等 makun sóuni (新): [連体] 下等な makuyssoun (新): [名] 下等な奴 otuype (幌別)

かどう(可動) [自] 可動する simoyeaskay (新): [他] ~を可動させる moyeaskay (新): [他] 頭部、先端が可動する emoyeaskay (新): [他] 尾部、後部が可動する omoyeaskay (新): [名] 可動部 cimoyeaskayusi (新)、[名] kutnin(-i) (新)

かどとつきぬい(角突起繡) [名] 角突起繡 ohoyanke (石狩)※(刺繡の仕方の一つで、切伏の角を尖らせるように刺繡して突起部分を絡み止めする方法)

カドフシアリ(角節蟻) (昆虫)[名](フタフシアリ亜科) カドフシアリ属 hocarimacitunnap-cise (新): [名] カドフシアリ hocarimacitunnap (新): [名] コガタカドフシアリ ponhocarimacitunnap (新): [名] キイロカドフシアリ sikerpepus-hocarimacitunnap (新): スジブトカドフシアリ nayeruwe-hocarimacitunnap (新)

カトマンズ [場名](ネパール王国の首都名) カトマンズ Katmandu (新)

カドミウム (化学)[名] カドミウム kadomium (新)※(原子番号48番。元素記号Cd) かとりせんこう(蚊取り線香) [名] 蚊取り線香 kikirkoykip (新)

ガドリニウム (化学)[名] ガドリニウム gadolinium (新)※(原子番号64番。元素記号Gd)

かなう(敵う) [自] 敵う iepetturasi (新): [他] ~に敵う epetturasi (石狩): 「…私達に敵う者は一人もいない…」 “…i=epetturasi p sinep ka isam…” (杉村キナラブク) 英雄詞曲: [他](雅語) ~に敵う attukari-enumposore (石狩): 「…ルロアイカムイ、戦の魔人…それにお前が敵うものではないよ。」 “…Ruroaykamuy, tumuncikamuy … e=attukari-enumposore easkay kunip somo tapan na.” (砂沢クラ) 英雄詞曲

かなしげ(悲しげ) [自] 悲しげでになる、である okne (新): [他] ~を悲しげにさせる okneka (oknere) (新): [副] 悲しげに okneno (石狩)

かなしばり(金縛り) [自] 金縛りになる mokorkoek (石狩)、[自] mokossiukoyki (石狩)、[自] mokossiukoye (石狩)、[自] osoyumpekar (幌別)

かなしむ(悲しむ) [名] 悲しみ ramuwen (新)、[名] yayrampokiwen (新): (表現) 悲しみの感情 ramuwen hum(-i) (新)、(表現) yayrampokiwen hum(-i) (新): (表現) 悲しみの気持ち ramuwen kewtum(-u) (新)、(表現) yayrampokiwen kewtum(-u) (新): [自] 悲しむ ramuwen (石狩)、[自] yayrampokiwen (新): [他] ~を悲しむ eramuwen (石狩)、[他] eyayrampokiwen (石狩): [他] ~と共に悲しむ koramuwen (新)、[他] koyayrampokiwen (新): [他](原因、手段)で悲しむ oramuwen (新)、[他] oyayrampokiwen (新): [他](人)を悲しませる ramuwente (新)、[他] yayrampokiwente (新): [他] 自分で、一人で悲しむ yaykoramuwen (新): [他] 互いに、皆で悲しむ ukoramuwen (新)、[他] ukoyayrampokin (新): [他] 滅茶苦茶悲しむ toykoramuwen (新)、[他] toykoyayrampokiwen (新)

カナダ [場名][国名] カナダ Kánada (新)※(首都は「オタワ」): [名] カナダ人、国民 kánadaunkur (新): (歴史)[場名][国名] カナダ自治権 Kánada Sieyayetunusi (新)※(1867-1950年代。1982年に正式国名が現在のものとなった。)

かなづち(金槌) [名] 金槌 akikkani (新)、[名] akitkani (新)

かなでる(奏でる) [自] 楽器を奏でる irekte (irette) (新): [他] ~を奏でる rekte (rette) (石狩): [他](場所)で~を奏でる erekte(erette) (新): [他] ~と共に~を奏でる korekte(korette) (新): [他](原因、手段)で~を奏でる orekte(orette) (新): [他](人)に~を奏でさせる rektete (rettere) (新): [他] 一人で~を奏でる yayrektete (yayrettere) (新): [他] 皆で~を奏でる urektete (urettete) (新): [他] 上手に~を奏でる rekteno (retteno) (新)、[他] rektenu(rettenu) (新): [他] 心を込めて~を奏でる ramkorekte (ramkorette) (新): [他] 激しく~を奏でる rekteruy (retteruy) (新): [他] 滅茶苦茶~を奏でる toykorekte (toykorette) (新)

かなバケツ(金バケツ) [名] 金バケツ káninitus (新)

かなぼう(金棒) [名] 金棒 kánisitu (新)、[名] kánisutu (新)

かなやすり(金鑢) [名] 金鑢 cioisirukani (新)

かならず(必ず) [副] 必ず sino (石狩)、[副] sonno (石狩)、[副] sunkesakno (石狩)、[副] néra-anakka (天塩)、[副] néun-neyakka (天塩)、[副] yayramka (沙流)

カナリア [場名](地名)カナリア諸島
Kanarias-usapoyis (新)

カナンしょう(河南省) [場名](中華人民共和国の省名)河南省 Hénan-purovince (新)

カニクイアザラシ(蟹喰海豹) (動物)[名](アザラシ科)カニクイアザラシ属 amuspeetukar-cise (新): [名]カニクイアザラシ amuspeetukar (新)

カニコうせん(蟹工船) [名]蟹工船 ampayayakarcip (ampayayakatcip) (新)

カニハサミイソギンチャク(蟹鉗磯巾着) (魚介)[名](オヨギイソギンチャク科)カニハサミイソギンチャク ampayayakorheunnay (新)

がにまた(蟹股) [自]蟹股である cinorke-wen (幌別)、[自] owenkirus (幌別)、[自] cinorke-rewke (沙流)

かにゅう(加入) [自]加入する iopok (石狩)、[自] ahun(複数 ahup) (新): [他]～に加入する eiopok (石狩)、[他] koahun(複数 koahup) (新): [他]～と共に加入する koiopok (新)、[他] koahun(複数 koahup) (新): [他](原因、手段)で加入する oiopok (新)、[他] oahun(複数 oahup) (新): [他](人)を加入させる iopokte (新)、[他] ahunke(複数 ahupte) (新): [他](人)に～に加入させる eiopokte (新)、[他] koahunke(複数 koahupte) (新): [他]～と共に～に加入する koeiopok (新): (表現)…と共に～に加入する … turano ~ koahun(複数 koahup) (新)、(表現) ~ ekota … koahun(複数 koahup) (新): [他](原因、手段)で～に加入する oeiopok (新)、[他] okoahun(複数 okoahup) (新): [他]自分で、一人で～に加入する yaykoeiopok (新): [他]互いに、皆で～に加入する ukoeiopok (新): [他]～に素早く加入する osma (新): [他](人)に～に素早く加入させる osmare (新)

かね(金) ①(貨幣)[名]金、貨幣 ikor (石狩): ②(金属)[名]金 káni(káne) (石狩): [名]金の焼串 kániimanit-ci) (石狩)

かね(鐘) ①[名]鐘 konko (樺太): (表現)鐘が鳴る konko rek (新): (表現)鐘を鳴らす konko rekte (新): (表現)鐘の音が響く konko humi as (新): (表現)鐘の音を響かせる konko humi aste (新): (表現)鐘の音が美しく響く konko humi mayun (新): (表現)鐘の音が美しく響き渡る konko humi mayunatara (新): ②(鐘の鳴る音)[間投]ゴーン kon (新): [間投]ゴーンゴーン konkon (新): [自]ゴーンと鳴る konse (koyse) (新): [他]～をゴーンと鳴らす konseka (koyseka) (新)、[他]

konse (koyse) (新): [自]ゴーンゴーンと鳴る konkonse (konkoyse) (新): [他]～をゴーンゴーンと鳴らす konkonseka (konkoyseka) (新)、[他] konkonse (konkoyse) (新): [自]ゴーンと一回鳴る konkosanu (新)、[自] konkosampa (新): [自]ゴーンゴーンと頻りに鳴る cikonrototo (新)、[自] konrototke (新): [自]ゴーンゴーンと何回も鳴る kononatki (新): [自]ゴーンゴーンと鳴り続ける konnatara (新): [自]一瞬ゴーンと鳴る kontek (新): ③(鐘の鳴る音)[間投]ガラシ karan (新): [間投]ガラシガラシ karankaran (新)、[間投] karanran (新): [自]ガラシと鳴る karanse (karayse) (新): [他]～をガラシと鳴らす karanseka (karayseka) (新)、[他] karansere (karaysere) (新): [自]ガラシガラシと鳴る karanranse (karanrayse) (新): [他]～をガラシガラシ鳴らす karanranseka (karanrayseka) (新)、[他] karanransere (karanraysere) (新): ④(鐘の鳴る音)[間投]ガン kan (新): [間投]ガンガン kankan (新): [自]ガンと鳴る kánse (káyse) (新): [他]～をガンと鳴らす kánseka (káyseka) (新)、[他] kánsere (káyse) (新): [自]ガンガン鳴る kankanse (kankayse) (新): [他]～をガンガン鳴らす kankanseka (kankayseka) (新)、[他] kankansere (kankaysere) (新)

かねて (表現)かねて聞き及んだ ~ a=ye rok kuni ~ (沙流): (表現)かねて聞き及んだ お前の勇敢さ、雄弁さ a=ye rok kuni e=kor rametok e=kor pawetok (新)

かねもち(金持ち) [名]金持ち nispa (石狩): [自]金持ちになる、である nispane (石狩): [他](場所)で金持ちになる、である enispane (新): [他]～と共に金持ちになる、である konispane (新): [他](原因、手段)で金持ちになる、である onispane (新)、[他] enispane (天塩): [他]～を金持ちにする nispanceka (nispance) (新)

かの(彼の) ①(既に話題にされるなど相手が知っている人や物に触れ)[指示連体]彼の ne (石狩)、[指示連体] néa(複数 nérok) (石狩)、[指示連体] néan(複数 néokay) (石狩)、[指示連体] néwaan(複数 néwaokay) (石狩): ①～③に関して複数は神や人以外にはほとんど用いられてこなかったが、今後は物に関しても用いて良いものとする。なお敬語表現として単数の神や人に用いられてきた。: ②[指示代名](雅)彼の者 ikiwaikip (iki wa iki p) (石狩): 「…彼の者の体の

上に二つの太刀影、三つの太刀影を私は踊らせ “…ikiwaikip tumamkasike tu yupke tamkur re yupke tamkur an=eterkekar…” (砂沢クラ)英雄詞曲

かのう(化膿) [自]化膿する yénu (石狩)、[自] yéot (石狩): [他]～を化膿させる yénure (新)、[他] yéotte (新): (表現)化膿して口がつく hup o wa par o (新冠)

かの子(鹿の子) [名]鹿の子 poyyuk (H): [名]鹿の子斑 poyyuksirki (新)

かのじょ(彼女) →「かれ(彼)」を見よ

カノツメソウ(鹿爪草) (植物)[名](セリ科)カノツメソウ属 iwaseri-cise (新): [名]カノツメソウの茎葉 iwaseri (新)

かば(河馬) (動物)[名](鯨偶蹄目)カバ科 pétumma-apa (新): [名]カバ属 pétumma-cise (新): [名]カバ pétumma (新)

かばう(庇う) (表現)～を庇う sisempir ene ukao (石狩): 「私は息子を庇って凶刃にかけられた。」 “Ku=poho sisempir ene ku=ukao.”

かはく(下賤) [名]下賤 sanketapsut(-u) (石狩)、[名] santapsut(-u) (石狩)、[名] santeke(-e) (石狩)

カバノキ(樺の木) (植物)[名](ブナ目)カバノキ科 tatni-apa (新): [名]カバノキ属 tatni-cise (新): [名]アカカンバの茎 húre-tatni (新)※(ダケカンバの変種): [名]アポイカンバの茎 apoy-tatni (新): [名]アメリカシラカンバの茎 amerika-retattatni (新): [名]ウダイカンバの茎 sitatni (天塩): [名]エゾノシラカンバの茎 yaun-retattatni (新)※(シラカンバの変種): [名]オウシュウシラカンバの茎 europa-retattatni (新): [名]オクエゾシラカンバの茎 ukopoyke-tatni (新): [名]オノオレカンバの茎 mukarmesu-tatni (新): カラフトシラカンバの茎 karahto-retattatni (新)※(シラカンバの変種): [名]キハダカンバの茎 konkani-tatni (新)※(別名「アメリカミネハリ」): [名]コウアンシラカンバの茎 singan-retattatni (新)※(シラカンバの変種): [名]コウアンヒメオレオの茎 has-tatni (新): [名]シセンシラカンバの茎 sícuán-tatni (新): [名]ジゾウカンバの茎 jizow-tatni (新): [名]シラカンバの茎 retattatni (沙流): [名]ダケカンバの茎 kamuy-tatni (十勝): [名]チチブミネハリの茎 cicibu-tatni (新): [名]チョウセンミネハリの茎 kórin-tatni (新)※(別名「マカンバ」など): [名]トウカンバの茎 atuyya-tatni (新): [名]ネコシデの茎 nokohamus-tatni (新)※(別名「ウラジロカ

ンバ」): [名]ヒダカヤエガワの茎 níkap-tatni (新)※(ヤエガワカンバの変種): [名]ヒメカンバの茎 motatni (新): [名]ポロナイカンバの茎 poronay-tatni (新): [名]ミズメの茎 azusa-tatni (新)※(別名「アズサ」など): [名]ヤエガワカンバの茎 yarkapattatni (新): [名]ヤチカンバの茎 nitat-tatni (新): [名]ヨーロッパダケカンバの茎 europakamuy-tatni (新): [名]アサダ属 seykapar-cise (新): [名]オストリオブシス属 yarkaparhastaypani-cise (新): [名]クマシデ属 yarkapar-cise (新): [名]ハシバミ属 hastaypani-cise (新): [名]ハンノキ属 kene-cise (新)

カバラミプ ①[名]カバラミプ。(素材、形にかかわらずなく)薄手の良い着物 kaparamip (石狩)※(但し②は石狩川筋では死装束であるため、昔生きた人が着る事はなかった): ②[名]カバラミプ。単衣に模様を切り抜いた白布を張り刺繍などした着物 kaparamip (石狩)、[名] kapariyoymi (石狩)、[名] siampacimip (石狩)、[名] yattuycimip (石狩)※(比較的新しく日高より入ってきたもので、幾つかの呼名を持つが、現在では「カバラミプ」名のみが知られている。葬儀の時に着用される他、平常は絶対に着用しなかった)

カバルダ [場名](ロシア連邦北カフコース連邦管区の構成主体名)カバルダ・バルカル共和国 Kabardino-Barkariya Ukotankoremosir (新): [名]カバルダ・バルカルカル人 kabardino-barkariyaunkur (新): [名]カバルダ人 keberdeykur (新): [名]バルカル人 markarkur (新): [名]カバルド語 keberdeykuritak (新)※(北西コーカサス語族に属する言語。): [名]カラチャ・バルカル語 karacay-malkarkuritak (新)※(チュルク諸語北西語群に属する言語。)

かばん(鞆) [名]鞆 karop (新)

かはんしん(下半身) [場名]下半身 payserke (石狩)、[場名] pánake (幌別)、[名](雅) pánahum(-i) (幌別)、[名](雅) poksir(-i) (幌別)、[名](雅) pennis(-i) (沙流): [名](特に人間の)下半身 panram(-u) (天塩)

かひ(果皮) [名]果皮 ikaopkap(-u) (新)

かひ(花被) [名]花被 apappokamup(-i) (新): [名]外花被 soyun-apappokamup(-i) (新): [名]内花被 awun-apappokamup(-i) (新)

かび(黴) [名]黴 kumi (石狩): (表現)～にかびが生える kumi us (石狩): [名]黴が生えた物 sárúk (宗谷)、[名] kumiuspe (新)

ガビアル (動物)[名](ワニ目)カピアル科
gaviar-apa (新): [名]ガビアル属
gaviar-cise (新): [名]ガビアル gaviar
(新)

かびん(花瓶) [名]花瓶 apappoomap (新)

かふくぶ(下腹部) [場名]下腹部 cupkes(-e)
(石狩)

かぶさる(被さる) ①[自]人やものに被さる
ikamu (新): [自]人に被さる unkamu
(新): [他]～に被さる kamu (石狩):
[他](中相)～に被さる cikamu (新): [自]
被さる sikamu (新): ②(地面など広い範
囲に)[自]辺りに被さる sirkamu (石狩):
③[自]人やものの上に被さる ikasikamu
(新): [他]～の上に被さる kasikamu
(新): (表現)～の上に…が被さる ～ka…
kus (石狩): 「穴の中に私は横たわって
いたが、手も足も縛られていてどうにもなら
ない。そこへ私の上に土がかぶさった。」
“Puy oske ta ku=hotke wa an hike ku=teke ka
ku=cikiri ka an=sinasina kusu ene ku=kar
hi ka isam. Ekota en=ka toy kus.”

かぶせせつじ(かぶせ接辞) (言語)[名]かぶせ接
辞 ikamu-iusitakpo (新)、[名]
isankeeykap-iusitakpo (新)

かぶせる(被せる) ①[他]ものに～を被せる、～
にものを被せる ikamure (新): [他]～に
～を被せる kamure (石狩): [他](場所)
で～に～を被せる ekamure (新): [他]～
と共に～に～を被せる kokamure (新):
[他](原因、手段)で～に～を被せる okamure
(新): [他](人)に～に～を被せさせる
kamurere (新): ②(地面など広い範囲
に)[他]辺りに～を被せる sirkamure (新):
③[他]～の上に被せる kasiseske (天塩):
[他]人やものの上に～を被せる
ikasikamure (新): [他]～の上に～を被せ
させる kasikamure (新): [他](人)に～
の上に～を被せさせる kasikamurere
(新)

かぶと(兜) [名]兜 paykasa (石狩): (表現)
兜の緒を締める paykasa rektukoyupu
(石狩)、(表現) paykasa notkoyupu (石狩):
[名]鍬 kampatoratkip (K)

かぶりもの(被り物) [名]被り物 ciekamup
(石狩)

かぶる(被る) ①(帽子などに関して)[他]を被る
kor (石狩)、[他] ekamu (石狩)、[他]
heusi (幌別)、[自] epausi (十勝)※(帽子
など「を脱ぐ」は ama): (表現)帽子を被
る konci kor (石狩)、(表現) konci ekamu
(石狩): [他](人)に～を被らせる kóre
(新)、[他] ekamure (新)、[他] heusire
(新): ②(主語の意志で)[他]～を被る

yaykamure (新): 「私達は草を被って隠
れた。」 “Mun ku=yaykamure wa
ku=yayukao.”: [他](人)に～を被らせる
yaykamurere (新): [他]～を自分の上に
被る sikaomare (幌別): (表現)自らの頭
髪を我は解き解きし、それをもじゃもじゃに
し身に被った an=kimúyuspe an=pitápita
ay=sitósito ay=sikáomare (新)※(幌別):
③(主語の意志に関係なく)[他]～を被る
sikamure (新): 「何か大きなものが泥沼
に飛び込んで飛び散った泥を私が被った。」

“Nepka poro p teyaka or osma tek teyaka
sicari tek teyaka ku=sikamure.” [他](人)に
～を被らせる sikamurere (新): ④(地面
など広い範囲に関して)[自]辺りが～を被る
sirkamu (石狩): 「辺り(地面)が雪を被る」
“Upas sirkamu.”

かぶれる [自]かぶれる ioasip (新)※(沙
流): 「皮膚がかぶれにはツツネノチャブク
ロがいい。」「いいや、ゴボウの葉を噛んで柔
らかくしてかぶれた所に貼った方がいいよ。」

“Es=kapúhu ioasip yakun papussep
epirka.” “Somo. Akkarino setakorham
es=kúykuy wa es=ríténka kor ioasip hi
kosattekka yak pirka na.”

かふん(花粉) [名]花粉 apappoko (新)、[名]
nonnoko (新): [自]花粉症に罹る
apappokoosiyeye (新)、[名]
nonnokoosiyeye (新)

かべ(壁) [名]壁 tumam(-a) (石狩): (表現)
家の壁 cise tumama (石狩): [場名]壁際
sowsut(-u) (石狩)、[場名] sósut(-u) (石
狩)、[場名] sóusi (石狩): (表現)壁際 so
us hi (石狩): [位名]～の壁の方 mak(長
形-ke) (石狩)※(長形は沙流方言より):
(表現)～の壁の方に mak ta (石狩): [連
体]壁の方の、壁の方にある makun (石
狩): [自]壁の方へ向かう hemakasi
(新): [副]壁の方に向かって、壁の方へ
hemakasi (新): [自]壁の方から来る
homakasi (新): [副]壁の方から
homakasi (新): [他]～を壁の方へやる
makonaraye (新)、[他]
maknaraye(makaraye) (新): [他]～と共
に～を壁の方へやる komakoraye (新)、
[他] komaknaraye(komakaraye) (新):
[他](原因、手段)で～を壁の方へやる
omakoraye (新)、[他] omaknaraye
(omakaraye) (新): [他](人)に～を壁の方
へやらせる makorayere (新)、[他]
maknarayere(makarayere) (新):
[他](中相)～が壁の方にやられる
cimaknaraye(cimakaraye) (石狩)

かへい(貨幣) [名]貨幣 ikonnep (新)、[名]

ikor (石狩)

かべん(花卉) [名]花卉 herapnit(-ci) (新)、
[名] apapporapnit(-ci) (新)

かほう(加法) (数学)[名]加法 iukotama (新)

かほう(花房) [名]花房 apappopusa (新)、
[名] nonnopusa (新)

カホクしょう(河北省) [場名](中華人民共和国
の省名)河北省 Hépey-purovince (新)

カボチャ(南瓜) (植物)[名](ウリ科)カボチャ亜
科 kabocapunkar-moapa (新): [名]カボ
チャ連 kabocapunkar-utar (新): [名]カ
ボチャ属 kabocapunkar-cise (新): [名]
ニホンカボチャの茎 yayankabocapunkar
(新)、[名]その実 yayan-kaboca (新)、[名]
kaboca (石狩): [名]クロダネカボチャの
茎 piyekunne-kabocapunkar (新): [名]
セイヨウカボチャの茎 repun-
kabocapunkar (新)※(別名「クリカボチ
ャ」): [名]ペボカボチャの茎 pepo-
kabocapunkar (新)※(別名「カザリカボチ
ャ」): 品種[名]ズッキーニの果実 zukkini
(新): [名]ミクスタカボチャの茎 miksuta-
kabocapunkar (新): [名]アナカオナ属
anakaona-cise (新): [名]アボブラ属
abobura-cise (新): [名]カヤボニア属
kayaponia-cise (新): [名]カリコフィスム
属 karikofisum-cise (新): [名]キオノシ
キオス属 kionošikios-cise (新): [名]シ
カナ属 šikanapunkar-cise (新): [名]ス
キヅカルプム属 suxizokarpum-cise (新):
[名]セリシア属 serišia-cise (新): [名]テ
クスマニア属 tekunumania-cise (新):
[名]ペネロペイア属 peneropeia-cise (新):
[名]ペボノプシス属 peponopšis-cise (新):
[名]ポリクラストラ属 porikrantora-cise
(新): ◎アレチウリ連: ●アレチウリ亜
連: [名]アレチウリ属 iriuripunkar-cise
(新): [名]シキオスペルマ属 šikiosperma-
cise (新): [名]セキオプシス属
iwanuripusaopunkar-cise (新): [名]ハヤ
トウリ属 cocouripunkar-cise (新): [名]
パラシキオス属 érumraykeuripunkar-cise
(新): [名]ブテロシキオス属
rápuripunkar-cise (新): [名]ミクロセキ
ウム属 mococopunkar-cise (新): ●キク
ランセラ亜連: [名]バクダンウリ属
kaywapunkar-cise (新): [名]アパツィン
ガニア属 apaťinganuripunkar-cise (新):
[名]エキノキスティス属 raytapisepunkar-
cise (新): [名]エキノペボン属
raytauripunkar-cise (新): [名]エラテリ
オブシス属 erateriopšis-cise (新): [名]
クレマストプス属 kuremastopus-cise
(新): [名]バセイアンسس属 vaseyantus-

cise (新): [名]ハンブリア属 hamburia-
cise (新): [名]プセウドキ克蘭セラ属
sunkekaywapunkar-cise (新): [名]ブラ
ンデゲア属 burandegea-cise (新): [名]
マラー属 marahuripunkar-cise (新):
[名]リテイドステイリス属
mokorikarpupuuripunkar-cise (新): ◎
カラスウリ連: ●カラスウリ亜連: [名]カ
ラスウリ属 yayuripunkar-cise (新):
[名]ギムノペタルム属 konkaniyayuri-cise
(新): [名]トリキ克蘭ドラ属
torikikrandora-cise (新): ●アムペロシ
キオス亜連: [名]アムペロシキオス属
amperošikios-cise (新): [名]ヘボニウム
属 peponium-cise (新): ●ヘルペトス
ペルムム亜連: [名]ヘルペトスペルムム属
ruwesiyoniuripunkar-cise (新): [名]エド
ガリア属 resikkewkoruripunkar-cise
(新): [名]ケファロペンタンドラ属
kefaropentandora-cise (新): [名]ビスワ
レア属 repneperkeuripunkar-cise (新):
●ホドグソニア亜連: [名]ホドグソニア属
súmuripunkar-cise (新): ◎ジョリフィエ
ア連: ●オオズメウリ亜連: [名]オオズ
メウリ属 repuncikapnokuriunkar-cise
(新): [名]インドフェビレア属
búuripunkar-cise (新)※(チベット瓜):
[名]ツルレイシ属 siwuripunkar-cise (新)
※(ニガウリ属とも): ●デルファイリア亜
連: [名]テルファイリア属
pisaspiuripunkar-cise (新): [名]ラカンカ
属 rakankapunkar-cise (新)※(シライテ
ィア属): ◎スズメウリ連: ●キュウリ亜
連: [名]キュウリ属 kíuripunkar (新)※
(メロン属とも): [名]オレオシス属
oreošike-cise (新): [名]ククメラ属
kíuripopunkar-cise (新): [名]ククメロブ
シス属 afrikasummerompunkar-cise
(新): [名]サンゴジュズメウリ属
numaus-cikapponokuripunkar-cise (新)※
(ムキア属): [名]スズメウリ属
cikapponokuripunkar-cise (新): [名]ディ
コエロスベルムム属 dikoerospermum-cise
(新): [名]ポサダエア属 posadaea-cise
(新): [名]ミルメコシキオス属
mirmekošikios-cise (新): [名]ムエレラル
ギア属 muererargia-cise (新): [名]メラ
ンキウム属 numausmerompunkar-cise
(新): ●グラニア亜連: [名]グラニア属
gurania-cise (新): [名]プシグリア属
pusiguria-cise (新): [名]ヘルモンティア
属 hermontia-cise (新): ●デンドロシ
キオス亜連: [名]デンドロシキオス属
urini-cise (新): [名]アポダンセラ属

apodantera-cise (新): [名]イベルビレア属 ibervirea-cise (新): [名]ウィルブランディア属 wirburandia-cise (新): [名]ククルビテラ属 kukurbitera-cise (新): [名]グラニオブシス属 guranioþsis-cise (新): [名]ケドロステス属 kedorostis-cise (新): [名]ケラトサンセス属 keratosantes-cise (新): [名]コラロカルプス属 korarokarpus-cise (新): [名]セイリギア属 seyrigia-cise (新): [名]ディエテルレア属 dietenrea-cise (新): [名]ドイエレア属 kúriraytaop (新): [名]トゥマモカ属 tumamoka-cise (新): [名]トロコモリオブシス属 tópenihamusurini-cise (新): [名]ハロシキオス属 haroþikios-cise (新): [名]メロスリアンスス属 merotriantus-cise (新): ●トロコモリア亜連: [名]トロコモリア属 ukakaripopotukpe-cise (新): [名]クテノレピス属 kirayseyunuripunkar-cise (新): [名]ダクティリアンドラ属 askeuripunkar-cise (新): [名]テングスズメウリ属 báraturipopunkar-cise (新): ◎トウガン連: ●トウガン亜連: [名]トウガン属 matauripunkar-cise (新): [名]アカントシキオス属 otaatuyuripunkar-cise (新): [名][名]オキナワスズメウリ属 okinawasurkuuripunkar-cise (新): [名]コグニオーキシア属 kokniaukþsia-cise (新): [名]コッキニア属 húrepiseuripunkar-cise (新): [名]スイカ属 suikapunkar-cise (新): [名]ゾムビツシア属 zombitþsia-cise (新): [名]テッポウウリ属 puspeuripunkar-cise (新): [名]ノソアルソミトラ属 notoarsomitracise (新): [名]バムベケア属 bambekeacise (新): [名]プラエキトルルス属 puraekitrurus-cise (新): [名]ブリオニア属 surkuuripunkar-cise (新): [名]ユーレイアンドラ属 eureiandora-cise (新): [名]ユウガオ属 piseuripunkar-cise (新): [名]ラフィディオキスティス属 rafidiokistis-cise (新): [名]ルサリア属 rutarikia-cise (新): [名]レムロシキオス属 remuroþikios-cise (新): ●ヘチマ亜連: [名]ヘチマ属 káuripunkar-cise (新): ◎ミヤマニガウリ連: [名]ミヤマニガウリ属 kimuysiwuripunkar-cise (新): ◎所属不明: [名]オドシキオス属 nupuriotukpe (新)

ガボン [場名](国名)ガボン共和国 Gabon Ukotankoremosir (新)※(首都は「リーブルビル」): [場名](国名の通称として)ガボン Gabon (新): [名]ガボン人、国民

gabonunkur (新)
かま(鎌) [名]鎌 iyoppe (ioppe) (石狩)
かま(窯) [名]窯 apecise (新)
かま(釜) [名]釜 kama (H)
かまいたち(鎌鼬) [名]鎌鼬 citamehayta (萱野): [名]鎌鼬の傷 kamuyþir-(i) (美幌)
カマイルカ(鎌海豚) (動物)[名](マイルカ亜科)カマイルカ属 iyokpeaspenu-cise (新): [名]カマイルカ iyokpeaspenu (新)※(鎌背鰭を持つ): [名]タイセイヨウカマイルカ arsiatuy-iyokpeaspenu (assiatuy-iyokpeaspenu) (新): [名]ダンドラカマイルカ utasasirkio-iyokpeaspenu (新): [名]ハナジロカマイルカ eturetar-iyokpeaspenu (新): [名]ハラジロカマイルカ honiretar-iyokpeaspenu (新): [名]ミナミカマイルカ koypokamerika-iyokpeaspenu (新)
かまう(構う) [他]〜に構う ekottanu (B): (表現)私に構わないで下さい eciki en=ekottanu wa en=kore yan (新): (表現)私に構わないでよ eciki en=ekottanu ya (複数 yan) (新): (表現)私に構うな eciki en=ekottanu (新)※(B "Itaki ekottanu"より): [間投]構うな sura (沙流)
かまくび(鎌首) [自](へビが)鎌首をもたげる easitarara (石狩): (表現)へビが鎌首をもたげる tannekamuy easitarara (石狩)
かまち(框) [名]窓の框 puyassikrap-(i) (新): [名] puyarsikrap (沙流): (表現)窓の框の上に puyassikrap ka ta (新)
がまん(我慢) [自]我慢する yaysiporore (石狩)、[自] yaysittekka (沙流): [他]〜を我慢する eyaysiporore (石狩)、[他] eyaysittekka (新): [他](場所)で我慢する eyaysiporore (新): [他]〜と共に我慢する koyaysiporore (新): [他](原因、手段)で我慢する oyaysiporore (新): [他](人)に我慢させる yaysiporore (新): [自]一人で我慢する yaykoyaysiporore (新): [自]互いに、皆で我慢する ukoyaysiporore (新): [自]完全に我慢する oaraysiporore (新): [自]充分に我慢する yaysipororeno (yaysipororeno) (新): [自]もの凄く我慢する toykoyaysiporore (新): [自]人に我慢させる yaysipororeyar (新)
かみ(紙) [名]紙 kampi (石狩)
かみ(神) ①[名]神 kamuy-(e) (石狩): (表現)神と称される kamuyasuru ne (石狩): (表現)何の神 nep kamuye (石狩): [名](合成語の構成要素として)神 kur (石狩): [名](立派な神に対する敬称として)神なる旦那 kamuyonispa (石狩): (表

現)(立派な人に対する敬称として)神なるお方 kamuy ne an kur (石狩): [他](原因、手段)で位の高い神となる eyaykamuyner (石狩): ②(火の神の意味で)(表現)神の媼 kamuy húci (石狩): "mosirkor húci (mósirkorúci)", "iresu húci"などと共に用いられる。: ③(表現)神の翁 kamuy ékasi (石狩): コタンコロカムイ、ヌサコロカムイなど男の神の敬称として用いられる。またイオマンテで送られる仔グマの両親として "kamuy ékasi"「神の父」、"kamuy totto"「神の母」とも用いられる。ワッカウシカムイのように普通女の神と考えられる者に対しても用いられるが、その場合男女二柱の一方として意識されていたか不明な場合も多い。: ④(キリスト教で)(表現)父なる神 kamuy ona (新)、(表現) kamuy ékasi (新): ⑤(子熊の意味で)(表現)神の御子、幼児(おさなご) kamuy opoysan (石狩)、(表現) kamuy pomposta (石狩)、[名] pósanke (石狩): ⑥(キリスト教での「幼きイエス」を指し)(表現)神の御子、幼子 kamuy sipompo (新)、(表現) kamuy opoysan (新)、[名] pósanke (新): ⑦[場名]神の国 ("aynumosir"に対して) kamuy mosir (石狩)、[場名] ("aynukotan"に対して) kamuykotan (石狩):

かみ(髪) [名]髪 otop(i) (石狩)、[名](雅) páuspe (石狩)、[名](雅) payeuspe (石狩)、[名](雅) kanru (沙流): [名](合成語の構成要素として)髪 ru (石狩): (表現)髪を伸ばす otop tukka (石狩): [名]赤い髪 húreotop(i) (石狩): [名]子供の頭頂部に剃り残す髪 kankitayuspe (石狩): [名]"kankitayuspe"に付ける三角の布 kankitayotpe (石狩)、[名] kankitayotpe (石狩): [名]子供の側頭部に剃り残す髪 moru (H)、[名] moruuspe (胆振): [名]子供の後頭部に剃り残す髪 ois(i) (幌別)、[名] is(i) (幌別)、[名] okusutnuma (H): [名]絹の如き素晴らしい髪 sarampe-otop(i) (石狩): [名]金髪 konkani-otop(i) (石狩): [名]黒髪 kunneotop(i) (幌別): [名]白髪 retarpe (石狩): [名]巻いた髪 komkomse-otop(i) (幌別): [名]真つすぐな髪 pépes-otop(i) (石狩): [名]髪の毛の一本一本 otoptu (幌別): (表現)一本の髪の毛もない男 sine otoptu ka sak aynu (幌別): [名]髪の毛の先 otopcinkew (石狩): [自]髪の毛を地に垂らす otopcinkew-esitciw (石狩): 「…美しき神を凌ぐが如き乙女が髪の毛の先を地に垂らしながら泣いている…」 “… pirka kamuykuskorcian ponmenko otopcinkew-

esitciw wa cis kor an…” (杉村キナラブック)説話: [他](雅)〜で髪を高く束ね縛る、(頭飾り)を髪を上げた上にねかせて被る erurikikur-raypa (沙流): (表現)(雅)神の絹で髪を高く束ね縛ったまま kamuy-sarampe erurikikur-raypa kane (久保寺)

カミオニシキ(神尾錦) (魚介)[名](イタヤガイ科)カミオニシキ属 yaunkanikosonte-cise (新): [名]カミオニシキ yaunkanikosonte (新): [名]アカザラガイ húrekanikosonte (新): [名]アズマニシキ akketekkanikosonte (新)※(別名「カスミニシキ」): [名]アフリカイタヤ arikaakketek (新): [名]アンゴラニシキ angorakanikosonte (新): [名]イラクサニシキ siatuyruhurekanikosonte (新): [名]インドヨウニシキ bاراتkanikosonte (新): [名]オイワイヒオウギ pirkatoawanki (新): [名]オウギナデシコ awankinadesiko (新): [名]オオウネニシキ ratinkonkanikosonte (新): [名]オーロラニシキ auropakanikosonte (新)(別名「ヒメカミオニシキ」): [名]ジミニシキ onnekosonte (新): [名]チョウセンニシキ cosonkanikosonte (新): [名]トバニシキ karaptokanikosonte (新): [名]ナデシコガイ nadesikosey (新): [名]ナンアニシキ koypokafrikakonkanikosonte (新): [名]ナンカイニシキ koypokkanikosonte (新): [名]ヒナノオウギ érumiwaniroawanki (新): [名]ヒメオリニシキ furoridakanikosonte (新): [名]ブラジルニシキ burazirukanikosonte (新): [名]プロテウスニシキ puroteuskanikosonte (新): [名]フロリダニシキ (新): [名]ベアリングニシキ beringukanikosonte (新): [名]ホソスジナデシコ pinaynadesiko (新): [名]ミルドレッドニシキ mirdoretkanikosonte (新): [名]モオリニシキ zerandiakanikosonte (新)※(学名): [名]モモイロニシキ rúhurekanikosonte (新): [名]ヨワニシキ moritakanikosonte (新)※(学名): [名]ワタゾコナデシコ atuyasamnadesiko (新)

かみがしづまる(神が鎮まる) ②(表現)神が鎮まる kamuy horari (複数 horarpa) (石狩): (表現)(場所)に神が鎮まる kamuy ehorari (複数 ehorarpa) (石狩)、(表現) kamuy eiwak (石狩): [場名]神が鎮まる所 kamuyewakusi (石狩): 杉村キナラブック 媼伝承の婦女詞曲ではシヌタブカの山城を "kamuyewakusi ne kotom an"と形容する。
かみくたく(噛み砕く) [自]ものを噛み砕く

ikuykuy (新): [他]～を噛み砕く
kuykuy (石狩): [他](人)に～を噛み砕かせる
kuykuyte (新)

かみざ(上座) ①[場名](家の中やそれ以外の場所、あるいは祭壇の)上座 sópa (石狩)、[場名] sópake (石狩): ②[場名](家の中の神窓に向かって炉のすぐ上の)上座 apeetok (石狩)※(別名「横座」): ③[名](家の中の神窓に向かって炉より上手で apeetok 以外の)上座 rorunso (roruyso) (石狩)、[場名] ror (石狩) ※(「上座に」は常に rotta となるので注意。)、[場名] rorke (石狩): [副]上座に向かって、上座に erorun (石狩): [副]上座から ororun (新): ④狩小屋の入口と反対側の壁と炉の間 kamuymintar (旭川)

かみしばい(紙芝居) [名] 紙芝居 kampsimpaya (新)

かみそり(剃刀) [名]剃刀 sarampecap (石狩)

かみつ(噛みつ) ①[自]一回噛みつ く ikupa (新): [他]一回～に噛みつ く kupa (石狩): [他]～に一回～に噛みつかせる kupare (新): [自]何度も噛みつ く ikupapa (石狩): [他]何度も～に噛みつ く kupapa (石狩): [他]～に何度も～に噛みつかせる kupapare (新): ②[他]～に噛みついて振り回す enotsuye (新): [自]互いに噛みつき振り回す uenotsuye (沙流): (表現)(雅)(動物が争い)交互に噛み付き振り回し合う utasa pakno uenotsuye (沙流): [自]噛みつき損なう inotelayta (石狩)

カミツレモドキ(加蜜列擬)(植物)[名](キク科)カミツレモドキ属 ciunupirkarepkopacise (新): [名]カミツレモドキの茎葉 ciunupirkarepkopa (新)、[名] cikamomirekopa (新)、[名]その花 ciunupirkarepkop-apappo (新)、[名] cikamomirekopa-apappo (新): [名]コウヤカミツレの茎葉 konkanikamomire (新)、[名]その花 konkanikamomire-apappo (新)※(別名「アンセミス」): [名]ローマカミツレの茎葉 nupurunupirkarep (新)、[名] nupurkamomire (新)、[名]その花 nupurunupirkarep-apappo (新)、[名] nupurkamomire-apappo (新)※(別名「ローマンカモミール」)

かみて(上手) [位名]～の上手 pa(長形-ke) (石狩): (表現)村の上手(川の上流の方) kotan pa(長形-ke) (石狩): (表現)国の上手(東方) mosir pa(長形-ke) (石狩): 「村中」、「世界中」と言う時、特に雅文体ではそれぞれ kotan pa(-ke) kotan kes(-e)、mosir pa(-ke) mosir kes(-e) と表現する。: [位

名](雅)～の上手 pempa (沙流): (表現)崖の上手 nisey pempa (沙流)

かみとけっこんする(神と結婚する)[自]神と結婚する kamuyeat (石狩)

かみとなる(神となる) [自]神となる、である kamuyne (新): (表現)神となる、である kamuyne (新): [他](場所)で神となる、である ekamuyne (新): [他]～と共に神となる、である kokamuyne (新): [他](原因、手段)で神となる okamuyne (新)、[他] ekamuyne (新): [他]～を神とする kamuynera (石狩)、[他] kamuyneka (新): [他]人に～を神とさせる kamuyneyar (新): [自]人に自分を神にさせる sikamuyneyar (新): [他]神となる yaykamuynera (新): [他] eyaykamuynera (石狩): 「神の勇者の佩く刀で私が斬られたなら私はそれで神となるのですから…」 “Kamuyrametok mut emus an=etuy wa ne yak an=eyaykamuynera kusu…” (杉村キナラブック)英雄詞曲: [他]互いを神とする、皆で神となる ukamuynera (新)

かみなり(雷) [名]雷 kamuy (石狩): (表現)雷が落ちる kamuy onisposo (石狩): [名]雷鳴 kamuyhum (石狩): (表現)雷が鳴る kamuyhum as (石狩): [名]カラカラ稲光しながら鳴る雷 kuttarkamuyhum (石狩): [名]ゴロゴロと重く続けて鳴る雷 pasekamuyhum (石狩): [自](雷が)バリッと鳴る yaskosanu (石狩)、[自] yaskosampa (沙流): [自](雷が)バリバリとたて続けに鳴る ciyasrototo (新)、[自] yasrototke (沙流): (表現)天が(空)重く響き渡る kantokotor (niskotor) tununitara (石狩): [名]稲光 imeru (石狩): [名]雷雲 kamuynis (kamuynisur) (石狩)、[名] kamuysinis (石狩)

かみにいのる(神に祈る) ①[自]神に祈る kamuynomi (石狩)、[自] inomi (石狩): [他](場所)で神に祈る ekamuynomi (新)、[他] einomi (新): [他]～と共に神に祈る kokamuynomi (新)、[他] koinomi (新): [他](原因、手段)で神に祈る okamuynomi (新)、[他] oinomi (新): [他](人)に神に祈らせる kamuynomire (inomire) (新): [自]自分で、一人で神に祈る yaykamuynomire (yayinomire) (新)、[自] yaykokamuynomi (yaykoinomi) (新): [自]皆で神に祈る ukamuynomire (uinomire) (新)、[自] ukokamuynomi (ukoinomi) (新): ②[自]神に祈詞を唱える kamuykoitak (石狩): [他](手段)で神

に祈詞を唱える ekamuykoitak (石狩): (表現)昔からの先祖の言葉で神に祈詞を唱える teeta wano an ekasi kar itak ekamuykoitak (石狩): [他]~の事で神に祈詞を唱える okamuykoitak (新): [他](人)に神に祈詞を唱えさせる kamuykoitakte (新)

かみにかんしゃ(神に感謝)[自]神に感謝する kamuy-koyayrayke (石狩): [他]~について神に感謝する kamuy-koeyayrayke (新): [他](場所)で神に感謝する ekamuy-koyayrayke (新): [他]~と共に神に感謝する kokamuy-koyayrayke (新): [他](原因、手段)で神に感謝する okamuy-koyayrayke (新): [他](人)に神に感謝させる kamuy-koyayraykere (新): [自]自分で、一人で神に感謝する yaykokamuy-koyayrayke (yaykamuy-koyayraykere) (新): [自]皆で神に感謝する ukokamuy-koyayrayke (ukamuy-koyayraykere) (新)

かみにすくいをもとめる(神に救いを求める)[自]神に救いを求める kamuysikaopaste (石狩): [他]~について神に救いを求める ekamuyikaopaste (新): [自]自分で、一人で神に救いを求める yaykokamuysikaopaste (新): [自]皆で神に救いを求める ukokamuysikaopaste (新)

かみのしたい(神の死体)[名]神(である動物)の死体 súmaw(-e) (石狩): [自]神が死体となる súmawne (石狩): [名]神の水死体 kamuyraycepi (石狩)

かみのみまえ(神の御前)①(表現)神の御前 kamuykotca(長形 -ke) (石狩): ②[自]神の御前で祈詞を唱える kamuykotca-einonno (新): [他]~と共に神の御前で祈詞を唱える koikotca-einonno (新): [自]一人で神の御前で祈詞を唱える yaykoikotca-einonno (新): [自]皆で神の御前で祈詞を唱える ukoikotca-einonno (新): ③[自]神の御前で酒杯をとる kamuykotca-etukiani (新): [他]~と共に神の御前で酒杯をとる koikotca-etukiani (新): [他](原因)で神の御前で酒杯をとる eikotca-etukiani (石狩): 「…一番年長者が私だったのでそれで私が神の御前で酒杯をとり…」 “… hoski sukup pe ku=ne akusu ku=eikotca-etukiani …” (砂沢友太郎)祈詞

かみのやま(神の山)[場名]神の山 kamuysir (石狩)、[名] kamuynupuri (H): (表現)神の山の頂 kamuysir kitayke 神の山の頂 (石狩)

かみふうせん(紙風船)[名]紙風船 kampisinotpise (新)

かみぶくろ(紙袋)[名]神袋 kampipukuru (新)

かみまど(神窓)[名]神窓。伝統的な家屋の東窓 rorumpuyar (石狩): 神が人家へ出入りする所であり、実生活に於いてもクマなど神とされる獲物や儀式的祭具、イナウなどを出し入れする。家の中の座席についても、人の出入口ではなく神窓から見て右座、左座とされ、また神窓と炉の間を上座とし、クマの頭部が安置されたり、大切なお客が座る。どの窓からであっても屋内を覗いてはならぬが、特に神窓から覗くのは最大級の無礼とされ、賠償沙汰になった。尚、地方によっては神窓が東を向いていない事もあるので注意が必要。

かみやすり(紙鱧)[名]紙鱧 cioisirukampi (新)、[名] sipsipkampi (新)

かみをあわれむ(神を憐れむ)[自]賛美する kamuykemnu (石狩)、[自] ikemnu (石狩)

かみをうやまう(神を敬う)[自]神を敬う kamuyeoripak (石狩): [他](場所)で神を敬う ekamuyeoripak (新): [他]~と共に神を敬う kokamuyeoripak (新): [他](原因、手段)で神を敬う okamuyeoripak (新): [他](人)に神を敬わせる kamuyeoripakte (新): [自]自分で、一人で神を敬う yaykokamuyeoripak (新)、[自] yaykamuyeoripakte (新): [自]皆で神を敬う ukokamuyeoripak (新)、[自] ukamuyeoripakte (新)

かみをきる(髪を切る)①(散髪で切り揃える事を示し)[自]髪を切る sietuyypa (石狩): [他]~の髪の毛を切る etuyypa (石狩): [他](人)に~の髪を切らせる etuypare (新): ②(単に切る事を示し)[自]髪を切る otopituye (新): [他]~の髪を切る otopituye (新)

かみをしのぐ(神を凌ぐ)[自]神を凌ぐ kamuykus (新): (表現)(神や立派な男性を指し)神を凌ぐが如き男 kamuykus koraci an kur (新): (表現)(神や立派な女性を指し)神を凌ぐが如き女 kamuykus koraci an menoko (新)

かみをしんじる(神を信じる)[自]神を信じる kamuyeisokor (新): [他](人)に神を信じさせる kamuyeisokore (新)

かみをつかみひきずる(髪を掴み引きずる)[他]~の髪を掴み引きずる ehorkanimpa (石狩): 「…床をぐるり神の女の髪を私は掴み引きずり…」 “… so okari kamuymenoko an=ehorkanimpa …” (杉村キナラブク)神謡

かみをてにまきつける(髪を手で巻き付ける)[他]~(の髪)の先を手で巻き付ける

etekkonoye (石狩): (表現)~の長い髪の手を手に巻き付ける ~ tanne-otopi
etekkonoye (石狩): (表現)~の髪を手を巻き付ける ~ pauspe tekkonoye (石狩):
(表現)~の髪を手を巻き付けて引きずる ~ pauspe tekkosayne nimpa (石狩)

かみをとかす(髪を梳かす) [自]自分の髪を梳かす yaynuykar (石狩): [自]人の髪を梳かす inuykar (新) [他](髪)を梳かす nuykar (石狩): (表現)髪を梳かす sapa nuykar (石狩): 「私は妹の髪を赤い櫛で梳かした。」 “Ku=mataki sapaha hure kiray ani ku=nuykar .”

かみをほめたたえる(神を褒め称える) [自]神を褒め称える kamuyotuwasi (新)、[自] iotuwasi (新): [他](場所)で神を褒め称える ekamuyotuwasi (新): [他]~と共に神を褒め称える kokamuyotuwasi (新): [他](原因、手段)で神を褒め称える okamuyotuwasi (新): [他](人)に神を褒め称えさせる kamuyotuwasi (新): [自]自分で、一人で神を褒め称える yaykokamuyotuwasi (新): [自]皆で神を褒め称える ukokamuyotuwasi (新): [自]熱心に神を褒め称える toykokamuyotuwasi (新)

かみをゆう(髪を結う) [自]髪を結う otopmuye (新)、[自] hemuye (新): [自]人の髪を結う iotpmuye (新)、[自] iemuye (新): [他]~の髪を結う otopimuye (新)、[他] emuye (新): [他](人)に~の髪を結わせる otopimuye (新)、[他] emuyere (新): [自]自分で自分の髪を結う yayemuye (新): [自]自分の髪を結ってもらう siemuye (新)

かむ(噛む) ①(口に銜え歯を立てたり、虫などが牙で挿む事を示し)[自]一回噛む ikupa (新): [他]一回~を噛む kupa (石狩): [他]~に一回~を噛ませる kupare (新): [自]何度も噛む ikupapa (石狩): [他]何度も~を噛む kupapa (石狩): [他]~に何度も~を噛ませる kupapare (新): ②(歯を立てて噛み切ったり、潰したりする事を示し)[自](一回)噛む ikuy (新): [他]一回~を噛む kuy (石狩): (表現)一回噛んで~を噛み切る ~ kuy wa tuye (複数 tuypa) (新): [他]~に一回~を噛ませる kuyre (新): [自]何度も噛む ikuykuy (新): [他]何度も~を噛む kuykuy (石狩): (表現)何度も噛んで~を噛み切る ~ kuykuy wa tuye (複数 tuypa) (新): [他]~と一緒に~を何度も噛む kokuykuy (石狩): [他]~に何度も~を噛ませる kuykuyre (新)

カムチャダール [名](「イテリメン人」の旧称)カムチャダール人 kamcadarkur (新): [名](「カムチャダール語」の旧称)カムチャダール語 kamcadarkuritak (新)

カムチャッカ ①[場名](ロシア連邦極東連邦管区の構成主体名)カムチャッカ州 Kamcatka-purovince (新)※(州都は「ペトロパヴロフスク・カムチャツキー」): ②[場名](地名)カムチャッカ半島 Sícupka-sirekanray (新)

かめい(加盟) [自]加盟する iopok (石狩): [他]~に加盟する eiopok (石狩): [他]~と共に加盟する koiopok (新): [他](原因、手段)で加盟する oiopok (新): [他](人)に~に加盟させる eiopokte (新): [他]~と共に~に加盟する koeiopok (新): [他](原因、手段)で~に加盟する oeiopok (新): [他]自分で、一人で~に加盟する yaykoeiopok (新): [他]互いに、皆で~に加盟する ukoeiopok (新): [他]人を~に加盟させる eiopokar (eiopokyar) (新)

カメラ [名]カメラ inokaukpe (新)、[名] cioinokaukpe (新)、[名] kamera (新)※(英語): [名]カメラ店 kamerahokcise (新)、[名] kamerasan (新)

カメルーン [場名](国名)カメルーン共和国 Kameroun Respuprika (新)※(首都は「ヤウンデ」): [場名](国名の通称として)カメルーン Kamerun (新): [名]カメルーン人、国民 kamerununkur (新)

かめん(仮面) [名]仮面 eturatuki (北千島)

がめん(画面) [場名]画面 ikotor(-o、-ke) (新)、[場名] nokakotor(-o、-ke) (新): (表現)大画面 poro ikotor(-o、-ke) (新): (表現)テレビの画面 ituymainkarep (cituymainkarpe、ramatuyssikso、cinukassupop) ikotoro(-ke) (新)

カメンスク・ウラリスキー [場名](ロシア連邦ウラル連邦管区スヴェルドロフスクの都市名)カメンスク・ウラリスキー Kamensk-urarskiy (新)

かも (表現)~かも 動詞句+ya ka (yakka) (石狩): "yakka"の形は中空知の出身者が多用するもので、この形を含む"~ an yakka"「~があるかも」が"~ anakka"、"~ ne yakka"「~であるかも」が"~ nakka"などと発音されることも多い: 「どう言ったらいいのか私は分からない。」“Nekon a=ye yak pirka ya ka (yakka) ku=erampetek .”

かもく(下目) (分類)[場名]下目 kotankes (新)、[名] raunordo (新)※(英語)

カモシカ(羚羊) (動物)[名](ジャコウウシ亜族)カモシカ属 ao-cise (新): [名]アカカモシカ húre-ao (新): [名]スマトラカモシカ

sumatra-ao (新)※(別名「タテガミカモシカ」、「シーロー」): [名]タイワンカモシカ
 taywanun-ao (新): [名]ニホンカモシカ
 samorun-ao (新)、[名] ao (新)、[名]
 aokera (新)、[名] kerana (新)※(マタギ言葉。単に「カモシカ」とも): [名]ヒマ
 ヤカモシカ Himarayaun-ao (新)

かもつ(貨物) [名]貨物 ciosuke (新)、[名]
 sike (新): (表現)貨物が積まれている
 ciosuke (suke) o (新): (表現)貨物を積む、
 積む ciosuke (sike) o (新): (表現)貨物
 を〜に積む、載せる ciosuke (suke) o
 (新): (表現)貨物を運ぶ ciosuke (sike)
 rura (新)

かもつせん(貨物船) [名]貨物船 sikeocip
 (新)、[名] sikecip (新)

かもつれっしゃ(貨物列車) [名]貨物列車
 sukeoikinneanop (新)、[名]
 sukeikinneanop (新)、[名] sukeoturein
 (新)

カモノハシ(動物)[場名](哺乳綱)カモノハシ目
 cikapnoan-cikoykip-kotan (新)※(単孔
 目などとも): [場名]カモノハシ亜目
 cikapnoan-cikoykip-mokotan (新):
 [名]カモノハシ科 cikapnoan-cikoykip-
 apa (新): [名]カモノハシ属
 cikapnoan-cikoykip-cise (新): [名]カモ
 ノハシ cikapnoan-cikoykip (新): [場
 名]ハリモグラ亜目 ayus-toyoposop-
 mokotan (新)

カモミール(植物)①[名](シカヅク属)カモミ
 ールの茎葉 unupirkarep (新)、[名]
 kamomire (新)、[名]その花
 unupirkarepapappo (新)、[名]
 kamomireapappo (新)※(別名「カミツレ」
 など): ②[名](カミツレモドキ属)ローマン
 カモミールの茎葉 nupurunupirkarep
 (新)、[名] nupurkamomire (新)、[名]その
 花 nupurunupirkarepapappo (新)、[名]
 nupurkamomireapappo (新)※(別名「ロー
 マカミツレ」)

かもん(家紋) [名]家紋 itokpa (itoppa) (石
 狩)

カヤ(茅)→「ススキ(薄)」を見よ

カヤ(樞)(植物)[名](イヌガヤ亜科)カヤ属
 síanatni-cise (新): [名]カヤの茎
 síanatni (新)※(別名「ホンガヤ」): [名]カ
 ヤの果実 síanatniop (新): [名]カヤの種
 子 síanatnipi (新)※(漢方薬「樞実」):
 [名]アメリカガヤの茎 amerikasianatni
 (新): [名]ウンナンヒジュの茎
 yunnansianatni (新): [名]シナガヤの茎
 porosianatni (新): [名]チョウヨウヒジュ
 の茎 hamutannesianatni (新): [名]マル

ミトウガヤの茎 bašansianatni (新)

がやがや [間投](大勢の人の声)がやがや
 ronron (新): [自](大勢の人の声が)がやが
 やとする ronronatki (沙流)、[自]
 ronroatki (沙流)

かやく(火薬) [名]火薬 puskusuri (新)、[名]
 puspe (石狩): [名]火薬包子 hayanko
 (B)

かゆ(粥)[名]粥 sayo (石狩)、[名] tetteri
 (八雲): (表現)粥を作る sayo kar (石狩):
 (表現)粥を啜る sayo ni (石狩): (表現)カ
 タクリの澱粉粥 irup sayo (石狩): (表
 現)オオウバユリの粥 turep sayo (石狩):
 (表現)米などが少な過ぎて透き通った貧乏粥
 peker sayo (石狩): [名]硬めの粥 kayko
 (沙流、帯広): (表現)硬めの粥 siratek sayo
 (石狩): [自]粥を作る sayokar (石狩):
 (表現)粥を作る sayo kar (石狩): (表現)
 粥を啜る sayo ni (石狩): (表現)粥を食
 べる kayko e (新)

かゆい(痒い) [自]痒い mayamaya (石狩)、
 [自] mayamayak (石狩)、[自] mayayke
 (石狩、浜益): 「私の背中一面に何か小さい
 鳥の群が跳ね回るように痒いので、鯀が群来
 るだろう。」“Ku=seturu epittano nepka pon
 cikappo rupihi uterkere pokon mayayke
 kusu eroki at nankor .”: [他](原因、手段)
 で痒くなる omayamaya (新)、[他]
 omayamayak (新)、[他] omayayke (新):
 [他](人)を痒くさせる mayamayaka
 (mayamayare) (新)、[他] mayamayakka
 (mayamayakte) (新)、[他] mayaykeka
 (mayaykere) (新): (表現)痒み
 mayamaya hum(-i) (新): (表現)痒さを感じ
 じる mayamaya hum nu (新): [名]痒い
 出来物 mayayke (石狩)

かよう(通う) [自]通う kari (石狩): 「…
 冬じゅう私は病院に通った。」“…mata epitta
 ikaoykip ekota ku=kari .”(砂沢クラ):
 [他](場所)に通う kokari (新): [他]〜と
 共に通う kokari (新): [他](場所)から通
 う okari (新): [他](原因、手段)で通う
 okari (新): [他]〜を通わせる karire
 (新)

かようび(火曜日)[場名]火曜日 apeto (新)

カラ [名]カラ海 Kara-atuy (新)※(北極海
 の一部)

から(1)①[後副](空間的、時間的起点などを示
 し)〜から、〜の所から、〜の中から orwa
 (石狩)、[後副] orwano (石狩): 位置名詞
 or+wa の形式 "orwa"を後置副詞としを標
 準形とする。韻文では"orowa"、"orowano"の
 形も用いる。: 「私はあの家から来た。」
 “Taan cise orwano ku=ek .”、「君は私の許

から逃げた。」“En=orwa e=kira .”, 「母は和人から米を借りて…」“Sisam orwa amam totto esose wa …”(砂沢クラ)、「私が出産してから…」“Ku=pokor orwa …” ※(最後の例の様に「動詞句+ wano」の形式は、本来「動詞句+ h i + orwa」の形式名詞“h i”が脱落したものとも考えられる): [後置](位置名詞や場所名詞、場所の名詞に後置され、空間的、時間的起点などを示し)～から wa (石狩)、[後置] wano (石狩): (表現)その上から kasi wa (wano) (石狩)、(表現)人間界から aynumosir wa (wano) (石狩)、(表現)札幌から Sapporo wa (wano) (石狩): [接頭](動詞に接頭し空間的、時間的な起点、あるいは原因を示す。その際動詞の取り得る目的語の数を一つ増やし)～から o- (石狩): o (～から)+ek (来る)→ oek 「～から来る」: ②(原因、理由を示し)[後副]～から kusu (石狩): 「噂から私達は喧嘩した。」“Pahaw kusu ukoyki=as .”: [接助]～(だ)から kusu (石狩): 「今日は眠いから帰るよ。」“Tanto ku=mokonrusuy kusu ku=hosipi wa .”: [接助](過去の原因、理由を示し)～(だった)から akusu (複数 rokkusu) (石狩)、[接助] wakusu (石狩)、[接助] hikusu (石狩)※(従来“akusu”の複数形“rokkusu”は極まれにしか使われなかった。また“hikusu”は従来“ikusu”の形でのみ現れた。): 「私は雨が降ったから行かなかった。」“Ruyampe as akusu (= wakusu、hikusu) somo ku=oman .”: [接頭](動詞に接頭して原因を示し、その際動詞が取り得る目的語の数を一つ増やし)～から o- (石狩)、[接頭] e- (石狩): 今後新語を作る場合には“o-”を標準的に用いる事とする。: ③[後副](通過する場所を示し)～から kari (石狩): 「私はこの戸口から出るよ。」“Tan apa kari ku=asin kusu ne na .”, 「私は窓から外を眺めた。」“Puyar kari soyke ene ku=inkar .”

から(殻) [名]動物性、植物性の硬い殻 sey(e) (石狩)

から(空) [自]空になる、である oha (石狩): (表現)空の行器 oha sintoko (石狩): [他](場所)で空になる、である eooha (新): [他]～と共に空になる、である kooha (新): [他](原因、手段)で空になる、である oooha (新): [他]～を空にする ohaka (新)、[他] ohare (新)

カラオケ [名]カラオケ karaoke (新)※(日本語): [自]カラオケに行く karaokeun (新): (表現)カラオケに行く karaoke otta oman (複数 paye) (新): [他](人)をカラオケに行かせる karaokeunte (新): [自]一

人でカラオケに行く yaykokaraokeun (新): [自]皆でカラオケに行く ukokaraokeun (新): [自]カラオケに行きすぎる karaokeunkasuy (新): [自]滅茶苦茶カラオケに行く toykokaraokeun (新): [名]カラオケボックス karaokesupop (新)

からかう [自]人をからかう irammokka (irammoka) (石狩)、[自] iraraitak (石狩): [他](人)をからかう rammokka (石狩)、[他] koiraraitak (新): (表現)～をからかう ramu mokka (石狩): [他](人)に(人)をからかわせる rammokkare (新)、[他] koiraraitakte (新)

カラカス [場名](ヴェネズエラ・ボリヴェール共和国の首都名)カラカス Karakas (新)

ガラガラ [間投](烈風で家がバラバラになる音)ガラガラ keus (石狩): [自]ガラガラと頻りに鳴る keusrototke (新)、[自] cikeusiroto (新): [自]ガラガラと鳴る keuseusatki (新): [自]ガラガラと鳴り続ける keusitara (石狩)

カラカル (動物)[名](ネコ亜科)カラカル属 karakar-cise (新): [名]カラカル karakar (新)

からく(辛く) [自]辛くなる、辛い parkar (石狩)、[自] carkar (天塩): [他]～を辛くする parkarka (parkare) (新)、[他] carkarka (carkare) (新): [他](人)に～を辛くさせる parkarkare (parkarere) (新)、[他] carkarkare (carkarere) (新)

からくさ(唐草) [名]唐草 punkar (新): [名]唐草文様 punkar-sirki (新)

カラクム [名]カラクム砂漠 Karakum-otaatuy (新)

カラコギカエデ(鹿子木楓)(植物)[名]カラコギカエデの茎 otatopeni (千歳)

からす(枯らす) [自]ものを枯らす icire (新): [他]～を枯らす círe (石狩): [他]～と共に～を枯らす kocire (新): [他](原因、手段)で～を枯らす ocire (石狩)

ガラス(硝子) [名]ガラス pekennop (新)

からす(涸らす) [他]～を涸らす satke (新)

カラスアゲハ(鴉揚羽)(昆虫)[名](アゲハチョウ属)カラスアゲハ paskur-kitomarewrew (新)

カラスウリ(烏瓜)(植物)[名](ウリ科)カラスウリ連 yayuripunkar-utar (新): [名]カラスウリ亜連 yayuripunkar-moutar (新): [名]カラスウリ属 yayuripunkar-cise (新): [名]カラスウリの茎 húre-yayuripunkar (新)、[名]その果実 húre-yayuri (新): [名]オオカラスウリの茎 síyayuripunkar (新)、[名]その種子

sikaronin (新)、[名]その根 sikarokon (新): [名]キカラスウリの茎 yayuripunkar (新)、[名]その花 yayuriapappo (新)、[名]kunnepiraske (新)、[名]その果実 yauri (新)※(ただの瓜)、[名]その種子 karonin (新)、その根 karokon (新)※(トウカラスウリの変種): [名]ケカラスウリの茎 numaus-yayuripunkar (新): [名]トウカラスウリの茎 atuyya-yayuripunkar (新): [名]トリコサンセス・ルブリフロスの茎 ehure-yayuripunkar (新): [名]ヘビウリの茎 tannepuripunkar (新): [名]ムニンカラスウリの茎 ogasawara-yayuripunkar (新): [名]モミジカラスウリの茎 tópenihamus-yayuripunkar (新): [名]リュウキュウカラスウリの茎 rucu-yayuripunkar (新)

からすざ(鳥座) (宇宙)①[場名]鳥座 Paskurso (Paskur) (新): ②[場名]鳥座の β、γ、ε、η 星 Réracaro (アイヌの星)

カラスヘビ(鳥蛇)(動物)[名](シマヘビの変種)カラスヘビ paskurkamuy (幌別)、[名]kunnekamuy (千歳)

からせき(空咳) [名]肺病に罹っているような空咳 satpe (石狩)

からだ(体) ①(全体を指して)[名]体 netopa(-ke) (石狩)、[名]kat(-u) (幌別): [名](多くは合成語の構成要素として)体 kew(-e) (石狩): ②(頭や四肢を除く)[名]体 tumam(-a) (石狩): [名]体の上部 penram(-u) (石狩): [名]体の下部 panram(-u) (石狩)

からだがいうことをきかない(体が言う事を聞かない) ①(年をとって)[自]体が言う事を聞かなくなる、なっている ihapine (石狩)、[自]ponepase (石狩): ②(病気などで)[自]体が言う事を聞かなくなる、なっている ihapine (石狩)、[自]iyap (幌別)、[自]nicine (沙流)

からだがだるい(体が怠い)(表現)体が怠くなる、怠い netopake páse (石狩)、(表現)kat(-u) páse (幌別)

からだがむくむ(体が浮腫む)①[自]体が浮腫む、浮腫んでいる netopakehup (新): ②[名]脚気、腎臓病、心臓病などのように身体にむくみのくる病気、浮腫病 huptasum(-i) (石狩): [自]体が浮腫む病気にかかる huptasum (新)

からだによい(体に良い) [自]人の体に良い inetopakepirkare (新)、[自]ikewepirkare (新): (表現)～の体に良い ~ netopake pirkare (新)

からだにわるい(体に悪い)[自]人の体に悪い inetopakewen (新)、[自]ikewewen

(新): (表現)～の体に悪い ~ netopake wente (新)

からだをのばす(体を伸ばす)[自]体を伸ばす situri(複数 siturpa) (石狩): 体を伸ばして横になる situri(複数 siturpa) wa hotke (石狩): [他](場所)で体を伸ばす esituri (新): [他]～と共に体を伸ばす kosituri (新): [他](手段、原因)で体を伸ばす osituri (新): [他](人)に体を伸ばさせる siturire (新)

からだをほぐす(体を解す)[自]人の体を解す inetopakeritenka (inetopakeritente) (新)、[自]ikeweritenka (ikeweritente) (新): [他]～の体を解す netopakeritenka (netopakeritente) (新)、[他]keweritenka (keweritente) (新): [自]自分の体を解す yanetoparitenka (yaynetoparitente) (新)、[自]yaykeweritenka (yaykeweritente) (新): [自]互いの体を解す unetopakeritenka (unetopakeritente) (新)、[自]ukeweritenka (ukeweritente) (新)

からだをまるめる(体を丸める)[自]体を丸めて横になる(寝る) yaykotaptapu (石狩)

カラチャイ [場名](ロシア連邦北カフカース連邦管区の構成主体名)カラチャイ・チェルケス共和国 Karacaevo-Cerkeśia Ukotankoremosir (新)※(首都は「チェルケスク」): [名]カラチャイ人 karacaykur (新): [名]チェルケス人 şerjeskur (新): [名]カラチャイ・バルカル語 karacay-markarkuritak (新)※(チュルク諸語北西語群に属する言語): [名]チェルケス語 şerjeskuritak (新)※(北西コーカサス語族のアディゲ語、カバルド語の総称)

ガラナ (植物)[名](ムクロジ科)ガラナ属 guarana-punkar-cise (新): [名]ガラナの茎 guarana-punkar (新): [名]ガラナの果実 guarana-nikaop (新): [名]ガラナの種子 guaranapi (新)

からばき(空吐き)[自](吐瀉物なしに)空吐きする ohayotke (天塩): [他](誰か)に吐きさせる ohayotkere (新)

ガラパゴス [場名](地名)ガラパゴス諸島 Garapagos-usapoyisr (新)※(正式名称は「コロン諸島」)

カラハナソウ(唐花草) (植物)[名](クワ科)カラハナソウ属 ohurkotuyypemun-cise (新): [名]カラハナソウの茎葉 ohurkotuype-mun (十勝)、[名]pawcipunkar (本別)、[名]その花 yaunhop (新)、[名]tópenhop (新): [名]その根 ohurkotuype (十勝)、[名]kosa (幌別)※(セイヨウカラハナソウの変種): [名]カナムグラの茎葉

ayuskaniatmun (新): [名]セイヨウカラハナソウの茎葉 hopmun (新)、[名]hoppunkar (新)、[名]repun-ohurkotuype-mun (新): [名]その花 hop (新)※(別名「ホップ」): [名]フムルス・ユンナネンシスの茎葉 yunnan-hopmun (新)

カラハリ [名]カラハリ砂漠 Karahari-otaatuy (新)

カラフト(樺太) →「サハリン」を見よ

カラフトオオバヤナギ(樺太大葉柳)(植物)[名](オオバヤナギ属)カラフトオオバヤナギの茎 toysusu (十勝)

カラフトガシワ(樺太柏) →「モンゴリナラ」を見よ

カラフトマス(樺太鱒)(魚介)[名](サケ属)カラフトマス emoy (石狩)、[名]hemoy (幌別): [名]雄の背の肉瘤 topir(i) (美幌)

からぼり(空堀) [名]空堀 satpecir (新)

カラマツ(唐松)(植物)[名](マツ科)カラマツ属 kuy (新): [名]カラマツの茎 sisamkuy (新): [名]アメリカカラマツの茎 amerikakuy (新): [名]オウシュウカラマツの茎 europakuy (新)※(別名「ヨーロッパカラマツ」): [名]グイマツの茎 kuy (千島)※(ダフリアカラマツの変種。別名「シコタンマツ」): [名]シッキムカラマツの茎 sikkimkuy (新): [名]シベリアカラマツの茎 sibirikuy (新): [名]タカネカラマツの茎 metotuskuy (新): [名]ダフリアカラマツの茎 santakuy (新): [名]チベットカラマツの茎 búkuy (新): [名]チュウゴクカラマツの茎 atuyyakuy (新): [名]チョウセンカラマツの茎 korinkuy (新): [名]ニシカラマツの茎 cuppokkuy (新): [名]ヒマラヤカラマツの茎 himarayakuy (新): [名]ホクシカラマツの茎 koypokatuyyakuy (新): [名]マスターカラマツの茎 sicuankuy (新): [名]ユンナンカラマツの茎 yunnankuy (新)

からまる(絡まる)[自](糸が)絡まる uesitki (uesitke) (沙流): [自]団子状に絡まる ukositne (沙流): [自](網が)絡まる ukonoynoyke (沙流): (表現)ブドウの蔓が絡まり合う hanke punkar tuyma punkar koyetaye (石狩)

からみ(辛み)[名]辛み parkarhum(i) (新)、[名]carkarhum(i) (新)

からみざけ(からみ酒)[名]酔うとからむ酒癖 sake-caranke (新)、[名]iku-caranke (新): [自]からみ酒をする sakecarankekar (新)、[自]ikucarankekar (新)

からみつく(絡みつく) ①[他](蔓などが)〜に絡

みつく koewtaye (石狩): 「…大きな家に近くにきた蔓、遠くに行く蔓が絡みつく…」

“…poro cise hanke ek punkar tuyma ek punkar koewtaye…” (杉村キナラブック)神謡: ②[他]〜に絡みつく noye (複数 noypa) (新): [他]〜と共に〜に絡みつく konoye (複数 konoypa) (新): [他]〜にパッとからみつく身動きできなくする konoykosanu (石狩): 「…トリカブトの女神が私を招きたいと言いながら私の下半身にパッと絡みつく身動きできなくした…」

“…surkukatkatemat i=aske-uk yak ye koran=payerkee konoykosanu…” (杉村キナラブック)神謡: [他]〜の足元に絡みつく ocinkonoypa (沙流): (表現)トリカブトの神が〜の足元に絡みつく surkukamuy ocinkonoypa (沙流)

からみぬい(絡繷)[名]絡繷 ciariohoru (石狩)、[名]ikarari (石狩): [自]絡繷する ikarari (石狩)

カラムシ(苧)(植物)[名](イラクサ科)カラムシ属 máo-cise (新): [名]カラムシの茎葉 máo (新)、[名]それから採った繊維 máohay (新)、[名]so (新)※(別名「マオ」、「アオソ」など。ナンバンカラムシの亜種): [名]アオカラムシの茎葉 siwnin-mao (新)※(ナンバンカラムシの変種): [名]アカソの茎葉 húre-mao (新)、[名]それから採った繊維 húreso (新): [名]オオシマヤブマオの茎葉 oosima-nupmao (新): [名]オガサワラモクマオの茎葉 ogasawara-mao (新): [名]オニヤブマオの茎葉 poro-pisunmao (新): [名]キダチヒメマオの茎葉 oupekaas-momao (新): [名]クサコアカソの茎葉 mohure-mao (新)※(別名「マルバアカソ」): [名]ゲンカイヤブマオの茎葉 genkay-nupmao (新): [名]コアカソの茎葉 ponhure-mao (新): [名]コヤブマオの茎葉 ponnupmao (新): [名]サイシユウアカソの茎葉 cejuhure-mao (新): [名]サイシユウナガバヤブマオの茎葉 cejuhamutanne-nupmao (新): [名]ササグリアブマオの茎葉 sasaguri-nupmao (新): [名]シマナガバヤブマオの茎葉 usapoysir-hamutanne-nupmao (新): [名]タンナヤブマオの茎葉 tanna-nupmao (新): [名]ツクシヤブマオの茎葉 tukusi-nupmao (新): [名]トガリヤブマオの茎葉 nippon-nupmao (新): [名]ナガバヒメマオの茎葉 hamutanne-momao (新): [名]ナンバンカラムシの茎葉 símao (新): [名]ニオウヤブマオの茎葉 poro-nupmao (新): [名]ハマヤブマオの茎葉 pisun-nupmao (新): [名]フトバヤブマオの茎葉

pusiruwe-nupmao (新): [名]ボエメリア・カロフェレバの茎葉 ruwepirka-mao (新): [名]B. キリンダリカの茎葉 sunkeiririp (新): [名]B. ヤマイケンシスの茎葉 jamayka-mao (新): [名]メヤブマオの茎葉 matneapappo-mao (新): [名]ヤエヤマラセイタソウの茎葉 yaeyama-pisunmao (新): [名]ヤナギバモクマオの茎葉 (新): [名]ヤブマオの茎 nupmao (新): [名]ヤブマオモドキの茎葉 cinupmaokopa (新): [名]ラセイタソウの茎葉 pisunmao (新): [名]ラミーの茎葉 ramie-mao (新)※(ナンバンカラムシの亜種): [名]リュウキュウヤブマオの茎葉 rucunup-mao (新)

カラリート [名]カラリート kararitkur (新)、[名] kararit (新)※(グリーンランドのイヌイト): [名]カラリート語 kararitkuritak (新)

カラン (鐘などの鳴る音)[間投]カラン、ガラン karan (新): [間投]カランカラン、ガランガラン karankaran (新)、[間投] karanran (新)、[間投] kararan (新): [自]ガランと鳴る karanse (karayse) (新): [他]～をガランと鳴らす karanseka (karayseka) (新)、[他] karansere (karaysere) (新): [自]ガランガランと鳴る karanranse (karanrayse) (新): [他]～をガランガラン鳴らす karanranseka (karanrayseka) (新)、[他] karanransere (karanrayse) (新): [自]ガランと一回鳴る karankosanu (新)、[自] karankosampa (新): [自]ガランガランと頻りに鳴る cikaranrototo (新)、[自] karanrototke (新): [自]ガランガランと何回も鳴る kararanatki (新): [自]ガランガランと鳴り続ける karanitara (新): [自]一瞬ガランと鳴る karantek (新)

かり(仮) ①(準備、予備として)[自]仮の ietokoyki (新): [副]仮に ietokoykino (新): ②(仮定して)[接助]仮に～だとすると yakun (石狩): [接助](多くは否定的な文を導き)仮に～だとすると yakanakne (石狩): [接助](命令文や石狩方言では新しく疑問文で)仮に～だとすると ciki (石狩): [接助](価値判断を伴って)仮に～だとすると yakne (石狩): [接助](良い、悪いの価値判断を伴って)仮に～だとすると yak (石狩): [接助](譲歩)仮に～だとすると yakka (石狩)

かり(狩) [名]狩 iramante (石狩)、[名] iraye (irawe) (石狩): [名]猟の獲物 iso (石狩): [自]狩をする iramante (石狩): [自](特にクマなどの)狩をする iraye

(irawe) (石狩): [自]山に狩に行く kimun (石狩): [自]狩のため山歩きをする kimuneapkas (沙流)、[自] ekimneapkas (沙流)

ガリア (歴史)[場名](古代ローマ時代の地名)ガリア Gária (新): [名]ガリア人 gáriaunkur (新)

カーリーニングラード [場名](ロシア連邦北西連邦管区の構成主体名)カーリーニングラード州 Kariningurat-purovince (新)※(リトニア共和国、ポーランド共和国に囲まれたバルト海に面した飛び地で、かつてはドイツのプロイセン地方。): [場名](カーリーニングラード州の州都名)カーリーニングラード Kariningurat (新)※(かつてドイツの都市「ケーニヒスベルク」)

かりいれ(刈入れ) [自]刈入れする iotuye (複数 iotuypa) (新): [他]～を刈入れする otuye (複数 otuypa) (沙流): [他](人)に～を刈入れさせる otuyere (複数 otuypare) (新)

カリウム (化学)[名]カリウム karium (新)※(原子番号19番。元素記号 K)

ガリウム (化学)[名]ガリウム gárium (新)※(原子番号31番。元素記号 Ga)

カリカリ ①(霰や雹の降る、あるいは新たにフライなどが揚がる音)[間投]カリ、ガリ to (新): [間投]カリカリ、ガリガリ tóto (新): [自]カリと音がする tóse (新): [自]カリカリと音がする tótose (新): [自](一回)カリと鳴る tókosanu (新)、[自] tókosampa (新): [自]カリカリと頻りに鳴る citorototo (石狩)、[自] tórototke (新): 「…霰の降る音、雹の降る音がカリカリと頻りに鳴り響き…」 “… kanciw ran humi konru ran humi citorototo …” (砂沢クラ)婦女詞曲: [自]カリカリと続けて鳴る tóitara (新): ②(落ち葉が落ちたり、霰や雹の降ったりする乾いた音)[間投]カリ、ガリ kaw (新): [間投]カリカリ、ガリガリ kawkaw (新): [自]カリと音がする kawse (石狩): [自]カリカリと音がする kawkawse (石狩): [自](一回)カリと鳴る kawkosanu (新)、[自] kawkosampa (新): [自]カリカリと頻りに鳴る cikawrototo (石狩)、[自] kawrototke (新): [自]カリカリと続けて鳴る kawnatara (新)

かりけいやく(仮契約) [自]仮契約する ietokoyki-uesere (新): [他]～について仮契約する eietokoyki-uesere (新): [他](人)に仮契約させる ietokoyki-ueserere (新)

カリトリス (植物)[名](ヒノキ科)カリトリス亜

科 ikorsumahinoki-moapa (新): カリトリス属 ikorsumahinoki-cise (新): [名] アウストロケドルス属 koypokhinoki-cise (新): [名] アクチノストロプス属 ramramhamhinoki-cise (新): [名] ウィットリングトニア属 afrikahinoki-cise (新): [名] ディセルマ属 diserma-cise (新): [名] ネオカリトロプシス属 cikoyoksugikopa-cise (新): [名] パプアケドルス属 papuahinoki-cise (新): [名] ピルゲロデンドロン属 iyottakoyokkesunhinoki-cise (新): [名] フィドズロヤ属 rawarhinoki-cise (新)※(マブチェ語): [名] リボケドルス属 nitonnuhinoki-cise (新)※(学名訳。nitor+nu 樹脂を流す)

かりとる(刈り取る) ①(先か根本か関係なく)[他]～を刈り取る ca (石狩): ②(穂など先の方に関して)[他]～を刈り取る eca (沙流): ③(根元から)[他]～を刈り取る otuye (複数 otuyupa) (沙流)

カリノロプス (動物)[名](ヒナコウモリ科)カリノロプス属 cicaaoskekapap-cise (新): [名] オオミゾクチコウモリ poro-cicaaoskekapap (新): [名] カリノロプス・ニグログリセウス kisaraporo-cicaaoskekapap (新): [名] C. ネオカレドニクス kanakiun-cicaaoskekapap (新): [名] C. ビカトゥス pon-cicaaoskekapap (新): [名] C. モリオ cokorate-cicaaoskekapap (新): [名] グールドミミナガコウモリ gourdo-cicaaoskekapap (新): [名] ミゾクチコウモリ otanne-cicaaoskekapap (新)

かりば(狩場) [名] 狩場 iwor (石狩): [名] 各家の狩場 yaycaroykius (天塩)

カリブ [場名](地名)カリブ海 Karibe(-atuy) (新): [場名](地名)(西インド諸島の別名として)カリブ諸島 Karibeun-usapoysir (新)、[場名] Karibeatuyun-usapoysir (新)

カリフォルニア [場名](アメリカ合衆国の州名)カリフォルニア州 Karifonnia-mosir (新)※(州都は「サクラメント」)

カリホルニウム (化学)[名]カリホルニウム karifonnium (新)※(原子番号98番。元素記号は Cf)

カリマンタン [場名](地名)カリマンタン島 Karimantan-poysir (新)※(大スンダ列島にあるインドネシア、マレーシア、ブルネイ王国領の島。旧称「ボルネオ島」)

かりゅう(渦流) [名](特に地名中で)渦流 sup(-i) (石狩)、[名] pir(-i) (H)

かりゅう(下流) [位名]～の下流、下流域 kes(長形 -e、-eke) (石狩): [場名]川の下

流、下流域 petkes (petkese) (石狩)

かりゅう(顆粒) [名]顆粒 kótak(-u) (新)

かりゅうど(狩人)[名]狩人 kimunkur (石狩)、[名] iramantekur (天塩): [名]狩の名人 isounkur (isonkur) (石狩)

かりる(借りる) ①(金、米など使えば無くなりもとの物を返せぬ物について)[自]借りる sóse (石狩)、[自] sóuk (石狩): [他]～を借りる esose (石狩)、[他] esouk (天塩): [他](人)から借りる kosose (新)、[他] kosouk (石狩): [他]～と共に～を借りる kosose (新)、[他] kosouk (新): [他](原因、手段)で借りる osose (新)、[他] osouk (新): [他](人)に借りさせる sósere (新)、[他] sóukte (新): ②(使ってそのまま返せるものについて)[他]～を借りる etun (石狩): [他](人)に～を借りさせる etunte (新)

かる(刈る) ①(草に関して)[他]～を刈る mosekar (石狩): [他]～を刈らせる mosekare (新): ②(採集する植物に関して)[他]～を刈る ca (石狩): [他](人)に～を刈らせる cáre (新): ③[他]～の先を刈る eca (沙流): [他](人)に～の先を刈らせる ecare (新): ④[他]～を根元から刈る otuye (複数 otuyupa) (沙流): [他](人)に～を根元から刈らせる otuyere (複数 otuypare) (新)

かる(駆る) [他]～を駆る siroterkekar (新): 「私は馬を駆る。」 “Umma ku=siroterkekar.”

かるいし(軽石) [名]軽石 súsirup(-i) (石狩)

カルーガ [場名](ロシア連邦中央連邦管区の構成主体名)カルーガ州 Karuga-purovince (新): [場名](カルーガ州の州都名)カルーガ Karuga (新)

かるく(軽く) ①[自]軽くなる、軽い kosne (石狩): [他](場所)で軽くなる、軽い ekosne (新): [他]～と共に軽くなる、軽い kokosne (新): [他](原因、手段)で軽くなる、軽い okosne (新): [他]～を軽くする kosneka (kosnere) (新): [他](人)に～を軽くさせる kosnekare (kosnerere) (新): [自]減茶苦茶軽くなる toykokosne (新): [副]軽く kosne (新)、[副] kosneno (新): [副]軽く軽く kosneitara (kosnetara) (新): ②[自]体重が軽くなる、軽い kewekosne (新): [他]～の体重を軽くする kewekosneka (kewekosnere) (新): ③(力の加減に関して)[自]軽くなる、軽い hawke (石狩): [他]～を軽くする hawkeka (hawkere) (新): [副]軽く hawkeno (石狩)、[副] hawke (石狩):

[副]軽く軽く hawkeitara (hawketara) (新)

かるさ(軽さ) [名]軽さ kosneru(-we) (新)

カルシウム(化学)[名]カルシウム karkium (新) ※(原子番号20番。元素記号はCa)

カルムイク [場名](ロシア連邦南部連邦管区の構成主体名)カルムイク共和国 Xarm Ukotankoremosir (新)※(首都「エリスタ」): [名]カルムイク人 xarimagukur (新): [名]カルムイク語 xarimagukuritak (新) ※(モンゴル諸語に属する言語。)

かれ(彼) ①<三人称の人称代名詞について>他方言には"ani"や"sínuma"がある。石狩方言に雅語としてかろうじて"sínuma"が確認されるが、一般的ではなく普通は「その人」「nékur」、「néakur」、「néankur」、「その女」「ne menoko」、「néa menoko」、「その人達」「nérok utar」「néokay utar」、「その女達」「ne menoko utar」でそれぞれ「彼」、「彼女」、「彼ら」、「彼女ら」を表す。今後は先の他方言の形を取り入れるのもいいが、それが性別や単複を明確に表せないところから魅力が薄い。従来の形を用いていくが、現在の複雑な生活の中で使用頻度も増すと思われるので、多少なりとも語形を縮めるため、「彼」「nékur」、「彼女」、「némat」、「彼ら」「néutar」、「彼女ら」「nématutar」という新語を提案したい。: ②<三人称の人称接辞>石狩方言にはない(0の人称接辞をとると言う)が、浦河方言などでは主格の"i="がある。これは「今日女性が行く」「tanto oman」に対し「今日彼女が行く」「tanto i=oman」のように具体的な動作主を示す名詞がない時に用いられるものである。これは「彼がその男を殴った」を"ne okkayo kik"とするより"ne okkayo i=kik"が分かり易い。勿論受け身の構文を使って"orowa ne okkayo an=kik"としてもいいが、取り入れる価値はある。その際四人称の目的格"i="との衝突を軽減するため"i="としたい。つまり「今日彼女が行く」「tanto i=oman」「その男を彼が殴った」「ne okkayo i=kik」という風である。

かれき(枯木) ①(立ち枯れた木、あるいは流木を指し)[名]枯木 cini (石狩): [名]枯木林 cinitay (石狩): ②(流木や倒木を指し)[名]枯木 satni (石狩): (表現)枯木の山 satni ikiri (新)

かれさわ(涸沢) [名]涸沢 naykot (石狩)、[名] parakot (石狩)

かれは(枯葉) [名]枯葉 kómam (石狩)、[名] komham (幌別)

カレリア ①[場名](地名)カレリア Kariara (新)※(フィンランド南東部からロシアの北西部にまたがる地域。): [名]カレリア人

kariaraunkur (新): [名]カレリア語 kariaraunkuritak (新): ②[場名](ロシア連邦北西連邦管区の構成主体名)カレリア共和国 Kareriya Respuprika (新)※(首都は「ペトロザボーツク」): (歴史)[場名]カレリア自治ソヴィエト社会主義共和国 Kareriya Sieyaytunus Soviet Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1923-40年、1956-91年。1940年にソ連邦の構成国に昇格するも1956年に再びロシア連邦共和国の構成主体に降格): (歴史)[場名](国名)カレリア・フィン・ソヴィエト社会主義共和国 Kareriya-Fin Soviet Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1940-56年。)

かれる(枯れる) [自]枯れる ci (石狩)※(対義語は"hu")

かれる(涸れる) [自]涸れる sat (石狩): (表現)井戸が涸れる simpuy sat (新)

カレワラ [名]カレワラ karevara (新)※(フィンランド語 karevala。アイヌのユカラに相当するフィンランドの民族叙事詩で、フィンランドの医師「エリアス・リョンロート」が収集した民間説話、歌謡をまとめて発表、二度にわたり補筆改訂されたものが現在知られる「カレワラ」。民族意識の高揚に寄与し、フィンランド独立の原動力ともなった)

カレンダー [名]カレンダー ciotonukarpe (新)、[名] karendar (新)※(英語)

かろうし(過労死) [自] 過労死する monraykekasuyekot (新): [他](人)を過労死させる monraykekasuyekotte (新)

かろうじて(辛うじて) [副] 辛うじて ween (幌別): (表現)(細面で顎がしゃくれた醜い顔の描写として)太く真っすぐで赤い髪、長い下顎、下顎の途中でぞっくり切り揃えられており、身に着けた飾り物で辛うじて少しは見られる醜い女 pépes otop húre otop tanne noyap noyap hontomo cikoetypa ikoro kusu ween pirkapo ki kane an wen menoko (知里): (表現)辛うじて ray koraci (沙流)

ガローウェ [場名](グントランド・ソマリア国の首都)ガローウェ Garoowe (新)

カロリン [場名](地名)カロリン諸島 Karorin-usapoyis (新)※(西太平洋ポリネシア南部の島々)

かわ(川) ①[名]川 pet(-i) (石狩): (表現)川が流れる pet oman (石狩): (表現)(洪水で)川が溢れる pet eputtek (石狩): (表現)(洪水で)川が溢れ近道する pet eika (石狩): (表現)洪水になる pet poro (石狩): (表現)川に落ちる pettum osma (新)、[自]

worosma (石狩): (表現)(浅瀬を歩いて)川を渡る pet kasuy (石狩): (表現)(船で)川を渡る pet tomotuye (石狩): (表現)川沿いに下る pet esoro san (複数 sap) (石狩): (表現)川沿いに遡る pet turasi oman (複数 paye) (石狩): 「私達は川沿いに自分の村へ下りた。」 “Ci=kotanu ta pet esoro sap=as .”: (表現)(雅)大きな川の流れ下る様は明(さや)かなり tan poro pet san ru konna maknatara (沙流): [場名]川の水源地 petétok (petétoko) (石狩): (表現)川の水源地 pet etok(長形-o) (石狩): (表現)川の水源地、神の山がそびえる様は堂々としている petetok us pe kamuy-nupuri as ru konna mewnatara (沙流): (表現)川の水源地 pet etok(長形-o) (石狩): [名]川が渦巻く所 petmoy (石狩): [場名](雅)川のあたり一帯 petaruoka (石狩): [名]川の冬でも水が温かくてサケが産卵のため集まりやすい所 sumasan-piwka (石狩): [名]川の曲がりの内側の土地 nutap (石狩): [名]川の曲がりの水深の深い所 parato (石狩): [名]川の曲がりの外側の膨らんで水の流れが緩やかな所 moy (石狩): [名]川漁の神、カワガラスの神 wakkauskamuy-koyantonekamuy (石狩): ②[場名](山の方に対し)川、特に本流の方 sa (石狩)

かわ(皮) ①[名]皮、皮膚 kap(-u) (石狩): (表現)～の皮に皺がよる kapu yoninke (石狩): ②[名](動物の)毛皮 rus(-i) (石狩): [名](動物の)毛皮、(特に衣服の材料などにするような魚の)皮 ur(-i) (石狩)※(魚の「皮」は普通 kap と表現する。)

かわいい(可愛い) ①[自]可愛くなる、可愛い pirka (石狩): [自]可愛い sierampokinuyar (新)、[自]sierampokiweyyar (新): ②[他]～を可愛いと思う erampokinu (石狩)、[他]erampokiwen (石狩): [他]～と共に～を可愛いと思う koerampokinu (新)、[他]koerampokiwen (新): [他](原因、手段)で～を可愛いと思う oerampokinu (新)、[他]oerampokiwen (新): [他](人)に～を可愛いと思わせる erampokinure (新)、[他]erampokiwente (新): [他]～を滅茶苦茶可愛いと思う toykoerampokiwen (新)、[他]toykoerampokinu (新): ③[間投]まあ可愛い mam ta (CC)

かわいがる(可愛がる) [自]人を可愛がる iekataratki (新)、[自]ierampokinu (新)、[自]ierampokiwen (新)、[自]iomap (新): [他]～を可愛がる ekataratki (石狩)、[他]erampokinu (石狩)、[他]erampokiwen (石狩)、[他]omap (石狩):

[他](原因、手段)で～を可愛がる oekataratki (新)、[他]oerampokinu (新)、[他]oerampokiwen (新)、[他]oomap (新): [他](人)に～を可愛がらせる ekataratkire (新)、[他]erampokinure (新)、[他]erampokiwente (新)、[他]omapte (新): [自]自分を可愛がる yayekataratki (新): [自]互いに可愛がり合う、皆を可愛がる uekataratki (新): [他]充分～を可愛がる ekataratkino (ekataratkinu) (新): [他]ひどく～を可愛がる wenekataratki (新): [他]滅茶苦茶～を可愛がる toykoekataratki (新): [自]人に可愛がられる siekataratkiyar (新)、[自]sierampokinuyar (新)、[自]sierampokiweyyar (新)、[自]siomapyar (新)

かわいそう(可哀想) ①[自]可哀想である inunukas (石狩): 「職場を追われ妻に捨てられて本当に君は可哀想だよ。」

“ Monraykewsi orwa e=okewe=an wa e=macihi orwa e=osura=an wa sonno e=inunukas wa .”: [間投]可哀想に inunukas (石狩)、[間投] inunukaski (石狩)、[間投] isirkurante (石狩)、[間投](雅語) iokunnuka (石狩): [名]可哀想な人 inunukaskur (新): [名]可哀想な奴 inunukaspe (新)、[名] inunukasampe (新): ②[自]人を可哀想に思う ikemnu (新)、[自]ierampokinu (新)、[自]ierampokiwen (新): [他]～を可哀想に思う kmnu (石狩)、[他]erampokinu (石狩)、[他]erampokiwen (石狩)

かわいたおと(乾いた音) (電が降ったり、立木が倒れたり、枯木枯草がたてるような乾いた音を表わし)[間投]メリッ、パキッ、ボキッ、カサ、ガザ、カリなど kaw (石狩): [間投]メイメリ、パキパキ、ポキポキ、カサカサ、ガサガサ、カリカリなど kawkaw (石狩): [自]パキッ、カサなどと鳴る kawse (新): [自]パキパキ、カサカサなどと鳴る kawkawse (石狩)、[自]kawawse (石狩): [自]全体が、一斉にパキパキ、カサカサなどと鳴る uekawkawse (石狩)、[自]uekawawse (新): [自]一回パキッ、パキッなどと鳴る kawkosanu (新): [自]パキパキ、カサカサなどと頻りに鳴る cikawrototo (石狩)、[自]kawrototke (新): [自]パキパキ、カサカサなどと鳴る kawawatki (新): [自]パキパキ、カサカサなどと鳴り続ける kawnatara (新)

カワイノシシ(河猪) (動物)[名](イノシシ科)カワイノシシ属 petcamun-nupputa-cise (新): [名]カワイノシシ petcamun-

nupputa (新): [名]アカカワイノシシ
húrepetcamun-nupputa (新)

カワイルカ(河海豚) (動物)[場名](ハクジラ亜目)カワイルカ上科 pétoruntannu-apapa (新): [名]カワイルカ科 pétoruntannu-apa (新): [名]カワイルカ属 pétoruntannu-cise (新): [名]インドカワイルカ indiapetoruntannu (新): 亜種 [名]インダスカワイルカ sindupetoruntannu (新): [名]ガンジスカワイルカ gangapetoruntannu (新)

カワウソ(獺) (動物)[名](イタチ科)カワウソ亜科 esaman-moapa (新): [名]カワウソ属 esaman-cise (新): [名]ユーラシアカワウソ yayan-esaman (新): 亜種[名]ニホンカワウソ esaman (石狩)、[名] esaman-cironnup (天塩)※(北海道亜種 yaun-esaman と本州亜種 samorun-esaman がある。両種絶滅): [名]オオカワウソ属 síporoesaman-cise (新): [名]オオカワウソ síporo-esaman (新): [名]カナダカワウソ属 kanadaunesaman-cise (新): [名]カナダカワウソ kanadaun-esaman (新): [名]ツメナシカワウソ属 amsakesaman-cise (新): [名]ビロードカワウソ属 numaussenkaki-esaman (新): [名]ビロードカワウソ numaussenkaki-esaman (新): [名]ラッコ属 rakko-cise (新): [名]ラッコ rakko (石狩)

かわかす(乾かす) [自]ものを乾かす satke (新): [他]～を乾かす satke (石狩): [他](場所)で～を乾かす esatke (新): [他]～と共に～を乾かす kosatke (新): [他](原因、手段)で～を乾かす osatke (新): [他]人に～を乾かさせる satkere (新): [他]ぱっと、一瞬で～を乾かす sattekka (新): [他]完全に～を乾かす arsatke (assatke) (新): [他]充分に～を乾かす satkeno (satkenu) (新): [他]滅茶苦茶～を乾かす toykosatke (新): [他]～をからからに乾かす satsatke (石狩): (表現)私は咽喉をからからに渴かす=私は咽喉が乾いた ku=rekuci ku=satsatke (石狩)

かわかみ(川上) [位名]～の川上 pen(長形 -a、-ake) (石狩)、[位名] pen(長形 -i、-ke) ta (石狩)、(表現) penake ta (石狩)、(表現) pena ta (天塩): [副]川上に向かって、川上に hepera (石狩): [副]川上から hopera (石狩): [連体](地名に用いられ)～の川上の penke (H): [連体]～の川上の方の penawa (石狩、留萌、網走): Penawa-rupespe 川上の・峠沢[連体](地名

に用いられ)～の川上の方に penawa (網走): Penawa-an-notka 川上に・ある・出崎の上

かわぎし(川岸) ①[場名]川岸 petsam (petsama、petsamake) (石狩)、[場名] petcam (petcama、petcamake) (石狩)、[場名] pettuysam (pettuysama、pettuysamake) (石狩)、[場名] petparurke (石狩)、[場名] petya (石狩): (表現)川岸を歩く petya kari apkas (石狩): ②[名]川に削られた段差のある崩れやすい川岸 hur(-u) (石狩): (表現)川岸伝いに歩く hur ka peka apkas (石狩): [名]川岸の土手の欠けた所 toyhur(-u) (天塩): ③[名]崖になった川岸 toska (石狩): [名]高い崖になった川岸 rikuntoska (石狩)

かわぎしのあな(川岸の穴) [場名]川岸の穴 hutcorpok(-i) (石狩)、[場名] tosir (石狩)

かわぎしのだいち(川岸の台地) [名]川岸の台地、川岸の土地が一段高くなり平坦に続いている所 ninar(-i、-u) (石狩): [名]川のそばの平地 hurpar(-o) (石狩): (表現)川のそばの低い平地 ram hurpar (石狩): (表現)川のそばの高い平地 ri hurpar (石狩): [名]片方が山になっている川岸の平地 ninar(-i、-u) (天塩)

かわく(乾く) ①[自]乾く、乾いている sat (石狩): (表現)私の咽喉が渇く ku=rekuci sat (石狩): [他](場所)で乾く、乾いている esat (新): [他]～と共に乾く、乾いている kosat (新): [他](原因、手段)で乾く、乾いている osak (新): [自]ぱっと、一瞬で乾く sattek (新): [自]完全に乾く、乾いている arsat (assat) (新): [自]充分に乾く、乾いている satno (satnu) (新): [自]滅茶苦茶乾く、乾いている toykosat (新): ②(何かが焼け脂などがジュージュウ流れ出す事によって)[自]乾く cisatke (石狩)

かわぐち(川口) [名]川口 petpar(-o) (石狩)、[場名] petput (petpuci、petputu) (石狩): [位名]～の川口 put(長形 -ci、-u) (石狩): [名]川口に岩がある川 osirannepet (石狩): [名]川口に土崖がある川 opiraspel (石狩): [名]川口の女神 ciwasekotmat (石狩)

かわごろも(皮衣) [名]皮衣 ur(-i) (石狩)

カワゴンドウ(河巨頭) (動物)[名](ゴンドウクジラ亜科)カワゴンドウ属 pétorunrokom-cise (新): [名]カワゴンドウ éyawadipetorunrokom (新)※(別名「イラワジイルカ」): [名]オーストラリアカワゴンドウ austoraria-petorunrokom (新)

かわしも(川下) [位名]～の川下 pan(長形 -

a、-ake) (石狩)、[位名] pan(長形・i、-ke) (石狩): (表現)~の川下に pan(長形・i) ta (石狩)、(表現) panake ta (石狩)、(表現) pana ta (天塩): [副]川下に向かって、川下に hepasi (石狩): [副]川下から hopasi (石狩): [連体](地名の中に用いられ)~の川下の panke (H): [連体](地名に用いられ)~の川下の方の panawa (石狩、留萌、網走): Panawa-rupespe 川下の・峠沢: [副](地名に用いられ)~の川下の方に panawa (網走): Panawa-an-notka 川下・ある・出崎の上

かわす(交わす) ①(相互にやり取りする意味で)[他](手紙などを交わす ukoomante (石狩): [他](場所)で~を交わす eukoomante(ukoeomante) (新): [他](原因、手段)で~を交わす oukoomante (新): ②(避ける意味で)[他]~を交わす hayta (石狩): 「私は雪玉を交わしながら走った。」 “Upastak ku=hayta kane ku=hoyupu .”

[他](人)に~を交わさせる haytare (新)

かわせ(為替) ①(システムとしての)[名]為替 ikorutasare (新): ②(為替手形)[名]為替 ciikottasarep (新): ③(郵便為替)[名]為替 icenkampiomante (新): 「私は為替で1万円送った。」 “Icenkampiomante ani 10,000 (sineik) yen ku=omante.”: ④(郵便為替受取証)[名]為替 icenkampi (石狩)

かわせ(川瀬) [場名]川瀬 ciwasi (石狩)

かわせてがた(為替手形) [名]為替手形 ciikortasarep (ciikottasarep) (新)

かわぞい(川沿い) (表現)川沿いに遡る pet turasi oman (複数 paye) (石狩): (表現)川沿いに下る pet esoro san (複数 sap) (石狩): [名]川沿いの一段高くなった原野 ninar(i、-u) (石狩): [名]川沿いの木原 kenas (石狩)

かわぞこ(川底) [場名]川底 pétasam(-a) (新)

かわって(代わって) ①(交替して)[副]他の人に代わって itasa (石狩)、[副] iosakarino (新): [後副]~に代わって tasa (新)、[後副] osakarino (石狩): ②(代理として)[副]人に代わって ikawarine (石狩): [後副]~に代わって kawarine (石狩)

かわっている(変わっている) (表現)(ある異なった時点に存在する単一の人、物の姿、形を比べて)変わっている ueoyakno an (石狩): 「君の様子が変わっているので僕は驚いたよ。」 “E=katuhu ueoyakno an kusu ku=yaykimatekka na .”

かわなかじま(川中島) [場名]川中島 petkamosir(i) (新)、[場名] mosir(i) (石狩)

かわなみ(川波) [名]川波 ciw (石狩): (表現)川波が渦巻く ciw opoye (新): [自]川波が立つ ciwnu (石狩): (表現)川波が立つ ciw as (石狩): (表現)川波に当たる ciw kar (沙流)

かわにおちる(川に落ちる) [自]川に落ちる worosma (石狩)、[自] pettumosma (新): (表現)川に落ちる pettum osma (新): [他]~を川に落とす worosmare (新)、[他] pettumosmare (新)

かわのかりゅう(川の下流) [場名]川の下流、下流域 petkes (petkese) (石狩)

かわのじょうりゅう(川の上流) [場名]川の上流、上流域 petpa (petpake) (石狩)

かわのすいげん(川の水源) [場名]川の水源、最上流 petetok (petetoko) (石狩)

かわのちゅうりゅう(川の中流) [場名]川の中流、中流域 pettutom (pettutomo) (石狩)、[場名] petnoski (petnoskike) (石狩)

かわのなか(川の中) ①(水面)[場名]川の中程 pethontom (pethontomo) (石狩): ②(水中)[場名]川の中 pettum (pettumu) (新)

かわのふたまた(川の二股) [名]川の二股 petaw (H)、[名] petanu (H)、[名] peteukopi (H)

かわのまんなか(川の真中) [場名]川の真中 petnoski (石狩)

かわのむこうぎし(川の向こう岸) [場名]川の向こう岸 petkus (石狩)、[名] armoy (石狩)

かわのわんきょくぶ(川の湾曲部) ①[名]川の湾曲部の内側の土地 nutap (石狩): ②[名]川の湾曲部が膨らんで深い所 parato (石狩): ③[名]川の湾曲部の外側に膨らんだ(水の緩やかに流れている)所 moy (石狩) ※(ここに魚を獲るための小屋を設置する。)

かわばり(革針) [名]革針 ruwekem(i) (石狩)

カワヒメマス(川姫鱈) (魚介)[名](サケ科)カワヒメマス亜科 xárius-moapa (新): [名]カワヒメマス属 xárius-cise (新): [名]カワヒメマス xárius (新)※(露語): [名]テュマルス・アルクティクス šibiri-xarius (新): [名]テュマルス・プレビロストリス mongor-xarius (新)

かわひも(革紐) [名]革紐 turar (石狩): [名]革紐を綯った綱 turattus (石狩)

カワマス(川鱈) (魚介)[名](イワナ属)カワマス amerika-hurekeso (新)※(別名「ブルックトラウト」): [名]スブレイク amerika-tohurekeso-kopoyep (新)※(レイクトラウトとの雑種): [名]タイガートラウト tunro-hurekeso (新)※(ブラウントラウトとの雑種)

かわむこう(川向う) [場名] 川向う (の土地) *armoysam* (石狩)

かわも(川面) [場名] 川面 *petka* (石狩): (表現) 川面に氷が張る *petka rupus* (石狩)

かわら(河原) [名] 河原 *pitar(-i)* (石狩)、[名] *petpitar* (天塩)※(石河原だけでなく砂地の河原にもこの語が用いられる。): [名] 小石河原 *piwka* (石狩)、[名] *pitar(-i)* (石狩)

かわらない(変わらない) [自] 変わらない *oaysinisteka* (*aysinisteka*) (新)、[自] *oaysinistere* (*aysinistere*) (新): [他](場所)で変わらない *eoaysinisteka* (*eaysinisteka*) (新)、[他] *eoaysinistere* (*eaysinistere*) (新): [他]〜に対して変わらない、〜と共に変わらない *koaysinisteka* (*koaysinisteka*) (新)、[他] *koaysinistere* (*koaysinistere*) (新): [他](原因、手段)で変わらない *ooaysinisteka* (*oaysinisteka*) (新)、[他] *ooaysinistere* (*oaysinistere*) (新): [他]〜を変わらないものとする *oaysinistekare* (*aysinistekare*) (新)、[他] *oaysinisterere* (*aysinisterere*) (新)

カワラハハコ(河原母子) (植物)[名](ヤマハハコ属)カワラハハコの茎 *sirusnoyanit* (新): [名]カワラハハコの葉 *sirusnoya* (石狩)

カワラボウフウ(河原防風)(植物)[名](セリ科)カワラボウフウ属 *piwkasiwkina-cise* (新): [名]カワラボウフウの茎葉 *piwkasiwkina* (新): [名]ハクサンボウフウの茎葉 *metotuspiwkasiwkina* (新): [名]ボタンボウフウの茎葉 *sakuna* (新)※(琉球語)

カワラヨモギ(河原蓬) (植物)[名](ヨモギ属)カワラヨモギの茎 *pitarkaunnoyanit* (新): [名]カワラヨモギの葉 *pitarkaunnoya* (幌別)

かわる(代わる) ①(交替する)[自]人と代わる *itasa* (複数 *itaspas*) (石狩)、[自] *ionuytasa* (新)、[自] *iosakari* (新): [他]〜と代わる (複数) (石狩)、[他] *onuytasa* (石狩)、[他] *osakari* (石狩): [他](場所)で〜と代わる *etasa* (複数 *etaspas*) (新)、[他] *eonuytasa* (新)、[他] *eosakari* (新): [他]〜と共に〜と代わる *kotasa* (複数 *kotaspas*) (新)、[他] *koonuytasa* (新)、[他] *koosakari* (新): [他](原因、手段)で〜と代わる *otasa* (複数 *otaspas*) (新)、[他] *oonuytasa* (新)、[他] *oosakari* (新): [他]〜に〜と代わらせる *tasa* (複数 *taspas*) (新)、[他] *onuytasare* (新)、[他] *osakarire* (新): [自]代わり合う *utaspa* (石狩)、[他] *uonuytasa* (石狩)、[他]

uosakari (石狩): (表現)代わる代わるに *uokarpa ranke* (沙流): [副]代わる代わる *utaspa* (石狩)、[副] *uonuytasa* (*uonuytasano*) (新)、[副] *uosakarino* (石狩): ②(代理になる)[自]人と代わる、代理になる *ikawarine* (石狩): [他]〜と代わる *kawarine* (新): [他](人)に〜と代わらせる *kawarineka* (*kawarinere*) (新)

かわる(変わる) ①(何かが別のものに)[他]〜に変わる、変わっている *ne* (新): [他](場所)で〜に変わる、変わっている *ene* (新): [他]〜と共に〜に変わる、変わっている *kone* (新): [他](原因、手段)で〜に変わる、変わっている *one* (新): [他]〜を〜に変える *néka* (新)、[他] *nére* (新): [他]ぱっと、瞬間的に〜に変わる、変わっている *nétek* (新): [他]完全に〜に変わる、変わっている *oanne* (*anne*) (新): [他]充分〜に変わる、変わっている *néno* (*nénu*) (新): [他]減茶苦茶〜に変わる *toykone* (新): [他]自分の意志で〜に変わる、変わっている *yaykone* (新): [他]自然に〜に変わる、変わっている *sikone* (新): [他]互いに、皆〜に変わる、変わっている *ukone* (新): ②(変か前の状態を意識しつつ)[自]他のもに変わる *uesinnay* (天塩): (表現)他のもに変わっている *uesinnayno an* (天塩): [自]別なもに変わる、変わっている *uoypapne* (八雲): (表現)別なもに変わっている *ueoyakno an* (石狩): ③(姿形に関して)[自]別の姿形に変わる、変わっている *oyakatne* (新): (表現)〜に変わる *ne katne* (新): ④(気持に関して)(表現)〜のものと変わっている *ehosi* (*eosi*) *an* (石狩): 「私の考えは以前のものと変わっている。」 “*Ku=kor yaynu anakne teeta kor pe ehosi an .*”

かわをはぐ(皮を剥ぐ) [自]獲物の皮を剥ぐ *iri* (石狩): [他]〜の皮を剥ぐ *ri* (石狩): [他](人)に〜の皮を剥がせる *ríre* (新): [自]頭の皮を剥ぐ *heri* (新): [他]〜の頭の皮を剥ぐ *eri* (新)

かわをはる(皮を張る) [自](張り枠に)皮を張る *icin* (石狩): [他](張り枠に何かの皮)を張る *cin* (石狩): [名]獣皮を張って乾かすための棒とそれを組み立てた枠 *ket(-u)* (美幌)

かわをわたる(川を渡る) ①[自](歩いて)川の浅瀬を歩いて渡る *petkasuy* (石狩): (表現)川の浅瀬を歩いて渡る *pet kasuy* (石狩): [他](目的)のために川の浅瀬を歩いて渡る *epetkasuy* (新): [他](歩いてある場所)へ川の浅瀬を歩いて渡る *kopetkasuy* (新): [他]〜に川の浅瀬を歩いて渡らせる

petkasuyre (新): ②[自](船で)川を渡る
 pettomotuye (石狩): (表現)川を渡る
 pet tomotuye (石狩): [他](船である目的)
 のため川を渡る epettomotuye (新):
 [他](船である場所)へ川を渡る
 kopettomotuye (新): [他](船などで)川を
 渡る opettomotuye (新): [他](船で)〜に
 川を渡らせる pettomotuyere (新)

ガン (鐘などの鳴る音)[間投]カン、ガン kan
 (新): [間投]カンカン、ガンガン kankan
 (新): [自]ガンと鳴る kánse (káyse)
 (新): [他]〜をガンと鳴らす kánseka
 (káyseka) (新)、[他] kánsere (káyse)
 (新): [自]ガンガン鳴る kankanse
 (kankayse) (新): [他]〜をガンガン鳴ら
 す kankanseka (kankayseka) (新)、[他]
 kankansere (kankaysere) (新): [自]ガ
 ンと一回鳴る kankosanu (新)、[自]
 kankosampa (新): [自]ガンガンと頻りに
 鳴る cikanrototo (新)、[自] kanrototke
 (新): [自]ガンガンと何回も鳴る
 kananatki (新): [自]ガンガンと鳴り続け
 る kannatara (新): [自]一瞬ガンと鳴る
 kante (新)

かん(汗) [名](中国北方の遊牧民族の首長)汗
 xan (新): [場名]汗国 xankormosir
 (新)

かん(澗) ①[名]澗 siikikik (新)※(10の3
 6乗): [名]十澗 waysiikikik (新): [名]
 百澗 atuytasiikikik (新): [名]千澗
 wánatuytasiikikik (新): ②[連体]澗の
 siikikikne (新)、[連体] siikikik (新):
 [連体]十澗の waysiikikikne (新)、[連体]
 waysiikikik (新): [連体]百澗の
 atuytasiikikikne (新)、[連体]
 atuytasiikikik (新): [連体]千澗の
 wánatuytasiikikikne (新)、[連体]
 wánatuytasiikikik (新)

かん(缶) [名]缶 kan (新)※(日本語): (表現)
 缶コーヒー kan or o kófeusew (新)、(表現)
 kan or o kófe (新)

がん(癌) [名]癌 wenhup(-i) (新)、[名]
 kanker (新)※(羅語): (表現)〜に癌ができ
 る wenhup o (新): [名]胃癌 yospeo-
 wenhup(-i) (新): (表現) yospe wenhup
 o (新)

かんい(簡易) [他](中相)簡易の、〜がさっと作
 られる cikatte (新): [名]簡易ベット
 cikatte-amset (新)

かんいゆうびんきょく(簡易郵便局) [名]簡易郵
 便局 noka-iei-kracise (新)

かんいん(姦淫) [名]姦淫 hoiyo (石狩):
 [自]姦淫をなす hoiyo (石狩): [他](人)に
 姦淫をなさしめる hoiyoka (hoiyore) (新)

カンウォンド(江原道) ①[固名](大韓民国の行
 政区名)江原道 Kanwon-purovince (新):
 ②[固名](朝鮮民主主義人民共和国の行政区
 名)江原道 Kanwon-purovince (新)

かんか(乾果) (植物)[名]乾果 sácikaop(-i)
 (新)

がんか(眼窩) [名]眼窩 sikipuy(-e) (石狩)

かんがい(灌漑) [自]灌漑する tóyorko-
 iomante (新)、[自] tóyorko-wakkaomante
 (新): [名]灌漑施設 ciotoyorko-iomantep
 (新)、[名] ciotoyorko-wakkaomantep
 (新): [名]灌漑農業 tóyorko-iomante-
 otoyta (新)、[名] tóyorko-wakkaomante-
 otoyta (新): [名]灌漑用水
 tóyorkoomante-wakka (新)

かんがえる(考える) [名]考え yaynu (石狩)、
 [名] iramu (新)、[名] sanniyō (新):
 [自]考える yaynu (石狩)、[自] iramu
 (石狩)、[名] sanniyō (石狩)、[自]
 yaykopeker (石狩): (表現)〜と考える
 sekor+yaynu (石狩): [他]〜を考える、〜
 について考える ramu (石狩)、[他]
 eyaykopeker (石狩)、[他] esanniyō (石
 狩): (表現)(想像、予想を示し)〜だろうと〜
 考える 動詞句+kunak+ramu (石狩)、(表
 現) 動詞句+kuni+ramu (石狩): (期待
 を示し)〜すべきと考える 動詞句+kuni+
 ramu (石狩): [他](場所)で〜を考える
 eramu (新)、[他] esanniyō (新): [他]
 〜に対し〜を考える eramu (新)、[他]
 koesanniyō (石狩): (表現)(想像、予想を
 示し) 動詞句+kunak+koesanniyō (石
 狩)、(表現) 動詞句+kuni+koesanniyō
 (石狩): 「私はこの計画について資金確保が
 困難だろうと考える。」“Ikor ci=uekarire
 okampa kunak tan iramekar
 ku=koesanniyō.”: (表現)(期待を示し)〜
 すべきと〜について考える 動詞句+kuni
 +koesanniyō (石狩): [他]〜と共に〜を
 考える koramu (新)、[他] koesanniyō
 (新): [他](原因、手段)で〜を考える
 oramu (新)[他] oesanniyō (新):
 [他](人)に〜を考えさせる oramure (新)、
 [他] esanniyore (新): [他]一人で〜を考
 える yaykoramu (新)、[他]
 eyaykosanniyō (新): [他]互いに、皆で〜
 を考える ukosanniyō (新)、[他]
 eukosanniyō (新): (表現)(よい考えが浮か
 ばず)膝頭に顎を埋める kokkasapa
 notomare (幌別): [他]〜を考えないよう
 にする ramkamare (沙流): 「あんたの
 事大嫌いだから、私の事は忘れて考えないよ
 うにしてね。」“E=kopan=an kusu eciki
 en=ramoyrare no en=ramkamare ya.”

かんかく(感覚) [名]感覚 yaynum(-i) (天塩)、[名] hum(-i) (石狩)、[名] sampe (石狩): (表現)(人)に感覚がある ~ yaynumi an (新): (表現)~の感覚がある ~ humi an (human) (新): [名]嗅覚 húranuhum(-i) (新): [名]視覚 inkarhum(-i) (新): [名]触覚 ikerehum(-i) (新): [名]聴覚 inuhum(-i) (新): [名]味覚 irakhum(-i) (新)

かんかつ(管轄) ① [名]管轄、管轄する事 isikotte (新)、[名] ikorkar (新)、[名] ikor (新): [自]管轄する isikotte (新)、[自] ikorkar (新)、[自] ikor (新): [他] ~を管轄する sikotte (新)、[他] korkar (新)、[他] kor (石狩): [他](人)に~を管轄させる sikaottter (新)、[他] korkare (新)、[他] kóre (新): [他]自分で、一人で ~を管轄する yaykosikotte (新)、[他] yaykokorkar (新)、[他] yaykokor (新): [他]互いに、皆で~を管轄する ukosikotte (新)、[他] ukokorkar (新)、[他] ukokor (新): [他](中相)~が管轄させる cisikotte (新)、[他] cikorkar (新)、[他] cikor (新): ②(場所)[場名]管轄、管轄範囲、管轄領域 cisikotteserke (新)、[場名] cikorkarserke (cikorkasserke) (新)、[場名] cikorserke (cikosserke) (新)

かんき(寒気) ①(寒さ)[名]寒気 méan (新): (表現)寒気 méan ru(-we) (新): ②(寒い感覚)(表現)寒気 méus hum(-i) (新)

かんき(歓喜) ①[自]歓喜する kiroroan (複数 kirorookay) (石狩): [他]~について歓喜する ekiroan (石狩): [他](場所)で歓喜する ekiroan (新): [他]~と共に歓喜する kokiroan (新): [他](原因、手段)で歓喜する okiroan (新): [他](人)を歓喜させる kiroroante (石狩): ②[自](予想外の事に対し)歓喜する yaykopuntek (石狩): [他](予想外の事)について歓喜する eyaykopuntek (石狩): [他](予想外の事)に対し誰かを歓喜させる yaykopuntekka (新)

がんきゅう(眼球) [名]眼球 siknum(-i) (石狩)

かんきょう(乾姜) [名]乾姜 cisakanke-sioga (新)

かんきょう(艦橋) [名]艦橋 cipriwka (新)、[名] tumicipriwka (新)

かんく(管区) [名]管区 iwor (新)

かんげい(歓迎) [自]人を歓迎する ikopuntek (新): (表現)歓迎の言葉 ikopuntek itak (新): [他](人)を歓迎する kopuntek (沙流): [他]~の事で(人)を歓迎する ekopuntek (沙流): [他](人)に(人)

を歓迎させる kopuntekka (新): [自]歓迎し合う ukopuntek (新): [他](表現)(人)に何度も領いて歓迎する otu henkuror ore henkuror ~ koanu (koari、koanukar) (沙流)

かんけい(関係) ①(因果関係)[名](ある)物事との関係 ikot (新): [名]先にある物事との関係 ekot (新): [名]後にある物事との関係 okot (新): [名]相互関係 ukot (新): [名]先にある物事の相互関係 eukot (新): [名]後にある物事の相互関係 oukot (新): [自]関係する ikot (新): [他]~と関係する kot (新): [他]~と~を関係させる kote (新): [自](時間的、空間的、因果的)~の将来、~の先、~の予想される結果が関係する ekot (新)、[他](時間的、空間的、因果的)~の将来、~の先、~の結果と~を関係させる ekote (新): [自](時間的、空間的、因果的)~の過去、~の後、~の原因が関係する okot (新)、[他](時間的、空間的、因果的)~の過去、~の後、~の原因と~を関係させる okote (新): [自]相互に関係する、関係し合う ukot (新): [他]~を相互に関係させる ukote (新): [自](時間的、空間的、因果的)~の将来、~の先、~の予想される結果が相互に関係する eukot (新)、[他](時間的、空間的、因果的)~の将来、~の先、~の結果と~を相互に関係させる eukote (新): [自](時間的、空間的、因果的)~の過去、~の後、~の原因が相互に関係する oukot (新)、[他](時間的、空間的、因果的)~の過去、~の後、~の原因と~を相互に関係させる oukote (新): ②(人間関係)[名]人との関係 iemawne (新): [名]互いの関係 uemawne (新): [自]人と関係を持つ iemawne (沙流): [他](人)と関係を持つ emawne (新): [他](人)に(人)と関係を持たせる emawnere (新): [自]互いに関係を持つ uemawne (新): [位名]~の関係(間柄) ukoutur(長形-u、-ke) (新): 「あの人達の関係なんて私は知らないよ。」 “ Nerok utar ukouturu ta ku=erampetek na .” : ③(男女の関係)[自]人と関係する ieturen (新): [他](人)と関係する eturen (石狩): [他](人)と(人)を関係させる eturente (新): [自]互いに関係がある ueturen (新): [自]人に関係を迫る unkoramkor (新): [他](人)に関係を迫る koramkor (石狩): [他](人)に(人)に対して関係を迫らせる koramkore (新)

かんご(看護) [自]人を看護する ikaoyki (石狩): [連他]~を看護する kasi-oyki (kaoyki) (石狩): [他](人)に人を看護させる ikaoykire (新): [自]看護してもらう

sikaoykiyar (石狩): [名]看護士
ikaoykikur (新): [名]看護婦
ikaoykimat (新)、[名] ikaoykimenoko (新)

かんこう(刊行) [自]書籍を刊行する
iutarkoasinke (新)、[自] kampsos-
utarkoasinke (新): [他]～を刊行する
utarkoasinke (新): [他](場所)で～を刊行
する eutarkoasinke (新): [他]～と共に
～を刊行する koutarkoasinke (新):
[他](原因、手段)で～を刊行する
outarkoasinke (新): [他](人)に～を刊行
させる utarkoasinkere (新)

かんこう(環濠) [名]環濠 sikarinay (新):
(表現)環濠 an=kar sikarinay (新): (表
現)環濠集落 an=nayókarire kotan (新)、
(表現) nay an=okárire kotan (新)

かんこう(観光) [名]観光 inkaroomanan
(新)、[名] turisum (新)※(露語): [自]観
光する inkaroomanan (複 数
inkaropayekay、inkaropayokay) (新):
[他](場所)を観光する einkaroomanan (複
数 einkaropayekay、einkaropayokay)
(新): [他](場所)へ観光する、～と共に観光
する koinkaroomanan (複 数
koinkaropayekay、koinkaropayokay)
(新): [他](原因、手段)で観光する
oinkaroomanan (複 数 oinkaropayekay、
oinkaropayokay) (新): [他](人)に観光さ
せる inkaroomanante (複 数
inkaropayekayre、inkaropayokayre)
(新): [自]自分で、一人で観光する
yaykoinkaroomanan (複 数
yaykoinkaropayekay、
yaykoinkaropayokay) (新): [自]皆で観光
する ukoinkaroomanan (複 数
ukoinkaropayekay、ukoinkaropayokay)
(新): [他]人(場所)を観光してもらう
einkaroomananar (複 数
einkaropayekayyar、einkaropayokayyar)
(新):

かんこく(勧告) [自]物事を勧告する
ikasipaotte (新): [他]～を勧告する
kasipaotte (新)※(沙流方言 kasipaotte より):
[他](場所)で～に勧告する
ekasipaotte (新): [他](人)に～を勧告する
kokasipaotte (新)、[他] ekasipaotte (新)
※(沙流方言 ekasipaotte より): [他]～と共
に～に勧告する kokasipaotte (新):
[他](原因、手段)で～に勧告する
okasipaotte (新): [他](人)に～を勧告させ
る kasipaotttere (新)

かんこく(韓国) [場名](国名)大韓民国
Daehanminguk (新)※(首都は「ソウル」):

[場名](国名の通称として)韓国 Hanguk
(新): [名]韓国人 hankur (新): [名]韓
国語 hangukitak (新)

カンザス [場名](アメリカ合衆国の州名)カン
ザス州 Kansas-mosir (新)※(州都は「トピ
カ」)

カンザスシティ [場名](アメリカ合衆国ミズー
リ州の都市名)カンザスシティ Kanzasíti
(新)

かんさつ(鑑札) [名]鑑札 tonohunta (新)、
[名] hunta (石狩)

かんじ(感じ) [名]感じ hum(-i) (石狩)、[名]
yaynum(-i) (天塩): [O動]感じがする
humas (石狩): (表現)感じがする humi
an (human) (石狩)、(表現) humi as
(humas) (石狩): 石狩方言では普通の発
音は"human""uman"及び"humas"、"umas"
になるが、表記法としては"humian""humi
as"を標準とし、"human""humas"も認めるも
のとする: (表現)感じさせる humi aste
(新): (表現)～の感じ humi ne (hum ne)
(石狩): 「私の足が痛い感じですよ。」

“Ku=cikiri arka hum ne .”

かんじ(漢字) [名]漢字 hankur-itakitokpa
(新)、[名] atuyyaunkur-itakitokpa (新)

かんし(監視) ①[自]監視する inkarus (新):
[他](場所)で監視する einkarus (新):
[他]～と共に監視する koinkarus (新):
[他](原因、手段)で監視する oinkarus
(新): [他](人)に監視させる inkaruste
(新): [他]自分で、一人で監視する
yaykoinkarus (新): [他]皆で監視する、監
視し合う ukoinkarus (新): [場名]監視
所 inkarusi (新)、[名] inkaruspe (新):
[名]監視艇 inkaruscip (新): [名]特設監
視艇 citumicipnere-inkaruscip (新):
[名]監視人、監視者 inkaruskur (新): ②
[自]人や事物を監視する inukarus (新):
[他]～を監視する nukarus (新): [他](場
所)で～を監視する enukarus (新): [他]
～と共に～を監視する konukarus (新):
[他](原因、手段)で～を監視する onukarus
(新): [他](人)に～を監視させる
nukaruste (新): [他]自分で、一人で～を
監視する yaykonukarus (新): [他]互い
に、皆で～を監視する ukonukarus (新)

かんじき [名]馬蹄形をしたかんじき tesma
(石狩): [名]瓢箪型をしたかんじき cinru
(石狩)

かんじこう(乾耳垢) [名]乾耳垢
satkisarpuyisi (新)、[名] satkisarsuysi
(satkisassuysi) (新)

ガンジス [名](地名)ガンジス川 Ganga-pet
(新)※(ヒンディー語)

カンジダ [名]カンジダ属 kandida-cise (新): [名]カンジダ・アルピカンス kandida-arbikansu (新): [名]カンジダ症 (新): [自]カンジダ症に罹る (新): [名]胃誇張症 ipepise-kandida-osiyeye (新): [自]胃誇張症に罹る ipepise-kandida-osiyeye (新): [名]カンジダ性口唇炎、口角炎 pákisara-kandida-osiyeye (新): [自]カンジダ性口唇炎、口角炎に罹る pákisara-kandida-osiyeye (新): [名]口腔カンジダ症 paro-kandida-osiyeye (新): [自]口腔カンジダ症に罹る paro-kaandida-osiyeye (新): [名]皮膚カンジダ症 kapu-kandida-osiyeye (新): [自]皮膚カンジダ症に罹る kapu-kandida-osiyeye (新): [名]性器カンジダ症 okandida-osiyeye (新): [自]性器カンジダ症に罹る okandida-osiyeye (新)

かんして(関して) [接頭] (動詞に接頭して、動詞が取り得る目的語の数を一つ増やし) ~ に関して e- (石狩): e+ese(承諾する)→ eese 「~に関して承諾する」

かんしゃ(感謝) ① [自]感謝する yayrayke (yairayke) (石狩)※(「自殺する」と同音になるところから、地方によってはアクセントの位置を厳密に違えていたようである。石狩川筋でもそういう傾向はあったが厳密ではなく、今ではむしろ yairayke は他所の言い方とたしなめられる程である): [他]~について感謝する eyayrayke (石狩): [他](人)に感謝する koyayraykere (石狩): [他]~について(人)に感謝する koeyayrayke (ekoyayrayke) (新): [他](原因、手段)で感謝する oyayrayke (新): [他](人)に感謝させる yayraykere (yairaykere) (新): [自]互いに、皆で感謝する ukoyayrayke (新): [間投]感謝いたします iyayraykere (石狩): [自]自分に感謝させる、感謝されることになる siramyere (沙流): ② [自]男の感謝の仕草をする onkami (石狩)、[自] onkamuy (浦河): ③ [自]女の感謝の仕草をする raymek (空知): [他](人)に女の感謝の仕草をさせる raymekkar (空知)

かんじゅ(感受) [名]感受 humnu (新)、[名] patos (新)※(希語)

かんしゅ(艦種) [名]艦種 cipikir-(i) (新)

かんしゅ(艦首) [場名]艦首 nan (石狩): [接頭]艦首 he- (石狩): [接尾]~の艦首 e- (石狩): e+rep(沖)+otte(~に~を着ける) → erepotte 「~の船首を沖に向ける」: → 関連表現については「せんしゅ(船首)」を見よ。

かんしゅう(慣習) [名]慣習 puri (石狩): [自]慣習化する sipurineka (sipuriner)

(新): [名]慣習法 puriirenka (新)、[名] puri (石狩)

かんしゅう(観衆) (表現)観衆 inkar utar (新): (表現)~の観衆 ~ nukar utar (新)

カンシュクしょう(甘肅省) [場名](中華人民共和国の省名)甘肅省 Kansu-purovince (新)

かんしょう(干涉) [自]干涉する isaykako (新): [他]~に干涉する eisaykako (新)※(美幌): [他](場所)で干涉する eisaykako (新): [他]~と共に干涉する koisaykako (新): [他](原因、手段)で干涉する oisaykako (新): [他](人)に干涉させる isaykakoka (新)

かんじょう(感情) [名]感情 kewtum-(u) (石狩)、[名] ram-(u) (石狩)、[名] sampe (石狩)、[名] hum-(i) (石狩)[名] yaynum-(i) (天塩): (表現)~の感情を抱く 動詞+kewtum yaykorpore (石狩): 「私はこの和人の紳士に好感を抱くので神の守護をお願い致します。」“Tapan sisam nispá kopirka kewtum ku=yaykorpore kusu kamuy epunkine kuni ku=ye haw tapan na .”

かんしょう(環礁) [名]環礁 sikarisanguso (新)

がんしょう(岩礁) [名]岩礁 sirar-(i) (C)

がんじょう(頑丈) [自]頑丈になる、である nisuramne (石狩)、[自] nisuwamne (天塩): [他](場所)で頑丈になる、である enisuramne (新)、[他] enisuwamne (新): [他]~と共に頑丈になる、である konisuramne (新)、[他] konisuwamne (新): [他](原因、手段)で頑丈になる、である onisuramne (新)、[他] onisuwamne (新): [他]~を頑丈にする nisuramneka (nisuramnere) (新)、[他] nisuwamneka (nisuwamnere) (新): [自]完全に頑丈になる、である oannisuramne (新)、[自] oannisuwamne (新): [自]充分頑丈になる、である nisuramneno (nisuramnenu) (新)、[自] nisuwamneno (nisuwamnenu) (新): [自]滅茶苦茶頑丈になる、である toykonisuramne (新)、[自] toykonisuwamne (新):

かんしょうこう(甘松香) [名]甘松香 neddo (nerdo) (新)※(ヘブライ語)

かんじょうよくせい(感情抑制) ① (人が自分の)[自]感情抑制する yayhumikisma (新): [他](人)に感情抑制させる yayhumikismare (新): ② (薬が)[自]人の感情抑制をする ihumikisma (新): [他]~の感情抑制をする humikisma (新): [名]感情抑制剤 ihumikismakusuri (新)

かんしょく(閑職) [場名] 閑職 monuturu-anusi (新)、[場名] monraykesakusi (新): (表現) 閑職に回される monuturu-anusi (monrayke-sakusi) ene an=omante (新)

かんしん(感心) ① [名] 人や物事に感心する ierayap (新): [自] 人に感心する iotuwasi (石狩): [他] ~に感心する erayap (石狩)、[他] otuwasi (石狩): [他](場所)で~に感心する eerayap (新)、[他] eotuwasi (新): [他] ~と共に~に感心する koerayap (新)、[他] kootuwasi (新): [他](原因、手段)で~に感心する oerayap (新)、[他] ootuwasi (新): [他](人)を~に感心させる erayapte (新)、[他] otuwasire (新): [自] 自分で自分に感心する yayerayap (新)、[自] yayotuwasi (新): [自] 互いに、全てに感心する uerayap (新)、[自] uotuwasi (新): [他] 自分で、一人で~に感心する yaykoerayap (新)、[他] yaykootuwasi (新): [他] 互いに、皆で~に感心する ukoerayap (新)、[他] ukootuwasi (新): [間投] 感心だなー akutana (沙流): ② [自](喜び感心して)エヘーと言う ehese (石狩): [他](何か)に対して(喜び感心して)エヘーと言う eehese (新)

かんしん(関心) ① [自] 関心を持つ siramante (新): [自] 人や物事に関心を持つ ikosiramante (新): [他] ~に関心を持つ kosiramante (石狩): 「…ああしてこの神がいる理由が私には分からなくて、私もそれに関心を持ち…」 “…ene tan kamuy an ihi motoho orke an=erampetek kusu anokay ka an=kosiramante…” (杉村キナラブック) 説話: [他] ~と共に関心を持つ kosiramante (新): [他](原因、手段)で関心を持つ osiramante (新): [他](人)に関心を持たせる siramanteka (siranantere) (新): ② [自] 関心がない siramsak (新): [自] 人や物事に関心がない ikosiramsak (新): [他] ~に関心がない kosiramsak (新): [他](人)に関心を持たせない siramsakka (新)

かんすうじ(漢数字) [名] 漢数字 hankur-ipiskiitokpa (新)、[名] atuyyaunkur-ipiskiitokpa (新)

かんせい(完成) [自] 物を完成させる ikarokere (新): [他] ~を完成させる károkere (新): (表現) ~を完成させる karokere (石狩): [他](場所)で~を完成させる ekarokere (新): [他] ~と共に~を完成させる kokarokere (新): [他](原因、手段)で~を完成させる okarokere (新):

[他](人)に~を完成させさせる károkere (新): [他] ぱっと、一瞬で~を完成させる károkere (新): [他] 完全に~を完成させる oarkarokere (arkarokere) (新): [他] 完璧に~を完成させる earkarokere (新): [他] 充分に~を完成させる károkere (károkere) (新): [他] しっかり、上手く~を完成させる pirkakarokere (新): [他] 心を込めて~を完成させる ramkokarokere (新): [他] やっつけで~を完成させる canankarokere (新)

かんせい(歓声) ① (表現) 歓声 yayrenka haw(-e) (新): ② [自] 歓声を上げる sikoyayrenka (新)※(本来は「獲物のあった事を歓ぶ声をあげる」の意味であるが、今後はそれ以外の場合の行為についてもこの語を用いる): [他](場所)で歓声を上げる esikoyayrenka (新): [他] ~に歓声を上げる kosikoyayrenka (新): [他] ~と共に歓声を上げる kosikoyayrenka (新): [他](原因、手段)で歓声を上げる osikoyayrenka (新): [他](人)に歓声を上げさせる sikoyayrenka (新): [自] 一人で歓声を上げる yaykosikoyayrenka (新): [他] 互いに、皆で歓声を上げる ukosikoyayrenka (新): ③ (表現) 歓声を聞く sikoyayrenka hawe nu (新): (表現) 歓声が聞こえる sikoyayrenka hawe cinu (新): ④ (表現) ~が歓声に包まれる sikoyayrenka hawe ~ okari as (新)、(表現) sikoyayrenka hawe ~ okari (新)

がんせき(岩石) [名] 岩石 sirassuma (新)、[名] sirar(-i) (石狩)、[名] suma (石狩)

かんせつ(関節) [名](指などの)関節 ikra (石狩): [名](腕などの)関節、関節部 kutnin(-i) (石狩): 目下合成語の構成要素としてのみ見られるが、今後単独でも使用する。: [名](合成語の構成要素として)関節 ik(-i) (石狩)

かんせん(幹線) [名] 幹線 cikusiikkew (新): [名] 幹線道路 cikusruiikkew (新)

かんぜんごうせいばいち(完全合成培地) [場名] 完全合成培地 cioarkar-iatereusi (新): [場名] cioarkar-cieiatereusi (新)

かんぜんに(完全に) ① [副] 完全に oar (石狩): 「私はその事を完全に忘れた。」

“Neampe oar ku=oira (= ku=oaroira).”: oar+oira(~を忘れる)→ oaroira 「完全に~を忘れる」、oar+rayke(~を殺す)→ oanrayke 「完全に~を殺す」、oar+sara(露わになる)→ oassara 「完全に露わになる」、oar+turi(~を伸ばす)→ oatturi 「完全に~

を伸ばす」：[副](多くは合成語の構成要素として)完全に ar (石狩)：ar+(～を忘れる)→ aroyra「完全に～を忘れる」：[副](専ら合成語の構成要素として)完全に anno (石狩)：[接頭](次の形式で「完全に～ない」という意味の動詞を形成する) o- (石狩)：o+名詞+sak (石狩)：②[副](oarの強調形として)全く完全に oarar (石狩)、[副] arar (石狩)

かんそう(乾燥) [自]乾燥する、している sat (石狩)：[自]ぱっと、一瞬で乾燥する sattek (新)：[自]完全に乾燥する、している arsat (assat) (新)：[自]充分に乾燥する、している satno (satnu) (新)：[自]滅茶苦茶乾燥する、している toykosat (新)：[自]ものを乾燥させる satke (新)：[他]～を乾燥させる satke (石狩)：[他](場所)で～を乾燥させる esatke (新)：[他]～と共に～を乾燥させる kosatke (新)：[他](原因、手段)で～を乾燥させる osatke (新)：[他]人に～を乾燥させる satkere (新)：[他]ぱっと、一瞬で～を乾燥させる sattekka (新)：[他]完全に～を乾燥させる arsatke (assatke) (新)：[他]充分に～を乾燥させる satkeno (satkeno) (新)：[他]滅茶苦茶～を乾燥させる toykosatke (新)：[他]～をからからに乾燥させる satsatke (石狩)

かんぞう(肝臓) [名]肝臓 ra (石狩)

かんそうたい(乾燥帯) [名]乾燥帯 sissat-sisso (sirsat-sirso) (新)

かんぞく(漢族) [名]漢族 hankur (新)：[名]漢語 hankur-itak (新)

かнтаい(寒帯) [名]寒帯 mean-sisso (mean-sirso) (新)

かнтаい(艦隊) [名]艦隊 tumicipsay(-e) (新)

かんたん(感嘆) [自]人やものに感嘆する ierayap (新)：[他]～に感嘆する erayap (石狩)：[他](場所)で～に感嘆する eerayap (新)：[他]～と共に～に感嘆する koerayap (新)：[他](原因、手段)で～に感嘆する oerayap (新)：[他](人)に～に感嘆させる erayapte (新)

かんだん(歓談) [自]歓談する newsar (石狩)：[他]～について歓談する enewsar (石狩)：[他](場所)で歓談する enewsar (新)：[他]～と共に歓談する konewsar (新)、[他] enewsar (石狩)：[他](原因、手段)で歓談する onewsar (新)：[他]～を歓談させる newsarka (石狩)、[他] newsare (天塩)：[自]歓談し合う、皆で歓談する uenewsar (石狩)：[他]～について歓談し合う、皆で歓談する euenewsar

(石狩)：[他]～を互いに歓談させる、～を皆で歓談させる uenewsarka (新)、[他] uenewsare (新)

かんたん(簡単) [自]簡単である isayka (天塩)、[自] casnu (十勝)：[他](場所)で簡単である eisayka (新)：[他]～と共に簡単である koisayka (新)：[他](原因、手段)で簡単である oisayka (新)：[他]～を簡単にする isaykaka (isaykare) (新)：[他](場所)で～を簡単にする eisaykaka (eisaykare) (新)：[他]～と共に～を簡単にする koisaykaka (koisaykare) (新)：[他](原因、手段)で～を簡単にする oisaykaka (oisaykare) (新)：[他](人)に～を簡単にさせる isaykakare (isaykarere) (新)：[自]簡単になる siisaykaka (新)：[自]簡単になる、である pirka (石狩)：(表現)簡単になる、簡単である isayka p ne (新)、(表現) isayka hi ne (新)

かんたんふ(感嘆符) [名]感嘆符 ierayap-itokpa (新)

カンチク(寒竹) (植物)[名](タケ亜科)カンチク属 mataaetuku-sitop-cise (新)：[名]カンチクの茎 mataaetuku-sitop (新)：[名]キモノパンプサ・トゥミディッシノダの茎 kuwasitop (新)※(杖竹)：[名]シホウチクの茎 inesikkewnu-sitop (新)※(別名「シカクダケ」、「イボダケ」)

かんちょう(干潮) [名]干潮 satsirar (八雲)

かんつう(貫通) [他]～を貫通する oposo (複数 opospa) (石狩)、[他] poso (複数 pospa) (石狩)：(表現)貫通する ukosuykar wa ek (複数 arki) (石狩)：[他](場所)へと～を貫通する、～と共に～を貫通する kooposo (複数 koopospa) (新)、[他] koposo (複数 kopospa) (新)：[他](場所)から～を貫通する、(原因、手段)で～を貫通する ooposo (複数 oopospa) (新)、[他] oposo (複数 opospa) (新)：[他]～に～を貫通させる oposore (複数 opospare) (新)、[他] posore (複数 pospare) (新)：[他]自分で、一人で～を貫通する yaykooposo (複数 yaykoopospa) (新)、[他] yaykoposo (複数 yaykopospa) (新)：[他]互いに、皆で～を貫通する ukooposo (複数 ikopospa) (新)、[他] ukoposo (複数 ukopospa) (新)：[他]～をパッと貫通する opostek (新)、[他] postek (新)：[他]完全に～を貫通する oarposo (複数 oarpospa) (新)、[他] arposo (複数 arpospa) (新)：[他]思い切り～を貫通する toykooposo (複数 toykopospa) (新)、[他] toykoposo (複数 toykopospa) (新)：

[他]人に～を貫通させる oposoyar (複数 pospayar) (新)、[他] posoyar (複数 pospayar) (新): [自]自分で自分を貫通する yayoposo (複数 yayopospa) (新)、[自] yayoposo (複数 yayopospa) (新): [自]互いを貫通する uoposo (複数 uopospa) (新)、[自] uposo (複数 upospa) (新): [自]自分が貫通される sioposo (複数 siopospa) (新)、[自] siposo (複数 sipospa) (新): [自]土を貫通する otoyposo (新): [自]土をパッと貫通する otoypostek (石狩): [自]天空を貫通する onisoposo (石狩): [自]山を貫通する onupuriposo (新): [自]岩を貫通する osirarposo (新): [後副]～を貫通して oposo (石狩)

かんつうせつじ(貫通接辞)(言語)[名]貫通接辞 iposoitakpo (新)

かんづめ(缶詰) [名]缶詰 kánorop (新): [他]～を缶詰にする kánoro (新)

かんてい(艦底) [場名]艦底 cipasam(-a) (新)、[場名] tumicipasam(-a) (新)

かんてん(寒天) [名]寒天 kanten (新)※(日本語)

かんだう(感動) [名]感動 sipaste-kewtum(-u) (新)、[名] sicaste-kewtum(-u) (新)、[名] emotion (新)※(英語)

かんとう(関東) [場名][地名]関東 Kanto (新): [名]関東ウタリ会 Kanto-utari-uekarpaus (新)※(略称 KUU)

かんとく(監督) ① [名]監督、監督する事 isikotte (新)、[名] sisapaneka (新): [自]監督する isikotte (新)、[自] sisapaneka (新): [他]～を監督する sikotte (新)、[他] esisapaneka (新): [他](人)に～を監督させる sikaottere (新)、[他] esisapanekare (新): ② (人)[名]監督 isikottekur (新)、[名] sisapanekakur (新)、[名] direktor (新)※(英語)

カントンしょう(広東省) [場名][中華人民共和国の省名]広東省 Kuanton-purovince (新)

かんな(鉋) [名]鉋 ikerep (新)、[名] cioikerep (新): [他]～に鉋をかける kere (石狩)※(アイヌ語方言辞典 p. 129 で自動詞か他動詞か不明だが今後他動詞として用いる)

かんない(艦内) [場名]艦内 cipor(-o) (新): (表現)艦内 cip oske (新)、(表現) cip or(長形-o、-ke) (新)

かんなじ(鉄穴師) [名]鉄穴師 kániotauekarirekur(káneotauekarirekur) (新)

かんぱい(乾杯) ① [間投]乾杯 onono (石狩): (表現)乾杯 iku=an ro (新): ② [自]乾杯する tukiohaka (tukiohare) (新):

③ [自]乾杯の言葉を言う ikuetokoehawki (新): [自]一人で乾杯の言葉を言う yaykoikuetoehawki (新): [自]皆で乾杯の言葉を言う ukoikuetoehawki (新)

かんぱい(完売) [他]～を完売する oareyyokokere (新)、[自] areyyokokere (新): (表現)～全てを完売する ～ opitta oareyyok (areyyok) okere (新)、(表現) ～ opitta oareyyok (areyyok) wa okere (新): [他](人)に～を完売させる oareyyokokerere (oareyyokokereka) (新)、[他] areyyokokerere (areyyokokereka) (新)

カンパチ(間八) (魚介)[名](ブリ属)カンパチ kampaci (新)※(日本語)

カンバラ [場名](ウガンダ共和国の首都名)カンバラ Kampara (新)

がんばる(頑張る) [自]頑張る arikiki (石狩): [他]～を頑張る koarikiki (石狩): [他](場所)で頑張る earikiki (新): [他]～と共に頑張る koarikiki (新): [他](原因、手段)で頑張る oarikiki (新): [他](人)に頑張らせる arikikire (新): [自]自分で、一人で頑張る yaykoarikiki (新): [自]互いに、皆で頑張る ukoarikiki (新): [自]充分頑張る arikikino (arikikinu) (新): [自]とても頑張る siarikiki (新): [他]～をととても頑張る kosiarikiki (石狩): [自]滅茶苦茶頑張る toykoarikiki (新): [他](雅)～についてお互い一杯頑張る eúkotuyma-síarikiki (沙流): [副]頑張って arikikino (石狩): [後副]～を頑張って koarikikino (新)

かんぱん(甲板) [名]甲板 sikeka (B)、[名] sán-ita (B)

かんび(艦尾) [場名]艦尾 un (石狩): [接頭]艦尾 ho- (石狩): [接頭]～の艦尾 o- (石狩)

ガンビア [場名][国名]ガンビア共和国 Gambia Ukotankoremosir (新)※(首都は「バンジュール」): [場名][国名の略称として]ガンビア Gambia (新): [名]ガンビア人、国民 gambiaunkur (新)

ガンビアマングース(動物)[名](マングース科)ガンビアマングース属 gambiaun-manguste-cise (新): [名]ガンビアマングース gambiaun-manguste (新): [名]シママングース ruo-manguste (新)

かんびょう(看病) [自]人を看病する ikaoyki (石狩): [連他]～を看病する kasi-oyki (ka-oyki) (石狩): (表現)私が君を看病する e=ka=ku=oyki (石狩): (表現)私は夫を看病する ku=kor kur kasi=ku=oyki (新): [他](人)に人を看病させる ikaoykire (新): [他](人)に自分を看病させる

sikaoykire (新): [自]看病してもらう
 sikaoykiyar (石狩): [自]自分で自分を看病する
 yaykaoyki (新): [自]互いに看病し合う、皆を看病する
 ukaoyki (新)
がんびょう(眼病) [自]眼病に罹る、罹っている
 sikiwen (H)
かんぶつ(乾物) ①[名](生のまま干した)乾物
 cisatkep (石狩): [名](肉、魚、山菜など)乾燥させた食糧、乾物
 sacipe (石狩): [名]乾燥させた魚
 satcep (石狩): [名]乾燥させた筋子
 satciporo (石狩): ②(茹で干した)乾物
 cisakankep (石狩)
かんぺきにつくる(完璧に作る) [他]～を完璧に作る
 earkar (石狩): 「私達は新しい家を完璧に作った。」
 “Asir cise ci=earkar.”: [他](人)に～を完璧に作らせる
 earkare (新): [他](中相)～が完璧に作られる
 ciearkar (石狩)
かんぼうやく(漢方薬) [名]漢方薬
 atuyyaunkur-kusuri (新)、[名]cinaunkur-kusuri (新)
かんぼく(灌木) [名]灌木
 has (石狩)、[名]cas (石狩)
カンボジア [場名](国名)カンボジア王国
 Kampucea Yaykomosirkorkurmosir (新)※(首都は「プノンペン」): [場名](国名の通称として)カンボジア
 Kampucea (新): [名]カンボジア人、国民
 kampuceaunkur (新): [名]カンボジア語
 kampuceaunkuritak (新)※(「クメール語」とも呼ばれる)
かんぼん(刊本) [名]刊本
 ciiooputuye-kampisos (新)
ガンマせん(ガンマ線) [名]ガンマ線
 gamma-kiay (新)
かんまん(干満) (表現)干満
 satsirarha newa pessirar (新)
かんみ(甘味) [名]甘味
 tópenkera (新): [自]甘味がある
 tópenkerakor (新): [他]～に甘味を与える
 tópenkerakore (新): [名]甘味料
 itopenkerakorep (新)
かんみ(鹹味) [名]鹹味
 runnukera (新): [自]鹹味がある
 runnukerakor (新): [他]～に鹹味を与える
 runnukerakore (新): [名]鹹味料
 irunnukerakorep (新)
かんむり(冠) [名]冠
 sapaumpe (新)、[名]páumpe (新)
カンムリアマツバメ(冠雨燕)(鳥)[名](アマツバメ 亜目)カンムリアマツバメ科
 sapaumpekonruyampecikap-apa (新): [名]カンムリアマツバメ属
 sapaumpekonruyampecikap-cise (新): [名]カンムリアマツバメ
 sapaumpekonruyampecikap (新): [名]イ

ンドカンムリアマツバメ
 iyoskiokkay-ruyampecikap (新): [名]コシラヒゲカンムリアマツバメ
 ponekasi-ruyampecikap (新): [名]シラヒゲカンムリアマツバメ
 ékasi-ruyampecikap (新)
ガンメタル [名]ガンメタル
 puspekani (新)
がんめん(顔面) [場名]顔面
 sirka(-si、-sike) (石狩)、[場名]nánorke (石狩)、[場名]nanka(-si、-sike) (H)
がんやく(丸薬) [名]丸薬
 kusuritak(-u) (新)
かんゆ(肝油) [名]肝油
 rásum (新)、[名]ra (石狩)
かんゆう(勧誘) [自]人を勧誘する
 iniski (iniske) (新): [他]～を勧誘する
 niski (niske) (石狩): [他](場所)で～を勧誘する
 eniski (eniske) (新): [他]～を勧誘する
 koniski (koniske) (新): [他]～と共に～を勧誘する
 koniski (koniske) (新): [他](原因、手段)で～を勧誘する
 oniski (oniske) (新): [他](人)に～を勧誘させる
 niskire (niskere) (新): [他]自分で、一人で～を勧誘する
 yaykoniski (yaykoniske) (新): [他]互いに、皆で～を勧誘する
 ukoniski (ukoniske) (新): [自]勧誘し合う
 uniski (uniske) (新)
かんよう(寛容) [自]寛容である
 isittekka (新): [他]～に寛容である
 sittekka (石狩): [他](人)に～に寛容にさせる
 sittekkare (新)
がんらい(元来) [副]元来
 hoski (石狩)、[副]hoskino (石狩)
かんらんせき(かんらん石)(鉱石)①[名]かんらん石
 orivasuma (新): ②[名](宝石の)かんらん石
 peridot (新)※(英語)
かんり(官吏) [名]官吏
 tono (石狩)、[名]kotankor-eykikur (新)
かんり(監理) [自]監理する
 iirenkaokor (新): [他]～を監理する
 irenkaokor (新): [他](人)に～を監理する
 irenkaokore (新)
かんり(管理) [自]管理する
 isikotte (新)、[自]ikorkar (新)、[自]ikor (新): [他]～を管理する
 sikotte (新)※(目を～につける)、[他]korkar (新)※(～を支配する)、[他]kor (石狩): [他](場所)で～を管理する
 esikotte (新)、[他]ekorkar (新): [他]～と共に～を管理する
 kosikotte (新)、[他]kokorkar (新): [他](原因、手段)で～を管理する
 osikotte (新)、[他]okorkar (新): [他](人)に～を管理させる
 sikaottere (新)、[他]korkare (新): [他]自分で、一人で～を管理する
 yaykosikotte (新)、[他]yaykokorkar (新): [他]互いに、

皆で～を管理する ukosikotte (新)、[他] ukokorkar (新): [他]完全に～を管理する oarsikotte (assikotte) (新)、[他] oarkorkar (arkokar) (新): [他]充分～を管理する sikotteno (sikottenu) (新)、[他] korkanno (korkannu) (新): [他]がっちり～を管理する toykosikotte (新)、[他] toykokorkar (新)

かんりゅう(乾留) [自] 乾 留 する iruysesekokar (新): [他]～を乾留する ruysasakokar (新): [名] 乾 留 液 ciruysesekokarwakka (新)

かんりょう(完了) [自]完了する siokere (石狩): [自]物事を完了する iokere (新): [他]～を完了する okere (石狩): [他](場所)で～を完了する eokere (新): [他]～と共に～を完了する kookere (新): [他](原因、手段)で～を完了する ookere (新): [他](人)に～を完了させる okerere (新): [他]ちょっと、一瞬で完了する okeretek (新): [他]自分で、一人で～を完了する yaykookere (新): [他]互いに、皆で～を完了する ukookere (新): [他]完全に～を完了する okeretek (okettek) (新): [他]充分に～を完了する okereno (okerenu) (新): [他]上手く～を完了する pirkookere (新)

かんりょう(官僚) ①(公務員全般)[名]官僚 tonon (石狩)、[名] kotankor-eykikur (新): [名]官僚機構 kotankor-eykikur-ikir (新): [名]官僚主義 kotankor-eykikur-puri (新): [名]官僚主義者 kotankor-eykikur-purikorkur (新)[名]官僚制 kotankor-eykikur (新): ②(上級ポストの公務員)[名] pásetono (新)、[名] pásekotankor-eykikur (新)、[名] tononetopa (新)、[名] kotankor-eykikurpa (新)

がんりょう(顔料) [名]顔料 somowakkane-iro (新)

かんれき(還暦) (表現)還暦 sine pa ikasma rehotne pa (新)、(表現) sinep ikasma rehotne pa (新)

かんれん(関連) [名](ある)物事との関連 ikot (新): [名]先にある物事との関連 ekot (新): [名]後にある物事との関連 okot (新): [名]相互の関連 ukot (新): [名]先にある物事の相互の関連 eukot (新): [名]後にある物事の相互の関連 oukot (新): [自]関連する ikot (新): [他]～と関連する kot (新): [他]～と～を関連させる kote (新): [自](時間的、空間的、因果的)～の将来、～の先、～の予想される結果が関連する ekot (新)、[他](時間的、

空間的、因果的)～の将来、～の先、～の結果と～を関連させる ekote (新): [自](時間的、空間的、因果的)～の過去、～の後、～の原因が関連する okot (新)、[他](時間的、空間的、因果的)～の過去、～の後、～の原因と～を関連させる okote (新): [自]相互に関連する、関連し合う ukot (新): [他]～を相互に関連させる ukote (新): [自](時間的、空間的、因果的)～の将来、～の先、～の予想される結果が相互に関連する eukot (新)、[他](時間的、空間的、因果的)～の将来、～の先、～の結果と～を相互に関連させる eukote (新): [自](時間的、空間的、因果的)～の過去、～の後、～の原因が相互に関連する oukot (新)、[他](時間的、空間的、因果的)～の過去、～の後、～の原因と～を相互に関連させる oukote (新)

き(気) ①(大気や霊的な気)[名]気 maw(-e) (石狩): ②(気持ち)[名]気 kewtum(-u) (石狩)

き(木) ①[名]木 ni (石狩): ②[名](地面から出た)木の芽 níken (新)、[名] níkem (天塩): [名](枝先の)木の芽 níepuy (níepuyke) (石狩): [名]木に咲く花 níapappo (新)、[名] nínonno (新)、[名] níepuy (níepuyke) (石狩): [名]木の実 níkaop (石狩)、[名] níepuy (níepuyke) (石狩): [名]食べられる木の实 níharu (石狩): [名]木の幹 nítumam (石狩)、[名] nisup (天塩): [名]木の皮 níkap (石狩): [名]木の枝 nítek(-e) (石狩)、[名] níhas (天塩): [名]木の細枝 níca (天塩): [名]木の節 níhom (石狩): [名]木の瘤 nísapa (天塩): [名]木の棘 níay (石狩): [名]木の葉 níham (石狩): [名]木の根 nísinrit (石狩)

きあか(黄赤) [自]黄赤色になる、である sikerpeus-hure (新)、[自] ipeus-hure (新): [他]～を黄赤色にする sikerpeus-hureka (-hurere) (新)、[他] ipes-hureka (-hurere) (新): [名]黄赤色 sikerepeus-hure-iro (新)、[名] ipeus-hure-iro (新)

キアゲハ(黄揚羽)(昆虫)[名](アゲハチョウ属)キアゲハ sikerpepeus-kitomarewrew (新)、[名] marewrew (石狩)

きあつ(気圧) [名]気圧 mawnumpatum(-i) (新)

ギアナ [場名]フランス領ギアナ Furance kor Gúyana (新): (歴史)[場名]イギリス領ギアナ UMM kor Gúyana (新)※(1966年独立) → 「ガイアナ」を見よ

キアブ(木虻)(昆虫)[名](ハエ亜目)キアブ科 nísiraw-apa (新): [名]ケショウキアブ ekousnisiraw (新): [名]ケジロキアブ

numaretannisiraw (新): [名]ホシキアブ
seturukosaknisiraw (新)

キアンコウ(黄鮫鱈) (魚介)[名](アンコウ科)キ
アンコウ属 síperaysok-cise (新): [名]キ
アンコウ síperaysok (新): [名]アメリカ
キアンコウ amerikasiperaysok (新)※(別
名「アメリカンアングラ」): [名]ニシア
ンコウ euoppasiperaysok (新)※(別名
「アングラ」)

キーカレンシー [名]キーカレンシー
ikkewneikonnep (新)、[名] ikkewneikor
(新)

きいろ(黄色) [自]黄色くなる、黄色い
sikerpepeus (幌別)、[自] ipeus (新):
[他]～を黄色くする sikerpepeusi
(sikerpepeuste) (新)、[他] ipeusi
(ipeuste) (新): [名]黄色 sikerpepeus-
iro (新)、[名] ipeus-iro (新): [自]真っ
黄色になる、である sikerpepeusno
(ipeusno) (新)、[自] pirkasikerpepeus
(pirkaipeus) (新)

キーロフ [場名](ロシア連邦沿ヴォルガ連邦
管区の構成主体名)キーロフ州 Kírof-
purovince (新): [場名](キーロフ州の州都
名)キーロフ Kírof (新)

ぎいん(議員) ①[名]議員 ieyaytunuskur
(新): (表現) 名詞+eyaytunuskur (新):
mosir (国) + eyaytunuskur →
mosireyaytunuskur 「国会議員」: ②(特
に衆参議員の略語として)[名]議員
sóusiunkur (新): [名]衆議院議員
iyaykokawarineutar-sousiunkur (新):
[名]参議院議員 "ciyekunipeuyutar-
sousiunkur (新)

きうるし(生漆) [名]生漆 húussi (新)

キエフ ①[場名](ウクライナの首都名)キエフ
Kíif (新): ②(歴史)[場名](国名)キエフ大公
国 Kíif Sínodukekormosir (新)※(882
年頃-1240年。ウクライナ、ベラルーシ、
ロシアにとって最初の統一国家。「キエフ・ル
ーシ」とも呼ばれる)

きえる(消える) ①(人や物、光などに関し
て)[自]消える nin (石狩): (表現)雪が消
える upas nin (石狩): (表現)消えてしま
う nin wa isam (石狩)、(表現) nin wa
oarisam (新): [他](場所)で消える enin
(新): [他]～と共に消える konin (新):
[他](原因、手段)で消える onin (新): [自]
パッと消える nintek (新): [自]自分の意
志で消える yayninka (yayninte) (新):
[自]自然に消える sininka (sininte) (新):
[自]皆消える uninka (uninte) (新):
[自]完全に消える oannin (annin) (新):
[自](明かりが)点いたり消えたりする

ninnin (石狩): ②(火や灯火に関して)[自]
消える us (石狩): (表現)火が消える
ape us (石狩): [他](場所)で消える eus
(新): [他]～と共に消える kous (新):
[他](原因、手段)で消える ous (新): [自]
パッと消える ustek (新): [自]完全に消
える oarus (新): ③(霧などに関し
て)[自](雅語)さっと消える sirkoraye (石
狩): ④(あまりにも大きいため近づくに従
い全体像が視界から)[自]だんだん消えてい
く sikorakakke (石狩): 「村の人口は多
く、村の上手がだんだん消え、村の下手がだ
んだん消えていき…」 “…kotan inne u kotan
pake sikorakakke u kotan kese
sikorakakke…” (杉村キナブック)英雄詞曲:
[自]皆だんだん消えていく ukorakakke
(石狩): 「…金の炉縁、金の敷物が皆だんだ
ん消え…」 “…kani-inumpe, kani-sokkar
ukorakakke…” (杉村キナブック)説話、[…美
しい波また波が皆だんだんと消え “…pirka
kaykay ukorakakke…” (杉村キナブック)神

きおく(記憶) [自]記憶がある yayesikarun
(新): [他]～について記憶がある
koyayesikarun (石狩): [他](原因、手段)
で記憶がある oyayesikarun (新)

キオビジャコウアゲハ(黄帯麝香揚羽) [名](キ
シタアゲハ族)キオビジャコウアゲハ属
sikerpepeuskutkor-muskukitomarewrew-
cise (新): [名]キオビジャコウアゲハ
sikerpepeuskutkor-muskukitomarewrew
(新): [名]オナシキオビジャコウアゲハ
sarsak-sikerpepeuskutkor-
muskukitomarewrew (新)

キオン(黄苑) (植物)[名](キク科)キオン属
oromun-cise (新): [名]キオンの茎葉
kion (新)※(日本語): [名]エゾオグルマの
茎葉 purakina (樺太真岡)※(別名「ハマオ
グルマ」): [名]ケーブアイビーの茎
ivisenekiopunkar (新): コウリンギクの
茎葉 kiuşuoromun 隠語: [名]サワオグ
ルマの茎葉 samorumpurakina (新):
[名]サワギクの茎葉 nayorunkikukina
(新)※(別名「ボロギク」): [名]シロタエギ
クの茎葉 sirokanipurakina (新)※(別名
「ダスティミラー」): [名]タイキンギク
の茎葉 pisunoromun (新): [名]ナルトサ
ワギクの茎葉 repuncireskaprayke (新):
[名]ノボロギクの茎葉
cimuyeapappopurakina (新)※(別名「オキ
ュウクサ」): [名]ハンゴンソウの茎葉
oromun (沙流): [名]ムラサキオグルマの
茎葉 epewrekinapeuspurakina (新): メ
キシコサワギクの茎葉 mexikopurakina
(新)※(別名「メキシコタイキンギク」)

きおん(気温) [名] 気温 sisseseckru(-we) (新)、[名] temperature (新)※(英語): (表現) 気温が上がる sisseseckru (temperature) cirikinte (新)、(表現) sisseseckru (temperature) rikin (新): (表現) 気温が下がる sisseseckru (temperature) ciranke (新)、(表現) sisseseckru (temperature) ran (新): (表現) 気温を上げる sisseseckru (temperature) rikinte (新): (表現) 気温を下げる sisseseckru (temperature) ranke (新): (表現) 気温を計る sisseseckru pakari (新): [名] 室温 tumpuoro-sisseseckru (tumpuoro-temperature) (新): 「気温が5度下がる。」“Sisseseckru 5° (asikne ipak, asikne dekre, asiknep) ciranke (ran).”

きか(帰化) [自] 帰化する asir-mosirunkunne (新): [他] ~に帰化する easir-mosirunkunne (新): [他] ~と共に帰化する koasir-mosirunkunne (新): [他] (原因、手段)で帰化する oasir-mosirunkunne (新): [他] ~を帰化させる asir-mosirunkunneka (asir-mosirunkunnere) (新): [名] 帰化した人 asir-mosirunkur (新): [名] 帰化手続き中の人 iorunkur (新)

きか(気化) [自] 気化する、している mawne (新): [他] ~を気化させる mawneka (mawnere) (新)

きが(飢餓) [自] 飢餓に瀕する cepnoye (石狩): [他] (場所)で飢餓に瀕する ecepnnoye (新): [他] ~と共に飢餓に瀕する kocepnnoye (新): [他] (原因、手段)で飢餓に瀕する ocepnnoye (新): [自] 飢餓に痩せる cepsatke (新)※(樺太新聞)、[自] yaykocaruwen (新)※(樺太新聞): [自] 飢餓で弱り歩く事もままならず這い回る kemesirus (石狩): (表現) 飢餓感を覚える cepnoye hum(-i) yaynure (nu) (新)

ぎか(偽果) (植物)[名] 偽果 sunke-ikaop(-i) (新)

きかい(器械) [名] 器械 cieiwankep (新)

きかい(機会) ① (表現) 機会 ikopirka hi (新): (表現) ~の機会 名詞、名詞句 + kopirka hi (新): (表現) ~する機会 動詞句 + yak pirka hi (新): (表現) ~する機会が訪れる 動詞句 + yak pirka hi an (新): ② [自] 機会を窺う ieyoko (新): [他] (人)に機会を窺わせる ieyokore (新): ③ [自] 機会を逃す iorawki (石狩)、[自] iorawke (天塩): [他] (人)に機会を逃させる iorawkire (iorawkere) (新): (表現) ~の機会を逃す 動詞句 + kuni yaykasure (沙流): 「お前が忙しいので私はこの事を言

う機会を逃した。」“E=montapi kusu tampe ku=ye kuni ku=yaykasure.”

きかい(機械) [名] 機械 cimoyep (新)、[名] mákina (新)※(羅語)

ぎかい(議会) [場名] 議会 ieyaytunususi (新): (表現) ~議会 名詞 + eyaytunususi (新): Hokkaido + eyaytunususi → Hokkaido-eyaytunususi 「北海道議会」

きかいたいそう(器械体操) [自] 器械体操する cieiwankepokewmoye (新)

きかく(企画) [名] 企画 renkap(-i) (沙流)

ギガグラム [名] (重さの単位) ギガグラム gígaguram (新)※(単位記号“Gg”)

きがくるう(気が狂う) [自] 気が狂う ciitasare (石狩): (表現) 気が狂ったように振る舞う ciitasare neno iki (石狩)

きかける(着掛ける) [他] (一方から着物)を着掛ける yaykocupu (石狩)

きがしずむ(気が沈む) (表現) 気が沈む katka konna rennatara (沙流): 「昨日私は気が沈んで何もしたくなかった。」“Numan ku=katka konna rennatara wa nep ku=kar rusuy ka somo ki.”

きがする(気がする) [自] (pokon 節、pekor 節の後で) ~みたいな気がする yaynu (石狩): 「私は少し眠ったみたいな気がした。」“Ponno ku=mokor pokon ku=yaynu.”: [自] (sekor 節の後で) ~という気がする iramu (石狩): [他] (kunak 節の後で) ~のような気がする ramu (石狩): 「君は戻って来ない気がする。」“Somo e=hosipi kunak ku=ramu.”

きがづく(気が付く) ① (意識をなくしていた者が気付く事) [自] 気が付く yayerikarun (石狩)、[自] yayeramuan (yaeraman) (新)※(用例では yayeramu=an しか確認されぬが、今後復元した形を使っていく.): ② (それまで気が付かなかった誰か、何かに気付く事) [自] 人や物事に気が付く ikoeramunin (新)、[自] ieraman (複数 ieramuokay) (新): [他] に気が付く koeramunin (石狩)、[他] eraman (複数 eramuokay) (石狩)、[他] (稀) eramuan (複数 eramuokay) (石狩): [他] ~に少しも気が付かない、全く気が付かない oarkoeramunin (新)、[他] oarerampetek (石狩)、[他] konottayyas (沙流)、[他] koannotayne (沙流): ③ [自] 後になって気が付く、気が付いて後悔する iokapaste (eokapaste) (沙流): [他] (物事)に後になって気付く okapaste (新)

きがつよい(気が強い) ① (良い意味で) [自] 気が強くなる、強い kewtumuniste (新): ② (悪い意味で) [自] 気が強くなる、気が強い kewtumuyupke (新): (表現) 気が強くな

る、強い kewtumu yupke (石狩): [自]人に気が強くなる、強い ikokewtumuyupke (新)、[自] ikoyupke (新): [他](人)に気が強くなる、強い kokewtumuyupke (新)、[他] koyupke (新)

ギガバイト [名](デジタルコンピュータが扱う情報量の単位)ギガバイト gígabait (新)※(単位記号は"GB")

きがはえぬやま(木が生えぬ山) [場名]木が生えぬ山 pekessir(-i) (天塩)

きかはれれする(気が晴れ晴れする) [自]気が晴れ晴れする nucaktek (石狩): [他](人)に気を晴れ晴れさせる nucaktekka (新)

ギガメートル [名](長さの単位)ギガメートル gígametre (新)※(単位記号"Gm")

きがよわい(気が弱い) [自]気が弱くなる、気が弱い kewtumuhawke (新): [自]人に対して気が弱い ikokewtumuhawke (新)、[自] ikohawke (新): [他](人)に対して気が弱くなる、弱い kokewtumuhawke (新)、[他] kohawke (新)

キガリ [場名](ルワンダ共和国の首都名)キガリ Kigari (新)

ギガリットル [名](体積の単位)ギガリットル gígaritre (新)※(単位記号"Gl")

きかん(器官) [場名]器官 serke (新)、[名] organ (新)※(英語)

きかん(旗艦) [名]旗艦 sapanecip (新)

きかん(期間) [位名]~の期間 utur(長形-u、-uke、-ke) (新): (表現)~の一定期間 sineani utur(長形-u、-uke、-ke) (新): [場名]期間 siutur (新)

きかん(機関) ①(エンジンの意味で)[名]機関 tumsankep (新): ②(組織や施設)[名]機関 uekarpa (新)、[名] ciikirikarkarpe (新)、[名] ikir(-i) (新)、[名] organization (新)※(英語): ③(法)[場名]機関 serke (新)、[名] organ (新)※(英語)

きかん(帰還) [自]帰還する hosipi (複数 hosippa) (石狩): [他][他](場所)へ帰還する kohosipire (複数 kohosippa) (石狩): [他]~を帰還させる hosipire (複数 hosippare) (石狩): [他](場所)へ~を帰還させる kohosipire (複数形 koposippare) (石狩)

きかん(気管) [名]気管 sewri (石狩)、[名] oyarekut(-ci) (石狩)、[名] oyakuttom (石狩): [名]気管の入り口 sewripar(-o) (石狩): [名](虫の)気管鰓 sewri-kurki (新)

きがん(祈願) [自]神に祈願する kamuynomi (石狩)、[自] inomi (石狩): [他]~に祈願する nomi (新): [他](場所)で~に祈願する

る enomi (新): [他]~について~に祈願する enomi (新): [他]~と共に~に祈願する konomi (新): [他](原因、手段)で~に祈願する onomi (新): [他](人)に~に祈願させる nomire (新)

きかんし(季刊誌) [名]季刊誌 kespompakampisospo (新)、[名] kespompa-sospo (新)

きかんしゃ(機関車) [名]機関車 tumsanekinneanop (新)

きかんぶ(機関部) (銃の部品) [名]機関部 puspetumam(-a) (新)

きき(危機) ①[名]危機、危機一髪 yayhomusu (沙流): [自]危機に陥る yayhomusu (沙流)、[自] yaykewkor (沙流): [他](人)を危機に陥らせる yayhomusure (新): [自]ひとりでに危機に陥る siyayhomusure (新): ②[自]危機を脱する onumposo (石狩): [他](人)を危機から逃れさせる onumposore (新): [自]一人で危機を脱する yaykoonumposo (新): [自]皆で危機を脱する ukoonumposo (新): [自]ひとりでに危機を脱する sionumposore (新)

きき(喜々) [副]喜々として yayrenka (石狩)、[副] yayrenkane (沙流): (表現)喜々として kiroroan kane (石狩)、(表現) mina kane (石狩)、(表現) kiroroan tura(-no) (石狩)、(表現) mina tura(-no) (石狩): 「私は喜々として家に入った」"Ku=kiroroan kane cise oske ene ku=ahun. (= Kiroroan tura cise oske ene ku=ahun.)"

ききて(聞き手) ①[名]聞き手 inukur (新): ②(聞き手と対で)(表現)聞き手 inu hike (新)

ききながず(聞き流す) (表現)私は~が言う時にそれを聞き流す ~itak hawe ku=nu hita inu ne wa ku=ki (新)

ききまちがえる(聞き間違える) [自]聞き間違える kisaruhaytare (新): (表現)聞き間違える inu uhayta (新): [他]~を聞き間違える ekisaruhaytare (新): (表現)~を聞き間違える nu utayta (新): [他]~を人に聞き間違えさせる ekisaruhaytareyar (新)

ききみをたてる(聞き耳を立てる) [自]聞き耳を立てる ikisattarara (新): [他]~に聞き耳を立てる kisattarara (石狩): [他](人)に~に聞き耳を立てさせる kisattararare (新)

ききめ(効き目) (表現)効き目 ikonupur katu (新): (表現)この薬は効き目がある tan kusuri ikonupur katu an (新): (表現)この薬は私に効き目がある tan kusuri en=konupur katu an (新): (表現)この薬

は風邪に効き目がある tan kusuri
omkekar konupur katu an (新): (表現)こ
の薬は効き目がない tan kusuri ikonupur
katu isam (新)

ききゅう(危急) [名] 危急を知らせる声
pewtanke (石狩)※(悪魔を威嚇し髪を呼ぶ
声。「オホホホーン」と尻上がりに発声): 「…
何事かあったのだろうか? 激しい危急を知
らせる声が次々に上がり…」 “…nekonampe
an hawne ya? wen pewtanke-haw cikirire
…” (杉村キナラブク) 神謡: [自] 危急を知ら
せる声を上げる pewtanke (石狩):
[自] (女が) 危急を知らせる声を上げる
rimimse (石狩)

きぎょう(企業) [場名] 企業 iepirkausi (新)、
[場名] iramekarkoiepirkausi (新)、[名]
firma (新)※(露語)、[名] enterpurise
(新)※(英語)

きぎょう(起業) [自] 起業する iepirkausikar
(新): (表現) 起業する iepirkausi kar
(新): [他] ~を起業する eiepirkausikar
(新): [他] (場所) で起業する
eiepirkausikar (新): [他] ~と共に起業す
る koiepirkausikar (新): [他] (原因、手
段) で起業する oiepirkausikar (新):
[他] (人) に起業させる iepirkausikare
(新): [自] 自分で、一人で起業する
yaykoiepirkausikar (新): [自] 皆で、共に
起業する ukoiepirkausikar (新)

キキョウ(桔梗) (植物) [場名] (合弁植物亜綱) キ
キョウ目 asikne-herapnup-kotan (新):
[名] キキョウ科 asikne-herapnup-apa
(新): [名] キキョウ亜科 asikne-
herapnup-moapa (新): [名] キキョウ属
asikne-herapnup-cise (新): [名] キキョウ
の茎葉 asikne-herapnup (新)、[名]
asikne-herapnukina (新)、[名]
aynumakina (B)、[名] キキョウの花
asikneherap (新): [名] キキョウの根
aynu-mukekasi (B)、[名] aynumuk
(B)※(生薬「桔梗根」): [名] イソトマ属
isotoma-cise (新): [名] キキョウソウ属
asikne-herapnumun-cise (新): [名] シデ
シャジン属 sisammoskarpe-cise (新):
[名] タニギキョウ属 pinaymo-asikne-
herapnup-cise (新): [名] ツリガネニンジ
ン属 móskarpe-cise (新): [名] ツルギキ
ョウ属 asikne-herapnupunkar-cise (新):
[名] ツルニンジン属 topmukpunkar-cise
(新): [名] ヒナギキョウ属 sínokan-
asikne-herapnup-cise (新): [名] ホタルブ
クロ属 ninninkep-pukuruop-cise (新):
[名] ユウギリソウ属 onuman-urartmun-
cise (新): [名] ミゾカクシ亜科

toykakamumun (新): [名] カリケラ科
karikera-apa (新): [名] キク科
kikukina-apa (新): [名] クサトバラ科
munneni-cise (新): [名] スティリディウ
ム科 sutiridium-apa (新): [名] ナガボノ
ウルシ科 repun-imayaykeremun-apa
(新): [名] ブルノニア科 burunonia-apa
(新): [名] ブルノニアの茎葉 burunonia
(新): [名] ユガミウチワ科 pentafrakma-
apa (新)

ききん(基金) [名] 基金 ciioeiwankeikor
(新)、[名] ciioeiwankep (新)、[名] fundo
(新)※(英語)

ききん(飢饉) [名] 飢饉 kem-(i) (石狩)、[名]
kemram-(i) (石狩): [自] 飢饉になる
kemus (石狩)、[自] kemramus (石狩)

きぐ(危惧) [自] 危惧する ieyam (新): [他]
~を危惧する eyam (沙流): 「お前がし
っかり食べているかお前の母親は危惧して
いるんだぞ。」 “Pirkano e=ipe kuni e=unuhu
eyam kor an na.”: [他] (場所) で~を危惧
する eeyam (新): [他] ~と共に~を危惧
する koeyam (新): [他] (原因) で~を危
惧する oeyam (新): [他] (人) に~を危惧
させる eyam (新): [他] 死ぬほど~を危
惧する raykoeyam (新): [他] 滅茶苦茶~
を危惧する toykoeyam (新): [他] (人) の
事で~について危惧する esitomakar (石
狩): 「私は貴方達の事で悪い事態を危惧す
るからこう言うんですよ。」 “Wen kunip
es=esitomakar=an kusu tap ku=ye hawe ne
na.”

きぐ(器具) [名] 器具 cieiwankep (石狩)、[名]
aneiwankep (石狩): (表現) 器具
an=eíwanke p (石狩)

キク(菊) (植物) [名] (キキョウ目) キク科
kikukina-apa (新): [名] キク属
kikukina-cise (新)※(クリサンセマム属と
も): [名] イソギクの茎葉 atuysamun-
kikukina (新): [名] イワインチンの茎葉
iwaincin (新): [名] イワギクの茎葉
iwakikukina (新): [名] オオイワインチ
ンの茎葉 poro-iwaincin (新): [名] オオシ
マノジギクの茎葉 ósamarusamus-
kikukina (新): [名] オキノアブラギクの
茎葉 okisumus-kikukina (新): [名] キク
タニギクの茎葉 setikuspe-kikukina
(新): [名] コハマギクの茎葉 pompisun-
kikukina (新): [名] シマカンギクの茎葉
súmus-kikukina (新)※(別名「アブラギ
ク」): [名] ナカガワノギクの茎葉
nakapetsamun-kikukina (新): [名] ノジ
ギクの茎葉 sisamrusamus-kikukina
(新): [名] ピレオギクの茎葉 pireo-

kikukina (新): [名]リュウノウギクの茎葉 *bonneor-kikukina* (新): [名]ワカサハマギクの茎葉 *wakapisun-kikukina* (新): [名]キクの茎葉 *cikar-kikukina* (新)※(品種): [名]洋菊 *europaunkurkar-kikukina* (新): [名]和菊 *sisamkar-kikukina* (新): [名]アキノキリンソウ属 *konkanikuwa-kikukina-cise* (新): [名]アキノゲシ属 *aynumukkina-cise* (新): [名]アザミ属 *ancami-cise* (新): [名]アゼトウナ属 *siatuyusamusmun-cise* (新): [名]アフリカキンセンカ属 *afrikanupur-kikukina-cise* (新): [名]アレチアザミ属 *wennup-ancami-cise* (新): [名]イズハハコ属 *izuhahako-cise* (新): [名]ウサギギク属 *isepokisar-kikukina-cise* (新): [名]ウスベニニガナ属 *emiria-kikukina-cise* (新): [名]ウスユキソウ属 *muysasmatkina-cise* (新): [名]ウルシニア属 *ursiniakina-cise* (新): [名]エゾギク属 *cina-kikukina* (新): [名]エゾコウゾリナ属 *mékotkisar-kikukina-cise* (新): [名]エゾノチチコグサ属 *pikata-kikukina-cise* (新): [名]オオアザミ属 *miriam-ancami-cise* (新): [名]オオハンゴンソウ属 *síoromun-cise* (新)※(ルドベキア属とも): [名]オオヒレアザミ属 *poroceprapus-ancami-cise* (新): [名]オオモミジカサ属 *sítopenihamkasakorpe-cise* (新): [名]オグルマ属 *karippo-kikukina-cise* (新): [名]オケラ属 *ukera-cise* (新): [名]オナモミ属 *ikarpupu-kikukina-cise* (新): [名]オニタビラコ属 *porociopotokisokina-cise* (新): [名]オランダセンニチ属 *pasxanokkina-cise* (新): [名]ガーベラ属 *gerberakina-cise* (新)※(オオセンボンヤリ属とも): [名]カイザイク属 *ciseyokarpemun-cise* (新): [名]カッコウアザミ属 *kakkok-ancami-cise* (新)※(アゲラタム属とも): [名]カミツレモドキ属 *ciunupirkarepkopa-cise* (新): [名]ガザニア属 *gazaniakina-cise* (新)※(クンショウギク属とも): [名]キオン属 *oromun-cise* (新): [名]クニガナ属 *kixorim-cise* (新): [名]キツネアザミ属 *sunke-ancami-cise* (新): [名]キリンギク属 *apappositu-kikukina-cise* (新): [名]キンセンカ属 *nupur-kikukina-cise* (新): [名]クサヤツデ属 *arwampetkorhamus-kikukina-cise* (新): [名]クラスベディア属 *konkanitamamun-cise* (新): [名]ケントラタルム属 *ciesetarhuranu-ancami-cise* (新): [名]コウオウソウ属 *sikpirkare-kikukina-cise* (新): [名]コウ

ゾリナ属 *isepo-ancami-cise* (新): [名]コウモリソウ属 *siwakkakuttar-cise* (新): [名]コウヤボウキ属 *sisammunnuyepni-cise* (新): [名]コケセンボンギク属 *sinruskikukina-cise* (新): [名]コケタンポポ属 *siranruskunawkina-cise* (新): [名]コゴメギク属 *naporeonhekotemun-cise* (新): [名]コスモス属 *kosmoskina-cise* (新)※(別名「アキザクラ属」): [名]コトブキギク属 *asfarto-rusamusmun-cise* (新): [名]コレオステフス属 *sirkanepaumpé-kikukina-cise* (新)※(キンケイギク属、ハルシャギク属とも): [名]ゴボウ属 *setakorkoni-cise* (新): [名]ゴマギク属 *ikoosiyeyere-kikukina-cise* (新): [名]サワギク属 *yarpe-kikukina-cise* (新): [名]サンシチソウ属 *handama-cise* (新): [名]シオン属 *sionkina-cise* (新)※(アスター属とも): [名]シカギク属 *otapotankina-cise* (新): [名]シュウブンソウ属 *hamsutun-kikukina-cise* (新): [名]シュンギク属 *anekikukina-cise* (新): [名]シヨウジョウハグマ属 *koysuyepkikukina-cise* (新): [名]スイラン属 *tókikukina-cise* (新): [名]ステビア属 *sutevia-cise* (新): [名]センダングサ属 *iscikarakina-cise* (新): [名]センボンヤリ属 *wanatuyopmun-cise* (新): [名]タカサゴトキンソウ属 *siapaporayta-kikukina-cise* (新): [名]タカサブrow属 *amamtoytakur-kopan-kikukina-cise* (新): [名]タケダグサ属 *ponsirkutune-kikukina-cise* (新): [名]タムラソウ属 *aysak-ancami-cise* (新): [名]ダリア属 *dahriakina-cise* (新): [名]タンポポ属 *kunawkina-cise* (新): [名]チョウセンアザミ属 *toyta-ancami-cise* (新): [名]ツルハグマ属 *sambon-cise* (新): [名]ツワブキ属 *rarákkorham-korpe-cise* (新): [名]テンニンギク属 *hoskiamerikaunkurtomte-kikukina-cise* (新): [名]トウヒレン属 *tumus-kikukina-cise* (新): [名]トキンソウ属 *apaporayta-kikukina-cise* (新): [名]ニオイヤグルマ属 *pirkamawkusaykarip-kikukina-cise* (新): [名]ニガナ属 *tesma-cise* (新): [名]ヌマダイコン属 *tósamememo-kikukina-cise* (新): [名]ノゲシ属 *kunaw-ancami-cise* (新): [名]ノコギリソウ属 *nokonoyanit-cise* (新): [名]ノブキ属 *oynamatkina-cise* (新): [名]ハゴロモギク属 *afrika-kikukina-cise* (新)※(アークトチス属とも): [名]パッカリス属 *muysaptepkikuni-cise* (新): [名]ハナカンザシ属

kampiherap-kikukina-cise (新): [名]ハネミギク属 apapporaytakina-cise (新): [名]ハハコグサ属 hahako-cise (新): [名][名]ハマギク属 samorpisun-kikukina-cise (新): [名]ハマグルマ属 otakaereye-kikukina-cise (新): パラモンジン属 kikumukkina-cise (新): [名]ヒイラギク属 sesekkikuni-cise (新): [名]ヒゴタイ属 ruritumus-ancami-cise (新): [名]ヒナギク属 pomponkikukina-cise (新): [名]ヒマワリ属 cupkohekirup-cise (新): [名]ヒマワリヒヨドリ属 kinakoykimawsakmun-cise (新): [名]ヒマワリモドキ属 cicupkohekirupkopa-cise (新)※(ヘリオプシス属とも): [名]ヒメキクタビラコ属 yakusimapon-kikukina-cise (新): [名]ヒメコスモス属 matne-kosmoskina-cise (新)※(ブラキカム属とも): [名]ヒヤクニチソウ属 ohonno-aneramasuymuncise (新): [名]ヒヨドリバナ属 mawsakmatkina-cise (新): [名]ヒレアザミ属 ceprapusancami-cise (新): [名]フキ属 korkoni-cise (新): [名]フキタンポポ属 korhamkunawkina-cise (新): [名]フクオウソウ属 onnetesma-cise (新): [名]ブクリョウサイ属 tamanumkina-cise (新): [名]ブタクサ属 iapappokosiyeayeremun-cise (新): [名]フタナミソウ属 repuysirkunawkina-cise (新): [名]フタマタタンポポ属 tusapakunawkina-cise (新): [名]ブプタルマム属 europa-konkancupkiay-kikukina-cise (新): [名]フランスギク属 margeritenkina-cise (新): [名]ベニディウム属 venidium-kikukina-cise (新): [名]ベニバナ属 ihurekapkina (新): [名]ベニバナボロギク属 hurekutune-kikukina-cise (新): [名]ペリカリス属 perikaris-kikukina-cise (新): [名]ポリムニア属 kamuyruwehamuspe-cise (新): [名]マメカミツレ属 pombotan-kikukina-cise (新): [名]マルバハルシャギク属 mike-cupkikukina-cise (新): [名]ミコシギク属 sikeweri-kikukina-cise (新): [名]ミスミグサ属 raytakikukina-cise (新): [名]ミズヒマワリ属 petsamseskep-cise (新): [名]ミヤマヨメナ属 kimuyyomena-cise (新): [名]ムカシヨモギ属 hopunirusuppe-cise (新)※(ヒメジョン属、エリゲロン属とも): [名]ムギワラギク属 cupkonkanini-cise (新): [名]ムラサキバレンギク属 atuinaw-kikukina-cise (新): [名]メタカラコウ属 nuppuyra-cise (新): [名]メナモミ属

unkerekina-cise (新): [名]メランポディウム属 merampodium-kikukina-cise (新): [名]モクシュンギク属 hasnemargeritenkina-cise (新): [名]モクビャッコウ属 sirokanitakma-cise (新): [名]モミジハグマ属 heunnaymun-cise (新): [名]ヤグルマギク属 aykarip-kikukina-cise (新): [名]ヤナギタンポポ属 numasaksusu-ancami-cise (新): [名]ヤブタバコ属 cikaptampakukina-cise (新)※(ガンクビソウ属とも): [名]ヤブタビラコ属 ciepotokisokina-cise (新)※(学名): [名]ヤブレガサ属 yaskekaskakina-cise (新): [名]ヤマハハコ属 sisirusnoyanit-cise (新): [名]ヤマボクチ属 kimuyseta-korkoni-cise (新): [名]ユリオプス属 koypokafrika-kikukina-cise (新): [名]ユリネア属 jurineamun-cise (新): [名]ヨメナ属 yomena-cise (新): [名]ヨモギ属 noyanit-cise (新): [名]ヨモギギク属 kikuo-noyanit-cise (新): [名]ルリヒナギク属 mawkopirka-rapisrazurikikukina-cise (新)※(フェリシア属とも): [名]ワダンノキ属 wadanni-cise (新)

きく(効く) [自]効く、効いている pirka (石狩): 「この薬はとてもよく効くわ。」“Tan kusuri pirka wa .”

きく(聞く) ①[自]聞く inu (石狩): 「僕は腹が立ってもじっと聞いた。」“Ku=iruska yakka tustekno ku=inu .”: [他]～を聞く nu (石狩、天塩): 「耳を澄ますと女の歌声が聞こえた。」“Ku=inu kor menoko upopo hawe ku=nu .”: [他](場所)で～を聞く enu (新): [他]～と共に～を聞く konu (新): [他](原因、手段)で～を聞く onu (新): [他](人)に聞かせる inure (新): [他](人)に～を聞かせる nure (石狩): 「私があなたにその歌を聞かせましょう。」

“Ne upopo es=nure=an kusune na .”: [他](場所)で(人)に～を聞かせる enure (新): [他]～と共に(人)に～を聞かせる konure (新): [他](原因、手段)で(人)に～を聞かせる onure (新): [他]一瞬～を聞く、～をちょっと聞く nutek (石狩): [他](人)に～をさっと聞かせる、(人)に～をちょっと聞かせる nutekka (新): [他]～をすっかり聞く oannu (annu) (新): [他](人)に～をすっかり聞かせる oannure (annure) (新): [他]人に～を聞かせる、聞いてもらう nuyar (沙流): ②[自]動物からなど普通聞けぬ言葉を聞く ikoinu (石狩): ③[自]聞かないふりをする siramuisamte (新)

キクイモ(菊芋) (植物)[名](ヒマワリ属)キクイ

モの莖葉 munkirikina (新): [名]キクイ
 モの塊茎 munkiri (幌別)

きくじん(麴塵) [自]麴塵色になる、である
 kóji-irone (新): [他]～を麴塵色に染める
 kóji-ironaka (-ironere) (新): [名]麴塵色
 kóji-iro (新)※(中国語)

きくず(木屑) [名]細かい木屑 uype (石狩):
 (表現)細かい木屑 ni uype (ni uypehe)
 (石狩)

ククニガナ(菊苦菜) (植物)[名](キク科)ククニ
 ガナ属 kixorium-cise (新)※(チコリウム
 属とも): [名]ククニガナの莖葉
 toytakixorium (新)、[名]その根
 kixoriumsinrit (新): [名]エンダイブの莖
 葉 endivia (新)※(学名): [名]チコリウ
 ム・プミルムの莖葉 nupkixorium (新)

ク克蘭テロブシス (植物)[名](ウリ科)ククラ
 テロブシス属 kikanteropsis-cise (新):
 [名]ク克蘭テロブシス・パルピフローラの
 茎 pánotukupkar (新)※(パンから生え
 た蔓)

きけん(危険) ①(危険なものを主語に)[自]危険
 である iyaykipte (石狩): [他](場所)で危
 険である eiyaykipte (新): [他]～と共に
 危険である koyaykipte (新): [他](原因、
 手段)で危険である oiyaykipte (新): (表
 現)危険なものになる、である iyaykipte p
 ne (新): [名]危険物 iyaykiptep (新):
 ②(人を主語に)[自]危険な目に遭う
 yayhomusu (沙流): [他](人)を危険な目に
 遭わせる yayhomusure (新): (表現)～
 を危険なものにする iyaykipte p nere
 (新)

きげん(期限) [位名]～の期限 uturkes(長形-
 e、-ke) (新): [場名]期限 siuturkes (新)

きげん(機嫌) [名]機嫌 ram-(u) (石狩):
 ②[自]機嫌が良くなる、機嫌が良い
 ramuriten (石狩): [他]～について機嫌が
 良くなる、機嫌が良い ramuriten (石狩):
 [他](場所)で機嫌が良くなる、機嫌が良い
 eramuriten (新): [他]～に対して、～と共に
 機嫌が良くなる、機嫌が良い koramuriten
 (新): [他](手段)で機嫌が良
 くなる、良い oramuriten (新): [他](人)
 の機嫌が良くさせる ramuritenka
 (ramuritente) (新): [自]自分で、一人で
 機嫌が良くなる、機嫌が良い yaykoramuriten
 (新): [自]互いに、皆で
 機嫌が良くなる、機嫌が良い ukoramuriten
 (新): [自]すっかり機嫌が良くなる、機嫌が
 良い oanramuriten (anramriten) (新):
 [自]凄く機嫌が良くなる、機嫌が良い
 toyoramuriten (新): ③[自]機嫌が悪く
 なる、悪い ramuniste (新): [他](原因、

手段)で機嫌が悪くなる、悪い eramuniste
 (新): ④[自]人の機嫌を損なう
 iramuwente (新): [他](人)の機嫌を損な
 う ramuwente (石狩): [他](人)に(人)の
 機嫌を損なわせる ramuwentere (新):
 ⑤[自]人の機嫌をとる iramupirkare
 (新): [他](人)の機嫌をとる ramupirkare
 (石狩): [他](人)に(人)の機嫌をとらせる
 ramupirkarere (新)

きげん(起源) [名]起源 moto (石狩): (表
 現)どういう起源があるのか? Nékon
 motoho an? (石狩)、(表現) Nékonan
 motoho an? (新): (表現)～に起源がある
 ～ orwa moto an (新): (表現)～の起源を
 探る ～ moto (motoho) uwampare (新):
 [他]～を起源とする emotone (石狩)

きこう(寄港) (表現)寄港する rúhontom
 (rútom) ta tomari ekota yan (複数 yap)
 (新): (表現)～に寄港する rúhontom
 (rútom) ta ～ ekota yan (複数 yap) (新):
 (表現)…の途中～に寄港する …
 hontom(長形-o) ta ～ ekota yan (複数
 yap) (新): (表現)寄港地 rúhontom
 (rútom) ta an=koyan hi (新)

きこう(機構) [名]機構 ciikirikarkarpe (新)、
 [名] iikir(-i) (新)、[名] organization
 (新)※(英語)

きこう(気候) [場名]気候 siruysir(-i) (新):
 [場名](合成語の構成要素として)気候 sir(-
 i) (石狩): [名]気候帯 sisso (sirso)
 (新)

きこう(記号) [名]記号 sirosi (石狩)、[名]
 itokpa (itoppa) (新)

きこうぼん(稀観本) [名]稀観本
 sisakkampisós (新)

きこえぬふり(聞こえぬ振り) (表現)聞こえぬ振
 りをする aspa kisar situtanure
 (itutanure) (石狩): (表現)聞こえぬ耳を
 自分に向けて聞こえぬ振りをしている
 aspa kisar situtanure somo nu pokon an
 (石狩): 「…私は聞こえぬ耳を自分に向けて
 聞こえぬ振りをしている…」 “…aspa kisar
 ay=situtanure somo an=nu pokon okay=an
 …” (杉村キナラブック)英雄詞曲

きこなす(着こなす) [自]衣装を着こなす
 imino (新): [他]～を着こなす míno
 (天塩): [他](場所)で～を着こなす emino
 (新): [他]～と共に～を着こなす komino
 (新): [他](原因、手段)で～を着こなす
 omino (新): [他](人)に～を着こなさせる
 mínore (新): [他]完璧に～を着こなす
 oarmino (armino) (新)

きさい(記載) [他]～を記載する nuye (新):
 [他]～に～を記載する konuye (新): (表

現)文中に～をする itaksay or ～ nuye
(新): (表現)本に～が記載される
kampisoy or ～ an=nuyé (新):

きざみめ(刻み目) [名] 刻み目 citokparu(-we)
(新)、[名] itopparu(-we) (新): [自] 刻み
目を付ける itokpa (itoppa) (石狩): [他]
～に刻み目を付ける tokpa (toppa) (石
狩): [他] ～と共に～に刻み目を付ける
kotokpa (kotoppa) (新): [他] (原因、手
段)で～に刻み目を付ける otokpa (otoppa)
(新): [他] (人)に～に刻み目を付けさせる
tokpare (toppare) (新)

きざむ(刻む) ①(細かく切る事を示し)[自] もの
を刻む ihumpa (新): [他] ～を刻む
humpa (石狩): (表現) ～を細かく刻む
nokanno humpa (石狩): [他] (場所)で～を
刻む ehumpa (新): [他] ～と共に～を刻
む kohumpa (新): [他] (原因、手段)で～
を刻む ohumpa (新): [他] (人)に～を刻
ませる humpare (新): [他] ～を何度も
刻む humpahumpa (石狩): ②(彫刻する
事を示し)[自] ものを刻む inuye (複数
inuypa) (石狩): [他] ～を刻む nuye (複
数 nuypa) (石狩): [他] (原因、手段)で～
を刻む onuye (複数 onuypa) (新):
[他] (人)に～を刻ませる nuyere (複数
nuypare) (新): ③(刻み目を付ける事を示
し)[自] ものを刻む itokpa (itoppa) (石
狩): [他] ～を刻む tokpa (toppa) (石
狩): [他] (原因、手段)で～を刻む otokpa
(otoppa) (新): [他] (人)に～を刻ませる
tokpare (toppare) (新): [他] ～を何度も
刻む tokpatokpa (toppatoppa) (石狩)

きざら(木皿) [名] 木皿 ponnima (八雲)、
[名] nima (石狩)

きし(岸) [場名] 岸 ya (石狩)、[場名] yáke
(石狩): [自] 岸を向く、岸に向かう eyaun
(新): [副] 岸を向いて、岸に eyaun (新)、
[副] eyasi (石狩): [自] 岸から向かってく
る oyaun (新): [副] 岸から oyaun
(新)、[副] eyasiwa (石狩)

きし(騎士) [名] 騎士 ummao-rametokkorkur
(新)、[名] ummaotametok (新)

ぎしき(儀式) ①(宗教色の強いもの)[名] 儀式
iinomikokip (新): ②(宗教色の薄いも
の)[名] 儀式 ipurikokip (新)

きじくつうか(基軸通貨) [名] 基軸通貨
ikkewneikonnep (新)、[名] ikkewneikor
(新)

キシタアゲハ(黄下揚羽) (昆虫)[名] (アゲハチ
ョウ亜科) キシタアゲハ 族
kankanimakunrap-kitomarewrew-utar
(新): [名] キシタアゲハ 属
konkanimakunrap-kitomarewrew-cise

(新): [名] キシタアゲハ
konkanimakunrap-kitomarewrew (新):
[名] アンフリサスキシタアゲハ murayu-
konkanimakunrap-kitomarewrew (新):
[名] コウトウキシタアゲハ mageran-
konkanimakunrap-kitomarewrew (新):
[名] サビモンキシタアゲハ
uotkonkanikutkor-kitomarewrew (新):
[名] パプアキシタアゲハ papua-
konkanimakunrap-kitomarewrew (新):
[名] ハリフフロンキシタアゲハ harifron-
konkanimakunrap-kitomarewrew (新):
[名] バンデポールズキシタアゲハ
vandeporzukonkanimakunrap-
kitomarewrew (新): [名] フィリピンキシ
タアゲハ firipin-konkanimakunrap-
kitomarewrew (新): [名] ブルキシタアゲ
ハ buru-konkanimakunrap-
kitomarewrew (新): [名] ヘレナキシタア
ゲハ herena-konkanimakunrap-
kitomarewrew (新): [名] ボルネオキシタ
アゲハ bonneo-konkanimakunrap-
kitomarewrew (新): [名] アオジャコウア
ゲハ 属 áomuskukitomarewrew-cise
(新): [名] アカエリトリバネアゲハ 属
okusutuhure-cikaprapmarewrew-cise
(新): [名] アケボノアゲハ 属 nisat-
muskukitomarewrew-cise (新): [名] アン
テノールジャコウアゲハ 属 antenor-
muskukitomarewrew-cise (新): [名] ウス
バジャコウアゲハ 属 pekenrapus-
muskukitomarewrew-cise (新): [名] キオ
ビジャコウアゲハ 属 sikerpepeuskutkor-
muskukitomarewrew-cise (新): [名] ジャ
コウアゲハ 属 muskukitomarewrew-cise
(新): [名] トリバネアゲハ 属
cikaprapmarewrew-cise (新): [名] ベニモ
ンアゲハ 属 húrekeso-kitomarewrew-cise
(新): [名] ホソバジャコウアゲハ 属
peranesarus-muskukitomarewrew-cise
(新): [名] マエモンジャコウアゲハ 属
sannokao-muskukitomarewrew-cise (新)

きしつ(基室) [名] (虫の翅の) 基室 saun-
katamsar (新)

きしつ(気質) [名] 気質 kewtum(-u) (石狩)、
[名] sikorekewtum(-u) (新)、[名]
sikorepuri (新)、[名] puri (石狩)

キシナウ [場名] (モルドヴァ共和国の首都名)
キシナウ Kişnaw (新)

きしにあがる(岸に上がる) ①[自] 岸に上がる
yan (複数 yap) (石狩): (表現) 岸に上がる
ya ta yan (複数 yap) (石狩): [他] (場所)の
岸に上がる eyan (複数 eyap) (新)、[他]
koyan (複数 koyap) (石狩): [他] ～と共に

に岸に上がる *koyan* (複数 *koyan*) (新)、
 [他] *turayan* (複数 *turayap*) (新): (表
 現)〜と共に岸に上がる *tura wa yan* (複数
yap) (石狩)、(表現) *tura(-no) yan* (複数
yap) (石狩): [他](場所)から岸に上がる
oyan (複数 *oyap*) (新): [他](原因、手段)
 で岸に上がる *oyan* (複数 *oyap*) (新):
 [自]さっと岸に上がる *yantek* (新): [自]
 岸に上げる *iyanke* (複数 *iyapte*) (新):
 [他]〜を岸に上げる *yanke* (複数 *yapte*)
 (石狩)、[他] *yanayanke* (新): (表現)岸に
 〜を上げる *ya ta yanke* (複数 *yapte*) (石
 狩): [他](場所)の岸に〜を上げる
koyanke (複数 *koyapte*) (石狩): [他]〜
 と共に〜を岸に上げる *koyanke* (複数
koyapte) (新): [他](場所)から〜を岸に上
 げる *oyanke* (複数 *oyapte*) (新):
 [他](原因、手段)で〜を岸に上げる *oyanke*
 (新語 *oyapte*): [他]〜をさっと岸に上げる
yantekka (新): ②[他](中相)〜が岸に打ち
 上がる *ciyanayanke* (石狩): [他]〜を岸
 に打ち上げる *yánayanke* (新): (表現)〜
 を岸に打ち上げる *ya ta yanke* (新):
 ③[自](舟)の舳先が岸に乗り上げる
eyatomciw (石狩): [他](人)に(船)の舳先
 を岸に乗り上げさせる *eyatomciwre*
 (新): [他](中相)(船)の舳先が岸に乗り上が
 る *cieyatomciwre* (新)

きしにつく(岸に着く) [自]岸に着く *yan* (複
 数 *yap*) (石狩): [他]〜を岸に着ける
yanke (複数 *yapte*) (新): [他](雅)(事故も
 なく人)を岸に着ける *eyaun* (石狩)

きしによせる(岸に寄せる) [他]〜を岸に寄せる
yáoranke (石狩)、[他] *yáoraye* (石狩):
 (表現)(炉)の熾を奥にやったり手前にやっ
 たりしながら物思いに耽る様を表し岸の燠を
 沖にやり、沖の燠を陸に寄せる *yáo usat*
répoomante répo usat yáoranke (石狩)、(表
 現) *yáo usat réporaye répo usat yáoraye*
 (石狩)

キジバト(雉鳩) (鳥)[名](ハト科)キジバト属
toytacir-cise (新): [名]キジバト
toytacir (石狩、浦河)、[名] *kúsuyep* (天
 塩)、[名] *kóysuyep* (石狩)

きしめん(きし麺) [名]きし麺 *kisimen* (新)※
 (日本語)

きしゃ(汽車) [名]汽車 *kisa* (石狩)

きしゅ(機種) [名]機種 *sintaikir(-i)* (新)

きしゅ(機首) ①[場名]機首 *sintapake* (新):
 (表現)機首 *sinta pake* (石狩): ②[自](高
 度を上げるため)機首を上げる *hetari*
 (新): [他](場所)で機首を上げる *ehetari*
 (新): [他](場所)へ機首を上げる *kohetari*
 (新): [他]〜と共に機首を上げる *kohetari*

(新): [他](場所)から機首を上げる *ohetari*
 (新): [他](原因、手段)で機首を上げる
ohetari (新): [他](人)が〜の機首を上げる
hetarire (新): [自]ぱっと機首を上げる
hetattek (新): [自]ぐんぐん機首を上げる
hetaritari (新): [自]機首が上がる
sihetarire (新): ③[自](高度を下げるた
 め)機首を下げる *hekaye* (新): [他](人)
 が〜の機首を下げる *hekyere* (新):
 [自]さっと機首を下げる *hekyatekka*
 (新): [自]機首をぐんぐん下げる
hekayekaye (新): [自](高度を下げるため)
 ぐんぐん機首を下げる
hekayekayekaye (石狩): [自]機首が下が
 る *sihekayere* (新)

きしゅ(騎手) [名]騎手 *ummaokur* (新)

きしゅう(奇襲) [自]奇襲する *iramunin-*
kohopuni (複数 *iramunin-kohopumpa*)
 (新): [他](場所)で奇襲する *eiramunin-*
kohopuni (複数 *eiramunin-kohopumpa*)
 (新): [他]〜を奇襲する *koiramunin-*
kohopuni (複数 *koiramunin-kohopumpa*)
 (石狩): [他]〜と共に奇襲する
koiramunin-kohopuni (複数 *koiramunin-*
kohopumpa) (新): [他](原因、手段)で奇
 襲する *oiramunin-kohopuni* (*oiramunin-*
kohopumpa) (新): [他](人)に奇襲させる
iramunin-kohopunire (*iramunin-*
kohopumpare) (新): [自]自分で、一人で
 奇襲する *yaykoiramunin-kohopuni* (複数
yaykoiramunin-kohopumpa) (新): [自]
 皆で奇襲する *ukoiramunin-kohopumpa*
 (新)

キシウしょう(貴州省) [場名](中華人民共和
 国の省名)貴州省 *Kuytōw-purovince* (新)

ぎじゅつ(技術) [名]技術 *cioikareaskaype*
 (新): (表現)〜の技術
an=oiikareaskay pe (新)

きしょく(寄食) (共同体のメンバーとして認
 められるまで)[自]寄食する *iorun* (新):
 [他]〜に寄食する *orun* (新): [他]〜と共
 に寄食する *koiorun* (新): [他](原因、手
 段)で寄食する *oiorun* (新): [他](人)を寄
 食させる *iorunte* (新): [名]寄食者
iorunkur (沙流)

きじりざ(木尻座) [位名]〜の木尻座 *útur*(長形
 -u、-uke、-ke) (沙流): [自]木尻座を向く
eutunne (沙流): [副]木尻座を向いて
eutunneno (沙流)、[副] *eutunnewa* (沙
 流)

ぎしんあんき(疑心暗鬼) [自]疑心暗鬼を生ず
 る *toykoumpepka* (*toykoumpipka*) (新):
 [他]〜に疑心暗鬼を生ぜしめる
toykoumpepkare (*toykoumpipkare*) (新):

[自]互いに疑心暗鬼を生ずる toykoupepka (toykoupipka) (新)

キス [名]キス icoprakote (新)、[名] copse (新)、[名] copcop (新): [自]キスをする copse (幌別)、[自](雅) copnu (幌別): [自]人などにキスをする icoprakote (新): [他]～にキスする coprakote (石狩)、[他] coksekar (幌別)、[他] copnure (萱): [他](場所)で～にキスをする ecoprakote (新): [他]～と共に～にキスをする kocoprakote (新): [他](原因、手段)で～にキスをする ocoprakote (新): [他](人)に～にキスをさせる coprakotere (新)、[他] coksekare (新): [自]キスをし合う ucoprakote (新): [他]互いに愛撫しながらキスをする uhenkotpa-kocopse (新): [自]互いに抱き合っキスをする utumam-kocopse (新): [他]～に心のこもったキスをする、～に愛のこもったキスをする ramkocoprakote (新): [他]～に愛のないキスをする ohacoprakote (新): [他]人に～にキスをさせる coprakoteyar (新): [自]何度もキスをする copcopse (新): [他]～に何度もキスをする copcoprakotere (新): [他](人)に～に何度もキスをさせる copcoprakotere (新): [自]何度もキスをし合う ucopcoprakote (新): [他]激しく～にキスをする toykocopcoprakote (新): [自]陰部や尻にキスをする hocoprakote (新): [他]～の陰部や尻にキスをする ocoprakote (新)

きず(傷) ①[名]傷 pir-(i) (石狩): (表現)(傷が治る常套句)～の小さい傷、大きな傷が盛り上がっていき、くつついていく nokaan pirihi rupne pirihi tuk wa paye uciw wa paye (沙流): [名]傷跡 túpir-(i) (石狩): ②[自]傷が一つつく píroma (石狩): 「私は転んで傷をつくった。」“Ku=esitciw wa ku=piroma.” (門野トサ): [自]傷が幾つもつく、傷だらけになる píro (石狩)、[自] sipireta (新): 「彼の顔に幾つも傷がついている。」“Nankasike píro wa an.”: ③[他]～を傷つける piromare (新): [自]自分を傷つける yaypiromare (新): [自]傷つけ合う、皆を傷つける upiromare (新): [自]人やものを傷だらけにする ipireta (新): [他]～を傷だらけにする pireta (沙流): [他](人)に～を傷だらけにさせる piretare (新): [自]自分を傷だらけにする、傷だらけになる yaypireta (新): [自]互い、皆を傷だらけにする、傷だらけになる upireta (新): (表現)自分が傷を負わせた後を気にする yaypiroka enisomap (沙流): ③[他](樹皮などに)傷を

つける cáca (天塩)

きすい(汽水) [名]汽水 upoyewakka (新): [場名]汽水域 upoyewakkausike (新): [名]汽水魚 upoyewakkatumuncep (新)

きすいしょう(黄水晶) (鉱物)[名]黄水晶 kitrine (新)※(英語)

きすう(奇数) (数学)[名]奇数 ciusarayeeaykap-cipiskip (新): (表現) tup ranke an=usaraye eaykap cipiskip (新)

きせい(寄生) [自]寄生する sireskakar (新)、[自] siresukar (新): [他](場所)に寄生する ereskakar (新): [他]～と共に寄生する koreskakar (新): [他](原因、手段)で寄生する oreskakar (新): [他](何か)に寄生させる sireskakare (新): [名]寄生虫 sireskakarkikir (新)

ぎせき(議席) [名]議席 cieyayetunusso (新) ※(人がそこで政治を行う席)、[名] so (新)

きせつ(基節) [名](虫の脚の)基節 sútunik-(i) (新): [場名]基節窩 cikiruni (cikirunike) (新)

きぜつ(気絶) [自]気絶する ekunnaot (石狩)、[自] nuewnin (石狩)、[自] yaynuturaynu (石狩)、[自] sampetoranne (H): [他]～を気絶させる ekunnaotte (新)、[他] nuewninka (nuewninte) (新)、[他] yaynuturaynure (新)、[他] sampetoranneka (sampetorannere) (新): (表現)気絶しそうになる kempuy pakno yayasikarun (石狩)

きせつ(季節) [場名]季節 pompa (新): (表現)いつも～する季節 動詞+usi (新): 「今年も冬囲いをする季節になった。」 “Tampa ka casi an=asi usi an.”

キセノン (化学)[名]キセノン kusenon (新)※(原子番号54番。元素記号 Xe)

きせる(煙管) [名]煙管 kiseri (石狩)

きせる(着せる) [他](衣服)を人に着せる miyar (新)、[他] unmire (新): [他](人)に衣服を着せる imire (新): (人)に(衣服)を着せる mire (石狩): 「私は貴方にこの服を着せたいの。」“Tan amip es=mire=an rusuy wa.”: [他](場所)で(人)に～を着せる emire (新): [他]～と共に(人)に～を着せる komire (新): [他](原因、手段)で(人)に～を着せる omire (新): [他](人)に素早く～を着せる mítekka (新): [他](雅語)(人)にきちんと～を着せる konoyere (新)

きそ(基礎) [名]基礎 sósinrit-(ci) (新)、[名] cisesumaare (新)

きそう(競う) ①(体力的に)[自]競い合う

uetusmak (石狩): [他](場所)で競い合う
 euetusmak (新): [他]～を競い合う
 ouetusmak (新): [他](人)を競い合わせる
 uetusmakte (uetusmatte) (新): [他]～
 と一番を競う etusmak (石狩): [他]～に
 ついて～と一番を競う oetusmak (新):
 [他](人)に～と一番を競わせる etusmakte
 (etusmatte) (新): [他]～と最下位を競う
 otusmak (新): ②(知的に)[自]人と競う
 irawketupa (新): [他](人)と競う
 rawketupa (新): [他](場所)で(人)と競う
 erawketupa (新): [他](原因、手段)で(人)
 と競う、～を(人)と競う orawketupa (新):
 [他](人)を(人)と競わせる rawketupare
 (新): [自]競い合う urawketupa (石狩):
 [他](場所)で競い合う eurawketupa (新):
 [他](原因、手段)で競い合う、～を競い合う
 ourawketupa (新): [他](人)を競い合わせ
 る urawketupare (新)

きぞく(帰属) [自]帰属する isieiopokte
 (新): [他]～に帰属する sieiopokte (新):
 [他](人)を～に帰属させる sieiopoktere
 (新): [他]自分で、一人で～に帰属する
 yaykosieiopokte (新): [他]互いに、皆で～
 に帰属する ukosieiopokte (新): [他]完
 全に～に帰属する oassieiopokte
 (assieiopokte) (新): [他]人を～に帰属さ
 せる、してもらい sieiopokteyar (新):
 [名]帰属意識 isieiopokte-yayram (新)

きそく(規則) [名]規則 ciukorekunip (新)、
 [名] ukorekunip (新)、[名] puri (石狩)、
 [名] irenka (石狩)、[名] rúre (新)※(英
 語)

きぞく(貴族) [名]貴族 utassapa (utarsapa)
 (新): [名]大貴族 siútassapa
 (siútarsapa) (新)、[名] sínoutassapa
 (sinoutarsapa) (新)

きた(北) [場名]北 koyka(-si、-sike) (新)※
 (知里真志保「アイヌ語法概説」より): [自]
 北を向く、北に向かう ekoykaun (新):
 [副]北向きに、北へ ekoykaun (新)、[副]
 hemakasi (旭川): [自]北から向かってく
 る okoykaun (新): [副]北から
 okoykaun (新)、[副] homakasi (旭川):
 [連体]北の、北に住む、北にある koykaun
 (新): [場名](地名)北アジア Koykaun-azia
 (新)、[場名] Koykaazia (新): [場名](地
 名)北アフリカ Koykaun-afrika (新)、[場
 名] Koykaafrika (新): [場名](地名)北ア
 メリカ Koykaun-amerika (新)、[場名]
 Koykaamerika (新): [場名](地名)北アメ
 リカ大陸 Koykaun-amerika-sisepmosir
 (新)、[場名] Koykaamerika-sisepmosir
 (新): [場名](地名)北ヨーロッパ

Koykaun-europa (新)、[場名]
 Koykaeuropa (新)

きたアイルランド(北アイルランド) [場名](イギ
 リスの構成国の名)北アイルランド
 Koykaun Era (新)※(首府は「ベルファス
 ト」): [名]北アイルランド人 koykaun-
 eraunkur (新)

きたい(期待) [自]物を期待する icipa (石
 狩): [他]～を期待する cipa (石狩):
 [他](場所)で～を期待する ecipa (新):
 [他]～に～を期待する、～と共に～を期待す
 る kocipa (新): [他](原因、手段)で～を
 期待する ocipa (新): [他](人)に～を期待
 させる cipare (新): [他]自分で、一人で
 ～を期待する yaykocipa (新): [他]互い
 に、皆で～を期待する ukocipa (新): [他]
 充分～を期待する cipano (cupanu) (新):
 [他]激しく～を期待する toykocipa (新):
 [他](中相)～が期待される cicipa (新)

きたい(気体) [名]気体 mawnesir (新):
 [自]気体になる、である mawne (新):
 [他]～を気体にする mawneka (mawnere)
 (新)

きたえる(鍛える) [自]物を鍛える kánikik
 (新)※(B辞典の kanikikkur より)、[自]
 kánucikar (K): [他]～を鍛える
 ekanikik (新): [他](場所)で～を鍛える
 eekanikik (新): [他]～と共に～を鍛える
 koekanikik (新): [他](原因、手段)で～を
 鍛える oekanikik (新): [他](人)に～を
 鍛えさせる ekanikikte (新)

きたオセチア(北オセチア) [場名](ロシア連邦北
 カフカース連邦管区の構成主体名)北オセチ
 ア・アラニア共和国 Koykaun Osetiya-
 Araniya Ukotankoremosir (新)※(199
 6年「北オセチア共和国」より改称。首都は
 「ウラジカフカース」)

きたかいきせん(北回帰線) [場名]北回帰線
 koykaun-peketcupsokes (新)

きたかぜ(北風) [名]北風 pikata (旭川)、
 [名] okoykaunrera (新)※(旭川には他に
 omakasrera、pitar という言い方がある。ま
 た番人田吉蝦夷記や藻汐草には matmaw
 とある。地域によってばらつきがある)

きたカフカース(北カフカース) (表現)北カフ
 カース koykaun Kafkas (新): [場名](ロ
 シア連邦の行政区名)北コーカサス連邦管区
 Koykaunkafkas-ukosineatkimosirkor-iwor
 (新)※(本部は「ピャチゴルスク」)

キタキツネ(北狐) (動物)[名](キツネ属)アカギツ
 ネ sumari (新): 亜種[名]アカギツネ
 húre-sumari (新): [名]アナディルギツネ
 anadirun-sumari (新): [名]アナトリアギ
 ツネ anatoriaun-sumari (新): [名]アメ

リカアカギツネ amerikaun-huresumari (新): [名]アラビアギツネ arabiyaun-sumari (新): [名]イベリアギツネ iberiaun-sumari (新): [名]キタキツネ sumari (石狩)、[名] húrep (空知)※(雅語、関連語彙は「キツネ(狐)」の②、③を見よ): [名]ギンギツネ sirokani-sumari (新): [名]シロギツネ retar-sumari (新): [名]グリフィスアカギツネ gúriffitun-huresumari (新): [名]スカンジナビアアカギツネ sukanadinaviaun-sumari (新): [名]ステップギツネ sutepiun-sumari (新): [名]チョウセンアカギツネ cosonun-huresumari (新): [名]フーケンアカギツネ koypokatuuyaun-huresumari (新): [名]ベニキツネ cawcaw (C)※(別名「チシマギツネ」): [名]ホンドギツネ samorun-sumari (新): [名]モンタナアカギツネ montanaun-huresumari (新): [名]ヨーロッパギツネ europaun-sumari (新)

きたく(帰宅) [自]帰宅する cisekohosipi (石狩): [他](場所)に帰宅する ecisekohosipi (新)、[他] kocisekohosipi (新): [他]〜と共に帰宅する kocisekohosipi (新): [他](原因、手段)で帰宅する ocisekohosipi (新): [他]〜を帰宅させる cisekohosipire (新): [自]自分で、一人で帰宅する yaykocisekohosipi (新): [自]互いに、皆で帰宅する ukocisekohosipi (新)

きだて(気立て) [場名]気立ての良さ tuyketok (石狩): [自]気立てが良い tuyketokkor (石狩): "siretokkor"と対で姿も心も美しい様を表現でき、女性の褒め言葉としても最適である。

きたなく(汚く) [自]汚くなる、汚い icakkere (石狩): [他](場所)で汚くなる、汚い eicakkere (新): [他]〜と共に汚くなる、汚い koicakkere (新): [他](原因、手段)で汚くなる、汚い oicakkere (新): [他]〜を汚くする icakkereka (新)、[他] icakkerere (沙流)、[他] icakkere (石狩): [自]滅茶苦茶汚くなる、汚い toykoicakkere (新): [間投](鍋から何かこぼした時など驚いて発する声)汚い acikacika (石狩)、[間投] acikar (石狩): [間投](不潔な物に不快感を表し)汚い icakkere (石狩): [自]汚いと思う cakke (石狩): [他]〜を汚いと思う ecakke (石狩): [他](人)に〜を汚いと思わせる ecakke (新)

キタノウグイ (魚介)[名](ウグイ亜科)キタノウグイ属 mookari-cise (新): [名]キタノウグイ mookari (樺太:タライカ)

キタノユキマス (魚介)[名](コレゴヌス属)キタノユキマス yaun-upascep (新)、[名] maraena (新)※(学名。流通名は他に「シナノユキマス」、「ヒメノウオ」)

きたはんきゅう(北半球) [場名]北半球 cupkaun-sikaricupemko (新)

きちがい(気違い) [名]気違い ciitasarep (石狩)、[名] pakanep (天塩)、[名] pakakarpe (天塩): [自]気違いになる ciitasare (石狩)、[自] pakane (石狩)

キチジソウ(吉祥草) →「フッキソウ(富貴草)」を見よ

きちんと ①[自]きちんとする yaykatanu (石狩): [他](場所)できちんとする eyaykatanu (新): [他]〜に対してきちんとする koyaykatanu (新): [他]〜と共にきちんとする koyaykatanu (新): [他](原因、手段)できちんとする oyaykatanu (新): [他](人)にきちんとさせる yaykatanure (新): [自]自分で、一人できちんとする yaykoyaykatanu (新): [自]互いに、皆きちんとする ukoyaykatanu (新): ②[自]きちんとしない somoyaykatanu (新): [他](場所)できちんとしない esomoyaykatanu (新): [他]〜に対してきちんとしない kosomoyaykatanu (新): [他]〜と共にきちんとしない kosomoyaykatanu (新): [他](原因、手段)できちんとしない osomoyaykatanu (新): [他](人)にきちんとさせない somoyaykatanure (新): [自]自分で、一人できちんとしない yaykosomoyaykatanu (新): [自]互いに、皆きちんとしない ukosomoyaykatanu (新): ③[自]きちんともものが言えない otcine (石狩)

きつえん(喫煙) (表現)喫煙する tampaku (tampako、tampakku)ku (石狩)、(表現) tapaku ku (天塩): [自]喫煙する tampakuku (新): [他](場所)で〜喫煙する etampakuku (新): [他]〜と共に喫煙する kotampakuku (新): [他](原因、手段)で喫煙させる otampakuku (新): [他](人)に喫煙させる tampakukure (新)

きづかう(気遣う) [自]気遣う asanap (沙流): [他]〜を気遣う koasanap (沙流): [他](人)に気遣わせる asanapte (新)

きっかり [副]きっかり sonnopirka (石狩)、[副] upisno (天塩): (表現)きっかり10個ある sonnopirka wampe an (石狩)、(表現) wampe upisno an (天塩)

きつく [自]きつくなる、きつい yupke (石狩)※(対義語は): (表現)性格がきつくなる、きつい kewtumu yupke (石狩)、(表現)

oske wen (石狩): [他](場所)できつくなる、きつい eyupke (新): [他]~と共にきつくなる、きつい koyupke (新): [他](原因、手段)できつくなる、きつい oyupke (新): [他]~をきつくする yupkeka (yupkere) (新): [自]完全にきつくなる、きつい oaryupke (aryupke) (新): [自]充分きつくなる、きつい yupkeno (yupkenu) (新): [自]減茶苦茶きつくなる、きつい toykoyupke (新): [副]きつく yupkeno (石狩)、[副] yupke (石狩)

きづく(気付く) ①[他]~に気付く、気付いている eraman (複数 eramuokay) (石狩)、[他] eramuan (複数 eramuokay) (石狩)、[他](雅語) koeraman (koeramuan) (石狩): 「君の嘘に私達は気付いていたんだよ。」 “E=sunke ci=eraman ruwe ne na .”: [他](場所)で~に気付く、気付いている eeraman (eeramuan) (新): [他]~と共に~に気付く、気付いている koeraman (koeramuan) (新): [他](原因、手段)で~に気付く、気付いている oeraman (oeramuan) (新): [他](人)に~を気付かせる eramante (eramuante) (新): 「私達はこの人達に自分の間違いを気付かせた。」 “Tanokay utar hayta ru ci=eramante rusuy .”: ②[自]もの事に気付かない ikoeramunin (新)、[自] ierampetek (新): [他]~に気付かない koeramunin (石狩)、[他] erampetek (石狩)、[他](雅) koerampetek (石狩): [他](場所)で~に気付かない ekoeramunin (新)、[他] eerampetek (新): [他](原因、手段)で~に気付かない okoeramunin (新)、[他] oerampetek (新): [他](人)に~を気付かせない koeramuninka (新)、[他] erampetekka (新): [他]~に少しも気付かない、全く気付かない oarkoeramunin (新)、[他] oarerampetek (石狩)、[他] konottayas (沙流)、[他] koannotayne (沙流): ③[自]後になって気付く、気付いて後悔する iokapaste (eokapaste) (沙流): [他](物事)に後になって気付く okapaste (新)

きつくしばる(きつく縛る)[自]人やものをきつく縛る itoykosina (新): [他]~をきつく縛る toykosina (石狩): [他](場所)で~をきつく縛る etoykosina (新): [他](場所)に~をきつく縛る kotoykosina (新): [他]~と共に~をきつく縛る kotoykosina (新): [他](原因、手段)で~をきつく縛る otoykosina (新): [他](人)に~をきつく縛らせる toykosinare (新)

きっこう(亀甲) [名] 亀 甲 ecinkewsey

(ecinkesey) (新)、[名] ecinkewhayokpe (ecinkehayokpe) (新)

きっさき(切先) [位名]切先 etok(長形 -o、-oho) (石狩): (表現)刀の切先 emus etok (etoko) (石狩): [他]~の切先を振り上げる erikipuni (石狩): [他]~の切先を振り下ろす eranasuye (新): [他]~の切先を上を逸らす eyaykakasuyre (新): [他]~の切先を下を逸らす eyaypokkasuyre (新): [他]~の切先を脇に逸らす eyaysamkasuyre (新)

キヅタ(木蔦) (植物)[名](ウコギ科)キヅタ属 nípunkar-cise (新): [名]キヅタの茎 nípunkar (新): [名]オカメヅタの茎 kanariasnipunkar (新): [名]セイヨウキヅタの茎 repunnipunkar (新)、[名] hederá (新)※(学名)

きづち(黄土) [名]黄土 sikerpeustoy (新)、[名] ipeustoy (新)

きづち(木槌) [名]木槌 akikni (石狩)、[名] akitni (石狩)

きっちり [自]きっちりする、している pirka (石狩): [他]~をきっちりさせる pirkare (新): [副]きっちり pirkano (石狩)、[副] pirka (石狩)、[副] irammakaka (石狩)、[副] irammakakano (石狩): [副]とてもきっちり wenko (石狩)

きって(切手) ①(郵便切手)[名]切手 itasakampiyar (新)、[名] kampipopo (新): ②(切符切手)[名]切手 itasakampi (新): [名]米切手 siamamtasakampi (新)

きっておとす(斬って落とす) [他](高い所にいる者)を斬って落とす tameranke (石狩): 「…天窓を伝うのを私は斬って落としそうした末に…」 “…rikunsuy eyaypekare pan=tameranke iki ayne…”(砂沢クラ)英雄詞曲

きつと [副]きつと síno (石狩)、[副] sonno (石狩)、[副] sunkesakno (石狩)、[副] néra-anakka (天塩)、[副] néun-neyakka (天塩)、[副] yayramka (沙流)

キツネ(狐) ①(動物)[名](イヌ科)キツネ属 sumari-cise (新): [名]アカギツネ sumari (新)※(亜種名「アカギツネ」は húre-sumari、「キタギツネ」は sumari。→「キタギツネ(北狐)」を見よ): [名]オグロスナギツネ sarakunne-otasumari (新): [名]オジロスナギツネ sararetar-otasumari (新): [名]キツギツネ kit-sumari (新): [名]ケープギツネ kapeun-sumari (新): [名]コサックギツネ mongor-sumari (新): [名]スウィフトギツネ suifto-sumari (新): [名]チベツス

ナギツネ búun-otasumari (新): [名]フエネックギツネ fennek-sumari (新): [名]ブランフォードギツネ buranfordo-sumari (新)※(別名「アフガニスタンギツネ」): [名]ベンガルギツネ bengarun-sumari (新): [名]ホッキョクギツネ koykakesun-sumari (新): →その他ギツネ属以外でギツネと呼ばれる動物については「イヌ(犬)」を見よ ②[名]狐神の首領 situmpe-kamuy (石狩)、[名]狐の首領 situmpe (石狩): [名]狐神 cironnup-kamuy (石狩)、[名] kemakosnekamuy (H)、[名] kemakosnekur (H)、[名] kematunaskur (H): [名](雅語)狐 cironnup (石狩): [名](雅語)白狐 upas-cironnup (石狩): [名]占いをするための狐の頭骨 siratki-kamuy (空知): [名]守り神として家に祀られる狐の頭骨 nimakinekorpe (旭川): ③[自]狐送り húrep-omante (空知): [間投]狐の鳴き声 paw (石狩): [自]狐が鳴く pawse (新)

キツネアザミ(狐薊)(植物)[名](キク科)キツネアザミ属 sunkeancami-cise (新): [名]キツネアザミの茎葉 sunkeancami (新): [名]シロバナキツネアザミの茎葉 eretar-sunkeancami (新)※(キツネアザミの品種)

キツネオオコウモリ(狐大蝙蝠)(動物)[名](オオコウモリ亜科)キツネオオコウモリ esarunesikapap-cise (新): [名]ソロモンキツネオオコウモリ esarunesikapap-tono (新): [名]トガリバナキツネオオコウモリ guadarkanarun-esarunesikapap (新): [名]ブレラロペクス・タキ niwgeorgiaun-esarunesikapap (新): [名]P. フランネリー soromonun-esarunesikapap (新): [名]P. ブルカラ kimun-esarunesikapap (新)

キツネザル(狐猿)(動物)[場名](曲鼻猿亜目)キツネザル下目 sumarisaru-kotankes (新): [場名]キツネザル上科 sumarisaru-apapa (新): [名]キツネザル科 sumarisaru-apa (新): [名]キツネザル亜科 sumarisaru-moapa (新): [名]キツネザル属 sumarisaru-cise (新): [名]アカハラキツネザル honihure-sumarisaru (新): [名]アカビタイキツネザル kiputuruhure-sumarisaru (新): [名]エリクビキツネザル nuysamahure-sumarisaru (新): [名]カッショクキツネザル yayan-sumarisaru (新): [名]カンムリキツネザル sapaumpekor-sumarisaru (新): [名]クロキツネザル kunne-sumarisaru (新): [名]サンフォードキツネザル sanfordo-sumarisaru (新): [名]シロエリクビキツ

ネザル nuysamaretar-sumarisaru (新): [名]シロビタイキツネザル kiputururetar-sumarisaru (新): [名]マングースキツネザル manguste-sumarisaru (新): [名]エリマキキツネザル属 nuysamumpekor-sumarisaru-cise (新): [名]ワオキツネザル属 muririatsarun-sumarisaru-cise (新): [名]ジェントルキツネザル亜科 sitopesumarisaru-apa (新): [名]イタチキツネザル科 sácirisumarisaru-apa (新): [名]インドリ科 indori-apa (新): [名]コビトキツネザル上科 mosumarisaru-apapa (新)

キツネつき(狐憑き)[自]狐憑きになる pawcitusu (石狩)

キツリフネ(黄釣船)(植物)[名](ツリフネソウ属)キツリフネの茎葉 kakkokkina (天塩)、[名] imukina (樺太)※(白浦): [名]キツリフネの花 kakkokkinaapappo (新)、[名] apappokakkok (新): [名]キツリフネの花の蜜腺 kakkokkamtaci (十勝)

キツリンしょう(吉林省) ①[場名](中華人民共和国の省名)吉林省 Círn-purovince (新): ②[場名](吉林省の都市名)吉林 Círn (新)

きてい(奇蹄) ①(動物)[場名](哺乳綱)奇蹄目 ciusarayeeaykapusiskorpe-kotan (新)※(ウマ目とも): ②(生物)[名]奇蹄類 ciusarayeeaykap-usiskorpe utar (新)※(ウマの仲間)

きてい(規定)[自]規定する sinekatkar (新): (表現)～と規定する ～ sekor sinekatkar (新): [他]～を規定する esinekatkar (新): [他](場所)で規定する esinekatkar (新): [他]～と共に規定する kosinekatkar (新): [他](原因、手段)で規定する、～に対して規定する osinekatkar (新): [他](人)に規定させる sinekatkare (新)

キト [場名](エクアドル共和国の首都名)キト Kíto (新)

きどう(起動)[自]起動する simososo (新)、[自] mos (新): [他]～を起動する mososo (新): [他](人)に～を起動させる mososore (新)

きとう(亀頭) ①(陰茎亀頭)[名]亀頭 cisapa (幌別)、[名] cípake (屈斜路)、[名] eomakampe (樺太白浦)、[場名] cietok(-o) (新)※(樺太白浦): [場名]亀頭の先端 cisapakitay(-e、-ke) (新): [場名]亀頭の表側 cisapaka(-si、-sike) (新): [場名]亀頭の裏側 cisapapok(-i) (新): [名]亀頭の裏筋 cisapapokrit(-ci) (新): [名]亀頭溝、亀頭冠 cíkasa (新)、[名] cisapasut(-u) (新)、[名] imasap(-i) (新)※(雁首): ②

(陰核亀頭) 亀頭 *císapa* (新)、[名] *poksampesapa* (新)、[名] *isampeikkew(-e)* (新)、[名](隠) *kamiasisampe* (新)

きなり(生成り) (表現) 生成りである *somo an=retárka* (*somo an=retáre*) (新): (表現) 生成りの糸 *somo an=retárka* (*an=retáre*) *ka* (新): [自] 生成り色になる、である *cisomoretarkap-irone* (*cisomoretarep-*) (新): [他] ~を生成り色にする *cisomoretarkap-ironeka* (*-irone*) (新)、[他] *cisomoretarep-ironeka* (*-re*) (新): [名] 生成り色 *cisomoretarkap-iro* (*cisomoretarep-*) (新)

ギニア [場名](国名) ギニア共和国 *Gíne* *Ukotankoremosir* (新)※(首都は「コナクリ」): [場名](国名の通称として) ギニア *Gíne* (新): [名] ギニア人、国民 *gíneunkur* (新)

ギニアビサウ [場名](国名) ギニアビサウ共和国 *Gínebisaw* *Ukotankoremosir* (新)※(首都は「ビサウ」): [場名](国名の通称として) ギニアビサウ *Gínebisaw* (新): [名] ギニアビサウ人、国民 *gínebisawunkur* (新)

きにいる(氣に入る) [他] ~を氣に入る *eramasuy* (*eramasu*) (石狩、天塩): [他](場所)で~を氣に入る *eeramasuy* (*eeramasu*) (新): [他] ~と共に~を氣に入る *koeramasuy* (*koeramasu*) (新): [他](原因、手段)で~を氣に入る *oeramasuy* (*oeramasu*) (新): [他](人)に~を氣に入らせる *eramasuyre* (*eramasure*) (新): [自] 互いを氣に入る *ueramasuy* (*ueramasu*) (石狩): [他] 激しく~を氣に入る *toykoeramasuy* (*toykoeramasu*) (新)

きにする(氣にする) ①[自] 氣にする *nisomap* (石狩): [他] ~を氣にする *enisomap* (石狩): [他](場所)で氣にする *enisomap* (新): [他] ~と共に氣にする *konisomap* (新): [他](原因、手段)で氣にする *onisomap* (新): [他](人)に氣にさせる *nisomapka* (*nisomapte*) (新): ②(表現) ~を氣にしない *nekon* *somo* *ramu* (石狩): 「街に溢れた喧騒を私は氣にせず眠っていた。」 “*Maciya ciesikte humi, wenhumi nekon* *somo* *ku=ramu* *no* *ku=mokor* *wa* *an* .”: ~を氣にもしない *nekon* *ramu* *ka* *somo* *ki* (石狩): 「君は人目を氣にせず裸になれるかい?」 “*E=nukar=an* *yakka* *nekon* *e=ramu* *ka* *somo* *ki* *no* *e=atusa* *easkay* *ruwe*?”

きになる(木に成る) [自](果実が) 木に成る *níkao* (新)

きにゆう(記入) [他] ~を記入する *nuye*

(石狩): (表現) 必要事項に記入する *cinuye* (*an=nuyé*) *kunihi* *ekota* *inuye* (新)、(表現) *cinuye* (*an=nuyé*) *kunihi* *or* *koinuye* (新): (表現) 必要事項に~を記入する *cinuye* (*an=nuyé*) *kunihi* *ekota* ~ *nuye* (新)、(表現) *cinuye* (*an=nuyé*) *kunihi* *or* ~ *konuye* (新)

きぬ(絹) [名] 絹 *sarampe* (石狩): 限定詞として用いられる場合、絹が舶来の高級品であるため物語に用いられる “*sarampe-kosonte*” 「絹の小袖」、「*sarampe-tumpu*」 「絹の寝室」などの表現では「立派な絹の小袖」、「豪華な絹の寝室」と、「立派な」、「豪華な」というニュアンスを含んでいる。そこから実際の材質を離れた “*sarampe-otopi*” 「~の絹の髪→~の絹の如き素晴らしき髪」という比喩が生まれる。これと同じ使い方をされるものに “*káni* (*káne*)” などがある。: [名] 絹の如き素晴らしい髪 *sarampe-otop(i)* (石狩): 女性の長い髪について用いられる。現在女性用シャンプーの宣伝文句として似たようなものがあるが、アイヌの伝統的な感覚に従えば直毛ではなく波打った髪なので注意が必要。: [名] 絹糸 *sarampeka* (幌別): (表現) 絹糸 *sarampe nuyto* (天塩)

きぬずれ(衣擦れ) [名] 衣擦れの音 *cimipsasum* (石狩)、[名] *imisasum* (新): (表現) 女の衣擦れの音がする *maci kor sasum an* (石狩): [間投] サラ *sas* (石狩): [間投] サラサラ *sasun* (新): [自] サラサラ頻りに音がする *cisasunrototo* (新)、[自] *sasunrototke* (新): [自] サラサラ何度も音がする *sasunatki* (新): [自] サラサラ音がし続ける *sasunitara* (沙流): [自] 一瞬サラと音がする、ちょっとサラと音がする *sastek* (新)

キヌタレガイ(衣垂貝) (魚介)[場名](原鯉垂綱) キヌタレガイ目 *cioinuyepopsey-kotan* (新): [名] キヌタレガイ科 *cioinuyepopapa* (新): [名] キヌタレガイ属 *cioinuyepopsey-cise* (新): [名] キヌタレガイ *cioinuyepopsey* (新)

きね(杵) [名] 杵 *iutani* (石狩)

きのう(昨日) [場名・副] 昨日 *núman* (石狩): (表現) 昨日の朝 *núman kunnano* (石狩)

きのうろ(木の洞) [名] 木の洞 *nisatcise* (石狩)、[名] *nisacise* (石狩)

きのえだ(木の枝) [名] 木の枝 *nítek(-e)* (石狩)、[名] *níhas(-i, -u)* (天塩): [名] 細い木の枝 *níca* (天塩): [名] 木の枝別れ *níukopi* (石狩): [名] 木の枝が分かれる所 *níukonrayey* (*niukonrayey*) (石狩)

きのかわ(木の皮) ①[名] 木の皮 *níkáp(-u)*

(石狩)、[名] niyar(-i) (天塩): [名]剥ぎ取った木の皮 yar(-i) (石狩): [名]木の皮で作った船 yarcip (yatcip) (石狩): [名]木の皮葺きの家 yarkitaycise (石狩)、[名]yarcise (yatcise) (石狩): ②[自]木の皮を削る nikewre (石狩)

きのくだ(木の管) [名]木の管 suyoni (石狩)

キノコ(茸) [名]キノコの総称 karus(-i) (石狩)

きのこぶ(木の瘤) [名]木の瘤 nísapa (天塩): [名]小さい木の瘤 nitomtom(-i) (石狩)

きのすず(木の鈴) [名](簗などの装飾につける)木の鈴 tumus (石狩): [名]木の鈴付き簗 tumuskotpasuy (石狩)

きのね(木の根) [名]木の根 nísinrit(-ci) (石狩): (表現)木の根 ni sinrici (石狩): [場名]木の根元 níous(-i) (石狩)、[場名]níouske (石狩)

きのふし(木の節) [名]木の節 níhom (石狩)

きのぼり(木登り) [自]木登りする nimu (沙流)、[自] nimun (石狩): 木に登る nimu (石狩): [他](人)に木登りさせる nimure (新)、[他] nimunte (新)

キノボリジャコウネコ(木登麝香猫) (動物)[名](ネコ亜目)キノボリジャコウネコ科 mékotmatkarku-apa (新): [名]キノボリジャコウネコ mékotmatkarku (新)※(キノボリジャコウネコ属)

きのぼん(木の盆) [名]木の盆 níita (石狩)

きのみき(木の幹) [名]木の幹 nítumam(-a) (石狩)、[名] nísup(-i) (天塩): [名]木の幹の伸び様 ipasi (H): (表現)幹が真っ直ぐ伸びている ipasi pirka (H): (表現)幹が曲がって伸びている ipasi wen (H)

キノモブス (動物)[名](オヒキコウモリ科)キノモブス属 kinnamon-esetanekapap-cise (新): [名]キノモブス・アブラスス kinnamon-esetanekapap (新): [名]C. グレーンハリ gureenhar-esetanekapap (新): [名]C. パラヌス paraun-esetanekapap (新): [名]C. プラニロストリス koypokun-esetanekapap (新): [名]C. メキシカヌス mexikoun-esetanekapap (新)

きば(牙) ①[名]牙 sikite (石狩): ②[自]牙にかける isikiteorayke (新): [他]～を牙にかける sikiteorayke (新): [他](場所)で～を牙にかける esikiteorayke (新): [他]～と共に～を牙にかける kosikiteorayke (新): [他](原因)で～を牙にかける osikiteorayke (新): [他]～に～を牙にかけさせる sikiteoraykere (新): ③[他]～の牙を抜く síkitesakka (新): [他]～に～の牙を抜かせる síkitesakkare

(新): ④[自](犬が)牙を剥き出していぐむ nikasasa (石狩): 「…一番いぐんでいる犬が牙を剥きだしいぐんでいると…」 “…iyotta niwen seta nikasasa kanan(=kanean) tek…” (杉村キナラブック)説話

キバノロ(牙齦) (動物)[名](シカ科)キバノロ属 sikitenuyuk-cise (新): [名]キバノロ sikitenuyuk (新)

きばら(木原) [名]木原、川端の木原、木の生えた景色の良い所 kenas (石狩)

きばらし(気晴らし) ①(自分で、あるいは一人で)[自]気晴らしをする yaynucaktekka (新)、[自] yaynewsarka (石狩): [他](場所)で気晴らしをする eyaynucaktekka (新)、[他] eyaynewsarka (新): [他]～と共に気晴らしをする koyaynucaktekka (新)、[他] koyaynewsarka (新): [他](原因、手段)で気晴らしをする oyaynucaktekka (新)、[他] eyaynewsarka (石狩)、[他] oyaynewsarka (新): ②(互いに、あるいは皆で)[自]気晴らしをする unucaktekka (新)、[自] unenewsarka (石狩): [他](場所)で気晴らしをする eunucaktekka (新)、[他] eunewsarka (新): [他]～と共に気晴らしをする kounucaktekka (新)、[他] kounewsarka (新): [他](原因、手段)で気晴らしをする onucaktekka (新)、[他] ounewsarka (新): ③[自]人に気晴らしをさせる inucaktekka (新)、[自] inewsarka (新): [他](人)に気晴らしをさせる nucaktekka (新)、[他] newsarka (新): [他](場所)で(人)に気晴らしをさせる enucaktekka (新)、[他] enewsarka (新): [他]～と共に(人)に気晴らしをさせる konucaktekka (新)、[他] konewsarka (新): [他](原因、手段)で(人)に気晴らしをさせる onucaktekka (新)、[他] onewsarka (新)

きびしく(厳しく) ①[自]厳しくなる、厳しい yupke (石狩): (表現)規則が厳しい irenka yupke (八雲): (表現)寒さが厳しい me yupke (八雲): [他](場所)で厳しくなる、厳しい eyupke (新): [他]～に対して厳しくなる、厳しい koyupke (新): [他]～と共に厳しくなる、厳しい koyupke (新): [他](原因、手段)で厳しくなる、厳しい oyupke (新): [他]～を厳しくする yupkeka (新)、[他] yupkere (新): [副]厳しく yupkeno (石狩)、[副] yupke (石狩)、[副] wen (石狩): ②(性格が荒い)[自]性格が厳しい kewtumuyupke (新)、[自]niwen (沙流): (表現)性格が厳しい kewtumu wen (石狩): [自](悪い意味で)性

格が厳しい oskewen (新): (表現)(悪い意味で)性格が厳しい oske wen (石狩): ③(厳格である)[自]厳しい ramuniste (新): ③[自]人を厳しく罰する iwempanakte (新): [他](人)を厳しく罰する wempanakte (石狩): [他]~の事で(人)を厳しく罰する owempanakte (新) きびずをかえす(踵を返す)[自]踵を返す hekomo (石狩): 「あの時君は私を見ると踵を返して立ち去ったね?」“Neyta e=en=nukar kor e=hekomo wa oman wa isam ruwe?”

キビバイト(コンピュ)[名](コンピュータの容量などの単位)キビバイト kībibait (新)※(単位記号は"KiB")

ギビバイト(コンピュ)[名](コンピュータの容量などの単位)ギビバイト gībibait (新)※(単位記号は GiB)

ぎふ(義父)[名]義父 iresucaca (新)、[名] iresuyup(-i, -o) (新)

きふせつ(基附節)[名](虫の脚の)基附節 makun-ureik(-i) (新)

ギフチョウ(岐阜蝶)(昆虫)[名](ウスバアゲハ亜科)ギフチョウ族 gihu-kitomarewrew-utar (新): [名]ギフチョウ属 gihu-kitomarewrew-cise (新): [名]ギフチョウ gihu-kitomarewrew (新): [名]オナガギフチョウ saratannegihu-kitomarewrew (新): [名]シナギフチョウ atuyyaungihu-kitomarewrew (新): [名]ヒメギフチョウ koykaungihu-kitomarewrew (新): [名]シリアアゲハ属 suriya-kitomarewrew-cise (新)

キプロス ①[場名](国名)キプロス共和国 Kipros Ukotankoremosir (新)※(首都は「ニコシア」): [名]キプロス人、国民 kiprosunkur (新): ②[場名](国名)北キプロス・トルコ共和国 Koykaun Kipros Curku Ukotankoremosir (新)※(国際的には未承認。): ③(歴史)[場名](国名)キプロス王国 Kipros Yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(中世キプロス島にあった十字軍国家。1489年ベネチア領となって消滅): ④[場名](地名)キプロス島 Kipros-poysir (新)

きぶん(気分) ①[名]気分 sampe (石狩)、[名] yaynum(-i) (天塩)、[名] hum(-i) (石狩): ②[自]気分が良くなる、良い sampepirka (石狩)、[自] yaynumipirka (新): [他](場所)で気分が良くなる、良い esampepirka (新)、[他] eyaynumipirka (新): [他]~と共に気分が良くなる、良い kosampepirka (新)、[他] koyaynumipirka (新): [他](原因、手段)で

気分が良くなる、良い osampepirka (新)、[他] oyaynumipirka (新): [他]~の気分を良くする sampepirkare (新)、[他] yaynumipirka (新): ③[自]気分が悪くなる、悪い sampewen (石狩)、[自] yaynumiwen (新)、[自] yaynumwen (天塩): [他]~の気分を悪くする、害する sampewente (新)、[他] yaynumiwerte (新)

ぎぼ(義母)[名]義母 iresuunarpe (新)、[名] iresusapo (新)

きぼう(希望) ①(事態の好転を望む事を示し)[名]希望 mawkopirkarusuy (新)、[名] mawkopirka-eisokor (新): [自]希望を持つ mawkopirkarusuy (新)、[自] mawkopirka-eisokor (新): [他]~に関して希望を持つ、(場所)で希望を持つ emawkopirkarusuy (新): [他]~に対し希望を持つ、~と共に希望を持つ komawkopirkarusuy (新): [他](原因、手段)で希望を持つ omawkopirkarusuy (新): [他](人)に希望を持たせる mawkopirkarusuyre (新): [自]自分で、一人で希望を持つ yayko-mawkopirkarusuy (新): [自]皆で、共に希望を持つ uko-mawkopirkarusuy (新): ②(欲求する事を示し)[助動]~する事を希望する rusuy (石狩): 「私もそれへの参加を希望する。」“Kuani ka ekota ku=iopok rusuy.”: [他]~を希望する rusuy (石狩)※(他方言に確認されず、石狩でも廃れた用法なので使用には注意)

きぼうほう(喜望峰)[名](地名)喜望峰 Mawkopirkarusuy-enrum (新)※(アフリカ最南端の岬)

きまずい(気まずい)[自]気まずい思いをする yaynikorosma (石狩): [他]~について気まずい思いをする eyaynikorosma (石狩): [他](場所)で気まずい思いをする eyaynikorosma (新): [他]~と共に気まずい思いをする koyaynikorosma (新): [他](原因、手段)で気まずい思いをする oyaynikorosma (新): [他](人)に気まずい思いをさせる yaynikoromare (新)

きまり(きまり)[自]きまりが悪い yaynikorosma (石狩): [他]~の事できまりが悪い eyaynikorosma (石狩): 「彼は酒に酔って喧嘩してきまりが悪いから来なかった。」“Sakayo wa eyaynikorosma kusu somo ek ruwe ne.”: [他](人)に対してきまりが悪い koyaynikorosima (新)

きまる(決まる)[自]決まる siurenkare (新): [他](中相)~が決まる ciurenkare (新)

きみ(黄身) [名]卵の黄身 nókoro-cup (新)

きみ(君) →目下に対する、あるいは同輩同士のくだけた言葉としては「おまえ(お前)」を見よ、目上に対する言葉、あるいは同輩同士でも礼儀正しい言葉としては「あなた」を見よ。

きみつ(機密) (キリスト教)[名]機密 ciesnap (新)※(正教会)、[名] mistirion (新)※(希語)：[名]聖体機密 cisinupussito-oesinap (新)

きみどり(黄緑) [自]黄緑になる、である pewre-siwnin (新)：[他]～を黄緑にする pewre-siwninka (pewre-siwninte) (新)：[名]黄緑色 pewre-siwnin-iro (新)

キミミコウモリ(黄耳蝙蝠)(動物)[名](アカフルーツヘラコウモリ亜科)キミミコウモリ属 sikerpepeuskapap-cise (新)：[名]チビキミミコウモリ koypokunkisara-sikerpepeuskapap (新)：[名]バンピレッサ・シオネ koykaunkisara-sikerpepeuskapap (新)：[名]V. ニンファエア ruokisara-sikerpepeuskapap (新)：[名]V ビデンス amazonunkisara-sikerpepeuskapap (新)：[名]V. メリッサ merissakisara-sikerpepeuskapap (新)：[名]ブロックキミミコウモリ burokkisara-sikerpepeuskapap (新)

きみよう(奇妙) (表現)奇妙だ katkiko an (石狩)：[自]奇妙に思う ioyamokte (石狩)：[他]～を奇妙に思う ioyamokte (石狩)：[他]～と共に～を奇妙に思う kooyamokte (新)：[他](原因、手段)で～を奇妙に思う ooyamokte (新)：[他](人)に～を奇妙に思わせる oyamoktere (新)

ぎむ(義務) [名]義務 cikiyakeaspe (新)：[助動]～(する)義務がある yakeas (新)：「私達は税金を納める義務がある。」 “Mosirikkew an=kar yakeas .”

キムガンサン(金剛山) [場名](朝鮮民主主義人民共和国の行政区名)金剛山観光地区 Kumgannupuri-inukaromananiwor (新)：[名](地名)金剛山 Kumgan-nupuri (新)※(朝鮮民主主義人民共和国江原道にある山。)

きめる(決める) ① [自]物事を決める iurenkare (新)：[他]～を決める urenkare (石狩)：[他](場所)で～を決める eurenkare (新)：[他]～のために～を決める kourenkare (新)：[他]～と共に～を決める kourenkare (新)：[他](原因、手段)で～を決める ourenkare (新)：[他](人)に～を決めさせる urenkare (新)：[他]ぱっと～を決める tunasurenkare (新)：[他]ぱっと(人)に～を決めさせる tunasurenkare (新)：[他]自分で、一人で～を決める

yaykourenkare (新)：[他]互いに、皆で～を決める ukourenkare (新)：[他]～を人に決めさせる urenkareyar (新)：[自]決まる siurenkare (新)：[他](中相)～が決まる ciurenkare (新)：②[自]落ち着いて考え心を決める kewtumositciwre (石狩)：[他]～について心を決める ekewtumositciwre (新)：[他](場所)で心を決める ekewtumositciwre (新)：[他]～に向けて心を決める kokewtumositciwre (新)：[他]～と共に心を決める kokewtumositciwre (新)：[他](原因、手段)で心を決める okewtumositciwre (新)：[他](人)に心を決めさせる kewtumositciwrere (新)：[他]自分で、一人で心を決める yaykokewtumositciwre (新)：[他]互いに、皆で心を決める ukokewtumositciwre (新)

きもだめし(肝試し) [自]肝試しする yayramunukar (新)：[他](人)に肝試しさせる yayramunukare (新)

きもち(気持ち) ①[名](心、感情、感覚としての)気持ち sampe (石狩)、[名](感情、感覚としての)気持ち yaynum(i) (天塩)、[名](心、感情、考え、意志としての)気持ち ram(-u) (石狩)、[名](考えとしての)気持ち yaynu (石狩)、[名](意志、望みとしての)気持ち irenka (石狩)、[名](心、感情としての)気持ち kewtum(-u) (石狩)：(表現)～の気持ちを抱く 動詞 + kewtum yaykorpore (石狩)：「私は腹立ちの気持ち、怒りの気持ちを抱いて貴方に抗議申し上げる。」 “Iruska kewtum siante kewtum ku=yaykorpore kor es=kocaranke=an hawe tapan na .”：②[自]気持ちが良くなる、良い sampepirka (石狩)、[自] yaynumipirka (新)：[他](場所)で気持ちが良くなる、良い esampepirka (新)、[他] yaynumipirka (新)：[他]～と共に気持ちが良くなる、良い kosampepirka (新)、[他] koyaynumipirka (新)：[他](原因、手段)で気持ちが良くなる、良い osampepirka (新)、[他] oyaynumipirka (新)：[他]～の気持ちを良くする sampepirkare (新)、[他] yaynumipirkare (新)：③[自]気持ちが悪くなる、悪い sampewen (石狩)、[自] yaynumiwen (新)、[自] yaynumwen (天塩)：[他]～の気持ちを悪くする sampewente (新)、[他] yaynumiwerte (新)

きもの(着物) ①[名](体に身に付ける衣服の意味で伝統的な衣装も含め)着物 anmip (石狩)、[名] cimip (石狩)、[名] imi (石狩)、[名] mip(i) (石狩)、[名] cimikunip (石

狩): 「私の着物」はそれぞれ ku=kor anmip、ku=kor cimip、ku=kor imi あるいは ku=imi、ku=mipi、ku=kor cimikunip。: (表現)着物のよれを直す anmip ukotupu (石狩): (表現)~の着物の裾をたくし上げる、まくり上げる ~ mipi ehorkakomo (石狩): [他]~を着物の下に隠す raoukao (石狩): 「これをお前にやるのだから、しっかり着物の下に隠して…」 “Tampe e=kore=an aw ne ciki pirkano raowkao wa …” (杉村キナラブック)説話: ②[自]着物を着る imi (石狩)、[自](雅) imup (新): (表現)着物を着る anmip mi (石狩)、(表現) cimip mi (石狩)、(表現) imi mi (石狩)、(表現) mip(i) mi (石狩)、(表現) cimikunip mi (石狩): (表現)着物をきちんと着る anmip konoye (石狩): [他](人)に着物を着せる imire (新)、[他] imupte (新): ③(表現)着物を脱ぐ anmip ama (石狩)、(表現) cimip ama (石狩)、(表現) imi ama (石狩)、(表現) mip(i) ama (石狩)、(表現) cimikunip ama (石狩)、(表現) cimip úse ama (十勝): ④[名](伝統的な衣装の意味で)着物 cikarkarpe (石狩)、[名] iyoymi (石狩)、[名] cikarkar-iyoymi (石狩)、[名] cikarkarcimikunip (石狩)、[名] cikemekarpe (石狩)

きもん(氣門) [名](虫の)氣門 hesepar(o) (新)

ぎもん(疑問) [名]疑問 iepisi (新)、[名] pisi (新)、[名] ciepisirusuype (新): [名]疑問詞 iepisiitak (新): [名]疑問符 iepisiitokpa (新): [名]疑問文 iepisiitaksay (新)

キヤー [間投](悲鳴)キヤー kiyar (新): [間投](悲鳴)キヤーキヤー kiyarar (新): [自]キヤーキヤー悲鳴をあげる kiyarasse (新)、[自] kiyararse (八雲): [自]キヤーと悲鳴をあげる kiyarkosanu (新): [自]キヤーキヤー頻りに悲鳴をあげる cikianrototo (新)、[自] kiyarrototke (新): [自]キヤーキヤー何度も悲鳴をあげる kiyararatki (新): [自]キヤーキヤー悲鳴をあげ続ける kiyaritarar (新): [自]激しくキヤーキヤー悲鳴をあげる raykiyarasse (新)

きやく(客) ①(訪問者)[名]賓客 maratto (marapto) (石狩): [名]客 anunnispa (天塩)、[名] anunkur (新)、[名] atceunkur (新): [名]遊びに来た人 sinewekur (石狩): ②(消費者)[名]お客様 maratto (marapto) (新): [名]男性客 nispa (新): [名]女性客 katkemat (新)

ぎやくさつ(虐殺) [自]人を虐殺する

itoykoronnu (新): [他]~を虐殺する toykoronnu (新): [他](人)に~を虐殺させる toykoronnure (新)

きやくしゃ(客車) [名](狭義の)客車 aynuo-supop (新): [名](広義の)客車 aynuo-ikinneanop (新)

ぎやくしゅう(逆襲) [自]逆襲する horkahopuni (複数 horkahopumpa) (新): [他](場所)で逆襲する ehorkahopuni (複数 ehorkahopumpa) (新): [他]~に逆襲する kohorkahopuni (複数 kohorkahopumpa) (石狩): [他]~と共に逆襲する kohorkahopuni (複数 kohorkahopumpa) (新): [他](原因、手段)で逆襲する ohorkahopuni (ohorkahopumpa) (新): [他](人)に逆襲させる horkahopunire (horkahopumpare) (新): [自]自分で、一人で逆襲する yaykohorkahopuni (複数 yaykohorkahopumpa) (新): [自]皆で逆襲する ukohorkahopumpa (新): [自]突然逆襲する horkahopuntek (新): [他]突然(人)に逆襲させる horkahopuntekka (新): [他]激しく逆襲する toykohorkahopuni (複数 toykohorkahopumpa) (新)

ぎやくしん(逆進) [自]逆進する horkaoman (複数 horkapaye) (新)、[自] horka (新): [他]~を逆進させる horkaoman (複数 horkapayere) (新)、[他] horkare (horkaka) (新)

きやくせん(客船) [名]客船 aynururacip (新)

ぎやくそう(逆走) [自]逆走する horkahoyupu (複数 horkahoyuppa) (新)、[自] horkacas (新)、[自] horkapas (新): [他]~を逆走させる horkahoyupure (複数 horkahoyuppare) (新)、[他] horkacaste (horkacaska) (新)、[他] horkapaste (horkapaska) (新)

きやくたい(客体) [名]客体 marattonep (maraptonep) (新)、[名] óbiecto (新)※ (英語)

ぎやくたい(虐待) [自]人を虐待する ikorewen (新)、[自] iokpare (新): [他]~を虐待する kórewen (石狩)、[他] okpare (沙流): 「お前達の子供を決して虐待するなよ。」

“Es=kór ekatci eciki kórewen yan!”: [他](場所)で~を虐待する ekorewen (新): [他]~と共に~を虐待する kokorewen (新): [他](原因、手段)で~を虐待する okorewen (新): [他](人)に~を虐待させる kórewente (新)、[他] okparere (新)

ぎやくに(逆に) ①(逆方向に)[副]逆に horka (石狩): (表現)また逆戻りして etopo horka (石狩)、(表現) otopo horka (石

狩)： ②(表裏反対に)[副]逆に kuttoko
(石狩)： (表現)逆になる、なっている
kuttoko ne (石狩)

ぎやくもどり(逆戻り) [自]逆戻りする horka
(H)※(動詞としての用法は合成語の構成要素としてのみ知られるが、今後は独立で用いてもいく)： [他](場所)で逆戻りする ehorka (新)： [他](場所)へ逆戻りする kohorka (新)： [他]～と共に逆戻りする kohorka (新)： [他](場所)から逆戻りする ohorka (新)： [他](原因、手段)で逆戻りする ohorka (新)： [他]～を逆戻りさせる horkare (新)： [副]逆戻りして horka (石狩)： (表現)また逆戻りして etopo horka (石狩、表現) etopo horka (石狩)

ぎやくりゅう(逆流) [自]逆流する horkamom
(新)： (表現)逆流する horka mom (新)： [他]～を逆流させる horkamomte (horkamomka) (新)

きやくりょく(脚力) [名]脚力 cikittum(-i) (新)

きやしや(華奢) [自]華奢になる、である cáne (新)※(細枝・である)、[自] pirkacane (新)、[自] pirkapewan (新)

きятたつ(脚立) [名]脚立 kemanikar (新)※(脚梯子)

ぎゃっこう(逆行) [自]逆行する horkaoman
(複数 horkapaye) (新)、[自] horka (新)： (表現)逆行する horka oman (複数 paye) (新)： [他]～を逆行させる horkaomante (複数 horkapayere) (新)、[他] horkare (horkaka) (新)

キャッチボール [自]キャッチボールする tamanum-ukopeka (新)

きやはん(脚絆) [名]脚半 hos (石狩)： (表現)脚絆を脱ぐ hos ama (石狩)： (表現)脚絆を付ける hos us (石狩)： [名]夏用の脚絆 sakhos (石狩)： (表現)草織の脚絆を己が脛に着ける kinatuyhos eyaypokisiri-karkar (幌別)

キャラウェイ →「ヒメウイキョウ(姫茴香)」を見よ

キャンプ [名]キャンプ kampu (新)※(英語)： [自]キャンプする kampuki (新)

キャンベラ [場名](オーストラリア連邦の首都名)キャンベラ Kambera (新)

きゅう(球) [名]球、球体 tama (新)： [自]球、球体になる、である tamane (新)： [他]～を球、球体にする tamaneka (tamanere) (新)

きゅう(九) ①[名]九人 sinepesaniw (石狩)： (表現)女性九人 menoko sinepesaniw (新)： [連体]九人の sinepesan (石狩)： (表現)九人の女性 sinepesan menoko

(新)： [自]九人になる、である sinepesaniwne (新)： [副]九人で sinepesaniwne (新)： (表現)九人組でする、行動する sinepesaniw-esinepne iki (新)： (表現)九人組で～する sinepesaniw-esinepne ki (新)： (表現)(人)に九人組で～させる sinepesaniw-esinepne kire (新)： [自]九人組になる sinepesaniw-esinepne (新)： [他](人)を九人組にする sinepesaniw-esinepneka (sinepesaniw-) (新)： ②[名]九、九匹、九個など sinepesampe (石狩)： [連体]九の sinepesan (石狩)： [副]九匹で、九個に sinepesampene (新)： (表現)九匹一組でする、行動する sinepesampe-esinepne iki (新)： (表現)九匹一組で～する sinepesampe-esinepne ki (新)： (表現)～に九匹一組で～させる sinepesampe-esinepne kire (新)： [自]九匹、九個一組になる sinepesampe-esinepne (新)： [他]～を九匹、九個一組にする sinepesampe-esinepneka (sinepesampe-) (新)： ③[名・副]九回 sinepesaysuy (新)

きゅういん(吸引) [自]ものを吸引する inuku (新)： [他]～を吸引する nuku (石狩)： [他](場所)で～を吸引する enuku (新)： [他]～と共に～を吸引する konuku (新)： [他](原因、手段)で～を吸引する onuku (新)： [他](人)に～を吸引する nukure (新)： [他]完全に～を吸引する oannuku (annuku) (新)： [他]充分～を吸引する nukuno (nukunu) (新)： [他]滅茶苦茶～を吸引する toykonuku (新)： [他](中相)～が吸引される cinuku (新)

きゅうえん(救援) [自]救援する、救援に行く、来る ikaopas (石狩)、[自] ikaopiwka (新)： [連他]～を救援する、救援に行く、来る kasi-opas (ka-opas) (石狩)、[連他] kasi-opiwka (ka-opiwka) (石狩)： 「私は君を救援する。」 “E=ka=ku=opas.” = “E=kasiopas=an.”、「私は彼(彼女、彼ら)を救援する。」 “Kasi=ku=opas.” = “Ku=kasiopas.”： [他](場所)で～を救援する ekaopas (新)、[他] ekaopiwka (新)： [他]～と共に～を救援する kokaopas (新)、[他] kokaopiwka (新)： [他](原因、手段)で～を救援する okaopas (新)、[他] okaopiwka (新)： [自]人に救援を求める isikaopaste (新)： [他]～に救援を求める sikaopaste (石狩)

きゅうかく(嗅覚) [名]嗅覚 húranuhum(-i) (新)： (表現)嗅覚が鋭い húranuhum(-i) yupke (新)： (表現)嗅覚が鈍い húranuhum(-i) hawke (新)

きゅうかくど(急角度) [場 名] 急 角 度
kuwannoassisikkew(-e) (新)、[場 名]
okuwassisikkew(-e) (新): [位名] ~ の急
角度 kuwannoassisikkew(長形 -e) (新)、
[位名] okuwassisikkew(長形 -e) (新)

きゅうきゅう(救急) [自] 救 急 医 療 を 行 う
tunasikaoyki (新): [名] 救 急 車
tunasikaoyki-karipkorpe (新)、[名]
tunasikaoyki-akamkorpe (新)

きゅうきよ(急遽) [副] 急 遽 tunasno (tunas)
(石狩)、[副] orotunasno (石狩)

きゅうけい(休憩) [自] 休 憩 する poysini
(新): 休 憩 する ponno sini (新):
[他] (場所) で 休 憩 する (新): [他] ~ と 共 に 休
憩 する kopaysini (新): [他] (原因、手段)
で 休 憩 する opoysini (新): [他] ~ を 休 憩
させる poysinika (poysinire) (新): [場
名] 休 憩 時 間 poysinihi (新): [場 名] 休 憩
所 poysiniusi (poysiniuske) (新)

きゅうけつき(吸血鬼) [名] 吸 血 鬼
kemnikamiasi (新)、[名] vampir (新) ※
(ルーマニア語)、[名] upir (新) ※ (ロシア
語)

きゅうし(臼齒) [名] 臼 齒 ikuynimak(-i)
(石狩)

きゅうじ(給仕) [名] (男 性 の) 給 仕
ikoipunikur (新): [名] (女 性 の) 給 仕
ikoipunimenoko (新): [自] 給 仕 する
imekani (石狩)、[自] imekanu (石狩):
[自] 人 に 給 仕 する ikoipuni (複 数
ikoipumpa) (新): [他] (人) に 給 仕 する
koipuni (複 数 koipumpa) (石狩): [他] (場
所) で (人) に 給 仕 する ekoipuni (複 数 形
ekoipumpa) : [他] (原因、手段) で (人) に 給
仕 する okoipuni (複 数 okoipumpa) (新):
[他] (人) に 人 に 給 仕 させる ikoipunire (複 数
ikoipumpare) (新): [他] (人) に (人) に 給 仕
させる koipunire (複 数 koipumpare)
(新)

きゅうし(九死) [自] 九 死 に 一 生 を 得 る
yaykemusi (石狩)、[自] onumposo (石
狩)、[自] enumposore (石狩)

きゅうじつ(休日) [場 名] 休 日 sinito (石狩)

きゅうしゃ(厩舎) [名] 厩 舎 cireskapcise
(新): [名] 馬 の 厩 舎 ummacise (新)

きゅうしゅう(急襲) [自] 急 襲 する hopuntek
(新): [他] ~ を 急 襲 する kohopuntek
(新): [他] (人) に 急 襲 させ する
hopuntekka (新)

きゅうじゅう(九十) ① [名] 九 十 人 waniw
easiknehotnen (新)、[名] waniw ikasma
ínehotnen (新): ② [名] 九 十 匹、九 十 個、
九 十 歳 など wampe easiknehotnep
(wampe ikasma ínehotnep) (新)、[名]
wampe easiknehot (wampe ikasma ínehot)

(新): ③ [連 体] 九 十 の wan easiknehotne
(wan ikasma ínehotne) (新)、[連 体]
wampe easiknehotne (wampe ikasma
ínehotne) (新): (表 現) 九 十 人 の 女 性
wan menoko easiknehotne menoko (wan
menoko ikasma ínehotne menoko) (新)、
(表 現) waniw easiknehotne menoko
(waniw ikasma ínehotne menoko) (新):
(表 現) 九 十 年、歳 wampa easiknehotne pa
(wampa ikasma ínehotne pa) (新)、(表 現)
wampe easiknehotne pa (wampe ikasma
ínehotne pa) (新)

きゅうしょ(急所) [名] 急 所 ehapuri (幌 別):
「 急 所 に は 神 が い る 。 」 “ Ehapuri kamuy
ehorari . ”

きゅうじょ(救助) [自] 人 を 救 助 する、救 助 に 行
く、来 る ikaopas (石狩)、[自] ikaopiwka
(新): [連 他] ~ を 救 助 する、救 助 に 行 く、来
る kasi-opas (ka-opas) (石狩)、[連 他]
kasi-opiwka (ka-opiwka) (石狩): 「 私 達
は 君 達 を 救 助 する 。 」 “ Es=ka=ci=opas . ”、
「 私 達 は 彼 (彼女、彼ら) を 救 助 する 。 」
“ Kasi=ci=opas . ” : [他] (人) に 人 を 救 助 さ
せる ikaopaste (新)、[他] ikaopiwkare
(新): [自] 自 分 で、一 人 で 人 を 救 助 する
yaykoikaopas (新)、[自] yaykoikaoriwka
(新): [自] 互 に、皆 で 人 を 救 助 する
ukoikaopas (新)、[自] ukoikaopiwka
(新): [他] (人) に 自 分 を 救 助 させ する
sikaopaste (石狩)、[他] sikaopiwkare
(新): [自] 人 に 自 分 を 救 助 させ する、し て も ら
う sikaopasyar (新)、[自]
sikaopiwkayar (新): (表 現) 救 助 訓 練 を す
る ikaopas eyayramuska (新)、(表 現)
ikaopiwka eyayramuska (新): [名] 救 助
犬 ikaopas-seta (新)、[名] ikaopiwka-
seta (新): [名] 救 助 銃 ikaopas-puspe
(新)、[名] ikaopiwka-puspe (新): [名]
救 助 船 ikaopascip (新)、[名]
ikaopiwkacip (新): [名] 救 助 隊
ikaopaskuttopa (新)、[名]
ikaopiwkakuttopa (新)

きゅうじょう(球状) [名] 球 状 tamakat (新):
[自] 球 状 に な る、で あ る tamakatne (新):
[他] ~ を 球 状 に す る tamakatneka
(tamakatnere) (新)

きゅうじょうかじょ(毬状花序) [名] 毬 状 花 序
marine-apappoomakat (新)

きゅうしょく(休職) [自] 休 職 する irukaypo-
monraykeosoyne (新)、(新) irukaypo-
nepkiosoyne (新): [他] ~ を 休 職 する
eirukaypo-monraykeosoyne (新)、[他]
eirukaypo-nepkiosoyne (新): [他] ~ と 共
に 休 職 する koirukaypo-monraykeosoyne

(新)、[他] koirukaypo-nepkiosoyne (新) : [他](原因、手段)で休職する oirukaypo-monraykeosoyne (新)、[他] oirukaypo-nepkiosoyne (新) : [他](人)に休職させる irukaypo-monraykeosoynera (新)、[他] irukaypo-nepkiosoynera (新)

きゅうしょく(給食) [名] 給食 ciikopuniipe (新) : [自] 給食する ikoipuni (新) : [他](人)にものを給食する koipuni (新) : [他] 人に～を給食する ikopuni (新) : [他](人)に～を給食する kopuni (新)

きゅうじん(求人) [自] 求人する monraykekoiaskeuk (新) : [他](人)を求人する monraykekoaskeuk (新) : [他](人)に求人させる monraykekoiaskeukte (新) : [他](中相)～が求人される cimonraykekoaskeuk (新) : [名] 求人情報 monraykekoiaskeuk-asur (新) : [名] 求人情報誌 monraykekoiaskeuk-asursospo (新)

きゅうす(急須) [名] 急須 cákarpe (新)

きゅうすい(給水) [自] 給水する iwakkakore (新) : [他] ～へ給水する wakkakore (新) : [他](原因、手段)で～へ給水する owakkakore (新) : [他](人)に～へ給水させる wakkakorere (新) : [名] 給水車 iwakkakore-karipkorpe (新)

きゅうせき(旧跡) [場名] 旧跡 onne-siasurasteusi (新)

きゅうせつもうかん(急設網艦) [名] 急設網艦 yáturiri-cip (新) : [名] 特設急設網艦 citumicipnere-yaturiricip (新) : [名] 急設網艦 yáturiri-cippo (新)

きゅうそく(休息) [自] 休息する sini (石狩)、[自] yaysinire (石狩) : [他](場所)で休息する kosini (石狩)、[他] esini (新) : [他] ～と共に休息する kosini (新) : [他](原因、手段)で休息する osini (新) : [他](人)を休息させる sinire (新) : [自] 自分で、一人で休息する yaykosini (新) : [自] 互いに、皆で休息する ukosini (新) : [名] 充分休息する sininu (新) : [自] 休息し過ぎる sinikasuy (新) : [自] 減茶苦茶休息する toykosini (新)

きゅうそくれいとう(急速冷凍) [他] ～を急速冷凍する tunasrupuska (新)

きゅうたい(球体) [名] 球体 tama (新)、[名] tamanep (新) : [自] 球体になる、である tamane (新) : [他] ～を球体にする tamaneka (tamanere) (新)

きゅうである(急である) ① (地形に関して)[自] 急である kuwannoas (石狩)、[自] okuwas (天塩)※(今後は何かの角度についてもこれらの語を用いる。) : (表現) 急な坂

道 kuwannoas ru (石狩) : (表現) ～の角度が急である sikkew kuwannoas (新) : [他] ～を急にする kuwannoaska (新)、[他] okuwaska (新) : ② (思いがけぬ事に関して)(表現) 急であるから ekuskono (ekuskonno) an pe ne kusu (新)、(表現) nisapno an pe ne kusu (新)

きゅうでん(宮殿) [名] 宮殿 ierokcise (新)、[名] iehorarpa-cise (新)※(あれ(皇族、王族)がそこにおられる家)、[名] parace (新)※(英語)

きゅうとう(急騰) [自] 急騰する rikekatta (新)、[自] cirikekatta (新) : [他](場所)で急騰する erikekatta (新) : [他] ～と共に急騰する korikekatta (新) : [他](原因、手段)で急騰する orikekatta (新) : [他] ～を急騰させる rikekattare (新)

きゅうとう(給湯) [自] 給湯する isesekwakka-kore (新) : [他] ～へ給湯する sésekwakka-kore (新) : [他](原因、手段)で～へ給湯する osesekwakka-kore (新) : [他](人)に～へ給湯させる sésekwakka-korere (新) : [名] 給湯器 isesekwakka-korep (新)、[名] wakkasesekkap (新)

きゅうどじん(旧土人) (歴史) [名] 旧土人 dojinnerokutar (新) : [名] 旧土人保護法 dojinnerokutar-epunkineirenka (新)

きゅうなん(救難) [自] 人を救難する、救難に行く、来る ikaopas (石狩)、[自] ikaopiwka (新) : [連他] ～を救難する、救難に行く、来る kasi-opas (ka-opas) (石狩)、[連他] kasi-opiwka (ka-opiwka) (石狩) : 「私達は君達を救難する。」 “Es=ka=ci=opas.”、“私達は彼(彼女、彼ら)を救難する。” “Kasi=ci=opas.” : [他](人)に人を救難させる ikaopaste (新)、[他] ikaopiwkare (新) : [自] 自分で、一人で人を救難する yaykoikaopas (新)、[自] yaykoikaoriwka (新) : [自] 互いに、皆で人を救難する ukoikaopas (新)、[自] ukoikaopiwka (新) : [名] 救難銃 ikaopas-puspe (新)、[名] ikaopiwka-puspe (新) : [名] 救難船 ikaopascip (新)、[名] ikaopiwkacip (新) : [名] 特設救難船 citumicipnere-ikaopascip (新) : [名] 救難浮標 ikaopas-apa (新)、[名] ikaopiwka-apa (新)

きゅうに(急に) ① [副] 急に nisapno (石狩)、[副] nisap (天塩) : ② [副] 急に ekuskono (ekuskonno) (石狩)、[副] ekuskonna (天塩)、[副] (雅語) monekuskono (monekuskonno) (石狩)※ (“nisapno”も“ekuskono”も予想外の事態の発生に用いられほぼ同じ意味なのだが、前者が客観的描写に用いる事ができるのに対し、後

者は驚きの感情を込められる点で違いがある): ③[接尾](擬声、擬態の語根に接尾して一回態の自動詞を形成し)急に～する -kosanu (石狩)、[接尾] -kosampa (石狩) ※(今日まで -kosampa の使用例は石狩方言で稀であるが、今後はどちらを用いても良いとする。): ray (動かなくなる事を意味する語根) + kosanu → raykosanu = raykosampa 「急に静まりかえる」: ④[接尾](場所を示す名詞と結びつき自動詞を形成し)急に～する -ekatta (旭川): rik (高い所) + ekatta → rikekatta 「急に上がる」: (表現)急に～する ci + 位置名詞など + ekatta (空知、旭川): ci + soy(～の外) + ekatta → cisoyekatta 「急に飛び出す」: [自]急に上に上がる rikekatta (石狩)、[自]ciri-ekatta (新)、[他]～を急に上げる rikekatta (新): [自]急に下に下がる raekatta (新)、[自]ciraekatta (新)、[他]～を急に下げる raekatta (石狩): [自]急に外へ出る soyekatta (石狩)、[自]cisoyekatta (石狩)、[他]～を急に外へ出す soyekatta (石狩): [自]急に中に入る awakatta (新)、[自]ciawekatta (新)、[他]～を急に中に入れる awakatta (新)

ぎゅうにゅう(牛乳) [名]牛乳 pekotope (石狩)

キューバ [場名](国名)キューバ共和国 Kúba Ukotankoremosir (新)※(首都は「ハバナ」): [場名](国名の通称として)キューバ Kúba (新): [名]キューバ人、国民 kúbaunkur (新):

きゅうばん(吸盤) ① [名]吸盤 ikotukakam (新)、[名](合成語の要素として) akam (新): ② [名](イカ、タコの吸盤 tomtom(-i) (新)

きゅうみん(休眠) [自]休眠する mokorkosini (新): (表現)休眠する sini wa mokor (新)

きゅうみん(休眠) [自]休眠する mokor (新): (表現)休眠する sini kusu mokor (新): (表現)休眠している mokor kane(kor) an(複数 okay) (新): (表現)休眠言語 mokor kane(kor) an itak (新)

きゅうめい(究明) [自]究明する iarpekerka (新)、[自] iarpekere (新): [他]～を究明する arpekerka (新)、[他] arpekere (新): [他](場所)で～を究明する earpekerka (earpekere) (新): [他]～と一緒に～を究明する koarpekerka (koarpekere) (新): [他](原因、手段)で～を究明する oarpekerka (oarpekere) (新): [他](人)に～を究明させる arpekerkare (arpekerere) (新): [他]自分で、一人で～を究明する yaykoarpekerka

(新): [他]皆で～を究明する ukoarpekerka (新): [他]完全に～を究明する oararpekerka (oararpekere) (新): [他]充分に～を究明する arpekerkano (arpekerkanu) (新)、[他] arpekerkano (arpekerenu) (新): [他]～を究明しまくる toykoarpekerka (toykoarpekere) (新): [他](中相)～が究明される ciarpekerka (ciarpekere) (新)

きゅうゆ(給油) [自]給油する isumkore (新): [他]～へ給油する sumkore (新): [他](場所)で～へ給油する esumkore (新): [他]～と共に～へ給油する kosumkore (新): [他](原因、手段)で～へ給油する osumkore (新): [他](人)に～へ給油させる sumkorere (新): [名]給油艦 isumkorecip (新): [名]給油機 isumkore-sinta (新): [場名]給油取扱所、給油所 isumkoreusi (新)

きゅうよう(休養) [自]休養する yaysinire (石狩)、[自] sinino (sininu) (新): [他](場所)で休養する yaysinire (新)、[他] esinino (esininu) (新): [他](場所)に行つて休養する yaykosinire (石狩)、[他] kosinino (kosininu) (新): [他]～と共に休養する yaykosinire (新)、[他] kosinino (kosininu) (新): [他](原因、手段)で休養する yayosinire (新)、[他] osinino (osininu) (新): [他]～を休養させる yaysinirere (新)、[他] sininore (sininure) (新): [自]皆で休養する usinire (新)、[自] ukosinino (ukosininu) (新)

きゅうらく(急落) [自]急落する raekatta (新)、[自] ciraekatta (新): [他](場所)で急落する eraekatta (新): [他]～と共に急落する koraekatta (新): [他](原因、手段)で急落する oraekatta (新): [他]～を急落させる raekattare (新)

キュウリ(胡瓜) (植物)[名](ウリ科)キュウリ亜連 kiuripunkar-moutar (新): [名]キュウリ属 kiuripunkar-cise (新): [名]キュウリの茎 kiuripunkar (新)、[名]その果実 kiuri (新)※(日本語): [名]キワノの茎 ayus-merompunkar (新)、[名]その果実 ayus-meron (新)、[名] kiwano (新)※(英語。別名「ツノメロン」): [名]ククミス・フミフルクトウスの茎 toyputa-kiuripunkar (新)、[名]その地下果実 toyputa-kiuri (新): [名]ククミス・ミリオカルプスの茎 irimerompunkar (新): [名]ニシインドコキュウリの茎 amerikapon-kiuripunkar (新)、[名]その果実 amerikapon-kiuri (新): [名]メロンの

莖 merompunkar (新)、[名]その果実 meron (新)

きゅうりゅう(急流) [名]急流 puyra (石狩): (表現)急流に落ちる puyra tum osma (石狩)

きゅうりょう(給料) ①[名]給料 puma (石狩): ②[自]給料を受け取る pumauk (複数 pumauyna) (新): (表現)給料を受け取る puma uk (新): [他](場所)で給料を受け取る epumauk (複数 epumauyna) (新): [他]～と共に給料を受け取る kopumauk (複数 kopumauyna) (新): [他]～から給料を受け取る opumauk (複数 opumauyna) (新): [他](原因、手段)で給料を受け取る opumauk (複数 opumauyna) (新): [他](人)に給料を受け取らせる pumaukte (複数 pumauynare) (新): ③[自]給料を払う pumakar (石狩): (表現)給料を払う puma kar (新): [他](場所)で給料を払う epumakar (新): [他]～に給料を払う kopumakar (新): [他]～と共に給料を払う kopumakar (新): [他](原因、手段)で給料を払う opumakar (新): [他](人)に給料を払わせる pumakare (新)

キュラソー [場名] [地名] キュラソー島 Kurasao(ˈpoysir) (新)

キュリウム (化学) [名] キュリウム kúrium (新)※(原子番号96番。元素記号 Cm)

きょう(器用) (手先に関して) [場名] 器用さ teketok (石狩): [自] 器用である teketokkor (石狩)、[自] monianno (石狩): [名] 器用な人 teketokkorkur (石狩)、[場名] teketok (石狩): [名] 器用な女性 tekeaskar (石狩)

キョウ(貴陽) [場名] (中華人民共和国貴州省の省都名) 貴陽 Kuyyan (新)

ぎょう(業) (表現)～業 事業内容を示す名詞+ epirkausi (新): cisekar(建築)+epirkausi → cisekar+epirkausi 「建築業」: (表現)建築業を営む cisekarepirkausi kor (新)

きょうあく(凶悪) [連体] 凶悪な sirun (石狩)、[連体] sirunwen (siruwen) (新): [名] 凶悪事件 sirun-cikip (新)、[名] sirunwen-cikip (siruwen-cikip) (新)、[名] rorumpe (新): [名] 凶悪犯罪 sirun-irenkawente (新)、[名] sirunwen-irenkawente (siruwen-irenkawente) (新)

きょうアルカリ(強アルカリ) (化学) [名] 強アルカリ arkariyupke (新)

きょういく(教育) ① [自] 人を教育する ipakasnu (石狩)、[自] icakasnu (新): [他](人)を教育する pakasnu (石狩)、[他] cakasnu (天塩)、[他] cakoko (浦河、十

勝): [他]～について(人)を教育する epakasnu (石狩)、[他] ecakasnu (天塩)、[他] ecakoko (浦河、十勝): [他](場所)で(人)を教育する epakasnu (ecakasnu) (新): [他]～と共に(人)を教育する kopakasnu(kocakasnu) (新): [他](原因、手段)で(人)を教育する opakasnu (ocakasnu) (新): [他](人)に(人)を教育させる pakasnure(cakasnure) (新): [他] 自分で、一人で(人)を教育する yaykopakasnu (yaykocakasnu) (新): [他] 皆で(人)を教育する ukopakasnu (ukocakasnu) (新): [他] 充分(人)を教育する pakasnuno(cakasnuno) (新)、[他] pakasnuno(cakasnuno) (新): [他] しっかり(人)を教育する pirkapakasnu (pirkacakasnu) (新): [他] 真剣に(人)を教育する ramkopakasnu (ramkocakasnu) (新): [他] がっちり(人)を教育する、ぎゅーぎゅー(人)を教育する toykopakasnu (toykocakasnu) (新): [他] 完璧に(人)を教育する earpakasnu (eatcakasnu) (新): [他] ほとんど(人)を教育しない、ろくに(人)を教育しない canampakasnu (canancakasnu) (新):

②[自] 全く知らない事を教育する yayrap (新): [他]～について全く知らない事を教育する eyayrap (新): [他](人)に全く知らない事を教育する koyayrap (新): [他]～について(人)に全く知らない事を教育する ekoyayrap (美幌): [他](人)に全く知らない事を教育させる yayrapka (yayrapte) (新)

きょういくいいんかい(教育委員会) [場名] 教育委員会 ipakasnu(korkurusi) (新)

きょうおう(饗応) [自] 人を饗応する iemarattokor (新): [他]～を饗応する emarattokor (沙流): [他]～に～を饗応させる emarattokore (新): [名] 饗応役 sakesankekur (石狩)

キョウオウ(姜黄) (植物) [名] (ウコン属) キョウオウの茎葉 kioowkina (新): [名] キョウオウの根、姜黄 kioow (新)、[名] wayrut-turmerik (新)、[名] paykar-ukon (新)

きょうか(強化) ①(人に関して) [他](人)を強化する tumkore (新)、[他] tumnure (新): [他]～に関して(人)を強化する etumkore (新)、[他] etumnure (新): [他](場所)で(人)を強化する etumkore (新)、[他] etumnure (新): [他]～に対して～を強化する kotumkore (新)、[他] kotumnure (新): [他]～と共に～を強化する kotumkore (新)、[他] kotumnure (新): [他](原因、手段)で～を強化する otumkore

(新)、[他] otumnure (新): [他](人)に(人)を強化させる tumkorere (新)、[他] tumnurere (新): ②(物に関して)[他]～を強化する nisuramneka (nisuramnere) (新)、[他] nisteka (nistere) (新): [他]～に関して～を強化する enisuramneka (enisuramnere) (新)、[他] enisteka (enistere) (新): [他](場所)で～を強化する enisuramneka (enisuramnere) (新)、[他] enisteka (enistere) (新): [他]～に対して～を強化する konisuramneka (konisuramnere) (新)、[他] konisteka (konistere) (新): [他]～と共に～を強化する konisuramneka (konisuramnere) (新)、[他] konisteka (konistere) (新): [他](原因、手段)で～を強化する onisuramneka (onisuramnere) (新)、[他] onisteka (onistere) (新): [他](人)に～を強化させる nisuramnekare (nisuramnerere) (新)、[他] nistekare (nisterere) (新)

きょうか(教科) [名]教科 cieipakasnup (新)、[名] cieipakasnukunip (新)

きょうか(英果) (植物)[名]英果 mame-ikaop(-i) (新)

きょうかい(協会) [名]協会 uekarpaus (新)、[名] iouekarpaus (新)、[名] association (新)※(英語): [名]協会員 uekarpausunkur (新)、[名] iouekarpausunkur (新)、[名] associationunkur (新)

きょうかい(境界) [場名](土地の)境界 sirutur (siruturu, siruturke, siruturuke) (新): [位名]～の境界 utur(長形 -u、-ke、-uke) (石狩)、[位名] ukoutur(長形 -u、-ke、-uke) (新): [名]境界杭 siruturi-kuspe (新): [名]境界線 sirutunru (新)

きょうかい(教会) [名]教会 inomicise (新)

きょうかく(共格) (言語)[名]共格 ituraprewke (新)※(共にいるもの格)

きょうがく(驚愕) [自]驚愕する toyko-ramutuy (新)、[自] rayramutuy (新)、[自] wenramutuy (新)、[自] toyko-ossereke (新): (表現)驚愕する sonno (sino) ramtuy (ossereke) (新): [他]～に驚愕する etoyko-ramutuy (新)、[他] etoyko-ossereke (新)、[他] etoyko-ramokte (新): [他](人)を驚愕させる toyko-ramutuyka (rayramutuyka、wenramutuyka) (新)、[他] toyko-osserekere (新): [自]押さえた鼻から魂が抜け出るほど驚愕する ramutekkus (新): (表現)押さえた鼻から魂が抜け出るほど驚愕する yayramoskoni ehayta (新):

[他](人)を押さえた鼻から魂が抜け出るほど驚愕させる ramutekkuste (新)

きょうかしよ(教科書) [名]教科書 cioipakasnukampisos (新)、[名] cioipakasnukuni-kampisos (新)

きょうぎ(協議) [自]協議する ukoitak (石狩): [他]～について協議する eukoitak (石狩): [他](場所)で協議する eukoitak (新): [他]～と協議する koukoitak (新): (表現)～と協議する ~ tura(-no) ukoitak (新): [他](原因、手段)で協議する oukoitak (新): [名]協議会 ukoitakusi (新)

きょうき(狂喜) [自]狂喜する toykoyaykopuntek (新): (表現)狂喜する sonno (sino) yaykopuntek (新): [他]～について狂喜する (新): [他](場所)で狂喜する etoykoyaykopuntek (新): [他]～と共に狂喜する kotoykoyaykopuntek (新): [他](原因、手段)で狂喜する otoykoyaykopuntek (新): [他](人)に狂喜させる toykoyaykopuntekka (新): [自]一人で狂喜する yaykotoykoyaykopuntek (新): [自]互いに、皆で狂喜する ukotoykoyaykopuntek (新)

きょうき(狂気) [名]狂気 kinra (石狩): (表現)(激しい怒りが湧きあがる描写として)二つの激しい狂気の風、三つの激しい狂気の風が～に顔をもたげる tu wen kinramaw re wen kinramaw ~ koetari (石狩): [自]狂気を帯びる、帯びている kinrakor (石狩)

ぎょうぎ(行儀) ①[名]行儀 sianu (八雲): [自]行儀が良い yaykatanu (石狩)、[自] oripak (石狩): (表現)行儀が良い sianu pirka (新) ②[自]行儀が悪い somoyaykatanu (石狩): (表現)行儀が悪い somo oripak (石狩)、(表現) sianu pirka (新)

きょうきやく(胸脚) [名](虫の)胸脚 reraruncikir(-i) (新)

きょうきゅう(供給) [名]供給 ikoipumpa (新)、[名] supri (sapray) (新)※(英語): [自]供給する ikoipumpa (新): [他]～を供給する ikopumpa (新): [他]～に供給する koipumpa (新): [他]～に～を供給する kopumpa (新): [他]～に供給させる ikoipumpare (新): [他]～に～を供給させる ikopumpa (新): [他]～に～に供給させる koipumpare (新): [他]～に～に～を供給させる kopumpare (新)

きょうきん(胸筋) [名](クマの)胸筋 temrit(-ci) (石狩)※(クマの皮剥ぎで腹に刃を入れる際、左右各2本、計4本の筋が集まる部分

を数センチメートル残す。この筋が"temrit"であるが、解体時には切らずに残した部分の皮を骨から浮かすように切り、4本の筋を外し煮て並べて占いをする。これは適当な長さに切ったキケとこの筋の長さが同じであればその春のクマ猟が豊猟であるというもの)

きょうくう(胸腔)[名]胸腔 ramor(-o, -ke) (石狩)

きょうくん(教訓)[名]教え cieyayrappe (新)、[名] yayrap (新)

ぎょうこ(凝固) [自]凝固する、している siratek (石狩): [他](場所)で凝固する、している esiratek (新): [他]〜と共に凝固する、している kosiratek (新): [他](原因、手段)で凝固する、している osiratek (新): [他]〜を凝固させる siratekka (新): [自]完全に凝固する、している oosiratek (oassiratek) (新): [自]十分に凝固する、している siratekno (sirateknu) (新): [自]滅茶苦茶凝固する、している toykosiratek (新)

きょうこつ(胸骨)[名]胸骨 raprap(-u) (H)

きょうざい(教材)[名]教材 cioipakasnu (新)、[名] cioipakasnu kunip (新)

きょうさく(狭窄)[自]狭窄する、している hupne (石狩)

きょうさん(協賛)[自]人や物事に協賛する ioikasuy (新): [他]〜の件で人や物事に協賛する eioikasuy (新): [他]〜と共に人や物事に協賛する koioikasuy (新): [他](原因、手段)で人や物事に協賛する oioikasuy (新): [他](人)に人や物事に協賛させる ioikasuyre (新): [他]〜に協賛する iokasuy (新): [他](人)に〜に協賛させる iokasuyre (新): [他]自分で、一人で〜に協賛する yaykoioikasuy (新): [他]皆で、共に〜に協賛する ukoioikasuy (新): [名]協賛金 cioikasuyikor (新): [名]協賛者 ioikasuykur (新): (表現)協賛会 ukoioikasuy kusu uekarpa (新): (表現)〜協賛会 ~ ukoioikasuy kusu uekarpa (新): [名]協賛会会長 ukoioikasuy kusu uekarpa esapane kur (新): (表現)〜協賛会会長 ~ ukoioikasuy kusu uekarpa esapane kur (新): (表現)〜協賛会会員 ~ ukoioikasuy kusu uekarpa eutanne kur (新)

きょうさん(強酸)(化学)[名]強酸 supkakepyupke (新)

きょうさんしゅぎ(共産主義)[名]共産制 uikore (新): [名]共産主義 uikoresamun (新)、[名] kommunismu (新)※(英語): [名]共産主義者 uikoresamunkur (新)、[名] kommunisto (新)※(英語): [名]共産

党 uikoresamuntopa (新): [場名]共産主義国 uikoresamunmosir (新)、[場名] kommunismukormosir (新)

きょうじ(凶事) [名]凶事 rorumpe (石狩)、[名] yupkep (石狩)

きょうし(教師) [名]教師 ipakasnukur (新)、[名] icakasnukur (新)、[名] icakokokur (新): (表現)〜の教師 名詞 + eipakasnukur (新): aynuitak(アイヌ語) + eipakasnukur → aynuitak-eipakasnukur 「アイヌ語の教師」

ぎょうし(凝視) [自]凝視する sikmaka (石狩)、[自] sismasanasan (石狩): [他]〜を凝視する kosikmaka (石狩)、[他] kosismasanasan (石狩): [他]〜と共に凝視する kosikmaka (新)、[他] kosismasanasan (新): [他](場所)から凝視する osikmaka (新)、[他] osismasanasan (新): [他](原因、手段)で凝視する osikmaka (新)、[他] osismasanasan (新): [他](誰か)に凝視させる sikmakare (新)、[他] sismasanasanke (新)

きょうしつ(教室)①(何かが教授される部屋)[名]教室 ipakasnu-tumpu (新)、[名] cieipakasnu-tumpu (新): ②(何かを学習する会)[名]教室 upakasnuusi (ukokampinuyeuusi) (新)、[名] cieupakasnuusi (cieukokampinuyeuusi) (新): (表現)〜教室 名詞 + eupakasnuusi(-eukokampinuyeuusi) (新): Aynuitak(アイヌ語) + eupakasnuusi(-eukokampinuyeuusi) → Aynuitak-eupakasnuusi(-eukokampinuyeuusi) 「アイヌ語教室」

ぎょうしゃ(業者)[名]業者 iepirkausikorkur (新): 「〜業者」は、例えば cisekar(建築) + epirkausikorkur → cisekar-epirkausikorkur 「建築業者」のように、事業内容を示す名詞 + epirkausikorkur で表現する。

きょうしゅう(強襲) [自]強襲する toykohopuni (複数 toykohopumpa) (新): [他]〜を強襲する kotoykohopuni (複数 kotoykohopumpa) (石狩): [他](人)に強襲させる toykohopunire (toykohopumpare) (新): [自]突然強襲する toykohopuntek (新): [他](人)に突然強襲させる toykohopuntekka (新): [名]強襲揚陸艦 tumikoiankecip (新)

ぎょうしょうにん(行商人)[名]行商人 tampeto (八雲)、[名] omanan-ieiyokkur(-ieiyokkur, -ieihokkur) (新)

ぎょうずい(行水)→「みずあび(水浴び)」を見よ

きょうする(供する) [自] 人に食事を供する
ikoipuni (複数 ikoipumpa) (新): [他](人)
に食事を供する koipuni (複数 koipumpa)
(石狩): [他] 人に～を供する ikopuni (複数
ikopumpa) (新): [他](人)に～を供する
kopuni (複数 kopumpa) (石狩): [他](場
所)で(人)に～を供する ekopuni (複数形
ekopumpa): [他](原因、手段)で(人)に～を
供する okopuni (複数 okopumpa) (新):
[他](人)に(人)に～を供させる kopunire (複
数 kopumpare) (新)

きょうせい(共生) [自] 共生する ureska (石狩)、
[自] ukosukup (新)、[自] uturasukup
(新)、[自] uturaokay (新): (表現) 共生す
る utura(-no) skup (新)、(表現)
utura(-no) okay (石狩): [他] ～と共生す
る kosukup (新)、[他] turasukup (新)、
[他] turaokay (新): (表現) ～と共生する
tura(-no) skup (新)、(表現) tura(-no)
okay (石狩)

きょうせい(強制) ① [自] 人に物事を強制する
iunekoyki (新): [他] 人に～を強制する強
制する unekoyki (新): [他](人)に物事を
強制する iekoyki (新): [他](人)に～を強
制する ekoyki (石狩): [他](人)に人に～
を強制させる unekoykire (新): [他](人)
に(人)に物事を強制させる iekoykire
(新): [他](人)に(人)に～を強制させる
ekoykire (新): [自] 自分で、一人で人に物
事を強制する iuyyaykoekoyki (新):
[他] 自分で、一人で人に～を強制する強制す
る uyyaykoekoyki (新): [他] 自分で、一
人で人に物事を強制する iyaykoekoyki
(新): [他] 自分で、一人で(人)に～を強制す
る yaykoekoyki (新): ④ [自] 皆で、共に
人に物事を強制する iunukoekoyki (新):
[他] 皆で、共に人に～を強制する強制する
unukoekoyki (新): [他] 皆で、共に(人)に
物事を強制する iukoekoyki (新): [他] 皆
で、共に(人)に～を強制する ukoekoyki
(新): ② [名] 強制労働 kuncikar (石狩):
[自] 強制労働させる kuncikar (新):
[他](場所)で強制労働させる ekuncikar
(新): [他](人)に強制労働させる
kokuncikar (新): [他](原因、手段)で強制
労働させる okuncikar (新)

ぎょうせい(行政) [名] 行政 kotankoreyki
(新)、[名] ieyki (新): [名] 行政官
kotankoreykikur (新)、[名] ieykikur
(新)

ぎょうせいく(行政区) [場名] 行政区 iwor
(新)

きょうそう(競争) ① (体力的に) [自] 競争する
uetusmak (石狩): [他](場所)で競争する

euetusmak (新): [他] ～について競争する
ouetusmak (新): [他](人)を競争させる
uetusmakte (uetusmatte) (新): [他] ～
と最上位を巡って競争する etusmak (石
狩): [他] ～について～と最上位を巡って競
争する oetusmak (新): [他](人)に～と
最上位を巡って競争させる etusmakte
(etusmatte) (新): [他] ～と最下位を巡っ
て競争する otusmak (新): ② (知的
に) [自] 競争する urawketupa (石狩):
[他](場所)で競い合う eurawketupa (新):
[他](原因、手段)で競争する、～に関して競争
する ourawketupa (新): [他](人)を競争
させる urawketupare (新): [自] 人と競
争する irawketupa (新): [他](人)と競争
する rawketupa (新): [他](場所)で(人)
と競争する erawketupa (新): [他](原因、
手段)で(人)と競争する、～に関して(人)と競
争する orawketupa (新): [他](人)を(人)
と競争させる rawketupare (新)

きょうそう(競走) [自] 人と競走する
initampakte (新): [他] ～と競走する
nitampakte (新)、[他] etusmak (石狩):
[他](人)を～と競走させる nitampaktere
(新)、[他] tuskakte (tusmatte) (新):
[自] 競走し合う unitampakte (沙流)、[自]
uetusmak (石狩): [他](人)を競走し合わ
せる unitampaktere (新)、[他]
uetusmakte (uetusmatte) (新)

きょうぞん(共存) [自] 共存する uturaokay
(新): (表現) 共存する utura(-no) okay
(石狩): [他] ～と共存する turaokay
(新): (表現) ～と共存する tura(-no) okay
(石狩)

きょうだい(兄弟) [名] 兄弟 irwak(i) (石狩)、
[名] irpak(i) (新)、[名] irwaknekur
(八雲)、[名] uirwakneutar (沙流)、[名]
okayirwak(i) (新): [自] 兄弟になる、兄
弟である irwakne (石狩)、[自]
okayirwakne (新): [自] 兄弟がいる
irwakkor (新)、[自] okayirwakkor
(新): [他] ～が兄弟である irwakikor (新
語)、[他] okayirwakikor (新): [自] 兄弟
がいない yayirwakikor (石狩): [自] 兄
と弟、妹である uyupikor (沙流): [自] 姉
と弟、妹である usakor (沙流): [自] 弟と
兄、姉である uakikor (新): [自] 妹と兄
である uturesikor (新)、[自] utureskor
(沙流)、[自] umatapakor (沙流): [自] 妹
と姉である umatakikor (沙流)

きょうたく(供託) [自] 供託する iirukaypoanu
(新): [他] ～を供託する irukaypoanu
(新): [他](場所、人)に～を供託する
eirukaypoanu (新): [他] ～と共に～を供

託する *koirukaypoanu* (新): [他](原因、手段)で～を供託する *oirukaypoanu* (新): [他](人)に～を供託させる *irukaypoanure* (新): [名]供託金 *ciirukaypoanuikor* (新): [場名]供託所 *iirukaypoanuusi* (新): (表現)供託手続 *iirukaypoanu kusu an=ki kunip* (新)

きょうちょう(強調) [自] 強調する *ipoknanaye* (複数 *ipoknanaypa*) (新)、[自] *poknarunokakar* (新): [他]～を強調する *poknanaye* (複数 *ponanaypa*) (石狩)、[他] *epoknarunokakar* (新)、[他] *korunokakar* (新): [他]～と共に～を強調する *kopoknanaye* (複数 *kopoknanaypa*) (新)、[他] *kopoknarunokakar* (新)、: [他](原因、手段)で～を強調する *opoknanaye* (複数 *opoknanaypa*) (新)、[他] *okopoknarunokakar* (新): [他](人)に～を強調させる *poknanayere* (複数 *poknanaypare*) (新)、[他] *poknarunokakare* (新)

きょうど(郷土) [名]郷土 *kotan(-u, -i)* (石狩): [自]郷土愛を持つ *yaykotaneramasuy* (新)

きょうどう(協同) [自]協同する *uramkopaste* (石狩)、[自] *ukasuy* (天塩): [他](場所)で協同する *euramkopaste* (新)、[他] *eukasuy* (新): [他]～と共に協同する *kouramkopaste* (新)、[他] *koukasuy* (新): [他](原因、手段)で協同する *ouramkopaste* (新)、[他] *oukasuy* (新): [他](人)を協同させる *uramkopastere* (新)、[他] *ukasuyre* (新)

きょうどうけんきゅう(共同研究) [自]共同研究する *iukopekerka* (新)、[自] *iukopekere* (新): [他]～を共同研究する *ukopekerka* (新)、[他] *ukopekere* (新): [他](場所)で～を研究する *eukopekerka* (*eukopekere*) (新): [他]～と一緒に～を共同研究する *koukopekerka* (*koukopekere*) (新): [他](原因、手段)で～を共同研究する *oukopekerka* (*oukopekere*) (新): [他](人)に～を共同研究させる *ukopekerkare* (*ukopekerere*) (新): [他]完璧に～を共同研究する *oarukopekerka* (*oarukopekere*) (新): [他](中相)～が共同研究される *ciukopekerka* (*ciukopekere*) (新): [名]共同研究者 *iukopekerkakur* (*iukopekerekur*) (新)

きょうねん(凶年) [0動]凶年になる、である *páwen* (沙流)

きょうはく(脅迫) [自]人を脅迫する *sieioripakar* (新)※(八雲)、[自] *sioripakar*

(天塩): [他](場所)で人を脅迫する *esieioripakar* (新): [他]～と共に人を脅迫する *kosieioripakar* (新): [他](原因、手段)で人を脅迫する *osieioripakar* (新): [他](人)を脅迫する *sieioripakte* (新): [他](人)に(人)を脅迫させる *sieioripakte* (新): [自]脅迫し合う *usieioripakte* (新): (表現)強迫観念 *yaysieioripakte kewtum(-u)* (新): (表現)強迫観念に囚われる *yaysieioripakte kewtum kor* (新): [名]脅迫神経症 *yayram-sieioripakte* (新)

きょうふ(恐怖) [自]恐怖する *isitoma* (石狩)、[自] *ihoma* (新): [他]～を恐怖する *sitoma* (石狩)、[他] *homa* (石狩): [他](場所)で～を恐怖する *esitoma* (新): [他]～と共に～を恐怖する *kositoma* (新): [他](原因、手段)で～を恐怖する *ositoma* (新)、[他] *esitomakar* (石狩): [他](人)に～を恐怖させる *sitomare* (石狩)、[他] *homare* (新): [他]自分で、一人～を恐怖する *yaykositoma* (新): [他]互いに、皆で～を恐怖する *ukositoma* (新): [他]死ぬほど～を恐怖する *raysitoma* (新): (表現)死ぬほど恐怖する *raypakno sitoma* (新): [他]涙を流して～を恐怖する *ciskositoma* (新): [他]悲鳴を上げて～を恐怖する *rayaykositoma* (新): [他]滅茶苦茶～を恐怖する *toykositoma* (新): [他](中相)～が恐怖される *cisitoma* (石狩)、[他](中相) *cihoma* (新): (表現)恐怖の *an=homá* (石狩): (表現)恐怖に震えあがる表情を見せる *hottur ka ta kotususke* (幌別)

きょうぶ(胸部) [名]胸部 *rerar(-u)* (新)

きょうふう(強風) [名]強風 *pororera* (石狩)、[名] *yupkerera* (新)、[名] *kamuyrera* (石狩)、[名](雅語) *kamuymaw* (石狩、天塩): (表現)強風が吹く *pororera as* (石狩): (表現)強風が吹く、吹いている *rera yupke* (石狩): (表現)強風が吹き荒れる *kamuyrera yupke* (石狩)、(表現) *kamuymaw yupke* (石狩)

きょうぼう(共謀) [自]共謀する *ukorenkapkor* (新): [他]～に関して共謀する *eukorenkakor* (新): [他](場所)で共謀する *eukorenkapkor* (新): [他]～と共に謀する *korenkapkor* (新): (表現)～と共に謀する *tura(-no)* *ukorenkapkor* (新): [他](原因、手段)で共謀する *oukorekapkor* (新): [他](人)に共謀させる *ukorenkapkore* (新): [自]人に共謀させる *ukorenkapkorar* (新): [名]共謀罪 *ukorenkapkor-oirenkawente* (新)

きょうぼう(凶暴) [自]凶暴になる、である

niwen (石狩): (表現)凶暴な眼つきをする
niwen siktum eyaysankere (石狩): (表現)凶暴な目つきで～を睨む
niwen sik ani
kosikkeruru (石狩): [他]～を凶暴にする
niwente (新)

きょうみ(興味) ① [自]興味を持つ
siramante (新): [自]人や物事に興味を持つ
ikosiramante (新): [他]～に興味を持つ
kosiramante (天塩): [他]～と共に興味を持つ
kosiramante (新): [他](原因、手段)で興味を持つ
osiramante (新): [他](人)に興味を持たせる
siramanteka (siramantere) (新): [自]自分で、一人で興味を持つ
yaykosiramante (新): [自]互いに、皆で興味を持つ
ukosiramante (新): [自]減茶苦茶興味を持つ
toykosiramante (新): ②[自]興味がない
siramsak (新): [自]人や物事に興味がない
ikosiramsak (新): [他]～に興味がない
kosiramsak (新): [他]～と共に興味をなくす
koisiramsak (新): [他](原因、手段)で興味をなくす
osiramsak (新): [他](人)に興味をなくさせる
siramsakka (新)

きょうゆう(共有)[自]共有する
iukokor (新)、[自] iukonu (新): [他]～を共有する
ukokor (新)、[他] ukonu (新): [他](人)に～を共有させる
ukokore (新)、[他] ukonure (新): [他](中相)～が共有される
ciukokor (新)、[他] ciukonu (新): [名]共有財産
ciukokorataynup (ciukonuataynup) (新): [場名]共有地
ciukokori (ciukonui) (新): (表現)共有地
an=ukókor iwor (新): [名]共有物
ciukokorpe (ciukonup) (新)

きょうらん(狂乱)[名]狂乱 kinra (石狩): [自]狂乱状態になる、なっている
kinrane (石狩): [自]狂乱する
kinrakor (石狩): [他]～を狂乱させる
kinraneka (kinranere) (新)、[他] kinrakore (新): [自]自分で、一人で狂乱状態になる、なっている
yaykokinrane (新): [自]互いに、皆で狂乱状態になる、なっている
ukokinrane (新): [自]自分で、一人で狂乱する
yaykokinrakor (新): [自]互いに、皆で狂乱する
ukokinrakor (新): [自]減茶苦茶狂乱状態になる、なっている
toykokinrane (新): [自]減茶苦茶狂乱する
toykokinrakor (新)

きょうりゅう(恐竜)[名]恐竜 cihomaaram (新)

きょうりよく(協力)[自]人に協力する
iramkopaste (新): [他](人)に協力する
ramkopaste (新): [他](場所)で(人)に協力

する
eramkopaste (新): [他]～と共に(人)に協力する
koramkopaste (新): [他](原因、手段)で(人)に協力する
oramkopaste (新): [他](人)に(人)に協力させる
ramkopastere (新): ②(心を合わせる)[自]協力し合う
uramkopaste (石狩)、[自] ukasuy (天塩): [他](場所)で協力し合う
euramkopaste (新): [他]～と共に協力し合う
kouramkopaste (新): [他](原因、手段)で協力し合う
ouramkopaste (新): [他](人)に協力し合わせる
uramkopastere (新): ③(頼り合う)[自]協力し合う
unisuk (石狩): [他](場所)で協力し合う
eunisuk (新): [他]～と共に協力し合う
kounisuk (新): [他](原因、手段)で協力し合う
ounisuk (新): [他](人)に協力し合わせる
unisukka (unisukte) (新)

ぎょうれつ(行列)[名]行列 ikir(-i) (石狩): [自]行列になる、なっている
ikinne (石狩): [他](場所)に行列になる、なっている
eikinne (石狩): (表現)行列ができるラーメン店
kotcake an=eikinne rameneusi (新): [他](場所)へ行列になる、なっている
koikinne (新): [他]～と共に行列になる、なっている
koikinne (新): [他](場所)から行列になる、なっている
oikinne (新): [他](原因、手段)で行列になる、なっている
oikinne (新): [他]～を行列にする
ikinneka (ikinnere) (新)

きょうわせい(共和制)[名]共和政体、共和制
ukotankore (新)、[名] respuprika (新)※(羅語): [自]共和制を布く
ukotankore (新): [他](場所)で共和制を布く
eukotankore (新): [他]～と共に共和制を布く
koukotankore (新): [他](原因、手段)で共和制を布く
oukotankore (新): [他](人)に共和制を布かせる
ukotankorere (新): [名]共和主義
ukotankoresamun (新)、[名] ukotankoreismu (新): [名]共和主義者
ukotankoresamunkur (新)、[名] ukotankoreismukorkur (新): [名]共和党
ukotankoresamuntopa (新): [場名]共和国
ukotankoremosir (新)、[場名] respuprika (新)

きよか(許可) ①(資格に関して)[自]許可される
huntakor (新): [他]～を許可される、(場所)で許可される
ehuntakor (新): [他]～と共に許可される
kohuntakor (新): [他](原因、目的)で許可される
ohuntakor (新): [自]許可する
ihuntakore (新): [他]～を許可する
eihuntakore (新): [他](人)に許可する
huntakore (新): [他](人)に～を許可する
ehuntakore (新):

[名]許可書、許可証 hunta (新): ②(承認に関して)[自]許可する ieese (新): [他](人)に許可させる ieesere (新): [他]～を許可する eese (新): [他](人)に～を許可させる eesere (新)

きよぎ(虚偽) [名]虚偽 sunke (石狩)

ぎよく(玉) [名]玉 siwnimpoina (新)※(北千島方言 poina 「石」): [名]軟玉 hapur-siwnimpoina (新): [名]硬玉 niste-siwnimpoina (新)

きよく(清く) [自]清くなる、清い askanne (askane) (新): [他](場所)で清くなる、清い easkanne (easkane) (新): [他]～と共に清くなる、清い koaskanne (koaskane) (新): [他](原因、手段)で清くなる、清い oaskanne (oaskane) (新): [他]～を清くする askanneka (askannere) (新)、[他] askaneka (askanere) (新): [自]完全に清くなる、清い oaraskanne (araskanne) (新)、[自] oaraskanne (araskane) (新): [自]充分に清くなる、清い askanneno (askannenu) (新)、[自] askaneno (askanenu) (新): [副]清く askanneno (新)、[副] askanne (新)

きよく(聖く) [自]聖くなる、聖い nupur (石狩): [他](場所)で聖くなる、聖い enupur (新): [他]～と共に聖くなる、聖い konupur (新): [他](原因、手段)で聖くなる、聖い onupur (新): [他]～を聖くする、聖い nupurka (nupure) (新): [自]自分で、一人聖くなる、聖い yaykonupur (新): [自]互いに、皆聖くなる、聖い ukonupur (新): [自]真に聖くなる、聖い sínupur (新): [他]～を真に聖くする sínupurka (sinupure) (新)

ぎよくじ(玉璽) [名]玉璽 ramattamaitokpa (新)

きよくしょう(極小) [名]極小 iyottapon (新)、[名] minimum (新)※(羅語): (表現)極小 pakno pon isam pe (新): [自]極小になる、である iyottapon (新)、[自] minimumne (新): [他]～を極小にする iyottaponka (iyottaponte) (新)、[他] minimumneka (minimumnere) (新)

きよくしますい(局所麻醉) (表現)局所麻醉 sine serke cikoinoykosanure (新): (表現)局所麻醉を行う sine serke cikoinoykosanure ki (新)

きよくだい(極大) [名]極大 iyottaporo (新)、[名] maksimum (新)※(羅語): (表現)極大 pakno poro p isam pe (新): [自]極大になる、である iyottaporo (新)、[自] maksimumne (新): [他]～を極大にする iyottaporoka (iyottaporore) (新)、[他]

maksimumneka (maksimumnere) (新)

きよくとう(極東) ① [場名](地名)極東 Tuymacupka (新): ②[場名](ロシア連邦の行政区)極東連邦管区 Tuymacupka-ukosineatkimosirkor-iwor (新)※(本部は「ハバロフスク」): ③(歴史)[場名](国名)極東共和国 Tuymacupka Ukotankoremosir (新) ※(1920-22年。シベリアに出兵した日本に対する緩衝国としてソヴィエト・ロシアが建国。首都は「チタ」)

ぎょぐん(魚群) [名]魚群 ceprup(i) (天塩)

きよさい(挙祭) (聖書)[名]挙祭 ciikopuni-ikorikintecikoykip (新)、[名] ipunikunip (新)

ぎょじ(御璽) [名]御璽 kániitokpa (新)、[名] kamuyitokpa (新)

きよしんこう(挙身光) [名]挙身光 netopasermakus-nipeki (新)

きよせい(去勢) (表現)～を去勢する ～noki asinke (新)※(樺太白浦)

きよせい(巨星) [名]巨星 síporonociw (新)、[名] síporoketa (新)

きよせき(巨石) [名]巨石 síporosirar(i) (石狩)

きよぜつ(拒絶) [他]～を拒絶する toykokopan (新)、[他] yupkekopan (新): (表現)～を拒絶する yupkeno kopan (新): [他](人)に～を拒絶させる toykokopante (新)、[他] yupkekopante (新)

ぎよせん(漁船) [名]漁船 cepkoykicip (新)

ぎょにく(魚肉) [名]魚肉 mim(i) (石狩)、[名] cepmim (石狩): [名]靴を作るため皮をとった後の魚肉 siramim(i) (H)

きよねん(去年) [場名・副]去年 hoskiampa (天塩)

ぎよば(漁場) [名]各家の漁場 yaycaroykuis (天塩)

きよひ(拒否) [自]拒否する ikopan (新): [他]～を拒否する kopan (石狩): [他](場所)で～を拒否する ekopan (新): [他]～と共に～を拒否する kokopan (新): [他](手段)で～を拒否する、(目的のため)～を拒否する okopan (新): [他](誰か)に～を拒否させる kopante (新): [他]自分で、一人で～を拒否する yaykokopan (新): [他]～を拒否し合う、皆で～を拒否する ukokopan (新): [他]完全に～を拒否する oarkopan (arkopan) (新): [他]激しく～を拒否する kopanruy (新)

ぎよひ(魚皮) [名]魚の皮及びそれで作った服 cépur(i) (石狩)、[名]魚の皮 cepkap(u) (H)

ぎよめい(御名) [名]御名 kánire (新)、[名]

kamuyre (新)

きよめる(清める) [自] ものを清める
iaskaneka (iaskanere) (新)、[自]
iaskaneka (iaskanere) (新): [他]~を清
める askanneka (askannere) (新)、[他]
askaneka (askanere) (新): [他](場所)で
~を清める easkaneka (easkanere)
(新)、[他] easkaneka (easkanere) (新):
[他]~と共に~を清める koaskaneka
(koaskanere) (新)、[他] koaskaneka
(koaskanere) (新): [他](原因、手段)で~
を清める oaskaneka (oaskanere) (新)、
[他] oaskaneka (askanere) (新): [他]
~を清めさせる askannekare
(askannerere) (新)、[他] askannekare
(askannerere) (新): ②(広い範囲)[自]あたり
を清める siraskaneka (siraskanere)
(新)、[自] siraskaneka (siraskanere)
(新): [他](人)にあたりを清めさせる
siraskanekare (siraskanere) (新)、
[他] siraskanekare (siraskanere)
(新): ③(祓い清める)[自]人を祓い清める
iepiru (新)、[自] ikakik (新): [他](手草
で)~を祓い清める epiru (石狩)、[連他]
kasi-kik (ka-kik) (石狩): [他](人)に~を
祓い清めさせる epirure (新): [名](魔祓
いの)清め草 takusa (taksa) (石狩)※(通
常ヨモギなどが用いられたというが、イオマ
ンテの際などには棒の先にササを付けて用
いられ、現在では後者が一般的となっている)

ぎよゆ(魚油) [名]魚油 cepsum(i) (美幌)、
[名] cepke (北千島)

ぎよらい(魚雷) [名]魚雷 mápustekpe
(新): (表現)魚雷を発射する mápustekpe
omante (新): [名]魚雷発射管
mápustekpe-omantep (新)、[名]
ciomapustekpe-omantep (新): [名]艦首
魚雷発射管 nánun-mapustekpe-omantep
(新): [名]艦尾魚雷発射管 únun-
mapustekpe-omantep (新)

ぎよらん(魚卵) ①[名]塊になった魚卵、スジ
コ homa (oma) (石狩): ②[名]バラバラ
になった魚卵、バラコ cipor(-o) (石狩):
③[名]魚卵の一粒 ciponnum (浦河):
[名]発眼卵 síkocipor (新)

ぎよりん(魚鱗) (表現)魚鱗 cep ramrami
(石狩)

キョン(羌) (動物)[名](ホエジカ属)キョン
kion (新)※(台湾語)

キョンギド(京畿道) [場名](大韓民国の行政区
名)京畿道 Kiongi-purovince (新)

キョンサンナムド(慶尚南道) [場名](大韓民国
の行政区名)慶尚南道 Kionsannam-
purovince (新)

キョンサンブクド(慶尚北道) [場名](大韓民国
の行政区名)慶尚北道 Kiyonsambuk-
purovince (新)

きらい(機雷) [名]機雷 worumpustekpe
(新): (表現)機雷を敷設する
worumpustekpe turiri wa ama (新): [名]
機雷敷設艦 worumpustekpe-turiricip
(新): [名]機雷敷設艇 worumpustekpe-
turiricippo (新)

きらう(嫌う) ①[他]~が嫌う、~を嫌いである
etoranne (石狩)、[他] eranak (石狩):
(表現)嫌いな事 an=eranak pe (石狩):
「子供の頃私は勉強が嫌いだった。」
“ Ku=pon hi ta kampinuye
ku=etoranne .”、「何かを勧められたりして)
嫌いだ。」“ Ku=etoranne !”、「あなたが私を
嫌がっているのは本当かい？」

“ Es=en=eranak yak a=ye p sonnoampe ne
ya ?” : [助動]~(する事)が嫌いである
etoranne (石狩): 「お前は怠けてゴミ出し
さえ嫌うんだな。」“ E=toranne wa
e=munasinke poka etoranne ru an na .” :
②[他]~が絶対嫌である、~を拒絶する
kopan (石狩): 「私達は和人の手先を嫌っ
た。」“ Sisam eiwanke p ci=kopan .” : [助
動]~(する事)が絶対嫌である kopan (石
狩): 「人間として金のために同族を売る事
は絶対嫌いだ。」“ Aynu ku=ne wa ikor ku=uk
kusu ku=kor anutari ku=osura kopan .” :
③[他](体調の悪さや面倒で)~が嫌う、嫌いであ
る nukuri (石狩): 「疲れているから
この仕事は嫌いだよ。」“ Ku=sinki kusu tan
monrayke ku=nukuri hum an .” : [助動]
~(する事)が嫌いである nukuri (石狩):
「足が痛くて歩くのは嫌いだ。」“ Ku=cikiri
arka wa ku=apkas nukuri .” : ④[他]~が
嫌いだと思う kiumwen (kiwmen) (石
狩): 「あの人は酔って卑猥な話ばかりす
るから飲み会が嫌いだと思う。」“ Neokay
utar ihoski kor hoye patek ki kusu ikuso
ku=kiumwen .” : [助動]~(する事)が嫌い
だと思う kiumwen (kiwmen) (石狩):
「お前は人の悪口ばかり言うから僕はお前
と話をするのが嫌いだと思うんだよ。」“ Eani
anakne e=iohaykekar patek ki kusu
e=koitak=an kiwmen na .”

キラキラ [自]キラキラ(ギラギラ)輝く、光っ
ている mike (石狩)、[自] mikemike
(石狩)、[自] maknatara (石狩)、[自]
masatara (石狩)、[自] makkemakke (沙
流)、[自] tomnatara (沙流): [他](場所)
でキラキラ(ギラギラ)輝く、光っている
emike (ekikemike) (新)、[他]
emaknatara (新)、[他] emasatara (新):

[他]〜と共にキラキラ(ギラギラ)輝く、光っている komike (komikemike) (新)、[他] komaknatara (新)、[他] komasatara (新): [他](原因、手段)でキラキラ(ギラギラ)輝く、輝いている emike (石狩)、[他] omike (omikemike) (新)、[他] omaknatara (新)、[他] omasatara (新): [他]〜をキラキラ(ギラギラ)輝かせる mikeka (mikere) (新)、[他] mikemikeka (mikemikere) (新)、[他] maknatara (新)、[他] masatarare (新)

ギラギラ [自](目が)ギラギラする parparse (新)、[自](雅語) ekoparparse (石狩)

きらく(気楽) [自] 気楽になる、である nusimne (新): [他](人)を気楽にさせる nusimneka (nusimnere) (新): [副] 気楽に nusimneno (沙流)、[副] irammakaka (石狩): 「今では毎日気楽に過ごしていますよ。」 “Tane anakne kesto an kor nusimneno ku=an wa .”

きらめく(煌めく) [自](稲光や星などが)煌めく tom (石狩): [他](場所)で煌めく etom (新): [他]〜と共に煌めく kotom (新): [他](原因、手段)で煌めく otom (石狩): [他]〜を煌めかせる tomtte (石狩): [自] 何度も煌めく tomtom (石狩): [自](雅)稲光が煌めく otuytuyke (石狩): (表現)何かが美しく輝く描写の常套句)二つの稲光、三つの稲光がバツパツと煌めく tu imerukur re imerukur otuytuyke (石狩): [他](雅)〜が(場所)に煌めきを結ぶ、煌めく cioimerukote (幌別): (表現)その神髪は絹ともなり頭の頂から分けて下げられ、髪先端は煌めきを結ぶ kamuy-otopi sarampe ka ne ekimuykasi ciusurare otopi etoko cioimeru-kote kane (幌別)

キラリ [自] キラリ(ギラリ)と輝く makkosanu (石狩): [自]キラリ(ギラリ)と輝く、光っている tom (石狩): [他](場所)でキラリ(ギラリ)と輝く、光っている etom (新): [他]〜と共にキラリ(ギラリ)と輝く、光っている kotom (新): [他](原因、手段)でキラリ(ギラリ)と輝く、光っている otom (石狩): [他]キラリ(ギラリ)と光らせる tomtte (石狩): [自]キラリキラリと輝く、光っている tomtom (石狩)

きられる(切られる、斬られる) (表現)〜が切られる、斬られる、切り落とされる an=tuyé (複数 an=tuypa) (石狩): (表現)(雅語)〜が刀で斬られる an=tamétuyé (複数 an=tamétuypa) (石狩): [他](雅語)〜で斬られる、斬られて死ぬ etuy (石狩): [他](場所)で斬られる、斬られて死ぬ etuy (新): [他]〜と共に斬られる、斬られて死ぬ

kotuy (新): [他](原因、手段)で斬られる、斬られて死ぬ otuy (新)

キリ [場名](地名)キリ島 Kiri-poysir (新)※(太平洋のマーシャル諸島のラリック列島に属するマーシャル諸島共和国領の島。核実験に伴い強制移住させられたビキニ島民はロングリック環礁、クウェゼリン環礁を経て1948年11月に無人島であったこの島に移され現在に至る)

きり(錐) [名] 錐 ikisakani (石狩)

きり(霧) [名] 霧 urar(i) (石狩): (表現)霧がかかる、霧が漂っている urar at (石狩): (表現)霧が下りる、霧が出る urar ran (uranran) (石狩): (表現)霧が上がる、霧が晴れる urar rikin (uranrikin) (石狩)

きりおとす(切り落とす) [他]〜を切り落とす tuye (複数 tuypa) (石狩): [他](人)に〜を切り落とさせる tuyere (複数 tuypare) (新): [他]〜の頭を刀で切り落とす etametuyé (複数 etametuypa) (石狩): [他](人)に〜の頭を刀で切り落とさせる etametuyere (複数 etametuypare) (新)

きりかえる(切り替える) [自] 切り替える ieutasare (新): [他]〜を切り替える eutasare (新)※(その頭を取り換える): [他](場所)で〜を切り替える eeutasare (新): [他]〜と共に〜を切り替える koegasare (新): [他](原因、手段)で〜を切り替える oeutasare (新): [他](人)に〜を切り替えさせる eutasarere (新): [他]完全に〜を切り替える osreutasare (areutasare) (新): [他]人に〜を切り替えさせる eutasareyar (新)

きりかぶ(切り株) [名] 木の切り株 nietakumpe (天塩)、[名] nisuppa (天塩)

きりかわる(切り替わる) [自] 切り替わる sieutasare (新): [他](中相)〜が切り替わる cieutasare (新)

きりさく(切り裂く) ①(縦、あるいは横に一筋)[他]〜を切り裂く petu (複数 petpa) (石狩): [他](場所)で〜を切り裂く epetu (複数 epetpa) (新): [他]〜と共に〜を切り裂く kopetu (複数 kopetpa) (新): [他](原因、手段)で〜を切り裂く opetu (複数 opetpa) (新): [他](人)に〜を切り裂かせる peture (複数 petpare) (新): [他]〜をぱっと切り裂く pettekka (新): [他]自分で、一人で〜を切り裂く yaykopetu (複数 yaykopetpa) (新): [他]互いに、皆で〜を切り裂く ukopetpa (新): ②[他]〜を切り裂く yasa (複数 yaspa) (石狩)※(特に yaspa は「何度も〜を切り裂く」): [他](場所)で〜を切り裂く eyasa (複数 eyaspa) (新): [他]〜と共に〜を切り裂く koyasa

(複数 koyaspa) (新): [他](原因、手段)で
～を切り裂く oyasa (複数 oyaspa) (新):
[他](人)に～を切り裂かせる yasare (複数形
yaspare) (新): [他]～をぱっと切り裂く
yastekka (新): [他]自分で、一人で～を切
り裂く yaykoyasa (複数 yaykoyaspa)
(新): [他]互いに、皆で～を切り裂く
ukoyaspa (新): [他]減茶苦茶～を切り裂
く toykoyaspa (新)

ギリシャ [場名](国名)ギリシャ共和国 Eras
Ukotankoremosir (新)※(首都は「アテネ」):
[場名](国名の通称として)ギリシャ Eras
(新): [名]ギリシャ人、国民 erasunkur
(新): [名]ギリシャ人 eraskur (新):
[名]ギリシャ語 eraskuritak (新): [名]ギ
リシャ文字 eraskur-itakitokpa (新):
(歴史)[場名](国名)ギリシャ王国 Eras
Yaykomosirkorkurkormosir (新)※(183
2-1924年。)

キリスト [名]イエス・キリスト Yésus
Xuristos (新): [名]イエス Yésus (新)、
[名] Yóşua (新): [名]キリスト教
xuristoseisokor (新): [名]キリスト教徒
xuristias (新): [名]西暦 xuristiaskor-
tonukarpe (新)

きりたつ(切り立つ) [自]切り立っている
kuwannoas (石狩): [自] wen (石狩):
[名]切り立った崖 wenkut (石狩): (表現)
切り立った崖 kuwannoas kut (新): [場
名]切り立った山 weysir (石狩): (表現)
切り立った山 kuwannoas nupuri (新)

きりとる(切り取る) ①(肉や植物の穂などに
関して)[他]～を切り取る ca (石狩):
[他](場所)で～を切り取る eca (新): [他]
～と共に～を切り取る koca (新):
[他](原因、手段)で～を切り取る oca (新):
[他](人)に～を切り取らせる cáre (新):
②(紙に関して)[他]～を切り取る tuye (複数
tuypa) (石狩): [他](場所)で～を切り取る
etuye (複数 etuypa) (新): [他]～と共に
～を切り取る kotuye (複数 kotuypa)
(新): [他](原因、手段)で～を切り取る
otuye (複数 otuypa) (新): [他](人)に～を
切り取らせる tuyere (複数 tuypare) (新)

キリバス [場名](国名)キリバス共和国
Kiribas Ukotankoremosir (新)※(首都は
「タラワ」): [場名](国名の通称として)キ
リバス Kiribas (新): [名]キリバス人、国
民 kiribasunkur (新): [名]キリバス語
kiribasunkur-itak (新)

きりひらく(切り開く) [他]～を切り開く
petu (複数 petpa) (石狩): [他](場所)で～
を切り開く epetu (複数 epetpa) (新):
[他]～と共に～を切り開く kopetu (複数

kopetpa) (新): [他](原因、手段)で～を切
り開く opetu (複数 opetpa) (新):
[他](人)に～を切り開かせる peture (複数
petpare) (新): [他]～をぱっと切り開く
pettekka (新): [他]自分で、一人で～を切
り開く yaykopetu (複数 yaykopetpa)
(新): [他]互いに、皆で～を切り開く
ukopetpa (新):

きりふき(霧吹き) [名]霧吹き urarpuruspap
(新)

きりふだ(切り札) [名]切り札 huntaiikkew(-e)
(新)

きりゆう(寄留) (共同体のメンバーとして認
められるまで)[自]寄留する iorun (新):
[他]～に寄留する orun (新): [他]～と共
に寄留する koiorun (新): [他](原因、手
段)で寄留する oiorun (新): [他](人)を寄
留させる iorunte (新): [名]寄留者
iorunkur (沙流)

きりり [間投](顔つきにつき)きりっ niw
(新): [自]きりりとしている niwnatara
(幌別): (表現)勇者らしく勇者の顔つきに顔
つきがきりりとしている rametok sóne
rametok-ipor eipottum-niwnatara (幌別)

きりをかきわけ(霧を掻き分ける) [他]～にか
かった霧を掻き分ける kourarcimi (複数
kourarcimpa) (石狩): 「…女であり、そ
れにかかった霧を私が掻き分け、見ると…」
“… menoko so ne, an=kourarcimi,
inkar=an awa …” (砂沢クラ)英雄詞曲

きりをかける(霧をかける) [他](隠れるため霊力
で)～に霧をかける urarotte (石狩): 「…
峰の周りに私は霧をかけ…」 “… situkari
an=urarotte …” (杉村キナラブク)神話

きりをはらう(霧を払う) [他]～にかかった霧
を払う kourarcari (石狩)

キリン(麒麟) ①(動物)[名](ウシ亜目)キリン科
giraffa-apa (新): [名]キリン属 giraffa-
cise (新): [名]キリン giraffa (新)※(羅
語): [名]オカピ属 okapi-cise (新): ②
[名](中国の伝説上の聖獣)麒麟 círin (新)、
[名] kírín (新)※(台湾語)

キリンギク(麒麟菊) (植物)[名](キク科)キリン
ギク属 apappoitukikukina-cise (新)※(リ
アトリス属とも): [名]キリンギクの茎葉
apappositukikukina (新)※(別名「ユリアザ
ミ」、「リアトリス」): [名]リアトリス・ア
エスティバリスの茎葉 sak-
apappositukikukina (新): [名]リアトリ
ス・アキドタの茎葉 een-
apappositukikukina (新): [名]リアトリ
ス・アスペラの茎葉 poronup-
apappositukikukina (新): [名]リアトリ
ス・エレガンスの茎葉 eregansu-cirosikina

(新): [名]リアトリス・オフリゲラエの茎葉
furorida-cirosikina (新): [名]リアトリ
ス・キリンドラケアの茎葉 cirosikina
(新): [名]リアトリス・コンバクタの茎葉
arkanso-apappositukikukina (新): [名]
リアトリス・スクアロサの茎葉 ramram-
cirosikina (新): [名]リアトリス・スクア
ルロサの茎葉 moramram-cirosikina
(新): [名]リアトリス・ブラクテアタの茎葉
koypokteksas-apappositukikukina (新):
[名]リトアリス・ブンクタタの茎葉
punktata-apappositukikukina (新): [名]
リアトリス・ヘレリの茎葉 bururijji-
aappositukikukina (新): [名]リアトリ
ス・ミクロケファラの茎葉 epon-
apappositukikukina (新)

きる(切る、斬る)①[自]物を切る ituye (複数
ituyupa) (新): [自]人を斬る untuye (複
数 untuyupa) (新): [他]～を切る、斬る
tuye (複数 tuyupa) (石狩): (表現)～を二
つに切る tupne tuye (石狩): [他](原因、
手段)で～を切る etuye (複数 etuyupa)
(新): [他](場所)で～切る etuye (複数
etuyupa) (新): [他]～と共に～を切る
kotuye (複数 kotuyupa) (新): [他](原因、
手段)で～を切る otuye (複数 otuyupa)
(新): [他](人)に～を切らせる tuyere (複
数 tuyepare) (新): [他]瞬間的に～を切る
tuytekka (石狩): [他]～を切り刻む
usatuye (複数 usatuyupa) (石狩): (表現)
～を切り刻んでバラバラにする tupne
repne usatuye (石狩): [自]頭(先端)を切
る hetuye (複数 hetuyupa) (新): [他]～
の頭(先端)を切る etuye (複数 etuyupa)
(新): [自]尻(陰茎、末端)を切る hotuye (複
数 hotuyupa) (新): [他]～の尻(陰茎、末端)
を切る otuye (複数 otuyupa) (新): [自]
髪を切る otoputuye (複数 otoputuyupa) (石
狩): [他]～の髪を切る otopituye (複数
otopituyupa) (新): [他]～の髪を切り揃え
る etuyupa (石狩): [自]自分の髪を切り
揃える sietuyupa (石狩): [他](雅語)刀で
～を斬る tametuye (複数 tametuyupa)
(石狩): ②[他]～を細く切る、切り裂く
petu (複数 petpa) (石狩): [他](誰か)に～
を細く切らせる、切り裂かせる peture (複
数 petpare) (新): ③[他](細かく切ったも
の)を細かく切る、細かく切り裂く yasa (複
数 yaspa) (石狩): [他](人)に～を細かく
切らせる、切り裂かせる yasare (複数
yaspare) (新): ④(機械に関して)[他]～を
切る sinire (新)

きる(着る)[自]服を着る imi (石狩)、[自](雅
語) imup (石狩): [他](服、下着など)を着

る mi (石狩)、[他](雅語) mup (石狩):
「私は自分の服を着る。」“Ku=mipi
(Ku=mipih) ku=mi.”、「服を早く着な
さい。」“E=mipi (E=mipih) hempano mi
yan !”: [他](場所)で～を着る emi
(新): [他]～と共に～を着る komi (新):
[他](原因、手段)で～を着る omi (新):
[他](人)に～を着せる mire (石狩): [他]
～を素早く着る mitek (新): [他](雅
語)(特に着物について)～を着る ukote (石
狩): [自](雅語)きっちり着物を着る
koinoye (新): [他](雅語)～をきっちり着
る konoye (石狩): 「薄物の上等な着物
を私はきっちり着る。」“Kaparpe-imi
an=konoye.” (砂沢クラ): ②(上着、下着
の関係)[自]上に着る ikannami (新): (表
現)上に着る ika wa imi (新): [他]～を
上に着る kannami (新): (表現)上に～を
着る ika wa ~ mi (新): [他]～の上に
～を着る okannami (新): (表現)～の上
に～を着る ~ ka(長形-si、-sike) wa ~
mi (新): [他](人)に上に～を着せる
kannamire (新): [自]下に着る
ipoknami (新): [他]～を下に着る
poknami (新): [他]～の下に～を着る
opoknami (新): [他](人)に～を下に着せ
る poknamire (新): ③(上半身に身に着
ける事)[自](シャツなどを)上に着る
ipenawami (新): [他]～を上に着る
pénawami (新) [他](人)に～を上に着せる
pénawamire (新)

キルギス [場名](国名)キルギス共和国
Kirgizu Ukotankoremosir (新)※(首都は
「ビシュケク」): [場名](国名の通称として)キ
ルギスタン Kirgizustan (新): [名]キル
ギス人、国民 kirgizustanunkur (新):
[名]キルギス人 kirgizukur (新): [名]キ
ルギス語 kirgizukuritak (新): (歴史)[場
名](国名)キルギス・ソヴィエト社会主義共和
国 Kirgis Soviet Ureskaussamun
Ukotankoremosir (新) ※(1936-9
1年。ソ連邦の構成国の一つでソ連邦崩壊後
に独立)

ギルバート [場名](地名)ギルバート諸島
Girberto-usapoysir (新)※(南太平洋にある
キリバス共和国領の島々)

きれい ①(美しい事を示し)[自]きれいになる、
である pirka (石狩): [他](場所)できれい
になる、である epirka (新): [他]～と共
にきれいになる、である kopirka (新):
[他](原因、手段)できれいになる、である
opirka (新): [他]～をきれいにする
pirkare (新): [自]自分で、一人で綺麗にな
る、である yaykopirka (新): [自]互いに、

皆できれいになる、である ukopirka (新): [自]とてもきれいになる、である sipirka (新): (表現)とてもきれいになる、である sonno pirka (石狩): [自]充分きれいになる、である pirkano (pirkanu) (新): [自]激しくきれいになる、である pirkaruy (新): [自]一瞬できれいになる pirkatek (新): [他]～を一瞬できれいにする pirkatekka (新): [自]減茶苦茶きれいになる、である toykopirka (新): [副]きれいに pirkano (石狩)、[副] irammakaka (irammakakano) (石狩)、[副](雅語) pirka (石狩): [副]とてもきれいに wenko (石狩)、[副] sipirkano (新): (表現)とてもきれいに sonno pirkano (石狩): ②(清潔である事を示し)[自]きれいになる、である askanne (askane) (新): [他]～をきれいにする askanneka (askannere) (新)、[他] askaneka (askanere) (新): ③(水が澄んでいる事を示し)[自]きれいになる、である peker (新): (表現)きれいな水 peker wakka (石狩)[他]～をきれいにする pekerka (pekere) (新)

きれい(儀礼) [名]儀礼 ipurikokikunip (新)

きれいにはぐ(きれいに剥ぐ) [他]～をきれいに剥ぐ、剥ぎ取る assosokar (石狩): 「…私の神風が吹いて人の村と神の国の上部がすっかり剥ぎ取られ…」 “… an=kor kamuykaw hoyupu ki wa aynukotan kamuymosir ka an=assosokar…” (杉村キナラブク)神謡: [他](人)に～をきれいに剥がせる、剥ぎ取らせる assosokare (新)

きれいにふくをきる(きれいに服を着る) [自]きれいに服を着る、着ている sipine (複数 sipimpa) (石狩)、[自] sipini (複数 sipimpa) (石狩): [他](場所)できれいに服を着る、着ている esipine (複数 esipimpa) (新): [他]～向けにきれいに服を着る、着ている kosipine (複数 kosipimpa) (新): [他]～と共にきれいに服を着る、着ている kosipine (複数 kosipimpa) (新): [他](原因、手段)できれいに服を着る、着ている ospine (複数 ospimpa) (新): [他](人)にきれいに服を着せる sipinere (複数 sipimpare) (石狩)、[他] sipineka (複数 sipimpaka) (新): [自]素早くきれいに服を着る sipintek (新): [自]一人できれいに服を着る、着ている yaykosipini (新): [自]皆できれいに服を着る、着ている ukosipimpa (新)

きれない(切れない) ①(刃物に関して)[自]切れなくなる、切れない enukar (石狩)※(本来は刃物の先端や切れ味を形容する言葉だが、今後は頭や感覚の「はたらきが悪い」の意味

を日本語から借用、追加する): [他](原因、手段)で切れなくなる、切れない onukar (新): [他]～を切れなくする enukare (enukarka) (新): [自](比喩的に)切れない nimaksak (石狩): ②(物について切断できない事を示し)(表現)～が切れない an=tuye eaykap (石狩): 「その刀でこの岩は切れない。」 “Taan emus ani tan sirar an=tuye eaykap .”

きれにくい(切れ難い) [自]切れ難くなる、難い niste (石狩): [他]～を切れ難くする nisteka (nistere) (新)

きれはし(切れ端) [名](硬いものや木の)切れ端 ras(-u) (石狩): [名](木や着物の)切れ端 yar(-i) (石狩): [名](着物の)切れ端 not(-ci) (石狩)

きれやすい(切れ易い) [自]切れ易くなる、易い hapur (石狩): [他]～を切れ易くする hapurka (hapure) (新)

きれる(切れる) ①[自]切れる、切れて落ちる tuy (石狩): [他](原因、手段)で切れる etuy (石狩): [他](場所)で切れる etuy (新): [他]～と共に切れる kotuy (新): [他](原因、手段)で切れる otuy (新): [自]ぷつつり切れる、パッと切れる tuytek (新): [自]ズタズタに切れる toykosituypa (新): [自]～の頭(先端)が切れる etuy (新): [自]～の尻(尾、末尾)が切れる otuy (新): ②[自](刃物の切れ味に関して)切れる een (石狩、天塩)※(本来は刃物などの切れ味を形容する言葉だが、今後は頭や感覚の「はたらきが悪い」の意味を日本語より借用追加する): [他]～を切るようにする eenke (石狩、天塩): ③(ものを切断できる事を示し)(表現)～が切れる an=tuye easkay (石狩): 「この刀は石も切れる。」 “Tan emus ani suma ne yakka an=tuye easkay .” : ④(怒りで我を忘れる事を指し)[自]切れる kinrakor (石狩)

きろく(記録) [名]記録(の行為) inu yeama (新)、[名] inu yeanu (新): [名]記録(の対象) cinu yeamap (新)、[名] cinu yeakup (新): [自]物事を記録する inu yeama (新)、[自] inu yeanu (新): [他]～を記録する nu yeama (新)、[他] nu yeanu (新): [他](場所)で～を記録する enu yeama (新)、[他] enu yeanu (新): [他]～と共に～を記録する konu yeama (新)、[他] konu yeanu (新): [他](原因、手段)で～を記録する onu yeama (新)、[他] onu yeanu (新): [他](人)に～を記録させる nu yeamare (新)、[他] nu yeasure (新): [他]自分で、一人で～を記録する yaykonu yeama (新)、[他] yaykonu yeanu

(新): [他]互いに、皆で～を記録する ukonuyeamama (新)、[他] ukonuyeanu (新): [他]完全に～を記録する oannuyeamama (annuyeamama) (新)、[他] oannuyeanu (annuyeanu) (新): [他]充分に～を記録する nuyeamano (nuyeamano) (新)、[他] nuyeanuno (nuyeanunu) (新): [他]～を記録しまくる toykonuyeamama (新)、[他] toykonuyeanu (新): [名]記録者 cinuyeamakur (新)、[名] cinuyeanukur (新)

キログラム [名](重さの単位) kíroguram (新) ※(単位記号は kg)

ギロチン [名]ギロチン girotine (新)※(仏語): [他]～をギロチンにかける girotinekoama (新)

キロバイト [名](デジタルコンピュータが扱う情報の大きさの単位)キロバイト kírobait (新) ※(単位記号は kB)

キロメートル [名](長さの単位)キロメートル kírometre (新)※(単位記号は km)

キロリットル [名](体積の単位)キロリットル kíroritre (新)※(単位記号は kl)

ギロリとにらむ(ギロリと睨む) [自]ギラリと睨む sikkeruru (新): [他]～をギロリと睨む kosikkeruru (石狩): (表現)横目で～をギラリと睨む sikkese ani kosikkeruru (石狩)

きわめがたい(極め難い) (表現)～が極め難い an=eramuan (an=eraman) eaykap (新)

きをうしなう(氣を失う) [自]氣を失う ekunnaot (石狩)、[自] nuewnin (石狩)、[自] yaynuturaynu (石狩)、[自] sampetoranne (H): [他]～を氣を失わせる ekunnaotte (新)、[他] nuewninka (nuewninte) (新)、[他] yaynuturaynure (新)、[他] sampetoranneka (sampetorannere) (新): (表現)氣を失いそうになる kempuy pakno yayasikarun (石狩)

きをおちつける(氣を落ち着ける) [自]人の氣を落ち着ける itomoytak (新): [他](人)に人の氣を落ち着けさせる itomoitakte (新): [連他]～の氣を落ち着ける tomó-óytak (tóm-óytak) (石狩): [自]自分の氣を落ち着ける yaytomoytak (石狩): [自]互いに氣を落ち着け合う utomoytak (新): [自]人に自分の氣を落ち着けさせる、落ち着けてもらう sitomoytakyar (新)

きをきる(木を切る) [自]木を切る nítuye (複数 nítuyipa) (石狩): (表現)木を切る nítuye (複数 tuyipa) (石狩): [他](場所)で木を切る enituye (複数 enituyipa) (新):

[他]～と共に木を切る konituye (複数 konituyipa) (新): [他](原因、手段)で木を切る onituye (複数 onituyipa) (新): [他](人)に木を切らせる nítuyere (複数 nítuyipare) (新): [自]自分で、一人で木を切る yaykonituye (複数 yaykonituyipa) (新): [自]互いに木を切る ukonituyipa (新)

きをたてさくにする(木を立て柵にする) [自]木を立て柵にする níasi (石狩): [他](クマ穴の前など)に木を立て柵にする eniasi (石狩): [他](人)に木を立て柵にさせる níasire (新)

きをつける(氣を付ける) [自]氣を付ける yaytupare (yaitupare) (石狩): [他]～に氣を付ける eyaytupare (新)、[他] eraman (複数 eramuokay) (石狩)、[他] eramuan (複数 eramuokay) (石狩): [他](場所)で氣を付ける eyaytupare (新): [他]～と共に氣を付ける koyaytupare (新): [他](原因、手段)で氣を付ける oyaytupare (新): [他](人)に氣を付けさせる yaytuparere (yaituparere) (新): [自]一人で氣を付ける yaykoyaytupare (新): [自]互いに、皆で氣を付ける ukoyaytupare (新): [副]氣を付けて yaytupareno (yaitupareno) (石狩): 「(一人の人に)氣を付けて帰るんだよ。」 “Yaytupareno (Yaitupareno) hosipi ya!”, 「(複数の人、あるいは丁寧な表現として)氣を付けて帰るんだよ。(氣を付けてお帰り下さい。)” “Yaytupareno (Yaitupareno) hosippa yan!”

きをまざらわす(氣を紛らわす) [他]～で人の氣を紛らわす ienusasire (新): [他]～で(人)の氣を紛らわす enusasire (沙流): [他]～で自分の氣を紛らわす yayenusasire (新): [他]～で互いに氣を紛らわす uenusasire (新)

きん(菌) [名]菌 karusso (新)

きん(金) ①(鉱物)[名]金 konkani (石狩): [名](雅)金 káni (káne) (石狩): 物語中で限定詞として用いられる時には“káni-imanit”「金(かね)の焼き串」などのように単に材質を表わしているものもあるが、「豪華な」、「立派な」というニュアンスを伴って“káni-kuntari”「金の(立派な)酒飲み」、あるいは材質より「豪華さ」を強調していると思われる“káni-cise”「金の(立派な)家」などの形で用いられる事も多い。ここから更に材質を離れた“káni-otop”「金の(麗しき)髪」といった比喻もなされる。: ②(化学)[名]金 konkani (新)※(原子番号79番。元素記号 Au): ③[自]金(金色)になる、である

konkanine (新): [他]~を金(金色)にする
 konkanineka (konkaninere) (新): [名]
 金色 konkaniiro (新)
ぎん(銀) ①(鉱物)[名]銀 sirokani (sirokane)
 (石狩): ②(化学)[名]銀 sirokani (新)※
 (原子番号 47 番。元素記号 Ag): ③[自]
 銀(銀色)になる、である sirokanine (新):
 [他]~を銀(銀色)にする sirokanineka
 (sirokaninere) (新): [名]銀色
 sirokaniiro (新)
きんいん(金印) [名]金印 konkaniitokpa
 (新)
ぎんが(銀河) (宇宙)[名]銀河 nociwmoy
 (新)
 キンカジュー (動物)[名](アライグマ科)キンカ
 ジュー属 potos-cise (新): [名]キンカ
 ジュー potos (新)※(学名)
ギンガメアジ(銀紙鰺) (魚介)[名](アジ科)ギン
 ガメアジ属 sirokanikampiaji-cise (新):
 [名]ギンガメアジ sirokanikampiaji (新):
 [名]カスマアジ surkuaji (新): [名]カッ
 ポレ kunneaji (新): [名]ロウニンアジ
 yayreskaaji (新)
きんきゅう(緊急)(表現)~に関して緊急である
 situnaskar kuni (新): (表現)緊急である
 isitunaskar kuni (新): (表現)緊急に
 isitunaskar kunine (新): (表現)緊急事態
 cisitunaskar kunip (新)
きんぎょ(金魚) [名]金魚 kosonteceppo
 (新): [自]金魚 掬いをする
 kosontecepponise (新)
キングスタウン [場名](セントビンセントおよ
 びグレナディーン諸島の首都名)キングスタ
 ウン Kingustaun (新)
きんこ(禁固) [自]人を禁固する irooreakar
 (新): [他]~を拘留する róoreakar (新)
 ※(牢内に座る kar): [他](場所)に~を禁固
 する erooreakar (新): [他]~と共に~を
 禁固する kooreakar (新): [他](原因、手
 段)で~を禁固する orooreakar (新):
 [他](人)に~を禁固させる róoreakare
 (新): [名]禁固刑 irooreakar-oipanakte
 (新): [名]無期禁固 iutursak-irooreakar
 (iutussak-) (新): [名]有期禁固
 iuturkor-irooreakar (新)
きんこ(禁固) [名]禁固 róorea (新): [名]
 禁固刑 róorea-ipanakte (新)
きんこ(金庫) [名]金庫 ikoromapu (新)※
 (現金や貴重品を入れる施設や容器)
キンコウ(錦江) [名]錦江 Kumgan-pet (新)
 ※(大韓民国を流れ黄海に注ぐ川)
ぎんこう(銀行) [場名]銀行 cieikoreykiusi
 (新)、[名] banku (新)※(英語)
ギンザケ(銀鮭) (魚介)[名](サケ属)ギンザケ

matcep (B)
きんし(禁止) ①[自]禁止する ecikise (新):
 [他]~を禁止する eecikise (新): [他]~
 に対して禁止する、~と共に禁止する
 koecikise (新): [他](原因、手段)で禁止す
 る oecikise (新): [他](人)に禁止させる
 ecikisere (新): [自]自分で、一人で禁止す
 る yaykoecikise (新): [自]互いに、皆で
 禁止する ukoecikise (新): [自]完全に禁
 止する oarecikise (arecikise) (新): [自]
 厳しく禁止する toykoecikise (新):
 [他](人)に~を禁止させる eecikisere
 (新): ②(法律、きまりとして)[自]禁止にな
 る、である hattone (新): [他]~を禁止
 にする hattoneka (hattonere) (新)(表現)
 禁止になる、なっている hattonene (石狩)
ぎんしゅ(銀朱) [自]銀朱になる、である
 kániohure (新)※(金属(水銀)に由来する赤
 である): [他]~を銀朱にする、朱に染める
 káni-ohureka (-ohurere) (新): [名]銀朱
 色 kániohure-iro (新)
きんしんそうかん(近親相姦) [名]近親相姦
 setapuri (石狩): (表現)近親相姦する
 setapuri kor (石狩)
きんせい(金星) (宇宙)①[名](太陽系の二番惑
 星名)金星 Pekennociw (新)、[名] Venus
 (新)※(羅語): ②[固名]明けの明星
 Nisatcaot (アイヌの星): ③[固名]宵の明
 星 Suwaranociw (天塩)、[名]
 Aronumannociw (アイヌの星)、[名]
 Onumannociw (アイヌの星)
ギンセン(銀川) [場名](中華人民共和国の寧夏
 回族自治区の首府名)銀川 Yincuan (新)
キンセンカ(金盞花) (植物)[名](キク科)キンセ
 ンカ属 nupurkikukina-cise (新): [名]キ
 ンセンカの茎葉 nupurkikukina (新)、[名]
 miriamkorkonkanikina (新)、[名]その花
 nupurkiku (新)、[名] miriamkorkonkani
 (新)※(別名「カレンデュラ」、「ポットマリー
 ゴールド」): [名]カレンデュラ・アルベン
 シスの茎葉 núp-nupurkikukina (新):
 [名]カレンデュラ・マリティマの茎葉
 pisun-nupurkikukina (新)
きんぞく(金属) [名]金属 káni (káne) (石
 狩)
きんちゃく(巾着) [名]巾着 sísampukuru
 (新)、[名] kincaku (新)
きんちゃくがい(巾着貝) (魚介)[名](イタヤガ
 イ科)キンチャクガイ属 sísamaykapsey
 (新): [名]キンチャクガイ sísamaykapsey
 (新): [名]ヒナキンチャク moaykapsey
 (新): [名]マメキンチャク
 nokanaykapsey (新): [名]リュウキュウ
 キンチャク rucuaykapsey (新)

きんとう(近東) [場名] 近東 Hankecupka (新)

ぎんなん(銀杏) [名] 銀杏 ginnan (新)※(銀杏の種子)

きんぱく(緊縛) [自] 人を緊縛する itoykosina (新): [他] ~を緊縛する toykosina (石狩): [他](場所)で~を緊縛する etoykosina (新): [他](場所)に~を緊縛する kotoykosina (新): [他] ~と共に~を緊縛する kotoykosina (新): [他](原因、手段)で~を緊縛する otoykosina (新): [他](人)に~を緊縛させる toykosinare (新): [自] 自分を緊縛する yaytokosina (新): [自] 緊縛し合う、皆を緊縛する utoykosina (新): (表現) ~を緊縛して吊るす toykosina wa ratkire (新)

きんぱつ(金髪) [名] 金髪 konkaniotop(-i) (石狩)

きんべん(勤勉) [自] 勤勉である niwasnu (石狩)※(対義語は"toranne"): [他](人)を勤勉にさせる niwasnure (新): [名] 勤勉な人 niwasnukur (石狩)

キンボウゲ(金鳳花) (植物)[場名](古生花被植物亜綱)キンボウゲ目 (新): [名] キンボウゲ科 (新): [名] キンボウゲ属 (新): [名] イチリンソウの茎 (新): [名] オウレン属 (新): [名] オオヒエンソウ属 (新)※(デルフィニウム属とも): [名] オキナグサ属 (新): [名] オダマキ属 (新): [名] カラマツソウ属 (新): [名] キタダケソウ属 (新)※(ヒダカソウ属とも): [名] キンバイソウ属 (新): [名] クリスマスローズ属 (新): [名] クロタネソウ属 (新): [名] サラシナショウマ属 (新): [名] シラネアオイ属 (新): [名] シロカネソウ属 (新): [名] セツブンソウ属 (新): [名] センニンソウ属 (新): [名] チドリソウ属 (新)※(ヒエンソウ属とも): [名] トリカブト属 (新): [名] バイカモ属 (新): [名] ヒメキンボウゲ属 (新): [名] フクジュソウ属 (新): [名] ミスミソウ属 (新): [名] モミジカラマツ属 (新): [名] リュウキンカ属 (新): [名] ルイヨウショウマ属 (新): [名] レングショウマ属 (新): [名] アケビ科 (新): [名] サルゼントカズラ科 (新): [名] スイレン科 pékaoetukpeikkew-apa (新): [名] ツツラフジ科 (新): [名] マツモ科 (新): [名] メギ科 sikni-apa (新)

きんゆう(金融) [名] 金融 ikormomka (新)、[名] finance (新)※(英語): [場名] 金融市場 cimomkaikor-eiyokusi (新)、[名] cimomkaikor-market (新): [名] 金融商品 ikormomka-cihoki (新)、[名] ikormomka-cisoki (新)

きんようび(金曜日) [場名] 金曜日 kánito

(新)

きんりょくせき(金緑石) [名] 金緑石 konkanisiwniysuma (新)、[名] xurisoberir (新)※(英語)

きんれい(禁令) [名] 禁令 hatto (石狩): (表現) 禁令がある hatto an (石狩): (表現) 禁令を犯す hatto hayta (新)

く(九) →「きゅう(九)」を見よ

ぐ(具) (表現) ~の具 ~ or an=omare p (新)、(表現) ~ oske an=omare p (新): (表現) お汁の具 rur or an=omare p (新)

ぐあい(具合) ①[自] 具合が良くなる、良い pirka (石狩): [他] ~で具合が良なる、良い epirka (石狩): 「私達はよく休んでそれで具合が良いのだよ。」“Pirkano sini=as wa ci=epirka ruwe ne na.”: [副] 具合良く irammakaka(-no) (石狩)、[副] useno (石狩)、[副] pirka(-no) (石狩): ②[自] 具合が悪くなる、悪い wen (石狩): [他] ~で具合が悪くなる、悪い ewen (石狩): 「昨日はとても暑くて私はそれで具合が悪くなった。」“Numan sonno sissesek kusu ku=ewen.”: [副] 具合悪く wen(-no) (石狩)、[副] irammakakasakno (新)

グアテマラ [場名](国名)グアテマラ共和国 Guatemala Ukotankoremosir (新)※(首都は「グアテマラ市」): [場名](国名の通称として)グアテマラ Guatemala (新): [名] グアテマラ人、国民 guatemalaunkur (新): [場名](グアテマラ共和国の首都名)グアテマラ市 Guatemala-si (新)

グアラニー [名] グアラニー人 guaranikur (新)※(南米の先住民の一つ): [名] グアラニー語 guaranikur-itak (新)※(トゥピ・グアラニー語族の言語。パラグアイ共和国の公用語の一つ)

クアラルンプール [場名](マレーシアの首都)連邦領クアラルンプール Ukosineatkipkor Kuara Rumpur (新): [場名](先の略称として)クアラルンプール Kuara Rumpur (新)

クァンジュ(光州) [場名](大韓民国の都市名)光州広域市 Kuwanju-sepsisserkesi (新)

くい(杭) ①[名] 杭 ikuspe (沙流)、[名] 柱と区別する時の言葉として kuy (新)※(日本語)、[名] ni (石狩): (表現) 杭を打つ ikuspe ekikkar (新)、(表現) ni asi (石狩): (表現) 杭を地面に打つ ikuspe toyka(-si, -sike) etarare (新): [場名] 杭頭 ikuspepa(-ke) (新): [名] 杭打ち機 ikuspeekikkarpe (新): [名] (穴クマ狩の際に穴の前に杭を立てるが、穴の上に立ち木がない時)杭をしばりつけるため立てる木 ukni (石狩): ②[名] 築杭 urayni (石

狩): [名]築杭の列 uraytes (石狩): ③
 テシ、漁具として川に打ち込む杭の列 tes
 (石狩): (表現)テシを作る tes kar (石
 狩): (表現)テシを立てる tes as (石狩)
くいあらため(悔い改め) [自] 悔改める
 ieosiwen (新): (表現)悔い改める
 yayokapaste wa yaypuripirkare (新):
 [他]~を悔改める eosiwen (天塩):
 [他](場所)で~を悔改める eeosiwen (新):
 [他]~と共に~を悔改める koeosiwen
 (新): [他](原因、手段)で~を悔改める
 oeosiwen (新): [他](人)に~を悔改めさせ
 る eosiwente (新): [他]自分で、一人で
 ~を悔改める yaykoewen (新): [他]互い
 に、皆で~を悔改める ukoeosiwen (新):
 [他]~を激しく悔改める eosiwenruy
 (新): [他] eosiwenkoyaykus (新): [他]
 ~を物凄く悔改める toykoeosiwen (新)
くいき(区域) [場名]区域 sisserke (sirserke)
 (新)、[場名] sir(i) (新)
くいきそ(杭基礎) [名] 杭基礎 ikuspe-
 sosinrit-ci) (新)
くいこむ(食い込む) [自] 食い込む ren (石
 狩): [他](場所)で食い込む eren (新):
 [他](場所)に食い込む koren (新)、[他]
 oren (石狩): [他]~と共に食い込む
 koren (新): [他](原因、手段)で食い込む
 oren (新): [自]突然食い込む rentek
 (新): [自]完全に食い込む oanren
 (anren) (新): [自]減茶苦茶食い込む
 toykoren (新): [自]前部が食い込む eren
 (新): [自]後部が食い込む oren (新):
 [他]~を食い込ませる renka (石狩):
 [他](場所)で~を食い込ませる erenka
 (新): [他](場所)に~を食い込ませる
 korenka (新): [他]~と共に~を食い込ま
 せる korenka (新): [他](原因、手段)で
 ~を食い込ませる orenka (新): [他](人)
 に~を食い込ませる renkare (新): [他]
 一瞬で~を食い込ませる rentekka (新):
 [他]自分で、一人で~を食い込ませる
 yaykorenka (新): [他]互いに、皆で~を食
 い込ませる ukorenka (新)
くいしんぼう(食いしん坊) [名] 食いしん坊
 iperuykur (石狩)、[名] kemaste (石狩)、
 [名] ómakuray (八雲)※(大飯食らい)
くいちがい(食い違い) [名] 食い違い
 herakora (美幌)※(C 2 p. 552): (表
 現)食い違いがある herakora an (新)
くいちぎる(食いちぎる) (表現)一度噛んで~
 を食いちぎる ~ kuy wa tuye (複数
 tuypa) (新): (表現)何度も噛んで~を食
 いちぎる ~ kuykuy wa tuye (複数
 tuypa) (新): (表現)動物が噛みつき(振り

回すなど咀嚼によらず)~を食いちぎる ~
 kupa wa tuye (複数 tuypa) (新): [他]~
 を食いちぎる tuye (複数 tuypa) (石狩):
 [他]~の先を食いちぎる etuye (複数
 etuypa) (石狩)
グイマツ(グイ松)(植物)[名](カラマツ属)グイマ
 ツの茎 kuy (樺太、千島)※(ダフリアカラ
 マツの変種。別名「シコタンマツ」)
くいる(悔いる) [自] 自分の非を悔いる
 yayokapaste (沙流)、[自] yaykopaste
 (石狩): [他]~に関して自分の非を悔いる
 eyayokapaste (新): [他](人)に自分の非を
 悔いさせる yayokapastere (新)
クウェート [場名] (国名)クウェート国
 Kuwayto Mosir (新)※(首都は「クウェー
 ト」): [場名](国名の通称、あるいは首都名
 として)クウェート Kuwayto (新): [名]
 クウェート人、国民 kuwaytounkur (新)
クウェゼリン [名](地名)クウェゼリン環礁
 Kuwarein-sikarisanguso (新)※(太平洋
 のマーシャル諸島のラリック列島にある島。
 マーシャル諸島共和国よりアメリカ合衆国
 が賃借し軍事施設を置いている)
くうきがぬける(空気が抜ける) [自] すうっと
 ~から空気が抜ける omawposo (樺太白
 浦)
グーグー [擬声](腹のなる音)グーグー
 kuyatat (新): [自](腹の中が)グーグー鳴
 る kuyatatke (天塩): (表現)腹の中がグ
 ーグー鳴る oske kuyatatke (天塩)
くうぐん(空軍) [名] 空軍 nisoruntum (新)
くうこう(空港) [名] 空港 sintatomari (新)
くうしつ(空室) [名] 空室 ohatumpu (新):
 (表現)空家になる、なっている tumpu oha
 (新): (表現)空家にする cise ohare (新)
くうしゅう(空襲) [自] 空襲する
 nisorocorawki (新): [他](場所)を空襲する
 enisorocorawki (新): [他]~を空襲する、
 ~と共に空襲する konisorocorawki (新):
 [他](原因、手段)で空襲する onisorocorawki
 (新): [他](人)に空襲させる
 nisorocorawki (新): [自]自分で、一人で
 空襲する yaykonisorocorawki (新):
 [自]皆で空襲する、空襲し合う
 ukonisorocorawki (新): [自]充分空襲す
 る nisorocorawki (nisorocorawkinu)
 (新): [自]激しく空襲する
 toykonisorocorawki (新): [名]東京大空襲
 Tokioko-toykonisorocorawki (新)
ぐうすう(偶数) (数学)[名] 偶数
 ciusarayeeaskay-cipiskip (新): (表現)偶
 数 tup ranke an=usaraye easkay cipiskip
 (新)
ぐうぞう(偶像) [名] 偶像 inoka (石狩)、[名]

idor (新)※(独語): (表現)偶像を造る
inoka kar (新): [自]偶像崇拝をする
inokanomi (新): [名]偶像崇拝者
inokanomikur (新)

くうぞく(空賊) ①[名]空賊 sinta-oikkakur (新)、[名] hopuni-ikkakur (新)、[名] sinta-oikkap (新): [自]空賊行為を行う sinta-oikka (新): ②(集団として)[名]空賊行為 sinta-topattumi (新): (表現)空賊行為を行う sinta-topattumi sanke (新)、(表現) topattumi ranke (新)

くうちゅう(空中)[場名]空中 nisor(・o) (石狩): (表現)空中にある nisor(長形・o) ta an (新): [連体]空中にある nisorun (新): [自]空中に向かう enisorun (新): [副]空中に enisorun (新): [自]空中から向かって来る onisorun (新): [副]空中から onisorun (新)

くうちゅうせん(空中戦) [名] 空中戦 nisottumi (新)

ぐうていいるい(偶蹄類) (動物)[名]偶蹄類 ciusarayeeaskay-usiskorpe utar (新)※(ウシの仲間)

くうどう(空洞) [自]空洞になっている situmsak (新): [他]～を空洞にする situmsakka (新): [名]空洞煉瓦 situmsak-sumatoy (新)

くうふく(空腹) [自]空腹になる、である iperusuy (石狩)、[自] ipeorakse (屈斜路)、[自](雅) mawa (幌別): [他]人を空腹にする iperusuyre (新)、[他] ipeoraksere (新): (表現)空腹感を覚える iperusuy hum(・i) yaynupare (nu) (新): [自]空腹で眠つかれない parkomonak (幌別): [自]空腹でたまらない sampecinoypa (幌別)、[自] sampesikirpa (新) ※(美幌)

くうろ(空路)[名]空路 nisru(・we) (新)

ぐかく(具格) (言語)[名]具格 cieiwankeprewke (新)※(道具格)

くがつ(九月)[名]九月 yascup (石狩)、[名] urepok (南空知、栗山)

くかんどうみやく(軀幹動脈)[名]軀幹動脈 niskut(・u) (石狩): (表現)癩を起す niskutu arka (石狩)

くき(茎) ①(植物の)[名]茎 netopa(・ke) (石狩): ②(地下部を食用とする植物の)[名]茎、葉 ra (H)※(今後外来の野菜などをアイヌ語訳する時に用いていく): ③(樹木の)[名]茎 ni (H): ④(草の)[名]茎 nit(・ci) (石狩): [名]草の茎 munnetopa (munetopa) (石狩)、[名] munnit (天塩)

くぎ(釘)[名]釘 kánisikay(・e) (宗谷): (表現)釘を打つ kánisikay kar (新): (表現)

釘を抜く kánisikay etaye (複数 etaypa) (新): [名]目釘 sikay (石狩)

くぎざき(釘裂き)[他](衣服などに)釘裂きを作る mestekka (新)、[他] mestektek (沙流): (表現)人が釘に引っ掛けて～に釘裂きを作る kánisikay an=eókok hine ～ an=mestekka (an=mestektek) (新): [自]～に釘裂きができる simestekka (新)、[自] simestektek (新)

ググッ [間投](咽喉が鳴る)ググッという音 kayay (石狩): [自](咽喉が)ググッと鳴る kayayse (石狩): (表現)～の咽喉がググッと鳴る rekuci kayayse (石狩)

ククメロプシス (植物)[名](ウリ科)ククメロプシス属 asummerompunkar-cise (新): [名]ククメロプシス・マンニイの茎 summerompunkar (新)、[名]その果実 summeron (新)、[名]その種 summerompi (新)※(油メロン蔓)

くぐりぬける(潜り抜ける) ①(土の中、穴や障害のある場所、危険な場所、あるいは危険などに関して)[他]潜り抜ける oposo (複数 opospa) (石狩)、[他] poso (複数 pospa) (石狩、天塩): [他](場所)へと～を潜り抜ける kooposo (複数 koopospa) (新)、[他] koposo (複数 kopospa) (新): [他]～と共に～を潜り抜ける kooposo (複数 koopospa) (新)、[他] koposo (複数 kopospa) (新): [他](原因、手段)で～を潜り抜ける ooposo (複数 oopospa) (新)、[他] oposo (複数 opospa) (新): [他](人)に～を潜り抜けさせる oposore (複数 opospare) (新)、[他] posore (複数 pospare) (新): [他]素早く～を潜り抜ける opostek (postek) (新): [他]素早く(人)に～を潜り抜けさせる opostekka (postekka) (新): ②[自]土を潜り抜ける otoyposo (複数 otoypospa) (新): [他]～に土を潜り抜けさせる otoyposore (複数 otoypospare) (新): [自]素早く土を潜り抜ける otoypostek (石狩): [他]素早く～に土を潜り抜けさせる otoypostekka (新): ③[自]危機を潜り抜ける onumposo (石狩): [他]～に危機を潜り抜けさせる onumposore (新): [自]素早く危機を潜り抜ける onumpostek (新): [他]素早く～に危機を潜り抜けさせる onumpostekka (新)

くぐる(潜る) ①(土の中、穴や障害のある場所、危険な場所、あるいは危険などを潜り抜ける事を示し)[他]潜る oposo (複数 opospa) (石狩)、[他] poso (複数 pospa) (石狩): [他](人)に～を潜らせる oposore (複数 opospare) (新)、[他] posore (複数

pospare) (新): [他]素早く～を潜る
 opostek (postek) (新): [他]素早く(人)に
 ～を潜らせる opostekka (postekka)
 (新): [自]土を潜る otoyposo (複数
 otoypospa) (新): [他]～に土を潜らせる
 otoyposore (複数 otoypospare) (新): [自]
 素早く土を潜る otoypostek (石狩): [他]
 素早く～に土を潜らせる otoypostekka
 (新): [自]危機を潜る onumposo (石狩):
 [他]～に危機を潜らせる onumposore
 (新): [自]素早く危機を潜る onumpostek
 (新): [他]素早く～に危機を潜らせる
 onumpostekka (新): ②(水に潜る事を示し)
 [自]潜る horaye (複数) (石狩)、[自]
 rar (天塩)、[自] rawkuske (沙流)、[自]
 rawoahun (萱): [他](人)に～を潜らせる
 horayere (複数 horaypare) (新)、[他]
 rarka (ráre) (新): [自]サッと潜る
 rawosma (石狩): [他](人)に～をサッと潜
 らせる rawosmare (新)

くさ(草) ①[名](人にとって有用な)草 kina
 (石狩): [名](人にとって役に立つ)草 mun
 (石狩): ②[名]草の芽 múnepuy
 (múnepuyke) (石狩): [名]草の花
 múnappo (新)、[名] múnepuy
 (múnepuyke) (石狩): [名]草の穂
 mumpus (新)、[名] múnepuy
 (múnepuyke) (石狩): [名]草の実
 munkaop (新)、[名] múnepuy
 (múnepuyke) (石狩): [名]食べられる草
 の実 munharu (新): [名]草の茎
 munnetopa (múnetopa) (石狩)、[名]
 munnit (天塩): [名]草の棘 munnay
 (石狩)、[名] múnay (新): [名]草の葉
 munham (石狩): [名]草の根 muysinrit
 (石狩): ③(表現)草が生える mun etuk
 (石狩): (表現)草が枯れる mun ci (石狩)

くさかり(草刈り) [自]草刈する móse (石狩、
 天塩)、[自] muntuye (天塩): [他](場所)
 で草刈する emose (新)、[他] emuntuye
 (新): [他](手段)で草刈する omose (新)、
 [他] omuntuye (新): [他](人)に草刈させ
 る móseka (mósere) (新)、[他]
 muntuyere (新)

クサズリガイ(草摺貝) (魚介)[名](ウスヒザラ
 ガイ 亜科)クサズリガイ科 samormeyo
 (新): [名]クサズリガイ samormeyo
 (新): [名]オオクサズリガイ
 porosamormeyo (新): [名]ニシキヒザラ
 ガイ kanimeyo (新): [名]ヒザラガイ
 yayanmeyo (新)

くさだんご(草団子) [名](茹で干したヨモギ
 と粟粉などで作った)草団子 noyasito (石
 狩)

くさつゆ(草露) [名](有用な)草露、草の汁
 kinape (石狩): [名]草露、雑草の露
 mumpe (石狩)

クサトベラ(草海洞花) (植物)[名](キキョウ目)
 クサトベラ科 munneni-apa (新): [名]
 クサトベラ属 munneni-cise (新): [名]
 クサトベラの茎葉 munneni (新): [名]ア
 ントチウム属 antotium-cise (新): [名]
 ヴェレアウクシア属 vareauksia-cise
 (新): [名]ヴェレイア属 vereia-cise (新):
 [名]ゴオデニア属 goodenia-cise (新):
 [名]コオペモオキア属 kopemookia-cise
 (新): [名]セリエラ属 seriera-cise (新):
 [名]ダムビエラ属 dampiera-cise (新):
 [名]ディアスパシス属 diaspasis-cise
 (新): [名]ペンタプチロン属 pentaptiron-
 cise (新): [名]レケナウルチア属
 rekenaurtia-cise (新)

くさと(草取り) [自]水田、畑の草取りをする
 toymunkar (石狩): [他](場所)で草取りを
 する etoymunkar (新): [他]～と共に草
 取りをする kotoymunkar (新): [他](原
 因、手段)で草取りをする otoymunkar
 (新): [他](人)に草取りをさせる
 toymunkare (新): [自]自分で、一人で草
 取りをする yaykotoymunkar (新): [自]
 皆で草取りをする ukotoymunkar (新)

くさのま(草の間) (鐘の部分名称)[場名]草の間
 cupkes(-e) (新)

くさのむし(草の虫) [名](憎い敵を喻えて)草の
 虫 munkikir (石狩)※(toykikir 「土の虫」
 と対で用いられる事が多い)

くさぶえ(草笛) [名]草笛 cirettekuttar (天
 塩): (表現)草笛を吹く cirettekuttar
 rekte (rette) (新)

くさむら(草叢) [場名]草叢 muntum(-u、-
 ke) (新)、[名] múnusi (新)

クサヤツデ(草八手) (植物)[名](キク科)クサヤ
 ツデ属 arwampetkor-hamuskikukina-cise
 (新): [名]クサヤツデの茎葉
 arwampetkor-hamuskikukina (新)※(別名
 「カンボクソウ」、「ヨシノソウ」)

くさり(鎖) [名]鎖 uotkani (新)、[名]
 uotkane (沙流): [名]金の鎖 uotkonkani
 (新)、[名] konkani-uotkani (新): [名]銀
 の鎖 uotsirokani (新)、[名] sirokani-
 uotkani (新): [名]鉄の鎖 uotkunnekani
 (新)、[名] kunnekani-uotkani (新): [名]
 鋼鉄の鎖 uoteenkani (新)、[名]
 eenkani-uotkani (新)

くさりかたびら(鎖帷子) [名]鎖帷子
 uotkanihayokpe (新)、[名]
 uotkanehayokpe (新)

くさりぬい(鎖縫) [名]鎖縫 ohoru (石狩)

くさる(腐る) ①(植物性のものが)[自]腐る munin (石狩)※(但し石狩川筋では動物性のものでもこの語を用いる。尚、今後は金属などの腐食に関してもこの語を用いていく): [他](場所)で腐る emunin (新): [他]〜と共に腐る komunin (新): [他](原因)で腐る omunin (新): [他]〜を腐らせる muninka (muninte) (新): [自]完全に腐る oarmunin (armunin) (新): [自]ひどく腐る sirkomun (石狩): ②[自](動物性のものが)[自]腐る hosse (石狩)、[自]horse (八雲): [他]〜を腐らせる hosseka (hossere) (新)、[他] horsere (新): ③[自]腐って食べられなくなる nipopke (八雲): [他]〜を腐って食べられなくする nipokere (新)

くし(串)[名]串 nit-(ci) (石狩): [名]イオマンテで用いる団子を刺す串 sitonit-(ci) (石狩): [名]和風の団子を刺す串 poysitonit-(ci) (石狩): [名]串団子 nitetarasito (新)

くし(櫛)[名]櫛 kiray-(e) (石狩)、[名]sapakiray-(e) (石狩)

クシケアリ(櫛毛蟻)(昆虫)[名](フタフシアリ亜科)クシケアリ属 kiraynumaus-itunnapp-cise (新): [名]エゾクシケアリ yaunkiraynumaus-itunnapp (新): [名]オモビロクシケアリ eparakiraynumaus-itunnapp (新): [名]カドクシケアリ sikkeween-itunnapp (新): [名]キイロクシケアリ uparuskiraynumaus-itunnapp (新): [名]キタクシケアリ kimunkiraynumaus-itunnapp (新): [名]クロキクシケアリ riktakiraynumaus-itunnapp (新): [名]シワクシケアリ yomyomkiraynumaus-itunnapp (新): [名]ツボクシケアリ episeunkiraynumaus-itunnapp (新)

クシマンセ(動物)[名](マングース科)クシマンセ属 kuśimanse (新): [名]クシマンセ yayan-kuśimanse (新): [名]アレキサンダークシマンセ areksander-kuśimanse (新): [名]アンゴラクシマンセ angoraun-kuśimanse (新): [名]ベニンクシマンセ ekocipika-kuśimanse (新)

ぐしゃ(愚者)[名]愚者 ramuisamkur (新)

クジャクイカ(孔雀烏賊)(魚介)[名](サメハダホオズキイカ科)クジャクイカ亜科 kesorapepetpetke-moapa (新): [名]クジャクイカ属 kesorapepetpetke-cise (新): クジャクイカ kesorapepetpetke (新): [名]エゲア属 egea-cise (新): [名]ホソミホオズキイカ sattekatuyimerunum (新): [名]オオホオズキイカ属

poroatuyimerunum-cise (新): [名]オキノホオズキイカ repunatuyimerunum (新): [名]ゴマフホオズキイカ属 kesoatuyimerunum-cise (新): [名]サヤボソイカ属 konciane-atuyimerunum-cise (新): [名]スカシイカ属 pekennoepetpetke-cise (新): [名]ダイオオホオズキイカ属 síporoepetpetke-cise (新): [名]ナミダホオズキイカ属 cikpekatkor-atuyimerunum-cise (新): [名]ニセクジャクイカ属 cikesorap-atuyimerunumkopa-cise (新): [名]キタノクジャクイカ koykakesorap-atuyimerunum (新): [名]メナガイカ属 sikitanneatuyimerunum-cise (新): [名]リグリエラ属 riguriera-cise (新): [名]ミナミホオズキイカ koypok-atuyimerunum (新)

くじゃくいし(孔雀石)[名]孔雀石 kesorapsuma (新)、[名]maraxite (新)※(英語)

クジャクガイ(孔雀貝)(魚介)[名](イガイ科)クジャクガイ属 kesorappaskutto-cise (新): [名]クジャクガイ kesorappaskutto (新): [名]シロインコ retarkesorappaskutto (新): [名]ヒメイガイ mokesorappaskutto (新): [名]ミノクジャクガイ minokesorappaskutto (新): [名]ムラサキインコ pewrekinapeus-kesorappaskutto (新)

くしゃくしゃ[他](毛)をくしゃくしゃにする sitosito (幌別): (表現)自らの頭髪を我は解き解きし、それをくしゃくしゃにし身に振り被った an=kimúyuspe an=pitápita ay=sitósito ay=sikáomare (新)※(幌別)

くしゃみ[自]くしゃみをする esna (石狩): [他](場所)でくしゃみをする esna (新): [他]〜と共にくしゃみをする koesna (新): [他](原因、手段)でくしゃみをする oesna (新): [他](人)にくしゃみをさせる esnaka (esnare) (新): [自]自分で、一人でくしゃみをする yaykoesna (新): [自]皆でくしゃみをする ukoesna (新): [自]滅茶苦茶くしゃみをする toykoesna (新): (表現)くしゃみした人へかける言葉)お大事に síkonci kor (石狩)、(表現) síkotaci (石狩)

くじょ(駆除)[他]〜を駆除する ioronnun (新): [他](人)に〜を駆除させる ioronnure (新)

ぐしょぬれ(ぐしょ濡れ)[自]ぐしょ濡れになる、である péposo (石狩): [他](場所)でぐしょ濡れになる、である epeposo (新): [他]〜と共にぐしょ濡れになる、である

kopeposo (新): [他](原因、手段)でぐしょ濡れになる、である opeposo (新): [他]へをぐしょ濡れにする péposore (新): [自]完全にぐしょ濡れになる、である oarpeposo (arpeposo) (新): [自]滅茶苦茶ぐしょ濡れになる、である toykopeposo (新)

クジラ(鯨) ①(動物)[場名](鯨偶蹄目)ハクジラ亜目 nimakkorhumpe-mokotan (新): [場名]アカボウクジラ上科 cikapetuhumpe-apapa (新): [場名]アマゾンカワイルカ上科 amazmpetoruntannu-apapa (新): [名]アマゾンカワイルカ科 amazmpetoruntannu-apa (新): [名]ラブラタカワイルカ科 rápuratapetoruntannu-apa (新): [場名]カワイルカ上科 pétoruntannu-apapa (新): [場名]スクアロドン上科 samehumpe-apapa (新)※(絶滅): [場名]マイルカ上科 sitannu-apapa (新): [名]マイルカ科 sitannu-apa (新): [名]イッカク科 kitetannu-apa (新): [名]ネズミイルカ科 tuwayuk-apa (新): [場名]マッコウクジラ上科 yákihumpé-apapa (新): [名]マッコウクジラ科 yákihumpé-apa (新): [名]マッコウ科 moyakihumpé-apa (新): [場名]ヨウスコウカワイルカ上科 campetoruntannu-apapa (新): [場名]ヒゲクジラ亜目 rékushumpe-mokotan (新): [名]コククジラ科 osakankehumpe-apa (新): [名]コセミクジラ科 morekushumpe-apa (新): [名]セミクジラ科 setursararehumpe-apa (新): [名]ナガスクジラ科 oaspeushumpe-apa (新): [場名]原クジラ亜目 motohumpe-mokotan (新)※(絶滅): ②[名]クジラ humpe (H): [名]クジラ神 humpe-kamuy (石狩): [名]クジラの沖詞 písotki (幌別): [名](昔話の中で)クジラ repun-ekasi (幌別): [名]クジラの怪物 okina (H): [名]巨大なクジラの怪物 siyokina (幌別): [名]白鯨 retarhumpe (新): ③(関連語彙)[名]クジラの皮下脂肪組織 rika (石狩)、[名] humperika (石狩): [名]尾鰭 sar(-a) (沙流): [自](水中で)尾をはたはた動かす sarerarke (沙流): (表現)何度も尾をはたはた動かす sarerarke ranke (沙流): [自]胸で水を掻きわけすいすい進む mukecassecasse (新)、[自] mukecarsecarse (沙流): (表現)鯨の群が来る humpe-ciwas ek (沙流): (表現)クジラが寄り上がる humpe yan (石狩)

くじらぐうていもく(鯨偶蹄目) (動物)[場名](哺乳綱)鯨偶蹄目 humpe-ciusarayeeaskayusiskorpe-kotan (新): [場名]イノシシ亜目 nupputa-mokotan (新): [場名]ウシ亜目 peko-mokotan (新): [場名]カバ下目 pétumma-kotankes (新): [名]クジラ目 humpe-kotan (新): [場名]鯨凹歯下目 humpe-kotnenimakkorpe-kotankes (新): [場名]鯨反芻亜目 humpe-horkaiepe-mokotan (新): [場名]ラクダ亜目 rakuda-mokotan (新)

くず(屑) ①[名]屑、ゴミ mun (石狩): ②[名]屑、(糸を燃った時にできる)ささくれのような部分 sirma (石狩): [自](糸の)屑を切つてきれいにする sirmatuye (石狩): ③[名](細かい)屑、屑の塊 sit(-ci) (石狩): [名]芋の糟 imosit (石狩): [名]糸屑 kásit (沙流): ④[名](木など)細かい屑 uype (石狩): (表現)木の屑 ni uype (uypehe) (石狩): [名] kauype (沙流)

クズアナゴ(屑穴子) (魚介)[名](アナゴ亜科)クズアナゴ科 eenhamo-apa (新): [名]クズアナゴ属 eenhamo-cise (新): [名]クズアナゴ eenhamo (新): イトアナゴ属 kaeenhamo-cise (新): [名]イトアナゴ kaeenhamo (新): [名]キセルクズアナゴ属 kiserieenhamo-cise (新): [名]キセルクズアナゴ kiserieenhamo (新): [名]ハシクズアナゴ属 pasuyeenhamo-cise (新): [名]ハシクズアナゴ pasuyeenhamo (新): ヒバシアナゴ属 aepasuyeenhamo-cise (新): [名]ヒバシアナゴ aepasuyeenhamo (新): [名]フアッキオレラ属 fakkiorera-cise (新)

クスクス [間投]クスッ nik (新): [間投]クスクス niknik (新): [自]クスッと笑う nikse (新): [自]クスクス笑う niknikse (石狩): [自]自分で、一人でクスクス笑う yaykoniknikse (新): [自]互いに、皆でクスクス笑う ukoniknikse (新): [自](一回)クスッと笑う nikkosanu (新)、[自] nikkosampa (新): [自]クスクスと頻りに笑う cinikrototo (石狩)、[自] nikrototke (新): [自]クスクス笑い続ける niknatara (新): [自](瞬間的に)クスッと笑う niktek (新)

くすぐる(撓る) [自]人を撓る ihancikoko (新)、[自] ihawrototo (新): [他](人)を撓る hancikoko (宗谷)、[他] hawrototo (八雲): [他](人)に(人)を撓らせる hancikokore (新)、[他] hawrototore (新): [自]くすぐり合う uhancikoko (新)、[自] uhawrototo (新): [他](人)を撓り合

わせる、(人)に皆をを操らせる
uhancikokore (新)、[他] uhawrototore
(新): 方言辞典の p. 72 の「くすぐる」の
項目で旭川、名寄の言葉として
"uhancikokore"があるが、用例が皆無で、ま
たこれを単なる「～を操る」にするのは疑問
があるので、当面宗谷方言を元に造語してお
く。: [他] 人(人)にを操らせる
hancikokoyar (新)、[他] hawrototoyar
(新): [自] 操りたい sihancikoko (新)、
[自] hawrototke (新): (表現) 操りたい
cihancikoko pokon (pekor) humas (新)

くずす(崩す) [他] ～を崩す orakte (oratte)
(石狩)、[他] horakte (沙流): [他](場所)
で～を崩す eorakte (新): [他](場所)へ～
を崩す koorakte (新): [他] ～と共に～を
崩す koorakte (新): [他](原因、手段)で
～を崩す oorakte (新): [他](人)に～を崩
させる oraktere (新): [他] 瞬間的に～を
崩す oraktekka (新): [他] 自分で、一人
で～を崩す yaykoorakte (新): [他] 互い
に、皆で～を崩す ukoorakte (新): [他]
完全に～を崩す oarorakte (arorakte)
(新): [他] 滅茶苦茶に～を崩す
toykoorakte (新)

クスノキ (植物)[場名](モクレン類)クスノキ
目 ihurakusni-kotan (新): [名]クスノキ
科 ihurakusni-apa (新): [名]クスノキ属
ihurakusni-cise (新): [名]アカハダクス
ノキ属 (新): [名]アニバ属 (新): [名]カゴ
ノキ属 (新): [名]クロモジ属
sumnuhasni-cise (新): [名]ゲツケイジュ
属 (新): [名]シナクスモドキ属 (新): [名]
シロダモ属 (新): [名]スナヅル属 (新):
[名]タブノキ属 (新): [名]ニッケイ属 (新):
[名]ハマビワ属 (新): [名]ワニナシ属 (新):
[名]アセロスベルマ科 (新): [名]ゴモルテ
ガ科 (新): [名]シバルナ科 (新): [名]ハス
ノギリ科 (新): [名]モニミア科 (新): [名]
ロウバイ科 (新)

クズリ(屈理) (動物)[名](イタチ亜科)クズリ属
kuciri-cise (新): [名]クズリ kuciri (樺
太: 落帆): 亜種 [名] アメリカクズリ
amerikaun-kuciri (新): [名] ユーラシアク
ズリ eurašiaun-kuciri (新)

くすり(薬) [名] 薬 kusuri (石狩): [名] 粉薬
kónekusuri (新): [名] 丸薬 kusuritak(-
u) (新): [名] 常備薬 ciseorunkusuri
(新): [名] 良薬 pirkakusuri (新): (表
現) ～の特効薬 sínopirkare kusuri (新):
(表現) 胃痛の特効薬 yospearka sínopirkare
kusuri (新): [名] 毒薬 surkukusuri (石
狩): [名] 劇薬 iyaykiptekusuri (新):
[名] 麻薬 kinrakusuri (新)

くすりがけ(軸掛け) [自] 軸 掛 け する
icicirepuspeusi (新)、[自] icicirepkapkore
(新): [他] ～に軸掛けする cicirepuspeusi
(新)、[名] cicirepkapkore (新)

くすりゆび(薬指) ① [名] 薬 指 pónaskepet-
tutanuaskepet(-ci) (石狩)、[名]
imekianaskepet(-ci) (石狩)、[名]
otutanuaskepet(-ci) (天塩): ② [名] 人差
し指と薬指 uturuaskepet(-ci) (天塩)

クズル [場名](ロシア連邦シベリア連邦管区ト
ウヴァ共和国の首都名)クズル Kizir (新)

くずれおちる(崩れ落ちる) [自] 崩れ 落 ち る
orak (石狩)、[自] horak (沙流): [他](場
所)で崩れ落ちる eorak (新): [他](場所)
へ崩れ落ちる koorak (新): [他] ～と共
に崩れ落ちる koorak (新): [他](原因、
手段)で崩れ落ちる oorak (新): [自] 急に
ドッと崩れ落ちる orakkosanu (石狩)、
[自] orakkosampa (新): [自] 頻りに崩れ
落 ち る ciorakrototo (新)、[自]
orakrototke (新): [自] 続けて崩れ落ちる
oraknatara (新): [自] 瞬間的に、ちょっと
崩れ落ちる oraktek (orattek) (新):
[自] 滅茶苦茶に崩れ落ちる toykoorak
(新): [自](雅語)崩れ落ちる horaociwe
(石狩)、[自](雅語) ciraociwe (石狩): (表
現) 白骨が崩れ落ちる pitciwpone
horaociwe (石狩)

くずれる(崩れる) ①(崖や堆積物、建築物に関し
て)[自] 崩れる orak (石狩)、[自] horak
(沙流): [他](場所)で崩れる eorak (新):
[他](場所)へ崩れる koorak (新): [他] ～
と共に崩れる koorak (新): [他](原因、
手段)で崩れる oorak (新): [自] 急にドッ
と崩れる orakkosanu (石狩)、[自]
orakkosampa (新): [自] 頻りに崩れる
ciorakrototo (新)、[自] orakrototke (新):
[自] 続けて崩れる oraknatara (新): [自]
瞬間的に崩れる、ちょっと崩れる oraktek
(orattek) (新): [自] 完全に崩れる
oarorak (arorak) (新)[自] 滅茶苦茶に崩れ
る toykoorak (新): ②(ずれ動いて、ある
いはそうするように、また姿勢について)[自]
崩れる rutke (沙流): [自] どっと崩れる
rutkosanu (新)、[自] rutkosampa (沙
流): ③(造形や姿勢などに関して)[自] 崩れ
る hopita (石狩)

くせ(癖) [名] 癖 puri (石狩): [名](悪口とし
て)癖の悪い奴 owenkirurus (石狩):
[他] ～が癖になる eramus (幌別): (表
現)(赤子に)抱き癖がつく sikismayar
eramus (幌別)

クセロシキオス (植物)[名](ウリ科)クセロシキ
オス属 siwninkacakorpe-cise (新): [名]

クセロシキオス・ダングイの茎葉
siwninkakorpe (新)※(緑の太鼓を持つもの): [名]クセロシキオス・ペリエリの茎葉
mosiwninkakorpe (新)

くせんてい(駆潜艇) [名] 駆 潜 艇
rawkuskecip-koykicip (新): [名]特設駆潜艇
citumicipnere-rawkuskecip-koykicip (新)

くそ(糞) [名]糞 si (石狩): (表現)(悪口)糞くらえ! Sie! (石狩): [名]糞の塊 sitak (石狩)

くだ(管) [名]管 kuttar(i) (新): (表現)太い管 ruwe kuttar (新): (表現)細い管 áne kuttar (新): [自]管状になる、である kuttanne (新): [他]～管上にする kuttanneka (kuttannere) (新)

くだく(砕く) ①(手で揉んでばらばらにする事を示し)[他]～を砕く nuyanuya (石狩)、[他] nuyunuyu (天塩): [他](場所)で～を砕く enuyanuya (新): [他]～と共に～を砕く konuyanuya (新): [他](原因、手段)で砕く onuyanuya (新): [他](人)に～を砕かせる nuyanuyare (新): [他]滅茶苦茶～を砕く toykonuyanuya (石狩): ②(打撃などを与えたり落としたりしてばらばらにする事を示し)[他]～を砕く perpa (石狩)※(単数形は pere だが、この意味では通例複数形が用いられる): [他](場所)で～を砕く eperpa (新): [他]～と共に～を砕く koperpa (新): [他](原因、手段)で～を砕く operpa (新): [他](人)に～を砕かせる perpare (新): [他]ぱっと～を砕く pettekka (新): [他]自分で、一人で～を砕く yaykoperpa (新): [他]互いに、皆で～を砕く ukoperpa (新): [他]何度も～を砕く perpaperpa (新)、[他] perperpa (新): [他]滅茶苦茶～を砕く toykoperpa (新): [他]人に～を滅茶苦茶砕かせる perpayarpa (石狩)

くだけちる(砕け散る) [自]砕け散る pustek (石狩)、[自] pus (石狩): [他](場所)で砕け散る epustek (新)、[他] epus (新): [他]～と共に砕け散る kopustek (新)、[他] kopus (新): [他](原因、手段)で砕け散る opustek (新)、[他] opus (新): [他]～を砕け散らせる pustekka (石狩)、[他] puste (新)

くだける(砕ける) [自]砕ける perke (石狩): [他](場所)で砕ける eperke (新): [他]～と共に砕ける koperke (新): [他](原因、手段)で砕ける operke (新): [自]ぱっと砕ける pettek (新): [自]粉々に砕ける perkeperke (沙流)、[自] perperke (新): [自]滅茶苦茶に砕ける toykoperke (新):

[自]頻りに砕ける cipenrototo (新)、[自] penrototke (新): [自]砕け続ける péreratki (新): [自]続けて砕ける pennatara (新): [自](物語の中の慣用句に用いられ大地や村が)砕ける、裂ける uyake (石狩): 「…大地が裂け村が砕ける音がしつ…」 “… mosir uyake kotan uyake u humas kane …” (杉村キナラブック)

ください(下さい) ①(複数の相手、あるいは丁寧な表現)(表現)～を私に下さい ～ en=kore yan (石狩): 「お箸を下さい。」 “Pasuy en=kore yan .” (表現)～を私達に下さい ～ un=kore yan (石狩): ②(同輩あるいは目下に対する表現として)(表現)～を私に下さい ～ en=kore ya (石狩): (表現)～を私達に下さい ～ un=kore ya (石狩)

くだす(下す) ①[他](空から地上など高い所から低い所に)～を下す ranke (複数 rapte) (石狩): [他](高い場所から低いある場所)に～を下す eranke (複数 erapte) (石狩)、[他] koranke (複数 korapte) (新): [他] koranke (複数 korapte) (新): [他](場所)から～を下す oranke (複数 orapte) (新): [他](原因、手段)で～を下す oranke (複数 orapte) (新): [他](神が天からある場所)に(獲物や災害など)を下す oranke (石狩): ②[他](山から家や浜、山の上から下、川筋に上流から下流、支流から本流に)～を下す sanke (複数 sapte) (石狩)

くだもの(果物) [名]果物 tópenharu (新)

くだらない(下らない) [名] 下 ら な い 奴
otuyte (幌別)

くだりうお(下り魚) [名]下り魚 rancep (石狩): [名] 下 り 魚 を 獲 る 梁
rancepkoykiuray (石狩)

くだる(下る) ①(高い所から低い所に、空から地上に、水汲みに川辺に、魚が上流から下流に)[自]下る ran (複数 rap) (石狩): [他](場所)に下る eran (複数 erap) (石狩)、[他] koran (複数 korap) (石狩): [他]～と共に下る koran (複数 korap) (石狩): [他](場所)から下る oran (複数 orap) (石狩): [他](原因、手段)で下る oran (複数 orap) (石狩): [他](神によって何かが天からある場所)に下る oran (石狩): [自](天から地上、海上から海底に)下る horaye (石狩): [他](天から地上、海上から海底に)下る kohoraye (石狩): ②(山から家や浜、山の上から下、川筋に上流から下流、支流から本流に)[自]下る san (複数 sap) (石狩): [他](場所)に下る kosan (複数 kosap) (石狩)

くち(口) [名]口 par(-o) (石狩)、[名] car(-o, -u) (石狩): (表現)口だけである paro

(caro) patek ne (石狩): [名](合成語の構成要素として)口 pa (石狩)、[名] ca (石狩): [名]口が無い parsak (新)、[名] carsak (天塩)

くちうつし(口移し) [自] 口移しする iparotupte (新)、[他] icarotupte (新): [他] ~を口移しする parotupte (新)、[他] carotupte (新): [他] ~に~を口移しする koparotupte (新)、[他] kocarotupte (新): [他](人)に口移しさせる parotupteka (parotuptere) (新)、[他] carotupteka (carotuptere) (新)

くちうるさくのしる(口煩く罵る) [自] 口煩く人を罵る iusayekar (新): [他] 口煩く~を叱る usayekar (八雲): [他](人)に~を口煩く罵らせる usayekare (新)

くちがおもい(口が重い) [自](比喩的に)口が重い notaksak (沙流)

くちがきけない(口が利けない) [自] 口が利けない somoitak (石狩): [他](人)の口を利けなくする somoitakte (新): [名](悪口として)唾者 somoitakpe (石狩)

くちかず(口数) ①[自]口数が多くなる、多い ramuyupke (新)、[自] ramutunas (新): (表現)口数が多くなる、多い ramu yupke (石狩)、(表現) ramu tunas (天塩): [他](場所)で口数が多くなる、多い eramuyupke (新)、[他] eramutunas (新): [他] ~に対して口数が多くなる、多い koramuyupke (新)、[他] koramutunas (新): [他](原因、手段)で口数が多くなる、多い oramuyupke (新)、[他] oramutunas (新): [他] ~の口数を多くする ramuyupkeka (ramuyupkere) (新)、[他] ramutunaska (ramutunaste) (新): ②[自]口数が少なくなる、少ない ramuhawke (石狩): [他](場所)で口数が少なくなる、少ない eramuhawke (新): [他] ~に対して口数が少なくなる、少ない koramuhawke (新): [他](原因、手段)で口数が少なくなる、少ない oramuhawke (新): [他] ~の口数を少なくする ramuhawkeka (ramuhawkere) (新)

くちがたっしや(口が達者) [自] 口が達者である pawasnu (天塩)、[自] cawasnu (天塩)、[自] wayasnu (沙流): [他](人)の口を達者にする pawasnure (新)、[他] cawasnure (新)

くちがわるい(口が悪い) [自] 口が悪くなる、悪い parowen (石狩)、[他] carowen (新)

くちく(駆逐) [自] 駆逐する iokewe (複数 iokewpa) (新): [他] ~を駆逐する okewe (複数 okewpa) (石狩)※(複数形は沙流方言)、[他] kewe (石狩): [他](場所)で

~を駆逐する eokewe (複数 eokewpa) (新): [他](場所)へ~を駆逐する kookewe (複数 kookewpa) (新): [他] ~と共に~を駆逐する kookewe (複数 kookewpa) (新): [他](場所)から~を駆逐する okewe (複数 okewpa) (新): [他](原因、手段)で~を駆逐する okewe (複数 okuwpa) (新): [他](人)に~を駆逐させる okewere (複数 okewpare) (新): [他] 完全に~を駆逐する oarokewe (複数 oarokewpa) (新)、[他] arokewe (複数 arokewpa) (新): [他] 酷く~を駆逐する toykookewe (新)

くちくかん(駆逐艦) [名] 駆逐艦 ikoykicip (新)、[名] mapustekpekotcip-koykicip (新)

くちぐせ(口癖) (表現) ~の口癖 ~ paro oma us pe (新)

くちげんか(口喧嘩) [自] 口喧嘩する upawre (石狩)、[自] ucawre (天塩)、[自] upaekoyki (新)※(八雲)、[自] ucataye (美幌): (表現) ~と口喧嘩する ~ tura(-no) upawre (新)、(表現) ~ tura(-no) ucawre (新): [他] ~について口喧嘩する eupawre (eucawre) (新): [他](場所)で口喧嘩する eupawre (eucawre) (新): [他] ~と口喧嘩する kopawre (kocawre) (新): [他](原因、手段)で口喧嘩する oupawre (oucawre) (新): [他](人)に口喧嘩させる upawrere (ucawrere) (新)

くちごたえ(口答え) [自] 口答える itasaitak (石狩)※(これが本来の意味だが、石狩方言では「答える」に変わっている。): (表現) 口答える oripaksakno (yaykatanusakno) itasaitak (新)

くちさき(口先) (表現) 口先ばかり、口先ばかりの奴 paropatek (石狩): [名] 口先ばかりの奴 panorep (萱): (表現) 口先ばかりである paropatek ne (石狩)

くちだし(口出し) [自] 口出しする isaykaku (沙流)

くちにする(口にせる) ①(言う意味で)[他] ~を口にせる ye (石狩): ②(食べる意味で)[他] ~を口にせる e (石狩)

くちにだせない(口に出せない) [自](比喩的に) 思っても口に出せない notaksak (沙流)

くちのは(口の端) (表現) 口の端 itak utur (沙流): (表現) 口の端にも咎を受ける itak utur sikopaoyar (沙流): (表現) 口の端にもまったく上らない asur orke motek kuni (石狩)

くちばし(嘴) [名] 嘴 etu (石狩)

くちひげ(口髭) [名] 口髭 kampausrek(-i)

(石狩)

くちびる(唇) ①[名]唇 papus(-i) (石狩)、[名] capus(-i) (石狩)、[名] patuy (石狩)、[名] patoy (天塩): ②[名]上唇 kannapapus(-i) (石狩)、[名] kannacapus(-i) (石狩)、[名] orikasipapus(-i) (石狩)、[名] orikasipatoy (天塩): ③[名]下唇 poknapapus(-i) (石狩)、[名] poknacapus(-i) (石狩)、[名] opoknasipapus(-i) (石狩)、[名] opoknasicapus(-i) (石狩)、[名] orasicapus(-i) (天塩)、[名] orasipatoy (天塩)

クチビルコウモリ(唇蝙蝠)(動物)[名](コウモリ目)クチビルコウモリ科 nanuwenkapapapa (新): [名]クチビルコウモリ属 nanuwenkapap-cise (新): [名]ピータークチビルコウモリ yayan-nanuwenkapap (新): [名]モルモーブス・ブラインビリー antiriaun-nanuwenkapap (新): [名]ブテロノトウス属 seturuatusakapap-cise (新): [名]オオケナシコウモリ poro-seturuatusakapap (新): [名]ヒゲコウモリ panner-rekuskapap (新): [名]ブテロノトウス・クワドリデンス gundorax-rekuskapap (新): [名]P. ダビー davi-seturuatusakapap (新): [名]P. マクレアイー makreay-rekuskapap (新): ワーグナヒゲコウモリ wakner-rekuskapap (新)

くちぶえ(口笛) [自]口笛を吹く húse (石狩)、[自] mawsiro (天塩): [他](人)に口笛を吹かせる húseka (húseré) (新)、[他] mawsiroka (mawsirore) (新)

くちぶり(口振り)[名]口振り iposse (新): 「お前の口振りが嫌いだ。」“E=itak iposse ku=etoranne.”、「あんたは思わせぶりな口振りで話した。」“Ene ku=yaynu rusuy pe e=ye pokon e=itak.”

くちべた(口下手)[自]口下手である cawetoksak (石狩)、[自] pawetoksak (石狩)、[自] wayasap (沙流): [名]口下手な人 cawetoksakkur (石狩)、[場名] pawetoksakkur (石狩)

くちべに(口紅) [名]口紅 cápus-hurekap (pápus-hurekap) (新)、[名] rúju (新)※(日本語)

くちまね(口真似)[自]口真似をする ikokka (石狩)、[自] ieyukar (新): [他]~を口真似する eyukar (石狩): [他](人)に~を口真似させる eyukare (新)

くちもと(口許) [名]口許、(昔の女性では)口の刺青の端 pákisar(-a) (石狩): (表現)口

許(口の刺青の端)に嘲笑を浮かべる ~ pákisara moy moyke (石狩): [自]口許(口の刺青の端)に嘲笑を浮かべる epaminare (石狩): [名]口許 sancar(-o) (石狩): (表現)口許に微笑を浮かべる sancaro ka ta mina (石狩)

ぐちゃぐちゃ ①(手で捏ねたりして)[他]~をぐちゃぐちゃにする toykonuyanuya (石狩): [他](中相)ぐちゃぐちゃにされる citoykonuyanuya (新): ②(踏んだり潰したりして)[他]~をぐちゃぐちゃにする péneka (石狩)、[他] péneré (八雲): [他](中相)ぐちゃぐちゃにされる cipeneka (cipenere) (新): [自]ぐちゃぐちゃになる sipeneka (sipenere) (新)

くちょう(口調) [名]口調 iposse (新)

くちをそろえる(口をそろえる) (表現)口をそろえて sine itak ne (沙流): (表現)口をそろえて言う sine itak ne itak (新): (表現)口をそろえて~を言う、(人)に言う sine itak ne ye (新)

くちをつつしむ(口を慎む)[自]口を慎む yayramuhawkere (新): [他]~について口を慎む eyayramuhawkere (新): [他](誰か)に対し口を慎む koyayramuhawkere (新)

くつ(靴) [名]靴 ker(-i) (石狩、天塩)※(但し石狩方言では現在、概念形、所属形共に“keri”となっている。): (表現)靴を脱ぐ kerí ama (石狩)、(表現) kerí oasinke (幌別)、(表現) kerí etaye (幌別)、(表現) kerí pita (幌別): (表現)靴を履く kerí us (石狩): [名]蛙皮の靴 cepker(-i) (石狩、天塩): [名]豚皮の靴 putaker(-i) (石狩): [名]ブドウ蔓樹皮の靴(サンダル) situker(-i) (石狩): [名]短靴 takneker(-i) (新): [名]長靴 tanneker(-i) (新): [名]靴の中敷 kerop (石狩)※(蛙皮の靴の中に詰めるヤマアワなどの藁)

くつう(苦痛) (肉体、精神を主語にして)(表現)苦痛を感じる ciskot kane humas (石狩): 「私は非常に精神的苦痛を感じた。」“Sonno ku=kewtumoro ciskot kane humas.”: [他]~に苦痛を与える ciskote (新)

くつきり [副]くつきり anukanno (K)

くつした(靴下) [名]靴下 kerorumpe (石狩): (表現)靴下を脱ぐ kerorumpe ama (石狩): (表現)靴下を履く kerorumpe us (石狩): [名]オヒョウユニレ糸の靴下 keropempe (石狩)

ぐっすり [自]ぐっすり眠る mokonno (石狩): [他](場所)でぐっすり眠る emokonno (新): [他]~と一緒にぐっすり眠る komokonno (石狩): [他](原因、手段)でぐ

っすり眠る omokonno (新): [他](人)に
ぐっすり眠らせる mokonnore (新): [自]
自分で、一人でぐっすり眠る
yaykomokonno (新): [自]互いに、皆でぐ
っすり眠る ukomokonno (新)

くっせつ(屈折) [自]屈折する komke (石
狩): [他]~を屈折させる komo (複数
kompa) (石狩): [他](場所)で~を屈折さ
せる ekomo (複数 ekompa) (新):
[他](場所)へ~を屈折させる kokomo (複数
kokompa) (新): [他]~と共に~を屈折さ
せる kokomo (複数 kokompa) (新):
[他](場所)から~を屈折させる okomo (複数
okompa) (新): [他](原因、手段)で~を屈
折させる okomo (複数 okompa) (新):
[他](人)に~を屈折させる komore (複数
kompare) (新): [他]自分で、一人で~を
屈折させる yaykokomo (複数
yaykokompa) (新): [他]互いに、皆で~
を屈折させる ukokomo (複数 ukokompa)
(新): [他]完全に~を屈折させる oarkomo
(複数 oarkompa) (新): [他](中相)~が屈
折する sikomo (複数 sikompa) (新)

くつつく(くっ付く) ①(あるものが別のものに
張り付く意味で)[他]~にくっ付く kotuk
(石狩): [他](場所)で~にくっ付く ekotuk
(新): [他](原因、手段)で~にくっ付く
okotuk (新): [自]くっ付き合う ukotuk
(新): [他]~を~にくっ付ける kotukka
(石狩): [他](場所)で~を~にくっ付ける
ekotukka (新): [他](原因、手段)で~を~
にくっ付ける okotukka (新): [他]~を
くっ付け合う ukotukka (新): ②(あるも
のが別のものに付いて一体になる意味
で)[他]~にくっ付く、くっ付いている us
(石狩): [他](場所)で~にくっ付く、くっ付
いている eus (新): [他]~と共に~にく
っ付く、くっ付いている kous (新):
[他](原因、手段)で~にくっ付く、くっ付い
ている ous (新): [自]くっ付き合う uus
(新): [他]~を~にくっ付ける usi (石
狩): [他](場所)で~を~にくっ付ける
eusi (新): [他]~と共に~を~にくっ付け
る kousi (新): [他](原因、手段)で~を~
にくっ付ける ousi (新): [他]~をくっ付
け合う uusi (新): ③(細長い何かで)[他]
~にくっ付く、くっ付いている kot (石
狩): [他](場所)で~にくっ付く、くっ付い
ている ekot (新): [他]~と共に~にくっ付
く、くっ付いている kokot (新): [他](原
因、手段)で~にくっ付く、くっ付いている
okot (新): [自]くっ付き合う ukot (石
狩): [他]~を~にくっ付ける kote (石
狩): [他](場所)で~を~にくっ付ける

ekote (新): [他]~と共に~を~にくっ付
ける kokote (新): [他](原因、手段)で~
を~にくっ付ける okote (新): [他]~を
くっ付け合わせる ukote (石狩): ④(傷
などが)[自]くっ付き合う uciw (石狩):
[他]~をくっ付け合わせる uciwre (新)

くつつけて(くっ付けて) [副](二つのものを)
互にくっ付けて、互にくっ付いて
ukosattekno (石狩): (表現)(二つのもの)
を互にくっ付けて置く ~ ukosattekno
anu (石狩)

ぐっとそる(ぐっと反る) [自](一回)ぐっと反
る teskosanu (新)、[自] teskosampa
(新): [自]頻りにぐぐっと反る citesrototo
(新)、[自] tesrototke (新): [自]何度もぐ
っと反る tésesatki (新): [自]ぐっと反
り続ける tesnatara (新)

ぐっとつかむ(ぐっと掴む) [他]~をぐっと掴む、
~をぐっと掴み取る toykoristekka (石
狩)

ぐっとにらみつける(ぐっと睨み付ける) [他]
~をぐっと睨み付ける toykosirkerayka
(石狩)

くつわ(轡) [名]轡 kuciwa (B)

クディムカル [場名](ロシア連邦沿ヴォルガ連
邦管区ペルミ地方の都市名)クディムカル
Kudimkar (新)

くに(国) [場名]国 mosir(-i) (石狩)、[場名]
kotan(-u, -i) (石狩): (表現)~の国 kor
mosir (石狩): (表現)~のものだった国
kor a mosir (konrok mosir) (石狩): [場
名]国の上手、国の東 mosirpa (mosirpake)
(石狩): [場名]国の下手、国の西 mosirkes
(mosirkese) (石狩): [名]国を守るシマフ
クロウの神 kotankorkamuy (石狩)、[名]
mosirkorkamuy (石狩)、[名]
kamuycikapkamuy (石狩)

くにざかい(国境) [場名]国境 sirukoutur
(sirukouturu, sirukouturke) (蝦夷記)

くにじゅう(国中) (表現)(国土を指し)国中
mosir epitta (石狩): (表現)(国民を指し)
国中 mosirun utar opitta (新): (表現)国
中の笑い者になる imosir ka ta sieminayar
(石狩): 「…その(敵)のすぐ手前より私が家
に帰ったならば国中の笑い者になると思っ
たので…」 “… attukari cisekohosipi=an
yakun imosir ka ta sieminayar=an kuni
yaynu=an kusu…” (杉村キナラブク)英雄詞
曲

くにづくり(国造り) ① [自]国造りをする
kotankar (石狩): [他](場所)で国造りをす
る ekotankar (新): [他]~と共に国造り
をする kokotankar (新): [他](原因、手
段)で国造りをする okotankar (新):

[他](人)に国造りをさせる kotankare (新): ②[固名]国造りの神, コタンカラカムイ Kotankarkamuy (石狩)※(人間世界を創造した「国造りの神」として敬われ、石狩川筋や天塩川筋では別名を Samaekur と言い、arke kamuy arke pito 「半神半人」などと形容される。但し現存する神謡などについて言えば、恐らくは他地方との頻繁な交流に起因すると思われるが、伝承によっては北海道南西部同様 Aynurakkur, Okikurmi を指している事もあるので、注意が必要)

クニマス(国鱒) (魚介)[名](サケ属)クニマス nírassipe (新)

くをにをさめる(国を治める) [自]国を治める mosirkor (新): [他](場所)で国を治める emosirkor (新): [他]〜と共に国を治める komosirkor (新): [他](原因、手段)で国を治める omosirkor (新): [他](人)に国を治めさせる mosirkore (新): [自]自分で、一人で国を治める yaykomosirkor (新): [他]共同で国を治める、皆で国を治める ukomosirkor (新): [自]うまく国を治める ratcimosirkor (新): [自]完璧に国を治める oarmosirkor (新): [自]充分に国を治める mosirkonno (mosirkonnu) (新)

くをまもる(国を守る) [自]国を守る mosir-epunkine (新)、[自] kotan-epunkine (新): [他](場所)で国を守る emosir-epunkine (新)、[他] ekotan-epunkine (新): [他]〜と共に国を守る komosir-epunkine (新)、[他] kokotan-epunkine (新): [他](原因、手段)で国を守る omosir-epunkine (新)、[他] okotan-epunkine (新): [他](人)に国を守らせる mosir-epunkineka (mosir-epunkinere) (新)、[他] kotan-epunkineka (kotan-epunkinere) (新): [自]自分で、一人で国を守る yaykomosir-epunkine (新)、[自] yaykokotan-epunkine (新): [自]皆で国を守る ukomosir-epunkine (新)、[自] ukokotan-epunkine (新): [自]完全に国を守る oarmosir-epunkine (新)、[自] oarkotan-epunkine (新): [自]しっかり国を守る mosir-epunkineno (mosir-epunkinenu) (新)、[自] kotan-epunkineno (kotan-epunkinenu) (新): [自]人に国を守らせる mosir-epunkineyar (新)、[自] kotan-epunkineyar (新)

クヌギ(樺) (植物)[名](コナラ属)クヌギ節 samorunkomni-korpe (新): [名]クヌギの茎 samorunkomni (新)、[名]その堅果 samorunnisew (新): [名]アベクヌギの茎 atuyyakorkukomni-kopoyke-samorunkomni (新)※(雑種): [名]アベマ

キの茎 atuyyakorku-komni (新)※(コルククヌギ): [名]クエルクス・アルンフォリアの茎 kipros-riyahamuskomni (新)※(キプロス樺): [名]Q. イトハブレンシスの茎 mosinnoskiatuy-komni (新)※(地中海柏): [名]Q. インフェクトリアの茎 suriya-komni (新)※(シリア柏): [名]Q. カスタネイフォリアの茎 kafkas-komni (新)※(コーカサス柏): [名]Q. カリプリノスの茎 kanaan-riyahamuskomni (新)※(カナン樺): [名]Q. ケリスの茎 curkiye-komni (新)※(トルコ柏): [名]Q. コッキフェラの茎 kermes-riyahamuskomni (新)※(ケルメス樺): [名]Q. セメカルピフォリアの茎 rinupuri-komni (新): [名]Q. トロヤナの茎 makedoniya-komni (新)※(マケドニア樺): [名]Q. フランケティの茎 tuyrian-riyahamuskomni (新)※(錐連樺): [名]Q. ブランティの茎 persia-komni (新)※(ペルシャ樺): [名]Q. マクロレビスの茎 cikapsetneitankiporokomni (新): [名]Q. リバニの茎 rubunan-komni (新)※(レバノン樺): [名]コルクガシの茎 korku-komni (新)

くねくね [自](上下、あるいは左右に)くねくねする rewkerewke (石狩)、[自] rewrewke (天塩)、[自] okay-okay (石狩)、[自] okayekaye (天塩): (表現)(ヘビやシヤクトリムシが)くねくね進む rewke rewke oman (複数 paye) (石狩): (表現)(ミミズ等が)くねくね進む okay-okay (石狩)

グネツム (植物)[名](裸子植物門)グネツム綱 gunetum-pet (新): [場名]グネツム目 gunetum-kotan (新): [名]グネツム科 gunetum-apa (新): [名]グネツム属 gunetum-cise (新): [名]グネモンの茎 gunemon (新)※(別名「グネモンノキ」、「ユミヅルノキ」))、[名]グネモンの果実 gunemonkaop (新)、[名]グネモンの種子 gunemompi (新)、[名]グネモンの樹液 gunemonwakka (新): [名]ヒメグネモンの茎 mogunemon (新): [名]ヒロハグネモンの茎 hamusepgunemon (新): [名]ホソバグネモンの茎 hamuanegunemon (新): [名]ウェルウィッチア科 werwitcia-apa (新): [名]マオウ科 efedora-apa (新)

くばる(配る) ①[自]配る ipuni (複数 ipumpa) (石狩): 本来は②の食物に関して用いられる言葉だが、今後は「物を配る」の意味でも使う。: [他]〜を配る puni (複数 pumpa) (新): [他](場所)で〜を配る epuni (複数 epumpa) (新): [他]〜に〜を

配る kopuni(複数 kopumpa)(新): [他] ~と共に~を配る kopuni(複数 kopumpa)(新): [他](原因、手段)で~を配る opuni(複数 opumpa)(新): [他](人)に~を配らせる punire(複数 pumpare)(新): [他]自分で、一人で~を配る yaykopuni(複数 yaykopumpa)(新): [他]皆で~を配る ukopumpa(新): ②[自]食べ物を配る imekani(石狩)、[自] imekanu(石狩): [他](人)に食べ物を配らせる imekanire(新)、[他] imekanure(新): [他](人)に食べ物を配る imekkar(石狩): [他](人)に(人)に食べ物を配らせる imekkare(新)

クバン [場名](「クラスノダル地方」の旧称、あるいは通称として)クバン地方 Kubani-purovince(新): [名](地名)クバン川 Kubani-pet(新)※(アゾフ海に注ぐ。)

くび(首) [名]首 rekut(-ci)(石狩): [名](雅語)~の首 kanrekuci(石狩): ②[名](クマ)の首 penrekuci(石狩)

くびかざり(首飾) ①[名]首飾 rekutumpe(石狩)※(他の地方では「首飾帯」の事を指すが石狩方言では niru と言うので、今後この語は首飾類一般を指して用いる): (表現)首飾を外す rekutumpe ama(石狩): (表現)首飾を付ける rekutumpe kor(石狩): ②[名]首飾帯 niru(石狩): (表現)首飾帯を外す niru ama(石狩): (表現)首飾帯を付ける niru kor(石狩)

クビカザリイソギンチャク(首飾磯巾着) (魚介)[名](イソギンチャク目)クビカザリイソギンチャク yantone-heunnay-apa(新): [名]ベニヒモイソギンチャク húreatnuyantone-heunnay(新): [名]ヤドカリイソギンチャク yantone-heunnay(新)

くびになわをつける(首に縄を付ける) [自]首に縄を付ける rekuttuskote(新): [他]~の首に縄を付ける rekucituskote(石狩): 「ホッチャレの首に彼が縄を付け、それがぶら下がっている。」“Isiru rekucituskote, ratki.”(門野トサ): [他](人)に~の首に縄を付けさせる rekucituskotere(新)[自]首に縄を付ける rekuttuskote(新): [他]~の首に縄を付ける rekucituskote(石狩): 「ホッチャレの首に彼が縄を付け、それがぶら下がっている。」“Isiru rekucituskote, ratki.”(門野トサ): [他](人)に~の首に縄を付けさせる rekucituskotere(新)

くびれ(括れ) [自]括れる、括れている cisne(沙流): [他]~を括れさせる cisneka(新)、[他] cisnere(新)

くびわ(首輪) [名]首輪 rekutunkarip(-i)

(新): (表現)(自分の首から)首輪を外す rekutunkarip ama(新): (表現)~から首輪を外す ~ orwa rekutunkarip ama(新): (表現)(自分の首に)首輪を付ける rekutunkarip kor(新): (表現)~に首輪を付ける rekutunkarip kore(新): (表現)犬の首輪 seta rekutunkaripi(新)

クビワコウモリ(首輪蝙蝠)(動物)[名](ヒナコウモリ科)クビワコウモリ族 rekutumpekapap-utar(新): [名]クビワコウモリ属(新): [名]クビワコウモリ rekutumpekapap(新): [名]エブテシクス・アンディヌス poyseturukunne-onumankapap(新): [名]E. インノキウス somocihoma-onumankapap(新): [名]E. キリクイヌス cirikuiun-onumankapap(新): [名]E. グアデロウペンシス guaderoupeun-uparuskapap(新): [名]E. ゴビエンシス gobiun-uparuskapap(新): [名]E. タッデー bengarun-onumankapap(新): [名]E. デイミッスス neparun-onumankapap(新): [名]E. ディミヌトゥス nokan-onumankapap(新): [名]E. ナストゥス iranun-onumankapap(新): [名]E. パキオティス kisaraironne-kapap(新): [名]E. フスクス poro-uparuskapap(新): [名]E. ブラシリエンシス burazirun-uparuskapap(新): [名]E. プラティオブス ragosun-onumankapap(新): [名]E. フリナリス argentinaun-uparuskapap(新): [名]E. フロウエリ kirawkapkorkapap(新): [名]E. ボッタエ botta-onumankapap(新): [名]E. ホッテントトゥス otanne-ciseunkapap(新): [名]オグネフホリカワコウモリ ógunef-onumankapap(新): [名]キタクビワコウモリ koykaunkapap(新)※(別名「ヒメホリカワコウモリ」): [名]ボブリンスキーホリカワコウモリ bóburinsuki-onumankapap(新): [名]ヨーロッパホリカワコウモリ europaun-onumankapap(新): [名]アリエルルス属 arieruruskapap-cise(新): [名]ヘスペロプテヌス属 sunkeonumankapap-cise(新)

クビワフルーツコウモリ(首輪フルーツ蝙蝠)(動物)[名](ケンショウコウモリ亜科)クビワフルーツコウモリ族 rekutunkaripkor-nikaopekapap-moapa(新): [名]クビワフルーツコウモリ属 rekutunkaripkor-nikaopekapap-cise(新): [名]コクビワフルーツコウモリ ponrekutunkaripkor-

nikaopekapap (新): [名]サントーメクビ
ワ フ ル ー ツ コ ウ モ リ santomeun-
rekutunkaripkor-nikaopekapap (新):
[名]ムカシクビワフルーツコウモリ
cupkaafrikaun-ponrekutunkaripkor-
nikaopekapap (新): [名]アフリカシタナ
ガフルーツコウモリ属 afrikaunawetanne-
nikaopekapap-cise (新): [名]アフリカシ
タ ナ ガ フ ル ー ツ コ ウ モ リ
afrikaunawetanne-nikaopekapap (新):
[名]アンゴラフルーツコウモリ属
angoraun-nikaopekapap-cise (新): [名]
アンゴラフルーツコウモリ angoraun-
nikaopekapap (新)

くびをきる(首を斬る) ① [自]首を斬る
rekuttuye (複数 rekuttuyapa) (新): [他]
～の首を斬る rekucituye (複数
rekucituyapa) (新): (表現)～の首を斬る
～ rekuci tuye (複数 tuyapa) (石狩):
[他](場所)で～の首を斬る erekucituye (複
数 erekucituyapa) (新): [他]～と共に～の
首を斬る korekucituye (複数
korekucituyapa) (新): [他](原因、手段)で
～の首を斬る orekucituye (複数
orekucituyapa) (新): [他](人)に～の首を
斬らせる rekucituyere (複数
rekucituyepare) (新): [他]～の首を斬りま
くる toykorekucituyapa (新): ②[他]～の
首を刀で斬る etametuye (複数
etametuyapa) (石狩): [他](人)に～の首を
刀で斬らせる etametuyere (複数
etametuyepare) (新)

くびをしめる(首を絞める)[他]～の首を絞める
rekucinumpa (石狩): [他](人)に～の首を
絞めさせる rekucinumpare (新): (表現)
～の首を絞め窒息させる rekuci esikari
(石狩)

くびをすくめる(首をすくめる)[自]首をすく
める rekutyoni (複数 rekutyompa) (石
狩): [他](人)に首をすくめさせる
rekutyonire (複数 rekutyompare) (新):
[自]首を何度もすくめる rekutyoniyoni
(石狩)

くびをちぢめる(首を縮める)[自]首を縮める
rekutyoni (複数 rekutyompa) (石狩):
「それをそのお婆さんは見てイムして跳ね
回り、首を縮めました。」“Neampe ne huci
nukar wa imu kor terketerke, rekutyoni .”
(砂沢クラ): [他](人)に首を縮めさせる
rekutyonire (複数 rekutyompare) (新)

くびをつる(首を吊る) ①(自殺として)[自]首を
吊る yaysuotte (新)、[自] yaysatte
(萱): [他](人)に首を吊らせる
yaysuottekar (新): ②(処刑として)[自]

人の首を吊る itusoatte (新): [他](人)の
首を吊る tusoatte (新): [他](人)に(人)の
首を吊らせる tusoattekar (新)

くびをまわす(首を回す) [自](赤子が乳などを
求めて)首を回し口を向ける kutnoye (幌
別)

くべつ(区別) [自]人やものを区別する
iumosmanukar (新): [他]～を区別する
umosmanukar (新): [他](場所)で～を区
別する eumosmanukar (新): [他]～と
共に～を区別する koumosmanukar (新):
[他](原因、手段)で～を区別する
oumosmanukar (新): [他](人)に～を区別
させる umosmanukare (新): [他]自分
で、一人で～を区別する
yaykoumosmanukar (新): [他]皆で～を
区別する ukoumosmanukar (新): [他]
完全に～を区別する oarumosmanukar
(新)

クボアジ(窪鯨)(魚介)[名](アジ科)クボアジ属
cinayehonkoraji-cise (新): [名]クボアジ
cinayehonkoraji (新)

くぼち(窪地)[名]窪地 kot(-ci) (石狩)

くぼむ(窪む)[名]窪み kot(-ci) (石狩):
[自]窪む、窪んでいる kotne (石狩):
[他](場所)で窪む、窪んでいる ekotne
(新): [他]～と共に窪む、窪んでいる
kokotne (新): [他](原因、手段)で窪む、窪
んでいる okotne (新): [他]～をくぼませ
る kotneka (kotnere) (新): [自]滅茶苦
茶窪む、窪んでいる toykokotne (新)

クマ(熊) ①(動物)[場名](イヌ亜目)クマ下目
eper-kotankes (kimunkamuy-kotankes)
(新): [場名]クマ上科 eper-apapa
(kimunkamuy-apapa) (新): [名]クマ科
eper-apa (kimunkamuy-apa) (新): [名]
クマ亜科 eper-moapa (kimunkamuy-
moapa) (新): [名]クマ属 eper-cise
(kimunkamuy-cise) (新): [名]アメリカ
グマ amerikaun-eper (新): [名]エトル
リアグマ sikamuy-ekasi (新)※(絶滅):
[名]ツキノワグマ imut-eper (新): [名]
ヒグマ eper (石狩): [名]ホッキョクグマ
koykakesun-eper (新): [名]ホラアナグマ
poruun-eper (新)※(絶滅): [名]ナマケグ
マ属 itunnapeeper-cise (新): [名]マレ
ーグマ属 nikaerok-eper (新): [名]ジャ
イアントパンダ亜科 panda-moapa (新):
[名]メガネグマ亜科 sikpokoreper-moapa
(新): [場名]アザラシ上科 tukar-apapa
(新): [場名]アシカ上科 etaspe-apapa
(新): [場名]イタチ上科 sácir-apapa
(新): ②(性別、年齢などによる名称): [名]
生物としての熊類 eper (石狩): [名]宗教

的感情や敬意を伴う熊類 kamuy (H、K): [名]獲物としての熊類 iso (H)、[名](雅語) kamuy-cikoykip (石狩): [名]女子供が使う言葉としての熊類 owewe (石狩): [名]一歳熊 eper (石狩)、[名] heper (幌別): [名]二歳熊 riyap (石狩): [名]三歳以上の熊 síriyap (石狩、天塩)、[名] cisurap (石狩): [名]雄熊 pinne-kamuy (石狩)、[名]雄熊の成獣 síyuk (石狩)、[名] hokuyuk-kamuy (天塩)、[名] okuyuk-kamuy (石狩): [名]雌熊を連れた雄熊 kucanturap (美幌): [名]雌熊 matne-kamuy (石狩)、[名] otottous-kamuy (幌別)、[名]雌熊の成獣 kucan (石狩): [名]二歳仔連れの危険な雌熊 riyapkorpe (石狩): [名]親熊 onne-kamuy (美幌): [名]仔熊、小熊 poneper (石狩)、[名] pewrep (石狩): [名]穴から出たばかりの仔熊 ciseorosampe (美幌): [名]年とった大熊 onne-eper (石狩)、[名] onne-kamuy (石狩): [名]年とった熊の大將 kamuy-caca (石狩): [名]年とった大熊 sirkirappe (幌別): [名]山の神としての熊 kimunkamuy (石狩)、[名] nupurikor-kamuy (石狩)、[名](雅語) metotus-kamuy (石狩)、[名](雅語) iworkor-kamuy (美幌): [名]山の中腹に住む位の高い熊 nupurinoskiunkur (石狩)、[名] nupurinoski-kamuy (石狩): [名]山の高い所に住む普通の熊 nupuripaunkur (石狩)、[名] nupuripa-kamuy (石狩): [名]山の麓に住む悪い熊 nupurikesunkur (石狩)、[名] nupurikes-kamuy (石狩): [名]穴ごもりしている熊 suyo-kamuy (幌別): [名]二つの入口を持つ穴に住む悪い熊 tuapakorpe (石狩): [名]冬になっても穴に入らない熊 apkas-kamuy (足寄)、[名] matakarip (沙流): [名]月の輪がある熊 imut-kamuy (幌別): [名]胴体や足の長い悪い熊 caspinne (美幌): [名]後足の長い熊 epankuwaus-kamuy (epankuwaus) (幌別): [名]前足の長い熊 epenkuwaus-kamuy (epenkuwaus) (幌別)※(悪い熊): [名]人食熊 wenkamuy (石狩)、[名] pirakkaus (石狩): [名]熊に似た人食の怪物 cicikewna (石狩): ③(身体部位)[名]生きた頭 kamuy-sapa (石狩): [名]人の手にかかり魂が抜け出た頭、頭蓋骨 kamuy-marapto(-maratto) (石狩)、[名] marapto (maratto) (石狩): [名]頭蓋骨 sey(-e) (石狩)、[名]咬筋の繋ぎになっている骨 sumaikkew (天塩): [名]前足 tek(-e) (石狩): [名]前足の上膊の肉 tapkam(-i) (美幌): [名]後足 cikir(-i)

(石狩)、[名] kerat(-ci) (天塩): [名]掌の肉 urearu (石狩): [名]毛皮 rus(-i) (石狩): [名]性器 kamuy-cinunukap (石狩)、[名] cinunukap (石狩): [名]尾 okiska (石狩)、[名] poysar(-a) (石狩): [名]肉 kamuy-kam (石狩)、[名] kamuy-haru (石狩): [名]背中の肉 kaparkam(-i) (石狩): [名]脂肪組織 kirpo (石狩): [名]それから採った油 kamuy-sum (石狩): [名]胆嚢 siwpe (石狩): [場名]腸間膜 iramorke (石狩): ④(その他関連語彙)[間投](鳴き声) we (石狩)、[名] owe (石狩): [名]熊が山越えする道 onnenay (石狩)

クマあな(熊穴) ①[名]熊穴 kamuycise (石狩)、[名] epetcise (epercise) (石狩): [名]木の根元にある熊の穴 nítusitcise (nítusircise) (石狩)、[名] toyancise (旭川): [名]木の根元ではなく土に穴口のある熊穴 toyancise (空知): [自]熊穴に入る ikoahun (天塩): ②(関連語彙)穴の熊を怒らせる棒 ikoyki (石狩)、[名] koykini (石狩)

クマイザサ(九枚笹) (植物)[名](ササ属)クマイザサの茎葉 sinepesanhamus-uras (新): [名]ミナカミザサの茎葉 minakami-uras (新)※(クマイザサの変種)

くまおくり(熊送り) ①[名]送りの儀式 iomante (石狩): 旭川の式次第(1)熊送り前夜祭 iomante-etokooyki : 1. イノウ削り inawke : 2. 矢作 eperaykar : 3. 物搦ぎ歌を歌いながら(団子用の)穀物を搦ぐ iutaupopo tura sito an=uta : 4. 祭具と供物準備仕上げ epersikekar : 5. 火の神への祈り apehucikamuynomi : 6. 熊に団子を饗する eper sito an=ere : 7. 酒宴 iku : (2)熊祭り本祭 iomante : <屋内> 火の神への祈り apehucikamuynomi : 2. 家の神への祈り cisekorkamuynomi : <屋外> 3. (幣棚の前で)神への祈り kamuynomi : 4. 結び木の神への祈り tuskotnikamuynomi : 5. (熊を檻から出し結び木に繋ぎ)熊に団子を饗する eper sito an=ere : 6. 熊への祈り epennomi : 7. 熊への花矢祈り eperaynomi ※(雄は左、雌は右より2本を贈る): 8. 天を司る神への祈り kantokorkamuynomi : 9. 神への花矢祈り kamuaynomi ※(天へ花矢を放ち贈る): 10. 男は熊の性別年齢に定められた数の花矢を贈り、女は歌と踊りを披露する kamuy tapkar wa okkayo utar eperay kore wa menoko utar upopo ※(笹の葉の「タクサ」 tákusa で熊を清める。空知ではイソアニカ

ムイに捧げるイナウに酒を献じ、そのイナウで熊を清める sikiki) : 1 1. 仕留矢を射る inosoreaycotca : 1 2. 熊の首を絞める irekucinumpa : 1 3. 幣棚の前に座をしつらえ熊を安置し饗応する kamuynusa kotcake ta sokar=an wa otta sumawne eper an=are wa pirkaipe an=kopuni : 1 4. 胡桃 撒き nínuncari 綱引き ukotusetaye : 1 5. 熊神への祈り kimunkamuynomi : 1 6. 歌と踊りを披露しその場に集う神々と共に楽しむ uenewsar : 1 7. (解体に先立つ)神への祈り kamuynomi : 1 8. 解体 iri : 1 9. 神を屋内に迎える ikokamahupte : <屋内> 2 0. 火の神への祈り apehucikamuynomi : 2 1. 酒宴 iku 歓談 uenewsar : (3) 熊送り後日祭 iomante-maraptoopuni : 1. 火の神への祈り apehucikamuynomi : 2. クマの頭の飾り付けをする unmemke ※(「熊の頭の皮を剥ぐ」は kamuysapari) : 3. 飾られた熊の頭骨を祀る epersapa opunika ※(現在では2、3は本祭で行う事が多い) : 4. 熊神への祈り okuyukkamuynomi : 5. 口承文芸を(クライマックス直前まで)語り楽しむ uenewsar ※(この後宴会、収めの神祈りなど適宜行われる) : ②(関連語彙)[名]熊送りの祭壇 iomante-nusasan (石狩) : [名]クマが土産を負う荷縄 eperatar (旭川) : [名]クマに贈る矢 eperay (eper ay) (石狩)、[名] eperkoray (eper kor ay) (旭川)、[名] iomanteay (空知)、[名]その先端部 cirosi (空知) : [名]クマに饗する団子 epersito (epessito) (石狩)、[名] kaparsito (kapassito) (石狩) : [名]クマの頭を置く木 yuksapaomani (旭川)、[名] yukpaoni (旭川)、[名] isapani (旭川)、[名] iomani (旭川) : [名]クマの首絞め木 irekucinumpuni (旭川)、[名] rekucinumpuni (旭川)、[名] irekucinumpap (空知) : [名]クマの首縄 epettar (旭川) : [名]クマの胴着 pompake (旭川) : [名]クマの土産の団子 eper se sito (epessesito) (石狩)

クマおり(熊檻) [名]熊檻 kamuyset (石狩)、[名] eperset (石狩) : [名]檻の屋根木 setkaoni (石狩) : [名]餌の差し入れ口 ipepuy (沙流) : [名]クマの餌を入れる食器 eperoyep (石狩)、[名] setusnima (石狩) : [名]熊の餌を煮る鍋 kamuysu (石狩)、[名] eper kor su (石狩)

クマザサ(熊笹) [名]「チシマザサ」、「クマイザサ」、「チマキザサ」など大型の笹類の総称 síuras (新)

クマザサ(隈笹) (植物)[名](ササ属)クマザサの茎葉 hamuparuretar-uras (新) : [名]オオザサの茎葉 sihamuparuretar-uras (新)※(変種) : [名]チュウゴクザサの茎葉 cúgoku-uras (新)※(変種)

クマシデ(熊四手)(植物)[名](カバノキ科)クマシデ属 yarkapar-cise (新) : [名]クマシデの茎 kaministe-yarkapar (新) : [名]アカシデの茎 ehure-yarkapar (新) : [名]アメリカシデの茎 amerika-yarkapar (新) : [名]イヌシデの茎 seta-yarkapar (新) : [名]オリエンタルホーンビームの茎 oriento-yarkapar (新) : [名]サワシバの茎 yarkapar (屈斜路) : [名]セイヨウシデの茎 europa-yarkapar (新)

クマのあそびば(熊の遊び場)[名]クマの遊び場、交尾する所 kamuymintar (石狩)、[名] mintar (石狩)

クマのあたまのかわをはぐ(熊の頭の皮を剥ぐ) [自]熊の頭の皮を剥ぐ kamuysapari (旭川) : [自]熊の頭の皮を剥ぎ、脳漿を取り出し、きれいに飾り付けをする unmemke (石狩)

クマをきよめる(熊を清める) [自]熊送りに際してクマと遊んでからイソアニカムイに捧げるイナウに酒を奉じ、そのイナウで熊を清める sikiki (空知)

くみあい(組合) ① [名] 組合 uekarpaus (新)、[名] iouekarpaus (新)、[名] association (新)※(英語) : [名]組合員 uekarpausunkur (新)、[名] iouekarpausunkur (新)、[名] associationunkur (新) : ② [名]労働組合 monraykekur-uekarpaus (新)、[名] sineatki (新)、[名] únion (新)※(英語) : [名]労働組合員 monraykekur-uekarpausunkur (新)、[名] sineatkiunkur (新)、[名] únionunkur (新) : ③ [名]同業者組合 sinemonraykekorkur-uekarpaus (新)、[名] gidde (girde) (新)※(独語) : [名]同業者組合員 sinemonraykekorkur-uekarpausunkur (新)、[名] girdeunkur (新)

くみかわす(酌み交わす) [自]酒を酌み交わす utukiiomare (新) : (表現)〜と酒を酌み交わす ~ tura(-no) utukiiomare (新)

くみつく(組み付く) [他]〜に組み付く koterke (石狩) : [他](誰か)に〜に組み付かせる koterkere (新)

クミン (植物)[名](セリ科)クミン属 kumin-cise (新) : [名]クミンの茎葉 kumin (新)※(英語)、[名]クミンの種子 kumimpi (新)

くむ(汲む) ①(掬って)[他]～を汲む nise (石狩): 「酒を汲んで酌をなさい!」 “Tonoto nise wa iomare ya! ”: (表現)柄杓で～を汲む pisakku ani nise (石狩): 「私は柄杓で酒を汲んで酒注ぎに注いだ。」 “Pisakku ani tonoto ku=nise wa etunup or ku=o .”: [他](場所)で～を汲む enise (新): [他]～と共に～を汲む konise (新): [他](原因、手段)で～を汲む onise (新): [他](人)に～を汲ませる nisere (新): [他]自分で、一人で～を汲む yaykonise (新): [他]互いに、皆で～を汲む ukonise (新): ②(生活用水に関して)[他]～を汲む ta (石狩): (表現)水を汲む wakka ta (石狩): ③(生活用水や船の滲に関して)[他]～を汲む ke (石狩): (表現)滲を汲む wakka ke (石狩): (表現)水を汲む wakka ke (静内)

クメール [名]クメール人 kumerkur (新): [名]クメール語 kumerkuritak (新): [名]クメール文字 kumerkuritak-itokpa (新)

くも(雲) [名]雲 niskur (石狩): (表現)雲がもくもくと湧く nis purpurke (石狩): (表現)曇る nis an (石狩)、(表現) niskur an (天塩)、(表現) kamuynis an (kamuyniskur an) (石狩): (表現)曇る、雲が立ち込める nis uekari (天塩): (表現)晴れる、雲が割れる nis eperke (石狩): [名]白雲 retannis (retanniskur) (新): [名]白く飛び飛びの雲 urar (石狩): [名]黒雲 kunnenis (kunneniskur) (新): [名]雨雲 ruyampen (ruyampeniskur) (天塩): [名]雨雲、雷雲 kamuynis (kamuyniskur) (石狩)、[名] kamuysinis (石狩): [名]雪雲 upasnis (upasniskur) (新): [名]薄い雲が連続、あるいは飛び飛びになった雲の橋 uranriwka (urar-riwka) (石狩)※(現代なら飛行機雲の形状もこの語で表現できる)

くもる(曇る) (表現)曇る nis an (石狩)、(表現) niskur an (天塩): (表現)雲が立ち込める nis uekari (天塩): (表現)(雨が降りそうに)曇る kamuynis an (新)、(表現) kamuyniskur an (石狩)

くやしい(悔しい) [自]悔しい、悔しがる yayasisi (石狩): [他]～について悔しがる eyayasisi (新): [他](場所)で悔しがる eyayasisi (新): [他]～と共に悔しがる koyayasisi (新): [他](原因、手段)で悔しがる oyayasisi (新): [他](人)を悔しがらせる yayasisika (yayasisire) (新): [自]自分で、一人で悔しがる yaykoyayasisi (新): [自]互いに、皆で悔しがる ukoyayasisi (新): [自]酷く悔しがる

toykoyayasisi (新)、[自] weyyayasisi (新)

くよう(供養) [自]死者を供養する iokanomi (新): [他]～を供養する okanomi (新): [他](場所)で～を供養する eokanomi (新): [他]～と共に～を供養する kookanomi (新): [他](原因、手段)で～を供養する ookanomi (新): [他](人)に～を供養させる okanomire (新)

くら(鞍) [名]鞍 kura (天塩): (表現)～に鞍を置く kura ~ o (新): [名]サイドサドル menoko-kura (新)

くら(倉) [名]倉 pu (石狩)

くらい ①(時間的、数量的に近い事を示し)[後副]～くらい pakno (pak) (石狩、天塩): 「十日くらいしたら君の所にまた来るからね。」 “Wan to siran kor suy es=ekota ku=ek kusune na .”, 「今日私は2メートルぐらい雪をはねた。」 “Tanto 2 metre pakno ku=kaske .”: ②(比較、比喩を表し)～くらい pakno (pak) (石狩、天塩): 「君の肌は新雪くらい白いなあ。」 “E=kapkasike anakne upas pakno retar siri! ”: (表現)～くらいある pakno an (石狩、天塩): 「山ぐらにあるクジラが寄り上がっているぞ。」 “Nupuri pakno an humpe yan na .”

くらい(位) ①[場名]位 sóuni (新): ②[自]位が高くなる、位が高い páse (石狩): [他]～の位を高くする páseka (pásere) (新): [名]位が高い神 pásekamuy (石狩): [他](原因、手段)で位の高い神となる eyaykamuyner (石狩): [名]位が高いお方 páse pito (新): [名]位が高い人 pásekur (新): ③[自]位が低くなる、位が低い kosne (石狩): [他]～の位を低くする kosneka (kosnere) (新): [名]位が低い神 kosnekamuy (石狩)、[名] kamuyparkes (石狩): 「…お前が神であっても位の低い神にされる…」 “… kamu e=ne yakka kamuyparkes ne e=kar=an …” (杉村キナラブック)説話: [名]位が低い人 kosnekur (新): [名]位が低い奴 kosnep (新)

グラウコニクテリス(動物) [名](ヒナコウモリ科)グラウコニクテリス属 marewrewkapap-cise (新): [名]アレンシマコウモリ ruo-marewrewkapap (新): [名]グラウコニクテリス・アルゲンタタシロカニ marewrewkapap (新): [名]G. エゲリア bibundiun-marewrewkapap (新): [名]G. クリアエ kúri-marewrewkapap (新): [名]G. グレニ guren-marewrewkapap (新): [名]G. ケニアコラ keniaun-marewrewkapap

(新): [名]G. パリエガタ yaykarkar-marewrewkapap (新): [名]G. フメラリス keso-marewrewkapap (新): [名]G. ベアトリクス beatriksu-marewrewkapap (新): [名]G. ボエンシス aboun-marewrewkapap (新): [名]G. マカドイ maxado-marewrewkapap (新)

クラカケアザラシ(鞍掛海豹)(動物)[名](アザラシ科)クラカケアザラシ urikka (樺太)※(タライカ)

クラカケヒラアジ(鞍掛平鯨)(魚介)[名](アジ科)クラカケヒラアジ属 kuraokaparaji-cise (新): [名]クラカケヒラアジ kuraokaparaji (新)

クラカタウ[場名](スンダ海峡の火山島の総称)クラカタウ Kurakataw (新)※(インドネシア領)

くらく(暗く)[O動]辺りが暗くなる、暗い sirkunne (石狩): [自](場所)が暗くなる sirkokunne (新): [自](人)が辺りを暗くする sirkunneka (sirkunnere) (新): [他](人)が(場所)を暗くする sirkokunneka (sirkokunnere) (新): 「私はカーテンを閉めて部屋の中を暗くした。」“Puyarorotpe ku=seske wa tumpu ku=sirkokunneka.”: [自]暗くなる、暗い kunne (石狩): [他](場所)で暗くなる、暗い ekunne (新): [他]~と共に暗くなる、暗い kokunne (新): [他](原因、手段)で暗くなる、暗い okunne (新): [他]~を暗くする kunneka (kunnere) (新): 「私はカーテンを閉めて部屋の中を暗くした。」“Puyarorotpe ku=seske wa tumpu onnay ku=kunneka.”: [自]ぱっと暗くなる kunnetek (新): [自]完全に暗くなる、暗い oarkunne (arkunne) (新): [自]充分暗くなる、暗い kunneno (kunnenu) (新): [自]凄く暗くなる、暗い toykokunne (新)、[自] raykunne (新): [副]暗く kunneno (新): [自]陰になって暗くなっている kurototke (石狩): [自]暗くなるのを待つ sirkunnetere (沙流)

クラクフ[場名](ポーランド共和国マウウォポルスカ県の県都)クラクフ Kurakof (新): (歴史)[場名]クラクフ共和国 Kurakof Ukotankoremosir (新) ※(1815-46年。ウィーン会議後分割されたワルシャワ公国の一部。別名「クラクフ自由市」。オーストリア帝国に併合されて消滅)

ぐらぐら[自]ぐらぐら揺れる sisuyesuye (石狩)、[自] osawsawke (石狩)

くらす(暮らす)①[名]暮らし sukup (石狩): 良い暮らし pirka sukup (石狩): [自]暮す、暮らしている an (複数 okay)

(石狩)、[自] sukup (石狩): 「私は空知太で暮らしている。」“Sorapciputu ta ku=an.”: [自]暮す sukup (石狩): 「空知で私が最年長者である。」“Sorapci ta hoski sukup pe ku=ne ruwe ne.”: [他](場所)で暮らす ean (複数 eokay) (新)、[他] esukup (新): [他]~と共に暮らす koan (複数 okay) (新)、[他] kosukup (新): [他](原因、手段)で暮らす oan (複数 ookay) (新)、[他] osukup (新): [他](人)に暮らせる ante (複数 okayre) (新)、[他] sukupte (新): ②(家族や複数の人間が共に営む)[名]暮らし ureska (石狩): [自]暮らす ureska (石狩): [他]~を暮させる ureskare (新)

グラスゴー[場名](イギリスのスコットランドの都市名)グラスゴー Gurasgow (新)

クラスノダル[場名](ロシア連邦南部連邦管区の構成主体名)クラスノダル地方 Kurasnodar-sirkes (新)※(通称「クバン地方」): [固名](クラスノダル地方の首府名)クラスノダル Kurasnodar (新)

クラスノヤルスク[場名](ロシア連邦シベリア連邦管区の構成主体名)クラスノヤルスク地方 Kurasnoyarsuk-sirkes (新): [場名](クラスノヤルスク地方の首府)クラスノヤルスク Kurasnoyarsuk (新)

クラスペディア(植物)[名](キク科)クラスペディア属 konkanitamamun-cise (新): [名]クラスペディア・グロボーサの茎葉 konkanitamamun (新)、[名]その花 konkanitama (新)

グラニューとう(グラニュー糖)[名]グラニュー糖 sitopenota (新)

くらべる(比べる)[自]比べる iupakte (新): [他]~を比べる upakte (石狩): 「AとBを私は比べる。」“A newa B ku=upakte. = A B ku=upakte.”: [他](場所)で~を比べる eupakte (新): [他]~と共に~を比べる koupakte (新): [他](原因、手段)で~を比べる opakte (新): [他](人)に~を比べさせる upaktere (新): [他]自分で、一人で~を比べる yaykoupakte (新): [他]互いに、皆で~を比べる ukoupakte (新): [他]徹底的に~を比べる toykoupakte (新): [他](中相)~が比べられる ciupakte (新): [他]~と~を比べる pakte (石狩): 構成要素としてのみ確認されるが、今後単独でも使う。: [他]~と比べられる sipakteyar (新)

グラム[名](重さの単位) gram (新)※(単位は“g”)

くらやみ(暗闇)[名]暗闇 kunne (石狩): (表現)暗闇の中で kunne otta (新)

クリ(栗) (植物)[名](ブナ科)クリ属 *yamni-cise* (新): [名]クリの茎 *yamni* (幌別)、[名] *yayayyamni* (新)、[名]その花 *yamni-apappo* (新): [名]その殻斗 *rayta* (幌別)、[名] *yamsey* (長万部)、[名] *yamsu* (JK): [名]その堅果 *yam* (幌別): [名]アメリカグリの茎 *amerika-yamni* (新): [名]オザークチンカピンの茎 *ozak-yamni* (新): [名]カスタネア、フロリダナの茎 *furorida-yamni* (新): [名]チュウゴクグリの茎 *atuyya-yamni* (新)※(別名「シナグリ」、「アマグリ」など): [名]チンカピンの茎 *cinkapin-yamni* (新): [名]ヘンリーグリの茎 *henri-yamni* (新): [名]モーバングリの茎 *numaus-yamni* (新): [名]ヨーロッパグリの茎 *europa-yamni* (新)※(別名「セイヨウグリ」): [名]ワイセイチンカピンの茎 *mocinkapin-yamni* (新)

クリーブランド [場名](アメリカ合衆国オハイオ州の都市名)クリーブランド *Kurivurando* (新)

クリーム [名]クリーム *kurim* (新)

くりいろ(栗色) [自]栗色になる、である *yámirone* (新): [他]～を栗色にする *yámironeka* (*yámironere*) (新): [名]栗色 *yámiro* (新)

グリーン [自]グリーンになる、である *gurin* (新): [他]～をグリーンにする *gurinka* (*gurinte*) (新): [名]グリーン色 *gurin-iro* (新)

グリーンランド [場名](地名)グリーンランド島 *Kararitnuat-poysir* (新)※(カラーリット語。デンマークの自治領。中心都市「クヌート」): [名](地名)グリーンランド海 *Kararitnuat-atuy* (新)※(グリーンランドの東岸に広がりノルウェー海と接する海)

くりかえし(繰り返す) ① [名]繰り返す *iukakuste* (新): [自]繰り返す *iukakuste* (新): [他]～を繰り返す *ukakuste* (石狩): [他](場所)で～を繰り返す *eukakuste* (新): [他]～と共に～を繰り返す *koukakuste* (新): [他](原因、手段)で～を繰り返す *oukakuste* (新): [他](人)に～を繰り返させる *ukakustere* (新): [他]自分で、一人で～を繰り返す *yaykoukakuste* (新): [他]互いに、皆で～を繰り返す *ukoukakuste* (新): [他]完璧に～を繰り返す *oarukakuste* (*arukakuste*) (新): [他]減茶苦茶～を繰り返す *toykoukakuste* (新): [他](中相)～が繰り返される *ciukakuste* (新): [他]人に～を繰り返させる、繰り返してもらう *ukakusteyar* (新): ②[助動]繰り返す～する、～を繰り返す *ranke* (石狩): 「私は

盗みを繰り返した。」「*Ku=ikka ranke .*」、「私は繰り返す金をお前に渡した。」「*Ikor e=kore=an ranke .*」: ③(神謡のリフレイン)[名]繰り返す *sake(-he)* (石狩): ④[副]繰り返す *kanna* (石狩): (表現)繰り返す繰り返す *kanna kanna* (石狩): (表現)何度も繰り返してする *kanna neno iki* (石狩): 「…彼は何時までもそうしたので、繰り返すようにそうしたので…」*“… neypakno ene iki hi ne kusu, kanna neno iki kusu…”* (砂沢クラ): (表現)また繰り返す *kanna suy* (石狩)

ぐりぐり [名]ぐりぐりしたもの *nin(-i)* (石狩)

クリスマス ①[名]クリスマス *Xuristossiko* (新)、[名] *Xuristugena* (新)※(希語)、[名] *Xuristi Nataris* (新)※(羅語): ②[場名](地名)クリスマス島 *Xuristomas-poysir* (新)

グリソン ①(動物)[名](イタチ亜科)グリソン属 *gurison-cise* (新): [名]グリソン *sigurison* (新)※(西語): [名]ヒメグリソン *mogurison* (新): ②[名](イタチ亜科)グリソンモドキ属 *cigurisonkopa-cise* (新): [名]グリソンモドキ *cigurisonkopa* (新)

くりだす(繰り出す) (表現)(殴る)何度も激しく拳を～に繰り出す *tu ruy moysutu re ruy moysutu ~ esankekar* (沙流)

クリチェフスカヤ [名](地名)クリチェフスカヤ山 *Kuriwcefsukaya-nupuri* (新)※(ロシア連邦領カムチャッカにある山)

グリップ ①[名]グリップ *nit(-ci)* (新): ②(銃杷)[名]グリップ *puspenit(-ci)* (新)、[名] *nit(-ci)* (新)

クリップスプリンガー (動物)[名](ブラックバック亜科)クリップスプリンガー族 *sirarkaeterkeyukpeko-utar* (新): [名]クリップスプリンガー属 *sirarkaeterkeyukpeko-cise* (新): [名]クリップスプリンガー *sirarkaeterkeyukpeko* (新)

クリトリス →「いんかく(陰核)」を見よ

くりぬく(くり抜く) [自]ものをくり抜く *isoypa* (新): [他]～をくり抜く *soypa* (沙流): [他](場所)で～をくり抜く *esoypa* (新): [他]～と共に～をくり抜く *kosoypa* (新): [他](原因、手段)で～をくり抜く *osoypa* (新): [他](人)に～をくり抜かせる *soypare* (新): [他]自分で、一人で～をくり抜く *yaykosoypa* (新): [他]互いに、皆で～をくり抜く *ukosoypa* (新): [他]完全に～をくり抜く *oassoypa* (*assoypa*) (新): [他]充分～をくり抜く *nosoypa* (新): [他]思い切り～をくり抜く *toykosoypa* (新): [他](中相)～がくり抜か

れる *cisoypa* (新)

クリプトン (化学)[名]クリプトン *kuripton* (新)※(原子番号36番。元素記号 Kr)

クリミア [場名](地名)クリミア半島 *Kurimsirekanray* (新): [場名](ロシア連邦の行政区名)クリミア連邦管区 *Kurimukosineatkimosirkor-iwor* (新)※(本部は「シンフェロポリ」)

くる(来る) ①[自]来る *ek* (複数 *arki*) (石狩): 山から麓、浜、上流から下流などへの移動に関して"*san* (複数 *sap*)"が、水上から陸上への移動に関して"*yan* (複数 *yap*)"が用いられる。: (表現)来つつある *ek kane an* (複数 *arki kane okay*) (石狩)、(表現) *ek kor an* (複数 *arki kor okay*) (石狩): (表現)来ている *ek wa an* (複数 *arki wa okay*) (石狩): (表現)来たばかりである *ek* (複数 *arki*) *nisa* (新): (表現)一日後に来る、一日遅れて来る *sine to iosi ek* (複数 *arki*) (新): (表現)最後に来る *iotta iosi ek* (複数 *arki*) (新): (表現)最初に来る *hoski ek* (複数 *arki*) (新): (表現)～と一緒に来る、～を連れて来る *~ tura wa ek* (複数 *arki*) (石狩)、(表現) *~ tura(-no) ek* (複数 *arki*) (石狩): (表現)～に乗って来る *~o wa ek* (複数 *arki*) (石狩): (表現)～の後から来る *~ osi ek* (複数 *arki*) (新): (表現)～のそばに来る、～に近寄る *~ samake ene* (*samakene*) *ek* (複数 *arki*) (石狩): (表現)～のために来る、～するため来る *~ kusu ek* (複数 *arki*) (石狩): (表現)～を迎えに来る *~ ekari* (複数 *arki*) (石狩): (表現)知らせが来る *asur ek* (石狩)、(表現) *sonko ek* (石狩): (表現)手紙が来る *kampi ek* (石狩): [他](場所)に来る *eek* (複数 *earki*) (新)、[他] *osiraye* (複数 *osiraypa*) (沙流): [他]～と一緒に来る *koek* (複数 *koarki*) (新): [他](場所)から来る (複数) (石狩): 「～から来る」と表現するには「～」に入るのが、場所名詞、場所の名詞、あるいは位置名詞の場合にはそれら+*wa* (*wano*、あるいは *orwa*、*orwano*)+*ek* (複数 *arki*)となるが、普通名詞の場合にはそれ+*orwa* (*orwano*)+*ek* (複数 *arki*)となる。また他動詞として *oek* があり (*orwa ek*、(*orwano ek* など)に代わるものとして用いる事ができる。: 「赤平から私は来た。」
“*Akapi ra wa ku=ek* .” = “*Akapi ra ku=oek* .”、
「この町に赤平から私は来た。」
“*Tan maciya otta Akapi ra wa ku=ek* .” = “*Tan maciya otta Akapi ra ku=oek* .” : [他](手段)で来る *oek* (複数 *oarki*) (新): ②(季節、年、日、昼夜が)来る *an* (石狩、天塩): (表現)春が来る *paykar an* (石

狩): (表現)明日が来る *nisatta an* (石狩): (表現)夜が来る *kunne an* (石狩)

クルガン [場名](ロシア連邦ウラル連邦管区の構成主体名)クルガン州 *Kurgan-purovince* (新): [場名](クルガン州の州都名)クルガン *Kurgan* (新)

くるくるまく(くるくる巻く) (毛皮など)[他]～をくるくる巻く *supikar* (新): (表現)～をくるくる巻く *supi kar* (石狩): 「私は毛皮をくるくる巻いていった。」“*Rus supi ku=kar* .” : [他](場所)で～をくるくる巻く *esupikar* (新): [他]～と共に～をくるくる巻く *kosupikar* (新): [他](原因、手段)で～をくるくる巻く *osupikar* (新): [他](人)に～をくるくる巻かせる *supikare* (新)

ぐるぐるまく(ぐるぐる巻く) ①(輪を描いて)[自]ぐるぐる巻く *saykar* (石狩): 蛇がとぐろを巻く時などの他、ぐるぐると駆け回る姿の比喻としても使われる。: ②(糸など)[他]～をぐるぐる巻く *saye* (石狩): ②(莫莖など)[他]～をぐるぐる巻く *karkari* (石狩): [他]～に～をぐるぐる巻く *kokarkari* (石狩): ③(毛皮など)[他]～をぐるぐる巻く *supikar* (石狩): [名]ぐるぐる巻いた物 *sup(-i)* (石狩)

ぐるぐるまわる(ぐるぐる回る) [自]ぐるぐる回る *sikarikari* (石狩)、[自] *sikarkari* (新)、[自] *karikari* (石狩)、[自] *sikannaratki* (天塩): [他](場所)をぐるぐる回る *esikarikari* (*esikarkari*) (新)、[他] *ekarikari* (新): [他]～と共にぐるぐる回る *kosikarikari* (*kosikarkari*) (新)、[他] *kokarikari* (新): [他](原因、手段)でぐるぐる回る *osikarikari* (*osikarkari*) (新)、[他] *okarikari* (新): [他]～をぐるぐる回す *sikarikarire* (*sikarkarire*) (新)、[他] *karikari* (*karkari*) (新): [他](人)に～をぐるぐる回させる *karikarire* (*karkarire*) (新)

グルジア [場名](国名)グルジア *Sakartovero* (*Sakattovero*) (新)※(首都は「トビリシ」): [名]グルジア人、国民 *sakartoverounkur* (*sakattoverounkur*) (新): [名]グルジア人 *karturikur* (*katturikur*) (新): [名]グルジア語 *karturikuritak* (*katturikuritak*) (新): [名]グルジア文字 *karturikur-itakitokpa* (*katturikur-itakitokpa*) (新): (歴史)[場名](国名)グルジア共和国 *Sakartovero* (*Sakattovero*) *Ukotankoremosir* (新)※(1990-95。首都は「トビリシ」): (歴史)[場名](国名)グルジア・ソビエト社会主義共和国 *Gurziya Sovet Ureskausamun*

Ukotankoremosir (新)※(1936-90。
略称は GurziyaSUU)：(歴史)[場名](国名)
グルジア民主共和国 Sakartovero
(Sakattovero) Urenkasapte
Ukotankoremosir (新)※(1918-21。
首都は「チフリス」。ロシア・ソビエト社会主
義連邦共和国の攻撃で崩壊)

くるしむ(苦しむ) ①(肉体が苦痛を受ける事を
示し)[自]苦しむ、苦しい ciskot (石狩)：
「私の心臓の端が苦しい気がする。」
“Ku=sampe kese ciskot kane humas .”
[他]～を苦しませる ciskote (新)： ②(酷
い目に遭う事を示し)[自]苦しむ
yaykewkor (天塩)、[自] yaykemusi (石
狩)： [他](場所)で苦しむ eyaykewkor
(新)、[他] eyaykemusi (新)： [他]～と共
に苦しむ koyaykewkor (新)、[他]
koyaykemusi (新)： [他](原因、手段)で苦
しむ oyaykewkor (新)、[他] oyaykemusi
(新)： [他](人)を苦しめる yaykewkore
(新)、[他] yaykemusire (新)

クルスク [場名](ロシア連邦中央連邦管区の
構成主体名)クルスク州 Kursuk-purovince
(新)： [場名](クルスク州の州都名)クルスク
Kursuk (新)

ぐるっとまわる(ぐるっと回る) [自]ぐるっと
回る sikari (石狩)、[自] kari (石狩)：
[他](場所)をぐるっと回る esikari (石狩)、
[他] ekari (石狩)、[他] okari (石狩)：
[他]～と共にぐるっと回る kosikari (新)、
[他] kokari (新)： [他](原因、手段)でぐる
っと回る osikari (新)、[他] okari (新)：
[他](人)にぐるっと回らせる sikarire (新)、
[他] karire (新)

クルド [場名](中近東の地名)クルディスタン
Kurdistan (新)： [名]クルド人
kuddokur (kurdokuritak) (新)： [名]ク
ルド語 kuddokuritak (kurdokuritak)
(新)

くるぶし(踝) [名]踝 tokompone (石狩)、
[名] cikiritokom (石狩)、[名]
cikirtokompone (石狩)

クルペオギツネ(クルペオ狐) (動物)[名](イヌ
科)クルペオギツネ属 kurpeosumari-cise
(新)： [名]クルペオギツネ kurpeo-sumari
(新)、[名] andesun-sumari (新)： [名]ス
ジオイヌ burazirun-sumari (新)： [名]
セチュラギツネapuraun-sumari (新)：
[名]チコハイイロギツネ arxentinaun-
manausumari (新)： [名]パンパスギツネ
pampasun-sumari (新)

くるま(車) ①[名]車輪を持つものの総称
karipkorpe (新)、[名] akamkorpe (阿寒)、
[名] kuruma (石狩)： ②[名]四輪自動車

inekaripkorpe (新)

クルミ(胡桃) ①(植物)[場名](古生花被植物亜
綱)クルミ目 nesko-kotan (新)： [名]クル
ミ科 nesko-apa (新)： [名]クルミ属
nesko-cise (新)： [名]オニグルミの茎
nesko (石狩)、[名] nínumni (石狩、十勝)、
[名]その果実 nínun (H)、[名]その仮果
húninun (新)、[名]その核果 síninun
(新)、[名]その核 nínunkap (知里)、[名]
nínunsey (知里)、[名]その胚 nínun-ipe
(幌別)、[名] nitor (美幌)： [名]シナノグ
ルミの茎 sinano-nesko (新)、[名]その果実
kuwasi-ninun (新)： [名]バタグルミの茎
buttennesko (新)、その果実 buttenninun
(新)： [名]ヒメグルミの茎 peršia-nesko
(新)、[名]その果実 peršia-ninun (新)※
(オニグルミの変種)： [名]ユグランズ・アウ
ストラリスの茎 argentina-nesko (新)：
[名]ユグランズ・オランカナの茎 oranxana-
nesko (新)： [名]ユグランズ・カリフォル
ニカの茎 karifonnia-nesko (新)： [名]ユ
グランズ・シガラタの茎 kunnekani-nesko
(新)： [名]ユグランズ・ジャマイケンシスの
茎 karibe-nesko (新)： [名]ユグランズ・
ニグラの茎 kunne-nesko (新)： [名]ユグ
ランズ・ネオトロピカの茎 andes-nesko
(新)； [名]ユグランズ・ヒンジイの茎
koykakarifonnia-nesko (新)： [名]ユグ
ランズ・ベネズエレンシスの茎 venezuera-
nesko (新)： [名]ユグランズ・ペルビアナ
の茎 peru-nesko (新)： [名]ユグランズ・
ボリビアナ borivia-nesko (新)： [名]ユ
グランズ・マヨルの茎 arizonaporo-nesko
(新)： [名]ユグランズ・マンチュリカの茎
manju-nesko (新)： [名]ユグランズ・ミク
ロカルバの茎 ponninum-nesko (新)：
[名]アルファロア属 arfaroa-cise (新)：
[名]エンゲルハルディア属 engerrhardia-
cise (新)： [名]オレオムニア属
hamuuyakusnesko-cise (新)： [名]キク
ロカリア属 cánesko-cise (新)： [名]サワ
グルミ属 petcamnesko-cise (新)： [名]ノ
グルミ属 sisamnesko-cise (新)： [名]ペ
カン属 hikkori-cise (新)※(カリア属など
とも)： [名]ヤマモモ科 makirampani-apa
(新)： ②[自]胡桃撒きをする
ukoninumcari (天塩)： [自]胡桃を割る
nínumpere (新)： [名]胡桃割り器
nínumperep (新)： [名]胡桃割り人形
nínumpereinoka (新)

クルミガイ(胡桃貝) (魚介)[場名](オオキララ
属)クルミガイ目 nínunsey-kotan (新)：
[名]クルミガイ科 nínunsey-apa (新)：
[名]クルミガイ属 nínunsey-cise (新)：

[名]クルミガイ *ninum* (新)※(別名「ホンロウバイガイ」): [名]コグルミガイ *moninum-sey* (新): [名]アキラ属 *akiracise* (新): [名]アラスカキララ *araskamikepsey* (新): [名]オオキララガイ *poromikepsey* (新): [名]オニキララガイ *smikepsey* (新): [名]カラフトキララガイ *karaptomikepsey* (新): [名]キララガイ *mikepsey* (新): [名]ツクシキララガイ *yayanmikepsey* (新)

くるむ(包む) [他]～を包む *ikokari* (新)、[他] *ikokarkari* (新): [他]～にものを包む *koikari* (新)、[他] *koikarkari* (新): [他]～に～を包む *kokari* (石狩)、[他] *kokarkari* (石狩): 「私達は遺体を墓に包んだ。」“*Araysir yattuy ci=kokarkari* .”: [他](誰か)に～に～を包ませる *kokarire* (新)、[他] *kokarkarire* (新)

くれ (表現)(子供や大人に対しては乱暴な言い方として)～をくれ *en=kore* (石狩): 「金をくれ。」“*Ikor en=kore* .”

グレートブリテン ①[場名](国名)グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国 *Poru Buriten newa Koykaun Éra Ukosineatki-yaykomosirkorkur-kormosir* (新)※(首都は「ロンドン」。英語の略号はU.K. アイヌ語での略号はU.M.M.): (歴史)[場名](国名)グレートブリテンおよびアイルランド連合王国 *Poru Buriten newa Éra Ukosieatki-yaykomosirkorkur-kormosir* (新)※(188-1927): (歴史)[場名](国名)グレートブリテン王国 *Poru Buriten Yaykomosirkorkur-kormosir* (新)※(1707-): [場名](地名)グレートブリテン島 *Poroburiten-poysir* (新)

グレープフルーツヘラコウモリ (動物)[名](ヘラコウモリ科)グレープフルーツヘラコウモリ亜科 *antiriaunnikaope-hametukapapmoapa* (新): [名]グレープフルーツヘラコウモリ属 *antiriaunnikaope-hametukapap-cise* (新): [名]グレープフルーツヘラコウモリ *antiriaunnikaope-hametukapap* (新): [名]キューバフルーツヘラコウモリ *kubaunnikaope-hametukapap* (新)

クレオール [名]クレオール語 *kureoritak* (新)

グレゴリオ [名]グレゴリオ暦 *Guregoriuskar-tonukarpe* (新)

クレジットカード [名]クレジットカード *ikonneyar* (新)

くれたもの(くれた物) (表現)さっき～がくれた物 *esin kore ek pe* (石狩): 「これはさっき婆ちゃんが私にくれた物だよ。」“*Tampe*

esin huci en=kore ek pe ne wa .”

くれない(紅) ①(鮮明な赤い色を指し)[名]紅 *húre-iro* (新)、[名] *pirkahure-iro* (新): [自]紅に染まる、染まっている *húre* (石狩)、[自] *pirka-hure* (新): [他]～を紅に染める *húreka* (*húreke*) (新)、[他] *pirka-hureka* (*-hurere*) (新): ②(紅(べに)色)[名]紅 *ihurekap-iro* (新): [自]紅に染まる、染まっている *ihurekap-irone* (新): [他]～を紅に染める *ihurekap-ironeka* (*-ironere*) (新)

グレナダ ①[場名](国名)グレナダ *Gurenada* (新)※(首都は「セントジョーンズ」): [名]グレナダ人、国民 *gurenadaunkur* (新): ②[場名](地名)グレナダ島 *Gurenada-poysir* (新)

グレナディーン [場名](地名)グレナディーン諸島 *Guranadin-usapoysir* (新)※(西インド諸島ウインワード諸島に属する)

グレビーシマウマ(グレビー縞馬) (動物)[名](ウマ属)グレビーシマウマ亜科 *áneruoumma-mocise* (新): [名]グレビーシマウマ *áneruoumma* (*áneruomma*) (新)

クレヨン [名]クレヨン *paster* (新)※(英語)

くれる(暮れる) [0動]辺りが暮れる、日が暮れる *sironuman* (石狩): (表現)日が暮れると *sironuman kor* (石狩)、(表現) *onuman an kor* (石狩): [自](場所)が暮れる *sirkoonuman* (新): (表現)すっかり日が暮れる *oar sironuman kor* (石狩)、(表現) *oar onuman* (*tókes*) *an kor* (石狩)、(表現)(雅) *sían tókes ciomante kor* (沙流)

クロアゲハ(黒揚羽) (昆虫)[名](アゲハチョウ属)クロアゲハ *kunne-kitomarewrew* (新)

クロアジモドキ(黒鰻擬) クロアジモドキ(黒鰻擬)(魚介)[名](アジ科)クロアジモドキ属 *cimanakatuo-kopaaji-cise* (新): [名]クロアジモドキ *cimanakatuo-kopaaji* (新)

クロアチア [場名](国名)クロアチア共和国 *Xurvatka Ukotankoremosir* (新)※(首都は「ザグレブ」): [場名](国名の通称として)クロアチア *Xurvatka* (新): [名]クロアチア人、国民 *xurvatkaunkur* (新): [名]クロアチア人 *xurvatkur* (新): [名]クロアチア語 *xurvatkuritak* (新)

クロナナゴ(黒穴子) (魚介)[名](アナゴ科)クロアナゴ亜科 *kunnehamo-moapa* (新): [名]クロアナゴ属 *kunnehamo-cise* (新): [名]クロアナゴ *kunnehamo* (新): [名]アメリカンコンガー *amerikaonnehamo* (新): [名]キリアナゴ *tokenukwa* (新)※(琉球語): [名]ダイナンアナゴ *onnehamo*

(新): [名]マアナゴ yayanhamo (新)、
[名] okkonoyke (美幌): [名]ヨーロッパ
アナゴ europaonnehamo (新): [名]アイ
アナゴ属 sikitekorhamo (新): [名]ガビ
アルケプス属 gaviarikepsu-cise (新):
[名]キツネアナゴ属 sumarihamo-cise
(新): [名]ギンアナゴ属 sirokanihamo-
cise (新): [名]クセノミスタクス属
kusenomistaksu-cise (新): [名]コングリ
スクス属 konguriskus-cise (新): [名]コ
ングルヒュンクス属 konguruhinxus-cise
(新): [名]コングロソマ属 kongurosoma-
cise (新): [名]スカラナゴ属
sukaranago-cise (新): [名]ディプロコン
ゲル属 diprokonger-cise (新): [名]パチ
ュウロコンゲル属 batiurokonger-cise
(新): [名]パチュコングルス属
batikongurus-cise (新): [名]バッサナゴ
属 bassanago-cise (新): [名]パルロコン
ゲル属 parurokonger-cise (新): [名]ヒ
モアナゴ属 athamo-cise (新): [名]プセ
ウドフィクチュス属 puseudofixtis-cise
(新): [名]ブラケア属 buraxea-cise (新):
[名]プロミラントル属 puomirantor-cise
(新): [名]ポエキロコンゲル属
poekirokonger-cise (新): [名]マクロケフ
エンケリュス属 makrokefenxeris-cise
(新): [名]ヤボノコンゲル属
japonokonger (新): [名]ルミコンゲル属
lumikonger-cise (新)

くろいぬいと(黒い縫糸) [名] 黒い縫糸
kunnenuyto (石狩)

くろいやち(黒いやち) [名] 黒いやち tomam
(石狩)

くろう(苦勞) ①[自]苦勞する ikopepka (石
狩)、[自] rampekamama
(ramupekamama) (石狩)、[自]
sampsitki (石狩)、[自] yaywennukar
(石狩、天塩): [他](場所)で苦勞する
eikopepka (新)、[他] erampekamama
(eramupekamama) (新)、[他]
esampsitki (新)、[他] eyaywennukar
(新): [他]〜と共に苦勞する koikopepka
(新)、[他] korampekamama
(koramupekamama) (新)、[他]
kosampsitki (新)、[他] koyaywennukar
(新): [他](原因、手段)で苦勞する
eraynene (eraynine) (石狩)、[他]
kopepka (新)、[他] orampekamama
(oramupekamama) (新)、[他]
osampsitki (新)、[他] oyaywennukar
(新): [他](人)に苦勞させる ikopepkare
(新)、[他] rampekamamaka
(ramupekamamaka) (新)、[他]
rampekamamare (ramupekamamare)

(新)、[他] sampsitkire (新)、[他]
yaywennukare (新): [他]自分で、一人で
苦勞する yaykoikopepka (新)、[他]
yayko-rampekamama (yayko-
ramupekamama) (新)、[他]
yaykosampsitki (新)、[他] yayko-
yaywennukar (新): [他]互いに、皆で苦勞
する ukoikopepka (新)、[他] uko-
rampekamama (uko-ramupekamama)
(新)、[他] ukosampsitki (新)、[他] uko-
yaywennukar (新): [他]滅茶苦茶苦勞す
る toykoikopepka (新)、[他] toyko-
rampekamama (toyko-ramupekamama)
(新)、[他] toykosampsitki (新)、[他]
toyko-yaywennukar (新): ②[名]苦勞話
ikopepka (石狩): [自]苦勞話をする
ikopepka (石狩): [他](人)に苦勞話をさせ
る ikopepkare (新)

くろうと(玄人) [名]玄人 iamkirakur (新)、
[名] iamkirkur (新): (表現)〜の玄人
名詞、名詞句+amkir (a)kur (新):
ipakasnu(教育)+amkir (a)kur →
ipakasnu amkir (a)kur 「教育の玄人」:
(表現) 動詞句+amkir (a)kur (新):
umma ka wa icotca(馬上で弓を射当てる)+
amkir (a)kur → umma ka wa icotca
amkir(a)kur 「騎射の玄人」: [自]玄人
である iamkir (新): [他]〜について玄人
である amkir (石狩): [他](場所)で〜につ
いて玄人である eamkir (新): [他]〜と
共に〜について玄人である koamkir
(新): [他](原因、手段)で〜について玄人
である oamkir (新): [他](人)を〜について
玄人にする amkire (新): [他]自分で、一
人で〜について玄人である yaykoamkir
(新): [他]互いに、皆で〜について玄人
である ukoamkir (新): [他]完全に〜につ
いて玄人である ooramkir (aramkir) (新):
[他]充分〜について玄人である amkinno
(amkinnu) (新): [他]滅茶苦茶〜につ
いて玄人である toykoamkir (新)

クロウミガメ(黒海亀) (動物)[名](アオウミガ
メ属)クロウミガメ kurokecinkew (新)

くろうるし(黒漆) [名]黒漆 kunne-ussi (新)

クローク [名]クローク netopakamup (新)、
[名] konkocimip (新)、[名] kuroak (新)
※(英語)

グローズヌイ [場名](ロシア連邦南部連邦管区
チェチェン共和国の首都名)グローズヌイ
Gurozuniy (新)

くろかみ(黒髪) [名]黒髪 kunneotop(i)
(幌別)

くろく(黒く) ①[自]黒くなる、黒い kunne
(石狩): [他](場所)で黒くなる、黒い

ekunne (新): [他]〜と共に黒くなる、黒い
 kokunne (新): [他](原因、手段)で黒くなる、黒い okunne (新): [他]〜を黒くする、黒く染める kunneka (kunnere) (新): [自]ぱっと黒くなる kunnetek (新): [自]完全に黒くなる、黒い oarkunne (arkunne) (新): [自]充分黒くなる、黒い kunneno (kunnenu) (新): [自]ひどく黒くなる、黒い toykokunne (新): [自]真っ黒くなる、真っ黒い kunneno (石狩)、[自]pirkakunne (新): [名]黒色 kunne-iro (新): [自]ものを黒く染める ikunneka (天塩): [副]黒く kunne(-no) (新): ② [自](合成語の構成要素として)黒い an (石狩): an + ra (葉) + kor (を持つ) → anrakor 「クロユリの鱗茎」
くろくも(黒雲) [名]黒雲 kunnenis (新)、[名] kunneniskur (新)
くろぐろ(黒々) (表現)〜の顎に鬚が黒々としている ~ notkiri kurun kane an (沙流)
クロコダイル (動物)[名](ワニ科)クロコダイル科 kurokodir-apa (新): [名]クロコダイル属 kurokodir-cise (新): [名]アメリカワニ amerikakurokodir (新): [名]イリエワニ moykurokodir (新): [名]オーストラリアワニ austorariakurokodir (新): [名]ナイルワニ sebekkurokodir (新): [名]ヌマワニ tokurokodir (新): [名]コビトワニ属 mokurokodir-cise (新): [名]マレーガビアル属 cigaviarkopa-cise (新)
くろざとう(黒砂糖) [名]黒砂糖 kunnetopenota (新)
くろしんしゃ(黒辰砂) (鉱物)[名]黒辰砂 kunne-kemsuma (新)
クロハラフルーツコウモリ(黒腹フルーツ蝙蝠) (動物)[名](シタナガフルーツコウモリ亜科)クロハラフルーツコウモリ属 honikunne-nikaopekapap-cise (新): [名]クロハラフルーツコウモリ honikunne-nikaopekapap (新): [名]ウッドフォードフルーツコウモリ wudfordo-nikaopekapap (新)※(以前別種とされたオレンジフルーツコウモリと同種): [名]ファードウリュフルーツコウモリ fardouris-nikaopekapap (新)
クロベ(黒檜) (植物)[名](ヒノキ亜科)クロベ属 kunnehinoki-cise (新): [名]クロベの茎 kunnehinoki (新)※(別名「クロベスギ」、「ネズコ」など): [名]オウゴンニオイヒバの茎 konkaniomawkushinoki (新)※(ニオイヒバの変種): [名]シセンネズコの茎 sicuankunnehinoki (新): [名]ニオイネズコの茎 kórinkunnehinoki (新): [名]ニオイヒバの茎 omawkushinoki (新): [名]ベイスギの茎 amerikakunnehinoki

(新)※(別名「アメリカネズコ」など)
くろまじゅつ(黒魔術) [名]黒魔術、黒魔法 pónitak (新)、[名] kunneitak (新): [自]黒魔術を行う、黒魔法を唱える pónitak (新)、[自] kunneitak (新)
クロマツ(黒松) (植物)[名](マツ属)クロマツの茎 kunnetotonup (新)※(別名「オマツ」)
クロミンククジラ(黒ミンク鯨) (動物)[名](ナガスクジラ属)クロミンククジラ kunne-monokorhumpe (新)※(別名「クロコイワシクジラ」)
クロム (化学)[名]クロム kuromium (新)※(原子番号24番。元素記号 Cr)
くろめ(黒目) [名]黒目 kunnesiknum(-i) (石狩)
クロモジ(黒文字) (植物)[名](クスノキ科)クロモジ属 sumnuhasni-cise (新): [名]クロモジの茎 sumnuhasni (新)、[名] sumnasni (新): [名]クロモジの枝 sumnuhas (長万部)、[名] sumnas (幌別): [名]クロモジの葉 sumnuhas-ham (新): [名]クロモジの根 sumnuhasni-sinrit (新): [名]黒文字(楊枝) kuromoji (新): [名]黒文字油 sumnuhassum (新): [名]アブラチャンの茎 tunas-sumnuhasni (新): [名]ウスゲクロモジの茎 numapon-sumnuhasni (新)※(ケクロモジの変種): [名]オオバクロモジの茎 hamuporo-sumnuhasni (新)※(クロモジの変種): [名]オオバコウバシの茎 kemmomte-sumnuhasni (新): [名]オキナワコウバシの茎 rucusumnuhasni (新)※(タイワンコウバシの変種): [名]カナクギノキの茎 poyyuksirkio-sumnuhasni (新): [名]ケクロモジの茎 numaus-sumnuhasni (新): [名]シロモジの茎 kuwane-sumnuhasni (新)※(杖黒文字): [名]タイワンコウバシの茎 taywan-sumnuhasni (新): [名]ダンコウバイの茎 omawkus-sumnuhasni (新): [名]テンダイウヤクの茎 uyakuni (新)※(烏薬木): [名]ナンバンクロモジの茎 sumnuhasni (新): [名]ヒメクロモジの茎 mosumnuhasni (新): [名]ヤマコウバシの茎 uomaepuyo-sumnuhasni (新)※(混芽黒文字)
クワ(桑) (植物)[名](イラクサ目)クワ科 turepni-apa (新): [名]クワ属 turepni-cise (新): [名]ヤマガワの茎 tesmani (石狩)、[名] turepni (幌別)、[名]その樹皮 tesmaniyar (美幌)、[名]その果実 tesmani-epuy (美幌)、[名] tópeppe (天塩)、[名] nítuprep (新): [名]アフリカマルベリーの茎 afrika-turepni (新)、[名]その果実 afrika-nítuprep (新)※(別名「ブラ

ックマルベリー」): [名]オガサワラグワの茎 ogasawara-turepni (新): [名]カラヤマグワの茎 retatturepni (新)、[名]その果実 retanniturep (新)※(別名「マグワ」、「ホワイトマルベリー」): [名]クロミグワの茎 kunne-turepni (新)、[名]その果実 kunne-niturep (新)※(別名「ブラックマルベリー」): [名]ケグワの茎 numaus-turepni (新)、[名]その果実 numaus-niturep (新): [名]シマグワの茎 rucu-turepni (新)、[名]その果実 rucu-niturep (新): [名]テンジクグワの茎 himaraya-turepni (新)、[名]その果実 himaraya-niturep (新)※(別名「ヒマラヤマルベリー」): [名]ナガミグワの茎 tannaturepni (新): [名]レッドベリーの茎 húre-turepni (新)、[名]その果実 húre-niturep (新): [名]ログワの茎 atuyya-turepni (新)、[名]その果実 atuyya-niturep (新)、[名]その根皮 turepnisinrit-kap (新)※(別名「ロソウ」): [名]アサ属 asa-cise (新): [名]アメリカゴムノキ属 amerikagumni-cise (新): [名]アンティアロプシス属 antiaropsis-cise (新): [名]イチジク属 fikus-cise (新): [名]ウトセテラ属 utsetera-cise (新): [名]ウパス属 surkuturepni-cise (新): [名]カラハナソウ属 ohurkotuypemun-cise (新): [名]クワクサ属 tupepnimun-cise (新): [名]クラリシア属 kurarisiá-cise (新): [名]コウゾ属 yúhuni-cise (新): [名]スキフォシケ属 sukifoške-cise (新): [名]ストレブルス属 tópeturepni-cise (新): [名]スパラットシケ属 suparattoške-cise (新): [名]ソロケア属 sorokea-cise (新): [名]トリマトコックス属 torimatokokkus-cise (新): [名]トリレビシウム属 torirepišium-cise (新): [名]ドルステニア属 oruweturepni-cise (新): [名]トレクリア属 afrikasipanoni-cise (新): [名]トロフィス属 torofis-cise (新): [名]ナウクレオプシス属 naukreopsis-cise (新): [名]バガッサ属 bagassa-cise (新): [名]バトカルプス属 batokarpus-cise (新): [名]パラトカルプス属 parartokarpus-cise (新): [名]ハリグワ属 aynuturepni-cise (新): [名]パンノキ属 kasipanoni-cise (新): [名]プールセナ属 poursenia-cise (新): [名]プセウドルメディア属 yankitopeni-cise (新): [名]プラインェア属 purainea-cise (新): [名]フレットィア属 hurettia-cise (新): [名]ブレークロデア属 bureekrodea-cise (新): [名]ブロシム属 ramonni-cise (新): [名]ヘリアンソスティリス属

heriantostiris-cise (新): [名]ペレビア属 perebia-cise (新): [名]ヘリコスティリス属 herikostiris-cise (新): [名]マクイラ属 makuyra-cise (新): [名]マレーシア属 cinoyeni-cise (新): [名]ミリキア属 irokoturepni-cise (新)※(→イロコを見よ): [名]メソギネ属 mesogine-cise (新)

くわ(鐵) [名] 鉄 tonka (石狩)、[名] tonkuwa (石狩)

くわえる(加える) ①(入れる事を示し)[他](場所)にものを加える io (石狩): [他](場所)に～を加える omare (石狩)、[他] o (石狩): [他](時)に(場所)で～を加える eomare (新)、[他] eo (新): [他]～と共に(場所)に～を加える koomare (新)、[他] koo (新): [他](原因、手段)で(場所)に～を加える oomare (新)、[他] oo (新): ②(混ぜる事を示し)[自]ものを加える ipoye (新): [他]～を加える poye (石狩)※(今後単独でも用いる)、[他] ukakuo (石狩): [他](場所)で～を加える epoye (新)、[他] eukakuo (新): [他]～に～を加える kopoye (石狩)、[他] koukakuo (新)、[他] kokar (天塩): [他](原因、手段)で～を加える opoye (新)、[他] oukakuo (新): [他](人)に～を加えさせる poyere (新)、[他] ukakuore (新): ③(人を仲間にする事を示し)[自]人を加える iipokte (新): [他]～を加える iopokte (新): [他](場所)に～を加える eiopokte (新): [他]～と共に～を加える koiopokte (新): [他](原因、手段)で～を加える oiopokte (新): [他](人)に～を加えさせる iopoktere (新)

くわえる(啜える) [他]～を啜える ekupa (石狩): 「…そいつは以前の様に石を啜えて出てきて…」 “…eneampe teeta kane suma ekupa asin hine…” (杉村キナラブック) 説話: [他](場所)で～を啜える eekupa (新): [他]～と共に～を啜える koekupa (新): [他](原因、手段)で～を啜える oekupa (新): [他]～に～を啜えさせる ekupare (石狩)

クワクサ(桑草) (植物)[名](クワ科)クワクサ属 turepnimun-cise (新): [名]クワクサの茎葉 turepnimun (新)

くわわる(加わる) ①(入る事を示し)[他](場所)に加わる siomare (新)、[他] sio (新): [他](中相)(場所)に～が加わる ciomare (新)、[他] cio (新): ②(混ぜる事を示し)[自]加わる poyke (新)、[自] sipoye (新)、[自] siukakuo (新): [他](中相)～が加わる cipoye (新)、[他] ciukakuo (新): [他](場所)で加わる epoyke (新)、[他] esipoye (新)、[他] esiukakuo (新):

[他]～に加わる kopoyke (新)、[他] kosipoye (新)、[他] kosiukakuo (新) : [他](原因、手段)で加わる opoyke (新)、[他] osipoye (新)、[他] osiukakuo (新) : ③ (仲間に入る事を示し)[自]加わる iopok (石狩) : [他]～に加わる eiopok (石狩) : [他]～と共に加わる koiopok (新) : [他](原因、手段)で加わる oiopok (新) : [他]～と共に～に加わる koeiopok (新) : [他](原因、手段)で～に加わる oeiopok (新) : [他]自分で、一人で～に加わる yaykoeiopok (新) : [他]互いに、皆で～に加わる ukoeiopok (新)

ぐん(軍) [名]軍 tumiutar(-i) (新)、[名] tumi (新)、[名] tum (新) : [名]海軍 atuykauntum (新) : [名]空軍 nisoruntom (新) : [名]陸軍 sirkauntum (新)

ぐん(郡) [名](日本の行政単位)郡 gun (新)※ (日本語。英語の county などの訳語としても用いる)

ぐんか(軍歌) [名]軍歌 tumi-upopo (新)、[名] tumi-sinotcaki (新)

ぐんか(軍靴) [名]軍靴 tumiker(-i) (新)、[名] rorumpeker(-i) (新)

ぐんかん(軍艦) [名]軍艦 tumicip (石狩)

グンカンドリ(軍艦鳥) (鳥)[名](カツオドリ目)グンカンドリ科 topattumicikap-apa (新) : [名]グンカンドリ属 topattumicikap-cise (新) : [名]アメリカグンカンドリ amerika-topattumicikap (新) : [名]オオグンカンドリ sitopattumicikap (新) : [名]コグンカンドリ motopattumicikap (新) : [名]メスグログンカンドリ buriten-topattumicikap (新)

ぐんきよ(群居) [自]郡居する at (新) : (表現)人が群居する aynu at (他方言) : [他]～に郡居する ot (新) : 専ら語構成要素や地名にのみ見られるが今後は単独でも使う。

クンクン ①(臭いを嗅ぐため)[自]クンクン鼻を鳴らす etumasmasa (幌別)、[自] etumasasa (新) : ②(犬が甘えて)[間投](鳴き声)クンクン niwniw (石狩) : [自]クンクン鳴く niwniwse (石狩)

ぐんざい(群在) [自]群在する at (石狩) : [他]～に群在する ot (石狩) : 専ら語構成要素や地名にのみ見られるが今後は単独でも使う。

ぐんじ(軍事) [名]軍事 tumi (新) : [自]軍事演習する tumikoroinkar (新)

くんしゅ(君主) [名]君主 yaysapakorkur (新)

ぐんしゅう(群衆) [名]群衆 topaneutar(-i) (新)

くんしゅせい(君主制) [名]君主政体、君主制 yaysapakorkurkor (新) : [自]君主制を布く yaysapakorkurkor (新) : [他](人)に君主制を布かせる yaysapakorkurkure (新) : [名]君主主義 yaysapakorkurkor-samun (新)、[名] yaysapakorkurkorismu (新) : [名]君主主義者 yaysapakorkurkor-samunkur (新)、[名] yaysapakorkurkorismu (新) : [場名]君主国 yaysapakorkurkormosir (新)

くんしょう(勲章) [名]勲章 penramnonno (新)、[名] penramtomtep (新)

ぐんじょういろ(群青色) [自]群青色になる、である repun-ao (orepun-) (新) : [他]～を群青色にする、染める repun-aoka (orepun-) (新)、[他] repun-aore (orepun-) (新) : [名]群青色 repunao-iro (orepun-) (新)

くんせい(燻製) [自]ものを燻製にする ima (新)、[自] iuparusi (新) : [他]～を燻製にする ma (石狩)、[他] uparusi (新) : [他](人)に～を燻製にさせる máre (新)、[他] uparusire (新) : [名]燻製の魚 cimacep (石狩)、[名] uparuscep (石狩) : [名]燻製の肉 cimakam (新)、[名] uparuskam (新)

ぐんたい(軍隊) [名]軍隊 tumiutar(-i) (新)

ぐんとう(群盗) [名]群盗 topattumi (石狩)、[名] kanitumi (浦河) : (表現)群盗が来る tupattumi san (石狩) : (表現)(場所)に群盗が来る(～が群盗に遭う) topattumi osan (石狩) : (表現)群盗をする topattumi sanke (石狩)

ぐんらい(群来) ①[自]群在する at (石狩) : (表現)ニシンが群来する eroki at (地名) : (表現)群れが群来する topa at (他方減) : [他]～に群在する ot (石狩)※(専ら語構成要素や地名にのみ見られるが今後は単独でも用いる) : ②[自](鳥が)群来する utassanke (天塩)

ぐんれつ(群列) ①(渡り鳥などのもの)[名]群列 say(-e) (石狩) : [名]鳥の群列 (石狩) : [場名]先頭の群列 saypa (石狩) : (表現)先頭の群列の先頭 saypa pake (石狩) : (表現)先頭の群列の群列の殿 saypa kese (石狩) : [場名]殿の群列 saykes (新) : ②(魚や小鳥のもの)[名]群列 rup(-i) (石狩)

くんれん(訓練) [自]訓練する yayramuska (新)※(自分を慣れさせる) : [他]～を訓練する eyayramuska (新) : [他](場所)で訓練する eyayramuska (新) : [他]～と共に

訓練する koyayramuska (新): [他](原因、手段)で訓練する oyayramuska (新): [他](人)に～を訓練させる yayramuskare (新): [自]自分で、一人で訓練する yaykoyayramuska (新): [自]皆で、共に訓練する ukoyayramuska (新): [自]充分訓練する yayramuskano (yayramuskanu) (新): [自]完璧に訓練する oaryayramuska (aryayramuska) (新): [自]訓練しまくる toykoyayramuska (新)

け(毛) ①(人間について)[名]髪の毛 otop(-i) (石狩): ②(人間について髪の毛以外の、また動物の)[名]毛 numa (石狩)、[名](雅語として動物の)毛 kiski (H): ③(人間の)[名]陰毛 honuma (石狩)

ケアリ(毛蠟) (昆虫)[名](ヤマアリ属)ケアリ属 numaitunnap (新): [名]アメイロケアリ ameiro-numaitunnap (新): [名]カワラケアリ piwka-numaitunnap (新): [名]キイロケアリ sikerpepeus-numaitunnap (新): [名]クサアリモドキ penramnumasakkunne-numaitunnap (新): [名]クロクサアリ kunne-numaitunnap 隠語: [名]テラニシケアリ mokunne-numaitunnap (新): [名]トビイロケアリ kunnehure-numaitunnap (新): [名]ハヤシケアリ nitayitunnap (新): [名]ヒゲナガアメイロケアリ rekitanneameiro-numaitunnapo (新): [名]ヒメトビイロケアリ mokunnehure-numaitunnap (新): [名]フシボソクサアリ ikiane-numaitunnap (新)

けい(京) ①[名]京人 moikiknen (新): [名]十京人 wanmoikiknen (新): [名]百京人 atuytamoikiknen (新): [名]千京人 wánatuytamoikiknen (新): ②[名]京、京匹、京個など moikik (新)※(10の16乗): [名]十京 wanmoikik (新): [名]百京 atuytamoikik (新): [名]千京 wánatuytamoikik (新): ③[連体]京の moikikne (新)、[連体] moikik (新): [連体]十京の wanmoikikne (新)、[連体] wanmoikik (新): [連体]百京の atuytamoikikne (新)、[連体] atuytamoikik (新): [連体]千京の wánatuytamoikikne (新)、[連体] wánatuytamoikik (新)

けい(刑) [名]刑 ipanakte (新)

けい(敬意) [名]敬意 oripakkewtum(-u) (新): (表現)敬意 oripak kewtum (石狩): (表現)～に対する敬意 eoripak kewtum (石狩): (表現)～に対して敬意を抱く eoripak kewtum yaykorpore (石狩)

けいかいせき(珪灰石) [名]珪灰石 worastonite (新)※(英語)

けいかく(計画) [名]計画 iramekar (新)、[名] puran (新)※(英語)、[名] purojekto (新)※(英語): [名]物事を計画する iramekar (新): [他]～を計画する ramekar (新): [他](場所)で～を計画する eramekar (新): [他]～と共に～を計画する koramekar (新): [他](原因、手段)で～を計画する oramekar (新): [他](人)に～を計画させる ramekare (新): [他]自分で、一人で～を計画する yaykoramekar (新): [他]皆で～を計画する ukoramekar (新): [他]完璧に～を計画する oanramekar (anramekar) (新): [他]充分～を計画する ramekanno (ramekannu) (新): [他]人に～を計画させる ramekarar (新)

けいきん(脛筋) [名](虫の)脛筋 nisapkam(-i) (新)

けいこうぼ(軽空母) [名]軽空母 kosne-sintakotcip (新)

げいげき(迎撃) ①(先制攻撃に対して)[自]迎撃する iekaritumikor (新): [他]～を迎撃する ekaritumikor (新): [他](場所)で～を迎撃させる eekaritumikor (新): [他]～と共に～を迎撃する koekaritumikor (新): [他](原因、手段)で～を迎撃する oekaritumikor (新): [他]～に～を迎撃させる ekaritumikore (新): ②(敵の接近に対し先制攻撃し)[自]迎撃する iekaricorawki (新): [他]～を迎撃する ekaricorawki (新): [他]～に～を迎撃させる ekaricorawkire (新)

けいけん(経験) [名]経験 iamkirap (新)、[名] iamkirpe (新): [自]物事を経験する、経験から知っている iamkir (新): [他]～を経験する、経験から知っている amkir (石狩): [助動]～を経験する、経験から知っている amkir (石狩): [他](場所)で～を経験する、経験から知っている eamkir (新): [他]～と共に～を経験する、経験から知っている koamkir (新): [他](原因、手段)で～を経験する、経験から知っている oamkir (新): [他](人)に～を経験させる、経験から知るようにさせる amkire (新): [他]自分で、一人で～を経験する、経験から知っている yaykoamkir (新): [他]互いに、皆で～を経験する、経験から知っている ukoamkir (新): [他]すっかり～を経験する、経験から知っている ooramkir (aramkir) (新): [他]充分～を経験する、経験から知っている amkinno (amkinnu) (新): [他]減茶苦茶～を経験する、経験から

知っている toykoamkir (新): [名]経験者 iamkirakur (新)、[名] iamkirkur (新): (表現)~経験者 名詞、名詞句+amkir (a)kur (新): simpikoyki(クロマグロ漁)+amkir (a)kur → simpikoyki amkir(a)kur 「クロマグロ漁経験者」: (表現) 動詞句+amkir (a)kur (新): repunkotan ta yaypakasnu(海外留学する)+amkir (a)kur → repunkotan ta yaypakasnu amkir (a)kur 「海外留学経験者」: [名]経験のない事 cieramuskarap (cieramuskarap) (新)、[名] cierameskarap (cierameskarap) (新)、[名] cieramuskarap (cieramuskarap) (新)、[名] cierameskarap (cierameskarap) (新)、[名] cierameskarap (cierameskarap) (新)

けいご(敬語) [名]敬語 iokurusteitak (新): [自]敬語を使う iokuruste (沙流): (表現)敬語で言う iokuruste wa ye (沙流): [他](場所)で敬語を使う eiokuruste (新): [他](人)に敬語を使う koiokuruste (新): [他]~と共に敬語を使う koiokuruste (新): [他](原因、手段)で敬語を使う oiokuruste (新): [自]自分で、一人で敬語を使う yaykoiokuruste (新): [自]互いに、皆で敬語を使う ukoikuruste (新)

けいこく(溪谷) [名](両岸が断崖になって迫り、底を水の流れているような)溪谷 eorkasi (天塩)

けいこく(警告) [自]人に警告する ipirma (沙流): [他](人)に警告する pirma (沙流): [他](人)に~を警告する epirma (沙流)

けいこつ(頸骨) [名]頸骨 okkew(-e) (石狩)

けいさ(珪砂) [名]珪砂 kuartuota (新)

けいさつ(警察) [名]警察 emuskor (新)、[名] porice (新)※(英語): [名]警察官 emuskorkur (新)、[名] poriceunkur (新)、[名](悪) emuskorpe (石狩): [名]警察署 emuskorkutcise (emuskorkurcise) (新)、[名] poricecise (新)、[名](悪) emuskorpecise (石狩)

けいさん(計算) ①[自]計算する ipiskikar (新): [他]~を計算する piskikar (新): [他](場所)で~を計算する episkikar (新): [他]~と共に~を計算する kopiskikar (新): [他](原因、手段)で計算する opiskikar (新): [他](人)に~を計算させる piskikare (新): [自]暗算する iramepiskikar (新): ②[自]物事を心の中で計算する iramepakari (石狩): [他]~を心の中で計算する ramepakari (石狩)

けいさんき(計算機) [名]計算機 ipiskikarpe (新): [名]電子計算機 imerupiskikarpe (新)

けいじ(刑事) ①[名]刑事、刑事事件 cieipanaktekunip (新): (法)[名]刑事訴訟法 ipanaktekuni-eionnuppainenka (新): ②(私服警察官)[名]刑事 yayanimimimemuskorkur (新)、[名](悪) yayanimimip (新)、[名] detektive (新)※(英語)

けいじ(啓示) [名]啓示 seskepuk (新): (表現)啓示 kamuy unnukare p (新): [自]啓示を受ける ciseskepuk (新): [他]~について啓示を受ける eciseskepuk (新): [他](場所)で啓示を受ける eciseskepuk (新): [他]~と共に啓示を受ける kociseskepuk (新): [他](原因、手段)で啓示を受ける ociseskepuk (新)

けいじ(繫辞) [名]繫辞 ukoteitak (新)、[名] kópura (新)※(英語)

けいじゅつ(芸術) [名]芸術 iearkar (新)、[名] árut (新)※(英語)、[名] árus (新)※(羅語): [名]芸術家 iearkarkur (新)、[名] árucisto (新)※(英語): [名](特に手工芸に関して)芸術家 teketok (石狩)、[名] teketokkorkur (石狩): [名]芸術作品 ciearkarpe (新)、[名] aneáarkarpe (新)

けいじゅんようかん(軽巡洋艦) [名]軽巡洋艦 kosne-castumicip (新)

けいず(系図) [名]系図 sanikirkampi (新)

けいせい(形成) [自]形成する katkar (新): [自]ものを形成する iekatkar (新): [他]~を形成する ekatkar (新): [他](場所)で~形成する eekatkar (新): [他]~と共に~を形成する koekatkar (新): [他](原因、手段)で~を形成する oekatkar (新): [他](人)に~を形成させる ekatkare (新): [他]自分で、一人で~を形成する yaykoekatkar (新): [他]互いに、皆で~を形成する ukoekatkar (新): [自]自らを形成する yayekatkar (新): [自]形成し合う、全てを形成する uekatkar (新): [自]形成される siekatkar (新): [他](中相)~が形成される ciekatkar (新)

けいせつ(脛節) [名](虫の脚の)脛節 nisapik(-i) (新)

ケイ素(ケイ素) (化学)[名]ケイ素 sírikium (新)※(羅語)、[名] sírikon (新)※(原子番号 14番。元素記号 Si。英語)

けいそうど(珪藻土) [名]珪藻土 cietoy (石狩)

けいたい(携帯) [自]携帯する ikor (新): [他]~を携帯する kor (石狩): [他](場所)で~を携帯する ekor (新): [他]~と共に~を携帯する kokor (新): [他](原因、手段)で~を携帯する okor (新): [他](人)に~を携帯させる kóre (新): [他]自分で、一人で~を携帯する(新): [他]皆で~を携

帯する ukokor (新): [名]携帯品
 ciyaykoko (新)
けいたいでんわ(携帯電話) [名] 携 帯 電 話
 imeruitakpo (新)、[名] itakpopo (itakpo)
 (新)
けいちょう(傾聴) [自]傾聴する ikokanu (石狩): [他](場所)で傾聴する eikokanu (新): [他]~と共に傾聴する koikokanu (新): [他](原因、手段)で傾聴する oikokanu (新): [他](人)に傾聴させる ikokanure (新): [他](人)に傾聴させる ikokanure (新): [他](人)の話を傾聴する、(話など)を傾聴する kokanu (石狩): [他](場所)で~を傾聴する ekokanu (新): [他]~と共に~を傾聴する kokokanu (新): [他](原因、手段)で~を傾聴する okokanu (新): [他](人)に~を傾聴させる kokanure (新): [他]自分で、一人で~を傾聴する yaykokokanu (新): [他]互いに、皆で~を傾聴する ukokokanu (新)
けいど(経度) [名]経度 aturika (新): [名]東経 cupka-aturika (新): [名]西経 cuppok-aturika (新)
けいと(毛糸) [名]毛糸 numaka (新)
けいとう(系統) [名]系統 ikir(i) (石狩)※(これまでは神や人の系統を指して用いられてきたが、今後はより抽象的な意味にも広く用いていく): (表現)男の系統 ékasi ikiri (石狩): (表現)女の系統 húci ikiri (石狩): [場名](特に先祖の名を冠して、誰か)の系統 sáni (sánike) (石狩): (表現)ハウカセの系統 Hawkase sáni (sánike) (新)
けいはいれんが(珪灰煉瓦) [名]珪灰煉瓦 únaota-sumatoy (新)
けいばつ(刑罰) [名]刑罰 cioipanaktepaci (新)、[名] ipanaktepaci (新)
けいふ(系譜) ①[名]系譜 ikir(i) (石狩): これまでは神や人の系統を指して用いられてきたが、今後はより抽象的な意味にも広く用いていく。: ②[場名](同じような要素や性質を受け継ぐ事物の繋がりを指し)~の系統 sáni (sánike) (新)
けいふ(継父) [名](きつちりした言い方として)継父 iresuona (新): [名](愛情を込めた言い方として)継父 iresuhampe (新)
けいぶんみゃく(径分脈) [名](虫の翅の)径分脈 saunraprit-kohopip(i) (新)
けいほう(刑法) (法)[名]刑法 ipanakteirenka (新)
けいみゃく(径脈) [名](虫の翅の)径脈 saunraprit-ci) (新)
けいやく(契約) [名]契約 uesere (新): [自]契約する uesere (新): [他]~について契約する euesere (八雲): [他](場所)

で契約する eusere (新): [他]~と契約する kousere (新): [他](原因、手段)で契約する ousere (新): [他](人)に契約させる ueserere (新): [他]自分で、一人で契約する yaykoesere (新): [他]互いに、皆で契約する ukouesere (新): [他]仮契約する ietokoyki-uesere (新): [他]本契約する síusere (新): (表現)契約を履行する uesere eoripak (新)、(表現) uesere sonno (sino)ki (新): (表現)(人)に契約を履行させる uesere eoripakte (新)、(表現) uesere sonno (sino)kiíre (新)
けいゆ(軽油) [名]軽油 kosnesumasum (新)、[名] kosnesum (新)
けいりゅう(保留) [自]保留してある at (石狩): [他]~を保留する atte (石狩): (表現)船を保留する cipatte (石狩): [他](場所)に~を保留する eatte (新): [他]~と共に~を保留する koatte (新): [他](原因、手段)で~を保留する oatte (新): [他](誰か)に~を保留させる attekari (新)
けいりょう(軽量) [自]軽量になる、である kosne (石狩): [他]~を軽量化する kosneka (kosnere) (新): [他](中相)~が軽量化される cikosneka (cikosnere) (新): [自]軽量化さてる sikosneka (sikosnere) (新): [名]軽量煉瓦 kosne-sumatoy (新)
ケイリン(桂林) [場名](中華人民共和国の広西チワン族自治区の都市名)桂林 Kuyrin (新)
けいれい(敬礼) [自]人に敬礼する itekoeoripak (新): [他](人)に敬礼する tekoeoripak (新): [他](人)に(人)に敬礼させる tekoeoripakte (新): [自]敬礼し合う utekoeoripak (新)
けいれつ(系列) [名]系列 ikir(i) (新)
けいれん(痙攣) ①[自]痙攣する yupyupke (石狩): [他](原因)で痙攣する oyupyupke (新): [他]~を痙攣させる yupyupkere (新): ②(クリトリスなど)[自]ピクンピクンと痙攣する ronronke (石狩): [他]~をピクンピクンと痙攣させる ronronkere (新)
ゲエズ [名]ゲエズ語 geezuitak (新)※(古代エチオピア語とも): [名]ゲエズ文字 geezu-itakitokpa (新)※(アムハラ文字とも)
ケードゆ(ケード油) [名]ケード油 aymannisum (新)※(ビャクシン属ケードネズから採れる油=杜松油)
ケーニヒスベルク (歴史)[場名](現在ロシア連邦領「カリニングラード」の旧称)ケーニヒスベルク Kénixsuberku (新)

ケーブ(1) [名]ケーブ kúkeworatkip (新)、
[名] kápe (新)※(英語)

ケーブ(2) [名](地名)ケーブ半島 Kápe-sirekanray (新)※(アフリカ最南端の半島)

ケーブタウン [場名](南アフリカ共和国の立法
首都、及び同国西ケーブ州の州都名)ケーブ
タウン Kapsutat (新)

ケーブル [名]ケーブル、ケーブル線 hárika
(新)※(縄)、[名] keybur (新)※(英語)

ゲール [名]ゲール人 goiderkur (新)、[名]
ゲール語 goiderkuritak (新)

けおされる(気圧される) [自]気圧される
oripak (石狩): [他]〜に気圧される
eoripak (石狩)、[他] kooripak (天塩):
「私は彼女の美しさに気圧されていた。」“Ne
menoko siretokkor ruwe ku=eoripak kane
ku=an.”: [他]〜と共に気圧される
kooripak (新): [他](原因、手段)で気圧さ
れる ooripak (新)

けおとす(蹴落とす) [自]人を蹴落とす
iranaoterke (新): [他]〜を蹴落とす
oterke (石狩)、[他] ránaoterke (新):
[他](場所)で〜を蹴落とす eoterke (新)、
[他] eranaoterke (新): [他](場所)へ〜を
蹴落とす kooterke (石狩)、[他]
koranaoterke (新): 「これからあの様に
神様ががするなら私の手で鳥なき地獄に蹴
落とされるようにするだろう。」“Tewano
neno kamuy utar iki yakanakne an=teke
ani cikapsakmosir an=kooterke kunine
an=kar nankor.” (杉村キナラブック)説話:
[他](原因、手段)で〜を蹴落とす ooterke
(新)、[他] oranaoterke (新): [他](人)に
〜を蹴落とさせる oterkere (新)、[他]
ránaoterkere (新)

けが(怪我) [名]怪我 pir(i) (石狩): [自]一
か所怪我をする píroma (石狩): [自]何
か所も怪我をする píro (石狩)、[自]
sipireta (新): [他](人)に怪我をさせる
píromare (新): [自]皆に怪我をさせる
upiomare (新): [自]人に何か所も怪我を
させる ipireta (新): [他](人)に何か所も
怪我をさせる pireta (沙流): [他](人)に
(人)に何か所も怪我をさせる piretare
(新): [自]皆に何か所も怪我をさせる
upireta (新): [自]怪我をする
yayuninkare (天塩): [他](人)に怪我をさ
せる uninkare (新)

けがず(穢す) [自]人やものを穢す
iicakkereka (icakkerere) (新): [他]〜を
穢す icakkereka (icakkerere) (新)、[他]
icakkere (石狩): [他](場所)で〜を穢す
eicakkereka (eicakkerere) (新): [他]〜
と共に〜を穢す koicakkereka

(koicakkerere) (新): [他](原因、手段)で
〜を穢す oicakkereka (oicakkerere)
(新): [他](人)に〜を穢させる
icakkerekare (新): [他]〜を一瞬で穢す
icakkeretekka (新): [自](わざと)自分を
穢す yayicakkereka (yayicakkerere)
(新): [自]穢し合う、皆を穢す
uicakkereka (uicakkerere) (新): [他]ひ
どく〜を穢す toykoicakkereka
(toykoicakkerere) (新): [自]穢される
siicakkereka (siicakkerere) (新):
[他](中相)穢される ciicakkereka
(ciicakkerere) (新)

けがない(毛がない) ①[自]体毛がない、体毛が
薄い numasak (石狩): ②[自](頭など)全
く毛がなくツルツルになる、である
tontone (石狩)、[自] kepne (石狩): ③
[自]頭に全く毛がなくツルツルになる、であ
る etontone (石狩): [自]頭に毛がなくな
る、ない ekeyrasine (石狩): ④[自]陰部
に全く毛がなくツルツルになる、である
otontone (石狩)

**けがやけるようなにおい(毛が焼けるような臭
い)** [名]毛が焼けるような臭い tumahura
(石狩): (表現)毛が焼けるような臭いがする
tumahura at (石狩)

けがらわしい(汚らわしい) [間投](不潔な物に不
快感を表し)汚らわしい icakkere (石狩):
[自]汚らわしいと思う cakke (石狩):
[他]〜を汚らわしいと思う ecakke (石
狩): [他]〜と共に汚らわしいと思う
kocakke (新): [他](原因、手段)で汚らわ
しいと思う ocakke (新): [他](人)に汚ら
わしいと思わせる cakkere (新)

けがれる(穢れる) [自]穢れる、穢れている
icakkere (石狩): [他](場所)で穢れる、穢
れている eicakkere (新): [他]〜と共に
穢れる、穢れている koicakkere (新):
[他](原因、手段)で穢れる、穢れている
oicakkere (新): [自]一瞬で穢れる
icakkeretek (新): [自](わざと)自分で穢れ
る yaykoicakkere (新): [自](何らかの外
的要因で)穢れる sikoicakkere (新): [自]
滅茶苦茶穢れる、穢れている toykoicakkere
(新)

けがわ(毛皮) ①[名](鳥獣の)毛皮 rus(i)
(石狩): [名](タヌキ、テンなど)小動物の毛
皮 iyorus (石狩): [自](クマの頭部に関
して)毛皮を付けたままである oruskur
(沙流): (表現)毛皮を付けたままのクマの頭
oruskur maratto (沙流): ②[名](動物の)
毛皮、あるいはそれで作った外套 ur(i)
(石狩)

げき(劇) [名]劇 ieyukarkanru (新)、[名]

simpaya (石狩)、[名] durama (新)※(希語)：(表現)劇を見る ieyukarkanru (durama) nukar (新)、(表現) simpaya nukar (石狩)、(表現) simpaya otta inkar (石狩)

げきしゃ(激写) [自]激写する itoykonokauk (新)：[他]～を激写する toykonokauk (新)

げきじょう(劇場) [場名]劇場 ieyukarkarusi (新)、[名] simpaya (石狩)、[名] teatre (新)、[名] teater (新)※(英語)

げきちん(撃沈) [他]～を撃沈する tomierenka (新)、[他] renka (石狩)：[他](場所)で～を撃沈する etomierenka (新)、[他] erenka (新)：[他](場所)に～を沈める tomierenka (新)、[他] korenka (新)：[他]～と共に～を沈める kotomierenka (新)、[他] korenka (新)：[他](原因、手段)で～を沈める otumierenka (新)、[他] orenka (新)：[他]～に～を撃沈させる tumierenkare (新)、[他] renkare (新)：[他]一瞬で～を撃沈する (新)、[他] rentekka (新)：[他]自分で、一人で～を沈める yaykotomierenka (新)、[他] yaykorenka (新)：[他]互いに、皆で～を沈める ukotumierenka (新)、[他] ukorenka (新)

げきど(激怒) [自]激怒する toykoiruska (新)、[自] yupkeiruska (新)、[自] iruskaruy (新)：[自](雅語) cariruskare (石狩)：(表現)激怒する yupkeno iruska (新)、(表現) ruyno iruska (新)：[他]～の事で激怒する toykoruska (新)：[他](場所)で激怒する etoykoiruska (新)：[他](人)に対して激怒する kotoykoiruska (新)：[他]～と共に激怒する kotoykoiruska (新)：[他](人)を激怒させる toykoiruskare (新)、[他] yupkeiruskare (新)、[他] iruskaruyka (iruskaruyre) (新)、[他] cariruskarekar (新)：[自]自分で、一人で激怒する yaykoyupkeiruska (yayyupkeiruskare) (新)、[自] yaykoiruskaruy (新)、[自] yayiruskaruyka (yayiruskaruyre) (新)：[自]互いに激怒する、皆で激怒する ukoyupkeiruska (uyupkeiruskare) (新)、[自] ukoiruskaruy (新)、[自] uiruskaruyka (uiruskaruyre) (新)

げきやく(劇薬) [名]劇薬 iyaykiptekusuri (新)

げきりゅう(激流) [名]急流 puyra (石狩)、[場名]激流 supor(o) (石狩)：(表現)急流に落ちる puyra tum osma (石狩)

げきれい(激励) [名](行為)激励 ikoorosutke

(新)：[自]激励する orosutke (萱)：[他](場所)で激励する eorosutke (新)：[他]～と共に激励する koorosutke (新)：[他](原因、手段)で激励する oorosutke (新)：[他](人)を激励させる orosutkere (新)：[自]人を激励する ikoorosutke (萱)：[他](人)を激励する koorosutke (静内)：[他](人)に(人)を激励させる koorosutkere (新)：[他]自分で、一人で～を激励する yaykokoorosutke (新)：[他]互いに、皆で～を激励する ukokoorosutke (新)：[他]思い切り～を激励する raykoorosutke (新)：[他]人に～を激励させる、激励してもらう koorosutkeyar (新)：[自]人に自分を激励させる、激励してもらう sikoorosutkeyar (新)：[自]自分を激励する yaykoorosutke (萱)：[自]激励し合う ukoorosutke (新)：[他]思い切り激励する toykoorosutke (新)

げさ(今朝) [副]今朝 ésin-kunnano (石狩)、[副] ésin-kunneywa (天塩)、[副] tanto-kunneywa (天塩)、[副] ésin (石狩)

げざん(下山) [自]下山する san (複数 sap) (石狩)、[自] nupuriosan (複数 upuriosap) (新)：[他](場所)へ下山する kosan (複数 kosap) (石狩)：[他]～と共に下山する kosan (複数 kosap) (新)：[他](場所)から下山する osan (複数 osap) (石狩)：[他](原因、手段)で下山する osan (複数 osap) (石狩)：[他]～を下山させる sanke (複数 sapte) (新)、[他] nupuriosanke (複数 nupuriosapte) (新)：[名]下山道 sanru (石狩)

けしき(景色) [場名]景色 sírosir(i) (新)、[場名] siroruyisir(i) (新)：[場名](合成語の構成要素として)景色 sir(i) (新)

けしずみ(消炭) [名]消炭 apepas(u) (石狩)、[名] ciuskapas(u) (天塩)、[名] pas(u) (石狩、天塩)、[名] paspas (八雲)、[名] uspas (宗谷)：(表現)消し炭 ape pasu (石狩)

ケシミズカメムシ(芥子水亀虫) (昆虫)[場名](アメンボ下目)ケシミズカメムシ上科 entonumpeka-hurawenkikir-apapa (新)：[名]ケシミズカメムシ科 entonumpeka-hurawenkikir-apa (新)：[名]ケシミズカメムシ entonumpeka-hurawenkikir (新)

けしょう(化粧) [自]化粧する yaykar (新)：[他](場所)で化粧する eyaykar (新)：[他]～と共に化粧する koyaykar (新)：[他](原因、手段)で化粧する oyaykar (新)：[他](人)に化粧させる yaykare (新)：[自]さっと化粧する yaykattek (新)：[自]自分で、一人で化粧する yaykoyaykar (新)：

[自]互いに、皆で化粧する ukoyaykar (新): [自]美しく化粧する pirkayaykar (新)、[自] yaykanno (yaykannu) (新): (表現)美しく化粧する pirkano yaykar (新): [自]厚化粧する yaykanrui (新): [自]化粧を落とす nanomante (新): [名]化粧品 cioyaykarpe (新)

けしょう(化生) ①(仏教)[自]化生する yayantekka (新): ②(化身)[名]化生 yaykatcipip (新): ③(怪物)[名]化生 kamiasi (石狩)

ケショウヤナギ(化粧柳) (植物)[名](ヤナギ科) ケショウヤナギ属 ramparasusu-cise (新): [名]ケショウヤナギの茎 ramparasusu (石狩)

げす(下衆) [名]下衆 otuype (幌別)

けす(消す) ①(物や光に関して)[他]～を消す ninka (石狩)、[他] ninte (新): (表現)(動作を完了する事に注目して)～を消してしまう ninka (ninte) wa okere (新): (表現)(何かが消える状態に注目して)～を消してしまう ninka wa isam (oarisam) (新): [他](場所)で～を消す eninka (eninte) (新): [他]～と共に～を消す koninka (koninte) (新): [他](原因、手段)で～を消す oninka (oninte) (新): [他](人)に～を消させる ninkare (nintere) (新): [他]～をパッと消す nintekka (新): [自]自分で自分の姿を消す yayninka (yayninte) (新): [自]自然に姿を消す sininka (sininte) (新): [他]～を完全に消す oanninka (oanninte) (新): ②(火や灯火に関して)[他]～を消す uska (石狩): (表現)火を消す ape uska (石狩): 「…家の中が燃えると私の夫はそれを消した。」「… cise oske uhuy kor ku=korkur uska .」(砂沢クラ): [他](場所)で～を消す euska (新): [他]～と共に～を消す kouska (新): [他](原因、手段)で～を消す ouska (新): [他](人)に～を消させる uskare (新): [他]～をパッと消す ustekka (新): [他]～を完全に消す oaruska (aruska) (新): ③(霧などについて)[他]～をさっと消す sirkorayer (新)

げすいどう(下水道) [場名]下水道 pokna-wakkakusi (新)

けずりかけ(削りかけ) [名]削りかけ inawkike (石狩)、[名] kike (石狩)

けずる(削る) ①[他]～を削る kewre (石狩): 「私は棒の先を削って尖らせた。」“Ni pake ku=kewre wa ku=eenke .”: [他](場所)で～を削る ekewre (新): [他]～と共に～を削る kokewre (新): [他](原因、手段)で～を削る okewre (新): [他](人)に

～を削らせる kewrere (新): ②(木幣に関して)[他]～を削る ke (石狩): [他](場所)で～を削る eke (新): [他]～と共に～を削る koke (新): [他](原因、手段)で～を削る oke (新): [他](人)に～を削らせる kére (石狩): [自]木幣を削る inawke (石狩)

ケソン(開城) [場名](朝鮮民主主義人民共和国の行政区名)開城工業地区 Keson-ikannowsiywor (新): (歴史)[場名](高麗の首都名)開城 Keson (新)

げた(下駄) [名]下駄 pirakka (石狩): [名]下駄の音 pirakkasum (石狩): [間投](下駄のたてる音)カリッカリッ keuskeus (沙流)

けた(桁) ①(家の)[名]桁 sópesni (石狩)、[名](雅) amanni (沙流): ②(数字の)[名]桁 ipiskipso (新)

ケチャップ [名]ケチャップ kecap (新)

ケチュア [名]ケチュア人 kecuakur (新): [名]ケチュア語 kecuakuritak (新)※(南米のペルー共和国、ボリビア共和国の公用語)

けちらす(蹴散らす) [他]～を蹴散らす ureecari (八雲): [他](場所)で～を蹴散らす eureecari (新): [他]～と共に～を蹴散らす koureecari (新): [他](場所)から～を蹴散らす oureecari (新): [他](原因、手段)で～を蹴散らす oureecari (新): [他](人)に～を蹴散らせる ureecarire (新)

けちる [自]けちる ieunara (iemnara) (新)、[自] iniskupa (新)、[自] iecikari (新): [他]～をけちる eunara (emnara) (石狩)、[他] niskupa (石狩)、[他] ecikari (石狩): [他](場所)で～をけちる eniskupa (新): [他]～と共に～をけちる koniskupa (新): [他](原因、手段)で～をけちる oniskupa (新): [他](人)に～をけちらせる eunarare (emnarare) (新)、[他] niskupare (新)、[他] ecikarire (新): [他]酷く～をけちる toykoeunara (toykoemnara) (新)、[他] toykoniskupa (新)、[他] toykoeckari (新)

けつい(決意) [自]決意する kewtumositciwre (石狩): [他]～について決意する ekewtumositciwre (新): [他](場所)で決意する ekewtumositciwre (新): [他]～に向けて決意する kokewtumositciwre (新): [他]～と共に決意する kokewtumositciwre (新): [他](原因、手段)で決意する okewtumositciwre (新): [他](人)に決意させる kewtumositciwrere (新): [他]自分で、一人で決意する

yaykokewtumositciwre (新): [他]互いに、皆で決意する ukokewtumositciwre (新)

けつえん(血縁) [名]血縁 ir(i) (H): (表現)~の血縁になる、血縁である iri ne (新): [他]~と血縁である siramkore (石狩): [名]血縁がある、あるいは他人であっても親族同様に付き合う者 siramkore (石狩)

けっか(結果) ①[名]結果 ipeo (新)※(実り): (表現)結果が良くなる、良い ipeo pirka (石狩): (表現)結果が悪くなる、悪い ipeo wen (新): ②(物事を主語に)[自]結果が出る ipeo (新): [他]~に関して結果が出る eipeo (新): [他]~と共に結果が出る koipeo (新): [他](原因、手段)で結果が出る oipeo (新): [自]完全に結果が出る oaripeo (aripeo) (新): [自]充分結果が出る ipeono (ipeonu) (新): ③(人を主語に)[他](場所)で結果を出す ipeo (新): [他]~に関して(場所)で結果を出す eipeo (新): [他]~と共に(場所)で結果を出す koipeo (新): [他](原因、手段)で(場所)で結果を出す oipeo (新): [他](人)に(場所)で(場所)で結果を出させる ipeore (新): [他]自分で、一人で(場所)で結果を出す yaykoipeo (新): [他]互いに、皆で(場所)で結果を出す ukoipeo (新): [他]完全に(場所)で結果を出す oaripeo (aripeo) (新): [他]充分(場所)で結果を出す noipeo (新): [他]思い切り(場所)で結果を出す toykoipeo (新): [他](中相)(場所)で結果が出される ciipeo (新)

けっかい(決壊) [自]決壊する ika (石狩)、[自] éika (石狩): [名]決壊した川 ikapet (石狩): [自]ドッと決壊する eputtek (石狩)

けっかく(1)(欠格) (表現)欠格である cioikieaskay-huntasonep sak (新): (表現)欠格期間 cioikieaskay-huntasonep sak iutur (新): (表現)欠格事由 cioikieaskay-huntasonep sak motonep (新): (表現)欠格条項 cioikieaskay-huntasonep sak hi an=nuye cátek (新)

けっかく(2)(欠格) (言語)[名]欠格 cisakperewke (新)※(欠かれるもの格)

けっかん(血管) [名]血管 kemrit(-ci) (石狩)

げっかんし(月刊誌) [名]月刊誌 kescup-kampisospo (新)、[名] kescup-sospo (新)

けつぎ(決議) [自]物事を決議する iukourenkare (新): [他]~を決議する ukourenkare (石狩): [他](場所)で~を決議する eukourenkare (新): [他]~のために~を決議する koukourenkare (新):

[他]~と共に~を決議する koukourenkare (新): [他](原因、手段)で~を決議する oukourenkare (新): [他](人)に~を決議させる ukourenkarere (新): [他]ぱっと~を決議する ukourenkaretek (新): [他]ぱっと(人)に~を決議させる ukourenkaretekka (新): [他]~を人に決議させる ukourenkareyar (新): [他](中相)~が決議される ciukourenkare (新)

げっきゅう(月給) [名]月給 kescuppuma (新): (表現)月給で二十万円受け取る kescuppuma ne tu wánmoikne yen uk (新): (表現)月給で二十万円払う kescuppuma ne tu wánmoikne yen kar (新)

けっきよく(結局) [副]結局 óikesne (沙流)

げっけい(月経) [名]月経 cup (石狩): [自]月経が下りる cupkor (石狩)、[自] cupkarap (石狩): [自]誰か月経の者がいて予定日でもないのに一緒にいる(親しい)周囲の者も月経になる ucupkore (新)、[自] ucupkarapte (新): (表現)性交の前に急に月経が下りる cup ciyokore (新)

ゲッケイジュ(月桂樹) ①(植物)[名](クスノキ科)ゲッケイジュ属 dafne-cise (新): [名]ゲッケイジュの茎 dafne (新)※(希語)、[名]その葉 dafneham (新)※(月桂葉)、[名]その果実 dafneop (新)※(月桂実): ②[名]月桂冠 dafnesapaumpe (新)、[名] sapaundafne (新)、[名] raurer (新)※(英語)

けっこん(結婚) ①[自]結婚する asirpeker (石狩)、[自](雅) at (石狩): [他]~と結婚する kor (石狩)、[他](雅) eat (石狩): [他]~を~と結婚させる kóre (石狩): [他]人と~を結婚させる korar (石狩): [他]~と結婚したい konrusuy (石狩)、[他] eyaykonrusuy (新): [自](二人が)結婚する ukor (石狩)、[自](雅) uhokote (八雲): [他]~(二人)を結婚させる ukore (石狩)、[自](雅) ueat (石狩): [自]人と結ばれる itomnukar (石狩): [他]~と結ばれる tomnukar (石狩): [自]互いに結ばれる utomnukar (石狩): [他]~の一族になる、なっている eutanne (石狩): [自]一族となる、なっている utanne (石狩): [他](雅)~を伴侶とする eatuk (石狩): [自](男が)妻を持つ matkor (石狩): [自](女が)夫を持つ hokukor (石狩): [他](雅)~へ嫁ぐ koiwak (石狩): [他](女が)~の室となる、なっている ecisene (石狩): [自]恋愛結婚する uyayukte (沙流): ②[名]結婚、結婚式 asirpeker (石狩)、[名] ukor (新): [自]結婚式を挙げる

asirpekerkor (新)、[自] ukor (石狩):
[自]素晴らしい結婚式を挙げる pirkaukor
(石狩): [自]盛大な結婚式を挙げる
páseukor (新): [名]結婚式でお椀に盛っ
て先に男が半分食べ女が半分食べる料理
aritanki (石狩)、[名] asirpeker-epkes
(石狩): [名]結婚指輪 asirpeker-
askepetunkani (新): (表現)指輪を外す
askepetunkani ama (新): (表現)指輪をは
める askepetunkani kor (新): (表現)〜
に結婚指輪をはめる asirpeker-
askepetunkani kóre (新): (表現)結婚指輪
を交換する asirpeker-askepetunkani
ukore (新): [場名]結婚相談所 ietunusi
(新): ③(表現)〜の直ぐ側で〜を養う=〜と
結婚して食事の世話をする 〜 tekpake 〜
paro-osuke (石狩)

けっして(決して)①[副]決して sonno (石狩)、
[副] sino (石狩): 「決して嘘ではない。」

“Sonno sunke somo ne .”: (表現)決して
〜ではない sunke sak no (石狩): 「決
して私は誰にも言わないよ。」“Sunke sak no
nen ne yakka ku=ye kusu ne na .”: ②(表
現)決して〜(す)るな(よ)、決して〜(す)るんじ
ゃない(ぞ) ecikki+命令文+ya (複数 yan)
(石狩): (表現)ecikki+肯定文(+na) (石
狩)、(表現)ika+肯定文(+na) (石狩)、
(表現)(雅語) ikaneypeka+肯定文(+na)
(石狩)※: “ikaneypeka”にはその短縮形と
考えられる“ikanep”や異形の“inkaneypeka”
及びその短縮形と考えられる“inkanep”、
“inka”が見られる: 「決して誰にも言うな。」

“Nen ne yakka ecikki ye !”, 「決してお母
さんに逆らっちゃだめよ。」“Ecikki e=kor
totto hayta hani !”, 「わき見は危険なので決
してしないでください。」“Sisam ene
inkar=an ciki iyaykipte kusu ecikki iki
yan !”, 「決して嘘はつかないでよ。」“Ika
e=sunke na !”, 「…村の真中にある大きな家
はその中に恐ろしい人間がいるのだから決
して、若様よ、入ってはなりませんよ !」“…
kotan noski ta an poro cise anakne oske ta
an=homa aynu an ruwe ne kusu
ikaneypeka, okkaypo-kamuy, e=ahun na !”
(杉村キナラブック)説話

けっしゃ(結社) [名]結社 iouekarpaus (新)、
[名] association (新)※(英語)

げっしょく(月食)(表現)月食になる kunne
sirkunne (新)※(天塩より)、(表現)
kunnecup ray (新)※(八雲より)

けっしん(決心) [自] 決 心 す る
kewtumositciwre (石狩): [他]〜について
決心する ekewtumositciwre (新):
[他](場所)で決心する ekewtumositciwre

(新): [他]〜に向けて決心する
kokewtumositciwre (新): [他]〜と共に決
心する kokewtumositciwre (新):
[他](原因、手段)で決心する
okewtumositciwre (新): [他](人)に決心さ
せる kewtumositciwrere (新): [他]自分
で、一人で決心する
yaykokewtumositciwre (新): [他]互いに、
皆で決心する ukokewtumositciwre (新)

けつぞく(血族) [名]血族 sísiramkore (新)、
[名] siramkore (石狩)、[名] ir(i) (石
狩)

けつだん(決断) [自] 決 断 す る
kewtumositciwre (石狩): [他]〜について
決断する ekewtumositciwre (新):
[他](場所)で決断する ekewtumositciwre
(新): [他]〜に向けて決断する
kokewtumositciwre (新): [他]〜と共に決
断する kokewtumositciwre (新):
[他](原因、手段)で決断する
okewtumositciwre (新): [他](人)に決断さ
せる kewtumositciwrere (新): [他]自分
で、一人で決断する
yaykokewtumositciwre (新): [他]互いに、
皆で決断する ukokewtumositciwre (新)

けってい(決定) [自] 物 事 を 決 定 す る
iurenkare (新): [他]〜を決定する
urenkare (石狩): [他](場所)で〜を決定す
る eurenkare (新): [他]〜のために〜を
決定する kourenkare (新): [他]〜と共
に〜を決定する kourenkare (新):
[他](原因、手段)で〜を決定する ourenkare
(新): [他](人)に〜を決定させる
urenkarere (新): [他]ぱっと〜を決定す
る tunasurenkare (新): [他]ぱっと(人)
に〜を決定させる tunasurenkarere
(新): [他]自分で、一人で〜を決定する
yaykourenkare (新): [他]互いに、皆で〜
を決定する ukourenkare (新): [他]〜を
人に決定させる urenkareyar (新): [自]
決定する siurenkare (新): [他](中相)〜
が決定する ciurenkare (新)

ケッテイ(駄驢) (動物)[名]ケッテイ
ummaonakorpe (新)※(雄馬と雌驢馬の雑
種。逆は「ラバ(驢馬)」)

けつとう(血統) ①[場名]血統 sani (sanike)
(石狩): [名]血統書 sanikampi (新): ②
[名](神や偉人の)血統 sasuyisir (sasusir)
(石狩)

げっぶ [自]げっぶする ikmawre (石狩)、
[自] sekorke (天塩)

げっぶ(月賦) [名]月賦 kescupeataykar
(新): (表現)月賦で〜を 買 う
kescupeataykanne 〜 hok (新): [自]月

賦払いする kescupeataykar (新): [他](人)に月賦払いさせる kescupeataykare (新): [他](金額)を月賦払いする ekescupeataykar (新): (表現) 10回払いで〜ずつ月賦払いする waysuy pakno ~ ranke ekescupeataykar (新)、(表現) waysuy pakno kescup ~ ranke kar (新): [他](人)に〜(金額)を月賦払いさせる ekescupeataykare (新): [他]〜の代金を月賦払いする kescupeatayekar (新): [他](人)に〜の代金を月賦払いさせる kescupeatayekare (新): [自]月賦売りする kescupetaykaroieyyok (新): [他]〜を月賦売りする kescupeataykaroieyyok (新)

けつぼう(欠乏) ①(物を主語にして不足する事を示し)[自]欠乏する hayta (石狩): [他](場所)で欠乏する ehayta (新): [他]〜と共に欠乏する kohayta (新): [他](原因、手段)で欠乏する ohayta (新): [自]完全に欠乏する oarhayta (arhayta) (新): [自]酷く欠乏する toykohayta (新): [他]〜を欠乏させる haytaka (新): ②(人を主語にして無い事を示し)[自]物が欠乏する isak (新): [他]〜が欠乏する sak (新): [他](場所)で〜が欠乏する esak (新): [他]〜と共に〜が欠乏する kosak (新): [他](原因、手段)で〜が欠乏する osak (新): [他](人)に〜を欠乏させる sakka (新): [他]完全に〜が欠乏する oarsak (oassak) (新): [他]酷く〜に欠乏する toykosak (新)

けつまつ(結末) [位名]〜の結末 kes(長形-e、-eke) (石狩): [場名]物事の結末 ikes (ikese、ikeseke) (新)

げつようび(月曜日) [場名]月曜日 kunneupto (新)

ケツルアズキ(毛蔓小豆) (植物)[名](ササゲ属)ケツルアズキの茎葉 kunnesiwnin-antokipunkar (新)※(「黒緑豆」とも): [名]ケツルアズキの種子 kunnesiwnin-antoki (新)

けとばず(蹴飛ばす) [他]〜を蹴飛ばす cikiretusseka (美幌)、[他] ureepatu (八雲): [他](場所)で〜を蹴飛ばす ecikiretusseka (新)、[他] eureepatu (新): [他](場所)へ〜を蹴飛ばす kocikiretusseka (新)、[他] koureepatu (新): [他]〜と共に〜を蹴飛ばす kocikiretusseka (新)、[他] koureepatu (新): [他](場所)から〜を蹴飛ばす ocikiretusseka (新)、[他] oureepatu (新): [他](原因、手段)で〜を蹴飛ばす ocikiretusseka (新)、[他] oureepatu

(新): [他](人)に〜を蹴飛ばさせる cikiretussekare (新)、[他] ureepature (新): [他]自分で、一人で〜を蹴飛ばす yaykocikiretusseka (新)、[他] yaykoureepatu (新): [他]互いに、皆で〜を蹴飛ばす ukocikiretusseka (新)、[他] ukoureepatu (新): [他]〜を強く蹴飛ばす ureetusseka (八雲)、[他] toykocikiretusseka (新)、[他] ureetursere (八雲)

ケナシフルーツコウモリ(毛無フルーツ蝙蝠)

(動物)[名](ハルピュイアフルーツコウモリ亜科)ケナシフルーツコウモリ属 atusa-nikaopekapap-cise (新): [名]アンダーセンケナシフルーツコウモリ andersenatusa-nikaopekapap (新): [名]オオケナシフルーツコウモリ poroatusa-nikaopekapap (新): [名]セレベスケナシフルーツコウモリ surawesiunatusa-nikaopekapap (新): [名]ソロモンケナシフルーツコウモリ soromonunatusa-nikaopekapap (新): [名]ニシケナシフルーツコウモリ cuppokunatusa-nikaopekapap (新): [名]ニューギニアケナシフルーツコウモリ niwginiaunatusa-nikaopekapap (新): [名]ニューブリテンケナシフルーツコウモリ niwburitainunatusa-nikaopekapap (新): [名]ハルモヘラケナシフルーツコウモリ harmoheraunatusa-nikaopekapap (新): [名]フィリピンケナシフルーツコウモリ pipipinasunatusa-nikaopekapap (新): [名]ミズベケナシフルーツコウモリ biakunatusa-nikaopekapap (新): [名]ミドリケナシフルーツコウモリ siwninatusa-nikaopekapap (新): [名]ルイジアードドフルーツコウモリ devisatusa-nikaopekapap (新): [名]ワイゲオケナシフルーツコウモリ waigeounatusa-nikaopekapap (新)

ケニア [場名](国名)ケニア共和国 Kénia (新)※(首都は「ナイロビ」): [場名](国名の通称として)ケニア Kénia (新): [名]ケニア人、国民 kéniaunkur (新)

ゲニタリア (昆虫)[名]ゲニタリア cioukotpe (新)

げにん(下人) [名]下人 ussiw (石狩)、[名] sukumi (沙流)

けぬき(毛抜き) [名]毛抜き cionumaetayep (新)

けぬきほり(毛抜堀) [名]毛抜堀 asamenukare-pecir (新)

げねつ(解熱) [自]解熱する sesekpirkare (新): [名]解熱剤 sesekpirkarekusuri

(新)、[名] sesepirkarep (新)
けはい(気配) (表現)〜する気配がない 動詞句+ruwe isam (石狩): 「私は随分彼らを待っていたが、彼らが来る気配はなかった。」
 “Somo setakno ku=tere korka arki ruwe isam ruwe ne .”: (表現)〜する気配が全くない 動詞句+kuni kasuno (kasu) siran (石狩): 「(彼が屋外に出て行ったまま)彼が入って来る気配が全くない」 “...ahup kuni kasuno siran...” (杉村キナラブク)神話
ケハダヒザラガイ(毛肌火血貝) (魚介)[場名](新ヒザラガイ目)ケハダヒザラガイ亜目 numausmeyo-mokotan (新): [名]ケハダヒザラガイ科 numausmeyo-apa (新): [名]ケハダヒザラガイ numausmeyo (新): オオバンヒザラガイ símeyo (新): [名]ヒメケハダヒザラガイ monumausmeyo (新): [名]ケムシヒザラガイ科 numauskikirmeyo-apa (新)
けふかい(毛深い)[自]毛深い numaus (石狩): [他]〜を毛深くする numausi (新): [自]滅茶苦茶毛深い toykonumaus (新)
ケベック [場名](カナダの州名)ケベック州 Kebek-purovince (新): [場名](カナダのケベック州の州都名)ケベックシティ Kebekšiti (新)
げぼく(下僕) [名]下僕 ussiw (石狩)
けまり(蹴鞠) [名]蹴鞠 mariureepatu (新)
ゲマルジカ(ゲマル鹿) (動物)[名](シカ科)ゲマルジカ属 andesunyük-cise (新): [名]ゲマルジカ koypok-andesunyük (koypokandesuyyuk) (新)、[名] huemur (新)※(別名「チリゲマルジカ」): [名]タルカ koyka-andesunyük (koykaandesuyyuk) (新)、[名] taruka (新)
けむし(毛虫) [名]毛虫 numauskikir (石狩)
ケムシヒザラガイ(毛虫火血貝) (魚介)(ケハダヒザラガイ亜目)ケムシヒザラガイ科 numauskikirmeyo-apa (新): [名]ケムシヒザラガイ numauskikirmeyo (新)
けむり(煙) [名]煙 supuya (石狩)、[名] pa (天塩)、[名] sipuya (新)※(八雲): (表現)煙が立ち昇る supuya at (石狩): [0動]煙が立ち昇る supuyaat (新): [自]煙を立ち昇らせる、生活する supuyaatte (石狩): [他](場所)に煙を立ち昇らせる、生活する esupuyaatte (石狩): 「これからはこの村に煙を立ち昇らせて下さいよ。」
 “Taporowano u tan kotan esupuyaatte i=korpore ya !” (砂沢クラ)婦女詞曲: [他](場所)に煙を立ち昇らせる、生活する kosupuyaatte (石狩): 「...私達は自分の村に煙を立ち昇らせて…」 “... an=kor kotan

an=kosupuyaatte an=ki kor ...” (砂沢クラ) 婦女詞曲: [他]〜と共に煙を立ち昇らせる、生活する kosupuyaatte (新): [他](原因、手段)で煙を立ち昇らせる、生活する osupuyaatte (新)
けむる(煙る) ①(煙が出たり、広がったりする事を示し)[0動]辺りが煙る sirpuyse (新): [0動]辺りがひどく煙る sirpuyseyse (新): [自]煙る、煙を出す puyse (新): [自]濛々と煙る、煙を出す puyseyse (新): [自]〜の先が濛々と煙る、煙を出す epuyseyse (石狩): (表現)煙が立ち昇る supuya at (石狩): [自]煙りが立ち昇る supuyaatte (石狩): ②(辺りが霞む事を示し)[0動]辺りが煙る、煙っている sirhomar (新): [自](原因、手段)で辺りが煙る、煙っている osirhomar (新): [自]煙る、煙っている homar (石狩): [他](原因、手段)で煙る、煙っている ohomar (新): [他]〜を煙らせる homarka (homare) (新): [副]煙って homar (石狩)、[副] homanno (天塩)、[副] homaritarara (天塩): (表現)煙って homar kane (石狩)
ケメロボ [場名](ロシア連邦シベリア連邦管区の構成主体名)ケメロボ州 Kemerovo-purovince (新): [場名](ケメロヴォ州の州都名)ケメロボ Kemerovo (新)
けもの(獣) [名]獣 cikoykip (石狩)、[名](雅) cironnup (cironnop) (石狩)※(杉村キナラブク 媼は獣を "cironnop"、キツネを "cironnup" と発音し分けているようである。): [自]獣のいびきをかく cikoykip-etoro (石狩)※(これに対して「人間のいびきをかく」は "aynuetoro" という。)
けものみち(獣道) [名]獣道 ru(we) (石狩)、[名] toyru (石狩): (表現)〜の獣道がついている ruwe an (石狩)
ケヤキ(樺) (植物)[名](ニレ科)ケヤキ属 keyaki-cise (新): [名]ケヤキの茎 keyaki (新)※(日本語。別名「ツキ」): [名]ゼルコバ・アベリケアの茎 kurete-keyaki (新)※(クレタ樺): [名]Z. カルピニフォリアの茎 kafkas-keyaki (新): [名]Z. シクラの茎 śiciria-keyaki (新): [名]Z. シニカの茎 hamupon-keyaki (新): [名]Z. シュナイダリアナの茎 hamuporo-keyaki (新)
ケヤマウコギ(毛山五加) (植物)[名](ウコギ属)ケヤマウコギの茎 eninkeni (石狩)、[名] enenkeni (勇払)、[名] horkaayusni (石狩)
ケヤマハンノキ(毛山樺の木) (植物)[名](ハンノキ属)ケヤマハンノキの茎 kene (石狩):

[名]毛山榛の木のシトウイナウ *kene-situinaw* (石狩): [名]ケヤマハンノキの樹皮 *kenekap* (石狩)、[名] *húrenikap* (石狩)

けらい(家来) → 「かしん(家臣)」を見よ

ゲラルダンサス (植物)[名](ウリ科)ゲラルダンサス属 *mokorhoteyotukpe* (新): [名]ネムリホテイの莖葉 *mokorhoteyotukpe* (新)、[名]その塊根 *mokorhotey* (新)※(眠る布袋)

げり(下痢) [自]下痢をする *hopicire* (石狩)、[自] *opataci* (石狩): [名]水のような下痢便 *ocaku* (天塩)

ケリボウラ (動物)[名](ヒナコウモリ科)ケリボウラ亜科 *hicicikiskikapap-moapa* (新): [名]ケリボウラ属 *hicicikiskikapap-cise* (新): [名]ケリボウラ・アフリカナ *tanzaniaun-hicicikiskikapap* (新): [名]K. アルゲンタタ (新): [名]K. インテルメデア *haykannu-hicicikiskikapap* (新): [名]K. ウィテヘッド *witeheat-hicicikiskikapap* (新)※(ホワイトヘッド羊毛蝙蝠): [名]K. エリオフォラ *itiopiyaun-hicicikiskikapap* (新): [名]K. クプロサ *húrekani-hicicikiskikapap* (新): [名]K. スミティー *sumit-hicicikiskikapap* (新): [名]K. バビロサ *papirose-hicicikiskikapap* (新): [名]K. ハルドウィキー *hardowik-hicicikiskikapap* (新): [名]K. ピクタ *irousi-hicicikiskikapap* (新): [名]K. ファラエナ *supurer-hicicikiskikapap* (新): [名]K. フロラ *furores-hicicikiskikapap* (新): [名]K. ペルクダ *pekenrapus-hicicikiskikapap* (新): [名]K. ミスタ *iyottoponiwne-hicicikiskikapap* (新): [名]K. ミレラ *bismarku-hicicikiskikapap* (新)※(ビスマルク羊毛蝙蝠): [名]K. ムスキナ *furipetun-rappakisarkapap* (新)※(フライ川羊毛蝙蝠): [名]K. ラノサ *mohicicikiskikapap* (新): [名]フォニクス属 *rappakisarkapap-cise* (新): [名]フォニクス・アエロサ *rappakisarkapapsone-kotomampe* (新)※(フェニクス属と思しきもの): [名]P. アトロクス *cinayenimakkor-rappakisarkapap* (新)※(溝歯喇叭耳蝙蝠): [名]P. パプエンシス *papuaun-rappakisarkapap* (新)※(パプア喇叭耳蝙蝠): [名]P. ヤゴリー *peter-rappakisarkapap* (新)※(ペーター喇叭耳蝙蝠)

ける(蹴る) ①[他](一回)～を蹴る *cikirekik* (新): [他](人)に～を蹴らせる *cikirekikte*

(新): [他]～を何度も蹴る *cikirekikkik* (新): [他](人)に～を何度も蹴らせる *cikirekikkikte* (新): ②[他](下の方へ)～を蹴る、～を踏みつける *oterke* (石狩): [自](馬などが跳ねて)大地を蹴る *siroterke* (石狩): [他](中相)(馬が)～が後足で蹴る *ciotari* (新)※(沙流方言 *cótari* より): ③[他]～を蹴り飛ばす *cikiretusseka* (美幌)、[他] *ureepatu* (八雲): [他](石など)を強く蹴り飛ばす *toykokikiretusseka* (新)、[他] *ureetursere* (八雲): ④[他]～を蹴り散らす *ureecari* (八雲)、[他] *cikirecari* (新)

ケルト [名]ケルト人 *kertokur* (新)

ゲルマニウム (化学)[名]ゲルマニウム *germanium* (新)※(原子番号32番。元素記号 Ge)

ケレク [名]ケレク人 *kerekkur* (kerek) (新): [名]ケレク語 *kerekkur-itak* (kerek-itak) (新)

ケレス (宇宙)[名](太陽系の準惑星名)ケレス *Kéres* (新)

けれど [接助]けれど、～(する)けれど *korka* (石狩): 「私は行きたいけれど行けない。」
“Ku=oman rusuy korka ku=oman eaykap.”、「けれど君は行く。」“Korka e=oman.”: [接助](特に雅語表現の韻文に用いられ)～(する)けれど *korkayki* (石狩): 「…男であるのか? そうらしいけれど…」“…okkay ne ya, kotom korkayki…”(砂沢クラ)英雄詞曲

けわしい(険しい) ①(地形について)[自]険しい *kuwannoas* (石狩)、[自] *okuwas* (天塩): (表現)険しい山 *kuwannoas nupuri* (石狩): (表現)険しい坂道 *kuwannoas ru* (石狩): [他](場所)で険しい *ekuwannoas* (新)、[他] *eokuwas* (新): [他]～と共に険しい *kokuwannoas* (新)、[他] *kookuwas* (新): [他](場所)から険しい *okuwannoas* (新)、[他] *ookuwas* (新): [他](原因、手段)で険しい *okuwannoas* (新)、[他] *ookuwas* (新): [他]～を険しくする *kuwannoaska* (新)、[他] *okuwaska* (新): [場名]険しい山、険しく登れぬ山 *weysir* (石狩): [名]一方が険しい山 *tapkut* (石狩): ②(表現)目つきが険しい *siktum konna koaycarar* (石狩)

けん(券) [名]券 *yar(i)* (新)、[名] *tiket* (新)※(英語)

けん(拳) [名]拳 *moysitu* (石狩)、[名] *moysutu* (石狩)、[名] *teknum* (天塩)

けん(県) ①[名](日本の行政単位名として)県 *ken* (新): [場名]県議会 *kényeyaytunususi* (新): [名]県議会議員

kén-eyaytunuskur (新): ②[名](外国の行政単位として)県 purefektura (新)※(露語)

げん(元)[名](中華人民共和国と中華民国の通貨単位)元 yuan (新)※(1元=10角=100分。アイヌ語で補助通貨はそれぞれ「角」 ciao、「分」 fen とする)

げん(絃)[名]絃 ka (新)

けん(腱)[名]腱 rit(-ci) (石狩)

けんい(権威)[名]権威 ciirenkakorep (新)

けんいん(原因)[名]原因 moto (石狩)、[名] ioani (新)※(物事がそこから生ずる事): (表現)どういう原因があるのか? Nékon moto an? (石狩)、(表現) Nékonan moto an? (新): (表現)〜に原因がある ~ orwa moto an (新): (表現)〜の原因を探る ~ moto (motoho) uwampare (新): (表現)原因不明である moto erampetek (新): (表現)全く原因不明である moto oarerampetek (新): [自]原因になる、である motone (新): (表現)原因となる、なっている moto ne (新): [他]〜が原因となる、なっている emotone (新): [他]〜と共に原因になる、である komotone (新): [他]〜を〜の原因とする motoneka (motonere) (新): [他]〜の原因となる、なっている motone (新): (表現)〜の原因となる、なっている moto(-ho) ne (新)

けんか(喧嘩) ①(殴り合い)[自]喧嘩する ukoyki (石狩): (表現)〜と喧嘩する tura(-no) ukoyki (石狩): [他]〜の事で喧嘩する eukoyki (新): [他]〜を用いて喧嘩する oukoyki (新): [他]〜を喧嘩させる ukoykire (新): ②(口で)[自]喧嘩する upawre (石狩)、[自] ucawre (天塩)、[自] upaekoyki (新)※(八雲)、[自] ucataye (美幌): ③(女同士が)[自]喧嘩する ukorinke (新)※(天塩): [自]髪を掴み合って喧嘩する uruse (宗谷): ④[自]酒を飲んで喧嘩する sakayo (八雲): ⑤[自]人に喧嘩を売る isikomewe (新)、[他] isikomewemewe (新): [他]〜に喧嘩を売る sikomewe (沙流)、[他] sikomewemewe (沙流)

けんか(堅果)(植物)[名]堅果 niste-ikaop(-i) (新)

げんかく(厳格) [自]厳格になる、である ramuniste (新): [他](場所)で厳格になる、である eramuniste (新): [他]〜に対して厳格になる、である koramuniste (新): [他]〜と共に厳格になる、である koramuniste (新): [他](原因、手段)で厳格になる、である oramuniste (新): [他](人)を厳格にする ramunisteka

(ramunistere) (新)

げんかん(厳寒) (表現)厳寒になる、である me yupke (八雲)

げんかん(玄関) [名]玄関 mosem (新)※(伝統的家屋では家の入り口の物置。)

げんき(元気) ①(精神的)[名]元気 kittum (新): [自]元気になる、元気を出す kittumnu (石狩)、[自] pirka (石狩): [他](場所)で元気になる、元気を出す ekittumnu (新): [他]〜と共に元気になる、元気を出す kokittumnu (新): [他](原因、手段)で元気になる、元気を出す okittumnu (新): [他]〜を元気にする kittumnure (新): [自]自分で自分を元気にする yaykittumnure (新): [自]元気にし合う、皆が元気になる ukittumnure (新): [自]ひとりでに元気になる sikittumnure (新): [自]完全に元気になる oarkittumnu (arkittumnu) (新): [自]充分に元気になる kittumnuno (kittumnunu): [自]減茶 苦茶 元気になる toykokittumnu (新): [副]元気に kittomno (新): ②(肉体的)[名]元気 tótek (新): [自]元気になる、元気を出す tóteknu (石狩)、[自] kittumnu (石狩)、[自] iwanke (石狩)、[自] pirka (石狩): [他](場所)で元気になる、元気を出す etoteknu (新): [他]〜と共に元気になる、元気を出す kototeknu (新): [他](原因、手段)で元気が出る、元気を出す ototeknu (新): [他]〜を元気にする tóteknure (新): [自]自分で自分を元気にする yaytoteknure (新): [自]元気にし合う、皆が元気になる utoteknure (新): [自]ひとりでに元気になる sitoteknure (新): [自]完全に元気になる oattoteknu (attoteknu) (新): [自]すっかり元気になる、なっている montumne (石狩): [自]充分に元気になる tóteknuno (tóteknunu): [自]減茶 苦茶 元気になる toykototeknu (新): [副]元気に totokno (石狩)、[副] iwankeno (石狩)、[副] pirkano (石狩)

けんきゅう(研究) [自] 研究する iyaykokekerka (新)、[自] iyaykokekere (新): [他]〜を研究する yaykokekerka (新)、[他] yaykokekere (新): [他](場所)で〜を研究する eyaykokekerka (eyaykokekere) (新): [他]〜と一緒に〜を研究する koyaykokekerka (koyaykokekere) (新): [他](原因、手段)で〜を研究する oyaykokekerka (oyaykokekere) (新): [他](人)に〜を研究させる yaykokekerkare (yaykokekerere) (新): [他]皆で〜を研究

する ukopekera (新): [他]完璧に～を研究する oaryaykopekera (oaryaykopekere) (新): [他]充分に～を研究する yaykopekera (yaykopekera) (新): [他] yaykopekera (yaykopekera) (新): [他]～を研究しまくる toykoyaykopekera (toykoyaykopekere) (新): [他](中相)～が研究される ciyaykopekera (ciyaykopekere) (新): [名]研究室 iyaykopekera-tumpu (iyaykopekere-) (新): [名] cieiyaykopekera-tumpu (cieiyaykopekere-) (新): (表現)～研究室 名詞 + yaykopekera-tumpu (-yaykopekere-) (新): Aynuitak (アイヌ語) + yaykopekera-tumpu (-yaykopekere-) → Aynuitak-yaykopekera-tumpu (-yaykopekere-) 「アイヌ語研究室」: [名]研究者 iyaykopekera-kur (iyaykopekerekur) (新): [場名]研究所 iyaykopekera-usi (iyaykopekere-) (新): [名] cieiyaykopekera-usi (cieiyaykopekere-) (新): (表現)～研究所 名詞 + yaykopekera-usi (-yaykopekere-) (新): Aynuitak (アイヌ語) + yaykopekera-usi (-yaykopekere-) → Aynuitak-yaykopekera-usi (-yaykopekere-) 「アイヌ語研究所」

げんきん(現金) [名]現金 cinukarikor (新)、[名] kas (新)※(英語 cash より)、[名] numeratum (新)※(羅語)

けんげん(権限) (表現)権限 ciunkore tum (新): (表現)権限を～に委任する tum ~ irenkakore (新): (表現)権限を～に与える tum ~ kóre (新): (表現)権限を越える ciunkore tum akkari (新): (表現)権限を代理する tum eikawarine (新)

けんご(堅固) [自]堅固になる、である niste (石狩): [他](場所)で堅固になる、である eniste (新): [他]～と共に堅固になる、である koniste (新): [他](原因、手段)で堅固になる、である oniste (新): [他]～を堅固にする nisteka (nistere) (新): [自] 凄く堅固になる、である toykoniste (新)

げんご(言語) [名]言語 itak (石狩): [自]言語化する iitakneka (iitaknere) (新): [他]～を言語化する itakneka (itaknere) (新): [他](人)に言語化させる itaknekare (itaknerere) (新): [他](中相)～が言語化される ciitakneka (ciitaknere) (新): [名]言語学 itak-eampehunar (新): [名]言語学者 itak-eampehunarkur (新): [名]言語能力 itakeaskay (新): [名](合成語の構成要素として)言語能力 caw (石狩)、

[名] paw (石狩)

けんこう(健康) ①(精神的)[名]健康 kittum (新): [自]健康になる、である kittumnu (石狩)、[自] pirka (石狩): [他](場所)で健康になる、である ekittumnu (新): [他]～と共に健康になる、である kokittumnu (新): [他](原因、手段)で健康になる、である okittumnu (新): [他]～を健康にする kittumnure (新): [自]自分で自分を健康にする yaykittumnure (新): [自]健康にし合う、皆が健康になる ukittumnure (新): [自]ひとりでに健康になる sikittumnure (新): [自]完全に健康になる oarkittumnu (arkittumnu) (新): [自]充分に健康になる kittumnuno (kittumnunu): [自]減茶苦茶健康になる toykokittumnu (新): [副]健康に kittomno (新): ②(肉体的)[名]健康 tótek (新): [自]健康になる、である tóteknu (石狩)、[自] kittumnu (石狩)、[自] iwanke (石狩)、[自] pirka (石狩): [他](場所)で健康になる、である etóteknu (新): [他]～と共に健康になる、である kotóteknu (新): [他](原因、手段)で健康になる、である otóteknu (新): [他]～を健康にする tóteknure (新)、[他] kittumnure (新)、[他] iwankere (新)、[他] pirkare (石狩): [自]自分で自分を健康にする yaytoteknure (新): [自]健康にし合う、皆が健康になる utoteknure (新): [自]ひとりでに健康になる sitoteknure (新): [自]完全に健康になる oattóteknu (attóteknu) (新): [自]すっかり健康になる、なっている montumne (石狩): [自]充分に健康になる tóteknuno (tóteknunu): [自]減茶苦茶健康になる toykotóteknu (新): [副]健康に totékno (石狩)、[副] iwankeno (石狩)、[副] pirkano (石狩)

けんこうこつ(肩甲骨) [名]肩甲骨 tapera (石狩): [場名]肩甲骨の間 tapatur (-u) (屈斜路)

けんこく(建国) [自]建国する mosirasi (新): [他](場所)に建国する emosirasi (新): [他]～と共に建国する komosirasi (新): [他](原因、手段)で建国する omosirasi (新): [他](人)に建国させる mosirasire (新): [自]自分で、一人で建国する yaykomosirasi (新): [自]皆で建国する ukomosirasi (新): [場名]建国記念日 mosirasito (新)

げんこく(原告) (法)[名]原告 ionnuppa (新)、[名] saymonnuppakur (新)

げんこつ(拳骨) [名]拳骨 moysitu (石狩)、

[名] moysutu (石狩)、[名] teknum (天塩)：(表現)拳骨で一回殴る moysitu (moysutu) ani kik (石狩)
けんさい(愆祭) (聖書)[名] 愆祭 wenikieyayapapu-ikorikintecikoykip (新)、[名] ciowenikieyayapapu-kunip (新)
ケンサキイカ(剣先烏賊) (魚介)[名](ヤリイカ属)ケンサキイカ ipeepetpetke (新)：[名]白鳥賊 retaripeepetpetke (新)：[名]赤鳥賊 hureipeepetpetke (新)
けんさつ(検察) [名] 検察官 purokurator (新)：[名] 検察庁 purokuratorusi (新)
けんし(剣士) [名] 剣士 tamkorkur (新)
けんし(犬齒) [名] 犬齒 sikite (石狩)、[名] sinimak (天塩)
げんし(原子) ①[名] 原子 somoperkep (新)、[名] átomus (新)※(羅語)：②[名] 原子、原子核 inoskiumpe (新)、[名] nukreus (新)※(英語)：[名] 原子爆弾 inoskiumpe-pustekpe (新)
げんし(幻視) (表現)～の顔の前に…の姿を幻視する ～ nankotcake … esuyekar (石狩)
げんじつ(現実) [名] 現実 síampe (新)、[名] rear (新)※(英語)：[名] 現実主義 síampesamun (新)、[名] pearismu (新)※(英語)：[名] 現実主義者 siampesamunkur (新)、[名] rearisto (新)※(英語)
けんじゃ(賢者) [名] 賢者 ramuankur (石狩)、[名] ramkorkur (新)
けんじゅう(拳銃) [名] 拳銃 taknepuspe (新)、[名] pistor (新)※(英語)
げんじゅうあこう(原獣亜綱) (動物)[名](哺乳綱)原獣亜綱 motonecikoykip-mopet (新)：[場名] 単孔目 sinepyukorpe-kotan (新)
けんしょう(肩章) [名] 肩章 taptomtep (新)
げんしょう(減少) ①(量に関して)[自] 減少する、している pon (石狩)：[他](場所)で減少する、している epon (新)：[他]～と共に減少する、している kopon (新)：(原因、手段)で減少する、している opon (新)：[他]～を減少させる ponte (石狩)：[自] 充分に減少する ponno (ponnu) (新)：[自] ひとりでに減少する siponte (新)：②(人口、人数に関して)[自] 減少する、している moyo (石狩)：今後は動植物の数、個数についても使用する。：[他]～を減少させる moyoka (moyore) (新)：③(川の水量や雪に関して)[自] 減少する nin (石狩)：[他]～を減少させる ninka (ninte) (新)：④(水面に関して)[自] 減少する ha (八雲)：⑤[自] 思ったより減少する、している oiipesam (新)

げんしょう(現象) [名] 現象 soyuysir(i) (新)、[名] fainomenon (新)※(希語)：[名] 現象学 soyuysir-eampehunar (新)：[名] 現象学者 soyuysir-eampehunarkur (新)
ケンショウコウモリ(肩章蝙蝠) (動物)[名](オオコウモリ科)ケンショウコウモリ亜科 taptomtepkapap-moapa (新)：[名] ケンショウコウモリ族 taptomtepkapap-utar (新)：[名] ケンショウコウモリ属 taptomtepkapap-cise (新)：[名] アンゴラケンショウコウモリ angoraun-taptomtepkapap (新)：[名] アンセルケンショウコウモリ anser-taptomtepkapap (新)：[名] エボモフォルス・ミニムス cupkaafrikaun-taptomtekapap (新)：[名] ガンビアケンショウコウモリ gambiaun-taptomtepkapap (新)：[名] コケンショウコウモリ itioiyaun-taptomtepkapap (新)：[名] サンボーンコケンショウコウモリ samborun-motaptomtekapap (新)：[名] ピーターケンショウコウモリ petersu-taptomtepkapap (新)：[名] ヒメケンショウコウモリ poniwne-taptomtepkapap (新)：[名] ワールベルクケンショウコウモリ warberku-taptomtepkapap (新)：[名] ウマヅラコウモリ属 ekanitucinekapap-cise (新)：[名] オナシケンショウコウモリ属 hosaktaptomtepkapap-cise (新)：[名] コケンショウフルーツコウモリ属 motaptomtepkapap-cise (新)：[名] フェルトカンブコフルーツコウモリ属 vertokampu-motaptomtepkapap-cise (新)：[名] フェルトカンブコフルーツコウモリ vertokampu-motaptomtepkapap (新)：[名] アンシエタフルーツコウモリ族 d'ansieta-nikaopekapap-utar (新)：[名] アンシエタフルーツコウモリ属 d'ansieta-nikaopekapap-cise (新)：[名] アンシエタフルーツコウモリ d'ansieta-nikaopekapap (新)：[名] クビワフルーツコウモリ族 rekutunkaripkor-nikaopekapap-utar (新)：[名] ボールフルーツコウモリ族 pórenikaopekapap-utar (新)
げんしりよく(原子力) [名] 原子力 inoskiumpetum (新)：[名] 原子力空母 inoskiumpetum-sintakotcip (新)：[名] 原子力潜水艦 inoskiumpetum-rawkuskecip (新)
げんしりよくうぼ(原子力空母) [名] 原子力空母 inoskiumpetum-sintakotcip (新)：[名] 攻撃型原子力空母 corawki-inoskiumpetum-sintakotcip (新)：[名] 多

目的原子力空母 ciusaeiwanke-
inoskiumpetum-sintakotcip (新)

げんぜいにつぼん(減税日本) [名](日本の政党
名)減税日本 Nippon-mosirkoratayponka-
topa (新)

けんせきうん(巻積雲) [名] 巻 積 雲
ramramnis (新)、[名] ramramniskur
(新)

けんせつ(建設) [自] 建設する ikaroyki
(新)※(物作りに関してする): [他]〜を建設
する eikaroyki (新): [他](場所)に建設す
る eikaroyki (新): [他]〜と共に建設す
る koikaroyki (新): [他](原因、手段)で
建設する oikaroyki (新): [他](人)に建設
させる ikaroykire (新): [名]建設業
ikaroyki-epirkausi (新): [名]建設者
ikaroykikur (新)

げんそ(元素) [名]元素 motopo (新): [名]
元素記号 motopoitokpa (新)

けんぞう(建造) [自]建造する ikar (石狩):
[他]〜を建造する kar (石狩): [他](場所)
で建造する eikar (新): [他]〜と共に建
造する koikar (新): [他](原因、手段)で
建造する oikar (新): [他](人)に建造させ
る ikare (新): [名]建造物 ckarpe
(新)

げんそく(原則) [名]原則 atpakeunirenka
(新)、[名] ciukoreirenka (新)

けんたいかん(倦怠感) [名] 倦 怠 感
netopakepasehum(-i) (新): (表現)倦怠感
を覚える netopakepasehum nu (新)

ケンタッキー [場名](アメリカ合衆国の州名)ケ
ンタッキー州 Kentaki-mosir (新)※(州都
は「フランクフォート」)

けんちく(建築) [自]建築する cisekar (石
狩)、[自] ciseasi (石狩): [他]〜を建築す
る kar (石狩)、[他] asi (複数 roski)
(石狩): [他](場所)に建築する ecisekar
(新): [他]〜と共に建築する kocisekar
(新): [他](原因、手段)で建築する ocisekar
(新): [他](人)に建築させる cisekare
(新): [名]建築者 cisekarkur (石狩)、[名]
ciseasikur (新): [名]建築物 cikalcise
(新)、[名] ciasip (新)

けんとう(見当) (表現)どうなっているか見当
がつかない ene wa okay iramu hi ka isam
(石狩): 「今私はここに着いたが、他の人達
がどうなっているのか見当がつかない。」

“Tane te ta ku=sirepa wa en=emosma
okay utar ene wa okay ku=iramu hi ka
isam.”: (表現)どうなっているのか全く見
当がつかない ohar (oar) ene wa okay
iramu hi ka isam (石狩)

ケントラタルム (植物)[名](キク科)ケントラタ

ルム属 ciesetarhuranu-ancami-cise (新):
[名]ムラサキルーシャの茎葉
ciesetarhuranu-ancami (新)※(別名「リン
ゴアザミ」)

げんば(現場) (表現)〜の現場 sino otta ~
hi (新): 「殺人現場」 sino otta an=rayke
hi (新): 「ボロチセ建設現場」 sino otta
poro cise an=kar hi (新)

げんぱつ(厳罰) [自]人を厳罰に処す
iwempanakte (新): [他](人)を厳罰に処す
wempanakte (石狩): [他](場所)で〜を厳
罰に処す ewempanakte (新): [他]〜と
共に〜を厳罰に処す kowempanakte
(新): [他](原因、手段)で〜を厳罰に処す、
〜の事で〜を厳罰に処す owempanakte
(新): [他](人)に〜を厳罰に処させる
wempanaktere (新)

けんぷ(絹布) [名]絹布 sarampe (石狩)

げんぶん(原文) [名]原文 cinuyep (新):
(表現)原文ママ cinuyep arine (新): (表
現)(記号として)ママ (ari) (新)

けんぼう(憲法) [名]憲法 irekaikkew (新):
(表現)アイヌ国憲法 Yaunkur kor
irekaikkew (新)

けんぼうしょう(健忘症) [名]健忘症 ioyra
(H): [自]健忘症である ioyra (H)

けんま(研磨) [自]研磨する isirukoiruyke
(新)、[自] iruyke (石狩): [他]〜を研磨す
る isirukoruyke (新)、[他] ruyke (石
狩): [他](場所)で〜を研磨する
eisirukoruyke (新)、[他] eruyke (新):
[他]〜と共に〜を研磨する koisirukoruyke
(新)、[他] koruyke (新): [他](原因、手
段)で研磨する oisirukoruyke (新)、[他]
oruyke (新): [他](人)に〜を研磨させる
isirukoruyke (新)、[他] ruykere (新):
[名]研磨剤 iruykekusuri (新)

げんまい(玄米) [名]玄米 kunneamam(-a)
(新)、[名] heamam(-a) (石狩下流)、[名]
siamam(-a) (石狩)

けんみやく(肩脈) [名](虫の翅の)肩脈
ponraprit(-ci) (新)

げんや(原野) [名]川沿いの原野 ninar(-i、-
u) (石狩): [名]原野商法
makunnupeyyok (新)

けんやく(儉約) [自]儉約する iehapapu
(新): [他]〜を儉約する ehapapu (石狩)、
[他] otupekare (萱野): [他](場所)で〜を
儉約する eehapapu (新): [他]〜と共に
〜を儉約する koehapapu (新): [他](原
因、手段)で〜を儉約する oehapapu (新):
[他](人)に〜を儉約させる ehapapure
(新): [他]自分で、一人で〜を儉約する
yaykoehapapu (新): [他]互いに、皆で〜

を倅約する ukoehapapu (新): [他]充分に～を倅約する ehapapuno (ehapapunu) (新): [他]ひどく～を倅約する toykoehapapu (新)

げんゆ(原油) [名] 原油 siante-sumasum (新): (表現)原油 na somo an=kar sumasum (新)、(表現) na somo an=kar sum (新)

けんようすい(懸壺垂) [名] 懸壺垂 pomparumpe (石狩)、[名] pónaw(-e) (天塩)

げんり(権利) [名] 権利 oupekano (新)、[名] jus (新)※(羅語)

げんり(原理) [名] 原理 atpakeunkunip (新)、[名] purincipium (新)※(羅語): [名]原理主義 cisesumaasesamun (新)、[名] fundamentarismu (新)※(英語): [名]原理主義者 cisesumaasesamunkur (新)、[名] fundamentaristo (新)※(英語)

げんりょう(原料) [名] 原料 cioikarpe (新)、[名] materia (新)※(羅語)

けんりよく(権力) [名] 権力 ciirenkakorep (新)、[名] tum (新): (表現)～の権力 ～ kor ciirenkakorep (新)、(表現) ～ kor tum (新): (表現)権力機構 tum kor ikir (新)

こ(個) [名] 個 sinepnep (新)、[名] átomon (新)※(希語)

こ(弧) [名] 弧 kúsinneru(-we) (新)

ご(五) ①[名]五人 asiknen (石狩): (表現)女性五人 menoko asiknen (新): [連体]五人の asikne (石狩): (表現)五人の女性 asikne menoko (新): [自]五人になる、である asiknenne (新): [副]五人で asiknenne (新): (表現)五人一組です、行動する asiknen-esinepne iki (新): (表現)五人一組で～する asiknen-esinepne ki (新): (表現)(人)に五人一組で～させる asiknen-esinepne kire (新): [自]五人一組になる asiknen-esinepne (新): [他](人)を五人一組にする asiknen-esinepneka (asiknen-esinepnere) (新): ②[名]五、五四、五個など aiknep (石狩): [連体]五の asikne (石狩): [副]五四で、五個に asiknepne (新): (表現)五四一組です、行動する asiknep-esinepne iki (新): (表現)五四一組で～する asiknep-esinepne ki (新): (表現)～にに五四一組で～させる asiknep-esinepne kire (新): [自]五四、五個一組になる asiknep-esinepne (新): [他]～を五四、五個一組にする asiknep-esinepneka (asiknep-esinepnere) (新): ③[名・副]五回 asiknesuy (新)

ご(語) [名] 語 itak(-i) (石狩)

こあくとう(小悪党) [名] 小悪党 pawcisar (新)、[名] houssi (新)、[名] cimpira (新)※(日本語): (表現)小悪党の振る舞い pawcisar (houssi) puri (新)、(表現) cimpira puri (新)

コアリクイ(小蟻喰) (動物)[名](オオアリクイ科)コアリクイ属 haykannuitunnapep-cise (新)※(中型蟻喰属): [名]キタコアリクイ koykaun-haykannuitunnapep (新): [名]ミナミコアリクイ koypokun-haykannuitunnapep (新)

こい(故意) [副]故意に okamkino (石狩)、[副] okamkir (天塩)、[副] okaamkinno (okamkinno) (天塩): 「成程、君は故意に嘘をついたというわけだな。」“Eposon okamkino e=sunke awan na .”

ごい(語彙) [名] 語彙 itakpo (新)、[名] itak (石狩): [名]語彙集 itakokampisos (新)

こいうた(恋歌) [名] 恋歌 yaykatar (新): [自]恋歌を歌う yaykatar (石狩): [他](人)に恋歌を歌わせる yaykatakare (新)

こいし(小石) [名] 小石 poysuma (石狩)、[名] pit (石狩): [名](合成語の構成要素として)小石 pi (石狩): (表現)小石 pon suma (石狩): [名]ごく小さい石 nokaysuma (石狩): (表現)ごく小さい石 nokan suma (石狩): [名]小石がゴロゴロする所 pipi (石狩): [名]小石河原 piwka (石狩)※(その他天塩では「川岸からちょっと引っ込んで水溜りで水が流れるとも流れぬともつかぬ所」などを意味する)、[名] pitar(-i) (石狩)

こいつ ①(軽蔑、憎悪などを込め、あるいは目上の者が目下の者を具体的に指し示し)[指示代名]こいつ tampe (石狩): [指示代名]こいつら tanokaype (新): (軽蔑、憎悪などを込めて罵り言葉として)[指示代名]こいつ eneampe (石狩): [指示代名]こいつら eneokaype (石狩)

こいぬ(子犬) [名] 子犬 poyseta(poysita、posta) (石狩)、[名] cócopo (石狩): (表現)子犬 pon seta (石狩)

こいびと(恋人) ①[名]恋人 ciosiknukakur (新): (表現)私の恋人 ku=osiknuka kur (新)、(表現) ku=kor ciosiknukakur (新): (表現)恋人の男 ciosiknuka okkayo (新): (表現)恋人の女 ciosiknuka menoko (新): [名]恋人達 uosiknuka utar (新): ②(浅い関係)[名]恋人 cierasasuykur (新): (表現)私の恋人 ku=erasasuy kur (新)、(表現) ku=kor cierasasuykur (新): (表現)恋人の男 cierasasuy okkayo (新): (表現)恋人の女 cierasasuy menoko (新):

[名]恋人達 ueramasuy utar (新): ③(深い関係)[名]恋人 ciosikkotekur (新): (表現)私の恋人 ku=osikkote kur (新)、(表現)ku=kor ciosikkotekur (新): (表現)恋人の男 ciosikkote okkayo (新): (表現)恋人の女 ciosikkote menoko (新): [名]恋人達 uosikkote utar (新)

こう(溝) ①[名]穊 ikikik (新)※(10の32乗): [名]十穊 wánikikik (新): [名]百穊 atuytaikikik (新): [名]千穊 wánatuytaikikik (新): ②[連体]穊の ikikikne (新)、[連体] ikikik (新): [連体]十溝の wánikikikne (新)、[連体] wánikikik (新): [連体]百溝の atuytaikikikne (新)、[連体] atuytaikikik (新): [連体]千溝の wánatuytaikikikne (新)、[連体] wánatuytaikikik (新)

こう(甲) [位名](手、足)の甲 mekka(長形 mekkasi, mekkasike) (石狩): [場名]手の甲 tekmecca(-si, -sike) (新): (表現)~の手の甲 teke mekka (mekkasi, mekkasike) (石狩): [場名]足の甲 uremekka(-si, -sike) (新): (表現)~の足の甲 ure mekka (mekkasi, mekkasike) (石狩)

こう(綱)(分類)[名]綱 pet (新): [名]亜綱 mopet (新)

こう(鋼)[名]鋼 eenkani (天塩)、[名]eenkane (新)

こう(項) ①(法)[名]項 ca (新)※(細枝): (表現)第一項 sine ca (新): ②(言語)[名]項 supop (新): [名]0項動詞 supopsak-moy moykeitak (supopsakpe) (新): [名]1項動詞 sinesupopkor-moy moykeitak (sinesupopkorpe) (新)

こう(香) ①[名]香 sirhura-pirkarep (新): [名]線香 sirhura-pirkare-nit (新): [名]抹香 sirhura-pirkare-ko (新): ②[自]香色になる、である húsasikay-irone (新): [他]~を赤香色に染める húsasikay-ironeka (-ironere) (新): [名]赤香色 húsasikay-iro (新)

こう(号) ①(雅号)[名](単独で)号 ikokonre (新): [名](構成要素として)号 re (新): (表現)雅号 citomtere (新): ②(単位)[形式名]号 数連体詞+p(pe) (新): (表現)1号 sinep (新): (表現)6号 iwampe (新): ③(法)[名]号 ham (新): (表現)第一号 sine ham (新)

こう(請う) ①(頼む)[自]人に請う inisuk (石狩)、[他] ikoramkor (新): [他]人に~を請う einisuk (石狩)、[他] eikoramkor (石狩): [他](人)[他](人)に~を請う enisuk (新)、[他] ekoramkor (新): [他](人)に人

に請わせる nisukte (新)、[他] koramkore (新): [他](人)に(人)に請わせる nisukte (新)、[他] koramkore (新): [他](人)に(人)に~を請わせる enisukte (新)、[他] ekoramkore (新): ②(求める)[自]人に請う isikoreyar (新): [他]~を人に請う sikoreyar (新): [自]物を請う icipa (石狩): [他]~を請う cipa (石狩): [他]~に~を請う、~と共に~を請う kocipa (新): [他](人)に~を請わせる cipare (新): [他](中相)~が請われる cicipa (新): [他]何度も~を請う cipapa (新): (表現)何度も~を請う cipacipa (新)

こうい(好意) ①(人間的に)[自]人に好意を持つ ieramasuy (ieramasu) (新)、[自] ipirkaramu (新): [他](人)に好意を持つ eramasuy (erasasu) (石狩)、[他] pirkaramu (沙流): [他](場所)で~に好意を持つ eeramasuy (eeramasu) (新): [他]~と共に~に好意を持つ koeramasuy (koeramasu) (新): [他](原因、手段)で~に好意を持つ、~に関して好意を持つ oeramasuy (oeramasu) (新): [他](人)に(人)に好意を持たせる eramasuyre (erasasure) (新)、[他] pirkaramure (新): [自]互いに好意を持つ ueramasuyre (ueramasu) (新): ②(異性として)[自]人に好意を持つ iosiknuka (iosiknoka) (新): [他](人)に好意を持つ osiknuka (osiknoka) (石狩): [他](人)に(人)に好意を持たせる osiknukaka (osiknukare) (新): [自]互いに好意を持つ uosiknuka (uosiknoka) (新)

こうい(行為) [名]行為 iki (新): (表現)~の行為 ki p (新): 「君の発言と行為は一致している。」“E=ye p e=ki p anakne sinep ne.”

こうい(合意) [自]合意する ukoese (新): [他]~について合意する eukoese (新): [他](人)と合意する koese (新)、[他] koukoese (新): [他](原因、手段)で合意する oukoese (新): [他](人)を合意させる ukoesere (新)

こういうわけ(こういう訳)(表現)(理由を一通り説明し、その結果を導き)こういう訳で tampe kusu (石狩)

コウイカ(甲烏賊)(魚介)[場名](十腕形上目)コウイカ目 setaawkore-kotan (新): [名]コウイカ科 setaawkorpe-apa (新): [名]コウイカ属 setaawkorpe-cise (新): [名]コウイカ sisam-setaawkorpe (新): [名]ウスベニコウイカ húra-setaawkorpe (新): [名]ウデボソコウイカ tekeane-

setaawkorpe (新): [名]エゾハリイカ
 setaawkorpe (新): [名]カミナリイカ
 siknokao-setaawkorpe (新): [名]コノハ
 コウイカ komam-setaawkorpe (新):
 [名]コブシメ kubusimi (新)※(琉球語):
 [名]サガミコウイカ sagami-setaawkorpe
 (新): [名]シシイカ tekesitanne-
 setaawkorpe (新): [名]スジコウイカ
 ruun-setaawkorpe (新): テナガコウイカ
 teketanne-setaawkorpe (新): [名]トサウ
 デボソコウイカ tostatekeane-setaawkorpe
 (新): [名]トラフコウイカ tikris-
 setaawkore (新): [名]ハクテンコウイカ
 cupikiruy-setaawkorpe (新): [名]ハリイ
 カ setouci-setaawkorpe (新): [名]ヒメ
 コウイカ mosetaawkorpe (新): [名]ヒ
 ヨウモンコウイカ pantera-setaawkorpe
 (新): [名]ボウズコウイカ hesuri-
 setaawkorpe (新): [名]マボロシコウイカ
 cipaokampa-setaawkorpe (新): [名]ミサ
 キコウイカ áneruun-setaawkorpe (新):
 [名]シリヤケイカ属 kitaykeicakkere-
 epetpetke-cise (新): [名]ハナイカ属
 apappo-epetpetke-cise (新): [名]ミナミ
 ハナイカ surkuapappo-epetpetke (新):
 [場名]ミミイカダマシ科 cikisar-
 epetpetkekopa-apa (新)

こういってん(紅一点) (表現) 紅一点である
 sinnaycikap ne wa an (新)、(表現)
 sinnaytori ne wa an (新): (表現) ~の中に
 紅一点である sinnaycikap ne eiopok wa
 an (新)、(表現) sinnaytori ne eiopok wa
 an (新)

こうう(豪雨) [名]豪雨 apto (石狩): (表
 現) 豪雨が降る apto as (新)

こううん(幸運) [自] 幸運になる、である
 mawkopirka (石狩)、[自] monipirka
 (新): [他] ~に関して幸運になる、である
 emawkopirka (新)、[他] emonipirka (石
 狩): (原因、手段) で幸運になる、である
 omawkopirka (新)、[他] omonipirka
 (新): [他] (人) を幸運にする
 mawkopirkare (mawkopirkaka) (新)、[他]
 monipirkare (monipirkaka) (新): [助動]
 ~するのに幸運になる、である epirka (石
 狩): [名] 幸運の神(ミソサザイの神)
 cakcakkamuy (旭川)、[名]
 tosirpokunkamuy (旭川): [名] 幸運の神
 (キツネの首領神) situumpekamuy
 (situumpekamuy) (石狩)

こうえき(交易) [自] 交易する uymam (石
 狩): (表現) 交易に行く uymam kusu
 oman (複数 paye) (新)、(表現) uymam
 kusu repa (石狩): (表現) 交易に来る、交

易のため上陸する uymam kusu yan (複数
 yap) (新): (表現) ~の交易を行う kor
 wa uymam (新): [他](場所)で交易する
 euymam (新): [他] ~と交易する
 kouymam (新): [他](原因、手段)で交易す
 る、~の交易をする ouymam (新):
 [他](人)に交易させる uymamte (新):
 [自] 自分で、一人で交易する yaykouymam
 (新): [自] 互いに、皆で交易する
 ukouymam (新): [自] 盛んに交易する
 toykouymam (新): [自] 交易のため船出す
 る uymam-repunka (新)※(沙流方言よ
 り): [自] 交易から戻る uymam-yanke
 (石狩): [名] 交易品 cihoki (石狩)、[名]
 cisoki (石狩)、[名] ciouymampe (新):
 [自] 和人の許へ交易に行く tonokouymam
 (沙流)

こうえき(公益) [名] 公益 utarpirkare
 (新): (法律) [名] 公益 社団法人
 utarpirkare-aynuikir-irenkaaynu (新)

こうえん(後援) [自] 人を後援する ikasuy
 (石狩): [他] ~の件で人を後援する
 eikasuy (石狩): [他] ~と共に人を後援す
 る koikasuy (新): [他](原因、手段)で人
 を後援する oikasuy (新): [他](人)に人
 を後援させる ikasuyre (新): [他](人)を
 後援させる kasuy (石狩): [他](人)に~を
 後援させる kasuyre (新): [他] 自分で、
 一人で~を後援する yaykokasuy (新):
 [他] 皆で、共に~を後援する ukokasuy
 (新): [名] 後援者 ikasuykur (新): (表
 現) 後援会 ukoikasuy kusu uekarpa (新):
 (表現) ~後援会 ~ ukokasuy kusu
 uekarpa (新): [名] 後援会会長 ukoiksuy
 kusu uekarpa esapane kur (新): (表現)
 ~後援会会長 ~ ukokasuy kusu uekarpa
 esapane kur (新): (表現) ~後援会会員
 ~ ukokasuy kusu uekarpa eutanne kur
 (新)

こうえん(公園) [名] 公園 ciesinimintar
 (新)、[場名] cikormintar (新)、[名] parku
 (新)※(英語)

こうえん(公演) [自] 公演する ikotcaeyki
 (新): [他] ~を公演する ikotcaeki (新):
 [他](場所)で公演する eikotcaeyki (新):
 [他] ~と共に公演する koikotcaeyki (新):
 [他](原因、手段)で公演する oikotcaeyki
 (新): [他](人)に公演させる ikotcaeykire
 (新)

こうえん(講演) [自] 講演する ikotca-
 ekampioroitak (新): [他] ~を講演する
 eikotca-ekampioroitak (新): [他](場所)で
 講演する eikotca-ekampioroitak (新):
 [他] ~と共に講演する koikotca-

ekampioroitak (新): [他](原因、手段)で講演する oikotca-ekampioroitak (新): [他](人)に講演させる ikotca-ekampioroitakte (新)

コウオウソウ(紅黄草) (植物)[名](キク科)コウオウソウ属 sikpikare-kikukina-cise (新)※(マンジュギク属とも): [名]コウオウソウの茎葉 sikpikare-kikukina (新)、[名] furansu-miriamkikukina (新)、[名] その花 sikpikarekiku (新)、[名] furansu-miriamkiku (新)※(別名「クジャクソウ」、「マンジュギク」、「フレンチ・マリーゴールド」): [名]シオザキソウの茎葉 ciesikpikare-kikukina (新): [名]センジュギクの茎葉 afrika-sikpikare-kikukina (新)※(別名「サンショウギク」、「アフリカン・マリーゴールド」): [名]ホソバコウオウソウの茎葉 mexiko-sikpikare-kikukina (新)※(別名「ヒメコウオウソウ」、メキシカン・マリーゴールド): [名]レモン・マリーゴールドの茎葉 rimonhuranu-sikpikare-kikukina (新)

コウガ(黄河) [名](地名)黄河 Huampet (新)、[名] Síporonupurpet (新): [名]黄河文明 Huampet-cisimaciyane (新)、[名] Síporonupurpet-cisimaciyane (新)

こうか(業火) [名]業火 wenruyape (新)、[名] sirunape (新)

こうか(効果) (表現)~の効果 名詞 + ikonupur katu (新): (表現)薬の効果がある kusuri ikonupur katu an (新): (表現)薬の効果がない kusuri ikonupur katu isam (新)

こうか(硬貨) [名]硬貨 ikorkani (新)、[名] kániikor (新)

こうか(紅花) [名]紅花 sácihureka-apappo (-nonno) (新)

こうか(豪華) ①豪華な物の形容に kamuy kosonte 「神の小袖(豪華な小袖)」や káni sokkar 「金の敷物(豪華な敷物)」のように kamuy 「神」や káni 「金」という言葉で豪華さを表現した。: ②(新しい言葉として)[自]豪華である attomno (新)※(ar-tomno 完全に・充分に輝く)、[自] attom (新)、[自] toytomno (新)※(toy-tomno ひどく・充分に輝く)、[自] toytom (新)、[自] toytotomno (新)、[自] derakus (新)※(英語)、[自] gójas (新)※(英語)

コウカイ(黄海) [名](地名)黄海 Nupur-atuy (新)※(中国大陆と朝鮮半島の海)

こうかい(後悔) ①[自]後悔する ieosiwen (新)、[自] iokapaste (eokapaste) (沙流): [他]~を後悔する eosiwen (天塩)、[他] okapaste (新): [他](場所)で~を後悔する

eosiwen (新): [他]~と共に~を後悔する koeosiwen (新): [他](原因、手段)で~を後悔する oeosiwen (新): [他](人)に~を後悔させる eosiwente (新): [他]自分で、一人で~を後悔する yaykoewen (新): [他]互いに、皆で~を後悔する ukoeosiwen (新): [他]~を後悔し過ぎる eosiwenkasuy (新): [他]~を激しく後悔する eosiwenruy (新): [他] eosiwenkoyaykus (新): [他]~を滅茶苦茶後悔する toykoeosiwen (新): ②[自]自分の非を後悔する yayokapaste (沙流)、[自] yaykopaste (石狩): [他]~に関して自分の非を後悔する eyayokapaste (新): [他](人)に自分の非を後悔させる yayokapastere (新)

こうかい(公会) ①(正式な会議)[名]公会 cioupekaka-ukoitakkar (cioupekare-ukoitakkar) (新)、[名] cioupekaka-ukoramkor (cioupekare-ukoramkor) (新): ②(一般に公開される会議)[名]公会 cimaka-ukoitakkar (新)、[名] cimaka-ukoramkor (新): ③(重要な会議)[名]公会 páse-ukoitakkar (新)、[名] páse-ukoramkor (新)

こうかい(公海) [名]公海 kamuyatuy (新)

こうかい(公開) [自]公開する ikotcaemakke (新): [他]~を公開する ikotcaemaka (新): [他](場所)で~を公開する eikotcaemaka (新): [他]~と共に~を公開する koikotcaemaka (新): [他](原因、手段)で~を公開する oikotcaemaka (新): [他](人)に~を公開させる ikotcaemakare (新): [他]自分で、一人で~を公開する yaykoikotcaemaka (新): [他]互いに、皆で~を公開する ukoikotcaemaka (新): [他]完全に~を公開する ioarkotcaemaka (新): [他]充分に~を公開する ikotcaemakano (ikotcaemakanu) (新): [他](人)に~を公開する kotcaemaka (新)

こうがい(口蓋) [場名]口蓋 níktor(-o) (石狩)

コウカイ(紅海) [名](地名)紅海 Húre-atuy (新)※(アフリカ大陸とアラビア半島の間の海)

こうかい(航海) [自]航海に出る repa (石狩)、[自] repun (石狩): 「ほらここに上がって一泊したらすぐまた航海に出よう。」

“Tan te ta rikip=an wa rewsí=an tekor assuy repa=an kusune na!” (杉村キナラブック)説話: [他]~へ航海に出る korepa (石狩)、[他] korepun (新): [他]~と共に航海に出る korepa (新)、[他] korepun (新): [他](場所)から航海に出る orepa

(新)、[他] orepun (新): [他](原因、手段)で航海に出る orepa (新)、[他] orepun (新): [他]～を航海に出す repare (新)、[他] repunte (新): [自]自分で、一人で航海に出る yaykorepa (新)、[自] yaykorepun (新): [自]皆で航海に出る ukorepa (新)、[自] ukorepun (新)

こうがい(郊外) [位名]～の郊外 kes(長形-e-ke) (石狩): [場名]都市郊外 iocikes(長形-e、-eke) (新)、[場名] pásekotankes(長形-e、-eke) (新)、[場名] síporokotankes(長形-e-ke) (新)

こうかいさくか(孔開蒴果)(植物)[名]孔開蒴果 púyociperpa-ikaop(-i) (新)

こうかく(2)(降格) (言語)[名]降格 cikoramperewke (新)

こうかく(口角) [名]口角、(昔の女性では)口の刺青の端 pákisar(-a) (石狩): (表現)口角(口の刺青の端)に嘲笑を浮かべる ~ pákísara moy moyke (石狩): [自]口角(口の刺青の端)に嘲笑を浮かべる epaminare (石狩): [名]口角 sancar(-o) (石狩): (表現)口角に微笑を浮かべる sancaro ka ta mina (石狩)

こうかく(向格) (言語)[名]向格 cikoomamperewke (新)※(向かわれるもの格)

こうかくえん(口角炎) [名]口角炎、カンジダ性口唇炎 pákísara-kandida-osiye (新): [自]口角炎、カンジダ性口唇炎に罹る pákísara-kandida-osiye (新):

こうかくるい(甲殻類) [名]甲殻類 seychayoksiknup-utar (新)

こうがしゃ(恒河沙) ①[場名]恒河沙 moikk (新)※(10の52乗): [場名]十恒河沙 wanmoikk (新): [場名]百恒河沙 atuytamoikk (新): [場名]千恒河沙 wánatuytamoikk (新): ②[連体]恒河沙の moikk (新)、[連体] moikk (新): [連体]十恒河沙の wanmoikk (新)、[連体] wanmoikk (新): [連体]百恒河沙の atuytamoikk (新)、[連体] atuytamoikk (新): [連体]千恒河沙の wánatuytamoikk (新)、[連体] wánatuytamoikk (新)

こうかん(強姦) (表現)～を強姦する ~ koterke wa hatcire wa ki (石狩)、(表現)(雅)mat uporo sut uporo ci-kokimaypa ~ ekarkar (幌別): [他]～を強姦する tumokoki (新)、[他] okotupattumisanke (新)、[他] horamuorayke (新)、[他] horamuowente (新)、[他] rápe (réip) (新)※(英語)

こうかん(交換) ①(経済活動以外にも広い意

味合いで)[他]～を交換する itasare (新): [他]～を～と交換する tasare (石狩): [他](場所)で～を～と交換する etasare (新): [他]～と共に～を～と交換する kotasare (新): [他](原因、手段)で～を～と交換する otasare (新): [他](人)に～を～と交換させる tasarere (新): [他]～を交換し合う utasare (石狩)、[他] utaspere (沙流): ②(経済活動に限定して)[他]～を～と交換する ehokkar (石狩): [他](人)に～を～と交換させる ehokkare (新)

こうかん(好感) (表現)好感 ramasuy (ramasu) kewtum (新): (表現)好感を抱く ramasuy (ramasu) kewtum yaykorpere (新): (表現)～に好感を抱く ~ ekota ramasuy (ramasu) kewtum yaykorpere (新)、(表現) ~ eramasuy (erasasu) kewtum yaykorpere 新語

こうかん(鋼管) [名]鋼管 suyoeenkani (suyoeenkane) (新): [名]鋼管杭 suyoeenkani-ikuspe (suyoeenkane-ikuspe) (新)

こうがん(睾丸) [名]陰囊と睾丸 nok(-i) (石狩): [名]睾丸 noknum(-i) (石狩): [自](炉端に横になり)睾丸炙りをする hosesekka (新)※(ライチシカ): (表現)～の睾丸が片方出ている ~ noki rusara (屈斜路)

こうき(口器) [場名](虫の)口器 panneyke (新)

こうき(好機) ①(表現)好機 ikopirka hi (新): (表現)～の好機 名詞、名詞句 + kopirka hi (新): (表現)～する好機 動詞句 + yak pirka hi (新): (表現)～する好機が到来する 動詞句 + yak pirka hi an (新): ②[自]好機を窺う ieyoko (新): [他](誰か)に好機を窺わせる ieyokore (新): ③[自]好機を逃す iorawki (石狩)、[自] iorawke (天塩): [他](誰か)に好機を逃させる iorawkire (iorawkere) (新)

こうぎ(抗議) [自]抗議する caranke (石狩)、[自] purotesto (新)※(独語): [他]～について抗議する ecaranke (石狩): [他]～に抗議する kocaranke (新): [他](原因、手段)で抗議する ocaranke (新): [他](人)に抗議させる carankere (新)、[他] purotestore (新): [自]自分で、一人で抗議する yaykocaranke (新): [自]互いに、皆で抗議する ukocaranke (新): [自]激しく抗議する toykocaranke (新): [他]～について～に抗議する ekocaranke (koecaranke) (新)

こうぎ(講義) [名]講義 kampionitak (新)、

[名] rekture (新)※(英語): (表現)講義を受ける kampioroitak nu (新)、(表現) rekture nu (新): [自]講義する kampioroitak (新)、[自] rekture (新): [他]〜について講義する kampioroitak (新)、[他] rekture (新): [他](場所)で講義する ekampioroitak (新)、[他] erekture (新): [他]〜に講義する kokampioroitak (新)、[他] korekture (新): [他]〜と共に講義する kokampioroitak (新)、[他] korekture (新): [他](原因、手段)で講義する okampioroitak (新)、[他] orekture (新): [他](人)に講義させる kampioroitakte (新)、[他] rektureka (rekturere) (新)

こうきしん(好奇心) (表現) 好奇心 inukanrusuy kewtum (新): (表現) 好奇心が強い inukanrusuy kewtum ruyno kor (新)

こうきやく(後脚) [名] (虫の) 後脚 makuncikir(-i) (新)

こうきゆう(後宮) [場名] 後宮 tonomatuni (新)

こうきゆう(硬球) [名] 硬球 sirateknum (新)

こうきゆう(鋼球) [名] 鋼 eenkanitama (eenkanetama) (新)

こうきゆう(高級) [場名] 高級 sausouni (新)、[場名] sópa (新): (表現) 高級 saun sóuni (新): [連体] 高級な sausoun (新)、[連体] sópaun (新)

こうきゆう(高給) [名] 高給 poropuma (石狩): [名] 高給取り poropumaukkur (新)

こうきゆうせんいん(高級船員) [名] (船長、航海士などの) 高級船員 sópacipokur (新)、[名] officer (新)※(英語)

こうきよ(溝渠) [名] 溝渠 cekar-monay (新)、[名] cikannay (新)

こうぎょう(興業) [自] 興業する iepirkausikar (新): (表現) 興業する iepirkausi kar (新): [他] (人) に興業させる iepirkausikare (新): [自] 自分で、一人で興業する yaykoiepirkausikar (新): [自] 皆で、共に興業する ukoiepirkausikar (新)

こうぎょう(興行) [自] 興行する iunnukare (新): [他] (場所) で興行する eiunnukare (新): [他] 〜と共に興行する koiunnukare (新): [他] (原因、手段) で興行する oiunnukare (新): [他] (人) に興行させる iunnukarere (新): [他] 〜の興行をする unnukare (新):

こうきょう(後胸) [名] 後胸 makun-rerar(-u) (新)

こうぎょう(工業) [名] 工業 ikannous (新)、

[名] indastori (新)※(英語): [自] 工業化する ikannouspene (新)、[自] indastorine (新): [他] 〜を工業化する ikannouspeneka (ikannouspenere) (新)、[他] indastorineka (indastorinere) (新): [名] 工業地帯 ikannousiso (新)

こうぎょう(鉱業) [名] 鉱業 kániouriraye (新)

こうぎよく(硬玉) [名] 硬玉 niste-siwnimpoina (新)

こうきん(口琴) [名] 口琴 mukkur (石狩): (表現) 口琴を演奏する mukkur rekte (rette) (石狩)

こうきん(合金) [名] 合金 upoyekani (新)、[名] ciukopoyekani (新): [自] 合金する kaniukopoye (新): [他] 〜を合金する poye (新): [他] 〜に〜を合金する kopoye (新): [他] 〜と〜を合金する ukopoye (新)

こうきん(咬筋) [名] 咬筋 kiraykam (天塩): [名] (クマの) 咬筋の繋ぎになっている 骨 sumaikkew (天塩)

こうぐ(工具) [名] 工具 cioikarpe (新)

こうぐ(耕具) [名] 耕具 ciotoytap (新)

こうくうき(航空機) [名] 航空機 sinta (新)、[名] hopunisinta (新)

こうくうけん(航空券) [名] 航空券 sintahunta (新)、[名] sintatiket (新)

こうくうせんかん(航空戦艦) [名] 航空戦艦 sintakor-situmicip (新)

こうくうぼかん(航空母艦) [名] 航空母艦 sintakotcip (新): [名] 軽空母 kosne-sintakotcip (新): [名] 原子力空母 inoskiumpetum-sintakotcip (新): [名] 攻撃型空母 corawki-sintakotcip (新): [名] 攻撃型原子力空母 corawki-inoskiumpetum-sintakotcip (新): [名] 護衛空母 cipsayepunkine-sintakotcip (新): [名] 正規空母 páse-sintakotcip (新): [名] 対潜空母 rawkuskecipkoyki-sintakotcip (新): [名] 多目的空母 ciusaeiwanke-sintakotcip (新): [名] 多目的原子力空母 ciusaeiwanke-inoskiumpetum-sintakotcip (新): [名] 特設航空母艦 citumicipnere-sintakotcip (新): [名] ヘリ空母 kariraporikimpekotcip (新): [名] 練習空母 iyayramuskare-sintakotcip (新)

こうけい(光景) [名] 光景 sirki (石狩)、[名] sín (新)※(英語 scene より): [形式名] 光景 sir(-i) (石狩)、[形式名] ru(-we) (石狩)

こうげき(攻撃) [自] 攻撃する corawki (corawke) (石狩): [他] (場所) で攻撃する

- ecorawki (新): [他]~を攻撃する
 kocorawki (石狩): [他]~と共に攻撃する
 kocorawki (新): [他](原因、手段)で攻撃する
 ocorawki (新): [他](人)に攻撃させる
 corawkire (新): [自]自分で、一人で攻撃する
 yaycorawkire (新): [自]自分を攻撃する、自分で攻撃する
 yaykocorawki (新): [自]皆で攻撃する
 ucorawkire (新): [自]皆で攻撃する、攻撃し合う
 ukocorawki (新): [自]充分攻撃する
 corawkino (corawkinu) (新): [自]激しく攻撃する
 toykocorawki (新): [他](中相)~が攻撃される
 cikocorawki (新)、[他]人に~を攻撃させる
 kocorawkiyar (新): [自]人に自分を攻撃させる
 sikocorawki (新)
- こうげきがたくうぼ(攻撃型空母)** [名] 攻撃型空母
 corawki-sintakotcip (新): [名] 攻撃型原子力空母
 corawki-inoskiumpetum-sintakotcip (新)
- こうげん(抗原)** [名] 抗原
 sikopayyarpe (新)、[名] antigen (新)※(英語): [名] 抗原性
 sikopayyarpe-puri (新)
- こうご(後顧)** [名] 後顧の憂い
 siokaenisomap (新)、[名] siokaepotara (沙流)、[名] siruokaepotara (沙流)
- こうご(交互)** [名] 交互
 herakora (美幌)※(C 2 p. 552): [副] 交互に
 utaspa (石狩)、[副] herakorane (新)
- こうこう(孝行)** [自] 親孝行する
 ouseyam (新): (表現) 親孝行する
 onaha unuhueyam (新): [他]~に孝行する
 eyam (新): [他](人)に~に孝行させる
 eyamte (新)
- こうこう(航行)** ①[自] 航行する
 oman (複数 paye) (新): [他]~を航行させる
 omante (複数 payere) (新): ②[自] 高速で航行する
 hoyupu (複数 hoyuppa) (新): [他]~を高速で航行させる
 hoyupure (複数 hoyuppare) (新)
- こうこう(高校)** [場名] 高校
 rikun-ipakasnusi (新)、[名] rikumpe (新): [名] 高校生
 rikun-ipakasnusiunkur (新)、[名] rikumpeunkur (新)
- こうこうカンジダしょう(口腔カンジダ症)**
 [名] 口腔カンジダ症
 paro-kandida-osiyeeye (新): [自] 口腔カンジダ症に罹る
 paro-kaandida-osiyeeye (新)
- こうこく(侯国)** [場名] 侯国
 markiskormosir (新)
- こうこく(公告)** [名] 公告
 utarkoeksonko (新)
- こうこく(公国)** [場名] 公国
 purincekormosir (新)、[場名]
- dúkekormosir (新)
- こうこく(広告)** [自] 広告する
 asurpirasa (新): [他]~を広告する
 easurpirasa (新): [他](場所)で広告する
 easurpirasa (新): [他]~と共に広告する
 koasurpirasa (新): [他](原因、手段)で広告する
 oasurpirasa (新): [他](人)に広告する
 asurpirasare (新)
- こうこく(抗告)** (法)[名] 抗告
 somose (新): [自] 抗告する
 somose (新)
- こうさ(交差)** [自] 交差する
 utasa (複数 utaspa) (石狩)※("utaspa"は新語): [他](場所)で交差する
 eutasa (複数 eutaspa) (新): [他]~と交差する
 tasa (複数 taspa) (石狩): [他](原因、手段)で交差する
 outasa (複数 outaspa) (新): [他]~を交差させる
 utasare (複数 utaspere) (新): [場名] 交差点
 utasausi (新): [名] 交差路
 utasaru(-we) (新)
- こうざ(口座)** [名] 口座
 cieikoranuso (新)、[名] cieikoramaso (新)、[名] ikosso (ikorso) (新)
- こうざ(講座)** [場名] 講座
 kampinuyeusi (新): (表現)~講座
 名詞+ekampinuyeusi (新): aynuitak (アイヌ語)+ekampinuyeusi → aynuitak-ekampinuyeusi 「アイヌ語講座」
- こうさい(交際)** [自] 人と交際する
 iemawne (沙流): [他]~と交際する
 emawne (新): (表現) 恋人として~と交際する
 ciosiknukakur ne ~ emawne (tura) (新): (表現) 友人として~と交際する
 ukopirkakur ne ~ emawne (tura) (新): [他](場所)で~と交際する
 eemawne (新): [他](原因、手段)で~と交際する
 oemawne (新): [他](人)を人と交際させる
 iemawnere (新): [他](人)を~と交際させる
 emawnere (新): [自] 互いに交際する
 uemawne (新)
- こうさい(鉾津)** [名] 鉾津
 kánisumasit(-ci) (新): [名] 鉾津煉瓦
 kánisumasit-sumatoy (新)
- こうざい(鋼材)** [名] 鋼材
 cioikareenkani (cioikareenkane) (新)
- こうさい(虹彩)** [名] 虹彩
 rayocioci (新)
- こうさく(工作)** [自] 工作する
 ikar (新): [他](人)に工作させる
 ikare (新)
- こうさくかん(工作艦)** [名] 工作艦、工作船
 ciputapkecip (新): [名] 特設工作船
 citumicipnere-ciputapkecip (新)
- こうさくきかい(工作機械)** [名] 工作機械
 ikatcimoyep (新)、[名] ikarmakina (新)※(羅語)
- こうざん(鉾山)** [名] 鉾山
 kánisumanupuri

- (新)、[名] kánisumaonupuri (新): 具体的な鉱物名と共に「金鉱山」と言う場合 konkanisumasupuri などとするが、「金山」のような言い方をする場合は konkaninupuri も認める。
- こうざん(高山)** [名]高山 rínupuri (新): [名]高山植物 rínupuriun-sinritkorpe (新): [自]高山病に罹る rínupuriosiyeye (新)
- こうし(後翅)** [名](虫の)後翅 makunrap(-u) (新)
- こうし(行使)** ①[自]行使する ieiwanke (新): [他]～を行使する eiwanke (石狩): [他](場所)で～を行使する eeiwanke (新): [他]～と共に～を行使する koeiwanke (新): [他](原因、手段)で～を行使する oeiwanke (新): [他](人)に～を行使させる eiwankere (新): ②(文法)[名]行使形 uneiwankekat(-u) (新)
- こうし(講師)** [名]講師 kampioroitakkur (新)
- こうじ(麴)** [名]麴 kamtaci (石狩)
- こうしき(公式)** [他]～を公式とする oupekaka(oupekare) (新): [他](中相)～が公式とされる cioupekaka(cioupekare) (新): [自]公式になる sioupekaka(sioupekare) (新): [副]公式に sioupekaka(-no) (新)、[副] sioupekare(-no) (新)
- こうしつ(皇室)** [名]皇室 ipawetenkekur utari (新)、[名]imperator utari (新)
- こうしゃ(校舎)** [名]校舎 ipakasnucise (新)、[名]cieipakasnucise (新)
- こうしゃく(侯爵)** [名]侯爵 markis (新)※(英語): [名]侯爵夫人 markiones (新)※(英語): [名]侯妃 markis kor katkemat (新)
- こうしゃく(公爵)** ①[名](王族出身の)公爵 purince (新)※(英語): [名](王族出身の)公爵夫人 purinces (新)※(英語): [名]公妃 purince kor katkemat (新): ②[名]公爵 dúke (新)※(英語): [名]公爵夫人 dúkes (新)※(英語): [名]公妃 dúke kor katkemat (新)
- こうしゅ(絞首)** [名]絞首刑 itusoatte-oipanakte (新)
- コウシュウ(広州)** [場名](中華人民共和国の広東省の省都名)広州 Kuanťow (新)
- コウシュウ(杭州)** [場名](中華人民共和国の浙江省の省都名)杭州 Hanťow (新)
- こうしょう(銃床)** [銃の部品][名]銃床 makunosor(-o) (新)
- こうじょう(工場)** [場名]工場 ikarusi (新)、[場名] ikannousi (新)、[名] faktori (新)※(英語): [名]工場地帯 ikarusiso (新)
- こうしょう(鉱床)** [場名]鉱床 kánisumaso (新)、[場名] kánisumaoy (新): 具体的な鉱石の鉱床と言う場合には例えば「金鉱床」という場合には konkanisumaso、konkanisumaoy とする。
- こうしんこうがいれつ(口唇口蓋裂)** [名]口唇口蓋裂 eperke (新): [自]口唇口蓋裂になる eperke (石狩)
- こうしんりょう(香辛料)** [名]香辛料 húrakor-iparkarep (新)、[名] húrakor-icarkarep (新)
- こうずい(洪水)** [名]洪水 porowakka (石狩、天塩)、[名] wakkarikin (天塩): [自]洪水になる、なっている wakkaporo (石狩)、[自] wakkarikin (新)
- こうすい(香水)** [名]香水 húrapirkape (新)
- こうすう(号数)** [名]号数 cipiskip (新)、[名] number (新)※(英語)
- こうせい(恒星)** (宇宙)[名]恒星 yaytumtenociw (新)
- こうせい(更生)** [自]更生する sukuppirkare (新): [他]～を更生させる sukuppirkarere (新): [場名]更生保護施設 sukuppirkareusi (新)
- こうせい(校正)** [自]校正する ioroutapke (新): [他]～を校正する oroutapke (新): [他](人)に～を校正させる oroutapkere (新): [名]校正者 ioroutapke (新)
- こうせい(構成)** ①(物に関して)[自]構成する ikar (新): [他]～を構成する kar (新): [他]～に～を構成させる kare (新): ②(集団に関して)[自]構成する ikouekarpa (新): [他]～を構成する kouekarpa (新): [他](人)に～を構成させる kouekarpare (新): [名]構成員 ikouekarpakur (新)
- コウセイ(江西)** [場名](中華人民共和国の省名)江西省 Ciansi-purovince (新): [場名](中華人民共和国の自治区名)広西チワン族自治区 Kuansi-Bowşun-sieyayetunusiwor (新)
- こうせい(合成)** [自]合成する iukokar (新): [他]～を合成する ukokar (新): [他](場所)で～を合成する eukokar (新): [他]～と～を合成する kokar (天塩): [他](場所)で～と～を合成する ekokar (新): [他](原因、手段)で～と～を合成する okokar (新): [他](人)に～と～を合成させる kokare (新): 合成する材質を特に明示しない場合は「合成樹皮」"cikar-unkotuk"のように、"cikar+名詞"や"ankár+名詞"で造語する
- こうせいしせつ(厚生施設)** [場名]厚生施設 ipirkaokayreusi (新)
- こうせいじゅし(合成樹脂)** [名]合成樹皮

cikannitor(-i) (新)、[名] cikannitonru (新)
こうせいのう(高性能) (表現) 高性能
 ciaskaype pirka (新)
こうせいばいち(合成培地) [場名] 合成培地
 cikar-iuattereusi (新): [場名] cikar-
 cieiuattereusi (新)
こうせき(鉱石) [名] 鉱石 kánisuma (新)
こうせん(光線) [名] 光線 kiay (石狩)、[名]
 imeru (石狩): [名] レーザー光線
 raserkiay (新): [名] 太陽光線 cupkiay
 (石狩): [名] 殺人光線 irayecupkiay (石
 狩): [名] 人を焼く光線 icirecupkiay (石
 狩)
こうせん(腔綫) [名] 腔綫、ライフリング
 puspenay(-e) (新)
コウゾ(楮) ①(植物)[名](クワ科)コウゾ属
 yúhuni-cise (新): [名] コウゾの茎
 yúhuni (新)※(カジノキとヒメコウゾの雑
 種): [名] カジノキの茎 káji-yuhuni (新)
 ※(日本語): [名] ツルコウゾの茎
 yúhupunkar (新): [名] ナンゴクコウゾの
 茎 koypok-yuhupunkar (新)※(ツルコウ
 ゾの変種): [名] ヒメコウゾの茎
 moyuhuni (新)※(別名「コウゾ」、「ヤマコウ
 ゾ」): ②コウゾ属の樹皮から採れる繊維及
 びそれから作った糸 yúhu (新)※(「ゆう」。
 日本語の古語「ゆふ」): [名] それから作る
 糸 yúhuka (新)
こうそう(香草) [名] 香草 húrapiirka-kina
 (新)
こうそうかく(後爪郭) [場名] 後爪郭
 makunamsam(-a, -ake) (新)
こうそくばん(後側板) [名](虫の)後側板
 makun-utosamita (新)
コウソしょう(江蘇省) [場名](中華人民共和國
 の省名)江蘇省 Ciansu-purovince (新)
コウゾリナ(顔刺菜) (植物)[名](キク科)コウゾ
 リナ属 isepoancami-cise (新): [名] コオ
 ゴリナの茎葉 isepoancami (幌別)、[名]
 susuancami (幌別)※(P. ヒエラキオイデ
 スの亜種): [名] カンチコウゾリナの茎葉
 kamcatka-isepoancami (新)※(P. ヒエラ
 キオイデスの亜種)
こうたい(後退) [自] 後退する homakociwe
 (石狩)、[自] homakoraye (石狩)、[自]
 ohorkaapkas (沙流): [他](場所)で後退す
 る ehomakociwe (新)、[他]
 ehomakoraye (新)、[他] ehorkaapkas
 (新): [他](場所)へ後退する
 kohomakociwe (新)、[他] kohomakoraye
 (新)、[他] koohorkaapkas (新): [他] ~と
 共に後退する kohomakociwe (新)、[他]
 kohomakoraye (新)、[他] koohorkaapkas

(新): [他](場所)から後退する
 ohomakociwe (新)、[他] ohomakoraye
 (新)、[他] oohorkaapkas (新): [他](原因、
 手段)で後退する ohomakociwe (新)、[他]
 ohomakoraye (新)、[他] oohorkaapkas
 (新): [他](人)に後退させる homakociwe
 (新)、[他] homakorayere (新)、[他]
 ohorkaapkaste (新)
こうたい(交替、交代) ①[自] 人と交替する
 ionuytasa (新)、[自] iosakari (新): [自]
 itasa (複数 itaspa) (石狩)※(複数形は新
 語): [他] ~を人と交替させる ionuytasare
 (新)、[他] iosakarire (新)、[他] itasare
 (複数 itaspare) (新): ②[他] ~と交替す
 る onuytasa (石狩)、[他] osakari (石
 狩)、[他] tasa (複数 taspa) (石狩):
 [他](場所)で~と交替する、~の時に~と交替
 する eonuytasa (新)、[他] eosakari
 (新)、[他] etasa (複数 etaspa) (新):
 [他](原因、手段)で~と交替する oonuytasa
 (新)、[他] oosakari (新)、[他] otasa (複数
 otaspa) (新): [他] ~を~と交替させる
 onuytasare (新)、[他] osakarire (新)、
 [他] tasare (複数 taspore) (新): ③[自]
 交替し合う uonuytasa (石狩)、[自]
 uosakari (石狩)、[他] utaspa (石狩):
 [他] ~を交替し合わせる uonuytasare
 (新)、[他] uosakarire (新)、[他] utaspore
 (新): [副] 交替し合って uonuytasano
 (uonuytasa) (新)、[副] uosakarino (石
 狩)、[副] utaspa (石狩)
こうたい(抗体) [名] 抗体 sikopayyarpe-
 kotpe (新)、[名] antibodi (新)※(英語)
こうたく(光沢) [名] 光沢 nipek(-i) (沙流):
 (表現) 光沢がある nipeki at (沙流): [自]
 ~に光沢が出る、ある nipekot (新): [他]
 ~に光沢を出す nipekotte (新)
こうだつ(強奪) [自] 強奪する tumikka
 (tumiikka) (新): [他] ~を強奪する
 etumikka (新): [他](人)から強奪する
 kotumikka (新): [他](人)から~を強奪
 koetumikka (石狩): [他] ~と共に強奪す
 る kotumikka (新): [他](原因、手段)で
 強奪する、(場所)で強奪する otumikka
 (新): [他](人)に強奪させる tumikkare
 (新)
こうち(高地) [場名] 高地 rikusir (新)、[場
 名] rikuni (新): [連体] 高地の rikun
 (新)
こうちゃ(紅茶) [名] 紅茶の茶葉 húra-
 reca (新): [名](飲料としての)紅茶 húra-
 usew (新)
こうちゅう(甲虫) [名] 甲虫 hayokpekikir
 (新)

こうちょう(後腸) [名](虫)後腸 makuntuy(-e) (新)

こうちょう(校長) [名] 校長 ipakasnuusi-sapanekur (新)、[名] ipakasnuusi-sapa (新)： [名] 校長室 ipakasnuusi-sapanekur-tumpu (新)

こうてい(皇帝) [名] 皇帝 ipawetenkekur (新)、[名] imperator (新)： [名] 皇帝陛下 ipawetenkekamuy (新)

こうてい(肯定) [自] 肯定する ése (石狩)： [他] ～を肯定する eese (石狩)： [他](場所)で肯定する eese (新)： [他] ～と共に肯定する koese (新)： [他](原因、手段)で肯定する oese (新)： [他](人)に肯定させる éseka (ésere) (新)： [他] 自分で、一人で肯定する yaykoese (新)： [他] 互いに、皆で肯定する ukoese (新)

こうてい(豪邸) [名] 邸宅 kánicise (石狩)、[場名] kániciseuni (新)

こうてつ(鋼鉄) [名] 鋼鉄 eenkani (天塩)、[名] eenkane (新)、[名] hankani (幌別)

こうてん(後天) (表現) 後天的に siko oka (okake) ta (新)： (表現) 後天的な siko oka (okake) un (新)、(表現) siko oka (okake) ta an (新)

こうてん(公転) (天文)[名] 公転 ikokarikari (新)： [自] 公転する ikokarikari (新)

こうてん(好天) [0 動] 好天になる、である sirpirka (石狩)

こうてん(好転) [自] 好転する、している pirka (石狩)： (表現) ～の状況が好転する 動詞句+sirki pirka (新)、(表現) 動詞句+siri pirka (新)： (表現) ～の事態が好転する 動詞句+hi pirka (新)、(表現) 動詞句+ruwe pirka (新)： [他](場所)で好転する、している epirka (新)： [他] ～と共に好転する、している kopirka (新)： [他](原因、手段)で好転する、している opirka (新)： [他] ～を好転させる pirkare (新)

こうてん(荒天) [0 動] 荒天になる、である sirwen (石狩)

こうとう(強盗) [名] 強盗 tumikkakur (新)、[名] tumikkap (新)： [自] 強盗する tumikka (tumiikka) (新)： [他] ～を強盗する etumikka (新)： [他](人)から強盗する kotumikka (新)： [他](人)から～を強盗する koetumikka (石狩)： [他] ～と共に強盗する kotumikka (新)： [他](原因、手段)で強盗する、(場所)で強盗する otumikka (新)： [他](人)に強盗させる tumikkare (新)

こうどう(公道) [名] 公道 kunciru (B)

こうとう(喉頭) [名] 喉頭 korkorisam(-a、-ake) (新)、[名] sewripasam(-a、-ake)

(新)※(喉頭隆起のそば)： [名] 喉頭蓋 rekpone (屈斜路)： [名] 喉頭隆起 korkori (石狩)、[名] sewrisapa (沙流)、[名] sawrikutunin(-i) (美幌)

こうとう(高等) [場名] 高等 sausouni (新)、[場名] sópa (新)： (表現) 高等 saun sóuni (新)： [連体] 高等な sausoun (新)、[連体] sópaun (新)： [場名] 高等学校 rikun (saun)-cieipakasnuusi (新)

こうとうぶ(後頭部) [場名] 後頭部 kéommake (石狩)、[場名] páosmake (十勝)、[場名] kimuyosmake (沙流)： (表現) 後頭部が突起している kéommake (páosmake) tokse (新)、(表現) kimuyosmake tanne (沙流)

コウノトリ(鶴) (鳥)[場名](新顎上目)コウノトリ目 hawsaksarorun-kotan (新)： [名] コウノトリ科 hawsaksarorun-apa (新)： [名] コウノトリ属 hawsaksarorun-cise (新)： [名] コウノトリ hawsaksarorun (新)： [名] アオハシコウ etuao-hawsaksarorun (新)： [名] エンビコウ maguari-hawsaksarorun (新)： [名] シュバシコウ etuhure-hawsaksarorun (新)、[名] cisekitayuncikap (新)： [名] シロエリコウ retannuysamumpekor-hawsaksarorun (新)： [名] ナベコウ kunne-hawsaksarorun (新)： [名] エフィッピオルヒュンクス属 ekunne-hawsaksarorun-cise (新)： [名] クラハシコウ yaykarekunne-hawsaksarorun (新)： [名] セイタカコウ ekunne-hawsaksarorun (新)： [名] スキハシコウ属 séyoretuosmare-hawsaksarorun-cise (新)： [名] ズグロコウ属 rekucihup-hawsaksarorun-cise (新)： [名] トキコウ属 toki-hawsaksarorun-cise (新)： [名] ハゲコウ属 epitce-hawsaksarorun-cise (新)

こうはい(光背) [名] 光背 isermakus-nipeki (新)： (表現) ～の光背 ～sermak us nipeki (新)

コウバイ(紅梅) ①(植物)[名](サクラ属)コウバイの茎 húreumeni (新)： [名] コウバイの花 húreumeni-apappo (新)、[名](合成語の要素として) húreume (新)： [名] コウバイの果実 húreume (新)： ②[自] 紅梅色になる、である húreume-irone (新)： [他] ～を紅梅色に染める húreume-ironeka (-ironere) (新)： [名] 紅梅色 húreume-iro (新)

こうはん(後半) [位名] ～の後半 kes(長形 -e、-eke) (石狩)： (表現) 話の後半 oruspe kes(長形 -e、-eke) (新)

こうはん(公判) (法)[名] 公判 saymon (新)：

[自]公判を行う saymon (新)、[自] saymonki (新): [他](人)に公判を行わせる saymonka (saymonte) (新)、[他] saymonkire (新)

こうはん(鋼板) [名] 鋼板 eenkaniita (eenkaneita) (新)

こうはんい(広範囲) ①[位名]~の広範囲の上 kurka(長形 -si, -sike) (石狩): ②[位名]~の広範囲の下 kurpok(長形 -i, -ike) (沙流)

こうび(交尾) ①(単体の行為として)[自]交尾する hociw (新): [他](場所)で交尾する ehociw (新): [他]~と交尾する ociw (新): [他](原因、手段)で交尾する ohociw (新): [他]~に交尾させる hociwre (新): ②(複数の行為として)[自]交尾する uociw (新)、[自] ukot (石狩): [他](場所)で交尾する euociw (新)、[他] eukot (新): [他](原因、手段)で交尾する ouociw (新)、[他] oukot (新): [他]~を交尾させる uociwre (新)、[他] ukote (新): ③[名]交尾場所 mintar (新): [名]熊の交尾場 kamuymintar (石狩)、[名] mintar (石狩): [名]鹿の交尾場 yukmintar (地名)

ゴウヒ(合肥) [場名](中華人民共和国の安徽省の省都名)合肥 Héféy (新)

こうひょう(公表) [自] 公表する iutarkouepeker (新): [他]~を公表する utarkouepeker (新): [他](場所)で~を公表する eutarkouepeker (新): [他]~に~を公表する、~と共に~を公表する koutarkouepeker (新): [他](原因、手段)で~を公表する outarkouepeker (新): [他](人)に~を公表させる utarkouepekere (新): [他]自分で、一人で~を公表する yaykoutarkouepeker (新): [他]互いに、皆で~を公表する ukoutarkouepeker (新): [他]完全に~を公表する oarutarkouepeker (arutarkouepeker) (新): [他](中相)~が公表される ciutarkouepeker (新)

こうぶ(後部) ①(立体の裏側に関して)[位名]~の後部 ommake (石狩): ②(細長い物、横になった物に関して)[位名]~の後部 kes(長形 -e, -eke) (石狩)

こうふ(鉱夫) [名] 鉱夫 kániourikur (新)

こうふく(幸福) [名] 幸福 pirkakunip (石狩): [名] 幸福な生活 pirkaureska (石狩): [自] 幸福になる pirkaureskaki (新)、[自] pirkakunipkor (新)、[自] happi (新)※(英語): [自] 幸福になる、幸福である pirka (石狩): [他]~を幸福にする pirkare (新): [他](原因)で幸福になる、幸福である epirka (石狩): [他]~で(人)を

幸福にする epirkare (新)

こうふくこう(溝腹綱) (魚介)[名](軟体動物門) 溝腹綱 cinayehonkorpe-pet (新): [場名] カヴィベロニア目 kaviberonia-kotan (新): [名]カセミズ科 atuyimok-apa (新): [名]ロバロメリア科 roparomenia-apa (新): [場名]ステロフシディア目 suterofustia-kotan (新): [場名]ネオメニアモルファ目 neomeniamorfa-kotan (新): [名]サンゴノフトヒモ科 sangucinayeatuymurir-apa (新): [場名] フォリドスケピア目 noridoskepia-kotan (新)

こうべをめぐらす(頭を巡らす) [自]頭を巡らす hekari (石狩): [他](場所)で頭を巡らす ehekali (新): [他]~へ頭を巡らし kohekari (新): [他](原因、手段)で頭を巡らす ohekari (新)

こうぼ(酵母) [名] 酵母 onhapo (新)

コウホネ(河骨) (植物)[名](スイレン科)コウホネ属 kapato-cise (新): [名]コウホネの根茎 kapato (石狩)、[名]その茎 kapato-ikkew (新)、[名]その葉 kapato-ham (新)、[名]その花 kapato-apappo (新): [名]オグラコウホネの根茎 hamniciane-kapato (新): [名]オゼコウホネの根茎 oze-kapato (新)※(コウホネの変種): [名]サイジョウコウホネの根茎 samorun-kapato (新)※(コウホネの変種): [名]セイヨウコウホネの根茎 repun-kapato (新): [名]タイワンコウホネの根茎 taywan-kapato (新): [名]ネムロコウホネの根茎 yaun-kapato (新): [名]ヒメコウホネの根茎 mokapato (新): [名]ベニオグラコウホネの根茎 ehure-kapato (新)

こうまん(高慢) [自] 高慢になる、である eturi (鵜川)

こうみん(公民) [名] 公民 mosirunkur (新)

こうむ(公務) ①[名] 公務 utarkoniwasnu (新): ②[名] 公務員 utarkoniwasnukur (新)、[名] utarkor-ussiw (新): [名] 国家公務員 mosirunkur-koniwasnukur (新)、[名] mosirunkurkor-ussiw (新): [名] 地方公務員 sisserkeunkur-koniwasnukur (新)、[名] sisserkeunkurkor-ussiw (新): [名] 日本の公務員 tonon (石狩)

コウモリ(蝙蝠) ①(動物)[場名](哺乳綱)コウモリ目 kapap-kotan (新)※(翼手目 raptekkorpe-kotan と同): [場名]陰翼手下目 kunnecup-raptekkorpe-mokotan (新): [名]アラコウモリ科 isoun-kapap-apa (新): [名]オオコウモリ科 sikapap-apa (新): [名]オナガコウモリ科 (新): [名]カグラコウモリ科 (新): [名]キクガシ

ラコウモリ科 (新): [名]ブタバナコウモリ科 putaetu-kapap-apa (新): [場名]陽翼手下目 peketcup-raptekakorpe-mokotan (新): [名]アシナガコウモリ科 (新): [名]ウオクイコウモリ科 (新): [名]オヒキコウモリ科 honimpa-kapap-apa (新): [名]クチビルコウモリ科 nanuwen-kapap-apa (新): [名]サンオコウモリ科 sirkasar-kapap-apa (新): [名]サバクコウモリ科 otaatuyun-kapap-apa (新): [名]サラモチコウモリ科 oireseykor-kapap-apa (新): [名]スイツキコウモリ科 akamkor-kapap (新): [名]ツギホコウモリ科 apkas-kapap-apa (新): [名]ツメナシコウモリ科 amsak-kapap-apa (新): [名]ヒナコウモリ科 yayan-kapap-apa (新): [名]ヘラコウモリ科 hámetu-kapap-apa (新): [名]ミゾコウモリ科 nankasinaye-kapap-apa (新): [名]ユビナガコウモリ科 askepecitanne-kapap-apa (新): ②[名]コウモリ類の総称 kapap (H)

コウモリソウ(蝙蝠草) (植物)[名](キク科)コウモリソウ属 síwakkakuttar-cise (新): [名]コウモリソウの茎 samorun-wakkakuttar (新): [名]イズカニコウモリの茎 izuamuspe-wakkakuttar (新): [名]イヌドウナの茎 ciwakkakuttarkopa (新)※(オオバコウモリの亜種): [名]ウスゲタマブキの茎 tamanepuynu-wakkakuttar (新)※(タマブキの変種): [名]オオカニコウモリの茎 poroamuspe-wakkakuttar (新): [名]オオバコウモリの茎 síwakkakuttar (新): [名]オガコウモリの茎 oga-wakkakuttar (新): [名]カニコウモリの茎 amuspe-wakkakuttar (新): [名]コバナコウモリソウの茎 epon-wakkakuttar (新): [名]タイミンガサの茎 síyaskekasakorpe (新): [名]タマブキの茎 sirpokinumaus-tamanepuynu-wakkakuttar (新): [名]ツガルコウモリの茎 tugaru-wakkakuttar (新): [名]ツクシコウモリの茎 tükusi-wakkakuttar (新): [名]テバコモミジガサの茎 tebakotopenihamkasakorpe (新): [名]ハヤチネコウモリの茎 hayacine-wakkakuttar (新): [名]ヒメコウモリソウの茎 mowakkakuttar (新): [名]ミミコウモリの茎 kimumphehutu (新): [名]モミジガサの茎 tópenihamkasakorpe (新)※(別名「シトギ」など): [名]モミジコウモリの茎 tópenihamkor-wakkakuttar (新): [名]ヤクシマコウモリの茎 yakusima-wakkakuttar (新): [名]ヤマタイミンガサの茎 cisiyaskekasakorpe (新):

[名]ヨブスマソウの茎 wakkakuttar (新)※(オオアコウモリの亜種)

コウモリダコ(蝙蝠蛸) (魚介)[場名](頭足綱)コウモリダコ目 sapacikirusekasi-kotan (新): [名]コウモリダコ科 sapacikirusekasi-apa (新): [名]コウモリダコ属 sapacikirusekasi-cise (新): [名]コウモリダコ sapacikirusekasi (新)

こうもん(校門) [名]校門 ipakasnuusi-soyunapa (新)、[名] ipakasnuusi-mon (新)

こうもん(肛門) [名]肛門 osorpuy(-e) (石狩)、[名] otompuy(-e) (石狩)、[名] sipuy(-e) (石狩)、[名] yorpuy(-e) (天塩)

こうや(荒野) [名]荒野 wennup (新)

コウヤボウキ(高野薔) (植物)[名](キク科)コウヤボウキ属 sísam-munnuyepni-cise (新): [名]コウヤボウキの茎 sísam-munnuyepni (新): [名]オヤリハグマの茎 repetkorhamussisam-munnuyepmun (新): [名]カシワバハグマの茎 cisisam-munnuyepkopamun (新): クルマバハグマの茎 hamkariopsisam-munnuyepmun (新): [名]ナガバノコウヤボウキの茎 hamutannesisam-munnuyepni (新)

こうゆ(香油) [名]香油 húrapirkasum (新)

こうゆう(公有) [自]公有する utannu (新): [他]～を公有する eutannu (新): [他](人)に～を公有させる eutarnnure (新): [名]公有財産 utannuataynup (新): [場名]公有地 utannuusi (新): [名]公有物 utannup (新)

こうよう(孝養) [自]孝養する ihorkareska (新): [他](育ててもらった年少者が年長者)を孝養する horkareska (石狩): 「…私の奥方に男の子も女の子も私は産ませた。それらが一人前になって私達を孝養し…」 “an=kor katkemat ekota okkaypo ka menokopo ka an=kor. Neokaype rukne wa i=horkareska …” (杉村キナラブック)説話: (表現)～に孝養を尽くす pirkano ～ horkareska (新)、(表現) irammakaka ～ horkareska (新)

コウヨウザン(広葉杉) (植物)[名](ヒノキ科)コウヨウザン亜科 atuyyasugi-moapa (新): [名]コウヨウザン属 atuyyasugi-cise (新): [名]コウヨウザンの茎 atuyyasugi (新): [名]ランダイスギの茎 taywansugi (新)

こうようじゅ(広葉樹) (植物)[名]広葉樹 parahamusni (新): [名]広葉樹林 parahamusnitay (新): [名]広葉樹林帯 parahamusnitayso (新)

こうら(甲羅) [名]甲羅 sey(-e) (石狩): (表

現)蟹の甲羅 amuspe seye (石狩)、(表現)
ampayaya seye (石狩)

こうり(行李) [名]行李 kóri (新)※(日本語)、
[名] supop (石狩): [名]宝物を入れる行李
karawto (石狩)

こうりゅう(交流) [自]人と交流する iemawne
(沙流): [他](人)を人と交流させる
iemawnere (新): [他]〜と交流する
emawne (新): [他](場所)で〜と交流する
eemawne (新): [他](原因、手段)で〜と交
流する oemawne (新): [他](人)を〜と交
流させる emawnere (新): [自]互いに交
流する uemawne (新)

こうりゅう(勾留) [自]人を勾留する
isiroreakar (新): [他]〜を留置する
siroreakar (新): [他](場所)に〜を勾留す
る esiroreakar (新): [他]〜と共に〜を
勾留する kosiroreare (新): [他](原因、
手段)で〜を勾留する osiroreakar (新):
[他](人)に〜を勾留させる siroreakare
(新)

こうりゅう(拘留) [自]人を拘留する
irooreakattek (新): [他]〜を拘留する
róoreakattek (新): [他]〜に〜を拘留する
erooreakattek (新): [他]〜と共に〜を拘
留する kooreakattek (新): [他](原因、手
段)で〜を拘留する orooreakattek (新):
[他](人)に〜を拘留させる róoreakattekka
(新):

こうりゅう(合流) ①(川などに関して)[他](川が
他の川)と合流する kópi (kohopi) (石狩):
[自](二つ以上の川が)互いに合流する ukopi
(ukohopi) (石狩): [他](二つ以上の川や
道など)を合流させる ukopire (ukohopire)
(新): [名]川が合流する所 ukopi
(ukohopi) (石狩): ②(人に関して)[他](人)
と合流する nukar (石狩): [自]合流する
unukar (石狩): [他]〜を合流させる
unukare (新)

こうりよ(考慮) [自]人や物事を考慮する
iramepakari (石狩)、[自] iesanniyo
(新): [他]〜を考慮する ramepakari (石
狩)、[他] esanniyo (石狩): [他](場所)で
〜を考慮する eramepakari (新)、[他]
eesanniyo (新): [他]〜に対して〜を考慮
する koramepakari (新)、[他]
koesanniyo (石狩): [他](原因、手段)で〜
を考慮する oramepakari (新)、[他]
oesanniyo (新): [他](人)に〜を考慮させ
る ramepakarire (新)、[他] esanniyore
(新)

こうりょう(香料) [名]香料 húrakorpe (新)、
[名] húrānup (新)

こうろん(口論) [自]口論する upawre (石

狩)、[自] ucawre (天塩): (表現)〜と口論
する ~ tura (turano) upawre (新)、(表
現) ~ tura (turano) ucawre (新): [他]
〜について口論する eupawre (eucawre)
(新): [他](場所)で口論する eupawre
(eucawre) (新): [他]〜と口論する
kopawre (kocawre) (新): [他](原因、手
段)で口論する oupawre (oucawre) (新):
[他](人)に口論させる upawrere
(ucawrere) (新)

こえ(声) [名]声 haw(-e) (石狩): (表現)〜
の声上がる ~ hawe rikunitara (石
狩): (表現)〜する声次々に上がる ~
haw(-e) cikirire (石狩): (表現)ひどい危
急の声次々に上がる wen pewtanke-haw
cikirire (石狩): (表現)〜する声あたり
に上がる ~ haw ko kari (沙流): (表現)
〜の無事を喜ぶ声あたりに上がる
kewhomsu haw ko hari (沙流): [0動]声
がする、声上がる hawas (石狩): (表
現)声がする所 hawas hi (石狩): (表現)
声がする方 hawas hike (石狩): (表現)
〜の声がする ~ hawe as (石狩): (表
現)声が良い hawe pirka (石狩): (表現)
caru askay (天塩): (表現)〜の音が…に掛
かる ~ hawe … kurka (-si, -sike) (ene)
ratki (石狩): 「あの人の呼び声に私
に掛かった。」“Neakur hotuyra hawe
en=kurkasi (ene) ratki.”: (表現)声が凜
と響き渡る kutcam konna uetunuyse (石
狩): [自]声が大きすぎる eawkasu (石
狩)、[自] haweporokasuy (haweporokasu)
(新): [自]声小さすぎる haweponkasuy
(haweponkasu) (新): [自]声がよく響く
hawasno (hawasnu) (石狩): (表現)声が
よく響くカッコウ hawasno kakkok (=
hawasnu kakkok) (石狩): [場名](何かを
呼びかける)声の行く先 hawetok(-o) (石
狩)

ごえい(護衛) [名]護衛、護衛する事
iepunkine (新)、[名] punkine (新):
[名]護衛、護衛する人 iepunkinekur (新):
[自]護衛する punkine (石狩): [他]〜を
護衛する epunkine (石狩): [他](場所)で
〜を護衛する(新): [他]〜と共に〜を護衛
する koepunkine (新): [他](原因、手段)
で〜を護衛する oepunkine (新):
[他](人)に〜を護衛させる epunkinere (石
狩): [他]自分で、一人で〜を護衛する
yaykoepunkine (新): [他]互いに、皆で〜
を護衛する ukoepunkine (新): [他]人に
〜を護衛させる、してもらう epunkineyar
(石狩): [自]人に自分を護衛させる、し
てもらう siepunkineyar (新): [名]護衛艦

cipsay-epunkinecip (新): [名]護衛空母
cipsayepunkine-sintacip (新)

こえる(越える) ①(場所に関して)[他](山や海)を越える oika (石狩): 「この山を私達は越えねばならない。」“Tan nupuri ci=oika yakeas .”, 「我々は七つの海を(のり)越えた。」“Arwan atuy (Tu atuy re atuy) ci=oika .”: [後副](場所)を越えて oika (石狩): 「大きな山を越えてソコツという名の山に私達は下りました。」“Poron nupuri oika Sokot sekore an pet peni ta rap=as .”(砂沢クラ): ②(場所や時に関して)[他](比喩的な表現として)越える kama (石狩): 「名作とは幾つもの時代を越えるものである。」“Ampirkakarpe anakne iwan nipekkur kama p ne .”: [後副]~を越えて kama (石狩): (表現)村を越えて kotan kama (石狩): (表現)時代を越えて nipekkur kama (新): ③(誰か、何かと比較して、あるいはある基準に基づき能力や程度について)[他]~を越える akkari (新)※(目下後置副詞としてのみこの意味での用法が確認できる。今後は他動詞としても大いに用いていく。): 「お前はユカラが上手で私を遥かに越えている。」“Yukar e=ki easkay wa sonno e=en=akkari .”, 「その老人は百歳を越えても達者である。」“Ne ekasi anakne atuyta pa akkari yakka cipapa ne ruwe ne .”: [後副]~を越えて akkari (akkarino) (石狩): (表現)~を越えている akkari (akkarino) an (複数 okay) (石狩): ④(能力や程度について)勝っている事を示し[他]~を越える kus (石狩)※(目下慣用表現の中でのみ用例が見られる。): 「君はこの世の誰よりも美しく、美の女神を越えている。」“Eani anakne tan mosir ka ta nen akkari e=siretokkor wa siretokkamuyenenoko e=kus ruwe ne .”

こえをあげる(声を上げる)[自]声を出す hawki (石狩)、[自] hawkor (石狩): [他]~について声を上げる ehawki (新)、[他] ehawkor (新): [他](場所)で声を上げる ehawki (新)、[他] ehawkor (新): [他]~に対して声を上げる kohawki (新)、[他] kohawkor (新): [他]~と共に声を上げる kohawki (新)、[他] kohawkor (新): [他](原因、手段)で声を上げる ohawki (新)、[他] ohawkor (新): [他](人)に声を上げさせる hawkire (新)、[他] hawkore (新): [他]~の声を上げる hawekor (石狩): (表現)むせび泣きの声を上げる ciscimimse yaykoyante (石狩)

こえをかける(声をかける)①[他]声をかける ye (石狩)、[他] kohawki (新)、[他]

kohawkor (新): ②(表現)~に言葉をかけない ~ ekota sine itak poka somo ye (新)、(表現) sine itak poka somo kore (新): ③②[他](祈りに際して神)に声を掛ける、届かせる hawepuspa (新)、[他] itakepuspa (石狩): ④[他]~に言葉をかけない hawkamare (新)、[他] itakkamare (石狩)※(他に声をかける)

こえをだす(声を出す)[自]声を出す hawkor (石狩): [他](人)に声を出させる hawkore (新): [他]~という声を出す hawekor (石狩): 「…ああ、ああという泣声を私は出し…」“… haypo, haypo an=hawekor …”(杉村キナラブック)説話: [他](合成語の構成要素としてのみ用いられ)~と声を出す se (石狩): [自]大声を出す hawsanke (石狩): [他](人)に大声を出させる hawsankere (新)

こえをふりしぼる(声を振り絞る)[自]自分の声を振り絞る yayhaweyupu (新): [自]皆の、互いの力を振り絞る uhaweyupu (新)

コーカサス[場名](地名)コーカサス Kaukasos (新)※(ギリシャ語): [名]コーカサス山脈 Kaukasos-ikinnenupuri (新): [名]コーカサス諸語 kaukasosunkur-usaitak (新)

ゴーゴー ①(地鳴りのような音)[間投]ゴーッ、ゴーゴー kum (新): [自](一回)ゴーッと音がする kumkosanu (沙流): [自]ゴーゴーと頻りに音がする cikumrototo (新)、[自] kumrototke (新): [自]ゴーゴーと音がする kumrakumra (沙流)、[自] kumumatki (新): [自]ゴーゴーと鳴り続ける kumnatara (新): ②[擬声](火が激しく燃える)ゴーゴー(という音) umm (石狩): [自](燃えさかる火が)ゴーゴーと鳴る ummse (石狩): 「私が枯れ木の山に火をつけると全てが激しい音をたてゴーゴーと鳴り激しく燃えた。」“Cini ikiri ku=koapeare ayke opittano humi wen wa ummse kane ruyno uhuy .”

コーデュロイ[名]コーデュロイ korduroy (新)※(英語。日本語では他に「コール天」とも)

コート[名]コート imikaomip (新)、[名] ikaomip (新): [名]毛皮のコート ur (石狩)

こおとこ(小男)[名]小男 ehoykonin (天塩)

コートジボワール[場名](国名)コートジボワール共和国 Kotdivowar Ukotankoremosir (新)※(首都は「ヤムスクロ」): [場名](国名の通称として)コートジボワール Kotdivowar (新): [名]コートジボワール

人、国民 kotdivowarunkur (新)

コーヒー ①(植物)[名](アカネ科)コーヒーノキ属 kófeni-cise (新): [名]アラビカコーヒーノキの茎 arabika-kofeni (新): [名]エキセルサの茎 eksersa (新): [名]コフエ・アントニイの茎 antoni-kofeni (新): [名]C. エウゲニオイデスの茎 eugenioides-kofeni (新): [名]C. カネフォーラの茎 kanefora-kofeni (新): [名]C. サルバトリクスの茎 mokor-kofeni (新): [名]C. ヘテロカリクスの茎 kamerun-kofeni (新): [名]C. マウリタニアの茎 mauritania-kofeni (新): [名]C. ラケモサの茎 mozambik-kofeni (新): [名]コンゴコーヒーノキの茎 kongo-kofeni (新): [名]ステノフィラコーヒーノキの茎 sutenofira-kofeni (新): [名]ベンガルコーヒーノキ bengar-kofeni (新): [名]リベリカコーヒーノキの茎 riberika-kofeni (新): [名]ロブスタコーヒーノキの茎 robusta-kofeni (新)※(C. カネフォーラの変種): ②[名]コーヒーノキの葉 kófeniham (新): [名]コーヒーノキの果実 kófenikaop (新): [名]コーヒーノキの種子 kófepi (新)、[名]kófe (新): ③[名]コーヒー豆 kófepi (新)、[名]kófe (新): [名]生豆 húkofe (新): [名]焙煎豆 cikofe (新): [名](飲料としての)コーヒー kófeuw (新)、[名]kófe (新)

ゴーラル (動物)[名](ジャコウウシ亜族)ゴーラル属 górar-cise (新): [名]ゴーラル yayan-gorar (新): [名]アカゴーラル húre-gorar (新): [名]オナガゴーラル saratanne-gorar (新): [名]カナンゴーラル koypokatuyyaun-gorar (新)

こおり(氷) [名]氷 konru (石狩)、[名]rup (天塩)※(石狩川筋では合成語の構成要素としてのみ現れるが、今後は単独で用いても良いものとする): (表現)氷が張る konru as (石狩): [自]〜に氷が張る rupus (石狩): (表現)〜に氷が張る konru us (石狩): (表現)氷が溶ける konru ru (石狩): (表現)氷が溶けてなくなる konru nin (石狩): (表現)(春先に上流より)氷が流れてくる konru mom (石狩): [名]春先に割れて川を流れる氷 mompe (石狩): [名](柳の柴を切って並べ、それに水をかけて作った)氷の橋 konruriwka (石狩): [O動]氷が割れる konrutuy (新): [自](場所)で氷が割れる konrukotuy (新): [自]〜の下の水が割れる okonrukotuy (石狩): 「…そのお爺さんは重いものだから、彼の下の水が割れた。」 “… ne ekasi pase p ne kusu okonrukotuy .” (砂沢クラ)

こおる(凍る) [自]凍る rupus (石狩): [自]充分凍る rupusno (rupusnu) (新): [自]完全に凍る oanrupus (anrupus) (新): [自]ひどく凍る toykorupus (新): [自]忽ち凍る rupustek (新): [他]〜を凍らせる rupuska (沙流): [他](場所)で〜を凍らせる erupuska (新): [他]〜と共に〜を凍らせる korupuska (新): [他](原因、手段)で〜を凍らせる orupuska (新): [他]〜を忽ち凍らせる rupustekka (新): [自]全てが凍る urupuska (新)

コールタール [名]コールタール sumaampe (新)、[名]koattar(koartar) (新)※(英語)

ゴーン (鐘などの鳴る音)[間投]コン、コン、ゴン、ゴーン kon (新): [間投]ゴーンゴーン konkon (新): [自]ゴーンと鳴る konse (koyse) (新): [他]〜をゴーンと鳴らす konseka (koyseka) (新)、[他]konsere (koyse) (新): [自]ゴーンゴーンと鳴る konkonse (konkoyse) (新): [他]〜をゴーンゴーンと鳴らす konkonseka (konkoyseka) (新)、[他]konkonse (konkoyse) (新): [自]ゴーンと一回鳴る konkosanu (新)、[自]konkosampa (新): [自]ゴーンゴーンと頻りに鳴る cikonrototo (新)、[自]konrototke (新): [自]ゴーンゴーンと何回も鳴る kononatki (新): [自]ゴーンゴーンと鳴り続ける konnatara (新): [自]一瞬ゴーンと鳴る kontek (新)

こかく(呼格) (言語)[名]呼格 cihotuypakarperewke (新)※(呼ばれるものの格)

ごかくけい(五角) [名]五角形 asiknesikkew-konnoka (新): [自]五角形である asiknesikkewkor (新)

こがす(焦がす) [他]〜を焦がす uhuyka (石狩)、[他]uhuyuninte (新)

こがたな(小刀) ①[名]小刀 makiri (石狩、天塩): [名]小刀の刀身 makiriipe (新): [名]小刀の鞘 makirisaya (沙流): [名]小刀の柄 makirika (石狩)、[名]makirinit (新): ②[名]男が狩猟に携帯する小刀 okkaymakiri (石狩)※(cupciwamakiri、irimakiri などがある): [名]獲物を解体する時初めの切れ目を入れるために用いられる小刀 cupciwamakiri (石狩): [名]獲物を解体する時用いられる小刀 irimakiri (石狩): ③[名]イナウを削る小刀 inawkemakiri (石狩): ④[名]日常使う柄の無い小刀 oruipenemakiri (石狩): ⑤[名]女の小刀 menokomakiri (石狩)※(結婚に際して男が鞘に美しい彫刻を施し贈る。未亡人になった時には刀身を入れず鞘だ

けを腰にしたという): ⑥[名]女性が日常使う小刀 epirkep (石狩)※(魚だけを切ったという)、[名] epirke (石狩)※(裁断に用いたという): ⑦[名]西洋式の小刀 epirkep (新)、[名] nos (新)※(露語)

ごがつ(五月) [名]五月 muntukcup (石狩)、[名] momawta (南空知、栗山)

コガネシマアジ(黄金縞鯨)(魚介)[名](アジ科)コガネシマアジ属 konkaniruoaji-cise (新): [名]コガネシマアジ konkaniruoaji (新)

こがねやま(黄金山) [名](地名) Pinnetayoruspe ※(現在石狩地方石狩市浜益区にある「黄金山」。通称「浜益富士」。)

こがん(個眼) [名](虫の)個眼 poydik(i) (新)

こかん(股間) [場名]股間 ciutur(-u) (石狩): [場名]への股間 cinuturke (沙流)

ごかん(語幹) (言語)[名]語幹 itaktumam(-a) (新)

こき(古希) (表現)古希 wampa ikasma rehotne pa (新)、(表現) wampa einehotne pa (新)、(表現) wampe ikasma rehotne pa (新)、(表現) wampe einehotne pa (新)

こき(呼吸) [名]呼吸 tas(-u) (石狩)、[名] maw(-e) (石狩)

こき(子機) [名]子機 pónep (新)、[名] po (新)

こぎって(小切手) [名]小切手 ikottasakampipo (新)、[名] itasakampipo (新): (表現)小切手を振り出す ikottasakampipo sanke (新): (表現)小切手を～に引き渡す ikottasakampipo ~ tekeomare (新)

ゴキヅル(合器蔓)(植物)[名](ウリ科)ゴキヅル属 gokipunkar-cise (新): [名]ゴキヅルの茎 gokipunkar (新)

こきゅう(呼吸) ①[名]呼吸 hése (石狩): [自]呼吸する hése (石狩): (表現)(ハーツと)長く息をする tanne hése (石狩): [他](場所、あるいは手段、原因)で呼吸する ehese (新): (表現)～のため全く息ができない oar ehese eaykap (石狩): [他]～と共に息をする kohese (新): [他](原因、手段)で呼吸する ohese (新): [他]～を呼吸させる hékaka(hékere) (新): [自](ハーツと)続けて呼吸する hékese (石狩)、[自] hékese (石狩): ②[自]呼吸が止まる tasutuy (石狩): 「私は大病を患って何度も呼吸が止まった。」“Ku=tasum wa hempaksuy ka ku=tasutuy .”: [他]～の呼吸を止める tasutuye (新)

こきょう(故郷) [場名]故郷 kotan (石狩): (表現)私の故郷 ku=kor kotan (石狩)

ごく(極) ①[名]極 siikikikik (新)※(10の

48乗): [名]十極 waysiikikikik (新): [名]百極 atuytasiikikikik (新): [名]千極 wánatuytasiikikikik (新): ②[連体]極の siikikikikne (新)、[連体] siikikikik (新): [連体]十極の waysiikikikikne (新)、[連体] waysiikikikik (新): [連体]百極の atuytasiikikikikne (新)、[連体] atuytasiikikikik (新): [連体]千極の wánatuytasiikikikikne (新)、[連体] wánatuytasiikikikik (新)

こぐ(漕ぐ) ①[自]舟を漕ぐ cípo (石狩): [他](場所)で船を漕ぐ ecipo (新): [他]～と共に船を漕ぐ kocipo (新): [他](原因、手段)で船を漕ぐ ocipo (新): [他]～に船を漕がせる cípore (新)、[他] ciecipore (石狩): [自]自分で、一人で船を漕ぐ yaykocipo (新): [自]皆で船を漕ぐ ukocipo (新): [自]思い切り船を漕ぐ toykocipo (新): [自]船を力一杯漕ぐ cípesiyuppa (石狩): (表現)船を力一杯漕ぐ cip esiyupu (複数 esiyuppa) (石狩): ②[自]櫂で漕ぐ asna (石狩): ③[他](船)に棹をさす rariw (石狩)

こく(濃く) ①(味や色が)[自]濃くなる、濃い nupur (石狩): [他]～と共に濃くなる、濃い konupur (新): [他](原因、手段)で濃くなる、濃い onupur (新): [他]～を濃くする nupurka (nupure) (新): [他](場所)で～を濃くする enupurka (enupure) (新): [他]～と共に～を濃くする konupurka (konupure) (新): [他](原因、手段)で～を濃くする onupurka (onupure) (新): [他](人)に～を濃くさせる nupurkare (nupurere) (新): [自]充分濃くなる、濃い nupunno(nupunnu) (新): [自]完全に濃くなる、濃い oannupur (annupur) (新): [自]凄く濃くなる、濃い toykonupur (新)、[自] raynupur (新): [副]濃く nupunno (石狩): ②(お汁の味や色に関して)[自]濃くなる、濃い siratek (石狩)、[自] yupke (天塩): [他]～を濃くする siratekka (新): [他](原因、手段)で～を濃くする osiratekka (新): [他](人)に～を濃くさせる sirattekkare (新): [自]充分濃くなる、濃い siratekno (sirateknu) (新): [自]完全に濃くなる、濃い oassiratek (assiratek) (新): [自]凄く濃くなる、濃い toykosiratek (新)、[自] raysiratek (新): [副]濃く sirattekkano (新)

ごくあく(極悪) [自]極悪になる、である nitne (石狩): [連体](雅語)極悪の sirun (石狩): 神話、詞曲などで罵る相手を形容する。Sir と名詞の間に wen 挿んだ sirwen

あるいは siruwen の形や wen ~ sirun ~ と同じ名詞を繰り返す形がある。: [名] 極悪人 nitnekur (nitnep) (新)、[名] sirunkur (sirumpe) (新)、[名] síwempurikorkur (síwempurikorpe) (新)、[名] siwenkewtumkorkur (siwenkewtumkorpe) (新): [名](神や人の中で)極悪の者 nitneyke (石狩)

コクジラ(克鯨)(動物)[名](ヒゲクジラ亜目)コクジラ科 osakankehumpé-apa (新): [名]コクジラ属 osakankehumpé-cise (新): [名]コクジラ osakankehumpé (礼文華)※(別名「コクジラ」、「チゴクジラ」)

こくさいつうか(国際通貨)[名] 国際通貨 cieoripakikonnep (cieoripakikor) (新)、[名] nisteikonnep (nisteikor) (新)

こくさいほう(国際法)(法)[名] 国際法 usamosirunkurkorpuri (新)、[名] aynumosirpuri (新)

こくさいれんごう(国際連合)[場名] 国際連合 Ukosineatki Usamosir (新)※(1945年発足。アメリカ合衆国のニューヨーク市に本部が置かれる。アイス語の略号は UU)

こくさいれんめい(国際連盟)[固名] 国際連盟 Usamosir Ukot (新)、[固名] Usamosir Rík (新)※(1920年発足。スイスのジュネーブに本部が置かれていたが、1939年に活動休止。1946年解散)

こくじ(国璽)[名] 国璽 mosir-itokpa (新)

こくしょう(国章)[名] 国章 mosissirosi (mosirsirosi) (新)

こくじん(黒人)[名] 黒人 ekurokkur (石狩)

こくすいしゅぎ(国粋主義)(表現) 国粋主義 sisam kor mosireoripaksamun (新)、(表現) sisam kor nationarismu (新)※(英語): (表現) 国粋主義者 sisam kor mosireoripaksamun kur (新)、(表現) sisam kor nationarismukur kur (新)、(表現) sisam kor nationaristo (新)※(英語)

こくせい(国政)[名] 国政 mosireyayetunus (新)、[名] mosirkor (新): [自] 国政を執る mosireyayetunus (新)、[自] mosirkor (新): [他](場所)で国政を執る emosireyayetunus (新)、[他] mosirkor (新): [他] ~と共に国政を執る komosireyayetunusi (新)、[他] komosirkor (新): [他](原因、手段)で国政を執る omosireyayetunusi (新)、[他] omosirkor (新): [他](人)に国政を執らせる mosireyayetunusi (新)、[他] mosirkore (新): [自] 自分で、一人で国政を執る yaykomosireyayetunus (新)、[自] yaykomosirkor (新): [自] 互いに、皆で国

政を執る ukomosireyayetunus (新)、[自] ukomosirkor (新):

こくそ(告訴)(法)[名] 告訴 ionnuppa (新)、[名] saymononnuppa (新): [自] 告訴する ionnuppa (新)、[自] saymononnuppa (新): (表現) 告訴する saymonusi otta ikocaranke (新): [他](人)を告訴する、~に関して告訴する eionnuppa (新): (表現)(人)を告訴する、~について告訴する saymonusi otta ecaranke (新): (表現)(人)を~に関して告訴する saymonusi otta koecaranke (新): 「私は詐欺事件でAを告訴する。」 “Ikosunke-hike an wa A ku=eionnuppa rusuy.” = “Ikosunke-hike (saymonusi otta) A ku=koecaranke rusuy.”: [他] ~に告訴する onnuppa (沙流): [他](原因、手段)で告訴する oionnuppa (新): [他](人)に告訴させる ionnuppare (新)

こぐちぎり(小口切り)(表現) ~を小口切りにする ~kes (長形 kese) wa (wano) ponnno ponno tuye (複数 tuypa) (新)

こくど(国土)[場名] 国土 mosirkoriwor (新)、[場名] cikarmosirkoriwor (新)※(国家が支配する領域)

こくとう(黒糖)[名] 黒糖 kunnetopenota (新)

こくはつ(告発)[自] 告発する ionnuppa (新): [他](人)を告訴する、~に関して告発する eionnuppa (新): [他] ~に告発する onnuppa (沙流): [他](原因、手段)で告発する oionnuppa (新): [他](人)に告発させる ionnuppare (新)

こくばん(黒板)[名] 黒板 kunneita (新): [名] 黒板消 itapirpap (新)

こくぼう(国防)[自] 国防する mosirepunkine (新)、[自] mosirkikkar (新)、[自] kotanepunkine (新)、[自] kotankikkar (新): [他](場所)で国防する emosirepunkine (新)、[他] emosirkikkar (新): [他] ~と共に国防する komosirepunkine (新)、[他] komosirkikkar (新): [他](原因、手段)で国防する omosirepunkine (新)、[他] omosirkikkar (新): [他](人)に国防させる mosirepunkinere (新)、[他] mosirkikkare (新): [自] 自分で、一人で国防する yaykomosirepunkine (新)、[自] yaykomosirkikkar (新): [自] 互いに、皆で国防する ukomosirepunkine (新)、[自] ukomosirkikkar (新): [自] 完全に国防する oarmosirepunkine (新)、[自] oarmosirkikkar (新): [自] 充分に国防する mosirepunkineno (mosirepunkinenu)

(新)、[自] mosirkikkanno (mosirkikkannu) (新): [名]国防軍 mosirepunkine-tumi (新)、[名] mosirkikkattumi (新)

こぐま(子熊) [名]子熊 pewrep (石狩)、[名] poneper (石狩): [名](祈詞の中で)神の幼子 kamuy-opoyam (石狩)、[名] kamuypomposta (石狩)、[名] posanke (石狩): [名](雅語として)熊の幼子 kamuy-otcina (石狩): [名]子熊を杭に繋いでおく道具 korakorak (石狩)

こぐまざ(小熊座)(宇宙)[名]小熊座 Póneper-so (Póneper) (新): [名]小熊座のα星(ポラリス) Poronociw (アイヌの星)※(現在の北極星。)

こくみん(国民) [名]国民 mosirunkur (新)、[名] cikarmosirunkur (新)、[名] ukomosirkorutar (新)

こくみんのせいかつがだいいち(国民の生活が第一) [名](日本の党名)国民の生活が第一 Nep akkari mosirunutar-ureska páse topa (新)

こくもつ(穀物) [名]穀物 toyta-amam(-a) (新)

こくゆう(国有) [自]国有する mosinnu (新): [他]~を国有する emosinnu (新): [他](人)に~を国有させる emosinnure (新): [名]国有財産 mosinnuatunup (新): [場名]国有地 mosinnusi (新): [名]国有物 mosinnup (新)

こくようせき(黒曜石) [名]黒曜石 anci (石狩)、[名] kanciw(-e) (石狩)、[名] nistras(-u) (石狩)

コクリュウコウ(黒龍江) ①[場名](中華人民共和国の省名)黒龍江省 Heyroncian-purovince (新): ②[名](地名)黒龍江 Santapet (新)、[名] Amur-pet (新)、[名] Heyron-pet (新)

こくるい(穀類) [名]穀類 amam(-a) (石狩): [名]穀類の一粒一粒 amamnum(-i) (石狩)

コクレルネズミキツネザル(コクレル鼠狐猿) (動物)[名](コビトキツネザル科)コクレルネズミキツネザル属 onneerum-sumarisarucise (新): [名]コクレルネズミキツネザル kokurer-onneerum-sumarisaru (新): [名]ノーザンジャイアントネズミキツネザル koykaun-onneerum-sumarisaru (新)

コクワ →「サルナシ」を見よ

ごぐん(語群) (言語)[名]語群 itaktopa (新)

コケ(苔) [名]コケ類の総称 sinrus (新): [名]地面や岩に生えるコケ類の総称 sinrus (石狩): (表現)苔むす sinrus us (新): [名]木に生えるコケ類の総称 nirus (石狩)、

[名] nisinrus (天塩)、[名] níur (石狩): (表現)苔むす nirus (nisinrus、níur) us (新)

こけい(固形) [名]固形の油 ruprupsesum(-i) (幌別)、[名] takmanesum(-i) (幌別)

ごけい(語形) (言語)[場名]語形 itakpokat(-u) (新): [名]語形変化 itakpooyakatne (新)、[名] fureksion (新)※(仏語): [自]語形変化する itakpooyakatne (新): [他]~を語形変化させる itakpooyakatnere (itakpooyakatneka) (新)

こけいばいちこう(固形培地耕) [場名]固形培地 iuattereusi (新)、[場名] cieiuattereusi (新): [自]固形培地耕栽培する iuattereusi-otoyta (新): [他]~を固形培地耕栽培する eiuattereusi-otoyta (新): [他](人)に~を固形培地耕栽培させる eiuattereusi-otoytare (新)

コケセンボンギク(苔千本菊) (植物)[名](キク科)コケセンボンギク属 sinruskikukinacise (新): [名]コケセンボンギクの茎葉 sinruskikukina (新)

コケタンポポ(苔蒲公英) (植物)[名](キク科)コケタンポポ属 siranruskunawkinacise (新): [名]コケタンポポの茎葉 siranruskunawkina (新)

こげる(焦げる) [自]焦げる uhuy (石狩)、[自] uhuyunin (沙流)

コケンショウフルーツコウモリ(小肩章フルーツ蝙蝠) (動物)[名](ケンショウコウモリ族)コケンショウフルーツコウモリ属 motaptomtepkapap-cise (新): [名]コケンショウフルーツコウモリ petersu-motaptomtepkapap (新): [名]ヘイマンコケンショウフルーツコウモリ hayman-motaptomtepkapap (新)

ここ ①[代名]ここ te (石狩): (表現)ここで、ここに te ta (石狩): ここへ teyne (te ene) (石狩): (表現)ここから te wa(-no) (石狩): (表現)ここまで te pakno (石狩): 「こっちを見て下さい。」“Teyne inkar yan !”: ②[代名]ここ teoro (teoro) (石狩): 「ここが痛い」“Teoro arka .”: 指示代名詞の①は特定の後置詞、後置副詞などと用いられる以外単独では用いられない。それに対して②は「ここが」とか「ここを」と主語や目的語として単独で用いられる。: [連体]この tan (石狩)※(「ここにある」“te ta an”を用いても良い。)

ここ(個々) [自]個々の yaysaraye (新): [副]個々に yasaraye(-no) (新)

ごご(午後) [場名]午後 tónoskioka (新)、[場名] tónanoskioka (天塩)※(略号は T O.)

ここう(孤高) [自]孤高を保つ yaykorikoma (新)

ごこう(後光) [名]後光 isermakus-nipeki (新): (表現)~の後光 ~sermak us nipeki (新)

こごえ(小声) ① [名]小聲 ponhawe(-e) (新): ② [自]小声になる、である hawepon (新): [副]小声で pínopino (石狩): ③ [自]小声で話す pínopoitak (石狩)、[自] cápisi (石狩)、[自] píitak (天塩): (表現)小声で話す pínopino itak (石狩): [他]~について小声で話す epinopoitak (新)、[他] ecapisi (新)、[他] epiitak (新)、[他] epinu (天塩): [他]~と小声で話す kopinopoitak (新)、[他] kocapisi (石狩)、[他] kopiitak (新): [他](原因、手段)で小声で話す opinopoitak (新)、[他] ocapisi (新)、[他] opiitak (新): [他](人)に小声で話させる pínopoitakte (新)、[他] cápisika (cápisire) (新)、[他] píitakte (新): [自]自分で、一人で小声で話す yaykopinopoitak (新)、[自] yaykocapisi (新)、[自] yaykopiitak (新): [自]互いに、皆で小声で話す ukopinopoitak (新)、[自] ukocapisi (石狩)、[自] ukopiitak (新)、[自](雅) ukopapireitak (沙流)

こごえる(凍える) [自]凍える méun (石狩): [他](場所)で凍える emeun (新): [他]~と共に凍える komeun (新): [他](原因、手段)で凍える omeun (新): [他](人)を凍えさせる méunka (méunte) (新)

ここく(故国) [場名]故国 ekasikonrokmosir (新): (アイヌにとっての)[場名]故国 yaunmosir (石狩)、[場名] yaunkurmosir (石狩)、[場名] yayunmosir (石狩)

ココノオビアルマジロ(九帯アルマジロ) (動物)[名](アルマジロ科)ココノオビアルマジロ属 sinepesankutkor-hayokyuk-cise (新): [名]ココノオビアルマジロ sinepesankutkor-hayokyuk (新)、[名] sinepesankutkor-armadiro (新): [名]コムクゲアルマジロ mohepur-hayokyuk (新)、[名] mohepur-armadiro (新): [名]ナナツオビアルマジロ arwankutkor-hayokyuk (新)、[名] arwankutkor-armadiro (新): [名]ムクゲアルマジロ hepur-hayokyuk (新)、[名] hepur-armadiro (新): [名]ムリタアルマジロ koypokun-etutannehayokyuk (新)、[名] koypokun-etutannearmadiro (新): [名]ヤツオビアルマジロ tupesankutkor-hayokyuk (新)、[名] tupesankutkor-armadiro (新)

ここのか(九日) [場名]九日 sinepesanto

(石狩)

ここのつ(九つ) [連体]九つの sinepesan (石狩): (表現)九つの星 sinepesan nociw (新): [名] sinepesampe (石狩): (表現)星九つ nociw sinepesampe (新)

ここまい(古古米) [名]古古米 náriyaamam (新)

コゴミ →「クサソテツ(草蘇鉄)」を見よ

コゴメギク(小米菊) (植物)[名](キク科)コゴメギク属 naporeonhekotemun-cise (新): [名]コゴメギクの茎葉 naporeonhekotemun (新)※(ナポレオンの従者草): [名]ハキダメギクの茎葉 munkutausi-naporeonhekotemun (新)

こころ(心) ① [名]心 kewtum(-u) (石狩)、[名] ram(-u) (石狩): [場名]心の中 kewtumor(-o, -ke) (石狩)、[場名] ramor(-o, -ke) (新): (表現)心の中 ram(-u)orke (石狩): [名]心の中にあるもの kewtumorumpe (石狩)※(日本の演歌「酒は涙か溜息か」の翻訳に際し、砂沢トムアイヌ翁は「心のうさ」にこの語を当てた): ② [自]心が良くなる、心が良い pirkakewtumkor (石狩)、[自] kewtumupirka (石狩): [名]心が良い人 pirkakewtumkorkur (石狩)、[名] kewtumupirkakur (新): ③ [自]心が悪くなる、悪い wenkewtumkor (石狩)、[自] kewtumuwen (石狩): [名]心が悪い人 wenkewtumkorkur (石狩)、[名] kewtumuwenkur (新): [名]心が悪い奴 wenkewtumkorpe (石狩)、[名] kewtumuwempe (新)

こころがうつくしい(心が美しい) [場名]心の美しさ tuyketok (石狩): [自]心が美しい tuyketokkor (石狩)、[自] pirkakewtumkor (石狩)、[自] kewtumupirka (石狩): [名]心が美しい人 tuyketokkorkur (石狩)、[名] pirkakewtumkorkur (石狩)、[名] kewtumupirkakur (新)

こころがはなれる(心が離れる) (表現)~から人の心が離れる ~ iramu ehosi (新): (表現)~から…の心が離れる ~ … ramu ehosi (新): (表現)~から…の心が離れている ~ … ramu ehosi an (新)

こころがわり(心変わり) [自]心変わりする iramuehosi (新): [他]~について心変わりする eiramuehosi (新): [他](場所)で心変わりする eiramuehosi (新): [他]~と共に心変わりする koiramuehosi (新): [他](原因、手段)で心変わりする oiramuehosi (新): [他](人)に心変わりさせる iramuehosire (新)

こころづかい(心遣い) [他]~の心遣いである

renkayne (石狩): 「あなたの心遣いであっても今は頼りたくない。」 “An=renkayne yakka tane somo ku=nisuk rusuy .”: (表現)~の心遣いで irenka ani (石狩): 「君の心遣いで、私は快適に休めたよ。」 “Eani irenka ani irammakaka ku=sini wa .”

ころをあわせる(心を合わせる) [自]心を合わせる uramkopaste (石狩): 「…それからまたどこからか戦が来ていても私達は心を合わせるんですよ…」 “… orowa suy neywa ka tumi ek an akne uramkopaste=an kusune na …” (杉村キナブク)英雄詞曲

ころをいためる(心を痛める) [自]心を痛める rampekamama (ramupekamama) (石狩)、[自] sampesitki (石狩): [他](場所)で心を痛める erampekamama (eramupekamama) (新)、[他] esampesitki (新): [他]~と共に心を痛める korampekamama (koramupekamama) (新)、[他] kosampesitki (新): [他](原因、手段)で、~の事で心を痛める orampekamama (oramupekamama) (新)、[他] osampesitki (新): [他](人)に心を痛めさせる rampekamamare (ramupekamamare) (新)、[他] sampesitkire (新)

ころをかよわせる(心を通わせる) [自]人と心を通わせる iramkopaste (新): [他]~と心を通わせる ramkopaste (新): [他](場所)で~と心を通わせる eramkopaste (新): [他](原因、手段)で~と心を通わせる oramkopaste (新): [他](人)に~と心を通わせる ramkopastere (新): [自]互いに心を通わせる uramkopaste (石狩)

ころをきめる(心を決める) [自]落ち着いて考え心を決める kewtumositciwre (石狩): [他]~について心を決める ekewtumositciwre (新): [他](場所)で心を決める ekewtumositciwre (新): [他]~に向けて心を決める kokewtumositciwre (新): [他]~と共に心を決める kokewtumositciwre (新): [他](原因、手段)で心を決める okewtumositciwre (新): [他](人)に心を決めさせる kewtumositciwrere (新): [他]自分で、一人で心を決める yaykokewtumositciwre (新): [他]互いに、皆で心を決める ukokewtumositciwre (新)

ころをしずめる(心を鎮める) [自]人の心を鎮める itomoitak (新): [連他]~の心を鎮める tomo-óitak (tom-óitak) (石狩): [他](人)に人の心を鎮めさせる itomoitakte (新): [自]自分の心を鎮める yaytomoitak

(石狩): [自]互いに心を鎮め合う、皆で心を鎮める utomoitak (新): [自]人に自分の心を鎮めてもらう sitomoitakar (sitomoitakyar) (新)

ころをのこす(心を残す) [自]不満を懷いてこの世を去る、心を残してこの世を去る ikesuy (石狩)※(自殺者に対する引導渡し)の言葉で、故人の「死」をこの言葉で表現する)

ころをひとつにする(心を一つにする) [自]心を一つにする、仲良くする sineramkor (石狩): 「…それから私達は三人して心を一つにして暮らして…」 “…neywano ren a=ne wa sineramkor=an wa okay=an ayne …” (杉村キナブク)婦女詞曲: [他]~について心を一つにする esineramkor (新): [他](場所)で心を一つにする esineramkor (新): [他]~と共に心を一つにする kosineramkor (新): [他](原因、手段)で心を一つにする osineramkor (新): [他](人)に心を一つにさせる sineramikore (新): [自]互いに、皆で心を一つにする usineramikore (新)、[自] ukosineramikore (新)

ごこん(語根) (言語)[場名]語根 itaksut(-u) (新)

ごぞ(莫蔭) [名]花莫蔭 cise-kotes-atunkina (石狩)、[名] átunkina (石狩): [名]敷莫蔭 kina (石狩)、[名] citarpe (石狩)、[名] ciattoma (石狩)、[名] toma (天塩): [名]遺体を包む莫蔭 citarpe (天塩)、[名] ponkina (天塩)、[名] yattuy (天塩): [名]和風の莫蔭 goza (石狩): [自]莫蔭編みする itese (石狩): [他](莫蔭)を編む tese (石狩): (表現)(莫蔭)を一段編む assos atte (新)、(表現) arsos atte (沙流): [名]莫蔭編み機 iteseni (石狩): (表現)莫蔭編み台 ama ru (石狩): 私が莫蔭を編む台 ku=ama ru (石狩)

こざかな(小魚) [名]小魚 ceppo (石狩): [自](夜に)松明を使って小魚を獲る cepposunekar (石狩): [名]小魚を挟んで焼く焼串 ciyasaymani (石狩)

こさせる(来させる) [他]~を来させる ette (ekte) (複数 arkire) (石狩): [他](場所)に~を来させる eette (eekte) (複数 earkire) (新): [他]~と一緒に~を来させる koette (koekte) (複数 koarkire) (新): [他](手段)で~を来させる、(場所)から~を来させる oette (oekte) (複数 oarkire) (新)

こさめ(小雨) [名]小雨 hawkeruyampe (新): (表現)小雨が降る hawkeno ruyampe as (新): (表現)小雨になる、なっている ruyampe hawke (新)

こざん(孤山) ①[名]孤山、平坦な土地に孤立する山 tanasi (石狩): ②[名]山並から一つだけぽつんと(たん瘤のように丸く)盛り上がり目立つ山、孤山、孤丘 tapkop (石狩)

こじ(孤児) [名]孤児 pówenike (石狩)、[名] pówempe (石狩): (表現)孤児 aysirekar ekaci (天塩)

こし(腰) [名]腰 cinkew(-e) (天塩)、[名] ikkew(-e) (石狩): (表現)～の腰が痛い ～ ikkewe arka (石狩): (表現)～の腰を屈める ～ ikkewe rewe (石狩): [自]腰が痛い ikkewarka (石狩)

コシアブラ(漉油) (植物)[名](ウツギ属)コシアブラの茎 koturusinni (石狩)、[名] korusni (幌別)、[名] pirakkani (幌別)

こしいた(腰板) [名]腰板 isitumusini (石狩)※(厚司織りの時に腰に当てる板)

こしお(小潮) (表現)小潮になる cup nin sirarha (sirara) (新)※(沙流方言より)

コシカキク(小鹿菊) (植物)[名](シカギク属)コシカキクの茎葉 konkokorokina (樺太真岡)、[名] ronkorokina (樺太真岡)※(別名「オロシャギク」)

こしかける(腰掛ける) [連他]～に腰掛ける、腰を下ろす kasi-eosorusi (ka-eosorusi) (石狩)、[連他] kasi-oosorusi (ka-oosorusi) (石狩)、[連動](雅語) kurka-osorowsi (石狩): 「私は椅子に腰掛けて本を読んだ。」

“Kasianooosorusip kasi=ku=oosorusi wa kampsis ku=nukar .”, 「私が四つん這いになると、彼女は私に腰を下ろした。」

“Inecikinne ku=as kor en=ka-oosorusi .”: [名]腰掛け cieosorusip (新)※(十勝)、[名] kasi-cioosorusip (新)※(幌別): (表現)腰掛けに腰掛ける ikum ka-oosorusi (ka-eosorusi) (新)、(表現) cieosorusip (kasi-cioosorusip) ka-oosorusi (ka-eosorusi) (新): 但し、今後“ikum ka ta a”、“kasi-cioosorusip ka ta a”のような表現が広まればそれも可とする。

こじき(乞食) ①[名]乞食、乞食する事 iahupkar (iaupkar) (石狩): ②[自]乞食、乞食をする人 iahupkar (iaupkar) (石狩)、[名] hoyto (八雲)

こしつ(個室) [名]個室 ciyaykoeiwanke-tumpu (新)、[名] ciyayeiwankere-tumpu (新)、[名] sineneiwanke-tumpu (新)

こじつ(後日) (表現)後日 iosanto ta (石狩)、(表現) iosanto an kor (新)

こしにあてる(腰に当てる) [他]～を腰に当てる sitomusi (石狩)※(合成語の構成要素として「～を腰に付ける(当てる)」の意味で現れ、i (それ)+sitomusi+ni(木) → isitumusini 「厚司織りの時に腰に付ける板」のように使

われる)

こしにさす(腰に差す) [他](刀)を腰に差す kutpokeciw (石狩): [他](場所)で～を腰に差す ekutpokeciw (新): [他]～と共に～を腰に差す kokutpokeciw (新): [他](原因、手段)で～を腰に差す okutpokeciw (新): [他](人)に～を腰に差させる kutpokeciwre (新)

こしにまく(腰に巻く) [他]～を腰に巻く ikkewkokari (新): [他](場所)で～を腰に巻く eikkewkokari (新): [他]～と共に～を腰に巻く koikkewkokari (新): [他](原因、手段)で～を腰に巻く oikkewkokari (新): [他](人)に～を腰に巻かせる ikkewkokarire (新): [他]自分で、一人で～を腰に巻く yaykoikkewkokari (新): [他]互いに、皆で～を腰に巻く ukoikkewkokari (新)

こじま(小島) [場名]小島 ponmosir(-i) (石狩): [場名]海の小島 atuykaponmosir(-i) (石狩): [場名]湖沼の小島 tókaponmosir(-i) (新): [場名]川中の小島 petkaponmosir(-i) (新)

ごじゅう(五十) ①[名]五十人 waniw erehotnen (waniw ikasma tuhotnen) (新): ②[名]五十四、五十個、五十歳など wampe erehotnep (wampe ikasma tuhotnep) (新)、[名] wampe erehot (wampe ikasma tuhot) (新): ③[連体]五十の wan erehotne (wan ikasma tuhotne) (新): (表現)五十人の女性 wan menoko erehotne menoko (wan menoko ikasma tuhotne menoko) (新)、(表現) waniw erehotne menoko (waniw ikasma tuhotne menoko) (新): (表現)五十匹の魚 wan cep erehotne cep (wan cep ikasma tuhotne cep) (新)、(表現) wampe erehotne cep (wampe ikasma tuhotne cep) (新): (表現)五十年、歳 wampa erehotne pa (wampa ikasma tuhotne pa) (新)、(表現) wampe erehotne pa (wampe ikasma tuhotne pa) (新)

ごしゅうぎ(御祝儀) [名]御祝儀 iway(-e) (沙流)

ごしゅじんさま(ご主人様) [名](召使の主人に対する呼びかけとして)ご主人様 konnispá (石狩): 「お帰りなさいませ、ご主人様。」 “Ku=konnispá, iisonaka hosippa !”

こじょう(弧状) [自]弧状になる、である kúsinne (新): [他]～を弧状にする kúsinneka (kúsinnere) (新)

こしょう(故障) [自]故障する ciwente (石狩): [他](場所)で故障する ciwente (新): [他]～と共に故障する cikowente

(新): [他](原因、手段)で故障する
ciowente (新): [他]～を故障させる
wente (石狩)

こしょう(湖沼) [名]湖沼 to (石狩): [名]
大きな湖沼 poroto (石狩): [名]小さな湖
沼 ponto (石狩): [名]広い湖沼 parato
(石狩)

こしょう(胡椒) [名](食品としての)胡椒
pepper (新)※(英語)、[名] košo (新)※(日
本語)

こしをかめる(腰を屈める) [自]腰を屈める
ikkewrewe (石狩)※(かつては家の中で目
上の人の前を歩く時の仕草)

こじん(個人) ①(集団を構成する)[名]個人
yayekarikur (新)、[名] yaysarayekur
(新): [自]個人である yayekari (新)、[自]
yaysaraye (新): [副]個人的に、個人とし
て yayekarikunne(-no) (新)、[副]
yasarayekunne(-no) (新): (表現)個人的
に、個人として yayekarikur
(yaysarayekur) ne wa (新): [名]個人主
義 yayekarisamun (新): ②(所属や地位
などに関係ない私人として)[名]個人
sisurakur (新): [自]個人となる sisura
(新): [副]個人的に、個人として
sisurakunne(-no) (新): (表現)個人的に、
個人として sisurakur ne wa (新): ③
[自]個人崇拜をする sapanekunnomi (新)、
[自] netopanomi (新)

ごしんぼう(五進法) [名]五進法
asiknepoipiski (新): [名]五進記数法
asiknepoipiskioinuye (新): [名]五進命数
法 asiknepoipiskiorekor (新)

こす(漉す) [他]～を漉す oposore (石狩)、
[他] eposore (天塩): [他](場所)で漉す
eoposore (eeposore) (新): [他]～と共に
～を漉す kooposore (koeposore) (新):
[他](原因、手段)で～を漉す ooposore
(oeposore) (新): [他](人)に～を漉させる
oposore (eposore) (新): [他]～をざ
るで漉す oycarioposore (沙流): (表現)
ざるで～を漉す icari ani ~ oposore
(eposore) (新)

コスタリカ [場名](国名)コスタリカ共和国
Kostarika Ukotankoremosir (新)※(首都は
「サンホセ」): [場名](国名の通称として)コ
スタリカ Kostarika (新): [名]コスタリ
カ人、国民 kostarikaunkur (新)

コストロマ [場名](ロシア連邦中央連邦管区の
構成主体名)コストロマ州 Kostoroma-
purovince (新): [場名](コストロマ州の州
都名)コストロマ Kostoroma (新): (歴
史)[場名](国名)コストロマ公国 Kostoroma
Dukekormosir (新)※(1213-46年。

モスクワ公国に併合される)

コスモス (植物)[名](キク科)コスモス属
kosmoskina-cise (新): [名]オオハルシャ
ギクの茎葉 yayan-kosmoskina (新)、[名]
kosmoskina (新)、[名]その花 yayan-
kosmos (新)、[名] kosmos (新)※(別名
「アキザクラ」): [名]キバナコスモスの茎
葉 sikerpepeus-kosmoskina (新): [名]
コスモス・カウダトゥスの茎葉 rájasarat-
kosmos (新)※(王のサラダコスモス): [名]
コスモス・パルビフロルスの茎葉 mexiko-
kosmosina (新): [名]チョコレートコスモ
スの茎葉 cokohuranu-kosmoskina (新)

こすりつける(擦り付ける) [他]～に～を擦り付
ける usi (石狩): [他](場所)で～に～を擦
り付ける eusi (新): [他]～と共に～に～
を擦り付ける kousi (新): [他](原因、手
段)で～に～を擦り付ける ousi (新):
[他](人)に～に～を擦り付けさせる usire
(石狩): [他]自分で、一人で～を～に擦り付
ける yaykousi (新): [他]互いに、皆で～
に～を擦り付ける ukousi (新): [他]自分
に～を擦り付ける yayusi (新): [他]互い
に、皆で～を擦り付ける uusi (新)

こする(擦る) [自]ものを擦る isiru (新):
[他]～を擦る siru (石狩): [他](場所)で
～を擦る esiru (新): [他](場所)へ～を擦
る kosiru (新): [他]～と共に～を擦る
kosiru (新): [他](原因、手段)で～を擦る
osiru (新): [他]～に～を擦らせる sirure
(新): [自]自分を擦る yaysiru (新):
[自]自分で、一人で～を擦る yaykosiru
(新): [自]互いを擦る usiru (新): [自]
互いに、皆で～を擦る ukosiru (新): [他]
～を何度も擦る sirusiru (石狩): [自]頭
を擦る、顔を擦る、先を擦る hesiru (新):
[他]～の頭を擦る、～の顔を擦る、～の先を擦
る esiru (新): [自]尻を擦る、性器を擦る、
末端を擦る hosiru (新): [他]～の尻を擦
る、～の性器を擦る、～の末端を擦る osiru
(新):

こぜに(小銭) [名]小銭 icen (新): [名]小銭
入れ icenop (新)

コセミクジラ(小背美鯨) (動物)[名](ヒゲクジ
ラ亜目)コセミクジラ科 morekushumpe-
apa (新): [名]コセミクジラ属
morekushumpe-cise (新): [名]コセミク
ジラ morekushumpe (新)

ごぜん(午前) [場名]午前 tónoskietok (新)、
[場名] tónanoskietok (天塩)※(略号 T
E.)

ゴゼンタチバナ(御前橘) (植物)[名]ゴゼンタ
チバナ属の植物の総称 réhamus (新):
①[名]ゴゼンタチバナの茎、葉 réhamus

(新): [名]ゴゼンタチバナの実
cironnuphurep (新): ②[名]エゾゴゼンタチバナの茎、葉 yayanrehamus (新):
[名]エゾゴゼンタチバナの実
yayancironnuphurep (新)

こそ ①(直前の語句を強調して)[副助]こそ ta (石狩)、[副助] tap (石狩)、[副助] taptap (沙流): (表現)これこそ tampe ta (石狩)、(表現) tampe tap (石狩)、(表現) tampe taptap (沙流): [後副]〜こそ eas (石狩)、[後副] easno (石狩): 「今日こそお前をお前を叩きのめしてやるぞ。」“Tanto eas e=toykokik=an kusune na .”: (表現)〜こそ tap eas (石狩)、(表現) tap easir (沙流): ②(接続助詞、接続詞の後に用いられ)[後副]〜(して)こそ、(して)こそ初めて eas (石狩)、[後副] easno (石狩): 「お前がアイヌ語を話せてこそ、私は安らかに死ぬ事ができる。」“Aynuytak ani e=itak easkay yak eas apunno ku=ray easkay .”: ③(これから述べる語句を提示し)[副助]〜こそ anakne (石狩)、[副助] anak (石狩): 「私こそは彼の名高き勇者、ポイヤウンペが私である。」“Kuani anakne asuru as rametok - Poyyaumpe ku=ne ruwe ne .”, 「これこそを私は長いこと探していたんだよ。」“Tampe anakne ohonno ku=hunar kane an na .”

ごぞく(語族) (言語)[名]語族 itakutar(i) (新)

ごぞごそ [他](場所)でごぞごそする oyki (石狩): 「店の主人は店の奥でごぞごそしていたが、ようやく探し出した物を抱えてこちらにやって来た。」“Misekorkur mise mak oyki kane an ayne irukay kor pa a p kisma kane en=ekota ek .”

こそだて(子育て) [自]子育てする póreska (新): (表現)子育てする síuspe (sispe、pompe、poysiuspe、poysispe、sion、siontak、yarpe) reska (石狩)、(表現) (pontennep、pópo、poysion、osus、numattomuspe、tennep) reska (石狩): [他](場所)で子育てする eporeska (新): [他]〜と子育てする koporeska (新): [他](原因、手段)で子育てする oporeska (新): [他](人)に育児させる póreskare (新): [自]自分で、一人で子育てする yaykoporeska (新): [自]互いに、皆で育児する ukoporeska (新): [自]人に子育てさせる、してもらう póreskayar (新): [自]子育て支援する póreska-eikasuy (新): (表現)子育て支援する póreska eikasuy (新)

こそで(小袖) [名]小袖 kosonte (石狩)

こたい(個体) [名]個体 yaysarayep (新):

[自]個体である yaysarayep (新)

こだい(古代) ①(歴史的区分として)[自]古代である husko (新): [副]古代に、の husko(-no) (新): (表現)古代の (新)、(表現) husko(-no) an (複数 okay) (新): [場名]古代国家 husko otta an (複数 okay) (新): [名]古代文明 husko-cisimaciyane (新): ②(昔の意味で)[副]古代に、の teeta (新): (表現)古代の teeta an (複数 okay) (新): [名]古代生物 teetasiknup (新)

こたい(固体) [名]固体 katnusr (新): [自]固体である katnu (新): [他]〜を固体にする katnure (新)

こだい(誇大) [自]誇大になる、である poro (新): [他]〜を誇大にする porore (新): [名]誇大公告 ciporore-utarkoeksonko (新)

こたいいばいち(固体培地) [場名]固体培地 katnu-iatteusi (新)、[場名] katnu-cieiatteusi (新)

こたえ(答え) [名]答え itasaitak (新): [自]答える itasaitak (石狩)※(以前は「口答えする」という悪い意味だった。): (表現)正しく答える oupekano itasaitak (新): (表現)間違って答える hayta (uhayta) wa itasaitak (新): (表現)早く答える tunasno itasaitak (新): (表現)出鱈目に答える etarka itasaitak (新): 『はい』と私は答えた。」「《 E ! 》, sekor ku=itasaitak .”: [他]〜について答える eitasaitak (新): [他](場所)で答える eitasaitak (新): [他](人)に答える koitasaitak (石狩): [他]〜と共に答える koitasaitak (新): [他](原因、手段)で答える oitasaitak (新): [他](人)に答えさせる itasaitakte (新): [自]咄嗟に答える、即答する itasaitatte (itasaitaktek) (新): [自]自力で、一人で答える yaytasaitak (新): [自]互いに、皆で答える utasaitak (新): [自](名前を呼ばれたり、山でホーと呼ばれた時には)はいと答える hóse (石狩): [自](承諾して)はいと答える ése (石狩): [自]いいえと答える somose (新): [自](英語で)はいと答える yesse (新)、[自](英語で)いいえと答える nóse (新): [自](ロシア語で)はいと答える dáse (新)、[自](ロシア語で)いいえと答える nietce (新): [自](日本語で)はいと答える háise (新)、[自](日本語で)いいえと答える iiese (íese) (新)

こたつ(炬燵) [名]炬燵 apeoita (新)、[名]apeo-kemausita (新): (表現)炬燵に入る apeoita (apeo-kemausita) koa (複数 koroski) (新): (表現)炬燵を囲む

apeoita (apeo-kemausita) okari rok (新)
こだま(木霊) [名] 木霊 nupuriekotuntek
 (石狩): [自] 山に木霊する
 nupuriekotuntek (石狩): [他](場所)に木
 霊する eikotuntek (石狩): (表現)山に木
 霊する nupuri eikotuntek (石狩)、(表現)
 sir eikotuntek (石狩)

ごちゅう(語中) (言語)[場名]語中 itakor(-o)
 (新)

こちら ①(話者の目の前のものを指し示し)(表
 現)こちらの te ta an (複数 okay) (新):
 (表現)こちらの人 te ta an kur (新): (表
 現)こちらにいる人達 te ta okay utar
 (新): (表現)こちらの物 te ta an pe (新):
 ②(話者の目の前にいる誰かを敬意をもって
 指し示し)[連体]こちらの tanokay (新):
 (表現)こちらの殿方 tanokay nispa (新):
 (表現)こちらの御婦人 tanokay katkemat
 (新): (表現)こちらの方々 tanokay utar
 (新): ③(何処かにあるものと話者の目前に
 のものを比較して)[代名]こちらの場所、こち
 らの方の物 tanike (天塩): (表現)こちら
 にある tanike ta an (複数 okay) (新):
 (表現)決してあちらこちら振り返る事なく一
 刻も早く~の許にたどり着く senne toni
 senne tani kohosari somo ki nopo ciki ta
 heta ~ kosirepa (久保寺13): ④(味方
 の意味で)[名]こちら側にいる人
 tewaankur (石狩)

こちらぎし(こちら岸) [場名]こちら岸
 tampa (石狩)、[場名]tampake (石狩):
 [自]こちら岸を向く、こちら岸に向かう
 etampaun (新): [副]こちら岸に向かう、
 こちら岸に etampaun (新): [自]こちら
 岸から向かう otampaun (新): [副]こち
 ら岸から otampaun (石狩)

こっか(国家) [場名]国家 cikarmosir (新):
 (表現)国家 an=kár mosir (新)

こっか(国歌) [名]国歌 mosirsinotca
 (mosissinotca) (新)、[名] mosirhaw(-e)
 (新)

こっか(国花) [名]国花 mosirapappo (新)、
 [名] mosinnonno (新)

こっかい(国会) [場名]国会 mosir-
 eyaytunususi (新): [名]国会議員 mosir-
 eyaytunuskur (新): [場名]衆議院
 iyaykokawarineutar-sousi (新): [場名]参
 議院 ciyekunipeuyetar-sousi (新)[場名]
 アイヌ国の上院 onneutar-sousi (新):
 [場名]アイヌ国の下院 pewreutar-sousi
 (新)

こっかい(黒海) [名](地名)黒海 Kunne-atuy
 (新)

こっかく(骨格) [名]骨格 ponekat(-u)

(新): [名]頭蓋骨 mecakko (石狩): [名]
 肋骨 ut(-ci) (石狩): [名]背骨
 ikkewpone (石狩): [名]骨盤
 cinkewpone (石狩): [名]大腿骨 ompone
 (石狩)

こっかこうむいん(国家公務員) [名]国家公務
 員 mosirunkur-koniwasnukur (新):
 [名]日本の国家公務員 mosirkottono (新)

こっかしやかいしゅぎ(国家社会主義) ①[名]国
 家社会主義 mosireoripak-ureskaussamun
 (新)、[名] nationarsociarismu (新)※(英語
 の"nationalsocialism"より。): [名]国家社
 会主義者 mosireoripak-
 ureskaussamunkur (新)、[名]
 nationarsociarismukorkur (新)、[名]
 nationarsociaristo (新) ※(英語。略称、蔑
 称としての「ナチ」、あるいは「ナチス」とし
 て知られる): [名]国家社会主義ドイツ労働
 党 Mosireoripak-ureskaussamun Doitcu
 Emonraykekur Topa (新): ②[名]国家社
 会主義 mosireoripak-ureskaussamun
 (新)、[名] sutate-sociarismu (新)※(英語):
 [名]国家社会主義者 mosireoripak-
 ureskaussamunkur (新)、[名] sutate-
 sociaristo (新)※(英語): ③(戦前の日本
 の)[名]国家社会主義 mosireoripak-
 ureskaussamun (新): [名]国家社会主義
 者 mosireoripak-ureskaussamunkur
 (新)

こっかしゅぎ(国家主義) [名]国家主義
 mosirsamun (mosissamun) (新)、[名]
 sutatismu (新)※(英語): [名]国家主義者
 mosirsamunkur (mosissamunkur) (新)、
 [名] sutatisto (新)※(英語)

こっかつしょく(黒褐色) [自]黒褐色になる、で
 ある kunneuparus (新): [他]~を黒褐
 色にする kunneuparusi (新): [名]黒褐
 色 kunneuparusiro (新)

こっき(国旗) [名]国旗 mosirhata (新)、[名]
 mosir-yakasen kaki (新)

コッキニア(植物) [名](ウリ科)コッキニア属
 hurepiseuripunkar-cise (新): [名]コッキ
 ニア・ミルドブラエディの茎葉 oruwe-
 hurepiseuripunkar (新): [名]ヤサイカラ
 スウリの茎 ciehpiseuripunkar (新)、
 [名]その果実 ciehpiseuri (新)

こっきょう(国境) [場名]国境 mosirukoutur
 (mosirukouturu、mosirukouturuke、
 mosirukouturke) (新): [位名]~の国境
 ukoutur(長形-u、-uke、-ke) (新): 「アイ
 ヌ国と日本の国境は津軽海峡にあります。」

“Aynumosir Japan ukoutur Tukariatuy pet
 otta an ruwe ne.”

こつずい(骨髓) [名]骨髓 kir(-i) (石狩)

こっせつ(骨折) [自]骨折する ponekay (新): [他](場所)で骨折する eponekay (新): [他]〜と共に骨折する koponekay (新): [他](原因、手段)で骨折する oponekay (新): [他](人)を骨折させる ponekaye (新): [自]自分の(過失)で骨折する yayponekaye (新): [自]瞬間的に骨折する ponekaytek (新): [他]瞬間的に〜を骨折させる ponekaytekka (新)

こっそり ①[副]こっそり yayukaono (石狩)、[副] arorkisne(-no) (沙流): [後副]〜についてこっそりと esina (石狩)、[後副] esinano (石狩): ②[他](場所)にこっそり行く kuyra (石狩)、[他] siehankere (石狩): [他](人)を(場所)にこっそり行かせる kuyrare (新): [他]こっそり〜の一部自分の物にする ehomaci (沙流)

こつたん(骨炭) [名]骨炭 ponepas(-u) (新)

こつつぼ(骨壺) [名]骨壺 poneopise (新)

こつぱこ(骨箱) [名]骨箱 poneosupop (新)、[名] poneosuop (新)

こつぱん(骨盤) [名]骨盤 cinkewpone (石狩)

こつぶ(小粒) [名]小粒 nokannum(-i) (新): (表現)〜の粒が小さい ~ numi noka (石狩): [自]小粒になる、である noka (石狩): [他](場所)で小粒になる、である enoka (新): [他]〜と共に小粒になる、である konoka (新): [他](原因、手段)で小粒になる、である onoka (新): [他]〜を小粒にする nokanka (nokante) (新)

こつまくえん(骨膜炎) [名]脛の骨膜炎 kemakoni (天塩)

こづれ(子連れ) [自]子連れである upokor (石狩): (表現)子連れのクジラ upokor humpe (石狩): [名]子連れの人達 upokor utar (新)

こて(小手) [名]小手 tekkakipo (沙流)、[名] tekkakirpo (石狩): (表現)小手をうちかざす tekkakirpo rikunruye raoruye (石狩)

こてい(湖底) [場名]湖底 toasam(-a) (新)

こてん(古典) [名]古典 onnesisakpe (新)、[名] kurašik (新)※(英語): [自]古典になる、である onnesisakpene (新)、[自] kurašikne (新): [他]〜を古典にする onnesisakpeneka (onnesisakpenere) (新)、[他] kurašikneka (kurašiknere) (新)

こと(琴) [名]琴 koto (新)※(日本語)

こと(事) [形式名]「事」の意味で動詞句、動詞などの後に用いられ名詞句、名詞などを形成する hi (石狩): 「昨日私が札幌に行った事をお前は知ってるでしょ。」“Núman Satporo ekota ku=oman hi e=eraman ruwe ?”: [形式名]「事」の意味で動詞句、動詞などの後

に用いられ名詞句、名詞などを形成する(母音の後) p、(子音の後) pe (石狩): 「俺の言う事を聞いて下さい。」“Ku=ye p nu wa en=kore yan!”, 「私知ってる事を今話そう。」“Tane ku=eraman pe ku=ye kusu ne .”: ci(人が)+amkir(経験し)+a(た)+p → ciamkirap 「経験した事、経験」、ci(人が)+eraman(〜を知る)+pe → cieramampe 「知っている事、知識」、tan(この)+pe → tampe 「この事」: [形式名]「事」の意味で動詞句、動詞の後に用いられ名詞句、名詞を形成する ruwe (石狩)、[形式名] ru (石狩)

ごと(毎) [後副]〜毎に pisno (天塩): (表現)月毎に cup pisno (天塩)、(表現)年毎に pa pisno (天塩)

こどう(鼓動) [名]鼓動 toktokse (新): [自](一回)鼓動する tokse (新): [自](何回も)鼓動する toksetokse (石狩)、[自] toktokse (石狩)

ごとう(語頭) (言語)[場名]語頭 itakpa(-ke) (新)

ことかく(事欠く) ①(物を主語にして不足する事を示し)[自]に事欠く hayta (石狩): [他]に(場所)で事欠く ehayta (新): [他]に〜と共に事欠く kohayta (新): [他]に(原因、手段)で事欠く ohayta (新): [自]に完全に事欠く oarhayta (arhayta) (新): [自]に酷く事欠く toykohayta (新): [他]〜に事欠かせる haytaka (新): ②(人を主語にして無い事を示し)[他]〜に事欠く sak (新): [他](場所)で〜に事欠く esak (新): [他]〜と共に〜に事欠く kosak (新): [他](原因、手段)で〜に事欠く osak (新): [他](人)に〜に事欠かせる sakka (新): [他]完全に〜に事欠く oarsak (oassak) (新): [他]酷く〜に事欠く toykosak (新)

こときれる(事切れる) [自]事切れる mawtuy (石狩): (表現)事切れる mawe tuy (石狩)

こどく(孤独) [自]孤独を感じる yaykonisnu (新): [他](場所)で〜孤独を感じる eyaykonisnu (新): [他]〜と共に〜孤独を感じる koyaykonisnu (新): [他](原因、手段)で〜孤独を感じる oyaykonisnu (新): [他](人)に孤独を感じさせる yaykonisnure (新): [名]孤独 yaykonisnu (新)、[名] yaykonisnuru(-we) (新): [名]孤独感 yaykonisnuhum(-i) (新): [自]孤独死する puynaray (新)

ごとく(如く) ①[他](中相)〜の如く在る ciesanniyo (石狩): 「独り旅立つ君は大海を行く小船の如く在る。」“Sinenne e=oman ruwe pon cip siatuypenrur tomotuye

ciesanniyo .”： ②[後副]～の如く néno (石狩)： (表現)～の如くある néno an (複数 okay) (石狩)： (表現)～の如くする néno iki (石狩)： [後副](雅語)～の如く koraci (石狩)： (表現)神を凌ぐが如き人 kamuy kus koraci an kur (石狩)： ③[副助]～の如く kunne (石狩)、[副助] sinne (石狩)： 「…神の水死体が海の周りに流木溜まりの如く積み重なっているぞ…」 “… kamuy raycepi atuy okari netcan kunne ukaoma na …” (杉村キナラブック)、「…わが子の流す涙が豪雨の如く大地一面に降り注ぎ…」 “… an=kor ekatci u ranke nupe u apto sinne mosisso kurka ciranaranke …” (杉村キナラブック)

ことごとく(悉く)→「すべて(全て)」を見よ

ことご(琴座) (宇宙) ①[名]琴座 Ríra-so (Ríra) (新)： ②[名]琴座 α、ε、ζ 星 Maraptonokanociw (Maraptonoka) (アイヌの星)

ことし(今年) [場名・副]今年 tampa (石狩)

ごとし(如し) [他](雅)～の如し esikopayar (石狩)、[他](雅) ekannayukar (新)： (表現)(敵の数が多くて)灌木の林の如し ramnitay esikopayar (石狩)： (表現)(易々と人の首をへし折る事)魚の頭を折るが如し ceppa kaye ekannayukar (石狩)

ことづて(言伝) →「でんごん(伝言)」を見よ

ことなる(異なる) ①[他]～と異なる sinnay (石狩)： (表現)～と異なっている sinnayno an (天塩)、(表現) sinnay an (石狩)： [後副]～と異なって sinnayno (天塩)、[後副] sinnay (石狩)： ②[自]互いに、皆異なっている usinnay (新)： (表現)互いに(皆)異なっている usinnayno (usinnay) okay (新)： [副]互いに、皆異なって usinnayno (天塩)、[副] usinnay (石狩)、[副] ueoyakno (石狩)： (表現)互いに異なっている ueoyakno an (石狩)： (表現)～の姿、形が互いに異なっている ～ katu ueoyakno an (石狩)

ことに(殊に) [副]殊に iyotta (石狩)

コトヌー [場名](ベナン共和国の実質的首都名)コトヌー Kotonu (新)

ことば(言葉) [名]言葉 itak(i) (石狩)： (表現)言葉の初め itak páke (石狩)： (表現)言葉の終わり itak kése (késeke) (石狩)： (表現)言葉の意味、内容 itak ipe (石狩)： (表現)言葉の内容 itak ikkewe (石狩)

ことばにつまる(言葉に詰まる) [自]言葉に詰まる itakimuk (新)： [他](場所)で言葉に詰まる eitakimuk (新)： [他]～と共に言葉に詰まる koitakimuk (新)： [他](原因、

手段)で言葉に詰まる oitakimuk (新)： [他](人)を言葉に詰まらせる itakimukka (新)： [自](チャレンジに負け)言葉に詰まって倒れる itakehokus (石狩)

ことばをかけない(言葉を掛けない) ①(表現)～に言葉を掛けない ～ ekota sine itak poka somo ye (新)、(表現) sine itak poka somo kore (新)： ②[他]～に言葉を掛けない itakkamare (石狩)※(他に言葉をかける)： 「…近くににいる神に私は言葉を掛けず、遠くにおられる尊い神に言葉を届け…」 “… hanke an kamuy an=itakkamare tuymano okay pasekamuy utar … an=itakepuspa …” (杉村キナラブック)神謡

ことばをかける(言葉を掛ける) ①[他]～に言葉を掛ける ye (石狩)、[他] kohawki (新)、[他] kohawkor (新)： ②[他](祈りに際して神)に言葉を掛ける、届かせる itakepuspa (石狩)： 「…遠くにいる尊い神々…に私は言葉を届け…」 “… tuymano okay pasekamuy utar … an=itakepuspa …” (杉村キナラブック)神謡

ことばをのこす(言葉を残す) (言い置くの意味で)[自]言葉を残す itakmuye (複数 itakmuypa) (新)： [他]～について言葉を残す eitakmuye (複数 eitakmuypa) (新)： [他](人)に言葉を残す koitakmuye (複数 koitakmuypa) (沙流)： [他](原因、手段)で言葉を残す oitakmuye (複数 oitakmuypa) (新)： [他](人)に言葉を残させる itakmuyere (複数 itakmuypare) (新)

ことばをはさむ(言葉を挿む) (表現)(韻文中で)～の最中に言葉を挿む、～しながら言う 動詞句+kurkasike+itak omare (石狩)： 「…その女、美しい女が私に太刀を振るう最中に言葉を挿むのはこうである…」 “… nea menoko pirka menoko i=kotamani kurkasike itak omare ene okay hi …”

コトブキギク(寿菊) (植物)[名](キク科)コトブキギク属 asfartorusamusmun-cise (新)： [名]コトブキギクの茎葉 asfartorusamusmun (新)※(アスファルト路傍草)

こども(子供) ①[名]子供 hekatci (hekaci, ekatci, ekaci) (石狩)、[名] nokankur (天塩)： [名](合成語の構成要素として人間や動物の子) po (石狩)、[名](合成語の構成要素として鳥などの)子 wariw (石狩)： [名]立ち歩きできるようになってから10歳くらいまでの子供 hekatci (hekaci, ekatci, ekaci) (石狩)： かつて三箇所髪を残して子供の髪を剃った風俗があったが、両耳全部のものを“moru”、頭頂部のものを

"kankitayuspe"、後頭部のものを "okusutnuma"と呼んだようであるが、石狩川筋では目下"moru"のみが確認される。"kankitayuspe"には三角形の小布を付けるが、それを"kankitaykotpe"、"kankitayotpe"と呼んだという。： [名]子供達 hekattar(-i) (石狩)、[名] ekattar(-i) (石狩)： ② [自]子供を産む、子供を作る、子供がある pókor (新)： [自]二人に子ができる、子供がある ukopokor (新)： [自]子供がいない pósak (新)： [自]二人に子供がない ukoposak (沙流)： ③ [自]子供になる、である póne (新)、[自] pon (石狩)： [他](場所)で子供になる epon (新)、[他] epon (新)： [他]～と共に子供になる kopone (新)、[他] kopon (新)： [他](原因、手段)で子供になる opone (新)、[他] opon (新)： [他](人)を子供にする pónere (póneka) (新)、[他] ponte (ponka) (新)： ④ [自](村を襲う大災害から避難する時、弱い者を庇って)子供の手を取る upotekampa (石狩)： 「…女の手をとる者は女の手をとって、子供の手をとる者は子の手をとって、重なり合い、転がっている…」 “… umattekampa p umattekampa wa upotekampa p upotekampa wa ukao, karkasse kor okay …” (杉村キナブク)神話： ⑤ (表現)(隠語として)子供が眠った ape us (沙流)： (表現)(隠語として)子供を眠らせる ape uska (新)

こどもべや(子供部屋) [名] 子供部屋 poeiwanke-tumpu (新)

ことり(小鳥) [名] 小鳥 poncikap (石狩)、[名] cikappo (石狩)

ことわりなく(断りなく) →「かつてに(勝手に)」を見よ

ことわる(断る) [他]～を断る kopan (石狩)、[他] eyayeikata-itak (沙流)： 「君の申し出には感謝するが、私はそれを断る。」 “Ku=pirka kunip e=en=ehumkekar hawe ku=eyayrayke korka ku=kopan .”： [他](場所)で～を断る ekopan (新)： [他]～と共に～を断る kokopan (新)： [他](原因、手段)で～を断る okopan (新)： [他](人)に～を断らせる kopante (新)： [他]自分で、一人で～を断る yaykokopan (新)： [他]互いに、皆で～を断る ukokopan (新)

こな(粉) ① [名]粉 ko (新)： [名](特に「澱粉」)粉 irup (新)： ② [自]粉になる、である kóne (新)： [他]～を粉にする kóneka (天塩)、[他] kónere (新)： [他](場所)で～を粉にする ekoneka (ekonere) (新)： [他]～と共に～を粉にす

る kokoneka (kokonere) (新)： [他](原因、手段)で～を粉にする okoneka (okonere) (新)： [他](人)に～を粉にさせる kónekare (新)、[他] kónerere (新)

こなぐすり(粉薬) [名]粉薬 kónekusuri (新)

コナクリ [場名](ギニア共和国の首都名)コナクリ Konakri (新)

こなごな(粉々) [自]粉々になる perkeperke (新)、[自] perperke (新)、[自] sikorototo (沙流)： [他](場所)で粉々になる eperkeperke (新)、[他] eperperke (新)： [他]～と共に粉々になる koperkeperke (新)、[他] koperperke (新)： [他](原因、手段)で粉々になる operkeperke (新)、[他] operperke (新)： [他]～を粉々にする perpa (新)、[他] perperpa (新)、[他] korototo (沙流)： [他](人)に～を粉々にさせる perpare (新)、[他] perperpare (新)： [他]人に～を粉々にさせる perpayarpa (石狩)：

こなせっけん(粉石鹼) [名] 粉石鹼 iaskannereptakko (新)、[名] iaskanereptakko (新)

こなゆき(粉雪) [名]粉雪 sátupas (新)、[名] irupupas (新)、[名] kóupas (新)： (表現)粉雪 sat upas (石狩)

コナラ(小檜) (植物)[名](ブナ科)コナラ属 péroni-cise (新)： [名]コナラ垂属 péroni-mocise (新)： [名]コナラ節 péroni-korpe (新)： [名]コナラ垂節 péroni-korpepo (新)： [名][名]コナラの茎 cikap-peroni (幌別)、[名]その堅果 cikap-pero (新)※(別名「ホウソ」)： [名]アオナラガシワの茎 siwninsisam-peroni (新)※(ナラガシワの変種)： [名]イギリスナラの茎 europa-peroni (新)※(別名「オウシュウナラ」など)： [名]クエルクス・アホエンシスの茎 axo-peroni (新)： [名]Q. アリゾニカの茎 arizona-riyahamuskomni (新)： [名]Q. アルバの茎 retar-peroni (新)： [名]Q. ヴィルギアナの茎 virginia-riyahamuskomni (新)： [名]Q. ガリヤナの茎 oregon-komni (新)※(オレゴン檜)： [名]Q. グリセアの茎 rúkunne-komni (新)： [名]Q. ゲミナタの茎 hurka-peroni (新)※(砂丘上檜)： [名]Q. サグラエアナの茎 kúba-riyahamuskomni (新)※(キューバ檜)： [名]Q. トウルビネラの茎 rúkunne-peroni (新)： [名]Q. ドウグラシの茎 áosiwnin-komni (新)※(青緑檜)： [名]Q. ハヴァルデーの茎 harvard-peroni (新)※(ハーバード檜)： [名]Q. パキフィカの茎 siátuy-peroni (新)※(太平洋檜)： [名]Q. ビコロールの茎 tuiro-peroni

(新): [名]Q. ファギネアの茎 *portugar-peroni* (新)※(ポルトガル櫨): [名]Q. フシフォルミスの茎 *weysirun-komni* (新): [名]Q. プベスケンスの茎 *watanumaus-peroni* (新): [名]Q. ブリノイデスの茎 *keweram-peroni* (新): [名]Q. プリヌスの茎 *iwa-peroni* (新): [名]Q. プングンスの茎 *sipsipkampi-peroni* (新)※(サンドペーパー櫨): [名]Q. ペトラエアの茎 *anatoria-peroni* (新)※(アナトリア櫨): [名]Q. ベルベリディフォリアの茎 *karifonniakeweram-peroni* (新): [名]Q. ポリモルフアの茎 *mexiko-peroni* (新): [名]Q. ホンドウレンシスの茎 *honduras-peroni* (新): [名]Q. マクロカルパの茎 *nirusitanki-peroni* (新)※(苔殻斗櫨): [名]ミニマの茎 *pompon-komni* (新): [名]Q. ミカウクシーの茎 *nitat-peroni* (新): [名]Q. ミューレンベルギーの茎 *sikerpepeus-peroni* (新): [名]Q. ラケイの茎 *raši-peroni* (新): [名]Q. リラタの茎 *kúnekoto-peroni* (新)※(堅琴櫨): [名]Q. ルシタニカの茎 *rušitania-peroni* (新)※(ルシタニア櫨): [名]Q. ロバタの茎 *karifonnia-peroni* (新)※(カリフォルミア櫨): [名]ツクシオオナラの茎 *ṭukusisam-peroni* (新): [名]ナラガシワの茎 *sisamperoni* (新)※(別名「カシワナラ」): [名]ミズナラの茎 *péroni* (幌別)、[名]その殻斗 *péroitanki* (幌別)、[名]その堅果 *péro* (幌別)※(別名「オオナラ」): ●カシワ亜節: [名]カシワの茎 *komni* (石狩)、[名]その殻斗 *nisewitanki* (幌別)、[名]その堅果 *nisew* (H): [名]クエルクス・カナリエンスの茎 *jazair-komni* (新)※(アルジェリア栂): [名]Q. ビレナイカの茎 *pirinioak-komni* (新)※(ビレネー栂): [名]Q. フライネットの茎 *majar-komni* (新)※(ハンガリー栂): [名]Q. ボンティカの茎 *hayastan-komni* (新)※(アルメニア栂): [名]Q. マ克蘭セラの茎 *iran-komni* (新)※(イラン栂): [名]ウバメガシ節 *bincoriyahamuskomni-korpe* (新): [名]クヌギ節 *samorunkomni-korpe* (新): [名]プロトバラヌス節 *inoskiunkomni-korpe* (新): [名]ロバタエ節 *húreouk-korpe* (新): [名]アカガシ亜属 *síriyahamuskomni* (新)

コナンしょう(湖南省) [場名](中華人民共和国の省名)湖南省 *Húnan-purovince* (新)

こねじ(小ねじ) [名]小ねじ *cinoyeppo* (新)、[名] *vis* (新)※(仏語): [名]アプセットボルト *ekerasine-cinoyeppo* (新)※(「アプセット小ねじ」など): [名]皿小ねじ *akam-*

cinoyeppo (新)※(「皿小ねじ」、「皿ねじ」、「皿ビス」とも): [名]トラス小ねじ *ekapke-cinoyeppo* (新)※(「トラスねじ」、「トラス」とも): [名]ナベ小ねじ *karus-cinoyeppo* (新)※(「ナベねじ」とも): [名]バインド小ねじ *ekapkeruy-cinoyeppo* (新)※(「バインド」とも): [名]丸皿小ねじ *huptekakam-cinoyeppo* (新)※(「丸サラ」とも)

コネチカット [場名](アメリカ合衆国の州名)コネチカット州 *Konecik-at-mosir* (新)※(州都は「ハートフォード」)

こねばち(捏鉢) [名]捏鉢 *ipetnekanima* (新)、[名] *poronima* (石狩)

こねまわす(捏ね回す) [他]～を捏ね回す *konikoni* (石狩): [他](場所)で～を捏ね回す *ekonikoni* (新): [他]～と共に～を捏ね回す *kokonikoni* (新): [他](原因、手段)で～を捏ね回す *okonikoni* (新): [他](人)に～を捏ね回させる *konikonire* (新): [他]～を手で捏ね回す *tekekonikoni* (新): [他]～を両手で捏ね回す *utekekonikoni* (新): [他]～を指で捏ね回す *askepetekonikoni* (新)

こねる(捏ねる) [自]物を水で捏ねる *ipetneka* (新): [他]～を水で捏ねる *petneka* (沙流): [他](場所)で～を水で捏ねる *epetneka* (新): [他]～と共に～を水で捏ねる *kopetneka* (新): [他](原因、手段)で～を水で捏ねる *opetneka* (新): [他](人)に～を水で捏ねさせる *petnekare* (新): [他]～をよく水で捏ねる *petnekano* (*petnekanu*) (新)

この(1) [連体](話者の手の届く範囲にあるものを指し示し)この *tan* (複数 *tanokay*) (石狩)、[連体](丁寧な表現) *tapan* (石狩): 複数には神や人以外にはほとんど用いられてこなかったが、今後は物に関しても使って良いものとする。; [代名]この事 *tampe* (石狩): [指示代名]この人 *tankur* (石狩): [代名]この人達 *tanokay-utar* (石狩): (表現)この人達 *te ta okay utar* (石狩)

この(2) [間投](発話の際に相手の注意を促すため目の前の人、物、事を指し)この *tan* (石狩): 「このろくでなし。」*“Tan eneanpe !”*、*“このひどい言葉。どうしてくれようか? !”*
“Tan wenitak ! Nekon ku=ki a ? !”

このうえなく(この上なく) [自]この上ない *sisak* (石狩): [副]この上なく *sisak* (石狩): 「神様のお蔭で、この上なく私達は良い暮らしをしました。」*“Kamuy koinkar, sisak ureska=as .”* (砂沢クラ)

このごろ(この頃) [副]この頃 *náun* (石狩): 「この頃だよ。」*“Naun an wa .”*: [場名]

この頃 uhunak (沙流): (表現)この頃になつて uhunak wano (沙流): (表現)ついでこの頃 tap uhunak (天塩)

このつぎの(この次の) [場名・副]この次の日 taneoyato (新): [名・副]この次の月 taneoyacup (新): [場名・副]この次の年 taneoyapa (新): [名・副]この次の回 taneoyasuy (新)

このばあい(この場合) (表現)この場合 tampe otta (沙流)

このむ(好む) [自]好む ieramasuy (ieramasu) (新): [他](誰か、あるいは何か)を好む eramasuy (eramasu) (石狩): [名]〜と共に〜を好む koeramasuy (koeramasu) (新): [他]〜の事で〜を好む、〜の点で〜を好む oeramasuy (oeramasu) (新): [他](人)に〜を好ませる eramasuyre (erasure) (新): [自]全部好む ueramasuy (ueramasu) (新): [名]自分で、一人で〜を好む yaykoeramasuy (yaykoeramasu) (新): [他]互いに、皆で〜を好む ukoeramasuy (ukoeramasu) (新): [他]減茶苦茶〜を好む toykoeramasuy (toykoeramasu) (新)

このように(この様に) ①(具体的な物や状況などを目前に示し)[副]この様に tapne (石狩)、[副] tapneo (新): (表現)このように tapne kane (沙流): ②(具体的な物や状況、あるいは類似したイメージを目前に示し)(表現)この様に tampe neno (石狩): ③(類似する誰かのイメージを相手の目前に示し)(表現)この人の様な tankur neno an (新): (表現)この人の様な人 tankur neno an kur (新): (類似する何かのイメージを相手の目前に示し)(表現)この様な tampe neno an (石狩): (表現)この様な物 tampe neno an pe (石狩): ④(具体的描写や引用を導いて)[副]この様に ene (石狩): (表現)この様にそれを聞く、聞いた ene nu hi (石狩)、(表現) ene ne pekor nu hi (沙流): (表現)この様に聞こえる、聞こえた ene inu hi (石狩): (表現)この様に見える、見えた ene inkar hi (石狩): (表現)この様に考える、考えた ene yaynu hi (石狩)

このよにふたつとない(この世に二つと無い) [自]この世に二つと無い sisak (石狩): [名]この世に二つと無い宝 sisakpe (石狩): (表現)この世に二人としない美女 sisak pirkamenoko (新): pakno+人を表わす名詞+isam の形で「これ程の〜はいない」※(これまでの用例では人の長所を褒める時に使われてきたが、今後は「これ程のケチはいない」という悪口にも用いていく): 「これ程の狐の名人はいない。」“Pakno isonkur

isam.”

ごは(語派) (言語)[名]語派 itakuekarpa (新)

こはく(琥珀) [名]琥珀 unkotuksuma (新)、[名] amber (新)※(英語): [自]琥珀色になる、である unkotuksuma-ironene (新): [他]〜を琥珀色にする unkotuksuma-ironeka (-ironere) (新): [名]琥珀色 unkotuksuma-iro (新)

こばな(小鼻) [場名]小鼻 etusam(-a) (石狩)、[場名] etuutussam(-a) (新)、[場名] etuutursam(-a) (沙流)

コバナフルーツコウモリ(小鼻フルーツ蝙蝠)

(動物)[名](コウモリ科)コバナフルーツコウモリ亜科 etupon-nikaopekapap-moapa (新): [名]コバナフルーツコウモリ属

etupon-nikaopekapap-cise (新): [名]コバナフルーツコウモリ etupon-

nikaopekapap (新): キノブデルス・ヌサ

テンガラ poysundaun-etupon-

nikaopekapap (新): [名]C. ミストゥス

mirer-etuponnikaopekapap (新): [名]C.

ルズネンシス ruzonun-etupon-

nikaopekapap (新): [名]コイヌガオフル

ーツコウモリ moetupon-nikaopekapap

(新): [名]スマトラコバナフルーツコウモリ

indonesiaun-etupon-nikaopekapap (新):

[名]ホースフィールドフルーツコウモリ

horsufierdo-etupon-nikaopekapap (新):

[名]オナシフルーツコウモリ属 hosak-

nikaopekapap-cise (新): [名]ケナガフル

ーツコウモリ属 numatanne-

nikaopekapap-cise (新): [名]ケナガフル

ーツコウモリ numatanne-nikaopekapap

(新): [名]サリマリフルーツコウモリ属

sarim-ari-nikaopekapap-cise (新): [名]

サリマリフルーツコウモリ sarim-ari-

nikaopekapap (新): [名]スウィフトフル

ーツコウモリ属 suwifto-nikaopekapap-

cise (新): [名]スウィフトフルーツコウモリ

suwifto-nikaopekapap (新): [名]ズグ

ロフルーツコウモリ ekunne-

nikaopekapap-cise (新): [名]ズグロフル

ーツコウモリ ekunnenikaopekapap

(新): [名]ダヤクフルーツコウモリ属

dayak-nikaopekapap-cise (新): [名]ヒメ

フルーツコウモリ属 nokan-

nikaopekapap-cise (新): [名]ビロードフル

ーツコウモリ属 musku-nikaopekapap-

cise (新): [名]ブランフォードフルーツコ

ウモリ属 buranfondo-nikaopekapap-cise

(新): [名]ブランフォードフルーツコウモリ

buranfondo-nikaopekapap (新): [名]ホシ

バナフルーツコウモリ属 kesorapus-

nikaopekapap-cise (新): [名]ホシバナフ

ルーツコウモリ kesorapus-nikaopekapap (新): [名]ルーカスフルーツコウモリ属 etutakne-nikaopekapap-cise (新): [名]ルーカスフルーツコウモリ etutakne-nikaopekapap (新): [名]ルソントンフルーツコウモリ属 ruzonun-nikaopekapap-cise (新): [名]ルソントンフルーツコウモリ ruzonun-nikaopekapap (新): [名]ローレンスフルーツコウモリ属 piripinasun-nokannikaopekapap-cise (新): [名]ローレンスフルーツコウモリ piripinasun-nokannikaopekapap (新)

こばむ(拒む) [他]～を拒む kopan (石狩): 「何故私の思いを拒むのか。」 “Nep kusu ku=yaynu hi e=kopan ruwe?”: [他](場所)で～を拒む ekopan (新): [他]～と共に～を拒む kokopan (新): [他](原因、手段)で～を拒む okopan (新): [他](人)に～を拒ませる kopante (新): [他]自分で、一人で～を拒む yaykokopan (新): [他]互いに、皆で～を拒む ukokopan (新)

コバルト (化学)[名]コバルト kobattum (新)※(原子番号27番。元素記号 Co)

コバルトグリーン [自]コバルトグリーンになる、である kobattumsiwnin (新): [名]コバルトグリーン色 kobattumsiwnin-iro (新): [他]～をコバルトグリーンにする kobattumsiwninka (kobattumsiwninte) (新)

コバルトブルー [自]コバルトブルーになる、である kobattumao (新): [名]コバルトブルー色 kobattumao-iro (新): [他]～をコバルトブルーにする kobattumaoka (kobattumaore) (新)

こはん(湖畔) [場名]湖畔 tóya (石狩)

こはん(小判) [名]小判 kóban (新)

コバンアジ(小判鰯) (魚介)[名](アジ科)コバンアジ亜科 kobanaji-moapa (新): [名]コバンアジ属 kobanaji-cise (新): [名]コバンアジ kobanaji (新): [名]マルコバン sikanikobanaji (新): [名]リキア属 rixia-cise (新)

ゴビ [名]ゴビ砂漠 Góvi-otaatuy (新)

ごび(語尾) (言語)[場名]語尾 itakkes(-e) (新): [名]語尾変化 itakkesoyakatne (新)、[名] fureksion (新)※(仏語): [自]語尾変化する itakkesoyakatne (新): [他]～を語尾変化させる itakkesoyakatnere (itakkesoyakatneka) (新)

コピー [名](行為)コピー iattupte (新): [名]コピー、コピーされたもの ciattuptep (新): [自]コピーする iattupte (新): [他]～をコピーする attupte (新):

[他](場所)でコピーする eattupte (新): [他]～と共にコピーする koattupte (新): [他](原因、手段)でコピーする oattupte (新): [他](人)に～をコピーさせる attuptere (新): [名]コピー機 iattuptep (新)、[名] cioiattuptep (新): [名]コピー用紙 cikoiattupte-kampi (新)

ゴビオ (魚介)[名](コイ目コイ科カマツカ亜科)ゴビオ属 gobio-cise (新)※(羅語): [名]ガジョン gobio (新)※(別名「ヨーロッパカマツカ」): [名]ホワイティンドガジョン retarmokrapnugobio (新)

ゴビオボティア (魚介)[名](カマツカ亜科)ゴビオボティア属 cicirakkaykamaŕuka-cise (新)

コビトイルカ(小人海豚) (動物)[名](セッパリイルカ亜科)コビトイルカ属 motannu-cise (新): [名]コビトイルカ motannu (新)

コビトキツネザル(小人狐猿) (動物)[場名](キツネザル下目)コビトキツネザル上科 mosumarisaru-apapa (新): [名]コビトキツネザル科 mosumarisaru-apa (新): [名]コビトキツネザル属 mosumarisaru-cise (新): [名]オオコビトキツネザル onne-mosumarisaru (新): [名]スモールアイアングレイコビトキツネザル (新): [名]サウザンコビトキツネザル koypokun-mosumarisaru (新): [名]ファリイイヤードコビトキツネザル numauskisarkor-mosumarisaru (新): [名]フトオコビトキツネザル sararuwe-mosumarisaru (新): [名]ラージアイアングレイコビトキツネザル poro-kunnekani-mosumarisaru (新): [名]コクレルネズミキツネザル属 onneerum-sumarisaru-cise (新): [名]ネズミキツネザル属 érumsumarisaru-cise (新): [名]フォークキツネザル属 eawpasuynokao-mosumarisaru-cise (新): [名]ミミゲコビトキツネザル属 kisannumaus-mosumarisaru-cise (新): [名]ミミゲコビトキツネザル kisannumaus-mosumarisaru (新)

コビトマンゲース(小人マンゲース) (動物)[名](マンゲース科)コビトマンゲース属 momanguste-cise (新): [名]コビトマンゲース yayan-momanguste (新): [名]ヒガシコビトマンゲース otaatuyun-momanguste (新)

コピュラ [名]コピュラ ukoteitak (新)、[名] kópura (新)※(英語)

こびる(媚びる) [自] 媚 び る iyayeramasuyrerusuy (iyayeramasurerusuy) (新)、[自] sieramasuyyanrusuy

(sieramasuyanrusuy) (新)、[自] kobi (新)※(日本語): [他](人)に媚びる yayeramasuyrerusuy (yayeramasurerusuy) (新)、[他] kokobi (新): [他](人)に(人)に媚びさせる yayeramasuyrerusuyre (yayeramasurerusuyre) (新)、[他] kokobire (新)

こぶ(瘤)①[名]瘤 tokom(i) (石狩): ②(打身でできた)[名]瘤 totce (天塩): [名]たんこぶ nintak(u) (石狩): ③(木の)[名]瘤 tokom(i) (石狩)、[名] takuppe (天塩): [名]瘤だらけの木 takuppeusni (天塩)

こぶし(拳) [名]拳 moysitu (石狩)、[名] moysutu (石狩)、[名] teknum (天塩): (表現)殴る)何度も激しく拳を〜に繰り返す、叩き込む tu ruy moysutu re ruy moysutu ~ esankekar (沙流): [他]〜を拳で殴る hankuekar (新)※(天塩): [他](人)に〜を拳で殴らせる hankuekare (新)

こぶね(小舟) [名]小舟 cippo (石狩)

こぶはくせん(股部白癬) [名]股部白癬 omayayke-tasum(i) (沙流): [自]股部白癬に罹る omayayke-tasum (新)

こぶり(小降り) [自](雨や雪が)小降りになる、なっている hawke (新): 「雨が小降りになる。」“Ruyampe hawke.”

こぶり(小振り) (表現)小振りになる、である ponno pon (新)

コペイカ [名](ロシアの通貨単位)コペイカ kopeyka (新)※(1ルーブル=100コペイカ)

こべや(小部屋) [名]小部屋 pontumpu (新)

コペルニウム (化学)[名]コペルニウム kopennikium (新)※(原子番号112番。元素記号 Cn)

コペンハーゲン [名](デンマーク王国の首都名)コペンハーゲン Kébehaun (新)

ゴボウ(牛蒡) (植物)[名](キク科)ゴボウ属 setakorkoni-cise (新): [名]ゴボウの葉柄 setakorkoni (幌別)、[名] setakina (樺太)、[名]ゴボウの果実 ipakokarip (美幌)、[名]ゴボウの根 setakorkonisinrit (新): [名]アルクティウム・トメントスムの葉柄 watausipakokaripkorpe (新): [名]アルクティウム・ミヌスの葉柄 europasetakorkoni (新)

コホクしょう(湖北省) [場名](中華人民共和国の省名)湖北省 Húpey-purovince (新)

コボコボ (水が湧くコボ、ゴボなどの音。以下コボで代表させる)[間投]コボ pur (新): [間投]コボコボ purpur (新): [自]コボと音がする purse (pusse) (新): [自]コボ

コボと音がする purpuse (purpusse) (新): [自](一回)コボと鳴る purkosanu (石狩)、[自] purkosampa (新): [自]コボコボと頻りに鳴る cipunrototo (石狩)、[自] punrototke (新): [自]コボコボと何度も音がする púruratkí (新): [自]コボコボと続けて鳴る punnatara (新): [自](瞬間的に)コボと鳴る puttek (新): [自]コボコボと湧く purpurke (石狩)

こぼす(零す) ①(種など物を)[他](場所)で〜を零す ehacire (新): [他](場所)へ〜を零す kohacire (新): [他]〜と共に〜を零す kohacire (新): [他](場所)から〜を零す ohacir (新): [他](原因、手段)で〜を零す ohacire (新): [他](人)に〜を零させる hatcirere (新): [他]自分で、一人で〜を零す yaykohacire (新): [他]互いに、皆で〜を零す ukohacire (新): [他]思い切り〜を零す toykohacire (新): ②(容器から液体を)[他]〜を零す kuta (空知、天塩): [他](場所)で〜を零す ekuta (新): [他][他]〜と共に〜を零す kokuta (新): [他](原因、手段)で〜を零す okuta (新): [他](人)に〜を零させる kutare (新): [自]水を零す wakkakuta (新): [他]〜をサッと一度に全部を零す ota (旭川): [他]〜を静かに少しずつ零す kuta (旭川)

こぼれる(零れる) ①(植物の種子など物が)[自]零れる、零れ落ちる hatcir (石狩): [他](場所)で零れる ehacir (新): [他](場所)へ零れる kohacir (新): [他]〜と共に零れる kohacir (新): [他](場所)から零れる ohacir (新): [他](原因、手段)で零れる ohacir (新): ②(水が)[自]零れる sikuta (新): [他](場所)で零れる esikuta (新): [他](場所)へ kosikuta (新): [他]〜と共に零れる kosikuta (新): [他](場所)から零れる osikuta (新): [他](原因、手段)で零れる osikuta (新)

コホン [間投](咳の音)コホン、ゴホン om (新): [間投]コホンコホン、ゴホンゴホン óm-óm (新): [自](一回)コホンと咳をする omkosanu (新): [自]コホンコホンと頻りに咳をする ciomrototo (石狩)、[自] omrototke (新): [自]コホンコホンと続けて咳をする ómnatara (新)

こぼん(小盆) [名]小盆 ponnima (石狩)

こまい(古米) [名]古米 riyaamam (石狩)

こまかく(細かく) [自]細くなる、細かい nokan (石狩): (表現)細かい砂 nokan ota (石狩): (表現)目の細かい網 puye nokan ya (石狩)、(表現) puye sep ya (石狩): [自]ぱっと細くなる nokantek (新): [他]〜を細かくする nokanka

(nokante) (新): [他](場所)で～を細かくする enokanka (enokante) (新): [他]～と共に～を細かくする konokanka (konokante) (新): [他](原因、手段)で～を細かくする onokanka (onokante) (新): [他]ぱっと～を細かくする nokantekka (新): [他]自分で、一人で～を細かくする yaykonokanka (yaykonokante) (新): [他]互いに、皆で～を細かくする ukonokanka (ukonokante) (新): [他]完全に～を細かくする oannokanka (oannokante) (新): [他]充分に～を細かくする nokannore (nokannure) (新): [他]減茶苦茶～を細かくする toykonokanka (toykonokante) (新): [副]細かく nokanno (石狩): (表現)細かく刻む nokanno humpa (石狩)

こまかくさく(細かく裂く)[他]～を細かく裂く mim (石狩): 樹皮、魚の皮などを剥いたり、布地、紙などを裂いたりする事を"soso"と言うが、"mim"はそうした物を更に細かく裂く事で、実例を挙げれば、オヒョウニレ樹皮の処理に関して、水に漬けた樹皮の層を一枚一枚剥離していく事は"soso"、それを干して繊維を採るため細く裂いていく事は"mim"と表現する。): [他](場所)で～を細かく裂く emim (新): [他]～と共に細かく裂く komim (新): [他](原因、手段)で～を細かく裂く omim (新): [他]～を細かく裂かせる mimte (新): [他]自分で、一人で～を細かく裂く yaykomim (新): [他]皆で～を細かく裂く ukomim (新): [他]完全に～を細かく裂く oarmim (新): [他]充分に～を細かく裂く mimno (mimnu) (新): [他](中相)～が細かく裂ける cimim (新): [自]細かく裂ける simim (新)

ゴマギク(胡麻菊)(植物)[名](キク科)ゴマギク属 ikoosiyeyere-kikukina-cise (新): [名]ゴマギクの茎葉 ikoosiyeyere-kikukina (新) ※(人をその花粉で病気にさせる菊。別名「ニセブタクサ」)

こまぎれ(細切れ)[自]人や物を細切れにする iusatuye (複数 iusatuyupa) (新): [他]～を細切れにする usatuye (複数 usatuyupa) (石狩): [他](場所)で～を細切れにする eusatuye (複数 eusatuyupa) (新): [他]～と共に～を細切れにする kousatuye (複数 kousatuyupa) (新): [他](原因、手段)で～を細切れにする ousatuye (複数 ousatuyupa) (新): [他](人)に～を細切れにさせる usatuyere (複数 usatuyypare) (新): [他]減茶苦茶～を細切れにする toykousatuye (複数 toykousatuyupa) (新)

ごましおあたま(胡麻塩頭)(表現)～が胡麻塩頭

である ～ otopi utur ta retarpe kunnep ciupakte (新)

コマッコウ(小抹香)(動物)[名](マッコウクジラ上科)コマッコウ科 moyakihumpe-apa (新): [名]コマッコウ属 moyakihumpe-cise (新): [名]コマッコウ moyakihumpe (新): [名]オガワコマッコウ yakohanke-moyakihumpe (新)

こまど(小窓)[名]小窓 pompuyar (石狩)※(伝統的家屋では台所の窓。)

こまのつめ(駒の爪)(鐘の部分名称)[名]駒の爪 ummausis(-i) (新)

ゴマフアザラシ(胡麻斑海豹)(動物)[名](アザラシ科)ゴマフアザラシ属 pákuy-cise (新): [名]ゴマフアザラシ pákuy (樺太): 樺太では重要な狩猟対象であるため例えばタライカ方言における区別は生後1月位までのもの konuspe、1歳 pompe、2歳 sinepa-ciya-tukar、3歳 tupa-ciya-tukar、4歳以上 pákuy、また白浦では生後1月くらいまでのもの konospe、1歳 iripa-pompe、2歳 riya-pompe、3歳 riya-tukar、4歳以上 pákuy である。: [名]カスピカイアザラシ xazaratuy-pakuy (新): [名]クラカケアザラシ urikka (樺太): [名]ゼニガタアザラシ yayantukari (新): [名]タテゴトアザラシ kúkoto-pakuy (新): [名]バイカルアザラシ baykar-pakuy (新): [名]ワモンアザラシ konkori (樺太)

ゴマフィカ(胡麻斑鳥賊)(魚介)[名](スルメイカ亜目)ゴマフィカ科 kesoeppetpetke-apa (新): [名]ゴマフィカ属 kesoeppetpetke-cise (新): [名]ゴマフィカ kesoeppetpetke (新): [名]アメリカゴマフィカ arsiatuykesoeppetpetke (新): [名]ウスベニゴマフィカ rúhurekesoeppetpetke (新): [名]エルタニンゴマフィカ ertaninkesoeppetpetke (新): [名]オキノゴマフィカ repunarsikiporoepetpetke (新): [名]カクレゴマフィカ keretariakesoeppetpetke (新): [名]カリフォルニアシラタマイカ amerikaarsikiporoepetpetke (新): [名]クラゲイカ arsiikiporoepetpetke (新): [名]コガタモスソクラゲイカ mokapemietpetpetke (新): [名]コロナゴマフィカ koronakesoeppetpetke (新): [名]サクラゴマフィカ koypokamerikakesoeppetpetke (新): [名]シラタマイカ moarsikiporoepetpetke (新): [名]タイセイヨウゴマフィカ koypoksikaricupemkokesoeppetpetke (新): [名]ベリイゴマフィカ berikesoeppetpetke (新): [名]マントクラゲイカ

mandiasmiepetpetke (新): [名]ミランダ
ゴマフイカ mirandakesoepetpetke (新):
[名]モスソクラゲイカ cápemietpetpetke
(新)

ゴマフホウズキイカ(胡麻斑酸漿烏賊) (魚
介)[名](サメハダホウズキイカ科)ゴマフホオ
ズキイカ属 kesoatuyimerunum-cise
(新): [名]ゴマフホオズキイカ
kesoatuyimerunum (新): [名]ウブゲホオ
ズキイカ numausatuyimerunum (新):
[名]ジュウバンホオズキイカ
joubinatuyimerunum (新)

こまめ(小まめ) [自]小まめに働く niwasnu
(石狩)※(対義語は"toranne"): [名]小まめ
に働く人 niwasnukur (石狩)

こまらないように(困らないように)[後副]～が
困らないように kohoyasak (石狩)、[後副]
kohoyasakno (新)

こまる(困る) [自]困る rampekamama
(ramupekamama) (石狩)、[自]
sampsitki (石狩)、[自] ieranak (新):
[他](場所)で困る erampekamama
(eramupekamama) (新)、[他]
esampsitki (新): [他]～と共に困る
korampekamama (koramupekamama)
(新)、[他] kosampsitki (新)、[他]
koieranak (新): [他](原因、手段)で困る
eranak (石狩)、[他] orampekamama
(oramupekamama) (新)、[他]
osampsitki (新): [他](人)を困らせる
ramupekamamaka (rampekamamaka)
(新)、[他] rampekamamare
(ramupekamamare) (新)、[他]
sampsitkire (新)、[他] ieranakka
(ieranakte) (新): [自]自分で、一人で困
る yaykorampekamama
(yaykoramupekamama) (新)、[自]
yaykosampsitki (新)、[自] yaykoieranak
(新): [自]互いに、皆で困る
ukorampekamama (ukoramupekamama)
(新)、[自] ukosampsitki (新)、[自]
ukoieranak (新): [名]困り事
aneranakpe (石狩)、[名] cieranakpe
(新)、[名] cierampekamamap
(cioramupekamamap) (新)、[名]
ciosampsitkip (新): (表現)困り事
an=erának pe (石狩)

コミ ①[場名](ロシア連邦北西連邦管区の構成
主体名)コミ共和国 Komi
Ukotankoremosir (新)※(首都は「シクテ
ィフカル」): [名]コミ人 komikur (新):
[名]コミ語 kominekuritak (新)※(フィン
・ウゴル語派ペルム諸語に属する言語):
②(歴史)[場名]コミ・ペルミャク自治管区

Permi-komi-sieyayetunusiwor (新)※(20
05年12月に「ペルミ州」と合併して「ペ
ルミ地方」となる。首都は「クディムカル」):
[名]コミ・ペルミャク人 permi-kominekur
(新): [名]コミ・ペルミャク語 permi-
komikuritak (新)※(フィン・ウゴル語派フ
ィン・ペルム諸語に属する言語)

ごみ [名]ごみ mun (石狩): [名]埃 pana
(石狩): [名](家の中に散らばっている
"pana"より大きい)埃ごみ koponci (石
狩): [名]生ごみ húmun (新): [名]燃え
ないごみ ciuhuykaeaykappmun (新):
[名]粗大ごみ siporomun (新): [自]ごみ
を捨てる munkuta (石狩)、[自]
munnuye (石狩): [他](場所)にごみを捨て
る munekuta (石狩)、[他] emunnuye
(新): [他]～と共にごみ捨てる
munkokuta (新)、[他] komunnuye (新):
[他](場所)からごみ捨てる munokuta (新)、
[他] omunnuye (新): [他](原因、手段)で
ごみ捨てる munokuta (新)、[他]
omunnuye (新): [他](人)にごみをすてさ
せる munkutare (新)、[他] munnuye
(新): [他](ごみ)を捨てる kuta (石狩):
[場名]ゴミ捨て場 murkutausi (石狩)、[場
名] munkutausi (石狩)、[場名]
munnuyeusi (石狩)

ゴム [名]ゴム gum (新)※(英語): [名]ゴムの
木 gumni (新): クワ科イチジク属及
びアメリカゴムノキ属、トウダイグサ科パラ
ゴムノキ属、フトモモ科ユーカリ属、マメ科
アカシア属の植物からゴムを採るが、特にパ
ラゴムノキやインドゴムノキなどを指して
使う場合も多い。

コムギ(小麦) [名]小麦 momunki (新):
[名]小麦粉 momunkiko (新): [名]小麦
畑 momunkitoy (新)

ゴムバケツ [名]ゴムバケツ gumnitus (新)

ゴムホース [名]ゴムホース
gumhapurkuttar(i) (新)、[名]
gúmapurkuttar(i) (新)

こむら(腓) [名]腓 úcikam(i) (石狩)、[場名]
nísatuypok(i) (天塩): (表現)～が腓返り
する ~ úcikami siarkatek (新)、(表現)
~ nísatuypoki siarkatek (新)

こめ(米) [名]米 amam(i) (石狩): [名]米の
一粒一粒 amamnum(i) (石狩): [名]玄
米 siámam (石狩)、[名] heamam (石狩
川下流): [名]白米 retaramam (石狩):
[名]米糠 amammur (石狩)

こめかみ [名]こめかみ noypur(u) (石狩)、
[名] pásampe (天塩)

こめのり(米糊) [名]米糊 amamnumpe (幌
別)

こめびつ(米櫃) [名] 米櫃 amamosintoko (新)、[名] amamop (新)

こめぶくろ(米袋) [名] 米袋 amamopukuru (新)、[名] amampukuru (新)

ごめん(ご免) (表現)(足を踏むなどちょっとした過失を犯した際の言葉として)ごめん(怒るな) Eciki iruska ya! (石狩)、(表現) Ku=yayunaske na! (新)、(表現) Ku=yayapapu na (新): (表現)ごめんなさい(私を許してください) En=sittekka wa en=kore yan! (新)、(表現) Eciki iruska wa en=kore yan! (表現)、(表現) Ku=yaunauske hawe ne na! (新)、(表現) Ku=yayapapu hawe ne na! (新)

コモド [場名](地名)コモド島 Komodopaysir (新)※(インドネシア領フローレンス諸島に属する島)

こもり(子守) [名](行為)子守 pakkay (新): [名]子守、子守する人 pakkaykur (新): [自]子守をする pakkay (石狩): [他]~の子守をする epakkay (新): [他](人)に子守をさせる pakkayte (石狩): [自]人に子守させる pakkayyar (新): [他]人に~の子守をさせる、してもらう epakkayyar (新)

こもりうた(子守歌) [名]子守歌 ihumke (石狩): [自]子守歌を謡う ihumke (石狩): [他]~を子守歌に歌う eihumke (新): [他](場所)で子守歌に歌う eihumke (新): [他]~と共に子守歌に歌う koihumke (新): [他](原因、手段)で子守歌に歌う oihumke (新): [他](人)に子守歌を歌わせる ihumkere (新): [他](人)に子守歌を歌う humke (新)

コモロ ①[場名](国名)コモロ連合 Komorusaatuykamosir Ukosineatkip (新)※(首都は「モロニ」): [固名](国名の通称として)コモロ Komor (新): [名]コモロ人、国民 komorunkur (新): [名]コモロ語 komorunkuritak (新): (歴史)[固名](国名)コモロ・イスラム連邦共和国 Komor Islam Ukosineatki Ukotankoremosir (新)※(1978-2001年。国名改称): (歴史)[場名](国名)コモロ共和国 Komorusaatuykamosir Ukotankoremosir (新)※(1975-78年。国名改称): ②[場名](地名)コモロ諸島 Komoro-usapoysir (新)

こや(小屋) [名]狩や漁をするために遠出をする際に一泊するために作る小屋 kas (石狩): [自]小屋を作る kaskar (石狩): [名]狩や漁をするため遠出をする際に一泊したり、一定期間滞在するために作る小屋 kuca (石狩): [自]狩などのため山などに滞在するた

め、一時的な使用、あるいは複数回の使用のため)小屋を作る kucakar (石狩): 松の大枝を寄せて作る簡単なものから、木の枝の骨組みに季節によって松の枝や蔭の葉を葺いて壁としたものまで、状況や用途に応じて様々である。通常、家から目的地まで何ヶ所かに作ってあったといい、その区分として「家に近い小屋」を"hankekuca"、あるいは"sankekuca"、「家と目的地の中間にある小屋」を"noskikuca"、「家から遠い小屋」を"tuymakuca"、「前者より更に遠くにある小屋」を"natuymakuca"、「前二者を含めて家から遠くにある小屋、あるいは目的地である山にある小屋」を"kimunkuca"と呼ぶ。尚、"kas"が一時しのぎで作る物を指すのに対し"kuca"は先に述べたように一時しのぎの物から長期の使用を見越してかなりがっちりした物までを指し、このように"kas"の使用が限られているためだろうか、現在ではすっかり忘れられているのに対し、"kuca"は「テント」や「山小屋」を指して用いられている)

こやま(小山) [名]小山 ponnupuri (石狩)、[名] takkup (天塩)

こゆき(小雪) [名]小雪 ponupas (新): [名]単時間にサッと降って薄く積もった雪 kaparupas (石狩)

こゆび(小指) [名]小指 ponaskepet(-ci) (石狩)

こよう(雇用) [自]人を雇用する uneiwanke (新): [他]~を雇用する eiwanke (石狩): [他]~と共に~を雇用する koeiwanke (新): [他](原因、手段)で~を雇用する oeiwanke (新): [他](誰か)に~を雇用させる eiwankere (新): [他]自分で、一人で~を雇用する yaykoeiwanke (新): [他]互いに、皆に~を雇用する ukoeiwanke (新)

ゴヨウマツ(五葉松) (植物)[名](マツ科)ゴヨウマツの茎 sícikaphup (新): [名]キタゴヨウの茎 cikaphup (十勝)※(ゴヨウマツの変種)

コヨーテ (動物)[名](イヌ属)コヨーテ koyote (新)※(西語)

こよみ(暦) [名]暦 tónukarpe (新)、[名]karendar (新)※(英語): [名]太陽暦 peketcup-tonukarpe (新): [名]太陰暦 kunnecup-tonukarpe (新): [名]万年暦 kessak-tonukarpe (新): [名]西暦 xuristiaskor-tonukarpe (新): [名]グレゴリオ暦 Guregoriuskar-tonukarpe (新): [名]ユリウス暦 Yúriuskar-tonukarpe (新): [名]イスラム暦 musrimkor-tonukarpe (新): [名]石狩暦 iskarunkurkor-tonukarpe (新)

コラ [名](地名)コラ半島 Kora-sirekanray (新)※(ロシア連邦北西部の半島)

こらえる(堪える) [自] 堪える yaysiporore (石狩): [他] ~を堪える eyaysiporore (石狩): [他](場所)で堪える eyaysiporore (新): [他] ~と共に堪える koyaysiporore (新): [他](原因、手段)で堪える oyaysiporore (新): [他](人)に堪えさせる yaysiporore (新): [自] 自分で、一人で堪える yaykoyaysiporore (新): [自] 互いに、皆で堪える ukoyaysiporore (新): [自] 減茶苦茶堪える toykoyaysiporore (新)

こらしめる(懲らしめる) [名] 懲らしめ cieicakasnup (cieipakasnup) (新): [自] 懲らしめる icakasnu (ipakasnu) (新): [他] ~について人を懲らしめる eicakasnu (eipakasnu) (新): [他](人)を懲らしめる cakasnu (天塩)、[他] pakasnu (石狩): [他] ~について(人)を懲らしめる ecakasnu (天塩)、[他] epakasnu (石狩): [他] ~と共に(人)を懲らしめる kocakasnu (kopakasnu) (新): [他](原因、手段)で(人)を懲らしめる ocakasnu (opakasnu) (新): [他](人)に(人)を懲らしめさせる cakasnure (pakasnure) (新): [他] 自分で、一人で(人)を懲らしめる yaykocakasnu (yaykopakasnu) (新): [他] 皆で(人)を懲らしめる ukocakasnu (ukupakasnu) (新): [他] 充分(人)を懲らしめる cakasnuno (pakasnuno) (新)、[他] cakasnuno (pakasnuno) (新): [他] しっかり(人)を懲らしめる pirkapakasnu (pirkacakasnu) (新): [他] 真剣に(人)を懲らしめる ramkocakasnu (ramkopakasnu) (新): [他] がっちり(人)を懲らしめる、ぎゅーぎゅー(人)を懲らしめる toykocakasnu (toykopakasnu) (新): [他] 完璧に(人)を戒める eatcakasnu (earpakasnu) (新): [他](人)を酷く懲らしめる wencakasnu (新)、[他] wempakasnu (石狩): [他] ~を酷く懲らしめる ewencakasnu (新)、[他] ewempakasnu (石狩)

ゴリアテ (聖書)[名]ゴリアテ Goriat (新)

コリアンダー (植物)[名](セリ科)コエンドロ属 koriander-cise (新): [名]コエンドロの茎葉 koriander (新)、[名]コエンドロの果実 korianderkaop (新)※(別名「コリアンダー」、「パクチー」、「シャンツァイ」など)

コリノリス (動物)[名](ヒナコウモリ科)コリノリス属 kisaraporokapap-cise (新): [名]コリノリス・メキシカヌス mexikoun-kisaraporokapap (新): [名]C. ラフィネスクイー rafinesku-

kisaraporokapap (新): [名]タウンゼンドオオミミオオコウモリ taunzendoporokisararakapap (新)

コリマ [名](地名)コリマ川 Korima-pet (新)※(ロシア連邦領シベリアを流れ北極海(東シベリア海)に注ぐ川): [名]コリマ山脈 Korima-ikinnenupuri (新)

コリャーク [場名](ロシア連邦極東連邦管区の構成主体名)コリャーク自治管区 Koriak-sieyayetunusiwor (新)※(首府は「バラナ」): [名]コリャーク人 koriakkur (新): [名]コリャーク語 koriakkur-itak (新)

こりやまた [間投](何かに関心して)こりやまた irayapka (石狩): 「こりやまた、上手に作ってるな!」“Irayapka, an=káre easkay ru an a!” (方)p. 293

ゴリラ (動物)[名](ヒト科)ゴリラ属 gorira-cise (新): [名]ゴリラ属の動物の総称 gorira (新)※(学名より): [名]ニシゴリラ cuppokungorira (新): [名]ヒガシゴリラ cupkaungorira (新)

こりる(懲りる) [自] 懲りる yomka (石狩): 「私は懲りたから今後あんたと仕事はしないよ。」“Ku=yomka kusu tewano e=turano somo ku=monrayke kusune na.”: [他](場所)で懲りる eyomka (新): [他] ~と共に懲りる koyomka (新): [他](原因、手段)で懲りる oyomka (新): [他](人)に懲りさせる yomkaka (yomkare) (新): [他] 自分で、一人で懲りる yaykoyomka (新): [他] 互いに、皆で懲りる ukoyomka (新)

コルク ①(植物)[名](コナラ属)コルクガシの茎 korkukomni (新)、[名]その樹皮 korkunep (新): ②[名]コルク korku (新): [名]コルク栓 korku-kunkuci (新)

コルシカ [場名](地名)コルシカ島 Korsíga-poysir (新)※(地中海西部にあるフランス領の島): [名]コルシカ人 korsígaunkur (新): [名]コルシカ語 korsígaunkur-itak (新)

ゴルノ・アルタイス [場名](ロシア連邦シベリア連邦管区アルタイ共和国の首都名)ゴルノ・アルタイス Gonnnoattaysuk (Gonnoartaysuk) (新)

これ(1) ①(話者の手の届く範囲にある物を指し示した直前に触れたりして話者に心理的に近く感じられる事について)[代名]これ tampe (石狩): 物事について従来は単複区別をしなかったが、今後は「これら」を tanokaype と表現しても良いとする。: 「この」の複数「これら」は「これ」を見よ: ②(時間を表し)[副]これから téwano (石狩)、(表現) tane wano (石狩): (表現)これまで tane pakno (石狩)

これ(2) [間投] (発話の際に相手の注意を促し、話者の目の前にある人や物事を示して) **これ tan** (石狩): 「これオタツツの女よ、お前が聞くのはこうである。」 “Tan Otasutunmenoko, e=nu katu ene an ihi.”

コレオステフス (植物) [名] (キク科) コレオステフス属 **sirkapaumpekikukina-cise** (新): [名] クリサンセマム・ムルチコーレの茎葉 **sirkapaumpekikukina** (新)

コレクション [名] コレクション **ciuekarirep** (新)、[名] **kórektion (konrektion)** (新)※ (英語)

コレクター [名] コレクター **iuekarirekur** (新)、[名] **kórektor (konrektor)** (新)※ (英語)

コレゴヌス (魚介) [名] (サケ科) コレゴヌス亜科 **wakaso-moapa** (新): [名] コレゴヌス属 **wakaso-cise** (新): [名] アイズユキマス **aizu-upassipe** (新): [名] ウスリーシロサケ **wakaso** (樺太真岡): [名] オームリ **ómuri** (新): [名] シナノユキマス **sinano-upassipe** (新)※ (キタノユキマス): [名] ホワイトフィッシュ **yayan-upassipe** (新): [名] レイクホワイトフィッシュ **tóupascep** (新): [名] ステノドゥス属 **sutenodus-cise** (新): [名] プロソピウム属 **purosopium-cise** (新)

これこのような (話題になっている物を眼前に示し相手の注意をうながして) (表現) **これ** このように **tap neno** (石狩): (表現) **これ** このような **tap neno an** (石狩): (表現) **これ** このような物、斯様な物 **tap neno an pe** (石狩)

ころがす(転がす) ① (木などがグラグラさせて倒す事を表し) [他] ~を転がす **tussere** (新)、[自] **tursere** (天塩)、[他] **tusseka (turseka)** (新): [他] (場所) で ~を転がす **etusseka (eturseka)** (新)、[他] **etussere (eturssere)** (新): [他] (場所) へ ~を転がす、~と共に ~を転がす **kotusseka (koturseka)** (新)、[他] **kotussere (kotursere)** (新): [他] (場所) から ~を転がす、(原因、手段) で ~を転がす **otusseka (oturseka)** (新)、[他] **otussere (otursere)** (新): [他] (人) に ~を転がらせる **tusseka (turseka)** (新)、[他] **tusserere (tursere)** (新): ② (丸太などに関して) [他] ~をコロコロ転がす **karkasseka (karkarseka)** (新)、[他] **karkassere (karkarsere)** (新): [他] (人) に ~を転がらせる **karkasseka (karkarseka)** (新)、[他] **karkassere (karkarsere)** (新): ③ (平地で雪などを転がす事などを表し) [他] ~

をコロコロ転がす **karkari** (石狩): [他] (人) に ~を転がらせる **karikarire** (新): ④ (何かをはぐる事を表し) [他] ~を転がす **kiru** (石狩): [他] (人) に ~を転がらせる **kirure** (新)

ころがる(転がる) ① (木などがグラグラして倒れ) [自] 転がる、転がり落ちる **tusse** (石狩)、[自] **turse** (天塩): [他] (場所) で 転がる **etusse (eturse)** (新): [他] (場所) へ 転がる **kotusse (koturse)** (新): [他] ~と共に 転がる **koturse (kotusse)** (新): [他] (場所) から 転がる、(原因、手段) で 転がる **otusse (oturse)** (新): [自] (誰かに押されたりして) 転がる **situssere (sitursere)** (新): ② (丸いものが) [自] コロコロと 転がる **karkasse (karkase)** (石狩)、[自] **karkarse** (幌別): (表現) (詞曲中丸いものが 転がる様子を描写して) バアソブの根が 転がる如く **muk karkarse sikopayar** (知里分類アイヌ語辞典): [他] (場所) で 転がる **ekarkasse (ekarkarse)** (新): [他] (場所) へ 転がる、~と共に 転がる **kokarkasse (kokarkarse)** (新): [他] (場所) から 転がる、(原因、手段) で 転がる **okarkasse (okarkarse)** (新): ③ [自] (人が) 転がる、のた打ち回る **ipa** (石狩)

ころげおちる(転げ落ちる) [自] 転げ落ちる **orak** (石狩)、[自] **horak** (沙流): [他] (場所) で 転げ落ちる **eorak** (新): [他] (場所) へ 転げ落ちる **koorak** (新): [他] ~と共に 転げ落ちる **koorak** (新): [他] (原因、手段) で 転げ落ちる **oorak** (新): [他] ~を 転げ落とす **orakte** (石狩): [自] 急に 転げ落ちる **orakkosanu** (石狩)、[自] **orakkosampa** (新): [自] 頻りに 転げ落ちる **ciorakrototo** (新)、[自] **orakrototke** (新): [自] 続けて 転げ落ちる **oraknatara** (新): [自] 瞬間的に 転げ落ちる、ちょっと 転げ落ちる **oraktek** (新): [他] 瞬間的に ~を 転げ落とす **oraktekka** (新): [自] ひどく 転がり落ちる **toykoorak** (新): [他] ひどく ~を 転げ落とす **toykoorakte** (新)

ゴロゴロ [間投] **ゴロゴロ humum** (新)、[間投] **gororo** (新): [自] **ゴロゴロ** 頻りに 鳴る **cihumrototo** (新)、[自] **humrototke** (新)、[自] **cigororototo** (新)、[自] **gororototke** (新): [自] **ゴロゴロ** 何度も 鳴る **humumatki** (新)、[自] **gororoatki** (新): [自] **ゴロゴロ** 続けて 鳴る **humnatara** (新)、[自] **gorohitara (goroitara)** (新): (表現) **ゴロゴロ** と 重く 雷鳴がする **pásekamuyhum as** (石狩)

ころす(殺す) [他] ~を 殺す **rayke** (複数 **ronnu**) (石狩)、[他] (合成語の構成要素とし

て) raye (石狩): [他](場所)で～を殺す
 erayke (新): [他]～と一緒に～を殺す
 korayke (石狩): [他]他の人と一緒に～を
 殺す ikorayke (石狩): [他]～を殺して
 (人)から奪う korayke (石狩): [他](原因、
 手段)で～を殺す orayke (新): [他](人)に
 ～を殺させる raykere (新): [他]人に～
 を殺させる raykeyar (石狩): [他]瞬く
 間に～を殺す raytekka (新): [自]自分
 を殺す yayrayke (yairayke) (石狩):
 [他]自分で、一人で～を殺す yaykorayke
 (新): [自]殺し合う urayke (石狩): [他]
 互いに、皆で～を殺す ukorayke (新):
 [他]～を楽に死なせる ratcirayke (新):
 [他]残酷に～を殺す toykorayke (石狩):
 [他](この世にもあの世にも生まれ変われぬ
 よう)完全に～を殺す oanrayke (anrayke)
 (新)

ころぶ(転ぶ) ①[自]転ぶ hatcir (石狩)、[自]
 hácir (天塩): [他](場所)で転ぶ ehacir
 (ehacir) (新): [他]～と共に転ぶ
 kohatcir (kohacir) (新): [他](原因、手段)
 で転ぶ ohatcir (ohacir) (新): [他]～を
 転ばせる hatcire (石狩)、[他] hácire
 (天塩): [他](場所)で～を転ばせる
 ehacire (ehacire) (新): [他]～と共に～
 を転ばせる kohatcire (kohacire) (新):
 [他](原因、手段)で～を転ばせる ohatcire
 (ohacire) (新): [自]瞬間的に転ぶ
 hatcittek (hácittek) (新): [他]瞬間的に
 ～を転ばせる hatcittekka (hácittekka)
 (新): [自]自分で、一人で転ぶ yaykohatcir
 (yaykohacir) (新): [他]自分で、一人で～
 を転ばせる yaykohatcire (yaykohacire)
 (新): [自]皆で転ぶ ukohatcir (ukohacir)
 (新): [自]互いに転ばせ合う uhatcire
 (uhacire) (新): [他]互いに、皆で～を転
 ばせる ukohatcire (ukohacire) (新):
 ②[自]滑って転ぶ osittesu (石狩)、[自]
 ositteske (天塩): [他](場所)で滑って転ぶ
 eosittesu (新)、[他] eositteske (新):
 [他]～と共に滑って転ぶ koosittesu (新)、
 [他] koositteske (新): [他](原因、手段)
 で滑って転ぶ oosittesu (新)、[他]
 oositteske (新): [他]～を滑って転ばせる
 osittesure (新): [他](場所)で～を滑って
 転ばせる eosittesure (新): [他]～と共に
 ～を滑って転ばせる koosittesure (新):
 [他](原因、手段)で～を滑って転ばせる
 oosittesure (新)

コロポックル [名] コロポックル
 koropokunkur (石狩、天塩)

コラド [場名](アメリカ合衆国の州名)コロ
 ラド州 Kororado-mosir (新)※(州都は「デ

ンヴァー」)

コロール [場名](パラオ共和国の州名)コロール
 Koror-purovince (新): [場名](パラオ共和
 国コロール州の都市名)コロール Koror (新)※
 (2006年10月まで同国の首都)

コロンバス [場名](アメリカ合衆国オハイオ州
 の州都名)コロンバス Korumbus (新)

コロンビア ①[場名](国名)コロンビア共和国
 Korombia Ukotankoremosir (新)※(首都は
 「ボゴダ」): [場名](国名の通称として)コロ
 ンビア Korombia (新): [名]コロンビア
 人、国民 korombiaunkur (新): ②[固
 名](アメリカ合衆国の連邦直轄地の名)コロ
 ンビア特別区 Korumbia-iwor (新): ③
 [場名](アメリカ合衆国サウスカロライナ州
 の州都名)コロンビア Korumbia (新)

こわいろ(声色) [名]声色 haw(-e) (石狩)、
 [名] hawiporse (hawiposse) (新)

こわがる(怖がる) [自]怖がる isitoma (石
 狩): [他]～を怖がる sitoma (石狩)、
 [他](雅語) homa (石狩)※(目下の出現例は
 sitoma と異なり anhoma、あるいは
 cihoma という形で anhoma aynu 「人が怖
 がる人=恐ろしい人間」、cihoma situ 「人が
 怖がる棍棒=恐怖の棍棒、魔の棍棒」と用い
 られる): [他](場所)で～を怖がる esitoma
 (新): [他]～と共に～を怖がる kositoma
 (新): [他](原因、手段)で～を怖がる
 ositoma (新): [他]～に対して(人)を怖が
 らせる sitomare (石狩): [他](人)を怖が
 らせる isitomare (石狩): [他]自分で、一
 人で～を怖がらせる yaykositoma (新):
 [他]皆で～を怖がる ukositoma (新):
 [他]～の点で～を怖がる、～だから～を怖が
 る esitomakar (石狩)

こわす(壊す) ①[自]ものを壊す iwente
 (新): [他]～を壊す wente (石狩):
 [他](場所)で～を壊す ewente (新): [他]
 ～と共に～を壊す kowente (新):
 [他](原因、手段)で～を壊す owente (新):
 [他](人)に～を壊させる wentere (新):
 [他]自分で、一人で～を壊す yawkowente
 (新): [他]互いに、皆で～を壊す ukowente
 (新): [他]ぱっと一瞬で～を壊す
 wentekka (新): [他]完全に～を壊す
 arwentekar (石狩)、[他] oarwente
 (arwente) (新): [他]充分～を壊す
 wenteno (wentenu) (新): [他]滅茶苦茶、
 思い切り～を壊す toykowente (新): ②
 (割って)[自]ものを壊す ipere (複数
 iperpa) (新): [他]～を壊す pere (複数
 perpa) (石狩): [他](人)に～を壊させる
 perere (複数 perpare) (新): ③(剥がし
 て)[自]ものを壊す imewe (新): [他]～を

壊す mewew (石狩): (表現)(場所)へと窓を壊す puyaromewe (沙流): [他](人)に～を壊させる mewere (新)

こわれにくい(壊れ難い) [自]壊れ難くなる、難い nisuramne (石狩)、[自] nisuwamne (天塩): [他](場所)で壊れ難くなる、難い enisuramne (enisuwamne) (新): [他]～と共に[他](場所)で壊れ難くなる、難い konisuramne (konisuwamne) (新): [他](原因、手段)で[他](場所)で壊れ難くなる、難い onisuramne (onisuwanne) (新): [他]～を壊れ難くする nisuramneka (nisuramnere) (新)、[他] nisuwamneka (nisuwamnere) (新)

こわれやすい(壊れ易い) [自]壊れ易くなる、壊れ易い pewan (石狩)、[自] hapur (石狩): [他](場所)で壊れ易くなる、壊れ易い epewan (新)、[他] ehapur (新): [他]～と共に壊れ易くなる、壊れ易い kopewan (新)、[他] kohapur (新): [他](原因、手段)で壊れ易くなる、壊れ易い opewan (新)、[他] ohapur (新): [他]～を壊れ易くする pewanka (pewante) (新)、[他] hapurka (hapure) (新)

こわれる(壊れる) [自]壊れる ciwente (石狩): [他](場所)で壊れる ciwente (新): [他]～と共に壊れる cikowente (新): [他](原因、手段)で壊れる ciwente (新)

こえがく(弧を描く) [自]弧を描く karikari (石狩): [他](場所)で弧を描く ekarikari (新): [他](場所)へ弧を描く kokarikari (新): [他]～と共に弧を描く kokarikari (新): [他](場所)から弧を描く okarikari (新): [他](原因、手段)で弧を描く okarikari (新): [他]～に弧を描かせる karikarire (新)

こをせおう(子を背負う) [自]子を背負う pakkay (石狩): [他](人)に子を背負わせる pakkayre (新)

コン [間投](Kittne の鳴声)コン paw (石狩): [自]コンと鳴く pawse (新)

こんいろ(紺色) [自]紺色になる、である ohoatuy-irone (新): [他]～を紺色にする、染める ohoatuy-ironaka (-ironere) (新): [名]紺色 ohoatuy-iro (新)

こんが(混芽) (植物)[名]混芽 uomaepuy(-e) (新)

こんかい(今回) [副]今回 taysuy (新)、[副] tapaysuy (新): (表現)今回は tampeotta (沙流)

こんきよ(根拠) ①[名]根拠 moto (石狩): (表現)根拠がある moto (motoho) an (新): (表現)根拠がない moto (motoho) isam (新): ②[自]根拠を持つ、根拠がある

motokor (新): [他]～に根拠を持たせる motokore (新): [他]～に関して根拠を持つ、根拠がある motokor (motohokor) (新)、[他] emotokor (新): [副]根拠があつて motokonno (新): [副]十分に根拠があつて omotokonno (新): ③[自]根拠を失う、根拠がない motosak (新): [他]～に根拠を失わせる motosakka (新): [他]～に関して根拠を失う、根拠がない motosak (motohosak) (新)、[他] emotosak (新): [副]根拠なく motosakno (新): [副]全く根拠なく omotosakno (石狩): ④[自]根拠を尋ねる motoewepekennu (新): [他](人)に根拠を尋ねさせる motoewepekennure (新): [他]～に関して根拠を尋ねる motoewepekennu (motohoepekennu) (新)、[他] emotowepekennu (新): [他](人)に根拠を尋ねる komotoewepekennu (新): ⑤[他]根拠を説明する motoye (新): [他](人)に根拠を説明させる motoyere (新): [他]～に関して根拠を説明する motoye (motohoye) (新)、[他] emotoye (新): [他](人)に根拠を説明する komotoye (新)

コンクリート [名]コンクリート cikarsirar(-i) (新)、[名] cikassirar(-i) (新): (表現)生コンクリート péne cikarsirar (新)

こんげつ(今月) [名]今月 tancup (石狩): (表現)今月に tancupotta (新)

こんけつ(混血) [自]混血する ukokempoye (新): [他](場所)で混血する eukokempoye (新): [他]～と混血する kokempoye (新): [他](原因、手段)で混血する oukokempoye (新): [他](誰か)に混血させる ukokempoyere (新)

コンゴ ①[場名](国名)コンゴ共和国 Kongo Ukotankoremosir (新)※(首都は「ブラザヴィル」): [名]コンゴ共和国人、国民 kongo-ukotankoremosirunkur (新): (歴史)[場名]コンゴ人民共和国 Kongo Utarikor Ukotankoremosir (新)※(1969-1971年。現国名に改称): ②[場名]コンゴ民主共和国 Kongo Urenkasapte Ukotankoremosir (新)※(首都は「キンシャサ」): [名]コンゴ民主共和国人、国民 kongo-urenkasapte-ukotankoremosirunkur (新): (歴史)[場名](国名)ザイール共和国 Zair Ukotankoremosir (新)※(1971-1977年。「コンゴ民主共和国」から改称されるが、現国名に復帰)

こんご(今後) [副]今後 téwano (石狩): (表現)今後 tane wano (石狩)

こんごう(混合) [自]ものを混合する iukopoye (新): [他]～を混合する

ukopoye (石狩): [他](場所)で～を混合する
eukopoye (新): [他](原因、手段)で～を混合する
oukopoye (新): [他](人)に～を混合させる
ukopoyere (新): [他]～に～を混合する
kopoye (石狩): [他](場所)で～に～を混合する
ekopoye (新): [他](原因、手段)で～に～を混合する
okopoye (新): [他](人)に～に～を混合させる
kopoyere (新)

コンコード [場名] [アメリカ合衆国ニューハンプシャー州の州都名] コンコード
Komkoddo (Komkordo) (新)

こんしゅう(今週) [名] 今週 tantosay (新)

こんじょう(根性) [名] 根性 kewtum(-u) (石狩): (表現)根性が良い kewtumu pirka (石狩): (表現)根性が悪い kewtumu wen (石狩)

こんじょう(紺青) [名] 紺青 iohoatuyaokap (新)

コンスタンチノーブル (歴史) [場名] コンスタンチノーブル Konsutantinoporis (Koinsutantinoporis) (新)

こんせき(痕跡) ① (足跡や何かを行った跡) [名] (通例所属形で) ～の痕跡 ruwe (石狩): ② (河川や建築物があった跡) [名] 痕跡 kot(-ci) (石狩)

こんぜつ(根絶) [他] ～を根絶する oarokere (arokere) (新): (表現) ～を根絶してしまう ～ oarokere (arokere) wa oarisam (新): (表現) ～ oarokere (arokere) wa isam (新): [他](場所)で～を根絶する eoarokere (earokere) (新): [他] ～と共に～を根絶する kooarokere (koarokere) (新): [他](原因、手段)で～を根絶する ooarokere (oarokere) (新): [他](人)に～を根絶させる oarokerere (arokerere) (新): [他] 自分で、一人で～を根絶する yaykooarokere (yaykoarokere) (新): [他] 互いに、皆で～を根絶する ukoarokere (ukoarokere) (新): [他] 思い切り～を根絶する toykooarokere (toykoarokere) (新): [他] 人に～を根絶させる、根絶してもらう oarokereyar (arokereyar) (新)

コンタクトレンズ [名] コンタクトレンズ sikussikpo (新)

コンテナ [名] コンテナ sikeop (新)、[名] kontainer (新) ※(英語): [自] コンテナ輸送する isikeoperura (新)、[自] ikontainererura (新): [他] ～をコンテナ輸送する sikeoperura (新)、[他] kontainererura (新): [名] コンテナ車 sikeopokaripkorpe (新)、[名] kontainerokaripkorpe (新): [名] コンテナ船 sikeopocip (新)、[名] kontainerocip

(新)

こんど(今度) ① (表現) (未来を示し) 今度 okake ta (石狩): 「今度いろいろとお話しましょう。」 “Okake ta usaampe an=eukoitak rok!”: ② (表現) (以前と比較し) 今度は tane anakne (石狩)、(表現) tane ciki (沙流): 「以前はそれが分からなかったけれど、今度はよくわかったぞ。」

“Teeta anakne ku=erampetek a korka tane anakne pirkano ku=eraman.”

ゴンドウクジラ(巨頭鯨) ① (動物) [名] (マイルカ科) ゴンドウクジラ亜科 rokom-moapa (新): [名] ゴンドウクジラ属 rokom-cise (新): [名] コビレゴンドウ yayanrokom (新): [名] ヒレナゴンドウ makiritanne-rokom (新): [名] カズハゴンドウ属 emerunnerokom-cise (新): [名] カワゴンドウ属 pétorunrokom-cise (新): [名] ハナゴンドウ属 pírorokom-cise (新): [名] ユメゴンドウ属 cipaokamparokom-cise (新): ② [名] ゴンドウクジラ rokom (網走)、[名] okom (幌別)

コンドーム [名] コンドーム hokamup (新): (表現) コンドームを付ける hokamup us (新): (表現) コンドームを外す hokamup ama (新)

こんな ① (比較、例示して) (表現) こんなに tampe néno (石狩): (表現) こんな tampe néno an (複数 okay) (石狩): (表現) こんな人 tampe néno an kur (石狩): (表現) こんな人たち tampe néno okay utar (新): (表現) こんな者 tampe néno an pe (新): (表現) こんな者達 tampe néno okay pe (新): (表現) こんな物、こんな事 tampe néno an pe (石狩): ② (話し手のイメージで) [副] こんなに ene (石狩): (表現) こんなに ene un suy (沙流)、(表現) enepo un suy (沙流): 「お前たちはこんなにも分からないものか？」 “Ene un suy es=erampetek hi?”、「貴方の目はこんなにも節穴か？」 “Enepo un suy es=siknak ruwe?”: [連体] こんな enean (複数 eneokay) (石狩): [連体] (悪) こつたら enan (石狩): [間投] (悪) こんな奴 enean (石狩)、[間投] (悪) icakkere (沙流)、[間投] (悪) icaka (沙流): [間投] (悪) こんな奴ら eneokaype (石狩): [間投] (悪) こつたら奴 enampe (石狩): [間投] (悪) こんな物、こんな事 enampe (石狩): [間投] (悪) こつたら物、こつたら事 enampe (石狩)

こんなん(困難) ① (難しい事) [自] 困難である hokampa (石狩) ※(対義語は isayka): [他](場所)で困難である ehokampa (新):

[他]〜と共に困難である kohokampa (新): [他](原因、手段)で困難である ohokampa (新): [他]〜を困難にする hokampaka (okampare) (新): [自]物事が困難になる、である ienikne (新): [他]〜が困難になる、である enikne (石狩): [助動]〜(すること)が困難になる enikne (石狩): 「彼の腰はだんだん曲がり、立ち上がる事も困難になった…」 “… nani ikkewe rewke, opuni ka enikne …” (砂沢クラ): [他](人)に〜を困難にさせる enikneka (eniknere) (新): ②(苦しむ事)[名]困難 aneranakpe (石狩)、[名] cieranakpe (新)、[名] cierampekamamap (cioramupekamamap) (新)、[名] ciosampesitkip (新): (表現)困難 an=erának pe (石狩): [自]困難する rampekamama (ramupekamama) (石狩)、[自] sampesitki (石狩)、[自] ieranak (新): [他](場所)で困難する erampekamama (eramupekamama) (新)、[他] esampesitki (新): [他]〜と共に困難する korampekamama (koramupekamama) (新)、[他] kosampesitki (新)、[他] koieranak (新): [他](原因、手段)で困難する eranak (石狩)、[他] orampekamama (oramupekamama) (新)、[他] osampesitki (新): [他](人)を困難させる rampekamamaka (ramupekamamaka) (新)、[他] rampekamamare (ramupekamamare) (新)、[他] sampesitkire (新)、[他] ieranakka (ieranakte) (新): [自]自分で、一人で困難する yayko-rampekamama (yayko-ramupekamama) (新)、[自] yaykosampesitki (新)、[自] yaykoieranak (新): [自]互いに、皆で困難する uko-rampekamama (uko-ramupekamama) (新)、[自] ukosampesitki (新)、[自] ukoieranak (新)

こんにちは(今日は) [間投]今日は ikatay (静内、浦河など): [間投]今日は isorore (十勝、釧路など): [間投](現在生活環境の変化に伴い、また他地方との兼ね合いによって男女とも使い得る一般的な言葉として)今日は irankarapte (新)※(本来は紳士同士の厳格な挨拶の言い出しの言葉で「ご挨拶申し上げます」): [間投](女同士の挨拶の言葉として)今日は hí-yá (石狩)※(この言葉を言って手を取り合う)

こんにゅう(混入) [自]混入する poyke (新)、[自] sipoye (新)、[自] siukakuo (新): [他](中相)〜が混入する cipoye (新)、[他] ciukakuo (新): [他](場所)で混入する

epoyke (新)、[他] esipoye (新)、[他] esiukakuo (新): [他]〜に混入する kopoyke (新)、[他] kosipoye (新)、[他] kosiukakuo (新): [他](原因、手段)で混入する opoyke (新)、[他] osipoye (新)、[他] osiukakuo (新): [自]物を混入する ipoye (新)、[自] iukakuo (新): [他]〜を混入する poye (石狩)、[他] ukakuo (石狩): [他](場所)で〜を混入する epoye (新)、[他] eukakuo (新): [他]〜に〜を混入する kopoye (石狩)、[他] koukakuo (新): [他](原因、手段)で〜を混入する opoye (新)、[他] oukakuo (新): [他](人)に〜を混入させる poyere (新)、[他] ukakuore (新)

コンパニオン ①(イベントコンパニオン)[名]コンパニオン ikiyannere-menoko (新)、[名] kompanion (新)※(日本語): ②(レセプタント)[名]コンパニオン ikiyannere-menoko (新)、[名] reseptanto (新)※(日本語): ③(風俗業の)[名]コンパニオン ikoiku-menoko (新)

こんばん(今晚) [名・副](日没より就寝までの)今晚 tanonuman (石狩)

コンビニエンスストア [名]コンビニエンス cimakano-ihokcise (新)※(よく開かれた店)、[名] cimakano-san (新)、[名] cimakano-sop (新)※(棚)、[名] convrnience(‘sutore) (新)※(英語)

コンピューター [名]コンピューター imerunoype (新): (表現)コンピューターがウィルスに感染する vírus imerunoypevirus otta tusse (turse) (新)

コンピューターウィルス [名]コンピューターウィルス imerunoypevirus (新)、[名] vírus (新): (表現)コンピューターウィルスに感染する imerunoypevirus turse (tusse) (新): (表現)〜をコンピューターウィルスに感染させる ~ otta imerunoypevirus tursseka (tusseka) (新)、(表現) ~ otta imerunoypevirus tursere (tussere) (新)

コンピューターゲーム [名]コンピューターゲーム imeruesinotpe (新)、[名] imerunoypegame (新)、[名] gáme (新): [自]コンピューターゲームをする imeruesinotpeki (新)、[自] imerunoypegameki (新)、[自] gámeki (新)

コンブとり(昆布採り) [自]昆布採りする kompukar (新)、[自] saskar (新): [他](人)に昆布採りさせる kompukare (新)、[他] saskare (新): (昆布採り器具)[名]柴振り竿 makka (新)(方言): [名]

鉤竿 *inimpanit* (新): [名]鉤振り竿
 inoyekonimpap (新): [名]振り竿
 armakka (新)※(方言カタシバ)、[名]
 inoypap (新)※(方言カンザシ): [名]掬い
 竿 *apnit* (新): [名]ぐりぐり竿
 mokorirmakka (新)※(方言ツブマッカ):
 [名]マッケ *makke* (新)※(投げマッカ)
こんぺいとう(金平糖) [名] 金 平 糖
kompeytopempe (新)
こんぼう(棍棒) [名]棍棒 *situ* (石狩)、[名]
sutu (石狩)
こんぼん(根本) [場名]根本 *ous(-i)* (新)、
 [場名] *ouske* (新): [名]根本主義
cisesumaaresamun (新)、[名]
fundamentarismu (新)※(英語): [名]根本
 主義者 *cisesumaaresamunkur* (新)、[名]
fundamentaristo (新)※(英語)
コンメイ(昆明) [場名](中華人民共和国の雲南
 省の省都名)昆明 *Kunmin* (新)
こんや(今夜) ①[名・副](日没より就寝までの)
 今夜 *tanonuman* (石狩): ②[名・副](就
 寝時間帯より朝起きるまでの)今夜
tanukuran (石狩)
こんやく(婚約) [自] 人 と 婚 約 す る
ikoasirpeker-euyepnu (新): [他](人)と婚
 約する *koasirpeker-euyepnu* (新):
 [他](人)を(人)を婚約させる *koasirpeker-*
euyepnure (新): [自]互いに婚約する
ukoasirpeker-euyepnu (新): [名]婚約者
 同士 *ukoasirpeker-euyepnu utar* (新):
 (表現)~の婚約者 ~ *koasirpeker-euyepnu*
 (新): [自] 婚 約 者 が い な い
yaykoasirpeker-euyepnu (新): [名]婚約
 指輪 *uyepnu-askepetunkani* (新): (表
 現)婚約指輪を外す *uyepnu-askepetunkani*
ama (新): (表現)婚約指輪をはめる
uyepnu-askepetunkani kor (新): [自]婚
 約を取り消す *uehayta* (新)※(沙流):
 [他](人)に婚約を取り消させる *uehaytare*
 (新)
さ(差) ①(一方の)[場名] 差 *sinnay*
 (*sinnayhi*) (新): (表現)差がある
sinnay an (新): (表現)~の間に差がある
 ~ *utur*(長形-u、-ke) *ta sinnay an* (新):
 ②(二つ以上の)[場名] 差、互いの差
uesinnay (*uesinnayhi*) (新): (表現)差が
 ある *uesinnay an* (新)
ざ(座) [名]座 *so* (石狩): [名]上座
roruyso (*rorunso*) (石狩): [名]右座 *síso*
 (石狩): [名]左座 *harkiso* (石狩): [位名]
 ~の向いの座 *asso* (*arso*) (石狩): [自]
 座を設える *sokar* (石狩): (表現)座を設
 える *so kar* (石狩): [他](場所)に座を設
 える *esokar* (石狩): [他](神)のために座

を設える *esopkikar* (石狩): 「…上座に
 きちんと私の奥方のために座が設えられて
 座っている…」 “*rotta irammakaka an=kor*
katkemat an=esopkikar wa a wa an ruwe
ne…” (杉村キナラブク)神誦

さあ ①(行動を促して)[間投] *さあ etak*
 (*hetak*) (石狩): (表現)さあ早く *etak*
okure (*hetak hokure*) (石狩): ②(相手を
 急かして)[間投] *さあ okure* (*hokure*) (石
 狩)、[間投] *ke* (久保寺): (表現)さあさあ
okure okure (*hokure hokure*) (石狩)、[間
 投] *okure kane* (*hokure kane*) (石狩)、
 (表現) *kéke hetak* (久保寺)、(表現) *kéke*
kunak (久保寺): [間投](雅)さあ早く
cikintahetak (沙流)、[間投] *cikintaheta*
 (沙流)

サアーツ [間投](帯を締める音)サアーツ
sas (新): [間投]サアーツサアーツ *sassas*
 (新): [自](一回)サアーツと音がする
saskosanu (新)、[自] *saskosampa* (新):
 [自]サアーツサアーツと頻りに音がする
cisasrototo (新)、[自] *sasrototke* (新):
 [自]サアーツサアーツと何度も音がする
sásasatki (新): [自]サアーツサアーツと音
 がし続ける *sasnatara* (沙流)

サーバル (動物)[名](ネコ亜科)サーバル属
servar-cise (新): [名]サーバル *servar*
 (新)※(英語。別名サーバルキャット)

サーベル [名]サーベル *otam* (沙流)

サーモグラフィ ①(方法)[名]サーモグラフィ、
 サーモグラフィ法 *sesekonokakarkatu*
 (新): ②(装置)[名]サーモグラフ、サーモグ
 ラフィ装置 *sesekonokakarpe* (新): ③
 (画像)[名]サーモグラム *cisesekokannoka*
 (新)

さい(再)[副]再 *kanna* (石狩)、[副] *suy*
 (石狩)

さい(最)[副]最 *iyotta* (石狩)

さい(歳)[場名]歳 *pa* (石狩): 「あなたは何
 歳ですか?」 “*Es=paha nep ka ne wa* (= *Neypak es=paha an ya*)?”、「私は18歳で
 す。」 “*Tupesan pa ikasma wan pa* (= *Tupesampe ikasma wan pa*) *ku=ne* .”

サイ(犀)(動物)[名](ウマ目)サイ科
etukasikirawumpe-apa (新): [名]インド
 サイ属 *indiaun-etukasikirawumpe-cise*
 (新): [名]インドサイ *indiaun-*
etukasikirawumpe (新): [名]ジャワサイ
javaun-etukasikirawumpe (新): [名]エ
 ラスモテリウム属 *erasmoterium-cise*
 (新)※(絶滅): [名]クロサイ属 *kunne-*
etukasikirawumpe-cise (新): [名]クロサ
 イ *kunne-etukasikirawmpe* (新): [名]
 コエロドンタ属 *koerodonta-cise* (新)※

(絶滅): [名]ケブカサイ numaus-etukasikirawumpe (新)※(絶滅): [名]シロサイ属 retar-etukasikirawumpe-cise (新): [名]シロサイ retar-etukasikirawumpe (新): [名]スマトラサイ属 sumatraun-etukasikirawumpe-cise (新): [名]スマトラサイ sumatraun-etukasikirawumpe (新)

さい(載)①[名]載 ikikikik (新)※(10の4乗): [名]十載 wánikikikik (新): [名]百載 atuytaikikikik (新): [名]千載 wánatuytaikikikik (新): ②[連体]載の ikikikikne (新)、[連体] ikikikik (新): [連体]十載の wánikikikikne (新)、[連体] wánikikikik (新): [連体]百載の atuytaikikikikne (新)、[連体] atuytaikikikik (新): [連体]千載の wánatuytaikikikikne (新)、[連体] wánatuytaikikikik (新)

さい(材)[名]材 cioikarpe (新)

さいあく(最悪) [自]最悪になる、である oarwen (arwen) (新)、[自] iyottawen (新): (表現)最悪になる、である oarwen (石狩)、(表現) iyotta wen (石狩): [他]～を最悪にする oarwente (arwente) (新)、[他] iyottawente (新)

ザイール (歴史)[場名](国名)ザイール共和国 Zair Ukotankoremosir (新)※(1971-97年。コンゴ民主共和国の旧称)

サイガ (動物)[名](ブラックバック亜族)サイガ属 etuporoyukpeko-cise (新): [名]サイガ etuporo-yukpeko (新)、[名] saiga (新)※(英語。別名「オオハナレイヨウ」)

さいかい(再会) (表現)再会する suy unukar (石狩): (表現)～を再会させる suy ~ unukare (新): (表現)～と再会する suy ~ nukar (石狩): (表現)…と～を再会させる suy … tura ~ nukare (新)、(表現) suy … ~ nukare (新)

さいかい(再開) (表現)～を再開する kanna ~ heasire (新)、(表現) suy ~ heasire (新)

さいかい(最下位) [場名]最下位 iyottamakuyssouni (新): (表現)最下位 iyotta makun sóuni (新): [連体]最下位の iyottamakuyssoun (新): [名]最下位者 iyottamakuyssounkur (新)

さいがい(災害) [名]災難 rorumpe (石狩)、[名] ciwentep (新)、[名] wempe (新)

さいかきゅう(最下級) [場名]最下級 iyottamakuyssouni (新): (表現)最下級 iyotta makun sóuni (新): [連体]最下級の iyottamakuyssoun (新)

さいき(再起) (表現)再起する kanna hopuni

(複数 hopumpa) (新)、(表現) suy hopuni (複数 hopumpa) (新): (表現)～を再起させる kanna ~ hopunire (複数 hopumpare) (新)、(表現) suy ~ hopunire (複数 hopumpare) (新)

さいぎ(祭儀) [名]祭儀 iinomikokip (新)、[名] ikamuynomikokip (新)

さいぎしん(猜疑心) (表現)猜疑心を抱く ieampepka (ieumpipka) kewtum kor (新): (表現)～に対して猜疑心を抱く ~ eumpepka (eumpipka) kewtum kor (新)、(表現) ~ ekota ieampepka (ieumpipka) kewtum kor (新): (表現)互いに猜疑心を抱く ueumpepka (ueumpipka) kewtum kor (新): (表現)～の猜疑心を煽る ~ ramorke ieampepka (ieumpipka) kewtum hopunire (新)

さいきどう(再起動) (表現)再起動する kanna simososo (mos) (新)、(表現) suy simososo (mos) (新): (表現)～を起動する kanna mososo (新)、(表現) suy mososo (新): (表現)(人)に～を起動させる kanna mososore (新)、(表現) suy mososore (新)

さいきん(最近) [副]最近 náun (石狩): 「最近だよ。」“Naun an wa.”: [場名]最近 uhunak (沙流): (表現)最近になって uhunak wano (沙流): (表現)つい最近 tap uhunak (天塩)

さいきん(細菌) [名]細菌 nokankarusso (新)

さいぐ(祭具) [名]祭具 cioinomip (新)

さいく(細工) [自]物を細工する ioikar (新): [他]～を細工する oikar (新): (表現)～細工 ci+名詞+oikarpe (新): [名]象牙細工 ci-eturacisikite-oikarpe (新)

さいくつ(採掘) [自]採掘する isittumota (新)、[自] ita (新)、[自] ipusu (複数 ipuspa) (新): [他]～を採掘する sittumota (新)、[他] ta (新)、[他] pusu (複数 puspa) (沙流): 「ここで金を採掘している。」“Te ta konkani an=sittumota kane an.” (新): [他](場所)で～を採掘する esittumota (新): [他]～と共に～を採掘する kosittumota (新): [他](原因、手段)で～を採掘する osittumota (新): [他](人)に～を採掘させる sittumotare (新)

さいけん(債権) [名]債権 cikarkuni-soatay (新)、[名] cikarkuniso (新): [名]債権者 cikosoataykarkunikur (新)、[名] cikosoataykarkur (新)

さいけん(再建) [自]物事を再建する ikannaasirkar (新): [他]～を再建する kannaasirkar (新): [他](場所)で～を再建

する ekannaasirkar (新): [他]〜と共に
 ～を再建する kokannaasirkar (新):
 [他](原因、手段)で～を再建する
 okannaasirkar (新): [他](人)に～を再建
 させる kannaasirkare (新): [他]人に～
 を再建させる kannaasirkarar (新):
 [他]自分で、一人で～を再建する
 yaykokannaasirkar (新): [他]互いに、皆
 で～を再建する ukokannaasirkar (新):
 [他]完全に～を再建する oarkannaasirkar
 (arkannaasirkar) (新): [他]充分～を再
 建する kannaasirkanno
 (kannaasirkannu) (新): [他]大いに～を
 再建する toykokannaasirkar (新):
 [他](中相)～が再建される cikannaasirkar
 (新)

さいこ(最古) (表現) 最古になる、である
 iyotta husko (新)

さいご(最後) [位名]〜の最後 atkes(長形-e、
 -eke) (新): (表現)〜の最後に atkese ta
 (新): (表現)〜の最後の atkese ta an
 (新): (表現)〜の最後から atkese wa(-no)
 (新)

さいこう(最高) ①(高低に関して)[自]最高に
 なる、である iyottari (新): [他](場所)で
 最高になる、である eiyyottari (新): [他]
 ～と共に最高になる、である koiyottari
 (新): [他](原因、手段)で最高になる、である
 oiyyottari (新): [他]～を最高にする
 iyottarika (iyottarire) (新): ②(価格に関
 して)[自]最高になる、である iyottayupke
 (新): [他]～を最高にする iyottayupkeka
 (iyottayupkere) (新): ③(良悪に関し
 て)[自]最高になる、である iyottapirka
 (新): [他]～を最高にする iyottapirkare
 (iyottapirkaka) (新): ④(表現)最高の～
 である、最高に～である pakno ~ isam
 (石狩): 「あの人は頭が良くて最高に勉強が
 できる。」“Taankur sapapirka wa pakno
 kampinuye easkay kur isam .”、“…毎年私
 は呼ばれた。最高に私は嬉しかった。”“…
 kespa an kor enci=askeuk . Pakno
 ku=ekirooran pe isam .”

さいこうきゅう(最高級) [場名] 最高級
 iyottasauysouni (新): (表現)最高級
 iyotta saun souni (新): [連体]最高級の
 iyottasauysoun (新)

さいころ(賽子) [名]賽子 pakutcitama (沙
 流)、[名] cisuraponeras(-u) (新)、[名]
 cisurairas(-u) (新)

サイゴン (歴史)[場名]サイゴン Saygon
 (新)※(ヴェトナム社会主義共和国の都市「ホ
 ーチミン」の旧名。ヴェトナム国、ヴェトナム
 共和国、南ヴェトナム共和国の首都)

さいこん(再婚) (表現)～と再婚する suy kor
 (新)、(表現) kanna kor (新)、(表現)(雅)
 suy (kanna) eat (新): [他]～を～と再婚
 させる suy (kanna) kóre (石狩): [他]
 人と～を再婚させる suy (kanna) korar
 (新): [自](二人が)再婚する suy (kanna)
 ukor (新): [他]～(二人)を結婚させる
 suy (kanna) ukore (新): [自](男が)再び
 妻を持つ suy (kanna) matkor (新):
 [自](女が)再び夫を持つ suy (kanna)
 hokukor (新)

ざいさん(財産) [名]財産 cikorataynup
 (cinuataynup) (新): [名]共有財産
 ciukokorataynup (ciukonuataynup) (新):
 [名]公有財産 utarkorataynup
 (utannuataynup) (新): [名]国有財産
 mosirkorataynup (mosinnuataynup)
 (新): [名]私有財産 ciyaykokorataynup
 (ciyaykonuataynup) (新)

さいし(祭司) ①(アイヌの祭司の)[名]祭司
 sakeyusikur (石狩): ②(宗教一般の)[名]
 祭司 inomikorkur (新)

さいし(祭祀) [名]祭祀 inomi (石狩)

さいしゅ(祭主) [名]祭主 sakeyusikur (石
 狩)

さいしゅう(採集) ①[他](木の実をもぎ採ったり、
 草の実や葉など摘み採って)～を採集する
 kar (石狩): [他](人)に～を採集させる
 káre (新): ②[他](木など地上にある生活
 に必要なものを切って)～を採集する ta
 (石狩): [他](人)に～を採集させる táre
 (新): ③[他](ヒシの実やドングリなどを拾
 って採集する uk (複数 uyna) (石狩):
 [他](人)に～を採集させる ukte (複数
 uynare) (新): ④[他](ヒシの実などを掘ん
 で)～を採集する péka (石狩): [他](人)
 に～を採集させる pékare (新): ⑤
 [他](オオウバユリの鱗茎など地下の食糧に
 なるものを掘って)～を採集する ta (石
 狩): [他](人)に～を採集させる táre
 (新): ⑥[他](コウホネなど水中の食糧にな
 るもの)を採集する yanke (複数 yapte)
 (石狩): [他](人)に～を採集させる
 yankere(複数 yaptere) (新): ⑦(生物)を
 採集する uk (複数 uynare) (新):
 [他](人)に～を採集させる ukte (複数
 uynare) (新): ⑧(資料など)を採集する
 uekarire(複数 uekarpere) (新): [他](人)
 に～を採集させる uekarirere (複数
 uekarparere) (新)

さいしゅうしゅだん(最終手段) [名]最終手段
 kerepnoye (新)、[名] irurekap (新)※(二
 つの語は共に矢毒の中で最強だが肉を痛め
 るので普段使わないもので、そこから見出し

の意味に転用): 「普段のやり方でどうしようもないので、私は最終手段を使った。」“Ene ku=iki neno ku=ki yakka ene ku=kar hi ka isam kusu kerepnoye ku=eiwanke .”

さいしょ(最初) [位名](時間的に)~の最初
atpa(長形-ke、-k) (新): 石狩方言としては atpake、天塩方言としては atpak の語形のみが確認されているが、今後沙流方言を短形として他は長形として使う。:(表現)~の最初に atpake ta (石狩): (表現)~の最初の atpake ta an (石狩): (表現)~の最初から atpake wa(-no) (石狩): (表現)~の最初からの atpake wa(-no) an (石狩): (表現)最初に iyotta hoski (石狩): [連体]最初の iyotta hoski an (石狩): [名]最初の矢 pinneay (石狩): イオマンテの際に家の主人が天に放つ最初の矢。

さいしょう(最小) [自]最小(最少)になる、である
iyottapon (新)、[自] mínimum (新): [他](場所)で最小(最少)になる、である
eyottapon (新)、[他] eminimum (新): [他]~と共に最小(最少)になる、である
koyottapon (新)、[他] kominimum (新): [他](原因、手段)で最小(最少)になる、である
oiyottapon (新)、[他] ominimum (新): [他]~を最小(最少)にする
iyottaponte (iyottaponka) (新)、[他] mínimumka (mínimumte) (新):

さいしょう(宰相) [名](王制、封建制下の)宰相
pakusautarpapake (新)

さいじょう(祭場) [場名]祭場 inomiusi (新)

さいじょう(斎場) [場名]斎場 iirueapkasteusi (新)、[場名] yayyusausi (新)

さいじょうい(最上位) [場名]最上位
iyottasauiysouni (新): (表現)最上位
iyotta saun sóuni (新): [連体]最上位の
iyottasauiysoun (新): [名]最上位者
iyottasauiysounkur (新)

さいじょうきゅう(最上級) [場名]最上級
iyottasauiysouni (新): (表現)最上級
iyotta saun sóuni (新): [連体]最上級の
iyottasauiysoun (新): [名]最上級者
iyottasauiysounkur (新)

さいしん(最新) [自]最新になる、である
iyottaasir (新): [他](場所)で最新になる、である
eyottaasir (新): [他]~と共に最新になる、である
koyottaasir (新): [他](原因、手段)で最新になる、である
oiyottaasir (新): [他]~を最新にする
iyottaasirka (iyottaasire) (新)

ざいす(座椅子) [名]座椅子 sóikum (新)、[名] ciea-ikum (新)

さいぜん(最善) (表現)最善になる iyotta pirkka (石狩): [自]最善になる、である

iyottapirka (新): [他]~を最善にする
iyottapirkare (iyottapirkaka) (新)

さいぜんせん(最前線) (表現)最前線にある
iyotta tumikotca(-ke) un (新)、(表現)
iyotta ikotca(-ke) un (新)、(表現) iyotta furonto un (新)

さいせんたん(最先端) (表現)~の最先端にある
iyotta etok(長形-o、-oho) un (新): (表現)最先端の流行 iyotta etok(長形-o、-ho) un ukotusse (ukoturuse) (新)

さいそく(最速) (表現)最速になる、である
iyotta tunas (石狩): [自]最速になる、である
iyottatunas (新): [他]~を最速にする
iyottatunaska (iyottatunaste) (新)

さいだい(最大) [自]最大になる、である
iyottaporo (新)、[自] maksimam (新): [他](場所)で最大になる、である
eyottaporo (新)、[他] emaksimamne (新): [他]~と共に最大になる、である
koyottaporo (新)、[他] komaksimamne (新): [他](原因、手段)で最大になる、である
oiyottaporo (新)、[他] omaksimamne (新): [他]~を最大にする
iyottaporore (iyottaponka) (新)、[他] maksimamka (maksimamte) (新)

さいだん(祭壇) ①(アイヌの宗教の)[名]祭壇
inawsan (石狩)、[名] nusa (石狩)、[名] nusasan (石狩)、[名] inawcipa (沙流): [場名]祭壇の上手 sópa (sópake) (石狩): [場名]祭壇の下手 sokes (sókese、sókeske、sókeseke) (石狩): (表現)祭壇の上手、祭壇の下手 nusaso pake nusasan kese (石狩): [名]祭壇のイナウ nusasan-inaw (旭川): [自]祭壇を作る inawsankar (石狩)、[自] nusasankar (新): [自]屋外の祭壇にクマの頭骨を安置し土産を供え祈る kamuy-opunika (旭川)、[自] kamuy-opunire (空知): ②(他宗教の)[名]祭壇 san (新): [自]祭壇を作る sankar (新)

ざいだん(財団) [名]財団
cikorataynupikir(-i) (新)、[名] cinuataynupikir(-i) (新)、[名] foundation (新)※(英語)

ざいだんほうじん(財団法人) (法律)[名]財団法人 cikorataynupikir(-i) (新)、[名] cinuataynupikir(-i) (新): [名]一般財団法人 yayan-cikorataynupikir-irenkaaynu (-cinuataynupikir-) (新): [名]公益法人 utarpirkare-cikorataynupikir-irenkaaynu (-cinuataynupikir-) (新): [名]特例法人 ietokoyki-cikorataynupikir-irenkaaynu (-cinuataynupikir-) (新)

さいちゅう(最中) [位名](動詞句の後に置かれ)~している最中 tom(長形-o、-oke) (石狩)、

[位名] ka(長形-si、-sike) (石狩)、[位名] kurka(長形-si、-sike) (石狩)、[位名] tuyka(長形-si、-sike) (石狩): 「…と彼が言っている最中に私は目を覚ました。」 “…sekor itak tomokene (tomoke ene) ku=yaymososo .” (砂沢クラ)、 「…彼女は泣いたあげくに戦う最中に言った声はこうである…」 “… cis ayne u tumi kasike itak ko hawe ene an ihi …” (杉村キナラブク)、 「…沖の熾を陸に寄せて、陸の熾を沖へやる最中に彼女が言葉にするのは…」 “… repo usat yaoranke ine yao usat repoomante kurkasike itak omare …” (砂沢クラ)、 「…海の神は…頭を沈め頭を上げその最中言う声は…」 “atuykorkamuy … herori etari u tuykasike itak ko hawe …” (杉村キナラブク)

さいてい(最低) ①(高低に関して)[自]最低になる、である iyottaram (新): [他](場所)で最低になる、である eyottaram (新): [他]〜と共に最低になる、である koyottaram (新): [他](原因、手段)で最低になる、である oiyottaram (新): [他]〜を最低にする iyottaramka (iyottaramte) (新): ②(価格に関して)[自]最低になる、である iyottahawke (新): [他]〜を最低にする iyottahawkeka (iyottahawkere) (新): ③(良悪に関して)[自]最低になる、である iyottawen (新): [他]〜を最低にする iyottawente (iyottawenka) (新)

さいてん(祭典) [名]祭典 inomi (新)、[名] kamuynomi (新)

サイト [名]サイト、照準具 cioinonoyep (新)

サイドサドル [名]サイドサドル menoko-kura (新)

さいなん(済南) [固名](中華人民共和国の山東省の省都名)済南 Cinan (新)

さいなん(災難) [名]災難 rorumpe (石狩)、[名] wenkurmam (新)、[名] wempe (石狩)

ざいにん(罪人) [名]罪人 irenkawentekur (新)、[名] tonkakorkorkur (新)

さいのう(才能) (表現)名詞+etok で何かの能力が特に優れている事を表す名詞を作る事ができる。例えば pawetok 「弁舌に優れる事、弁舌の才能」、teketok 「物づくりの技能に優れる事、物づくりの才能」などである。ここから"noypetok (>noypeetok)「頭脳が優れる事、才能」という言葉も作る事ができる。: 先の名詞+kor で「〜の才能がある」と表現できる。例えば「弁舌の才能を持つ」は pawetokkor となる。

さいのめぎり(賽の目切り)(表現)〜を賽の目切

りにする pakutcitamane tuye (複数 tuypa) (新)

さいばい(栽培) [自]栽培する ietoyta (新): [他]〜を栽培する etoyta (石狩): [他](場所)に〜を栽培する eetoyta (新): [他]〜と共に〜を栽培する koetoyta (新): [他](原因、手段)で〜を栽培する oetoyta (新): [他](人)に〜を栽培させる etoytare (新): (表現)栽培方法 ietoyta katu (新)

さいばし(菜箸) [名]菜箸 sukepasuy (新)

さいばん(裁判) [名]裁判 saymon (新): [自]裁判を行う saymon (H): [他]〜に関して、〜の裁判を行う esaymon (新): [他](場所)で裁判を行う esaymon (新): [他]〜と共に裁判を行う kosaymon (新): [他](手段)で裁判を行う osaymon (新): [他](人)に裁判を行わせる saymonte (新): [名]裁判官 saymonkur (新): [名]裁判長 saymompake (新)、[名] saymonesapanekur (新): [場名]裁判所 saymonusi (新)、[名] saymoncise (新)

さいひょうせん(碎氷船) [名]碎氷船 konruperpacip (新)

さいふ(財布) [名]財布 ikorop (新)

さいほう(裁縫) [名]裁縫 kemeyki (石狩): [自]裁縫する kemeyki (石狩): [他](誰か)に裁縫させる kemeykire (新)

さいむ(債務) ①[名]債務 so (石狩)、[名] soatay(-e) (石狩): ②[自]債務を負う sóuk (石狩)、[自] sóse (石狩): [他]〜を債務として負う esouk (天塩)、[他] esose (石狩): [他](場所)で債務を負う、(〜の時に)債務を負う esouk (新): [他](人)に債務を負う kosouk (石狩): [他]〜と共に債務を負う kosouk (新): [他](原因、手段)で債務を負う osouk (新): [他](人)に債務を負わせる sóukte (石狩)、[他] sósere (新): [名]債権者 sóukkur (新): ③[自]債務を弁済する soataykar (沙流): (表現)債務を弁済する soatay kar (石狩): [他](場所)で債務を弁済する、(〜の時に)債務を弁済する esoataykar (新): [他]〜に債務を弁済する kosoataykar (新): [他]〜と共に債務を返済する kosoataykar (新): [他](原因、手段)で債務を弁済する osoataykar (新): [他](人)に債務を弁済させる soataykare (新)

ざいもく(材木) [名]材木 ni (石狩)

さいよう(採用) [自]ものを採用する iuk (新): [自]人を採用する unuk (新): [他]〜を採用する uk (複数 uyna) (新): [他](場所)で〜を採用する euk (複数 euyna) (新): [他]〜と共に〜を採用する kouk (複数 kouyna) (新): [他](原因、目

的)で～を採用する ouk (複数 ouyna) (新): [他](人)に～を採用させる ukte (複数 uynare) (新): [他]自分で、一人で～を採用する yaykour (複数 yaykouyna) (新): [他]互いに、皆で～を採用する ukour (複数 ukouyna) (新): [他]思い切り～を採用する、採用しまくる toykour (複数 toykouyna) (新): [他](中相)～が採用される ciuk (複数 ciuyna) (新): [名]採用者 ciukkur (新)

サイヨウシャジン(細葉沙参) (植物)[名](キキョウ科ツリガネニンジン属)サイヨウシャジンの茎、葉 koypokun-moskarpe (新): [名]サイヨウシャジンの根 koypokun-mukekasi (新)

さいりゅう(細流) [名]細流、流れるとも流れぬともつかぬ谷川 pecir(-i) (網走)

さいりょう(最良) (表現)最良になる、である iyotta pirka (石狩): [自]最良になる、最良である iyottapirka (新): [他](場所)で最良になる、である eiyyottapirka (新): [他]～と共に最良になる、である koyottapirka (新): [他](原因、手段)で最良になる、である oiyottapirka (新)[他]～を最良にする iyottapirkare (iyottapirkaka) (新)

ざいりょう(材料) [名]材料 cioikarpe (新): [名]家の材料 ciocisekarpe (新): (表現)家の材料 cise-cioikarpe (新)、(表現) cise an=okár pe (新)、(表現) ani cise an=kár pe (新)

さいれい(祭礼) [名]祭礼 kamuynomi (石狩)、[名] inomi (石狩): [自]祭礼を執り行う kamuynomi (石狩)、[自] inomi (石狩): [名](祈詞として)祭礼、祭礼の場 newsar (石狩): [名](祈詞として)祭礼の場 cási (石狩)

さいれい(祭礼) [名]祭礼 iinomikokikunip (新)、[名] ikamuynomikokikunip (新)

サウジアラビア [場名](国名)サウジアラビア王国 Saudi-arabiya Yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(首都は「リヤド」): [場名](国名の通称として)サウジアラビア Saudi-arabiya (新): [固名]サウジアラビア人、国民 saudi-arabiyaunkur (新)

サウスカロライナ [場名](アメリカ合衆国の州名)サウスカロライナ州 Sauskarorinamosir (新)※(州都は「コロンビア」)

サウスダコタ [場名](アメリカ合衆国の州名)サウスダコタ州 Sausdakota-mosir (新)※(州都は「ピア」)

サウナ [名]サウナ pana (北千島)

サウル (歴史、聖書)[固名]サウル Šáur (新)※(紀元前10世紀頃。イスラエルの初代王)

サウロゴビオ (魚介)[名](カマツカ亜科)サウロゴビオ属 tannepnekamatuka-cise (新)

さえ [副助]～さえ、さえも poka (石狩): 「私はとても疲れて立ち上がる事さえできない。」“Sonno ku=sinki wa ku=hopuni poka eaykap .”, 「今日食べるものさえ私達にはない。」“Tanto ci=e kunip poka isam .”

さえすれば (表現)(動詞の後で最大限の譲歩を表し)(～し)さえすれば yak eas (石狩): 「お金さえ払えば入ってもいいですよ。」“Atayekar=an yak eas ahup=an yak pirka ruwe ne wa .”: (表現)(名詞の後で最大限の譲歩を表し)～でありさえすれば ne yak eas (石狩): 「言った事をやる人の集まりであれば仲間になりますよ。」“Ye p ki kur uekarpa ne yak eas ku=eiopok kusune na .”

さお(棹) [名]棹 turi (石狩): [他](船)を棹をさして操る rariw (石狩)

サオラ (動物)[名](ウシ族)サオラ属 saora-cise (新): [名]サオラ saora (新)※(別名「ベトナムレイヨウ」)

さか(坂) [名]坂 ori (天塩): [名](川岸や浜に出るための)坂 ruesan (石狩)、[名] rueran (H)

さかい(境) [場名](土地の)境 sírutur (síruturu, síruturke, síruturuke) (新): [位名]～の境 utur(長形 -u, -ke, -uke) (石狩)、[位名] ukoutur(長形 -u, -ke, -uke) (新)

さかえる(栄える) [自]栄える situri (複数 siturpa) (石狩)、[自] sirutu (石狩): [他](場所)で栄える esituri (複数 esiturpa) (新)、[他] esirutu (新): [他]～と共に栄える kosituri (複数 kositurpa) (新)、[他] kosirutu (新): [他](原因、手段)で栄える osituri (複数 ositurpa) (新)、[他] osirutu (新): [他]～を栄えさせる siturire (複数 siturpare) (新)、[他] siruture (新): [自]自分で、一人で栄える yaykosituri (新)、[自] yaykosirutu (新): [自]皆で、共に栄える ukositurpa (新)、[自] ukosituru (新)

さかさがわ(逆さ川) [名]逆さ川 horkapet (蝦夷記)※(海から川沿いに上った場合、山の方に向かってから方向を変え海側へ戻るように流れる枝川の事。)

さかさに(逆さに) ①(逆方向に)[副]逆さに horka (石狩): ②(仰向けに)[副]逆さに kuttoko (石狩): (表現)逆さになる、なっている kuttoko ne (石狩): [他]～を逆さにする okuttekar (石狩)、[他] okuttepare (石狩): 「…お流れを彼らは差し出し、私はそれを隠してそれを逆さにし(飲

みもせず捨て)…」“… pakese i=kotarara, an=nuyna ayne an=okuttekari …”(砂沢クラ)

さかさにおりる(逆さに下りる) [自](木から頭を地面に向け)逆さに下りる horkaran (石狩)

さかさにけずる(逆さに削る) [他]～を逆さに削る ehorkake (新): [名]逆さ削りのイナウ ciehorkakep (新)、[名] céhorkakep (沙流)

さがしまわる(探し回る) [自]探し回る iekohunar (石狩): [他]～を探し回る ekohunar (新): [他](人)に～を探し回らせる ehunare (hunarka) (新): [他]自分で、一人で～を探し回る yaykoekohunar (新): [他]皆で、共に～を探し回る ukoekohunar (新)

さがす(探す) [自]探す、探し物をする ihunar (石狩): [他]～を探す hunar (石狩): [他](場所)で～を探す ehunar (新): [他]～と共に～を探す kohunar (新): [他](原因、手段)で～を探す ohunar (新): [他](人)に～を探させる hunare (hunarka) (新): [他]自分で、一人で～を探す yaykohunar (新): [他]皆で、共に～を探す ukohunar (新): [他]充分に～を探す hunanno (hunannu) (新): [他]減茶苦茶～を探す toykohunar (新)

さかだち(逆立ち) [自]逆立ちする ehorkaas (八雲): [他](人)を逆立ちさせる ehorkaaste (新): [自]逆立ちして歩く ehorkaapkas (沙流)

さかな(魚) ①[名]魚 cep(-i) (石狩): ②[名]頭 sapa (石狩)、[名]①魚の頭、②魚のあら cepsapa (石狩): [位名](魚)の背線 mekka (長形-si、-sike) (石狩): [名]背鰭 mekkauspe (石狩)、[名]魚の背鰭 ceprap (石狩)、[名]背鰭の骨 mekkauspepone (mekkauspone) (天塩): [名]魚の腹 ceppisoy(-e) (H): [名](魚の)側線 pisoy(-e) (H): [名]鰭、胸鰭 mokrap(-i) (石狩): [名]尻鰭 sipuyemokrap(-i) (石狩): [名]魚の尾鰭 cepsara (石狩)、(表現) cep saraha (石狩)、[名]尾鰭、及びその根元の肉 akkoci (atkocike) (石狩): [名]鱗 ramram(-i) (石狩): [名]魚の皮、それで作った服 cepur(-i) (石狩)、[名]魚の皮 cepkap(-u) (H): [名]魚の腸 ceptuy (石狩): [名](タラなどの)肝臓 ra (石狩): [名]背骨 motot(-ci) (石狩): [名](魚の)油 sum (石狩): [名]塊になった魚の卵、スジコ homa (oma) (石狩)、[名]バラバラになった魚の卵、バラコ cipor(-o) (石狩): [名]天から魚を降らせ授ける神

cepattekamuy (石狩) → しょくりょうさずけのかみ(食料授けの神)を参照: ③(表現)魚が泳ぐ cep oman (石狩): [名]魚が沢山いる所、魚の寝床 sotki (沙流): [名]沖合でカジキマグロなどが沢山いる所 repuysotki (沙流): [名]魚が沢山釣れる所 siperaysotki (沙流): (表現)魚が腐る cep hosse (石狩): (表現)(水中から)魚が跳ね上がる cep etuk (石狩): (表現)魚の頭を切る cep sapaha tuye (石狩): [自]魚をさばく cepkar (天塩): (表現)魚をさばく cep kar (天塩): (表現)魚を獲る cep koyki (石狩): (表現)魚を煮る cep suwe (石狩): [自] cepkoyki (石狩): (表現)魚を焼く cep ma (石狩): [自](魚に)縄を通したり縛ったりして繋ぐ、魚に縄を通したり縛ったりした物を炉の上から吊るす teskar (石狩)

さかなや(魚屋) [名]魚屋 cephokcise (新)、[名] cepsan (新)

さかなわく(魚枠) [名]上り魚を獲るデシに作られる魚枠 pipuy (天塩)

ざがね(座金) [名]座金、平座金 cinoyepso (新)※(雌ねじの座)、[名] wāser (新)※(英語): [名]平座金 yayancinoyepso (新)、[名] yayawwāser (新): [名]ばね座金、スプリングワッシャー topuysay-cinoyepso (新)、[名] topuysaywāser (新)

ザカフカース (歴史)[場名](国名)ザカフカース社会主義連邦ソビエト共和国 Zakafkas Soviet Ukosineatki Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1922-36年。ソ連邦の旧構成国の一つ。1933年にアゼルバイジャン・ソヴィエト社会主義共和国、アルメニア・ソヴィエト社会主義共和国、グルジア・ソヴィエト社会主義共和国に分けられて消滅。尚アイヌ語の略称は"Zakafkas SUUU")。:(歴史)[場名]ザカフカース民主連邦共和国 Zakafkas Urenkasapte Ukosineatki Ukotankoremosir (新)※(1918年。): (歴史)[場名]ザカフカース議会 Zakafkas-eyaytunususi (新)

さかみち(坂道) [名]坂道 hemesuusi (蝦夷記): [名](川岸や浜に出るための)坂道 ruesan (石狩)、[名] rueran (H)

さかや(酒屋) [名]酒屋 sakehokcise (新)、[名] sakesan (新)

さかやき(月代) [名]月代 rúkotca (rúkotcake) (胆振、日高、十勝、釧路)、[名] otopkotca (釧路): (表現)月代を剃る hottur kerikeri (幌別)

さかゆめ(逆夢) (表現)逆夢になる、である cinita kuttoko ne (新)

さからう(逆らう) [自]人に逆らう unhayta

(新): [他](人)に逆らう hayta (石狩):
 [他]～の事で～に逆らう ehayta (新):
 [他](場所)で～に逆らう ehayta (新):
 [他]～と共に～に逆らう kohayta (新):
 [他](手段)で～に逆らう ohayta (新):
 [他](人)に(人)に逆らわせる haytare (新):
 [他]自分で、一人で～に逆らう yaykohayta
 (新): [他]皆で、共に～に逆らう ukohayta
 (新): [自]自分の心に逆らう
 yayramhayta (新)

さがる(下がる) ①(垂直、あるいは垂直に近い
 姿勢で低い所へ、あるいは空から地上など
 に)[自]下がる ran (複数 rap) (石狩):
 (表現)下に下がる erasi ran (複数 rap)
 (石狩)、(表現)上から下がる orikasi ran (複
 数 rap) (石狩): [他](場所)に下がる
 eran (複数 erap) (石狩)、[他] koran (複
 数 korap) (石狩): [他]～と共に下がる
 koran (複数 korap) (新)、[他] turaran (複
 数 turarap) (新): (表現)～と共に下がる
 tura wa ran (複数 rap) (石狩)、(表現)
 tura(-no) ran (複数 rap) (石狩): [他](場
 所)から下がる oran (複数 orap) (新):
 ②(天から地上、海上から海底に)[自]下がる
 horaye (複数 horaypa) (石狩): [他](場
 所)に下がる kohoraye (複数 horaypa)
 (石狩): ③(山から家や浜、山の上から下、
 川筋に上流から下流、支流から本流、家の中
 で上座から下座に)[自]下がる san (複数
 sap) (石狩): [他](場所)に下がる kosan
 (複数 kosap) (石狩): [他](場所)から下
 がる osan (複数 osap) (新): ④(後ろ
 に)[自]下がる homakociwe (石狩)、[自]
 homakoraye (複数 homakoraypa) (石狩):
 [他](場所)に下がる kohomakociwe (新)、
 [他] kohomakoraye (複数
 kohomakoraypa) (新): [他](場所)から下
 がる ohomakociwe (新)、[他]
 ohomakoraye (複数) (新): ⑤[自]ぶら下
 がる ratki (石狩): ⑥[自]吊下がる at
 (石狩)

サギ(鷺)(鳥)[名](ペリカン目)サギ科
 petcakoas-apa (新): [名]サギ亜科
 petcakoas-moapa (新): [名]アオサギ属
 petcaewak-cise (新): [名]アオツラサギ属
 etuaopetcakoas-cise (新): [名]アカガシ
 ラサギ属 ehurepetcakoas-cise (新):
 [名]アカハラサギ属
 honisikorpepeuspetcakoas-cise (新):
 [名]アフリカトラフサギ属
 afrikatunropetkoas-cise (新): [名]アマサ
 ギ属 enupurwakkaposopetcakoas-cise
 (新): [名]ゴイサギ属 (新): [名]ササゴイ

属 seturusiwninpetcakoas (新): [名]シ
 ラサギ属 retarpetcakoas-cise (新): [名]
 ダイサギ属 sípetcakoas-cise (新): [名]
 チュウサギ属 haykannupetcakoas-cise
 (新): [名][名]トラフサギ属
 tunropetcakoas-cise (新): [名]パプアト
 ラフサギ属 papuatunropetcakoas-cise
 (新): [名]ヒロハシゴイ属 (新): [名]フエ
 フキサギ属 húsepetcakoas-cise (新):
 [名]ミゾゴイ属 sísampetcakoas-cise
 (新): [名]ミノゴイ属 vioretpetcakoas-
 cise (新): [名]サンカノゴイ亜科
 nitatkoas-moapa (新)

さき(先) ①[場名](棒や針などの)先 etu (石
 狩): [接頭](動詞などに接頭して項の数を一
 つ減らし)先 he- (石狩): [接頭](動詞など
 に接頭して項の数を減えず)～の先 e- (石
 狩): ②[位名](棒や板、手など細長いもの、
 あるいは運動する誰か、何か)の先 etok (長
 形-o) (石狩): [位名](場所)の先 erupsi
 (長形-ke) (石狩): 寝ている人なら「枕元」、
 あるいは沙流では家なら「東側」を指す。:
 ③(時間的に)[位名](時間的に)～より先 etok
 (長形-o) (石狩): ④(順序を示し)[位名]～
 より先 kotca (長形-ke) (石狩): ⑤[副]先
 に hoski (石狩)、[副] hoskino (石狩):
 (表現)一番先に iyotta hoski(-no) (石狩):
 [連体]先の hoskian (石狩)、[連体] hoski
 (石狩): (表現)先の hoskino an (石狩)

さきがのびる(先が延びる)[自]～の先が伸びる
 etutanne (新): [他]～の先を伸ばす
 etutanneka (etutannere) (新): [他](場
 所)へと～の先が伸びる、伸びている
 koetutanne (新): 「…金の家の岩の大黒
 柱の先が地獄へ伸びている所に…」 “…
 kanecise sirar tuntut poknamosir
 koetutanne an i ta …” (砂沢クラ)

さきがまがる(先が曲がる)[自]先が曲がる
 hekomo (石狩): [他]～の先が曲がる
 ekomke (新): [他]～の先を曲げる
 ekomo (新): [他](場所)で～の先を曲げる
 eekomo (新): [他]～と共に～の先を曲げ
 る koekomo (新): [他](原因、手段)で～
 の先が曲がる oekomo (新)

さきがみえない(先が見えない)[自]先(将来)が
 見えない sietokous (新): [名]先(将来)の
 見えぬ者 siketokouspe (石狩)

さきがみえる(先が見える)[自]先(将来)が見
 える siketokomakaka (新): [名]先(将来)
 の見えぬ者 siketokomakakap (新)

さきにいく(先に行く)[自]人より先に行く
 itusmak (新)、[自] ikasu (新): [他]～
 より先に行く tusmak (石狩)、[他] kasu
 (石狩): (表現)～より先に行く ～etoko

tusmak (沙流): [他](人)を～より先に行かせる tusmakte (新)、[他] kasure (新)

さきまわり(先回り) [自] 人の先回りする itusmak (新)、[自] ikasu (新): [他]～の先回りする tusmak (石狩)、[他] kasu (石狩): 「君は私の先回りばかりする。」

“E=en=tusmak (= E=en=kasu) patek ki.”: (表現)～の先回りする ～etoko tusmak (沙流): [他](場所)に～の先回りする etusmak (新)、[他] ekasu (新): [他]～と共に～の先回りする kotusmak (新)、[他] kokasu (新): [他](原因、手段)で～の先回りする otusmak (新)、[他] okasu (新): [他](人)を～の先回りさせる tusmakte (新)、[他] kasure (新): [他] 人を～の先回りさせる tusmakyar (新)、[他] kasuyar (新)

さきをあらそう(先を争う) [自] 先を争う、争い合う ukarari (石狩)、[自] uetusmak (石狩): [他](場所)で先を争う eukarari (新): [他](場所)へと先を争う koukarari (新): [他]～と先を争う koukarari (新): [他](原因、手段)で先を争う oukararino (新): [他]～に先を争い合わせる ukararino (新): [副] 先を争って ukararino (石狩)

さきをこす(先を越す) [自] 人の先を越す itusmak (新)、[自] ikasu (新): [他]～の先を越す tusmak (石狩)、[他] kasu (石狩): 「お前は私の先を越して良い物全部買ってしまったのか。」 “E=en=tusmak (E=en=kasu) wa pirkap opitta e=hok okere awan na.”: (表現)～の先を越す ～etoko tusmak (沙流): [他](場所)に～の先を越す etusmak (新)、[他] ekasu (新): [他]～と共に～の先を越す kotusmak (新)、[他] kokasu (新): [他](原因、手段)で～の先を越す otusmak (新)、[他] okasu (新): [他](人)を～の先を越させる tusmakte (新)、[他] kasure (新): [他] 人を～の先を越させる tusmakyar (新)、[他] kasuyar (新)

さく(咲く) ①[自]咲く hepirasa (天塩)、[自] piraske (石狩)、[自] sipirasa (石狩): [他]～を咲かせる epirasa (新)、[他] pirasa (新): ②[自] 沢山咲く hepirasasa (新)、[自] piraske (新)、[自] sipirasasa (新): [他]～を沢山咲かせる epirasasa (新)、[他] pirasasa (新): ③[自] パッと咲く epatke (石狩): [他]～をパッと咲かせる epatu (新): [自] パッパッと沢山咲く epatpatke (石狩): [他]～をパッパッと沢山咲かせる epatpatu (新):

さく(柵) [名] 柵、柵囲い cási (石狩)

さく(裂く) ①(二つ、あるいはそれ以上に)[他]～を裂く pere (複数 perpa) (石狩): [他](場所)で～を裂く eper (複数 eperpa) (新): [他]～と共に～を裂く kopere (複数 koperpa) (新): [他](原因、手段)で～を裂く opere (複数 operpa) (新): [他](人)に～を裂かせる perere (複数 perpare) (新): [他]瞬間的に～を裂く pettekka (新): [他]滅茶苦茶に～を裂く toykopere (複数 toykoperpa) (新): ②(部分的に)[他]～を裂く soso (複数 sospa) (石狩): [他](場所)で～を裂く esoso (複数 esospa) (新): [他]～と共に～を裂く kososo (複数 kosospa) (新): [他](原因、手段)で～を裂く ososo (複数 osospa) (新): [他](人)に～を裂かせる sosore (複数 sospare) (新): [他]瞬間的に～を裂く sostekka (新): [他]滅茶苦茶に～を裂く toykososo (複数形 toykosospa) (新): ③[他]～を細長く裂く petu (複数形 petpa、peppa) (石狩): [他](場所)で～を細長く裂く epetu (複数 epetpa、epeppa) (新): [他]～と共に～を細長く裂く kopetu (複数 kopetpa、kopeppa) (新): [他](原因、手段)で～を細長く裂く opetu (複数 opetpa、opeppa) (新): [他](人)に～を細長く裂かせる pature (複数 petpare、peppare) (新): [他]瞬間的に～を細長く裂く pettekka (新): ④[他]～を細かく裂く yasa (複数 yaspa) (石狩): [他](場所)で～を細かく裂く eyasa (複数 eyaspa) (新): [他]～と共に～を細かく裂く koyasa (複数 koyaspa) (新): [他](原因、手段)で～を細かく裂く oyasa (複数 oyaspa) (新): [他](人)に～を細かく裂かせる yasare (複数 yaspare) (新): [他]瞬間的に～を細かく裂く yastekka (新): [他]滅茶苦茶に～を細かく裂く toykoyasa (複数形 toykoyaspa) (新): ⑤[他]～を一本一本に裂く mim (石狩): [他](場所)で～を一本一本に裂く emim (新): [他]～と共に～を一本一本に裂く komim (新): [他](原因、手段)で～を一本一本に裂く omim (新): [他](人)に～を一本一本に裂かせる mimte (新): [他]瞬間的に～を一本一本に裂く mimtek (新)

さくか(蒴果) (植物)[名]蒴果 ciperpa-ikaop(i) (新)

さくぎ(柵木) ①(柵囲いの)[名]柵木 ni (石狩): (表現)柵木を立てる ni asi (複数 rosiki) (新): ②(クマ穴猟の際穴の前に立てる)[名]柵木 ni (石狩)、[名] kuwa (石狩): (表現)柵木を立てる kuwa asi (石

狩)

ざくぎり(ざく切り) (表現) ~をざく切りにする
ukattuymano tuye (複数 tuypa) (新)

さくさん(酢酸) [名] 酢酸 sakesupkakep (新)

さくじつ(昨日) [場名・副] 昨日 núman (石狩)

さくばん(昨晚) (表現) 昨晚 núman onuman (石狩): (表現) (遅い時間帯) 昨晚 núman ukuran (石狩)

さくひん(作品) [名] 作品 cekarpe (新): (表現) 作品 an=kar pe (新): 「私の作品」 ku=kar pe

さくもつ(作物) [名] 作物 tóyorumpe (石狩)

さくや(昨夜) (表現) 昨夜 núman ukuran (石狩)

サクラ(桜) (植物) [名] (バラ科) サクラ属 karimpani-cise (新): [名] アーモンドの茎 armondoni (新)、[名] アーモンドの種子の仁 armondo (新): [名] アンズの茎 ancuni (新)、[名] アンズの果実 ancu (新): [名] イヌザクラの茎 sísamkikinni (新): [名] ウメの茎 umeni (新)、[名] ウメの花 umeni-apappo (新)、[名] ウメの果実 ume (新): [名] ウワミズザクラの茎 yayan-kikinni (新): [名] エゾノウワミズザクラの茎 kikinni (石狩)、[名] エゾノウワミズザクラの果実 kikinni-epuy(ke) (石狩)、[名] kikin (天塩): [名] エドヒガンの茎 edohigan (新)、[名] エドヒガンの花 edohigan-apappo (新): [名] オオシマザクラの茎 oosima-karimpani (新): [名] オオヤマザクラの茎 karimpani (石狩)、[名] オオヤマザクラの樹皮 karimpa (石狩): [名] オヒョウモモの茎 atnihamus-simomani (新): [名] カスミザクラの茎 yayurarotte-karimpani (新): [名] コウバの茎 hùreumeni (新): [名] サトザクラの茎 kotanun-karimpani (新): [名] サトザクラの花 kotanun-karimpani-apappo (新): [名] シウリザクラの茎 siwri (H)、[名] シウリザクラの果実 siwri-epuy(ke) (新): [名] シダレザクラの茎 tekratkire-karimpani (新): [名] シナミザクラの茎 atuyyahurepo-karimpani (新)、[名] シナノミザクラの果実 atuyyakarimpani-hurep (新): [名] スビノサスモモの茎 kunne-momani (新): [名] スモモの茎 momani (石狩)、[名] スモモの果実 moma (石狩): [名] セイヨウスミノザクラの茎 supkakehurepo-karimpani (新)、[名] セイヨウスミノザクラの果実 supkake-karimpani-hurep (新): [名] セイヨウミザ

クラの茎 síhurepokarimpani (新)、[名] セイヨウミザクラの果実 síkarimpa-hurep (karimpani-hurep) (新): [名] ソメイヨシノの茎 sísam-kouekarpani (新)、[名] someyyosinoni (新): [名] ソメイヨシノの花 sísam-nukanrusuype (新)、[名] someyyosino (新): [名] タカネザクラの茎 samorun-cupkaun-karimpani (新): [名] チシマザクラの茎 cupkaun-karimpani (新): [名] チョウジザクラ cóji-karimpani (新): [名] ニワウメの茎 mintar-umeni (新): [名] ニワザクラの茎 mintar-karimpani (新): [名] バクチノキの茎 kapupitani (新): [名] ヒカンザクラの茎 ponkonkoo-karimpani (新): [名] ブルーンの茎 purunni (新) ※ (別名「セイヨウスモモ」)、[名] ブルーンの果実 purun (新): [名] ブンゴウメの茎 bungoumeni (新): [名] ベニスモモの茎 hùre-momani (新): [名] マメザクラの茎 hakone-karimpani (新): [名] ミネザクラの茎 situn-karimpani (新): [名] ミヤマザクラの茎 retarkarimpani (新): [名] モモの茎 símomani (新)、[名] モモの果実 símoma (新): [名] ヤマザクラの茎 sísam-karimpani (新): [名] ユスラウメの茎 repun-karimpani (新): [名] リンボクの茎 hiiragi-kapupitani (新)

さくらがわ(桜皮) [名] 桜皮 karimpa (新): 本来はオオヤマザクラの樹皮を指すが、今後他種のものについてもこの語を使う。: [名] 桜皮を巻きつけた弓 karimpaunku (石狩)

サクラマス(桜鱈) (魚介) [名] (サケ属) サクラマス icaniw (石狩)、[名] icanuy (天塩)、[名] sákipe (石狩)、[名] sakcep (天塩): [名] 産卵を終えたサクラマス、ほっちゃんれ naykotcep (幌別)

サクラメント [場名] (アメリカ合衆国カリフォルニア州の州都名) サクラメント Sacramento (新)

さくらん(錯乱) [名] 錯乱 kinra (石狩): [自] 錯乱する、している kinrane (石狩): [他] ~を錯乱させる kinraneka (kinranere) (新): [他] ~に関して~を錯乱させる ekinraneka (ekinranere) (新): [他] (場所) で~を錯乱させる ekinraneka (ekinranere) (新): [他] ~と共に~を錯乱させる kokinraneka (kokinranere) (新): [他] (原因、手段) で~を錯乱させる okinraneka (okinranere) (新):

さくらんぼ(桜桃) [名] 桜桃 karimpanihurep (新): 通常「セイヨウミザクラの果実」を指し、他の果実と区別する時には

sikarimpanihurep とする。

さくれつ(炸裂) [自]炸裂する *pustek* (石狩)、[自] *pus* (石狩)：[他](場所)で炸裂する *epustek* (新)、[他] *epus* (新)：[他]～と共に炸裂する *kopustek* (新)、[他] *kopus* (新)：[他](原因、手段)で炸裂する *opustek* (新)、[他] *opus* (新)：[他]～を炸裂させる *pustekka* (石狩)、[他] *puste* (新)：[自]完全に炸裂する *oarpustek* (arpustek) (新)、[自] *oarpus* (arpus) (新)：[自]炸裂しまくる *toykopustek* (新)、[自] *toykopus* (新)

ザグレブ [場名](クロアチア共和国の首都名) ザグレブ *Zágrebu* (新)

サケ(鮭) ①(魚介)[名](原棘鱸上目)サケ目 *kamuycep-kotan* (新)：[名]サケ科 *kamuycep-apa* (新)：[名]サケ亜科 *kamuycep-moapa* (新)：[名]サケ属 *kamuycep-cise* (新)：[名]サケ *kamuycep* (石狩)、[名] *cep* (石狩)、[名] *sipe* (石狩)※(通称「シロザケ」)：[名]アバッチトラウト *arizonasipe* (新)：[名]カッスロートトラウト *notpokihuresipe* (新)：[名]カラフトマス *emoy* (石狩)：[名]ギラトラウト *girasipe* (新)：[名]ギンザケ *matcep* (B)：[名]クニマス *nirassipe* (新)：[名]サクラマス *icaniw* (石狩)、[名] *cakcep* (天塩)：[名]サツキマス *sísamsipe* (新)、[名] *amago* (新)：[名]ニジマス *rayocisipe* (新)※0：[名]ビワマス *biwaicaniw* (新)※(サクラマスの亜種。別名「アメノウオ」)：[名]ヒメマス *katatcep* (阿寒)※(ベニザケの陸封型)：[名]ベニザケ *urup* (藻汐草)※(ヒメマスの降海型)：[名]マスノスケ *kenew* (長万部)、[名]特に成魚 *apekes* (天塩)：[名]メキシカン・ゴールドトラウト *méxico-konkanisipe* (新)：[名]ヤマメ *kikrap* (石狩)、[名] *icankot* (浦河)※(サクラマスの陸封型)：[名]イトウ属 *ciray-cise* (新)：[名]イワナ属 *húrekeso-cise* (新)：[名]タイセイヨウサケ属 *assiatuy-kamuycep-cise* (新)：[名]ブラキミスタス属 *renok-cise* (新)：[名]マンシュウマス *renok* (新)※(学名。別名「コクチマス」)：[名]カワヒメマス亜科 *xárius-moapa* (新)：[名]コレゴマス亜科 *wakaso-moapa* (新)：②[名]雄のサケ、マス *ca* (石狩)、[名]大きい雄のサケ *síca* (石狩)：[名]雌のサケ、マス *os* (石狩)、[名]大きい雌のサケ *síca* (石狩)：[名]サケの幼魚 *ceppo* (幌別)：[名]一番最初に獲れるサケ *asircep* (asitcep) (石狩)：[名]漁期の初め頃に獲れるサケ *pewrecep* (石狩)：[名]

秋獲れるサケ *cukkamuycep* (石狩)、[名] *cukcep* (石狩)：[名]漁期の終りに獲れるサケ *onnecep* (石狩)、[名]漁期終りのサケ *isirukamuycep* (石狩)：[名]しろつけ *cikapipe* (天塩)：[名]ぶなつけ *cukcep* (天塩)：[名]ホリを掘るサケ *icancep* (天塩)：[名]ほっちゃれ *isirucep* (石狩)、[名] *okiray* (天塩)：③(関連語彙)[名]氷頭 *sapanumi* (石狩)、[名]サケの頭 *cepsapa* (石狩)、[名](サケの)顎、鰓蓋の肉 *notarap* (石狩)、[名]サケの内臓膜 *cephum* (石狩)、[名](サケの)胃 *ipepise* (石狩)、[名]サケの卵 *kamuycephoma* (*kamuycepoma*) (石狩)、[名]サケ、マスのスジコ *homa(oma)* (石狩)、[名]サケ、マスのバラコ *cipor(ciporo)* (石狩)：[自]サケの身を薄く残しながら皮を剥ぐ *akaykar* (石狩)、[名]頭を落とし身を薄く残しながら腹の方から剥いだサケの皮 *akay* (石狩)：[名]サケの氷頭を叩いて香草など加えた料理 *húipe* (旭川)、[名] *citatap* (空知)：[名]焼いたサケ、マス *cimacep* (新)：[名]燻製のサケ、マス *uparuscep* (石狩)、[名] *cimacep* (新)：[名]干しザケ *satcep* (石狩)、[名] *cinana* (空知)：[名]背開きの乾しサケ *atat* (幌別)：[名]トバ *túpa* (石狩)：[名]乾燥させたサケの卵 *satcipor* (石狩)：[名]サケの顎に紐に通し乾しザケの頭を連ねたもの *notarap-eupusi* (石狩)※(犬の餌)：[名]サケ、マスの産卵床 *ican* (石狩)：(表現)サケが産卵するばかりの状態になる *cep isa* (屈斜路)：[名]全てのサケの親とされる神 *cepkamuy* (空知)

さけ(酒) ①[名]酒 *sake* (石狩、天塩)：[名](雅) *askor* (石狩)：[名]酒、濁り酒 *tónoto* (石狩)：現在では特にアイヌ伝統の手法で醸造されたものや濁り酒を指して用いられることが多い。：[名]濁り酒 *ankárpe* (浦河)：②[自]酒を造る *sakekar* (石狩)、[自] *tónotokar* (石狩)：(表現)酒を造る *sake kar* (石狩)、(表現) *tónoto kar* (石狩)：[他](場所)で酒を造る *esakekar* (新)：[他]～と共に酒を造る *kosakekar* (新)：[他](原因、手段)で酒を造る *osakekar* (新)：[他](人)に酒を造らせる *sakekare* (新)：[自]自分で、一人で酒を造る *yaykosakekar* (新)：[自]皆で、共に酒を造る *ukosakekar* (新)：[名]酒を造るシントコ *sakekarsintoko* (石狩)、[名] *inawkotsintoko* (石狩)：[名]酒造りの時に女が麴を入れかき混ぜるための篋 *tónotopera* (石狩)：[連他](人)の口にする酒を造る *paro-osakekar* (*par-osakekar*)

(沙流): [自]酒ができるのを待つ saketere (沙流): [自]酒の醗酵具合を見る inonkar (石狩): (表現)酒ができる sake pirka (石狩): ③[自]酒漉しする inumpa (石狩)、[自] inumka (石狩): [他](人)に酒漉しさせる inumpare (新)、[他] inumkare (新): [名]酒漉しのざる inumpaicari (石狩): [名]酒漉しのざるを載せる台木 icarikamap (石狩)

さけかす(酒粕) [名]酒粕 sirari (石狩)

さけぐせ(酒癖) [名]酒癖 sakepuri (新)、[名] ikupuri (新): (表現)酒癖が良い sakepuri (ikupuri) pirka (新): (表現)酒癖が悪い sakepuri (ikupuri) wen (新): [名]酔うと暴れる酒癖 sake-kinra (新)、[名] iku-kinra (新): [名]酔うとからむ酒癖 sake-caranke (新)、[名] iku-caranke (新): [名]酔うと好色になる酒癖 sake-pawci (新)、[名] iku-pawci (新): [名]酔うと短気になる酒癖 sake-sakanram(i) (沙流)、[名] iku-sakanram(i) (新): [名]酔うと泣く酒癖 sake-cis (新)、[名] iku-cis (新): [名]酔うとひどく陽気になる酒癖 sake-mina (新)、[名] iku-mina (新): [名]酔うと無口になる酒癖 sake-moru(-we) (新)、[名] iku-moru(-we) (新): [名]酔うと雄弁になる酒癖 sake-pawetok (新)、[名] ikupawetok (新)

さけくだける(裂け砕ける) [自](物語の中の慣用句に用いられ大地や村が)裂ける、砕ける uyake (石狩): 「…大地が裂け村が砕ける音がしつ…」 “… mosir uyake kotan uyake u humas kane …”(杉村キナラブック)

さけたき(裂けた木) (表現)裂けた木 cipere ni (新): (表現)真二つに裂けた木 oar tup ne cipere ni (新)、(表現) tup ne ciarpere ni (新): (表現)複数に裂けた木 ciperpa ni (新): [名](落雷で)裂けて薄くなった木 nísos (石狩)

さけのしずく(酒の滴) [他](神祈りの時、奉酒箸)で～に(酒)の滴を捧げる ecikikorikinte (石狩): 「火の姫神にこれなる奉酒箸、これなる御酒の滴をわれらは捧げます…」

“Apehucikamuy tapan ikupasuy tapan tuki tapan tonoto ecikikorikinte=an na …”(砂沢トゥアカンノ)※(例文では“Apehucikamuy”から“ecikikorikinte”までが一つの自動詞のように扱われている。このように数行にも及ぶ長大な単語が雅語表現によく現れる。)

さけぶ(叫ぶ) ①(大声を出す事を示し)[自]叫ぶ hawsanke (石狩): [他](人)に叫ばせる hawsankere (新): [自]自分で、一人で叫ぶ yaykohawsanke (新): [自]皆で、共に

叫ぶ ukohawsanke (新): ②(呼びかける事を示し)[自]叫ぶ hawsitayki (石狩): [他]～について叫ぶ ehawsitayki (新): [他]～に対して叫ぶ kohawsitayki (新): [他](人)に叫ばせる hawsitaykire (新): [自]自分で、一人で叫ぶ yaykohawsitayki (新): [自]皆で、共に叫ぶ ukohawsitayki (新): ③(叫んで合図したり呼ぶ事を示し)[自]叫ぶ hotuypa (石狩): [他]～に大きな声で叫ぶ kohotuypa (新): [他](人)に叫ばせる hotuypare (新): [自]自分で、一人で叫ぶ yaykohotuypa (新): [自]皆で、共に叫ぶ ukohotuypa (新)

さげる(下げる) ①(空から地上など高い所から低い所に)[他]～を下げる ranke (複数 rapte) (石狩): (表現)下に～を下げる erasi ranke (複数 rapte) (石狩)、(表現)ra ta ranke (複数 rapte) (石狩): (表現)上から～を下げる orikasi ranke (複数 rapte) (石狩): [他](場所)へ～を下げる eranke (複数 erapte) (石狩)、[他] koranke (複数 korapte) (新): [他]～と共に～を下げる koranke (複数 korapte) (新): [他](場所)から～を下げる oranke (複数 orapte) (新): [他](原因、手段)で～を下げる oranke (複数 orapte) (新): [他](神が天からある場所)に～を下げる oranke (石狩): [他](場所)から～を下げる oranke (複数 orapte) (新): [他](原因、手段)で～を下げる oranke (複数 orapte) (新): [他](人)に～を下げさせる rankere (複数 raptere) (新): ②(山から村や浜、山の上から下、川筋に上流から下流、支流から本流に)[他]～を下げる sanke (複数 sapte) (石狩): [他] kórasan (複数 kórasap) (石狩): ③(山から麓、家から川や浜など水辺へ動けぬ人や物を)[他]～を下げる kóranan (複数 kórarap) (石狩): ④(後ろに)[他]～を下げる makoraye (複数 makoraypa) (石狩): ⑤[他]～をぶら下げる ratkire (石狩、天塩): ⑥[他]～をつり下げる atte (石狩)

さける(避ける) ①(人に関して)[自]人避ける iesisi (新)、[自] ienupitakar (新): [他](人)を避ける esisi (石狩)、[他] enupitar (石狩): 「そいつを避けて私はいつも仲良し達と家に帰る。」 “Neampe ku=esisi wa ramma ku=kor ukooskepirka utar turano hosippa=as .”: [他](人)に(人)を避けさせる esisire (新)、[他] enupitakare (新): ②(行為の対象に関して)[自]避ける ikamakar (新): [他]～を避ける kamakar (石狩): 「…彼は細い柱を避け、太い柱を選び…」 “… ane ikuspe

kamakar, ruwe ikuspe enumkekar …” (杉村キナラブック): [他](人)に～を避けさせる
kamakare (新): ②(行為の主体に関して)[自]避ける iyaykakamakar (新):
[他]～を避ける yaykakamakar (新):
「私は雪玉を避けながら走った。」“Upastak
ku=yaykakamakar kane ku=hoyupu.”:
[他](人)に～を避けさせる yaykakamakare
(新)

さける(裂ける) ①(二つ、あるいはそれ以上に)[自]裂ける perke (石狩): (表現)～の
縫い目が裂ける ～ ikiri perke (石狩):
[他](場所)で裂ける eperke (新): [他]～
と共に裂ける koperke (新): [他](原因、
手段)で裂ける operke (新): [自]瞬間的
に避ける pertek (pettek) (新): [自]減
茶苦茶に裂ける toykoperke (新): [自]ボ
ロボロに裂ける perkeperke (新)、[自]
pepperke (新): ②(一部が)[自]裂ける
soske (石狩): [他](場所)で裂ける
esoske (新): [他]～と共に裂ける
kososke (新): [他](原因、手段)で裂ける
ososke (新): [自]瞬間的に裂ける sostek
(新): [自]減茶苦茶に裂ける toykososke
(新): ③[自]細く裂ける petke (新)、[自]
sipetu (複数 sipetpa、sipeppa) (新):
[他](場所)で細く裂ける epetke (新)、[他]
esipetu (複数 esipetpa、esipeppa) (新):
[他]～と共に細く裂ける kopetke (新)、
[他] kosipetu (複数形 kosipetpa、
kosipeppa) (新): [他](原因、手段)で細く
裂ける opetke (新)、[他] osipetu (複数形
osipetpa、osipeppa) (新): [自]瞬間的に
細く裂ける pettek (新): ④[自]細かく裂
ける yaske (新): [他](場所)で細かく裂
ける eyaske (新): [他]～と共に細かく裂
ける koyaske (新): [他](原因、手段)で細
かく裂ける oyaske (新): [自]瞬間的に細
かく裂く yastek (新): [自]減茶苦茶に細
かく裂ける toykoyaske (新): ⑤[自]一
本一本に裂ける simim (新): [他](場所)
で一本一本に裂ける esimim (新): [他]
～と共に一本一本に裂ける kosimim
(新): [他](原因、手段)で一本一本に裂ける
osimim (新): [自]瞬間的に一本一本に裂
ける simimtek (新): ⑥[間投](何かが裂
ける、あるいは裂けたような音)ビリ、ビリ、
パリ、パリ yas (新): [間投]ビリビリ、
ビリビリ、パリパリ、パリパリ yásas (新):
[自](一回)ビリ、ビリ、パリ、パリッと鳴る
yaskosanu (石狩)※(雷鳴の表現としてよく
使われる): [自]ビリビリ、ビリビリ、パリ
パリ、パリパリと頻りに鳴る ciyasrototo
(新)、[自] yasrototke (新): [自]ビリビリ、

ビリビリ、パリパリ、パリパリと鳴る
yásasatki (新): [自]ビリビリ、ビリビリ、
パリパリ、パリパリと鳴り続ける
yasnatara (新)

さけをのむ(酒を飲む) ①[自]酒を飲む iku
(石狩): (表現)酒を飲む sake ku (石狩)、
(表現) tónoto ku (石狩): [他](場所)で酒
を飲む eiku (新): [他]～と共に酒を飲む
koiku (新): [他](原因、手段)で酒を飲む
oiku (新): [他](人)に酒を飲む ikure
(新): [自]自分で、一人で酒を飲む
yaykoiku (新): [自]皆で、共に酒を飲む
ukoiku (新): [自]充分酒を飲む ikuno
(ikunu) (新): [自]減茶苦茶酒を飲む
toykoiku (新): ②(素面である)[自]酒を飲
んでいない nuasi (石狩): (表現)酒を飲
まない、飲んでない somo iku (石狩): ③
(習慣的に)(表現)酒を飲まない、飲んでない
somo iku (石狩)

さけをむりじいする(酒を無理強いする) [他]
人に酒を無理強いする unikuekoyki (新):
[他](誰か)に酒を無理強いする ikuekoyki
(新): [他]人に～を飲むよう無理強いする
unkuekoyki (新): [他](誰か)に～を飲むよ
う無理強いする kuekoyki (石狩): 「…
怪しい酒、毒の酒を彼らは作って、神の勇者
はそれを飲むよう無理強いされた…」“…
okokkosake, u surkusake u kar ineno
kamuyrametok an=kuekoyki …” (杉村キナ
ラブック)

ざこ(雑魚) [名]雑魚 ceppo (石狩)

ざこつ(鎖骨) [名]鎖骨 iturapone (石狩)

ササ(笹)(植物)[名](タケ亜科)ササ属 uras-
cise (新): ①(チシマザサ節)[名]チシマザ
サの枝葉 uras(i) (石狩)、[名] huttat(-
u) (石狩)、[名]その葉 urasam (天塩):
[名]その茎 iktara (北見紋別)、[名]
ikitarara (美幌)、[名]その根茎 urassinrit
(新)、[名]その花 urasapappo (新)、[名]そ
の実 uripe (H)、[名] kamuy-amam
(幌別)、[名]その枯茎 yayantop (十勝)※
(別名「ネマガリダケ」): [名]エゾネマガリ
の茎 top (石狩)、[名] ayustop (石狩)、
[名] rumnetop (天塩)、[名] opnetop
(沙流)、[名]その葉 tópam (幌別)、[名]その
枝葉 uras (C)、[名]その若芽 topto (石
狩)、[名]その花 tópapappo (新)、[名]その
実 topepuy (長万部)、[名] kamuy-amam
(幌別)※(チシマザサの変種): [名]エゾミヤ
マザサの枝葉 yaunmetotus-uras (新):
[名]カワウチザサの茎 kawauci-uras
(新): [名]ナガバネマガリダケの茎
hamutannetop (新)※(チシマザサの変種):
②(チマキザサ節)[名]シャコタンチクの茎

sirkiotop (C)※(チマキザサの亜種): [名]チマキザサの枝葉 cisitokokarkari-uras (新): [名]イワテザサの枝葉 iwate-uras (新)※(ヤヒコザサの変種): [名]オオバザサの枝葉 hamuporo-uras (新)※(別名「ホロマンザサ」): [名]オゼササの枝葉 oze-uras (新)※(ヤヒコザサの変種): [名]クテガワザサの枝葉 kutegawa-uras (新): [名]クマイザサの枝葉 sinepesanhamus-uras (新)※(別名「シナノザサ」): [名]クマザサの枝葉 hamparurkeretar-uras (新): [名]ケザサの枝葉 numausuras (新): [名]シコタンザサの枝葉 sikotan-uras (新)※(ヤヒコザサの変種): [名]チュウゴクザサの枝葉 cúgoku-uras (新)※(クマザサの変種): [名]フゲシザサの枝葉 hugesi-uras (新): [名]ミナカミザサの枝葉 minakami-uras (新)※(クマイザサの変種): [名]ミヤマザサの枝葉 metotus-uras (新): [名]ヤヒコザサの枝葉 yahiko-uras (新): [名]ルベシベザサの枝葉 rupespe-uras (新)※(チマキザサの変種): ③(ミヤコザサ節)[名]ミヤコザサの枝葉 síatuy samuras (新): [名]アボイザサの枝葉 apoy-uras (新): [名]コガシザサの枝葉 kogasi-uras (新): [名]センダイザサの枝葉 senday-uras (新): [名]タンガザサの枝葉 tanga-uras (新): ④(アマギザサ節)[名]イブキザサの枝葉 ibuki-uras (新): [名]イヌトクガワザサの枝葉 numausiko-tokugawauraas (新): [名]トクガワザサの枝葉 tokugawa-uras (新): [名]ミヤマクマザサの枝葉 hayata-uras (新): ⑤(スズササ節)[名]オオシダザサの茎葉 ohida-sicap (新): [名]オモエザサの茎葉 omoe-sicap (新): [名]カガミナンブズスの茎葉 kagami-nambucicap (新): [名]サイヨウザサの茎葉 hamuane-cicap (新): [名]タキザワザサの茎葉 takizawa-cicap (新): [名]ツクバナンプスズの茎葉 tukuba-nambucicap (新): [名]ハコネナンブスズの茎葉 nambu-cica (新)※(別名「ナンブスズ」、「ハコネスズ」): [名]ヒメカミザサの茎葉 himekami-cicap (新): [名]スズササ類の葉 cicapham(-u) (新)、[名] cicapam(-u) (新): [名]スズササ類の茎(稈) cicap (新): [名]スズササ類の花 cicapapappo (新): [名]スズササ類の実 cicapamam(-a) (新): [名]スズササ類の若芽 cicapto (新): [名]スズササ類の稈鞘 cicapkap(-u) (新)

ザザー (斜面から川の流れなどが滑り降りる音)[間投]ザー car (石狩): [間投]ザザー cárar (石狩): [自]ザーと音をたてる

carse (石狩)、[自] casse (新): [他]〜をザーと音をたてさせる carseka (carsere) (新)、[他] casseka (cassere) (新): [自]ザザーと音をたてる cárarse (石狩)、[自] cárasse (cárase) (石狩): [他]〜をザザーと音をたてさせる cárarseka (cárarsere) (新)、[他] cárasseka (cárassere) (新): [自]一回ザーと音をたてる carkosanu (石狩)、[自] carkosampa (新): [自]ザーザーと頻りに音をたてる canrototke (新)、[自] cicanrototo (新): [自](何度も)ザザーと音をたてる cáraratki (幌別): [自]ザザーと音を続けていて cannatara (新): [自]ちょっとザーと音をたてる cattek (新): [他]〜をちょっとザーと音をたてさせる cattekkka (新)

ささえる(支える)[自]ものを支える isamaani (複数 samaampa) (新)、[自] iani (複数 iampa) (新): [他]〜を支える samaani (複数 samaampa) (新)、[他] ani (複数 ampa) (新): [他](場所)で〜を支える esamaani (複数 esamaampa)、[他] eani (複数 eampa) (新): [他]〜と共に〜を支える kosamaani (複数 kosamaampa) (新)、[他] koani (複数 koampa) (新): [他](原因、手段)で〜を支える osamaani (複数 osamaampa) (新)、[他] oani (複数 oampa) (新): [他](人)に〜を支えさせる samaanire (複数 samaampare) (新)、[他] anire (複数 ampare) (新): [他]自分で、一人で〜を支える yaykosamaani (複数 yaykosamaampa) (新)、[他] yaykoani (複数 yaykoampa) (新): [他]皆で、共に〜を支える ukosamaani (複数 ukosamaampa) (新)、[他] ukoani (複数 ukoampa) (新): [他]完璧に〜を支える oassamaani (複数 oassamaampa) (新)、[他] oarani (複数 oarampa) (新): [他]がっちり〜を支える toykosamaani (複数 toykosamaampa) (新)、[他] toykoani (複数 toykoampa) (新)

ささがき(笹掻き)(表現)〜を笹掻きする ~ urasamne tuye (複数 tuypa) (新)

ささかざり(笹飾り)[名]笹飾り citomteurasam (新)

ササゲ(大角豆)(植物)[名](マメ科)ササゲ属 sasagekina-cise (新): [名]ササゲの茎葉 sasagekina (新)、[名] sasagepunkar (新): [名]ササゲの種子(豆) sasage (新): [名]アズキの茎葉 antokikina (新): [名]ケツルアズキの茎葉 kunnesiwninantokipunkar (新)※(「コクリョクトウ」とも): [名]ジュウロクササゲの茎葉 iwampe ikasma wan sasagepunkar

(新): [名]ジュウロクササゲの種子(豆) iwampe ikasma wan sasage (新): [名]ヤブツルアズキの茎葉 cikapantokipunkar (新): [名]リョクトウの茎葉 siwninantokikina (新)※(「ヤエナリ」とも)

ささげる(捧げる) ①(上げる意味で)[他]～を高く捧げる rikuyruke (石狩): [他]～を低く捧げる ráuyruke (石狩): (表現)(何かを受け取って感謝の仕草として受け取ったものを上下させる事を表し)～を高く捧げ、低く捧げる rikuyruke ráuyruke (石狩): ②(供物や木幣、酒などに関して差し出したり、供える意味で)[自]供物を捧げる irikinte (複数 irikipte) (新): [他](人)に供物を捧げさせる irikintere (複数 irikiptere) (新): [他]～を捧げる rikinte (複数 rikipte) (石狩): [他]～に～を捧げる erikinte (複数 erikipte) (石狩)、[他] korikinte (複数 korikipte) (石狩)、[他] oikus (石狩)、[他](雅語) ekorikinte (石狩)、[他](雅語) eoikus (石狩): [他]～と共に～を捧げる korikinte (複数 korikipte) (新): [他](原因、手段)で～を捧げる orikinte (複数 orikipte) (新): [他](人)に～を捧げさせる rikintere (複数 rikiptere) (新): [他]一人で、自分で～を捧げる yaykorikinte (複数 yaykorikipte) (新): [他]皆で、共に～を捧げる ukorikinte (複数 ukorikipte) (新): [自]神に供物を捧げる ikamuyoikus (新): [他](人)に神に供物を捧げさせる ikamuyoikuste (新): [他]神に～を捧げる kamuyoikus (新): [他](人)に神に供物を捧げさせる kamuyoikuste (新)

ササゴイ(笹五位)(鳥)[名](サギ亜科)ササゴイ属 seturusiwnimpetcakoas-cise (新): [名]ササゴイ seturusiwnimpetcakoas (新)

さざなみ(漣)[名]漣 koyrir (天塩)、[名]rir (天塩)

ささのこ(笹の子)[名]笹の子 topto (石狩)

ササのたば(笹の束)[名]家の資材として刈り取ったササを70～80本束ねたもの imuyeuras (石狩)

ささぶき(笹葺き)[名]笹葺きの家 urascise (石狩)、[名] usatcise (石狩)

ささやく(囁く) [自]囁く cápis (石狩)、[自] pínopoitak (石狩)、[自] piitak (天塩)、[自] pínu (新)、[自](雅) hakakse (沙流): (表現)(雅)囁く hakakno kane itak (新)※(沙流より): (表現)囁き声 cápis (pínopoitak) haw(-e) (石狩): [名](雅)囁き声 hakak (沙流): [他]～について囁く ecapis (新)、[他] epinopoitak (新)、[他] epiitak (新)、[他] epinu (天塩): (表

現)(人)に囁く、～について囁く pinopino ~ye (新): [他](人)に囁く kocapis (新)、[他] kopinopoitak (新)、[他] kopiitak (新)、[他] kopinu (新): [他]～と一緒に囁く kocapis (石狩)、[他] kopinopoitak (新)、[他] kopiitak (新)、[他] kopinu (新): [他](原因、手段、場所)で囁く ocapis (新)、[他] opinopoitak (新)、[他] opiitak (新)、[他] opinu (新): [他](人)に囁かせる cápiste (新)、[他] pínopoitakte (新)、[他] piitakte (新)、[他] pínure (新): [自]自分で、一人で囁く yaykocapis (新)、[自] yaykopinopoitak (新)、[自] yaykopinu (新): [自]皆で、共に囁き合う ukocapis (石狩)、[自] ukopinopoitak (新)、[自] ukopiitak (新)、[自] ukopinu (新): (表現)囁き交わす hakak itakpo ukotussere (新)※(沙流): [自]囁き突付き合う upiotkeotke (石狩): [他]～について囁き突付き合う eupiotkeotke (新)

ささる(刺さる) ①[他]～に刺さる ciw (石狩): 「石に槍が刺さる。」“Op suma ciw .”: [自]先が～に刺さる heciw (新): (表現)先が…に刺さる etu … etara (新): [他]～の先が～に刺さる eciw (新): ②(刀や槍、釘、鋌、棘など)[他]～に刺さる etara (石狩): 「その男は胸に刀が刺さって死んでいた。」“Nea okkayo anakne penramu ka emus etara wa ray wa an .”: [自]先が～に刺さる heetara (新): [他]～の先が～に刺さる eetara (新)、[他] eciw (新)

さじ(匙)[名]匙 parapasuy (石狩)

さしあげる(差し上げる) ①(低い位置から物を渡す行為を表し)[他]～を差し上げる tarara (新): [他](場所)で～を差し上げる etarara (新): [他](人)に～を差し上げる kotarara (新): 「余りにも沢山の花束が私に差し出されたので、受け取る事もできない。」“Eikos poronno imuyeapappo enci=kotarara kusu ku=oaruk ka eaykap .” (杉村キナラブック)説話: [他](原因、手段)で～を差し上げる otarara (新): [他](人)に～を差し上げさせる tararare (新): ②(人に何かを譲る事を表し)[他]人に～を差し上げる unkorpare (新): [他](人)に物を差し上げる ikorpare (新): [他]～に～を差し上げる korpare (新): [他](場所)で～に～を差し上げる ekorpare (新): [他]～と共に～に～を差し上げる kokorpare (新): [他](原因、手段)で～に～を差し上げる okorpare (新): [他]自分で、一人で～に～を差し上げる yaykokorpare (新): [他]皆で、共に～に～を差し上げる

ukokorpare (新): ③(食事に) [自] 人に食事を差し上げる ikoipumpa (新): [他](人)に食事を差し上げる koipumpa (新): [他] 人に～を差し上げる ikopumpa (新): [他](人)に～を差し上げる kopumpa (新): [他](場所)で(人)に～を差し上げる ekopumpa (新): [他](原因、手段)で～に～を差し上げる okopumpa (新)

さしあみ(刺網) [名] 刺網 ciamaya (天塩): 「刺網漁をする」 ya ama (石狩): [名] 刺網漁船 yáamacip (新)

さしいれる(差し入れる) [他](火を起こすため息を吹きかけるために)(場所)に顔を差し入れる heusi (沙流): (表現) 鍋の下に顔を差し入れ差し入れ激しい火をおこす su corpok heusi-heusi ruyruy ape are (新)

サシオコウモリ(掃尾蝙蝠)(動物)[名](コウモリ目)サシオコウモリ科 sirkasarkapap-apa (新): [名] サシオコウモリ属 sirkasarkapap-cise (新): [名] エンバロスラ・アレクト pónaziaun-sirkasarkapap (新): [名] E. セリー seri-sirkasarkapap (新): [名] E. ベッカリー bekkari-sirkasarkapap (新): [名] E. モンティコラ temminku-sirkasarkapap (新): [名] E. ラッフラヤナ raffuray-sirkasarkapap (新): [名] オオサシオコウモリ niwginiaun-sirkasarkapap (新): [名] ダイアナサシオコウモリ diana-sirkasarkapap (新): [名] ミニオサシオコウモリ porinešiaun-sirkasarkapap (新): [名] アレクトサシオコウモリ属 kisaratakne-sirkasarkapap (新): [名] アレクトサシオコウモリ kisaratakne-sirkasarkapap (新): [名] ケントロニクテリス属 makšimirian-hepurkapap (新): [名] ケントロニクテリス・ケントラリス tómas-hepurkapap (新): [名] C. マクシミリアニ makšimirian-hepurkapap (新): [名] コルムラ属 yámirone-pukuruoraporkapap-cise (新): [名] コルムラ・ブレビロストリス yámirone-pukuruoraporkapap (新): [名] コレウラ属 afrikaun-sirkasarkapap-cise (新): [名] コレウラ・アフラ afrikaun-sirkasarkapap (新): [名] セイシエルサシオコウモリ seyşerun-sirkasarkapap (新): [名] サッコブテリクス属 pukuruoraporkapap-cise (新): [名] サッコライムス属 honiatusa-pukuruoraporkapap-cise (新): [名] タフオゾウス属 túsirkapap-cise (新): [名] デイクリドゥルス属 retarsirkasarkapap-cise (新): [名] バランティオブテリクス属

rúkunne-sirkasarkapap-cise (新): [名] エクアドルヒメサシオコウモリ ekuadorun-siraisarkapap (新): [名] トマスサシオコウモリ tómas-sirkasarkapap (新): [名] ピーターサシオコウモリ rúkunne-sirkisarkapap (新): [名] ペロプテリクス属 setakapap-cise (新): [名] モシア属 kuroksirkasarkapap-cise (新): [名] モシア・ニグレスケンス kuroksirkasarkapap (新): [名] リンコニクテリス属 parotuknikapkapap-cise (新): [名] リンコニクテリス・ナソ parotuknikapkapap (新)※(口突木皮蝙蝠)

ざしき(座敷) ①(畳敷きの部屋)[場名] 座敷 tatamiusi (新)、[名] tatamius-tumpu (新): [名] 座敷牢 tatamiusiro (新): ②(酒席)[名] 座敷 maratatto (marapto) (石狩)

さしきず(刺傷) (表現) 刺傷 an=itarare pir-(i) (新): (表現) ～による刺傷 an=tarare pir-(i) (新): (表現) 包丁による刺傷 hoyco an=tarare pir-(i) (新)、(表現) an=hoycotarare pir-(i) (新)

さしこむ(刺し込む) ①[他]～にものを刺し込む itarare (新)、[他] koiciw (新): [他]～に～を刺し込む tarare (石狩)、[他] kociw (新): ②(痛みに関して)[自] 刺し込む、刺し込むように痛む sikayus (天塩): [名] 食べ過ぎて腹が刺し込む ipesikayeus (石狩)

さしこむ(射し込む) (表現)(光が) 射し込む hetuku wa ahun (新)

さししめす(指し示す) [自] 指し示す yaka (石狩、天塩): [他]～を指し示す eyaka (新): [他](人)に対して指し示す koyaka (新): [他](手段)で指し示す oyaka (新): [他](人)に指し示させる yakare (新)

さしず(指図) →「めいれい(命令)」を見よ

さしだす(差し出す) ①[自] ものを差し出す isanke (複数 isapte) (新): [他]～を差し出す sanke (複数 sapte) (石狩): [他](場所)で～を差し出す esanke (複数 esapte) (新): [他]～に～を差し出す、～と共に～を差し出す kosanke (複数 kosapte) (新): [他](場所)から～を差し出す、(原因、手段)で～を差し出す osanke (複数 osapte) (新): [他](人)に～を差し出させる sankere (複数 saptère) (新): [他] 自分で、一人で～を差し出す yaykosanke (複数 yaykosapte) (新): [他] 皆で、共に～を差し出す ukosanke (複数 ukosapte) (新): [他](目の)前に～を差し出す sanasanke (石狩): ②(手紙に関して)[他]～を差し出す omante (石狩): (表現) 手紙を差し出す kampi omante (石狩): [他]～に～を差し出す

koomante (新): [他](場所)から～を差し出す、(原因、手段)で～を差し出す oomante (新): [他](人)に～を差し出させる omantere (新)

さしのべる(差し伸べる) [他]～を差し伸べる turiri (石狩): [他]～に～を差し伸べる、～と共に～を差し伸べる koturiri (新): [他](場所)から～を差し伸べる、(原因、手段)で～を差し伸べる oturiri (新): [他](人)に～を差し伸べさせる turirire (新): [他]自分で、一人で～を差し伸べる yaykoturiri (新): [他]皆で、共に～を差し伸べる ukoturiri (新)

さしみ(刺身) [名]生食する肉や内臓、刺身 huype (石狩): [名]刺身包丁 huypehoyco (新)、[名] huypekarpe (新)

さす(刺す) ①[自]人を刺す unciw (新): [自]ものを刺す iciw (新): [自]刺す ciw (石狩)※(合成語の構成要素として現れる): [他]～を刺す ciw (石狩)、[他] ciwre (石狩)※(合成語の構成要素として現れる): [他]～に～を刺す eciw(石狩): [他]～と共に～を刺す kociw (新): [他](原因、手段)で～を刺す ociw (新): [他]～に～を刺させる ciwre (石狩): [他]自分で、一人で～を刺す yaykociw (新): [他]互いに、皆で～を刺す ukociw (新): [他]充分に～を刺す ciwno (ciwnu) (新): [他]完全に～を刺す oatciw (atciw) (新): [他]思い切り～を刺す toykociw (新): [自]自分を刺す yayciw (新): [自]刺し合う uciw (新): ②(刀や槍、釘、鉋、棘などを真っすぐに)[他]人に～を刺す unetarare (新): [他]ものを(人)に刺す ietarare (新): [他]～に～を刺す etarare (石狩): [他](人)に～に～を刺させる etararere (新): [他]自分で、一人で～に～を刺す yaykoetarare (新): [他]互いに、皆で～に～を刺す ukoetarare (新): [他]思い切り～に～を刺す toykoetarare (新): [他]自分に～を刺す yayetarare (新): [他]互いに～を刺す uetarare (新): ③[他]～に針を刺したままにする kemeninu (石狩): (表現)(雅)(出かけるためそれまで縫っていた物に私は針を刺したままにし後ろにやる an=tekekar pe an=kemeninu an=makoraye (石狩))

さす(指す) [自]指す yáka (石狩): [他]～を指す eyaka (新): [他](場所)で指す eyaka (新): [他]～の方を指す、～と共に指す koyaka (新): [他](原因、手段)で指す oyaka (新): [他](人)に指させる yákare (新)

さす(射す) [自](光が)射す hetuku (石狩)、[自] tom (石狩): (表現)日の光が射す

cupkiay hetuku (石狩)、(表現) sikus tom (新): [他](場所)で射す ehetuku (新)、[他] etom (新): [他](場所)へ射す kohetuku (石狩)、[他] kotom (新): [他]～と共に射す kohetuku (新)、[他] kotom (新): [他](原因、手段)で射す ohetuku (新)、[他] otom (石狩): [他]～を射し込ませる hetukure (新)、[他] tomte (石狩)

サスカチュワン [場名](カナダの州名)サスカチュワン州 Saskacawan-purovince (新) ※(州都は「レジヤイナ」)

さすがに (表現)(雅)さすがに keray ta usa (沙流)、(表現)(雅) keray nep ta un (沙流): (表現)(雅)さすがに神が作られた城だから kera ta usa kamuy kar cási an pe ne kusu (沙流より): 「さすがわがお気に入りの婿殿だから激しくお跳ねになったことか!。」 “Keray ta usa (= Keray nep ta un) an=eyaykopuntek pe an=kokow-nispake ne wakusu terke ruy siri okaya (> okay ya) ! ” : (表現)(雅)さすが～であることよ～ ne kusu siran (an) nankora (石狩): 「さすが富豪であることよ! 何も食べたいとも何がほしいとも思わぬほど良い暮らしをしている。」 “Nispa ne kusu siran nankora ! Nep e rusuy ,nep konrusuy ka somo ki pakno sisak ureska ki kor an ru an . ” : (表現)(雅)さすがに～するからこそ keray kusu (石狩): 「さすがにあなたは真に尊い神でございまして、常に我らを守護したまうからこそ、我らは豊かな暮らしができるのでございます。」 “Sípasekamuy es=ne wa es=okay ramma kane ci-epunkine ci-sikkasma es=un=ekarkar keray kusu pirka ureska ci=ki ruwe tapan . ” : (表現)(雅)さすがに～だから、だけあって (沙流): (表現)さすがに神がお造りになった城だけあって、神々しい姿の美しい事 kamuy kar cási keray ne kusu cási-kamuy pirka katu (沙流)

さずける(授ける) ①[他]人に～を授ける unkore (新): [他](人)に物を授ける ikore (新): [他](人)に～を授ける kore (石狩)、[他](雅) korpare (石狩): [他](場所)で(人)に～を授ける ekore (新): [他]～と共に(人)に～を授ける kokore (新): [他](場所)から(人)に～を授ける、(原因、手段)で(人)に～を授ける okore (新): [他]～を授かる uk (複数 uyna) (石狩): (表現)私が～を授かる ～ enci=kore (en=kore=an) (石狩): (表現)お前が～を授かる ～ e=kore=an (石狩): ②(特に神から人に対する行為として)[他]～を授ける

kasinukar (石狩)、[他](雅) ekasinukar (ekasnukar) (石狩)、[他](雅) koekasinukar (koekasnukar) (石狩): 「…それに努められますようそれ(獲物)を授ける事を我になしたまえ!」 「…ekoarikiki easkay kuni ci-kasinukar en=ekarkar yan!」 (砂沢トゥアカンノ)祈詞、「…祈りの神がいますなら、得物をわが手に授けたまえ!…」 「… Cinomikamuy okay yakun notakkorpe ci-ekasinukar i=korpore ya!…」 (砂沢クラ)英雄詞曲、「…多くの良き得物を授ける事を汝は我になすのすぞ。」 「…tu pirka iso re pirka iso ci-koekasinukar an=en=ekarkar na.」 [他] ～に～を授ける ekoinkar (石狩)、[他] ekasinukar (ekasnukar) (石狩)、[他](雅) ekoikasinukar (ekoikasnukar) (石狩): 「…雄熊を20頭、雌熊を20頭私は彼らに授け…」 「…siyuk atuyta kucan atuyta ciekoinkar…」 (杉村キナラブク)神謡、「…汝の小袖は人の手に授ける物…」 「… a=kor kosonte aynumonka ekasinukar pe…」 (砂沢トゥアカンノ)祈詞、「…狐の神、尊き神が人の手に授けるものが獲物であります。」 「Isoanikamuy, pasekamuy aynumonka ekoikasinukar pe iso ne wa siran.」 (砂沢トゥアカンノ)祈詞

ざせき(座席) [名]座席 so (石狩): [名]上座 roruyso (rorunso) (石狩): [名]右座 siso (石狩): [名]左座 harkiso (石狩): [位名]～の向いの座席 asso (arso) (石狩)

させる 次の接尾辞によって「～させる」の意味を持つ動詞を派生する。①-re は母音及び子音"w"で終わる動詞全てと子音"y"で終わる動詞のほとんどに接尾して基本的に「～させる」と訳し得る使役形を形成し、その動詞の項の数を一つ増やす。: a(座る)+re → áre 「～を座らせる」、ciw(刺す、～を刺す)+re → ciwre 「～を刺す、～に～を刺す」、kasuy(～を手伝う)+re → kasuyre 「～に～を手伝わせる」: ②-te は子音"y"で終わる動詞の一部、"r"と他動詞"kot"を除く子音で終わる動詞に接尾して基本的に「させる」と訳し得る使役形を形成し、その動詞の項の数を一つ増やす。: oman(行く)+te → omante 「～を行かせる」、tuy(とれて落ちる)+te → tuyte 「～を落とす」※(北海道の諸方言では母音及び子音(但し上述のように"y"語尾の幾つかは"-te")で終わる動詞には"-re"、子音"r"で終わる動詞には"-e"が用いられる。尚、単数形語尾"-n"、複数形語尾"-p"の対立を成す"ahun-ahup"、"asin-asip"、"ran-rap"、"san-sap"、"yan-yap"の五つの自動詞から使役形他動詞が形成される際、ahun →

ahunke と目的単数形は自動詞の単数形に"-ke"が接尾するのに対し、目的複数形には ahup → ahupte と"-te"が接尾する。一方自動詞"rikin-rikip"に関してはその目的複数形が一律"rikapte"なのに対して、目的単数形は名寄、宗谷などで"rikinke"が見られるものの、幌別、沙流、美幌などで"rikinka"、静内や石狩川筋では"rikinte"とばらつきがある。): ③-e は子音 "r" に終わる動詞及び他動詞 "kot"に接尾して基本的に「～させる」と訳し得る使役形を形成し、その動詞の項の数を一つ増やす。: nukar(～を見る)+e → nukare 「～に～を見せる」、kot(～に結び付く)+e → kóte 「～に～を結び付ける」: ④ -yar は他動詞に接尾し、基本的に「不特定の人に～させる」と訳し得る不定使役形を形成し、その他動詞の項の数を増やさない。: nu(～を聞く)+yar → nuyar 「～を人に聞かせる」: 子音の後ではほとんど -ar となる。: nukar(～を見る)+yar → nukarar 「～を人に見せる」

さそう(誘う) [自]人を誘う iniski (iniske) (新): [他]～を誘う niski (niske) (石狩): [他](場所)で～を誘う eniski (eniske) (新): [他]～へ～を誘う、～と共に～を誘う koniski (koniske) (新): [他](原因、手段)で～を誘う oniski (oniske) (新): [他](人)に～を誘わせる niskire (niskere) (新): [他]自分で、一人で～を誘う yaykoniski (yaykoniske) (新): [他]互いに、皆で～を誘う ukoniski (ukoniske) (新): [自]誘い合う uniski (uniske) (新)

さそりがたかじょ(さそり型花序) [名]さそり型花序(巻散花序、かま型花序) iyoppene-apappoomakat (新)

さそりざ(蠍座) (宇宙) ① [名] 蠍座 Sukorpius(-so) (新)、[名] Sukorpio(-so) (新): ② [名] 蠍座の α 、 β 、 δ 、 ϵ 、 μ 、 π 、 σ 、 τ 星 Nisepaykikkamuy (アイヌの星)

さち(幸) ① [名](幸福の意味で)幸 pirkaiso (新)、[名] pirkaharu (新)、[名] pirkap (新): ② [名](食糧の意味で)幸 haru (石狩): ③ [名](狩の獲物の意味で)幸 iso (石狩): [他](中相)～に(獲物など)幸が下される cioiranke (石狩): 「…私の行く先々に幸(獲物)が下されていて…」 「… i =ruetoko i =ruoka cioiranke kane …」(杉村キナラブク)

さつえい(撮影) [自]撮影する inokauk (新): [他]～を撮影する nokauk (新): [他](場所)で～を撮影する enokauk (新): [他]～と共に～を撮影する konokauk (新): [他](原因、手段)で撮影する onokauk (新): [他](人)に～を撮影させる nokaukte

(新): [名]撮影者 inokaukkur (新): [場名]撮影所 inokaukusi (新)、[場名]cieinokaukusi (新)
ざつえき(雑役) [名]雑役 cikikuni-usanepki (新): [自]雑役に就く monranakka (新): (表現)雑役に一人で就く、雑役を一人でやる cikikuni-usanepki yaykokarkar (新): (表現)雑役に皆で就く、雑役を皆で行う cikikuni-usanepki ukokarkar (新): (表現)雑役をこなす cikikuni-usanepki okere ranke (新)、(表現) cikikuni-usanepki ronnu ranke (新): [名]雑役係 usanepkikikur (新)、[名] monranakkur (新): [名]雑役船 monranakkacip (新): [名]特設雑役船 citumicipnere-monranakkacip (新)
ざつおん(雑音) ①(音について)[名]雑音 munhum(i) (新)、[名] toyhum(i) (新): ②(声について)[名]雑音 munhaw(e) (新)、[名] toyhaw(e) (新)
サッカー [名]サッカー ukoiureepatu (新)、[名] sakka (新)※(英語)
さっき [副]さっき ésin (石狩)、[副] ésino (石狩)、[副] tanepo (石狩)
サツキマス(五月鯿) (魚介)[名](サケ属)サツキマス síamsipe (新)、[名] amago (新)※(日本語)
さっきゅうに(早急に) [副]早急に situnasno (situnas) (新): (表現)早急に sonno (sino) tunasno (tunas) (石狩)、(表現) sonno (sino) hempano (新)
ざっこく(雑穀) [名]雑穀 toytaamampo (新)
サッコブテリクス (動物)[名](サシオコウモリ科)サッコブテリクス属 pukuruo-rapkorkapap-cise (新): [名]オオシマサシオコウモリ poropukuruo-rapkorkapap (新): [名]サッコブテリクス・アンティオクエシス antiokuaun-pukurukapap (新): [名]S. カネスケンス manaus-pukuruo-rapkorkapap (新): [名]S. ギムスラ amazonun-pukuruo-rapkorkapap (新): [名]ヒメシマサシオコウモリ pompukuruo-rapkorkapap (新)
サッコライムス (動物)[名](サシオコウモリ科)サッコライムス属 honiatusa-pukuruo-rapkorkapap-cise (新): [名]サッコライムス・サッコライムス honiatusa-pukuruo-rapkorkapap (新): [名]S. フラビベントリス sikepepus-pukuruo-rapkorkapap (新): [名]S. ペリ per-mopukuruo-rapkorkapap (新): [名]トラウトンサシオコウモリ torawton-pukuruo-rapkorkapap (新)

さっさと [副]さっさと hempano (石狩)
ざっし(雑誌) [名]雑誌 kampsospo (新)、[名] sospo (新)、[名] junnar (新)※(露語)、[名] magazine (新)※(英語)
ざつじ(雑事) [名]雑事 ikoeutayep (新)※(人に絡み付く物事): (表現)雑事に追われる ikoeutayep nospa (新): (表現)雑事にかまける ikoeutayep poka kopepka (新): (表現)雑事に煩わされる ikoeutayep eranak (新)
ざっしゅ(雑種) [自]雑種である usakemsipoyere (新)
さつじんしゃ(殺人者) [名]殺人者 aynuraykekur (石狩)、[名] irayekur (石狩): [名](悪い言葉として)人殺し aynuraykep (石狩)
ざっそう(雑草) [名]雑草 mun (石狩)
さっそく(早速) [副]早速 tunasno (tunas) (石狩)、[副] orotunasno (石狩)、[副] hempano (石狩):
さっそざい(殺鼠剤) [名]殺鼠剤 érumraykekusuri (新)、[名] érumraykep (新)
さっちゅうざい(殺虫剤) [名]殺虫剤 kikinraykekusuri (新)、[名] kikinraykep (新)
さっと [助動](瞬間、あるいはほんの僅かな時間に行われる事を表し)さっと～する、ざっと～する tek (石狩): 「私はさっと駆けたが汽車に遅れた。」“Ku=hoyupu tek korka kisa ku=orawki.”: [接助]さっと～(して)、ざっと～して tek (石狩): 「私達はさっと食事して家を出た。」“Ipe=as tek asip=as.”、「私はその手紙をざっと読んで捨てた。」“Ne kampi ku=nukar tek ku=osura.”: [接尾]さっと～する、ざっと～する -tek (石狩)、[接尾] -tektek (沙流): ある動作が短時間に行われる事を示し動詞に接尾する。その際動詞の項の数は変わらない。またこの形式で形成された動詞の使役接尾辞には“-ka”が使われる。: kay(折れる)+tek → kaytek 「ボキッと折れる」→ kaytekka 「～をボキッと折る」
さっとすべるようにうごく(さっと滑るように動く) [自]さっと滑るように動く teskosanu (石狩): 「彼女は私のわきにさっと動いた(さっと近付いた)。」“Ne menoko en=teksam ene teskosanu.”、「彼の手がさっと動き(さっと伸び)彼は私を抱きしめた。」“Tekehe teskosanu tek en=tumam.”
さつつかむ(さっと掴む) [他]～をさっと掴む、～をさっと掴み取る ristekka (石狩): [他](場所)で～をさっと掴む eristekka (新): [他]～と共に～をさっと掴む

koristekka (新): [他](原因、手段)でさつと〜を掴む oristekka (新): [他](人)に〜をさつと掴ませる ristekkare (新)

さつとひっこむ(さつと引っ込む) (家の中などに)[自]さつと引っ込む rawosma (raosma) (石狩): [他](場所)でさつと引っ込む erawosma (eraosma) (新): [他](場所)へさつと引っ込む、〜と共にさつと引っ込む korawosma (koraosma) (新): [他](原因、手段)でさつと引っ込む orawosma (oraosma) (新): [他]〜をさつと引っ込ませる rawosmare (raosmare) (新)

さつとひっぱる(さつと引っ張る) [他]〜をさつと引っ張る etaytekka (新)、[他] etayetektek (石狩): [他](場所)で〜をさつと引っ張る eetaytekka (eetayetektek) (新): [他](場所)へ〜をさつと引っ張る、〜と共にさつと引っ張る koetaytekka (koetayetektek) (新): [他](原因、手段)で〜をさつと引っ張る oetaytekka (oetayetektek) (新): [他](人)に〜をさつと引っ張らせる etaytekkare (etayetektekka) (新)

さつともぐる(さつと潜る) [自]さつと潜る rawosma (raosma) (石狩): [他](場所)でさつと潜る erawosma (eraosma) (新): [他](場所)へさつと潜る、〜と共にさつと潜る korawosma (koraosma) (新): [他](原因、手段)でさつと潜る orawosma (oraosma) (新): [他]〜をさつと潜らせる rawosmare (raosmare) (新)

ざつよう(雑用) [自]雑用をする monranakka (新): [他](場所)で雑用をする emonranakka (新): [他]〜と共に雑用をする komonranakka (新): [他](原因、手段)で雑用をする omonranakka (新): [他](人)に雑用をさせる monranakkare (新): [自]自分で、一人で雑用をする yaykomonranakka (新): [自]互いに、皆で雑用をする ukomonranakka (新): [自]人に雑用させる、してもらう monranakkayar (新): [他](表現)雑用を一人で行う cikikuni-usanepki yaykokarkar (新): (表現)雑用を皆で行う cikikuni-usanepki ukokarkar (新): (表現)雑役をこなす monranakka okere ranke (新)、(表現) monranakka ronnu ranke (新): [名]雑用係 monranakkakur (新)

さてつ(砂糖) [名]砂糖 yayankaniota (yayankaneota) (新)、[名] kániota (káneota) (新)

さとう(砂糖) [名]砂糖 tópenota (新)、[名]

tópempe (石狩)、[名] sato (八雲): [名]砂糖水 tópenotawakka (新): [名]グラニュー糖 sítopenota (新): [名]上白糖 motopenota (新)

サトウカエデ(砂糖楓) (植物)[名](カエデ属)サトウカエデの茎 kánadatopeni (新)

ザトウクジラ(座頭鯨) (動物)[名](ナガスクジラ科)ザトウクジラ属 upopohumpe-cise (新): [名]ザトウクジラ upopohumpe (新)

サトザクラ(里桜) (植物)[名](サクラ属)サトザクラの茎 kotanunkarimpani (新): [名]サトザクラの花 kotanunkarimpani-apappo (新)

サドルステッチ [名]サドルステッチ ciokuraninu (新)

さなぎ(蛹) [名]蛹 seykorpo (新): [名]囲蛹 kapseykorpo (新): [名]前蛹 seykorpone-etokoykip (新): [名]被蛹 yaykatun-seykorpo (新): [名]裸蛹 eruseykorpo (新): [名]抜け殻 ohasey(-e) (新)、[名] sey(-e) (石狩)

サヌア [場名](イエメン共和国の首都名)サヌア Sana (新)

ザノニア (植物)[名](ウリ科)ザノニア亜科 rápuspioppunkar-moapa (新): [名]ザノニア連 rápuspioppunkar-utar (新): ● [名]ザノニア亜連 rápuspioppunkar-moutar (新): [名]ザノニア属 rápuspioppunkar-cise (新): [名]ザノニア・インディカの茎 rápuspioppunkar (新): [名]アルソミトラ属 sírapuspioppunkar-cise (新): [名]クセロシキオス属 siwninkacokorpe-cise (新): [名]ゲラルダンサス属 mokorhoteyotukpe-cise (新): [名]シオルマトラ属 síormatra-cise (新): [名]ジゴシキオス属 ruotakotukpe-cise (新): [名]ネオアルソミトラ属 asinnitaypasinap-cise (新): ●ゴキヅル亜連: [名]ゴキヅル属 gokipunkar-cise (新): [名]ボルボステンマ属 borbostemma-cise (新): ●ゴムフォギネ亜連: [名]ゴムフォギネ属 gomfogine-cise (新): [名]アマチャヅル属 cánepunkar-cise (新): [名]ヘムスレイア属 hemsureya-cise (新): ●シキディウム連: [名]シキディウム属 síkidium-cise (新): [名]カレマ属 xarema-cise (新): [名]キクランテロブシス属 kikanteropśis-cise (新): [名]プセウドシキディウム属 puseudośikidium-cise (新): [名]ブテロベポン属 puteropepon-cise (新): ●フォビレア亜連: [名]フォビレア属 fevireac-cise (新)

サハ [場名](ロシア連邦極東連邦管区の構成主体名)サハ共和国 Saxa Ukotankoremosir (新)※(首都は「ヤクーツク」): [場名](国名の通称として)サハ Saxa (新): [名]サハ人 saxa (新)※(旧称「ヤクート人」): [名]サハ語 saxaitak (新)

さばく(砂漠) [名]砂漠 otaatuy (新): [名]砂漠地帯 otaatuyso (新)

さばく(裁く) [自]裁く saymon (H): [他]～に関して、～を裁く esaymon (新): [他](場所)で裁く esaymon (新): [他]～と共に裁く kosaymon (新): [他](手段)で裁く osaymon (新): [他](人)に裁かせる saymonte (新): [他]自分で、一人で～を裁く yaykoesaymon (新): [他]皆で、共に～を裁く ukoesaymon (新): [自]自分を裁く yayasaymon (新): [自]裁き合う uesaymon (新)

さばく(捌く) [他](肉や魚)を捌く kar (石狩): (表現)魚を捌く cep kar (石狩): (表現)肉を捌く kam kar (石狩): [自]魚を捌く cepkar (新): [自]肉を捌く kamkar (新): [他]～の肉を捌く kamikar (新)

サバクコウモリ(砂漠蝙蝠)(動物)[名](コウモリ目)サバクコウモリ科 otaatuyunkapap-apa (新): [名]サバクコウモリ属 otaatuyunkapap-cise (新): [名]サバクコウモリ otaatuyunkapap (新): [名]ミナミサバクコウモリ属 koypok-otaatuyunkapap-cise (新): [名]ミナミサバクコウモリ koypok-otaatuyunkapap (新)

さばさき(鯖裂き) [名]鯖裂き epirkep (石狩)

サハラ ①[場名]サハラ・アラブ共和国 Arabikor Sahra Urenkasapte Ukotankoremosir (新): ②[場名](地名)サハラ砂漠 Sahra-otaatuy (新)

サハリン ①[場名](ロシア連邦極東連邦管区の構成主体名)サハリン州 Saxarinpurovince (新)※(州都は「ユジノサハリンスク」): ②[場名](地名)サハリン島 Karapto (石狩)

サバンナ (地理)[名]サバンナ地帯 savanna-sisso (savanna-sirso) (新): [名] savanna-sisso (savanna-sirso) (新): [名]サバンナ savanna (新): [名] savana (新)

サバンナダイカー (動物)[名](ダイカー族)サバンナダイカー属 savanna-duker-cise (新): [名]サバンナダイカー savanna-duker (新)

さび(錆) ①[名]錆 sikopopi (新): [自]錆びる sikopop (石狩): [他](場所)で錆びる esikopop (新): [他]～と共に錆びる

kosikopop (新): [他](原因、手段)で錆る osikopop (新): [他]～を錆つかせる sikopopte (新): [自]すっかり錆びつく oassikopop (assikopop) (新): [自]滅茶苦茶錆びつく toykosikopop (新): ②(表現)わが佩刀の錆とお前はなるだろうよ an=mut emus notakkasike eyaytaraye p e=ne nankor na (石狩): ③[自]錆色になる、である sipop-irone (新): [他]～を錆色にする sipop-ironeka (-ironere) (新): [名]錆色 sipop-iro (新)

サファイア [名]サファイア saffire (新)※(英語)

さべつ(差別) [自]人を差別する isabetu (新): [他]～を差別する sabetu (新)※(日本語): [他](場所)で～を差別する esabetuki (新): [他]～と共に～を差別する kosabetuki (新): [他](原因、手段)で～を差別する osabetu (新): [他](人)に～をさせる sabeture (新): [他]自分で、一人で～を差別する yaykosabetu (新): [他]皆で、共に～を差別する ukosabetu (新): [他]ひどく～を差別する toykosabetu (新): [自]差別し合う usabetu (新)

サポーター ①(援助する人)サポーター ikasuykur (新): (表現)～のサポーター～ kasuykur (新): ②(支持する人)[名]サポーター unanikur (新): (表現)～のサポーター～ ani kur (新): ③(関節や急所を守る装着具)[名]サポーター iepunkinep (新): [名](関節に装着する)サポーター ikrakarip (新): [名](男性の急所に装着する)サポーター hoepunkinep (新)

サポート [自]人をサポートする ikasuy (石狩): [他]～の件で人をサポートする eikasuy (石狩): [他]～と共に人をサポートする koikasuy (新): [他](原因、手段)で人をサポートする oikasuy (新): [他](人)に人をサポートさせる ikasuyre (新): [他](人)をサポートする kasuy (石狩): [他](人)に～をサポートさせる kasuyre (新): [他]自分で、一人で～をサポートする yaykokasuy (新): [他]皆で、共に～をサポートする ukokasuy (新)

さま(様) ①(男の敬称として)[名]～様 名前+aynu (石狩): [名] 名前+nispa (石狩): [名] 社会的身分、親族名称+tonoke (石狩): ②(女の敬称として)[名]～様 名前+katkemat (石狩)

ざまあみろ [間投]ざまあみろ parasekor (沙流)※(発音はパラセコロ)

サマール [場名](地名)サマール島 Samar-

poysir (新)※(ピサヤ諸島に属するフィリピン共和国領の島)

さまざま(様々) [連体・副助]様々な usa (石狩): 「様々な肉やら山菜やら」は usa kam usa rataskep と kam usa rataskep usa の二通りの表現が可能: [連体]様々な usaan (石狩)、[連体] usaokay (石狩)※(人や動物に関しては usaokay が抽象的な事に関しては usaan が用いられるが、魚介類、植物や(物)に関してはそのどちらでもいい): [名]様々な人々 usaokay utar (石狩): [名]様々な者達 usaokaype (石狩): [名]様々な奴、様々なもの(動物) usaokaype (石狩): [名]様々な物 usaampe (石狩)、[名] usaokaype (石狩): [名]様々な事 usaampe (石狩): [名]本当様々な事 usausaampe (石狩)

さます(冷ます) ①[他]～を冷ましてぬるくする tuwarka (石狩): ②[他]～を冷まして冷たくする yamka (石狩)

サマニヨモギ(様似蓬) (植物)[名](ヨモギ属)サマニヨモギの茎 kamuynoyanit (新)、[名] samaninoyanit (新): [名]サマニヨモギの葉 kamuynoya (幌別)、[名] samaninoya (新)

さまよう(彷徨う) [自]彷徨う omanan (複数 payekay、payokay) (石狩): (表現)あてもなく彷徨う eoman kunihi ka isam no omanan (複数 payekay、payokay): 「私達はあてもなく彷徨った。」“Ci=eoman kunihi ka isam no maciya orpeka payekay=as.”:

サマラ [名](ロシア連邦沿ヴォルガ連邦管区の構成主体名)サマラ州 Samara-purovince (新): [場名](サマラ州の州都名)サマラ Samara (新)

サマリウム (化学)[名]サマリウム samarium (新)※(原子番号62番。元素記号 Sm)

さみしがらせる(寂しがらせる) [自]人を寂しがらせる inisnure (inismure) (新): [他]～を寂しくさせる nismure (nismure) (新): [他](場所)で～を寂しくさせる enisnure (新): [他]～と共に～を寂しくさせる konisnure (新): [他](手段)で～を寂しくさせる onisnure (新): [他]～を滅茶苦茶寂しくさせる toykonisnure (新)

さみしく(寂しく) [自]寂しくなる、寂しい nisnu (石狩)、[自] nismu (天塩): (表現)寂しい村 nisnu kotan (石狩): [他](場所)で寂しい enisnu (新): [他]～と共に寂しい konisnu (新): [他](原因、手段)で寂しくなる、寂しい onisnu (新): [自]一人寂しい yaykonisnu (石狩): [自]互いに、皆で寂しい ukonisnu (新): [自]滅茶苦

茶寂しい toykonisnu (新)

サムエル (聖書)[名](人名)サムエル Šamuer (新)※(イスラエルの初代王): [名]サムエル記 Šamuer-kampis (新)

さむく(寒く) ①(気候、気温が)[完動](気候や気温が)寒くなる、寒い méan (石狩、天塩)、[完動] ménoyean (石狩): ②(人が)[自]寒くなる、寒い mérayke (石狩)、[自] méun (石狩): [他](人)を寒くさせる méraykere (新)、[他] méunte (新)

さむけ(寒気) [自]寒気がする méus (石狩): (表現)寒気 méus hum(-i) (新)

さむさ(寒さ) [名](合成語の構成要素として)寒さ me (石狩): [自]寒さに身を縮める、身を縮め小刻みに震える etururu (石狩)

さむぞら(寒空) [名]寒空 ménis (石狩)

サムライアリ(侍蟻) (昆虫)[名](ヤマアリ亜科)サムライアリ属 kuncikaritunnap-cise (新): [名]サムライアリ kuncikaritunnap (新)

サメハダヒザサガイ(鮫肌火皿貝) (魚介)[場名](新ヒザラガイ目)サメハダヒザラガイ亜目 kapusirasirakmeyo-mokotan (新): [名]サメハダヒザラガイ科 kapusirasirakmeyo-apa (新): [名]サメハダヒザラガイ kapusirasirakmeyo (新): [名]エゾサメハダヒザラ yaunkapusirasirakmeyo (新): [名]ヤマトサメハダヒザラガイ nipponkapusirasirakmeyo (新)

サメハダホオズキイカ(鮫肌酸漿烏賊) (魚介)[名](スルメイカ亜目)サメハダホオズキイカ科 sirasirakatuyimerunum-apa (新): [名]サメハダホオズキイカ亜科 sirasirakatuyimerunum-moapa (新): [名]サメハダホオズキイカ属 sirasirakatuyimerunum-cise (新): [名]サメハダホオズキイカ sirasirakatuyimerunum (新): [名]トウガタホオズキイカ属 peraayatuyimerunum-cise (新): [名]トウガタイカ peraayatuyimerunum (新): [名]クイチガイ トウガタイカ karifonniaperayatuyimerunum (新): [名]ダーナトウガタイカ dánaperaayatuyimerunum (新): [名]タイセイヨウトウガタイカ arsiatuyeperaayatuyimerunum (新): [名]ホオズキイカ属 sipekennupepetpetke-cise (新): [名]ホオズキイカ atuyimerunum (新): [名]ヒメホオズキイカ moatuyimerunum (新): [名]クジャクイカ亜科 kesorapepetpetke-moapa (新)

さめる(冷める) ①[自]冷めぬるくなる、冷め

ぬるくなっている *tuwar* (新): ②[自]冷め冷たくなる、冷め冷たくなっている *yam* (石狩)

サモア ①[場名](国名)サモア独立国 *Samoa Yaynisukmosir* (新)※(首都は「アピア」): [場名](国名の通称として)サモア *Samoa* (新): [名]サモア人 *samoaukur* (新): [名]サモア語 *samoaukuritak* (新): ②[場名]アメリカ領サモア *Amerika Ukosineatkimosir kor Samoa* (新)※(首都は「パゴパゴ」): ③[場名](地名)サモア諸島 *Samoa-usapoysir* (新)※(オセアニアの島々)

さもなければ(表現)(先に述べられた事を受け、仮定、条件を表し)さもなければ *somo ne yakne* (石狩)、(表現) *somo ne yakanakne* (石狩): 「早く来なさい。さもなければ置いていくからね。」“*Hempano ek ani ! Somo ne yakne e=hoppa=an kusune na.*”

さや(鞘)[名]鞘 *tumpa* (石狩): [場名]鞘の表 *sirka* (石狩): [名]鞘師 *sirkakarkur* (新)

さやか(明か)[自]明かである *maknatara* (石狩): (表現)(雅)大きな川の流れ下る様は明かなり *tan poro pet san ru konna maknatara* (沙流)

さやく(座薬)[名]座薬 *ipuyoromarekusuri* (新)

さやなり(鞘鳴り)[名]鞘鳴り *tumpasasum* (石狩): (表現)鞘鳴りのサリという音がする *tumpasasum cirikipuni* (石狩): (表現)鞘鳴りの音を伴いやって来る *tumpa naynu hum esiturare* (石狩)

サヤボソイカ(鞘細烏賊)(魚介)[名](クジャクイカ亜科)サヤボソイカ属 *konciane-atuyimerunum-cise* (新): [名]サヤボソイカ *komciane-atuyimerunum* (新): [名]ウスギヌホオズキイカ *kaparpe-atuyimerunum* (新): [名]マダラホオズキイカ *makurata-atuyimerunum* (新): [名]メダマホオズキイカ *sikiporo-atuyimerunum* (新)

ざゆう(座右) ①(表現)座右にある *so sam un* (新): (表現)座右の銘 *so sam un itak* (新): ②(表現)座右に掛かる *so sam ot* (新): ③[自]座右を飾る *sósamkarkar* (新): [他]〜で座右を飾る *sosamkarkar* (沙流): (表現)宝物の中の良き物で座右を飾る *ikor otta pirka hike esosamkarkar* (沙流)

さようなら ①(立ち去る人に)(表現)(目上の相手に)さようなら *yaytupareno* (*yaitupareno*) *hosippa yan* (石狩): (表現) *yaytupareno* (*yaitupareno*) *paye yan*

(新): (表現)(親しい同輩、あるいは目下の相手に)さようなら *yaytupareno* (*yaitupareno*) *hosipi ya* (複数 *hosippa yan*) (石狩)、(表現) *apunno paye yan* (天塩): (表現) *yaytupareno* (*yaitupareno*) *oman ya* (複数 *paye yan*) (新)、(表現) *apunno oman ya* (複数 *paye yan*) (新): (表現)(親しい同輩、あるいは目下の相手に)馴れ馴れしく)さいなら *yaytupareno* (*yaitupareno*) *hosipi* (複数 *hosippa*) *ani* (石狩): (表現) *yaytupareno* (*yaitupareno*) *oman* (複数 *paye*) *ani* (新)、(表現) *apunno oman* (複数 *paye*) *ani* (新): ②(残る人に)(表現)(目上の人に)さようなら *pirkano okay yan* (石狩)、(表現) *yayeyamno okay yan* (石狩): (表現)(親しい同輩、あるいは目下の相手に)さようなら *pirkano an ya* (複数 *okay yan*) (石狩)、(表現) *yayeyamno an ya* (複数 *okay yan*) (石狩): (表現)(親しい同輩、あるいは目下の相手に)馴れ馴れしく)さいなら *pirkano an* (複数 *okay*) *ani* (石狩)、(表現) *yayeyamno an* (複数 *okay*) *ani* (新): ③(①、②両方に)[間投]さようなら *sarampa* (十勝)

さら(皿)[名]皿 *oipesey* (K)、[名](雅語) *koncara* (幌別)

さらいげつ(再来月)(表現)再来月 *asinno ek cup tutanu ek cup* (新)、(表現) *osi ekcup tutanu ek cup* (*osekcup tutanu ek cup*) (新)、(表現) *na osiek cup* (*na osek cup*) (天塩): (表現)再来月以降 *tutanu arki cup* (石狩)

さらいねん(再来年)[場名・副] *ioyaasirpa* (天塩): (表現)再来年 *tutanu ek pa* (新): (表現)再来年以降 *tutanu arki pa* (新)

さらう(攫う) ①[自]人を攫う *aynuikka* (新): [他](人)人を攫う *eikka* (石狩): [他](人)の元から(人)を攫う *koeikka* (石狩): [他](人)に(人)を攫わせる *eikkare* (新): ②[自]力づくで人を攫う *aynuuk* (新): [他]力づくで(人)を攫う、捕らえる *uk* (複数 *uyna*) (新): [他]力づくで(人)の元から(人)を攫う *kouk* (複数 *kouyna*) (新): [他]力づくで(人)に(人)を攫わせる *ukte* (複数 *uynare*) (新)

サラエボ[場名](ボスニア・ヘルツェゴビナ、及びボスニア・ヘルツェゴビナ連邦の首都名)サラエボ *Sarayevo* (新)

さらこねじ(皿小ねじ)[名]皿小ねじ *akam-cinoyeppe* (新)※(「皿小ねじ:」、「皿ねじ」、「皿ビス」とも)

サラサラ[間投](衣擦れの音)サラ *sas* (石狩): [間投]サラサラ *sasun* (新): [自]

サラッと音がする saskosanu (新): [自]
サラサラ頻りに音がする ciskasrototo (新)、
[自] sasrototke (新): [自]サラサラ何度
も音がする sasunatki (新): [自]サラサ
ラ音がし続ける sasunitara (沙流): [自]
一瞬サラと音がする、ちょっとサラと音がす
る sastek (新)

ざらざら [自]ざらざらになる、である
sirasirak (石狩)※(対義語は"rarak"):
[他]～をざらざらにする sirasirakka
(sirasirakte) (新): [自]すっかりざらざ
らになる、である oassirasirak
(assirasirak) (新): [自]滅茶苦茶ざらざ
らになる、である toykosirasirak (新):
[自]ざらつく siraktek (新): [他]～をざ
らつかせる siraktekka (新)

さらしたけ(晒し竹) [名]晒し竹 cisumiuk-
sitop (新)

さらす(晒す) ①(雨や風に当たるままにす
る)[他]～に晒される kar (石狩): [他]～
を～に晒す káre (石狩): [他](中相)～が
～に晒される cikare (新): ②(漂白)[他]
～を晒す retarka (retare) (新):
[他](人)に～を晒させる retarkare
(retarere) (新): [他](中相)～が晒される
ciretarka (ciretare) (新): ③(あく抜きな
どのため水に付ける)[他]～を晒す woro
(新): [他](人)に～を晒させる worore
(新): [他](中相)～が晒される ciworo
(新): ④(隠しているものを人目に)[他]～を
晒す sarare (新): [他](人)に～を晒させ
る sararere (新): [他](中相)晒される
cisarare (新): ⑤(罰として)(表現)～を晒
す ～panakte kusu nukarar (新): (表
現)(人)に～を晒させる ～panakte kusu
nukareyar (新): (表現)晒し者
an=panakte kusu an=nukarar pe (新):
(表現)～が晒し者になる ～an=panakte
kusu an=nukarar (新): 「何のために私
は晒しものになるのか?。」“Nekonampe ne
kusu enci=panakte kusu enci=nukarar
ruwe ta an?”: (表現)～を晒し者にする
～panakte kusu nukarar (新): (表現)～
を晒し首にする ～panakte kusu an=tuye
sapaha (pakehe) nukarar (新):

サラダ [名]サラダ sarat (新)※(英語)

サラトフ [名](ロシア連邦沿ボルガ連邦管区
の構成主体名)サラトフ州 Saratof-
purovince (新): [場名](サラトフ州の州都
名)サラトフ Saratof (新)

さらに(更に) [副]更に na (石狩)、[副] suy
(石狩)、[副] kanna (石狩): (表現)更にも
う一度 na assuy (石狩): (表現)更にまた
kanna suy (石狩): [副](naの強調として)

さーらに naa (石狩): (表現)更に更に
na na (石狩): (表現)(naの強調として)さ
ーらにさーらに naa naa (石狩)

さらば [間投](別れの言葉)さらば sarampa
(天塩)

サラマンダー ①[名](精霊の名)サラマンダー
saramander (新)※(独語): ②[名](溶鉱炉
の底に溜まる混合物)サラマンダー
sirurekanisit (新)、[名] saramander
(新)

ザラメとう(ザラメ糖) [名]ザラメ糖
rupnetopenota (新)

サラモチコウモリ(血持蝙蝠) (動物)[名](コウモ
リ目)サラモチコウモリ科
oipeseykorkapap-apa (新): [名]サラモチ
コウモリ属 oipeseykorkapap-cise (新):
[名]サラモチコウモリ oipeseykorkapap
(新): [名]ミゾボダ・スキエマンニ
cuppokun-oipeseykorkapap (新)

サラワクイルカ(サラワク海豚) (動物)[名](マ
イルカ亜科)サラワクイルカ属
sarawaktannu-cise (新): [名]サラワクイ
ルカ sarawak-tannu (新)

サランスク [場名](ロシア連邦沿ボルガ連邦管
区モルドビア共和国の首都名)サランスク
Saransuk (新)

サル(猿) (動物)[場名](獣亜綱)サル目 saru-
kotan (新): [名]サル目の中ヒト亜属を除
く動物の総称 saru (新)※(日本語): [場
名]曲鼻猿亜目 enkorirewkesaru-mokotan
(新): [場名]キツネザル下目 sumarisaru-
kotankes (新): [場名]ロリス下目 roris-
kotankes (新): [場名]直鼻猿亜目
enkorieupekasaru-mokotan (新): [場名]
広鼻下目 etupuyeukattuyumasaru-
kotankes (新): [場名]狭鼻下目
etupuyeusamunsaru-kotankes (新): [場
名]原猿亜目 motonesaru-mokotan (新)※
(旧分類名称): [場名]真猿亜目 sísaru-
mokotan (新)※(旧分類名称)

ざる(箒) [名]箒 icari (石狩): [自]箒を振る
icariterkere (新): [他](人)に箒を振らせる
icariterkerere (新): [自]自分で、一人で箒
を振る yaykoicariterkere (新): [自]皆
で、互いに箒を振る ukoicariterkere (新)

サルデーニャ ①[場名](イタリア共和国の自治
州名)サルデーニャ自治州 Sardinia-
sieyayetunus-purovince (新)※(州都「カリ
アリ(カリヤリ)」): [名]サルデーニャ人
sardiniaunkur (新): [名]サルデーニャ語
sardiniaunkur-itak (新): ②[場名](地名)
サルデーニャ島 Sardinia-poysir (新)

サレハルド [場名](ロシア連邦ウラル連邦管区
ヤマロ・ネネツ自治管区的首府名)サレハルド

Sarexaddo (新)

される ①「～される」という意味の受動態は「an=+他動詞」によって表現される。: 「アイは可愛がられる。」**“Ai an=omap .”**: ②他動詞の目的語が人称接辞の場合、“an”は接尾される。但し一人称単数、つまり「私」と同複数除外形、つまり「(話し相手を含め)私達」についてはそれぞれ(単数)**“enci=**、(複数除外形)**“unci=**という人称接辞が接頭される事もある。: 「君は可愛がられる。」**“E=omap=an .”**、「私は可愛がられる。」**“En=omap=an .”** = **“Enci=omap .”**: ③何者によってされるのか明確にしたい時には 名詞、代名詞+orwa で表現される。: 「アイは母に可愛がられる。」**“Kor totto orwa ai an=omap .”**、「私は先生に可愛がられる。」**“Iepakasnukur orwa en=omap=an .”** = **“Iepakasnukur orwa enci=omap .”**

さわ(沢) [名] 沢 **nay(=e)** (石狩): [場名] 沢の水源、沢の奥 **nayétok (nayétoko)** (新): (表現) 沢の水源 **nay etok(長形-o)** (石狩): [名] 涸れ沢 **naykot** (石狩)、[名] **parakot** (石狩): [場名] 沢の斜面 **naykotor (naykotoro)** (石狩): [場名] 大きな沢 **naynetopake** (石狩): [場名] 沢の入り口 **náyoput (náyopuci, náyoputu)** (石狩)、[場名] 沢の入り口 **nayput (naypuci, nayputu)** (石狩、天塩): [名] 沢の広く平らで湿った所、沢の出口の水の広がる所 **pecira** (石狩): [場名] 沢の中 **nayruor** (天塩)、[場名] **nayruoroke** (石狩): [場名] 沢の上流の水がなくなる所 **petkitay** (石狩): [名] 良い沢 **oropirkanay** (石狩): [名] 悪い沢 **orowennay** (石狩)

さわかぜ(沢風) [名] 沢風 **naypis** (蝦夷記)
サワギク(沢菊) (植物)[名](キク科)サワギク属 **yarpekikukina-cise** (新): [名] サワギクの茎葉 **yarpekikukina** (新)、[名] その花 **yarpekiku** (新)※(別名「ボロギク」)

さわぐ(騒ぐ) ①[自]騒ぐ **hawpuni** (新): [他](場所)で騒ぐ **ehawpuni** (新): [他]～と共に騒ぐ **kohawpuni** (新): [他](原因、手段)で騒ぐ **ohawpuni** (新): [他](人)に騒がせる **hawpunire** (新): [自]自分で、一人で騒ぐ **yaykohawpuni** (新): [自]皆で、共に、大勢で騒ぐ **ukohawpuni** (石狩): [自]思い切り騒ぐ **toykohawpuni** (新)、[自] **toykukohawpuni** (新): ②(太鼓など鳴らして)[自]騒ぐ **ronronatki** (八雲): ③(慌ててわあわあ)[自]騒ぐ **ukopop** (美幌): ④(キャーキャー悲鳴をあげて)[自]騒ぐ **kiyararse** (八雲)

サワグルミ(沢胡桃) (植物)[名](クルミ科)サワグルミ属 **petcamnesko-cise** (新): [名] サ

ワグルミの茎 **petcamnesko** (新)、[名] その果実 **rapusninum** (新)※(別名「カワグルミ」、「フジグルミ」): [名] プテロカリヤ・ステノブテラの茎 **atuyya-petcamnesko** (新)、[名] その果実 **atuyya-rapusninum** (新): [名] プテロカリヤ・トンキネンシスの茎 **tonkimpetcamnesko** (新)、[名] その果実 **tonkin-rapusninum** (新)※(東京沢胡桃): [名] プテロカリヤ・フペヘンシスの茎 **húpey-petcamnesko** (新)、[名] その果実 **húpey-rapusninum** (新)※(湖北沢胡桃): [名] プテロカリヤ・フラクシンフォリアの茎 **kafkas-petcamnesko** (新)、[名] その果実 **kafkas-rapusninum** (新): [名] プテロカリヤ・マクロブテラの茎 **hamusep-petcamnesko** (新)、[名] その果実 **hamusep-rapusninum** (新)

サワシバ(沢柴) (植物)[名](クマシデ属)サワシバの茎 **yarkapar** (屈斜路)、[名] **páseni** (長万部)※(別名「サワシデ」)

さわりいと(触り糸) (仕掛弓の)[名] 触り糸 **nopka** (石狩): ②(テシの網の入口に張っておき、魚の存在を知るための)[名] 触り糸 **asurpe** (石狩)

さわる(触る) [自] 人に触る、ものに触る **ikere** (新): [他]～に触る **kere** (天塩): [他](場所)で～に触る **ekere** (新): [他]～と共に～に触る **kokere** (新): [他](原因、手段)で～に触る **okere** (新): [他](誰か)に～に触らせる **kerere** (新): [他]自分で、一人で～に触る **yaykokere** (新): [他]皆で、共に～に触る **ukokere** (新): [他]充分に～に触る **kereno (kerenu)** (新): [他]すっかり～に触る **oarkere (arkere)** (新): [他]～に触りまくる **toykokere** (新): [自] 触り合う **ukere** (新): [他](中相)～が触る **cikere** (新)

さをつけられる(差をつけられる) [自] 人に差をつけられる **iorawki** (石狩): [他]～に差をつけられる **orawki** (石狩)

さん(三) ①[名] 三人 **ren** (石狩): [連体] 三人の **re** (石狩): (表現) 三人の女性 **re menoko** (新): (表現) 女性三人 **menoko ren** (新): [自] 三人になる、三人である **renne** (石狩): [副] 三人で **renne** (石狩): (表現) 三人一組です、行動する **rén-esinepne iki** (新): (表現) 三人一組で～する **rén-esinepne ki** (新): (表現) (人)に三人一組で～させる **rén-esinepne kire** (新): [自] 三人一組になる **rén-esinepne** (新): [他](人)を三人一組にする **rén-esinepneka (rén-esinepnere)** (新): ②[名] 三、三四、三個など **rep** (石狩): [連体] 三、三四、三個の **re** (石狩): [自] 三四、

三個になる、である repne (石狩): [副]三匹で、三個に repne (石狩): (表現)三匹一組です、行動する rép-esinepne iki (新): (表現)三匹一組で～する rép-esinepne ki (新): [自]三匹、三個一組になる rép-esinepne (新): [他]～を三匹、三個一組にする rép-esinepneka (rép-esinepnere) (新): ③[名・副]三回、三倍 resuy (石狩)

さん(酸)(化学)[名]酸 supkakep (新)

サンアントニオ [場名](アメリカ合衆国テキサス州ベクサー郡の都市名)サンアントニオ Sánantonio (新)

サンオイル [名]サンオイル isikuskaresum (新)、[名] sikussum (新)

さんおんとう(三温糖) (表現)三温糖 resuy cisesekka tópenota (新)

さんか(参加) [自]参加する iopok (石狩): [他]～に参加する eiopok (石狩): [他]～と共に参加する koiopok (新): [他](原因、手段)で参加する oiopok (新): [他](人)に～に参加させる eiopokte (新): [他]～と共に～に参加する koeiopok (新): [他](原因、手段)で～に参加する oeiopok (新): [他]自分で、一人で～に参加する yaykoeiopok (新): [他]互いに、皆で～に参加する ukoeiopok (新)

さんか(酸化) (化学)[自]酸化する ukotnopkar (新)※(酸素が～に作用する): [他](場所)で酸化する eukotnopkar (新): [他](原因、手段)で酸化する oukotnopkar (新): [他]～を酸化する ukotnopkare (新): [名]酸化物 ciukotnopkarep (新)

さんかく(三角) [名]三角形 repsikkewkonnoka (新): [自]三角形である repsikkewkor (新): [自]三角測量する resikkewkossir-pakari (新)

さんがく(山岳) [名]山岳 nupuri (石狩)

さんがつ(三月) [名]三月 toetanne (石狩)、[名] mokiwta (南空知、栗山)

サンカノゴイ(三家五位) (鳥)[名](サギ科)サンカノゴイ亜科 nitatkoas-moapa (新): [名]サンカノゴイ属 nitatkoas-cise (新): [名]サンカノゴイ nitatkoas (新): [名]アメリカサンカノゴイ koykaamerika-nitatkoas (新): [名]オーストラリアサンカノゴイ austraria-nitatkoas (新): [名]ハシナガサンカノゴイ koypokamarika-nitatkoas (新): [名]コビトサギ属 mopetcahoas-cise (新): [名]ヨシゴイ属 sarorkoas-cise (新)

サンカヨウ(山荷葉) (植物)[名](メギ科)サンカヨウ属 nokokorhamunkina-cise (新): [名]サンカヨウの茎葉 nokokorhamunkina

(新)、[名]その果実 noko-korhamunkinakaop (新): [名]アメリカサンカヨウの茎葉 amerika-nokokorhamunkina (新): [名]ディフィレア・シネンシスの茎葉 atuyya-nokokorhamunkina (新)

さんぎいん(参議院) [場名]参議院 ciyekunip-euyeutar-sousi (新): [名]参議院議員 ciyekunip-euyeutar-sousiunkur (新)

さんきやく(三脚)[名]三脚 rekema (新)

さんぎょう(産業)[名]産業 ikannomonrayke (新)、[名] ikannonepki (新)、[名] indastori (新)※(英語)

ざんきょう(残響)[名]残響 cihoppa-hum(-i) (新)

サンクトペテルブルグ [場名](ロシア連邦の都市名)サンクトペテルブルグ Sankutpeterburgu (新)

ざんげ(懺悔) [自]懺悔する yayunausi (石狩): [他]～について懺悔する eyayunausi (新): [他](場所)で懺悔する eyayunausi (新): [他](人)に懺悔する、～と共に懺悔する koyayunausi (新): [他](原因、手段)で懺悔する oyayunausi (新): [他](人)に懺悔させる yayunausire (新): [他]懺悔し合う、皆で懺悔する ukoyayunausi (新): [他]人を(人)に懺悔させる koyayunasusiyar (新): [自]人を自分に懺悔させる sikoyayunausiyar (新)

さんけいかじょ(散形花序) [名]散形花序 kasane-apappoomakat (新): [名]複散形花序 kasakorpa-apappoomakat (新)

ざんげき(斬撃) [他]～に斬撃をおくる tamkuste (石狩): (表現)(激しく斬撃をおくる描写の常套句)二つの太刀影、三つの太刀影の先を躍らせる tu yupke tamkur re yupke tamkur eterkerpa (石狩)

さんご(珊瑚) [名]珊瑚 sangu (新)※(琉球語首里方言の「サング」)

さんこう(三項) (言語)[名]三項 resupop (新): [自]三項である resupopkor (新): [名]三項動詞 resupopkor-moykeitak (新)、[名] resupopkorpe (新)

ざんごう(塹壕) [名]塹壕 tumipecir (新): [自]塹壕戦を行う ukotumipecir-etumikor (新): (表現)塹壕戦を行う tumipecir otta okay wa ukotumikor (新)

ざんこく(残酷) [名]残酷である kémus (石狩): [名]残酷な物語 kémus oruspe (石狩): [他](場所)で残酷である ekemus (新): [他]～に対し残酷である、～と共に残酷である kokemus (新): [他](原因、手段)で残酷である okemus (新): [他]～を残酷にする kémusi (新): [自]自分で、一

人で残酷である *aykokemus* (新)、[自] *aykemusi* (新): [自]互いに、皆で残酷である *ukokemus* (新)、[自] *ukemusi* (新): [自]物凄く残酷である *toykokemus* (新)

サンゴゴ(サンゴ語) [名]サンゴ語 *sangoitak* (新)※(中央アフリカ共和国の公用語)

サンゴジュズメウリ(珊瑚樹雀瓜)(植物)[名](ウリ科)サンゴジュズメウリ属 *numaus-cikapponokuripunkar-cise* (新): [名]サンゴジュズメウリの茎 *numaus-cikapponokuripunkar* (新)、[名]その果実 *numaus-cikapponokuri* (新)

さんごしょう(珊瑚礁) [名]珊瑚礁 *sanguso* (新)

さんこつ(散骨) [自]散骨する *ponecarpa* (新): [他]～を散骨する *ponecarpa* (新)

サンゴミズキ(珊瑚水木) (植物)[名](ミズキ属)サンゴミズキの茎 *húreutukanni* (新)※(別名「シベリアミズキ」)

ざんさ(残渣) [名]残渣 *cioposoresit* (新)、[名] *cieposoresit* (新)

さんさい(山菜) [名]山菜、木の実以外の植物性の食料 *rataskep* (石狩): [自]山菜を採る *kimoyki* (石狩): 現在では"ahata kusu oman"「ヤブマメを掘りに行く」という具合に採集する対象を具体的に言う表現が普通であるが、今後は翻訳を中心に常用語としても多用していく。

ざんさつ(惨殺) [自]人を惨殺する *iwenrayke* (新): [他]～を惨殺する *wenrayke* (新): [他](人)に～を惨殺させる *wenraykere* (新)

サンサルバドル [場名](エルサルバドル共和国の首都名)サンサルバドル *Sansarvador* (新)

さんさろ(三差路) (表現)三差路 *repne ukohopi* (*ukopi*) *ru(-we)* (新)

サンシチソウ(三七草) (植物)[名](キク科)サンシチソウ属 *handama-cise* (新): [名]サンシチソウの茎葉 *samorun-handama* (新): [名]スイゼンジナの茎葉 *handama* (新)※(琉球語): [名]ツルビロードサンシチの茎葉 *numauskenkaki-handama* (新)

ざんしゅ(斬首) [自]人を斬首する *ietametuye* (複数 *ietametuypa*) (新): [他]～を斬首する *etametuye* (複数 *etametuypa*) (石狩): [他](場所)で～を斬首する *eetametuye* (複数 *eetametuypa*) (新): [他]～と共に～を斬首する *koetametuye* (複数 *koetametuypa*) (新): [他](原因、手段)で～を斬首する *oetametuye* (複数 *oetametuypa*) (新): [他](人)に～を斬首させる *etametuyere* (複

数 *etametuypare*) (新): [名]斬首刑 *ietametuye-oipanakte* (新)

さんじゅう(三十) ① [名]三十人 *waniw etuhotnen* (新)、[名] *waniw ikasma hotnen* (新): (表現)三十人で *waniw etuhotnenne* (新)、(表現) *waniw ikasma hotnenne* (新): [連体]三十人の *wan etuhotne* (*wan ikasma hotne*) (新)、[連体] *waniw etuhotnen* (*waniw ikasma hotnen*) (新): (表現)三十人の女性 *wan menoko etuhotne menoko* (*wan menoko ikasma hotne menoko*) (新)、(表現)三十人の女性 *waniw etuhotne menoko* (*waniw ikasma hotne menoko*) (新): ② [名]三十、三十四、三十個、三十歳など *wampe etuhotnep* (*wampe ikasma hotnep*) (新)、[名] *wampe etuhot* (*wampe ikasma hot*) (新): [連体]三十の *wan etuhotne* (*wan ikasma hotne*) (新)、[連体] *wampe etuhotne* (*wampe ikasma hotne*) (新): (表現)三十匹の魚 *wan cep etuhotne cep* (*wan cep ikasma hotne cep*) (新)、(表現) *wampe etuhotne cep* (*wampe ikasma hotne cep*) (新)、(表現)三十年、歳 *wampa etuhotne pa* (*wampa ikasma hotne pa*) (新)、(表現) *wampe etuhotne pa* (*wampe ikasma hotne pa*) (新)、(表現)三十日 *wanto etuhotne to* (*wanto ikasma hotne to*) (新)、(表現) *wampe etuhotne to* (*wampe ikasma hotne to*) (新)

さんじゅういち(三十一) ① [名]三十一人 *sinen ikasma waniw etuhotnen* (新)、[名] *sinen ikasma waniw ikasma hotnen* (新): (表現)三十一人で *sinen ikasma waniw etuhotnenne* (新)、(表現) *sinen ikasma waniw ikasma hotnenne* (新): [連体]三十一人の *sine ikasma wan etuhotne* (*sine ikasma wan ikasma hotne*) (新)、[連体] *sinen ikasma waniw etuhotnen* (*sinen ikasma waniw ikasma hotnen*) (新): (表現)三十一人の女性 *sine menoko ikasma wan menoko etuhotne menoko* (*sine menoko ikasma wan menoko ikasma hotne menoko*) (新)、(表現)三十一人の女性 *sinen ikasma waniw etuhotne menoko* (*sinen ikasma waniw ikasma hotne menoko*) (新): ② [名]三十一、三十一匹、三十一個、三十一歳など *sinep ikasma wampe etuhotnep* (*sinep ikasma wampe ikasma hotnep*) (新)、[名] *sinep ikasma wampe etuhot* (*sinep ikasma wampe ikasma hot*) (新): [連体]三十一の *sine ikasma wan etuhotne* (*sine ikasma wan ikasma hotne*) (新)、[連体] *wampe*

etuhotne (wampe ikasma hotne) (新):
(表現)三十一匹の魚 sine cep ikasma wan
cep etuhotne cep (sine cep ikasma wan cep
ikasma hotne cep) (新)、(表現) sinep
ikasma wampe etuhotne cep (sinep ikasma
wampe ikasma hotne cep) (新)、(表現)三
十一年、歳 sinepa ikasma wampa etuhotne
pa (sinepa ikasma wampa ikasma hotne
pa) (新)、(表現) sinep ikasma wampe
etuhotne pa (sinep ikasma wampe ikasma
hotne pa) (新)、(表現)三十一日 sineto
ikasma wanto etuhotne to (sineto ikasma
wanto ikasma hotne to) (新)、(表現)
sinep ikasma wampe etuhotne to (sinep
ikasma wampe ikasma hotne to) (新)

サンシュユ(山茱萸) (植物)[名](ミズキ属)サン
シュユの茎 sanşuyuni (新): [名]サンシ
ュユの実 sanşuyu (新)

さんじょ(三女) [名]三女 reotutanuan-
matnepo (reotutanan-matnepo) (新)

さんじょう(山上) [場名]山上 nupurika
(nupurikasi, nupurkasike) (石狩)、[場名]
nupuripa (nupuripake) (石狩)

さんしょうそう(山椒草) (植物)[名](イラクサ
科)サンショウソウ属 hùrekaripmun-cise
(新): [名]サンショウソウの茎葉
hùrekaripmun (新): [名]アラゲサンショ
ウソウの茎葉 numaus-hurekaripmun
(新): [名]オオサンショウソウの茎葉
sìhurekaripmun (新): [名]ケイタオミズ
の茎葉 keytao-hurekaripmun (新):
[名]ナガバサンショウソウの茎葉
hamuane-hurekaripmun (新): [名]ヒュ
ウガサンショウソウの茎葉 miyazaki-
hurekaripmun (新)

サンショウモドキ(山椒擬) (植物)[名](ウルシ科)
サンショウモドキ属 cisanşokopa (新):
[名]サンショウモドキの茎 cisanşokopa
(新): [名]コショウボクの茎
cipepperkopapni (新): [名]コショウボク
の果実 pinkupepper (新)、[名]
cipepperkopap (新)

さんじょく(産褥) [名]産褥 nuwap-sotki (沙
流)、[名] uwari-sotki (沙流): (表現)産褥
について伏している nuwap-sotki or oma
wa an (沙流)

さんすう(算数) [名]算数 sísam-ipiskikar
(新)

サンスクリット [名]サンスクリット
sansukrit (新)※(インドの古典語)

さんせい(酸性) [自]酸性になる、である
supkakepne (新): [他](場所)で酸性にな
る、である esupkakepne (新)[他]〜と共に
酸性になる、である kosupkakepne (新):

[他](原因、手段)で酸性になる、である
osupkakepne (新)[他]〜を酸性にする
supkakepneka (supkakepnere) (新):
[自]酸性になる、である oassupkakepne
(assupkakepne) (新)

サンセイしょう(山西省) [場名](中華人民共和
国の省名)山西省 Şansi-purovince (新)

さんせつ(残雪) [名]残雪 cihoppaupas (新)、
[名] sihoppaupas (新)

さんそ(酸素) (化学)[名]酸素 ukotnop (新)
※(化合しやすいもの)※(原子番号8番。元素
記号 O): (表現)酸素が発生する
ukotnop cikarkar (新): (表現)酸素を発生
させる ukotnop karkar (新)

さんそう(山荘) [名]山荘 kimuncise (新)

さんぞく(山賊) ① [名]山賊 kimuysoka-
oikkakur (新)、[名] kimun-ikkakur (新)、
[名] apkasikkakur (新)、[名]
kimuysoka-oikkap (新): [名]山賊行為
kimuysoka-oikka (新): [自]山賊行為を行
う kimuysoka-oikka (新): ②(集団とし
て)[名]山賊行為 kimun-topattumi (新):
(表現)山賊行為を行う kimun-topattumi
sanke (新)

サンタフェ [場名](アメリカ合衆国ニューメキ
シコ州の州都名)サンタフェ Santafe (新)

サンダラック (植物)[名](ヒノキ科テトラクリ
ニス属)サンダラックの茎 sandarak (新)
※(英語): [名]サンダラックの果実
sandarakkaop (新): [名]サンダラック樹
脂 sandaraknitonru (新)、[名]
sandaraknitor (新)

サンダル [名]サンダル repunkur-situker(-
i) (新)、[名] repunkussituker(-i) (新)、
[名] sandare (新)※(仏語)

さんだん(三段) [自]三段重ねる
répukaomare (新): (表現)三段重ねる
rep ukaomare (新): [名]三段ベット
répukaomare-amset (新): (表現)〜を三
段重ねる ~ repne ukaomare (新)

さんち(山地) [名]山地 iwa (H)

さんち(産地) [場名]産地 ikarusi (新)、[場
名] (新): (表現)〜産地 ~ kárusi (新):
(表現)〜を産地直送する ikarusi wa
herkuwanno (kuwanno kane) ~ omante
(eikra) (新): (表現)…へ〜を産地直送す
る … ekota ikarusi wa herkuwanno
(kuwanno kane) ~ omante (eikura)
(新): (表現)産地直送品 ikarusi wa
herkuwanno (kuwanno kane) an=ománte
p (an=eíkra p) (新)

さんちょう(山頂) [場名]山頂 nupurikitay
(nupurikitaye, nupurikitayke) (石狩):
(表現)山頂 nupuri kitay(長形 -e、-ke) (石

狩)、(表現) nupuri tapka(長形 -si、-sike)
(石狩)
ざんてい(暫定) [自]暫定的である ietokoyki
(新): [副]暫定的に ietokoykino (新)
サンティアゴ [場名](チリ共和国の首都名)サン
ティアゴ Santiago (新)
サンディエゴ [場名](アメリカ合衆国カリフォル
ニア州の都市名)サンディエゴ Sandiego
(新)
さんとう(山刀) [名]山刀 tasiro (石狩)、
[名] emustasiro (石狩)
サントウしょう(山東省) [場名](中華人民共和
国の省名)山東省 Šanton-purovince (新)
サントドミンゴ [場名](ドミニカ共和国の首都
名)サントドミンゴ・デ・グズマン
Santodomingo-de-guzuman (新)
サントメ ①[場名](国名)サントメ・プリンシ
ペ民主共和国 Santome newa Purinšipi
Pespbulika Ukotankoremosir (新)※(首
都は「サントメ」): [場名](国名の通称とし
て)サントメ・プリンシペ Santome newa
Purinšipi (新): [名]サントメ・プリンシペ
人、国民 santome-newa-purinšipiunkur
(新): ②[場名](サントメ・プリンシペ共和国
の首都名)サントメ Santome (新): [場
名](地名)サントメ島 Santome-poysir (新)
さんなん(三男) [名]三男 reotutanuampo
(reotutanampo) (新)
さんにゅう(参入)[自]参入する iopok (石狩)、
[自] ahun(複数 ahup) (新): [他]〜に参
入する eiopok (石狩)、[他] koahun(複数
koahup) (新): [他]〜と共に参入する
koiopok (新)、[他] koahun(複数 koahup)
(新): [他](原因、手段)で参入する oiopok
(新)、[他] oahun(複数 oahup) (新):
[他](人)を参入させる iopokte (新)、[他]
ahunke(複数 ahupte) (新): [他](人)に〜
に参入させる eiopokte (新)、[他]
koahunke(複数 koahupte) (新): [他]〜
と共に〜に参入する koeiopok (新): (表
現)…と共に〜に参入する … turano ~
koahun(複数 koahup) (新)、(表現) ~
ekota … koahun(複数 koahup) (新):
[他](原因、手段)で〜に参入する oeiopok
(新)、[他] okoahun(複数 okoahup) (新):
[他]自分で、一人で〜に参入する
yaykoeiopok (新): [他]互いに、皆で〜に
参入する ukoeiopok (新): [他]〜に素早
く参入する osma (新): [他](人)に〜に素
早く参入させる osmare (新)
さんにんべや(三人部屋) [名]三人部屋
reneiwanke-tumpu (新)
ざんねん(残念) [自]残念に思う
yayerampokiwen (静内)、[自]

yayerampokinu (yayerampokin) (新):
[他](場所)で残念に思う eyayerampokiwen
(新): [他]〜を残念に思う
eyayerampokiwen (新)、[他]
koyayerampokiwen (新): [他]〜と共に残
念に思う koyayerampokiwen (新):
[他](原因、手段)で残念に思う
oyayerampokiwen (新): [他](人)に残念な
思いをさせる yayerampokiwente (新)、
[他] yayerampokinure (新)
サンノゼ [場名](アメリカ合衆国カリフォル
ニア州の都市名)サンノゼ Sanhose (新)
サンパウロ [場名](ブラジル連邦共和国の州名)
サンパウロ州 Sampauuro-mosir (新):
[場名](サンパウロ州の州都名)サンパウロ市
Sampauuro-si (新)
さんぱつ(散髪) [自]散髪する sietuypa (石
狩): [他](人)を散髪する etuypa (石狩):
[他](人)に散髪してもらう sietuypare (新)
ざんぱん(残飯) [名]残飯 ciepa (anep)
keseke (新)、[名] keseke (新)[名]
yayocepekotpe (新)
さんび(賛美) [自]賛美する iotuwasir (新)、
[自] iramye (新): [他]〜を賛美する
otuwasir (新)、[連他] ramu-ye (ram-ye)
(新): [他](場所)で〜を賛美する eotuwasir
(新): [他]〜と共に〜を賛美する
kootuwasir (新): [他](原因、手段)で〜を賛
美する ootuwasir (新): [他](人)に〜を
賛美させる otuwasir (新): [他]自分で、
一人で〜を賛美する yaykootuwasir (新):
[他]皆で、共に〜を賛美する ukootuwasir
(新): [他]熱心に〜を賛美する
toykootuwasir (新): [自]神を賛美する
kamuyotuwasir (新): (表現)神を賛美する
kamuy otuwasir (新)、(表現) kamuy
ramu-ye (新): [名]讃美歌
kamuyotuwasirhaw(-e) (新)、[名]
kamuyramuyehaw(-e) (新)、[名]
iotuwasirhaw(-e) (新)、[名] iramuyehaw(-
e) (新)
ザンビア [場名](国名)ザンビア共和国
Zambia Ukotankoremosir (新)※(首都は
「ルサカ」): [場名](国名の通称として)ザン
ビア Zambia (新): [名]ザンビア人、国
民 zambiaunkur (新)
さんぷく(山腹) [場名]山腹 nupurinoski
(nupurinoskike) (石狩): (表現)山腹
nupuri noski(長形 -ke) (石狩)
サンフランシスコ [場名](アメリカ合衆国カ
リフォルニア州の都市名)サンフランシスコ
Sanfuransisko (新)
さんぶん(散文) [名]散文 rissakitaksay(-e)
(新)、[名] rirsakitaksay(-e) (新)※(律動が

ない言葉)

さんぶんせつわ(散文説話) [名] 散 文 説 話

rúitak (新): 以下に示す他、地域によって様々な呼び方があるため、"rúitak"をその総称とする。: [名]散文説話 tuytak (石狩)、[名] uepeker (沙流)、[名] isoitakki (浦河): [自]散文説話を語る tuytak (石狩)

さんぼう(参謀) [名]参謀 ikoiramekarkur (新)

さんぼうかじょ(散房花序) [名] 散 房 花 序 pusacari-apappoomakat (新)

サンホセ [場名](コスタリカ共和国の首都名) サンホセ Sanxose (新)

サンマリノ [場名](国名)サンマリノ共和国 Sanmarino Ukotankoremosir (新)※(首都は「サンマリノ」): [場名](サンマリノ共和国の首都名)サンマリノ市 Sanmarino-si (新): [場名](国名、及び都市名の通称として)サンマリノ Sanmarino (新): [名]サンマリノ人、国民、市民 sanmarinounkur (新)

さんみ(酸味) [名]酸味 supkakekera (新): [自]酸味がある supkakekerakor (新): [他]〜に酸味を与える supkakekerakore (新): [名]酸味料 isupkakekerakorep (新)

さんみやく(山脈) [名] 山 脈 ikinnenupuri (新)

さんらん(産卵) [自] 産 卵 する yaykonoksanke (新): (表現)産卵する nok yaykosanke (新): [他](場所)で産卵する eyaykonoksanke (新): [他]〜と共に産卵する koyaykonoksanke (新): [他](原因、手段)で産卵する oyaykonoksanke (新): [他]〜に〜を産卵させる yaykonoksankeka (yaykonoksankere) (新): [名]産卵管 noksanke-kuttar(i) (新)

さんらんしょう(産卵床) [名]サケ、マスの産卵床 ican (石狩): [名]チョウザメの産卵床 sup(i) (石狩)、[名] cepkot(-ci) (天塩): [名]ウグイの産卵床 rakan (H)

ざんりゅう(残留する) [自]残留する osiroma (新): [他](場所)に残留する eosiroma (新): [他]〜と共に残留する koosiroma (新): [他](原因、手段)で残留する oosiroma (新): [他][他]〜を残留させる osiromare (新): [自]物凄く残留する toykoosiroma (新)

さんろく(山麓) [場名] 山 麓 nupurikes (nupurikese, nupurikeseke) (石狩): [場名]山麓の少し上の方、走り根、支山、尾根の端 sítuohonkes (sítuohonkese、sítuohonkeseke) (石狩)、[場名] sítukes

(sítukese, sítukeseke) (石狩)、[場名] túohonkes (túohonkese, túohonkeseke) (石狩): [場名]山麓の少し下の方 nupurious (nupuriousike) (石狩)

し(四) [名]四 ínep (石狩)

し(市) ①(日本国などの行政単位名として)[名]市 si (新): ②(政治的共同体)[場名]市 ioci (新)※(人が〜に群居する所)

し(死) [名]死 ray (石狩): [自]死が巡り来る raynoye (石狩): 「遂に私に死が巡り来たか。」"Tanepo ku=raynoye ru an a!"

し(詩) [名]詩 citomtehaw(-e) (新)※(飾られた声)、[名] ramoroasinhaw(-e) (新)※(心から出た声)、[名] poem (新)※(英語)

じ(字) [名]字 itakitokpa (新)

じ(時) (時間の単位)[名]時 ci (新)※(日本語)、[名] cas (新)※(露語): (表現)1時 sine ci (新)、(表現) sine cas (新): (表現)1時半 ci emko ikasma sine ci (新)、(表現) cas emko ikasma sine cas (新)

じ(璽) [名]璽 kániitokpa (新)、[名] kamuyitokpa (新)

じ(痔) [名]痔 arka (石狩): [自]痔を患う arkakor (石狩)

じ(辞) [名]辞 itak(-i) (石狩)

じ(秭)、じょ(稊) ①[名]秭 sükik (新)※(10の24乗): [名]十秭 waysiikik (新): [名]百秭 atuytasiikik (新): [名]千秭 wánatuytasiikik (新): ②[連体]秭の sükikne (新)、[連体] sükik (新): [連体]十秭の waysiikikne (新)、[連体] waysiikik (新): [連体]百秭の atuytasiikikne (新)、[連体] atuytasiikik (新): [連体]千秭の wánatuytasiikikne (新)、[連体] wánatuytasiikik (新)

しあさって(明々後日) [名・副]明々後日 oyasimsimke (石狩)、[場名・副] oyasimsimketo (石狩)、[名・副] simke (天塩)

シアトル [場名](アメリカ合衆国ワシントン州の都市名)シアトル Siator (新)

しあわせ(幸せ) [自]幸せになる、幸せである pirka (石狩)、[自] happi (新)※(英語): [他](原因、手段)で幸せになる、である epirka (石狩): [他]〜と共に幸せになる、である kopirka (新): [他]〜を幸せにする pirkare (石狩)、[他] pirkaka (新)、[他] happika (happire) (新): [自]自分で、一人で幸せになる、である yaykopirka (新): [自]互いに、共に幸せになる、である ukopirka (新): [自]充分幸せになる、である kopirkano (pirkanu) (新): [自]全く幸せになる、である oarpirka (arpirka) (新): [自]滅茶苦茶幸せになる、である

toykopirka (新): [自]死ぬほど幸せになる、である raypirka (新)

しあん(思案) [自]思案する yaynu (石狩): [他](人)に思案させる yaynure (新): [自]物事について思案する iramu (沙流): [他]~について思案する ramu (石狩): [自]あれこれ思案を巡らせる yaykosiramsuypa (石狩): [他]~についてあれこれ思案を巡らせる eyaykosiramsuypa (新): [自](雅)じつくりとあれこれ思案を巡らせる yaykotuymasiramsuypa (石狩): (表現)(思案に暮れ)膝頭に頭を埋める kokkasapa notomare (幌別)

じい(自慰) [名]自慰、自慰行為 yayokoyki (新): [自]自慰する yayokoyki (天塩): [他](人)に自慰させる yayokoykire (新): [自]相互自慰を行う ukoyaykoyki (新)

シイ(椎)(植物)[名](ブナ科)シイ属 misewraytao-cise (新): [名]インドグリの茎 sirokani-nisewraytao (新)、[名]その殻斗 sirokani-nisewrayta (新)、[名]その堅果 sirokani-raytaonise (新): [名]カスタノブシス・アクミナティッシマの茎 berangan (新)※(英語): [名]C. アルギロフィリアの茎 sirokanihamus-nisewraytao (新): [名]C. イネルミスの茎 petcamun-nisewraytao (新): [名]C. インディカの茎 indo-nisewraytao (新): [名]C. エキドノカルバの茎 ayetakne-nisewraytao (新): [名]C. カワカミイの茎 taywan-nisewraytao (新): [名]C. キネンシスの茎 atuyya-nisewraytao (新): [名]C. コンキンナの茎 koypokatuypa-nisewraytao (新): [名]C. スクレロフィラの茎 kúzutofuni (新)※(苦楢豆腐木): [名]C. タイエンシスの茎 tay-nisewraytao (新): [名]C. デラヴァイイの茎 rinupuri-nisewraytao (新): [名]C. トリブロイデスの茎 miamma-nisewraytao (新): [名]C. トンキネンシスの茎 tonkin-nisewraytao (新): [名]C. ネフェリオイデスの茎 marayu-nisewraytao (新): [名]C. ヒストリクスの茎 hure-nisewraytao (新): [名]C. フォルディイの茎 numaus-nisewraytao (新): [名]C. プセウドヒストリクスの茎 cihurenisewraytakopa (新): [名]C. プルブレアの茎 hatpeus-nisewraytao (新): [名]C. ミクロカルバの茎 pon-nisewraytao (新): [名]C. メガカルバの茎 poro-nisewraytao (新): [名]C. メガフィラの茎 hamuporo-nisewraytao (新): [名]C. メコンゲンシスの茎 mekon-nisewraytao

(新): [名]C. ヤバニカ jawa-nisewraytao (新): [名]C. ロッキイの茎 rokkinisewraytao (新): [名]C. ワリキイの茎 kenas-nisewraytao (新): [名]スタジイの茎 sí s i h i (新)、[名]その殻斗 sísihinisewop (新)、[名]その堅果 sísihinisew (新)※(日本語。別名「イタジイ」など): [名]ツブラジイの茎 mosihi (新)※(別名「コジイ」): [名]トガリバシイの茎 niwginia-nisewraytao (新)

しいく(飼育) [自]飼育する ireska (新)、[自]iresu(複数 irespa) (新): [他]~を飼育する reska (新)、[他] resu(複数 respa) (新): [他](人)に~を飼育させる reskare (新)、[他] resure(複数 respare) (新): [自]動物を飼育する cikoykipreska (新): [名]飼育係 ireskakur (新): (表現)飼育方法 ireska katu (新)

じいしき(自意識) [名]自意識 yayram(-u) (新): [自]自意識を持つ yayramkor (新): [自]自意識過剰である yayramkorkasuy (新)

シート [名]シート ciehotkepkamup (新)、[名] setkamup (新)

シートベルト [名]シートベルト sókut(-ci) (新): (表現)シートベルトを締める sókut kor (新)

シーボーギウム (化学)[名]シーボーギウム seaborgium (新)※(原子番号106番。元素記号 Sg)

シーン [自](場所)がシーンと静まり返る raykosanu (raykosampa) (石狩)、[自]kisnatara (沙流)、[自]kistek (沙流)、[自]cikistekka (沙流)

しいん(子音) [名]母音 pónehm(-i) (新)

しいん(指印) [自]指印する askepet-oitokpaoputuye (新): [他](場所)に指印する easkepet-oitokpaoputuye (新): [他]~と共に指印する koaskepet-oitokpaoputuye (新): [他](原因、手段)で指印する oaskepet-oitokpaoputuye (新): [他](人)に押印させる askepet-oitokpaoputuyere (新): [自]自分で、一人で指印する yaykoaskepet-oitokpaoputuye (新): [自]互いに、皆で指印する ukoaskepet-oitokpaoputuye (新)

シウリザクラ(シウリ桜) (植物)[名](サクラ属)シウリザクラの茎 siwri (H): [名]シウリザクラの花 siwriapappo (新): [名]シウリザクラの果実 siwriepuy(-ke) (新)

じえい(自衛) [自]自衛する yayepunkine (新): [他]~を自衛する eyayepunkine (新): [他]~と共に自衛する koyayepunkine (新): [他](原因、手段)で

自衛する oyayepunkine (新): [他](人)に自衛させる yayepunkinere (新): [自]互いに、皆で自衛する ukoyayepunkine (新): [自]人に自衛する yayepunkineyar (新): [名]自衛隊 yaymosirepunkinetumi (新)

しえき(使役) ① [自]使役する inepkire (新): [他]～を使役する nepkire (新): [他]～を使役させる nepkirere (新): ② (文法)[名]使役形 inepkirekat(-u) (新): [名]使役者 inepkirekur (新): [名]被使役者 cinepkirekur (新):

しえき(私益) [名]私益 yaypikare (新)

シェケル [名](イスラエルで用いられた通貨単位)シェケル šéker (新): [名](1985年以降のイスラエルの通貨単位)新シェケル asisšeker (新)

ジェット [名]ジェットエンジン jettumsankep (新)、[名] jet (新): [名]ジェット機 jettumsankep-kossinta (-korsinta) (新)、[名] jetsinta (jetsinta) (新)

ジェネット (動物)[名](ジャコウネコ科)ジェネット属 genetta-cise (新): [名]アカブチジェネット pantera-genetta (新): [名]アビシニアジェネット itioiyaun-genetta (新): [名]アンゴラジェネット angoraun-genetta (新): [名]オオブチジェネット porokeso-genetta (新): [名]サーバルジェネット servar-genetta (新): [名]ジェネットモドキ cigenettakopa (新): [名]ジャイアントジェネット sígenetta (新): [名]ジョンストンジェネット jonsuton-genetta (新): [名]タテガミジェネット nigerun-genetta (新)※(ニジェールジェネット): [名]ミズジャコウネコ worun-omawkusmekot (新): [名]ヨーロッパジェネット europaun-genetta (新)

ジェファーソンシティ [場名](アメリカ合衆国ミズーリ州の州都名)ジェファーソンシティ Jefarsonšiti (新)

シエラレオネ [場名](国名)シエラレオネ共和国 Šierariowni Ukotankoremosir (新)※(首都は「フリータウン」): [場名](国名の通称として)シエラレオネ Šierariowni (新): [名]シエラレオネ人、国民 šierariowniunkur (新)

シェラン [場名](地名)シェラン島 Šéran-poysir (新)※(バルト海にあるデンマーク領の島)

ジェレヌク (動物)[名](ブラックバック亜族)ジェレヌク属 gerenuk-cise (新): [名]ジェレヌク gerenuk (新)※(英語。別名「ゲレヌク」)

ジェントルキツネザル (動物)[名](キツネザル科)ジェントルキツネザル亜科 sitopesumarisaru-moapa (新): [名]ジェントルキツネザル属 sitopesumarisaru-cise (新): [名]ウェスタンジェントルキツネザル cuppokun-sitopesumarisaru (新): [名]グレイジェントルキツネザル cupkaun-sitopesumarisaru (新): [名]ゴールデンバンブーキツネザル konkani-sitopesumarisaru (新): [名]サウザンジェントルキツネザル koypokun-sitopesumasrisaru (新): [名]ラックアラオトランジェントルキツネザル araotranun-sitopesumarisaru (新): [名]オオキツネザル属 porositopesumarisaru-cise (新): [名]オオキツネザル porositope-sumarisaru (新)

ジェントルマン ①(紳士という意味で)[名]ジェントルマン nispa (石狩): ②(歴史)[名](イギリスの名望家を指し)ジェントルマン gentoreman (新)※(英語)

しお(塩) [名]塩 sippo (石狩): [名]具の入らぬ塩だけのお汁 sipporur (石狩)

しお(潮) ①(海流)[名]潮 ciw (八雲)、[名] atuyciw (八雲)、[名] atuymom (新): ②(海水)[名]潮 rur (天塩): ③(潮汐)[名]潮 siraruysir (新)※(岩の様子): [0動]潮が引く sirarha (八雲): 潮が引く sirar an (八雲)、(表現) sirar sat (八雲): [0動]潮が満ちる sirarpes (幌別)

しおあじ(塩味) [名]塩味 runnukera (新): [自]塩味がある runnukerakor (新): [他]～に塩味を与える runnukerakore (新)

しおからく(塩辛く) [自]塩辛くなる、塩辛い runnu (石狩)、[自] ruriyupke (天塩): [他]～を塩辛くする runnure (新)、[他] ruriyupkeka (ruriyupkere) (新): [副]塩辛く runnuno (新)、[副] ruriyupkeno (新)

しおさい(潮騒) [名]潮騒 sirarpeshum (sirarpes humi) (新)、[名] sirarpeshaw (sirarpes hawe) (新)

しおづけ(塩漬) [名]塩漬 cisippoorop (cisipporop) (新): [他]～を塩漬けにする sippooro (sipporo) (新): [他](人)に～を塩漬けにさせる sippoorore (sipporore) (新)

しおれる(萎れる) [自]クタッと萎れる sum (石狩)、[自] sumke (新): [他]～をクタッと萎れさせる sumka (sumte) (新)、[他] sumkere (新): [自]クタクタッと萎れる sumumke (石狩): [他]～をクタクタッと萎れさせる sumumkere (新)

シオン(紫苑) (植物)[名]シオン属 sionkina-cise (新): [名]シオンの茎葉 sionkina (新)、[名]その花 sion (新)※(日本語): [名]イソカンギクの茎葉 sirar-sionkina (新): [名]エゾノコンギクの茎葉 yaun-sionkina (新): [名]シラヤマギクの茎葉 retar-sionkina (新): [名]シロヨメナの茎葉 retar-yomena (新): [名]センボンギクの茎葉 petsamun-sionkina (新): [名]ダルマギクの茎葉 atuysamus-sion (新): [名]チョウセンノコンギクの茎葉 kórinsionkina (新): [名]ネバリノギクの茎葉 numausrepun-sionkina (新): [名]ノコンギクの茎葉 nupsionkina (新): [名]ユウゼンギクの茎葉 repun-sionkina (新)

しか [後副]〜しか patek (石狩): 「ほんの少ししかない。」“Sonno poompepo patekan.”、「今話した事しか私は知らないからね。」“Tane ku=ye hi patek ku=eraman na.”

じか(時価) (表現)時価 tane an atay (新)

じが(自我) (哲学)[名]自我 kuaninep (新)、[名] ego (新)※(羅語)

シカ(鹿) ①(動物)[名](ウシ亜目)シカ科 yuk-apa (新): シカ属 yuk-cise (新): [名]アカシカ europaun-hureyuk (新): [名]アジアアカシカ húreyuk (新): [名]アメリカアカシカ amerikaun-hureyuk (新)、[名] erku (新)※(熟名「エルク」): [名]エゾシカ yauyyuk (新)、[名] yuk (H) ※(ニホンジカの亜種): [名]クチジロジカ paroretaryuk (新): [名]サンバー sambaryuk (新)※(別名「水鹿」): [名]シヨンプルクジカ şomburguyuk (新)※(絶滅): [名]ターミンジカ támiyyuk (新): [名]ニホンジカ yayayyuk (新): [名]バラシンガジカ baraşingayuk (新)※(別名「インドヌマジカ」): [名]ビサヤンスポッテッドデアー visayaun-retarkesoyuk (新): [名]マリアナジカ marianauyyuk (新): [名]ルサジカ rusayuk (新): [名]アクシスジカ属 aksisyuk-cise (新): [名]アメリカヌマジカ属 saroruyyuk-cise (新): [名]オジロジカ属 oretaryuk-cise (新): [名]キバノロ属 sikitenuyuk-cise (新): [名]ゲマルジカ属 andesunyuk-cise (新): [名]シノメガケロス属 sínomegakeros-cise (新)※(絶滅): [名]シフゾウ属 míru-cise (新): [名]ダマジカ属 damayuk-cise (新): [名]トナカイ属 tunakay-cise (新): [名]ノロジカ属 noruyuk-cise (新): [名]パンパスジカ属 pampaunyuk-cise (新): [名]プーズー属 púdu-cise (新): [名]ヘラジカ属 perakirawkorpe-cise (新): [名]ホエジカ属 kion-cise (新): [名]マエガミ

ジカ属 otopusyuk-cise (新): [名]マザマ属 mazamayuk-cise (新): [名]メガケロス属 megarokeros-cise (新)※(絶滅): ②(性別年齢による呼称)[名]鹿 yuk (H)、[名](雅語) yukcikoykip (H)※(本来「エゾシカ」だが今後シカ類の総称としても使う): [名]雄鹿(成獣) apka (石狩)、[名]老大な雄鹿 siapka (石狩): [名]中くらの雄鹿 momampe (石狩): [名]雌鹿(成獣) matneyuk (石狩): [名]一歳の鹿 poyyuk (足寄、美幌): [名]二歳の鹿 riyaw (美幌): [名]二歳の雄鹿 riyaw (足寄): 二歳の雌鹿 riyapoyyuk (足寄): [名]三歳の鹿 tupariyayuk (足寄): [名]三歳の雄鹿 pinneraw (足寄)、[名] rehawnep (美幌): [名]三歳以上の雌鹿 momampe (足寄、美幌): [名]四歳の雄鹿 repaponapka (足寄)、[名] apka (美幌): [名]五歳以上の雄鹿 apka (足寄)、[名] siapka (美幌): ③[名]鹿肉 yukkam (石狩)、[名] yukharu (石狩): [名]鹿汁 yukrur (石狩): [名]鹿の筋 yukrici (石狩): [名]鹿の筋から採った糸 yukrici-nuyto (新): [名]鹿皮 yúkur (石狩): [名]鹿皮の靴 yukker(i) (石狩): [名]天から鹿を降らせ人間に授ける神 yukrankekamuy (空知)、[名] yukattekamuy (幌別): [名]神によって天より鹿が下ろされる山 yúkerannupuri (石狩)

しかい(死海) [名]死海 Ráy-atuy (新)

しかい(視界) (表現)視界 inkar sir (新): (表現)視界の中 inkar sir or(長形-o、-ke) (新): 「私の視界の中に飛び込んで来たのは家へ帰る君の姿だった。」“Ku=inkar sir or osma p anak e=hosipi siri ne.”: (表現)視界の外 inkar sir soy(長形-ke) (新)

じかい(次回) (表現)次回 ósaysuy (ósi an suy) (新)、(表現) otutanuaysuy (otutanu an suy) (新)、(表現) taysuy ósi an suy (新)、(表現) taysuy otutanu an suy (新)

じかい(磁界) [名]磁界 ikotukmintar (新)

じかい(自壊) [自]自壊する yaykohorak (yaykoorak) (新): [他](場所)で自壊する eyaykohorak (eyaykoorak) (新): [他]〜と共に自壊する koyaykohorak (koyaykoorak) (新): [他](原因、手段)で自壊する oyaykohorak (oyaykoorak) (新): [他]〜を自壊させる yaykohorakte (yaykoorakte) (新)

じかい(自戒) [名]自戒 yayramupakasnu (新): [自]自戒する yayramupakasnu (新): [他]〜について自戒する eyayramupakasnu (新): [他](人)に自戒

させる yayramupakasnure (新)

しがいせん(紫外線) [名] 紫外線 isoyun-kiyay (新)、[名] pewrekinapeuspe-soyun-kiyay (新)

しかえし(仕返し) [自] 人に仕返しをする imontasa (沙流)、[自] iwenramotasa (wenramoitasa) (新)：[他](人)に仕返しする montasa (新)、[他] wenramotasa (新)、[他] kowenramhosipire (新)：[他](場所)で(人)に仕返しする emontasa (新)：[他]～と共に(人)に仕返しする komontasa (新)：[他](手段)で(人)に仕返しする omontasa (新)：[他](人)に(人)に仕返しさせる montasare (新)、[自] wenramotasare (新)：[自]仕返しし合う uwenramotasa (wenramoutasa) (新)、[自] umontasa (新)

しかえず(仕返す) (表現)相手のとった行為に対して同様な動作で応じることを示し、"ekari inkar"「～を見つめ返す」、"ekari itak"「～に言い返す」のように ekari+自動詞 の形で表現される。この際主語、及び目的語は "en=ekari e=inkar"「私をお前は見つめ返す」の如く示される。

シカギク(鹿菊) (植物)[名](キク科)シカギク属 otapotankina-cise (新)：[名]シカギクの茎葉 otapotankina (新)、[名]その花 otapotan (樺太真岡)、[名] orakatahaxka (樺太白浦)：[名]イヌカミツレの茎葉 cikapkamomire (新)、[名]その花 cikapkamomireapappo (新)：[名]カミツレの茎葉 unupirkarep (新)、[名]kamomire (新)、[名]その花 unupirkarepapappo (新)、[名]kamomireapappo (新)※(別名「カモミール」、「ジャーマンカモミール」など)：[名]コシカギクの茎葉 konkokorokina (樺太真岡)、[名] ronkorokina (樺太真岡)※(別名「オロシヤギク」)

しかく(四角) [名]四角形 inesikkewkonnoka (新)：[自]四角形である inesikkewkor (新)：[名]四角い箱 osikkeumpe (天塩)

しがく(志学) (表現)志学 asiknepa ikasma wampa (新)、(表現) asiknep ikasma wampa (新)

しかく(死角) (表現)死角 inkar so sempir(長形-ke) (新)：「ここが死角となっているから、注意しなければいけない。」"Te oro inkar so sempirke ne kusu yaytupare=an yakeas ."

しかく(視覚) [名]視覚 inkarhum(i) (新)：(表現)視覚が鋭い inkarhum(i) yupke (新)：(表現)視覚が鈍い inkarhum(i) hawke (新)

しかく(資格) [名] 資格 cioikieaskay-huntasonep (新)※(人がそれで物事をできる鑑札に類する物)：(表現)資格 iki easkay kur kor kunip (新)：(表現)資格を(表現)～の資格 ～ ki easkay kur kor kunip (新)：(表現)資格がある cioikieaskay-huntasonep an (新)：(表現)資格がない cioikieaskay-huntasonep isam (新)：(表現)～には資格がある、資格を持つ cioikieaskay-huntasonep kor (新)：(表現)～には資格がない、資格を持たない cioikieaskay-huntasonep sak (新)：(表現)資格が～に与えられる cioikieaskay-huntasonep ～ kóre (新)：(表現)資格が～から剥奪される cioikieaskay-huntasonep ～ sakka (新)：(表現)資格を得る cioikieaskay-huntasonep uk (新)：(表現)資格を失う cioikieaskay-huntasonep ciisamka (新)

じかく(時格) (言語) [名] 時格 nipekkunrewke (新)※(時格)

しかけゆみ(仕掛弓) [名]仕掛弓 kúare (石狩)、[名] kúama (石狩)：[名]仕掛け弓 ku (石狩)：[名](仕掛弓に仕掛ける)仕掛矢 makanit-ay (石狩)：[名]仕掛弓のバネ、発射装置 kúakam (石狩)：[名]仕掛弓の矢の留め木 hecaweni (石狩)：[名]矢蔽 aycise (石狩)：[自]仕掛弓を置く kúare (石狩)、[自] kúama (石狩)：(表現)仕掛弓を仕掛ける ku are (石狩)、(表現) ku ama (石狩)：[名]仕掛弓を置く所 kúra (石狩)、[名]仕掛弓を置く沢 kúwannay (石狩)：(表現)～の仕掛弓に…がかかる ～ are ku … kúkan wa sumawne (石狩)：「私の仕掛弓に一頭の雌熊がかかった。」
" Ku=are ku sine kucan kúkan wa sumawne."

しかける(仕掛ける) ①[他](仕掛弓や刺し網)を仕掛ける ama (石狩)：[他](場所)に～を仕掛ける koama (新)：[他](人)に～を仕掛けさせる amare (新)：②[他](仕掛弓)を仕掛ける áre (石狩)：[他](場所)に～を仕掛ける eare (新)：[他](人)に～を仕掛けさせる árere (新)：

シカゴ [場名](アメリカ合衆国イリノイ州の都市名)シカゴ Sikago (新)

しかし [接助]しかし korka (石狩)：「それは良い話かも知れない。しかし私達はそれを断る。」" Neampe anakne pirka hawe ne nankor . Korka ci=kopan kusu ne na !"

じがじさん(自画自賛) ①[自]自画自賛する yayotuwasi (石狩)、[自] yayomonnure (新)：[他]～について自画自賛する eyayotuwasi (新)、[他] eyayomonnure

(新): [他](人)に自画自賛させる
yayotuwasure (新)、[他] yayomonnurere
(新): [自]称赞し合う uotuwasi (新)、[自]
uomonnure (新): ②(容姿に関して)[自]自
画自賛する yayreka (新): [他](人)に自
画自賛させる yayrekare (新)

しかしながら (表現)(先行する文を受け逆接の
意味を表し)しかしながら iki hi ne korka
(石狩)、(表現) iki p ne korka (石狩)

しかたがない(仕方がない)①(表現)仕方がない
ene kar hi ka isam (石狩): 「お腹が空い
ていたがお金がなかった。仕方がないので私
は水を飲んで横になっていた。」

“Ku=iperusuy korka ikor oarisam . Ene
ku=kar hi ka isam kusu wakka ku=ku hine
ku=hotke wa an .”: ②[自]仕方がないと思
う ieramkikkar (石狩)、[他]
ieyayramkikkar (石狩): [他]~を仕方が
ないと思う eramkikkar (石狩)、[他]
eyayramkikkar (石狩)

しがつ(四月) [名]四月 upasrurecup (石狩)、
[名] sikiwta (南空知、栗山)

じかつ(自活) [自]自活する yayreska (石
狩)、[自] yayparoyki (新): 「誰も頼らず
君は自活しなければならぬ。」“Nenka
somo e=nisuk no e=yayreska yakeas .”:
[他](人)に自活させる yayreskare (新)、
[他] yayparoykire (新)

シカナ (植物)[名](ウリ科)シカナ属
sikanapunkar-cise (新): [名]シカナ・オ
ドリフェラの茎 sikanapunkar (新)、[名]
その果実 sika (新)、[名] kassabanana
(新)

しかめつら(しかめ面) [名]しかめ面 nirus(-
i) (沙流)、[名] siyoninan(-u) (新): [自]
しかめ面をする etuyonini (石狩)、[自]
nanuyoni (石狩)、[自] nimakaka (幌別)、
[自] niasis (新)※(幌別): [自]しかめ面
になる、である iporosiw (幌別)

しかる(叱る) ①(口うるさく)[自]人を叱る
iusayekar (新): [他]~を叱る usayekar
(八雲): [他](人)に~を叱らせる
usayekare (新): ②(大声で)[自]人を叱る
ihawekoyki (新)、[自] ikopasirota
(ikopasrota) (石狩): [他]~を叱り付ける
hawekoyki (石狩)、[他] kopasirota
(kopasrota) (石狩): [他](人)に~を叱ら
せる hawekoykire (新)、[他]
kopasirotare (kopasrotare) (新): ③(体
罰を加え)[自]人を叱る unkoyki (新)、[自]
ikoyki (新): [他]~を叱る koyki (石
狩): [他](人)に~を叱らせる koykire
(新)

しかん(指間) [場名]指間 askepetutur(-u、-

ke) (新): [名]指間カンジダ症
asikepetuturu-kandida-osiyeye (新)

じかん(時間) ① [名]時間 nipekkur(-i)
(新): [自]時間が長い ohor (沙流、千歳):
[自]時間が短い setak (石狩): ②(時計で
計測されるもの)[名]時間 ci (新)※(日本
語)、[名] cas (新)※(露語): (表現)半時間
ci emko (新)、(表現) cas emko (新): (表
現)一時間 sine ci (新)、(表現) sine cas
(新): (表現)一時間半 ci emko ikasma sine
ci (新)、(表現) cas emko ikasma sine cas
(新)

しかん(弛緩) [自]弛緩する、している sawre
(石狩): [他](場所)で弛緩する、している
esawre (新): [他]~と共に弛緩する、して
いる kosawre (新): [他](原因、手段)で
弛緩する、している osawre (新): [他]~
を弛緩させる sawreka (石狩)、[他]
sawrere (新): [自]弛緩する sisawreka
(新)

しき(四季) (表現)四季 ine pompa (新)

しき(指揮) ①(軍事)[自]指揮する ikaspaotte
(新): [他]~を指揮する kaspaotte (新)、
[他] kommando (新)※(英語): [他](場所)
で~を指揮する ekaspaotte (新): [他]~
と共に指揮する kokaspaotte (新):
[他](原因、手段)で指揮する okaspaotte
(新): [他](人)に~を指揮させる
kaspaotttere (新): [名]指揮官
ikaspaottekur (新)、[名] kommander
(新): [場名]指揮所 ikaspaotteusi (新):
[名]指揮系統 uocikaspaotte (新)、[名]
uotkondukto (新): (表現)指揮権
ikaspaotte (ikommando) kusu an=kore
tum (新): ②(音楽)[自]指揮する yaka
(新): [他]~を指揮する eyaka (新)、[他]
kondakto (新)※(英語): [他](人)に~を指
揮させる eyakare (新): [名]指揮者
yakakur (新)、[名] konduktor (新):
[場名]指揮台 yakausi (新)、[名] podium
(新)※(羅語): [名]指揮棒 nit (新)、[名]
baton (新)※(英語)

しき(死期) (表現)死期 ray kunihi (新):
「私は死期を覚った。」“Ku=ray kunihi
ku=eraman .”

じき(時期) [名]時期 nipekkur (新)、[名]
periodus (新)※(羅語)

じき(磁器) [名]磁器 sumako-kotoyokarpe
(新)、[名] cisumako-kotoyokarpe (新)

しき(式) ①(儀式、行事)[名]式 ipurikokip
(新): ②(やり方)[名]式 puri (石狩): (表
現)日本式で sisam piri (purihi) ani (新):
③(歴史)[名](律令に関する)式 siki (新)

しきい(敷居) [名]敷居 toncikama (石狩)、

[名] 敷居 *toncikam* (石狩)、[名] *toncikamani* (八雲)
シギウナギ(鳴鰻)(魚介)[名](アナゴ亜目)シギウナギ科 *emakkanep·apa* (新): [名]シギウナギ属 *emakkanep·cise* (新): [名]シギウナギ *emakkanep* (新)※(その口・マツカ(昆布採漁具)・である・もの): [名]クロシギウナギ属 *kunneemakkanep·cise* (新): [名]クロシギウナギ *kunneemakkanep* (新): [名]ラビクトゥス属 *rabixtis·cise* (新)
しきくさ(敷草) [名]敷草 *sómun* (石狩): [他](隠すため)～を敷草の中に紛れ込ませる *sómunkopoye* (石狩)
しきござ(敷莫藎)[名]敷莫藎 *kina* (石狩)、[名] *citarpe* (石狩)、[名] *ciattoma* (石狩)、[名] *toma* (天塩)
しきてん(式典) [名]式典 *ipurikokip* (新)
しきふ(敷布) [名]敷布 *ciehotkepkamup* (新)、[名] *setkamup* (新)
しきぶとん(敷布団) [名]敷布団 *ciehotkep* (新)※(沙流方言"aehtokp"より)
しきもう(色盲) [名]色盲 *iro·esiknak* (B): [自]色盲である *iro·esiknak* (新)
しきもの(敷物) [名]敷物 *sóuspe* (石狩)、[名] *sokkar* (石狩)、[名] *sónep* (沙流)
しきやく(刺客) [名]刺客 *ikuroreraykekur* (新)、[名] *hitman* (新)※(英語)
しきゅう(子宮) [名]子宮 *póat·u* (石狩)
しきゅう(指球) [名]指球 *teketnin·i* (新)
しきゅう(至急) [副]至急 *sítunasno* (*sítunas*) (新): (表現)至急 *sonno* (*síno*) *tunasno* (*tunas*) (石狩)、(表現) *sonno* (*síno*) *hempano* (新)
じきゅう(時給) [名]時給 *kescipuma* (新): (表現)時給で千円受け取る *kescipuma ne sine wanatuytane yen uk* (新): (表現)時給で千円払う *kescipuma ne sine wanatuytane yen kar* (新)
しきゅう(趾球) [名]趾球 *urepetnin·i* (新)
じぎょう(事業) ①(社会的な大きな仕事)[名]事業 *irawkitupa* (新)、[名] *urawkitupa* (新): (表現)大事業 *páse irawkitupa* (新)、(表現) *páse urawkitupa* (新): ②(営利目的の経済活動)[場名]事業 *iepirkausi* (新): (表現)事業を営む *iepirkausi kor* (新): (表現)事業を起こす *iepirkausi kar* (新): (表現)～事業 事業内容を示す名詞+ *epirkausi*: *ikaroyki* (建設)+ *epirkausi* → *ikaroyki·epirkausi* 「建設事業」
しきよく(翅棘) [名](虫の)翅棘 *rápay·e* (新)

しきりに(頻りに)[接尾](ある種の擬態、擬音を表わす語根の重複形と結びつき、多回態の自動詞を形成する)頻りに～ *-atki* (石狩): *humum*(<*kum* 音)+*atki* → *humumatki* 「頻りに音が響きわたる」
しきりにおとがひびきわたる(頻りに音が響き渡る) [自]頻りに音が響きわたる *humumatki* (石狩)
しきりにこえがする(頻りに声がする) [自]頻りに声がする *hawasatki* (石狩): (表現)～としきりに声がする ～*sekor hawasatki* (石狩)
しきりにゆめにみる(頻りに夢に見る) [他]～を頻りに夢に見る *eraycinita* (石狩): 「…遠い昔のあの人を夜毎私は頻りに夢に見…」 “… *Tuyma teeta u neakur kesukuran ku=eraycinita* …” (砂沢トムアイヌ)演歌
しきん(資金) ①(基金)[名]資金 *ciioeiwankeikor* (新)、[名] *ciioeiwankep* (新)、[名] *fundo* (新)※(英語): ②(資本)[名]資金 *cieikorukmoto* (新)、[名] *kápitar* (新)※(英語)
シクウレンモレウ [名]シクウレンモレウ *sikurenmorew* (石狩): [名]シクウレンモレウ文様、網目双渦巻文様 *sikurenmorew·sirki* (石狩)※(ウレンモレウの二つの渦巻の谷間と対になるように、山形の曲線を伸ばした網目文様を作ったもの)
しげき(刺激) [自]刺激する *iciw* (新): [他]～を刺激する *ciw* (石狩): 「君の瞳が僕の心を刺激し、とても君が愛おしい。」 “*E=inkarsiknumi ku=ramu ciw wa sonno e=eramasuy=an* .”: [他](場所)で～を刺激する *eciw* (新): [他]～と共に～を刺激する *kociw* (新): [他](手段)で～を刺激する *ociw* (新): [他](誰か)に～を刺激させる *ciwre* (新)
しけつ(止血) [自]止血する *kémeham* (新)※(「血・を止める」): [他]～を止血する *kokemeham* (新): [他](原因、手段)で止血する *okemeham* (新): [他](人)に止血させる *kémehamte* (新)
しげみ(茂み) [名]茂み *sar* (旭川): [名](食草などの)茂みの有る沢 *kinausnay* (石狩)
しげる(茂る) [自]茂る、茂っている *ironne* (石狩): [他](場所)に茂る、茂っている *ieironne* (新): [他]～と共に茂る、茂っている *koironne* (新): [他](原因、手段)で茂る、茂っている *oironne* (新): [他]～を茂らせる *ironneka* (*ironnere*) (新): [自]～の陰毛が茂る、茂っている *oironne* (石狩)
じけん(事件) ①(出来事の意味で)[名]事件 *sáumpe* (新): ②(法令用語としての)(表

現)事件 *cikar kor an pe* (新)、(表現) *cikar kane an pe* (*cikarkanampe*) (新):
 ③(犯罪の意味で)[名]事件 *wencikip* (新)、
 [名] *wempe* (新): [名]凶悪事件 *sirun-*
cikip (新)、[名] *sirunwen-cikip* (*siruwen-*
cikip) (新)、[名] *rorumpe* (新)
しご(死語) (表現)死語 *ray wa an itak* (新)
じこ(事故) [名]事故 *yayhomsu* (新)、[名]
aksidento (新)※(英語)
じこあい(自己愛) [名]自己愛 *yayeramasuy*
 (*yayeramasu*) (新)
じこいしき(自己意識) [名]自己意識
yayram(-u) (新): [自]自己意識を持つ
yayramkor (新): (表現)公的自己意識
ciukokor yayram(-u) (新): (表現)私的自
 己意識 *ciyaykokor yayram(-u)* (新)
しごいてとりぞく(扱いて取り除く) [他] (手
 でオヒョウの木やシナの木の皮を剥ぎ、沼川
 の水に晒した後、内皮のぬめり)を扱いて取り
 除く *pikiki* (石狩): [他](人)に～を扱い
 て取り除かせる *pikikire* (新)
しこう(思考) [名]考え *yaynu* (石狩)、[名]
iramu (新)、[名] *sanniyo* (新)
じこう(耳孔) [名]耳孔 *kisassuy(-e)* (石狩)、
 [名] *kisarsuy(-e)* (石狩)、[名] *kisarpuy(-*
e) (石狩)
じごうじとく(自業自得) [自]自業自得である
yayka-onihose (沙流)
じごまん(自己欺瞞) [名]自己欺瞞
yaykosunke (新): [自]自己欺瞞を行う
yaykosunke (新)
しごく(扱く) (髭など)[他]～を扱く *rari* (複
 数 *rarpa*) (石狩): [他](人)に～を扱かせ
 る *rarire* (複数 *rarpape*) (新)
じごく(地獄) ①[場名]地獄 *cikapsakkotan*
 (石狩)、[場名] *iwampoknasir* (石狩)、[場
 名] *poknasir* (石狩)、[場名]
teynepoknasir (石狩)、[場名]
wakkasakkotan (石狩)、[名] *poknamosir*
 (沙流)、[名] *teynemosir* (沙流): 本来死
 者が赴き安らかな生活をすると考えられる
 "poknamosir"も、現在では"kannamosir"「天
 国」と対で「地獄」の意味で使われる事がある。
 : [場名]最悪の地獄 *arwenmosir* (沙
 流)、[場名]湿地の地獄 *yacinemosir* (沙
 流): ②[名]地獄穴 *ahunruporu* (石狩)、
 [名] *ahunrupar* (石狩)、[名] *póru* (石
 狩)
じこけんお(自己嫌悪) [自]自己嫌悪に陥る
sietoranne (新)、[自] *sienikuy* (新):
 [他](人)を自己嫌悪に陥らせる
sietorannere (新)、[他] *sienikuyre* (新):
 [自]強く自己嫌悪に陥る *sikopan* (新)、
 [自] *sikowen* (新): [他](人)を強く自己嫌

悪に陥らせる *sikopante* (新)、[他]
sikowente (新)

じこけんじ(自己顕示) [名]自己顕示欲
sinukaranrusuy (新)※(人に自分を見ても
 らいたがる): (表現)自己顕示欲が強い
toykosinukaranrusuy (新)

ジゴシキオス (植物)[名](ウリ科)ジゴシキオス
 属 *ruotakotukpe-cise* (新)※(筋ある塊か
 ら生えるもの): [名]ジゴシキオス・トリパ
 ルティツスの茎葉 *hamupetperke-*
ruotakotukpe (新): [名]ジゴシキオス・ブ
 ベスケンスの茎葉 *enumaus-rutakotukpe*
 (新)

じこちゅうしん(自己中心) ①[名]自己中心性
yaynoskiuyrukesamun (新)、[名]
egosentorisum (新)※(英語): ②(利己的の
 意味で)[自]自己中心的である *yaysamun*
 (新)、[自] *egoistone* (新): [名]自己中心
 的な人 *yaysamun* (新)、[名] *egoisto*
 (新)※(英語)

しごと(仕事) ①[名]仕事 *monrayke* (石狩)、
 [名] *nepki* (沙流)、[名](雅) *irawe* (石
 狩)、[名](雅) *irawkitupa* (*irawkitopa*) (石
 狩)、[名](雅語) *urawkitupa* (*urawkitopa*)
 (石狩): (表現)仕事がある *monrayke an*
 (石狩): (表現)仕事が無い *monrayke isam*
 (石狩)、(表現)仕事が続けて(沢山)ある
monrayke uousno (*poronno*) *an* (石狩):
 (表現)(雅)～は針仕事にばかり仕事にする(没
 頭する) *kemeyki patek nepki ne ~ ki*
 (沙流): ②[自]仕事をする *monrayke* (石
 狩)、[自] *nepki* (沙流)、[自](雅語) *irawe*
 (石狩)、[自](雅語) *irawkitupa* (*irawkitopa*)
 (石狩)、[自](雅語) *urawkitupa*
 (*urawkitopa*) (石狩): [他](場所)で仕事
 をする *emonrayke* (新)、[他] *enepki*
 (新): [他]～と共に仕事をする
komonrayke (新)、[他] *konepki* (新):
 [他](手段、目的)で仕事をする *omonrayke*
 (新)、[他] *onepki* (新): [他](人)に仕事を
 させる *monraykere* (新)、[他] *nepkire*
 (新): [自]自分で、一人で仕事をする
yaykomonrayke (新)、[自] *yaykonepki*
 (新): [自]互いに、皆で仕事をする
ukomonrayke (新)、[自] *ukonepki* (新):
 [自]減茶苦茶仕事をする *toykomonrayke*
 (新)、[自] *toykonepki* (新): [場名]仕事
 場 *monraykeusi* (新)、[場名] *nepkiusi*
 (新): ③[自]仕事ができる *tameaskay*
 (石狩)、[自] *monraykeaskay* (新): [名]
 仕事ができる人 *tameaskaykur* (石狩)、
 [名] *monraykeaskaykur* (新): ④[自]仕
 事ができない *ipesak* (石狩)、[自]
monraykeaykap (新): [名]仕事ができな

い人 ipesakkur (石狩)、[名] monraykeeaykapkur (新)

じこにんしき(自己認識) [名] 自己認識 yayeraman (新)

じこよくせい(自己抑制) [自] 自己抑制する yayhumikisma (新)、[自] yaykismare (新)：[他](人)に自己抑制させる yayhumikismare (新)、[他] yaykismarekar (新)：[自]強く自己抑制する toykoyayhumikisma (新)、[自] toykoyaykismare (新)

しころ(鋸) [名] 鋸 kampatoratkip (K)

しこん(齒根) [場名] 齒根 nimakous (天塩)

じさ(時差) [場名] 時差 nipekkur-sinnay (nipekkur-sinnayhi) (新)：(表現)差がある nipekkur-sinnay an (新)

じざいかぎ(自在鉤) [名] 自在鉤 suwat (石狩)：[名]自在鉤の高さを調節するためその下部につける刻み目 tawki (石狩)

じざいもり(自在鉚) [名] 自在鉚 marek (石狩)：(表現)マス獲り用の自在鉚 pon marek (= icaniwmarek) (石狩)：(表現)サケ獲り用の自在鉚 poro marek (石狩)

じさつ(自殺) ①[自]自殺する yayrayke (石狩)：[他](場所)で自殺する eyayrayke (新)：[他]～と共に自殺する koyayrayke (新)：[他](原因、手段)で自殺する oyayrayke (新)：[他](人)を自殺させる yayraykere (新)：②[他](自殺するために刀などを(自分の体のどこか)に突き刺す kooyaciw (石狩)：「…私の佩刀を自分の胸の上に突き刺したように私が思って、眠ったのか死んだのか…」 “…a=mut emus an=penramkasi an=kooyaciw pokon yaynu=an tek mokor e ray e…” (杉村キナラブック)神話

しさん(四散) [自] パツと四散する patce (新)、[自] patkosanu (新)：[他]～をパツと四散させる patu (石狩)：[自]パツパツと四散する patpatce (石狩)：[他]～をパツパツと四散させる patupatu (石狩)

しざん(支山) [名](本山から幾つも分かれている)支山 situ (石狩)、[名] tu (石狩)：[場名] 支山の端 situhonkes (situhonkese、situhonkeseke) (石狩)、[場名] situkes (situkese、situkeseke) (石狩)、[場名] tuohonkes (tuohonkese、tuohonkeseke) (石狩)

しざん(死産) [自] 死産する cúposkenewen (石狩)

しさん(試算) (表現)試算する ipiskikar wa inkar (新)：(表現)～を試算する piskikar wa inkar (新)：(表現)(人)に～を試算させる piskikare wa inkar (新)

しさん(資産) [名] 資産 cieikorukataynup (新)、[名] asset (新)※(英語)

しし(士師) (聖書)[名] 士師 irenkasankekur (新)：[名] 士師記 Irenkasankekurutar-kampisos (新)

しじ(支持) [自] 人を支持する isamun (新)、[自] isamaani (複数 samaampa) (新)：[他]～を支持する samun (新)、[他] samaani (複数 samaampa) (新)：[他](場所)で～を支持する esamun (新)、[他] esamaani (複数 esamaampa)：[他]～と共に～を支持する kosamun (新)、[他] kosamaani (複数 kosamaampa) (新)：[他](原因、手段)で～を支持する osamun (新)、[他] osamaani (複数 osamaampa) (新)：[他](人)に～を支持させる samunte (新)、[他] samaanire (複数 samaampare) (新)：[他]自分で、一人で～を支持する yaykosamun (新)、[他] yaykosamaani (複数 yaykosamaampa) (新)：[他]互いに、皆で～を支持する ukosamun (新)、[他] ukosamaani (複数 ukosamaampa) (新)：[他]全面的に～を支持する oassamun (新)、[他] oassamaani (複数 oassamaampa) (新)：[他]激烈に～を支持する toykosamun (新)、[他] toykosamaani (複数 toykosamaampa) (新)

シシウド(猪独活) (植物)[名] シシウド属 siwkina-cise (新)：[名] シシウドの茎葉 samorsiwkina (新)：[名] アシタバの茎葉 sisamcisuye (新)：[名] アマニユウの茎葉 cisuye (石狩)、[名] cihuye (石狩)：[名] イヌトウキの茎葉 setatowkikina (石狩)、[名] イヌトウキの根 setatowki (新)：[名] イワニンジンノ茎葉 kútussiwkina (新)：[名] エゾニユウの茎葉 siwkina (新)：[名] エゾノヨロイグサ setasiwkina (B)：[名] オオバセンキュウの茎葉 mosiwkina (石狩)：[名] カラトウキの茎葉 sitowkikina (新)、[名] カラトウキの根 sitowki (新)：[名] シラネセンキュウの茎葉 siranesiwkina (新)：[名] セイヨウトウキの茎葉 angerika (新)※(別名「アンゼリカ」)：[名] ツクシトウキの茎葉 tukusitowkikina (新)：[名] トウキの茎葉 towkikina (新)、[名] トウキの根 towki (新)※(漢方薬「当帰」)：[名] トサボウフウの茎葉 tosasiwkina (新)：[名] ノダケの茎葉 kunnesiwkina (新)：[名] ハナビゼリの茎葉 apapponnonnosiwkina (新)：[名] ハマウドの茎葉 otacimakina (新)：[名] ヒメノダケの茎葉 mokunnesiwkina (新)：[名] ホソバトウキの茎葉 hamuanetowkikina (新)：[名] ホッカイト

- ウキの茎葉 toytatowkikina (新): [名]ミヤマシシウドの茎葉 metotussiwkina (新): [名]ミヤマトウキの茎葉 metorustowkikina (新): [名]ムニンハマウドの茎葉 ogasawaraotacimakina (新): [名]ヤクシマノダケの茎葉 yakusiwkina (新): [名]ヨロイグサの茎葉 biakusikina (新)、[名]ヨロイグサの根 biakusi (新)※(漢方薬「白芷」)
- ししそんそん(子々孫々)** (表現) 子々孫々 sasusysir neno (石狩): (表現) 子々孫々まで sasusysir pakno (石狩)
- ししつ(資質)** (表現) 資質 cikore aynuipekat(-u) (新): 「君には教育者の資質がある。」 “Cikore ipakasnukur aynuipekatu e=kor .”
- ししばな(獅子鼻)** [名]獅子鼻 sépetu (新)、[名] réoetu (新): [自]獅子鼻である etusep (幌別)
- ししや(使者)** [名]使者 ciuytekkur (石狩)
- ししや(死者)** [名]死者 raykur (石狩): (表現)(悪口として)死者 raykur (石狩): (表現)(悪口として)死者の末裔 raykur sani (石狩)
- ししゃく(子爵)** [名]子爵 viskonto (新)※(英語): [名]子爵夫人 viskontes (新)※(英語)
- じしゃく(磁石)** [名]磁石 kánikotuk-suma (新)、[名] ikotuksuma (新)
- じしゅ(耳珠)** [名]耳珠 kisattama (kisartama) (新)
- ししゅう(刺繍)** [名]刺繍 ikarkar (石狩)、[名] oho (石狩): [自]刺繍する ikarkar (石狩): [他](人)に刺繍させる ikarkare (新): [他]～を刺繍する karkar (石狩): 合成語の構成要素としてのみ見られる。今後は単独でも使用する。: [他](人)に～を刺繍させる karkare (新)
- じしゅう(自習)** [自]自習する yaykokampinuye (新)、[自] yaypakasnu (新): [他]～を自習する eyaykokampinuye (新)、[他] eyaypakasnu (新): [他](場所)で自習する eyaykokampinuye (新)、[他] eyaypakasnu (新): [他]～と共に自習する koyaykokampinuye (新)、[他] koyaypakasnu (新): [他](原因、手段)で自習する oyaykokampinuye (新)、[他] oyaypakasnu (新): [他](人)に自習させる yaykokampinuyere (新)、[他] yaypakasnure (新)
- じじゅん(耳順)** (表現) 耳順 rehotne pa (新)
- じじょ(次女)** [自]自助する yaykasuy (新): [他]～の件で自助する eyaykasuy (新): [他](人)に自助させる yaykasuyre (新)
- じじょ(次女)** [名]次女 iosianmatnepo (iosanmatnepo) (新)
- じしよ(辞書)** [名]辞書 itakeonnekunnep (新)※(言葉について古老であるもの)
- しじょう(市場)** [場名]市場 ieiyokusi (新)、[名] market (新)※(英語)
- しじょう(施条)** [名]施条、ライフリング puspénay(-e) (新)
- じじょう(事情)** ①[名]事情 uepeker (石狩): ②[自]事情を話す uepeker (石狩): [他]～について事情を話す euepeker (石狩): [他](場所)で事情を話す euepeker (新): [他]～に事情を話す kouepeker (新): [他]～と共に事情を話す kouepeker (新): [他](原因、手段)で事情を話す ouepeker (新): [他](人)に事情を話させる uepekere (新): ③[自]事情を尋ねる uepekennu (新): [他]～について事情を尋ねる euepekennu (新): [他](場所)で事情を尋ねる euepekennu (新): [他]～に事情を尋ねる kouepékennu (新): [他]～と共に事情を尋ねる kouepékennu (新): [他](原因、手段)で事情を尋ねる ouepékennu (新): [他](人)に事情を尋ねさせる uepekennure (新)
- じしょう(自傷)** [名]自傷行為 yaypiromare (新)
- ししゅう(翅鞘)** [名](虫の)翅鞘 rapsirki (新)
- じしよく(辞職)** [自]辞職する monraykeoikesuy (新)、(新) nepkioikesuy (新): [他]～を辞職する emonraykeoikesuy (新)、[他] enepkioikesuy (新): [他]～と共に辞職する komonraykeoikesuy (新)、[他] konepkioikesuy (新): [他](原因、手段)で辞職する omonraykeoikesuy (新)、[他] onepkioikesuy (新): [他](人)に辞職させる monraykeoikesuyre (新)、[他] nepkioikesuyre (新)
- しじん(私人)** [名]私人 sisurakur (新): [自]私人となる sisura (新): [副]私人として sisurakunne(-no) (新): (表現)私人として sisurakur ne wa (新)
- じじん(自刃)** [自]自刃する yayotke (石狩): [他](人)を自刃させる yayotkere (新)
- じしん(地震)** [名]地震 sissimoye (sirsimoye) (石狩)、[名] sissisuye (sirsisuye) (石狩): [0動]地震が怒る sissimoye (sirsimoye) (石狩)、[0動] sissisuye (sirsisuye) (石狩): [自](場所)

で地震が起こる sirkosimoye (新)、[自] sirkosisuye (新): [名]地震に備えて立てかけておく棒 tanneni (石狩)

じすい(自炊) [自] 自炊する yayparosuke (新): [他](誰か)に自炊させる yayparosukere (新)

しすい(翅垂) [名](虫の)翅垂 rápukotep(i) (新)

しずかに(静かに) ①[完動]辺りが静かになる、である sirmo (石狩): [自](場所)が静かになる、である sirkomo (新): [自]静かになる、である mo (石狩): 目下合成語の構成要素としてのみ見られるが、今後は単独でも使用する。: [他](場所)で静かになる、である emo (新): [他]〜と共に静かになる、である komo (新): [他](原因、手段)で静かになる、である omo (新): [自]完全に静かになる、である oarmo (armo) (新): ②[他]〜を静かにする móre (石狩): 「静かに!」 “Hum more!” (砂沢クラ)、「…(赤子に対して)泣き止め!…」 “…ponno e=hawe more!…” (杉村キナラブク): ③[副] 静かに apunno (石狩)、[副] humsakno (天塩)、[副] mono (石狩)、[副] hawkeno (hawke) (石狩)、[副](雅語) orapunno (石狩)、[副](雅語) ratcitará (石狩): [後副](雅語)〜に対して静かに koratcitará (石狩)

しずかにあおぐ(静かに扇ぐ) [他]〜を静かに扇ぐ ratciparu (新): [他](道具)で〜を静かに扇ぐ eratciparu (石狩): [他](人)に〜を静かに扇がせる ratciparure (新): [他]〜を人に静かに扇がせる ratciparuyar (新): [自]自分を人に静かに扇がせる siratciparuyar (新)

しすぎる(し過ぎる) [助動](動詞句の後ろに置かれ何らかの程度が甚だしいことを示し)〜(し)過ぎる kasuy (石狩)、[助動] kaska (石狩)、[助動] kasma (石狩): 本来複数形と考えられる "kaska" 及びその異形 "kasma" は "kasuy" と同じ意味で用いられるが、今日までの用例で特に "kaska" は一部の口承文芸に限られる。: (表現)大きくなり過ぎる、大き過ぎる poro kasuy (石狩): (表現)小さくなり過ぎる、小さ過ぎる pon kasuy (石狩): (表現)ひどくなり過ぎる、ひど過ぎる wen kasuy (石狩)

しずく(滴) [名]滴 pe (石狩): (表現)〜の滴が落ちる ~ pehe ran (石狩): (表現)〜の滴がしたたる ~ pehe cik (石狩)

しずけさ(静けさ) [名]静けさ mo (石狩): 目下合成語の構成要素として見られるだけだが、今後は単独でも使用する。

システム [名]システム sistem (新)※(英

語)

ジスプロシウム (化学)[名]ジスプロシウム dispurosium (新)※(原子番号 66 番。元素記号 Dy)

じすべり(地滑り) [名]地滑り toysirutu (新): [0動]地滑りになる toysirutu (新): (表現)地滑りになる toy sirutu (石狩)

しずまりかえる(静まり返る) [完動]辺りが静まり返る、返っている sirmo (石狩): [他]辺りを静まり返らせる sirmore (新): [自](場所)が静まり返る raykosanu (raykosampa) (石狩)、[自] kisnatará (沙流)、[自] kistek (沙流)、[自] cikistekka (沙流)、[自] sirkomo (新): [他](場所)を静まり返らせる raykosanure (新)、[他] kisnatarare (新)、[他] kistekka (新)

しずまる(鎮まる) ①(神が住む事を示し)[自]鎮まる horari (複数 horarpa) (石狩)、[自] iwak (沙流): [他](場所)に鎮まる ehorari (複数 ehorarpa) (新)、[他] eiwak (新)、[他] ewak (石狩): [他]〜と共に鎮まる kohorari (複数 kohorarpa) (新)、[他] koiwak (新): [他](原因、手段)で鎮まる ohorari (複数 ohorarpa) (新)、[他] oiwak (新): [自]一人で、自分で鎮まる yaykohorari (複数 yaykohorarpa) (新)、[自] yaykoiwak (新): [自]皆で、共に鎮まる ukohorarpa (新)、[自] ukoiwak (新): ②(感情に関して)[他](中相)〜が鎮まる ciekomo (新): 「しばらくして私の怒りが鎮まった。」 “Irukay siran kor ku=kor iruska ciekomo.” : ③(痛みに関して)[他](中相)〜が鎮まる cirari (新): 「薬のおかげで私の歯の痛みが鎮まった。」 “Kusuri keray kusu ku=nimaki arka cirari.”

しずむ(沈む) [自]沈む、沈み込む ren (石狩): (表現)船ごと沈んで死んでしまう cip turano ren wa isam (石狩): [他](原因、手段)で沈む、沈み込む eren (新): [他](場所)に沈む、沈み込む、〜と共に沈む、沈み込む koren (新): [他](場所)に沈む、沈み込む oren (石狩): [自]完全に沈む、沈み込む oanren (anren) (新): [自]突然沈む、沈み込む rentek (新): [他](中相)〜が沈む、沈み込む ciraorare (石狩): [自]前部が沈む eren (新): [自]後部が沈む oren (新)

しずめる(沈める) [他]〜を沈める renka (石狩)、[他] raworari (複数形 raworarpa) (天塩)、[他] rere (沙流): [他](合成語の構成要素として)〜を沈める rori (石狩): he(頭)+rori → herori 「頭を沈める=頭

から潜る」：[他](場所)で～を沈める erenka (新)、[他] eraworari (複数 eraworarpa) (新)：[他](場所)に～を沈める korenka (新)、[他] koraworari (複数 koraworarpa) (新)：[他]～と共に～を沈める korenka (新)、[他] koraworari (複数 koraworarpa) (新)：[他](原因、手段)で～を沈める orenka (新)、[他] oraworari (複数 oraworarpa) (新)：[他]～に～を沈めさせる renkare (新)、[他] raworarire (複数 raworarpape) (新)：[他]一瞬で～を沈める rentekka (新)：[他]自分で、一人で～を沈める yaykorenka (新)、[他] yaykoraworari (複数 yaykoraworarpa) (新)：[他]互いに、皆で～を沈める ukorenka (新)、[他] ukoraworarpa (新)：[自]頭を沈める herari (複数 herarpa) (新)：[自]尾を沈める horari (複数 horarpa) (新)

しずめる(鎮める) ①(神や魂に関して)[他](誰か)に～を鎮まらせる horarire (複数 horarpare) (新)、[他] iwakte (新)：②(感情に関して)[他]～をを鎮める ekomo (石狩)：「私は怒りを鎮めた。」「Iruska ku=ekomo .」：[他](人)に～を鎮めさせる ekomore (新)：[自]怒りを鎮める iruskaekomo (新)：③(痛みに関して)[他]～を鎮める rari (複数 rarpa) (石狩)：(表現)痛みを鎮める arka rari (石狩)

しずらい [他]～しずらい koyaykus (石狩)：「ここは私には働きずらい。」“Tan te ta monrayke ku=koyaykus .”：[助動]～(し)ずらい koyaykus (石狩)：「私は歩きずらい。」“Ku=apkas koyaykus .”

じせい(自制) [自]自制する yaysiporore (石狩)、[自] yaysittekka (沙流)：[他]～を自制する eyaysiporore (石狩)、[他] eyaysittekka (新)：(表現)自制心 yaysiporore kewtum (新)、(表現) yaysittekka kewtum (新)

じせい(自生) [自]自生する yaykoetuk (新)、[自] yaykohetuku (複数 yaykohetukpa) (新)

しせいじ(私生児) [名]私生児 hokusaknopo (石狩)：[名](悪)私生児 eappisep (石狩)、[名](悪) okakarpe (天塩)

しせき(史跡) [場名]史跡 teetaampeeani (新)※(歴史がそこにある所)

しせつ(施設) [場名]施設 cieiwankeusi (新)※(人がいつも使う所)

しせん(死線) [自](雅語)死線を越える onumposo (石狩)、[自] enumposore (石狩)

しせん(視線) ①[名]視線 sik(i) (石狩)：

②[自]辺りに視線を落とす sirsikeranaatte (sissikeranaatte) (新)：[他]～に視線を落とす sikeranaatte (石狩)：(表現)～に視線を落とす siki eranaatte (新)：③[自]視線を感じる isikinu (新)：[他]～の視線を感じる siki nu (新)：(表現)～の視線を感じる siki nu (新)：④[自]視線を向ける sikepuni (石狩)：(表現)視線を向ける siki epuni (新)：[他]～に視線を向ける kosikepuni (新)

しぜん(自然) [名]自然 siante (新)※(自らを完璧に有らしめる)、[名] ciante (新)、[場名] siror(-o) (静内)、[名] natura (新)※(羅語)：[自]自然である siante (新)、[自] ciante (新)

しぜんえいせい(自然衛星) (表現)自然衛星 siante pakusanociw (新)

シセンしょう(四川省) [場名](中華人民共和国の省名)四川省 Sícuan-purovince (新)

しぜんすう(自然数) [名]自然数 siantecipiskip (新)

しぜんはっか(自然発火) [自]自然発火する siuhuyka (新)

シソ(紫蘇) (植物)[場名](合弁花植物亜綱)シソ目(新)：[名]シソ科(新)：[名]シソ属(新)：[名]アワゴケ科(新)：[名]イワタバコ科(新)：[名]キツネノゴマ科(新)：[名]クマツヅラ科(新)：[名]グロブラリア科(新)：[名]ゴマ科(新)：[名]ゴマノハグサ科(新)：[名]コルメリア科(新)：[名]タヌキモ科(新)：[名]ツノゴマ科(新)：[名]ドウケオデンドロン科(新)：[名]ナス科(新)：[名]ノウゼンカズラ科(新)：[名]ノラナ科(新)：[名]ハエドクソウ科(新)：[名]ハゼリンソウ科(新)：[名]ハナシノブ科(新)：[名]ハマウツボ科(新)：[名]ハマジンチョウ科(新)：[名]ヒルガオ科(新)：[名]フオウクィエリア科(新)：[名]フジウツギ科(新)：[名]ヘンリクエジア科(新)：[名]ムラサキ科(新)：[名]レンノア科(新)

しろう ①[接助](推定を表し)～しろうで、～しろうに kotom (石狩)、[接助] noyne (石狩)、[接助] kotomno (沙流)：石狩方言としては圧倒的に kotom が使用される。：「君はお椀まで食べそうに慌てて食べるねえ。」“Eani anakne iwanki ka e=e kotom ekenkeci e=ipe sir an a !”：(表現)(推定を表し)～しろうである 動詞句+kotom an (石狩)：「雨が降りそうだ。」“Ruyampe as kotom an .”：(表現)(周囲の状況からの推定を表し)～しろうである 動詞句+kotom siran (石狩)：「雨が降りそうだ。」“Ruyampe as kotom siran .”：(表現)(感覚による推定、想像を表し)～しろうである

動詞句+kotom human (新): 「俺は余りにも足が痛くて死にそうだよ。」“Eikos ku=cikiri arka kusu ku=ray kotom human.”: ②[副]あやうく〜(し)そう naani (石狩)[副] naanipo (石狩): 「私はあやうく凍えそうだった。」“Naani (Naanipo) ku=merayke.”: ③[接続動詞]今にも〜しそう anki (沙流): 「重病人は今にも死にそうに弱く呼吸をした。」

“Tasumkur ray anki hawkeno hese.”、「私は今にも君を殴りそうだけだ我慢してるんだよ。」“E=kik=an anki ku=yaynu korka ku=yaysiporore kane an na.”

しぞく(支族) [名]支族 utaraw(-e) (新)

しそん(子孫) [場名]子孫 sani (石狩)、[場名] sanike (石狩): かつてのアイヌは皆自分の祖先の系統を重んじ敬い、「先祖の名」+sani(-ke)と胸を張って名乗り、人も「やはり〜の子孫だ」と褒めた。それ故他人の先祖を貶める事は最大級の侮辱となったが、実際にはかなりの程度行われていたようである。その定形として「人に対する悪口の言葉」+sani(-ke)があり、“raykur sani(-ke)”「死人の子孫」、「wenkur sani(-ke)”「貧乏人の血統」などと使われた。: [名](雅語) santeke(-e) (石狩): [位名](長形で用いられ)〜の子孫 keseke (天塩): [名](神や偉人の)子孫 sasusyr (sasusir) (石狩): [自]子孫が絶える orukessak (新): [名]子孫が絶えた者、無縁仏 orukessakkur (静内)

じそんしん(自尊心) [名]自尊心 yayeoripak-kewtum(-u) (新)、[名] yaykooripak-kewtum(-u) (新): (表現)自尊心が強い yayeoripak-kewtum(-u) yupke (新)

した ①[助動](異なる時間の状態、動作を叙述する際に先の状態、動作を示し)〜(し)た a (複数 rok) (石狩): 単なる過去を表す言葉ではない事に注意: 「朝雪が降ったけれど、今は融けてしまった。」“Kunnano upas as a korka tane nin wa isam.”、「先祖が話した言葉を私は知らない。」“Sinrici utar ye rok itak ku=erampetek.”、「(今は違うが)私はここに住んでいたのですよ。」“Tan te ta ku=an a ru ne wa.”、「…お爺さんは山で迷ったあげく死んだ(死んでいなくなっていた)のです。」“…ekasi kim ta sitturaynu ayne ray a ruwe ne.” (砂沢クラ): ②(ある動作が完了した事を示し)[助動]〜(し)た okere (石狩): (表現)〜(し)た 動詞句+wa okere (石狩): 「料理できた?’’“E=suke okere (=E=suke wa okere)?” ③[助動](ある動作を完了して聞がない事を示し)〜(し)た、〜(し)たばかり nisa (石狩) (石狩): 「飯食べたか(食事したばかりか)?’’“E=ipe nisa?”:

④[接助]〜(し)たあげく、〜(し)た末、〜(し)た結果 ayne (石狩): 普通は「アイネ」だが、「〜(し)たあげくとうとう」などと強調する時に「アイーネ」と発音されることもある: 「仕事もしないで遊んでいたあげくの果てに金をかせってかい?!’’“E=monrayke ka somo ki no e=sinot kor an ayne ikor e=esoseyar=an hawe?!’’,「私達が一生懸命練習して素晴らしく踊った結果有名ダンサーになった。」“Arikikino yayramuska=as wa pirkano upopo=as ayne asur as rimsekur ci=ne ruwe ne.”: ⑤[接助]〜(した)かのように ápekor (空知): 「…何処やらから私の様子を知ったかのように…」

“…neytasinno okay=an katu eramuokay pe hi ne ápekor …” (杉村キナラブク)婦女詞曲

した(下) (1)①[位名]〜の下 corpok(長形-i、-ike) (石狩): 「大きな橋の下で私は暮している。」“Porok riwka corpok (corpoki、corpokike) ta ku=an.”、「大きな橋がある。その下で私は暮している。」“Porok riwka an . Corpoki (Corpokike) ta ku=an.”: ②[位名]〜の広い範囲の下 kurpok(長形-i、-ike) (沙流): 「木の下一面にキノコがびっしり生えている。」“Ni kurpok karus us.”: ③[位名]〜のくっついて一体化した下、〜の下側 tuyupok(長形-i、-ike) (天塩): 「あんたの手の下側が黒くなってる。」“E=teke tuyupok kunne.”: ④[位名]〜のすぐ下 possam(長形-a、-ake) (石狩)、[位名] mompok(長形-i、-ike) (沙流): 「それなら、ほら、僕たちのすぐ下にあるよ。」“Neampe anakne, inkar yan, i=poksam (=mompok) ta an na.”: ⑤[位名](斜めになった)〜の下 rewpok(長形-i、-ike) (沙流): 「傾いた木の下に私は横たわった。」“Ni rewpok ta ku=hotke.”: ⑥[位名](合成語の構成要素として)〜の下 pok(長形-i、-ike) (石狩): (2)[場名]下、低い所 ra (石狩): (表現)下に下りる ra ta ran (複数 rap) (石狩): [自]下を向く、下に向かう herasi (新): [副]下を向いて、下に herasi (石狩): [自]下から向かって来る horasi (新): [副]下から horasi (石狩): [連体]下の raun (石狩): [連体](通常“rikun”「上の」と対で用いられ)下の ranke (石狩): (表現)下の衣桁、上の衣桁 ranke kakencay rikun kakencay (石狩): [自]下の方を向く、下の方に向かう hepoknasi (新): [副]下の方を向いて、下の方に hepoknasi (石狩): 下の方に下りる hepoknasi ran (複数 rap) (新): [自]下の方から向かって来る hopoknasi (新):

[副]下の方から hopoknasi (石狩): 下の方から上がる hopoknasi rikin (複数 rikip) (石狩): (表現)(雅)(恭しく腰を低くして戸口の蓆をめくり入ろうとする者があり)下の方から入り口が開く ramno kane apa cimaka (沙流): ③[名](合成語の構成要素として)下 pok(i) (石狩): [副](合成語の構成要素として)下の方に pokna (石狩): 対義語は"kanna": pokna+sir(土地) → poknasir 「地獄」

じだ(耳朶) (表現)耳朶 kisar(-a) saraha (石狩)

した(舌) ①[名]舌 parumpe (石狩)、[名](クマの)舌 parumpekkew(-e) (石狩): [名](合成語の構成要素として)舌 aw(-e) (石狩): ②[名]イクパスイの先端に彫る窪み、舌 parumpe (旭川)、[名] pasuyrumpe (空知)、[名] sampe (空知)

したあご(下顎) [名]下顎、下顎の骨 nokkew(-e) (石狩)、[名](雅) noyap(-i) (石狩)、[名] pokna-nokkew(-e) (幌別): (表現)(細面で顎がしゃくれた醜い顔の描写として)長い下顎、下顎の途中でぞっくり切り揃えられている tanne noyap noyap hontomo cikoetuyupa (知里)

したい [助動](主語によって表される主体の欲求を示し)~(し)たい rusuy (石狩): 直前の動詞と結合し、"mokonrusuy"「眠たい」などの合成詞を形成する事がよくある。動詞の後に副助詞"ka"を用いる構文の場合、"ku=mokor ka ki rusuy"「私は眠りもしたい」のように代動詞として"ki"を使う: 「私達はアイヌ語を学びたい。」"Aynuytak ci=ekampinuye rusuy .": (表現)~して…したい、~を…したい ~ ta … okay (石狩): 「金持ちになって良い生活をしたい。」

"Nispa ta ku=ne awa piraureska ku=ki okay .", 「私は、彼氏に会いたい、キスしたいとばかり考えています。」"E=kor okkayo ta e=nukar okay, e=coprakote okay sektor patek ku=yaynu kane an .": (表現)(~し)たいように(~する) ene ~ rusuy hi neno ~ (石狩): 「したいようにさせてくれ。」

"Ene ku=iki rusuy hi neno ku=iki kunine kar!", 「したいようにさせてもらいたい。」

"Ene ku=iki rusuy hi neno ku=iki hi ku=ki rusuy ."

したい(死体) ①(人間の)[名]死体 araysir(-i) (石狩)、[名] aynukaysey(-e) (石狩): ②(クマ、フクロウ等大切な神とされる動物の)[名]死体 sumaw(-e) (石狩): [名](神の)水死体 raycep(-i) (石狩): ③(合成語の構成要素として)[名]死体 kew(-e) (石狩)

じだい(時代) [名]時代 nipekkur (新)、[名] periodus (新)※(羅語)

したう(慕う) [他]~を慕う osiknuka (osiknoka) (石狩): [他](人)に~を慕わせる osiknukare (osiknokare) (新): [他]酷く~を慕う toykoosiknuka (toykoosiknoka) (新): [他]死ぬ程~を慕う ráyosiknuka (ráyosiknoka) (新): [自]慕い合う uosiknuka (uosiknoka) (新): [自]酷く慕い合う toykouosiknuka (toykouosiknoka) (新): [他]皆で~を慕う ukoosiknuka (ukoosiknoka) (新)

したうち(舌打ち) [自](いまいまし気に)チェツと舌打ちする cokse (石狩)、[自] sapse (H): [他]~に舌打ちする ocokse (新): [他]~に舌打ちさせる cokseka (coksere) (新): [自]自分で、一人で舌打ちする yaykocokse (新): [自]皆で、共に舌打ちする ukocokse (新): [自]思い切り舌打ちする toykocokse (新)

したおび(下帯) ①(アイヌ女性が素肌の腰に巻いた帯)[名]下帯 raunkut(-ci) (石狩)、[名] ponkut(-ci) (石狩)、[名] upsorkut(-ci) (石狩): [名]下帯に付ける三角の布 isima (石狩): ②(肌着の上に結ぶ紐)[名]下帯 rankekut(-ci) (新)、[名] raunat(-u) (新): ③(鐘の部分名称)[名]下帯 rankekut(-ci) (新)

したが ①(ある状態、動作から、次の新たな、あるいは予想に反する状態、動作を導き)[接助]~(し)たが ayke (石狩)、[接助] awa (空知): 「兄と二人で札幌に泊まったが、翌日兄は買物に行き、私は駅で兄を待った。」

"Ku=yupi tura Sapporo ta rewsu=as ayke nisatke an kor ku=yupi anakne kisaratkiusi ta ku=tere .", 「今までやたら歩いてきたがどんな事があった!？」"Tane pakno etarka apkas=an awa nekonampe an awa (>a ya)!?" (砂沢クラ)、"…彼女が出かけたが、戻って来ないから私が来た。" "…asin awa hosipi somo ki kusu ku=ek ." (砂沢クラ): ②(ある状態、動作が終了し次の新たな展開、あるいは予想外の展開を導き)[接助]~(し)たが ayne (石狩): 「私は急流の中に落ちて誰も私を助けなかったが、私は何とか泳いで岸に上がった。」"Puyra tum ku=osma wa nenka en=ka-oyki ayne nekon poka ku=ma wa ku=yan .": ③逆説の表現 → 「したけれど」を見よ

したがう(従う) [自]従う ikoikar (新): [他]~に従う koikar (沙流): (表現)~の命令に聞き従う ~ kor ipawetenke nu wa koikar (新): [他](場所)で~に従う

ekoikar (新): [他](原因、手段)で～に従う、
～に関して～に従う okoikar (新):
[他](人)に～に従わせる koikare (新):
[他]自分で、一人で～に従う yaykokoikar
(新): [他]皆で、共に～に従う ukokoikar
(新): [他]完全に～に従う oarkoikar
(arkoikar) (新)

したがき(下書き) [自]下書きする ietokeinuye
(ietokoeinuye) (新): (表現)下書きする
ietok ta inuye (新): [他]～の下書きする
ietokeinuye (新): (表現)～の下書きする
etok(長形-o) ta nuye (新): [他]～を下書
きする ietokenuye (新): (表現)～を下書
きする ietok ta ~ nuye (新): [名]下書
きしたもの、下書き ciietokenuyep (新)

したぎ(下着) ①[名]下着 pokna-amip (沙
流)、[名] ráwa-amip (新)、[名] pokna-
imi (新): (表現)私の下着 ku=mi pokna-
amip (pokna-imi) (新)、(表現) opoknasi
ku=mi p (新): ②(女性用肌着)[名]女性が
着る長襦袢形の前あきがない肌着 mour(i)
(石狩): [名]腹を完全に隠す大人用の肌着
honikotkor (石狩): ③(男用)[名]褌 tepa
(石狩)

じたく(自宅) (表現)～の自宅 ~ kor cise
(石狩)、(表現) ~ cise (石狩): (表現)私
の自宅の前、表 ku=kor cise (ku=cise)
kotca(長形-ke) (石狩): (表現)私の自宅の
横 ku=kor cise (ku=cise) sam(長形-a、-
ake) (石狩): (表現)私の自宅の後ろ、裏
ku=kor cise (ku=cise) osmak(長形-e) (石
狩): (表現)私の自宅の中 ku=kor cise
(ku=cise) oske (石狩)、(表現) ku=kor cise
(ku=cise) onnay(長形-ke) (石狩): (表現)
私の自宅の外 ku=kor cise (ku=cise)
soy(長形-ke) (石狩): [場名]自宅の外、隣
sisoy (石狩): [他](村)を自宅を中心として
造る、自宅の周りに造る siokarire (石狩):
「…少しずつ少しずつやって来た者達のため
に私は家を建て、小さな人口の少ない村を
自宅を中心として造り…」 “ponno ponno
arki utar sisoy ta an=ecisekarpá, pon moyo
kotan a=siokarire…” (杉村キナラブック) 説話

したくちびる(下唇) [名]下唇 poknapapus(-
i) (石狩)、[名] poknacapus(-i) (石狩)、
[名] opoknasipapus(-i) (石狩)、[名]
opoknasicapus(-i) (石狩)、[名]
orasicapus(-i) (天塩)、[名] orasipatoy
(天塩)

したくない ①(表現)～したくない somo+動
詞の人称形+rusuy (石狩)、(表現) 動詞の
人称形+rusuy somo ki (石狩): 「働きた
くないなあ。」 “Somo ku=monrayke rusuy
na!”: (表現)～したくない 動詞句+

rusuy ka somo ki (石狩): 「お前の顔など
見たくもない。」 “Eani ka e=nukar=an ka
somo ki!”: ②[自]面倒でしたくない
inukuri (石狩): [他]～を面倒でしたくない
nukuri (石狩): [助動]面倒で～(し)た
くない nukuri (石狩): ③[他]～を嫌で
したくない etoranne (石狩): [助動]嫌で
～(し)たくない etoranne (石狩)

したけれど ①(単純な逆説)[接助]～(し)たけれ
ど korka (石狩): 「昨日私は貴方に会っ
て挨拶したけれど私の事を覚えていないと
おっしゃられますか?’ “Numan
es=nukar=an wa uerankarap=an korka
es=en=eramuskare hawe ta an?”: ②(異
なる時間の状況変化に注目する逆説)(表現)
～(し)たけれど a p (複数 rok pe) (石狩):
「さっき雨が降ってたけれど、すっかり晴れ
渡った。」 “Ésin ruyampe as a p, oarar
sirpirka.”、「この町に沢山の人が暮らして
いたけれど、みんなどこかへ行ってしまっ
た。」 “Tan maciya otta inne utar okay rok
pe, opitta neyne ka asip wa isam.” 「こん
な遠い所で死んだのに、如何してその声が聞
こえたかと言われたそうです。」 “Ene tuyma
i(>hi) ta ray pe, nekon ne tek hawe an=nu
a wa(>ya) sekor hawas.” (砂沢クラ):
③(異なる時間の状況変化に注目する逆
説)(表現)～(し)たけれど a (複数 rok)
korka (石狩): 「以前私は元気だったけれ
ど、今じゃ病気がちだ。」 “Teeta totekno
ku=an a korka tane ku=siyeye ranke.”:
④(表現)(現実)に反する仮定を表し)…なら～
したのだけれど … yakun ~ a (複数
rok) korka (石狩): 「お爺さんがカムイ
ノミしたなら、父が長生きしたなら、私はも
っと良い暮らしをしたのだけれど、一生苦勞
ばかりしました。」 “Ekasi kamuynomi yakun,
hampe ohonno siknu yakun kuani naa
pirka sukup ku=ki a korka sukup epitta
sirkirap patek ku=ki.” (砂沢クラ)

したことがある(した事がある) [助動](動詞句
の後に置かれ、経験を示して用いられ)～(し)
た覚えがある、～(し)た事がある amkir
(石狩): 「私は生胆を食べた事がある。」
“Huype ku=e amkir.”

したことがない [助動](動詞の後に置かれ、経
験がないことを示し)～(し)た覚えがない、～
(し)たことがない eramuskare
(erameskari) (石狩): 「私はこんな物を見
た事がない。」 “Tampe neno an pe
ku=nukar eramuskare.”

したしい(親しい) [自]人と親しくなる、親しい
ikooskepirka (新)、[自] ikokewtumpirka
(新)、[自] ikoramupirka (新)、[自]

ikosineramukor (新): [他]〜と親しくなる、親しい kooskepirka (新)、[他] kokewtumpirka (新)、[他] koramupirka (新)、[他] kosineramukor (新): [他]〜と〜を親しくさせる kooskepirkare (新)、[他] kokewtumpirkare (新)、[他] koramupirkare (新)、[他] kosineramukore (新): [自]親しくなる、親しい ukooskepirka (石狩)、[自] ukokewtumpirka (天塩)、[自] ukoramupirka (天塩)、[自] sineramukor (石狩): [他]〜を互いに親しくさせる ukooskepirkare (新)、[他] ukokewtumpirkare (新)、[他] ukoramupirkare (新)、[他] sineramukore (新): [名]親しい人 ukooskepirkakur (新)、[名] ukokewtumpirkakur (新)、[名] ukoramupirkakur (新)、[名] sineramukorkor (新)、[名] unukasipirkakur (天塩)

したじき(下敷) ①(捕った動物や魚を置いたきれいに草などを敷いた場所)[名]下敷 mos (石狩): 下敷きをこしらえる mos kar (石狩): ②(何かの下に敷く一般的な、あるいは文房具としての)[名]下敷き ipoketarpe (新)

したたか [自]したたかである itoykoamkir (新): [他]〜についてしたたかである toyoamkir (新): [他](場所)で〜についてしたたかである etoykoamkir (新): [他]〜と共に〜についてしたたかである kotoykoamkir (新): [他](原因、手段)で〜についてしたたかである otoykoamkir (新): [他](人)を〜についてしたたかにさせる toyoamkire (新): [他]自分で、一人で〜についてしたたかである yaykotoykoamkir (新): [他]互いに、皆で〜についてしたたかである ukotoykoamkir (新): [他]全く〜についてしたたかである oattoykoamkir (attoykoamkir) (新): [他]充分〜についてしたたかである toyoamkinno (toyoamkinno) (新): (表現)したたかさ itoykoamkir puri (新): [名]したたか者 itoykoamkirkur (新)

したたる(滴る) ①[自]滴る cik (石狩): (表現)〜の滴が滴る ~ pehe cik (石狩): [他](場所)に滴る、〜と共に滴る kocik (新): [他](場所)から滴る、(原因、手段)で滴る ocik (新): [他]〜を滴らせる cikka (石狩): ②[自]ポタリポタリと滴る cikcik (石狩): [他]〜をポタポタ滴らせる cikcikka (新)、[他] cikcikka (新)

シタナガコウモリ(舌長蝙蝠) (動物)[名](ヘラコ

ウモリ科)シタナガコウモリ亜科 awetannekapap-moapa (新): [名]シタナガコウモリ族 awetannekapap-utar (新): [名]シタナガコウモリ属 awetannekapap-cise (新): [名]グロツソファガ・コンミッサリシ kommissaris-awetannekapap (新): [名]G. モレノイ moreno-awetannekapap (新): [名]G. レアキー manaus-awetannekapap (新): [名]パラシタナガコウモリ paras-awetannekapap (新): [名]ミラーシタナガコウモリ mirer-awetannekapap (新): [名]アノウラ属 hosakhametukapap-cise (新): [名]アンダーウッドシタナガコウモリ属 underwut-awetannekapap-cise (新): [名]アンダーウッドシタナガコウモリ underwut-awetannekapap (新): [名]クピドヘラコウモリ属 egaawetannekapap-cise (新): [名]クピドヘラコウモリ ega-awetannekapap (新): [名]コエロニクテリス属 mexikoun-awetannekapap-cise (新): [名]コエロニクテリス・メキシカナ mexikoun-awetannekapap (新): [名]コエロニクス属 otannehametukapap-cise (新): [名]コエロニクス・ゴドマニ gotmanotanne-hametukapap (新): [名]C. ミノル mootanne-hametukapap (新): [名]コロンビアゴッドマンヘラコウモリ siotanne-hametukapap (新): [名]バナナシタナガコウモリ属 bananani-awetannekapap-cise (新): [名]バナナシタナガコウモリ bananani-awetannekapap (新): [名]モノフィルス属 puynehametukapap-cise (新): [名]モノフィルス・プレソドン barbadosun-puynehametukapap (新): [名]M. レドマニ jamaykaun-puynehametukapap (新): [名]リコニクテリス属 kurok-awetannekapap-cise (新): [名]リコニクテリス・オブスクラ kurok-awetannekapap (新): [名]レプトニクテリス属 etutannehametukapap-cise (新): [名]ロンコフィラ族 tukhamun-awetannekapap-utar (新)

シタナガフルーツコウモリ (動物)[名](オオコウモリ科)シタナガフルーツコウモリ亜科 awetanne-nikaopekapap-moapa (新): [名]シタナガフルーツコウモリ属 awetanne-nikaopekapap-cise (新): [名]シタナガフルーツコウモリ yayanawetanne-nikaopekapap (新): [名]ヒルシタナガフルーツコウモリ poroawetanne-nikaopekapap (新): [名]オナガフルーツコウモリ属 otanne-

nikaopekapap-cise (新): [名]クロハラフルー ツ コ ウ モ リ 属 honikunne-nikaopekapap-cise (新): [名]ハナフルー ツ コ ウ モ リ 属 apappo-nikaopekapap-cise (新)

したなめずり(舌なめずり)[間投](人や動物などが他人の食べている姿を見て自分も食べたくてたてる音)チャブチャブ cakam (石狩): [自]チャブチャブ舌なめずりの賤しい音をたてる cakamse (石狩)

したにうごかす(下に動かす)[他]~を下に動かす、下に移動させる raoraye (複数 raoraypa) (石狩)、[他] poknaraye (複数 poknaraypa) (新)、[他] poknare (石狩): (表現)トッキを上げ下げする tuki rikoraye raoraye (石狩): [他](場所)で~を下に動かす eraoraye (複数 eraoraypa) (新)、[他] epoknaraye (複数 epoknaraypa) (新): [他]~と共に~を下に動かす koraoraye (複数 koraoraypa) (新)、[他] kopoknaraye (複数 kopoknaraypa) (新): [他](原因、手段)で~を下に動かす oraoraye (複数 oraoraypa) (新)、[他] opoknaraye (複数 opoknaraypa) (新): [他](人)に~を下に動かさせる raorayere (複数 raoraypare) (新)、[他] poknarayere (複数 poknaraypare) (新): [他]自分で、一人で~を下に動かす yaykoraoraye (複数 yaykoraypa) (新)、[他] yaykopoknaraye (複数 yaykopoknaraypa) (新): [他]互いに、皆で~を下に動かす ukoraoraye (複数 ukoraoraypa) (新)、[他] ukopoknaraye (複数 ukopoknaraypa) (新): [他](中相)~が下に遣られる cipoknaraye (cipoknare) (石狩): (表現)(嵐)で海が荒れる様を表し上の海が下に遣られ、下の海が上に遣られる kanna atuy cipoknare pokna atuy cikannare (石狩)

したにおろす(下に降ろす)[他]~を下に降ろす ranaranke (新): (表現)~を下に降ろす ra ta ranke (複数 rapte) (新): [他](場所)に~を下に降ろす eranaranke (新): [他](場所)に~を下に降ろす、~と共に~を下に降ろす koranaranke (新): [他](原因、手段)で~を下に降ろす oranaranke (新): [他](人)に~を下に降ろさせる ranarankere (新): [他](中相)~が下に下ろされる ciranaranke (石狩): “…神の女が下に下ろされ…” “… kamuymenoko ciranaranke …” (杉村キナラブック)

したぬい(下繻)[名](所属形)~の下繻 pánake-nokaha (石狩) ※(単に“nokaha”と呼ばれる事もあるという。)

したばき(下履き)[名]下履き soyuspe (新):

(表現)下履きを履く soyuspe us (新):

(表現)下履きを脱ぐ soyuspe ama (新)

じたばた [自]じたばたする hotappa (石狩)、[自] cihotappare (石狩): [他](場所)でじたばたする ehotappa (新): [他]~と共にじたばたする kohotappa (新): [他](原因、手段)でじたばたする ohotappa (新): [他]~をじたばたさせる hotappare (新)

したまま ①[接助]~(し)たまま kane (石狩)、[接助] kor (新): “kane an”は普通の速さで“kanan”と発音される事が多い。: 「その男は家の中さえ帽子を被ったままだった。」“Nea okkayo cise oske ta poka konci kor kane (=kor) an .”, 「私達は大きな荷物を背負ったまま走った。」“Poru sike ci=ki kane (=kor) hoyuppa=as .”: ②(表現)(先述の内容を受け)~(した状態)のままである arineno+動詞句+hi+ne (石狩): “…それは砂まみれのままであって…” “… arineno ota us i (>hi) ne wa …” (杉村キナラブック)説話, 「…泥が塗すくりつけられている魚が泥まみれのままに俵の上にあって…” “… an=teyakakotaci an cep arineno teyaka us i (>hi) ne no mnayta ka ta an kanan(>kane an) tek …” (杉村キナラブック)説話

したら ①(単純な仮定)[接助]~(し)たら yakun (石狩): 「向こう岸まで俺たちが彼を渡したら、うちの一族やら殺されるから、岸に近くなったら、それっ、と俺が言ったら岸に跳ねよう。船縁を蹴って船がひっくり返ったら、そこで彼を殺そう。」“Kus pakno an=kusa yakun ci=utari usa i=rayke=an kusu eyasi sirhanke ciki, etak, sekor ku=hawki ciki eyasi terke=an ! Cip parurke an=oterke wa cip hokus yak ekota an=rayke .”: ②(勧誘、命令文中の仮定)[接助]~(し)たら ciki (石狩): 「お腹が空いたらこれ食べて下さい。」“E=ipe rusuy ciki tampe e yan !”, 「お前が驚いたら、これを取り出してしたいようにするのだ。」

“E=kimatek ciki tampe e=sanke wa ene iki rusuy neno e=iki nankor .” (杉村キナラブック): ③(価値判断を伴う)[接助]~(し)たら yakne (石狩)、[接助] yakanakne (石狩)、[接助] yak (石狩): “yakne”が最も普通だが、後に示すように「~したら良い(悪い)」という定型の表現で“yak”が使用される。“yakanakne”は否定文を受けたり悪い結果を導いて使用される事が多い。: 「そんな事していたらお母さんに言いつけるぞ。」“Neno e=iki yakne hapo otta ku=ye ru un !” (杉村キナラブック)、「これを食べたら良いよ。」

“Tampe e=e yakne pirka wa .”, 「そいつのやった事が悪くても、イナウを作って祀らなければ悪い事になりそうだ。」 “Neampe ki katu wen pe ne yakka somo e=inawkar yakanakne wen kotom siran .” (杉村キナラブック)、「あの人だったら嫌だ」 “Taankur ne yak ku=etoranne .” (杉村キナラブック): (表現)〜(し)たら良い ∼ yak wen (石狩): 「私は自分が貧乏したら良いとは思わない。」

“Ku=wen yak pirka , sekor somo ku=yaynu .” 「君は日本語を勉強しなければ良い。」 “Sisamitak somo e=eyaypakasnu yak pirka .”: (表現)〜(し)たら悪い、駄目 ∼ yak pirka (石狩): 「私がここにいたら悪いでしょうか。」 “Te ta ku=an yak wen ruwe?», 「あんたが自分で話さなければ駄目だよ。」 “Eani anakne somo e=itak yak wen na .”: ④(現実に反する願望)(表現)〜したら…なのに ∼ ta … okay (石狩): 「私が若ければ君と結婚するのにな。」 “Pewrep ta ku=ne yakne e=kor=an okay .”

シダレザクラ(枝垂桜) [名](サクラ属)シダレザクラの茎 tekratkirekarimani (新): [名] シダレザクラの花 tekratkirekarimani-apappo (新)

したをだす(舌を出す) [自](赤子が)舌を出している seykokke (幌別)※(貝の生まれ変わりである)

じだんだ(地団太) [自] 地団駄を踏む sirotetterke (石狩): [自](人)に地団駄を踏ませる sirotetterkere (新)

じち(自治) [名]自治 sieyayetunus (新): [自]自治を行う sieyayetunus (新): [他]〜の自治を行う kosieyayetunus (新): [他](人)に自治を行わせる sieyayetunuste (新): [場名]自治共和国 sieyayetunus-ukotankoremosir (新): [場名]自治区 sieyayetunus-iwor (新): [場名]自治州 sieyayetunus-purovince (新): [場名]自治領 sieyayetunusi (新)

しち(七) ①[名]七人 arwaniw (石狩): (表現)女性七人 menoko arwaniw (新): (表現)七人で arwaniwne (新): ②[名]七 arwampe (石狩): (表現)魚七匹 cep arwampe (新): (表現)団子七個 sito arwampe (新): (表現)七匹で arwampene (新): ③[連体]七の arwan (石狩): (表現)七人の女性 arwan menoko (新): (表現)七匹の魚 arwan cep (新): (表現)七個の団子 arwan sito (新): (表現)七つの星 arwan nociw (新): [副]七つに arwampene (新)

しちがつ(七月) [名]七月 kunneyascup (石狩)、[名] moniorap (南空知、栗山)

しちじゅう(七十) ①[名]七十人 waniw einehotnen (waniw ikasma rehotnen) (新): ②[名]七十四、七十個、七十歳など wampe einehotnep (wampe ikasma rehotnep) (新)、[名] wampe einehot (wampe ikasma rehot) (新): ③[連体]七十の wan einehotne (wan ikasma rehotne) (新): (表現)七十人の女性 wan menoko einehotne menoko (wan menoko ikasma rehotne menoko) (新)、(表現) waniw einehotne menoko (waniw ikasma rehotne menoko) (新): (表現)七十四の魚 wan cep einehotne cep (wan cep ikasma rehotne cep) (新)、(表現) wampe einehotne cep (wampe ikasma rehotne cep) (新): (表現)七十年、歳 wampa einehotne pa (wampa ikasma rehotne pa) (新)、(表現) wampe einehotne pa (wampe ikasma rehotne pa) (新)

しちてんぱつとう(七転八倒) [自]七転八倒する cihotappare (石狩)、[自] sihotappare (新): [他]〜を七転八倒させる hotappare (新)、[他] toykohotappare (新)

しちょう(市長) [名]市長 sikorkur (新)、[名] sikonnispa (新)

じちょう(自嘲) [自]自嘲する yayemina (新)、[自] yayewenmina (新): [他](原因、手段)で自嘲する、〜について自嘲する oyayemina (新)、[他] oyayewenmina (新): [自]口元に自嘲の笑みを浮かべる eyayepaminare (yayeeepaminare) (新)

しちょうしゃ(視聴者) ①[名]テレビ視聴者 inkarsiksonukarkur (新): ②[名]ラジオ視聴者 radionukur (新)

シチリア ①[場名](イタリア共和国の自治州名)シチリア自治州 Śiciria-sieyayetunuspurovince (新)※(州都は「パレルモ」): [名]シチリア人 śiciriaunkur (新): ②[場名](地名)シチリア島 Śiciria (poysir) (新): ③(歴史)[場名](国名)シチリア王国 Śiciria Mosirkorkurkormosir (新)※(1130-1860年。首都「パレルモ」。シチリア王がナポリ王を兼ねる期間を「両シチリア王国」とも呼ぶ): [固名](国名)両シチリア王国 Śiciria Urenmosirkorkurkormosir (新)※(1816-60年。首都「ナポリ」)

じちん(自沈) [自]自沈する yayrenka (新): [他]〜を自沈させる yayrenkare (新)

しつ(質) [名]質 ipekat-u) (新)※(内容の有様)、[名] siṭu (新)※(日本語)

しつおん(室温) [名]室温 tumpuoro-sisseseckru-we) (新)、[名] tumpuoro-temperature (新): (表現)室温が上がる tumpuoro-sisseseckru cirikinte (rikin)

(新): (表現)室温が下がる tumpuoro-sisseseckru ciranke (ran) (新): (表現)室温を上げる tumpuoro-sisseseckru rikinte (新): (表現)室温を下げる tumpuoro-sisseseckru ranke (新): (表現)室温を計る tumpuoro-sisseseckru pakari (新): 「室温が5度下がる。」 “Tumpuoro-sisseseckru 5° (asikne ipak, asikne dekre, asiknep) ciranke (ran).”

しっかく(失格) (表現)〜が失格とされる cioikieaskay-huntasonep ∼ an=sákka (新): (表現)〜を失格とする cioikieaskay-huntasonep ∼ sakka (新)

しっかり [副] しっかり pirkano (石狩)、[副] pirka (石狩)、[副] irammakaka(-no) (石狩): [副] とてもしっかり wenko (石狩): (表現)とてもしっかり sonno pirkano (pirka) (石狩): [他]〜をしっかり懲らしめる pirkapanakte (石狩): [他]〜をしっかり抱きしめる pirkakisma (石狩)

しっかりしている ①(建造物、精神、言動などがグラつく事無く)[自]しっかりする、している siroma (石狩): [他]〜をしっかりさせる siromare (新): ②(頭が良くて)[自]しっかりする、している ramatkor (石狩): [他](人)をしっかりさせる ramatkore (新)

しっけ(湿気) [名]湿気 rikan (新)、[名] rikanmaw(-e) (新)

しっけ(躰け) ①(人に関して)[自]人を躰ける purieipakasnu (新)、[自] ipakasnu (石狩): [他](人)をを躰ける purieipakasnu (新)、[他] pakasnu (石狩): [他](人)に(人)を躰けさせる purieipakasnure (新)、[他] pakasnure (新): ②(動物に関して)[自]動物を躰ける cikoykipramuska (新)※(動物を慣れさせる)、[自]犬を躰ける setaramuska (新)、[自]躰ける iramuska (新): [他]〜を躰ける ramuska (新): [他](動物)に〜を躰ける eramuska (新): [他](人)に〜を躰けさせる ramuskare (新)

じっけい(実刑) [自]実刑になる róor-kotunas (新): [他]〜を実刑にする róor-kotunaste (新)

シッケウヌモレウ ①[名]シッケウヌモレウ sikkewnumorew (石狩): [名]シッケウヌモレウ文様、角有り渦巻文様 sikkewnumorew-sirki (石狩)※(四角の渦巻文様): ②[名]シッケウヌウレンモレウ sikkewnu-urenmorew (石狩): [名]シッケウヌウレンモレウ文様、角有り双渦巻文様 sikkewnu-urenmorew-sirki (石狩)※(アイ

ウシウレンモレウの曲線部を尖らせ、全体を角状にした文様)

しっげん(失言) (表現)失言 hayta itak (石狩): (表現)失言する itak hayta (石狩): (表現)〜について失言する ∼ ye uhayta (石狩)

しっげん(湿原) [名]広い湿原 sircaroonne (蝦夷記)、[名] sitcaroonne (新): [名]ツルコケモモなどの群生している湿原 katamsar (知里氏の地名アイヌ語小事典に掲載されているが、どこ言葉か不明)

しっこう(執行) [自]執行 ieyki (新): [他]〜を執行する eyki (新): [他](場所)で〜を執行する eeyki (新): [他]〜と共に〜を執行する koeyki (新): [他](原因、手段)で〜を執行する oeyki (新): [他](人)に〜を執行させる eykire (新): [他]自分で、一人で〜を執行する yaykoeyki (新): [他]互いに、皆で〜を執行する ukoeiki (新): [名]執行官 ikawarinetonno (新)

じっこう(実行) [他]〜を実行する síki (新)(si-ki 本当に・〜を行う): (表現)〜を実行する sonno (sino) ∼ ki (新): [他](場所)で〜を実行する esiki (新): [他]〜と共に〜を実行する kosiki (新): [他](原因、手段)で〜を実行する osiki (新): [他](人)に〜を実行させる síkire (新): [他](中相)〜が実行される cisiki (新): [他]人に〜を実行させる síkiyar (新)

しっこう(膝行) ①(礼儀として)[自]膝行する sinu (石狩): (表現)(礼儀、慎みとして屋内では敬意を払うべき人の側に近寄る時など立って歩かず身を低くして)這いながら膝行しながら reye kane sinu kane (石狩): [他](人)を膝行させる sinure (新): ②(疲労や飢えなどで歩けず)[自]膝行する osirus (石狩)、[自] honu (幌別)

しっこうゆうよ(執行猶予) [自]執行猶予になる róor-komoyre (新): [他]〜を執行猶予にする róor-komoyreka (róor-komoyrere) (新)

しっこく(漆黒) [名](合成語の構成要素として)漆黒の paspas (石狩): paspas + tekumpe (手甲) → paspastekumpe 「漆黒の手甲(魔法の道具)」

しっじ(執事) [名]執事 pakusanetopa (pakusanetopake) (新)

しっしっ [間投](犬や猫を追い払う声)しっしっ esi (沙流)

じっすう(実数) (数学)[名]実数 sínoan-cipiskip (新)

しっせき(叱責) [自]人を叱責する isemeseme (新): [他](雅語)〜を叱責する semeseme (石狩): [他](人)に〜を叱責さ

せる semesemere (新)

じっせん(実戦) [自] 実戦を行う
sínótumikor (新)、[自] sítumikor (新):
(表現)実戦を行う sonno tumikor (新):
(表現)実戦経験を積む sínótumikor
(sítumikor) ranke (新)、(表現) sonno
tumikor ranke (新)

じっせん(実線) [名]実線 oanrunoka (新):
(表現)～と～を実線で結ぶ oanrunoka ani
～～ ukote (新): [自]実線を引く
oanrunokakar (新): (表現)実線を引く
oannoka kar (新): [他]～に実線を引く
oanrunokakar (新): [他](人)に実線を引
かせる oanrunokakare (新)

じっせん(実践) [自]実践する isinoki (新)、
[自] sínoki (新): (表現)実践する
sonno iki (新): [他]～を実践する sínoki
(新): (表現)～を実践する sonno ki (新):
[他](場所)で～を実践する esinoki (新):
[他]～と共に～を実践する kosinoki (新):
[他](原因、手段)で～を実践する osinoki
(新): [他](人)に～を実践させる sínokire
(新)

しっそう(湿瘡) [名]湿瘡 paraki-omayayke
(新): [自]湿瘡が出る parki-omayayke
(新)

しっそう(疾走) (表現)疾走する tunasno
hoyupu (複数 hoyuppa) (石狩): [自]疾走
する cascás (石狩)、[自] paspas (石狩)、
[自] nitan (石狩)、[自] tunashoyupu (複
数 hoyuppa) (新)、[自] ikamatu (新):
[他](雅語) koikamatu (沙流)

しっち(湿地) [名]湿地 saronneus (石狩)、
[名] sitterine (蝦夷記)、[場名] teyakausi
(蝦夷記)、[名] pecica (沙流): [名]林間の
湿地 nitat (石狩): [名]湿地を流れる川
nitatpet (石狩)

しつつある (表現)日が暮れつつある onuman
an kane (=kor) an (新)、(表現)
sironuman kane (=kor) an (新): (表
現)(雅)すっかり日も暮れつつある ian
tokes ciomante kane (=kor) an (新)

しつづける(し続ける) (表現)～し続ける 動
詞+a+動詞+a (石狩): 一番最初の動詞
以外人称接辞が付けられぬ事に注意: 「私
はとてもお腹が空いていたから食べに食べ
続けていた。」 “Sonno ku=ipe rusuy kusu
ku=ipe a ipe a ipe a kane ku=an .”: (表
現)～し続けたあげく 動詞+a+ayne (石
狩): 「私は泣き続けたあげく、本当に目
も見えなくなっていたのだった。」 “Cis=as a
cis ayne sonno siknak=as awan .”: [接尾]
一音節で子音に終わる擬態、擬音の語根に接
尾して持続態の自動詞を形成し -natara

(石狩): mak(開く、あるいは明るい事を意
味する語根)+natara → maknatara 「ピカ
ピカ光る」: [接尾]母音、あるいは二音節で
子音に終わる擬態、擬音の語根に接尾して持
続態の自動詞を形成する -itara (tara)
(石狩): tunun(チン、あるいは重い音)+
itara → tununitara 「チンチン、あるいは
重く鳴り響き続ける」

知っている(知っている) ①(知識、情報があつ
て)[自]ものを知っている ieraman
(ieramuan)(複数 ieramuokay) (新):
[他]～を知っている eraman
(eramuan)(複数 eramuokay) (石狩)、
[他](雅語) koeraman(koeramuan) (石
狩): 単複は主語の数による。ただし石狩方
言ではこれまで複数形はほとんど使用され
なかった: 「ギョウジャニンニクの料理の
仕方を知ってる?」 “Nekon kito an=esuke ya
e=eraman ruwe?”: ②(経験があつて)[自]
～を知っている amkir (石狩)、[他] kir
(石狩): 「私達は貴方を知っていますよ。」
“Es=amkir=as ruwe ne wa .”

じっと [自]じっとする、じっと動かない
tustek (石狩): [他](場所)でじっとする
etustek (新): [他](物事)に対してじっとす
る kotustek (石狩): [他]～と共にじっと
する kotustek (新): [他](原因)でじっと
する otustek (新): [他](人)をじっとさせ
る tustekka (新): [自]自分で、一人でに
じっとする yaykotustek (新): [自]互い
に、皆でにじっとする ukotustek (新):
[自]物凄くじっとする toykotustek
(新): [副]じっとして tustekno (石狩):
[他](雅)(金縛りにあったように)じっとする、
動かない castustekka (沙流)、[他]
ciasitusitekka (久保寺): (表現)私は今日
一日ずっと戸口でじっと佇んでいる tanto
tóri apa otta ciasitustekka a=ki (久保寺)

しっと(嫉妬) [自]嫉妬する ikeske (新)、
[自] iepoko (新): [他](人)に嫉妬する
keske (石狩)、[他] epoko (石狩): 「私
は女性にもてるので、男は皆私に嫉妬した。」
“Menoko en=osikkote kusu okkayo opitta
en=epoko .”: [他](人)に(人)に嫉妬させる
keskere (新)、[他] epokore (新):
[他](誰か)に非常に嫉妬する keskeske (石
狩)

しつど(湿度) [名]湿気 rikanru(-we) (新):
(表現)湿度を計る rikanru pákari (新):
[名]湿度計 rikanrupakarip (新)

しつない(室内) [場名]室内 tumpuor
(tumpuoro, tumpuorke) (新): (表現)室
内に tumpuor ta (新): (表現)室内へ
tumpuor ene (新): (表現)室内から

tumpuor wa (新): [自]室内を向く、室内に向かう etumpuorun (新): [副]室内に向かって、室内に etumpuorun (新): [自]室内から向かって来る otumpuorun (新): [副]室内から otumpuorun (新)

じつに(実に) [副]実に sonno (石狩)、[副] sino (石狩)

じつは(実は) ①[副](それまで分からなかったことが明らかになり)実は～ orowaciki (石狩): 「日本産と書かれていたが、実は外国産だったのだ。」 “Japan otta an=koyki p, sekor an=nuye a p, orowaciki repunkotan ta an=koyki p ne ruwe ne .” ②(表現)(それまで明かさなかった事を明らかにして)実は～ sonnoampe (ampe) + 人称接辞 + ye yak (新): 「実は私には妻がいる。」 “Sonnoampe ku=ye yak ku=matkor ruwe ne .”

しっぱい(失敗) [名]失敗 hayta (石狩)、[名] uhayta (新): [自]失敗する hayta (石狩)、[自] uhayta (石狩): [他]～に失敗する、(場所)で失敗する ehayta (新)、[他] euhayta (新): [他]～と共に失敗する kohayta (新)、[他] kouhayta (新): [他](原因)で～に失敗する ohayta (新)、[他] ouhayta (新): [他](人)に失敗させる haytare (新)、[他] uhaytare (新): [自]自分で、一人で失敗する yaykohayta (新)、[自] yaykoughayta (新): [自]皆で、共に失敗する ukohayta (新)、[自] ukouhayta (新): [自]完全に失敗する oarhayta (arhayta) (新)、[自] oaruhayta (aruhayta) (新): [自]滅茶苦茶失敗する toykohayta (新)、[自] toykoughayta (新): [自]不可抗力で失敗する sikohayta (新)、[他] sikouhayta (新)

しっぱ(湿布) [名]湿布 nímaw (石狩): [自]湿布をする nímawkar (沙流): [他]～に湿布する enimawkar (新): [他]～と共に湿布する konimawkar (新): [他](原因、手段)で湿布する onimawkar (新): [他](人)に湿布させる nímawkare (新): (表現)～に湿布を貼る nímaw kotukka (新): [名]温湿布 ipopkekanimaw (ipopkerenimaw) (新): [名]冷湿布 iyamkanimaw (iyamtenimaw) (新)

しっぱう(疾風) (表現)疾風 yupke rera (石狩)

しつぼう(失望) [自]失望する yayerampokiwen (静内)、[自] yayerampokin (yayerampokin) (新): [他]～について失望する、(場所)で失望する eyayerampokiwen (新): [他]～に対して

失望する、～と共に失望する koyayerampokiwen (新): [他](原因、手段)で失望する oyayerampokiwen (新): [他](人)を失望させる yayerampokiwen (新)、[他] yayerampokinure (新): [自]全く失望する oaryayerampokiwen (aryayerampokiwen) (新): [自]滅茶苦茶失望する toykoyayrampokiwen (新): [自]皆で、互いに失望する uerampokiwen (新): [間投]失望の声として "paw"、"pawpaw"、"pawpawpaw" という形で使われる (石狩): [自]失望の声を上げる pawse (新): [他](誰か)に失望の声を上げさせる pawsere (新)

しつめい(失明) [自]失明する sisiknakka (新): [他](原因、手段)で失明する osisiknakka (新): [他](人)を失明させる sisiknakkare (新): [自]完全に失明する oassisiknakka (assisiknakka) (新): (表現)失明している sisiknakka wa an (複数 okay) (新)

しつもん(質問) [名]質問 pisi (石狩): [自]質問する pisi (石狩): [他]～について質問する、(場所)で質問する episi (新): [他](人)に質問する kopisi (石狩): [他]～と共に質問する kopisi (新): [他](原因、手段)で質問する opisi (新): [他](誰か)に質問させる pisire (新): [自]自分で、一人で質問する yaykopisi (新): [自]質問し合う、皆で質問する ukopisi (新): [自]充分に質問する pisino (pisinu) (新): [自]完璧に質問する oarpisi (arpisi) (新): [自]質問攻めにする raypisikar (新): [自]質問しまくる toykopisi (新): [自]あれこれ質問する、質問攻めにする usapisikar (新)

しつらえる(設える) [他]～を設える kar (石狩): (表現)座を設える so kar (石狩): [他](場所)で～を設える ekar (新): [他](場所)に～を設える、～と共に～を設える kokar (新): [他](原因、手段)で～を設える okar (新): [他](人)に～を設えさせる káre (新): [他](中相)～が設えられる cika (新): [他]人に～を設えさせる、設えもらう karar (新)

しつれい(失礼) [自]失礼である somoyaykatanu (石狩): [他]～に関して失礼である、失礼をはたらく、(場所)で失礼をはたらく esomoyaykatanu (新): [他]～に対して失礼である、失礼をはたらく kosomoyaykatanu (石狩)、[他] kosomokuryaykatanu (石狩): [他](原因、手段)で失礼をはたらく osomoyaykatanu (新): [他](人)に失礼をはたらかせる

somoyaykatanure (新)

じつわ(実話) [名]実話 sonnoanoruspe (新)

して ①(先行する文と関連する文を導き)[接助] ~ (し)て wa (石狩)、[接助] tek (石狩): この意味での"tek"の使用は個人によってばらつきがある。: 「私はあなたと出会うたびに恋に落ちたのですわ。」 "Es=nukar=an wa nani e=osiknuka=an ruwe ne wa .", 「私は風邪をひいてしばらく寝込んでいた。」、

"Ku=omkekar wa ohonno ku=hotke wa ku=an .", 「これ聞いてちょうだいよ。」

"Tampe nu wa en=kore ya !": "wa"の後に置かれるのが自動詞で接続助詞との間にいかなる語も入らぬ場合、その自動詞の人称接辞が"ohonno ku=hotke wa an. "のように落ちる事が多い。ここから"koroman"「～を持って行く」、"turaoman"「～を連れて行く」などの特殊な動詞が形成される。: ②(物事を順番に叙述する際に文を繋ぎ)[接助]~ (し)て hine (石狩)、[接助] tek (石狩): 「夜が明けると私は目を覚まして起き上がって歯を磨いて顔を洗って朝食を食べた。」

"Sirpeker kor ku=mos hine ku=hopuni hine ku=nimaki ku=askanere hine ku=nanu ku=huraye hine kunnanoipe ku=ki .": "ku=mos, ku=hopuni, ku=nimaki ku=askanere, ku=nanu ku=huraye, kunnanoipe ku=ki"と特に口語で"hine"を省略する事が可能。: 「…彼は上座に行って座って大きな目を閉じて座っていたよ。」 "… apeetok ta oman tek a tek sikkannuus wa a wa an na ."(杉村キナラブク): ③(ある物事の結末を導き)[接助]~ (し)て ayne (石狩): 「休まず働いていて病気にかった。」 "Somo ku=sini no ku=monrayke wa an ayne ku=siyeye ."

しておく [助動]~ (し)ておく ama (新)、[助動] anu (新): 「これだけは君に言っておくぞ。」 "Tampe patek e=ekota ku=ye ama (=anu) na .": (表現)~しておく ~ ki wa ama (新)、(表現) ~ ki wa anu (新): 「沢山水を汲んでおいた。」 "Poronno ku=wakkata wa ku=ama (=ku=anu)."

してから ①[後副]~ (し)てから orowa(-no) (石狩)、[後副] orwa(-no) (石狩)、[後副] ora(-no) (石狩): 言葉の速さなどにより様々な語形が現れる。: ②(表現)~ (し)てから 動詞句+tek ora (石狩)、(表現) 動詞句+tek or (石狩): 「ほらここに私達は上って少し泊ってかたそれからもう一度航海に出るのだ。」 "Tan te ta rikip=an wa rews=an tekora assuy repa=an kusu ne ."(杉村キナラブク)説話

してください(して下さい)①(表現)~して下さ

い、下さいよ 命令文+wa+人称接辞一人称の目的格+kore+yan (石狩)、(表現)命令文(+wa)+i=kore+yan (石狩): 特に自動詞の場合、単複の区別があるものは複数形を使う。: 「これを見てください。」 "Tampe nukar wa en=kore yan !": ②(表現)~して下さいませ 命令文+wa+i=korpore yan (石狩): 基本的に自動詞の場合、単複の区別があるものは複数形を使う。: 「祈りの神よ、尊き神よ、私達をお守り下さいませ。」

"Cinomikamuy, pasekamuy, un=epunkine wa i=korpore yan !": ③(表現)(単数)~してくれ、くれよ 動詞の単数形を使った命令文+wa+人称接辞一人称の目的格+kore+ya (石狩)、(表現)(複数) 動詞の複数形を使った命令文+wa+人称接辞一人称の目的格+kore+yan (石狩): 「これを見てください!」

"Tampe nukar wa en=kore !", 「私達と一緒に来てくれよ。」 "Un=turano ek wa un=kore ya !", 「そこにいる人達、そこに入らないでくれよ。」 "Taan ta okay utar, eciki taan ene ahup yan !"

してしまう ①(ある動作を完了する事を表し)[助動]~ (し)てしまう okere (石狩): (表現)~ (し)てしまう 動詞句+wa okere (石狩): 「私は明日売るものを作ってしまった。」 "Nisatta ku=ei yok kunip ku=kar okere .": "Nisatta ku=ei yok kunip ku=kar wa okere .": [自]終わってしまう siokere (石狩): 「芝居が終わってしまった。」 "Simpaya siokere .": ②(直前、あるいはそれ程遠くない時点である動作を完了する事を表し)[助動]~ (し)てしまう、~ (し)てしまったばかり nisa (石狩): 「私達は食事してしまったからもう食べられないよ。」

"Ipe=as nisa kusu na ekota ipe=as eaykap na .": ③(ある、状態、動作の結果存在しているものが消滅する事を表し)(表現)~ (し)てしまう 動詞句+wa isam (oarism) (石狩): 「雪が融けてしまった。」 "Upas ru wa isam (oarism).", 「その人は帰ってしまった。」 "Neakar hosipi wa isam .", 「この村にいた人は全員死んでしまった。」 "Tan kotan un utar opitta ray wa isam (oarism)."

してみる ①(視覚や知覚で捉えられる動作に関して)(表現)~ (し)てみる 動詞句+wa+(必要な人称接辞、あるいはそれなしの) inkar (石狩)、(表現) 動詞句+(必要な人称接辞、あるいはそれなしの) inkar (石狩)、(表現) 動詞句+wa+(必要な人称接辞、あるいはそれなしの) nukar (石狩): 人称形の"inkar"、"nukar"は稀。: 「私を疑うならそこに行ってみろ!」 "E=en=eumpepka ciki ekota

oman wa inkar !”、「行ってみるさ(そうしてみる)。」 “ Ku=oman wa inkar na (Inkar) !”、「まずは私がやってみよう。」

“ Atpake ta ku=ki ku=inkar (inkar) .” : ②(味覚、聴覚、嗅覚、触覚で捉えられる動作に関して)(表現)～(し)てみる 動詞句+wa +(必要な人称接辞、あるいはそれなしの)inu (石狩)、(表現) 動詞句+(必要な人称接辞、あるいはそれなしの)inu (石狩) : 人称形の “inu”は稀。 : 「この魚食べてみなさい。」

“Tan cep e wa inu .”、「いただきます。」

“Inu !”、「新しい CD を私は聞いてみた。」

“Asir CD ku=nu ku=inu (inu) .”、「ほらここ触ってみて。」 “Tan teoro kere wa inu !”

してもらう ①-yar は他動詞に接尾し、基本的に「不特定の人に～してもらう」と訳し得る不定使役形を形成し、その他動詞の項の数を増やさない。 : nu (～を聞く)+yar → nuyar 「～を人に聞いてもらう」 : 子音の後ではほとんど -ar となる。 : nukar(～を見る)+yar → nukarar 「～を人に見てもらう」 : ②先の -yar によって形成された不定使役形他動詞の目的語として si- を接頭させることで、「不特定の人に自分に何かをしてもらう」という意味の動詞を形成する。 : si(自分)+kaoykiyar(～を人に看病してもらう) → sikaoykiyar 「人に自分を看病してもらう」

じてん(自転) (天文)[名] 自転 sikarikari (新) : [自]自転する sikarikari (新)

じてん(辞典) [名]辞典 iennekunnep (新) ※(物事について)古老であるもの。例えば「アイヌ語辞書」なら aynuitak-eonnekunnep のように使う) : [名]愛和辞典 aynuitak-sisamitak-eonnekunnep (新) : [名]和愛辞典 sisamitak-aynuitak-eonnekunnep (新)

じてんしゃ(自転車) [名]自転車 tukaripkorpe (新)

しどう(指導) ①[自]指導する isapaetura (新) : [他]～を指導する sapaetura (新) ※(先頭で～を導く) : [他](場所)で～を指導する esapaetura (新) : [他]～と共に～を指導する kosapaetura (新) : [他](原因、手段)で～を指導する osapaetura (新) : [他](人)に～を指導させる sapaeturare (新) : [他]自分で、一人で～を指導する yaykosapaetura (新) : [他]皆で、共に～を指導する ukosapaetura (新) : [他]完璧に～を指導する oassapaetura (assapaetura) (新) : [自]互いに指導し合う usapaetura (新) : ②[名]指導者 sapanekur (石狩)、[名] netopa (netopake) (石狩)、[名] utarpa

(utarpake) (石狩) : [自]指導者となる、である sapanekur (石狩) : [他](人)を指導者とする sapaneka (sapanere) (新)

じどうし(自動詞) (言語)[名] 自動詞 yaymoyeitak (新)、[名] yaymoyep (新)

じどうしゃ(自動車) [名] 自動車 simoye-inekaripkorpe (新)、[名] inekaripkorpe (新)、[名] inekarip (新)

じどうはんぱいき(自動販売機) [名] 自動販売機 isieiyoaktep (新)※(物を自分に売らせる物) : (表現)～自動販売機 名詞+ sieiyoaktep (新)

しとぎ(染) [名]染 kamuymoci (新)

しとね(褥) [名]褥 sotki (石狩) : (表現)(雅)褥についている sotki or oma wa an (複数 okay) (沙流より) : (表現)(雅)褥の上 sotki ka(長形-si,-kasi) (沙流) : (表現)(雅)褥の上に～を寝かせ置く sotki kurka ~ eanukar (沙流)

しとめる(し止める) [他](獲物)をし止める rayke(複数 ronnu) (石狩) : (表現)(クマ、フクロウなど大切な神である動物)をし止める sumawe kor (石狩) : [名](イオマンテの際の)止しめ矢、本矢 inosoreay (inosoroay, inosoray) (石狩)

しない ①[副]～(し)ない、～(で)ない somo (石狩) : その他浦河などでは“henne”、道東で“omo”、“homo”が使用される。 : (表現)～しない ~ somo ki (石狩) : (表現)～ではない ~ somo ne (石狩) : 「私は座らない」は普通“somo ku=a”だが、“ku=a somo ki”とも(表現)できる。また否定を強調した「私は座りもしない」は“ku=a ka somo ki”と“ka somo ki”を使う。一方状態の動詞の場合は「私は馬鹿でもない」は“haytakur ku=ne ka somo ne”と“ka somo ne”を使う。 : ②(先行する否定文を導いて)[接助]～(しない)で no (石狩) : “somo”を使った文だけではなく下の例のように否定の意味を持つ動詞と共に使われる。 : 「私は勉強しないで遊んだ。」 “Somo ku=kampinuye no ku=sinot .”、「あんたはお金を持たないで来たのかい ?」 “Ikore=sak no e=ek ruwe ?”、「私は何も知らないで失敗した。」 “Nepka ku=erampetek no ku=hayta .”、「私は泳げないで溺れた。」 “Ku=ma eaykap no ku=etampu .”

シナイ [名]シナイ半島 Sinai-sirekanray (新)

しないですよ ①(表現)(決して)～しないでよ eciki+否定文+ya (複数 yan) (石狩) : 「私に近寄らないですよ。」 “Eciki en=kohanke ya !” : (表現)絶対～しないでよ ecikki+否定文+ya (複数 yan) (石狩) : 「絶対こっちを見ないですよ。」 “Ecikki teyne inkar

ya!”: ②(表現)(婉曲的に禁止を表し)～しないで(ね、よ) 否定文+nankor (+na) (石狩): “eciki”を使った表現より丁寧とされる。: 「私を忘れないでね。」 “Somo e=en=oyra nankor na!”

しないよう ①(表現)(名詞句)～しないよう 否定の動詞句+kuni (石狩): 「私は嘘を言わないようにと努めている。」 “Somo ku=sunke kuni ku=koarikiki kor an.”: ②(表現)～しないように eciki+命令文+ya (複数 yan) (石狩): 「今日は仕掛弓を見回らないように。」 “Eciki tanto ku nonkar kuni!”: (表現)～しないよう 動詞の命令形+somo ki+kuni (石狩): 「今日は仕掛弓を見回らないように。」 “Tanto ku nonkar somo ki kuni!” (砂沢クラ): ③(表現)～しないように 否定の動詞句+kunine (石狩): 「私達が飢え死にしないようにとりはからって下さい。」 “Somo cepekot=as kunine un=kosanniyo wa i=korpore yan.”

しながら ①[接助]～(し)ながら kane (石狩)、[接助] kor (石狩): “kane”と“kor”が併用される。: 「私はテレビを見ている。」 “Inkarsikso ku=nukar kane (=kor) ku=an.”、 「私はテレビを見ながら食事をする。」 “Inkarsikso ku=nukar kane (=kor) ku=ipe.”: “kane”、“kor”の後に置かれるのが自動詞で接続助詞との間にいかなる語も入らぬ場合、その自動詞の人称接辞が “Inkarsikso ku=nukar kane an.”、“Inkarsikso ku=nukar kor ipe.”などのように落ちる事が多い。“kane an”は通常の発音では“kanan”となり、また“kor an”も区切らず“kora”と一体に発音される。: ②[位名](特に雅語文体で動詞句の後に置かれ)～(し)ながら ka(長形 kasi, kasi-ke) (石狩)、[位名] kurka(長形-si, -sike) (石狩)、[位名] tuyka(長形-si, -sike) (石狩): 「…彼女は泣いた末に戦いながら言ったのはこうである…」 “cis ayne u tumi kasike itak ko hawe ene an ihi …” (杉村キナラブック)、 「…沖の熾を陸に寄せて、陸の熾を沖にやりながら彼女が言葉にするのは…」 “repu usat yaoranke ine yao usat repomante kurkasike itak omare …” (砂沢クラ): (表現)(韻文中で)～しながら言う 動詞句+kurkasike+itak omare (石狩): 「…その女、美しい女が私に太刀を振るいながら言うのはこうである…」 “nea menoko pirka menoko i=kotamani kurkasike itak omare ene okay hi …” (杉村キナラブック): ③[後副]～(し)ながら tura(-no) (石狩): (表現)泣きながら cis tura(-no) (石狩): 「昨日泣きながら君が言った事覚えてる？」

“Numan cis turano e=ye p e=amkir ruwe?”

しなぎれ(品切れ)(表現)品切れする cihoki (cisoki) siokere (isam) (新)、(表現) cieyyokpe (cieyyokkunip) siokere (isam) (新)

しなければならない[助動]～(し)なければならない yakeas (石狩): 「私は嘘を学ばなければならない。」 “Sunke ku=eyaypakasnu yakeas.”: (表現)～(し)なければならない者、物、事 動詞句+kunip (石狩)、(表現)動詞句+yakeas pe (石狩): 「これをしてなければならないのはお前だよ。」 “Tampe ki kunip e=ne na.”、「私が作らなければならない物をお前が作ってしまった。」 “Ku=kar kunip e=kar wa okere.”: (表現)～(し)なければならない所、時 動詞句+kunihi (石狩)、(表現)動詞句+yakeas hi (石狩): 「私が行かなければならない所へ行ける者などいない。」 “Ekota ku=oman kunihi ene oman pe ta isam.”、「私が出かけなければいけない時にあなたが来た。」 “Ku=asin kunihi ta e=ek.”

しなさい ①(表現)～しなさい 人称接辞主格を伴わぬ動詞句 (石狩): 非常に乱暴とされ大人同士では使わないとされる。: 「(単数の相手に)座りなさい。」 “A!”、「(複数の相手に)座りなさい。」 “Rok!”、「私を見なさい。」 “En=nukar (= En=ekota inkar)!”: (表現)(目下や同格の相手に愛情を込め命令し)～しなさいね、よ 人称接辞主格を伴わぬ動詞句+ani (石狩): 「(単数の相手に)座りなさいね。」 “A ani!”: (表現)(よりやわらかい命令として)～しなさいよ、して下さいよ 人称接辞を伴わぬ動詞句+ya (複数 yan) (石狩): 相手が単数でも、より丁寧な表現として「動詞の複数形+yan」の形を使う。: 「(単数の相手に)座りなさいよ。」 “A ya!”、「(単数の相手に丁寧に)座って下さいよ。」 “Rok yan!”、「(複数の相手に)座りなさいよ。」 “Rok yan!”: ②(婉曲的な命令の表現として)(表現)～しなさい(ね、よ) 肯定文+nankor (+na) (石狩): ①の命令文の諸形式より丁寧とされる。: 「どんな辛いことがあっても貴方、我慢しなさいね。」 “Nekonan rampekamama an yakka es=yaysiporore nankor na!”

シナノミザクラ(唐実桜) (植物)[名](サクラ属) シナノミザクラの茎 atuyyahurepokarimpani (新): [名]シナノミザクラの果実 atuyyakarimpani-hurep (新)

シナノユキマス(信濃雪鱒)(魚介)[名](コレゴス属)シナノユキマス sinano-upascep

(新)、[名] maraena (新)※(学名。流通名は他に「キタノユキマス」、「ヒメノウオ」)

しなびる(萎びる) [自]クタッと萎びる sum (石狩)、[自] sumke (新)：[他]～をクタッと萎びさせる sumka (sumte) (新)、[他] sumkere (新)：[自]クタクタッと萎びる sumumke (石狩)：[他]～をクタクタッと萎びさせる sumumkere (新)

しなも(品物) [名]品物 cihoki (石狩)、[名] cisoki (石狩)

シナモン (植物)[名](ニッケイ属)シナモンの茎 kinnamonni (新)：[名]シナモンの樹皮 kinnamon (新)：[名]シナモンスティック kinnamoysuppo (新)：[名]シナモンパウダー kinnamonko (新)

しなやか [自]しなやかになる、しなやかである riten (石狩)：[他](場所)でしなやかになる、しなやかである eriten (新)：[他]～と共にしなやかになる、しなやかである koriten (新)：[他](原因、手段)でしなやかになる、しなやかである oriten (新)：[他]～をしなやかにする ritenka (ritente) (新)：[自]瞬間的にしなやかになる ritentek (新)：[他]瞬間的に～をしなやかにする ritentekka (新)

じなり(地鳴り) [間投]地鳴りの音、ゴーツ、ゴーゴー kum (新)：[自](一回)地鳴りの音がする kumkosanu (沙流)：[自]頻りに地鳴りがする cikumrototo (新)、[自] kumrototke (新)：[自]ゴーゴーと地鳴りがする kumrakumra (沙流)、[自] kumumatki (新)：[自]ゴーゴーと地鳴りし続ける kumnatara (新)：

じなん(次男) [名]次男 iosiampo (iosampo) (新)

しにくい [他]～をしにくい umen (石狩)、[他] koyaykus (石狩)：「私達は勉強しにくい。」「Kampinuye ku=umen .」：[助動]～(し)にくい umen (石狩)、[助動] koyaykus (石狩)：「和人がそばにいと年寄り達は本当の事を言いにくい。」「Samake ta sisam an yakun onne utar ampe ye umen .」

シニジュ(新義州) [場名](朝鮮民主主義人民共和国の行政区名)新義州特別行政区 Sinicu-supecianneiwor (新)

しにしょうぞく(死装束) [他](人)に死装束させる sipinere (石狩)、[他] siyukte (siyutte) (石狩)：[名]死装束 raykursiyuk (新)、[名] siyuk (石狩)：[名]死人の背負縄 raykurtara (石狩)：[名]死人の衣装入 raykurkarop (石狩)：[名]死人の着物 raykuranmip (raykuramip) (石狩)：[名]死人の手甲

raykurtekumpe (石狩)：[名]死人の脚絆 raykurhos (石狩)：[名]死人の履物 raykurkeri (石狩)

しにたえる(死に絶える) [自]死に絶える siokere (石狩)：(表現)～全てが死に絶える ～ opitta ray wa oarisam (石狩)

しにめにあう(死に目に会う) (表現)～の死に目に会う ～ isam hi ta ～ sam(長形-a、-ake) un (新)、(表現) ～ isam hi ta ～ sam(長形-a、-ake) ta an (複数 okay) (新)

しにん(死人) [名]死人 raykur (石狩)：(表現)(悪口として)死人 raykur (石狩)：(表現)(悪口として)死人の末裔 raykur sani (石狩)

しぬ(死ぬ) ①(人に関して普通の言葉として)[自]死ぬ isam (石狩)：より丁寧な言葉として"kotanhoppa"や"mosirhoppa"がある。：②(人に関して雅語として)[自] hunko (石狩)：「彼は食事もしないものだから、危うく死ぬところだった。」「Ipe ka somo ki p ne kusu naani hunko .」(杉村キナラブク)：③(動物や特に物語の中で人間に関して)[自]死ぬ ray (石狩)：(表現)死んでしまう ray wa isam (石狩)、(表現) ray wa oarisam (石狩)：(表現)死ぬ思いで ray koraci (沙流)：(表現)ひどい死に方をする túray wenray ki (石狩)：(表現)非業の死をとげる ray ka ehosi an ray (石狩)：「お前は非業の死をとげるだろうよ。」

「Ray ka ehosi an e=ray nankor na .」(表現)死ぬにしても非業の死をとげる ray ne yakka ray sinnay isam ki (新)※(沙流より)：「お前は死ぬにせよ非業の死をとげるだろうよ。」「Ray ne yakka ray sinnay isam e=ki nankor na .」：[他](場所)で死ぬ eray (新)、[他](雅語) eyaytaraye (石狩)：「…わが佩刀の刃の上で死ぬのがお前だろうよ!…」「… An=mut emus notakkasike eyaytaraye p e=ne nankonna !…」(杉村キナラブク)：[他]～と共に死ぬ koray (新)：[他](手段)で死ぬ oray (新)：[他]～を死なせる raye (石狩)：④[他](原因)で死ぬ ekot (石狩)、[他](雅語) koekot (新)："ekot"は専ら合成語の構成要素として kem (飢饉)+ekot → kemekot 「飢え死にする」の様に使われるが、今後は"koekot"同様に単独でも使用する。：[他](原因)でひどい死に方をする wenekot (石狩)：⑤(クマやフクロウなど尊い神と考えられる動物に関して)[自] sumawne (石狩)：「その年に父が掛けた仕掛け弓に一匹の大きなクマが掛かって死んだ。」「Ne pa ta hampe are ku sine poro eper kukan wa sumawne .」：④[自]死んだふりをする

sirayke (石狩)

しめめにあう(死ぬ目に遭う) [自]死ぬ目に遭う
yaykemusi (石狩): [他](場所)で死ぬ目に
遭う eyaykemusi (新): [他]～と共に死
ぬ目に遭う koyaykemusi (新): [他](原
因、手段)で死ぬ目に遭う oyaykemusi
(新): [他]～を死ぬ目に遭わせる
yaykemusire (新)

シノキュクロケイルス (魚介)[名](バルブス亜
科)シノキュクロケイルス 属
šinokikrokeyrus-cise (新)

しのくに(死の国) [場 場] 死 の 国
ramatcakkotan (石狩)

しのめ(東雲) [名]東雲 nisat (石狩)

しのびよる(忍び寄る) [自]人や獣などに忍び
寄る ikuyra (新): [他]～に忍び寄る
kuyra (石狩)、[他] siehankere (石狩):
「私が君の知らない人と歩いていたので、そ
の 後 ろ か ら 忍 び 寄 っ た の か。」

“E=eramuskare kur tura apkas=as kusu
un=osi un=okuyra hawan .”: [他]～と共
に～に忍び寄る kokuyra (新): [他](原
因、手段)で～に忍び寄る okuyra (新):
[他](人)に～に忍び寄らせる kuyrare (新)

しのんでなく(偲んで泣く)(表現)(人)を偲んで
声をあげて泣く 人を表わす名詞+okake ta
paraparak (石狩): 「私は妻を偲んで声を
あげて泣いた。」“Ku=kor menoko okake ta
ku=paraparak .”: (表現)(人)を偲んで泣
く 人を表わす名詞+okake ta cis (新):
(表現)(人)を偲んで涙を流す 人を表わす名
詞+okake ta nupe ranke (新)

しば(柴) [名]柴 has (石狩)、[名] cas (石
狩)

じば(地場) [名]磁場 ikotukmintar (新)

しはい(支配) ①(直接的に)[自]辺りを支配する
siraykokare (新)、[自] sirkorkar (新):
[自]支配する iyaykokare (新)、[自]
ikorkar (新): [自]人を支配する
uyyaykokare (新)、[自] unkorkar (新):
[他]～を支配する、している yaykokare
(新)※(自分に～を従わせる)、[他] korkar
(新)、[他] kor (石狩): [他](場所)で～を
支配する eyaykokare (新)、[他] (新):
[他]～と共に～を支配する koyaykokare
(新)、[他] kokorkar (新): [他](原因、手
段)で～を支配する oyaykokare (新)、[他]
okorkar (新): [他](人)に～を支配させる
yaykokarere (新)、[他] korkare (新):
[他]一人で～を支配する yaykoyaykokare
(新)、[他] yaykokorkar (新): [他]共同で
～を支配する ukoyaykokare (新)、[他]
ukokorkar (新): [他](中相)～が支配され
る ciyaykokare (新)、[他](中相) cikorkar

(新): ②(間接的に)[自]辺りを支配する
sissikokare (sirsikokare) (新): [自]支配
する isikokare (新): [自]人を支配する
uysikokare (新): [他]～を支配する、して
いる sikokare (新)※(自分に～を従わせ
る): [他](場所)で～を支配する esikokare
(新): [他]～と共に～を支配する
kosikokare (新): [他](原因、手段)で～を
支配する osikokare (新): [他](人)に～を
支配させる sikokarere (新): [他]一人で
～を支配する yaykosikokare (新): [他]
共同で～を支配する ukosikokare (新):
[他](中相)～が支配される cisikokare (新)

しはらう(支払う) ① [自]代価を支払う
iatayekar (新): [他]～の代価を支払う
atayekar (石狩): [他](人)に代価支払わせ
る iatayekare (新): [他](人)に～の代価
を支払わせる atayekare (新): ②[自]給
料を支払う pumakar (石狩): [他](人)に
給料を払う kopumakar (新): [他](人)に
給料を支払わせる pumakare (新):
[他](人)に(人)に対して給料を支払わせる
kopumakare (新): ③(商業)(金額)に関し
て)[他]～を支払う ieiyyokkar (新):
[他](人)に～を支払わせる ieiyyokokare
(新): [名]支払、支払金額 ieiyyokkarikor
(新)、[名] ieiyyokokarpe (新): [名]支払伝
票 ieiyyokokarpe-suripe (新)

しばらく(暫く) ① (少しの間)[副]暫く
irukay (石狩): (表現)暫くして、暫くする
と irukay ne kor (石狩): (表現)暫く経
って、暫くすると irukay siran kor (石
狩): ②(長い間)[副]暫く ohonno (石狩):
(表現)暫く経って、暫くすると ohonno
siran kor (石狩): (表現)随分暫く somo
setak no (石狩)、(表現)(雅) sem setak no
(沙流):

しばる(縛る) ① [他]～を縛る、縛り付ける
sina (石狩): (表現)～をきつく縛る、縛り
付ける yupkeno sina (石狩): [他](場所)
で～を縛る、縛り付ける esina (新):
[他](場所)に～を縛る、縛り付ける kosina
(石狩): [他]～と共に～を縛る、縛り付ける
kosina (新): [他](原因、手段)で～を縛る、
縛り付ける osina (新): [他](人)に～を縛
らせる、縛り付けさせる sinare (新):
[他]自分で、一人で～を縛る、縛り付ける
yaykosina (新): [他]皆で、共に～を縛る、
縛り付ける ukosina (新): [他]完全に～
を縛る、縛り付ける oassina (assina)
(新): [他]美しく～を縛る、縛り付ける
pirkasina (新): [他]～をきつく縛る
toykosina (石狩): [自]自分で自分を縛る、
縛り付ける yaysina (新): [自]互いを縛

る、縛り付ける usina (新): [他](中相)～が縛られる cisina (石狩): 「…その頭に怪我をして縛られ(包帯され)ている人…」 “…nea sapaha piroma wa cisina kane an kur…” (杉村キナラブック): [他]何度も縄(紐)をかけて～を縛る、縛り上げる sinasina (石狩): [他](人)に何度も縄(紐)をかけて～を縛らせる、縛り上げさせる sinasinare (新): ②[他]～を纏めてきつく縛る、～を束ねてきつく縛る suppakar (石狩): [他]～を纏めてきつく縛らせる、～を束ねてきつく縛らせる suppakare (新)

しばれ [名]しばれ sinrupus (石狩)、[名]taskur (石狩): [完動]しばれる sinrupus (石狩)、[自] taskur (石狩): [名]一月末～二月の初め頃の寒さが特に厳しくなる頃 attusyarkacup (石狩)

じばん(地盤) ①(地表)[場名]地盤 mosirka(-si、-sike) (石狩): (表現)地盤が緩い mosirka hapur (sawre) (新)、(表現)(新): ②(基礎となる土地)[場名]地盤 toyka(-si、-sike) (新)、[場名] sirka(-si、-sike) (石狩): (表現)地盤を改良する toyka (sirka) pirkare (新): (表現)地盤を固める toyka (sirka) nisteka (nistere) (新): [名]地盤沈下 sinren (新): [O動]地盤沈下する sinren (新): [自](場所)が地盤沈下する sirkoren (新)

じひ(慈悲) [自]慈悲深くなる、深い ramuhapur (新): (表現)慈悲深くなる、深い ramu hapur (沙流): [他](場所)で慈悲深くなる、深い eramuhapur (新): [他]～に対して慈悲深くなる、深い koramuhapur (新): [他](原因、手段)で慈悲深くなる、深い oramuhapur (新): [他]～を慈悲深くする ramuhapure (ramuhapurka) (新): [自]真に慈悲深くなる、深い siramuhapur (新)

しばれ(痺れ) [名]痺れ tukunnehum(-i) (新)、[名] tokunnehum(-i) (新): [自]痺れる、痺れている tukunne (天塩)、[自] tokunne (石狩): [他]～と共に痺れる、痺れている kotukunne (kotokunne) (新): [他](原因、手段)で痺れる、痺れている otukunne (otokunne) (新): [他]～を痺れさせる tukunneka (tukunnere) (新)、[他] tokunneka (tokunnere) (新): [自]完全に痺れる、痺れている oattokunne (attokunne) (新)、[自] oattokunne (attokunne) (新)

しばん(尿瓶) [名]尿瓶 okuyma-puturukka (新)、[名] okuyma-tokkuri (新)

シファカ (動物)[名](インドリ科)シファカ属 sifaka-cise (新): [名]カンムリシファカ

sapaumpekor-sifaka (新): [名]コクレルシファカ kokuerer-sifaka (新): [名]タターサルシファカ kankani-sifaka (新): [名]ペローシファカ retar-sifaka (新)

しふく(私服) [名]私服 yayanimi (新)

しぶく(洩く) [自]洩くなる、洩い niwrotki (八雲)、[自] niwrototke (幌別)、[自] parkosiratek (沙流): [他]～を洩くする niwrotkika (niwrotkire) (新)、[他]niwrototkeka (niwrototkere) (新)、[他] parkosiratekka (新)

シフゾウ(四不像)(動物)[名](シカ科)シフゾウ属 mīru-cise (新): [名]シフゾウ mīru (新)※(中国語「麋鹿」)

ジブチ [場名](国名)ジブチ共和国 Jibuti Ukotankoremosir (新)※(首都は「ジブチ」): [場名](国名の通称あるいは首都名として)ジブチ Jibuti (新): [名]ジブチ人、国民 jibutiunkur (新)

じふぶき(地吹雪)[名]地吹雪 reyeupun (石狩)

シブヤン [名](地名)シブヤン海 Sibuyan-atuy (新)※(フィリピン諸島中央部の海域)

じぶん(自分) [接頭]他動詞、あるいはある種の位置名詞、名詞に接頭し、動詞や位置名詞が取り得る目的語の数を減らし)自分、自分自身 yay- (石狩、天塩): [接頭]他動詞に接頭し、動詞がとり得る目的語の数を一つ減らし)自分、自分自身 si- (石狩、天塩): 同じように用いられる"yay-"と"si-"とは用法に違いがあり、また同じ動詞に接頭しても、例えば"yaypusu"「自力で浮かび上がる」と"sipusu"「自然と浮かび上がる」や"yaywente"「自滅する」と"siwente"「(生まれつき足が)遅い」というように意味の違いを生じる。佐藤知己氏によれば、"yay-"は自分が手を下して直接自分にある動作を行う「直接的再帰接辞」、"si-"は自分以外の何者かの手により間接的に自分にある動作を行わせる「間接再帰接辞」とする。当辞書内ではこの佐藤氏の説を支持し、新語を作成している。尚、"si+ある種の自動詞+re"は"sirayre"「死んだふりをする」の意味の自動詞を形成し、"yay+動詞+re"は専ら韻文中に用いられ、音節を整える役割を果たす。

じぶんかって(自分勝手) [副]自分勝手に yayrenkayne (石狩)、[副] yayrenka (石狩)、[副] yayrenkano (天塩): 「自分勝手な事したらだめだぞ。」 “Eciki yayrenkayne (= yayrenka、yayrenkano)e=iki ya!” [他]～を自分勝手に作る yaykokar (石狩): 「…これは私が自分勝手に作った事ではない。神のなした御心が進み行く様である。」 “…tampe anak

ku=yaykokar pe somo ne nankor. Kamuy kar keytum sirutu siri ne nankor .” (砂沢 ト アカンノ) 祈詞

じぶんだけ(自分だけ) [副] 自分(達)だけで、一人(数人)だけで puyne (石狩): 「父とおじさん方が買物に行った後、私とおばさん方とだけで死人といました。」 “Hampe acapo utar ihok kusu paye okake ta unarpe utar tura puyne araysir tura okay=as .” (砂沢 クラ)

じぶんで(自分で) [副] 自分で yayekota (石狩)、[副] yaykata (石狩): (表現) 自分で行く yayekota oman (複数形 paye) (天塩): (表現) 自分で自分を見る yaykata inkar (石狩): [他] ~に自分で当る、~を自分(の方)に向わせる yaypekare (石狩): 「…彼が私を射たので私はそれに自分で当たり(それを自分に向かわせ)私は彼の許に客となったよ…」 “… i =cotca kusu ay=yaypekare an=komarattone na …” (杉村 キナラブク) 神謡: [自] 自分で驚く yayeosserke (石狩): [他] ~となるよう自分でする yaykoesanniyo (yaykosanniyo) (石狩) ※ (確認されているのは “yaykosanniyo” の形。): 「…私の顔も素晴らしくその肌が輝くように私は自分でし…」 “… an=nanu nakka irammakaka kamu nipekne ay=yaykosanniyo…” (杉村 キナラブク) 婦女詞曲

じぶんに(自分に) [接頭] (動詞に接頭し) 自分に yayko- (石狩): yayko + itak (言う) → yaykoytak 「独り言を言う」: [自] 自分で自分に驚く yayeosserke (石狩): [他] ~を自分にかざす situtanure (石狩)、[他] yaypekare (石狩)、[他] yaykotukka (石狩): [他] (着物の片一方) を自分に着せかける yaykocupu (石狩): 「…私の小袖を右側に私は着せかけ左側に私は着せかけ…」 “… an=mi kosonte osimoysamne ay=yaykocupu oharkisamne ay=yaykocupu …” (杉村 キナラブク) 神謡: [他] ~を自分にする yakoki (新): [他] ~を自分に突き出す yaykotukka (石狩): [他] (雅) ~を自らになす 名詞+yayekarkar (石狩): 「…死んだ者の装束、亡くなった者の装束を私は自らになし…」 “… raype siyuk isampe siyuk a=yayekarkar …” (鹿田 シムカニ) 婦女詞曲: [他] ~を自分に塗すくりつける yaykotaci (石狩): [他] ~を自分に引っ掛ける yayeokok (石狩): 「私は慌てていたものだから机の上の花瓶を自分に引っ掛けて倒してしまった。」 “Ku=kimatek kane an pe ne kusu kemawsita ka ta an=ama apappoomap ku=yayeokok wa ku=hatcire

okere . “: [他] ~が自分に相応しいとする、~を自分に似合いとする yaykotomka (石狩): 「貴方が自分に相応しいとしたいけれど、稼ぎが少なすぎる。」 “E=yaykotomka=an rusuy korka e=kor raka pon kasuy .” : [他] ~を自分に向ける situtanure (石狩): 「私は拳銃の銃口を自分に向けた。」 “Taknepuspe paroho ku=situtanure .”

じぶんについて(自分について) ① [自] 自分について歌う yayasintocaki (新): ② [自] 自分について語る、自分について物語る yayeisotak (石狩): 従来、口承文芸中のしめくくりとして、例えば “…sekor kapap-tonomat yayeisotak” 「…とコウモリの御台が自らを物語った」という形で使用されてきたが、今後は “Eani ka na poronno yayeisotak ani .” 「お前ももっと沢山自分について語ってよ。」のように、日常の会話にも使用する。: [自] 自分について神謡する yayeoyna (白糠): [自] 自分についてトウイタクする yayetuytak (石狩): [自] 自分についてユカラする yayeyukar (石狩): [自] 自分について由来語りする yayeucaskuma (新)、[自] yayeupaskuma (石狩): ③ [自] あれこれ自分についてよく考える、あれこれ自分について思いを巡らせる yayuwampare (石狩)

じぶんの(自分の) [自] 自分の髪を梳かす yaynuykar (石狩): [自] 自分の事が悲しくなる yayoskor (石狩): [他] (力など) を自分の体内より出す yaykosanke (石狩): [自] 自分の手を噛む yaytekekupa (新): [自] (クマが) 自分の手足をかむ yaykoyki (石狩)

じぶんのいちぞく(自分の一族) [名] 自分的一族、自分の仲間 yayutar(i) (石狩): [場名] 自分的一族で立場が上の者 yayutarpa(ke) (新): [場名] 自分的一族で立場が下の者 yayutarkes(-e) (新)

じぶんのうえ(自分の上) [場名] 自分の上 sika (sikasi, sikasike) (新): [場名] 自分の離れた上 sienka (sienkasi, sienkasike) (新): (表現) 自分の上に(神がいる) yaykata kurka (石狩)

じぶんのうしろ(自分の後ろ) [場名] (静止する何かの空間的な位置関係を示し) 自分の後ろ siosmak (siosmake) (新): [場名] (移動する何かの空間的な位置関係を示し) 自分の進む後ろ、自分の行く後ろ sioka (石狩)、[場名] siokake (新)

じぶんのかげ(自分の陰) [場名] 自分の陰 sisempir (石狩)、[場名] sisempiri (新)、[場名] sisempirke (新)

じぶんのころ(自分の心) [名] 自分

yaykewtum (石狩): (表現)自分に正直になる yaykewtum peka (新): 「私達は自分の心に正直になって離婚した。」

“Yaykewtum ci=peka ayne uosura=as.”

じぶんのした(自分の下) [場名] 自分の下 sicorpok (sicorpoki) (石狩): (表現)自分の下へ sicorpok (sicorpoki) ene (石狩)

じぶんのせい(自分のせい) [名] 自分のせい yaykatu (石狩): (表現)それさえも自分のせいであった訳でもない neampe ne yakka yaykatu ene hawan hi ka somone (石狩)

じぶんのそば(自分の傍) [場名] 自分の傍 sisam (石狩)、[場名] yaysam (石狩)

じぶんので(自分の手) (表現)自分の手で yaytekka ta (沙流): 「今すぐ自分の手でお前を殺してやるぞ!」 “Tane tunasno yaytekka ta e=rayke=an kusu ne na!”

じぶんのところ(自分の所) [場名] 自分の所 sior (sioro) (石狩): (表現)自分の所に、で siotta (sioro ta) (石狩)

じぶんのなかま(自分の仲間) [名] 自分の一族 yayutar(-i) (石狩)

じぶんのほう(自分の方) [副] 自分の方へ siekota (石狩)

じぶんのまえ(自分の前) [場名](静止する何かの空間的な位置関係を示し)自分の進む前、自分の行く手 sikotca (sikotcake) (新): [場名](移動する何かの空間的な位置関係を示し)自分の進む前、自分の行く手 sietok (sietoko) (石狩): (表現)自分の行く手へ sietok (sietoko) ene (石狩)

じぶんのむかひのざ(自分の向かいの座) [場名] 自分の向かいの座 siasso (石狩)、[場名] siassoke (新)

じぶんのものにする(自分の物にする) [他] こっそり～の一部自分の物にする ehomaci (沙流)

じぶんを(自分を) [自] 自分を扇ぐ yayparpa (石狩、天塩): (表現)自分で自分を扇ぐ yaykata yaymemamka (石狩): [他](場所)へ自分を押しやる kosiraye (石狩): [自] 自分を大切にする、自分のことを考える yayeyam (石狩): [副] 自分を大切に、自分のことを考えて yayeyamno (石狩): [他]～に自分を抱かせる sikismayar (石狩): 「幼児が母に自分を抱かせ眠っている。」

“Poysispe kor totto sikismayar wa mokor kane an.”: [自](自殺するため刀などで)自分を突き刺す yayotke (石狩): 「…年上である人が死ぬのだと言って刀を引き抜き自分を突き刺そうとしたけれど…」 “…kiyanne wa an kur ray kunak ye kor emus etaye u yayotke kus iki korka…” (杉村キナ

ラブク)神謡: [自]自分を納得させる yayunaske (石狩): [他]～について自分を納得させる eyayunaske (新): [他](人)に自分を納得させる yayunaskere (新): [自]自分を見失う yaturaynu (新): [他](人)に自分を見失わせる yaturaynure (新): [他]～に自分を見せる yaynukare (新): [他]～で～に自分を見せる eyaynukare (石狩): 「(薄暗い部屋の中、居並ぶ旦那衆の中で神の血を引く美しい勇者が炉の火の明かりに照らし出されて際立つ様を描写し)…火の明かりで彼らに自分を見せて彼は座っている…」 “…apekantompi eyaynukare wa a wa an…” (砂沢クラ)婦女詞曲

しべ(蕊) [名] 蕊 apappoci (新): [名] 雄蕊 pinne-apappoci (新): [名] 雌蕊 matne-apappoci (新)

しへい(紙幣) [名] 紙幣 ikorkampi (新)、[名] kampiikor (新)

じべた(地べた) [名] 地べた toy (石狩)、[名](雅) amtoy (沙流)、[名](雅) ruwantoy (沙流): (表現)地べたに座る toy ka ta a (複数 rok) (石狩): (表現)地べたの上に～を投げ捨てる ruwantoy kurka ~ koosura (沙流)

シベリア ①[場名](地名)シベリア Šibiri (新): ②[場名](ロシア連邦の行政区名)シベリア連邦管区 Šibiri-ukosineatkimosirkor-iwor (新)※(本部は「ノボシビルスク」): ③(歴史)[場名]シベリア汗国 Šibiri-xankormosir (新)※(15世紀中頃-1598年。ロシア帝国のため滅亡)

しへん(詩篇) (聖書)[名] 詩篇 Iotuwasiitak (新)

しばう(脂肪) ①(人や動物の)[名] 脂肪 kirpo (石狩): ②(クジラの)[名] 脂肪 rika (石狩)

じぼうじき(自暴自棄) [自] 自暴自棄になる weyyaysura (新): [他](人)に自暴自棄にさせる weyyaysurare (新)

シホウチク(四方竹) (植物)[名](タケ亜科)シホウチク属 inesikkewnusitop-cise (新): [名]シホウチクの茎 inesikkewnusitop (新)※(別名「シカクダケ」、「イボダケ」)

しばむ(萎む) [自] 萎む sicupu (複数 sicuppa) (石狩)、[自] cupke (新): [自] ぱっと萎む sicuptekka (新)、[自] cuptek (新): [自] 完全に萎む oassicupu (assicupu) (新)、[自] oarcupke (arcupke) (新): [自](花が)萎む cupupke (石狩)、[自] ukocupke (天塩): (表現)花が萎む apappo cupupke (新)、(表現) epuy(-ke) cupupke (石狩)

しぼめる(萎める) [他]～を萎める cupu (複数形 cuppa) (石狩): [他](人)に～を萎めさせる cupure (複数形 cuppare) (新): [他]瞬間的に～を萎める cuptekka (新): [他]完全に～を萎める oatcupu (複数形 oatcuppa) (新)、[他] atcupu (複数形 atcuppa) (新)

シボリアゲハ(絞り揚羽) [名](タイスアゲハ族)シボリアゲハ属 isinaoikoipopte-kitomarewrew-cise (新): [名]シボリアゲハ isinaoikoipopte-kitomarewrew (新): [名]ウンナンシボリアゲハ yunnan-isinaoikoipopte-kitomarewrew (新): [名]シナシボリアゲハ atuyya-isinaoikoipopte-kitomarewrew (新): [名]ブータンシボリアゲハ bútan-isinaoikoipopte-kitomarewrew (新)

しぼりぞめ(絞り染) (表現) 絞り染めする isina wa irokoipopte (新): (表現)～を絞り染めする ~ sina wa irokopopte (新)

しぼる(絞る) [自]ものを絞る inumpa (新): [他]～を絞る numpa (石狩): [他](場所)で～を絞る enumpa (新): [他]～と共に～を絞る konumpa (新): [他](原因、手段)で～を絞る onumpa (新): [他](誰か)に～を絞らせる numpare (新): [他]自分で、一人で～を絞る yaykonumpa (新): [他]皆で、共に～を絞る ukonumpa (新)

しぼん(資本) [名]資本 cieikorukmoto (新)、[名] capitar (新)※(英語より)

しま(縞) [名]縞 ru (H): [自]～に縞ができる、縞がある rúo (石狩): [他]～と共に～に縞ができる、縞がある koruo (新): [他](原因、手段)で～に縞ができる、縞がある oruo (新): [名]縞模様 rúsirki (新)

しま(島) [場名]島 mosir-(i) (石狩)※(この言葉は意味が多いため、特に地名などで使う場合は今後 ponsir を、合成語の要素としては sir を用いるものとする): [場名]島 ponsir-(i) (八雲): [場名]海の島 atuykasir-(i) (石狩)、[場名]atuykamosir-(i) (新): [場名]湖沼の島 tókassir-(i) (新)、[場名] tókamosir-(i) (新): [場名]川中島 petkasir-(i) (新)、[場名] petkamosir-(i) (新)

シマアジ(縞鯨) (魚介)[名](アジ科)シマアジ属 rúoaji-utar (新): [名]シマアジ rúoaji (新)

しまい(姉妹) [名]姉妹 irwak-(i) (石狩)、[名] irpak-(i) (石狩)、[名] mácirwak-(i) (新): [自]姉妹になる、姉妹である irwakne (石狩)、[自] mácirwakne (新): [自]姉妹がいる irwakkor (新)、[自] mácirwakkor (新): [他]～が姉妹である

irwakikor (新)、[他] mácirwakikor (新): [自]兄弟姉妹がいらない yayirwakikor (石狩): [自]兄と弟、妹である uyupikor (沙流): [自]姉と弟、妹である usakor (沙流): [自]妹と兄である umatapakor (沙流): [自]妹と姉である umatakikor (沙流)

しまいに(仕舞いに) [副]仕舞いに óikesne (沙流)

シマウマ(縞馬) (動物)[名](ウマ属)シマウマ亜属 ruoumma-mocise (新): [名]サバンナシマウマ savanna-ruoumma (savanna-ruoumma) (新): [名]ヤマシマウマ kimun-ruoumma (kimun-ruoumma) (新): 亜種 [名]ケーブヤマシマウマ yayan-ruoumma (yayan-ruoumma) (新): [名]ハートマンヤマシマウマ hartoman-ruoumma (hattoman-ruoumma) (新)

しまぐに(島国) [場名] 島国 atuykamosirunmosir (新)、[場名] poysirunmosir (新)

シマフクロウ(島梟) (鳥)① [名](フクロウ科)シマフクロウ属 kamuycikap-cise (新): [名]シマフクロウ kamuycikap (石狩)、[名] kotankorcikap (石狩)、[名] kamuycikapkamuy (石狩)、[名] kotankorkamuy (石狩)、[名] mosirkorkamuy (石狩): ②(関連語彙)[他]シマフクロウ送りをする omante (空知): [名]シマフクロウ送りの祭壇 kotankorkamuynusa (空知): [名]シマフクロウ送りのイナウ kamuycikap-inaw (空知)※(頭部にフクロウの耳を示す削りかけを四個つけたキケチノイエイナウ。)

シマヘビ(縞蛇) (動物)[名](ナメラ属)シマヘビ ruokamuy (千歳)、[名] orirokamuy (幌別): [名](シマヘビの変種)カラスヘビ paskurkamuy (幌別)、[名] kunnekamuy (千歳)

しまる(締まる) ①(筋肉などに関して)[自]締まる siyupu (複数 siyuppa) (新): [他](場所)で締まる esiyupu (複数 esiyuppa) (新): [他]～と共に締まる kosiypupu (複数 kosiypuppa) (新): [他](原因、手段)で締まる osiyupu (複数 osiyuppa) (新): [自]キュッと瞬間的に締まる siyuptekka (新): ②(首などに関して)[他](中相) cinumpa (新)

しまる(閉まる) [自]閉まる yayseske (石狩): [他](場所)で閉まる eyayseske (新): [他]～と共に閉まる koyayseske (新): [他](原因、手段)で閉まる oyayseske (新):

じまん(自慢) [自]自慢する yayotuwasí (石狩)、[自] yayomonnure (天塩): [他]～の

事で自慢する eyayotuwasi (新)、[他] eyayomonnure (新): [他](場所)で自慢する eyayotuwasi (新)、[他] eyayomonnure (新): [他]～に対して自慢する、～と共に自慢する koyayotuwasi (新)、[他] koyayomonnure (新): [他](原因、手段)で自慢する oyayotuwasi (新)、[他] oyayomonnure (新): [他](人)に自慢させる eyayotuwasure (新)、[他] eyayomonnurere (新): [自]自慢し合う eukoyayotuwasi (新)、[自] eukoyayomonnure (新): [他]～の事で自慢し合う eukoyayotuwasi (新)、[他] eukoyayomonnure (新): [他]～を自慢する otuwasi (石狩)、[他] omonnure (天塩)

じみ(地味) [自]地味になる、である onneruy (新)、[自] onne (石狩): [他]～を地味にする onneruyre (新)

しみず(清水) [名] 清水 yamwakka (yammakka) (石狩)

しみる(染みる) [自]ものに染みる iposo (新): [他](場所)に染みる poso (石狩): [他]～と共に～に染みる koposo (新): [他](原因、手段)で～に染みる oposo (新): [他]～に～に染みさせる posore (新): [自](場所)に水が染みる péposo (新): (表現)水が染みる pe poso (石狩): ②[自]染みていない ruteyne (石狩): (表現)染みない somo iposo (新): (表現)～に染みない ~ somo poso (新)

しみる(沁みる) [他](痛みなどが)(場所)に沁みる ciw (沙流): 今後は痛み以外の感覚に関しても使用する。: 「ああ、薬を付けたら沁みるなあ。」“Hai, kusuri an=usi ayke ciw humi!”: [他](感覚)を場所に沁みさせる ciwre (新)

しみん(市民) ①(行政区内の住民)(表現)～市民都市名+siunkur (新): (表現)札幌市民 Sapporosiunkur (新): ②(政治的共同体の構成員)[名]市民 iociunkur (新)、[名]kotanunkur (新): (表現)市民権 iociunkur kor kunip (新)、(表現)kotanunkur kor kunip (新)

しむける (表現)～が～するように～がしむける 動詞句の後に必要な主語+kar (石狩): 「私が他の人達と争うようにお前がしむけたのだ。」“Mosma okay utar ku=koyki e=kar ruwe ne.”

シムラニンジン(志村人參)(植物)[名](セリ科)シムラニンジン属 simuraupewkina-cise (新): [名]シムラニンジンの茎葉 simuraupewkina (新)

しめい(指名) [自]指名する réeyaka (新):

[他]～を指名する ereeyaka (新): [他](場所)で指名する ereeyaka (新): [他]～と共に指名する koreeyaka (新): [他](原因、手段)で指名する oreeyaka (新): [他](人)に指名させる réeyakare (新): [自]自分で、一人で指名する yaykoreeyaka (新): [自]互いに、皆で指名する ukoreeyaka (新): [他]人に～を指名させる、してもらう ereeyakayar (新): [自]自分を指名させる、してもらう siereeyakayar (新): [他](中相)～が指名される ciereeyaka (新): [名]指名料 réyaka-atay(-e) (新)

じめじめ [0動]辺りがじめじめする、している sitteyne (新): [自](場所)がじめじめする、している sirkoteyne (新): [自]じめじめする、している teyne (石狩、天塩): [他]～と共にじめじめする、している koteyne (新): [他](原因、手段)でじめじめする、している oteyne (新): [他]～をじめじめさせる teyneka (石狩)、[他] teynere (新)

しめす(示す) ①(見せる)[他](人)に人やものを(人)に示す inukare (新): [他]人に～を示す unnukare (新)、[他] nukarar (新): [他](人)に～を示す nukare (新): [他](人)に(人)に～を示させる nukarere (新): ②(計器が)[自]示す yáka (新): [他]～を示す eyaka (新): [他](場所)で示す eyaka (新): [他]～の方を示す、～と共に示す koyaka (新): [他](原因、手段)で示す oyaka (新): [他](人)に示させる yákare (新)

しめた [副]しめたと思って、しめたと yayrenka (石狩)、[副] yayrenkane (沙流): : 「しめたとばかりに私は逃げた。」 “Yayrenka ku=kira.”

じめつ(自滅) [自]自滅する yaywente (石狩): [他](場所)で自滅する eyaywente (新): [他]～と共に自滅する koyaywente (新): [他](原因、手段)で自滅する oyaywente (新): [他]～を自滅させる yaywentere (新)

しめっぽい(湿っぽい) [完動]空気が湿っぽい sinrikan (新): [自](場所)が湿っぽい sirkorikan (新): [自]湿っぽい rikan (石狩): [他]～を湿っぽくさせる rikanka (rikante) (新): [自]充分湿っぽい rikanno(rikannu) (新): [自]完全に湿っぽい oanrikan (anrikan) (新): [自]滅茶苦茶湿っぽい toykorikan (新)

しめる(絞める) (首などに関して)[他]～を絞める numpa (石狩): (表現)～の首を絞める ~ rekuci numpa (石狩): [他](場

所で～を絞める enumpa (新): [他]～と共に～を絞める konumpa (新): [他](原因、手段)で～を絞める onumpa (新): [他](誰か)に～を絞めさせる numpare (新): [自]首を絞める irekuvinumpa (石狩): [他]～の首を絞める rekucinumpa (石狩)

しめる(湿る) ①[自]湿る、湿っている rikan (石狩): [他](場所)で湿る、湿っている erikan (新): [他]～と共に湿る、湿っている korikan (新): [他](原因、手段)で湿る、湿っている orikan (新): [他]～を湿らせる rikanka (rikante) (新): [他](場所)で～を湿らせる、～の時に～を湿らせる erikanka (erikante) (新): [他]～と共に～を湿らせる korikanka (korikante) (新): [他](原因、手段)で～を湿らせる orikanka (orikante) (新): ②(ジメジメ水気多く)[自]湿る、湿っている teyne (石狩): [他](場所)で湿る、湿っている eteyne (新): [他]～と共に湿る、湿っている koteyne (新): [他](原因、手段)で湿る、湿っている oteyne (新): [他]～を湿らせる teynea (石狩)、[他] teynere (新): [他](場所)で～を湿らせる、～の時に～を湿らせる eteynea (eteynere) (新): [他]～と共に～を湿らせる koteynea (koteynere) (新): [他](原因、手段)で～を湿らせる oteynea (oteynere) (新): [他]～の先を湿らせる eteynea (eteynere) (新): [他]～の末尾、陰部を湿らせる oteynea (oteynere) (新): [自]自分の陰部を湿らせる yayoteynea (yayoteynere) (新): [自]皆が陰部を湿らす uoteynea (uoteynere) (新)

しめる(占める) [他]～を占める yaykokor (新)、[他] yaykore (新): [他](場所)で～を占める eyaykokor (新)、[他] eyaykore (新): [他]～と共に～を占める koyaykokor (新)、[他] koyaykore (新): [他](原因、手段)で～を占める oyaykokor (新)、[他] oyaykore (新): [他]～に～を占めさせる yaykokore (新)、[他] yaykorere (新)

しめる(締める) ①(きつく締めつける意味で)[他]～を締める yupu (複数 yuppa) (石狩): [他](場所)で～を締める eyupu (複数 eyuppa) (新): [他](場所)に～を締める koyupu (複数 koyuppa) (石狩): [他]～と共に～を締める koyupu (複数 koyuppa) (新): [他](手段)で～を締める oyupu (複数 oyuppa) (新): [他](人)に～を締めさせる yupure (複数 yuppare) (新): [他]自分で、一人で～を締める yaykoyupu (複数

yaykoyuppa) (新): [他]皆で、共に～を締める ukoyupu (複数 ukoyuppa) (新): [他]充分に～を締める yupuno (複数 yuppano) (新): [他]完全に～を締める oaryupu (複数 oaryuppa) (新): [他]ギューギューきつく～を締める toykoyupu (複数 toykoyuppa) (新): [他]～の先を締める eyuppa (複数 eyuppa) (新): [他]～の末尾、尻を締める oyupu (複数 oyuppa) (新): ②(帯などに関して)[他]～を締める、締めている kor (石狩): (表現)帯を締める kut kor (石狩): [他](人)に～を締めさせる kóre (新): [他]～を重ねて締める ukomuye (石狩): [自]帯を締める kutkor (石狩): [他](人)に帯を締めさせる kutkore (石狩): ③(褌に関して)[他]～を締める kot (石狩): (表現)褌を締める tepa kot (石狩): [他](誰か)に～を締めさせる kóte (新): [自]褌を締める tepakot (新)

しめる(閉める) ①[他](引戸やガラス窓など)を閉める seske (石狩): (表現)戸を閉める apa seske (石狩): (表現)窓を閉める puyar seske (石狩): [他](場所)で～を閉める eseske (新): [他]～に対して～を閉める koseske (新): [他]～と共に～を閉める koseske (新): [他](原因、手段)で～を閉める oseske (新): [他](人)に～を閉めさせる seskere (新): [他]自分で、一人で～を閉める yaykoseske (新): [他]皆で、共に～を閉める ukoseske (新): [他]充分に～を閉める seskeno (seskenu) (新): [他]完全に～を閉める oasseske (asseske) (新): [他]がっちり～を閉める toykoseske (新): ②[他](板戸)を閉める asi (石狩): [他](人)に～を閉めさせる asire (新)

じめん(地面) [場名]地面、土の上 toyka(-si、-sike) (新)、[場名] sirka(-si、-sike) (石狩): (表現)地面 toy ka(長形-si、-sike) (石狩)、(表現)(雅) amttoy kurka(長形-si、-sike) (沙流)、(表現)(雅) ruwantoy ka(長形-si、-sike) (沙流)、(表現)(雅) ruwantoy kurka(長形-si、-sike) (沙流): (表現)地面から吹き立つ風 ruwantoy ka wa hopuni rera (沙流): [場名]広い地面、大地の広がり mosisso (mosirso) (石狩): (表現)地面いっぱい mosirso kurka(長形-si、-sike) (石狩): [自]土から顔を出す、(植物が)芽を出す etoyposo (石狩): [自]～の頭が地面に突き刺さる、～の先が地面に突き刺さる etoyciw (石狩): 「私が投げた槍は彼を逸れて地面にその先が突き刺さった。」
“ Ku=eak op teksam ta teske wa

etoyciw .”：[他]～の頭を地面に突き刺す、～の先を地面に突き刺す etoyciwre (新)：[他]～を地面に叩きつける esirkik (石狩)：[他]～を地面に何度も叩きつける esirkikkik (新)：[他]～を地面に突き刺す esirotk (石狩)：「…わが佩刀をサンタ人の前の地に突き刺し…」 “…a=mut emus santaunkur kotcakene an=esirotk…”(杉村キナラブク)英雄詞曲：[他](舟や仔グマ、犬などを)地面の杭などに繋ぐ sirkote (石狩、天塩)：「…炎の馬を元いた場所に繋ぐと…」 “…apeomma [> ape o umma] otta an i ta ay=sirkote tek…”(杉村キナラブク)神謡：[他](人)に～を地面に繋がせる sirkotere (新)：[自]ドシンと地面を踏む siroterke (石狩)：[他]～にドシンと地面を踏ませる siroterkere (新)：[自]地面を掘る sirouri (石狩)：イオマンテの際にクマが前足で)地面を掘る時にはクマの飼主主に不幸がある。：[他]～に地面を掘らせる sirourire (新)

しも(霜) [名]霜、霜降り taskuru (石狩)：(表現)霜が下りる taskuru an (石狩)

しもぞ(下座) ①[場名]下座、座の下手、祭壇の下手 sókes(sókese) (石狩)：②[場名]下座、火尻座 usar (石狩)、[場名] usarke (石狩)：伝統的の家屋の人の出入口と炉の間の座。但し近文では現在に至るまでここを土間としており、人が多い時だけ敷物を敷いたり、“itaso”の場合には板を渡すのみである。：[副]下座に、下座へ eusarun (石狩)、[副] eusarunwa (石狩)、[副] eusarunno (新)：[副]下座から ousarun (新)、[副] ousarunwa (新)、[副] ousarunno (新)：③(沙流などの)[位名]～の下座、木尻座 útur(長形-u、-uke、-ke) (沙流)：[副]下座に、下座へ eutunneno (沙流)、[副] eutunnewa (沙流)

しもて(下手) [位名]～の下手 kes(長形-e、-eke) (石狩、天塩)※(対義語は"pa")：(表現)村の下手(川の downstream) kotan kes(長形-e、-eke) (石狩)：(表現)国の下手(西方) mosir kes(長形-e、-eke)：[位名](雅)～の下手 pampa (沙流)：(表現)崖の下手 nisey pampa (沙流)

しものせわ(下の世話) [他](大便、小便)を取って下の世話をする siyayke (石狩)：「大便も小便も私が取って下の世話をしました。」 “Okoyma ka osoma ka ku=siyayke .” (砂沢クラ)

しもばしら(霜柱) [名]霜柱 kuruppe (幌別)

しもやけ(霜焼け) [自](手や足が)霜焼けになる mecire (石狩)

しもん(指紋) [名]手の指紋 tekmonnoka

(新)、[名] tekmonnoka (新)：[名]足の指紋 uremonnoka (新)、[名] uremonnoka (新)

じもん(自問) [自]自問する yaykopisi (新)：[他](場所)で自問する、～について自問する eyaykopisi (新)：[他](原因、手段)で自問する oyaykopisi (新)：[他](人)に自問させる yaykopisire (新)：(表現)自問自答する yaykopisi wa yaytasaitak (新)

しや(視野) (表現)視野 inkar siroro (新)：(表現)視野が狭くなる、狭い、視野狭窄する inkar siror hupne (新)：(表現)視野が広くなる、広い inkar siroro sep (新)

じゃあく(邪悪) [自]邪悪になる、である nitne (石狩)：[名]邪悪な人 nitnekur (nitnep) (新)、[名] síwempurikorkur (síwempurikorpe) (新)、[名] síwenkewtumkorkur (síwenkewtumkorpe) (新)：[名](神や人の中で)邪悪な者 nitneyke (石狩)

ジャージー ①[場名](イギリス王室保護領名)ジャージー区 Jerzi Ikawarinetonokori (新) ※(首都は「セントヘリア」)：②[場名](地名)ジャージー島 Jerzi-poysir (新)

シャープペンシル [名]鉛筆 cioinuyenop (新)

シャルジャ [場名](アラブ首長国連邦の首長国名)シャルジャ Šarka (Šarja) (新)

シャーロット [場名](アメリカ合衆国ノースカロライナ州の都市名)シャーロット Šanrot (新)

シャーロットタウン [場名](カナダのプリンスエドワードアイランド州の州都名)シャーロットタウン Šanrottotaun (新)

シャイアン [場名](アメリカ合衆国ワイオミング州の州都名)シャイアン Šaian (新)

ジャイアントパンダ (動物)[名](クマ科)ジャイアントパンダ属 panda-cise (新)：[名]ジャイアントパンダ panda (新)※(英語)

ジャイロダイナ [名]ジャイロダイナ jirodine (新)※(英語)

しゃいん(社員) (社団法人に関し)[名]社員 ikouekarpakur (新)

しゃかいしゅぎ(社会主義) [名]社会主義 ureskaussamun (新)、[名] sociarismu (新)※(英語)：[名]社会主義者 ureskaussamunkur (新)、[名] sociaristo (新)※(英語)：[名]社会党 ureskaussamun-topa (新)：[場名]社会主義国 ureskaussamun-mosir (新)、[場名] sociarismukor-mosir (新)

しゃかい社会 [場名]社会 ureskausi (新)、[場名] cieureskausi (新)：[名]社会学 ureskausi-eampehunar (新)、[名]

cieureskausi-eampehunar (新): [名]社会学者 ureskausi-eampehunarkur (新): [名] cieureskausi-eampehunarkur (新): [名]社会人 ureskausi-emonraykekur (新): (表現)社会人 ureskausi ta monrayke kur (新)

しゃかく(斜格) (言語)[名]斜格 cirewep (新)

しゃがむ [自]しゃがむ opecina (石狩): 尻を起こして両膝にもたれるように屈み、便所に行った時のような姿勢で座る事で、かつては女の座り方とされた。: (表現)しゃがんで座る opecinayno a (複数 rok) (石狩): 「私はしゃがんで座っている。」“Opecinayno ku=a wa an .”

ジャカルタ [場名](インドネシア共和国の首都名)ジャカルタ Jakatta (Jakarta) (新)

シャク(杓) (植物)[名](セリ科)シャク属 icarikina-cise (新): [名]シャクの茎葉 icarikina (新)※(別名「コジャク」)、[名]シャクの根 kimunupew (新)

しゃく(酌) [他](酒など)の酌をする iomare (石狩): [他](場所)で~の酌をする eiomare (新): [他](人)に~の酌をする、~と共に~の酌をする koiomare (新): [他](原因、手段)で~の酌をする oiomare (新): [他](人)に~の酌をさせる iomarere (新): [他]~を手酌する yaykoimare (静内): [他](場所)に~を手酌する yayotekomare (石狩): [他]~を酌み交わす ukoimare (新)

しゃく(癩) (表現)癩を起す niskutu arka (石狩): 「私は癩を起した。」“Ku=niskutu arka .”

じゃくアルカリ(弱アルカリ) (化学)[名]弱アルカリ arkarihawke (新)

しゃくざい(借財) [名]借財 so (新): [自]借財する sóuk (新): [他](人)に借財する kosouk (石狩)

じゃくさん(弱酸) (化学)[名]弱酸 supkakephawke (新)

しゃくし(杓子) [名]杓子 kasup (石狩)

ジャクソン [場名](アメリカ合衆国ミシシッピ州の州都名)ジャクソン Jakson (新)

ジャクソンビル [場名](アメリカ合衆国フロリダ州の都市名)ジャクソンビル Jaksonvir (新)

じゃくたいか(弱体化) [自]弱体化する、している hawke (石狩): [他](場所)で弱体化する、している ehawke (新): [他]~と共に弱体化する、している kohawke (新): [他](原因、手段)で弱体化する、している ohawke (新): [他]~を弱体化させる hawkeka (hawkere) (新): [自]完全に弱

体化する、している oarhawke (arhawke) (新): [自]滅茶苦茶弱体化する、している toykohawke (新)

じゃくてん(弱点) [場名]弱点 pewani (新)

しゃくりあげる ①[自]しゃくりあげる sekkot (石狩)、[自] settok (石狩): (表現)何度も何度もしゃくりあげる tusuy settok resuy settok utomkote (石狩): ②[自]しゃくりあげて泣く sesserke (石狩): ③[語根]しゃくりあげる ser (石狩)

じゃこう(麝香) [名]麝香 musku (新)

ジャコウアゲハ(麝香揚羽) [名](キシタアゲハ族)ジャコウアゲハ属 muskukitomarewrew-cise (新): [名]ジャコウアゲハ muskukitomarewrew (新): [名]オオベニモンアゲハ yayan-hurekeso-muskukitomarewrew (新): [名]シナジャコウアゲハ atuyya-muskukitomarewrew (新): [名]ダサラダベニモンアゲハ dasarada-hurekeso-muskukitomarewrew (新)

ジャコウウシ(麝香牛) (動物)[名](ヤギ族)ジャコウウシ亜族 muskupeko-moutar (新): [名]ジャコウウシ属 muskupeko-cise (新): [名]ジャコウウシ muskupeko (新): [名]カモシカ属 ao-cise (新): [名]ゴールル属 górar-cise (新)

ジャコウジカ(麝香鹿) (動物)[名](ウシ亜目)ジャコウジカ科 opokay-apa (新): [名]ジャコウジカ属 opokay-cise (新): [名]アンフィジャコウジカ anhuy-opokay (新): [名]カシミールムスクデアー kasmirun-opokay (新): [名]カシヨクジャコウジカ kunne-opokay (新): [名]コビトジャコウジカ moopokay (新): [名]シベリアジャコウジカ okokay (樺太): [名]ヒマラヤンムスクデアー himarayaun-opokay (新): [名]ヤマジャコウジカ rikta-opokay (新)

ジャコウネコ(麝香猫) (動物)[名](ネコ亜目)ジャコウネコ科 omawkusmekot-apa (新): [名]ジャコウネコ亜科 omawkusmekot-moapa (新): [名]ジャコウネコ属 omawkusmekot-cise (新): [名]アフリカジャコウネコ afrikaun-omawkusmekot (新): [名]インドジャコウネコ b́aratun-omawkusmekot (新): [名]ジャワジャコウネコ javaun-omawkusmekot (新): [名]ビルマジャコウネコ miyammaun-omawkusmekot (新): [名]アフリカリンサン属 tumamatanne-omawkusmekot-cise (新): [名]コジャコウネコ属 moomawkusmekot (新): [名]コジャコウネコ moomawkusmekot (新): [名]ジェ

ネット属 *genetta-cise* (新): [名]パーム
シベット亜科 *kófemekot-moapa* (新):
[名]ヘミガルス亜科 *kenas-*
omawkusmekot-moapa (新)

しゃざい(謝罪) [自]謝罪する *yayapapu*
(石狩)、[自] *yayunaske* (石狩): [他]〜に
ついて謝罪する *eyayapapu* (新)、[他]
eyayunaske (新): [他](人)に謝罪する
koyayapapu (新)、[他] *koyayunaske*
(新): [他](原因、手段)で謝罪する
oyayapapu (新)、[他] *oyayunaske* (新):
[他](人)に謝罪させる *yayapapure* (新)、
[他] *yayunaskere* (新): [自]自分で、一
人で謝罪する *yaykoyayapapu* (新)、[自]
yaykoyayunaske (新): [自]皆、共に謝罪
する、謝罪し合う *ukoyayapapu* (新)、[自]
uyayapaure (新)、[自] *ukoyayunaske*
(新)、[自] *uyayunaskere* (新): [自]人に
言われて不承不承認罪する *siapapu* (新)

しゃしん(写真) [名]写真 *ciuknoka* (新)、
[名] *sasinnoka* (石狩)、[名] *foto* (新)※
(英語)、[名] *noka* (石狩): [自]写真を撮
る *nokauk* (複数 *nokauyna*) (新)、[自]
fotouk (複数 *fotouyna*) (新): (表現)写真
を撮る *noka uk* (複数 *uyna*) (石狩):
[他]〜の写真を撮る *enokauk* (複数
enokauyna) (新)、[他] *efotouk* (複数
efotouyna) (新): [他](場所)で〜の写真を
撮る *eenokauk* (複数 *eenokauyna*) (新)、
[他] *eefotouk* (複数形 *eefotouyna*) (新):
[他]〜と共に〜の写真を撮る *koenokauk*
(複数 *koenokauyna*) (新)、[他] *koefotouk*
(複数 *koefotouyna*) (新): [他](原因、手
段)で〜の写真を撮る *oenokauk* (複数
oenokauyna) (新)、[他] *oefotouk* (複数
oefotouyna) (新): [他](人)に〜の写真を
撮らせる *enokaukte* (複数 *enokauynare*)
(新)、[他] *efotoukte* (複数形 *efotouynare*)
(新): [他]自分で、一人で〜の写真を撮る
yaykoenokauk (複数 *yaykoenokauyna*)
(新)、[他] *yaykoefotouk* (複数形
yaykoefotouyna) (新): [他]皆で、共に〜
の写真を撮る *ukoenokauk* (複数
ukoenokauyna) (新)、[他] *ukoefotouk* (複
数形 *ukoefotouyna*) (新): [他]激しく〜
の写真を撮る *toykoenokauk* (複数
toykoenokauyna) (新)、[他] *toykoefotouk*
(複数 *toykoefotouyna*) (新): [自]自分で
自分を写真に撮る *yayenokauk* (複数
yayenokauyna) (新)、[自] *yayefotouk* (複
数 *yayefotouyna*) (新): [自]互いに写真
を撮り合う *uenokauk* (複数 *uenokauyna*)
(新)、[自] *uefotouk* (複数 *uefotouyna*)
(新): [他]人に〜の写真を撮ってもらう

nokaukar (新)、[他] *fotoukar* (新):
[自]人に自分の写真を撮ってもらう
sienokaukar (新)、[自] *siefotoukar* (新):
[名]写真家 *nokauketokkorkur* (新)、[名]
fotogurafer (新)※(英語): [名]写真館
cienokaukcise (新): [名]写真機
nokaukpe (新)、[名] *cionokaukpe* (新)、
[名] *kámara* (新)※(英語): [名]写真術
nokauketok (新)、[名] *fotogurafi* (新)※
(英語): [名]写真立て *ciuknokaeasip*
(新)、[名] *fotoeasip* (新): [名]写真帳
ciuknokao-kampis (新)、[名] *fotoo-*
kampis (新)、[名] *arbum* (新)※(英語)

しゃせい(射精) [自]射精する *owen* (H):
[他](場所)で射精する *eowen* (新): (表
現)膈内射精する *citoske* (*cítor*) *ta owen*
(新)、*citoske* (*cítor*) *eowen* (新): (表現)
膈外射精する *citsoyke ta owen* (新)、(表
現) *citsoyke eowen* (新): [他](場所)に射
精する *koowen* (新): 「雌ザケが産卵す
ると雄ザケがそこに射精する。」“*Os ciporo*
sanke kor ca koowen .”: [他]〜と共に射
精する *koowen* (新): [他](原因、手段)で
射精する *oowen* (新): (表現)〜の口で射
精する ∼ *paro ani owen* (新)、(表現) ∼
paro oowen (新): (表現)〜の手で射精す
る ∼ *teke ani owen* (新)、(表現) ∼
teke oowen (新): [他](人)に射精させる
owente (新)

しゃだん(社団) (法律)[名]社団 *aynuikir*-(i)
(新)、[名] *association* (新)※(英語より)

しゃだんほうじん(社団法人) (法律)[名]社団法
人 *aynuikir-irenkaaynu* (新): [名]一般
社団法人 *yayan-aynuikir-irenkaaynu*
(新): [名]公益社団法人 *utarpirkare-*
aynuikir-irenkaaynu (新): [名]特例社団
法人 *ietokoyki-aynuikir-irenkaaynu* (新)

シャチ(鮫) ①(動物)[名](マイルカ科)シャチ亜
科 *repunkamuy-moapa* (*ikoykihump-*
moapa) (新): [名]シャチ属
repunkamuy-cise (*ikoykihump-cise*)
(新): [名]シャチ *ikoykihumpe* (礼文華)、
[名] *kamuyhumpe* (幌別): [名]オキゴン
ド属 *kunnerepunkamuy-cise* (新):
②[名]シャチ神 *repunkamuy* (H)、[名]
reptakamuy (藻汐草)、[名]
atuykorkamuy (石狩)、[名]
cepattekamuy (石狩)、[名] *ikoykikamuy*
(長万部): [名](祈詞でシャチ神の一連の敬
称として)富を授ける神 *tominkarkur* (幌
別)、[名]幸を授ける神 *kamuinkarkur* (幌
別)、[名]獲物を上げる神 *isoyankekur* (幌
別)、[名]神の勇者 *kamuyrametok* (幌別):
[名](祈詞でシャチ神を兄弟二柱で祀った時

の一連の敬称として)弟のシャチ神
móhacankur (礼文華)、[名]兄のシャチ神
síhacankur (礼文華)、[名]幸をもたらす神
imonkanukarkur (礼文華、[名]神の首領
kamuyottena (礼文華)：[名]雄のシャチ
siaspetanne (石狩)：[名]雌のシャチ
siaspetakne (石狩)：[名]シャチの背鰭
aspe (石狩)：(表現)鯨の群
repunkamuy-ciwas (沙流)

シャツ [名]シャツ ipennawamip (新)、[名]
şat (新)※(英語)、[名] rubaska (新)※(露
語)：(表現)シャツを履く ipennawamip
mi (新)、(表現)シャツを脱ぐ
ipennawamip ama (新)

ジャッカル (動物)[名](イヌ属のジャッカルと名
付けられる動物の総称として)ジャッカル
jakkar (新)：[名]アビシニアジャッカル
itiopiyaun-jakkar (新)：[名]キンイロジャ
ッカル konkani-jakkar (新)：[名]セグロ
ジャッカル seturukunne-jakkar (新)：
[名]ヨコスジジャッカル utossamaruo-
jakkar (新)

じゃっかん(弱冠) [場名]弱冠 hotnepa (新)、
[名] hot (新)

しゃっきん(借金) ①(借りた金)[名]借金
soatay(-e) (石狩)：[自]借金を返す
soataykar (沙流)：(表現)借金を返す
soatay kar (石狩)、(表現) ikor hosipire
(新)：(表現)借金をする soatay ki (石
狩)：②(借金する事)[名]借金 souk (新)：
[自]借金する sóuk (新)：[他](金額)を借
金する esouk (新)：[他](場所)で借金す
る esouk (新)：[他](人)に借金する
kosouk (石狩)：[他]～と共に借金する
kosouk (新)：[他](原因、目的)のため借金
する osouk (新)：[他](人)に借金させる
sóukte (新)、[他] soataykore (新)：[自]
借金をしている soataykor (沙流)

しゃっくり [名]しゃっくり yomkor (石狩)、
[名] sesserke (石狩)：[自]しゃっくりす
る yomkor (石狩)、[自] sesserke (新)

シャットダウン [自]シャットダウンする
sisinire (新)、[自] sini (新)：[他]～を
シャットダウンする sinire (新)：
[他](人)に～をシャットダウンさせる
sinirere (新)

しゃとう(斜塔) [名]斜塔 ehewke-riknaaspe
(新)

じゃのめ(蛇の目) [名]蛇の目 cepsik(-i)
(新)：[名]蛇の目文様 cepsiksirki (新)

しゃぶる ①(歯を立てず)[自]ものをしゃぶる
tonon (石狩)：[他](一回)をしゃぶる nun
(石狩)：[他](場所)で～をしゃぶる enun
(新)：[他]～と共に～をしゃぶる konun

(新)：[他](原因、手段)で～を吸う onun

(新)：[他](人)に～をしゃぶらせる nunte

(新)：[他]～を何度もしゃぶる nunnun

(石狩)：[他](人)に～を何度もしゃぶらせる

nunnunte (新)：②(歯をたてて)[自]もの

のしゃぶる ikepkepu (新)、[自] ikepkep

(新)：[他]～をしゃぶる kepkepu (石狩)、

[他] kepkep (石狩)：[他](人)に～をしゃ

ぶらせる kepkepure (新)、[他] kepkepte

(新)

ジャボジャボ ①[間投](擬声語)(水音)チャボ、
ジャボ cop (新)：[間投](擬声語)チャボ
チャボ、ジャボジャボ copcop (新)：
[自](一回)チョボ、ジョボと鳴る copkosanu
(新)：[自]チャボチャボ、ジャボジャボと頻
りに鳴る cicoprototo (新)、[自]
coprototke (新)：[自]チャボチャボ、ジャ
ボジャボ何度も鳴る copopatki (新)：
[自]チャボチャボ、ジャボジャボと続けて鳴
る copnatara (新)：[自](瞬間的に)チャ
ボ、ジャボと鳴る coptek (新)：②[他](液
体に)～をジャボジャボ漬ける copopo
(新)：[他](液体)に～をジャボジャボ漬ける
kocopopo (新)：[他]水に～をジャボジャ
ボ漬ける pékocopopo (新)

しゃほん(写本) [名]写本 citekotupte-
kampusos (新)：(表現)写本を作る
citekotupte-kampusos kar (新)

じやま(邪魔) ①(仕事などに関して)[自]人の邪
魔をする ietoktuye (新)：[他]～に関し
て人の邪魔をする eietoktuye (新)：
[他](人)に人の邪魔をさせる ietoktuyere
(新)：[連他](人)の邪魔をする etoko-tuye
(etok-tuye) (沙流)、[他] etokotuye (新)：
[自]自分で自分の邪魔をする yayetoktuye
(新)：[自]邪魔をし合う uetoktuye (新)：
[他](人)に自分の邪魔をさせる
sietoktuyere (新)：[他]人に自分の邪魔を
させる sietoktuyeyar (新)：[名]邪魔な
人 ietokotuyekur (新)：[名]邪魔者
ietokotuyep (新)、[名] ietokotuye-ampe
(新)：②(人間関係に関して)[自]人の邪魔を
する iuturwente (石狩)、[自] iututtuye
(新)：[他]～に関して人の邪魔をする
eiuturwente (新)、[他] eiututtuye (新)：
[他](人)に人の邪魔をさせる iuturwentere
(新)、[他] iututtuyere (新)：[連他](人)の
邪魔をする uturu-tuye (utur-tuye) (沙
流)、[他] uturutuye (新)、[他]
uturuwente (新)：[自]邪魔をし合う
uuturwente (新)、[自] uututtuye (新)：
[他](人)に自分の邪魔をさせる
siuturwentere (新)、[他] siututtuyere
(新)：[他]人に自分の邪魔をさせる

siuturwenteyar (新)、[自] siututtuyeyar (新): [名]邪魔な人 iuturwentekur (新)、[名] iututtuyekur (新): [名]邪魔者 iuturwentep (iututtuyep) (新)、[名] iuturwente-ampe (iuttuye-) (新)

ジャマイカ ①[場名](国名)ジャマイカ Jamayka (新)※(首都は「キングストン」): [名]ジャマイカ人、国民 jamaykaunkur (新): ②[場名](地名)ジャマイカ島 Jamayka-poysir (新)

しゃめん(斜面) [位名]~の斜面 kotor(長形-o) (石狩): (表現)山の斜面 nupuri kotor(長形-o) (石狩)

シャモア (動物)[名](ヤギ亜族)シャモア属 europayagi-cise (新): [名]シャモア europayagi (新)、[名] šamois (新)、[名] šamowa (新)※(仏語): [名]ピレネーシャモア pirinioakun-europayagi (新)、[名] pirinioakun-šamois (新)

しゃもじ [名]しゃもじ sukepera (石狩)、[名] pera (石狩)、[名] cieskep (天塩)

じゃり(砂利) [名]砂利 poysuma (ponsuma) (石狩): [名]砂利道 pipiru(-e) (新): [名]目の細かい砂利 nokaysuma (nokan suma) (新)

しゃりょう(車両) [名](一般の)車両 kuruma (石狩): [名]鉄道車両 kanirukakuspe (新)

しゃりん(車輪) [名]車輪 karip (新)、[名] kuruma (新): [自]車輪が付いている karipkor (新)、[自] karipun (新): [他]~に車輪を付ける karipkore (新)、[自] karipunte (新):

ジャワ [場名](大スンダ列島の島の名)ジャワ島 Jawa-poysir (新): [名]ジャワ人 jawaunkur (新): [名]ジャワ語 jawaunkuritak (新): [名]ジャワ文字 jawaunkur-itakitokpa (新)

シャンハイ(上海) [場名](中華人民共和国の直轄都市名)上海 Šanhay (新)

しゅ(朱) [自]朱になる、である sumaohure (新)※(石に由来する赤である): [他]~を朱にする、朱に染める suma-ohureka (-ohurere) (新): [名]朱色 sumaohure-iro (新)

しゅ(種) (分類)[名]種 pi(-ye) (新)

しゅあいうるし(朱合漆) [名]朱合漆 hure-ussi (新)

シュー (鳥などが降下したり風のたてる音)[間投]シュー siw (石狩): [間投]シューシュー siwsiw (新)、[間投] siwiw (新): [自]シューと音をたてる siwse (新): [他]~をシューと音をたてさせる siwseka (siwsere) (新): [自]シューシューと音を

たてる siwsiwse (新): [他]~をシューシューと音をたてさせる siwsiwseka (siwsiwsere) (新): [自]一回シューと音をたてる siwkosanu (幌別)、[自] siwkosampa (新): [自]シューシューと頻りに音をたてる siwototke (石狩)、[自] siwrototke (新)、[自] cisiwrototo (新): [他]~にシューシューと頻りに音をたてる(降り立つ) esiwototke (幌別): [自](何度も)シューシューと音をたてる siwiwatki (幌別): [自]シューシュー音を続けている siwnatara (新): [自]ちよつとシューと音をたてる siwtek (新): [他]~をちよつとシューと音をたてさせる siwteka (新)

しゅう(私有) [自]私有する iyaykokor (新)、[自] iyaykonu (新): [他]~を私有する yaykokor (新)、[他] yaykonu (新): [他](人)に~を私有させる yaykokore (新)、[他] yaykonure (新): [他](中相)~が私有される ciyaykokor (新)、[他] ciyaykonu (新): [名]私有財産 ciyaykokorataynup (ciyaykonuataynup) (新): [場名]私有地 ciyaykokori (ciyaykonui) (新): (表現)私有地 an=yáykokor iwor (新): [名]私有物 ciyaykokorpe (ciyaykonup) (新)

じゅう(事由) [名]事由 motonep (新)、[名] moto (新)

じゅう(自由) ①[名]自由 yayrenkanu (新): [自]自由である yayrenkanu (新): [他]~に関して自由である eyayrenkanu (新): [他]~と共に自由である koyayrenkanu (新): [他]~から自由である、(原因、手段)で自由である oyayrenkanu (新): [他]~を自由にする yayrenkanure (新): [自]自分で、一人で自由である yaykoyayrenkanu (新): [自]互いに、皆で自由である ukoyayrenkanu (新): [自]完全に自由である oaryayrenkanu (aryayrenkanu) (新): [自]思い切り自由である toykoyayrenkanu (新): [自]人を自由にさせる yayrenkanuyar (新): [他]人に~を自由にさせる、してもらう yayrenkanureyar (新): [自]人に自分を自由にしてもらう siyayrenkanureyar (新): ②(liberty の訳語として)[名]自由 yaytusakar (新)※(自分を解放する)、[名] ribetti (riberti) (新)※(英語): ③(furidam の訳語として)[名]自由 ciyayrenkanure (新)、[名] furidam (fureedom) (新)

しゅう(周) (表現)~を一周する ~ assuy esikari (ekari, okari) (新): (表現)(人)に~を一周させる ~ assuy esikarire

(ekarire, okarire) (新): 「あなたは私にこの村を走って一周させた。」

“Es=en=hoyupure wa tan kotan assuy es=en=esikarire.”

しゅう(州) ①(アメリカ合衆国や南米の幾つかの国の行政単位名として)[場名]州 mosir (新): 英語の"state"と"commonwealth"の両方の訳語としてこの語を使う。②(カナダ、オーストラリア、ロシアなどの)[場名]州 purovince (新)※(英語): ③(スイス連邦の)[場名]州 kanton (新)※(独語)

しゅう(週) [名]週 tósay (新): [名]今週 tantosay (新): 「今週私は忙しい。」 “Tantosay otta ku=montapi.”: [名]先週 hoskiantosay (新): [名]来週 osiektosay (新): [名]一週間 sinetosay (新)

じゅう(十) ①[名]十人 waniw (石狩): (表現)女性十人 menoko waniw (新): [連体]十人の wan (石狩): (表現)十人の女性 wan menoko (新): [自]十人になる、である waniwne (新): [副]十人で waniwne (新): (表現)十人一組です、行動する waniw-esinepne iki (新): (表現)十人一組で～する waniw-esinepne ki (新): (表現)(人)に十人一組で～させる waniw-esinepne kire (新): [自]十人一組になる waniw-esinepne (新): [他](人)を十人一組にする waniw-esinepneka (waniw-esinepnere) (新): ②[名]十、十四、十個など wampe (石狩): [連体]十の wan (石狩): [副]十四で、十個に wampene (新): (表現)十四一組です、行動する wampe-esinepne iki (新): (表現)十四一組で～する wampe-esinepne ki (新): (表現)～に十四一組で～させる wampe-esinepne kire (新): [自]十四、十個一組になる wampe-esinepne (新): [他]～を十四、十個一組にする wampe-esinepneka (wampe-esinepnere) (新): ③[名・副]十回 waysuy (新)

じゅう(銃) [名]銃 puspe (石狩): [名]安全装置、セーフティ iyaykiptesakkap (新): [名]機関部、フレーム、レシーバー puspetumam(-a) (新): [名]腔綫、施条、ライフリング puspenay(-e) (新): [名]後床 makunosor(-o) (新): [名]三脚、トライポッド rekema (新): [名]銃口、マズル puspepar(-o) (新)、[名] puspecar(-o) (新): [名]銃床、ストック puspeosor(-o) (新): [名]銃身、バレル puspesapa (新)、[名] puspepake (新): [名]銃弾 tama (天塩)、[名] puspetama (新): [名]銃杷、グリップ puspenit(-ci) (新)、[名] nit(-ci) (新): [名]照準具、サイト

cioinonoyep (新): [名]照星、フロントサイト cioinonoyetok (新): [名]照門 cioinonoyenay (新): [名]前床 sankeosor(-o) (新): [名]弾倉、マガジン tamapu (新): [名]二脚、バイポッド tukema (新): [名]発條、スプリング topuysay(-e) (新): [名]引金、トリガー hecawekani (新): [名]薬室、チャンパー kusuritumpu (新): [場名]遊底、スライド cimoyeasam (新): [名]遊筒、ボルト cimoyekuttar (新)

じゅう(中) [後副]～中 epitta (epittano) (石狩、天塩): (表現)村中 kotan epitta (epittano) (石狩): (表現)一日中 sineto epitta (epittano) (石狩)、(表現) to epitta (天塩): (表現)冬の間中 mata epitta (epittano) (石狩): [副]一晩中(泊まって) rews (石狩): (表現)一晩中(泊まって) kunne rews (石狩): [後副]～中留まって tóri (沙流): (表現)今日一日中留まって tanto tóri (久保寺)

しゅうい(周囲) ①[位名]～の周囲 tuysam(長形-a、-ake) (石狩): 「私の周囲に近づくな。」 “En=tuysam eciki kohanke ya!”: [後副]～の周囲に okari (石狩、天塩): 「私の周囲にいる人達は本当に善良である。」 “En=okari okay utar sonno ka kewtumpirka ruwe ne.”: ②[場名](ある行為や状況が及ぶ範囲を指し)周囲 sittukari (沙流): (表現)周囲が静まり返る attukari cikistekka (沙流)

じゅうい(獣医) [名] 獣医 cireskaptusakakur (新)、[名] cireskaptusarekur (新)

じゅういがく(獣医学) [名] 獣医学 cireskaptusaka-eampehunar (新)、[名] cireskaptusare-eampehunar (新): [名]獣医学者 cireskaptusaka-eampehunarkur (新)、[名] cireskaptusare-eampehunar (新)

じゅういち(十一) [名]十一人 sinen ikasma waniw (石狩): (表現)男性十一人 okkayo sinen ikasma waniw (新): [名]十一匹、十個など sinep ikasma wampe (石狩): (表現)魚十一匹 cep sinep ikasma wampe (新): [連体]十一の sine ikasma wan (石狩): (表現)十一人の女性 sine menoko ikasma wan menoko (sinen ikasma wan menoko) (新): (表現)十一匹の魚 sine cep ikasma wan cep (sinep ikasma wan cep) (新): (表現)十個の卵 sine nok ikasma wan nok (sinep ikasma wan nok) (新): (表現)十一年 sinepa ikasma wampa (sinep ikasma wampa) (新)

じゅういちがつ(十一月) [名] 十一月
nitékrankecup (石狩)、[名] kuekay (南
空知、栗山)

しゅうかい(集会) [名] 集会 uekarpa (新):
(表現) 集会で uekarpa otta (新): [自] 集
会を開く uekarpa (石狩)

しゅうかく(収穫) [自] 収穫する iuk (新):
[他](農作物)を収穫する uk (複数 uyna)
(石狩): [他](人)に～を収穫させる ukte
(複数 uynare) (新): [名] 収穫、収穫物
raka (石狩)、[名] oroumpe (沙流): 沙
流方言には"oroumpe"があるためか"raka"は
"rakaha isam"や"raka sak"という否定の形
でしか使われぬようだが、石狩方言では「獲
物がない」という意味の"oroisam"はあるが
"oroumpe"はない。今後"oroumpe"は「収穫」
の他、「成果」などの意味に転用し借用する。:
(表現) 収穫がある rakaha an (新)、(表現)
oroumpe an (新): (表現) 収穫がない
rakaha isam (石狩)、(表現) raka sak (石
狩)、(表現) otoumpe isam (新)

じゅうがつ(十月) [名] 十月 konnirancup (石
狩)、[名] sunancup (南空知、栗山)

しゅうかん(習慣) [名] 習慣 puri (石狩)、[名]
sirpuri (天塩): 「嘘をつくのがお前の習
慣か?」"Sunke anakne e=kor puri ruwe ta
an?"

しゅうかんし(週刊誌) [名] 週刊誌 keustosay-
kampisospo (新)、[名] keustosay-sospo
(新)

しゅうぎ(祝儀) [名] 祝儀 iway(-e) (沙流)

しゅうぎいん(衆議院) [場名] 衆議院
iyaykokawarineutar-sousi (新): [名] 衆議
院議員 iyaykokawarineutar-sousiunkur
(新)

じゅうきゅう(十九) ① [名] 十九人
sinepesaniw ikasma waniw (石狩): (表
現) 男性十九人 okkayo sinepesaniw
ikasma waniw (新): (表現) 十九人で
sinepesaniw ikasma waniwne (新): ②
[名] 十九匹、十九個など sinepesampe
ikasma wampe (石狩): (表現) 魚十九匹
cep sinepesampe ikasma wampe (新):
(表現) 十四で sinepesampe ikasma
wampene (新): ③ [連体] 十九の
sinepesan ikasma wan (石狩): (表現) 十
九人の女性 sinepesan menoko ikasma
wan menoko (sinepesaniw ikasma wan
menoko) (新): (表現) 十九匹の魚
sinepesan cep ikasma wan cep
(sinepesampe ikasma wan cep) (新): (表
現) 十九個の卵 sinepesan nok ikasma wan
nok (sinepesampe ikasma wan nok) (新):
(表現) 十九年 sinepesampa ikasma wampa

(sinepesampe ikasma wampa) (新)

じゅうきょ(住居) [場名] 住居 úni (石狩)

しゅうきょう(宗教) [名] 宗教
iakkaripkooripak (新)※(人を超越する者
を敬う): [名] 宗教儀礼 iakkaripkooripak-
ipurikokikunip (新): [場名] 宗教施設
iakkaripkooripak-cieiwankeusi (新):
[名] 宗教組織 iakkaripkooripak-uekarpa
(新)

しゅうぎょう(就業) ①(仕事を始める)[自] 就業
する irawkitupa-heasire (irawkitopa-
heasire) (新)、[自] urawkitupa-heasire
(urawkitopa-heasire) (新): [他](人)を就
業させる irawkitupa-heasirere
(irawkitopa-heasirere) (新)、[他]
urawkitupa-heasirere (urawkitopa-
heasirere) (新): ②(職業に就く)[自] 就業
する irawkitupa-uyru (irawkitopa-uyru)
(新)、[自] urawkitupa-uyru (urawkitopa-
uyru) (新): [他](人)を就業させる
irawkitupa-uyruke (irawkitopa-uyruke)
(新)、[他] urawkitupa-uyruke
(urawkitopa-uyruke) (新): [名] 就業規則
irawkitupa-uyru-ciukorekunip
(irawkitopa-uyru-ciukorekunip) (新)、[名]
urawkitupa-uyru-ciukorekunip
(urawkitopa-uyru-ciukorekunip) (新):
(表現) 就業時間 irawkitupa-uyru=an
(irawkitopa-uyru=an) kuni nipekkur (新)、
(表現) urawkitupa-uyru=an (urawkitopa-
uyru=an) kuni nipekkur (新): [名] 就業
人口 irawkitupa-uyrukur-cipiskip
(irawkitopa-uyrukur-cipiskip) (新)、[名]
urawkitupa-uyrukur-cipiskip (urawkitopa-
uyrukur-cipiskip) (新)

ジュウケイ(重慶) [場名] (中華人民共和国の直轄
都市名)重慶 Concín (新)

しゅうげき(襲撃) [自] 襲撃する hopuni (複数
hopumpa) (新)、[自] corawki (corawke)
(石狩): [他](場所)で襲撃する ehopuni (複
数 ehopumpa) (新)、[他] ecorawki (新):
[他]～を襲撃する kohopuni (複数
kohopumpa) (石狩)、[他] kocowawki
(石狩): [他]～と共に襲撃する kohopuni
(複数 kohopumpa) (新)、[他] kocorawki
(新): [他](原因、手段)で襲撃する ohopuni
(ohopumpa) (新)、[他] ocorawki (新):
[他](人)に襲撃させる hopunire
(hopumpare) (新)、[他] corawkire (新):
[自] 自分で、一人で襲撃する yaykohopuni
(複数 yaykohopumpa) (新)、[自]
yaykocorawki (新): [自] 皆で襲撃する、襲
撃し合う ukohopumpa (新)、[自]
ukocorawki (新): [自] 激しく襲撃する

toykohopuni (複数 toykohopumpa) (新)、
[自] toykocorawki (新)

じゅうご(十五) ①[名]十五人 asiknen
ikasma waniw (石狩): (表現)男性十五人
okkayo asiknen ikasma waniw (新): (表
現)十五人で asiknen ikasma waniwne
(新): ②[名]十五匹、十五個など asiknep
ikasma wampe (石狩): (表現)魚十五匹
cep asiknep ikasma wampe (新): (表現)
十五匹で asiknep ikasma wampene (新):
③[連体]十五の asikne ikasma wan (石
狩): (表現)十五人の女性 asikne menoko
ikasma wan menoko (asikne ikasma wan
menoko) (新): (表現)十五匹の魚
asikne cep ikasma wan cep (asiknep
ikasma wan cep) (新): (表現)十五個の卵
asikne nok ikasma wan nok (asiknep
ikasma wan nok) (新): (表現)十五年
asiknepa ikasma wampa (asiknep ikasma
wampa) (新)

じゅうこう(銃口)[名]銃口 puspepar(-o)
(新)、[名] puspecar(-o) (新)

じゅうさん(十三)①[名]十三人 ren ikasma
waniw (石狩): (表現)男性十三人
okkayo ren ikasma waniw (新): (表現)十
三人で ren ikasma waniwne (新): ②
[名]十三匹、十三個など rep ikasma wampe
(石狩): (表現)魚十三匹 cep rep ikasma
wampe (新): (表現)十三匹で rep
ikasma wampene (新): ③[連体]十三の
re ikasma wan (石狩): (表現)十三人の女
性 re menoko ikasma wan menoko (ren
ikasma wan menoko) (新): (表現)十三匹
の魚 re cep ikasma wan cep (rep ikasma
wan cep) (新): (表現)十三個の卵 re nok
ikasma wan nok (rep ikasma wan nok)
(新): (表現)十三年 repa ikasma wampa
(rep ikasma wampa) (新)

しゅうさんかじょ(集散花序)[名]集散花序
usamumpekor-apappoomakat (新): [名]
複集散花序 usamumpekorpa-
apappoomakat (新)

じゅうじ(十字)[名]十字 utasa (石狩):
(表現)十字を切る utasani sikotca konuye
(新): [名]十字架 utasani (新): [名](キ
リスト教信者が身に付ける)小さな十字架
pon utasani (新): [名]十字軍
utasanitumi (新)、[名] kurukiata (新)※
(羅語): [名]十字形 utasanoka (石狩)、
[名] utasasirosi (石狩): [名]十字文様
utasasirki (石狩)、[名] uta s a (石狩):
[名]十字餅 u t a s a moci (新): [名]十
字路 utasaru(-we) (新)

じゅうしち(十七)①[名]十七人 arwaniw

ikasma waniw (石狩): (表現)男性十七人
okkayo arwaniw ikasma waniw (新): (表
現)十七人で arwaniw ikasma waniwne
(新): ②[名]十七匹、十七個など arwampe
ikasma wampe (石狩): (表現)魚十七匹
cep arwampe ikasma wampe (新): (表現)
十七匹で arwampe ikasma wampene
(新): ③[連体]十七の arwan ikasma wan
(石狩): (表現)十七人の女性 arwan
menoko ikasma wan menoko (arwaniw
ikasma wan menoko) (新): (表現)十七匹
の魚 arwan cep ikasma wan cep
(arwampe ikasma wan cep) (新): (表現)
十七個の卵 arwan nok ikasma wan nok
(arwampe ikasma wan nok) (新): (表
現)十七年 arwampa ikasma wampa
(arwampe ikasma wampa) (新)

しゅうしゅう(收拾)[他]～を收拾する móre
(新): 「我々は早急にこの事態を收拾するつ
もりだ。」“Tunasno tan sirki an=more kusu
ne .”: [他](人)に～を收拾させる mórere
(新)

しゅうしゅう(収集)[自]ものを収集する
iuekarire (新): [他]～を収集する
uekarire (石狩): 「私は小さい頃切手を収
集していた。」“Ku=pon hi ta itasakampiyar
ku=uekarire wa an .”: [他](場所)で～を
収集する euekarire (新): [他](場所)へ～
を収集する kouekarire (新): [他]～と共に
～を収集する kouekarire (新):
[他](原因、手段)で～を収集する ouekarire
(複数 ouekarpere) (新)、[他] euekarire
(石狩): [他](人)に～を収集させる
uekarirere (新): [名]収集家
iuekarirekur (新): [名]収集癖
iuekarire-puri (新): [名]収集物
ciuekarirep (新)

じゅうしゅぎ(自由主義)[名]自由主義
yaytusakassamun (yaytusakarsamun)
(新)、[名] riberarismu (新)※(英語): [名]
自由主義者 yaytusakassamunkur
(yaytusakarsamunkur) (新)、[名]
riberar (新)※(英語): [名]自由主義経済
yayrenkanu- (新): [名]自由党
yaytusakassamun-topa
(yaytusakarsamun-topa) (新): [場名]自
由主義国 yayrenkanu-mosir (新): [名]
古典的自由主義 onnesisakpene-
yaytusakassamun (onnesisakpene-
yaytusakarsamun) (新): [名]社会自由主
義、ソーシャルリベラリズム ureskaus-
yaytusakassamun (ureskaus-
yaytusakarsamun) (新)、[名]
socioanriberarismu (新): [名]自由至上主

義、リバタリアニズム
oaryaytusakassamun
(oaryaytusakarsamun) (新)、[名]
ribettarianismu (ribertarianismu) (新):
[名] ニューリベラリズム asir-
yaytusakassamun (asir-
yaytusakarsamun) (新)、[名] niw-
riberarismu (新): [名] ネオリベラリズム
neo-yaytusakassamun (neo-
tusakarsamun) (新)、[名] neo-
riberarismu (新)

しゅうしゆく(収縮) ①[自]収縮する sicupu
(複数 sicuppa) (石狩)、[自] cupke (新):
[他]～を収縮させる cupu (複数 cuppa)
(新): ②[自]瞬間的に(ちょっと)収縮する
cuptek (新)、[自] sicuptekka (新): [他]
瞬間的に(ちょっと)～を収縮させる
cuptekka (新): ③[自]くしゃくしゃに収
縮する cupcupke (石狩)、[自] ukocupke
(天塩): [他]～をくしゃくしゃに収縮させる
cupcupu (cupupu) (新)、[他] ukocupu(複
数) (新)

じゅうじゅんようかん(重巡洋艦) [名]重巡洋
艦 páse:castumicip (新)

じゅうしょ(住所) [場名]住所 úni (石狩)、[名]
ádores (新)※(英語)

じゅうしょう(銃床) [名]銃床 puspeosor(-o)
(新)

しゅうしょく(就職) [自]就職する monrayke-
uyru (新)、[自] nepki-uyru (新):
[他](場所)に就職する emonrayke-uyru
(新)、[他] enepki-uyru (新): [他]～と共
に就職する komonrayke-uyru (新)、[他]
konepki-uyru (新): [他](原因、手段)で就
職する omonrayke-uyru (新)、[他]
onepki-uyru (新): [他](人)を就職させる
monrayke-uyruke (新)、[他] nepki-
uyruke (新)

しゅうしょく(修飾) (文法)[他]～を修飾する
mutkore (新): [他]～に～を修飾させる
mutkorere (新): [他](中相)～が修飾され
る cimutkore (新): [名]修飾語
imutkoreitak (新)、[名] itakmutkoreitak
(新): [名]被修飾語 cimutkoreitak (新)

しゅうじん(囚人) [名]囚人 róorunkur (新)、
[名] akampu (石狩)

しゅうじん(衆人) (表現)衆人 inne utar (石
狩): (表現)衆人環視の中で inne utar
okay hi otta (新)、(表現) inne utar okay
wa inkar easkay hi otta (新)、(表現) inne
utar okay kurkasi (tuykasi) (新)

じゅうしん(従身) (表現)従身 wampa ikasma
rehotne pa (新)、(表現) wampa einehotne
pa (新)

じゅうしん(銃身) [名]銃身 puspesapa (新)、
[名] puspepake (新)

しゅうせい(終生) [副]終生 sukupeturpak
(幌別): (表現)終生 sukup kes pakno
(新)

しゅうせい(習性) [名]習性 puri (石狩)

しゅうそ(臭素) (化学)[名]臭素 húramotopo
(新)※(原子番号35番。元素記号 Br)

じゅうぞく(従属) [自]従属する iarkoikar
(新): [他]～に従属する arkoikar (沙
流): [他](場所)で～に従属する earkoikar
(新): [他](原因、手段)で～に従属する、～
に関して～に従属する oarkoikar (新):
[他](人)を～に従属させる arkoikare
(新): [他]～を従属させる siarkoikare
(新): [他](中相)～が従属させる
cisiarkoikare (新): [名]従属国
cisiarkoikare-mosir (新)

じゅうだん(銃弾) [名]銃弾 tama (天塩)、[名]
puspetama (新)

じゅうたん(絨毯) [名]絨毯 kiskicitarpe (新)

しゅうちょう(酋長) [名]酋長 purisak-utarpa
(新)、[名] yaban-utarpa (新)、[名] siwco
(日本語)

しゅうと(舅) [名]舅 siwto (天塩)

しゅうどう(修道) [自]修道生活する
yaykosukup (新): (表現)修道誓願をたて
る yaykosukup kuni ye (新): [場名]修
道院 yaykosukupusi (新)、[名]
monasterion (新)※(希語)、[名] abbatia
(新)※(羅語): [名]修道会
yaykosukupkur-uekarpa (新)、[名]
oddo(ordó) (新)※(羅語): [名]修道者(新)、
[名] monaxos (新)※(希語): [名]修道士
yaykosukupkur (新)、[名] monaxos (新)
※(希語): [名]修道女 yaykosukupmat
(新)、[名] monaxosmat (新)

しゅうとめ(姑) [名]姑 siwtokatkemat (天
塩)

じゅうなん(柔軟) [自]柔軟になる、柔軟である
riten (石狩): [他](場所)で柔軟になる、柔
軟である eriten (新): [他]～と共に柔軟
になる、柔軟である koriten (新):
[他](原因、手段)で柔軟になる、柔軟である
oriten (新): [他]～を柔軟にする
ritenka (ritente) (新): [自]充分に柔軟に
なる、柔軟である ritenno (ritennu) (新):
[自]完全に柔軟になる、柔軟である
oanriten (anriten) (新): [自]減茶苦茶柔
軟になる、柔軟である toykoriten (新):
[他]瞬間的に柔軟になる ritentek (新):
[名]柔軟剤 imiritenkap (imiritentep)
(新)

じゅうに(十二) ①[名]十二人 tun ikasma

waniw (石狩): (表現)男性十二人
 okkayo tun ikasma waniw (新): (表現)十二人で tun ikasma waniwne (新): ②
 [名]十二匹、十二個など tup ikasma wampe
 (石狩): (表現)魚十二匹 cep tup ikasma
 wampe (新): (表現)十二匹で tup
 ikasma wampene (新): ③[連体]十二の
 tu ikasma wan (石狩): (表現)十二人の女
 性 tu menoko ikasma wan menoko (tun
 ikasma wan menoko) (新): (表現)十二匹
 の魚 tu cep ikasma wan cep (tup ikasma
 wan cep) (新): (表現)十二個の卵 tu nok
 ikasma wan nok (tup ikasma wan nok)
 (新): (表現)十二年 tupa ikasma wampa
 (tup ikasma wampa) (新)

じゅうにがつ(十二月) ① [名] 十 二 月
 upasrurecup (旭川)、[名] ciwrup (南空
 知、栗山): ②[名](クマが生まれる)十二月末
 から一月末 iwanreyewpun (石狩)、[名](シ
 ャチが生まれる)一月末から二月にかけて
 iwantaskur (石狩)

じゅうにしちよう(十二指腸) [名] 十 二 指 腸
 pisehanuka (樺太)、[名] hanuka (樺太)

じゅうにしんほう(十二進法) [名] 十 二 進 法
 túp-ikasma-wampeoipiski (新): [名]十二
 進 記 数 法 túp-ikasma-
 wampeoipiskioinuye (新): [名]十二進命
 名 法 túp-ikasma-wampeoipiskiorekor
 (新)

じゅうにん(住人) (表現)~の住人 場所名詞、
 位置名詞+un kur(複数 utar) (新): (表
 現)廃工場の住人 husko ikannousi un kur
 (新)(表現)~の住人 名詞+or un kur(複数
 utar) (新): (表現)この古い建物の住人
 tan onne cise or un kur (新)

じゅうねんき(十年紀) [名] 十 年 紀
 wampasay (新)※(十年一巻)

じゅうは(銃杷) [名] 銃 杷 puspenit(-ci)
 (新)、[名] nit(-ci) (新)

しゅうはいゆうびんきょく(集配郵便局) [名]
 集配郵便局 iuekarire-ieikrauscise (新)

じゅうはち(十八) ① [名] 十 八 人 tupesaniw
 ikasma waniw (石狩): (表現)男性十八人
 okkayo tupesaniw ikasma waniw (新):
 (表現)十八人で tupesaniw ikasma
 waniwne (新): ②[名]十八匹、十八個など
 tupesampe ikasma wampe (石狩): (表現)
 魚十八匹 cep tupesampe ikasma wampe
 (新): (表現)十八匹で tupesampe ikasma
 wampene (新): ③[連体]十八の tupesam
 ikasma wan (石狩): (表現)十八人の女性
 tupesam menoko ikasma wan menoko
 (tupesaniw ikasma wan menoko) (新):
 (表現)十八匹の魚 tupesam cep ikasma wan

cep (tupesampe ikasma wan cep) (新):
 (表現)十八個の卵 tupesam nok ikasma
 wan nok (tupesampe ikasma wan nok)
 (新): (表現)十八年 tupesampa ikasma
 wampa (tupesampe ikasma wampa) (新)

じゅうびょう(重病) [名]重病 tasum(-i) (石
 狩): [自]重病に罹る tasum (石狩):
 [他](場所)で重病に罹る etasum (新):
 [他]~と共に重病に罹る kotasum (新):
 [他](原因)で重病に罹る otasum (新):
 [他]~を重病に罹らせる tasumte (新):
 [名]重病人 tasumkur (石狩)

じゅうふく(重複) [自] 重 複 さ せ る
 sinepukaomare (新): [他]~を重複させる
 esinepukaomare (新): [他](場所)で重複
 させる esinepukaomare (新): [他]~と
 共に重複させる kosinepukaomare (新):
 [他] (原 因 、 手 段) で 重 複 さ せ る
 osinepukaomare (新): [他](中相)~が重
 複する ciesinepukaomare (新)

しゅうぶん(醜聞) [名] 醜 聞 wénasur(-u)
 (新)、[名] wempahaw(-e) (新)、[名]
 hoiyoasur(-u) (新)、[名] hoiyopahaw(-e)
 (新)、[名] sukandar (新)※(英語): (表現)
 醜聞が立つ wénasur (wempahaw、
 hoiyoasur、hoiyopahaw、sukandar) as
 (新): (表現)醜聞を立てる wénasur
 (wempahaw、hoiyoasur、hoiyopahaw、
 sukandar) aste (新): (表現)醜聞が全く立
 たない wénasur (wempahaw、hoiyoasur、
 hoiyopahaw、sukandar) orke motek (新)

じゅうぶん(充分) ①(表現)充分~ pakno (石
 狩): 「充分休みましたか?」“Pakno sini=an
 ruwe an?”: ②(表現)充分~ 動詞+no
 (石狩)、(表現) 動詞+nu (天塩):
 mokor(眠 る) + no(nu) → mokonno
 (mokonnu) 「充分眠る」: [自]充分満腹す
 る honisikno (石狩): ③[接頭]充分~
 no- (石狩): no + noye(~を振る)→
 nonoye 「~を狙う」、no + nukar(~を見る)
 → nonkar 「~を見回る」

シュウブンソウ(秋分草) (植物)[名](キク科)シ
 ュウブンソウ属 hamsutunkikukina-cise
 (新): [名] シュウブンソウの茎葉
 hamsutunkikukina (新)

しゅうへん(周辺) [場名](平面的な)周辺 so
 (石狩): (表現)城の周辺 casi so (石狩):
 [後副]~の周辺に okari (石狩)

じゅうまん(充満) [自] 辺 り に 充 満 す る
 sirekustatki (sirekussatki) (石狩):
 [他] (場 所) に 充 満 す る ekustatki
 (ekussatki) (石狩): [他](場所)に~を充
 満させる ekustatkire (ekussatkire) (新)

じゅうみん(住民) [名]住民 sirunkur (新):

(表現)~の住民 場所名詞、位置名詞+un kur(複数 utar) (新): Sapporo(札幌)+unkur → sapporouunkur 「札幌住民」: (表現)町の片隅の住人達 maciya kes un utar (新): (表現)~の住民 名詞+or un kur(複数 utar) (新): (表現)町の住民 maciya or un kur (新)

じゅうゆ(重油) [名]重油 pásesum (新)、
[名] pásesumasum (新)

じゅうよん(十四) ①[名]十四人 inen ikasma waniw (石狩): (表現)男性十四人 okkayo inen ikasma waniw (新): (表現)十四人で inen ikasma waniwne (新): ②[名]十四匹、十四個など inep ikasma wampe (石狩): (表現)魚十四匹 cep inep ikasma wampe (新): (表現)十四匹で inep ikasma wampene (新): ③[連体]十四の ine ikasma wan (石狩): (表現)十四人の女性 ine menoko ikasma wan menoko (inen ikasma wan menoko) (新): (表現)十四匹の魚 ine cep ikasma wan cep (inep ikasma wan cep) (新): (表現)十四個の卵 ine nok ikasma wan nok (inep ikasma wan nok) (新): (表現)十四年 inepa ikasma wampa (inep ikasma wampa) (新)

しゅうり(修理) [自]修理する iutapke (新): [他]~を修理する utapke (石狩): [他](場所)で~を修理する eutapke (新): [他]~と共に~を修理する koutapke (新): [他](原因、手段)で~を修理する outapke (新): [他](人)に~を修理させる utapkere (新): [他]完全に~を修理する oarutapke (arutapke) (新)

じゅうりょく(重力) [名] 重 力 noskikoietayetum(-i) (新)

しゅうろう(就労) ①(仕事を始める)[自]就労する irawkitupa-heasire (irawkitopa-heasire) (新)、[自] urawkitupa-heasire (urawkitopa-heasire) (新): [他](人)を就労させる irawkitupa-heasirere (irawkitopa-heasirere) (新)、[他] urawkitupa-heasirere (urawkitopa-heasirere) (新): ②(職業に就く)[自]就労する irawkitupa-uyru (irawkitopa-uyru) (新)、[自] urawkitupa-uyru (urawkitopa-uyru) (新): [他](人)を就労させる irawkitupa-uyruke (irawkitopa-uyruke) (新)、[他] urawkitupa-uyruke (urawkitopa-uyruke) (新): (表現)就労支援する irawkitupa-uyru (irawkitopa-uyru) eikasuy (新)、(表現) urawkitupa-uyru (urawkitopa-uyru) eikasuy (新): (表現)就労時間 irawkitupa-uyru=an

(irawkitopa-uyru=an) kuni nipekkur (新)、(表現) urawkitupa-uyru=an (urawkitopa-uyru=an) kuni nipekkur (新)

じゅうろく(十六) ①[名]十六人 iwaniw ikasma waniw (石狩): (表現)男性十六人 okkayo iwaniw ikasma waniw (新): (表現)十六人で iwaniw ikasma waniwne (新): ②[名]十六匹、十六個など iwampe ikasma wampe (石狩): (表現)魚十六匹 cep iwampe ikasma wampe (新): (表現)十六匹で iwampe ikasma wampene (新): ③[連体]十六の iwan ikasma wan (石狩): (表現)十六人の女性 iwan menoko ikasma wan menoko (iwaniw ikasma wan menoko) (新): (表現)十六匹の魚 iwan cep ikasma wan cep (iwampe ikasma wan cep) (新): (表現)十六個の卵 iwan nok ikasma wan nok (iwampe ikasma wan nok) (新): (表現)十六年 iwampa ikasma wampa (iwampe ikasma wampa) (新)

しゅうわい(収賄) (表現) 収 賄 する usempirkuspe uk (複数 uyna) (新)

じゅうわんけいじょうもく(十腕形上目) (魚 介)[場名](鞘形亜綱)十腕形上目 wantekkorpe-mopet (新): [場名]コウイカ目 setaawkorpe-kotan (新): [場名]ダンゴイカ目 sitokoncikorp-kotan (新): [場名]ツツイカ目 kuttarkatkorpe-kotan (新): [場名]トグロコウイカ目 hicicikirawkorpe-kotan (新)

しゅえいい(守衛) [名]守衛、守衛する事 iepunkine (新): [名]守衛、守衛する人 iepunkinekur (新): [自]守衛する punkine (石狩): [他]~を守衛する epunkine (石狩): [他](人)に~を守衛させる epunkinere (石狩)

じゅえき(樹液) [名]樹液 nipe (石狩): [名](イタヤカエデやシラカバなどの)甘い樹液 niwakka (石狩): [名]オニグルミの樹液 ninumniwakka (石狩)

しゅえん(酒宴) [名]酒宴 iku (石狩)、[場名] ikuso (石狩): (表現)酒宴がたけなわとなる iku noski kooman (石狩): (表現)酒宴がお開きとなる iku kes an (石狩): (表現)皆で豪華な宴会を催す iku ukomaktekka (新)、(表現) iku ukoante (新)

しゅかく(主格) (言語)[名]主格 ikiprewke (新)※(行為するもの格): [名]主格・対格型 ikiprewke-cikiprewkekat (新)

しゅぎ(主義) [名]主義 isamun (新)、[名] ismu (新)※(英語): (表現)~主義 名詞+samun (新): uikore(共產制)+samun → uikoresamun 「共產主義」: (表現)~主義者

名詞+samunkur (新): uikore(共産制)+samunkur → uikoresamunkur 「共産主義者」

しゅきゅう(首級)[名]首級 sapanum(-i) (沙流)

しゅぎょう(修行)①(体力的に、あるいは知的にも)[自]修行する yayetusmak (新): [他](場所)で修行する eyayetusmak (新): [他]～と共に修行する koyayetusmak (新): [他](原因、手段)で修行する、～の修行をする oyayetusmak (新): [他]修行させる yayetusmakka (新)、[他] yayetusmakte (新): ②(特に知的に)[自]修行する yayrawketupa (新): [他](場所)で修行する eyayrawketupa (新): [他]～と共に修行する koyayrawketupa (新): [他](原因、手段)で修行する、～の修行をする oyayrawketupa (新): [他]修行させる yayrawketupare (新)

しゅくじょ(淑女)[名]淑女 katkemat (石狩)、[名] moyremat (石狩)

しゅくしょう(縮小)①[自]ものを縮小する iponte (新): [他]～を縮小する ponte (新): [他](場所)で～を縮小する eponte (新): [他]～と共に～を縮小する koponte (新): [他](原因、手段)で～を縮小する oponte (新): [他](人)に～を縮小させる pontere (新): ②(布や紙など平面的な物に関して)[自]縮小する ihupneka (ihupnere) (新): [他]～を縮小する hupneka (hupnere) (新): [他](人)に～を縮小させる hupnekare (ihupnerere) (新)

しゅくすい(熟睡)[自]熟睡する mokonno (石狩)、[自] mokonnoye (H): [他](場所)で熟睡する emokonno (新): [他]～と一緒に熟睡する komokonno (石狩): [他](手段、原因)で熟睡する omokonno (新): [他]～を熟睡させる mokonnore (新)、[他] mokonnoyere (新)

しゅくする(熟する)①[自]熟する、熟している onne (石狩): [自]半熟する ruonne (ruhu) (新): [自]完全に熟する oaronne (aronne) (新): [自]熟しすぎる onnekasuy (新): ②[自](ウバユリ、オニノヤガラ、ヒシの実などが)熟する、熟している isa (石狩): [自]半熟する ruisa (新): [自]完全に熟する oarisa (arisa) (新): [自]熟しすぎる isakasuy (新): ③[自](ブドウ、コクワ、イチゴなどが)熟する、熟している ci (石狩): [自]半熟する ruci (ruhu) (新): [自]完全に熟する oatci (atci) (新): [自]熟しすぎる cikasuy (新): ④[自](果実などが)熟していない hu

(石狩)、[自] wéwek (沙流)

しゅくはく(宿泊)[自]宿泊する、している yantone (新): [他](場所)に宿泊する、している eyantone (新): [他](場所)へ宿泊する、している koyantone (石狩): [他]～と共に宿泊する、している koyantone (新): [他](原因、手段)で宿泊する、している oyantone (石狩): [他](人)を宿泊させる yantonere (新): [自]自分で、一人で宿泊する、している yaykoyantone (新): [自]皆で、共に宿泊する、している ukoyantone (新): [名]宿泊客 yantonekur (石狩): [場名]宿泊施設 yantone-cieiwnkeusi (新)、[名] yanto (石狩)

じゅくりよ(熟慮)[自]熟慮する yaykosiramsuyupa (石狩): [他]～について熟慮する eyaykosiramsuyupa (新): [他](人)に熟慮させる eyaykosiramsuyupare (新): [自]じゅくりよと熟慮する yaykotuyma-siramsuyupa (石狩)

じゅくれん(熟練)[自]熟練する、している tekeonne (新): [他]～に関して熟練する、している etekeonne (新): [他](場所)で熟練する、している etekeonne (新): [他]～と共に熟練する、している kotekeonne (新): [他](原因、手段)で熟練する、している otekeonne (新): [他](人)を熟練させる tekeonneka (tekeonnere) (新): [自]自分で、一人で熟練する、している yaykotekeonne (新): [自]互いに、皆で熟練する、している ukotekeonne (新): [自]すっかり熟練する、している oattekeonne (attekeonne) (新): [他]人を～に関して熟練させる etekeonneyar (新)

じゅけい(受刑)(表現)受刑する an=panákte (新): [名]受刑者 ciroepakaktekur (新)、[名] róorunkur (新)

しゅご(主語)(言語)[名]主語 nispanep (新)、[名] subiecto (新)※(英語)

しゅご(守護)①[自]守護する punkine (石狩): [他]～を守護する epunkine (石狩): [他](場所)で～を守護する eepunkine (新): [他]～と共に～を守護する koepunkine (新): [他](原因、手段)で～を守護する oepunkine (新): [他](誰か)に～を守護させる epunkinere (石狩): [他]人に～を守護してもらう epunkineyar (石狩): ②[名](人間一人ひとりに憑き、その人の運命に関わる)守護神 sermak (石狩)、[名] kasikamuy(-e) (石狩)、[名] iturenkamuy(-e) (石狩): [位名]～の守護

神 *sermakorke* (石狩): [名](密かに授かる)守護神 *cimumukapkamuy(-e)* (空知): [名](先祖代々拜んできた家や村などの)守護神 *cinomikamuy(-e)* (石狩): ③[名]守護天使 *iepunkine-pirkasonkokorkur* (新)、[名] *iepunkine-anger* (新)

しゅこうがい(手工芸) [名]手工芸 *tekekar* (石狩): [名]手工芸品 *tekekarpe* (石狩)

ジュゴン (動物)[名](海牛目)[名]ジュゴン科 *zannuyyu-apa* (新): [名]ジュゴン属 *zannuyyu-cise* (新): [名]ジュゴン *zannuyyu* (新)※(琉球語): [名]ステラーカイギョウ亜科 *siatuypeko-moapa* (新)※(絶滅)

しゅこんきゅう(手根球) [名]手根球 *teksutnin(-i)* (新)

じゅし(樹脂) [名]樹脂 *nítor(-i)* (幌別)、[名] *nítónru* (幌別)、[名] *nítusse* (*níturse*) (幌別)

しゅしゃ(朱砂) (鉱物)[名]朱砂 *şúhurerukani* (新)

しゅじゅつ(手術) [名]手術 *itekotusare* (新)、[名] *operation* (新)※(英語): [自]手術する *itekotusare* (新)、[自] *operationki* (新): [他]～を手術する *tekotusare* (新)、[他] *ooperationki* (新): [他](人)に～を手術させる *tekotusarere* (新)、[他] *ooperationkire* (新): [名]手術室 *itekotusare-tumpu* (新)、[名] *cieitekotusare-tumpu* (新): [名]手術台 *itekotusare-amset* (新)、[名] *cieitekotusare-amset* (新): [名]手術器具 *cioitekotusarep* (新)

しゅしよく(主食) [名]主食 *siípe* (*sínoipe*) (新)、[名] *sípe* (新)

しゅじん(主人) ①[名]主人 *nispa* (石狩)、[名] *siánkúr* (金): (表現)～の主人 *～ kor nispa* (石狩)、(表現) *～ kor kur* (石狩): (表現)私の主人 *ku=kor nispa* (石狩): [名]家の主人 *cisekorkur* (石狩)、[名] *cisekonnipa* (石狩): ②(夫)[名]主人 *hokunispa* (石狩)、[名]夫 *hoku* (石狩)、[場名](雅語) *sopa* (石狩): (表現)～の夫 *～ kor kur* (石狩)、(表現) *～ kor nispa* (石狩): ③(宴席などでの)[名]主人 *isankekur* (新)、[名] *sakesankekur* (石狩): [名]女主人 *isankemat* (新)、[名] *sakesankemat* (新)

じゅず(数珠) [名]数珠 *inomisay(-e)* (新)、[名] *ciominisay(-e)* (新)、[名] *say(-e)* (新): [自]数珠繫ぎになる *sisayekar* (新): [他]～を数珠つなぎにする *sayekar* (石狩): [他](場所)で～を数珠繫ぎにする *esayekar* (新): [他]～と共に～を数珠繫ぎ

にする *kosayekar* (新): [他](原因、手段)で～を数珠繫ぎにする *osayekar* (新): [他](人)に～を数珠繫ぎにさせる *sayekare* (新): [名]数珠繫ぎにしたもの *say(-e)* (石狩): (表現)エゾエンゴサクの根に糸を通して数珠繫ぎにしたもの *toma saye* (石狩)

しゅたい(主体) [名]主体 *nispanep* (新)、[名] *súbiecto* (新)※(英語)

しゅちょう(首長) ①[名](アイヌ自身が頂く)首長 *kotankorkur* (石狩): [名](和人が認めた)首長 *ottena* (石狩): ②[名](イスラム世界の君主の称号として)首長 *amir* (新)※(アラビア語)

しゅつエジプトき(出エジプト記) (聖書)[名]出エジプト記 *Ioasin* (新)

しゅっかく(出格) (言語)[名]出格 *cioasimperewke* (新)

しゅっきん(出金) [自]出金する *ikorasinke* (新): [他]～を出金する *eikorasinke* (新): [他](人)に～を出金させる *eikorasinkere* (新): [名]出金金額 *ciasinkeikor* (新)、[名] *ciasinkep* (新): [名]出金伝票 *ciasinkep-surip* (新)

しゅっけつ(出血) [自]出血する *kemnu* (石狩): (表現)出血する *kem asin* (石狩): [他](場所)で出血する *ekemnu* (新): [他]～と共に出血する *kokemnu* (新): [他](原因、手段)で出血する *okemnu* (新): [他](人)に出血させる *kemnure* (新): [自]多量に出血する *kemot* (H)

じゅつご(述語) (言語)[名]述語 *ciyep* (新)

しゅつごく(出獄) [自]出獄する *rókoasin* (複数 *rókoasip*) (新): (表現)出獄する *ro orwa(-no) asin* (複数 *asip*) (新): [他](人)を出獄させる *rókoasinke* (複数 *rókoasipte*) (新): (表現)～を出獄させる *ro orwa(-no) asinke* (複数 *asipte*) (新)

しゅっさん(出産) [他]～を出産する *yaykosanke* (石狩): [他](場所)で～を出産する *eyaykosanke* (新): [他]～と共に～を出産する *koyaykosanke* (新): [他](原因、手段)で～を出産する *oyaykosanke* (新): [他](人)に～を出産させる *yaykosankeka* (*yaykosankere*) (新): [自]子を出産する *poyaykosanke* (新)

じゅっしんほう(十進法) [名]十進法 *wampeoipiski* (新): [名]十進記数法 *wampeoipiskioinuye* (新): [名]十進命数法 *wampeoipiskiorekor* (新)

しゅっぱん(出版) [自]書籍を出版する *iutarkoasinke* (新)、[自] *kampisos-utarkoasinke* (新): [他]～を出版する *utarkoasinke* (新): [他](場所)で～を出版

する eutarkoasinke (新): [他]~と共に
~を出版する koutarkoasinke (新):
[他](原因、手段)で~を出版する
outarkoasinke (新): [他](人)に~を出版
させる utarkoasinkere (新)

しゅと(首都) [場名]首都 sapanekotan (新)、
[場名] sapanecioci (新)、[場名]
mosinnoski (余市): [場名]首都圏
sapanekotayso (sapaneciociso) (新)、[場名]
mosinnoskiso (新)

じゅどう(樹洞) (植物)[名]樹洞 nisacise
(nisatcise) (石狩): [名]樹洞のある木
níopnip (石狩)

ジュニアベツト [名]ジュニアベツト
póehotke-amset (新): [名]ジュニア pó(-
ehotke) (新)

じゅにゅう(授乳) [他]~に授乳する tononte
(H): [自]子に授乳する pótononte (新)

ジュネーブ [名](スイス連邦の州名)ジュネーブ
州 Junevu-kanton (新): [場名](ジュネ
ーブ州の州都名)ジュネーブ Junevu (新)

ジュノー [場名](アメリカ合衆国アラスカ州
の州都名)ジュノー Junaw (新)

じゅばん(襦袢) [名]和風の襦袢 juban (新)、
[名] mour (石狩)

しゅび(守備) [自]守備する sirepunkine
(新): [他]~を守備する esirepunkine
(新): [他]~と共に守備する
kosirepunkine (新): [他](手段)で守備す
る osirepunkine (新): [他](人)に守備さ
せる sirepunkinere (新)

じゅひ(樹皮) [名]樹皮 níkap(-u) (石狩)、
[名] niyar(-i) (天塩): [名]剥ぎ取った樹
皮 yar(-i) (石狩)

しゅぼく(朱墨) [名]朱墨 shúhure-paspe
(新)

じゅみょう(寿命) [名]寿命 siknupa (新):
(表現)寿命が長くなる、長い siknupa poro
(新): (表現)寿命が短くなる、短い
siknupa pon (新)

じゅもくそう(樹木葬) [自]樹木葬する
inipokeanu (新)、[自] araysinnipokeanu
(新): [他]~を樹木葬する nípokeanu
(新)

シュモクドリ(撞木鳥) (鳥)[名](ペリカン目)シ
ュモクドリ科 eakitnecikap-apa (新):
[名]シュモクドリ属 eakitneckap-cise
(新): [名]シュモクドリ eakitnecikap
(新)

じゅもん(呪文) ①[名]呪文。悪神を使って妖
術を行ったり、人を呪ったりする言葉
pónitak (天塩): ②[名]呪文。危機の際に
自分を守るための言葉 cisaskuma
(cicaskuma) (天塩): [名]山で危機に陥っ

た際の呪文 kipuncicaskuma (天塩):
[名]沖で危機に陥った際の呪文
repuncicaskuma (天塩)

しゅよう(主要) [自]主要になる、である
iorepase (新)※(人、物事の中で大切になる、
である)、[自] sapané (新)、[自] atpakeun
(新): [他]~を主要とする iorepasere
(新)、[他] sapanere (新)、[他]
atpakeunte (新): [他](中相)~が主要とさ
れる iorepasere (新)、[他](中相)
cisapanere (新)、[他](中相) ciatpakeunte
(新)

しゅよう(腫瘍) [名]腫瘍 hup(-i) (新):
(表現)~に腫瘍ができる ~ hup o (新):
[名]悪性腫瘍 wenhup(-i) (新): [名]良性
腫瘍 pirkahup(-i) (新)

じゅよう(需要) [名]需要がある sicipa (新)、
[名] demando (新)※(英語): [自]需要が
ある sicipa (新): [他](場所)で需要があ
る esicipa (新): [他]~と共に需要があ
る kosicipa (新): [他](原因、手段)で需要
がある osicipa (新): [他]~の需要を生
み出す sicipare (新)

しゅらん(酒乱) [名]酔うと暴れる酒癖 sake-
kinra (新)、[名] iku-kinra (新)、[名]
kinra (石狩): [自]酒乱である
sakekinrakor (新)、[自] ikukinrakor
(新): [名]酒乱の人 sakekinrakorkur
(新)、[名] iku-kinrakorkur (新)

しゅりょう(首領) ①[名]首領、指導者 netopa
(netopake) (石狩)、[名] sapanekur (石
狩)、[名](雅語) utarpa (utarpake) (石狩):
[自]首領となる、である sapané (石狩):
[他](場所)で首領となる、である esapané
(石狩): [他]~を首領とする sapaneka
(sapanere) (新): ②[名]首領、有力者
nispa (石狩)、[名] utarpa (utarpake)
(石狩)、[名](雅語) nispake (石狩): [名]
首領の佩料 nispamutpe (石狩): (表
現)(漆器などの宝物が多い様の描写がされた
後に続けて)~その上に首領の佩料が重なり
連なり ~ enkasike nispamutpe
arsannotkarari (石狩): (表現)首領の佩料
の二つの柄頭、三つの柄頭が互いに重なり合
う nispamutpe oyu san tuka ore san tuka
oukauyru (沙流)

しゅるい(種類) [名](特に単独で)種類 iikiri
(新): [名]種類 ikiri(-i) (沙流): (表現)
言葉の種類が多い itak ikiri inne (沙流)

じゅんい(順位) [場名]順位 souni (新)

じゅんかい(巡回) [自]巡回する kari (石狩):
[他](場所)を巡回する ekari (石狩)、[他]
okari (石狩): [他]~と共に巡回する
kokari (新): [他](原因、手段)で巡回する

okari (新): [他](人)を巡回させる karire (石狩): [自]自分で、一人で巡回する yaykokari (新): [自]互いに、皆で巡回する ukokari (新): [自]人を巡回させる、してもらう kariyar (新)

しゅんかんいどう(瞬間移動) [自](何らかの手段を使って、あるいはひとりで)瞬間移動する siraytek (新): [他]～を瞬間移動させる raytek (石狩): [他](場所)に～を瞬間移動させる oraytek (石狩)、[他] koraytek (新)

しゅんかんゆわかしき(瞬間湯沸し器) [名]瞬間湯沸し器 úsewkattekepe (新)、[名] ciousewkattekepe (新)

しゅんかんれいとう(瞬間冷凍) [他]～を瞬間冷凍する rupustekka (新)

シュンギク(春菊) (植物)[名](キク科)シュンギク属 anekikukina-cise (新): [名]シュンギクの茎葉 anekikukina (新)、[名]その花 anekiku (新): [名]コーンマリーゴールドの茎葉 kánisapaumpe-kikukina (新)※(別名「コーンディジー」): [名]ハナワギクの茎葉 mosirkorkursapaumpe-kikukina (新)※(別名「クラウンディジー」)

ジュンサイ(蓴菜) (植物)[名](スイレン科)ジュンサイ属 ratnep-cise (新): [名]ジュンサイの茎葉 ratnep (長万部)、[名]その若芽 ratnep-epuy (新)

しゅんさつ(瞬殺) [他]～を瞬殺する tunasrayke (石狩): [他](人)に～を瞬殺させる tunasraykere (新)

じゅんし(殉死) [自]殉死する iosiyayrayke (新): [他](人)に殉死する ósiyayrayke (新): [他](人)に(人)に殉死させる ósiyayraykere (新)

じゅんしゅう(準州) [場名](アメリカ合衆国の行政単位として)準州 iosanmosir (iosianmosir) (新): [場名](カナダやオーストラリアなどの行政単位として)準州 iosampurovince (iosianpurovince) (新): [名](スイス連邦の行政単位として)準州 iosankanton (iosiankanton) (新)

じゅんそう(殉葬) ①(表現)(殉死した場合)～を…に殉葬する … osi ~ yayrayke wa an=koetoytuye (新): (表現) ~ … osiyayrayke wa an=koetoytuye (新): ②(表現)(殉死させられた場合)～を…に殉葬する … osi ~ an=rayke wa an=koetoytuye (新)、(表現) ~ … an=osirayke wa an=koetoytuye

じゅんぱく(純白) [自]純白になる、である askanne-retanno (askane-retar) (新)、[自] pirkaretar (新): [他]純白にする retannoka (新)

じゅんばん(楯板) [名](虫の)楯板 tamkikhumpe (新)

じゅんび(準備) [自]準備する sietokoyki (石狩)、[自] ietokoyki (新): [連他]～の準備をする etoko-oyki (石狩、天塩)、[他] etokoyki (石狩)、[他] etokooyki (新): 「わしらの育てたクマを送る準備をするためにわしは交易に行つて…」 “An=reska kamuy etok=an=oyki kusu uymam=an wa …” (杉村キナラブク)説話、「…祭壇の下座へ彼(仔グマ)が踊り立たれますよう我らが準備いたします様は…」 “… nusakorkamuy nusaso pake nusasan kese ekotapkar kuni an=etokoyki siri…” (砂沢トウアカンノ)祈詞: [他](場所)で～の準備をする eetokoyki (新): [他]～と共に～の準備をする koetokoyki (新): [他](原因、手段)で～の準備をする oetokoyki (新): [他](人)に準備をさせる sietokoykire (新)、[他] ietokoykire (新): [他]自分(一人)で～の準備をする yaykoetokoyki (新): [他]互いに、皆で～の準備をする ukoetokoyki (新): [他]人に～の準備させる、してもらう etokoykiyar (新): [名]準備室 ietokoyki-tumpu (新)、[名] cieietokoyki-tumpu (新): (表現)～準備室自動詞 + etokoyki-tumpu (新): monrayke(作業) + etokoyki-tumpu → monrayke-etokoyki-tumpu 「作業準備室」

じゅんびうんどう(準備運動) [自]準備運動する riterite (B)

じゅんびつうか(準備通貨) [名]準備通貨 cikonrepunikonnep (新)、[名] cikonrepunikor (新)

じゅんようかん(巡洋艦) [名]巡洋艦 castomicip (新)、[名] kuruyser (新)※(英語): [名]仮装巡洋艦 ikatkar-castumicip (新): [名]軽巡洋艦 kosne-castumicip (新): [名]重巡洋艦 páse-castumicip (新): [名]水雷巡洋艦 mápustekpe-castumicip (新): [名]特設巡洋艦 citumicipnere-castumicip (新): [名]ヘリコプター巡洋艦 kariraporikimpekor-castumicip (新): [名]防空巡洋艦 ienkaepunkine-castumicip (新)[名]防護洋艦 ikikkarsikekakor-castumicip (新): [名]ミサイル巡洋艦 cisirepakasnu-cieakpekor-castumicip (新)、[名]missirekor-castumicip (新): [名]練習巡洋艦 iyayramuskare-castumicip (新)

じゅんようせんかん(巡洋戦艦) [名]巡洋戦艦 passitumicip (新)

じゅんわくせい(準惑星) (宇宙)[名]準惑星 moomanannociw (新)、[名]

duwarfupulanet (duwarfupuranet) (新)
※(英語)

しよ(諸) [連体] 諸 ~ usa (石狩)、[連体] usaan (複数 usaokay) (石狩)：(表現) 諸王 usa mosirkorkur (新)、(表現) usaokay mosirkorkur (新)：(表現) 諸氏 usaokay utar (新)：(表現) 諸理由 usa moto (新)、(表現) usaan moto (新)

しよいこ(背負子) [名] 背負子 siken (石狩)

しよ ①(ある行動を相手に促し)[終助] ~ しよ 一人称複数包括形の人称接辞をとった動詞 + ro (rok) (石狩)：「食事にしよ。」 “Ipe=an ro (rok) !”、 「酒を飲もう。」 “Sake an=ku ro (rok) !”：(表現) ~ しよ 一人称複数包括形の人称接辞をとった動詞 + kusu ne na (石狩)：「力を合わせようよ。」 “Uramkopaste=an kusu ne na !”：(表現) ~ しよ(よ) 一人称複数包括形の人称接辞をとった動詞 + nankor (+ na) (石狩)：「明日の昼頃会おうよ。」

“ Nisatta tonoski paki ta ukoekari=an nankor na .”：[終助] ~ しよぞ 一人称複数包括形の人称接辞をとった動詞 + na (石狩)：先の三つの表現に比べて堅苦しい表現。：「拝礼しよぞ。」 “Onkami=an na !”：②(ある行動を自分に促し)[終助] ~ しよ 一人称単数の人称接辞をとった動詞 + so (沙流)：「食事にしよ。」 “Ku=ipe so !”、 「酒を飲もう。」 “Sake ku=ku so !”：③(ある行動を誰かに促し)[終助] ~ しよ 三人称の動詞句 + ro (石狩)：目下確認されるのは発話者自身の名を主語とし②の意味で用いるというもの。例えば “Ay” という人が独りで「食事にしよ。」と言う時、 “Ay ipe ro !” となる。

しよ(使用) [自] ものを使用する ieiwanke (新)：[他] ~ を使用する eiwanke (石狩)：[他](場所)で ~ を使用する eeiwanke (新)：[他] ~ と共に ~ を使用する koeiwanke (新)：[他](原因、目的)で ~ を使用する oeiwanke (新)：[他](人)に ~ を使用させる eiwankere (新)：[自] ものを利用する ieiwanke (新)：[他] 自分で、一人で ~ を使用する yaykoeiwanke (新)：[他] 互いに、皆で ~ を使用する ukoeiwanke (新)：[他] 完全に ~ を使用する oareiwanke (areiwanke) (新)：[他] 充分に ~ を使用する eiwankeno (eiwankenu) (新)：[他] 思い切り、むちゃくちゃ ~ を使用する、使用しまくる toykoeiwanke (新)：[他](中相) ~ が使用される cieiwanke (新)：[名] 使用者 ieiwankekur (新)：(表現) ~ 使用者 名詞 + eiwankekur (新)：marek (自在銚) + eiwankekur → marek-eiwankekur 「自

在銚使用者」：[名] 使用料 ieiwankeatay (e) (新)：(表現) ~ 使用料 名詞 + eywankeatay (新)：toy (土地) + eiwankeatay → tóyeiwankeatay 「土地使用料」

しよ(升) [名] (通例助数詞的に用いられ、米などの計量単位としての) 升 compa (石狩)：(表現) 一升 sine compa (石狩)

しよ(省) ①[名] (行政機関の) 省 iutarpakori (新)、[名] yayetunisutarpakori (新)、[名] ministori (新) ※(英語)：②[場名] (中華人民共和国の行政単位) 省 purovince (新)、[名] sen (新) ※(中国語)

しよ(章) [名] (文章や法律の) 章 ikir (新)：(表現) 第一章 sine ikir (新)

じよ(条) (法)[名] 条 tek (新) ※(枝)：(表現) 第一条 sine tek (新)

じよ(状) [名] 状 kat (u) (新)：pe (水) + kat → pékat 「液状」、tama (球) + kat → tamakat 「球状」

じよ(穢) ①[名] 穢 moikikik (新) ※(10 の 28 乗)：[名] 十穢 wanmoikikik (新)：[名] 百穢 atuytamoikikik (新)：[名] 千穢 wánatuytamoikikik (新)：②[連体] 穢の moikikikne (新)、[連体] moikikik (新)：[連体] 十穢の wanmoikikikne (新)、[連体] wanmoikikik (新)：[連体] 百穢の atuytamoikikikne (新)、[連体] atuytamoikikik (新)：[連体] 千穢の wánatuytamoikikikne (新)、[連体] wánatuytamoikikik (新)

じよ(錠) ①(戸などに取り付ける)[名] 錠 iseskenop (新)、[名] cioiseskenop (新)、[名] rok (新) ※(英語)：[他] ~ に錠を下す、錠を鎖す ioseske (新)：[他](人)に ~ に錠を下ろさせる、錠を鎖させる ioseskere (新)：(表現) 戸に錠を下す、錠を鎖す iseskenop (cioiseskenop) ani apusta seske (新)、(表現) iseskenop (cioiseskenop) apusta oseske (新)：②(錠剤の)[名] 錠 numpo (i) (新)：(表現) 1 錠 sine numpo (新)、(表現) 1 錠 numpo sinep (新)：「1 日 3 回食後に服用。大人 3 錠、子供 1 錠。」 “1 to otta 3 suy ipe oka ta an=ruki . Sukupkur 3 numpo pisno hekatci 1 numpo pisno an=ruki .”

じよ(上位) [場名] 上位 sausouni (新)：(表現) 上位 saun sóuni (新)：[連体] 上位の sausoun (新)：[名] 上位者 sausounkur (新)

しょういんしん(小陰唇) [名] 小陰唇 mopokpapus (i) (新)、[名] mopokcapus (i) (新)、[名] pokkancapus (i) (新) ※(樺太白浦)

じょうえい(上映) [自] 上映する
 ikotcaekuttupte (新): [他]~を上映する
 eikotcaekuttupte (新): [他](中相)~が上映される
 cieikotcaekuttupte (新)

しょうえん(荘園) ① (制度) [名] 荘園
 nispasirkor (新): ② (土地) [場名] 荘園
 nispakossir (nispakorsir) (新)

じょうおう(女王) [名] 女王
 yaykomosirkorkatkemat (新)、[名]
 mosirkorkatkemat (新): [名] 女王蟻
 itunnapkatkemat (新): [名] 女王蜂
 soyakatkemat (新)

しょうおん(消音) [自] 消音をする humsakka
 (新): [他]~の消音をする humisakka
 (新): [他]~に~の消音をさせる
 humisakkare (新): [名] 消音器
 humsakkap (新): [名] 自動車、拳銃の消音器
 oksutkarip (新)

しょうか(消化) [自] 消化する ipeneka
 (ipenere) (新): [他]~を消化する
 péneka (pénere) (新): [他](場所)で消化する
 epeneka (epenere) (新): [他]~と
 共に消化する kopeneka (kopenere)
 (新): [他](原因、手段)で消化する openeka
 (openere) (新): [他]~に~を消化させる
 pénekare (pénerere) (新): [他] 完全に~
 を消化する oarpeneka (oarpenere) (新)、
 [他] arpeneka (arpenere) (新): [他](中
 相)~(雅)消化される cipeneka (cipenere)
 (新): [名] 消化液 ipenekape (ipenerepe)
 (新): [名] 消化器、器官 ipenekap (-i) (新)、
 [名] ipenerep (-i) (新):

しょうか(消火) [自] 消火する apeuska
 (新): (表現) 消火する ape uska (石狩):
 [他]~を消火する uska (石狩): [他](場
 所)で~を消火する euska (新): [他]~と
 共に~を消火する kouska (新): [他](原
 因、手段)で~を消火する ouska (新):
 [他](人)に~を消火させる uskare (新):
 [他]~をパッと消火する ustekka (新):
 [他]~を完全に消火する oaruska (aruska)
 (新): [名] 消火器 apeuskap (新)、[名]
 cioapeuskap (新)

じょうか(上科) (分類) [場名] 上科 apapa
 (新)

ショウガ(生姜) [名] ショウガ目 sioga-kotan
 (新): [名] ショウガ科 sioga-apa (新):
 [名] ショウガ属 sioga-cise (新): [名] ショ
 ウガの茎葉 siogakina (新): [名] ショウ
 ガの芽 siogaken (新): [名] ショウガの根
 茎、生姜(ショウキョウ) sioga (新)※(日本
 語)、[名] ginger (jinja) (新)※(英語):
 [名] ミョウガの茎葉 miogakina (新):
 [名] ミョウガの花穂 mioga (新)※(日本

語): [名] ウコン属 úkonkina-cise (新):
 [名] ハナミョウガ属 epirka-mioga-cise
 (新): ② [名] 一本生姜 sinepne-sioga
 (新): [名] 乾姜(カンキョウ) cisakanke-
 sioga (新): [名] 生姜飴 sioga-ame
 (新): [名] 生姜糖 citpente-sioga (新)(砂
 糖漬け): [名] 生姜糖 sioga-topempe (新)
 ※(菓子名): [名] 生姜(センガ)茶 sioga-
 usew (新): [名] 根生姜 cisinricie-sioga
 (新): [名] 葉生姜 cihamkoe-sioga (新):
 [名] 筆生姜 hunte-sioga (新): [名] 針生姜
 kem-sioga (新): [名] 芽生姜 cikenie-
 sioga (新): [名] 矢生姜 ayne-sioga
 (新): [名] 谷中生姜 yanaka-sioga (新)

しょうか(漿果) (植物) [名] 漿果 péocikaop (-
 i) (新)

しょうかい(哨戒) [自] 哨戒する inkarus
 (新): [他](場所)で哨戒する einkarus
 (新): [他]~と共に哨戒する koinkarus
 (新): [他](原因、手段)で哨戒する
 oinkarus (新): [他]~に哨戒させる
 inkaruste (新): [他] 自分で、一人で哨戒
 する yaykoinkarus (新): [他] 互いに、皆
 で哨戒する ukoinkarus (新): [名] 哨戒
 機 inkarussinta (新): [場名] 哨戒所
 inkarusi (新)、[名] inkaruspe (新):
 [名] 哨戒艇 inkaruscip (新)

しょうかい(照会) [自] (離れた土地の間)で照会
 がある sonkokus (新): [他] (離れた土地
 の間)で~について照会がある kosonkokus
 (石狩): [他] (離れた土地の間)で(原因、手段)
 で照会がある osonkokus (新): [他] (場
 所)に照会する sonkokuste (新): [他]~
 について紹介する kosonkokuste (新)

しょうがい(障害) [自] 人の障害となる
 ietoktuye (新): [他]~に関して人の障害
 となる eietoktuye (新): [他]~を人の障
 害とする ietoktuyere (新): [連他](人)の
 障害になる etoko-tuye (etok-tuye) (新):
 「この法律が私達の障害となっているので
 すよ。」“Tan irenka an kusu orowa
 un=etok=an=tuye wa okay=as ruwe ne
 na.” [自] 自らが障害となる yayetoktuye
 (新): [自] 互いが、皆が障害になる
 uetoktuye (新): [他]~が自分の障害にな
 る sietoktuyere (新): [名] 障害となる人
 ietokotuyekur (新): [名] 障害、障害物
 ietokotuyep (新)

しょうがい(生涯) [副] 生涯 sukupeturpak
 (幌別): (表現) 生涯 sukup kes pakno
 (新)

しょうかく(2)(昇格) (言語) [名] 昇格
 cikorikimperewke (新)※(=着格)

じょうかく(上格) (言語) [名] 上格

ikaumperewke (新)※(上にあるもの格)
 ショウカコウ(松花江) [名] (地名) 松花江
 Sonhua-pet (新)※(黒竜江(アムール川)の支流)

しょうがつ(正月)①(アイヌの習慣としての)
 [名] 正月 inomicip (石狩): [名] 新年のお祈り asirpanomi (石狩): [自] (アイヌとして) 正月を迎える inomi (石狩、天塩): ②(日本の習慣としての)[名] 正月 sonkaci (石狩)

しょうがっこう(小学校) [場名] 小学校
 atpake-ipakasnuusi (atpakeun-ipakasnuusi) (新): [名] 小学生 atpake-ipakasnuusiunkur (新)、[名] atpakeunkur (新)

しょうかん(召喚)①[自] 人を召喚する untak (新): [他] ~を召喚する tak (石狩): [他] ~の件で~を召喚する etak (新): [他] (場所) に~を召喚する kotak (新): [他] ~と共に~を召喚する kotak (新): [他] (原因、手段) で~を召喚する otak (新): [他] (人) に~を召喚させる takte (新): ②[他] (神) を召喚する puspa (石狩): [他] (神) を言葉で召喚する itakepuspa (石狩): [名] 召喚獣 cipuspakamuy (新): [名] 召喚魔法 ipuspaitak (新)

しょうかん(召還) [自] 人を召還する iokatak (新): [他] ~を召還する okatak (沙流): [他] ~の件で~を召還する eokatak (新): [他] (場所) に~を召還する kookatak (新): [他] (原因、手段) で~を召還する ookatak (新): [他] (人) に~を召還させる okatakte (新)

しょうかん(娼館) [名] 娼館 hoeiyok-cise (新)
 しょうかん(将官) [名] 将官 tumipake (新)、[名] tumisapa (新)

しょうがん(小眼) [名] (虫の) 小眼 poysik(-i) (新)

じょうき(蒸気) [名] 蒸気 simawnekap (simawnerep) (新)※(気化したもの)

じょうき(正気) [自] 正気を保っている yayamkir (新): [他] (人) に正気を保たせる yayamkire (新): ②[自] 正気を失う、失っている yayeramuskarere (石狩): [他] (人) の正気を失わせる yayeramuskarere (新)

しょうきやく(消却) [自] ものを消却する iisamka (新): [他] ~を消却する isamka (新): [他] (人) に~を消却させる isamkare (新): [他] 完全に~を消却する oarisamka (arisamka) (新): [自] 全てを消却する uisamka (新)

しょうきやく(焼却) [自] 物を焼却する iuhuyka (新): [他] ~を焼却する

uhuyka (石狩): [他] (誰か) に~を焼却させる uhuykare (新): [名] 焼却炉 iuhuyka-apeop (新)

しょうきゅう(掌球) [名] 掌球 tekpoknin(-i) (新)

じょうきゅう(上級) [場名] 上級 sauousouni (新)、[場名] sópa (新): (表現) 上級 saun sóuni (新): [連体] 上級の sauousoun (新)、[連体] sópaun (新): [名] 上級者 sauousounkur (新)、[名] sópaunkur (新)

しょうきよ(消去) [自] ものを消去する iisamka (新): [他] ~を消去する isamka (石狩): [他] (場所) で~を消去する eisamka (新): [他] ~と共に~を消去する koisamka (新): [他] (場所) から~を消去する、(原因、手段) で~を消去する oisamka (新): [他] (人) に~を消去させる isamkare (新): [他] 完全に~を消去する oarisamka (arisamka) (新): [他] ~を消去しまくる isamka (新): [自] 全てを消去する uisamka (新)

じょうきょう(状況) [名] 状況 kat(-u) (石狩)、[名] sirki (石狩)、[名] situation (situacion) (新)※(英語): [自] 状況である sirki (石狩): [形式名] 状況 ru(-we) (石狩)

じょうきん(常勤) [自] 常勤になる、である apane (新): [他] (人) を常勤にする apaneka (apanere) (新)

じょうくう(上空) [位名] ~の上空 enka(長形 - si、-sike) (石狩): 「町の上空を飛行機が飛び回っている。」“Maciya enka ta sinta kari kane an.”

しょうぐん(将軍) [名] 将軍 tumipake (新)、[名] tumisapa (新)

じょうけい(情景) [名] 情景 sirki (石狩)、[名] sin (新)※(英語 scene より): [形式名] 情景 sir(-i) (石狩)、[形式名] ru(-we) (石狩)

しょうけいあこう(鞆形亜綱) (魚介) [名] (頭足綱) 鞆形亜綱 tumpakatkorpe-mopet (新): [場名] 十腕形上目 wantekkorpe-kotampa (新): [場名] 八腕形上目 tupesantekkorpe-kotampa (新): [場名] アウラコケラス目 aurakokeras-kotan (新): [場名] ベレムナイト目 aysuma-kotan (新)

しょうけいもじ(象形文字) [名] 象形文字 inoka-itakitokpa (inoka-itakitoppa) (新)

しょうげん(証言) [自] 証言する ikirpeye (新): [他] ~について証言する kirpeye (新): [他] (場所) で~について証言する ekirpeye (新): [他] ~に対して~について証言する、~と共に~について証言する

kokirpeye (新): [他](原因、手段)で～について証言する okirpeye (新): [他](人)に～について証言させる kirpeyere (新): [名]証言者 ikirpeyekur (新)

じょうげん(上弦)[名]上弦の月 poncup (天塩)

しょうこ(証拠) [名] 証拠 ipekerkap (ipekerep) (新)※(物事を明らかにするもの)、[名] evidence (新)※(英語)

しょうご(正午) [場名・副]正午 tonoski (石狩)、[場名・副] tokamnoski (天塩)、[場名・副] tonanoski (天塩)

しょうご(漏斗) [名]漏斗 conko (H)

しょうこう(情交) [自](婉曲的表現として)人に情交を迫る ikoramkor (石狩): [他](人)に情交を迫る koramkor (石狩)

しょうこう(条項) (法)[名]条項 cátek(-e) (新)

ショウコウしょう(松江省)[場名](中華人民共和国にあった省名)松江省 Sonjian-purovince (新)※(1946-54)

しょうこく(小国)[場名]小国 ponmosir(-i) (新)

しょうこりもなく(性懲りもなく) (表現)性懲りもなく yomka somo ki no (石狩): 「彼は借りているのにまた性懲りもなく!」 “Esose, suy yomka somo ki no!” (門野トサ)

しょうこん(招魂)[名]招魂の扇 ramattak-awanki (石狩): [名]招魂の神 ramattak-kamuy (石狩)

じょうざ(上座) ①[場名](家の中やそれ以外の場所、あるいは祭壇の上座 sópa (石狩)、[場名] sópake (石狩): ②[場名](家の中の神窓に向かって炉のすぐ上の上座 apeetok (石狩)※(別名「横座」): ③[名](家の中の神窓に向かって炉より上手で apeetok 以外の)上座 rorunso (roruyso) (石狩)、[場名] ror (石狩) ※(「上座に」は常に rotta となるので注意。)、[場名] rorke (石狩): [副]上座に向かって、上座に erorun (石狩)、[副] erorunwa (石狩)、[副] erorunno (新): [副]上座から ororun (新)、[副] ororunwa (新)、[副] ororunno (新): ④狩小屋の入口と反対側の壁と炉の間 kamuymintar (旭川): ⑤(祭儀、宴会の)表現最上席(酒の入ったシントコの後ろ) sintoko osmak (沙流): (表現)～を最上席(酒の入ったシントコの後ろ)に座らせる ～ sintoko osmak oranrani (沙流)

しょうさい(小腮)[名](虫)小腮 monotkew(-e) (新): [名]小腮枝、小腮鬚 monotkewrek(-i) (新)

じょうざい(錠剤)[名]錠剤 kusurinum(-i) (新)、[名] num(-i) (新)

しょうさん(消散)[自]消散する sirkoraye (石狩): [他]～を消散させる sirkorayere (新): [他](中相)～が消散する cisirkorayere (新)

しょうさん(称赞)①[自]人やものを称赞する iotuwasi (新)、[自] iomonnure (新): [他]～を称赞する otuwasi (石狩)、[他] omonnure (沙流): [他](人)に～を称赞させる otuwasure (新)、[他] omonnurere (新): [自]称赞し合う uotuwasi (新)、[自] uomonnure (新): ②(感謝し称赞する)[自]人、あるいは物を称赞する iramye (新): [連他]～を称赞する ramu-ye (ram-ye) (石狩): (表現)私は彼を称赞する ramu=ku=ye (石狩)、(表現)私は君を称赞する e=ram=ku=ye (石狩): (表現)～に…を称赞させる … ramu ~ yere (新): [自]称赞し合う uramye (新): ③(容姿に関して)[自]人やものを称赞する ireka (新): [他]～を称赞する reka (沙流): [他](人)に～を称赞させる rekare (新): [自]称赞し合う ureka (新)

しょうさん(賞賛)①(表現)人を賞賛する iunkore wa iotuwasi (新)、(表現) iunkore wa iomonnure (新): (表現)人を～で称赞する unkore wa iotuwasi (新)、[他] unkore wa iomonnure (新): (表現)(人)を称赞する ikore wa otuwasi (新)、[他] ikore wa omonnure (新): (表現)(人)を～で称赞する kore wa otuwasi (新)、[他] kore wa omonnure (新): (表現)(人)に(人)を～で称赞させる korere wa otuwasure (新)、[他] korere wa omonnurere (新): : [自]称赞し合う uotuwasi (新)、[自] uomonnure (新): ②(感謝し賞賛する)(表現)人を賞賛する iunkore wa iramye (新): (表現)人を～で称赞する unkore wa iramye (新): (表現)(人)を称赞する ikore wa ramu-ye (ram-ye) (新): (表現)(人)を～で称赞する kore wa ramu-ye (ram-ye) (新)

しょうし(焼死) ①(自分の過失や自殺で)[自]焼死する yayuhuyka (石狩): [他]～を焼死させる yayuhuykare (新): ②(事故や他人の手によって)[自]焼死する siuhuyka (新): [他]～を焼死させる siuhuykare (新)

しょうじ(障子) [名]障子 kampiapa (新)、[名] sioji (新)

じょうし(上翅) (昆虫)[名]上翅 kannarap(-u) (新)

しょうじき(正直) (表現)正直 sunkesak

kewtum(-u) (新)、(表現) pirka ram(-u) (新): [自]正直になる、である sunkesak (石狩)、[自] ramupirka (新): (表現)正直になる、である ramu pirka (天塩): (表現)正直な心を持つ sunkesak kewtum kor (新)、(表現) pirka ram kor (新): (表現)(雅)正直な心を抱く sunkesak kewtum yaykorpore (新)、(表現) kopirka ram yaykorpore (新): [他](場所)で正直になる、である esunkesak (新)、[他] eramupirka (新): [他]〜と共に、〜に対して正直になる、である kosunkesak (新)、[他] koramupirka (新): [他](原因、手段)で正直になる、である osunkesak (新)、[他] oramupirka (新): [他](人)を正直にする sunkesakka (新)、[他] ramupirkare (新): [副]正直に sunkesakno (石狩)、[副] ramupirkano (新)

しょうしつ(小室) [名] (虫の翅の) 小室 ponkatamsar (新)

しょうしつ(消失) [自]消失する nin (石狩): (表現)消失してしまう nin wa isam (oarism) (石狩): [他](場所)で消失する enin (新): [他]〜と共に消失する konin (新): [他](原因、手段)で消失する onin (新): [他]〜を消失させる ninka (石狩)、[他] ninte (新): (表現)(動作を完了する事に注目して)〜を消失させてしまう ninka (ninte) wa okere (新): (表現)(何かが消える状態に注目して)〜を消失させてしまう ninka wa isam (oarism) (新): [自]パッと消失する nintek (新): [他]〜をぱっと消失させる nintekka (新): [自]自ら消失する yayninka (yayninte) (新): [自]自然に消失する sininka (sininte) (新): [自]皆、全て消失する uninka (uninte) (新): [自]完全に消失する oannin (annin) (新)

しょうじぼり(障子堀) [名] 障子堀 tumpukor-pecir (新): [名] 堀障子 pécirotumpukorpe (新)

しょうじゅんぐ(照準具) (銃の部品)[名]照準具 cioiononoyep (新)

しょうじゅんばん(小楯板) [名] (虫の) 小楯板 pontamkikhumpe (新)

しょうじょ(少女) [名] 少女 menokopo (石狩)、[名] matnekaci (matneekaci) (石狩)、[名] matkaci (天塩)、[名] ponmenoko (石狩): [名] (品のない言葉として) 少女 operkep (天塩)、[名] operke (石狩)、[名] oper (石狩): [名] 立ち歩きできるようになった幼い少女 operkep (石狩): [名] 立ち歩きできるようになってから 8 才くらいま

での少女 ponoperke (石狩): [名] 7、8 才〜10 才くらいまでの少女 matnekaci (天塩): [名] 10〜15、6 才くらいまでの少女 poromatnekaci (天塩)

しょうしょ(証書) [名] 文書 cinuyep (新)、[名] ciionuyep (新)、[名] cinuyeamap (新)、[名] cinuycanup (新)、[名] cinuyekampi (新)、[名] ciionuyekampi (新)※(物事のために書かれた紙)、[名] dokumento (新)※(英語)

じょうしょう(上昇) [自]上昇する rikin (複数 rikip) (石狩): [他](場所)に上昇する erikin (複数 erikip) (石狩)、[他] korikin (複数 korikip) (石狩): [他]〜と共に上昇する korikin (複数 korikip) (新)、[他] turarikin (複数 turarikip) (新): (表現)〜と共に上昇する tura wa rikin (複数 rikip) (石狩)、(表現) (-no) rikin (複数 rikip) (石狩): [他](場所)から上昇する orikin (複数 orikip) (新): [他](原因、手段)で上昇する orikin (複数 orikip) (新): [自]ぱっと上昇する rikosma (石狩): [他](場所)にぱっと上昇する korikosma (石狩): [他]〜を上昇させる rikinte (複数 rikipte) (石狩)、[他] rikinke (複数 rikipte) (天塩): [他](場所)に〜を上昇させる erikinte (複数 erikipte) (石狩)、[他] korikinte (複数 korikipte) (石狩): [他]〜と共に〜を上昇させる korikinte (複数 korikipte) (新): [他](場所)から〜を上昇させる orikinte (複数 orikipte) (新): [他](原因、手段)で〜を上昇させる orikinte (複数 orikipte) (新): [他](人)に〜を上昇させる rikinkere (新): [他]〜をさっと上昇させる rikintekka (新)、[他] rikosmare (新)

ショウジョウハグマ(猩々白熊) (植物)[名] (キク科) ショウジョウハグマ属 kotsuyepkikukina-cise (新): [名] ショウジョウハグマの茎葉 kotsuyepkikukina (新): [名] ハマシャギクの茎葉 pisunkotsuyepkikukina (新): [名] ムラサキムカシヨモギの茎葉 pewrekinapeus-kotsuyepkina (新)※(別名「ヤンバルヒゴタイ」など): [名] ヤナギタムラソウの茎葉 newyorku-kotsuyepkikukina (新)

しょうじる(生じる) [自]生じる、生じている an (複数 okay) (新): [他](場所)で生じる、生じている ean (複数 eokay) (新): [他]〜と共に生じる、生じている koan (複数 kookay) (新): [他]〜から生じる、生じている oan (複数 ookay) (新): [他]〜から生じる oasin (複数形 oasip) (新): [他]〜を生じさせる ante (複数 okayre) (新):

[他] oasinke (複数 oasipte) (新)
じょうしん(上唇)[名]上唇 orikasipapus(-i) (新)
じょうず(上手)[自]上手である askay (石狩): [他]～が上手である easkay (石狩): 「君は弓が上手だ。」“Ku e=easkay .”: [助動]～(する)のが上手である easkay (石狩): 「私は料理するのが上手です。」
 “Ku=suke easkay .” [副]上手に pirkano (石狩)、[副] askayno (新): 「これは上手に作られている。」“Tampe anakne pirkano an=kar .”: [名]上手な人、男性 askaykur (石狩): (表現)～が上手な人 名詞+easkay+kur (新): inuye(彫り物)+easkay+kur → inuyeeaskaykur 「彫り物が上手な人」: [名]上手な女性 askaymat (askaymenoko) (新)
しょうすい(小穂)[名]小穂 pompus (新)
しょうすいどう(上水道)[場名]上水道 kannawakkakusi (新)
しょうすう(小数)[数学][名]小数 nokan-cipiskip (新): [名]小数点 nokan-cipiskip-itokpa (新)
しょうすう(少数)[自]少数になる、である moyo (石狩): [他](場所)で少数になる、である emoyo (新): [他]～と共に少数になる、である komoyo (新): [他](原因、手段)で少数になる、である omoyo (新): [他]～を少数にする moyore (moyoka) (新): [自]互いに少数になる、である ukomoyo (新): [自]すっかり少数になる、である oarmoyo (armoyo) (新): [自]もの凄く少数になる、である toykomoyo (新): [名]少数者 moyoutar (新): [名]少数派 moyoike (新): [名]少数民族 moyo-sieiopoktep (新)
しょうせい(照星)(銃の部品)[名]照星 cioinonoyetok (新)
しょうせき(硝石)(鉱物)[名]硝石 nitre (新) ※(英語)
しょうせつ(小説)[名]小説 cekaroruspe (新)、[名] cikartuytak(cikartuytak) (新)、[名] nover (新) ※(英語): [名]短編小説 poncekaroruspe (新): [名]中編小説 haykannu-cekaroruspe (新): [名]長編小説 porocekaroruspe (新): [名]歴史小説 teetaampe-cekaroruspe (新): [名]小説家 oruspenuyekur (新)、[名] tuytaknuyekur (新)
しょうせん(商戦)[名]商戦 ieiyoxtumi (ieiyoxtumi) (新)、[名] ieihoxtumi (新)
しょうせん(商船)[名]商船 ieiyoxcip (ieiyoxcip) (新)、[名] ieihoxcip (新)、[名] uymamcip (新)

しょうぞう(肖像)[名]肖像 aynunoka (新): [名]肖像画 cinuye-aynunoka (新)、[名] potturait (新) ※(英語): [名]肖像権 aynunoka-oupekano (新): [名]肖像写真 ciuk-aynunoka (新)、[名] aynunoka-foto (新)、[名] potturait (新) ※(英語)
しょうそく(消息)①[名]消息 uepeker (石狩): ②[自]消息を告げる uepeker (石狩): [他]～の消息を告げる euepeker (石狩): [他](場所)で消息を告げる euepeker (新): [他](人)に消息を告げる、～と共に消息を告げる kouepoker (新): [他](原因、手段)で消息を告げる ouepoker (新): [他](人)に消息を告げさせる uepekere (新): ③[自]消息を尋ねる uepekennu (石狩): [他]～の消息を尋ねる euepekennu (新): [他](人)に～の消息を尋ねさせる euepekennure (新)
しょうぞく(装束)[名](着物、脚半、手甲などひと揃えの)装束 siyuk (石狩): [名]死装束 isampe-siyuk (石狩)、[名] raype-siyuk (石狩): [自](ひと揃えの)装束に身を包む siyuk (石狩): 目下合成語の構成要素としてのみ見られるが、今後単独で使う: [他]～を(ひと揃えの)装束に身を包ませる siyukte (石狩)
しょうたい(招待)[自]人を招待する iaskeuk (新)、[自] iunapte (新): [連他](人)を招待する aske-uk (石狩、天塩)、[他] askeuk (石狩)、[他] unapte (石狩): [他](場所)に(人)を招待する easkeuk (新)、[他] eunapte (新): [他]～と共に(人)を招待する koaskeuk (新)、[他] kounapte (新): [他](原因、手段)で(人)を招待する oaskeuk (新)、[他] ounapte (新)、[他] eunapte (石狩): [他](人)に(人)を招待させる askeukte (新)、[他] unaptere (新): [他]自分で、一人で(人)を招待する yaykoaskeuk (新)、[他] yaykounapte (新): [他]皆で、共に(人)を招待する ukoaskeuk (新)、[他] ukounapte (新): [自]招待し合う uaskeuk (新)、[他] uunapte (新): [名]招待客 ciaskeukkur (新)、[名] ciunapterekur (新): [名]招待券 iaskeukkar (iaskeukyar) (新)、[名] iaskeuktiket (新): [名]招待者 iaskeukkur (新)、[名] askeukkur (石狩)、[名] iunapterekur (新): [名]招待状 iaskeukkampi (新)
しょうたい(上体)[名]上体 peyserke (石狩)、[名] kaysir(-i) (幌別)、[名](雅) pennis(-i) (沙流): (表現)～が…の上体を起こす… peyserke ～ puni (新):
しょうたい(状態)[名]状態 kat(-u) (石狩)、

[名] sirki (石狩)、[名] situation (situacion) (新)※(英語): [自]状態である sirki (石狩): [形式名]状態 ru(-we) (石狩)

しょうたい(正体) [自](何かに化けていたものが)パッと正体を現す horkameskosanu (新)

しょうだく(承諾) [自]承諾する ese (石狩): [他]～を承諾する eese (石狩): [他]～と共に承諾する koese (新): [他](原因、手段)で承諾する oese (新): [他](人)に承諾させる esere (新): [自]自分で、一人で承諾する yaykoese (新): [自]皆で、共に承諾する ukoese (新): [自]完全に承諾する oarese(arese) (新): [自]双方承諾する、承諾し合う uesere (新)

じょうたつ(上達) [自]上達する yayaskayre (新): [他]～が上達する eyayaskayre (新): [他](人)を上達させる askayre (新): [他]～について(人)を上達させる easkayre (新)

しょうだん(商談) [名]商談 cihokioruspe (石狩): [自]商談する cihokioruspeki (新): [他]～について商談する、(場所)で商談する ecihokioruspeki (新): [他]～と商談する kocihokioruspeki (新): [他](原因、手段)で商談する ocihokioruspeki (新): [他](人)に商談する cihokioruspekire (新): [自]互いに、皆で商談する ukocihokioruspeki (新)

じょうだん(冗談) [名]冗談 sinocitak(-i) (新)、[名] iraraytak(-i) (新): [自]冗談を言う sinocitak (石狩)、[自] iraraytak (石狩): [他]～について冗談を言う esinocitak (新): [他](人)に冗談を言う、～と共に冗談を言う kosinocitak (新): [他](原因、手段)で冗談を言う osinocitak (新): [他](人)に冗談を言わせる sinocitakte (新): [自]自慰分で、一人で冗談を言う yaykosinocitak (新): [自]冗談を言い合う、皆で冗談を言う ukosinocitak (新): [自]凄く冗談を言う toykokosinocitak (新): [自]人に冗談を言わせる sinocitakyar (新):

しょうち(承知) [自]承知する ramosma (石狩)、[自] irenkanu (新): (表現)承知する irenka nu (石狩): [他]～について承知する eramosma (石狩)、[他] eirenkanu (新): [他](人)に承知する koramosma (石狩)、[他] koirenkanu (新): [他](原因、手段)で承知する oramosma (新)、[他] oirenkanu (新): [他](人)に承知させる ramosmare (新)、[他] irenkanure (新): [自]自分で、一人

で承知する yaykoramosma (新)、[自] yaykoirenkanu (新): [自]皆で、共に承知する ukoramosma (新)、[自] ukoirenkanu (新): [自]全面的に承知する oanramosma (anramosma) (新)、[自] oairrenkanu (airrenkanu) (新)

しょうちゅう(焼酎) [名]焼酎 parkarpe (石狩)、[名]焼酎 nuputtonoto (石狩)

じょうちょ(情緒) [名]情緒 sipaste-kewtum(-u) (新)、[名] sicaste-kewtum(-u) (新)、[名] emotion (新)※(英語)

しょうちょう(小腸) [名]小腸 ánetuy(-e) (石狩)

しょうちょう(象徴) [名]象徴 cinokanerep (新)、[名][名] símbor (新)※(英語): [他]～を象徴させる nokanere (新): [他](場所)で～を象徴させる enokanere (新): [他]～と共に～を象徴させる konokanere (新): [他](原因、手段)で～を象徴させる onokanere (新): [他]～を象徴する sinokanere (新): [他](場所)で～を象徴する sienokanere (新): [他]～と共に～を象徴する sikonokanere (新): [他](原因、手段)で～を象徴する sionokanere (新)

しょうと ①(表現)～しょうと 動詞句+kuni (石狩): "kuni"には形式名詞と接続助詞の用法がある。: [形式名]「私が食事をしようと思ったけれど食べるものがなかった。」“Ku=ipe kuni ku=ramu korka ipe isam .”: [接助]「私達もお前を理解しよう」と努力してるよ。」“Ciokay ka e=eraman=as kuni arikiki=as na .”: ②(表現)～しょうと思う 動詞句+kusu ne (石狩): 「明日私は当別に行こうと思う。」“Nisatta Tópet ekota ku=oman kusu ne .”: ③(表現)～しょうとする 動詞句+kusu iki (石狩): 「私が出掛けようとしたところへお前が来た。」“Ku=asin kusu iki tek ekota e=ek .”: (表現)～しょうとしている 動詞句+kusu iki kane an (複数 okay) (石狩)、(表現) 動詞句+kusu iki kor an (複数形 okay) (石狩): 「あの人は盗みしようとしている。」

“Taankur ikka kusu iki kane an sirki .”:

④[助動](動作が将に行われることを示し)～(しょうとする)ところである etokus (etokos) (石狩): 「今私が何をしようとしてるところかですって?夕食を食べるところよ。」“Tane nep ku=ki etokus hawe ? Onumanipe ku=ki etokus wa .”: ⑤(表現)日が暮れようとしている onuman an kane (=kor) an (新)、(表現) sironuman kane (=kor) an (新): (表現)(雅)すっかり日も暮れようとしている ian tokes ciomante kane (=kor) an (新)

じょうとう(上等) [場名] 上等 sausouni (新): (表現) 上等 saun sóuni (新): [連体] 上等な sausoun (新)

じょうどう(情動) [名] 情動 sipaste-kewtum(-u) (新)、[名] sicaste-kewtum(-u) (新)、[名] emotion (新)※(英語)

しょうとつ(衝突) [他] ～と衝突する osma (石狩)、[他] tomoosma (新): [自](皆)互いに衝突する uosma (石狩)、[自] utomosma (新): [他] ～と～を衝突させる osmare (新)、[他] tomoosmare (新)

しょうにん(商人) [名] 商人 ieiyokkur (ieiyokkur) (新)、[名] ieihokkur (新): 八雲、幌別、沙流の方言で"ihokkur"と言う。これは商人というものとアイヌの往古の関わりや認識を知る上で大切だが、現代の感覚に合わせて造語しておく。

しょうにん(承認) [自] 承認する ése (新): [他] ～を承認する eese (新): [他](場所)で承認する eese (新): [他] ～と共に承認する koese (新): [他](原因、目的)で承認する oese (新): [他](人)に～を承認させる eesere (新)

しょうにん(証人) [名] 証人 ikirpeyekur (新): (表現) 証人尋問を行う ikirpeyekur kopisi (新)

しょうね(性根) [名] 性根 kewtum(-u) (石狩): (表現) 性根が良い kewtumu pirka (石狩): (表現) 性根が悪い kewtumu wen (石狩)

しょうねん(少年) [名] 少年 okaypo (石狩)、[名] okayoekatci (okayoekaci) (石狩)、[名] hekatci (hekaci) (石狩)、[名] opususke (天塩): [名] 立ち歩きできるようになった幼い男の子 ponekaci (ponekatci) (石狩): [名] 立ち歩きできるようになってから5才くらいまでの男の子 poysi (石狩): [名] 立ち歩きできるようになってから10才くらいまでの少年 hekatci (hekaci) (石狩): [名] 7、8～10才くらいまでの少年 sekaci (天塩): [名] 陰毛が生えだす年齢の少年 okunneekatci (okunneekaci) (石狩)、[名] (悪) okunnep (天塩): [名] 10～15、6才くらいまでの少年 poroockayhekaci (天塩)

しょうねん(情念) [名] 情念 siwente-kewtum(-u) (新)※(自分を損なう感情)、[名] kewtum-rerasiw (新)※(感情の竜巻)、[名] passion (新)※(英語)

しょうのう(樟脳) [名] 樟脳 kamfor (新)※(英語)

しょうばい(商売) [名] 商売 eiyok (eyyok) (新)、[名] eihok (新): [自] 商売する

ieiyok (ieyyok) (新)、[自] ieihok (新): [他] ～の商売をする eiyok (eyyok) (石狩)、[他] eihok (天塩): [他](場所)で～の商売をする eeyok (eeyyok) (新)、[他] eeihok (新): [他] ～に対し～の商売をする、～と共に～の商売をする koeiyok (koeyyok) (新)、[他] koeihok (新): [他](原因、手段)で～の商売をする oeiyok (oeyyok) (新)、[他] oeihok (新): [他](人)に～の商売をさせる eiyokte (eyyokte) (石狩)、[他] eihokte (新): [自] 自分で、一人で商売をする yaykoieiyok (yaykoieyyok) (新)、[自] yaykoieihok (新): [自] 皆で、共に商売をする ukoieiyok (ukoieyyok) (新)、[自] ukoieihok (新): [自] うまく商売する ieiyokno (ieiyoknu) (新)、[自] ieiyokno (ieiyoknu) (新)、[自] ieihokno (ieihoknu) (新)

じょうはく(上膊) [名] 上膊 makuntapsut(-u) (石狩)、[名] tapsut(-u) (石狩)

じょうはくとう(上白糖) [名] 上白糖 motopenota (新)

じょうはつ(蒸発) [自] 蒸発する popkonin (新)※(沸騰と共に消える): (表現) 蒸発する pop wa nin (新): [他] ～を蒸発させる popkoninka (popkoninte) (新): (表現) ～を蒸発させる ～ popte wa ninka (ninte) (新)

じょうはんしん(上半身) [場名] 上半身 peyserke (石狩)、[名] kaysir(-i) (幌別)、[名] (雅) pennis(-i) (沙流): [名] (特に人間の) 上半身 penram(-u) (天塩): (表現) ～が自分の上半身を起こす noski pakno ～ hepuni (複数 hepumpa) (沙流)、(表現) yaypeyserke ～ puni (新): (表現) ～が…の上半身を起こす … peyserke ～ puni (新): (表現) ～が素早く上半身をもたげる noski pakno ～ hetari tektek (沙流)、(表現) noski pakno ～ hetattektek (沙流)

しょうひ(消費) [名] 消費 isininkare (isinintere) (新)、[名] koysumption (konsumption) (新)※(英語): [自] ものを消費する isininkare (isinintere) (新): [他] ～を消費する sininkare (sinintere) (新): [他](場所)で～を消費する esininkare (esinintere) (新): [他] ～と共に～を消費する kosininkare (kosinintere) (新): [他](原因、手段)で～を消費する osininkare (osinintere) (新): [他](人)に～を消費させる sininkarere (sininterere) (新): [名] 消費財 cisininkarep (cisininterep) (新): [名] 消費者 isininkarekur (isininterekur)

(新): [名] 消費税 isininkare-ikem
(isinintere-ikem) (新)

じょうび(常備) [自] 常備する ianuus (新):
(表現) 物を常備する ietokoyki kusu iama
(新): [他] ~を常備する anuus (新):
(表現) ~を常備する ietokoyki ~ ama
(新): [他] (場所) に ~を常備する eanuus
(新): [他] ~と共に ~を常備する koanuus
(新): [他] (原因、手段) で ~を常備する
oanuus (新): (表現) …のため ~を常備する
… etokoyki kusu ~ ama (新):
[他] (人) に ~を常備させる anuusi (新):
(表現) 常備軍 cianuus tumi (新): (表現)
常備薬 cianuus kusuri (新): (表現) 家庭
常備薬 ciseorun kusuri (新): (表現)
cieciseanuus kusuri (新)

しょうひん(商品) [名] 商品 cihoki (石狩)、
[名] cisoki (石狩): [名] 商品券
cihokitasayar (新)、[名] cisokitasayar
(新)

しょうふ(娼婦) [名] 娼婦 kanuci (幌別)、
[名] yayoeiyokmat (新)、[名] (隠)
yayeyiyokmat (新)

じょうぶん(条文) (法) (表現) 条文
ciusamomare itaksay (新)、(表現)
an=usámomare itaksay (新)

しょうへい(招聘) [自] 人を招聘する iaskeuk
(新): [連他] (人) を招聘する aske-uk (石
狩)、[他] askeuk (石狩): [他] (場所) に (人)
を招聘する easkeuk (新): [他] ~と共に
(人) を招聘する koaskeuk (新): [他] (原
因、手段) で (人) を招聘する oaskeuk (新):
[他] (人) に (人) を招聘させる askeukte
(新): [他] 自分で、一人で (人) を招聘する
yaykoaskeuk (新): [他] 皆で、共に (人) を
招聘する ukoaskeuk (新): [自] 招聘し合
う uaskeuk (新): [名] 招聘者、招聘人
iaskeukkur (新): [名] 招聘状
iaskeukkampi (新): [名] 招聘理由
iaskeukmoto (新)

しょうへき(障壁) [名] 障壁 ietokotuye-
tumam(-a) (新)

しょうべん(小便) [名] 小便 okuyma
(okoyma) (石狩)、[名] kuywakka (天
塩): [名] (幼児語、あるいは女性の言葉とし
て) おしっこ sisi (石狩): [名] (合成語の
構成要素として) 小便 kuy(-e) (石狩):
[自] (人間、動物が) 小便する okuyma
(okoyma) (石狩): (表現) (女性や子供が)
おしっこをする sisi ki (石狩): [自] (動物
が) 小便する kúcir (石狩): [名] 少便器
okuymauspe (新)、[名] ciookuymauspe
(新)

しょうほう(商法) (法) [名] 商法 ieiyok-ihok-

irenka (ieyyok-) (新)、[名] ieihok-ihok-
irenka (新)

じょうほう(乗法) [名] 乗法 isuyukotama
(新)、[名] isuyka (新)

じょうほうし(情報誌) [名] 情報誌
asurkampusospo (新)、[名] asursospo
(asussospo) (新)

しょうほうてい(小法廷) [場名] 大法廷
paysaymoni (新)

じょうむいん(乗務員) [名] 乗務員 iokur
(新)、[名] kuru (新) ※(英語): (表現) ~乗
務員 名詞+okur (新)

しょうめい(証明) [名] 証明 ampepekerka
(ampepekere) (新): [自] 証明する
ampepekerka (ampepekere) (新): [他]
~について証明する、(場所) で証明する
eampepekerka (eampepekere) (新):
[他] ~に対して証明する、~と共に証明する
koampepekerka (koampepekere) (新):
[他] (原因、手段) で証明する oampepekerka
(oampepekere) (新): [他] (人) に証明させ
る ampepekerkare (ampepekerere)
(新): [自] 自分で、一人で証明する
yaykoampepekerka (yaykoampepekere)
(新): [自] 互いに、皆で証明する
ukoampepekerka (ukoampepekere) (新):
[自] 完全に証明する oarampepekerka
(oarampepekere) (新)、[自]
arampepekerka (arampepekere) (新):
[自] 充分証明する ampepekerkano
(ampepekereno) (新)、[自]
ampepekerkanu (ampepekerenu) (新)

しょうめつ(消滅) [自] 消滅する nin (石狩):
(表現) 消滅してしまう nin wa isam
(oarisam) (石狩): [他] (場所) で消滅する
enin (新): [他] ~と共に消滅する konin
(新): [他] (原因、手段) で消滅する onin
(新): [他] ~を消滅させる ninka (石狩)、
[他] ninte (新): (表現) (動作を完了する
事に注目して) ~を消滅させてしまう
ninka (ninte) wa okere (新): (表現) (何
かが消える状態に注目して) ~を消滅させて
しまう ninka wa isam (oarisam) (新):
[自] パッと消滅する nintek (新): [他] ~
をぱっと消滅させる nintekka (新):
[自] 自ら消滅する yaininka (yaininte)
(新): [自] 自然に消滅する sininka
(sininte) (新): [自] 皆、全て消滅する
uninka (uninte) (新): [自] 完全に消滅す
る oannin (annin) (新)

しょうもう(消耗) [自] 消耗する sininka
(sininte) (新): [他] (場所) で消耗する
esininka (esininte) (新): [他] ~と共に消
耗する kosininka (kosininte) (新):

- [他](原因、手段)で消耗する osininka (osininte) (新): [他]~を消耗する sininkare (sinintere) (新)
- しょうもく(小目)**(分類)[名]小目 ponikir(-i) (新)、[名] ponoddo (ponordo) (新)
- じょうもく(上目)**(分類)[場名]上目 apapa (新)
- しょうもん(照門)**[名]照門 cioinonoyenay (新)
- しょうやく(生薬)**[名]生薬 siante-kusuri (新)、[名] yayan-kusuri (新)
- しょうゆ(醤油)**[名]醤油 anrunnupe (新) ※(黒塩味液)、[名] şowyu (新)※(日本語): [名]白醤油 runnupe (新)
- しょうらい(将来)**[場名]将来 sietok(-o) (新): [連他]~を将来有望と見込む katu-nukar (kat-nukar) (沙流)、[自]自分で自分を将来有望と見込む yaykatnukar (新)
- しょうり(勝利)**[名]勝利 iepetturasi (新)、[名] viktori (新)※(英語): [自]勝利する iepetturasi (新)、[他] iattukari-enumposore (新): [他]~に勝利する epetturasi (石狩)、[他] attukari-enumposore (石狩): [他](場所)で~に勝利する eepetturasi (新): [他]~と共に~に勝利する koepetturasi (新): [他](原因、手段)で~に勝利する oepetturasi (新): [他](人)に~に勝利させる epetturasire (新): [他]自分で、一人で~に勝利する yaykoepetturasi (新): [他]互いに、皆で~に勝利する ukoepetturasi (新): [他]完全に~に勝利する oarepetturasi (arepetturasi) (新): [他]充分~に勝利する epetturasino (epetturasinu) (新): [他]~に勝利しまくる toykoepetturasi (新): (表現)連戦連勝する tusuy tumikor ariepetturasi resuy tumikor ariepetturasi (新)、(表現) tu ariepetturasi re ariepetturasi ukakuste (新)
- じょうりく(上陸)**[自]上陸する yan (複数 yap) (石狩): [他](場所)に上陸する eyan (複数 eyap) (新)、[他] koyan (複数 koyap) (石狩): [他]~と共に上陸する koyan (複数 koyan) (新)、[他] turayan (複数 turayap) (新): (表現)~と共に上陸する tura wa yan (複数 yap) (石狩)、(表現) tura(-no) yan (複数 yap) (石狩): [他](場所)から上陸する oyan (複数 oyap) (新): [他](原因、手段)で上陸する oyan (複数 oyap) (新): [自]さっと上陸する yantek (新): [自]上陸させる iyanke (複数 iyapte) (新): [他]~を上陸させる yanke (複数 yapte) (石狩): [他](場所)に~を上陸させる koyanke (複数 koyapte) (石狩): [他]~と共に~を上陸させる koyanke (複数 koyapte) (新): [他](場所)から~を上陸させる oyanke (複数 oyapte) (新): [他](原因、手段)で~を上陸させる oyanke (新語 oyapte): [他]~をさっと上陸させる yantekka (新): [他]人に~を上陸させる yankeyar (新): [名]上陸用舟艇 iyankecip (新)
- しょうりやく(省略)**[自]省略する iuturuterkere (新): [他]~を省略する uturuterkere (新)
- じょうりゅう(上流)**[位名]~の上流、上流域 pa(長形-ke) (石狩): [場名]川の上流、上流域 petpa (petpake) (石狩): [位名]~の上流、水源 etok(長形-o) (石狩): [場名]川の上流、水源 petetok (petetoko) (石狩): [場名]沢の上流、水源 nayetok (nayetoko) (石狩)
- じょうりゅう(蒸留)**[自]蒸留する ipopkoninokar (新): [他]~を蒸留する popkoninokar (新)※(蒸発で~を作る): [名]蒸留酒 cipopkoninokarsake (新)
- じょうりよく(常緑)**[自]常緑である riyahamus (新): [名]常緑樹 riyahamusni (新): [名]常緑植物 riyahamus-sinritkorpe (新)
- しょうれい(奨励)**(表現)~を奨励する 使役の動詞+rusuy (新): 「私は君達にアイヌ語の学習を奨励する。」 “Aynuitak es=eyaypakasnure=an rusuy.”: [名]奨励服 ciimirerusuype (新)
- ショウロ(松露)**(菌類)[名](ヌメリイグチ亜目)ショウロ科 sisamturuf-apa (新): [名]ショウロ属 sisamturuf-cise (新): [名]ショウロ sisamturuf (新)
- しょうわくせい(小惑星)**(宇宙)[名]小惑星 omanannociw-nenoampe (新)、[名]asteroido (新)※(英語)
- しょうわる(性悪)**[自]性悪である wenkewtumkor (石狩): [名]性悪、根性の悪い奴 wenkewtumkorpe (石狩)、[名]wenoskekorpe (石狩)
- じょうわん(上腕)**[名]上腕 makuntapsut(-u) (石狩)、[名]tapsut(-u) (石狩): [名]上腕骨 makuntapsut-pone (新)、[名]tapsut-pone (新)
- ショー**[名]ショー cinukararpe (新)、[名]şow (新)※(英語)
- ジョージア**[場名](アメリカ合衆国の州名)ジョージア州 Jorjia-mosir (新)※(州都は「アトランタ」)
- ジョージタウン**[場名](ガイアナ共同共和国の首都名)ジョージタウン Jorjitaun (新)

しょかく(処格、所格) [言語][名] 処格、所格
usikerewke (新)※(場所格)

じょかんとく(助監督) [名] 助監督
ikoisikottetur (新)、[名]
ikosisapanekakur (新)

しょき(書記) [名](仕事として)書記 inuyemonrayke (新): [名](人)書記 inuyekur (新): [名]書記官 inuyetono (新): [名]書記長 inuyekurpake (新)、[名]inuyekunnetopa (新): [場名]書記局 inuyekurusi (新)

しょきゅう(初級) [場名] 初級 makuyouni (新)、[場名] sókes (新): (表現)初級 makun sóuni (新): [連体]初級の makuyoun (新)、[連体] sókesun (新): [名]初級者 makuyounkur (新)、[名]sókesunkur (新)

しょきゅう(蹴球)→「にくきゅう(肉球)」を見よ
じょきよ(除去) [自]除去する iuk (新): [他]～を除去する uk (複数 uyna) (石狩): [他](場所)で、(時)に～を除去する euk (複数 euyna) (新): [他]～から～を除去する kouk (複数 kouyna) (石狩): (表現)～から～を除去する orwa(no)uk (複数 uyna) (新): [他]～と共に～を除去する kouk (複数 kouyna) (新): (表現)～と共に～を除去する tura(no)uk (複数 uyna) (新): [他](原因、手段)で～を除去する ouk (複数 ouyna) (新): [他](人)に～を除去させる ukte (複数 uynare) (新): [他]完全に～を除去する oaruk (複数 oaruyna) (新)、[他]aruk (複数 aruyna) (新)

しょぎょう(所業) [名] 人の所業 cekarpe (新): (表現)～の所業 karpe (新): 「お前の所業を許せない。」“E=karpe ku=sittekka eaykap.”: [名]人間の所業 aynukarpe (新)

しょくぎょう(職業) [名]職業 cioyayparoykip (新)、[名] ciosukuppe (新)

しょくご(食後) [場名] 食後 ipeoka (ipeokake) (新): (表現)食後 ipeoka (長形-ke) (新)

しょくじ(食事) ①[名]食事 ipe (石狩): [自]食事する ipe (石狩): [他](場所)で食事する eipe (新): [他]～と共に食事する koipe (新): [他](原因、手段)で食事をする oipe (石狩): [他]～に食事させる ipere (石狩): [自]自分で、一人で食事を作る yaykoipe (新): [自]互いに、皆で食事を作る ukoipe (新): [自]充分食事する ipeno (ipenu) (石狩): [自]激しく食事する、がつつ食事をする iperuy (石狩): [自]減茶苦茶食事する toykoipe (新): [他]人に(人)に食事させる ipereyar (新):

[自]食事させてもらう siipereyar (新): ②[他]～に食事を与える ipeatte (石狩): [他](人)に(人)に食事を与えさせる ipeattere (新): [他]人に(人)に食事を与えさせる ipeatteyar (新): [自]食事を与えてもらう siipeatteyar (新): ③[他]～に食事を出す koipuni (石狩): ④[自]食事を作る suke (石狩): [他](場所)で食事を作る esuke (新): [他]～と共に食事を作る kosuke (新): [他](原因、手段)で食事を作る osuke (新): [他](人)に食事を作らせる sukeyar (石狩): 「妻は私に食事を作らせる。」“Ku=maci en=sukeyar.”: [他](人)に食事を作らせたりして身の回りの世話をさせる sukere (石狩): [自]自分で、一人で食事を作る yaukosuke (新): [自]互いに、皆で食事を作る ukosuke (新): ④[連他](習慣的に)～に食事を作る、食事の世話をする paro-osuke (par-osuke) (石狩): 「私は妻に食事を作る。」“Ku=maci paro=ku=osuke.”: (表現)～と結婚して～の食事の世話をする ~tekpake ~ paro-osuke (石狩): ⑥[自]食事をよそう imekani (石狩)、[自] imekanu (石狩): [他](人)に食事をよそう imekkar (石狩)、[他] koimekani (新)、[他] koimekanu (新): [他]食事をよそう imekanire (新)、[他] imekanure (新)

しょくしゅ(触手) [名]触手 teknep(i) (新)

しょくしん(触診) [自]触診する tekeinu (新): 本来は霊力ある人が手で触って色々知る事: [他]～を触診する etekeinu (新): [他]～と共に触診する kotekeinu (新): [他](原因、手段)で触診する otekeinu (新): [他](人)に触診させる tekeinure (新)

しょくぜん(食前) [場名] 食前 ipeetok (ipeetoko) (新): (表現)食前 ipeetok (長形-o) (新): [名]食前酒 ciipeetokekup (新)、[名] ciietoekup (新)

しょくだい(燭台) [名]燭台 erowaspe (新)※(そこに蠟燭が立つもの)、[名]erowratcakuaspe (新)

しょくたく(食卓) [名]食卓 cioipeita (新)、[名] cioipe-kemausita (新): (表現)食卓に着く cioipeita (cioipe-kemausita) koa (複数 koroski) (新): (表現)食卓を囲む cioipeita (cioipe-kemausita) okari rok (新)

しょくちゅう(食中) [場名] 食中 ipehontom (ipehontomo) (新): (表現)食中 ipehontom (長形-o) (新)

しょくどう(食堂) ①[場名] ipeusi (新)、[場名] cieipeusi (新): ②(独立した建物とし

ての)[名]食堂 ipecise (新)、[名] cieiepecise (新)

しょくどう(食道)[名]食道 iperekut(-ci) (石狩)、[名] ipesewri (石狩)

しょくにく(食肉)(動物)[場名](哺乳綱)食肉目 kamep-kotan (新)※(ネコ目とも)

しょくにな(職人)[名]職人 itekekarkur (新)、[名] attisan(artisan) (新)※(仏語): (表現)職人氣質 itekekarkur purihi (新): (表現)職人芸 itekekarkur ki p (新)

しょくば(職場) [場名]職場 monraykeusi (新)、[場名] nepkiusi (新)、[場名] ciemonraykeusi (新)、[場名] cienepkiusi (新)

じょくばん(褥盤)[名](虫の)褥盤 ámuturumpe (新)

しょくぶつ(植物)[名]植物 sinritkorpe (新): [名]植物園 sinritkorpenukarusi (新): [名]植物学 sinritkorpe-eampehunar (新): [名]植物学者 sinritkorpe-eampehunarkur (新): [名]植物油 písúm(-i) (新)

しょくみん(植民)①[自]植民する aynu-etoymta (新): [他](場所)に植民する eaynu-etoymta (新): [他]〜と共に植民する koaynu-etoymta (新): [他](原因、手段)で植民する oaynu-etoymta (新): [他](人)に植民させる aynu-etoymtare (新): ②[場名]植民地 cieaynu-etoymtausi (新)、[名] cinihon-nerep(-nekap) (新)、[名] koronia (新)※(羅語): [自]植民地になる、である cieaynu-etoymtausine (新)、[自] nihonne (新)、[自] koroniane (新): [他]〜を植民地化する ciaynu-etoymtausine(-neka) (新)、[他] nihon-nere(-neka) (新)、[他] koronia-nere(-neka) (新): [自]植民地支配する cieaynu-etoymtausikor (新)、[自] cinihon-nerepkor(-nekapkor) (新)、[自] koroniakor (新): [他]〜を植民地支配する eciaynu-etoymtausikor (新)、[他] ecinihon-nerepkor(-nekapkor) (新)、<動詞>ekoroniakor (新): [他](人)に植民地支配させる cieaynu-etoymtausikore (新)、[他] cinihon-nerepkore(-nekapkore) (新)、[他] koroniakore (新): [名]植民地主義 cieaynu-etoymtausine(-neka)-samun (-neka-) (新)、[名] sinnihon-nere-samun (-neka-) (新)、[名] koroniarismu (新)※(英語)

しょくむ(職務) (表現)〜の職務 ~ kor irawkitupa (新)、(表現) ~ kor monrayke (新): (表現)〜に与えられた職務 ~ an=kóre irawkitupa (新)、(表現) ~ an=kóre monrayke (新)

しょくりょう(食糧)①[名]食糧 anep (石狩)、

[名] ciep (石狩)、[名] ciekunip (石狩): 「ここには食糧が無い。」「Te ta anep (ciep、

ciekunip)isam .”: [名]食糧庫 anepopu (ciepopu) (新)、[名] anepoi (ciepoi) (新): (表現) anep(ciep)opu (新): [場名]食糧の得られぬ所 kémusi (石狩): [名]食糧授けの神 cepattekamuy (石狩): ②(神が持ってきたりして人に授ける動物性、植物性の食糧の総称)[名]食糧 haru (石狩): (表現)(ギョウジャニンニク、オオウバユリなど)特に大切な食糧 haru ikkewe (石狩): [名]植物の地上部で食糧になるもの munharu (石狩): [名]植物の地下部で食糧となるもの toyharu (石狩): [自]食糧を取り入れる harukar (沙流): [自]食糧に乏しい haruecuptek (沙流)

しょくわん(触腕)[名](イカ、タコの)触腕 tomtomustek(-e) (新)

しょくくん(諸君) (表現)諸君 ku=aki utar ku=kottures utar (石狩): (表現)男性諸君 ku=aki utar (石狩)、(表現) ku=aki-tonoke utar (新): [名]女性諸君 ku=kottures utar (石狩)

しょけい(諸兄) (表現)諸兄 nispa utar (石狩)、(表現) ku=konnispa utar (石狩)、(表現) ku=kor utarpa utar (石狩)、[名] ku=yupi utar (新)

しょこ(書庫)[名]書庫 kampsiospu (新)

しょご(諸語)(言語)[名]諸語 usaitak (新)

しょこく(諸国) [場名]諸国 usamosir(-i) (新): (表現)諸国 usa mosir (新)、(表現) usaan mosir (新)

しょさい(書斎) [名]書斎 kampsitumpu (新)、[場名] kampsiosusi (新)、[場名] cieramampeusi (新)

じょさん(助産)[自]助産する ikoinkar (幌別): [他](人)に助産させる ikoinkare (新): [名]助産婦 ikoinkarkur (幌別)、[名] ikoinkarmat (幌別)

しょじ(所持)[他]〜を所持する kor (石狩): [他]〜として〜を所持する ekor (石狩): [他](場所)で〜を所持する ekor (新): [他]〜と共に〜を所持する kokor (新): [他](原因、手段)で〜を所持する okor (新): [他](人)に〜を所持させる kóre (石狩)

しょし(諸氏) ①(男女共に)(表現)諸氏 nispa utar katkemat utar (石狩)、(表現) usaokay nispa usaokay katkemat (新): ②(男性のみ)(表現)諸氏 nispa utar (石狩)、(表現) ku=konnispa utar (石狩)、(表現) ku=kor utarpa utar (石狩): ③(女性のみ)(表現)諸氏 katkemat utar (新)、(表現) ku=kor mataynu utar (新)

じょしつ(除湿) [自] 除湿する rikaysak (新): [他] ~の除湿をする erikaysak (新): [他] ~と共に除湿する korikaysak (新): [他] (原因、手段) で除湿する orikaysak (新): [他] ~に除湿させる rikaysakka (新)

ジョシュウ(徐州) [場名] (中華人民共和国江蘇省の都市名) 徐州 Šútow (新)

しょじょ(処女) [名] 処女 ieramuskaremenoko (新)、[名] sempirkasi-eyaytursakka-menoko (新)、[名] sempirsama-eyaytursakka-menoko (新)

じょじょに(徐々に) ① [副] 徐々に monkes (石狩)、[副] uopokinno (天塩): (表現) 徐々に ponno ponno (石狩): ② (先行する文を受け) 徐々に ~する nani ekota + 動詞句 (石狩): 「君がそれを彼に教えなくても彼は徐々にそれを理解するよ。」 “Neampe somo e=epakasnu yakka nani ekota eraman na.”: ③ (あまりにも大きいため近づくに従い全体像が視界から) [自] 徐々に消えていく sikorakakke (石狩): 「村の人口は多く、村の上手が徐々に消え、村の下手が徐々に消えていき…」 “…kotan inne u kotan pake sikorakakke u kotan kese sikorakakke…” (杉村キナブック) 英雄詞曲: [自] 皆徐々に消えていく ukorakakke (石狩): 「…金の妒縁、金の敷物が皆徐々に消え…」 “…kani-inumpe, kani-sokkar ukorakakke…” (杉村キナブック) 説話、「…美しい波また波が皆徐々に消え」 “…pirka kaykay ukorakakke…” (杉村キナブック) 神

じょせい(助成) [自] 人を助成する ikasuy (iokere-eikasuy) (新): [他] ~に関して人を助成する eikasuy (okere-eikasuy) (新): [他] ~と共に人を助成する koikasuy (koiokere-eikasuy) (新): [他] (原因、手段) で助成する oikasuy (oiokere-eikasuy) (新): [他] (人) に人を助成させる ikasuyre (iokere-eikasuy) (新): [他] (人) に助成する kasuy (iokere-ekasuy) (新): [他] ~に関して(人) に助成する ekasuy (okere-ekasuy) (新): [他] ~と共に(人) に助成する kokasuy (koiokere-ekasuy) (新): [他] (原因、手段) で(人) に助成する okasuy (oiokere-ekasuy) (新): [他] (人) に(人) を助成させる kasuyre (iokere-ekasuyre) (新): [他] 人(人) を助成させる、してもらう kasuyyar (iokere-ekasuyyar) (新): [自] 自分を助成させる、してもらう sikasuyyar (siokere-ekasuyyar) (新): [名] 助成金 ikasuyikor (iokere-eikasuyikor) (新)、[名]

cioikasuyre (ciokere-eikasuyre) (新): [名] 助成事業 cieikasuykunip (ciokere-eikasuykunip) (新)

じょせい(女性) ① (性別として男性に対する) [名] 女性 menoko (石狩)、[名] (雅) mataynu (石狩)、[名] matnekur (八雲): [名] (合成語の構成要素として) 女性 mat(-ci) (石狩): [名] 和人の女性 kurmat (石狩): ② [名] (一人前になってから老婆になるまでの) 女性 menoko (石狩): [名] 立派な、素晴らしい女性 katkemat (石狩): [名] 嫁入り前の若い女性 ponmenoko (石狩): (表現) 美しい女性 pirka menoko (石狩): (表現) 醜い女性 ipokas menoko (石狩)、(表現) sirun menoko (石狩) ※ (本来は悪い女性と考えられる): (表現) 悪い、性悪の女性 kewtumuwen menoko (石狩): (表現) 悪い女性 wen menoko (石狩) ※ (醜い女性、貧乏な女性の場合もある): [名] (陰部に白い毛がまばらに生えている) 夫を不幸にする女性 iwentemat(-ci) (石狩): [名] 性交の際大きく目を見開き夫を睨む夫を不幸にする女性 isikecire-iwentemat(-ci) (石狩): 膣口の大きな女性 oporo-menoko (石狩): [名] 膣口の小さな女性 opon-menoko (石狩): [名] 病気のため膣内に熱のある女性 isuwecire-iwentemat (沙流): [名] (伝説中の “Menaspa” に住むとされる) 陰部に歯が生えた女性 onimakus-menoko (幌別): 「メナシパの女は陰部に歯が生えた女なので、男とセックスするとその男を殺し、そうすると女たちはその男性器を奪い合ってそれを連ね首飾りを作る。」 “Menaspa un menoko anakne onimakus-menoko ne kusu okkayo kor kor ne okkayo rayke awa menoko utar ciyehe ukoehunara wa sayekar ayme tamasay ne kar.”: ③ [連体] 女性の matne (石狩) ※ (人間の性別以外に文法上の性に関してもこの語を使う): (表現) 女性名詞 matne réitak (新)

じょせいき(女性器) ① (婉曲的な表現として) [名] 女の持ち物 menokokorpe (石狩): [場名] 懐 upsor(-o) (石狩): [場名] 下腹部 honkes(-e) (石狩): [場名] (女性器として) 下 pok(-i) (石狩)、[場名] pánake (美幌): [名] 船 cip(-i) (釧路): [名] 鱧 samampe (石狩)、[名] tantaka (白糠): [名] 畑 toy (幌別): [名] 少女の女性器 hakkatap (石狩)、[名] poysamampe (幌別) ※ (小鱧)、[名] pompaskutto (幌別) ※ (小蛤): その他婉曲的な表現として話者が女性であれば、“ku=kor pe”とも言う。: ② (直接的な表現として) [名] 女性器 kakka (石狩): [名] 膣口 citcar(-o) (新)、[名]

citpar(-o) (新): [名]膻 cit(-ci) (H): [名]子宮 póat(-u) (石狩): [名]陰核 poksampe (新)※(樺太白浦)、[名]menokoci(-ye) (浦河)、[名]kamiasi (石狩): [名]大陰唇 sipokcapus(-i) (新)、[名]sipokpapus(-i) (新): [名]小陰唇 mopokcapus(-i) (新)、[名]mopokpapus(-i) (新): [名]恥丘 enkip(-i) (天塩): [名]陰毛 honuma (石狩): ③[名](夫に幸運をもたらすという)白い毛の生えた女性器 oretarpeus (石狩): [名](夫に幸運をもたらすという)白い毛の生えた女性器 repunkamuy-koupsorkorpe (穂別): [名](夫に幸運をもたらすという)黒く長い毛がふさふさ生えている女性器 kimunkamuy-koupsorkorpe (穂別)、[名]kamuyko-upsorkorpe (沙流): [名](夫を不運にするという)恥丘までしか毛のない女性器 aripirikorpe (石狩)、[名]eturenkakorpe (美幌): [名](夫を不運にするという)恥丘の半面にしか毛のない女性器 earkuca-korpe (石狩)、[名]arkakikorpe (沙流)、[名]earkake-korpe (穂別): [名](夫を不運にするという)陰部と肛門の間に横に毛の生えている女性器 otoncikamakorpe (石狩): [名](夫を不運にするという)恥丘の陰毛が長く両側に毛がない女性器、恥丘の下端に5、6本の陰毛がだけの女性器 mantarikorpe (沙流): [名](夫を不幸にするという)毛が全く生えぬ女性器 oattontonep(-i) (穂別): [名](夫を不運にするという)膻口が普通よりずっと上に付いた女性器 eanniuspe (穂別): [名]膻口が普通よりずっと下に付いた女性器 herasiparop(-i) (穂別): [名](夫を不運にするという)膻の中に横棒がある女性器 otoncikamani-korpe (沙流): [名]上付きの女性器 oriuspe (新): [名]下付きの女性器 orauspe (新)、[名]sinnaupsorkorpe (穂別)、[名]sinnare-korpe (穂別): [名](夫を食うという)陰部の割れ目の上端が二股になっている女性器 easnius (沙流): [名]膻口と肛門が一つになった女性器 cikapkokkep (沙流): [自]膻口が大きくなる、大きい oporo (石狩): [自]膻口を小さくする、小さい opon (石狩): [自]女性器がパクパクする ohasahasa (天塩): [自]女性器に裂傷を負う sihopere (新): [名]女性器の臭い ohura (新)、[名]pokhura (新)、[名]orankohuranu (新): [自]女性器の臭いがきつい ohuraruy (沙流): (表現)女性器の臭いがきつい pokhura at (沙流)

じよせつ(除雪) [自]除雪する kaske (石

狩): [他](場所)を除雪する ekaske (新): [他]〜と共に除雪する kokaske (新): [他](手段)で除雪する okaske (新): [他](人)に除雪させる kaskere (新): [自]自分で、一人で除雪する yaykokaske (新): [自]互いに、皆で除雪する ukokaske (新): [自]人に除雪させる、してもらう kaskeyar (新): [名]雪掻きする道具 kaskep (石狩)

じよそう(除草) [自]水田、畑の除草をする toymunkar (石狩): [他](場所)で除草をする etoymunkar (新): [他]〜と共に除草をする kotoymunkar (新): [他](原因、手段)で除草をする otoymunkar (新): [他](人)に除草をさせる toymunkare (新): [自]自分で、一人で除草をする yaykotoymunkar (新): [自]皆で除草をする ukotoymunkar (新): [名]除草剤 toymunkarkusuri (新)、[名]ciotoymunkarkusuri (新)

しよぞく(所属) [自]所属する ionrak (新)、[自]iorun (新)、[自]irak (新): [他]〜に所属する onrak (新)※(〜の中に属する)、[他]orun (新)※(〜の中にいる)、[他]rak (石狩): [他]〜と共に〜に所属する koonrak (新)、[他]koorun (新): [他](原因、手段)で〜に所属する oonrak (新)、[他]oorun (新): [他](人)に〜に所属させる onrakte (新)、[他]orunte (新): [他]自分で、一人で〜に所属する yaykoonrak (新)、[他]yaykoorun (新): [他]互いに、皆で〜に所属する ukoonrak (新)、[他]ikoorun (新): (文法)[名]所属形 ionrakkat(-u) (新)、[名]iorunkat(-u) (新)

しよぞく(諸族) [名]諸族 usaokayutar(-i) (新)

しよっかく(触覚) [名]触覚 ikerehum(-i) (新): (表現)触覚が鋭い ikerehum(-i) yupke (新): (表現)触覚が鈍い ikerehum(-i) hawke (新)

しよっかく(触角) [名]触角 rek(-i) (石狩): [名]虫の触角 kikinrek(-i) (新)

しよっき(食器) [名]食器 cioiepep (石狩)、[名]anoípep (anoípep) (石狩)、[名]aneiope (石狩)

しよっつる(魚醤)[名]魚醤 runnuceppe (新)、[名]sotturu (新)※(日本語)

しよっばく [自]そっばくなる、しよっばい runnu (石狩)、[自]ruriyupke (天塩): [他]〜をしよっばくする runnure (新)、[他]ruriyupkeka (ruriyupkere) (新): [副]しよっばく runnuno (新)、[副]ruriyupkeno (新)

しょとう(初等) [場名] 初等 makuyssouni (新)、[場名] sókes (新): (表現) 初等 makun sóuni (新): [連体] 初等の makuyssoun (新)、[連体] sókesun (新): [場名] 初等学校 atpakeun-cieipakasnuusi (新)

しょとう(諸島) [場名] 諸島 usapoyssir (新)

しょにん(諸人) (表現) 諸人 usaokay utar (新)

しょばつ(処罰) ① [自] 人を処罰する ipanakte (新): [他](人)を処罰する panakte (石狩): [他](場所)で～を処罰する epanakte (新): [他]～と共に～を処罰する kopanakte (新): [他](原因、手段)で～を処罰する、～の事で～を処罰する opanakte (新): [他](人)に～を処罰させる panaktere (新): [他]自分で、一人で～を処罰する yaykopanakte (新): [他]互いに、皆で～を処罰する ukopanakte (新): ②[自]処罰を受ける sikkoiapakar (沙流): [他]～で処罰を受ける sikopaoyar (沙流): (表現)(実際の処罰とは別に、人にあれこれ罪を責められ処罰される)口の端にも処罰を受ける itak utur sikopaoyar (沙流)※(久保寺神謡 10)

しょめい(署名) [自]署名する reénuyere (新): [他](人)に署名させる rénuysere (新)

しょめい(助命) ①[他](発話者が)～を助命する sikkuka (石狩): ②[他](発話者以外が)～を助命する sikkure (石狩)

しょめい(除名) [自]除名する iioresakka (新): [他]～を除名する iioresakka (新): [他]～と共に～を除名する koiioresakka (新): [他](場所)から～を除名する oresakka (新): [他](原因、手段)で～を除名する oioresakka (新): [他](人)に～を除名させる iioresakkare (新): [他]人に～を除名させる、してもらう iioresakkayar (新): [自]自分を除名させる、してもらう siioresakkayar (新): (表現)～を除名処分にする ～ panakte wa iioresakka (新)

しょゆう(所有) [自]物を所有する ikor (新)、[自] inu (新): [自]人を所有する unkor (新)、[自] unnu (新): [他]～を所有する kor (石狩)、[他] nu (新): [他]～として～を所有する ekor (石狩)、[他] enu (新): [他](場所)で～を所有する ekor (新)、[他] nu (新): [他]～と共に～を所有する kokor (新)、[他] konu (新): [他](原因、手段)で～を所有する okor (新)、[他] onu (新): [他](人)に～を所有させる kóre (石狩)、[他] núre (新): [他]完全に～を所有する oarkokor

(arkor) (新)、[他] oannu (annu) (新): [他]充分に～を所有する konno (konnu) (新)、[他] núno(núnu) (新): [他](中相)～が所有される cikor (新)、[他] cinu (新): [他]人に～を所有させる korar (石狩): (文法)[名]所有格 ikorperewke (新): [名]所有財産 cikorataynup (cinuataynup) (新): [場名]所有地 cikori (cinui) (新): (表現)所有地 an=kór iwor (新): [名]所有物 cikorpe (cinup) (新)

じょゆう(女優) [名]女優 ieyukannousmat (新)、[名] aktore (新)※(英語)

じょりよく(助力) [自]人に助力する ikasuy (石狩): [他]～の事で人に助力する eikasuy (石狩): [他]～と共に人に助力する koikasuy (新): [他](原因、手段)で人に助力する oikasuy (新): [他](人)を人に助力させる ikasuyre (石狩): [他](人)に助力する kasuy (石狩): [他]～の事で(人)に助力する ekasuy (新): [他]～と共に(人)に助力する kokasuy (新): [他](原因、手段)で(人)に助力する okasuy (新): [他](人)を(人)に助力させる kasuyre (石狩): [他](人)に助力させる、してもらう kasuyyar (新): [他]自分に助力させる、してもらう sikasuyyar (新): [自]助力し合う ukasuy (石狩)

じょい(書類) [名]書類 cinuyekampi (新)、[名] ciionuyekampi (新)※(物事のために書かれた紙)、[名] dokumento (新)※(英語): [名]書類かばん cinuyekampikarop (新)、[名] ciionuyekampi-karop (新): [名]書類ケース cinuyekampiop (新)、[名] ciionuyekampiop (新)

じょう(初老) [場名] 初老 tuhotnepa (新)、[名] tuhot (新)

じらい(地雷) [名]地雷 toytumumpustekpe (新): (表現)地雷を敷設する toytumumpustekpe ama (新)

シラウオ(白魚) (魚介)[名](キュウリウオ目)シラウオ科 rayraycep-apa (新)、[名]シラウオ属 rayraycep-cise (新): [名]シラウオ rayraycep (美幌): [名]イシカワシラウオ isikawarayraycep (新)

しらが(白髪) [名]白髪 retarpe (石狩): (料理)[名]白髪葱 negiretarpe (新)

シラカンバ(白樺) (植物)[名](カバノキ属)シラカンバの茎 retattatni (沙流)、[名] pétatni (浦河)、[名] kítatni (石狩): [名]その樹皮 retattat (沙流)、[名] pétat (浦河)、[名] kítat (石狩)

しらくも(白雲) [名]白雲 retannis (新)、[名] retanniskur (新)

しらくも(白癬) [名]白癬 rusirma (石狩):
[自]〜に白癬がたかる rusirmao (新)

しらこ(白子) [名]白子、魚の精囊 up(i) (石狩)

シラサギ(白鷺) (鳥)[名](サギ亜科)シラサギ属
retarpetcakoas-cise (新): [名]シラサギ
retarpetcakoas (新): [名]カオジロサギ
nanuretarpetcakoas (新): [名]カラシラ
サギ atuyyapetcakoas (新): [名]クロコ
サギ kunnemopetcakoas (新): [名]クロ
サギ kunnepetcakoas (新): [名]コサギ
mopetcakoas (新): [名]サンショクサギ
reirouspetcakoas (新): [名]スミレサギ
repunatuyiropetcakoas (新): [名]ノドア
カクロサギ rekucihurepetcakoas (新):
[名]ムナジロサギ nuysamaretarpetcakoas
(新): [名]ユキサギ upaspetcakoas (新)
しらしめる(知らしめる) [他]人に〜を知らし
める uneramante (uneramuante) (新):
[他](人)に〜を知らしめる eramante
(eramuante) (石狩): [他]〜に自分の事
を知らしめる yayeramante
(yayeramuante) (新)

シラスナガイ(白砂貝) (魚介)[場名](フナガイ
目)シラスナガイ上科
pororetarotaoruysey-apapa (新): [名]シ
ラスナガイ科 pororetarotaoruysey-apa
(新): [名]オオシラスナガイ属
pororetarotaoruysey-cise (新): [名]シラ
スナガイ retarotaoruysey (新): [名]オ
オシラスナガイ pororetarotaoruysey
(新): [名]チリオオスナガイ
ciriretarotaoruysey (新): [名]ヌノメシラ
スナガイ senkakiretarotaoruysey (新):
[名]ミノシラスナガイ
minoretarotaoruysey (新): [名]シラスナ
ガイモドキ科 ciretarotaoruyseykopa-apa
(新): [名]エンプレコニア属
empurekonია-cise (新): [名]オリイレシラ
スガイ kotunretarotaoruysey (新): [名]オ
プリモパ属 oprimopa-cise (新): [名]シ
ラスナガイ retarotaoruysey (新): [名]
クレヌリリモプシス属 kurenuririmopsis-
cise (新): [名]ナミシワアイラスナガイ
páruweretarotaoruysey (新)※(年輪白砂
貝): [名]ニッポノリモプシス属
nipponorimopsis-cise (新): [名]マメシラ
スナガイ nokaanretarotaoruysey (新):
[名]シラスナガイモドキ
ciretarotaoruyseykopa (新): [名]タマキ
ガイ科 cupsey (新)

しらせ(知らせ) [名]知らせ sonko (石狩):
(表現)知らせが来る sonko ek (石狩):
[名](雅語)知らせ asur(u) (石狩): [自]

知らせる asurani (新)、[自] asurkor
(石狩)、[自] sonkokor (石狩)、[自] teskar
(石狩): (表現)知らせる asur asi (石狩)、
(表現) sonko sanke (石狩)、(表現) sonko
ye (沙流): [他]〜を知らせる easurani
(新)、[他] easurkor (石狩)、[他]
esonkokor (石狩)、[他] euepeker (石狩)、
[他] eteskar (新): [他](人)に知らせる
koasurani (新)、[他] koasurkor (石狩)、
[他] kosonkokor (新)、[他] koteskar
(新): [他]〜と共に知らせる koasurani
(新)、[他] koasurkor (新)、[他]
kosonkokor (新)、[他] koteskar (新):
[他](原因、手段)で知らせる oasurani (新)、
[他] oasurkor (新)、[他] osonkokor (新)、
[他] oteskar (新): [自]人を知らせに行か
せる sonkoaniyar (石狩): [他]〜に漏れ
なく知らせる sonkopiste (沙流):
[自](離れた土地の間)で知らせのやり取りが
ある sonkokus (新): [他](離れた土地の
間)で〜について知らせのやり取りがある
kosonkokus (石狩)

しらない(知らない) ①(知識、情報が無い事に
より)[自]ものを知らない ierampetek
(新): [他]〜を知らない erampetek (石
狩)、[他](雅) koerampetek (石狩): [名]
知らない事 yayerampetekkorpe (石狩)、
[名] cierampetekpe (新)、[名]
anerámpetekpe (新): [他]〜を少しも知
らない、全く知らない oarerampetek (石
狩)、[他] konottayas (沙流)、[他]
koannotayne (沙流): ②(経験が無い事に
より)[自]ものを知らない ieramuskare
(ierameskari) (新): [他]〜を知らない
eramuskare (erameskari) (石狩)、[他](雅)
koeramuskare (koerameskari) (石狩):
[名]知らない事 cieramuskarep
(cierameskarip) (新)、[名]
anerámuskarep (anerámeskarip) (新):
③[間投](何かを尋ねられて)知らない uwa
(石狩)

しらなみ(白波) [名]白波 kaykay (石狩):
[名]白波文様 kaykaynoka (石狩): (表
現)白波模様の小袖 kaykaynoka oma
kosonte (石狩)

シラネニンジン(白根人参)(植物)[名](セリ科)シ
ラネニンジン属 cupkaupewkina (新):
[名]シラネニンジンの茎葉 cupkaupewkina
(新): [名]イブキゼリモドキの茎葉
ciibukiserikopa (新): [名]ミヤマウイキョ
ウの茎葉 metotuscupkaupewkina (新)

しらばくれる [自]しらばくれる
siramusamte (沙流): [他]〜についてし
らばくれる esiramusamte (新):

[他](場所)でしらばくれる *esiramuisamte* (新): [他](人)に対してしらばくれる *kosiramuisamte* (新): [他]〜と共にしらばくれる *kosiramuisamte* (新): [他](原因、手段)でしらばくれる *osiramuisamte* (新): [他](人)にしらばくれさせる *siramuisamtere* (新): [自]自分で、一人でしらばくれる *yaykosiramuisamte* (新): [自]互いに、皆でしらばくれる *ukosiramuisamte* (新)

しらふ(素面) [自]素面である *nuasi* (石狩): [他](人)を素面にする *nuasire* (新)

しらべる(調べる) ① [自]人物を良く調べる *unuwante* (複数 *unuwampare*) (新): [自]物事を良く調べる *iuwante* (複数 *iuwampare*) (新): [他]〜を良く調べる *uwante* (複数 *uwampare*) (石狩): 石狩方言では単複の区別はほとんど無く、単数形は合成語の構成要素として現れるのみであるが、今後は単複の区別をしたい人はしても良い。: [他](場所)で〜を良く調べる *euwante* (複数 *euwampare*) (新): [他]〜と共に〜を良く調べる *kouwante* (複数 *kouwampare*) (新): [他](原因、手段)で〜を良く調べる *ouwante* (複数 *ouwampare*) (新): [他](人)に〜を良く調べさせる *uwantere* (複数 *uwamparere*) (新): [他]〜を良く調べる *huymampa* (沙流): ② [自]身辺(身元、素性など)を良く調べる *siruwante* (複数 *siruwampare*) (石狩): [他]〜について身辺(身元、素性)を良く調べる *esiruwante* (複数 *esiruwampare*) (石狩)、[他] *kosiruwante* (複数 *kosiruwampare*) (石狩): [他]〜と共に身辺(身元、素性など)を良く調べる *kosiruwante* (複数 *kosiruwampare*) (新): [他](原因、手段)で身辺(身元、素性など)を良く調べる *osiruwante* (複数 *osiruwampare*) (新): [他](人)に身辺(身元、素性)を良く調べさせる *siruwantere* (複数 *siruwamparere*): [自]自分のやった事を調べる *yaysiruwante* (新)、[自] *yayhuymampa* (沙流)

しり(尻) [名]尻 *osor(-o)* (石狩): (表現)尻がひくひく動く *osor(-o)* *ronronke* (幌別) ※(左側なら男、右側なら女の来客がある): [接頭](動詞などに接頭し項の数を一つ減らして)尻 *ho-* (石狩): [接頭](動詞などに接頭し項の数を減えず)その尻 *o-* (石狩): [名]尻の穴 *osorpuy(-e)* (石狩)、[名] *otompuy(-e)* (石狩)、[名] *sisuy(-e)* (石狩)、[名] *yorpuy(-e)* (天塩): (表現)(赤子がうんちをして)尻の穴にひびく *osorpuye* (*yorpuye* など) *parkar* (*carkar*) (新) ※(幌別は"parkan"): (表現)尻の毛 *osor(-o)*

numa (新): [名]尻の肉 *osorkam(-i)* (石狩): [名]尻の溝 *innay(-e)* (幌別)

シリア ① [場名]シリア・アラブ共和国 *Suriya Arabikor Ukotankoremosir* (新) ※(首都は「ダマスカス」): [場名](国名の通称として)シリア *Suriya* (新): [名]シリア人、国民 *suriyaunkur* (新): ② [場名](アラブ占領以前、あるいは西洋人から見た小アジアの地名として)シリア *Siria* (新): [名]シリア人 *siriaunkur* (新)

シリアゲハ(シリア揚羽) [名](ギフチョウ族)シリアゲハ属 *suriya-kitomarewrew-cise* (新): [名]シリアゲハ *suriya-kitomarewrew* (新):

しりあい(知り合い) [名]知り合い *amkirkur* (石狩): [他]〜と知り合いである *amkir* (石狩)、[他] *kir* (石狩): [他]〜と〜を知り合いにする *amkire* (新): [他]〜と深い知り合いである *amkinno* (*amkinnu*) (新): [自]互いに知り合いである *uamkir* (新): [他]〜と知り合いではない *eramuskare* (*erameskari*) (石狩): [自]知り合う、っている *amkirkunne* (新): [他]〜と知り合う、っている *koamkirkunne* (新): (表現)〜と知り合う、っている *tura amkirkunne* (新): [他](場所)で〜と知り合う、っている *ekoamkirkunne* (新): [他](原因、手段)で〜と知り合う、っている *okoamkirkunne* (新): [他]〜と〜とを知り合わせる *amkirkunneka* (*amkirkunnere*) (新)

シリアゲアリ(尻上蟻) (昆虫)[名](フタフシアシ亜科)シリアゲアリ属 *osorpuniitunnap-cise* (新): [名]キイロシリアゲアリ *sikerpepusosorpuniitunnap* (新): [名]クボミシリアゲアリ *kotneosorpuniitunnap* (新): [名]テラニシシリアゲアリ *ikkewerewkeosorpuniitunnap* (新): [名]ハリブトシリアゲアリ *kemiruweosorpuniitunnap* (新)

シリウス (宇宙)[名]シリウス *Sirius* (新) ※(大犬座のα星)

しりがでる(尻が出る) ①(露出する)[自]尻(尾、性器)が出る *osara* (石狩): ②(突き出る)[自]尻(尾、性器)が出る *otuk* (新)

しりがひっかかる(尻が引っ掛かる) [自]尻(尾)が引っ掛かる *osirok* (石狩): 「…林となった柳の下でお前の尻(尾)が引っ掛かるだろうよ…」 「… *susutay corpoki ta e=osirok nankonna* (<*nankor na*) …」 (杉村キナラブク)神謡

じりつ(而立) (表現)而立 *wampa ikasma hotne pa* (新)、(表現) *wampa etuhotne pa*

(新)

しりびれ(尻鰭) (魚介)[名] 尻鰭
sipuyemokrap(-i) (石狩)

しりょう(死霊) [名] 死霊 rayramat(-ci) (石狩)、[名] raykur (石狩)、[名] raykamuy(-e) (H): (表現)死霊が～をとり殺す rayramat(raykur)～uk (石狩)

しりょう(資料) [名] 資料 síasur (新)、[名] sínoasur (新)、[名] dáta (新)※(英語): (表現)資料を集める síasur (sínoasur) uekarire (新)

しりよく(視力) [名] 視力 inkareaskay (新): (表現)私の視力 ku=kor inkareaskay (新)

しりをだす(尻を出す) ①(露出)[自]尻(尾、性器)を出す hosarare (新): [他](人)に尻を出させる hosararere (新): ②(突出)[自]尻(尾、性器)を出す hotuku(複数 hotukpa) (新): [他](人)に尻を出させる hotuku(複数 hotukpare) (新)

しりをたたく(尻を叩く) ①(一回)[他]～の尻を叩く okik (新): [他](場所)で～の尻を叩く eokik (新): [他]～と共に～の尻を叩く kookik (新): [他](原因、手段)で～の尻を叩く ookik (新): [他](人)に～の尻を叩かせる okikte (okitte) (新): ②(何回も)[他]～の尻を叩く okikkik (石狩): [他](人)に～の尻を叩かせる okikkikte (okikkitte) (新)

しりをふく(尻を拭く) [自]尻を拭く hoyayke (石狩): [他](場所)で尻を拭く ehoyayke (新): [他]～と共に尻を拭く kohoyayke (新): [他](原因、手段)で尻を拭く ohoyayke (新): [他](人)に尻を拭かせる hoyaykere (新): [自]サッと尻を拭く、尻の拭き方が充分ではない hoyayketek (新): [自]しっかり尻を拭く oarhoyayke (arhoyayke) (新): [名]尻拭き、尻拭き篋 hoyaykep (石狩): 口承文芸では金や銀の尻拭き篋が出て来るが、日常生活では昔ならフキなどの葉や木片、後にはちり紙なども hoyaykep と言った。

しりをふる(尻を振る) ①[自]尻(尾)を振る horipi(複数 horippa) (新): [他](場所)で尻(尾)を振る ehoripi(複数 ehorippa) (新): [他]～と共に尻(尾)を振る kohoripi(複数 kohorippa) (新): [他](原因、手段)で尻(尾)を振る ohoripi(複数 ohorippa) (新): [他]～に尻(尾)を振らせる horipire(複数 horippare) (新): ②(何回も)[自]尻(尾)を振り振りする horipiripi(複数 horipparippa) (石狩)、[自](雅語) osoroykioyki (石狩)

シリリング [名](ケニア、ウガンダ、タンザニア、

あるいはかつてのイギリスやオーストラリアの通貨単位)シリリング sirin(siringu) (新)

しる(汁) [名] 汁 ohaw(-e) (石狩): (表現)汁をすする ohaw ni (石狩)

しる(知る) [自]物事を知る ieraman (ieramuan)(複数 ieramuokay) (新): [他]～を知る eraman (eramuan)(複数 eramuokay) (石狩)※(他動詞だが、単複は主語の数による。但し複数形はほとんど使われなかった。また発音は普通"eraman"。)、[他](雅語) koeraman (koerauman) (石狩): [他](場所)で～を知る eeraman (eeramuan)(複数 eeramuokay) (新): [他]～と共に～を知る koeraman (koeramuan)(複数 koeramuokay) (新): [他](原因、手段)で～を知る oeraman (oeramuan)(複数 oeramuokay) (新): [他]自分で、一人で～を知る eraman (eramuan)(複数 eramuokay) (新): [他]互いに、皆で～を知る eraman (eramuan)(複数 eramuokay) (新): [他]完全に～を知る oareraman (oareramuan)(複数 oareramuokay) (新)、[他] areraman (areramuan)(複数 areramuokay) (新): [他]充分に～を知る eramanno (eramuanno)(複数 eramuokayno) (新)、[他] eramannu (eramuannu)(複数 eramuokaynu) (新): [他]本当に～を知る sieraman (sieramuan)(複数 sieramuokay) (新): [他]減茶苦茶～を知る toykoeraman (toykoeramuan)(複数 toykoeramuokay) (新): [他]ひとりでに～を知る sikoeraman (sikoeramuan)(複数 sikoeramuokay) (新): [他]人に～を知ってもらう eramayyar (eramuayyar)(複数 eramuokayyar) (新): [自]自分を知る yayeraman (yayeramuan)(複数 yayeramuokay) (新): [自]互いを知る ueraman (ueramuan)(複数 ueramuokay) (新)

しるこ(汁粉) [名] 汁粉 ankorur (新)

ジルコニウム (化学)[名] ジルコニウム zirkonium (新)※(原子番号40番。元素記号 Zr)

しるし(印) ①[名] 印 sirosi (石狩): [名] 矢先の印 aysirosi (石狩): ②[自]印をつける sirosikar (石狩): (表現)印をつける sirosi kar (石狩): [他](場所)で印をつける esirosikar (新): [他]～に印をつける kosirosikar (新): [他]～と共に印をつける kosirosikar (新): [他](原因、手段)で印をつける osirosikar (新): [他](人)に印をつけさせる sirosikare (新): ③

[自](印をつけるため)木の皮を削る
 níkewre (石狩)
シルフ [名](精霊の名)シルフ sirfe (新)※
 (独語)
しれい(司令) [自]司令する ipawetenke
 (新)、[他]ikaspaotte (新): [他]〜を司令す
 る pawetenke (新)、[他]kaspaotte (新)、
 [他] kommando (新)※(英語): [他](場所)
 で〜を司令する epawetenke (新)、
 [他]ekaspaotte (新): [他]〜と共に司令す
 る kopawetenke (新)、[他]kokaspaotte
 (新): [他](原因、手段)で司令する
 opawetenke (新)、[他]lokaspaotte (新):
 [他](人)に〜を司令させる pawetenkere
 (新)、[他]kaspaottere (新): [名]司令官
 ipawetenkekur (新)、[名] ikaspaottekur
 (新)、[名] kommander (新): [場名]司令
 所 ipawetenkeusi (新)、[場名]
 ikaspaotteusi (新): [名]司令船
 ipawetenkecip (新)、[名] ikaspaottecip
 (新): [名]司令塔 ipawetenkeus-
 riknaaspe (新)、[名] ikaspaotteus-
 riknaaspe (新): [場名]司令部 sapausi
 (新)、[場名] sapausike (新)
じれい(辞令) [名] hunta (新): [他]〜に辞
 令を出す huntakore (新): [自]辞令を受
 ける huntau (複数 huntauyna) (新)
しろ (表現)〜しろ 人称接辞辞格を伴わぬ動
 詞 (石狩): 「(単数の相手に)起きろ。」
 “Hopuni!”, 「(複数の相手に)起きろ。」
 “Hopumpa!”, 「これを食べ。」“Tampe e!”
しろ(城) [名]城 cási (石狩): (表現)育ちの
 城 iresu cási (石狩): (表現)城の中 cási
 upso (ussoro) (新)
シロイルカ(白海豚) (動物)[名](イッカク科)シ
 ロイルカ属 mónihumpe-cise (新): [名]
 シロイルカ mónihumpe (樺太)※(別名
 「ペルーガ」)
シロイワヤギ(白岩山羊) (動物)[名](ヤギ亜族)
 シロイワヤギ属 retariwayagi-cise (新):
 [名]シロイワヤギ retariwayagi (新)
じろう(耳漏) (表現)耳漏になる kisar(-a)
 yénu (H)
シロウオ(素魚) (魚介)[名](スズキ目ハゼ科)シ
 ロウオ属 peketceppo-cise (新): [名]シ
 ロウオ peketceppo (新)
しろうと(素人) [名]素人 ieramuskarekur
 (新)、[名] ierameskarikur (新): (表現)
 〜の素人 名詞、名詞句 + eramuskare
 (erameskari)(a)kur (新): nínuye(木
 彫) + eramuskare (erameskari)(a)kur →
 nínuye eramuskare (erameskari)(a)kur
 「木彫の素人」: (表現) 動詞句 +
 eramuskare (erameskari)(a)kur (新):

pet otta peray(川で魚釣りする) +
 eramuskare (erameskari)(a)kur → pet
 otta peray eramuskare (erameskari)
 (a)kur 「川釣りの素人」: [自]素人である
 ieramuskare (新)、[自] ierameskari
 (新): [他]〜について素人である
 eramuskare (石狩)、[他] erameskari (石
 狩): [他](場所)で〜について素人である
 eeramuskare (新)、[他] eerameskari
 (新): [他]〜と共に〜について素人である
 koeramuskare (新)、[他] koerameskari
 (新): [他](原因)で〜について素人である
 oeramuskare (新)、[他] oerameskari
 (新): [他](人)を〜について素人にする
 eramuskarere (新)、[他] erameskarire
 (新): [他]自分で、一人で〜について素人
 である yaykoeramuskare (新)、[他]
 yaykoerameskari (新): [他]互いに、皆で
 〜について素人である ukoeramuskare
 (新)、[他] ukoerameskari (新): [他]全く
 〜について素人である oareramuskare
 (areramuskare) (新)、[他]
 oarerameskari (arerameskari) (新):
 [他]滅茶苦茶〜について素人である
 toykoeramuskare (新)、[他]
 toykoerameskari (新)

シロオナガタイマイ(白尾長タイマイ) (昆
 虫)[名](アオスジアゲハ族)シロオナガタイ
 マイ 属 rerarsaratanne-ruun-
 kitomarewrew-cise (新): [名]シロオナ
 ガタイマイ rerarsaratanne-ruun-
 kitomarewrew (新): [名]アゲシラウス
 オナガタイマイ agesíraus-rerarsaratanne-
 ruun-kitomarewrew (新): [名]テレシ
 ウスオナガタイマイ teresíraus-
 rerarsaratanne-ruun-kitomarewrew (新):
 [名]ホソバシロオナガタイマイ rerar-
 anesaratanne-ruun-kitomarewrew (新)

シロカサガイ(白笠貝) (魚介)[名](カサガイ目)
 シロカサガイ科 retarkasasey-apa (新):
 [名]スゲガサ yaunretarkasasey (新)

しろぎつね(白狐) (幾つかの物語の中で)[名]白
 狐 upascironnup (石狩): [名]白狐の神
 upascironnup-kamuy (石狩): 物語に出
 てくるだけで、実際祀られるのは同じ名でも
 危難救いの神とされる「エゾイタチの神」:
 [名]ユーラップ岳に住み人の危難を救う白狐
 の神 retar poro situmpe-kamuy (八雲)

しろきはなだ(白縹) [自]白縹色になる、である
 retar-ittonesumpeus (新): [他]〜を白縹
 色に染める retar-ittonesumpeusi (retar-
 ittonesumpeuste) (新): [名]白縹色
 retar-ittonesumpeus-iro (新)

しろく(白く) [自]白くなる、白い retar (石

狩): [他](場所)で白くなる、白い eretar (新): [他]~と共に白くなる、白い koretar (新): [他](原因、手段)で白くなる、白い oretar (新): [他]~を白くする retarka (retare) (新): [自]完全に白くなる、白い oanretar (anretar) (新): [自]充分白くなる、白い retanno (retannu) (新): [自]本当に白くなる、白い síretar (新): [自]滅茶苦茶白くなる toykoretar (新): [自]真っ白くなる、真っ白い retanno (新)、[自] (新): [他]~を真っ白くする retannoka (新): [副]白く retar (retanno) (新): [名]白色 retar-iro (新)

しろくま(白熊) [名] 白熊 retar-kamuy (新)、[名] retar-eper (新)

しろざとう(白砂糖) [名] 白砂糖 retattopenota (新)

シロスジコウモリ(白筋蝙蝠) (動物)[名](アカフルーツヘラコウモリ亜科)シロスジコウモリ属 ruunkapap-cise (新): [名]シロスジコウモリ retanruunkapap (新): [名]アルベリコシロスジコウモリ arberiko-ruunkapap (新): [名]ブラジルシロスジコウモリ burazirun-ruunkapap (新): [名]プラティリヌス・アウラリウス erdoradoun-ruunkapap (新): [名]P. イスマエリ ismaer-ruunkapap (新): [名]P. インフスクス petersu-ruunkapap (新): [名]P. ウンブラトゥス riyon-ruunkapap (新): [名]P. グイアネンシス guianaun-ruunkapap (新): [名]P. ココエンシス cokoun-ruunkapap (新): [名]P. ドルサリス tomas-ruunkapap (新): [名]P. ニゲルス jefrowa-ruunkapap (新): [名]P. ニテリネア ausutorariacuppokun-ruunkapap (新): [名]P. ビッタトゥス poro-ruunkapap (新): [名]P. プラキケファルス etakne-ruunkapap (新): [名]P. ヘレリ herer-ruunkapap (新): [名]P. マス masu-ruunkapap (新): [名]P. マタパレンシス mataparoun-ruunkapap (新)

シロタイスアゲハ(白タイス揚羽) [名](タイスアゲハ族)シロタイスアゲハ属 retarapapposay-kitomarewrew-cise (新): [名]シロタイスアゲハ retarapapposay-kitomarewrew (新): [名]オオシロタイスアゲハ属 síretarapapposay-kitomarewrew (新)

シロップ [名]シロップ tópenwakka (新)、[名] sírop (新)※(蘭語)

シロナガスクジラ(白長須鯨) (動物)[名](ナガスクジラ属)シロナガスクジラ síoaspeushumpe (新)

シロヘビ(白蛇) (動物)[名](アオダイショウのアルビノ種)シロヘビ retarkamuy (新)、[名] retarkinasutunkur (新)

しろまじゅつ(白魔術) [名]白魔術、白魔法 poroitak (新)、[名] retaritak (新): [自]白魔術を行う、白魔法を唱える poroitak (新)、[自] retaritak (新)

しろみ(白身) ①(獣肉の)[名]白身 kirpo (石狩): ②(クジラの)[名]白身 rika (石狩): ③(魚の)[名]白身 retarmim(-i) (新): ④(卵の)[名]卵の白身 nókoro-wakka (新)

しろめ(白目) [名]白目 retarsiknum(-i) (石狩)

シロヨモギ(白蓬) (植物)[名](ヨモギの茎)シロヨモギの茎 pisunnoyanit (新): [名]シロヨモギの茎 pisunnoya (幌別)、[名] sirusnoya (天塩)、[名] retannoya (幌別)、[名] otakunkamarusa (樺太大泊)※(sirusnoya は「カワラハハコ」と retannoya は「ノコギリソウ」と重複するので使用注意)

しわ(皺) ①[名](一筋の)しわ yom(-i) (石狩): [名]しわしわ yomyom(-i) (石狩)、[名] yomumke (天塩): [自]しわになる、しわが寄る yoninke (石狩): [他]~にしわを寄らせる yoninkere (新): [自]しわくちやになる yoyomke (石狩): [他]~をしわくちやにする yompa (石狩): ②(表現)顔がしわだらけである nanu ukoyoyomke (新)、(表現) nanu ukoyomiyomik (幌別): ③[自]顔にしわが寄る etuyonini (石狩)、[自] nanuyoni (石狩)、[自] nimakaka (幌別)、[自] niasis (新)※(幌別): ④(痛みで)[自]顔にしわが寄る nankapkay (新): [他](人)に顔にしわを寄せさせる nankapkayte (新): (表現)ひどく顔にしわを寄せる(二つの乾いた顔の皮三つの乾いた顔の皮を背負わせ合う) tu sat nankap re sat nankap ukaykire (幌別)

シワアリ(皺蟻) (昆虫)[名](フタフシアリ亜科)シワアリ属 yomyomitunnap-cise (新): [名]トビイロシワアリ nupyomyomitunnap (新)

しわがれごえ(しわがれ声) [自](痰がからんだりして)しわがれ声になる opiyo (天塩): (表現)しわがれ声 opiyo haw(-e) (新)

シワハイルカ(皺齒海豚) (動物)[名](マイルカ亜科)シワハイルカ属 yómonimakkortannu-cise (新): [名]シワハイルカ yómonimakkortannu (yómonimakkottannu) (新)

しん(真) [副]真に sonno (石狩)、[副] síno (石狩): [副](専ら合成語の構成要素として)真に sí (石狩): [接頭]真の sí- (石狩)、[接頭] síno- (石狩): [連体]真の sían

(sianno) (石狩)
しん(芯) ①(果物や木など何かの中心)[場名]芯 ioske (新): [位名]~の芯 oske (新): ②(固くて支えとなる物)[名] motot(-ci) (沙流)、[名] ikkew(-e) (新): ③(花の中央にある器官)[名]芯 apappoci (新)
しんい(真意) (表現)~の真意 sonno (sino) ~ ramu p (新)、(表現) sonno (sino) ~ kor irenka (新)、(表現) sonno (sino) ~ kor yaynu (新)
しんい(神意) (表現)神意 kamuy irenka (石狩)
しんいき(神域) [場名]神域 kamuyewakusi (石狩)※(詞曲中ではシスタブカの山城を kamuyewakusi ne kotom an と形容する。)
しんかい(深海) [場名]深海 atuysiohoi (atuysiohohi) (新): [名]深海魚 atuysiohohiuncep (新): [自]深海探査する atuysiohohiuwante (新): [名]深海探査船 atuysiohohiuwantecip (新)
シンガポール ①[場名](国名)シンガポール共和国 Singapura Ukotankoremosir (新)※(首都は「シンガポール」): [場名](国名の通称、あるいは首都名として)シンガポール Singapura (新): [名]シンガポール人、国民 singapuraunkur (新): ②[場名]シンガポール島 Singapura-poysir (新)
しんがり(殿) [位名]~の殿 kes(長形-e、-eke) (石狩): (表現)先頭の群列の群列の殿 saypa kese (石狩): [場名]殿の群列 saykes (新): [他]~の殿になる、殿に立つ okesun (新): [他]~を~の殿に立たせる okesunte (新)
しんかん(新刊) [名]新刊 asirkampisos (新): [名]新刊本 asitciutarkoasinke-kampisos (新)、[名] asitciutarkoasinkep (新): (表現)新刊本 asinno ciutarkoasinkep (新)
シンキョウ(新疆) [場名](中華人民共和国の地名)新疆 Sincian (新): [場名](中華人民共和国の自治区名)新疆ウイグル自治区 Sincian-Uygur-sieyayetunusiwor (新): (歴史)[場名]新疆省 Sincian-purovince (新)※(1884~1955)
シングルスーツ (表現)シングルスーツ sinepne siyuk (新)
シングルベット [名]シングルベット sinen-ehotke-amset (新): [名]シングル sinen(-ehotkep) (新)
しんげつ(新月) [名]新月 asitcup (asircup) (石狩)、[名] pewrecup (天塩)、[名] icancup (アイヌの星)
じんけん(人権) [名]人権 aynu-oupekano (新)、[名] aynu-jus (新)

しんこう(信仰) [名]信仰 ieisokor (新): [自]信仰する ieisokor (新): [他]~を信仰する eisokor (新): [他]~と共に~を信仰する koeisokor (新): [他](原因、手段)で~を信仰する oeisokor (新): [他](人)に~を信仰させる eisokore (新): [名]信仰の対象 cieisokorpe (新)
しんこう(侵攻) [自]侵攻する mosirkocorawki (mosirkocorawke) (石狩): [他](場所)に侵攻する emosirkocorawki (新): [他] komosirkocorawki (石狩): [他]~と共に侵攻する komosirkocorawki (新): [他](原因、手段)で侵攻する omosirkocorawki (新): [他](人)に侵攻させる mosirkocorawki (新): [自]自分で侵攻する yaykocorawki (新): [自]互いに、皆で侵攻する ukocorawki (新)
しんこう(身光) [名]身光 tumam-sermakus-nipeki (新)
じんこう(人口) [名]人口 aynupiski (新): (表現)~の人口 人を表す名詞+cipiskip (新): irawkitupauyrukur(就業者)+cipiskip → irawkitupa-uyrukur-cipiskip 「就業者人口」: ②[自]人口が増える、多い inne (石狩): (表現)人口の多い村 inne kotan (石狩): (表現)人口の多い村、大きな村 inne kotan poro kotan (石狩): [他]~の人口を増やす inneka (innere) (新): ③[自]人口が減る、少ない moyo (石狩): [他]~の人口を減らす moyoka (moyore) (新): [自](人が)減り衰える sicupu (複数 sicuppa) (石狩)
じんこう(人工) [連体]人口の cekar (新): (表現)人口の an=kár (石狩)
じんこうえいせい(人工衛星) (表現)人工衛星 cikat pakusanociw (新)、(表現) an=kár pakusanociw (新)
じんこうちょうさ(人口調査) [自]人口調査をする sirunkurpiski (新): [他](場所)の人口調査をする esirunkurpiski (新): [他]~と共に人口調査をする kosirunkurpiski (新): [他](原因、手段)で人口調査をする osirunkurpiski (新): [他](人)に人口調査をさせる sirunkurpiskire (新): [名]人口調査標準地域 sirunkurpiskiusi (新): アメリカ合衆国で人口調査のため国勢調査局が幾つかの都市などに設ける標準地域。アラスカ州では「郡」と並ぶものとしてある地域の呼称とされるが、行政的組織はなされておらず、郡庁に相当するものはない。
しんさ(審査) [自]物事を審査する iarurenkare (新)、[自] iurenkare (新)、[自] iuwampare (新): [他]~を審査する

arurenkare (新)、[他] urenkare (新)、
[他] uwampare (新)：[他](場所)で～を
審査する earurenkare (新)、[他]
euwampare (新)：[他]～と共に審査する
koarurenkare (新)、[他] kouwampare
(新)：[他](原因、手段)で～を審査する
oarurenkare (新)、[他] ouwampare
(新)：[他](人)に～を審査させる
arurenkarere (新)、[他] uwamparere
(新)：[他]自分で、一人で～を審査する
yaykoarurenkare (新)、[他]
yaykouwampare (新)：[他]互いに、皆で
～を審査する ukoarurenkare (新)、[他]
ukouwampare (新)：[他]～を人に審査さ
せる arurenkareyar (新)、[他]
uwampareyar (新)：[名]審査員
iarurenkarekur (新)、[名] iuwamparekur
(新)：[名]審査委員会 iarurenkare-
cieirenkakorekur-uekarpa (新)、[名]
iuwampare-cieirenkakorekur-uekarpa
(新)

しんし(紳士) [名]本当に立派な年配の紳士
cacakamuy (石狩)：[名]本当に立派な紳
士 sínónispa (石狩)、[名] síutarpake
(石狩)、[名] kamuynónispa (沙流)：[名]
紳士 nispa (石狩)、[名] utarpa (石狩)
しんしつ(寝室) [名]寝室 mokottumpu
(新)、[名] ciemokottumpu (新)、[名]
tumpu (石狩)："tumpu"を「部屋」として
用いていくため、誤解を招きそうな場合は新
語の方を使う。

しんじつ(真実) [名]真実 sonnoampe (石
狩)、[名] sínóampe (沙流)：(表現)(雅)真
実、真相はこういふことです sonnoampe
sínóampe ene oka hi (沙流)：[自]真実で
ある sóné (沙流)：[他]～を真実とする
sónéka (sónere) (新)

シンシナティ [場名](アメリカ合衆国オハイオ
州の都市名)シンシナティ Šínsanati (新)

しんしゃ(辰砂) (鉱物)[名]辰砂 kemsuma
(新)※(血の石)

しんしゆ(真朱) [名]真朱色 sísumaohure-
iro (新)

しんじゆ(真珠) [名]真珠 seyoikor (新)、
[名] seyotamanum (新)、[名] sinju (新)
※(日本語)

しんじゆ(神授) (表現)神授の kamuy ranke
(石狩)：(表現)神授の名刀 kamuy ranke
tam (石狩)、(表現) kamuy ipetam (石狩)

しんじゆう(心中) [自]心中する ukoyayrayke
(新)：[他]～と心中する koyayrayke
(新)：[他](人)に心中させる koyayraykere
(新)：(表現)一家心中する sineciseunutar
ukoyayrayke (新)：(表現)無理心中する

irayke wa yayrayke (新)

しんしゆく(伸縮) (表現)伸縮する situri wa
siyoni (新)：(表現)～を伸縮させる turi
wa yoni (新)："これは伸縮自在です。"

"Tampe pirkano an=turi ka an=yoni ka
easkay."

しんじる(信じる) [自]信じる ieisokor (新)：
[他]～を信じる eisokor (石狩)：[他]～と
共に～を信じる koeisokor (新)：[他](原
因、手段)で～を信じる oeisokor (新)：
[他](人)に～を信じさせる eisokore (新)：
[他]自分で、一人で～を信じ
る yaykoeisokor (新)：[他]互いに、皆で～を
信じる ukoeisokor (新)：[他]完全に～を
信じる oareisokor (areisokor) (新)：
[他]充分～を信じる eisokonno
(eisokonnu) (新)：[他]～を信じまくる
toykoeisokor (新)：[他]人に～を信じさせ
る、信じてもらう eisokorar (新)：[自]人
に自分を信じさせる、信じてもらう
sieisokorar (新)：[自]自分を信じる
yayeisokor (新)：[自]互いに信じ合う、皆
が信じ合う ueisokor (新)

しんじん(信心) (表現)信心 ieoripak
kewtum(-u) (新)：(表現)～にへの信心
～ eoripak kewtum(-u) (新)：(表現)信心
する ieoripak kewtum yaykorpore (新)：
(表現)信心が足りない ieoripak kewtum
hayta (新)：(表現)信心深い ieoripak
kewtum sínó yaykore (新)

じんしんばいばい(人身売買) [自]人身売買する
aynueyyok (aynueiyok) (新)、[自]
aynueihok (新)：[他](人)に人身売買させ
る aynueiyokte (aynueiyokka) (新)、[他]
aynueihokte (aynueihokka) (新)

しんすい(進水) ① [他]～を進水させる
sanke (新)：[他](場所)で進水させる
esanke (新)：[他]～と共に進水させる
kosanke (新)：[他](原因、手段)で進水さ
せる osanke (新)：② [名]進水式
cipsanke (石狩)：[自]進水式を行う
cipsanke (石狩)：本来丸木舟のそれを指
すが、今後は大型船舶に關しても使う。
[他](場所)で進水式を行う ecipsanke
(新)：[他]～と共に進水式を行う
kocipsanke (新)：[他](原因、手段)で進水
式を行う ocipsanke (新)：[他](人)に進
水式を行わせる cipsankere (新)

しんせい(神聖) [自]神聖になる、である
sinupur (石狩)：[他](場所)で神聖になる、
である esinupur (新)：[他]～と共に神聖
になる、である kosinupur (新)：[他](原
因、手段)で神聖になる、である osinupur
(新)：[他]～を神聖にする sínupurka

(sínupure) (新): [自]自分で、一人神聖になる、である yaykosinupur (新): [自]互いに、皆神聖になる、である ukosinupur (新): [自]完全に神聖になる、である oassinupur (assinupur) (新)

しんせいえきか(真正液果)(植物)[名]真正液果 sípeocikaop(-i) (新)

しんせいローマていこく(神聖ローマ帝国)
(歴史)[場名][国名]神聖ローマ帝国 Sínupur Roma Ipawetenkekurkormosir (新)※(962-1806年。東フランク王国の後身。1806年解体)

しんぜつ(唇舌) [名](虫の)唇舌 parumpe (新)

しんせつ(新雪) [名]新雪 asirupas (石狩)

しんせつ(親切) [自]親切である pirkakewtumkor (石狩): [他](場所)で親切である epirkakewtumkor (新): [他](人)に親切である kopirkakewtumkor (新): [他](原因、手段)で親切である opirkakewtumkor (新): [他](人)を親切にさせる pirkakewtumkore (新): [自]人に親切にする ikopirkakewtumkor (新): [自]親切にし合う ukopirkakewtumkor (新)

しんぞう(心臓) [名]心臓 sampe (石狩): (表現)私の心臓がめらめら怒りの炎を上げる ku=atte sampe en=korikiparse kane (新)※(沙流): [名]心臓の緒 sampeat(-ci) (沙流) 心臓に付いていると考えられたもので、これが切れると死ぬ。神などの中には "yayan sampeat iwan sampeat kani sampeat iwan sampeat kor" 「六つの普通の心臓の緒と六つの金の心臓の緒を持つ」、つまり「生命力が非常に強い」と形容されるものがある。

しんそう(真相) [名]真相 sonnoampe (石狩)、[名] sínnoampe (沙流): (表現)(雅)真実、真相はこういうことです sonnoampe sínnoampe ene oka hi (沙流)

しんぞう(腎臓) [名]腎臓 kinop(-i) (石狩)

しんだい(寝台) [名]寝台 amset (石狩)、[名](雅語) sotkiamset (石狩)、[名](雅語) hotkeamset (石狩): [名](多くは合成語の構成要素として用いられ)寝台 set (石狩): [名]寝台車 amsetunupop (新): [名]開放式寝台 tumpusak-amsetumpe (新): [名]個室寝台 tumpukor-amsetumpe (新)

しんたい(身体) ①(全体を指し)[名]身体 netopa (netopake) (石狩): 「身体髪膚これを親に受く、敢えて毀傷せざるは孝の始め也。」 “An=onaha an=unuhu orwa an=netopake opitta an=uk kusu okamkino an=wente ka somo ki hi anakne atpake ta

an=ki ouseyam ne.”: [名](多くは合成語の構成要素として用いられ)身体 kew(-e) (石狩): ②(頭や四肢を除く)[名]身体 tumam(-a) (石狩): [名]身体上部 penram(-u) (石狩): [名]身体下部 panram(-u) (石狩): [名](合成語の構成要素として用いられ) ram(-u) (石狩)

じんたい(人体) [名]人体 aynunetopa (aynunetopake) (新)

しんだふり(死んだふり) [自]死んだふりをする sirayke (石狩)

しんちく(新築) [自]家を新築する asitcisekar (新): (表現)家を新築する asir cise kar (石狩): [自]新築祝いの神祈りをする cisenomi (石狩)

しんちょう(身長)[名]身長 kew(-e) (新): 「私の身長は160センチです。」 “Ku=kewe rehot ikasma atuytane sencimetre ne.”: (表現)～と～の背を比べる ～ kewe ～ kewe pakte (新): 「紗香と麗奈の身長を比べたら紗香が麗奈より背が低い。」 “Sáyaka kewe Réna kewe an=pakte ciki Réna akkari Sáyaka keweram.”: (表現)～の背を比べ合う ～kewe upakte (新): 「私がお前達の身長を比べてみるよ。」 “Es=kewe ku=upakte kusu ne na.”: (表現)身長を計る ～ kewe pákari (新): [自]身長が高くなる、高い kweri (石狩): [他]～の身長を高くする kewerika(kewerire) (新): [自]身長が低くなる keweram (石狩): [他]～の身長を低くする keweramka (keweramte) (新): [自]身長が伸びる tuk (石狩): [他]～の身長を伸ばす tukka (新): (表現)ぐんぐん身長が伸びる itto tuk pokon iki (石狩): 「私はぐんぐん身長が伸びて大きくなった。」 “Itto ku=tuk pokon ku=iki wa ku=poro.”

じんつう(陣痛) [自]陣痛になる poesiye (石狩): (表現)～が陣痛になる ～ honi arka (石狩)

しんてきがいしょう(心的外傷) [名]心的外傷 ramorumpir(-i) (新)、[名] torauma (新)

しんでん(神殿) [名]神殿 kamuy-erokcise (新)、[名] kamuy-ehorarpa-cise (新)、[名] kamuycise (新)

しんとう(神道) [名]神道 sinto (新)

ジンドウイカ(神頭烏賊) (魚介)[名](ヤリイカ科)ジンドウイカ属 sisam-epetpetke-cise (新): [名]ジンドウイカ sisam-epetpetke (新): [名]アジアボウズジンドウイカ (新): [名]ウイジンドウイカ mosisam-epetpetke (新): [名]ヒカリジンドウイカ tomsisam-epetpetke (新): [名]ヒメジンドウイカ sumatrasisam-epetpetke (新): [名]ベイ

カ beka-epetpetke (新): [名]ボウズジン
ドウィカ hesurisisam-epetpetke (新):
[名]ホソジンドウィカ ánesisam-epetpetke
(新)

しんねん(新年) [場名・副]新年 asirpa (石狩)

しんばい(心配) [自]心配する nisomap (石狩): [他]～を心配する enisomap (石狩)、
[他] epotara (沙流): [他]～と共に心配する konisomap (新): [他](原因、手段)で心配する onisomap (新): [他](人)に心配させる nisomapte (新): [自]一人で、自分で心配する yaykonisomap (新): [自]皆で心配する ukonisomap (新): [自]自分の事を心配する yayenisomap (新): [自]互いの事を心配し合う uenisomap (新): [自]ひどく心配する toykonisomap (新): [他]人に～を心配させる enisomapyar (新): [自]人に自分を心配させる sienisomapyar (新): (表現)心配事 an=eranak pe (石狩)、(表現)an=enisomap pe (新)

じんぱおり(陣羽織) [名]陣羽織 cimpaori (石狩)、[名] imikakuspe (美幌)

しんぱつ(神髪) [名]神髪 kamuy-otop(-i) (幌別): 後世「美しい髪」と理解されていたが、知里氏は分類アイヌ語辞典人間編で、かつて特別な髪形であったろうと推測し、蝦夷島奇観を引用している。:(表現)その神髪は絹ともなり頭の頂から分けて下げられ、髪先端は光輝を結ぶ kamuy-otopi sarampe ka ne ekimuykasi ciusurare otopi etoko cioimeru-kote kane (幌別)

ジンバブエ [場名](国名)ジンバブエ共和国 Zimbabwe Ukotankoremosir (新)※(首都は「ハラレ」): [場名](国名の通称として)ジンバブエ Zimbabwe (新): [名]ジンバブエ人、国民 zimbabweyunkur (新)

シンハラ [名]シンハラ人 sínharakur (新): [名]シンハラ語 sínharakuritak (新)

しんぱん(審判) [名](行為)審判 iarurenkarekur (新): [名](人)審判 iarurenkarekur (新): [自]物事を審判する iarurenkare (新): [他]～を審判する arurenkare (新): [他](場所)で～を審判する earurenkare (新): [他]～のために～を審判する、～と共に審判する koarourenkare (新): [他](原因、手段)で～を審判する oarurenkare (新): [他](人)に～を審判させる arurenkarere (新): [他]自分で、一人で～を審判する yaykoarurenkare (新): [他]互いに、皆で～を審判する ukoarurenkare (新): [他]

～を人に審判させる arurenkareyar (新)

しんぷ(新婦) [名]新婦 asirpekermat(-i) (新)、[名] asirmat(-i) (新)、[名] úpenmat(-i) (新)

しんぷ(深部) ①(海など水中)[場名]深部 síohoi (新): ②(谷など地形上)[場名] sirawnei (新)

シンフェロポリ [場名](クリミア半島の都市)シンフェロポリ Síimferopori (新)

しんぶん(新聞) [名]新聞 asurkampí (新): [名]新聞受け asurkampí-supop (新)

しんぺん(身辺) [位名]～の身辺 sam(長形-a、-ake) (新): (表現)身辺整理をする sisam un pe ukao (新): (表現)～の身辺を警護する ～ sam(長形-a、-ake) ta ～ epunkine (新): [自]身辺を良く調べる siruwante(複数 siruwampare) (石狩): [他]～について身辺を良く調べる esiruwante(複数 esiruwampare) (石狩)、[他] kosiruwante(複数 kosiruwampare) (石狩): [他]～と共に身辺を良く調べる kosiruwante(複数 kosiruwampare) (新): [他](原因、手段)で身辺を良く調べる osiruwante(複数 osiruwampare) (新): [他](人)に身辺を良く調べさせる siruwantere(複数 siruwamparere)

シンボル [名]シンボル cinokanrep (新)、[名][名] símbor (新)※(英語)

しんみりょう(辛味料) [名]辛味料 iparkarkap (iparkarep) (新)、[名] icarkarkap (icarkarep) (新)

しんみん(臣民) (表現)臣民 cimayrekur kor ussiw (新)

じんみん(人民) [名]人民 utari (新): [場名]人民共和国 utarikor-ukotankoremosir (新): [名](中華人民共和国の通貨単位「元(圓)」を他国のものと区別するために用い)人民元 utarikor-yuan (新)※(中国語では「人民幣」"rénmínbi". 単位記号は¥で、ISOコードはCNY. 補助通貨については「げん(元)」を見よ。)

しんめいき(申命記) (聖書)[名]申命記 Cikamuyirenkaetuptep (新)

じんもん(尋問) ①(質問する事) → 「たずねる(尋ねる)」を見よ。: ②(強制的に)[自]尋問する uepeker-ekoyki (新): [他]～について尋問する euepeker-ekoyki (新): [他](人)を尋問する kouepeker-ekoyki (新): [他](原因、手段)で尋問する ouepeker-ekoyki (新): [他](人)に尋問させる uepeker-ekoykire (新)

しんや(深夜) [場名・副]深夜 annoski (石狩)

しんゆう(親友) [名]親友 cisiramkorekur

(新)、[名] sítokuy (新)、[名] síukoramupirkakur (新): (表現)私の親友 ku=kor cisiramkorekur (新)、(表現) ku=kor sítokuy (ku=kossítokuy) (新)、(表現) ku=kor síukoramupirkakur (新): [名]大の親友 sínocisiramkorekur (新)

しんよう(信用) [自]信用する ieisokor (新): [他]～を信用する eisokor (石狩): [他]～と共に～を信用する koeisokor (新): [他](原因、手段)で～を信用する oeisokor (新): [他](人)に～を信用するさせる eisokore (新): [他]自分で、一人で～を信用する yaykoeisokor (新): [他]互いに、皆で～を信用する ukoeisokor (新): [他]完全に～を信用する oareisokor (areisokor) (新): [他]充分～を信用する eisokonno (eisokonnu) (新): [他]～を信用しまくる toykoeisokor (新): [他]人に～を信用させる、信用してもらう eisokorar (新): [自]人に自分を信用させる、信用してもらう sieisokorar (新): [自]自分を信用する yayeisokor (新): [自]互いに信用する、皆が信用し合う ueisokor (新)

しんよう(神謡) [名]神謡 sákekorpe (新): 以下に示す他、地域によって様々な呼び方があるため、"sákekorpe"をその総称とする。: [名]神謡 oyna (石狩)、[名] kamuyyukar (幌別)、[名] tuytak (浦河): [自]神謡を謡う oyna (石狩)

シンヨウ(瀋陽) [場名](中華人民共和国寧夏省の省都名)瀋陽 Šenyan (新)

しんようじゅ(針葉樹) (植物)[名]針葉樹 kemhamusni (新): [名]針葉樹林 kemhamusnitay (新)、[名]針葉樹林帯 kemhamusnitayso (新)

しんり(審理) [名]審理 ampepekerka (ampepekere) (新): [自]審理する ampepekerka (ampepekere) (新): [他]～について審理する eampepekerka (eampepekere) (新): [他](場所)で～を審理する eampepekerka (eampepekere) (新): [他]～と共に審理する koampepekerka (koampepekere) (新): [他](原因、手段)で審理する oampepekerka (oampepekere) (新): [他](人)に審理させる ampepekerkare (ampepekerere) (新)

しんり(心理) [名]心理 ramorumpe (新): [名]心理学 ramorumpe-eampehunar (新): [名]心理学者 ramorumpe-eampehunarkur (新): [名]心理劇 ramorumpe-simpaya (新): [名]心理言語学 itakeramorumpe-eampehunar (新): [名]心理主義 ramorumpe-samun (新): [名]心理小説 ramorumpe-cikaroruspe

(新): [名]心理戦争 ramorumpe-otumikor (新): [名]心理的瑕疵物件 cinukurip (新): [名]心理描写 ramorumpe-ekunnuye (新): [名]心理療法 iramorumpe-otemka (新)

しんり(真理) [名]真理 sinoirenka (新)、[名] siirenka (新)

しんりやく(侵略) [自]侵略する mosireikka (新): [他](場所)に侵略する emosireikka (新): [他]～と共に侵略する komosireikka (新): [他](原因、手段)で侵略する omosireikka (新): [他]～に(場所)に侵略させる mosireikkare (新): [名]侵略戦争 ikkatumi (天塩): [自]侵略戦争をする ikkatumikor (新): [他]～に対し侵略戦争をする koikkatumikor (新): [自]～に侵略戦争をさせる ikkatumikore (新)

しんりん(森林) [名]森林 nitay (石狩): [場名]森林地帯 nitayso (新)

しんるい(親戚) [名]親類 apa (石狩)、[名] utar(i) (石狩)

しんろう(新郎) [名]新郎 asirpekerhoku (新)、[名] asirhoku (新)、[名] úpenhoku (新)

す(酢) [名]酢 supkakep (新)、[名] supkakewakka (新)

ず(図) [名]図 noka (新)

す(巢) [名]巢 set (石狩): [名]鳥の巢 cikapset (石狩): [名]巢 cise (石狩): [名]蜂の巢 soyacise (石狩)

すあし(素足) [名]素足 erucikir (石狩): [副]素足で erucikinne (新): (表現)素足で歩く erucikinne apkas (新)

すあな(巢穴) [名]巢穴 cise (石狩): [名](巢穴の)出入口 apa (石狩): (表現)巢穴の出入口 cise apa (石狩): [他](クマなどが場所)に巢穴の出入口を持つ eapaasinke (沙流): (表現)川の水源に巢穴の出入口を持っている pet etoko eapaasinke wa an (複数 okay) (新)

すいあつ(水圧) [名]水圧 wakkaynumpatum(i) (新)

スイエンしょう(綏遠省) [場名](中華人民共和国にあった省名)綏遠省 Suyyuan-purovince (新)※(1928-49)

すいおん(水温) [名]水温 wakka-sesekru(we) (新)、[名] wakka-temperature (新): (表現)水温が上がる wakka-sesekru cirikinte (rikin) (新): (表現)水温が下がる wakka-sesekru ciranke (ran) (新): (表現)水温を上げる wakka-sesekru rikinte (新): (表現)水温を下げる wakka-sesekru ranke (新): (表現)水温を

計る wakka-sesekru pakari (新): 「水温が5度下がる。」 “Wakka-sesekru 5° (asikne ipak, asikne dekere, asiknep) ciranke (ran).” [名]水温計 wakka-sesekrupakarip (新)

スイカ(西瓜) (植物)[名](ウリ科)スイカ属 suikapunkar-cise (新): [名]スイカの茎 suikapunkar (新)、[名]その果実 suika (新)、[名]その種子 suikapi (新): [名]コロシントウリの茎 siwsuikapunkar (新)、[名]その果実 siwsuika (新)、[名]その種子 siwsuikapi (新)

すいぎゅう(水牛)(動物)[名]水牛 worumpeko (新)

すいぎん(水銀) (化学)[名]水銀 rukani (新)※(原子番号80番。元素記号Hg)

スィクテフカル [場名](ロシア連邦北西連邦管区コミ共和国の首都名)スィクティフカル Šiktifkar (新)

すいぐん(水軍) [名]水軍 atuyuntum (新)

すいげん(水源) [位名](川や沢)の水源 etok(長形-o) (石狩)、[位名](雅) kuretok(長形-o) (沙流): [場名]川の水源 petétok(petétoko) (石狩): (表現)川の水源 pet etok(長形-o) (石狩): (表現)川の水源、神の山がそびえる様は堂々としている petetok us pe kamuy-nupuri as ru konna mewnatara (沙流): [場名]沢の水源 nayétok(nayétoko) (新): (表現)沢の水源 nay etok(長形-o) (石狩)

すいこう(水耕) [自]水耕栽培する wakka-otoyta (新): [他]～を水耕栽培する ewakka-otoyta (新): [他](人)に～を水耕栽培させる ewakka-otoytare (新)

すいこう(遂行) [他]～を遂行する oepea (新)(o-epa その末尾・～に至る): (表現)～を遂行する ～ okere pakno ki (新): [他](場所)で～を遂行する eoepa (新): [他]～と共に～を遂行する kooepa (新): [他](原因、手段)で～を遂行する ooepa (新): [他](人)に～を遂行させる oepare (新): [他](中相)～が遂行される cioepa (新): [他]人に～を遂行させる oepayar (新)

すいこむ(吸い込む) [自]ものを吸い込む inuku (新): [他]～を吸い込む nuku (石狩): [他](場所)で～を吸い込む enuku (新): [他]～と共に～を吸い込む konuku (新): [他](原因、手段)で～を吸い込む onuku (新): [他](人)に～を吸い込ませる nukure (新): [他]完全に～を吸い込む oannuku(annuku) (新): [他]充分～を吸い込む nukuno(nukunu) (新): [他]減茶苦茶～を吸い込む toykonuku (新):

[他](中相)～が吸い込まれる cinuku (新)

すいさん(水産) [名]水産物 wouncirankep (新): [場名]水産試験場 iocepreska-pekerkausi (新)

すいじ(炊事) [名]炊事 suke (石狩): [自]炊事する suke (石狩): [他](人)に炊事させる sukere (新)

すいしにん(水死人) [名]水死人 momkur (石狩)

すいじゃく(衰弱) [自]衰弱している kewossak (石狩): [他](場所)で衰弱している ekewossak (新): [他]～と共に衰弱している kokewossak (新): [他](原因、手段)で衰弱している okewossak (新): [他]～を衰弱させる kewossakka (新): [自]すっかり衰弱している oarkewossak(arkewossak) (新)

スイショウ(水松) [名](スギ亜科)スイショウ属 wakkasugi-cise (新): [名]スイショウの茎 wakkasugi (新)

すいじょう(水上) [場名]水上 péka(pékasi、pékasike) (八雲): [名]水上小屋 woruncise (石狩): 川が曲がって外側に膨らんでいる岸辺に設置する魚を捕えるための小屋で、柳を半円形に骨組みし蔭の葉で葺く。水際が浅い場合は川面に突き出して台を作り、その上に小屋を建てる。尚、小屋の前の川の中に木を倒しておく。

すいじょうかじょ(穂状花序) [名]穂状花序 pusne-apappoomakat (新)

すいじょうき(水上機) [名]水上機 apakossinta(apakorsinta) (新)※(フロートを持つ飛行機): [名]水上機母艦 apakossinta-kotcip (新): [名]特設水上機母艦 citumicipnere-apakossinta-kotcip (新)

すいじょうき(水蒸気) [名]水蒸気 simawnekawakka(simawnerewakka) (新)※(気化した水)、[名]simawnekap(simawnerep) (新)

スイス [場名](国名)スイス連邦 Hervetika Ukosineatkip (新)※(首都は「ベルン」): [場名](国名の通称として)スイス Hervetika (新): [名]スイス人、国民 hervetikaunkur (新)

すいすい ① [自]すいすい進む mukecasseccasse(carsecarse) (新): ② [自]海を切り裂きすいすい進む herurotuypa-kocasse (新)、[自] herurotuypa-kocasseccasse (新): ③ [自]風を切り裂きすいすい進む hereraotuypa-kocasse (新)、[自] hereraotuypa-kocasseccasse (新): ④ [自]空を切り裂きすいすい進む henisotuypa-kocasse (新)、

[自] henisotuyupa-kocasseccasse (新):
 [自] 波を切り裂きすいすい進む
 hekoyotuyupa-kocasse (新)、[自]
 hekoyotuyupa-kocasseccasse (新): ⑤[自]
 天を切り裂きすいすい進む
 hekantootuyupa-kocasse (新)、[自]
 hekantootuyupa-kocasseccasse (新): ⑥
 [自] 波を蹴立ててすいすい進む ciwkocasse
 (新)、[自] ciwkocasseccasse (新): ⑥[自]
 水を切り裂きすいすい進む heworotuyupa-
 kocasse (新)、[自] heworotuyupa-
 kocasseccasse (新): ⑦(鯨などが)[自]胸で
 水を掻きわけすいすい進む mukecasse
 (新)、[自] mukecassecasse (新)、[自]
 mukecarsecarse (沙流)
すいせい(水星) (宇宙)[名](太陽系の一番惑星
 名)水星 Kemakosnenociw (新)、[名]
 Mercurius (新)※(羅語)
すいせい(彗星) (宇宙)[名]彗星 kutnociw
 (アイヌの星)、[名] sarkonnociw (アイヌの
 星)、[名] sartannenociw (アイヌの星)、
 [名] sarusnociw (アイヌの星)、[名]
 muysaptepnociw (新)、[名]
 muysaptepkonnociw (新)、[名]
 munnuwepnociw (アイヌの星)、[名]
 munnuwepkonnociw (アイヌの星)
すいせいインク(水性インク) [名]水性インク
 wakkaoru-paspe (新)、[名] wakkaorup
 (新)
すいそ(水素) (化学)[名]水素 wakkamotopo
 (新)※(原子番号1番。元素記号はH)
すいそう(水槽) [名]水槽 wakkasintoko
 (新)
すいそう(水葬) [自]水葬する iworu (新)、
 [自] araysirworu (新): [他]～を水葬す
 る woru (新)
すいぞう(膀胱) [名]膀胱 cup(i) (石狩)
すいたい(衰退) [自]衰退する sicupu (複数
 sicuppa) (石狩)、[自] yaywente (石狩):
 [他](場所)で衰退する ecupu (複数 ecuppa)
 (新): [他]～と共に衰退する kocupu (複数
 kocuppa) (新): [他](原因、手段)で衰退す
 る osicupu (複数 osicuppa) (新): [他]
 ～を衰退させる sicupure (複数 sicuppare)
 (新): [自]すっかり衰退する oassicupu (複
 数 oassicuppa) (新)、[自] assicupu (複数
 assicuppa) (新)
すいちゅう(水中) [場名]水中 wor (新): 石
 狩、天塩では合成語の構成要素としてしか確
 認されぬが、今後沙流方言に倣って"wor ta"
 「水中に」というように独立した表現も可と
 する。: wor + osma (に突っ込む) →
 worosma 「川に落ちる」: [自]水中を向く、
 向かう eworun (新): [副]水中に向かっ

て、水中に eworun (石狩): [自]水中か
 ら向かって来る oworun (新): [副]水中
 から oworun (新): [連体]水中に棲む
 worun (石狩)
スイツキコウモリ(吸付蝙蝠) (動物)[名](コウモ
 リ目)スイツキコウモリ科 akamkorkapap-
 apa (新): [名]スイツキコウモリ属
 akamkorkapap (新): [名]シロブテラ・ウ
 インネアエ patrikia-akamkorkapap
 (新): [名]T. ラバリ la-var-
 akamkorkapap (新): [名]スピックススイ
 ツキコウモリ supiksu-akamkorkapap
 (新): [名]ホンジュラススイツキコウモリ
 hondurasun-akamkorkapap (新)
スイッチ [名]スイッチ heutasarep (新)、
 [名] cioieutasarep (新)、[名] suitci (新)
 ※(英語): (表現)スイッチを入れる
 heutasarep mososo (新): (表現)スイッチ
 を押す heutasarep oputuye (新): (表現)
 スイッチを切る heutasarep sinire (新)
すいでん(水田) [名]水田 amamtoy(e) (石
 狩)
すいどう(水道) [場名]水道 wakkakusi
 (新): [名]水道管 wakkakus-suyop (新):
 [名]水道橋 wakkakus-riwka (新): [名]
 水道水 wakkakusi-wakka (新): [名]水
 道道路 wakkakuska-kusru (新): [場名]
 上水道 kanna-wakkakusi (新): [場名]
 下水道 pokna-wakkakusi (新)
スイバ(酸葉) (植物)[名](タデ科)スイバ属
 makaro-cise (新): [名]スイバの茎葉
 makaro (幌別)、[名]スイバの根 sunapa
 (穂別): [名]アレチノギシギシ
 orepunmakaro (新): [名]エゾノギシギシ
 の茎葉 samomakaro (新)※(別名「ヒロハ
 イシギシ」): [名]ギシギシの茎葉
 yayanmakaro (新): [名]ヒメスイバの茎
 葉 moorepunmakaro (新)
すいはん(炊飯) [自]炊飯する amamsuwe
 (新): [他](人)に炊飯する amamsuwep
 (新): [名]炊飯器 amamsuwep (新)
すいはんきゅう(水半球) [場名]水半球
 repuysikaricup-emko (新)
ずいぶん(随分) ①[接尾](ある種の自動詞に接
 尾し、元の自動詞の反対の意味を強めた副詞
 を形成し)随分～ -ko (石狩): 例えば
 "poro" 「大きい」と"pon" 「小さい」の中で、
 従来"-ko"が接尾するのは"ponko" 「随分大き
 く」だけで、"poroko" 「随分小さく」のよう
 な対義語は存在しなかった。しかし若い世代
 の要請によって、今後は"poroko"なども可能
 とする。: ②[副]随分大きく、随分沢山
 ponko (石狩): (表現)随分大きい、随分多
 い ponko an (複数 okay) (石狩): [副]随

分小さく、随分少なく poroko (新): (表現)随分小さい、随分少ない poroko an (複数 okay) (新): ③[副]随分高く ramko (石狩): (表現)随分高い ramko an (複数 okay) (新): [副]随分低く riko (新): (表現)随分低い riko an (複数 okay) (新): ④[副]随分遠くに hankeko (石狩): 「あなた随分遠くに住んでるんだね。」“Hankeko es=okay hawe!”: [間投]随分遠い hankeko (石狩): (表現)随分遠い hankeko an (複数 okay) (新): [副]随分遠く tuymako (新): (表現)随分遠い tuymako an (複数 okay) (新): ⑤[副]随分と長い間 setakko (石狩): 「私の旦那に私は随分長い間会っていない。」“Ku=konnispa setakko ku=nukar ka somo ki.”(門野トサ): (表現)随分長い間 somo setak no (石狩)、(表現)(雅) sem setak no (沙流): [副]随分とすぐ ohorko (新): ⑥[副]随分長く takneko (石狩): (表現)随分長い takneko an (複数 okay) (新): [副]随分短く tanneko (新): (表現)随分短い tanneko an (複数 okay) (新)

すいへいせん(水平線) [名]水平線 nisositciw (石狩): [場名]水平線の彼方 nisositciw-imakake (石狩)

すいべん(水便) [名]水便 ocaku (天塩): [自]水便が出る ocaku (新)

すいほう(水泡) [名]水泡 pop(i) (石狩): (表現)水泡が潰れる、潰れてドロドロになっている pop péne (新): ①[自]〜に水泡ができる、できている pópo (póp-o) (新): (表現)水泡ができる、できている pop o (新): [他]〜と共に〜に水泡ができる、できている kopopo (新): [他](原因、手段)で〜に水泡ができる、できている opopo (新): ②[自]〜に水泡が沢山できる poppopse (新): [他]〜と共に〜に水泡が沢山できる kopoppopse (新): [他](原因、手段)で〜に水泡が沢山できる opoppopse (新)

すいほう(水泡) [名]波の上に浮かぶ白い泡 wakkakoysum (石狩)

すいほう(衰亡) (表現)衰亡する sicupu (複数 sicuppa) wa oarisam (isam) (新)、(表現) sicupu (複数 sicuppa) ayne oarisam (isam) (新)

すいみん(睡眠) [自]睡眠をとる mokor (石狩、天塩): [他](場所)で睡眠をとる emokor (新): [他]〜と共に睡眠をとる komokor (石狩): [他](原因、手段)で睡眠をとる omokor (新): [他]〜に睡眠をとらせる mokore (石狩): [自]一人で睡眠をとる yaykomokor (新): [自]互いに、

皆で睡眠をとる ukomokor (新): [自]熟睡する mokonno (石狩)、[自] mokonnu (新): [自]爆睡する mokonrusuy (石狩): [自]睡眠をとりすぎる mokorkasuy (新): [自]睡眠不足である mokorehayta (新): [名]睡眠薬 imokorekusuri (新)

すいめん(水面) [場名]水面 péka (pékasi、pékasike) (八雲)

すいようえき(水溶液) [名]水溶液 oroieruwakka (新)

すいようび(水曜日) [場名]水曜日 wakkato (新)

すいらい(水雷) [名]水雷 mápustekpe (新)、[名] ciworeeiwanke-pustekpe (新): [名]水雷戦隊 mápustekpekor-tumitopa (新): [名]水雷巡洋艦 mápustekpe-castumicip (新): [名]水雷艇 mápustekpekotcippo (新): [名]水雷母艦 mápustekpekotcippo-eununcip (新): [名]特設水雷母艦 citumicipnere-mapustekpekotcippo-eununcip (新)

スイラン(水蘭) (植物)[名](キク科)スイラン属 tókikukia-cise (新): [名]スイランの茎葉 tókikukina (新): [名]チョウセンスイランの茎葉 kórin-tokikukina (新)※(別名「マンシュウスイラン」)

すいりゅう(水流) [名]水流 ciw (石狩): (表現)水流に当たる ciw kar (沙流)

スイレン(水蓮) (植物)[名](キンボウゲ目)スイレン科 pékaoetukpe-ikkew-apa (新): [名]スイレン属 pékaoetukpe-ikkew-cise (新): [名]ヒツジグサの根茎 pékaoetukpe-sinrit (新)、[名]その葉 pékaoetukpe-ham (新)、[名]その花茎 pékaoetukpe-ikkew (新)、[名]その花 pékaoetukpe-apappo (新)、[名]その果実 pékaoetukpeop (新): [名]アカバナスイレンの花茎 ehure-pekaoetukpe-ikkew (新): [名]シロスイレンの花茎 europa-pekaoetukpe-ikkew (新): [名]ティナの花茎 tina-pekaoetukpe-ikkew (新)※(園芸種): [名]ニオイヒツジグサの花茎 mawepirka-pekaoetukpe-ikkew (新): [名]ブルーロータスの花茎 eao-pekaoetukpe-ikkew (新)、[名]ホシザキスイレンの花茎 nociw-pekaoetukpe-ikkew (新): [名]ヨザキスイレンの花茎 kunnehepirasa-pekaoetukpe-ikkew (新): [名]オオオニバス属 siayus-pekaoetukpe-ikkew-cise (新): [名]オニバス属 ayuspekaoetukpe-ikkew-cise (新): [名]オンディネア属 hatpeus-pekaoetukpe-ikkew-cise (新): [名]オンディネア・プルプレアの花茎 hatpeus-pekaoetukpe-

ikkew (新): [名]コウホネ属 kapato-
ikkew-cise (新): [名]ジュンサイ属
ratnep-cise (新): [名]ハゴロモモ属
pusaratnep-cise (新): [名]ハス属
pékasoyacise-ikkew-cise (新): [名]バル
クラヤ属 wakkatum-eironnep-cise (新):
[名]バルクラヤ・クンステレリの茎葉
bonneo-wakkatum-eironnep (新): [名]B.
モテレイの茎葉 húre-wakkatum-
eironnep (新): [名]B. ロンギフォリアの
茎葉 tanne-wakkatum-eironnep (新)

すいう(水路) [名]水路 wakkaru(-we) (新)

すう(吸う) ①(乳房や指などを)[自]乳を吸う、
檻のクマが自分の指先を吸う tonon (石
狩): [他](一回)を吸う nun (石狩):
[他](場所)で～を吸う enun (新): [他]～
と共に～を吸う konun (新): [他](原因、
手段)で～を吸う onun (新): [他](人)に
～を吸わせる nunte (新): [他]～を何度
も吸う nunnun (石狩): [他](人)に～を
何度も吸わせる nunnunte (新): ②(液
体を吸る事を示し)[他]～を吸う ni (石
狩): [他](場所)で～を吸う eni (新):
[他]～と共に～を吸う koni (新): [他](原
因、手段)で～を吸う oni (新): [他](人)
に～を吸わせる níre (新): ③(液体や煙
に関して吸い込むことを示し)[他]～を吸う
nuku (石狩): [他](場所)で～を吸う
enuku (新): [他]～と共に～を吸う
konuku (新): [他](原因、手段)で～を吸う
onuku (新): [他](人)に～を吸わせる
nukure (新): ④(煙草に関して)[他]～を吸
う ku (石狩): (表現)煙草を吸う
tampaku (tampako、tampakku) ku (石
狩)、(表現) tapaku ku (天塩): [他](場所)
で～を吸う eku (新): [他]～と共に～を
吸う koku (新): [他](原因、手段)で～を
吸う oku (新): [他](人)に～を吸わせる
kúre (新)

すう(数) ①[名]数 cipiskip (新): ②(言
語)[名](文法用語としての)数 cipiskip (新)、
[名] numerus (新)※(羅語): [名]単数
sinepcipiskip (新): [名]双数
tupcipiskip (新): [名]複数
innepcipiskip (新)

スウェーデン [場名](国名)スウェーデン王国
Suverie Yaykomosirkorkurkormosir (新)
※(首都は「ストックホルム」): [場名](国名
の通称として)スウェーデン Suverie
(新): [名]スウェーデン人、国民
suvenskarkur (新): [名]スウェーデン語
suvenskarkur-itak (新)

すうし(数詞) (言語)[名]数詞 ipiskiitak
(ipiskeitak) (石狩)

すうじ(数字) [名]数字 ipiskiitokpa
(ipiskiitoppa) (新)、[名] ipiskeitokpa
(ipiskeitoppa) (新)

すうじつ(数日) ①[場名]数日前 teeta (石
狩): (表現)数日前 hempak to ka etok
(新): (表現)数日前に hempak to ka etok
ta (新): (表現)数日前から hempak to ka
etok wa (wano) (新): [副]数日前 teeta
(石狩)、[副] naun (石狩): ②(表現)数日
後 hempak to ka oka (新): ③[副]数日
内 iosantota (石狩)

ずうたい(図体) [名]図体 netopa(-ke) (石
狩)、[名] kat(-u) (幌別): [名](多くは合
成語の構成要素として)図体 kew(-e) (石
狩): [自]図体が大きい kewetara (H):
(表現)図体ばかり大きい katu patek rupne
(幌別)

スーダン [場名](国名)スーダン共和国
Súdan Ukotankoremosir (新)※(首都は「ハ
ルツーム」): [場名](国名の通称として)スー
ダン Súdan (新): [名]スーダン人、国民
súdanunkur (新)

スーツ [名]スーツ nispa-siyuk (新)、[名]
siyuk (新): (表現)シングルスーツ
sinepne siyuk (新): (表現)ダブルスーツ
tupne siyuk (新): (表現)スリーピースス
ーツ repne siyuk (新): [名]ズートス
ーツ zutsiyuk (新): (表現)ネルージャケッ
ト Nérú mi jaket (新): (表現)マオカラ
ースーツ Máo mi siyuk (新): [名]レデ
ィーススーツ katkemat-siyuk (新):
[名]スーツケース siyukketus(-i) (新)

スーパーアイドル (表現)スーパーアイドルで
ある iakkari sikosittaripayar (新)、(表現)
súper sikosittaripayar (新): (表現)スー
パーアイドル iakkari sikosittaripayar kur
(新)、(表現) súper sikosittaripayar kur
(新)

すうはい(崇拜) [自]崇拜する inomi (新):
[他](人)に崇拜させる inomire (新): [他]
～を崇拜する nomi (新): [他](場所)で～
を崇拜する enomi (新): [他]～と共に～
を崇拜する konomi (新): [他](原因、手
段)で～を崇拜する onomi (新): [他](人)
に～を崇拜させる nomire (新): [他]自
分で、一人で～を崇拜する yaykonomi
(新): [他]共に、皆で～を崇拜する
ukonomi (新): [自]心から～を崇拜する
ramkonomi (新): [他]人に～を崇拜させ
る nomiyar (新): [自]人に自分を崇拜さ
せる sinomiyar (新): [自]神を崇拜する
kamuyonomi (新): [自]偶像を崇拜する
inokonomi (新): [自]個人を崇拜する
sapanekunnomi (新)、[自] netopanomi

(新): [自]人を崇拜する aynunomi (新):
 [名]崇拜者 inomikur (新)
スーフォールズ [場名](アメリカ合衆国サウス
 ダコタ州の都市名)スーフォールズ Súforzu
 (新)
スールー [場名](地名)スールー諸島 Súru-
 poysir (新)※(フィリピン南西の島々。):
 [名](地名)スールー海 Súru-atuy (新)※
 (フィリピンとマレーシアの間にある海域の
 名。)
ズルー [名]ズルー人 zurukur (新):
 [名]ズルー語 zurukuritak (新)※(パン
 トゥー語群に属する言語。南アフリカ共和
 国。)
すえっこ(末っ子) [名]末っ子 iyottapompo
 (新)、[名] iyottapompe (天塩)
スカート [名]スカート yupka (新)※(露
 語): (表現)スカートを履く yupka us
 (新)、(表現)スカートを脱ぐ yupka ama
 (新): (表現)スカートの裾を上げる yupka
 cinkih rikinte (rikinke) (新): (表現)ス
 カートをたくし上げる、まくり上げる
 yupka ehorkakomo (新)
ずがい(頭蓋) [名]頭蓋 pasey(-e) (石狩):
 [名](人間の)頭蓋骨 mecakko (mecako)
 (石狩): [名](クマなど大切な神である動物
 の)頭蓋骨 maratto (marapto) (石狩)
スカイブルー [自]スカイブルーになる、である
 nisossiwnin (nisorsiwnin) (新): [他]〜
 をスカイブルーにする nisossiwninka
 (nisorsiwninka) (新)、[他] nisossiwninte
 (nisorsiwninte) (新): (表現)スカイブル
 ー色 nisossiwnin (nisorsiwnin) iro (新)
スカシイカ(透烏賊) (魚介)[名](クジャクイカ亜
 科)スカシイカ属 pekennoepetpetke-cise
 (新): [名]スカシイカ pekennoepetpetke
 (新): [名]キタノスカシイカ
 koykapekennoepetpetke (新): [名]ナン
 キ ョ ク ス カ シ イ カ
 koypokkespekennoepetpetke (新): [名]ニ
 シノスカシイカ cuppokpekennoepetpetke
 (新)
スカシガイ(透貝) (魚介)[名](古腹足目)スカシガ
 イ科 suyomasey (新): [名]スカシガイ
 suyomasey (新): [名]コウダカスカシ
 seyripyomasey (新): [名]サルアワビ
 cikapaype (新): [名]スソキレガイ
 cinkituysey (新): [名]ヒラスカシガイ
 parasuyomasey (新)
すがた(姿) ①[名]姿、外見 kat(-u) (石狩):
 今日までの用例では"husko kat ne"「元の姿
 に戻る」、「eperkat ne」「クマの姿になる(クマ
 らしくなる)」などで、「私の姿」という用例
 は見られないが、今後は"ku=katu"、あるいは

"ku=kor kat (katu)"と表現する事も可とす
 る。): (表現)〜の姿になる、なっている 名
 詞+kat ne (石狩)、(表現)〜 katu ne
 (新): [自]("nekon"、"ene"など副詞と共に用
 いられ)姿をする、姿をしている katkor
 (石狩): 「一体何処から来た人がこんな姿を
 してるんだと僕が見たら君じゃないか。」
 “Neywa ta ek kur ene katkor kuni
 ku=nukar kor e=ne ru ne awan na!”:
 [他]〜の姿をする、姿をしている katukor
 (新): 「鶴が人の姿になった。」“Saroruncir
 aynu katukor.”: [他](人)に〜の姿をさせ
 る katukore (新): [他]自分で、一人で〜
 の姿をする、姿をしている yaykokatukor
 (新): [他]互いに、皆で〜の姿をする、姿を
 している ukokatukor (新): [自]同じ姿
 をする、姿をしている sinekatkor (新):
 [他]同じ〜の姿をする、姿をしている
 sinekatukor (新): [自]人の姿をする
 aynukatkor (石狩): ②[名]姿 sirki (石
 狩): ③(幾つかの表現や合成語の構成要素
 として)[名]姿、容姿 sir (石狩): (表現)(父
 親が自分の娘に関して謙遜して言う表現と
 して)顔も姿も美しくないけれど nan ka
 sak sir ka sak pe ne yakka (沙流): ④[形
 式名](動詞句の後に用いられ)(〜する)姿 sir
 (石狩)、[形式名] siri (石狩): 石狩方言と
 してはこれ以外②の"sirki"がよく用いられ
 る。: 「私はお前が一生懸命働く姿にとても
 好感を持っている。」“Arikikino e=monrayke
 sir(sirki) ku=eramasuy.”: ⑤(雅語表現
 で)[形式名](動詞句の後に用いられ)(〜する)
 姿 ru (石狩)、[形式名] ruwe (石狩):
 "ru"は上川、"ruwe"は空知の言葉という印象
 を与える。: (表現)二舞、三舞、舞姿を重ね
 る tu otapkanru re otapkanru ukakuste
 (石狩)
すがる(縫る) [他](杖)に縫る eyayrarire
 (石狩): (表現)杖に縫る kuwa eyayrarire
 (石狩)
スカルディニウス (魚介)[名](コイ科)スカル
 ディニウス属 sukardinius-cise (新):
 [名]ラッド húremokrapnusukardinius
 (新)
スカンク (動物)[名](イタチ上科)スカンク科
 sukunku-apa (新): [名]スカンク属
 sukunku-cise (新): [名]シマスカンク
 ruosukunku (新): [名]セグロスカンク
 saraporosukunku (新): [名]スカンクアナ
 グマ属 suyomoyuksukanku-cise (新):
 [名]ブタバナスカンク属
 putaetukorsukunku-cise (新): [名]マダ
 ラスカンク属 sirkiosukunku-cise (新)
スカンクアナグマ(スカンク穴熊) (動

物)[名](スカンク科)スカンクアナグマ属
suyomoyuksukunku-cise (新): [名][名]ジ
ャワスカンクアナグマ javaun-
suyomoyuk-sukunku (新): [名]パラウン
スカンクアナグマ parawanun-
suyomoyuk-sukunku (新)

スカンジウム (化学)[名]スカンジウム
sukandium (新)※(原子番号21番。元素記
号Sc)

スカンジナビア [場名](地名)スカンジナビア
半島 Sukandinavia-sirekanray (新):
[名](地名)スカンジナビア山脈
Sukandinavia-ikinnenupuri (新)

すき(好き) [自]好き ieramasuy (ieramasu)
(新): [他](誰か、あるいは何か)が好き
eramasuy (eramasu) (石狩): [名]〜と共
に〜が好き koeramasuy (koeramasu)
(新): [他]〜の事で〜が好き、〜の点で〜が
好き oeramasuy (oeramasu) (新):
[他](人)に〜を好きにさせる eramasuyre
(eramasure) (新): [自]互いに好き、全部
好き ueramasuy (ueramasu) (新): [名]
一人だけ〜が好き yaykoeramasuy
(yaykoeramasu) (新): [他]皆が〜が好き
ukoeramasuy (ukoeramasu) (新): [他]
滅茶苦茶〜が好き toykoeramasuy
(toykoeramasu) (新): → 異性関係につ
いては「あい(愛)」を見よ

スギ(杉) (植物)[名](ヒノキ科)スギ亜科 sugi-
moapa (新): [名]スギ属 sugi-cise
(新): [名]スギの茎 sugi (新)※(日本語):
[名]スイショウ属 wakkasugi-cise (新):
[名]スイショウの茎 wakkasugi (新):
[名]ヌマスギ属 nitatsugi-cise (新): [名]
ヌマスギの茎 nitatsugi (新)※(別名「ラク
ウショウ」): [名]イクスギの茎 tósugi
(新): [名]モンテスマサイプレス
montesumasugi (新)

すききらい(好き嫌い) [自]食べ物の好き嫌い
をする ipeemaka (新): [自]ものの好き
嫌いをする iemaka (新): [他](食事)を好
き嫌いする emaka (石狩): 今後は人間
関係や嗜好一般について広く使う: (表現)
〜を好き嫌いして食べない ~ e emaka
(石狩)

すきこのむ(好き好む) [他]好き好んでする
rusuy (石狩)、[他] rawe (沙流): 「お
前は私が好き好んで今日ここに來たとでも
思ってるのか?」“Ku=ki rusuy (Ku=rusuy)
kusu tanto te ta ku=oman sekor e=yaynu
ruwe?”、「お前がそれを好き好んでやったの
だから私はお前を助けないよ。」“E=rawe
kusu e=iki p ne kusu somo e=ka=ku=opiwiki
na .”

ずきずき [自]ずきずき痛む tasara (石狩)
すきとおる(透き通る) [自]透き通る、透き通っ
ている peker (石狩): [他]〜を透き通ら
せる pekerka (pekere) (新): [自]完全
に透き通る、透き通っている oarpeker
(arpeker) (新): [自]充分透き通る、透き
通っている pekenno (pekennu) (新)

スキハシコウ(隙嘴鶴) (鳥)[名](コウノトリ科)
スキハシコウ属 séyoretuosmaresarorun-
cise (新): [名]クロススキハシコウ
kunneseyoretuosmarehawsaksarorun
(新): [名]シロススキハシコウ
retarseyoretuosmarehawsaksarorun (新)

すきま(隙間) [位名]〜の隙間 utur(長形-u、-
ke) (石狩): (表現)その窓掛けの隙間
puyaraotpe ka uturu (石狩): (表現)神窓
の簾の隙間に目を凝らす rorumpuyar
sapka uturu kosikmaka (石狩): (表現)神
窓の鎧戸の隙間に目を凝らす puyar-
orappe setka uturu kosismasanasan (石
狩): (表現)檻の隙間から〜に水をかける
set oposo ~ kowakkake (沙流)

スキヤンダル [名]スキヤンダル wénasur(-
u) (新)、[名] wempahaw(-e) (新)、[名]
hoiyoasur(-u) (新)、[名] hoiyopahaw(-e)
(新)、[名] sukandar (新)※(英語): (表現)
スキヤンダルになる wénasur (wempahaw、
hoiyoasur、hoiyoaphaw、sukandar) as
(新): (表現)スキヤンダルにする wénasur
(wempahaw、hoiyoasur、hoiyoaphaw、
sukandar) aste (新): (表現)全くスキヤン
ダルにならない wénasur (wempahaw、
hoiyoasur、hoiyoaphaw、sukandar) orke
motek (新)

ずきん(頭巾) [名]頭巾 konci (石狩): (表
現)頭巾を被る konci ekamu (石狩)、(表現)
konci kor (新): (表現)頭巾を脱ぐ konci
ama (石狩)、(表現) konci epittekka (幌
別)

ズキンアザラシ(頭巾海豹) (動物)[名](アザラシ
科)ズキンアザラシ属 koncikottukar-cise
(koncikortukar-cise) (新): [名]ズキンア
ザラシ koncikottukar (koncikortukar)
(新)

すぐ ①[助動](動詞句の後に用い)(〜して)すぐ
tek (石狩): 「私は君を見てすぐ隠れた。」
“E=nukar=an tek kor ku=yayukao .” :
②[接助](動詞句の後に用い)(〜して)直ぐ
tek (石狩): 「私は君を見てすぐ隠れた。」
“E=nukar=an tek ku=yayukao .” : ③
[副]動詞句+接続助詞の後に用い)(〜して)す
ぐ nani (石狩)、[副] naani (石狩):
「私が到着するとすぐ食事させてくれた。」
“Ku=sirepa kor nani enci=ipere .” : [副]

すぐに setakno (石狩): (表現)すぐに
somo ohonno (新)

すくい(救い) ①[名]救い ikaopas (新)、[名]
ikaopiwka (新): (表現)救いが現れる、あ
る ikaopas (ikaopiwka) an (新): (表
現)(人)に救いがある、(人)が救いを得る
ikaopas (ikaopiwka) kor (新): (表現)救
いなくなる、ない ikaopas (ikaopiwka)
isam (新): (表現)(人)に救いがない、(人)
が救いを失う ikaopas (ikaopiwka) sak
(新): [名]救い主 ikaopaskur (新)、[名]
ikaopiwkakur (新): (表現)救い主
ikaopas nispa (新)、[名] ikaopiwka nispa
(新)②[自]神に救いを求める、人に救いを求め
る isikaopaste (新)、[自] isikaopiwkare
(新): [他]〜に救いを求める sikaopaste
(石狩)、[他] sikaopiwkare (新): [自]神
に救いを求める kamuy-sikaopaste (石
狩)、[自] kamuy-sikaopiwkare (新):
[他] 人に〜に救いを求めさせる
sikaopasteyar (新)、[他]
sikaopiwkareyar (新): [他](中相)人が〜
に救いを求めさせられる cisikaopasteyar
(新)、[他](中相) cisikaopiwkareyar (新)

すくう(掬う) [自]ものを掬う、掬い上げる
inise (新): [他]〜を掬う nise (石狩):
(表現)柄杓で〜を掬う pisakku ani nise
(石狩): [他](場所)で〜を掬う enise
(新): [他]〜と共に〜を掬う konise (新):
[他](原因、手段)で〜を掬う onise (新):
[他](人)に〜を掬わせる nisere (新):
[他]自分で、一人で〜を掬う yaykonise
(新): [他]互いに、皆で〜を掬う ukonise
(新): [他]すっかり〜を掬う oannise
(annise) (新): [他]思い切り〜を掬う
toykonise (新)

すくう(救う) [自]人を救う、救いに行く、来る
ikaopas (石狩)、[自] ikaopiwka (新):
[連他]〜を救う、救いに行く、来る kasi-
opas (ka-opas) (石狩)、[連他] kasi-
opiwka (ka-opi-wka) (石狩): 「私は君を
救う。」“E=ka=ku=opas.”、「私は彼(彼女、
彼ら)を救う。」“Kasi=ku=opas.”: [自]自
分で自分を救う yaykaopas (新)、[自]
yaykaoriwka (新): [自]互いを救う
ukaopas (新)、[自] ukaopiwka (新)

すくう(巢食う) [他](場所)に巢食う esetkar
(新): [他]〜に(場所)に巢食わせる
esetkare (新)

すぐうえ(すぐ上) [位名]〜のすぐ上 tuyka(長
形-si、-sike) (石狩): 「私は魚を焼串に刺
して火の直ぐ上に立てかけた。」“Cep imanit
ku=etarare wa ape tuyka ta ku=asi.”

すぐうしろ(すぐ後ろ) [位名](移動する)のすぐ

後ろ anrukes(長形-e、-eke) (沙流)、[位名]
anruoka(長形-ke) (新): (表現)〜のすぐ
後ろに飛びかかってくる ∼ anrukes(長形-
e、-eske) ehopuni (沙流)

すぐした(すぐ下) [位名]〜の直ぐ下
possam(長形-a、-ake) (石狩)、[位名]
mompok(長形-i、-ike) (沙流)

すぐそば(すぐ傍) [位名]〜のすぐ傍
teksam(長形-a、-ake) (石狩)、[位名]
tessam(長形-a、-ake) (石狩)、[位名](雅語)
tekisam(長形-a、-ake) (石狩): その他、
通常、あるいは早めの発音で“tessam”、韻文
で“tekisam”が聞かれる。また雅語として
“koteksam”の形もある。: [位名]〜が互いに
すぐ傍 uteksam(長形-a、-ake) (石狩):
「…私達が互いにすぐ傍に暮らしていても
…」“… i =uteksam ta okay=an akka…”(石
山アチミアシクル)会釈の辞: [後副]〜のす
ぐ傍で tekpake (石狩): (表現)〜のすぐ
傍で〜を養う=〜と結婚して食事の世話を
する ∼ tekpake ∼ paro-osuke (石狩)

すぐてまえ(すぐ手前) [位名]〜のすぐ手前
attukar(長形-i、-ike) (石狩): 「砂浜のす
ぐ手前に浜の草原が美しく続いている。」
“Ota attukari peka irammakaka masar
situriri.”

すくなく(少なく) ①(動物や物などが)[自]少な
くなる、少ない pon (石狩): [他](場所)で
少なくなる、少ない epon (新): [他]〜と
共に少なくなる、少ない kopon (新):
[他](原因、手段)で少なくなる、少ない opon
(新): [他]〜を少なくする ponte(ponka)
(新): [自]すっかり少なくなる、少ない
oarpon(arpon) (新): [自]充分少なくな
る、少ない ponno(ponnu) (新): [自]一
瞬で少なくなる、ちょっと少ない pontek
(新): [自]滅茶苦茶少なくなる、少ない
toykopon (新): [副]少なく ponno (石
狩): (表現)少ない ponno an (石狩): ②
(人口、人数が)[自]少なくなる、少ない moyo
(石狩): [他]〜を少なくする moyore
(新): [副]少なく moyono (新): ③[自]
思ったより少なくなる、少ない oipeisam
(沙流)

すぐふもと(すぐ麓) [位名]〜のすぐ麓 sísut(-
u) (石狩): 長形 sísutu は新語。: (表現)
山の直ぐ麓 nupuri sísut (石狩)、(表現)
nupuri teksam (石狩)

すぐまえ(すぐ前) ① [位名]〜のすぐ前
kotpok(長形-i、-ike) (天塩): 田村氏の沙
流方言辞典によれば、「①(時間的に)〜のちょ
っと前、〜する直前、②(歩いていて特に獣)
の前」の意味があるという。名寄での用例など
不明であるが、今後は沙流方言と同じ使い方

をしていく。また長形は新語。: [位名](移動する)へのすぐ前 anruetok(長形-o) (新)

ズクヨタカ(木菟夜鷹)(鳥)[場名](アマツバメ属)ズクヨタカ亜目 hócikoerorokki-mokotan (新): [名]ズクヨタカ科 hócikoerorokki-apa (新): [名]ズクヨタカ属 hócikoerorokki-cise (新): [名]ニュージーランドズクヨタカ aotearoahócikoerorokki (新)

スクレ [場名](ボリビア共和国の憲法上の首都名)スクレ Súk्रे (新)

すぐれる(優れる)①[自]優れている ikaun (新): [他]~の点で優れている eikaun (石狩): [他]~の点で~より優れている ekaun (新): 名詞+etok で何かの技能が特に優れている事を表す名詞を作る事ができる。例えば"rametok"「勇気に優れている事」、"pawetok"「弁舌に優れている事」、"nanetok"「顔の美しさに優れている事」、"siretok"「容姿に優れている事」、"teketok"「技術に優れている事」などで、人名としても"kanetok (>kanietok)"「金儲けに優れる事」がある。今後"epirkepetok"「料理の技術に優れる事」、"sunketok (>sunkeetok)"「嘘が上手な事」などと沢山の新語が作られるものと思われる。: (表現)~より優れている akkari (akkarino) an (複数 okay) (石狩): ②[他]~を~より優れたものとする akkarire (石狩): 「私はA氏の説よりB氏の説をより優れたものとする。」"A nispayaynu hi B nispayaynu hi ku=akkarire ." (但しこの文ではどちらが優れているのか判断がつかぬ場合があるので、"A nispayaynu hi akkari B nispayaynu hi ikaun ." と表現した方が良いかもしれない。また人称接辞を複数伴うものは「彼は私より君を優れていると言う。」"E=en=akkari, sekor itak ." 等と表現する事になろう。): [他](大勢いる何者か)の誰よりも優れる uakkarire (石狩): 「…勇者の誰よりも優れた者がお前の兄様なのです…」"…rametok uakkarire p e=yup-tonoke u ne ruwe tapan…" (杉村キナラブク) 婦女詞曲

すけだち(助太刀)(表現)~へと助太刀をおくる ~ teksam orke tamkuste (石狩): 「…何奴が刀を振るってもそこへ私が助太刀をおくるように…」"…nep tamani yakka u teksam orke an=tamkuste kuni…" (杉村キナラブク)英雄詞曲: (表現)~に…が助太刀する ~ teksamake (teksam orke)… kotamani (石狩)

すごいな(凄いな)[間投](何かに感心して)凄いな irayapka (石狩)

ずこう(頭光)[名]頭光 késermakus-nipeki

(新)、[名] pásermakus-nipeki (新)

すこし(少し) [副]少し ponno (石狩): (表現)少しずつ ponno ponno (石狩): (表現)少しの間 ponno irukay (石狩): [副](雅語や合成語の構成要素として)少し pon (石狩): [副]少し静かに apunnopo (石狩)

スコットランド [場名](イギリスの構成国の名)スコットランド Sukotrando (新)※(首都は「エディンバラ」): (歴史)[場名](国名)スコットランド王国 Sukotrando Mosirkorkurkormosir (新)※(1707年 イングランド王国と連合し「グレートブリテン王国」成立。): [名]スコットランド人 sukotkur (新): [名]スコットランド・ゲール語 sukotrando-geritak (新)

スコトエクス (動物)[名](ヒナコウモリ科)スコトエクス属 afrikaciseunkapap-cise (新): [名]スコトエクス・アルビグラ honiretar-afrikaciseunkapap (新): [名]S. アルボフスクス rapupeker-afrikaciseunkapap (新): [名]S. パリドウス rapukurok-afrikaciseunkapap (新): [名]S. ヒンデイ hinde-afrikaciseunkapap (新)

スコトフィルス (動物)[名](ヒナコウモリ科)スコトフィルス属 sikerpepeuskapap-cise (新): [名]スコトフィルス・クラーモaziaun-sikerpepeuskapap (新): [名]S. ケレベンシス surawesiun-sikerpepeuskapap (新): [名]S. コリヌス sodi-sikerpepeuskapap (新): [名]S. デインガニー afrikaun-sikerpepeuskapap (新)[名]S. ニグリタ sureber-sikerpepeuskapap (新): [名]S. ヌクス nuksu-sikerpepeuskapap (新): [名]S. ヌケラ robinsu-sikerpepeuskapap (新): [名]S. ビリディス máteksiwnin-sikerpepeuskapap (新): [名]S. ヘアシ síaziaun-sikerpepeuskapap (新): [名]S. ボルボニクス mosikerpepeuskapap (新): [名]S. レウコガステル honiretar-sikerpepeuskapap (新): [名]S. ロブストゥス madagašikaraun-sikerpepeuskapap (新)

スコトレペンス (動物)[名](ヒナコウモリ科)スコトレペンス属 moetusepkapap-cise (新): [名]スコトレペンス・オリオン cupkaun-moetusepkapap (新): [名]S. グレイー moetusepkapap (新): [名]S. サンボルニ koykaun-moetusepkapap (新): [名]S. パルストニ cuppokun-moetusepkapap (新)

スコピエ [場名](マケドニア共和国の首都名)スコピエ Sukopie (新)

スゴモロコ (魚介)[名](カマツカ亜科)スゴモロコ属 morokone-kamaŋuka-cise (新): [名]スゴモロコ morokone-kamaŋuka (新): [名]イトモロコ pisoyekunne-morokone-kamaŋuka (新): [名]コウライモロコ yayan-morokone-kamaŋuka (新): [名]デメモロコ sikituk-morokone-kamaŋuka (新)

すこやか(健やか)[自]健やかになる、である tóteknu (石狩)、[自] kittumnu (石狩)、[自] iwanke (石狩)、[自] pírka (石狩): [副]健やかに tótekno (石狩): [副] iwankeno (石狩)、[副] pírkanó (石狩)

すじ(筋)①線としての)[名]筋 ru(-we) (石狩)、[名] runoka (新): [自]～に筋ができる、筋がある rúo (石狩)、[自] rúr-o (天塩): [他]～と共に～に筋ができる、筋がある koruo (新): [他](原因、手段)で筋ができる、筋がある oruo (新): [自]筋を引く runokakar (新): [他](場所)に筋を引く erunokakar (新): [他]～と共に筋を引く korunokakar (新): [他](原因、手段)で筋を引く okorunokakar (新): [他](人)に筋を引かせる runokakare (新): ②(えぐれた)[名]筋 nay(-e) (石狩): [自]筋を引く inaye (複数 inaypa) (新): [他]～に筋を引く naye (複数 naypa) (石狩): [他](時)に～に筋を引く enaye (複数形 enaypa) (新): [他]～と共に～に筋を引く konaye (複数 konaypa) (新): [他](原因、手段)で～に筋を引く onaye (複数 onaypa) (新): [他](誰か)に～に筋を引かせる nayere (複数 naypare) (新): ③(筋肉の繊維としての)[名]筋 rit(-ci) (石狩): ④(物語などの内容としての)[名]筋 ikkew(-e) (石狩)

すし(寿司)[名]寿司 susi (新)※(日本語): [名]寿司折 susiomarep (新)

スジイルカ(条海豚)(動物)[名](マイルカ亜科)スジイルカ属 rúuntannu-cise (新): [名]スジイルカ rúuntannu (ruuntannu) (新): [名]クライメンシルカ kurimene-tannu (新)※(別名「タイセイヨウハシナガイルカ」): [名]タイセイヨウマダライルカ arsiatuy-kesotannu (assiatuy-kesotannu) (新): [名]ハシナガイルカ sikarikoterketannu (新)※(回転しながら跳ねる海豚): [名]マダライルカ kesotannu (新)※(別名「アラリイルカ」)

すじこ(筋子)[名]筋子 homa (oma) (石狩)

すじょう(素性)[名]素性 moto (石狩): [自]素性を良く調べる siruwante (複数 siruwampare) (石狩): [他]～の素性を良く調べる esiruwante (複数

esiruwampare) (石狩)、[他] kosiruwante (複数 kosiruwampare) (石狩): (表現)～の素性を良く調べる ～ motoho uwampare (新): [他]～と共に素性を良く調べる kosiruwante (複数 kosiruwampare) (新): [他](原因、手段)で素性を良く調べる osiruwante (複数 osiruwampare) (新): [他](人)に素性を良く調べさせる siruwantere (複数 siruwamparere)

すず(錫)①(鉱物)[名]錫 cipoyenokani (新)※(よく混ぜられる金): ②(化学)[名]錫 cipoyenokani (新)※(原子番号50番。元素記号 Sn): ③[自]錫(錫色)になる、である cipoyekanine (新): [他]～を錫(錫色)にする cipoyekanineka (cipoyekaninere) (新): [名]錫色 cipoyenokani-iro (新)

すず(煤)①(天井などに付く)[名]煤 upar (石狩): ②(鍋など火にかける物の底に付く)[名]煤 pas (八雲): [名]釜の煤 kamapas (新): [名]鍋の煤 súpas (石狩)

すず(鈴)[名]鈴 ponkonko (樺太)、[名]konkopo (新)

ススキ(薄)①(植物)[名](イネ科キビ亜科)ススキ属 nupkaus-cise (新): [名]ススキの稈 nupkaus (石狩)、[名] síki (石狩)、[名] rapempe (有珠)※(別名「カヤ(茅、萱)」): [名]オギの稈 í (石狩)、[名] supneki (天塩)、[名] nupki (沙流): [名]カリヤスの稈 (新): [名]カリヤスモドキの稈 (新): [名]トキワススキの稈 (新): [名]ハチジョウススキの稈 (新): ②(関連語彙)[名]薄で葺いた家 muncise (美幌)、[名] kícise (美幌): [名]薄の簾 sikirusa (石狩): [名]薄を編んだ簀 aputke (石狩)※(寝台、あるいは床の上で寝る時にこれを敷き、その上にキナを敷いた。)

すすぐ ①(洗う事)[他]～をすすぐ huraye (複数 huraypa) (石狩): [他](人)に～をすすがせる hurayere (複数 huraypare) (新): ②(口中をきれいにすること)[他]～をすすぐ osopsop (幌別): [他](人)に～をすすがせる osopsop (新): [自]口をすすぐ parosopsop (新)、[自] yayparosopsop (新): (表現)～の口をすすぐ ～ paro osopsop (幌別): [他](原因、手段)～口をすすぐ oparosopsop (新): 「流れを枕にし石で口をすすげるのか?」“Mom wakka an=oparosopsop wa suma an=eninuy easkay ruwe?”

すずしく(涼しく)①(気温が)[完動]涼しくなる、涼しい sirmeman (石狩): [自](場所)が涼しくなる、涼しい sirkomeman (新):

②(人が)[自](人が)涼しくなる、涼しい
 meman (石狩): [他](人)を涼しくする
 memanka (石狩)、[他] memante (新)
すすたけ(煤竹) [名]煤竹 upaus-sitop (新)
スズタケ(簍竹) (植物)①[名](タケ亜科)スズタケ属 cicap (新): [名]スズタケの茎、葉
 cicap (十勝): [名]ケスズの茎葉
 numauscica (新): [名]ササモルフア・シニカの茎葉 atuyyacicap (新): [名]ササモルフア・ヌビゲナの茎葉 petcicap (新): [名]ハチジョウスズタケの茎葉 hacijocicap (新)※(スズタケの亜種): ②[名]スズタケ類の葉 cicapham(u) (新)、[名]cicapam(u) (新): [名]スズタケ類の茎(稈) cicap (新): [名]スズタケ類の花 cicapapappo (新): [名]スズタケ類の実 cicapamam(a) (新): [名]スズタケ類の若芽 cicapto (新): [名]スズタケ類の稈鞘 cicapkap(u) (新)
すすぼこり(煤埃)[名]煤埃 pas (新): [名]白い煤埃 retarpas (天塩)
すずむ(涼む) [自]涼む yaymemamka (石狩): [他](人)を涼ませる yaymemamkare (新)
スズメウリ(雀瓜)(植物)[名](ウリ科)スズメウリ連 cikapponokuripunkar-utar (新): [名]スズメウリ属 cikapponokuripunkar-cise (新): [名]スズメウリの茎 cikapponokuripunkar (新)、[名]その果実 cikapponokuri (新): [名]クロミノスズメウリの茎 taywan-cikapponokuripunkar (新): [名]サツマスズメウリの茎 maysuru-cikapponokuripunkar (新)※(マイソールの雀瓜): [名]ゼーネリア・アルバの茎 eretar-cikapponokuripunkar (新): [名]ゼーネリア・パウエリアナの茎 siporo-cikapponokuripunkar (新)
すずり(硯) [名]硯 passirup (新): (表現)硯で墨を磨る passirup ani pas siru (新)
すする(吸る) ①[自]ものを吸る ini (新): [他]～を吸る ni (石狩): [他](場所)で～を吸る eni (新): [他]～と共に～を吸る koni (新): [他](原因、手段)で～を吸る oni (新): [他](人)に～を吸らせる nire (新): ②[自]音を立てて吸る horopse (石狩): [他]～を音を立てて吸る horopsekar (石狩): [他](人)に音を立てて吸らせる horopsere (新): [他](人)に～を音を立てて吸らせる horopsekare (新): [自]酷く音を立てて吸る toykohoropse (新): [間投]吸る音 horop (石狩)
すそ(裾) [名]裾 cinki (石狩): (表現)裾を絡げる cinki ehorkakomo wa sina (新): (表現)裾を上げる cinki rikinte (rikinke)

(新): [自]裾をたくし上げる、まくり上げる
 iehorkakomo (新): [他](着物)の裾をたくし上げる、まくり上げる ehorkakomo (石狩): (表現)～の着物の裾をたくし上げる、まくり上げる ~ mipi ehorkakomo (石狩): [他](人)に～の裾をたくし上げさせる、まくり上げさせる ehorkakomore (新)
スソビキアゲハ(裾引揚羽)(昆虫)[名](アオスジアゲハ族)スソビキアゲハ属 sarasitanne-ruun-kitomarewrew-cise (新): [名]スソビキアゲハ sarasitanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]シロスソビキアゲハ retar-sarasitanne-ruun-kitomarewrew (新)
スタプロポリ [場名](ロシア連邦南部連邦管区の構成主体名)スタプロポリ地方 Sutavropori-sirkes (新): [場名](スタプロポリ地方の首府名)スタプロポリ Sutavropori (新)
すだれ(簾) [名]簾 aputke (石狩)、[名]aputki (沙流): [名]戸口に下げる簾 apaorot-apatke (-aputki) (新)、[名]apaorotpe (新): [名]窓に下げる簾 puyarorot-apatke(-aputki) (新)、[名]puyarotpe (新)
ずつ [副助](数名詞、あるいは数詞+名詞など数を表わす名詞句の後に用いられ)～ずつ ranke (石狩): (表現)一年にクジラを一頭ずつ sinepa humpe arke ranke (石狩): (表現)羽を一本ずつ sine rapnit ranke (石狩)
ずつう(頭痛) [名]頭痛 sapaarka (石狩): (表現)頭痛がする sapa arka (石狩)、(表現) pake arka (石狩): 「私は頭痛がする」 “Ku=sapa arka .”: (表現)頭の前の方が痛む noypuru arka (石狩): (表現)串が刺さったようにギリギリと頭痛がする noypuru ikus (石狩): 「私はギリギリと頭痛がする。」 “Ku=noypuru ikus .”
すっかり ①[副]すっかり oar (石狩): 「私はその事をすっかり忘れた。」 “Neampe oar ku=oyra (= ku=oaroira).”: oar + oyra(～を忘れる)→ oaroira 「すっかり～を忘れる」、oar+retar(白くなる)→ oanretar 「すっかり白くなる」、oar+sara(露出する)→ oassara 「すっかり露出する」、oar+cari(～をばら撒く)→ oatcari 「すっかり～をばら撒く」: [副](多くは合成語の構成要素として)すっかり ar (石狩): ar+(～を忘れる)→ aroyra 「すっかり～を忘れる」: [副](専ら合成語の構成要素として)すっかり anno (石狩): ②[副](oarの強調形として)すっかり完全に oarar (石狩)、[副] arar (石狩): ③(表現)すっかり日が暮れる oar

sironuman kor (石狩)、(表現) oar onuman (tokes) an kor (石狩)、(表現)(雅) sían tokes ciomante kor (沙流): ④[自]すっかり元気になる、すっかり健康である montumne (石狩): [他](人)をすっかり元気にする、すっかり健康にする montumneka (montumnere) (新)

ずっていどうする(ずって移動する)[自]ずって移動する rututke (石狩)、[自] sirutu (石狩): (表現)山崩れになる toy rututke (石狩): (表現)雪崩になる upas rututke (石狩): [他]～をずって移動させる rutu (石狩): [他]～をぐいぐいずって移動させる rututu (石狩)、[他] ruturutu (石狩)

ずっと ①(時間的に)[副]ずっと、何時までも inantapakno (石狩)、[副] neytapakno (石狩)、[副] neypakno (新): (表現)ずっと、子々孫々 sasusysir neno (石狩)、(表現) sasusysir pakno (石狩): 「ずっとと貴方達が幸せでありますように。」 “Sasusysir pakno es=pirka nankor!”: (表現)ずっと、続けざまに uepaki ta (石狩): 「今までずっと私はいじめられてきた。」 “Tane pakno uepaki ta enci=epoko.”: ②(空間的に)[副]ずっと(遠く) too (石狩): (表現)ずっと遠くに too tuyma(-no) (石狩): (表現)ずっと遠くから too tuyma wa (石狩): [連体]ずっと遠くの too (石狩): (表現)ずっと遠い所 too hi (石狩): (表現)ずっと遠い山の中で too kim ta (石狩)

すっぱく(酸っぱく)[自]酸っぱくなる、酸っぱい supkake (八雲): [他]～を酸っぱくする supkakeka (supkakere) (新): [自]完全に酸っぱくなる、酸っぱい oassupkake (assuppake) (新): [自]充分酸っぱくなる、酸っぱい supkakeno (supkakenu) (新): [自]滅茶苦茶酸っぱくなる、酸っぱい toykosupkake (新): [副]酸っぱく supkakeno (新)

すっぱだか(素っ裸) ①(表現)素っ裸になる 素っ裸になる eru atusa ki (石狩)、(表現) oar atusa (石狩)、(表現) ar atusa (石狩): 「お前たちは素っ裸になって抱き合った。」 “Oar es=atusa (= Ar es=atusa、Es=oaratusa、Es=aratusa) wa es=utumam.”: oar+atusa(裸になる)→oaratusa =aratusa 「素っ裸になる」: ②[自](男)が素っ裸になる tepasak (天塩)

すてきによそう(素敵に装う)[自]素敵に装う yaykarkanno (新): [他](場所)で素敵に装う eyaykarkanno (新): [他]～と共に素敵に装う koyaykarkanno (新): [他](原因、手段)で素敵に装う oyaykarkanno (新): [他](人)に素敵に装

わせる yaykarkannore (新)

ステップ [名]ステップ sutepinup (新)、[名] sutepi (新)※(露語)

すでに(既に) [副]既に tane (石狩): (表現)既に tane anakne (石狩)、(表現) tane ne kusu (沙流)

ステビア (植物)[名](キク科)ステビア属 sutevia-cise (新): [名]ステビアの茎葉 pirkasutevia (新)、[名] pirkakewtumkorpopenkikukina (新)※(別名「アマハステビア」)

ステラーカイギウ(ステラー海牛)(動物)[名](ジュゴン科)ステラーカイギウ亜科 siatuypeko-moapa (新)※(絶滅): [名]ステラーカイギウ属 siatuypeko-cise (新): [名]ステラーカイギウ siatuypeko (新): [名]ピリカカイギウ pirka-siatuypeko (新)

すてる(捨てる) ①(物を捨てたり、配偶者、恋人などと別れる事を示し)[自]ものを捨てる iosura (複数 iosurpa) (新): [他]～を捨てる osura (複数 osurpa) (石狩): [他](場所)で～を捨てる eosura (複数形 eosura) (新): [他](場所)へと～を捨てる、～と共に～を捨てる koosura (複数 koosurpa) (新): [他](場所)から～を捨てる、(原因、手段)で～を捨てる oosura (複数 oosurpa) (新): [他](人)に～を捨てさせる osurare (複数 osurpare) (新): [他]自分で、一人で～を捨てる yaykoosura (複数 yaykoosurpa) (新): [他]互いに、皆で～を捨てる ukoosura (複数 ukoosurpa) (新): [他]完全に～を捨てる oarosura (複数 oarosurpa) (新)、[他] arosura (複数 arosurpa) (新): [他]思い切り～を捨てる toykoosura (複数 toykoosurpa) (新): [他]瞬間的に～を捨てる osuttek (新): [他](中相)～が捨てられる ciosura (複数 ciosurpa) (新): [自]自分を捨てる yayosura (複数 yayosurpa) (新): ②(物を手から離したり、人を見捨てる事を示し)[自]物や人を捨てる isura (複数 isurpa) (新): [他]～を捨てる sura (複数 surpa) (石狩)※(複数形は新語): [他](人)に～を捨てさせる surare (複数 surpare) (新)

ストウルニラ (動物)[名](アカフルーツヘラコウモリ亜科)ストウルニラ属 kúkewe-sikerpepeus-kapap-cise (新): [名]アメリカケンショウコウモリ amerikaun-kukewe-sikerpepeus-kapap (新): [名]コアメリカケンショウコウモリ moku-kewe-sikerpepeus-kapap (新): [名]ストウルニラ・アラタソマシ aratatomas-kukewe-sikerpepeus-kapap (新): [名]S. エリス

ロモス numaus-kukewe-sikerpepeus-kapap (新): [名] S. オポラフィルム
 cudium-kukewe-sikerpepeus-kapap (新): [名] S. コープマニリ cokoun-kukewe-sikerpepeus-kapap (新): [名] S. ソリア
 ノイ soriano-kukewe-sikerpepeus-kapap (新): [名] S. テイルダエ tiruda-kukewe-sikerpepeus-kapap (新): [名] S. ビデン
 ス peruun-kukewe-sikerpepeus-kapap (新): [名] S. ボゴテンシス bogotaun-kukewe-sikerpepeus-kapap (新): [名] S.
 マグナ sikukewe-sikerpepeus-kapap (新): [名] S. ミストラテンシス mistoradoun-kukewe-sikerpepeus-kapap
 (新): [名] S. モルダクス taramancaun-kukewe-sikerpepeus-kapap (新): [名] S.
 ルイシ ruis-kukewe-sikerpepeus-kapap (新): [名] S. ルドビキ rúdivik-kukewe-sikerpepeus-kapap (新): [名] トマスケ
 ショウコウモリ tómas-kukewe-sikerpepeus-kapap (新)
ストーカー ① [自] 人にストーカーする iokakotuk (新): [他](人)にストーカーする okakotuk (新): [他](場所)で(人)に
 ストーカーする eokakotuk (新): [他]へと共に(人)にストーカーする kookakotuk (新): [他](原因、手段)で(人)にストーカーする
 ookakotuk (新): [他](人)に(人)をストーカーさせる okakotukka (新): ②(行為)[名]ストーカー iokakotuk (新): (表現)ストーカー行為 iokakotuk puri (新):
 ③(人)[名]ストーカー iokakotukpe (新)※(人の行く後にへばりつく奴): [名]ストーカー男性 iokakotukkur (新): (表現)ストー
 カー男 iokakotuk okkayo (新): [名]ストーカー女性 iokakotukmat (新): (表現)ストーカー女 iokakotuk menoko (新)
ストーブ [名]ストーブ apeop (新): (表現)ストーブを切る apeop sinire (or eapeuska) (新): (表現)ストーブを点ける
 apeop monraykere (or apeomare) (新): [名]達磨ストーブ apeo-sintoko (沙流)
ストック [名]ストック、銃床 puspeosor(-o) (新)
ストックホルム [場名](スウェーデン王国の首都名)ストックホルム Sutokorum (新)
ストライプフルーツコウモリ(動物)[名](オオコウモリ亜科)ストライプフルーツコウモリ属 ruosikapap-cise (新): [名]ストライプ
 フルーツコウモリ ruosikapap (新): [名]スティロクテニウム・ミンドレンシス mindoroun-ruosikapap (新)
ストリップ [名]ストリップティーズ、ストリッ
 プショー cinukarar-imiamakorimse

(新): [名]ストリップ劇場 imiamakorimseuscise (新): [名]男性のスト
 リッパー imiamakorimsekur (新): (表現)男性ストリッパー imiamakorimse
 okkayo (新): [名]女性のストリッパー imiamakorimsemat (新): (表現)女性スト
 リッパー imiamakorimse menoko :
ストレイモイ [場名](地名)ストレイモイ島 Sutreymoy-poysir (新)※(北大西洋に位置
 するデンマーク王国の自治領フェロー諸島に属する島。)
ストレートヘアー [名]ストレートヘアー pépesotop(-i) (石狩)
ストレッチ [自]ストレッチする yayriterite (沙流)
ストレッチャー [名]ストレッチャー cirutuamset (石狩)
ストレブルス(植物)[名](クワ科)ストレブルス属 tópeturepni-cise (新)※(乳桑属): [名]
 ストレブルス・アスペルの茎 nimakipirkare-turepni (新)※(タイ語「コ
 イ」): [名] S. スミシの茎 remosirkorkur-topeturepni (新): [名] S.
 バンクシの茎 hamuporo-topeturepni (新): [名] S. ブルノニアヌスの茎 humpeponeni (新)※(鯨骨木): [名] S. ヘ
 テロフィリスの茎 hamupon-topeturepni (新): [名] S. ベンドウリヌスの茎 aiai-
 turepni (新)※(ハワイ語 a'ia'ia)
ストロー [名]ストロー inip (新)、[名] cioinip (新)、[名] sutoraw (新)※(英語)、
 [名] sorominka (新)※(露語)
ストローオオコウモリ(動物)[名](オオコウモリ亜科)ストローオオコウモリ属 tamesikapap-cise (新): [名]ストロー
 オオコウモリ tamesikapap (新)※(橐椰子喰大蝙蝠): [名]エイドロン・ドゥブレアスム
 madagašikaraun-nikaopesikapap (新)
ストロンチウム(化学)[名]ストロンチウム sutrontium (新)※(原子番号38番。元素記
 号 Sr)
すな(砂) [名]砂 ota (石狩): (表現)砂遊びを
 する ota osinot (新): [名]砂川
 otauspet (新)、[名] otapet (新): [名]砂
 沢 otausnay (新)、[名] otanay (新):
 [場名]砂地 otausi (石狩): [名]砂地の瀬
 otakeperpe (沙流): [場名]砂場
 otaosinotusi (新)、[場名] cieotasinotusi
 (新): [名]砂山 otahur (新): [名]砂嵐
 kamuyotarera (新)、[名] kamuyotamaw
 (新): (表現)砂嵐が激しくなる、砂嵐が荒れ
 狂っている kamuyotarera yupke (新)、
 (表現) kamuyotamaw yupke (新)

すなはま(砂浜) [名]砂浜 ota (石狩): [名] 砂浜とその上の草原の境 otasut (石狩): [場名]長く続く砂浜の真中辺り otanoski (石狩)

スナメリ(砂滑) (動物)[名](ネズミイルカ科)スナメリ属 sunameri-cise (新): [名]スナメリ sunameri (新)※(日本語)

すね(脛) ①[名]脛 nisap(i) (石狩)、[名] utcikama (石狩)、[名] santekecikir(i) (石狩): [場名]脛の前部 utcikamamekka(-si, -sike) (石狩)、[名](雅) pokisir(i) (幌別)、[名](雅) pokin-cikir(i) (幌別): (表現)草織の脚絆を己が脛に着ける kinatuyhos eyaypokisiri-karkar (幌別): (表現)~の脛に我が足を絡め仰のけに地面に押し倒す pokin-ncikiri an=ocinkonoye kuttokono an=sirekatta (新)※(幌別): ②[名](動物の)脛 sancikir(i) (石狩)

スノートラウト (魚介)[名](コイ科)スノートラウト亜科 cisakipekopacep-moapa (新)

すのこ(簀子) [名]萱を編んだ簀子 apuciki (石狩)

スバ [場名](フィジー諸島共和国の首都名)スバ Suva (新)

スパイス [名]スパイス húrakor-iparkarep (新)、[名] húrakor-icarkarep (新)、[名] supais (spice) (新)※(英語)

ずばぬけて(ずば抜けて) [副](他より)ずば抜けて etakasure (沙流): 「お前はずば抜けて頭がいい。」 “ Eani anakne etakasure e=ramuan . ”

すばやく(素早く) [自]素早くなる、素早く行動する、素早く対処する、素早い、すばしっこい tunas (石狩)、[自] nitan (石狩): [他](場所)で素早くなる、素早い etunas (新)、[他] enitan (新): [他]~に対して素早くなる、素早い、~と共に素早くなる、素早い kotunas (新)、[他] konitan (新): [他](原因、手段)で素早くなる、素早い otunas (新)、[他] onitan (新): [他]~を素早くする tunaska (tunaste) (新)、[他] nitanka (nitante) (新): [副]素早く tunasno (tunas) (石狩)、[副] nitanno (nitán) (新)、[副] enkota (unkota) (浦河)、[副](雅語) orotunasno (石狩)

すばらしいけっこんしき(素晴らしい結婚式) [自]素晴らしい結婚式を挙げる pirkaukor (石狩)※(「盛大な結婚式を挙げる」 "páseukor"と対になる。)

すばらしく(素晴らしく) ①[自]素晴らしくなる、素晴らしい pirka (石狩): (表現)とても素晴らしくなる、素晴らしい sonno pirka (石狩)、(表現) sino pirka (他方言): [他](場所)で素晴らしくなる、素晴らし

い epirka (新): [他]~と共に素晴らしくなる、素晴らしい kopirka (新): [他](原因、手段)で素晴らしくなる、素晴らしい epirka (石狩)、[他] opirka (新): [他]~を素晴らしくする pirkare (新): [自]自分で、一人で素晴らしくなる、素晴らしい yaykopirka (新): [自]互いに、皆で素晴らしくなる、素晴らしい ukopirka (新): [自]完全に素晴らしくなる、素晴らしい oarpirka (arpirka) (新): [自]充分素晴らしい pirkano (pírkano) (新): [自]滅茶苦茶素晴らしくなる、素晴らしい toykopirka (新): [自]ひとりで素晴らしくなる、素晴らしい sikopirka (新): [自]とても素晴らしい sisak (石狩): (表現)素晴らしい irammakaka (irammakakano) an (複数形 okay) (石狩): [副]素晴らしく pirkano (石狩)、[副](雅) pirka (石狩)、[副] irammakaka (irammakakano) (石狩): ②とても素晴らしい物の形容に kamuy kosonte 「神の小袖(とても素晴らしい小袖)」や káni sokkar 「金の敷物(とても素晴らしい敷物)」のように kamuy 「神」や káni 「金」という言葉で、また什器では kaparpe itanki 「薄物の椀(とても素晴らしいな椀)」のように kaparpe 「薄物」でとても素晴らしい事を表現した。

スパルタ (歴史)[場名](古代ギリシャの都市国家名)スパルタ Supatta (新)

スプーン [名]スプーン parapasuy (石狩)

ズブズブ [間投]ズブズブ zubuzubu (新) ※(日本語): [自]ズブズブな関係に陥る zubukosanu (新): [自]ズブズブ頻りと関係を持つ cizuburototo (新)、[自] zuburototke (新): [自]ズブズブ何度も関係を持つ zububuatki (新): [自]ズブズブな関係を続けている zubuitara (zubuhitara) (新)

ずぶぬれ(ずぶ濡れ) [自]ずぶ濡れになる、である pétacirir (新): [他](場所)でずぶ濡れになる、である epetacirir (新): [他]~と共にずぶ濡れになる、ずぶ濡れである kopetacirir (新): [他](原因、手段)でずぶ濡れになる、である opetacirir (新): [他]~をずぶ濡れにする pétacirirka (pétacirire) (新): [自]すっかりずぶ濡れになる、である oarpetacirir (arpetcirir) (新): [自]頭からずぶ濡れになる、である epetacirir (石狩): [自](水から上げたばかりで)濡れている epekocirir (天塩): [自]下部、陰部がずぶ濡れになる、である opetacirir (新)

ズブリ ①(矢などが刺さる音)[間投]ズブリ

ror (新): [間投]ズブリズブリ ronror
 (新): [自]ズブリと音がする rosse (新):
 [自]ズブリズブリと音がする ronrosse
 (新): [自](一回)ズブリと鳴る、刺さる
 rorkosanu (新)、[自] rorkosampa (新):
 [他]〜にズブリと刺さる kororkosanu (沙
 流)、[他] korkosanu (沙流): [自]ズブリ
 ズブリと頻りに鳴る、頻りに刺さる
 cironrototo (新)、[自] cironrototke (新):
 [自]ズブリズブリと続けて鳴る、刺さる
 ronnatara (新): [自](瞬間的に)ズブリと
 鳴る、刺さる rottek (新): ②(獣皮に小
 刀を突き立てるような音)[間投]ズブリ ser
 (H): [間投]ズブズブ sesser (新):
 [自](一回)ズブリと刺さる serkosanu
 (新): [自]ズブリズブリ頻りに刺さる
 cisenrototo (新)、[自] senrototke (新):
 [自]ズブリズブリ何度も刺さる sereratki
 (新): [自]ズブリズブリ刺さり続けている
 sennatara (新): [自]ちょっとズブリと刺
 さる、少しズブリと刺さる settek (新)
スプリング[名]スプリング topuysay(-e)
 (新)、※(跳ね返る巻いた物)、[名] supuringu
 (新)※(英語)
スプリングフィールド[場名](アメリカ合衆国
 イリノイ州の州都名、あるいは他州、イギリ
 ス、オーストラリアなどの都市名)スプリング
 フィールド Supringufirdo
 (Supringufiddo) (新)
スプリングボック(動物)[名](ブラックバック
 亜族)スプリングボック属 suprimbok-cise
 (新): [名]スプリングボック suprimbok
 (新)※(英語)
スプリングワッシャー[名]スプリングワッ
 シャー、ばね座金 topuysay-cinoyepso (新)、
 [名] topuysaywaşer (新)
スペアミント(植物)[名](ハッカ属)スペアミン
 ト cikosukekina (新)
スペイン[場名](国名)スペイン Espania
 (新)、[場名] Espania Mosir (新)、[場名]
 Espania Yaykomosirkorkurkormosir (新)
 ※(首都は「マドリード」): [名]スペイン人、
 国民 espaniaunkur (新): [名]スペイン
 語 espaniaunkur-itak (新)
スベオアルマジロ(滑尾アルマジロ)(動
 物)[名](アルマジロ科)スベオアルマジロ属
 oatusahayokyuk-cise (新): [名]スベオ
 アルマジロ koypokun-oatusahayokyuk
 (新)、[名] koypokun-oatusaarmadiro
 (新): [名]タトゥースベオアルマジロ
 poro-oatusahayokyuk (新)、[名] poro-
 oatusaarmadiro (新): [名]チャコスベオ
 アルマジロ cakoun-oatusahayokyuk (新)、
 [名] cakoun-oatusaarmadiro (新): [名]

パナマスベオアルマジロ koykaun-
 oatusahayokyuk (新)、[名] koykaun-
 oatusaarmadiro (新)
すべき ①[助動]〜(す)べき kuni (石狩):
 (表現)私がやるべき仕事 ku=ki kuni
 monrayke (石狩): ②(表現)〜すべき事
 動詞句+kunip (石狩)、(表現) 動詞句+
 kunihi (石狩): (表現)人が為すべき事ども
 an=ki kunip utar (石狩): ③(表現)〜すべ
 き人 動詞句+kunikur (新): (表現)〜す
 べき人達 動詞句+kuni utar (新): ④(表
 現)〜すべき所 動詞句+kunihi (新): ⑤
 〜すべき時 動詞句+kunihi (新): ⑥[形
 式名]〜(す)べきと、〜すべき事 動詞句+
 kuni (石狩): 「貴方はそれを私に言うべ
 きだと思います。」“Neampe en=ekota es=ye
 kuni ku=ramu .”、「その女を大切にすべき
 だと君は言うんだな?」“Ne menoko
 ku=eyam kuni es=ye hawe?”、「私は自分が
 すべき事を知っている。」“Ku=ki kuni
 ku=eraman (Ku=ki kunip ku=eraman).”
すべく(表現)〜すべく 動詞句+kuni (石
 狩): 形式名詞と接続助詞の用法がある。:
 [形式名]「私は今日この仕事を終えるべく努
 力しています。」“Tanto tan monrayke
 ku=okere kuni ku=koarikiki kane an .”、
 [接助]「神の国で貴方が立派な神となるべく、
 貴方にこの木幣、色々な供物を捧げます。」
 “Kamuymosir ta ci-yaykamuyner an=ki
 kuni tapan inaw usa rataskep
 i=korikinte=as na .”
すべておちこむ(滑って落ち込む)[自]滑って
 落ち込む osirpici (天塩): [他](場所)で滑
 って落ち込む eosirpici (新): [他](場所)
 に滑って落ち込む koosirpici (新): [他]
 〜と共に滑って落ち込む koosirpici (新):
 [他](原因、手段)で滑って落ち込む oosirpici
 (新): [他]〜を滑って落ち込ませる
 osirpicire (新)
すべてころぶ(滑って転ぶ)[自]滑って転ぶ
 osittesu (石狩)、[自] ositteske (天塩):
 [他](場所)で滑って転ぶ eosittesu (新)、
 [他] eositteske (新): [他]〜と共に滑っ
 て転ぶ koosittesu (新)、[他] koositteske
 (新): [他](原因、手段)で滑って転ぶ
 oosittesu (新)、[他] oositteske (新):
 [他]〜を滑って転ばせる osittesure (新)、
 [他] ositteskere (新)
すべて(全て)[後副](複数いる、あるいは複数
 あるものの)全て opitta (opittano) (石
 狩): 「僕は北海道にいる虫の名を全てを言
 える。」“Yayunmosir un kikir rehe opitta
 ku=ye easkay .” : ②[後副](一つ、あるい
 は一つと見做すもの)の全て epitta

(epittano) (石狩): 「この森全てが人間を拒んでいるかのようである。」 “Tan nitay epitta aynu kopan kotom siran .”

すべてのべる(全て述べる)①[他]～を全て述べる、(人)に全て述べる oarye (新): (表現)～全てを述べる ～ opitta ye (新): (表現)…に～全て述べる … ekota ～ opitta ye (新): [他](場所)で～を全て述べる、(人)に全て述べる oareye (新): [他]～と共に～を全て述べる、(人)に全て述べる oarkoye (新): [他](原因、手段)で～を全て述べる、(人)に全て述べる oaroye (新): [他](人)に～を全て述べさせる、(人)に(人)に全て述べさせる oaryere (新): ②(不明な点に関して)[他]～を全て述べる、を全て述べ伝える arpitakar (石狩): 「君の病気の原因を私が全部述べましょう “E=siyeye moto ku=arpitakar kusu ne na .”: [他](場所)で～を全て述べる earpitakar (新): [他]～と共に～を全て述べる koarpitakar (新): [他](原因、手段)で～を全て述べる oarpitakar (新): [他](人)に～を全て述べさせる arpitakare (新)

すべてをたたききる(全てを叩き切る) [他]～を全て叩き切る attatakar (石狩): 「…幣棚の上手に…私は行って山に向かって立つ物を全て叩き切り、浜に向かって立つ物を全て叩き切り…」 “…inawsampa ta…paye=as ine ekimun as pe ci=attatakar episun as pe ci=attatakar…” (杉村キナラブック)神謡

すべりおちる(滑り落ちる)①(足などを滑らせ高い所から)[自]滑り落ちる turse (新)、[自] tusse (石狩): [他](場所)に滑り落ちる koturse (kotusse) (新): [他]～と共に滑り落ちる koturse (kotusse) (新): [他](場所)から滑り落ちる oturse (otusse) (新): [他](原因、手段)で滑り落ちる eturse (新)、[他] etusse (石狩)、[他] oturse (otusse) (新): [他]～を滑り落とす turseka (tusseka) (新)、[他] tursere (tussere) (新): ②(斜面を)[自]ザザーッと音を立て滑り落ちる carasse (carase) (石狩)

すべりおりる(滑り下りる)[自]ザザーッと音を立て滑り下りる carasse (carase) (石狩): [他](場所)へ滑り下りる kocarasse (kocarase) (新): [他]～と共に滑り下りる kocarasse (kocarase) (新): [他](場所)から滑り下りる ocarasse (ocarase) (新): [他](原因、手段)で滑り下りる ocarasse (ocarase) (新): [他]～を滑り下とす carasseka (caraseka) (新)、[他] carassere (carasere) (新)

すべりだい(滑り台) [名]滑り台 sirakkarpe

(新)、[名] ciosirakkarpe (新)

すべりむすび(滑り結び) [名]滑り結び sinkop (石狩): [他](紡いだ糸などを)滑り結びにする sinkopa (石狩): 用例が無く自他不明であるが、今後他動詞として使う。

すべる(滑る) ①[0動]辺りがツルツル滑るようになる、滑る sinrarak (石狩): [自](場所)の辺りがツルツル滑るようになる、滑る sirkorarak (新): [自]ツルツル滑るようになる、滑る rarak (石狩): [他]～をツルツル滑るようにする rarakka (新)、[他] rarakte (新): [自]滑る sirarakkar (新): [他](場所)で滑る esirarakkar (新): [他]～と共に滑る kosirarakkar (新): [他](手段)で滑る osirarakkar (新): [他](人)を滑らせる rarakkar (新): ②[自](刀を引き抜くため手が)パッと滑る carkosanu (石狩): 「…脇の下ぞパッと滑り彼奴の体の上に二太刀、三太刀太刀影を躍らせると…」 “…ci=tempok konna carkosanu iki wa iki p tumamkasike tu yupke tamkur re yupke tamkur an=eterkekar kor…” (砂沢クラ)英雄詞曲

スベルドロフスク [場名](ロシア連邦ウラル連邦管区の行政区名)スベルドロフスク州 Suverdorofsuk-purovince (新)※(州都は「エカテリンブルク」): (歴史)[場名](「エカテリンブルク」の旧称)スベルドロフスク Suverdorofsuk (新)※(1924-191年)

ズボン [名]パンツ oyo (北千島)、[名] ráuni (新)※(下に付く物)、[名] ráusi (新)※(下に穿く物): (表現)パンツを脱ぐ oyo (ráuni, ráusi) ama (新): (表現)パンツを穿く oyo (ráuni, ráusi) us (新)

すまい(住まい) [名]住まい cise (石狩): (表現)私の住まい ku=kor cise (石狩)、(表現) ku=cise (石狩): (表現)～の住まい 名詞+uni (石狩): (表現)私の住まい ku=uni (石狩)

すます(澄ます) ①(透明にする)[他]～を澄ます pekere (石狩)、[他] pekerka (新): [他]完全に～を澄ます oarpekere (arpekere) (新)、[他] oarpekerka (arpekerka) (新): [自]充分に～を澄ます pekennore (pekennore) (新): [自]一瞬で～を澄ます pekettekka (新): ②(沈殿させて)[他]～を澄ます rakka (石狩): [他]完全に～を澄ます oanrak (anrak) (新): [自]充分に～を澄ます rakno (raknu) (新): [自]一瞬で～を澄ます raktek (新)

スマトラ [場名](地名)スマトラ島 Sumatra-poysir (新)※(大スンダ列島に属するインドネシア領の島)

すまない [自]すまないと思う iramunukuri (J K): [他]~についてすまないと思う eiramunukuri (新): [他](場所)ですまないと思う eiramunukuri (新): [他]~に対してすまないと思う koiramunukuri (新): [他]~と共にすまないと思う koiramunukuri (新): [他](原因、手段)ですまないと思う oiramunukuri (新): [他](人)にすまないと思わせる iramunukurire (新)

すみ(隅) ①(何かの角を表し)[位名]~の隅 sikkew(長形-e) (石狩): ②(何かの端、部屋の壁際を表し)[場名]隅 sowsut(-u) (石狩)、[場名] sósut(-u) (石狩): (表現)隅 so us hi (石狩)

すみ(炭) ①(木が燃えた)[名](黒い)炭 pas(-u) (石狩): (表現)白い炭 retar pas (石狩): ②(燃料としての)[名]炭 pas(-u) (新)、[名] nítan (新)※(木石炭): (表現)炭を熾す pas (nítan) uhuyka (新): (表現)炭を焼く pas (nítan) kar (新)、(表現) pas (nítan) círe (新)

すみ(墨) ①[名]墨 pas (新): (表現)硯で墨を磨る passirup ani pas siru (新): ②[自]墨色になる、である pás-irone (新): [他]~を墨色に染める pás-ironeka (-ironere) (新): [名]墨色 pás-iro (新)

すみこみ(住込み) [名]住込みで働く人 iorunkur (沙流): (表現)住込みを抱える iorunkur kor (沙流)

すみずみ(隅々) [副]隅々 huyuyna (沙流)、[副] huyuyne (B): (表現)隅々まで~を良く調べる huyuyna wa ~ uwampare (沙流)

スミレ(堇) (植物)[場名](古生花植物亜綱)スミレ目 (新): [名]スミレ科 (新): [名]アカリア科 (新): [名]イイギリ科 (新): [名]カミニンギョウ科 (新): [名]キブシ科 (新): [名]ギョリュウ科 (新): [名]シュウカイドウ科 (新): [名]シレンゲ科 (新): [名]スファエロセパルム科 (新): [名]ダティスカ科 (新): [名]トウルネラ科 (新): [名]トケイソウ科 (新): [名]パバイヤ科 (新): [名]ハンニチバナ科 (新): [名]フランケニア科 (新): [名]ベニノキ科 (新): [名]ペリディスクス科 (新): [名]マレシエルビア科 (新): [名]ミゾハコベ科 (新): [名]ワタモドキ科 (新)

すむ(住む) ①[自]住む、住んでいる an (複数 okay) (石狩): 「私は旭川に住むつもりだよ。」“Asankar otta ku=an kusu ne na .”、 「君が住んでいるのはどんな所なの？」 “Otta e=an hi nekonan hi ne ya ?” : [他](場所)に住む、住んでいる ean (複数

eokay) (石狩): 「お前は私達と共に随分長くこの石狩川筋に住んでいるから、もう石狩人の仲間入りしているんだよ。」“Eani anakne setakko un=turano tan Iskarpetcam ta ean pe e=ne kusu tane Iskarunkur e=eiopok ruwe ne na .” : [他](場所)に住む、住んでいる un (石狩): “ean” と異なりほとんどの場合、“Iskarunkur” 「石狩川筋に住む人」などの形で用いられる。: (表現)~が住む所 名詞+ uni (石狩): [他](水の神や戸口の神など特定の神が場所)に住む、住んでいる us (石狩): ②[自](神、あるいは神の如き立派な人が)[自]住む、住んでいる horari (複数 horarpa) (石狩): [他](場所)に住む、住んでいる ehorari (複数 ehorarpa) (新): 複数形については新語。: (神が)[自]住む、住んでいる iwak (沙流): [他](場所)に住む、住んでいる ewak (石狩)

すむ(澄む) ①[自]澄む、澄んでいる peker (石狩): [自]完全に澄む oarpeker (arpeker) (新): [自]十分に澄む pekenno (pekennu) (新): [自]一瞬で澄む pekettek (新): (表現)澄んだ水 peker wakka (石狩)②[自]沈殿して澄む rak (石狩)、[自] rat (天塩): [自]完全に沈殿して澄む oanrak (anrak) (新): [自]十分に沈殿して澄む rakno (raknu) (新): [自]一瞬で沈殿して澄む raktek (新)

すもう(相撲) [名]相撲 ukoterke (石狩): [他]~と相撲を取る koterke (新): [自]相撲を取る ukoterke (石狩): [他](場所)で相撲を取る eukoterke (新): [他](原因、手段)で相撲を取る oukoterke (新): [他]~と~に相撲を取らせる ukoterkere (新)

スモモ(李) (植物)[名](サクラ属)スモモの茎 momani (石狩): [名]スモモの花 momani-apappo (新): [名]スモモの果実 moma (石狩)

すやき(素焼き) (表現)素焼き、素焼きにした物 an koraci an=círe p (新)、(表現) isak no an=círe p (新)、(表現) cicirepuspe sak no an=círe p (新): (表現)素焼きにする an koraci círe (新)、(表現) isak no círe (新)、(表現) cicirepuspe sak no círe (新)

スライド (銃の部品)[場名]スライド、遊底 cimoyeasam (新)

スラウエシ [場名](地名)スラウエシ島 Surawesi-poysir (新)※(大スンダ列島に属するインドネシア領の島)

ずらす ①(押して移動させる事を示し)[他]~をずらす rutu (石狩): [他](場所)で~をずらす erutu (新): [他]~と共に~をず

らす korutu (新): [他](原因、手段)で～をずらす orutu (新): [他](人)に～をずらさせる ruture (新): [他]自分で、一人で～をずらす yaykorutu (新): [他]互いに、皆で～をずらす ukorutu (新): [他]すっかり～をずらす oanrutu (anrutu) (新): [他]思い切り～をずらす toykorutu (新): [他]人に～をずらさせる、してもらう rutuyar (新): [他]ぱっと～をずらす ruttekka (新): [他]～をぐいぐいずらす rututu (石狩)、[他] ruturutu (新)、[他] ruttutu (石狩): ②(離す事を示し)[他]～を～からずらす ehosire (新): (表現)～から一步～をずらす sine apkas ne ehosire (新): [他]～へ～から～をずらす、～と共に～から～をずらす koehosire (新): [他](原因、手段)で～から～をずらす oehosire (新)

ズラトウスト [場名](ロシア連邦ウラル連邦管区チェリャビンスク州の都市名)ズラトウスト Zuratousto (新)

ずりあげる(摺り上げる) [他]～を摺り上げる rikoraye (複数 rikoraypa) (新): [他](人)に～を摺り上げさせる rikorayere (複数 rikoraypare) (新): [他]～をぐっと摺り上げる sirikoraye (石狩): (表現)(年頃になったばかりの娘が膨らみだした胸元を気にして)今年になって遊び胸紐をぐっと摺り上げる tampa ne sinot numaci sirikoraye (石狩)

スリーピーススーツ (表現)スリーピーススーツ repne siyuk (新)

すりきれる(擦り切れる) [自]擦り切れる、擦り切れている yar (石狩): [他](場所)で擦り切れる、擦り切れている eyar (新): [他]～と共に擦り切れる、擦り切れている koyar (新): [他](原因、手段)で擦り切れる、擦り切れている oyar (新): [他]～を擦り切れさせる yarka (石狩): [自]完全に擦り切れる、擦り切れている oaryar (aryar) (新): [自]充分擦り切れる、擦り切れている yanno (yannu) (新): [自]滅茶苦茶擦り切れる、擦り切れている toykoyar (新)

すりこぎ(搗粉木) [名]搗粉木 ininap (十勝)

スリジャヤワルダナブラコッテ [場名](スリランカ民主社会主義共和国の首都名)スリジャヤワルダナブラコッテ Surijayawar-danapurakotte (新): [場名](都市名の通称として)コッテ Kotte (新)

スリッパ [名]スリッパ ciureumpe (新)、[名] ureumpe (新)、[名] suripper (新) ※(英語)、[名] tápociki (新) ※(露語): (表現)スリッパを履く ciureumpe us (新): (表現)スリッパを脱ぐ ciureumpe ama

(新)

スリナム [場名](国名)スリナム共和国 Suriname Ukotankoremosir (新) ※(首都は「パラマリボ」): [場名](国名の通称として)スリナム Suriname (新): [名]スリナム人、国民 surinameunkur (新): [名]スリナム語 surinameunkuritak (新)、[名]スラナン語 suranan-itak (新)、[名]タキタキ語 takitaki-itak (新)

すりぬける(すり抜ける) [他](水のように)～をすり抜ける cipesispare (沙流): 「そのトカゲは私の手の間をすりぬけて逃げてしまった。」 “Ne aram ku=teke uturu cipesispare wa kira wa isam .”

すりばちやま(搗鉢山) [名](地名) Matnetayoruspe、[名] Petsamuspe ※(現在石狩地方石狩市浜益区にある「搗鉢山」。通称「丸山」。)

スリランカ ①[場名](国名)スリランカ民主社会主義共和国 Urenkasapte Ureskaussamun Suriranka Ukotankoremosir (新) ※(「スリジャヤワルダナブラコッテ」): [場名](国名の通称として)スリランカ Suriranka (新): [名]スリランカ人、国民 surirankaunkur (新): ②[国名]スリランカ島 Suriranka-poysir (新)

する ①[自]する iki (石狩) ※(用法については「そうする」を見よ。): [他]～する ki (石狩): 特に韻文では "ku=yaykotuymasiramsuypa ayne" 「私は熟慮した末に」など韻律に合わない場合、"yaykosiramsuypa / ku=ki ayne" と "ku=yaykosiramsuypa" 「私は熟慮する」という自動詞を "yaykosiramsuypa" 「熟慮」という名詞 + "ku=ki" 「～を私はする」と表現される。"ku=ki ayne" には時として "ku=ki ki ayne" と意味上必要のない代動詞としての "ki" が使われる。また "aynu seremake es=sikkasma kunine es=nisuk=an hawe tapan na" 「人の背後をあなたがお見守り下さいますように頼むのでございますよ」を "aynu seremak / ci-sikkasma / es=ki kunine / es=nisuk=an / hawe tapan na" と "es=ki" の目的語となる部分が他動詞である場合には、"ci-sikkasma" という不定詞にし、"aynu seremak ci-sikkasma" 「人の背後を見守る事」 + es=ki 「～をあなたはする」と表現される。その他 "iso oran kuni / a=keytumkasi / ekoonkami / ku=ki wa an na" 「そこに獲物が下されますよう／あなたの御心／に拝礼する事／を私はしているのですよ」と "a=keytumkasi-ekoonkami" を一つの名詞として ku=ki の目的語とする場合もある。: [他](場所)で～する eki (新):

[他]〜に対して〜する koki (石狩): 「…物持ちに対しても貧乏人に対しても言い掛かりをお前はつけて…」 “… nispa nakka wenkur nakka sunkecaranke e=koki wa …” (杉村キナラブック) 説話: [他]〜と共に〜する koki (新): [他](原因、手段)で〜する oki (新): [他](誰か)に〜させる kire (新): 「お前は私にそれをさせようと言うんだな」 “Eani e=en=kire hawan?”: [他]自分で、一人で〜する yaykoki (新): [他]互いに、皆で〜する ukoki (新): [他]完全に〜する oarki (arki) (新): [他]思い切り〜する toykoki (新): ②[他]〜をする kar (石狩)、[他](雅) karkar (石狩): (表現)する事がない kar pe ka isam (幌別): (表現)〜を…にする … ne ~ kar (石狩): (表現)ごみを金にする ikor ne mun kar (新): [他](場所)で〜をする ekar (新): [他]〜に対して〜をする kokar (新): [他]〜と共に〜をする kokar (新): [他](原因、手段)で〜をする okar (新): [他](人)に〜をさせる káre(複数 kárpáre) (新) 複数形は通常韻文に使われる。: [他](名詞句と必要とされる人称接辞を目的語として)〜を(人)にする ekarkar (石狩): 「彼が私に何か良い事をするものではないと…」 “…nep pirka hi i =ekarkar he somo ne kuni …” (鹿田シムカニ) 婦女詞曲: [他](他動詞、連他動詞の不定形と必要とされる人称接辞を目的語として)〜(する事)を(人)にする ekarkar (石狩): 不定形とは下例に見られるように他動詞は語頭、連他動詞は前綴と動詞の間に不定称の接辞“ci-”がついたもので、「〜すること」と和訳できる。それぞれ “eci=pakasnu=an”、 “en=kasinukar”、 “ramu=ay=ye”でも良いところを、この形式を用いる事で文に格調が与えられるため、英雄詞曲、婦女詞曲や祈詞の中に多用される。): 「…懲らしめる事を私はお前にするぞ…」 “…ci-pakasnu eci=ekarkar=an na…” (砂沢クラ) 婦女詞曲、 「…同族と共にそれに励めますよう取り計らう事を私になしたまえ…」 “…utar turano ekoarikiki easkay kuni ci-kasinukar en=ekarkar yan .” (砂沢トゥアカンノ) 祈詞、 「…神より褒められる事を彼(仔グマ)はされるでしょう。」 “…kamuy orowano ramu-ci-ye an=ekarkar nankor .” (砂沢トゥアカンノ) 祈詞: [他](虚辞接頭辞 “ko-”が接頭した他動詞の不定形と必要な人称接辞を目的語として)〜(する事)を(誰か)にする koekarkar (石狩): 「…刃も私の佩刀も隠す事をそいつは私にし…」 “…notak ka an=kor mutemusi ka ci-konuyna i=koekarkar…” (砂沢クラ): [他]一人で自

分一人で〜をする yaykokarkar (石狩): 「…素晴らしい炊事を私は一人でし…」 “…pirka suke ay=yaykokarkar…” (杉村キナラブック) 神話

する(刷る) [自] 刷る ioiopotuye (新): [他](手段)で刷る oiopotuye (新): [他]〜を刷る ioopotuye (新): [他](場所)で〜を刷る eioopotuye (新): [他](場所)に〜を刷る koioopotuye (新): [他]〜と共に〜を刷る koioopotuye (新): [他](手段)で〜を刷る oopotuye (新): [他](人)に〜を刷らせる ioopotuyere (新)

する(擦る) ①[他]〜を擦る siru (石狩): [他](場所)で〜を擦る esiru (新): [他](場所)へ〜を擦る kosiru (新): [他]〜と共に〜を擦る kosiru (新): [他](原因、手段)で〜を擦る osiru (新): [他]〜に〜を擦らせる sirure (新): [自]自分を擦る yaysiru (新): [自]自分で、一人で〜を擦る yaykosiru (新): [自]互いを擦る usiru (新): [自]互いに、皆で〜を擦る ukosiru (新): [他]〜を何度も擦る sirusiru (石狩): ②(マツチ)[他]〜を擦る、擦って火を点ける kisa (新)※(本来は火を熾すため火熾し棒「を両手で回して擦る」事だが、見出しの意味にもまたライターなどの器具「で点火する」意味にも転用していく): [他](人)に〜を擦らせる、擦って火を点けさせる kisare (新)

ずる(摺る) [自] 摺る sinu (石狩): (表現)(アイヌの慎みとして屋内では敬意を払うべき相手のそばへ近寄る時などに座ったまま体を低くして)這いながら摺りながら reye kane sinu kane (石狩): [他](場所)で摺る esinu (新): [他]〜と共に摺る kosinu (新): [他](原因、手段)で摺る osinu (新): [他]〜を摺らせる sinure (新)

するかのように [接助](話者の推定を表し)〜(する)かのように pokon (石狩)、[接助] pekor (石狩): 「私は君が何でもしてくれるかのように思っていた。」 “Nep ne yakka e=kar pokon ku=yaynu .”, 「あの男はそれを知っているかのように私には見える。」

“Taan okkayo neampe eraman pokon ku=inkar .”: (表現)〜(する)かのようにふるまっている pokon an (複数 okay) (石狩): 「お前は最近殿様になったかのようにふるまっているな。」 “Naun tono e=ne pokon an na .”: [接助]〜(した)かのように apekor (石狩): 「…何処やらかで私の様子を知ったかのように…」 “…neytasinno okay=an katu eramuokay pe hi ne apekor …” (杉村キナラブック) 婦女詞曲

するきにならない(する気にならない) ①(年取って、体調が悪くて、疲れて、あるいは面倒で)[自]物事をする気にならない inukuri (石狩): [他]～をする気にならない nukuri (石狩): 「年を取って目も悪くなって読書する気にならなくなったよ。」

“Ku=onne wa ku=siki wen wa kampisosnukar ku=nukuri wa.”: [助動]～(する)気にならない nukuri (石狩): 「私は疲れ過ぎて食事する気にさえもならない。」“Ku=sinki kasuy ayne ku=ipe poka nukuri.”: ②(嫌で)[自]物事をする気にならない ietoranne (新): [他]～をする気にならない etoranne (石狩): 「私は勉強する気にならない」“Yaypakasnu ku=etoranne.”: [助動](先の条件で)～(する)気にならない etoranne (石狩): 「私は彼に会う気にならない。」“Ci=nukar etoranne.”

するきをそぐ(する気を殺ぐ) ①(体調が悪くて、疲れて、あるいは面倒で)[他](人)の～をする気を殺ぐ、失わせる nukurire (新): 「お前の醜い顔を見ると気分が悪い。本当にお前は私の食事する気さえ殺ぐな。」

“E=wennanu ku=nukar kor ku=yaynumuwen. Sonno ipe poka e=en=nukurire.”: ②(嫌で)[他](人)が～をする気を殺ぐ、失わせる etorannere (新): 「いつもいづも私が勉強するようあなたが言うから、今ではすっかり勉強する気を失わせているよ。」“Ramma ramma ku=yaypakasnu kuni es=ye kusu tane anakne es=en=etorannere na.”

ずるく(狡く) [自]狡い wenkewtumkor (石狩): (表現)狡い wen puri-kewtum kor (石狩)、(表現) puri wen (天塩): [自]狡くなる、狡い zuruy (新)※(日本語): [他](人)を狡くする zuruyka (zuruyre) (新)

スルグト [場名](ロシア連邦ウラル連邦管区ハンティ・マシシ自治管区の都市名)スルグト Surgut (新)

することができぬほど(する事ができぬ程) (表現)～する事ができぬ程 動詞句+eaykap pakno (pak) (石狩): 「私は歩くほどがどできぬ程足が痛い。」“Ku=apkas eaykap pakno ku=cikiri arka.”: (表現)～する事もできぬ程 動詞句+ka eaykap pakno (pak) (石狩): 「あの娘ったら食事でもできぬ程悲しんでるんだって。」“Nea menoko anak ipe ka eaykap pakno ramuwen kane an hawe ne.”: (表現)～する事もできぬ程である 動詞句+ka eaykap pak iki (石狩): 「小母さんは泣い

て泣いて歩く事もできぬ程だった。」“…unarpe cis ayne apkas ka eaykap pak iki.” (砂沢クラ): (表現)～する事さえもできぬ程 動詞句+poka eaykap pakno (pak) (石狩): 「私達は立つ事さえもできぬ程疲れていた。」

“Roski=as poka eaykap pakno sinki=as.”

するじょうたいにない(する状態にない) (その時の都合や状況のため)[自]物事をする状態にない iniwkes (新): 「お前は忙しくて、今やってること以外物事をする状態によだね。」“E=montapi wa tane e=ki p emosma e=iniwkes kotom siran na.”: [他]～をする状態にない niwkes (石狩): 「まだ私は健康が回復してないので、仕事をする状態にない。」“Tane somo ku=toteknu kusu monrayke ku=niwkes.”: [助動](その時の都合や状況のため)～(する)状態にない niwkes (石狩): 「その女性は今は何かを話せる状態にない。」“Ne menoko anakne tane nepka ye niwkes.”

ズルズル [間投](ものを吸る音)ズルズル horop (石狩): [自]ズルズル音を立てて吸る horopse (石狩): [他]～をズルズル音を立てて吸る horopsekar (石狩): [他](人)にズルズル音を立てて吸らせる horopsere (新): [他](人)に～をズルズル音を立てて吸らせる horopsekare (新): [自]酷くズルズル音を立てて吸る toykohoropse (新): [自]一度ズルッと音を立てて吸る horopkosanu (新): [自]ズルズルと頻りに音を立てて吸る horoprotke (新)、[自] cihoroprototo (新): [自]ズルズル続けて音を立てて吸る horopitara (新)

するだろう ①[助動](推量を表し)～(する)だろう 動詞句+nankor(+na) (石狩): 「明日私の弟が札幌に行くだろう。君も行くだろう?」“Nisatta ku=aki Sapporo ene oman nankor. Eani ka e=oman?”、「あの人はそれを知らないだろうよ。」“Neakur erampetek nankor na.”: ②[接助](推量を表し)～だろうと kunak (石狩)、[接助] kuni (石狩): 「あの人はそれを知らないだろうと君が言った。」“Neakur erampetek kunak (kuni) e=ye (= Neakur erampetek nankor, sekor e=itak).”、「あの男はもう結婚したのだろうと私は思う。」“Ne okkayo tane matkor kunak (kuni) ku=ramu (= Ne okkayo tane matkor, sekor ku=yaynu).”: (表現)まさか～しないだろうと思ったのに～だった somo suy ~ kunak (kuni) ramu korka (a p、複数 rok pe) … awan (石狩)、(表現) somo suy ~ pokon yaynu korka (a p、複数 rok pe) …

awan (石狩)※("awan"の複数形は"rokokay"だが石狩方言では雅語表現に非常に稀に現れるのみなので注意。): 「まさか眠らないだろうと思っていたけれど眠ったのだった。」“Somo suy ku=mokor kunak (kuni) ku=ramu korka (a p ,) ku=mokor awan (= Somo suy ku=mokor pokon ku=yaynu korka (a p ,) ku=mokor awan) .”、「私達はまさかそんないかがわしい場所に行かないだろうと思っていたのに行ってしまったのだった。」“Somo suy enean hoiyousi ene paye=as kunak (kuni) ci=ramu korka (rok pe ,) paye=as awan (= Somo suy enean hoiyousi ene paye=as pokon yaynu=as korka (rok pe ,) paye=as awan) .” : ③(表現)(推量を表し)～(する)だろう 動詞句+kotom an (石狩)、(表現)動詞句+kotom human (石狩): 「山本さんは妊娠してるのだろう。」“Yamamoto-katkemat husko kotom an .” : ④(表現)(周囲の状況からの推量を表し)～(する)だろう 動詞句+kotom siran (石狩): 「早く私達が彼を見てやれば彼は生きていただけるが…」“Hempano an=nukar yakne siknu an kotom siran korka…” (砂沢クラ)

するだろうか ①(表現)(一般的疑問を表し)～するだろうか 動詞句+ya (石狩): 通常の会話表現では状況に応じて"ruwe"、"hawe"なども多く用いるので注意→「の」(1)を見よ。: 「君はこの事を知っているのだろうか?」“Tampe e=eraman ya (ruwe)?” : ②(表現)(推量の疑問を表し)～するだろうか 動詞句+nankor ya (a) (石狩): "nankor a"「ナンコラ」は本来"nankor ya"だがそう発音される事はないので注意。当面正書法として前者を標準とするが、変更もあり得る。また日本語で「～するだろうか」と言う場合のほとんどがアイヌ語では①で表現されるので注意。: 「私が見るといつも君は一人でいるが、本当に君には友人なり恋人なりいるのだろうか?」“Ku=inkar kor ramma sinenne e=an korka sonno ka e=kor tokuy hene e=kor menoko hene an nankor ya ?” : ③(表現)反語表現として～するだろうか(いやない) 動詞句+iki (石狩): 「私が盗みをはたらくだろうか(いやない)。」“Ku=ikka iki !”

するつもり [助動](話者の意志を表し)～するつもり 動詞句+kusu ne(+na) (石狩): 「私は明日富良野に行くつもりですよ。」“Nisatta Huranuy ekota ku=oman kusu ne na .”、「私達今行くつもりだから、あんたちちょっと待っててね。」“Tane paye=as kusu ne kusu ponno un=tere ya !”

するとおり(する通り) (表現)(誰かの行為と同じに振る舞う事を表し)～する通りに～する ene+動詞句+hi neno+動詞句、あるいは iki (石狩): 「私がする通りにあなたもすればいい。」“Ene ku=iki hi neno e=iki yak pirka .”

するどく(鋭く) [自]鋭くなる、鋭い een (石狩)、[自] etueen (石狩): 本来は刃物などの先端を形容する言葉だが、今後頭や感覚の「はたらきが良い」の意味を日本語より借用追加する。: (表現)鋭い小刀 een makiri (石狩)、(表現) etueen makiri (石狩): (表現)嗅覚が鋭くなる、鋭い húranuhum(-i) een (新): [他](場所)で鋭くなる、鋭い een (新): [他]～と共に鋭くなる、鋭い koeen (新): [他](原因、手段)で鋭くなる、鋭い oeen (新): [他]～を鋭くする eenke (石狩): [他](場所)で～を鋭くする eenke (新): [他]～と共に鋭くする koeenke (新): [他](原因、手段)で～を鋭くする oeenke (新): [他](人)に～を鋭くさせる eenkere (新): [他]自分で、一人で～を鋭くする yaykoeenke (新): [他]互いに、皆で～を鋭くする ukoeenke (新): [他]すっかり～を鋭くする oareenke (areenke) (新): [自]充分鋭くなる、鋭い eenno(eennu) (新): [他]充分～を鋭くする eennore(eennure) (新): [他]思い切り～を鋭くする toykoeenke (新): [名](刃物などの)鋭くとなった物 eenampe (石狩)

するところ ①[助動](動作が将に行われることを示し)～(する)ところである etokus (etokos) (石狩): 「今到着するところですからもうちょっと待ってください。」“Tane ku=sirepa etokus kusu na ponno en=tere wa en=kore yan !” : ②(表現)～しようとするところへ 動詞句+kusu iki+tek (ayke) +ekota (石狩): 「私が出掛けようとしたところへお前が来た。」“Ku=asin kusu iki tek ekota e=ek .”

するとすぐ ①(瞬間的に)[後副]～(する)とすぐに pateknetek (石狩): 「…炎の馬に私が乗るとすぐに私の上に炎が飛び交い…」 “…apeomma an=o pateknetek i=ka ta nuy utasa …” (杉村キナラブック)神謡: ②(短期間に)[後副]～(すると)すぐ nani (naani) (石狩): 「私は和人達が村を治めるとすぐにその言葉ができた。」“Sisam utar kotan kor nani itaki ku=easkay .” (杉村キナラブック)

するな [副](禁止の表現として人称接辞を伴わぬ命令文を導き)～(す)るな eciki (石狩)、[副] iteki (天塩)、[副] itekke (浦河):

「そうせずにこうして下さい。」“Eciki neno iki no tampe neno iki yan !” : [副](より強い禁止の表現として人称接辞を伴わぬ命令文を導き)決して~(す)るな、絶対~(す)るものではない ecikki (石狩): 「絶対私の方を見るな。」“Ecikki en=ekota inkar !”、 「決して誰にも言わないで下さい。」“Nen ne yakka ecikki ye yan !” : (表現)決して~するな ecikki+肯定文(+na) (石狩)、(表現)ika+肯定文(+na) (石狩)、(表現)(雅語)ikaneypeka+肯定文(+na) (石狩)※: ikaneypeka にはその短縮形と考えられる ikanep や異形の inkaneypeka 及びその短縮形と考えられる inkanep、inka が見られる。: 「そこへ貴方は絶対に行くのではないよ。」“Ecikki ekota es=paye na !”、 「決して嘘はつかないでよ。」“Ika e=sunke na !”、 「…村の真中にある大きな家はその中に恐ろしい人間がいるのだから決して、若様よ、入ってはなりませんよ !」 “…kotan noski ta an poro cise anakne oske ta an=homa aynu an ruwe ne kusu ikaneypeka, okkaypokamuy, e=ahun na !” (杉村キナラブック) 説話

するのではないかと (表現)(事実に反する希望や恐れを表し)~するのではないかと somo + 動詞の人称形+kuni (石狩)、(表現)somo+文+sekor (石狩): "somo"の位置はしかるべき人称を伴った動詞の直前の他、文頭に置かれる事もある。: 「雌グマは逃げたが(また)来るのではないかと恐ろしかった。」“Kucan kira korka somo ek kuni kuni ku=isitoma .”、 「父が生きていて一緒に下りて来るのではないかと私は思った。」“Somo hampe siknu wa itura san , sekor ku=yaynu .” (砂沢クラ)

するはず(する筈) (表現)~する筈 動詞句+kunak (石狩)、(表現) 動詞句+kuni (石狩): 「あの人は行く筈ですから食事の方お願いします。」“Neakur oman kunak (kuni) ku=ramu kusu ipere wa i=kore yan .”、 「だけれかがやる筈と君は言うが、お前がすべきことをしないで見ているのを見た人たちの誰もが お前に手を貸す事なんてない。」“Nenka iki kunak (kuni) e=ye korka e=ki kunip e=ki ka somo ki no e=an ruwe nukar utar nen ne yakka somo e=kasuy ru un .”

スルプスカ [場名](国名)スルプスカ共和国 Surpuska Ukotankoremosir (新)※(セルビア人主体の「ボスニア・ヘルツェゴビナ」の構成国の一つ。首都は「パニャルカ」)

するふりをしている (表現)~するふりをしている 動詞句+pokon an (複数 okay) (石狩): 「君はあの女性を知っているのに知ら

ないふりをしていた。」“Ne menoko e=amkir korka e=eramuskare pokon e=an .”、 「あなた方は悪人なのに善人のふりをしてる。」

“ Es=wenkewtumkor korka es=pirkakewtumkor pokon es=okay .”

スルメイカ(鰯烏賊) (魚介)[名](ツツイカ目)スルメイカ 亜目 í (新): [名]アカイカ科 húreepetpetke-apa (新): [名]アカイカ亜科 húreepetpetke-moapa (新): [名]スルメイカ亜科 síepetpetke-moapa (新): [名]スルメイカ属 síepetpetke-cise (新): [名]スルメイカ síepetpetke (新): [名]アングラスルメイカ angorasiepetpetke (新): [名]チビスルメイカ mosiepetpetke (新): [名]ミナミスルメイカ koypoksiepetpetke (新): [名]ヨーロッパスルメイカ europasiepetpetke (新): [名]ニセスルメイカ属 cisiepetpetkekopacise (新): [名]アカスルメイカ húresiepetpetke (新): [名]ニセマツイカ属 mohopuniepetpetke-cise (新): [名]ニュージーランドスルメイカ属 aotearoasiepetpetke-cise (新): [名]ウチワイカ科 iparpapepetpetke (新): [名]ウロコイカ科 ramramepetpetke-apa (新): [名]オナガイカ科 etanneepetpetke-apa (新): [名]クビナガイカ科 rekucitanneepetpetke-apa (新): [名]コウモリイカ科 kapapepetpetke-apa (新): [名]ゴマフイカ科 nokankesoeptpetke-apa (新): [名]サメハダホオズキイカ科 sirasirakatuyimerunum-cise (新): [名]ソデイカ科 pekampeepetpetke-apa (新): [名]ダイオウイカ科 mosirkorepetpetke-apa (新): [名]ダイオウホタルイカ科 kotankonninninkeepetpetke-apa (新): [名]ダルマイカ科 tannetekeruweepetpetke-cise (新): [名]ツメイカ科 ámusepetpetke-apa (新): [名]テカギイカ科 apkorepetpetke-apa (新): [名]ナツメイカ科 tamarepetpetke-apa (新): [名]ナンキョクイカ科 koypokkesepetpetke-apa (新): [名]ネオトウチス科 neoteutis-apa (新): [名]ヒカリイカ科 nipekiepetpetke-apa (新): [名]ヒレギレイカ科 kirawnerapcorepetpetke-apa (新): [名]ホタルイカモドキ科 cininninkeepetpetkekopapa (新): [名]マダマイカ科 pontamaoepetpetke-apa (新): [名]ミズヒキイカ科 kikeusepetpetke-apa (新): [名]ムチイカ科 múciepetpetke-apa (新): [名]ヤツデイカ科 tupesantekkorepetpetke (新):

[名]ユウレイイカ科 rayramatepetpetke-apa (新): [名]ワルビスイカ科 warvisepetpetke-apa (新)

するように ①(表現)(意志、目的を表し)~するように 動詞句+kunine (石狩)、(表現)動詞句+kuni (石狩): 「君が幸せに暮らすように私は頑張るからね。」“Pirkano e=an kunine ku=arikiki kusu ne na .”, 「…獲物が沢山下されますように汝の御心にお祈りを私はするのであります。」“…iso oran kuni a=keytunkasi ekoonkami ku=ki wa an na .”(砂沢トウアカンノ)祈詞: ②(表現)(推定を表し)~するように 動詞句+pokon (石狩): 「君が僕を避けているように思ったので昨日来なかったんだ。」“E=en=kopan pokon ku=yaynu kusu numan somo ku=ek .”: ③(表現)(比喻を表し)~するように 動詞句+pokon (石狩): 「私の頭が割れたように痛い。」“Ku=sapa perke pokon arka .”: ④(表現)(誰かの行為と同じに振る舞う事を表し)~するように~する ene+動詞句+hi neno+動詞句、あるいは iki (石狩): 「私が言うようにお前も言いなさいよ。」“Ene ku=itak hi neno e=itak nankor na .”, 「あなたが野菜を刻むように私がしたいいんですね?」“Ene rataskep e=humpahumpa hi neno ku=iki yak pirka ya?”

するんだよ(婉曲的な表現として)~するんだ(よ、ぞ) 肯定文+nankor(+na) (石狩): 命令文より丁寧とされる。: 「お前達は仲良くするんだよ。」“Ueyamno es=okay nankor na!”

ずれる ①(移動する事を示し)[自]ずれる rutke (新)、[自] sirutu (石狩): [他](場所)でずれる erutke (新)、[他] esirutu (新): [他]~へずれる、~と共にずれる korutke (新)、[他] kosirutu (新): [他](原因、手段)でずれる orutke (新)、[他] osirutu (新): [自]一瞬でずれる ruttek (新): [自]ぐいぐいずれる、何度もずれる rututke (石狩)、[自] siruturutu (新)、[自] sirututu (新)、[自] siruttutu (新): ②(離れる事を示し)[他]~からずれる ehosi (eosi) (石狩): (表現)~から一歩ずれる sine apkas ne ehosi (eosi) (新): [他]~へ~からずれる、~と共に~からずれる koehosi (新): [他](原因、手段)で~からずれる oehosi (新): [後副]~からずれて ehosi (eosi) (石狩)

スロバキア [場名](国名)スロバキア共和国 Surovensuko Ukotankoremosir (新)※(首都は「ブラチスラバ」): [場名](国名の通称として)スロバキア Surovensuko (新):

[名]スロバキア人、国民 surovensukounkur (新): [名]スロバキア人 sulovaťkur (新): [名]スロバキア語 sulovaťkur-itak (新)

スロベニア [場名](国名)スロベニア共和国 Suroveniya Ukotankoremosir (新)※(首都は「リュブリャナ」): [場名](国名の通称として)スロベニア Suroveniya (新): [名]スロベニア人、国民 suroveniaunkur (新): [名]スロベニア人 surovenkur (新): [名]スロベニア語 surovenkur-itak (新)

スワジランド [場名](国名)スワジランド王国 Suwati Yaykomosirkorkurkormosir (新)※(首都は「ムハバーネ」): [場名](国名の通称として)スワジランド Suwati (新): [名]スワジランド人、国民 suwatiunkur (新): [名]スワジ人 suwatikur (新): [名]スワジ語 suwatiitak (新)

スワヒリ [名]スワヒリ語 suwahiriitak (新)※(バントゥー語群に属する言語。)

すわりうた(座り歌) [名]座り歌 rókupopo (石狩)

すわる(座る) ①[自]座る a (複数形 rok) (石狩): 「ここに私が座るよ。」“Te ta ku=a kusu ne na .”, 「座ってお話しましょう。」“Rok=an wa ukoytak=an rok!»: (表現)座っている a kane an (複数形 rok kane okay) (石狩)、(表現) a wa an (複数 rok wa okay) (石狩): [他](場所)に座る ea (複数 erok) (新): [他](場所)に向かって座る koa (複数 korok) (新): [他]~と共に座る koa (複数 korok) (新): [他](原因、手段)で座る oa (複数 orok) (新): [他]~を座らせる áre (複数形 rokete, rotte) (石狩): [他]~を~に座らせる oranrani (沙流): (表現)~を最上席(シントコの後ろ)に座らせる ~ sintoko osmak oranrani (沙流): [自]自分で、一人で座る yaykoa (複数 yaykorok) (新): [自]互いに、皆で座る ukoa (複数 ukorok): [自]自分で座る yayare (新): [自]皆で座る urokete (新): ②(男の正しい座り方で)[自]胡座をかい座る kiroserea (石狩)、[自] kirousirea (石狩): (表現)胡座をかい座る kirousi wa a (石狩): ③(女の正しい座り方で)[自]正座する kumusea (石狩): [自]女の座り方で座る opecina (石狩): ④[連他](~に)腰掛けて座る kasi-eosorusi (ka-eosorusi) (石狩)、[連他] kasi-oosorusi (ka-oosorusi) (石狩) → 「こしかける(腰かける)」を見よ。: ⑤[自](夫婦が)並んで座る urorea (石狩)

すんぎりボルト(寸切りボルト) [名]寸切りボ

ルト tanne-rinnecinoyep (新)※(「長ねじ」、
「長ねじボルト」、「全ねじ」、「すんぎり」と
も)

スンダ [場名](地名)大スンダ列島 Poro
Sunda-ikinneyepsir (新)※(スマトラ島、ジ
ャワ島、カリマンタン島、スラウェシ島など
からなる): [場名](地名)小スンダ列島 Pon
Sunda-ikinneyepsir (新)※(バリ島、フロー
レス島などからなる)

スンダオオコウモリ (動物)[名](オオコウモリ亜
科)スンダオオコウモリ属
sundausikapap-cise (新): [名]スンダオ
オコウモリ sundaun-sikapap (新): [名]
シロミオオコウモリ kisanretar-sikapap
(新): [名]セレベスオオコウモリ
surawesiun-sikapap (新): [名]タラウド
オオコウモリ tarautun-sikapap (新):
[名]フィリピンオオコウモリ
konkaniotopus-sikapap (新)

スンダダニオ (魚介)[名](ラスボラ亜科)スンダ
ダニオ属 sundadanio-cise (新): [名]ス
ンダダニオ・アクセルロディ sundadanio
(新)

スンバワ [場名](地名)スンバワ島
Sumbawa-poysir (新)※(小スンダ列島に属
するインドネシア領の島)

せ(瀬) [名]瀬 ciwusi (石狩): [名]砂地の
瀬 otakeperpe (沙流)

せ(背) ①(肉体的な)[名]背 setur(-u,-i) (石
狩): [名]背の肉 seturkam(-i) (石狩):
[名](熊の)背の脂肪組織 seturkirpo (旭
川): [名](熊の)背の肉 kaparkam(-i) (石
狩): ②(霊的な)[位名]~の背 sermak(長形
-e,-a) (石狩): (表現)~の背の所
sermak orke (石狩): [名](クマの)背の脂
肪組織 seturkirpo (石狩): ③[名]魚の背
cepmetot (石狩): ④(背丈)[名]背 kew(-
e) (新): (表現)~と~の背を比べる ~
kewe ~ kewe pakte (新): 「亜弥と歩美
の背を比べたら亜弥が歩美より背が高い。」

“Áya kewe Ayumi kewe an=pakte ciki
Ayumi akkari Áya keweri .”: (表現)~の
背を比べ合う ~kewe upakte (新): 「私
達の背を比べてみようよ。」 “An=kewe
an=upakte ro .”: (表現)背を計る ~
kewe pákari (新): [自]背が高くなる、高
い keweri (石狩): [他]~の背を高くする
kewerika (kewerire) (新): [自]背が低く
なる keweram (石狩): [他]~の背を低
くする keweramka (keweramte) (新):
[自]背が伸びる tuk (石狩): [自] poro
(石狩): [他]~の背を伸ばす tukka (新)、
[他] porore (新): (表現)ぐんぐん背が伸
びる itto tuk pokon iki (石狩): 「私は

ぐんぐん身長が伸びて大きくなった。」 “Itto
ku=tuk pokon ku=iki wa ku=poro .”

せい(2)(正) ①[名]正 moikikikik (新)※
(10の40乗): [名]十正 wanmoikikikik
(新): [名]百正 atuytamoikikikik (新):
[名]千正 wánatuytamoikikikik (新): ②
[連体]正の moikikikikne (新)、[連体]
moikikikik (新): [連体]十正の
wanmoikikikikne (新)、[連体]
wanmoikikikik (新): [連体]百正の
atuytamoikikikikne (新)、[連体]
atuytamoikikikik (新): [連体]千正の
wánatuytamoikikikikne (新)、[連体]
wánatuytamoikikikik (新)

せい(性)[名]性 hopuri (新)、[名] puri (石
狩)、[名] seksu (新)※(英語)

せい(正)(数学)[自]正になる、である iepirka
(新)※(それで儲ける)、[自] purus (新)※
(英語)

ぜい(税)[名]税 ikem (新)※(その血)、[名]
mosirkem (新)※(国血)、[名] taksu (新)
※(英語)、[名] icey (新)※(日本語)

セイアン(西安) [場名](中華人民共和国陝西省
の省都名)西安 Sían (新)

せいいき(聖域) [名]聖域 kamuyewak (石
狩)、[場名] kamuyiwor (石狩)、[場名]
sinupuriwor (新)

せいいき(西域) [場名]西域 cuppoksissirke
(cuppoksirserke) (新): (表現)西域
Atuyya orwa cuppoksissirke (sirserke)
(新)

セイウチ(海象) (動物)[名](アザラシ上科)セイ
ウチ科 soh-apa (新): [名]セイウチ属
soh-cise (新): [名]セイウチ soh (樺太:
新間)

せいうん(星雲) (宇宙)[名]星雲 nociwniskur
(新)、[名] ketaniskur (新)

せいえき(精液) [名]精液 cípe (新)、[名]
cítope (新)

せいえん(声援) [名]声援 haworosutke
(新): [自]声援する hawoorosutke (新):
[他](場所)で声援する ehawoorosutke
(新): [他]~と共に声援する
kohawoorosutke (新): [他](原因、手段)で
声援する ohawoorosutke (新): [他](人)
を激励させる hawoorosutkere (新):
[自]人を激励する ikohawoorosutke (新):
[他](人)を声援する kohawoorosutke
(新): [他](人)に(人)を声援させる
kohawoorosutkere (新): [他]自分で、一
人で~を声援する koyaykohawoorosutke
(新): [他]互いに、皆で~声援する
koukohawoorosutke (新): [他]思い切り
~を声援する raykohawoorosutke (新):

[他]人に～を声援させる、声援してもらう
kohawoorosutkeyar (新): [自]人に自分を
声援させる、声援してもらう
sikhawoorosutkeyar (新): [自]自分に声
援を送る yaykohawoorosutke (新):
[自]声援し合う ukohawoorosutke (新):
[他]思い切り声援する toykohawoorosutke
(新)

せいおう(西欧) (表現)(地名) 西欧
Cuppokun Europa (新): (表現)西欧諸国
Cuppokun Europa uyru usamosir (新)

せいか(成果) [名]成果 raka (石狩)、[名]
oroumpe (新): 沙流方言には"oroumpe"が
あるためか"raka"は"rakaha isam"や"raka
sak"という否定の形でしか使われぬようだが、
石狩方言では「獲物がない」という意味
の"oroisam"はあるが"oroumpe"はない。今後
"oroumpe"は「収穫」の他、「成果」などの意
味に転用し借用する。: (表現)成果が出る、
上がる、ある rakaha (oroumpe) an (新)、
(表現) oroumpe an (新): (表現)成果を失
う、成果がない rakaha (oroumpe) isam
(新)、(表現) oroumpe isam (新)、(表現)
raka sak (新)、(表現) oroumpe sak (新):
(表現)成果を得る、上げる raka (oroumpe)
uk (新)、(表現) raka (oroumpe) uk (新):
[副]成果もなく oroismno (oroisam) (新)、
[副] rakasakno (新)、[副]
oroumpesakno (新)

せいか(生家) (表現)～の生家 otta ~ siko
cise (新)、(表現) ~ esiko cise (新)

せいか(生花) [名]生花 húaappo (新)、[名]
húnnonno (新): [名]生花店
húaappoeiyokcise (新)、[名]
húnnonnoeiyokcise (新)

せいか(青果) [名]青果 húraskap (新):
[名]青果市場 húraskapeiyokusi (新)、
[名]青果店 húraskapeiyokcise (新)

せいかい(政界) [場名] 政界
yayetunuskurkotan (新)

せいかい(正解) [自] 正解する
ioupekanopitakar (新): [他](問題)に正解
する oupekanopitakar (新): [他](場所)
で(問題)に正解する eoupekanopitakar
(新): [他]～と共に(問題)に正解する
koooupekanopitakar (新): [他](原因、手段)
で(問題)に正解する ooupekanopitakar
(新): [他](人)に(問題)に正解させる
oupekanopitakare (新): [他]自分で、一人
で(問題)に正解する
yaykoooupekanopitakar (新): [他]互いに、
皆で(問題)に正解する
ukoooupekanopitakar (新): [他](問題)に
全てに正解する aroupekanopitakar (石

狩): [他]人に(問題)に正解させる
oupekanopitakarar (新)

セイカイしょう(青海省) [場名](中華人民共和
国の省名)青海省 Cinhay-purovince (新)

せいかく(性格) ①[名]性格 kewtum(-u)
(石狩): [名]怒りっぽい性格 etucikere-
kewtum(-u) (新): [名]穏やかな性格
ratci-kewtum(-u) (新): [名]大人しい、温
厚な性格 hawke-kewtum(-u) (新): [名]
けちな性格 ieunar-kewtum(-u) (新)、[名]
iecikari-kewtum(-u) (新)、[名] iniskupa-
kewtum(-u) (新): [名]しっかりした性格
niste-kewtum(-u) (新)、[名] siroma-
kewtum(-u) (新): [名]邪悪な性格
nitne-kewtum(-u) (新): [名]激しい、意
地悪な性格 yupke-kewtum(-u) (石狩):
[名]曲がった性格 komke-kewtum(-u)
(新): [名]真っすぐな、正直な性格
oupeka-kewtum(-u) (新): [名]弱い性格
hapur-kewtum(-u) (新): ②[名]良い性格
pirkakewtum(-u) (石狩): [自]性格が良く
なる、良い kewtumupirka (石狩): [自]
性格が良い pirkakewtumkor (石狩):
[他]～の性格を良くする kewtumupirkare
(新)、[他] wenkewtumkore (新): ③[名]
wenkewtum(-u) (石狩): [自]性格が悪く
なる、悪い kewtumuwun (新): [自]性格
が悪い wenkewtumkor (石狩): [他]～
の性格を悪くする kewtumuwente (新)、
[他] wenkewtumkore (新)

せいかく(生格) (言語)[名]生格 ousrewke
(新)※(親格)

せいかつ(生活) ①[名]生活 sukup (石狩):
[自]生活する sukup (石狩): (表現)生活
している sukup wa an (複数形 okay) (石
狩): [他](場所)で生活する esukup (新):
[他]～と共に生活する kosukup (新):
[他](原因、手段)で生活する osukup (新):
[他](人)に生活させる sukupte (新): ②
(家族や複数の人間が共同で営む事を表
し)[名]生活 ureska (石狩): [自]生活す
る ureska (石狩): [他](人)に生活させる
ureskare (新): ③(比喩的な表現とし
て)[自]煙を立ち昇らせる、生活する
supuyaatte (石狩): [他](場所)で生活する
esupuyaatte (石狩)、[他] kosupuyaatte
(石狩): [他]～と共に生活する
kosupuyaatte (新): [他](原因、手段)で生
活する osupuyaatte (新)

せいかつきょうどうくみあい(生活協同組合)

[名]生活共同組合 sukupeukasuy-uekarp
(新)、[名] koop (新)※(英語): [名]生活協
同組合員 sukupeukasuy-uekarpaunkur
(新)、[名] koopunkur (新)

せいかん(生還) (表現)生還する siknu wa hosipi(複数 hosippa) (石狩)

せいかん(精悍) [自](顔つきが)精悍である niwnatara (幌別): (表現)勇者らしく勇者の顔つきで精悍である rametok sone rametok-ipor eipottum-niwnatara (幌別)

せいき(世紀) [名]世紀 atuytasay (新)※(百年一卷): (表現)21世紀 sinep ikasma hotneotutanu atuytasay (新): [場名]世紀初頭 atuytasaypa(-ke) (新): [場名]世紀末 atuytasaykes(-e) (新): [場名]半世紀 atuytasayemko (新)

せいき(性器) ①(表現)性器 kor pe (石狩): (表現)私の性器 ku=kor pe (石狩): (表現)良い性器を持っている kor pe pirka (沙流): (表現)悪い性器を持っている kor pe wen (沙流): [名]男性器 okkaykorpe (石狩): [名]女性器 menokokorpe (石狩): [名]性器 cinuyna-korpe (幌別)、[名]cinuyna-ikkew(-e) (幌別)、[場名]cinunukeusike (幌別)、[場名]cinunukei (幌別): [名](クマの)性器 cinunukap(-i) (幌別)、[名]cinunuke-ampe (美幌): [接頭](動詞などに接頭し項の数を一つ減らし)性器 ho- (石狩): [接頭](動詞などに接頭し項の数を減えず)その性器 o- (石狩): ②[自]性器が大きくなる、大きい oporo (石狩): [名]性器(陰茎)が大きい男 oporookkayo (石狩): [名]テン程もある大きな男性器 hoyrupakpe (幌別): [名]性器(陰口)が大きな女 oporomenoko (石狩): [名]カラス程もある大きな女性器 paskurpakpe (幌別): ③[自]性器が小さくなる、小さい opon (石狩): [名]性器(陰茎)が小さい男 oponokkayo (石狩): [名]女性器(陰口)の小さい女 oponmenoko (石狩): [自]性器が勃起し固くなる oniste (幌別): ④[自]~の性器が露出する osara (石狩)、[自]omakke (幌別): [自]性器を露出する homasasa(厚真): [他]~に対して性器を露出する kohomasasa (新): [他](人)に性器を露出させる osarare (新)、[他]omakkere (新)、[他]homasasare (新): ⑤[自]魔除けのため性器を露出する hosanke (新)、[自]hoparata (幌別)、[自]hotuytuy (沙流): [他]~に対して魔除けのため性器を露出する kohosanke (石狩)、[他]kohoparata (新): (表現)男はテンほどもある物を私に露出し、女はカラスほどある物を露出し私にホバラタした okkay ne ike hoynu pak pe kosanke menoko ne ike paskur pak pe kosanke kohoparata (幌別): [他](人)に魔除けのため性器を露出させる hosankere (新)、[他]hoparatare

(新): (表現)(クマに会った時"hus"を発しながら唱える言葉)お前は見たい物を見たくて来たんだろう。よく見ろ!よく見ろ! E=nukanrusuy pe e=nukanrusuy kusu e=iki p ne nankor .Pirkano nukar ! Pirkano nukar ! (足寄): [名]性器をすっかり露出するホバラタ poro-hoparata (沙流): [名]裾を少しまくって行うホバラタ canan-hoparata (沙流): ⑥[自](嗜好や仕事として)人に自分の性器を露出する iyayonukare (新)、[自]yayonukarar (新): [他](嗜好や仕事として)~に自分の性器を露出する yayonukare (新): ⑥[自]性器が痒い omayayke (美幌): ⑦[自]性器が爛れる opisise (樺太白浦)

せいぎ(正義) [名]正義 oupekano (新)

せいきカンジダしょう(性器カンジダ症) [名]性器カンジダ症 okandida-osiyeye (新): [自]性器カンジダ症に罹る okandida-osiyeye (新): [名]膣カンジダ症、カンジダ性膣炎 cici-kandida-osiyeye (新): [自]膣カンジダ症に罹る cici-kandida-osiyeye (新)

せいきくうぼ(正規空母) [名]正規空母 páse-sintakotcip (新)

せいきゆう(性急) [自]物事に性急過ぎる ikotunaskasuy (新): [他]~に性急過ぎる kotunaskasuy (新)

せいきゆう(請求) [自]請求する icipa (石狩): [他]~を請求する cipa (石狩): [他](場所)で~を請求する ecipa (新): [他]~に~を請求する、~と共に~を請求する kocipa (新): [他](原因、手段)で~を請求する ocipa (新): [他](人)に~を請求させる cipare (新): [他]自分で、一人で~を請求する yaykocipa (新): [他]互いに、皆で~を請求する ukocipa (新): [他]充分~を請求する cipano (cupanu) (新): [他]激しく~を請求する toykocipa (新): [他](中相)~が請求される cicipa (新): [他]何度も~を請求する cipapa (新): (表現)何度も~を請求する cipacipa (新): [名]請求書 cioieteskarpe (新)※(人がそれであれを伝えるもの)、[名]icipakampi (新)

せいきよ(逝去) [自]逝去される kotanhoppa (石狩)、[自]mosirhoppa (H)

ぜいきん(税金) [名]税 ikemneikor (新)※(その血になる金)、[名]mosirkemneikor (新)※(国血になる金)、[名]taksuneikor (新)※(英語)、[名]iceyneikor (新)※(日本語)

せいぐ(性具) [名]性具 rupnekur-esinotpe

(新)、[名] setka-ciesinotpe (新)

せいけい(成型) [自] ものを成型する
iesinenokakar (新): [他]～を成型する
esinenokakar (新): [他](場所)で～を成型する
eesinenokakar (新): [他]～と共に～を成型する
koesinenokakar (新): [他](原因、手段)で～を成型する
oesinenokakar (新): [他](人)に～を成型させる
esinenokakare (新): [名]成型肉
ciesinenokakarkam (新): [名]成型品
ciesinenokakarpe (新)

せいけい(成形) [自] ものを成形する
ienokakar (新): [他]～を成形する
enokakar (新): [他](場所)で～成形する
eenokakar (新): [他]～と共に～を成形する
koenokakar (新): [他](原因、手段)で～を成形する
oenokakar (新): [他](人)に～を成形させる
enokakare (新)

せいけい(整形) [自] 人やもの整形する
inokapirkare (新): [他]～を整形する
nokapirkare (新): [他](場所)で～を整形する
enokapirkare (新): [他]～と共に～を整形する
konokapirkare (新): [他](原因、手段)で～を整形する
onokapirkare (新): [他](人)に～を整形させる
nokapirkarere (新): [名]整形庭園
cinokapirkare-mintar (新)

せいけい(西経) [名] 西経 cuppok-aturika (新)

せいけつ(清潔) [自] 清潔になる、である
askanne (askane) (新): [他](場所)で清潔になる、である
easkanne (easkane) (新): [他]～と共に清潔になる、である
koaskanne (koaskane) (新): [他](原因、手段)で清潔になる、である
oaskanne (oaskane) (新): [他]～を清潔にする
askanneka (askannere) (新)、[他] askanneka (askanere) (新): [自]完全に清潔になる、である
oaraskanne (araskanne) (新)、[自] oaraskanne (araskane) (新): [自]充分に清潔である
askanneno (askannenu) (新)、[自] askanneno (askanenu) (新): [自]滅茶苦茶清潔になる、である
toykoaskanne (toykoaskane) (新): [自]清潔過ぎる
askannekasuy (askanekasuy) (新): [0動]あたりが清潔なる、である
siraskanne (siraskane) (新): [自]あたりを清潔にする
siraskanneka (siraskannere) (新)、[自] siraskanneka (siraskanere) (新): [副]清潔に
askanneno (新)、[副] askanne (新)

せいげん(制限) [他]～を制限する sina (新): (表現)～を厳しく制限する yupkeno

sina (新): [他](場所)で～を制限する
esina (新): [他](場所)に～を制限する～と共に～を制限する
kosina (新): [他](原因、手段)で～を制限する
osina (新): [他](人)に～を制限させる
sinare (新): [他]自分で、一人で～を制限する
yaykosina (新): [他]皆で、共に～を制限する
ukosina (新): [他]完全に～を制限する
oassina (assina) (新): [他]～をがっちり制限する
toykosina (新): [他](中相)～が制限される
cisina (新): [他]人に～を制限させる、してもらう
sinayar (新): [他]～を何度も、何重にも制限する
sinasina (新): [他](人)に～を何度も、何重にも制限する
sinasinare (新)

せいこう(性交) [名]性交 omohekor (新)、[名] seksu (新)※(英語): [自]性交する
omohekor (天塩)、[自] seksuki (新): 婉曲的表現として"ki"「それする」、「hotke」「寝る」、「mokor」「寝る」などがある。:
[他](場所)で性交する eomohekor (新)、[他] eseksuki (新): [他]～と性交する
koomohekor (新)、[他] koseksuki (新)、[他] kor (石狩): 婉曲的表現として"tumam"「～を抱く」などがある。:
[他](原因、手段)で性交する oomohekor (新)、[他] oseksuki (新): [他]～に性交させる
omohekore (新)、[他] seksukire (新): [自]二人で性交する ukoomohekor (新)、[自] ukoseksuki (新): [自]二人で激しい性交をする ukotoyomohekor (新)、[自] ukorayomohekor (新)、[自] ukotoyoseksuki (新)、[自] ukorayoseksuki (新): [名]性交する場 mintar (新): 本来は動物のそれを指すが今後はラブホテルなど人間のものにも使う。

せいこう(成功) ①(自力で)[自]成功する
yaykasinukar (新)、[自] yaykoinkar (新): [他]～に成功する
eyaykasinukar (新)、[他] eyaykoinkar (新): [他](場所)で成功する
eyaykasinukar (新)、[他] eyaykoinkar (新): [他]～と共に成功する
koyaykasinukar (新)、[他] koyaykoinkar (新): [他](原因、手段)で成功する
oyaykasinukar (新)、[他] oyaykoinkar (新): [他](人)を成功させる
yaykasinukare (新)、[他] yaykoinkare (新): [自]自分で、一人で成功する
yaykoyaykasinukar (新)、[自] yaykoyaykoinkar (新): [自]互いに、皆で成功する
ukoyaykasinukar (新)、[自] ukoyaykoinkar (新): [自]大成功する
siyaykasinukar (新)、[自] siyaykoinkar (新): ②(運が良くて)[自]物事に成功する、

している monipirka (新): [他]運が良くて～に成功する、している emonipirka (石狩): [他](中相)～が成功する cikasinukar (新)、[他] cikoinkar (新)

せいこう(精孔) [名](虫の卵の)精孔 mapiapa (新)

せいこうい(性行為) [名]性行為 hopuri (新)、[名] puri (石狩)、[名] seksu (新)※(英語): [自]性行為をする hopurikor (新): [他](人)に性行為をさせる hopurikore (新): [自]二人で性行為をする ukohopurikor (新): [他](二人)に性行為をさせる ukohopurikore (新)

セイコウしょう(西康省) [場名](中華人民共和国にあった省名)西康省 Sikan-purovince (新)※(1939-55)

せいざ(星座) (宇宙)[名]星座 nociwso (新)、[名] ketaso (新)

せいざ(正座) [自]正座する kumusea (石狩)※(女性の正しい座り方。): [他](人)に正座させる kumuseare (新)

せいさ(精査) [自]物事を精査する ihuymampa (新): [他]～を精査する huymampa (沙流): [他](場所)で～を精査する ehuympampa (新): [他]～と共に～を精査する kohuymampa (新): [他](原因、手段)で～を精査する ohuymampa (新): [他](人)に～を精査させる huymampare (新): [他]自分で、一人で～を精査する yaykohuymampa (新): [他]互いに、皆で～を精査する ukohuymampa (新): [自]全てを精査する uhuympampa (新)

せいさい(制裁) [名]制裁 ipanakte (新): [自]人に制裁を加える ipanakte (新): [他](人)に制裁を加える panakte (石狩):

せいさん(生産) [名]生産 ikarus (新)、[名] puroduktion (新)※(英語): [自]生産する ikarus (新): [他]～を生産する kárus (新): [他](場所)で～を生産する ekarus (新): [他]～と共に～を生産する kokarus (新): [他](原因、手段)で～を生産する okarus (新): [他](人)に生産させる ikaruste (新): [他](人)に～を生産させる káruste (新)

せいし(制止) ①[自]人やものを制止する iokaampa (新): [他]～を制止する okaampa (天塩): 自他不明であるが、今後他動詞として使う。: [他](場所)で～を制止する eokaampa (新): [他]～と共に～を制止する kookaampa (新): [他](原因、手段)で～を制止する ookaampa (新): [他](人)に～を制止させる okaampare (新): ②(両手でつかんで)[自]人やものを制

止する ikisma (新): [他]～を制止する kisma (石狩): [他](場所)で～を制止する ekisma (新): [他]～と共に～を制止する kokisma (新): [他](原因、手段)で～を制止する okisma (新): [他](人)に～を制止させる kismare (新)

せいじ(政治) [名]政治 mosirkor (新)、[名] kotankor (石狩)、[名] yayetunus (新): [名]政治家 yayetunuskur (新)、[名] kotankorkur (石狩): [名]政治学 mosirkor-eampehunar (新): [名]政治学者 mosirkor-eampehunarkur (新)

せいし(精子) [名]精子 mapi (新)※(泳ぐ種)

セイシエル ①[場名](国名)セイシエル共和国 Seyşer Ukotankoremosir (新)※(首都は「ビクトリア」): [場名](国名の通称として)セイシエル Seyşer (新): [名]セイシエル人、国民 seyşerunkur (新): [名]セイシエル・クレオール語 seyşer-kureoritak (新): ②[場名](地名)セイシエル諸島 Seyşer-usapoysir (新)

せいしき(正式) [他]～を正式とする oupekaka (oupekare) (新): [他](中相)～が正式とされる cioupekaka (cioupekare) (新): [自]正式になる sioupekaka (sioupekare) (新): [副]正式に sioupekaka(-no) (新)、[副] sioupekare(-no) (新)

せいじだんたい(政治団体) [名]政治団体 mosirkoruekarpa (新)

せいしつ(性櫛) [名](虫の)性櫛 hokismap(-i) (新)

せいしつ(性質) ①(人の気質)[名]性質 kewtum(-u) (石狩)、[名] sikorekewtum(-u) (新)、[名] sikorepuri (新)、[名] puri (石狩): ②(物の特性)[名]性質 sikorep (新)、[名] sikorepuri (新)、[名] ipekat(-u) (新)、[名] puri (石狩)

せいしつ(正室) [名]正室 sínokatkemat (新)、[名] sínomat(-ci) (石狩): [他](雅語)～の室となる、なっている、～の正室となる、なっている ecisene (石狩): 「斉藤道三の娘、帰蝶が織田信長の(正)室となったのである。」“Saito Dousan matnepoho - Kicou Oda Nobunaga ecisene ruwe ne.”

せいじゃ(生者) [名]生者 siknukur (石狩)

せいじゃ(聖者) [名] 聖者 sikamuyirenkakorkur (新)、[名] sikamuyirekanukur (新)、[名] sinupurkur (新)

ぜいじゃく(脆弱) [自]脆弱になる、脆弱である pewan (石狩)、[自] hapur (石狩): [他](場所)で脆弱になる、脆弱である epewan (新)、[他] ehapur (新): [他]～

と共に脆弱になる、脆弱である kopewan (新)、[他] kohapur (新): [他](原因、手段)で脆弱になる、脆弱である opewan (新)、[他] ohapur (新): [他]～を脆弱にする pewanka (pewante) (新)、[他] hapurka (hapure) (新): [自]すっかり脆弱になる、脆弱である oarpewan (arpewan) (新)、[自] oarhapur (arhapur) (新): [自]充分脆弱になる、脆弱である pewanno (pewannu) (新)、[自] hapunno (hapunnu) (新): [自]凄く脆弱になる、脆弱である toykopewan (新)、[自] toykohapur (新)

せいしゅ(清酒) [名]清酒 pekettonoto (新)、[名] pekessake (新)※(八雲"peker sake")、[名] parkarpe (石狩)

せいしゅん(青春) [名]青春 pewresukup (新): (表現)青春時代 pewresukup tuyka (石狩): (表現)青春時代に pewresukup tuyka ta (石狩)

せいじょ(聖女) [名]聖女 sikamuyirenakormat (新)、[名] sikamuyirekanumat (新)、[名] sínupurmat (新)※(略号 St.)

せいじょう(清浄) [自]清浄になる、である askanne (askane) (新): [他](場所)で清浄になる、である easkanne (easkane) (新): [他]～と共に清浄になる、である koaskanne (koaskane) (新): [他](原因、手段)で清浄になる、である oaskanne (oaskane) (新): [他]～を清浄にする askanneka (askannere) (新)、[他] askanneka (askanere) (新): [自]完全に清浄になる、である oaraskanne (araskanne) (新)、[自] oaraskanne (araskane) (新): [自]充分に清浄である askanneno (askannenu) (新)、[自] askaneno (askanenu) (新): [自]滅茶苦茶清浄になる、である toykoaskanne (toykoaskane) (新): [自]清浄過ぎる askannekasuy (askanekasuy) (新): [0動]あたりが清浄なる、である siraskanne (siraskane) (新): [自]あたりを清浄にする siraskanneka (siraskannere) (新)、[自] siraskanneka (siraskanere) (新): [副]清浄に askanneno (新)、[副] askanne (新)

せいしよく(生殖) [名]生殖 uatte (新); [自]生殖活動をする uatte (石狩): [名]生殖器 ciouattep(i) (新)

せいしほう(正書法) [名]正書法 oupekainuye (oupekanoinuye) (新): 「アイヌ語正書法」 aynuitak-oupekainuye (新)

せいじん(成人) ①[名]成人男性 rupnekur (石狩)、[名] poroaynu (石狩)、[名] porokur (天塩)、[名] sukup-okkayo (石狩)、[名] sukupkur (石狩): ②[名]成人女性 poromenoko (石狩)、[名] sukupmenoko (天塩): ③[自]成人する、している rupne (石狩)、[自] poro (石狩): [他](人)を成人させる rupneka (rupnere) (新)、[他] porore (poroka) (新)、[他] sukupte (新): [自]成人する、成長する sukup (石狩): ④[名]アイヌ式の男の成人式 yayeramsikopa (天塩)、[名] yayesikopa (天塩): 北風磯吉エカシによれば、中名寄では男子が17、8才になった頃より神祈りの作法等を見覚えさせ、家ごとに適当な日に血縁の長老等を迎え成人式を行い、その際には成人の青年はじめ家族、来賓が献酒をせずに神に祈ったという。今後は現代風の成人式もこの語を使う。

せいしん(精神) [名]精神 ramat(-ci) (新)、[名] kewtum(-u) (石狩)

せいじん(聖人) ①(道徳的に)[名]聖人 siyaykatanukur (新): ②(宗教的に)聖人 sikamuyirenakorkur (新)、[名] sínokamuyirekanukur (新)、[名] sínupurkur (新)※(略号 Sr.)

せいすい(清水) [名]清水 pekerwakka (石狩)

せいすい(盛衰) (表現)盛衰する situri wa sicupu (新)、(表現) sirutu wa sicupu (新): 「私はローマ帝国の盛衰史に興味がある。」 "Roma ipawetenkekurkormosir situri wa sicupu tuyka eteetaan pe ku=kosiramante."

せいすい(聖水) [名]聖水 sínupurwakka (新)、[名] askannewakka (askanewakka) (新)

せいすう(整数) (数学)[名]整数 urenka-cipiskip (新)※(皆そろった数)

せいすう(正数) (数学)[名]正数 iepirka-cipiskip (新)、[名] purus-cipiskip (新)

せいせい(生成) [自]生成する sikar (新): [他](場所)で生成する esikar (新): [他]～と共に生成する kosikar (新): [他](原因、手段)で生成する osikar (新): [他]～を生成する sikare (新): [他](中相)～が生成される cिकar (新)

せいせい(精製) [自]精製する poykepekuk (新)※(混ざり物を除く): [他]～を精製する opoykepekuk (新): [他](場所)で精製する epoykepekuk (新): [他]～と共に精製する kopoykepekuk (新): [他](手段)で精製する opoykepekuk (新): [他](人)に精製させる poykepekukte (新)

せいせいかつ(性生活) [名]性 hopuri (新)、
[名] puri (石狩)、[名] seksu (新)※(英語): (表現)性生活を営む hopuri (puri)
kor (新)、(表現) seksu ki (新)

せいぜんそう(生前葬) [自]生前葬する
yayoitakkote (新)

セイセンリュウ(青銭柳) (植物)[名](クルミ科)
キクロカルパ属 cánesco-cise (新): [名]
キクロカルパ・パリウルスの茎 cánesco
(新)、[名]その葉 cáneskoham (新)※(茶胡
桃葉。別名「セイセンリュウ」)

せいそ(清楚) [自]清楚になる、である
oripakkoaskanne (新)、[自]
oripakkoaskane (新)、[自] seysone (新)
※(日本語): (表現)清楚な女性
oripakkoaskanne (oripakkoaskane)
katkemat (新): (表現)清楚な女性
sisampuri ka ta askanne kotom an wa
katkemat neno an menoko (新): (表現)
清楚な服装 oripakkoaskanne
(oripakkoaskane) siyuk (新)

せいそう(清掃) ①(広い範囲を)[自]清掃する
síraskanneka (síraskaneka) (新)、[自]
síraskannere (síraskanere) (新)、[自]
sirpirkare (新): [他](人)に清掃させる
síraskannekare (síraskanekare) (新)、[他]
síraskannerere (síraskanerere) (新)、[他]
sirpirkare (新): ②(特定の対象を)[自]清
掃する iaskanneka (iaskaneka) (新)、
[自] iaskannere (iaskanere) (新)、[自]
ipirkare (新): [他]～を清掃する
askaneka (askaneka) (新)、[他]
askannere (askanere) (新)、[他] pirkare
(石狩): [他](人)に～を清掃させる
askannekare (askanekare) (新)、[他]
askannerere (askanerere) (新)、[他]
pirkarere (新): [他]自分で、一人で～を清
掃する yaykoaskanneka
(yaykoaskaneka) (新)、[他]
yaykoaskannere (yaykoaskanere) (新)、
[他] yaykopirkare (新): [他]互いに、皆
で～を清掃する ukoaskanneka
(ukoaskaneka) (新)、[他] ukoaskannere
(ukoaskanere) (新)、[他] ukopirkare
(新): [他]～が清掃される ciaskanneka
(ciaskaneka) (新)、[他] ciaskannere
(ciaskanere) (新)、[他] cipirkare (新)

せいぞん(生存) [自]生存する siknu (石
狩): [他](発話者が)(人)を生存させる
siknuka (石狩): [他](発話者以外が)(人)を
生存させる siknure (石狩): [名]生存者
siknukur (石狩)

せいたい(整体) [名]整体、整体療法 (新):
[自]人に整体療法を行う ikewepirkare

(新): [他]～に整体療法を行う
kewepirkare (新): [名]整体師
ikewepirkarekur (新)

せいたい(生態) (表現)生態 siknu katu
(新): (表現)アワビの生態 aype siknu
katu (新)

せいたい(盛大) [自]盛大になる、である
páse (石狩)、[自] pirkano (pirkanu)
(新)、[自] pirkaruy (新): [他]～を盛大に
する páseka (pásere) (新)、[他]
pirkanore (pirkanure) (新)、[他]
pirkaruyre (新): [自]盛大な結婚式を挙げ
る páseukor (石狩): 「素晴らしい結婚
式を挙げる」"pirkaukor"と対になる。

せいたい(聖体) (キリスト教)[名]聖体
sínupussito (sínupursito) (新)、[名]
purosfora (新)※(希語)、[名] hostia (新)
※(羅語): [名]聖体機密 cisinupussito-
oesinap (新): [名]聖体礼儀
sínupussito-epurikokikunip (新)

セイタカヨシ(背高芦) (植物)[名](ヨシ属)セイ
タカヨシ rísarki (新)

せいだん(星団) (宇宙)[名]星団 nociwtopa
(新)

せいち(整地) [自]整地する sirkocipirkare
(新): [他]～を整地する esirkocipirkare
(新): [他]～を整地させる
sirkocipirkarere (新): [他](中相)～が整地
される cisirkocipirkare (新)

せいち(聖地) [場名]聖地 sínupurusi (新)、
[場名] sínupuri (新)、[場名] cieoripaki
(新)

せいちゅう(成虫) [名]成虫 rupnekikir (新):
[名]成虫芽 rupnekikir-moto (新)

せいちょう(成長) [名]成長 sukup (石狩):
[自]成長する sukup (石狩): (表現)成長
している sukup wa an (複数 okay):
[他][他](場所)で成長する esukup (新):
[他]～と共に成長する kosukup (新):
[他](原因、手段)で成長する osukup (新):
[他]～を成長させる sukupte (新): [自]
自分で、一人で成長する yaykosukup
(新): [自]互いに、皆で成長する ukosukup
(新): [自]成長させ合う usukupte (新):
[自]成長する、している poro (石狩)

せいつう(精通) ①(成長した男性が射精でき
ようになる事)[自]精通する oweneaskay
(新): ②(熟知する事)[自]物事に精通する
ioareraman (iareraman) (新)、[自]
ioareramuan (iareramuan) (新): [他]～
に精通する oareraman (areraman) (新)、
[他] oareramuan (areramuan) (新):
[他](人)に～に精通させる oareramante
(areramante) (新)、[他] oareramunte

(areramuanter) (新)
せいでん(聖伝) (表現)聖伝 koypokunkur ye
 "oyna" (新)、[名] oyna (他方言): 胆振、
 日高などでは人文神"Aeoynakamuy"を主人
 公とする謡いを"oyna"と呼ぶ。
せいてん(聖奠) (キリスト教)[名] 聖奠
 ikasinukar (新)※(聖公会)、[名]
 sakramento (新)※(英語)
セイト(成都) [場名](中華人民共和国四川省の
 省都名)成都 Centu (新)
せいと(生徒) [名]生徒 cipakasnukur (新)
せいと(聖都) (表現)聖都 sínupur ioci (新)、
 (表現) sínupur pásekotan (新)、(表現)
 sínupur pásemaciya (新)
せいとう(政党) [名]政党 mosirkottopa
 (新): [名]政党员 mosirkottupaorunkur
 (新)
せいとう(正当) [自]正当である oupekanō
 (新)、[自] motokonno (新): [他](原因、
 手段)で、～に関して正当である ooupekanō
 (新)、[他] omotokonno (新): [他]～を正
 当とする、正当化する oupekanoka (新)、
 [他] motokonnoka (新): [他](場所)で～
 を正当とする eoupekanoka (新)、[他]
 emotokonnoka (新): [他]～と共に～を正
 当とする koooupekanoka (新)、[他]
 komotokonnoka (新): [他](原因、手段)で、
 ～に関して～を正当とする ooupekanoka
 (新)、[他] omotokonnoka (新): [他](人)
 に～を正当とさせる、正当化させる
 oupekanokare (新)、[他] motokonnokare
 (新): [他]自分で、一人で～を正当とする
 yaykoooupekanoka (新)、[他]
 yaykomotokonnoka (新): [他]互いに、皆
 で～を正当とする ukooupekanoka (新)、
 [他] ukomotokonnoka (新): [他]全く～
 を正当とする aroupekanoka (新)、[他]
 armotokonnoka (新): [他]思い切り～を
 正当とする toykoooupekanoka (新)、[他]
 toykomotokonnoka (新): [自]自分を正当
 化する yayoupekanoka (新)、[自]
 yaymotokonnoka (新): [自]皆を正当化す
 る uoupekanoka (新)、[自]
 umotokonnoka (新): [自]互いに自分を正
 当化する、自分を正当化し合う
 uyayoupekanokare (新)、[自]
 uyaymotokonnokare (新):
せいとう(正統) [自]正統になる、である
 ikiripirka (新): [他]～を正統にする
 ikiripirkare (新): [他](中相)～が正統にさ
 れる ciikiripirkare (新): (表現)～が正
 統と見なされる ikiripirkakur ne ~
 nukar (新): (表現)正統派 ikiripirka
 utar tura hike (新)、(表現)ikiripirkakur

ne hike (新)
せいとう(精糖) [自]精糖する tópenota-
 opoykepuk (新): [他]～を精糖する
 etopen-otaopoykepuk (新): [他](人)に～
 を精糖させる tópenota-opoykepukte
 (新): [他](中相)～が精糖される
 citopenota-opoykepuk (新): [場名]精糖工
 場 tópenota-opoykepukusi (新)
せいとう(製糖) [自]製糖する tópenkokar
 (新): [場名]製糖工場 tópenkokarusi
 (新)
せいどう(青銅) [名]青銅 siwninkani (新)、
 [名] buronze (新)※(英語)、[名] aes
 (新)※(羅語): [自]青銅(青銅色)になる、であ
 る siwninkanine (新)、[自] buronzene
 (新): [他]～を青銅(青銅色)にする
 siwninkanineka (siwninkaninere) (新)、
 [他] gurozeneka (buronzene) (新):
 [名]青銅色 siwninkaniiro (新)、[名]
 buronzeiro (新)
せいなる(聖なる) [自]聖なる sínupur (石狩)
せいなんせい(西南西) [名]西南西の風
 sumpikata (蝦夷記)
せいにする [連他](人や物事)のせいにする
 kasi-oitak (ka-oitak) (石狩): 「あなたは
 私のせいにばかりする。」“En=ka=es=oitak
 patek ki.”、「お前は大雪のせいにして来な
 かった。」“Poroupas kasi=e=oitak wa somo
 e=ek.”: [自]人や物事のせいにする
 ikaoitak (新): [自]人のせいにする
 unkaoitak (新): [自]自分のせいにする
 yaykaoitak (新): [自]皆のせいにする、互
 いのせいにし合う ukaoitak (新):
 [他](人)に自分のせいにさせる sikaoitakte
 (新): [自]人に自分のせいにさせる、罪をか
 ぶる sikaoitakyar (sikaoitakar) (新)
セイネイ(西寧) [場名](中華人民共和国青海省
 の省都名)西寧 Sinnin (新)
せいねん(生年) (表現)生年 siko pa (新):
 (表現)生年月日 siko pa newa siko cup
 newa siko to (新)、(表現) siko pa, siko cup,
 siko to (新)
せいねん(青年) [名]青年 sukupokkayokur
 (sukup-okkayokur) (天塩)、[名] upenkur
 (H): [名](15、6～20才くらいまでの)
 青年 okkaypo (石狩、天塩): [名](17、
 8才以上の)青年 pewrekur (石狩、天塩):
 [名]20～30才くらいの)青年
 poysukupkur (pon sukupkur) (天塩)
せいのう(性能) [名]性能 ciaskaype (新):
 (表現)～の性能 ~ askay pe (新)
せいのう(精囊) [名]魚の精囊、白子 up(-i)
 (石狩)
せいふ(政府) [名]政府 yayetunuspe (新)、

[名] mosirkorpe (新)
せいぶ(西部) [連体]西部の cuppokun (新)
せいふく(制服) [名]制服 ciumirekunip (新)、[名] uniforme (新)※(仏語): (表現)制服を着る ciumirekunip mi (新): (表現)制服を脱ぐ ciumirekunip ama (新)
せいぶつ(生物) [名]生物 siknup (石狩): [名]生物学 siknup-eampehunar (新): [名]生物学者 siknup-eampehunarkur (新)
せいべつ(性別) [名]性別 hopuri (新)、[名] seksu (新)※(英語)
せいほう(西方) [名]西方 cupeahunusi (新)、[名] oksidento (新)※(英語)
せいほくせい(西北西) [名]西北西の風 cikaynep (蝦夷記、藻汐草)
せいめい(生命) [名]生命 ramat(-ci) (石狩): (表現)生命力が強い ramat niste (新)、(表現) sampeat niste (新): (表現)生命力が非常に強い yayan sampeat iwan sampeat kani sampeat iwan sampeat kor (新)
せいよう(西洋) [名]西洋 cupeahunusi (新)、[名] oksidento (新)※(英語)
セイヨウエンゴサク(西洋延胡索) (植物)[名](カラクサケマン属)セイヨウエンゴサクの茎、葉 europatomara (新)
セイヨウカタクリ(西洋片栗) (植物)[名](カタクリ属)セイヨウカタクリの茎、葉 repuneskerimrimra (新)
セイヨウショウロ(西洋松露) (菌類)[名](チャワソウ目)セイヨウショウロ科 turuf-apa (新): [名]セイヨウショウロ属 turuf-cise (新)※(仏語): [名]セイヨウショウロ turuf (新)
セイヨウスミノザクラ(西洋酢栗桜) (植物)[名](サクラ属)セイヨウスミノザクラの茎 supkakehurepokarimpani (新): [名]セイヨウスミノザクラの果実 supkakekarimpani-hurep (新)
セイヨウハシバミ(西洋榛) (植物)[名](ハシバミ属)セイヨウハシバミの茎 repun-hastaypani (新): [名]その果実 repun-hastaypaninum (新)、[名] házennut (新)※(ハーゼルナッツ):
セイヨウビャクシン(西洋栢欖) (植物)[名](ビャクシン属)セイヨウビャクシンの茎 repunaymanni (新)
セイヨウミザクラ(西洋実桜) (植物)[名](サクラ属)セイヨウミザクラの茎 síhurepokarimpani (新): [名]セイヨウミザクラの花 síhurepokarimpani-apappo (新): [名]セイヨウミザクラの果実 síkarimpahurep (karimpanihurep) (新)

せいよく(性欲) (表現)性欲 omohekonrusuy kewtum(-u) (新): (表現)性欲を抑える omohekonrusuy kewtum rari (複数 rarpa) (新): (表現)性欲をどうしても抑えきれない omohekonrusuy kewtum rari (複数 rarpa) koyaykus (新)(表現)性欲を持つ omohekonrusuy kewtum kor (新): (表現)性欲を持つ omohekonrusuy kewtum kor (新): (表現)性欲を持て余す omohekonrusuy kewtum rari (複数 rarpa) nukuri (no ene kar hi ka oarisam) (新)

セイラム [場名](アメリカ合衆国オレゴン州の州都名)セイラム Seyram (新)

せいり(整理) [自]ものを整理する iukao (新)、[自] isitcanure (新): [他]～を整理する ukao (石狩)、[他] sitcanure (沙流): [他](場所)で～を整理する eukao (新)、[他] esitcanure (新): [他]～と共に～を整理する koukao (新)、[他] kositcanure (新): [他](原因、手段)で～を整理する oukao (新)、[他] ositcanure (新): [他](人)に～を整理させる ukaore (新)、[他] sitcanurere (新): [他]自分で、一人で～を整理する yaykougao (新)、[他] yaykositcanure (新): [他]互いに、皆で～を整理する ukougao (新)、[他] ukositcanure (新): [他]すっかり～を整理する oarukao (arukao) (新)、[他] oassitcanure (assitcanure) (新): [他]思い切り～を整理する toykougao (新)、[他] toykositcanure (新): [他](中相)～が整理される ciukao (新)、[他] cisitcanure (新): [自]整理がつく siukao (新)、[他] sisitcanure (新): [名]整理券 iukaoyar(-i) (新)、[名] cieiukaoyar(-i) (新)

せいり(生理) ①(体の働き)[名]生理 keworumpe (新): [名]生理学 keworumpe-eampehunar (新): [名]生理学者 keweorumpe-eampehunarkur (新): (表現)生理現象 kewtumorumpe orwa anpe (新): ②(月経)[名]生理 cup (石狩): [自]生理になる cupkor (石狩)、[自] cupkarap (石狩): [自](女性に不愉快な言葉として)生理になる、生理中である ohure (石狩)

セイリギア (植物)[名](ウリ科)セイリギア属 seyrigia-cise (新): [名]セイリギア・フンベルティーの茎 urisikkewkonnit (新)

せいりよく(精力) [名]精力 ikitum(-i) (新)

せいれき(西暦) [名]西暦 xuristiaskor-tonukarpe (新)

セイロン [場名](地名)セイロン島 Simhadipa-poysir (新)※(サンスクリット)、[場名] Seyron-poysir (新)※(英語)

せいろん(正論) ①(正しい言説)(表現)正論 oupekano itak (新): (表現)正論を述べる oupekano itak ye (新): ②(自分の思いを代弁する)[名]正論 ciukokorpe (新): [自]正論である、正論を述べる ukosineitakkor (新): 「正論だ。」“Ukosineitakkor=an.”

セーター [名]セーター numakaimi (新)、[名] ipoppenureimi (新)

セーフーフラン(C F A フラン) [名](西、中部アフリカの旧フランス植民地を中心に用いられる共同の通貨単位)C F A フラン CFA-furan (新): C A F は"Colonies françaises d'Afrique"「アフリカのフランス植民地」の略号であったが、現在西アフリカでは"Communauté francière africaine"「アフリカ金融共同体」、中部アフリカでは"Coopération francière en Afrique centrale"「中部アフリカ金融共同体」の略とされる。

セーフティ [名]セーフティ、安全装置 iyaykiptesakkap (新)

せおいひも(背負い紐) (表現)赤子の背負い紐 pakkay numat (沙流): (表現)自分の背中に赤子をばいと跳ね上げて、背負い紐を自分に締める siseturka pompe eterkere wa pakkay numat yaykoyupu (新)

せおう(背負う) ①(人に関して)[他]～を背負う kay (石狩): 「私は幼い弟を背負った。」“Pon ku=aki ku=kay.”: [他](場所)で～を背負う ekay (新): [他]～と共に～を背負う kokay (新): [他](原因、手段)で～を背負う okay (新): [他]～に～を背負わせる kayte (新): [自]子を背負う pakkay (石狩): [間投](幼児語)おんぶ kakka (沙流): ②(物、あるいは死体や縛られて動けぬ人などに関して)[他]～を背負う se (石狩): 「二十人以上いるウタリの食べる物を私は飯場からまだ暗いうちに背負った。」“Hot akkari okay utari e kunip hamba orwa na sirkunne i ta ku=se.” (砂沢クラ)、「母とお婆さんだけ死人を背負って墓を造り…」“Totto newa húci patek araysir se wa tusirkar…」、「縛りあげられた英雄に對し)お前が承知せぬなら今兄達の所へ私達はお前を背負って行くからね。」“Somo e=ese yakne tane a=yup-utari ekota e=se=an kusune na.” (杉村キナラブク)英雄詞曲: [他](場所)で～を背負う ese (新): [他]～と共に～を背負う kose (新): [他](原因、手段)で～を背負う ose (新): [他]～に～を背負わせる sére (石狩): [連他]～の許へ～を背負う kasi-ose (ka-ose) (沙流): [名]上に背負うように木を生やし川に張り出した岩 nísew (石狩): ③[自]荷を背負う sike (石狩): [他](人)に荷を背負わせる

(新): [連他](人)の許に沢山荷を背負う kasi-osike (ka-osike) (沙流): [名]背負い荷 sike (石狩): [名]薪の背負い荷 nísike (石狩): [自]薪を背負う nísike (石狩): [名]魚(鮭)の背負い荷 cep-sike (石狩): [名]乾し魚(乾し鮭)の背負い荷 satcep-sike (石狩): [名]団子の背負い荷 sito-sike (石狩)

せかい(世界) [場名]世界 mosir(i) (石狩): (表現)世界中 mosir epitta (epittano) (新): (表現)世界中を何度も巡る mosirpa ta iwaysuy mosir kes ta iwaysuy kari (石狩): (表現)世界中を巡る mosirpa ta mosirkes ta kari (新)、(表現)mosir peka omanan (複数 payekay, payokay) (新): (表現)世界で一番美しい tan mosir ta iyotta pirka (新): [場名]神の世界 kamuymosir (石狩): [場名]kamuykotan (石狩): [場名]人間世界 aynumosir (石狩): [場名]世界 kotan(u) (石狩): [場名]魔界 kamuykotan (石狩)[場名]政界 yayetunuskurkotan (新)

せかす(急かす) [自]人を急かす untunaska (新): [自]物事を急かす itunaska (新): [他]～を急かす tunaska (石狩): [他](人)に仕事を急かす monasnure (新): [他](人)に性行為を急かす otunaska (新)

ゼカリヤ (聖書)[名](人名)ゼカリヤ Zexaria (新)※(預言者): [名]ゼカリヤ書 Zexaria-kampisos (新)

せき(咳)[名]咳 omke (石狩): [自]咳をする、咳が出る omke (石狩): [他](場所)で咳をする eomke (新): [他]～と共に咳をする koomke (新): [他](原因、手段)で咳をする oomke (新): [他](人)に咳をさせる omkere (新): [自]自分で、一人で咳をする yaykoomke (新): [自]互いに、皆で咳をする ukoomke (新): [自]激しく咳をする、咳が出る omkeomke (石狩): [自](一回)コホンと咳をする omkosanu (新): [自]コホンコホンと頻りに咳をする ciomrototo (石狩)、[自] omrototke (新): [自]コホンコホンと続けて咳をする ómnatara (新)

せき(席)[名]席 so (石狩): (表現)酒の席 iku so (石狩): (表現)席に着く so ka ta a (複数 rok) (石狩): [位名]～の向いの席 asso (arso) (石狩): (表現)最上席(酒の入ったシントコの後ろ) sintoko osmak (沙流): (表現)～を最上席(酒の入ったシントコの後ろ)に座らせる ~ sintoko osmak oranrani (沙流)

せきい(赤緯) [名]赤緯 húruru-ahunka (新)
せきうん(積雲) [名]積雲 purpurkeniskur

(新)、[名] purpurkenis (新)
せきか(石果) (植物)[名]石果 ikkew-ikaop(-i) (新)
せきがいせん(赤外線) [名]赤外線 húre p soyun-kiyay (新)
セキカソウ(石家荘) [場名](中華人民共和国河北省の省都名)石家荘 Síciatúan (新)
せきかつしょく(赤褐色) [自]赤褐色になる、である húreuparus (新)：[他]～を赤褐色にする húreuparusi (新)：[名]赤褐色 húreuparusiro (新)
せきざい(石材) [名]石材 cioikassuma (cioikarsuma) (新)
せきさく(脊索) (生物)[名]脊索 ikkewat(-ci) (新)：(動物)[名]脊索動物門 ikkewatkor-yaymoyep-serke (新)：[場名]脊椎動物亜門 ikkewkor-yaymoyep-moserke (新)
せきしょくりゅうかすいぎん(赤色硫化水銀) (鉱物)[名]赤色硫化水銀 shúhure-iwawnerukani (新)※(別名「辰砂」、「丹砂」、「朱砂」)
せきせつ(積雪) [名]積雪 huskoupas (石狩)：(表現)積雪 husko upas (石狩)
せきぞう(石像) [名]石像 sumainoka (新)：(表現)石像を造る sumainoka kar (新)：(表現)石像を彫る sumainoka nuye (新)
せきたん(石炭) [名]石炭 sumatan (新)、[名] passuma (新)、[名] tan (石狩)
せきちゅう(石柱) [名]石柱 suma-ikuspe (新)
せきつい(脊椎) ①(人などの)[名]脊椎 ikkewpone (石狩)、[名] ikkew(-e) (石狩)：②(クマの)[場名]背骨 kúkitay(-e) (石狩)：③(魚の)[名]脊椎 motot(-ci) (石狩)：[名]魚(サケ)の背骨 cepmotot(-ci) (石狩)
せきついどうぶつ(脊椎動物) (動物)[場名](脊索動物門)脊椎動物亜門 ikkewkor-yaymoyep-moserke (新)：[場名](動物界)脊椎動物門 ikkewkor-yaymoyep-serke (新)：[名]脊椎動物 ikkewkor-yaymoyep (新)
せきどう(赤道) [名]赤道 húreru(-we) (新)：[名]天の赤道 kantohureru(-we) (新)
せきどうギニア(赤道ギニア) [場名](国名)赤道ギニア共和国 Húreruun Ginea Ukotankoremosir (新)※(首都は「マラボ」)：[場名](国名の通称として)赤道ギニア Húreruun Ginea (新)：[名]赤道ギニア人、国民 húreruungineaukur (新)
せきにん(責任) [名]責任 cieyayitasaitaktep (新)
せきばらい(咳払い) ①[自]咳払いする rekucicarara (石狩)、[自] sirekutcara

(石狩)、[自] sirekutkar (天塩)：②[自]エヘンと咳払いする sikutsapke (天塩)：③[自]儀礼的な咳払いをする simusiska (H)
せきひ(石碑) [名]石碑 cioiesikaruysuma (新)、[名] cioiesikarumpe (新)
せきゆ(石油) [名]石油 sumasum (新)
せきらんうん(積乱雲) [名]積乱雲 niskamuniskur (新)、[名] niskamunis (新)
セコイア (植物)[名](ヒノキ科)セコイア亜科 sekwoyya-moapa (新)：[名]セコイア属 sekwoyya-cise (新)：[名]セコイアの茎 sekwoyya (新)※(別名「セコイヤ」、「セコイアスギ」、「セコイアメスギ」、「アメリカスギ」など)：[名]セコイアデンドロン属 síporosekwoyya-cise (新)：[名]セコイアデンドロンの茎 síporosekwoyya (新)※(別名「セコイアオスギ」)：[名]メタセコイア属 metasekwoyya-cise (新)：[名]メタセコイアの茎 metasekwoyya (新)※(別名「アケボノスギ」、「イチイヒノキ」)
セシウム (化学)[名]セシウム kaešium (新)※(原子番号55番。元素記号Cs)
せじょう(施錠) [自]施錠する ioiseske (新)：[他]～に施錠する ioseske (新)：[他](人)に～に施錠させる ioseskere (新)：(表現)戸に施錠する iseskenop (cioiseskenop) ani apusta seske (新)、(表現) iseskenop (cioiseskenop) apusta oseske (新)：
せすじ(背筋) [名]背筋 ikkew(-e) (石狩)：(表現)背筋を伸ばす ikkewe turi (新)：(表現)背筋をうんと伸ばす ikkewe turiri (新)
ゼゼラ (魚介)[名](カマツカ亜科)ゼゼラ属 zezera-cise (新)※(日本語)：[名]ゼゼラ zezera (新)：[名]ヨドゼゼラ yodozezeza (新)
せせらぎ [名]せせらぎ utka (石狩)
せだい(世代) [名]世代 sukupikir(-i) (新)、[名] ikir(-i) (石狩)：(表現)若い世代 pewre utar ikiri (新)、(表現) pewre sukupikir (新)：(表現)六代を(幾世代も)生き抜く、非常に長生きして知識と経験を身に付ける iwan ikir eposo (石狩)
ゼタグラム [名](重さの単位)ゼタグラム zettaguram (新)※(単位記号"Zg")
せたけ(背丈) [名]背丈 kew(-e) (新)：(表現)～と～の背丈を比べる ～kewe ～kewe pakte (新)：(表現)～の背丈を比べ合う ～kewe upakte (新)：(表現)～の背丈を計る ～kewe pákari (新)：[自]背丈が高くなる、高い keweri (石狩)：

[他]~の背丈を高くする **kewerika** (**kewerire**) (新): [自]背丈が低くなる **keweram** (石狩): [他]~の背丈を低くする **keweramka** (**keweramte**) (新)

ゼタバイト (コンピュ)[名](デジタルコンピュータが扱う情報量の単位)ゼタバイト **zettabait** (新)※(単位記号は"ZB")

ゼタメートル [名](長さの単位)ゼタメートル **zettametre** (新)※(単位記号"Zm")

ゼタリットル [名](体積の単位)ゼタリットル **zettaritre** (新)※(単位記号"Zl")

せつ(節) ①[名](文章や法律の)節 **ik** (新): (表現)第一節 **sine ik** (新): ②[名](生物の分類として)節 **korpe** (新)

せっかい(石灰) [名]石灰 **sumauna** (新): [名]石灰岩 **sumaunasirar** (新)

せっかく(接格) (言語)[名]接格 **ciumperewke** (新)※(付かれるもの格)

せっかん(折檻) [他]~を折檻する **koyki** (石狩): [他](人)に~を折檻させる **koykire** (新): [他]人に~を折檻させる **koykiyar** (新): [自]子供を折檻する **pokoyki** (新)

せっき(炆器) [名]炆器 **ioreruycirep** (新)、[名] **ciioreruycirep** (新)、[名] **ciapeciseor-eyupkecirep** (新)

せっきやく(接客) ①[自]人を接客する **ikiyannere** (新): [他]~を接客する **kiyannere** (新): [他](場所)で~を接客する **ekiyannere** (新): [他]~と共に~を接客する **kokiyannere** (新): [他](原因、手段)で~を接客する **okiyannere** (新): [他](人)に~を接客させる **kiyannere** (新): [他]自分で、一人で~を接待する **yaykokiyanne** (新): [他]互いに、皆で~を接客する **ukokiyannere** (新): [他]思い切り~を接客する **toykokiyanne** (新): [他](中相)~が接客される **cikiyannere** (新): [他]人に~を接客させる、してもらう **kiyannereyar** (新): [自]自分を接客させる **sikiyannereyar** (新): [場名]接客業 **ikiyannere-epirkausi** (新): (表現)接客態度 **ikiyannere katu** (新): (表現)接客態度が良い **ikiyannere katu pirka** (新): (表現)接客態度が悪い **ikiyannere katu wen** (新): ②(料理を配膳して)[自]人を接客する **ipuni** (石狩)、[自] **isapte** (沙流): [他]~を接客する **koipuni** (石狩)、[他] **koisapte** (新): [他](人)に~を接客させる **koipunire** (新)、[他] **koisaptere** (新): [他](中相)~が接客される **cikoipuni** (新)、[他] **cikoisapte** (新): [他]人に~を接客させる、してもらう **koipuniyar** (新)、[他] **koisapteyar** (新):

ぜっきょう(絶叫) [自]絶叫する

toykohawsanke (新)、[自] **rayhawsanke** (新): [他](人)に絶叫させる **toykohawsankere** (新)、[他] **rayhawsankere** (新): [自]自分で、一人で絶叫する **yaykotoykohawsanke** (新)、[自] **yaykorayhawsanke** (新): [自]皆で、共に絶叫する **ukotoykohawsanke** (新)、[自] **ukorayhawsanke** (新)

せっきん(接近) [完動]接近する、している **sirhanke** (石狩): 副詞と共に用いられ主語をとらないので注意: 「陸に接近し過ぎたら危ないぞ。」**"Eyasi sirhanke kasuy kor iyaykipte na ."**: [自]接近する、している **hanke** (石狩): 「国籍不明の航空機一機接近中。」**"Kor mosir an=erampetek sinta sinep hanke kor an ."**: [他]~に接近する、している **ehanke** (石狩)、[他] **kohanke** (石狩)、[他] **kokaranke** (石狩): 「わが方に接近中の船舶に告ぐ。直ちに停船せよ。」

"Un=kohanke cip o kur ku=ye na . Tane cip atte yan !": [他]~と共に接近する、している **kohanke** (新): [他]~から接近する、(原因、手段)で接近する、している **ohanke** (新): [他]~を接近させる **hankeka** (**hankere**) (新): (表現)~のそばに接近して行く ~ **sam**(長形-a、-ake) **ene (ta) oman** (複数 **paye**) (石狩): (表現)~のそばに接近して来る ~ **sam**(長形-a、-ake) **ene (ta) ek** (複数 **arki**) (石狩): [副]接近して **hanken** (石狩)、[副] **hanke** (石狩): [後副]~に接近して **kokarankeno** (石狩)

せっけん(石鹼) [名]石鹼 **iaskannereptak(-u)** (新)、[名] **iaskanereptak(-u)** (新)

せつご(接語) (言語)[名]接語 **iusitak** (新)

せつごうじ(接合辞) (言語)[名]接合辞 **iukoteitakpo** (新)、[名] **inoskiusitakpo** (新)

セッコウしょう(浙江省) [場名](中華人民共和国の省名)浙江省 **T'écian-purovince** (新)

せつじ(接辞) (言語)[名]接辞 **iusitakpo** (新)

せつし(摂氏) [名]摂氏 **cersius** (新)、[名] **cersiuskarpe** (新)※(略号 C): (表現)摂氏 10度 **wan cersius-ipak** (新)、(表現) **wan cersius-dekre** (新)、(表現) **wan cersiuskarpe** (新)

せっしゃ(拙者) <人称代名詞>(雅語)拙者 **asinuma** (石狩)

せっしゃ(接写) [連他]~に接写する **sama-enokauk** (**sam-enokauk**) (新): (表現)私が彼を接写する **sama=ku=enokauk** (新): (表現)彼が私を接写する **en=sam-enokauk** (新): (表現)~を接写する ~ **teksam**(長形-a、-ake) **ta ~ nokauk** (新)、

(表現) ~ un wa ~ nokauk (新)、(表現)(雅語) ~ nokauk katu ~ un pe sikopayar (新)

せっしゅう(接周) [自] 接周する
ituysamus (新) : [他] ~ に接周する
tuysamus (新) : [他] ~ を ~ に接周させる
tuysamusi (新) : [名] 接周辞
ituysamusitakpo (新)

せつじょう(雪上) (表現) 雪上 upas ka (長形-si, -sike) (石狩) : (表現) しまっておらず、歩くと雪上がぬかる upas ka wen (石狩)

せっしよく(接触) [自] 人やものに接触する
ikere (新) : [他] ~ に接触する kere (石狩) : [他] (場所) で ~ に接触する ekere (新) : [他] ~ と共に ~ に接触する kokere (新) : [他] (原因、手段) で ~ に接触する okere (新) : [他] (人) に ~ に接触させる kerere (新) : [他] 自分で、一人で ~ に接触する yaykokere (新) : [他] 互いに、皆で ~ に接触する ukokere (新) : [他] 完全に ~ に接触する oarkere (arkere) (新) : [他] 思い切り ~ に接触する toykokere (新) : [他] 意識せず ~ に接触する sikokere (新) : [他] 人に ~ に接触させる kereyar (新) : [自] 人に自分に接触させる sikereyar (新) : [自] 接触し合う ukere (新)

せっしよくしたうえ(接触した上) ① [位名] ~ の(接触した)上、(接触しているかななどを特定しない) ~ の上 ka (長形、) (石狩) : 何か「の離れた上」には "enka"、何か「の上面一帯」には "kurka"、何か「の上端」には "tuyka"、何か「の上側、背線上」には "mekka" を用いる。但し、上空という程離れていない場合など、接触しなくても "ka" が用いられることがあり、また、"kurka" と "ka" が混同されることから、"enka"、"kurka" の二語に対し、"ka" の指し示す範囲が広く、一部重なるように見える。これは "ka" が前記の様々なニュアンスを持った語の要素となっている事から "pok" 「 ~ の下」に対応する単なる「 ~ の上」の意味もあるからで、特にどういった上かを特定しない場合に "ka" が用いられていると考えられる。尚、長形のうち人称接辞などをもってアクセントに移動が生じた場合、早く発音されると "kaske" となる。 : 「…岩の上に大きな雪の塊のような物があつた…」 “…sirar ka ta poro upastak neno an pe an .” (砂沢クラ) ※(接触した上)、「…私を背負った女の上へ…」 “… i = kay menoko kasikehe ne…” (杉村キナラブク) 英雄詞曲 ※(この前段で "kurkasike" が用いられており、この文中の "kasikehe" は単なる「 ~ の上」と判断される。)

せつする(接する) [自] 辺りに接する sirus

(新) : [自] ものに接する ius (新) : [他] ~ に接する us (石狩) : [他] (場所) で ~ に接する eus (新) : [他] ~ と共に ~ に接する kous (新) : [他] (原因、手段) で ~ に接する ous (新) : [自] 接し合う、相接する uus (新) : [自] 先端が相接する ueus (石狩) : [他] ~ の先端に接する eus (新) : [自] 末尾が相接する uous (新) : [他] ~ の末尾に接する ous (新)

ぜっせい(絶世) [自] 絶世である sisak (石狩) : (表現) 絶世の美女 sisak pirkamenoko (新) : pakno + 人 を表わす 名詞 + isam の形で「これ程の ~ はいない」 : これまでの用例では人の長所を褒める時に使われてきたが、今後は「これ程のケチはいない」という悪口にも用いていく。 : 「これ程の美女はいない。」 “Pakno pirkamenoko isam .”

せつぞう(雪像) [名] 雪像 upasinoka (新) : (表現) 雪像を造る upasinoka kar (新)

せったい(接待) ① [自] 人を接待する
ikiyannere (新) : [他] ~ を接待する
kiyannere (沙流) : [他] (場所) で ~ を接待する
ekiyannere (新) : [他] ~ と共に ~ を接待する
kokiyanere (新) : [他] (原因、手段) で ~ を接待する
okiyannere (新) : [他] (人) に ~ を接待させる
kiyannere (新) : [他] 自分で、一人で ~ を接待する
yaykokiyanere (新) : [他] 互いに、皆で ~ を接待する
ukokiyanere (新) : [他] 思い切り ~ を接待する
toykokiyanere (新) : [他] (中相) ~ が接待される
cikiyanere (新) : [他] 人に ~ を接待させる、してもらう
kiyanereyar (新) : [自] 自分を接待させる
sikiyanereyar (新) : [自] 接待し合う
ukiyanere (新) : ② (料理を配膳して) [自] 人を接待する
ipuni (石狩)、[自] isapte (沙流) : [他] ~ を接待する
koipuni (石狩)、[他] koisapte (新) : [他] (人) に ~ を接待させる
koipunire (新)、[他] koisaptere (新) : [他] (中相) ~ が接待される
cikoipuni (新)、[他] cikoisapte (新) : [他] 人に ~ を接待させる、してもらう
koipuniyar (新)、[他] koisaptereyar (新) : ③ (宴席でホストとして) [自] 人を接待する
iemarattokor (新) : [他] ~ を饗応する
emarattokor (沙流) : [他] (人) に ~ を接待させる
emarattokore (新) : (伝統行事の) [名] 接待役 sakesankekur (石狩) : (伝統行事以外の) [名] 主人 isankekur (新)、[名] sakesankekur (新) : [名] 女主人 isankemat (新)、[名] sakesankemat (新)

ぜったい(絶対) ① [自] 絶対的、絶対になる、で

ある earan (新)※(完全にある)、[自] apsorute (新)※(英語)：[他](場所)で絶対的になる、である eearan (新)、[他] eapsorute (新)：[他]～に対して絶対的である、～と共に絶対である koearan (新)、[他] koapsorute (新)：[他](原因、手段)で絶対的になる、である oearan (新)、[他] oapsorute (新)：[他]～を絶対的にする earante (新)、[他] apsorutere (新)：[副]絶対に earanno (新)、[副]apsoruteno (新)：②(表現)絶対～(する)な(よ)、絶対～(する)んじゃない(ぞ) ecikki+命令文+ya(複数 yan) (石狩)：(表現)ecikki+肯定文(+na) (石狩)、(表現)ika+肯定文(+na) (石狩)、(表現)(雅語)ikaneypeka+肯定文(+na) (石狩)※：“ikaneypeka”にはその短縮形と考えられる“ikanep”や異形の“inkaneypeka”及びその短縮形と考えられる“inkanep”、“inka”が見られる。：“絶対私の方を見ないで。”“Ecikki en=ekota inkar!”、“決してこれを誰にも見せないでくださいね。”“Nen ne yakka ecikki tampe nukare wa en=kore yan!”、“絶対眠らないでよ。”“Ika e=mokor na!”、“絶対油断めされるな。”“Ikaneypeka es=yaykoeramunin na.”

ぜったいかく(絶対格) (言語)[名]絶対格 earanrewke (新)※(絶対のものを格)：[名]絶対格・能格型 earanrewkenepkaki

```
wkekat
```

 (新)

せっちゃく(接着) [他]物を～に接着する、～に物を接着する ikosattekka (新)：[他]～を～に接着する kosattekka (石狩)：[他](場所)で～を～に接着する ekosattekka (新)：[他](原因、手段)で～を～に接着する okosattekka (新)：[他](人)に～を～に接着させる kosattekkare (新)：[他]～が～に接着される cikosattekka (新)：[自]物を互いに接着する iukosattekka (新)：[他]～を互いに接着する ukosattekka (新)：[名]接着剤 iukosattekkap (新)、[名]cioiukosattekkap (新)

せっちゅう(接中) (言語)[自]接中する iuturus (新)：[他]～に接中する uturus (新)：[他]～を～に接中させる uturusi (新)：[名]接中辞 iuturusitakpo (新)

せつとう(接頭) (言語)[自]接頭する heus (新)：[他]～に接頭する eus (新)：[他]～を～に接頭させる eusi (新)：[名]接頭辞 heusitakpo (新)

せつとく(説得) [名]説得 itomoytak (新)：[自]人を説得する itomoytak (新)：[連他]～を説得する tomo-oytak (tom-oytak) (石狩)：(表現)私が彼を説得する

tomo=ku=oytak (石狩)：(表現)私が君を説得する e=tom=ku=oytak (新)：[他](人)に人を説得させる itomoytakte (新)

セツパリイルカ(背張海豚) (動物)[名](マイルカ科)セツパリイルカ亜科 seturutuktannu-moapa (新)：[名]セツパリイルカ属 seturutuktannu-cise (新)※(イロワケイルカ属とも)：[名]セツパリイルカ seturutuktannu (新)：[名]イロワケイルカ pandatnnu (新)※(別名「パンダイルカ」)：[名]コシヤチイルカ koypokafrikatannu (新)：[名]ハラジロイルカ ciritannu (新)※(チリ海豚)：[名]ウスイロイルカ属 iropantannu-cise (新)：[名]コビトイルカ属 motannu-cise (新)

せつび(接尾) (言語)[自]接尾する hous (新)：[他]～に接尾する ous (新)：[他]～を～に接尾させる ousi (新)：[名]接尾辞 housitakpo (新)

ぜつべき(絶壁) [名]絶壁、断崖 絶壁 wenkut-u) (石狩)、[名] kut-u) (石狩)：(表現)絶壁の上、てっぺん kutkip ka (石狩)：[名]絶壁となった山 cikerenuhuri (石狩)、[場名] weysir (石狩)：[場名]山が岩崖になって水中に入り込んでいる所、水中から屹立する絶壁 eorusi (天塩)：[名](川岸の)絶壁 nisey (石狩)：(表現)絶壁の縁、あるいはそこについた路 nisey páru (長形-rke) (石狩)、(表現) nisey páru (長形-rke) (沙流)

ぜつぼう(絶望) [自]絶望する mawkopirka-rususak (新)、[自] mawkopirka-eisokorsak (新)：[他]～に関して絶望する、(場所)で絶望する emawkopirka-rususak (新)：[他]～に対し絶望する、～と共に絶望する komawkopirka-rususak (新)：[他](原因、手段)で絶望する omawkopirka-rususak (新)：[他](人)を絶望させる mawkopirka-rususakka (新)：[自]自分で、一人で絶望する yaykomawkopirka-rususak (新)：[自]皆で、共に絶望する ukomawkopirka-rususak (新)

せつめい(説明) [名]説明 uepeker (新)：[自]事情を説明する uepeker (石狩)：[他]～について事情を説明する euepeker (石狩)：[他]～に事情を説明する、～と共に事情を説明する kouepeker (新)：[他](原因、手段)で事情を説明する ouepeker (新)：[他](人)に事情を説明させる uepekerka (uepekere) (新)：[自]自分で、一人で事情を説明する yaykouepeker (新)：[自]互いに、皆で事情を説明する ukouepeker (新)：[自]すっかり事情を説

明する oaruepeker (aruepeker) (新):
 [他](中相)〜について事情が説明される
 cieuepeker (新): [他]人に〜について事情
 を説明させる euepkerar (新)
ぜつめつ(絶滅) [自]絶滅する siokere (石
 狩)、[自] siaruste (新): (表現)その全て
 が死に絶える opitta ray wa oarisam (石
 狩): [他]〜を絶滅させる aruste (石狩):
 [自]一瞬で絶滅する arustek (新): [他]
 〜を一瞬で絶滅させる arustekka (新)
せつやく(節約) [自]節約する iehapapu
 (iehapap) (新): [他]〜を節約する
 ehapapu (ehapap) (石狩)、[他]
 otupekare (萱野): [他](場所)で〜を節約
 する ehapapu (ehapap) (新): [他]〜と
 共に〜を節約する koehapapu (koehapap)
 (新): [他](原因、手段)で〜を節約する
 oehapapu (oehapap) (新): [他](人)に〜
 を節約させる ehapapure (新): [他]自分
 で、一人で〜を節約する yaykoehapapu
 (yaykoehapap) (新): [他]互いに、皆で〜
 を節約する ukoehapapu (ukoehapap)
 (新): [他]完全に〜を節約する
 oarehapapu (arehapapu) (新): [他]思い
 切り〜を節約する toykoehapapu
 (toykoehapap) (新)
せなか(背中) [名]背中 setur(-u, -i) (石狩):
 [名]背筋 seturkam(-i) (石狩): [名](クマ
 の)背中の脂肪組織 seturkirpo (旭川):
 [名](熊の)背中の肉 kaparkam(-i) (石狩):
 [他]〜の背中にしっかりと掴まる
 seturukotuk (石狩)
せなかあぶり(背中炙り) [自]背中炙りする
 apeoyse (apeose) (石狩): 「…私の父親
 は何もせずに背中炙りばかりして座って
 いた…」 “…an=onaha nepka ki ka somo ki no
 apeoyse patek ki wa a wa an…” (杉村キナ
 ラブク)説話、「私の家で私は怒っていたので
 背中炙りして横になっていたが…」 “…
 an=kor cise otta iruska=an kusu apeose=an
 ine hotke=an wa oka=an rok pe…” (杉村キ
 ナラブク)神謡: (表現)背中炙りする ape
 seturu kar (石狩): 「私は背中炙りした。」
 “Ape ku=seturu ku=kar .”
せなげ(背毛) [名]背毛 seturusnuma (新)、
 [名] setunnuma (新)
ぜに(銭) [名]銭 icen (石狩)
ゼニガタアザラシ(銭形海豹) (動物)[名](ゴマフ
 アザラシ属)ゼニガタアザラシ yayantukar
 (新)
セネガル [場名](国名)セネガル共和国
 Sénegar Ukotankoremosir (新)※(首都は「ダ
 カール」): [場名](国名の通称として)セネガ
 ル Sénegar (新): [名]セネガル人、国民

sénegarunkur (新)
せのび(背伸び) [自]背伸びする yayrire
 (新): [他](場所)で背伸びする eyayrire
 (新): [他]〜に対して背伸びする、〜と共に
 背伸びする koyayrire (新): [他](原因、
 手段)で背伸びする oyayrire (新):
 [他](人)に背伸びさせる yayrirere (新)
ぜひ(是非) [副]是非 sino (石狩)、[副]
 sonno (石狩)、[副] sunkesakno (石狩)、
 [副] nera-anakka (天塩)、[副] neun-
 neyakka (天塩)
ゼビバイト (コンピュ)[名](コンピュータの容量
 などの単位)ゼビバイト zébibait (新)※
 (単位記号"ZiB")
せびれ(背鰭) ①(シャチの)[名]背鰭 aspe
 (石狩): ②(魚の)[名]背鰭 mekkauspe
 (石狩)、[名] ceprap (石狩): [名]背鰭の
 骨 mekkauspepone (天塩)、[名]
 mekkauspone (天塩)
せびろ(背広) [名]背広 nispa-siyuk (新)、
 [名] siyuk (新): (表現)シングルスーツ
 sinepne siyuk (新): (表現)ダブルスーツ
 tupne siyuk (新): (表現)スリーピースス
 ーツ repne siyuk (新)
セブ [場名](地名)セブ島 Sebu-poysir (新)
 ※(ビサヤ諸島に属するフィリピン共和国領
 の島)
ゼファニア (聖書)[名]ゼファニア Zefania
 (新)※(預言者): [名]ゼファニア書
 Zefania-kampisos (新)
zeptogram [名](重さの単位)zeptogram
 zeptoguram (新)※(単位記号"zg")
zeptometre [名](長さの単位)zeptomé-
 tre zeptometre (新)※(単位記号"zm")
zeptolitre [名](体積の単位)zeptolitre
 zeptolitre (zeptoritre) (新)※(単位記号
 "zl")
せぼね(背骨) ①(人などの)[名]背骨
 ikkewpone (石狩)、[名] ikkew(-e) (石
 狩): (表現)(敵を滅多切りにするなどして肉
 を全て削ぎ)ただ〜の背骨のみを…が残す
 heru motoci heru ikkewe … koniwkeskar
 (沙流): ②(クマの)[名]背骨 kukitay(-e)
 (石狩): [名]背骨の上にある脂肪組織
 kúkitayokirpo (石狩)、[名]
 kúkitaykotkirpo (石狩): ③(魚の)[名]背
 骨 motot(-ci) (石狩): [名]魚(サケ)の背
 骨 cepmotot(-ci) (石狩)
せまく(狭く) [0動]辺りが狭くなる、狭い
 sirhupne (新): [自](場所)で辺りが狭くな
 る、狭い sirkohupne (新): [自]狭くなる、
 狭い hupne (石狩)※(対義語は"sep"):
 (表現)戸口が狭い apa hupne (石狩):
 [他]〜を狭くする hupneka (hupnere)

(新)

せまる(迫る) ①(近づくの意味で)[0動]土地や風景が迫る sirhanke (石狩): [自]迫る hanke (石狩): (表現)期限が迫る iki okere kuni to hanke (新): 「私の借金返済期限が迫っている。」 “Ikor ku=hosipire okere kuni to hanke .”: [他]～に近づく ehanke (石狩)、[他] kohanke (石狩)、[他] kokaranke (石狩): 「未知の彗星が地球に迫っている。」 “An=eramuskare munnuwepnociw Ankotcup ehanke (kohanke).”: ②(強く要求するの意味で)[他](人)に迫る yupkenisuk (新): (表現)～に迫る ～ yupkeno nisuk (新): 「私達は問題の早期解決を政府に迫った。」 “An=eranak pe tunasno an=urenkare kunine yayetunuspe yupkeno ci=nisuk .”: (表現)(上から)～に迫るほど ～ enka(長形-si、-sike)rere (沙流)※(直訳すると～の上空を沈めながら): 「見ると私に迫るほど(木を撓ませるくらい沢山実った)サルナシがあった。」 “Ku=inkar hike en=ka rere kane kutci an .”

ゼミ [名]ゼミ seminar (新)※(英語)

セミイルカ(背美海豚) (動物)[名](マイルカ亜科)セミイルカ属 aspesaktannu-cise (新): [名]セミイルカ koykaun-aspesaktannu (新)、[名] aspesaktannu (新): [名]シロハラセミイルカ koypokun-aspesaktannu (新)

セミクジラ(背美鯨) (動物)[名](ヒゲクジラ亜目)セミクジラ科 setursararehumpe-apa (新): [名]セミクジラ属 (新)、[名] setursararehumpe-cise (新): [名]セミクジラ setursararehumpe (setussararehumpe) (新): [名]タイセイヨウセミクジラ arsiatuy-setursararehumpe (assiatuy-setussararehumpe) (新): [名]ミナミセミクジラ koypok-setursararehumpe (koypok-setussararehumpe) (新): [名]ホッキョククジラ属 koykakeshumpe-cise (新)

セミダブル [名]セミダブル sépsinen(-ehotkep) (新)

セミナー [名]セミナー seminar (新)※(英語)

せめる(攻める) [自]攻める corawki (石狩)、[自] tumisanke (新): [他]～を攻める kocorawki (八雲)、[他] kotumisanke (新)、[他] koyki (石狩): [他](場所)で攻める ecorawki (新): [他]～と共に攻める kocorawki (新): [他](原因、手段)で攻める ocorawki (新): [他](人)に攻めさせる

corawkire (新): [自]自分で、一人で攻める yaycorawkire (新): [自]自分を攻める、自分で攻める yaykocorawki (新): [自]皆で攻める ucorawkire (新): [自]攻め合う、皆で攻める ukocorawki (新): [自]思い切り攻める toykocorawki (新): [自](幌別): (表現)攻めて行く corawki wa oman(複数 paye) (新)、(表現)rorumpekor wa oman(複数 paye) (十勝より): [他]～に攻めかかる kohopuni(複数 kohopumpa) (石狩)

せめる(責める) [自]人を責める iapapu (新): [他]～を責める apapu (石狩)、[他](雅語) semeseme (石狩): 「お前がいるから俺は貧乏するんだ」と私は責められた。」 “《E=an kusu ku=wen na》, sekor enci=apapu .”: [他](場所)で～を責める eapapu (新): [他]～と共に～を責める koapapu (新): [他](原因、手段)で～を責める oapapu (新): [他](人)に～を責めさせる apapure (新): [他]自分で、一人で～を責める yaykoapapu (新): [他]互いに、皆で～を責める ukoapapu (新): [他]思いきり～を責める toykoapapu (新): [他]人に～を責めさせる、責めてもらう apapuyar (新): [自]人に自分を責めさせる siapapuyar (新): [自]自分を責める yayapapu (石狩): [自]責め合う uapapu (新):

セメント [名]セメント péonistep (新): [名]セメント煉瓦 péonistep-sumatoy (新)

セリ(芹) (植物)[名](バラ亜綱)セリ目 serikotan (新): [名]セリ科 seri-apa (新): [名]セリ亜科 seri-moapa (新): [名]セリ属 seri-cise (新): [名]セリの茎葉 seri (新): [名]アメリカバウフウ属 tópenupewkina-cise (新): [名]イノンド属 şevit-cise (新): [名]イブキボウフウ属 upewkina-cise (新): [名]イワセントウソウ属 metotusciowrenkinakopa-cise (新): [名]ウイキョウ属 fenner-cise (新): [名]エゾノシシウド属 cikapasiwkina-cise (新): [名]エゾボウフウ属 yaumpohu-cise (新): [名]エキサイゼリ属 sárusseri-cise (新): [名]オオカサモチ属 túnikaomap-cise (新): [名]オランダゼリ属 parsurey-cise (新): [名]オランダミツバ属 sereri-cise (新): [名]カノツメソウ属 iwaseri-cise (新): [名]カワラボウフウ属 piwkasiwkina-cise (新): [名]クミン属 kumin-cise (新): [名]コエンドロ属 koriander-cise (新): [名]シシウド属 siwkina-cise (新): [名]

シムラニンジン属 *simuraupewkina* (新): [名]シャク属 *icarikina-cise* (新): [名]シラネニンジン属 *cupkaupewkina-cise* (新): [名]セリモドキ属 *ciserikopa-cise* (新): [名]セントウソウ属 *ciowrenkinakopa-cise* (新): [名]ドクゼリ属 *tókaomapkina-cise* (新): [名]ドクニンジン属 *surkuupewkina-cise* (新): [名]ニンジン属 *cieupewkina-cise* (新): [名]スマゼリ属 *tóseri-cise* (新): [名]ハナウド属 *har-cise* (新): [名]ハマゼリ科 *otaseri-cise* (新): [名]ハマボウフウ属 *otasiwkina-cise* (新): [名]ヒゴタイサイコ属 *repumpawcikina-cise* (新): [名]ヒメウイキョウ属 *karawiya-cise* (新): [名]マルバトウキ属 *cipoko-cise* (新): [名]ミシマサイコ属 *opokaykina-cise* (新): [名]ミツバ属 *micipa-cise* (新): [名]ミツバグサ属 *anisum-ciise* (新): [名]ミヤマセンキュウ属 *umewkina-cise* (新): [名]ヤブジラミ属 *setataykimun-cise* (新): [名]ヤブニンジン属 *tannetaykimun-cise* (新): [名]ヤマゼリ属 *kímusseri-cise* (新): [名]ウマノミツバ亜科 *ummamicipa-moapa* (新): [名]チドメグサ亜科 *kémehamkina-moapa* (新): [名]ウコギ科 *eninkeni-apa* (新)

ゼリー [名]ゼリー *jeri* (新)※(英語)、[名] *jere* (新)※(フランス語)

セリウム (化学)[名]セリウム *kerium* (新)※(原子番号58番。元素記号 *Ce*)

せりふ(台詞) [名]台詞 *ciyekunip(-i)* (新): (表現)～の台詞 ～ *ye kunip* (新)、(表現)～ *ye kuni itak* (新)

セリモドキ(芹擬)(植物)[名](セリ科)セリモドキ属 *ciserikopa-cise* (新): [名]セリモドキの茎葉 *ciserikopa* (新)

セルビア [場名](国名)セルビア共和国 *Serbiya Ukotankoremosir* (新)※(首都は「ベオグラード」): [場名](国名の通称として)セルビア *Serbiya* (新): [名]セルビア人、国民 *serbiaunkur* (新): [名]セルビア人 *serbukur* (新): [名]セルビア語 *serbukur-itak* (新): ②(歴史)[場名]セルビア・モンテネグロ *Serbiya newa Tunnagora* (新)※(2003年「ユーゴスラヴィア連邦共和国」より改称。2006年モンテネグロの独立により「セルビア・モンテネグロ」の継承国としてセルビアも独立。): (歴史)[場名](国名)セルビア・クロアチア・スロヴェニア王国 *Serbiya newa Xurvaka newa Suroveniya Yaykomosirkorkur-kormosir* (新)※(1918年セルビア王国を主体に成立。1929年「ユーゴスラヴィア王国」に

改称)

セルボ・クロアチア [名]セルボ・クロアチア語 *serbukur-xurovaŭkur-itak* (新)※(現在は政治的社会的にセルビア語、クロアチア語、ボスニア語に分けられる)

セレベス [場名](地名)セレベス島 *Surawesi(-poyisir)* (新)

セレン (化学)[名]セレン *serenium* (新)※(原子番号34番。元素記号 *Se*)

ゼロ [名:数詞]ゼロ人 *zero* (新)、[名:数詞] *zeronen* (新)、[名:数詞] *isam* (新): [名:数詞]ゼロ、ゼロ匹、ゼロ個など *zero* (新)、[名:数詞] *zeronep* (新)、[名:数詞] *isam* (新): [連体:数詞](数詞)ゼロの *zerone* (新)、[連体:数詞] *isam* (新)

ゼロこう(0項) (言語)[名]0項 *supopsak* (新): [自]0項である *supopsak* (新): [名]0項動詞 *supopsak-moykeitak* (新)、[名] *supopsakpe* (新)

セロリ (植物)[名](オランダミツバ属)セロリの茎葉 *sereri* (新)※(英語。別名「オランダミツバ」)

せわ(世話) ①(面倒を見る)[自]世話をする *isikrerotte* (新): [他]～の世話をする *sikrerotte* (沙流): (表現)～の世話を焼く *ene iki rusuy wa ~ sikrerotte* (新): [他](場所)で～の世話をする *esikrerotte* (新): [他]～と共に～の世話をする *kosikrerotte* (新): [他](原因、手段)で～の世話をする *osikrerotte* (新): [他](人)に～の世話をさせる *sikrerottete* (新): [他]自分で、一人で～の世話をする *yaykosikrerotte* (新): [他]皆で、共に～の世話をする *ukosikrerotte* (新): [他]人に～を世話をさせる、してもらう *sikrerotteyar* (新): [自]自分の世話をさせる、してもらう *sisikrerotteyar* (新): [自]自分で自分の世話をする *yaysikrerotte* (新): [自]世話をし合う *usikrerotte* (新): [自]世話焼きである *isikrerotterusuy* (新): [名]～が世話になる所 *eoci* (沙流): (表現)～が世話になる所 *eot us hi* (新): ②(病人に関して)[自]病人の世話をする *ikaoyki* (石狩): [連他]～の世話をする *kasi-oyki* (*ka-oyki*) (石狩): 「私の妻が私の世話ををする。」

“*Ku=kor mat en=ka-oyki* .”、「私が妻の世話ををする。」“*Ku=kor mat kasi=ku=oyki* .”:
[他]人に人を世話をさせる、してもらう *ikaoykiyar* (新): [自]自分の世話をさせる、してもらう *sikaoykiyar* (新): [自]自分で自分の世話をする *yaykaoyki* (新): [自]世話をし合う *ukaoyki* (新): ③(嫁に関して)[他](誰かに嫁)を世話する *etun*

(石狩): 今後は婿に関しても使う。: ④(下の世話に関して)[他](大便、小便)を取って下の世話をする siyayke (石狩): ⑤(特にクマに関して)[他]~の世話をする eahun (石狩): 「…よく私のクマを世話して労り合っていないさいよ!」 “…pirkano an=kor eper eahun wa ueyamno okay ya!” (杉村キナラブック):

せわしない(忙しい) [自] 忙しい toykomontapi (新): [他](場所)で忙しい etoykomontapi (新): [他]~と共に忙しい kotoymontapi (新): [他](原因)で忙しい otoykomontapi (新): [他](人)を忙しなくさせる toykomontapi (新): [自] 自分で、一人で忙しい yaykotoymontapi (新): [自]互いに、皆で忙しい ukotoymontapi (新): [自]忙しなく働いている yaymonsak (yaymoysak) (沙流): (表現)(慌だしく働く人達が行ったり来たりしすれ違う様子の描写)忙しなく行き交う、忙しなく馳せ違う earutom ta terke kane (沙流): [他](雅)~のために忙しなく立ち働く eyaytomta-terke (沙流): (表現)酒を造ろうと忙しなく立ち働く sakekar kuni eyaytomta-terke kane (沙流): (表現)我は忙しなく立ち働いて(我は飢えた鳥になり) mawa tori ne mawa cikap ne yaykar=an kane (幌別)

セワストーポリ [場名](クリミア半島の都市名)セワストーポリ Sevastopori (新)

せん(千) ①[名]千人 wánatuytanen (新): ②[名]千、千匹、千個など wánatuyta (新): (表現)千 sinep ikasma (sine) wánatuyta (新): (表現)一千 sine wánatuyta (新): (表現)二千 tu wánatuyta (新): (表現)三千 re wánatuyta (新): (表現)四千 íne wánatuya (新): (表現)五千 asikne wánatuyta (新): (表現)六千 iwan wánatuyta (新): (表現)七千 arwan wánatuyta (新): (表現)八千 tupesan wánatuyta (新): (表現)九千 sinepesan wánatuyta (新): ③[連体]千の wánatuytane (新)、[連体] wánatuyta (新): (表現)千人の女性 wánatuytane menoko (wánatuyta menoko) (新): (表現)千匹の魚 wánatuyane cep (wánatuyta cep) (新): (表現)千年 wánatuytane pa (wánatuyta pa) (新)

せん(栓) [名]栓 kunkuci (石狩)

せん(線) (1)①(具体的な物としての)[名]線 ru(-we) (石狩): [名]電線 imeruru (新): ②(図形としての)[名]線 rúnoka (新): (表現)線 rúro noka (天塩): ③

[自]~に線ができる、線がある rúo (石狩): (表現)~に線ができる、線がある rúro (天塩): [他](場所)で~に線ができる、線がある eruo (新): [他]~と共に~に線ができる、線がある koruo (新): [他](原因、手段)で~に線ができる、線がある oruo (新): ④[自]線を引く inaye (複数 inaypa) (新)、[自] rúnokakar (新): (表現)線を引く noka kar (石狩): [他]~に線を引く naye (複数 naypa) (石狩)、[他] erunokakar (新)、[他] korunokakar (新): [他]~と共に~に線を引く konaye (複数 konaypa) (新)、[他] korunokakar (新): [他](原因、手段)で~に線を引く onaye (複数 onaypa) (新)、[他] okorunokakar (新): [他](人)に~に線を引かせる nayere (複数 naypare) (新)、[他] erunokakare (新): (2)(物理)[名]~線 kiay (新): [名]ガンマ線 gamma-kiyay (新): [名]放射線 cieusaak usa kiyay (新)

せん(腺)(解剖)[名]腺 mem(-i) (新)※(泉地から流れ出る川)、[名] gurandura (新)※(羅語)

せん(銭) [名](古い日本の貨幣単位、あるいは現在の通貨の補助単位)銭 icen (石狩)※(明治以降 1円 = 100銭。)

ぜん(膳) [名]塗物の膳 otciike (石狩): [名]木製の膳 ita (石狩)

ぜんい(前胃) [名](虫の)前胃 sauyyospe (新)

せんいん(船員) ①[名](船客に対する上級船員を除く乗組船員全体を指し)船員 cipokur (新)、[名] kuru (krew) (新)※(英語の "crew" より。): ②[名](一人一人の)船員 cipokur (新)

ぜんいん(全員) [後副](複数いるもの)の全員 opitta (opittano) (石狩): 「私達全員が行きますよ。」 “Ciutari opitta paye=as wa.”: [自]全員揃わない usak (沙流)

ぜんえんみやく(前縁脈) [名](虫の翅の)前縁脈 parurkeunraprit(-ci) (新)

せんかい(旋回) [自]旋回する kari (石狩): [他](場所)を旋回する ekari (石狩)、[他] okari (石狩): [他]~と共に旋回する kokari (新): [他](原因、手段)で旋回する okari (新): [他]~に旋回させる karire (石狩): [自]上方へ旋回する kannakari (新): [自]下方へ旋回する rānakari (新)

せんがちゃ(生姜茶) [名]生姜茶 sioga-usew (新)

せんかん(戦艦) [名]戦艦 sítumicip (石狩): [名]海防戦艦 yásamepunkine-situmicip (新): [名]航空戦艦 sintakor-

situmicip (新): [名]高速戦艦 tunas-situmicip (新): [名]巡洋戦艦 cassitumicip (新): [名]新戦艦 asir-situmicip (新)[名]前弩級戦艦 duretnout-etokumpe (新): [名]超弩級戦艦 duretnout-akkaip (新): [名]弩級戦艦 duretnout (新): [名]ポケット戦艦 póket-situmicip (新)[名]ポスト・ジュットランド戦艦 jutrando-okaumpe (新)

ぜんきやく(前脚) [名](虫)前脚 sankecikir(-i) (新)

せんきよ(選挙) [自]選挙する unnumke (新): [他](場所)で選挙する eunnumke (新): [他]～と共に選挙する kounnumke (新): [他](原因、手段)で選挙する ounnumke (新): [他]～を選挙する numke (新): [他](人)に～を選挙させる numkere (新): [他]自分で、一部で～を選挙する yaykonumke (新): [他]皆で～を選挙する ukonumke (新)

せんぎよ(鮮魚) [名]鮮魚 úpencep (三石)

せんきょう(船橋) [名]船橋 cipriwka (新)

ぜんきょう(前胸) [名]前胸 sanke-rerar(-u) (新): [名]前胸背 sanke-setur(-u) (新)

せんぎり(千切り) [他]～を千切りにする humpahumpa (石狩)

せんげつ(先月) [名・副]先月 hoskiannincup (石狩)、[名・副] hoskiancup (石狩)、[名] hoskicup (天塩)

せんご(戦後) (表現)戦後 tumi oka(長形-ke、-kehe) (新)

せんこう(先行) [自]人や物事に先行する itusmak (新)、[自] ikasu (新): [他]～に先行する tusmak (石狩)、[他] kasu (石狩): (表現)～に先行する ～etoko tusmak (沙流): [他](場所)に～に先行する etusmak (新)、[他] ekasu (新): [他]～と共に～に先行する kotusmak (新)、[他] kokasu (新): [他](原因、手段)で～の先行する otusmak (新)、[他] okasu (新): [他](人)を～の先行させる tusmakte (新)、[他] kasure (新): [他]人を～の先行させる tusmakyar (新)、[他] kasuyar (新)

せんこう(専攻) [名]専攻 cieyayrukor (新)、[名] cisupeciarkep (新): [他]～を専攻する eyayrukor (新)※(～について自分の道を持つ)、[他] supeciarke (新)※(英語 supecial+ke): [他](人)に～を専攻させる eyayrukore (新)、[他] supeciarkere (新)

せんこう(専行、潜航) [自]潜行、潜航する rawkuske (新): [他](場所)で潜行、潜航する erawkuske (新): [他]～へと潜行、潜航する korawkuske (新): [他]～と共に

潜行、潜航する korawkuske (新): [他](場所)から潜行、潜航する orawkuske (新): [他](原因、手段)で潜行、潜航する orawkuske (新): [他]～を潜行、潜航させる rawkuskere (新)

せんこう(専行) [自]物事を専行する iweyyaykoki (新): [他]～を専行する weyyaykoki (新): (表現)～を独断専行する ～weyyaykourenkare wa weyyaykoki (新): [他](場所)で～を専行する eweyyaykoki (新): [他]～と共に～を専行する koweyyaykoki (新): [他](原因、手段)で～を専行する oweyyaykoki (新): [他](人)に～を専行させる weyyaykokire (新)

せんこう(線香) [名]線香 húrepirkanit (新)

せんこう(選考) [自]人や物を選考する isiramsuypa-konumke (新): [自]人を選考する uysiramsuypa-konumke (新): [他]～を選考する siramkosuypa-konumke (新): [他](場所)で～を選考する esiramkosuypa-konumke (新): [他]～と共に～を選考する kosiramkosuypa-konumke (新): [他](原因、手段)で～を選考する osiramkosuypa-konumke (新): [他](人)に～を選考させる siramkosuypa-konumkere (新): [他]自分で、一人で～を選考する yaysiramsuypa-konumkere (新): [他]皆で～を選考する usiramsuypa-konumkere (新): [他]すっかり～を選考する assiramkosuypa-konumke (新): [他](中相)～が選考される cisiramkosuypa-konumke (新): [他]人に～を選考させる、選考してもらう siramkosuypa-konumkeyar (新): [自]自分で自分を選考する yaysiramsuypa-konumke (新): [自]選考し合う usiramsuypa-konumke (新): [名]選考会 isiramsuypa-konumke-uekarpa (新)

せんこう(閃光) [名]閃光 tom (石狩)、[名] imeru (石狩): [自]閃光を発する、放つ tom (石狩): [他]～に閃光を発しさせる、放たせる tomte (石狩): [名](合成語の構成要素として)閃光 mer(-u) (H)

ぜんこう(善行) [名]善行 pirkapuri (新)、[名] pirkakarpe (新): (表現)善行を積む ramma pirkapuri kor (新)、(表現) pirkakarpe kar ranke (新)

せんこつ(薦骨) [場名]薦骨 osormekka(-si、-sike) (石狩)、[場名] osonmekka(-si、-sike) (石狩)※(背骨の下端にある三角形の骨。)

ぜんごふかく(前後不覚) (表現)全く前後不覚

になる ene as kunip attaraye (沙流):
「私は滅茶苦茶殴られたすえ前後不覚にな
った。」“Enci=toykokikkik ayne ene as
kunip ku=attaraye .”

せんざい(洗剤) [名]洗剤 ihurayep (新):
[名]衣料用洗剤 imihurayep (新): [名]液
体洗剤 péneihurayep (新): [名]合成洗
剤 ciukokarihurayep (新): [名]食器用
洗剤 cioiephurayep (新): [名]台所用洗
剤 sukeusihurayep (新): [名]粉末洗剤
kóneihurayep (新)

ぜんさい(前菜) [名]前菜 ietokep (新):
「前菜にサラダを注文しましょうよ。」

Ietokep ne sumus-hurataskep an=uk rok .”

センザンコウ(穿山甲) (動物)[場名](哺乳綱)セン
ザンコウ目 ramramitunnapep-kotan
(新)※(有鱗目とも): [名]センザンコウ科
ramramitunnapep-apa (新): [名]センザ
ンコウ属 ramramitunnapep-cise (新):
[名]インドセンザンコウ oruwe-
ramramitunnapep (新): [名]フィリピン
センザンコウ parawanun-
ramramitunnapep (新): [名]マレーセン
ザンコウ marayuun-ramramitunnapep
(新): [名]ミミセンザンコウ kisarkor-
ramramiunnapep (新): [名]アフリカセン
ザンコウ属 afrikaun-
ramramitunnapep (新)

ぜんし(前翅) [名](虫の)前翅 sankerap(-u)
(新)、[名] saunrap(-u) (新)

せんじつ(先日) ①(数日前から今まで)[副]先
日 náun (石狩): ②(過去から今まで)[副]
先日 teeta (石狩)

せんしゃ(戦車) ①(古代の)[名]戦車
tumianop (新)、[名] cáriot (新)※(英語):
②(現代の)[名]戦車 tumianop (新)、[名]
tanku (新)※(英語)

せんしゅ(船主) [名]船主 cipkorkur (新)、
[名] cipkonnisa (新)

せんしゅ(船種) [名]船種 cipikir(-i) (新)

せんしゅ(船首) ①[場名]船首 nan (石狩):
[接頭]船首 he- (石狩): [接尾]～の船首
e- (石狩): e+rep(沖)+otte(～に～を着け
る) → erepotte 「～の船首を沖に向ける」:
[名]船首にいる人 nantaunkur (石
狩): ②(表現)船首を岸に乗り上げる cip
eyasi etomciwire (石狩): ③[他]～の船首
が波(のうねり)と共に上下する
ekoykoterke (石狩): ④[自](海で)船首を
沖に向ける ireppekare (石狩): [他](海
で)～の船首を沖に向ける、(川で)の船首を下
流に向ける reppekare (新)、[他](海で)～
の船首を沖に向ける erepotte (石狩):
[副]船首を沖に向けて ireppekare (石狩):

⑤[自]船首を陸に向ける iyapekare (新)、
[自] heyaotte (新): [他]～の船首を陸に
向ける yapekare (新)、[他]～の船首を陸
に向ける eyaotte (新): [副]船首を陸に
向けて iyapekare (新): ⑥[自](川で)船
首を上流に向ける ireppekare (石狩)、[自]
hepempekare (新)、[自] hepenotte (新):
[他](川で)の船首を上流に向ける
reppekare (新)、[他] epempekare (新)、
[他] epenotte (新): [副]船首を川上に向
けて hepempekare (新): ⑦[自](川で)船
首を下流に向ける ireppekare (石狩)、[自]
hepampekare (新)、[自] hepanotte (新):
[他](川で)の船首を下流に向ける
reppekare (新)、[他] epampekare (新)、
[他] epanotte (新): [副]船首を川下に向
けて ireppekare (石狩)、[副]
hepampekare (新)

せんしゅう(先週) [場名・副]先週
hoskiantosay(-e) (新)

せんしゅう(選集) [名]選集 cinumkep (新)、
[名] cinumke-kampisos (新)

ぜんじゅんばん(前楯板) [名](虫の)前楯板
saun-tamkikhumpe (新)

せんじょう(戦場) [場名]戦場 cietumikori
(新): (表現)(雅)戦場 rorumpe mintar
(沙流)、(表現)(雅) tumunci mintar (新)、
(表現) ukoyki mintar (沙流): (表現)戦
場で休んでいる rorumpe mintar mintar
ka ta yaysinire wa an (複数 okay) (新)

せんじょう(洗浄) (表現)～を洗浄する huraye
wa askannere (askanere) (新): [自]洗浄
する iaskannere (iaskanere) (新): [他]
～を洗浄する askannere (askanere) (石
狩): [他](場所)で洗浄する easkannere
(easkanere) (新): [他]～と共に洗浄する
koaskannere (koaskanere) (新): [他](原
因、手段)で洗浄する oaskannere
(oaskanere) (新): [他](人)に～を洗浄さ
せる askannekare (askanekare) (新):
[名]洗浄剤 askannerekusuri
(askanerekusuri) (新)、[名] askannerep
(askanerep) (新)

ぜんしょう(前床) (銃の部品)[名]前床
sankeosor(-o) (新)

ぜんしょう(全焼) [自]全焼する oaruhuy
(aruhuy) (新): (表現)～が全焼してしま
う ～ opitta uhuy wa oarisam (新)、(表
現)～ oar uhuy wa oarisam (新): [他]
～を全焼させる oaruhuyka (aruhuyka)
(新)

ぜんしょうきよ(全消去) ①(パソコンの情報
など)[自]全消去する iisamka (新): [他]
～を全消去する isamka (新): [他](人)に

～を全消去させる isamkare (新): ②(あらゆる物を)[自]全消去する iaruste (新): [他]～を全消去する aruste (石狩): [他](人)に～を全消去させる arustere (新)

ぜんしん(全身) (表現)～の全身に netopa (netopake) epitta (epittano) (石狩): 「私は全身にサンオイルを塗った。」
 “Ku=netopaha epitta pirkasiciresum ku=kotaci.”: (表現)全身麻酔 netopa epitta cikoinoykosanure (新): (表現)全身麻酔を行う netopa epitta cikoinoykosanure ki (新)

ぜんすいかん(潜水艦) [名] 潜水艦 rawkuskecip (新): [名]原子力潜水艦 inoskiumpetum-rawkuskecip (新): [名]潜水艇 rawkuskecip (新)

せんすいぼかん(潜水母艦) [名] 潜水母艦 rawkuskecip-eununecip (新): [名]特設潜水母艦 citumicipnere-rawkuskecip-eununecip (新):

せんせい(先生) [名] 先生 ipakasnukur (新)、[名] icakasnukur (新)、[名] icakokokur (新): ※(「～の先生」という場合には eipakasnukur を用い、aynuitak-eipakasnukur 「アイヌ語の先生」と表現する)

ぜんせい(善政) [自] 善政を敷く ratciirenkakor (新)、[自] pirkairenkakor (新): (表現)善政を敷く ratci irenka kor (石狩)、(表現) pirk irenka kor (新)

センセイしょう(陕西省) [場名](中華人民共和国の省名)陕西省 Şansi-purovince (新)

せんせん(戦線) [場名]戦線 tumikotca(-ke) (新)、[名] ikotca(-ke) (新)、[名] furonto (新): ※(英語): (表現)戦線が拡大する tumikotca (ikotca) sep (新): (表現)戦線を拡大する tumikotca (ikotca) sepka (septe) (新): (表現)戦線が縮小する tumikotca (ikotca) hupne (新): (表現)戦線を縮小する tumikotca (ikotca) hupneka (hupnere) (新)

せんぜん(戦前) (表現)戦前 tumi etok(長形-o、-oho) (新)

ぜんせん(前線) [場名]前線 tumikotca(-ke) (新)、[名] ikotca(-ke) (新)、[名] furonto (新): ※(英語): (表現)前線が拡大する tumikotca (ikotca) sep (新): (表現)前線を拡大する tumikotca (ikotca) sepka (septe) (新): (表現)前線が縮小する tumikotca (ikotca) hupne (新): (表現)前線を縮小する tumikotca (ikotca) hupneka (hupnere) (新)

ぜんぜん(全然) ①[副]全然 oar (石狩): (表現)全然ない oarisam (oar isam) (石

狩): 「僕は君の事を全然知らない。」“Oar e=eramuskare=an (e=oareramuskare=an).”: oar + eramuskare(面識がない)→ oareramuskare 「全然面識がない」: [副](多くは合成語の構成要素として)全然 ar (石狩): [副](専ら合成語の構成要素として)全然 anno (石狩): [接頭](次の形式で「全然～ない」という意味の動詞を形成する) o- (石狩): o+名詞+sak (石狩): o+moto(理由)+sak → omotosak 「全然理由もなく」: [副](“oar”の強調形として)全く全然 oarar (石狩)、[副] arar (石狩): ②[副]全然 sonno (石狩)、[副] sino (石狩)、[副] earikinne (石狩): 「これは全然だめだぞ。」
 “Tampe anakne (= sino, earikinne) wenna.”

せんせんげつ(先々月) [名・副]先々月及びそれより以前 teetaannincup (新): (表現)先々月及びそれより以前 teeta an cup (石狩)

せんぞ(先祖) ①[名]先祖 sinrit(-ci) (石狩): (表現)私の先祖 ku=sinrici (ku=kor sinrit, ku=kor sinrici) (石狩): (表現)私の先祖達 ku=sinrit-utari (ku=kor sinrit utar, ku=kor sinrit-utari) (石狩): [名]男系の先祖 ekasi (石狩)、[名] maktaekasi (石狩): [名]女系の先祖 huci (石狩)、[名] maktahuci (石狩): [名](合成語の構成要素として)女系の先祖 sut(-ci) (石狩): ②[他]～を先祖に持つ emotone (石狩)

せんそう(戦争) [名]戦争 tumi (石狩): [名](雅)戦(いくさ) tumunci (石狩)、[名](雅)凶事 rorumpe (石狩): [自]戦争する tumikor (石狩)、[自] rorumpekor (十勝): [他](場所)で戦争する etumikor (新): [他]～と戦争する kotumikor (石狩): [他](原因、手段)で戦争する otumikor (新): [他]～に戦争させる tumikore (新): [他]～を～と戦争させる kotumikore (新): [他]人に～と戦争させる kotumikorar (新): [自]互いに戦争する ukotumikor (天塩): [他]～を互いに戦争させる ukotumikore (新): [他]～が原因で戦争になる otuminere (石狩)

せんそう(船倉) [名]船橋 cippu (新)

ぜんそくばん(前側板) [名](虫の)前側板 saun-utossamita (新)

せんぞくよう(先祖供養) [名]先祖供養 iare (石狩)、[名] sinnurappa (石狩): [自]先祖供養する iare (石狩)、[自] sinnurappa (石狩): [自]先祖供養で供物を供える iare (新): [自]先祖供養で供物を撒く icarpa

(石狩): [名]先祖供養の祭壇 *ponnusakan* (空知)

センターライン →「ちゅうおうせん(中央線)」を見よ

せんたい(戦隊) [名]戦隊 *tumitopa* (新)

せんたい(船体) [名]船体 *ciptumam(-a)* (新)

ぜんたい(全体) ①[後副](一つ、あるいは一まとまりと見做される何か)の全体に *epitta* (*epittano*) (石狩): 「今ではアイヌが暮す所全体でアイヌ語が用いられる。」“*Tane anakne Aynu un hi epittano aynuitak an=eiwanke kor an.*” ②[自]全体がぼんやり薄くなっていく *uecancanke* (石狩): (表現)(はっきり見えていたものが)霧のように全体がぼんやり薄くなっていく *urar sinne uecancanke* (石狩)

せんたく(洗濯) [自]洗濯する *ihuraye* (石狩): [他]～を洗濯する *huraye* (石狩): [他](場所)で～を洗濯する *ehuraye* (新): [他]～と共に～を洗濯する *kohuraye* (新): [他](原因、手段)で～を洗濯する *ohuraye* (新): [他](人)に～を洗濯させる *hurayere* (新): [名]洗濯板 *cioihurayeita* (新): [名]洗濯機 *cioihurayep* (新): [場名]洗濯場 *ihurayeusi* (新): [名]洗濯屋 *ihurayekur* (新)

せんたく(選択) [自]人や物を選択する *inumke* (新): [自]人を選択する *unnumke* (新): [他]～を選択する *numke* (石狩): [他] *enumkekar* (石狩): [他](場所)で～を選択する *enumke* (新): [他]～と共に～を選択する *konumke* (新): [他](原因、手段)で～を選択する *onumke* (新): [他](人)に～を選択させる *numkere* (新): [他]自分で、一人で～を選択する *yaykonumke* (新)、[他] *yaynumkere* (新): [他]皆で～を選択する *ukonumke* (新)、[他] *unumkere* (新): [他]すっかり～を選択する *oannumke* (*annumke*) (新): [他](中相)～が選択される *cinumke* (新): [他]人にも～を選択させる、選択してもらう *numkeyar* (新)

せんたん(先端) ①(棒や針などの)[場名]先端 *etu* (石狩): ②(棒や板、手など細長い何かの)[位名]～の先端 *etok*(長形-o、-oho) (石狩): その他「流行の先端」と言う時の「先端」もこの語で表現される。: (表現)～の最先端にある *iyotta etok*(長形-o、-oho) *un* (新): ③(場所の)[位名]の先端 *erupsi*(長形-ke) (石狩): 寝ている人なら「枕元」、あるいは沙流では家なら「東側」を指す。

せんだん(船団) [名]船団 *cipsay(-e)* (新)

センダングサ(柃草) (植物)[名](キク科)センダングサ属 *iscikarakina-cise* (新): [名]センダングサの茎葉 *samoruniscikarakina* (新): [名]アメリカセンダングサの茎葉 *amerikaiscikarakina* (新)※(別名「セイタカウコギ」): [名]ウィンターコスモスの茎葉 *tunimakkoriscikarakina* (新)※(別名「キクザキセンダングサ」、「ヒデンス」): [名]エゾノタウコギの茎葉 *iscikarakina* (樺太真岡): [名]コセンダングサの茎葉 *repuniscikarakina* (新): [名]コバノセンダングサの茎葉 *numausiscikarakina* (新): [名]タウコギの茎葉 *yayaniscikarakina* (新): [名]ホソバノセンダングサの茎葉 *hamuaneiscikarakina* (新)

せんち(戦地) [場名]戦地 *cietumikori* (新): (表現)(雅)戦地 *rorumpe mintar* (沙流)、(表現)(雅) *tumunci mintar* (新)

せんち(泉地) [名]泉地、泉地から流れ出る川 *mem(-i)* (石狩)

ぜんちかく(前置格) (文法)[名]前置格 *saumperewke* (新)※(前置する物格)

センチグラム [名](重さの単位)センチグラム *sentiguram* (新)※(単位記号"cg")

センチメートル [名](長さの単位)センチメートル *sentimetre* (新)※(単位記号は"cm")

せんちゃ(煎茶) [名]煎茶の茶葉 *yyanca* (新)、[名] *ca* (新): [名](飲料としての)煎茶 *causew* (新)

せんちゅう(戦中) (表現)戦中 *tumi hontom*(長形-o、-oke) (新)

ぜんちよう(前兆) [場名]前兆 *ietoko-yaykari* (新)、[名] *ietoko-yaykarpe* (新): [連自]～の前兆がある *etoko-yaykar* (沙流): 「何の前兆で私の頭が痛むのか?」“*Nep etoko yaykar kusu ku=sapaha ruwe an?*”、“その前兆は確かにあったのである。”“*Etoko-yaykar pe anakne sonno an a ruwe ne.*”

ぜんちよう(前腸) [名](虫の)前腸 *sauntuy(-e)* (新)

センチリットル [名](体積の単位)センチリットル *sentiritre* (新)※(単位記号は"cl")

せんてい(船底) [場名]船底 *cipasam(-a)* (新)

セント [名]セント *sento* (新)※(アメリカ合衆国、カナダ、欧州連合などの国々で用いられる補助通貨の単位)

せんと(遷都) [自]遷都する *sapanekotan-tupte* (新)、[自] *sapaneioci-tupte* (新): [他]～へ遷都する *kosapanekotan-tupte* (新)、[他] *kosapaneioci-tupte* (新)

せんとう(先頭) [位名]～の先頭 *pa*(長形-ke)

(石狩): 「ランナー達の列の先頭に立って来たのはお前だった。」 “Hosippa utar ikiri pa wano ek pe anak e=ne ruwe ne .”: [場名] 先頭の群列 saypa (石狩): (表現)先頭の群列の先頭 saypa pake (石狩): (表現)先頭の群列の群列の殿 saypa kese (石狩): [他]~の先頭になる、~の先頭に立つ opan (石狩): [他]~を~の先頭にさせる、先頭に立たせる opante (新)

せんと(戦闘) [名]戦闘 tumi (石狩)、[名](雅) rorumpe (石狩)、[名](雅) wempe (沙流): [名](雅)戦闘用の手甲 rorumpe-tekumpe (沙流)、[名](雅) wempe-tekumpe (沙流): [自]戦闘する tumikor (石狩)、[自] ikoyki (新): [他]~と戦闘する kotumikor (石狩)、[他] koyki (石狩): [他](場所)で~と戦闘する ekotumikor (新)、[他] ekoyki (新): [他](原因、手段)で~と戦闘する otumikor (新)、[他] okoyki (新): [他]~に~と戦闘させる kotumikore (新)、[他] koykire (新): [他]人に~と戦闘させる kotumikorar (新)、[他] koykiyar (新): [自]互いに戦闘する ukotumikor (天塩)、[他] ukoyki (石狩): [名]戦闘艦 tumicip (新): [名]戦闘機 tumisinta (新): ②(拳で)[自]戦闘する ikikkik (新)、[自] moysutu-otumikor (新): [自]互いに戦闘する ukikkik (石狩)、[自] ukomoysutu-otumikor (新): (刀で)[自]戦闘する tamani (石狩)、[自] tamotumikor (新): [自]互いに戦闘する ukotamani (新)、[自] ukotamotumikor (新)

せんと(銭湯) (表現)銭湯 ciatayekar tompuri (新)、(表現) sisam sesekka usew (石狩)

ぜんと(前頭骨) [名]前頭骨 kippone (新)、[名] kiputurpone (新)

セントウソウ(仙洞草) (植物)[名](セリ科)セントウソウ属 ciowrenkinakopa-cise (新): [名]セントウソウの茎葉 ciowrenkinakopa (新)

ぜんと(前頭部) [名]前頭部 emempe (石狩)

セントクリストファー ①[場名](国名)セントクリストファー・ネイヴィス連邦 Seintokuristofar newa Neyvis Ukosineatkip (新)※(首都は「パセテール」): [場名](国名の通称として)セントクリストファー・ネイヴィス Seintokuristofar newa Neyvis (新)、[場名] Seintokit newa Neyvis (新): [名]セントクリストファー・ネイヴィス人、国民 seintokuristofar-

newa-neyvisunkur (新): ②[場名]セントクリストファー島 Seintokuristofar-poysir (新)※(西インド諸島小アンティル諸島のリーワード諸島に属する島。)

セントジョージズ [場名](グレナダの首都名)セントジョージズ Seintojojizu (新)

セントジョンズ [場名](アンチグア・バーブダの首都名、あるいはカナダのニューファンドランド・ラブラドル州の州都名)セントジョンズ Seintojonzu (新)

セントビンセント ①[場名](国名)セントビンセントおよびグレナディーン諸島 Seintovinsento newa Gureneydin (新)※(首都は「キングストン」): [名]セントビンセントおよびグレナディーン諸島人、国民 seintovinsento-newa-gureneydin-usapoysirunkur (新): ②[場名](地名)セントビンセント島 Seintovinsento-poysir (新)※(西インド諸島小アンティル諸島ウィーンワード諸島に属する島)

セントポール [場名](アメリカ合衆国ミネソタ州の州都名)セントポール Seintopor (新)

セントルイス [場名](アメリカ合衆国ミズーリ州の都市名)セントルイス Seintoruis (新)

セントルシア ①[場名](国名)セントルシア Seintorusia (新)※(首都は「カストリエズ」): [名]セントルシア人、国民 seintorusiaunkur (新): ②[場名](地名)セントルシア島 Seintorusia-poysir (新)※(西インド諸島ウィーンワード諸島に属するセントルシア領の島。)

せんない(船内) [場名]船内 cipor-(o) (新): (表現)船内 cip oske (石狩)、(表現) cip or(長形-o、-ke) (石狩)

せん(に)ゆう(潜入) [自]潜入する iposoahun (複数 iposoahup) (新): [他](場所)に潜入する、~と共に潜入する koiposoahun (複数 koiposoahup) (新): [他](原因、手段)で潜入する oiposoahun (複数 oiposoahup) (新): [他](人)を潜入させる iposoahunke (複数 iposoahupte) (新): [他](場所)から潜入する posoahun (複数 posoahup) (新): [他](場所)から(場所)に潜入する koposoahun (複数 koposoahup) (新): [他](原因、手段)で(場所)から潜入する oposoahun (複数 oposoahup) (新): [他](人)を(場所)から潜入させる oposoahunke (複数 oposoahupte) (新): [他](場所)から人を潜入させる unposoahunke (複数 unposoahupte) (新)

せんねん(専念) [自]物事に専念する ikoaresirus (新): [他](雅)~に専念する koaresirus (石狩)、[他](雅) kokip-sireciw (幌別)、[他](雅) kosineani-nantuyere (沙

- 流)、[他]: (表現)(雅)…が～に専念する ～
kosineani … enitomomo (沙流): 「…宝
刀の鞘彫り、刀の鞘彫り、こればかりに私は
専念していた…」 “…tomika nuye sirka nuye
tampe patek an=koaresirus wa oka=an…”
(杉村キナラブック)説話: [他](人)に～に専念
させる koaresirusi (新)
- せんねんき(千年紀)** [名] 千 年 紀
wanatuytasay (新)※(千年一巻)
- せんのう(洗脳)** [自] 人 を 洗 脳 する
inoypehuraye (新): [他]～を洗脳する
enoypehuraye (新): [他]～に～を洗脳さ
せる enoypehurayere (新)
- せんぱく(船舶)** [名]船舶 cip-i (石狩):
[名]船舶火災 cipuhuy (新): [完動]船舶
火災が起こる cipuhuy (新)
- ぜんはん(前半)** [位名]～の前半 pa (長形-
ke) (石狩)
- せんび(船尾)** [場名]船尾 un (石狩): [接
頭]船尾 ho- (石狩): [接頭]～の船尾 o-
(石狩): [名]船尾にいる人 untaunkur
(石狩)
- ぜんぶ(全部)** [後副](複数いるもの、複数ある
物)の全部 opitta (opittano) (石狩): 「私
が持っている物を全部貴方にあげるからね。」
“Ku=kor pe opitta es=kore=an kusune
na .”: [自]全部揃わない usak (沙流)
- せんぷう(旋風)** [名](夏に土の上に生じる)旋
風 réracise (石狩): [名](冬に雪の上に生
じる)旋風 upuncise (石狩)
- せんぷうき(扇風機)** [名] 扇 風 機
imeruiparpap (新)
- せんべつ(銭別)** [名]銭別 iway(-e) (沙流)
- せんぼう(羨望)** [自]羨望の眼差しを向ける
ikoytupakoinkar (新): (表現)～に羨望の
眼差しを向ける ～ eikoytupa kane ekota
inkar (新)、(表現)(韻文) ～ eikoytupa
kewtum kor kor ekota inkar (新): [他]～
を羨望の眼差しで見る ikoytupakonukar
(新): (表現)～を羨望の眼差しで見る ～
eikopa kane nukar (新)
- センボンヤリ(千本鍵)** (植物)[名](キク科)セン
ボンヤリ属 wanatuyopkina-cise (新):
[名]センボンヤリば茎葉 wanatuyopkina
(新)※(別名「ムラサキタンポポ」)
- ぜんめつ(全滅)** [自]全滅する siaruste
(新): [他]～を全滅させる aruste (石狩):
[他](中相)～が全滅させられる ciaruste
(新)
- せんもん(専門)** [名]専門 cieyayiworkor
(新)、[名] ciesinekip (新)、[名]
cisupeciarkep (新): [他]～を専門とする
cieyayiworkor (新)、[他] supeciarke (新)
※(英語 supecial + ke): [名]専門家
ieyayiworkorkur (新)、[名]
isupeciarkekur (新): (表現)～専門家 名
詞 + eyayiworkorkur (supeciarkekur)
(新): Aynupuri(アイヌ文化) +
eyayiworkorkur (supeciarkekur) →
Aynupuri-eyayiworkorkur (Aynupuri-
supeciarkekue) 「アイヌ文化の専門家」
- ぜんやさい(前夜祭)** (表現)～の前夜祭 名詞 +
etokoyki (石狩): (表現)イオマンテ前夜祭
iomante etokoyki (石狩)
- ぜんよう(前蛹)** [名](虫)前蛹 seykorpone-
etokoykip (新)
- ぜんら(全裸)** (表現)全裸になる oarar atusa
(石狩)、(表現) arar atusa (石狩): oarar
+ atusa(裸になる) → oararatusa =
araratusa 「全裸になる」
- せんりょう(染料)** [名]染料 wakkane-iro (新)、
[名] iro (沙流)
- ぜんりょう(善良)** [自] 善 良 で ある
pirkakewtumkor (石狩): [他](人)を善良
にする pirkakewtumkore (新): [自]自
分で、一人で善良である yayko-
pirkakewtumkor (新): [自]互いに、皆で
善良である uko-pirkakewtumkor (新):
[自]滅茶苦茶善良である toyko-
pirkakewtumkor (新)
- せんろ(線路)** [名]線路 kisaru (石狩)
- ぞ(1)** ①(相手に対し叙述の内容を念押しし)[終
助]～ぞ na (石狩): 「これをお前にあげ
るぞ。」 “Tampe e=kore=an na .”, 「私は料
理をするつもりだぞ。」 “Ku=suke kusu ne
na .”, 「お前達は常に頑張るんだぞ。」
“Ramma es=arikiki nankor na .”, 「お前
はそれを言うんじゃないぞ。」 “Ikaneypeka
e=ye na .”: ②(勧誘)[終助]～(しよう)ぞ
rok (旭川)、[終助] ro (空知)、[終助](雅)
na (石狩): 「拝みましょうぞ」
“Onkami=an na .”
- ぞ(2)** [副助](雅語表現において次の形式で後続
する状態を表す自動詞の主体を導き)～ぞ
動詞句+hum、ru などの名詞+konna (石
狩): 「…わが小脇ぞチャラリと鳴り…」 “…
ci=tempok konna carkosanu…” (砂沢クラ)
英雄詞曲, 「…生霊になり行く音ぞジャンジ
ャンと…」 “…siknupito ne oman hum konna
koturimimse…” (砂沢クラ)英雄詞曲
- そいつ** ①(軽蔑、憎悪などを込め、あるいは目
上の者が目下の者を指し示し)[指示代名]そ
いつ taampe (石狩): [指示代名]そいつ
ら tokaype (新): ②(既に話題にされる
などして相手が知っている人に触れ)[指示代
名]そいつ néampe (石狩)、[指示代名]
néap (新): [指示代名]そいつら
néokaype (石狩)、[指示代名] nérokpe

(新)

そいね(添い寝) [他]～に添い寝する tumam (石狩)

そう [間投](相槌として)そうでしょうとも、当然そうでしょうとも eposokane (沙流): [間投](相手の発言に納得して)ああそうだね ohayne (沙流)、[間投] owayne (静内)

そう(沿う) ①[他]～に沿って上がる、～に下から上へと縦に沿う turasi (新): [後副]～に沿って上に、～に下から上へと縦に沿って turasi (turasino) (石狩): (表現)川に沿って上って行く pet turasi oman (複数 paye) (石狩): ②[他]～に沿って下がる、～に上から下へと縦に沿う pes (石狩): [後副]～に沿って下に、～に上から下へと縦に沿って pes (pesno) (石狩): (表現)縦に～を計る pes (pesno) pakari (石狩): ③(特に川に関して)[他] esoro (新): [後副] esoro (石狩): (表現)川に沿って下る pet esoro san (複数 sap) (石狩)

ゾウ(象) [動物] [場名] [哺乳綱] ゾウ目 síporoeturacici-kotan (新)※(長鼻目とも): [名]ゾウ科 síporoeturacici-apa (新): [名]アジアゾウ属 azia-síporoeturacici-cise (新): [名]アフリカゾウ属 afrika-síporoeturacici-cise (新): マンモス属 mammot-cise (新)※(絶滅)

そう(僧) [名]僧 hesura (八雲)、[名] hesuri (K、B)、[名] ponci (美幌)

そう(層) [名](木の皮、紙などのように)層、層になって剥ぐことのできる一枚一枚の薄いもの sos (石狩)

そう(添う) [他]～に添う tura (石狩): [他]～を～に添わせる turare (新): [後副]～に添って tura(-no) (石狩)、[後副](雅) koetunankar (石狩)、[副](雅) koeturenno (沙流): [接頭](動詞、位置名詞に接頭しその語の項の数を一つ増やし)～に添って ko- (石狩)

そう(副う) (表現)希望に副う rusuy hi neno iki (新): 「あなたの希望に副うよう努力いたします。」“Es=rusuy hi neno ku=iki kuni ku=aríkiki kusu ne .”, 「あなたの希望に副えず申し訳ありません。」“Es=rusuy hi neno ku=iki eaykap no ku=yayapapu kor ku=an .”

ゾウアザラシ(象海豹) (動物)[名](アザラシ科)ゾウアザラシ属 eturacicitukar-cise (新): [名]キタゾウアザラシ koykaun-eturacicitukar (新): [名]ミナミゾウアザラシ koypokun-eturacicitukar (新)

そういう ①(具体的物事や行為を指し示し)(表現)そういう風に tampe neno (石狩): (表現)そういう tampe neno an (石

狩): ②(先に述べられるなどして聞き手が了解している物事や行為を示し)[後副]そういう風に neno (新): (表現)そういう～ neno an ～ (石狩): ③(直前に述べた内容を受けて)[後副]そういう風に sekor (石狩): (表現)そういう～ sekor an ～ (石狩): (表現)そういう事で sekor an awa (sekor an rokwa) (石狩): (表現)そういう事であるべき、そういう事であろう sekor an kuni (石狩): (表現)そういう事であるが sekor an ne korka (石狩): (表現)そういう事であっても sekor an ne yakka (sekor an nakka, sekor anakka) (石狩): (表現)そういう事であれば sekor an ne yakun (sekor an nakun, sekor anakun) (石狩): (表現)そういう事でして sekor an ruwe (石狩): ④(話者がイメージする物事や行為を示し)[副]そういう風に ene (石狩): (表現)そういう～ ene an ～ (石狩)

そういうことなら(そういう事なら) ①(相手の説明に対し一応の承諾を示し)そういう事なら hawe ne yak (haw ne yak) (石狩)、(表現) hawe ne yakanakne (haw ne yakanakne) (石狩): 「そういう事なら分かります。」“Hawe ne yak ku=eraman ruwe ne .”, 「そういう事なら良いでしょう。」

“Hawe ne yakanakne pirka ruwe ne .”: ②(先述の事柄を受け、仮定、条件を示し)そういう事なら ene ne yakne (石狩): 「君が行くというが、そういう事なら私も行きたい。」“E=oman sekor hawas, ene ne yakne kuani ka ku=oman rusuy .”

そういうなら(そう言うなら) (表現)(相手の説明に対し一応の承諾を示し、自分の意見を導き)そう言うなら hawe ne ciki (haw ne ciki) (石狩): 「そう言うならお前が行っても良い。」“Hawe ne ciki e=oman yak pirka .”

そういん(僧院) [場名]僧院 yaykosukupusi (新)、[名] monasteri (新)※(希語)

そういん(総員) [後副](複数いる人)の総員 opitta (opittano) (石狩): 「総員退職せよ。」“Opitta cip oasin !”

ぞうえき(雑役) ①[名]雑役夫 ussiw (石狩)、[名] ussiwokkayo (新): ②[名]雑役婦 ussiwmenoko (石狩)

そうおん(騒音) ①(音について)[名]騒音 wenruyhum(-i) (新)、[名] ruyhum(-i) (新): ②(声について)[名]騒音 ruyhaw(-e) (新)、[名] wenruyhaw(-e) (新): [自]がやがや騒音がする wenroyse (新)、[自] wenronroyse (新)

そうか(瘦果) (植物)[名]瘦果 sattek-ikaop(-

i) (新)

ぞうか(増加) ①(水や金に関して)[自]増加する、している poro (石狩): [他](場所)で増加する、している eporo (新): [他]〜と共に増加する、している koporo (新): [他](原因、手段)で増加する、している oporo (新): [他]〜を増加させる porore (新): ②(人口、人数に関して)[自]増加する、している inne (石狩): 今後生物の個体数や物の個数に関しても使用する。: [他]増加する、している einne (新): [他]〜を増加させる inneka (innere) (新): ③(人が子を産んだり植物が増える事に関して)[自]増加する uaste (沙流): [他]〜を増加させる uastere (沙流): ④(動物が子を産んで増える事に関して)[自]増加する uatte (石狩): 今後経済活動による金銭の増加にも使用する。: [他]〜を増加させる uattere (新): ⑤(膨張して増える事に関して)[自]増加する sipuske (石狩): 今後は量的な増加や負債の増加についても使用する。: [他]〜を増加させる sipuskere (新): ⑥[自]思ったより増加する、している oipean (新)

ぞうか(造化) [名]造化 siante (新)※(自らを完璧に有らしめる)、[名] ciente (新): [他](中相)〜が造化の妙を誇る ciearkar (石狩): 「…美しい山が造化の妙を誇り…」 “…pirka nupuri ciearkar…” (杉村キナラブク)神謡

ぞうか(造花) [名]造花 cikapappo (新)、[名] ankárapappo (新)、[名] cikannonno (新)、[名] ankánnonno (新)

そうかい(爽快) [自]気分爽快になる、である sampepirka (石狩)、[自] yaynumipirka (新): [他](場所)で気分爽快になる、である esampepirka (新)、[他] eyaynumipirka (新): [他]〜と共に気分爽快になる、である kosampepirka (新)、[他] koyaynumipirka (新): [他](原因、手段)で気分爽快になる、である osampepirka (新)、[他] oyaynumipirka (新): [他]〜を気分爽快にする sampepirkare (新)、[他] yaynumipirkare (新): [副]爽快に sampepirkano (新)、[副] yaynumipirkano (新)、[副] irammakaka (iramamakakano) (石狩)、[副] pirkano (pirka) (石狩)

そうかい(掃海) [自]掃海する iatuytumouk (新)、[自] worumpustekpe-atuytumouk (新): [他]〜を掃海する atuytomouk (新): [他]〜に〜を掃海させる atuytomoukte (新): [名]掃海艇 iatuytumoukcippo (新): [名]特設掃海艇 citumicipnere-iatuytumoukcippo (新): [名]掃海母艦 iatuytumoukcippo-

eununecip (新): [名]特設掃海母艦 citumicipnere-iatuytumoukcippo-eununecip (新)

そうかい(総会) [名]総会 arukoitakkar (oarukoitakkar) (新)、[名] arukoramkor (oarukoramkor) (新): (表現)〜の総会を開く arukoitakkar (arukoramkor) kusu ~ opitta uekarpere (新): [自]総会を行う arukoitakkar (oarukoitakkar) (新)、[自] arukoramkor (oarukoramkor) (新): (表現)〜の総会を行う ~ utari opitta uekarpere wa ukoitakkar (ukoramkor) (新): [他](場所)で総会を行う earukoitakkar (新)、[他] earukoramkor (新): [他]〜と共に総会を行う koarukoitakkar (新)、[他] koarukoramkor (新): [他](原因、手段)で総会を行う、〜に関して総会を行う oarukoitakkar (新)、[他] oarukoramkor (新): [他](人)に総会を行わせる arukoitakkar (新)、[他] arukoramkore (新): [名]総会の会議室 cieukoitakkartumpu (新)、[名] ciearukoramkortumpu (新): [場名]総会の会議場 arukoitakkari (新)、[場名] arukoramkori (新)

ぞうかく(造格) (言語)[名]造格 cieiwankeprewke (新)※(道具格)

そうかく(爪郭) [場名]爪郭 amsam(-a、-ake) (新)

そうがんきょう(双眼鏡) [名]双眼鏡 urencioinkannop (新): (表現)双眼鏡 uekari cioinkannop (新): (表現)双眼鏡で〜を見る urencioinkannop (uekari cioinkannop) ani ~ nukar (新)

そうかんばん(爪間板) [名](虫の)爪間板 ámuturumpe (新)

ぞうき(雑木) [名]雑木 yayanni (新): [名]雑木林 yayannitay (天塩)

そうぎ(葬儀) [名]葬儀 iirueapkaste (新)、[名] yayyusa (八雲): 伝統的な葬儀で大切なプロセスの一つとして「引導渡し」ioitakkote、あるいは araysirkoitak (がある。): [名](婉曲的な言葉として) rorumpe (石狩)、[名] wempe (石狩): [自]葬儀をする iirueapkaste (新): [他]〜の葬儀をする iruapkaste (新): [他](場所)で〜の葬儀を行う eirueapkaste (新): [他]〜と共に〜の葬儀を行う koirueapkaste (新): [他](原因、手段)で〜の葬儀を行う oirueapkaste (新)

ぞうき(臓器) [名]臓器 oskeomap (石狩)、[場名] oske (石狩)、[場名] ramor(-o、-ke) (石狩)

ソウギョ(草魚) (魚介)[名](コイ科)ソウギョ 亜科 *múneruycep-moapa* (新): [名]ソウギョ 属 *múneruycep-cise* (新): [名]ソウギョ *múneruycep* (新): [名]アオウオ 属 *siwnincep-cise* (新): [名]カワアカメ 属 *sikihuresamocep-cise* (新)

ぞうきん(雑巾) [名]雑巾 *ipirpap* (天塩)

そうぐう(遭遇) [自]人や物、事と遭遇する *ikoekari* (*ikoykari*) (石狩): [他]〜と遭遇する *koekari* (石狩): [他](場所)で〜と遭遇する *ekoekari* (*ekoykari*) (新): [他](原因、手段)で〜と遭遇する *okoekari* (*okoykari*) (新): [他]〜を〜と遭遇させる *koekarire* (新): [他]自分で、一人で〜と遭遇する *koyaykoekari* (*koyaykoykari*) (新): [他]互いに、皆で〜と遭遇する *koukoekari* (*koukoykari*) (新): [自]互いに遭遇する *ukoekari* (*ukoykari*) (石狩): [他]〜を互いに遭遇させる *ukoekarire* (*ukoykarire*) (新)

ぞうげ(象牙) [名]象牙 *eturacisikite* (新): [名]象牙細工 *cieturacicioikarpe* (新): [自]象牙色になる、である *eturacisikitene* (新): [他]〜を象牙色にする *eturacisikiteneka* (*eturacisikitenere*) (新): [名]象牙色 *eturacisikite-iro* (新)

ぞうけい(造形) ①(平面的な形象に関して)[自]ものを造形する *inokakar* (新): [他]〜を造形する *nokakar* (新): [他](場所)で〜造形する *enokakar* (新): [他]〜と共に〜を造形する *konokakar* (新): [他](原因、手段)で〜を造形する *onokakar* (新): [他](人)に〜を造形させる *nokakare* (新): [他]自分で、一人で〜を造形する *yaykonokakar* (新): [他]互いに、皆で〜を造形する *ukonokakar* (新): ②(立体的な形象に関して)[自]ものを造形する *ikatukar* (新): [他]〜を造形する *katukar* (新): [他](場所)で〜を造形する *ekatukar* (新): [他]〜と共に〜を造形する *kokatukar* (新): [他](原因、手段)で〜を造形する *okatukar* (新): [他](人)に〜を造形させる *katukare* (新): [他]自分で、一人で〜を造形する *yaykokatukar* (新): [他]互いに、皆で〜を造形する *ukokatukar* (新)

そうこ(倉庫) [名]倉庫 *pu* (石狩): [名]倉庫番 *púepunkinekur* (新): [名] *púkopunkinekur* (新)

そうこう(綜絢) [名](織機の上下糸分離器)綜絢 *kamakap* (石狩)

そうこう(草稿) [名]草稿 *ciietokenuyep* (新): (表現)草稿 *ietok ta an=nuyé p* (新)

そうこう(装甲) [自]装甲する *hayok* (石

狩): [他](場所)に装甲する *ehayok* (新): [他]〜と共に装甲する *kohayok* (新): [他](原因、手段)で装甲する *ohayok* (新): [他]〜に装甲させる *hayokte* (新): [名]装甲艦 *hayokcip* (新): [名]装甲車 *hayokanop* (新): [名]装甲巡洋艦 *hayokkuryser* (新): [名]装甲艇 *hayokcippo* (新): [名]装甲板 *hayokita* (新): [名]装甲列車 *hayok-ikinneanop* (新)

そうこう(走行) [自]走行する *hoyupu* (複数 *hoyuppa*) (石狩): [自](合成語の構成要素として)走る *cas* (石狩)、[自] *pas* (石狩): [他](場所)へ走行する *ehoyupu* (複数 *ehoyuppa*) (石狩)、[他] *kohoyupu* (複数 *kohoyuppa*) (新): [他]〜と共に走行する *kohoyupu* (複数 *kohoyuppa*) (新): [他](原因、手段)で走行する *ohoyupu* (複数 *ohoyuppa*) (新): [他]〜を走行させる *hoyupure* (複数 *hoyuppare*) (石狩)、[他] *caste* (新)、[他](雅語) *paste* (石狩): [他](場所)へ〜を走行させる *ehoyupure* (複数 *ehoyuppare*) (石狩)、[他] *kohoyupure* (複数 *kohoyuppare*) (新): [自]自分で、一人で走行する *yayhoyupure* (石狩)、[自] *yaykohoyupu* (複数 *yaykohoyuppa*) (新): [自]皆で走行する *uhoyuppare* (新): [自]互いに、皆で走行する *ukohoyupu* (複数 *ukohoyuppa*) (新): [自]思い切り走行する *toykohoyupu* (複数 *toykohoyuppa*) (新)

そうこう(爪溝) [名]爪溝 *amnay(-e)* (新)

そうこう(爪甲) [場名]爪甲 *ammekka(-si, -sike)* (新)

そうごかん(相互間) [位名]〜の相互間 *ukoutur*(長形-u, -uke, -ke) (石狩)

そうごかんけい(相互関係) ①(因果関係)[名]相互関係 *ukot* (新): [自]相互に関係する、関係し合う *ukot* (新): [他]〜を相互に関係させる *ukote* (新): [自](時間的、空間的、因果的)〜の将来、〜の先、〜の予想される結果が相互に関係する *eukot* (新)、[他](時間的、空間的、因果的)〜の将来、〜の先、〜の結果と〜を相互に関係させる *eukote* (新): [自](時間的、空間的、因果的)〜の過去、〜の後、〜の原因が相互に関係する *oukot* (新)、[他](時間的、空間的、因果的)〜の過去、〜の後、〜の原因と〜を相互に関係させる *oukote* (新): ②(人間関係)[名]互いの関係 *uemawne* (新): [自]互いに関係を持つ *uemawne* (新): [位名]〜の関係(間柄) *ukoutur*(長形-u, -ke) (新): 「あの人達の関係なんて私は知らないよ。」 “ *Nerok utar ukouturu ta*

ku=erampetek na .”：③(男女の関係)[自]互いに関係がある ueturen (新)

そうごりかい(相互理解) [自]相互理解する、している ueraman (ueramuan) (新)：[他](人)に相互理解させる ueramante (ueramuan) (新)：[他]～について相互理解する ukoeraman (ukoeramuan) (新)：[他](人)に～について相互理解させる ukoeramante (ukoeramuan) (新)

そうこん(爪根) [名] 爪根 amsinrit(-ci) (新)

そうさく(創作) [自]物を創作する ikar (新)：[他]～を創作する kar (石狩)：(表現)創作物 an=kar pe (石狩)：(表現)私の創作物 ku=kar pe (石狩)：[他](場所)で～を創作する ekar (新)：[他]～のために～を創作する、～と共に～を創作する kokar (新)：[他](原因、手段)で～を創作する okar (新)：[他](人)に～を創作させる káre (石狩)：[他]自分で、一人で～を創作する、自分のために～を創作する yaykokar (新)：[他]皆で～を創作する ukokar (新)：[他]完璧に～を創作する earkar (石狩)：[他]思いっきり～を創作する toykokar (新)：[他]人に～を作らせる、作ってもらう karar (新)：

そうじ(掃除) ①(広い範囲を)[自]掃除 siraskaneka (siraskaneka) (新)、[自] siraskannere (siraskanere) (新)、[自] siraskaynere (新)、[自] sitcasnure (沙流)：[他](人)に掃除させる siraskanekare (siraskanekare) (新)、[他] siraskannerere (siraskanerere) (新)、[他] siraskaynerere (新)、[他] sitcasnurere (新)：②(特定の対象を)[自]掃除する iaskaneka (iaskaneka) (新)、[自] iaskannere (iaskanere) (新)、[自] iaskaynere (新)、[自] icasnure (新)：[他]～を掃除する askanneka (askanneka) (新)、[他] askannere (askanere) (新)、[他] askaynere (八雲)、[他] casnure (幌別)、[他] pirkare (石狩)：「私は自分の部屋を毎日掃除する。」“Kesto an kor ku=kor tumpu ku=pirkare .”：[他](人)に～を掃除させる askannekare (askannekare) (新)、[他] askannerere (askannerere) (新)、[他] askaynerere (新)、[他] casnurere (新)：[他]自分で、一人で～を掃除する yaykoaskaneka (yaykoaskaneka) (新)、[他] yaykoaskannere (yaykoaskanere) (新)、[他] yaykoaskaynere (新)、[他] yaykocasnure (新)：[他]互いに、皆で～を掃除する ukoaskaneka (ukoaskaneka)

(新)、[他] ukoaskannere (ukoaskanere) (新)、[他] ukoaskaynere (新)、[他] ukocasnure (新)：[他](中相)～が掃除される ciaskaneka (ciaskaneka) (新)、[他](中相) ciaskannere (ciaskanere) (新)、[他](中相) ciaskaynere (新)、[他](中相) cicasnure (新)：③(片付けを中心に)[自]ものを掃除する iukao (新)：[他]～を掃除する ukao (石狩)：[他](人)に～を掃除させる ukaore (新)、[他] sitcanurere (新)：[他]自分で、一人で～を掃除する yaykukao (新)：[他]互いに、皆で～を掃除する ukukao (新)：[他]すっかり～を掃除する oarukao (arukao) (新)：[他]思い切り～を掃除する toykukao (新)：[他](中相)～が掃除される ciukao (新)：④[自]掃き掃除をする muysapte (石狩)：[他](場所)を掃き掃除する emuysapte (新)：⑤[自]拭き掃除をする ipirpa (新)：[他](場所)を拭き掃除する pirpa (石狩)

そうしたあげく (表現)(先行する一連の事態を受け、その事態が完結することを表し、次の新しい展開を導き)そうしたあげく、そうした末に iki ayne (石狩)：「私は自分より年下の者を虐めまくり、そうしたあげく、私は年取ったけれど、誰も私に敬意を表さずに私の子孫達も虐められている。」“En=akkari pewre p ku=koyki ranke, ku=onne hike nen ne yakka en=eoripak ka somo ki no ku=sanikehe ka an=koyki kane okay=as .”

そうじゆく(早熟) [自]早熟する、である onnekotunas (新)、[自] isakotunas (新)、[自] cikotunas (新)

そうしょう(爪床) [名] 爪床 amso (新)

そうじょうかじょ(総状花序) [名] 総状花序 pusane-apappoomakat (新)

そうじょうひ(爪上皮) [名] 爪上皮 amkamukap(-u) (新)

そうすう(双数) (言語)[名] 双数 tupcipiskip (新)：[名] 双数形 tupcipiskipkat(-u) (新)

そうする ①(それまで叙述された一つ、あるいは複数の動詞句を受け、既に聞き手が了解している情報の繰り返しを避けるため、あるいは聞き手が話し手の目前でとっている行為など聞き手が了解している事の具体的な叙述を省くため用いられ)それをする、そうする、する iki (石狩)：「何もかも私達は置いてきた。私達はしなくてもいい貧乏をする。彼(夫)が貧乏人の血統だからそんな風にする。」“Nep ne yakka ci=hoppa. Wenrusuy=as. Wenkur sanike ne kusu ene iki .” (砂沢クラ)、「そんな風にするんじゃない」“Eeikki

nenoki!”(門野トサ): ②(通常 nekon と共に用いられ、話し手のみが知っている事柄を叙述するに当って伝達不可能な情報の全体を留保するため用いられ)それをする、そうする、する iki (石狩): 「どのようにして私がそうしたのかということ…」“Nekon iki=an kusu ene oka=an hi…”(杉村キナラブク)説話: ③(人稱を接辞をとらない様々な表現)(表現)しかしながら、そうするが、そうしたが iki ne korka (iki hi ne korka) (石狩)、(表現) iki p ne korka (石狩): (表現)しかしながら、そうしたが iki a yakka (石狩): (表現)そうしたあげく iki ayne (石狩): (表現)そうするために、そうしたので iki kusu (石狩): (表現)そうして iki wa (石狩)、(表現) iki tek (新): (表現)そうしても iki yakka (石狩)、(表現) iki hikeka (石狩): (表現)そうしながら iki kane (石狩)、(表現) iki kor (石狩): (表現)そうすると iki ayke (石狩): (表現)そうすると決まって iki kor (石狩)

そうせいき(創世記) (聖書)[名]創世記 Moto (新)

そうせいじ(双生児) [名]双生児 esikop (石狩): [名]一卵性双生児 sinenokosikop (新): [名]二卵性双生児 tunokosikop (新)

そうぞう(創造) [他]～を創造する kar (石狩): [他](場所)で～を創造する ekar (新): [他]～の為に～を創造する kokar (新): [他]～と共に～を創造する kokar (新): [他](原因、手段)で～を創造する okar (新): [他](人)に～を創造させる káre (新): [他]～を完璧に創造する earkar (石狩): [他](中相)～が創造される cikar (新)

そうぞう(想像) ①(何か具体的事象についてはっきりと想像する事に関して)[名]想像 iramepakari (新): [自]想像する iramepakari (石狩): [他]～について想像する ramepakari (石狩): 「君の考えている事は想像がつく。」“E=yaynu hi ku=ramepakari.” : [他](場所)で想像する eiramepakari (新): [他]～と共に想像する koiramepakari (新): [他](原因、手段)で想像する oiramepakari (新): [他](人)に想像させる iramepakarire (新): [他]自分で、一人で～について想像する yaykoramepakari (新): [他]互いに、皆で～について想像する ukoramepakari (新): [他]滅茶苦茶～について想像する toykoramepakari (新): [他]人に～を想像させる、してもらう ramepakariyar (新):

[自]人に自分について想像させる、してもらう siramepakariyar (新): ②(具体的な事象だけではなく、抽象的な事をあれこれ想像する事に関して)[名]想像 siramorenokakar (新)、[名] imajin (新) ※(英語): [自]想像する siramorenokakar (新): [他]～について想像する esiramorenokakar (新): 「戦争のない世界について想像してみよう!’’“Otta tumi isam mosir an=esiramorenokakar ro!” : [他](人)に想像させる siramorenokakare (新): [他]人に～を想像させる、してもらう esiramorenokakarar (新): [自]人に自分について想像させる、してもらう siesiramorenokakarar (新): [自]互についてあれこれ想像し合う uesiramorenokakarpa (新)

そうぞうしい(騒々しい) ①[自]騒々しい iranakka (iranaka) (石狩)、[自] irampotare (天塩): [他](人)を騒々しくさせる iranakkare (iranakare) (新)、[他] irampotarere (新): ②(人の声が)[自]騒々しい wenruy (天塩): [他]～を騒々しくする wenruyka (wenruyte) (新): ③(鳴き声や物音が)[自]騒々しい humiruy (石狩): [他]～を騒々しくする humiruyka (humiruyte) (新)

そうぞく(相続) [自]相続する anhoppaataynupuk (anhoppapuk) (新): (表現)相続する anhoppaataynup (anhoppap) uk (新): (表現)～を相続する anhoppaataynup (anhoppap) ne ~ uk (新): [名]遺産相続 anhoppaataynupuk (anhoppapuk) (新): [名]相続税 anhoppaataynupuk-mosirkoratay(e) (anhoppapuk-mosirkoratay(e)) (新): [名]相続人 anhoppaataynupukkur (anhoppapukkur) (新)

そうそふ(曾祖父) [名]曾祖父 maktaekasi (石狩): (表現)私の曾祖父 ku=kor maktaekasi (石狩)

そうそぼ(曾祖母) [名]曾祖母 maktahuci (石狩): (表現)私の曾祖母 ku=kor maktahuci (石狩)

ぞうだい(増大) ①(規模や量に)[自]増大する、している poro (石狩): [他]～を増大させる porore (新): ②(人口、人数に関して)[自]増大する、している inne (石狩): 今後生物の個体数や物の個数に関しても使用する。: [他]増大する、している einne (新): [他]～を増大させる inneka (innere) (新): ③(借金など量的に関しても)[自]増大する sipuske (新): [他]～を

増大させる sipuskere (新): ⑥[自]思ったより(量的に)増大する、している oipean (新)

そうだん(相談) ①[自]人に相談する
 ikoramkor (石狩): [他]~について人に相談する
 eikoramkor (石狩): [他](人)に相談する
 koramkor (石狩): (表現)(人)に相談して~を決める
 koramkor wa ~ urenkare (新): (表現)(人)に相談して~を自分で決める
 ukoramkor wa ~ yaykourenkare (新): (表現)(人)に相談して~を皆で決める
 koramkor wa ~ ukourenkare (新): [他]~について(人)に相談する、(場所)で(人)に相談する
 ekoramkor (新): [他](原因、手段)で(人)に相談する
 okoramkor (新): [他](人)に(人)に相談させる
 koramkore (新): [自]相談し合う
 ukoramkor (石狩): (表現)相談し合って~を決める
 ukoramkor wa ~ urenkare (新): (表現)相談し合って~を皆で決める
 ukoramkor wa ~ ukourenkare (新): [他]~について相談し合う
 eukoramkor (石狩): [他]人に(人)に相談させる
 koramkorar (新): [自]人に自分に相談させる
 sikoramkorar (新): [名]相談相手
 cikoramkorkur (新): [名]相談者
 ikoramkorkur (新): [場名]相談所
 cikoramkorusi (新): [場名]cieikoramkorusi (新): [名]相談役
 cikoramkorkur (新): ②[自](雅)相談して一緒にやる
 uyepnu (石狩)、[自](雅)uyepkinu (石狩): (表現)(人)の言葉を伝える火の神と相談しあって人の頼みを実現する神
 uyepkinu kamuy (石狩)

そうちゃく(装着) [他]~に~を装着する
 uyruke (石狩): (表現)体に~を装着する
 tumam ka(長形-si、-sike)~ uyruke (新)

そうでなければ (表現)(先に述べられた事を受け、仮定、条件を表し)そうでなければ somo ne yakne (石狩)、(表現) somo ne yakanakne (石狩): 「早く帰ろう。そうでなければお母さんが怒るよ。」“Hempano hosippa=an ro ! Somo ne yakne totto iruska na.”

そうではあるが (表現)(先行する文を受け逆接の意味を表し)そうではあるが iki hi ne korka (石狩)、(表現) iki p ne korka (石狩)

そうにゆう(挿入) ①(物の中に)[他]~に物を挿入する、物に~を挿入する iomare (新): [他]~に~を挿入する omare (石狩): 「ここにカードを挿入すればドアが開きます。」“Te or yar an=omare kor apa an=maka easkay .”: ②(二つの物の間に)[他]~の間

に物を挿入する、物の間に~を挿入する iuturuomare (新)、[他] iukouturuomare (新): 「文章中に新しい文章を挿入する。」

“Asir itaksay an=iuturuomare .”: [他]~の間に~を挿入する uturuomare (新)、[他] ukouturuomare (新): (表現)~の間に~を挿入する utur(長形-u、-ke、-uke)~ omare (石狩)、(表現) ukoutur(長形-u、-ke、-uke)~ omare (石狩)

そうねん(壮年) (表現)壮年 wampa ikasma hotne pa (新)、(表現) wampa etuhotne pa (新)

そうば(相場) (表現)相場 an kusu an atay(-e) (新): [名]相場 atay(-e) (新)、[名] réit (新)※(英語): (表現)相場が上昇する an kusu an atay(réit)rikin (新): (表現)相場が下降する an kusu an atay(réit)ran (新): [名]相場師 atayepirkakur (新): [名]相場書 usaataykampi(usareitkampi) (新): (表現)相場で当てる atay epeka (新): (表現)相場に手を出す atay epirka rusuy (新): [名]相場表 cieusaatay-urenkareita(usaatayita) (新)、[名] cieusareit-urenkareita(usareicita) (新): [自]相場操縦する atayraye(reitraye) (新): [自]相場を張る atayeramante (新)

そうはつき(双発機) [名]双発機 tutumsankep-kossinta(-korsinta) (新)

そうはんげつ(爪半月) [名]爪半月 askepet-amamnum(-i) (石狩): (表現)爪半月が出れば秋の実りが良い askepet-amamnum an kor harukar=an etokus (石狩)

そうびょう(躁病) [名]躁病 siramhawpuniresiyeye (新): [自]躁病になる siramhawpuniresiyeye (新)

そうびん(双髻) [名]双髻 urenmoru (新): (表現)双髻 uekari moru (新)

そうほう(総苞) [名]総苞 epok-ikokarip(-i) (新)、[名] apappo-oikokarip(-i) (新): [名]総苞片 epok-ikokariprap(-u) (新)、[名] apappo-oikokariprap(-u) (新)

そうぼき(爪母基) [名]爪母基 amkari (新)

そうぼり(総堀) [名]総堀 ioarokari-pecir (新)

そうめん(素麺) [名]素麺 sowmen (新)※(日本語)

そうらしい (表現)そうらしい ne kotom an (石狩): (表現)(雅語)そうらしいけれど kotom korkayki (石狩): 「…男であるのか、そうらしいけれど…」“… okkay ne ya, kotom korkayki …”(砂沢クラ)英雄詞曲

ぞうり(草履) [名]草履 cori (石狩)

そうりだいじん(総理大臣) [名]総理大臣

yayetunuspake (新)
そうりょ(僧侶) [名]僧侶 hesura (八雲)、
 [名] hesuri (K、B)、[名] ponci (美幌)
そうりょう(送料) [名]送料 ieikraatay(-e) (新): (表現)送料込みで ieikraatay tura(-no) (新): [自]送料無料である ieikraataysak (新)
ソウル(首爾) [場名](大韓民国の首都名)ソウル 特別市 Sour-sisaksi (新): [場名](ソウル 特別市の略称として)ソウル Sour (新)※ (李氏朝鮮の首都名としては「ハンソン(漢城)」、日本の植民地時代は「けいじょう(京城)」。))
そろろう(早漏) [自]早漏である owenkotunas (新)
ぞうわい(贈賄) (表現)(人)に贈賄する usempirkuspe kóre (新)
そえぎ(添木) [名]添木 ukni (石狩)
そえて(添えて) [後副]〜に添えて opes (石狩): 「そこに私の夫は棒を入れた。それに添えて鉄砲を撃つと…」 “Ekota ku=korkur ni ahunke . Ne opes teppe pattekka awa …” (砂沢クラ)
そえん(疎遠) [自]人と疎遠になる、である ikattuyma (新): [他](人)と疎遠になる、である kattuyma (新): [他](人)を(人)と疎遠にする kattuymare (新): [自]互いに疎遠になる、である ukattuyma (石狩): [他](人)を互いに疎遠にさせる ukattuymare (新): [後副](人)と疎遠になって kattuymano (kattuyma) (新): [副]互いに疎遠になって ukattuymano (ukattuyma) (石狩)
ソース [名]ソース rurpe (新)
ソーダ ①(ナトリウムの英語名)[名]ソーダ sódiuim (新): ②(炭酸水)[名]ソーダ kuyuysewakka (新)
ソーブワー (魚介)[名](コイ亜科)ソーブワー属 sawbua-cise (新): [名]レッドフィンレッドノーズ sawbua (新)
そかい(疎開) [自]疎開する ukattuyma (新): [他](人)を疎開させる ukattuymare (新)
そかい(租界) (歴史)[場名]租界 cieirusa-sisserke (cieirusa-sirserke) (新)
ぞく(属) ①(分類)[名]属 cise (新): [名]亜属 mocise (新): ②[自]属する ionrak (新)、[自] iorun (新)、[自] irak (新): [他]〜に属する onrak (新)※(〜の中に属する)、[他] orun (新)※(〜の中にいる)、[他] rak (石狩): [他]〜と共に〜に属する koonrak (新)、[他] koorun (新): [他](原因、手段)で〜に属する oonrak (新)、[他] oorun (新): [他](人)に〜に属させる onrakte

(新)、[他] orunte (新): [他]自分で、一人で〜に属する yaykoonrak (新)、[他] yaykoorun (新): [他]互いに、皆で〜に属する ukoonrak (新)、[他] ikoorun (新)
ぞく(族) ①[名](部族)族 utar(-i) (新): [名]支族 utaraw(-e) (新): ②[名](生物の分類として)族 utar(-i) (新): [名]亜族 moutar(-i) (新)
そくえん(側縁) [名](手や足の甲の小指のある方の)側縁 pisoy(-e) (H)
そくしつ(側室) [名]側室 ieponcisenemat(-ci) (新)、[名] ponmat(-ci) (石狩): [他]〜の側室となる、なっている eponcisene (新)
ぞくせい(属性) [名]属性 iumpuri (新)、[名] attribute (新)※(英語)
そくせん(側線) [名]側線(魚の腹部の線)、及びその肉 pisoy(-e) (H)
そくたつ(速達) ①[自]物を速達する itunasomante (新): [他]〜を速達する tunasomante (新): [他](人)に〜を速達させる tunasomantere (新): ②[名]速達、速達郵便 tunaskampi (新): (表現)速達で手紙を送る tunaskampi ne kampi omante (新)
そくだん(即断) [自]物事を即断する itunasurenkare (新): [他]〜を即断する tunasurenkare (新): (表現)〜を即断する tunasno urenkare (新): [他](人)に〜を即断させる tunasurenkare (新)
ぞくちょう(族長) ①[名]族長、一族の長 utarkorkur (新): ②[名]族長、諸族の長 usautarkorkur (新)
そくていきゅう(足底球) [名]足底球 urepoknin(-i) (新)
そくとう(即答) [自]即答する itasaitaktek (itasaitattekk) (石狩)、[自] tunasitasaitak (新): [他]〜について即答する eitasaitak (eitasaitattekk) (新): [他](場所)で即答する eitasaitaktek (eitasaitattekk) (新): [他](人)に即答する koitasaitaktek (koitasaitattekk) (石狩): [他]〜と共に即答する koitasaitaktek (koitasaitattekk) (新): [他](原因、手段)で即答する oitasaitaktek (oitasaitattekk) (新): [他](人)に即答させる itasaitaktekka (itasaitattekka) (新)、[他] tunasitasaitakte (新): [自]自力で、一人で即答する yaykoitasaitaktek (yaykoitasaitattekk) (新): [自]互いに、皆で即答する ukoitasaitaktek (ukoitasaitattekk) (新)
そくとうぶ(側頭部) [場名]側頭部 sapautossam(-a、-ake) (新)※(胆振

"sapautorsam")、[場名] páutorke (浦河)、
[場名] pákeutorke (日高東部)
そくばん(側板) [名](虫)の側板 utossamita
 (新): [名]前側板 saun-utossamita (新):
 [名]後側板 makun-utossamita (新)
そくりょう(測量) [自]測量する sirpakari
 (新): [他]～を測量する esirpakari (新):
 [他](場所)で測量する esirpakari (新):
 [他]～と共に測量する kosirpakari (新):
 [他](原因、手段)で測量する osirpakari
 (新): [他](人)に測量させる sirpakarire
 (新): [自]三角測量する
 resikkewosirpakari (新): [自]多角測量する
 innesikkewosirpakari (新): [名]測量士
 sirpakarikur (新): [名]測量士補
 sirpakarieikasuykur (新): [名]測量船
 sirpakaricip (新): [名]特設測量艦
 citumicipnere-sirpakaricip (新)
ぞくりょう(属領) [場名]属領 ioruniwor
 (新): (表現)～の属領 国名+orun+iwor
 (新): (表現)アメリカの属領 Amerika
 orun iwor (新)
そけいぶ(鼠蹊部) [名]鼠蹊部 pinkisut(-u)
 (屈斜路): [名]鼠蹊部淋巴腺腫 omnin(-i)
 (石狩)※(腿の付け根のぐりぐり): (表現)鼠
 蹊部淋巴腺腫である pinkisutu arka (屈
 斜路)
そげやま(剥山) [名]剥山 soskenupuri (蝦
 夷記)
そこ (1)(話者より遠い場所を指し示し)①[代
 名]そこ taan (石狩): (表現)そこで、そ
 こに taan ta (石狩): (表現)そこへ
 taan ene (石狩): (表現)そこから taan
 wa(-no) (石狩): (表現)そこまで taan
 pakno (石狩): 「そこへ耳を傾けたら誰か
 歌っている声がした。」“ Taan ene ku=inu
 kor nenka sinotcaki hawe an .”: ②[代名]
 そこ taaner (taanero) (石狩): 「そこ
 を触ってはいけません。」“ Eciki ttnero
 kere !”: (2)(既に話題にされるなど相手
 が知っている場所に触れ)①[代名]そこ ney
 (ne hi) (石狩): (表現)そこで、そこに
 ney (ne hi) ta (石狩): (表現)そこへ
 neyne (石狩): (表現)そこから ney (ne
 hi) wa(-no) (石狩): (表現)そこまで ney
 (ne hi) pak(-no) (石狩): (表現)そこにあ
 る、その ney ta an (ne hi ta an) (石
 狩): ②[代名]そこ neani (石狩): (1)、
 (2)に関して指示代名詞の①は特定の後置詞、
 後置副詞などと用いられ単独で用いられな
 い。それに対し②は「そこが」とか「そこを」
 と主語や目的語として単独で用いられる。
そこ(底) [位名]～の底 asam(長形-a) (石狩、
 天塩): (表現)海の底 atuy asam(長形-a)

(石狩): (表現)編み袋の底 saranip
 asam(長形-a) (石狩)
そこう(素行) ①(表現)～の素行 ～ kor puri
 (石狩): ②[自]素行が良い pirkapurikor
 (石狩): [他](場所)で素行が良い
 pirkapurikor (新): [他]～に対して素行が
 良い、～と共に素行が良い kopirkapurikor
 (新): [他](原因、手段)で素行が良い
 opirkapurikor (新): [他]～の素行を良く
 する pirkapurikore (新): ③[自]素行が
 悪い wempuri (新): [他]～の素行を悪く
 する wempurikore (新)
そこから ①(具体的な場所を起点として)(表
 現)そこから taani pakno (石狩): ②(先
 述された場所を起点として)[後副]そこから
 orowa (orowo) (新): ③(先述された場
 所を起点として、また因果関係を示し)[副]そ
 こから neywa (neywano) (新): (表現)
 néi (néhi) wa (wano) (石狩)
そこく(祖国) [場名]祖国 ekasikonrokmosir
 (新)、[場名] yaunmosir (石狩): ②(アイ
 ヌにとっての)祖国 yaunkurmosir (石狩)、
 [場名] yaunmosir (石狩)、[場名]
 yayunmosir (石狩): [名]祖国の海
 yaunkur-atuy (石狩)
そこで ①(具体的な場所の位置関係を示し)(表
 現)そこで taanta (taani ta) (石狩): ②
 (先述された場所の位置関係を示し)[副]そ
 こで neyta (新): (表現)そこで néi
 (néhi) ta (石狩): [後副]そこで otta
 (orota) (新)
そこなし(底無し) [自]底無しである asamsak
 (石狩): [自]全く底無しである
 oarasamsak (arasamsak) (新): [名]底無
 し沼 asamsakto (石狩)、[名] cihomato
 (石狩)
そこへ ①(運動の具体的な到達場所を示し)(表
 現)そこへ taanene (石狩)、(表現) taanta
 (taani ta) (石狩): ②(運動の到達点とな
 る先述の場所を示し)[副]そこへ neyne
 (石狩)、[副] neyta (新): (表現)そこへ
 néi (néhi) ene (石狩)、(表現) néi (néhi)
 ta (石狩): [後副]そこへ ekota (石狩)、
 [後副] otta (orota) (新)
そこまで ①(具体的な場所を指し)(表現)そ
 こまで taani pakno (石狩): ②(先述され
 た場所や時間を指し)[副]そこまで neypakno
 (新): (表現) néi (néhi) pakno (石狩):
 [後副] pakno (石狩): (表現)(それまでの
 話題を打ち切り新しい事を語り始める表現
 として)そこまで pakno ne kor (石狩):
 ③(行為を止める事を宣言し)[間投]そこまで
 pakno (石狩)
そざい(素材) [名]素材 cioikarpe (新)、[名]

materia (新)※(羅語)

そしき(組織) [名]組織 uekarpa (新)、[名] ciikirikarkarpe (新)、[名] ikir(i) (新)、[名] organization (新)※(英語): [自]組織する uekarpa (新)、[自] iikirikarkar (新)、[自] iorganize (新): [他]～を組織する uekarpere (新)、[他] iikirikarkar (新)、[他] organize (新)※(英語): [他](場所)で～を組織する euekarpere (新)、[他] eikirikarkar (新)、[他] eorganize (新): [他]～と共に～を組織する kouekarpere (新)、[他] koikirikarkar (新)、[他] koorganize (新): [他](原因、手段)で～を組織する、～のために～を組織する ouekarpere (新)、[他] oikirikarkar (新)、[他] oorganize (新): [他](誰か)に～を組織させる uekarparere (新)、[他] iikirikarkare (新)、[他] organizere (新)

そして [後副](継続する事柄を叙述する際のつなぎとして)そして orowano (orwano) (石狩): この他韻文で"tap orowano"、"orowanopo"、散文で"orowa"、"orano"、"ora"など文体、語調によって他の形も現れる。

そしゃく(咀嚼) [自]咀嚼する ikuykuy (新): [他]～を咀嚼する kuykuy (石狩): [他](人)に～を咀嚼させる kuykuyte (新)

そしゃくち(租借地) (歴史)[場名]租借地 cieirusa-mosir (新)

そじょう(遡上) [自]遡上する yan (複数 yap) (石狩)、[自] ran (複数 rap) (石狩)、[自] hemesu (複数 hemespa) (沙流): [他](場所)に遡上する koyan (新): [他](場所)から遡上する oyan (新)

そぜい(租税) [名]租税 mosirkem (新)※(国血)、[名] ikem (新)、[名] taksu (新)※(英語)、[名] icey (新)※(日本語)

そせい(粗製) [自]物を粗製する icanankar (新): [他]～を粗製する canankar (新): (表現)～を粗製乱造する ～ canankar etarkakar (新): [他](人)に～を粗製させる canankare (新)

そせい(蘇生) [自]蘇生する tusa (石狩)、[自] siknu (石狩): [他](発話者自身が)(人)を蘇生させる siknuka (石狩): [他](発話者以外が)(人)を蘇生させる siknure (石狩): [他](発話者の行為か他者の行為かを問わず)(人)を蘇生させる tusare (石狩): [他]人に～を蘇生させる siknureyar (新)、[他] tasareyar (新)

そせき(礎石) [名]礎石 iasamsuma (新): (表現)この家の礎石 tan cise-asamsuma (新)、(表現) tan cise asam ene ciam suma (新)

そそぐ(注ぐ) [他](液体)を(場所)に注ぐ o

(石狩)、[他] omare (石狩): 場所に当る言葉が普通名詞の場合にはその後に位置名詞"or"を用いる。: 「私はバケツに水を注いで両手にそれを持って運んだ。"Nitus or wakka ku=o (= ku=omare) wa uren ku=teke orwa ku=ani wa ku=rura .": [他](人)に(場所)に～を注がせる ore (新)、[他] omarere (新): [他]ひとに(場所)に～を注がせる、注いでもらう oyar (新)、[他] omareyar (新): [他](液体)を(場所)に自らの手で注ぐ yayotekomare (石狩): [他](酒)を酒杯に注ぐ iomare (石狩): [他]自分で(酒)を酒杯に注ぐ yaykoiomare (静内)

そそのかす ①[自]そそのかす sunke (石狩): [他]～に関してそそのかす、(場所)でそそのかす esunke (新): [他](人)をそそのかす kosunke (石狩)、[他] kokamtama (石狩): [他]～と共にそそのかす kosunke (新): [他](原因、手段)でそそのかす osunke (新): [自]そそのかし合う ukosunke (新)、[自] ukokamtama (新): [自]人をそそのかす ikosunke (新)、[自] ikokamtama (新): [副]そそのかして sunkeno (石狩): ②(主に怪物が何かに化けたり憑りついたりして)[自]人をそそのかす ikatkar (新): [連他]～をそそのかす katu-kar (kat-kar) (石狩): "katu-kar"が悪い事であると怪物でも思うためか、物語中で怪物が自分の行為を語る時には、例えば"aynu ne yaykar=an"「人間に私は化けた」と表現する。それ故に"katu=an=kar"という一人称の例は見られない): 「…悪い怪物がああしてこの娘をそそのかせてそうしたんだ。」"wenkamiasi ene tan menoko katu-kar wa iki ne ." (杉村キナラブック)説話、「何の神が私をそそのかしてあんな事をしたのであったかと私は考えている」"Nep kamuye e=kat-kar waene e=iki hi ne awan hi an ya? sekor ku=yaynu kor ku=an ."

そだい(粗大) [自]粗大になる、である rupne (新): (表現)粗大ゴミ rupne mun (新)

そだてる(育てる) [自]人を育てる ireska (石狩)、[自] iresu (複数 irespa) (石狩): [他]～を育てる reska (石狩)、[他] resu (複数 respa) (石狩): [他](場所)で～を育てる ereska (新): [他](目的)のために～を育てる ereska (石狩): [他]～と共に～を育てる koreska (新): [他](原因、手段)で～を育てる oreska (新): [他](人)に～を育てさせる reskare (新)、[他] resure (複数 respare) (新): [他]自分で、一人で～を育てる yaykoreska (新): [他]互いに、皆で～を育てる ukoreska (新): [他]

人に～を育てさせる、育ててもらう
 reskayar (新): [自]人に自分を育ててもらう
 sireskayar (新): [自]自分で自分を育てる、一人で育つ
 yayreska (新)、[自] yayresu (新): [自]互いに育て合う
 ureska (石狩)、[自] urespa (新): [他](人)を(人)の許嫁として育てる
 ereskakkar (石狩): [他](親のない赤子)を育てる
 aysiroresu (十勝): ②[自](雅語)育ての
 iresu (石狩): (表現)(雅)育ての婆
 iresu huci (石狩): (表現)(雅)育ての小母
 iresu unarpe (石狩): (表現)(雅語)育ての兄、年配の男性
 iresu yupo (石狩 yupo) (石狩): [名](雅)育ての兄、年配の男性
 ipankor-yupo (石狩)、[名](雅) ipankoyupo (ipankuyupo) (石狩): (表現)(雅)私の育ての兄
 an=kor iresu yupo (iresu yupi) (石狩): (表現)(雅)育ての姉、年上の女性
 iresu sapo (石狩): (表現)(雅)私の育ての姉
 an=kor iresusapo (石狩): ③[自]育つ
 sukup (石狩)、[自] sireska (新): [自](植物が)育つ
 tuk (石狩)

ソチ [場名](ロシア連邦南部連邦管区クラスノダルスク地方の都市名)ソチ Sóci (新)

そつ [名]そつ haytap (石狩): (表現)そつがない
 haytap isam (石狩)

ぞっかく(属格) (言語)[名]属格 ousrewke (新)※(親格)

そっくり ①[自]物をそっくりに作る
 ieyaynokakar (新): [他]～そっくりに作る
 eyaynokakar (石狩): 「神そっくりに作られたのが人である。」
 “Kamuy an=eyaynokakar pe aynu ne ruwe ne .”: [他](場所)で～そっくりに作る
 eeyaynokakar (新): [他]～と共に～そっくりに作る
 koeyaynokakar (新): [他](原因、手段)で～そっくりに作る
 oeyaynokakar (新): [他](人)に～そっくりに作らせる
 eyaynokakare (新): [他]自分で、一人で～そっくりに作る
 yaykoeyaynokakar (新): [他]互いに、皆で～そっくりに作る
 ukoeyaynokakar (新): [他]完全に～そっくりに作る
 oareyaynokakar (areyaynokakar) (新): [他]もの凄く～そっくりに作る
 etoykoyaynokakar (新): [他](中相)～がそっくりに作られる
 cieyaynokakar (新): [他]人に～そっくりに作らせる
 eyaynokakarakar (新): [自]二つを、皆をそっくりに作る
 ueyaynokakar (新): (表現)そっくりである
 uneno an (石狩): [名]そっくりな人
 uneno an kur (石狩): (表現)同族そっくりな人
 anutári neno an

kur (新): (表現)そっくりな者、物
 uneno an pe (石狩): (表現)～そっくりな者、物
 名詞+nenon an pe : (表現)本物そっくりの物
 sonno an pe neno an pe (新): [名]そっくりな物
 ieyaynokakarpe (新)、[名] ueyaynokakarpe (新): ②[他]～そっくりに扮する
 eyaykatukar (新)「私は余市姫そっくりに扮装した。」
 “Iyociunmat ku=eyaykatukar .”

そっこう(側溝) [名]側渠 ipes-cikannay (新)、[名] ipesnay (新)

ぞっく(属国) [場名]属領 iorunmosir (新): [名]～の属国
 国名など+orun+mosir (新): (表現)アメリカの属国
 Amerika orun mosir (新)

そって(沿って) ①[後置]～に沿って
 peka (石狩): (表現)岸に沿って船を漕ぐ
 ya peka cipo (新): ②[他]～に沿って上がる
 turasi (新): [他]～を～に沿って上がらせる
 (石狩): [後副]～に沿って上に
 turasi (turasino) (石狩): (表現)川沿いに上流に行く
 pet turasi oman (複数 paye) (石狩): ③[他]～に沿って下がる
 pes (石狩)、[他] esoro (新): [他]～を～に沿って下げる
 peste (新)、[他] esorore (新): [後副]～に沿って下に
 pes (pesno) (石狩)、[後副] opes (新)、[後副] esoro (石狩)

そつと ①(優しく)[副]そつと hawke (石狩)、[副] hawkeno (石狩): (表現)そつと押える
 hawke(-no) temka (新): (表現)～をそつと支える
 apunno ani (複数 ampa) (新): [他]～をそつと押える、支える
 nitata (石狩): 「私は右手で自分の胸をそつと押えた。」
 “Ku=simonteke ani ku=penramka ku=nitata.”、「私は左手で右手をそつと支えて柄杓の水を桶に注いだ。」
 “Ku=oharkisamteke ani ku=simonteke ku=nitata kor pisakku o wakka niatu or ku=o .”: ②(静かに)[副]そつと apunno (石狩)、[副] humsakno (天塩)、[副] mono (石狩)、[副](雅) orapunno (石狩): (表現)そつと押える
 apunno temka (新): (表現)～をそつと支える
 hawke(-no) ani (複数 ampa) (新): [他]～をそつとさせておく
 moyre (新): [他](場所)で～をそつとさせておく
 komoyre (沙流): [他]～にそつと近づく
 siehankere (石狩): (表現)熊が分らないようそつと近づく
 kamuy siehankere (石狩): ③(穏やかに)[副](雅)そつと ratcitara (石狩): [後副]～に対してそつと
 koratcitara (石狩): [他]～をそつと扇ぐ
 ratciparu (新): [他](道具)で～をそつと扇ぐ
 eratciparu (石狩): [他](人)に～をそつと扇がせる
 ratciparure

(新): [他]人に～をそっと扇がせる
ratciparuyar (新): [自]人に自分をそっと
扇がせる siratciparuyar (新)

そっぽをむく(そっぽを向く) [自]そっぽを向く
notkus (沙流): [自]思い切りそっぽを向く
tuymanotkus (沙流): (表現)思い切り
そっぽを向き嫌悪の情を表しながら
tuymanotkus konotteikus raypa kane (沙
流)

そで(袖) [名](衣服の)袖 tusa (石狩): [名]
片袖 attusa (石狩): [名]両袖 urentusa
(新): (表現)両袖 uekari tusa (新)

ソテツ(蘇鉄) (植物)[名](裸子植物門)ソテツ綱
sutica-pet (新)※(琉球語): [場名]ソテツ
目 sutica-kotan (新): [名]ソテツ科
sutica-apa (新): [名]ソテツ属 sutica-
cise (新): [名]ソテツの茎葉 sutica
(新)※(琉球語)、[名]ソテツの種子 suticapi
(新): [名]ザミア科 zamia-apa (新):
[名]オニソテツ属 pannesutica-cise (新語
※(パンになるソテツ): [名]サゴソテツ属
dioon-cise (新): [名]シダソテツ属
sormasutica-cise (新): [名]ツノザミア属
kirawzamia-cise (新): [名]マクロザミア
属 porozamia-cise (新): [名]ミクロザミ
ア属 ponzamia-cise (新): [名]スタンゲリ
ア科 sutangeria-apa (新): [名]スタンゲ
リア属 sutangeria-cise (新): [名]ボウエ
ニア属 bowenia-cise (新)

そと(外) ①[位名]～の外 soy(長形-ke) (石
狩): (表現)～の外へ soy(長形-ke) ene
(石狩)(表現)～の外へ、外で soy(長形-ke) ta
(石狩): (表現)～の外から soy(長形-ke)
wa(-no) (石狩): [自]外を向く、外に向か
う esoyne (石狩)、[自] eson (新): [副]
外に向かって、外に esoyne (新)、[副]
eson (石狩)、[副] sisoynaraye (石狩):
②[自]外から向かって来る osoyne (新)、
[自] oson (新): [副]外から osoyne
(沙流)、[副] oson (新)、[副] osonwa
(osonwano) (石狩): ③[自]外に出る
asin(複数 asip) (石狩、天塩)、[自] esoyne
(石狩、天塩)、[自] soyne (天塩)、[自]
sisoynaraye(複数 sisoynaraypa) (石狩):
沙流方言などでは複数形として"soyompa"が
ある。: (表現)(雅)外に出る soywasamor
osirraye (沙流): (表現)～の外に出る
soy ta asin(複数 asip) (石狩、天塩)、(表
現) soy ta soyne (天塩): [自]急に外に出
る soyekatta (石狩)、[自] cisoyekatta
(石狩): [自]パッと外に出る soyosma
(石狩)、[自] esoykosanu (石狩): [自]外
に飛び出す soyoterke (石狩): [自](大勢
で一時に)どっと外に出る cisoyokuta (石

狩)、[自] sisoyokuta (新): [他]～を外に
出す asinke(複数 asipte) (石狩、天塩)、
[他] soynaraye(複数 soynaraype) (沙
流): [他](全て、あるいは大量の誰か、何か)
をどっと外に出す soyokuta (石狩): (表
現)～の外に射精する soyke ta owen (新):
④[他]～の外を通る soykus (石狩):
[他](人)に～の外を通らせる soykuste
(新)

そと(粗糖) [名]粗糖 pewretopenota (新)

そとぐつ(外靴) [名]外靴 soyker(-i) (新):
(表現)外靴を履く soyker(-i) us (新):
(表現)外靴を脱ぐ soyker(-i) ama (新)

そとばき(外履き) [名]外履き soyuspe (新):
(表現)外履きを履く soyuspe us (新):
(表現)外履きを脱ぐ soyuspe ama (新)

そとぼり(外堀) [名]外堀 soyun pécir (新)

そなえる(供える) [自]供物を供える、先祖供養
する iare (石狩): [他]～を供える áre
(石狩): [他](場所)に～を供える eare
(新): [他]～と共に～に供える koare
(新): [他](原因、手段)で～を供える oare
(新): [他](人)に～を供えさせる árere
(新)

そなえる(具える) (所有、所持する事を表し)[自]
物を与える ikor (新): [他]～を与える
kor (石狩)、[他](雅) ekor (石狩):
[他](場所)に～を与える ekor (新): [他]
～と共に～を与える kokor (新): [他](原
因、手段)で～を与える okor (新): [他]～
として～を与える ekor (石狩): (表現)～
として～を与える ne kor (石狩): 雅語
表現において「身体名称の名詞の概念形+
ekor+pe」あるいは「同じく名詞の概念形+
ne kor+pe」の形式で例えば"nan ekor pe"、
"nan ne kor pe"「顔として具えるものは」と
いう句の後にその具体的描写がなされる。:
[他](人)に～を具えさせる kóre (石狩):
[他]自分で、一人で～を与える yaykokor
(新): [他]共に、皆で～を与える ukokor
(新): [他]人に～を具えさせる korar (石
狩): [他](合成語の構成要素として)～を具
える nu (石狩、天塩): sik(目)+nu →
siknu 「生きる」

そなえる(備える) [自]物事に備える ietokoyki
(新): [連他]～に備える etoko-oyki (石
狩)、[他] etokoyki (石狩): [他](場所)で
～に備える eetokoyki (新): [他]～と共
に～に備える koetokoyki (新): [他](原
因、手段)で～に備える oetokoyki (新):
[他](人)に～に備えさせる etokoykire
(新): [他]自分(一人)で～に備える
yaykoetokoyki (新): [他]互いに、皆で～
に備える ukoetokoyki (新): [他]人に～

に備えさせる etokoykiyar (新)

その ①(話者より遠い人や物を指し示し)[連体]
その taan (複数 tokay) (石狩): [代名]
その人 taankur (石狩): [代名]その人達
taan-utar (石狩)、[代名] tokay-utar
(新): (表現)その人達 taan ta okay utar
(石狩): ②(既に話題にされるなどして相手
が知っている人や物に触れ)その ne (石
狩)、[連体] néa (複数 nérok) (石狩)、[連
体] néan (複数 néokay) (石狩)、[連
体](雅) néwaan (複数 néwaokay) (石
狩): ①、②に関して複数には神や人以外には
ほとんど使われてこなかったが、今後は物に
関連しても用いて良いものとする。なお敬語表
現としては単数の神や人に使われてきた。:
[代名]その人 nékur (石狩)、[代名]
néakur (石狩)、[代名] néankur (石狩):
[代名]その人達 néa-utar (石狩)、[代名]
nérok-utar (石狩)、[代名] néan-utar
(néokay-utar) (新)、[代名](雅) néwaan-
utar (néwaokay-utar) (新): ③<三人称
の人称接辞>はない(0の人称接辞をとると
も言う)。そのため「その脚」は
"kema(kemaha)"、「その柄」"nici(nicihi)"
となる。

そのあと(その後) ①[位名](先に述べた事柄を受
け長形で)その後 eepaki (石狩): 石狩方
言としては長形のみの限定された用法しか
確認されていないが、今後は沙流方言の
"eepak"「~の後」も採用する。:(表現)その
後へ eepakine (eepaki ene) (石狩): (表
現)その後へ、その後で eepaki ta (石狩):
(表現)その後から eepaki wa (石狩): ②
[位名](時間的に)~のその後 imak(長形-
ake) (石狩): ~のその後に imakake ta
(石狩): ③[副]その後から iosino (天塩)、
[副] iosi (石狩): 先述の言葉を受けて「そ
の後から」は普通"osi"と表現する。: 「父は
一日その後から出かけた。」"Hampe sine to
iosi oman." (砂沢クラ): [後副]その後から
osino (新)、[後副] osi (石狩): [連体]そ
の後からの iosi (石狩): ④[後副](叙述す
る際のつなぎとして)その後 orowano
(orwano) (石狩): 韻文で"tap orowano",
"orowanopo"、散文で"orowa"、"orano"、"ora"
など文体、口調により様々な形が現れる。

そのう(素囊) [名]素囊 cieapop(i) (新)※
(食べた物を入れるもの)

そのうえ(その上) [位名](長形)その上、その上に
kasi (kasike) (石狩): (表現)その上に
kasike ne (石狩)、(表現) imakake ta (石
狩): (表現)その上またなので kasike ne
an kusu (石狩): 「税金が上がってその上
またなので私達は酷い暮らしをした。」

"Mosirikkew yupke wa kasike ne an kusu
wenureska=as."

そのうち [副](数日内)そのうち iosantota
(石狩)

そのおかた(その御方) ①(敬意を込めて話者よ
り遠い人を指し)(表現)その御方、殿方
tokay nispá (新): (表現)そのご婦人
tokay katkemat (新): (表現)その方々
tokay utar (新): ②(敬意を込め既に述べ
られた、あるいは周知の人を指し)その御方、
殿方 nérok nispá (néokay nispá、
néwaokay nispá) (新): (表現)そのご婦人
nérok katkemat (néokay katkemat、
néwaokay katkemat) (新): (表現)その
方々 nérok utar (néokay utar、néwaokay
utar) (新)

そのした(その下) [位名](長形)その下、その下に
corpoki (corpokike) (石狩): (表現)その
下に corpoki (corpokike) ta (石狩): (表
現)その下から corpoki (corpokike) wa
(wano) (石狩): [副](雅語)その下から
ipanwa (石狩)

そのせい (不幸の結果)[副]そのせいで
emkosama (沙流)

そのため ①(原因)(表現)そのために
néampe kusu (石狩): ②(目的)(表現)その
ために néampe kusu (石狩): (表現)その
ために epeka kusu (沙流): (不幸の結果)
[副]そのために emkosama (沙流)

そのつぎ(その次) (表現)(先に述べた事柄をう
け)[位名]その次 eepaki (石狩): 石狩方
言としては長形のみの限定された用法しか
確認されていないが、今後は沙流方言の
"eepak"「~の後」も採用する。:(表現)その
次へ、その次に eepaki ta (石狩): (表現)
その次へ eepakine (eepaki ene) (石狩):
(表現)その次から eepaki wa (石狩): ②
(叙述する際のつなぎとして)[後副]その次に
orowano (orwano) (石狩): 韻文で"tap
orowano"、"orowanopo"、散文で"orowa",
"orano"、"ora"など文体、語調によって様々な
形が現れる。: [後副](先に述べた事柄を受
け)その次に eepaki (石狩): ③(ある動作
を終え別な動作に移る事を表し)[後副]その
次に ekopi (石狩): ④(順番を示し)[後副]
その次に ósi (石狩): [後副] otutanu
(石狩): (表現)その次にいる ósi
(otutanu) an (複数 okay) (石狩)、(表現)
その次にある ósi (otutanu) an (石狩):
[連体]その次の iosan (iosian) (石狩):
[連体] iotutanan (iotutanan) (新):
[連体](日時に関して)その次の néoya
(néooya) (石狩): (表現)その次の日
néoya to (néooya to) (新): (表現)その次

の週 néoya tosay (néeoya tosay) (新):
(表現)その次の月 néoya cup (néeoya cup)
(新): (表現)その次の年 néoya to (néeoya pa) (石狩)

そのとおり(その通り) (表現)(前述された発話や思考を受けて)その通りに arino kane (石狩): 「…『大きくなったクマを私は招くよ! 仔グマを私は招くよ!』、その通り(父が言った通りに私が言って)声がすると…」 “…《 Riyap ci=tak na! Pewrep ci=tak na! 》 arino kane hawean kor…” (杉村キナラブック)神謡、「…『柳の露垂れる垂れる! 柳の露降れ降れ!』、その通りに(少年が言った通りに)私は思いながら…」 “…《 Susu pe cik cik! Susu pe ran ran! 》 arino kane yaynu=an kane …” (杉村キナラブック)神謡

そのとき(その時)[副]その時に neyta (石狩)、[副] un-otta (石狩): (表現)その時に ne hi ta (石狩): [副] neywa (neywano) (新): (表現)その時から ne hi wa (wano) (石狩): [副](雅)その時に、その時になって neynepkonno (石狩)

そのまま [後副]そのまま arineno (arine) (石狩): 「私は石に躓いて転んで足が痛くて立ち上がれぬので、しばらくそのままでした。」 “Suma ku=esitciw hine ku=cikiri arka wa ku=hopuni eaykap kusu ponno irukay arineno ku=an .”: (表現)(前述された発話や思考を受けて)そのままに、そのまま arino kane (石狩)

そのむこう(その向こう) ①[位名]~のその向こう imak(長形·ake) (石狩): (表現)水平線(地平線)のその向こうへ nisositciw imakakene (nisositciw imakake ene) (石狩)、(表現) nisositciw imakake ta (石狩): 「その家、その向こうの所まで山伝いにお前は下りて…」 “Nean cise, taa imakake pak kim pekano e=san wa…” (杉村キナラブック)説話: ②[後副]~のその向こうに imak (石狩): 「…私の幼妻がサッと降り、彼らのその向こうに座って…」 “…an=kottures [an=kor tures] horaociwe imak u a ru ne kor …” (杉村キナラブック)婦女詞曲

そのように ①(目の前、あるいはすでに話題になっていて聞き手が了解している状況、状態などを指し)[後副]そのように neno (石狩): 「好きでもない男にでも君はそのようにしゃべるんだね。」 “Eani anakne e=eramasuy ka somo ki okkayo ekota ka neno e=itak ru an na .”, 「そのようにするな(そんな事するな)。」 “Eciki neno iki!»: (表現)そのような neno an (複数 okay) (石狩): 「今までそのようなものを見た事がない。」 “Tane pakno neno an pe somo

ku=nukar .”: ②(話し手が了解している状況、状態を指し)[副]そのように ene (石狩): 聞き手と話し手双方が了解済みの状況などを指す場合、既に話題になった事を繰り返さないためだけではなく、様々な理由から明言するのを避けるためにも用いられる。また話し手のみ知っている事について用いられる場合、その後に具体的説明がなされる場合が多いが、それを意図しない場合もあり得る。: (表現)そのような ene an (複数 okay) (石狩): (特に韻文で、先述の内容を受け)[自]そのようにする enuki (石狩): 「…犬がワンワン吠える声がし*そのようにするけれども*私はじっと針仕事ばかりしており…」 “…seta mik awas * enuki korka * an=kotustek no kemeyki=an kor okay=an…” (杉村キナラブック)神謡

ソバ(蕎麦) ①(植物)[名](タデ科)ソバ属 sompakina·cise (新): [名]ソバの茎葉 sompakina (新)、[名]ソバの果実、種子 sompa (沙流)、[名]ソバの果皮、蕎麦殻 sompasey (新): [名]シャクチリソバの茎葉 riyasompasinricikorpe (新)、[名]シャクチリソバの根茎 riyasompasinrici (新): [名]ダッタンソバの茎葉 siwsompakina (新)、[名]ダッタンソバの果実、種子 siwsompa (新): ②(食品として)[名]蕎麦 sompa (新): [名]蕎麦粉 sompako (新)

そば(側) ①(横)[位名]~の側 sam(長形·a、-ake) (石狩): 「昨日あなたの側で踊っていたのは誰?’ “Numan es=sam ta upopo kur nen ehe?»: ②[位名]~のすぐ側 teksam(長形·a、-ake) (石狩)、[位名] tessam(長形·a、-ake) (石狩)、[位名](雅) tekisam(長形·a、-ake) (石狩): 「いつまでも私のすぐ側にいておくれ。」 “Neypaknoka en=teksam ta an wa en=kore ani .”: ③(周囲)[位名]~の側 tuysam(長形·a、-ake) (石狩): 「町の側には素晴らしい森林が広がっている。」 “Maciya tuysam ta pirka nitay an .”

ソバカズラ(蕎麦蔓) (植物)[名](タデ科)ソバカズラ属 sompapunkar·cise (新): [名]ソバカズラ sompapunkar (新): [名]オオツルイタドリ porohahpaspunkar (新): [名]ツルタデ hahpaspunkar (新)※(別名「ツルイタドリ」): [名]ナツユキカズラ poroupasopunkar (新)

ソバナ(岨菜) (植物)[名](ツリガネニンジン属)ソバナの茎、葉 sisammoskarpe (新): [名]ソバナの根 sisammukekasi (新)

ソビエト (歴史)[場名](国名)ソビエト社会主義共和国連邦 Soviet Ureskaussamun Ukotankoremosir Ukosineatkip (新) ※

(1922-91年。首都は「モスクワ」。アイヌ語での略号は「SUUU」。)：[場名](国名の通称として)ソ連 Soviet Ukosineatkimosir (新)、[場名]ソビエト Soviet (新)：[名]ソビエト人 sovietunkur (新)

そびえる(聳える) ①(山の高さに注目し)[他](場所)に聳える eus (石狩)：(表現)天空に聳える高い山 nis kotor eus kane an ri nupuri (石狩)：②(山裾の広さに注目し)[他](場所)に聳える ous (沙流)：(表現)神の山がそこに聳える様は堂々としている kamuynupuri ous ru konna mewnatara (沙流)：[他](中相)(場所)に聳える ciousskar (沙流)

そふ(祖父) [名]祖父 ékasi (石狩、天塩)：(表現)私の祖父 ku=kor ékasi (石狩)：[名](常)祖父 henke (天塩)

ソファ [名]ソファ sofa (新)※(英語)：(表現)ソファ arabikur-tanneikum (新)※(アラブ人の長椅子)：[名]オットマン ottoman (新)※(英語)：[名]カウチ kóuci (新)※(英語)：[名]ディバン divan (新)※(英語)

ソフィア [場名](ブルガリア共和国の首都名)ソフィア Sofiya (新)

そぶり(素振り) (表現)～する素振りを見せる 動詞句+kotom iki (新)、(表現) 動詞句+noyne iki (沙流)：「私が外に出ようとするとその女性も一緒に出て行きたい素振りを見せた。」“Soyke ta ku=asin kusu iki ayke nea menoko i=tuta rusuy kotom (=noyne) iki.”

そば(祖母) [名]祖母 huci (石狩、天塩)：(表現)私の祖母 ku=kor huci (石狩)：[名](合成語の構成要素として)祖母 sut-(ci) (石狩)

そまつ(粗末) [副]粗末に canan (石狩)：(表現)(貧乏で)やっと～を養う、～を人並みに養わない canan paro-oyki (par-oyki) (石狩)：「お前たちを人並みに養えず許してほしい。」“Canan es=par=ku=oyki wa es=en=sittekka nankor.”

ソマリア [場名]ソマリア連邦共和国 Somalia Ukosineatki Ukotankoremosir (新)※(首都は「モガディシュ」)：[名]ソマリ人 somarikur (新)：[名]ソマリ語 somarikuritak (新)：(歴史)ソマリア Somalia (新)※(1991～2012)：(歴史)[場名](国名)ソマリア民主共和国 Somalia Urenkasapte Ukotankoremosir (新)※(1969～91年)：(歴史)[場名]ソマリア共和国 Somalia Ukotankoremosir (新)※(1960～69年、1991年以降

暫定政府。)

ソマリランド [場名](国家)ソマリランド共和国 Somarirando Ukotankoremosir (新)※(1991年ソマリアから独立するも国家として承認されていない。首都は「ハルガイザ」)：[名]ソマリランド人、国民 somarirandounkur (新)

そむく(背く) [他]～に背く hayta (石狩)：[他]～の事で～に背く ehayta (新)：[他](場所)で～に背く ehayta (新)：[他]～と共に～に背く kohayta (新)：[他](原因、手段)で～に背く ohayta (新)：[他](人)を～に背かせる haytare (新)：[他]自分で、一人で～に背く yaykohayta (新)：[他]互いに、皆で～に背く ukohayta (新)：[他]人を～に背かせる haytayar (新)：[自]人を自分に背かせる sihaytayar (新)：[自]背き合う uhayta (新)

そむける(背ける) [自]顔を背ける notkus (沙流)、[自] hekuste (沙流)：[他](原因)で顔を背ける ehekuste (沙流)：[自]大きく顔を背ける tuymanotkus (沙流)：(表現)大きく顔を背け嫌悪の情を表しながら tuymanotkus konotteikus raypa kane (沙流)

ソメイヨシノ(染井吉野) (植物)[名](サクラ属)ソメイヨシノの茎 sísamkowekarpani (新)、[名] someyyosinoni (新)：[名]ソメイヨシノの花 sísamnukanrusuype (新)、[名] someyyosino (新)

そめる(染める) ①(木の皮で)[自]染める isime (沙流)：[他]～を染める sime (沙流)：②(染料を用い)[自]染める irokoipopte (新)：[他]～を染める irokopopte (新)：[他]～色に…を染める～ iroho … kopopte (沙流)：「黒い染料を入れてからそこに着物を入れてそれと一緒にそれを煮ると綺麗に黒く染まる。」

“Kunne iro an=omare wa orowano oro cimip an=omare wa an=kopopte kor irammakaka kunne.”：③[他](中相)黒く染まる cikunneka (cikunnere) (新)：[自]ものを黒く染める ikunneka (天塩)、[他] ikunnere (新)：[他]～を黒く染める kunneka (石狩)、[他] kunnere (新)：[他](中相)赤く染まる cihureka (cihurere) (新)：[自]ものを赤く染める ihureka (ihurere) (新)：[他]～を赤く染める húreka (石狩)、[他] húrere (新)：[他](中相)緑色に染まる cisiwninka (cisiwninte) (新)：[自]ものを緑色に染める isiwninka (isiwninte) (新)：[他]～を緑色に染める siwninka (十勝)、[他] siwninte (新)

そよかぜ(そよ風) [名] そよ風 ponrera (石狩)

※(穀物を箕でふるう時、"Ponrera, ponrera …" と言いながら行ったという。)、[名] hawkerera (新)：(表現)そよ風が吹く ponrera as (石狩)：(表現)そよそよ風が吹く、風が静かになる rera hawke (石狩)

そよふく(そよ吹く) [自] そよ吹く ratcias (新)：(表現)風がそよ吹く rera hawke (石狩)、(表現) rera hawkeno (ratcitara) as (新)

そら ①[間投](物を投げて渡す時や流し網漁の際に網に魚がかかった事を確認した網の持ち手が漕ぎ手に合図する言葉として)そら ke (石狩)：②[間投](相手に行動を促し)そら etak (石狩)：③(表現)そらそら、そら見たことか hesto hesto (沙流)※(久保寺神謡10)

そら(空) ①[名]空 nis(i) (石狩)：[場名](見上げて見える)空、天空 niskotor(o) (石狩)：[場名]空の高い所 kannanissam (石狩)：(表現)空が白む nisat ek (天塩)、(表現) nisat rikin (天塩)：②[自]空を向く、空に向かう eniskotorun (新)：[副]空に向かって、空に eniskotorun (新)：[自]空から向かって来る oniskotorun (新)：[副]空から oniskotorun (新)：③(雷などが下に向かって)[自]空を貫く onisposo (石狩)：[自]パッと空を貫く onispostek (新)：[副]空を貫いて onisposo (石狩)：④(光線などが上に向かって)[自]空を貫く enisposo (新)：[自]パッと空を貫く enispostek (新)：[副]空を貫いて enisposo (新)：[自]空を切り裂きく henisotuye (新)：[自]パッと空を切り裂く henisotuytekka (新)：[自]空を切り裂きすすい進む henisotuyta-kocasse (新)、[自] henisotuyta-kocasse (新)

そらす(逸らす) [他]～を逸らす tesu (新)：「私は素早く跳ねて鍵を逸らした。」
"Tunasno ku=terke wa op ku=tesu."：[他](場所)で～を逸らす etesu (新)：[他](場所)へ～を逸らす、～と共に～を逸らす kotesu (新)：[他](原因、手段)で～を逸らす otesu (新)：[他](人)に～を逸らせる tasure (新)：[他]自分で、一人で～を逸らす yaykotesu (新)：[他]互いに、皆で～を逸らす ukotesu (新)：[他]思い切り～を逸らす toykotesu (新)：[他]～の先を逸らす etesu (新)：[他]～を大きく逸らす tesusu (新)：[他]～をパッと逸らす testekka (新)：[他](中相)(刀が硬いものを切れず脇へと流される事を表わし、刀が逸らされる cirapisone (石狩)：「…鱗の上で私の佩刀が逸らされ…」 "…ramram ka ta

an=mutemusi cirapisone…" (砂沢クラ)英雄詞曲

そらち(空知) [場名]空知川 Sorapci (地名)：[名]空知人 sorapciunkur (石狩)、[名] pániunkur (新)：[場名]空知太 Sorapciputu (地名)

そりかえる(反り返る) [自]反り返る teske (石狩)、[自] sitesu (新)：[自](場所)で反り返る eteske (新)：[他](場所)に反り返る、～と共に反り返る koteske (新)：[他](原因、手段)で反り返る oteske (新)：[他]～を反り返らせる tesu (石狩)：[他](人)に～を反り返らせる tasure (新)：[他]自分で、一人で～を反り返らせさせる yaykotesu (新)：[他]互いに、皆で～を反り返らせる ukotesu (新)：[他]思いっきり～を反り返らせる toykotesu (新)：[他]人に～を反り返らせさせる tesuyar (新)：[自]頭が反り返る eteske (新)：[他]～の先を反り返らせる etesu (新)：[自]尾が反り返る、陰茎が反り返る oteske (新)：[他]～の下部(末端)を反り返らせる otesu (新)：[自]大きく反り返る teseske (石狩)：(表現)身を大きく反り返らせて大笑いする mina teseske (石狩)：[自]身を大きく反り返らせて大笑いする minakoteseske (新)：(表現)体を反らせ、前屈みになって笑う ciotesusu ciorewewe (ciorewewe) kane mina (新)※(沙流)：(表現)笑って体を反らせ、前屈みになる mina kusu ciotesusu ciorewewe (ciorewewe) (新)※(沙流)[自]身を大きく反り返らせて威張る pakisar-koteseske (pakesar-koteseske) (新)：[自]身を大きく反り返らせて驚く osserke-koteseske (新)：[他]～を大きく反り返らせる、～をググッと反り返らせる tesusu (新)

ゾリラ ①(動物)[名](イタチ亜科)ゾリラ属 ruosaciri-cise (新)：[名]ゾリラ ruosaciri (新)：[名]サハラゾリラ saharaun-ruosaciri (新)：②[名](イタチ亜科)ゾリラモドキ属 ciruosacirikopa-cise (新)：[名]ゾリラモドキ ciruosacirikopa (新)

そる(剃る) [他]～を剃る memke (石狩)：(表現)陰毛を剃る honuma memke (新)：(表現)体毛を剃る numa memke (新)：(表現)頭髪を剃る otopi memke (新)：(表現)髭を剃る reki memke (新)：[他](場所)で～を剃る ememke (新)：[他]～と共に～を剃る komemke (新)：[他](原因、手段)で～を剃る omemke (新)：[他](人)に～を剃らせる memkere (新)：[他]自分で、一人で～を剃る yaykomemke (新)：

[他]互いに、皆で～を剃る ukomemke
(新): [他]すっかり～を剃る oarmemke
(armemke) (新): [他]人に～を剃らせる
memkeyar (新): [自]人に自分の毛を剃っ
てもらう simemkeyar (新): [自]髭を剃
る hememke (新): [他]～の髭を剃る
ememke (新): [自]陰毛を剃る
homemke (新): [自]～の陰毛を剃る
omemke (新)

ソルトレイクシティ [場名] (アメリカ合衆国ユ
タ州の州都名) ソルトレイクシティ
Sottoreikšiti (Sortoreikšiti) (新)

それ ①(話者より遠い物を指し示し)[代名]それ
taampe (石狩): 目に見える物を指し示す
例しか見られぬが、今後話者に心理的に遠く
感じられる物事にも使って良いとする。:
②(既に話題になるなどして相手が知っている
物事に触れ)[代名]それ néap (石狩)、[代
名] néampe (新)、[代名] (雅) néwaampe
(石狩): 物事については従来は単複の区別
をしなかったが、今後「それら」を"tokaype"、
"nérokpe"、"néokaype"等と表現しても良い
とする。: 「その」の複数「それら」は「そ
の」を見よ。: ③[間投] (物を投げて渡す時や
流し網漁の際に網に魚がかかった事を確認
した網の持ち手が漕ぎ手に合図する言葉と
して) それ ke (石狩): [間投] (相手に行動
を促し) それ etak (石狩): (表現) それそ
れ、それ見たことか hesto hesto (沙流) ※
(久保寺神謡 10)

ソレイロリア (植物) [名] (イラクサ科) ソレイロ
リア属 pompenupe-cise (新): [名] ソレ
イロリア・ソレイロリーの茎葉 pompenupe
(新) ※ (「ベビーティアーズ」、「アイリッシュ
モス」などとも。)

それから ①(叙述する際のつなぎとして)[後
副]それから、その次に orowano (石狩):
この他韻文で"tap orowano"、"orowanopo"、
散文で"orowa"、"orano"、"ora"など文体、語
調によって他の形も現れる。: (表現) それか
らまた orowano suy (石狩): ②[副] (先述
された時点を起点として) それから、それ以来
neywa (neywano) (石狩)

それこそ ①(話者より遠くにあるものを指し
示して)(表現) それこそ taampe anakne
(石狩): (表現) それこそ taampe ta (新)、
(表現) taampe ta si (sí no) (新)、(表現)
taampe eas (新): ②(既に話題になるなど
して相手が知っている物事に触れ)(表現) そ
れこそ néampe anakne (石狩): (表現)
それこそ néampe ta (新)、(表現)
néampe ta si (sino) (新)、(表現) néampe
eas (新): ③(叙述のつなぎとして)[副] そ
れこそ sorekus (沙流)

それだから (表現) (先行する一連の事態を受け、
それが原因である事態が発生、あるいは展開
することを表し) それだから néampe kusu
(石狩)、(表現) (雅) néwaampe kusu (石
狩): 「売っている物全てが高かった。それ
だから何も買わずに帰った。」 "An=eiyok pe
opitta ataye yupke . Néampe kusu nep ka
ku=hok ka somo ki no ku=sosipi .": (表
現) そうしたものだから iki p ne kusu (石
狩): [副] (くだけた口調で理由を説明し) で
～ néampe (新): 「昨日あの子からメー
ル来たの。で、速攻会ってお持ち帰りしちゃ
った。」 "Numan ne menoko orwa
imerukampi ek . Néampe tunasno
unukar=as wa ku=korahosipi okere ."

それとおなじ(それと同じ)[後副] (雅語) (前述の
内容を受けて) ～と同じように arikoraci
(石狩): 「…オタストウクルの火の蝋が赤
い杖ねじれた杖をつきながら…オタスト
ウクルの祭壇の上手の神がそれと同じ様に
金の杖にすぎる…」 "…Otasutunkur
apewcikmuy u hure kuwa cinoye kuwa
etete kane… Otsutunkur sopaunkamuy
arikoraci kani kuwa eyayrarire…" (杉村キ
ナラブク) 神謡

それなのに (表現) (～"anak"あるいは"anakne"
～という文を受け逆接の意味を表し、当然そ
うなるべきこととそれに反する事実を結び)
～というのは～、それなのに～ iki an pe ne
korka (石狩): 「父親ならその子が褒めら
れる事を喜ぶ。それなのにこの馬鹿者は自分
の子供を憎む。」 "Ona anakne poho
ramu=a=ye hi ekiroroan . Iki an pe ne
korka tan haytakur poho enikuy ."

それなら (表現) (相手の説明に対して自分の
意見を導き) それなら haw ne ciki (haw ne
ciki) (石狩): 「それなら証拠とやらを見
せて下さい。」 "Haw ne ciki ipekerep sekor
an pe en=nukare wa en=kore ya ."

それほど(それ程) [後副] それ程 pakno (石
狩): 「休めって? それ程疲れてないよ。」
"Ku=sini yak pirka hawe? Pakno somo
ku=sinki wa .": (表現) それ程の～はない
pakno ~ isam (石狩): 「私の言った事が
大げさとういうのかね? どうお前さんが言
おうと、それ程の困難はこれまでなかったの
だ。」 "Ku=ki oruspe poro kasuy hawe he
an? Nekon e=ye yakka tane pakno pakno
an=eranak pe isam ruwe ne ."

それる(逸れる) [自] (矢などが当たらず) 逸れ
る teske (石狩): 「…そこに彼らは矢を
射抜かず、私の上に矢が逸れたよ…」 "…oro
ta ay ahunke aykap i=ka ta ay teske na…" (杉
村キナラブク) 神謡: [他] (場所) で逸れる

eteske (新): [他](場所)へ逸れる、～と共に逸れる koteske (新): [他](原因、手段)で逸れる oteske (新): [自]～の先が逸れる eteske (新): [自]大きく逸れる teseske (新): [自]パツと逸れる testek (新)

ソロモン ①(聖書)[名]ソロモン Šaromo (新)※(イスラエル王): ①[場名](国名)ソロモン諸島 Solomon Usapoyisir (新)※(首都は「ホニアラ」): [場名](国名の通称として)ソロモン Soromon (新): [名]ソロモン人 solomonunkur (soromonunkur) (新): ②[場名](地名)ソロモン諸島 Soromon-usapoyisir (新)※(南太平洋メラネシアの島々。)

そろわない(揃わない) [自]全員、全部揃わない usak (沙流)

ゾン [名](チベットの行政区画単位、あるいはチベット文化圏の城塞建築)ゾン zon (新): [名]ゾンカ語 zónitak (新)※(シナ・チベット語族に属する言語。ブータン王国の公用語。)

そん(損) ①[自]損をする、している wen (石狩): [他](原因)で損をする ewen (石狩): ②(特に経済的に)[自]損をする sonoki (石狩): [他]～を損する esonoki (新): [他](場所)で損をする esonoki (新): [他]～と共に損をする kosonoki (新): [他](原因)で損をする osonoki (新): [自]自分で、一人で損をする yaykosonoki (新): [自]互いに、皆で損をする ukosonoki (新): [自]完全に損をする oarsonoki (arsonoki) (新): [自]大損をする toykosonoki (新): [自]人に損をさせる isonokire (石狩): [他](人)に損をさせる sonokire (石狩): [他](人)に(原因)で損をさせる osonokire (新)

そん(村) [名](日本国の行政単位名として)村 mura (新)

そんけい(尊敬) [自]尊敬する oripak (石狩): (表現)尊敬しつつ oripak kane (石狩)、(表現) oripak kor (石狩)、(表現) oripak tura (石狩): [他](人)に尊敬させる oripakte (新): [他]～を尊敬する eoripak (石狩)、[他] kooripak (天塩): [他](場所)で～を尊敬する eeoripak (新): [他]～と共に～を尊敬する koeoripak (新): [他](原因、手段)で～を尊敬する eoripak (新): [他](人)に～を尊敬させる eoripakte (新): [他]自分で、一人で～を尊敬する yaykoeoripak (新): [他]互いに、皆で～を尊敬する ukoeoripak (新): [他]すっかり～を尊敬する oareoripak (areoripak) (新): [他]もの凄く～を尊敬

する toykoeoripak (新): [他]人に～を尊敬させる eoripakar (新): [自]人に自分を尊敬させる sieoripakar (新): [自]自分を尊敬する yayeoripak (新): [自]尊敬し合う ueoripak (新): [副]尊敬して oripakno (石狩): [後副]～を尊敬して eoripakno (新)

そんごう(尊号) [名]尊号 ieoripakre (新)

そんざい(存在) [名]存在 áni (anhi) (新)、[名] an (新): [自]存在する an (複数 okay) (石狩): [他](場所)に存在する ean (複数 eokay) (石狩): [他]～と共に存在する koan (複数 kookay) (新): [他](原因、手段)で存在する oan (複数 ookay) (新): [他]～を存在させる ante (複数 okayre) (新): [自]自ら存在する yaykoan (複数 yaykookay) (新): [自]互いに存在する ukoan (複数 ukookay) (新): [自]完全に存在する oaran (複数 oarokay) (新): [他](中相)～が存在させられる ciente (複数 ciokayre) (新): [他](雅)(場所)に存在する uyru (石狩): [他](雅)(場所)に～を存在させる uyruke (石狩)

そんたく(付度) (表現)～に付度する ～ pirkano esanniyo (新): (表現)～に付度し…をしっかりと行う ～ pirkano esanniyo wa irammakaka … ki (新)

そんちょう(村長) [名]村長 kotankorkur (新)、[名] kotankonnispa (新)

そんな ①(比較、例示して)(表現)そんなに taampe néno (新): (表現)そんな taampe néno an (複数 okay) (新): ②(既に述べられるなど話し手と聞き手で了解されるものについて)[後副]そんなに néno (石狩): (表現)そんな néno an (複数 okay) (石狩): (表現)あんな人 néno an kur (石狩): (表現)おんな人たち néno okay utar (石狩): (表現)そんな者 néno an pe (石狩): (表現)そんな者達 néno okay pe (新): (表現)そんな物、そんな事 néno an pe (石狩): ③(話し手のイメージで)[副]そんなに ene (石狩): (表現)そんなに ene un suy (沙流)、(表現) enepo un suy (沙流): 「お前たちはそんなにも分からないものか?」「Ene un suy es=erampetek hi?」、「貴方の目はそんなにも節穴か?」

“Enepo un suy es=siknak ruwe?”: [連体]そんな enean (複数 eneokay) (石狩): [連体](悪)そったら enan (石狩): [間投](悪)そんな奴 enean (石狩)、[間投](悪)icakkere (沙流)、[間投](悪)icaka (沙流): [間投](悪)そんな奴ら eneokaype (石狩): [間投](悪)そったら奴 enampe (石狩): [間投](悪)そんな物、そんな事

eneampe (石狩): [間投](悪)そつたら物、
そつたら事 enampe (石狩)
た(田) [名]田 amamtoy(-e) (石狩): (表
現)田畑 amamtoy newa usa toy (新)
ターキン (動物)[名](ヤギ亜族)ターキン属
tákin-cise (新): [名]ターキン tákin
(新)
ダームスタチウム (化学)[名]ダームスタチウ
ム darmusutattium (新)※(原子番号 11
0番。元素記号 Ds)
ターメリック [名]ターメリック turmerik
(新)、[名] cúk-ukon (新)、[名] úkon
(新): [名]ブラックターメリック burak-
turmerik (新)、[名] kunne-ukon (新):
[名]ホワイトターメリック wáit-turmerik
(新)、[名] sák-ukon (新)、[名] gájut
(新): [名]ワイルドターメリック wayrut-
turmerik (新)、[名] paykar-ukon (新)、
[名] kioow (新)
タール(1) [名]タール ampe (新)※(黒水)、
[名] tar (新)※(英語)
タール(2) (動物)[名](ヤギ亜族)タール属 tar-
cise (新): [名]アラビアタール
arabiyaun-tar (新)i: [名]ニルギリタール
nirgiriun-tar (新): [名]ヒマラヤタール
himarayaun-tar (新)
タイ(泰) [場名](国名)タイ王国 Tay
Yaykomosirkorkurkormosir (新)※(首都は
「バンコク」): [場名](国名の通称として)タ
イ Tay (新): [名]タイ国民 táyunkur
(新): [名]タイ人 taykur (新): [名]タ
イ語 taykuritak (新): [名]タイ文字
taykuritak-itokpa (新)
だい(代) [名]代 ikir(-i) (石狩): (表現)六代
(幾世代)を生き抜く、非常に長生きして知識
と経験を身に付ける iwan ikir eposo (石
狩)
だい(台) [名]台 iop (新)、[名] kemaso
(新)、[名] kema (新): (表現)～台 名詞
+op (新): cinukassup(テレビ)+op →
opcinukarsupopop 「テレビ台」
だいいっせん(第一線) (表現)第一線にある
tumiapake un (新)、(表現) iatpake un
(新)、(表現) iyotta furonto un (新)
だいいんしん(大陰唇) [名]大陰唇
sípokpapus(-i) (新)、[名] súpokcapus(-i)
(新)、[名] pokcapus(-i) (新)※(樺太白浦)
だいいんれき(太陰暦) [名]太陰暦
kunnecup-tonukarpe (新)
だいおう(大王) [名]大王
siyaykomosirkorkur
(sinoyaykomosirkorkur) (新)、[名]
símosirkorkur (sinomosirkorkur) (新)
ダイオウ(大黃) (植物)[名](タデ科)ダイオウ属

sunapa-cise (新)※(この属の幾つかの根は
漢方薬「大黃」): [名]ダイオウの茎
sísunapa (新)、[名]ダイオウの根
sísunapakusuri (新): [名]セイタカダイ
オウの茎葉 kewerisunapa (新): [名]ノ
ダイオウの茎葉 sunapa (天塩)、[名]ノ
ダイオウの果実 sunapaamam (天塩)、[名]
ノダイオウの根 ummasukkakep (礼文
華): [名]ルバーブの茎葉 ciesunapa (新)
 ※(別名「ショクヨウダイオウ」など)
ダイオウイカ(大王烏賊) (魚介)[名](スルメイ
カ亜目)ダイオウイカ科 mosirkorepetpetke-
apa(新): [名]ダイオウイカ属
mosirkorepetpetke-cise (新): [名]ダイオ
ウイカ mosirkorepetpetke (新): [名]テ
イオウイカ epetpetkekamuy (新)
だいおうじょう(大往生) [名]大往生
nispamokor (天塩): (表現)大往生を遂げ
る nispamokor ki (天塩)
ダイオウホオズキイカ(大王酸漿烏賊) (魚
介)[名](クジャクイカ亜科)ダイオウホオズキ
イカ síporo-epetpetke (新)
たいおん(体温) [名]体温 netopa-sesekru(-
we) (新)、[名] netopa-temperature
(新): (表現)体温が上がる netopa-sesekru
cirikinte (rikin) (新): (表現)体温が下がる
netopa-sesekru ciranke (ran) (新):
(表現)体温を上げる netopa-sesekru
rikinte (新): (表現)体温を下げる
netopa-sesekru ranke (新): (表現)体温を
計る netopa-sesekru pakari (新): 「体
温が5度下がる。」“Netopa-sesekru 5°
(asikne ipak、asikne dekne、asiknep)
ciranke (ran).”: [名]体温計 netopa-
sesekrupakarip (新)
たいか(耐火) [自]耐火性を持つ、持っている
apeko-nisuramne (-nisuwamne) (新)、[自]
apekoniste (新): [他]～を耐火性を持たせ
る apeko-nisuramneka (-nisuramnere)
(新)、[他] apeko-nisuwamneka (-
nisuwamnere) (新)、[他] apekonisteka
(apekonistere) (新): [名]耐火煉瓦
apeko-nisuramne-sumatoy (-nisuwamne-)
(新)、[名] apekoniste-sumatoy (新)
たいか(袋果) (植物)[名]袋果 pukuru-ikaop(-
i) (新)
たいが(大河) [名]大河 síporopet (新)、[名]
poropet (石狩): (表現)(雅)大河の流れ下る
様は明(さや)かなり tapan (tan) poro pet
san ru konna maknatara (新)
ダイカー (動物)[名](ウシ科)ダイカー亜科
dúker-apa (新): [名]ダイカー族 dúker-
utar (新): [名]ダイカー属 dúker-cise
(新)※(独語): [名]アオダイカー áoduker

(新): [名]アカダイカー húre-duker
 (新): [名]アダースダイカー ader-duker
 (新): [名]アボットダイカー abbot-duker
 (新): [名]オギルビーダイカー ogirbi-duker (新): [名]クロダイカー kunne-duker (新): [名]コシキダイカー síporoduker (新): [名]ザイールダイカー zairun-duker (新): [名]シロハラダイカー honiretar-duker (新): [名]シマダイカー ruo-duker (新): [名]ズグロダイカー sapakunne-duker (新): [名]セスジダイカー seturukunne-duker (新): [名]ソメワケダイカー jentinku-duker (新): [名]ハーベイダイカー harvey-duker (新): [名]ピータースダイカー peter-duker (新): [名]マクスウェルダイカー maksuwer-duker (新): [名]ワキアカダイカー utossamahure-duker (新)[名]サバンナダイカー savannaduker-cise (新)
たいかい(大海) [名]大海 siatuy (石狩)
たいかく(対格) (言語)[名]対格 cikiprewke (新)※(行為されるもの格): [名]対格型 cikiprewkekat (新): [名]対格言語 cikiprewkekatkor-itak (新): [名]対格性 cikiprewke-puri (新)
たいがん(対岸) [位名]～の対岸 kus(長形-ke) (石狩): (表現)川の対岸 pet kus(長形-ke) (石狩): (表現)海の対岸 atuy kus(長形-ke) (石狩)[自]対岸を向く、対岸に向かう ekusun (新): [副]対岸に向かって、対岸に ekusun (石狩)、[副] ekusne (石狩): [自]対岸から向かって来る okusun (新): [副]対岸から okusun (石狩)、[副] okusne (石狩)
だいかん(代官) [名]代官 ikawarinetono (新)
だいかんみんこく(大韓民国) →「かんこく(韓国)」を見よ
たいぎ(大儀) [自](体がいう事をきかず)大儀である inukuri (石狩): [他]～が大儀である nukuri (石狩): [助動]～(する)のが大儀である nukuri (石狩)
だいきこう(大気候) [場名]大気候 porosiruyisr(i) (新)
だいきし(代議士) [名]代議士 cinumkenispa (新)、[名] annúmkenispa (新)
たいきん(腿筋) [名](虫の)腿筋 omkam(i) (新)
だいきん(代金) [名]代金 atay(e) (新): [自]代金を払う ataykar (新)、[自]iatayekar (新): [他]～の代金を払う atayekar (石狩): (表現)～の代金を払う atayekar (新): [他](場所)で～の代金を払う eatayekar (新): [他]～に代金を払う

koatayekar (新): [他]～と共に代金を払う koatayekar (新): [他](原因、手段)で～の代金を払う oatayekar (新): [他](人)に～の代金を払わせる atayekare (新)
だいく(大工) [名]大工 cisekarkur (石狩)、[名] panco (幌別)
たいくつ(退屈) [自]退屈する nisnu (石狩)、[自] nismu (天塩): [他]～について退屈する enisnu (新): [他](場所)で退屈する enisnu (新): [他]～と共に退屈する konisnu (新): [他](原因、手段)で退屈する onisnu (新): [他]～を退屈させる nismure(nismure) (新): [自]一人で退屈する yaykonisnu (石狩): [自]互いに、皆で退屈する ukonisnu (新): [他]減茶苦茶退屈する toykonisnu (新): [自]人を退屈させる nismuyar (新)
だいきい(台形) [名]台形 kumanesinnoka (新)
タイゲン(太原) [場名](中華人民共和国の山西省の省都名)太原 Tayyuan (新)
たいけん(体験) [名]体験 iamkirap (新)、[名] iamkirpe (新): [自]物事を体験する、体験から知っている iamkir (新): [他]～を体験する、体験から知っている amkir (石狩): [助動]～を体験する、体験から知っている amkir (石狩): [他](場所)で～を体験する、体験から知っている eamkir (新): [他]～と共に～を体験する、体験から知っている koamkir (新): [他](原因、手段)で～を体験する、体験から知っている oamkir (新): [他](人)に～を体験させる、体験から知るようにさせる amkire (新): [他]自分で、一人で～を体験する、体験から知っている yaykoamkir (新): [他]互いに、皆で～を体験する、体験から知っている ukoamkir (新): [他]すっかり～を体験する、体験から知っている oaramkir (aramkir) (新): [他]充分～を体験する、体験から知っている amkinno (amkinno) (新): [他]減茶苦茶～を体験する、体験から知っている toykoamkir (新): [名]体験者 iamkirakur (新)、[名] iamkirkur (新): (表現)～体験者 名詞、名詞句+amkir(a)kur (新): Aynupuri(アイヌ文化)+amkir(a)kur → Aynupuri amkir(a)kur 「アイヌ文化体験者」: (表現)動詞句+amkir(a)kur (新): Aynuipe esuke wa e(アイヌ料理を調理して食べる)+amkir(a)kur → Aynuipe esuke wa e amkir(a)kur 「アイヌ料理調理実食体験者」: (表現)体験談 iamkirakur oruspe (新)、(表現) iamkirkur oruspa (新)

たいこ(太古) [場名] 太古 sínoteeta (新):
[副] 太古、太古に sínoteeta (新): [副] 太古から huskotoywa(-no) (石狩)、[副] sínoteetawa(-no) (新)

たいこ(太鼓) [名] 太鼓 kaco (天塩)

たいこう(大公) [名] 大公 sínopurince (新)、
[名] sínoduke (新): [場名] 大公園 sínopurincekormosir (新)、[場名] sínodukekormosir (新)

だいこうずい(大洪水) [名] 大洪水 síporowakka (新)、[名] wakkasirikin (新): [自] 大洪水になる、なっている wakkasiporo (新)、[自] wakkasirikin (新)

たいこく(大国) [場名] 大国 poromosir(-i) (新)

だいくばしら(大黒柱) [名] 大黒柱 tuntu (石狩): (表現) 石の大黒柱 sirar tuntu (石狩)

だいざ(台座) [名] 台座 kemaso (新)、[名] so (新)

たいざい(滞在) [自] 滞在する tóri (新): [他](場所)に滞在する etori (新): [他] ～と共に滞在する kotori (新): [他](原因、手段)で滞在する otori (新): [他](人)を滞在させる tórire (新): [自] 自分で、一人で滞在する yaykotori (新): [自] 互いに、皆で滞在する ukotori (新): [自] 人を滞在させる toriyar (新): [自] 長期滞在する tannetori (新)

だいたい(大腮) [名](虫の)大腮 sínatkew(-e) (新)

ダイサギ(大鷺) (鳥)[名](サギ亜科)ダイサギ属 sípetcakoas-cise (新): [名] ダイサギ sípetcakoas (新)

たいさん(耐酸) [自] 耐酸性になる、である supkakepko-nisuramne(-nisuwamne) (新)、[自] supkakekoniste (新): [他] ～を耐酸性にする supkakepko-nisuramneka(-nisuramnere) (新)、[他] supkakeko-nisuwamneka(-nisuwamnere) (新)、[他] supkakekonisteka (supkakekonistere) (新): [名] 耐酸煉瓦 supkakepko-nisuramne-sumatoy(-nisuwamne) (新)、[名] supkakepko-niste-sumatoy (新): [名] 耐酸耐熱煉瓦 supkakep-sesek-konisuramne-sumatoy(-konisuwamne-) (新)、[名] supkakep-sesek-koniste-sumatoy (新)

だいじ(大事) ①→「たいせつ(大切)」を見よ:
②(表現) 大事 páse kunip (石狩): (表現) 大事になる páse kunip ne (石狩)

タイシエツ [場名](ロシア共和国シベリア連邦管区イルクーツク州の州都名)タイシエツ

ト Tayšet (新)

だいじゃ(大蛇) (表現) 大蛇 onne tannekamuy (新)、(表現) onne tannepp (新)

たいじゅう(体重) [名] 体重 kewepase (新): (表現) ～体重を計る ～ kewepase pákari (新): ②[自] 体重が重くなる、重い kewepase (新): [他](人)の体重を重くする kewepaseka (kewepasere) (新): [自] ばつと体重が重くなる kewepasetek (新): [自] 減茶苦茶体重が重くなる、重い toykokewepase (新): ③[自] 体重が軽くなる、軽い kewekosne (新): [他](人)の体重を軽くする kewekosneka (kewekosnere) (新)

たいしょ(対処) (表現) ～に対処する ～ ki kunip ki (新): 「私達は迅速に災害に対処した。」“Rorumpe an hi ta tunasno ci=ki kunip ci=ki.”: (表現) ～に事前に対処する ～ ki kunip etoko-oyki (新): 「私達は災害に事前に対処する。」“Rorumpe aa hi ta ci=ki kunip etoko=ci=oyki.”: [他] ～に何ら対処しない kotustek (石狩): 「震災があっても政府は何も対処せずにいた。」“Sissimoye yakka mosireyayetuspe kotustek no an.”

たいしょく(退職) [自] 退職する monraykeosoyne (新)、(新) nepkiosoyne (新): [他] ～を退職する emonraykeosoyne (新)、[他] enepkiosoyne (新): [他] ～と共に退職する komonraykeosoyne (新)、[他] konepkiosoyne (新): [他](原因、手段)で退職する omonraykeosoyne (新)、[他] onepkiosoyne (新): [他](人)に退職させる monraykeosoyner (新)、[他] nepkiosoyner (新)

だいじん(大臣) [名] 大臣 yayetunasutarpa (新)、[名] minister (新)※(英語): [名](王制、封建制下の)大臣 pakusawtarpa (新)

タイシアゲハ(タイス揚羽) [名](ウスバアゲハ亜科)タイシアゲハ族 apapposay-kitomarewrew-cise (新): [名] タイシアゲハ属 apapposay-kitomarewrew-cise (新): [名] タイシアゲハ apapposay-kitomarewrew (新): [名] スカシタイシアゲハ pekennokao-apapposay-kitomarewrew (新): [名] シボリアゲハ属 isinaoikopopte-kitomarewrew-cise (新): [名] シロタイシアゲハ属 retarapapposay-kitomarewrew-cise (新): [名] ホソオアゲハ属 ánekisaratanne-kitomarewrew-cise (新)

たいせいよう(大西洋) [名] 大西洋 Assiatuy

(Arsiatuy) (新)

タイセイヨウサケ(大西洋鮭) (魚介)[名](サケ科)タイセイヨウサケ属 assiatuy-kamuycep-sipe (新): [名]タイセイヨウサケ assiatuy-kamuycep (新)、[名]sarmon (新)※(別名「アトランテックサーモン」): [名]サルモ・アバンティクス abanto-sipe (新)※(湖名): [名]サルモ・アカイロス ifni-sipe (新)※(湖名): [名]サルモ・アフリオス aferios-sipe (新)※(学名): [名]サルモ・イシュハン isxan-sipe (新)※(学名): [名]サルモ・エゼナミ ezenami-sipe (新)※(学名): [名]サルモ・オビムス arara-sipe (新)※(川名): [名]サルモ・オブトゥシロストリス adoria-sipe (新)※(地名): [名]サルモ・オフリダヌス makunto-sipe (新)※(湖名): [名]サルモ・カスピウス kaspia-sipe (新)※(地名): [名]サルモ・カルピオ itaria-sipe (新): [名]サルモ・キスカウカシクス kiskaukasia-sipe (新)※(地名): [名]サルモ・キロ akdere-sipe (新)※(地名): [名]サルモ・ケッティイ mosinnosikiatuy-sipe (新): [名]サルモ・ケネリヌス koykaunitaria-sipe (新): [名]サルモ・コッテラティ arkir-sipe (新)※(地名): [名]サルモ・コルヘンシス koruhen-sipe (新)※(学名): [名]サルモ・シーフェルムエレリ muntukkacup-sipe (新)※(五月鮭): [名]サルモ・ストマキクス éra-sipe (新)※(アイルランド鮭): [名]サルモ・タレリ zéta-sipe (新)※(地名): [名]サルモ・デンテクス nimakus-sipe (新): [名]サルモ・ニグリピンニス mervin-sipe (新)※(地名): [名]サルモ・バルカニクス barkan-sipe (新)※(地名): [名]サルモ・ファリオイデス radicika-sipe (新)※(マケドニア語): [名]サルモ・フィブレニ f ibureno-sipe (新)※(地名): [名]サルモ・フェロクス sukotrando-sipe (新)、[名]feroksu-sipe (新)※(英語): [名]サルモ・ブラテュケファルス anatoria-sipe (新)※(地名): [名]サルモ・ベリステリクス purespa-sipe (新)※(湖名): [名]サルモ・マクロシティグマ jazair-sipe (新)※(アルジェリア鮭): [名]サルモ・マケドニクス makedonia-sipe (新)※(地名): [名]サルモ・マルモラトゥス ikarsuma-sipe (ikassuma-sipe) (新)※(大理石鮭): [名]サルモ・モンテニグリヌス monteneguro-sipe (新): [名]サルモ・ラブラクス kunneatuy-kamuycep (新): [名]サルモ・ルミ rumi-sipe (新)※(学名): [名]サルモ・レトニカ ohrido-sipe (新)※(湖名): [名]サルモ・ロウロセンシス

rouros-sipe (新)※(ルーロス鮭): [名]サルモ・ローダネンシス rône-sipe (新)※(ローヌ鮭): [名]ブラウントラウト uparusirone-sipe (新)

たいせき(堆積) [名]堆積 takma (石狩): [自]堆積する、している takmane (新): [他]～を堆積させる takmanere (takmaneka) (新)

たいせつ(腿節) [名](虫の脚の)腿節 ómik(-i) (新)

たいせつ(大切) ① [他]～を大切にする eyam (石狩)、[他] sikkasma (石狩): (表現)私が大切にしている物 ku=eyam pe (新): (表現)私が大切にしていた物 ku=eyam a p (新): (表現)(一般的に)人が大切にする物 an=eyam pe (新): [他](場所)で～を大切にする eeyam (新): [他]～と共に～を大切にする koeyam (新): [他](原因、手段)で～を大切にする oeyam (新): [他](人)に～を大切にさせる eyamte (新): [他]自分で、一人で～を大切にする yaykoeyam (新): [他]互いに、皆で～を大切にする ukoeyam (新): [他]思い切り～を大切にする toykoeyam (新): [他](中相)～が大切にされる cieyam (新): [他]人に～を大切にさせる、してもらう eyamyar (新): [自]人に自分を大切にしてもらう sieyamyar (新): [自]自分を大切ににする yayeyam (新): [自]互いを大切にしよう ueyam (新): ②(お金などを大切にしておいて使わない事を表し)[他]～を大切にする sikkasma (石狩): [他](人)に～を大切にさせる sikkasmare (新): ③[他]～を大切に扱う núnuka (石狩): [他](人)に～を大切に扱わせる núnukare (新): ④[他]～を大切に育てる pirkareska (新)、[他](雅) pirkaresu (石狩): [他](人)に～を大切に育てさせる pirkareskare (新)

たいせつさん(大雪山) [場名](地名)大雪山 Nutapkamuysir (旭川)、[名]Nutapkauspe (旭川): [名]大雪山連峰の神 nutapkamuysirkamuy (旭川)、[名]kimunkamuy (旭川)

たいぜん(泰然) [自]泰然とする mewnatara (石狩): (表現)(雅)川の水源、神の山がそびえる様は泰然としている petetok us pe kamuy-nupuri as ru konna mewnatara (沙流)

たいせんくうぼ(対潜空母) [名]対潜空母 rawkuscepkoyki-sintakotcip (新)

たいそう(体操) [自]体操する yaykatante (沙流): [他](場所)で体操する eyaykatante (新): [他]～と共に体操する koyaykatante (新): [他](原因、手段)で体

操する oyaykatante (新): [他](人)に体操させる yaykatantere (新): [自]自分で、一人で体操する yaykoyaykatante (新): [自]互いに、皆で体操する ukoyaykatante (新)

たいだ(怠惰) [名]怠惰 toranne (石狩)、[名] yayasinniwkes (天塩)

ダイダイ(橙) [名]ダイダイの茎 daydayni (新): [名]ダイダイの果実 dayday (新)※(日本語): [名]ダイダイの果実の皮 dayraykap (新): [自]橙色になる、である níkap-irone (新)、[自] órange-irone (新): [他]～を橙色にする níkap-ironeka (-ironere) (新)、[他] órange-ironeka (-ironere) (新): [名]橙色 níkapiro (沙流)、[名] órange-iro (新)

だいたいこつ(大腿骨) [名]大腿骨 ompone (石狩)

だいたいぶ(大腿部) [名](人や動物の)大腿部 om(-i) (石狩、天塩): [場名]大腿部の表側 ommekka(-si、-sike) (石狩): [場名]大腿部の裏側 omtuypok(-i) (石狩、天塩): [場名]大腿部の内側 omkotor(-o) (石狩)

だいち(台地) [名]川岸の台地、川岸の土地が一段高くなり平坦に続いている所 ninar(-i、-u) (石狩)

だいち(大地) [場名]大地 mosir (石狩): [場名](合成語の構成要素として)大地 sir (石狩): [名]大地の神 sirampakamuy (石狩)、[名] sirkorkamuy (石狩)

たいちょう(体調) ①[自]体調が良くなる、良い tumupirka (石狩)、[自] tumpirka (天塩): [自](人)の体調を悪くする tumupirkare (新): ②[自]体調が悪くなる、悪い tumuwen (石狩): [他](人)の体調を悪くする tumuwente (新)

だいちょう(大腸) [名]大腸 ruwetuy(-e) (石狩)、[名] tuypise (石狩)

たいど(態度) [名]態度 kat(-u) (新): 「君の態度は立派だったぞ。」“E=katu pirka na.”: [名](祈詞の中でイオマンテにおける仔グマの)態度 newsar (石狩): [形式名]～(する)態度 sir(-i) (石狩): 「君が私の話を聞く態度は無礼だ。」“E=en=nu sir (=katu) anakne somoyaykatanu p ne.”

だいとうりょう(大統領) [名]大統領 cinumkesisapanekur (新)、[名] sísapanekur (新)、[名] puresidento (新): (表現)大統領選挙を行う sísapanekur (puresidento) numke (新): [名]大統領制 ísapanekunnumke-puri (新): (表現)大統領制 sísapanekunnumke-puri kor (新)

だいとかい(大都会) [場名]都会 sípasekotan

(天塩)、[場名] sínoioici (新)、[名] sípasemaciya (新)、[名] síporomaciya (新)

だいどころ(台所) [場名]台所 sukeusi (新)

たいねつ(耐熱) [自]耐熱性を持つ、持っている sesekko-nisuramne (-nisuwamne) (新)、[自] sesekkoniste (新): [他]～を耐熱性を持たせる sesekko-nisuramneka (-nisuramnere) (新)、[他] sesekko-nisuwamneka (-nisuwamnere) (新)、[他] sesekkonisteka (sesekkonistere) (新): [名]耐熱ガラス sesekko-nisuramne-pekennop(-nisuwamne) (新)、[名] sesekkoniste-pekennop (新): [名]耐熱塗料 sesekko-nisuramne-iusip(-nisuwamne) (新)、[名] sesekkoniste-iusip (新): [名]耐熱容器 sesekko-nisuramne-oroiomap(-nisuwamne-oroiop) (新)、[名] sesekkoniste-oroiomap(-oroiop) (新)

たいばつ(体罰) [名]体罰 iikoykiopanakte (新): [自]人に体罰を加える iikoykiopanakte (新): (表現)(人)に体罰を加える ipanakte kusu ikoiki (新): [他]～に体罰を加える ikoykiopanakte (新)、[他] koyki (石狩): (表現)～に体罰を加える ~panakte kusu koyki (新): [自]子供に体罰を加える pokoyki (新)

だいはっせい(大発生) [自](神意によって選ばれたあるものが)その年に限って湧くように殖えて現れる、大発生する paep (天塩): (表現)クマの大発生 kamuy paep (天塩): (表現)ネズミの大発生 erum paep (天塩)

たいばん(胎盤) [名]胎盤 pópukuru (石狩)

たいひ(堆肥) (表現)堆肥 múnus mintar (B)

だいひょう(代表) [名]代表、代表する事 iyaykokawarine (新): [名]代表、代表者 iyaykokawarinekur (新): [自]代表する iyaykokawarine (新): [他]～を代表する yaykokawarine (新): [他]～に関して～を代表する eyaykokawarine (新): [他](原因、手段)～を代表する oyaykokawarine (新): [他]～に代表させる yaykokawarineka (yaykokawarinere) (新)

たいふう(台風) [名]台風 pororera (石狩): (表現)台風が去る pororera oman wa isam (新): (表現)(表現)台風が～に去る pororera eoman wa isam (新): (表現)台風が上陸する pororera yan (新): (表現)台風が～に上陸する pororera oyan (新): (表現)台風が接近する pororera hanke (新): (表現)台風が～に接近する pororera

kohanke (新): (表現)台風が～を通過する
 pororera kus (新): (表現)台風が発生する
 pororera siko (新): (表現)台風の目
 pororera siki (新)

だいふごう(大富豪) [名]大富豪 siporonispa (新)、[名] kamuynispa (kamuynonispa) (新): [自]大富豪になる、である siporonispane (新): [他]～を大富豪にする siporonispaneka (siporonispanere) (新)

だいぶぶん(大部分) [場名]大部分 poroserke (石狩): 「ここにいる人の大部分が金持だ。」
 “Te ta okay utar poroserke nispa ne .”

だいへいげん(大平原) [名]大平原 sisepnup(-i) (新)

たいへいよう(太平洋) [名](地名)太平洋 Siatuy (新)

タイヘイヨウアカボウモドキ(太平洋赤坊擬)
 (動物)[名](トックリクジラ亜科)タイヘイヨウアカボウモドキ属 ronguman-sikitekorhumpe-cise (新): [名]タイヘイヨウアカボウモドキ ronguman-sikitekorhumpe (新)※(ロングマン扇歯鯨)

たいへん(大変) ① [名]大変な事 yupkep (石狩): 「そうでなければ大変なことがあるぞ。」 “Somo ne yakun yupkep an na !” (砂沢クラ)説話: ② [間投](病気が治った人に対しねざらい)大変だったね hápap-hápap (石狩)

だいべん(大便) [名]大便 osoma (石狩)、[名] si (石狩): [自]大便する osoma (石狩): [名]大便器 osomauspe (新)、[名] cioosomauspe (新)

たいほう(大砲) [名]大砲 sipuspe (新)

だいほうてい(大法廷) [場名]大法廷 porosaymoni (新)

たいほく(台北) [場名](中華民国の実質的首都名)台北 Taypey (新)

たいまつ(松明) [名]松明 cinoyetat (石狩)、[名] sune (石狩)、[名] tatsune (石狩): (表現)松明を灯す sune áre (石狩)、(表現) sune kar (天塩)、(表現) sune uhuyka (天塩): [名]魚を獲る時に用いる松明の一種 tatuspe (石狩): [名]松明を挟む割木 suneusni (石狩)

たいもう(体毛) [名]体毛 kénuma (石狩): [自]体毛が薄い numasak (石狩): [自]体毛が濃い numaus (石狩)

ダイヤモンド [名]ダイヤモンド diamondo (新)※(英語)

ダイヤモンドダスト [名]ダイヤモンドダスト kuruppe imeru (千歳)

たいよう(太陽) (宇宙)[固名]太陽 Cup (石狩)、[名] Sirpeketcup (石狩)、[名]

Tókamcup (石狩): [名]お天道様 pinneay-hasinawkor-oynakamuy (石狩)、[名] sirpeketcup-kamuy (石狩)、[名] tokamcup-kamuy (石狩、天塩): [名]太陽光線 cupkiay (石狩): [名]日差し sikus (石狩): [名]太陽暦 peketcup-tonukarpe (新)

たいら(平ら) [自]平らになる、平らである kocipirka (新): (表現)平らになる、である koci pirka (石狩): [他](場所)で平らになる、平らである ekocipirka (新): [他]～と共に平らになる、平らである kokocipirka (新): [他](原因、手段)で平らになる、平らである okocipirka (新): [他]～を平らにする kocipirkare (新): [自]充分に平らになる、平らである kocipirkano (kocipirkanu) (新): [自]完全に平らになる、平らである oarkocipirka (arkocipirka) (新): [自]凄く平らになる、平らである toykokocipirka (新)、[自] raykocipirka (新): [他](中相)～が平らにされる cikocipirkare (新)

タイラギ(玉珧) (魚介)[名](クロタイラギ属)タイラギ bacinesey (新)

だいいり(代理) [自]代理になる、である ikawarine (石狩): [他]～の代理となる、である kawarine (新): [他](人)を～の代理とする kawarineka (kawarinere) (新): [名]代理店 ikawarinpe (新)、[名] ageysi (新)※(英語): [名]代理人 ikawarinetur (新)、[名] agento (新)※(英語)

たいりく(大陸) [場名]大陸 sisepmosir(-i) (新)、[名] koncinento (新)※(英語): [場名]大陸間 sisepmosir-utur (-uturu、-uturuke、-uturke) (新)、[場名] koncinento-utur (-uturu、-uturuke、-uturke) (新)

タイリクイタチ(大陸鼬) (動物)[名](イタチ属)タイリクイタチ santaun-saciri (新)※(別名「シベリアイタチ」): 亜種[名]チョウセンイタチ cosonun-saciri (新)

だいいりせき(大理石) [名]大理石 cioikassuma (cioikarsuma) (新)、[名] marmor (新)※(羅語)

たいりよく(体力) [名]体力 tum(-i、-u) (石狩)、[名] netopatun(-i) (新): [自]体力がある tumasnu (石狩): [他]～に体力を付ける tumasnure (新): [自]体力を付ける yaytumasnure (新)

たいれい(耐冷) [自]耐冷性を持つ、持っている méko-nisuramne (-nisuwamne) (新)、[自] mékoniste (新): [他]～を耐冷性を持たせる méko-nisuramneka (-

nisuramnere) (新)、[他] méko-nisuwamneka (-nisuwamnere) (新)、[他] mékonisteka (mékonistere) (新): [名]耐冷手袋 méko-nisuramne-tekkamup (-nisuwamne-) (新)、[名] mékoniste-tekkamup (新): [名]耐冷服 méko-nisuramne-cimip (-nisuwamne-) (新)、[名] mékoniste-cimip (-anmip, imi) (新): [名]耐冷容器 méko-nisuramne-oroiomap (-nisuwamne-oroiop) (新)、[名] mékoniste-oroiomap (-oroiop) (新)

ダイレン(大連) [場名] [中華人民共和国の遼寧省の都市名] 大連 Tárian (新)

たいわん(台湾) ①[場名] [中華民国の通称、及びその実効支配領域、あるいは台湾島を指し] 台湾 Taywan (新): ②[場名] (地名) 台湾島 Taywan-poysir (新)

ダウンロード (C P) [自] ダウンロードする iranke (新)、[名] idaunrowdo (新): [他] ~をダウンロードする ranke (新)、[他] dáunrowdo (新)※(英語): [他] (場所)で~をダウンロードする eranke (新)、[他] edaunrowdo (新): [他] (場所)に~をダウンロードする、~と共に~をダウンロードする koranke (新)、[他] kodaunrowdo (新): [他] (場所)から~をダウンロードする、(原因、手段)で~をダウンロードする oranke (新)、[他] odaunrowdo (新): [他] (人)に~をダウンロードさせ rankere (新)、[他] dáunrowdore (新)

だえき(唾液) [名] 唾液 non(-i) (石狩)

たえる(絶える) [自] 絶える siokere (石狩): (表現) 絶えてしまう siokere wa oarisam (石狩)、(表現) siokere wa isam (石狩)

たえる(耐える) [自] 耐える yaysiporore (石狩): [他] ~を耐える eyaysiporore (石狩): [他] (場所)で耐える eyaysiporore (新): [他] ~と共に耐える koyaysiporore (新): [他] (原因、手段)で耐える oyaysiporore (新): [他] (人)に耐えさせる yaysiporore (新): [自] 自分で、一人で耐える yaykoyaysiporore (新): [自] 互いに、皆で耐える ukoyaysiporore (新): [自] 減茶苦茶耐える toykoyaysiporore (新)

だえんけい(楕円形) [名] 楕円形 yakkesikarinoka (新)※(潰れた円形)

たおす(倒す) ①(ひっくり返らせる意味で)[他] ~を倒す hokuste (石狩): [他] (場所)で~を倒す ehokuste (新): [他] (場所)へと~を倒す、~と共に~を倒す kohokuste (新): [他] (原因、手段)で~を倒す ohokuste (新): [他] (人)に~を倒れさせる hokustere (新): [他] 自分で、一人で~を

倒す yaykohokuste (新): [他] 互いに、皆で~を倒す ukohokuste (新): [他] 完全に~を倒す oarhokuste (arhokuste) (新): [他] 思い切り~を倒す toykohokus (新): [他] 人に~を倒れさせる、倒してもらう hokusteyar (新): [他] 人に自分を倒れさせる、倒してもらう sihokusteyar (新): [他] 瞬間的に~を倒す hokustekka (石狩): [他] ~を何度も倒す hokususte (新): [他] ~をバツタリと倒れさせる sirosmare (新): [他] ~を後ろに倒す makahokuste (新)、[他] homakociwre (新): ②(転ばせる意味で)[他] ~を倒す hatcire (石狩)、[他] hácire (天塩): [他] (人)に~を倒れさせる hatcirere (新)、[他] hácirere (新): ③(木など固定されたものに関して)[他] グラグラさせて~を倒す tursere (天塩): [他] (人)に~をグラグラさせて倒させる turserere (新): ④(大木や建造物などに関して)[他] ~ををドツと倒す orakte (石狩、天塩)、[他] horakte (沙流): [他] (人)に~をドツと倒させる oraktere (新)、[他] horaktere (新): ⑤[他] (中相)~が倒される cikohopitare (石狩): (表現) (神が起こした烈風により木々が倒される様を描写し) 折れたくないものは根こそぎ倒される kay niwkres pe sinrit tura cikohopitare (石狩)

タオル [名] タオル cioipirpap (新)、[名] tenenko (石狩)、[名] táwor (tówer) (新)※(英語)

たおれぎ(倒れ木) [名] 倒れ木 samamni (石狩、天塩)、[名] horakni (天塩)

たおれそうである(倒れそうである) [自] 倒れそうである onene (天塩)

たおれる(倒れる) ①(ひっくり返る意味で)[自] 倒れる hokus (石狩): [他] (場所)で倒れる ehokus (新): [他] (場所)へと倒れる、~と共に倒れる kohokus (新): [他] (原因、手段)で倒れる ohokus (新): [自] 自分で、一人で倒れる yaykohokus (新): [自] 互いに、皆で倒れる ukohokus (新): [自] 完全に倒れる oarhokus (arhokus) (新): [自] 減茶苦茶に倒れる toykohokus (新): [自] 何度も倒れる hokuskus (石狩): [自] 瞬間的に倒れる hokustek (新): [自] バツタリと倒れる、ドツとひっくり返る sirosma (石狩): [自] 後ろへ倒れる、ひっくり返る makahokus (石狩)、[自] homakociw (石狩): [自] (合成語の構成要素として)倒れる hotari (天塩): ②(転ぶ意味で)[自] 倒れる hatcir (石狩)、[自] hácir (天塩): ③[自] 前のめりに倒れる、躓いて倒れる esitciw (石狩): [自] 前のめ

りにどっと倒れる murkosanu (沙流): (表現)(雅)前のめりにどっと倒れ伏す esitciw sir ko murkosanu (沙流): ④(木など固定されたものに関して)[自]グラグラして倒れる turse (天塩): ⑤(大木や建造物に関して)[自]ドッと倒れる orak (天塩): [自]急にドッと倒れる orakkosanu (石狩): [自]頻りにドッと倒れる ciorakrototo (新)、[自] orakrototke (新): [他]何度もドッと倒れる orakrakatki (新): [自]続けてドッと倒れる oraknatara (新): [自]瞬間的に倒れる oraktek (新): ⑥(ずれ動いて崩れるように)[自]倒れる、倒れ伏す rutke (沙流): (表現)(死んで)神の姿で霊の姿で倒れ伏す kamuy sinne pito sinne rutke (沙流): [自]ドッと倒れる、倒れ伏す rutkosanu (新)、[自] rutkosampa (沙流): ⑦(表現)(突然気を失ったり、死んだりして倒れる様子の常套句)萎れた草のようにバツリ倒れる sumkinayne noykosanu (石狩)

たが(他我) (哲学)(表現)他我 oyakur kor kuaninep (新)

たが(箍) [名]たが kut-ci (石狩): [自]～に箍がはまる kúto (石狩): (表現)～に箍がはまる kut o (石狩)

ダガー [名]ダガー dagger (新)※(英語)、[名] kinjar (新)※(露語)

ダカル [場名](セネガル共和国の首都名)ダカル Dakar (新)

たがい(互い) [接頭](他動詞や後置副詞、位置名詞に接頭して取り得る目的語の数を一つ減らし)互い u (石狩、天塩): u + rayke(～を殺す)→ urayke 「互いを殺す→殺し合う」: u+ka (～の上)→ uka 「互いの上」

たかい(高い) ①[自]高い ri (石狩): ②[場名]高い所 rik-ci (石狩): (表現)高い所に rik ta (石狩): [連体]高い所の rikun (石狩): [名]高い丘 rihur (石狩): [名]高い岩崖 rikut (新): [名]高い土崖 rípira (新): [名]高い崖になった川岸 rihuruntoska (石狩): [名]高い山 rínupuri (石狩): ③[自]高い所にいる、ある rikoma (石狩): [他]～と共に高い所にいる、ある korikoma (新): [他](原因、手段)で高い所にいる、ある orikoma (新): [自]～の先が高い所にある erikoma (新): [自]～の末尾が高い所にある orikoma (新): [自](雅)～の先頭が高い所にある koerikoma (石狩): 「…私のいる先頭の郡列の先は高い所にあり…」 “…ci=saypa pake koerikoma…” (杉村キナラブック)神謡

たがいちがい(互い違い) [名]互い違い

herakora (美幌)※(C 2 p. 5 5 2): [自]互い違いになる、である herakorane (新): [他]～を互い違いにする herakoraneke (herakoranere) (新): [副]互い違いに herakorane(-no) (新): [自]互い違いに付く uoyakun (新): [自]互い違いに沢山付く uoyakus (新)

たがいに(互いに) [接頭](自動詞や他動詞、位置名詞に接頭して取り得る目的語の数を一つ減らし)互いに uko (石狩、天塩): uko + itak (話す)→ ukoytak 「互いに話す→会話する」: uko + uturke(～の間)→ ukouturke 「～の互いの間」: [副]互いに uekota (石狩): 「…あの男が怒って出て来ると皆は互いに顔を見合わせ見合わせ…」 “…nea okay iruska kor asin ayke aynupitta uekota inkar, inkar…” (杉村キナラブック)説話: (表現)互いに utaspa pakno (沙流): [自]互いに遠く離れている ukattuyma (石狩): [副]互いに遠く離れて ukattuymano (石狩)

たかいびき(高駈) (表現)高駈をかく、～の駈の声は剥がれる音を立て続ける、高駈をかく～ etoro hawe mesrorotke (幌別): (表現)高駈をかく、～の駈の聲の騒々しさは凶事に大勢があげる雄たけびの如く騒々しい～ ki etoro yupkep haw kunne uhaw ta royse (幌別)

たかく(高く) ①[自]高くなる、高い ri (石狩): [他](場所)で高くなる、高い eri (新): [他]～と共に高くなる、高い kori (新): [他](原因、手段)で高くなる、高い ori (新): [他]～を高くする rika (ríre) (新): [自]充分に高くなる、高い rino (rínu) (新): [自]充分に高くなる、高い oanri (anri) (新): [自]凄く高くなる、高い toykori (新)、[自] rayri (新): [副]高く rino (新): (表現)高く ri kane (新): [副]高く高く rínatara (新): ②[自]背が高くなる、高い keweri (石狩): [他]～の背を高くする kewerika (kewerire) (新): ③(価格に関して)[自]高くなる、高い yupke (石狩): (表現)～の価格が高くなる、高い ataye hawke (石狩)、(表現) ataye pirka (石狩)、(表現) ataye ruy (天塩): [他]～を高くする yupkeka (yupkere) (新)

たかくささげる(高く捧げる) [他]～を高く捧げる rikuyruke (石狩): (表現)(何かを受け取って感謝の仕草として受け取ったものを上下させる事を表し)～を高く捧げ、低く捧げる rikuyruke ráuyruke (石狩)

たかくそくりょう(多角測量) [自]多角測量する innesikkew-osirpakari (新)

たかくはねる(高く跳ねる) [自]高く跳ねる、高く

跳び上がる rikoterke (石狩)、[自] oriknaterke (石狩): [他](場所)で高く跳ねる erikoterke (新)、[他] eoriknaterke (新): [他](場所)へ高く跳ねる、～と共に高く跳ねる korikoterke (新)、[他] kooriknaterke (新): [他](原因、手段)で高く跳ねる orikoterke (新)、[他] ooriknaterke (新): [他]～を高く跳ねさせる rikoterkere (新)、[他] oriknaterkere (新): [自]自分で、一人で高く跳ねる yaykorikoterke (新)、[自] yaykooriknaterke (新): [自]互いに、皆で高く跳ねる ukorikoterke (新)、[自] ukooriknaterke (新): [自]思い切り高く跳ねる toykorikoterke (新)、[自] toykooriknaterke (新)

たかくもちあげる(高く持ち上げる)①[他]～を高く持上げる rikipuni (石狩): [他](場所)で～を高く持上げる erikipuni (新): [他]～へと～を高く持上げる korikipuni (新): [他]～と共に～を高く持上げる korikipuni (新): [他](原因、手段)で～を高く持上げる orikipuni (新): [他](誰か)に～を高く持上げさせる rikipunire (新): [他]自分で、一人で～を高く持上げる yaykorikipuni (新): [他]互いに、皆で～を高く持上げる ukorikipuni (新): [他]完全に～を高く持上げる oanrikipuni (anrikipuni) (新): [他]思い切り～を高く持上げる toykorikipuni (新): [他](中相)～が高く持上がる cirikipuni (石狩): (表現)下の海が持上がり、上の海が沈み込む pokna atuy cirikipuni kanna atuy ciraorare (石狩): ②[他]～の頭、上の部分、先の部分を高く持上げる erikipuni (石狩): ③～の尾、下の部分、末端を高く持ち上げる orikipuni (新)

たかくら(高倉) [名]高倉 setayumpu (八雲)

たかさ(高さ) [名]高さ ríru(-we) (新): (表現)高さを計る ríru pákari (新)

タカサゴトキンソウ(高砂吐草) (植物)[名](キク科)タカサゴトキンソウ属 síapaporayta-kikukina-cise (新): [名]タカサゴトキンソウの茎葉 síapaporayta-kikukina (新)※(本当の花毬菊草): [名]メリケントキンソウの茎葉 amerika-siapaporayta-kikukina (新)

タカサブロウ(高三郎) (植物)[名](キク科)タカサブロウ属 amamtoytakur-kopankikukina-cise (新): [名]タカサブロウの茎葉 amamtoytakur-kopankikukina (新)※(別名「モトタカサブロウ」、「ボクトソウ」。漢方薬「旱蓮草」): [名]アメリカタカ

サブロウの茎葉 amerika-amatoytakur-kopankikukina (新)

たかだい(高台) [名]高台 hunki (石狩)※(海岸の地形としては「浜から上がってくると一段高くなってハマナスなどが生えている地帯」、「海岸の砂丘」の意味で用いられる。)、[名] nikewruru (天塩)

たかっけい(多角形) [名]多角形 innesikkewkonno (新)、[他] sikkewusnoka (新): [自]多角形である innesikkewkor (新)、[自] sikkewusnoka (新)

たかなット(高ナット) [名]高ナット tanne-matnecinyep (新)、[名] iukote-matnecinyep (新)、[名] pinnecinyep-ukote-metnecinyep (新)※(「長ナット」、「つなぎナット」、「ジョイントナット」とも)

タカノツメ(鷹の爪) (植物)[名](ウコギ科)タカノツメ属 sícikapamus-cise (新): [名]タカノツメ sícikapamus (新)

たがやす(耕す) [自]耕す toyta (石狩): [他](場所)を耕す、～のために耕す etoyta (石狩): [他]～と共に耕す kotoyta (新): [他](原因、手段)で耕す otoyta (新): [他](人)に耕させる toytare (新): [自]自分で、一人で耕す yaykotoyta (新): [自]互いに、皆で耕す ukotoyta (新): [自]すっかり耕す oattoyta (attoyta) (新): [自]思い切り耕す toykotoyta (新): [自]人に耕させる、耕してもらう toytayar (新)

だから (原因、理由を示し)[後副]～だから kusu (石狩): 「吹雪きだからお前は来ないというんだね?」“Upun kusu somo e=ek hawe?”: [接助]～だから kusu (石狩): 「お前は風邪をひいているのだから寝ていたらしい。」“Eani anakne e=omkekar kusu e=hotke kane an yak pirka.”: [接助](過去の原因、理由を示し)～だったのだから akusu (複数 rokkusu) (石狩)、[接助] wakusu (石狩)、[接助] hikusu (石狩)※(従来“akusu”の複数形“rokkusu”は極まれにしか使われなかった。また“hikusu”は従来“ikusu”の形でのみ現れた。): 「お前は働かなかったのだから何ももらえないのだ。」

“Eani anakne somo e=monrayke akusu (= wakusu、hikusu) nep ne yakka somo e=kore=an ruwe ne.”: [接頭](動詞に接頭して原因を示し、その際動詞が取り得る目的語の数を一つ増やし)～のだから o- (石狩)、[接頭] e- (石狩): 今後新語を作る場合には“o-”を標準的に用いる事とする。

たから(宝) [名]宝 ikor (石狩): (表現)宝物の中の良き物で座右を飾る ikor otta pirka

hike esosamkarkar (沙流): [名]宝箱
ikorosupop (新)、[名] ikorokarawto
(新): [名]女の宝箱 sutkarawto (石狩)
タガログ [名]タガログ語 tagarogitak (新)
だかん(兌換) [他]～を兌換する、～と兌換する
itasare (新): [他]～を～と兌換する
tasare (新): [名]兌換紙幣 itasare-
ikorkampi (新)、[名] itasare-kampiikor
(新)

たかんさよう(他感作用) [名]他感作用
ukosihumnuyar (新)、[名] areropati
(新)※(英語)

タガンローグ [場名](ロシア連邦南部連邦管区
ロストフ州の都市名)タガンログ Taganrok
(新)

たき(滝) [名]滝 so (石狩): (表現)滝が落ち
る so ran (石狩)、(表現) so ratki (石
狩): [名]滝の神 sókorkamuy (石狩):
[名]滝が落ちる岩崖の上部 sókip (石狩):
(表現)滝が落ちる崖の上 sókip ka (石狩)

たきぎ(焚き木) ①[名]焚き木 apecikunni
(石狩)、[名] apeni (石狩)、[名] áreni (石
狩)、[名] kaykuma (kaykima) (石狩)、
[名] satni (石狩): ②[場名]焚き木の燃え
さし apekes (石狩): [場名]燃えている
焚き木の燃えていない方 apearkes (石狩)

たきぐせ(抱き癖) (表現)(赤子に)抱き癖がつく
sikismayar eramus (幌別)

だきしめる(抱き締める) [他]～を抱き締める
kisma (石狩): [他](場所)で～を抱き締
める ekisma (新): [他](場所)に～を抱き締
める、～と共に～を抱き締める kokisma
(新): [他](原因、手段)で～を抱き締める
okisma (新): [他](人)に～を抱き締めさせ
る kismare (新): [自]抱き締め合う
ukisma (新): [他]～をぐっと抱き締める、
～を強く抱き締める toykokisma (石狩)

たきつぼ(滝壺) [名]滝壺 sóhattar(-i) (天
塩)、[場名] sóput (石狩)

だきよう(妥協) (表現)妥協して自分の意志、
意見、目的を変える、妥協して法律を変える
irenka komo (新): (表現)妥協して自分の
言った言葉を取り消す itak komo (石狩):
(表現)妥協して自分のやり方を変える puri
komo (新): (表現)妥協して自分の考えを
変える yaynu komo (新)

たく(炊く) [自]ものを炊く isuwe (新):
[他]～を炊く suwe (石狩): [他](場所)で
～を炊く esuwe (新): [他]～と共に～を
炊く kosuwe (新): [他](原因、手段)で～
を炊く osuwe (新): [他](人)に～を炊か
せる suwere (新): [他]人に～を炊かせ
る suweyar (新):

たく(焚く) [他](火)を焚く áre (石狩): (表

現)火を焚く ape áre (石狩): [他](場所)
で(火)を焚く eare (新): [他]～と共に
(火)を焚く koare (新): [他](原因、手段)
で(火)を焚く oare (新): [他](人)に(火)を
焚かせる árere (新): [他]人に(火)を焚か
せる áreyar (新)

だく(抱く) ①(動かぬように腕で)[他]～を抱く、
抱き止める kisma (石狩): 「わが子を抱
いているから食事ができない。」 “Ku=poho
ku=kisma kusu ku=ipe eaykap .”, 「私が出
ていこうとすると抱き止められた。」

“Ku=asin kusu iki ayke enci=kisma .”:
[他](人)に～を抱かせる、抱き止めさせる
kismare (新): [自]抱き合う ukisma
(新): [他]～をぐっと抱く、～を強く抱く
toykokisma (石狩): ②(一連の動作の一段
階として)[他]～を抱く ani (複数 ampa)
(石狩): (表現)…の両手で～を抱く …
uteke ani ~ ani (複数 ampa) (石狩):
「私は子犬達を両腕で抱いて帰ると玄関の
物置で飼った。」 “Poyseta utar ku=ampa wa
ku=hosipi ayke mosem otta ku=reska .”:
[他]～に～を抱く eani (複数 eampa) (石
狩): [他](人)に～を抱かせる anire (複数
ampare) (新): ③(ある場所に抱く事)(表
現)…の腕の中に～を抱く … temnikor(長
形-o) ~ omare (石狩): (表現)…の腕の
中に～を優しく抱っこする …
temnikor(長形-o) ~ nitata (新)、(表現)…
temkor(長形-o) ~ nitata (石狩): [他]～
を自分の膝の上に抱く sitemkoromare
(幌別): [他]～を膝の上で抱く
temkoromare (幌別): ④(特に抱き合っ
て横になる事)[他]～を抱く、抱いて寝る
tumam (石狩)※(婉曲的に「～と性行為をす
る」の意味でも用いられる): [他](人)に～を
抱かせる、抱いて寝させる tumamte (新):
[自]抱き合う、抱き合って寝る utumam
(石狩): (表現)抱き合って寝る utumam
wa hotke (石狩)

たくさ(手草) [名](魔祓いの)手草 tákusa
(taksa) (旭川): 通常ヨモギなどが用いら
れたというのが、イオマンテの際などには棒の
先にササを付けて用いられ、現在では後者が
一般的となっている。

たくさん(沢山) ①[自]沢山ある poro (石
狩): [副]沢山 poronno (石狩): (表現)
沢山いる、ある poronno an (石狩): (表
現)(特に人や動物に関して)沢山いる
poronno okay (石狩): ②(人口、人数に関
して)[自]沢山いる inne (石狩): 単独の
用例では人の数に関してだが、合成語の構成
要素としては生物や物が多い意味で使われ
ている。“poro”の意味が多いことを考えると

今後生物や物が「多くなる」、「多い」の意味でも使用する。：③[自]思ったより沢山ある oipean (沙流)

たくしあげる(たくし上げる) [他](着物の裾)をたくし上げる horkakomo (石狩)：[他](人)に(着物の裾)をたくし上げさせる horkakomore (石狩)：[自](着物の裾)がたくし上がる hekomo (石狩)：(表現)たくし上がった着物をパッと下ろす hekomo imi epittekka (石狩)

タクソン (分類)[名]タクソン takson (新) ※(英語)

ダグラス [場名](イギリスの王室保護領マン島の首都名)ダグラス Dáguras (新)

たくらむ(企む) [名]企み renkap(-i) (沙流)：(表現)悪だくみ wenrenkap(-i) (沙流)：[自]企む renkapkor (新)：[他]～を企む erenkapkor (新)：[他]場所で企む erenkapkor (新)：[他]～と共に企む korenkapkor (新)：[他](原因、手段)で企む orenkapkor (新)：[他](人)に企ませる renkapkore (新)：[自]自分で、一人で企む yaykorenkapkor (新)：[自]互いに、皆で企む ukorenkapkor (新)：[他]人に～を企ませる erenkapkorar (新)

たくわえる(蓄える) [自]蓄える isikkasma (新)：[他]～を蓄える sikkasma (石狩)：「もしものためにお金を蓄えるべきだ。」

“Nepka yupkep an yak wen kusu ikor an=sikkasma kunip ne .”：[他](場所)に～を蓄える esikkasma (新)：[他]～と共に～を蓄える kosikkasma (新)：[他](原因、手段)で～を蓄える osikkasma (新)：[他](人)に～を蓄えさせる sikkasmare (新)：[他]自分で、一人で～を蓄える yaykosikkasma (新)：[他]互いに、皆で～を蓄える ukosikkasma (新)：[他]完全に～を蓄える oassikkasma (assikkasma) (新)：[他]もの凄く～を蓄える toykosikkasma (新)：[他]人に～を蓄えさせる、してもらおう sikkasmayar (新)

だけ ①[副]～だけ ouse (石狩)：「ごみだけがあって、金目の物は全くなかった。」

“Ouse mun an wa ataykor pe sinep ka isam .”、「私は食事をしないから骨と皮だけになってベットに横たわっていた。」“Somo ku=ipe kusu ouse pone ku=ne wa amset ka ta ku=hotke wa an .”：②[副]～だけ eru (石狩)：「お前たちは仲間だけで仕事を回している。」“Esokay anakne monrayke eru utari tura es=ukousaraye ranke .”：③[後副]～だけ patek (石狩)：「団子一つだけください。」“Sito sinep patek en=kore yan .”、「あなたはいつも同じ物だけ残す。」

“Ramma sinep patek somo es=e .”、「君だけを愛しているよ。」“Eani patek e=osiknuka=an wa .”、「君は泣くだけで何も言わなかった。」“E=cis patek ki no nep ka ye ka somo ki .”：(表現)～だけでもただ事でないのに、あろうことか～～ patek ne yakka sawrekunip somo ne korka imakaketa ～ (石狩)：④(表現)～できるだけ～する ene pak+名詞化された動詞+pakno+動詞+a+動詞 (石狩)：「…彼女は檻の周りにそれを伸ばせるだけ伸ばして…」“…ene pak cituri pakno set okari turi a turi aine…” (杉村キナラブック)説話

たけ(他家) [名]他家 anuncise (新)：[連体]他家の atce (石狩)：(表現)他家の戸口 atce apa (石狩)

タケ(竹) (植物)[名](イネ科)タケ亜科 sitopmoapa (新)：[名]インヨウチク属 hibasitop-cise (新)※(比婆竹)：[名]アズマザサ属 tókiomouras-cise (新)：[名]オカメザサ属 sípontop-cise (新)：[名]カンチク属 mataehetukusitop-cise (新)：[名]ササ属 uras-cise (新)：[名]シホウチク属 ínesikkewnusitop-cise (新)：[名]スズタケ属 cicap-cise (新)：[名]トウチク属 tóci-cise (新)：[名]ナリヒラダケ属 narihirasitop-cise (新)：[名]ホウライチク属 apeharkikanesitop-cise (新)：[名]マダケ属 siwsitop-cise (新)：[名]メダケ属 matneuras-cise (新)：[名]ヤダケ属 ayneuras-cise (新)：②[名]竹 sitop (新)、[名] top (H)：[名]竹の葉 sitopam(-u) (新)、[名] sítopam(-u) (新)：[名]竹の茎(稈) sitop (新)：[名]竹の花 sitopapappo (新)：[名]竹の実 sitopamam(-a) (新)：[名]竹の若芽、筍 sitopto (新)：[名]竹の稈鞘 sitopkap(-u) (新)

ダケカンバ(岳樺) (植物)[名](カバノキ属)ダケカンバの茎 kamuytatni (十勝)：[名]その樹皮 kamuytat (十勝)、[名] métat (石狩)

タケコウモリ(竹蝙蝠) (動物)[名](ヒナコウモリ科)タケコウモリ属 sitopkapap-cise (新)：[名]タケコウモリ sitopkapap (新)：[名]オオタケコウモリ porositopkapap (新)：[名]ティロニクテリス・ピグマエウス nokan-sitopkapap (新)

ダゲスタン [場名](ロシア連邦北カフカース連邦管区の構成主体名)ダゲスタン共和国 Dagestan Ukotankoremosir (新)：[名]ダゲスタン語派 dagestan-itakuekarpa (新) ※(コーカサス諸語北東コーカサス語族の一派)

タケダギク(武田菊) (植物)[名](キク科)タケダギク属 ponsirkutunekikukina-cise (新): [名]タケダギクの茎葉 ponsirkutunekikukina (新)、[名]その花 ponsirkutunekikukina (新)※(別名「シマボロギク」): [名]ウシノタケダギクの茎葉 b́aratoek-kutunekikukina (新): [名]ダンドボロギクの茎葉 amerikaoek-kutunekikukina (新): [名]

たけひご(竹籤) [名]竹籤 cimimsitop (新)、[名] cimimtop (新): [自]竹籤を作る sitopmim (新)、[自] topmim (新)

たこ(1)(鰐) [名](鳥形の)鰐 kampilikap (B)
タコ(蛸) (魚介)[名]タコ atkorpe (八雲)、[名] atuinne (八雲)、[名] atuinaw (沙流) → 生物としての分類は「はちわんけいじょうもく」「八腕形上目」を見よ: [名]タコの大將 atkorkamuy (穂別): [名]漏斗 conko (新): [名]タコの頭 atkokorpekonci (新): [名]タコ足 atkorpecikir(-i) (新): [名]触腕 tomtomustek(-e) (新): [名]タコ墨 atkorpepaspe (新): [名]タコの吸盤 tomtom(-i) (蛇田)、[名] takosintoko (幌別): [名]タコの卵 atkorpeciporo (新)、[名] atkorpeamam (新)

タコイカ(蛸烏賊) (魚介)[名](テカギイカ科)タコイカ属 atkorpe-epetpetke-cise (新): [名]タコイカ atkorpeepetpetke (新): [名]テナガタコイカ tekettanne-atorke-epetpetke (新) [名]マッコウタコイカ humpeipe-atorke-epetpetke (新): [名]ヤワラタコイカ cimapakkor-atorke-epetpetke (新)

だこう(蛇行) (表現)蛇行する rewkerewke oman (複数 paye) (石狩): (表現)～を蛇行させる rewkerewke omante (複数 payere) (新)

だし(出汁) [名]出汁 ohaw(-e) (石狩)

たしかに(確かに) [副]確かに sonno (石狩)、[副] sino (石狩)

タジキスタン [場名](国名)タジキスタン共和国 Tajikistan Ukotankoremosir (新)※(首都は「ドゥシャンベ」): [場名](国名の通称として)タジキスタン Tajikistan (新)

タジク [名]タジク人 tajikkur (新): [名]タジク語 tajikkuritak (新): (歴史)[場名](国名)タジク・ソヴィエト社会主義共和国 Tajik Soviet Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1929-1991年。ウズベク・ソヴィエト社会主義共和国より分離昇格。ソ連邦の構成国の一つとなり、同連邦崩壊後に独立。アイヌ語の略称は "Tajik SUU".)

タシケント [場名](ウズベキスタン共和国の首

都名)タシケント Taskento (新)

たしざん(足算) [名]足算 piskipukotama (新)、[名] cipiskipukotama (新): [自]足算する piskipukotama (新)

だしぬく(出し抜く) (表現)～を出し抜いて ～ arke ta (沙流): 「お前は私を出し抜いて成功しようというんだな?」“Eani anakne en=arke ta e=epirka rusuy ruwe?”

だす(出す) ①(何処かから人や物を出したり、賠償を出す事)[他]～を出す asinke (複数 asipte) (石狩)※(対義語は ahunke): 「君は何故私を部屋から出したがるの?」

“Nepkusu tumpu orwa e=en=asinke rusuy?”: [他]～と共に～を出す easinke (複数 easipte) (新): [他](場所)に～を出す koasinke (複数 koasipte) (新): [他](場所)から～を出す oasinke (複数形 oasipte) (石狩): [他](原因、手段)で～を出す oasinke (複数 oasipte) (新): [他](人)に～を出させる asinkere (複数 asiptere) (新): ②(山から村や浜、山の上から下、川筋に上流から下流、支流から本流に移動させたり、容器から物を取り出したり、人体などから声などを出したり、知らせ、命令を出す事)[他]～を出す sanke (複数 sapte) (石狩): 「私は人を浜に出して鯨の脂肪や肉を背負わせて来させた。」“Pis ta ku=utari ku=sapte wa humpe rika ka kami ka ku=sere wa ku=ekte.”、「私達は箱から道具を出した。」“Supop orwa cieiwankep ci=sanke.”: (表現)声を出す haw sanke (石狩): (表現)知らせを出す sonko sanke (石狩): (表現)命令を出す irenka sanke (石狩): [他](場所)に～を出す、(人)に対して～を出す、(人)のために～を出す kosanke (複数 kosapte) (石狩): [他]～と共に～を出す kosanke (複数 kosapte) (新): [他](場所)から～を出す、(原因、手段)で～を出す osanke (複数 osapte) (新): [他](人)に～を出させる sankere (複数 saptere) (新): ③[他](目の前)に～を出す、(声)を出す sanasanke (石狩): 「私の目の前にその男が財布を出した。」“En=kotca ene nea okkayo ikorop sanasanke.”

[他](人)に～を前に出させる sanasankere (新): [他](中相)～が(目の前)に出される cisanasanke (石狩)

たす(足す) ①[他](計算で)～を足す ukotama (石狩): 名詞(数詞)+名詞(数詞)+an=ukotama wa+名詞(数詞)+ne an の形で用いられる。: 「二足す三は五である。」

“Tup rep an=ukotama wa asiknep ne an.”: ②[他](短い物)を繋ぎ足す、継ぎ足す uousi (石狩)

たすう(多数) [自]多数になる、である inne (石狩): [他](場所)で多数になる、である einne (新): [他]〜と共に多数になる、である koinne (新): [他](原因、手段)で多数になる、である oinne (新): [他]〜を多数にする innere (inneka) (新): [自]互いに多数になる、である ukoinne (新): [自]すっかり多数になる、である oarinne (arinne) (新): [自]もの凄く多数になる、である toykoinne (新): [名]多数者 inneutar (新): [名]多数派 inneike (新)

たすき(褌) [自]褌をかける itasko (沙流): [他](人)に褌をかけさせる itaskore (新): [名]褌 cioitaskop (新): (表現)褌 ani itasko p (沙流): [名]褌の紐 itaskoat(u) (沙流)

たすける(助ける) ①(危機を救う意味で)[自]人を助ける、助けに行く、来る ikaopas (石狩)、[自] ikaopiwka (新): [連他]〜を助ける、助けに行く、来る kasi-opas (ka-opas) (石狩)、[連他] kasi-opiwka (ka-opiwka) (石狩): (表現)私は君を助ける e=ka=ku=opas (石狩)、(表現) e=ka=ku=opiwka (石狩): (表現)私は彼(彼女、彼ら)を助ける kasi=ku=opas (石狩)、(表現) kasi=ku=opiwka (石狩): [他](人)に人を助けさせる、助けに行かせる、来させる ikaopaste (新)、[他] ikaopiwkare (新): [自]自分を助けてもらう、助けに来させる sikaopasyar (新)、[自] sikaopiwkayar (新): [自]自分で自分を助ける yaykaopas (新)、[自] yaykapiwka (新): [自]助け合う、皆を助ける ukaopas (新)、[自] ukaopiwka (新): [自]人に助けを求める isikaopaste (新)、[自] (新): [他]〜に助けを求める sikaopaste (石狩)、[他] sikaopiwka (新)、[他] (雅) cikaopaste (石狩): [自]神に助けを求める kamuy-sikaopaste (石狩)、[自] kamuy-sikaopiwka (新): ②(手伝う意味で)[自]人を助ける ikasuy (石狩): [他](人)に人を助けさせる ikasuyre (新): [他]〜の件で人を助ける eikasuy (石狩): [他]〜と共に人を助ける koikasuy (新): [他](原因、手段)で人を助ける oikasuy (新): [他](人)を助ける kasuy (石狩): [他](人)に(人)を助けさせる kasuyre (新): [他]〜の件で(人)を助ける ekasuy (新): [他]〜の件で(人)に(人)を助けさせる ekasuyre (新): [自]助け合う ukasuy (天塩): [他](人)に助け合わせる ukasuyre (新)

たずねる(尋ねる) ①(一般的な質問に関して)[自]尋ねる pisi (石狩): [他]〜について尋ねる episi (新): [他](場所)で尋ねる

episi (新): [他]〜に尋ねる kopisi (石狩): [他]〜と共に尋ねる kopisi (新): [他](原因、手段)で尋ねる eyaykopisi (新): [他](人)に尋ねさせる pisire (新): [他]自分で、一人で〜について尋ねる kopisi (新): [他]互いに、皆で〜を尋ねる eukokopisi (新): [他]すっかり〜について尋ねる oarepisi (arepisi) (新): [他]〜について尋ねまくる etoykopisi (新): [他]人に〜について尋ねさせる、尋ねてもらう episayar (新): [自]自分で自分に尋ねる yaykopisi (新): [自]自分の心に尋ねる yayramkopisi (新): [自]互いに尋ね合う、皆に尋ねる ukopisi (新): ②(事情、消息、訳などに関して)[自]尋ねる uepekennu (石狩): [他]〜について尋ねる euepekennu (新): [他](場所)で尋ねる euepekennu (新): [他]〜に尋ねる kouepekkennu (石狩): [他]〜と共に尋ねる kouepekkennu (新): [他](原因、手段)で尋ねる ouepekkennu (新): [他](人)に尋ねさせる uepekennure (新): [他]人に〜を尋ねさせる、尋ねてもらう uepekennuyar (新)

タスマニア [場名](オーストラリアの州名)タスマニア州 Tasmania-purovince (新)※(州都は「ホバート」): [場名](地名)タスマニア島 Tasmania-poysir (新)

タスマニアクジラ(タスマニア鯨) (動物)[名](ツチクジラ亜科)タスマニアクジラ属 tasmania-sicikapetukorhumpe-cise (新): [名]タスマニアクジラ tasmania-sicikapetukorhumpe (新)

ただ ①[副]ただ〜だけ ouse (石狩): 「…ただ草だけが一箇所にあり…」 「…ouse mun sineanta an…」(杉村キナラブック)説話、「それはただ骨だけになっている…」 「Ouse pone ne wa an…」(砂沢クラ): ②[副]ただ〜だけ heru (沙流)、[副] eru (石狩): 「本当にあなたが結婚すべき娘であるから、ただそっちへあなたは行けば良い…」 「…sonno e=kor kuni menoko ne kusu eru ekota e=oman yak pirka…」(杉村キナラブック)、「ただ知り合いだけが集まった。」 「Eru uamkir utar uekarpa .」: ③[後副]ただ〜だけ patek (石狩): 「ただ君の事だけ大切にしていよ。」 「Eani patek ku=eyam kusune na .」、「私はただそれを笑うだけだった。」 「Kuani anakne ku=emina patek ki .」

タタール ①[名](ロシア連邦などに居住するチュルク系の民族として)タタール人 tatarkur (新): [名]タタール語 tatarkuritak (新)※(チュルク諸語北西語群に属する言語。): ②[名](モンゴル、チュル

ク、あるいはツングース系の民族の総称として)タタール tatar (新)、[名] tatarkur (新): ③[場名](ロシア連邦沿ヴォルガ連邦管区の構成主体名)タタールスタン共和国 Tatarustan Ukotankoremosir (新)※(首都は「カザン」)

だたい(墮胎) [自] 墮胎する hoke (新): [他](人)を墮胎させる hokere (新): [自] 墮胎手術をする hokeitekotasare (新)、[自] hokeoperationki (新): (新)墮胎手術をする hoke kusu itekotasare (新)

たたえる(称える) ① [自] 人やものを称える iotuwasi (新)、[自] iomonnure (新): [他] ~を称える otuwasi (石狩)、[他] omonnure (沙流): [他](人)に~を称えさせる otuwasure (新)、[他] omonnurere (新): [他] 人に~を称えさせる otuwasiyar (新)、[他] omonnureyar (新): [自] 人に自分を称えさせる siotuwasiyar (新)、[自] siomonnureyar (新): [自] 称え合う uotuwasi (新)、[自] uomonnure (新): ②(感謝し称賛する)[自] 人、あるいは物を称える iramyé (新): [連他] ~を称える ramu-ye (ram-ye) (石狩): (表現)私は彼を称える ramu=ku=ye (石狩)、(表現)私は君を称える e=ram=ku=ye (石狩): (表現)~に…を称えさせる … ramu ~ yere (新): [自] 人に自分を称えさせる siramyeyar (新): [自] 称え合う uramyé (新): [自] 人に自分を称えさせる (新): ③(容姿に関して)[自] 人やものを称える ireka (新): [他] ~を称える reka (沙流): [他](人)に~を称えさせる rekare (新): [他] 人に~を称えさせる rekayar (新): [自] 人に自分を称えさせる sirekayar (新): [自] 称え合う ureka (新)

たたかう(戦う) [名] 戦い tumi (石狩): [名](雅)戦(いくさ) tumunci (石狩)、[名](雅)凶事 rorumpe (石狩): [自] 戦う tumikor (石狩): [他](場所)で戦う etumikor (新): [他] ~と戦う kotumikor (石狩): [他](原因、手段)で戦う otumikor (新): [他] ~に戦わせる tumikore (新): [他] ~を~と戦わせる kotumikore (新): [他] 人に~と戦わせる kotumikorar (新): [自] 互いに戦う、皆で戦う ukotumikor (天塩): [他] ~を互いに戦わせる ukotumikore (新): [他] ~が原因で戦いになる otuminere (石狩)

たたききる(叩き切る) [自] 物を叩き切る itawki (itawke) (新): [他] ~を叩き切る tawki (tawke) (石狩): [他] ~と共に~を叩き切る kotawki (kotawke) (新): [他](原因、手段)で~を叩き切る otawki

(otawke) (新): [他](人)に~を叩き切らせる tawki (tawke) (新): [他] 完全に~を叩き切る oattawki (attawki) (新)、[他] oattawke (attawke) (新): [他] 思い切り~を叩き切る toykotawki (toykotawke) (新): [他](中相)~が叩き切られる citawki (citawke) (新)

たたきこむ(叩き込む) (表現)(殴る)何度も激しく拳を~に叩き込む tu ruy moysutu re ruy moysutu ~ esankekar (沙流)

たたきつける(叩きつける) [自] 辺りに人、物を叩きつける isirekikkar (新): [他] 辺りに~を叩きつける sirekikkar (新): [他] ~に人、物を叩きつける iekikkar (新): [他] ~に~を叩きつける ekikkar (石狩)

たたきのめす(叩きのめす) ① [他] ~を叩きのめす toykokikkik (石狩): ② [他](物)で~を叩きのめす toykikkar (石狩)

たたきわる(叩き割る) [自] 物を叩き割る itawki (itawke) (新): [他] ~を叩き割る tawki (tawke) (石狩): [他] ~と共に~を叩き割る kotawki (kotawke) (新): [他](原因、手段)で~を叩き割る otawki (otawke) (新): [他](人)に~を叩き割らせる tawki (tawke) (新): [他] 完全に~を叩き割る oattawki (attawki) (新)、[他] oattawke (attawke) (新): [他] 思い切り~を叩き割る toykotawki (toykotawke) (新): [他](中相)~が叩き割られる citawki (citawke) (新)

たたく(叩く) ①(一回)[他] ~を叩く kik (石狩): (複数回)[他] ~を叩く kikkik (石狩): 何度も何度も叩く事を強調する時には "kikkikkikkik" と "kik" を重ねる。また意味上「~を叩かない」は "somo kik" だが、今後 "somo kikkik" は「(一度は叩いたかもしれぬが)~を何度も叩かない」とする。: [他](場所)で~を叩く ekikkik (新): [他] ~と共に~を叩く kokikkik (新): [他](原因、手段)で~を叩く okikkik (新): [他](人)に~を叩かせる kikkikte (新): [他] 自分で、一人で~を叩く yaykokikkik (新): [他] 互いに、皆で~を叩く ukokikkik (新): [他] ~ひどく叩く、~を叩きまくる toykokikkik (石狩)、[他] toykikkar (八雲): [他] 人に~を叩かせる、叩いてもらう kikkikyar (新): [自] 人に自分を叩かせる sikikkikyar (新): [自] 自分で自分を叩く yaykikkik (新): [自] 叩き合う ukikkik (新): ② [他] ~を叩く sitayki (石狩): [他] ~を思い切り叩く esissitayki (石狩)、[他] sirkositayki (新): ③ [他] ~を拳で叩く hankuekar (新)※(天塩): [他](人)に~を拳で叩かせる hankuekare (新)④ [自]

ものをトントン叩く、叩いて細かくする
 itata (新): [他]~をトントン叩く、叩いて細かくする
 táta (石狩): (表現)氷頭をトントン叩く
 huype táta (石狩): [他](人)に~をトントン叩かせる、叩いて細かくさせる
 tátare (新): [他]何度も~をトントン叩く、叩いて細かくする
 tátatata (石狩)
ただごと(ただ事)(表現)ただ事ではない
 sawre kunip somo ne (石狩)、(表現) earikinne sirkir somo ne (石狩)
ただしく(正しい)①[自]正しい oupekano (石狩)、[自](新): [他]~を正しくする
 oupekanore (新)、[他] oupekare (oupekaka) (新): [自]自分で、一人で正しい
 yaykoooupekano (yaykoooupeka) (新): [自]互いに、皆で正しい
 ukoooupekano (ukoooupeka) (新): [自]完全に正しい
 oaroupekano (oaroupeka) (新)、[自] aroupekano (aroupeka) (新): [自] 凄く正しい
 toykoooupekano (toykoooupeka) (新): [副]正しく
 oupekano (石狩)、[副] ankoraci (天塩): ②[自](問いへの回答に関して)正しくなる、正しい
 pirka (石狩): [副]正しく
 pirkano (石狩)
たたせる(立たせる)[自]人を立たせる iaste (複数 irosikire) (新): [他](人)を立たせる
 aste (複数 rosikire) (石狩): 目下複数形は未確認につき造語。尚、物など「を立てる」は"asi"。: [他](場所)に(人)を立たせる
 easte (複数 erosikire) (新): [他](場所)に向けて(人)を立たせる、~と共に~を立たせる
 koaste (複数 korosikire) (新): [他](原因、手段)で(人)を立たせる
 oaste (複数 orosikire) (新): [自]人に自分を立たせてもらう
 sikoasteyar (新):
ただで [副]ただで annuno (沙流)、[副] oikossakno (oikorsakno) (新)
ただの ①(ありふれた)[連体]ただの úse (石狩): (表現)ただの人間 úse aynu (石狩): ②(「何も持たぬ」、「位が低い」など否定的な意味合いで)[連体]ただの eru (石狩): (表現)(神などに対し無力の)ただの人間 eru aynu (石狩): (表現)ただの和人 eru samo (石狩)
たたみ(畳)[名]畳 tatami (新)※(日本語)
たたみめ(畳目)[名]畳目 nik (石狩): [位名]~の畳目の間 nikor(長形-o) (石狩)
たたむ(畳む)[他]~を畳む nikokar (石狩): 「私はハンカチを畳んでポケットに入れた。」“Mosenkaki ku=nikokar wa pokket or ku=omare.”: [他](人)に~を畳ませる
 nikokare (新): [他]自分で、一人で~を畳む
 yaykonikokar (新): [他]皆で~を畳

む ukonikokar (新): [他]すっかり~を畳む
 oannikokar (annikokar) (新): [他]人に~を畳ませる
 nikokarar (新)
ただれる(爛れる)[自]爛れる kapsak (幌別)、[自] kappicitke (屈斜路)、[自] pisse (樺太白浦)、[自] ituypa (幌別)、[自] utuypa (幌別)、[自] tuypa (幌別): [自]涙で目の縁が爛れる
 núpeko-isamtuypa (幌別): [自](肉刺が潰れたり床ずれで)爛れる
 ipopo (樺太白浦)
だだをこねる [自]座り込んで足をばたばたさせてだだをこねる
 hokerekere (沙流): [他]~と共に座り込んで足をばたばたさせてだだをこねる
 kohokerekere (沙流): (表現)座り込んで泣いて足をばたばたさせてだだをこねる
 cis ne an pe kohokerekere (沙流): [自]座り込んで泣いて足をばたばたさせてだだをこねる
 ciskohokerekere (沙流)
たち(太刀)[名]太刀 emus (石狩)、[名](雅) tam (石狩)
たちあがる(立ち上がる) [自]立ち上がる
 hopunire (複数 hopumpa) (石狩): [他](場所)で立ち上がる
 ehopunire (複数 ehopumpa) (新): [他]~と共に立ち上がる
 kohopunire (複数 kohopumpa) (新): [他](原因、手段)で立ち上がる
 ohopunire (複数 ohopumpa) (新): [他]~を起き上がらせる
 hopunire (複数 hopumpare) (新): [自]ぱっと立ち上がる、ちょっと立ち上がる
 hopuntek (新): [他]~をぱっと立ち上がらせる、ちょっと立ち上がらせる
 hopuntekka (新): [自]ぱっと立ち上がる
 matkosanu (石狩)、[自] matkosampa (新): [他]~をぱっと立ち上がらせる
 matkosanure (新): [自]皆一斉に立ち上がる
 ciparasoso (沙流): (表現)彼らは~に座っていたが、皆一斉に立ち上がって逃げまどう
 eurokte rok pe ciparasoso wa arukirare (新): [自]手をついてむくっと立ち上がる
 hetemerowski (沙流)
たちいわ(立岩) [名]立岩 cis(i) (H)
たちかげ(太刀影)[名]太刀影、振るわれた刀の影 tamkur (石狩): (表現)(激しく斬りつける様を表し)二つの太刀影、三つの太刀影を躍らせる
 tu yupke tamkur re yupke tamkur eterkerpa (石狩)
たちき(立木) [名]立木 asni (石狩)、[名] cikunni (cikuni) (石狩)※(単に"ni"とも言う。)
たちぎき(立ち聞き) [自]立ち聞きする
 pákokanu (沙流): [他]~を立ち聞きする
 epakokanu (新): [他](人)に立ち聞きさせる
 pákokanu (新)

たちどまる(立ち止まる) [自]立ち止まる as (複数 roski) (沙流): [他](場所)で立ち止まる eas (複数 eroski) (新): [他]~と共に立ち止まる koas (複数 koroski) (新): [他](原因、手段)で立ち止まる oas (複数 oroski) (新): [他](人)を立ち止まらせる aste (複数 roskire) (新): [自]自分で、一人で立ち止まる yaykoas (複数 yaykoroski) (新): [他]互いに、皆で立ち止まる ukoas (複数 ukoroski) (新)

たちのぼる(立ち昇る) (煙、湯気、匂いなど)[自]立ち昇る at (石狩): [他](場所)で立ち昇る eat (新): [他]~と共に立ち昇る koat (新): [他](原因、手段)で立ち昇る oat (新): [他]~を立ち昇らせる atte (石狩): (表現)煙だけは立てられるように一生活していけるように supuya poka atte kuni (石狩): [他](場所)で~を立ち昇らせる eatte (新): [他]~と共に~を立ち昇らせる koatte (新): [他](原因、手段)で~を立ち昇らせる oatte (新)

たちよる(立ち寄る) (表現)(何処かへ行く)その途中に~に立ち寄る rúhontom (hontom) ta ~ otta (ekota など)+移動の動詞 (石狩): 「私は買物に行く途中で川村のエカシの家に立ち寄った。」“Ihok kusu ku=oman hontom ta Petcamun ekasi ekota ku=oman .”, 「その途中で彼は私の所に立ち寄った。」“Rúhontom ta en=otta ek .”, 「私は富良野から札幌に行く途中で美唄に立ち寄るつもりです。」“Húranuy wa Sapporo ta sap=as hontom ta Pipaoy ta sap=as .”, 「彼らは松前に交易に行く途中で八雲の村に立ち寄った。」“Uymam kusu Matumay korepa hontom ta Yúrap-kotan ta yap .”: [自]立ち寄る henoye (複数 henoypa) (沙流): [他](場所)に立ち寄る ehenoye (複数 ehenoypa) (新): [他]~と共に立ち寄る kohenoye (複数 kohenoypa) (新): [他](原因、手段)で立ち寄る ohenoye (複数 ohenoypa) (新): [他](人)に立ち寄らせる henoyere (複数 henoypare) (新)

タツ [間投](擬声語)タツ(という音) tak (H): [自](一回)タツと鳴る takkosanu (新): [自]タツタツと頻りに音をたてる citakrototo (新)、[自] takrototke (新): [自]タツタツと何度も鳴る takakatki (新): [自]タツタツと鳴り続ける taknatara (新): [自]瞬間的にタツと鳴る、ちょっとタツと鳴る taktek (新)

たつ(立つ、建つ、起つ) ①[自]立つ、建つ as (複数 roski) (石狩、天塩)、[自] etaras (天塩): 「一本の白樺の傍に私は立った。」“Sine tatni samake ta ku=as .” (砂沢ク

ラ)(表現)立っている as wa an (複数形 roski wa okay) (石狩、天塩)、(表現) as kane an (複数形 roski kane okay) (石狩)、(表現) etaras wa an (天塩): (表現)一軒の家が建っている sine cise as wa an (石狩)、(表現) sine cise kane an (石狩): 「ここに立ってなさいよ。」“Te ta as wa an (as kane an) ya !”, 「彼は木を切りに山に行って立ちつくしている。」“Nina kusu makan te etaras wa an .” (知里全集別巻Ⅱ): (表現)並んで立つ upekano roski (石狩): 「私達は並んで立つから写真撮ってよ。」“Upekano roski=as kusune kusu nokauk yan !”: [他](場所)に立つ、建つ eas (複数形 eroski) (新): [他]~と共に立つ、建つ koas (複数形 koroski) (新): [他](原因、手段)で立つ、建つ oas (複数形 oroski) (新): [自]自分で、一人で立つ yaykoas (複数 yaykoroski) (新): [自]互いに、皆で立つ ukoas (複数 ukoroski) (新): [自]手をついて膝で立つ etemerroski (沙流): ②(立ち上がるの意味で)[自]起つ hopunire (複数 hopumpa) (石狩): [自]手をついてむくっと起つ hetemerroski (沙流)

ダッカ [場名](バングラデッシュ人民共和国の首都名)ダッカ Dáka (新)

だっかく(奪格) (言語)[名]奪格 ciikoukrewke (新)※(奪われる者格)

だっきゅう(脱臼) [自]脱臼する uoyakosma (石狩)、[自] uhayta (石狩): [他]~を脱臼させる uoyakosmare (新)、[他] uhaytare (石狩)

だっこく(脱穀) (農業)[自]脱穀する amamkar (石狩): [他](場所)で脱穀する eamamkar (新): [他]~と共に脱穀する koamamkar (新): [他](原因、手段)で脱穀する oamamkar (新): [他](人)に脱穀させる amamkare (新): [名]脱穀機 amamkarkikay (石狩)、[名] cioamamkarpe (新)

だつごく(脱獄) [自]脱獄する rówente (新)、[自] setcari (新): (表現)脱獄する ro orwa(-no) kira (新)、(表現) ro wente (新): [他](人)に脱獄させる rówentere (新)、[他] setcarire (新): [名]脱獄囚 rówentekur (新)、[名] satcarikur (新)

たっしない(達しない) [他]~に達しない hayta (石狩)、[他] ehayta (石狩): [他]~と共に~に達しない kohayta (新)、[他] koehayta (新): [他](原因、手段)で~に達しない ohayta (新)、[他] oehayta (新): [他]~が~に達しないようにする haytare (新)、[他] ehaytare (新)

たっしゃ(達者) ①(健康に関して)[自]達者に

なる、である *tótek* (石狩)、[自] *tóteknu* (石狩)、[自] *iwanke* (石狩)： [副]達者に *tótekno* (石狩)、[副] *iwankenno* (石狩)： [名]達者な人 *tóteknukur* (石狩)、[名] *cipapakur* (石狩)、[名] *iwankekur* (新)： ②(技量に関し)[他・助動]～が達者である *easkay* (新)： 「名詞+動詞」、例えば「計算が達者である」なら *"ipiski-easkay"* で、「計算が達者な人」は *"ipiski-easkaykur"* となる。また「動詞句+助動詞」で、例えば「お金の勘定が達者である」なら *"ikor piski easkay"* となる。： ③[自]足が達者である *nitan* (石狩)

たっしゃ(達者) ①(技量に関して)[他]～が達者である *easkay* (石狩)： (表現)～達者、～達者な人 動詞、動詞句+*easkay+kur* (新)： ②(健康に関して)[自]達者になる、である *iwanke* (石狩)、[自] *tótek* (石狩)： [自]達者になる *tóteknu* (石狩)： [副]達者に *iwankenno* (石狩)、[副] *tótekno* (石狩)： [名]達者な人 *cipapa* (新)

だっしゅつ(脱出)(表現)脱出する *kira wa asin* (複数 *asip*) (新)： (表現)(人)を脱出させる *kirare wa asinke* (複数 *asipte*) (新)

たっじん(達人) [名]真の達人 *sínoaskaykur* (*síaskaykur*) (新)、[名]真の達人女性 *cipaoaskaymat* (*síaskaymat*) (新)： [名]達人 *askaykur* (新)、[名]達人女性 *askaymat* (新)： (表現)～の達人 名詞、自動詞+*easkay+kur* (新)、(表現)自動詞+*no(nu)+kur* (新)、(表現)名詞+*etok+kor+kur* (新)： [名]ゲームの達人 *imeruesinotpe-easkaykur* (新)、[名] *imeruesinotpe-etokkorkur* (新)

たっする(達する)[自]達する *sirepa* (石狩)、[自] *yaysirepare* (新)： [他]～を連れて達する、～と共に達する *esirepa* (新)： [他](場所)に達する *kosirepa* (石狩)、[他](雅) *ekosirepa* (石狩)： [他](場所)から達する、(原因、手段)で達する *osirepa* (新)： [他]～を達しさせる *sirepare* (石狩)： [他]～を(場所)に達しさせる *kosirepare* (石狩)： [他]～を(場所)から達しさせる、～を(原因、手段)で達しさせる *osirepare* (新)： [自]自分で、一人で達する *yaysirepare* (新)： [自]互いに、皆で達する *uesirepa* (新)： [自]皆が達する *usirepare* (新)

だっそう(脱走) [自]脱走する *kira* (石狩)、[自] *yaykirare* (石狩)： [他]～を連れて脱走する、～と共に脱走する *ekira* (新)： [他](場所)へ脱走する *kokira* (石狩)： [他](場所)から脱走する、(原因、手段)で脱走

する *okira* (新)： [他](人)を脱走させる *kirare* (石狩)： [自]自分で、一人で脱走する *yaykokira* (新)： [自]互いに、皆で脱走する *ukokira* (新)： [自]皆が脱走する *ukirare* (石狩)： [自]手に手をとって逃げる、二人で脱走する *uekira* (新)： (表現)手に手をとって二人で脱走する *utekampa wa uekira* (新)、(表現) *tunne uekira* (新)

だった ①[助動](異なる時間の状態、動作を叙述する際に先の状態を示し)～だった *a* (複数 *rok*) (石狩)： 単なる過去を表す言葉ではない事に注意。： 「朝は雨だったけれど今は晴れている。」 *"Kunnano ru Yampe as a korka tane sirpirka ."*、「君達は貧乏だったけれど、随分金持になったんだなあ。」

"Wempe es=ne rok pe, sonno nispa es=ne ru ana ."、「私の娘は病弱だった(今は違う)。」

"Ku=matnepo tumuwen a ru ne ."： ②[助動](過去に起こった事柄を叙述する際、過去のその時点で話者が知らなかった情報を補足する文で動詞の後に置かれ)～だったのである *awan* (複数 *rokokay*) (石狩)※(従来複数形 *"rokokay"* の使用は非常に稀。)： 「…まさか眠ると思ってなかったが眠ってしまったのであったが…」 *"…mokorkasomoki=an pokon yaynu=an hine mokor=an awan tek …"* (杉村キナブリク)説話、「…成程チェパッテカムイを私は買って来たのだったよ。」 *"…orowaciki cepattekamuy an=hok wa arki=an ruwe ne awan na ."* (杉村キナブリク)説話

たったいま(たった今)(表現)たった今 *tanepo konna* (沙流)、(表現) *tan te otta* (新)： (表現)たった今から *tan te wano* (石狩)： (表現)たった今まで *tan te pakno* (新)

タツタソウ(竜田草)(植物)[名](メギ科)タツタソウ属 *kásayepmun-cise* (新)： [名]タツタソウの茎葉 *kásayepmun* (新)※(別名「イトマキシソウ」)： [名]アメリカタツタソウの茎葉 *amerika-kasayepmun* (新)

だっぴ(脱皮) ①(蛇や虫の幼虫などに関し) [自]脱皮する *sikapama* (新)： [他]～を脱皮させる *sikapamare* (新)： ②(甲殻類などに関して)[自]脱皮する *siseyama* (新)： [他]～を脱皮させる *siseyamare* (新)

タッピングねじ [名]タッピングねじ *cinoyesikay(e)* (新)

たっぶり ①(量に関して)[副]たっぶり *poronno* (石狩)： (表現)たっぶりある *poronno an* (石狩)： ②(程度に関して)[副]たっぶり *ruyno* (石狩)： (表現)たっぶり

～する 自動詞+ruy (石狩): [自]たつぷり食べる iperuy (石狩): [自]たつぷり眠る mokonruy (石狩)
たつまき(竜巻) [名]竜巻 rerasiw (石狩)、[名] rerasuy (天塩)
だつりょく(脱力) [自]脱力する kewosak (keosak) (石狩): [他](場所)で脱力する ekewosak (新): [他]～と共に脱力する kokewosak (新): [他](原因、手段)で脱力する okewosak (新): [他]～を脱力させる kewosakka (新)
たて(縦) [副]縦に epesno (天塩): [後副]～の縦に pesno (石狩): (表現)縦に～を計る epesno pakari (天塩)、(表現) pesno pakari (石狩)
たて(盾) [名]盾 tamkikhumpe (B)、[名] kikhumpe (B)
タデ(蓼) [植物][場名](双子葉植物綱)タデ目 tante-kotan (新): [名]タデ科 tante-apa (新): [名]タデ属 tante-cise (新): ※(この辞書ではイスタデ属に分類する。日本語のタデはイスタデ属の「ヤナギタデ」の事): [名]イタドリ属 ikokuttar-cise (新): [名]イスタデ属 yayantande-cise (新): [名]イブキトラノオ属 upashudemun-cise (新): [名]オンタデ属 kamuysiuskuttar-cise (新): [名]ジンヨウスイバ属 sikarihamusmakaro-cise (新): [名]ジンヨウスイバの茎葉 sikarihamusmakaro (新)※(別名「マルバギシギシ」): [名]ズイバ属 makaro-cise (新): [名]ソバ属 sompakina-cise (新): [名]ソバカズラ属 sompapunkar-cise (新): [名]ダイオウ属 sunapa-cise (新): [名]ツルドクダミ属 kasiwpunkar-cise (新): [名]ミズヒキ属 karpe-cise (新): [名]ミチヤナギ属 rucausmun-cise (新)
たていと(経糸) [名]経糸 aturika (石狩)
たておび(縦帯) [名]縦帯 ipeskut(-ci) (新)、[名] askut(-ci) (新)
たてがみ(鬘) [名]鬘 pákeru(-we) (新)、[名] otop(-i) (新)
たてごと(堅琴) [名]堅琴 kúnekoto (新)、[名] arpa (新)※(伊語): [名]古代ギリシヤの堅琴 ríra (新)※(伊語)
タテジマイソギンチャク(縦縞磯巾着) (魚介)[名](イソギンチャク目)タテジマイソギンチャク科 ruo-heunnay-apa (新): [名]タテジマイソギンチャク ruo-heunnay (新): [名]チグレインソギンチャク pekennoruo-heunnay (新)
たてぼり(堅堀) [名]堅堀 aspecir (新): [名]畝状堅堀 urenka-aspecir (新): [名]放射状堀 cieusaakkatne-pecir (新):

[名]連続堅堀 uroskire-pecir (新)
たてまつる(奉る) [他](人)を奉る、奉っておく aynukor (天塩): [他](人)に(人)を奉らせる aynukore (新)
たてる(立てる、建てる) ① [他]～を立てる asi (複数 roski) (石狩、天): 「クマ穴の入口に木が一本立てられたら…」 “Cise parota sine ni an=asi awa…” (砂沢クラ)、「灰の中にアシを何本も立てるんだよ。」 “Una oske ta ki an=roski wa un .”、「戸板を立てる→戸を閉める。」 “Apusta an=asi .”: [他](場所)に～を立てる easi (複数 eroski) (新): [他](場所)へ向けて～を立てる koasi (複数 koroski) (石狩): [他]～と共に～を立てる koasi (複数 koroski) (新): [他](原因、手段)で～を立てる oasi (複数 oroski) (新): [他](人)に～を立てさせる asire (複数 roskire) (新): [他]自分で、一人で～を立てる yaykoasi (複数 yaykoroski) (新): [他]互いに、皆で～を立てる ukoasi (複数 ukoroski) (新): [他]すっかり～を立てる oarasi (複数 oanroski) (新)、[他] arasi (複数 anroski) (新): [他]凄く～を立てる toykoasi (複数 toykoroski) (新): [他]人に～を立てさせる、立ててもらう asiyar (複数 roskiyar) (新): ②(建造物に関して)[他]～を建てる asi (複数 roski) (石狩)、[他] kar (石狩): (表現)家を建てる cise asi (石狩)、(表現) cise kar (石狩): (表現)何軒も家を建てる cise roski (石狩): [他](場所)に～を建てる easi (複数 eroski) (新)、[他] ekar (新): [他]～と共に～を建てる koasi (複数 koroski) (新)、[他] kokar (新): [他](原因、手段)で～を建てる oasi (複数 oroski) (新)、[他] okar (新): [他](人)に～を建てさせる asire (複数 roskire) (新)、[他] káre (新)
たどうし(他動詞) (言語)[名]他動詞 imoyeitak (新)、[名] imoyep (新)
たとえ (表現)たとえ～しても、たとえ～でも nekon + 動詞句 + yakka (石狩)、(表現) eikos + 動詞句 + yakka (石狩)、(表現) ehuyne + 動詞句 + yakka (沙流)、(表現) ehuyne pakno + 動詞句 + yakka (沙流)、: 「たとえ私達が忠告しても、お前は聞きもしない。」 “Pirka kunip nekon ci=ye yakka e=nu ka somo ki .”、「たとえあなたが金持ちでも永遠に生きられない。」 “Ehuyke nispa es=ne yakka neypakno es=siknu eaykap .”
たとえば(例えば) (表現)(一般的に例としてあげるなら)例えば an=yé yakun (ciki, kor) (新): (表現)(私が例としてあげるなら)例えば ku=ye yakun (ciki, kor) (新)
たどりつく(たどり着く) [自]たどり着く

sirepa (石狩): [他]~を連れてたどり着く、
~と共にたどり着く esirepa (新):
[他](場所)にたどり着く kosirepa (石狩)、
[他] epa (八雲)、[他](雅) ekosirepa (石
狩)。[他](雅) ciepakte (久保寺): [他](場
所)から到着する、(原因、手段)でたどり着く
osirepa (新): [他]~をたどり着かせる
sirepare (石狩): [他]~を(場所)にたどり
着かせる kosirepare (石狩): [他]~を
(場所)からたどり着かせる、~を(原因、手段)
でたどり着かせる osirepare (新): [自]
自分で、一人でたどり着く yaysirepa
(新): [自]互いに、皆でたどり着く
uesirepa (新): [自]皆がたどり着く
usirepare (新)

たどる(辿る) ①(道に沿って進む)[他]~をたど
る kus (石狩): [他](人)に~をたどらせ
る kuste (新): [自]道をたどる rúkus
(新): (表現)道をたどる ru orpeka(-no)
oman (複数 paye) (石狩): [他](人)に道を
たどらせる rúkuste (複数 rúkuspare)
(沙流): ②(追跡する)[他]~をたどる kari
(石狩): (表現)~の足跡をたどる ~ ruwe
kari (石狩): [他](人)に~をたどらせる
karire (新): ③(イナウに彫られた祖
印)[他]~をたどる opepe (石狩)、[他]
opeope (沙流): [他]~に~をたどらせる
opepere (新)、[他] opeopere (新)

たどん(炭団) [名]炭団 tantaktak (新)

たな(棚) [名]棚 san (石狩)

たなえだ(棚枝) [名]棚枝 sannni (新)※
("esanieoma"「シュモクザメ」の構成要素と
して見られる。)

タナゴ(鱧) (魚介)[名](コイ科)タナゴ亜科
séyor-koisankep-moapa (新): [名]タナゴ
属 séyor-koisankep-cise (新): [名]タナ
ゴ séyor-koisankep (新)※(別名「マタナ
ゴ」): [名]アカヒレタビラ
rapkeshureseyor-koisankep (新): [名]
イタセンバラ itasempara (新)※(日本
語): [名]オオタナゴ síporoseyor-
koisankep (新): [名]カネヒラ
poroseyor-koisankep (新)※(日本語): [名]
ゼニタナゴ icenseyor-koisankep (新):
[名]アカントロデウス属 akantorhodeus-
cise (新): [名]アブラボテ属 rapsuttuk-
cise (新): [名]パラケイログナトウス
parakeyrognatus-cise (新): [名]バラタナ
ゴ属 rózaseyor-koisankep-cise (新)

たに(谷) [名]谷 pínay(-e) (石狩): (表現)谷
底 pínay asam (長形-a) (石狩): (表現)
谷の縁、谷の縁にある道 pínay páru(長形-
rke) (石狩)、(表現) nisey páru(長形-
rke) (沙流): (表現)深い谷 rawne pínay

(沙流): [名]狭い谷 nisey (天塩)

ダニエル (聖書)[名](人名)ダニエル
Daniyer (新)※(預言者): [名]ダニエル書
Daniyer-kampisós (新)

ダニオ (魚介)[名](コイ科ラスボラ亜科)ダニオ
属 dánio-cise (新): [名]オレンジグリッ
ターダニオ níkaopironemike-danio (新):
[名]シマヒメハヤ ruodanio (新) ※(別名
「ゼブラダニオ」、「ゼブラフィッシュ」):
[名]ダニオ・エリスミクロン
pewresiwninmike-danio (新): [名]ダニ
オ・キャスビット aosiwninruo-danio
(新): [名]ダニオ・ロゼウス rúhure-danio
(新): [名]パールダニオ seyoikor-danio
(新): [名]ブルーダニオ aosiwnin-danio
(新)

たにがわ(谷川) [名]谷川 naye (石狩):
[名]流れるとも流れぬともつかぬ谷川
pécir(-i) (網走): [名]細く深いえぐられた
ような谷川 pínay (石狩)、[名] pinnay
(H)

たにくか(多肉果)(植物)[名]多肉果 kámus-
ikaop(-i) (新)

タニクチス(魚介)[名](ラスボラ亜科)タニクチ
ス属 taniktis-cise (新)※(学名): [名]ア
カヒレ kantontaniktis (新): [名]ベトナ
ムアカヒレ betnamtaniktis (新)

たにん(他人) [名]他人 anun(-i) (石狩):
[他]~を他人扱いする anunkopa (新):
[他](場所)で~を他人扱いする eanunkopa
(新): [他]~と共に~を他人扱いする
koanunkopa (新): [他](原因、手段)で~を
他人扱いする oanunkopa (新): [他](人)
に~を他人扱いさせる anunkopare (新):
[他]人に~を他人扱いさせる anunkopayar
(新): [副]他人扱いなされずに
cianunkopasakno (石狩)

たにんぎょうぎ(他人行儀)[自]他人行儀である
ocamperak (釧路)

タヌキ(狸) ①(動物)[名](イヌ科)タヌキ属
moyuk-cise (新): [名]タヌキ moyuk
(石狩)、[名] moyuk-cironnup (天塩): 亜
種[名]エゾタヌキ yaun-moyuk (新):
[名]ホンドタヌキ samorun-moyuk (新):
②顔が黒い狸 suke-moyuk (B)※(熊の料
理番と考えられる): [自]狸送りをする
moyuk-omante (空知)

たね(種)[名]種 pi(-ye) (石狩): (表現)種を
蒔く pi carpa (新)

たのしく(楽しく)[自](誰かにとって)楽しくな
る、楽しい nucaktek (石狩)、[自]
kiroroan (複数 kirorookay) (石狩): [他]
~が楽しくなる、楽しい enucaktek (新)、
[他] ekiroroan (石狩): [副]楽しく

nucaktekno (新)、[副] kiroroanno (新):
(表現)楽しく nucaktek kane (新)、(表現)
nucaktek tura (新)、(表現) kiroroan kane
(新)、(表現) kiroroan tura (新)

たのしむ(楽しむ)①[自]楽しむ、楽しんでいる
kiroroan (複数形 kirorookay) (石狩)、[自]
ramuriten (石狩): [他]～を楽しむ、楽し
んでいる ekiroaroan (石狩)、[他]
eramuriten (石狩): [他](場所)で楽しむ、
楽しんでいる ekiroaroan (新)、[他]
eramuriten (新): [他]～と共に楽しむ、楽し
んでいる kokiroroan (新)、[他]
koramuriten (新): [他](原因、手段)で楽し
む、楽しんでいる ekiroaroan (okiroroan)
(新)、[他] eramuriten (oramuriten) (新):
[他](人)を楽しませる kiroroante (石狩)、
[他] ramuritenka (石狩): [他]～で(人)
を楽しませる ekiroaroante (新)、[他]
eramuritenka (新): [自]自分を楽しませ
る、一人楽しむ yaykiroroante (新)、[自]
yayramuritenka (新): [自]互いに楽しみ
合わせ、皆で楽しむ ukiroroante (石狩)、
[自] uramuritenka (新): ②(歌や踊りや
物語をして、あるいは会話をして)[自]楽しむ
newsar (石狩): [他]～を楽しむ
enewsar (石狩): [他]～と共に楽しむ
konewsar (新)、[他] enewsar (石狩):
[他](人)を楽しませる newsarka (石狩)、
[他] newsare (天塩): [他]～で(人)を楽
しませる enewsarka (新)、[他]
enewsare (新): [自]互いに楽しむ、皆で楽
しむ uenewsar (石狩)、[自] unewsarka
(新): [他]～を互いに楽しむ、皆で楽しむ
euenewsar (石狩)、[他] euenewsarka
(新): [自]自分で一人楽しむ yayenewsar
(新)、[自] yaynewsarka (新): [他]～を
自分一人で楽しむ eyayenewsar (新)、[他]
eyaynewsarka (石狩): [他]耳を楽しませ
る ekisannewsarka (新)、[他]
ekisannewsare (新): [他]～で目を楽しませ
る esiknewsarka (新)、[他]
esiknewsare (新): [自]自分一人で美味し
い物を食べて楽しむ yayawnewsarka
(新)、[自] yayenewsarka (新): [自]皆で
美味しい物を食べて楽しむ uawnewsarka
(新)、[自] uenewsarka (新): [自]一人で
オナニーをして楽しむ yayonewsarka
(新): [自]相互オナニーをして楽しむ
ukoyayonewsarka (新): [自]一緒にセッ
クスを楽しむ uonewsarka (新): ③[他]
～を楽しむにする rawe (沙流): 「私達
は貴方にお会いできるのを楽しみにしてお
りますよ。」“Es=nukar=an kuni ci=rawe kor
okay=as ruwe ne wa .”

たのむ(頼む)①(助力、援助を)[自]人に頼む
inisuk (天塩): [他](人)に頼む nisuk
(石狩): [他]～について(人)に頼む enisuk
(新): [他](場所)で(人)に頼む enisuk
(新): [他]～と共に(人)に頼む konisuk
(新): [他](原因、手段)で(人)に頼む onisuk
(新): [他](人)に(人)に頼ませる nisukte
(新): [他]自分で、一人で(人)に頼む
yaykonisuk (新): [他]皆で(人)に頼む
ukonisuk (新): [他](人)に頼みまくる
toykonisukpa (新): [他]互いに頼む
unisuk (新): ②(相談をもちかけ)[自]人に
頼みごとをする ikoramkor (石狩): [他]
～について人に頼む eikoramkor (石狩):
[他](人)に頼みごとをする koramkor (石
狩): [他]～について(人)に頼む
ekoramkor (koeramkor) (新): [他](人)
に(人)に頼みごとをさせる koramkore
(新): [他]人(人)に頼みごとをさせる、し
てもらう koramkorar (新): [自]人に自
分に頼みごとをさせる sikoramkorar
(新): [自]互いに頼みごとをする
ukoramkor (新)

たば(束)①[名]束 cimuyep (新)、[名]
anmuyép (新): ②[名]先を束ねたもの
ciemuyep (anemúyep) (新): ③[名]中ほ
どを束ねたもの citomomuyep
(antomómuyep) (新): ④[名]真ん中を束
ねたもの cinoskimuyep (annóskimuyep)
(新): ⑤[名]末端(根元)を束ねたもの
ciomuyep (anomúyep) (新): ⑥[名]束ね
合わせたもの ciukomuyep (anukómuyep)
(新)

ダバオ [場名](フィリピン共和国領ミンダナオ
島の都市名)ダバオ Davao (新)

たばこ(煙草) [名]煙草 tampaku (石狩)、
[名] tampako (石狩)、[名] tampakku
(石狩)、[名] tapaku (天塩): (表現)煙草
を吸う tampaku (tampako、tampakku)
ku (石狩)、(表現) tapaku ku (天塩):
(表現)煙草をやめる tampakuku osura
(新): [名]煙草入れ tampakuop (石狩):
[名]煙草盆 tampakunima (新)

たばねる(束ねる)①[自]物を束ねる imuye (複
数 imuypa) (新): [他]～を束ねる muye
(複数 muypa) (石狩): [他](場所)で～を
束ねる emuye (複数 emuypa) (新):
[他]～と～を束ねる komuye (複数
komuypa) (新): [他](原因、手段)で～を
束ねる omuye (複数 omuypa) (新)、[他]
emuye (石狩): [他](人)に～を束ねさせる
muyere (複数 muypare) (新): [他]自分
で、一人で～を束ねる yaykomuye (複数
yaykomuypa) (新): [他]皆で～を束ねる

ukomuye (複数 ukomuypa) (新): [他]完全に～を束ねる oarmuye (複数 oarmuypa) (新)、[他] armuye (複数 armuypa) (新): [他]思い切り～を束ねる toykomuye (複数 toykomuypa) (新): [他]人に～を束ねさせる、束ねてもらう muyereyar (複数 muypareyar) (新): ② [他]～の先端を束ねる emuye (複数 emuypa): ③ [他]～の中程を束ねる tomomuye (複数 tomomuypa) (新): ④ [他]～の真ん中を束ねる noskimuye (複数 noskimuypa) (新): ⑤ [他]～の末端を束ねる omuye (複数 omuypa) (新): ⑥ [他]～を束ねて縛る ukomuye (石狩): [他]～を束ねてきつく縛る suppakar (石狩)

たばんこう(多板綱) (魚介)[名](軟体動物門)多板綱 séyuspe-pet (新): [場名]古ヒザラガイ目 huskomeyo-kotan (新): [場名]新ヒザラガイ目 asirmeyo-kotan (新)

たび(足袋) [名]足袋 tampi (石狩)

たび(旅) [名]旅 omanan (新)、[名] sirekari (新): [自]旅をする omanan (複数 payekay、payokay) (石狩)、[自] sirekari (新)※(八雲): (表現)世界を旅する aynumosir peka omanan (複数 payekay、payokay) (新): [他](場所)を旅をする eomanan (複数 epayekay、epayokay) (新): [他](場所)へ旅をする、～と共に旅をする koomanan (複数 kopayekay、kopayokay) (新): [他](原因、手段)で旅をする oomanan (複数 opayekay、opayokay) (新): [他](人)に旅をさせる omanante (複数 payekayre、payokayre) (新): [自]自分で、一人で旅をする yaykoomanan (複数形 yaykopayekay、yaykopayokay) (新): [自]皆で旅をする ukopayekay (ukupayokay) (新): [自]旅をしまくる toykopayekay (toykopayokay) (新)

たびたび(度々) [助動](動詞句の後に置かれ、ある動作が繰り返されることを表し)度々～(する) ranke (石狩): 「かつて私達は仕事を終えると度々映画を見に行った。」

“Teeta monrayke ci=okere kor cinema ci=nukar kusu paye=as ranke.”

ダビデ (聖書)[名]ダビデ Davido (新)※(イスラエル王国第二代王)

タフォゾウス (動物)[名](サシオコウモリ科)タフォゾウス属 túsirkapap-cise (新): [名]エジプシャンツームコウモリ misruun-tusirkapap (新): [名]グールドツームコウモリ pisun-tusirkapap (新): [名]クロヒゲツームコウモリ rekikunne-tusirkapap

(新): [名]タフォゾウス・アカテス indonešiaun-tusirkapap (新): [名]T. カパルゲンシス retanruun-tusirkapap (新): [名]T. ゲオルギアヌス etueen-tusirkapap (新): [名]T. セオバルディ teobardo-tusirkapap (新): [名]T. トロウグトニ torowton-tusirkapap (新): [名]T. スディベントリス honiatusa-toysirkapap (新): [名]T. ヒリ hir-tusirkapap (新): [名]T. ヒルデガルデアエ hirdegarde-tusirkapap (新): [名]T. マウリティアヌス mauritiusun-tusirkapap (新): [名]ナガバネツームコウモリ raputanne-tusirkapap (新): [名]ハミルトンツームコウモリ hamirton-tusirkapap (新)

タブカラ [名]タブカラ tapkar (石狩): 祭祀の酒宴で飲たけなわの頃一座の長老達がこもごも立って演じるもの。掌を上に向け肘を少し曲げ、静かに上下させると共に、両足を開き気味に床の上を踏みしめながら踊る。また、祭壇に集う神々やイオマンテで神の国へ帰るため、花矢を受け取り、クマの体を脱ぎ捨てる時の仔グマも同様に踊るものとされ、祈詞の中に表現される。: [自]タブカラする tapkar (石狩): [他]～にタブカラする kotapkar (石狩)、[他](雅) ekotapkar (石狩): [名]タブカラの歌 tapkarsinotca (H): [他]～にタブカラさせる tapkare (石狩)

ダブリン [場名](アイルランドの首都)ダブリン Dúburin (新)

ダブルスーツ (表現)ダブルスーツ tupne siyuk (新)

ダブルベット [名]ダブルベット túnehotke-amset (新): [名]ダブル tún(-ehotkep) (新)

たべかけ(食べかけ) [場名]食べかけ epkes(-i) (石狩): [場名]結婚式で新郎が食べて新婦に渡す椀に盛った料理の半分 asirpeker-epkes (石狩)、[名] aritanki (石狩)

たべすぎ(食べ過ぎ) ① [自]食べ過ぎる ipekasuy (ipekasu) (新): (表現)食べ過ぎる ipekasuy (kasu) (新): [他]～を食べ過ぎる ekasuy (ekasu) (新): (表現)～を食べ過ぎる e kasuy (kasu) (新): ② [他]～を食べ過ぎて気分が悪くなる etupi (石狩): ③ [自](食べすぎで)腹が刺し込むように痛む ipesikayeus (石狩)

たべたがる(食べたがる) (表現)食べたがる ipe rusuy (石狩): (表現)～を食べたがる～ e rusuy (石狩): [自]何でも食べたがる parkohayta (沙流)

たべてきぶんがわるくなる(食べて気分が悪く

なる) [他] ~ を食べて気分が悪くなる
etupi (石狩)

たべのこし(食べ残し) [名] 食べ残し epkes(-i) (石狩)

たべもの(食べ物) ① [名] (調理品か原料かを問わぬ) 食べ物 anep (石狩)、[名] ciep (石狩)、[名] ciekunip (石狩): ② [名] (調理したもの、あるいは調理していなくても食事に饗されるものを指し) 食べ物 ipe (石狩): ③ [自] 食べ物を惜しむ、他人に食べさせるのも勿体なくて物を隠す ipecikari (石狩): ④ [自] 食べ物を好き嫌いする ipeemaka (石狩)

たべる(食べる) ① [他] ~ を食べる e (石狩): 肉や魚などの他、"rur" 「お汁の具」にもこの語を用いる。但し "ohaw" 「汁」には "ni" 「~ をする」を用いる。: [他] (場所) で ~ を食べる ee (新): [他] ~ と一緒に ~ を食べる koe (石狩): [他] (道具) で ~ を食べる oe (新): [他] (人) に ~ を食べさせる ére (石狩): [他] 自分で、一人で ~ を食べる yaykoe (新): [他] 互いに、皆で ~ を食べる ukoe (新): [他] すっかり ~ を食べる oare (are) (新): [他] 思い切り ~ を食べる toykoe (新): [他] 人に ~ を食べさせる、食べてもらう eyar (石狩): [他] 人に命じて (人) に ~ を食べさせる éreyar (石狩): [他] ~ を食べさせてもらう (新): [他] 人に命じて (多くの) 人に ~ を食べさせる érepayar (石狩)、[他] éreyarpa (石狩): ② (食事する) [自] 食べる ipe (石狩): 「私達は食べるために働く。」 “Ipe=as kusu monrayke=as.”: [他] (場所) で食べる eipe (新): [他] (人) と一緒に食べる koipe (石狩): [他] (道具) で食べる oipe (石狩): [他] (人) に食べさせる ipere (石狩): [自] 自分で、一人で食べる yaykoipe (新): [自] 皆で食べる ukoipe (新): [自] 人に食べさせる、食べてもらう ipeyar (新): [他] 人に命じて (人) に食べさせる ipereyar (石狩): [自] 食べさせてもらう siipereyar (石狩): ③ (養う) [自] 自分が食べる、自分を食べさせる yayparoyki (新): [自] 皆が食べる uparoyki (新): [自] 人を食べさせる iparoyki (新): [連他] ~ を食べさせる paro-oyki (par-oyki) (石狩): [他] 人に (人) を食べさせる iparoykiyar (新): [他] 人に自分を食べさせる、食べさせてもらう siparoykiyar (新)

たぼう(多忙) [自] 多忙である montapi (石狩): [他] (場所) で多忙である emontapi (新): [他] ~ と共に多忙である komontapi (新): [他] (原因、目的) で多忙である omontapi (新): [他] (人) を多忙にする

montapire (石狩): [自] 自分で、一人で多忙である yaykomontapi (新): [自] 互いに、皆で多忙である ukomontapi (新): [自] 滅茶苦茶忙しい toykomontapi (新): [自] 多忙に働いている yaymonsak (yaymoysak) (沙流): [自] 多忙である、仕事が終わらない monasap (沙流)

たま(球) [名] 球 tamanum (石狩)、[名] num(-i) (石狩)

たま(玉) [名] 玉 tamanum(-i) (石狩)、[名] tama (石狩): [名] (カントコロカムイの秘宝である) 黒の玉 kunnetamanum (石狩): [名] (クモの女神がそれで海を渡る伸縮自在の魔法のアイテムとしての) 銀の玉 sirokanitamanum (石狩)

たま(弾) [名] 弾 tama (天塩)、[名] asintekpe (新): [名] 弾傷 tamapir(-i) (天塩)

タマエガイ(玉江貝) (魚介) [名] (イガイ科) タマエガイ属 apanne-cise (新): [名] タマエガイ apanne (新) ※ (B に「イガイ」とあるのをこの属の名に転用): [名] クシロタマエガイ kusuriapanne (新): [名] クロタマエガイ kunneapanne (新): [名] ハブタエタマエガイ menasapanne (新)

たまかざり(玉飾り) [名] 玉飾り tamasay (石狩): (表現) 玉飾りを外す tamasay ama (石狩): (表現) 玉飾りをつける tamasay kor (石狩)

ダマガゼル (動物) [名] (ブラックバック亜族) ダマガゼル属 damagazera-cise (新): [名] ダマガゼル dama-gazera (新): [名] グラントガゼル guranto-gazera (新): [名] ゼメリングガゼル somariya-gazera (新)

タマキガイ(玉置貝) (魚介) [名] (シラスナガイ上科) タマキガイ科 cupsey-apa (新): [名] タマキガイ属 cupsey-cise (新): [名] タマキガイ cupsey (新) ※ (別名「トドロキガイ」): [名] アメリカタマキガイ amerikacupsey (新): [名] アラビータマキガイ arabiyacupsey (新): [名] エゾタマキガイ yauncupsey (新): [名] ウチワノタマキガイ iparucupsey (新): [名] コタマキガイ poncupsey (新): [名] ソメワケグリガイ tuiroyamsey (新): [名] タワシウチワガイ tawasicupsey (新): [名] ハナヤカウチワガイ kankancupsey (新) ※ (kankan はフランス語の cancan から): [名] ビロウチワガイ retaryamsey (新): [名] ブドウタマキガイ hatcupsey (新): [名] ベニグリ peketcupsey (新): [名] ベンケイガイ ironnecupsey (新): [名] ホンタマキガイ sícupsey (新): [名] ミタマキガイ mocupsey (新): [名] ミナミタマキ

ガイ koypokuncupsey (新): [名]ウチワ
ガイ族 iparpapsey-cise (新): [名]ウチワ
ガイ iparpapsey (新)

たまご(卵) ①[名]卵 nok(-i) (石狩): ②[名]
鳥の卵 cikapnok(-i) (石狩): (表現)鳥の
卵 cikap noki (石狩): ③[名]塊になった
魚の卵、スジコ homa (oma) (石狩):
[名]バラバラになった魚の卵、バラコ
cipor(-o) (石狩): [名]魚の卵の一粒
ciponnum (浦河): [名]発眼卵 sīkocipor
(新): ④[自]卵色になる、である
nókorocup-irone (新): [他]～を卵色に染
める nókorocup-ironeka (-ironere) (新):
[名]卵色 nókorocup-iro (新)

タマゴタケ(卵茸)(菌類・キノコ)[名](テングタ
ケ属)タマゴタケ húrenokkarus (新)

たまごやき(玉子焼き) [名]玉子焼き cima-
nok (新)

たましい(魂) ①[名]魂 ramat(-ci) (石狩):
②[名](雅語)(死んで肉体を離れた)魂
inotuorke (石狩)、[名] inotu (石狩): ③
[自]～に魂が入る、入っている ramato (石
狩): 「…ほらここからそれに魂が入るよう
に私はしたのです。」「… tan te wano ramato
kuni an=kar a ruwe ne .」(杉村キナラブク)
婦女詞曲: ④[自]～に魂が宿る、宿っている
ramatun (石狩)

だまじカ(ダマ鹿)(動物)[名](シカ科)ダマジカ属
damayuk-cise (新)、[名] dama (新):
[名]ダマジカ yayan-damayuk (新): [名]
ペルシャダマジカ metopotamiaun-
damayuk (新)

だます(騙す) [自]嘘をつく sunke (石狩):
[他]～に関して騙す、(場所)で騙す esunke
(新): [他](人)を騙す kosunke (石狩)、
[他] kokamtama (石狩): 「…悪い和人
が私を騙し、一尋程の布も私にくれもせずに
逃げてしまった。」「… wen sisam
en=kokamtama sinep tem pakno senkaki
ka en=kore ka somo ki no kira wa isam .」
(石山キツエ)ヤイサマネナ: [他]～と共に騙
す kosunke (新): [他](原因、手段)で騙
す osunke (新): [自]自分を騙す
yaykosunke (新)、[自] yaykokantama
(新): [自]騙し合う ukosunke (新)、[自]
ukokantama (新): [自]騙しまくる
sunkerotke (石狩): [自]酷く騙す
toykosunke (新): [自]人を騙す
ikosunke (新)、[自] ikokantama (新):
[自]完全に人を騙す ioarkosunke
(iarkosunke) (新)、[自] ioarkokantama
(iarkokantama) (新): [副]騙して
sunkeno (石狩): ②(主に悪神や怪物が何
かに化けたり憑りついたりして)[自]人を騙

す ikatkar (新): [連他]～を騙す katu-
kar (kat-kar) (石狩): "katu-kar"が悪い
事であると怪物でも思うためか、物語中で怪
物が自分の行為を語る時には、例えば"aynu
ne yaykar=an"「人間に私は化けた」と表現
する。それ故に"katu=ankar"は使われない。:
③[自]騙さない sunkesak (石狩): (表現)
騙さない somo sunke (新): [副]騙しな
しに sunkesakno (石狩)

ダマスカス ①[場名](シリア・アラブ共和国の首
都名として)ダマスカス Dimasku (新):
②[場名](アラブ征服前、あるいはキリスト教
徒の言葉として)ダマスカス Darmesek
(新)、[場名] Damaskos (新)

ダマスクローズ (植物)[名]ダマスクスバラの
茎、葉 darmesekmawni (新)※(品種):
[名]ダマスクローズの花 darmesekmawni-
apappo (新): [名]ダマスクローズオイル
darmesekmawni-sum (新)

たまどめ(玉止め)(表現)(糸が抜けぬよう、その
末端を結ぶ事を指し)～を玉止めて…を縫
う ～ ewopitte wa … ninu (沙流)

たまに(偶に) [副]偶に hunne (石狩)、[副]
ukattuymano (石狩): (表現)偶に
hunne an kor (石狩)、(表現) utur
tuymano (石狩)

ダマリスクス (動物)[名](ハーテビースト族)ダ
マリクス属 kúkotoyukpeko-cise (新):
[名]ダマリスクス・コリグム cikirikunne-
kukotoyukpeko (新)、[名] topi (新)※(英
語): [名]D. スペルステス banweuruun-
kukotoyukpeko (新)※(バングウェウル堅
琴羚羊): [名]D. ビガルグス eretar-
kukotoyukpeko (新)、[名] bontebok (新)
※(アフリカーンス語): [名]D. ルナトゥス
yayan-kotoyukpeko (新)※(堅琴羚羊)、[名]
sassabi (新)※(英語)

たまる(貯まる) ①(保存されて)[自]貯まる
sianu (新)、[自] siama (新): [他](場所)
に貯まる esianu (新)、[他] esiamu
(新): ②(大切に蓄えられて)[自]貯まる
sisikkasma (新): [他](場所)に貯まる
esisikkasma (新)

だまる(黙る) [自]黙る hawsak (石狩):
[他]～について黙る ehawsak (新):
[他](人や物事)に対して黙る kohawsak
(石狩): 「…決して今からは何があっても彼
らに対して黙る…」「… Ikaneypeka tane
wano nepka an ne yakka e=kohawesak na
…」(砂沢クラ)婦女詞曲: [他](原因、手段)
で黙る ohawsak (新): [他](人)を黙らせ
る hawsakka (新): [自]自分で、一人で
黙る yaykohawsak (新): [自]皆で黙る
ukohawsak (新): [自]黙りこくる

oarhawsak (arhawsak) (新): [副]黙って
mosmano (石狩)、[副] hawsakno (石狩)、
[副] móno (幌別): 「私は黙っていた。」
“Mosmano ku=an .”

たみ(民) [名] 民 mosirunkur (新)、[名]
kotanunkur (新)

タミル [名] タミル人 tamirkur (新): [名]
タミル語 tamiritak (新)

タムラソウ(田村草) (植物)[名](キク科)タムラ
ソウ属 aysakancami-cise (新): [名] タム
ラソウの茎葉 samor-aysakancami (新):
[名] マンシュウタムラソウの茎葉
aysakancami (新)

ため(為) ①(目的を示し)[後副] ~のために
kusu (石狩): 「国のためにお前は死ぬる
のか? “Mosir kusu e=isam easkay
ruwe?”: [接助] ~のために kusu (石
狩): 「私と結ばれるために君は全てを捨て
去った。」“E=en=kor kusu e=kor pe opitta
e=osura wa isam .”: ②(原因、理由を示
し)[後副] ~のため kusu (石狩): 「大雨
のためこの道路は閉鎖された。」“Apto kusu
tan ru an=seske .”: [接助] ~の(の)ため
kusu (石狩): 「貴方は疲れたから帰ると
言うのですか? “Es=sinki kusu es=hosippa
hawe an?”: [接助](過去の原因、理由を示
し)~(だった)から akusu (複数 rokkusu)
(石狩)、[接助] wakusu (石狩)、[接助]
hikusu (石狩)※(従来"akusu"の複数形
"rokkusu"は極まれにしか使われなかった。
また"hikusu"は従来"ikusu"の形でのみ現れ
た。): 「お前は雪が降ったから来なかった。」
“Upas as akusu (=wakusu, hikusu) somo
e=ek .”: [接頭](動詞に接頭して原因を示
し、その際動詞が取り得る目的語の数を一つ
増やし)~のため o- (石狩)、[接頭] e-
(石狩): 今後新語を作る場合には"o-"を標準
的に用いる事とする。

だめ(駄目) ①[間投](禁止の表現として)駄目
eciki (石狩): 「駄目、これは私が食べる
から。」“Eciki, tampe ku=e kusune!”:
[副](禁止の表現として人称接辞を伴わぬ命
令文を導き)~(したら)駄目 eciki (石狩):
「これを食べたら駄目だよ。」“Tampe eciki e
ya!”: [間投](より強い禁止の表現として)
絶対駄目 ecikki (石狩): [副](より強い禁
止の表現として人称接辞を伴わぬ命令文、あ
るいは人称接辞を伴う肯定文を導き)絶対~
(しては)駄目 ecikki (石狩): 「絶対これ
を食べたら駄目だぞ。」“Tampe scikki e
ya!”、「お前は絶対これを食べたら駄目だ
ぞ。」“Tampe ecikki e=e na!”: (忠告の形
をとった禁止の表現として)~(し)たら駄目
である 動詞句+yak wen (石狩): 「お前

はこれを食べたら駄目だ。」“Tampe e=e yak
wen .”: ②[間投](否定、拒否の表現として)
駄目 somo (石狩): 「一何か釣れたか
い? 一駄目、釣果無しだよ。」“一Nep
e=eperay ruwe? Somo, oroysam wa!”、「一
手伝ってあげるよ。一駄目、お前じゃ私を手
伝えないよ。」“一E=kasuy=an kusune na .
一Somo, eani anak e=en=kasuy eaykap
wa .”: ③[自]駄目になる、である wen
(石狩)、[自] ciwente (石狩): [他]~で駄
目になる、である ewen (石狩): [他]~を
駄目にする wente (石狩): [他]~で~を
駄目にする ewente (新): ④[自](古くな
ったり、古くなったように)駄目になる、であ
る onne (石狩): [他]~を駄目にする
onnere (onneka) (新)

ためいき(溜息) ①(安心して)[自]溜息をつく
héseturiri (石狩): (表現)溜息をつく
tanne hese yaykoturpa (幌別): ②(心配
のあまり)[自]溜息をつく mawsok (天塩)

ためしずり(試し刷り) [自] 試し刷りする
ioiopotuyeoinkar (新): [他]~を試し刷り
する ioopotuyeoinkar (新): [他](場所)
に~を試し刷りする ioopotuyeoinkar
(新): [他]~と共に~を試し刷りする
ioopotuyeoinkar (新): [他](原因、手段)で
~を試し刷りする ioiopotuyeoinkar
(新): [他](人)に~を試し刷りさせる
ioopotuyeoinkare (新)

ためぬり(溜塗) [自]溜塗する ihure-eposore
(新): [他]~を溜塗する húre-eposore
(新)※(赤の上を~に通らせる): [名]溜塗の
色 cihure-eposore-iro (新)

ためらう(躊躇う) [自]躊躇う yayramukar
(石狩): (表現)~しようとして躊躇う、~し
ようか躊躇う 動詞句+kusu yayramukar
(石狩): 「私は君の事を何度も殴ろうとして
躊躇った。」“Iwaysuy e=kik=an kusu
ku=yayramukar .”: [他](場所)で躊躇う
eyayramukar (新): [他]~を躊躇う
koyayramukar (新): [他]~と共に躊躇う
koyayramukar (新): [他](原因、手段)で
躊躇う oyayramukar (新): [他](人)を躊
躇わせる yayramukare (新)

ためる(貯める) ①(残しておく)[自]物を貯め
る ianu (新)、[自] iama (新): [他]~
を貯める anu (石狩)、[他] ama (石狩):
[他](場所)に~を貯める eanu (石狩)、[他]
eama (新): [他]~と共に~を貯める
koanu (新)、[他] koama (新): [他]~の
ために~を貯める oanu (新)、[他] oama
(新): [他](人)に~を貯めさせる anure
(新)、[他] amare (新): [他]完全に~を貯
める oaranu (aranu) (新)、[他] oarama

(arama) (新): [他]しっかり～を貯める
 pirkaanu (新)、[他] pirkaama (新):
 [他]人に～を貯めさせる anuyar (新)、[他]
 amayar (新): ②(大切に蓄える)[自]物を
 貯める isikkasma (新): [他]～を貯める
 sikkasma (石狩): [他](場所)に～を貯める
 esikkasma (新): [他](人)に～を貯めさせ
 る sikkasmare (新): [他]自分で、一人で
 ～を貯める yaykosikkasma (新): [他]互
 いに、皆で～を貯める ukosikkasma (新):
 [他]完全に～を貯める oassikkasma
 (assikkasma) (新): [他]もの凄く～を貯
 める toykosikkasma (新): [他]人に～を
 貯めさせる、もらう sikkasmayar (新)
タモギタケ(楡木茸) (菌類、きのこ)[名](ヒラタ
 ケ属)タモギダケ cikisanikarus (石狩)
たもくてきくうぼ(多目的空母) [名]多目的空
 母 ciusaeiwanke-sintakotcip (新): [名]
 多目的原子力空母 ciusaeiwanke-
 inoskiumpetum-sintakotcip (新)
たもつ(保つ) [他]～を保つ ama (石狩)、
 [他] anu (石狩): [他]～のために～を保
 つ eama (新)、[他] eanu (新): [他](場
 所)に～を保つ eama (石狩)、[他] eanu
 (新): [他]～と共に～を保つ koama (新)、
 [他] koanu (新): [他](原因、手段)で～を
 保つ oama (新)、[他] oanu (新):
 [他](人)に～を保たせる amare (新)、[他]
 anure (新): [他]自分で、一人で～を保つ
 yaykoama (新)、[他] yaykoanu (新):
 [他]互いに、皆で～を保つ ukoama (新)、
 [他] ukoanu (新): [他]完全に～を保つ
 oarama (arama) (新)、[他] oaranu
 (aranu) (新): [他]凄く～を保つ
 toykoama (新)、[他] toykoanu (新):
 [他]人に～を保たせる amayar (新)、[他]
 anuyar (新)
タモロコ(田諸子) (魚介)[名](カマツカ亜科)タモ
 ロコ属 yayanmoroko-cise (新): [名]タ
 モロコ yayanmoroko (新): [名]ホンモ
 ロコ símoroko (新)
ダヤクフルーツコウモリ (動物)[名](コバナフ
 ルーツコウモリ亜科)ダヤクフルーツコウモ
 リ属 dayaknikaopekapap-cise (新):
 [名]ダヤクフルーツコウモリ yayan-
 dayaknikaopekapap (新): [名]スマトラ
 ダヤクフルーツコウモリ sumatraun-
 dayaknikaopekapap (新): [名]リカート
 ダヤクフルーツコウモリ rikarto-
 dayaknikaopekapap (新)
たやす(絶やす) [他]～を絶やす okere (石
 狩): (表現)～を絶やしてしまう ～ okere
 wa oarisam (新)、(表現) ～ okere wa
 isam (新): [他](場所)で～を絶やす

eokere (新): [他]～と共に～を絶やす
 kookere (新): [他](原因、手段)で～を絶や
 す ookere (新): [他](人)に～を絶やさ
 せる okerere (新): [他]自分で、一人で
 ～を絶やす yaykookere (新): [他]互いに、
 皆で～を絶やす ukookere (新): [他]完
 全に～を絶やす oarokere (arokere)
 (新): [他]思い切り～を絶やす toykookere
 (新): [他]人に～を絶やさせる、絶やしても
 らう okereyar (新)
たより(便り) [名]便り sonko (石狩): (表
 現)便りが届く sonko ek (石狩): (表現)
 便りを出す sonko omante (新)
たよる(頼る) [自]人を頼る inisuk (天塩):
 [他](人)を頼る nisuk (石狩): [他]～につ
 いて(人)を頼る enisuk (新): [他](場所)
 で(人)を頼る enisuk (新): [他]～と共に
 (人)を頼る konisuk (新): [他](原因、手
 段)で(人)を頼る onisuk (新): [他](人)に
 (人)を頼らせる nisukte (新): [他]自分で、
 一人で(人)を頼る yaykonisuk (新): [他]
 皆で(人)を頼る ukonisuk (新): [他](人)
 を頼りまくる toykonisukpa (新): [他]
 人に(人)を頼らせる nisukyar (新): [自]
 人に自分を頼らせる sinisukyar (新):
 [他]互いに頼り合う unisuk (新)
たらい(盥) [名]盥 patci (石狩)、[名] páci
 (石狩)
たらす(垂らす) ①(物に関して)[他]～を垂ら
 す ratkire (石狩): [他](場所)で～を垂ら
 す eratkire (新): [他](場所)へと～を垂
 らす、～と共に～を垂らす koratkire
 (新): [他](場所)から～を垂らす、(原因、手
 段)で～を垂らす oratkire (新): [他](人)
 に～を垂らさせる ratkirere (新): [他]
 瞬間的に～を垂らす ratkitekka (新):
 ②(液体に関して)タラタラ、チョロチョロ
 と[他]～を垂らす cirirka (cirire) (新):
 [他](場所)で～を垂らす ecirirka (ecirire)
 (新): [他](場所)に～を垂らす、～と共に～
 を垂らす kocirirka (kocirire) (新):
 [他](場所)から～を垂らす、(原因、手段)で
 ～を垂らす ocirirka (ocirire) (新):
 [他](人)に～を垂らさせる cirirkare
 (cirirere) (新): ③(液体に関して)ボタリ、
 ボタボタと[他]～を垂らす cikka (石狩):
 [他](場所)で～を垂らす ecikka (新):
 [他](場所)に～を垂らす、～と共に～を垂らす
 kocikka (新): [他](場所)から～を垂れる、
 (原因、手段)で～を垂らす ocikka (新):
 [他](人)に～を垂らさせる cikkare (新)
タラノキ(櫨の木) (植物)[名](ウコギ科)タラノキ
 属 sewatni-cise (新): [名]タラノキの茎
 sewatni (石狩)、[名] ayusni (石狩)※(但

しこの名は同科のハリギリと重なるため植物分類としては使用しない。)、[名]タラノキの芽 *sewatniepuy* (新): [名]ウドの茎葉 *cimakina* (石狩): [名]ミヤマウドの茎葉 *samorcimakina* (新): [名]リュウキュウタラノキ *rucusewatni* (新)

タラハシー [場名](アメリカ合衆国フロリダ州の州都名)タラハシー *Tarahasi* (新)

タラリ [間投](擬声語)(毒水などの液体の流れる音)タラリ、ダラリ *taw* (石狩): [自]タラリと垂れる *tawse* (新): [自](一回)タラリと垂れる *tawkosanu* (新): [自](瞬間的にタラリと垂れる、ちょっとタラリと垂れる) *tawtek* (新): [間投](擬声語)(毒水などの液体が流れる音)タラタラ、ダラダラ *tawtaw* (石狩): [自]タラタラ垂れる *tawtawse* (新): [他](場所)にタラタラと垂れる *kotawtawse* (新)、[他](雅語) *ekotawtawse* (石狩)、[他](雅語) *koetawtawse* (石狩): [自]頻りにタラタラ垂れる、流れる *citawrototo* (新)、[自] *tawrototke* (新): [自]タラタラと何度も垂れる *tawawatki* (新): [自]タラタラ垂れ続ける、流れ続ける *tawnatara* (新)

タラワ [場名](キリバス共和国の首都名)タラワ *Tarawa* (新): [名](地名)タラワ環礁 *Tarawa-sikarisanguso* (新)

ダリア (植物)[名](キク科)ダリア属 *dahriakina* (新): [名]ダリア・インペリアリスの茎葉 *ruhure-dahriakina* (新): [名]テンジクボタンの茎葉 *yayan-dahriakina* (新)※(別名「ピンナダ」): [名]ヒグルマテンジクボタンの茎葉 *húreakam-dahriakina* (新)※(別名「コッキネア」): [名]フジイロテンジクボタンの茎葉 *matekpewrekinapeus-dahriakina* (新)※(別名「メルキー」): [名]ダリア園芸種の茎葉 *dahriakina* (*dáriakina*) (新)、[名]その花 *dahria* (*dária*) (新)※(別名「テンジクボタン」)

ダリー [名]ダリー語 *dariitak* (新)※(インド・イラン語派に属する言語)

タリウム (化学)[名]タリウム *tarium* (新)※(原子番号81番。元素記号 Tl)

たりない(足りない) (物を主語にして不足する事を示し)[自]足りない *hayta* (石狩): [他](場所)で足りない *ehayta* (新): [他]〜と共に足りない *kohayta* (新): [他](原因、手段)で足りない *ohayta* (新): [自]完全に足りない *oarhayta* (*arhayta*) (新): [自]酷く足りない *toykohayta* (新): [他]〜を足りなくする *haytare* (新)

ダリネゴルスク [場名](ロシア連邦極東連邦管

区沿海地方の都市名)ダリネゴルスク *Dárinegorsuk* (新)

タリン [場名](エストニア共和国の首都名)タリン *Tarin* (新)

たる(樽) [名]樽 *ontaro* (石狩)

ダルエスサラーム [場名](タンザニア連合共和国の旧首都名)ダルエスサラーム *Dáressaram* (新)

たるき(垂木) [名]垂木 *ciseturi* (石狩)

タルサ [場名](アメリカ合衆国オクラホマ州の都市名)タルサ *Tarsa* (新)

たれ [名](調味料の)たれ *cirinurpe* (新)※(垂れたソース)、[名] *tare* (新)※(日本語)

だれ(誰) ①(疑問)[代名]誰 *nen* (石狩): 「この人は誰ですか? “Tankur nen ta an?” “昨日君は誰と会ったの?” “Núman nen e=nukar ya?”: (表現)(一体)誰 *néne* (*nénehe*) (石狩): 「(誰かが来て)誰だい?’ “Nenehe?”: ②(不定: 特定できない、あるいは特定したくない)[代名]誰か *nenka* (石狩)、[代名: 不定] *nen* (石狩)、[代名] *sinen* (石狩): 「誰か来た’ “Nenka ek .”, “…突然、私は人を見た事もなかったのだが、何処からともなく…誰かが入って来た。” “…ekuskono, aynu ka an=nukar ka eramuskare p nayke (>ne ayke), neywa ta …sinen ahun .” (杉村キナブク)説話: ③(不定: 任意の)(表現)誰でも *nen ne yakka* (石狩): 「誰でも良い。」 “Nen ne yakka pirka .”

たれる(垂れる) ①(物に関して)[自]垂れる、垂れ下がる *ratki* (石狩): (表現)反対に垂れさがった *ehorka ratki nítek* (石狩): [他](場所)で垂れる *eratki* (新): [他](場所)へと垂れる、〜と共に垂れる *koratki* (新): [他](場所)から垂れる、(原因、手段)で垂れる *oratki* (新): [自]すっかり垂れる *oanratki* (*anratki*) (新): [自]凄く垂れる *toykoratki* (新): [自]瞬間的に垂れる *ratkitek* (新): ②(液体に関して)タラタラ、チョロチョロと[自]垂れる *cirir* (石狩): [他](場所)で垂れる *ecirir* (新): [他](場所)へ垂れる、〜と共に垂れる *kocirir* (新): [他](場所)から垂れる、(原因、手段)で垂れる *ocirir* (新): ③(液体に関して)ポタリと[自]垂れる *cik* (石狩): ④(液体に関して)ポタポタと[自]垂れる *cikcik* (石狩)

たわし(束子) [名]束子 *tawasi* (新)※(日本語)

たわむ(撓む) [自]撓む *rewke* (石狩): [他](場所)で撓む *erewke* (新): [他](場所)に撓む、〜と共に撓む *korewke* (新): [他](場所)から撓む、(原因、手段)で撓む *orewke* (新): [他]〜を撓める *rewé* (複数

rewpa) (石狩): [他]〜に〜を撓めさせる
 rewere (複数 rewpape) (新): [他]自分で、一人で〜を撓める yaykorewe (複数 yaykorewpa) (新): [他]互いに、皆で〜を撓める ukorewe (複数 ukorewpa) (新): [他]思い切り〜を撓める toykorewe (複数 toykorewpa) (新): [他]人に〜を撓めさせる reweyar (複数 rewpayar) (新): [他]自分を撓める yayrewe (複数 yayrewpa) (新): [自]互いに撓め合う urewe (複数 urewpa) (新): ②[自]〜の先が撓む erewke (石狩): [他] herewe (複数 herewpa) (新): [他]〜の先を撓める erewe (複数 erewpa) (石狩): (表現)(あまりにも沢山ある立派な宝物が)家の軒を撓める cise erewe (石狩): ③[自]〜の末尾が撓む orewe (新): [他]末尾を撓める horewe (複数 horewpa) (新): [他]〜の末尾を撓める orewe (複数 orewpa) (新): ④(木の枝が)[自]撓む reun (石狩): ⑤(木の枝の先が)[自]撓んで(曲がって)垂れ下がっている rewtapapa (石狩): (表現)下の方へ撓んで垂れている epoknasi rewtapapa (石狩): ⑥(弓なりに曲がって垂れ下がっている)[自]撓んで垂れ下がっている etapapa (石狩)
たわら(俵) [名]俵 tara (石狩): (表現)一俵(びょう) sine tara (石狩)
たん(痰) [名]痰 rat(-i) (石狩)
たんいせいしょく(単為生殖) [名]単為生殖 yaykouatte (新)
タンカー [名]タンカー pésintoko-kotcip (新): [名]石油タンカー sumasumsintoko-kotcip (新)
だんかい(団塊) ②[名]団塊 num(-i) (石狩)、[名] rup(-i) (幌別): (表現)〜の硬い団塊 siratek numi (石狩): [自]団塊になっている ruprupse (幌別): [他]〜を団塊にする ruprupsere (新): (表現)団塊の世代 ruprupse utar ikiri (新)
だんがい(断崖) [名]断崖、断崖絶壁 wenkut(-u) (石狩)、[名] kut(-u) (石狩): (表現)断崖絶壁の上、てっぺん kutkip ka (石狩): [名]断崖絶壁となった山 cikerenuhuri (石狩)、[場名] weysir (石狩): [場名]山が岩崖になって水中に入り込んでいる所、水中から屹立する断崖 eorusi (天塩): [名](川岸の)断崖 nisey (石狩): (表現)断崖の縁、あるいはそこについた路 nisey páru (長形-rke) (石狩)、(表現) nisey páru (長形-rke) (沙流)
たながん(单眼) [名]单眼 yayturasik(-i) (新)
だながん(弾丸) [名]弾 asintekpe (新)、[名]

tama (天塩)
たんき(短気) [名]短気 sakanram(-i) (沙流): [自]短気である sakanramkor (沙流): [副]短気に sakan (沙流): (表現)(鳥が)短気に(激しく)鳴く声が賑やかである sakan rek hawe pepun (沙流)
だんき(暖気) [名]暖気 sirpopke (新): (表現)暖気 sirpopke ru(-we) (新)
たんきゅう(探求) [自]探究する iekohunar (石狩): [他]〜を探究する ekohunar (新): [他](人)に〜を探究させる ehunare (ehunarka) (新): [他]自分で、一人で〜を探究する yaykoekohunar (新): [他]皆で、共に〜を探究する ukoekohunar (新)
タングステン (化学) [名]タングステン worfuramium (新)※(原子番号74番。元素記号 W)
たんぐつ(短靴) [名]短靴 takneker(-i) (新): (表現)短靴を脱ぐ taknekeri ama (新): (表現)短靴を履く taknekeri us (新)
たんご(単語) [名]単語 itak(-i) (石狩)、[名]単語 itakpo (新)
だんご(団子) [名]団子 sito (石狩): (表現)団子を作る sito kar (石狩): [名]イオマンテの際に熊に饗する団子 epossito (epersito) (石狩): [名]イオマンテの際に熊に土産として持たせる団子 epossesito (epersesito) (石狩): [名]平たい円盤の中央に臍のような盛り上がりがある団子 hankukorsito (hankokorsito) (石狩): [名]草団子 noyasito (石狩): [名]切団子 cicasito (石狩): [名]串団子 nitkossito (nitkorsito) (新): [名]団子籠 sitopera (石狩): [名]イオマンテで用いる団子を刺す串 sitonit(-ci) (石狩): [名]和風の団子を刺す串 poysitonit(-ci) (新): [自]団子にするための穀類を搗く sitouta (石狩): [自]団子を煮る sitosuwe (新)※(沙流)
ダンゴイカ(団子烏賊) (魚介)[場名](十腕形上目)ダンゴイカ目 sitoepetpetke-kotan (新): [名]ダンゴイカ科 sitoepetpetke-apa (新): [名]ダンゴイカ亜科 sitoepetpetke-moapa (新): [名]ダンゴイカ属 sitoepetpetke-cise (新): [名]ダンゴイカ sitoepetpetke (新): ヒメダンゴイカ mosito-epetpetke (新): [名]セピエッタ属 sepietta-cise (新): [名]ワスレダングイカ anosurasito-epetpetke (新): [名]チョウチンイカ属 cócin-epetpetke-cise (新): [名]ミミイカ属 kisarepetpetke-cise (新): [名]ロンデレチオラ属 ronderetiora-cise (新): [名]チイサダンゴイカ poysito-epetpetke (新): [名]ヒカリダンゴ

イカ亜科 nipekiatsito-epetpetke-moapa (新): [名]ボウズイカ亜科 hesuri-epetpetke-moapa (新): [名]ヒメイカ科 epetpetkepopo-apa (新)

たんこう(単孔) ①(動物)[場名](哺乳綱)単孔目 sinepuykorpe-kotan (新)※(カモノハシ目とも): [場名]カモノハシ亜目 cikapnenoan-mokotan (新): [名]ハリモグラ亜目 ayus-toyoposop-mokotan (新): ②(生物)[名]単孔類 sinepuykorpe utar (新)

たんごうもう(端剛毛) [名](虫の)端剛毛 sanke-nistenuma (新)

だんごっぱな(団子鼻) [名]団子鼻 wénetunum(i) (新): [自]団子鼻である etunumiwen (新)

たんこぶ(たん瘤) [名]たん瘤 nintak(-u) (石狩): [名]①山並から一つだけぼつんと(たん瘤のように丸く)盛り上がり目立つ山、孤山、孤丘、②山並の中で(たん瘤のように丸く)突き出している山、あるいは一つの山に(たん瘤のように丸く)突き出している所 tapkop (石狩): 空知地方で言えば①の例としては三笠市の達布山、②の例としては歌志内市の神威岳などが挙げられる。一般にその形状から「たん瘤山」と呼ばれるようだが、三笠市の達布山のように必ずしもそう見えぬものもあるようだ。口承文芸では①なのか②なのか分からぬが、その上に立派な神の家が建つ描写がされるものがある。

たんさ(探査) [自]探査する siruwante (複数 siruwampare) (石狩): [他]～を探査する uwante (複数 uwampare) (石狩): [他](場所)で～を探査する euwante (複数 euwampare) (新): [他]～と共に～を探査する kouwante (新): [他](原因、手段)で～を探査する ouwante (新): [他]人に～を探査させる uwantere (複数 uwamparere) (新): 今後複数形は回数の多いのを強調する以外使わないと思われる。: [名]探査機 siruwantesinta (新): [名]探査船 siruwantecip (新)

たんざくぎり(短冊切り) [他]～を短冊切りにする petu (複数 petpa) (石狩): (表現)～を短冊切りにする tanzaku ne tuye (複数 tuypa) (新)

タンザニア [場名](国名)タンザニア連合共和国 Tanzania Ukosineatki-ukotankoremosir (新)※(首都は「ドドマ」): [場名](国名の通称として)タンザニア Tanzania (新): [名]タンザニア人、国民 tanzaniaunkur (新)

たんじかん(短時間) [自]短時間である setak (石狩): [副]短時間で、短時間に setakno

(石狩)

たんじゅう(胆汁) [名]胆汁 siwpepe (新)

たんしゅく(短縮) ①(長さに関して)[自]短縮する itakneka (itaknere) (新): [他]～を短縮する takneka (taknere) (新): [他](場所)で～を短縮する etakneka (etaknere) (新): [他]～と共に～を短縮する kotakneka (kotaknere) (新): [他](原因、手段)で～を短縮する otakneka (otaknere) (新): [他](人)に～を短縮させる taknekare (taknerere) (新): ②(時間に関して)[自]短縮する isetakka (新): [他]～を短縮する setakka (新): [他](場所)で～を短縮する esetakka (新): [他]～と共に～を短縮する kosetakka (新): [他](原因、手段)で～を短縮する osetakka (新): [他](人)に～を短縮させる setakkare (新)

たんじょう(誕生) [自]誕生する siko (石狩): (表現)誕生日 siko to (新): (表現)私の誕生日 ku=siko to (新): [他](場所)で誕生する esiko (新): [他]～と共に誕生する kosiko (新): [他](原因)で誕生する esiko (石狩): [他]～から誕生する、(原因、手段)で誕生する osiko (新): [他]～に～を誕生させる sikore (新)

だんしょう(男娼) [名]男娼 yayoeiyokkur (新)、[名](隠) yayeyokkur (新)

たんすう(単数) (言語)[名]単数 sinepcipiskip (新): [名]単数形 sinepcipiskipkat(-u) (新)

だんせい(男性) ①(性別として女に対する)[名]男性 okkayo (石狩)、[名] okkay (石狩)、[名] aynu (石狩): [形式名]男性 kur (石狩): ②(一人前になってから老人になるまでの)[名]男性 okkayo (石狩): [名]陰茎が長い男性 iosoyosmare-wenkur (新)※(沙流): 男性の～という表現は okkay+名詞の形で作られる。: ③(文法的に)連体男性の pinne (新): (表現)男性名詞 pinne réitak (新)

だんせいぎ(男性器) ①(婉曲的な表現として)[名]男の持物 okkaykorpe (石狩): [名]槍 op(-i) (幌別): [名]子供の男性器、鳥 cikap(-i) (幌別)、[名]小鳥 ckappo (八雲): [名](子供の言葉として)おちんちん copcop (石狩): その他婉曲的な表現として話者が男性であれば、"ku=korpe"とも言う。: ②(直接的な表現として)[名]陰茎 ci(-ye) (石狩)、[名] okkayci(-ye) (浦河): [名]亀頭 cisapa (幌別)、[名] cipake (屈斜路): [名]包皮 cikap(-u) (H): [名]陰茎体部 cínétopake (幌別): [名]陰茎根部 cikursut(-u) (幌別): [名]睾丸

noknum(i) (石狩): [名]陰囊と睾丸
 nok(i) (石狩): [名]陰囊 nokkap(u) (石狩): [名](動物の)陰茎骨 cípone (新)
 ※(樺太白浦): ③[名]細く長い男性器 ramoretayep(i) (石狩): [名]太くて短い男性器 ikampara-masap(i) (石狩): [名]うわぞりの男性器 ekuttesusu (石狩): [名]包茎の男性器 óikapturaci(-ye) (新)※(樺太白浦): [名]包皮が剥けた男性器 oeskeci(-ye) (幌別): [自]男性器が大きくなる、大きい oporo (石狩): [自]大きな男性器を持っている ummacikor (沙流): [自]男性器が小さくなる、小さい opon (石狩): [自]男性器が長くなる、長い otanne (石狩): [自]男性器が短くなる、短い otakne (石狩): [自]男性器が固くなる、固い oniste (新): [自]男性器が勃起する ohepuni (穂別): (表現)男性機が勃起する ciye as (足寄)、(表現) ciye hetari (幌別): [自]男性器がピンピンに勃起する ohepumpuni (幌別): [自](勃起した)男性器が躍動する oracinracin (天塩): [自]射精する owen (H): [自](勃起していた)男性器が萎える omawposo (樺太白浦): [自]勃起不全になる oray (H): [自]男性器がだらりと垂れている oratki (幌別)、[自] oheracici (穂別): (表現)勃起不全になって男性器が冷えてだらりと垂れている oray wa oyam wa oratki (美幌)

たんせき(胆石) [名]胆石 siwpesuma (新)

たんそ(炭素) (化学)[名]炭素 pasmotopo (新)、[名] karbonium (新)※(原子番号6番 元素記号 C)

だんそう(弾倉) [名]弾倉 tamapu (新)

だんたい(団体) ①(集団)[名]団体 ikir(i) (石狩): (表現)団体客 sinewekur ikiri (新): [自]団体となる、である ikinne (新): [他]～を団体にする ikinneka (ikinne) (新): [副]団地で ikinne (ikinneo) (新): ②(組織)[名]団体 uekarpa (新): [名]政治団体 mosirkoruekarpa (新)

だんたいりょうこう(団体旅行) [名]団体旅行 ukopayekay (ukopayokay) (新): [自]団体旅行する ukopayekay (ukopayokay) (新): (表現)世界を団体旅行する aynumosir peka ukopayekay (ukopayokay) (新): [他](場所)を団体旅行する eukopayekay (eukopayokay) (新): [他](場所)へ団体旅行する koukopayekay (koukopayokay) (新): [他](原因、手段)で団体旅行する oukopayekay (oukopayokay) (新): [他](人)に団体旅行させる ukopayekay (ukopayokayre)

(新)

タンタル (化学)[名]タンタル tantarum (新)※(原子番号73番 元素記号 Ta)

だんだん ①[副]だんだん monkes (石狩)、[副] uopokinno (天塩)、[副] iroikesne (沙流): 「私はロシア語で話す事もないから、だんだん話せなくなった。」 “Nucaitak ani ku=itak ka somo ki kusu monkes ku=itak eaykap.”: (表現)だんだん ponno ponno (石狩): ②(表現)(先行する文を受け)だんだん～する nani ekota + 動詞句 (石狩): 「私は風邪をひいたが、忙しかつたので病院にも行かなかったらだんだんひどくなった。」

“Ku=omkekar yakka ku=montapi kusu ikaoykicise otta somo ku=oman or nani ekota wen.”: ③(あまりにも大きいため近づくに従い全体像が視界から)[自]だんだん消えていく sikorakakke (石狩): 「村の人口は多く、村の上手がだんだん消え、村の下手がだんだん消えていき…」 “…kotan inne u kotan pake sikorakakke u kotan kese sikorakakke…” (杉村キナラブック)英雄詞曲: [自]皆だんだん消えていく ukorakakke (石狩): 「…金の炉縁、金の敷物が皆だんだん消え…」 “…kani-inumpe, kani-sokkar ukorakakke…” (杉村キナラブック)説話、[…美しい波また波が皆だんだんと消え] “…pirka kaykay ukorakakke…” (杉村キナラブック)神: ④(表現)波音がだんだん近くなる koyhum hanke hanke (沙流)

たんちょうかじょ(単頂花序) [名]単頂花序 sinekitaykeumpekor-apappoomakat (新)

たんてい(探偵) [名]探偵 siruwamparekur (新)

だんな(旦那) ①(夫の意味で)[名]旦那 hoku (石狩)、[場名](雅) sopa (石狩): (表現)～の旦那 ～ kor kur (石狩): [自]旦那がいる hokukor (石狩): [自]旦那がいない hokusak (石狩): (呼びかけ)[名]旦那様 hokunispa (石狩)、[名] síhoku (石狩): (表現)～の旦那様 ～ konnispa (石狩)、(表現)(雅) ～ ante hoku (石狩)、(表現)(雅) hoku ne kur (石狩)、(表現) ～ hekote hoku (沙流)※(対義語は“korkatkemat”): (表現)私の旦那様 ku=konnispa (石狩)、(表現)私の旦那様 ku=hoku ne kur (石狩): ②(目上の男性への敬称として)[名]旦那 nispa (石狩)、[名](雅) nispake (石狩): (表現)旦那様 konnispa (石狩)

だんねつ(断熱) [自]断熱する seseketuye (新): [他]～の熱を断つ eseseketuye (新): [他](場所)で断熱する eseseketuye (新): [他]～と共に断熱する koseseketuye (新): [他](原因、手段)で断熱する

oseseketuye (新): [他]〜に断熱させる
 seseketuyere (新): [名]断熱材
 seseketuyep (新)、[名] cioseseketuyep
 (新): [名]断熱煉瓦 seseketuye-sumatoy
 (新)

たんのう(堪能) [他・助動]〜が堪能である
 easkay (石狩): 「あなたはアイヌ語が堪能ですね。」
 Aynuitak es=easkay ruwe !」

たんのう(胆嚢) [名]胆嚢 siwpe (石狩):
 幌別や厚真で"ninke"という語もあり、幌別では
 "ninke"を魚の胆嚢、"siwpe"を獣の胆嚢とするが、
 厚真では反対になる。

たんぱつ(短髪) [名]短髪 takneotop(-i) (新)
 (新): (表現)短髪 takne otop(-i) (新)

たんぱつき(単発機) [名]単発機
 sinetumsankep-kossinta (-korsinta) (新)

たんぱんこう(単板綱) (魚介)[名](軟体動物門)
 単板綱 sineseyumpe-pet (新): [場名]トリ
 プリイダ目 toripriida-kotan (新):
 [名]ネオピリナ科 neopirina-apa (新)

タンビヘラコウモリ(短尾篋蝙蝠) (動物)[名]
 (タンビヘラコウモリ亜科)タンビヘラコウモリ
 亜科 otaknehametukapap-cise (新): [名]
 アレンタンビヘラコウモリ arenotakne-
 hametukapap (新): [名]カリフォルニア・
 コロンビアナ korombiaunotakne-hametukapap
 (新): [名]C. スプルファ manausotakne-
 hametukapap (新): [名]C. ソウェリ
 sowerotakne-hametukapap (新): [名]C.
 プレビカウダ sarampeotakne-hametukapap
 (新): [名]C. ベンケイシ benkeitotakne-
 hametukapap (新): [名]C. マヌ manuotakne-
 hametukapap (新): [名]C. モノヘルナンデ
 ジ monootakne-hametukapap (新): [名]
 セバタンビヘラコウモリ sebaotakne-
 hametukapap (新): [名]リノフィラ属
 monikaopehametukapap-cise (新): [名]
 リノフィラ・アレシナ kunne-monikaope-
 hametukapap (新): [名]R. フィスケラエ
 fişer-monikaopehametukapap (新): [名]
 R. プミリオ manaus-monikaopehametukapap
 (新)

たんぺん(短編) [自]短編になる、である pon
 (新): [他]〜を短編にする ponte (新):
 [名]短編映画 poncimoyenoka (新)、[名]
 ponfirum (新): [名]短編小説 poncicaroruspe
 (新)

タンボフ [場名](ロシア連邦中央連邦管区の
 構成主体名)タンボフ州 Tambof-purovince
 (新): [場名](タンボフ州の州都名)タンボフ
 Tambof (新)

タンボボ(蒲公英) (植物)①[名]タンボボの茎葉

kunawkina (新)、[名]その花茎
 honoynoyep (沙流)、[名]その種子が飛び散
 った後の茎葉 epitcekina (様似)、[名]その
 花 kunaw (幌別)、[名] rucausapappo
 (釧路)、[名] danderion (新)※(英語)、[名]
 その種子が飛び散っていないもの
 epitceapappo (新)、[名] epitcenonno (幌
 別): ②[名](キク科)タンポポ属
 kunawkina-cise (新): [名]アカミタンポ
 ポの茎葉 piyehure-kunawkina (新):
 [名]アライタタンポポの茎葉 arait-
 kunawkina (新): [名]エゾタンポポの茎
 葉 yaun-kunawkina (新): [名]オオヒラ
 タンポポの茎葉 opira-kunawkina (新):
 [名]オダサムタンポポの茎葉 otasam-
 kunawkina (新)※(別名「ネッカタンポ
 ポ」): [名]オクウスギタンポポの茎葉
 namburetar-kunawkina (新)※(別名「ナン
 ブシロタンポポ」): [名]カンサイタンポ
 ポの茎葉 kansay-kunawkina (新): [名]
 カントウタンポポの茎葉 kantow-kunawkina
 (新): [名]キビシロタンポポの茎葉
 okayamaretar-kunawkina (新): [名]クザ
 カイタンポポの茎葉 iwate-kunawkina
 (新): [名]クシバタンポポの茎葉
 kirayham-kunawkina (新): [名]クモタ
 ンポポの茎葉 karahto-kunawkina (新)※
 (別名「カラフトタンポポ」など): [名]ケ
 イタンポポの茎葉 kituy-kunawkina
 (新): [名]ケイリンシロタンポポの茎葉
 kórinkunawkina (新)※(別名「コウライシ
 ロタンポポ」): [名]コタンポポの茎葉
 mokunawkina (新): [名]ゴムタンポポの
 茎葉 gum-kunawkina (新): [名]シコ
 タンポポの茎葉 sîkotan-kunawkina
 (新)※(別名「ネムロタンポポ」): [名]シ
 ナノタンポポの茎葉 sinano-kunawkina
 (新)※(カントウタンポポの亜種): [名]シ
 ロバナタンポポの茎葉 retar-kunawkina
 (新): [名]セイタカタンポポの茎葉
 keweri-kunawkina (新)※(別名「イブキ
 タンポポ」など): [名]セイヨウタンポポの
 茎葉 repun-kunawkina (新): [名]タカ
 サゴタンポポの茎葉 taywan-kunawkina
 (新): [名]タカネタンポポの茎葉 yuparo-
 kunawkina (新)※(別名「ユウバリタン
 ポ」): [名]ツクシタンポポの茎葉 tûkusi-
 kunawkina (新): [名]トウカイタンポ
 ポの茎葉 towkay-kunawkina (新)※(別
 名「ヒロハタンポポ」。カントウタンポ
 ポの変種): [名]トガクシタンポポの
 茎葉 togakusi-kunawkina (新): [名]ミ
 ヤマタンポポの茎葉 metotun-kunawkina
 (新): [名]モウコタンポポの茎葉 mongor-

kunawkina (新): [名]ヤツガタケタンポポの茎葉 yaŋugatake-kunawkina (新): [名]ヤマザトタンポポの茎葉 sísamkotan-kunawkina (新)

たんめい(短命) [自]短命である sukup-etakne (屈斜路)

たんようき(単葉機) [名]単葉機 sinerapkossinta (-korsinta) (新)

だんれい(断冷) [自]断冷する méetuye (新): [他]~の冷気を断つ emeetuye (新): [他](場所)で断冷する emeetuye (新): [他]~と共に断冷する komeetuye (新): [他](原因、手段)で断冷する omeetuye (新): [他]~に断冷させる metuyere (新): [名]断冷材 méetuyep (新)、[名] ciomeetuyep (新): [名]断冷カーテン méetuye-iotpe (新)、[名] méetuye-iorotpe (新)

だんろ(暖炉) [名]暖炉 sumaapeoy (新)、[名] apeosuma (新)

だんをとる(暖をとる) [自]暖をとる apekuru (石狩): [他](人)に暖をとらせる apekurure (石狩)

ち(血) [名]血 kem(i) (石狩): [自]血が出る kemnu (石狩): (表現)血が出る kem asin (天塩): [自]血がどっと出る kémot (H): (表現)血がどっと出る kem ciwnu (天塩): (表現)血がどっと出る、飛び散る kem carke (石狩)、(表現) kem sicari (石狩): (表現)血が出て垂れる kem etuk wa ran (石狩): (表現)血が垂れる kem ran (石狩): (表現)血だらけになる kem patek ne (石狩): [自](場所)に血が付く kémus (石狩): [他](場所)に血を付ける kémusi (新): [自]血を吐く paroikus (幌別)、[自] paro-kemkus (新): (表現)~が血を吐く ~ paro kem kus (幌別): (表現)鼻から出る血は玉と飛び散り、口から出る血は幅広い布となる etuhhu kus pe num ne tusse paroho kus pe para tepa ne (新)※(幌別)

ち(地) ①(人が生活に利用し、所有、売買、譲渡ができる)[名]地 toy (石狩): ②(人が生活する場を表し)[場名]地 mosir(i) (石狩): ③(ある気候風土が見られる、あるいは特定の植生、生物や無生物などが存在する所の意味で)[場名]地 sir(i) (石狩)

ち(乳) (鐘の部分名称)[名]乳 totto (新): [名]乳の間 penram(u) (新)

チアガール (表現)チアガール ikoorosutke menoko (新)

ちい(地位) [名]地位 so (新): (表現)高い地位 páke un so (pákeuyso) (新): (表現)低い地位 kese(kése) un so (keseuyso)

(新): (表現)高い地位に就く sópa ta a (複数 rok) (新): 「私の地位は低く貴方の地位は高い。」“Ku=kor so anakne sókes ta an wa an=kor so anakne sópa ta an .”

ちいき(地域) [場名]地域 sisserke (sirserke) (新)

ちいさく(小さく) ①(生物、あるいは物事に関して一般的に)[自]小さくなる、小さい pon (石狩)※(対義語は"poro").): [他]~を小さくする ponte (ponka) (新): [自]充分小さくなる、小さい ponno (ponnu) (新): [自]完全に小さくなる、小さい oarpon (arpon) (新): [自]もの凄く小さくなる、小さい toykopon (新): [自]本当に小さくなる、小さい sípon (新): [副]小さく ponno (新): [名]小さな川 pompét (石狩): [名]小さい沢 ponnay (石狩): ②(比喩的に生物や物事に関して)[自]小さくなる、小さい pewre (新)※(対義語は"onne"): [他]~を小さくする pewreka (pewrere) (新): [自]充分小さくなる、小さい pewreno (pewrenu) (新): [自]完全に小さくなる、小さい oarpewre (arpewre) (新): [自]もの凄く小さくなる、小さい toykopewre (新): [自]本当に小さくなる、小さい sípewre (新): ③(物の大きさ、特に粒などに関して)[自]小さくなる、小さい nokan (石狩)※(対義語は"rupne"): (表現)小さい石 nokan suma (石狩): [他](成長に関して、あるいは粒などに関して)~を小さくする nokanka (nokante) (新): [自]充分小さくなる、小さい nokanno (nokannu) (新): [自]完全に小さくなる、小さい oannokan (annokan) (新): [自]もの凄く小さくなる、小さい toykonokan (新): [自]本当に小さくなる、小さい sínokan (新): ④(布や紙など平面的な物に関して)[自]小さくなる、小さい hupne (新)※(対義語は"sep"): (表現)小さい紙 hupne kampi (新): [他]~を小さくする hupneka (hupnere) (新): [自]充分小さくなる、小さい hupneno (hupnenu) (新): [自]完全に小さくなる、小さい oarhupne (arhupne) (新): [自]もの凄く小さくなる、小さい toykohupne (新): [自]本当に小さくなる、小さい síhupne (新): [副]小さく hupneno (新): ⑤[接頭]小さい mo- (石狩、天塩)

チーター (動物)[名](ネコ亜科)チーター属 sikemakosnep-cise (新): [名]チーター sikemakosnep (新)、[名] gépardo (gépaddo) (新)※(伊語)

ちえ(知恵) [名]知恵 rámiye (新)※(心の中身)、[名] waya (久保寺): (表現)私の知

恵 ku=ramipe (新): [自]知恵がある
ramuan (石狩): [自]知恵がない
ramuisam (石狩)

ちえくらべ(知恵比べ) [自]人と知恵比べする
irawketupa (新): [他](人)と知恵比べする
rawketupa (新): [他](場所)で(人)と知恵
比べする erawketupa (新): [他](原因、
手段)で(人)と知恵比べする orawketupa
(新): [他](人)を(人)と知恵比べさせる
rawketupare (新): [自]互いに知恵比べす
る urawketupa (石狩): [他](場所)で互
いに知恵比べする eurawketupa (新):
[他](原因、手段)で互いに知恵比べする
ourawketupa (新): [他](人)を互いに知恵
比べさせる urawketupare (新)

チェコ ①[場名](国名)チェコ共和国 Cesko
Ukotankoremosir (新)※(首都は「プラハ」):
[場名](国名の通称として)チェコ Cesko
(新): [名]チェコ人、国民 ceskounkur
(新): [名]チェコ人 cexkur (新): [名]
チェコ語 cexkuritak (新): ②(歴史)[場
名](国名)チェコスロバキア連邦共和国
Cesko newa Sulovensuko Ukosineatki
Ukotankoremosir (新) ※(1990-9
2年。翌93年に「チェコ共和国」と「スロ
バキア共和国」に分離。): [場名](国名)チェ
コスロバキア社会主義共和国 Cesko-
surovensuko Ureskaussamun
Ukotankoremosir (新)※(1960-90
年までの国名。)

チェザルピーナ (歴史)[場名](国名)チェザルピ
ーナ共和国 Cizarpina Ukotankoremosir
(新)※(首都は「ミラノ」。1798年にチスバ
ダーナ共和国とトランスバダーナ共和国が
統合されて成立。1805年に「イタリア王
国」と改称。)

ちえじゅ(済州) ①[場名](大韓民国の行政区
名)済州特別自治道 Cécus-
sisaksieyayetunus-purovince (新): ②[場
名]済州島 Cécupoysir (新)

チェチェン [場名](ロシア連邦南部連邦管区の
構成主体名)チェチェン共和国 Ceceniya
Ukotankoremosir (新)、[場名] Noxciy
Ukotankoremosir (新)※(首都は「グロズ
ヌイ」。1991年にロシア連邦より分離独
立を宣言するもロシア軍の攻撃を受け紛争
中。): [場名](国名の通称として)チェチェン
Ceceniya (新)、[場名] Noxcicycio (新):
[名]チェチェン人 noxcyikur (新): [名]
チェチェン語 noxcyikuritak (新)※(北東
カフカース語族ナブ語派に属する言語。)

チェツ [間投](いまいましい時などにたてる舌
打ちの音)チェツ cok (石狩): [自]チェツ
と舌打ちする cokse (石狩)

チェボクサル [場名](ロシア連邦沿ボルガ連邦
管区チェバシ共和国の首都名)チェボクサル
Ceboksari (新)

チェリャビンスク [場名](ロシア連邦ウラル
連邦管区の構成主体名)チェリャビンスク州
Cériabinsuk-purovince (新): [場名](チェ
リャビンスク州の州都名)チェリャビンスク
Cériabinsuk (新)

チェルケス [名]チェルケス人 şerjeskur
(新): [名]チェルケス語 şerjeskuritak
(新)※(コーカサス諸語北西コーカサス語族
のアディグ語とカバルド語の総称。)

チェルケスク [場名](ロシア連邦南部連邦管区
カラチャイ・チェルケス共和国の首都名)チェ
ルケスク Cerkessuk (新)

チェレポベツ [場名](ロシア連邦北西連邦管区
ボログダ州の都市名)チェレポベツ
Cerepoveţ (新)

チェレミス [名](マリ人の旧称)チェレミス人
ceremiskur (新): [名](マリ語の旧称)チェ
レミス語 ceremiskuritak (新)

チェワ [名]チェワ族 cewa-utar (新):
[名]チェワ語 cewakuritak (新)※(パント
ゥー語群の言語。アフリカで使用され、マラ
ウィ共和国では公用語の一つ。)

ちか(地価) [名]地価 tóyatay(-e) (新)

ちがいない(違いない) (ある事柄が現実である
確率、あるいは実現する確率を話し手がかなり
大きいと見ている事を表し)①(表現)〜す
るに違いない sonno (sino) + 動詞句 +
nankor (+na) (新): 「明日は雨が降るに
違いないよ。」“Nisatta sonno ruyampe as
nankor na.”: ②(表現)〜するに違いない
と sonno (sino) + 動詞句 + kunak (kuni)
(新): 「明日は雨が降るに違いないと君は言
う。」“Nisatta sonno ruyampe as kunak
(kuni) e=ye.”: 「僕は君は結婚してるに違
いないとばかり思ってたよ。」“Sonno
e=hokukor kunak (kuni) ku=ramu na.”:
③(表現)〜に違いないと思われる
an=arkotomka (新): (表現)〜に違いない
と思われる人 an=arkotomka kur (新):
「昨日カネト氏に違いないと思われる人に
会った。」“Numan Kanetok-aynu
an=arkotomka kur ku=nukar.”: (表現)
〜に違いないと思われる者、物
an=arkotomka p (新): 「ここでは偽物に
違いないと思われる物が売られている。」“T
ta sunke cihoki an=arkotomka p patek
an=eiyok kane an.”

ちがう(違う) ①[自]〜と違う sinnay (石
狩): (表現)〜と違っている sinnay
(sinnayno) an (石狩): 「それとは違うア
イヌの家で私達は寝ました。」“Sinnay Aynu

cise otta hotke=an .” (砂沢クラ): [他]~
 に関して~と違う esinnay (新): [他](場
 所)で~と違う esinnay (新): [他](原因、
 手段)で~と違う osinnay (新): [他]~を
 違うものにする sinnayre (新): ②(二つ
 以上のものが)[自]互いに違う、皆違う
 usinnay (新): [他]~に関して互いに(皆)
 違う eusinnay (新): [他](場所)で互いに
 (皆)違う eusinnay (新): [他](原因、手段)
 で互いに(皆)違う ousinnay (新): [他]~
 を互いに違うものにする usinnayre (新):
 ③[自](間違いである事を表し)違う uhayta
 (石狩): 「君は僕を騙したんだね。」「それは
 違う!」「Es=en=kosunke na .” “Uhayta!”

ちかう(誓う) [自]神、人に誓う ikouyepnu
 (新): (表現)誓いの言葉 ikouyepnu itak
 (新): [他]~に誓う kouyepnu (新):
 [他]~について~に誓う ekouyepnu (新):
 [他](場所)で~に誓う ekouyepnu (新):
 [他](原因、手段)で~に誓う okouyepnu
 (新): [他](人)に~に誓わせる kouyepnure
 (新): [自]自分に誓う yaykouyepnu
 (新): [他]自分で、一人で~に誓う
 koyaykouyepnu (新): [自]誓い合う
 ukouyepnu (新): [他]互いに、皆で~に誓
 う koukouyepnu (新): [他]人に~に誓
 わせる kouyepnyuar (新): [自]心に誓う
 sampeeikouyepnu (新): (表現)心に誓う
 sampe otta ikouyepnu (新): [自]神に誓う
 kamuykouyepnu (新)

ちかく(近く) [自]近くなる、近い hanke (石
 狩): 「豊平川の近くまで私は来た。」
 “Satporopet hanke hi pakno ku=ek .”:
 (表現)波音がだんだん近くなる koyhum
 hanke hanke (沙流): (表現)(あちこちに
 存在する複数のものを示し)近くの~遠くの
 ~、あちこちの~ hanke ~ tuyma ~
 (石狩): 「今日は近くの村から遠くの村から
 立派な方々がいらっしゃっている。」
 “Tananto otta hanke kotan wa tuyma
 kotan wa utarpa utar katkemmat utar arki
 wa okay sirkir an .” : [他](場所)に近くな
 る、近い ehanke (石狩)、[他] kohanke
 (石狩): 「私の家は駅に近い。」“Ku=kor cise
 kisaratkiusi ehanke (kohanke).” : [他]~
 と共に近くなる、近い kohanke (新):
 [他](場所)から近くなる、近い(原因、手段)で
 近くなる、近い ohanke (新): [他]~を近
 くする hankeka (hankere) (新): [自]
 完全に近くなる、近い oarhanke
 (arhanke) (新): [自]充分に近くなる、近
 い hankeno (hankenu) (新): [自]凄く
 近くなる、近い toykohanke (新): [副]近
 く、近くに hankeno (石狩)、[副] hanke

(石狩): [後副]~の近くに kokarankeno
 (石狩)、[後副] kokaranke (石狩): (表現)
 近くから hanke wano (新)、(表現)
 hankeno wano (新)

ちかく(知覚) [名]知覚 ieramuan (新):
 [自]もの事を知覚する ieramuan (複数
 ieramuokay) (新): [他]~を知覚する
 eramuan (複数 eramuokay) (新):
 [他](場所)で~を知覚する eeramuan
 (新): [他]~と共に~を知覚する
 koeramuan (新): [他](原因、手段)で~を
 知覚する oeramuan (新): [他](人)に~
 を知覚させる eramuante (新)

ちかごろ(近頃) [副]近頃 náun (石狩):
 「近頃だよ。」“Naun an wa .” : [場名]近
 頃 uhunak (沙流): (表現)近頃になって
 uhunak wano (沙流): (表現)つい近頃
 tap uhunak (天塩)

ちかづく(近づく) [自]近づく hanke (石狩):
 「遠くに見えていた山が近づいてきた。」
 “Tuymano an=nukar nupuri tane ponno
 ranke hanke .”、 「クリスマスが近づいた。」
 “Xuristosiko hanke .” : [他]~に近づく
 ehanke (石狩)、[他] kohanke (石狩)、
 [他] kokaranke (石狩): 「私に近づかな
 いで。」“Eciki en=ehnke (en=kohanke)!”、
 「ただ今当機は千歳空港に近づいています。」
 “Tane an=o sinta Sikot-sintatomari
 kokaranke ruwe ne .” : [他]~を近づける
 hankeka (hankere) (新): (表現)~のそ
 ばに近づいて行く sam(長形-a、-ake) ene
 oman (複数 paye) (石狩)、(表現) sam(長
 形-a、-ake) ta oman (複数 paye) (石狩):
 「もっと檻のそばに近づいて見てごらん。」
 “Set samake ene na oman wa inkar
 ani !” : (表現)~のそばに近づいて来る
 sam(長形-a、-ake) ene ek (複数 arki) (石
 狩)、(表現) sam(長形-a、-ake) ta ek (複数
 arki) (石狩): 「知らない女性が私に近づ
 いて来る。」“Ku=eramuskare menoko
 en=sam ta ek siran .” : [0 動]近づく
 sirhanke (石狩): 副詞と共に用いられ主
 語をとらないので注意: 「…岸へと近づい
 たら…」 “…eyasi sirhanke ciki…” (砂沢ク
 ラ): [他]~にこっそり近づく siehankere
 (石狩)

ちがつながる(血が繋がる) [名]血が繋がった者
 ir-(i) (H): (表現)~と血が繋がる、繋がっ
 ている ~iri ne (新): [他]~と血が繋が
 っている siramkore (石狩): [名]血が繋
 がった者、あるいは他人でも親戚同様付き合
 う者 siramkore (石狩): [自](合成語の構
 成要素として)血が繋がっている ir (H)

ちかてつ(地下鉄) [名]地下鉄

poknaikinneanop (新)、[名] metro (新)
※(英語)

ちかみち(近道) [名]近道 ikaru (石狩):
(表現)〜への近道 ~ ekota (otta) ika ru
(新): [自]近道する ika (石狩): [他](雅語)〜を近道する ukaeraye (石狩): 「〜を近道する」について"ukaeraye"が記憶しづらい場合、「〜を越えて」と訳される後置副詞"oika"を他動詞として用いても良いだろう。

ちから(力) ①[名]力 tum(i) (石狩)、[名] kiror(o) (沙流): ②[自]力がある、力が強い tumkor (石狩)、[自] tumnu (石狩)、[自] okirasnu (沙流): [他]〜の力を強くする tumkore (新)、[他] tumnure (新): ③[自]力が無い tumsak (石狩): [他]〜の力を失わせる tumsakka (新): ④[自]力が弱い tumsak (石狩)、[自] tumisawre (新): [他]〜の力を弱める tumsakka (新)、[他] tumisawreka (tumisawreke) (新): ②〜④まで本来腕力などについてのみ用いられるが、今後は知力などについても使う。

ちからいっぱい(力一杯) [副] 力一杯 siyuppano (石狩)、[副] siyuppa (石狩): 「私は彼を力一杯叩いた。」"Siyuppano ku=kik."

ちからくらべ(力比べ) [自]人と力比べする ikironnukar (新)、[自] ikirorpakte (新): [他](人)と力比べする kironnukar (新)、[他] kirorpakte (新): [他](場所)で(人)と力比べする ekironnukar (新)、[他] ekiropakte (新): [他](原因、手段)で(人)と力比べする okironnukar (新)、[他] okirorpakte (新): [他](人)を(人)と力比べさせる kironnukare (新)、[他] kirorpaktere (新): [自]互いに力比べする ukironnukar (幌別)、[他] ukiropakte (八雲): [他](場所)で互いに力比べする eukironnukar (新)、[他] eukirorpakte (新): [他](原因、手段)で互いに力比べする oukironnukar (新)、[他] oukirorpakte (新): [他](人)を互いに力比べさせる ukironnukare (新)、[他] ukiropaktere (新): [自]綱引きする ukotus-etaye (石狩)、[自] ukopunkar-etaye (石狩)、[自] ukotus-uk (新): (表現)首の引き合い tus ani (ari) okkewe etaye (新)※(石狩): [自]中指の引き合い ukonkep-etaye (石狩)

ちからこぶ(力瘤) [名]力瘤 yontekkam(i) (石狩)

ちからをいれる(力を入れる) [自]力を入れる siyuppa (石狩): [他]〜に力を入れる kosiuppa (石狩): 力を入れる対象は手や

壁など具象的なものだけでなく、"yaykewtum"「心」など抽象的なものも可能: [他]〜と共に力を入れる kosiuppa (新): [他](原因、手段)で力を入れる osiuppa (新): [他](人)に力を入れさせる siyuppare (新): [自]自分で、一人で力を入れる yaykosiuppa (新): [自]互いに、皆で力を入れる ukosiuppa (新): [自]思い切り力を入れる toykosiuppa (新)、[自] raysiuppa (新)

ちからをふりしぼる(力を振り絞る) [自]自分の力を振り絞る yaytumuyupu (新)、[自] yaykiroroyupu (新): [自]皆の、互いの力を振り絞る utumuyupu (新)、[自] ukiroroyupu (新)

ちかん(痴漢) ①[自]痴漢をする cikanki (新): [他](人)に痴漢をする kocikanki (新): [他](場所)で痴漢をする ecikanki (新): [他]〜と共に痴漢をする kocikanki (新): [他](原因、手段)で痴漢をする ocikanki (新): [他](人)に痴漢をさせる cikankire (新): ②(行為)[名]痴漢 cikan puri (新): ③(人)[名]痴漢、痴漢をする奴 cikankip (新): [名]痴漢をする男性、痴漢 cikankikur (新): (表現)痴漢をする男、痴漢 cikanokkayo (新): [名]痴漢をする女性、痴女 cikankimat (新): (表現)痴漢をする女、痴女 cikanmenoko (新)

ちきゅう(地球) (宇宙)[場名](太陽系の三番惑星名)地球 Ankónnociw (新)、[場名] Mosir (新)

ちきゅう(恥丘) [名]恥丘 enkip(i) (天塩): 「戸口の庇を持つものと恥丘の下に陰毛がない女性器を呼ぶ。」"Aripirikorpe sekor enkip pok ta honuma sak menokokorpe a=ye."

ちきょう(地峡) [名]地峡 sinriwka (新)

ちく(地区) ①(ある特定の区域を指し)[場名]地区、区域 sisserke (sirserke) (新)、[場名] sir(i) (新): ②(行政的な)[場名]地区 iwor (新): ③(境界線に囲い込まれた)[名]地区 sisso (sirso) (新): ④(他と異なった特徴のある)[名]地区、地帯 so (新)

ちくさくえき(竹酢液) [名]竹酢液 sitop-sakekassupakepe (sitop-sakekarsupakepe) (新)

ちくさん(畜産) [自]畜産する iosiknupreska (新): [場名]畜産場 cásisakiosiknup-reskausi (新): [名]畜産物 cireskap (新): [名]畜産試験場 iosiknupreska-pekerkausi (新)

ちくたん(竹炭) [名]竹炭 sitoppas (新)

ちくび(乳首) [名]乳首 tómom(i) (石狩)

チグリス (地名)[名]チグリス川 *Tikres-pet* (新)※(希語): [名] *Díjura-pet* (新)※(アラビア語)、[名] *Idikrat-pet* (新)※(アッカド語): [場名]チグリス川流域 *Tígres* (新)、[場名] *Díjura* (新)、[場名] *Idikrit* (新)

ちけい(地形) [名]地形 *sissirki* (*sirsirki*) (新): [名]地形図 *sissirkinoka* (*sirsirkinoka*) (新)

チケット [名]チケット *tiket* (新)※(英語)

ちこう(恥垢) [名]恥垢 *hotur*-(i、-u) (新)

ちこう(恥垢) [名]恥垢 *otur*-(i) (新): [名]男性器の恥垢 *cítur*-(i) (新): [名]女性器の恥垢 *pokkamtaype* (新)、[名] *pohkantaype* (樺太真岡)

チコリー →「キクニガナ(菊苦菜)」を見よ

ちじ(知事) ① 州知事 *purovincekorkur* (新): ② [名]都知事 *tókorkur* (新): ③ [名]北海道知事 *cieaynuetoytahikorkur* (新)、[名] *koroniakorkur* (新): ④ [名]府知事 *húkorkur* (新): ⑤ [名]県知事 *kenkorkur* (新)

ちしき(知識) [名] 知 識 *cieramampe* (*cieramuampe*) (新)、[名] *anerámampe* (*anerámuampe*) (新): (表現)私の知識 *ku=eraman* (*ku=eramuam*) *pe* (石狩)、(表現) *ku=kor anerámampe* (*anerámuampe*) (新)、(表現) *ku=kor cieramampe* (*cieramuampe*) (新)

チシマザクラ(千島桜) (植物)[名](サクラ属)チシマザクラの茎 *cupkaunkarimpani* (新)※(タカネザクラの変種): [名]チシマザクラの花 *cupkaunkarimpani-apappo* (新)

チシマザサ(千島笹) (植物)[名]チシマザサの枝葉 *uras*-(i) (石狩、天塩)、[名] *huttat*-(u) (石狩): [名]チシマザサの葉 *urasam* (天塩): [名]チシマザサの茎 *iktara* (北見紋別)、[名] *ikitarara* (美幌): [名]チシマザサの根茎 *urassinrit* (新): [名]チシマザサの花 *urasapappo* (新): [名]チシマザサの実 *uripe* (H)、[名] *kamuy-amam* (幌別): [名]チシマザサの枯茎 *yayantop* (十勝)※(別名「ネマガリダケ」)

ちじん(知人) [名]知人 *amkirkur* (石狩)

ちず(地図) [名]地図 *sinrunoka* (新)

チスイコウモリ(血吸蝙蝠) (動物)[名](ヘラコウモリ科)チスイコウモリ亜科 *kemkemkapap-moapa* (新): [名]チスイコウモリ属 *kemkemkapap-cise* (新): [名]ナミチスイコウモリ *yayan-kemkemkapap* (新): [名]デスモドゥス・ドラクラエ *dorakurakapap* (新)※(絶滅): [名]ケアシチスイコウモリ属 *numauscikirkorkapap-cise* (新): [名]ケ

アシチスイコウモリ *numauscikirkorkemkemkapap* (新): [名]シロチスイコウモリ属 *retarkemkemkapap-cise* (新): [名]シロチスイコウモリ *retarkemkemkapap* (新)

チスイコウモリモドキ(血吸蝙蝠擬) (動

物)[名](ヘラコウモリ亜科)チスイコウモリモドキ族 *cikemkem-kapapkopa-utar* (新): [名]チスイコウモリモドキ属 *cikemkem-kapapkopa-cise* (新): [名]チスイコウモリモドキ *cikemkem-kapapkopa* (新): [名]ウーリーヘラコウモリ属 *hicicikiskius-hametukapap-cise* (新): [名]ウーリーヘラコウモリ *hicicikiskius-hametukapap* (新): [名]カエルクイコウモリ属 *terkeipeekapap-cise* (新): [名]カエルクイコウモリ *terkeipeekapap* (新): [名]マルミヘラコウモリ属 *kisarasikari-hametukapap-cise* (新): [名]マルミヘラコウモリ *kisarasikari-hametukapap* (新): [名]トナティア・サウロフィラ *eruokisarasikari-hametukapap* (新): [名]ロフォストマ属 *orbikni-kisarasikari-hametukapap-cise* (新)

チスパダーナ (歴史)[固名](国名)チスパダーナ共和国 *Cispadana Ukotankoremosir* (新)※(1796年にナポレオンのイタリア遠征により建国。1797年にトランスパダーナ共和国と統合され「チザルピーナ共和国」となる。)

チタ [場名](ロシア連邦シベリア連邦管区の構成主体名)チタ州 *Cita-purovince* (新): [場名]チタ *Cita* (新)

ちたい(地帯) ①(境界線に囲い込まれた)[名]地帯 *sisso* (*sirso*) (新): ②(他と異なった特徴のある)[名]地帯 *so* (新)

ちだい(地代) [名]地代 *tóyeiwankeatay*-(e) (新)

チタン (化学)[名]チタン *titanium* (新)※(原子番号22番。元素記号 *Ti*)

ちち(乳) ①(乳汁の意味で)[名]乳 *tópe* (石狩): [自]乳を飲む *tonon* (石狩): [他](人)に乳を飲ませる *tononte* (新): ②(乳房の意味で)[名]乳 *tókap*-(u) (石狩): [自](赤子が乳などを求めて)首を回し口を向ける *kutnoye* (幌別)

ちち(父) [名]父上様 *ona* (石狩): (表現)私の父上様 *ku=ona* (*ku=onaha*) (石狩): [名](子に対して)父親 *aynu* (石狩): [名](雅語)父親 *rupneaynu* (石狩): (表現)私の父親 *ku=rupneaynu* (石狩): [名]父、父さん *hampe* (石狩): (表現)私の父 *ku=kor hampe* (石狩): [名]お父ちゃん *mici* (石狩): [名]父と子 *uonakor*

utar (沙流): [自]父と子である uonakor (沙流)

チチハル(斉齊哈爾) [場名](中華人民共和国の黒龍江省の都市名)斉齊哈爾 Cicihaer (新)

チチブコウモリ(秩父蝙蝠) [名](ヒナコウモリ科)チチブコウモリ属 kisaruousskapap-cise (新): [名]チチブコウモリ yayan-kisaruousskapap (新): [名]クロチチブコウモリ europaun-kisaruousskapap (新)※(別名「ヨーロッパチチブコウモリ」): [名]バルバステラ・ペイインゲンシス peycinun-kisaruousskapap (新)

ちぢむ(縮む) [自]縮む siyoni (石狩): [他](場所)で縮む esiyoni (新): [他]〜と共に縮む kosiyoni (新): [他](原因、手段)で縮む osiyoni (新): [自]自分で、一人縮む yaykosiiyoni (新): [自]互いに、皆で縮む ukosiyoni (新): [自]完全に縮む oassiyoni (assiyoni) (新): [自]滅茶苦茶縮む toykosiyoni (新): [自]何度も縮む siyoninke (新)、[自] siyonini (新):

ちぢめる(縮める) [自]ものを縮める iyoni (新): [他]〜を縮める yoni (石狩): [他](場所)で〜を縮める eyoni (新): [他]〜と共に〜を縮める koyoni (新): [他](原因、手段)で〜を縮める oyoni (新): [他](人)に〜を縮めさせる yonire (新): [他]自分で、一人で〜を縮める yaykoyoni (新): [他]互いに、皆で〜を縮める ukoyoni (新): [他]完全に〜を縮める oaryoni (aryoni) (新): [他]思い切り〜を縮める toykoyoni (新): [他]人に〜を縮めさせる yoniyar (新): [自]互いに縮め合う uyoni (新): [自]ものを何度も縮める iyoninke (新)、[自] iyonini (新): [他]〜を何度も縮める yoninke (石狩)、[他] yonini (新): [他](人)に〜を何度も縮めさせる yoninkere (新)、[他] yoninire (新)

ちちゅうかい(地中海) ①(海洋)[名]地中海 mosinnoskiatuy (新): ②[名](地名)地中海 Mosinnoskiatuy (新)

ちぢれる(縮れる) [自]縮れる komkomse (幌別): [名]縮れた髪の毛 komkomse-otop(-i) (幌別): [名]縮れた体毛 komkomse-numa (新)

ちつ(臆) [名]臆 cit(-ci) (H): [名]臆口 citcar(-o) (新)、[名] citpar(-o) (新)、[名] sanke-apa (新冠)、[名] kokkasuy(-e) (美幌): (表現)臆口 ra ta an paro (幌別): [場名]臆内 citoske (新)、[場名] cítor(-o) (新): (表現)臆内射精する citoske (cítor) ta owen (新)、(表現) citoske (cítor)

eowen (新): [場名]臆外 citsoy(-ke) (新): (表現)臆外射精する citsoyke ta owen (新)、(表現) citsoyke eowen (新): [名]臆カンジダ症、カンジダ性臆炎 cici-kandida-osiyeeye (新): [自]臆カンジダ症に罹る cici-kandida-osiyeeye (新)

ちっそ(窒素) (化学)[名]窒素 nitrogenium (新)※(原子番号7番。元素記号 N)

ちっそく(窒息) [自]窒息しそうになる etaskoninninke (石狩)

ちっとも (表現)ちっとも ponno poka (石狩)、(表現) ponno ka (新): 「私が招待したのに、君はちっとも来やしない。」

“En=aske=ku=uk yakka ponno poka e=ek ka somo ki.”

チップ [名]チップ yarpō (新): [名]ICチップ IC-yarpō (新)

チドメグサ(血止草) (植物)[名](セリ科)チドメグサ亜科 kémehamkina-moapa (新): [名]チドメグサ属 kémehamkina-cise (新): [名]チドメグサの茎葉 kémehamkina (新): [名]アマゾンチドメグサの茎葉 amazon-kemehamkina (新): [名]ウチワゼニクサの茎葉 koykaamerika-kemehamkina (新): [名]オオチドメの茎葉 síkemehamkina (新)※(別名「ヤマチドメ」): [名]ノチドメ nupkemehamkina (新): [名]ヒメチドメの茎葉 mokemehamkina (新): [名]ブラジルチドメグサの茎葉 burazir-kemehamkina (新): [名]ツボクサ属 kemasikannerekina-cise (新)

ちのう(知能) [名]知能 ramki (新)※(心がする)、[名] ramkip (新)

ちひょう(地表) [場名]地表 sirka (sirkasi、sirkasike) (石狩): [名]地表、大地の広がり mosisso (mosirso) (石狩): (表現)地表に mosisso (mosirso) kurka (石狩)

ちぶさ(乳房) [名]乳房 tókap(-u) (石狩): [名](合成語の構成要素として)乳、乳房 to (石狩): 幼児語、あるいはくだけた言葉で「おっぱい」は“totto”。また名寄では若い女のことを“to”、年取った女のことを“tókap”と呼ぶ。: [自]乳房をぶらぶらさせる tokapraciraci (石狩): [名](母グマの)乳房の肉 tónin(-i) (石狩): 春の山獺で仔グマが獲れた時、米の粥の中に他の部分の肉と共にこれを入れて仔グマに与える。

ちへいせん(地平線) [名]地平線 nisositciw (新): [場名]地平線の彼方 nisositciw-imakake (新)

チベット(西藏) [場名](中華人民共和国が実効支配するチベットの行政区名)西藏自治区 Búkur-sieyayetunusiwor (新): [場名](国

名)チベット Bu (新): [名]チベット人 búkur (新): [名]チベット語 búkuritak (新): [名]チベット文字 búkuritak-itokpa (新)

チベットガゼル (動物)[名](ブラックバック族)チベットガゼル亜族 búungazera (新): [名]チベットガゼル属 búungazera-cise (新): [名]チベットガゼル búun-gazera (新): [名]モウコガゼル mongorun-gazera (新): [名]モウコノウマガゼル puşevaruski-gazera (新)※(別名「モウコノウマ」)

ちほう(地方) ①(ある一つの地域を指し)[場名]地方 sisserke (sirserke) (新): ②(首都圏に対する)[場名]地方 sirkes (新)、[名]inaka (新): ③(ロシア連邦の行政単位名)[場名]地方 sirkes (新)

ちほうこうむいん(地方公務員) [名]地方公務員 sisserkeunkur-koniwasnukur (新)、[名]sirserkeunkur-koniwasnukur (新): [名]日本の地方公務員 sirkeskottono (新)

ちまき(粽) ①[名]粽 ciurasamkokarkarip (新)、[名]cimaki (新): ②(植物)[名](ササ属)チマキザサの茎葉 cisitokokarkari-uras (新): [名]シャコタンチクの茎 sirkiotop (新)※(変種): [名]ルベシベザサの茎葉 rupepe-uras (新)※(変種)

ちまみれ(血塗れ) [自]血塗れになる kémus (石狩)、[自]oarkemus (arkemus) (新): [他]～を血塗れにする kémusi (石狩)、[自]oarkemusi (arkemusi) (新)

ちめい(知命) (表現)知命 wampa ikasma tuhotne pa (新)、(表現)wampa erehotne pa (新)

ちめい(地名) [名]地名 sinre (天塩)

ちゃ(茶) ①[名](植物の皮、実などを煎じた飲料としての)茶 úsew (石狩): [名]ホオの実茶 pusniepuy-usew (石狩): [名]エゾノウワミズザクラの皮茶 kikinnikapuhu-usew (石狩): [名]チャノキの葉の茶 cá-usew (新): ②[名]茶葉 ca (新)

チャート [名]チャート cinukannoka (新)、[名]sinrunoka (新)、[名]catta (新)※(羅語"charta")

チャールストン [場名](アメリカ合衆国ウェストバージニア州の州都名)チャールストン Canruston (新)

ちやいろ(茶色) [自]茶色になる、である cá-irone (新)、[自]yám-irone (新)、[自]uparus-irone (新)、[自]uparus (新): [他]～を茶色にする cá-ironeka (-ironere) (新)、[他]yám-ironeka (-ironere) (新)、[他]uparus-ironeka (-ironere) (新)、[他]uparuste (新): [名]茶色 cáiro (新)、

[名]yámiro (新)、[名]uparusiro (新)
チャオブラヤー [場名](地名)チャオブラヤー川 Caopuraya(-pet) (新)

チャガンド(慈江道) [場名](朝鮮民主主義人民共和国の行政区名)慈江道 Cagan-purovince (新)

ちやくがん(着岸) [自]着岸する yan (石狩): [他](場所)に着岸する eyan (新)、[他]koyan (石狩): [他]～と共に着岸する koyan (新): [他](原因、手段)で着岸する oyan (新): [自]さっと着岸する yantek (新): [自]船を着岸させる cipyanke (石狩): [他]～を着岸させる yanke (石狩): [他](場所)に～を着岸させる koyanke (新): [他]～をさっと着岸させる yantekka (新)

ちやくしょく(着色) [他]～に着色する irousi (新): [他](場所)で～に着色する eirousi (新): [他]～と共に～に着色する koirousi (新): [他](原因、手段)で～に着色する oirousi (新): [他](人)に～に着色させる irousire (新): [名]着色剤 irousikusuri (新)、[名]cioiirousikusuri (cioirousikusuri) (新): [名]着色料 irousip (新)、[名]cioiirousip (cioirousip) (新)

チャコアルマジロ (動物)[名](アルマジロ科)チャコアルマジロ属 mohayokyuk-cise (新): [名]チャコアルマジロ mohayokyuk (新)、[名]moarmadiro (新)

ちゃっか(着火) ①(火が点く事を表し)(表現)着火する ape epeku (石狩)、(表現)ape a (天塩): ②(火を点ける事を表し)[自]着火する apeare (新): (表現)着火する ape áre (石狩): [他](場所)で着火する eapeare (新): [他]～に着火する koapeare (新): [他]～と共に着火する koapeare (新): [他](原因、手段)で着火する oapeare (新): [他](人)に着火させる apeare (新): [他](燃えさしなど)で～を突いて着火する enuykootke (石狩): [名]着火具、着火具一式 kara (石狩)

ちゃっかく(着格) (言語)[名]着格 cikorikimperewke (新)※(＝昇格。上昇されるもの格)

チャド [場名](国名)チャド共和国 Cáo Ukotankoremosir (新)※(首都は「ンジャメ」): [場名](国名の通称として)チャド Cáo (新): [名]チャド人、国民 cádounkur (新)

チャノキ(茶の木) (植物)[名](ツバキ属)チャノキの茎 cáni (新): [名]チャノキの葉 ca (新): (変種)[名]トウチャの茎 yayan-cani (新): [名]ベニバナチャの茎 apappohure-

cani (新): [名] アッサムチャの茎
assam-cani (新)

チャハルしょう(察哈爾省)[場名](中華人民共和
国にあった省名)察哈爾省 Cáhar-
purovince (新)※(1928-52)

ちやわん(茶碗) [名]茶碗 sumaitanki (八
雲)

チャン [間投](刀などの刃が打ち合う音)チャ
ン kit (石狩)、[間投] can (新): [間投]
チャンチャン kitkit (新)、[間投] cancan
(新): [自]チャンと音がする kitse (kitce)
(新)、[自] cayse (新): [自]チャンと音が
する kitkitse (kitkitce) (新)、[自]
cancayse (新): [自](一回)チャンと鳴る
kitkosanu (石狩)、[自] kitkosampa (新)、
[自] cankosanu (新)、[自] cankosampa
(新): [自]チャンチャンと頻りに鳴る
cikitrototo (石狩)、[自] kitrototke (新)、
[自] cicanrototo (新)、[自] canrototke
(新): [自]チャンチャンと何度も音がする
kicitatki (新)、[自] cánanatki (新):
[自]チャンチャンと続けて鳴る kitnatara
(新)、[自] cannatara (新): [自](瞬間的
に)チャンと鳴る kittek (新)、[自]
cantek (新)

チャンス ①[名]チャンス caysu (cance)
(新)※(英語): (表現)チャンス ikopirka hi
(新): (表現)へのチャンス 名詞、名詞句+
kopirka hi (新): (表現)～するチャンス
動詞句+yak pirka hi (新): (表現)～する
チャンスが訪れる 動詞句+yak pirka hi an
(新): ②[自]チャンスを窺う ieyoko (新):
[他](人)にチャンスを窺わせる ieyokore
(新): ③[自]チャンスを逃す iorawki (石
狩)、[自] iorawke (天塩): [他](人)にチャ
ンスを逃させる iorawkire (iorawkere)
(新): (表現)へのチャンスを逃す 動詞句+
kuni yaykasure (沙流)

チャンチンモドキ(香椿擬)(植物)[名](ウルシ科)
チャンチンモドキ属 cicancinkopa-cise
(新): [名]チャンチンモドキの茎
cicancinkopa (新)

チャンネル(1) [名]チャンネル asurkusru(-
we) (新)※(情報が通る道)、[名] ikusru(-
we) (新)、[名] canner (新)※(英語)、[名]
kanar (新)※(露語)

チャンネル(2) [場名](地名)チャンネル諸島
Canner-usapoyisir (新): 同名のものとし
て英国海峡に位置するイギリス王室領の
島々と太平洋に位置するアメリカ領の島々
がある。後者は「サンタバーバラ諸島」とも
呼ばれる。

チャンパー(銃の部品)[名]チャンパー
kusuritumpu (新)

ちゅう(紐)(鐘の部分名称)[名]紐 at(-u)
(新)

ちゅうい(中位) [場名]中位 noskiuysouni
(新): (表現)中位 noskiun sóuni (新):
[連体]中位の noskiuysoun (新): [名]中
位者 noskiuysounkur (新)

ちゅうい(中胃) [名](虫の)中胃
noskiuyyospe (新)

ちゅうい(注意) ①(用心する事)[名]注意
yaytupare (yaitupare) (新): [自]注意す
る yaytupare (yaitupare) (石狩): [他]
～に注意する eyaytupare (新)、[他]
koyaytupare (新)、[他] eramuan (複数
eramuokay) (石狩): 他動詞だが、単複は
主語の数になるので注意。また発音は普通
"eraman"。: [他]～と共に注意する
koyaytupare (新): [他](原因、手段)で注
意する oyaytupare (新): [他](人)に注意
させる yaytuparere (yaituparere) (新):
[自]自分で、一人で注意する
yaykoyaytupare (新): [自]互いに、皆で注
意する ukoyaytupare (新): [自]充分に
注意する yaytupareno (yaitupareno)
(新)、[自] yaytuparenu (yaituparenu)
(新): [自]完全に注意する oaryaytupare
(aryaytupare) (新): [自]もの凄く注意す
る toykoyaytupare (新)、[自]
rayyaytupare (新): [自]本当に注意する
siyaytupare (新): [副]注意して
yaytupareno (yaitupareno) (石狩): (表
現)注意して yaytupare (yaitupare) tura(-
no) (新): (表現)注意して yaytupare
(yaitupare) kane (新): ②(人や物事に関
心を持ち)[他]～に注意する ekottanu (B)

ちゅうおう(中央)①(面の)[場名]中央
sinnoski (sinnoskike) (新): ②(線の)[場
名]中央 rúnoski (rúnoskike) (新): ③
[位名]～の中央 noski(長形、-ke) (石狩):
[連体]～の中央の noskiun (新)

ちゅうおう(中欧)[場名](地名)中欧 Noskiun
Europa (新)

ちゅうおうアジア(中央アジア) [場名](地名)中
央アジア Noskiun Azia (新)

ちゅうおうアフリカ(中央アフリカ)①[場名](地
名)中央アフリカ Noskiun Afrika (新):
②[場名](国名)中央アフリカ共和国
Noskiun Afrika Ukotankoremosir (新)※
(首都は「バンギ」): [名]中央アフリカ人、
国民 noskiunafrikaunkur (新)

ちゅうおうせん(中央線) [名]中央線
noskiru(-we) (新): [自]中央線を引く
noski ta naye (複数 ipoknanaypa) (新)、
[自] poknarunokakar (新): [他]～に中
央線を引く poknanaye (複数 ponanaypa)

- (新)、[他] epoknarunokakar (新)、[他] korunokakar (新): [他]〜と共に〜に中央線を引く kopoknanaye (複数 kopoknanaypa) (新)、[他] kopoknarunokakar (新): [他](原因、手段)で〜に中央線を引く opoknanaye (複数 opoknanaypa) (新)、[他] okopoknarunokakar (新): [他](人)に〜に中央線を引かせる poknanayere (複数 poknanaypare) (新)、[他] poknarunokakare (新)
- ちゅうおうせん(中央線)** [名] 中央線 noskiru(-we) (新): (表現)中央線をはみ出す noskiru ehosi (eosi) (新): (表現)〜に中央線を引く ~ noski turasi rúnokakar (新)、[自] ~ noski pesno rúnokakar (新)、(表現) ~ noski peka rúnokakar (新)
- ちゅうおうヨーロッパ(中央ヨーロッパ)** [場名](地名)中央ヨーロッパ Noskiun Europa (新)
- ちゅうおうれんぼうかんく(中央連邦管区)** [場名](ロシア連邦の行政区名)中央連邦管区 Noskiun-ukosineatkiwir-iwor (新)※(本部は「モスクワ」)
- ちゅうかじんみんきょうわこく(中華人民共和国)** [場名](国名)中華人民共和国 Tónhua Utarikor Ukotankoremosir (新)※(首都は「北京」。通貨は「元(圓)」、ピンインは「yuán」。補助通貨は「角」「jiǎo」と「分」「fēn」で1元=10角=100分。それぞれアイヌ語で「yuan」、「ciao」、「fen」と表す。また「元」は通常中国国内で「人民幣」「rénmínbì」と呼ばれるが、これはアイヌ語で「utarikor-yuan」と表す。): [場名](国名の通称として)中国 Tónkuo (新)、[場名] Atuyya (新): [名] 中国国民 tónkuounkur (新)、[名] atuyyaunkur (新)
- ちゅうがっこう(中学校)** [場名] 中学校 noskiun-ipakasnuusi (新): [名] 中学生 noskiun-ipakasnuusiunkur (新)、[名] noskiunkur (新)
- ちゅうかみんこく(中華民国)** [場名](国名)中華民国 Tónhua Ukotankoremosir (新)※(首都は「南京」とされるが、実質的な首都は「台北」): [場名](国名の通称として)台湾 Repun Atuyya (新)、[場名] Taywan (新): [名] 中華民国国民 tónhua-ukotankoremosir-unkur (新)、[名] repun-atuyyaunkur (新)
- ちゅうかん(中間)** ①(土地の)[場名] 中間 sirutur (siruturu、siruturke、siruturuke) (新): ②[位名]〜の中間 utur(長形-u、-ke、-uke) (石狩)、[位名] ukoutur(長形-u、-ke、-uke) (新)
- ちゅうかんしょく(中間色)** [自](色に関して)中間色である matek (石狩)
- ちゅうかんせつじ(中間接辞)** (言語)[名] 中間接辞 inoskiusitakpo (新)、[名] iukoteitakpo (新)
- ちゅうきやく(中脚)** [名](虫の)中脚 noskiuncikir(-i) (新)
- ちゅうきゆう(中級)** [場名] 中級 noskiuysouni (新)、[場名] noskiuyso (新): (表現)中級 noskiun souni (新): [連体] 中級の noskiuysoun (新): [名] 中級者 noskiuysounkur (新)
- ちゅうきよう(中胸)** [名] 中胸 noskiun-rerar(-u) (新)
- ちゅうきんとう(中近東)** [場名] 中近東 Hankenoskiun-cupka (新)
- チューク** [場名](ミクロネシア連邦の州名)チューク州 Cuk-purovince (新): [場名](地名)チューク諸島 Cuk-usapoyis (新)※(西太平洋のカロリン諸島に属するミクロネシア連邦領の島々。旧名は「トラック諸島」): [名] チューク語 cúkunkuritak (新)
- ちゅうくうのくき(中空の茎)** [名] 植物の中空の茎 kuttar(-i) (石狩)
- ちゅうくらい(中くらい)** [自] 中くらいである haykannu (新)※(萱野辞典によれば「haykannusu」「中型鍋」、「haykannup」「若い熊、中ぐらいの熊」のように、沙流方言で「鍋」と「熊」にしか用いられぬと注意が促されている。この意味を表す語は石狩、天塩には知られておらず、今後は見出しの意味で先の二つ以外のもの、あるいは抽象的な事態に関しても使える言葉として借用する。品詞についても自動詞とする): [名] 中くらいの物 haykannup (新): (表現) 中くらいの村 haykannu kotan (新): (表現) 中くらいの成績 haykannu raka (新)
- ちゅうごく(中国)** [場名](中華人民共和国の通称、あるいは中国大陆、及びそこに存在した国家を指し)中国 Cína (新)、[場名] Atuyya (新): [場名](台湾の中華民国に対する)中国 Yaun Atuyya (新): [名] 中国人 cínaunkur (新)、[名] atuyyaunkur (新): [名] 中国語 cínaunkuritak (新)、[名] atuyyaunkuritak (新): [場名] 中国大陆 Cína-sisepmosir (新)、[場名] Atuyya-sisepmosir (新)
- ちゅうさい(仲裁)** ①[自] 人を仲裁する iutur-oitak (美幌): [連他](人)を仲裁する uturu-oitak (utur-oitak) (新)、[他] uturuoitak (新): [他](人)に(人)を仲裁させる uturuoitakte (新): ②(話し合いをさせる事)[他](人)を仲裁する utomoytakte

(新): [他]~について(人)を仲裁する eutomoytake (新): ③(仲良くさせる事)[他](人)を仲裁する ukooskepirkare (新): (表現)(人)を仲直りさせる suy ukooskepirkare (新): ④(表現)争う者達を制止する ukoyki utar kisma (新): (表現)~に争いを止めさせる ukoyki okerere (新)

ちゅうしつ(中室)[名](虫の翅の)中室 katamsar (新)

ちゅうしゃ(注射)[自]注射する kusuri-oiciw (新): [他](人)に注射する、(場所)に注射する kusuri-ociw (新): [他](人)に注射させる kusuri-oiciwre (新): [他](人)に(人)に注射させる、(人)に(場所)に注射させる kusuri-ociwre (新): [他](人)に(人)に~を注射させる、(人)に(場所)に注射させる ociwre (新): [他]人に(人)に注射してもらう、(場所)に注射してもらう kusuri-ociwyar (新): [他]人に自分に注射してもらう sikusuri-ociwyar (新): [自]血管注射をする kusuri-okemritciw (新): [自]皮下注射をする kusuri-okappokciw (新): [名]注射器 ciokusuri-oiciwpe (新): [名]注射針 ciokusuri-oiciwkem (新)

ちゅうしゃ(駐車)[自]駐車する karipkorpe-anu (新)、[自] karipkorpe-are (新): (表現)駐車する karipkorpe-anu (新)、[他] karipkorpe-are (新): [他](場所)に駐車する ekaripkorpe-anu (新)、[他] ekaripkorpe-are (新): [他](場所)へ駐車する、~と共に駐車する kokaripkorpe-anu (新)、[他] kokaripkorpe-are (新): [他](原因、手段)で駐車する okaripkorpe-anu (新)、[他] okaripkorpe-are (新): [他](人)に駐車させる karipkorpe-anure (新)、[他] karipkorpe-arere (新): [場名]駐車場 ciekaripkorpe-anuusi (新)、[場名] ciekaripkorpe-areusi (新)、[場名] cikokaripkorpe-anuusi (新)、[場名] cikokaripkorpe-areusi (新)

ちゅうしゃく(注釈)[自]注釈する iasurkote (新): [他](場所)に注釈する asurkote (新): [他](人)に~に注釈させる koasurkotere (新)

ちゅうしゅつ(抽出)[自]抽出する ioroisanke (irooisanke) (新): [他]~を抽出する iorosanke (irooisanke) (新): [他](人)に~を抽出させる iorosankere (irooisanke) (新): [連他]~から抽出する oro-isanke (or-isanke) (新): [連他]~から~を抽出する oro-osanke (or-

osanke) (新): (表現)~から~を抽出する or(長形-o、-ke)wa(-no)sanke (複数 sapte) (新)、(表現) or(長形-o、-ke) osanke (複数 osapte) (新): (表現)(人)に~から~を抽出させる or(長形-o、-ke)wa(-no)sankere (複数 saptere) (新)、(表現) or(長形-o、-ke) osankere (複数 osaptere) (新)

ちゅうしょく(昼食)[名]昼食 tókamipe (石狩)、[名] tónoskiipe (石狩)、[名] tonanoskeipe (天塩): [自]昼食をとる tókamipe (新)、[自] tónoskiipe (石狩)、[自] tonanoskeipe (新)

ちゅうしん(中心)①(面の)[場名]中心 sinnoski (sinnoskike) (新): ②(線の)[場名]中心 rúnoski (rúnoskike) (新): ③[位名]~の中心 noski(長形-ke) (新)

ちゅうすい(虫垂)[名]虫垂 ruwetuyumpe (新): (表現)虫垂炎になる ruwetuyumpe arka (新)

ちゅうせい(中性)(化学)、(言語)[自]中性になる、である inoskiun (新): [他](場所)で中性になる、である einoskiun (新): [他]~と共に中性になる、である koinoskiun (新): [他](原因、手段)で中性になる、である oinoskiun (新): [他]~を中性にする inoskiunte (新): (表現)中性名詞 inoskiun réitak (新)

ちゅうせき(柱石)①(礎石)[名]柱石 iasamsuma (新): ②(組織を支える人)[名]柱石 iasamsuma (新)、[名] ikkew(-e) (新)

ちゅうぞう(鑄造)[自]物を鑄造する inokaorokar (新): [他]~を鑄造する nokaorokar (新): [他](場所)で~を鑄造する enokaorokar (新): [他]~と共に~を鑄造する konokaorokar (新): [他](原因、手段)で~を鑄造する onokaorokar (新): [他](人)に~を鑄造させる nokaorokare (新)

ちゅうだん(中断)[自]中断する hontomotuye (沙流): [他]~を中断する ehontomotuye (新): [他](場所)で中断する ehontomotuye (新): [他]~と共に中断する kohontomotuye (新): [他](原因、手段)で中断する ohontomotuye (新): [他](人)に中断させる hontomotuyere (新): [自]完全に中断する oarhontomotuye (arhontomotuye) (新): [他]完全に~を中断する oarehontomotuye (arehontomotuye) (新): [他]人に~を中断させる ehontomotuyeyar (新)

ちゅうちょ(躊躇)[自]躊躇する yayramukar (石狩): (表現)~しようとして躊躇する、~しようか躊躇する 動詞句 + kusu

yayramukar (石狩): 「私は鳥を撃とうか躊躇した。」 “Cikap ku=tukan kusu ku=yayramukar.”: [他](場所)で躊躇する
 eyayramukar (新): [他]～を躊躇する
 koyayramukar (新): [他]～と共に躊躇する
 koyayramukar (新): [他](原因、手段)で躊躇する
 oyayramukar (新): [他](人)を躊躇させる
 yayramukare (新)

ちゅうてつ(鑄鉄)①(鑄物にする鉄)[名]鑄鉄
 nokaorokani (新): ②(鉄の鑄物)[名]鑄鉄
 cinokaorokarkani (新)

ちゅうとう(中東)[場名](地名)中東
 Noskiuncupka (新)

ちゅうとう(中等)[場名]中等 noskiyousouni
 (新)、[場名] noskiuyso (新): (表現)中等
 noskiun sóuni (新): [連体]中等の
 noskiuyousoun (新): [場名]中等学校
 noskiun-cieipakasnuusi (新)

チューブ [名]チューブ kuttar(i) (新)、
 [名] túbe (cúbe) (新)※(英語)

ちゅうぶ(中部) ①(面の)[場名]中部
 sinnoski (sinnoskike) (新): ②[位名]～
 の中部 noski(長形-ke) (石狩): [連体]～
 の中部の noskiun (新): [場名](地名)中
 部アフリカ Noskiun Afrika (新)

ちゅうふく(中腹)[位名]～の中腹 noski(長形-
 -ke) (石狩): (表現)山の中腹 nupuri
 noski(長形、-ke) (石狩)

ちゅうへん(中編)[自]中編である haykannu
 (新): [他]～を中編にする haykannure
 (新): [名]中編映画 haykannu-
 cimoyenoka (新)、[名] haykannu-firum
 (新): [名]中編小説 haykannu-
 cikaroruspe (新)

ちゅうみやく(中脈)[名](虫の翅の)中脈
 noskiun-raprit(-ci) (新): [名]中脈分岐
 noskiun-raprit-eukohopi (新)

ちゅうみやく(肘脈)[名](虫の翅の)肘脈
 makunraprit(-ci) (新)

ちゅうもく(注目)[自]注目する ikosittari
 (新)、[自] iekottanu (新): [他]～に注目
 する kosittari (石狩)、[他] ekottanu
 (B): [他](場所)で～に注目する ekosittari
 (新): [他](原因、手段)で～に注目する
 okosittari (新): [他](人)に～に注目させる
 kosittarire (新): [他]自分で、一人で～に
 注目する koyaykosittari (新): [他]互い
 に、皆で～に注目する koukosittari (新):
 [他]すっかり～に注目する oarkosittari
 (arkosittari) (新): [他]もの凄く～に注目
 する toykosittari (新): [他]人に～に注
 目させる、～に人の注目を集める
 kosittariyar (新): [自]人の注目を自分に
 集める sikosittariyar (新): [自]自分で

自分に注目する yaykosittari (新): [自]
 互いに注目し合う、皆で注目する
 ukosittari (新): [後副]～に注目して
 kosittarino (新)

ちゅうもり(中盛)[名]中盛 haykannusonapi
 (新): (表現)～を中盛にする ～
 haykannusonapi(-hi) kar (新): (表現)中
 盛を～に出す haykannusonapi ～ kopuni
 (新)

ちゅうや(昼夜)(表現)昼夜 kunne tókam
 (石狩)、(表現) kunne tókap (沙流): (表
 現)昼夜分かつたず kunne tókam epitta(-no)
 (新)、(表現) kunne tókap epitta(-no)
 (新): [自]昼夜逆転して夜いつまでも眠らな
 い iantasare (幌別)

チューリッヒ [場名](スイス連邦の州名)チュー
 リッヒ州 Cúrix-kanton (新): [場名](チ
 ユーリッヒ州の通称、あるいは州都名として)
 チューリッヒ Cúrix (新)

ちゅうりゅう(中流)[位名]～の中流、中流域
 rútom(長形-o) (石狩)、[位名] noski(長形
 -ke) (石狩): [場名]川の中流、中流域
 pettutom (pettutomo) (石狩)、[場名]
 petnoski (petnoskike) (石狩)

チュクチ ①[場名](ロシア連邦極東連邦管区
 内の地方行政区名)チュクチ自治管区
 Cukci-sieyayetunusiwor (新)※(首都は「ア
 ナディリ」): [名]チュクチ人 cukcikur
 (cukci) (新): [名]チュクチ語
 cukcikuritak (cukciitak) (新)※(チュクチ・
 カムチャッカ語族の言語。): ②[場名](地名)
 チュクチ半島 Cukci-sirekanray (新):
 [名](地名)チュクチ海 Cukci-atuy (新)

チュツ (キスの音)[間投]チュツ cop (石狩):
 [間投]チュツチュツ copcop (新): [自]チ
 ュツと音をたてる copse (新): [自]チュ
 ュツチュツと音をたてる copcopse (新):
 [自]一回チュツとする、音をさせる
 copkosanu (新): [自]頻りにチュツチュツと
 する、チュツチュツと頻りに音をたてる
 coprototke (新)、[自] cicoprototo (新):
 [自]何度もチュツチュツとする、何度もチュ
 ュツチュツと音をたてる copopatki (新):
 [自]チュツチュツとする、チュツチュツ音を
 たて続けている copnatara (新): [自]ち
 ょつとチュツとする、ちょつとチュツと音を
 たてる coptek (新)

チュニジア [場名](国名)チュニジア共和国
 Túnišiya (新)※(首都は「チュニス」): [場
 名](国名の通称として)チュニジア
 Túnišiya (新): [名]チュニジア人、国民
 túnišiyaunkur (新): [場名](チュニジア共
 和国の首都)チュニス Túnis (新)

チュバシ [場名](ロシア連邦沿ボルガ連邦管

区の構成主体名)チュバシ共和国 Cuvasiya Ukotankoremosir (新) ※(首都は「チェボクサル」): [場名](国名の通称として)チュバシ Cuvasiya (新): [名]チュバシ人 cuvasnekur (新): [名]チュバシ語 cuvasnekuritak (新)※(チュルク諸語ブルガール語群に属する言語。)

チュメニ [場名](ロシア連邦ウラル連邦管区の構成主体名)チュメニ州 Tiumeni-purovince (新): [場名](チュメニ州の州都名)チュメニ Tiumeni (新)

チュンチョンナムド(忠清南道) [場名](大韓民国の行政区名)忠清南道 Cunconnam-purovince (新)

チュンチョンブクド(忠清北道) [場名](大韓民国の行政区名)忠清北道 Cuncombuk-purovince (新)

ちょう(兆) ①[名]兆人 siiknen (新): [名]十兆人 waysiiknen (新): [名]百兆人 atuytasiiknen (新): [名]千兆人 wánatuytasiiknen (新): ②[名]兆、兆匹、兆個など siik (新)※(10の12乗): [名]十兆 waysiik (新): [名]百兆 atuytasiik (新): [名]千兆 wánatuytasiik (新): ③[連体]兆の siikne (新)、[連体] siik (新): (表現)一兆人の女性 siikne menoko (siik menoko) (新): (表現)一兆匹の魚 siikne cep (siik cep) (新): (表現)一億年 siikne pa (siik pa) (新): [連体]十兆の waysiikne (新)、[連体] waysiik (新): [連体]百兆の atuytasiikne (新)、[連体] atuytasiik (新): [連体]千兆の wánatuytasiikne (新)、[連体] wánatuytasiik (新)

ちょう(町) [名](日本国の行政単位名として)町 cow (新)

ちょう(腸) [名]腸 tuy(-e) (石狩)、[名]kankan(-i) (沙流): [名]大腸 ruwetuy(-e) (石狩): [名]小腸 ánetuy(-e) (石狩): [名]十二指腸 pisehanuka (樺太): [名]盲腸 pontuy(-e) (新): [名](鳥の)腸 yospe (石狩): [名]魚の腸 ceptuy (石狩): [名]動物の腸をひっくり返すための棒 tuyokusteni (幌別)

チョウ(蝶) (虫)[名]チョウ類の総称 marewrew (空知、天塩)、[名] arewrew (旭川): その他チョウ、ガの総称として千歳、穂別の言葉として"eporap"などがある。

ちょう(長) [名]長 netopa (netopake) (石狩)、[名] sapanekur (石狩)、[名](雅) utarpa (石狩): [自]長となる、である sapane (石狩): [他](場所)で長となる、である esapane (石狩): [他]〜と共に長となる、である kosapane (新): [他](原因、

手段)で長となる、である osapane (新): [他]〜を長とする sapaneka (sapanere) (新)

ちょうい(潮位) [場名]潮位 rúrusi (新)※(海水がある所): (表現)潮位が上昇する、高い rur ri (新): (表現)潮位が下降する、低い rur ram (新)

ちょうえき(懲役) [名]懲役 róoremonrayke (新)、[名] róorenepki (新): [名]懲役刑 róoremonrayke-ipanakte (新)、[名] róorenepki-ipanakte (新): [名]有期懲役 siuturkor (honu) róoremonrayke (róorenepki) (新): [名]無期懲役 siutussak(hosak) róoremonrayke (róorenepki) (新)

ちょうえつ(超越) ①(場所や時に関して)[他]〜を超越する kama (石狩): [他](場所)へと〜を超越する kokama (新): [他]〜と共に〜を超越する kokama (新): [他](原因、手段)で〜を超越する okama (新): [他](人)に〜を超越させる kamare (新): [他]自分で、一人で〜を超越する yaykokama (新): [他]互いに、皆で〜を超越する ukokama (新): [後副]〜を超越して kama (石狩): (表現)時間、時代を超越して nipekkur kama (新): ②(誰か、何かと比較して、あるいはある基準に基づき能力や程度について)[他]〜を超越する akkari (新)※(目下後置副詞としてのみこの意味での用法が確認できる。今後は他動詞としても大いに用いていく。): [他](人)に〜を超越させる akkarire (新): [後副]〜を超越して akkari (akkarino) (石狩): (表現)〜を超越している akkari (akkarino) an (複数 okay) (石狩): ③(能力や程度について勝っている事を示し)[他]〜を超越する kus (石狩)※(目下慣用表現の中でのみ用例が見られる。): [他](人)に〜を超越させる kuste (新)

ちょうかい(懲戒) [自]人を懲戒する ipanakte (新): [他](人)を懲戒する panakte (石狩): [他](場所)で〜を懲戒する epanakte (新): [他]〜と共に〜を懲戒する kopanakte (新): [他](原因、手段)で〜を懲戒する、〜の事で〜を懲戒する opanakte (新): [他](人)に〜を懲戒させる panaktere (新): [自]自分を懲戒する yaypanakte (新): [他]自分で、一人で〜を懲戒する yaykopanakte (新): [他]皆を懲戒する upanakte (新): [他]互いに、皆で〜を懲戒する ukopanakte (新): [他]充分〜を懲戒する panakteno (panaktenu) (新): [他]嚴重に〜を懲戒する toykopanakte (新)

ちょうかく(聴覚) [名]聴覚 inuhum(-i) (新): (表現)聴覚が鋭い inuhum(-i) yupke (新): (表現)聴覚が鈍い inuhum(-i) hawke (新)

ちょうかんまく(腸間膜) [名]腸間膜 iramorke (石狩)

ちょうきょう(調教) [自]調教する cikoykipramuska (新)※(動物を慣れさせる)、[自] iyayrenkare (新): [他]～を調教する yayrenkare (新)、[他] ramuska (新): [他]～について～を調教する、(場所)で～を調教する eyayrenkare (新)、[他] eramuska (新): [他]～と共に～を調教する koyayrenkare (新)、[他] koramuska (新): [他](原因、手段)で～を訓練する oyayrenkare (新)、[他] oramuska (新): [他](人)に～を調教させる yayrenkarere (新)、[他] ramuskare (新): [他]自分で、一人で～を調教する yaykoyayrenkare (新)、[他] yaykoramuska (新): [他]皆で、共に～を調教する ukoyayrenkare (新)、[他] ukoramuska (新): [他]充分～を調教する yayrenkareno (yayrenkarenu) (新)、[他] ramuskano (ramuskanu) (新): [他]完璧に～を調教する oaryayrenkare (aryayrenkare) (新)、[他] oanramuska (anramuska) (新): [他]～を調教しまくる toykoyayrenkare (新)、[他] toykoramuska (新): [名]調教師 cikoykipramuskakur (新)、[名] iyayrenkarekur (新): [名]犬の調教師 setaramuskakur (新)、[名] setayayrenkarekur (新)

チョウコウ(長江) [場名](地名)長江 Cancian(-pet) (新)、[場名] Campet (新)、[場名] Tannepet (新) → [場名]揚子江 Yantupet (新)

ちょうこく(彫刻) [自]彫刻する inuye (複数 inuypa) (新): [他]～を彫刻する nuye (複数 nuypa) (石狩): [他](場所)に～を彫刻する enuye (複数 enuypa) (新): [他]～と共に～を彫刻する konuye (複数 konuypa) (新): [他](原因、手段)で～を彫刻する onuye (複数 onuypa) (新): [他](人)に～を彫刻させる nuyere (複数 nuypare) (新): [他]自分で、一人で～を彫刻する yaykonuye (複数 yaykonuypa) (新): [他]互いに、皆で～を彫刻する ukonuye (複数 ukonuypa) (新): [他]完全に～を彫刻する oannuye (複数 oannuypa) (新)、[他] annuye (複数 annuypa) (新): [他]思い切り～を彫刻する toykonuye (複数 toykonuypa) (新): [他]人に～を彫刻させる、彫刻してもらう

nuyeyar (複数 nuypayar) (新): [名]男が細工、彫刻に用いる小刀、彫刻刀 inuyemakiri (石狩): 今後は小、中学生が使うような和式の物もこの語で呼ぶ。: [連体]彫刻された模様のある kemka (石狩): [名]彫刻された片口 kemkaetunup (石狩): [名]彫刻された櫛 kemkakiray (石狩): [名]彫刻された小刀 kemkamakiri (石狩)

チョウサ(長沙) [場名](中華人民共和国の湖南省の省都)長沙 Canşa (新)

チョウジ(丁子) ①(植物)[名](フトモモ属)チョウジノキの茎 hurasikayni (kuroveni) (新): [名]チョウジノキの花 sipirasa-hurasikay (piraske-hurasikay) (新): [名]チョウジノキの花蕾 hurasikay (húhurasikay) (新)、[名] kurove (húkurove) (新): [名]乾燥させた花蕾、丁子 hurasikay (新)、[名] kurove (新) ※(英語): ②[自]チョウジ色になる、である hurasikay-irone (新): [他]～をチョウジ色に染める hurasukay-ironeka (ironere) (新): [名]チョウジ色 hurasikay-iro (新)

ちょうじが(超自我) (精分) [名]超自我 kuaninep-akkari (新)、[名] ido (新)※(羅語)

ちょうじかん(長時間) [自]長時間続く ohor (沙流、千歳): [副]長時間 ohonno (石狩): (表現)長時間経つ ohonno siran (新)

ちょうしゅう(聴衆) (表現)聴衆 ikokanu utar (新): (表現)～の聴衆 ~ kokanu utar (新)

チョウシュン(長春) [場名](中華人民共和国の吉林省の省都名)長春 Cancun (新)

ちょうじょ(長女) [名]長女 iyottakiyanne-matnepo (新)

ちょうじょう(頂上) [位名]～の頂上 tapka (長形-si、-sike) (石狩)、[位名] kitay (長形-e、-ke) (石狩): (表現)山の頂上 nupuri tapka (長形-si、-sike) (石狩)、(表現) nupuri kitay (長形-e、-ke) (石狩): [名]頂上が平らな山 ekaynupuri (石狩): [名](神の起す強風に吹き飛び)頂上がぶつかり合ったタンコブ山 ueuntapkop (石狩)

ちょうしょう(嘲笑) [自]嘲笑する wenmina (石狩): [他]～を嘲笑する ewenmina (石狩)、[他] epaminare (石狩)、[他] emina (新): [他]～と共に嘲笑する kowenmina (新): [他](原因、手段)で嘲笑する owenmina (新): [他](人)に嘲笑させる wenminare (新): [自]一人で嘲笑する yaykowenmina (新): [自](皆)共に嘲笑する ukowenmina (新): [自]口元に嘲笑を浮かべる epaminare (石狩): (表現)(女

性が嘲笑するかのように入墨の先端をもぞもぞさせる pákisara moy moyke (石狩)

ちょうしょく(朝食) [名] 朝食 kunnanoipe (石狩)、[名] kunneywaibe (天塩)：[自] 朝食をとる kunnanoipe (石狩)、[自] kunneywaibe (新)：「朝食にしましょう！」
“Kunnanoipe=an rok!”

ちょうせき(潮汐) [名] 潮汐 siraruysir (新)(岩の様子)：[名] 潮汐流 ciw (八雲)、[名] atuyciw (八雲)

チョウセン(朝鮮) ①[場名](国名)朝鮮民主主義人民共和国 Coson Urenkasapte Utarikor Ukotankoremosir (新)※(首都は「平壤」)：[場名](国名の略称として)北朝鮮 Coson Ukotankoremosir (新)：[名](先述国家の国民としての)朝鮮人、国民 cosonunkur (新)：[名](朝鮮半島の民族名)朝鮮人 kórin (静内)：[名]朝鮮語 kórinítak (新)：②(歴史)場名朝鮮国 Coson mosir (新)、[場名] Coson Yaykomosirkorkurkormosir (新)※(1392-1897年)：③[場名](地名)朝鮮半島 Coson-sirekanray (新)

チョウセンアザミ(朝鮮薊)(植物)[名](キク科)チョウセンアザミ属 toytaancami-cise (新)：[名]チョウセンアザミの茎葉 toytaancami (新)、[名]その蕾 toytaancami-emukkaneepuy (toytaancamiépy) (新)※(別名「アーティチョーク」)：[名]カルドンの茎葉 erasancami (新)、[名]その茎 erasancamiikkew (新)、[名]その蕾 erasancami-emukkaneepuy (erasancamiépy) (新)

チョウセンニンジン(朝鮮人参)(植物)[名](トチバニンジン属)チョウセンニンジンの茎葉 síkusuriupewkina (新)、[名]チョウセンニンジンの根 síkusuriupew (新)※(別名「オタネニンジン」)

チョウセンヤマナラシ(朝鮮山鳴らし)(植物)[名](ヤマナラシ属)チョウセンヤマナラシの茎 menemani (樺太真岡)、[名] menemay (meremay) (樺太真岡)

ちょうそう(鳥葬)[自]鳥葬する icikapkotca-eanu (新)、[自] araysitcikapkotca-eanu (新)：[他]～を鳥葬する cikapkota-eanu (新)

ちょうちょう(町長) [名] 町長 cowkorkur (新)、[名] cowkonnispa (新)

ちょうちん(提灯)[名]提灯 sisamsune (新)、[名] cócin (新)※(日本語)

チョウチンアンコウ(提灯鮫鱈)(魚介)[場名](アカグツ亜目)チョウチンアンコウ上科 suneperaysok-apapa (新)：[名]チョウチンアンコウ科 suneperaysok-apa (新)：

[名]オニアンコウ科 rekitanne-peraysok-apa (新)：[名]キバアンコウ科 kitenimakus-peraysok-apa (新)：[名]クロアンコウ科 kunne-peraysok-apa (新)：[名]ザラアンコウ科 ponayus-peraysok-apa (新)：[名]シダアンコウ科 nicisitanne-peraysok-apa (新)：[名]タウマテイクテウス属 kannanokkewetuk-peraysok-apa (新)：[名]ヒレナガチョウチンアンコウ科 raputanne-suneperaysok-apa (新)：[名]フタツザオチョウチンアンコウ科 tunitkor-suneperaysok-apa (新)：[名]ミツクリエナガチョウチンアンコウ科 paroteske-suneperaysok-apa (新)：[名]ラクダアンコウ科 ponkirawperaysok-apa (新)

チョウチンイカ(提灯烏賊)(魚介)[名](ダンゴイカ亜科)チョウチンイカ属 cócin-epetpetke-cise (新)：[名]チョウチンイカ cócin-epetpetke (新)：[名]アフリカチョウチンイカ afrikacocin-epetpetke (新)：[名]ミナミチョウチンイカ koypokcocin-epetpetke (新)

ちょうど(丁度)(数に関し)(表現)丁度 sonno pirka (石狩)：[副]丁度 upisno (天塩)：(表現)ちょうど10個ある sonno pirka wampe an (石狩)、(表現) wampe upisno an (天塩)

ちょうどきゅう(超弩級)(表現)超弩級の Duretnout akkari (新)：[名]超弩級戦艦 duretnout-akkaip (新)

ちょうどひん(調度品)[名]調度品 sisamuncieiwankep (新)、[名] sisamta-cieiwankep (新)

ちょうな(手斧) [名]手斧 motta (石狩)

ちょうナット(蝶ナット) [名]蝶ナット rápus-matnecínoyep (新)※(「ウイングナット」とも)

ちょうなん(長男)[名]長男 iyottakiyannepo (新)

ちょうばつ(懲罰)[名]懲罰 ipanakte (新)：[自]人に懲罰を与える ipanakte (新)：[他](人)に懲罰を与える panakte (石狩)：[他](場所)で(人)に懲罰を与える epanakte (新)：[他]～と共に(人)に懲罰を与える kopanakte (新)：[他](原因、手段)で(人)に懲罰を与える、～の事で(人)に懲罰を与える opanakte (新)：[他](人)に(人)に懲罰を与える panaktere (新)：[他]自分で、一人で(人)に懲罰を与える yaykopanakte (新)：[他]互いに、皆で(人)に懲罰を与える ukopanakte (新)：[他]充分(人)に懲罰を与える panakteno (panaktenu) (新)：[他]酷く(人)に懲罰を与える toykopanakte

(新)
ちょうはつ(挑発) [自]挑発 isikomewe (新)、
 [他] isikomewemewe (新): [他]~を挑発する sikomewe (沙流)、[他] sikomewemewe (沙流)
ちょうはつ(長髪) [名]長髪 tanneotop(-i) (石狩): (表現)長髪 tanne otop(-i) (新)
ちょうぶんせつせつじ(超分節接辞) [言語][名]超分節接辞 isankeeykap-iusitakpo (新)、
 [名] ikamu-iusitakpo (新)
ちょうへん(長編) [自]長編になる、である poro (新): [他]~を長編にする porore (新): [名]長編映画 porocimoyenoka (新)、
 [名] porofirum (新): [名]長編小説 porocikaroruspe (新)
ちょうほうけい(長方形) [名]長方形 tanne-inepsikkewkonnoka (新)
ちょうボルト(蝶ボルト) [名]蝶ボルト、蝶ねじ rápus-pinnecinoyp (新)※(「ウイングボルト」とも)
ちょうみりょう(調味料) [名]調味料 ikerakorep (新)
ちょうめい(長命) [自]長命である sukup-etanne (屈斜路)
ちょうやく(跳躍) [自]跳躍する terke (石狩): [他](場所)で跳躍する eterke (新): [他](場所)へ跳躍する koterke (石狩): [他]~と共に跳躍する koterke (新): [他](場所)から跳躍する oterke (新): [他](原因、手段)で跳躍する eterke (石狩)、
 [他] oterke (新): [他]~を跳躍させる terkere (石狩): [自]自分で、一人で跳躍する yaykoterke (新): [自]互いに、皆で跳躍する ukoterke (新): [自]充分に跳躍する terkeno (terkenu) (新): [自]完全に跳躍する oatterke (atterke) (新): [自]思い切り跳躍する toykoterke (新): [自]高く跳躍する oriknaterke (石狩): [自]低く跳躍する oranaterke (新): [自]何度も跳躍する terketerke (石狩)
ちょうり(調理) [自]調理する suke (石狩): [他]~を調理する esuke (新): [他](場所)で調理する esuke (新): [他]~のために調理する kosuke (新): [他]~と共に調理する kosuke (新): [他](原因、手段)で調理する osuke (新): [他](人)に調理させる sukere (新): [自]人に調理させる sukeyar (新): [他]人に~を調理させる esukeyar (新): [名]調理器具 ciosukep (新): [名]調理室 suke-tumpu (新)、[名] ciesuke-tumpu (新): [名]調理台 cikasiesukep (新): [場名]調理場 sukeusi (新)、[場名] ciesukeusi (新)
ちょうりゅう(潮流) [名]潮流 ciw (八雲)、

[名] atuyciw (八雲)
ちょうりよく(聴力) [名]聴力 inueaskay (新)
ちょうるい(鳥類) [名]鳥類 cikaputar(-i) (新)
ちょうろう(長老) [名]尊敬を集める年配の男性 ékasi (石狩): [名]尊敬を集める年配の女性 húci (石狩): [名]長生きしあらゆる事を知る尊敬を集める老人 iwan ikir eposo onnekur (石狩): [名]長生きしあらゆる事を知る尊敬を集める老婆 iwan ikir eposo onnehuci (新)
ちょきん(貯金) [名]貯金 cianuikor (新)、
 [名] ciamaikor (新): [他](金、金額)を貯金する anu (石狩)、[他] ama (石狩): [自]貯金する ikoranu (新)、[自] ikorama (新): [他](場所)に貯金する eikoranu (新)、[他] eikorama (新): [他]~と共に貯金する koikoranu (新)、[他] koikorama (新): [他](原因、手段)で貯金する、~のため貯金する oikoranu (新)、
 [他] oikorama (新): [他](人)に貯金させる ikoranure (新)、[他] ikoramare (新): [自]自分で、一人で貯金する ikoranu (新)、[自] ikorama (新): [自]皆で貯金する ikoranu (新)、[自] ikorama (新): [自]しっかり貯金する ikoranuno (ikoranunu) (新)、[自] ikoramano (ikoramano) (新): [自]がっちり貯金する toykoikoranu (新)、[自] toykoikorama (新)
チョクザキミズ(杯咲きみず) (植物)[名](イラクサ科)チョクザキミズ属 ecokoneminci-cise (新): [名]チョクザキミズの茎葉 ecokoneminci (新)
ちょくぜん(直前) ①[位名](場所的に)~の直前 attukar (長形-i) (石狩): [位名](時間的に、あるいは歩いていて特に獣など)の直前 kotpok (天塩) → 「すぐまえ(直ぐ前)」を参照
ちょくめん(直面) [他]~に直面する epeka (新): [他]~を~に直面させる epekare (新)
ちょくもう(直毛) [名]直毛 pépesotop(-i) (石狩): (表現)(細面で顎がしゃくれた醜い顔の描写として)直毛、赤毛、長い下顎、下顎の途中でぞっくり切り揃えられており、身に着けた飾り物で辛うじて少しは見られる pépes otop húre otop tanne noyap noyap hontomo cikoetuypa ikoro kusu ween pirkapo ki kane an (知里)
ちょくりつ(直立) [自]直立する oupekaas (複数 oupekaroski) (新): (表現)直立する oupekano as (複数 rosiki) (新): [他](場

所)で直立する **eoupekaas** (複数 **eoupekaroski**) (新): [他]~と共に直立する **koupekaas** (複数 **koupekaroski**) (新): [他](原因、手段)で直立する **oupekaas** (複数 **oupekaroski**) (新): [他]~を直立させる **oupekaasi** (複数 **oupekaroski**) (新): [自]直立歩行する **oupekaaskoapkas** (新)

ちよこ(猪口) [名]猪口 **cóko** (新)※(日本語)

チョコレート [名]チョコレート **cóko** (新)※(日本語)、[名] **cókorate** (新)※(英語)、[名] **şokorat** (新)※(仏語)

ちよすい(貯水) [自]貯水する **wakkaanu** (**wakkaama**) (新): [他](場所)に貯水する **ewakkaanu** (**ewakkaama**) (新): [名]貯水槽 **ciewakkaanup** (**ciewakkaamap**) (新): [名]貯水池 **ciewakkaanuto** (**ciewakkaamato**) (新): [名]貯水量 **cianuwakka-ioeramampe** (**ciamawakka-ioeramampe**) (新)

ちよちく(貯蓄) [自]貯蓄する **isikkasma** (新): [他]~を貯蓄する **sikkasma** (石狩): 「来年は良い家を私達が建てられるよう私は金を貯蓄しました。」“**Oyapa anakne pirka cise ci=asi kuni icen ku=sikkasma** .” (砂沢クラ): [他](場所)に~を貯蓄する **esikkasma** (新): [他]~と共に~を貯蓄する **kosikkasma** (新): [他](原因、手段)で~を貯蓄する **osikkasma** (新): [他](人)に~を貯蓄させる **sikkasmare** (新): [他]自分で、一人で~を貯蓄する **yaykosikkasma** (新): [他]互いに、皆で~を貯蓄する **ukosikkasma** (新): [他]完全に~を貯蓄する **oassikkasma** (**assikkasma**) (新): [他]もの凄く~を貯蓄する **toykosikkasma** (新): [他]人に~を貯蓄させる、してもらう **sikkasmayar** (新)

ちよっかい [他]~にちよっかいをかける **mokmoki** (沙流): [他](目的)のため~にちよっかいをかける **komokmoki** (沙流)

ちよっかく(直格) (言語) [名]直格 **oupekaprewke** (新)

ちよっと ①[副]ちよっと **ponno** (石狩): 「ちよっと待ってください。」“**Ponno en=tere yan!**”: (表現)ちよっと~する **ponno ~ ki** (石狩): (表現)ちよっとずつ **ponno ponno** (石狩): (表現)ちよっとの間 **ponno irukay** (石狩): [副](雅語や合成語の構成要素として)ちよっと **pon** (石狩): ②[助動]ちよっと~する **tek** (石狩): 「君は私をちよっと見るとすぐに逃げるな。」“**Es=en=nukar tek kor nani es=kirana** .”: ③<接続助詞的に用いられ)ちよっ

と~(し)て **tek** (石狩): 「若い女性が一人出てきて私を見てすぐ家に引っ込んだ。」

“**Pewre menoko sinep asin hine en=nukar tek ahun** .”: ④[接尾]ちよっと~する **-tek** (石狩) ※(ある動作が軽微に行われる事を示し動詞に接尾する。その際動詞の項の数は変わらない。またこの形式で形成された動詞の使役接尾辞には“-ka”を用いる。): ⑤(表現)(短時間継続する動作を表し)ちよっと~(し)ていて 動詞句+**kane an tek** (石狩): 「今ちよっと手紙を書いていて窓から外を見ると雪が降っている。」“**Tane es=ekota kampi ku=nuye kane an tek puyar kari ku=inkar ayke upas as wa an** .”

チヨルナムド(全羅南道)[場名](大韓民国の行政区名)全羅南道 **Conranam-purovince** (新)

チヨルラブド(全羅北道)[場名](地名)全羅北道 **Conrabuk-purovince** (新)

チョンジ(天池) [名](地名)天池 **Tianci-to** (新): 中華人民共和国と朝鮮民主主義人民共和国の国境長白山(白頭山)にあるカルデラ湖。

ちらかす(散らかす) [自]物を散らかす **iehocari** (複数 **iehocarpa**) (新): [他]~を散らかす **ehocari** (複数 **ehocarpa**) (石狩) ※(複数形は未確認。): [他](場所)に~を散らかす、~と共に~を散らかす **koehocari** (複数 **koehocarpa**) (新): [他](原因、手段)で~を散らかす **oehocari** (複数 **oehocarpa**) (新): [他]人に~を散らかさせる **ehocarire** (複数 **ehocarpare**) (新): [他]思い切り、もの凄く~を散らかす **toykoehocari** (複数 **toykoehocarpa**) (新):

ちらす(散らす) [自]物を散らす **icari** (複数 **icarpa**) (新): [他]~を散らす **cari** (複数 **carpa**) (石狩): [他](場所)で~を散らす **ecari** (複数 **ecarpa**) (新): [他](場所)に~を散らす **kocari** (複数 **kocarpa**) (石狩): [他]~と共に~を散らす **kocari** (複数 **kocarpa**) (新): [他](原因、手段)で~を散らす **ocari** (複数 **ocarpa**) (新): [他](人)に~を散らかさせる **cari** (複数形 **carpa**) (新): [他]自分で、一人で~を散らす **yaykocari** (複数 **yaykocarpa**) (新): [他]互いに、皆で~を散らす **ukocari** (複数 **ukocarpa**) (新): [他]完全に~を散らす **oatcari** (複数 **oatcarpa**) (新)、[他] **atcari** (複数 **atcarpa**) (新): [他]もの凄く~を散らす **toykocari** (複数形 **toykocarpa**) (新): [他](中相)~が散らされる **cicari** (複数 **cicarpa**) (新): [他]人に~を散らさせる、散らしてもらう **cariyar** (複数 **carpayar**) (新): [他](大量に、あるいは何

度も何か)を散らす catcari (石狩)

ちらちら [自]ちらちら見る inkarpa (新): (表現)ちらちら見る inkar inkar (新): (表現)何度もちらちら見る otusuy resuy inkar inkar (新): [他](人)にちらちら見せる inkarepa (新): [他]~をちらちら見る nukarpa (新): [他](人)に~をちらちらと見せる nukarepa (新): [他]人に~をちらちら見させる nukarpayar (新): [自]自分をちらちら見させる sinukarpayar (新): (表現)戸口の所からちらちら顔を出して窺う apa or ne hi tuyetuye wa ehewpa (新)※(久保寺神謡 17)

ちらっとみる(ちらっと見る) [自]ちらっと見る inkattek (石狩): [他](人)にちらっと見せる inkattekka (新): [他]~をちらっと見る nukattek (石狩): [他](人)に~をちらっと見せる nukattekka (新)

ちらばる(散らばる) [自]散らばる carke (石狩)、[自] sicari (複数 sicarpa) (石狩)※(複数形は未確認。): [他](場所)で散らばる ecarke (新)、[他] esicari (複数 esicarpa) (新): [他](場所)に散らばる、~と共に散らばる kocarke (新)、[他] kosicari (複数 kosicarpa) (新): [他](原因、手段)で散らばる ocarke (新)、[他] osicari (複数 osicarpa) (新): [他]~を散らばらせる cari (複数 carpa) (石狩): [他]バラバラに散らばる sicutcari (新)

チリ [場名] (国名) チリ共和国 Círe Ukotankoremosir (新)※(首都は「サンティアゴ」): [場名] (国名の通称として) チリ Círe (新): [名] チリ人、国民 cireunkur (新)

ちり(塵) [名] 塵 pana (石狩): [名] (家の中に散らばっている "pana" より大きい) 塵 koponci (石狩)

チリイチゴ(智利莓) (植物) [名] (バラ科オランダイチゴ属) チリイチゴの茎、葉 cirehurepmun (新): [名] チリイチゴの果実 cirehurep (新)

ちりょう(治療) [自] 人を治療する ikaoyki (石狩)、[自] itemka (石狩): [連他] ~を治療する kasi-oyki (ka-oyki) (石狩)、[他] temka (石狩): (表現) 私が君を治療する e=ka=ku=oyki (石狩): (表現) 私は夫を治療する ku=kor kur kasi=ku=oyki (表現): [他](人)に人を治療させる ikaoykire (新)、[他] itemkare (新): [他](人)に~を治療させる temkare (新): [他](人)に自分を治療させる sikaoykire (新)、[他] sitemkare (新): [他] 人に~を治療させる、してもらう temkayar (新): [自] 人に自分を治療してもらう sikaoykiyar (石狩)、

[自] sitemkayar (新): [自] 自分で自分を治療する yaykaoyki (新)、[自] yaytemka (新): [自] 互いに治療し合う、皆を看病する ukaoyki (新)、[自] utemka (新)

ちりよく(知力) [名] 知力 rámiipe (新): (表現) 知力が高い rámiipe poro (新): (表現) 知力が低い ramipe pon (新): [自] 知力に優れている ramasnu (新)

チリン (金属のたてる、あるいはそのような美しい音) [間投] (擬声語) チン、チリン、チャリン tun (石狩): [間投] (擬声語) チンチン、チリンチリンチャリンチャリン túnun (石狩): [自] チリンと鳴る tuyse (tunse) (新): [自] チリンチリンと鳴る túnuyse (túnunse) (新): [自] (一回) チリンと鳴る tunkosanu (新): [自] チリンチリン頻りに音をたてる tunrototke (新)、[自] citunrototo (新): [他] (何度も) チリンチリン音をたてる túnunatki (新): [自] チリンチリンと鳴り続けている túnunitara (新)

ちる(散る) [自] 散る carke (石狩)、[自] sicari (複数 sicarpa) (石狩)※(複数形は未確認。): [自] (場所)で散る ecarke (新)、[他] esicari (複数 esicarpa) (新): [他] (場所)へ散る、~と共に散る kocarke (新)、[他] kosicari (複数形 kosicarpa) (新): [他] (原因、手段)で散る ocarke (新)、[他] osicari (複数形 osicarpa) (新): [自] (大量に、あるいは何度も) 散る sicutcari (石狩)

チルー (動物) [名] (ヤギ族) チルー亜族 ciru-moutar (新): [名] チルー属 ciru-cise (新): [名] チルー ciru (新)、[名] búnao (新)※(別名「チベットカモシカ」)

ちろう(遅漏) [自] 遅漏である owenkomoyre (新)

チワン [名] チワン族 bowşunkur (新): [名] チワン語 bowşunkuritak (新)

チンアナゴ(狎穴子) (魚介) [名] (アナゴ科) チンアナゴ亜科 ipokashamo-moapa (新): [名] チンアナゴ属 ipokashamo-cise (新): [名] シンジュアナゴ属 retarkesikiro-ipokashamo-cise (新)

ちんぎん(賃金) ① [名] 賃金 puma (石狩): ② [自] 賃金を受け取る pumauk (複数 pumauyna) (新): (表現) 賃金を受け取る puma uk (新): [他] (場所)で賃金を受け取る epumauk (複数 epumauyna) (新): [他] ~と共に賃金を受け取る kopumauk (複数 kopumauyna) (新): [他] ~から賃金を受け取る opumauk (複数 opumauyna) (新): [他] (原因、手段)で賃

金を受け取る opumauk (複数 opumauyna) (新): [他](人)に賃金を受け取らせる pumaukte (複数 pumauynare) (新): ③[自]賃金を払う pumakar (石狩): (表現)賃金を払う puma kar (新): [他](場所)で賃金を払う epumakar (新): [他]～に賃金を払う kopumakar (新): [他]～と共に賃金を払う kopumakar (新): [他](原因、手段)で賃金を払う opumakar (新): [他](人)に賃金を払わせる pumakare (新)

ちんざ(鎮座) [自]鎮座する horari (複数 horarpa) (石狩)、[自] iwak (沙流): [他](場所)に鎮座する ehorari (複数 ehorarpa) (新)、[他] eiwak (新)、[他] ewak (石狩): [他]～と共に鎮座する kohorari (複数 kohorarpa) (新)、[他] koiwak (新): [他](原因、手段)で鎮座する ohorari (複数 ohorarpa) (新)、[他] oiwak (新)

ちんじゅつ(陳述) (法)[名]陳述 caranke (新): [自]陳述を行う caranke (新): [他]～について陳述を行う ecaranke (新): [他]～に対して陳述を行う kocaranke (新): [他](原因、手段)で陳述を行う ocaranke (新): [他](人)に陳述を行わせる carankere (新)

チンタオ(青島) [場名](中華人民共和国の山東省の都市名)青島 Cintao (新)

ちんつう(鎮痛) [自]鎮痛する arkarari (新): (表現)鎮痛する arka rari (新): [名]鎮痛剤 arkararikusuri (新)

ちんでん(沈殿) [自]沈殿する、沈殿して澄む rak (石狩)、[自] rat (天塩): [自]完全に沈殿する、沈殿して澄む oanrak (anrak) (新): [自]十分に沈殿する、沈殿して澄む rakno (raknu) (新): [自]一瞬で沈殿する、沈殿して澄む raktek (新): [他]～を沈殿させる rakka (石狩): [他]完全に～を沈殿させる oanrakka (anrakka) (新): [他]十分に～を沈殿させる raknore (raknure) (新): [他]一瞬で～を沈殿させる raktekka (新): [名]沈殿物 rakpe (新)

チンパンジー (動物)[名](ヒト科)チンパンジー属 pan-cise (新): [名]チンパンジー属の動物の総称 pan (新)※(学名より): [名]チンパンジー yayampan (新): [名]ボノボ bonobo (新)※(英語より)

ちんぴら [名]ちんぴら cimpira (新)※(日本語): (表現)ちんぴらの振る舞い cimpira puri (新)

ちんぼ [名]ちんぼ ci-ye) (石狩): (女性に対する悪口として)[名]ちんぼの切れ端

otuyki (旭川): (表現)俺の悪妻、俺のちんぼの切れ端め! aw=wenmaci an=otuykihi! (知)別Ⅱ. P. 601

ちんぼう(珍宝) [名]珍宝 sisakpe (石狩): [名]珍宝の中で最も大切な物 ikor ikkewe (石狩)

ちんぼつ(沈没) [自]沈没する ren (石狩): (表現)船の沈没と運命を共にする cip turano ren wa isam (石狩): [他](場所)で沈没する eren (新): [他](場所)に沈没する koren (新)、[他] oren (石狩): [他]～と共に沈没する koren (新): [他](原因、手段)で沈む oren (新): [自]突然沈没する rentek (新): [自]前部が沈没する eren (新): [自]後部が沈没する oren (新): [他]～を沈没させる renka (石狩)、[他] raworari (複数形 raworarpa) (天塩): [他](場所)で～を沈没させる erenka (新)、[他] eraworari (複数 eraworarpa) (新): [他](場所)に～を沈没させる korenka (新)、[他] koraworari (複数 koraworarpa) (新): [他]～と共に～を沈没させる korenka (新)、[他] koraworari (複数 koraworarpa) (新): [他](原因、手段)で～を沈没させる orenka (新)、[他] oraworari (複数 oraworarpa) (新): [他]～に～を沈没させる renkare (新)、[他] raworarire (複数 raworarpare) (新): [他]一瞬で～を沈没させる rentekka (新): [他]自分で、一人で～を沈没させる yaykorenka (新)、[他] yaykoraworari (複数 yaykoraworarpa) (新): [他]互いに、皆で～を沈没させる ukorenka (新)、[他] ukoraworarpa (新)

ちんもく(沈黙) [自]沈黙する motek (石狩)※(本来は"asur orke motek"「噂が沈黙する＝噂にならぬ」という形で用いられるが、今後は"ku=motek"「私は沈黙する」も認める。)、[自] hawsak (石狩): [他]～について沈黙する emotek (新)、[他] ehawsak (新): [他](人や物事)に対して沈黙する、～と共に沈黙する komotek (新)、[他] kohawsak (石狩): [他](原因、手段)で沈黙する omotek (新)、[他] ohawsak (新): [他](人)を沈黙させる motekka (新)、[他] hawsakka (新): [自]完全に沈黙する oarmotek (armotek) (新)、[自] oarhawsak (arhawsak) (新): [副]沈黙して hawsakno (石狩)、[副] mosmano (石狩)、[副] móno (幌別)

ツァッケ [名]ツァッケ amuskut(-ci) (新)、[名] takke (新)※(独語)

つか(追加) [自]追加する ihousi (新): [他](人)に追加させる ihousire (新): [他]

～を追加する housi (新): [他](人)に～を追加させる housire (新): [他]～の後に追加する iousi (新): [他]～の後に～を追加する ousi (新)※(その尻に～を付ける): [他](人)に～の後に～を追加させる ousire (新)

ついこつ(椎骨) [名]椎骨 ikra (石狩)

ついしん(追伸) [後副]追伸 eepaki (新): (表現)追伸 eepaki ta (新): 「追伸。またギョウジャンニク送って下さい。」“Eepaki (= Eepaki ta): suy kito en=koeikra wa en=kore ya .”

ついせき(追跡) ①[自]人やものを追跡する iruwekari (新): [他]～を追跡する ruwekari (新): (表現)～を追跡する ～ruwe kari (石狩): [他](場所)で～を追跡する eruwekari (新): [他](場所)へ～を追跡する koruwekari (新): [他]～と共に～を追跡する koruwekari (新): [他](場所)から～を追跡する oruwekari (新): [他](原因、手段)で～を追跡する oruwekari (新): [他]～に～を追跡させる ruwekarire (新): [他]自分で、一人で～を追跡する yaykoruwekari (新): [他]互いに、皆で～を追跡する ukoruwekari (新): ②[他]～を追跡して行く ósioman (複数 ósipaye) (新)、[他] ósoman (複数 óspaye) (新): ③[他]～を追跡して来る ósiek (複数 ósiarki) (石狩)、[他] ósek (複数 ósarki) (石狩)

ついたち(一日) [場名]一日 sineto (石狩)

ついて [接頭](動詞に接頭して、動詞が取り得る目的語の数を一つ増やし)～について e- (石狩): e+ ipakasnu (人に教える)→eipakasnu 「～について人に教える」

ついていく(ついて行く) [他]～について行く turaoman (石狩): (表現)～について行く tura wa oman (複数 paye) (石狩)、(表現) tura-(no) oman (複数 paye) (石狩): 「知らない人について行つては駄目よ。」“E=eramuskare kur eciki tura wa oman na !” = “E=eramuskare kur eciki turano oman na !” = “E=eramuskare kur eciki turaoman na !”, 「馬鹿な事ばかりするあなたにはもうついて行けない。」“Haytap patek es=ki kusu tane es=tura=an wa paye=as eaykap .” = “Haytap patek es=ki kusu tane es=turano ku=oman paye=as eaykap .” = “Haytap patek es=ki kusu tane es=turaoman=an eaykap .”

ついてひをつける(突いて火を点ける) [他](燃えている薪など)で～を突いて火を点ける enuykootke (石狩): 「…私は片手にサツと薪の燃えてない方を掴んで、大きな家をそ

れで突いて火を点け…」“…an=attek orowa ape=arkes an=ristekka hine u poro cise an=enuykootke…” (杉村キナラブック)神語

ついはむ(啄む) [自]物を啄む itoppa (itokpa) (新): [他]～を啄む toppa (tokpa) (石狩): 「鳩が豆を啄む。」“Kusuwep mame tokpa .”: [他](場所)で～を啄む etoppa (etokpa) (新): [他]～と共に～を啄む kotoppa (kotokpa) (新): [他](原因、手段)で～を啄む otoppa (otokpa) (新): [他]～に～を啄ませる toppare (tokpare) (新)

ついび(追尾) [自](人が)追尾する inospa (石狩): 「私は追尾したが逃がしてしまった。」“Ku=inospa korka iorawki .”: [自]人を追尾する unnospa (石狩)※(これまでの用例で主語は動物だが、今後は人についても可とする): [他]～を追尾する nospa (石狩): [他](場所)で～を追尾する enospa (新): [他](場所)へ～を追尾する konospa (新): [他]～と共に～を追尾する konospa (新): [他](場所)から～を追尾する onospa (新): [他](原因、手段)で～を追尾する onospa (新): [他]～に～を追尾させる nospare (新)

ついほう(追放) [自]人を追放する iokewe (複数 iokewpa) (新): [他]～を追放する okewe (複数 okewpa) (石狩)※(複数形は沙流方言): [他](場所)で～を追放する okewe (複数 eokewpa) (新): [他](場所)へ～を追放する kookewe (複数 kookewpa) (新): [他]～と共に～を追放する kookewe (複数 kookewpa) (新): [他](場所)から～を追放する ookewe (複数 ookewpa) (新): [他](原因、手段)で～を追放する ookewe (複数 ookewpa) (新): [他](人)に～を追放させる okewere (複数 okewpare) (新)

つうか(通貨) [名]通貨 cieiwankeikor (新)

つうか(通過) [自]通過する sirakkari (石狩): [他]～を通過する akkari (石狩): [他](場所)で～を通過する eakkari (新): [他]～へと～を通過する、～と共に～を通過する koakkari (新): [他](場所)から～を通過する、(原因、手段)で～を通過する oakkari (新): [他](人)に～を通過させる akkarire (石狩): [他]自分で、一人で～を通過する yaykoakkari (新): [他]互いに、皆で～を通過する ukoakkari (新): [他]完全に～を通過する oarakkari (arakkari) (新): [他]人に～を通過させる akkariyar (新)

つうかく(通格) (言語)[名]通格 unenoamperewke (新)※(共通したもの格)

つうじょう(通常) [連体] 通常の yayan (石狩): (表現) 通常通りに ene iki hi neno (石狩): 「明日も通常通り営業しております。」 “Nisatta ne yakka ene iki=as hi neno monrayke=as ruwe tapan .”

つうじる(通じる) (道に関して) [自] 通じる oman (複数 paye) (石狩): 「この道は空知太に通じている。」 “Tan ru anakne Sorapciputu ta oman .”: [他] ~に通じる eoman (石狩): 「どの道が君の窓辺に通じているのか見当もつかない。」 “Inkean ru e=un cise puyar soyke eoman ya ka ku=erampetek .”

つうしんろ(通信路) [名] 通信路 asurkusru(-we) (新)※(情報が通る道)、[名] ikusru(-we) (新)、[名] canner (新)※(英語)、[名] kanar (新)※(露語)

ツーソン [場名](アメリカ合衆国アリゾナ州の都市名) ツーソン Túsón (新)

つうち(通知) →「しらせ(知らせ)」を見よ

つうほう(通報) [自] 通報する asurani (新)、[自] asurkor (石狩)、[自] sonkokor (石狩)、[自] teskar (石狩): (表現) 通報する asur asi (石狩)、(表現) sonko sanke (石狩): [他] ~を通報する easurani (新)、[他] easurkor (石狩)、[他] esonkokor (石狩)、[他] euepeker (石狩)、[他] eteskar (新): [他](人)に通報する koasurani (新)、[他] koasurkor (石狩)、[他] kosonkokor (新)、[他] koteskar (新): [他] ~と共に通報する koasurani (新)、[他] koasurkor (新)、[他] kosonkokor (新)、[他] koteskar (新): [他](原因、手段)で通報する oasurani (新)、[他] oasurkor (新)、[他] osonkokor (新)、[他] oteskar (新): [他](人)に通報させる asuranire (新)、[他] asurkore (新)、[他] teskare (新): [他](中相)~が通報される cieasurani (新)、[他](中相) cieasurkor (新)、[他](中相) cieteskar (新): [自] 人に通報させる、してもらう asuraniyar (新)、[自] asurkorar (新)、[自] teskarar (新): [自] sonkoaniyar (石狩): [他] ~に漏れなく通報させる sonkopiste (沙流): [名] 通報艦 asuranicip (新): [名] 艦隊通報艦 tumicipsay-koasuranicip (新): [名] 植民地通報艦 nihonnerehi-koasuranicip (新)

つうやく(通訳) [名] 通訳、通訳する事 itaktupte (新)、[名] itupte (新): [名] 通訳、通訳者 tunci (tunsi) (石狩)、[名] itaktuptekur (新): [自] 通訳する itaktupte (新)、[自] itupte (新): [他] ~を通訳する tupte (新): [他](原因、手

段)で~を通訳する otupte (新): (表現) 日本語で~を通訳する sísamitak otupte (新): [他](人)に~を通訳させる tuptere (新)

つうろ(通路) [名] 通路 cikusru (石狩)

つえ(杖) ①[名] 杖 kuwa (石狩): (表現) 捻じれた杖 cinoye kuwa (石狩): 火の焔神が持っている杖。石狩では「赤い杖」“húre kuwa”が対句で使われ、幣の上座の神のものは「金の杖」“kání kuwa”とされるが、沙流では「金の杖」“káne kuwa”は火の焔神のものとされる。: ②[自] 杖に 縋る yaykuwaerari (石狩): 「…年寄婆は杖に 縋って外に出たので…」 “…u onnehuci yaykuwaerari no asin kusu…” (杉村キナラブック) 婦女詞曲: [自] 皆で杖に 縋る (新): ③[他] ~を杖にする、~を杖につく etete (石狩): 「…オタストウクルの火の焔神が 赤い杖、ねじれた杖を杖について…」 “…Otasutunkur apeucikamuy u húre kuwa cinoye kuwa etete kane…” (杉村キナラブック) 神謡: ④[自] 杖を持つ kuwakor (石狩): [他](人)に杖を持たせる kuwakore (新)

ツガ(樺) (植物)[名](マツ科)ツガ属 tuga-cise (toga-cise) (新): [名] ツガの茎 tuga (toga) (新)※(別名「トガ」): [名] アメリカツガの茎 amerika tuga (新): [名] カナダツガの茎 kanada tuga (新): [名] カロライナツガの茎 karorayna tuga (新): [名] コメツガの茎 hamupontuga (新): [名] タイワンツガの茎 taywan tuga (新)※(チュウゴクウガの変種): [名] チュウゴクツガの茎 atuyya tuga (新)※(別名「テーシャ ン」): [名] ヒマラヤツガの茎 himaraya tuga (新): [名] マウンテンヘム ロックの茎 amerikameto tuga (新)

つか(柄) [名](刀剣の柄) nit(-ci) (石狩)、[名] nip(-i) (石狩)、[名](雅) tuka (沙流): (表現) 首領の佩料の二つの柄頭、三つの柄頭が互いに重なり合う nispamatpe oyu san tuka ore san tuka oukauyru (沙流): [場名] 柄頭 nitpa(-ke) (新)、[場名] nitsapa (nitcapa) (新): [自](刃物について) 柄が無い oruipene (石狩)

つかい(遣い) [名] 遣いを出す事 iuytek (新): [名] 遣いに出される事 ciuytek (新): [名] 遣い ciuytekkur (新): [自] 人を遣いに出す iuytek (石狩): [他] ~を遣いに出す uytek (石狩): [他] ~の件で~を遣いに出す euytek (石狩): [他](場所)に~を遣わす uytekkar (石狩): 「…お前は私の妹を水の中にでも遣いに出して…」 “…an=kottures [>kor tures] wakka poka e=uytekkar wa…” (杉村キナラブック) 神謡:

[他]～と共に～を遣いに出す **kouytek** (新): [他](原因、手段)で～を遣いに出す **ouytek** (新): [他](人)に～を遣いに出させる **uytekte** (新): [他]人に～を遣いに出させる **uytekar**(**uytekyar**) (新): [他]自分を遣いに出させる **siuytekyar** (新)

つかう(使う) [自]ものを使う **ieiwanke** (新): [自]人を使う **uneiwanke** (新): [他]～を使う **eiwanke** (石狩): [他](場所)で～を使う **eeiwanke** (新): [他]～と共に～を使う **koeiwanke** (新): [他](原因、目的)で～を使う **oeiwanke** (新): [他](人)に～を使わせる **eiwankere** (新): [他]自分で、一人で～を使う **yaykoeiwanke** (新): [他]互いに、皆で～を使う **ukoeiwanke** (新): [他]すっかり～を使う **oareiwanke**(**areiwanke**) (新): [他]充分に～を使う **eiwankeno** (**eiwankenu**) (新): [他]思い切り～を使う **toykoeiwanke** (新): [他]滅茶苦茶～を使いまくる **toykoeiwankepa** (新): [他](中相)～が使われる **cieiwanke** (新): [他]人に～を使わせる、使ってもらう **eiwankeyar** (新): [自]人に自分を使ってもらう **sieiwankeyar** (新): [自]自分で自分を使う **yayeiiwanke** (新): [自]互いを使う、皆を使う **ueiwanke** (新)

つかえる(仕える) [自]人に仕える **ihokote** (新): [他](人)に仕える **hekote** (新): [他](場所)で(人)に仕える **ehokote** (新): [他]～と共に(人)に仕える **kohekote** (新): [他](原因、手段)で(人)に仕える **ohokote** (新): [他](人)を(人)に仕えさせる **hekotere** (新): [他]自分で、一人で(人)に仕える **yaykohekote** (新): [他]互いに、皆で(人)に仕える **ukohekote** (新): [他]人を(人)に仕えさせる、仕えてもらう **hekoteyar** (新): [自]人を自分に仕えさせる **sihekoteyar** (新)

つがえる(番える) (表現)矢を弓に番える **ay ku ka ta anu** (石狩): 「私は矢を一本弓に番えるや射た。」“**Ay sinep ku ka ta ku=anu tek ku=tukan** .”

つかえる(問える) [自]ものに問える **ioun** (新): [他]～に問える **oun** (石狩): 「私はとても太ってしまったので戸口に問えて出られずにもがいた。」“**Sonno ku=kamus kusu apa ku=oun wa ku=sipicipici** .” : [他](場所)で～に問える **eoun** (新): [他]～と共に～に問える **kooun** (新): [他](原因、手段)で～に問える **ooun** (新)

つかまえる(捕まえる) ①[自]人や動物などを捕まえる **iuk**(複数 **iuyna**) (新): [他]～

を捕まえる **uk** (複数 **uyna**) (石狩): [他](場所)で～を捕まえる **euk** (複数 **euyna**) (新): [他]～と共に～を捕まえる **kouk**(複数 **kouyna**) (新): [他](原因、手段)で～を捕まえる **ouk** (複数 **ouyna**) (新): [他](人)に～を捕まえさせる **ukte** (複数 **uynare**) (新): [他]自分で、一人で～を捕まえる **yaykouk** (複数 **yaykouyna**) (新): [他]互いに、皆で～を捕まえる **ukouk** (複数 **ukouyna**) (新): [他]もの凄く～を捕まえる **toykouk** (複数 **toykouyna**) (新): [他]人に～を捕まえさせる **ukyar** (複数 **uynayar**) (新): [他]人に自分を捕まえさせる **siukyar** (複数 **siuynayar**) (新): ②[自]人などを捕まえて縛りあげる、捉まえる **iateuk** (新): [他]～を捕まえて縛りあげる、捉まえる **ateuk** (石狩): [他](人)に～を捕まえて縛りあげさせる **ateukte** (新): ③[他]～をさっと捕まえる **ristekka** (石狩): [他](人)に～をさっと捕まえさせる **ristekkare** (新): [他]人に～をさっと捕まえさせる **ristekkayar** (新): [自]人に自分をさっと捕まえさせる **siristekkayar** (新): ④(両手で抑える)[他]～を捕まえる、掴まえる **kisma** (石狩): [他](人)に～を捕まえさせる、掴まえさせる **kismare** (新): [他]～を背後から掴まえる **okakisma** (新)

つかまる(掴まる) [他]～にしっかりと掴まる **koyumpitek** (石狩): 「…掴み炉縁に私がしっかりと掴まっていると…」“**…ani inumpe an=koyumpitek wa okay=as kor**…” (砂沢クラ)

つかむ(掴む) ①[他]～を掴む **péka** (石狩): (表現)乳房を掴む **totto péka** (石狩): [他](場所)で～を掴む **epeka** (新): [他]～と共に～を掴む **kopeka** (新): [他](原因、手段)で～を掴む **opeka** (新): [他](人)に～を掴ませる **pékare** (新): [他]自分で、一人で～を掴む **yaykopeka** (新): [他]互いに、皆で～を掴む **ukopeka** (新): [他]すっかり～を掴む **toykopeka** (新)、[他] **raypeka** (新): [他]人に～を掴ませる **pékayar** (新): [自]人に自分を掴ませる **sipekayar** (新): ②[他]～を手荒く掴む **esikari** (石狩): [他](人)に～を手荒く掴ませる **esikarire** (新): [他]人に～を手荒く掴ませる **esikariyar** (新): [自]人に自分を手荒く掴ませる **siesikariyar** (新): ③[他]～をさっと掴む、掴み取る **ristekka** (石狩): [他](人)に～をさっと掴ませる **ristekkare** (新): [他]人に～をさっと掴ませる **ristekkayar** (新): [自]人に自分を

さつと掴ませる siristekkayar (新)

つかれる(疲れる) [自] 疲れる sinki (石狩): [他](場所)で疲れる esinki (新): [他]〜と共に疲れる kosinki (新): [他](原因、手段)で疲れる osinki (新)、[他] esinki (石狩): [他](人)を疲れさせる sinkika (sinkire) (新): [自]自分で、一人疲れる yaykosinki (新): [自]互いに、皆で疲れる ukosinki (新): [自]充分疲れる sinkino (sinkinu) (新): [自]完全に疲れる、疲れ切る oassinki (assinki) (新): [自]激しく疲れる sinkiruy (新): [自]もの凄く疲れる toykosinki (新)、[自] raysinki (新): [間投]疲れた時に発する声)疲れた、しんどい tata (石狩): [自]疲れて死ぬ sinkiekot (H): [他](人)を疲れて死なせる sinkiekote (新)

つき(月)①(天体としての)[名]月 cup (石狩)、[名] kunnecup (石狩): (表現)満月になる、なっている cup noski an (石狩): [自]月が欠ける tukoni (石狩): (表現)月が出る、月が昇る kunnecup rikin (新): (雲などに隠れていた)月が出る kunnecup sara (新): (表現)月に量がかかる cup cise kor (新)②(一ヵ月、二ヵ月と数える時間の区分としての)[名]月 cup (石狩): (表現)ある月 sinean cup (新): (表現)一ヶ月 sine cup (石狩): (表現)三ヶ月 re cup (石狩): [名・副]先々月 teetaan-nincup (新)、[名・副] teetaancup (石狩): [名・副]先月 hoskian-nincup (新)、[名・副] hoskiancup (石狩): [名・副]今月 tancup (新): [名・副]来月 asinnoekcup (石狩)、[名・副]osekcup (osiekcup) (石狩): [名・副]再来月 náosekcup (náosiekcup) (天塩): 暦の上の月は旭川で "inomicup" 「一月」、"taskurucup" 「二月」、"toetanne" 「三月」、"upasrurucup" 「四月」、"muntukkacup" 「五月」、"toytacup" 「六月」、"kunneyascup" 「七月」、"kunnesuscup" 「八月」、"yascup" 「九月」、"konnirancup" 「十月」、"nitékrankecup" 「十一月」、"upasrankecup" 「十二月」.: ③[名]月の陰影 cuporuskur (石狩)

つぎ(次)①(順序を表し)[後副]〜の次に tutanu (石狩): (表現)二番目に、一人後に sinen tutanu (石狩): (表現)二番目に tup ananu (旭川): [連体]〜の次の tutanu (石狩)、[連体] otutanu (天塩): ②(年などについて)[連体]〜の次の eoya (石狩): (表現)その次の年 ne eoya pa (石狩): ③(ある動作を離れ次の動作への移動を表し)〜の次に ekopi (ekohopi) (石狩): 「私達は年上の者達に食事を出し、その次に若者達に食事を出した。」 "Onne utar

ci=koipuni, ekopi pewre utar ci=kopi ."

つきあう(付き合う) [自] 人と付き合う iemawne (沙流)、[自] itura (新): [他]〜と付き合う emawne (新)、[他] tura (新): (表現)〜と友達付き合いをする ukopirkakur ne ~ emawne (tura) (新): [他](場所)で〜と付き合う eemawne (新): [他](原因、手段)で〜と付き合う oemawne (新): [他](人)を人と付き合わせる iemawnere (新): [他](人)を〜と付き合わせる emawnere (新): [自]互いに付き合う uemawne (新)、[自] utura (新)

つきがみ(憑神) [名]憑神 sermak (石狩)、[名] kasikamuy(-e) (石狩)、[名] iturenkamuy(-e) (石狩): [位名]〜の憑神 sermakorke (石狩)

つきざ(撞座) (鐘の部分名称)[場名]撞座 ciotkeusi (新)

つきささる(突き刺さる) [他](場所)に突き刺さる etara (石狩): 「鎧の上に矢が沢山突き刺さる。」 "Hayokpe ka ay poronno etara ."

つきさす(突き刺す) [自](槍、鉾など投げたりして)突き刺す aciwi (石狩): [他]〜を突き刺す ciwi (石狩): [他](場所)に〜を突き刺す etarare (石狩)、[他] eciwi (石狩): [他]〜と共に〜を突き刺す kociw (新): [他](原因、手段)で〜を突き刺す ociwi (新): [他]〜に〜を突き刺ささせる ciwre (石狩): [他]自分で、一人で〜を突き刺す yaykociw (新): [他]互いに、皆で〜を突き刺す ukociw (新): [他]完全に〜を突き刺す oatciw (atciw) (新): [他]思い切り〜を突き刺す toykociw (新): [他]人に〜を突き刺ささせる ciwyar (新): [自]人に自分を突き刺ささせる siciwyar (新): [自]自分で自分を突き刺す yayciw (新): [自]互いを突き刺す uciwi (新)

つきすすむ(突き進む) [他](場所)に突き進む osma (石狩)※(目的語が普通名詞の場所にはその後に位置名詞"or"を置く。): (表現)〜の行く手に突き進む etok (長形-o) osma (新): (表現)〜の進む殿に突き進む oka (長形-ke) osma (新): (表現)敵に突き進む ikusunkur or osma (新): [他](場所)で〜に突き進む eosma (新): [他]〜と共に〜に突き進む koosma (新): [他](原因、手段)で〜に突き進む oosma (新): [他]〜を〜に突き進ませる osmare (新): [他]自分で、一人で〜に突き進む yaykoosma (新): [他]互いに、皆で〜に突き進む ukoosma (新): [他]思い切り〜に突き進む toykoosma (新): [自]互いに突き進む uosma (石狩)

つきそう(付き添う) ①[他]～に付き添う tura (石狩): [他]～を～に付き添わせる turare (石狩): [後副]～に付き添って tura(-no) (石狩)、[後副](雅) koetunankar (石狩)、[副](雅) koeturenno (沙流): [接頭](動詞、位置名詞に接頭しその語の項の数を一つ増やし)～に付き添って ko- (石狩): [自]人に付き添う itura (石狩): [他]人に付き添わせる iturare (新): [副]人に付き添って itura(-no) (新): [接頭](動詞、位置名詞に接頭しその語の項の数を变えず)人に付き添って iko- (石狩): [自]互いに付き添う、付き添い合う utura (石狩): [他]～を付き添い合わせる uturare (新): [副]互いに付き添って、付き添い合って utura(-no) (石狩): [接頭](動詞、位置名詞に接頭しその語の項の数を变えず)互いに寄り添って、付き添い合って uko- (石狩): [名]付添人 iturakur (新): ②(病人に)(表現)～に付き添う sam (長形-a、-ake) un (石狩): 「私の祖父が入院しているので、私は毎日彼に付き添った。」 “Ikaoykicise otta ku=kor ekasi hotke wa an kusu kesto an kor sama ku=un .”: [名]付添人 isamunkur (新)

つぎたす(継ぎ足す) [他]～に～を継ぎ足す ousi (新): [他]～を継ぎ足す uousi (石狩): 「あの底まで届くくらいこの短い紐を継ぎ足そう。」 “Taan asam ous pakno tan takne at an=uousi rok .”: [他](人)に～を継ぎ足させる uousire (新)

つきだす(突き出す) ①[他]～を突き出す tuku (複数 tukpa) (石狩)、[他] tukka (石狩): 目下合成語の構成要素としてののみ見られるが、今後単独でも使う。: [他](場所)に～を突き出す etuku (複数 etukpa) (新)、[他] etukka (新): [他]～と共に～を突き出す kotuku (複数 kotukpa) (新)、[他] kotukka (新): [他](原因、手段)で～を突き出す otuku (複数 otukpa) (新)、[他] otukka (新): [他](人)に～を突き出させる tukure (複数 tukpare) (新)、[他] tukkare (新): [自]頭、先端を突き出す hetuku (複数 hetukpa) (新)、[自] hetukka (新): [自]尻、性器、末端を突き出す hotuku (複数 hotukpa) (新)、[自] hotukka (新): [他]～を何度も突き出す tukuku (石狩)※(目下合成語の構成要素としてののみ見られるが、今後単独でも使う。): ②(突き出しては引込む動作)[自]突き出し突き出しする toksetokse (石狩)、[自] toktokse (石狩): 人体について言えばそれが行われる場所によって、“kutpar”「のど」なら「ヒクヒク動く」、”sampe”「心臓」なら

「ドキドキする」と和訳される。今後は機械のピストン運動などもこの語で表現されていくだろう。

つぎつぎにつづける(次々に続ける)[他・助動]～を次々に続ける eucaste (新): [他](場所)で～を次々に続ける eeucaste (新): [他]～と共に～を次々に続ける koecaste (新): [他](原因、手段)で～を次々に続ける oeucaste (新): [他](人)に～を次々に続けさせる eucastere (新): [他](中相)～が次々に続く cieucaste (石狩): 「…語り歌い楽しむ声が次々に続き…」 “...uenewsar haw ciewcaster...” (川村ムイサシマツ)神謡

つきでる(突き出る) ①[自]突き出る tuk (石狩): [自]頭、芽、先端が突き出る etuk (石狩): [自]尻、尾、末端が突き出る otuk (新): ②(地形など盛り上がる)[自]突き出る、突き出ている tanas (石狩): ③[名]地名の中に岩崖の上部の「突き出た部分」、あるいは樹木が茂った岩崖の「頂上より少し下の部分」を「額」に見立てて用いられる kip(-i) (石狩): [語根]合成語の構成要素として「突き出ている」、「尖っている」の意味で現れる en (石狩、天塩): e(その頭)+en → een 「尖っている」

つきとばす(突き飛ばす) [自]人や物を突き飛ばす ioputuytekkā (新): [他]～を突き飛ばす oputuytekkā (石狩): [他](人)に～を突き飛ばさせる oputuytekkare (新): [他]思い切り～を突き飛ばさせる toyko-oputuytekkā (新): [他]人に～を突き飛ばさせる oputuytekkayar (新): [自]人に自分を突き飛ばさせる sioputuytekkayar (新)

つぎのこができる(次の子ができる)(表現)母親のお腹に次の子ができたらしい ponekaci an=huskore wa cis hawe an (天塩)

つぎのはなだ(次縹) [自]次縹色になる、である otutanuan-ittonesumpeus (新): [他]～を次縹色に染める otutanuan-ittonesumpeusi (otutanuan-ittonesumpeuste) (新): [名]次縹色 otutanuan-ittonesumpeus-iro (新)

ツキノワグマ(月輪熊) (動物)[名](クマ属)ツキノワグマ imuteper (新): 亜種[名]タイワンツキノワグマ taywanun-imuteper (新): [名]ニホンツキノワグマ samorun-imuteper (新): [名]ヒマラヤツキノワグマ himarayaun-imuteper (新): [名]ウルス・ティベタヌス・ウスリクス santaun-imuteper (新): [名]U. t. ゲドロシアンズ iranun-imuteper (新): [名]U. t. ムピネンシス atuyyaun-imuteper (新): [名]U. t. ラニゲル

kasmirun-imuteper (新)

ツキヒガイ(月日貝) (魚介)[名](イタヤガイ科)

ツキヒガイ属 umureksey-cise (新):

[名]ツキヒガイ umureksey (新): [名]コ

ガタツキヒガイ ponumureksey (新):

[名]ナンヨウツキヒガイ koypokumureksey (新)

ツギホコウモリ(接穂蝙蝠)(動物)[名](コウモリ

目)ツギホコウモリ科 apkaskapap-apa

(新): [名]ツギホコウモリ属 apkaskapap-

cise (新): [名]ツギホコウモリ

apkaskapap (新): [名]オオツギホコウモリ

siapkaskapap (新)※(絶滅)

つきまとう(付きまとう) [自]人に付きまとう

iokakotuk (新): [他](人)に付きまとう

okakotuk (新): [他](場所)で(人)に付きま

とう eokakotuk (新): [他]〜と共に(人)

に付きまとう kookakotuk (新): [他](原因、

手段)で(人)に付きまとう ookakotuk

(新): [他](人)に(人)に付きまといせる

okakotukka (新): ②(行為)[名]付きまとい

iokakotuk (新): (表現)付きまとい行為

iokakotuk puri (新): ③(人)[名]付きまとい、

付きまといをする奴 iokakotukpe

(新): [名]付きまといをする男性

iokakotukkur (新): (表現)付きまといを

する男 iokakotuk okkayo (新): [名]付き

まといをする女性 iokakotukmat (新):

(表現)付きまといをする女 iokakotuk

menoko (新)

つきもの(憑きもの) [名](トウスを行う女性に憑く)憑きもの osirumpe (天塩)

つきもの(搗きもの) [自]搗きものをする iuta (石狩)

ツキヨタケ(月夜茸) (菌類、キノコ)[名](キシメ

ジ科)ツキヨタケ属 weysunekarus-cise

(新): [名]ツキヨタケ weysunekarus

(新)

つぎをあてる(継を当てる)[他]〜に継を当てる

utapke (石狩): (表現)破れたところに継

を当てる tuy utapke (石狩): [他](人)に

〜に継を当てさせる utapkere (新):

[他](中相)継が当たる ciutapke (新):

[他](中相)継ぎはぎだらけになる

citoykoutapkepa (新): [自]継ぎはぎだら

けになる siutapkepayar (新)、[自]

siutapkeyarpa (新)

つく(着く) [自]着く sirepa (石狩): 「君達

は何時着いたんだ?」“Hempar es=sirepa

ruwe an?»: [他]〜を連れて着く、〜と共

に着く esirepa (新): [他](場所)に着く

kosirepa (石狩)、[他] epa (八雲)、[他](雅)

ekosirepa (石狩)、[他](雅) ciepakte (久

保寺): [他](場所)から着く、(原因、手段)で

着く osirepa (新): [他](人)を着かせる

sirepare (石狩): [自]自分で、一人で着く

yaykosirepa (新)、[自] yaysirepare

(新): [自]皆が着く ukosirepa (新)、[自]

usirepare (新)

つぐ(注ぐ) [他](液体)を器に注ぐ iomare

(石狩): [他](液体)を(器)に注ぐ omare

(石狩、天塩)、[他] o (石狩): 器に当る名

詞の後には位置名詞"or"や"oske"が置かれ

る。: 「私は酒杯に酒を注いだ。」“Tuki oske

sake ku=omare .”、¹「一体誰が樽に水を注い

だんだ。」“Nen ta ontaro or wakka o ruwe

an?»: [他](人)の器に(酒)を注ぐ

koiomare (石狩): 「…その家の主の器に

酒が注がれると、彼はそれを飲んでから…」

“…nea cise kor nispa sake an=koiomare

kor ku ora…” (杉村キナラブック)説話

つく(突く) [他]〜を突く otke (石狩): 「お

前の腰を突くぞ。(地震の時のおまじない)」

“E=ikkewe ku=otke na!”, 「槍で私は突か

れた。」“Op ani enci=otke (=

en=otke=an).”: [他](場所)で〜を突く

eotke (新): [他]〜と共に〜を突く

kootke (新): [他](原因、手段)で〜を突く

ootke (新)、[他] eotke (石狩): [他](人)

に〜を突かせる otkere (新): [他]自分で、

一人で〜を突く yaykootke (新): [他]互

いに、皆で〜を突く ukootke (新): [他]

思い切り〜を突く toykootke (新): [他]

人に〜を突かせる otkeyar (新): [自]人

に自分を突かせる siotkeyar (新): [自]

女陰、肛門を突く hootke (新): [他]〜の

女陰、肛門を突く ootke (新)

つく(付く)①(何かの一部として)[他]〜に付く、

付いている us (石狩): (表現)〜に蓋が付

いている puta us (石狩): [他](場所)で〜

に付く、付いている eus (新): [他]〜と

共に〜に付く、付いている kous (新):

[他](原因、手段)で〜に付く、付いている ous

(新): [自]頭(先端)に付く、付いている

heus (新): [他]〜の頭(先端)に付く、付

いている eus (石狩): [自]尻(末端)に付く、

付いている hous (新): [他]〜の尻(末端)

に付く、付いている ous (石狩): [他](合

成語の構成要素として)〜に沢山付く、沢山付

いている us (石狩、天塩): kam (肉)+

us → kámus 「太る、太っている」: [他](誰

か、何かの傍)に付く un (石狩): [他](合

成語の構成要素として)〜に付く un (石

狩): rekut (首)+un+pe(物)→ rekutumpe

「首飾り帯」: ②(あるものが別のものに張り

付く意味で)[他]〜に付く kotuk (石狩):

[他](場所)で〜に付く ekotuk (新):

[他](原因、手段)で〜に付く okotuk (新):

③(細長い何かで)～に付く kot (石狩): [他](場所)で～に付く、付いている ekot (新): [他]～と共に～に付く、付いている kokot (新): [他](原因、手段)で～に付く、付ける okot (新): (表現)～の味が付いている o+味に関する名詞+kot (沙流): o +topen(甘さ)+kot → otopenkot 「甘味がある」: ④(引っ掛かったり、吊り下がったりして)～に付く、付いている ot (石狩): 目下合成語の構成要素としてのみ見られるが今後単独でも使う。: [他](場所)で～に付く eot (新): [他]～と共に～に付く koot (新): [他](原因、手段)で～に付く oot (新): ⑤(火に関して)[他]～に付く epeku (石狩)、[他] kotuk (八雲): (表現)(何か)に火がつく ape epeku (石狩)、(表現) ape kotuk (八雲)

つく(憑く) ①(守護するため神が)[自]人に憑く ituren (石狩): [他](人)に憑く turen (石狩): [自](神が)自分に憑く situren (石狩): ②(悪事をはたらくため怪物などが)[自]人に憑く ikar (石狩): [他](人)に憑く kar (石狩)

つく(搗く) [自]物を搗く iuta (石狩): [他](穀類や餅など)を搗く uta (石狩): [自]団子用の穀類を搗く sitouta (石狩): [自]餅を搗く mociuta (新)

つくえ(机) [名]机 kemausita (新): (表現)机に向かう kemausita koa (複数 koroski) (新)

つくす(尽くす) [自]人に尽くす ikoniwasnu (新): [他](人)に尽くす koniwasnu (石狩): [他](人)に(人)に尽くさせる koniwasnure (新)

つくりつけ(作り付け) [他]～を作り付ける cisekokar (新): [他](人)に～を作り付けさせる cisekokare (新): [他](中相)～が作り付けられる cicisekokar (新): [名]作り付けベット cicisekokar-amset (新)

つくりばなし(作り話) [名]作り話 sunkeoruspe (石狩)、[名] sunketuytak (天塩): (表現)作り話をする sunkeoruspe ki (新)

つくる(作る) [他]～を作る kar (石狩)、[他](雅) karkar (新): (表現)(場所)で～を作る … otta ~ kar (石狩): (表現)…と共に～を作る … tura(no) ~ kar (石狩): (表現)(手段)で～を作る … ani ~ kar (石狩): [他](場所)で～を作る ekar (新)、[他](雅) ekarkar (石狩): [他]～向けに～を作る、～に対抗して～を作る kokar (新): [他]～と共に kokar (新): [他](手段)で～を作る okar (新): [他](人)に～を作らせる káre (新): [他]自分で、

一人で～を作る yaykokar (新): [他]互いに、皆で～を作る ukokar (新): [他]充分に～を作る kanno (kannu) (新): [他]完璧に～を作る oarkar (arkar) (新): [他]思い切り～を作る toykokar (新): [他](中相)～が作られる cिकar (新): [他](中相)完璧に～が作られる cioarkar (新)、[他](中相) ciearkar (石狩): [他]人に～を作らせる、作ってもらう karar (石狩): [他]人に(人)に～を作らせる、作ってもらう káreyar (石狩)

つくろう(繕う) [自]繕い物をする iutapke (新): [他](着物など)を繕う utapke (石狩): [他](人)に～を繕わせる utapkere (新): [自]服を繕う imiwtapke (新)

つづく(付ける) [自]物事を付け加える ihoomare (新): [他]～を付け加える hoomare (新): [他](人)に～を付け加えさせる hoomarere (新): [他]～の後に～を付け加える oomare (新)※(その尻に～を入れる): [他](人)に～の後に～を付け加えさせる oomarere (新): [他]自分で、一人で～の後に～を付け加える yaykoomare (新): [他]皆で、互いに～の後に～を付け加える ukoomare (新): [他]人に～の後に～を付け加えさせる oomareyar (新)

つけたす(付け足す) [自]付け足す ihousi (新): [他](人)に付け足す ihousire (新): [他]～を付け足す housi (新): [他](人)に～を付け足させる housire (新): [他]～の後に付け足す iousi (新): [他]～の後に～を付け足す ousi (新)※(その尻に～を付ける): [他](人)に～の後に～を付け足させる ousire (新)

つけね(付け根) [名]付け根 sut(u) (石狩): (表現)(鰻)の背鰭の付け根 aspe sutu (新)

つけまわす(付け回す) [自]付け回す ikarikari (新): (表現)～の跡を付け回す ~ ruwe karikari (新): [他]～を付け回す karikari (新): [他](場所)で～を付け回す ekarikari (新): [他]～と共に～を付け回す kokarikari (新): [他](原因、手段)で～を付け回す okarikari (新)

つける(着ける) ①(首飾りなど装身具に関して)[他]～を着ける kor (石狩): [他](場所)で～を着ける ekor (新): [他]～と共に～を着ける kokor (新): [他](原因、手段)で～を着ける okor (新): [他](人)に～を着けさせる kóre (新): [他](場所)に～を着ける uyruke (石狩): [他](雅)～を頭に着ける pakeuyruke (新)、[他](雅) sapauyruke (新): [他]～を手に着ける tekuyruke (沙流): [他](雅)～を(人)の足に

着ける *cikiruyruke* (新): [他](雅)～を
(人以外の)脚に着ける *kemauryruke* (新):
②(車などに関して)[他]～を着ける
sirepare (新): [他](場所)で～を着ける
esirepare (新): [他](場所)へ～を着ける
kosirepare (新): [他]～と共に～を着ける
kosirepare (新): [他](原因、手段)で～を
着ける *osirepare* (新): [他](人)に～を着
けさせる *sireparere* (新)

つける(点ける) ①(火に関して)[他]～を点け
る *áre* (石狩): (表現)火を点ける *ape*
áre (石狩): ②(灯火に関して)[他]～を点
ける *kar* (石狩)、[他] *uhuyka* (新):
(松明などの灯火)(表現)明かりを点ける
sune kar (石狩)、(表現) *sune uhuyka*
(石狩): 今後蠟燭などに関しても用いる。:
(表現)懐中電灯を点ける *sune kar* (新)、
(表現) *imeru-sune kar* (新): (灯台、ラ
ンプなどの灯火)(表現)明かりを点ける
ratcaku kar (新)、(表現) *ratcaku uhuyka*
(幌別): 今後電灯などに関しても用いる。:
(表現)電灯を点ける *ratcaku kar* (新)、(表
現) *imeru-ratcaku kar* (新)

つける(付ける) (1)①(何かに別のものを付け
て一体とする、あるいは密着させる意味で)①
[他]～に～を付ける *usi* (石狩): [他](場
所)で～に～を付ける *eusi* (新): [他]～
と共に～に～を付ける *kousi* (新):
[他](原因、手段)で～に～を付ける *ousi*
(新): [他](人)に～に～を付けさせる *usire*
(石狩): ②(張り付ける、あるいは馬を馬車
につけるなどの意味で)[他]～に～を付ける
kotukka (石狩): [他](場所)で～に～を付
ける *ekotukka* (新): [他](原因、手段)で
～に～を付ける *okotukka* (新): [他](人)
に～に～を付けさせる *kotukkare* (新):
③(細い何かで)[他]～に～を付ける *kote* (複
数 *kotpa*) (石狩): [他](場所)で～に～を
付ける *ekote* (複数 *ekotpa*) (新): [他]
～と共に～を付ける *kokote* (複数
kokotpa) (新): [他](原因、手段)で～に～
を付ける *okote* (複数 *okotpa*) (新):
[他](人)に～に～を付けさせる *kotere* (複数
kotpare) (新): ④(引っ掛けたり吊るしたり
して)[他]～に～を付ける *otte* (石狩):
[他](場所)で～に～を付ける *eotte* (新):
[他]～と共に～に～を付ける *kootte* (新):
[他](原因、手段)で～に～を付ける *ootte*
(新): [他](人)に～に～を付けさせる
ottere (新): (2)(追跡する)[他]～を付ける
kari (石狩): (表現)～の跡を付ける ～
ruwe kari (石狩): [他](場所)で～を付ける
ekari (新): [他]～と共に～を付ける
kokari (新): [他](原因、手段)で～を付け

る *okari* (新)

つごう(都合) ①[副]都合良く *irammakaka*
(石狩)、[副] *irammakakano* (石狩)、[副]
useno (石狩): 「都合良くそこへ君が来た
んだよ。」“*Irammakaka ekota e=ek na .*”:
②[他]都合が悪くて～ができない、状態にな
い *niwkes* (石狩): 「私達は都合が悪く
て買物すらできなかった。」“*Ihok poka*
ci=niwkes .”: [助動]都合が悪くて～(する)
ことができない、(する)状態になり *niwkes*
(石狩): 「残念ですが都合が悪くて私はお伺
いできません。」“*Ku=yayerampokiwen pe*
ene an hi : i=ekota ku=oman niwkes ruwe
ne wa .”

つたう(伝う) ①[他]～を伝って上る
turasi (新): [他]～を～伝いに上らせる
turasire (石狩): [後副]～伝いに上へ
turasi(turasino) (石狩); ②[他]～を伝っ
て下がる *pes* (石狩)、[他](新)、[他] *esoro*
(新): [他]～を～伝いに下らせる *peste*
(新)、[他] *opeste* (新)、[他] *esorore*
(新): [後副]～伝いに下へ *pes (pesno)*
(石狩)、[後副] *opes* (石狩)、[後副] *esoro*
(石狩)

ツタウルシ(蔦漆)(植物)[名](ウルシ属)ツタウル
シ *ussipunkar* (H)

つたえる(伝える) ①(動作主の直接的な行為と
して)[自]伝える *asurani* (新)、[自]
asurkor (石狩)、[名] *sonkoani* (石狩)、
[自] *sonkokor* (石狩): [他]～について伝
える *easurani* (新)、[他] *easurkor* (石
狩)、[他] *esonkoani* (新)、[他] *esonkokor*
(石狩): [他]～に伝える *koasurani* (新)、
[他] *koasurkor* (石狩)、[他] *kosonkoani*
(新)、[他] *kosonkokor* (新): [他]～と共
に伝える *koasurani* (新)、[他]
koasurkor (新)、[他] *kosonkoani* (新)、
[他] *kosonkokor* (新): [他](原因、手段)
伝える *oasurani* (新)、[他] *oasurkor*
(新)、[他] *osonkoani* (新)、[他]
osonkokor (新): [他](人)に伝えさせる
asuranire (新)、[他] *asurkore* (新)、[他]
sonkoanire (新)、[他] *sonkokore* (新):
[自]自分で、一人で伝える *yaykoasurani*
(新)、[自] *yaykoasurkor* (新)、[自]
yaykosonkoani (新)、[自] *yaykosonkokor*
(新): [自]互いに、皆で伝える *ukoasurani*
(新)、[自] *ukoasurkor* (新)、[自]
ukosonkoani (新)、[自] *ukosonkokor*
(新): ②(人を介した行為として)[自]伝える
teskar (石狩): [他]～について伝える
eteskar (新): [他]～に伝える *koteskar*
(新): [他](原因、手段)で伝える *oteskar*
(新): [他](人)に伝えさせる *teskare*

(新): ③(まとまった物事に関して)[自]伝える
iuste (石狩): [他](人)に伝える koiuste
(石狩): [他]～を伝える uste (石狩):
[他](場所)で～を伝える euste (新):
[他](人)に～を伝える kouste (石狩):
「…かくかくしかじかという事をお前が自
分の兄に伝えたら…」 “…tapne tapne an hi
e=yupihi e=kouste wa ne yak…” (杉村キナ
ラブク)婦女詞曲: [他]～と共に～を伝える
kouste (新): [他](原因、手段)で～を伝え
る ouste (新): [他]自分で、一人で～を
伝える yaykouste (新): [他]互いに～を
伝え合う、皆で～を伝える ukouste (新):
[自]全て伝える uuste (沙流): [他](人)に
全てを伝える kouste (新)

つち(土) ①[名]土 toy (石狩): [場名]土の中
toytum (天塩): (表現)～を土の中に埋め
る toytum omare (天塩): ②(決まった表
現で)[名]土 toyttoy (石狩)、[名] akam
(沙流)、[名] ikum (沙流): (表現)土人形
toyttoy aynu (石狩): (表現)(動物が巢穴に
いないと偽装するため)古い土を中に入れ、新
しい土を外に出す husko akam (ikum) awnaraye
asir akam (ikum) soynaraye (沙流): ③(罵りの言葉)(表現)草の虫、土の
虫 munkikir toykikir (石狩): (表現)(罵
り言葉)半ば草臭い奴、半ば土臭い奴 arke
mun rak pe arke toy rak pe (石狩): 石狩
では専ら“mun ~ toy ~”の形だが、他の方
言では“toy ~ wen ~”の形も使われる。

つちがけ(土崖) [名]土崖、土が崩れて地肌が
露出している崖 pira (石狩)

ツチクジラ(槌鯨)(動物)[名](アカボウクジラ科)
ツチクジラ亜科 sicikapetuhumpe-moapa
(新): [名]ツチクジラ属
sicikapetuhumpe-cise (新): [名]ツチクジ
ラ koykaun-sicikapetuhumpe (新):
[名]ミナミツチクジラ koypokun-
sicikapetuhumpe (新): [名]タスマニアク
ジラ属 tasmania-sicikapetuhumpe (新)

つちぐら(土倉) [名]土倉 toypu (石狩)

つちくれ(土塊) [名]土塊 siratektoy (石狩)

つちにんぎょう(土人形) [名]土人形 toyttoy-
aynu (石狩)

つちのなか(土の中) [場名]土の中 toytum
(天塩): (表現)～を土の中に埋める
toytum omare (天塩): [自]土の中を潜り
抜ける otoyposo (新): [他](場所)で土の
中を潜り抜ける eotuyposo (新): [他](場
所)へと土の中を潜り抜ける、～と共に土の中
を潜り抜ける kootuyposo (新): [他](場
所)から土の中を潜り抜ける、(原因、手段)で
土の中を潜り抜ける ootuyposo (新):
[他]～に土の中を潜り抜けさせる

otuyposore (新): [自]素早く土の中を潜り
抜ける otuypostek (石狩): [他]～に素早
く土の中を潜り抜けさせる otuypostekka
(新)

ツチフキ(土吹)(魚介)[名](カマツカ亜科)ツチ
フキ属 teyakacarippo-cise (新): [名]ツ
チフキ teyakacarippo (新)

つちぼこり(土埃)[名]土埃 pana (石狩)、[名]
toypa (沙流)、[名] toymana (八雲)

つちほりぼう(土堀棒)[名](ヤブマメなど地中
の食糧を採取するための)土堀棒 sittap
(石狩)

つちまみれ(土塗れ)[自]土塗れになる、である
tóyus (石狩): [他](場所)で土塗れになる、
である etoyus (新): [他]～と共に塗れに
なる、である kotoyus (新): [他](原因、
手段)で土塗れにする、である otoyus
(新): [他]～を土まみれにする tóyusi
(新): [自]すっかり土塗れになる、である
oattoyus (attoyus) (新): [自]もの凄く塗
れになる、である toykotoyus (新): [自]
自分を土塗れにする yaytoyusi (新):
[自]互いを土塗れにし合う、皆で土塗れに
なる utoyusi (新)

つちをかける(土をかける)[他]～に土をかける
toyo (石狩)、[他] kasitoykustepa (石狩):
「墓穴に土をかける！」“Toykep toyo!”:
(表現)～の上に土をかける kasi toyo (天
塩)

つちをほる(土を掘る) ①[自]土を掘る
tóyouri (新): (表現)土を掘る toy ouri
(石狩): [他](場所)で土を掘る etoyouri
(新): [他]～と共に土を掘る kotoyouri
(新): [他](原因、手段)で土を掘る otoyouri
(新): [他]～に土を掘らせる tóyourire
(新): ②(ウバユリなどを採集するため)[自]
土を掘る toyta (石狩): (表現)ウバユリ
を掘りに行く道 an=kor unarpe toyta ru
(石狩)

つつ(筒)[名]筒 kuttar(-i) (新)、[名] cucu
(新)※(日本語): [自]筒状になる、である
kuttanne (新)、[自] cucune (新): [他]
～を筒状にする kuttanneka (kuttannere)
(新)、[他] cucuneka (cucunere) (新)

ツツイカ(筒烏賊)(魚介)[場名](十腕形上目)ツツ
イカ目 kuttarkatkorpe-kotan (新)※(「開
眼目」と「閉眼目」、あるいは「スルメイカ目」
と「ヤリイカ目」の分類もある): [場名]ス
ルメイカ亜目 siepetpetke-mokotan (新):
([場名]開眼亜目 sikmakap-mokotan
(新)): [場名]ヤリイカ亜目 ópetpetke-
mokotan (新): ([場名]閉眼亜目
sikseskep-mokotan (新))

つっかけ(突っかけ)[名]突っかけ ureunker(-

i) (石狩): (表現)突っかけを履く
ureunker us (新): (表現)突っかけを脱ぐ
ureunker ama (新): [他](履物)を突っかける
ureun (石狩): [他](履物)を(足)に突っかける
etarare (石狩): 「スリッパを私は足に突っかけた。」 “Ciureumpe ku=cikiri ku=etarare .”

つづく(続く) ①[自]続く uous (石狩)、[自] ueus (天塩): [他]～に続く ous (石狩)、[他] eus (天塩): ②[他](中相)(歌声など)が次々に続く cieucaste (石狩)

つつく(突く) ①[他]～を突く otke (石狩): [他]～と共に～を突く kootke (新): [他](原因、手段)で～を突く ootke (新)、[他] eotke (石狩): [他](人)に～を突かせる otkere (新): [他]思い切り～を突く toykootke (新): [他]人に～を突かせる otkeyar (新): [自]人に自分を突かせる siotkeyar (新): [他](注意を促すため相手)を手で突く moneotke (石狩): [自]互いに手で突き合う umoneotke (石狩): ②(鳥が嘴で)[他]～を突く toppa (tokpa) (石狩): [他]～に～を突かせる toppare (tokpare) (新): ③[自]ものをトントン突く itoktok (新): [他]～をトントン突く toktok (石狩)※("nitoktokcikap"「クマグラ」の構成要素として現れる。今後単独でも用いる): [他](人)に～をトントン突かせる toktokte (新)

つづけて(続けて) ①[副]続いて、続けて、続けざまに uousno (石狩): (表現)仕事が続けて(沢山)ある monrayke uousno (poronno) an (石狩): (表現)続いて、続けて、続けざまに uepaki ta (石狩): ②[副](期間を表わす名詞句の後に置かれ、副詞句を形成し)続いて、続けて uous (石狩): (表現)三年続けて豊作になる re pa uous pápirka (石狩)

つづける(続ける) ①[他]～を続ける uousi (新)、[他] ueusi (新): [他]～を～に続ける ousi (新)、[他] eusi (新): ②[他]("tu otapkan-ru re otapkan-ru"「二つ舞う姿、三つ舞う姿」などの後に用いられ、ある動作を行う姿)を続ける uturare (石狩): [他]("tusuy resuy settok utomkote"「何度もしゃくりあげる」の中である動作)を続ける utomkote (石狩)

つつしみ(慎み) ①[自]慎みがある、慎む yaykatanu (石狩): [他](人)に対して慎みがある eyaykatanu (石狩)、[他] koyaykatanu (石狩): ②[自]慎みが無い somoyaykatanu (石狩): [他](人)に対して慎みがない kosomoyaykatanu (石狩)、[他](雅) kosomokur-yaykatanu (石狩)

つつしむ(謹む) [自]謹む oripak (石狩、天塩): (表現)謹んで oripak kane (石狩)、(表現) oripak kor (石狩)、(表現) oripak tura (石狩): [他]～に対して謹む eoripak (石狩)、[他] kooripak (天塩): [他]～と共に謹む kooripak (新): [他](原因、手段)で謹む ooripak (新): [他](人)に謹ませる oripakte (新): [自]自分で、一人で謹む yayeoripak (yaykooripak) (新): [自]互いに、皆で謹む ueoripak (ukooripak) (新): [自]充分に謹む oripakno (oripaknu) (新): [自]もの凄く謹む toykooripak (新): [副]謹んで oripakno (石狩): [後副]～に対して謹んで eoripakno (新)

つつまじやか(慎まじやか)(表現)(女性が慎まじやかに控える描写)私は右の鬢の脚を後ろにかき上げ、左の鬢の脚を前に垂らす
ay=simon-rucinki an=emaknaraye
an=harki-rucinki ay=sanke (新)※(樺太)

つつむ(包む) ①[他]～を包む ikokari (新)、[他] ikokarkari (新): [他]～にものを包む koikari (新)、[他] koikarkari (新): [他]～に～を包む kokari (石狩)、[他] kokarkari (石狩): 「昔は魚を笹の葉で包んだものだ。"Teeta cep uras an=kokari p ne .": [他](人)に～に～を包ませる kokariire (新)、[他] kokarkariire (新): [名]包み cikoikarip (新)、[名] cikoikarkarip (新): ②[位名]～の包んだ中 nikor(長形-o) (石狩)

つづら(葛簾) [名]葛簾 karawto (石狩)

つとめる(努める) [自]努める arikiki (石狩): [他]～に努める earikiki (石狩)、[他] koarikiki (石狩): [他]～と共に努める koarikiki (新): [他](原因、手段)で努める oarikiki (新): [他](人)に努めさせる arikikire (新): [副]努めて arikikino (石狩)

つな(綱) [名]綱 tus(i) (石狩): [他]～に綱をつける tuskote (石狩): (表現)熊の首に綱をつける kamuy rekuci tuskote (石狩)

つながる(繋がる) ①[自](綱や紐などで)繋がる ukot (石狩): [自](綱や紐などで)～の先が繋がる eukot (石狩): [他]～に繋がる kot (石狩): ②[自](くっ付いて)繋がる、繋がっている uous (石狩)

つなぎ(繋) ①[名]繋 iukotep (新): ②[名]繋、槍、矛、鉾等の柄と穂先をつなぐ尺余の棒 rasupa (H): ③[名]矢と矢柄を繋ぐ木 ayna (石狩): "aynani"「ベニバナヒョウタンボク」の構成要素として現れるが、今後は単独でも用いる。

つなぎナット [名] つなぎナット tanne-matnecinoeyep (新)、[名] iukote-matnecinoeyep (新)、[名] pinnecinoeyep-ukote-metnecinoeyep (新)※(「高ナット」、「長ナット」、「ジョイントナット」とも)

つなぐ(繫ぐ) ①[他](綱や紐など)を～に繫ぐ kote(複数 kotpa) (石狩): 「船員達はロープを帆柱に繫ぐ。」“Cipunkur utar tus kayani kote.”: [他](人)に～を～に繫がせる kotere(複数 kotpare) (新): [他]綱を～に繫ぐ tuskote (石狩): [他](船、馬、犬など)を繫ぐ sirkote (石狩): ②[他](短いものを)繫ぐ、繫ぎ足す uousi (石狩): [他](人)に～を繫がせる、繫ぎ足させる uousire (新)

つなひき(綱引き) [自] 綱引きする ukotus-etaye (石狩)、[自] ukopunkar-etaye (石狩)、[自] ukotusuk (新)

つなみ(津波) [名] 津波 orepumpe (石狩)

つなわたり(綱渡り) [自] 綱渡りする tuskakus (新): (表現)綱渡りする tuska(長形-si、-sike) kus (新)

つねに(常に) [副] 常に ramma (石狩): (表現)常に ramma kane (石狩): (表現)～するのが常である 動詞句+ruwe ramma kane ne (沙流)

つの角 [名] 角 kiraw(-e) (石狩)

ツノアマガエル(角雨蛙) (動物)[名] ツノアマガエル 亜科 kirawuskokekokep-moapa (新): [名] ツノアマガエル 属 kirawuskokekokep-cise (新): [名] クリュプトバトラクス属 kuriptobatraxus-cise (新): [名] ステファニア属 sutfefania-cise (新): [名] フクロアマガエル属 gastoroteka-cise (新): [名] フレクトントゥス属 furektonotus-cise (新)

つのぐわ(角鯨) [名] 角鯨 kirawsittap (石狩)

ツノシマクジラ(角島鯨) (動物)[名] (ナガスクジラ属) ツノシマクジラ tunosimahumpe (新)

ツノゼミ(角蟬) (昆虫)[場名] (セミ型下目) ツノゼミ上科 kirawyaki-apapa (新): [名] ツノゼミ科 kirawyaki-apa (新): [名] ツノゼミ亜科 kirawyaki-moapa (新): [名] ツノゼミ属 kirawyaki-cise (新): [名] イカリツノゼミ属 kaytekirawyaki-cise (新): [名] エボシツノゼミ属 etukirawyaki-cise (新): [名] コツノゼミ属 ponkirawyaki-cise (新): [名] セダカツノゼミ属 nupurisekirawyaki-cise (新): [名] タカネツノゼミ属 metotunkirawyaki-cise (新): [名] ニトベツノゼミ属 porokirawyaki-cise (新)

つのつきたらい(角付き盃) [名] 角付き盃 kirauspatci (石狩)

つば(唾) ①[名] 唾 non(-i) (石狩): ②[自] 唾を呑む nonruki (新): [他](人)に唾を呑ませる nonrukire (新): ③[自] 唾を吐く topse (石狩): [他](場所)で唾を吐く etopse (新): [他]～に対して唾を吐く、～と共に唾を吐く kotopse (新): [他](原因、手段)で唾を吐く otopse (新): [他](人)に唾を吐かせる topseka (topse) (新): [自] 自分で自分に唾を吐く yaykotopse (新): [自] 互いに唾を吐き合う ukotopse (新): [自] 思い切り唾を吐く toykotopse (新)

つば(鐸) [名] (刀の)鐸 seppa (石狩)

ツパイ (動物)[場名] (哺乳綱) ツパイ目 tupay-kotan (新)※(登木目などとも。tupai はマレー語): [名] ツパイ科 tupay-apa (新): [名] ツパイ属 tupay-cise (新): [名] アカオツパイ húresarkottupay (新): [名] オオツパイ porotupay (新): [名] コモンツパイ yayantupay (新): [名] シマツパイ ruotupay (新): [名] ジャワツパイ javauntupay (新): [名] ペインテッドツパイ buruneyuntupay (新): [名] ピグミーツパイ motupay (新): [名] ヤマツパイ kimuntupay (新): [名] フィリピンツパイ属 piripinasuntupay-cise (新): [名] ホソオツパイ属 ánesarkottupay-cise (新): [名] マドラスツパイ属 madorasuntupay-cise (新): [名] ハネオツパイ科 rapnitnesarkortupay-apa (新)

つばさ(翼) [名] 翼 tekkup(-i) (石狩): [名] (合成語の構成要素として)翼 rap(-u) (石狩): (表現)翼の先 tekkup etok (etoko) (石狩): [名] 片翼 oattekkup(-i) (新)、[名] attekkup(-i) (新): [名] 両翼 urentekcup(-i) (新): (表現)両翼 uekari tekkup(-i) (新)

ツバル [場名] (国名) ツバル Tuvatu (新)※(首都は「フナフティ」): [名] ツバル人、国民 tuvaruunkur (新): [名] ツバル語 tuvaruunkuritak (新)

つぶ(粒) [名] 粒 num(-i) (石狩): (表現)粒が大きい numi rupne (石狩): (表現)粒が小さい numi nokan (石狩)

つぶす(潰す) ①(押し潰す事を表し)[他]～を潰す yaku (複数 yakpa) (石狩): [他](場所)で～を潰す eyaku (複数 eyakpa) (新): [他]～と共に～を潰す koyaku (複数 koyakpa) (新): [他](原因、手段)で～を潰す oyaku (複数 oyakpa) (新): [他](人)に～を潰させる yakure (複数 yakpare) (新): ②(踏み潰す事を表し)[他]～を潰す

teye (複数 teypa) (石狩): [他](場所)で～を潰す eteye (複数 eteypa) (新): [他]～と共に～を潰す koteye (複数 koteypa) (新): [他](原因、手段)で～を潰す oteye (複数 oteypa) (石狩): [他](人)に～を潰させる teyere (複数 teypare) (新): ③[他]～を潰してドロドロ、ベトベトにする péneka (石狩)、[他] pénere (八雲): [他](場所)で～を潰してドロドロにする epeneka (epenere) (新): [他]～と共に～を潰してドロドロにする kopeneka (kopenere) (新): [他](原因、手段)で～を潰してドロドロにする openeka (openere) (新): [他](人)に～を潰してドロドロにさせる pénekare (pénere) (新): ④(潰して扁平にする事を表し)[他]～を潰してぺちゃんこにする kapa (複数 kappa) (石狩): [他](場所)で～を潰してぺちゃんこにする ekapa (複数 ekappa) (新): [他]～と共に～を潰してぺちゃんこにする kokapa (複数 kokappa) (新): [他](原因、手段)で～を潰してぺちゃんこにする okapa (複数 okappa) (新): [他](人)に～を潰してぺちゃんこにさせる kapare (複数 kappare) (新): [他]ぱっと～を潰してぺちゃんこにする kaptekka (石狩): ⑤(店や会社などに関して)[他]～を潰す wente (石狩): [他](人)に～を潰させる wentere (新)

つばやく(呟く) [自]呟く yaykoitak (石狩)、[自] yaykocapis (八雲)、[自] yaykopinopoitak (新)、[自] yaykopiitak (新)、[自] yaypareitak (幌別)、[自] yaykopinupinu (沙流): (表現)呟く pínopino yaykoitak (新): [他]～を呟く eyaykoitak (新)、[他] eyaykocapis (新)、[他] eyaykopinopoitak (新)、[他] eyaykopiitak (新)、[他] eyaykopinu (新): [他](人)に呟かせる yaykoitakte (新)、[他] yaykocapiste (新)、[他] yaykopinopoitakte (新)、[他] yaykopiitakte (新)、[他] yaykopinure (新)

つぶれる(潰れる) ①(押し潰されて)[自]潰れる yak (沙流)、[自] yakke (新): [他](場所)で潰れる eyak (新): [他]～と共に潰れる koyak (新): [他](原因、手段)で潰れる oyak (新): [自]ぱっと潰れる、一度に潰れる yakkosanu (石狩): (表現)(群れなし逃げ惑う敵が)泡のようにパッと潰れる koysum sinne yakkosanu (石狩): ②(踏み潰されて)[自]潰れる teyke (新): [自]ぐしゃっと潰れる、一度に潰れる teykosanu (新): ③[自]潰れてドロドロになる、なっている péne (石狩): ④(潰れ

て扁平になる事を表し)[自]潰れる、潰れてぺちゃんこになる kapke (新): [自]ぱっと潰れてぺちゃんこになる kapkosanu (新): [自]ぱっと潰れてぺちゃんこになる kaptek (新): ⑤(店や会社などに関して)[自]潰れる、潰れている wen (石狩): [他](中相)～が潰れる ciwente (新): ⑥(表現)(雅)家が潰れかかっている cise ka konna koraynatara (沙流)

つぼ(壺) [名]焼き物の壺 sumapise (八雲): [名]金属製の壺 kánipise (新): [名]金の壺 konkanipise (新)

ツボクサ(壺草、坪草) (植物)[名](チドメグサ亜科)ツボクサ属 kémaskannerekina-cise (新): [名]ツボクサの茎葉 kémaskannerekina (新)

つぼみ(蕾) [名]蕾 epuy(-e) (石狩)、[名] epuyke (石狩): (表現)蕾 emukkane epuy(-e) (石狩): [名]花の蕾 apappoeupuy(-e) (石狩)、[名] apapoeupuy(-e) (石狩): [自]蕾になる、蕾になっている emukkane (石狩)

つま(妻) [名]妻、奥方 korkatkemat (石狩): [名]妻 mat(-ci) (石狩): 「私の妻」は "ku=maci(-hi)"、あるいは "ku=kor maci(-hi)" だが文法的に正しいとされ、浦河方言に見られる "kor mat" の形は、石狩方言で目下未確認。: (表現)妻、かあちゃん kor menoko (石狩): [場名](雅)妻 sokes(-e) (石狩): [名](雅)幼妻 turesmat(-ci) (石狩): [名](通例所属形の形で用いられ、複数の妻がいる場合、その妻の一人から見て)～の自分以外の妻、～のもう一方の妻 tusi (石狩): 文脈によって「～の本妻」、「～の妾」等とも和訳される。萱野辞典によれば「本妻と妾は一本の綱で結ばれていると考えていた」とある。: [自]妻を持つ、妻がいる matkor (石狩): [自]妻を亡くす、妻がいない matsak (matcak) (石狩)、[自] sokessak (天塩): [副]妻なしで matsakno (matcakno) (新): [他](雅)～を妻となす esone-kesne-nukar (石狩)、[他] esokesnukar (石狩)

つまずく(躓く) ①[自]躓く sirok (新): [他]～に躓く esirok (石狩): 「私は石に躓いた。」"Suma ku=esirok ." : [他](人)を躓かせる sirokte (新): ②[他]～に躓いて転ぶ、ひっくり返る esitciw (石狩): 「私は石に躓いて転び怪我をした。」"Suma ku=esitciw wa ku=piroma ." : [他](人)に～に躓いて転ばせる、ひっくり返らせる esitciwre (新)

つまどい(妻問) [自]妻問する matkoiwak (石狩)

つまらない ①(退屈である事)[自](人)がつまら

ない nisnu (石狩)、[自] yaykonisnu (石狩): 「今日は君がいなくてつまらないな。」 “Tanto anakne e=isam no ku=nisnu humi!”: (表現)つまらない somo kiroroan (新): 「この芝居最低。私つまらないわ。」 “Tan simpaya sonno wen! Somo ku=kiroroan humi!”: [自](物事などが)つまらない siumeyyar (新)、[自] sietoranneyar (新)、[自] wen (天塩): 「お前はつまらない奴だよ。」 “Siumeyyar pe e=ne na.”、 「この本はつまらない。」 “Tan kampisos siumeyyar.”: [他](人)は～がつまらない umen (石狩)、[他] etoranne (石狩): 「私はこの本がつまらない。」 “Tan kampisos ku=umen.”: [助動](人)は～(する)のがつまらない umen (石狩)、[助動] etoranne (石狩): 「私は芝居を見るのもつまらなかった。」 “Simpaya ku=nukar ka umen.”: ②(馬鹿げた事)[他]～がつまらない eyayasis (幌別): 「つまらない事を言うなよ。」 “An=eyáýasis pe eciki ye ya!”: ③(役に立たない)[自](神について)つまらない pan (石狩)、[自] can (石狩): [連体](神や人について)つまらない、単なる eru (石狩): ④(役に立たない)[自](人について)つまらない tususak (石狩): [連体](人について)つまらない atanan (石狩): [連体](人や物事について)つまらない canan (石狩): [名]つまらぬ人 atanan aynu (石狩)、[名] canan aynu (石狩): [名](相手に謙り)つまらぬ者 atanampe (石狩)、[名] canampe (石狩)、[名] tususakpe (石狩): ③と違って④はへりくだって自分の事を指して使える。

つまる(詰まる) [自]詰まる siseske (新)、[自] mu (八雲)、[自] muk (久保寺): [他]～を詰ませる seske (石狩)、[他] mukka (久保寺): [他](場所)で～を詰ませる eseske (新): [他]～と共に～を詰ませる koseske (新): [他](原因、手段)で～を詰ませる oseske (新): [他](人)に～を詰ませる seskere (石狩)、[他] mukhare (新): [他]自分で、一人で～を詰ませる yaykoseske (新): [他]互いに、皆で～を詰ませる ukoseske (新): [他]完全に～詰ませる oasseske (asseske) (新): [他](中相)～が詰まらせる ciseske (石狩): [自]先端が詰まる esiseske (新)、[自] emu (emuk) (新): [自]先端を詰ませる heseske (新): [他]～の先端を詰ませる eseske (新): [自]末端が詰まる osiseske (新)、[自] omu (omuk) (新): [自]末端を詰ませる hoseske (新): [他]～の末端を詰

ませる oseske (新)

つみ(罪) ①(宗教や道徳上の)[名]罪 wempuri (新): [自]罪を犯す wempurikor (新): [他]～に関して罪を犯す ewempurikor (新): [他](場所)で罪を犯す ewempurikor (新): [他]～に対して罪を犯す kowempurikor (新): [他]～と共に罪を犯す kowempurikor (新): [他](原因、手段)で罪を犯す owempurikor (新): [他](人)に罪を犯させる wempurikore (新): [自]人に罪を犯させる wempurikorar (新): [名]罪人 wempurikorkur (新): ②(法律上の)[名]罪 irenkawente (新)、[名] tonkakor (八雲): [自]罪を犯す irenkawente (新)、[自] tonkakor (八雲): [他]～に関して罪を犯す eirenkawente (新): [他](場所)で罪を犯す eirenkawente (新): [他]～に対して罪を犯す koirenkawente (新): [他]～と共に罪を犯す koirenkawente (新): [他](原因、手段)で罪を犯す oirenkawente (新): [他](人)に罪を犯させる irenkawentere (新): [自]人に罪を犯させる irenkawenteyar (新): [名]罪人 irenkawentekur (新)、[名] tonkakorkorkur (新): [他](人)の罪をかぶる sikaoitakte (新): [自]罪をかぶる sikaoitakyar (sikaoitakar) (新)

つみあげる(積み上げる) [自]積み上げる siikirikar (新): [自]ものを積み上げる iikirikar (新): [他]～を積み上げる iikirikar (石狩): [他](場所)に～を積み上げる eikirikar (新): [他]～と共に～を積み上げる koikirikar (新): [他](原因、手段)で～を積み上げる oikirikar (新): [他](人)に～を積み上げさせる iikirikare (新): [他](中相)～が積み上がる ciikirikar (新)

つみかさねる(積み重ねる) [自]どんどん積み重なる、積み重なっている ukaosma (複数 ukaosmapa、ukaosmampa) (石狩): 「…人間の骨、肉のない白骨が沼の岸に寄りがって、大きな体積が積み重なっていた…」 “aynupone picwpone to sam peka koiyanke wa poro ikiri ukaosma…” (知)別Ⅱ. p. 608: [他]～をどんどん積み重ねていく ukaosmare (石狩)

つみこむ(積み込む) [他](荷物など)を積み込む io (新)、[他] iomare (新): [他](場所)で～を積み込む eio (新)、[他] eiomare (新): [他]～と共に～を積み込む koio (新)、[他] koiomare (新): [他](原因、手段)で～を積み込む oio (新)、[他] iomare (新): [他](人)に～を積み込ませる iore (新)、[他] iomarere (新):

【他】(場所)に～を積み込む o (新)、【他】omare (新)：【他】(人)に(場所)に～を積み込ませる ore (新)、【他】omarere (新)

つむ(積む) (1)(荷物に関して)①【自】荷を積む sike (沙流)：②(上)に【他】～を積む ama (新)、【他】anu (新)：【他】(場所)で～を積む eama(eanu) (新)：【他】(場所)へ～を積む、～と共に～を積む koama (koanu) (新)：【他】(場所)から～を積む、(原因、手段)で～を積む oama(oanu) (新)：【他】(人)に～を積ませる amare (anure) (新)：②(中に)【他】～を積む iomare (新)：【他】(場所)で～を積む eiomare (新)：【他】(原因、手段)で～を積む oiomare (新)：【他】(人)に～を積ませる iomarere (新)：【他】(場所)に～を積む omare (新)：③(上、あるいは中に)【他】～を積む io (新)：【他】(場所)で～を積む eio (新)：【他】～と共に～を積む koio (新)：【他】(原因、手段)で～を積む oio (新)：【他】(人)に～を積ませる iore (新)：【他】(場所)に～を積む o (新)：(2)(薪など)に関して積み上げる事を表し【他】～を積む ikirikar (石狩)：これはまた 名詞+ikiri+kar でも表現できる。：「私は薪を積み上げる。」“Ni ikiriku=kar.”：【他】(場所)に～を積む eikirikar (新)：【他】～と共に～を積む koikirikar (新)：【他】(原因、手段)で～を積む oikirikar (新)：【他】(人)に～を積ませる ikirikare (新)

つむ(摘む) 【他】(植物の実、葉など)を摘む kar (石狩、天塩)、【他】ta (天塩)：【他】(場所)で～を摘む ekar (新)：【他】～と共に～を摘む kokar (新)：【他】(原因、手段)で～を摘む okar (新)：【他】(人)に～を摘ませる káre (新)：【他】自分で、一人で～を摘む yaykokar (新)：【他】互いに、皆で～を摘む ukokar (新)：【他】すっかり～を摘む oarkar (arkar) (新)：【他】もの凄く～を摘む toykokar (新)：【他】人々に～を摘ませる、摘んでもらう karar (新)

つむぐ(紡ぐ) 【他】～を紡ぐ kar (新)、【他】eka (新)：(表現)糸を紡ぐ ka kar (新)、(表現) ka eka (石狩)

つむじかぜ(旋風) 【名】(夏に土の上に生じる)旋風 réracise (石狩)：【名】(冬に雪の上に生じる)旋風 upuncise (石狩)

ツムブリ(鍾鱒) (魚介)【名】(ブリモドキ亜科)ツムブリ属 rayociesuprotki-cise (新)：【名】ツムブリ rayociesuprotki (新)

つめ(爪) ①【名】爪 am(i) (石狩)：(表現)爪を立てる ami sapte (新)：(表現)爪が伸びる ami etuk (新)：(表現)爪を伸ばす ami tukka (新)：(表現)～の爪が長く伸び

る、伸びている amitanne (新)：(表現)爪を切る amituye (複数 tuypa) (新)：【名】爪カンジダ症 amikandida-osiyeeye (新)：【場名】爪甲 ammekka(-si、-sike) (新)：【名】爪床 amso (新)：【名】爪溝 amnay(-e) (新)：【場名】爪郭 amsam(-a、-ake) (新)：【名】爪半月 askepet-amamnum(-i) (新)：【名】爪上皮 amkamukap(-u) (新)：【場名】後爪郭 makunamsam(-a、-ake) (新)：【名】爪根 amsinrit(-ci) (新)：【名】爪母基 amkari (新)：【名】爪の切れ端 amras(-u) (新)：【名】(熊の)爪の一揃い kerat(-ci) (天塩)：②【自】～に爪が生える ámus (石狩)：④【他】～を爪で斬る ametuye (石狩)：⑤【他】～を爪にかける amerayke (新)、【他】ameciw (新)：【他】～に～を爪にかけさせる amoraykere (新)、【他】ameciwre (新)：⑤【自】爪を立てる amsanke (新)、【自】iameciw (新)：【他】～に爪を立てる eamsanke (新)、【他】ameciw (新)：【他】(場所)で～に爪を立てる eeamsanke (新)、【他】eameciw (新)：【他】～と共に～に爪を立てる koeamsanke (新)、【他】koameciw (新)：【他】(原因)で～に爪を立てる oeamsanke (新)、【他】oameciw (新)：【他】(人)に～に爪を立てさせる eamsankere (新)、【他】ameciwre (新)

ツメイカ(爪烏賊)(魚介)【名】(スルメイカ亜科)ツメイカ科 musepetpetke-apa (新)：【名】ウデナガニユウドウイカ属 teketanneporoepetpetke-cise (新)：【名】ウデナガニユウドウイカ teketanneporoepetpetke (新)：【名】アフリカニユウドウイカ afrikaporoepetpetke (新)：【名】カギイカ sísamporoepetpetke (新)：【名】ナンキョクニユウドウイカ koypokkesporoepetpetke (新)：【名】ミナミニユウドウイカ koypokporoepetpetke (新)：【名】オニユキア属 onikia-cise (新)：【名】ランクレールツメイカ rankureiramusepetpetke (新)：【名】ノトニユキア属 notonikia-cise (新)：【名】ツメイカモドキ ciamusepetpetkekopa (新)：【名】ホソツメイカ属 áneamusepetpetke-cise (新)：【名】ホソツメイカ áneamusepetpetke (新)：【名】ホンツメイカ属 síamusepetpetke-cise (新)：【名】ホンツメイカ síamusepetpetke (新)：【名】コガタツメイカ ponamusepetpetke (新)：【名】ツメイカ ámusepetpetke (新)：【名】ハワイツメイカ hawaiiamusepetpetke (新)

つめきり(爪切り) 【名】爪切り amtuyep (新)

つめたく(冷たく) [自] 冷たくなる、冷たい
yam (石狩): [他](場所)で冷たくなる、冷たい
eyam (新): [他]〜と共に冷たくなる、冷たい
koyam (新): [他](原因、手段)で冷たくなる、冷たい
oyam (新): [他]〜を冷たくする
yamka (yamte) (新): [自] 十分に冷たくなる、冷たい
yamno (yamnu) (新): [自] 完全に冷たくなる、冷たい
oaryam (aryam) (新): [自] もの凄く冷たくなる、冷たい
toykoyam (新): [自] 瞬間的に冷たくなる
yamtek (新): [他] 瞬間的に〜を冷たくする
yamtekka (新): [副] 冷たく
yamno (新)

ツメナシカワウソ(爪無獺) (動物) [名] (カワウソ亜科) ツメナシカワウソ属
amsakesaman-cise (新): [名] ツメナシカワウソ
amsakesaman (新): [名] コツメカワウソ
amitakne-esaman (新): [名] ザイールツメナシカワウソ
zaireun-amsakesaman (新)

ツメナシコウモリ(爪無蝙蝠) (動物) [名] (コウモリ目) ツメナシコウモリ科
amsakkapap-apa (新): [名] ツメナシコウモリ属
amsakkapap-cise (新): [名] ツメナシコウモリ
amsakkapap (新): [名] マルミツメナシコウモリ属
sikirikisarkor-amsakkapap-cise (新): [名] マルミツメナシコウモリ
sikirikisarkor-amsakkapap (新)

つめる(詰める) [他] 〜を(場所)に詰める、詰め込む
oranrani (沙流): 「私は鮭皮の靴の中に乾したヤマアワを詰めた。」
“Cepker oske kromun ku=oranrani .”

つもり [助動](話者の意志を表し)〜するつもり
動詞句+kusu ne(+na) (石狩): 「私は明日富良野に行くつもりですよ。」
“Nisatta Huranuy ekota ku=oman kusu ne na .”
「私達今行くつもりだから、あんたちよっと待っててね。」
“Tane paye=as kusu ne kusu ponno un=tere ya !”

つもる(積もる) [自] 積もる
sirari (石狩): (表現) 雪が積もる
upas sirari (石狩): [他](場所)に積もる
esirari (新): [他]〜と共に積もる
kosirari (新): [他](原因、手段)で積もる
osirari (新): [他]〜を積もらせる
sirarire (新)

つや(艶) [名] 艶
nipek(-i) (沙流): (表現) 艶がある
nipeki at (沙流): [自](場所)に艶が出る、艶がある
nipekot (新): [他](場所)に艶を出す
nipekotte (新): [他](場所)を艶々にする
toykonipekotte (新)

つゆ(露) ① [名] (草木などの)露、汁、液
pe (石狩): (表現) つゆが落ちる
pe ran (石狩): (表現) つゆがしたたる
pe cik (石狩): ②

[名] (料理に用いる) 汁
ohaw(-e) (石狩)

ツユクサ(露草) [場名] ツユクサ目
ittonesumkor-kotan (新): [名] ツユクサ科
ittonesumkor-apa (新): [名] ツユクサ属
ittonesumkor-cise (新): [名] ツユクサの茎葉
ittonesumkor (新): [名] ツユクサの花
ittonesum (新) ※ (一日で萎む): [自] 露草色になる、である
ittonesumpeus (新): [他] 〜を露草色に染める
ittonesumpeusi (ittonesumpeuste) (新): [名] 露草色
ittonesumpeus-iro (新)

つよいくちよう(強い口調) [自] 人に強い口調で言う
itoykoyekar (新): [他] (人) に強い口調で言う
toykoyekar (石狩)

つよく(強く) ① (腕力、体力に関して) [自] 強くなる、強い
tumkor (石狩)、[自] tumnu (石狩): 今後知力などについても使う。:
[他] 〜に関して強くなる、強い
etumkor (新)、[他] etumnu (新): [他](場所)で力が強くなる、強い
etumkor (新)、[他] etumnu (新): [他] 〜に対して強くなる、強い、〜と共に強くなる、強い
kotumkor (新)、[他] kotumnu (新): [他](原因、手段)で強くなる、強い
otumkor (新)、[他] otumnu (新): [他] 〜を強くする
tumkore (新)、[他] tumnure (新): [副] 強く
tumkonno (新)、[副] tumnuno (新): ② (ある状態、動作、感情などに関して) [自] 強くなる、強い
yupke (石狩)、[自] ruy (石狩): (表現) 気が強い
kewtumu yupke (新): [他](場所)で強くなる、強い
eyupke (新): [他] 〜に対して強くなる、強い、〜と共に強くなる、強い
koyupke (新): [他](原因、手段)で強くなる、強い
oyupke (新): [他] 〜を強くする
yupkeka (yupkere) (新): [自] うんと強い
yupnatar (新): [副] 強く
yupkeno (石狩)、[副] yupke (石狩)、[副] ruyno (石狩)、[副] ruy (石狩): ③ (壊れ難い事を意味して) [自] 強くなる、強い
nisuramne (石狩)、[自] nisuwamne (天塩)、[自] niste (石狩): [他] 〜に関して強くなる、強い
enisuramne (enisuwamne) (新)、[他] eniste (新): [他](場所)で強くなる、〜の時に強くなる、強い
esisuramne (enisuwamne) (新)、[他] eniste (新): [他] 〜に対して強くなる、強い
konisuramne (konisuwamne) (新)、[他] koniste (新): [他] 〜と共に強くなる、強い
konisuramne (konisuwamne) (新)、[他] koniste (新): [他](原因、手段)で強くなる、強い
osisuramne (onisuwamne) (新)、[他] oniste (新): [他] 〜を強くする
nisuramneka (nisuwamnere) (新)、[他]

nisuwamneka (nisuwamnere) (新)、[他]
nisteka (nistere) (新) : [副]強く
nisuramneno (nisuwamneno) (新)、[副]
nisteno (新)

つらく(辛く) ①(体調が悪いなどの)[名]辛さ
yomne (石狩) : [自]辛くなる、辛い
yomne (石狩) : [他](場所)で辛くなる、辛
い yomne (新) : [他]〜と共に辛くなる、
辛い yomne (新) : [他](原因、手段)で辛
くなる、辛い yomne (新) : [他](人)を辛
くする yomneka (yomnere) (新) : [自]
もの凄く辛くなる、辛い toykoyomne (新)、
[自] rayyomne (新)、[自] weyyomne
(新) : ②(身内に死なれたりした)[名]辛さ
sirkirap (石狩) : ②(身内に死なれたりし
て)[自]辛い sirkirap (石狩) : [他](人)を
辛くする sirkirapte (新) : [自]もの凄く
辛い toykosirkap (新)、[自] raysirkap
(新)、[自] weysirkirap (新) : ③[自]辛い
思いをする yaywennukar (石狩) :
[他](場所)で辛い思いをする
eyaywennukar (新) : [他]〜と共に辛い思
いをする koyaywennukar (新) : [他](原
因、手段)で辛い思いをする oyaywennukar
(新)、[他] koyaywennukar (石狩) :
[他](人)に辛い思いをさせる
yaywennukare (新) : [自]互いに、皆で
辛い思いをする uwennukar (新) : [自]
もの凄く辛い思いをする
toykoyaywennukar (新)、[自]
rayyaywennukar (新)

つらなり(連なり) ①(直線的な)[名]連なり
ikir(i) (石狩) : (表現)峰の連なり、連峰
situ ikiri (新) : ②(鳥の群あるいは数珠繋
ぎになったものの)[名]連なり say(e) (石
狩)

つらなる(連なる) ①(一列に)[自]連なる、連な
っている ikinne (石狩) : [他](場所)に連な
る、連なっている eikinne (新) : [他]〜
と共に連なる、連なっている koikinne
(新) : [他](原因、手段)で連なる、連なっ
ている oikinne (新) : ②(群、数珠繋ぎ
に)[自]連なる sisayekar (新) : [他]〜に
連なる esisayekar (新) : [他]〜と共に連
なる kosisayekar (新) : [他](原因、手段)
で連なる osisayekar (新) : ③(参加し
て)[自]連なる iopok (石狩) : [他]〜に連
なる eiopok (石狩) : [他]〜と共に連なる
koiopok (新) : [他](原因、手段)で連なる
oiopok (新) : [他]〜を連ならせる
iopokte (新)

つらぬく(貫く) [他]〜を貫く oposo (複数
opospa) (石狩)、[他] poso (複数 pospa)
(石狩) : [他](場所)へと〜を貫く、〜と共に

〜を貫く kooposo (複数 koopospa) (新)、
[他] koposo (複数 kopospa) (新) :
[他](場所)から〜を貫く、(原因、手段)で〜を
貫く ooposo (複数 oopospa) (新)、[他]
oposo (複数 opospa) (新) : [他]〜に〜を
貫かせる oposore (複数 opospare) (新)、
[他] posore (複数 pospare) (新) : [他]自
分で、一人で〜を貫く yaykooposo (複数
yaykoopospa) (新)、[他] yaykoposo (複数
yaykopospa) (新) : [他]互いに、皆で〜を
貫く ukooposo (複数 ikopospa) (新)、[他]
ukoposo (複数 ukopospa) (新) : [他]〜を
パッと貫く opostek (新)、[他] postek
(新) : [他]完全に〜を貫く oarposo (複数
oarpospa) (新)、[他] arposo (複数
arpospa) (新) : [他]思い切り〜を貫く
toykooposo (複数 toykopospa) (新)、[他]
toykoposo (複数 toykopospa) (新) : [他]
人に〜を貫かせる oposoyar (複数
pospayar) (新)、[他] posoyar (複数
pospayar) (新) : [自]自分で自分を貫く
yayoposo (複数 yayopospa) (新)、[自]
yayposo (複数 yaypospa) (新) : [自]互い
を貫く、貫き合う uoposo (複数 uopospa)
(新)、[自] uposo (複数 upospa) (新) :
[自]自分が貫かれる sioposo (複数
siopospa) (新)、[自] siposo (複数
sipospa) (新) : [自]土を貫く otoyposo
(新) : [自]土をパッと貫く otoypostek
(石狩) : [自]天空を貫く onisposo (石狩) :
[自]山を貫く onupuriposo (新) : [自]岩
を貫く osirarposo (新) : [後副]〜を貫い
て oposo (石狩)

つらぬく(貫く) ①(一般的に)[他]〜を貫く
poso (複数 pospa) (石狩) : [他](場所)へと
貫く koposo (複数形 kopospa) (新) :
[他]〜と共に〜を貫く koposo (複数
kopospa) (新) : [他](原因、手段)で〜を貫
く oposo (複数 opospa) (新) : [他]〜に
〜を貫かせる posore (複数 pospare)
(新) : [他]瞬間的に〜を貫く postekka
(新) : ②(上から下へ、あるいは何かの中な
ど)[他]〜を貫く oposo (複数 opospa) (石
狩) : [他](場所)へと貫く kooposo (複数
koopospa) (新) : [他]〜と共に〜を貫く
kooposo (複数 koopospa) (新) : [他](原因、
手段)で〜を貫く ooposo (複数 oopospa)
(新) : [他]〜に〜を貫かせる oposore (複数
opospare) (新) : [他]瞬間的に〜を貫く
opostekka (新) : ③(下から上へ)[他]〜を
貫く eposo (複数 epospa) (新) : [他](場
所)へと〜を貫く koeposo (複数 koepospa)
(新) : [他]〜と共に〜を貫く koeposo (複
数 koepospa) (新) : [他](原因、手段)で〜

を貫く oeposo (複数 oepospa) (新):
[他]〜に〜を貫かせる eposore (複数
epospare) (新): [他]瞬間的に〜を貫く
epostekka (新)

つらねる(連ねる) ①(列にする意味で)[他]〜を
連ねる ikinneka (ikinnere) (新): [他]
〜に〜を連ねる eikinneka (eikinnere)
(新): [他]〜と共に〜を連ねる
koikinneka (koikinnere) (新): [他](原因、
手段)で〜を連ねる oikinneka (oikinnere)
(新): ②(郡列、数珠繋ぎにする意味で)[他]
〜を連ねる sayekar (新): [他]〜に〜を
連ねる esayekar (新): [他]〜と共に〜を
連ねる kosayekar (新): [他](原因、手段)
で〜を連ねる osayekar (新): ③(引き連
れる意味で)[他]〜を連ねる tura (新):
④(常套句中で礼拝する手や言葉に関し
て)[他]〜を連ねる epumpa (石狩): (表
現)二つの良き言葉、三つの良き言葉を連ねる
声はこうである tu pirka itak re pirka itak
epumpa hawe ene an ihi (石狩)

つらら(氷柱) [名]氷柱 konrucay
(konruaiay) (石狩)、[名] rupciay (天
塩): [名]氷柱からたれる雫 rupumpe
(H)

つり(釣り) [名]釣り péray (新): [自]釣り
をする péray (石狩)、[自] peray (天
塩): [他](場所)で釣りをする eperay
(新): [他](目的)のため釣りをする
eperay (石狩): [他]〜と共に釣りをする
koperay (新): [名](手段)で釣りをする
operay (新): [他](人)に釣りをする
pérayre (新)[自]自分で、一人で釣りをする
yaykoperay (新): [自]互いに、皆で釣り
をする ukoperay (新): [名]魚が沢山釣れ
る所 siperaysotki (沙流)

つりいと(釣糸) [名]釣糸 pérayka (新)

ツリウム (化学)[名]ツリウム turium (新)
※(原子番号69番。元素記号 Tm)

ツリガネニンジン(釣鐘人參) (植物)[名](キキョ
ウ科)ツリガネニンジン属 móskarpe-cise
(新): [名]ツリガネニンジンの茎葉
móskarpe (天塩)、[名]ツリガネニンジンの
根 mukekasi (H)※(生薬「沙参」): [名]
イワシャジンの茎葉 iwa-moskarpe (新):
[名]シマシャジンの茎葉 pon-sirmoskarpe
(新): [名]シラトリシャジンの茎葉
péníunkur-moskarpe (新): [名]ソバナの
茎葉 sobanamoskarpe (新): [名]トウシ
ャジンの茎葉 repun-mosekarpe (新):
[名]フクシマシャジンの茎葉 hukusima-
moskarpe (新): [名]ツクシイワシャジン
の茎葉 tükusiwa-moskarpe (新): [名]
ヒナシャジンの茎葉 sínokan-moskarpe

(新): [名]ヒメシャジンの茎葉
momoskarpe (新): モイワシャジンの茎
葉 moiwa-moskarpe (新): [名]ヤチシャ
ジンの茎葉 nitat-moskarpe (新)

つりざお(釣竿) [名]釣竿 pérayni (沙流)

つりばり(釣針) [名]釣針 pérayap (新)※
(天塩方言より。但しアクセントは石狩方言。)

ツリフネソウ(釣船草) (植物)[名](ムクロジ目)

ツリフネソウ科 okuymakina-apa (新):

[名]ツリフネソウ属 okuymakina-cise

(新): [名]ツリフネソウの茎葉

okuymakina (幌別): [名]インパチェスの

茎葉 afrikatensagu (新)※(「別名「アフリ

カホウセンカ」): [名]エンシュウツリフネ

ソウの茎葉 sizuoka-okuymakina (新):

[名]キツリフネの茎葉 kakkokkina (天

塩): [名]ハガクレツリフネソウの茎葉

hehamonuyana-okuymakina (新): [名]ホ

ウセンカの茎葉 tinsagu (新): [名]ワタ

ラセツリフネソウの茎葉 watarase-

okuymakina (新): [名]ヒュドロケラ属

wakkakiraw-cise (新): [名]ヒュドロケラ

の茎葉 wakkakiraw (新)

つりボルト [名]つりボルト iatte-
pinnecinoyep (新)※(「アイボルト」とも)

つる(釣る) [他](魚)を釣る péraykar (石狩)、

[他] peraykar (天塩): [他](場所)で〜を

釣る eperaykar (新): [他](目的)のため

〜を釣る eperaykar (新): [他]〜と共に

〜を釣る koperaykar (新): [他](手段)で

〜を釣る operaykar (新): [他](人)に〜

を釣らせる péraykare (新): [他]自分で、

一人で〜を釣る yaykoperaykar (新):

[他]互いに、皆で〜を釣る ukoperaykar

(新): [他]もの凄く〜を釣る(新): [他]人

に〜を釣らせる、釣ってもらう péraykarar

(新)

つる(蔓) [名](植物の)蔓 punkar(-i) (石狩):

[名]蔓文様 punkar-sirki (石狩)、[名]

punkar (石狩)

つるす(吊るす) ①[他]〜を吊るす atte (石

狩): [他](場所)に〜を吊るす eatte (新)、

[他] eattekar (石狩)※(合成語の構成要素

としては otte も現れる。): [他]〜と共に

〜を吊るす koatte (新): [他](原因、手段)

で〜を吊るす oatte (新): [他](人)に〜を

吊らせる attere (新): ②[自]魚に縄を通

したり魚を縛ったりして繋ぐ、魚に縄を通し

たり縛ったりした物を炉の上から吊るす

teskar (石狩)

ツルツル ①(地面など何かの表面に関し

て)[完動]辺りがツルツルになる、である、ツ

ルツル滑る sinrarak (石狩): [自](場所)

がツルツルになる、である、ツルツル滑る

sirkorarak (新): [自]ツルツルになる、である、ツルツル滑る rarak (石狩): [他] ~をツルツルにする、ツルツル滑らせる rarakka (rarakte) (新): [自]完全にツルツルになる、である、ツルツル滑る oanarak (anarak) (新): [自]もの凄くツルツルになる、である、ツルツル滑る toykorarak (新)、[自] rayarak (新)、[自] wenarak (新): ②(体毛や毛髪に関して)[自]ツルツルになる、である tontone (石狩): [他] ~をツルツルにする tontoneka (tontonere) (新): [自] ~の体がツルツルになる、である keptontone (石狩): [他] ~の体をツルツルにする keptontoneka (keptontonere) (新): [自] ~の頭がツルツルになる、である etontone (石狩): [他] ~の頭をツルツルにする etontoneka (etontonere) (新): [自] ~の陰部がツルツルになる、である otontone (石狩): [他] ~の陰部をツルツルにする otontoneka (otontonere) (新)

ツルドクダミ(蔓藪草) (植物)[名](タデ科)ツルドクダミ属 kasiwpunkar-cise (新): [名]ツルドクダミの茎 kasiwpunkar (新): [名]ツルドクダミの根 kasiw (新)※(漢方薬「何首烏」)

ツルニンジン(蔓人參) (植物)[名](キキョウ科)ツルニンジン属 topmukpunkar-cise (新): [名]ツルニンジンの茎 topmukpunkar (新)※(別名「ジイソブ」)、[名]ツルニンジンの根 topmuk (石狩)、[名] cirumuk (美幌): [名]シブカワニンジンの茎 samorun-topmukpunkar (新)※(ツルニンジンの変種): [名]トウジンの茎 towjin-mukpunkar (新)、[名]トウジンの根 towjinmuk (新)※(漢方薬「党参」): [名]バアソブの茎 mukpunkar (新)、[名]バアソブの根 muk (H)

ツルハグマ(蔓白熊) (植物)[名](キク科)ツルハグマ属 sambon (新): [名]ツルハグマの茎 sambompunkar (新): [名]オオキバナムカシヨモギの茎葉 kweri-setasambon (新): [名]サケバコウゾリナの茎葉 hamuperke-setasambon (新): [名]タカサゴギクの茎葉 sambon (新)※(タガログ語): [名]ヤエヤマコウゾリナの茎葉 yaeyama-setasambon (新)

ツルマオ(蔓芋麻) (植物)[名](イラクサ科)ツルマオ属 reyemao-cise (新): [名]ツルマオの茎葉 reyemao (新): [名]オトギリマオの茎葉 yonaguni-reyemao (新)

ツルヤツデ(蔓八手) (植物)[名]0 ツルヤツデ属 arwampetkorhamus-punkar-cise (新): [名]ファツヘデラの茎

arwampetkorhamus-punkar (新)

ツルヨシ(蔓芦) (植物)[名](ヨシ属)ツルヨシ reyesarki (新)

つれかえる(連れ帰る) ①(表現)(自分で歩ける人や動物)を連れ帰る tura wa hosipi (複数 hosippa) (石狩)、(表現) tura(-no) hosipi (複数 hosippa) (石狩): [他] ~を連れ帰る turahosipi (複数 turahosippa) (石狩): 複数形として予想される"turahosippa"の形は目下未確認。: ②(表現)(自分で歩けぬ人や動物)を連れ帰る kor wa hosipi (複数 hosippa) (石狩): [他] ~を連れ帰る korahosipi (複数 korahosippa) (新)

つれそう(連れ添う) ①[他] ~に連れ添う tura (石狩): [他] ~を ~に連れ添わせる turare (石狩): [後副] ~に連れ添って tura(-no) (石狩)、[後副](雅) koetunankar (石狩)、[副](雅) koeturenno (沙流): [接頭](動詞、位置名詞に接頭しその語の項の数を一つ増やし) ~に連れ添って ko- (石狩): [自] 人に連れ添う itura (石狩): [他] 人に連れ添わせる iturare (新): [副] 人に連れ添って itura(-no) (新): [接頭](動詞、位置名詞に接頭しその語の項の数を変えず) 人に連れ添って iko- (石狩): [自] 互いに連れ添う、連れ添い合う utura (石狩): [他] ~を連れ添い合わせる uturare (新): [副] 互いに連れ添って、連れ添い合って utura(-no) (石狩): [接頭](動詞、位置名詞に接頭しその語の項の数を変えず) 互いに連れ添って、連れ添い合って uko- (石狩): ②(夫婦に関して)[他] ~に連れ添う ante (石狩)、[他] hekote (石狩): 通例 "an=ante hoku (ci=ante hoku)" 「私の旦那様」、"an=ante maci (ci=ante maci)" 「私の奥方様」、"an=ehote nipa" 「私の旦那様」の形で物語の中にのみ見られるが今後は "Ohonno tan menoko ku=ante . " 「長年この女性に私は連れ添っている。」のようにも使う。また南西方言に対応して"hekote"の語形も認める。)

つれだつ(連れ立つ) ①[他] ~と連れ立つ tura (石狩): [他] ~を ~と連れ立たせる turare (石狩): [後副] ~と連れ立って tura(-no) (石狩)、[後副](雅) koetunankar (石狩)、[副](雅) koeturenno (沙流): [接頭](動詞、位置名詞に接頭しその語の項の数を一つ増やし) ~と連れ立って ko- (石狩): [自] 人と連れ立つ itura (石狩): [他] 人と連れ立たせる iturare (新): [副] 人に連れ立って itura(-no) (新): [接頭](動詞、位置名詞に接頭しその語の項の数を変えず) 人に連れ立って iko- (石狩): [自] 互いに連れ立つ utura (石狩): [他] ~を連れ立たせ

る uturare (新): [副]互いに連れ立って utura(-no) (石狩): [接頭](動詞、位置名詞に接頭しその語の項の数を変えず)互いに連れ立って uko- (石狩): [副]仲間と連れ立って、皆と連れ立って utattura (utatturano) (石狩)

つれてあがる(連れて上がる) ①(自分で歩ける人や動物を連れて上がる tura wa rikin(複数 rikip) (新)、(表現) tura(-no) rikin(複数 rikip) (新): [他]～を連れて上がる turarikin(複数形 turarikip) (新): ②(自分で歩けない人や動物を連れて上がる kor wa rikin(複数 rikip) (新): [他]～を連れて上がる korarikin(複数 korarikip) (新)

つれていく(連れて行く) ①(自分で歩ける人や動物などを連れて行く tura wa oman(複数 paye) (石狩)、(表現) tura(-no) oman(複数 paye) (石狩): [他]～を連れて行く turaoman(複数 turapaye) (石狩): 複数形として予想される"turapaye"は目下未確認。: 「芦別へ私は妻を連れて行った。」“Aspet ta ku=macihi ku=tura wa paye=as .” = “Aspet ta ku=macihi turano paye=as .” = “Aspet ta ku=macihi ku=turaoman .”: ②(山から麓、上流から下流に自分で歩ける人、動物などを連れて行く tura wa san(複数 sap) (石狩)、(表現) tura(-no) san(複数 sap) (石狩): [他]～を連れて行く turasan(複数 turasap) (石狩): 複数形として予想される"turasap"は目下未確認。: 「山の町では飲み屋もないので、川下の大きな市にあんたを連れていくからね。」“Makun maciya otta ikuksi ka isam kusu pani ta an poromaciy ekota e=turano sap=an kusu ne na .”: ③(陸へ船などで自分で動ける人、動物などを連れて行く tura wa yan(複数 yan) (石狩)、(表現) tura(-no) yan(複数 yap) (石狩): [他]～を連れて行く turayan(複数 turayap) (新): ④(自分で歩けぬ人、動物を連れて行く kor wa oman(複数 paye) (石狩): 「私は仔イヌを籠に入れて動物病院に連れて行った。」“Kago oske poyseta omare wa Cikoykipkasioykicise otta ku=kor wa ku=oman .”: [他]～を連れて行く koroman(複数 korapaye) (石狩): 複数形として予想される"korapaye"は目下未確認。: 「…炎の模様のついた馬をその馬がいた所へ私は連れて行くと…」“…apeoumma umma an i ta an=koroman tek…”(杉村キナラブック)神謡: ⑤(山から麓、上流から下流に自分自分で歩けぬ人や動物などを連れて行く kor wa san(複数 sap) (石狩):

[他]～を連れて行く korasan(複数 korasap) (石狩): 複数形として予想される"korasap"は目下未確認。: 「山で突然彼女が倒れたので腕に抱えて麓の町まで連れて行った。」“Kim ta nisapno hatcir kusu sitemnikoro ku=eani wa sanke maciya ekota ku=korasan .”: ⑥(陸へ船などで自分で動けぬ人や動物などを連れて行く kor wa yan(複数 yap) (石狩): [他]～を連れて行く korayan(複数 korayap) (石狩): 単数形として予想される"korayan"は目下未確認。: ⑦[他](①～⑥までの違いに注目せず、単に何処かへ人などを連れて行く tura(石狩)、[他] rura(石狩): [他](場所)に～を連れて行く korura(石狩): [他]～に～を連れて行かせる turare(石狩)、[他] rurare(新): 「和人というのは刀やら鉄砲やら持っていたが、どういいうわけで乙名は戦いもせずに和人に同族を連れて行かせたのだろう。」“Samo sekorampe emus usa puspe usa kor wa an korka nekonampe kusu ottena kotumikor ka somo ki no samo utari turare easkay?”

つれておりる(連れて下りる) ①(山から麓、浜、上流から下流へ自分で歩ける人や動物を連れて下りる tura wa san(複数 sap) (石狩)、(表現) tura(-no) san(複数 sap) (石狩): [他]～を連れて下りる turasan(複数 turasap) (石狩): 複数形として予想される"turasap"の語形は目下未確認。: ②(高い所から低い所へ自分で歩ける人や動物を連れて下りる tura wa ran(複数 rap) (石狩)、(表現) tura(-no) ran(複数 rap) (石狩): [他]～を連れて下りる turaran(複数 turarap) (新): ③(山から麓、浜、上流から下流へ自分で歩けぬ人や動物を連れて下りる kor wa san(複数 sap) (石狩): [他]～を連れて下りる korasan(複数 korasap) (石狩): 複数形として予想される"korasap"は目下未確認。: ④(高い所から低い所へ自分で歩けぬ人や動物を連れて下りる kor wa ran(複数 rap) (石狩): [他]～を連れて下りる koraran(複数 korarap) (石狩): 複数形として予想される"korarap"は目下未確認。

つれてくる(連れて来る) ①(自分で歩ける人や動物などを連れて来る tura wa ek(複数 arki) (石狩)、(表現) tura(-no) ek(複数 arki) (石狩): [他]～を連れて来る turaek(複数 turaarki) (石狩): 複数形として予想される"turaek"の形は目下未確認。: 「何てやつをお前は連れてきたんだ。」“Nekonampe e=tura wa es=arki ruwe !” = “Nekonampe e=tura(-no) e=ek

(es=arki)! ”、「…女全員…を私の村へ私は連れて来た…」 “…menoko opitta…an=kor kotan ta an=turaarki…” (杉村キナラブク) 神謡: ②(山から麓、浜、上流から下流に自分で歩ける人や動物など)を連れて来る tura wa san (複数 sap) (石狩)、(表現) tura(-no) san (複数 sap) (石狩): [他]~を連れて来る turasan (複数 turasap) (石狩): 複数形として予想される"turasap"は目下未確認。: 「私が彼女を砂浜へ連れてくると夜空に星が満ちていた。」 “Ota ka ta ku=tura wa sap=as kor kunne niskotor nociw esik siran .”: ③(陸へ自分で動ける人や動物など)を連れて来る tura wa yan (複数 yap) (石狩)、(表現) tura(-no) yan (複数 yap) (石狩): [他]~を連れて来る turayan (複数 turayap) (新): ④(自分で歩けぬ人や動物など)を連れて来る kor wa ek (複数 arki) (石狩): [他]~を連れて来る korek (複数 korarki) (石狩): 複数形として予想されるは"korarki"目下未確認。: ⑤(山から麓や浜、上流から下流へ自分で歩けぬ人や動物など)を連れて来る kor wa san (複数 sap) (石狩): [他]~を連れて来る korasan (複数 korasap) (石狩): 複数形として予想される"korasap"は目下未確認。: 「彼は足に怪我をして歩けぬので、山小屋の戸板に寝かされ連れて来られた。」 “Cikiri piroma wa apkas eaykap kusu kimunkuca-apusta ka ta an=hotkere wa an=korasan .”: ⑥(陸へ自分で動けぬ人や動物など)を連れて来る kor wa yan (複数 yap) (石狩): [他]~を連れて来る korayan (複数 korayap) (石狩): 単数形として予想される"korayan"は目下確認されていない。: ⑦[他](①~⑥までの違いに注目せず、単に何処かに人など)を連れて来る tura (石狩)、[他] rura (石狩): [他](場所)に~を連れて来る korura (石狩): [他]~に~を連れて来させる turare (石狩)、[他] rurare (新)

つれてでる(連れて出る) ①(自分で歩ける人や動物)を連れて出る tura wa asin (複数 asip) (石狩)、(表現) tura(-no) asin (複数 asip) (石狩): [他]~を連れて出る turaasin (複数 turaasip) (新): ②(自分で歩けない人や動物を連れて出る kor wa asin (複数 asip) (新): [他]~を連れて出る korasin (複数 korasip) (新)

つれてはいる(連れて入る) ①(自分で歩ける人や動物)を連れて入る tura wa ahun (複数 ahup) (石狩)、(表現) tura(-no) ahun (複数 ahup) (石狩): [他]~を連れて入る turaahun (複数 turaahup) (新): ②(自分

で歩けない人や動物)を連れて入る kor wa ahun (複数 ahup) (石狩): [他]~を連れて入る korahun (複数 korahup) (石狩): 複数形として予想される"korahup"は目下未確認。

つれる(連れる) [他]~を連れる tura (石狩): [他](場所)で~を連れる etura (新): [他](場所)へ~を連れる、~と共に~を連れる kotura (新): [他](原因、手段)で~を連れる otura (新): [他]~を~にを連れさせる turare (石狩): [後副]~を連れて tura(-no) (石狩)、[後副](雅) koetunankar (石狩)、[副](雅) koeturenno (沙流): [接頭](動詞、位置名詞に接頭しその語の項の数を一つ増やし)~を連れて ko- (石狩): [自]人を連れる itura (石狩): [他](人)に人を連れさせる iturare (新): [副]人を連れて itura(-no) (新): [接頭](動詞、位置名詞に接頭しその語の項の数を変えず)人を連れる iko- (石狩)

ツワナ [名]ツワナ人 *tuwanakur* (新): [名]ツワナ語 *tuwanakuritak* (新)※(ニジュール・コンゴ語族の言語。)

ツワブキ(石路、艶路) (植物)[名](キク科)ツワブキ属 *rarakkorhamkorpe-cise* (新): [名]ツワブキの茎 *rarakkorhamkorpe* (新)、[名] *rarakkorham* (新)※(漢方で全草「八角烏」など): [名]オオツワブキの茎 *pororarakkorhamkorpe* (新)※(ツワブキの変種): [名]カンツワブキの茎 *nokonimakkonrarakkorhamkorpe* (新): [名]リュウキュウツワブキの茎 *rucurarakkorhamkorpe* (新)※(ツワブキの変種)

つわり(悪阻) [自]悪阻になる huskowen (石狩): (表現)悪阻になる husko etokkar (石狩)

ツワンヒリ [場名](南オセチア共和国の首都名)ツワンヒリ *Tuxinvari* (新)

で ①(空間的、時間的位置に関して)[後副]~で otta (石狩、天塩)※(位置名詞+後置詞の形式を後置副詞とし"otta"を標準形とするが、特に発音を忠実に写す必要がある場合には"orta"、"orota"なども用いる事とする): (表現)家で cise otta (石狩): (表現)私の所で en=otta (石狩): [後置](位置名詞、場所名詞や場所の名詞に後置され)~で ta (石狩、天塩): (表現)その上で kasi ta (石狩): (表現)山で kim ta (石狩)、(表現)札幌で Sapporo ta (石狩): [接頭](動詞に接頭し空間的・時間的位置関係を示し、その際動詞の取り得る目的語の数を一つ増やし)~で e- (石狩、天塩)、[接頭] o- (石狩)※(今後新語を造る場合には"e-"を標準的に用いる事とす

る): ②(手段を示して)[後副]~で ani (石狩、天塩、[後副] ari (石狩): 「小刀で木の枝を切る。」“Makiri ani (=ari) nitek an=tuye .”: [接頭](動詞に接頭し手段を示し、その際動詞の取り得る目的語の数を一つ増やし)~で o- (石狩)、[接頭] e- (石狩) ※(今後新語を造る場合には標準的に"o-"を用いる事とする): ③(原因を示して)[後副]~で kusu (石狩): 「今佐藤は商談で出かけています。」“Cihokioruspe kusu tane Sato asin wa isam .”: [接助]~(する)ので、~(な)ので kusu (石狩): 「君が行くので私は行かない。」“E=oman kusu somo ku=oman .”: [接頭](動詞に接頭し原因を示し、その際動詞の取り得る目的語の数を一つ増やし)~で o- (石狩)、[接頭] e- (石狩) ※(今後新語を造る場合には"o-"を標準的に用いる事とする)

て(手) ①[名](肘の付け根より指の先までの全体的な)手 tek(-e) (石狩): [名](合成語の構成要素として)手 mon(-i) (石狩): [名]男の手 okkaytek(-e) (石狩): [名]女の手 menokotek(-e) (新): [名](子供などの)小さい手 tekepo (沙流): (表現)(子供などの)小さい手 pon-tekepo (沙流): [名]手カンジダ症 teke-kandida-osiye (新): ②[名](雅語)(手首から先の部分の)手 aske (石狩)、[名](雅語) sanaske (石狩): (表現)(うやうやしく礼拝する様子を表し)二つの重き手、三つの重き手を上げ下げしながら tu pase aske re pase aske epumpa kane (石狩)、(表現)何度も手を上げ下げしながら otu sanaske ore sanaske epumpa kane (石狩): ③[他](中相)(ある場所)に手が付けられる citekkeusi (citekeusi) (石狩): 「…小山に手が付けられ、足が付けられ…」“pon nupuri citekkeusi ckiri cikore…” (杉村キナラブック)神謡: ④[場名](雅)手の上 montekka (-si, -sike) (石狩): (表現)手の上 tekkotor(-o) ka(長形-si, -sike) (新)、(表現) tekpok(-i) ka(長形-si, -sike) (新): [場名]手の甲 tekmeikka(-si, -sike) (石狩): [名](雅、所属形)~の手の先、指 santekpeci (石狩): [場名]掌 tekkotor(-o) (石狩): [場名](雅) tekpok(-i) (石狩)

であう(出会う) [自]人と出会う ikoekari (新)、[自] ietunankar (新): [他]~と出会う koekari (石狩)、[他] etunankar (新) ※(八雲): 「神意で私は君と出会ったのだ。」“Kamuy renkayne e=kokari=an ruwe ne .”: [他]~と~を出会わせる koekarire (新)、[他](新): 「私の姉が私と君を出会わせた。」“Ku=saha kuani eani i=koekarire .”, 「オイナカムイがその妹とボ

イヤウンペを出会わせた。」“Oynakamuy kor tures Poyyaumpe ukoekarire .” [自]出会う ukoekari (ukoykari) (石狩)、[自] uetunankar (新) ※(八雲): 「以前ここで私達は出遭った。」“Teeta te ta ukoekari=an .”: [他]~と~を出会わせる ukoekarire (uoykarire) (新)、[他] uetunankare (新): 「私の姉が私達を出会わせた。」“Ku=saha i=ukoekarire .”, 「オイナカムイがその妹とポイヤウンペを出会わせた。」“Oynakamuy kor tures newa Poyyaumpe ukoekarire .”

てあし(手足) ①(表現)手足 tek(-e) newa cikir(-i) (新): 「私を貴方の手足としてお使い下さい。」“An=teke ne an=cikiri ne en=eiwanke wa en=kore yan .”: ②[自]手足をバタつかせて暴れる hotappa (石狩)

てあて(手当) [自]人を手当する ikaoyki (石狩)、[自] itemka (石狩): [連他]~を手当する kasi-oyki (ka-oyki) (石狩)、[他] temka (石狩): (表現)私が君を手当する e=ka=ku=oyki (石狩): (表現)私は夫を手当する ku=kor kur kasi=ku=oyki (表現): [他](人)に人を手当させる ikaoykire (新)、[他] itemkare (新): [他](人)に~を手当させる temkare (新): [他](人)に自分を手当させる sikaoykire (新)、[他] sitemkare (新): [他]人に~を手当させる、してもらう temkayar (新): [自]人に自分を手当してもらう sikaoykiyar (石狩)、[自] sitemkayar (新): [自]自分で自分を手当する yaykaoyki (新)、[自] yaytemka (新): [自]互いに手当し合う、皆を手当する ukaoyki (新)、[自] utemka (新)

てい(底)(数学)[場名]底 iasam (新): [位名]~の底 asam(長形-a) (新)

ディーブキス [自]ディーブキスする awocopse (新): [他]~とディーブキスする awocoprakote (新)、[他] awocoksekar (新): [他](人)に~にディーブキスさせる awooprakotere (新)、[他] awocoksekare (新): [自]ディーブキスし合う uawocoprakote (新)、[自] uawocoksekar (新): [自]激しくディーブキスし合う toykouawocoprakote (新)、[自] toykouawocoksekar (新): [自]人にディーブキスする iawocoprakote (新)

ティーボット [名]ティーボット repuncakarpe (新)

ていえん(庭園) [名]庭園 cikarmintar (新)、[名] siromamintar (新): [名]イタリア式庭園 Itariapuri-mintar (新): [名]整形庭園 cinokapirkare-mintar (新): [名]日本

庭園 Japampuri-mintar (新): [名]風景式庭園 sirkar-mintar (新): [名]フランス式庭園 Furansupuri-mintar (新): [名]ヨーロッパ庭園 Europapuri-mintar (新)

ていぎ(定義) [自]定義する ipesineatkire (新): [他]～を定義する eipe-sineatkire (新): [他](場所)で定義する eipe-sineatkire (新): [他]～と共に定義する koipe-sineatkire (新): [他](原因、手段)で定義する oipe-sineatkire (新): [他](人)に定義させる ipe-sineatkirere (新): [自]自分で、一人で定義する yaykoipe-sineatkire (新): [他]互いに、皆で定義する ukoipe-sineatkire (新): [他]完全に定義する oaripe-sineatkire (aripe-sineatkire) (新)

テイクアウト [他]～をテイクアウトする yaykomekare (石狩): [他](人)に～をテイクアウトさせる yaykomekarere (新): [他]人に～をテイクアウトさせる yaykomekareyar (新)

ディクディク (動物)[名](ボック亜族)ディクディク属 dikdik-cise (新): [名]アカハラディクディク honihure-dikdik (新): [名]エリトリアディクディク eritraun-dikdik (新): [名]オピエヒメディクディク sirokani-dikdik (新): [名]ギョントーディクディク gunter-diksik (新): [名]キルクディクディク kirku-dikdik (新): [名]ヒメディクディク modkdik (新)

ディクリドウルス (動物)[名](サシオコウモリ科)ディクリドウルス属 retarsirkasarkapap-cise (新): [名]アルブシロサシオコウモリ koykaun-retarsirkasarkapap (新): オオシロサシオコウモリ sîretarsirkasarkapap (新): [名]タテシロサシオコウモリ nitayun-retarsirkasarkapap (新): [名]デクリドウルス・イサベルス moretarsirkasarkapap (新)

ティグレ [名]ティグレ人 tîgurekur (新): [名]ティグレ語 tîgurekuritak (新)

ティグレニャ [名]ティグレニャ人 tîgureniakur (新): [名]ティグレニャ語 tîgureniakur-itak (新)

ていけい(提携) [自]提携する tektumam (新): (表現)～と提携する ~ tura(-no) tektumam (新): [他]～に関して提携する etektumam (新): [他](場所)で提携する etektumam (新): [他]～と提携する kotektumam (新): [他](原因、手段)で提携する otektumam (新): [他]～を提携させる tektumamte (新): [他]～と～を

提携させる kotektumamte (新): [自]互いに提携する ukotektumam (新): [他]～と～を互いに提携させる ukotektumamte (新)

ていこく(帝国) [場名]帝国 ipawetenkekur-kormosir (新)、[場名] imperia (新)

ていし(停止) ①(歩いているものに関して)[自]停止する as (複数 roski) (沙流): [他](場所)で停止する eas (複数 eroski) (新): [他]～と共に停止する koas (複数 koroski) (新): [他](原因、手段)で停止する oas (複数 oroski) (新): [他]～を停止させる aste (複数 roskire) (沙流): [自]自分で、一人で停止する yaykoas (複数 yaykoroski) (新): [他]互いに、皆で停止する ukoas (複数 ukoroski) (新): ②(乗物に関して)[自]停止する ratki (石狩)、[自] at (新): [他]～を停止させる ratkire (新)、[他] atte (新): ③(動いているもの、機械などに関して)[自]停止する sini (石狩): [他]～を停止させる sinire (新)

ていじ(提示) [自]提示する isanasanke (新): [他]～を提示する sânasanke (新): [他](場所)で～を提示する esanasanke (新): [他](人)に対し～を提示する kosanasanke (新): [他](原因、手段)で～を提示する osanasanke (新): [他](人)に～を提示させる sânasankere (新): [他](人)に～に対し～を提示させる kosanasankere (新): [他](中相)～が提示される cisanasanke (新): [他]人に～を提示させる、してもらう sânasankeyar (新): [他]人に(人)に対し～を提示させる、してもらう kosanasankeyar (新): [他]人に自分に対し～を提示させる、してもらう sikosanasankeyar (新)

ていしゃ(停車) ①(車に関して)[自]停車する karipkorpe-ratkire (iratkire) (新)、[自] karipkorpe-atte (iatte) (新)、[自] karipkorpe-aste (iaste) (新): [他](人)に停車させる karipkorpe-ratkirere (iratkirere) (新)、[他] karipkorpe-atte (iatte) (新)、[他] karipkorpe-astere (iastere) (新): ②(汽車に関して)[0動]停車する kisaratki (新)、[0動] kisaat (新): [自](場所)に停車する kisakoratki (新)、[自] kisaat (新): [自]停車する kisa-ratkire (新)、[他] kisa-atte (新): [他](人)に停車させる kisa-ratkirere (新)、[他] kisa-atte (新): [場名]停車場 kisa-ratkusi (新)、[場名] kisa-atusi (新)、[場名] ekisa-ratkusi (ekisa-atusi) (新)、[場名] kiekisa-ratkireusi (kiekisa-

atteusi) (新)

ティシュウ(鄭州) [場名] (中華人民共和国河南省の省都名) 鄭州 Tentow (新)

ていしゅつ(提出) [自] 提出する isanke (複数 isapte) (新): [他] ~を提出する sanke (複数 sapte) (新): [他] (場所) で ~を提出する esanke (複数 esapte) (新): [他] (人) に対し ~を提出する kosanke (複数 kosapte) (新): [他] (原因、手段) で ~を提出する osanke (複数 osapte) (新): [他] (人) に ~を提出させる sankere (複数 saptere) (新): [他] (人) に ~に対し ~を提出させる kosankere (複数 kosaptere) (新): [他] 自分で、一人で ~を提出する yaykosanke (複数 yaykosapte) (新): [他] 互いに、皆で ~を提出する ukosanke (複数 ukosapte) (新): [他] 完全に ~を提出する oassanke (複数 oassapte) (新)、[他] assanke (複数 assapte) (新): [他] もの凄く ~を提出する toykosanke (複数 toykosapte) (新): [他] (中相) ~が提出される cisanke (複数 cisapte) (新): [他] 人に ~を提出させる、してもらう sankeyar (複数 sapteyar) (新): [他] 人に (人) に対し ~を提出させる、してもらう kosankeyar (複数 kosapteyar) (新): [他] 人に 自分に 対し ~を提出させる、してもらう sikosankeyar (複数 sikosapteyar) (新): [他] 目の前に ~を提出する、直接 ~を提出する sánasanke (新): (表現) 提出された物 ay=sánke p (新): (表現) 提出すべき物 ay=sánke kunip (新)

ていしゅどの(亭主殿) [名] (雅) 亭主殿 eaknispa (石狩): (表現) わが亭主殿 an=eaknispa (石狩)

ていたく(邸宅) [名] 邸宅 síporocise (石狩)、[場名] síporociseuni (新)

でいたんち(泥炭地) [名] 泥炭地 tomam (石狩)

ていち(低地) [場名] 低地 rauysir (新): [連体] 低地の raun (新)

ディディメレス (植物) [名] (レイトネリア目) ディディメレス科 madagašíkarasupopneni-apa (新): [名] ディディメレス属 madagašíkarasupopneni-cise (新)

ていと(帝都) [場名] 帝都 cimayrekamuykotan (蝦夷記)

ていど(程度) ① [名] 程度、限度 ipak (新): 「程度の差はあっても悪い事である。」 “Ipak usinnay an yakka wen pe ne ruwe ne.” : ② [副: 疑問] どの程度 nekon (石狩)、[副] neypakno (新)、[副] nekonan ipak (新): [連体: 疑問] どの程度の nekonan (石狩): ③ (程度を示して話者より主観的に近いもの

を指し) (表現) この程度 tampe neno (新): (表現) この程度の物、この程度の奴 tampe neno an pe (新): (表現) この程度の人 tampe neno an kur (新): (程度を示し話者より主観的に距離のあるものを指し) (表現) その程度 taampe neno (新): (程度を示し先に話題になった物事をうけ) (表現) その程度 neampe neno (新): 「この程度の事は誰にでもできる。」 “Tampe neno an pe nen ne yakka ki easkay.” : (限度を示して) (表現) この程度まで tampe pakno (新): (表現) これ程までの物、奴 tampe pakno an pe (新): (表現) これ程までの人 tampe pakno an kur (新): (限度を示して話者より主観的に距離のあるものを指し) (表現) その程度まで taampe pakno (新): (限度を示して先に話題になった物事をうけ) (表現) その程度まで、あの程度まで neampe pakno (新): 「この程度ぐらいなら酒を飲んでも良いだろう。」 “Tampe pakno ne ciki iku=an yak pirka nankor.”

ディナール [名] (アラブ諸国、セルビアなど東欧諸国の一部で用いられる通貨単位) ディナール dinar (新)

ていねい(丁寧) [副] 丁寧に pásenopo (石狩)、[副] irammakaka(-no) (石狩)、[副] ratciitara (ratcihitara) (石狩)、[副] ratcitara (石狩): (表現) 丁寧に pásetura(-no) (石狩): [副] とても丁寧に páseitara (pásehitara) (石狩)、[副] pásetara (石狩): (表現) とても丁寧に sonno pásetura(-no) (新)、(表現) síno pásetura(-no) (新)

ていはく(停泊) (表現) 停泊する kayte ante wa an (表現): (表現) 停泊地 otta kayte ante hi (新)、(表現) kayte eante hi (新)

ディプテュクス (魚介) [名] (コイ亜科) ディプテュクス属 diptikus-cise (新)

ディベヒ [名] ディベヒ人 divehikur (新) ※ (モルディブ人): [名] ディベヒ語 divehikuritak (新) ※ (モルディブ共和国の公用語)

ていへん(底辺) ① (立体の) [場名] 底辺 sowsut(-u) (天塩): ② (社会的に) [位名] ~の底辺 asam(長形-a) (新): (表現) ~の最底辺 iyotta pókun asam(長形-a) (新)

ていぼう(堤防) [名] 堤防 cikattoska (新): (表現) 堤防 an=kár toska (新)、(表現) cikar toska (新)

ティモール [名] (地名) ティモール海 Timor-atuy (新): [場名] (地名) ティモール島 Timor-poysir (新) ※ (東側が東ティモール領、西側がインドネシア領。)

ティラナ [場名] (アルバニア共和国の首都名)

ティラナ Tirana (新)

ディリ [場名](東ティモール民主共和国の首都名)ディリ Dirí (新)

でいりぐち(出入口) [名]出入口 apa (石狩): [名]家の出入口、クマの穴の出入口 ciseapa (石狩): [他](クマなどが場所)に出入口を持つ eapaasinke (沙流): (表現)川の水源に出入口を持っている pet etoko eapaasinke wa an (複数 okay) (新)

ティルトウィング [名]ティルトウィング rápehewe (新)※(翼を傾ける)、[名] tittowingu (tirtowingu) (新)※(英語): [名]ティルトウィング機 rápehewesinta (新)、[名] tittowingsinta (tirtowingsinta) (新)

ティルトローター [名]ティルトローター karirapehewe (新)※(回転翼を傾ける)、[名] tittorotor (tirtorotor) (新)※(英語): [名]ティルトローター機 karirapehewesinta (新)、[名] tittorotossinta (tirtorotorsinta) (新)

ティレニア [名](地名)ティレニア海 Tireníyatuy (新)※(イタリア半島北部の海。)

ティンブー [場名](ブータン王国の首都名)ティンブー Timpu (新)

てうり(天売) [場名](地名)天売島 Teure (新)

データ [名]データ dáta (新)※(英語)

デート [自]デートする uramkosinotka (uramkosino t te) (新)、[自] unukar (新): [他]〜とデートする ramkosinotka (ramkosinotte) (新)、[他] nukar (新)

テープ [名]テープ murir (新)、[名] téip (tápe) (新)※(英語のより。また英語の "tape" は「平打ちの紐」を意味する。): [名]カセットテープ supopomurir (新): [名]ビデオテープ videomurir (videoteip) (新)

テーブル [名]テーブル kemausita (新): (表現)テーブルに着く kemausita koa (複数 koroski) (新): (表現)テーブルを囲む kemausita okari rok (新)

ておけ(手桶) [名]手桶 niatusi (石狩)

ておの(手斧) [名]手斧 panco (石狩)

テカギイカ(手鉤烏賊) (魚介)[名](スルメイカ亜目)テカギイカ科 apkorepetpetke-apa (新): [名]テカギイカ属 apkorepetpetke-cise (新): [名]テカギイカ apkorepetpetke (新): [名]アラスカテカギイカ araskaapkorepetpetke (新): [名]オーロラテカギイカ auroraapkorepetpetke (新): [名]オレゴンテカギイカ oregonapkorepetpetke (新): [名]カムチャッカテカギイカ

cupkaapkorepetpetke (新): [名]カリフォルニアテカギイカ karifonníapkorepetpetke (新): [名]ササキテカギイカ poroapkorepetpetke (新): [名]ナンキョクテカギイカ koypokapkorepetpetke (新): [名]ヒカリテカギイカ nipekiapkorepetpetke (新): [名]ベリイテカギイカ beriapkorepetpetke (新): [名][名]ホッカイテカギイカ koykaarsiatuyapkorepetpetke (新): [名]タコイカ属 atkorpeepetpetke-cise (新): [名]ドスイカ属 yayanepetpetke-cise (新): [名]ニセテカギイカ属 ciapkorepetpetkekopa (新)

デカグラム [名](重さの単位)デカグラム dékaguram (新)※(単位記号 dag)

でかける(出掛ける) [自]出掛ける asin (複数 asip) (石狩)、[自] soyne (複数 sóyempa、sóyompa) (沙流): (表現)出掛ける eson asin (複数 asip) (石狩)、(表現) soy ene asin (複数 asip) (石狩)、(表現) soy ta asin (複数 asip) (石狩): [他]〜と共に出掛ける easin (複数 easip) (新): [他](場所)に出掛ける koasin (複数 koasip) (新)、[他] osiraye (複数 osiraypa) (沙流)

てがみ(手紙) [名]手紙 kampi (石狩)、[名] tenkami (石狩): (表現)手紙を書く kampi nuye (新): (表現)手紙を送る kampi omante (石狩): (表現)手紙を受け取る kampi uk (新): (表現)手紙を読む kampi nukar (石狩)

デカメートル [名](長さの単位)デカメートル dékametre (新)※(単位記号 dam)

デカリットル [名](体積の単位)デカリットル dékaritre (新)※(単位記号 dal)

てき(敵) [名]敵 ikusunkur (石狩)、[名] ciepokpakur (新): [場名]敵側 ikusuni (ikusunike) (新): (表現)敵側に付く、敵にまわる ikusuni (ikusunike) un (新): [名]敵軍 ikusuntumi (新)、[名] ciepokpatumi (新): [自]人を敵にする、敵対する iepokpa (新): [他]〜を敵にする、〜と敵対する epokpa (幌別): [他]〜に〜を敵にさせる、〜を〜と敵対させる epokpare (新): [他]完全に〜を敵にする、完全に〜と敵対する oarepokpa (arepokpa) (新): [他]人に〜を敵にさせる、人に〜と敵対させる epokpayar (新): [自]自分を敵とする yayepokpa (新): [自]互いを敵とする、敵対し合う、皆が敵対する uepokpa (新)※(幌別より): [他]〜を敵対させる uepokpare (新)

てきごう(適合) [自]適合する ikotom (新): [他]〜と適合する kotom (新): [他](場

所)で〜と適合する ekotom (新): [他](原因、手段)で〜と適合する okotom (新): [他]〜と〜を適合させる kotomka (石狩)、[他] kotomte (新): [自]自分に適合する yaykotom (新): [自]互いに適合する ukotom (新): [他]〜を自らに適合させる yaykotomka (yaykotomte) (新): [他]〜を互いに適合させる ukotomka (ukotomte) (新)

できごと(出来事) [名]出来事 siantep (新): (表現)今日の出来事 tanto an pe (新)

テキサス [場名]テキサス州 Teksas-mosir (新)※(州都は「オースティン」)

てきしゅつ(摘出) [名]摘出 isanke (新): [他]〜を摘出する sanke (複数 sapte) (石狩、天塩): [他]〜に向かって〜を摘出する、〜のために〜を摘出する kosanke (複数 kosapte) (石狩): [他]〜と共に〜を摘出する kosanke (複数 kosapte) (新): [他](場所)から〜を摘出する、(原因、手段)で〜を摘出する osanke (複数 osapte) (新): [他](人)に〜を摘出させる sankere (複数 saptere) (新): [他]完全に〜を摘出する oassanke (複数 oassapte) (新)、[他] assanke (複数 assapte) (新)

てきとうに(適当に) (表現)適当に wenno wenno (沙流)

できない ①(能力的、あるいは一般的に)[他]〜ができない eaykap (石狩): 「私は日本語ができない。」 “Sisamitak ku=eaykap.”: [助動]〜(する事)ができない eaykap (石狩): 「しばらく私は何もできなかった。」 “Ohonno nepka ku=ki eaykap.”: ②(したくても)[他]〜ができない koyaykus (石狩): [助動]〜(する事)ができない koyaykus (石狩): 「貴方が私によくしてくださった事は忘れる事ができません。」 “Es=en=kopirkakewtumkor hi anakne ku=oyra koyaykus.”、“お前が俺を虐めた事を忘れる事ができない。” “E=en=koyki hi ku=oyra koyaykus.”:

③(都合や状況によって)[他]〜ができない niwkes (石狩)、[他](雅) koniwkes (石狩): [助動]〜(する事)ができない niwkes (石狩): 「私達は忙しくて食事もできない。」

“Montap=as wa ipe=as ka niwkes.”: [助動]全く〜できない、全く〜し難い korayniwkes (沙流): (表現)(戦いに赴く事を決意し生んだばかりの幼子を残して行くこうとするが)山の神の娘は幼子を置いていく事も全くなし難い kimun menoko kor pompo hoppa poka korayniwkes (久保寺): ④(年齢、体調、あるいは面倒で)[他]〜ができない nukuri (石狩): 「私はもう年で仕

事ができない。」 “Tane ku=onne wa monrayke ku=nukuri.”: [助動]〜(する事)ができない nukuri (石狩): 「あいたた! 起き上がれないわ。」 “Itasasa! Ku=hopuni nukuri.”

できもの(出来物) [名]出来物 hup(i) (石狩): (表現)出来物が一つできる hup oma (石狩): (表現)出来物が沢山できる hup o (石狩): [名]膿疱を持つ出来物 kamasin (幌別): [名]腫物の頭の化膿部 yékonci (幌別)、[名] yéetu (屈斜路): (表現)出来物が化膿して口がつく par o wa yénu (新冠): [名]ぼつんと一つだけできる出来物 pópo (屈斜路): [名]膝かぶなによくできる小さいがとても痛い出来物 numasup(i) (幌別): [名]手足の指先に出来る悪性の出来物 ihupka (石狩): [自]先述の出来物ができる ihupka (石狩)

できる ①(可能)[他]〜ができる easkay (石狩)※(否定の形式は"somo easkay"ではなく"eaykap"を用いる): 「私はロシア語ができます。」 “Nucaitak ku=easkay.”: [助動](動詞句の後に用いられ)〜(する事)ができる easkay (石狩): 「イナウを作る事ができる。」 “Ku=inawke easkay.”: (表現)できる限り easkay pakno (新): 「私が出来る限りやってみしよう。」 “Ku=easkay pakno ku=ki kusu ne na.”: ④(表現)〜できるだけ〜する ene pak+名詞化された動詞+pakno+動詞+a+動詞 (石狩): 「…彼女は檻の周りにそれを伸ばせるだけ伸ばして…」 “...ene pak cituri pakno set okari turi a turi aine...” (杉村キナラブック)説話: ②(完成)(表現)〜できる an=kar okere (石狩)、(表現) an=kar (石狩): 「家ができた。」 “Cise an=kar okere.”: ③(男女間に肉体関係のあることをほのめかし)[他]〜とできる eturen (石狩): 「Aさんの旦那がBさんとできてるって。」 “A hokuhi B eturen yak a=ye.”

テグ(大邱) [名](大韓民国の都市名)大邱広域市 Tegu-sepsisserkesi (新): [場名](通称として)大邱 Tegu (新)

テグシガルパ [場名](ホンジュラス共和国の首都)テグシガルパ Tegusigarpa (新)

でぐち(出口) [名]出口 asinapa (新): [場名]出口周辺 asinapa(-a、-ake) (新): [名]出入口 apa (石狩): [場名]出入口周辺 apasam (石狩)

テクネチウム (化学) [名]テクネチウム teknetium (新)※(原子番号43番。元素記号 Tc)

てくび(手首) [名]手首 tekkutnin(i) (石狩)、[名] teknnin(i) (石狩)、[名] tekkuci

(tekkucike) (石狩) [名] tekikre (石狩)、
[名] amuyin(i) (天塩)

てごろ(手ごろ) [自] 手ごろである pirka
(石狩)

デザート [名] デザート iosep (iosiep) (新)

てさき(手先) ① [場名] 手先の器用さ teketok
(石狩): [自] 手先が器用である teketokkor
(石狩)、[自] monianno (石狩): [名] 手先
が器用な人 teketokkorkur (石狩)、[場名]
teketok (石狩): [名] 手先が器用な女性
tekeaskar (石狩): ② [自] 手先が不器用で
ある teketoksak (新): [名] 手先が不器用
な人 teketiksakkur (新)、[名]
teketoksak (新)

テシ [名] テシ、潮上するサケなどを獲るため魚
を止めるための杭の列 tes (石狩) (表現)
テシを立てる tes asi (石狩): [自] テシ
を作る teskar (石狩): (表現) テシを作る
tes kar (石狩): [自] テシ漁をする teskor
(石狩): [名] テシの川下側に作る台 tessan
(石狩): [名] 下り魚を獲るためテシに仕掛け
る魚枠 pipuy (天塩)

でし(弟子) [名] 弟子 ikoikarkur (新)、[名]
ikoyukarkur (新)

てしお(天塩) [場名] (地名) 天塩川 Tesew
(上原)、[場名] Tesius (松浦)、[名]
Tesopet (永田)※(「天塩郡」、「天塩町」など
の名はこれに由来する。)

デシグラム [名] (重さの単位) デシグラム
décigram (新)※(単位記号 dg)

てした(手下) [名] 手下 pakusanekur (新)、
[名] pakusa (新): 本来は神に関しての
み用いられる言葉であるが、今後人に関して
も使う。: [名] 手下の神 pakusakamuy
(石狩): [名] ("pakusakamuy"より一段低い)
手下の神 pakusa (石狩)

デシメートル [名] (長さの単位) デシメートル
décimetre (新)※(単位記号 dm)

てじゃく(手酌) [他] ~を手酌する
yaykoimare (静内): [他] ~を(器)に手酌
する yayotekomare (石狩)

テジョン(大田) [名] (大韓民国の都市名) 大田
広域市 Tejon-sepsisserkesi (新): [場
名] (通称として) 大田 Tejon (新)

デシリットル [名] (体積の単位) デシリットル
décilitre (新)※(単位記号は dl)

です [他] ~です ne (石狩): 「私はアイヌ
です。」「Aynu ku=ne.」、「私は和人ではあり
ませんからね。」「Sisam somo ku=ne na.」

デスモイネ [場名] (アメリカ合衆国アイオワ州
の州都名) デスモイネ Desmoines (新)

でたらめ(出鱈目) [副] 出鱈目に etarka (石
狩): 「私は出鱈目に返事をしたので叱られ
た。」「Etarka ku=itasaytak kusu

enci=hawekoyki.」: [自] 出鱈目を言う
etarkaitak (石狩): [他] (場所) で出鱈目を
言う eetarkaitak (新): [他] ~と共に
出鱈目を言う koetarkaitak (新): [他] (原
因、手段) で出鱈目を言う oetarkaitak
(新): [他] (人) に出鱈目を言わせる
etarkaitakte (新)

てだれ(手練) [名] 手練 yaytamkasurekur
(石狩): [自] 手練である yaytamkasure
(新)

てつ(鉄) ① (鉱物) [名] 鉄 yayankani (石狩)、
[名] káni (美幌)、[名] káne (沙流)、[名]
teci (十勝): ② (化学) [名] 鉄 yayankani
(新)※(原子番号 26 番。元素番号 Fe)

てっかん(鉄管) [名] 鉄管 kánikuttar(i)
(新)

てっきょう(鉄橋) ① (鉄の橋) [名] 鉄橋
kániiwka (新): ② (鉄道橋) [名] 鉄橋
kániru-riwka (新)

てづくり(手作り) [自] 手作りする itekekar
(新): [他] ~を手作りする tekekar (石
狩): これまでは女性が衣装「を縫い上げる」
の意味で用いられてきたが、今後は何かを機
械で作るの対義語として使う。: [他] (場所)
で~を手作りする etekekar (新): [他] ~
と共に~を手作りする kotekekar (新):
[他] (原因、手段) で~を手作りする otekekar
(新): [他] (人) に~を手作りさせる
tekekare (新): [他] 自分で、一人で~を手
作りする yaykotekekar (新): [他] 互い
に、皆で~を手作りする ukotekekar (新):
[他] 完全に~を手作りする oattekekar
(attekekar) (新): [他] (中相) ~が手作り
される citekekar (新): [他] 人に~を手
作りさせる、してもらう tekekarar (新):
[名] 手作りの品 citekekarpe (石狩): (表
現) 手作りの品 an=tekékar pe (石狩)

てっこう(手甲) [名] 手甲 tekumpe (石狩):
(表現) 手甲を付ける tekumpe kor (石狩):
(表現) 手甲を外す tekumpe ama (石狩):
[名] 死装束の手甲 raykurtekumpe (石
狩): [名] 親指の一部と手が覆われた手甲
cikamikote (石狩): [名] 筒状に縫っていな
い手甲 kaskekote (石狩)

てつだう(手伝う) [名] (行為) 手伝い ikasuy
(新): [名] (人) 手伝い ikasuykur (新):
[自] 人を手伝う ikasuy (石狩): [他] (物
事) を手伝う eikasuy (石狩): [他] ~と共
に手伝う koikasuy (新): [他] (原因、手
段) で手伝う oikasuy (新): [他] (人) に手
伝いをさせる ikasuyre (新): [他] (人) を
手伝う kasuy (石狩): [他] (人) の(物事) を
手伝う ekasuy (新): [他] ~と共に(人) を
手伝う kokasuy (新): [他] (原因、手段)

で(誰か)を手伝う okasuy (新): [他](人)に~の手伝わせる kasuyre (新): [他]人に(人)を手伝わせる、手伝ってもらう kasuyyar (新): [自]人に自分を手伝わせる、手伝ってもらう sikasuyyar (新): [他]人に自分の(物事)を手伝わせる、手伝ってもらう siekasuyyar (新): [自]手伝いが無い yaykasuy (新): [自]手伝い合う ukasuy (天塩): [他](人)を手伝い合わせる ukasuyre (新)

でっち(丁稚) [名] 丁稚 detci (新)※(日本語): (表現) 丁稚として働く detci ne monrayke (新): [自] 丁稚をする detcimonrayke (新)

てつどう(鉄道) [名] 鉄道 kániru (新): [場名] 鉄道会社 kánirukor-tomisapusi (新)、[場名] kánirukor-uipereusi (新): [名] 鉄道橋 kániru-riwka (新)

てつパイプ(鉄パイプ) [名] 鉄パイプ kánikuttar-i (新)

でっぱる(出っ張る) [自] 出っ張る tuk (石狩): [他]~を出っ張らす tukka (石狩)、[他] tuku (石狩)※(目下合成語の構成要素としてのみ見られるが、今後単独でも使う): [他]~を何度も出っ張らす tukuku (石狩)※(目下合成語の構成要素としてのみ見られるが、今後単独でも使う): [場名] 出っ張り、出っ張った所 túki (新): [名](地名中)出っ張り、出っ張った所 piwkey (天塩)

てっぺん [位名]~のてっぺん tapka(長形-si、-sike) (石狩)、[位名]~のてっぺん kitay(長形-e、-ke) (石狩): (表現) 山のてっぺん nupuri tapka(長形-si、-sike) (石狩)、(表現) nupuri kitay(長形-e、-ke) (石狩): (表現) 祭壇のてっぺん nusa tapka(長形-si、-sike) (石狩)

てっぽう(鉄砲) [名] 鉄砲 puspe (石狩)、[名] teppe (石狩): (表現) 鉄砲が撃たれる puspe pattek (石狩): (表現) 鉄砲を撃つ puspe pattekka (石狩): [名] 鉄砲玉 puspetama (新)、[名] tama (天塩)

テッポウリ(鉄砲瓜) (植物)[名](ウリ科) テッポウリ属 puspeuriunkar-cise (新): [名] テッポウリの茎 puspeuripunkar (新)、[名] その果実 puspeuri (新)

てっぽうみず(鉄砲水) [名] 鉄砲水 okimumpe (石狩)、[名] numumke-wakka (天塩)、[名] sinnumumke-wakka (天塩): (表現) 鉄砲水が出る okimumpe an (石狩)

てつや(徹夜) [自] 徹夜する rews (石狩): [他](人)に徹夜させる rewsire (新): [副] 徹夜で rews (石狩)、[副] ánepitta (石狩): (表現) 徹夜で kunne rews (石狩)、(表現) ánepitta kane (石狩)

でていく(出て行く) [自] 出て行く asin (複数 asip) (石狩): (表現) 出て行ってしまう asin (複数 asip) wa (oar)-isam (石狩): [他]~を出て行かせる asinke (複数 asipte) (石狩): (表現) 戸口の蓆の真中に頭を突っ込んで乱暴に出て行く apanoski paeotke wa asin wa isam (石狩)

てでおさえる(手で押さえる) (動くものを)[他]~を手で押さえる tekkokisma (石狩): [他](人)に~を手で押さえさせる tekkokismare (新)

でてくる(出て来る) ①[自] 出て来る asin (複数 asip) (石狩): (表現) 出て来てしまう asin (複数 asip) wa okere (新): [他]~を出て来させる asinke (複数 asipte) (石狩): ②(冬眠から目覚めたクマなどが穴から)[自] 出て来る etuk (石狩)

てでかく(手で抱く) [他]~を手で抱く、抱き締める tekkokisma (石狩): [他](人)に~を手で抱かせる、抱き締めさせる tekkokismare (新)

てでつかむ(手で掴む) (動くものを)[他]~を手で掴む、~に手で掴まる tekkokisma (石狩): [他](人)に~を手で掴ませる、~に手で掴まらせる tekkokismare (新)

てでつつく(手で突く) [他]~を手で突く moneotke (新): [他](人)に~を手で突かせる moneotkere (新): [自](何かを知らせるため) 手で突き合う umoneotke (石狩)

ててなしご(父無し子) [自] 父無し子を産む menashokukor (幌別)

てでふれる(手で触れる) ①[自] 手で触れる imonekere (新): [他]~に手で触れる monekere (新): [他](場所)で~に手で触れる emonekere (新): [他]~と共に~に手で触れる komonekere (新): [他](原因)で~に手で触れる omonekere (新): [他](人)に~に手で触れさせる monokerere (新): ②[自](霊力ある人が病人を) 手で触れていろいろなことを知る tekeinu (石狩): 今後は医者 of 触診に関してもこの語を使う。

テトウンゴ(テトウン語) [名] テトウン語 tetunitak (新)※(オーストロネシア語族の言葉で東ティモール民主共和国では公用語の一つ。)

デトロイト [場名](アメリカ合衆国ミシガン州の都市名) デトロイト Detroit (新)

テナガザル(手長猿) (動物)[名](ヒト上科) テナガザル科 teketannesaru-apa (新): [名] テナガザル属 teketannesaru-cise (新): [名] アジルテナガザル agiris-teketannesaru (新): [名] クロステナガザル mentawai-teketannesaru (新): [名] クロテナガザル askekunne-

teketannesaru (新): [名]シロテナガザル askeretatteketannesaru (新): [名]フーロックテナガザル hoorok-teketannesaru (新): [名]フクロテナダザル urepeciuousteketannesaru (新): [名]ボウシテナガザル koncikotteketannesaru (新): [名]ミューテナガザル bonneo-teketannesaru (新): [名]ワウワウテナガザル jawa-teketannesaru (新)

てにいれる(手に入れる) ①[他]～を手に入れる pa (石狩)、[他] uk (複数 uyna) (石狩): [他](場所)で～を手に入れる epa (新)、[他] euk (複数 uyna) (新): [他]～から～を手に入れる、～と共に～を手に入れる kopa (新)、[他] kouk (複数 kouyna) (新): [他](原因、手段)で～を手に入れる opa (新)、[他] ouk (複数 ouyna) (新): [他](人)に～を手に入れさせる páre (新)、[他] ukte (複数 uynare) (新): [他]自分で、一人で～を手に入れる pa (新)、[他] uk (複数 uyna) (新): [他]互いに、皆で～を手に入れる pa (新)、[他] uk (複数 uyna) (新): [他]完全に～を手に入れる oarpa (arpa) (新)、[他] oaruk (複数 oaruyna) (新)、[他] aruk (複数 aruyna) (新): [他]もの凄く～を手に入れる toykopa (新)、[他] toykouk (複数 toykouyna) (新): [他](中相)～が手に入れられる cipa (新)、[他](中相) ciuk (複数 ciuyna) (新): [他]人に～を手に入れさせる、手に入れてもらう payar (新)、[他] ukyar (複数 uynayar) (新): ②(入手しづらい物に関して)[他]～を手に入れる oskoni (沙流)

てにおしあてる(手に押し当てる) [他]～を手押し当てる tekrarire (石狩): 「…彼は佩びる刀の峰を手押し当てる」 “…u mut emus mekkasike u tekrarire…” (杉村キナブック)婦女詞曲

てにかける(手にかける) [自]手にかける itekorayke (新)、[自] irayke (石狩): [他]～を手にかける tekorayke (新)、[他] rayke (複数 ronnu) (石狩): 複数形は本来石狩方言では全くと言って程使われなかった。: [他](場所)で～を手にかける etekorayke (新)、[他] erayke (複数形 eronnu) (新): [他]～と共に～を手にかける kotekorayke (新)、[他] korayke (複数 koronnu) (新): [他](原因、手段)で～を手にかける otekorayke (新)、[他] orayke (複数 oronnu) (新): [他](人)に～を手にかける tekoraykere (新)、[他] raykere (複数 ronnu) (新): [他]人に～

を手にかける tekoraykeyar (新)、[他] raykeyar (複数 ronnu) (新): [自]人に自分を手にかける sitekoraykeyar (新)、[自] siraykeyar (新)

てにする(手にする) [自]物を手にする itekeani (複数 itekeampa) (新): [他]～を手にする tekeani (複数 tekeampa) (新): (表現)～を手にする teke ani ani (複数 ampa) (新)、(表現) teke eani (複数 eampa) (新): [他](場所)で～を手にする etekeani (複数 etekeampa) (新): [他]～と共に～を手にする kotekeani (複数 kotekeampa) (新): [他](原因、手段)で～を手にする otekeani (複数 otekeampa) (新): [他](人)に～を手にする tekeanire (複数 tekeampare) (新): [他]自分で、一人で～を手にする yaykotekeani (複数 yaykotekeampa) (新): [他]互いに、皆で～を手にする ukotekeani (複数 ukotekeampa) (新): [他]すっかり～を手にする oattekeani (複数 oattekeampa) (新)、[他] attekeani (複数 attekeampa) (新): [他]しっかり～を手にする toykotekeani (複数 toykotekeampa) (新)

てにつかむ(手に掴む) [他]～を手を掴む teksayekar (石狩)、[他] teksaykare (石狩): 「…銀の玉粒を私は手に掴み…」 “…sirokani tamanum an=teksaykare…” (杉村キナブック)神謡: [他](人)に～を手を掴ませる teksaykare (新)、[他] teksaykarere (新)

てにつける(手に付ける) [他](武装としての手甲)を手につける tékuyruke (石狩)

てにとる(手に取る) ①(手に持つ)[自]物を手に取る itekeani (複数 itekeampa) (新): [他]～を手を取る tekeani (複数 tekeampa) (新): (表現)～を手を取る teke ani ani (複数 ampa) (新)、(表現) teke eani (複数 eampa) (新): [他](場所)で～を手を取る etekeani (複数 etekeampa) (新): [他]～と共に～を手を取る kotekeani (複数 kotekeampa) (新): [他](原因、手段)で～を手を取る otekeani (複数 otekeampa) (新): [他](人)に～を手を取らせる tekeanire (複数 tekeampare) (新): [他]自分で、一人で～を手を取る yaykotekeani (複数 yaykotekeampa) (新): [他]互いに、皆で～を手を取る ukotekeani (複数 ukotekeampa) (新): [他]完全に～を手を取る oattekeani (複数 oattekeampa) (新)、[他] attekeani (複数 attekeampa) (新): [他]がっちり～を手を取る toykotekeani (複数 toykotekeampa) (新): [他]人に～を手を取らせる、取っても

らう tekeaniyar (複数 tekeampayar) (新): ②(手に掴む、握る)[他]～を手にする teksaykare (石狩)、[他] teksayekar (石狩): [他](人)に～を手に取りさせる teksaykarere (新)、[他] teksayekare (新)

てにまきつける(手に巻き付ける) [他]～を手を巻きつける tekkonoye (石狩): [副]手に巻き付けて tekkosayne (石狩)

てにもつ(手に持つ) ①[自]物を手に持つ iani (複数 iampa) (新): [他]～を手を持つ ani (複数 ampa) (石狩): [他](場所)で～を手を持つ eani (複数 eampa) (新): [他]～と共に～を手を持つ koani (複数 koampa) (新): [他](原因、手段)で～を手を持つ oani (複数 oampa) (新): [他](人)に～を手を持たせる anire (複数 koampare) (新): [他]自分で、一人で～を手を持つ yaykoani (複数 yaykoampa) (新): [他]互いに～を手を持つ ukoani (複数 ukoampa) (新): [他]がっちり～を手を持つ toykoani (複数 toykoampa) (新): [他]人に～を手を持たせる、持ってもおらう aniyar (複数 ampayar) (新): [他]②[他]～を手を持つ tekomare (新): [他](雅語)～の先端を手を持つ etekomare (石狩): 「…チュブカ婦人がそろりと金の酒汲みの柄を手持って入ったので…」 “…cupkaunmat inutua kanekuntari etekomare ahun kusu…” (砂沢クラ)英雄詞曲: [他]～の末尾を手を持つ otekomare (新)

てぬぐい(手拭) [名]手拭 tenenko (石狩)、[名] sisenkakipo (新)、[名] senkakipo (新)

テネシー ①[場名](アメリカ合衆国の州名)テネシー州 Tennesi-mosir (新)※(州都は「ナッシュヴィル」): ②[名](地名)テネシー川 Tennesi-pet (新)

てのこう(手の甲)[場名]手の甲 tekmeikka(-si, -sike) (石狩)

てのさき(手の先)[名](雅語、所属形)～の手の先、指 santekpeci (石狩)

てのひら(掌) [場名]掌 tekkotor(-o) (石狩): [場名](雅) tekpok(-i) (石狩)

てはず(手筈) [他]～の手筈を整える esanniyo (石狩)、[他](雅) ekosanniyo (石狩): [他](場所)で～の手筈を整える eesanniyo (新): [他](人)の事で～の手筈を整える koesanniyo (石狩): [他]～と共に～の手筈を整える koesanniyo (新): [他](原因、手段)で～の手筈を整える oesanniyo (新): [他](人)に～の手筈を整えさせる esanniyo (新)

てばた(手旗) [名]手旗 tekhata (新)

てばなす(手放す) [他]～を手放す opici (天塩)、[他] sura (石狩): 「お金がなくて私はとっておきの宝物を手放した。」 “Ikor oarisam kusu ku=kor sisakpe ku=sura .”: [他](場所)で～を手放す eopici (新): [他]～と共に～を手放す koopici (新): [他](場所)から～を手放す oopici (新): [他](原因、手段)で～を手放す oopici (新): [他][他](人)に～を手放させる opicire (新)、[他] surare (新): [他]自分で、一人で～を手放す yaykoopici (新): [他]互いに、皆で～を手放す ukoopici (新)

でばぼうちょう(出刃包丁) [名]出刃包丁 sisamepirkep (新)、[名] sakayepirkep (新)※(堺の鯖裂)

てばやく(手早く) [自]手早くする monasnu (十勝): [他]～を手早くする emonasnu (新): [他](人)に手早くさせる monasnure (新)

てびさし(手庇) [名]手庇 tekkakipo (沙流)、[名] tekkakirpo (石狩): (表現)手庇を上にかざし下にかざす、小手をうちかざす tekkakirpo rikunruye raoruye (石狩)

テビバイト (コンピュ)[名](コンピュータの容量などの単位)テビバイト tébibait (新)※(記号単位はTiB)

てぶくろ(手袋) [名]手袋 tekkamup (新): [名]親指だけ別になった手袋、ミトン tekkasi (石狩): (表現)ミトンを外す tekkasi ama (石狩)、(表現) tekkasi ante (幌別): (表現)ミトンをはめる tekkasi kor (石狩)

てぶら(手ぶら) [副]手ぶらで oroisamno (石狩)、[副] oroisam (石狩): 「お前を手ぶらで返す訳にはいかなからこの乾魚をあげるよ。」 “Oroisamno e=hosipi yak wen kusu tan satcep e=kore=an kusu ne na .”

てへっ (照れて)[間投]てへっ tehet (新): [自]てへっと言う tehetce (新): [自]一人でてへっと言う yaytehetcere (新): [自]皆でてへっと言う utehetcere (新): [他](人)にてへっと言わせる tehetcere (新)

テヘラン [場名](イラン・イスラム共和国の首都名)テヘラン Tehran (新)

てほどき(手解き) [自]手解きする iatpake-eipakasnu (新): [他](人)に手解きさせる iatpake-eipakasnu (新): [他]～を手解きする atpake-eipakasnu (新): [他](人)に～を手解きさせる atpake-eipakasnu (新)

てほん(手本) ①(創作に関して)[名]手本 cikoikar-kunip (新)、[名] cikoikarpe

(新): ②(事柄に関して)[名]手本 ciikosampa-kunip (新)、[名] ciikosampap (新): [名]手本となる人 cikoisampa-kunikur (新)、[名] cikoisampakur (新): ③(発言、行動に関して)[名]手本 cicyukar-kunip (新)、[名] cicyukarpe (新): [名]手本となる人 cikoyukar-kunikur (新)、[名] cikoyukarkur (新)

てまえ(手前) [位名]〜の手前 tukar(長形-i、-ike) (石狩): 「昨日あの女性は私の手前で転んだ。」“Numan taan menoko en=tukari osittesu.”: [位名]〜のすぐ手前 attukar(長形-i、-ike) (石狩): 「砂浜のすぐ手前に浜の草原が美しく続いている。」“Ota attukari peka irammakaka masar situriri.”

てまくら(手枕) [自]手枕する tekeninuy (新): [他](人)に手枕させる tekeninuyte (石狩)

てまねき(手招き) [自]手招きする tekparpa (新)、[自] tekparuparu (新): (表現)手招きする tekparuparu (十勝): [他](場所)で手招きする etekparpa (新): [他]〜を手招きする kotekparpa (新): [他](原因、手段)で手招きする otekparpa (新): [他](人)に手招きさせる tekparpare (新): [自]手招きし合う ukotekparpa (新)

でむかえ(出迎え) [後副]〜を出迎えに ekari (石狩): (表現)〜を出迎えに行く ekari oman (複数 paye) (石狩): (表現)〜を迎えに来る ekari ek (複数形 arki) (石狩): (表現)〜を出迎えるため建物の外に出る ekari asin (複数 asip) (新): [自]出迎える iekanhok (新): [他]〜を出迎える ekanhok (八雲): [他]〜に〜を出迎えさせる ekanhokte (新): [他]自分で、一人で〜を出迎える yaykoekanhok (新): [他]皆で、共に〜を出迎える ukoekanhok (新)

でも (表現)〜は〜でも… ~ ka …(名詞の所属形) (石狩): 「人は人でも人の上に立つ人が貴方だから、やることにそつがありません。」“Aynu ka utarpakehe es=ne kusu es=ki p otta hayta p ka isam ruwe ne.”

テラ (聖書)[名]テラ Terax (新)※(ヘブライ語。アブラハムの父親)

デラウェア [場名](アメリカ合衆国の州名)デラウェア州 Derawer-mosir (新)※(州都は「ドーヴァー」)

テラグラム [名](重さの単位)テラグラム téraguram (新)※(単位記号 Tg)

テラコッタ (表現)テラコッタ an koraci an=círe p (新)、(表現) isak no an=círe p (新)、(表現) cicirepuspe sak no an=círe p (新)、[名] terakotta (新)※(伊語): [名]テ

ラ コ ッ タ 煉 瓦 cinisteka-sumatoy(cinistere-) (新)、[名] pirkahure-sumatoy (新)、[名] terakotta-sumatoy (新): (表現)テラコッタ煉瓦 an koraci an=círe sumatoy (新)、(表現) isak no an=círe sumatoy (新)、(表現) cicirepuspe sak no an=círe sumatoy (新)

てらす(照らす) [自]人、物を照らす inipekneka (inipeknere) (新)、[自] itomte (新): [他]〜を照らす nipekneka (nipeknere) (新)、[他] tomte (石狩): [他](場所)で〜を照らす enipekneka (enipeknere) (新)、[他] etomte (新): [他]〜と共に〜を照らす konipekneka (konipeknere) (新)、[他] kotomte (新): [他](場所)から〜を照らす、(原因、手段)で〜を照らす onipekneka (onipeknere) (新)、[他] otomte (新): [他]〜に〜を照らせる nipeknekare (nipeknerere) (新)、[他] tomtete (新): [他]辺りを照らす sinnipekneka (sinnipeknere) (新)、[他] sittomte (新)

テラバイト [名](デジタルコンピュータが扱う情報量の単位)テラバイト térabait (新)※(単位記号は TB)

テラメートル [名](長さの単位)テラメートル térametre (新)※(単位記号 Tm)

テラリットル [名](体積の単位)テラリットル téraritre (新)※(単位記号 Tl)

デリー ①[場名](インド北部の都市名)オールドデリー Onnederi (新): (歴史)[場名](オールドデリーの旧称)デリー Deri (新): ②[場名](北アイルランドの州名)デリー州 Deri-purovince (新)

てりがきいろ(照柿色) [自]照柿色になる、である cíkaki-irone (新): [他]〜照柿色に染める cíkaki-ironeka (-ironere) (新): [名]照柿色 cíkaki-iro (新)

でる(出る) ①(家などある場所から外へ)[自]出る asin (複数 asip) (石狩)、[自] soyne (複数 sóyempa、sóyompa) (沙流): (表現)外へ出る eson asin (複数 asip) (石狩)、(表現) soy ene asin (複数 asip) (石狩)、(表現) soy ta asin (複数 asip) (石狩): (表現)夜便所に行くため外へ出る kunne asin (複数 asip) (石狩): [他]〜と共に出る easin (複数 easip) (新): [他](場所)に出る koasin (複数 koasip) (新)、[他] osiraye (複数 osiraypa) (沙流): [他](場所)から出る oasin (複数 oasip) (石狩): [自]勢いよく外へ飛び出す soyosma (石狩)、[自] soyoterke (石狩): [自](大勢の人が)一時にどっと出る soyokuta (石狩): ②(血や汗に関して)[自]出る etuk (石狩)、

[自] asin (天塩): (表現)血が出る kem etuk (石狩)、(表現) kem asin (天塩): (表現)汗が出る pop asin (天塩): ③(山から村や浜、支流から本流、後ろから前への運動)[自]出る san (複数形 sap) (石狩): 「私は山を越え隣村に出た。」“Metot ku=oika wa armoysam ta ku=san.”: (表現)浜に出る pis ta san (複数 sap) (石狩): (表現)本流に出る sipet otta san (複数 sap) (新): (表現)前に出る sa ta san (複数 sap) (石狩): [他](場所)に出る kosan (複数 kosap) (石狩)

てる(照る) (日が)[自]照る、照っている nipekne (石狩)、[自] tom (石狩): (表現)照る nipeki an (石狩)、(表現) nipeki at (天塩): [他](場所)で照る、照っている enipekne (新)、[他] etom (新): [他]〜と共に照る、照っている konipekne (新)、[他] kotom (新): [他](原因、手段)で照る、照っている onipekne (新)、[他] otom (石狩)

テルビウム (化学)[名]テルビウム terbium (新)※(原子番号65番。元素記号 Tb)

テルファイリア (植物)[名](ウリ科)テルファイリア亜属 pisaspiuripunkar-moutar (新): [名]テルファイリア属 pisaspiuripunkar-cise (新): [名]テルファイリア・オキシデントリスの茎 pisaspiuripunkar (新)、その果実 pisaspiuri (新)、[名]その種子 pisaspi (新)※(牡蠣ナツ瓜蔓): [名]T. バテシイの茎 kamerum-pisaspiuripunkar (新): [名]T. ペダタの茎 zanzibar-pisaspiuripunkar (新)

テルル (化学)[名]テルル terurium (新)※(原子番号52番。元素記号 Te)

テレク [名](地名)テレク川 Terek-pet (新)※(グルジアとロシア連邦共和国領を流れカスピ海に注ぐ川。)

デレクター[名]デレクター isikottekur (新)、[名] sisapanekakur (新)、[名] direktor (新)※(英語)

テレビ [名]テレビ放送 ituymainkare (新)、[名] ramatuyksikso-oasurpuni (新)、[名] cinukassupop-oasurpuni (新)、[名] terevision (新)※(英語): [自]テレビ放送をする ituymainkare (新)、[自] ramatuyksikso-oasurpuni (複数 -oasurpumpa) (新)、[自] cinukassupop-oasurpuni (複数-oasurpumpa) (新): [他]〜をテレビ放送する ituymanukare (新)、[他] eramutuyksikso-oasurpuni (複数 -oasurpumpa) (新)、[他] ecinukassupop-oasurpuni (複数-oasurpumpa) (新): [場名]テレビ会社 ituymainkare-tomisapusi

(ituymanukare-uipereusi) (新)、[場名] ramatuyksikso-oasurpumpa-tomisapusi (-uipereusi) (新)、[場名] cinukassupop-oasurpumpa-tomisapusi (-uipereusi) (新): [場名]テレビ局 ituymainkareusi (新)、[場名] ramatuyksikso-oasurpumpaui (新)、[場名] cinukassupop-oasurpumpaui (新): [名]テレビ受像機 ituymainkarep (新)、[名]ciotuymainkarpe (新)、[名] ramatuyksikso (ramatunsikso) (石狩)、[名] cinukassupop (cinukarsupop) (新)、[名] terevision (新)※(英語): [名]テレビ番組 tuymanukarpe (新)

テレビンノキ (植物)[名](カイノキ属)テレビンノキの茎 terebinni (新): [名]テレビンノキの果実 terebinnikaop (新): [名]テレビン油 terebin (新)、[名] terebinsum (新)

てわけして(手分けして) [副]手分けして sinnay kane (石狩): 「私達は手分けして宝を探した。」“Sinnay kane ikor ci=hunar.”

てわたす(手渡す) (表現)…に〜を手渡す … teke ~ omare (石狩): 「忘れずにあなたのお父様にこの手紙を手渡して下さい。」“Eciki oyra no an=onaha teke tan kampi omare wa en=kore yan !”

てをあてる(手を当てる) [自](治療のため)手を温めては患部に当てる irarpa (H)

てをいれる(手を入れる) [他]〜に(何度も)手を入れる、手を差し込む tekkuspare (石狩): 「…編み袋の中にそいつは何度も手を差し込み…」“…saranip onnay u tekkuspare …” (砂沢クラ)婦女詞曲

てをうつ(手を打つ) [自]手を打つ tekkik (石狩): [他](場所)で手を打つ etekkik (新): [他]〜へ手を打つ kotekkik (新): [他]〜と共に手を打つ kotekkik (新): [他](原因、手段)で手を打つ otekkik (新): [他](人)に手を打たせる tekkikte (新): [自]自分で、一人で手を打つ yaykottekkik (新): [自]互いに、皆で手を打つ ukottekkik (新): [自]思い切り手を打つ toykottekkik (新): [自]何度も手を打つ tekkikkik (石狩)

てをかける(手を掛ける) [自]手を掛ける iteksaykar (iteksayekar) (石狩): [他]〜に手を掛ける teksaykar (teksayekar) (石狩): 「…若者が…私に手を掛け腕に私を抱きかかえ…」“… pewrekur … i =teksaykar temnikor i =omare …” (砂沢クラ)婦女詞曲

てをだす(手を出す) ①(暴力を振るう事)(表現)〜に手を出す moysutu (moysitu) ~ esankekar (新): ②(男女の関係)[自]人に

手を出す ieturen (新): [他](人)に手を出す
eturen (石狩): [他](人)を(人)に手を出す
eturente (新)

てをたずさえる(手を携える) [自]手を携える
tektumam (新): (表現)～と手を携える
～ tura(-no) tektumam (新): [他](場所)
で手を携える etektumam (新): [他]～
と手を携える kotektumam (新):
[他](原因、手段)で手を携える otektumam
(新): [自]手を携え合う ukotektumam
(石狩): 「…わが旦那様が良い事に手を携え
合って穏やかに私達のすぐそばで暮す…」
“… ku=kor utarpa iisoneka ukotektumam
u ratcitar i=koteksam ta sukup an…”(石
山アチミアシクル)会釈の辞

てをつく(手を突く) [自]手を突く temsireciw
(石狩): [他](場所)に手を突く
etemesireciw (新): [他](人)に手を突かせ
る temsireciwre (新)

てをとおす(手を通す) [他]～に(何度も)手を通
す tekkuspare (石狩)

てをとる(手を取る) ①(手を掴む事)[他](雅)～
の手を取る tékuk(複数 tékuyna) (石狩)
単数形については目下未確認。(表現)～の
手を取る ～teke uk(複数 uyna) (石狩):
②(手を掴み、引いて行動する事)[自]人の手を
取る、引く itekani(複数 itekampa) (新):
[他]～の手を取る、引く tekani(複数
ampa) (石狩): (表現)～の手を取る、引く
～ teke ani(複数 ampa) (石狩): [他](場
所)で～の手を取る、引く etekani(複数
etekampa) (新): [他](場所)へ～の手を取
る、～と共に～の手を取る、引く kotekani
(複数 kotekampa) (新): [他](原因、手段)
で～の手を取る、引く otekani(複数
otekampa) (新): [他](人)に～の手を取ら
せる、引かせる tekanire(複数
tekampare) (新): [他]自分で、一人で～
の手を取る、引く yaykotekani(複数
yaykotekampa) (新): [他]互いに、皆で～
の手を取る、引く ukotekani(複数
ukotekampa) (新): [他]人に～の手を取
らせる、引かせる tekaniyar(複数
tekampayar) (新): [自]人に自分の手を取
らせる、引かせる sitekaniyar(複数
sitekampayar) (新): [自]互いに手を取り
合う utekampa (新)、[自]
ukotektumam (石狩): [自]女の手を取る、
引く umattekampa (石狩): [自]子の手
を取る、引く upotekampa (石狩)

てをねじる(手を捻る) [自]手を捻る
teknopya (天塩): [他](人)の手を捻る
eteknopya (新): [他](人)に手を捻らせる
teknopypare (新)

てをはなす(手を放す) ①[他]～から手を放す
teksurare (久保寺): ②(うっかり手か
ら)[他]～を放す opici (天塩)

てん(天) [名]天 kanto (石狩): [名]天(大宇
宙)の最高神 kantokorkamuy (石狩)、[名]
sikantokorkamuy (石狩): [名]天の上層
rikunkanto (石狩)、[名] síniskanto (石
狩)、[名] sikanto (石狩): [場名]天の下
層 kantokotor (kantokotoro) (石狩):
[自]天を切り裂きすいすい進む
hekantootuypa-kocasse (新)、[自]
hekantootuypa-kocassecasce (新)

てん(点) ①(印、図形)[名]点 turkes (美幌)、
[名] kes(-noka) (新)※(斑点の形): (表
現)点を打つ kesnoka kar (新): (表現)～
に点を打つ turkes omare (美幌)、(表現)
kesnoka omare (新)、(表現) kesnoka
kokar (新)、(表現) ～ekota (otta)
kesnoka kar (新): ②(評価)[名]点
turkes (新): (表現)良い点をとる pirka
turkes uk (新)

テン(貂)(動物)[名](イタチ科)テン属 hoynu-
cise (新): [名]テン samorun-hoynu
(新): [名]アメリカテン amerikaun-
hoynu (新): [名]エゾクロテン yaun-
hoynu (新)※(クロテンの亜種): [名]キエ
リテン rekucisikerpepeus-hoynu (新):
[名]クロテン hoynu (石狩)、[名]
kaspekira (天塩)※(別名「エゾテン」):
[名]ニルギリキエリテン nirgiriun-hoynu
(新): [名]フィッシャー cepkoykip (新):
[名]マツテン europaun-hoynu (新):
[名]ムナジロテン reraruretar-hoynu (新)

でんあつ(電圧) [名]電圧 imerumomtep
(新)、[名] vottage (新)※(英語)

てんか(添加)(混ぜる意味で)[自]ものを添加す
る ipoye (新): [他]～を添加する poye
(石狩)※(今後単独でも使う。)、[他] ukakuo
(石狩): [他](場所)で～を添加する epoye
(新)、[他] eukakuo (新): [他]～に～を添
加する kopoye (石狩)、[他] koukakuo
(新)、[他] kokar (天塩): [他](原因、手段)
で～を添加する opoye (新)、[他]
oukakuo (新): [他](人)に～を添加させる
poyere (新)、[他] ukakuore (新): [名]
添加物 cipoyep (新)、[名] ciukakuop
(新)

てんか(点火) ①(火が点く事を表し)(表現)点火
する ape epeku (石狩)、(表現) ape a
(天塩): ②(火を点ける事を表し)[自]点火す
る apeare (新): (表現)点火する ape
áre (石狩): [他](場所)で点火する
eapeare (新): [他]～に点火する
koapeare (新): [他]～と共に点火する

koapeare (新): [他](原因、手段)で点火する
oapeare (新): [他](人)に点火させる
apearere (新): [他](燃えさしなど)で～を
突いて点火する enuykootke (石狩)

てんかい(天界) [場名] 天界、天上世界
kannamosir (石狩): [場名] 天界、下の天
kantokotor (kantokotoro) (石狩): 沙流、
千歳などでは下層の天、天から見上げて見え
る天空の面を指すが、旭川ではそれ程厳密な
区別はないという。あるいはかつての区別が
忘却されたのだろうか？

でんかい(電界) [名] 電界 imerumintar
(新)

てんかん(癲癇) [自] 癲癇を起す pitke (石
狩)

てんき(天気) ①[場名] 天気 nisor(-o) (石
狩): (新)荒れた天気 yupke nisor (新):
(表現)穏やかな天気 hawke nisor (新)、(表
現) tontek nisor (新): (表現)良い天気
pirka nisor (石狩): (表現)悪い天気 wen
nisor (新): [場名](合成語の構成要素とし
て)天気 sir (石狩、天塩): ②[0動] 天気
が荒れる、荒れている sirypuke (石狩):
[自](場所)の天気が荒れる、荒れている
sirkoyupke (新): (表現)天気が荒れる、荒
れている nisor yupke (新): ③[0動] 天
気が穏やかになる、穏やかである sirhawke
(石狩)、[0動] sittontek (sirtontek) (石
狩): [自](場所)の天気が穏やかになる、穏
やかである sirkohawke (新)、[自]
sirkotontek (新): (表現)天気が穏やか
になる、穏やかである nisor hawke (新)、(表
現) nisor tontek (新): ④[0動] 天気が良
くなる、良い sirpirka (石狩): [自](場所)
の天気が良くなる、良い sirkopirka (新):
(表現)天気が良くなる、良い nisor pirka
(石狩): [自]子が生まれた時に天気がとても
良い kasipirka (幌別): ⑤[0動] 天気が
悪くなる、悪い sirwen (石狩): [自](場
所)の天気が悪くなる、悪い sirkowen
(新): (表現)天気が悪くなる、悪い nisor
wen (新): [自]子が生まれた時に天気がと
ても悪い kasiwen (幌別)

でんき(電気) [名] 電気 imeru (新)

でんきあんか(電気行火) [名] 電気行火
imeru-urepopkerep(-popkekap) (新)

でんきゅう(電球) [名] 電球 imerutamanum(-
i) (新)、[名] imerunum(-i) (新): [名]
大型の電球 imerutama (新)

てんきよ(転居) [自] 転居する cisetupte
(新)※(美幌): [他]～を転居させる
cisetuptere (新)

テングアゲハ(天狗揚羽) (昆虫)[名](アオスジ
アゲハ族) テングアゲハ属 etutanne-

kitomarewrew-cise (新): [名] テングアゲ
ハ etutanne-kitomarewrew (新): [名]
オウゴンテングアゲハ konkani-etutanne-
kitomarewrew (新)

てんくう(天空) ①(空の同義語として)[名] 天
空 nis(-i) (石狩): ②(見上げて見える面
を指し)[場名] 天空 niskotor(-o) (石狩)

テングコウモリ(天狗蝙蝠) (動物)[名](ヒナコウ
モリ科) テングコウモリ亜科
kuttaretukapap-moapa (新): [名] テング
コウモリ属 kuttaretukapap-cise (新):
[名] テングコウモリ kuttaretukapap (新)
※(管鼻蝙蝠): [名] クチバテングコウモリ
uparus-kuttaretukapap (新): [名] コテング
コウモリ mokuttaretukapap (新):
[名] ベルゼブブコウモリ berzebubu-kapap
(新): [名] ムリナ・アウラタ
ponkuttaretukapap (新): [名] M. アエネ
ア buronze-kuttaretukapap (新): [名]
M. エレリー mékonun-kuttaretukapap
(新)※(メコン天狗蝙蝠): [名] M. キクロテ
イス kisarasikari-kuttaretukapap (新):
[名] M. キネラケア manaus-
kuttaretukapap (新): [名] M. グリセア
peter-kuttaretukapap (新): [名] M. スイ
ラ cáirone-kuttaretukapap (新)※(茶色
天狗蝙蝠): [名] M. トウビナリス sukuri-
kuttaretukapap (新)※(スカリー天狗蝙
蝠): [名] M. ハリソニ harison-
kuttaretukapap (新): [名] M. フシカ
kikiromun-kuttaretukapap (新)※(キキロ
ムにいる天狗蝙蝠): [名] M. フットニ
hutton-kuttaretukapap (新): [名] M. ブ
タ taywanun-kuttaretukapap (新):
[名] M. フロリウム furuteetukapap (新)
※(フルーツ鼻蝙蝠): [名] M. レウコガステ
ル poro-kuttaretukapap (新): [名] M.
ロゼンダーリ konkani-kuttaretukapap
(新): [名] M. ワルウトニ warsuton-
kuttaretukapap (新): [名] リュウキュウ
テングコウモリ rucuun-kuttaretukapap
(新): [名] ハルピオケファルス属
numausrapkapap-cise (新): [名] ハルピ
オケファルス・ハルピア
moumausrapkapap (新): [名] H. モルダ
クス sínmausrapkapap (新)

テングスズメウリ(天狗雀瓜) (植物)[名](ウリ
科) テングスズメウリ属 báratu ripopunkar-
cise (新): [名] テングスズメウリの茎
báratu ripopunkar (新)、[名] その果実
báratu ripo (新)

テングダケ(天狗茸) (菌類・キノコ)[名](ハラタ
ケ目) テングダケ科 tusukarus-apa (新):
[名] テングダケ属 tusukarus-cise (新):

[名]テングタケ tusukarus (新)

テングトクビレ(天狗特鱈)(魚介)[名](カサゴ目カジカ亜目)テングトクビレ科 sisam-cirosneippo-apa (新): [名]テングトクビレ属 sisam-cirosneippo-cise (新): [名]テングトクビレ sisam-cirosneippo (新)

テングフルーツコウモリ(天狗フルーツ蝙蝠)(動物)[名](オオコウモリ科)テングフルーツコウモリ亜科 kuttaretu-nikaopekapap-moapa (新): [名]テングフルーツコウモリ属 kuttaretu-nikaopekapap-cise (新): [名]オオテングフルーツコウモリ sikutaretu-nikaopekapap (新): [名]ケラエノテングフルーツコウモリ kunne-kuttaretu-nikaopekapap (新): [名]サンタクルーズテングフルーツコウモリ santakuruuun-kuttaretu-nikaopekapap (新)※(絶滅): [名]シマテングフルーツコウモリ ruo-kuttaretu-nikaopekapap (新): [名]ドラゴンテングフルーツコウモリ doragon-kuttaretu-nikaopekapap (新): [名]ナミテングフルーツコウモリ yayan-kuttaretu-nikaopekapap (新): [名]ニクティメネ・ケアスティ keasto-kuttaretu-nikaopekapap (新): [名]N. ケルタンス kimun-kuttaretu-nikaopekapap (新): [名]パラステングフルーツコウモリ paras-kuttaretu-nikaopekapap (新): [名]ビスカックテングフルーツコウモリ umboiun-kuttaretu-nikaopekapap (新): [名]ヒメテングフルーツコウモリ mokuttaretu-nikaopekapap (新): [名]マサラテングフルーツコウモリ masaraiun-kuttaretu-nikaopekapap (新): [名]マライタテングフルーツコウモリ maraitaun-kuttaretu-nikaopekapap (新): [名]マルミミテングフルーツコウモリ kisarasikari-kuttaretu-nikaopekapap (新): [名]ラボールテングフルーツコウモリ pipipinasun-kuttaretu-nikaopekapap (新): [名]ロビンソンテングフルーツコウモリ kuinzuradoun-kuttaretu-nikaopekapap (新)※(クイーンブランドの管鼻果実喰蝙蝠): [名]ニューギニアヒメテングフルーツコウモリ属 niwginiaun-kuttaretu-nikaopekapap-cise (新): [名]ニューギニアヒメテングフルーツコウモリ moniwiginiaun-kuttaretu-nikaopekapap (新): [名]パラニクティメネ・テナクス poroniwiginiaun-kuttaretu-nikaopekapap (新)

てんこう(天候) ①[場名]天気 nisossir(-i) (新)、[場名] nisorsir(-i) (新): (表現)悪天候 wen nisossir (nisorsir) (新): (表現)天候不順になる、である nisossir

(nisorsir) an kunip somo ne (新): (表現)天候不良である nisossir (nisorsir) somo pirka (新): [場名](合成語の構成要素として)天気 sir (石狩): [名]天候回復の呪法 siraska (H北東部)

てんごく(天国) [場名]天国 kannamosir (石狩): 対義語は"poknamosir"。明治以降の、恐らくは金成イメカヌ娼等のキリスト教伝道により広まったもので、今ではキリスト教徒であるか否かを問わず、死後悪事に手を染めぬ人はここへ行くと考えられている。

でんこくじ(伝国璽) [名] 伝国璽 mosirkoritokpa (新)

でんごん(伝言) ①[名]伝言 sonko (石狩): ②(動作主の直接的な行為として)[自]伝言する asurani (新)、[自] asurkor (石狩)、[名] sonkoani (石狩)、[自] sonkokor (石狩): [他]〜について伝言する easurani (新)、[他] easurkor (石狩)、[他] esonkoani (新)、[他] esonkokor (石狩): [他]〜に伝言する koasurani (新)、[他] koasurkor (石狩)、[他] kosonkoani (新)、[他] kosonkokor (新): [他]〜と共に伝言する koasurani (新)、[他] koasurkor (新)、[他] kosonkoani (新)、[他] kosonkokor (新): [他](原因、手段)伝言する oasurani (新)、[他] oasurkor (新)、[他] osonkoani (新)、[他] osonkokor (新): [他](人)に伝言させる asuranire (新)、[他] asurkore (新)、[他] sonkoanire (新)、[他] sonkokore (新): [自]自分で、一人で伝言する yaykoasurani (新)、[自] yaykoasurkor (新)、[自] yaykosonkoani (新)、[自] yaykosonkokor (新): [自]互いに、皆で伝言する ukoasurani (新)、[自] ukoasurkor (新)、[自] ukosonkoani (新)、[自] ukosonkokor (新): ③(人を介した行為として)[自]伝言する teskar (石狩): [他](人)に伝言させる teskare (新)

てんさく(添削) [自]添削する ipirkare (新)、[自] iutapke (新): [他]〜を添削する pirkare (新)、[他] utapke (新): (表現)文章を添削する an=nuye p pirkare (新)、(表現) an=nuye p utapke (新): [他]〜と共に〜を添削する kopirkare (新)、[他] koutapke (新): [他](原因、手段)で〜を添削する opirkare (新)、[他] outapke (新): [他](人)に〜を添削させる pirkarere (新)、[他] utapkere (新): [他]自分で、一人で〜を添削する yaykopirkare (新)、[他] yaykoutapke (新): [他]互いに、皆で〜を添削する ukopirkare (新)、[他] ukoutapke (新): [他]すっかり〜を添削する oarpirkare (arpirkare) (新)、[他]

oarutapke (arutapke) (新): [他](人)に～を添削させる pirkareyar (新)、[他] utapkeyar (新)

てんし(天使) [名] 天使 pirkasonkokorkur (B)、[名] angeros (新)※(希語)

でんし(電子) [名] 電子 imerupo (新)、[名] erektoron (新)※(英語)

でんしけいさんき(電子計算機) [名] 電子計算機 imeruioipiskip (新): [名] 電子卓上計算機 pon-imeruioipiskip (新)

でんじは(電磁波) [名] 電磁波、電磁放射 imeruikot-rir (新)

でんしゃ(電車) [名] 電車 imeruikinneanop (新)、[名] imeruturein (新)、[名] deysa (新)

てんしゅつ(転出) (表現) 転出する oyak ene (ta) oman (複数 paye) (新): [名] 転出者 oyakkoomankur (新): (表現) 転出者 oyak ene (ta) oman kur (新)

てんじょう(天井) [名] 天井 kannay (石狩)、[名] kannuy (石狩)

でんしょう(伝承) [自] 伝承する iuste (石狩): [他](人)に伝承する koiuste (石狩): [他] ～を伝承する uste (石狩): [他](場所)で～を伝承する euste (新): [他](人)に～を伝承する kouste (石狩): [他] ～と共に～を伝承する kouste (新): [他](原因、手段)で～を伝承する ouste (新): [他](人)に～を伝承させる ustere (新): [他] 自分で、一人で～を伝承する yaykouste (新): [他] 互いに～を伝承し合う、皆で～を伝承する ukouste (新): [自] 全てを伝承する uuste (沙流): [他](人)に全てを伝承する kouuste (新): [名] 伝承者 uustekur (新)

テンシン(天津) [場名] 中華人民共和国の直轄都市名) 天津 Tiancin (新)

てんせつ(転節) [名] (虫の脚の) 転節 sikiruik(-i) (新)

でんせん(伝染) [自] 伝染する tusse (石狩)、[自] turse (新): [他](場所)で伝染する etusse (eturse) (新): [他] ～へ伝染する、～と共に伝染する kotusse (koturse) (新): [他] ～から伝染する、(原因、手段)で伝染する otusse (oturuse) (新): [他](人)に伝染させる tusseka (turseka) (新)、[他] tussere (tursere) (新): [名] 伝染病 tussearka (石狩): [名] 鳥の姿をした伝染病の神 sikatorkamuy (名寄)

でんせん(電線) [名] 電線 imeruru (新)

でんそうろ(伝送路) [名] 伝送路 ikusru(-we) (新)※(情報や電力が通る道)、[名] canner (新)※(英語)、[名] kanar (新)※(露語)

てんたい(天体) [名] 天体 rikomap (石狩):

(表現)(女性の美貌の比喩に用いられる常套句) 顔の輝きは天体の如く Nannipeki rikomap sinne (石狩)

でんたつ(伝達) ①[名] 伝達 sonko (石狩): ②(動作主の直接的な行為として)[自] 伝達する asurani (新)、[自] asurkor (石狩)、[名] sonkoani (石狩)、[自] sonkokor (石狩): [他] ～について伝達する easurani (新)、[他] easurkor (石狩)、[他] esonkoani (新)、[他] esonkokor (石狩): [他] ～に伝達する koasurani (新)、[他] koasurkor (石狩)、[他] kosonkoani (新)、[他] kosonkokor (新): [他] ～と共に伝達する koasurani (新)、[他] koasurkor (新)、[他] kosonkoani (新)、[他] kosonkokor (新): [他](原因、手段)伝達する oasurani (新)、[他] oasurkor (新)、[他] osonkoani (新)、[他] osonkokor (新): [他](人)に伝達させる asuranire (新)、[他] asurkore (新)、[他] sonkoanire (新)、[他] sonkokore (新): [自] 自分で、一人で伝達する yaykoasurani (新)、[自] yaykoasurkor (新)、[自] yaykosonkoani (新)、[自] yaykosonkokor (新): [自] 互いに、皆で伝達する ukoasurani (新)、[自] ukoasurkor (新)、[自] ukosonkoani (新)、[自] ukosonkokor (新): ③(人を介した行為として)[自] 伝達する teskar (石狩): [他](人)に伝達させる teskare (新)

でんたつしゅだん(伝達手段) [名] 伝達手段 anop (新)、[名] vehikre (新)※(英語)

テンチ (魚介)[名] (ウグイ亜科) テンチ属 tinca-cise (新)※(学名)

でんちゅう(電柱) [名] 電柱 imeru-ikuspe (新)

テント ①(一泊するための)[名] テント kas (新): ②(一定期間滞在するための)[名] テント kuca (新)

でんとう(伝統) (表現) 伝統 ekasi kar puri (石狩)、(表現) sinrit kar puri (石狩)、(表現) teeta an puri (石狩)

でんとう(電灯) [名] 電灯 imeruratcako (新)、[名] ratcako (新)※(伝統的なものとこれを対比する場合には、前者を"ratcako-ekasi"としたり、後者を"imeruratcako"とする)

でんどうのしょ(伝道の書) (聖書)[名] 伝道の書 Koheret (新)

テントコウモリ(テント蝙蝠) (動物)[名] (アカフルーツヘラコウモリ亜科) テントコウモリ属 kucakarkapap-cise (新): [名] テントコウモリ kucakarkapap (新): [名] ウロデルマ・マグニロストルム davis-kucakarkapap (新)

デンドロシキオス (植物)[名](ウリ科)デンドロシキオス亜連 *urini-moutar* (新): [名]デンドロシキオス属 *urini-cise* (新): [名]デンドロシキオス・ソコトラヌスの茎 *urini* (新)

てんにゅう(転入)(表現)転入する *oyak wa(-no) ek* (複数 *arki*) (新): [名]転入者 *oyakoekkur* (新): (表現)転入者 *oyak wa(-no) ek kur* (新)

テンニンギク(天人菊)(植物)[名](キク科)テンニンギク属 *hoskiamerikaunkur-tomtekikukina-cise* (新): [名]テンニンギクの茎葉 *hoskiamerikaunkur-tomtekikukina* (新): [名]その花 *hoskiamerikaunkur-tomtep* (新)※(別名「インディアンブランケット」、「サンダンス」など): [名]オオテンニンギクの茎葉 *sihoskiamerikaunkur-tomtekikukina* (新)

てんねん(天然) [自]天然である *siente* (新)、[自] *ciante* (新)

てんねんおんせん(天然温泉)(表現)天然温泉 *siente (ciante) tompuri* (新)、(表現) *siente (ciante) yu* (新)

てんねんとう(天然痘) [名]天然痘 *kamuysiyeye* (石狩): [名](合成語の構成要素として)天然痘 *pa* (石狩): [自]天然痘が流行する *páus* (H)

てんねんばいち(天然培地)[場名]天然培地 *siente-iuattereusi* (新): [場名] *siente-cieiuattereusi* (新)

てんのう(天皇) [名]天皇 *cimayrekamuy* (石狩)

てんのうせい(天王星)(宇宙)[名](太陽系の七番惑星名)天王星 *Kantokorkamuynociw* (新)、[名] *Uranus* (新)※(羅語)

でんば(電場) [名]電場 *imerumintar* (新)

でんば(電波) [名]電波 *imerurir* (新)

デンバー [場名](アメリカ合衆国コロラド州の州都名)デンバー *Denver* (新)

でんぴょう(伝票)[名]伝票 *surip* (新)※(英語): [名]売上伝票 *ieyyokoukpe-surip* (新): [名]支払伝票 *ieyyokokarpe-surip* (新): [名]入金伝票 *ciahunkepsurip* (新): [名]振替伝票 *ikortuptesurip* (新)

てんぶく(転覆)[自]転覆する *hokus* (石狩)、[自] *oarhokus* (新): [他](場所)で転覆する *ehokus* (新)、[他] *oarehokus* (新): [他]〜と共に転覆する *kohokus* (新)、[他] *oarkohokus* (新): [他](原因、手段)で転覆する *ohokus* (新)、[他] *oarahokus* (新): [他]派手に、思いきり転覆する *toykohokus* (新)、[他] *oattoykohokus* (新): [他]〜を転覆させる *hokuste* (石狩)、[他] *oarhokuste* (新)

てんぷら [名]てんぷら *tempura* (新)※(日本語): [名]てんぷら *itotosum(-i)* (新)

でんぷん(澱粉) [名](オオウバユリなどの)澱粉 *irup* (石狩)

でんぼう(電報) [名]電報 *imerusonko* (石狩): (表現)電報を受け取る *imerusonko uk* (新): (表現)電報を打つ *imerusonko omante* (新): (表現)電報を配達する *tunaskampi puni* (新)

デンマーク[場名](国名)デンマーク王国 *Danmarku Yaykoosirkorkurkormosir* (新)※(首都は「コペンハーゲン」): [場名](国名の通称として)デンマーク *Danmarku* (新): [名]デンマーク人 *danmarkuunkur* (新): [名]デンマーク語 *danmakuunkuritak* (新)

てんまど(天窓) [名]天窓 *rikumpuyar* (石狩)

でんみやく(腎脈)[名](虫の翅の)腎脈 *keseunrapunrit(-ci)* (新)

てんめつ(点滅) [自]点滅する *ninnin* (石狩): [他](場所)で点滅する *eninnin* (新): [他]〜と共に点滅する *koninnin* (新): [他](原因、手段)で点滅する *oninnin* (新): [他]〜を点滅させる *ninninka (ninninte)* (新): [自]自然に点滅する *sininka (sininte)* (新): [自]皆点滅する *uninka (uninte)* (新): [自]激しく点滅する *toykoninnin* (新)

てんらく(転落) [自]転落する *orak* (石狩)、[自] *horak* (沙流): [他](場所)で転落する *eorak* (新): [他](場所)に転落する、〜と共に転落する *koorak* (新): [他](場所)から転落する、(原因、手段)で転落する *oorak* (新): [自]急に転落する *orakkosanu* (石狩): [自]頻りに転落する *ciorakrototo* (新)、[自] *orakrototke* (新): [自]何度も転落する *orakrakatki* (新): [自]続けて転落する *oraknatara* (新): [自]瞬間的に転落する *orattekk (oraktek)* (新): [他]瞬間的に〜を転落させる *orattekka (oraktekka)* (新): [自]ひどく転落する *toykoorak* (新): [自]崖から転落する *kutoorak* (新): [他]〜を転落させる *oratte(orakte)* (石狩): [他](人)に〜を転落させる *orattere(oraktere)* (新): [他]人に〜を転落させる *oratteyar (orakteyar)* (新)

でんらん(電纜) [名]電纜 *hárika* (新): [名]電纜敷設艇 *hárikaturiricippo* (新): [名]特設電纜敷設艇 *citumicipnere-harikaturiricippo* (新)

でんりゅう(電流)[名]電流 *imerumom* (新)

でんろ(電路) [名]電路 *imeruru(-we)* (新)

でんわ(電話) [名]電話 imeruitak (新)、[名]téfon (新)：[自]電話する imeruitak (新)、[自] téfonki (新)：[他](電話番号)をダイヤルする、(電話番号)に掛ける eimeruitak (新)、[他] eterefonki (新)：[他](人)に電話する、～と共に電話する koimeruitak (新)、[他] koterefonki (新)：[他]～から電話する、(原因、手段)で電話する oimeruitak (新)、[他] oterefonki (新)：[他](人)に電話させる imeruitakte (新)、[他] téfonkire (新)：[名]電話機 cioimeruitakpe (新)、[名] téfon (新)：[名]電話線 hawkusru (新)：[名]電話帳 imeruitakkampis (新)：(表現)電話番号 imeruitak us cipiskip (新)、(表現)imeruitak kor cipiskip (新)：「私の電話番号は 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 番です。」

“ Ku=kor imeruitak us cipiskip 0123456789 (zero sinep tup rep inep asiknep iwampe arwampe tupesampe sinepesampe) ne.”：[名]電話ボックス imeruitak-supopkuca (新)、[名]imeruitak-suopkuca (新)

と(1) [後副](直接に引用した発話や思考の文の直後に置かれ)～と sekor (石狩)、[後副]ari (石狩)、[後副] arino (石狩)：(表現)…という状態に～がある … sekor (ari、arino)～ an (石狩)：(表現)…と～が話す … sekor (ari、arino)～ itak (石狩)：(表現)…と～が考える … sekor (ari、arino)～ yaynu (石狩)：(表現)…と～に～が尋ねる … sekor (ari、arino)～～ kopis (石狩)：(表現)…と～に～に言う … sekor (ari、arino)～～ ye (石狩)：…というので～ … sekor ne kusu ～ (石狩)：(表現)…という～ … sekor (ari、arino) an ～ (石狩)：(表現)～という人 ～ sekor an kur (石狩)：(表現)～という人達 ～ sekor okay utar (石狩)：(表現)～という者、物、事 ～ sekor an pe (石狩)：(表現)～という者達 ～ sekor okay pe (石狩)：(表現)～という所 ～ sekor an hi (石狩)

と(2) [副助](二つの名詞を並列的に挙げ)～と～ newa ～ (石狩)：「私は酒と水を混ぜる。」“ Sake newa wakka ku=ukopoye”、「箱の中に黒い玉と白い玉と赤い玉がある。“Supop oske ta kunne tamanum newa retar tamanum newa hure tamanum okay.”：例えば最初の例文は“Sake wakka ku=ukopoye .”というように“newa”を使わずに表現できる。方言によっては“newa”がない方言もある。

と(戸) ①[名]戸、戸口 apa (石狩)：(表現)

戸を開ける apa maka (石狩)：(表現)戸を閉める apa seske (石狩)：②[名]引戸、扉 apusta (石狩)、[名] apausta (幌別)：(表現)引戸を開ける apusta rutu (新)：(表現)引戸を閉める apusta asi (石狩)：(表現)扉を押す apusta oputuye (新)：(表現)扉を押して開ける apusta oputuye wa maka (新)：(表現)扉を引く apusta sikoetaye (新)：(表現)扉を引いて閉める apusta sikoetaye wa seske (新)：③[名]特に母屋と物置の間に垂らす戸代わりの下げ 蕨 apaorotpe (石狩)、[名] apaotpe (新)※(八雲)、[名] apaoruspe (新)※(八雲)：(表現)戸口の下げ 蕨を下ろす apaorotpe seske (石狩)：[名]外と物置の間に垂らす外戸代わりの下げ 蕨 soyun-apaorotpe (石狩)

と(都) [名](日本国の行政単位名として)都 to (新)

ど(度) ①(温度、経緯度、角度の単位として)[名]度 ipak (新)、[名] dekre (新)※(仏語)：「5°」を asikne ipak、asikne dekre、asiknep、「180°」を inehotnep ikasma atuytane ipak、inehotnep ikasma atuytane dekre、inehotnep ikasma atuytanep (inehot ikasma atuyta)などとも表現できるものとする)：②(程度、限度の意味で)[名]度 ipak (名詞)：(表現)度を越す ipak kus (新)：③(眼鏡の)[名]度 yupke (新)：(表現)度が強い yupke poro (新)：(表現)度が弱い yupke pon (新)：(表現)度が合う yupke pirka (新)：(表現)度が合わない yupke wen (新)

ど(鉤) ①中に飼を入れ水中に沈め小魚やカニを取る木の枝で組んだ籠 rawomap (raomap) (石狩)：②梁漁で水中に仕掛ける木の枝で組んだ籠 rawomap (raomap) (石狩)

ドア [名]ドア apusta (石狩)：[名]ドアアイ apustasik(i) (新)：[名]ドアガード apustaepunkiep(i) (新)：[名]ドアクロザー apustaseskep(i) (新)：[名]ドアチェーン apusta-uokkani (新)：[名]ドアノブ apusta-aske (新)：[名]ドアハンドル apustanit(i) (新)

とい(問い) [名]問い pisi (新)

といあわせ(問い合わせ) ①[自]～に問い合わせがある sonkokus (新)：[他]～に～について問い合わせがある kosonkokus (石狩)：②[自]問い合わせる pisi (石狩)、[自] isonkokuste (新)：[他]～について問い合わせる episi (新)、[他] koisonkokuste (新)：[他](場所)で問い合わせる episi (新)、[他] eisonkokuste

(新): [他]～に問い合わせる kopisi (石狩): [他](原因、手段)で問い合わせる opisi (新)、[他] oisonkokuste (新): [他](人)に問い合わせさせる pisire (新)、[他] usonkokustere (新): [他](人)に～について問い合わせさせる episire (新)、[他] kousonkokustere (新)

といし(砥石) [名]砥石 ruy (石狩)

ドイツ [場名](国名)ドイツ連邦共和国 Doitcurando Ukosineatki Ukotankoremosir (新)※(1949-90年までの通称は「西ドイツ」): [場名](国名の通称として)ドイツ Doitcurando (新): [名]ドイツ人、国民 doitsuunkur (新): [名]ドイツ語 doitsuunkuritak (新): (歴史)[場名](国名)ドイツ民主共和国 Doitcu Urenkasapte Ukotankoremosir (新) ※(1949-90年。通称は「東ドイツ」): [場名](国名)ドイツ国 Doitcu Mosir (新)※(1871-1945年。首都は「ベルリン」。尚、1871-1918年までを「ドイツ帝国」、1919-33年までを「ワイマール共和国」、1933-45年までを「ナチスドイツ」、「第三帝国」とも通称する): (歴史)[場名](国名)ドイツ帝国 Doitcu Ipawetenkekurkormosir (新)

トイレ [名]トイレ asinru (石狩): [名]女子トイレ menoko-asinru (石狩)、[名] menokoru (石狩): [名]男子トイレ okkay-asinru (石狩)、[名] menokoru (石狩): [名]和式トイレ sísamru (新): [名]洋式トイレ kasianoosorusiru (新)、[名]水洗トイレ wakkaeymomteru (新): [名]便器 asinruumpe (新): [名]便槽 asinrupise (新): (表現)(上品な表現として)はばかりに行く tuyma kurka ta oman (複数 paye) (石狩): 萱野辞書によれば大便の時には"tuyma"、小便の時は"hanke"と表現する事もあったようだ。: [自]はばかりに行く yayutek (沙流): (表現)(最も普通の表現として)トイレに行く rúkar oman (複数 paye) (石狩)、[自] rúkari (天塩): (表現)(直接的で下品な表現として)トイレに行く asinru oman (asinru eoman) (石狩)

とう(党) [名]党 topa (新)

とう(塔) [名]塔 riknaaspe (新)

どう(道) [名](日本国の行政単位として)道 dow (新)、[名] koronia (新)※(羅語)

どう(銅) ①(鉱物)[名]銅 húrekani (石狩): ②(化学)[名]銅 húrekani (新)※(原子番号29番。元素記号 Cu): ③[自]銅(銅色)になる、である húrekanine (新): [他]～を銅(銅色)にする húrekanineka

(húrekaninere) (新): [名] 銅 色 húrekaniiro (新)

どう(如何) ①(疑問)[副]如何、如何やって nékon (石狩): 「君はこれを如何やって作ったの?」"Tampe nékon e=kar?": ②(不定: 特定できない、あるいは特定したくない)[副]如何にか nékonka (石狩): 「如何にかするよ。」"Nekonka ku=iki na .": (表現)如何にか nékon poka (石狩): ③(不定: 任意の)(表現)如何にでも nékon ne yakka (nékon nakka, nékonakka) (石狩): 「如何にでもあなたの好きに。」"Nekon ne yakka es=ki rusuy hi neno es=ki yak pirka!"

とう(問う) [自]問う pisi (石狩): [他]～について問う episi (新): [他](場所)で問う episi (新): [他](人)に問う kopisi (石狩): [他]～と共に問う kopisi (新): [他](原因、手段)で問う eyaykopisi (新): [他](人)に問わせる pisire (新): [他]自分で、一人で～について問う kopisi (新): [他]互いに、皆で～を問う eukokopisi (新): [他]すっかり～について問う oarepisi (arepisi) (新): [他]人に～について問わせる episiyar (新): [自]自分で自分に問う yaykopisi (新): [自]自分の心に問う yayramkopisi (新): [自]互いに問う、皆に問う ukopisi (新)

どうい(同意) [自]同意する ramosma (石狩)、[自] irenkanu (新): (表現)同意する irenka nu (石狩): [他]～について同意する eramosma (石狩)、[他] eirenkanu (新): [他](人)に同意する koramosma (石狩)、[他] koirenkanu (新): [他](原因、手段)で同意する oramosma (新)、[他] oirenkanu (新): [他](人)に同意させる ramosmare (新)、[他] irenkanure (新): [自]自分で、一人で同意する yaykoramosma (新)、[自] yaykoirenkanu (新): [自]皆で、共に同意する ukoramosma (新)、[自] ukoirenkanu (新): [自]全面的に同意する oanramosma (anramosma) (新)、[自] oairrenkanu (arirenkanu) (新)

どういたしまして (表現)どういたしまして ene pak an pe (千歳)

とういつ(統一) [他]～を統一する sineatkire (新): [他]～と共に～を統一する kosineatkire (新): [他](人)に～を統一させる sineatkirere (新): [他]自分で、一人で～を統一する yaykosineatkire (新): [他]互いに、皆で～を統一する ukosineatkire (新): [他]完全に～を統一する oassineatkire (assineatkire) (新)

とういん(党員) [名] 党員 topaorunkur (新)

トゥーラ [場名](ロシア連邦中央連邦管区の構成主体名)トゥーラ州 Túra-purovince (新): [場名](トゥーラ州の州都名)トゥーラ Túra (新)

とうおう(東欧) (表現)(地名)東欧 Cupkaun Europa (新): (表現)東欧諸国 Cupkaun Europa uyru usamosir (新)

とうか(灯火) ①(松明などの)[名]灯火 sune (石狩): 今後蠟燭などに関しても用いる。: ②(灯台、ランプなどの)[名]灯火 ratcaku (石狩): 今後電灯などに関しても用いる。

とうか(豆果) (植物)[名]豆果 mame-ikaop(-i) (新)

どうが(動画) [名]動画 cimoyenoka (新): (表現)動画を見る cimoyenoka nukar (新)

とうかく(到格) (言語)[名]到格 cikosirepaprewke (新)

トゥキ [名]トゥキ tuki (石狩): [名]火の神に祈るためのトゥキ itakasumpe (天塩): [名]女性用のトゥキ menokotuki (石狩): [名]トゥキの本体 tukinum(-i) (H): [名]トゥキの高台 takaysara (H)

とうき(投棄) [他]～を投棄する osura (複数 osurpa) (石狩): (表現)～を不法投棄する irenkawente wa osura (複数 osurpa) (新): [他](場所)で～を投棄する eosura (複数 eosurpa) (新): [他]～へ～を投棄する、～と共に～を投棄する koosura (複数 koosurpa) (新): [他](原因、手段)で～を投棄する oosura (複数 oosurpa) (新): [他](人)に～を投棄させる osurare (複数 osurpare) (新): [他]瞬間的に～を投棄する osuttek (新): [自]ゴミを投棄する múnosura (複数 múnosurpa) (新)

とうき(陶器) [名]陶器 iorecirep (新)、[名]ciiorecirep (新)、[名]ciapeciseor-ecirep (新)

とうき(同期) [自]同期する uerpakiki (新): [他]～を同期させる uerpakikire (新): [他]～と同期する erpakiki (新): [他](時)に～と同期する eerpakiki (新): [他](原因、手段)で～と同期する oerpakiki (新): [他]～に～と同期させる erpakikire (新)

とうきゅう(等級) [場名]等級 sóuni (新)

とうきょう(東京) [場名](日本国の首都名)東京 Tókió (石狩)、[場名] Sísamtonokotan (石狩)

どうぎょう(同業) [名]同業 sineirawkitupa (新)、[名]sinemonrayke (新): (表現)同業を営む sineirawkitupakorkur (新)、(表現)sinemonrayke kor (新): [名]同業者

sineirawkitupakorkur (新)、[名]sinemonrayke (新): [名]同業者組合 sineirawkitupakorkur-uekarpaus (新)、[名]gírude (新)※(独語): [名]同業者組合員 sineirawkitupakorkur-uekarpausunkur (新)、[名]gírudeunkur (新)

とうきょうウタリきょうかい(東京ウタリ協会) [名]東京ウタリ協会 Tokio utari iekarpa (新)※(略号 TUU)

どうきん(同衾) [自]同衾する、闇を共にする ukoso (石狩)、[自](雅) ukosetorun (沙流): [自]同衾する、一緒に寝る uturahotke (石狩): (表現)～と同衾する tura(-no) hotke (石狩)

どうぐ(道具) [名]道具 cieiwankep (石狩)、[名]aneiwankep (石狩): (表現)道具 an=eíwanke p (石狩)

どうくつ(洞窟) [名]洞窟 póru (石狩): (表現)洞窟の中 póru or(長形-o、-ke) (石狩)、(表現) póru oske (石狩)、(表現) póru onnay(長形-ke) (新)、(表現)(雅) póru upso (沙流)

とうげ(峠) [名]峠 rúcis (石狩)、[名]okcis (otcis) (石狩): [名]峠沢 rupespe (H) ※山を越えて向こう側の土地へ降りて行く路のある川の事。: [場名]峠下 rúcispok (石狩): [名]峠道 rúcisru (新): [名]峠山 rúcisnupuri (蝦夷記)

とうけい(東経) [名]西経 cupka-aturika (新)

とうけつ(凍結) [自]凍結する rupus (石狩): [他](場所)で凍結する erupus (新): [他]～と共に凍結する korupus (新): [他](原因、手段)で凍結する orupus (新): [他]～を凍結させる rupuska (沙流): [自]充分凍結する rupusno (rupusnu) (新): [自]すっかり凍結する oanrupus (anrupus) (新): [自]ひどく凍結する toykorupus (新)、[自] rayrupus (新): [自]忽ち凍結する rupustek (新): [他]～を忽ち凍結させる rupustekka (新): [自]全てが凍結する urupuska (新)

とうこう(刀工) [名]刀工 tamkarkur (新)、[名]tamekanikikkur (新)[名]tamkikkur (新)

とうこう(同行) ①(「行く」、「下る」など具体的な行動を示さず)同行する → 「いっしょに(一緒に)」を見よ: ②(具体的な行動を示し)同行する → 「いっしょにいく(一緒に上がる)」、「いっしょにいく(一緒に行く)」、「いっしょにおりる(一緒に下りる)」、「いっしょにくる(一緒に来る)」などを見よ

とうさつ(盗撮) [自]盗撮する

iyayesianokauk (新): [他]~を盗撮する
yayesianokauk (新): [他](人)に~を盗撮させる yayesianokaukte (新)

とうし(凍死) [自]凍死する méekot (石狩):
[他](場所)で凍死する emeeekot (新):
[他]~と共に凍死する komeekot (新):
[他](原因、手段)で凍死する omeekot (新):
[他]~を凍死させる méekotte (新)

とうし(透視) [自]透視する iposoinkar
(新): [他]~を透視する posoinkar (石狩):
[他](場所)で透視する eposoinkar (新):
[他]~と共に~を透視する koposoinkar (新):
[他](原因、手段)で~を透視する oposoinkar (新):
[他](人)に~を透視させる posoinkare (新)

とうし(動詞) (文法)[名]動詞 moykeidak
(新)、[名] moymoykeidak (新): (表現)0
項動詞 supop sak moykeidak (新)、[名]
supopsakpe (新): (表現)一項動詞
sinesupop kor moykeidak (新)、[名]
sinesupopkorpe (新): (表現)二項動詞
tusupop kor moykeidak (新)、[名]
tusupopkorpe (新): (表現)三項動詞
resupop kor moykeidak (新)、[名]
resupopkorpe (新): (表現)四項動詞
nesupop kor moykeidak (新)、[名]
nesupopkorpe (新): [名]自動詞
yaymoyeidak (新): [名]他動詞
imoyeidak (新): [名]連動詞 ukopi-
moyeidak (新)

とうし(同士) (表現)~同士で heru (eru)+名
詞+ne (石狩): 「今日は男同士で話し合おう。」
“Tanto anakne heru okkayo ne ukoytak=an ro!”

とうし(同志) [名]同志 sineirenkakorkur
(新)、[名] sineirenkakor (新)

どうじ(同時) [副]同時に uerpak
(uerpakno) (石狩、天塩)、[副] upak
(upakno) (天塩): [後副]~と同時に
erpak (erpakno) (石狩、天塩)、[後副]
eirpak (沙流)

どうしうち(同士討ち) [自]同士討ちする
yaykocorawki (新): [他](人)に同士討ちさせる
yaykocorawkire (新)

とうじき(陶磁器)[名]陶磁器 toyokarpe (新)、
[名] citoyokarpe (新): [名]磁器
sumako-kotoyokarpe (新)、[名]
cisumako-kotoyokarpe (新): [名]炆器
ioreruyecirep (新)、[名] ciioreruyecirep
(新)、[名] ciapeciseor-eyupkeciirep (新):
[名]陶器 ioreciirep (新)、[名] ciioeciirep
(新)、[名] ciapeciseor-eciirep (新): [名]
土器 nupkaeciirep (新)、[名]
cinupkaeciirep (新)

どうして(如何して) (疑問)[副]如何して
nepkusu (石狩): (表現)如何して
nékonampe kusu (石狩): 「如何してお前は
肉を食べたの?」 “Nepkusu (=Nékonampe kusu) kam e=e?”、「如何して
か私には分からない。」 “Nepkusu (=Nékonampe kusu) ne ya ku=erametek .”: (表現)一体如何して
nepkus ta (石狩): 「一体如何して君を好き
になったのだろうか?」 “Nepkus ta e=eramasuy=an ruwe an?”

どうしても ①(能力的に)(表現)どうしても~で
きない nékon iki yakka+名詞+eaykap
(石狩)、(表現) nékon iki yakka+動詞句+
eaykap (石狩): 「私は頭が悪いからどう
してもこの物語を覚える事ができない。」

“Ku=sapawen kusu nékon ku=iki yakka
tan oruspe ku=eraman eaykap .”: ②(し
たたく)(表現)どうしても~ができない、不
可能である nékon iki yakka+名詞+
koyaykus (石狩)、(表現) nékon iki yakka
+動詞句+koyaykus (石狩): 「私は今ま
でどうしてもできなかった事を今実行した
い。」 “Tane pakno nékon ku=iki yakka
ku=koyaykus pe tane ku=ki rusuy .”、「明
日はどうしても私は行けない。」 “Nisatta
anakne nékon ku=iki yakka ku=oman
koyaykus .”

ドゥシャンベ [場名](タジキスタン共和国の首
都名)ドゥシャンベ Dušambe (新)

とうじゅん(頭楯)[名](虫の)頭楯 sapa-
tamkikhumpe (新)、[名] páke-
tamkikhumpe (新)

とうしょう(凍傷)[名]凍傷 ueci (新): [自]
凍傷に罹る ueci (石狩): 従来は「しもや
けになる」の意味もあるが、今後はそちらの
意味では“mecire”を用いていく。: (表現)~
の足が凍傷に罹る cikiri ueci (石狩)

とうしょう(刀匠)[名]刀匠 tamkarkur (新)、
[名] tamekanikikkur (新)、[名]
tamkikkur (新)

どうじょう(同情)[名]同情 ikemnu (新):
[自]人に同情する ikemnu (石狩): (表
現)同情する ikemnu kewtum kor (新):
(表現)同情の気持ちを抱く ikemnu
kewtum yaykorpore (石狩): [他]~に同
情する kemnu (石狩): [他]~について
人に同情する eikemnu (石狩): [他](人)
に~に同情させる kemnure (新)

とうじょうかじょ(頭状花序)[名]頭状花序
sapane-apappoomakat (pakene-) (新)

どうしょうもない (表現)どうしょうもない
ene+kar の人称形+hi ka isam (石狩)、(表
現) ene+iki の人称形+hi ka isam (石

狩)：「愛しい人は私が獲った一番良い魚を受け取ると振り向いてもくれず、どうしようもないので私は雑魚ばかりを持って家に戻った。」“Ku=osikkote menoko ku=koyki cep, iyotta pirka hike uk kor en=ekota sikiru ka somo ki no ene ku=kar hi ka isam kusu ceppo patek ku=korahosipi.”：(表現) どうする事もできない ene wa poka (あるいは ene wa huyke)+yaykar の人称形+hi ka koerampetek (石狩)：「私は手伝ってもらったが、どうする事もできず、課題を終えられなかった。」“Enci=kasuy korka ene wa poka ku=yaykar hi ka ku=koerampetek no ku=ki kunip ku=okere eaykap.”

とうしん(刀身) [名]刀身 ipe (石狩)

とうせい(統制) [自]統制がとれている siuitaknukar (新)：[他]～を統制する uitaknukar (新)※(人の命令をよく聞く+kar)：[他](場所)で～を統制する euitaknukar (新)：[他]～と共に～を統制する kouitaknukar (新)：[他](原因、手段)で～を統制する ouitaknukar (新)：[他](人)に～を統制させる uitaknukare (新)：[他]完全に～を統制する oaruitaknukar (aruitakkar) (新)

どうせい(同性) [名]同性 sinehopurikorkur (新)：[自]同性である sinehopurikor (新)：[自]同性同士である ukosinehopurikor (新)：[副]同性だけで ooyahopurisakno (新)

とうぜん(当然) [副]当然 eposokane (沙流)、[副] kanakun (十勝)：「当然私もあなたと行きますからね。」“Eposokane kuani ka e=tura=an na.”

とうそう(逃走) [自]逃走する kira (石狩)：[他]～を連れて逃走する、～と共に逃走する ekira (石狩)：[他](場所)へ逃走する kokira (石狩)：[他](場所)から逃走する、(原因、手段)で逃走する okira (新)：[他]～を逃走させる kirare (石狩)：[自]自分で、一人で逃走する yaykokira (新)、[自] yaykirare (石狩)：[自]互いに、皆で逃走する ukokira (新)、[自] ukirare (石狩)：(表現)逃走経路 orpeka kira ru (新)、(表現) kira ru (新)

とうそう(闘争) [名]闘争 ukoyki (新)：[自]闘争する ukoyki (石狩)：[他]～の事で闘争する eukoyki (新)：[他](場所)で闘争する eukoyki (新)：[他]～と闘争する koyki (石狩)：[他]～の事で～と闘争する ekoyki (新)：[他](原因、手段)で闘争する oukoyki (新)：[他](人)を闘争させる ukoykire (新)

どうぞう(銅像) [名]銅像 hurekani-inoka

(新)：(表現)銅像を造る hurekani-inoka kar (新)：(表現)銅像を鑄る hurekani-inoka nokaorokar (新)

とうぞく(盗賊) [名]盗賊 ikkakur (石狩)、[名] ikkap (石狩)：[自]盗賊行為を行う ikka (石狩)

どうぞく(同族) [名]同族 anutári (石狩)、[名] utar(i) (石狩)、[名] irpe (沙流)

とうそくこう(頭足綱) (魚介)[名](軟体動物門)頭足綱 sapacikiruspe-mopet (新)：[名]アンモナイト亜綱 ammonite-mopet (新)：オウムガイ亜綱 nautirus-mopet (新)：[名]鞘形亜綱 tumpakatkorpemopet (新)：[場名]コウモリダコ目 atkorepetpetke-kotan (新)：[名]四鰓亜綱 inekurkikorpemopet (新)：[名]二鰓亜綱 tukurkikorpa-mopet (新)

とうそつ(統率) [自]統率がとれている uitaknu (沙流)：[他]～の統率をとる uitaknure (新)：[他](場所)で～の統率をとる euitaknure (新)：[他]～と共に～の統率をとる kouitaknure (新)：[他](原因、手段)で～の統率をとる ouitaknure (新)：[他](人)に～の統率をとらせる uitaknurere (新)：[他]完全に～の統率をとる oaruitaknure (aruitaknure) (新)

とうだい(灯台) ①(貝殻に魚油を入れ芯を立てた照明具)[名]灯台 ratcaku (石狩)：②(航海の安全をはかる設備)[名]灯台 rikosune (新)

どうたい(胴体) [名]胴体 tumam(-a) (石狩)：[名]胴体の上部 penram(-u) (石狩)、[名] pencor(-o) (幌別)：[場名]胴体の中央 tumam-noski (石狩)：[名]胴体の下部 panram(-u) (石狩)：[名](合成語の構成要素として用いられ)胴体 ram(-u) (石狩)

とうち(統治) [自]統治する yayetunus (千歳)：[他]～を統治する eyayetunus (新)、[他] kor (石狩、天塩)：[他](場所)で統治する eyayetunus (新)：[他]～と共に統治する koyayetunus (新)：[他](原因、手段)で統治する oyayetunus (新)：[他](人)に統治させる yayetunuste (新)：[自]自分で、一人で統治する yaykoyayetunus (新)：[自]互いに、皆で統治する ukoyayetunus (新)：[自]完全に統治する oaryayetunus (aryayetunus) (新)

トウチク(唐竹) (植物)[名](タケ亜科)トウチク属 tócič-cise (新)：[名]トウチクの茎 tócič (新)※(日本語)

とうちゃく(到着) [自]到着する sirepa (石狩)、[自] yaysirepare (新)：[他]～を連れて到着する、～と共に到着する esirepa

(新): [他](場所)に到着する *kosirepa* (石狩)、[他](雅) *ekosirepa* (石狩): [他](場所)から到着する、(原因、手段)で到着する *osirepa* (新): [他]～を到着させる *sirepare* (石狩): [他]～を(場所)に到着させる *kosirepare* (石狩): [他]～を(場所)から到着させる、～を(原因、手段)で到着させる *osirepare* (新): [自]自分で、一人で到着する *yayesirepa* (新): [自]互いに、皆で到着する *uesirepa* (新): [自]皆が到着する *usirepare* (新)

とうちゃん(父ちゃん) [名]父ちゃん *mici* (石狩): "ona"「父上」、"hampe"「父」よりくだけた言葉。

どうちゅう(道中) [場名]道中 *rúhontom(-o)* (石狩)、[場名] *rútom(-o)* (天塩)

とうちょう(盗聴) [自]盗聴する *awoinu* (新): [他]～を盗聴する *awonu* (新): [他](場所)で盗聴する *awoinu* (新): [他]～と共に盗聴する *awoinu* (新): [他](原因、手段)で盗聴する *awoinu* (新): [他](人)に盗聴させる *awoinure* (新): [名]盗聴装置 *cioawoinup* (新)

とうちょう(頭頂) [場名]頭頂 *kankitay(-e)* (石狩)、[場名] *pákitay(-e)* (石狩)、[名] *páokannasi* (石狩)、[場名] *pákankitay(-e)* (十勝)、[場名] *pákankitayke* (十勝)、[場名] *sapakitay(-e)* (幌別)、[場名] *sapakitayke* (幌別)

どうちょう(同調) [自]人に同調する *ikokewtumkor* (新): [他](人)に同調する *kokewtumkor* (石狩): [他](人)を(人)に同調させる *kokewtumkore* (新): [自]同調し合う *ukokewtumkor* (新)

どうてい(童貞) [名]童貞 *ieramuskar-okkay* (新)、[名] *sempirkasi-eyaytursakka-okkay* (新)、[名] *sempirsama-eyaytursakka-okkay* (新)

どうていど(同程度) ①(二つ以上のものの大きさや量を比べ)[自]同程度である、同じである *upak* (石狩): (表現)同程度である *upakno an* (石狩): [副]同程度に、同じく *upak* (石狩)、[副] *upakno* (石狩): ②(大きさや量を比べ)[他]～と同程度である、～と同じである *pak* (石狩): [後副]～と同程度に、～と同じく *pak* (石狩)、[後副] *pakno* (石狩)

ドウディンカ [場名][ロシア連邦シベリア連邦管区クラスノヤルスク地方の都市名]ドウディンカ *Dudinka* (新)

とうとう [副]とうとう *tane* (石狩)、[副] *óikesne* (沙流): (表現)とうとう *tane anakne* (石狩)、(表現) *tanepo tap* (沙流)

どうどう(堂々) [自]堂々とする、堂々として

美しい、立派である *mewnatara* (石狩)、[自](雅) *komewnatara* (沙流): (表現)(雅)川の水源、神の山がそびえる様は堂々としている *petetok us pe kamuy-nupuri as ru konna mewnatara* (沙流)

とうとく(尊く) [自]尊くなる、尊い *páse* (石狩): [他]～を尊くする *páseka* (*pásere*) (新): [副]尊く *páse* (石狩)、[副] *páseno* (新)

とうとぶ(尊ぶ) [自]尊ぶ *oripak* (石狩): (表現)尊んで *oripak kane* (石狩)、(表現) *oripak tura* (石狩): [他]～を尊ぶ *eoripak* (石狩)、[他] *kooripak* (天塩): [他](場所)で尊ぶ *eoripak* (新): [他]～と共に尊ぶ *kooripak* (新): [他](原因、手段)で尊ぶ *ooripak* (新): [他](人)に尊ばせる *oripakte* (新): [自]充分尊ぶ *oripakno* (*oripaknu*) (新): [副]尊んで *oripakno* (石狩): [後副]～を尊んで *eoripakno* (新)

とうなんアジア(東南アジア) (表現)(地名)東南アジア *Cupka-koypokun Aziya* (新)

とうなんとう(東南東) [場名]東南東 *cupka-koypok-cupka* (新): [名]東南東の風 *ikamenas* (蝦夷記)

トゥバ [場名][ロシア連邦シベリア連邦管区の構成主体名]トゥバ共和国 *Tiva Ukotankoremosir* (新)※(首都は「クズル」): [名]トゥバ人 *tivakur* (新): [名]トゥバ語 *tivakuritak* (新)※(チュルク語北東語群に属する言語。)

とうはつ(頭髮) [名]頭髮 *kimuyuspe* (八雲): (表現)自らの頭髮を我は解き解きし、それをくしゃくしゃにし身に振り被った *an=kimúyuspe an=pitápita ay=sitósito ay=sikáomare* (新)※(幌別): [名](雅)(所屬形)～の頭髮 *kimuy-otopi* (石狩): [他]～の頭髮を長々と曳き摺り回す *etannenimpa* (石狩): 「…神の女の頭髮を私は手に巻き付け、床じゅう私は彼女の頭髮を長々と曳き摺り回し…」“…*kamuymenoko kimuy-otopi an=etékkonoye so okari an=etánnenimpa*…”(杉村キナラブック)神謡

トウヒ(唐檜) (植物)[名](マツ科)トウヒ属 *sunku-cise* (新): [名]エゾマツの茎 *sunku* (新)※(別名「トウヒ」): [名]アカエゾマツの茎 *cikapsunku* (天塩): [名]アカトウヒの茎 *amerikasunku* (新): [名]ウィルソントウヒの茎 *siwninsunku* (新)※(中国語): [名]エンゲルマントウヒの茎 *retarsunku* (新): [名]オウシュウトウヒの茎 *europasunku* (新)※(別名「ドイツトウヒ」): [名]オモリカトウヒの茎 *omorikasunku* (新): [名]カナダトウヒの

茎 kanadasunku (新)※(別名「シロトウヒ」): [名]クロトウヒの茎 kunnesunku (新)※(別名「マリアナトウヒ」): [名]コーカサストウヒの茎 koukasossunku (新): [名]コロラドトウヒの茎 kororadosunku (新): [名]サージェントトウヒの茎 burakitirasunku (新): [名]シッキムトウヒの茎 sikkimsunku (新): [名]シトカトウヒの茎 sitkasunku (新): [名]シベリアトウヒの茎 sibirisunku (新): [名]スチュレンストウヒの茎 tienšansunku (新): [名]チョウセントウヒの茎 kórinsunku (新): [名]チワウトウヒの茎 cihuahuasunku (新): [名]ドラゴントウヒの茎 doragonunku (新): [名]ニイタカトウヒの茎 taywansunku (新): [名]ハリリモミの茎 hujisunku (新)※(別名「バラモミ」): [名]バルファートウヒの茎 barfoursunku (新): [名]ヒメバラモミの茎 cicibusunku (新): [名]ビルマトウヒの茎 mianmasunku (新): [名]ブリュワートウヒの茎 oknesunku (新): [名][名]ベイツチトウヒの茎 numiporoatuyyasunku (新): [名]マイヤートウヒの茎 bayciansunku (新)※(中国語): [名]マツハダの茎 samormetotussunku (新): [名]マルチネストウヒの茎 martinessunku (新): [名]ムラサキトウヒの茎 pewrekinapeussunku (新): [名]モリンダトウヒの茎 morindasunku (新): [名]ヤツガタケトウヒの茎 yaťuganupurisunku (新): [名]リキアントウヒの茎 nasisunku (新)※(ナシ族のトウヒ)

とうひ(逃避) [自]逃避する kira (新): [他]〜と共に逃避する ekira (新): [他](場所)へ逃避する kokira (新): [他](場所)から逃避する、(原因、手段)で逃避する okira (新): [他]〜を逃避させる kirare (新)

とうひ(頭皮) [名](人の)頭皮 sapakap(-u) (幌別): [名](動物の)頭皮 saparus(-i) (幌別)

トウヒレン(唐飛簾) (植物)[名](キク科)トウヒレン属 tumuskikukina (新): [名]アサマヒゴタイの茎葉 asama-tumuskikukina (新): [名]アブクマヒゴタイの茎葉 abukuma-tumuskikukina (新): [名]アラサワトウヒレンの茎葉 arasawa-tumuskikukina (新): [名]イナトウヒレンの茎葉 ina-tumuskikukina (新): [名]イワテヒゴタイの茎葉 iwate-tumuskikukina (新): [名]ウスユキトウヒレンの茎葉 upaskapar-tumuskikukina (新): [名]ウラギンヒゴタイの茎葉 kaya-

tumuskikukina (新)※(別名「ホクシヒゴタイ」): [名]ウリュウトウヒレンの茎葉 uriw-tumuskikukina (新)※(ヒダカトウヒレンの変種): [名]エゾトウヒレンの茎葉 yayan-tumuskikukina (新)※(ナガバキタアザミの変種): [名]オオダイトウヒレンの茎葉 samor-tumuskikukina (新): [名]オクキタアザミの茎葉 cókay-tumuskikukina (新)※(ナガバキタアザミの品種): [名]カラフトアザミの茎葉 karahto-tumuskikukina (新)※(トナカイアザミの変種): [名]キクアザミの茎葉 ussuri-tumuskikukina (新): [名]キリシマヒゴタイの茎葉 kirisima-tumuskikukina (新): [名]キントキトウヒレンの茎葉 hakone-tumuskikukina (新): [名]クロトウヒレンの茎葉 kunne-tumuskikukina (新)※(シラネトウヒレンの変種): [名]コウシュウヒゴタイの茎葉 kay-tumuskikukina (新): [名]コンセントウヒレンの茎葉 attokoto-tumuskikukina (新): [名]サウッスレア・コストウスの茎葉 cinmušankina (新)、[名]その根 cinmušan (新)※(青木香): [名]サウッスレア・ラッパの茎葉 yunmušankina (新)、[名]その根 yunmušan (新)※(雲木香): [名]シマトウヒレンの茎葉 ūsima-tumuskikukina (新): [名]シラネアザミの茎葉 sirane-tumuskikukina (新)※(別名「アキノヤバズアザミ」): [名]ススヤアザミの茎葉 susuya-tumuskikukina (新)※(スナジヒゴタイの亜種): [名]スナジヒゴタイの茎葉 sutepi-tumuskikukina (新)※(別名「ステツプイゴタイ」): [名]セイタカトウヒレンの茎葉 keweritumuskikukina (新): [名]ダイセツヒゴタイの茎葉 nutapkamysir-tumuskikukina (新)※(ナガバキタアザミの変種): [名]タイワンヒゴタイの茎葉 taywan-tumuskikukina (新): [名]タカオヒゴタイの茎葉 takao-tumuskikukina (新): [名]タカネキタアザミの茎葉 rinupuri-tumuskikukina (新)※(ウスユキトウヒレンの品種): [名]タンザワヒゴタイの茎葉 tanzawa-tumuskikukina (新): [名]チシマキタアザミの茎葉 cupkaunkur-tumuskikukina (新): [名]トナカイアザミの茎葉 tunakay-tumuskikukina (新)※(別名「ダフリアアザミ」): [名]トビシマトウヒレンの茎葉 tobisima-tumuskikukina (新): [名]ナガバキタアザミの茎葉 yaunkur-tumuskikukina (新)※(別名チシマキタアザミの亜種): [名]ナンブトウヒレンの茎葉 nambu-tumuskikukina (新):

[名]ヒダカトウヒレンの茎葉 apoy-tumuskikukina (新): [名]ヒナヒゴタイの茎葉 sattek-tumuskikukina (新)※(別名「トウヒゴタイ」): [名]ヒメシラネアザミの茎葉 mosirane-tumuskikukina (新): [名]ヒメヒゴタイの茎葉 motumuskikukina (新): [名]フォーリーアザミの茎葉 pirkasonkokor-tumuskikukina (新)※(別名「フォリアアザミ」): [名]ホクチアザミの茎葉 hamuporo-tumuskikukina (新): [名]ボンボリトウヒレンの茎葉 inkarposo-tumuskikukina (新): [名]ミヤコアザミの茎葉 siretokkor-tumuskikukina (新): [名]ミヤマキタアザミの茎葉 metotkoyka-tumuskikukina (新): [名]ミヤマトウヒレンの茎葉 metot-tumuskikukina (新): [名]ヤハズトウヒレンの茎葉 aycaro-tumuskikukina (新): [名]ヤハズヒゴタイの茎葉 yaskeaycaro-tumuskikukina (新): [名]ユウバリトウヒレンの茎葉 yúparo-tumuskikukina (新): [名]ユキバタカネキタアザミの茎葉 upaskaparrinupuri-tumuskikukina (新)※(ウスユキトウヒレンの品種): [名]ユキバトウヒレンの茎葉 upaskaparkamuysir-tumuskikukina (新)※(ウスユキトウヒレンの品種): [名]ユキバヒゴタイの茎葉 sirpokiretar-tumuskikukina (新): [名]レブントウヒレンの茎葉 repunsir-tumuskikukina (新)※(ナガバキタアザミの変種): [名]ワタゲトウヒレンの茎葉 wata-tumuskikukina (新)

とうぶ(東部) [連体]東部の cupkaun (新)

とうぶ(頭部) [名]頭部 sapa (石狩)、[名] pake (páke) (石狩)、[名] key(-he) (天塩): (表現)頭部湿疹ができる sapa wencima o (新)、(表現) páke wencima o (釧路)

どうぶつ(動物) [名]動物 cikoykip (石狩)、[名](雅) cironnup (cironnop) (石狩)※(杉村キナラブク媼は動物を"cironnop"、キツネを"cironnup"と発音し分けているようである): (関連語彙)[名]雄 pinnep (新): [連体]雄である pinne (石狩): [名]雌 matnep (新): [連体]雌である matne (石狩): [名]頭 pake (石狩)、[名] sapa (石狩): [名]角 kiraw(-e) (石狩): [名]目 sik(-i) (石狩): [名]鼻 etu (石狩): [名]口 par(-o) (石狩): [名]牙、犬歯 sikite (石狩): [名]歯 nimak(-i) (石狩): [名]毛皮 rus(-i) (石狩): [名](毛の生えていない)皮 kap(-u) (石狩): [名]なめし皮 tonto (石狩): [名]毛 numa

(石狩): [名](馬などの)たてがみ okusutnuma (新): [名]胴体 tumam(-a) (石狩): [名]腹 hon(-i) (石狩): [名]乳房 tokap(-u) (石狩): [名]脚 cikir(-i) (石狩): [名]前脚 tek(-e) (石狩): [名]後脚 cikir(-i) (石狩): [名]爪 am(-i) (石狩): [名]蹄 usis(-i) (石狩): [名]尾 sar(-a) (石狩): [名](クマなどの)小さい尾 poysar(-a) (石狩): [名]肉 kam(-i, -u) (石狩): [名] pone (石狩): [名]動物の寝た跡 sómun (石狩)

どうぶつえん(動物園) [場名]動物園 cikoykipnukarusi (新)

とうべつ(当別) [名](地名)当別川 Topet (永田)、[名](雅) Ciwaspet (松浦): 石狩川左岸支流。現在石狩地方当別町及び札幌市を流れる「当別川」。「当別町」の名はこれに由来する。

とうほう(東方) [場名]東方 cuporikinusi (新)、[名] oriento (新)※(英語)

とうぼう(逃亡) [自]逃亡する kira (石狩): [他]～を連れて逃亡する、～と共に逃亡する ekira (石狩): [他](場所)へ逃亡する kokira (石狩): [他](場所)から逃亡する、(原因、手段)で逃亡する okira (新): [他]～を逃亡させる kirare (石狩): [自]自分で、一人で逃亡する yaykokira (新)、[自] yaykirare (石狩): [自]互いに、皆で逃亡する ukokira (新)、[自] ukirare (石狩): [名]逃亡者 kirakur (新)

とうぼく(倒木) [名]倒木 samamni (石狩)、[名] horakni (天塩)

とうぼくとう(東北東) [場名]東北東 cupka-koyka-cupka (新): [名]東北東の風 amato (蝦夷記)

トウマンコウ(豆満江) [名](地名)豆満江 Túmen-pet (新)※(中華人民共和国、朝鮮民主主義人民共和国、ロシア連邦の国境を流れ日本海に注ぐ川。)

とうみつ(糖蜜) [名]糖蜜 tópenwakka (新)、[名] sírop (新)※(蘭語)

とうめい(透明) [自]透明になる、である peker (石狩): [自]完全に透明になる、である oarpeker (arpeker) (新): [自]十分に透明になる pekenno (pekennu) (新): [自]一瞬で透明になる pekettek (新): [他]～を透明にする pekere (石狩)、[他] pekerka (新): [他]完全に～を透明にする oarpekere (arpekere) (新)、[他] oarpekerka (arpekerka) (新): [他]十分に～を透明にする pekennore (pekennure) (新): [自]一瞬で～を透明にする pekettekka (新)

どうめい(同盟) [名]同盟 utekeampa (新)、

[名] ukot (新)、[名] rik (新)※(英語 league より)、[名] federation (新)※(英語)：[自]同盟する utekeampa (新)、[自] ukot (新)：[他](場所)で同盟する eutekeampa (新)、[他] eukot (新)：[他](原因、手段)で同盟する outekeampa (新)、[他] oukote (新)：[他]～と～を同盟させる utekeampare (新)、[他] ukote (新)：[他]～と同盟する tekeani (新)、[他] kot (新)：[自]同盟する、している rikne (新)、[名] federationne (新)：[他]～を同盟させる rikneka (riknere) (新)、[他] federationneka (federationnnere) (新)

どうもう(獐猛) [自]獐猛になる、である niwen (石狩)：(表現)獐猛な眼つきをする niwen siktum eyaysankere (石狩)：(表現)獐猛な目つきで～を睨む niwen sik ani kosikkeruru (石狩)：[他]～を獐猛にする niwente (新)

とうゆ(灯油) [名] 灯油 cioapekurusum (新)、[名] cioapekuru-sumasum (新)

とうよう(東洋) [名] 東洋 cuporikinusi (新)、[名] oriento (新)※(英語)

とうよう(盗用) (表現)～を盗用する ～ eikka wa eiwanke (新)：(表現)(人)に～を盗用させる ～ eikkare wa eiwanke (新)：[他]思い切り、むちゃくちゃ～を盗用する、盗用しまくる ～ toykoeikka wa toykoeiwanke (新)：(表現)～が盗用される ～ cieikka wa cieiwanke (新)

どうよう(同様) ①(二つ以上のものの形、状態、性質を比較し類似を表し)[副]同様に uneno (石狩)：「これもそれも同様に駄目だ。」

“Tampe ka taampe ka uneno wen .”：(表現)同様である uneno + an (石狩)：

「私も君も同様の考えだ。」“Ku=yaynu e=yaynu uneno an .”：②(何かとの形、状態、性質の類似を表し)[後副]～(と)同様に néno (石狩)：雅語として「～の如くに」は“koraci”：「クマ肉同様にクジラ肉は昔からアイヌの大切な食糧である。」

“Kamuyharu néno humpekam anakne teeta wano Aynu haruikkewe ne ruwe ne .”、「あなた達が牛肉を食べるのと同様に私達はクジラ肉を食べるのです。」“Bekokam es=e hi néno humpekam ku=e p ne ruwe ne .”：(表現)～(と)同様である néno + an (石狩)：「私の家は小屋と同様(同然)である。」“Ku=kor cise kuca néno an .”、「小屋同様(同然)の家に私は暮している。」“Kuca neno an cise otta ku=an .”：③(前述の内容を受け)[後副]それと同様に arikoraci (石狩)：「私は海辺へとまっしぐらに駆けた。」

それと同様に仲間達も海辺へと駆けた。」

“Atuysam ene erkuwanno ku=hoyupu. Arikoraci ku=utari ka atuysam ene hoyuppa .”

トゥラ [場名](ロシア連邦シベリア連邦管区クラスノヤルスク地方の都市型集落名)トゥラ Tura (新)※(2007年までエヴェンキ自治管区の首府。)：[名](地名)トゥラ川 Tura-pet (新)

どうりで(道理で)[副](それまで述べられた事実、あるいはそこから導き出される事実に納得し)道理で～ eposoun (eposon) (石狩)、[副] eposoun (eposon) kusu (石狩)、[副] eposoun (eposon) kane (沙流)：「私の息子も結婚したよ。どうりで私も年取った訳だ。」“Ku=poho ka matkor na. Eposoun ku=onne ruwe ne .”

とうりゅう(逗留)[自]逗留する tóri (石狩)：[他](場所)に逗留する etori (新)：[他]～と共に逗留する kotori (新)：[他](原因、手段)で逗留する otori (新)：[他]逗留させる tórire (新)

とうりょう(統領、棟梁、頭領) [名] 統領 sapanekur (石狩)、[名] netopa(ke) (石狩)、[名] sapa (石狩)、[名] pake (石狩)

どうるい(同類) [自]同類である ikatkor (新)：[他]～と同類である katkor (沙流)：「あなたも私達と同類だ。」“Esokay ka es=un=katkor .”：[名]同類 ikatkorpe (新)、[名] irpe (新)

とお(十) ①[名]十 wampe (石狩)：②[連体]十の wan (石狩)：[場名]十日 wanto (石狩)

とおく(遠く) [自]遠くなる、遠い tuyma (石狩)：「アメリカはとても遠い。」

“Amerika sonno tuyma .”：(表現)(あちこちに存在する複数のものを示し)近くのと遠くのと、あちこちの～ hanke ～ tuyma ～ (石狩)：「今日は近くの村から遠くの村から立派な方々がいらっしやっている。」

“Tananto otta hanke kotan wa tuyma kotan wa utarpa utar katkemat utar arki wa okay sirkian .”：[他](場所)から遠くなる、遠い otuyma (新)、[他] kotuyma (新)：「貴方の家は浜から遠いの？」

“An=kor cise atuysam otuyma (kotuyma) ruwe ?”：[他]～と共に遠くなる、遠い kotuyma (新)：[他](場所)から遠くなる、遠い、(原因、手段)で遠くなる、遠い otuyma (新)：[他]～を遠くする tuymaka (tuymare) (新)：[自]完全に遠くなる、遠い oattuyma (attuyma) (新)：[自]十分に遠くなる、遠い tuymano (tuymanu) (新)：[自]凄く遠くなる、遠

い toykotuyma (新): [副]遠く、遠くに
tuymano (石狩)、[副] tuyma (石狩):
(表現) ずっと遠くに、遙か遠くに too
tuyma(no) (石狩): (表現) 遠くから
tuyma(no) wano (石狩): [副](合成語の
構成要素として)遠くから tuyma (石狩):
(表現)めいめい遠く離れて iru oyak ta (石
狩): [副]随分遠くに hankeko (石狩):
「随分遠いなあ。」“Hnkeko!”: [名]遠く
にいる知人 aysíramkorekur (石狩)

トーゴ [場名](国名)トーゴ共和国 Tógo
Sirakkari (石狩)※(首都は「ロメ」):
[場名](国名の通称として)トーゴ Tógo
(新): [名]トーゴ人、国民 togounkur (新)

とおさかる(遠ざかる) [自](空間的、時間的に)
遠ざかる、遠くなる tuyma (石狩): 「今
私の愛する女が乗った汽車は遠ざかった。」

“Ku=osikkote menoko o kisa tane
tuyma.”、「私が金持ちになるのも遠のいた。」

“Nispa ku=ne hi tuyma.”: [他]~を遠
ざける tuymaka (tuymare) (新): [完
動]遠ざかる sittuyma (新): 「もう随分
岸から遠ざかった。」“Tane sonno oyasi
sittuyma.”

とおし(通し) [副]夜通し rewsí (石狩):
(表現)夜通し kunne rewsí (石狩): [後
副]~を通し留まって tóri (沙流): (表現)
今日一日通し留まって tanto tóri (久保寺)

とおす(通す) ①[他](人)を通す ikuste (新):
「私を通して下さい。」“En=ikus wa en=kore
yan!”: [他](平面的な場所)に人を通す
unkuste (新): 「私の庭に私は人を通した。」

“Ku=kor mintar unkus.”: [他](平面的
な場所)に~を通す kuste (石狩): 「町
の中に私はお前を通してやるからな。」“Maciya
or e=kuste=an kusune na.”: [後副]~を
通して kari (石狩): ②[他](灌木の茂み、
背の高い草むらなど当たれば倒れるような
もの)に~を通す kasuyre (新)、[他](雅)
ekasuyre (石狩): 「…(私を振り回し)細い
立木に彼は私を通して…」“…ane cikunni
un=ekasuyre …”(砂沢クラ)神謡: ③
[他](穴や袖など)に~を通す、(穴など)を~に
通り抜けさせる oposore (新): 「私は針
穴に糸を通した。」“Kemsuy ka
ku=oposore.”: [後副]~を通して oposo
(新)

トースター [名]トースター panmap (新)

トーナメント [名] トーナメント
tounnamento (新)※(英語)

ドーハ [場名](カタール国の首都名)ドーハ
Dawha (新)

ドーバー ①[場名](イギリスの地名、都市名)
ドーバー Dover (新): [名]ドーバー海峡

Dóver-uturkeatuy (新): ②[場名](アメリ
カ合衆国デラウェア州の州都名)ドーバー
Dóver (新)

とおぼえ(遠吠え) [自]遠吠えする wose (石
狩): (表現)遠吠えの声 wose haw(e)
(新): [間投](遠吠えの声)ウオーン wo
(新)

とおめ(遠目) [自]遠目が利く inkanno (沙
流)

とおり(通り) [名]通り pararu (幌別)

とおりすぎる(通り過ぎる) [自]通り過ぎる
sirakkari (石狩): [他]~を通り過ぎる
akkari (石狩): 「私は札幌を通り過ぎて小
樽へと向かった。」“Satporo ku=akkari hine
Otausnay ene ku=oman.”: [他](場所)で
~を通り過ぎる eakkari (新): [他]~と共
に~を通り過ぎる koakkari (新):
[他](原因、手段)で~を通り過ぎる oakkari
(新): [他]~に~を通り過ぎさせる
akkarire (新): [他]素早く~を通り過ぎる
akkaritek (新): [他]~に素早く~を通り
過ぎさせる akkaritekka (新)

とおりぬける(通り抜ける) ①(平面的な場所に
関して)[他](場所)を通り抜ける kus (石
狩)、[他] sikuste (石狩): 「私達は森を
通り抜けた。」“Nitay ci=kus.”: [他](場所)
に(場所)通り抜ける kokus (新): [他]~
と共に(場所)を通り抜ける kokus (新):
[他](原因、手段)で(場所)を通り抜ける okus
(新): [他](人)に(場所)を通り抜けさせる
kuste (石狩): [他]素早く(場所)を通り抜
ける、(場所)をパッと通り抜ける kustek
(新): ②(土や穴の中など、あるいは何か障
害物、危険がある平面的な場所、危機に関し
て)[他](場所)を通り抜ける oposo (複数
opospa) (石狩)、[他] poso (複数 pospa)
(石狩): (表現)(穴など)を通して入る poso
wa ahun (複数 pospa wa ahup) (石狩)、(表
現) poso ahun (複数 pospa ahup) (石狩):
(表現)(穴など)を通して出る poso wa asin
(複数 pospa wa asip) (石狩)、(表現) poso
asin (複数 pospa asip) (石狩): 「汽車が
長いトンネルを通り抜けるとそこは雪国だ
った。」“Kisa tanne etoyposoru oposo hike
taan ta upasmosir an ruwe ne.”: [他](場
所)に(場所)を通り抜ける kooposo (複数
koopospa) (新)、[他] koposo (複数
kopospa) (新): [他]~と共に(場所)を通り
抜ける kooposo (複数 koopospa) (新)、
[他] koposo (複数 kopospa) (新):
[他](原因、手段)で(場所)を通り抜ける
ooposo (複数 oopospa) (新)、[他] oposo
(複数 opospa) (新): [他]~に(場所)を通
り抜けさせる oposore (複数 opospare)

(新)、[他] posore (複数 pospare) (新):
[他]素早く(場所)を通り抜ける、(場所)をさつ
と通り抜ける opostek (新)、[他] postek
(新)

とおりみち(通り道) [名]通り道 cikusru (石
狩)、[場名] cikusi (天塩)、[名] toyru (石
狩)

とおる(通る) ①(平面的な場所に関し
て)[他](場所)を通る kus (石狩): 「この
道を通して私は滝川に行く。」“Tan ru
ku=kus wa Sorapciputu ene ku=oman.”、
「毎日君はこの家の前を通るんだね。」
“Kesto an kor tan cise kotca e=kus
ruwe?”: [他](人)に～を通らせる kuste
(複数 kuspore) (新): [自](人)が道を通る
rúkuste (複数 rúkuspore) (沙流)※(単数
形は未出): 「私たちは村の上手(東側)を通
った。」“Kotan pake ta ci=rukuspore.”:
②(經由する場所を示し)[後副](場所)を通
って kari (石狩): (表現)歩いて上流、ある
いは下流に行くため)川の中を通過、川の中
を pet kari (石狩): ③(突き抜ける場所
を示し)[他](場所)を通る oposo (複数
opospa) (石狩)、[他] poso (複数 pospa)
(石狩): [後副](場所)を通過 oposo (新)

とかい(渡海) [自]渡海する atuytomotuye
(石狩): (表現)渡海する atuy tomtotuye
(石狩): [他](場所)で渡海する
eatuytomotuye (新): [他](場所)へ渡海す
る、～と共に渡海する koatuytomotuye
(新): [他](場所)から渡海する、(原因、手段)
で渡海する oatuytomotuye (新):
[他](人)に渡海させる atuytomotuyere
(新): [自]自分で、一人で渡海する
yaykotomotuye (新): [自]互いに、皆で渡
海する ukotomotuye (新)

とかい(都会) [場名]都会 pásekotan (天塩)、
[場名] síporokotan (新)、[場名] ioci
(新)、[名] pásemaciya (新)、[名]
poromaciya (新)

トガクシソウ(戸隠草) (植物)[名](メギ科)トガ
クシソウ属 togakusimun-cise (新): [名]
トガクシソウの茎葉 togakusimun (新)※
(別名「トガクシショウマ」)

トガサワラ(桐椏) (植物)[名](マツ科)トガサワ
ラ属 ciṭugakopa-cise (citopakopa-cise)
(新): [名]トガサワラの茎 ciṭugakopa
(新): [名]シナトガサワラの茎
atuyyaṭugakopa (新): [名]タイワントガ
サワラの茎 taywanciṭugakopa (新)※(シ
ナトガサワラの変種): [名]ビッグコーンダ
グラスファーの茎 numiporociṭugakopa
(新): [名]ペイマツの茎
amerikaciṭugakopa (新)※(別名「ダグラス

モミ」)

とかち(十勝) [場名](地名)十勝 Tókapci (石
狩)、[場名] Sianrur (石狩): [名]十勝石
anci (石狩)、[名] kanciw(-e) (石狩)、[名]
nisras(-u) (石狩)

トカチヤナギ(十勝柳) (植物)[名](オオバヤナ
ギ属)トカチヤナギの茎 cupni (浦河)、[名]
cisni (樺太)※(オオバヤナギの変種)

とがめ(咎め) ①[自]人を咎める ipanakte
(新): [他](人)を咎める panakte (石狩):
[他](場所)で～咎める epanakte (新):
[他]～と共に～を咎める kopanakte (新):
[他](原因、手段)で～を咎める、～の事で～を
咎める opanakte (新): [他](人)に～を咎
めさせる panaktere (新): [他]自分で、
一人で～を咎める yaykopanakte (新):
[他]互いに、皆で～を咎める ukopanakte
(新): ②[自]咎めを受ける sikkoipakar
(沙流): [他]～で咎めを受ける sikopaoyar
(沙流): (表現)(実際の処罰とは別に、人にあ
れこれ罪を責められ処罰される)口の端にも
咎めを受ける itak utur sikopaoyar (沙
流)※(久保寺神謡 10)

とがる [自]とがる、とがっている een (石
狩)、[自] etueen (石狩): [他]～をとがら
せる eenke (石狩)、[他] etueenke (新):
[他](場所)で～をとがらせる eenke (新)、
[他] etueenke (新): [他]～と共にとがら
せる koeenke (新)、[他] etueenke
(新): [他](原因、手段)で～をとがらせる
oeenke (新)、[他] etueenke (新):
[他](人)に～をとがらせる eenkere (新)、
[他] etueenkere (新): [他]すっかり～を
とがらせる oareenke (areenke) (新)、
[他] oaretueenke (aretueenke) (新):
[自]充分とがる、とがっている eenno
(eenno) (新)、[自] etueenno (etueennu)
(新): [他]充分～をとがらせる eennore
(eennore) (新)、[他] etueennore
(etueennore) (新): [他]思い切り～をと
がらせる toykoeenke (新)、[他]
toykoetueenke (新)

どかん(土管) [名]土管 toykuttar(-i) (新)

とき(時) ①[形式名](動詞句の後に置かれ)～(す
る)時 hi (石狩): この語で形成される名
詞句は場所として扱われ、後置詞 ta、wa、
pak が位置名詞 or 無しに使える: 「私が
小さい時に君に会った。」“Ku=pon hi ta
e=nukar=an.”、“私が小さい時から君を知
っている。”“Ku=pon hi wano
e=amkir=an.”、“私が帰って来る時まで君
は眠っていた。”“Ku=hosipi hi pakno
e=mokor wa an.”: [位名](動詞句の後に
用いられ)～(する)時 rapok(長形-i、-ike)

(石狩): 「…神の女が涙ながらに言った時に私が見ると…」 “…kamuyemenoko cis turano ye rapoki inkar=an ayke …”: ②[0動]時が過ぎる、時が経つ、時が流れる siran (石狩): 「誰か来た音がしたが、その後何の物音もせず時が経った。」 “Nenka ek humas a p,okake ta nep humi ka isam no siran .”: ③[副]時には hunne (石狩): (表現)時には hunne an kor (石狩): 「時には部屋の片付けした方がよい。」 “Hunne an kor tumpu or un pe e=ukao yak pirka wa .”

トキ(朱鷺)(鳥)[名](ペリカン目)トキ科 toki-apa (新): [名]トキ属 toki-cise (新): [名]トキ toki (新)※(日本語): [名]アオアシトキ属 siwnintoki-cise (新): [名]アカアシトキ属 cikirihuretoki-cise (新): [名]カオグロトキ属 nanukunnetoki-cise (新): [名]クロトキ属 kunnetoki-cise (新): [名]オナガトキ属 oisitanetoki-cise (新): サカツラトキ属 nanutontonetoki-cise (新): [名]シロトキ属 retattoki-cise (新): [名]テリハトキ属 oreatokki-cise (新): ハゲトキ属 epitcetoki-cise (新): [名]ブロンズトキ属 ipoyehurekanitoki-cise (新): [名]ヘラサギ属 eperanetoki-cise (新): [名]マダガスカルトキ属 madagašikaratoki-cise (新)

どき(土器)[名]土器 nupkaecirep (新)、[名]cinupkaecirep (新)

ときあかす(解き明かす) [自] 解き明かす ipitakar (新): [他] ~を解き明かす pitakar (新): [他](場所)で~を解き明かす epitakar (新): [他] ~と共に~を解き明かす kopitakar (新): [他](原因、手段)で~を解き明かす opitakar (新): [他](人)に~を解き明かさせる pitakare (新): [他] さつと~を解き明かす pitkattek (新): [他] 自分で、一人で~を解き明かす yaykopitakar (新): [他] 互いに、皆で~を解き明かす ukopitakar (新): [他] ~を完全に解き明かす arpitakar (石狩): [他] 充分に~を解き明かす pitakanno (pitakanno) (新): [他] 人に~を解き明かされる pitakarakar (新)

トキコウ(朱鷺鶴)(鳥)[名](コウノトリ科)トキコウ属 tokihawsaksarorun (新): [名]アフリカトキコウ tokihawsaksarorun (新): [名]アメリカトキコウ amerikatokihawsaksarorun (新): [名]インドトキコウ indiatoki-hawsaksarorun (新): [名]シロトキコウ retattoki-hawsaksarorun (新)

とぎし(研師) [名]研師 iruykekur (新)
ドキドキ (鼓動の感覚)[間投]ドキッ tok

(新): [間投]ドキドキ toktok (新): [自]ドキッとする tokse (新): [自]ドキドキする toktokse (石狩)、[自] toksetokse (石狩): [他](人)をドキドキさせる toktoksere (新)、[他] toksetoksere (新): [自]ドキッとする tokkosanu (新)、[自] tokkosampa (新): [自]頻りにドキドキする citokrototo (新)、[自] tokrototke (新): [自]続けてドキドキする toknatara (新)

ときどき(時々) [副]時々 ukoomanno (天塩): (表現)時々 utur an kane (石狩)、(表現)時々 utur an wa (石狩): [副]時々、時には hunne (石狩): (表現)時々、時には hunne an kor (石狩)

とぎもの(研ぎもの) [自] 研ぎものをする iruyke (石狩): [名] 研ぎものをする 腕 iruykeitanki (石狩)

どきゅう(弩級) (表現)弩級の Duretnout pakno an (新): [名]弩級戦艦 duretnout (新)

どきょう(度胸) ①[名]度胸 rametok (石狩): ②[自]度胸がある rametokkor (石狩): [名]度胸がある人 rametokkorkur (石狩)、[名] rametok (石狩): ③[自]度胸がない rametoksak (新)

とぎれる(途切れる) [自] 途切れる tuy (新): (表現)音が途切れる hum tuy (新): (表現)~の音が途切れる humi tuy (新): (表現)声が途切れる haw tuy (新): (表現)~の声が途切れる hawe tuy (新): [他] ~を途切れさせる tuye (新)

トキンソウ(吐金草) (植物)[名](キク科)トキンソウ属 apapporayta-kikukina-cise (新): [名]トキンソウの茎葉 apapporayta-kikukina (新)※(花穂菊草。別名「タネヒリグサ」など)

トク・ピジンゴ(トク・ピジン語) [名]トク・ピジン語 tok-pijinitak (新)※(パプアニューギニア独立国の公用語の一つ)

とく(解く) (帯に関して)[他] ~を解く pita (石狩): 今後はテストの問題など「を解く」の意味にも転用する。: [他](場所)で~を解く epita (新): [他] ~と共に~を解く kopita (新): [他](原因、手段)で~を解く opita (新): [他](人)に~を解かせる pitare (新): [他] 自分で、一人で~を解く yaykopita (新): [他] 互いに、皆で~を解く ukopita (新): [他] 人に~を解かせる pitayar (新): [他] ~を全部解く pitata (石狩)、[他] pitapita (石狩): (表現)帯を解く kut pitata (石狩)

とぐ(研ぐ) ①(刃物に関して)[他] ~を研ぐ ruyke (石狩): 「私は小刀を研いでとても

切れるようになった。〕“Makiri ku=ruyke wa sonno een.”: [他](場所)で～を研ぐ eruyke (新): [他]～と共に～を研ぐ koruyke (新): [他](原因、手段)で～を研ぐ oruyke (新): [他](人)に～を研がせる ruykere (新): ②(米に関して)[他]～を研ぐ huraye (石狩): [他](人)に～を研がせる hurayere (新)

どく(退く) ①(表現)～と別の場所へ退く oyak ene (oyakne) oman (複数 paye) (石狩)、(表現) oyak ta oman (複数 paye) (新): [自]退く sopki (八雲): [他](場所)に退く esopki (新): [他]～と共に退く kosopki (新): [他](場所)から退く、(原因、手段)で退く osopki (新): ②(表現)～のわきに退く ～ sam(長形-a、-ake) ene (複数 paye) (石狩)、(表現) ～ sam(長形-a、-ake) ta (複数 paye) (石狩)

どく(毒) [名] 毒 surku (石狩): [名] 毒薬 surkukusuri (石狩): [名](雅語) 毒水、毒液 rukaniwakka (石狩): [名](雅語) 毒入りの酒 surkusake (石狩) ※ (通例 "okokkosake" 「魔の酒」と対で用いられる): [名] 毒を塗った矢を穂先とする 鏑 áy-op (天塩)

ドクウツギ(毒空木) (植物) [名] (ムクロジ目) ドクウツギ科 surkuni-apa (新): [名] ドクウツギ属 surkuni-cise (新): [名] ドクウツギの茎 surkuni (新): [名] ドクウツギの実 niosurku (新)、[名] parkan (B)

どくがく(独学) [自] 独学する yaykokampinuye (新)、[自] yaypakasnu (新)、[自] iyaykoyukarkar (新): [他]～を独学する eyaykokampinuye (新)、[他] eyaypakasnu (新)、[他] yaykoyukarkar (新): [他](人)に独学させる yaykokampinuyere (新)、[他] yaypakasnure (新)、[他] iyaykoyukarkare (新)

どくさい(独裁) [自] 独裁する yayrenkasankar (新): [他]～を独裁する eyayrenkasankar (新): [他](場所)で独裁する eyayrenkasankar (新): [他]～と共に独裁する koyayrenkasankar (新): [他](原因、手段)で独裁する oyayrenkasankar (新): [他](人)に独裁させる yayrenkasankare (新): [名] 独裁者 yayrenkasankarkur (新)

とくし(特使) [名] 特使 sisak-ciuytekkur (新)、[名] supeciar-ciuytekkur (新)

とくしつ(特質) [名] 特質 sikorep (新)、[名] sikorepuri (新)、[名] ipekat-(u) (新)、[名] puri (石狩)

とくしゅ(特殊) [自] 特殊である sisak (新)、

[自] supeciar (新) ※ (英語): [他](場所)で特殊である esisak (新)、[他] esupeciar (新): [他]～と共に特殊である kosisak (新)、[他] kosupeciar (新): [他](原因、手段)で特殊である osisak (新)、[他] osupeciar (新): [他]～を特殊にする、特殊化する sisakka (新)、[他] supeciarka (supeciare) (新): [自] 互いに、皆特殊である ukosisak (新)、[自] ukosupeciar (新): [副] 特殊に iotta (石狩)、[副] sisakno (新)、[副] supecianno (新)

どくしょう(独唱) [自] 独唱する yaysinotcakire (新): [他]～を独唱する eyaysinotcakire (新): [他](場所)で独唱する esinotcakire (新): [他]～と共に独唱する koyaysinotcakire (新): [他](原因、手段)で独唱する oyaysinotcakire (新): [他](人)に独唱させる yaysinotcakireka (yaysinotcakirere) (新)

とくしん(流神) [自] 流神する kamuyicakkereka (kamuyicakkerere) (新): [他](人)に流神させる kamuyicakkerekare (新)

どくしん(独身) ①[自] 独身である matcak (matsak) (石狩): (表現) 独身男性 matsak (matsak) okkayo (石狩): ②(女に関して)[自] 独身である hokusak (石狩): (表現) 独身女性 hokusak menoko (石狩)

とくせい(特性) [名] 特性 sikorep (新)、[名] sikorepuri (新)、[名] puri (石狩)

とくせつかんせん(特設艦船) [名] 特設艦船 citumicipnerecip (citumicipnekacip) (新): [名] 特設運送船 citumicipnere-iruracip (新): [名] 特設監視艇 citumicipnere-inkaruscip (新): [名] 特設急設網艦 citumicipnere-yaturiricip (新): [名] 特設救難船 citumicipnere-ikaopascip (新): [名] 特設駆潜艇 citumicipnere-rawkuskecip-koykicip (新): [名] 特設航空機運送艦 citumicipnere-sintaruracip (新): [名] 特設航空母艦 citumicipnere-sintakotcip (新): [名] 特設港務艦 citumicipnere-tomarinepkicip (新): [名] 特設雑役船 citumicipnere-monranakkacip (新): [名] 特設工作船 citumicipnere-ciputapkecip (新): [名] 特設巡洋艦 citumicipnere-castumicip (新): [名] 特設水上機母艦 citumicipnere-apakossinta-kotcip (新): [名] 特設水雷母艦 citumicipnere-mapustekpekotcippo-eununcip (新): [名] 特設潜水母艦 citumicipnere-rawkuskecip-eununcip (新): [名] 特設掃海艇 citumicipnere-

iatuytumoukcippo (新): [名]特設掃海母艦
citumicipnere-iatuytumoukcippo-eununecip (新): [名]特設測量艦
citumicipnere-sirpakaricip (新): [名]特設電纜敷設船
citumicipnere-harikaturiricip (新): [名]特設病院船
citumicipnere-ikaoykicip (新): [名]特設敷設艦
citumicipnere-ituriricip (新): [名]特設敷設艇
citumicipnere-ituriricippo (新): [名]特設砲艦
citumicipnere-sipuspecip (新): [名]特設防空艦
citumicipnere-ienkaepunkinecip (新): [名]特設砲艦兼敷設艦
citumicipnere-sipuspe-ituriricip (新): [名]特設防潜網艇
citumicipnere-rawkuskecip-oikikkaryacippo (新): [名]特設捕獲網艇
citumicipnere-rawkuskecip-koykiya-cippo (新)

ドクゼリ(毒芹) (植物)[名](セリ科)ドクゼリ属
tôkaomapkina-cise (新): [名]ドクゼリの茎葉
tôkaomapkina (新)、[名]ドクゼリの根茎
tôkaomap (H): [名]ウェスタンウォーターヘムロックの茎葉
cuppok-tokaomapkina (新): [名]スポッテドウォーターヘムロックの茎葉
késotokaomapkina (新)

どくだん(独断) [自]物事を独断する
iweyyaykourenkarei (新): [他]～を独断する
weyyaykourenkare (新): (表現)～を独断専行する
～ weyyaykourenkare wa weyyaykoki (新): [他](場所)で～を独断する
eweyyaykourenkare (新): [他]～と共に～を独断する
koweyyaykourenkare (新): [他](原因、手段)で～を独断する
oweyyaykourenkare (新): [他](人)に～を独断させる
weyyaykourenkarere (新)

とぐち(戸口) [名]戸口 apa (石狩): (表現)戸口を開ける
apa maka (石狩): (表現)戸口を閉める
apa seske (石狩): (表現)戸口の所からちらちら顔を出して窺う
apa or ne hi tuyetuye wa ehewpa (新)※(久保寺神謡 17): [名](合成語の構成要素として家の)戸口
apaca (石狩): [名]家の戸口
ciseapa (石狩): [場名]戸口のまわり
apasam (石狩): [名]戸口の守り神
apacauskamuy (石狩): [名]戸口の守り神の木幣
apacainaw (石狩): [名](特に母屋と物置の間に垂らす)戸口の下げ蒔
apaorotpe (石狩、天塩): [名](外の下げ蒔。外と物置の間に垂らす)戸口の下げ蒔
soyun-apaorotpe (石狩)

とくていいゆうびんきょく(特定郵便局) [名]特定郵便局
cieyaka-ieikrauscise (新)

とくていひみつほごほう(特定秘密保護法)

(法律)[名]特定秘密保護法
cieyakaciesinap-epunkine-irenka (新)

どくとく(独特) [自]独特である
yaysaraye (新): [他](場所)で独特である
eyaysaraye (新): [他]～と共に独特である
koyaysaraye (新): [他]～に関して独特である
oyaysaraye (新): [副]独特に
yasaraye(-no) (新)

ドクニンジン(毒人参) (植物)[名](セリ科)ドクニンジン属
surkuupewkina-cise (新): [名]ドクニンジンの茎葉
surkuupewkina (新): [名]ドクニンジンの根
surkuupew (新)

とくべつ(特別) [自]特別である
sisak (新)、[自] supeciar (新)※(英語): [他](場所)で特別である
esisak (新)、[他] esupeciar (新): [他]～と共に特別である
kosisak (新)、[他] kosupeciar (新): [他](原因、手段)で特別である
osisak (新)、[他] osupeciar (新): [他]～を特別にする
sisakka (新)、[他] supeciarka (supeciare) (新): [自]互いに、皆特別である
ukosisak (新)、[自] ukosupeciar (新): [副]特別に
iota (石狩)、[副] sisakno (新)、[副] supecianno (新): [場名]特別区域
sisaksisserke (sisaksirserke) (新)、[場名] sisaksir(-i) (新)

どくへび(毒蛇) [名]毒蛇 apapa (石狩)、[名] okokko (石狩)

どくみ(毒見) [自]毒見をする
surkusapke (石狩): (表現)毒見をする
surku sapke (石狩): 本来はトリカブトの根より採った矢毒の強さを舌先にのせて確かめる毒試しの事であるが、今後は日本語の「毒見」の意味にも用いられていく。: [他](人)に毒見をさせる
surkusapkere (新)

とくゆう(特有) [自]特有である
yaykor (新)、[自] yaysaraye (新): [他](場所)で特有である
eyaykor (新)、[他] eyaysaraye (新): [他]～と共に特有である
koyaykor (新)、[他] koyaysaraye (新): [他]～に関して特有である
oyaykor (新)、[他] oyaysaraye (新): [副]特有に
yasaraye(-no) (新)

どくりつ(独立) [名]独立
yaynisuk (新): [自]独立する
yaynisuk (新): [他](原因、手段)で独立する
(新): [他]～と共に独立する
(新): [他]～から独立する
oyaynisuk (新): [他]～から独立させる
yaynisukte (新): [場名]独立国
yaynisukmosir (新): [固名]独立国家共同体
Yaynisukmosir Uramkopastep (新)※(アイヌ語の略称"YMU"。1993年旧ソ連邦12国(アゼル

バイジャン共和国、アルメニア共和国、ウクライナ、ウズベキスタン共和国、キルギス共和国、グルジア、タジキスタン共和国、トルクメニスタン、ベラルーシ共和国、モルドバ共和国、ロシア連邦)で結成されたが、1995年トルクメニスタンが永世中立国となり、準加盟国となる。本部はベラルーシ共和国のミンスク。)

とぐろ [自](蛇が)とぐろを巻く saykar (石狩)

どくろ(髑髏) →「ずがいこつ(頭蓋骨)」を見よ
とくをする(得をする) [他]〜で得をする、している epirka (石狩): [他](人)に〜で得をさせる epirkare (新)

とげ(棘) [名]棘 ay(-e) (石狩): [名]大きな棘 ciay(-e) (H): [名]木の棘 níay (石狩): [名]草の棘 munnay (石狩)、[名]múnay (新): [自]棘がある aykor (新)、[自] aynu (新): [自](場所)に棘が沢山ある áyus (新): (表現)(場所)に棘が沢山ある ay us (新): [自]棘が無い aysak (新)

トゲアリ(刺蟻) (昆虫)[名](ヤマアリ亜科)トゲアリ属 áyitunnap (新): [名]トゲアリ áyitunnap (新): [名]ウミトゲアリ atuyayitunnap (新): [名]クロトゲアリ kunneayitunnap (新)

トゲアワフキムシ(刺泡吹虫) (昆虫)[名](アワフキムシ上科)トゲアワフキムシ科 aykonnonkikir-apa (新): [名]ムネアカアワフキ penramuhurenokikir (新)

トゲガシ(刺楸) (植物)[名](ブナ科)トゲガシ属 tumpunu-nisewraytao-cise (新): [名]トゲガシの茎 tumpunu-nisewraytao (新)、[名]その殻斗 tumpunu-nisewrayta (新)、[名]その堅果 raytatumpuorop (新)※(別名「ゴールドエンチンカピン」): [名]ブッシュエンチンカピンの茎 motumpunu-nisewraytao (新)

ドけち [自]ドけちをする iweneunara (iwenemnara) (新)、[自] wéniniskupa (新)、[自] iwenecikari (新): [他]〜をドけちをする wéneunara (wénemnara) (新)、[他] wéniniskupa (新)、[他] wénecikari (新): [名]ドけちな奴 iweneunarap (iwenemnrap) (新)、[名] iwenniskupap (新)、[名] iwenecikarip (新)

どける(退ける) ①(表現)〜と別の場所へ〜を退ける oyak ene (oyakne) ama (石狩)、(表現) oyak ene (oyakne) anu (新): [他]〜を退ける sopkire (新): [他](場所)に〜を退ける esopkire (新): [他]〜と共に〜を退ける kosopkire (新): [他](場所)

から〜を退ける、(原因、手段)で〜を退ける osopkire (新): ②(手で寄せて)(表現)〜と別の場所へ〜を退ける oyak ene (oyakne) rutu (石狩)

とける(溶ける) ①[自](雪、氷、塩などが)溶ける ru (石狩): (表現)溶けてなくなる ru wa oarisam (石狩): (表現)溶けていく ru wa paye (石狩): "ru wa oman"も可能であるが、普通は"paye"を用いる。: [他]〜を溶かす rúre (石狩): [自]充分に溶ける rúno (rúnu) (新): [自]完全に溶ける oanru (anru) (新): ②[自](雪や氷が)溶ける、溶けている riten (石狩): [他]〜を溶かす ritenka (ritente) (新)

どこ(何処) ①(疑問)[場名]何処 neyke (石狩): 「お前何処見てんだ?」“Neyke e=nukar wa an?”: [位名]〜の何所 néor(長形-o) (石狩): 「あんた何処が痛い?」“E=neoro arka ya?”: [副]何所から neywa (石狩): 「お前達、何所から来たの?」“Neywa es=arki?”: [副]何所で、何処に neyta (石狩): 「あんた今何処にいるの?」“Tane neyta e=an?”: [副]何所へ neyne (石狩): 「貴方は何処へ行くのですか?」“Neyne es=paye ya?”: [副]何所まで neypakno (新): ②(特定できない、あるいは特定したくない)[場名]何処か neykeka (石狩): 「何処か痛くないの?」“Neykeka arka somo ki ya?”: [位名]〜の何処か néor(長形-o)ka (新): 「…この山の何処かに私がそれをパツと引っ掛けて引っ張る…」“…tan nupuri neorka an=eokokte tek an=nimpa…”(杉村キナラブック)説話: (表現)何処だか、何処ともなく neyke huyke (石狩): [副]何所からか neywaka (石狩): 「何所からか戦がやって来ようと力を合わせようぞ。」“Neywaka tumi ek anakne uramkopaste=an kusune na.”: (表現)何所からか neywa ta si (sino) (石狩): 「何所からか男が一人やって来て私と暮らした。」“Neywa ta si okkayo sinen ek wa en=turano okay=as.”: [副]何所かで、何処かに neytaka (石狩): 「誰かが何処かで君を待っているだろう。」

“Nenka neytaka e=tere kane an nankor.”: [副]何所かへ neykeka (新): (表現)何所かへ neyne ta si (sino) (石狩)、(表現) enon ta si (sino) (石狩): [副]何所までか neypaknoka (新): ③(不定:任意の)(表現)何処でも neyke ne yakka (新): (表現)〜の何処でも neor(長形-o) ne yakka (新): 「何処でも良いから押さえて下さい。」“En=neoro ne yakka pirka kusu kisma wa en=kore yan!”: (表現)何所か

らでも neywa ne yakka (新): 「何所からであっても来た者に私達は食事させる。」

“Neywa ne yakka pirka kusu ek kur ci=ipere .”: (表現)何所でも neyta ne yakka (石狩): 「何処でもある物だよ。」

“Neyta ne yakka an pe ne wa .”: (表現)何所へでも neyne ne yakka (石狩): 「何所へでも私を連れて行ってよ。」 “Neyne ne yakka en=tura!»: (表現)何所まででも neypakno ne yakka (新): 「何所まででも行きますよ。」 “Neypakno ne yakka ku=oman kusune na .”: ④(相手の発言に対する強い反発、反抗を表し)[間投]何処が neyke (石狩): 「何処が、あんなガキみたいな奴?!」 “Neyke, enean okunnep néno an pe? !»: ⑤(普通の)[連体]何処にでもいる、ある úse (石狩): (表現)何処にでもいる人 úse aynu (石狩): ⑥(何も持たぬ、位の低いなどの否定的意味合いを込め)[連体]何処にでもいて(あって)つまらない eru (石狩): (表現)何処にでもいるつまらない人 eru aynu (石狩)

とこう(渡航) [自]渡航する repun (石狩): [他](場所)で渡航する erepun (新): [他](場所)へ渡航する、～と共に渡航する korepun (新): [他](場所)から渡航する、(原因、手段)で渡海する orepun (新): [他](人)に渡航させる repunka (repunte) (新): [自]自分で、一人で渡航する yaykorepun (新): [自]互いに、皆で渡航する ukorepun (新)

とこずれ(床ずれ) [自](床ずれで)糜爛する ipopo (樺太白浦)

とこや(床屋) [場名]床屋 sietuypausi (新)

ところ(所) ①(表現)～する所 動詞句+hi (石狩): ②[位名]～の所 or(長形-o、-ke) (石狩): 後置詞が位置名詞、場所名詞以外の後に置かれる際、あるいは“o”「～に～を入れる」、「omare」 「～に～を入れる」の目的語となる際、それらの言葉の後に“or”やその諸形が置かれる。これらは“sam or wa”「～のそばから」、「kotan otta (> or ta)” 「村に」と位置名詞のごく一部や場所名詞と共に用いられる。また“or”の後に方向を示す後置詞“ene”が置かれる場合、他方言に見られる“orene”という形は石狩川筋ではごく稀にししか現れず、代わりに“otta”が後置副詞の“ekota”が用いられる。尚、名詞などに直接後続しなくても短形、長形共に後置詞と結びついて自立的に用いられ、前述された場所や時、つまり「そこ」、「その時」の意味を表わしたり、長形“oro”、“oroho”、“orke”で後置副詞として場所について「そこで」の意味を表わす。: ③(表現)いつも～する所 動詞句+

usi (石狩): 「いつも君が行く所に連れて行ってくれよ。」 “E=oman usi ene en=turaoman wa en=kore ya !”

ところどころ(所々) ①[位名]～の所々 utur(長形 -u、-uke、-ke) (石狩): (表現)～の所々を忘れる ～ utur(長形 -u、-uke、-ke)oyra (石狩): (表現)その所々 uturu uturu (萱): ②[自]所々秃げている etoy (天塩): [名]所々秃げた頭 etoysapa (天塩)

とざす(閉ざす) [他](戸などを)閉ざす seske (石狩): (表現)門戸を閉ざす apa seske (石狩): [他]～に対して～を閉ざす koseske (新): [他](人)に～を閉ざさせる seskere (新): [自]戸を閉ざす apaseske (石狩): [自](建物の)中から戸を閉ざす yaykoapaseske (石狩)

とざん(登山) [自]登山する nupurikorikin (複数 nupurikorikip) (新): (表現)登山する nupuri korikin (複数 korikip) (新): [名]登山道 kimunru (石狩)、[名] toyru (石狩)

とし(都市) ①(行政区分としての)[名]都市 si (新)※(日本語): ②(政治的共同体としての)[場名]都市 ioci (新)※(人が～に群居する所)、[場名] pásekotan (天塩)、[場名] siporokotan (新)、[名] pásemaciya (新)、[名] poromaciya (新): [場名] iocikotan (新)※(旧ソ連邦の都市区域)

とし(年) ①(時間に関して)[場名]年 pa (石狩): (表現)その次の年に ne eoya pa ta (石狩)、(表現) ne oya pa ta (石狩): (表現)その年に ne pa ta (石狩): (表現)一年 sine pa (石狩、天塩): (表現)ある年 sinean pa (石狩): (表現)二年経って tu pa siran kor 二年経って: 「二年程私は病気だった。」 “Tu pa pakno ku=arka .” (砂沢クラ): (雅語表現で一年を夏と冬に二分して)[場名]夏年 sakpa (石狩): [場名]冬年 matapa (石狩): (表現)夏年六年冬年六年(何年も何年も) matapa iwampa sakpa iwampa (石狩): ②(年齢に関して)[場名]歳 pa (石狩): 「あなたは何歳ですか？」

“Es=paha nep ka ne wa (= Neypak e=pa an ya)?”、「私は20歳です。」 “Hotne pa (= Hot) ku=ne .”

としょうえ(年上) [自]年上になる、である kiyanne (石狩)、[自] poro (石狩)、[自] onne (石狩): (表現)一番年上の娘 iyotta kiyanne matnepo (新): 「君より私が年上だ。」 “E=akkari ku=pa poro .”: [名](二人いるうちの)年上の息子 kiyannepo (石狩): [名](二人いるうちの)年上の老人 onneekasi (石狩)

としこし(年越し)(表現)年越しをする asirpa nukar (新)

としごろ(年頃) (表現)年頃である tane pakno an (石狩)、(表現) pakno an (石狩)

としした(年下) [自]年下になる、である poniwne (石狩)、[自] pon (石狩)、[自] pewre (石狩): [名](二人いるうちの)年下の息子 pompo (石狩): [名](二人いるうちの)年下の娘 ponmatnepo (石狩): [名](二人いるうちの)年下の老人 pónekasi (石狩)

とじまり(戸締り)[自]戸締りする ciseapaseskeno (新): (表現)(雅)くまなく戸締りする setasuy poka érumsey poka seske (石狩): (表現)誰も家に入れないように窓も戸口も閉める nen ne yakka cise oske ta ahun eaykap kunine puyar ka apa ka seske (新)

どしゃ(土砂) [名]土砂 toy (石狩): (表現)土砂崩れになる toy rututke (石狩)

としょ(図書) [名]図書 kampsisos (石狩): [場名]図書館 kampsisosusi (新)、[場名]cieramampeusi (新): [名]図書館員 kampsisosusi-orunkur (新): [名]図書室 kampsiosumpu (新)

としより(年寄り)[名]年寄り onnekur (石狩): [名]年寄り達 onne utar (石狩): [名]年寄り爺 onneekasi (石狩)、[名]onneaca (天塩): [名]年寄り婆 onnehuci (石狩): [自]年寄りになる、である、年寄り向けになる、である onne (石狩)

とじる(閉じる) [他]～を閉じる seske (石狩): (表現)蓋を閉じる puta seske (石狩): [他](場所)で～を閉じる eseske (新): [他]～に対して～を閉じる koseske (新): [他]～と共に～を閉じる koseske (新): [他](原因、手段)で～を閉じる oseske (新): [他](人)に～を閉じさせる seskere (新): [自](戸などが)閉まる yayseske (石狩)

としをこす(年を越す) [自]年を越す riya (石狩)

としをとる(年を取る) [自]年を取る、取っている onne (石狩): [他](場所)で年を取る、取っている eonne (石狩): [他]～と共に年を取る、取っている koonne (新): [他](原因、手段)で年を取る、取っている oonne (新): [他](人)の年を取らせる onneka (onnere) (新): [自]自分で、一人で年を取る、取っている yaykoonne (新): [自]共に、皆で年を取る、取っている ukoonne (石狩): [自]もの凄く年を取る、取っている toykoonne (新): [自]年を取って腰が曲がる hekaye (天塩)

ドシン [間投](擬声語)ドシン、ドサッ、ドスッ rim (新): [間投](擬声語)ドシンドシン、ドサッドサッ、ドスッドスッ rimrim (新)、[間投](擬声語) rimim (新): [自](一回)ドシンと響く rimkosanu (新): [自]ドシンドシンと頻りに響く cirimrototo (新)、[自]rimrototke (新): [自]ドシンドシンと何度も響く rimimatki (新): [自]ドシンドシン響き続けている rimnatara (新)

ドスイカ(短刀烏賊)(魚介)[名](テカギイカ科)ドスイカ属 yayanepetpetke-cise (新): [名]ドスイカ yayanepetpetke (新): [名]カタドスイカ nistetekyayanepetpetke (新): [名]ニホンドスイカ japanatuyyayanepetpetke (新): [名]ヒメドスイカ moyayanepetpetke (新)

どせい(土星)(宇宙)[名](太陽系の六番惑星名)土星 Karipkonnociw (新)、[名]Satunnus (新)※(羅語)

どそう(土葬) [名]土葬 ietoytuye (新): [自]土葬する ietoytuye (新): [他]～を土葬する etoytuye (石狩、天塩)

どだい(土台) [場名]土台 iasam (新): [位名]～の土台 asam(長形-a) (新): (表現)家の土台 cise asam (J K)

とだえる(途絶える)(表現)音が途絶える hum tuy wa oarisam (新): (表現)～の音が絶える humi tuy wa oarisam (新): (表現)声が途絶える haw tuy wa oarisam (新): (表現)～の音が途絶える hawe tuy wa oarisam (新)

とち(土地) ①(人が生活に利用し、所有、売買、譲渡ができる)[名]土地 toy (石狩): (表現)私の土地 ku=kor toy (石狩): ②(人が生活する場を表し)[場名]土地 mosir(-i) (石狩): (表現)土地の人間 kotan ta an kur (新): ③(ある気候風土が見られる、あるいは特定の植生、生物や無生物などが存在する所の意味での)[場名]土地 sir(-i) (石狩)

トチノキ(栃)(植物)[名](ムクロジ目)トチノキ科 tocini-apa (新): [名]トチノキ属 tocini-cise (新): [名]トチノキの茎 tocini (幌別): [名]トチノキの実 toci (幌別): [名]アカバナトチノキの茎 húreapappotocini (新): [名]セイヨウトチノキ maronnier (新): [名]ベニバナトチノキの茎 húreapappopirkatocini (新): [名]ハンデリオデンドロン属 handeriodendoron-cise (新): [名]ビリア属 biria-cise (新)

トチバニンジン(栃葉人參)(植物)[名](ウコギ科)トチバニンジン属 kusuri-upewkina-cise (新): [名]トチバニンジンの茎葉 kusuri-upewkina (新)、[名]トチバニンジンの根

kusuri-upew (新): [名]アメリカニンジン
の茎葉 amerika-upewkina (新)、[名]アメ
リカニンジンの根 amerika-upew (新):
[名]オタネニンジンの茎葉 síkusuri-
upewkina (新)、[名]オタネニンジンの根
sikusuri-upew (新)※(別名「チョウセン
ニンジン」): [名]サンシチニンジンの茎葉
sanci-upewkina (新)、[名]サンシチニンジ
ンの根 sanci-upew (新)

トチュウ(杜仲) (植物)[名](イラクサ目)トチュ
ウ科 tocuni-apa (新): [名]トチュウ属
tocuni-cise (新): [名]トチュウの茎
tocuni (新)、[名]その葉 tocuni-ham (新)、
[名]その樹皮 tocu (新)※(日本語。漢方薬)、
[名] tucon (新)※(中国語)

とちゅう(途中) ①(空間的に)[位名]~の途中
hontom(長形-o、-oke) (石狩): [場名]途中
rúhontom(-o) (石狩)、[場名] sirhontom(-
o) (石狩): (表現)途中に、で rúhontom(-
o)ta (石狩)、(表現) sirhontom(-o)ta (石
狩): (表現)途中から rúhontom(-o) wa
(wano) (石狩)、(表現) sirhontom(-o) wa
(wano) (石狩): (表現)途中まで
rúhontom(-o) pak (pakno) (石狩)、(表現)
sirhontom(-o) pak (pakno) (石狩): ②
(時間的に)[位名]~の途中 hontom(長形-o、
-oke) (石狩): [場名]途中 sirhontom(-o)
(石狩): [連体](慣用句中と対で用いられ)途
中からの tomta (石狩): (表現)(雅)昔の
貧乏人、途中からの物持ち teeta wenkur
tomta nispa (石狩): [名]途中で止めた食
事 hontom-ipe (天塩)

どちらの ①(疑問)[連体]どちらの inan
(石狩)、[連体] nean (旭川)、[連体]
inkean (天塩)、[連体](雅) inki (空知):
[代名]どちらの人 inankur (新)、[代名]
neankur (新)、[代名] inkeankur (新):
[代名](人、物、事など)どちらの方 inanike
(新)、[代名] neanike (新)、[代名]
inkeanike (新): [代名]どちらの物、どち
らの事 inampe (新)、[代名] neampe
(新)、[代名] inkeampe (新): ②(不定:
特定できない、あるいはしたくない)[代名]ど
ちらの人か inankurka (新)、[代名]
neankurka (新)、[代名] inkeankurka
(新): [代名](人、物、事など)どちらの方か
inanikeka (新)、[代名] neanikeka (新)、
[代名] inkeanikeka (新): [代名]どちら
の物か、どちらの事か inampeka (新)、[代
名] neampeka (新)、[代名] inkeampeka
(新): ③(不定: 任意の)(表現)どちらの~で
も inan ~ ne yakka (新)、(表現) nean
~ ne yakka (新)、(表現) inkean ~ ne
yakka (新): (表現)どちらの人でも

inankur ne yakka (新)、(表現) neankur
ne yakka (新)、(表現) inkeankur ne
yakka (新): (表現)(人、物、事など)どち
らの方でも inanike ne yakka (新)、(表現)
neanike ne yakka (新)、(表現) inkeanike
ne yakka (新): (表現)どちらの物でも、ど
ちらの事でも inampe ne yakka (新)、(表
現) neampe ne yakka (新)、(表現)
inkeampe ne yakka (新)

ドッ ①(倒れる擬音)[間投]ドッ rut (新):
[間投]ドドッ rutrut (新): [自](一回)ド
ッと倒れる rutkosanu (沙流)、[自]
rutkosampa (新): [自]ドドッと頻りに倒
れる cirutrototo (新)、[自] rutrototke
(新): [自]ドドッと続けて倒れる
rutnatara (新): ②[間投](雑踏の声)ドッ、
ドドッ ronror (新)、[間投] ronron
(新): [自](雑踏の音が)ドドッとする
ronroratki (沙流)、[自] ronronatki (沙
流): ③[自](全員、あるいは大勢が)ドッと外
に出る cisoyokuta (石狩)

とっき(突起) [名]突起 tok (石狩): [自]突
起する、している tok (石狩): 名詞、自
動詞共に専ら合成語の構成要素として見ら
れるだけだが今後単独でも使う。: [他](場
所)で突起する、している etok (新): [他]
~と共に突起する、している kotok (新):
[他](原因、手段)で突起する、している otok
(新): [他]~を突起させる tokka (新)

とつぐ(嫁ぐ) [他](雅)~に嫁ぐ koiwak (石
狩): [他]~に嫁ぐ、嫁いでいる esokesne
(石狩): [他]~に~を嫁がせる kóre (石
狩)、[他] koiwakte (新): [他]人に~を嫁
がせる korar (石狩)

とつく(特区) [場名]特区 sisaksisserke
(sisaksirserke) (新)、[場名] sisaksir(-i)
(新)

とつくみあう(取っ組み合う) [名]取っ組み合
い ukoterke (石狩): [自]取っ組み合
う ukoterke (石狩): [他](場所)で取っ組み合
う eukoterke (新): [他]~と取っ組み合
う koterke (新): [他](原因、手段)で取っ
組み合う oukoterke (新): [他]~を取っ
組み合わせる ukoterke (新)

とつくり(徳利) [名]徳利 tokkuri (新)※(日
本語)

トックリクジラ(徳利鯨) (動物)[名](アカボウ
クジラ科)トックリクジラ 亜科
tokkurihumpe-moapa (新): [名]トックリ
クジラ属 tokkurihumpe-cise (新): [名]
キタトックリクジラ koyka-tokkurihumpe
(新): [名]ミナミトックリクジラ koyok-
tokkurihumpe (新): [名]オウギハクジラ
属 awankisikitehumpe-cise (新): [名]

タイヘイヨウアカボウモドキ属
ronguman-sikitehorhumpe-cise (新)

とっこうやく(特効薬) (表現)~の特効薬 ~
sínopirkare kusuri (新): (表現)胃痛の特
効薬 yospearaka sínopirkare kusuri (新)

とっしゅつ(突出) [名]突出 tuk (石狩): [自]
突出する、している tuk (石狩): 名詞、
自動詞共に専ら合成語の構成要素として見
られるのだが今後単独でも使う。:
[他](場所)で突出する、している etuk
(新): [他]~と共に突出する、している
kotuk (新): [他](原因、手段)で突出する、
している otuk (新): [他]~を突出させる
tukka (新)

どっしり [自]どっしりとする、どっしりとし
て美しい、立派である mewnatara (石狩)、
[自](雅) komewnatara (沙流): (表
現)(雅)神の山がそびえる様はどっしりとし
ている petetok us pe kamuy-nupuri as ru
konna mewnatara (沙流)

とっしん(突進) [他](場所)に突進する osma
(石狩): 目的語が普通名詞の場合にはその
後に位置名詞"or"を置く。: (表現)~の行く
手に突進する etok (長形-o) osma (新):
(表現)~の進む殿に突進する oka (長形-ke)
osma (新): (表現)敵に突進する
ikusunkur or osma (新): [他](場所)で~
に突進する eosma (新): [他]~と~に突
進する koosma (新): [他](原因、手段)で
~に突進する oosma (新): [他]~を~に
突進させる osmare (新): [自]互いに突
進する、突進し合う uosma (石狩)

とつぜん(突然) ①[副]突然に nisapno (石
狩)、[副] nisap (天塩): ②[副]突然に
ekuskono (ekuskonno) (石狩)、[副]
ekuskonna (天塩)、[副](雅語)
monekuskono (monekuskonno) (石狩)※
(nisapno も ekuskono も予想外の事態の発
生に用いられれば同じ意味なのだが、前者が
客観的描写に用いる事ができるのに対し、後
者は驚きの感情を込められる点で違いがあ
る): [副]全く突然に oarekuskono (新)、
[副] arekuskono (新): ③[接尾](擬声、擬
態)の語根に接尾して一回態の自動詞を形成
し)突然~する -kosanu (石狩)、[接尾] -
kosampa (石狩)※(今日まで -kosampa の
使用例は石狩方言で稀であるが、今後はどち
らを用いても良いとする。): ray(動がなく
なる事を意味する語根)+ kosanu →
raykosanu = raykosampa 「突然静まりか
える」

とって(把手) [名]把手 tek(-e) (石狩):
[自]把手が付く、付いている tékus (石狩):
[名]把手付きの塗り鉢 tékuspaczi

(tékuspaci) (石狩): [名]把手付きの盆
tékusnima (石狩)

とっておく [他]~をとっておく ama (石狩)、
[他] anu (石狩): 「私は君がよこした手
紙を全部とっておいた。」 “E=ekte kampi
opitta ku=ama.”: [他](場所)に~をとっ
ておく eama (石狩)、[他] eanu (新):
[他]~と共に~をとっておく koama (新)、
[他] koanu (新): [他](原因、手段)で~を
とっておく oama (新)、[他] oanu (新):
[他](人)に~をとっておかせる amare (新)、
[他] anure (新): [他]完全に~をとっ
ておく oarama(arama) (新)、[他] oaranu
(aranu) (新): [他](人)に~をとっておか
せる amayar (新)、[他] anuyar (新)

トッピング [名](行為として)トッピング
ihekoama (新)、[名] ihekoanu (新):
[名]トッピングするもの cihekoamap (新)、
[名] cihekoanup (新): [自]トッピングす
る ihekoama (新)、[自] ihekoanu (新):
[他]~をトッピングする hekoama (新)、
[他] hekoanu (新): [他]~に~をトッピ
ングする ekoama (新)、[他] ekoanu
(新)

どて(土手) [名]土手 hur(-u) (石狩): [名]
土手の欠けた所 toyhur(-u) (天塩): [名]
土手道 kewruru (天塩)

とても ①[副]とても sonno (石狩)、[副]
sino (石狩): (表現)とてもとても sonno
sonno (石狩)、(表現) sonno ta sino (新):
②(表現)とても大きくなる、大きい sonno
poro (石狩)、(表現) sino poro (新): [自]
とても大きくなる、大きい síporo (石狩):
[他]~をととても大きくする síporore (石
狩): (表現)とても大きくなる、大きい
ponko an (石狩): ③[他]~をととても汚い
と思う wenecakke (石狩): ④(表現)とても
小さい sonno pon (石狩)、(表現) sino
pon (新): [自]とても小さくなる、小さい
pompon (石狩)、[自] sípon (新): [他]
~をととても小さくする pomponte (新)、
[他] síponte (新): ⑤[自]とても仲良くす
る、互いによくいたわり合う
uekataratkino (石狩): ⑥(表現)~をとと
ても欲しいと思う sonno konrusuy (sonno
kor rusuy) (石狩)、(表現) sino konrusuy
(sino kor rusuy) (新): [他](雅語)~をと
とても欲しいと思う koonrupus (石狩):
「…木幣を受け取られる神、神の獲物を私は
とても欲しいと思いまして…」 “…inaw uk
kamuy kamuy-iso koonrupus (hi) ne ku=ki
wa…” (砂沢トゥアカンノ)祈詞: ⑦(表現)と
ても良くなる、良い sonno pirka (石狩)、
(表現) sino pirka (新): [自]とても良く

なる、良い *sípirika* (新): [他]~をととも良くする *sípirkare* (新): (表現)とても良くなる、良い *wenko an* (石狩): (表現)あんなに良い子だった子供 *wenko an a ekatci* (石狩): ⑧(表現)とても悪くなる、悪い *sonno wen* (石狩)、(表現) *síno wen* (新): [自]とても悪くなる、悪い *síwen* (新): [他]~をととも悪くする *síwente* (新)

トド(海驢、海馬)(動物)[名](アシカ科) トド属 *etasp-eise* (新): [名]トド *etaspé* (石狩)

とどく(届く)(表現)~に手紙が届く ~ *ekota (otta) kampi oman* (複数 *paye*) (石狩)、(表現) ~ *ekota (otta) kampi ek* (複数 *arki*) (石狩): 「この手紙が届く頃私は次の目的地であるフランスにいます。」

“Tan kampi es=ekota oman hi ta tutanu an ku=eomankunip - Furansu ta ku=an nankor.”、「五日前に君からのメールが届いたけれど忙しくて返信できませんでした。」

“5 to etok ta e=nuye imerukampi (en=ekota) ek korka ku=montapi kusu itasakampi ku=omante eaykap ruwe ne.”: [他]~の頭が~に届く *eus* (石狩): 「…その頭が空に届いている高い山があって…」 “...nis kotor eus kan-an ri nupuri an ruwe ne kor …” 説話

とどける(届ける)[自]ものを届ける *irura* (新): [他]~を届ける *rúra* (石狩)、[他] *sirepare* (天塩): [他](場所)に~を届ける *korura* (石狩)、[他] *erura* (新): [他]~と共に~を届ける *korura* (新): [他](場所)から~を届ける、(原因、手段)で~を届ける *orura* (新): [他](人)に~を届けさせる *rurare* (新)

ドドマ [場名](タンザニア連合共和国の首都名)ドドマ *Dodoma* (新)

トドマツ(樅松)(植物)[名](モミ属)トドマツの茎 *hup* (石狩): [名]トドマツの枝 *huptek* (石狩): [名]トドマツの樹皮 *hupyar* (H): [名]トドマツ林 *huptay* (石狩)

とどまる(留まる)①(残す)[自]留まる *osiroma* (石狩): 「…一人の娘も(嫁として)留まる者が全くいないのです…」 “...sine menoko ka osiroma p ka sinep ka isam ruwe ne…” (杉村キナラブック)説話: [他](場所)に留まる *eosiroma* (新): [他]~と共に留まる *koosiroma* (新): [他](原因、手段)で留まる *oosiroma* (新): [自]自分で、一人で留まる *yaykoosiroma* (新): [自]互いに、皆で留まる *ukoosiroma* (新): ②(滞在する)[自]留まる *tóri* (新): [他](場所)に留まる

etori (新): [他]~と共に留まる *kotori* (新): [他](原因、手段)で留まる *otori* (新): [自]自分で、一人で留まる *yaykotori* (新): [自]互いに、皆で留まる *ukotori* (新): [自]長く留まる *tannetori* (新): [他](人)に泊留まるよう言う、勧める *eham* (沙流): (表現)(人)に留まるよう言う、勧める ~ *tóri* (*rewsi*) *kuni* (*kunine*) ~ *ye* (新)

とどめる(留める)①(残す)[他]~を留める *osiromare* (新)、[他] *ante* (複数 *okayre*) (新): [他](場所)に~を留める *eosiromare* (新)、[他] *eante* (複数 *eokayre*) (新): [他]~と共に~を留める *koosiromare* (新)、[他] *koante* (複数 *kookayre*): [他](原因、手段)で~を留める *oosiromare* (新)、[他] *oante* (複数 *ookayre*) (新): ②(滞在させる)(人)を留める *tórire* (新)、[他] *eham* (沙流)

ドナウ [場名](地名)ドナウ川 *Danubius*(*pet*) (新)※(羅語)、[場名] *Donaw*(*pet*) (新)※(独語)、[場名] *Danube*(*pet*) (新)※(英語)

トナカイ ①(動物)[名](シカ科)トナカイ属 *tunakay* (新): [名]トナカイ *tunakay* (樺太)、[名] *tunaxkay* (樺太:白浦)※(別名「カリブー」): ②[名]一歳のトナカイ *iripa-tunaxkay* (白浦): [名]二歳のトナカイ *riyapo* (白浦)

どなべ(土鍋)[名]土鍋 *toysu* (美幌)

となり(隣)①(横)[位名]~の隣 *sam*(長形-a、-ake) (石狩): 「私の隣に座ったらいいですよ。」 “En=sam ta es=rok yak pirka .”: ②[位名]~のすぐ隣 *teksam*(長形-a、-ake) (石狩)、[位名] *tessam*(長形-a、-ake) (石狩)、[位名](雅) *tekisam*(長形-a、-ake) (石狩): 「いつも私のすぐ隣に君がいた。」

“Ramma kane en=teksam ta e=an a ru an .”: ③(周囲)[位名]~の隣 *tuysam*(長形-a、-ake) (石狩): 「町の隣には素晴らしい森林が広がっている。」 “Maciya tuysam ta pirka nitay an .”: ④(村や家屋に関して): [場名]隣 *aw*(*e*) (石狩、天塩): (表現)隣に *aw ta* (石狩、天塩): (表現)隣の家 *aw ta an* (*awtan*) *cise* (石狩): [場名]自分の家の隣 *sisoy* (石狩): (表現)隣村 *armoysam un kotan* (新)、(表現) *aw ta an* (*awtan*) *kotan* (石狩)、(表現) *aw un kotan* (新): [場名]隣村 *armoysam* (石狩): ⑤[位名]~が互いに隣合った所 *uteksam*(長形-a、-ake) (新): [位名]~が互いにすぐ隣合った所 *uteksam*(長形-a、-ake) (石狩)※(長形は目下未確認): (表現)二軒隣り合っている家 *usoy un cise* (石狩、

天塩)

どなりつける(怒鳴りつける) [自]人を怒鳴りつける *ihawekoyki* (新)、[自] *ikopasrota* (石狩): [他](人)を大声で怒鳴りつける *hawekoyki* (石狩)、[他] *kopasrota* (石狩)、[他](雅) *koyaykoniwen* (石狩): 「…私の姉さんは…その子供達を大声で怒鳴りつけ…」 “…*an=kor sapo…kor ekattar koyaykoniwen*…” (杉村キナラブック)神謡: [他](人)に(人)を怒鳴りつけさせる *hawekoykire* (新)、[他] *kopasrotare* (新)
どなる(怒鳴る) [自]怒鳴る *yaykoniwen* (石狩): [他](人)に怒鳴らせる *yaykoniwente* (新): [自]思い切り怒鳴る *weyyaykoniwen* (新)

ドニエプル [名](地名)ドニエプル川 *Donipro-pet* (新)※(ロシア連邦、ベラルーシ共和国、ウクライナを流れ黒海に注ぐ川)

ドネツ [名](地名)北ドネツ川 *Koykaundonet-pet* (新)、[名] *Donet-pet* (新)※(ウクライナ、ロシア連邦を流れるドン川支流。日本語では単に「ドネツ川」とも)

どの ①(疑問)[連体]どの *inan* (石狩)、[連体] *nean* (旭川)、[連体] *inkean* (天塩)、[連体](雅) *inki* (空知): [代名]どの人 *inankur* (新)、[代名] *neankur* (新)、[代名] *inkeankur* (新): ②(不定:特定できない、あるいはしたくない)[代名]どの人か *inankurka* (新)、[代名] *neankurka* (新)、[代名] *inkeankurka* (新): ③(不定:任意の)(表現)どの～でも *inan ~ ne yakka* (新)、(表現) *nean ~ ne yakka* (新)、(表現) *inkean ~ ne yakka* (新): (表現)どの人でも *inankur ne yakka* (新)、(表現) *neankur ne yakka* (新)、(表現) *inkeankur ne yakka* (新)

どの(殿) (男の敬称として)[名]～殿 名前+*aynu* (石狩)、[名] 名前、社会的地位+*nispa* (石狩)、[名] 社会的身分、親族名称+*tonoke* (石狩): (表現)カネト殿 *Kanetok-aynu* (石狩)、(表現) *Kanetok-nispa* (石狩): (表現)男衆殿 *aynu-tonoke* (石狩): (表現)弟殿 *ak-tonoke* (石狩): (表現)兄上殿 *yup-tonoke* (石狩)
どの(殿)

とのがた(殿方) [名](雅語)殿方、男の方 *okkayaynu* (石狩)※(対義語は *mataynu*)

とのさま(殿様) [名]殿様 *tono* (石狩)

どのみち (表現)どのみち *nékon iki yakka* (新): 「どのみち僕達とは出会う運命だったのさ。」 “*Nékon iki=an yakka uamkir=an kunip ne na* .”

とば [名](鮭)のとば *túpa* (石狩): (表現)乾した鮭の素晴らしいトバ *satcep pirka túpa*

(石狩)

トパーズ [名]トパーズ *topas* (新)※(英語)
トパーズハチドリ(トパーズ蜂鳥) (鳥)[名](ハチドリ科)トパーズハチドリ亜科 *topassoyacikap-moapa* (新): [名]トパーズハチドリ属 *topassoyacikap-cise* (新): [名]トパーズハチドリ *topas-soyacikap* (新): [名]シロエリハチドリ属 *okusuciretarsoyacikap-cise* (新): [名]シロエリハチドリ *okusuciretar-soyacikap* (新): [名]クロハチドリ *kunne-soyacikap* (新)

ドバイ [場名](アラブ首長国連邦の首長国の一つ、及び同連邦の都市名)ドバイ *Dúbay* (新)

とばく(賭博) [名]賭博 *pakutci* (新)、[名] *gambur* (新)※(英語): [自]賭博をする *pakutci* (新)、[自] *gamburki* (新): [場名]賭博場 *bakuciusi* (新)、[名] *kasino* (新)※(英語)

トバコ [場名](地名)トバゴ島 *Tobago-poysir* (新)※(カリブ海に位置する西インド諸島小アンティル諸島のトリニダード・トバゴ領の島)

とばす(飛ばす) ①(空中を飛ばようにする事)[他]～を飛ばす *hopunire* (複数 *hopumpare*) (新): [他](場所)で～を飛ばす *ehopunire* (複数 *ehopumpare*) (新): [他](場所)へ～を飛ばす *kohopunire* (複数 *kohopumpare*) (新): [他]～と共に～を飛ばす *ehopunire* (複数 *ehopumpare*) (新)、[他] *kohopunire* (複数 *kohopumpare*) (新): [他](場所)から～を飛ばす、(原因、手段)で～を飛ばす *ohopunire* (複数 *ohopumpare*) (新): ②(跳躍させる、あるいは除外する事)[他]～を飛ばす *terkere* (新): [他](場所)で～を飛ばす *eterkere* (新): [他](場所)へ～を飛ばす *koterkere* (新): [他]～と共に飛ばす *koterkere* (新): [他](場所)から～を飛ばす、(原因、手段)で～を飛ばす *oterkere* (新): ③(複数の物体、あるいは液体に関して)[他]～を飛ばす *cari* (複数 *carpa*) (石狩): [自](大量に、あるいは何度も)飛ばす *catcari* (複数 *catcarpa*) (石狩)※(複数形は未確認): ④(風が地面から小石などを跳ね飛ばす)[他]～をパッと飛ばす *patu* (石狩): [他]～をパッパッと飛ばす *patupatu* (石狩)

とびあがる(飛び上がる) ①(空中に飛び立つ)(表現)飛び上がる *hopuni wa rikin* (複数 *hopumpa wa rikip*) (新): 「私達の乗る飛行機が空へ飛び上がった。」 “*Ci=o sinta hopuni wa nisor ekota rikin* .” : ②(跳躍する事)[自]飛び上がる *terke* (石狩):

「棚の上に猫が飛び上がった。」“San ka ta mekot terke .” : [自]何度も飛び上がる terketerke (石狩)、[自] tetterke (石狩)
とびおる(飛び降りる) (表現)飛び降りる hopuni wa ran (複数 hopumpa wa rap) (新) : 「私は屋根の上から飛び降りた。」
 “Cisekitay ka wa ku=hopuni wa ku=ran .”
トピカ [場名](アメリカ合衆国カンザス州の州都名)トピカ Topika (新)
とびかかる(飛びかかる) ①(勢いよく襲撃する事)[他]～に飛びかかる kohopuni (複数 kohopumpa) (石狩) ②(跳躍する事)[他]～に飛びかかる koterke (石狩)
とびこむ(飛び込む) [他](場所)に飛び込む osma (石狩) : 「私は洞窟の中に飛び込んだ。」“Poru or ku=osma .”
とびさる(飛び去る) (表現)飛び去る hopuni wa oman (複数 hopumpa wa paye) wa isam (oarisam) (新) : 「私が見ると、彼方へと鳥達は飛び去ってしまった。」“Ku=inkar ayke cikap utar too hopunumpa wa paye wa oarisam .”
とびだす(飛び出す) ①[自]前に勢いよく飛び出す saosma (石狩) ②前に跳ねて飛び出す saoterke (石狩) ③[自]外に勢いよく飛び出す soyosma (石狩) ④[自]外に跳ねて飛び出す soyoterke (石狩) ⑤[自](光線)が飛び出す sihetukure (新)、[他](中相) cihetukure (cietukure) (石狩) : 「…(金の扇の)日照の絵がある所を彼が私に向け、そっと扇ぐと人を焼く光線、人を殺す光線が飛び出し…」“…sikusnoka oma usike i =tutanure , ratci paru kor icirecupkiay irayecupkiay cietukure…” (砂沢クラ)婦女詞曲
とびたつ(飛び立つ) [自]飛び立つ hopuni (複数 hopumpa) (石狩) : 「ロケットは無事宇宙へ飛び立った。」“Rorumpesakno roket sikanto otta hopuni .” : [他](場所)へ飛び立つ kohopuni (複数 kohopumpa) (石狩) : [他]～と共に飛び立つ ehopuni (複数 ehopumpa) (石狩)、[他] kohopuni (複数 kohopumpa) (新) : [他](場所)から飛び立つ、(原因、手段)で飛び立つ ohopuni (複数 ohopumpa) (新)
とびちる(飛び散る) ①(バラバラに)[自]飛び散る carke (石狩)、[自] sicari (複数 sicarpa) (石狩)※(複数形は未確認) : (表現)血が飛び散る kem carke (石狩)、(表現)kem sicari (新) : [他](場所)で飛び散る ecarke (新)、[他] esicari (複数 esicarpa) (新) : [他](場所)に飛び散る kocarke (新)、[他] kosicari (複数 kosicarpa) (新) : [他]～と共に飛び散る kocarke (新)、[他]

kosicari (複数 kosicarpa) (新) : [他](原因、手段)で飛び散る ocarke (新)、[他] osicari (複数 osicarpa) (新) : [他]～を飛び散らす cari (複数 carpa) (石狩) : [自](大量に、あるいは何度も)飛び散る sicatcari (複数 sicatcarpa) (石狩)※(複数形は未確認) : [他](大量に、あるいは何度も何か)を飛び散らす catcari (複数 catcarpa) (石狩)※(複数形は未確認) : ②(撥ねて)[自]パッと飛び散る patce (新) : [他](場所)でパッと飛び散る epatce (新) : [他](場所)にパッと飛び散る kopatce (新) : [他]～と共にパッと飛び散る kopatce (新) : [他](原因、手段)でパッと飛び散る opatce (新) : [自]パッパッと飛び散る patpatce (石狩) : [他]～と共にパッパッと飛び散る kopatpatce (新)、[他](雅)koepatpatce (石狩) : (表現)～の鼻から流れ出る血がその口から流れ出る血と共にパッパッと飛び散る etu kus pe paro kus pe koepatpatce (石狩) : [他]～をパッと飛び散らす patu (石狩) : [他]～をパッパッと飛び散らす patupatu (石狩) : [他](中相)～がパッパッと飛び散る cipatupatu (石狩)
とびつく(飛びつく) [自]人、ものに飛びつく ikotetterke (新) : [他]～に飛びつく kotetterke (石狩) : [他](人)に～に飛びつかせる kotetterkere (新)
とびはねる(飛び跳ねる) [自]飛び跳ねる terke (石狩) : [自]何度も飛び跳ねる terketerke (石狩)、[自] tetterke (石狩) : (表現)人が身軽に飛び跳ねる kosne terke an=ki (石狩)、(表現)(雅)kosne terkea an=ehopuni an=eterke (沙流)
とびまわる(飛び回る) ①(飛行する事)(表現)飛び回る hopuni wa omanan (複数 hopumpa wa payekay, payokay) (新) : ②(跳躍する事)[自]飛び回る terketerke (石狩)、[他]～を飛び回らせる terketerkere (新) : [他](場所)を飛び回る eyayoterke-eciw (沙流) : (表現)低い立ち木は梢の先を飛び回り、高い立ち木は幹の中程を飛び回る ram cikuni hapkitayke rakonoye ri cikuni suptomorke rakonoye (沙流)
とびら(扉) [名]扉 apusta (石狩) : (表現)扉を押す apusta oputuye (新) : (表現)扉を開ける apusta maka (新) : (表現)扉を押して開ける apusta oputuye wa maka (新) : (表現)扉を引く apusta sikoetaye (新) : (表現)扉を閉める apusta seske (新) : (表現)扉を引いて閉める apusta sikoetaye wa seske (新)
トビリシ [場名](グルジアの首都名)トビリシ

Tobiriísi (新)

どぶ [名] どぶ icakkerenay (新)、[名] muninnay (新)、[名] dobu (新)※(日本語)

とぶ(飛ぶ) ①(空中に飛び立つ)[自] 飛ぶ hopuni (複数 hopumpa) (石狩): (表現) 飛んでいる hopuni wa an (複数 hopumpa wa okay) (新): (表現) 飛んで行く hopuni wa oman (hopuni oman) (複数 hopumpa wa paye) (石狩): (表現) 飛んで来る hopuni wa ek (hopuni ek) (複数 hopumpa wa arki) (石狩): [他](場所)へ飛ぶ kohopuni (複数 kohopumpa) (石狩): [他]〜と共に飛ぶ ehopuni (複数 ehopumpa) (石狩)、[他] kohopuni (複数 kohopumpa) (新): [他](場所)から飛ぶ、(原因、手段)で飛ぶ ohopuni (複数 ohopumpa) (新): (表現)(雅)私は川上へ川下へ、二つの良き風三つの良き風を羽風とと共に巻き込み、羽風と共に返し羽ばたく eperay epasi tu pirka rera re pirka rera an=mawkocupu an=mawkotasare (石狩): (表現)私が飛んで行く姿は低い立ち木は梢の先をすれすれに羽ばたく、高い立ち木は幹の中程をすれすれに羽ばたいて行く姿 ku=hopuni wa ku=oman katu ram cikuni hapkitayke rakotesu rakocupu ri cikuni suptomorke rakotesu rakocupu ku=oman katu (沙流より): ②(跳躍する事)[自] 飛ぶ terke (石狩): [自] 何度も飛ぶ terketerke (石狩)、[自] tetterke (石狩)

トフシアリ (昆虫)[名](ツタフシアリ亜科)トフシアリ属 topattumi-itunnap-cise (新): [名]トフシアリ topattumi-itunnap (新): [名]アカカミアリ amerikatumiutar-itunnap (新)※(アメリカ軍蟻): [名]ヒアリ、アカヒアリ húrерay-itunnap (新)※(赤い死蟻)

ドブニウム (化学)[名]ドブニウム dúbunium (新)※(原子番号105番。元素記号 Db)

トベリ [場名](ロシア連邦中央連邦管区の構成主体名)トベリ州 Toveri-purovince (新): [場名](トベリ州の州都名)トベリ Toveri (新)※(1931-190年まで「カリーニン」): (歴史)[固名]トベリ公国 Toveri Dúkekormosir (新)※(13世紀-1485年。モスクワ大公国に併合される。)

どま(土間) [名]土間 mintar (石狩)、[名] mimtar (天塩)、[場名] rútom (沙流): (表現)土間 usarun mintar (八雲)

とまる(止まる、停まる) ①(動いていたものに関して)[自]止まる sini (石狩)※(今後は機械などの作動に関してもこの語を用いる): 「今日は休日なので工場の機械が全て止ま

る。」“Tanto anakne sinito ne kusu ikarusi otta an cimoyep opitta sini.”: ②(歩いていたものに関して)[自]止まる、立ち止まる as (複数 roski) (天塩): 「止まらないで歩きなさい。」“Eciki as no apkas ya!”: ③(乗り物に関して)[自]停まる ratki (石狩): [他](場所)に停まる eratki (新): [他](場所)へ停まる koratki (新): [他]〜と共に停まる koratki (新): [他](原因、手段)で停まる oratki (新): [自]パッと停まる ratkitek (新): ④(鳥が木の枝などに止まる事に関して)[自]止まる rew (石狩): [他](場所)に止まる orew (石狩)、[他] erew (新): 「木の枝に小鳥が三羽止まっている。」“Nítek ka pon cikap rep orew.”

とまる(泊まる) ①(滞在する事)[自]泊まる tóri (石狩): ②(睡眠如何を問わずある場所に留まり一夜を過ごす事)[自]泊まる rews (石狩): (表現)二晩泊まる tu ukuran rews (石狩): ③(宿泊する事)[自]泊まる、泊まっている、泊まり客になる yantone (石狩): [他](場所)に泊まる、泊まっている、泊まり客になる koyantone (石狩): [名]泊まり客 yantonekur (石狩): ④[他](人)に泊まっていくよう言う、勧める eham (沙流): (表現)(人)に泊まっていくよう言う、勧める ~ tóri (rews) kuni (kunine)~ ye (新)

とみ(富) [名]富 tomi (石狩)

ドミニカ ①[場名](国名)ドミニカ共和国 Dominika Ukotankoremosir (新)※(首都は「サントドミンゴ・デ・グズマン」): [名]ドミニカ共和国人、国民 dominika-ukotankoremosirunkur (新): ②[場名](国名)ドミニカ国 Dominika Mosir (新)※(首都は「ロゾー」): [名]ドミニカ国人 dominikamosirunkur (新): ③[場名](地名)ドミニカ島 Dominika-poysir (新)※(西インド諸島ウィーンワード諸島に属するドミニカ国領の島)

とむ(富む) [自]富む tomikor (新): [他]〜で富む etomikor (新)、[他] otomikor (新): [他](人)を富ませる tomikore (新)

トムスク [場名](ロシア連邦シベリア連邦管区の構成主体名)トムスク州 Tomsuk-purovince (新): [場名](トムスク州の州都名)トムスク Tomsuk (新)

トムソンガゼル (動物)[名](ブラックバック亜族)トムソンガゼル属 tomsongazera-cise (新): [名]トムソンガゼル tomson-gazera (新): [名]アカガゼル hüre-gazera (新): [名]コリンガゼル ehure-gazera (新): [名]モンガラトムソンガゼル mongara-gazera (新)

ドメイン (分類)[名]ドメイン kanto (新)、
[名] domain (新)※(英語より)

とめかなぐ(留金具) [名](鉈などの柄の)留金具
tamakura (石狩)

とめぐし(留串) [名]留串 sinkep (石狩)、
[名] ciay(e) (H): [名](死体をキナでく
るむ時用いる)留串 sinninup (石狩)

とめねじ(止めねじ) [名]止めねじ hesak-
pinnecinoyep (新)※(「ホローセット」、
「芋ねじ」、「六角穴付き止めねじ」など)

とめる(止める、停める) ①(動いているもの
を)[自]止める iokaampa (新): [他]～を
止める okaampa (天塩)※(自他不明だが
今後他動詞として用いる。): [他](場所)で～
を止める eokaampa (新): [他]～と共に
～を止める kookaampa (新): [他](原因、
手段)で～を止める ookaampa (新):
[他](人)に～を止めさせる okaampare
(新): ②(両手でつかんで動いているもの
を)[自]止める ikisma (新): [他]～を止め
る kisma (石狩): [他](場所)で～を止め
る ekisma (新): [他]～と共に～を止め
る kokisma (新): [他](原因、手段)で～
を止める okisma (新): [他](人)に～を止
めさせる kismare (新): ③(乗物に関し
て)[自]乗物を停める anopatte (新)、[自]
anoprakire (新): [他]～を停める atte
(石狩)、[他] ratkire (新): [他](場所)で～
を停める eatte (新)、[他] eratkire
(新): [他](場所)へ～を停める koatte
(新)、[他] koratkire (新): [他]～と共に
～を停める koatte (新)、[他] koratkire
(新): [他](原因、手段)で～を停める oatte
(新)、[他] oratkire (新): [他]～をパッと
停める ratkitekka (新): ④(固定す
る)[他]～を針で刺し止める kemeninu (石
狩): (表現)(雅)(出かけるためそれまで)縫っ
ていた物に私は針を刺し止め奥にやる
an=tekekar pe an=kemeninu an=makoraye
(石狩)

とめる(泊める) [自]人を泊める iyantokor
(新): [他](人)を泊める yantokor (石狩):
[他](場所)に(人)を泊める eyantokor (新):
[他]～と共に(人)を泊める koyantokor
(新): [他](原因、手段)で(人)を泊める
oyantokor (新): [他](人)に(人)を泊めさせ
る yantokore (新)

とも(鱸) [場名]鱸 un (石狩)、[名] ikum
(八雲): [接頭]鱸 ho- (石狩): [接頭]～
の鱸 o- (石狩): [名]鱸にいる人
untaunkur (石狩)

ともす(灯す) [他]～を灯す kar (石狩)、[他]
uhuyka (新): (松明などの灯火)(表現)明
かりを灯す sune kar (石狩)、(表現)

sune uhuyka (石狩): 今後蠟燭などに
しても用いる。: (表現)ともし火 an=kár
sune (新)、(表現) an=uhúyka sune (新):
(灯台、ランプなどの灯火)(表現)明かりを灯す
ratcaku kar (新)、(表現) ratcaku uhuyka
(幌別): 今後電灯などにも用いる。:
(表現)ともし火 an=kár pe (an=uhúyka p)
(新)、(表現) an=kár (an=uhúyka) ratcaku
(新)

ともだおれ(共倒れ) [自]共倒れする
uasamopusi (新)、[自] ukopipasam-opusi
(新): [他]～を共倒れさせる
uasamopusika (新)、[他] ucipasam-
opusika (新)

ともだち(友達) [名]友達 tokuy (天塩)、
[名] ukopirkakur (新)、[名] ukooske-
pirkakur (新)、[名] ukoramu-pirkakur
(新): (表現)私の友達 ku=kor tokuy
(ku=kottokuy) (天塩)、(表現) ku=kor
ukopirkakur (新): [間投]友よ ekko
(幌別): (表現)～と友達付き合いをする
ukopirkakur ne ~ emawne (tura) (新)

ともなう(伴う) [他]～を伴う tura (石狩):
[他]～を～にを伴わせる turare (石狩):
[後副]～を伴って tura(-no) (石狩)、[後
副](雅) koetunankar (石狩)、[副](雅)
koeturenno (沙流): [接頭](動詞、位置名
詞に接頭しその語の項の数を一つ増やし)～
を伴って ko- (石狩): [自]人を伴う
itura (石狩): [他]～に人を伴わせる
iturare (新): [副]人を伴って itura(-no)
(新): [接頭](動詞、位置名詞に接頭しその語
の項の数を変えず)人を伴う iko- (石狩)

ともに(共に) →「いっしょに(一緒に)」を見よ
どもる(吃る) [自]吃る kokkokse (石狩)、
[自] kokkok (天塩)、[他] ukukse (宗
谷): [他]～を吃る ekokkokse (新)、
[他]eyokkot (石狩)、[他] eokkot (美幌):
[他](場所)で吃る ekokkokse (新): [他]
～と共に吃る kokkokkse (新): [他](原
因、手段)で吃る okokkokse (新):
[他](人)を吃らせる kokkokse (新):
[自]言葉を吃る itakununu (石狩): (表
現)言葉を吃る itak eyokkot (石狩)

ともる(灯る) ①(松明などの灯火)(表現)明かり
が灯る sune an=kár (新)、(表現) sune
an=uhúyka (新): 今後蠟燭などにも用いる。:
②(灯台、ランプなどの灯火)(表現)明かりが灯る
ratcaku an=kár (新)、(表現) ratcaku an=uhúyka (新): 今後電
灯などにも用いる。

どうぶ(土曜日) [場名]土曜日 toyto (新)

とよひらがわ(豊平川) [名](地名)豊平川
Sapporo (Satporo) (石狩)※(石狩川右岸支

流。現在石狩地方札幌市を流れる川)

トラ(虎)(動物)[名](ヒョウ属)トラ tunrop (新)※(虎斑があるもの): 亜種[名]アムールトラ santaun-tunrop (新)※(別名「シベリアトラ」。「チョウセントラ」): [名]アモイトラ amoyun-tunrop (新): [名]インドシナトラ indiacinaun-tunrop (新): [名]カスピトラ xazarun-tunrop (新)※(絶滅): [名]ジャワトラ javaun-tunrop (新)※(絶滅): [名]スマトラトラ sumatraun-tunrop (新): [名]バリトラ bariun-tunrop (新)※(絶滅): [名]ベンガルトラ bengarun-tunrop (新)

ドライフラワー [名]ドライフラワー cisatke-apappo (新)、[名] cisatke-nonno (新)

トライポッド [名]トライポッド、三脚 rekema (新)

トラウマ [名]トラウマ torauma (新)、[名] ramorumpir(-i) (新)

とらえる(捕らえる) [自]人や動物などを捕らえる iuk(複数 iuyna) (新): [他]～を捕らえる uk(複数 uyna) (石狩): [他](場所)で～を捕らえる euk(複数 euyna) (新): [他]～と共に～を捕らえる kouk(複数 kouyna) (新): [他](原因、手段)で～を捕らえる ouk(複数 ouyna) (新): [他](人)に～を捕らえさせる ukte(複数 uynare) (新): [他]自分で、一人で～を捕らえる yaykouk(複数 yaykouyna) (新): [他]互いに、皆で～を捕らえる ukouk(複数 ukouyna) (新): [他]人に～を捕らえさせる ukyar(複数 uynayar) (新): [他]人に自分を捕らえさせる siukyar(複数 siuynayar) (新):

とらがら(虎柄) [自]虎柄が付いている tunruo (H)、[自] tunro (H)、[自] tikrisrursirkio (tikrissussirkio) (新)

ドラクマ [名](古代ギリシャ、ヘレニズム世界、あるいは1832年よりユーロ導入までのギリシャの通貨単位)ドラクマ duraxme (新)

トラスこねじ(トラス小ねじ) [名]トラス小ねじ ekapke-cinoyeppo (新)※(「トラスねじ」、「トラス」とも)

トラック (歴史)[場名](地名)トラック諸島 Turak-usapoyis (新)※(現在ミクロネシア連邦領「チューク諸島」の旧名)

とらふ(虎斑) [自]虎斑が付いている tunruo (H)、[自] tunro (H): [名]虎斑のある犬 tunroseta (H)

トランスパダーナ (歴史)[場名](国名)トランスパダーナ共和国 Toransupadana Ukotankoremosir (新)

トランペット [名]トランペット torumpet (新)※(英語)

とり(鳥)[名]鳥 cikap (石狩): [名](合成語の構成要素として)鳥 cir (石狩): ②(表現)鳥の頭 cikap sapa (石狩): [名]嘴 etu (石狩): (表現)鳥の嘴 cikap paro (石狩): (表現)鳥の目 cikap siki (石狩): [名]翼 tekkup(-i) (石狩): [名]羽、翼 rap(-u) (石狩): [名](一本一本の)羽 rapnit(-ci) (石狩): [名]羽 konkon (天塩): [名]足 cikir(-i) (石狩): [名]尾、尾羽 ois(-i) (石狩): [名]腸 yospe (石狩): [名]卵 nok(-i) (石狩): [名]鳥の糞 ocaku (天塩): [名]巢 set (石狩): [名]鳥の巢 cikapset (石狩): [名]群列 say(-e) (石狩): [名]鳥の群列 cikapsay (石狩): (表現)鳥の大群 cikap topaha (石狩): ③[自]飛び立つ、飛ぶ hopuni(複数 hopumpa) (石狩): [自]早く飛ぶ hoyupu(複数 hoyuppa) (石狩): [自]シュートと舞い降りる siwtotke (石狩): [自]群れを成して飛んで来る utassanke (天塩): [自](鳥が)止まる rew (石狩): [他](木の枝など)にとまる orew (石狩): [自]鳴く rek (石狩): [他]～を啄む、つつく tokpa (toppa) (石狩): [他]～を何度も啄む、つつく tokpatokpa (toppatoppa) (石狩)

とりあう(取り合う) [他]～を取り合う ukouk(複数 ukouyna) (石狩): 「私達は腰かける場所を取り合った。」“Kasi=an=oorusi hi ci=ukouk .”

とりあげる(取り上げる) ①[他]～を取り上げる uk(複数形 uyna) (石狩): 「彼らが素晴らしい宝物を持っていたので私はそれを取り上げた。」“Pirka ikor kor kusu ku=uk .” [他](場所)で～を取り上げる euk(複数形 euyna) (新): [他]～から～を取り上げる kouk(複数形 kouyna) (石狩): [他](原因、手段)で～を取り上げる ouk(複数形 ouyna) (新): [他](人)に～を取り上げさせる ukte(複数形 uynare) (新): ②(表現)(子供を)取り上げる、助産する usapte otta ikaoyki (石狩)

トリウム (化学)[名]トリウム torium (新)※(原子番号90番。元素記号 Th)

トリガー (銃の部品)[名]トリガー hecawekani (新)

とりかえす(取り返す) ①[他]～を取り返す uk(複数 uyna) (石狩)、[他] horkauk(複数 horkauyna) (新): (表現)～を取り返す horka uk(複数 uyna) (新): [他](人)から～を取り返す kouk(複数 kouyna) (石狩)、[他] kohorkauk(複数 kohorkauyna)

(新): [他](人)に～を取り返させる uk (複数 uynare) (新)、[他] horkaukte (複数 horkauynare) (新): ②[他](人)のために～を取り返す kohosipire (複数 kohosipare) (新): [他](自分で)～を取り返す yaykohosipire (複数 yaykohosipare) (新): [他](何者かによって)～を取り返す sikohosipire (複数 sikohosipare) (新)

とりかえる(取り替える) ①(経済活動のみならず広い意味で)[他]～を取り替える itasare (新): [他]～と～を取り替える tasare (石狩): 「かつてアイヌは交易しては麴やら米やらと商品とを取り替えて持ち帰ったのです。」“Teeta anakne aynu uymam wa ne yakne usa kamtaci ne yakka amam ne yakka cihoki tasare wa kórek ruwe ne .”: [他]～を取り替える、～を取り替える 合う utasare (石狩)、[他] utaspore (沙流): 「私達は切手を取り替えた。」“Kitte ci=utasare .”: ②(経済活動に限定して)[他]～を～と取り替える ehokkar (石狩)

とりかご(鳥籠) [名]鳥籠 cikapset (新)

トリカブト(鳥兜)(植)[名](キンポウゲ科)トリカブト属 surkura-cise (新): [名]トリカブトの茎葉 surkura (新): [名]トリカブトの茎 surkunit (新): [名]トリカブトの葉 surkuham (新): [名]トリカブトの花 surkuepuy (美幌)、[名] surkupuy (石狩): [名]トリカブトの根、及びそれから採った毒 surku (石狩)、[名] pus (石狩): (表現)(舌先で)毒を試す surku sapke (石狩、天塩) ※(アイヌはトリカブトの毒によって獲物を倒すのではなく、“surkukamuy” 「トリカブトの神」、あるいは“surkuktkeamat” 「トリカブトの女神」が獲物を酔わせるからと考えた。杉村キナラブック フチ伝承の神謡に毒矢を受けたクマの語りとして“…surkukatkeamat i =aske-uk yak ye kor an=pyserkee konoykosanu unkotukokkaypo i =aske-uk ye haw ko turse … an=peyserkee, an=cikiri, an=teke unktukokkaypo konoykosanu …”「…トリカブトの女神が私を招くと言いながら私の下半身にパッとまとわりつき、松脂の少年神が私を招く声が下り…私の上半身、私の足、私の手に松脂の少年神がパッとまとわりつき…」とあるが、ここからは先に述べた思想が述べられていると共に、松脂を調合した事も分る。)

トリゴノスティグマ(魚介)[名](コイ科ラスボラ亜科)トリゴノスティグマ属 bacinokaoceppo-cise (新): [名]ラスボラ・

エス ペイ nikapirone-bacinokaoceppo (新): [名]ラスボラ・ソムフォングシ maekrombacineceppo (新): [名]ラスボラ・ヘテロモルファ yayambacinokaoceppo (新): [名]ラスボラ・ヘンゲリー ánebacinokaoceppo (新)

とりさる(取り去る) ①(不純物や蓋などに関し)[他]～を取り去る uk (複数 uyna) (石狩): [他](場所)で、(時)に～を取り去る euk (複数 euyna) (新): [他]～から～を取り去る kouk (複数 kouyna) (石狩): [他]～から～を取り去る kouk (複数 kouyna) (石狩): (表現)～から～を取り去る orwa(-no)uk (複数 uyna) (新): [他]～と共に～を取り去る kouk (複数 kouyna) (新): (表現)～と共に～を取り去る tura(-no)uk (複数 uyna) (新): [他](原因、手段)で～を取り去る ouk (複数 ouyna) (新): [他](人)に～を取り去らせる ukte (複数 uynare) (新): [他]完全に～を取り去る oaruk (複数 oaruyna) (新)、[他] aruk (複数 aruyna) (新): ②(身に着けた物や部品を外す事)～を取り去る ama (石狩): [他]～を取り去らせる amare (新): ③(無くす事)[他]～を取り去る isanka (石狩): (表現)蓋を取り去る puta uk wa isam (新): (表現)イヤリングを取り去る ninkari ama wa isam (新)

とりだす(取り出す) ①[他]～を取り出す sanke (複数 sapte) (石狩): [他]～に向かって～を取り出す、(誰か)のために～を取り出す kosanke (複数 kosapte) (石狩): [他]～から～を取り出す、(原因、手段)で～を取り出す osanke (複数 osapte) (新): [他](人)に～を取り出させる sankere (複数 saptere) (石狩): [他]完全に～を取り出す oassanke (複数 oassapte) (新): [他]～を取り出しまくる toykosanke (複数 toykosapte) (新): [他]人に～を取り出させる sankeyar (複数 sapteyar) (新): ②[他]目の前に～を取り出す sanasanke (石狩): [他](中相)～が目の前に取り出される cisanasanke (石狩)

とりつく(とり憑く) [自](怪物などが)人にとり憑く ikar (石狩): [他](怪物などが)人にとり憑く kar (石狩)、[連他] katu kar (kat-kar) (石狩): [他]～を(人)にとり憑かせる káre (新): [自]悪いものがとり憑く pawcitusu (石狩): [自]とり憑かれて色々言う pawcikor (石狩)※(他方言では「とり憑かれて淫乱になる」事を言うが、今後はその意味も取り入れる): [名]とり憑られて色々言う人 pawcikorpe (石狩)

とりつぐ(取次ぐ) [自]取次ぐ ikawarine

(新): (表現)取次ぐ ikawarine wa teskar
 (新): [他]~に関して取次ぐ eikawarine
 (新): [他](場所)で取次ぐ eikawarine
 (新): [他]~と共に取次ぐ koikawarine
 (新): [他]~から取次ぐ、(原因、手段)で取次ぐ oikawarine (新): [他](人)に取次がせる ikawarineka (ikawarinere) (新): [名]取次店 ikawarinnekutcise (新)、[名] ikawarinnekussop (新)

とりで(砦) [名]砦 cási (石狩)、[名] cásipo (新)

とりにがす(取り逃がす) ①[自]獲物を取り逃がす iorawki (石狩)、[自] iorawke (天塩): [他](獲物など)を取り逃す orawki (石狩)、[他] orawke (天塩)、[他] tusare (石狩): ②[他](手で捕まえようとして)~を取り逃がす tektespare (久保寺)

トリニダード ①[場名](国名)トリニダード・トバゴ共和国 Torinidado newa Tobago Ukotankoremosir (新)※(首都は「ポート・オブ・スペイン」): [場名](国名の通称として)トリニダード・トバゴ Torinidado newa Tobago (新): [名]トリニダード・トバゴ人、国民 torinidado-newa-tobagounkur (新): ②[場名](地名)トリニダード島 Torinidado-poysir (新)※(西インド諸島の小アンティル諸島に属する島)

とりにもぐる(獲りに潜る) [他]~を獲るために水に潜る rarkar (石狩)

とりのこす(取り残す) [他]~を取り残す hoppa (石狩): [他](場所)に~を残す ehoppa (新)、[他] kohoppa (石狩): [他]~と共に~を取り残す kohoppa (新): [他](原因、手段)で~を取り残す ohoppa (新): [他](人)に~を取り残させる hoppare (新): [他]人に~を取り残させる hoppayar (新): [自]人に自分を取り残させる sihoppayar (新)

とりのぞく(取り除く) [自]物を取り除く iuk (新): [他]~を取り除く uk (複数 uyna) (石狩): (表現)~を取り除いてしまう ~uk (複数 uyna) wa (oar-)isam (新): [他](場所)で、(時)に~を取り除く euk (複数 euyna) (新): [他]~から~を取り除く kouk (複数 kouyna) (石狩): [他]~から~を取り除く kouk (複数 kouyna) (石狩): (表現)~から~を取り除く orwa(-no) uk (複数 uyna) (新): [他]~と共に~を取り除く kouk (複数 kouyna) (新): (表現)~と共に~を取り除く tura(-no) uk (複数 uyna) (新): [他](原因、手段)で~を取り除く ouk (複数 ouyna) (新): [他](人)に~を取り除かせる ukte (複数 uynare) (新): [他]完全に~を取り除く

oaruk (複数 oaruyna) (新)、[他] aruk (複数 aruyna) (新)

とりはからう(取り計らう) [他]~について取り計らう esanniyo (石狩)、[他](雅語) ekosanniyo (石狩): 「素晴らしいお祭りについて私が万端取り計らった。」

“Pirkanewsar irammakaka oar ku=esanniyo.”、「…いつまでも子孫が栄えるように取り計らっておくれ…」“…sasuyisir pakno santeke situri kuni ekosanniyo i=korpore…”(砂沢クラ): [他](人)に~するよう取り計らう koessanniyo (石狩): 「結婚について私が性格の良い女性と結ばれるよう取り計らって下さいませ。」
 “Pirkakewtumkor menoko ku=kor kuni ci-koessanniyo es=en=ekarkar na.”

とりはずす(取り外す) [他]~を取り外す ama (新): [他]~のために~を取り外す eama (新): [他](場所)で~を取り外す eama (新): [他](場所)に~を取り外す koama (新): [他]~と共に~を取り外す koama (新): [他](場所)から~を取り外す、(原因、手段)で~を取り外す oama (新): [他](人)に~を取り外させる amare (新): [他]完全に~を取り外す oarama (arama) (新)

とりはだ(鳥肌) [自]鳥肌がたつ cayayke (石狩)

トリバネアゲハ(鳥羽揚羽) [名](キシタアゲハ族)トリバネアゲハ属 cikaprapmarewrew-cise (新): [名]アカメガトリバネアゲハ húremega-cikaprapmarewrew (新): [名]アレキサンドラトリバネアゲハ areksandora-cikaprapmarewrew (新): [名]オビメガトリバネアゲハ obimega-cikaprapmarewrew (新): [名]キマエラトリバネアゲハ kimaera-cikaprapmarewrew (新): [名]ゴクラクトトリバネアゲハ kannamosir-cikaprapmarewrew (新): [名]ゴライアストリバネアゲハ goriat-cikaprapmarewrew (新): [名]チトヌストリバネアゲハ titonus-cikaprapmarewrew (新): [名]ビクトリアトリバネアゲハ viktorija-cikaprapmarewrew (新): [名]ヒレオトリバネアゲハ makunrapupon-cikaprapmarewrew (新): [名]メガトリバネアゲハ mega-cikaprapmarewrew (新): [名]ロスチャイルドトリバネアゲハ rotcirido-cikaprapmarewrew (新)

トリポリ [場名](大リビア・アラブ社会主義民主ジャマーヒリーヤ国の首都名、あるいはレバノン共和国の都市名)トリポリ Taraburus (新)

とりまく(取り巻く) ①(ぐるりと輪になつて)[他]～を取り巻く ukosaykare (石狩)、[他] oikarari (天塩): [他]～に～を取り巻かせる ukosaykarere (新)、[他] oikararire (新): ②(集まって)[他]～を取り巻く kouekarpa (天塩): [他]～に～を取り巻かせる kouekarpare (新)

トリユフ (菌類)[名](セイヨウシヨウロの別名)トリユフ turuf (新)※(仏語): [名]黒トリユフ(ペリゴール・トリユフ) kunneturuf (新): [名]白トリユフ retatturuf (新)

とりょう(塗料) [名]塗料 iusip (新)、[名] aniúsip (新)、[名] ciuisip (新)

どりょく(努力) [自]努力する arikiki (石狩): [他]～に努力する koarikiki (石狩): [他](場所)で努力する earikiki (新): [他]～と共に努力する koarikiki (新): [他](原因、手段)で努力する oarikiki (新): [他](人)に努力させる arikikire (新): [自]自分で、一人で努力する yaykoarikiki (新): [自]互いに、皆で努力する ukoarikiki (新): [自]充分努力する arikikino (arikikinu) (新): [自]とても努力する siarikiki (新): [他]～にとっても努力する kosiarikiki (石狩): [自]減茶苦茶努力する toykoarikiki (新): [他](雅)～についてお互い力一杯努力する eúkotuyma-síarikiki (沙流): [副]努力して arikikino (石狩): [後副]～に努力して koarikikino (新)

ドリル [名]ドリル isoypap (新)、[名] cioisoypap (新)、[名] dorir (新)※(英語)

ドル [名](アメリカ合衆国、カナダなどで用いられる通貨単位)ドル dórar (新)

とる(獲る) ①(殺して動物や魚など)[他]～を獲る rayke(複数 ronnu) (石狩、天塩)※(石狩方言で"ronnu"は極まれ)、[他] koyki (石狩)、[他] oskoni(複数 oskompa) (石狩): [他](人)に～を獲らせる raykere(複数形 ronnure) (新)、[他] koykire (新)、[他] oskonire(複数 oskompare) (新): ②(動物を生死を問わず)[他]～を獲る uk(複数 uyna) (石狩): [他](人)に～を獲らせる ukte(複数 uynare) (新): ③(小魚やエビ、カニなどに関し)[他]～を獲る kar (千歳): [他](人)に～を獲らせる káre (新)

とる(採る) ①(実をもらいどり、葉を摘んだりして採る事)[他]～を採る kar (石狩): [他](人)に～を採らせる káre (新): ②(木など地上の生活に必要なものを切って採る事)[他]～を採る tuye(複数 tuypa) (石狩)、[他] ta (石狩): [他](人)に～を採らせる tuyere(複数 tuypare) (新)、[他] táre

(新): ③(ドングリなどを地上から拾い集める採る事)[他]～を採る uekarire(複数 uekarpare) (石狩): [他](人)に～を採らせる uekarirere(複数 uekarparere) (新): ④(ヒシの実やドングリなどを水中や地面から拾って採る事)[他]～を採る uk(複数 uyna) (石狩): [他](人)に～を採らせる ukte(複数 uynare) (新): ⑤(ヒシの実などを水中で掘んで採る事)[他]～を採る peka (石狩): [他](人)に～を採らせる pekare (新): ⑥(オオウバユリの鱗茎など地下の食料となるものを掘って採る事)[他]～を採る ta (石狩): [他](人)に～を採らせる táre (新): ⑦(コウホネなど水中の食料となるものを揚げて採る事)[他]～を採る yanke(複数 yapte) (石狩): [他](人)に～を採らせる yankere(複数 yaptere) (新)

とる(撮る) [自]撮る inokauk (新): [他]～を撮影する nokauk (新)、[他] uk(複数 uyna) (新): (表現)～を撮る ~ nokaha uk(複数 uyna) (石狩): [他](場所)で～を撮る enokauk (新)、[他] euk(複数 euyne) (新): [他]～と共に～を撮る konokauk (新)、[他] kouk(複数 kouyna) (新): [他](原因、手段)で撮る onokauk (新)、[他] ouk(複数 ouyna) (新): [他](人)に～を撮らせる nokaukte (新)、[他] ukte(複数 uynare) (新)

とる(取る) ①(手にする、得る、取り除く、奪う)[他]～を取る uk(複数 uyna) (石狩): (表現)～の手を取る ~ teke uk(複数 uyna) (石狩): (表現)苦味を取る siwnin kera uk (石狩): [他](人)に～を取らせる ukte(複数 uynare) (新): [他]完全に～を取る oaruk(複数 oaruyne) (新)、[他] aruk(複数 aruyne) (新): ②(身に着けた物を脱ぐ事、機械の部品などを外す事)[他]～を取る ama (石狩): (表現)帽子を取る konci ama (石狩): [他](人)に～を取らせる amare (新): [他]完全に～を取る oarama(arama) (新): ③(くっ付いている物に関して)[他]～を取る tuye(複数 tuypa) (新): [他](人)に～を取らせる tuyere(複数 tuypare) (新): [他]完全に～を取る oattuye(複数 oattuypa) (新)、[他] attuye(複数 attuypa) (新): [他]～をパッと取る tuytekka (新): ④(塗られている物について)[他]～を取る pitcere (新)、[他] uska (新): [他](人)に～を取らせる pitcerere (新)、[他] uskare (新): [他]～を完全に取る oarpitcere (arpitcere) (新)、[他] oaruska(arus) (新): [他]～をパッと取る ustekka (新): ⑤[自](人)

が道を取る rúkuste (複数 rúkuspare)
(沙流)※(単数形は未出): 「私たちは村の上
手(東側)の道を取った。」 “Kotan pake ta
ci=rukuspare.”

とる(盗る) [自]盗る ikka (石狩): [他]～を
盗る eikka (石狩): [他]～から盗る
koikka (石狩): [他]～から～を盗る
koeikka (石狩): [他]～と共に～を盗る
koeikka (新): [他](原因、手段)で～を盗る
oeikka (新): [他](人)に～を盗らせる
eikkare (新)

トルクメニスタン [場名](国名)トルクメニ
スタン Turkmenistan (新)※(首都は「アシ
ガバート」): [名]トルクメニスタン人、国
民 curkumenistanunkur (新)

トルクメン [名]トルクメン人 curkumenkur
(新): [名]トルクメン語
curkumenkuritak (新): (歴史)[場名](国
名)トルクメン・ソヴィエト社会主義共和国
Curkumen Soviet Ureskaussamun
Ukotankoremosir (新)※(1925-191
年。略称は Curkumen SUU)

トルコ [場名](国名)トルコ共和国 Curkiye
Ukotankoremosir (新)※(首都は「イスタン
ブール」): [場名](国名の通称として)トルコ
Curkiye (新): [名]トルコ人、国民
curkiyeunkur (新): [名]トルコ語
curkiyeunkuritak (新)

ドルステニア (植物)[名](クワ科)ドルステニア
属 oruwetesmani-cise (新): [名]ドルス
テニア・[名]D. エレンベッキアナの茎
erenbekkia-oruweturepni (新): [名]D.
ギガスの茎 siporo-oruwetesmani (新):
[名]D. クリスパの茎 tomtomo-
oruweturepni (新): [名]D. フォエチダ
katkikoan-oruwetesmani (新)

どれ ①(疑問)[代名]どれ inampe (新)、[代
名] neampe (新)、[代名] inkeampe
(新): ②(不定: 特定できない、あるいはは
たくない)[代名]どれか inampeka (新)、
[代名] neampeka (新)、[代名]
inkeampeka (新): ③(不定: 任意の)(表現)
どちらの物でも、どれでも inampe ne
yakka (新)、(表現) neampe ne yakka
(新)、(表現) inkeampe ne yakka (新)

どれい(奴隷) [名]奴隷 yakko (日本語)、[名]
dorey (日本語): (表現)奴隷労働をさせら
れる yakko ne an=monraykere (新):
(表現)奴隷を所有する yakko kor (新):
[自]奴隷になる、である yakkone (新):
[他](場所)で奴隷になる、奴隷である
eyakkone (新): [他]～と共に奴隷になる、
奴隷である koyakkone (新): [他](原因、
手段)で奴隷になる、奴隷である oyakkone

(新): [他]～を奴隷にする yakkonere
(yakkoneka) (新): [名]奴隷制
yakkokorpuri (新): [名]奴隷船
yakkoruracip (新)

トレド [場名](スペイン中部の都市名)トレド
Toredo (新)

どれほど(どれ程) (表現)どれ程～しても、どれ
程～でも nekon+動詞句+yakka (石狩)、
(表現) eikos+動詞句+yakka (石狩)、(表
現) ehuyne+動詞句+yakka (沙流)、(表
現) ehuyne pakno+動詞句+yakka (沙
流): 「どれ程あなたが頭が良くても、今
私達が抱える問題を理解できないのです
ね?」 “Nekon es=ramuan yakka tane
ci=eranak pe oar es=erampetek ruwe an?”、
「どれ程沢山食べてもあなた太らないわね
え。」 “Eikos es=ipe yakka somo es=kamus
siri!”、「どれ程、神の女よ、あなたが怒っ
ていても堪忍して下さいませ。」 “Ehuyne
pakno, kamuy-menoko, e=iruska yakka
yaysittekka wa i=korpore yan.” (久保寺・
神謡21)

とれる(取れる) ①(身に着けたもの機械の部
品に関して)[自]取れる siama (新): [自]
完全に取れる oassiam (assiam) (新):
②(くっ付いているものに関して)[自]取れる、
取れて落ちる tuy (石狩): (表現)～の頭
が取れる ~ sapa tuy (新): (表現)～の
葉が取れる ~ hamu tuy (新): [自]完全
に取れる oattuy (attuy) (新): [自]パッ
と取れる tuytek (新): [自]～の頭、先端
が取れる etuy (新): [自]～の尾、末端が
取れる otuy (新): ③(塗られているもの
に関して)[自]取れる pitce (石狩)、[自]
pitte (石狩)、[自] us (石狩): [自]完全
に取れる oarpitce (arpitce) (新)、[自]
oarpitte (arpitte) (新)、[自] oarus (arus)
(新): [自]パッと取れる ustek (新)

トレントン [場名](アメリカ合衆国ニュージャ
ージー州の州都名)トレントン Torenton
(新)

どろ(泥) ①[名]泥 pénetoy (石狩)、[名]
teyaka (石狩)、[名] teynetoy (天塩)、
[名](雅) yáci (石狩): ②[自]泥んこにな
る teyakaus (石狩)、[自] tóyus (石狩):
[他](場所)で泥んこになる eteyakaus (新)、
[他] etoyus (新): [他]～と共に泥んこに
なる koteyakaus (新)、[他] kotoyus
(新): [他](原因、手段)で泥んこになる
oteyakaus (新)[他] otoyus (新): [他]～
を泥んこにする teyakausi (新)、[他]
tóyusi (新): ③[他]～に泥を塗すくり付け
る teyakakotaci (石狩): [他](人)に～に
泥を塗すくり付けさせる teyakakotacire

(新)

トロコメリア (植物)[名](ウリ科)トロコメリア
 亜連 ukakaripopotukpe-moutar (新):
 [名]トロコメリア属 ukakaripopotukpe-
 cise (新): [名]トロコメリア・ポリモルフ
 エラの茎葉 moukaripopotukpe (新):
 [名]トロコメリア・マクロカルパの茎葉
 síukakaripopotukpe (新)

ドロドロ ①[名]ドロドロ yáicipoci (石狩):
 (表現)沢の中がドロドロになっている nay
 asam ta yáicipoci an (石狩): ②[自]ドロド
 ロになる、なっている péne (新): [他](場
 所)でドロドロになる、なっている epene
 (新): [他]〜と共にドロドロになる、なっ
 ている kopene (新): [他](原因、手段)でド
 ロドロになる、なっている opene (新):
 [他](潰したりして)〜をドロドロにする
 péneka (石狩)、[他] péne (新): ③
 [自]ドロドロしている potce (天塩)

どろぬま(泥沼) [名]泥沼 tóray (石狩)、[名]
 toyto (石狩)

ドロノキ(泥木) (植物)[名](ヤマナラシ属)ドロ
 ノキの茎 kurunni (石狩)、[名] yayni
 (幌別)

どろぼう(泥棒) [名]泥棒 ikkakur (石狩):
 [名](悪口として)泥棒 ikkap (石狩)

トロント [場名](カナダのオンタリオ州の州
 都名)トロント Toronto (新)

とわ(永遠) [自]永遠なる siokeresak (新):
 (表現)永遠の誓いを交わす siokeresak
 ukouyepnu (新): (表現)永遠の眠りにつく
 siokeresak mokor (新): [副]永遠に
 siokeresakno (新)

ドワーフ [名](妖精の名)ドワーフ dowarfu
 (新)※(英語)、[名] zuwergu (新)※(独語)

トン [名](重さの単位)トン ton (新)

ドン [名](地名)ドン川 Don-pet (新)※(ロシ
 ア連邦を流れアゾフ海に注ぐ)

トンガ ①[場名](国名)トンガ王国 Tonga
 Yaykomosirkorkurkormosir (新)※(首都は
 「ヌクアロファ」): [場名](国名の通称とし
 て)トンガ Tonga (新): [名]トンガ人、国
 民 tongaunkur (新): [名]トンガ人、民
 族 tongakur (新): [名]トンガ語
 tonganeuritak (新): ②[場名](地名)トン
 ガ諸島 Tonga-usapoysir (新)※(南太平洋
 にある島々): [名](地名)トンガタプ島
 Tongatapu-poysir (新)※(南太平洋のトン
 ガ諸島に属する島の名)

どんかく(鈍角) [場 名] 鈍 角
 enukassisikkew(-e) (新)、[場 名]
 enukarsisikkew(-e) (新): [位名]〜の鈍角
 enukassikkew(長形-e) (新)、[位名]
 enukarsikkew(長形-e) (新)

どんぐり(団栗) [名]団栗 nisew (石狩)、
 [名] sínisew (天塩): [名]団栗の殻斗
 nisew-itanki (H)

トンコリ [名]トンコリ tonkori (樺太)※
 (円吉の蝦夷記には「オン子ムツクリ」の名が
 絵と共に描かれている)

トントン ①[自]ものをトントン叩く、叩いて
 細かくする itata (新): [他]〜をトント
 ン叩く、叩いて細かくする táta (石狩):
 (表現)氷頭をトントン叩く huype táta (石
 狩): [他](人)に〜をトントン叩かせる、叩い
 て細かくさせる tátare (新): [他]何度も
 〜をトントン叩く、叩いて細かくする
 tátatata (石狩): ②[自]ものをトントン突
 く itoktok (新): [他]〜をトントン突く
 toktok (石狩)※("nitoktokcikap"「クマゲラ」
 の構成要素として現れる。今後単独でも用い
 る): [他](人)に〜をトントン突かせる
 toktokte (新)

どんだん (表現)(ある同じ動作が繰り返され
 た結果を導き)どんだん〜(す)ると 動詞句
 +ranke kor (石狩): 「私達がどんだん攻
 めて行くと和人達は逃げてしまった。
 “Corawki=as ranke kor samo kira wa
 isam .”

どんな ①(疑問)[連体]どんな nékonan (石
 狩): 「どんな商品をお探ですか？」

“Nékonan cihoki es=hunar ruwe an?”:

[代名]どんな事、どんな物 nékonampe
 (新): 「どんな物を求めてしょうか？」

“Nékonampe es=hok rusuy ruwe an?”:

(表現)どんな事、物 nékonan pe (石狩):

[代名]どんな時、どんな所 nékonani (新):

「一体どんな時に来たら良いの？」

“Nékonani ta ta ku=ek yak pirka?”、“ど
 んな所に行きたい?” “Nékonani ene

e=oman rusuy?”: [代名]どんな人
 nékonankur (新): 「どんな人が好き？」

“Nékonankur e=eramasuy?”(表現)どんな

人 nékonan kur (石狩): (表現)どんな理
 由で nékonampe kusu (新): (表現)一体

どんな理由で nékonampe kus ta (新):
 「一体どんな理由でお前達は私を虐める

の?” “Nékonampe kus ta es=en=koyki
 ya?”: ②(不定: 特定できない、あるいはは

したくない)[代名]どんな事か、どんな物か
 nékonampeka (新): [代名]どんな人か

nékonankurka (新): (表現)どんな理由で
 か nékonampe kusu ka (新): ③(不定:

任意の)(表現)どんな〜でも nékonan ~
 ne yakka (新): (表現)どんな事でも、どん

な物でも nékonampe ne yakka (新):
 (表現)どんな時でも、どんな所でも

nékonani ta ne katta (新): (表現)どんな

人でも nékonankur ne yakka (新)：(表現)どんな理由でも nékonampe kusu ne yakka (新)

どんなに (表現)どんなに～しても nékon+動詞句+yakka (石狩)：「どんなに私達が頑張ろうともどうしようもないよ。“Nékon arikiki=an yakka ene an=kar hi ka isam wa.”」

トンネル [名]トンネル etoyposoru (新)：(表現)トンネルを掘る etoyposoru kar (新)：(表現)トンネルを抜ける etoyposoru oposo (新)、(表現) etoyposoru poso (新)
どんびき(どん引き) [自]どん引きする toykohomakociwe (新)、[自] toykohomakoraye (新)：[他](人)をどん引きさせる toykohomakociwere (新)、[他] toykohomakorayere (新)

な ①(疑問を表し)[終助]～な ya (石狩)：石狩川筋の音声資料では y 音が落ち a と聞こえることが多い。また ne ya → na、an ya → ana という縮音形も多用される。この語は原則として動詞句の後に用いられるが、中空知の出身者は形式名詞 hi、p(pe)などの形式名詞で形成される名詞句の後に副助詞として用いる事がある。また口語としては別項に挙げる ruwe、hawe などを用いる事が多い。→「の」を見よ：「君がこの男を見たのだな？」“Eani tan okkayo e=nukar ya(=ruwe)？”、「貴方たちは何を食べるのかな？」“Nep es=e ya(=ruwe an)？”：②(相手に対し叙述の内容を念押し)[終助]～な na (石狩)：「私がこれを作ったのだからな。」“Kuani tampe ku=kar na.”：③(命令)～(し)な 動詞の命令形 (石狩)：「これを食べいな。」“Tampe e!”、「絶対誰にも言うな。」“Ecikki nen ne yakka ye!”

な(名) ①[名]名 re (石狩)：(表現)私は～という名です ～ sekor re an pe ku=ne (旭川)、(表現) ～ ari ku=rehe an (空知)：「失礼ながらお尋ねします。貴方のお名前は何かとおっしゃいますか？」“Ku=kor wempuri ku=eyaysitoma kane es=kopisi=an wa. Nekon es=rehe an?”、「イクレイと申します。」“Ikuresuy sekor ku=rehe an (Ikuresuy ari ku=rehe an) ruwe ne.”：②[他](何らかの理由)で名が付く erekor (石狩)：「昔そこに住んでいた同族が皆悪い病気で死んだので、それで名が付いたのが『ウェンモシリ』という名の所だそうです。“Hoskino otta okay utari opitta wen siyeye ne isam kusu erekor katu <Wenmsir> sekor re an i ne yak a=ye.” (砂沢クラ)：③[他]～に名前を付ける rékore (石狩)：「私が君に名前を付けてあげよう。」“E=rekore=an kusu

ne.”、「この沢は夏になると沢口が乾くから「オサツナイ」と名付けられたとそうだ。」

“Tan nay anakne sak an kor putuhu sat kusu <Osatnay> sekor an=rekore yak a=ye.”

なあ [終助](叙述の内容を感情のこもったものとして)～なあ na (石狩)：「お前は馬鹿だなあ。」“Haytakur e=ne na!”：感動の表現として、目で見た事に対して“siri”、耳で聞いた事に対して“hawe”、また肉体的、精神的な強い感覚に対して“humi”という形式名詞が、それぞれ“Tan nupuri sonno ri siri!”

「この山本当に高いなあ。」、“Pirka hawe!” “「良いなあ。」”、“Ku=cikiri arka humi!” “「足が痛いなあ。」と使われる。また石狩方言では確認されていないが、ある事柄に対して“ruwe”を使い“E=poro ruwe!” “お前は大きくなったなあ!”とも表現できる。また石狩方言ではこれらの「形式名詞の概念形+ana」による“ruana”、“sirana”、“hawana”、“umana (humana)”という表現もある。：「貴方のやり方は素晴らしいなあ。」“Es=ki katu pirka ruana!”、“君は美しいなあ。”“E=pirka sirana!”、“君たちが結婚したってなあ。”“Es=ukor hawana!”、“これは美味しいなあ。”“Tampe keraan umana!”

ない ①(動作、状態の否定)[副](否定を示して通常然るべき人称接辞をとった動詞の直前に置かれ)～ない somo (石狩、天塩)：動詞句の後に“somo ki”「～しない」という形式を置き、“somo+動詞句”の形式とほぼ同じ意味の表現ができる。また状態を表す動詞句の後には“somo ne”「～でない」が用いられる。更に“ka somo ki”「～もしない」、「ka somo ne」「～でもない」という形式もある。強調の表現であるが、日本語の発想に慣れたこれからの人達にとって便利のため、単に「～(し)ない」の意味で多用されていくかも知れない。：「私は水を飲まない。」“Wakka somo ku=ku.”、「私は水を飲まない。」“Wakka ku=ku somo ki.”、「彼女はどこか痛いのではないだろうか?’ “Neor ka arka somo ne?”、「彼は勝手に使ってしまい、それを買いもしない。」“Yaykata eiwanke, hok ka somo ki.”、「私は何か悪い怪物である訳でもないのです。」“Anokay anakne nepka wen kamiasi an=ne ru ka somo ne.” (杉村キナラブク)説話：②(何かの存在に関して)[自]ない isam (石狩)：「金がない」“Ikor isam.”：[自]全くない oarisam (石狩)：[他]～がない sak (石狩)：「私は金がない。」“Ikor ku=sak.”

ないかく(内格) (言語)[名]内格 iorumperewke (新)

ないかく(内角) [場名]内角 awuysikkew(-e) (新)、[場名] auysikkew(-e) (新)

ないかく(内閣) [名]内閣 yayetunusutarpa-uekarpa (新): [名]内閣総理大臣 yayetunuspake (新): [場名]内閣府 yayetunusutarpa-uekarpause (新)

ないがしろ(蔑ろ) [自]人を蔑にする ihayta (新): [他]～を蔑にする hayta (石狩): [他]～に関して～を蔑にする ehayta (新): [他](場所)で～を蔑にする ehayta (新): [他]～と共に～を蔑にする kohayta (新): [他](原因、手段)で～を蔑にする ohayta (新): [他](人)に～を蔑にさせる haytare (新)

ないくう(内腔) (解剖)[名]内腔 nisa (新)※(「木の空洞」より)

ナイジェリア [場名](国名)ナイジェリア連邦 Nayjeriya Ukosineatki Ukotankoremosir (新)※(首都は「アブジャ」): [場名](国名の通称として)ナイジェリア Nayjeriya (新): [名]ナイジェリア人、国民 nayjeriyaunkur (新)

ないせん(内戦) [自]内戦をする yaykotumikor (新): (表現)内戦をする yayutari or(長形-o、-ke) ta ukotumikor (新): [他](場所)で内戦をする eyaykotumikor (新): [他]～と内戦をする koyaykotumikor (新): [他](原因、手段)で内戦をする oyaykotumikor (新): [他](人)に内戦をさせる yaykotumikore (新)

ないせん(内線) [名]内線 awkusru (新)

ないそう(内装) (表現)～の内装をする ～ oske tomte (新)、(表現) ～ onnay(長形-ke)tomte (新)

ないぞう(内蔵) ①[名]内臓 oskeomap (石狩)、[場名] oske (石狩)、[場名] ramor(-o、-ke) (石狩): [場名]内臓膜 irammoroke (石狩): [名]サケの内臓膜 cephum (石狩): ②(関連語彙)[名]気管 sewri (石狩)、[名] oyarekut(-ci) (石狩): [名]肺 yukram(-i、-u) (石狩): [名]食道 ipesewri (石狩)、[名] iperekut(-ci) (石狩): [名]胃 yospe (石狩): [名]小腸 ánetuy(-e) (石狩): [名]大腸 ruwetuy(-e) (石狩): [名]十二指腸 pisehanuka (樺太): [名]盲腸 pontuy(-e) (新): [名]心臓 sampe (石狩): [名]肝臓 ra (石狩): [名]胆嚢 siwpe (石狩): [名]腎臓 kinop(-i) (石狩): [名]膀胱 cup(-i) (石狩)

ないひ(内皮) [名](樹皮の)内皮 peratne (石狩)、[名] ras(-u) (石狩)、[名] raunkap(-u) (天塩)

ナイフ [名]ナイフ epirkep (新)、[名] nos (新)※(露語)

ないぶ(内部) [位名]～の内部 oske (石狩)※(長形、短形の区別なし)、[位名] onnay(長形-ke) (石狩): 「家の内部に誰がいたか私は覚えてない。」“Cise oske (=onnay) ta nen an ya ka ku=eramuskare .”: [場名](合成語の構成要素として)内部 aw (石狩)

ないぶもくしつぶ(内部木質部) [名]内部木質部 raunkam(-i) (天塩)

ないふん(内紛) [自]内紛をする yaykukoyki (新): (表現)内紛する yayutari or(長形-o、-ke) ta ukoyki (新): [他](場所)で内紛をする eyaykukoyki (新): [他](原因、手段)で内紛をする oyaykukoyki (新): [他](人)に内紛をさせる yaykukoykire (新)

ないよう(内容) [名]内容、内容物 ipe (石狩): (表現)文章の内容 itaksay ipe (新): (表現)胃の内容物 yospe or oma p (yospe or o p) (石狩)、(表現) supop oske oma p (supop oske o p) (石狩)

ナイル (地名)[名]ナイル川 Nir(-pet) (新)※(アラビア語)、[名] Piaro(-pet) [名]※(コプト語): [場名]ナイル川流域 Nir (新)、[場名] Piaro (新)

ナイロビ [場名](ケニア共和国の首都名)ナイロビ Nairobi (新)

ナウル ①[場名](国名)ナウル共和国 Naoero Ukotankoremosir (新)※(公式の首都はないが事実上の首都は「ヤレン」): [場名](国名の通称として)ナウル Naoero (新): [名]ナウル人、国民、民族 naoerounkur (新): [名]ナウル語 naoerounkuritak (新): ②[場名](地名)ナウル島 Naoero-poysir (新)

なえる(萎える) [自](勃起していた)男性器が萎える omawposo (樺太白浦): [他](場所)で男性器が萎える eomawposo (新): [他]～と共に男性器が萎える koomawposo (新): [他](原因、手段)で男性器が萎える oomawposo (新): [他](人)の男性器を萎えさせる omawposore (新): [自]すっかり男性器が萎える oaromawposo (aromawposo) (新)

なお(尚) [副]尚、尚一層 po (沙流)、[副] irokakusu (沙流): (表現)尚良い po pirka (沙流)、(表現)尚一層沢山 po poronno (沙流): (表現)尚一層 po anakne (石狩)、(表現) po hene (沙流): 「尚一層私達は頑張ります。」“Po anakne arikiki=as kusune .”

なおす(治す) ①(病気一般に関して)[自]人を治す ipirkare (新): [他](人)を治す

pirkare (新): [自] 治る、治っている
 pirka (石狩): ②(重病に関して)[自] 人を治す
 itusare (新): [他](人)を治す tusare
 (石狩): [自] 治る tusa (石狩)

なおす(直す) (壊れた物や破れた衣服に関して)[自]ものを直す iutapke (新): [他]～を直す utapke (石狩): [他](場所)で～を直す eutapke (新): [他]～と共に～を直す koutapke (新): [他](原因、手段)で～を直す outapke (新): [他](人)に～を直させる utapkere (新): [他]完全に～を直す oarutapke (arutapke) (新): [自]直る siutapke (新)

なか(中) ①(空間的、あるいは体の中に関して)[位名]～の中 oske(長形・) (石狩)※(長形、短形の区別なし)、[位名] onnay(長形・-ke) (石狩)、[位名] or(長形・o、-ke) (石狩): 「洞窟の中に私達は入った。」“Poru oske (=onnay, or) ta ahup=as .”: (表現) 家の中 cise oske (石狩)、(表現) cise onnay(-、-ke) (石狩): (表現) 心の中 ram(-u) or(-o、-ke): (表現) 夢の中 cinita or(-o、-ke) (新): [場名](合成語の構成要素として)中 aw (石狩): ②(土、林、草叢など何か密集したもの)[位名]～の中 tum(長形・u、-uke、-ke) (石狩): (表現) 海の中 atuy tum (石狩): (表現) 風の中 réra tum (静内): (表現) 草叢の中 mun tum (石狩): (表現) 土の中 toy tum (石狩): (表現) 林の中 nítay tum (石狩): ③(横切ったり、縛ったりする面、あるいは目を向けたり、目指していく対象を示し)[位名]～の中、～の、～の中の方 tom(長形・o、-oke) (石狩): 「光の中に私は目をやった。」“Nipeki tom ene ku=inkar .”、「魚を陸揚している人達の中に私は船をつけた。」“Cep yanke utar tomoke ene ku=cipatte .”: [他](荷物)の中程に荷縄をかける tomotareciw (石狩): [他](荷物)の中程に紐をかける tomoateciw (新)

なか(仲) ①[位名](人)の仲 utur(長形・u、-uke、-ke) (石狩): 「私達の仲を裂かないでくれ。」“Un=utur eciki wente !”: [位名](複数の人)のお互いの仲、～の皆の仲 ukoutur(長形・u、-uke、-ke) (石狩): 「私達は皆仲が良い。」“Un=ukoutur pirka .”: ②[自]仲が良い sineramukor (石狩): [自]仲が良くなる、仲が良い ukooske-pirka (石狩)、[自] ukokewtum-pirka (ukokewtumu-) (天塩)、[自] ukoramu-pirka (天塩)、[自] ukopirka (新): [他](ある原因)で仲が良くなる、良い eukopirka (新): [他](人)の仲良くさせる ukooske-pirkare (新)、[自] ukokewtumu-pirkare (新)、[他]

ukoramu-pirkare (石狩)、[他] ukopirkare (新): [他]～と仲良しとなる、仲が良い kooske-pirka (新)、[他] kokewtumu-pirka (新)、[他] koramu-pirka (新)、[他] kopirka (新): ③[自]仲が悪くなる、悪い ukooske-wen (新)、[自] ukowen (天塩)、[自] ukokewtumu-wen (新)、[自] ukoramu-wen (新): [他](ある原因)で仲が悪くなる eukowen (天塩): [他]仲が悪くなる、悪い ukooske-wente (新)、[他] ukowente (新)、[他] ukokewtumu-wente (新)、[他] ukoramu-wente (新): [他]～と仲が悪くなる、悪い kooske-wen (新)、[他] kowen (新)、[他] kokewtumu-wen (新)、[他] koramu-wen (新): [自]人の仲を裂く、悪くする iuturwente (石狩)、[自] iututtuye (新): [他]～に関して人の仲を裂く eiuturwente (新)、[他] eiututtuye (新): [他](人)に人の仲を裂かせる iuturwentere (新)、[他] iututtuyere (新): [連他](人)の仲を裂く uturu-tuye (uturu-tuye) (沙流)、[他] uturutuye (新)、[他] uturuwente (新): [名]人の仲を裂く人 iuturwentekur (新)、[名] iututtuyekur (新): [名]人の仲を裂く奴 iuturwentep (iututtuyep) (新)、[名] iuturwente-ampe (iuttuye-) (新)

ナガアリ(長蟻) (昆虫)[名](フタフシアリ亜科) ナガアリ属 tanneitunnapp-cise (新): [名]ハヤシナガアリ nitaytanneitunnapp (新): [名]ヒメナガアリ motanneitunnapp (新)

ながいす(長椅子) [名]長椅子 tanne-ikum (新): [名]ベンチ benci (新): [名]ソファ sofa (新)

なかおび(中帯) [名]中帯 inoskiunkut(-ci) (新)

ながく(長く) ①(長さに関して)[自]長くなる、長い tanne (石狩): “reki tanne”「～の髭が長い」という長さを実測できるものの他、“tasu tanne”「～の息が長い」という時にも用いられる。尚、沙流方言などでは「日が長い」を“to tanne”、「夜が長い」を“ancikar tanne”と言う。: [他]～を長くする tanneka (石狩)、[他] tannere (新): [他](場所)で～を長くする etanneka (新): [他]～と共に～を長くする kotanneka (新): [他](原因、手段)で～を長くする otanneka (新): [他](人)に～を長くさせる tannekare (石狩)、[他] tannerere (新): [副]長く tanneno (新): 「私達が佇む前に影法師が長く横たわっていた。」

“Un=kotca ta ci=kurmama tanneno situri wa hotke wa an .”: ②(時間に関して)[自]

長くなる、長い ohor (沙流、千歳): [他]
 ～を長くさせる ohorka (ohore) (新):
 [副]長く、長い間 ohonno (石狩): 「君の
 行為は長く人の記憶に留まるでしょう。」

“E=kar pe anakne ohonno an=amkir
 nankor.”: (表現)とても長い間 sonno
 ohonno (新): [副]随分長い間 setakko
 (石狩): (表現)随分長い間 somo setak no
 (石狩)、(表現)(雅) sem setak no (沙流):
 [副]本当に長い間、とても長い間
 tanuskotoywa (石狩)

ながづつ(長靴) [名]長靴 tanneker(i) (新)

なかくぼみ(中窪み) [名](合成語の構成要素と
 して)中窪み cis(i) (H)

ながさ(長さ) [名]長さ tanneru(-we) (新):
 (表現)重さを計る tanneru pákari (新)

ながしあみ(流網) [名]流網 yasya (石狩):
 [名]流網に取り付ける棒 yastek(-e) (石
 狩): [自]流網漁をする yas (石狩)

ながしかぎ(流鉤) [名]流鉤 ap (石狩)※(船で
 川を下りながら溯上してくるサケ、マスを獲
 る漁具で、柄の先に鉤が付いた物)

なかじき(中敷) [名](靴の中敷) kerop (石
 狩)

なかじま(中島)、なかす(中州) [場名]中島、中
 州 mosir(i) (石狩): “mosir”が多くの意
 味を持つため、今後伝達を第一と考えるなら
 以下の語形を用いる事を提案する。: [場名]
 湖沼の中島 tókamosir(i) (新): [場名]
 川中島 petkamosir(i) (新): [場名]川中
 の小島 petkaponmosir(i) (新)

なかす(泣かす) [他](人)を泣かす ciste (石
 狩)

ながす(流す) ①[他]～を流す momte (石狩、
 天塩)、[他] momka (石狩): [名]流すカ
 imomtetum (imomkatum) (新): ②
 [他](涙)を流す ranke (石狩)、[他](雅)
 yaykoranke (石狩): (表現)二粒の大粒の
 涙、三粒の大粒の涙を流す tu nukunnupe
 re nukunnupe yaykoranke (石狩): ③
 [他](容器を傾け一時に水など)を流す kuta
 (空知、天塩)、[他] ota (旭川): [他](容器
 を傾け静かに水など)を流す kuta (旭川):
 ④(水などをチョロチョロと)[他]～を流す
 cirirka (cirire) (新)

ナガスクジラ(長須鯨) (動物)[名](ヒゲクジラ
 亜目)ナガスクジラ科 oaspeushumpe-apa
 (新): [名]ナガスクジラ属
 oaspeushumpe-cise (新): [名]ナガスクジ
 ラ oaspeushumpe (胆振)、[名]
 okekushumpe (長万部)※(ナガスクジラの
 類): [名]イワシクジラ sínokorhumpe
 (H)※(別名「カツオクジラ」): [名]カツオ
 クジラ tumototusturahumpe (新): [名]

クロミンククジラ kunne-monokorhumpe
 (新)※(別名「クロコイワシクジラ」): [名]
 シロナガスクジラ síoaspeushumpe (新):
 [名]ツノシマクジラ tūnosimahumpe
 (新): [名]ニタリクジラ nokorhumpe
 (新)※(別名「カツオクジラ」): [名]ミンク
 クジラ monokorhumpe (新)※(別名「コイ
 ワシクジラ」): [名]ザトウクジラ属
 upopohumpe-cise (新)

なかだし(中出し) [自]中出しする
 ioskeeisanke (新): [他](人)に中出しさせ
 る ioskeeisankere (新): [他]～に中出し
 する oskeeisanke (新)

なかなお(仲直り) [自]仲直りする
 utomoitak (石狩): (表現)仲直りする
 suy ukooske pirka (石狩)、(表現) suy
 ukoramu pirka (天塩): [他](人)を仲直り
 させる utomoitakte (新): (表現)(人)を
 仲直りさせる suy ukooske pirkare (新)、
 (表現) suy ukoramu pirkare (新)

ながナット(長ナット) [名]長ナット tanne-
 matnecinoyp (新)、[名] iukote-
 matnecinoyp (新)、[名] pinnecinoyp-
 ukote-metnecinoyp (新)※(「高ナット」、
 「つなぎナット」、「ジョイントナット」とも)

ながねじ(長ねじ) [名]長ねじ、長ねじボルト
 tanne-rinnecinoyp (新)※(「寸切りボルト」、
 「全ねじ」、「すんざり」とも)

なかのはなだ(中縹) [自]中縹になる、である
 noskian-ittonesumpeus (新): [他]～を中
 縹色に染める noskian-ittonesumpeusi
 (noskian-ittonesumpeuste) (新): [名]中
 縹色 noskian-ittonesumpeus-iro (新)

ながば(長葉) [名]長葉 tanne-ham(-u) (新):
 [自]長葉である hamu-tanne (新)

なかば(半ば) ①[場名]半ば arke (石狩):
 (表現)半ば arke ta (石狩): 「私は半ば恐
 れながらその男を見た。」“Arke ta nea
 okkayo ku=sitoma kane ku=nukar.”:
 (表現)(オタストウシクルやアイヌラックル
 など半神半人の英雄を形容し)半ば神であり
 半ば人である arke kamuy or o ipe arke
 aynu or o ipe ne (石狩)、(表現) arke
 kamuy ne arke aynu ne (H): (表現)(悪口
 として)半ば草臭い奴半ば土臭い奴 arke
 munrakpe arke toyrakpe (石狩): この
 “mun ~ toy ~”は悪口の表現としてよく使
 われる。: ②[位名](道など)～の半ば
 hontom(長形-o) (石狩)、[位名] tom(長形-
 o) (石狩): [場名]道半ば、道の途中
 rúhontom(-o) (石狩)、[場名] rútom(-o)
 (天塩): ③[接頭](動詞に接頭してある行為
 や状態が完全ではなく「半分くらい」である
 事を表わす) ru- (石狩): ru+teyne(濡れ

る、濡れている) → ruteyne 「半ば濡れる、濡れている」

ナガバヤナギ(長葉柳) (植物)[名](ヤナギ属)ナガバヤナギの茎 susu (H)、[名] yayaysusu (鵲川)、[名] inawnisusu (石狩)、[名] siwsusu (天塩): [名]ナガバヤナギの花穂 nisetā (天塩)、[名] susucoco (幌別)、[名] susupo (長万部)、[名] susu-nomponompo (樺太)※(これらに対しネコヤナギのような花穂は mera)

なかぼり(中梁) [名](家の)中梁 itemeni (石狩)、[名] umamki (沙流)

なかほど(中程) → 「なか(中)」を見よ

ナガボノウルシ(長穂の漆)(植物)[名](キキョウ目)ナガボノウルシ科 repunimaykeremun-apa (新): [名]ナガボノウルシ属 repunimayaykeremun-cise (新): [名]ナガボノウルシの茎葉 repunimayaykeremun (新): [名]スフェノクレア・ボンガティウムの茎葉 afrikaimayaykeremun (新)

なかぼり(中堀) [名]中堀 noskiun pécir (新)

なかま(仲間) ①[名]仲間 utar(-i) (石狩): ②[自]仲間入りする、仲間になる iopok (石狩): [他]~に仲間入りする、仲間になる eiopok (石狩): [他](人)を仲間入りさせる、(人)を仲間にする iopokte (新): [他](合成語の構成要素として)~の仲間入りする opok (石狩): ③[自]仲間になる、なっている utanne (石狩)、[自] ieutanne (石狩): [他]~の仲間になる、なっている eutanne (石狩)、[他] koieutanne (石狩): [他](人)を仲間にする utanneka (utannere) (新)、[他] ieutanneka (ieutannere) (新)

なかみ(中味) [名]中味 ipe (石狩): (表現)箱の中味 supop or oma p (supop or o p) (石狩)、(表現) supop oske oma p (supop oske o p) (石狩)

ながめ(眺め) (表現)眺め an=nukar sir(-i) (新): [自]眺める inkar (石狩): 「山の方を私達は眺めていた。」“Nupuri ekota inkar=as kane okay=as.”: [他]~を眺めやる sikkuspare (石狩): 「遙か彼方の海を眺めやると夜が明けてきた。」“Too tuyma atuy ku=sikkuspare kor sirpeker sirki.”: [自]辺りを眺めやる sirsikkuspare (sissikkuspare) (新)

なかゆび(中指) [名]中指 noskiaskepet(-ci) (石狩)、[名] noskiketaan-askepet(-ci) (石狩)、[名] noskiun-askepet(-ci) (石狩)、[名] sinnoskeaskepet(-ci) (天塩)、[名] sukeaskepet(-ci) (石狩)、[名]

tanneaskepet(-ci) (石狩): [自・名]中指の引き合いをする、中指の引き合い ukonkepetaye (石狩)

なかよく(仲良く) ①[副]仲良く ueyamno (石狩)、[副] uerampokinno (石狩)、[副] uekataratkino (石狩): ②[自]仲良くなる、仲良しである ukooskepirka (石狩)、[自] sineramukor (石狩)、[自] ukokewtumpirka (天塩)、[自] ukoramupirka (天塩)、[自] ukopirka (新): [他](ある原因)で仲良くなる、仲良しである eukopirka (新): [他](人)を仲良くさせる ukooskepirkare (新)、[自] sineramukore (新)、[自] ukokewtumpirkare (新)、[他] ukoramupirkare (石狩)、[他] ukopirkare (新)

ながら ①[接助](動詞句の後に置かれ)~(し)ながら kane (石狩)、[接助] kor (石狩): 「私は本を読んでいる。」“Kampisos ku=nukar kane ku=an.” = “Kampisos ku=nukar kor ku=an.” 「私は本を読みながら食事をする。」“Kampisos ku=nukar kane ku=ipe.” = “Kampisos ku=nukar kor ku=ipe.”: 石狩川筋では、特に kane、kor の後に置かれるのが自動詞で接続助詞とその動詞の間に如何なる補語も入らぬ場合、“Kampisos ku=nukar kane an.”、“Kampisos ku=nukar kor ipe.”などのように人称接辞が落ちる事が多い。尚、特に kane an は通常の発音では kanan となり、また kor an も区切らず koran と一体に発音される。): ②[位名](動詞句の後に置かれ)~(し)ながら ka(長形-si、-sike) (石狩)、[位名] kurka(長形-si、-sike) (石狩)、[位名] tuyka(長形-si、-sike) (石狩): 「…彼女は泣いたあげくに戦いながら言った声はこうである…」“… cis ayne u tumi kasike itak ko hawe ene an ihi …”(杉村キナラブク)、 「…沖の熾を陸に寄せて、陸の熾を沖へやりながら彼女が言葉にするのは…」“… repo usat yaoranke ine yao usat repoomante kurkasike itak omare …”(砂沢クラ)、 「…海の神は…頭を沈め頭を上げながら言う声は…」“atuykorkamuy … herori etari u tuykasike itak ko hawe …”(杉村キナラブク): ③[後副](幾つかの動詞の後ろに置かれ)~(し)ながら tura (turano) (石狩): 泣きながら cis tura(-no) (石狩)

ながれ(流れ) (表現)流れ pet oman ru(-we) (新): [名]流れの遅い川 móray(-e) (H): [名](川の)流れの穏やかな所 moy (石狩)

ながれぼし(流れ星) [名]流れ星 hoyupunociw (天塩)、[名] matkoiwak (蝦夷記)

ながれも(流れ藻) [名] 流れ藻 atuykatopenra (新)

ながれる(流れる) ①(人や物、水に関して)[自] 流れる mom (石狩)： [他](場所)を流れる emom (新)： [他](場所)へ流れる komom (新)： [他]～と共に流れる komom (石狩)： [他](場所)から流れる、(原因、手段)で流れる omom (新)： ②(川に関して)[自] 流れる、流れ行く oman (複数 paye) (石狩)： 日本語では山から溪流が大河になり海へ到る情景を思い浮かべるが、"pet oman" 「川が流れいく」の場合その全く逆で、川の流れ先は水源の山奥である。それ故、今後翻訳などにおいて特にこだわる人は"pet san" などとすれば良いであろう。： [他](場所)を流れる kus (沙流)： (表現)東から～を流れる cupka wa ~ kus (沙流)： (表現)西から～を流れる cuppok wa ~ kus (沙流)： ③(川の水に関して)[自] 流れる、せせらぐ ciwnu (天塩)： ④(水に関して)[自] チョロチョロ流れる cirir (石狩)： ⑤(滝、水に関して)[自] 流れ落ちる ran (複数 rap) (石狩)： [他](場所)あら流れ下る osan (沙流)： (表現)川が流れ下って来る川口 pet osan putu (沙流)： ⑥(川に関して)[自] (雅) 流れ下る、流れ来る san (沙流)： (表現)(雅)大きな川の流れ下る様は明(さや)かなり tan poro pet san ru konna maknatara (沙流)

なぎ(風) [名] 風 noto (幌別)： (表現)風ぐ、風いでいる noto an (幌別)

ながい(亡骸) [名] 亡骸 kaysey(-e) (石狩)： [名] 人の亡骸 aynukaysey(-e) (石狩)

なきごえ(泣声) (表現)泣声 cis haw(-e) (石狩)： (表現)女の泣声 menoko cis haw (石狩)： (表現)その赤子の泣く声は高く響き渡る kor pompe cis haw konna carototke (沙流)

なきごえ(鳴声) [名] 鳴声 haw(-e) (石狩)： [間投](フクロウの泣声)ホーホー humhum (石狩)： [間投](クマの鳴声) we (石狩)： [間投](熊に化けた怪物の化物) óroperere (石狩)： [間投](犬の鳴声)ワンワン mikmik (石狩)： [間投](犬などがいがむ声) yawyaw (石狩)： [間投](犬が甘える声)クンクン niwniw (石狩)： [間投](狼や犬の遠吠え)ウォーン wo (石狩)： [間投](狐の首領神の鳴声) bathambaw (石狩)： [間投](狐の鳴声) paw (石狩)： [間投](兎の鳴声) i (石狩)： [間投](カッコーの鳴声)カッコー kakkok (石狩)： [間投](ツツドリの鳴声) tútut (石狩)： [間投](エゾアカガエルの泣声)ゲコゲコ oowat

(ooot) (石狩)： [間投](アマガエルの泣声)ケロケロ kokekoke (石狩)： [間投](エゾハルゼミの泣声) yáki (新)： [間投](コオロギの泣声)コロコロ korkor (石狩)： [自](鳴声)高く響き渡る carototke (沙流)： (表現)～の鳴声は高く響き渡る ~ rek haw konna carototke (新)： [他](中相)高く響き渡る cicarototo (新)

なぎさ(渚) [名] 渚 sánota (石狩)、[名] pétota (久保寺 18)： (表現)渚で sánota ka ta (石狩)

なきさけぶ(泣き叫ぶ) [自] 泣き叫ぶ paraparak (石狩)： [他](人)を泣き叫ばせる paraparakte (新)： [自]一人で泣き叫ぶ yaykoparaparak (新)： [自]二人で、皆で泣き叫ぶ ukoparaparak (石狩)： [自]ひどく泣き叫ぶ rayayayse (石狩)、[自] rayparaparak (新)

なきじゃくる(泣きじゃくる) [自]泣きじゃくる sesserke (石狩)： [他](人)を泣きじゃくらせる sesserkere (新)： [自]一人で泣きじゃくる yaykosesserke (新)： [自]二人で、皆で泣きじゃくる ukosesserke (新)

なきじょうご(泣き上戸) [名] 酔うと泣く酒癖 sake-cis (新)、[名] iku-cis (新)： [自]泣き上戸である sakeciskar (新)、[自] ikuciskar (新)： [名] 泣き上戸 sakeciskarkur (新)、[名] ikuciskarkur (新)

なきふす(泣き伏す) [自]泣き伏す ciskohotke (石狩)

なきりぼうちょう(菜切り包丁) [名] 菜切り包丁 epeysep (新)※(その頭の上手広い)、[名] usupa (新)※(日本語)

なく(泣く) [自]泣く cis (石狩)： (表現)泣きながら cis tura(-no)： 通常「私は泣きながら～」などと表現したい時には"ku=cis kane"、あるいは"ku=cis kor"を用いる。： (表現)大粒の涙を流して泣く tu nukun-nupe re nukun-nupe yaykosanke (yaykoranke) cis (石狩)、(表現) tu nupun-nupe re nupun-nupe yaykosanke (yaykoranke) cis (新)： (表現)清らかな涙を流して泣く tu peken-nupe re peken-nupe yaykosanke (yaykoranke) cis (石狩)： [自]オイオイ泣く ciskoyoyse (石狩)： [自](赤子が)オギャアオギャア泣く rayayse (石狩)： [自]大声をあげて泣く paraparak (石狩)： (表現)(子が)親などの後を慕って泣く ioka ta cis (幌別)： [自]人が死んだ時の泣き方で泣く rayciskar (石狩)： [自]しゃくりあげて泣く sesserke (石狩)： [自](夜具の中で)泣きながらもぞもぞ不貞寝する ciskohemuyumuye (石狩)： 「…寝床に私は

わが身を投げ出し、夜具の着物に頭を突っ込んで横になっていたよ…」 “…hotkeusi an=koyayosura hotkekosonte an=paetke ciskohemuymuye=an ine hotke=an oka=an na…” (杉村キナブック)神謡: [他]～を泣き喚きながら走る raykotenke (石狩): [自]眠りながら泣く mokorkocis (幌別): (表現)眠りながら泣く mokor kane (kor) cis (新)

なぐ(薙ぐ) [他](草)を薙ぐ nanke (石狩)

なく(鳴く) [自](鳥などが)鳴く rek (石狩): (表現)(鳥が)短気に(激しく)鳴く声が賑やかである sakan rek hawe pepun (沙流): (表現)カラスが不吉に鳴く paskur wen rek (石狩): [他]～と鳴く hawekor (石狩): [他](合成語の構成要素としてのみ用いられ)～と鳴く se (石狩): [自](フクロウなどが)鳴く hawkor (石狩): [自](熊が)鳴く wése (新): [自](犬が)ワンワン鳴く mikmik (石狩): [自](犬などが)いがんで鳴く yawyawse (石狩): [自](犬が甘えて)クンクン鳴く niwniwe (石狩): [自](狼などが遠吠えし)ウオーと鳴く wóse (石狩): [自](狐が)コンと鳴く pawse (石狩): [自](兎が)鳴く íse (石狩): [自](カッコーが)カッコーと鳴く kakkokse (新): [自](ツツドリが)鳴く tútutce (新): [自](エゾアカガエルが)ゲコゲコと鳴く oowat (ooat) (新): [自](アマガエルが)ケロケロと鳴く kokekoke (石狩): [自](エゾハルゼミが)鳴く yákise (新): [自](コオロギが)コロコロ鳴く korkosse (新)

なぐさめ(慰め) ① [自]人を慰める iramupirkare (新)、[自] iomaoma (新): [他](人)を慰める ramupirkare (天塩)、[他] omaoma (石狩): [他](人)に(人)を慰めさせる ramupirkarere (新)、[他] omaomare (新): [自]自分を慰める yayramupirkare (新)、[自] yayomaoma (新): [自]慰め合う uramupirkare (新)、[自] uomaoma (新): ②(誰かの死に際して遺族)を慰める ramu hoka hoka o (石狩): ③ [他]独り～を慰めとする eyaynewsarka (石狩)、[他] eyaynewsare (新): [他]互いに～を慰めとする、～を皆で慰めとする eunewsarka (新)、[他] eunewsare (新)

なくす(失くす、亡くす、無くす) ①(所有に関して)[自]物を失くす isak (新): [他]～を失くす sak (石狩): [他](場所)で～を失くす esak (新): [他]～と共に～を失くす kosak (新): [他](原因、手段)で～を失くす osak (新): [他](人)に～を失くさせる sakka (新): [他]完全に～を失くす

oassak (assak) (新): ②(過失や遅滞により)[自]失くす iorawki (石狩): [他]～を失くす orawki (石狩): [他](人)に～を失くさせる orawki (新): ③(物を落として)[自]物を落として失くす ieohatcir (新): [他]～を落として失くす eohatcir (石狩): ④(感覚に関して)[他]～を失くす turaynu (石狩): [他](人)に～を失くさせる turaynure (新): [他](人)に～を落として失くさせる eohatcire (新): ⑤[自]人を失くし悲しむ unoskor (新): [自]物を失くし悲しむ ioskor (新): [他]～を失くし悲しむ oskor (石狩): [他](人)を～を失くし悲しませる oskore (新): ⑥(存在に関して)[他](人)を亡くす、(物)を無くす isamka (石狩)

なくなる(無くなる) [自](人)が亡くなる、亡くなっている、(物)が無くなる、無い isam (石狩)、[自](雅) hunko (石狩): 「君が亡くなると思いもしなかった。」 “E=isam kunak ku=ramu ka somo ki .”, 「お金がなくなってしまったが、仕方ないから、今日はここで野宿しよう。」 “Ikor oarisan wa ene an=kar hi ka isam kusu tanukuran tan te ta rewsí=an kusu ne .”: [自](「死ぬ」に対する丁寧な言い方として)お亡くなりになる kotanhoppa (石狩)、[自] mosirhoppa (H)

なぐる(殴る) ①[他](一回)～を殴る kik (石狩): [他](複数回)～を殴る kikkik (石狩): 意味上「～を殴らない」は"somo kik"となる。今後"somo kikkik"は「(一度は殴ったかもしれないが)～を何度も殴らない」という意味で使う。また何度も何度も殴る事を強調する時には"kikkikkikkik"と"kik"を重ねる。: [他](人)に～を(一回)殴らせる kikte (新): [他](人)に～を(複数回)殴らせる kikkikte (新): [自](一回)殴り合う ukik (新): [自](複数回)殴り合う ukikkik (石狩): 何度も殴り合う事を強調するため"ukikkikkikkik"など"kik"を重ねる。: [他]～をひどく殴る、～を滅茶苦茶に殴る toykokikkik (石狩)、[他] toykikkar (八雲): ②[他]～を殴る sitayki (石狩): [他](人)に～を殴らせる sitaykire (新): [他]～を思い切り殴る esissitayki (石狩): ③[他]～を拳で殴る hankuekar (新)※(天塩): [他](人)に～を拳で殴らせる hankuekare (新)

なげする(投げ捨てる) [自]ものを投げ捨てる iosura(複数 iosurpa) (新): [他]～を投げ捨てる osura (複数 osurpa) (石狩): [他]～へ～を投げ捨てる koosura (複数 koosurpa) (石狩): [他](人)に～を投げ捨

てさせる osurare (複数 osurpare) (新)

なげとばす(投げ飛ばす) [自]人、物を投げ飛ばす ieyapkir (新): [他]~を投げ飛ばす eyapkir (石狩): [他](人)に~を投げ飛ばさせる eyapkire (新)

なげなわ(投縄) [名] 投縄 cieakharkika (新)、[名] cieaharika (新)

なげる(投げる) ①(狙いを定めて)[自]物を投げる ieak (新): [他]~を投げる eak (石狩): 「…私の夫が木を投げたので私の口に当たり…」 “ku=korkur ni eak kusu ku=paro tomo-osma…” (砂沢クラ): [他]~の方へ~を投げる koeak (新): [他]~と共に~を投げる koek (新): [他](原因、手段)で~を投げる oeak (新): [他](人)に~を投げさせる eakte (eakka) (新): ②(狙いを定めて)[自]ものを投げる iosura (複数 iosurpa) (新): [他]~を投げる osura (複数 osurpa) (石狩): 「私が石を投げたら君がいて、ああして当たったのだった。」 “Suma ku=osura ayke neyta e=an wa ene e=tom-osma awan.”: [他](場所)で~を捨てる eosura (複数 eosurpa) (新): [他]~の方へ~を捨てる koosura (複数 koosurpa) (石狩): [他]~と共に~を捨てる koosura (複数 koosurpa) (新): [他](原因、手段)で~を捨てる oosura (複数形 oosurpa) (新): [他](人)に~を投げさせる osurare (複数 osurpare) (新)

なす(為す) ①[他]~をなす kar (石狩): [他](場所)で~をなす ekar (新): [他]~に対して~をなす kokar (新): [他]~と共に~をなす kokar (新): [他](原因、手段)で~をなす okar (新): [他](人)に~をなさしめる káre (新): ②(雅語表現として)[他](名詞句と必要とされる人称接辞を目的語として)~を(人)になす ekarkar (石狩): 「彼が私に何か良き事をなすものではないと…」 “nep pirka hi i=ekarkar he somo ne kuni …” (鹿田シムカニ)婦女詞曲: [他](他動詞、連他動詞の不定形と必要とされる人称接辞を目的語として)~(する事)を(人)になす ekarkar (石狩)※(不定形とは下例に見られるように他動詞は語頭、連他動詞は前綴と動詞の間に不定称の接辞“ci-”がついたもので、「~すること」と和訳できる。それぞれ “eci=pakasnu=an”、“en=kasinukar”、“ramu=ay=ye”でも良いところを、この形式を用いる事で文に格調が与えられるため、英雄詞曲、婦女詞曲や祈詞の中に多用される。): 「…懲らしめる事を私はお前になすぞ…」 “ci-pakasnu eci=ekarkar=an na…” (砂沢クラ)婦女詞曲、「…同族と共にそれに励めましよう取り計らう事を私になしたまえ…」

“…utar turano ekoarikiki easkay kuni ci-kasinukar en=ekarkar yan.” (砂沢トゥアカンノ)祈詞、「…神より褒められる事を彼(仔グマ)はされるでしょう。」 “kamuy orowano ramu-ci-ye an=ekarkar nankor.” (砂沢トゥアカンノ)祈詞: ③[他](虚辞接頭辞“ko-”が接頭した他動詞の不定形と必要の人称接辞を目的語として)~(する事)を(誰か)になす koekarkar (石狩): 「…刃も私の佩刀も隠す事をそいつは私になし…」 “notak ka an=kor mutemusi ka ci-konuyna i=koekarkar…” (砂沢クラ): [他]一人で(自分で)~をなす yaykokarkar (石狩): 「…素晴らしい炊事を私は一人でなし…」 “pirka suke ay=yaykokarkar…” (杉村キナラブク)神話

なぜ(何故) ①(疑問)[副]何故 nepkusu (石狩): (表現)何故なのか nepkusu ne ya (天塩): 「何故あんなに一生懸命働いてるお婆さんが叩かれるのか?’ “Nepkusu ene arikiki huci an=kik?” (砂沢クラ): (表現)何故 nekonampe kusu (石狩): ②(不定: 特定できない、あるいは特定したくない)何故か、何故だか nepkusu (石狩): 「…何故だか私は生き延びた。」 “nepkusu ku=siknu.” (砂沢クラ): (表現)何故か、何故だか nepkusuka (新): ③(不定: 任意の)(表現)何故であっても nepkusu ne yakka (新)、(表現) nékonampe kusu ne yakka (新)

なぞなぞ(謎々) [名]謎々 uyere (石狩)

なた(鉈) [名]鉈 nata (天塩)、[名] ponmukar (石狩、天塩): 後者は「小さい斧」も意味する事から、今後“nata”を標準的に使うものとする。

なだめる(宥める) ①(言葉で翻意を促す事)[自]人を宥める itomoitak (新): [連他]~を宥める tomo-oitak (tom-oitak) (石狩): (表現)~を宥める ~ ramu hokahoka (幌別): (表現)私は彼を宥める tomo=ku=oitak (石狩)、(表現)私は君を宥める e=tom=ku=oitak (石狩): 「いくら君を宥めても君は私の言う事に耳をかしもしなかった。」 “Nekon e=tom=ku=oitak yakka e=en=nu ka somo ki.”: [自]宥め合う utomoitak (新): [他](人)に自分を宥めさせる sitomoitakte (新): [自]人に自分を宥めさせる sitomoitakar (sitomoitakyar) (新): ②(気を反らせて怒りを解く事)[自]人を宥める iomaoma (新): [他]~を宥める omaoma (石狩): [他](人)に~を宥めさせる omaomare (新): [自]宥め合う uomaoma (新): ③(機嫌をとって落ち着かせる事)[自]人を宥め

る iramritenka (新)、[自] iramukarkar (新): [他]~を宥める ramritenka (八雲)、[他] ramukarkar (美幌): [他](人)に~を宥めさせる ramritenkare (新)、[他] ramukarkare (新): [自]宥め合う uramritenka (新)、[自] uramukarkar (新)

なだれ(雪崩) [名]雪崩 upassisirutu (石狩)、[名] upasrututke (新): (表現)雪崩になる upas rututke (石狩)

ナチス →「こっかしやかいしゅぎ(国家社会主義) ①を見よ

なつ(夏) ①[名]夏 sak (石狩): (表現)夏になる、である sak an (石狩): (表現)夏になると sak an kor (新): [0動]夏になる、である sissak (sirsak) (新): [自]夏を待つ saktere (新): [自]夏になるのを待つ sissaktere (新): ②[場名](一年を夏冬に分けた時の)夏年 sakpa (石狩)

なつかしい(懐かしい) [自]物事を懐かしむ、懐かしく思い出す iesikarun (ieskarun) (新): [他]~が懐かしい、~を懐かしく思い出す esikarun (eskarun) (石狩): (表現)~がひどく懐かしい、~を無性に懐かしく思い出す wen esikarun (eskarun) (新): (表現)いろいろな事を懐かしむ、懐かしく思い出す usa an pe esikarun (eskarun) (新): (表現)昔の事を懐かしむ、懐かしく思い出す teeta an pe esikarun (eskarun) (新): [他](人)に~を懐かしがらせる、(人)に~を懐かしく思い出させる esikarunte (eskarunte) (新): [他]~がいろいろと懐かしい、~をいろいろ懐かしく思い出す usaesikarun (usaeskarun) (新)

ナッシュビル [場名](アメリカ合衆国テネシー州の州都名)ナッシュビル Nasvir (新)

ナッソー [場名](パハマ国の首都名)ナッソー Nasso (新)

ナット [名]ナット matnecinoyp (新): [名]コンタルナット takne-matnecinoyp (新): [名]蝶ナット rápus-matnecinoyp (新)※(「ウイングナット」とも): [名]高ナット tanne-matnecinoyp (新)、[名] iukote-matnecinoyp (新)、[名] pinnecinoyp-ukote-metnecinoyp (新)※(「長ナット」、「つなぎナット」、「ジョイントナット」とも): [名]フレンジナット seppaun-matnecinoyp (新)※(「フレンジ付きナット」、「フレンジ付き六角ナット」とも): [名]六角ナット yayanmatnecinoyp (新)、[名] iwansikkewmatnep (新): (表現)六角ナット iwaysikkewkor matnecinoyp (新): [名]六角袋ナット pukuru-matnecinoyp (新)、[名]

iwaysikkew-pukuru (新)※(「袋ナット」「キヤップナット」、「化粧ナット」とも): (表現)六角袋ナット iwaysikkewkor pukuru-matnecinoyp (新)

なっとく(納得) [自]納得する ramosma (石狩)、[自] irenkanu (新): (表現)納得する irenka nu (石狩): [他]~について納得する eramosma (石狩)、[他] eirenkanu (新): [他](人)に納得する koramosma (石狩)、[他] koirenkanu (新): [他](原因、手段)で納得する oramosma (新)、[他] oirenkanu (新): [他](人)に納得させる ramosmare (新)、[他] irenkanure (新): [自]自分で、一人で納得する yaykoramosma (新)、[自] yaykoirenkanu (新): [自]皆で、共に納得する ukoramosma (新)、[自] ukoirenkanu (新): [自]完全に納得する oanramosma (anramosma) (新)、[自] oairrenkanu (arirenkanu) (新)

ナツメイカ(橐烏賊) (魚介)[名](スルメイカ亜目)ナツメイカ科 tamarepetpetke-apa (新): [名]ナツメイカ属 tamarepetpetke-cise (新): [名]ナツメイカ tamarepetpetke (新): [名]ツギノナツメイカ ponkamikkewustekkot-tamarepetpetke (新): [名]ペリイナツメイカ beritamarepetpetke (新)

なでがた(撫肩) (表現)(雅)芦の如くほっそりとした撫肩である sarki-merit kor (沙流): (表現)(雅)芦の如く細長い頸、芦の如くほっそりとした撫肩の醜い女 sarki noyapi kor sarki-merit kor wen menoko (沙流)

なでる(撫でる) ①(介抱するため)[他]~を撫でる、撫で擦る rárapa (石狩)、[他] ráraypa (八雲): ②(挨拶として)[他]~を撫で擦る ruyruye (石狩)、[他] ruyruwe (石狩): [自]互いに撫で擦りあう uruyruye (石狩): ③(撫でたり揉んだりする)[他](一回)~を撫でる、撫で揉む temu (新): [他](何度も)~を撫でる、撫でまわす tempatempa (石狩): 「…私は娘の乳房を弄り弄り、撫でまわし…」 “…oper totto ku=haypahaypa ku=tempatempa…” (ヤイサマ)

ナトリウム (化学)[名]ナトリウム natrium (新)※(原子番号11番。元素記号 Na)

なな(七) ①[名]七人 arwaniw (石狩): (表現)女性七人 menoko arwaniw (新): [連体]七人の arwan (石狩): (表現)七人の女性 arwan menoko (新): [自]七人になる、である arwaniwne (新): [副]七人で arwaniwne (新): (表現)七人組です、行動する arwaniw-esinepne iki (新):

(表現)七人一组で～する arwaniw-esinepne ki (新): (表現)(人)に七人一组で～させる arwaniw-esinepne kire (新): [自]七人一组になる arwaniw-esinepne (新): [他](人)を七人一组にする arwaniw-esinepneka (waniw-esinepnere) (新): ②[名]七、七つ、七匹、七個など arwampe (石狩): [連体]七の arwan (石狩): [副]七匹で、十個に arwampene (新): (表現)七匹一组です、行動する arwampe-esinepne iki (新): (表現)七匹一组で～する arwampe-esinepne ki (新): (表現)～に七匹一组で～させる arwampe-esinepne kire (新): [自]七匹、七個一组になる arwampe-esinepne (新): [他]～を七匹、七個一组にする arwampe-esinepneka (arwampe-esinepnere) (新): ③[名・副]七回 arwaysuy (新)

ななめ(斜め) ①(上の方、頭などが)[自]斜めになる ehewke (石狩): [他](場所)で斜めになる eehewke (新): [他](場所)へ斜めになる koehewke (新): [他]～と共に斜めになる koehewke (新): [他](場所)から斜めになる oehewke (新): [他](原因、手段)で斜めになる oehewke (新): [他]～を斜めにする ehewe (複数 ehewpa) (新): [自]どんどん斜めになる ehewkehewke (新)、[自] ehewewke (新): [副]斜めに ehewkeno (石狩): ②(下の方が)[自]斜めになる ohewke (八雲): [副]斜めに ohewkeno (新): ③(木が)[自]斜めになる hotku (天塩): 「洪水の後川原に行くと柳が全て斜めになっていた。」

“Wakkaporo oka ta pitar ekota ku=oman wa ku=inkar hike susu opitta hotku wa an.” ④(崖に生えた木が)[自]斜めに生えている etapapa (石狩): 「崖があって一本のイタヤカエデが斜めに生えていた。」 “Wen kut an wa sine tópeni etapapa.”

なに(何) ①(疑問)[代名]何 nep (石狩、天塩): 「君は何を作るの?」 “Nep e=kar?”、“これは何ですか?” “Tampe nep ta an?”: (表現)何事が起きたのか nep kurka ta siran ya (石狩): 「私は何事が起きたのかも分からなかった。」 “Nep kurka ta siran ya ka ku=erampetek.”: (表現)何 népe (石狩、天塩): 「これは何ですか?’ “Tampe népe a?”、“何だ?” “Nepe a?”: (表現)(相手の言った事に対して聞き返して)何だ nékon ta (石狩)、(表現) népeta (静内)、(表現) máketa (沙流): 「何だ、何か言ったか?’ “Nékon ta e=ye?”: (表現)一体何だ nékon ta ta (浦河): ②(不定: 特定できない、あるいは特定したくない)[代名]何か

nepka (石狩、天塩)、[代名] nepkaampe (neppaampe) (石狩)、[代名] nep (石狩): 「君は何か知ってるね?’ “Nepka e=eraman ruwe an?”: (表現)何も不自由が無い(何も欲しい物がない) nepka konrusuy pe isam (石狩): 「私は何不自由無く暮していました。」 “Nep ku=konrusuy pe isam no ku=an ruwe ne.”: (表現)(出現したその時点で正体不明の怪物などを表し)何やら nékon katkor pe (石狩)、(表現) mákan katkor pe (石狩): ③(不定: 任意の)(表現)何でも nep ne yakka (石狩): 「何でもいから食べたらいいよ。」 “Nep ne yakka e=e yak pirka wa.”: (表現)何もかも nep tap usa (石狩): 「…何もかも私は気に入ったので…」 “…u nep tap usa an=eramasuy kusu …” (杉村キナラブック)神謡: ④(表現)何もせず nepka ki ka somo ki (石狩): (表現)何もせずに nepka ki ka somo ki no (石狩): [自]何もしない tustek (石狩): [他](場所)で何もしない etustek (新): [他](物事)に対して何もしない kotustek (石狩): [他](原因)で何もしない otustek (新): [他](人)に何もさせない tustekka (新): [副]何もせずに tustekno (石狩)

なにもの(何者) ①(疑問)[代名]何者 nen (石狩): (表現)(一体)何者 néne (nénehe) (石狩): 「(誰かが来て)何者だい?’ “Nenehe?”: [代名]何者 nékonankur (石狩): 「貴様は何者か?’ “Nekonankor e=ne ya?”: (表現)(叙事詩で相手の素性を問い)お前は何者か nkon motokor kusu an pe e=ne ruwe ne ya (石狩): ②(不定: 特定できない、あるいは特定したくない)[代名]何者か nenka (石狩)、[代名: 不定] nen (石狩)、[代名] sinen (石狩): (表現)(出現したその時点で正体不明の怪物などを表し)何やら nékon katkor pe (石狩)、(表現) mákan katkor pe (石狩): ③(不定: 任意の)(表現)何者でも nen ne yakka (石狩): 「誰でも良い。」 “Nen ne yakka pirka.”

なの(七日) [場名]七日 arwanto (石狩)

ナノグラム [名] (重さの単位) ナノグラム nánoguram (新)※(単位記号 ng)

なのに (表現)(仮定の表現として)～なら～なのに 動詞句+yak+名詞、名詞句+etak ta +動詞句+okay (石狩): 「…私達の仔グマを、私達の旦那様が来たらしっかり祀り、そうしてしっかり送るのに…」 “…an=kor pewrep etak ta, an=konnispa ek yak an=pirkaopuni, iki=an, pirka an=omante ki okay…” (雨川ウレ)説話

ナノメートル [名] (長さの単位) ナノメートル

nánometre (新)※(単位記号 nm)
ナノリットル [名](体積の単位)ナノリットル
 nánoritre (新)※(単位記号 nl)
ナフサ [名](粗製のガソリン)ナフサ
 wénaperuysum (新)、[名] nafsa (新)※
 (英語)
なふだ(名札) [名]名札 réumpe (新)
なべ(鍋) ①[名](鉄)鍋 su (石狩): (表現)炉
 鉤に鍋をかける suwat orwa su atte (石
 狩): (表現)(炉鉤から)鍋を下ろす su
 yanke (複数 yapte) (石狩): [名]鍋の口
 súpar(o) (H): [名]鍋の腹 súhon(i)
 (H): [名]鍋の尻 súosor(o) (H): [名]
 鍋の耳 súkisar(a) (H): [名]鍋の足
 súcikir(i) (H): [名]鍋墨 súpas (石狩)、
 [名] sútur (石狩): [名](白樺樹皮で作っ
 た)鍋 níatusi (石狩): [名]土鍋 toysu
 (美幌): ②[自]鍋で料理する isueatte
 (新): [他]～を鍋で料理する súdeatte (石
 狩): 「…色々な山菜を私は鍋で料理し…」
 “…usa rataskep ay=súeatte…” (砂沢クラ)
ナベこねじ(ナベ小ねじ) [名]ナベ小ねじ
 karus-cinoyeppe (新)※(「ナベねじ」とも)
ナホトカ [場名](ロシア連邦シベリア連邦管
 区沿海地方の都市名)ナホトカ Naxotka
 (新)
ナホム (聖書)[名](人名)ナホム Náxum
 (新)※(預言者): [名]ナホム書 Náxum-
 kampsos (新)
ナポリ [場名](イタリア共和国カンパニア州の
 州都名)ナポリ Nápori (新): (歴史)[場
 名](国名)ナポリ王国 Nápori
 Yaykomosirkorkurkormosir (新)※(13～
 19世紀。1816年ウィーン会議後に「両
 シチリア王国」。))
なま(生) [自]生である hu (石狩): (表現)生
 クリーム hu kurim (新): (表現)生ごみ
 hu mun (新): (表現)生魚 hu cep (新):
 (表現)生卵 hu nok (新): (表現)生肉 hu
 kam (新): (表現)生野菜 hu
 toyorunrataskep (新)、(表現) hu
 rataskep (新)
なまいき(生意気) [自]生意気である eturi
 (鵜川): [連体]生意気な enean (複数
 eneokay) (石狩)、[連体] enan (石狩):
 [間投]生意気な奴 eneampe (石狩)、[間投]
 icakkere (沙流)、[間投] enan (石狩)、[間
 投] icaka (沙流): [間投]生意気な奴ら
 eneokaype (石狩)
なまえ(名前) →「な(名)」を見よ
なまがわき(生乾き) [自]生乾きになる、生乾き
 である rupetne (石狩)
なまき(生木) [名]生木 húi (石狩)
ナマケグマ(怠熊) (動物)[名](クマ亜科)ナマケグ

マ属 itunnapeeper-cise (新): [名]ナマ
 ケグマ itunnape-eper (新)※(蟻食熊)
なまけもの(怠け者)(1) ① [名]怠け者
 torannekur (石狩): ②(悪口)[名]怠け者
 torannep (石狩)、[名] torannekamuy
 (石狩)
ナマケモノ(怠者)(2) (動物)[場名](有毛目)ナ
 マケモノ亜目 ikimoyrep-mokotan (新):
 [名]オオナマケモノ科 síporo-ikimoyrep-
 apa (新)※(絶滅): [名]フタユビナマケモ
 ノ科 tuaskepetkor-ikimoyrep-apa (新):
 [名]ミユビナマケモノ科 reaskepetkor-
 ikimoyrep-apa (新)
なまける(怠ける) [自]怠ける toranne (石狩)、
 [自] yayasinniwkes (天塩)、[自]
 siyompuyar (十勝): (表現)ひどく怠ける
 wen toranne (石狩): [他]～を怠ける
 kotoranne (新): [他](人)に怠けさせる
 toranneka (torannere) (新)
なまつば(生唾) [自]生唾をゴクリと呑む
 sinonrukit (新): [自]生唾を何度も呑む
 sinonrukpa (石狩)
なまり(鉛) ①(鉱物)[名]鉛 runup (北千島)、
 [名] yaykani (K): [名]鉛玉
 runuptama (新)、[名] yaykanikama
 (K): ②(化学)[名]鉛 runup (新)※(原子
 番号82番。元素記号 Pb)
なまる(訛る) [名]訛り iposse (iporse)
 (新): [自]訛る ipossek (iporsekor)
 (新)、[自] iposse (iporse) (新): [他]～
 を訛る eipossekor(eiporsekor) (新)、[他]
 posse (porse) (新): [他](人)を訛らせる
 ipossekore (iporsekore) (新)、[他]
 ipossere (iporsere) (新)
なみ(波) ①[名]波 koy (石狩): (表現)(岸に)
 波が打ち上がる、波が寄せる koy yan
 (新): [自](岸に)波が～を打ち上げる
 koyyanke (石狩): 「人間の骨、朽ちた白
 骨を沼の岸に波が打ち上げ、大きな堆積が積
 み重なっていた。」“Aynupone picuwpone to
 sam peka koyyanke wa poro ikiri
 ukaosma .”: (表現)(打ち寄せた)波が反す
 koy sietaye (石狩): (表現)波が寄せる
 koy yan (石狩): (表現)波が激しくなる、
 激しい koy yupke (石狩): (表現)家程あ
 る波が寄せ合う cise pakno okay koy
 ukarari (石狩): [自]波を切り裂きすいす
 い進む hekoyotuy-pa-kocasse (新)、[自]
 hekoyotuy-pa-kocasse (新): [名]波
 音 koyhum(i) (石狩): (表現)波音がだ
 んだん近くなる koyhum hanke hanke
 (沙流): [自]パチャリパチャリと波が次々に
 寄せる soyo-soyo (石狩川下流部): [名]
 砂丘を挟んで海と川、あるいは湖沼が隣接し、

天候によって海からの波浪が砂丘を破って川などに打ち込む所 koytuye (石狩)、[場名] koytuyeusi (石狩): ②[名]漣(さざなみ) koyrir (天塩)、[名] rir (天塩): ③[名]折れ砕ける波 kay (石狩): ④[名]幾重にも折れ砕ける波、白波 kaykay (石狩): (表現)白波が立つ kaykay as (静内): ⑤[名]川に立つ波 ciw (石狩): (表現)波が渦巻く ciw opoye (石狩): [自](川面に)波が立つ ciwnu (石狩): (表現)(川面に)波が立つ ciw as (石狩): (表現)波に当たる ciw kar (沙流): [自]波を蹴立ててすいすい進む ciwkocasse (新)、[自] ciwkocassecasse (新)

ナミアゲハ(並揚羽) (昆虫)[名](アゲハチョウ属)ナミアゲハ yayan-kitomarewrew (新)、[名] kitomarewrew (石狩)※(「アゲハ」、「アゲハチョウ」とも)

なみおと(波音) ①[名]波音 koyhum(i) (沙流): (表現)波音がたつ koy humi as (新): (表現)波音がしている koy humi an (新): ②(特に川瀬に関して)(表現)川瀬の波がたてる音 ciw kar humi (沙流): [自]さらさらと波音がする ciwkururu (沙流): [自](水流が何かに当たり)ぱちやぱちやと波音がする sepepatki (新)、[自](雅)kosepepatki (沙流): ③(滝や高所より下る急流に関して)[自]ざざーっと波音がする casse (石狩)、[自] carse (H)、[自] carasse (石狩)、[自] cararse (H)

なみだ(涙) ①(悲しみなど感情によって出るものを指し)[名]涙 núpe (石狩): (表現)涙が浮かぶ núpe sipusu (新): (表現)目には赤子の如く涙が満ちる siktum konna korayayse (石狩): (表現)涙が出る núpe asin (新)、(表現) núpe san (新): (表現)涙を出す、涙を流す núpe sanke (新): (表現)涙が落ちる、涙が流れる núpe ran (新): (表現)涙を落とす、涙を流す núpe ranke (石狩): (表現)(雅語)二粒の清い涙、三粒の清い涙を流す tu peken-nupe re peken-nupe yaykoranke (石狩): (表現)(雅語)二粒の大粒の涙、三粒の大粒の涙を流す tu nukun-nupe re nukun-nupe yaykosanke (新): [連他](離れ離れになっていた肉親が再会するなどして)〜に対し涙を流す kasi-ocis (ka-ocis) (石狩): 「…その女は私のそばに来て私に対して涙を流す…」 “…nea menoko i=sam ta ek wa i=ka-ocis na…” (杉村キナブク)婦女詞曲: [自]涙で目の縁が爛れる núpeko-isamtuyipa (幌別): ②(眼病にかかったり、目にゴミが入った時、あるいはあくびの時に出るものを指し)[名]涙 sikpe (石狩)

なみの(並の) ①(普通の)[連体]並の úse (石狩): (表現)並の人 úse aynu (石狩): (表現)並の神 umama kamuy (沙流): (表現)並の者ではない umamaampe somone (萱野より): (表現)シヌタブカ、トミサンベツの村を治める人に、人であれ、神であれ、並の者は敵わない Sinutapka Tomisampeci ekotankor kur aynu ne yakka kamuy ne yakka umamaampe simontasare somo ki p ne (久保寺より): ②(何も持たぬ、位の低いなどの否定的意味合いを込め)[連体]並の eru (石狩): (表現)(位が高くない)並の神 eru kamuy (石狩)

ナミビア [場名](国名)ナミビア共和国 Namibiya Ukotankoremosir (新)※(首都は「ウィンフック」): [場名](国名の通称として)ナミビア Namibiya (新): [名]ナミビア人、国民 namibiyaunkur (新)

ナミブ [名]ナミブ砂漠 Namibu-otaatuy (新)

ナミヘビ (動物)[名]ナミヘビ科 yayantannep-apa (新): [名]ナメラ属 kinasutunkur-cise (新)

ナミマガシワ(波間柏) (魚介)[場名](イタヤガイ目)ナミマガシワ上科 atuykomam-apapa (新): [名]ナミマガシワ科 atuykomam-apa (新): [名]ナミマガシワ atuykomam (新): [名]アメリカナミマガシワ amerikaatuykomam (新): [名]オカナミマガシワ pewrekinapeusatuykomam (新): [名]シマナミマガシワモドキ ruoatuykomam (新): [名]ナミマガシワモドキ ciatuykomamkopa (新): [名]マドガイ科 puyarsey-apa (新): [名]マドガイ puyarsey (新)

なみもり(並盛) [名]並盛 yayaysonapi (新): (表現)〜を並盛にする ~ yayaysonapi(-hi)kar (新): (表現)並盛を〜に出す yayaysonapi~ kopuni (新)

なめしがわ(鞆革) [名]鞆革 tonto (石狩): [自]鞆革となる、である tontone (石狩)

なめす(鞆す) [他]〜を鞆す tontoneka (tontonere) (新)

ナメラ (動物)[名]ナメラ属 kinasutunkur-cise (新): [名]アオダイショウ kinasutunkur (新)

なめる(舐める) [他]〜をペロッと舐める kem (石狩): [他]〜をペロッと舐めさせる kemte (新): [他]〜をペロペロ舐める kemkem (石狩): [他](人)に〜をペロペロ舐めさせる kemkemte (新): [他]〜をペロペロ舐めまわす toykokemkem (新): [自]自分の手を舐める yaytekekem (沙流): [自]手を舐める tekkemkem (新):

[他]～の手を舐める tekekemkem (新):
[自]陰部(特に女性器)を舐める hokemkem
(新): [他]～の陰部(特に女性器)を舐める
okemkem (新): [自]互いに陰部(特に女性
器)を舐め合う uokemkem (新)

なもなき(名もなき) [他] [中相] 名もなき
cikoeramunin (石狩): (表現) 名もなき神
cikoeramunin kamuy (石狩)

なや(納屋) [名] 納屋 púkuca (新)、[名]
kuca (石狩)

なゆた(那由他) ① [場名: 数詞] 那由他
siikkas (新)※(10の60乗): [場名: 数
詞] 十那由他 waysiikkas (新): [場名: 数
詞] 百那由他 atuytasiikkas (新): [場名:
数詞] 千那由他 wánatuytasiikkas (新):
② [連体: 数詞] 那由他の siikkasne (新)、
[連体: 数詞] siikkas (新): [連体] 十那由
他の waysiikkasne (新)、[連体: 数詞]
waysiikkas (新): [連体: 数詞] 百那由他の
atuytasiikkasne (新)、[連体: 数詞]
atuytasiikkas (新): [連体: 数詞] 千那由他
の wánatuytasiikkasne (新)、[連体: 数詞]
wánatuytasiikkas (新)

ナラ(檣) [名] 檣の木 péroni (新)、[名]
hamranekomni (新)、[名] yayankomni
(新)

ならう(做う) [他]～に做う koikar (沙流)、
[他] koyukar (新): [他] (場所) で～に做
う ekoikar (新)、[他] ekoyukar (新):
[他] (原因、手段) で～に做う、～に関して～に
做う okoikar (新)、[他] okoyukar (新):
[他] (人) に～に做わせる koikare (新)、[他]
koyukare (新): [他] 自分で、一人で～に做
う yaykokoikar (新)、[他]
yaykokoyukar (新): [他] 皆で、共に～に
做う ukokoikar (新)、[他] ukokoyukar
(新): [他] 完全に～に做う oarkoikar
(arkoikar) (新)、[他] oarkoyukar
(arkoyukar) (新)

ならず(馴らす) [他] (動物) を馴らす
yayrenkare (新)

ならず(鳴らす) [他] (楽器など) を鳴らす
rette (rekte) (石狩): [他] (場所) で～を鳴
らす erette (erekte) (新): [他] ～と共に
～を鳴らす korette (korekte) (新):
[他] (原因、手段) で～を鳴らす orette
(orekte) (新): [他] (人) に～を鳴らさせる
rettere (rektere) (新): [他] 自分で、一人
で～を鳴らす yaykorette (yaykorekte)
(新): [他] 互いに、皆で～を鳴らす
ukorette (ukorekte) (新): [他] ～を鳴ら
しまくる toykorette (toykorekte) (新):
[他] (中相) ～が鳴らされる cirette (cirekte)
(新):

ならぶ(並ぶ) ① [自] 並ぶ urenka (天塩):
[他] (場所) に並ぶ eurenka (新): [他] ～に
向かって並ぶ、～と共に並ぶ kourenka
(新): [他] (原因、手段) で並ぶ ourenka
(新): ② [自] 並んで座る urorea (石狩):
本来は夫婦などが右座の炉端に上座下座に
並んで座っている事を指すが今後はそれ以
外の状況でもこの語を用いる。: [他] (人) を
並んで座らせる uroreare (新): ③ (前後
に) [自] 並んで立つ uokaroski (石狩):
「私達が並んで立ってるんだから横入りし
ないでよ。」 “Uokaroski=as kusu un=utur
ene eciki osma ya!” : [他] ～を並んで立た
せる uokaroskire (新): ④ (横に) [自] 並
んで立つ usamroski (新): 「君達が並ん
で立つ前を私は黙って歩いて戸口に向かっ
た。」 “Es=usamroski kotca peka mosmano
ku=apkas kane apa ekota ku=oman.” :
[他] ～を並んで立たせる usamroskire
(新): ⑤ (表現) 並び立つ upekano roske
(石狩): 「廃墟の町のあちこちに大きな石柱
が並び立っている。」 “Husko maciya piskani
ta poro sumaikuspe upekano roske.” :
[名] (合成語の構成要素として何か) が物が並
び立つ所 tay (石狩): (表現) 大きな村が
並び立つ所→大集落 poro kotantay (石
狩)

ならべる(並べる) ① [他] ～を並べる
usamomare (石狩)、[他] urenkare (天
塩): (表現) ～を並べる usam peka ama
(石狩)、(表現) usam peka anu (新)、(表現)
usam omare (石狩): (表現) ～を一箇所に
並べる sineanta (sinean hi ta) ama (石
狩)、(表現) sineanta (sinean hi ta) anu
(新): (表現) (二つのもの) を並べる
ukosattekno ama (新)、(表現)
ukosattekno anu (石狩): ② [他] (料理の入
った食器) を二人(皆)の席に並べる
uororoski (石狩)、[他] uoreroski (石狩):
「私達がテーブルに着くと色々なナイフ、フ
ォーク、スプーンなどが並べられ、食前酒が
出された。」 “Kemawsita kotca ta rok=as
hike usa ipemakiri, kirawuspasuy,
parapasuy, usaampe unci=uororoski wa
ietokkup un=ekota an=sanke.”

ならわし(習わし) [名] 習わし puri (石狩)

なりあがりもの(成り上り者) (表現) 成り上がり
者 teeta wenkur tomta nispá (石狩)※(対
義語は“teeta nispá tomta wenkur”)

なりいき(成り行き) (表現) 成り行きで katu
renkayne ne wa (沙流)、(表現) kunine ani
(沙流)

ナリチク [場名] (ロシア連邦南部連邦管区の
カバルダ・バルカル共和国の首都名) ナリチク

Naricik (新): [名](地名)ナリチク川
Naricik-pet (新)

なりひびく(鳴り響く) ①[自]轟々と鳴り響く
humnatara (新): ②[自](雷がくぐもった
ように)重く鳴り響く tununitara (石狩)

ナリヒラダケ(業平竹) (植物)[名](タケ亜科)ナ
リヒラダケ属 narihirasitop-cise (新):
[名]ナリヒラダケの茎 narihirasitop (新)
※(別名「ダイミョウチク」): [名]ホテイナ
リヒラの茎 makino-narihirasitop (新)※
(牧野業平竹): [名]ヤシダケの茎 yaša-
sitop (新)

ナリヤン・マル [場名](ロシア連邦北西連邦管
区ネネツ自治区的首都名)ナリヤン・マル
Nariyan-Mar (新)

なる(成る) ①(変化)[他]〜になる ne (石狩):
「私は若い時頑張って資産家となった。」

“Ku=pewre tuyka ta ku=arikiki ayne
nispā ku=ne.”: 日本語で例えば「良くなる」、
「白くなる」、「大きくなる」、「高くなる」
など「なる」と表現されるものが、アイヌ語
では“ne”ではなく、それぞれ“pirka”、“retar”、
“poro”、“ri”などと別の動詞で表現される場合
があるので十分に注意が必要。: (表現)なる
べくして ne kuni (石狩): 「お前はなる
べくして金持になった。」“E=ne kuni nispā
e=ne.”: ②(果実が)[他](場所)に成る o
(石狩): (表現)〜が木に成る ~ ni ka o
(石狩)

なるほど(成程) ①(相手の言った事に納得し
て)[間投]成程 owayne (静内)、[間投]
ohayne (沙流): (表現)成程 owayne
kane (静内): ②(それまで分からなかった
事が判明し)[副]成程 eposoun (eposoun)
kusu (石狩)、[副] eposoun(eposoun) (石
狩)、[副] eposoun(eposoun)kane (沙流)、
[副] eposokane (沙流)、[副] orowaciki
(石狩): 「私は病気だったんだね。成程最近
食欲がなかった。」“Ku=siyeye wa an wa .
Eposoun kusu náun somo ku=iperusuy no
ku=an.”: (表現)成程〜だったのか
orowaciki+動詞句+awan (石狩): 「彼が
来るたび何か無くなっていたが、成程、彼が
盗んでいたのか。」“Néakur ek kor nepka
isam ranke, orowaciki neakur eikka ruwe
ne awan.”

なれあう(慣れ合う) [自]慣れ合う、慣れ合いに
なる uosiknukakasuy (uosiknukakasuy)
(新): [他]〜と慣れ合う osiknukakasuy
(osiknukakasuy) (新)

なれしたしむ(慣れ親しむ) [他]〜に慣れ親しむ
osiknuka (osiknoka) (石狩): [他](人)に
〜に慣れ親しませる osiknukare
(osiknokare) (新): [自]互いに慣れ親し

む、皆が慣れ親しむ uosiknuka (新):
[他]〜に皆が慣れ親しむ ukoosiknuka
(ukoosiknoka) (新)

なれる(慣れる) ①[他・助動]〜に慣れる、慣れ
ている eraman (eramuan) (複数
eramuokay) (石狩): 「私はここでの仕事
に慣れました。」“Teta an monrayke
ku=eraman.” = “Teta ku=monrayke
eraman.”: ②[他・助動]〜に慣れない、慣
れていない erampetek (石狩): 「私はこ
こでの仕事に慣れていない。」“Teta an
monrayke ku=erampetek.” = “Teta
ku=monrayke erampetek.”

なれる(馴れる) [自](動物が)馴れる
yayrenka (石狩)

なわ(縄) [名]縄 harkika (石狩)、[名]
hárika (石狩): (表現)縄で縛る harkika
(hárika) ani sina (新): (表現)縄でぐる
ぐる縛る harkika (hárika) ani sinasina
(新): [自]魚に縄を通したり魚を縛ったりし
て繋ぐ、魚に縄を通したり縛ったりした物を
炉の上から吊るす teskar (石狩)

なんい(南緯) [名]南緯 koypok-ahunka
(新)

なんおう(南欧) (表現)(地名)南欧 Koypokun
Europa (新): (表現)南欧諸国 Koypokun
Europa uyru usamosir (新)

なんぎ(難儀) ②[名]難儀 aneranakpe (石
狩)、[名] cieranakpe (新)、[名]
cieramupekamamap (cierampekamamap)
(新)、[名] ciosampesitkip (新): (表現)難
儀 an=erának pe (石狩): [自]難儀する
ramupekamama (rampekamama) (石狩)、
[自] sampesitki (石狩)、[自] ieranak
(新): [他](場所)で難儀する
eramupekamama (erampekamama) (新)、
[他] esampesitki (新): [他]〜と共に難
儀する koramupekamama
(korampekamama) (新)、[他]
kosampesitki (新)、[他] koieranak (新):
[他](原因、手段)で難儀する eranak (石狩)、
[他] oramupekamama (orampekamama)
(新)、[他] osampesitki (新): [他](人)を
難儀させる ramupekamamaka
(rampekamamaka) (新)、[他]
ramupekamamare (rampekamamare)
(新)、[他] sampesitkire (新)、[他]
ieranakka (ieranakte) (新): [自]自分で、
一人で難儀する yaykoramupekamama
(yaykorampekamama) (新)、[自]
yaykosampesitki (新)、[自] yaykoieranak
(新): [自]互いに、皆で難儀する
ukoramupekamama (ukorampekamama)
(新)、[自] ukosampesitki (新)、[自]

ukoieranak (新)

なんきゅう(軟球)[名]軟球 hapunnum (新)

なんきょく(南極)[場名](地名)南極

Koypokkes (新): [名](地名)南極海

Koypokkessiatuy (新): [名]南極圏

koypokkesso (新)

なんぎょく(軟玉)[名]軟玉 hapur-

siwnimpoina (新)

ナンキョクブナ(南極樺)(植物)[名](ブナ科)ナ

ンキョクブナ属 koypokpirani-cise (新):

[名]ノトファグス・アルピナの茎 rauri-

koypokpirani (新)※(ラウリ南極樺): [名]

N. アンタルクティカの茎 koypokkesun-

koypokpirani (新): [名]N. グラウカの茎

maure-koypokpirani (新)※(マウレ南極

樺): [名]N. グンニイの茎 hamanke-

mokoyokpirani (新): [名]N. クニン

ガミイの茎 kaninkam-koypokpirani

(新): [名]N. スティロサの茎 sutirosa-

koypokpirani (新): [名]N. ソランドリの

茎 kunne-koypokpirani (新): [名]N. ト

ルンカタの茎 niste-koypokpirani (新):

[名]N. ドンバイイの茎 koywe-

koypokpirani (新)※(コイウエ南極樺):

[名]N. ニティダの茎 cireunkoywe-

koypokpirani (新)※(チリのコイウエ南極

樺): [名]N. ヌーダの茎 surku-

koypokpirani (新): [名]N. バウマンニア

エの茎 baumannia-koypokpirani (新):

[名]N. フスカの茎 hüre-koypokpirani

(新): [名]N. プミロの茎 renga-

koypokpirani (新)※(レンガ南極樺): [名]

N. ベトゥロイデスの茎 mazeran-

koypokpirani (新)※(マゼラン南極樺):

[名]N. メンジェシイの茎 sirokani-

koypokpirani (新): [名]N. モオレイの茎

niwsauswerzu-koypokpirani (新)※(ニュー

ーサウスウェールズ南極樺)

ナンキン(南京)[場名](中華人民共和国江蘇省

の省都名)南京 Nancin (新)

なんくせ(難癖)[名]難癖 sunkecaranke

(石狩): (表現)手前勝手な難癖をつける

sunkecaranke yaykokarkar (石狩): [自]

難癖をつける sunkecaranke (石狩):

[他]〜に難癖をつける kosunkecaranke

(石狩)

なんこ(何個)①(疑問)[代名]何個 hepakpe

(石狩): 「床に玉は何個ありますか?」“So

ka ta tamanum hepakpe an?”, 「袋の中

に玉は何個ありますか?」“Pukuru oske ta

tamanum hepakpe o?”: ②(不定: 特定

できない、あるいはしたくない)[代名]何個か

hepakpeka (石狩): 「何個かなくなった

ようだ。」“Hepakpeka isam kotom

siran .”: ③(不定: 任意の)(表現)何個でも

hepakpe ne yakka (石狩): 「何個でも

私は食べられる。」“Hepakpe ne yakka

ku=e easkay .”

なんさい(何歳)(表現)あなたは何歳ですか

neypak es=pa an a? (石狩)、(表現)

es=paha nep ka ne wa? (石狩)、(表現)

es=paha hepak pa an? (新)※(沙流方言

より)、(表現) es=paha hepakpe an?

(新)※(沙流方言より)

なんじ(汝)[代名](雅)汝 esinuma (石狩):

[人称]汝が、汝の、汝を、汝に e= (石狩)

なんじこう(軟耳垢)[名]軟耳垢

kisarunkotuk(-i) (石狩)

なんしょ(難所)[場名]難所 kamuykotan(-

u) (石狩): [名]陸路の難所

kamuycikusru (蝦夷記)

ナンショウ(南昌)[場名](中華人民共和国の江西

省の省都名)南昌 Nancan (新)

なんたいどうぶつ(軟体動物)[名]軟体動物

hapurkewkorpe (新): [場名](冠輪動物上

門)軟体動物門 hapurkewkorpe-serke

(新): [名]溝腹綱 cinayahonkorpe-pet

(新): [名]多板綱 séyuspe-pet (新):

[名]尾腔綱 hotumpukorpe-pet (新):

[名]無板綱 seysakpe-pet (新)※(溝腹綱と

尾腔綱を合わせた旧称): [場名]貝殻亜門

seykorpe-moserke (新): [名]掘足綱

sirouricikirkorpe-pet (新): [名]頭足綱

sapacikiruspe-pet (新): [名]単板綱

sineseyumpe-pet (新): [名]二枚貝綱

tuseykorpe-pet (新): [名]腹足綱

hónutossamus-cikirkorpe-pet (新): [名]

吻殻綱 cikomoseykorpe-pet (新)

なんてつ(軟鉄)[名]軟鉄 hapur-yayankani

(hapur-yayankane) (新)

ナンテン(南天)(植物)[名](メギ科)ナンテン属

nanten-cise (新): [名]ナンテンの茎

nanten (新)、[名]その葉 nantenham

(新)※(生薬「南天葉」)、[名]その果実

nantenhurep (新): [名]キンシナンテンの

茎 konkanikahamus-nanten (新): [名]

シロミナンテンの茎 retarnikaopo-nanten

(新)※(品種): [名]フジナンテンの茎

hunciapappoirone-nikaopo-nanten (新)※

(品種)

なんど(何度)(1)(回数)①(疑問)[代名]何度

hepaksuy (石狩): 「お前は何度行った

の?」“Hepaksuy e=oman?”: ②(不定:

特定できない、あるいはしたくない)[代名]何

度か hepaksuyka (新): 「これを何度

か見た事がある。」“Hepaksuyka tampe

ku=nukar amkir .”: ③(不定: 任意の)(表

現)何度でも hepaksuy ne yakka (新):

「何度でも来るからな。」“Hempaksuy ne yakka ku=oman kusune na .”：④[副]何度も iwaysuy (石狩)：(表現)何度も kanna kanna (石狩)、(表現) tusuy resuy (石狩)：例えば「何度も私が語る」は散文的には tusuy resuy ku=itak だが、韻文では tusuy ku=itak resuy ku=itak と同じ動詞を繰り返す。：(表現)何度も何度も tuno iwaysuy (石狩)：[後副]～を何度も繰り返して rayranke (石狩)：「私達は議論を繰り返してこの法案を決定する。」

“Ukoitak=as kane rayranke tan irenkaetok ci=urenkare .”：[助動]何度も～する ranke (石狩)：「私は酔っていたので何度も転んだ。」“Ku=ihoski kusu hatcir ranke .”：(表現)何度も～(す)ると 動詞句+ranke kor (石狩)：「何度も彼の許に行くとうまく彼は家の中に私を通した。」

“Ekota ku=oman ranke kor easno kor cise oske ta en=ahunke .”：何度も同じ動作を繰り返す事を先の表現以外に例えば“terke”「跳ねる」を“terketerke”、あるいは tetterke と重複させて表せる。また「複数が跳ねる」という複数形と同形の“terkepa”は「何度も跳ねる」という意味の多回形として使えるが、これは場合によってどちらの形なのか相手に伝わらない可能性があるので、多用は注意を要する。：[他]何度も～を擦る sirusiru (石狩)：[他]～を何度も掴む、揉む pekapeka (石狩)：[他](ぐしゃぐしゃ、粉々にするため両手で植物、肉、乾物など)を何度も揉む nuyanuya (石狩)：(表現)(雅)何度も拝礼する恭しく拝礼する tu páse aske re páse aske epumpa kane onkami (石狩)、(表現)(雅) tu ray onkami re ray onkami ukakuste (uturare) (沙流)：(2)(温度など)(疑問)(表現)何度ですか hempak ipak (dekre) an? (新)、(表現) neypak ipak (dekre) an? (新)

なんとまあ(何とまあ) ①(感動して)(表現)何とまあ nep tap usa (石狩)：「…酒杯を私は受け取り高く捧げ低くおろし飲んでみると、何とまあ美味しいことか！」“… tuki ci=uk wa ci=rikuyruke ci=rauyruke ci=ku wa inu=as hike nep tap usa keraan humi an ya ka !…”(鹿田シムカニ)：②(驚き、あきれて)[間投]何とまあ eattukonno (石狩)：③(①、②の意味で)(表現)(雅) ineap kusu (kusun) (沙流)、(表現)(雅) inerokpe kusu (kusun) (沙流)：(表現)何とまあ驚く程～だ ineap ~ ya ka eramuskare (erameskari) (沙流)、(表現) ineap kusu (kusun) ~ ya ka eramuskare (erameskari) (沙流)、(表現) inerokpe ~

ya ka eramuskare (erameskari) (沙流)、(表現) inerokpe kusu (kusun) ~ ya ka eramuskare (erameskari) (沙流)：「何とまあ驚くほど素早く家が建てられる様子だった。」“Ineap kusu tunasno cise an=kar sirki ya ka ku=eramuskare .”：「…私の姉の襟の紐を私が射当て、何とまあ彼女は驚いたので…」“… a=kor sapo itaskoatu a=sirkocotca ineap kusu eramtuy kusu…”(久保寺神謡 18)

なんともおもわない(何とも思わない) (表現)～を何とも思わない nekon ramu ka somo ki (石狩)：「君の事を何とも思っていない。」“Nekon e=ramu=an ka somo ki .”、「君が嘘をついた事を私は何とも思っていないからね。」“E=sunke yakka nekon ku=ramu ka somo ki ruwe ne na .”

なんなく(難無く) [副]難無く epetciwsakno (沙流)

なんなんとう(南南東) [名]南南東の風 hokusmenas (蝦夷記)、[名] pekerpikata (藻汐草)

なんにち(何日) (表現)何日 hempak to (石狩)：「この仕事に何日かかるんだ？」

“Hempak to tan monrayke e=ki rusuy a?”：(表現)何日か hempak to ka (石狩)：「何日かしたら帰って来るからね。」

“Hempak to ka siran kor ku=sosipi kusune na .”：(表現)何日でも hempak to ne yakka (石狩)：「何日でもあなたを待つわ。」“Hempak to ne yakka es=tere=an wa .”：[副]何日も iwan rerko (石狩)、[副] iwan rerko (石狩)：(表現)(韻文で)何昼夜も、何日も何日も kunne rerko noiwan rerko tókam rereko noiwan rereko (石狩)

なんにん(何人) ①(疑問)[代名]何人 hempakiw (石狩)：「何人来たの？」

“Hempakiw arki?”：②(不定：特定できない、あるいはしたくない)[代名]何人か hempakiwka (石狩)：「何人か来るそうだ。」“Hempakiwka arki yak a=ye .”：③(不定：任意の)(表現)何人でも hempakiw ne yakka (石狩)：「暇なら何人でもいいから来て下さいね。」“Monutur an ciki hempakiw ne yakka pirka kusu arki yan .”

ナンネイ(南寧) [場名](中華人民共和国広西チワン族自治区の首府名)南寧 Nannin (新)

なんねん(何年) (表現)何年 hempak pa (石狩)：(表現)何年か hempak pa ka (石狩)：(表現)何年でも hempak pa ne yakka (石狩)

なんのすがたにか(何の姿にか) (表現)(雅)何の姿にか、何の姿にぞ nep kurka ta (石狩)、

(表現)(雅) nep kewka ta (石狩)※(この語の後に変身の次第が述べられる。): 「…何の姿にかなったものよ。私の姿はお婆になり…」 「…nep kurka ta siran na . An=katuhu an=kor unarpe ne…」 (砂沢クラ) 婦女詞曲

なんのために(何のために)(表現) 何のために nep an kusu (石狩): 「何のために私達は勉強するのか?」 “Nep an kusu kampinuye=an ya?”

なんばい(何倍) ① (疑問)[副] 何倍 hempaksuy (石狩): 「2を何倍したら6になりますか?」「3倍です。」 “Tup anakne hempaksuy an=ukotama kor iwampe ne ya?” Resuy ne .”: ②(不定: 特定できない、あるいははしたくない)[副] 何倍か hempaksuyka (新): 「このイカは育て何倍も大きくなるだろう。」 “Epetpetke sukup wa hempaksuyka poro nankor .”: ③(不定: 任意の)(表現) 何倍でも hempaksuy ne yakka (新)

なんびき(何匹) ① (疑問)[代名] 何匹 hempakpe (石狩): 「この川は魚が少ないようだけど、あんたは何匹釣れた?」 “Tan pet otta cep moyo nankor korka hempakpe e=koyki?”: ②(不定: 特定できない、あるいははしたくない)[代名] 何匹か hempakpeka (石狩): 「何匹か生きている。」 “Hempakpeka siknu wa an .”: ③(不定: 任意の)(表現) 何匹でも hempakpe ne yakka (新)

なんびき(何匹) [代名: 疑問] 何匹 hempakpe (石狩): 「この川は魚が少ないな。あんたは何匹獲れた?」 “Tan pet otta cep moyo. Hempakpe es=koyki ruwe an?”: ②(不定: 特定できない、あるいははしたくない)[代名] 何匹か hempakpeka (石狩): 「何匹か生きている。」 “Hempakpeka siknu wa an .”: ③(不定: 任意の)(表現) 何匹でも hempakpe ne yakka (石狩)

なんびょう(難病)[名] 難病 tasum(i) (石狩): [自] 難病に罹る tasum (石狩): [他](場所)で難病に罹る etasum (新): [他]〜と共に難病に罹る kotasum (新): [他](原因)で難病に罹る otasum (新): [他]〜を難病に罹らせる tasumte (新)

なんびょうよう(南氷洋) [名](地名) 南氷洋 Koypokkessiatuy (新)

なんぶ(南部) [連体] 南部の koypokun (新): [場名] 南部連邦管区 Koypokun-ukosineatkimosirkor-iwor (新)※(本部は「ロストフ・ナ・ドヌ」)

ナンブソウ(南部草)(植物)[名](メギ科)ナンブソウ属 nambumun-cise (新): [名]ナンブソウの茎葉 nambumun (新)

ナンプラー(料理)[名]ナンプラー nampura (新)※(タイ語)

ナンヨウスギ(南洋杉)(植物)[名](マツ目)ナンヨウスギ科 koypoksugi-apa (新): [名]ナンヨウスギ属 koypoksugi-cise (新): [名]ナンヨウスギ koypoksugi (新)※(別名「シマナンヨウスギ」、「フープパイン」): [名]クリンキーパイン kurinki-koypoksugi (新): [名]コパノナンヨウスギ hamupon-koypoksugi (新)※(別名「ノーフォークマツ」): [名]パラナマツ burazirkoyoksugi (新)※(別名「別名「ブラジルマツ」」): [名]ヒロハノナンヨウマツ buniya-koypoksugi (新)※(別名「ブンヤブンヤ」): [名]ヨロイスギ cirikoyoksugi (新)※(別名「チリマツ」): [名]ウオレミア属 woremikoyoksugi-cise (新): [名]ウオレマイパイン woremi-koypoksugi (新): [名]ナギモドキ属 cinagikopa-cise (新)

ナンヨウホタルイカ(南洋蛍烏賊)(魚介)[名](ホタルイカモドキ科)ナンヨウホタルイカ属 koypok-ninninkeepetpetke-cise (新): [名]ナンヨウホタルイカ koypok-ninninkeepetpetke (新): [名]オビスジホタルイカ ikirio-ninninkeepetpetke (新): [名]カマホタルイカ iyokpe-ninninkeepetpetke (新): [名]ギンガホタルイカ petnoka-ninninkeepetpetke (新): [名]タイワンホタルイカ rucu-ninninkeepetpetke (新): [名]ニヨリホタルイカ siatuynoski-ninninkeepetpetke (新): [名]フィリピンホタルイカ firipinninninkeepetpetke (新): [名]フトクビホタルイカ rekuciruwe-ninninkeepetpetke (新): [名]ホシゾラホタルイカ nociwkanto-ninninkeepetpetke (新): [名]ミカギナンヨウホタルイカ reapunkoyokninninkeepetpetke (新): [名]ヤセホタルイカ sattek-ninninkeepetpetke (新): [名]ヨロイホタルイカ hayokpe-ninninkeepetpetke (新)

に(1)①空間的な位置関係を示す「に」として後置詞“ta”がある。これは場所の概念を持つ名詞、つまり位置名詞、場所名詞の後ろに「木の下に私がいる(位置名詞)」 “ni corpok ta ku=an”、「この村に私は住む(場所名詞)」 “tan kotan ta ku=an”のように使われる。しかし普通名詞の後ろでは「位置名詞+or」の形式が使われる。これは韻文でない限り“otta”となり「私の家に白がある」 “ku=kor cise otta nisu an”のようになる。また先の「この村に私が住む」も “tan kotan otta ku=an”と言う事もできる。②時間を示して「私が幼い時に」は通常と後置詞“ta”がそのまま使われる。:

(普通名詞の所属形、地名のうち誰でも知っている主観的に見なされるもの、形式名詞 "hi" は場所の概念を持つ、つまり後置詞をそのまま用いる事が出来る。: 片手に～を持つ oattek(-e) wa(-no) ~ ani (石狩): (表現) 炉鉤に鍋を掛ける suwat orwa(-no) su atte (石狩): ③次に挙げるような特定の表現で「に」が後置詞"wa(-no)"、あるいは位置名詞"or"+後置詞"wa(-no)"の形式が使われる。: ④先の後置詞は動詞に"e-"や"o-"という接頭辞付けて表現できる。E+an 「～にいる」 → 「この家に私は住む」"tan cise ku=ean", o+siknu 「～に生まれる」 → 「この村に私は生まれた」"tan kotan ku=osiknu"。この辞書ではこの意味で新語には"e-"のみ用いる。: 雅語的表現として位置名詞の長形を副詞的に使う事が出来る。つまり「私が眠っているうちに」"ku=mokor rapok ta = ku=mokor rapoki", 「地表に」"mosir kurka ta = mosir kurkasi": (2)動作の方向、目標を示す「に」として後置詞"ene"や"ta"がある。これも(1)の①同様に場所の概念を持つ言葉の後ろに「村に私は行く」"kotan ene ku=oman = kotan ta ku=oman"と使われる。普通名詞の後ろでは"ta"については(1)①と同じだが、"ene"は他方言の影響を受けたと考えられる少数の例を除き"orene"が現れず、石狩方言では後置副詞"ekota"が使われる。つまり「君の家に私は行く」"e=kor poncise ekota ku=oman = e=kor cise otta ku=oman"となる。: ゆっくり丁寧に発音する時以外、"tum"や"kasike"の様に母音"e"で終わる語の後の"ene"は"tumne"、"kasikene"の様に語頭の母音が脱落し"ne"と発音される。また母音の後や幾つかの子音の後では"atuyka ine"、"sicorpok ine"などと発音されるため"ine"と表記する人もいるが、その人の発音でも常に"ine"となる訳でもないため、今後は"ene"を標準形とする。: ②先の後置詞は動詞に"e-"や"ko-"という接頭辞付けて表現できる。E+oman 「～に行く」 → 「美唄に私は行く」"Pipai ku=eoman", ko+ahun 「～に入る」 → 「家の中に私は入る」"cise oske ku=koahun"。この辞書ではこの意味で新語には"ko-"のみ用いる。: (3)受動態の動作主を示す「に」は位置名詞"or"+後置詞"wa"、つまり"orwa"で表される。: 「この女性に私は虐められた。」"Tan menoko orwa enci=koyki (=en=koyki=an)."

に(荷) → 「にもつ(荷物)」を見よ

に(二) [名]二 tup (石狩): [連体]二の tu (石狩)

にあう(似合う) [他]～に似合う kotom

(新)※(今後単独で用いる): 「この服は私に似合う?」"Tan cimip ku=kotom ruwe?": [他]～を～に似合いとする kotomka (石狩): 「…クマ神を私は自分の赤ん坊に似合いとしたいけれど大食い過ぎる…」"…kimunkamuy ci=kor pompe ci=kotomka rusuy korka iperuy kaska…" (杉村キナラブック) 神話: [他]～が自分に似合う yaykotomka (石狩): 「君が私に似合いと思いたい。」"E=yaykotomka=an rusuy.": [自]互いにお似合いである ukotom (新): 「君たちは本当にお似合いだわ。」"Esokay anak sonno es=ukotom ruwe ne wa."

ニアメ [場名](ニジュール共和国の首都名)ニアメ Niame (新)

にいづま(新妻) [名]新妻 pewremenoko (石狩)、[名] asirmat(-ci) (新)

にえる(煮える) [自]煮える ci (石狩): 火が通る対象とし食料品そのものだけではなく、料理器具も主語となる。: 「肉が煮えた。」"Kam ci.", 「鍋が煮えた。」"Su ci.": [自]十分に煮える cino(cínu) (新): [自]完全に煮える oatci (atci) (新): [自]ちよつと煮る、さつと煮る cítek (新): [自]生煮えになる cíhayta (新): [自]半煮えになる rúci (新): [自]煮え過ぎる cikasuy(cíkasu) (新): (水などが)煮えたぎる sutaperke (石狩): [自]煮えて泡立つ pop (石狩): [他]～を煮えて泡立たてる popte (新): [名]煮立った泡 poppise (沙流): (表現)煮立った泡がぼこぼこ湧きたつ poppise cihetukure (沙流):

におい(臭い、匂い) [名]臭い húra (石狩): (表現)良い臭い、匂い pirka húra (石狩): (表現)悪い臭い wen húra (石狩): (表現)良い臭いがする pirka húra at (新): (悪い)臭いがする húra at (石狩)、(表現)wen húra at (新): (表現)臭いを嗅ぐ húra nu (石狩): (表現)臭いがきつい、ひどい húra ruy (石狩): (表現)臭いが良い húra pirka (石狩): (表現)臭いが悪い húra wen (石狩)

ニオイヤグルマ(匂矢車) (植物)[名](キク科)ニオイヤグルマ属 pirkamawkus-aykaripkikukina-cise (新): [名]ニオイヤグルマギクの茎葉 pirkamawkus-aykaripkikukina (新)※(別名「スイートサルタン」): [名]キバナニオイヤグルマの茎葉 sikerpepeus-pirkamawkus-aykaripkikukina (新)※(別名「イエロースルタン」)

ニオブ (化学)[名]ニオブ niobium (新)※(原子番号41番。元素記号 Nb)

にかい(二回) [名・副]二回 tusuy (石狩)

にかい(二階) (表現)二階 *tu kay* (新): (表現)二階に *tu kay ka ta* (新)

ニガウリ(苦瓜) (植物)[名](ウリ科)ツルレイシ属 *siwuripunkar-cise* (新): [名]ツルレイシの茎 *siwuripunkar* (新)、[名]その果実 *siwuri* (新)※(別名「ニガウリ」): [名]カックロールの茎 *ikarpupu-siwuripunkar* (新)、[名]その果実 *ikarpupu-siwuri* (新): [名]ナンバンカラスウリの茎 *gakpunkar* (新)、[名]その果実 *gak* (新)、[名]その種子 *gakpi* (新)※(越南語。別名「モクベッシ」など)

にがく(苦く) [自]苦くなる、苦い *siw* (石狩): [他]～を苦くする *siwka* (*siwre*) (新): [自]充分に苦くなる、苦い *siwno* (*siwnu*) (新): [自]完全に苦くなる、苦い *oassiw* (*assiw*) (新): [自]減茶苦茶苦くなる、苦い *toykosiw* (新): [副]苦く *siwno* (新)

にがす(逃がす) ①[他]～を逃がす *kirare* (石狩): [他]～と共に～を逃がす *ekirare* (新): [他](場所)へ～を逃がす *kokirare* (新): [他](場所)から～を逃がす、(原因、手段)で～を逃がす *okirare* (新): ②(一度捕えた獲物に関して)[他]～を逃がしてやる、生かしてやる *tusare* (石狩): [他](場所)で～を逃がしてやる *etusare* (新): [他]～と共に～を逃がしてやる *kotusare* (新): [他](原因、手段)で～を逃がしてやる *otusare* (新)

にがつ(二月) [名]二月 *taskurucup* (石狩)、[名] *haprap* (南空知、栗山)

ニガナ(苦菜) ①(植物)[名](キク科)ニガナ属 *tesma-cise* (新): [名]ニガナの茎葉 *tesma* (新): [名]イワニガナの茎葉 *oreyetsma* (新)※(別名「ジシバリ」): [名]オオジシバリの茎葉 *porooreye-tesma* (新): [名]カワラニガナの茎葉 *piwkatesma* (新): [名]シロバナニガナの茎葉 *retarapappo-tesma* (新)※(ニガナの変種): [名]タカサゴソウの茎葉 *taywantesma* (新): [名]タカネニガナの茎葉 *rikuntesma* (新)※(ニガナの変種): [名]ノニガナの茎葉 *nuptesma* (新): [名]ハナニガナの茎葉 *apappotesma* (新)※(ニガナの変種): [名]ハマニガナの茎葉 *otatesma* (樺太真岡): [名]ホソバナニガナの茎葉 *hamuanetesma* (新): [名]ムラサキニガナの茎葉 *epewrekinapeus-tesma* (新): [名]ヤマニガナの茎葉 *kimuntesma* (新): ②(聖書)[名]苦菜 *siwrataskep* (新)、[名] *maror* (新)※(ヘブライ語。ホースラディッシュやレタス、パセリなど苦味のある植物): ③[名]ニガナ *siwrataskep* (新)、

[名] *unjana* (新)※(琉球語。アゼトウナ属「ホソバワダン」の事)

にがみ(苦味) [名]苦味 *siwkera* (新): [自]苦味がある *siwkerakor* (新): [他]～に苦味を与える *siwkerakore* (新): [名]苦味料 *isiwkerakorep* (新)

ニカラグア [場名](国名)ニカラグア共和国 *Nikaragua Ukotankoremosir* (新)※(首都は「マナグア」): [場名](国名の通称として)ニカラグア *Nikaragua* (新): [名]ニカラグア人、国民 *nikaraguaunkur* (新)

にかわ(膠) [名]膠 *numpe* (石狩): [名]魚から作る膠 *cepnumpe* (石狩)

にきび [名]にきび、尋常性ざ瘡 *rurucine* (石狩): [自]にきびが出る、尋常性ざ瘡になる *rurucine* (新): [自]にきびのような吹出物が出る *ioasip* (新)※(屈斜路)

にぎやか(賑やか) ①(人が)[自]賑やかである *ukonucattek* (*ukonucaktek*) (石狩): 「宴会に居並ぶ人達は充分飲んで賑やかだ。」

“*Ikuso ka ta utaperari utar ikuno wa ukonucattek siran .*” [他]～を賑やかにする *ukonucattekka* (*ukonucaktekka*) (新): ②(声が)[自] *pepunitara* (沙流)、[自] *pepun* (沙流): (表現)子供達の声が賑やかである *ekattar hawe pepunitara* (新): (表現)(鳥の)激しく鳴く声が賑やかである *sakan rek haw pepun kane* (沙流)

にきやく(二脚) [名]二脚 *tukema* (新)

にぎる(握る) ①[他]～を握る *kisma* (石狩): [他](人)に～を握らせる *kismare* (新): [他]～をしっかりと握る、握りしめる *toykokisma* (石狩): [他]人に～を握らせる *kismayar* (新): ②[他]～を手に握る *kotekutapure* (沙流): ③[他]～をしっかりと手に握る、握りしめる *tekkoyupu* (沙流)

にく(肉) [名]肉 *kam(i)* (石狩): [名]肉汁 *kamohaw* (新): [名]肉入りのお汁 *kamrur* (石狩): [他](解体して)肉を捌く、肉を切る *kamtuye* (石狩): [自]肉を細長く切る *kampetpa* (石狩): [自]肉を背負う *kamse* (石狩): [自]肉を運ぶ *kamrura* (石狩): [自](神窓から)肉を屋内に運び込む *ikokamahupte* (石狩): [他](人)と一緒に神窓より肉を屋内に入れる *kokamahupte* (石狩): こうして迎え入れるのはクマなどパセカムイだけ。シカなどは人の出入口から“*ahunke*”「～を入れる」する。

にくきゅう(肉球) [名]肉球、蹴球 *kamnin(i)* (新): [名]掌球 *tekpoknin(i)* (新): [名]指球 *tekpentin(i)* (新): [名]手根球 *teksutnin(i)* (新): [名]足底球 *urepoknin(i)* (新): [名]趾球

urepetnin(-i) (新)

にくきりぼうちょう(肉切り包丁) [名]肉切り包丁 makiri (沙流)

にくすいかじょ(肉穂花序) [名]肉穂花序 kampus-apappoomakatu (新)

にくたい(肉体) [名]肉体 netopa(-ke) (石狩): [名](多くは合成語の構成要素として)肉体 kew(-e) (石狩): [自](結婚して肉体関係を持つ ukor (石狩): [自](結婚とは関係なく)肉体関係を持つ ukoki (新): [他](結婚とは関係なく誰か)と肉体関係を持つ koki (新)

ニクティケイウス (動物)[名](ヒナコウモリ科)ニクティケイウス族 amerikaun-onumankapap-utar (新): [名]ニクティケイウス属 amerikaun-onumankapap-cise (新): [名]ニクティケイウス・クバヌス kubaun-onumankapap (新): [名]N. フメラリス amerikaun-onumankapap (新): [名]スコテアナクス属 rupperetusepkapap-cise (新): [名]スコテアナクス・ルエッペリー rupperetusepkapap (新): [名]スコトエクス属 afrikaciseunkapap-cise (新): [名]スコトフィルス属 sikerpepeuskapap-cise (新): [名]スコトマネス属 hanrekuinkapap-cise (新): [名]スコトマネス・オルナトウス hanrekuinkapap (新)※(ハーレクイン蝙蝠): [名]スコトレペンス属 moetusepkapap-cise (新): [名]ニクティケイノプス属 şurifenskapap-cise (新): [名]ニクティケイノプス・スクリエッフェニ şurifenskapap (新): [名]ログエッサ属 rogeessakapap-cise (新)

ニクティノモプス (動物)[名](オヒキコウモリ科)ニクティノモプス属 siamerikaun-honimpakapap-cise (新): [名]ニクティノモプス・アウリスピノスス pearehonimpakapap (新): [名]N. フェモロサックス moamerikaun-honimpakapap (新): [名]N. マクロティス siamerikaun-honimpakapap (新): [名]N. ラティカウダトウス kisarasep-honimpakapap (新)

ニクトフィルス (動物)[名](ヒナコウモリ科)ニクトフィルス族 kisaratannekapap-utar (新): [名]ニクトフィルス属 kisaratannekapap-cise (新): [名]ニクトフィルス・アルンヘメンシス koykaun-kisaratannekapap (新): [名]N. ゴウルディ gourdo-kisaratannekapap (新): [名]N. シルレイアエ missim-nupuriun-kisaratannekapap (新): [名]N. シェリニ tasmaniaun-kisaratannekapap (新): [名]N. ティモリエンシス timorun-

kisaratannekapap (新): [名]N. ネブロス niwkaredoniaun-kisaratannekapap (新): [名]N. ビファクス cupkaun-kisaratannekapap (新): [名]N. ホエンシス rordo-hawun-kisaratannekapap (新): [名]N. マヨル cuppokun-kisaratannekapap (新): [名]N. ミクロドン nimakipon-kisaratannekapap (新): [名]N. ミクロティス niwginiaun-kisaratannekapap (新): [名]N. ワルケリ nokan-kisaratannekapap (新): [名]ヒメミナガコウモリ mokisaratannekapap (新): [名]ヘランオオミミナガコウモリ rembataun-kisaratannekapap (新): [名]オオミミコウモリ属 siknu-kisaratannekapap-cise (新): [名]オオミミコウモリ siknu-kisaratannekapap (新)

にくひだ(肉褓) [名]肉褓 kamnik(-i) (新): [場名]肉褓の間 kamnikor(-o) (新)

にくへん(肉片) [名]肉片 kamnot(-ci) (沙流): (表現)(雅)(敵を傷つけ)への小さな肉片、大きな肉片を背後にぶちまける nokan kamnoci rupne kamnoci makokuta (= kocarikar) (沙流)

にくむ(憎む) ①[自]人を憎む iepoko (新)、[自] ienikuy (新): [他]～を憎む epoko (石狩)、[他] enikuy (天塩)、[他] (新): (表現)～を憎む wenno ramu (石狩): [他](人)に～を憎ませる epokore (新)、[他] enikuyre (新): [自]自分を憎む yayepoko (新)、[自] yayanikuy (新): [自]互いに憎み合う uepoko (新)、[自] uenikuy (新): [他]～を憎みまくる toykoepoko (新)、[他] toykoenikuy (新): [他]人に～を憎ませる epokoyar (新)、[他] enikuyyar (新): [自]人に自分を憎ませる siepokoyar (新)、[自] sienikuyyar (新): ②(見向きもせぬ程)[自]人をととても憎む ikowen (新)[他]～をととても憎む kowen (石狩): [他](人)に～をととても憎ませる kowente (新): [自]自分をとても憎む yaykowen (新): [自]互いにとても憎み合う ukowen (新)

にくるま(荷車) [名]荷車 cioirurap (新)

にげみち(逃げ道) (表現)逃げ道 okira ru(-we) (新)、(表現) okira kuni ru(-we) (新)、(表現) kari kira ru(-we) (新)

にげる(逃げる) [自]逃げる kira (石狩)、[自] yaykirare (石狩): [他]～を連れて逃げる、～と共に逃げる ekira (新): [他](場所)へ逃げる kokira (石狩): [他](場所)から逃げる okira (新): [他](原因、手段)で逃げる okira (新): [自]自分で、一人で逃げる yaykokira (新): [自]

互いに、皆で逃げる ukokira (新): [自] 自分で、一人で逃げる yaykirare (石狩): [自] 一人で逃げ回る、逃げまどう arayaykirare (新): [自] 皆が逃げる ukirare (石狩): [自] 皆で逃げ回る、逃げまどう arukirare (沙流): [自] 手に手をとって逃げる、二人で逃げる uekira (新): (表現) 手に手をとって二人で逃げる utekampa wa uekira (新)、(表現) tunne uekira (新): [自] 逃げまくる toykokirapa (新): [自] 逃げ回る toykokirapa (新): [他](人)から逃げる saot (石狩): (表現) 臆病にも白い足の裏を見せて逃げ去る cikirasama (ureasama) retar kane sietaye (新)※(樺太)

ニゴイ(似鯉) (魚介)[名](コイ目コイ科カマツカ亜科)ニゴイ属の魚類の総称 sumarisamocep (新): [名] コウライニゴイ atuyya-sumarisamocep (新): [名] ズナガニゴイ etanne-sumarisamocep (新): [名] ニゴイ sumarisamocep (新)

にこう(二項) (言語)[名] 二項 tusupop (新): [名] 二項である tusupopkor (新): [名] 二項動詞 tusupopkor-moykeitak (新)、[名] tusupopkorpe (新)

にこごり(煮凝り) [名] 煮凝り tonru (幌別)

にこりざけ(濁り酒) [名] 濁り酒 tónoto (石狩)

にごる(濁る) [自] 濁る、濁っている nupki (石狩): [他] ~を濁らせる nupkika (nupkire) (新): [名] 濁り水 nupurwakka (石狩)

にざかな(煮魚) [名] 煮魚 cisuwecep (新)

にし(西) [場名] 西 cuppok(i) (新): [自] 西を向く、西に向かう ecuppokun (新): [副] 西向きに、西に ecuppokun (新)、[副] hepasi (旭川): [自] 西から向かってくる ocupkaun (新): [副] 西から ocupkaun (新)、[副] hopasi (旭川): [連体] 西の、西に住む、西にある cuppokun (新): (表現) 国の下手(西方) mosir kes(長形-e、-eke) (石狩): [場名](地名) 西アジア Cuppokun-azia (新)、[場名] Cuppokazia (新): [場名](地名) 南アフリカ Cuppokun-afrika (新)、[場名] Cuppokafrica (新): [場名](地名) 西ヨーロッパ Cuppokun-europa (新)、[場名] Cuppokeuropa (新)

にじ(虹) [名] 虹 rayoci (石狩)、[名] kamuyriwka (石狩): [名] 半分だけの虹 ekayrayoci (石狩)

にしインドしょとう(西インド諸島) [場名](地名) 西インド諸島 Cuppokunindiya-usapoysir (新)

ニジェール [場名](国名)ニジェール共和国 Nijer Ukotankoremosir (新)※(首都は「ニアメ」): [場名](国名の通称として)ニジェール Nijer (新): [名] ニジェール人、国民 nijerunkur (新)

にしかぜ(西風) [名] 西風 opasirera (旭川)、[名] ocuppokunrera (新): 方言辞典によれば、八雲、幌別、沙流、名寄で"sumrera"、帯広で"okimunrera"、美幌で"osumunrera"。

にしき(錦) [名] 錦 kánikosonte (K)

にしきごい(錦鯉) (魚介)[名] 錦鯉 kánikosontemi-samocep (新)、[名] kosontemi-samocep (新)※(観賞用の変種)

にしても ①[接助]~にしても yakka (石狩): 「雨が降ったにしても大丈夫だから行こう。」“Ruyampe as yakka pirka kusu paye=an na.”: ②(過去の出来事に関心して)(表現)~したにしても~ 名詞+ne a p kusu ~ (久保寺18): 「泣いたにしても随分力むんですね(泣くという事のためにお前は力が強い)。」“Cis ne a p kusu e=okirasnu.”、「しゃべったにしても随分雄弁なんですね。」“Itak ne a p kusu pawetok es=kor ruwe ne.”

にしドイツ(西ドイツ) [場名](1949-90年までのドイツ連邦共和国の通称)西ドイツ Cuppokun Doitcurando (新)

ニジニ・タギル [場名](ロシア連邦ウラル連邦管区スヴェルドロフスク州の都市名)ニジニ・タギル Nijini-tagir (新)

ニジニ・ノヴゴロド [場名](ロシア連邦沿ヴォルガ連邦管区の構成主体名)ニジニ・ノヴゴロド州 Nijini-novogorodo-purovince (新): [場名](沿ヴォルガ連邦管区の本部、ニジニ・ノヴゴロド州の州都名)ニジニ・ノヴゴロド Nijini-novogorodo (新)

ニジニャヤ・ツングースカ [名](地名)ニジニャヤ・ツングースカ川 Nijiniya-tunguska-pet (新)※(ロシア連邦領シベリアを流れるエニセイ川の支流)

ニジネバルトフスク [場名](ロシア連邦ウラル連邦管区ハンティ・マンシ自治管区の都市名)ニジネバルトフスク Nijinevartofsk (新)

にしはんきゅう(西半球) [場名] 西半球 cuppok-sikaricupemko (新)

ニジマス(虹鱒) (魚介)[名](サケ属)ニジマス rayocisipe (新): (亜種)[名] イーグルレイク・レインボートラウト eagureto-rayocisipe (新): [名] カーンリバー・レインボートラウト kérumpet-rayocisipe (新): [名] カムチャッカン・レイボートラウト yayan-rayocisipe (新): [名] カムループス・レインボートラウト kamroopsu-rayocisipe (新): [名] カリフォルニア・ゴ

ールデントラウト karifonnia-konkanisipe (新)※(別名「ゴールデントラウト」): [名] グレートベイスン・レッドバンドトラウト gureatbasin-rayocisipe (新): [名] コースタル・レインボートラウト kunnekanisapa-rayocisipe (新): [名] コロンビアリバー・レッドバンドトラウト korumbiapet-rayocisipe (新): [名] ピアズリートラウト kuresentoto-rayocisipe (新)※(クレセント湖虹鱒): [名] マククラウドリバー・レッドバンドトラウト makkuroudopet-rayocisipe (新): [名] メキシカン・レインボートラウト méxiko-rayocisipe (新): [名] リトルカーン・ゴールデントラウト ritrekerun-konkanisipe (新)

にじゅう(二十) ①[名] 二十人 hotnen (天塩)、[名] hot (石狩): (表現) 男二十人 okkayo hotnen (新): (表現) 二十人で hotnenne (新): [連体] 二十人の hotne (石狩): (表現) 二十人の女性 hotne menoko (新): ②[名] 二十、二十四、二十個、二十歳など hotnep (新)、[名] hot (石狩): (表現) 家二十軒 cise hotnep (新): (表現) 二十四で hotnepne (新): [連体] 二十の hotne (新): (表現) 二十四の魚 hotne cep (新): (表現) 二十個の卵 hotne nok (新)、(表現) 二十年、歳 hotne pa (新): (表現) 二十日 hotne to (新)

にじゅういち(二十一) ①[名] 二十一人 sinen ikasma hotnen (天塩)、[名] sinen ikasma hot (石狩): (表現) 男性二十一人 okkayo sinen ikasma hotnen (新): (表現) 二十一人で sinen ikasma hotnenne (新): [連体] 二十一人の sine ikasma hotne (石狩): (表現) 二十一人の女性 sine menoko ikasma hotne menoko (sinen ikasma hotne menoko) (新): ②[名] 二十一、二十一匹、二十一個、二十一歳など sinep ikasma hotnep (新)、[名] hot (石狩): (表現) 魚二十一匹 cep sinep ikasma hotnep (新): (表現) 二十一匹で sinep ikasma hotnepne (新): [連体] 二十一の sine ikasma hotne (新): (表現) 二十一匹の魚 sine cep ikasma hotne cep (sinep ikasma hotne cep) (新): (表現) 二十一個の卵 sine nok ikasma hotne nok (新)、(表現) 二十一年、歳 sinepa ikasma hotne pa (sinep ikasma hotne pa) (新): (表現) 二十一日 sineto ikasma hotne to (sinep ikasma hotne to) (新)

にじゅうえんこう(二重円光) [名] 二重円光 tusikari-nipeki (新)、[名] tunipeki-karip (新)

にじゅうしんほう(二十進法) [名] 二十進法

hotnepoipiski (新): [名] 二十進記数法 hotnepoipiskioinuye (新): [名] 二十進命名法 hotnepoipiskiorekor (新)

にじる(煮汁) [名] 煮汁 ohaw(-e) (石狩)

にしんほう(二進法) [名] 二進法 tupoipiski (新): [名] 二進記数法 tupoipiskioinuye (新): (表現) 二進数 an=tupoipiskionuye p (新): [名] 二進命名法 tupoipiskiorekor (新)

ニセホタルイカ(偽螢烏賊)(魚介)[名](ニセホタルイカ科)ニセホタルイカ属 ninninkep-nenoampe-apa (新): [名] アフリカホタルイカ afrika-ninninkep-nenoampe (新): [名] ウデナガホタルイカ teketanne-ninninkep-nenoampe (新): [名] カリフォルニアホタルイカ karifonnia-ninninkep-nenoampe (新): [名] タイセイヨウホタルイカ siatuy-ninninkep-nenoampe (新): [名] ナカマホタルイカ inoskitauturuan-ninninkep-nenoampe (新)

にせよ [接助] ~にせよ yakka (石狩): 「お前が嫌だったにせよ私はまた来るからな。」 “E=kopan yakka suy ku=ek kusu ne na.”

にせる(似せる) [他] ~に似せる koikar (沙流)、[他] koyukar (新): [他](場所)で~に似せる ekoikar (新)、[他] ekoyukar (新): [他](原因、手段)で~に似せる、~に関して~に似せる okoikar (新)、[他] okoyukar (新): [他](人)に~に似させる koikare (新)、[他] koyukare (新): [他] 自分で、一人で~に似せる yaykokoikar (新)、[他] yaykokoyukar (新): [他] 皆で、共に~に似せる ukokoikar (新)、[他] ukokoyukar (新): [他] 完全に~に似せる oarkoikar (arkoikar) (新)、[他] oarkoyukar (arkoyukar) (新)

にたきする(煮炊きする) [自] ものを煮炊きする isuwe (新): [他] ~を煮炊きする suwe (石狩): [他](人)に~を煮炊きさせる suwere (新): [名] 煮炊きした物 cisuwep (石狩)

にたつ(煮立つ) [自] 煮立つ pop (石狩): (表現) 鍋が煮立つ su pop kor an (石狩): [他] ~を煮立てる popte (石狩): [自] 充分煮立つ popno (popnu) (新): [自] グラグラ煮立つ poppop (新)、[自] toypopop (新): [自](水などが)煮えたぎる sutaperke (石狩)

ニタリクジラ(似鯨)(動物)[名](ナガスクジラ属)ニタリクジラ nokorhumpe (新)※(本来は「小イワシクジラ」の語から転用)

にだん(二段) [自] 二段重ねる túpukaomare (新): (表現) 二段重ねる tup ukaomare

(新): [名]二段ベット túpukaomare-
amset (新): (表現)～を二段重ねる ～
tupne ukaomare (新)
にち(日)[場名](時の単位として)日 to (石狩): (表現)今から数日後に iosian to ta (石狩): (表現)翌日に nisatkean to ta (石狩): (表現)一日 sine to (石狩): (表現)一日中 sine to epitta (石狩)、(表現) to epitta (石狩): (表現)二日前に tu to etoko ta (石狩): (表現)二日経つ tu to siran (石狩): (表現)二日後に tu to siran okake ta (石狩): 方言によっては「二日」を"tutko"、三日以上に"rerko"を用いるようだが、石狩川筋では"tutko"は雅語表現の中にしか用いられず、"rerko"も"iwan rerko"「何日も」という幾つかの慣用表現の中に現れるのみである。またそう言った表現として、"tókam rerko"「昼の日々」、「kunne rerko」「夜の日々」があるが、これは現在の一年がかつてアイヌにとって夏年と冬年の二年に相当したように、現在の一日が「昼の日」と「夜の日」の二日に相当する事が窺える。尚、一日の時間帯に関する旭川の言葉は以下の通り ankes 夜明け(午前3時頃) nisat 夜明け(空が明るんでくる頃) cuprikin 日の出 kunnano 朝 tókam 昼 tónoski 正午(12時頃) tókes 夕方(3～6時頃) cúpahun 日没 onuman 日没後、暗くなったばかりの頃 áríonuman 夕方、晩、夜 ukuran 夜 annoski 深夜。
にちようび(日曜日)[場名]日曜日 sirpeketcupto (新)、[場名] tókamcupto (新)
につき(日記)[名]日記 tókampi (新): (表現)日記を付ける tókampi nuye (新): (表現)交換日記を付ける tókampi ukonuye (新)
につきゅう(日給)[名]日給 kestopuma (新): (表現)日給で五千円受け取る kestopuma ne asikne wanatuytane yen uk (新): (表現)日給で五千円払う kestopuma ne asikne wanatuytane yen kar (新)
につくり(荷造り)[自]荷造りする sikekar (石狩): [他](人)に荷造りさせる sikekare (新)
ニッケル (化学)[名]ニッケル nikkorum (新)※(原子番号28番。元素記号 Ni)
にっこう(日光)[名]日光 sikus (石狩): (表現)座って日光浴をしている sikus otta a wa an (石狩): (表現)(寝そべて)日光浴をしている sikus otta hotke wa an (新)
にしよく(日食)(表現)日食になる tókam sirkunne (石狩、天塩)、(表現) cup an=koyki (石狩)、(表現) cup an=ruki

(石狩)、(表現) sirpeketcup an=ruki (新)、(表現) tókamcup an=ruki (新)
にっとう(日当)[名]日当 tópuma (新)、[名] puma (石狩): (表現)日当を払う tópuma (puma) kar (新): (表現)日当を受け取る tópuma (puma) uk (新)
にて(似て)[後副]～に似て néno (石狩): 「貴方の娘さんは貴方に似て聡明で麗しいですね。」“Es=matnepo anakne esokay néno ramuan wa pirka ruwe ne .”: (表現)～に似ている néno an (複数 okay) (石狩): 「ほら、あそこにミクに似た女の子がいるよ。」“Inkar, taan ta Miku néno an menoko an na !”, 「君たちはアイヌに似ています。」“Yaunkur néno okay utar es=ne .”, 「これと似た物があつたら見せて下さい。」“Tampe néno an pe an yakun en=nukare wa en=kore yan !”
になわ(荷縄)[名]荷縄 tar(-a) (石狩): (表現)荷縄で縛る tar ani sina (新)
にのうで(二の腕)→「じょうはく(上膊)」を見よ
にばい(二倍)[名・副]二倍 tusuy (石狩)
にばしゃ(荷馬車)[名]荷馬車 sike-ummakarip (新)、[名] ummanimpap (新)、[名] wagon (新)※(英語)
にばん(二番)[副]二番目に tu-otutanu (新): [連体]、二番の、二番目の tu-otutanuan (tu-otutanan) (新): (表現)二番の人、二番目の人 tu-otutanuan (tu-otutanan) kur (新): (表現)二番のもの、二番目のもの、二番目 tu-otutanuan (tu-otutanan) pe (新): [名]二番目の矢 matneay (石狩)※(イオマンテの際に家の主人が天に放つ二本目の矢)
にばんこ(二番粉)[名](オオウバユリなどの根から採る)二番粉 kanirup (石狩)
にびいろ(鈍色)[自]鈍色になる、である wénunaus (新)※(葬儀の・灰色): [他]～を鈍色にする wénunausi (wénunauste) (新): [名]鈍色 wénunaus-iro (新)
にぶく(鈍く)[自]鈍くなる、鈍い enukar (石狩)※(本来は刃物の先端や切れ味を形容する言葉だが、今後は頭や感覚の「はたらきが悪い」の意味を日本語から借用、追加する): [他](場所)で鈍くなる、鈍い eenukar (新): [他]～と共に鈍くなる koenukar (新): [他](原因、手段)で鈍くなる、鈍い oenukar (新): [他]～を鈍くする enukare (enukarka) (新): [自](刃物に関して比喻的に)鈍い nimaksak (石狩)
ニブフ [名]ニブフ nikipun (樺太)、[名] kiriyaku (樺太)※(kiriyaaku より)、[名] nívuux (新)、[名] nikvun (新)※(ニヴフ語): [名]ニヴフ語 nívuixitak (新)、[名]

nikvunitak (新)

ニブル (C P)[名]ニブル níbar (新)※(英語。4ビット。2分の1バイト)

にぶんのいち(二分の一) ①(表現)(数学で)二分の一 tupne an=pere p otta an sinep (新): ②[場名](複数あるものの半分)二分の一 nimar(-a) (石狩): ③[場名](一つのもの)の半分)二分の一 emko (石狩)

にぼし(煮干し) [自]煮干しする isakanke (新): [他]～を煮干しする sakanke (石狩): [他](人)に～を煮干しさせる sakankere (新): [名]煮干しした肉や山菜などの食料品 cisakankep (石狩)

ニホニウム (化学)[名]ニホニウム nihonium (新)※(原子番号113番。元素記号Nh)

ニホンイタチ(日本鼬) (動物)[名](イタチ属)ニホンイタチ samorun-sacir (新)、[名]sisamsaciri (新): 亜種[名]コイタチ mosamorun-sacir (新)、[名]mosisamsaciri (新)

にほんかい(日本海) [名](地名)日本海 Japan-atuy (新)、[名]Cuppok-atuy (新)

にほんこく(日本国) [場名]日本国 Japan-mosir (新)※(首都は「東京」): [名]日本人、国民 japanunkur (新): [名]日本人、和人 sisam (石狩)、[名]samo (石狩): [名]日本語 japanunkur-itak (新)、[名]sisam-itak (石狩): (歴史)[場名]大日本帝国 Poro Japan Ipawetenkekurkormosir (新)※(1868-1945年)

ニホンザル(日本猿) (動物)[名](マカク属)ニホンザル samorun-saru (新)、[名]sisamsaru (新)

ニホンジカ(日本鹿) (動物)[名](シカ属)ニホンジカ yayayyuk (新): 亜種[名]エゾシカ yauiyuk (新)、[名]yuk (H): [名]キュウシュウジカ kiyusuuyyuk (新): [名]ケラマジカ keramauiyuk 隠語: [名]タイワンジカ taywanuiyuk (新)※(別名「ハナジカ」など): [名]ツシマジカ tusimauiyuk (新): [名]ホンシュウジカ samoruuiyuk (新): [名]マゲジカ mageuiyuk (新): [名]ヤクジカ yakuuiyuk (新)

にもつ(荷物) (1)[名]荷物 sike (石狩): (2)[自]荷物を背負う sike (石狩): [他](人)に荷物を背負わせる sikere (新): (3)①[自]荷を積む sike (沙流): [他](人)に荷を積ませる sikere (新): [他]～を荷に積む esikekar (新): ②(上)に[他](荷物)を積む ama (anu) (新): [他](人)に～を積ませる amare (anure) (新): ③(中)に[他](荷物)を積む iomare (新): [他](人)に～を積ませる iomarere (新):

[他]～へ～を積む omare (新): ③(上、あるいは中に)[他](荷物)を積む io (新): [他](人)に～を積ませる iore (新): [他]～へ～を積む o (新): (4)[自]荷物を運ぶ irura (新): [他](人)に荷物を運ばせる irurare (新): (5)[自]荷物を持つ、所持する sikekor (新): (表現)荷物を持つ、所持する sike kor (新): [他](人)に荷物を持たせる、所持させる sikekore (新): (6)[自]荷物を持つ、手に持つ sikeani (複数 sikeampa) (新)(表現)荷物を持つ、手に持つ sike ani (複数 ampa) (新): [他](人)に荷物を持たせる、手に持たせる sikeanire (複数 sikeampare) (新)

にもの(煮物) [名]煮物 cisuwep (石狩)、[名]cisuweipe (新)

にもまして(にも増して) [後副]～にも増して kasma (石狩): 「君の顔が好きだ。それにも増して君の声が好きだ。」“E=nanuhu ku=erasasuy . Kasma e=hawehe ku=erasasuy .” (表現)何にも増して nep kasma (石狩)

ニューアーク [場名](アメリカ合衆国、イギリス、カナダにある都市名)ニューアーク Níwarku (新)

ニューオリンズ [場名](アメリカ合衆国ルイジアナ州の都市名)ニューオリンズ Níwonrean (新)

にゅうかい(入会) ①[自]入会する iopok (新): [他]～に入会する eiopok (新): [他]～と一緒に入会する koiopok (新): [他]～のために入会する oiopok (新): [他](人)を入会させる iopokte (新)、[他]ieutanneka (ieutannere) (新): ②[自]入会する、している ieutanne (新): [他]～に入会する、している eutanne (新)

にゅうかく(入格) (言語)[名]入格 cikoahumperewke (新)

ニューカレドニア [場名](地名)ニューカレドニア島 Kanaki(-poysir) (新)※(メラネシア系先住民族の言葉で島と仏領ニューカレドニア全域を指す)、[名]Núverkaredoni(-poysir) (新)※(仏語)、[名]Niwkaredonia(-poysir) (新)※(英語)

ニューギニア [場名](地名)ニューギニア島 Niwginia(-poysir) (新)

にゅうきん(入金) [自]入金する ikorahunke (新): [他]～を入金する eikorahunke (新): [他](人)に～を入金させる eikorahunkere (新): [名]入金金額 ciahunkeikor (新)、[名]ciahunkep (新): [名]入金伝票 ciahunkep-surip (新)

にゅうごく(入獄) [自]入獄する rókoahun (複数 rókoahup) (新): (表現)入獄する ro

otta (ekota) ahun (複数 ahup) (新):
[他](人)を入獄させる rókoahunke (複数
rókoahupte) (新): (表現)~を入獄させる
ro otta (ekota) ahunke (複数 ahupte)
(新)

にゅうし(乳歯) [名]乳歯 tononnimak(-i)
(石狩)

にゅうじ(乳児) [名]乳児皮膚カンジダ症、乳
児 寄 生 菌 紅 斑 pompekapu-kandida-
osiyeeye (新)

ニュージーランド ①[場名](国名)ニュージー
ランド Niwzirando (新)、[場名]
Aotearoa (新)※(首都は「ウェリントン」):
[名]ニュージーランド人、国民
niwzirandunkur (新)、[名]
aotearoaunkur (新): ②[場名](地名)ニュ
ージーランド島 Niwzirando-poysir (新)、
[場名] Aotearoa-poysir (新)※(南北2島
よりなる)

ニュージーランドスルメイカ(魚介)[名](スルメ
イカ亜科)ニュージーランドスルメイカ属
arotearoa-siepetpetke-cise (新): [名]ニュ
ージーランドスルメイカ arotearoa-
siepetpetke (新): [名]アブライカ
firipin-siepetpetke (新): [名]オーストラ
リアスルメイカ austoraria-siepetpetke
(新)

ニュージャージー [場名](アメリカ合衆国の
州名)ニュージャージー州 Niwjaji-mosir
(新)※(州都は「トレント」)

にゅうしゅ(入手)①[他]~を入手する pa
(石狩)、[他] uk (複数 uyna) (石狩):
[他](場所)で~を入手する epa (新)、[他]
euk (複数 uyna) (新): [他]~から~を入
手する、~と共に~を入手する kopa (新)、
[他] kouk (複数 kouyna) (新): [他](原
因、手段)で~を入手する opa (新)、[他]
ouk (複数 ouyna) (新): [他](人)に~を入
手するさせる páre (新)、[他] ukte (複数
uynare) (新): [他]自分で、一人で~を入
手する pa (新)、[他] uk (複数 uyna)
(新): [他]互いに、皆で~を入手する pa
(新)、[他] uk (複数 uyna) (新): [他]す
っかり~を入手する oarpa (arpa) (新)、
[他] oaruk (複数 oaruyna) (新)、[他]
aruk (複数 aruyna) (新): [他](中相)~が
入手される cipa (新)、[他](中相) ciuk (複
数 ciuyna) (新): [他]人に~を入手するさ
せる、入手してもらう payar (新)、[他]
ukyar (複数 uynayar) (新): ②(入手しづ
らい物に関して)[他]~を入手する oskoni
(沙流)

ニューたいわんドル(ニュー台湾ドル) [名](中
華民国の通貨単位「圓(元)」を他国のものと区

別するため用い)ニュー台湾ドル asir
tayan-yuan (新)※(補助通貨については
「げん(元)」を見よ。)

ニューデリー [場名](インドの首都名)ニューデ
リー Niwderi (新)

ニューハンプシャー [場名](アメリカ合衆国の
州名)ニューハンプシャー州
Niwampusire-mosir (新)※(州都は「コン
コード」)

ニューファンドランド [場名](カナダの州名)ニ
ューファンドランド・ラブラドル州
Niwfandorando-newa-Ráburador-
purovince (新)※(州都は「セントジョン
ズ」): [場名](地名)ニューファンドランド島
Niwfandorando-poysir (新)

ニューブランズウィック [場名](カナダの州
名)ニューブランズウィック州
Niwburanzuwik-purovince (新)※(州都は
「フレデリクトン」)

ニューブリテン [場名](地名)ニューブリテン
島 Niwburitain(-poysir) (新)

ニュープロビデンス [場名](地名)ニュープロビ
デンス島 Niwpurovidensu-poysir (新)※
(西インド諸島バハマ諸島に属する島)

ニューヘブリディーズ [場名](地名)ニューヘブ
リディーズ諸島 Niwheburidizu-usapoysir
(新)※(南太平洋に位置するバヌアツ領の
島々)

ニューメキシコ [場名](アメリカ合衆国の州
名)ニューメキシコ州 Niwmexiko-mosir
(新)※(州都は「サンタフェ」)

ニューヨーク ①[場名](アメリカ合衆国の州名)
ニューヨーク州 Niwyorku-purovince
(新)※(州都は「オールバニー」): ②[場名](ニ
ューヨーク州の都市名)ニューヨーク
Niwyorku (新)

によう(尿) [名]尿 okuyma (石狩)、[名]
kuywakka (天塩): [名](合成語の構成要素
として)尿 kuy(-e) (石狩): (表現)尿意を
催す okuyma rusuy (石狩)

にようへい(尿閉) [自]尿閉になる
okuymakoyaykus (石狩)、[自]
okuykoeskari (石狩)

によごがしま(女護ヶ島) [場名]女護ヶ島
Menaspa (新)

によって ①受動態の動作主を示す「によって」
は位置名詞"or"+後置詞"wa"、つまり"orwa"
で表される。: 「私達は通訳によって騙され
た。」“Tunci orwa unci=koyki (=
un=koyki=an).”: ②(手段)[後副]~によ
って ani (石狩)、[後副] ari (旭川): 「こ
れは紙によってできている。」“Tampe kampi
ani an=kar.”

にらむ(睨む) [自]睨む weysikkor (新):

[他]～を睨む kowaysikkor (石狩)、[他] sikeraykar (石狩)：[他](人)に～を睨ませる kowaysikkore (新)、[他] sikeraykare (新)：[自]人を睨む ikowaysikkor (新)、[自] isikeraykar (新)：②[自]ギロリと睨む sikkeruru (石狩)：[他]ギロリと～を睨む kosikkeruru (石狩)：(表現)凶暴な目つきで～を睨む niwen sik ani kosikkeruru (石狩)：(表現)横目で～をギロリと睨む sikkese ani kosikkeruru (石狩)：②[他]～を睨み付ける sikesityayki (新)：[他]～をグッと睨み付ける toykosikesityayki (新)、[他] toykosirkerayka (石狩)：(表現)(雅)目は強い星となり、かっと見開いて睨み付けている einkarpe tumasnu nociw ne cieusamkur unuhitar (沙流)

にる(煮る) ①[自]ものを煮る isuwe (新)：[他]～を煮る suwe (石狩)：沙流方言では複数形として"súpa"がある。：(表現)鍋で～煮る su ani ~ suwe (石狩)：「クマ肉を煮て食べましょう。」"Kamuy kami ay=suwe wa an=e rok!"：[他](場所)で煮る esuwe (新)：[他]～と共に煮る kosuwe (新)：[他](原因、手段)で煮る osuwe (新)：[他](人)に～を煮させる suwere (新)：[他]人に～を煮させる suweyar (新)：②～を煮る ci (石狩)：熱を加える事を指すので「～を焼く」も意味する。前後の状況が理解されていない場合、間違いを避けるために"suwe"の方が良い。

ニルガイ (動物)[名](ウシ亜科)ニルガイ族 nirgay-utar (新)：[名]ニルガイ属 nirgay-cise (新)：[名]ニルガイ nirgay (新)：[名]ヨツヅノレイヨウ属 inekirawus-yukpeko-cise (新)

ニレ(楡) (植物)[名](イラクサ目)ニレ科 cikisani-apa (新)：[名]ニレ属 cikisani-cise (新)：[名]ハルニレの茎 cikisani (石狩)※(トウニレの変種。別名「ニレ」、「アカダモ」)：[名]アキニレの茎 samorun-cikisani (新)※(別名「イシゲヤキ」など)：[名]アメリカニレの茎 (新)：[名]ウルムス・アラタの茎 korkurapus-cikisani (新)※(コルク翼楡)：[名]U. ウィエマツイの茎 taywan-cikisani (新)：[名]U. クンミンゲンシスの茎 kunmin-cikisani (新)※(昆明楡)：[名]U. トンキネンシスの茎 vietnam-cikisani (新)※(越南楡)：[名]U. プセウドブロンピンクアの茎 ciretarcikisani-kopa (新)：[名]U. プミラの茎 eurasia-cikisani (新)※(ユーラシア楡)：[名]U. プルニフォリアの茎 momanihamus-cikisani (新)：[名]U. プ

ロケラの茎 enguris-cikisani (新)：U. プロピンクアの茎 retar-cikisani (新)：[名]U. ミクロカルパの茎 kasioppon-cikisani (新)：[名]U. ランセセフォリアの茎 riyahamus-cikisani (新)：[名]U. ルブラ húre-cikisani (新)：[名]オヒョウニレの茎 atni (石狩)：[名]セイヨウハルニレの茎 europa-cikisani (新)：[名]チョウセンニレの茎 kórin-cikisani (新)：[名]テリハニレの茎 hamurarak-cikisani (新)※(トウニレの変種)：[名]トウニレの茎 sicikisani (新)：[名]ヨーロッパニレの茎 europanup-cikisani (新)：[名]ヨーロッパホワイトエルムの茎 europaretar-cikisani (新)：[名]アンペロケラ属 anperokera-cise (新)：[名]ウラジロエノキ属 hamusirpokitretar-enoki-cise (新)：[名]エノキ属 enoki-cise (新)：[名]カエタクメ属 ayuscikisani-cise (新)：[名]カエタクメ・アリスタタの茎 ayuscikisani (新)：[名]セイタン属 cintan-cise (新)：[名]セイタンの茎 cintan (新)：[名]ギロンニエラ属 gironniera-cise (新)※(ジロニエラ属とも)：[名]ケヤキ属 keyaki-cise (新)：[名]パラスボニア属 parasponia-cise (新)：[名]ハリゲヤキ属 ayuskeyaki-cise (新)：[名]フィロステイロン属 firostiron-cise (新)：[名]ブテロケルティス属 hunteetokni (新)：[名]ブテロケルティス・タタリノウィーの茎 hunteetokni (新)：[名]プラネラ属 amerikanitat-cikisani-cise (新)：[名]プラネラ・アクアティカの茎 amerikanitat-cikisani (新)：[名]ホロプテレア属 horopterea-cise (新)：[名]ムクノキ属 muku-cise (新)：[名]ロザネラ属 rozanera-cise (新)

にわ(庭) [名]庭 mintar (石狩)、[名] soyunmintar (新)、[名] soyunmimtar (天塩)

にわ(行潦) [名]行潦 ruyampeto (天塩)

にんぎょう(人形) [名]人形 aynunokapo (新)：[名](木彫りの)人形 nipompom (北千島)

ニンギョウアナゴ (魚介)[名](ウミヘビ科)ニンギョウアナゴ亜科 imokhamo-moapa (新)：[名]ニンギョウアナゴ属 imokhamo-cise (新)：[名]ニンギョウアナゴ imokhamo (新)：[名]アフリア属 ahria-cise (新)：[名]アサルケンケリュス属 asarkenxeris-cise (新)：[名]グレングロッサ属 gurenogrossa-cise (新)：[名]スキスモルヒュンクス属 suxisomorphinxus-cise (新)：[名]スキュトレンケリュス属

sukitrenxeris-cise (新): [名]スクルトズ
イディア属 *suxurtozidia-cise* (新): [名]
プセウドミクロフィス属 *puseudomirofis-*
cise (新): [名]ピュロロブランクス属
piroropraxus-cise (新): [名]ベンテンケ
リュス属 *bentenxeris-cise* (新): [名]ミ
クソミクロファルス属 *miksomirofis-cise*
(新): [名]ミナミミミズアナゴ属
koypokunsamorimokhamo (新): [名]ミ
ミズアナゴ属 *samorimokhamo* (新):
[名]ミクロフィス属 *mirofis-cise* (新):
[名]ムカシウミヘビ属 *neenxeris-cise*
(新): [名]レプトケファルス属
reptokefarus-cise (新)

にんげん(人間) [名]人間 *aynu* (石狩):
[形式名]~人間 *kur* (石狩): [場名]人間
界 *aynumosir* (石狩): [名]人間の言葉
aynuitak (石狩): [名]人間の習慣、人間の
本質、人間らしい心 *aynupuri* (石狩):
[場名]人間の村 *aynukotan(-u)* (石狩):
[自]人間の軀をかく *aynuetoro* (石狩):
[自]人間の格好をする *aynukatkor* (石狩)

ニンジン(人參) (植物)[名](セリ科)ニンジン属
cieupewkina-cise (新): [名]ニンジンの茎
葉 *cieupewkina* (新)、[名]ニンジンの根
cieupew (新): [名]黒人參の根
kunnecieupew (新)

にしん(妊娠) [自]妊娠する *honkor* (石
狩)、[自] *husko* (石狩): (表現)妊娠する、
している *honi poro* (石狩): [他]~を妊
娠する、(場所)で妊娠する、~の時に妊娠する
ehonkor (新)、[他] *ehusko* (新): [他]~
と共に妊娠する *kohonkor* (新)、[他]
kohusko (新): [他](原因、手段)で妊娠す
る *ohonkor* (新)、[他] *ohusko* (新):
[他](人)を妊娠させる *honkore* (新)、[他]
huskore (新)

にんずう(人数) ① [名]人数
cipiskikuniaynu (*cipiskekuniaynu*) (新):
②[自]人数が多くなる、多い *inne* (石狩):
[他]~の人数を増やす *inneka* (*innere*)
(新): ③[自]人数が少なくなる、少ない
moyo (石狩): [他]~の人数を減らす
moyoka (*moyore*) (新)

にんそう(人相) [名]人相 *ipor(-o)* (石狩)

ニンフ [名](ギリシャ神話の女神、あるいは妖
精)ニンフ *nimfe* (新)

ヌアクショット [場名](モーリタニア・イスラ
ム共和国の首都)ヌアクショット *Nuakšut*
(新)

ぬいあげる(縫いあげる) [他](着物など)を縫
い上げる *kemekar* (石狩): [他](人)に~
を縫い上げさせる *kemekare* (新)

ぬいあわせる(縫い合わせる) [自]縫い合わせる

ikirkar (天塩): [他]~を縫い合わせる
eikirkar (新): ~と~を縫い合わせる
ekota eikirkar (新): [他]~と~を縫い合
わせる *koeikirkar* (*ekoikirkar*) (新):
[他]~を互いに縫い合わせる *eukoikirkar*
(新)

ぬいいと(縫糸) [名]縫糸 *nuyto* (石狩)

ヌー (動物)[名](ハーテビースト族)ヌー属
nu-cise (新): [名]オグロヌー
sarakunne-nu (新): [名]オジロヌー
sararetan-nu (新)

ぬう(縫う) [他]~を縫う *ninu* (石狩):
[他](場所)で~を縫う *eninu* (新): [他]~
と共に~を縫う *koninu* (新): [他](原因、
手段)で~を縫う *oninu* (新): [他](人)に
~を縫わせる *ninure* (新): (表現)(幼い
頃見よう見まねで縫物をするが、縫い目が揃
わずばらばらになっている下手な縫い方を
する様子を描写し)~を遠く縫い、近く縫う
~ *tuymaninu hankeninu* (石狩): 「…幼
少の頃より色々な絹…それを私は遠く縫い、
それを私は近く縫いながら…」 “*ponram*
wano usa sarampe … *an=tuymaninu*
an=hankeninu an=ki kor…” (砂沢クラ)婦女
詞曲: (表現)(雅)(出かけるためそれまで)縫
っていた物に私は針を刺したままにし後ろ
にやる *an=tekekar pe an=kemeninu*
an=makoraye (石狩)

ぬか(糠) [名]糠 *mur(-i)* (石狩)

ヌカカ(糠蚊) (昆虫)[名](ユスリカ上科)ヌカカ
科 *erayray-apa* (新): [名]ヌカカ科の昆
虫 *erayray* (石狩、天塩)

ぬがす(脱がす) ①(衣服、装飾品、靴など身に
着けた物に関し)[他]~を脱がす *ama* (石
狩): 「君が着てるものを脱がせたい。」
“*E=mi p ku=ama rusuy* .”: [他](場所)で
~を脱がす *eama* (新): [他]~と共に~
を脱がす *koama* (新): [他](原因、手段)
で~を脱がせる、~のために~を脱がせる
oama (新): [他](人)に~を脱がさせる
amare (新): [他]パット~を脱がす
amatek (新): [他]一気に~を脱がす
earama (新): [他]ゆっくり~を脱がす、
優しく~を脱がす *ratciam*a (新): [他]す
っかり~を脱がす *oarama* (*arama*) (新):
[他]思い切り~を脱がす *toykoama* (新):
[他]荒々しく~を脱がす *wénama* (新):
[他]人に~を脱がさせる *amayar* (新):
②(衣服に関して)[自]着衣を脱がす
ipitapita (沙流): [他]~を脱がす
pitapita (沙流): [他]~を一枚一枚剥ぐよ
うに脱がす *sospakar* (新): [他](人)から
~を一枚一枚剥ぐように脱がす *kosospa*
(沙流)、[他] *kosospakar* (沙流)

ぬかる [自](雪などに)ぬかる raosma (石狩): (表現)雪がしまっておらず、その上を歩くとぬかる upaska wen (石狩)

ぬかるむ [自]ぬかるむ、ぬかるんでいる toykopotce (天塩): [自]雪解けでぬかるむ、ぬかるんでいる upaskopotce (天塩): [名]ぬかるみ toykopotcey (天塩): [名]雪解けのぬかるみ upaskopotcey (天塩)

ぬき(緯) [名]緯 ahunka (石狩)

ぬきあし(抜き足) (表現)抜き足差し足する atcikir puni as orowa atcikir puni as (石狩)

ぬぎすてる(脱ぎ捨てる) [他]～をバツと脱ぎ捨てる emakaraye (石狩): 「…私が着る小袖を私はバツと脱ぎ捨て…」 “…an=mi kosonte an=emakaraye…” (砂沢クラ)英雄詞曲

ぬきんでて(抜きん出て) [副](他より)抜きん出て etakasure (沙流): 「お前は抜きん出て足が速い。」 “Eani anakne etakasure e=pikan .”

ぬぐ(脱ぐ) ①(衣服、装身具全般に関して)[他]～を脱ぐ ama (石狩): (表現)～を脱ぐ úse ama (十勝): (表現)着物を脱ぐ imi ama (石狩): (表現)靴を脱ぐ keru ama (石狩): [他](場所)で～を脱ぐ eama (新): [他](場所)に～を脱ぐ koama (石狩): [他]～と共に～を脱ぐ oama (新): [他](原因、手段)で～を脱ぐ yaykoama (新): [他]自分で、一人で～を脱ぐ yaykoama (新): [他]互いに、皆で～を脱ぐ ukoama (新): [自]バツと～を脱ぐ amatek (新): [他]一気に～を脱ぐ earama (新): [他]ゆっくり～を脱ぐ ratciama (新): [他]すっかり～を脱ぐ oarama (新): [他]思い切り～を脱ぐ toykoama (新): [他]荒々しく～を脱ぐ wénama (新): ②(帽子などについて)[他]～を脱ぐ epittekka (幌別): ③(衣服、手袋に関して)[他]～を脱ぐ ante (幌別): ④(靴に関して)[他]～を脱ぐ oasinke (幌別)、[他] etaye (幌別)、[他] pita (幌別)

ぬく(抜く) ①(人や物を引っ張って)[他]～を抜く etaye(複数 etaypa) (石狩): [他](人)に～を抜かせる etayere(複数 etaypare) (新): [他]～をサツと引っ張って抜く etayetek (石狩): ②(毛や草などを引っ張って)[他](毛など)を抜く rise(複数 rispa) (石狩): [他](草など)を抜く rispa (天塩): [他](人)に～を抜かせる risere(複数 rispare) (新): ③(人などを追い抜く事)[他]～を抜く akkari (石狩): 「私達はトドマツの巨木を目指して走ったが、私は三人抜いてゴールした。」 “Sípore hup tom ta hoyuppa=as ayke ren ku=akkari ayne

ku=sirepa .”: [他](人)に～を抜かせる akkarire (新)

ヌクアロファ [場名](トンガ王国の首都名)ヌクアロファ Nukuarofa (新)

ぬぐう(拭う) ①[他]～を拭う piru(複数 pirpa) (石狩): 普通何かを拭う時には余程の怠け者でない限り一回の動作で終わらない。それ故だろうか目下単独の用例として確認されるのは複数形のみである。): [他](原因、手段)で～を拭う opiru(複数 opirpa) (新): [他](人)に～を拭わせる pirure(複数 pirpare) (新): ②[自]尻を拭う hoyayke (石狩)

ぬけおちる(抜け落ちる) [自](歯などが)抜け落ちる hatcir (石狩)

ぬけがら(抜け殻) [名]抜け殻 ohasey(-e) (新)、[名] sey(-e) (石狩)

ぬけだす(抜け出す) ①(建物などの中より)[自]抜け出す、抜け出る asin(asisp) (石狩): [他]～と共に抜け出す easin(複数 easip) (新): [他](場所)へ抜け出る koasin(複数 koasip) (新): [他](場所)から抜け出す oasin(複数 oasip) (石狩): [他](原因、手段)で抜け出す oasin(複数 oasip) (新): [他](人)に抜け出させる asinke(複数 asipte) (新): ②(穴などを通して)[他]～を抜け出す oposo(石狩): [他](人)に～を抜け出させる oposore(新)

ぬげる(脱げる) [自]脱げる siama (新): (表現)靴下が脱げる kerorumpe siama (新)

ぬける(抜ける) ①(平面的な場所を通り抜ける事)[他]～を抜ける kus(石狩)、[他] sikuste(石狩): 「私は森を抜けて海岸に出た。」 “Nitay ku=kus wa atuysam ta ku=san .”: ②(土の中などを通り抜ける事を示し)[他]～抜ける oposo(石狩): 「私の乗る汽車はトンネルを抜けた。」 “Ku=o kisa etoyposoru oposo .”: ③(歯などが取れる事を示し)[自]抜ける hatcir(石狩)

ぬし(主) ①(人)(表現)～の主 ～ kor nispa(石狩)、(表現) ～ kor kur(石狩): ②(神)(表現)～の主 ～ kor kamuy(石狩)、(表現) ～ kor kur(石狩)

ぬすくりつける(塗すくり付ける) [他]～を塗すくり付ける taci(石狩): 合成語の構成要素としてのみ現れるが、今後は単独でも用いる。: [他]～に～を塗すくり付ける kotaci(石狩): [他]～と共に～を塗すくり付ける kotaci(新): [他](原因、手段)で～を塗すくり付ける otaci(新): [他](人)に～を塗すくり付けさせる tacire(新): [他]～を自分に塗すくり付ける yaykotaci(新): [他]～を塗すくり付け合う ukotaci

(新): [他](中相)〜が〜に塗すくりつけられる cikotaci (石狩): 「…くしゃみ鼻水が着物に一面塗すくり付けられて…」 “…esna etor mip earikinne cikotaci hine…” (杉村キナブック)神謡

ぬすつと(盗人) [名]盗人 ikkakur (石狩): [名](悪口として)盗人 ikkap (石狩)

ぬすむ(盗む) [自]盗む、盗みをはたらく ikka (石狩): [他]〜を盗む eikka (石狩): [他](人)から盗む koikka (石狩): [他](人)から〜を盗む koeikka (石狩): [他]〜と共に盗む koikka (新): [他](原因、手段)で盗む、(場所)で盗む oikka (新): [他](人)に盗ませる、盗みをはたかせる ikkare (新): [他](人)に〜を盗ませる eikkare (新): [他]自分で、一人で〜を盗む eyaykoikka (新): [他]皆で、互いに〜を盗み合う eukoikka (新): [他]完全に〜を盗む oarikka (arikka) (新): [他]盗みまくる etoykoikka (新)、[他] eikkarotke (新)

ヌックマム (料理)[名]ヌックマム nukmam (新)※(ベトナム語)

ヌナプト [場名](カナダの準州名)ヌナプト準州 Nunavut-iosiampurevince (新)※(州都は「イカルイト」)

ぬの(布) [名]布 senkaki (石狩): (表現)一尋の(綿)布 sinep tem senkaki (石狩): [名]模様の入った布 úsep (宗谷)

ぬのパケツ(布パケツ) [名]布 パケツ senkaki-nitus (新)

ぬのぶくろ(布袋) [名]布袋 senkakupukuru (新)

ヌノマオ (植物)[名](イラクサ科)ヌノマオ属 sikasiretarpeoni-cise (新): [名]ヌノマオの茎 sikasiretarpeoni (新)※(別名「オオイワガネ」)

ぬのめ(布目) [名]布目 senkakisiriki (新): (表現)布目 senkaki siriki (新)

ぬま(沼) [名]沼 to (石狩): [名]沼の神 tókorkamuy (石狩): [場名]沼の底 tóasam-(a) (新): (地理)[場名]沼 worunmunusi (新)

ヌマスギ(沼杉) [名](スギ亜科)ヌマスギ属 nitatsugi-cise (新): [名]ヌマスギの茎 nitatsugi (新)※(別名「ラクウショウ」): [名]イケスギの茎 tósugi (新): [名]モンテスマサイプレス montesumasugi (新)

ヌマゼリ(沼芹) (植物)[名](セリ科)ヌマゼリ属 tóseri-cise (新): [名]ヌマゼリの茎葉 tóseri (新): [名]スキレットの茎葉 sisarum (新)※(学名)、[名]スキレットの根 sisarumupew (新)※(ムカゴニンジンと和訳されるが、それとは異なるヨーロッパの栽

培種): [名]トウヌマゼリの茎葉 hamuanetoseri (新): [名]ムカゴニンジンの茎葉 tamapuyotoseri (新)

ヌマダイコン(沼大根) (植物)[名](キク科)ヌマダイコン属 tósam-ememokikukina-cise (新): [名]ヌマダイコンの茎葉 tósam-ememokikukina (新)※(沼のそばその頭に腺ある菊): [名]オカダイコンの茎葉 rúsam-ememokikukina (新)

ヌマミズキ(沼水木) (植物)[名](セリ目)ヌマミズキ科 tótukanni-apa (新): [名]ヌマミズキ属 tótukanni-cise (新): [名]ヌマミズキの茎 tótukanni (新): [名]ニサ・ヤバニカの茎 java-toutukanni (新): [名]ニッサボクの茎 atuyya-toutukanni (新)

ヌメリイグチ(滑り猪口) (菌類、キノコ)[名](ハラタケ目イグチ科)ヌメリイグチ属 siyayankarus-cise (新): [名]ヌメリイグチ siyayankarus (新): [名]ハナイグチ yayankarus (新)

ぬらす(濡らす) ①(程度に関わらず)[他]〜を濡らす teyneka (石狩)、[他] teynere (新): [他](場所)で〜を濡らす、〜の時に〜を濡らす eteyneka (eteynere) (新): [他]〜と共に〜を濡らす koteyneka (koteynere) (新): [他](原因、手段)で〜を濡らす oteyneka (oteynere) (新): [他](人)に〜を濡らさせる teynekare (teynerere) (新): ②[他]〜をずぶ濡れにする pétacirirka (pétacirire) (新): [他](人)に〜をずぶ濡れにさせる pétacirirkare (pétacirirere) (新): ③[他]〜をぐしょ濡れにする péposore (新): [他](人)に〜をぐしょ濡れにさせる péposorere (新): ④[他]〜を半濡れにする ruteyneka (ruteynere) (新): [他](人)に〜を半濡れにさせる ruteynekare (ruteynerere) (新)

ぬる(塗る) ①[他]〜に〜を塗る usi (石狩): [他](場所)で〜に〜を塗る eusi (新): [他](〜と共に〜に〜を塗る kousi (新): [他](原因、手段)で〜に〜を塗る ousi (新): [他](人)に〜に〜を塗らせる usire (新): [他](中相)〜が〜に塗られる ciusi (新): ②[他]〜をベタベタ塗る taci (石狩): 目下合成語の構成要素として現れるが、今後単独でも用いる。: [他](場所)で〜をベタベタ塗る etaci (新): [他]〜に〜をベタベタ塗る kotaci (石狩): [他]〜と共に〜をベタベタ塗る kotaci (新): [他](原因、手段)で〜を塗る otaci (新): [他](人)に〜をベタベタ塗らせる tacire (新): [他](中相)〜が〜にベタベタ塗られる cikotaci (石

狩)

ぬるい [自](水が)ぬるくなる、ぬるい *tuwar* (石狩): [他](場所)でぬるくなる、ぬるい *etuwar* (新): [他]〜と共にぬるくなる、ぬるい *kotuwar* (新): [他](原因、手段)でぬるくなる、ぬるい *otuwar* (新): [他]〜をぬるくする *tuwarka* (石狩)、[他] *tuware* (新)

ぬれる(濡れる) ①(程度に関わらず)[自]濡れる、濡れている *teyne* (石狩): [他](場所)で濡れる、濡れている *eteyne* (新): [他]〜と共に濡れる、濡れている *koteyne* (新): [他](原因、手段)で濡れる、濡れている *oteyne* (新): [自]充分濡れる、濡れている *teyneno* (*teynenu*) (新): [自]すっかり濡れる、濡れている *oatteyne* (*atteyne*) (新): [自]ひどく濡れる *toykoteyne* (新): ②[自]ずぶ濡れになる、ずぶ濡れである *pétacirir* (新): [自]頭からずぶ濡れになる、ずぶ濡れである *epetacirir* (石狩): [自](水から上げたばかりで)濡れている *epekocirir* (天塩): ③[自]ぐしょ濡れになる、ぐしょ濡れである *péposo* (石狩): ④[自]半分濡れる、濡れている *ruteyne* (石狩): ⑤(動物の生皮に関して)[自]濡れている *petcine* (石狩)、[自] *petne* (石狩)

ね(根) (植物)[名]根 *sinrit*-(*ci*) (石狩): [名]木の根 *nisinrit* (石狩): [名]草の根 *muysinrit* (石狩): [名]地上に出た根 *cinkew*(*e*) (天塩)

ネイカ(寧夏) [場名](中華人民共和国の自治区名)寧夏回族自治区 *Ninsia-huykursieyayetunusiwor* (新): (歴史)[場名](中華民国の省名)寧夏 *Ninsiya-purovince* (新)

ねいき(寝息) [自]寝息をたてる *mokorhesere* (石狩)

ネイビス [場名](地名)ネイビス島 *Neyvis-poysir* (新)※(小アンティル諸島に位置するセントクリストファー・ネイビス連邦領の島)

ねいろ(音色) [名]音色 *haw*-(*e*) (石狩): (表現)〜の音色が良い ~ *hawe pirka* (新): (表現)〜の音色が悪い ~ *hawe wen* (新): [自](ムックルの)音色が悪い *torosse* (石狩)

ネオジウム (化学)[名]ネオジウム *néodimium* (新)※(原子番号60番。元素記号 *Nd*)

ネオトウチス (魚介)[名](スルメイカ亜目)ネオトウチス科 *neoteutis-apa* (新): [名]ネオトウチス属 *neoteutis-cise* (新): [名]カワリイカ *tuporoakamkor-epetpetke* (新): [名]アルロテウチス属 *aruroteutis-cise* (新): [名]マルヒレナンキョクイカ

epuyneraipkor-koypokunepetpetke (新)

ネオロミキア (動物)[名](ヒナコウモリ科)ネオロミキア属 *afrikakapap-cise* (新): [名]ネオロミキア・カペンシス *kápeun-afrikakapap* (新): [名]N. グイネーンシス *pónafrikakapap* (新): [名]N. ズルエンシス *zuruun-afrikakapap* (新): [名]N. ソマリクス *somariyaun-afrikakapap* (新): [名]N. テヌイピンニス *rapuretar-afrikakapap* (新): [名]N. フラベスケンス *sikerpepeus-afrikakapap* (新): [名]N. ブルンネウス *kunneuparus-afrikakapap* (新): [名]N. ヘリオス *herios-afrikakapap* (新): [名]N. マトロカ *madagaśikaraun-afrikakapap* (新): [名]N. マラガシエンシス *isaroun-afrikakapap* (新): [名]N. メルッコルム *merku-afrikakapap* (新): [名]N. レンダリ *render-afrikakapap* (新): [名]N. ロセベアリ *liberiaun-afrikakapap* (新): [名]N. ロベルツイ *robertu-afrikakapap* (新): [名]バナナアブラコウモリ *bananani-afrikakapap* (新)

ネオン (化学)[名]ネオン *néon* (新)※(原子番号10番。元素記号 *Ne*)

ねかせる(寝かせる) ①(横たえる意味で)[他]〜を寝かせる *hotkere* (石狩): ②(眠らせる意味で)[他]〜を寝かせる *mokore* (石狩)

ねぎらう(労う) [自]人を労う *iramye* (石狩): 労いの言葉 *iramye itak* (石狩): [連他] *ramu-ye* (*ram-ye*) (石狩): (表現)私は彼を労う *ramu=ku=ye* (石狩): (表現)私は君を労う *e=ram=ku=ye* (石狩): [自]労い合う *uramye* (新)

ねぎる(値切る) [自]値切る *atay-hawkereyar* (*atay-hawkekayar*) (新): [他]〜を値切る *ataye-hawkereyar* (*ataye-hawkekayar*) (新)

ネコ(猫) ①(動物)[場名](哺乳綱)ネコ目 *mékot-kotan* (新)※(食肉目とも): [場名]ネコ亜目 *mékot-mokotan* (新)※(裂脚亜目とも): [名]ネコ科 *mékot-apa* (新): [名]ネコ亜科 *mékot-moapa* (新): [名]ネコ属 *mékot-cise* (新): [名]クロアシネコ *ureasamakunne-mekot* (新): [名]ジャングルキャット *jungurorun-mekot* (新): [名]スナネコ *otakaun-mekot* (新): [名]ヤマネコ *yayreska-mekot* (新): 亜種 [名]イエネコ *cireskamekot* (新): [名]ハイイロネコ *manaus-yayreskamekot* (新): [名]ヨーロッパヤマネコ *europaun-yayreskamekot* (新): [名]リビアヤマネコ *afrikaun-yayreskamekot* (新)※(別名「アフ

リカヤマネコ」): [名]アジアゴールデンキ
ャット属 *aziaun-konkanimekot* (新):
[名]アフリカゴールデンキャット属
afrikaun-konkanimekot-cise (新): [名]ア
ンデスネコ属 *andesuntukuci-cise* (新):
[名]オオヤマネコ属 *tukci-cise* (新): [名]
オセロット属 *okerot-cise* (新): [名]カラ
カル属 *karakar-cise* (新): [名]サパール
属 *servar-cise* (新): [名]チーター属
sikemakosnep-cise (新): [名]ピューマ属
púma-cise (新): [名]ベンガルヤマネコ属
kimunmekot-cise (新): [名]マヌルネコ属
mongoruntukci-cise (新): [名]ヒョウ亜科
sicape-moapa (新): [名]オビリンサン科
mékotsaha-apa (新): [名]キノボリジャコ
ウネコ科 *mékotmatkarku-apa* (新):
[名]ジャコウネコ科 *omawkusmekot-apa*
(新): [名]ハイエナ科 *hiena-apa* (新):
[名]マダガスカルマンゲース科
madagašíkaraun-manguste-apa (新):
[名]マンゲース科 *manguste-apa* (新):
[場名]イヌ亜目 *seta-mokotan* (新): ②
[名](特にイエネコ類の総称としての)ネコ
mékot (石狩)、[名] *cápe* (H)、[名]
kosuku (千島): ③(関連語彙)[間投](猫の
鳴き声)ニャー *yaw* (H)、[間投] *niaw*
(新)、[間投] *miaw* (新): [自]ニャーと鳴
く *yawse* (新)、[自] *niawse* (新)、[自]
miawse (新)

ねこそぎ(根こそぎ) [副] 根こそぎに
osiritturano (石狩): 「…二つの神風、三
つの神風が吹き…折れたくない木は根こそ
ぎに皆傾いて行き…」 “…*tu kamuymaw re*
kamuymaw cihoyupure…u kay kopan pe
osiritturano ukomewke wa paye…” (杉村キ
ナラブック)神謡

ねごと(寝言) [自]寝言を言う *mokoritakte*
(石狩)

ネコメアマガエル(猫目雨蛙) (動物)[名](アマガ
エル科)ネコメアマガエル亜科
mékotsikkor-kokekokep-moapa (新):
[名]ネコメガエル属 *mékotsikkor-*
kokekokep-cise (新): [名]アカメアマガ
エル属 *sikihurekokekokep-cise* (新): [名]
クルジオヒュラ属 *kuruziohira-cise* (新):
[名]ヒュロマンティス属 *hiromantis-cise*
(新): [名]ファスマヒュラ属 *fasmahira-*
cise (新): [名]フトアマガエル属
kámuskokekokep-cise (新): [名]フリノメ
ドゥサ属 *furinomedusa-cise* (新)

ねじ(螺子) [名]ねじ *cinoyep* (新): (表現)
ねじが回る *cinoyep cinoye (cikari)* (新)、
(表現) *cinoyep sinoye (cikari)* (新): (表
現)ねじが回らない *cinoyep somo cinoye*

(*cikari*) (新)、(表現) *cinoyep somo sinoye*
(*sikari*) (新): (表現)ねじを回す
cinoyep noye (kari) (新語): (表現)ねじ
を締める *cinoyep yupkeka (yupkere)*
(新): (表現)ねじを緩める *cinoyep*
sawreka (sawrere) (新): (表現)ねじで
を(場所)に止める *cinoyepo ani ~ ~ usi*
(新): [他]~を(場所)にねじよ止める
cinoyepousi (新): [名]ビス、小ねじ
cinoyepo (新): [名]タッピングねじ
cinoyesikay (新): [名]ボルト、雄ねじ
pinnecinoyep (新): [名]ナット、雌ねじ
matnecinoyep (新): [名]ワッシャー、座金
cinoyepso (新)、[名] *wáser* (新)

ねじきる(振じ切る) (表現)~を振じ切る
noye wa tuye (複数 *noypa wa tuypa*) (新)

ねしょうが(根生姜) [名]根生姜 *sinritcioga*
(*sinritcoga*) (新)、[名] *hoe-sioga (cioe-)*
(新)、[名] *sinrite-sioga (cisinricie-)* (新)

ねしょうべん(寝小便) [自]寝小便する
awokuyma (awokoyma) (石狩)、[自]
yaykookuyma (天塩)

ねじる(振る) [他]~を振る *noye* (複数
noypa) (石狩): [他](場所)で~を振る
enoye (複数 *enoypa*) (新): [他]~と共に
~を振る *konoye* (複数 *konoypa*) (新):
[他](原因、手段)で~を振る *onoye* (複数
onoypa) (新): [他](表現)に~を振らせる
noyere (複数 *noypare*) (石狩): [他]自分
で、一人で~を振る *yaykonoye* (複数
noypa) (新): [他]皆で、互いに~を振る
ukonoye (複数 *ukonoypa*) (新): [他]ひど
く~を振る *toykonoye* (複数 *toykonoypa*)
(新): [他]~の先端をを振る *enoye* (複数
enoypa) (新): [他]~の末尾を振る
onoye (複数 *onoypa*) (新)

ネジレギ(牛筋藤) (植物)[名](クワ科)マレーシア
属 *cinoyeni-cise* (新): [名]ネジレギの茎
cinoyeni (新)、[名]その果実 *cinoyeni-*
kaop (新)※(漢方薬「牛筋果」)

ねじれる(振れる) (表現)振れる *cinoye sir(i)*
(新): [自]振れる *noyke* (石狩)、[自]
sinoye (新): 「…彼は目も振れ、口も振れ
た恐ろしい人だから…」 “…*sikihi ka noyke,*
paro ka noyke ay=sitoma-sitoma aynu ne
kusu…” (杉村キナラブック)説話: [他](場所)
で振れる *enoyke* (新): [他]~と共に振
れる *konoyke* (新): [他](原因、手段)で
振れる *onoyke* (新): [自]瞬間的に振れ
る *noytek* (新): [自]振れ合う *unoye*
(新): [他]~が振れる *cinoye* (新): [自]
~の先が振れる *enoyke* (新): [自]~の
末尾が振れる *onoyke* (新)

ネズミ(鼠) (関連語彙)[名]鼠の穴 *érumsuy*

(石狩)

ネズミイルカ(鼠海豚) (動物)[名](マイルカ上科)ネズミイルカ科 tuwayuk-apa (新): [名]ネズミイルカ属 tuwayuk-cise (新): [名]ネズミイルカ tuwayuk (胆振、日高)、[名] tuwayyuk (胆振、日高): [名]コガシラネズミイルカ epontuwayuk (新): [名]コハリイルカ burmeister-tuwayuk (burmeistettuwayuk) (新): [名]メガネイルカ sikpoko-rtannu (sikpokottannu) (新): [名]イシイルカ属 isirkiotuwayuk-cise (新): [名]スナメリ属 sunameri-cise (新)

ネズミキツネザル(鼠狐猿)(動物)[名](コビトキツネザル科)ネズミキツネザル属 érumsumarisaru (新): [名]グッドマンネズミキツネザル gutman-erumsumarisaru (新): [名]グレイブラウンネズミキツネザル manauscairone-erumsumarisaru (新): [名]クレイアーネズミキツネザル nósibeun-erumsumarisaru (新): [名]ゴールデンブラウンネズミキツネザル konkanicairone-erumsumarisaru (新): [名]サンビラノネズミキツネザル sambiranoun-erumsumarisaru (新): [名]シモンネズミキツネザル simmon-erumsumarisaru (新): [名]ジョリーネズミキツネザル jóri-erumsumarisaru (新): [名]ノーザンルーファスネズミキツネザル tavaratra-erumsumarisaru (新)※(タヴァラトラ鼠狐猿): [名]バースネズミキツネザル berte-erumsumarisaru (新): [名]ハイロショウネズミキツネザル manaus-erumsumarisaru (新): [名]ピグミーネズミキツネザル moerumsumarisaru (新): [名]ブラウンショウネズミキツネザル cáirone-erumsumarisaru (新): [名]マックアーサーネズミキツネザル mákartur-erumsumarisaru (新): [名]ミッターマイヤーネズミキツネザル mittermeier-erumsumarisaru (新)

ねたむ(妬む) [自]人を妬む ikeske (新): [他]～を妬む keske (石狩): 「以前私はお前を妬んであはしていじめたんだよ。」 “Teeta e=keske=an kusu ene e=koyki=an na .”: [他](場所)で～を妬む ekeske (新): [他]～と共に～を妬む kokeske (新): [他](原因、手段)で～を妬む、～に関して～を妬む okeske (新): [他](人)に～を妬ませる keskere (新): [他]自分で、一人で～を妬む yaykokeske (新): [他]皆で～を妬む ukokeske (新): [自]妬み合う、皆を妬む ukeske (新): [他]～を妬みに妬む keskeske (石狩): [他]人に～

を妬ませる keskeyar (新): [自]自分を妬ませる sikeskeyar (新)

ねだやし(根絶やし) [他]～を根絶やしにする oarokere (arokere) (新): (表現)～を根絶やしにしよう ～ oarokere (arokere) wa oarisam (新)、(表現) ～ oarokere (arokere) wa isam (新): [他](場所)で～を根絶やしにする eoarokere (earokere) (新): [他]～と共に～を根絶やしにする kooarokere (koarokere) (新): [他](原因、手段)で～を根絶やしにする ooarokere (oarokere) (新): [他](人)に～を根絶やしにさせる oarokerere (arokerere) (新): [他]思い切り～を根絶やしにする toykooarokere (toykoarokere) (新): [他]人に～を根絶やしにさせる、根絶やしにしてもらう oarokereyar (arokereyar) (新)

ねだん(値段) [名]値段 atay(-e) (石狩、天塩): (表現)～の値段が高くなる、高い ～ ataye yupke (石狩)、(表現) ～ ataye pirka (石狩): (表現)～の値段が安くなる、安い ～ ataye hawke (石狩)、(表現) ～ ataye wen (石狩): (表現)～の値段を決める ～ ataye urenkare (新): [自]物に値段を付ける iataykore (新): [他]～に値段を付ける ataykore (新): [他](人)に～の値段を付けさせる ataykorere (新)

ねつがある(熱がある) [名]熱 sesek (石狩): [自]熱が出る、熱を持つ、熱がある sesek (石狩)

ネッカしょう(熱河省) [場名](中華人民共和国にあった省名)熱河省 Réhe-purovince (新)※(1928-55)

ねっき(熱気) [名]熱気 sésekma(-e) (新)

ねっすい(熱水) [名]熱水 sesekwakka (石狩): [場名]熱水鉱床 sesekwakkakanisumaso (新)、[場名]sesekwakkakanisumaoy (新)

ねっする(熱する) [自]物を熱する isesekka (新): [他]～で物を熱する oisesekka (新): [他]～を熱する sesekka (石狩): [他](場所)で～を熱する esesekka (新): [他]～と共に～を熱する kosesekka (新): [他](原因、手段)で～を熱する osesekka (新): [他]充分～を熱する seseknore (seseknure) (新): [他]完全に～を熱する oassesekka (assesekka) (新): [他](中相)～が熱される cisesekka (新)

ねったい(熱帯) [名]熱帯 sissesek-sisso (sirssek-sirso) (新)

ねっちゅう(熱中) [自]物事に熱中する ikoaresirus (新): [他]～に熱中する koaresirus (石狩): [他](人)を～に没頭させる koaresirusi (新): [他]自分で、一人

で〜に熱中する yaykoaresirus (新):
 [他]皆で、互いに〜に熱中する ukoaresirus
 (新): [他]すっかり〜に熱中する
 oarkoaresirus (arkoaresirus) (新): [他]
 ひどく〜に熱中する raykoaresirus (新):
 [他]人に〜に熱中させる koaresirusyar
 (新): [自]人に自分に熱中させる
 sikoaresirusyar (新)

ねどこ(寢床) [名]寢床 hotkeusi (石狩):
 (表現)寢床 otta hotke us hi (石狩): [名]
 寢床 sotki (石狩): 知里氏の地名アイヌ
 語小辞典によれば、山ではクマなどの多くい
 る地帯、沖ではカジキマグロの多くいる地帯
 をこう呼んだという。(表現)(雅)寢床につ
 いている sotki or oma wa an (複数 okay)
 (沙流より): (表現)(雅)寢床の上 sotki
 ka(長形-si、-sike) (沙流): (表現)(雅)寢床
 の上に〜を寝かせ置く sotki kurka ~
 eanukar (沙流): [自]寢床を設える
 sókar (石狩): [他](場所)に寢床を設える
 esokar (石狩): 「…彼は私のそばに来て、
 私はそこに寢床を設えたものだから、そこに
 彼は横になり…」 “… i =sam ta ek ine
 an=esókar pe ne kusu oro ta hotke…” (杉村
 キナラブク)神謡: [他](人)に寢床を設えさ
 せる sókare (新)

ネネツ [場名](ロシア連邦北西連邦管区の構成
 主体名)ネネツ自治管区 Neneṭ-
 sieyayetunusiwor (新)※(アルハンゲリ
 スク州に属す。首府は「ナリヤン・マル」): [名]
 ネネツ人 neneṭkur (新): [名]ネネツ語
 neneṭkuritak (新)※(ウラル語族サモエ
 ド語派の言語)

ネバ [名](地名)ネバ川 Néva-pet (新)※(ロ
 シア連邦領を流れバルト海に注ぐ川)

ネパール [場名](国名)ネパール王国 Nepar
 Yaykomosirkorkurkormosir (新)※(首都は
 「カトマンズ」): [場名](国名の通称として)
 ネパール Nepar (新): [名]ネパール人、
 国民 neparunkur (新): [名]ネパール語
 neparunkuritak (新)

ネバダ [場名](アメリカ合衆国の州名)ネヴァ
 ダ州 Nevada-mosir (新)※(州都は「カーソ
 ンシティ」)

ねばならない [助動]〜(せ)ねばならない
 kuni (石狩)、[助動] yakeas (石狩): 「私
 はこれを明日までに仕上げねばならない。」
 “ Nisatta pakno tampe ku=karokere
 yakeas . ”

ねびき(値引き) [自]値引きする
 atayhawkere (atayhawkeka) (新): [他]
 〜を値引きする atayehawkere
 (atayhawkeka) (新): [自]値引きさせる
 atayhawkereyar (atayhawkekayar) (新):

[他]〜を値引きさせる atayehawkereyar
 (atayhawkekayar) (新): [自](人)に値引
 き さ せ る atayhawkerere
 (atayhawkekare) (新): [他](人)に〜を値
 引 き さ せ る ataye-hawkerere
 (atayehawkekare) (新)

ネピドー [場名](ミャンマー連邦の首都名)ネ
 ピドー naypitaw (新)

ネプツニウム (化学)[名]ネプツニウム
 neptunium (新)※(原子番号93番。元素記
 号 Np)

ネフド [名]ネフド砂漠 Nefudo-otaatuy
 (新)

ねぶと(根太) [名]根太、尋常性毛瘡 ietu (屈
 斜路)、[名] yéetu (新)

ネフライト (鉱物)[名]ネフライト niste-
 siwnimpoina (新)

ネブラスカ [場名](アメリカ合衆国の州名)ネブ
 ラスカ州 Néburaska-mosir (新)※(州都
 は「リンカーン」)

ネヘミヤ (聖書)[名](人名)ネヘミヤ
 Nehemia (新): [名]ネヘミヤ記
 Nehemia-kampisos (新)

ネマガリダケ(根曲竹) →「チシマザサ(千島
 笹)」、「エゾネマガリ(蝦夷根曲)」を見よ

ねまき(寝間着) (表現)寝間着 hotke kosonte
 (石狩)

ねむる(眠る) [自]眠る mokor (石狩): (表
 現)眠りもせずにいる mokor ka somo ki no
 an (複数 okay) (石狩): [他](場所)で眠る
 emokor (新): [他]〜と眠る komokor
 (石狩): 「…彼女と眠る心地が悪ければ悪い
 怪物であるのが分かるのである…」 “…
 an=komokor humi wen wa yakne
 wenkamiasi ne i an=eraman pe ne…” (杉
 村キナラブク)婦女詞曲: [他](原因、手段)で
 眠る omokor (新): [他](人)を眠らせる
 mokore (石狩): [自]自分で、一人で眠る
 yaykomokor (新): [自]皆で、共に眠る
 ukomokor (新): [自]一瞬で眠る
 mokottek (新): [自]眠らずにいる
 mónak (石狩): [自]眠たい mokonrusuy
 (石狩): (表現)眠たい mokor rusuy (石
 狩): [自]眠ったふりをする simokore
 (石狩): [自]眠りが早い mokorkotunas
 (新): (表現) mokor tunas (新): [自]眠
 りが遅い mokorkomoyre (新): (表現)
 mokor moyre (新): [自]眠り足りない
 mokorehayta (新): [自]充分眠る
 mokonno (石狩): [自]爆睡する
 mokonrui (石狩): [自]眠り過ぎる
 mokorkasuy (新): [自]眠り死にする
 mokorekot (H): 「眠ったまま安らかに死
 ぬ」のではなく、「あまり長い間眠っていると

眠り疲れて死ぬ」という意味であるという。:
 [自]眠りながら泣く mokorkocis (幌別):
 (表現)眠りながら泣く mokor kane (kor)
 cis (新): [自](赤子が)夜にいつまでも眠ら
 ない iantasare (幌別): [自](赤子が)眠り
 ながら笑う ehaminare (幌別): [自](赤
 子が)眠りながら笑ったり手を動かしたりす
 る ehaturasinot (幌別): [名]僅かな眠り
 mokorkiskis(-i) (幌別): (表現)僅かな眠
 りの中に mokorkiskis ka(長形-si、-sike) ta
 (新)

ねもと(根元) [位名]根元 ous(長形-i、-ke)
 (石狩): (表現)草の根元 mun ous(長形-i、
 -ke) (石狩): (表現)木の根元 ni ous(長形
 -i、-ke) (石狩): [自]根元から倒れる
 osirkomewe (石狩)

ねや(圃) [名]圃 set (石狩)[名](雅) amset
 (石狩)、[名] so (名詞): [自]同衾する、圃
 を共にする ukoso (石狩)、[自](雅)
 ukosetorun (沙流)

ねゆき(根雪) [名]根雪 upasnito (石狩)

ねらう(狙う) ①(飛び道具を用い)[自]狙う
 inonoye (新): [他]～を狙う nonoye
 (石狩): 「…体の真中を私が狙い、それを撃
 つと…」 “… tumamnosi an=nonoye ,
 an=tukan kor…” (砂沢クラ): [他](場所)で
 ～を狙う enonoye (新): [他]～と共に～
 を狙う kononoye (新): [他](原因、手段)
 で～を狙う ononoye (新): [他](人)に～
 を狙わせる nonoyere (新): ②(何かを獲
 るため一か所に留まって)[自]狙う yoko
 (石狩): [他]～を狙う eyoko (沙流):
 [他](場所)で狙う eyoko (新): [他]～と共
 に狙う koyoko (新): [他](原因、手段)で
 待ち構える oyoko (新): [他](人)に狙わ
 せる yókore (新)

ねりぼん(練盆) [名](団子の粉を練るのに使
 う)練盆 sitonima (石狩)

ねる(寝る) ①[自](睡眠するという意味で)寝る
 mokor (石狩): (表現)寝静まった頃に、寝
 静まった最中に mokor ka(長形-si、-sike)
 ta (新)、(表現) mokor kurka(長形-si、-
 sike) ta (沙流): (表現)寝静まった頃にな
 ると mokor kurka(長形-si、-sike) an kor
 (沙流): [他](人)を寝せる mokore (石
 狩): ②[自](横になるという意味で)寝る
 hotke (石狩): [他](人)を寝せる hotkere
 (石狩): [自]体を丸めて横になる(寝る)
 yaykotaptapu (石狩): ③[自](性交する
 という意味で)寝る hotke (石狩)、[自]
 mokor (石狩)

ネルチンスク [場名](ロシア連邦シベリア連邦
 管区チタ州の都市)ネルチンスク
 Nérucinsuk (新)

ねん(年) [場名]年 pa (石狩): (表現)年月日
 pa newa cup newa to (新)、(表現) pa cup
 to (新): (表現)一年 sine pa (石狩):
 (表現)一年経って、一年経つと sine pa
 siran kor (石狩)

ねんかん(年鑑) [名]年鑑 kespakampisos
 (新)

ねんきん(年金) ①[名]年金、年金保険
 iosihosipiikor (新)、[名] iosihosipip
 (新): (表現)年金を受ける、もらう
 iosihosipiikor uk (新): (表現)年金を出す
 iosihosipiikor hosipire (新): (表現)年金を
 払う iosihosipiikor anu (新): ②[名]年
 金、無拠出年金 iosiciukikor (新)

ねんぐ(年貢) [名]年貢 tonokorikinte-kunip
 (新)、[名] tóy-atay(-e) (石狩)

ねんごろに(懇ろに) [副]懇ろに irammakaka
 (石狩)、[副] irammakakano (石狩)

ねんざ(捻挫) [自]捻挫する omeru (石狩):
 [他](人)を捻挫させる omerure (新)

ねんしょう(年長) [自]年少である poniwne
 (石狩)、[自] pon (石狩): [名]年少者
 poniwnekur (石狩): [名](誰かと比較し
 て)年少の方 poniwike (新)

ねんしょう(燃焼) [自]燃焼する uhuy (石
 狩): (表現)激しく燃焼する yupkeno
 (ruyno) uhuy (新)、(表現) uhuy ruy
 (新): [他]～を燃焼させる uhuyka (石
 狩): [他]～に～を燃焼させる uhuykare
 (新): [自]完全に燃焼する oaruhuy
 (aruhuy) (新): [自]充分に燃焼する、良
 く燃焼する uhuyno (uhuynu) (新):
 [自]ひどく燃焼する toykouhuy (新)

ねんだいき(年代記) [名]年代記
 iwampakampisos (新)、[名] xuronika
 (新)※(羅語)

ねんちょう(年長) [自]年長である páporo
 (石狩)、[自] poro (石狩): [名]年長者
 páporokur (新): [名](誰かと比較して)年
 長の方 páporoike (新)

ねんど(粘土) [名]粘土 numpenetoy (石狩)

ねんばい(年配) [自]年配である rupne (石
 狩、天塩)、[自] rukne (石狩): [名]年配
 の男性 cáca (石狩): [名]年配の女性
 rupnemat (石狩、天塩)、[名] ruknemat
 (石狩)

ねんぼう(年俸) [名]年俸 kespapuma
 (新): (表現)年俸で五百万円受け取る
 kespapuma ne asikne atuytamoikne yen uk
 (新): (表現)年俸で五百万円払う
 kespapuma ne asikne atuytamoikne yen
 kar (新)

ねんまく(粘膜) [名]粘膜 ratne-
 nanukamup(-i) (新)

ねんりん(年輪) [名]年輪 páru(we) (新):
(表現)年輪ができる、ある páruwe an
(新): (表現)年輪を刻む páruwe esinuye
(新)

ねんれい(年齢) [場名]年齢 pa (石狩)

の(2) (1)「AのB」はアイヌ語で二つの表現形式がある。: ①他動詞"kor"「～を持つ」を使って「"kor"の人称形+名詞、場所名詞の概念形」で「AのB(直訳すればAが持つB)」を表す。つまり、「Aのお金」は"A kor ikor"、「私の奥方」は"ku=kor katkemat"などである。この形式は所有する物品や親族名称の一部に使われるが、それ以外のものにも幅広く使える。尚、この形式では名詞の概念形を使うのが原則だが、「私の妻」"ku=kor maci"のように概念形の"mat"ではなく、②で述べる所属形の"maci"が使われる事がある。: ②「名詞、場所名詞、人称接辞の所有格+名詞、場所名詞の所属形」で「A+のB」を表す。所属形は概念形が"sapa"「頭」のように語尾が母音なら"sapa"「～の頭」と変化しないが、語尾が子音なら"kisar"「耳」"kisara"「～の耳」、「kem"「血」"kemi"「～の血」、「kotan"「村」"kotanu"「～の村」"haw"「声」"hawe"「～の声」、「kok"「婿」"koko"「～の婿」のように語尾に母音が付加される。「rat"「痰」のように語尾が"t"のものに"i"が続くと"raci"「～の痰」のように音韻変化が起こる。その他、"ci"「陰茎」"ciye"「～の陰茎」、「ru"「道」"ruwe"「～の道」のように特殊な変化をするものがある。また"sapa"なら"sapaha"、「kisara"なら"kisara"と所属形には二つの形があり"sapa"、「kisara"を「短形」、「sapaha"、「kisara"を「長形」と呼ぶ。この②の形式は所属や付属を意味して使われる事が多い。この形式は「頭」、「耳」といった身体や「柄」という物の部位の名称や、親族関係の一部やその他一部の名詞、場所名詞に限って使われ、他は①の形式が使われる。口承文芸などで②の形式を使うものでも、日常語では①の形式を使う傾向も見られる。但し「何の～」という表現では"nep cipi"「何の船」と通常①の形式を使うものでも②の形式が使われ、その際に所属形のないものは概念形のまま使われる。: (2)合成語の場合は ni(木)+ham(葉)→ níham 「木の葉」のように名詞、場所名詞の概念形を繋げていけば良い。: (3)位置名詞は"ka"「～の接した上」、「sam"「～の横」で、「～の」の意味を持っている。「私の接した上」と言う場合、「en=ka」と目的格の人称接辞が使われる。例えば"ka"には"kasi"、「kasike"、「kasikehe"など、位置名詞には普通幾つかの形があるが、「ka"のようなものを「短形」、他を「長形」と呼ぶ。短形は"en=ka""A

ka"のように必ず先行詞が必要なのに対して、長形はそれなしでも使える。

のう(脳) [名]脳 noype (石狩)、[名] kéronoype (石狩)

のうか(農家) [名]農家 toytakur (石狩)

のうかく(能格) (言語)[名]能格 nepkakiyrewke (新)※(何かをするもの格):
[名]能格型 nepkakiyrewkekat (新):
[名]能格言語 nepkakiyrewkekatkor-itak (新): [名]能格性 nepkakiyrewke-puri (新)

のうぎょう(農業) [名]農業 toyta (新): [自]農業を営む toyta (石狩): [他](人)に農業を営ませる toytare (新)

のうさぎょう(農作業) [名]農作業 toymonrayke (石狩): (表現)農作業する toymonrayke ki (新)

のうさくもつ(農作物) [名]農作物 tóyorumpe (石狩)

のうせん(膿栓) [名]膿栓 yésapa (沙流)、[名] hupsinrit-ci (沙流)、[名] yésikay(-e) (沙流)

のうほう(膿疱) [名]膿疱 yéop (新): [名]小膿疱 poyyeop (新): [名]ぽつんと一つだけ出た小膿疱 pópo (屈斜路)

のうみん(農民) [名]農民 toytakur (石狩)

のうりよく(能力) [名]能力 ieaskay (新): [名]言語能力 itak-easkay (新): (表現)私の能力 ku=kor ieaskay (新): [自]能力がある askay (石狩): 「この人は能力がある。」"Tankur askay .": [他]～の能力がある easkay (石狩): 「私は透視の能力がある。」"Ioposoinkar ku=easkay ."

ノースウェスト [場名](カナダの準州名)ノースウェスト準州 Noswestosiosampurovince (新)※(州都は「イエローナイフ」)

ノースカロライナ [場名](アメリカ合衆国の州名)ノースカロライナ州 Noskarorinamosir (新)※(州都は「ローリー」)

ノースダコタ [場名](アメリカ合衆国の州名)ノースダコタ州 Nosedakota-mosir (新)※(州都は「ビスマーク」)

ノート [名]ノート cikoinuyesos (新)、[名] cómen (沙流)、[名] nóte (新)※(英語)

ノーベリウム (化学)[名]ノーベリウム nóberium (新)※(原子番号102番。元素記号 No)

ノーム [名](妖精の名)ノーム nom (新)※(独語)

のき(軒) [名](建物の)軒 noki (石狩): [名]軒桁 noki-sopesni (新)

ノグルミ(野胡桃) (植物)[名](クルミ科)ノグルミ属 sísamnesko-cise (新): [名]ノグルミ

の茎 *sísamnesko* (新)、[名]その果実 *raytaninum* (新)

ノゲシ(野芥子) (植物)[名](キク科)ノゲシ属 *kunawancami-cise* (新): [名]ノゲシの茎葉 *kunawancami* (新)※(別名「ハルノゲシ」): [名]ウスジロノゲシの茎葉 *matekretar-kunawancami* (新)※(別名「カマドガエシ」): [名]オニノゲシの茎葉 *sikunawancami* (新): [名]タイワンハチジョウナの茎葉 *repun-kunawancami* (新): [名]ハチジョウナの茎葉 *pisun-kunawancami* (新)

のこぎり(鋸) [名]鋸 *noko* (石狩): (表現) ~を鋸で挽く *noko ani tuye* (複数 *tuypa*) (新)

ノコギリソウ(鋸草) (植物)[名](キク科)ノコギリソウ属 *nokonoyanit-cise* (新): [名]ノコギリソウの茎 *nokonoyanit* (新)、[名] *eretan-nokonoyanit* (新)、[名]その葉 *nokonoya* (新)、[名] *eretan-nokonoya* (新)、[名] *retannoya* (十勝)※(別名「ハゴロモソウ」、「ユウエンソウ」など。はシロヨモギと重複するので使用注意): [名]イチバノコギリソウの茎 *aigiptos-nokonoyanit* (新): [名]アカバナエゾノコギリソウの茎 *ehureyaun-nokonoyanit* (新)※(ノコギリソウの変種): [名]アカバナセイヨウノコギリソウの茎 *ehurerepun-nokonoyanit* (新)※(セイヨウノコギリソウの変種): [名]エゾノコギリソウの茎 *yaun-nokonoyanit* (新)※(別名「オオバナノコギリソウ」): [名]エダウチノコギリソウの茎 *tópen-nokonoyanit* (新)、[名]その葉 *tópen-noykonoya* (新): [名]キタノコギリソウの茎 *koyka-nokonoyanit* (新)※(ノコギリソウの変種): [名]キバナノコギリソウの茎 *esikerpepeus-nokonoyanit* (新)、[名]その葉 *esikerpepeus-nokonoya* (新): [名]ギンバノコギリソウの茎 *sirokani-nokonoyanit* (新): [名]グリークヤロウの茎 *eras-nokonoyanit* (新): [名]シベリアンヤロウの茎 *śibiriun-nokonoyanit* (新): [名]ジャコウノコギリソウの茎 *húrapirka-nokonoyanit* (新): [名]シュムシュノコギリソウの茎 *ponsirun-nokonoyanit* (新)※(ノコギリソウの変種): [名]セイヨウノコギリソウの茎 *repun-nokonoyanit* (新): [名]チャボノコギリソウの茎 *arpes-nokonoyanit* (新): [名]ノコギリソウモドキの茎 *cirepun-nokonoyanitkopa* (新): [名]ヒメノコギリソウの茎 *moesikerpepeus-nokonoyanit* (新): [名]ホソバエゾノコギリソウの茎 *kamuykotan-nokonoyanit* (新)※(エゾノコ

ギリソウの変種)

ノコギリハリアリ(鋸針蟻)(昆虫)[名](アリ科)ノコギリハリアリ亜科 *noko-kemkoritunnap-moapa* (新): [名]ノコギリハリアリ属 *noko-kemkoritunnap-cise* (新): [名]ノコギリハリアリ *noko-kemkoritunnap* (新)

のこしていく(残して行く)[他]~を残して行く、来る *hoppa* (石狩): 「負傷者を残して彼らは敗走した。」“*Piro utar hoppa wa kira .*”、「ユカラという素晴らしいものを私達の先人達が残していった。」“*Yukar sekoran pirkayke ci=kor sinrit utar hoppa .*”: [他](場所)に~を残して行く、来る *kohoppa* (石狩): [他]~と共に残して行かせる、来させる *kohoppa* (新): [他](原因、手段)で~を残して行く、来る *ohoppa* (新): [他](人)に~を残して行かせる、来させる *hoppare* (新): [他]人に~を残して行ってもら、来てもらう *hoppayar* (新): [自]人に自分を残して行ってもら *sihoppayar* (新)

のこしておく(残しておく)[他]~を残しておく *ama* (石狩)、[他] *anu* (石狩): 「私はギョウジャニンニクを採っても、ヒシの実を採っても、少しはいつも残しておく。」“*Kito ku=kar yakka , pekampe ku=uk yakka ponno ne yakka ramma ku=ama .*”: [他](場所)に~を残しておく *eama* (石狩)、[他] *eanu* (新): [他]~と共に~を残しておく *koama* (新)、[他] *koanu* (新): [他](原因、手段)で~を残しておく *oama* (新)、[他] *oanu* (新): [他](人)に~を残しておかせる *amare* (新)、[他] *anure* (新): [他](人)に~を残しておかせる *amayar* (新)、[他] *anuyar* (新)

のこす(残す) ①(人を留める事)[他]~を残す *osiromare* (新): [他](場所)に~を残す *eosiromare* (新): [他]~と共に~を残す *koosiromare* (新): [他](原因、手段)で~を残す *oosiromare* (新): [他](人)に~を残らせる *osiromarere* (新): ②(人や物を何処かに置いていく事)[他]~を残す *hoppa* (石狩): [他](場所)に(人)を残す *ehoppa* (新)、[他] *kohoppa* (石狩): [他]~と共に~を残す *kohoppa* (新): [他](原因、手段)で~を残す *ohoppa* (新): [他](人)に~を残らせる *hoppare* (新): ③(保存する事)[他]~を残す *anu* (石狩)、[他] *ama* (石狩): [他](人)に~を残させる *anure* (新)、[他] *amare* (新): ④(余らせる事)[他]~を残す *kasma* (石狩、天塩): “*kasma*”は“*ikasma*”の構成要素として、また“*ekasma*”は“*an=ekasma*”という分詞の形で

のみ確認されるが、今後は単独で用いるものとする。： [他](人)に～を残させる kasmare (新)： [他]人に～を残してもらう kasmayar (新)： ⑤(表現)(敵を滅多切りにするなどして肉を全て削ぎ)ただ～の背骨のみを…が残す heru motoci heru ikkewe … koniwkeskar (沙流)

ノコバウナギ(鋸齒鰻) (魚介)[名](アナゴ亜目) ノコバウナギ科 nokonimaki-tanneipe-apa (新)： [名]ノコバウナギ属 nokonimaki-tanneipe-cise (新)： [名]ノコバウナギ nokonimaki-tanneipe (新)： [名]ヒメノコバウナギ属 monokonimaki-tanneipe-cise (新)： [名]ヒメノコバウナギ monokonimaki-tanneipe (新)

のこる(残る) ①(人が留まる事)[自]残る osiroma (石狩)： [他](場所)に残る eosiroma (新)： [他]～と共に残る koosiroma (新)： [他](原因、手段)で残る oosiroma (新)： ②(保存されて)[自]残る sianu (新)、[自] siama (新)： ③(誰か、あるいは何かを分けて)[自]残る ikasma (石狩)： [他](場所)に残る eikasma (新)： [他]～と共に残る koikasma (新)： [他](原因、手段)で残る oikasma (新)

のせる(載せる、乗せる) ①[他]～を載せる ama (石狩)、[他] anu (石狩)： (表現)上に～を載せる uka ta ama (anu) (石狩)、(表現)～の上に～を載せる ka (長形-si、-sike) ta ama (石狩)、(表現) ka (長形-si、-sike) ta anu (新)： [他](場所)に載せる eama (石狩)、[他] eama (新)： [他](場所)に～を載せる o (石狩)： [他]～と共に～を載せる koama (koanu) (新)： [他](原因、手段)で～を載せる oama (oanu) (新)： ②[他]雑誌などに～を載せる io (新)： [他](雑誌など)に～を載せる o (新)： ③[他](乗り物)に～を乗せる、載せる ore (新)： [他]人に～を乗せてもらう、載せてもらう oyar (新)： [他]～に乗せてもらう sioyar (新)

のぞき(覗き) ①[自]覗きをする sikoikka (新)※(目で盗む)： [他](人)に覗きをする esikoikka (新)： [他](場所)で覗きをする esikoikka (新)： [他]～と共に覗きをする kosikoikka (新)： [他](原因、手段)で覗きをする osikoikka (新)： [他](人)に覗きをさせる sikoikkare (新)： ②(行為)[名]覗き sikoikka (新)： (表現)覗き行為 sikoikka puri (新)： ③(人)[名]覗き、覗きをする奴 sikoikkap (新)： [名]覗きをする男性 sikoikkakur (新)： (表現)覗きをする男 sikoikka okkayo (新)： [名]覗きをする女性 sikoikkamat (新)： (表現)覗

きをする女 sikoikka menoko (新)

のぞく(除く) ①(除外する事)[後副]～を除く、除いて emosma (石狩)： (表現)～を除く、～を除いた emosma an (複数 okay) (石狩)： 「私を除く全員が行った。」

“En=emosma okay utar opitta paye.”：

②(除去、排除する事)[他]～を除く、取り除く uk (複数 uyna) (石狩)： [他]～から～を除く kouk (複数 kouyna) (新)： [他](人)に～を除かせる ukte (複数 uynare) (新)

のぞく(覗く) [自]覗く hehewpa (石狩)、[自] awoinkar (天塩)： [他](人)に覗かせる hehewpare (新)、[他] awoinkare (新)： [他]～を覗く otanu (石狩)： [他](人)に～を覗かせる otanure (新)

のぞむ(望む) ①[他]～を望む rusuy (石狩)： 「…オタストUNKルが私を罵りながら外へ私を投げ捨て、それを私は望んでいたのて逃げて来ていた…」 “…Otasutunkur i =weyyekar kor eson i =osura, néampe an=rusuy kusu kira=an ine arki=an oka=an…” (杉村キナラブック)神謡、「…私の望みが怠ける事なので…」 “…an=rusuy pe toranne ne kusu…” (杉村キナラブック)神謡： [助動]～(する事)を望む rusuy (石狩、天塩)： 直前の動詞と結合し、“mokonrusy”などの合成詞を形成する事がよくある。動詞の後に副助詞 “ka”を用いる構文の場合、“Ku=oman ka ki rusuy.”のように代動詞として “ki”を用いる。： 「私はアイヌであるから何事もなさずして死ぬ事など望みもしない。それより私は死ぬまで何事かに励んで生きる事を望む。

“Aynu ku=ne kusu nepka oroysam no ku=ray rusuy ka somo ki. Akkari ku=ray pakno nepka ku=koarikiki wa ku=siknu rusuy.”： ②[名]望み irenka (石狩)： [名]望み、したい事 cikirusuype (新)： [名]望み、なしたい事、作りたい物 cikanrusuype (新)： [名]望み、欲しい物 cikonrusuype (新)

ノダイオウ(野大黃) (植物)[名](ダイオウ属)ノダイオウの莖葉 sunapa (天塩)： [名]ダイオウの根 ummasukkakep (礼文華)

のちにわかる(後に分かる) [助動]後に分かる、後になって知る awan (石狩)： 「去年、あの方の奥様だと後になって分かった女性と初めて私は会いました。」 “Hoskiampa taan nispa kor katkemat ne awan menoko easir ku=nukar ruwe ne.”

のだ(咽喉) ①[名]咽喉 rekut(-ci) (石狩)： (表現)～の咽喉が渴く ～ rekuci sat (石狩)、(表現) ～ kuttomo sat (sattek) (沙流)： (表現)～の咽喉がからからに乾く ～ rekuci satsatke (石狩)： (表現)～の咽喉が

渴いてビリビリする ～ rekuci pisiske (八雲): (表現)～の咽喉が鳴る ～ rekuci kayayse (石狩): [名](合成語の構成要素として)咽喉 kut(-ci) (石狩): ②[名]咽喉元、咽喉の入口 kutpar(-o) (石狩)、[名] kutcar(-o) (釧路): (表現)(呼吸により)咽喉元がヒクヒク動く kutpar(-o) toksetokse (石狩): ③[場名]咽喉の中 kuttom(-o) (石狩): ④[場名]咽喉のあたり kutcam(-a) (石狩): ⑤[名](クマの)咽喉の軟骨 rekpone (石狩)

のどちんこ(咽喉ちんこ) [名]のどちんこ pomparumpe (石狩)、[名] pónaw(-e) (天塩)

のどぼとけ(咽喉仏) [名]咽喉仏 korkori (石狩)、[名] sewrisapa (沙流)、[名] sawrikutunin(-i) (美幌)

ののしる(罵る) [自]人を罵る ipawre (石狩)、[自] ikopasirota (ikopasrota) (石狩): [他]～を罵る pawre (石狩)、[他] kopasirota (kopasrota) (石狩): [他](人)に～を罵らせる pawrere (新)、[他] kopasirotare (kopasrotare) (新): [自]自分を罵る yaypawre (新)、[自] yaykopasirota (yaykopasrota) (新): [自]罵り合う upawre (新)、[自] ukopasirota (ukopasrota) (新): [他]ひどく～を罵る toykopawre (新)、[他] toykopasirota (toykopasrota) (新): [他]～を罵りまくる kopasirotapa (kopasrotappa) (石狩): [他]人に～を罵らせる pawreyar (新)、[他] kopasirotayar (koppasrotayar) (新): [自]人に自分を罵らせる sipawreyar (新)、[自] sikopasirotayar (sikopasrotayar) (新)

のばす(伸びす、延ばす) ①(短いものに関して)[他]～を伸ばす tanneka (石狩)、[他] tannere (新): ②(成長に関して)[他](人が髭、あるいは植物が地面から芽などを伸ばす tukka (石狩): [他](生物の生長に関して)～を伸ばす sukupte (新): ③(紐や綱などにに関して)[他]～を伸ばす、延ばす turi (石狩): [他](場所)へと～を伸ばす eturi (新): [他]～をうんと伸ばす turiri (石狩): [他](場所)へと～をうんと伸ばす eturiri (石狩): ④(撓んでいるものやたくし上げた裾などに関して)[他]～をパッと(弾け)伸ばす epittekka (石狩): ⑤(時間に関して)[他]～を延ばす ohore (新)

ノバスコシア [場名](カナダの州名)ノバスコシア州 Novasukotia-purovince (新)※(州都は「ハリファックス」)

のはら(野原) [名]野原 nup (石狩)、[場名] nupka (石狩): [名]山の中の野原

katamsar (石狩)

ノバラ(野薔薇) (植物)①[名](野に生えているバラ属の植物を漠然と指し)野バラ nupmawni (新): [名]野バラの花 nupmawni-apappo (新): ②バラ属の植物「ノイバラ」の別名 → 「ノイバラ(野茨)」を見よ

のび(野火) [名]野火 núpuhuy (新)、[名] síruhuy (石狩): [0動]野火が出る síruhuy (石狩): (表現)野火が出る nupuhuy (石狩)

のびさかえる(伸び栄える) [自]伸び栄える sirutu (石狩): 「…同族と共に穏やかな生活が伸び栄える様子を私は見ると…」 “…utari turano ratcisukup sirutu sirku=nukar ike…” (砂沢トゥアカンノ)祈詞

のびひろがる(伸び広がる) [自](平面的に)ずっと伸び広がる tesnatara (石狩): 「…金の炉縁金の床敷が敷かれる様はずっと伸び広がり…」 “…kani-inumpe u kani-sokkar oman ru konna tesnatara…” (杉村キナラブク)神謡

のびる(伸びる、延びる) ①(短いものに関して)[自]伸びる、伸びている tanne (石狩): ②(成長に関して)[他](髭、あるいは植物が地面から芽など)伸びる tuk (石狩): [他](生物の生長に関して)伸びる sukup (石狩): ③(紐や綱や何かの発展などに関して)[自]伸びる、延びる situri (石狩): [他](場所)へと伸びる esituri (新): [他]うんと伸びる situriri (新): [他](場所)へとうんと伸びる esituriri (新): ④(撓んでいるものやたくし上げた裾などに関して)[自]パッと(弾け)伸びる siepittekka (新): ⑤(時間に関して)[自]延びる ohor (沙流)

のびをする(伸びをする) [自](眠りから覚め)伸びをする yayturiri (幌別)

ノブキ(野路) (植物)[名](キク科)ノブキ属 oynamatkina-cise (新): [名]ノブキの茎葉 oynamatkina (幌別): [名]ノブキの瘦果 oynamat (浦河)

ノブゴロド [場名](ロシア連邦北西連邦管区の構成主体名)ノブゴロド州 Nývugorodopurovince (新): [場名](ノブゴロド州の州都名)ノブゴロド Nývugorodo (新): (歴史)[場名](国名)ノブゴロド公国 Nývugorodo Dúkekormosir (新)、[場名] Nývugorodo Ukotankoremosir (新)※(12世紀-1478年)

のべおくり(野辺送り) [他]～を野辺送りする munnuwe (石狩): (表現)死者を野辺送りする araysir munnuwe (新)

ノボクズネツク [場名](ロシア連邦シベリア連

邦管区ケメロヴォ州の都市名)ノボクズネツク Novokuznetuk (新)※(1622-1939年「クズネツク」、1939-61年「スタリンスク」)

ノボシビルスク [場名](ロシア連邦シベリア連邦管区の構成主体名)ノボシビルスク州 Novošibirsuk-purovince (新): [場名](シベリア連邦管区の本部、ノヴォシビルスク州の州都名)ノボシビルスク Novošibirsuk (新)※(1925まで「ノボニコラエフスク」): ②[場名](地名)ノヴォシビルスク諸島 Novošibirsuk-usapoysir (新)※(ロシア連邦極東連邦管区サハ共和国に属する北極海の島々)

のぼる(上る、昇る、登る)①[自](高い所へ)上る、昇る、登る rikin(複数 rikip)(石狩): (表現)上に～を上る erikasi rikin(複数 rikip)(石狩)、(表現)rik ta rikin(複数 rikip)(石狩): [他](場所)に上る erikin(複数形 erikip)(石狩)、[他] korikin(複数 korikip)(石狩): [他]～と共に上る erikin(複数 erikip)(新)、[他] korikin(複数 korikip)(新): [他](供物などが天の神)に上る orikin(石狩): [他]～を上らせる rikinte(複数 rikipte)(石狩)、[他] rikinke(天塩): (表現)上に～を上らせる erikasi rikinte(複数 rikipte)(石狩)、(表現)rik ta rikinte(複数 rikipte)(石狩): ②[自](太陽が)昇る rikin(石狩)、[自] hetuku(石狩): (表現)昇る太陽 hetuku cup(石狩): ③(川上への移動に関して)(表現)川上に上る pet turasi oman(複数 paye)(石狩): ④(木登りに関して)[他]～に登る mu(石狩): (表現)木に登る ni mu(石狩): (表現)～に登って行く mu wa rikin(複数 rikip)(石狩): [他](人)に～を登らせる múre(新): ⑤[自](魚が川を、人が山を、あるいは梁の上などに)登る hemesu(複数 hemespa)(沙流)※(石狩方言には"hemesu"はなく従来"rikin"だが、表現を広げるため借用。): (表現)山に登る nupuri turasi hemesu(複数 hemespa)(沙流)

のみ(鑿)[名]鑿 nomi(J)※(日本語)

のみこむ(飲み込む、呑み込む)①(液体や固形物に関しては咀嚼せずに咽喉を通す事を示し)[自]ものを飲み込む iruki(新): [他]～をを飲み込む ruki(石狩): 普通固形物を呑み込む場合には"ruki"で、酒や水などの液体を飲む場合には"ku"を用いるが、液体でも口から咽喉の奥へと入る事を強調する場合には"ruki"を用いる。尚、沙流方言、十勝方言では複数形として"rukpa"がある。: 「…『そんなものは飲まない。嫌だ!』と私

が言っても彼は私を押さえつけてそれを私の口に入れて、それを私が飲み込まなくては全く息もできなかったが、それを私が飲み込むやいなや…」 “…《Nénoampe anakne an=ku somo ki . An=etoranne ! 》, sekor itak=an ikeka i =kisma ine an=paro omare ine an=ruki somo ki p nakka an=oarehese eaykap ike néampe an=ruki pateknetek …”(杉村キナラブック)説話: [他](場所)で～を飲み込む eruki(新): [他]～と共に～を飲み込む koruki(新): [他](原因、手段)で～を飲み込む oruki(新): [他](人)に～を飲み込ませる rukire(新): [他]完全に～を飲み込む oanuki(anruki)(新): [他]充分～を飲み込む rukino(rukinu)(新): [他]思い切り～を飲み込む toykoruki(新): [他](中相)～が飲み込まれる ciruki(新): [自]皆、共に呑み込む uruki(uruke)(石狩): 「…子供の顎を子供の頭もろとも食らい、共に呑み込み…」 “…ekatci notkewe ekatci sapa koe uruke…”(杉村キナラブック)神謡: ②(噛み砕いたものに関して)[自]ものを飲み込む inuku(新): [他]～を飲み込む nuku(石狩): [他](場所)で～を飲み込む enuku(新): [他]～と共に～を飲み込む konuku(新): [他](原因、手段)で～を飲み込む onuku(新): [他](人)に～を飲み込ませる nukure(新): [他]完全に～を飲み込む oannuku(annuku)(新): [他]充分～を飲み込む nukuno(nukunu)(新): [他]思い切り～を飲み込む toykonuku(新): [他](中相)～が飲み込まれる cinuku(新)

のむ(飲む)①(水や酒など液体一般に関して)[他]飲む ku(石狩): 「私は酒が飲みたい。」 “Sake ku=ku rusuy .”: [他](場所)で～を飲む eku(新): [他]～と共に～を飲む koku(新): [他](原因、手段)で～を飲む oku(新): [他](人)に～を飲ませる kúre(石狩): [他]一人で～を飲む yaykoku(新): [他]皆で、二人で～を飲む ukoku(新): [他]人々に～を飲ませる sikuyar(新): [他]人々に～を飲ませてもらう sikureyar(新): [自]酒を飲む iku(石狩): [他](人)に酒を飲ませる ikure(石狩): [自]人々に酒を飲ませてもらう siikureyar(新): ②(おつゆの汁に関して)[他]～を飲む ní(石狩): おつゆの「具」には“e”「～を食べる」を用いる。: [他](人)に～を飲ませる nire(新)

のやき(野焼き)[他]～を野焼きする nupkaecire(新): (表現)土器を野焼きする cinupkaecirep nupkaecire(新)

のら(野良)[名]野良犬 nispasak-seta(新):

[名]野良着 tóyta-imi (新): [名]野良仕事 tóyoremonrayke (新): [名]野良猫 nispasak-mekot (新)

のり(糊) [名]糊 numpe (石狩): [名]米糊 amamnumpe (幌別)

のりくみいん(乗組員) [名]乗組員 iokur (新)、[名] kuru (新)※(英語): (表現)乗組員 名詞+okur (新)

のりもの(乗り物) [名]乗り物 anop (石狩)

のりものよい(乗物酔い) [自]乗物酔いする anopsuwa (新)

のる(乗る) [他](乗物)に乗る o (石狩): 「私は車に乗って家に帰った。」“Anop ku=o wa ku=kor cise ekota ku=hosipi .”: [他]〜と共に〜に乗る koo (新): [他](原因、手段)で〜に乗る oo (新): [他]自分で、一人で〜び乗る yaykoo (新): [他]皆で〜に乗る ukoo (新)

ノルウェー ①[場名](国名)ノルウェー王国 Norge Yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(首都は「オスロー」): [場名](国名の通称として)ノルウェー Norge (新): [名]ノルウェー人、国民 norgeunkur (新): [名]ノルウェー語 norgeunkur-itak (新): ②[名](地名)ノルウェー海 Norge-atuy (新)

のれん(暖簾) [名]暖簾 noren (新)※(日本語): (表現)暖簾を下ろす noren ukao (新): (表現)暖簾を掛ける noren atte (新): (表現)暖簾を出す noren sanke (新): (表現)暖簾を守る noren kor (新): (表現)暖簾を分ける noren kóre (新)

のろう(呪う) [名]呪い ipakkar (石狩)、[名] icaskar (天塩): [名]人に呪いをかける道具 ikonnap (石狩): [自]呪う ipakkar (石狩)、[自] icaskar (天塩): [他]〜を呪う pakkar (石狩): [他](場所)で〜を呪う epakkar (新): [他]〜と共に〜を呪う kopakkar (新): [他](原因、手段)で〜を呪う opakkar (新): [他](人)に〜を呪わせる pakkare (新): [他]人に〜を呪わせる pakkarak (新)

ノロジカ(麋鹿) [名](シカ科)ノロジカ属 noruyuk-cise (新): [名]ノロジカ noruyuk (新): [名]シベリアノロジカ santaun-noruyuk (新)

のんだくれる(飲んだくれる) [自]飲んだくれる ikuruyppa (新)、[自] ikuruyruy (新)

のんびり [自]のんびりする、している nusimne (新): [他](人)をのんびりさせる nusimneka (nusimnere) (新): [副]のんびりと nusimneno (沙流)、[副] irammakaka (石狩): 「ここで私達が暮らせばさぞのんびりできるでしょうね。」“Te ta okay=an yak sonno nusimneno okay=an

nankor a .”

は ①(取り立て)[副助](二つ以上の判断や「こそ」で置き換え可能な語勢の強め、あるいは主題標識の強めとして)〜は anakne (石狩)、[副助] anak (石狩): 両者に意味の違いはないと考えられるが、特に韻文では韻律を整えるため相応しいものが選択される。: 「一人は山へ行き一人は海に行った(比較)」

“Sinen anakne kim ta oman wa sinen anakne pis ta san .”、「(いつもより)今日は寒い。(比較)“Tanto anakne mean .”、「私は(=私こそ)この世で最も美しい! (強調)」

“Kuani anak tapan mosir ta iyotta ku=pirka !”、「酒は飲まない。(主題標識)」

“Sake anakne somo ku=ku .”: ②「キツネはネズミが食べたい sumari enrum e rusuy など要求や願望の主体を示す助動詞「は」に相当する標識はアイヌ語にない。しかし人称接辞は「私はあの人が好きだ」"taankur ku=eramasuy"のように主格をとる。

は(歯) [名]歯 nimak(-i) (石狩): (表現)〜の歯が痛い ~nimaki arka (石狩): [名](合成語の構成要素として)歯 ni (石狩): [自]虫歯になる sinimakiarkare (新)、[自] nimakiarka (石狩): [名]歯が二本生えたばかりの赤ん坊 tunimakumpe (新)

は(刃) [名]刃 notak(-u) (石狩): [名]刃の片側 anotak(-u) (石狩): [場名]刃の上 notakka(-si, -sike) (石狩): [自]刃が付いている notakkor (石狩): [自]刃が付いていない notaksak (沙流)

は(派) [場名]派 iturahike (新): (表現)〜派 ~tura hike (新): (表現)〜派 ~samun hike (新): (表現)正統派 ikiripirka utar tura hike (新)、(表現)ikiripirkakur samun hike (新)

は(葉) ①[名](地下部を食用とする植物の)葉、茎 ra (H): 知里氏によれば、これ以外の草でも木でも全ての葉を"ham"と呼ぶという。石狩川筋では"anrakor"「クロユリの鱗茎」、"puyra"「エゾノリュウキンカの茎葉」の構成要素として見られる。また茎についてもこの語が使われる。今後外来の野菜類をアイヌ語訳する時用いていく。: ②(①以外の)[名]葉 ham(-u) (石狩): [名]木の葉 niham (石狩): [名]草の葉 munham (石狩)

はあ [間投](相手の発言に理解を示し)はあ ha (石狩): “Ha, ku=eraman wa .”「はあ、私は分りますよ。」

はー [間投]はー ha (新): [自]は一つと息を吐く taspore (石狩)

ハーグ [場名](オランダ王国の都市名)ハーグ

Surafenhage (新)〔場名〕 Hax (新)※(オランダ語の正式名称は"s-Gravenhage", 通称は"Den Haag".)

はあく(把握) [自]把握する ikisma (新) : [他]～を把握する kisma (新) : [他](人)に～を把握させる kismare (新) : [他]自分で、一人で～を把握する yaykokisma (新) : [他]皆で、互いに～を把握する ukokisma (新) : [他]充分に～を把握する kismano (新) : [他]しっかり～を把握する pirkakisma (新) : [他]人に～を把握させる kismayar (新) : [名](虫の生殖器の一つ)把握器 cioikismap(i) (新)

パークリウム (化学)[名]パークリウム berkerium (新)※(原子番号97番。元素記号 Bk)

バージニア [場名](アメリカ合衆国の州名)バージニア州 Virginia-mosir (新)※(州都は「リッチモンド」) : [場名](バージニア州の都市名)バージニアビーチ Virginiabici (新)

バージン [場名]バージン諸島 Virjin-usapoysir (新)※(西インド諸島のイギリスおよびアメリカ領の島々.) : [場名]アメリカ領バージン諸島 Amerika Ukosineatkimosir kor Virjin-usapoysir (新)※(首都は「シャーロット・アマリー」) : [場名]イギリス領バージン諸島 Ukosineatki-mosirkorkurkormosir kor Virjin-usapoysir (新)※(首都は「ロードタウン」)

バーゼル [場名](スイス連邦の州名)バーゼル準州 Bázer-iosiankantón (新) : [場名](バーゼル準州の通称、あるいは州都名として)バーゼル Bázer (新)

パーセント [名]パーセント kesatuyta (新) : [名] pessenger (petcento) (新)※(英語)

パーソナルコンピューター [名]パーソナルコンピューター ciyaykokor-imerunoype (新)※(略号 CI)

バアソブ(婆雀斑) (植物)[名](ツルニンジン属)バアソブの茎 mukpunkar (新) : [名]バアソブの根 muk (H)

パーッととぶ(パーッと飛ぶ) (火の粉や雪 í など)[自]パーッと(パーッと)と飛ぶ parse (石狩) : [自] párase (沙流) : 「…手の先から吹く風が家の中にパッパッと飛び散り、私のおこした火が天井の上にパーッと飛びながら…」 “…teketoko wa hopuni rera cise onnay cipatupatu ci=are ape kannuy ka ta parse kane…” (砂沢クラ) 婦女詞曲 : [自]パーッパッ (パーッパッ) と飛び散る páraseparase (沙流)

ハーテビースト (動物)[名](ウシ科)ハーテビー

スト亜科 eawpasuyyukpeko-moapa (新) : [名]ハーテビースト族 eawpasuyyukpeko-utar (新) : [名]ハーテビースト属 eawpasuyyukpeko-cise (新) : [名]ハーテビースト eawpasuy-yukpeko (新) : [名] hartebeesto (新)※(英語。別名「シカレイヨウ」) : [名]ダマリスクス属 kúkotoyukpeko-cise (新) : [名]ヌー属 nu-cise (新) : [名]ヒロラ属 hirora-cise (新)

ハードカレンシー [名]ハードカレンシー cieoripakikonnep (cieoripakikor) (新) : [名] nisteikonnep (nisteikor) (新)

ハートフォード [場名](アメリカ合衆国コネチカット州の州都名)ハートフォード Hartofordo (新)

バーバリーシープ (動物)[名](ヤギ亜族)バーバリーシープ属 otopushicici (新) : [名]バーバリーシープ otopushicici (新)※(別名「タテガミヒツジ」) : 亜種[名]エジプトバーバリーシープ misruun-otopushicici (新) : [名]サハラバーバリーシープ sahraun-otopushicici (新) : [名]スーダンバーバリーシープ súdanun-otopushicici (新) : [名]モロッコバーバリーシープ máguribuun-otopushicici (新)

ハーブ [名]ハーブ húrakor-kina (新) : [名] hábu (herbe) (新)※(英語)

バーブーダ [場名](カリブ海東部の島の名)バーブーダ島 Barbuda-poysir (新)

パープル →「あかむらさき(赤紫)」を見よ

バーミリオン [自]バーミリオンになる、である vermirionne (新) : [自] kániohure (新) : [他]～をバーミリオンにする vermirionneka (-nere) (新) : [他] káni-ohureka (-ohurere) (新) : [名]バーミリオン色 vermirion-iro (新) : [名] kániohure-iro (新)

バーミンガム [場名](イギリスのウェスト・ミッドランド州、あるいはアメリカ合衆国アラバマ州の都市名)バーミンガム Birmingham (新)

パームシベット (動物)[名](ジャコウネコ科)パームシベット亜科 kófemekot-moapa (新) : [名]パームシベット属 kófemekot-cise (新) : [名]パームシベット kófemekot (新) : [名]キンイロパームシベット surirankaun-kofemekot (新)※(スリランカにいるパームベレット) : [名]ジャードンパームシベット cuppokungať-kofemekot (新)※(西ガーツパームシベット) : ●セレベスパームシベット属 : [名]セレベスパームシベット serebes-omawkusmekot (新) : ●ハクビシン属 :

[名] ハ ク ビ シ ン eturuweretar-
omawkusmekot (新): ●ビントロング属:
[名] ビントロング eper-omawkusmekot
(新)※(別名「くまねこ」、「クマジャコウネ
コ」): ●ミスジパームシベツト属: [名]
ミ ス ジ パ ー ム シ ベ ッ ト reruo-
omawkusmekot (新)

バーモント [場名](アメリカ合衆国の州名)バー
モント州 Vermonto-mosir (新)※(州都は
「モントペリール」)

バーラル (動物)[名](ヤギ亜族)バーラル属
áohicici-cise (新): [名] バーラル
himarayaun-aohicici (新)、[名] bárar
(新)※(英語): [名] ドワーフブルーシープ
moaohicici (新)、[名] mobarar (新)

バーリントン [場名](アメリカ合衆国バーモン
ト州、カナダのオンタリオ州などの都市名)バー
リントン Bunrinton (新)

バーレーン ①[場名](国名)バーレーン王国
Bahrain Yaykomosirkorkur-kormosir (新)
※(首都は「マナーマ」): [場名](国名の通称
として)バーレーン Bahrain (新): [名]バー
レーン人、国民 bahrainunkur (新):
②[場名](地名)バーレーン島 Bahrain-
poysir (新)

はい ①(肯定、承諾を表し)[間投]はい e (石
狩): 本来は肯定疑問文に対する肯定の返事、
あるいは提案、勧誘などに対する承諾の返事
として用いられたが、何時頃からか返事全般
にこの語が用いられるようになっていく。:
[自]はいと言う ése (石狩): [他]〜に関し
てはいと言う eese (石狩): [他](場所)で
はいと言う eese (新): [他](人)にはいと
言う koese (新): [他]〜と共にはいとい
う koese (新): [他](原因、手段)ではいと
言う oese (新): [他](人)にはいと言わせ
る ése (新): ②(形式名詞を用いた疑問
文に対する肯定を表し)[間投]("ruwe", "ruwe
an (ru an)"疑問文に対する返事として)はい
ru un (石狩): [間投]("hawe", "hawean
(hawan)"に対する返事として)はい haw
un (新): [間投]("ru un"などの省略形と
して)はい un (新): ③(否定疑問文に対す
る肯定、あるいは否定の返答として)[間投]はい、
ああ、おお ho (石狩)、[間投] m (天
塩): 肯定疑問文に対する返答として北海道
の多くの方で肯定なら"e"、否定なら"somo"
を用いる。一方、方言辞典を見る限り否定疑
問文に対してはかなりばらつきがある事が
分かる。肯定の時だけ"somo"を用いる帯広、
美幌の方言、同じく肯定の時だけ"e"を用いる
沙流方言がある一方、肯定、否定の両方に同
じ間投詞を用いる方言もある。八雲、幌別、
宗谷方言の"e"、旭川方言の"ho"、名寄方言の

"m"がそれに当たる。これらはそれぞれ別な
意味を持つものの流用と思われ、恐らく同一
方言内でもかなりのばらつきがあったと予
想される。尚、肯定、否定を区別しない返事
は日本語でも頻繁に行われており、大抵は文
脈や語調、相手の態度などから聞き手が肯定
か否定を判断しているが、時には「どちな
んだ?」と問い直す事態が生じる。: 「おじ
いさん、あんたは行かないの?ーああ、わし
は行かんよ。」"Ekas, somo e=oman ruwe?
-Ho, somo ku=oman wa.", 「おじいさ
ん、あんたは行かないの?ーああ、わしは行
くんだ。」"Ekas, somo e=oman ruwe? -Ho,
ku=oman ru un.", 「あんたは行かない
のかい?ーはい、私は行かんよ。」"Somo
e=oman ru an? - M, somo ku=oman
wa.", 「あんたは行かないのかい?ーはい、
私は行くよ。」"Somo e=oman ru an? - M,
ku=oman wa." (アイヌ語方言辞典): ④(名
前を呼ばれた時に)[間投]はい ho (石狩):
[自]はいと言う hóse (新): ⑤(物を差し
出して)[間投]はい o (石狩): [自]はいと
言う óse (新)

はい(灰) [名]灰 úna (石狩)、[名] uyna (八
雲): [名]灰の塊 únasukep (石狩): (表
現)灰の塊 úna takuhu (石狩): [他](点火、
あるいは焼却のため持っていた物)を灰の中
に突っ込む eunaotke (石狩)

はい(肺) [名]肺 yukram(-i, -u) (石狩)

ばい(倍) [名・副]倍 suy (石狩): (表現)〜倍
連体詞+suy (石狩): [名・副]何倍
hempaksuy (新): [名・副]二倍 tusuy
(石狩)

はい(胚) [名]胚 sihoskikarpe (新)※(はじめ
に生成するもの)

ハイイヌガヤ(這犬樺) (植物)[名](イヌガヤ属)
ハイイヌガヤの茎 anatni (天塩): [名]
anakni (石狩): [名] kanatni (十勝)(植
物)[名](イヌガヤ属)ハイイヌガヤの茎
anatni (天塩): [名] anakni (石狩):
[名] kanatni (十勝)

はいいろ(灰色) [自]灰色になる、である
únaus (新)、[自] rukunne (新): [他]〜
を灰色にする únausi (únauste) (新)、
[他] rukunneka (rukunnere) (新): [名]
灰色 únaus-iro (新)、[名] rukunne-iro
(新)

ハイイロアザラシ(灰色海豹) (動物)[名]ハイイ
ロアザラシ属 manaustukar-cise (新):
[名]ハイイロアザラシ manaustukar (新)

ハイイロギツネ(灰色狐) (動物)[名](イヌ科)ハ
イイロギツネ属 manaussumari-cise
(新): [名]ハイイロギツネ manaus-
sumari (新): [名]シマハイイロギツネ

poysirun-manauussumari (新)

ハイエナ (動物)[名](ネコ亜目)ハイエナ科 hiena-apa (新)※(英語): [名]ハイエナ亜科 hiena-moapa (新): [名]カッシュクハイエナ numatanne-hiena (新)※(カッシュクハイエナ属): [名]シマハイエナ ruo-hiena (新)※(シマハイエナ属): [名]ブチハイエナ keso-hiena (新)※(ブチハイエナ属): [名]アードウルフ亜科 itunnape-hiena-moapa (新): [名]アードウルフ itunnape-hiena (新)※(蟻食いハイエナ。別名「ツチオオカミ」。アードウルフ属)

はいおく(廃屋) [名]廃屋、移転によって人のいなくなった家 huskocise (新): [名]廃家、伝染病などで住民が死に絶えた家 tucise (新)

はいかい(徘徊) →「あるきまわる(歩き回る)」を見よ

バイカル [名](地名)バイカル湖 Baykar-to (新)

はいかん(背管) [名]背管 seturokuttar(i) (新)

はいかん(配管) [自]配管する kuttarama (新)、[自] kuttaranu (新)、[自] kuttarare (複数 kuttanrokte) (新): [名]配管工 kuttaramakur (新)、[名] kuttaranukur (新)、[名] kuttanroktekur (新): [名]配管工事 kuttarama (新)、[名] kuttaranu (新)、[名] kuttanrokte (新)

はいきゅう(配給) ①[自]配給する ipuni (複数 ipumpa) (石狩): 本来は②の食物に関して用いられる言葉だが、今後はそれ以外の物に関しても用いていく: [他]～を配給する puni (複数 pumpa) (新): [他](場所)で～を配給する epuni (複数 epumpa) (新): [他]～に～を配給する kopuni (複数 kopumpa) (新): [他]～と共に～を配給する kopuni (複数 kopumpa) (新): [他](原因、手段)で～を配給する opuni (複数 opumpa) (新): [他](人)に～を配給させる punire (複数 pumpare) (新): [他]自分で、一人で～を配給する yaykopuni (複数 yaykopumpa) (新): [他]皆で～を配給する ukopumpa (新): ②[自]食べ物を配給する imekani (石狩)、[自] imekanu (石狩): [他](人)に食べ物を配給させる imekanire (新)、[他] imekanure (新): [他](人)に食べ物を配給する imekkar (石狩): [他](人)に(人)に食べ物を配給させる imekkare (新)

はいきよ(廃墟) [場名]廃墟 huskopuni (新): (表現)村の廃墟を見る kotan husko (ciwente) kot an (新): (表現)村の廃墟を見る kotan husko (ciwente) kot nukar

(新)

はいきん(背筋) [名]背筋 seturkam(i) (石狩)

はいご(背後) ①(空間的に)[位名]～の背後 sermak(長形-a、-e) (石狩): (表現)海の背後(海の視界に入らぬ所) atuy sermake (石狩): ②(肉体的に)[名]背後 setur(u) (石狩): (表現)～の背後から押す ～seturu wa oputuye (石狩): ③[位名](霊的に)[位名]～の背後 seremak(長形-a、-e) (石狩): 肉体的な背後は"setur"。但し「私の背後」と言う場合、それぞれ"ey=sermak"、"ku=seturu"となるので注意: ④[他](人)の背後から両足を前に廻してからみつける ocinnayere (石狩): (表現)(難産に際して、いつもお産が軽い人が妊婦)の背後から両足を前に廻してからみつけて彼女を撫でさずる ocinnayere wa rarpa (石狩): ⑤[他]背後にぶちまける makokuta (沙流): (表現)(雅)(敵を傷つけ)～の小さな肉片、大きな肉片を背後にぶちまける nokan kamnoci rupne kamnoci makokuta (沙流)

ばいしゅん(売春) [自]売春する yayoeiyok (新)、[自] hoeiyok (新)、[自](隠) yayeyiyok (幌別): [他](場所)で売春する eyayoeiyok (新): [他](人)に売春する koyayoeiyok (新): [他]～と共に売春する koyayoeiyok (新): [他](原因、手段)で売春する oyayoeiyok (新): [他](人)に売春させる yayoeiyokte (新): [自]自分で、一人で売春する yaykoyayoeiyok (新): [自]互いに、皆で売春する ukoyayoeiyok (新): [名]売春夫 yayoeiyokkur (新)、[名](隠) yayeyiyokkur (新): [名]売春婦 kanuci (幌別)、[名] yayoeiyokmat (新)、[名](隠) yayeyiyokmat (新): [名]売春窟 yayoeiyokusi (新): [名]売春宿 hoeiyokcise (新)

はいじょ(排除) [自]排除する iokewe (新)、[自] ikewe (新): [他]～を排除する okewe (新)、[他] kewe (新): [他](人)に～を排除させる okewere (新)、[他] kewere (新): [自]排除し合う uokewe (新)、[自] ukewe (新): [他]完全に～を排除する oarokewe (arokewe) (新)、[他] oarkewe (arkewe) (新):

ばいしょう(賠償) [名]賠償、賠償に差し出す大切な物 asimpe (石狩)

はいじょうかじょ(杯状花序) [名]杯状花序 tukine-apappoomakat (新)

はいじん(廃人) (表現)廃人 iwankekur neno an eaykap kur (新): [名]廃人 ciwentekur (新)、[名](悪) ciwentep (新): (表現)ネトゲ廃人 intennet-cieesinotpe

kusu ciwentekur (新)

はいずる(這い摺る) [自]這い摺る osirus (石狩): [他](場所)を這い摺る eosirus (新): [他]～と共に這い摺る koosirus (新): [他](原因、手段)で這い摺る oosirus (新): [他]～を這い摺らせる osirusi (新): [自]這い摺り回る osiruspa (新)

はいせん(廃線) [名] 廃線 husko-omananru(-we) (新)、[名] huskoru(-we) (新)

バイソン (動物)[名](ウシ族)バイソン属 yayreskapeko-cise (新): [名]アメリカバイソン amerikaun-yayreskapeko (新)、[名] tatanka (新)※(ラコタ語)、[名] buffaro (新)※(英語。別名「ヤギユウ」、「バッファロー」): [名]ステップバイソン yayreskapeko-maktaekasi (新)※(絶滅): [名]ヨーロッパバイソン europaun-yayreskapeko (新)、[名] zúbar (新)※(ロシア語)

はいそん(廃村) [場名]廃村、移転によって人のいなくなった村 huskokotan (H): [場名]廃村、伝染病などで住民が死に絶えた村 túkotan (H)

はいたつ(配達) [他](手紙など軽い物)を配達する koroman (石狩)、[他] korek (新): 「毎朝彼の家に牛乳が配達される。」 “Keskunnano kor cise otta bekotope an=koroman.”、「私の所に速達の手紙が配達された。」 “En=ekota tunas-oman kampi an=koroman.”: [他](重たい物)を配達する rúra (新)

ハイトッチ [自]ハイトッチする utekosma (新)

ハイチ [場名](国名)ハイチ共和国 Háiti Ukotankoremosir (新)※(首都は「ポルトープランス」): [場名](国名の通称として)ハイチ Háiti (新): [名]ハイチ人、国民 háitiunkur (新): [名]ハイチ・クレオール語 háiti-kureol-itak (新)

ばいち(培地) [場名]培地 iuattereusi (新): [場名] cieiuattereusi (新)

はいっている(入っている) [他](場所)に入っている oma (石狩): [他](漠然と多数のものが場所)に入っている o (石狩): 知里氏は“oma”がかつて単に何かがある場所「に存在する」という意味で、同じくある場所「に群在する」という“o”とは別の語であったのが、彼の時代の老人達には単数形“oma”に対する複数形が“o”と意識されていたと指摘した。しかし今日までの研究によりその対応がごく一部の用法にしか見られぬ事が明らかとなっている。石狩川筋でも“pir-o”「傷が一つつく」 ⇔ “pir-oma”「傷が沢山つく」など数

例のみである。杉村キナラブク蠅の説話に“cep-o-pise”「魚が沢山入った袋」という語が現れるが、同じ物語の中で同じ物を指し“cep-oma-p”「魚を入れたもの(袋)」とも言う。この様に何かの数が多い事を漠然と示す時には“o”、数を問わず何かの存在を示す時には“oma”を用いている例が大部分を占める。尚、容器の中など「に入っている」以外にも、地名ではある地形「に入り込んでいる」沢、川の形が多く見られる。

バイト [名](デジタルコンピュータが扱う情報の単位)バイト báit (新)※(英語。1バイト = 8ビット)

はいとう(佩刀) (表現)～の佩刀 ～ mut pe (石狩)、(表現) ～ mut emus (石狩): [名]首領の(佩くような立派な)佩刀 nispamutpe (石狩): (表現)(漆器などの宝物が多い様の描写がされた後に続けて)～その上に首領の佩刀が重なり連なり ～ enkasike nispamutpe arsannotkarari (石狩): (表現)首領の佩刀の二つの柄頭、三つの柄頭が互いに重なり合う nispamutpe oyu san tuka ore san tuka oukauyru (沙流)

はいとうみつ(廃糖蜜) [名] 廃糖蜜 antopenwakka (新)※(黒い糖蜜)、[名] morasses (新)※(英語)

はいとく(背徳) [名]背徳 hoiyo (石狩)、[名] aynupuriwente (新): [自]悪徳行為を行う hoiyo (石狩)、[自] aynupuriwente (新)

ハインズ(這杜松) (植物)[名](ビャクシン属)ハインズの茎 ayman (樺太白主): [名]ハインズの果実 ayemay (樺太白浦)、[名] aymay (aima) (樺太真岡)

バイパス [名]バイパス isoykusru(-e) (新): [自](市街地の中心を避ける)バイパス maciyasoykusru(-we) (新)、[名] kotaysoykusru(-we) (新)

はいびょう(肺病) [名]肺病 wénomke (石狩)

パイプ [名]パイプ kuttar(-i) (新)、[名] pípe (新)※(英語)

はいふ(配布) [自]配布する ipuni (複数 ipumpa) (新): [他]～を配布する puni (複数 pumpa) (新): [他](場所)で～を配布する epuni (複数 epumpa) (新): [他]～に～を配布する kopuni (複数 kopumpa) (新): [他]～と共に～を配布する kopuni (複数 kopumpa) (新): [他](原因、手段)で～を配布する opuni (複数 opumpa) (新): [他](人)に～を配布させる punire (複数 pumpare) (新): [他]自分で、一人で～を配布する yaykopuni (複数 yaykopumpa) (新): [他]皆で～を配布する ukopumpa (新)

パイポッド [名]パイポッド、二脚 tukema (新)

ハイマツ(這松) (植物)[名](マツ科)ハイマツの茎 epitap (美幌)、[名] totonup (石狩)、[名] henekkere (択捉): [名]ハイマツの実 totonup-epuy (天塩)

バイメタル [名]バイメタル tukaniita (新): [名]バイメタル式温度計 tukaniita-sesekrupakari (新)

はいゆ(廃油) [名]廃油 onnesumasum (新)、[名] onnesum (新)

はいゆう(俳優) [名]俳優 ieyukannouskur (新)、[名] aktor (新)※(英語)

ばいよう(培養) [自]培養する iuattere (新): [他]～を培養する uattere (新): [他](場所)で～を培養する euattere (新): [他]～と共に～を培養する kouattere (新): [他](原因、手段)で～を培養する ouattere (新): [他](人)に～を培養させる uatterere (新): [名]培養液 iuatterepe (新)

はいりょ(配慮) ①[自]配慮する (新): [他]～について配慮する esanniyo (石狩): [他]～に対して～について配慮する koessanniyo (石狩): [他](人)に～に配慮させる esanniyore (新): ②[自]人や物事に配慮する iramepakari (石狩): [自]～に配慮する iramepakari (石狩)

はいる(入る) ①[自](家などに)入る ahun (複数 ahup) (石狩): 物語の用例を見る限り家や穴の中など具体的な場所への侵入を示す。しかし砂沢クラ蜆の用例に見られるように学校や軍隊に「入る」など、今後は日本語の範囲内で抽象的な用法も増えていくものと思われる。: (表現)家の中に入る cise onnay (oske) ta ahun (複数 ahup) (石狩)、(表現) cise oske (oske) ene ahun (複数 ahup) (石狩): (表現)風呂に入る tompuri osus (沙流)、(表現) sisam sesekka usew otta ahun (複数 ahup) (石狩): (表現)学校に入る ipakasnucise otta ahun (複数 ahup) (石狩): (表現)軍隊に入る tumi utar otta ahun (複数 ahup) (新)、(表現) heitai ne ahun (複数 ahup) (石狩): [他]～に入る koahun (複数 koahup) (石狩): [他](場所)から入る、(原因、手段)で入る oahun (複数 oahup) (新): [他](人)を入らせる ahunke (複数 ahupte) (石狩): ②(素早く、勢いよく)[自]物が～にパッと入る iosma (石狩): [他](場所)にパッと入る osma (石狩): 目的語が普通名詞の場合にはその後には"or"を使う。: 「魚が沢山梁に入った。」"Cep poronno uray or osma .", 「私はあわてていたので来

訪を知らせもせずに彼の家にパッと入った。

"Ku=kimatek kusu ku=sihumnuyar ka somo ki no kor cise oske ku=osma .": [他](人)を(場所)にパッと入らせる osmare (新)

はいれい(拝礼) [自]拝礼する onkami (石狩)※(浦河、釧路など道東では"onkamuy"): 「拝礼しましょうぞ。」"Onkami=an na .": [他](場所)で拝礼する eonkami (新): [他](手段)で拝礼する eonkami (石狩)、[他](雅) ekoonkami (石狩): : 「…この尊き酒杯、神酒で私は拝礼し…」"…tan páse tuki kamuy-askor ku=eonkami…" (砂沢友太郎)祈詞: [他]～へ拝礼する koonkami (石狩): [他]～と共に拝礼する koonkami (新): [他](場所)から拝礼する、(原因、手段)で拝礼する oonkami (新): [他](人)に拝礼させる onkamire (新): [自]自分で、一人で拝礼する yaykoonkami (新): (表現)一人で拝礼する yaytura onkami (新): [自]拝礼し合う、皆で拝礼する uoonkami (石狩): (表現)皆で拝礼する utura onkami (新): [他]人に～に拝礼させる koonkamiyar (新): [自]人に自分に拝礼させる sikoookamiyar (新): (表現)(雅)何度も何度も掌を上下させ恭しく拝礼する tu páse aske re páse aske epumpa kane onkami (石狩)、(表現)(雅) tu ray onkami re ray onkami ukakuste (uturare) (沙流)

バインドこねじ(バインド小ねじ) [名]バインド小ねじ ekapkeruy-cinoyepo (新)※(「バインド」とも)

はう(這う) ①(人間など手足のある生物が)[自]這う reye (複数 reypa) (石狩): ②(人間が飢えなどで立ち上がれず)[自]這って歩く osirus (石狩): ③(尺取虫や毛虫が)[自]這う niteme (石狩): ④(ミミズが)(表現)這って行く okay okay oman (石狩): ⑤(蛇が)(表現)這って行く rewke rewke oman (石狩): ⑥(木が)[自]斜めに這うように生える hotkuku (hokkuku) (石狩)

ハウサ [名]ハウサ人 háusakur (新): [名]ハウサ語 háusakuritak (新)※(アフロ・アジア語族チャド語派の言語。西アフリカで広く用いられる)

パウダースノー [名]パウダースノー kóupas (新)、[名] irupupas (新): (表現)パウダースノー sat upas (石狩)

はうちわ(羽団扇) [名]羽団扇 rapiparpap (新)

ハウチワカエデ(羽団扇楓)(植物)[名](カエデ属)ハウチワカエデの茎 retattopeni (十勝)※(別名「メイゲツカエデ」)

ハウチワノキ(羽団扇の木)(植物)[名](ムクロジ科)ハウチワ属 rapiparpapni-cise (新):

[名]ハウチワノキの茎 rapiparpapni (新)

はえなわ(延縄) [名]延縄 hayna (沙流):

[自]延縄を仕掛ける haynaama (新)、[自] haynaare (新)

はえる(映える) [自]映える、映えている mike (石狩)、[自] tom (石狩)、[自] mikemike (石狩)、[自] tomtom (石狩):

[他](場所)に映える、映えている emike (emikemike) (新)、[他] etom (etomtom) (新): [他]〜と共に映える、映えている

komike (komikemike) (新)、[他] kotom (kotomtom) (新): [他](原因、手段)で映える

emike (石狩)、[他] omike (omikemike) (新)、[他] otom (石狩)、

[他] otomtom (新): [O動]辺りに映える sirmike (sirmikemike) (新)、[O動]

sittom (sittomtom) (新): [自](場所)で一帯に映える sirkomike (sirkomikemike) (新)、[自] sirkotom (sirkotomtom) (新)

はえる(生える) ①[自]生える、生えている

tuk (石狩): ②[自]生える etuk (石狩): "tuk"が何かの全体の成長を問題にするの

に対し、"etuk"は先端部分が突き出る事を問題とし、特に「芽が出る」状態を意味する。:

[自](植物や毛などが)〜に沢山生えている us (石狩): (表現)カビが生える kumi us (石狩)

はおる(羽織る) [他]〜を羽織る eopannaatte (石狩)、[他] opanneka (石狩)、[他] opannaatte (沙流): 韻文の中に現れることもあり、通例「〜をうち羽織る」と訳される。: 「…六着の小袖を私はうち羽織り…」 「…iwan kosonte ci=eopannaatte…」 (砂沢クラ)神謡

はか(破瓜) (表現)破瓜 iwampa ikasma wampa (新)、(表現) iwampe ikasma wampa (新)、(表現) menokone (新)

ばか(馬鹿) [自]馬鹿である hayta (石狩)、[自] ramuhayta (天塩)、[自] etomocine (天塩): [自](生まれつき)馬鹿である

ikokka (天塩): ②[名]馬鹿な人 haytakur (石狩)

はか(墓) [名]墓 túsir (石狩)、[名] toysir (石狩)、[名] toyka (天塩): [名]土葬の墓 toy(kep)-tusir (石狩): [名]墓穴 toykep (石狩): [自](土葬して墓標を立て)墓を作る

túsirkar (石狩): 今後は石造りの「墓を建立する」事にもこの語を用いる。: (表現)墓を作る túsir kar (石狩)

ハガイ (聖書)[名](人名)ハガイ Haggay (新)※(預言者): [名]ハガイ書 Xaggay-kampisos (新)

はかい(破壊) ①[自]ものを破壊する iwente (新): [他]〜を破壊する wente (石狩):

[他](場所)で〜を破壊する ewente (新):

[他]〜と共に〜を破壊する kowente (新):

[他](原因、手段)で〜を破壊する owente (新):

[他](人)に〜を破壊させる wentere (新):

[他]自分で、一人で〜を破壊する yaykowente (新): [他]互いに、皆で〜を破壊する ukowente (新):

[他]ぱっと一瞬で〜を壊す wentekka (新): [他]完全に〜を破壊する arwentekar (石狩)、[他] oarwente (arwente) (新):

[他]充分〜を破壊する wenteno (wentenu) (新): [他]滅茶苦茶、思い切り〜を破壊する

toykowente (新): ②(割って)[自]ものを破壊する ipere (複数 iperpa) (新):

[他]〜を破壊する pere (複数 perpa) (石狩): [他](人)に〜を破壊させる perere (複数 perpare) (新):

[他]ぱっと一瞬で〜を破壊する pettekka (新): ③(潰して)[自]ものを破壊する ikapa (複数 ikappa) (新):

[他]〜を破壊する kapa (複数 kappa) (石狩): [他](人)に〜を破壊させる kapare (複数 kappare) (新):

[他]ぱっと一瞬で〜を破壊する kaptekka (新)

はがき(葉書) [名]葉書 cieikrayar (新)、[名] hankaki (石狩)※(日本語)

ばかす(化かす) [自]人を化かす ikatkar (新): [連他](主に悪神や怪物が何かに化けたり憑りついたりして)〜を化(ば)かす

katu-kar (kat-kar) (石狩): "katu-kar" が悪い事であると怪物でも思うためか、物語中で怪物が自分の行為を語る時には、例えば

"aynu ne yaykar=an" 「人間に私は化けた」と表現する。それ故に"katu=an=kar"という一人称の例は見られない: 「…悪い怪物がああしてこの娘を化かしてそうしたんだ。」

“…wenkamiasi ene tan menoko katu-kar wa iki ne .” (杉村キナラブック)説話, 「…悪い怪物、コシンブイの男が私を化かして…」 “…wenkamiasi, kosimpuy-okkay i=kat-kar wa…” (杉村キナラブック)説話

はがす(剥がす) ①(樹皮や魚の皮など薄いもの、層になったものに関して)[他]〜を剥がす、剥ぎ取る soso (複数 sospa) (石狩)、[他] kar (石狩):

名寄では何かを剥いで皮を捨てる時は"kar"、使う時は"soso"を用いると言うが、石狩川筋の言葉での区別は目下見られない。:

[他](場所)で〜を剥がす esoso (複数 esospa): [他]〜と共に〜を剥がす kososo (複数 kosospa) (新):

[他](原因、手段)で〜を剥がす ososo (複数 osospa) (新): [他](人)に〜を剥ぎ取らせる sosore (複数 sospare) (新): [他]瞬間的に〜を剥

がす sostekka (新): [他]完全に～を剥がす、きれいに～を剥ぐ oassoso (複数 oassospa) (新)、[他] assoso (複数 assospa) (新)、[他] assosokar (石狩): [他]滅茶苦茶に～を剥がす toykososo (複数 toykosospa) (新): ②(何かの一部として)付いていたもの、何かにへばり付いていたものに関して[他]剥がす、剥ぎ取る mesu (複数 mespa) (石狩): [他](場所)で～を剥がす emesu (複数 emespa) (新): [他]～と共に～を剥がす komesu (複数 komespa) (新): [他](場所)から～を剥がす omesu (複数 omespa) (新): [他](原因、手段)で～を剥がす omesu (複数 omespa) (新): [他](人)に～を剥ぎ取らせる mesure (複数 mespare) (新): [他]瞬間的に～を剥がす mestekka (新): [他]完全に～を剥がす、きれいに～を剥ぐ oarmesu (複数 oarmespa) (新)、[他] armesu (複数 armespa) (新): [他]滅茶苦茶に～を剥がす toykomesu (複数 toykomespa) (新): ③(漆など塗料に関して)[他]～を剥ぐ pitcere (新): ④[他](何かに化けていたもの)の化けの皮を剥がす horkamesu (新)

はかぜ(羽風) [名]羽風 raprera (新)、[名] rapmaw(e) (新): [他](鳥の羽撃く様を描写した常套句の中で"mawtasare"と共に用いられ、翼を閉じる動作を示し、自然に吹く風、気流)を(自分の)羽風と共に巻き込む mawkocupu (石狩): 「…二つの良き風三つの良き風を私は羽風と共に巻き込み私は羽風を返し…」 "…tu pirka rera re pirka era an=mawkocupu an=mawtasare…" (杉村キナラブック)神謡: [他](鳥の羽撃く様を描写した常套句の中で"mawkocupu"と共に用いられ、翼を開く動作を示し、自然に吹く風、気流)に(自分の)羽風を返す mawtasare (石狩)

バガッサ (植物)[名](クワ科)バガッサ属 bagassa (新): [名]バガッサ・グイアネシスの茎 bagassa (新)

はがない(歯が無い) [自]歯がない、歯が抜けている nimaksak (石狩)

ばかにする(馬鹿にする) ①[自]馬鹿にする wenkuraspa (石狩): [自]人を馬鹿にする isimemokka (新): [他]～を馬鹿にする simemokka (石狩)、[他] kowenkuraspa (新)、[他] komospa (天塩): (表現)お前は馬鹿にされる e=simemokka=an (新)、(表現) e=kowenkuraspa=an (新)、(表現) e=komospa=an (新): [他](人)に～を馬鹿にさせる simemokkare (新)、[他] kowenkuraspare (新)、[他] komospare (新): [他]人に～を馬鹿にさせる

simemokkayar (新)、[他] kowenkuraspayar (新)、[他] komospayar (新): ②[自]人を見下し馬鹿にする irara (石狩、天塩): [他](人)を見下し馬鹿にする rara (石狩): (表現)私が見下して馬鹿にされる enci=rara (en=rara=an) (新): [他](人)に(人)を見下し馬鹿にさせる rarare (新): ③[他]～を馬鹿にして嘲笑う eoyaynene (石狩): (表現)私が馬鹿にして嘲笑われる enci=eoyaynene (en=eoyaynene=an) (新): [他](人)に～を馬鹿にして嘲笑わせる eoyaynenere (新)

はがね(鋼) [名]綱 cinistekakani (cinisterekan) (新)、[名] cinistekakane (cinisterekan) (新)

ばかまね(馬鹿真似) (表現)馬鹿真似をする ciitasare neno iki (石狩): (表現)決して馬鹿真似をなされず ikaneypeka ciwenkoramusak no (石狩)

ばかり ①[副]～ばかり ouse (石狩): 「私は食事をしないから骨と皮ばかりになってベッドに横たわっていた。」 "Somo ku=ipe kusu ouse pone ku=ne wa amset ka ta ku=hotke wa an." : ②[副]～ばかり eru (石狩): 「お前たちは仲間ばかり集まって何でも決めているのだ。」 "Esokay anakne monrayke eru utari tura es=uekarpa kor nep ne yakka es=urenkare ruwe ne." : ③[後副]～ばかり patek (石狩): 「いつも貴方は同じ事ばかり言うね。」 "Ramma sinep patek es=ye na."、"酒を一杯ばかり飲んだとて私が酔うもんじゃないよ。" "Sake sine pa patek ku=ku yakka ku=iyoski p ne ka somo ne."、"どんな女性がいようと、私は君だけを愛しているよ。" "Nekonan menoko okay yakka eani patek e=osiknuka=an wa."、"君は泣くばかりで何も言わなかった。" "E=cis patek ki no nep ka ye ka somo ki." : ④(時間的、数量的に近い事を示し)[後副]～ばかり pakno (pak) (石狩): (表現)魚が100匹ばかりいる cep atuyta pakno okay (石狩): (表現)石が100個ばかりある suma atuyta pakno an (石狩): ⑤(動作や行動が著しい事を示し)(表現)～ばかりである、～ばかりする 動詞+ruy (新): ipisi(質問する)+ruy → ipisiruy 「質問ばかりする」

はかる(計る) ①[自]計る ipakari (H): [他]～を計る pākari (石狩): (表現)縦に～を計る epesno pākari (天塩)、(表現) pesno pākari (石狩): (表現)横に～を計る tomotuye pākari (天塩): (表現)長さを計る tanneru(we) pākari (新): (表現)何

メートルか～を計る *hempak metre ne ya* ～ *pákari* (新): (表現)重さを量る *páseru(-we) pákari* (新): (表現)何キログラムか～を量る *hempak kiroguramme ne ya* ～ *pákari* (新): ②[他]～を手にもって重さを計る *koskoso* (久保寺): ③[自]両手を広げて計る *iteme* (石狩): [他]～を両手を広げて計る *teme* (石狩): ④[他]～を親指と中指を開いて計る *wo* (石狩): "wo"は名詞として旭川では「親指と中指を開いて計る長さ」だが、白老、浦河、春取、長万部、虻田、池田、藻琴、天塩、西別では「親指と人差し指を開いて計る長さ」。また、沙流では後者と同じ意味では"mowo"、前者の旭川と同じ意味では"siwo"と言う。天塩でも同じく"siwo"と言う。

はがれる(剥がれる) ①(薄いもの、層になったものに関して)[自]剥がれる *soske* (石狩): [他](場所)で剥がれる *esoske* (新): [他]～と共に剥がれる *kososke* (新): [他](場所)から剥がれる、(原因、手段)で剥がれる *ososke* (新): [自]完全に剥がれる *oassoske(assoske)* (新): [自]瞬間的に剥がれる *sostek* (新): [自]滅茶苦茶に剥がれる *toykososke* (新): ②(何かの一部として付いていたもの、何かにへばり付いていたものに関して)[自]剥がれる *meske* (石狩): [他](場所)で剥がれる *emeske* (新): [他]～と共に剥がれる *komeske* (新): [他](場所)から剥がれる、(原因、手段)で剥がれる *omeske* (新): [自]完全に剥がれる *oarmeske(armeske)* (新): [自]瞬間的に剥がれる *mestek* (新): [自]滅茶苦茶剥がれる *toykomeske* (新): ③(木の根元に関して)[自]剥がれる、剥がれ傾く *mewke* (石狩): [自]完全に剥がれる *oarmewke(armewke)* (新): [自](木の根元が剥がれ土を付けたまま傾く *osirkomewe* (石狩): ④(漆など塗料に関して)[自]剥げる *pitce* (石狩): ④[自](何かに化けていたもの)の化けの皮がパッと剥がれる *horkameskosanu* (石狩): [自]化けの皮が剥がれる *horkameske* (新)

はぎしり(歯軋り) [自]歯軋りする *niwkokse* (石狩): [他](人)に歯軋りさせる *niwkoksere* (新)

はきず(歯傷) [名]歯傷 *nimakpir(-i)* (石狩): (表現)熊の歯傷 *eper nimakpiri* (石狩): (表現)熊の歯傷が～に沢山つく *eper nimakpiri o* (新)

パキスタン [場名](国名)パキスタン・イスラム共和国 *Pákistan Islam Ukotankoremosir* (新)※(首都は「イスラマバード」): [場名](国名の通称として)パキスタン *Pákistan*

(新): [名]パキスタン人、国民 *pákistanunkur* (新)

はきだす(吐き出す) [自]ものをペッと吐き出す *ietopse* (新): [他](ペッと唾や口中の異物)を吐き出す *etopse* (石狩): [他](人)に～を吐き出させる *etopsere* (新): [他](ペッと口の中の異物)を吐きだす *ewar* (沙流)

はきもの(履物) [名]履物 *uspe* (石狩): (表現)履物を履く *uspe us* (石狩): (表現)履物を脱ぐ *uspe ama* (石狩): [名]日常の履靴類 *ureunker(-i)* (石狩): [間投](擬声語)シャリなどという履物がたてる音 *sas* (石狩): (表現)シャリという音 *sasum(= sas hum)* (石狩): (表現)下駄の音 *pirakkasasum* (石狩): [間投](下駄の音)カラッカラッ *keuskeus* (沙流)

ハキリアリ(葉切蠅) (昆虫)[名](フタフシアリ亜科)ハキリアリ属 *hamtuye-itunnap-cise* (新): [名]ハキリアリ *hamtuye-itunnap* (新)

はく(穿く、履く) ①(股引、脚半、靴下、靴など腰より下に身につける物)[他]～をはく *us* (石狩)、[他](雅) *cikiruyruke* (新): [他](人)に～をはかせる *uste* (石狩): 「君は私に赤い靴を履かせる。」“*Hure ker e=en=uste*.”: [他]自分で、一人で～をはく *yaykous* (新): [他]互いに、皆で～をはく *ukous* (新): [他]自分に～をはかせる *siuste* (新): ②(上着、下着の関係)[自]上にはく *ikannaus* (新): (表現)上にはく *ika wa ius* (新): [他]～を上にはく *kannaus* (新): (表現)上に～をはく *ika wa ~ us* (新): [他]～の上に～をはく *okannaus* (新): (表現)～の上に～をはく *~ ka(長形-si、-sike) wa ~ us* (新): [他](人)に上に～をはかせる *kannausi* (新): [自]下にはく *ipoknaus* (新): [他]～を下にはく *poknaus* (新): [他]～の下に～をはく *opoknaus* (新): [他](人)に～を下にはかせる *poknausi* (新): ③(下半身に身に着ける事)[自](ズボンなどを)下にはく *ipenawaus* (新): [他]～を下にはく *pánawaus* (新) [他](人)に～を下にはかせる *pánawausi* (新): ④(履物に関して)[他]～をつっかけて履く *ureun* (石狩): [他](人)に～をつっかけて履かせる *ureunte* (新)

はく(掃く) [自]掃く、掃き掃除をする *muysapte* (石狩)、[自] *munnuye* (新)[自] *munnuwe* (天塩)、[自] *sinnuwe* (八雲): [他](ごみ、場所)を掃く *sapte* (石狩)、[他] *nuye* (石狩)※(帯形で複数形 "nuypa")、[他] *nuwe* (八雲): [他](人)に

(ごみ、場所)を掃かせる saptere (新)、[他] nuyere (新)、[他] nuwere (新)
はく(吐く) [自]吐く atu (石狩): [他]～を吐く eatu (石狩): [他](人)に吐かせる ature (新)
はぐ(剥ぐ) ①(木や魚の皮など薄いもの、層になったものに関して)剥ぐ、剥ぎ取る → 「はがす(剥がす)①」を見よ。: ②(衣服に関して)[他]～を剥ぐ、剥ぎ取る toykoama (新)、[他] wénama (新): (表現)～を剥ぎ取る wénama wa uk (複数 uyna) (新): (表現)(人)から～を剥ぎ取る wénama wa kouk (複数 kouyna) (新): [他]～を一枚一枚剥ぐ、剥ぎ取る sospakar (新): [他](人)から～を一枚一枚剥ぐ、剥ぎ取る kosospa (沙流)、[他] kosospakar (沙流): ③(官位などに関し)[他]～を剥ぐ uk (複数 uyna) (新)
はく(拍) [名]拍 uesinnaykoy (新)※(互いの頭の高さ)が違う波)
はく(佩く) [他](刀)を佩く mut (石狩)
バク(獲) (動物)[名](ウマ目)バク科 báku-apa (新): [名]バク属 báku-cise (新): [名]アメリカバク amerikaumbaku (新): [名]タボマニバク tabomanibaku (新): [名]ベアードバク noskiamerikaumbaku (新)※(別名「チュウベイバク」): [名]マレーバク marayuumbaku (新): [名]ヤマバク mobaku (新)
バクー [場名](アゼルバイジャン共和国の首都名)バクー Baku (新)
はぐき(菌茎) [名]菌茎 níur-(i) (石狩)、[名] nimakrus-(i) (天塩)
はくしゃく(伯爵) [名]伯爵 konto (新)※(英語): [名]伯爵夫人 kontes (新)※(英語)
はくしゅ(拍手) [自]拍手する tekkikkik (石狩): (表現)拍手しない somo tekkik (新): [他](場所)で拍手する etekkikkik (新): [他]～へ拍手する、～と共に拍手する kotekkikkik (新): [他](原因、手段)で拍手する otekkikkik (新): [他](人)に拍手させる tekkikkikte (新): [自]自分で、一人で拍手する yaykotekkikkik (新): [自]互いに、皆で拍手する ukotekkikkik (新): [自]思い切り拍手する toykotekkikkik (新): [自]一回拍手する tekkik (石狩)
はくじん(白人) [名]白人 húresisam (石狩)
ばくすい(爆睡) [自]爆睡する mokonrui (石狩): [他](人)を爆睡させる mokonrui (新)
はくせん(白線) [名]白線 retanru-(we) (新): (表現)白線の内側 retanru awna (新): (表現)白線の外側 retanru soyke

(新)
はくせん(白癬) [名]白癬 rúsirma (石狩): [自]～に白癬ができる rúsirmao (新)
はくそ(菌屎) [名]菌屎 nimakteri (石狩)
バグダッド [場名](イラク共和国の首都)バグダッド Bágudado (新)
ばくだん(爆弾) [名]爆弾 pustekpe (新): (表現)爆弾が炸裂する pustekpe putke (新): (表現)爆弾が爆発する pustekpe pustek (新)
バクダンウリ(爆弾瓜) (植物)[名](ウリ科)バクダンウリ属 kaywapunkar-cise (新)※(キクランセラ属とも): [名]バクダンウリの茎 pustekpeuripunkar (新)、[名]その果実 patkepuri (新): [名]カイグアの茎 kaywapunkar (新)、[名]その葉 kaywaham (新)、[名]その果実 kaywa (新)、[名] inka-kiuri (新)
ばくち(博打) [名]博打 pakutci (新)、[名] gambur (新)※(英語): [自]博打を打つ pakutciki (沙流)、[自] gamburki (新): [他](人)に博打を打たせる pakutcikire (新)、[他] gamburkire (新): [名]博打うち pakutcikikur (新)、[名] gamburkikur (新): [名](悪)博打うち pakutcikip (新)、[名] pakutciki-ampe (新)、[名] gamburkip (新)、[名] gamburki-ampe (新)
バクチノキ(博打の木) (植物)[名](サクラ属)バクチノキの茎 kapupitani (新)※(別名「ピランジュ(毘蘭樹)」): [名]バクチノキの葉 kapupitaniam (新): [名]ばくち水 kapupitaniam-wakka (新)
はくとう(白糖) [名]白糖 retattopenota (新)
ばくは(爆破) (表現)～を爆破する ～ pustekka wa perpa (新)、(表現)～ pustekka wa wente (新): (表現)(人)に～を爆破させる ～ pustekkare wa perpare (新)、(表現)～ pustekkare wa wentere (新): (表現)人に～を爆破させる ～ pustekkayar wa perpayar (新)、(表現)～ pustekkayar wa wenteyar (新):
ばくはつ(爆発) [自]爆発する pustek (石狩)、[自] pus (石狩): [他](場所)で爆発する epustek (新)、[他] epus (新): [他]～と共に爆発する kopustek (新)、[他] kopus (新): [他](原因、手段)で爆発する opustek (新)、[他] opus (新): [他]～を爆発させる pustekka (石狩)、[他] puste (新): [自]完全に爆発する oarpustek (arpustek) (新)、[自] oarpus (arpus) (新): [自]爆発しやすい pusno (pusnu) (新): [自]激しく爆発する pusruy (新):

[自]爆発しまくる toykopustek (新)、[自] toykopus (新): [名]爆発物 pusnop (pusnup) (新)

ハクビシン(白鼻芯) (動物)[名](ジャコウネコ科)ハクビシン属 eturuweretar-omawkusmekot-cise (新): [名]ハクビシン eturuweretar-omawkusmekot (新)

はくまい(白米) [名]白米 retaramam(-a) (石狩)

ハグマノキ(白熊の木) (植物)[名](ウルシ科)ハグマノキ属 supuyaotni (新): [名]ハグマノキの茎 supuyaotni (新)

はくめい(薄命) [自]薄命である sukup-etakne (屈斜路)

ばくらい(爆雷) [名]爆雷 rawepustekpe (新)、[名] rawkuskecipkoyki-pustekpe (新)

はぐる [他]～をはぐる kiru (石狩): 「私は石をはぐってミミズを沢山捕まえた。」
“Suma ku=kiru wa imok poronno ku=uk.”: [他](人)に～をはぐらせる kirure (新)

ハクレン(白鯧) (魚介)(アブラミス亜科)ハクレン属 riencep-cise (新)※(中国語「鯧魚」): [名]ハクレン riencep (新)

ハゲコウ(禿鶯) (鳥)[名](コウノトリ科)ハゲコウ属 epitce-hawsaksarorun-cise (新): [名]アフリカハゲコウ afrikaepitce-hawsaksarorun (新): [名]オオハゲコウ síepitce-hawsaksarorun (新): [名]コハゲコウ moepitce-hawsaksarorun (新)

はげしく(激しく) ①[自]激しくなる、激しい yupke (石狩)、[自]激しい ruy (石狩): 石狩方言では“yupke”は 1)“yupke pesos”「激しい糞」と修飾語としても、2)“pesos yupke”「糞が激しい」と述語としても用いる事ができる。しかし“ruy”は“pesos ruy”と2)の用法しかないので注意が必要。但し今後は他方言に見られる修飾語としての用法も認めるものとする。尚“ruy”は自動詞と結びつき「～が激しい」という意味の自動詞を形成する。: [他](場所)で激しくなる、激しい eyupke (新): [他]～と共に激しくなる、激しい koyupke (新): [他](原因、手段)で激しくなる、激しい oyupke (新): [自]充分激しくなる、激しい yupkeno (yupkenu) (新): [自]完全に激しくなる、激しい oaryupke (aryupke) (新): [自]ひどく激しくなる、激しい toykoyupke (新)、[自] rayyupke (新)、[自] weyyupke (新): [自]とても激しくなる、激しい yupkeyupke (石狩)、[自]激しい ruyruy (沙流): (表現)激しくなる、激しい sonno (sino) yupke (石狩)、[自]激しい sonno (sino) ruy (新):

[他]～を激しくする yupkeka (yupkere) (新): [他](人)に～を激しくさせる yupkekare (yupkerere) (新): [副]激しく yupkeno (石狩)、[副] ruyno (石狩)、[副] yupke (石狩)、[副] ruy (石狩): ②[接頭]動詞に接頭して項の数を変えずある状態や動作が「激しい」事を表す sirko- (石狩): sirko+kik (～を一回叩く) → sirkokik 「～を激しく一回叩く」: [接頭] toyko- (石狩): toyko+kikkik (～を何度も叩く) → toykokikkik 「～を激しく何度も叩く」: アイヌ語沙流方言辞典によると沙流方言では似た意味の接頭辞“sirko-”との間には、①接頭する動詞、②ニュアンスに違いがあるという。石狩川筋では“sirko-”が接頭した動詞の例が少ないため尚詳細不明ながら、目下①について当てはまる事が確認できる。また、接頭辞“toy”の間では“toytukan”「(樽や人)をぶっ飛ばす」、「toykotukan」(鉄砲)を打ちまくる」のように同じ動詞に接頭して用法が少し違う例が見られるものの、“toynospa”、“toynospakar”、“toykonospa”「激しく～を追いかける」と基本的に違いはないと考えられる。: [接頭]動詞に接頭して項の数を変えずある動作が「激しい」事を表す ray- (石狩): ray+kimatek (慌てる) → raykimatek 「激しく慌てる」: [接頭]動詞に接頭して項の数を変えずある動作が「激しい」事を表す wén- (石狩): wén+kopasrota (～を罵る) → wenkopasrota 「激しく～を罵る」: ③(気性に関して)[自]激しくなる、激しい yupke (石狩): [自] sakan (沙流): [名]激しい気性 yupkekewtum(-u) (石狩)、[名] sakanram(-i) (沙流): [自]気性が激しくなる、激しい kewtumuyupke (石狩): [自]気性が激しい yupkekewtumkor (新)、[自] sakanramkor (沙流): [副]激しく yupkeno (yupke) (石狩)、[副] sakan (沙流): (表現)(鳥が)短気に激しく鳴く声が賑やかである sakan rek hawe pepun (沙流)

バケツ [名]バケツ nitus (新): 本来は樺皮製の桶。今後は様々な素材のものを“nitus”とする。: [名]金バケツ káninitus (新): [名]ゴムバケツ gumnitus (新): [名]布バケツ senkaki-nitus (新): [名]プラスチックバケツ、ポリバケツ purastiknitus (新): [自]バケツリレーをする nituseucaste (新)、[自] nituseupaste (新)

ばけのかわ(化けの皮) [自](何かに化けていたものの)化けの皮がパッと剥がれる horkameskosanu (石狩): [自]化けの皮が剥がれる horkameske (新): [他](何かに

化けていたもの)の化けの皮を剥がす
horkamesu (新)

はげます(励ます) [自]励ます orosutke (萱):
[他](場所)で励ます eorosutke (新): [他]
〜と共に励ます koorosutke (新):
[他](原因、手段)で励ます oorosutke (新):
[他](人)を励まさせる orosutkere (新):
[自]人を励ます ikoorosutke (萱):
[他](人)を励ます koorosutke (静内):
[他](人)に(人)を励まさせる koorosutkere
(新): [他]自分で〜を励ます
yaykokoorosutke (新): [他]互いに、皆で
〜を励ます ukokoorosutke (新): [他]思
い切り〜を励ます raykoorosutke (新):
[他]人に〜を励ましてもらう
koorosutkeyar (新): [自]人に自分を励ま
してもらう sikoorosutkeyar (新): [自]
自分を励ます yaykoorosutke (萱): [自]
励まし合う ukoorosutke (新): [他]思い
切り励ます toykoorosutke (新)

はげもの(化物) [名]化物 kamiasi (石狩)、
[名] okokko (石狩)、[名] osoyumpe (沙
流): (表現)悪い化物 wen kamiasi (石
狩): [名]人に化ける化物 isinnirep (石
狩)

はげやま(禿山) [名]禿山 atusanupuri (新)、
[名] epitcenupuri (新)

はげる(化ける) [自]化ける yaykar (石狩)、
[自] yaykarkar (石狩): (表現)〜に化け
る 名詞 + ne + yaykar (あるいは
yaykarkar) (石狩): [他]〜に化ける
sinere (沙流)

はげる(禿げる) [自]禿げる、禿げている
tontone (石狩)、[自] kepne (石狩、天塩):
[自]頭が禿げる、頭が禿げている etontone
(石狩): [自](悪) ekapke (天塩): [自]一
部が禿げる epitce (石狩): [自]禿げあが
る、禿げあがっている yukkerkor (石狩):
[名]ツルっ禿の禿頭 tontosapa (石狩):
[名]てっぺんが禿げた禿頭 kepsapa (石
狩): [名]少しは毛のある禿頭 pitcesapa
(新): [名](禿た人への悪口として)禿
epitce (石狩)

はげる(剥げる) (塗り物の漆に関して)[自]剥
げる pitce (石狩)、[自] pitte (石狩)、
[自] us (石狩): (表現)漆が剥げる ussi
us (石狩)

はけん(派遣) [自]人を派遣する iuytek (石
狩): [他]〜を派遣する uytek (石狩):
[他]〜の件で〜を派遣する euytek (石狩):
[他](場所)に〜を派遣する uytekkar (石
狩): [他]〜と共に〜を派遣する kouytek
(新): [他](原因、手段)で〜を派遣する
ouytek (新): [他](人)に〜を派遣させる

uytekte (新)

はこ(箱) [名]箱 supop (石狩)、[名] suop
(新)

はごく(破獄) [自]破獄する rówente (新)、
[自] setcari (新): (表現)破獄する ro
wente (新): [他](人)に破獄させる
rówentere (新)、[他] setcarire (新)

はこぶ(運ぶ) [自]物を運ぶ irura (新):
[他]〜を運ぶ rúra (石狩): [他](場所)で
〜を運ぶ erura (新): [他](場所)へ〜を
運ぶ korura (新): [他]〜と共に〜を運ぶ
korura (新): [他](原因、手段)で運ぶ
orura (新): [他](人)に〜を運ばせる
rúrare (新): [他]自分で、一人で〜を運ぶ
yaykorura (新): [他]皆で、共に〜を運ぶ
ukorura (新): [他]完全に〜を運ぶ
oanrura (anrura) (新): [他]ひどく〜を
運ぶ toykorura (新): [他](中相)〜が運
ばれる cirura (新): [他]人に〜を運ばせ
る rúrayar (新): [自]人に自分を運ばせ
る、運んでもらう sirurayar (新)

はこぼり(箱堀) [名]箱堀 supop-pecir (新)

はこぼれ(刃毀れ) [自]刃毀れする
notakumeske (新)

ハコヤナギ(箱柳) →「ヤマナラシ(山鳴らし)」を
見よ

ハゴロモギク(羽衣菊) (植物)[名](キク科)ハゴ
ロモギク属 afrikakikukina-cise (新)※
(アークトチス属とも): [名]ハゴロモギクの
茎葉 síafrikakikukina (新)、[名]その花
síafrikakiku (新)※(別名「アフリカギク」):
[名]ヴェヌスタの茎葉 venusta-
afrikakikukina (新): [名]ヒメアフリカギ
クの茎葉 moafrikakikukina (新): [名]
ヒルスタの茎葉 hirsuta-afrikakikukina
(新): [名]ファスウオーサの茎葉
fastuosa-afrikakikukina (新)※(別名「カン
ザキジャノメギク」)

ハゴロモモ(羽衣藻) (植物)[名](スイレン科)ハ
ゴロモモ属 pusaratnep-cise (新): [名]
ハゴロモモの茎葉 pusaratnep (新)※(別
名「フサジュンサイ」、「グリーンカボンバ」):
[名]イエローカボンバの茎葉 poro-
pusaratnep (新): [名]レッドカボンバの
茎葉 húre-pusaratnep (新)

はさみ(鋏) [名]鋏 ituyekani (樺太)

はさむ(挟む、挿む) ①(箸、指先、割木など
に)[自]物を挟む、挿む ikupa (新): [他]
〜を挟む、挿む kupa (石狩): [他]〜に〜
を挟ませる。挟ませる kupare (石狩):
[他]〜の先に〜を挟む、挿む ekupare (石
狩): [他](人)に〜の先に〜を挟ませる、挿ま
せる ekuparere (新): [他]〜の末尾に〜
を挟む、挿む okupare (新): [他](人)に

～の末尾に～を挟ませる、挿ませる
 okuparere (新): [他]～をがっちり挿む
 kupapa (新): ②(動かぬように手などに)[自]物を挟む、挿む ikisma (新): [他]
 ～を挟む、挿む kisma (石狩): [他]～に
 ～を挟ませる、挿ませる kismare (新):
 [他]～をしっかり挟む、挿む toykokisma
 (石狩): ③(表現)(二つのものの間に)の間に
 ～を挟む、入れる、置く utur (長形-u、-rke、
 -uke)～ omare (石狩): (表現)(二つ、ある
 いはそれ以上)の間に～を挟む、入れる、置く
 ukowtur (長形-u、-ke、-uke)～ omare (石
 狩): [位名]～の挟んだ間 nikor (長形-o)
 (石狩): 「パンの間に肉を入れて食べる。」
 “Munkisito nikor kam an=omare .”

ハザラ [名]ハザラ人 hazarakur (新)

はし(橋) [名]橋 riwka (石狩、天塩)、[名]
 ruyka (比布): (表現)橋の欄干 riwka
 teke (石狩)

はし(端) ①[位名]～の端 kes(長形-e、-eke)
 (石狩): [位名]～の端 ohonkes(長形-e、-
 eke) (石狩): sik(目)+ohonkes →
 sikohonkes 「目尻」: tu(峰)+ohonkes →
 tuohonkes 「(少し上の方の)山の麓」: ②[接
 頭](動詞などに接頭し項の数を一つ減らし
 て)端 ho- (石狩): [接頭](動詞などに接頭
 し項の数を減えず)その端 o- (石狩): ③
 [自](コタンカラカムイの特徴の描写に於い
 て、着ている厚司の裾、佩いている刀の鞘尻
 が焦げている、あるいは燃えているように真
 紅である事を表わし)端が焦げている
 ouhuy (ouuy) (石狩): 「…焦げた(真紅
 の)楡皮の厚司焦げた(真紅の)刀の鞘がちら
 ちらする姿を私は見て…」 “… ouhuy
 nikapattus ouhuy emussirka u kari siri
 an=nukar ki wa…” (杉村キナラブック)神謡:
 この他砂沢クラ フチの婦女詞曲には “…
 uhuy sirka uhuy atusi kari sirihi tampe
 patek aynu katu ne a=nuye oman tek…” “…
 焦げた(真紅の)鞘、焦げた(真紅の)厚司がちら
 ちらする様子、こればかり人間の姿に描かれ
 ていって…” とオキクルミが描写されている。

はし(箸) [名]箸 pasuy (石狩): [名](食事を
 するための二本一組になった木の)箸
 ipepasuy (石狩)、[名] cieypepasuy (天
 塩)

はしか(麻疹) [名]麻疹 hasika (石狩)

バシキール [名]バシキール人 baskortokur
 (新): [名]バシキール語 baskortokur-itak
 (新)※(チュルク諸語北西語群に属する言語)

はじく(弾く) ①(指で)[他]～を弾く
 hampetopkar (石狩)、[他] hampitakkar
 (天塩)、[他] hampita (ampita) (八雲)、
 [他] toptukan (沙流): [他](人)に～を弾

かせる hampetopkare (新)、[他]
 hampitakkare (新): ②(足の先で)[他]
 ureetusseka (新)※(幌別)

はしくれ(端くれ) (表現)～の端くれ 名詞 +
 rak pe (石狩): 男の端くれ okay rak pe
 (石狩)

はしげた(橋桁) [名]橋桁 riwka-sopesni
 (新)、[名] ruyka-sopesni (新)

はしご(梯子) [名]梯子 nikar (石狩)

バシコルトスタン [場名](ロシア連邦沿ヴォ
 ルガ連邦管区の構成主体名)バシコルトスタ
 ン共和国 Bakortostan Ukotankoremosir
 (新)※(首都は「ウファ」): [場名](国名の通
 称として)バシキリヤ Baskiriya (新)

はしたがみ(端神) [名]端神、位の低い神
 pakusakamuy (石狩)

ハシバミ(榛) (植物)[名](カバノキ科)ハシバミ
 属 hastaypani-cise (新): [名]ハシバミ
 の茎 hastaypani (新)※(灌木林の上手木)、
 [名]その果実 hastaypaninum (新)※(ハシ
 バミの変種。別名「オヒョウハシバミ」):
 [名]アメリカハシバミの茎 amerika-
 hastaypani (新): [名]エゾハシバミの茎
 yaun-hastaypani (新)※(ハシバミの変種):
 [名]オオツノハシバミの茎 porokirawus-
 hastaypani (新): [名]オオハシバミの茎
 poro-hastaypani (新)※(ハシバミの変種):
 [名]カナダハシバミの茎 kanada-
 hastaypani (新): [名]シナハシバミの茎
 atuyya-hastaypani (新): [名]セイヨウハ
 シバミの茎 repun-hastaypani (新)、[名]
 その果実 repun-hastaypaninum (新)、
 [名] házennut (新)※(ヘーゼルナッツ):
 [名]ツノハシバミの茎 kirawus-hastaypani
 (新): [名]トックリハシバミの茎 tokkuri-
 hastaypani (新)※(ツノハシバミの変種):
 [名]トルコハシバミの茎 oriento-
 hastaypani (新): [名]フィルバートの茎
 ferbertoni (新)、[名]その堅果
 firbertoninum (新)、[名] firbertonut
 (新)

はじまる(始まる) [自]始まる heasi (幌別)、
 [自] siheasire (新): [他](場所)で始まる
 eheasi (新): [他]～と共に始まる
 koheasi (新): [他](原因、手段)で始まる
 oheasi (新)

はじめ(初め) ①[位名](時間的に)～の初めに
 atpa(長形-ke、-k) (新): 石狩方言として
 は atpake、天塩方言としては atpak の語形
 のみが確認されているが、今後沙流方言を短
 形として他は長形として使う。:(表現)～の
 初めに atpake ta (石狩): (表現)～の初
 めの atpake ta an (石狩): (表現)～の初
 めから atpake wa(-no) (石狩): (表現)～

の初めからの atpake wa(-no) an (石狩):
 ②[副]初めに hoski (石狩)、[副] hoskino
 (石狩): (表現)初めの hoski an (石狩):
 (表現)一番初めに iyotta hoski (石狩):
 ③[副]初めは easir (石狩): 「私は初めは
 何も知らず不安だったが、今は慣れた。」

“Easir nep ne yakka ku=eramuskare no
 ku=kiumwen korka tane ku=eraman .”:
 [副]初めて asinno (石狩)、[副] easir
 (石狩): [後副](接続助詞、接続詞の後に用い
 られ)～(して)初めて eas (石狩)、[後副]
 easno (石狩): 「貴方がこれを食べ初めて
 アイヌ料理を食べたと言えるでしょう。」

“Tampe es=e yak eas aynuipe es=e yak
 e=ye easkay nankor .”, 「私は彼と別れて初
 めて本当に彼を愛していた事が分った。」

“ Ku=osura ayke easno sonno
 ku=erasamay hi ku=eraman .”

はじめる(始める) [他]～を始める heasire
 (幌別): [他](場所)で～を始める eheasire
 (新): [他]～と共に～を始める koheasire
 (新): [他](原因、手段)で～を始める
 oheasire (新): [他]～に～を始めさせる
 heasirere (新): [他]自分で、一人で～を始
 める yaykoheasire (新): [他]共に、皆で
 ～を始める ukoheasire (新)

ばしや(馬車) [名]馬車 umma-karipkorpe
 (新)、[名] umma-kuruma (新)

パジャマ [名]パジャマ hotke-cimip (新)、
 [名] hotke-anmip (新)、[名] pájamas
 (新)※(英語): (表現)パジャマを着る
 hotke-cimip mi (新): (表現)パジャマを脱
 ぐ hotke-cimip ama (新)

バシュトウ [名]バシュトゥーン人 pastonkur
 (新): [名]バシュトウ語 pastonkuritak
 (新)

ばしょ(場所) ①[場名](動詞句や連体詞の後に
 用いられ場所 usike (石狩): (表現)(以前
 に話題に上るなどして話し手、聞き手双方が
 了解している)その場所に néa usike (石
 狩): ②(表現)～する場所 動詞句+ hi
 (石狩、天塩): 「僕と君と出会った場所で会
 おう。」“E=nukar=an hi ta unukar=an
 ro!”: ③(表現)(幾つかの場所を比較して)
 ～する方の場所 動詞句+ hike (新):
 「ここからは海が見えないよ。海が見える場
 所に行ったら。」“Te orwa anakne atuy somo
 an=nukar na . Atuy an=nukar hike ekota
 e=oman yak pirka .”: ④(表現)いつも～す
 る場所 動詞句+ usi (石狩): 「いつも私
 が行く場所に今日も私は行った。」“Otta
 ku=oman usi ta ku=oman .”: ⑤(歴史)
 [名](場所請負制下の)場所 baso (新):
 [名]運上屋 unco (宗谷): [場名]会所

kaysor (浦河)、[名] kuhayso (八雲)

バショウ(芭蕉) (植物)[名](ショウガ目)バショ
 ウ科 úni-apa (新): [名]バショウ属
 úni-cise (新): [名]バショウの茎
 ssambananani (新): [名]イトバショウ
 úni (新)※(琉球語「ウー」。別名「リュウキ
 ュウバショウ」): [名]バナナの茎
 bananani (新): [名]マニラアサの茎
 maynirauni (新): [名]エンセーテ属
 ensete-cise (新): [名]ムセーラ属
 musera-cise (新)

はしょうが(葉生姜) [名]葉生姜 hamsioa
 (新)、[名] cihamkoe-sioga (新)

はしら(柱) [名]柱 ikuspe (石狩)

はしる(走る) ①[自]走る hoyupu (複数
 hoyuppa) (石狩): [他](場所)に走る
 ehoyupu (複数形 ehoyuppa) (石狩)、[他]
 kohoyupu (複数 kohoyuppa) (新): [他]
 ～と共に走る ehoyupu (複数形
 ehoyuppa) (新)、[他] kohoyupu (複数
 kohoyuppa) (新): [他](原因、手段)で走る
 ohoyupu (複数 ohoyuppa) (新): [自]自分
 で、一人で走る yaykohoyupu (複数形
 yaykohoyuppa) (新): [自]互いに、皆で走
 る ukohoyuppa (新): [自]一人で走る
 yayhoyupure (新): [自]皆で走る
 uhoyuppare (新): [自]思い切り走る
 toykohoyupu (複数形 toykohoyuppa) (新):
 [他]～を走らせる hoyupure (複数
 hoyuppare) (石狩)、[他](雅語) paste (石
 狩): [他](場所)に～を走らせる
 ehoyupure (複数 ehoyuppare) (石狩)、[他]
 kohoyupure (複数 kohoyuppare) (新):
 ②(主に合成語の構成要素として)[自]走る
 cas (石狩)、[自] pas (石狩)

はず(筈) → 「はず(筈)」

ハス(蓮) (植物)①[名](スイセン科)ハス属
 pékasoyacise-ikkew-cise (新): [名]ハス
 の根茎 pékasoyacise-sinrit (新)、[名]
 renkon (新)、[名]その葉 pékasoyacise-
 ham (新)、[名] hasu-ham (新)、[名]その
 花茎 pékasoyacise-ikkew (新)、[名]
 hasu-ikkew (新)、[名]その花
 pékasoyacise-apappo (新)、[名] hasu-
 apappo (新)、[名]その花托 pékasoyacise
 (新)、[名]その果実 pékasoyaciseorop (新)、
 [名] hasuop (新)、[名]その若芽
 pékasoyacise-epuy (新)、[名] hasu-epuy
 (新): [名]キバナハスの根茎
 esikerpepeus-pekasoyacise-sinrit (新)、
 [名] esikerpepeus-renkon (新): ②[名]
 ハス状果 pékasoyacise-oropne-ikaop(-i)
 (新)

はずかしい(恥ずかしい) ①[自]恥ずかしい、恥

ずかしいと思う、恥ずかしがる **yaysitoma** (石狩): [他]～を恥ずかしいと思う **eyaysitoma** (石狩): [他]～と共に恥ずかしいと思う **koyaysitoma** (新): [他](原因、手段)で恥ずかしいと思う **oyaysitoma** (新): [他](人)を恥ずかしい、恥ずかしいと思わせる **yaysitomare** (新): [自]自分で、一人で恥ずかしいと思う、恥ずかしがる **yaykoyaysitoma** (新): [自]互いに、皆で恥ずかしいと思う **ukoyaysitoma** (新): [自]ひどく恥ずかしいと思う **toykoyaysitoma** (新)、[自] **weyyaysitoma** (新)、[自] **rayyaysitoma** (新): [他]人に～を恥ずかしいと思わせる **eyaysitomayar** (新): ②[自]恥ずかしがって身を縮める、身が縮む程恥ずかしい思いをする **yaynikorosma** (石狩): [他]～について恥ずかしがって身を縮める、身が縮む程恥ずかしい思いをする **eyaynikorosma** (石狩)

はずす(外す) ①[他]～を外す **ama** (石狩)、[他] **make** (萱野): 本来は身に付けたもの「を外す」事だが、今後は部品など「を外す」の意味にも使う。: (表現)耳輪を外す **ninkari ama** (石狩): [他](場所)で～を外す **eama** (新): [他](場所)に～を外す **koama** (石狩): [他]～と共に～を外す **koama** (新): [他]～のために～を外す **oama** (新): [他](人)に～を外させる **amare** (新): ②(弓を射た人などが狙っていたものに関して)[他]～を外す **hayta** (石狩): 今後くじや予想などに関しても使う。: [他](場所)で～を外す **ehayta** (新): [他]～と共に～を外す **kohayta** (新): [他](原因)で～を外す **ohayta** (新): [他](人)に～を外させる **haytare** (新): ③(弓を射られたものが矢などに関して)[他]～を外す **tesu** (新): [他](場所)で～を外す **etesu** (新): [他]～と共に～を外す **kotesu** (新): [他](原因、手段)で～を外す **otesu** (新): [他](人)に～を外させる **tesure** (新)

バスタオル [名]バスタオル **teyneke-w-pirpap** (新)、[名] **tompuri-cioipirpap** (新)、[名] **bastawor** (**bastower**) (新)※(英語)

はずれ(外れ) [位名]～の外れ **kes**(長形・e・eke) (石狩): [場名]町外れ **maciyakes**(長形・e、-eke) (新): [場名]村外れ **kotankes**(長形・e、-eke) (石狩)

はずれる(外れる) ①(装飾品や部品などに関して)[自]外れる **siam** (新): ②(弓を射た人などが狙っていたもの、くじや予想に関して)[自]外れる **sihayta** (新): ③(弓を射られたものが矢などに関して)[自]～を外れる、外す **teske** (石狩): ④(道や位置などに関

して)[他]～から外れる **ehosi** (**eosi**) (石狩): [後副]～から外れて **ehosi** (**eosi**) (石狩)、[後副] **ekohopi** (**ekopi**) (石狩)

バスローブ [名]バスローブ **tompurirobe** (新)、[名] **basrobe** (新)※(英語)

バセテル [場名](セントクリストファー・ネイビス連邦の首都名)バセテル **Basetere** (新)

パセリ →「オランダゼリ(和蘭芹)」を見よ

はぜる(爆ぜる) ①(栗が)[自]爆ぜる **patke** (**pakke**) (石狩): [他](場所)で爆ぜる **epatke** (**epakke**) (新): [他]～と共に爆ぜる **kopatke** (**kopakke**) (新): [他](原因、手段)で爆ぜる **opatke** (**opakke**) (新): [他]～を爆ぜさせる **patkere** (**pakkere**) (新): [自]完全に炸裂する **oarpatke** (**oarpakke**) (新)、[自] **arpatke** (**arpakke**) (新): [自]爆ぜまくる **toykopatke** (**toykopakke**) (新): ②(火薬や火中の薪が)[自]爆ぜる **pustek** (石狩)、[自] **pus** (石狩): [他]～を爆ぜさせる **pustekka** (新)、[他] **puste** (新): ③(たき火が)[自]パチパチと爆ぜる **pakakse** (沙流): [他]～をパチパチ爆ぜさせる **pakaksere** (新)

はた(旗) [名]旗 **hata** (石狩)、[名] **inusukpe** (八雲)、[名] **yákasenkaki** (新)

はた(機) [名]機 **isitayki** (新): 本来 "attukarpe"と同じものを指すが、今後は「機」類の総称として用いていく。: [名]厚司を織るための機(はた) **attuskarpe** (石狩): [名]綜紵(機の下糸の分離器) **kamakap** (石狩): [名]杼(木の篋) **attuspera** (石狩): [名]箆 **wossa** (石狩)

はだ(肌) ①[名]肌 **kankap**(-u) (H): [名](雅)肌の輝き **kamnipeki** (石狩): 「…私の肌の輝きは素晴らしく白く…」 “…an=kamnipeki irammakaka retar siri ne…” (杉村キナラブク)婦女詞曲: (表現)(小袖が引き裂かれ)小袖(の裂け目)から肌が露になる **mi kosonte kamu kasi ioposore** (石狩): 「私の着る小袖(の裂け目)から肌が露にまり…」 “…an=mi kosonte an=kamu kasi ioposore…” (砂沢クラ)婦女詞曲: ②(現在の呼称として)[自]肌色になる、である **runikap-irone** (新)、[自] **can-nikap-irone** (**pan**-) (新): [他]～を肌色にする、染める **runikap-ironeka** (**-ironere**) (新)、[他] **cannikap-ironeka** (**pan**-) (新)、[他] **can-nikap-ironere** (**pan**-) (新): [名]肌色 **runikap-iro** (新)、(新) **can-nikap-iro** (**pan**-) (新): ③(差別的として廃止された呼称)[名]肌色 **aynuKap-iro** (新)

はたおり(機織) [自]機織する **isitayki** (天塩)、[自] **ioske** (石狩): "ioske"が「編み

物をする」も意味するため、今後は"isitayki"を用いる方が好ましい。： [他](人)に機織させる isitaykire (新)

はだか(裸) (表現)裸、裸の姿 atusa siri (sir) (石狩)、(表現) atusa ruwe (ru) (新)： [自]裸になる、裸である atusa (複数 atuspa) (石狩)※(複数形の用例は稀)： [他]～を裸にする atusare (atuspare) (石狩)： (表現)素っ裸になる oarar atusa (石狩)、(表現) arar atusa (石狩)： oarar + atusa(裸になる)→[自]素っ裸になる oararatusa = araratusa (石狩)：「私は酔っぱらって素っ裸になった。」“Ku=iyoski wa oarar ku=atusa (= arar ku=atusa、ku=oararatusa、ku=araratusa).”

はだぎ(肌着) [名]女物の肌着類 mour (石狩)： 用例からすると伝統的な物に限らず現代の様々なものをこう呼べるが、語感の古臭さは否めず、新語の創作については女性に任せたい。： (表現)肌着を着る mour mi (石狩)： (表現)肌着を脱ぐ mour ama (石狩)： [名]腹を半分までしか隠さない(少女の?)モウル samaki-honikotkor (石狩)

はたけ(畑) [名]畑 toytousi (蝦夷記)、[名]toy (石狩)、[場名] toyor (石狩)： [名]麦畑 mugitoy (新)： [名]大根畑 taykotoy (新)： [名]芋畑 imotoy (新)： [名]畑仕事 toymonrayke (石狩)： (表現)畑仕事をする toymonrayke ki (石狩)

ハタゴイソギンチャク(旅籠磯巾着) (魚介)[名](イソギンチャク目)ハタゴイソギンチャク科 iyantokor-heunnay-apa (新)： [名]ハタゴイソギンチャク iyantokor-heunnay (新)： [名]イボハタゴイソギンチャク tomtomo-iyantokor-hetunnay (新)： [名]ウスカワイソギンチャク kapukapar-heunnay (新)： [名]オオサンゴイソギンチャク sisangu-heunnay (新)： [名]キッカイソギンチャク opompakiiyantokor-heunnay (新)： [名]グビジンイソギンチャク tomtomus-heunnay (新)： [名]サンゴイソギンチャク sangu-heunnay (新)： [名]シマキッカイイソギンチャク ikotekkorompak-iyantokor-heunnay (新)： [名]シライトイソギンチャク retarkaiyantokor-heunnay (新)： [名]タマイタダキイソギンチャク etamaun-iyantokor-heunnay (新)

はだし(裸足) [名]裸足 kessakcikir(i) (新)： [自]裸足になる、裸足である kessak (石狩)、[自] kersak (天塩)、[自] urecikinne (石狩)： [他](人)を裸足にする kessakka (新)、[他] urecikinnere (新)： [副]裸足で kessakno (石狩)、[副]

urecikinneno (石狩)

はたち(二十歳) [名]二十歳 hot (石狩)、[場名] hotne pa (新)

ばたばた ①[間投](擬音)バタバタ tappa (石狩)、[間投](擬音) cikacika (沙流)： [間投](擬態)バタバタ payepaye (沙流)： ②(暴れて)[自]足(や尾)をばたばたする hotappa (石狩)、[自] cihotappare (石狩)、[自] hocikacika (沙流)： 「…魚であれ海獣であれ水がないものだから尾をばたばたし…」“…cep ne ciki cikoykip ne ciki wakka isam pe ne kusu cihotappare…”(杉村キナラブック)神謡： [他](場所)で足をばたばたする ehotappa (新)： [他]～と共に足をばたばたする kohotappa (新)： [他](原因、手段)で足をばたばたする ohotappa (新)： [他]～に足をばたばたさせる hotappare (新)、[他] hocikacikare (沙流)： ③(だだをこねて)[自]座り込んで足をばたばたさせてだだをこねる hokerekere (沙流)： [他]～と共に座り込んで足をばたばたさせてだだをこねる kohokerekere (沙流)： (表現)座り込んで泣いて足をばたばたさせてだだをこねる cis ne an pe kohokerekere (沙流)： [自]座り込んで泣いて足をばたばたさせてだだをこねる ciskohokerekere (沙流)： ④(暴れる訳ではなく足を曲げ伸ばしする)[自]足をばたばたする hopayepaye (沙流)

はたらき(働き) [名]働き monrayke (石狩)： [名]働き蟻 monraykeitunnay (新)： [名]働き蜂 monraykesoya (新)： [名]働き者 niwasnukur (新)： かつては monraykekur が「働き者」であったが、「働く人」、「労働者」と区別するため先の造語を行った。

はたらく(働く) ①[自]働く monrayke (石狩)、[自] nepki (沙流)、[自](雅語) irawe (石狩)、[自](雅語) irawkitupa (irawkitopa) (石狩)、[自](雅語) urawkitupa (urawkitopa) (石狩)： [他](場所)で働く emonrayke (新)、[他] enepki (新)： [他]～と共に働く komonrayke (新)、[他] konepki (新)： [他](手段、目的)で働く omonrayke (新)、[他] onepki (新)： [他](人)を働かせる monraykere (新)、[他] nepkire (新)： [自]自分で、一人で働く yaykomonrayke (新)、[自] yaykonepki (新)： [自]互いに、皆で働く ukomonrayke (新)、[自] ukonepki (新)： [自]滅茶苦茶働く toykomonrayke (新)、[自] toykonepki (新)： [他](人)を働かせる monraykere (石狩)： (表現)鉱夫として～を働かせる uhuysumatakur ne

monraykere (新): [名]働き手
monraykekur (monraykehike) (新)、[名]
nepkikur (nepkihihe) (新): ②[自]かい
がいしく働く niwasnu (石狩): [他](人)
をかいがいしく働かせる niwasnure (新)

はち(八)①[名]八人 tupesaniw (石狩): (表
現)女性八人 menoko tupesaniw (新):
[連体]八人の tupesani (石狩): (表現)八
人の女性 tupesani menoko (新): [自]八
人になる、である tupesaniwne (新):
[副]八人で tupesaniwne (新): (表現)八
人一组でする、行動する tupesaniw-
esinepne iki (新): (表現)八人一组で~す
る tupesaniw-esinepne ki (新): (表
現)(人)に八人一组で~させる tupesaniw-
esinepne kire (新): [自]八人一组になる
tupesaniw-esinepne (新): [他](人)を八人
一组にする tupesaniw-esinepneka
(tupesaniw-) (新): ②[名]八、八匹、八個
など tupesampe (石狩): [連体]八の
tupesani (石狩): [副]八匹で、八個に
tupesampene (新): (表現)八匹一组です
る、行動する tupesampe-esinepne iki
(新): (表現)八匹一组で~する
tupesampe-esinepne ki (新): (表現)~に
八匹一组で~させる tupesampe-esinepne
kire (新): [自]八匹、八個一组になる
tupesampe-esinepne (新): [他]~を八匹、
八個一组にする tupesampe-esinepneka
(tupesampe-) (新): ③[名・副]八回
tupesaysuy (新)

はち(鉢)[名]鉢 patci (石狩)、[名] páci (石
狩)

はち(罰)[自]罰が当たる parkoat (石狩、天
塩)、[自] paroat (石狩)、[自] pacikoat
(十勝)、[自] pacikoan (幌別): 「おい、
罰が当るぞ!」“Ayapo, paroat kuni!” (砂
沢クラ): [他]~で罰が当たる eparkoat
(石狩、天塩)、[他] epacikoat (新)、[他]
epacikoan (新)

はち(撥)①[名](三味線、琵琶などの)撥
toptukannit (新)※(弾く柄): ②[名](太鼓
の)撥 kacokikni (新)

はちがつ(八月)[名]八月 kunnesuscup (石
狩)、[名] siniyoorap (南空知)

バチカン [場名](国名)バチカン市国
Vatikan-si Mosir (新): [場名]バチカン市
Vatikan-si (新): [名]バチカン市民
vatikan-siunkur (新)

ハチク(淡竹)(植物)[名](マダケ属)ハチクの茎
yayaysitopto (新)、[名] perkenositop
(新)※(クロタケの変種。別名「アワタケ」、「ク
レタケ」、「カラタケ」): [名]ハチクの筍
yayaysitopto (新)、[名] húresitopto (新)

はちじゅう(八十)①[名]八十人 inehotnen
(新): ②[名]八十四、八十個、八十歳など
inehotnep (新)、[名] inehot (新): ③[連
体]八十の inehotne (新): (表現)八十人
の女性 inehotne menoko (新): (表現)八
十匹の魚 inehotne cep (新): (表現)八十
年、歳 inehotne pa (新)

ハチドリ(蜂鳥) (鳥)[場名](アマツバメ目)ハチ
ドリ亜目 soyacikap-mokotan (新): [名]
ハチドリ科 soyacikap-apa (新): [名]ハ
チドリ亜科 soyacikap-moapa (新): [名]
マンゴーハチドリ系統 mango-soyacikap-
ikiri (新): [名]マンゴーハチドリ属
mango-soyacikap-cise (新): [名]アオミミ
ハチドリ属 kisaraao-soyacikap-cise
(新): [名]オウギハチドリ属 awankiiskor-
soyacikap-cise (新): [名]キリハシハチド
リ属 ikisanietu-soyacikap-cise (新):
[名]センニョハチドリ属 fayri-soyacikap-
cise (新): [名]ハバシハチドリ属
nimaki-soyacikap-cise (新): [名]ヒメソ
リハシハチドリ属 moetuteske-soyacikap-
cise (新): [名]ヘリアクチン属
konkanikirawus-soyacikap-cise (新):
[名]マルオハチドリ属 konkanirekuci-
soyacikap-cise (新): [名]ヤリハチドリ属
ópetu-soyacikap-cise (新): [名]ルビート
パーズハチドリ属 rubitopas-soyacikap-
cise (新): [名]テリハチドリ系統
diamondo-soyacikap-ikiri (新): [名]テリ
ハチドリ属 diamondo-soyacikap-cise
(新): [名]アシゲハチドリ属
hepurhomompeus-soyacikap-cise (新):
[名]インカハチドリ属 inka-soyacikap-cise
(新): [名]シロエンビハチドリ属
isparetar-soyacikap-cise (新): [名]ニジハ
チドリ属 mike-soyacikap-cise (新):
[名]ビロードハチドリ属 vervet-soyacikap-
cise (新): [名]フチオハチドリ属
issirpokisikerpepeussoyacikap-cise (新):
[名]ヤリハシハチドリ属 etusitanne-
soyacikap-cise (新): [名]ラケットハチド
リ属 raketkotisiretar-hepurhomompeus-
soyacikap-cise (新): [名]ルリバネハチド
リ属 onnesaffire-soyacikap-cise (新):
[名]ルリムネハチドリ属
penramusaffairene-soyacikap-cise (新):
[名]ワタアシハチドリ属
retarhepurhomonpeus-soyacikap-cise
(新): [名]カザリハチドリ系統 yaykar-
soyacikap-cise (新): [名]アカフタオハチ
ドリ属 húretuiskor-soyacikap-cise (新):
[名]コバシハチドリ属 etupon-soyacikap-
cise (新): [名]スミレフタオハチドリ属
kamakatanonnotuiskor-soyacikap-cise

(新): [名]ソリハシハチドリ属 *etuteske-soyacikap-cise* (新): [名]テリオハチドリ属 *kaniisi-soyacikap-cise* (新): [名]テンシハチドリ属 *cupkamuyemenoko-soyacikap-cise* (新): [名]テンニョハチドリ属 *kamuyemenoko-soyacikap-cise* (新): [名]トゲハシハチドリ属 *ayetuso-yacikap-cise* (新): [名]ヒメラケットハチドリ属 *moraketkotiskor-soyacikap-cise* (新): [名]フタオハチドリ属 *tuiskor-soyacikap-cise* (新): [名]ベニイタダキハチドリ属 *kankitayehure-soyacikap-cise* (新): [名]ヘルメットハチドリ属 *hermetkor-soyacikap-cise* (新): [名]ホオカザリハチドリ属 *yaykarhetomte-soyacikap-cise* (新): [名]マダラオハチドリ属 *kesoiskor-soyacikap-cise* (新): [名]ミドリフタオハチドリ属 *siwnintuiskor-soyacikap-cise* (新): [名]ミミグロハチドリ属 *kesokeso-soyacikap-cise* (新): [名]ヤマハチドリ属 *rikta-soyacikap-cise* (新): [名]オオハチドリ系統 *poro-soyacikap-cise* (新): [名]オオハチドリ属 *poro-soyacikap-cise* (新): [名]シロメジリハチドリ系統 *sikkese-retar-soyacikap-ikiri* (新): [名]シロメジリハチドリ属 *sikkese-retarsoyacikap-cise* (新): [名]アオノドハチドリ属 *rekuciao-soyacikap-cise* (新): [名]ノドフサハチドリ属 *furkifer-soyacikap-cise* (新): [名]ヒノドハチドリ属 *rekucihureno-soyacikap-cise* (新): [名]マメハチドリ系統 *poysoyacikap-ikiri* (新): [名]アメシストハチドリ属 *ametisto-soyacikap-cise* (新): [名]アンナハチドリ属 *annaso-yacikap-cise* (新): [名]オアシスハチドリ属 *oasisso-yacikap-cise* (新): [名]オウギハチドリ属 *fanni-soyacikap-cise* (新): [名]チビオハチドリ属 *isitakne-soyacikap-cise* (新): [名]ノドアカハチドリ属 *rekucihure-soyacikap-cise* (新): [名]ハリオハチドリ属 *isiparse-soyacikap-cise* (新): [名]ヒメハチドリ属 *mosoyacikap-cise* (新): [名]フトオハチドリ属 *isipara-soyacikap-cise* (新): [名]ホソオハチドリ属 *isiane-soyacikap-cise* (新): [名]ヒメエメラルドハチドリ系統 *moemerardo-soyacikap-ikiri* (新): [名]ヒメエメラルドハチドリ属 *moemerardo-soyacikap-cise* (新): [名]アイオハチドリ属 *rekuciaosaffire-soyacikap-cise* (新): [名]アマジリア属 *amaziria-soyacikap-cise* (新): [名]アンチルカンムリハチドリ属 *antirsapaumpekor-soyacikap-cise* (新): [名]ウスグロハチド

リ属 *rukunne-soyacikap-cise* (新): [名]ウロコハチドリ属 *kunnekesnokao-soyacikap-cise* (新): [名]エンビモリハチドリ属 *kirawspasuyisi-soyacikap-cise* (新): [名]オジロエメラルドハチドリ属 *isiretaremerardo-soyacikap-cise* (新): [名]オジロハチドリ属 *isiretar-soyacikap-cise* (新): [名]カンムリハチドリ属 *sapaumpekor-soyacikap-cise* (新): [名]ケンバネハチドリ属 *emusrapu-soyacikap-cise* (新): [名]コガネオハチドリ属 *konkaniisi-soyacikap-cise* (新): [名]サファイヤハチドリ属 *saffire-soyacikap-cise* (新): [名]スミレガシラハチドリ属 *kamakatanonnosapa-soyacikap-cise* (新): [名]スミレハラハチドリ属 *kamakatanonnohoni-soyacikap-cise* (新): [名]セイガイハチドリ属 *ramrampenram-soyacikap-cise* (新): [名]ツバメハチドリ属 *aptocikapisi-soyacikap-cise* (新): [名]ノドジロハチドリ属 *rekuciretar-soyacikap-cise* (新): [名]ビジョハチドリ属 *pirka-soyacikap-cise* (新): [名]ミズベハチドリ属 *kenas-soyacikap-cise* (新): [名]ムラサキボウシハチドリ属 *pewrekinapeuskonckorsoyacikap-cise* (新): [名]ルリノドハチドリ属 *sapfirerekuci-soyacikap-cise* (新): [名]ワタハラハチドリ属 *cupkeseretar-soyacikap-cise* (新): [名]ワタボウシハチドリ属 *watakoncikor-soyacikap-cise* (新): [名]ハチドリ属 *soyacikap-cise* (新): [名]フキナガシハチドリ *etuhureisimom-kotoman* (新): [名]ブラックビルドストリームテイル *etukunneisimom-kotoman* (新): [名]メリスガ属 *merisuga-cise* (新): [名]マメハチドリ *iyottaponiwe-soyacikap* (新): [名]オナガラケットハチドリ属 *perapokottanneisi-soyacikap-cise* (新): [名]オナガラケットハチドリ *perapokottanneiskor-soyacikap* (新): [名]カギハシハチドリ亜科 *ipoyehurekaniisi-soyacikap-moapa* (新): [名]トパーズハチドリ亜科 *topas-soyacikap-moapa* (新)

はちのす(蜂の巣) [名]蜂の巣 *soyacise* (石狩)
はちみつ(蜂蜜) [名]蜂蜜 *soyatopempe* (新)、[名] *soyawakka* (新)※(Bの *soyaiwakka* より)、[名] *soyakuy* (K)

パチャパチャ [間投](擬声語)(水などの撥ねる音)パチャ、パチャ *cop* (H): [間投](擬声語)パチャパチャ、パチャパチャ *copcop* (新): [自](一回)パチャ(パチャ)と音がする

copkosanu (新): [自]パチャ(パチャ)と頻りに音がする cicoprototo (新)、[自]coprototke (新): [自]パチャパチャ(パチャパチャ)何度も音がする cópopatki (新): [自]パチャパチャ(パチャパチャ)何度も音がし続ける copnatara (新): [自](瞬間的に)パチャ(パチャ)と音がする coptek (新)

はちゅう(爬虫) (動物)[名](脊椎動物亜門)爬虫綱 reyeyaymoyep-pet (新): [場名]爬虫類 reyeyaymoyepso (新)

はちわんけいじょうもく(八腕形上目) (魚介)[場名](輻形亜綱)八腕形上目 tupesantekkorpe-kotampa (新): [場名]タコ目 atkorpe-kotan (新): [場名]ヒゲダコ亜目 rékusatkorpe-mokotan (新): [場名]マダコ亜目 síatkorpe-mokotan (新)

ばつ(罰)[名]罰 ipanakte (新)、[名] paci (八雲): [自]人を罰する ipanakte (新): [他](人)を罰する panakte (石狩): [他](場所)で～を罰する epanakte (新): [他]～と共に～を罰する kopanakte (新): [他](原因、手段)で～を罰する、～の事で～を罰する opanakte (新): [他](人)に～を罰させる panaktere (新): [自]自分を罰する yaypanakte (新): [他]自分で、一人で～を罰する yaykopanakte (新): [他]互いに罰し合う、皆を罰する upanakte (新): [他]互いに、皆で～を罰する ukopanakte (新): [他]充分～を罰する panakteno (panaktenu) (新): [他]酷く～を罰する toykopanakte (新)

はつか(二十日) (表現)二十日 hotne to (新): [名]二十日 hot (石狩)

はつか(発火) [自]発火する uhuy (石狩): [他]～を発火させる iuhuyka (新): [自]自然に発火する siuhuyka (新)

はっかい(白海) [名](地名)白海 Retar-atuy (新)※(ロシア連邦北西部にある海)

バックカリス(植物)[名](キク科)バックカリス属 muysaptekikuni-cise (新): [名]ハマベノキの茎 muysaptekikuni (新)※(「バックカリス・ハリフォリア」): [名]バックカリス・ヴァネッサの茎 vanessamuysaptekikuni (新): [名]バックカリス・エモリーの茎 nitat-muysaptekikuni (新): [名]バックカリス・サリキフォリアの茎 pekennop-muysaptekikuni (新): [名]バックカリス・サロトロイデスの茎 nupur-muysaptekikuni (新): [名]バックカリス・セルギロイデスの茎 otaatuy-muysaptekikuni (新): [名]バックカリス・ドウグラシイの茎 runnutoy-

muysaptekikuni (新): [名]バックカリス・ドラクンクリフォリアの茎 kusuri-muysaptekikuni (新): [名]バックカリス・ピルラリスの茎 koyote-muysaptekikuni (新): [名]バックカリス・ブラキフィラの茎 hamupon-muysaptekikuni (新): [名]バックカリス・ブルンメラエの茎 purummer-muysaptekikuni (新): [名]バックカリス・マリブエンシスの茎 maribu-muysaptekikuni (新): [名]バックカリス・リネアリスの茎 wenmosir-muysaptekikuni (新)

はつがらん(発眼卵) [名]発眼卵 síkocipor (新)

はつきり [自]はつきりする、している peker (石狩): [他]～の点ではつきりする、している、(場所)ではつきりする、している epeker (新): [他]～に対してはつきりする、している、～と共にはつきりする、している kopeker (石狩): [他](原因、手段)ではつきりする、している opeker (新): [他]～をはつきりさせる pekere (pekerka) (新): [自]充分はつきり pekenno (pekenno) (新): [自]完全にはつきりする、している oarpeker (arpeker) (新): [自]ぱっとはつきりする pekettek (新): [他]～をぱっとはつきりさせる pekettekka (新): [自]はつきりする sipekere (sipekerka) (新): [自]ぱっとはつきりする sipekettekka (新): [副]はつきりと pekenno (新): [副]はつきりと、鮮やかに anukanno (K): (表現)はつきりと言う anukanno ye (K)

はっきん(白金) ① (化学)[名]白金 puratinum (新)※(原子番号78番。元素記号 Pt): ②[名](金と白金①の合金)白金 retarkonkani (新)

はくつ(発掘) [他]～を発掘する pusu (複数 puspa) (沙流): [他](場所)で～を発掘する epusu (複数 epuspa) (新): [他]～と共に～を発掘する kopusu (複数 kopuspa) (新): [他](場所)から～を発掘する、(原因、手段)で発掘する opusu (複数 opuspa) (新): [他](人)に～を発掘させる pusure (複数 puspare) (新): [他]自分で、一人で～を掘り出す yaykopusu (複数 yaykopuspa) (新): [他]皆で、共に～を発掘する ukopusu (複数 ukopuspa) (新): [他]完全に～を発掘する oarpusu (複数 oarpuspa) (新)、[他] arpusu (複数 arpuspa) (新): [他]思い切り～を発掘する toykopusu (複数 toykopuspa) (新): [他]人に～を発掘させる pusuyar (複数 puspayar) (新): [他]～をどんどん発掘する

る puspusu (複数 puspupa) (沙流)

バックリ [自]バックリロを開ける hasa (石狩): [他]〜にバックリロを開けさせる hasare (新): [自]すっかりバックリロを開ける oarhasa (arhasa) (新): [自]ものすごくバックリロを開ける toykohasa (新): [自]バックリバックリロを開ける hasahaha (新): [自]頭、先端などバックリロを開ける ehasa (新): [自]女性器、末端などがバックリロを開ける ohasa (新)

パッケージツアー [名]パッケージツアー cipirkare-ukopayekay (cipirkare-ukopayokay) (新): [自]パッケージツアーを組む ukopayekay-pirkare (ukopayokay-pirkare) (新): (表現)パッケージツアーを組む ukopayekay (ukopayokay) pirkare (新): (表現)パッケージツアーに参加する cipirkare-ukopayekay (cipirkare-ukopayokay) eiopok (新)

はっこう(発行) [自]発行する iutarkoasinke (新): [他]〜を発行する utarkoasinke (新): [他](場所)で〜を発行する eutarkoasinke (新): [他]〜と共に〜を発行する koutarkoasinke (新): [他](原因、手段)で〜を発行する outarkoasinke (新): [他](人)に〜を発行させる utarkoasinke (新)

はっこう(発酵) ①[自]醗酵する on (新): [他](場所)で醗酵する eon (新): [他]〜と共に醗酵する koon (新): [他](原因、手段)で醗酵する oon (新): [他]〜を醗酵させる onka (石狩): [名]醗酵風化させたオオウバユリ ontuprep (石狩): [名]醗酵風化させたオオウバユリの円盤 ontuprepakam (石狩): [名] turepakam (石狩): ②[自](酒)が醗酵して泡立つ pop (石狩)

はっこつ(白骨) [名]白骨 pitciwpone (piciwpone) (石狩)

バッコヤナギ →「マルバノバッコヤナギ」を見よ

ハッシウム (化学)[名]ハッシウム hassium (新)※(原子番号108番。元素記号 Hs)

はつじょう(発條) [名]発條 topuysay(-e) (新)

バツじるし(バツ印) [名]×印 utasanoka (石狩): [名] utasasirosi (石狩)

はつせい(発生) [自]発生する、している saun (新): [自] an (複数 okay) (石狩): [自] siante (複数 siokayre) (新): [他](場所)で起こる esaun (新): [他] ean (複数 eokay) (新): [他]〜と共に起こる kosaun (新): [他] koan (複数 kookay) (新): [他](原因、手段)で起こる osaun

(新): [他] oan (複数 ookay) (新): [他]〜を発生させる saunte (新): [他] ante (複数 okayre) (新): [他](場所)で〜を発生させる esaunte (新): [他] ante (複数 eokayre) (新): [他]〜と共に〜を発生させる kosaunte (新): [他] koante (複数 kookayre) (新): [他](原因、手段)で〜を発生させる saunte (新): [他] oante (複数 ookayre) (新): [他](人)に〜を発生させる sauntere (新): [他] antere (複数 okayrere) (新)

はっそう(発想) [自]発想する iramu (石狩): [他]〜を発想する ramu (石狩): [他](場所)で〜を発想する eramu (新): [他]〜と共に〜を発想する koramu (新): [他](原因、手段)で〜を発想する oramu (新): [他](人)に〜を発想させる ramure (新): [他]うまく〜を発想する pirkaramu (新): [他]まずく、悪く〜を発想する wenramu (新)

バッタリたおれる(バッタリ倒れる)(表現)(突然気を失ったり、死んだりして倒れる様子の常套句)萎れた草のようにバッタリ倒れる sumkinayne noykosanu (石狩)

はつでん(発電) [自]発電する imerukar (新): [他](場所)で発電する eimerukar (新): [他]〜のため発電する、〜と共に発電する koimerukar (新): [他](手段)で発電する oimerukar (新): [他](人)に発電させる imerukare (新): [場名]発電所 imerukarusi (新): [場名]火力発電所 apeo-imerukarusi (新): [場名]原子力発電所 inoskiumpeo-imerukarusi (新): [場名]水力発電所 wakkao-imerukarusi (新): [場名]地熱発電所 sirpokuysese-ko-imerukarusi (新): [場名]風力発電所 rerao-imerukarusi (新): [自]自家発電する yaykoimerukar (新): [名]自家発電装置 ciyaykoimerukarpe (新)

パツといどうする(パツと移動する)(1) ① [他](場所)にパツと移動する osma (石狩): 目的語が普通名詞の際にはその後"or"を置く。尚、「サツと」、「パツと」和訳し得る急激な移動を示す事が多いが、文脈によっては「〜に近づく」、「〜に落ちる」等の訳として使わねばならぬ場合もある。また後に例示するように、場所を示す名詞と結びつき、ある場所への急激な移動を示す自動詞を形成する。: rik(高い所)+osma → rikosma 「パツと上に上がる」: 「カラス小父がパツと家のそばに来て…」 “…paskur kewsut cise sam osma…” (杉村キナラブック)神語: [他]〜を(場所)にパツと移動させる osmare (石狩): ②[自]パツと上がる rikosma (石

狩): [他](場所)でパツと上がる、～からパツと上がる erikosma (新): [他](場所)へパツと上がる korikosma (石狩): [他]～と共にパツと上がる korikosma (新): [他](原因、手段)でパツと上がる orikosma (新): [他]～をパツと上げる rikosmare (新): ③[自]パツと(水の中に)潜る、パツと(建物の中に)駆け込む、引込む rawosma (石狩): [他]～をパツと潜らせる、～をパツと駆けこませる rawosmare (新): (2)[接尾](場所を示す名詞と結びつき自動詞を形成し)パツと～する -ekatta (旭川): rik (高い所)+ekatta → rikekatta 「パツと上がる」: (表現)急に～する ci+位置名詞など+ekatta (空知、旭川): ci+soy(～の外)+ekatta → cisoyekatta 「パツと飛び出す」: [自]パツと上に上がる rikekatta (石狩)、[自] cirihekatta (新)、[他]～をパツと上げる rikekatta (新): [自]パツと下に下がる raekatta (新)、[自] ciraekatta (新)、[他]～をパツと下げる raekatta (石狩): [自]パツと外へ出る soyekatta (石狩)、[自] cisoyekatta (石狩)、[他]～をパツと外へ出す soyekatta (石狩): [自]パツと中に入る awekatta (新)、[自] ciawekatta (新)、[他]～をパツと中に入れる awekatta (新)

パツとする ①[助動](瞬間、あるいはほんの僅かな時間に行われる事を表し)パツ(パツ)と～する tek (石狩): 「私はパツと逃げずにあたりを伺った。」“Somo ku=kira tek no ku=sirotanu .”: [接尾]パツ(パツ)と～する -tek (石狩)、[接尾] -tektek (沙流): ある動作が短時間に行われる事を示し動詞に接尾する。その際動詞の項の数は変わらない。またこの形式で形成された動詞の使役接尾辞には“-ka”が使われる。: kay(折れる)+tek → kaytek 「ボキッと折れる」 → kaytekka 「～をボキッと折る」: ②[自](太刀を引き抜くため手が)パツと滑る carkosanu (石狩): ③[自]ぱつと立ち上がる matkosanu (石狩): ④[自]パツと潰れる yakkosanu (石狩): (表現)(群れなし逃げ惑う敵が)泡のようにパツと潰れる koysum sinne yakkosanu (石狩): ⑤[自]パツと割れる perkosanu (石狩)

はつねつ(発熱) [自]発熱する siseseikka (新)、[自] siseseikte (新): [他](中相)～が発熱する ciseseikka (新)、[他](中相) ciseseikte (新): [他]～を発熱させる sesekka (石狩)、[他] sesekte (新): [自]発熱する、している sesek (石狩)

パツパツ ①(何かが撥ねる音)[間投](擬声語)パツ pat (石狩): [間投]パツパツ

patpat (新): [自](一回)パツという、撥ねる、爆ぜる patkosanu (新): [自]パツパツと頻りにいう、撥ねる、爆ぜる cipatrototo (新)、[自] patrototke (新): [自](何度も)パツパツという、撥ねる、爆ぜる pátatatki (新): [自]パツパツといい続けている、撥ねる、爆ぜる patnatara (新): [自]ちょっとパツという、撥ねる、爆ぜる pattek (新): [自]パツと飛び散る patce (新): [自]パツパツと飛び散る patpatce (石狩): [他]～と共にパツパツと飛び散る kopatpatce (新)、[他](雅) koepatpatce (石狩): (表現)～の鼻から流れ出る血がその口から流れ出る血と共にパツパツと飛び散る etu kus pe paro kus pe koepatpatce (石狩): [他]～をパツと飛び散らす patu (石狩): [他](場所)で～をパツと飛び散らす epatu (新): [他](場所)へ～をパツと飛び散らす kopatu (新): [他]～と共に～をパツと飛び散らす kopatu (新): [他](原因、手段)で～をパツと飛び散らす opatu (新): [他](人)に～をパツと飛び散らせる pature (新): [他]～をパツパツと飛び散らす patupatu (石狩): [他](中相)～がパツパツと飛び散る cipatupatu (石狩): ②(火が燃える音)[間投](擬声語)パツ par (新): [自]パツと燃える parse (passe) (新): [自]パツパツと燃える parparse (parpasse) (新): [自](一回)パツと燃える parkosanu (新): [自]パツパツと頻りに燃える cipanrototo (新)、[自] panrototke (新): [自]パツパツと何度も燃える páraratki (新): [自]パツパツと燃え続ける pannatara (新)

はつびょう(発表) [自]発表する iutarikouepiker (新): [他]～を発表する utarkouepiker (新): [他](場所)で～を発表する eutarkouepiker (新): [他]～に～を公表する、～と共に～を発表する koutarkouepiker (新): [他](原因、手段)で～を発表する outarkouepiker (新): [他](人)に～を発表させる utarkouepikere (新): [他]自分で、一人で～を発表する yaykoutarkouepiker (新): [他]互いに、皆で～を発表する ukoutarkouepiker (新): [他]完全に～を発表する oarutarkouepiker (arutarkouepiker) (新): [他](中相)～が発表される ciutarkouepiker (新)

はつわ(発話) [自]発話する itak (石狩): [名]発話者 itakkur (新): [名]発話障碍である事 somoitak (石狩): [名]発話障碍の人 somoitakkur (新): [名]発話障碍である者 somoitakpe (石狩): [自]発話

障碍である somoitak (石狩)

はで(派手) [自] 派手である pewrekasuy (新)、[自] pewre (石狩): [他] ~を派手にする pewrekasuyre (新): [自] 派手ないでたちをする toykoyaykarkar (新)

ハドノキ (植物)[名](イラクサ科)ハドノキ属 nitkor-kasiretarpeoni-cise (新): [名] ハドノキの茎 nitkor-kasiretarpeoni (新)※(柄ある白いもの成る木): [名] イワガネの茎 kasiretarpeoni (新)

はとば(波止場) [名] 波止場 ruesan (石狩) バトンルージュ [場名](アメリカ合衆国ルイジアナ州の州都名)バトンルージュ Batonruj (新)

はな(花) ① [名] 花 apappo (石狩)、[名] nonno (沙流)、[名] epuy(-e) (石狩、天塩)、[名] epuyke (石狩): "epuy"、"epuyke"がこの他に「芽」、「穂」、「実」を意味するため今後は"apappo"か"nonno"を用いるのが好ましい。: [名] 木に咲く花 niapappo (新)、[名] nínnonno (新)、[名] niepuy (niepuyke) (新): [名] 草に咲く花 múnappo (新)、[名] munnonno (新)、[名] múnepuy (múnepuyke) (石狩): [名] 花の蜜 apappo-topempe (新): ② [自] 薄縹色になる、である iapappo-ironere (新)※(露草の花の色): [他] ~を薄縹色に染める iapappo-ironeka (-ironere) (新): [名] 薄縹色 cán-iapappo-iro (新)

はな(鼻) [名] 鼻 etu (石狩): (表現) 鼻が大きくなる、大きい etu poro (幌別): 「あんなに鼻の大きな所を見れば陰茎のほうもさぞ大きいだろう。」「Nekonan oporop ene etuhu poro hi ta an?»: (表現) 鼻をすぼめる etu sumumu (幌別): (表現) 鼻が曲がる、曲がっている etu rewke (石狩): [場名] 鼻の頭 etunum(-i) (新): [名] 鼻の穴 etupuy(-e) (石狩)、[名] etusuy(-e) (石狩): [名] 鼻の穴の奥の空間 enkor(-i) (石狩): [場名] 鼻の下 etupok(-i) (石狩): [自] 鼻が大きくなる、大きい etuporo (幌別): [自] 鼻が小さくなる、小さい etupon (新): [自] 鼻が高くなる、高い eturi (幌別): [自] 鼻が低い enkotteyke (石狩)、[自] etukapteke (屈斜路): [自] 鼻が広い etusep (幌別): [自] 鼻が利く ietunupirka (新): [他] ~に鼻が利く etunupirka (石狩): [自] 鼻が詰まる etumuk (石狩): [他] ~の鼻を詰まらせる etumukka (新)

ハナイカダ(花筏) (植物)[名](ミズキ科)ハナイカダ属 apappocipni-cise (新): [名] ハナイカダの茎 apappocipni (新): [名] ハナイカダの花、葉 apappocip (新)

ハナイグチ(花猪口) (菌類、キノコ)[名](ヌメリイグチ属)ハナイグチ yayankarus (新)※(別名「ラクヨウキノコ」)

はないろ(花色) ① (花の色)[名] 花色 apappo-iro (新)、[名] nonno-iro (新): [自] 花色になる、である apappo-ironere (新): [他] ~を花色にする apappo-ironeka (-ironere) (新): ② (青系統の色の人つ)[名] 花色 ittonesum-iro (新): [自] 縹色になる、である ittonesum-ironere (新): [他] ~を縹色に染める ittonesum-ironeka (-ironere) (新)

ハナウコン(花鬱金) [名](ウコン属)ハナウコンの茎葉 táyikor (新)※(クルクマ・ペティオラタ): [名] ハナウコンの花 táyikor-apappo (-nonno) (新): [名] ハナウコンの根 táyikor-ukon (新)

ハナウド(花独活) (植物)[名](セリ科)ハナウド属 har-cise (新): [名] ハナウドの茎 samorhar (新)※(北海道で普通ハナウドと言うのはオオハナウドなので注意): [名] オオハナウドの茎 har (H)、[名] オオハナウドの根生葉の葉柄 pittok (H)

はなかぜ(鼻風邪) [自](鼻が詰まる)鼻風邪をひく etumukomke (新)、[自] enitatkeomke (新): [自](鼻水ばかり出る)鼻風邪をひく etoromke (新)

ハナカンザシ(花簪) (植物)[名](キク科)ハナカンザシ属 kampiherap-kikukina-cise (新)※(「ヘリブテルム属」とも): [名] ハナカンザシの茎葉 kampiherap-kikukina (新)※(別名「ペーパーカスケード」)

はなくそ(鼻糞) [名] 鼻糞 etusi(-ye) (石狩): (表現) 鼻糞をほじる etusi ke (新)

ハナグマ(鼻熊) (動物)[名](アライグマ科)ハナグマ属 nanutanne-ihurayeyuk-cise (新): [名] アカハナグマ koyokamerikaun-nanutanne-ihurayeyuk (新): [名] コスメルハナグマ kozumerun-nanutanne-nanutanne-ihurayeyuk (新): [名] ハナジロハナグマ eretarkaripun-nanutanne-ihurayeyuk (新)

はなげ(鼻毛) [名] 鼻毛 etunuma (新): (表現) 鼻毛を抜く etunuma etaye (複数 etaypa) (新)

はなごえ(鼻声) [名] 鼻声 enkoritak (石狩): (表現) 鼻声で話す enkoriitak ki (新)

はなござ(花萼座) [名] 花萼座 cise-kotes-atunkina (石狩)、[名] átunkina (石狩)

ハナゴンドウ(花巨頭) (動物)[名](ゴンドウクジラ亜科)ハナゴンドウ属 pírorokom-cise (新): [名] ハナゴンドウ pírorokom (新)※(傷ある巨頭鯨。別名「マツバゴンドウ」)

はなし(話) ①(物語)[名]話 oruspe (石狩): 「今日私はとても面白い話を聞いたのよ。」

“Tanto sonno pirka oruspe, an=ekiroroan oruspe ku=nu ruwe ne wa .”: (表現)~の話を聞く ~ ye oruspe nu (石狩): ②(言う事)[名]話 itak(-i) (石狩): 「君の話は過激だよ。」“E=itaki yupke kasuy wa .”: (表現)~の話 ~ ye p (石狩): 「私の話を聞いて下さい」“Ku=ye p nu wa en=kore yan!”

はなしあう(話し合う) ① [自] 話し合う ukoitak (石狩)、[自] uhawre (石狩): (表現)~と話し合う tura (-no) ukoitak (石狩)、(表現) tura (-no) uhawre (石狩): [他]~について話し合う eukoitak (石狩): (表現)~(する)よう話し合う 動詞句+ kuni eukoytak (石狩): [他](人)に話し合わせる ukoitakte (新): ②(争いを避けるため)[自]話し合う utomoitak (石狩): [他]~について話し合う eutomoitak (新): [他](人)に話し合わせる utomoitakte (新): ③[自]話し合って決める ukoramkor (石狩): [他]~について話し合って決める eukoramkor (石狩): [他](人)に話し合って決めさせる ukoramkore (新)

バナジウム(化学)[名]バナジウム vanadium (新)※(原子番号 23 番。元素記号 V)

はなして(話し手) ① [名] 話し手 itakkur (新): (表現)アイヌ語の話し手 aynuitak ani itak kur (新)、(表現) aynuitak eiwanke kur (新): ②(聞き手と対で)(表現)話し手 itak hike (新)

はなしをきく(話を聞く) ①(表現)~の話を聞く ~ ye oruspe nu (石狩): (表現)~の話を聞く ~ itak hawe nu (石狩): (表現)~の話を聞く ~ ye p nu (石狩): ③(誰かの言う事に耳を傾ける意味で)[自]人の話を聞く ikokanu (新): [他](人)の話を聞く kokanu (石狩): [他]~について~の話を聞く ekokanu (新): [他](場所)で~の話を聞く ekokanu (新): [他](原因、手段)で~の話を聞く okokanu (新): [他](人)に(人)の話を聞かせる kokanure (新): ③(事情、消息、訳を尋ねる意味で)[自]話を聞く uepekennu (石狩): [他]~について話を聞かせる euepekennu (新): [他](場所)で話を聞かせる euepekennu (新): [他]~の話を聞く kouepekkennu (新): [他]~と共に話を聞く kouepekkennu (新): [他](原因、手段)で話を聞く ouepekkennu (新): [他](人)に話を聞かせる uepekennure (新)

はなす(離す、放す) ①[他]~を離す、放す sura (石狩): 「この犬私から離して。」

“Tan seta en=orowa sura !”: [他](場所)で~を離す、放す esura (新): [他]~と共に~を離す、放す kosura (新): [他](場所)から~を離す osura (新): [他](原因、手段)で~を離す、放す osura (新): [他][他](人)に~を離れさせる、放させる surare (新): [他]自分で、一人で~を離す、放す yaykosura (新): [他]互いに、皆で~を離す、放す ukosura (新): [他]~を離す usurare (石狩)、[他] usacire (八雲)、[他] usaynure (沙流): 「私は黒い箱と白い箱を離して置いておいたからね。」

“Kunne supop retar supop ku=sura wa ku=anu na .”: ②(うっかり手から)[他]~を放す opici (天塩): [他]~から手を放す teksurare (久保寺)

はなすじ(鼻筋) [場名]鼻筋 etumekka(-si、-sike) (石狩): (表現)鼻筋が通っている etumekka(-si、-sike) pirka (新)

はなだ(縹) [自]縹色になる、である sino-ittonesumpeus (新)※(本当の露草色): [他]~を縹色に染める sino-ittonesumpeusi (sino-ittonesumpeuste) (新): [名]縹色 sino-ittonesumpeus-iro (新)

はなたば(花束) [名]花束 cimuyeapappo (新)、[名] cimuyenonno (新)、[名] buket (新)※(露語)

はなぢ(鼻血) [名]鼻血 etukem(-i) (石狩): [自]鼻血が出る etukemnu (H): [自]鼻血がどつと出る etukemot (新)

はなづまり(鼻詰まり) [自]鼻詰まりになる etumuk (石狩)、[自] etuesikari (屈斜路)、[自] enitatke (幌別)

バナナ(植物)[名](バショウ属の栽培種)バナナの木 bananani (新)※(英語): [名]バナナの果実 banana (新): [名]バナナの葉 babananiham (新)

はなのあな(鼻の穴) [名]鼻の穴 etupuy(-e) (石狩)、[名] etusuy(-e) (石狩)

はなばしら(鼻柱) ①(鼻の間を隔てている部分)[場名]鼻柱 etutur(-u) (石狩): ②(鼻の隆起、鼻筋)鼻柱 etuikir(-i) (新)※(樺太)

はなびら(花弁) [名]花弁 herapnit(-ci) (新)、[名] apapporapnit(-ci) (新)

はなひらく(花開く) [他]~を花開かせる epirasakar (新): [他](中相)~が花開く ciepirasakar (石狩): 「…草の鼻は美しい郭公鳥の様に花開くよ…」 “…munepuy pirka kakkok sinne ciepirasakar na…” (杉村キナラブク)神話

ハナフルーツコウモリ(花フルーツ蝙蝠) (動物)[名](シタナガフルーツコウモリ亜科)ハナフルーツコウモリ属 apappo-

nikaopekapap-cise (新): [名]キャロラインハナフルーツコウモリ harmaheraun-apappo-nikaopekapap (新): [名]ナミフルーツコウモリ yayan-apappo-nikaopekapap (新): [名]ホビットハナフルーツコウモリ hóbit-apappo-nikaopekapap (新)

パナマ [場名](国名)パナマ共和国 Panama Ukotankoremosir (新)※(首都は「パナマ」): [名]パナマ市 Panama-si (新): [場名](国名、あるいは市名の通称として)パナマ Panama (新): [名]パナマ人、国民 panamaunkur (新): ②[名]パナマ運河 Panama-irurapet (新)

はなみず(鼻水) [名]鼻水 etupe (石狩): 「青っ涕」は"etor(-i)".: (表現)鼻水を垂らす etupe cikka (石狩)

はなむけ(銭) [名]銭 iway(-e) (沙流)

はなや(花矢) [名]花矢 eperay (eperay) (石狩)、[名] iomanteay (空知): [名]花矢の先端部 cirosi (空知)

はなれじま(離島) [場名]離島 yaykiremosir (蝦夷記)

はなれたうえ(離れた上) [位名]~の(離れた)上 enka (長形-si、-sike) (石狩)

はなれや(離屋) [名]離屋 poncise (新)、[名] sinnaycise (新)

はなれる(離れる) ①[他]~から離れる ehosi (eosi) (石狩): 「君たちは皆で遊んで私はそれから離れて一人で読書していた。」
 “Es=usinotte kane okay wa es=ehosi=an wa sinenne kampi ku=nukar kane an .”: [後副]~から離れて ehosi (eosi) (石狩)、[後副] ekopi (石狩): 「…一頭の大グマが…私から離れ身を反したので…」 “…sine poro kusu…i=ehosi sikiru kusu…(引用語法)” (砂沢クラ): ②[他]~にぴったりまといつて離れない kokarikari (沙流): (表現)(攻撃するため)しなやかな投げ輪のように身を撓め~にぴったりまといつて離れない riten karip ne kokarikari (沙流)

はなをかむ(鼻をかむ) [自]鼻をかむ etukar (幌別)

はなをならす(鼻を鳴らす) ①(鼻水をすすり)[自]鼻を鳴らす etusinkar (幌別): ②(泣いて)[自]鼻を鳴らす íseise (幌別): ③(臭いを嗅いで)[自]くんくん鼻を鳴らす etumasmasa (幌別)、[自] etumasasa (新): ④(軽蔑して)[自]フンと鼻を鳴らす hutce (hutse) (新)

はなをねじる(鼻を捻じる) [自]鼻を捻じる etunoypa (天塩)

パニャルカ [場名](スルプスカ共和国の首都名)パニャルカ Baniaruka (新)

バヌアツ [場名](国名)バヌアツ共和国 Vanuatu Respuprika (新)※(首都は「ポートビラ」): [場名](国名の通称として)バヌアツ Vanuatu (新): [名]バヌアツ人、国民 vanuatuunkur (新)

はね(羽) [名](全体、あるいは一本一本を指して)羽 rap(-u) (石狩、天塩): [名](一本一本の)羽 rapnit(-ci) (石狩): [名]鳥の羽 konkon (天塩)

ばね(発条) [名]ばね topuysay(-e) (新)、※(跳ね返る巻いた物)、[名] supuringu (新)※(英語)

はねあがる(跳ね上がる) ①[自]跳ね上がる terke (石狩): [他](場所)で跳ね上がる eterke (新): [他](場所)へ跳ね上がる、~と共に跳ね上がる koterke (新): [他](原因、手段)で跳ね上がる oterke (新): [自]自分で、一人で跳ね上がる yaykoterke (新): [自]互いに、皆で跳ね上がる ukoterke (新): [自]思い切り跳ね上がる toykoterke (新): [自]高く跳ね上がる rikoterke (石狩)、[自] oriknaterke (石狩): ②(魚が水中より)[自]跳ね上がる etuk (石狩)

はねあげる(跳ね上げる) [他]~を跳ね上げる terkere (石狩): [他](場所)で~を跳ね上げる eterkere (新): [他](場所)へ~を跳ね上げる eterkere (沙流): [他](場所)へ~を跳ね上げる、~と共に~を跳ね上げる koterkere (新): [他](原因、手段)で~を跳ね上げる oterkere (新): [他]自分で、一人で~を跳ね上げる yaykoterkere (新): [自]互いに、皆で~を跳ね上げる ukoterkere (新): [自]思い切り~を跳ね上げる toykoterkere (新): [自]高く~を跳ね上げる rikoterkere (新)、[自] oriknaterkere (新)

ハネオツパイ(羽尾ツパイ)(動物)[名]ハネオツパイ科 rapnitnesarkottupay-apa (新): [名]ハネオツパイ属 rapnitnesarkottupay-cise (新): [名]ハネオツパイ rapnitnesarkottupay (新)

はねかえる(撥ね返る) [自](たわんだ木の枝が)撥ね返る topun (石狩): 「…しなやかな枝だから撓み撓み、撥ね返り撥ね返る。」 “…riten ni ne kusu reun reun topun topun .” 歌謡

ばねざがね(ばね座金) [名]ばね座金、スプリングワッシャー topuysay-cinoyepso (新)、[名] topuysaywaşer (新)

はねてのびる(跳ねて伸びる) [自](たわんでいた物が)跳ねて伸びる hepita (石狩): [他]~を跳ねて伸ばす hepitare (新)

はねとばす(撥ね飛ばす) ①[他]~を撥ね飛ば

す、刎ね飛ばす tusseka (turseka) (石狩): [他](場所)で～を撥ね飛ばす etusseka (新): [他](場所)へ～を撥ね飛ばす kotusseka (新): [他]～と共に～を撥ね飛ばす kotusseka (新): [他](原因、手段)で～を撥ね飛ばす otusseka (新)、[他] etusseka (石狩): [他](人)に～を撥ね飛ばさせる tussekare (新): [自]撥ね飛ばす tusse (turse) (石狩): [他]～へ撥ね飛ばす音をたてる kohumterkere (石狩): ② [他]～をパッと撥ね飛ばす patu (石狩): [他](場所)で～をパッと撥ね飛ばす epatu (新): [他]～へ～をパッと撥ね飛ばす kopatu (新): [他]～と共に～をパッと撥ね飛ばす kopatu (新): [他](原因、手段)で～をパッと撥ね飛ばす opatu (新): [他](人)に～をパッと撥ね飛ばさせる pature (新): [他]～をパッパッと撥ね飛ばす patupatu (新): [自]パッと撥ね飛ばす patce (新): [自]パッパッと撥ね飛ばす patpatce (石狩)

はねまわる(跳ね回る) ①[自]ピョンピョンと跳ね回る terketerke (石狩): [他](人)をピョンピョン跳ね回らせる terketerkere (新): [他](場所)を跳ね回る eyayoterke-eciwi (沙流): ②(陸に上がった魚などが)[自]バタバタ跳ね回る hotappa (石狩)、[自] cihotappare (石狩): [他]～をバタバタ跳ね回らせる hotappare (新)

ハネミギク(羽実菊) (植物)[名](キク科)ハネミギク属 apapporaytakina-cise (新): [名]ハネミギクの茎葉 apapporaytakina (新)、[名]その花 apapporayta (新)※(別名「ハチミツソウ」): [名]ヴェルベシナ・ウィルギニカの茎葉 virginia-apapporaytakina (新): [名]ヴェルベシナ・エンケリオイデスの茎葉 mexiko-apapporaytakina (新)

はねる(跳ねる) [自]跳ねる terke (石狩): [他](場所)で跳ねる eterke (新): [他]～へ跳ねる koterke (新): [他]～と共に跳ねる koterke (新): [他](原因、手段)で跳ねる oterke (新): [他]～を跳ねさせる terkere (新): [自]高く跳ねる oriknaterke (石狩): [自]低く跳ねる oranaterke (新)

ハノイ(河内) [場名](ヴェトナム社会主義共和国の首都名)ハノイ Hányoy (新)※(歴史的には「昇龍」、「東京」とも呼ばれた。)

はば(幅) ①[名]幅 itomotuyeru(-we) (新): (表現)～の幅を計る ～ tomotuye pakari (新): ②[自]幅広くなる、幅広い para (石狩): [他](場所)で幅広くなる、幅広い epara (新): [他]～と共に幅広くなる、幅広い kopara (新): [他](原因、手段)で幅

広くなる、幅広い opara (新): [他]～を幅広くする paraka (parare) (新): ③ [自]幅が狭くなる、狭い hupne (石狩): [他]～を狭くする hupneka (hupnere) (新)

はは(母) [名]母上様、母親 unu (石狩、天塩)、[名](雅語) rupnemat(-ci) (石狩): (表現)私の母上様 ku=unu (ku=unuhu) (石狩): [名]母、母さん totto (石狩、天塩)、[名]母、母さん hápo (空知)、[名]お母ちゃん mamma (天塩): (表現)私の母 ku=kor totto (ku=kottotto) (石狩)、(表現)私の母 ku=kor hápo (空知): [自]母と子である uunukor (石狩): [名]母と子 uunukorutar (石狩)

ハバクク (聖書)[名]ハバクク Xabakkuk (新)※(預言者): [名]ハバクク書 Xabakkuk-kampisos (新)

ハハコグサ(母子草) (植物)[名](キク科)ハハコグサ属 hahako-cise (新): [名]ハハコグサの茎葉 hahako (新)※(日本語。別名「御形」): [名]アイセイタカハハコグサの茎葉 onanenne-hahako (新)※(父親は誰母子草): [名]アキノハハコグサの茎 sirpokiretar-hahako (新): [名]ウスベニチチコグサの茎葉 koykaamerika-ciciko (新): [名]ウラジロチチコグサの茎葉 koypokamerika-ciciko (新): [名]セイタカハハコグサの茎葉 keweri-hahako (新): [名]タイワンハハコグサの茎葉 taiwan-hahako (新): [名]チチコグサの茎葉 ciciko (新)※(日本語): [名]チチコグサモドキの茎葉 cicicikokopa (新): [名]ヒメチチコグサの茎葉 mociciko (新)

はばたく(羽ばたく) [自]羽ばたく rapparpa (石狩)、[自] raptaritari (天塩): [他]～に～を羽ばたかせる rapparpape (raptatitarire) (新): [自]大きく翼を羽ばたかせる oraporapo (石狩): (表現)(雅)私は川上へ川下へ、二つの良き風三つの良き風を羽風と共に巻き込み、羽風と共に返し羽ばたく eperay epasi tu pirka rera repirka rera an=mawkocupu an=mawkotasare (石狩): (表現)私が飛んで行く姿は低い立ち木は梢の先をすれすれに羽ばたく、高い立ち木は幹の中程をすれすれに羽ばたいて行く姿 ku=hopuni wa ku=oman katu ram cikuni hapkitayke rakotesu rakocupu ri cikuni suptomorke rakotesu rakocupu ku=oman katu (沙流より)

はばつ(派閥) [名]派閥 tus(-i) (新)※(綱)、[名] faktion (新)※(英語)

はばとび(幅跳び) [自]幅跳び競争をする

uterkepakte (沙流): [自]幅跳び回りをする
uterkekari (沙流)

ハバナ [場名](キューバ共和国の首都名)ハバナ Habana (新)

バハマ ①[場名](国名)バハマ国 Báhama Mosir (新)※(首都は「ナッソー」): [場名](国名の通称として)バハマ Báhama (新): [名]バハマ人、国民 báhamaunkur (新): ②[場名](地名)バハマ諸島 Báhama-usapoysir (新)※(西インド諸島に属する島々)

パパラッチ [名]パパラッチ itoynospap (新)、[名] rapucupke (新)

ハバロフスク [場名](ロシア連邦極東連邦管区の構成主体名)ハバロフスク地方 Xabarofsuk-sirkes (新): [場名](極東連邦管区の本部、ハバロフスク地方の首府名)ハバロフスク Xabarofsuk (新)

バビルサ (動物)[名](イノシシ科)バビルサ属 babirusa-cise (新): [名]バビルサ babirusa (新)※(インドネシア語): 亜種 [名]セレベスバビルサ serebesumbabirusa (新): [名]トギアンバビルサ dogeanubabirusa (新): [名]ヘアリーバビルサ numaus-babirusa (新)※(別名「ゴールデンバビルサ」)

はふ(破風) [場名](屋根の)破風 etupok (石狩)

パプアニューギニア [場名](国名)パプアニューギニア独立国 Papua-niwguinea Yaynisukmosir (新)※(首都は「ポートモレスビー」): [場名](国名の通称として)パプアニューギニア Papua-niwguinea (新): [名]パプアニューギニア人、国民 papua-niwguineaunkur (新)

ハフニウム (化学)[名]ハフニウム hafnium (新)※(原子番号72番。元素記号 Hf)

ばぶばぶ [間投](まだ話せぬ赤児が発する声)ばぶー opu (石狩): [間投](擬音語)ばぶばぶ ayay (新): [自](赤児が)ばぶばぶ言う ayayse (石狩)

パフラビー [名]パフラビー語 pahraviitak (新)

バベルダオブ [場名](地名)バベルダオブ島 Baberdaobu-atuykamosir (新)※(太平洋のミクロネシアに位置するパラオ共和国領の島。首都「マルキョク」がある)

はへん(破片) [名]破片 ras-(u) (石狩)

はぼうき(羽箒) [名]羽箒 rapmunnuyp (新)

ハボウキガイ(羽箒貝) (魚介)[場名](カキ目)ハボウキガイ上科 rapmunnuyp-apapa (新): [名]ハボウキガイ科 rapmunnuyp-apa (新): [名]ハボウキガイ属

rapmunnuyp (新): [名]ハボウキガイ rapmunnuyp (新): [名]イワカワハゴロモガイ murikata-rapmunnuyp (新)※(学名): [名]スエヒロガイ koypokmunnuyp (新): [名]タイラギ rarak-rapmunnuyp (新): [名]リシケタイラギ siwnin-rapmunnuyp (新): [名]クロタイラギ属 kunne-rapmunnuyp-cise (新): [名]クロタイラギ kunnemunnuyp (新): [名]ステレプトピンナ属 sutreptopinna-cise (新): [名]カゲロウガイ cupemkosey (新)

ハボローネ [場名](ボツワナ共和国の首都名)ハボローネ Xabarone (新)

はま(浜) [場名]浜 pis (石狩): (表現)浜に出る pis ta san (複数 sap) (石狩): [場名](山の方に対して)浜、浜の方 sa (石狩): [自]浜を向く、浜に向かう episun (新)、[自] esasi (新): [副]浜に向かつて、浜に episun (石狩)、[副] esasi (石狩): [自]浜から向かつて来る opisun (新)、[自] osasi (新): [副]浜から opisun (新)、[副] osasi (石狩): [名]浜に出る道 sanru (石狩): [名]浜への下り口 esan (石狩): [名]浜の草原 masar (H): 石狩川筋の言葉としてはその河口近くの地名に見られる"masarka"の構成要素として認められる。知里氏の地名アイヌ語小辞典によれば、海から"ota"「砂浜」、 "hunki"「砂丘」とあつて次に"masar"となり、海寄りの所は"sankemasar"、"pisunmasar"、山寄りの所は"makunmasar"と呼ぶという。また砂浜と"masar"の間がよく物語の舞台になる"otasut"である。

ハマギク(浜菊) (植物)[名](キク科)ハマギク属 samor-pisunkikukina-cise (新): [名]ハマギクの茎葉 samor-pisunkikukina (新)

ハマグルマ(浜車) (植物)[名](キク科)ハマグルマ属 otakaereye-kikukina-cise (新): [名]アメリカハマグルマの茎葉 amerika-otakaereye-kikukina (新)※(別名ミツバハマグルマ): [名]オオハマグルマの茎葉 poro-otakaereye-kikukina (新)※(ネコノシタの変種): [名]キダチハマグルマの茎葉 siaste-otakaereye-kikukina (新)※(別名「トキワハナグルマ」): [名]クマノギクの茎葉 kumano-otakaereye-kikukina (新)※(別名「ハマグルマ」): [名]ネコノシタの茎葉 otakaereye-kikukina (新)、[名]その花 otakaereyekiku (新)※(別名「ハマグルマ」)

バマコ [場名](マリ共和国の首都名)バマコ Bamako (新)

ハマゼリ(浜芹) (植物)[名](セリ科)ハマゼリ属 otaseri-cise (新): [名]ハマゼリの茎葉

otaseri (新)

ハマボウフウ(浜防風) (植物)[名](セリ科)ハマボウフウ属 otasiwkina-cise (新): [名]ハマボウフウの茎葉 otasiwkina (蝦夷拾遺)、[名] póhu (幌別)、[名]ハマボウフウの根 otamunusi (新)※(漢方薬「北沙参」)

はまる(嵌まる) [他](場所)に嵌まる osma (石狩): 目的語が普通名詞の場合、その後に "or" を用いる。: [自](川など)水に嵌まる worosma (石狩)

はみだす(はみ出す) ①(露出する)[自]はみ出す、出している rusara (屈斜路): (表現)への辜丸がはみ出る、出ている ~ noki rusara (屈斜路): [他](場所)ではみ出す、出している erusara (新): [他]~にはみ出す、出している korusara (新): [他]~と共にはみ出す、出している korusara (新): [他](場所)からはみ出す、出している orusara (新): [他](原因、手段)ではみ出す、出している orusara (新): [他]~をはみ出させる rusanare (新): ②(中から出る)[自]はみ出す rusan (複数 rusap) (新)、[自] ruasin (複数 ruasip) (新): (表現)容器からはみ出す oroiop orwa(-no) rusan (ruasin) (新): (表現)家からはみ出す cise orwa(-no) ruasin (新): [他]~をはみ出させる rusanke (複数 rusapte) (新)、[他] ruasinke (複数 ruasipte) (新): ③(コースを外れる)[自]はみ出す iehosi (ieosi) (新): [他]~をはみ出す ehosi (eosi) (石狩): (表現)センターラインをはみ出す noskiru ehosi (eosi) (新): [後副]~をはみ出して ehosi (eosi) (石狩)、[後副] ekohopi (ekopi) (石狩)

ハムギョンナムド(咸鏡南道) [場名](朝鮮民主主義人民共和国の行政区名)咸鏡南道 Hamgionnam-purovince (新)

ハムギョンプクド(咸鏡北道) [場名](朝鮮民主主義人民共和国の行政区名)咸鏡北道 Hamgiompuk-purovince (新)

はめる(嵌める) ①[他](場所)に~を嵌める osmare (新): 目的語となる場所に当る言葉が普通名詞の場合、その後に "or" が用いられる。: ②(手袋などに関して)[他]~を嵌める (石狩): 今後コンドームなどに関しても使う。: [他](人)に~を嵌めさせる kóre (新): [他]人に~を嵌めさせる korar (新)

ばめん(場面) ①(情景)[名]場面 sirki (石狩)、[名] sín (新)※(英語 scene より): [形式名]場面 sir(-i) (石狩)、[形式名] ru(-we) (石狩): ②(状況)[名]場面 kat(-u) (石狩)、[名] sirki (石狩)、[名] situation (situacion) (新)※(英語): [自]場面である

sirki (石狩): [形式名]場面 ru(-we) (石狩)

ハモ(鱧) (魚介)[名](アナゴ亜目)ハモ科 sísamhamo-apa (新): [名]ハモ属 sísamhamo-cise (新): [名]ハモ sísamhamo (新): [名]コングレソックス属 konkresoksu-cise (新): [名]シシハモ属 sapatakne-sisamhamo-cise (新): [名]シシハモ sapatakne-sisamhamo (新): [名]ハシナガアナゴ属 sapatanne-sisamhamo-cise (新): [名]ハシナガアナゴ sapatanne-sisamhamo (新): [名]ワタクズハモ属 wanisapakor-sisamhamo-cise (新): [名]ワタクズハモ wanisapakor-sisamhamo (新)

はもの(刃物) ①(刀を含めぬ)[名]刃物 notakop (沙流): ②(刀剣類)[名]刃物 notakkorpe (石狩)

はやく(速く、早く) ①(時間的に、あるいは動作に関して)[自]早(速)くなる、早(速)い tunas (石狩): 「夜明けが早い。」「Sirpeker tunas .」: 「君はしゃべるのが速い。」“E=itak tunas .”: [他](人)を速くする tunaska (tunaste) (新): [副]早く tunas(-no) (石狩)、[副] hempano (石狩)、[副] enkota (unkota) (浦河): [間投](相手を急かして)早く hokure (okure) (石狩): (表現)一刻も早く hetak hokure (etak okure) (石狩)、(表現) hokure hokure (okure okure) (石狩)、(表現) hetak ta usa (沙流)、(表現) keke hetak (沙流)、(表現) ciki ta heta (沙流): (表現)決してあちらこちら振り返る事なく一刻も早く~の許にたどり着く senne toni senne tani kohosari somo ki nopo ciki ta heta ~ kosirepa (久保寺 13): ②(足に関して)[自](走るのに)足が速い pikan (石狩): [他](人)を速くする pikanka (pikante) (新): [副]速く pikanno (新): [名]足が速い人 pikankur (石狩): [自](足が丈夫で走る、あるいは歩くのに)速くなる、速い nitan (石狩): [他](人)を速くする nitanka (nitante) (新): [副]速く nitanno (新): ③(手に関して)[自]手が早い monasnu (十勝): [自]何をやっても早い masnu (沙流): ④[自]速く泳ぐ、飛ぶ hoyupu (複数 hoyuppa) (石狩): [他]~と共に速く泳ぐ、飛ぶ ehoyupu (複数形 ehoyuppa) (新): [他](場所)へ速く泳ぐ、飛ぶ kohoyupu (複数形 kohoyuppa) (新): [他](場所)から速く泳ぐ、飛ぶ ohoyupu (複数形 ohoyuppa) (新): [他]~を速く泳がせる、飛ばす kohoyupure (複数形 kohoyuppare) (新)

はやし(囃子) [名]囃子 hetce (石狩): [自]囃子を入れる hetce (石狩): [他](場所)で囃子を入れる ehette (新): [他]〜と共に囃子を入れる kohette (新): [他](原因、手段)で囃子を入れる ohette (新): [他](人)に囃子を入れさせる hetcere (新): [他](神々が美しい声)の後にヘッという囃しを入れる ohetcewsi (石狩): (表現)(声の美しさを形容する常套句として)二柱の輝く神、三柱の神がそれ(美しい声)の後に囃子を入れ、笑いさざめく tu peker kamuy re peker kamuy ohetcewsi, ominawsi (石狩)

はやしたてる(囃したてる) [他]〜で〜を(複数で、何回も)替わる替わる囃したてる eukouyna (石狩): 「上川の者達は『貧乏人』と私に言っただけ言葉で替わる替わるそれを囃したてた。」 “《Wenpe》, sekor peniunkur utar en=ye kor sine itak eukouyna .”

はやし(林) [名]林 nitay (石狩): 地名の中には“nikur(-i)”も現れる。: (表現)林の中 nitay tum(長形-u, -ke) (石狩): [名](合成語の構成要素として)林 tay (石狩): [名]ケヤマハンノキ林 kenetay (石狩): [名]ミズナラ林 komnitay (石狩)

はやす(生やす) [他](髭)を生やす tukka (石狩): (表現)髭を生やす rek tukka (石狩)

はやせ(早瀬) [名]早瀬 ciwusi (石狩)

はやて(疾風) (表現)(目にも留まらぬような速さで行動する事を表わし)輝く風となり pekenrera ne (石狩): 「…わが鎧を輝く風となりてわれは着て…」 “…an=kor hayokpe pekenrera ne an=mi ki ki wa …” (杉村キナラブク)英雄詞曲

ハヤトウリ(準人瓜) (植物)[名](ウリ科)ハヤトウリ属 cocouripunkar-cise (新): [名]ハヤトウリの茎 cocouripunkar (新)、[名]その果実 cocouri (新)※(西語。別名「センナリウリ」)

はやまる(早まる) [自](動詞句の後に置かれ助動詞的に用いられ)〜(するのが)早まる tunas (石狩): 「A氏の到着が早まったそうだ。」 “A nispa sirepa tunas sekor hawas.”

はやめる(早める) [他]〜を早める tunaska (石狩): 「植物の成長を早める。」 “Sinritkorpe-sukup an=tunaska .”

はやる(流行る) ①(風俗、病気を問わず)[自]流行る ukotusse (ukoturuse) (新)※(天塩“ukoturuse”): (表現)今流行りのやり方 tane ukotusse kane an puri (新): [他](場所)で流行る eukotusse (eukoturuse) (新): [他](原因、手段)で流行る oukotusse (oukoturse) (新): [他]〜を流行らせる ukotusseka (ukoturuseka) (新)、[他]

oukotussere (oukoturse) (新): [自]すっかり流行る oarukotusse (oarukoturuse) (新): ②(病気に限らず)[自]流行る sipirasa (石狩): [他]〜を流行らせる sipirasare (新)

はら(原) [名]原 nup (石狩)、[場名] nupka (石狩)

はら(腹) ①[名]腹 hon(-i) (石狩): [名](合成語の構成要素として)腹 cup(-i) (石狩): [場名]上腹部 hompake (新): (表現)〜の上腹部 honi pake (石狩): [場名]中腹部 honnoski (新): (表現)〜の中腹部 honnoski (石狩): [場名]下腹部 cupkes(-e) (石狩): [名]腹とそこから下 panram(-u) (天塩): [場名](臓器、あるいは精神が宿る場所としての)腹の中 oske (石狩)、[場名]ramor(-o, -ke) (石狩)②[名]腹痛 honiarka (石狩): (表現)腹が痛む honi arka (石狩): 一般的な腹痛も陣痛もこの語で表現する。: [名](走ったり食べ過ぎたりして起る)差し込むような腹の痛み ipesikaye (石狩): [自](走ったり食べ過ぎて)刺しこむ様に腹が痛む ipesikayeus (石狩): ③[自]腹が空く iperusuy (石狩)、[自]ipeorakse (屈斜路)、[自](雅) mawa (八雲): (表現)腹ぺこ虱 mawa urki (八雲): [自]腹が空いて眠れない parkomonak (幌別): (表現)腹が空いて眠れない iperusuy wa monak (新): [自]腹が空いてたまらない sampe-cinoypa (幌別)、[自]samesikirpa (新)※(美幌): (表現)腹が空いてたまらない sonno iperusuy (石狩): ④[自](腹の中が)グーグー鳴る kuyatatke (天塩): (表現)腹の中がグーグー鳴る oske kuyatatke (天塩)

バラ(薔薇) (植物)①[場名](古生花被植物亜綱)バラ目 (新): [名]バラ科 (新): [名]アジサイ科 (新): [名]アネモネ科 (新): [名]エウカリプス科 (新): [名]コルメリア科 (新): [名]クノニア科 (新): [名]クリソバラヌス科 (新): [名]グレイシア科 (新): [名]クロツソマ科 (新): [名]スグリ科 (新): [名]スズカケノキ科 (新): [名]スリアナ科 (新): [名]ダヴィドソニア科 (新): [名]ディアリペタラントゥス科 (新): [名]トベラ科 (新): [名]ネウラダ科 (新): [名]ビブリス科 (新): [名]フクロユキノシタ科 (新): [名]ブルニア科 (新): [名]ブルネリア科 (新): [名]ベンケイソウ科 (新): [名]マメ科 (新): [名]マメモドキ科 (新): [名]マンサク科 (新): [名]ユキノシタ科 (新): [名]ラブドデンドロン科 (新): ②[名]バラ状果 mawne-ikaop(-i) (新)

はらいきよめる(祓い清める) [自](手草で)人を祓い清める iepiru (新)、[自] ikakik (新): [他]〜を祓い清める epiru (石狩)、[連他] kasi-kik (ka-kik) (石狩): [他](人)に〜を祓い清めさせる epirure (新): [自]自分を祓い清める yayepiru (新)、[自] yaykakik (新): [自]互いに、皆を祓い清める uepiru (新)、[自] ukakik (新)

はらう(払う) ①[他]〜を払う kar (石狩)、[他] sanke(複数 sapte) (新): (表現)金を払う ikor sanke(複数 sapte) (新): "kar"が「〜を作る」を意味するため、単に"ikor kar"と言った場合誤解を生じる場合もあるため、先の新表現が良いと思われる。: 「給料として毎月50万円が払われる。」

“Puma ne asikne moikne yen an=kar(an=sapte).”, 「500円ずつ20回払いする。」 “Hotne suy pakno asikne atuytane yen ranke an=kar(an=sapte).”:

②[自]代金を払う ataykar (新)、[自] iatayekar (新): [他]〜の代金を払う atayekar (石狩): (表現)〜の代金を払う ataye kar (新): [他](場所)で〜の代金を払う eatayekar (新): [他]〜に代金を払う koatayekar (新): [他]〜と共に代金を払う koatayekar (新): [他](原因、手段)で〜の代金を払う oatayekar (新): [他](人)に〜の代金を払わせる atayekare (新): ③[自]賃金を払う pumakar (石狩): [他](人)に賃金を払わせる pumakare (新)

パラオ ①[場名](国名)パラオ共和国 Berau Ukotankoremosir (新)※(首都は「マルキョク」): [場名](国名の通称として)パラオ Berau (新): [名]パラオ人、国民 berauunkur (新): [名]パラオ語 beraukur-itak (新): ②[場名](地名)パラオ諸島 Beraw-usapoysir (新)

はらおび(腹帯) [名](鞍の)腹帯 kuraunkut(-ci) (新)

パラグアイ [場名](国名)パラグアイ共和国 Paraguay Ukotankoremosir (新)※(首都は「アスンシオン」): [場名](国名の通称として)パラグアイ Paraguay (新): [名]パラグアイ人、国民 paraguay-unkur (新)

はらげ(腹毛) [名]腹毛 hónusnuma (新)、[名] honnuma (新)

バラケイログナトウス (魚介)[名](タナゴ亜科)バラケイログナトウス属 parakeyrognatus-cise (新)※(学名)

ばらこ(ばら子) [名]バラバラになった魚の卵、ばら子 cipor(o) (石狩)

パラジウム (化学)[名]パラジウム paradium (新)※(原子番号46番。元素記号 Pd)

はらす [名]はらす、サケの腹の肉 rakuye (石狩)

ばらす (機械などに関して)[他]〜をばらす hecawere (新)※(本来は「(衣服)を解す」の意味。): [他](場所)で〜を解体する ehecawere (新): [他]〜と共に〜を解体する kohecawere (新): [他](原因、手段)で〜を解体する ohecawere (新): [他](人)に〜をばらさせる hecawerere (新)

はらす(晴らす) [他](魔力でかけた霧)を晴らす ecaku (石狩): 「…私は峰の周りにかけた霧を晴らしたよ…」 “…ay=situkariotte urar an=ecaku na…” (杉村キナラブク)神謡

ハラタケ (菌類、きのこ)[場名]ハラタケ目 ummasikarus-kotan (新): [名]ハラタケ科 ummasikarus-apa (新): [名]ハラタケ属 ummasikarus-cise (新): [名]ハラタケ ummasikarus (幌別): [名]マッシュルーム europakarus (新)

パラタナゴ(薔薇鱧) (魚介)[名](タナゴ亜科)パラタナゴ属 rózaseyor-koisankep (新): [名]パラタナゴ rózaseyor-koisankep (新): >名詞>ニッポンパラタナゴ samorseyor-koisankep (新): [名]タイリクパラタナゴ atuyyaseyor-koisankep (新): [名]ヨーロッパタナゴ europaseyor-koisankep (新)

パラナ ①[場名](ロシア連邦極東連邦管区コリャーク自治管区の首府名)パラナ Parana (新): ②[名](地名)パラナ川 Parana-pet (新)※(コリャーク自治管区を流れる川)

はらにかくす(腹に隠す) [他](刀など)を腹に隠す、腹に吞む honturasire (石狩)※(服の中に隠す事)

バラノプス (植物)[場名](古生花被植物亜綱)バラノプス目 nisewnennoampeni-kotan (新): [名]バラノプス科 nisewnennoampeni-apa (新): [名]バラノプス属 nisewnennoampeni-cise (新): [名]バラノプス・アウストラリアナの茎 austoraria-nisewnennoampeni (新): [名]P. バランサエの茎 nisewnennoampeni (新)

はらばい(腹這い) [自]腹這いになる mukkamama (石狩): [他]〜を腹這いにする mukkamamare (新)

ハラハラ [間投](擬声語)ハラリ rap (新): [自](木の葉などが)ハラリとする rapse (新): [間投](擬声語)ハラハラ rapap (石狩): [自](木の葉などが)沢山ハラハラする rapapse (石狩)

バラバラ [間投](擬声語)ハラリ、パラリ、バラ

リ rap (新)、[間投](擬声語) para (新)※(日本語より。): [自](木の葉や粒などが落ち)ハラリ、パラリ(バラリ)という rapse (新)、[自] parase (新): [間投](擬声語)ハラハラ、パラバラ、バラバラ rapap (石狩)、[間投](擬声語) parara (新): [自](木の葉や粒などが沢山落ち)ハラハラ、パラバラ、バラバラいう rapapse (石狩)、[自] pararase (新)

ばらまく(ばら撒く) [自]ものをばら撒く icari (複数 icarpa) (新): [他]~をばら撒く cari (複数 carpa) (石狩): [他](場所)に~をばら撒く kocari (複数 kocarpa) (石狩): [他](原因、手段)で~をばら撒く ocari (複数 ocarpa) (新): [他](人)に~をばら撒かせる carire (複数 carpare) (新): [他]自分で、一人で~をばら撒く yaykocari (複数 yaykocarpa) (新): [他]皆で、互いに~をばら撒く ukocarpa (新): [他]完全に~をばら撒く oatcari (複数 oatcarpa) (新)、[他] atcari (複数 atcarpa) (新): [他](場所)に完全に~をばら撒く eatcari (沙流): (表現)~の小さな肉片大きな肉片を雪の上にばら撒く nokan kamnoci rupne kamnoci upas kurka eatcari (沙流): [他]思い切り、ひどく~をばら撒く toykocari (複数 toykocarpa) (新): [他](中相)~がばら撒かれる cicari (複数 cicarpa) (新): [他]人に~をばら撒かせる cariyar (複数 carpayar) (新): [自]何度も、あるいは大量のものをばら撒く icatcari (天塩): [他](何ども、あるいは大量の何か)をばら撒く catcari (石狩): [他](人)に(何ども、あるいは大量の何か)をばら撒かせる catcarire (石狩)

パラマリボ [場名](スリナム共和国の首都名)パラマリボ Paramaribo (新)

パラミツ(波羅蜜) (植物)[名](パンノキ属)パラミツの茎 nankani (新)※(別名「ジャックフルーツ」、「長実パンの木」、「南果」): [名]その果実 nanka (新)※(マレー語)、[名] katar (新)※(ヒンディー語)

バラモンジン(婆羅門参) (植物)[名](キク科)バラモンジン属 kikumukkina-cise (新): [名]バラモンジンの茎葉 pewrekinapeus-kikumukkina (新)、[名]その根 pewrekinapeus-kikumuk (新)※(別名「ムギナデシコ」、「セイヨウゴボウ」): [名]キバナバラモンジンの茎葉 sikepepeus-kikumukkina (新)※(別名「バラモンギク」、「キバナムギナデシコ」など。同名の「フタナミソウ属の種に注意」): [名]トラゴポゴン・エロンガドゥスの茎葉 rewerikikumukkina (新)

ハラレ [場名](ジンバブエ共和国の首都名)ハラレ Harare (新)

はらわた(腸) ① [名]腸、腹の内容物 oskeomap (石狩)、[場名] oske (石狩)、[場名] ramor(o) (石狩): ② [名]腸、ちょう tuy(e) (石狩)

はらをたてる(腹を立てる) ① [自]腹を立てる iruska (石狩): [自](常套句として"iruska"と対で用いられ)腹を立てる siante (石狩): (表現)腹立ちの気持ち、怒りの気持ちを抱く iruska kewtum siante kewtum yaykorpore (石狩): [他](何かの事)で腹を立てる ruska (石狩): [他](人)に腹を立てる koiruska (石狩): [他](人)に(何かの事)で腹を立てる koruska (石狩): [自]自分に、一人で腹を立てる yaykoiruska (新): [自]皆で、互いに腹を立てる ukoiruska (新): [自]すっかり腹を立てる oariruska (ariruska) (新): [自]ひどく腹を立てる toykoiruska (新)、[自] iwenruska (新): ② [自]腹を立てて去る、腹を立てて出て行く ikesuy (石狩): [他](人)に腹を立てて去らせる ikesuyre (新)

バリ ① (何かが裂ける、あるいは裂けたような音)[間投]バリ、バリ yas (新): [間投]バリバリ、バリバリ yásas (新): [自](一回)バリ、バリッ、バリバリと鳴る yaskosanu (石狩)※(雷鳴の表現としてよく使われる): [自]バリバリ、バリバリと頻りに鳴る ciyasrototo (新)、[自] yasrototke (新): [自]バリバリ、バリバリと鳴る yásasatki (新): [自]バリバリ、バリバリと鳴り続ける yasnatara (新): ② [間投](何かが割れる音)バリ、バリ per (新): [間投]バリバリ、バリバリ perper (新): [自](一回)バリ、バリッと割れる perkosanu (石狩): [自]バリバリ、バリバリと頻りに割れる cipenrototo (新)、[自] penrototke (新): [自]バリバリ、バリバリと割れる pereratki (新): [自]バリバリ、バリバリと鳴り続ける pennatara (新)

バリ [場名](フランス共和国の首都名)バリ Pari (新)

バリ(1) [場名](地名)バリ島 Bari-poysir (新)※(小スンダ列島に属するインドネシア領の島)

はり(針) [名]針 kem(i) (石狩): (表現)(雅)(出かけるためそれまで)縫っていた物に私は針を刺したままにし後ろにやる an=tekekar pe an=kemeninu an=makoraye (石狩): [自]~に針を刺すような痛みがある sikayus (天塩): 「私の横っ腹が針を刺すようにチクチク痛む。」 “Ku=tempoki

sikayus .”

はり(梁) [名](建物の)梁 soetomo (石狩)、
[名](雅) amanni (沙流): (表現)(雅)梁の
下 aman enpok (沙流)

はりあな(針穴) [名]針の穴 kempuy (石狩)、
[名] kemsuy (石狩)

ハリアリ(針蟻) (昆虫)[名](アリ科)ハリアリ亜
科 kemkor-itunnap-moapa (新): [名]ハ
リアリ属 kemkor-itunnap-cise (新):
[名]ヒメハリアリ mokemkor-itunnap
(新): [名]アギトアリ属 ituyekani-
kemkoritunnap-cise (新): [名]オソレア
リ属 cihoma-itunnap-cise (新): [名]ト
ゲオオアリ属 áyporo-itunnap-cise (新):
[名]トゲズネアリ属 áyusnisap-itunnap-
cise (新): [名]ニセハリアリ属
cikemkor-itunnapkopa-cise (新): [名]ハ
シリハリアリ属 paskemkoritunnap-cise
(新): [名]ヒメアギトアリ moituyekani-
kemkor-itunnap-cise (新): [名]フトハリ
アリ属 ruwekemkor-itunnap-cise (新)

はりあわせる(張り合わせる) [自]物を張り合わ
せる iukosattekka (新): [他]～を張り合
わせる ukosattekka (新): [他](場所)で
～を張り合わせる eukosattekka (新):
[他](原因、手段)で～を張り合わせる
oukosattekka (新): [他](人)に～を張り合
わさせる ukosattekka (新): [他]～が
張り合わされる ciukosattekka (新)

はりいれ(針入) [名]針入 cispo (石狩)、[名]
kémop (石狩)

ハリウッド [場名](アメリカ合衆国カリフォル
ニアロサンゼルス市の地名)ハリウッド
Hóriwut (新): [名]ハリウッドスタイル
(ベット) hóriwutkatkor(・amset) (新)

バリウム (化学)[名]バリウム barium (新)
※(原子番号56番。元素記号 Ba)

ハリオアマツバメ(針尾雨燕)(鳥)[名](アマツバ
メ科)ハリオアマツバメ属 kémisi-
ruyampecikap-cise (新): [名]ハリオアマ
ツバメ kémisi-ruyampecikap (新): [名]
セレベスハリオアマツバメ surawesi-
ruyampecikap (新)

パリキール [場名](ミクロネシア連邦の首都名)
パリキール Parikir (新)

ハリギリ(針桐) (植物)[名](ウコギ科)ハリギリ
属 ayusni-cise (新): [名]ハリギリの茎
ayusni (天塩)※(別名「センノキ」など)

ハリグワ(針桑) (植物)[名](クワ科)ハリグワ属
aynuturepni-cise (新): [名]ハリグワの茎
aynuturepni (新)、[名]その果実
aynuniturep (新): [名]オーセージオレン
ジの茎 kúne-aynuturepni (新)、[名]その
果実 kikirokewe-niturep (新): [名]マ

クルラ・コキンキネンシスの茎 nupur-
aynuturepni (新): [名]M. ティンクトリ
アの茎 ikakiusini (新)※(ものをカーキ色
に染める木): [名]M. ブラシリエンシスの
茎 burazir-aynuturepni (新)

ハリゲヤキ(針櫟)(植物)[名](ニレ科)ハリゲヤキ
属 ayuskeyaki-cise (新): [名]ハリゲヤ
キの茎 ayuseyaki (新)

はりさし(針刺) [名]針刺、針山 cispo (石
狩)

はりしごと(針仕事) [名]針仕事 kemeyki
(石狩): (表現)針仕事にばかりわき目もふら
ず行 う kemeyki patek kosineani-
enutomom (沙流): [自]針仕事をする
kemeyki (石狩): [他](人)に針仕事をさせ
る kemeykire (新):

はりしょうが(針生姜) [名]針生姜 kemsioaga
(新)、[名] kemne-sioaga (新):

ハリスバーグ [場名](アメリカ合衆国ペンシル
バニア州の州都名)ハリスバーグ
Harisburgu (新)

はりつく(張り付く) [自]張り付く sisattekka
(新): [他]～に張り付く sikosattekka
(新)、[他] kotuk (石狩)

はりつける(張り付ける) [自]ものを張り付け
る isattekka (新): [他]～を張り付ける
sattekka (新): [他]～にものを張り付ける、
～をものに張り付ける ikosattekka (新)、
[他] ikotukka (新): [他]～に～を張り付
ける kosattekka (石狩)、[他] kotukka
(石狩): [他](原因、手段)で～に～を張り付
ける okosattekka (新)、[他] okotukka
(新): [他]自分に～を張り付ける
yaykosattekka (新)、[他] yaykotukka
(新): [他]皆で、互いに～を張り付ける
ukosattekka (新)、[他] ukotukka (新):
[他]すっかり、ぴったり～に～を張り付ける
oarkosattekka (arkosattekka) (新)、[他]
oarkotukka (arkotukka) (新)

ハリファックス [場名](カナダのノバスコシア
州の州都名)ハリファックス Harifaksu
(新)

ハリブキ(針蓆) (植物)[名](ウコギ科)ハリブキ
属 cisewatnikopa-cise (新): [名]ハリブ
キの茎 cisewatnikopa (新): [名]デヴィ
ルズクラブの茎 devirsitu (新)

ハリモグラ(針土竜) (動物)[場名](カモノハシ
目)ハリモグラ亜目 ayustoyosop-mokotan
(新): [名]ハリモグラ科 ayustoyoposop-
apa (新): [名]ハリモグラ属
ayustoyopsop-cise (新): [名]ハリモグラ
ayustoyoposop (新): [名]オオハリモグラ
属 poro-ayustoyoposop (新)※(絶滅):
[名]ミユビハリモグラ属 reaskepetkor-

toyoposop-cise (新): [名]デビッドキョウミツユビハリモグラ sikropsu-reaskepetkor-ayustoyoposop (新)※(サイクロブス三指針土竜): [名]ニシミツユビハリモグラ cuppokun-reaskepetkor-ayustoyoposop (新): [名]ヒガシミツユビハリモグラ cupkaun-reaskepetkor-ayustoyoposop (新)

はる(春) [名]春 paykar (石狩): (表現)春になる paykar an (石狩): (表現)春になると paykar an kor (石狩): [O動]春になる sirpaykar (千歳): [自](場所)が春になる sirkopaykar (新): [自]春を待つ paykattere (新): [自]春になるのを待つ sirpaykattere (新)

はる(張る) ①[他]物を～に張る、～に物を張る ikosattekka (新): [他]～を～に張る kosattekka (石狩): [他](場所)で～を～に張る ekosattekka (新): [他](原因、手段)で～を～に張る okosattekka (新): [他](人)に～を～に張らせる kosattekka (新): [他]～が～に張られる cikosattekka (新): ②[自](張り枠に)皮を張る icin (石狩): [他](張り枠に何かの皮)を張る cin (石狩)

はるか(遙か) [副]遙かに too (石狩): (表現)遙か遠くに、遙か彼方 too tuyma (石狩): [連体]遙か遠くの too (石狩): (表現)遙か遠い所 too hi (石狩): (表現)遙か遠い山の中である too kim ta ne (石狩): [名]遙か彼方の海、遠く大海(わだつみ) síatuyenrur (石狩): [自](風景が)遙かに広がる、ずっと広がる hemaknaraye (hemakaraye) (石狩): 「…美しい川岸の林が遙かに広がり…」 “…pirka kenas hemakaraye…” (杉村キナラブック)英雄詞曲

バルカル [名]バルカル人 markarkur (新)

バルカン [名](地名)バルカン半島 Barkan-sirekanray (新): [名](地名)バルカン山脈 Barkan-ikinnenupuri (新)

パルス [名]パルス koy (新)※(波)

バルチモア [場名](アメリカ合衆国メリーランド州の都市名)バルチモア Battimore (新)

ハルツーム [場名](スーダン共和国の首都名)ハルツーム Xattum (Xartum) (新)

バルト [名](地名)バルト海 Battik-atuy (新)

バルナウル [場名](ロシア連邦シベリア連邦管区アルタイ地方の首府名)バルナウル Bannaur (新)

ハルニレ(春楡) (植物)[名](ニレ属)ハルニレの茎 cikisani (H): [名]その樹皮 níkap(-u) (天塩): [名]その樹皮から採った繊維 pónat (石狩)、[名] níkapat (幌別): [名]

その繊維で織った厚司 níkapattus (石狩)

バルバドス ①[場名](国名)バルバドス Barbados (新)※(首都は「ブリッジタウン」): [名]バルバドス人、国民 barbadosunkur (新): ②[場名](地名)バルバドス島 Barbados-poysir (新)※(小アンティル諸島に属するバルバドス領の島)

ハルピュイアフルーツコウモリ (動物)[名](オオコウモリ科)ハルピュイアフルーツコウモリ亜科 harpinikaopekapap-moapa (新): [名]ハルピュイアフルーツコウモリ属 harpinikaopekapap-cise (新): [名]ハルピュイアフルーツコウモリ harpinikaopekapap (新): [名]セレベスハルピュイアフルーツコウモリ surawesiun-harpinikaopekapap (新): [名]ケナシフルーツコウモリ属 atusa-nikaopekapap-cise (新): [名]ニューギニアフルーツコウモリ属 siknusumane-nikaopekapap-cise (新): [名]ニューギニアフルーツコウモリ siknusumane-nikaopekapap (新)

ハルピン(哈爾濱) [場名](中華人民共和国黒龍江省の省都名)哈爾濱 Hárpin (新)

バルブス ①(魚介)[名](コイ科)バルブス亜科 barbus-moapa (新): [名]バルブス属 barbus-cise (新)※(学名): [名]バーベル barbus (新)※(学名): [名]シノキョクロケイルス属 sínokikrokeyrus-cise (新)※(学名): [名]タモロコ属 yayanmoroko-cise (新): [名]プンティウス属 puntius-cise (新)※(学名)

ハルマヘラ [場名](地名)ハルマヘラ島 Harmahera-poysir (新)※(モロッカ諸島に属するインドネシア共和国領の島)

はれ(晴れ) [完動]晴れる、晴れている sirpirka (石狩)、[完動] sírecaku (蝦夷語集録): [自](場所)が晴れる、晴れている sirkopirka (新)、[自] sirkocaku (新): (表現)晴れる、晴れている nis eperke (石狩)、(表現) sikus an (浦河)

はれぎ(晴着) [名]晴着 cikirpe (新): [名]神が着るような立派な晴着 kamuycikirpe (石狩)

パレスチナ [場名](地中海東岸に位置する中東の地名)パレスチナ Parestina (新): [場名]パレスチナ自治政府(パレスチナ事務局) Parestina Ekaskonrokmosir Anirenkakorep (新)※(英語の略号は PNA。1996年に正式に発足): [固名]パレスチナ暫定自治区 Parestina Sieyayetunus Sisserke (Sirserke) (新): [固名]パレスチナ解放機構 Parestina Iyayenkare Ciikirikarkarpe (Ikir) (新)※(英語の略号は PLO): [名]パレスチナ人

parestinaunkur (新)

はれつ(破裂) [自]破裂する pustek (石狩)、
[自] pus (石狩): [他](場所)で破裂する
epustek (新)、[他] epus (新): [他]〜と
共に破裂する kopustek (新)、[他] kopus
(新): [他](原因、手段)で破裂する opustek
(新)、[他] opus (新): [他]〜を破裂させ
る pustekka (石狩)、[他] puste (新):
[自]完全に破裂する oarpustek (arpustek)
(新)、[自] oarpus (arpus) (新): [自]破
裂しやすい pusno (pusnu) (新): [自]激
しく破裂する pusruy (新): [自]ひどく
破裂する toykopustek (新)、[自]
toykopus (新)

パレット [場名](マルタ共和国の首都)パレッ
タ Varetta (新)

はれもの(腫物) [名]腫物 hup(-i) (石狩):
(表現)腫物が一つできる hup oma (石狩):
(表現)腫物が沢山できる hup o (石狩):
[名]膿疱を持つ腫物 kamasin (幌別):
[名]腫物の頭の化膿部 yékonci (幌別)、
[名] yéetu (屈斜路): (表現)腫物が化膿
して口がつく par o wa yénu (新冠):
[名]ぽつんと一つだけできる腫物 pópo
(屈斜路): [名]膝かぶなによくでる小さいが
とても痛い腫物 numasup(-i) (幌別):
[名]手足の指先に出来る悪性の腫物、化膿性
爪囲炎 ihupka (石狩): [自]先述の腫物
ができる、化膿性爪囲炎になる ihupka
(石狩)

パレル [名]パレル、銃身 puspesapa (新)、
[名] puspepake (新)

はれる(腫れる) [自]腫れる hup (複数
huppa) (石狩): [他]〜と共に腫れる
kohup (複数 kohuppa) (新): [他](原因、
手段)で腫れる ohup (複数 ohuppa) (新):
[他]〜を腫らす hupka (新)、[他] hupte
(複数 huppare) (新): [自]ひどく腫れあ
がる wenhup (複数 wenhuppa) (新)、[他]
toykohup (複数 toykohuppa) (新):

パレルモ [場名](イタリア共和国シチリア自
治州の州都)パレルモ Parermo (新)

バレンツ [名](地名)バレンツ海 Bárențu-
atuy (新)※(北極海の一部)

ハワイ [場名](アメリカ合衆国の州名)ハワイ
州 Hawaii-mosir (新)※(州都は「ホノル
ル」): (歴史)[場名](国名)ハワイ王国
Hawaii Yaykomosirkorkurkormosir (新)※
(1795-1893年): [場名](地名)ハワ
イ諸島 Hawaii-usapoysir (新): [場
名](地名)ハワイ島 Hawaii-poysir (新)※
(ハワイ諸島に属するアメリカ合衆国領の
島): [名]ハワイ人 kanakamaorinekur
(新): [名]ハワイ語 kanakamaorinekur-

itak (新)

パン (物が爆ぜる音)[間投](擬声語)パン、パン
pus (石狩): [自](一回)パン(パン)と鳴る
puskosanu (石狩): [自]パンパン(パンパ
ン)と頻りに鳴る cipusrototo (新)、[自]
pusrototke (新): [自]パンパン(パンパン)
と何度も鳴る púsusatki (新): [自]パン
パン(パンパン)鳴り続ける pusnatara
(新): [自](瞬間的に)パン(パン)と鳴る
pustek (石狩)

パン [名]パン munkisito (新)、[名]
repunkur-sito (新)、[名] pan (新)※
(日本語): [名]パン焼器 pankarpe (新):
[場名]パン屋 panhokusi (新)

はん(判) [名]判 cioputuye-itokpa (新)、[名]
itokpa (新): (表現)〜に判をつく ~
ekota cioputuye-itokpa (itokpa) oputuye
(新)

ばん(晩) ①(一日を二分した時の昼に対する言
葉として)[名]晩 kunne (石狩): (表現)晩
になる kunne an (石狩): [副]晩に
kunnne (石狩): [0動]晩になる、晩である
sirkunne (石狩): [自]晩を待つ
kunnnetere (新): [自]晩になるのを待つ
sirkunnetere (沙流): ②(日没から就寝ま
での時間帯を表し)[名]晩 onuman (石狩):
(表現)晩になる onuman an (石狩): [副]
晩に onuman (石狩): [0動]晩になる、
晩である sironuman (石狩): ③(人が就
寝して朝起きると常識的に考えられる、ある
いは二晩、三晩と数えられる時間帯を表
し)[名]晩 ukuran (石狩): (表現)晩にな
る ukuran an (新): 「私達は三晩三日か
けて湧別に着きました。」“Re ukuran re to ne
wa Yúpet ta sirepa=an.”(砂沢クラ): [副]
晩に ukuran (石狩)

ばん(番) (表現)〜番目に 数連体詞+otutanu
(新)※(幌別): 方言辞典には旭川の言葉とし
て“数名詞+ananu”の形が採録されているが、
用例など無く不明な点が多い: (表現)何番
目に hampak otutanu (新): (表現)二番
目に tu otutanu (新): (表現)〜番目の
数連体詞+otutanu an (otutanan) (新):
(表現)何番目の物 hampak otutanu an
(otutanan) pe (新): (表現)二番目の物
tu otutanu an (otutanan) pe (新)

はんえい(繁栄) [自]繁栄する situri (複数
siturpa) (石狩)、[自] sirutu (石狩):
[他](場所)で繁栄する esituri (複数
esiturpa) (新)、[他] esirutu (新): [他]
〜と共に繁栄する kosituri (複数
kositurpa) (新)、[他] kosirutu (新):
[他](原因、手段)で繁栄する osituri (複数
ositurpa) (新)、[他] osirutu (新): [他]

～を繁栄させる siturire (複数 siturpare) (新)、[他] siruture (新)：[自]自分で、一人で繁栄する yaykosituri (新)、[自] yaykosirutu (新)：[自]皆で、共に繁栄する ukositurpa (新)、[自] ukosirutu (新)

はんえん(半円) [場名]半円 sikarinimar(-a) (新)：[名]半円形 sikarinimannoka (新)

ハンガー [名]ハンガー emonkake (石狩)：(表現)ハンガーに～を掛ける emonkake eattekar (新)：(表現)ハンガーを吊るす emonkake atte (表現)

はんかがい(繁華街) [名] 繁 華 街 ukonucaktekmaciya (ukonucattekmaciya) (新)

ハンカチーフ [名] ハ ン カ チ ー フ mosenkakipo (新)これと対比して「手拭」を "sisenkakipo"とも呼ぶ事とする。

ハンカチノキ(ハンカチの木) (植物)[名](ミズキ科)ハンカチノキ属 retarkusuwejni-cise (新)：[名]ハンカチノキ retarkusuwejni (新)

バンガナ (魚介)[名](ラベオ亜科)バンガナ属 bangana-cise (新)※(学名)

ハンガリー [場名](国名)ハンガリー共和国 Major Ukotankoremosir (新)※(首都は「ブダペシュト」)：[場名](国名の通称として)ハンガリー Majarmosir (新)：[名]ハンガリー人、国民 majarunkur (新)：[名]ハンガリー人、民族 majarkur (新)：[名]ハンガリー語 majarkuritak (新)：(歴史)[場名](国名)ハンガリー人民共和国 Major Utarikor Respubulika Ukotankoremosir (新)※(1949-89年。民主化に伴い現国名に改称)：[場名](国名)ハンガリー王国 Major Yaykomosirkorkurkormosir (新)※(1000-1946年。但し1867年よりオーストリア・ハンガリー帝国、1918-46年まで王不在。)

バンギ [場名](中央アフリカ共和国の首都名)バンギ Bangi (新)

はんぎ(版木) [名]版木 cioptuyeni (新)、[名] níita (新)

はんぎゃく(反逆) [自]人に反逆する unhayta (新)：[他](人)に反逆する hayta (石狩)：[他]～の事で～に反逆する ehayta (新)：[他](場所)で～に反逆する ehayta (新)：[他]～と共に～に反逆する kohayta (新)：[他](手段)で～に反逆する ohayta (新)：[他](人)に(人)に反逆させる haytare (新)：[他]自分で、一人で～に反逆する yaykohayta (新)：[他]皆で、共に～に反逆する ukohayta (新)

はんきゅう(半球) [場名]半球 sikaricupemko (新)：[場名]北半球 cupkaun-sikaricupemko (新)：[場名]南半球 cuppokun-sikaricupemko (新)

はんきょう(反響) [自]反響する ikotuntek (新)：[他](場所)で反響する、(場所)に反響する eikotuntek (石狩)：[他]～と共に反響する koikotuntek (新)：[他](原因、手段)で反響する oikotuntek (新)：[他]～を反響させる ikotuntekka (新)：[自]周囲に反響する sireikotuntek (石狩)

バンクーバー [場名](カナダのブリテッシュコロンビア州の都市名)バンクーバー Vankuva (新)

ばんぐみ(番組) [名] テ レ ビ 番 組 cituymanukarpe (新)：[名]ラジオ番組 cituymanup (新)

バングラデッシュ [場名](国名)バングラディッシュ人民共和国 Bangurades Utarikor Ukotankoremosir (新)※(首都は「ダッカ」)：[場名](国名の通称として)バングラディッシュ Bangurades (新)：[名]バングラディッシュ人、国民 bangurades-unkur (新)

パンゲア (地学)[場名]パンゲア大陸 Pangea (新)※(古生代後期(2億5千年前に形成された唯一の大陸)

はんけつ(判決) (法)[名](行為)判決 iarurenkare (新)：[名]判決、判決された事 ciarurenkarep (新)：(表現)判決を～に言い渡す ～ ekota ciurenkarep ye (新)：(表現)判決を下す ciarurenkarep sanke (新)：[自]物事を判決する iarurenkare (新)：[他]～を判決する arurenkare (新)：[他](場所)で～を判決する earurenkare (新)：[他]～と共に判決する koarurenkare (新)：[他](原因、手段)で～を判決する oarurenkare (新)：[他](人)に～を判決させる arurenkarere (新)：[他]自分で、一人で～を判決する yaykoarurenkare (新)：[他]互いに、皆で～を判決する ukoarurenkare (新)：[他]～を人に判決させる arurenkareyar (新)

はんげつ(半月) [場名]半月 cúpemko (石狩)

はんこう(犯行) [名]犯行 irenkawente (新)：(表現)犯行現場 an=eírenkawente hi (新)：[名]犯行事実 cieirenkawentep (新)：(表現)犯行事実 an=eírenkawente p (新)：(表現)犯行の様子 irenkawente sir(-i) (新)

ばんごう(番号) (表現)番号 ius cipiskip (新)：(表現)～の番号 ～ us cipiskip (新)、(表現)～ kor cipiskip (新)：(表現)～に番号を付ける、番号を振る ～ cipiskip usi

(新)、(表現) ~ cipiskip kóre (新)
はんごうせいばいち(半合成地) [場名] 半合成地 cirukar-iuattereusi (新): [場名] cirukar-cieiuattereusi (新)
バンコク [場名](タイ王国の首都)バンコク Kuruntep (新)、[場名] Bangkok (新)
ハンゴンソウ(反魂草) (植物)[名](キオン属)ハンゴンソウの茎葉 oromun (沙流): [名] ハンゴンソウの茎 ionkakuttar (石狩)、[名] pekampekuttar (石狩)、[名] yukkuttar (石狩)
はんざい(犯罪) [名] 犯罪 irenkawente (新): [自]犯罪を犯す irenkawente (新)、[自] tonkakor (八雲): [他]~に関して犯罪を犯す eirenkawente (新): [他](場所)で犯罪を犯す eirenkawente (新): [他]~に対して犯罪を犯す koirenkawente (新): [他]~と共に犯罪を犯す koirenkawente (新): [他](原因、手段)で犯罪を犯す oirenkawente (新): [他](人)に犯罪を犯させる irenkawentere (新): [自]自分で、一人で犯罪を犯す yaykoirenkawente (新): [自]皆で、互いに犯罪を犯す ukoirenkawente (新): [自]完全に犯罪を犯す oarirenkawente (arirenkawente) (新): [自]思い切り犯罪を犯す toykoirenkawente (新): [他]意図せず犯罪を犯す siirenkawentere (新): [自]人に犯罪を犯させる irenkawenteyar (新): [名]犯罪者 irenkawentekur (新)、[名] tonkakorkorkur (新)
ばんざい(万歳) [間投]万歳 ononno (石狩)、[間投] onono (石狩)
パンサラッサ (地学)[名]パンサラッサ Pantaratta (新)※(超大陸パンゲアを取り巻いていた唯一の海)
バンジュール [場名](ガンビア共和国の首都名)バンジュール Banjur (新)
はんじゅく(半熟) ①(果実に関して)[自]半熟になる、である ruisa (新): ②(加熱した食品に関して)[自]半熟になる ruhu (新)、[自] ruci (新): [他]~を半熟にする ruhuka (ruhure) (新)、[他] rucire (新)
はんしよく(繁殖)[自]繁殖する uatte (石狩)、[自] usapte (石狩): [他]~を繁殖させる uattere (新)、[他] usaptere (新)
はんしん(半身) [場名]半身 asserke (石狩): (表現)私の半身 ku=asserke (石狩): (表現)窓から半身のり出す puyar kari noski pakno esoykosanu (石狩): [自]半身不随になる kurkotunas (沙流より): (表現)半身不随になる、なっている asserke réne (新)
はんすう(半数) [場名](複数あるものの)半数

nimar(-a) (石狩): 「ここにいる人の半数は何も知らない。」 “Te ta okay utar nimaraha nep ne yakka erampetek .”
はんすう(反芻) [自]反芻する horkaipe (新): [名]反芻動物 horkaipep (新): [名]反芻類 horkaipep utar (新)
はんせい(反省) ①(自分がやった事を振り返る)[自]反省する yayokasiruwante (新)、[自] yayokahuymampa (新): (表現)~の後で反省する ~ oka(長形-ke) ta siruwante (yayhuymampa) (新): [他]~に関して反省する eyayokasiruwante (新)、[他] eyayokahuymampa (新): [他](人)に反省させる yayokasiruwantere (新)、[他] yayokahuymampare (新): ②(自分の非を後悔する事)[自]反省する yayokapaste (沙流)、[自] yaykopaste (石狩): [他]~に関して反省する eyayokapaste (新)、[他] eyaykopaste (新): [他](人)に反省させる yayokapastere (新)
はんせん(帆船) [名]帆船 kayacip (新)、[名] kayanucip (新)
パンダ →「ジャイアントパンダ」を見よ
はんたい(反対) ①[他]~に反対する kopan (新): [他](場所)で~に反対する ekopan (新): [他]~と共に~に反対する kokopan (新): [他](原因、手段)で~に反対する okopan (新): [他](人)に~に反対させる kopante (新): [助動]~する事に反対する kopan (新): ②[副]反対に onene (石狩)、[副] eikasu (天塩)、[副] oikasu (天塩): (表現)反対に直ぐに nani onene (石狩): (表現)反対に悪くなる、なっている eikasu wen (天塩)、(表現) oikasu wen (天塩)
バンドルスリブガワン [場名](ブルネイ・ダルッサラーム国の首都名)バンドルスリブガワン Bandar-seri-bagawan (新)
はんだん(判断) [名](行為)判断 iurenkare (新): [名]判断、判断された事 ciurenkarep (新): [自]物事を判断する iurenkare (新): [他]~を判断する urenkare (石狩): [他](場所)で~を判断する eurenkare (新): [他]~と共に~を判断する kourenkare (新): [他](原因、手段)で~を判断する ourenkare (新): [他](人)に~を判断させる urenkarere (新): [他]自分で、一人で~を判断する yaykourenkare (新): [他]互いに、皆で~を判断する ukourenkare (新): [他]~を人に判断させる urenkareyar (新): [名]判断材料 cioiurenkarep (新): [名]判断力 iurenkare-easkay (新)

はんちかしき(半地下式) [名] 半地下式の家
toycise (石狩)

ばんちゃ(番茶) [名] 番茶の茶葉 hawkeca
(新): [名](飲料としての)番茶 hawkeca-
usew (新)

はんちゅう(範疇) [名] 範疇 sonep (新)、[名]
so (新)

パンツ ①(下着)[名] パンツ páni (新)※(そ
の下部)、[名] cipoknauspe (新): (表現)
パンツを脱ぐ páni (cipoknauspe) ama
(新): (表現) パンツを穿く páni
(cipoknauspe) us (新) ②(ズボン)[名] パ
ンツ oyo (北千島)、[名] ráuni (新)※(下
に付く物)、[名] ráusi (新)※(下に穿く物):
(表現) パンツを脱ぐ oyo (ráuni、ráusi)
ama (新): (表現) パンツを穿く oyo
(ráuni、ráusi) us (新)

はんつき(半月) [場名] 半月 cúpemko (新)

ハンティ [場名](ロシア連邦ウラル連邦管区
の構成主体名)ハンティ・マンシ自治区
Xantimanši-sieyayetunusiwor (新)※(チュ
メニ州に属す。首府は「ハンティ・マンシー
スク」): [場名](ロシア連邦ウラル連邦管区
ハンティ・マンシ自治管区の首府名)ハンテ
ィ・マンシースク Xantimanšiysuk (新):
[名]ハンティ人 xantikur (新): [名]ハン
ティ語 xantikur-itak (新)※(フィン・ウゴ
ル語派ウラル諸語に属する言語): [名]マン
シ人 mansikur (新): [名]マンシ語
mansikur-itak (新) ※(フィン・ウゴル語
派ウゴル諸語に属する言語)

パンティ [名] パンティ pánipo (新)、[名]
cipoknauspepo (新): (表現) パンティを脱
ぐ pánipo (cipoknauspepo) ama (新):
(表現) パンティを穿く pánipo
(cipoknauspepo) us (新)

はんでい(判定) [名](行為)判定 iurenkare
(新): [名]判定、判定された事 ciurenkarep
(新): [自]物事を判定する iurenkare
(新): [他]～を判定する urenkare (石
狩): [他](場所)で～を判定する eurenkare
(新): [他]～と共に～を判定する
kourenkare (新): [他](原因、手段)で～を
判定する ourenkare (新): [他](人)に～
を判定させる urenkare (新): [他]自
分で、一人で～を判定する yaykourenkare
(新): [他]互いに、皆で～を判定する
ukourenkare (新): [他]～を人に判定させ
る urenkareyar (新)

はんでん(半纏) [名] 半纏 takicimip (石狩)

はんでん(斑点) [名] 斑点 kes(i) (石狩)、
[名] keskes(i) (石狩): [自]～に斑点が
できる、斑点がある keso (新)、[自]
keskeso (石狩)、[自] sirkio (石狩): [名]

火に当たってできる赤い斑点 apekeskes
(石狩)

はんとう(半島) [名] 半島 sirekanray (新):
網走のアイヌが知床半島を呼んだ言葉より。
知里真志保「地名アイヌ語小事典」。

ハンドウイルカ(半道海豚)(動物)[名](マイルカ
亜科)ハンドウイルカ属 yayantannu-cise
(新): [名]ハンドウイルカ yayantannu
(新)※(別名「バンドウイルカ」): [名]ブル
ナンイルカ austoraria-yayantannu (新):
[名]ミナミハンドウイルカ koypok-
yayantannu (新)

パントゥー [名] パントゥー語群 bantu-
itaktopa (新): [名]パントゥー諸語
bantu-usaitak (新)

はんとし(半年) [場名] 半年 páemko (新)

はんにち(半日) [場名] 半日 toemko (新)

はんにん(犯人) [名] 犯人 irenkawentekur
(新)、[名] ikikur (新)

はんぬれ(半濡れ) [自] 半濡れになる、半濡れに
なっている ruteyne (石狩)

パンノキ (植物)[名](クワ科)パンノキ属
kasipanoni-cise (新): [名]パンノキの茎
kasipanoni (新)、[名]その果実 nikaopan
(新): [名]アルトカルプス・カマンシの茎
sikasipanoni (新): [名]A. ダダーの茎
dadani (新)、[名]その果実 dada (新):
[名]A. トレクリアヌスの茎 afrika-
kasipanoni (新): [名]A. ノビリスの茎
suriranka-kasipanoni (新): [名]A. ヒパ
ルギレウスの茎 (新): [名]A. ヒルストウ
スの茎 anhirini (新)、[名]その果実
anhiri (新)※(マラヤム語): [名]A. ラ
クカの茎 sarunankani (新)、[名]その果実
sarunanka (新)※(猿波羅蜜): [名]エンタ
ワクの茎 entawakni (新)、[名]その果実
entawak (新): [名]コバラミツの茎
cempedakni (新)※(別名「チェンペダック」)、
[名]その果実 cempedak (新): [名]パラ
ミツの茎 nankani (新)、[名]その果実
nanka (新)※(マレー語)、[名]katar (新)
※(ヒンディー語): [名]マランの茎
maranni (新)、[名]húranu-kasipanoni
(新)、[名]その果実 maran (新)、[名]
húranu-nikaopan (新)

ハンノキ(樺の木)(植物)[名](カバノキ科)ハンノ
キ属 kene-cise (新): [名]ハンノキの茎
sikene (新): [名]アルダーの茎 repun-
kene (新)※(別名「レッドアルダー」): [名]
オオバミヤマハンノキの茎 hamuporoiwa-
kene (新): [名]オオバヤシヤブシの茎
hamuporo-sisamikunnekapni (新): [名]
オリエンタルアルダーの茎 oriento-kene
(新): [名]ケヤマハンノキの茎 kene (石

狩)、[名]その樹皮 *kenekap* (石狩)、[名] *húenikap* (石狩)、[名]その果穂 *kenepo* (新)※(ヤマハンノキの変種): [名]カワラハンノキの茎 *samorpetcamun-kene* (新): [名]グリーンアルダーの茎 *siwnin-kene* (新): [名]コーカシアンアルダーの茎 *kafkas-kene* (新) [名]サクラバハンノキの茎 *ciannan-kene* (新)※(江南榛の木): [名]タニガワハンノキの茎 *hamuponkimun-kene* (新): [名]ネパールハンノキの茎 *nepar-kene* (新): [名]ヒマヤンアルダーの茎 *himaraya-hene* (新): [名]ヒメヤシャブシの茎 *mosisam-ikunnekapni* (新): [名]ホワイタルダーの茎 *retar-kene* (新): [名]マンシュウハンノキの茎 *manju-kene* (新): [名]ミヤマカワラハンノキの茎 *petcamun-kene* (新): [名]ミヤマハンノキの茎 *horkew-kene* (石狩)、[名] *kamuy-kene* (天塩): [名]メキシカンアルダーの茎 *mexiko-kene* (新) [名]ヤシャブシの茎 *sisam-ikunnekapni* (新)、[名]その花穂 *sisam-ikunnekap* (新): [名]ヤチハンノキの茎 *nitat-kene* (石狩)、[名] *sar-kene* (石狩)※(ハンノキの変種。別名「エゾハンノキ」): [名]ヤハズハンノキの茎 (新): [名]ヤマハンノキの茎 *kimun-kene* (新): [名]ヨーロッパハンノキの茎 *europa-kene* (新)

パンパ [場名]パンパ *pampa* (新)※(西語。南米のラプラタ川流域の大平原): [場名]乾燥パンパ *sat-pampa* (新): [場名]湿潤パンパ *rikan-pampa* (新)

パンパスジカ(パンパス鹿) [動物][名](シカ科)パンパスジカ属 *pampaunyak-cise* (新): [名]パンパスジカ *pampaunyak* (*pampaunyak*) (新)

はんぱつ(反発) [副]相手の(発言などの)行為に対し反発して *iekari* (石狩): (表現)反論する *iekari itak* (石狩)

はんひろ(半尋) [名](伝統的な長さの単位)半尋 *attem* (石狩)

バンブー (植物) [名]バンブー *sutoukohopisitop* (新)※(分蘖する・竹)、[名] *ioukohopisitop* (新)、[名] *bambo* (新)※(英語)

はんぶく(反復) ①[自]反復する *iukakuste* (新): [他]～を反復する *ukakuste* (石狩): [他](場所)で～を反復する *eukakuste* (新): [他]～と共に～を反復する *koukakuste* (新): [他](原因、手段)で～を反復する *oukakuste* (新): [他](人)に～を反復させる *ukakustere* (新): [他]自分で、一人で～を反復する *yaykoukakuste* (新): [他]互いに、皆で～を反復する

ukoukakuste (新): [他]完璧に～を反復する *oarukakuste* (*arukakuste*) (新): [他]充分に～を反復する *ukakuste* (*ukakustenu*) (新): [他]滅茶苦茶～を反復する *toykoukakuste* (新): ②[助動]～を反復する *ranke* (石狩): 「あなた達は毎日これを反復して音読したらいい。」

“*Kesto an kor tampe oro=es=óitak ranke yak pirka .*”

パンフレット [名]パンフレット *ponkampisos* (新)、[名] *pamfurit* (新)※(英語)

はんぶん(半分) ①(複数あるものに関して)[場名]半分 *nimar(-a)* (石狩): 「勇者達の半分は息絶えた。」“*Rametokkor utar nimara tasutuy .*”: ②(一つのもの、あるいは長さや量に関して)[場名]半分 *emko* (石狩): 二枚貝の半分もこの語を用いる。尚時間的な半分も今後この語を使う。: (表現)団子の半分 *sito emko* (石狩): (表現)(天体の)半月 *cup emko* (石狩): [場名]半分ずつ *uemko* (沙流より): 「半分ずつたべましょう。」“*Uemko an=rok .*”: ③(対と見なすものに関して)[場名]半分、片方 *arke* (石狩): “*arke ~ arke ~*”「半分は～もう半分は～」という形で用いられる事が多い。北海道各地で用いられる英雄の描写に“*arke kamuy ne arke aynu ne*”「半分は神であり、半分は人である」があるが、石狩川筋では“*arke kamuy or o ipe arke aynu or o ipe*”「半分に神の中身、半分に人の中身」が使われる。: [連体](主に合成語の構成要素として用いられ)半分の、片方の、一方の *oar* (石狩)、[連体] *ar* (石狩): *oar+tek* (手) → *oattek* 「片手」: *ar+serke* (部分) → *asserke* 「半分」: ④(体に関して)[場名]半分 *asserke* (石狩): ⑤[自]半分だけ出る、出ている *rusara* (屈斜路): (表現)～の睾丸が半分出る、出ている *~ noki rusara* (屈斜路): [自]半分だけ出る *rusan* (複数 *rusap*) (新)、[自] *ruasin* (複数 *ruasip*) (新)

ばんべい(番兵) [名]番兵 *punki* (樺太): [自]番兵する *punkine* (石狩): [他]～を番兵する *epunkine* (石狩): [他](人)に番兵させる *punkinere* (新)

はんぼん(版本) [名]版本 *ciniooptuyekampisos* (新)

はんもん(斑紋) [名]斑紋 *kesnoka* (新)、[名] *kes(-i)* (新)

はんりょ(伴侶) [名]伴侶 *ciatukkur* (新)、[名] *ciyaykoeatukkunikur* (新): [他](雅語)～を伴侶とする *eatuk* (石狩): [他](人)に～を伴侶とさせる *eatukka*

(新): [自]互いを伴侶とする ueatuk
(新): [他]~を自らの伴侶とする
yaykoeatuk (新): [自]伴侶がいない
yayeatuk (新)

はんろん(反論) [名]反論 iekariitak (新):
[自]反論する iekariitak (新): (表現)反
論する iekari itak (石狩): [他](人)に反
論する ekariitak (新): (表現)(人)に反論
する ekari itak (新): [他]~について(人)
に反論する eekariitak (新): [他](人)に
(人)に反論させる ekariitakte (新): [他]
自分で、一人で(人)に反論する
yaykoeekariitak (新): [他]皆で(人)に反論
する ukoekariitak (新): [他]人に(人)に
反論してもらう ekariitakyar (新): [他]
自分に反論してもらう siekariitakyar
(新): [自]皆で、互いに反論し合う
uekariitak (新)

ひ(火) [名]火 ape (石狩): (表現)火の煙
ape supuya (石狩): (表現)火が燃える
ape a (天塩)、(表現) ape pirka (天塩):
(表現)火を焚く、点火する ape áre (石狩):
(表現)(何かに)火がつく ape epeku (石狩)、
(表現) ape kotuk (八雲): (表現)火が激
しく燃える ape yupke (石狩)、(表現)
ape ruy (石狩): (表現)火に背中炙りする
ape seturu kar (石狩): (表現)火が消える
ape us (石狩): (表現)火を消す ape uska
(石狩): [場名]燃えている火の上 hoka
(石狩): [自]火が通る、通っている ci (石
狩): 文脈によって「焼ける」、「煮える」と
も訳される。: [自]火が通っていない hu
(石狩): (表現)火が通っていない somo ci
(石狩)

ひ(日) ①(時の単位としての)[場名]日 to
(石狩): (表現)日が良い to pirka (新):
(表現)日が悪い to wen (石狩): (表現)或
る日 sinean to (石狩): (表現)或る日のこ
と sinean to ta (石狩): (表現)次の日に
nisatkean to ta (石狩): ②(天体として
の)[名]日 cup (石狩): (表現)日が昇る
cup rikin (石狩): (表現)日が沈む cup
ahun (石狩): ③[O 動]日が暮れる
sironuman (石狩): [自](場所)で日が暮れ
る sirkoonuman (新): (表現)日が暮れる
onuman an (石狩): (表現)すっかり日が暮
れる oar sironuman kor (石狩)、(表現)
oar onuman (tokes) an kor (石狩)、(表
現)(雅) sían tokes ciomante kor (沙流)

ひ(碑) [名]碑 cioiesikarumpe (新)

ひ(杼) [名]杼(機織に用いる木の筥)
attuspera (石狩)

ピア [場名](アメリカ合衆国サウスダコタ州の
州都名)ピア Piare (新)

ピアス [名]ピアス kisanrapumpe (新):
(表現)ピアスを外す kisanrapumpe ama
(新): (表現)ピアスを付ける、付けている
kisanrapumpe kor (新)

ヒアデス (宇宙)[名]ヒアデス星団 Híades-
nociwtopa (新)、[名] Uraynociw (アイヌ
の星)

ヒアリ(火蟻) [名](トフシアリ属)ヒアリ、アカ
ヒアリ húrera-ityunnap (新)※(赤い死
蟻)

ピーナッツ [名](落花生の果実の殻を取って皮
を剥いた食品)ピーナッツ pínat (新)※(英
語)

ヒイラギギク(柊菊) (植物)[名](キク科)ヒイラ
ギギク属 sesekkikuni-cise (新): [名]ヒ
イラギギクの茎 sesekkikuni (新)※(解熱
菊木)、[名]その葉 sesekpirkareham (新)、
[名]その根 sesekpirkaresinrit (新): [名]
プルケア・オドラタの茎 karibe-
sesekkikuni (新): [名]P. セリケアの茎
otaatuyso-sesekkikuni (新)

ヒイラギナンテン(柊南天) (植物)[名](メギ科)ヒ
イラギナンテン属 icananten-cise (新):
[名]ヒイラギナンテンの茎葉 icananten
(新)、[名]その果実(新)※(別名「トウナンテ
ン」): [名]セイヨウヒイラギナンテンの茎
repun-icananten (新)※(品種): [名]ナリ
ヒラヒイラギナンテンの茎 káhamus-
icananten (新)※(品種コンフーサ): [名]
ホソバヒイラギナンテンの茎 hamuane-
icananten (新): [名]マホニア・アクイフ
オリウムの茎 oregonhato-icananten (新)、
[名]その果実 oregonhat (新)※(オレゴン
葡萄柊南天): [名]M. オイワケンシスの茎
arisan-icananten (新)※(阿里山柊南天):
[名]M. グラキリスの茎 noknenikaopo-
icananten (新)※(卵形実柊南天): [名]M.
トリフォリオラタの茎 teksashure-
icananten (新): [名]M. ネビニーの茎
nevin-icananten (新): [名]M. ネルボサ
の茎 mooregonhato-icananten (新):
[名]M. ハエマトカルバの茎 húre-
icananten (新): [名]M. ピンナタの茎
karifonnia-icananten (新): [名]M. フレ
モンティーの茎 ihatpeusi-icananten (新)
※(赤紫に染色する柊南天): [名]M. メディ
アの茎 media-icananten (新)※(品種):
[名]M. レペンスの茎 reyeoregonhat-
icananten (新): [名]M. ロマリーフォリ
アの茎 síipaskor-icananten (新)

ひいろ(緋色) [自]緋色になる、である
sísamhure (新): [他]~を緋色に染める
sísamhureka (sísamhurere) (新): [名]
緋色 sísamhure-iro (新)※(和人の赤色)

ひえいり(非営利) [名] 非営利 somociepirka (新): [名] 非営利団体 somociepirkaikir(-i) (新): (法律) [名] 非営利法人 somociepirka-irenkaaynu (新)

ひえる(冷える) [自] 冷える、冷えている yam (石狩): [他](場所)で冷える、冷えている eyam (新): [他]〜と共に冷える、冷えている koyam (新): [他](原因、手段)で冷える、冷えている oyam (新): [自]充分に冷える yamno (yamnu) (新): [自]すっかり冷える、冷えている oaryam (aryam) (新): [自]ぎんぎんに冷える、冷えている toykoyam (新): [自]ちょっと、瞬間的に冷える yamtek (新)

ビエンチャン [場名](ラオス人民民主共和国の首都名)ビエンチャン Viancan (新)

ヒオウギガイ(緋扇貝) (魚介)[名](イタヤガイ科)ヒオウギ属 iwaniroawanki-cise (新): [名]ヒオウギガイ iwaniroawanki (新): [名]カスリヒオウギ kasuriawanki (新): [名]ゴウシュウヒオウギ austoraria-iwaniroawanki (新): [名]シロスジナデシコ retanruoawanki (新): [名]ヒオウギガイモドキ ciwaniroawankikopa (新): [名]ヒメヒオウギ moiwaniroawanki (新): [名]フランスニシキ furansu-iwaniroawanki (新): [名]ミナミノニシキ koypok-iwaniroawanki (新)

ビオコ [場名](地名)ビオコ島 Bioko-poysir (新)※(赤道ギニア共和国領の島で首都「マラボ」がある)

ひおこしぼう(火起こし棒) [名] 火起こし棒 níkarkisa (石狩)

ひが(非我) (哲学)[名] 非我 kuanisomonep (新)

ヒガイ(鯉) (魚介)[名](コイ科)ヒガイ亜科 higay-moapa (新): [名]ヒガイ属 higay-cise (新)※(日本語): [名]ヒガイ higay (新): [名]カワヒガイ petorunhigay (新)※(ヒガイの亜種): [名]ビワヒガイ biwahigay (新)※(ヒガイの亜種): [名]アブラヒガイ etannehigay (新): ③[名]ムギツク属 kakkokcep-cise (新): [名]モツゴ属 motugo-cise (新)

ひかがみ(鰯) [場名]鰯 niyorpok(-i) (石狩)、[場名] kokkatuypok(-i) (天塩)

ひかく(比較) [自]比較する iupakte (新): [他]〜を比較する upakte (石狩): 「AとBを私は比較する。」“A newa B ku=upakte. = A B ku=upakte.”: [他](場所)で〜を比較する eupakte (新): [他]〜と共に〜を比較する koupakte (新): [他](原因、手段)で〜を比較する opakte (新): [他](人)に〜を比較させる upaktere (新): [他]

自分で、一人で〜を比較する yaykoupakte (新): [他]互いに、皆で〜を比較する ukoupakte (新): [他]徹底的に〜を比較する toykoupakte (新): [他](中相)〜が比較される ciupakte (新): [他]〜と〜を比較する pakte (石狩): 構成要素としてのみ確認されるが、今後単独でも使う。: [他]〜と比較される sipakteyar (新)

びかく(尾角) [名](虫の)尾角、尾毛 sáray(-e) (新)

ヒカゲミズ(日蔭みず) (植物)[名](イラクサ科)ヒカゲミズ属 icorpokminci-cise (新): [名]ヒカゲミズの茎葉 icorpokminci (新): [名]オオヒカゲミズの茎葉 poro-icorpokminci (新): [名]カベイラクサの茎葉 repun-icorpokminci (新)※(別名「ヨーロッパヒカゲミズ」): [名]タチゲヒカゲミズの茎葉 numaus-icorpokminci (新)※(別名「ツルミズ」)。ヒカゲミズの変種)

ひがさ(日傘) [名]日傘 sikuskasa (新): (表現)日傘をさす sikuskasa eiwanke (新)

ひがし(東) [場名] 東 cupka(-si、-sike) (新): [自]東を向く、東に向かう ecupkaun (新): [副]東向きに、東に ecupkaun (新)、[副] hepera (旭川): [自]東から向かってくる ocupkaun (新): [副] 東から ocupkaun (新)、[副] hopera (旭川): [連体]東の、東に住む、東にある cupkaun (石狩): (表現)国の上手(東方) mosir ka(長形-si、-sike) (石狩): [場名](地名)東アジア Cupkaun-azia (新)、[場名] Cupkaazia (新): [場名](地名)東アフリカ Cupkaun-afrika (新)、[場名] Cupkaafrika (新): [場名](地名)東ヨーロッパ Cupkaun-europa (新)、[場名] Cupkaeuropa (新)

ひがしかぜ(東風) [名]東風 operarera (旭川)、[名] ocupkaunrera (新)

ひがしカリブドル(東カリブドル) [名]東カリブドル cupkaunkaribe-dorad (新): アンティグア・バーブーダ、グレナダ、セントヴィンセントおよびグレナディーン諸島、セントクリストファー・ネイビス、セントルシア、ドミニカ国で用いられる通貨。別名「ECドル」。ISOコードはXCD。補助通貨「セント」は1XCD=100sents。

ひがしシベリア(東シベリア) [名](地名)東シベリア海 Cupkausyibiri-atuy (新)※(北極海の一部)

ひがしティモール(東ティモール) [場名](国名)東ティモール民主共和国 Cupkaun Timor Urenkasapte Ukotankoremosir (新)※(首都「ディリ」): [場名](国名の通称とし

て)東ティモール Cupkaun Timor (新):
[名] 東ティモール国民
cupkauntimorunkur (新)

ひがしドイツ(東ドイツ) (歴史)[場名](ドイツ
民主共和国の通称)東ドイツ Cupkaun
Doitcurando (新)

ひがしはんきゅう(東半球) [場名] 東半球
cupka-sikaricupemko (新)

ピカピカ [自]ピカピカ(ピカピカ)輝く、光っ
ている mike (石狩)、[自] mikemike
(石狩)、[自] maknatara (石狩)、[自]
masatara (石狩)、[自] makkemakke (沙
流)、[自] tomnatara (沙流): [他](場所)
でピカピカ(ピカピカ)輝く、光っている
emike (emikemike) (新)、[他]
emaknatara (新)、[他] emasatara (新):
[他]〜と共にピカピカ(ピカピカ)輝く、光っ
ている komike (komikemike) (新)、[他]
komaknatara (新)、[他] komasatara
(新): [他](原因、手段)でピカピカ(ピカピカ)
輝く、光っている emike (石狩)、[他]
omike (omikemike) (新)、[他]
omaknatara (新)、[他] omasatara (新):
[他]〜をピカピカ(ピカピカ)輝かせる
mikeka (mikere) (新)、[他] mikemikeka
(mikemikere) (新)、[他] maknatarare
(新)、[他] masatarare (新): [自]すっか
りピカピカ(ピカピカ)輝く、光っている
oarmike (armike) (新)、[自]
oarmikemike (armikemike) (新)、[自]
oarmaknatara (armaknatara) (新)、[自]
oarmasatara (armasatara) (新): [自]も
のすごくピカピカ(ピカピカ)輝く、光っ
ている toykomike (toykomikemike) (新)、
[自] toykomaknatara (新)、[自]
toykomasatara (新)

ひからびる(干からびる) [自]干からびる、干か
らびている sat (石狩): [他]〜を干から
びさせる satke (石狩): [他]〜をからか
らに干からびさせる satsatke (石狩)

ピカリ [自]ピカリと輝く makkosanu (石
狩): [自]ピカリと輝く、光っている tom
(石狩): [他](場所)で輝く、光っている
etom (新): [他]〜と共にピカリと輝く、光
っている kotom (新): [他](原因、手段)
でピカリと輝く、光っている otom (石狩):
[他]〜をピカリと輝かせる tomte (石狩):
[自]ピカリピカリと輝く、光っている
tomtom (石狩)

ひかり(光) ①[名]光 nipek(i) (石狩): 単
独では専ら所属形のみ用いる。: ②[名]閃光
tom (石狩): ③[名]稲光 imeru (石狩):
④[名]光線 kiyay (石狩): [名]太陽光線
cupkiyay (石狩)

ヒカリイカ(光烏賊) (魚介)[名](スルメイカ亜
目)ヒカリイカ科 nipekie-petpetke-apa
(新): [名]ヒカリイカ属 nipeki-epetpetke-
cise (新): [名]ヒカリイカ nipeki-
epetpetke (新): [名]オオサマヒカリイカ
poronipeki-epetpetke (新): [名]オナガヒ
カリイカ etannenipeki-epetpetke (新):
[名]スズランイカ setapukusaapappo-
epetpetke (新): [名]ホウセキヒカリイカ
ikorsumanipeki-epetpetke (新)

ヒカリダンゴイカ(光団子烏賊) (魚介)[名](ダ
ンゴイカ科)ヒカリダンゴイカ亜科
nipekiat-sitoeptpetke-moapa (新): [名]
ヒカリダンゴイカ属 nipekiat-
sitoeptpetke-cise (新): [名]ヒカリダン
ゴイカ nipekiat-sitoeptpetke (新):
[名]チチュウカイヒカリダンゴイカ
mosinnoskiatuy-nipekiat-sitoeptpetke
(新): [名]ハワイヒカリダンゴイカ
hawaiinipekiat-sitoeptpetke (新): [名]
イリディオトゥチス属 iridioteutis-cise
(新): [名]ニジダンゴイカ rayoci-
sitoeptpetke (新): [名]ギンオビイカ属
sirokanisapaumpe-epetpetke-cise (新):
[名]ギンオビイカ sirokanisapaumpe-
epetpetke (新): [名]ネクトトゥチス属
nektoteutis-cise (新)

ひかる(光る) ①[自]光る、光っている
nipekne (石狩): [他](場所)で光る、光っ
ている enipekne (新): [他]〜と共に光る、
光っている konipekne (新): [他](原因、
手段)で光る、光っている onipekne (新):
[自]充分に光る nipekneno (nipeknenu)
(新): [自]完全に光る、光っている
oannipekne (annipekne) (新): [他]〜を
光らせる nipekneka (nipeknere) (新):
[0動]辺りが光る、光っている sinnipekne
(新): [自](場所)で辺りが光る、光っている
sirkonipekne (新): (表現)〜が光る
nipeki an (石狩)、(表現)〜が光る、光っ
ている nipeki at (天塩): ②[自]ピカリ、キラ
リと光る、光っている tom (石狩):
[他](場所)でキラリと光る、光っている
etom (新): [他]〜と共にキラリと光る
kotom (新): [他](原因、手段)でキラリと
光る、光っている otom (石狩): [他]ピカ
リ、キラリと光らせる tomte (石狩):
[自]ピカピカ、キラリキラリと光る、光っ
ている tomtom (石狩): [他]〜をピカピカ、
キラリキラリと光らせる tomtomte (新):
[自]キラリと光る makkosanu (石狩):
③[自]キラキラ光る、光っている mike (石
狩)、[自] mikemike (石狩)、[自]
maknatara (石狩)、[自] masatara (石

狩)、[自] tomnatara (沙流): [他](場所)でキラキラ光る、光っている emike (新)、[他] emikemike (新)、[他] emaknatara (新)、[他] emasatara (新): [他]〜と共にキラキラ光る、光っている komike (新)、[他] komikemike (新)、[他] komaknatara (新)、[他] komasatara (新): [他](原因、手段)でキラキラ光る、光っている emike (石狩)、[他] omike (新)、[他] omikemike (新)、[他] omaknatara (新)、[他] omasatara (新): [他]〜をキラキラ光らせる mikeka (mikere) (新)、[他] mikemikeka (mikemikere) (新)

ひぎ(被疑) (表現)被疑事実 an=eumpepka p (an=eumpipka p) (新): (表現)被疑者 an=pepka kur (an=pipka kur) (新)

ひきあみ(引綱) [名]引綱 cietayya (天塩)

ひきうける(引き受ける) [自]引き受ける ramuosma (新)、[自] irenkanu (新)、[自] ese (石狩): (表現)引き受ける irenkanu (新): [他]〜を引き受ける eramuosma (石狩)、[他] eirenkanu (新): 「君の頼みを引き受けよう。」 “E=en=nisuk hi ku=eramuosma na.”: [他]人に引き受けさせる ieramuosmare (新)、[他] irenkanure (新): [自]物事を引き受ける ieramuosma (新)、[自] ieirenkanu (新)、[自] ieese (新)

ひきかえす(引き返す) [自]引き返す hosipi (複数 hosippa) (石狩): [他]〜と共に引き返す、〜を連れて引き返す ehosipi (複数 ehosippa) (新): [他](場所)へ引き返す kohosipi (複数 kohosippa) (石狩): [他](原因、手段)で引き返す ohosipi (複数 ohosippa) (新): [他](人)を引き返させる hosipire (複数 hosippare) (石狩)

ひきがね(引金) (銃の部品)[名]引金 hecawekani (新)

ひきこう(微気候) [場名]微気候 poyisiruysir(-i) (新)

ひきしお(引潮) [名]引潮 satsirar (八雲)

ひきずる(引きずる) [他]〜を引きずる nimpa (石狩): 沙流方言には単数形 "nini"、複数形 "nimpa" の対立がある。: [他](人)に〜を引きずらせる nimpare (新): [自]尾を引きずる sannimpa (新)、[自] honimpa (新)

ひきだす(引き出す) [他](預金)を引き出す sanke (複数 sapte) (石狩): 今後は能力「を引き出す」などにもこの語を使っていく。: [他](人)に〜を引き出させる sankere (複数 saptere) (新)

ひきつけ [自]ひきつけを起こす pitke (石

狩)

ひきど(引戸) [名]引戸 apusta (石狩): (表現)引戸を開ける apusta rutu (石狩): (表現)引戸を閉める apusta seske (石狩)

ひきとどめる(引き留める) [自]人を引き留める isiroreare (新): [他]〜を引き留める siroreare (石狩): 「…悪いコシンブイが私の旦那様を引き留めていたので…」 “…wen kosimpuy an=ante hoku siroreare kane an kusu…” (杉村キナラブック)神謡: [他](人)に〜を引き留めさせる sirorearere (新): [他]人に〜を引き留めさせる siroreareyar (新): [自]人に自分を引き留めさせる sisiroreareyar (新)

ビキニ ①[名](地名)ビキニ環礁 Bikini-sikarisanguso (新)※(太平洋のマーシャル諸島に属するマーシャル諸島共和国領の環礁): ②(ファッション)[名]ビキニ bikini (新)※(英語)

ひきぬく(引き抜く) [他]〜を引き抜く etaye (複数 etaypa) (石狩): [他](場所)で〜を引き抜く eetaye (複数 eetaypa) (新): [他](場所)へ〜を引き抜く、〜と共に〜を引き抜く koetaye (複数 koetaypa) (新): [他](場所)から〜を引き抜く、(原因、手段)で〜を引き抜く oetaye (複数 oetaypa) (新): [他](人)に〜を引き抜かせる etayere (複数 etaypare) (新)

ひきはなす(引き離す) [他]〜を引き離す sura (石狩): 「私が子供の頃にあなた達から私は引き離された。」 “Ku=pon hi ta es=orowa enci=sura.”: [他](場所)で〜を引き離す esura (新): [他]〜と共に〜を引き離す kosura (新): [他](場所)から〜を引き離す osura (新): [他](原因、手段)で〜を引き離す osura (新): [他][他](人)に〜を引き離させる surare (新): [他]〜を引き離す usurare (石狩)、[他] usacire (八雲)、[他] usaynure (沙流): 「母親と子が引き離されるなんてあってはいけない。」 “Totto po an=usurare p an kunip ka some ne.”

びきやく(尾脚) [名](虫の)尾脚、尾肢 sáruncikir(-i) (新)

びきん(鼻筋) [名]鼻筋 etupus(-i) (石狩)

ひく(1)(引く) ①(大雨で増えた川の水に関して)[自]引く pon (石狩)、[自] nin (石狩): ②(潮に関して)[自]引く ha (天塩): (表現)潮が引く sir ha (天塩): ③(霧に関して)[自]引く nin (石狩): [自](雅)さつと引く sirkoraye (石狩)

ひく(2)(引く) ①(力を込めて引く、あるいは引いて動かす事を表し)[他]〜を引く、曳く nimpa (石狩): 沙流方言では単数形、複数

形の対立がある。： [他](場所)で～を引く **enimpa** (新)： [他](場所)へ～を引く、～と共に～を引く **konimpa** (新)： [他](場所)から～を引く、(原因、手段)で～を引く **onimpa** (新)： [他](人)に～を引かせる、曳かせる **nimpare** (新)： [他]自分で、一人で～を引く **yaykonimpa** (新)： [他]皆で、互いに～を引く **ukonimpa** (新)： [他]完全に～を引く **oannimpa** (**annimpa**) (新)： [他]思い切り～を引く **toykonimpa** (新)： [他]人に～を引かせる **nimpayar** (新)： [自]人に自分を引かせる **sinimpayar** (新)： [自]引き合う **unimpa** (新)： [自]頭、先端を引く **henimpa** (新)： [他]～の頭、先端を引く **enimpa** (新)： [自]尻、末尾を引く **honimpa** (新)： [他]～の尻、末尾を引く **onimpa** (新)： [他]ぐいぐい～を引く **nimpanimpa** (石狩)： ②(力を込めず、あるいは抜く、外すために引く事を表し)[他]～を引く **etaye** (複数 **etaypa**) (石狩)、[他](雅) **koetaye** (石狩)： 「私は馬の手綱を引いて歩いた。」 “**Ummatusi ku=etaye kane ku=apkas .**”： [他](場所)で～を引く **eetaye** (複数 **eetaypa**) (新)： [他](場所)へ～を引く、～と共に～を引く **koetaye** (複数 **koetaypa**) (新)： [他](場所)から～を引く、(原因、手段)で～を引く **oetaye** (複数 **oetaypa**) (新)： [他](人)に～を引かせる **etayere** (複数 **etaypare**) (新)： [他]自分で、一人で～を引く **yaykoetaye** (複数 **yaykoetaypa**) (新)： [他]皆で、互いに～を引く **ukoetaye** (複数 **ukoetaypa**) (新)： [他]完全に～を引く **oaretaye** (複数 **oaretaypa**) (新)： [他]思い切り～を引く **toykoetaye** (複数 **toykoetaypa**) (新)： [他]人に～を引かせる **etayeyar** (複数 **etaypayar**) (新)： [自]人に自分を引いてもらう **sietayeyar** (複数 **sietaypayar**) (新)： [自]互いに引き合う **uetaypa** (新)： [自]頭、先端を引く **heetaye** (複数 **heetaypa**) (新)： [他]～の頭、先端を引く **eetaye** (複数 **eetaypa**) (新)： [他]尻、末尾を引く **hoetaye** (複数 **hoetaypa**) (新)： [他]～の尻、末尾を引く **oetaye** (複数 **oetaypa**) (新)： [他]ぐいぐい～を引く **etaytaye** (新)、[他](雅) **koetaytaye** (石狩)

びく(魚籠) [名]魚籠 **péraysaranip** (石狩)

ひく(挽く) ①[他]～を鋸で挽く **nokootuye** (複数 **nokootuypa**) (新)： (表現)～を鋸で挽く **noko ani tuye** (複数 **tuypa**) (新)： ②[自]轆轤(ろくろ)を挽く **rokurokarire** (新)： (表現)轆轤を挽く **rokuro karire** (新)

ひくいところ(低い所) [場名]低い所 **ra** (石狩)： (表現)低い所に **ra ta** (石狩)： [連体]低い所の **raun** (石狩)： [自]低い所にいる、ある **raoma** (新)： [他](場所)で低い所にいる、ある **eraoma** (新)： [他]～と共に低い所にいる、ある **koraoma** (新)： [他](原因、手段)で低い所にいる、ある **oraoma** (新)： [自]～の先が低い所にいる、ある **eraoma** (新)： [自]～の末尾が低い所にいる、ある **oraoma** (新)： [自](雅語) **koeraoma** (石狩)： 「…私のいる先頭の郡列の殿は低い所にあり…」 “**…ci=saypa keso koeraoma…**” (杉村キナラブク)神謡

ビクーニャ (動物)[名](ラクダ属)ビクーニャ属 **vikunia-cise** (新)： [名]ビクーニャ **vikunia** (新)： [名]アルパカ **arpaka** (新)

ひくく(低く) ①[自]低くなる、低い **ram** (石狩、天塩)： [他](場所)で低くなる、低い **eram** (新)： [他]～と共に低くなる、低い **koram** (新)： [他](原因、手段)で低くなる、低い **oram** (新)： [自]充分に低くなる、低い **ramno** (**ramnu**) (新)： [自]完全に低い **oanram** (**anram**) (新)： [自]ひどく低くなる、低い **toykoram** (新)： [他]～を低くする **ramka** (**ramte**) (新)： [他](場所)で～を低くする **eramka** (**eramte**) (新)： [他]～と共に～を低くする **koramka** (**koramte**) (新)： [他](原因、手段)で～を低くする **oramka** (**oramte**) (新)： [他](人)に～を低くさせる **ramkare** (**ramtere**) (新)： [副]低く **ram(-no)** (新)： ②[自]背丈が低くなる、低い **keweram** (石狩)： [他]～の背丈を低くする **keweramka** (**keweramte**) (新)： ③(価格について)[自]低くなる、低い **hawke** (石狩)： [他]～を低くする **hawkeka** (**hawkere**) (新)： [他](人)に～を低くさせる **hawkekare** (**hawkerere**) (新)： [副]低く **hawke(-no)** (新)

ひくくささげる(低く捧げる) [他]～を低く捧げる **ráuyruke** (石狩)： (表現)(何かを受け取って感謝の仕草として受け取ったものを上下させる事を表し)～を高く捧げ、低く捧げる **ríkuyruke ráuyruke** (石狩)

ひくくしずみこむ(低く沈み込む) [他](中相)～が低く沈み込む **ciraorare** (石狩)： (表現)下の海が持ち上がり上の海が低く沈み込む **pokna atuy cirikipuni kanna atuy ciraorare** (石狩)

ビクトリア [場名](セイシェル共和国の州都名やカナダのブリテッシュコロンビア州の州都名)ビクトリア **Viktoria** (新)

ヒクヒク [自]ヒクヒク動く **toksetokse**

(石狩)、[自] toktokse (石狩)、[自] yupyupke (石狩)
ビクビク [自]ビクビク動く toksetokse (石狩)、[自] toktokse (石狩)、[自] yupyupke (石狩)
ビクビク [自]ビクビク動く toksetokse (石狩)、[自] toktokse (石狩)、[自] yupyupke (石狩)
ヒグマ(熊) (動物)[名](クマ属)ヒグマ eper (石狩)→詳細は「クマ(熊)」を見よ: 亜種[名] エゾヒグマ yaun-eper (新): [名]カムチャッカオオヒグマ kamcatkaun-eper (新)※(絶滅): [名]カリフォルニアハイイログマ karifonniaun-rukunneeper (新)※(絶滅): [名]コディアックヒグマ araskaun-eper (新): [名]ハイイログマ rukunne-eper (新): [名]メキシコハイイログマ mexikoun-rukunneeper (新)※(絶滅)
ひぐれ(日暮れ) [名]日暮れ síronuman (石狩)、[名] onuman (石狩): [0動]日暮れになる síronuman (石狩): (表現)日暮れになる onuman an (石狩): [副]日暮れに onuman (石狩)
ビクンビクン [自](クリトリスなどが)ビクンビクンと痙攣する ronronke (石狩): [他] ～をビクンビクンと痙攣させる ronronkere (新)
ひげ(髭) [名]髭 rek(i) (石狩): (表現)髭が生える、生えている rek us (石狩): (表現)髭を生やす rek tukka (石狩): [自](少年に)髭が生えはじめる rekkurun (石狩): [自]髭がない reksak (石狩): [名]髭のない人 reksakkur (石狩): [自]髭を剃る simemke (石狩): [他](人)に髭を剃らせる simemkere (新)
ヒゲダコ(蛸) (魚介)[場名](八腕形上目)ヒゲダコ亜目 rékusatkorpe (新): [名]ヒゲダコ科 rékusatkorpe-apa (新): [名]グリンポテウティス科 gurimpoteutis-apa (新): [名]ジュウモンジダコ科 imerunipekinoka-atkorpe-apa (新): [名]メンダコ科 nánatkorpe (新)
ヒゲヒザラガイ(鬚火皿)(魚介)[名](ウスヒザラガイ 亜目)ヒゲヒザラガイ科 parunumatanne-meyo-apa (新): [名]ヒゲヒザラガイ parunumatanne-meyo (新): [名]シラガババガセ parunumaretar-meyo (新): [名]ババガセ huciseturu-meyo (新)
ひご(庇護) (表現)～を庇護する sisempir ta epunkine (新): 「他所の村から逃げて来た人を私達は庇護した。」“Oyakotan orwa kira wa arki utar sisempir ta ci=epunkine .”、「その御婦人に私は庇護さ

れた。」“ Ne katkemat sempir ta enci=epunkine .”
ヒゴイ(緋鯉) (魚介)[名]緋鯉 hùre-samocep (新)※(観賞用の変種)
ひごう(非業) (表現)非業の死をとげる ray ka ehosi an ray (石狩): 「お前は非業の死をとげるだろうよ。」“Ray ka ehosi an e=ray nankor na .” (表現)死ぬにしても非業の死をとげる ray ne yakka ray sinnay isam ki (新)※(沙流より): 「お前は死ぬにせよ非業の死をとげるだろうよ。」“Ray ne yakka ray sinnay isam e=ki nankor na .”
びこう(尾行) [自]人を尾行する ikuyra (新): [他]～を尾行する kuyra (石狩): [他](場所)で～を尾行する ekuyra (新): [他](場所)へ～を尾行する kokuyra (新): [他]～と共に～を尾行する kokuyra (新): [他](場所)から～を尾行する okuyra (新): [他](原因、手段)で～を尾行する okuyra (新): [他](人)に～を尾行させる kuyrare (新): [他]自分で、一人で～を尾行する yaykokuyra (新): [他]互いに、皆で～を尾行する ukokuyra (新)
びこう(鼻孔) [名]鼻孔 etupuy(-e) (石狩)、[名] etusuy(-e) (石狩)
びこう(鼻腔) [名]鼻腔 enkor(-i) (石狩)
ひこうき(飛行機) [名]飛行機 sinta (新): [名]ジェット機 jettumsankep-kossinta (-korsinta) (新)、[名] jetcinta (jetsinta) (新): [名]水上機 apa-kossinta (-korsinta) (新): [名]戦闘機 tumisinta (新): [名]双発機 tutumsankep-kossinta (-korsinta) (新): [名]単発機 sinetumsankep-kossinta (-korsinta) (新): [名]単葉機 sinerapkossinta (-korsinta) (新): [名]飛空艇 cipsinta (新): [名]飛行船 hopunipencay (新): [名]複葉機 innerap-kossinta (-korsinta) (新): [名]プロペラ機 sakosirayerap-kossinta (-korsinta) (新): [名]旅客機 irurasinta (新)
びこうこう(尾腔綱) (魚介)[名](軟体動物門)尾腔綱 hotumpukorpe-pet (新): [場名]ケハダウミヒモ目 ramramatuyimok-kotan (新)
ひこうじょう(飛行場) [場名]飛行場 cikosintaatteusi (新)、[名] sintatomari (新)
ひこうせん(飛行船) ① [名]飛行船 hopunipencay (新): ②(伝説上の乗物)[名]飛空船 sinta (石狩)
ひこうてい(飛行艇) [名]飛空艇 cipsinta (新)
ひこうもく(被甲目) (動物)[場名](哺乳綱)被甲

目 hayokpekorpe-kotan (新): [名]アルマジロ科 hayokyuk-cise (新)

ひこくにん(被告人) (法)[名]被告人 anesáymononnuppakur (新)、[名]ciesaymononnuppakur (新)

ピコグラム [名](重さの単位)ピコグラム pikoguram (新)※(単位記号"pg")

ヒゴタイ(平江帯) (植物)[名](キク科)ヒゴタイ属 ruritumus-ancami-cise (新): [名]ヒゴタイの茎葉 ruritumus-ancami (新)、[名]その花 ruritumus (新): [名]エキノプス・エクスアルタトゥスの茎葉 wasinton-ruritumus-ancami (新): [名]エキノプス・スファエロケファールの茎葉 canruritumus-ancami (新): [名]ルリタマアザミの茎葉 europa-ruritumus-ancami (新)

ヒゴタイサイコ(肥後体柴胡) (植物)[名](セリ科)ヒゴタイサイコ属 repumpawcikina-cise (新): [名]オオバコエンドロの茎葉 hamutanne-koriander (新)※(別名「メキシカンコリアンダー」など): [名]シーホリーの茎葉 siosikkote-yarkina (新)、[名]シーホリーの根 siosikkoteyar (新): [名]マルバノヒゴタイサイコの茎葉 repumpawcikina (新)※(別名「マツカサアザミ」)

ひこばえ(薬) [名]薬 sutotukpe (新)

ピコメートル [名](長さの単位)ピコメートル pikometre (新)※(単位記号"pm")

ピコリットル [名](体積の単位)ピコリットル pikoritire (新)※(単位記号"pl")

ひざ(膝) ①(膝頭を指し)[名]膝 kokkasapa (石狩): ②(膝頭より踝までの間を指し)[名]膝 kokka (石狩): (表現)膝 utcikam(-a) mekka(長形-si、-sike、-ske) (石狩)、[名](雅) sankokka (H): [場名]自分の膝の上 sitemkor (幌別): [位名]~の膝の上 temkor(長形-o) (幌別)

ビスau [場名](ギニアビスau共和国の首都名)ビスau Bissaw (新)

ひざがしら(膝頭) [名]膝頭 kokkasapa (石狩)

ひざし(日差し) [名](強い)日差し sikus (石狩)

ひさし(庇) [名](戸口の上の)庇 aripiri (石狩)、[場名] etuenka (美幌)

ひざまくら(膝枕) [自]膝枕する iomieninuy (新): [他](人)に膝枕する omieninuy (新): [他](人)を(人)に膝枕させる omieninuyte (新): [他](人)を自分に膝枕させる yayomieninuyte (新)

ビスヤ [場名](地名)ビスヤ諸島 Visaya-usapoysir (新)※(フィリピン領の島々)

ヒザラガイ(火皿貝) (魚介)[名](軟体動物門)多板綱 séyuspe-pet (新): [名]ヒザラガイ類の総称 méyo (幌別): [場名]古ヒザラガイ目 huskomeyo-kotan (新): [場名]ツノヒザラガイ亜目 kirawmeyo-mokotan (新): [場名]新ヒザラガイ目 asirmeyo-kotan (新): [場名]ウスヒザラガイ亜目 kaparmeyo-mokotan (新): [場名]ケハダヒザラガイ亜目 numausmeyo-mokotan (新): [場名]サメハダヒザラガイ亜目 kapusirasirakmeyo-mokotan (新)

ひさん(悲惨) (表現)悲惨な死に方をする túray wenray ki (石狩): [他](原因)で悲惨な死に方をする wenekot (石狩)

ビザンチウム (歴史)[場名]ビザンチウム Bizantium (新): 元ギリシャの植民都市「ビザンチオン」で後にローマ帝国(東ローマ帝国)の首都として「コンスタンチノポリス」、オスマン帝国に征服された後は「イスタンブール」と呼ばれて現在に至る。

ヒシ(菱) ①(植物)[名]ヒシの果実 pekampe (石狩): ヒシの果実を採る pekampe peka (石狩) [名]ヒシの実粥 pekampesayo (石狩): [名]オニビシの果実 ineawuspekampe (石狩): [名]ヒメビシの果実 seyarakpekampe (石狩): ②(関連語彙): (表現)ヒシの果実を採る pekampe uk (石狩): [名]ヒシの実を採る)沼 pekampeto (石狩)

ひじ(肘) [名]肘 sittok(-i) (石狩)

ヒシカイワリ(菱貝割) (魚介)[名](アジ科)ヒシカイワリ属 pekampenoka-seyperep-cise (新): [名]ヒシカイワリ pekampenoka-seyperep (新)

ひしがた(菱形) [名]菱形 pekampenoka (新)

ビシケク [場名](キルギス共和国の首都名)ビシケク Biskek (新)

ひしゃく(柄杓) [名]柄杓 pisakku (石狩)、[名] pisak (石狩)、[名] nituspe (石狩): [名](シントコからテクシパチから片口に酒を移す)小さい柄杓 pompisak (石狩): [名]白樺樹皮製の柄杓 kakkum (石狩)

ひしゅうしょくご(被修飾語) [名]被修飾語 cimutkoreitak (新)

びじょ(美女) (表現)美女 pirka menoko (石狩): [名]陽の光のような絶世の美女 cupkiaymenoko (石狩): その他顔から後光が射す程の美しさを"nannipeki hetuku cup ne inantasare"「その顔の輝きは昇る朝日に見まごうばかり」とか"sancaro ka ta mina kane konkani-otopi oreraparu nannipeki maknatara"「その口元に笑みを浮かべ、金色の髪を風にそよがせ、顔の光は煌

く」などの表現をする。

びじょうかじょ(尾状花序) [名] 尾状花序 sanne-apappoomakat (新)※(sanne>sar-ne)

ひじょうきん(非常勤) [自]非常勤になる、である anunne (新): [他](人)を非常勤にする anunneka (anunnere) (新): [名]非常勤講師 anun-ipakasnukur (新)

ひじょうぐち(非常口) [名]非常口 kiraapa (新)、[名] ciokiraapa (新)

ひしょうじょ(美少女) (表現)美少女 pirka ponmenoko (石狩)

ひしょうねん(美少年) (表現)美少年 pirka okkaypo (石狩)

びしょぬれ(びしょ濡れ) [自]びしょ濡れになる peposo (石狩): [他]～をびしょ濡れにする peposore (新)

ひじり(火尻) [場名]火尻、火尻座 usar (石狩)、[場名] usarke (石狩): [自]火尻を向く、火尻に向かう eusarun (新): [副]火尻向きに、火尻に eusarun (石狩)、[副] eusarunwa (石狩)、[副] eusarunno 審議: [自]火尻から向かって来る ousarun (新): [副]火尻から ousarun (新)、[副] ousarunwa (新)、[副] ousarunno (新): [名](女が祈ってよい)火尻の火の媼神 mintarhuci (石狩)、[名] usarhuci (石狩)、[名] usarunhuci (石狩)

びじん(美人) [名]美人 nanetokkorkur (石狩)、[名] siretokkorkur (石狩): "nanetokkorkur"が顔の美しさだけを言うのに対し、"siretokkorkur"は身体全体のそれを言う。今後は男女両方に対に用いるものとする。

ビジンゴ(ビジン語) [名]ビジン語 pijin-itak (新)

ビス [名]ビス cinoyepo (新)、[名] vis (新)※(仏語): (表現)ビスで～を(場所)に止める cinoyepo ani ～～ usi (新)、(表現) vis ani ～～ usi (新): [他](場所)にものをビス止める icinoyepoousi (新)、[他] ivisousi (新): [他](場所)に～をビス止める cinoyepoousi (新)、[他] visousi (新)

ひず(氷頭) [名](サケ、マスの)鼻緒の軟骨、氷頭 sapanumi (石狩)、[名] kawkaw(-e) (天塩)、[名] re (天塩)

ひすい(翡翠) [名]翡翠 siwnimpoina (新)※(北千島方言 poina「石」)、[名] sokay (新)※(「カワセミ」): [名]ヒスイ輝石、軟玉 hapur-siwnimpoina (新): [名]ネフライト、硬玉 niste-siwnipoina (新)

ピスタチオ(植物) [名](カイノキ属)ピスタチオの茎 pistacioni (新): [名]ピスタチオの

種子 pistacio (新)

ヒスティオトウス (動物)[名](ヒナコウモリ科)ヒスティオトウス属 kayakisarkapap-cise (新): [名]ヒスティオトウス・フンボルティ humborto-kayakisarkapap (新): [名]H. ベラトウス toropikar-kayakisarkapap (新)※(トロピカル帆耳蝙蝠): [名]H. マクロトウス sikayakisarkapap (新): [名]H. マゲラニクス koypokun-kayakisarkapap (新): [名]H. モンタヌス mokayakisarkapap (新): [名]H. ラエフォティス tomas-kayakisarkapap (新): [名]ブラジルオオミミコウモリ burazirun-kayakisarkapap (新)

ピストン ①[名]ピストン etoktoksep (新)、[名] piston (新)※(英語): ②[自]ピストン運動する etoksetokse (新)、[自] etoktokse (新)、[自] pistonkar (新): [他]～をピストン運動する etoktokseka (etoktoksere) (新)、[他] pistonkare (新): ③(特にセックスでの性器の動きを指し)[自]ピストン運動する otoksetokse (新)、[自] otoktokse (新)、[自] opistonkar (新)

ビスマーク [場名](アメリカ合衆国ノースダコタ州の州都名)ビスマーク Bismarku (新)

ビスマス (化学)[名]ビスマス bismut (新)※(原子番号83番。元素記号 Bi)

ビスマルク ①[名](人名)ビスマルク Bismarku (新)※(1815-98年。ドイツ人の外交官、政治家): ②[場名](地名)ビスマルク諸島 Bismarku-usapoyis (新)※(パプアニューギニア領の島々)

びせいぶつ(微生物) [名]微生物 nokaysiknup (新)

ひせき(秘跡) (キリスト教)[名]機密 ciesnap (新)※(カトリック)、[名] sakramentum (新)※(羅語)

ひせっしょくしきおんどけい(非接触式温度計) [名]非接触式温度計 ikeresak-yamsesekpakarip (新): [名]サーモグラフィ sesekonokakarpe (新): [名]放射温度計 cieakpe-oyamsesekpakarip (新)

ひせつばん(尾節板) [名](虫の)尾節板 sárunita (新)

ひぜん(皮癬) [名]皮癬 paraki-omayayke (新): [自]皮癬が出る parki-omayayke (新): [名]ヒゼンダニ mayayke-paraki (新): (表現)～にヒゼンダニが発生する mayayke-parki o (新)

ヒ素(ヒ素) (化学)[名]ヒ素 assenikum (arsenikum) (新)※(原子番号33番。元素記号 As)

ひぞう(秘蔵) [名]秘蔵品 ikossokkar (石狩)、
[名] ikorsotkar (久保寺): 本来は「敷物
に包んで大切な宝物」事であるが、これからは
「とても大切に物」くらいの意味でも
使っていく。: (表現)秘蔵する
ikossokkanne kor (石狩)、(表現)
ikorsotkar ne kor (新): 「あなたの秘蔵する
ビデオテープを見たい。」 “Ikossokkanne
es=kor videomurir ku=nukar rusuy .”

ひぞう(脾臓) [名]脾臓 cokokop(-i) (石狩)
ひそかに(密かに) [副]密かに yayukaono (石
狩): [後副]それを密かに esina (石狩)、
[後副] esinano (石狩): [他]密かに～の
一部自分の物にする ehomaci (沙流)

ひそひそ [副]ひそひそ pínopino (石狩):
(表現)(雅)ひそひそ hakak kane (沙流):
[自]ひそひそ囁く cápis (石狩)、[自]
hakakse (沙流): (表現)(雅)ひそひそ囁き
を交わす hakak itakpo ukotussere (新)
※(沙流): [自]ひそひそ話す púitak (石
狩)、[自] pínopoitak (石狩): (表現)ひそ
ひそ話す pínopino itak (石狩): (表現)ひ
そひそ話 hakak itakpo (沙流): [他]～に
ついてひそひそ話す epiitak (新)、[他]
epinopoitak (新)、[他] epapisisatte (沙
流): [間投]ひそひそ pispis (沙流)

ひだ(襷) [名]襷 nik(-i) (新): [位名]～の襷
の間 nikor (長形 nikoro) (石狩): [名]
襷々 niknik(-i) (新): [自]襷々になっ
ている níkoniko (新)、[自] níkniko (新)

ひたい(額) [場名]額 kiputur(-u) (石狩)、
[名] kanenkor(-o) (天塩)、[名](雅)
hottur(-u) (幌別): [名](合成語の構成要素
として)額 kip(-i) (石狩): (表現)狭い額が
ちょっと潰れたようになっている醜い大人
の女 takne noypur takne kiputur
kocieteytek ipokas rupnemat (新)※(沙
流): [名]額が著しく出ている事、あるいは
そういう人 kipturu-tokse (新)※(幌別)、
[名] enoypur-kotanas (新)※(沙流): [自]
額が著しく出ている kipturu-tokse (新)、
[自] enoypur-kotanas (新)

ひたい(媚態) (表現)媚態 iyayeramasuyre
rusuy katu (新)、(表現) sieramasuyyar
katu (新)、(表現) kobi katu (新)※(日本
語): (表現)(人)への媚態 ～
yayeramasuyre rusuy katu (新)、(表現)
～ kokobi katu (新)

ひたす(浸す) [他](場所)に～を浸す o (石
狩): (表現)…の中に～を浸す … or(長形
o、-ke) ～ o (石狩): 「肉をワインに浸
す。」 “Hatcake or kam an=o .”: [他]水に
～を浸す woro (石狩)、[他] woromare
(新)

ひたつち(直土) [名](雅)直土 ruwantoy (沙
流): (表現)(雅)直土の上に～を投げ捨てる
ruwantoy kurka ～ koosura (沙流)

ひだな(火棚) [名]火棚 imasan (石狩)、[場
名] parka (石狩)、[名] parasut (石狩)

ひだね(火種) [名]火種 usat (石狩): [自]
火種を埋める ierao (新): [他](火種)を埋
める erao (石狩): [他](人)に○を埋めさ
せる eraoka (eraore) (新)

ひだり(左) ①[場名]左 harkiso (石狩)、[名]
harki (天塩): [自]左に向かう eharkison
(eharkisoun) (新)、[自] eharkisone
(新): [副]左に向かつて、左に eharkison
(eharkisoun) (石狩)、[副] eharkisone
(石狩): [自]左から向かつて来る
oharkison (oharkisoun) (新)、[自]
oharkisone (新): [副]左から oharkison
(oharkisoun) (新)、[副] oharkisone
(新): ②[場名]左側 oharkisam
(oharkisama、oharkisamake) (石狩):
[自]左側を向く、左側に向かう
eharkisamne (新): [副]左側に向かつて、
左側に eharkisamne (新): [自]左側から
向かつて来る oharkisamne (新): [副]左
側から oharkisamne (新): ③[場名]左座
harkiso (石狩): 伝統的家屋の神窓から見
て左、人の出入口から見て右側の座。: [副]
左座に向かつて、左座に eharkison
(eharkisoun) (石狩)、[副] eharkisone
(eharkisonne) (石狩): [副]左座から
oharkison (oharkisoun) (新)、[副]
oharkisone (新): ④[名]左手
oharkisamtek(-e) (石狩)

ひたる(浸る) [他](場所)に浸る osma (石
狩): 目的語が場所の概念を持たぬ「場合位
置名詞”or”+名詞」となる。: [他](場所)に浸
っている o (石狩): 目的語が場所の概念
を持たぬ「場合位置名詞”or”+名詞」となる。

びだんし(美男子) (表現)美男子 pirka okkayo
(新): (表現)美しい青年、若者 pirka
okkaypo (石狩)

ピチアルマジロ (動物)[名](アルマジロ科)ピチ
アルマジロ属 pichayokyuk-cise (新):
[名]ピチアルマジロ pici-hayokyuk (新)、
[名] pici-armadiro (新)、[名] pici (新)

びちびち [自]びちびちする hotappa (石
狩)、[自] cihotappare (石狩): [他](場所)
でびちびちする ehotappa (新): [他]～
と共にびちびちする kohotappa (新):
[他](原因、手段)でびちびちする ohotappa
(新): [他]～をびちびちさせる hotappare
(新)

びちゅうかく(鼻中隔) [場名]鼻中隔 etutur(-
u) (石狩)

ひちょうきん(腓腸筋) [名] 腓腸筋 úcikam(-i) (石狩)、[場名] nísatuypok(-i) (天塩)

ひつあつ(筆圧) (表現) 筆圧 inuye tum (新): (表現) 筆圧が強い inuye tum yupke (新): (表現) 筆圧が弱い inuye tum hawke (新)

ひっかかる(引っ掛かる) [自] 引っ掛かる sirok (石狩): 「ドアが引っ掛かって開けられない。」 “Apusta sirok wa an=maka eaykap.”: [他] ～に引っ掛かる eokok (石狩): 「私は草に引っ掛かって何度も転んだ。」 “Mun ku=eokok kor ku=esitciw ranke.”: [自](合成語の構成要素として) ～に引っ掛かる ok (石狩): u(互い)ok(に引っ掛かる)kani(金属)→ uokkani 「鎖」

ひっかく(引っ掻く) ①[他] ～を爪で引っ掻く amcici (石狩): 「そうじゃなかったらあんたを引っ掻いてやるからね。」 “Somo ne yakne e=amcici=an kusune na!”: ②[他](合成語の構成要素として何かの表面)を引っ掻く ke (石狩): inaw+ke → inawke 「イナウを削って作る」

ひっかけぼう(引っ掛け棒) [名] 引っ掛け棒 nawkep (石狩)

ひっかける(引っ掛ける) ①(ものに懸けぶら下げる事)[他] ～を引っ掛ける atte (石狩): [他](場所)に～を引っ掛ける eatte (新)、[他] eattekar (石狩)※(合成語の構成要素としては otte も現れる。): [他] ～と共に～を引っ掛ける koatte (新): [他](原因、手段)で～を引っ掛ける oatte (新): [他](人)に～を引っ掛けさせる attere (新): ②(ものが動かないよう固定したり、ものに動きを妨げられる事)[他] ～を引っ掛かける sirokte (新): [他] ～を(場所)に引っ掛かける eokokte (石狩): 「…この山の何処かに私がその先端をパツと引っ掛けて引っ張る…」 “tan nupuri neorka an=eokokte tek an=nimpa…” (杉村キナラブック) 説話、「私は釘に引っ掛けて衣服に釘裂き作った。」 “Kánisikay ku=eokokte hine ku=mi p ku=mestekka.”: ③(無造作に身に付ける事)[他] ～を引っ掛ける mitek (新): [他](人)に～を引っ掛けさせる miteka (新): ④(液体を浴びせる事)[他] ～に水を引っ掛ける kowakkake (沙流): [他] ～にお汁を引っ掛ける koohawke (新)、[他] korurke (沙流)

ひっき(筆記) [自] 筆記する inuye (新): [他] nuye (石狩): [名] 筆記具 cioinuyep (新)、[名] anoínuyep (新): [名] 筆記体 cinuyekat(-u) (新)

びっくり → 「おどろく(驚く)」、「おどろかす(驚かす)」を見よ

ひっくりかえす(ひっくり返す) ①(後ろへ倒す、あるいは船に関して転覆させる意味で)[他] ～をひっくり返す hokuste (複数 hokuspare) (石狩): [他] ～を何度もひっくり返す hokuskuste (新): ②(後ろへ倒す意味で)[他] ～をひっくり返す makahokuste (新)、[他] homakociwre (新): ③(何かをはぐる、逆転させる意味で) ～をひっくり返す kiru (石狩)

ひっくりかえる(ひっくり返る) ①(後ろへ倒れる、あるいは船に関して転覆する意味で)[自] ひっくり返る hokus (石狩): [自] 何度もひっくり返る hokuskus (石狩): ②(後ろへ倒れる意味で)[自] ひっくり返る makahokus (makaokus) (石狩)、[自] homakociw (石狩): ③[自] パツタリ、ドツとひっくり返る sirosma (石狩)

ひづけ(日付) [場名] 日付 pácupcto (新)

びっこ ①[自] びっことなる、びっこである yayewen (石狩): ②(一生)[自] びっこをひく eam-eam (石狩、天塩)、[自] herahera (石狩)、[自] oas-oas (石狩): ③(けが等で一時的に)(表現)びっこをひく cikiri nimpa (石狩): 「私はびっこをひいて歩いていた。」 “Ku=cikiri ku=nimpa wa ku=apkas kane an.”

ひっこす(引っ越す) [自] 引っ越す cisetupte (新)※(美幌): (表現) 引っ越す osir tura oman (複数 paye) (石狩): 「私は旭川から札幌に引っ越した。」 “Asankar wa Sapporo ene osir tura ku=oman.”

ひっこむ(引っ込む) ①(突き出た部分に関して)[自] 引っ込む sietaye (石狩): 「ほら、私の腫物を押すと引っ込むんだよ。」 “Inkar a! Ku=hupi ku=oputuye hike sietaye siri ne wa.”: [自](陥没して)引っ込む、引っ込んでいる kotne (石狩): ②(目に付かぬ場所に)[自] 引っ込む yayukao (石狩): 「大切なお客さんが来るから引っ込んでるんだぞ。」 “Marapto arki kusu yayukao ani!”: ③(家の中などに)[自] サツと引っ込む rawosma (raosma) (石狩)

ひっこめる(引っ込める) ①(後方に)[他] ～を引っ込める makoraye (石狩): ②(目に付かぬ場所に)[他] ～を引っ込める ukao (新): 「そんな物見つかったらやばいから早く引っ込めろ。」 “Eneampe an=nukar yak wen kusu hempano ukao!”: ③(一度出したものに関して)[他] ～を引っ込める yaykohosipire (複数 yaykohosippare) (新): 「どうしても金を彼は受け取らないから私はそれを引っ込めた。」 “Nekon ku=iki yakka ikor somo uk kusu ku=yaykohosipire.”: ④[他](一度言った

事)を引っ込める ekomo (石狩): 「私も男の端くれだから一度言った事を引っ込められない。」“Kuani ka okkay rak pe ku=ne kusu assuy ku=ye p ku=ekomo eaykap .”: ⑤(平面なものに関して)[他]～を引っ込める kotneka (kotnere) (新)

ヒッコリー→「ペカン」を見よ

ひっさつわざ(必殺技) [名]必殺技 kerepnoye (新)、[名] irurekap (新): 二つの語は共に矢毒の中で最強だが肉を痛めるので普段使わないもので、そこから見出しの意味に転用。

ヒツジ(羊) ①(動物)[名](ヤギ亜族)ヒツジ属 hicici-cise (新): [名]ヒツジ hicici (樺太): [名]アルガリ argari (新)※(英語): [名]アジアムフロン húre-hicici (新): [名]ウリアル uriar (新)※(英語): [名]シベリアビックホーン santaun-kiraweporo (新): [名]ドールビックホーン dar-kiraweporo (新): [名]ビックホーン kiraweporo (新)※(別名「オオツノヒツジ」): [名]ムフロン mufron (新)※(独語): ②[名]雄羊 pinne-hicici (新): [名]雌羊 matne-hicici (新): [名]子羊 hicicipo (新)、[名] ponhicici (新): ③(関連語彙)[名]羊肉 hicicikam (新)、[名]hiciciharur (新): [名]一歳の羊肉 ram (新): [名]二歳以上の羊肉 mutton (新): [名]羊の毛皮 hiciciur (新): [名]羊革 hicicitonto (新)

ひっせき(筆跡) [名]筆跡 inuyeru(-we) (新)

ピッチ [名]ピッチ antak (新)※(黒塊)、[名]pitci (新)※(英語): [名]ピッチ湖 antakto (新)、[名] pitcito (新)

ピッツバーグ [場名](アメリカ合衆国ペンシルバニア州の州都名、あるいはカリフォルニア州、カンザス州の都市名)ピッツバーグ Pitburgu (新)

ビット [名](デジタルコンピュータが扱う情報量の最小単位)ビット bit (新)※(英語)

ひっぱる(引っ張る) ①(力を入れて何かを引っ張る、あるいは何かを引っ張って動かす事を表し)[他]～を引っ張る nimpa (石狩): 沙流方言などでは単数形"nini"、複数形"nimpa"の対立がある。: 「君は私を引っ張って家の中に入った。」“E=en=nimpa wa cise oske ene ahup=an .”: [他](人)に～を引っ張らせる nimpare (新): ②(何かを抜く、外すため引っ張る事を表し)[他]～を引っ張る etaye(複数 etaypa) (石狩): [他](人)に～を引っ張らせる etayere (複数 etaypare) (新): [他]～を自分の方に引っ張る sikoetaye(複数 sikoetaypa) (石狩)

ひづめ(蹄) [名]蹄 usis(-i) (石狩): [自]蹄の音がする kerorimse (新)

ひつよう(必要) [他]～を必要とする、～が必要である konrusuy (石狩): (表現)～が必要である eiwanke rusuy (天塩)

ビデ [名]ビデ hohurayep (新)

びていこつ(尾骶骨) [名]尾骶骨 oconcompone (新)※(樺太白浦)

ビデオテープ [名]ビデオテープ video-tape (新)、[名] video (新)

ひでり(日照り) [名]日照り sikus (石狩)

ビテレブ [場名](地名)ビテレブ島 Vitirevupoysir (新)※(フィジー領の島。首都「スバ」がある)

ひと(人) ①[名]人 aynu (石狩): [形式名](男の人)人 kur (石狩): 現在尚「男」の意味を留めてるが、社会の変化によって性別が取り払われ「人」の意味で用いられつつある。また"aynu"と同様本来「立派な人」にしか使われなかったのだろうが、単に「人間」の意味で"wenkur"「貧乏人」などと表現されるに至っている。: ②(ある動作が不特定の誰かによって行われる事を表し)[人称]人が an= (石狩)、[人称] =an (石狩): 「野菜を食べる。」“Rataskep an=e .”、「18才になったら選挙する。」“Tupesampa ikasma wampa an=ne kor unnumke=an .”: ③[接頭]人が an- (石狩)、[接頭] ci- (石狩): an (ci)+mi(～を着る)+p(物) → anmip (cimip)「着物」: ④[接頭]人を、人に i- (石狩)、[接頭] un- (石狩): "i-"と"un-"で基本的に意味用法の違いはないが、"un-"の方が用例は少ない。ただ"inospa"「(人が)獲物を追う」に対する"unnospa"「(獲物に)人が追いかける」という使い分けの例が見られ、今後この使い分けは"inumke"「人や物を選ぶ、選択する」、「unnumke」 「人を選ぶ、選挙する」という造語に用いる。: i+rayke(～を殺す) → irayke 「人を殺す」: un+nospa(～を追う) → unnospa 「人が追われる」

ひどい ①[自]ひどくなる、ひどい wen (石狩): [連体] sirun (石狩): 神謡、詞曲中で罵る相手を形容する。この語と名詞の間に"wen"を置いた"sirunwen"、あるいは"siruwen"の形や、"wen"と対で"sirun ~wen ~"と同じ名詞を繰り返し用いる形がある。: (表現)ひどい女悪い女 sirun menoko wen menoko (石狩): [連体]ひどい sirus (石狩): ひどい雨 sirus ruyampe (石狩): ②[自]人にひどい扱いをする ikorewen (新): [他]～にひどい扱いをする korewen (石狩): ③(表現)ひどい死に方をする túray wenray ki (石狩): [他](原因)でひどい死に方をする wenekot (石狩): ④[自]

ひどい目に遭う ikopepka (石狩)、[自] yaykewkor (天塩): [他](場所)でひどい目に遭う eikopepka (新)、[他] eyaykewkor (新): [他](原因、手段)でひどい目に遭う oikopepka (新)、[他] oyaykewkor (新): [他](人)をひどい目に遭わせる ikopepkare (新)、[他] yaykewkore (新): ⑤[自]人にひどい悪口を言う itoykoweyyekar (新): [他](人)にひどい悪口を言う toykoweyyekar (石狩)

ひといちばい(人一倍) [副](他より)人一倍 etakasure (沙流): (表現)~に人一倍大笑いする etakasure emina kaska (沙流)

ひとえまぶた(一重瞼) [名]一重瞼 sinekap(-u) (新)

ひとかげ(人影) [名]人影 aynukur(-i) (石狩)、[名](雅) aynu-kurmam(-a) (石狩): (表現)幾つもの人影がさす、浮かび上がる tu aynu-kurmam re aynu-kurmam cisipusure (石狩)

ひどく [副]ひどく wenno (石狩)、[副] wen (石狩): (表現)("iekot haw(-e)"「人を殺す言葉」と対で用いられ)ひどく痛い言葉、ひどく毒のある悪口 wen arka itak(-i) (石狩): wen+panakte(~を懲らしめる)→wempanakte 「ひどく~を懲らしめる」:[接頭](動詞に接頭して項の数を変えずある状態や動作が「激しい」事を表し)ひどく sirkō (石狩): sirkō+munin (腐る)→sirkomunin 「ひどく腐る」:[接頭] toyko (石狩): toyko+kikkik (~を何度も叩く)→toykokikkik 「~をひどく何度も叩く」:アイヌ語沙流方言辞典によると沙流方言では似た意味の接頭辞"sirkō-"との間には、①接頭する動詞、②ニュアンスに違いがあるという。石狩川筋では"sirkō-"が接頭した動詞の例が少ないため尚詳細不明ながら、目下①について当てはまる事が確認できる。また、接頭辞"toy"との間では"toytukan"「(樽や人)をぶっ飛ばす」、「toykotukan」(鉄砲)を射ちまくる」のように同じ動詞に接頭して用法が少し違う例が見られるものの、"toynospa"、"toynospakar"、"toykonospa"「ひどく~を追いかける」と基本的に違いはないと考えられる。:[接頭](動詞に接頭して項の数を変えずある動作が「激しい」事を表し)ひどく wén (石狩): wén+kopasrota (~を罵る)→wenkopasrota 「ひどく~を罵る」:[自](木など根元が)捲れてひどく傾く mewke (石狩)、[自] wenmewke (新)、[自] raymewke (新)、

[自] toymewke (新)、[自] toymkomewke (新)

ひとく(秘匿) [他]~を秘匿する esina (石狩)、[他] nuynak (nuyna) (石狩)、[他] ukao (石狩): [名]秘匿性 iesina-sikorep (inuynak-sikorep、iukao-sikorep) (新)

ひとくい(人食い) [自]人を食う aynue (新): [名](伝説中の)人食刀、妖刀 ipetam (石狩): [名](伝説中の)魂が宿った人食槍、妖槍 ramatun-ipeop (石狩): [名]人食い熊 pirakkaus (石狩)

ひとくち(一口) [名](食事の)一口 not(-ci) (石狩): 助数的に"tu noci"「その二口」、「re noci」「その三口」と使われることもある。:[名](所属形)そのほんの一口 nocipo (石狩): (表現)~を一口で食べてしまう eannotnere ~ e wa okere (沙流)

ひとくみ(一組) ①[自]二人一組でする iueki (新): (表現)二人一組でする、行動する tunesinepne iki (新): [他]二人一組で~をする ueki (新): (表現)二人一組で~する tunesinepne ki (新): [他](人)に二人一組で~をさせる uekire (新): (表現)(人)に二人一組で~させる tunesinepne kire (新): [自]二人一組になる uesinepne (新)、[自] tunesinepne (新): [他](人)を二人一組にする uesinepneka (uesinepnere) (新)、[他] tunesinepneka (tunesinepnere) (新): [自]二つで一組にする tupesinepne (新): [他]~を二つで一組にする tupesinepnere (新): ②[自](表現)三人一組でする、行動する renesinepne iki (新): (表現)三人一組で~する renesinepne ki (新): (表現)(人)に三人一組で~させる renesinepne kire (新): [自]三人一組になる renesinepne (新): [他](人)を三人一組にする renesinepneka (renesinepnere) (新): [自]三つで一組にする repesinepne (新): [他]~を三つで一組にする repesinepnere (新)

ひとごみ(人混み) (表現)人混み aynu utar tum(長形-u、-uke) (新)、(表現)人混み aynu topa tum(長形-u、-uke) (新)

ひとごろし(人殺し) [名]人殺し aynuraykep (石狩)、[名] iraykep (新): [名]殺人者 aynuraykekur (石狩)、[名] irayekur (石狩)

ひとさがし(人探し) [自]人探しをする unhunar (新)

ひとさしゆび(人差し指) [名]人差し指 itankikem-askepet(-ci) (石狩)、[名] sükem-askepet(-ci) (石狩)、[名] ikem-askepet(-ci) (天塩)、[名] yäka-askepet(-

ci) (天塩): ②[名]人差し指、薬指 uturu-
askepet-(ci) (天塩)

ひとだま(人魂) [名]人魂 weysune (石狩)、
[名] aynuramat-(ci) (石狩)

ひとつ(一つ) ①[名]一つ、一匹、一個など
sinep-(e) (石狩): (表現)魚一匹 cep
sinep (石狩): (表現)沼一つ to sinep
(石狩): (表現)魚の一種 cep sinepe (新):
(表現)道具の中の一つ cieiwankep sinepe
(新): [連体]一つの sine (石狩): (表現)
一匹の魚 sine cep (石狩): (表現)一つの
沼 sine to (石狩): ②[連体](合成語の構
成要素として次の形式で「一つの～になって」
という副詞を形成し) ear+名詞+ne (石
狩): ear+ikir (列)+ne (になって)→
earikinne 「一まとまりに」: ③[自]一つに
なる、である、一つにまとまる sineatki
(石狩): [他](場所)で一つになる、である
esineatki (新): [他]～と一つになる、であ
る kosineatki (新): [他](原因、手段)で
一つになる、である osineatki (新): [他]
～を一つにする、一つにまとめる
sineatkire (新): [自]皆で、互いに一つに
なる、である、一つにまとまる ukosineatki
(新): [自]完全に一つになる、である
oassineatki (assineatki) (新): [他]～と
～を一つにする、まとめる kosineatkire
(新): [他]～を皆一つにする、まとめる
ukosineyatkire (新): [副]一まとまりに
earikinne (石狩)

ひとつづき(一続き) [名]一続き、一続きのもの
ir-(i) (H): [自]～と一続きになる、一続き
である ～ iri ne (新): [自](合成語の構
成要素として)一続きである ir (H)

ひとにばける(人に化ける) [自](化け物やキツネ
などが)人に化ける isinnire (石狩)、[自]
isinere (石狩): [名](化け物やキツネなど)
人に化けるもの isinnirep (石狩)

ひとのせいにする(人のせいにする) [自]人のせ
いにする ikaoitak (新): [連他]～のせい
にする kasi-oitak (ka-oitak) (石狩):
[自]皆のせいにする、互いのせいにし合う
ukaoitak (新)

ひとのてのうえ(人の手の上) [場名](雅語)人の
手の上 aynumonka (石狩): 「…人の手
の上に授ける物が獲物なのです…」 “…
aynumonka ekoikasunukar pe iso ne wa
siran…」(砂沢トウアカンノ)祈詞

ひとばん(一晚) ①[副]一晚 arukuran (石
狩): 「私はAさんの家に一晚泊まった。」
“A kor cise otta arukuran ku=rewsu.” ②
[副]一晚中 ánepitta (石狩): (表現)一晚
中 ánepitta kane (石狩): 「私の頭が一
晩中あれこれ自分の事を考え、私は眠れなか

った。」 “ Ku=pake ánepitta kane
yayuwampare ayne ku=mokor eaykap .”

ひとみ(瞳) [名]瞳 inkarsiknum-(i) (石狩)

ひとめをひく(人目を引く) [自]人目を引く
iyaykosittarirepa (新)

ひとり(一人) ①[名]一人 sinen-(e) (石狩):
あまり良い言い方ではないが、目下の者に対
して"sinep"を使う事がある。: (表現)人間一
人、成人男性一人 aynu sinen (石狩):
(表現)～のうちの一人 ～ sinene (新)、(表
現)～ sinepe (沙流): (表現)あなた達の
うち一人 es=sinene (新)、(表現)
es=sinepe (新)※(沙流方言「あなた達のう
ちの一人」"eci=sinepehe"より): [連体]一人
の sine (石狩): (表現)一人の人間、成人
男性 sine aynu (石狩): [自]一人になる、
一人である sinenne (石狩): [副]一人で
sinenne (石狩): 「私は一人で暮してます。」
“Sinenne ku=an ruwe ne.”: [接頭](動詞
に接頭する。その際動詞が取り得る目的語の
数は変わらない)一人で yayko (石狩):
yayko(一人で)+yukar(ユカラする)→
yaykoyukar 「一人でユカラする」: ②
[自](親もなく、あるいは誰も頼らず)一人で生
きる、暮らす yayreska (石狩): ③[自]一
人で暮らす yaykoan (千歳): (表現)一人
で暮らしている sinenne an (石狩): (表
現)一人ぼっちで暮らしている yaykonisnu
kor an (石狩)

ひとりごと(独り言) [自]独り言を言う
yaykoitak (石狩): [他]～について独り言
を言う eyaykoitak (石狩): [他](人)に独
り言を言わせる yaykoitakte (新): [自]
思わず独り言が漏れる siyaykoitakte (新)

ひとりさびしそう(独り寂しそう) [自]独り寂
しそうである yayturasirun (石狩)

ひとりたび(一人旅) [名]一人旅
yaykoomanan (新): [自]一人旅する
yaykoomanan (複数 yaykopayekay、
yaykopayokay) (新): [他](場所)を一人旅
する eyaykoomanan (複数
eyaykopayekay、eyaykopayokay) (新):
[他](場所)へ一人旅する koyaykoomanan
(複数 koyaykopayekay、koyaykopayokay)
(新): [他](原因、手段)で旅行する
oyaykoomanan (複数 oyaykopayekay、
oyaykopayokay) (新): [他](人)に一人旅
させる yaykoomanante (複数
yaykopayekayre、yaypayokayre) (新)

ひとりっこ(一人っ子) [名]一人っ子
yayirwakikorkur (石狩)

ひとりでたのしむ(独りで楽しむ) [自]独りで
楽しむ yaynewsarka (石狩): [他]～を独
りで楽しむ eyaynewsarka (新)

ひとりでに [副] **ひとりでに** *yaykata* (天塩)
ひとりねする(一人寝する) (表現) 一人で寝る
sinenne hotke (石狩): [自] みじめに一人寝する
yaykotapta-wenhotke (石狩): [他] (場所) でみじめに一人寝する
eyaykotapta-wenhotke (新): [他] (原因、手段) でみじめに一人寝する
oyaykotapta-wenhotke (新): [他] (人) をみじめに一人寝させる
yaykotapta-wenhotkere (新)

ひとりべや(一人部屋) [名] 一人部屋
sineneiwanke-tumpu (新)

ひとをおいかける(人を追いかける) [自] (クマなどが) 人を追いかける
unnospa (石狩)

ひとをまねく(人を招く) [自] (祭礼などに) 人を招く
iaskeuk (石狩)

ヒナギキョウ(雛桔梗) (植物) [名] (キキョウ科) ヒナギキョウ属
sínokan-asiknerapnup-cise (新): [名] ヒナギキョウの茎葉
sínokan-asiknerapnup (新): [名] オーストラリアブルーベル
austorarianokan-asiknerepnup (新): [名] ロイヤルブルーベルの茎葉
nupunnokan-asiknerapnup (新)

ヒナギク(雛菊) (植物) [名] (キク科) ヒナギク属
pomponkikukina-cise (新): [名] ヒナギクの茎葉
iwampa-pomponkikukinakukina (pomponkikukina) (新): [名] ヒナギクの花
iwampa-pomponkiku (pomponkiku) (新)
 ※(別名「エンメイギク」、「デージー」など): [名] ベリス・アンヌアの茎葉
sinepa-pomponkikukina (新)

ヒナコウモリ(雛蝙蝠) (動物) [名] (コウモリ目) ヒナコウモリ科
yayankapap-apa (新): [名] ヒナコウモリ亜科
yayankapap-moapa (新): [名] ヒナコウモリ族
yayankapap-utar (新): [名] ヒナコウモリ属
taskurukapap-cise (新): [名] ヒナコウモリ
taskurukapap (新): [名] ヒメヒナコウモリ
motaskurukapap (新): [名] イア属
iakapap-cise (新): [名] イア・イオ
iakapap (新): [名] オオアブラコウモリ属
sisumkapap-cise (新): [名] カリノロブス属
cicaoskekapap-cise (新): [名] グラウコニクテリス属
marewrewkapap-cise (新): [名] コバネコウモリ属
okatkikoankapap-cise (新): [名] コバネコウモリ
okatkikoankapap (新): [名] タケコウモリ属
sítopakapap-cise (新): [名] ディスクコウモリ属
ureparakapap-cise (新): [名] ディスクコウモリ
ureparakapap (新): [名] ニウムバハ属
pandakapap-cise (新): [名] ニウムバハ・スペルバ
pandakapap (新): [名] ネオロミキア属
afrikakapap-cise (新): [名] ヒ

ステイオトゥス属
kayakisarkapap-cise (新): [名] ファルシストレルス属
sunkesumkapap-cise (新): [名] ベスパデルス属
nitayunapap-cise (新): [名] ミメティルス属
moroneymimikkapap-cise (新): [名] ミメティルス・モロネイー
moroney-mimikkapap (新): [名] ラエフオティス属
de-winton-kisaratannekapap-cise (新): [名] アカコウモリ族
húrekapap-utar (新): [名] アブラコウモリ族
sumkapap-utar (新): [名] ウサギコウモリ族
isepokapap-utar (新): [名] クビワコウモリ族
rekutumpekapap-utar (新): [名] ニクティケイウス族
amerikaunonumankapap-utar (新): [名] ニクトフィルス族
kisaratannekapap-utar (新): [名] ケリボウラ亜科
hicicikiskikapap-moapa (新): [名] テングコウモリ亜科
kuttaretukapap-moapa (新): [名] ホオヒゲコウモリ亜科
rékuskapap-moapa (新)

ひなた(日向) (表現) (座って) 日向ぼっこをしている
sikus otta a wa an (石狩): (表現) (寝そべって) 日向ぼっこをしている
sikus otta hotke wa an (新)

ヒナモロコ(雛諸子) (魚介) [名] (ラスボラス亜科) ヒナモロコ属
hukuoka-rasbora-cise (新): [名] ヒナモロコ
hukuoka-rasbora (新)

ひなわ(火縄) [名] 火縄
apeharkika (新): [名] 火縄銃
apeharkika-puspe (新)

ひなん(避難) [自] 避難する
kira (石狩)、[自] *yaykirare* (石狩): [他] ~と共に避難する
ekira (新): [他] (場所) へ避難する
kokira (石狩): [他] (場所) から避難する
okira (新): [他] (原因、手段) で避難する
okira (新): [他] (人) を非難させる
kirare (石狩): [自] 自分で、一人で避難する
yaykokira (新): [自] 互いに、皆で避難する
ukokira (新): [自] 自分で、一人で避難する
yaykirare (石狩): [自] 皆が避難する
ukirare (石狩): [自] 手に手をとって避難する、二人で避難する
uekira (新): (表現) 手に手をとって二人で避難する
utekampa wa uekira (新)、(表現) *tunne uekira* (新): [自] 完全に避難する
oarkira (arkira) (新): [名] 避難経路
isiknureru (新)、[名] *cioyaysiknukaru* (新)

ひなん(非難) [自] 人を非難する
iapapu (新): [他] (人) に人を非難させる
iapapure (新): [他] (人) を非難する
apapu (石狩)、[他] (雅) *semeseme* (石狩): [自] ~について(人)を非難する
eapapu (新): [他] (場

所)で(人)を非難する eapapu (新): [他] ~と共に(人)を非難する koapapu (新): [他](原因、手段)で(人)を非難する oapapu (表現): [他](人)に(人)を非難させる apapure (新): [自]自分を非難する yayapapu (石狩): [自]皆を非難する、互いに非難し合う uapapu (新): [他]すっかり(人)を非難する oarapapu (arapappu) (新): [自]人に言われて不承不承自分を非難する siapapu (新): [他]人に(人)を非難させる apapuyar (表現): [自]人に自分を非難させる siapapuyar (新)

ひにあたる(火に当る) [自] 火に当る apekuru (石狩): [他](誰か)を火に当らせる apekurure (石狩): 「…幼い子が三人いて、長男が外に出て着物がしばれ、泣きながら入って来る。私は起き上がり、火を焚き、それを火に当らせた。」 “...pompe ren an kor poro ike soy ta asin wa npihirupu, ,paraparak kor ahun . Ku=hopuni, ape ku=are , ku=apekurure .” (砂沢クラ): [名]火に当ってできる赤い斑点 ape-keskes (石狩): (表現)火に当って赤い斑点ができる ape-keskes o (石狩)

ビニール [名]ビニール vinir (新)※(英語): [名]ビニールハウス vinirkuca (新): [名]太いビニール紐 vinittus (新): [名]細いビニール紐 vinirat (新): [名]ビニール袋 vinirpukuru (新)

ひにやかれる(日に焼かれる) [自]日に焼かれる sikuscire (石狩) 文字通り日に焼かれて死にそうびなる事。太陽光線を浴び、肌を焼く事については「ひやけ(日焼け)」を見よ。

ひにん(避妊) [自]避妊する honkorkopan (新): [他](人)に避妊させる honkorkopante (新): [自]完全に避妊する oarhonkorkopan (arhonkorkopan) (新)

ひのいり(日の入り) [名]日の入り cupahun (新)、[名] sirpeketcupahun (新)、[名] tokamcupahun (新)

ひのかみ(火の神) [名]火の女神、火の女神 apehucikamuy (apeucikamuy) (石狩)、[名] kamuyhuci (沙流): 神の国での本名を"ape-merumeru-ape-koyankoyan-mat" 「炎めらめら炎諸立ち諸立つ媛」といい、火を司りになる事から普段は"apeuci-kamuy"(特に空知ではこちらが正式とされる)、あるいは"apehuci-kamuy"と呼ばれる。また人間世界が創造された時、一番初めに天下られその守り神となったので"mosirkor-uci"、あるいは"mosirkor-huci"、暖かい炎で人間の生活を支える事から"iresu-kamuy"など多くの名を持つ。アイヌにとって最も身近な神様であり、神祈りの際はまずこの神様へ

祈りを捧げ、他の神々への言伝、とりなし等も聞いてもらう。石狩川筋では"usarhucikamuy"、"mintarhuci"等と呼ばれる炉の下座にいる火の女神様にだけは女が祈って良い事になっているが、上座の神様との関係については不明である。尚、"apeucikamuy"を北海道東部では"apeucihucikamuy"とも呼ぶ。また釧路などでは男神もいて、宗谷では"ciarekamuy"と呼ばれるが、空知の"apeucitono"がこれと同じかは不明である。: [自]火の女神へ祈る apehuci-kamuynomi (apeuci-kamuynomi) (石狩)、[自](略) apenomi (石狩): [名]火の神のイナウ apehuci-inaw (apeuci-inaw) (石狩): [名]火の神への祈りに用いるトゥキ itakasumpe (天塩): (表現)(悪口)火の神への祈りに用いるトゥキすら持たぬ貧乏人 itakasumpe kay sak wempe (天塩)

ヒノキ(檜) (植物)[名](マツ目)ヒノキ科 hinoki-apa (新): [名]ヒノキ亜科 hinoki-moapa (新): [名]ヒノキ属 hinoki-cise (新): [名]ヒノキの茎 hinoki (新): [名]サワラの茎 sisamhinoki (新): [名]ペイヒの茎 amerika-hinoki (新)※(別名「アメリカヒノキ」): [名]タイワンヒノキの茎 taywan-hinoki (新): [名]タイワンベンヒノキの茎 hurehinoki (新)※(別名「ベニヒ」): [名]ローソンヒノキの茎 rawson-hinoki (新): [名]アスナロ属 retarhinoki-cise (新): [名]イトスギ属 kupressus-cise (新): [名]カロケドルス属 pirkahinoki (新): [名]クロベ属 kunnehinoki-cise (新): [名]コノテガシワ属 ekatciaskekat-korhamusni-cise (新): [名]テトラクリニス属 sandarak-cise (新): [名]ビャクシン属 aymanni-cise (新): [名]フッケンヒバ属 fujian-hinoki-cise (新): [名]ミクロビオタ属 santareye-hinoki-cise (新): [名]: [名]アツロタクシス亜科 tasmania-hinoki-moapa (新): [名]カリトリス亜科 ikorsuma-hinoki-moapa (新): [名]コウヨウザン亜科 atuyyasugi-moapa (新): [名]スギ亜科 sugi-moapa (新): [名]セコイア亜科 sekwoyya-moapa (新): [名]タイワンスギ亜科 taywansugi-moapa (新)

ひのこ(火の粉) [名]火の粉 apemeru (石狩)

ひので(日の出) [名]日の出 cuphetuku (新)、[名] cuprikin (石狩)、[名] sirpeketcup-hetuku(rikin) (新)、[名] tokamcup-hetuku(rikin) (新)

ひのとり(火の鳥) [名]火の鳥 apemicikap (新)、[名] apeocikap (新)

ひばし(火箸) [名]火箸 apepasuy (石狩)
ひばち(火鉢) [名]火鉢 apeop (J)
ひばな(火花) [名]火花 apemeru (石狩)
ヒバリガイ(雲雀貝) (魚介)[名](イガイ科)ヒバリガイ属 kitocirposey-cise (新): [名]ヒバリガイ kitocirposey (新): [名]イシワリマクラ tumpa-kitocirposey (新): [名]エゾヒバリ yaun-kitocirposey (新): [名]コケガラス numaus-kitocirposey (新): [名]ヌバタママクラ nubatamae-ninuype (新): [名]ビロードマクラ vervet-eninuype (新): [名]ホソスジヒバリガイ áneruo-kitocirposey (新): [名]ホンヒバリガイ sikitocirposey (新)※(別名「ホンエゾヒバリ」): [名]マメヒバリガイ mame-kitoirposey (新): [名]リュウキュウヒバリ rucukitocirposey (新)
ひはん(批判) [他] ～ を 批 半 する usinnaynukar (新)※(別々に～を見る): (表現)批半する pírka hīke otuwasi wa wen hīke apapu (新)
ひび(罅) [自]罅が切れる cawawke (石狩)
ひび(罅) [名]ひび tuma (沙流): [自](陶器などに)小さいひびが入る tumaoma (沙流): (表現)ひび割れる tumaoma wa perke (沙流): [自](船などに)大きなひびが入る eyasperke (沙流): [自]ひびが入る yaske (天塩)
ひびく(響く) [自]響く tuntēk (石狩): "eikotuntēk"「～にこだまする」という語の構成要素としてのみ現れるが、今後単独でも用いる。: [他](場所)で響く etuntēk (新): [他]～へ響く kotuntēk (新): [他]～と共に響く kotuntēk (新): [他](原因、手段)で響く otuntēk (新): [他]～を響かせる tuntēkka (新): [自](泣声、鳴声)が高く響き渡る carototke (沙流): (表現)その赤子の泣く声は高く響き渡る kor pompe cis haw konna carototke (沙流): [他](中相)高く響き渡る cicarototo (新)
ひひょう(批評) [他] ～ を 批 評 する usinnaynukar (新)※(別々に～を見る): (表現)批評する pírka hīke otuwasi wa wen hīke apapu (新): 「X氏の作品を私は批評した。」“X-nispa kar pe otta pírka hīke ku=otuwasi wa wen hīke ku=apapu .”: [名]批評家 iusinnaynukarkur (新)
ひふ(皮膚) [名]皮膚 kap(u) (石狩): [場名]皮膚の表面 kapka(-si, -sike) (新)、[場名](雅) kamka(-si, -sike) (石狩)
ひふカンジダしょう(皮膚カンジダ症) [名]皮膚カンジダ症 kapu-kandida-osiyeye (新): [自]皮膚カンジダ症に罹る kapu-kandida-osiyeye (新): [名]指間カンジダ症

asikepetuturu-kandida-osiyeye (新): [名]手カンジダ症 teke-kandida-osiyeye (新): [名]爪カンジダ症 ami-kandida-osiyeye (新): [名]乳児皮膚カンジダ症、乳児寄生菌紅斑 pompekapu-kandida-osiyeye (新)
ヒブナ(緋鯛) (魚介)[名]ヒブナ hūretocep (新)※(突然変異したフナ属の魚)
ひぶん(碑文) (表現)碑文 an=oiésikarun kusu an=nuyé p (新)
ひほう(秘宝) [名]秘宝 ikossokkar (石狩)、[名] ikorsotkar (久保寺): 物に包むなどして人に見せないように隠しておく宝物。: (表現)秘宝 ikor ikkewe (石狩): 宝物の中で取り分け大切なもの。
びぼう(美貌) [場名]美貌 siretok (石狩)、[場名] nanetok (石狩): [自]美貌を具える siretokkor (石狩)、[自] nanetokkor (石狩): 内面、つまり「心の美しさを具える」事は"osketokkor".
ひぼしれんが(日乾煉瓦) [名]日乾煉瓦 sikussatke-sumatoy (新)
ひま(暇) [自]暇である yaynoan (美幌): (表現)暇である monutur an (石狩)、(表現)monrayke utur an (八雲)、(表現)monrayke isam (石狩)、(表現)kar pe ka isam (天塩)
ひまご(曾孫) [名]曾孫 sanmippo (石狩)、[名] sannippo (新)
ひまつ(飛沫) [名]飛沫 wakkakiskis(i) (幌別): [自]飛沫状になる、である kiskisne (新): [他]～を飛沫状にする kiskisnere (kiskisneka) (新): (表現)飛沫状である wakkakiskis (kiskis) néno an (新): (表現)飛沫状に wakkakiskis (kiskis) néno (新)
ヒマラヤ [名](地名)ヒマラヤ山脈 himaraya-ikinnenupuri (新)
ヒマラヤスギ(ヒマラヤ杉) (植物)[名](マツ科)ヒマラヤスギ属 totorop-cise (新)※(については本来「トドマツ」を指す本州、松前方言。現在唯一確認できるアイヌ語本州方言を生かすため種的に近いこの属の名に転用): [名]ヒマラヤスギの茎 himarayatotorop (新): [名]アトラスシダーの茎 atrastotorop (新): [名]キプロスシダーの茎 kiprostotorop (新): [名]レバノンスギの茎 rúbunantotorop (rupnantotorop) (新)
ヒマワリ(向日葵) (植物)①[名](キク科)ヒマワリ属 cupkohekirup-cise (新): [名]ヒマワリの茎葉 cupkohekirup (新)、[名]その花 cupkosikirup (新)、[名]その種 cupkosikiruppi (新): [名]イヌキクイモの

茎葉 setamunkirikina (新): [名]キクイモの茎葉 munkirikina (新)、[名]その塊茎 munkiri (幌別): [名]コヒマワリの茎葉 pirka-cupkohekirup (新): [名]ジャイアントサンフラワー síporo-cupkohekirup (新): [名]シロタエヒマワリの茎葉 sirokani-cupkohekirup (新): [名]スワンプサンフラワーの茎葉 nitatcupkohekirup (新): [名]ヒメヒマワリの茎葉 mopeketcupkina (新): [名]パラボックスサンフラワーの茎葉 runnutoyuncupkohekirup (新): [名]プレイリースンフラワーの茎葉 síporonupuncupkohekirup (新): [名]ヤナギバヒマワリの茎葉 hamuane-cupkohekirup (新): ② [名] (キク科) ヒマワリモドキ属 cicupkohekirupkopa-kina (新): [名]ヒマワリモドキの茎葉 cicupkohekirupkopa (新)、[名]その花 cicupkosikirupkopa (新): [名]キクイモモドキの茎葉 cimunkirikinakopa (新)

ヒマワリヒヨドリ(向日葵) (植物)[名] (キク科) ヒマワリヒヨドリ属 kinakoyki-mawsakmun-cise (新): [名]ヒマワリヒヨドリの茎葉 kinakoyki-mawsakmun (新) ※ (草を虐める鶉花)

ひみつ(秘密) [名]秘密 ciesinap (新)、[名]cinuynakpe (cinuynap) (新)、[名]ciukaop (新): [他]〜を秘密にする esina (石狩)、[他] nuynak (nuyna) (石狩)、[他] ukao (石狩): [他] (場所) で〜を秘密にする esina (新)、[他] enuynak (enuyna) (新)、[他] eukao (新): [他]〜と共に〜を秘密にする koessina (新)、[他] konuynak (konuyna) (新)、[他] koukao (新): [他] (原因、手段) で〜を秘密にする oesina (新): [他] onuynak (onuyna) (新)、[他] oukao (新): [他] (人) に〜を秘密にさせる esinare (新)、[他] nuynakte (新)、[他] nuynare (新)、[他] ukaore (新): [他] 完全に〜を秘密にする oaresina (aresina) (新)、[他] oannuynak (annuynak) (新)、[他] oarukao (arukao) (新): [名]秘密会 ciseske-ukoitakkar (新)、[名] ciseske-ukoramkor (新)

ヒメアリクイ(姫蟻喰) (動物)[名] (アリクイ亜目) ヒメアリクイ科 moitunnapep-apa (新): [名]ヒメアリクイ属 moitunnapep-cise (新): [名]ヒメアリクイ moitunnapep (新)

ヒメアルマジロ(姫アルマジロ) (動物)[名] (アルマジロ科) ヒメアルマジロ属 ruhure-mohayokyuk-cise (新): [名]ヒメアルマジロ ruhure-mohayokyuk (新)、[名]

ruhure-armadiro (新)

ヒメアンコウ(姫鮫鯨) (魚介)[名] (アンコウ科) ヒメアンコウ属 moperaysok-cise (新): [名]ヒメアンコウ moperaysok (新): [名]シモフリハナアンコウ retarkesoperaysok (新)

ひめい(悲鳴) [間投] (悲鳴) キヤー kiyar (新): [間投] (悲鳴) キヤーキヤー kiyarar (新): [自] キヤーキヤー悲鳴をあげる kiyarasse (新)、[自] kiyararse (八雲): [自] キヤーと悲鳴をあげる kiyarkosanu (新): [自] キヤーキヤー頻りに悲鳴をあげる cikiyanrototo (新)、[自] kiyarrototke (新): [自] キヤーキヤー何度も悲鳴をあげる kiyararatki (新): [自] キヤーキヤー悲鳴をあげ続ける kiyaritara (新): [自] 激しくキヤーキヤー悲鳴をあげる raykiyarasse (新)

ヒメイカ(姫烏賊) (魚介)[名] (ダンゴイカ目) ヒメイカ科 epetpetkepopo-apa (新): [名]ヒメイカ属 epetpetkepopo-cise (新): [名]ヒメイカ epetpetkepopo (新): [名]アフリカヒメイカ afrika-epetpetkepopo (新): [名]シャムヒメイカ murayupetpetkepopo (新): [名]テビロヒメイカ tekuturutuyuma-epetpetkepopo (新): [名]ホンヒメイカ siepetpetkepopo (新): [名]ミナミヒメイカ koypok-epetpetkepopo (新)

ヒメウイキョウ(姫茴香) (植物)[名] (セリ科) ヒメウイキョウ属 karawiya-cise (新): [名]ヒメウイキョウの茎葉 karawiya (新) ※ (アラビア語。別名「キャラウエイ」)、[名]ヒメウイキョウの果実 karawiyapo (新)

ヒメキクタビラコ(姫菊田平子) (植物)[名] (キク科) ヒメキクタビラコ属 yakusima-ponkikukina-cise (新): [名]ヒメキクタビラコの茎葉 yakusima-ponkikukina (新): [名]ミヤオギクの茎葉 koypokponmosir-ponkikukina (新)

ヒメコスモス(姫秋桜) (植物)[名] (キク科) ヒメコスモス属 matne-kosmoskina-cise (新): [名]ヒメアキザクラの茎葉 matne-kosmoskina (新)、[名]その花 matne-kosmos (新) ※ (別名「ブラキコメ・イペリディフォリア」、「ブラキカム」): [名]ブラキコメ・アングスティフォリアの茎葉 angustifolia-matne-kosmoskina (新): [名]ブラキコメ・ディヴェルシフォリアの茎葉 poromatne-kosmoskina (新): [名]ブラキコメ・ムルティフィダの茎葉 riyasinritkor-matne-kosmoskina (新) ※ (別名「宿根ヒメコスモス」)

ヒメシラウオ(姫白魚) (魚介)[名] (シラウオ科)

ヒメシラウオ属 matne-rayraycep-cise
(新): [名]アリアケヒメシラウオ ariake-rayraycep (新)

ヒメフルーツコウモリ(姫フルーツ蝙蝠) (動物)[名](コバナフルーツコウモリ亜科)ヒメフルーツコウモリ属 nokanikaope-kapap-cise (新): [名]ヒメフルーツコウモリ manaus-nokannikaope-kapap (新): [名]ボルネオヒメフルーツコウモリ bonneoun-nokannikaope-kapap (新)

ヒメマス(姫鱒) (魚介)[名](サケ属)ヒメマス kapatcep (阿寒)※(ベニザケの陸封型)

ひも(紐) [名]紐 at(-u) (石狩)

ひもの(干物) ①(生のものを乾燥させた)[名]干物 cisatkep (石狩): [名]魚の干物 cinana (石狩)、[名] cicinana (石狩)、[名] satcep (石狩): ②(茹で干しした)[名]干物 cisakankep (石狩)

ひやく(百) ①[名]百人 atuytanen (新)、[名] atuyta (石狩): 但し百人に関して "asiknehotnep"、二百人に関して "wanhotnen"も併用する。: ②[名]百、百匹、百個など atuyta (石狩): 但し百に関して "asiknehotnep"、二百に関して "wanhotnep"も併用する。: 百一 sinep ikasma (sine) atuyta (石狩): (表現)二百 tu atuyta (石狩): (表現)三百 re atuyta (石狩): (表現)四百 ine atuyta (石狩): (表現)五百 asikneatuyta (石狩): (表現)六百 iwan atuyta (石狩): (表現)七百 arwan atuyta (石狩): (表現)八百 tupesan atuyta (石狩): (表現)九百 sinepesan atuyta (石狩): ③[連体]百の atuytane (新)、[連体] atuyta (石狩): 但し「百の」に関して "asiknehotne"、「二百の」に関して "wanhotne"も併用する: (表現)百人の女性 atuytane menoko (atuyta menoko) (新): (表現)百匹の魚 atuytane cep (atuyta cep) (新): (表現)百年、百歳 atuytane pa (atuyta pa) (新): (表現)百日 atuytane to (atuyta to) (新)

ひやく(媚薬) [名]媚薬 pawci-kusuri (新)、[名] ipawcikorep (新)

ビャクシン(柏槨) (植物)[名](ヒノキ亜科)ビャクシン属 aymanni-cise (新)※(ネズミサシ属とも): [名]ビャクシンの茎 sisam-aymanni (新)※(別名「イブキ」、「イブキビャクシン」): [名]エンビツビャクシンの茎 amerika-aymanni (新): [名]オキアガリネズの茎 noskiazia-aymanni (新): [名]オキナワハイネズの茎 rucu-aymanni (新)※(シマムロの変種): [名]ケードネズの茎 mosinnoskiatuy-aymanni (新): [名]

コロラドビャクシンの茎 rokki-aymanni (新): [名]サビナの茎 sabina-aymanni (新)※(学名): [名]シマムロの茎 ogasawara-aymanni (新): [名]セイヨウネズの茎 yayan-aymanni (新): [名]タイワンネズの茎 taywan-aymanni (新): [名]ニイタカビャクシンの茎 himaraya-aymanni (新): [名]ネズの茎 tošo-aymanni (新)※(別名ネズミサシ、「ムロ」。果実は漢方薬「杜松」): [名]ハイネズの茎 aymanni (樺太白浦)、[名]ハイネズの果実 ayemay (樺太)、[名] ayamay (aima) (樺太真岡): [名]ハイビャクシンの茎 reyesisam-aymanni (新)※(ビャクシンの変種。別名「イワダレネズ」、「ソナレ」): [名]ホンドミヤマネズの茎 samorusyayan-aymanni (新)※(セイヨウネズの変種): [名]ミヤマネズの茎 apoy-aymanni (新)※(セイヨウネズの変種): [名]ミヤマビャクシンの茎 metotussisaim-aymanni (新)※(ビャクシンの変種。別名「シンパク」): [名]リシリビャクシンの茎 risir-aymanni (新)※(セイヨウネズの変種)、[名]リシリビャクシンの果実 risir-ayman (新): [名]カイヅカイブキ kannakamuy-aymanni (新)※(栽培種「龍柏」): [名]キンイブキの茎 konkani-aymanni (新)※(栽培種)

ヒャクニチソウ(百日草) (植物)[名](キク科)ヒャクニチソウ属 ohonno-aneramasuymuncise (新)※(「リジニア属」とも): [名]ヒャクニチソウの茎葉 ohonno-aneramasuymun (新)、[名]その花 ohonno-aneramasuy (新): [名]ホソバヒャクニチソウの茎葉 hamuane-ohonno-aneramasuymun (新): [名]メキシコヒャクニチソウの茎葉 mexiko-ohonno-aneramasuymun (新)

ひやくねんき(百年紀) [名]百年紀 atuytasay (新)※(百年一巻)

ひやくようばこ(百葉箱) [名]百葉箱 itaaputke-supop (新)、[名] itaaputki-supop (新)※(板簾箱)

ひやけ(日焼け) [自]日焼けする sikuskar (新): [他]～を日焼けさせる sikuskare (新): [自]自分を日焼けさせる sisikuskar (新)

ひやす(冷やす) [他]～を冷やす yamka (石狩)、[他] yamte (新): [他](場所)で～を冷やす eyamka (新): [他]～と共に～を冷やす koyamka (新): [他](原因、手段)で～を冷やす oyamka (新): [自]充分に～を冷やす yamkano (yamkanu) (新): [自]すっかり～を冷やす oaryamka (aryamka) (新): [自]ぎんぎんに～を冷

やす toykoyamka (新): [自]ちよつと、瞬間的に～を冷やす yamtekka (新)

ひゃっかじてん(百科事典) [名] 百科事典 ieiwanikir-eposo-onneutannep (新)※(物事について六代を生きた古老達であるもの。例えば「料理百科(事典)」なら suke-eiwanikir-eposo-onneutannep と表現する)

ひやむぎ(冷麦) [名]冷麦 hiyamugi (新)※(日本語より)

ヒューストン [場名](アメリカ合衆国のテキサス州、カナダのブリティッシュコロンビア州などの都市名)ヒューストン Híuston (新)

ピューピュー [間投](擬声語)ピュー、ピュー、ピュー(という音) piw (H): [自](一回)ピュー、ピュー、ピューと鳴る piwkosanu (新): [自]ピューピュー等と頻りに鳴る cipiwtoto (新)、[自] piwrototke (新): [自]ピューピュー等と何度も鳴る piwiwatki (新): [自]ピューピュー等と続けて鳴る piwnatara (新): [自](瞬間的に)ピューと鳴る piwtek (新)

ピューマ (動物)[名](ネコ亜科)ピューマ属 púma-cise (新): [名]ピューマ púma (新)※(羅語): [名]ジャガランディ jaguarundi (新)※(英語。茶色のジャガランディ eyra)

ひよう(被蛹) [名](虫の)被蛹 yaykatun-seykorpo (新)

ひよう(美容) [自]美容する yayekar (新): [場名]美容院 siekarusi (新): [名]美容室 siekartumpu (新): [名]美容師 iekarkur (新)

ひょう(表) [名]表 cieiurenkare-ita (新)※(そこに物を並べる膳)、[名] ita (新)、[名] tábere (新)※(独語)

ヒョウ(豹) (動物)[名](ネコ科)ヒョウ亜科 sícape-moapa (新): [名]ヒョウ属 sícape-cise (新): [名]ヒョウ sícape (新)※(大ネコ)、[名] réopardo (réopaddo) (新)※(伊語): [ヒョウの亜種][名]アナトリアヒョウ anatoriaun-sicape (新): [名]アフリカヒョウ afrikaun-sicape (新): [名]アムールヒョウ santaun-sicape (新): [名]アラビアヒョウ arabiyaun-sicape (新): [名]インドヒョウ bárátun-sicape (新): [名]キタシナヒョウ atuyyaun-sicape (新): [名]ザンジバルヒョウ zanzibarun-sicape (新)※(絶滅): [名]シナイヒョウ sínaiun-sicape (新): [名]スリランカヒョウ surirankaun-sicape (新): [名]バーバリーヒョウ máguribuun-sicape (新): [名]ペルシャヒョウ persiaun-sicape (新): [名]ジャガー jaguar (新)※(葡

語): [名]トラ tunrop (新)※(亜種については「トラ(虎)」を見よ): [名]ライオン réo (新)※(羅語。亜種については「ライオン」を見よ): ウンピョウ属 niskursicape-cise (新): [名]マーブルキャット属 moniskursicape-cise (新): [名]ユキヒョウ属 upassicape-cise (新)

びよう(秒) (時間の単位)[名]秒 piyo (新)※(日本語)、[名] sekunda (新)※(露語): (表現)30秒 wampe ikasma hotne piyo (sekunda) (新)、(表現) wampe etuhotne piyo (sekunda) (新)

ひょう(雹) [名]雹 kawkaw (石狩)、[名] porokawkaw (天塩)、[名] numuskawkaw (天塩)、[名] kamuykawkaw (蝦夷記)

ヒョウアザラシ(豹海豹) (動物)[名](アザラシ科)ヒョウアザラシ属 kesotukar-cise (新): [名]ヒョウアザラシ kesotukar (新)

ひょうい(憑依) [自]人に憑依する ikar (石狩): [他](人)に憑依する kar (石狩): [他](場所)で(人)に憑依する ekar (新): [他]～と共に(人)に憑依する kokar (新): [他](原因、手段)で(人)に憑依する okar (新): [他]～を(人)に憑依させる káre (新): [名]憑依霊 ikanramat (新)

ひょういん(病院) [名]病院 ikaoykicise (石狩)、[名] siyeyecise (石狩): [名]特設病院船 citumicipnere-ikaoykicip (新): [名]病院船 ikaoykicip (新)

ひょうぎ(評議) [自]評議する ciyekunipeuye (新): (表現)評議する ciyekunip euye (新): [他](場所)で評議する eciyekunipeuye (新): [他]～と共に評議する kociyekunipeuye (新): [他](原因、手段)で評議する、～について評議する ociyekunipeuye (新): [他](人)に評議させる ciyekunipeuyere (新): [名]評議員 ciyekunipeuyekur (新): [場名]評議会 ciyekunipeyeusi (新)、[場名] cieciyekunipeyeusi (新)

びょうき(病気) [名]病気 siyeye (石狩)、[名] arka (石狩): [自]病気に罹る、病気である siyeye (石狩)、[自] wen (石狩)、[自] arka (石狩): (表現)病気に罹る siyeye etokkar (天塩): [他](原因)で病気に罹る、罹っている osiyeye (新)、[他] oarka (新)、[他] ewen (石狩): [他]～を病気にする aiyeyere (石狩)、[他] arkare (石狩): → 「じゅうびょう(重病)」を参照

ひょうけつ(氷結) (表現)氷結する konru as (石狩): [自]氷結する rupus (石狩): (表現)～が氷結する konru us (新): [他](場所)で氷結する erupus (新): [他]

～と共に氷結する korupus (新): [他](原因、手段)で氷結する orupus (新): [他]
 ～を氷結させる rupuska (沙流)
ひょうげん(表現) [名] [言語、文章] 表現 iposse (iporse) (石狩): [名] 表現形式 anop (新)、[名] vehikre (新)※(英語)
びょうげんたい(病原体) [名] 病原体 siyeyeyarpe (新)、[名] patogen (新)※(英語)
ひょうさ(錨鎖) [名] 錨鎖 kaytetus (JK)
ひょうざん(氷山) [名] 氷山 ukaop (天塩)、[名] apucise (宗谷)
ひょうし(拍子) ①(拍の連続として)[名] 拍子 uesinnaykoyrir (新)※(拍の漣): ②(拍の意味で)[名] 拍子 uesinnaykoy (新): ③[自](詞曲を謡う時、演じる人あるいは周囲の人が)木の棒で炉縁を叩いて拍子をとる rep (石狩): [名] 拍子木 sisamrepni (新)
ひょうしゃ(描写) [自] 描写する kunnuye (新)※(影を描く): [他]～を描写する ekunnuye (新): [他](場所)に描写する ekunnuye (新): [他]～と共に～を描写する kokunnuye (新): [他](手段)で～を描写する okunnuye (新): [他](人)に～を描写させる kunnuyere (新): [他](中相)～が描写される ciekunnuye (新): [他] 絵画で～を描写する enokaokunnuye (新): [他] 言葉で～を描写する eitakokunnuye (新): [他] 音楽で～を描写する ekisarkiroroantep-okunnuye (新)
ひょうじゅんふく(標準服) [名] 標準服 ciimirerusuype (新)
ひょうしょう(病床) [名] 病床 siyeye-sotki (新)、[名] arka-sotki (新): (表現)病床にある siyeye-sotki (arka-sotki) or oma wa an (複数 okay) (新)
ひょうそ(瘰癧) [名] 瘰癧、化膿性爪囲炎 ihupka (石狩): [自] 瘰癧ができる、化膿性爪囲炎になる ihupka (石狩)
ひょうぞう(氷像) [名] 氷像 konruinoka (新): (表現)氷像を造る konruinoka kar (新): (表現)氷像を彫る konruinoka nuye (新)
ヒョウタン(瓢箪) ①(植物)[名](ユウガオ属)ヒョウタンの茎 piseuri-punkar (新): [名] ヒョウタンの果実 piseuri (新): ②[名](容器として)[名] 瓢箪 uripise (新): [名] 瓢箪形 uripise-noka (新)、[名] uripise-sirki (新)
ひょうてき(標的) [名] 標的 cicotcakunip (新)
びょうにん(病人) [名] 病人 siyeyekur (石狩)、[名] arkakur (石狩)
ひょうばん(評判) [名] 評判 asur(-u) (石狩):

(表現)評判になる asur as (石狩)
びょうぶ(屏風) [名] 屏風 biyobu (新)※(日本語)
ひょうほん(標本) [名] 標本 ciiorosankep (新)、[名] sampure (新)※(英語): [名] 昆虫の標本 cikikiror-osankep (新): (表現)昆虫の標本 kikir-ciiorosankep (-sampure) (新)、(表現) ciiorosankep (sampure) ne kikir (新)
ひょうめん(表面) ①[位名]～の表面 kotor(長形-o、-ke) (石狩): ②(敷物など表裏あるものに関して)[場名] 表面 sirka(-si、-sike) (石狩)
ヒョウモンダコ(豹紋蛸) (魚介)[名](マダコ科)ヒョウモンダコ属 okokkoatkorpe-cise (新): [名] ヒョウモンダコ okokkoatkorpe (新): [名] オオマルモンダコ poroakarip-okokkoatkorpe (新): [名] サウザンブルーリングドオクトパス koyopokaokarip-okokkoatkorpe (新): [名] ブルーリングドオクトパス aokarip-okokkoatkorpe (新)
びよく(鼻翼) [場名] 鼻翼 etusam(-a) (石狩)、[場名] etuutossam(-a) (新)、[場名] etuutorsam(-a) (沙流)
ヒョクガイ(比翼貝) (魚介)[名](イタヤガイ科)クリュプトペクテン属 akketekpo-cise (新): [名] ヒョクガイ akketekpo (新): [名] イササヒヨク firipin-akketekpo (新): [名] ウラジロヒヨク sirpokiretar-akketekpo (新): [名] ヒラヒヨク kocipirka-akketekpo (新): [名] ムラクモヒヨク rucu-akketekpo (新)
ヒョケザル(日避猿) (動物)[場名](哺乳綱)ヒョケザル目 kapapsaru-kotan (新)※(皮翼目とも): [名] ヒョケザル科 kapapsaru-apa (新): [名] ヒョケザル属 kapapsaru-cise (新): [名] フィリピンヒョケザル firipinun-kapapsaru (新): [名] マレーヒョケザル marayuun-kapapsaru (新)
ひよこ [名](ニワトリの雛)ひよこ cisecikappo (新)
ヒョコヒョコ [間投](擬態語)ヒョコヒョコ tonton (新): [自] ヒョコヒョコ動く tontonke (新): "etontonke" 「ひよめき」の構成要素として現れる。: [自] ヒョコヒョコと頻りに動く tonrototke (新)、[自] citonrototo (新): [自] ヒョコヒョコ動く tónonatki (新): [自] ヒョコヒョコと動き続ける tonnatara (石狩)
ひよっとして [副](雅)ひよっとしたら～ではないか somoneypeka (沙流): 「ひよっとしてお前は悪い事をしてるのではないか?」
 “Somoneypeka e=wempurikor siran ya?”: (表現)ひよっとして～ではなからう

か ika ~ na (石狩): 『ひょっとすると喧嘩するのではないだろうか』と私は恐れしました。」《Ika ukoyki=an na 》, sekor ku=isitoma .」(砂沢クラ)

ヒヨドリバナ(鶯花) (植物)[名](キク科)ヒヨドリバナ属 mawsakmatkina-cise (新): [名]ヒヨドリバナの茎葉 mawsakmatkina (新): [名]アメリカヒヨドリバナの茎葉 amerika-mawsakmatkina (新): [名]イトバヒヨドリの茎葉 cireskaprayke-mawsakmatkina (新): [名]サケバヒヨドリの茎葉 hamuperke-mawsakmatkina (新): [名]サワヒヨドリの茎葉 nayorun-mawsakmatkina (新): [名]シナヒヨドリの茎葉 atuyya-mawsakmatkina (新)※(葉、根は漢方薬「華澤蘭」): [名]シマフジバカマの茎葉 rucu-opkemenokokina (新): [名]タイワンヒヨドリの茎葉 taywan-mawsakmatkina (新): [名]ツキシヌキヒヨドリの茎葉 amerikanupur-mawsakmatkina (新)※(別名「ボーンセット」): [名]フジバカマの茎葉 opkemenokokina (新): [名]マルバフジバカマの茎葉 sineham-opkemenokokina (新): [名]ミカエリヒヨドリの茎葉 eporonnoan-mawsakmatkina (新): [名]ミツバヒヨドリバナの茎葉 reham-mawsakmatkina (新): ムラサキヒヨドリバナの茎葉 hatpeus-mawsakmatkina (新): [名]ヤクシマヒヨドリの茎葉 yakusima-mawsakmatkina (新): [名]ヤマヒヨドリバナの茎葉 kimun-mawsakmatkina (新): [名]ヨツバヒヨドリの茎葉 ineham-mawsakmatkina (新)※(ヒヨドリバナの亜種)

ひよめき [名]ひよめき etontonke (石狩)※(赤ん坊の前頂部で脈打つ度にひくひく動く所)

ピョンアンアムド(平安南道) [場名](朝鮮民主主義人民共和国の行政区名)平安南道 Pionnannam-purovince (新)

ピョンアンプクド(平安北道) [場名](朝鮮民主主義人民共和国の行政区名)平安北道 Pionnampuk-purovince (新)

ピョンヤン(平壤) [名](朝鮮民主主義人民共和国の首都名)平壤直轄市 Pionyan-yaykokorsi (新): [場名](通称として)平壤 Pionyan (新)

ひらいわ(平岩) [名]平岩 kama (石狩)

ひらうちのひも(平打ちの紐) [名](オヒョウニレ、あるいはシナの木繊維を編んだ)平打ちの紐 murir (石狩): 沙流、千歳の言葉としては専ら遺体を包んだ藁藁を縛る紐の意味で用いられるが、石狩川筋では

"paramurir"、"murir-at"という限定詞を伴ったものがその意味を持つ一方、"ketusmurir"「衣装入れを縛る平打ちの紐」という言葉もあり、元来単に「平打ちの紐」だけを指している事が分る。

ひらく(開く) ①(戸など閉じている物を開く事)[自]開く makke (石狩)、[自] yaymaka (石狩)、[自] cak (天塩): [他] ~を開く maka (石狩)、[他] cakke (天塩)、[他](雅) komaka (石狩): [他](場所)で~を開く emaka (新)、[他] ecakke (新): [他] ~と共に~を開く komaka (新)、[他] kocakke (新): [他](原因、手段)で~を開く omaka (新)、[他] ocakke (新): [他] 完全に、すっかり~を開く oarmaka (armaka) (新)、[他] oatcakke (atcakke) (新): [他](人)に~を開かせる makare (新)、[他] cakkere (新): [他](中相)~が開かれる cimaka (石狩)、[他] cicakke (新): [他] ~をぐっと開く、何度も開く makaka (石狩)、[他] cakaka (石狩)、[他] masasa (石狩): 従来合成語の構成要素としてのみ確認されてきたが、今後単独でも使う。: [自]先端が開く hemaka (新)、[自] emakke (新): [他] ~の先端が開く emaka (新): [自]末端が開く homaka (新)、[自] omakke (新): [他] ~の末端を開く omaka (新)[他](合成語の構成要素として)~を開く caku (石狩): e(その頭)+caku → ecaku 「(霧)を散らす」: [語根]開く mak (石狩)、[語根] cak (石狩): mak + a(他動詞形成接尾辞) → maka 「~を開く」: ②(花が咲いたり、広がる事)[自]開く sipirasa (石狩)、[自] piraske (石狩): [他] ~を開く pirasa (石狩): [他] ~を何度も開く、何度も広げる pirasasa (石狩): [自]先端が開く hepirasa (新)、[自] epiraske (新): [他] ~の先端が開く epirasa (新): [自]末端が開く hopirasa (新)、[自] opiraske (新): [他] ~の末端を開く opirasa (新)

ひらける(開ける) [0動] sirpeker (新): [自](木立が開ける、開けている peker (石狩): [他](中相)(土地が開ける cipekere (新)

ひらざがね(平座金) [名] 平座金 yayancinoyepso (新)、[名] yayanwaşer (新)※(英語)

ひらの(平の) [連体]平の use (石狩): [連体](否定的意味合いを込めて)平の eru (石狩)

ヒラヒラ [間投](擬声語)ヒラリ rap (新)、[間投](擬声語) hira (新)※(日本語): [自](木の葉などが)ヒラリとする rapse

(新)、[自] hirase (新): [間投](擬声語)ヒラヒラ rapap (石狩)、[間投](擬声語) hirara (新): [自](木の葉などが沢山ヒラヒラする rapapse (石狩)、[自] hirarase (新)

ヒラマサ(平政) (魚介)[名](ブリ属)ヒラマサ síporoesuprotki (新)

ヒラマナアジ(平真魚鰯) (魚介)[名](アジ科)ヒラマナアジ属 etuyaji-cise (新): [名]ヒラマナアジ etuyaji (新): [名]ルックダウシ ranainkarpe (新)

ヒラメ(平目) (魚介)[名](カレイ目)ヒラメ科 nina-apa (新): [名]ヒラメ属 nina-cise (新): [名]ヒラメ nina (長万部)、[名] oyatuyo (幌別)

ひらめく(閃く) ①[名]閃き tom (石狩): [名]幾つもの閃き、繰り返される閃き tomtom (新): [自]閃く、閃いている tom (石狩): [他](場所)で閃く、閃いている etom (新): [他]～と共に閃く、閃いている kotom (新): [他](原因、手段)で閃く、閃いている otom (石狩): [他]～を閃かす tomtte (石狩): [自]何度も閃く tomtom (石狩): ②(表現)稲妻が閃く imeru at (石狩)、(表現)(雅) imeru makkosanu (石狩)、(表現)(雅) imeru matkosanu (石狩): [自](雅)(稲妻が)閃く otuytuyke (石狩): (表現)(何かが美しく輝く描写で)二つの稲光、三つの稲光がパッパッと閃く tu imerukur re imerukur otuytuyke (石狩)

びらん(糜爛) [自]糜爛する kapsak (幌別)、[自] kappicitke (屈斜路)、[自] pisse (樺太白浦)、[自] ituypa (幌別)、[自] utuypa (幌別)、[自] tuypa (幌別): [自](肉刺が潰れたり床ずれで)糜爛する ipopo (樺太白浦)

ビリ ①(何かが裂ける、あるいは裂けたような音)[間投]ビリ、ビリ yas (新): [間投]ビリビリ、ビリビリ yásas (新): [自](一回)ビリ、ビリと鳴る yaskosanu (石狩)※(雷鳴の表現としてよく使われる): [自]ビリビリ、ビリビリと頻りに鳴る ciyasrototo (新)、[自] yasrototke (新): [自]ビリビリ、ビリビリと鳴る yásasatki (新): [自]ビリビリ、ビリビリと鳴り続ける yasnatara (新): ②[間投](何かが割れる音)ビリ、ビリ per (新): [間投]ビリビリ、ビリビリ perper (新): [自](一回)ビリ、ビリと割れる perkosanu (石狩): [自]ビリビリ、ビリビリと頻りに割れる cipenrototo (新)、[自] penrototke (新): [自]ビリビリ、ビリビリと割れる pereratki (新): [自]ビリビリ、ビリビリと鳴り続ける pennnatara (新)

ピリカノカのかい(ピリカノカの会)[名]ピリカノカの会 Pirkankoka-uekarpa (新)※(略号 PU)

ビリニウス [場名](リトアニア共和国の首都名)ビリニウス Vírinius (新)

ビリビリ [自]ビリビリする pisiske (八雲): (表現)～の咽喉が渴いてビリビリする ～ rekuci pisiske (八雲)

ヒリモツ [名]ヒリモツ語 motu-pijinitak (新)※(パプアニューギニア独立国の公用語の一つ)

ひりょう(肥料) [名]肥料 isukuptep (新)、[名] toyorumpe-sukuptep (新)

ビリングス [場名](アメリカ合衆国モンタナ州の都市名)ビリングス Bíringus (新)

ひる(昼) [名・副]昼 tókam (石狩): (表現)昼になる tókam an (石狩): (表現)日蝕になる tókam sirkunne (石狩): (表現)昼夜 kunne tókam (石狩): (表現)昼も夜も kunne hene (ene) tókam hene (ene) (石狩): (表現)(何昼夜も、何日も何日もの意味で)夜の日六日昼の日六日 kunne rerko noiwan rerko tókam rereko noiwan rereko (石狩)

ひる(簸る) [他]～を簸る tuyte (石狩)、[他] tuytuye (石狩): [他](人)に～を簸らせる tuytere (新)、[他] tuytuyere (新)

ビルマ ①[場名](国名の通称として)ビルマ Bama (新)※(1988年以降日本において「ビルマ連邦」の公式呼称は「ミャンマー連邦」、及びその略称「ミャンマー」であるが、一般的に、あるいは政治的立場によって「ビルマ」が用いられる事がある→「ミャンマー」を見よ): [名]ビルマ国民 bamaunkur (新): [名]ビルマ人 bamakur (新): [名]ビルマ語 bamakur-itak (新): [名]ビルマ文字 bamakuritak-itokpa (新): [場名]ビルマ連邦国民連合政府 Bama Ukosineatki Mosirunkur Utekeampa Mosireyayetunuspe (新)※(アメリカ合衆国メリーランド州に本部を置く亡命政府): ②(歴史)[場名]ビルマ連邦 Bama Ukosineatkip (新)※(1948-74年、1988-89年): [場名]ビルマ連邦社会主義共和国 Bama Ukosineatkip Ukotankoremosir (新)※(1974-88年)

ひれ(鰭) [名]鰭 mokrap-(i) (石狩): [名]背鰭 mekkauspe (石狩): [名]魚の背鰭 ceprap-(i) (石狩): [名]魚の胸鰭 cepmakiri (石狩): [名]尻鰭 sipuyemokrap-(i) (石狩): [名]尾鰭 atkoci (atkocike) (石狩)

ヒレアザミ(鰭薊)(植物)[名](キク科)ヒレアザミ

属 cepapus-ancami-cise (新): [名]ヒレアザミの茎葉 ceprapus-ancami (新): [名]オウシュウヒレアザミの茎葉 europaceprapus-ancami (新)

ピレネー [名]ピレネー山脈 Pirinio-ikinnenupuri (新)※(バスク語): [場名](地名)ピレネー Pirinioak (新)

ひろ(尋) [名]尋(両腕を広げた長さ、一間) tem (石狩): 地方によっては手の先を握ったり、上方に反らしたりするそうだが、旭川では手の指を伸ばし両手を横に広げた片方の先から反対の先までの長さ。: (表現)一尋 sinep tem (石狩)

ひろ(拾う) ①(拾い集める事)[他]～を拾う、拾い集める eupekare (石狩)、[他] uekarire (複数 uekarpere) (石狩): [他](人)に～を拾わせる、拾い集めさせる eupekarere (新)、[他] uekarirere (複数 uekarparere) (新): ②(水中や地面などから拾い取る事)[他]～を拾う、拾い取る uk (複数 uyna) (石狩): [他](人)に～を拾わせる、拾い取らせる ukte (複数 uynare) (新)

ひろ(疲労) [自]疲労する sinki (石狩): [他](場所)で疲労する esinki (新): [他]～と共に疲労する kosinki (新): [他](原因、手段)で疲労する osinki (新)、[他] esinki (石狩): [他](人)を疲労させる sinkire (新): [自]疲労困憊する toykosinki (新): [自]疲労で死ぬ sinkiekot (H)

ビロード [名]ビロード vervet (新)※(英語)、[名] numausseknaki (新): [名]ビロードの着物 numauskosonte (K)

ビロードフルーツコウモリ (動物)[名](コバナフルーツコウモリ亜科)ビロードフルーツコウモリ 属 musku-nikaopekapap-cise (新): [名]ビロードフルーツコウモリ sîmusku-nikaopekapap (新): [名]ヒメビロードフルーツコウモリ momusku-nikaopekapap (新)

ひろがる(広がる) ①[自]広がる piraske (石狩)、[自] sipirasa (石狩): [他](場所)で広がる epiraske (新)、[他] esipirasa (新): [他](場所)へ広がる kopiraske (新)、[他] kosipirasa (新): [他]～と共に広がる kopiraske (新)、[他] kosipirasa (新): [他](原因、手段)で広がる opiraske (新)、[他] osipirasa (新): [自]先が広がる hepirasa (石狩)、[自] epiraske (新): [自]末端が広がる hopirasa (新)、[自] opiraske (新): ②(風景に関して)[自]遙かに広がる、ずっと広がる hemaknaraye (hemakaraye) (石狩)

ひろく(広く) ①(面積について)[自]広くなる、

広い sep (石狩): (表現)網目が広い ya puye sep (石狩): [他](場所)で広くなる、広い esep (新): [他]～と共に広くなる、広い kosep (新): [他](原因、手段)で広くなる、広い osep (新): [他]～を広くする sepka (septe) (新): [自]充分広くなる、広い seпно(seпно) (新): [自]すっかり広くなる、広い oassep (assep) (新): [自]ものすごく広くなる、広い toykosep (新): [副]広く sep(-no) (新): ②(幅について)[自]広くなる、広い para (石狩): [他]～を広くする paraka (parare) (新): [自]充分広くなる、広い parano (paranu) (新): [自]すっかり広くなる、広い oarpara (arpara) (新): [自]ものすごく広くなる、広い toykopara (新): [副]広く para(-no) (新): [名]広い湖や沼 parato (石狩)

ひろげる(広げる) ①[他]～を広げる pirasa (石狩): [他](場所)で～を広げる epirasa (新): [他]～～～を広げる、～に対して～を広げる kopirasa (新): [他]～と共に～を広げる kopirasa (新): [他](原因、手段)で～を広げる opirasa (新): [他](人)に～を広げさせる pirasare (新): [自]先端を広げる hepirasa (石狩): [他]～の先端を広げる epirasa (新): [自]末端を広げる hopirasa (新): [他]～の末端を広げる opirasa (新): ②(畳んだりして小さくしていた物に関して)[他]～を広げる sepsepu (石狩): [他](人)に～を広げさせる sepsepure (新): ③(隙間に関して)[他]～を広げる sepkoturi (石狩): 「…その窓掛の糸の隙間を私が広げ、見た様子は…」 “…puyaraotpe kawturu ay=sepkoturi, nukar=an ruwe…” (杉村キナラブック) 婦女詞曲: [他](人)に～を広げさせる sepkoturire (新)

ひろば(広場) ①[場名]広場 sepsir (八雲): ②(遊び場としての)[名]広場 sinotmintar (八雲)

ビロビジャン [場名](ロシア連邦極東連邦管区ユダヤ自治州の首都名) Birobijan (新)

ひろびろ(広々) [他](中相)(行く手の道)が広々と開かれる cinumakaka (石狩)

ひろま(広間) [名]広間 septumpu (新)

ヒロラ (動物)[名](ハーテビースト族)ヒロラ属 hirora-cise (新): [名]ヒロラ hirora (新)※(英語。別名「ヒロラダマリスクス」)

ひわだ(桧皮) [名]桧皮 hinokikap (新)、[名] hinokiyar (新): [名]桧皮葺きの家 hinokiyatcise (hinokiyarcise) (新)

ひをけす(火を消す) [自]火を消す apeuska (新): (表現)火を消す ape uska (石狩):

【他】(場所)で火を消す eapeuska (新):
 【他】～と共に火を消す koapeuska (新):
 【他】(原因、手段)で火を消す oapeuska
 (新): 【他】(人)に火を消させる apeuskare
 (新)

ひをたく(火を焚く) 【自】火を焚く apeare
 (新)、【自】(雅) apeo (沙流): (表現)火を焚
 く ape áre (石狩): 【他】(場所)で火を焚く
 eapeare (新): 【他】～と共に火を焚く
 koapeare (新): 【他】(原因、手段)で火を焚
 く oapeare (新): 【他】(人)に火を焚かせ
 る apearere (新): 【自】激しく火を焚く
 aperuyka (石狩): 「…枯れ木の山を彼ら
 が集めて、それから私は激しく火を焚いて…」
 “…satni ikiri tapa ine orano aperuyka=an
 wa…” (杉村キナラブック)説話

ひをつける(火を点ける) 【自】火を点ける
 apeare (新): (表現)火を点ける ape áre
 (石狩): 【他】(場所)で火を点ける eapeare
 (新): 【他】～に火を点ける koapeare
 (新): 【他】～と共に火を点ける koapeare
 (新): 【他】(原因、手段)で火を点ける
 oapeare (新): 【他】(人)に火を点けさせる
 apearere (新): 【他】(燃えている薪など)で
 ～を突いて火を点ける enuykootke (石
 狩)

ひをとす(火を通す) 【他】(食品)に火を通す
 cire (新): (表現)しっかり～に火を通す
 pirkano círe (新): 【他】充分～に火を通す
 círeno (círenu) (新): 【他】すっかり～に
 火を通す oatcire (atcire) (新): 【他】～
 に火を通し過ぎる círekasuy (新)

びん(瓶) 【名】びん puturukka (新)※(樺太)、
 【名】 pintoro tokkuri (八雲): (表現)空き
 びん oha puturukka (新)

びん(鬢) 【名】鬢 moru (H): 【場名】鬢の脚
 morupa(-ke) (新)、【名】 rekcikir(-i) (新)
 ※(樺太)

ひんきやく(賓客) 【名】賓客 maratto
 (marapto) (石狩): 【自】賓客となる
 marattone (石狩): 【他】～の賓客となる
 komarattone (石狩): 「市の人達全員が私
 を尊敬していたので私は賓客となった。」

“Maciya otta okay utar opitta en=eoripak
 kusu ku=marattone .”, 「クマが賓客となっ
 て何度人間の賓客になっても人間達はそれ
 (頭骨の表面にある模様)が分かるものだ…」

“Eper marattone kor hompok suy aynu
 komarattone i nakka aynu utar eramuan
 pe ne…” (杉村キナラブック)説話

ピンク 【自】ピンクになる、ピンクである
 ruhure (新)、【自】 pinku (新): 【他】～を
 ピンクにする ruhueka (ruhure) (新)、
 【他】 pinkuka (pinkure) (新): 【名】ピン

ク色 ruhure-iro (新)、【名】 pinku-iro
 (新)

ひんこうほうせい(品行方正) 【自】品行方正であ
 る yaykatanu (石狩)、【自】 oripak (石
 狩)、【自】 pirkapurikor (石狩)

ひんこん(貧困) 【名】貧困 weysukup (新)、
 【名】 wenkureska (石狩)、【名】 ipeewen
 (ipewen) (石狩)、【名】 ipesak (石狩)

ひんじゃ(貧者) 【名】貧者 wenkur (石狩)、
 【名】 ipesakkur (石狩)

ヒンディー 【名】ヒンディー語 hindiitak (新)

ヒンドウスタニー 【名】ヒンドウスタニー語
 hindustani-itak (新)※(ヒンディー語とウ
 ルドゥー語の総称、あるいは両言語の混交状
 態の言語を指す。フィジー諸島共和国の公用
 語の一つ)

ひんにゅう(貧乳) 【名】貧乳 haytatokap (新):
 【自】貧乳である tókaphayta (新)

びんぼう(貧乏) ①【自】貧乏になる、貧乏であ
 る wen (石狩): 【他】～で貧乏になる、～
 で貧乏である ewen (石狩): 【他】(人)を貧
 乏にする wente (新): ②【自】貧乏暮らし
 をする weysukup (新)、【自】
 wenkureska (石狩)、【自】 ipeewen
 (ipewen) (石狩): ③【自】貧乏で食に事欠
 く ipesak (石狩): 【名】貧乏人 wenkur
 (石狩)、【名】 ipesakkur (石狩): 【名】貧乏
 な奴 wempe (石狩): 【名】貧乏神
 wenkamuy (石狩)

ふ(府) 【名】(日本国の行政単位名として)府
 hu (新)、【名】 purefektura (新)※(露語)

ふ(負) (数学)【自】負になる、である iewen
 (新)※(それで損する)、【自】 mínus (新)※
 (英語)

ファーゴ 【場名】(アメリカ合衆国ノースダコ
 タ州の州都名)ファーゴ Fágo (新)

ファッション 【名】ファッション siretusse
 (新)、【名】 fásion (新)※(英語)

ファドゥーツ 【場名】(リヒテンシュタイン公国
 の首都名)ファドゥーツ Faduť (新)

ファルシストレルス(動物) 【名】(ヒナコウモリ
 科)ファルシストレルス 属
 sunkesumkapap-cise (新): 【名】ファルシ
 ストレルス・アフィニス cokorate-
 sunkesumkapap (新): 【名】F. タスマニ
 エンシス cupkaun-sunkesumkapap
 (新): 【名】F. ペテルシ petersu-
 sunkesumkapap (新): 【名】F. マッケン
 ジエイ cuppokunu-sunkesumkapap
 (新): 【名】F. モルダクス javaun-
 sunkesumkapap (新)

ふあん(不安) 【自】不安になる、思う ikiumen
 (新): 【他】～が不安になる、思う kímwen
 (石狩): 【他】(場所)で～が不安になる

ekiumen (新): [他]〜に対して〜が不安になる、〜と共に〜が不安になる kokiumen (新): [他](原因、手段)で〜が不安になる okiumen (新): [他](人)に〜を不安にさせる kiumente (新): [他]自分で、一人で〜が不安になる yaykokiumen (新): [他]皆で、互いに〜が不安になる ukokiumen (新): [他]すっかり〜が不安になる oarkiumen (arkiumen) (新): [他]ものすごく〜が不安になる toykokiumen (新): [自]全てが不安になる ukiumen (新): [他]人に〜を不安にさせる kiumenar (新)
ふあてい(不安定) [自]不安定である siromasak (新): [他]〜を不安定にする siromasakka (新): [他]〜で〜を不安定にする esiromasakka (新)
ファンヘナムド(黄海南道) [場名] [朝鮮民主主義人民共和国の行政区名] 黄海南道 Huanhenam-purovince (新)
ファンヘプド(黄海北道) [場名] [朝鮮民主主義人民共和国の行政区名] 黄海北道 Huanhepuk-purovince (新)
ふいうち(不意打ち) → 「きしゅう(奇襲)」を見よ
フィジー ① [場名] (国名) フィジー諸島共和国 Fiji-usapoyisir Ukotankoremosir (新) ※ (首都は「スバ」): [場名] (国名あるいは②の略語として) フィジー Fiji (新): [名] フィジー人、国民 fijiunkur (新): [名] フィジー語 fijiunkur-itak (新): ② [場名] フィジー諸島 Fiji-usapoyisir (新) ※ (南太平洋に位置する島々)
フィブラ [名] (虫の) フィブラ fibura (新)
フィラデルフィア [場名] [アメリカ合衆国ペンシルバニア州の都市名] フィラデルフィア Firaderfiya (新)
フィリピン ① [場名] (国名) フィリピン共和国 Firipin Ukotankoremosir (新) ※ (首都は「マニラ」): [固名] (国名の通称として) フィリピン Firipin (新): [名] フィリピン人、国民 firipinunkur (新): [名] フィリピン語 firipinotak (新) ※ (マニラ地域のタガログ語を標準化したフィリピン共和国の公用語の一つ。別名「ピリピン語」) ② [場名] フィリピン諸島 Firipin-usapoyisir (新): ③ [名] (地名) フィリピン海 Firipin-atuy (新)
フィルター ① (濾材) [名] フィルター cioiuposorep (新)、[名] cioiuposorep (新)、[名] fitter (新) ※ (英語): ② (濾紙) [名] フィルター cioiuposorekampi (新)、[名] cioiuposorekampi (新)、[名] fitterpaper (新) ※ (英語)
フィロニクテリス (動物) [名] (ヘラコウモリ

科) フィロニクテリス亜科 jamaykaun-apappokapap-moapa (新): [名] フィロニクテリス属 jamaykaun-apappokapap-cise (新): [名] キューバフラワールコウモリ kubaun-apappokapap (新): [名] ジャマイカフラワールコウモリ jamaykaun-apappokapap (新): [名] エロフィラ属 sezekorun-apappokapap-cise (新): [名] フラワールヘラコウモリ sezekorun-apappokapap (新): [名] エロフィラ・ボンビフロンス cairone-apappokapap (新)
フィンランド ① [場名] (国名) フィンランド共和国 Suomi Ukotankoremosir (新) ※ (首都は「ヘルシンキ」): [場名] (国名の通称として) フィンランド Suomi (新): [名] フィンランド人、国民 suomiunkur (新): [名] フィンランド人 suomikur (新): [名] フィンランド語 suomikur-itak (新): ② [名] suomiunkur (地名) フィンランド湾 Suomi-usor (新) ※ (フィンランド共和国とエストニア共和国に挟まれたバルト海億の湾)
ふう(風) [名] 風 puri (石狩): (表現) 和風 sísam puri (石狩)
ふうあつ(風圧) [名] 風圧 rerayoputuyetum(-i) (新)
ふういん(封印) [自] 封印する isirosikoseske (新): [他] 〜を封印する siroskoseske (新): [他] (人) に 〜を封印させる sirosikoseskere (新): [他] (中相) 〜が封印される cisirosikoseske (新): [他] 魔力で 〜を封印する uesirusikoseske (新)
ふうか(風化) [自] 風化する réraonneka (新): [他] 〜を風化させる réraonnekare (新)
ブーケ ① (花束) [名] ブーケ cimuye-apappo (新)、[名] cimuye-nonno (新)、[名] buket (新) ※ (露語): ② (ウェディングブーケ) [名] ブーケ asirpeker-apappo (asirpeker-nonno) (新)、[名] asissukup-apappo (asissukup-nonno) (新)
ふうけい(風景) [場名] 風景 sírosir(-i) (新)、[場名] síroruysir(-i) (新): [場名] (合成語の構成要素として) 風景 sir(-i) (新): [名] 風景画 sinnuye-noka (新): [自] 風景面を描く sinnuye (新): [名] 風景式庭園 sirkar-mintar (新): [名] 風景写真 síruk-noka (新): [自] 風景写真を撮る síruk (新)
ブーゲンビル [場名] (地名) ブーゲンビル島 Búgenvir-poyisir (新) ※ (英語。ソロモン諸島に属するパプアニューギニア独立国領の島): ② [場名] ブーゲンビル自治政府 Búgenvir Sieyayetunus Mosirkorpe (新) ※ (1975

年に「北ソロモン共和国」、1990年「ブーゲンヴィル共和国」として独立を宣言。パプアニューギニア独立国で内戦が続いたが1998年に停戦合意。2005年に自治政府設立、今後住民投票により独立の最終決定がなされる。）

ふうしゅう(風習) [名]風習 puri (石狩)、[名] sirpuri (天塩)

プーズー (動物)[名](シカ科)プーズー属 púdu-cise (新)： [名] プーズー koypokumpuzu (新)： [名] オナシプーズー koykaumpudu (新)

ふうせつ(風説) [名]風説 páhaw(-e) (沙流)： [自](事実無根の)風説を流布する páhawcari (複数 páhawcarpa) (新)： [他](事実無根の)～の風説を流布する epahawcari (複数 ephawecarpa) (新)

ふうせん(風船) [名]風船 ciesinotpise (新)、[名] sinotpise (新)

フウセンカズラ(風船葛) (植物)[名](ムクロジ科)フウセンカズラ属 pukurupunkar-cise (新)： [名] フウセンカズラの茎 pukurupunkar (新)

ふうそう(風葬) ①(地上で行う場合)[自]風葬する itoykaeanu (新)、[自] araysittoykaeanu (新)： [他]～を風葬する toykaeanu (新)： ②(樹上で行う場合)[自]風葬する inikaeanu (新)、[自] araysinnikaeanu (新)： [他]～を風葬する níkaeanu (新)

ふうぞく(風俗) (土地の風習あるいは装い)[名]風俗 sirpuri (天塩)

ブータン [場名](国名)ブータン王国 Duruk Yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(首都は「ティンブー」)： [場名](国名の通称として)ブータン Durukyur (新)、[場名] Bútan (新)： [名] ブータン人、国民 durukyurunkur (新)

ふうひょう(風評) [名]風評 páhaw(-e) (沙流)： [自]風評被害を受ける、受けている páhawewen (新)： [他]～に風評被害を与える páhawewente (新)

ふうふ(夫婦) [名]夫婦 umurekkur (石狩)： [自]夫婦になる、である umurek (石狩)： (表現)夫婦生活、夜の営み umurek puri (石狩)： (表現)夫婦生活、夜の営みを行う umurek puri kor (新)： (表現)夫婦仲 sine upsoro (天塩)： [自]夫婦喧嘩する umurek-ukoyki (石狩)： [他](場所)で夫婦喧嘩する eumurek-ukoyki (新)： [他](人)を交えて夫婦喧嘩する kourumurek-ukoyki (新)： [他](原因、手段、目的)で夫婦喧嘩する ourumurek-ukoyki (新)： [他](人)に夫婦喧嘩させる umurek-

ukoykire (新)： [自](夫婦が)並んで座る urorea (石狩)： [自]夫婦となって並んで暮らす uemakna-horarpere (沙流)

ふうりん(風鈴) [名]風鈴 réraponkonko (新)

ふうりん(風鈴) [名]風鈴 rérakonko (新)

フェアバンクス [場名](アメリカ合衆国アラスカ州の都市名)フェアバンクス Ferbankus (新)

フェニックス [名](伝説上の鳥)フェニックス féniksu (新)※(露語)、[名] raysakcikap (新)、[名] semraycikap (新)、[名] somoraycikap (新)

ブエノスアイレス [場名](アルゼンチン共和国の首都名)ブエノスアイレス Buenosayres (新)

フェムトグラム [名](重さの単位)フェムトグラム femtoguram (新)※(単位記号 fg)

フェムトメートル [名](長さの単位)フェムトメートル femtometre (新)※(単位記号 fm)

フェムトリットル [名](体積の単位)フェムトリットル femtoritre (新)※(単位記号 fl)

フェリー [名]フェリー ikusacip (新)： [名]カーフェリー anopkoykusacip (新)

ふえる(増える) ①(物に関して数や量が)[自]増える、増えている poro (石狩)： (表現)金銭が増える、増えている ikor poro (石狩)： (表現)水が増える、増えている wakka poro (石狩)： ②(人口に関して)[自]増える、増えている inne (石狩)： 「この町では若者が増えた。」“Tan maciya otta anakne pewrekur inne ruwe ne.”： ③(生物に関して)[自]増える uatte (石狩)： ④(植物や人に関して)増える uaste (新)※(沙流)： ⑤(炊いた米などが膨張して)[自]増える sipuske (石狩)

フェルミニウム (化学)[名]フェルミウム fermium (新)※(原子番号100番。元素記号 Fm)

フェロー [場名](地名)フェロー諸島 Fero-usapoyis (新)※(北大西洋に位置するデンマーク王国の自治領)： [名]フェロー語 ferounkur-itak (新)

フォーク [名]フォーク eawpasuy (新)： [名]二又のフォーク eukohopi-pasuy (eukopipasuy) (新)： [名]三又のフォーク epetke-pasuy (新)

フォークキツネザル(フォーク狐猿) (動物)[名](コビトキツネザル科)フォークキツネザル属 eawpasuynokao-mosumarisaru (新)： [名]アンバーマウンテンフォークキツネザル ambermountain-eawpasuynokao-mosumarisaru (新)： [名]パールフォーク

キ ツ ネ ザ ル páre-eawpasuynokao-mosumarisaru (新): [名]パライアンツフ
 ォークキツネザル pariente-
 eawpasuynokao-mosumarisaru (新):
 [名]マソアラフオークキツネザル
 masoaraun-eawpasuynokao-mosumarisaru
 (新)

フォートワース [場名](アメリカ合衆国テキサ
 ス州の都市名)フォートワース Fortoworsu
 (新)

フォト [名]フォトアルバム cinuknokao-
 kampsos (新)、[名] fótoo-kampsos (新)、
 [名] arbum (新)※(英語): [名]フォトグ
 ラフ cinuknoka (新)、[名] fóto (新)、
 [名] noka (新): [名]フォトグラフアー
 nokauketokkorkur (新)、[名] fótogurafer
 (新)※(英語): [名]フォトグラフィアー
 nokauketok (新)、[名] fótogurafi (新)※
 (英語): [名]フォトスタジオ
 cienokaukise (新)、[名] fóto-sutadio
 (新)※(英語)

フォルッスカオレア(植物)[名](イラクサ科)フ
 オルッスカオレア属 wádiiririp-cise (新):
 [名]フォルッスカオレア・アングステフォリ
 アの茎葉 kanarias-iririp (新)※(カナリア
 刺草): [名]F. テナキッシマの茎葉 wádi-
 iririp (新)※(ワジ刺草)

ふか(孵化) [名]孵化 sinokpere (新):
 [自](雛が)卵を破って生まれる、孵化する
 sinokpere (石狩): [他]~を孵化させる
 sinokperere (新)

ふかい(不快) ①[名]不快感 wenhum(i)
 (新)、[名] weyyaynum(i) (新): (表現)
 不快感をあらわにする wenhum
 yaysankere (新): ②[自]不快感を覚える
 wenhumnu (石狩)、[自] weyyaynumnu
 (新): [他](場所)で不快感を覚える
 ewenhumnu (新)、[他] eweyyaynumnu
 (新): [他]~と共に不快感を覚える
 kowenhumnu (新)、[他]
 koweyyaynumnu (新): [他](原因、手段)
 で不快感を覚える owenhumnu (新)、[他]
 oweyyayhumnu (新): [他](人)に不快感を
 与える wenhumnure (新)、[他]
 weyyaynumnure (新): ③[自]不快になる、
 である sampewen (石狩)、[自]
 yaynumiwen (新)、[自] yaynumwen (天
 塩): [他](人)を不快にさせる sampewente
 (新)、[他] yaynumiwerte (新): ④[自]不
 快感をつのらせる、つのらせている
 wenhumiporo (新): [他](人)に不快感を
 つのらせる wenhumiporoka
 (wenhumiporore) (新): ⑤[自]不快感を
 軽減する wenhumipon (新): [他](人)の

不快感を軽減させる wenhumiponka
 (wenhumiponte) (新)

ふかきはなだ(深縹) [自]深縹色になる、である
 oho-ittonesumpeus (新): [他]~を深縹色
 に染める oho-ittonesumpeusi (oho-
 ittonesumpeuste) (新): [名]深縹色
 oho-ittonesumpeus-iro (新)

ふかく(深く) ①[自](水深について)深くなる、
 深い oho (石狩、天塩)※(対義語は"ohak"):
 [自](合成語の構成要素として)深くなる、深い
 oo (石狩): [他](場所)で深くなる、深い
 eooh (新): [他](場所)へ深くなる、~と共
 に深くなる、深い kooh (新): [他](場所)
 から深くなる、(原因、手段)で深くなる、深い
 ooh (新): [他]~を深くする ohoka
 (ohore) (新): [自]充分深くなる、深い
 ohono (ohonu) (新): [自]完全に深くなる、
 深い oaroho (aroho) (新): [自]ものす
 ごく深くなる、深い toykoooh (新): [場
 名]深み、深い所 oooh (ooi) (石狩): 岸
 辺の深み yake ta an oooh (ooi) (石狩):
 [場名](合成語の構成要素として)深み raw
 (石狩): [名](水深が)深い沢 ohotnay
 (ohonay) (石狩): ②[自](地形について)
 深くなる、深い rawne (石狩、天塩)※(対
 義語は"kasre"):[名](地形が)深い沢
 rawnenay (石狩): [他]~を深くする
 rawneka (rawne) (新): [自]充分深く
 なる、深い rawnenno (rawnenno) (新):
 [自]完全に深くなる、深い oanrawne
 (anrawne) (新): [副]深く(新)

ふかざら(深皿) [名]深皿 sépitanki (新)

ふかし(不可視) [名]不可視光線
 inkareaykap-kiyay (新)

ふかしぎ(不可思議) ①[場名]不可思議
 moikikkas (新)※(10の64乗): [場名]
 十不可思議 wanmoikikkas (新): [場名]
 百不可思議 atuytamoikikkas (新): [場
 名]千不可思議 wánatuytamoikikkas
 (新): ②[連体]不可思議の moikikkasne
 (新)、[連体] moikikkas (新): [連体]十不
 可思議の wanmoikikkasne (新)、[連体]
 wanmoikikkas (新): [連体]百不可思議の
 atuytamoikikkasne (新)、[連体]
 atuytamoikik (新): [連体]千不可思議の
 wánatuytamoikikkasne (新)、[連体]
 wánatuytamoikikkas (新)

フカノキ(籬の木)(植物)[名](ウコギ科)フカノキ
 属 sefrera-cise (新): [名]フカノキの茎
 asagura (新)※(琉球語): [名]ブラッサイ
 アの茎 burassaia (新): [名]ヤドリフカ
 ノキの茎 sefrera (新)※(学名)

ふかひ(深緋) [自]深緋色になる、である oho-
 sisamhure (新): [他]~を深緋色に染める
 oho-sisamhureka (oho-sisamhurere)

(新): [名]深緋色 oho-sisamhure-iro (新)
ふがふが [間投](擬声語)ふがふが hanheha
 (新)※(tanteta): [自](歯のない者が)ふがふが
 言う hanhehase (石狩)

ブカブカ [自]ブカブカ頻りに漂う
 momrototke (新)、[自] cimomrototo
 (新): [自]ブカブカ漂い続ける
 momnatara (沙流)

ブカレスト [場名](ルーマニアの首都名)ブカレスト
 Búkuresti (新)

ブカン(武漢) [場名](中華人民共和国の湖北省
 の省都名)武漢 Wúhan (新)

ふぎ(不義) [名](姦通、近親相姦などの)不義
 hoiyo (石狩)、[名] setapuri (石狩): [自]
 不義をなす hoiyo (石狩): (表現)不義を
 なす setapuri kor (石狩)

ぶぎ(武器) [名]武器 ciotumip (新)

フキ(蓴) ①(植物)[名](キク科)フキ属 korkoni-
 cise (新): [名]フキの葉柄 korkoni (H)、
 [名]フキの葉 korham (H)※(合成語の構
 成要素としては kor)、[名]フキの根
 korkoni sinrici (美幌)、[名]フキの花茎
 makayo (H)※(「フキノトウ」)、[名]フキの
 花 makayonnono (幌別)、[名]フキの成熟
 した果実 makayoeputy (幌別): [名]アー
 クティックバターバーの葉柄
 yaskekorkoni (新): [名]アキタブキの葉
 柄 (新)※(フキの変種): [名]ウィンターヘ
 リオトローブの葉柄 matakorkoni (新):
 [名]コモンバターバーの葉柄 húrepkorkoni
 (新)、[名]その花茎 húremakayo (新):
 [名]ペタシテス・グラキアリスの葉柄
 koykakorkoni (新): [名]ペタシテス・ゲオ
 ルギクスの葉柄 sakartoverokorkoni
 (新): [名]ペタシテス・シビリクスの葉柄
 šibirikorkoni (新): [名]ペタシテス・スブ
 リウスの葉柄 europakorkoni (新): [名]
 ペタシテス・タテワキアヌスの葉柄
 cupkaaziakorkoni (新): [名]ペタシテス・
 ドエルフレリの葉柄 sucipariakorkoni
 (新): [名]ペタシテス・トリコロプスの葉柄
 koypokaziakorkoni (新): [名]ペタシテ
 ス・ラディアトゥスの葉柄 rárákkorkoni
 (新): [名]ペタシテス・ルベルスの葉柄
 santakorkoni (新): [名]ホワイトバターバ
 ーの葉柄 retarpekorkoni (新)、[名]その花
 茎 retarmakayo (新): [名]ラウンプキの
 葉柄 sporokorkoni (新)※(フキの変種):
 ②[名]フキの葉の合羽 kórur (天塩):
 [名]フキの葉茸の小屋 korkuca (天塩):
 [名]フキの葉の鍋 korsu (H): (表現)(鍋
 がない時)フキの葉で煮る korham ani
 suwe (天塩)

ふきあれる(吹き荒れる) [他](中相)(風、雲な

ど)が吹き荒れる cihoyupure (石狩):
 「…二つの神の風、三つの神の風が吹き荒れ
 …」 “… tu kamuymaw re kamuymaw
 cihoyupure…” (杉村キナラブック)神謡: (表
 現)大風が吹き荒れる poro réra yupke (石
 狩)

フキタンポポ(蓴蒲公英) (植物)[名](キク科)フ
 キタンポポ属 korham-kunawkina-cise
 (新): [名]フキタンポポの茎葉 korham-
 kunawkina (新)、[名] omkesakkaham-
 kunawkina (新)、[名]その葉
 omkesakkaham (新)、[名]その花
 korhamkunaw (新)※(葉は生薬「款冬花」)

ふきつける(吹きつける) [他](嘯んだ魔よけに
 イケマなどみ)をプツと吹きつける
 epurusepa (石狩)

ふきでもの(吹出物) [名]吹出物 tomtom(i)
 (石狩): (表現)吹出物が出る tomtom o
 (新): [自]にきびのような吹出物が出る
 ioasip (新)※(屈斜路)

フキノトウ(蓴の臺) [名]フキノトウ makayo
 (H)、[名] pahkay (樺太): [名]フキノト
 ウの雄花 pinnemakayo (美幌): [名]フ
 キノトウの雌花 matnemakayo (美幌):
 “Pet sam oinawsanke p nepe a ?” –
 “Makayo.” 「川岸からイナウを出してるも
 の何だ？」 – 「フキノトウ。」 (杉村キナラブ
 ク 謎々)

ぶきよう(不器用) (手先に関して)[自]不器用で
 ある teketoksak (新): [名]不器用な人
 teketiksakkur (新)、[名] teketoksak
 (新)

ふきん(布巾) [名]布巾 ipirpasenkaki (新)

ふく(拭く) [他]～を拭く piru (複数 pirpa)
 (石狩): 普通何かを拭く時には余程の怠け
 者でない限り一回の動作で終わらない。それ故
 だろうか目下単独の用例として確認される
 のは複数形のみである: 「私は机の上をきれ
 いに拭いた。」 “Kemawsita ka pirkano
 ku=pirpa.” : [他]～と共に～を拭く
 kopiru (複数 kopirpa) (新): [他](原因、
 手段)で～を拭く opiru (複数 opirpa)
 (新): [他](人)に～を拭かせる pirure (複数
 pirpare) (新): [他]自分で、一人で～を拭
 く yaykopiru (複数 yaykopirpa) (新):
 [他]皆で～を拭く ukopiru (複数
 ukopirpa) (新): [他]完全に～を拭く
 oarpiru (複数 oarpirpa) (新)、[他] arpiru
 (複数 arpirpa) (新): [他]人に～を拭いて
 もらう piruyar (複数 pirpayar) (新):
 [自]人に自分を拭かせる sipiruyar (複数
 sipirpayar) (新): [自]自分を拭く
 yaypiru (複数 yaypirpa) (新): [自]自分
 の顔を拭く yayepiru (複数 yayepirpa)

- (新): [自]床を拭く sókapiru (複数 sókapirpa) (新): [自]尻を拭く hoyayke (石狩)
- ふく(吹く)** ①(風に関して)[自]吹く as (石狩): [他]～を吹かせる aste (新): [自]激しく吹く yupke (石狩): [自]そよそよと吹く hawke (石狩): ②(口で呼吸を送る事)[他]～を吹く uku (石狩): (表現)火を吹く ape uku (石狩): (表現)膨らませるため)膀胱を吹く pise uku (石狩): [他](口を細めてフツと)～を吹く ewar (沙流)
- ふく(服)** [名]服 anmip (amip) (石狩)、[名] cimip (石狩)、[名] imi (石狩)、[名] mip(i) (石狩)、[名] cimikunip (石狩): 「私の服」はそれぞれ"ku=kor anmip"、"ku=kor cimip"、"ku=kor imi"あるいは"ku=imi"、"ku=mip"、"ku=kor cimikunip": [自]服を着る imi (石狩)、[自](雅) imup (石狩): (表現)服を着る anmip (cimip、imi、cimikunip) mi (石狩): (表現)服を脱ぐ anmip (cimip、imi、cimikunip) ama (石狩)
- ふくいん(福音)** [名]福音 pirkasonko (新): [自]人に福音を伝える ipirkasonko-eramante (複数 ipirkasonko-eramuokayre) (新): (表現)福音を伝える pirkasonko ieramante (ieramuokayre) (複数) (新): [他](人)に福音を伝える pirkasonko-eramante (複数 pirkasonko-eramuokayre) (新): (表現)福音を(人)に伝える pirkasonko ~ eramante (eramuante) (複数 eramuokayre) (新): [他](場所)で(人)に福音を伝える epirkasonko-eramante (複数 epirkasonko-eramuokayre) (新): [他]～と共に(人)に福音を伝える kopirkasonko-eramante (複数 kopirkasonko-eramuokayre) (新): [他](原因、手段)で(人)に福音を伝える opirkasonko-eramante (複数 opirkasonko-eramuokayre) (新): [他](人)に(人)に福音を伝えさせる pirkasonko-eramantere (複数 pirkasonko-eramuokayre) (新): [他]自分で、一人で(人)に福音を伝える yaykopirkasonko-eramante (複数 yaykopirkasonko-eramuokayre) (新): [他]皆で(人)に福音を伝える ukopirkasonko-eramante (複数 ukopirkasonko-eramuokayre) (新): [他]人に(人)に福音を伝えさせる pirkasonkoeramanteyar (複数 pirkasonko-eramuokayreyar) (新): [自]人に自分に福音を伝えてもらう sipirkasonko-eramanteyar (複数 sipirkasonko-eramuokayreyar) (新): [名]福音書 pirkasonkokampisos (新)、[名] euangerion (新)※(希語)
- ふくえき(服役)** [自]服役する róorun (新)、[自] ciroepanakte (新): [他]～を服役させる róorunte (新)、[他] róepanakte (新): [名]服役囚 róorunkur (新)、[名] ciroepanaktekur (新)
- フクオウソウ(福王草)** (植物)[名](キク科)フクオウソウ属 onnetesma-cise (新): [名]フクオウソウの茎葉 hukuowkikukina (新): [名]オオニガナの茎葉 onnetesma (新)
- ふくがん(複眼)** [名]複眼 sikussik(i) (新)、[名] uturasik(i) (新)
- ふくきやく(腹脚)** [名](虫)腹脚 hónuncikir(i) (新)
- ふくきょうざい(副教材)** [名]副教材 ciikooipakasnup (新)
- ふくげん(復元)** [自]復元する ihuskokatunere (新): [他]～を復元する huskokatunere (新): [他](人)に～を復元させる huskokatunerere (新): [他]人に～を復元させる huskokatuneyar (新)
- ふくごうか(複合果)** (植物)[名]複合果 uekari-ikaop(i) (新)
- ふくごうへりコプター(複合ヘリコプター)** [名]複合ヘリコプター ikokariraporikimpe (新)
- ふくさんけいかじょ(複散形花序)** [名]複散形花序 kasakorpa-apappoomakat (新)
- ふくさんぶつ(副産物)** [名]副産物 ikokarpe (新)
- ふくしゃ(輻射)** →「ほうしゃ(放射)」を見よ
- ふくしゅう(復讐)** [自]復讐する wenramhosipire (新): [他](場所)で復讐する ewenramhosipire (新): [他]～と共に復讐する kowenramhosipire (新): [他](原因、手段)で復讐する owenramhosipire (新): [他](人)に復讐させる wenramhosipirere (新): [自]人に復讐する iwenramotasa (wenramoitasa) (新)、[自] imontasa (沙流): [他](人)に復讐する wenramotasa (新)、[他] montasa (新): [他](場所)で(人)に復讐する ewenramotasa (新)、[他] emontasa (新): [他]～と共に(人)に復讐する kowenramotasa (新)、[他] komontasa (新): [他](手段)で(人)に復讐する owenramotasa (新)、[他] omontasa (新): [他](人)に(人)に復讐させる wenramotasare (新)、[自] montasare (新): [自]復讐し合う ukowenramhosipire (新)、[自]

uwenramotasa (wenramuotasa) (新)、[自] umontasa (新)
フクシュウ(福州)[場名](中華人民共和国福建省の省都名)福州 Fútow (新)
ふくしゅうさんかじよ(複集散花序)[名]複集散花序 usamumpekorpa-apappoomakat (新)
ふくしよく(副食)[名]副食 ikoep (石狩)
ふくすう(複数) (言語)[名]複数 innepcispiskip (新): [名]複数形 innepcispiskipkat(-u) (新)
ふくそう(副葬) [他] ~ を副葬する koietoytuye (新): [他] ~ を ~ に副葬する koetoytuye (新): [名]副葬品 cikoietytuyep (新)
ふくそうじょうかじよ(複総状花序)[名]複総状花序 pusaus-apappoomakat (新)
ふくそくこう(腹足綱)(魚介)[名](軟体動物門)腹足綱 hónutossamus-cikirkorpe-pet (新): [名]始祖腹足亜綱 motone-honutossamus-cikirkorpe-mopet (新): [場名]カサガイ目 kasasey-kotampa (新): [名]直腹足亜綱 oupeka-honutossamus-cikirkorpe-mopet (新): [場名]アマオブネガイ上目 nerita-kotampa (新): [場名]異鰓上目 usinnaykurki-kotampa (新): [場名]古腹足上目 husko-siutossamus-cikirkorpe-kotampa (新): [場名]新生腹足上目 asir-honutossamus-cikirkorpe-kotampa (新): [名]熱水鉱床分類群 sesekwakka-kanisoumpe-topa (新): [場名]ネオンファルス目 neomfarus-kotan (新): [場名]ワタゾコシロガサガイ上目 atuyasam-retarkasasey-kotampa (新): [名]ワタゾコシロガサガイ atuyasam-retarkasasey (新)
ふくつう(腹痛) ①[名]腹痛 oskearka (美幌): (表現) ~ が腹痛になる ~ oske arka (新): (表現) ~ を腹痛にさせる ~ oske arkare (新): ②[名]刺し込む様な腹痛 ipesikaye (石狩): [自]差し込む様な腹痛になる ipesikayeus (石狩): ②(陣痛)[名]腹痛 honiarka (新): (表現) ~ が腹痛になる ~ honi arka (石狩)
ふくどく(服毒) [自]服毒 oyaip (沙流)、[自] surkue (新): (表現)服毒自殺する surkue wa yayrayke (新)
ふくばん(腹板) [名](虫)の腹板 hónita (新)
ふくぶ(腹部) [名]腹部 hon(-i) (新)
ブクブク ①[間投](泡の出る音)ブクッ(ブクッ)、ブクリ(ブクリ) kuy (新): [間投](泡の出る音)ブクブク(ブクブク) kuyuy (新): [自](泡が)ブクブク出る kuyuyse (石狩): [他](泡)をブクブク出させる

kuyuyse (新): [自]一回ブクリという、出る kuykosanu (新): [自]ブクブクと頻りにいう、出る cikuyrototo (新)、[自] kuyrototke (新): [自]ブクブク何度もいう、出る kuyuyatki (新): [自]ブクブクといひ続けている、出続けている kuynatara (新): ②[自](水中より何かが浮かび上がるため水面が)ブクブク(ブクブク)膨れる putke (新): [自]ブクブク(ブクブク)と何度も膨れる putkeputke (石狩): 「…海の背後がブクブクと膨れていって、一匹の大きなカニが陸に上がって来た…」 “…atuy seremak putkeputke kane iki ayne sine poro amuspe yan kor an .” (杉村キナラブク)説話
ふくよう(服用) [他](薬)を服用する ruki (複数 rukpa) (新): [他](人)に ~ を服用させる rukire (複数 rukpare) (新): [他](場所)で ~ を服用する eruki (複数 erukpa) (新): [他] ~ と共に ~ を服用する koruki (複数形 korukpa) (新): [他](原因、手段)で ~ を服用する oruki (複数 orukpa) (新): [他] ~ 前に ~ を服用する etokoruki (複数 etokorukpa) (新): [他] ~ 後に ~ を服用する okaruki (複数 okarukpa) (新): [自]薬を服用する kusuriruki (複数 kusurirukpa) (新): [他](病気の薬)を服用する kokusuriruki (複数 kokusurirukpa) (新): [他](水など手段)で薬を服用する okusuriruki (複数 okusurirukpa) (新)
ふくようき(複葉機) [名]複葉機 innerap-kossinta (-korsinta) (新)
ふくらはぎ(脛脛)[場名]脛脛 rikkake (天塩)、[名] yontekkam(-i) (石狩)
ふくらむ(膨らむ) ①[自]膨らむ、膨らんでいる pisene (石狩)、[自] sekukke (沙流): [自] (“honi pise” “~ の腹が膨らむ → 満腹する”) の形で用いられ膨らむ、膨らんでいる pise (石狩): [他](場所)で膨らむ、膨らんでいる episene (新): [他](場所)へ膨らむ、膨らんでいる、 ~ と共に膨らむ、膨らんでいる kopisene (新): [他](原因、手段)で膨らむ、膨らんでいる opisene (新): [他] ~ を膨らませる pisenere (石狩)、[他] piseneka (新)、[他] seku (沙流): [他](場所)で ~ を膨らませる episenere (episeneka) (新)、[他] eseku (新): [他](場所)へ ~ を膨らませる、 ~ と共に ~ を膨らませる kopisenere (kopiseneka) (新)、[他] koseku (新): [他](原因、手段)で ~ を膨らませる opisenere (opiseneka) (新)、[他] oseku (新): [名](膨れた腹、クマの膀胱やそれを使った油入れ、サケの浮袋などの)膨れたもの pise (石狩): ②(炊いた米など)に関し

て)[自]膨らむ、膨らんで増える sipuske (石狩): [他]～を膨らませる、膨らませて増やす puske (新)

ブクリョウサイ(苳葎菜) (植物)[名](キク科)ブクリョウサイ属 tamanumkina-cise (新): [名]ブクリョウサイの茎葉 tamanumkina (新)、[名]その花 apappotamanum (新): [名]ディクロケファラ・ベンタミの茎葉 sisepmosirun-tamanumkina (新)

ふくれあがる(膨れ上がる)(水中より何かが浮かび上がるため)[自](水面が)ブクブク膨れ上がる putke (新): [自](水面が)何度もブクブク膨れ上がる putkeputke (石狩): 「…海の背後がブクブクと膨れていて、一匹の大きなカニが陸に上がって来た…」 “…atuy seremak putkeputke kane iki ayne sine poro amuspe yan kor an .” (杉村キナラブク)説話

ふくれつらをする(ふくれ面をする)[自]ふくれ面をする epututu (石狩)

ふくろ(袋) [名]袋 pukuru (石狩): (表現)大袋 poro pukuru (石狩): (表現)小袋 pon pokuru (石狩): [名]編み袋 saranip (石狩): [名]買物袋 anhkopeopukuru (新): [名]紙袋 kampipukuru (新): [名]米袋 amamopukuru (新): [名]布袋 senkakupukuru (新): [名]ビニール袋 vinirpukuru (新)

ふくろあみ(袋網) [名]袋網 urayya (石狩)、[名] otasya (天塩)

ふけ(雲脂) [名]雲脂 rusirma (石狩)

ふけつ(不潔) [自]不潔である icakkere (石狩): [自](着物などが)不潔である túrus (石狩): [名]不潔な奴、不潔な物 icakkereampe (石狩)、[名] túrusampe (石狩)

ふける(老ける) [自]老ける、ている onne (石狩): [他](人)を老けさせる onneka (onmere) (新): (表現)老け顔 onne pokon an nan(-u) (新)、(表現) onne pekor an nan(-u) (新): (表現)老けて見える onne pokon an=nukar (新)、(表現) onne pekor an=nukar (新): (表現)老け役 onne yaykar kur (新)、(表現) onnekur ne yaykar kur (新)

ふこう(不幸) [名]不幸 wenkunip (石狩)、[名] yupkep (石狩): (表現)不幸な生い立ち、不幸な人生 wensukup (新): (表現)不幸の手紙 iwente kampi (新): [自]不幸になる、不幸である wen (石狩): [他](原因)で不幸になる、不幸である ewen (石狩): [他]～を不幸にする wente (新): [自]不幸である siwenkore (新): [他](場所)で不幸である esiwenkore (新): [他]

～と共に不幸である kosiwenkore (新): [他](原因、手段)で不幸である osiwenkore (新): [他](人)を不幸にする siwenkorere (新): [自]自業自得で不幸である yaywenkore (新): [自]不幸を持って来る、不幸をもたらす wenkor (石狩): [他]～に不幸をもたらす kowenkor (新): [自](原因、手段)で不幸をもたらす owenkor (新): [他](人)に不幸をもたらさせる wenkore (新): ②(特に戦争、人の死などの凶事)[名] rorumpe (H)、[名] wempe (H)

ふごう(富豪) [名]富豪 sínonispa (石狩): [自]富豪になる、である sínonispane (新): [他](場所)で富豪になる、である esinonispane (新): [他]～と共に富豪になる、である kosinonispane (新): [他](原因、手段)で富豪になる、である osinonispane (新): [他]～を富豪にする sinonispaneka (sinonispanere) (新)

ふさ(総) [名](束ねた糸などの先をばらばらにした飾り)総 túmus (沙流)

ふさ(房) [名](ブドウの)房 ikir(-i) (石狩): (表現)ヤマブドウの房 hat ikiri (石狩)

フサアナゴ(魚介) [名](アナゴ亜目)フサアナゴ科 tumushamo-apa (新): [名]フサアナゴ属 tumushamo-cise (新): [名]フサアナゴ tumushamo (新): [名]バケフサアナゴ okokkotumushamo (新)

ふさい(負債) ①[名]負債 so (石狩)、[名] cihosipirekuniso (新): (表現)負債 an=hosipire kuni so (新): ②[自]負債を負う、抱える sóuk (石狩): (表現)負債を負う、抱える cihosipirekuniso uk (新): ③[自]負債を整理する sóhosipire (新): [他]～の負債を整理する sóhosipire (新): (表現)～の負債を整理する ～ kor cihosipirekuniso hosipire (新)、(表現) ～ sóho hosipire (新): [他](人)に～の負債を整理させる sóhosipirere (新): ④[自]負債を減らす sóponte (sóponka) (新): [他]～の負債を減らす sóponte (sóponka) (新): (表現)～の負債を減らす ～ kor cihosipireso ponte (ponka) (新)、(表現) ～ sóho ponte (ponka) (新): [他](人)に～の負債を減らせる sopontere (新)、[他] sóponkaka (sóponkare) (新): ⑤[自]人の負債を賄う isokar (新): [他]～の負債を賄う sókar (新): (表現)～の負債を賄う ～ kor cihosipirekuniso kar (新)、(表現) ～ soho kar (新): [他](人)に～の負債を賄わせる sókare (新)

フサオマンガース(総尾マンガース)(動物)[名](マンガース科)フサオマンガース属

tumusnesarkor-manguste-cise (新): [名]フサオマンガース tumusnesarkor-manguste (新): [名]クロアシマンガース cikirikunne-manguste (新): [名]ジャクソンマンガース jakson-manguste (新)

ふさがる(塞がる) [自]塞がる siseske (新)、[自] mu (八雲)、[自] muk (久保寺): [自]先端が塞がる esiseske (新)、[自] emu (emuk) (新): [自]末端が塞がる osiseske (新)、[自] omu (omuk) (新)

ふさぐ(塞ぐ) [他](穴などを)塞ぐ seske (石狩)、[他] mukka (久保寺): (表現)穴を塞ぐ suy seske (石狩): [他](場所)で～を塞ぐ eseske (新): [他]～と共に～を塞ぐ koseske (新): [他](原因、手段)で～を塞ぐ oseske (新): [他](人)に～を塞がせる seskere (石狩)、[他] mukkare (新): [他]自分で、一人で～を塞ぐ yaykoseske (新): [他]互いに、皆で～を塞ぐ ukoseske (新): [他]完全に～を塞ぐ oasseske (asseske) (新): [他](中相)～が塞がれる ciseske (石狩): [自]先端を塞ぐ heseske (新): [他]～の先端を塞ぐ eseske (新): [自]末端を塞ぐ hoseske (新): [他]～の末端を塞ぐ oseske (新)

ふさく(不作) [自]不作になる、不作である kemian (沙流)、[自] haruecuptek (沙流): [他]～を不作にする kemiant (新)

ふさわしい(相応しい) [他]～が相応しい kotom (新): [他]～が～に相応しい kotomka (石狩): [他]～が自分に相応しい yaykotomka (石狩): [他]～が皆に相応しい ukotomka (新)

プサン(釜山) [名](大韓民国の都市名)釜山広域市 Pusan-sepsisserkesi (新): [場名](通称として)釜山 Pusan (新)

ふし(節) ①(植物の関節状の)[名]節 ik(i) (石狩): (表現)竹の節 topiki (石狩): ②(植物の瘤状の)[名]節 hom (石狩): [名]木の節 nihom (石狩): ③(節回し)[名]節 sa (石狩)、[名] sáke (石狩): [自](散文の物語や、特に本来節をつけて謡うべき神謡、英雄詞曲を)節を付けずに語る irupaye (石狩): [他]～を節を付けずに語る rupaye (石狩)、[他] rucaye (H): [他]～を節を付けて語る sákoye (H): [自](神祈などで)節をつけ大きな声で祈詞を唱える sinotcakoytak (石狩)

フジ(藤) ①[名](マメ亜科)フジ属 húji-cise (新): [名]フジ(ノダフジ)の茎 húji (新) ※: [名]フジの葉 húji-ham (新): [名]フジの花 húji-apappo (-nonno) (新): [名]アメリカフジの茎 amerika-huji (新): [名]シナフジの茎 cína-huji (新): [名]シ

ロバナフジの茎 eretar-huji (新) ※(フジの品種): [名]ナツフジの茎 sakpiraske-huji (新) ※(夏咲き藤): [名]ヤマフジ(ノフジ)の茎 kimun-huji (新): ②[名]藤衣 húji-cimip (新): [名]藤棚 hújisan (新): [名]藤布 húji-sankaki (新): ③[自]藤色になる、である húji-irone (新)、[自] húji-apappo-irone (新): [他]～を藤色にする、藤色に染める húji-ironeka (-ironere) (新): [名]藤色 húji-iro (新)、[名] húji-apappo-iro (新)

ふし(不死) [自]不死である raysak (新)、[自] isamsak (新)、[自] semray (新): (表現)不死である somo ray (新): [名]不死者 raysakkur (新)、[名] isamsakkur (新)、[名] semraykur (新): [名]不死鳥 raysakcikap (新)、[名] isamsakcikap (新)、[名] semraycikap (新)

ぶじ(無事) [副]無事に apunno (石狩)、[副] apunnopo (石狩)、[副](雅) orapunno (石狩): (表現)何事も無事に(何にも躓く事無く) nep an yakka epetciwsakno (新) ※(沙流方言より"epetciwsakno"を借用。)

ふしあな(節穴) ①[名]節穴 hompuy(-e) (天塩): [名]木の節穴 nihompuy(-e) (天塩): ②[自]目が節穴である siknak (石狩): 「お前の目は節穴か?」 "E=siknak ki ya?"

ふしぎ(不思議) ①[副]不思議に katkiko (石狩): (表現)不思議だ katkiko an (石狩): 「何とも不思議な夢を見たものだ。」 "Nep ta katkiko wentarap awan!" (砂沢クラ): ②[自]不思議に思う ioyamokte (石狩): [他]～を不思議に思う oyamokte (石狩): [他]～と共に～を不思議に思う kooyamokte (新): [他](原因、手段)で～を不思議に思う ooyamokte (新): [他](人)に～を不思議に思わせる oyamoktere (新)

ふしまわし(節回し) [名]節回し sa (石狩)、[名] sáke (石狩)

フジャイラ [場名](アラブ首長国連邦の首長国名)フジャイラ Fujayra (新)

ふじゆう(不自由) ①(年をとって)[自]体が不自由になる、なっている ihapine (石狩)、[自] ponepase (石狩): ②(病気などで)[自]体が不自由になる、なっている ihapine (石狩)、[自] iyap (幌別)、[自] nicine (沙流)

ふじゅつ(巫術) [自]巫術を行う tusu (石狩): [名]巫術を行う男性 tusukur (石狩): [名]巫術を行う老婆 tusuhuci (石狩): [名]巫術を行う女性 tusumenoko (石狩)

ブジュンブラ [場名](ブルンジ共和国の首都名)

ブジュンブラ Bujumbura (新)
ふじょ(婦女) [名]婦女子 menoko (石狩)、
 [名](雅) mataynu (石狩): [名]婦女詞曲
 menokoyukar (石狩): [自]婦女詞曲を謡
 う menokoyukar (石狩)
ふしょう(負傷) [自]一か所を負傷する píroma
 (石狩): [自]何か所も負傷する píro (石
 狩)、[自] sipireta (新): [他](人)を負傷さ
 せる píromare (新): [自]皆を負傷させ
 せる upiromare (新): [自]人を何か所も負
 傷させる ipireta (新): [他]~を何か所も
 負傷させる pireta (沙流): [他](人)に(人)
 を何か所も負傷させる piretare (新):
 [自]皆を何か所も負傷させる upireta
 (新): [自]負傷する yayuninkare (天塩):
 [他](人)を負傷させる uninkare (新)
ふしょく(腐食) [自]腐食する munin (新):
 [他](場所)で腐食する emunin (新): [他]
 ~と共に腐食する komunin (新):
 [他](原因)で腐食する omunin (新): [他]
 ~を腐食させる muninka (muninte)
 (新): [自]完全に腐食する oarmunin
 (armunin) (新): [自]ひどく腐食する
 sirkomun (石狩)
ふじょし(腐女子) [名]腐女子 muninmenoko
 (新)、[名] hujosi (新)※(日本語)
プシロリンクス (魚介)[名](コイ目)プシロリン
 クス科 pusirorinkus-apa (新)※(学名)
ふしん(不審) (表現) 不 審 で あ る
 an=oyamokte (新): (表現)不審な点
 an=oyamokte p (新): (表現)不審な箇所
 an=oyamokte hi (新): [名]不審者
 cioyamoktekur (新): (表現)不審者
 an=oyamokte kur (新)
ふじん(夫人) [名]夫人 katkemat (石狩):
 (表現)~の夫人 ~kor katkemat (石狩)
ふずい(不随) [自]不随になる、である réne
 (沙流): [他]~を不随にさせる rénere
 (新): [自]完全に不随になる、なっている
 oanrene (anrene) (新)
ふすう(負数) (数学)[名]負数 iewen-cipiskip
 (新)、[名] minus-cipiskip (新)
プスコフ [場名](ロシア連邦北西連邦管区の
 構成主体名)プスコフ州 Puskof-purovince
 (新): [場名](プスコフ州の州都名)プスコフ
 Puskof (新)
プスリ (矢などが刺さる音)[間投]プスリ、プス
 リ ror (新): [間投]プスリプスリ、プスリ
 プスリ ronror (新): [自]プスリ、プスリ
 と音がする rosse (rorse) (新): [自]プス
 リプスリ、プスリプスリと音がする
 ronrosse (ronrorse) (新): [自](一回)プス
 リ、プスリと鳴る、刺さる rorkosanu (新)、
 [自] rorkosampa (新): [他]~にプスリ、

プスリと刺さる kororkosanu (沙流)、[他]
 korkosanu (沙流): [自]プスリプスリ、プ
 スリプスリと頻りに鳴る、頻りに刺さる
 cironrototo (新)、[自] cironrototke (新):
 [自]プスリプスリ、プスリプスリと続けて鳴
 る、刺さる ronnatara (新): [自](瞬間的
 に)プスリ、プスリと鳴る、刺さる rottek
 (新)
プセウドバルブス (魚介)[名](コイ目コイ科コ
 イ 亜 科) プ セ ウ ド バ ル ブ ス 属
 puseudobarbus-cise (新)※(学名)
ふせぎまもる(防ぎ守る) [自]防ぎ守る
 ikikkar (新): [他]~を防御する kikkar
 (沙流): (表現)~を防ぎ守る ~ kiki kar
 (沙流): [他](場所)で~を防ぎ守る
 ekikkar (新): [他]~と共に~を防ぎ守る
 kokikkar (新): [他](原因、手段)で~を防
 ぎ守る okikkar (新): [他](人)に~を防
 ぎ守らせる kikkare (新): [他]自分で、
 一人で~を防ぎ守る yaykokikkar (新):
 [他]互いに、皆で~を防ぎ守る ukokikkar
 (新): [他]完全に~を防ぎ守る oarikkar
 (新): [他]充分に~を防ぎ守る kikkanno
 (kikkannu) (新)
ふせぐ(防ぐ) [自]物を防ぐ ioikikkar (新):
 [他]~を防ぐ oikikkar (新): [他](場所)
 で~を防ぐ eoikikkar (新): [他]~と共
 に~を防ぐ kooikikkar (新): [他](原因、
 手段)で~を防ぐ ooikikkar (新):
 [他](人)に~を防がせる oikikkare (新):
 [他]自分で、一人で~を防ぐ yaykooikikkar
 (新): [他]互いに、皆で~を防ぐ
 ukooikikkar (新): [他]完全に~を防ぐ
 oaroikikkar (新): [他]充分に~を防ぐ
 oikikkanno (oikikkannu) (新)
ふせつ(敷設) [自]敷設する ituriri (新):
 [他]~を敷設する turiri (新): (表現)~
 を敷設する turiri wa ama (新): [他](場
 所)に~を敷設する eturiri (新): [他]~
 と共に~を敷設する koturiri (新):
 [他](原因、手段)で~を敷設する oturiri
 (新): [他]~に~を敷設させる turirire
 (新): [名]敷設艦 ituriri-tumicip (新):
 [名]敷設船 ituriricip (新): [名]敷設艇
 ituriri-tumicippo (新): [名]特設敷設艦
 citumicipnere-ituriricip (新): [名]特設敷
 設艇 citumicipnere-ituriricippo (新)
ふせつ(附節) [名](虫の脚の)附節 ureik(-i)
 (新)
ぶそう(武装) [自]武装する hayok (石狩):
 [他](時、場所)で武装する ehayok (新):
 [他]~と共に~で武装する kohayok (新):
 [他](原因、手段)で~を武装させる ohayok
 (新): [他](人)に武装させる hayokte

(新): [自]自分で、一人で武装する yaykohayok (新): [自]皆で、互いに武装する ukohayok (新): [自]充分に武装する hayokno (hayoknu) (新): [自]完全に武装する oarhayok (arhayok) (新): [自]思い切り武装する toykohayok (新)

ふそく(不足) ①[自]不足する hayta (石狩): [他](場所)で不足する ehayta (新): [他]～と共に不足する kohayta (新): [他](原因、手段)で不足する ohayta (新): [他]～を不足させる haytare (新): ②[他]～が不足する ehayta (石狩): [他]～と共に～が不足する koehayta (新): [他](原因、手段)で～が不足する oehayta (新): [他](人)に～を不足させる ehaytare (新)

ブダ (歴史)[場名](ハンガリーのドナウ川西岸にあった都市名)ブダ Búda (新)※(1873年ベスト、オーブダと合併し「ブダペスト」となる)

ふた(蓋) [名]蓋 puta (石狩)、[名] kamup (天塩): (表現)蓋を開ける puta maka (石狩): (表現)蓋をサッと開ける puta maktekka (新): (表現)～に蓋をする ～ puta usi (石狩): [他](場所)を蓋となって覆う eputakamu (沙流): 「マタタビの蔓が生えて私の上を蓋となって覆った。」 “Matatampu-punkar hetuk ayne en=enkasike eputakamu .”

ふだ(札) [名]札 hunta (石狩)

ブタ(豚) ①(動物)[名](イノシシ属)ブタ puta (石狩)、[名] cireskaputa (新): ②[名]雄豚 pinne-puta (新): [名]雌豚 matne-puta (新): [名]子豚 putapo (新)、[名] pomputa (新): ③[名]豚肉 putakam (新)、[名] putaharu (新): [名]豚の毛皮 putaur (新): [名]豚革 putatonto (新): [名]豚皮、豚革の靴 putaker(-i) (石狩)

ぶたい(舞台) [場名]舞台 upopousi (新)[場名] rimseusi (新)

ふたえまぶた(二重瞼) [名]二重瞼 tukap(-u) (石狩)

ブタクサ(豚草) (植物)[名](キク科)ブタクサ属 iapappoko-osiyeyeremun-cise (新): [名]ブタクサの茎葉 iapappoko-osiyeyeremun (新)※(人を花粉で病気にさせる草)、[名]その花 ikoosiyeyerep (新): [名]オオブタクサの茎葉 poroiapappoko-osiyeyeremun (新)※(別名「クワモドキ」)

ふたご(双子) ①[名]双子 esikop (石狩): [名]双子の兄弟 tuokkay (石狩): [名]双子の姉妹 tumenoko (石狩): ②(宇宙)[場名]双子座 Esikop(-so) (新)

ふたたび(再び) [副]再び kanna (石狩)、

[副] suy (石狩): (表現)また再び kanna suy (石狩)、(表現) kanna kanna (石狩)

ふたつ(二つ) [名]二つ、二匹、二個など tup (石狩)、[名] tuppis (八雲): (表現)星二つ nociw tup (新): [連体]二つの tu (石狩): (表現)二つの星 tu nociw (新): [副]二つに tupne (石狩): 「私は魚を二つに切った。」 “Tupne cep ku=tuye .”: (表現)二つとも tup ka ne wa (沙流): 「私は二つとも取った。」 “Tup ka ne wa ku=uk .”: [自]二つで一組になる、である uesinepne (新)、[自] túp-esinepne (新): [他]～を二つで一組にする uesinepneka (uesinepnere) (新)、[他] túp-esinepneka (túp-esinepnere) (新): [名]二つ入口がある穴に住む悪い熊 tuapakorpe (石狩): [自]二つの穴をあける ukosuykar (石狩): (表現)貫通して抜けて来る ukosuykar ek (石狩)

フタナミソウ(二並草) (植物)[名](キク科)フタナミソウ属 repuysirkunawkina-cise (新): [名]フタナミソウの茎葉 repuysirkunawkina (新)※(別名「フタナミタンポポ」): [名]キクゴボウの茎葉 repunkunawmukkina (新)、[名]その根 repunkunawmuk (新)※(別名「キバナノバラモンジン(バラモンジン属の同名種に注意)」、「ブラックサルシファイ」、「西洋黒ゴボウ」): [名]スコルゾネラ・アウストリアカの茎葉 estenraixun-repuysirkunawkina (新): [名]スコルゾネラ・サギズの茎葉 gumrepunkunawkina (新): [名]スコルゾネラ・フミリスの茎葉 ponnupun-repuysirkunawkina (新)

ブタバナコウモリ(豚鼻蝙蝠) (動物)[名](コウモリ目)ブタバナコウモリ科 putaetukapap-apa (新): [名]ブタバナコウモリ属 putaetukapap-cise (新): [名]ブタバナコウモリ putaetukapap (新)

ブタバナスカンク(豚鼻スカンク) (動物)[名](スカンク科)ブタバナスカンク属 putaetukor-sukunku-cise (新): [名]ブタバナスカンク putaetukor-sukunku (新): [名]アマゾンスカンク amazonun-sukunku (新): [名]アルゼンチンスカンク arxentinaun-sukunku (新): [名]アンデススカンク andes-sukunku (新): [名]テキサスブタバナスカンク teksasumputaetukor-sukunku (新): [名]パタゴニアスカンク patagoniaun-sukunku (新): [名]ペルースカンク peruun-sukunku (新)

フタフシアリ(二節蟻) (昆虫)[名](アリ科)フタフシアリ亜科 tuikoma-itunnap-moapa

(新): [名] アゴウロコアリ属 sikiteramram-itunnap-cise (新): [名] アシナガアリ属 (新): [名] アミメアリ属 siksirki-itunnap-cise (新): [名] イバリアリ属 yantokor-itunnap-cise (新): [名] ウメマツアリ属 ikiriusaraye-itunnap-cise (新): [名] ウロコアリ属 ramram-itunnap-cise (新): [名] オオズアリ属 eporoitunnap-cise (新): [名] カクバラアリ属 oratki-itunnap-cise (新): [名] カドフシアリ属 hocari-macitunnap-cise (新): [名] カレバラアリ属 karebara-itunnap (新): [名] クロナガアリ属 púkoritunnap (新): [名] クシケアリ属 kiraynumaus-itunnap-cise (新): [名] シリアゲアリ属 osorpuni-itunnap-cise (新): [名] シワアリ属 yomyom-itunnap (新): [名] タカムネボソアリ属 kimunpenramuane-itunnap-cise (新): [名] ツヤクシケアリ属 nipekotkiraynu-mausitunnap-cise (新): [名] トフシアリ属 topattumi-itunnap-cise (新): [名] ナガアリ属 tanneitunnap-cise (新): [名] ハキリアリ属 hamtuyye-itunnap-cise (新): [名] ハダカアリ属 atusaitunnap-cise (新): [名] ヒゲブトアリ属 rekiruwe-itunnap-cise (新): [名] ヒメアリ属 moitunnap-cise (新): [名] ヒメハキリアリ属 mohamtuyye-itunnap-cise (新): [名] ミゾガシラアリ属 etunayoma-itunnap-cise (新): [名] ムネボソアリ属 aspaitunnap-cise (新): [名] ヨコヅナアリ属 kanitumi-itunnap-cise (新)

ブダベスト [場名] (ハンガリー共和国の首都名) ブダベスト Budapest (新)※(1873年ベスト、ブダ、オーブダが合併して成立)

ふたまた(二股) ①[自]二股になる、なっている tupne (新): [副]二股に tupne (新): (表現)二股に枝分かれする tupne teke ukohopi (ukooi) (新): ②[名]川の二股 petaw (H)、[名] petanu (表現)、[名] peteukopi (H): (表現)(雅)二股になった川があり、川尻が出会う所に tupetne pet an pétouekari hi ta (新)

フタマタタンポポ(二股蒲公英) (植物)[名](キク科)フタマタタンポポ属 tusapa-kunawkina-cise (新): [名]フタマタタンポポの茎葉 tusapa-kunawkina (新)、[名]その花 tusapa-kunaw (新): [名]エゾタカネニガナの茎葉 iwaysapa-kunawkina (新): [名]モモイロタンポポの茎葉 ruhure-iwaysapa-kunawkina (新)※(別名「センボンタンポポ」): [名]ヤネタピラコの茎葉 repun-iwaysapa-kunawkina (新)
フタユビナマケモノ(二指怠者) (動物)[名](ナ

マケモノ亜目)フタユビナマケモノ科 tuaskepetkor-ikimoyrep-apa (新): [名]フタユビナマケモノ属 tuaskepetkor-ikimoyrep-cise (新): [名]フタユビナマケモノ yayan-tuaskepetkor-ikimoyrep (新): [名]ホフマンナマケモノ hofman-tuaskepetkor-ikimoyrep (新)

ふたり(二人) [名]二人 tun (石狩)、[名]tunpis (八雲): (表現)女性二人 menoko tun (石狩): [連体]二人の tu (石狩): (表現)二人の女性 tu menoko (石狩): [自]二人になる、二人である tunne (新): [副]二人で tunne (石狩): (表現)二人で tun ne wa (石狩): 「私達は二人で暮しています。」“Tunne okay=as ruwe ne (=Tun ci=ne wa okay=as).”: (表現)二人とも tun ka ne wa (新): 「私は二人とも殺した。」“Tup ka ne wa ku=rayke.”: (表現)二人きりになる tun patek ne (新): [自](男女が)二人きりである oaynusak (石狩): [副](男女が)二人きりで oaynusakno (石狩): [自]二人が幸せになる、である uepirka (石狩): [自]二人が不幸せになる、である uewen (新): [自](舟に)二人一組で乗り組む uetunus (石狩): 「…神の女が船の真ん中に座っていて私の夫と私の兄が二人一組で乗り組んでいて…」“…kamuymenoko cip noski ta a kane an tek an=hoku, a=yupih uetunus ine…”(杉村キナラブック)説話: [自]二人一組でする iueki (新): (表現)二人一組です、行動する tún-esinepne iki (新): [他]二人一組で～をする ueki (新): (表現)二人一組で～する tún-esinepne ki (新): [他](人)に二人一組で～をさせる uekire (新): (表現)(人)に二人一組で～させる tún-esinepne kire (新): [自]二人一組になる uesinepne (新)、[自] tún-esinepne (新): [他](人)を二人一組にする uesinepneka (uesinepnere) (新)、[他]tún-esinepneka (tún-esinepnere) (新)

ふたりべや(二人部屋) [名]二人部屋 tuneiwanke-tumpu (新)

ふち(縁) [位名]～の縁 páru(長形・ke) (石狩)、[位名] páru (石狩): [位名](長形)(parurより外側の)～の縁 cáke (天塩)

ぶち(斑) [名]斑 kes(i) (石狩)、[名]keskes(i) (石狩)、[名]sirki (新): [自]～に斑ができる、斑がある keso (新)、[自]keskeso (石狩)、[自]sirkio (石狩)

ふち(淵) [名]淵、水が深く淀んでいる所 hattar(i) (H): [場名]淵の水が流れ出る所 hattaroput (hattaropuci, hattaroputu)

(石狩): [名]淵、古川や小川の深み memhattar(i) (石狩)

ふちどり(縁取り) [場名] 縁取り cikarkariparur(ke) (新): [自]縁取りする iparurkarkar (新): [他]~に縁取りする p̄arurkarkar (新): [場名]一番外側の縁取り cikarkarcake(cikarkatcake) (新)
ぶちまける [他]背後にぶちまける makokuta (沙流): (表現)(雅)(敵を傷つけ)~の小さな肉片、大きな肉片を背後にぶちまける nokan kamnoci rupne kamnoci makokuta (=kocarikar) (沙流)

ふつう(普通) [連体]普通の yayan (石狩)
ふつうゆうびんきょく(普通郵便局) [名]普通郵便局 yayan-ieikrauscise (新)

ふつうれんが(普通煉瓦) [名]普通煉瓦 yayaysumatoy (新)

ふつか(二日) [場名]二日 tuto (石狩)、[場名](雅) tutko (石狩): (表現)二日酔になる、二日酔である sake okake wen (H): 「私は二日酔になった。」 “Sake okake ku=wen .”

ぶっかける [他]~に液をぶっかける kopeke (新): [他]~に汁をぶっかける koohawke (新)、[他] korurke (沙流): [他]~に熱湯をぶっかける kopopwakkake (新): [他]~に水をぶっかける kowakkake (沙流): [他]~に湯をぶっかける kosesekawakkake (新)

ふっかつ(復活) [自]復活する kannasiknu (新)、[自] siknu (石狩): [他](場所)で復活する ekannasiknu (新): [他]~と共に復活する kokannasiknu (新): [他](原因、手段)で復活する okannasiknu (新): [自]自分で、一人で復活する yaykokannasiknu (新): [自]皆で、互いに復活する ukokannasiknu (新): [自]完全に復活する oarkannasiknu (arkannasiknu) (新): [他](発話者の行為として)~を復活させる kannasiknuka (新): [他](発話者以外の行為として)~を復活させる kannasiknure (新): [名]復活祭 pasxa (新)※(希語)※(イースター。正教会では「復活大祭」、「パスハ」)

ぶつかる ①(場所に)[他](場所)にぶつかる osma (石狩): [他](時)に(場所)にぶつかる eosma (新): [他]~と共に(場所)にぶつかる koosma (新): [他](原因、手段)で(場所)にぶつかる oosma (新): [他]~を(場所)にぶつからせる osmare (新): [他]ぶつかり合う uosma (石狩): (表現)風が大海とぶつかり合う rera siatuyenrur uosma (石狩): [他]~の先端にぶつかる eosma (新): [他]~の末端にぶつかる

oosma (新): ②(人や物に)[自]人や物にぶつかる itomosma (新): [自]人にぶつかる untomosma (新): [連他]~にぶつかる tomo-osma (tom-osma) (石狩): 「屋根から氷の塊が落ちてそれが私の頭に当たった。」 “Cisekitay ka wa konrutak tusse wa ku=sapa tom-osma .”: [他]~を自分にぶつからせる yaytomosmare (新): [自]ぶつかり合う utomosma (新): [他]~をぶつかり合わせる utomosmare (新): ③(何かの運動に付随して何かが何かに当たる事)[自]辺りにぶつかる sisirekikkar (新): [他](中相)~が辺りにぶつかる cisirekikkar (新): [自]物にぶつかる isiekikkar (新): [他](物)にぶつかる siekikkar (新): [他](中相)~が~にぶつかる ciekikkar (新): [他]~に一回ぶつかる siekik (新): [他](中相)~が~に一回ぶつかる ciekik (新): [他]~に何回もぶつかる siekikkik (新): [他](中相)~が~に何度もぶつかる ciekikkik (新)

ふっくら [自]ふっくら炊き上がる sipuske (石狩): [他]~をふっくら炊き上げる sipuskere (新)

ぶつける ①(物を投射するなど、狙ってある物に当てる事)[自]人、物にぶつける icotca (新): [自]人にぶつける uncotca (新): [他]~にぶつける cotca (石狩): [他](人)に~にぶつけさせる cotcare (新): [他]~に思い切りぶつける toykocotca (石狩): ②(物を投射するなど、狙ってある物を当てる事)[自]物をぶつける ieak (新): [他]~をぶつける eak (石狩): [他](人)に~をぶつけさせる eakte (新): [他]~を思い切りぶつける toykoeak (石狩): ③(動作主が運動する事で何か何かに当たる事)[自]辺りに人、物をぶつける isirekikkar (新): [他]辺りに~をぶつける sirekikkar (新): [他]~に人、物をぶつける iekikkar (新): [他]~に~をぶつける ekikkar (石狩): [他](人)に~に~をぶつけさせる ekikkar (新): [他]~に~を一回ぶつける ekik (新): [他]~に~を何度もぶつける ekikkik (新): [他]~を木に何回もぶつける enikikkik (沙流): 「この荷物はとても重いので、お前が背負われたら木にぶつけて回るのではないかと危ぶまれる。」 “Tan sike sonno pase kusu e=sere=an yakun e=enikikkik kunihi cieeyamkar .”

フッケンショウ(福建省) [場名](中華人民共和国の省名)福建省 Fúcian-purovince (新)

ぶっころす(ぶっ殺す) [自]人をぶっ殺す aynutoykorayke (新)、[自] itoykorayke (新): [他]~をぶっ殺す toykorayke (石

狩): 「…さもなければ今わしがお前をぶつ殺すからな…」 “…somo ne yak tane e=toykorayke=an kusune na …” (杉村キナラブック)神謡: [他](場所)で～をぶつ殺す etoykorayke (新): [他]～と共に～をぶつ殺す kotoykorayke (新): [他](原因、手段)で～をぶつ殺す otoykorayke (新): [他](人)に～をぶつ殺させる toykoraykere (新)

ぶっこわす(ぶつ壊す) [他]～をぶつ壊す、ぶち破る cattektek (沙流): (表現)檻をぶつ壊す、ぶち破る set cattektek (沙流)

フッサ [間投](魔祓いのための声)フッサ hussa (石狩): [自](雅)フッサという声を出す husse (石狩): [他](人)にフッサという声を出す hussayekar (石狩)

ぶっしつ(物質) [名]物質 ramatcakpe (新)、[名] cioikarpe (新)、[名] materia (新) ※(羅語)

ブッシュバック (動物)[名](ウシ亜科)ブッシュバック族 hastayorkokira-yukpeko-utar (新): [名]ブッシュバック属 hastayorkokira-yukpeko-cise (新): [名]ブッシュバック hastayorkokira-yukpeko (新)※(インババラとケウエルが別種と認識される前の区分): [名]インババラ imbabara (新): [名]クーズー sīkudu (新)、[名] kúdu (新): [名]ケウエル kéwer (新): [名]シタツンガ šitatunga (新): [名]ニアラ niyara (新): [名]ボンゴ bongo (新): [名]マウンテンニアラ kimun-niyara (新): [名]レッサークーズー mokudu (新)

フッソ(フッ素) (化学)[名]フッ素 furuor (新)※(原子番号9番。元素記号 F)

ぶったい(物体) [名]物体 ikew(-e) (新)、[名] cioikarpekew(-e) (新)、[名] cioikarpe-netopa (-netopake) (新)

ぶったたく(ぶつ叩く) ①[他]～をぶつ叩く toykokikkik (石狩): ②(何か物を使って)[他]～をぶつ叩く toykikkar (石狩): 「…そこで權で彼をぶつ叩き殺すぞ!」 “…ekota asap ani an=toykikkar, an=rayke na!” 砂沢クラ

ふっとう(沸騰) [自]沸騰する pop (石狩): (表現)鍋が沸騰している su pop kor an (石狩): [他]～を沸騰させる popte (石狩): (表現)水を沸騰させる wakka popte (石狩): [他]～を(炉の中など)地面に直に置き沸騰させる sirepoppe (sirepoppe) (石狩): 「…葉が入った小鍋を私は地面に直に置いて、それから私の兄達を看病して…」 “…kusuri o poysu ay=sirepoppe ine orano a=yup-utari kasi=an=oyki ayne…” (杉村キ

ナラブック)説話

ぶつとばす(ぶつ飛ばす) [他]～をぶつ飛ばす tusseka (石狩)、[他] tussere (新)※(沙流方言など“tursere”): [他](殴ったりして)手で～をぶつ飛ばす teketusseka (teketussere) (新)※(沙流方言“teketursere”): [他](蹴ったりして)足でぶつ飛ばす cikiretusseka (cikiretusere) (新)、[他] ureetusseka (ureetusere) (新)

ふつとぶ(吹っ飛ば) [自]吹っ飛ばす tusse (石狩): [他](場所)にふっ飛ばす、～と共に kotusse (新): [他](場所)から吹っ飛ばす、(原因、手段)で吹っ飛ばす otusse (新): [他](原因、手段)でふっ飛ばす etusse (石狩): [自]完全にふっ飛ばす oattusse(attusse) (新): [他](投げる、蹴るなどの行為により)～を吹っ飛ばす tusseka (石狩)、[他] tussere (新): [他](場所)に～を吹っ飛ばす、～と共に～を吹っ飛ばす kotusseka (新): [他](場所)から～を吹っ飛ばす、(原因、手段)で～を吹っ飛ばす otusseka (新): [他](手段)で～を吹っ飛ばす etusseka (新): [他]完全に～を吹っ飛ばす oattusseka (attusseka) (新)

ぶっぱなす(ぶつ放す) [他](鉄砲を)～にぶつ放す toytukan (石狩)

ふで(筆) [名]筆 hunte (沙流)、[名] hude (石狩)

ふてい(不貞) [名]不貞 hoiyo (石狩)、[名] setapuri (石狩): [自]不貞を働く hoiyo (石狩): (表現)不貞をはたらく setapuri kor (石狩)

ふでいれ(筆入) [名]筆入 cioinuyepop (新)

ふてくされる(不貞腐れる) [自](不貞腐れて)ふくれ面をする epututu (石狩): (表現)不貞腐れて何もしない apeoyse okkayo néno iki (新)

ふでしょうが(筆生姜) [名]筆生姜 hunte-sioga (新)、[名] huntene-sioga (新)

ふてね(不貞寝) [自](腹が立ったり悲しかったりして、着物や布団などを頭からかぶって)不貞寝する hemuye (石狩)、[自] hemuymuye (石狩): 「…私の小袖に頭を突っ込み不貞寝し、横になって…」 “…an=mi kosonte a=paeciwe emuye=an, hotke=an hine…” (杉村キナラブック)神謡、「…育ての兄さんの夜着の懷に入り、泣きながら着物を頭から被って不貞寝していました…」 “…iresuyupo kor hotkekosonteupsor an=koahun cis=an kor emuymuye=as kor okay=as…” (砂沢クラ)婦女詞曲: [自]泣きながら不貞寝する ciskohemuymuye (石狩)

ふとう(不当) [自]不当である somo-

oupekanō (新)、[自] somo-motokonno (新): [他](原因、手段)で、～に関して不当である osomo-oupekanō (新)、[他] osomo-motokonno (新): [他]～を不当とする somo-oupekanoka (新)、[他] somo-motokonoka (新): [他](場所)で～を不当とする esomo-oupekanoka (新)、[他] esomo-motokonoka (新): [他]～と共に～を不当とする kosomo-oupekanoka (新)、[他] kosomo-motokonoka (新): [他](原因、手段)で、～に関して～を不当とする osomo-oupekanoka (新)、[他] osomo-motokonoka (新): [他](人)に～を不当とさせる somo-oupekanokare (新)、[他] somo-motokonokare (新): [他]自分で、一人で～を不当とする yaykosomo-oupekanoka (新)、[他] yaykosomo-motokonoka (新): [他]互いに、皆で～を不当とする ukosomo-oupekanoka (新)、[他] ukosomo-motokonoka (新): [他]全く～を不当とする assomo-oupekanoka (新)、[他] assomo-motokonoka (新): [他]思い切り～を不当とする toykosomo-oupekanoka (新)、[他] toykosomo-motokonoka (新)

ふどうとく(不道德) [自]不道德な行為をする hoioy (石狩): [名]不道德な行為をする人 hoioy (石狩)

フトオアゲハ(太尾揚羽) (昆虫)[名](アゲハチョウ族)フトオアゲハ属 sararuwe-kitomarewrew-cise (新): [名]フトオアゲハ sararuwe-kitomarewrew (新): [名]シナフトオアゲハ atuyya-sararuwe-kitomarewrew (新)

ふとく(太く) [自]太くなる、太い ruwe (石狩): [他](場所)で太くなる、太い eruwe (新): [他]～と共に太くなる、太い koruwe (新): [他](原因、手段)で太くなる、太い oruwe (新): [他]～を太くする ruweka (ruwere) (新): [自]充分太くなる、太い ruweno (ruwenu) (新): [自]完全に太くなる、太い oanruwe (anruwe) (新): [自]ひどく太くなる、太い toykoruwe (新): [自]頭、先端が太くなる、太い eruwe (新): [自]尻、性器、末端が太くなる、太い oruwe (新): [副]太く ruwe(-no) (新)

ふところ(懐) [名]懐 ussor(-o) (石狩)、[名] upsor(-o) (石狩): [他]～を懐に入れる ussoromare (upсорomare) (石狩): [他](刀)を懐に吞む honturasire (石狩)

ふとづな(太索) [名]太索 ruweharkika (新)

ふとる(太る) ①(人や動物に関して)[自]太る、太っている kámus (石狩): [他]～を太ら

せる kámusi (新): ②(魚に関して)[自]太る、太っている mímus (石狩): [他]～を太らせる mímusi (新)

ふとん(布団) ①[名](綿など入った)布団 tarpe (石狩)、[名] yonki (八雲): (表現) 布団 hotke wata (天塩): [名]布団針 ánekem(-i) (石狩): ②[名](昔夜具として用いた)着物 hotkeimi (石狩)

フナ(鮎)(魚介)[名](コイ亜科)フナ属 tócep-cise (新): [名]オオキンブナ síkonkani-tocep (新): [名]キンブナ konkani-tocep (新): [名]ギンブナ tócep (沙流): [名]ゲンゴロウブナ sísamtocep (新): [名]テツギヨ yayankanitocep (新): [名]ナガブナ tannetocep (新): [名]ニゴロブナ susinetocep (新): [名]プルシアンカーブ rossiyatocep (新): [名]ヨーロッパブナ europatocep (新): [名]ヒブナ húretocep (新)

ブナ(樺)(植物)[場名](古生花被植物亜綱)ブナ目 pirani-kotan (新): [名]ブナ科 pirani-apa (新): [名]ブナ属 pirani-cise (新): [名]ブナの茎 retar-pirani (新)※(別名「シロブナ」): [名]アメリカブナの茎 amerika-pirani (新): [名]イヌブナの茎 kunne-pirani (新)※(別名「クロブナ」): [名]エングラブナの茎 engurer-pirani (新): [名]オリエントブナの茎 orientopirani (新): [名]タイワンブナの茎 taywampirani (新): [名]テリハブナの茎 ki-pirani (新): [名]ファグス・ロンギペトラタの茎 koypokatuyya-pirani (新): [名]メキシコブナの茎 mexiko-pirani (新): [名]ヨーロッパブナの茎 europa-pirani (新): [名]カクミガシ属 resikkewkonnisewo-cise (新): [名]クリ属 yamni-cise (新): [名]コナラ属 péroni-cise (新): [名]シイ属 nisewraytao-cise (新): [名]トゲガシ属 tumpunu-nisewraytao-cise (新): [名]ナンキョクブナ属 koypokpirani-cise (新): [名]マテバシイ属 sumanisewo-cise (新): [名]カバノキ科 tatni-apa (新)

ふながたこうはい(舟形光背) [名]舟形光背 cipnoka-isermakus-nipeki (新)

ふなぞこ(船底) [場名]船底 nimamasam (八雲)、[場名] cipasam(-a) (新)

ふなだいく(船大工) [名]船大工 cipkarkur (八雲)

ふなたび(船旅) [自]船旅をする cipeomanan (複数 cipepayekay、cipepayokay) (新)

ふなつきば(船着場) [名](川、海を問わず)船着場 tomari (石狩): [名]川の船着場

ruesan (石狩): [名](雅)川の船着場
petaru (石狩)

ふなで(船出) [自]船出する、船を出す repa
(石狩): [他]〜と共に船出する erepa
(新): [他](場所)へ船を出す korepa (石
狩): 「…おじいさんの先祖のじいさんとそ
の一族が品物を持って大勢の人達と一緒に
大海に船出した。」 “…ekasi kor maktaekasi,
utari cisoki poronno kor wa inne utar
turano siatuy korepa .” (砂沢クラ):
[他](原因、手段)で船出する orepa (新):
[他](人)に船出させる repare (新): [他]
自分で、一人で船出する yayerepa (新):
[他]皆で、共に船出する uerepa (新)

フナフティ [場名](ツヴァルの首都島名)フナフ
ティ島 Funafti-poysir (新)

ふなよい(船酔い) [自]船酔いする cipsuwa
(J)

ふなわたし(舟渡) [場名]船渡 ikusausi (新)、
[場名] ikusausike (新)

ふにん(不妊) [自]不妊である siposakka
(新)、[自] pósak (新): [名]不妊の女性
eposakmat (新)※(樺太白浦)、[名] pósak
(幌別)、[名] hotcari (幌別)

ふぬけ(臍抜け) [自]臍抜けである ramatcak
(ramatsak) (石狩)

ふね(船) ①[名]船 cip(i) (石狩): (表現)船
を降る cip orwa(no) ran (複数 rap)
(新): [名]大型船 pencay (石狩): ②[自]
人を船に乗せ岸まで運ぶ、船で渡す、船で運
ぶ ikusa (複数 ikuspare) (石狩):
[他](人)を船にのせ岸まで運ぶ kusa (複数
kuspa) (石狩): [他](人)に(人)を船に乗せ
岸まで運ばせる kusare (複数 kuspare)
(新): [自]皆を船に乗せて岸まで運ぶ
ukuspa (石狩): ③[自]船で運ぶ
iciporura (新): [他](人や物)を船で運ぶ
ciporura (新): [他](人や物)を船で運ばせ
る ciporurare (新): ④[他](人)を船に乗
せて行く、(物)を船に積んで行く ecipo (石
狩): 「…大勢の勇者が私を船に乗せて行っ
て…」 “…iwan rametok i=ecipo hine…”
(杉村キナラブク)婦女詞曲: ⑤[自]船に二人
一組で乗り組む cipeuetunus (石狩):
[自]船に乗り組む cipo (石狩)、[自]
cipemonrayke (新): [他](人)を船に乗り組
ませる cipore (新)、[他] ciecipore (石
狩)、[他] cipemonraykere (新): ⑥[自]船
に乗る cipo (石狩): (表現)船(を漕がず)
に乗る cip noski ta a (複数 rok) (石狩):
⑦[自]船もろとも沈む cirkoren (新): ⑧
[自]船もろとも転覆する cipohokus (石
狩): ⑨[自]船もろとも流される
cipkomom (石狩): ⑩[自](陸から水面に)

船を下ろす cipsanke (石狩): (表現)船を
下ろす cip sanke (複数 sapte) (石狩):

⑪[自]船を岸に着ける、船を陸に揚げる
cipyanke (石狩): (表現)船を岸に着ける、
船を陸に揚げる cip yanke (複数 yapte)
(石狩): ⑫[自]船を漕ぐ cipo (石狩):
[他](場所)で船を漕ぐ ecipo (新): [他]〜
と共に船を漕ぐ kocipo (新): [他](原因、
手段)で船を漕ぐ ocipo (新): [他](人)に
船を漕がせる cipore (新)、[他] ciecipore
(石狩): [自]船を力一杯漕ぐ cipesiyuppa
(石狩): ⑬[自]船を作る cipkar (新):
[他](人)に船を作らせる cipkare (新): ⑭
[自]船を停める、船を係留する cipatte (石
狩): (表現)船を停める、係留する cip atte
(石狩): [他](人)に船を停めさせる、係留さ
せる cipattere (新): ⑮[自]船を走らせる
cipehoyupu (石狩): 「…その男の召使い
達は船を漕いで船を走らせた。」 “…ne
okkayussiw utar cipo wa cipehoyupu .” (杉
村キナラブク)説話: (表現)海面に船を飛ぶ
様に走らせる atuy so kurka cip eaciw
(oaciw) (石狩): (表現)波を蹴立てて船を
走らせる atuy ka ene cip eaciw (石狩):
⑯[自]船を彫る cipta (石狩): (表現)船を
彫る cip ta (石狩): [他](人)に船を彫ら
せる ciptare (新)

フネガイ(船貝) (魚介)[場名](翼形亜綱)フネガ
イ目 supopcipsey-kotan (新): [場名]フ
ネガイ上科 supopcipsey-apapa (新):
[名]フネガイ科 supopcipsey-apa (新):
[名]フネガイ属 supopcipsey-cise (新):
[名]フネガイ supopcipsey (新): [名]オ
オタカノハガイ porosisam-supopcipsey
(新): [名]カドハリフネガイ sikkewkor-
supopcipsey (新): [名]コベルトフネガイ
yauysupopcipsey (新): [名]コンドルノハ
ガイ koypokamerika-supopcip (新):
[名]ネジアサリ arabika-supopcipsey (新)
※(学名): [名]ノアノハコブネガイ
nóaxkar-supopcipsey (新): [名]ワシノハ
ガイ sísam-supopcipsey (新): [名]アカ
ガイ属 kemsey-cise (新): [名]ウラシマ
エガイ属 mesokibotarekussey-cise (新)
※(学名): [名]エガイ属 rékussey-cise
(新): [名]オヤカタサルボウガイ属
oyakatakemsey-cise (新): [名]カワワシ
ノハガイ属 pét-supopcipsey-cise (新):
[名]コシロガイ属 ponretarsey-cise (新):
[名]サンゴエガイ属 sangurekussey-cise
(新): ハイガイ属 sumaunanesey-cise
(新): [名]ビョウブガイ属 biyobusey-cise
(新): [名]マテエガイ属 ritarkarekussey
(新)※(学名): [名]ミノエガイ属

minorekussey-cise (新): [名]ユキエガイ
属 upasrekussey-cise (新): [名]リュウ
グウワシノハガイ属 atuyorkamuykotan-
siraprapsey-cise (新): [名]ワタゾコエガ
イ属 atuyasam-supopcipsey-cise (新):
[名]ワダツミフネガイ属
siatuyupopcipsey-cise (新): [名]サンカ
クサルボウ科 tocisitosey-apa (新): [名]
ニヨリミミエガイ cimotocisitoseykopa
(新): [名]ミミエガイ motocisitosey
(新): [名]シコロエガイ科
kampatoratkip-rekussey-apa (新): [名]
シコロエガイ kampatoratkip-rekussey
(新): [名]ヌノメアカガイ科
maktakemsey-apa (新): [名]ヌノメアカ
ガイ maktakemsey (新): [場名]シラス
ナガイ上科 retarotaoruysey-apapa (新)
ブノンペン [場名](カンボジア王国の首都名)ブ
ノンペン Punompen (新)
ふはい(腐敗) ①(植物性のものが)[自]腐敗する
munin (石狩): 但し石狩川筋では動物性
のものでもこの語を使う事もある。尚、今後
は金属などの腐食に関してもこの語を使っ
ていく。: [他](場所)で腐敗する emunin
(新): [他]〜と共に腐敗する komunin
(新): [他](原因)で腐敗する omunin
(新): [他]〜を腐敗させる muninka
(muninte) (新): [自]完全に腐敗する
oarmunin (armunin) (新): [自]ひどく腐
敗する sirkomun (石狩): ②[自](動物性
のものが)[自]腐敗する hosse (石狩)、[自]
horse (沙流): [他]〜を腐敗させる
hosseka (hossere) (新)、[他] horsere
(新)
ブハラ [場名](ウズベキスタン共和国の都市
名)ブハラ Buxoro (新)
ふぶき(吹雪) [名]吹雪 upun (石狩): (表
現)吹雪く upun an (石狩)、(表現) upun
as (石狩)、(表現) upun patce (天塩):
(表現)吹雪が這う upun reye (石狩): (表
現)猛吹雪になる、である upun yupke (石
狩)
ブタルマム (植物)[名](キク科)ブタルマム
属 europa-konkanicupkiay-kikukina-cise
(新): [名]ブタルマムの茎葉 europa-
konkanicupkiay-kikukina (新)、[名]その花
europa-konkanicupkiay-kiku (新)
フフホト(呼和浩特) [場名](中華人民共和国内
蒙古自治区の首府名)呼和浩特 Huhexota
(新)
ぶぶん(部分) [場名]部分 serke (石狩):
(表現)ある部分 sinean serke (新)、(表現)
sine serke (新): (表現)一部分 sine
serke (新): (表現)(小さな部分という意味

で)一部分 pon serke (新): (表現)大部分
poro serke (新)
ぶぶんしょく(部分蝕) (表現)部分蝕になる
cup an=rukí (石狩)
ふへん(不変) [自]不変である oassinisteka
(assinisteka) (新)、[自] oassinistere
(assinistere) (新): [他](場所)で不変であ
る eoassinisteka (eassinisteka) (新)、
[他] eoassinistere (eassinistere) (新):
[他]〜に対して不変である、〜と共に不変で
ある kooassinisteka (koassinisteka) (新)、
[他] kooassinistere (koassinistere) (新):
[他](原因、手段)で不変である
ooassinisteka (oassinisteka) (新)、[他]
ooassinistere (oassinistere) (新): [他]〜
を不変にする oassinistekare
(assinistekare) (新)、[他] oassinisterere
(assinisterere) (新)
ふべん(不便) (表現)〜は〜にとって不便であ
る eiwanke eaykap (新): 「これは(誰に
とっても)不便である。」“Tampe an=eiwanke
eaykap .”、「これは私にとって不便である。」
“Tampe ku=eiwanke eaykap .”
ふほう(不法) [副]不法に irenkawenteno
(新): (表現)ごみを不法投棄する
irenkawenteno munkuta (新): (表現)不
法入国する irenkawenteno mosirkoahun
(新)
ふまん(不満) [間投]不満の声として“paw”、
“pawpaw”、“pawpawpaw”などの形で用いら
れる (石狩): [自]不満の声を上げる
pawse (新): [他](人)に不満の声を上げさ
せる pawser (新)
ふみぐわ(踏蹴) [名]踏蹴 nísittap (石狩)
ふみだい(踏台) [名]踏台 kemapo (新)
ふみたおす(踏み倒す) [他]〜を踏み倒す
oterke (石狩): [他](場所)〜を踏み倒す、
〜と共に〜を踏み倒す kooterke (石狩):
[他](人)に〜を踏み倒させる oterkere (石
狩): [他]〜を何度も踏み倒す otetterke
(石狩)、[他] oterketerke (石狩): 「それ
から私は泣き叫びながら夫を踏み倒し…」
“Orwano ku=paraparak kor ku=korkur
ku=otetterke…” (砂沢クラ)
ふみつぶず(踏み潰す) [他]〜を踏み潰す
teye (複数 teypa) (石狩): [他](場所)で〜
を踏み潰す eteye (複数 eteypa) (新):
[他]〜と共に〜を踏み潰す koteye (複数
koteypa) (新): [他](原因、手段)で〜を踏
み潰す oteye (複数 oteypa) (石狩):
[他](人)に〜を踏み潰させる teyere (複数
teypare) (新): [他]自分で、一人で〜を踏
み潰す yaykoteye (複数 yaykoteypa) (新):
[他]互いに、皆で〜を踏み潰す

ukoteye (複数 ukoteypa) (新): [他]完全に～を踏み潰す oatteye (複数 oatteypa) (新)、[他] atteye (複数 atteypa) (新): [他]滅茶苦茶～を踏み潰す toykoteye (複数 toykoteypa) (新): [他]人に～を踏み潰させる teyyar (複数 teypayar) (新): [自]人に自分を踏み潰す siteyyar (複数 siteypayar) (新): [他]ぱっと～を踏み潰す teytekkka (新)

ふみにじる(踏みにじる) [他]～を踏にじる oterketerke (石狩)、[他] otetterke (石狩): 「…私の妹の中で眠っているだろうその魂を私が踏みにじる…」 “…an=mataki oro ta mokor kuni ramaci an=oterketerke…” (杉村キナブック) 婦女詞曲: [他](場所)で～を踏にじる eoterketerke (新)、[他] eotetterke (新): [他]～と共に～を踏にじる kooterketerke (新)、[他] kootetterke (新): [他](人)に～を踏にじらせる oterketerkere (新)、[他] otetterkere (新)

ふみわけみち(踏みわけ道) [名] 踏 み 分 け 道 toyru (石狩): (表現)先祖が歩んだあの世への道 ekasi toyru huci toyru (石狩)

ふむ(踏む) [他]～を踏む、踏みつける oterke (石狩): [他](場所)で～を踏む、踏みつける eoterke (新): [他](場所)へ～を踏む、～と共に～を踏む、踏みつける kooterke (石狩): [他](原因、手段)で～を踏む、踏みつける ooterke (新): [他](人)に～を踏ませる、踏みつけさせる oterkere (石狩): [他]自分で、一人で～を踏む、踏みつける yaykooterke (新): [他]皆で、互いに～を踏む、踏みつける ukooterke (新): [他]完全に～を踏む、踏みつける oaroterke (aroterke) (新): [他]ひどく～を踏む、踏みつける toykooterke (新): [自]互いを踏みつけ合う uoterke (新): [他]人に～を踏ませる、踏みつけさせる oterkeyar (新): [自]人に自分を踏ませる、踏みつけさせる sioterkeyar (新): [他]～を何度も踏む、踏みつける otetterke (石狩)、[他] oterketerke (石狩)

ふめいりょう(不明瞭) [自] 不明瞭である pekessak (新): (表現)不明瞭になる、である somo peker (新): [他]～を明瞭にする pekessakka (新): [名](悪)不明瞭な発音をする事 setaitak (石狩): [自]不明瞭な発音をする setaitakki (新)

ふもう(不毛) [場名] 不毛地帯 kémusi (石狩)

ふもと(麓) [位名]～の麓 kes(長形-e、-eke) (石狩)、[位名] ohonkes(長形-e、-eke) (石狩)、[位名] ous(長形-i、-ke) (石狩): [場名](山の上、あるいは奥に対する)麓、麓の方

sa (石狩)※(対義語は)

ふやす(増やす) ①(物に関して数や量に関して)[他]～を増やす porore (新): (表現)金を増やす ikor porore (新): (表現)水を増やす wakka porore (新): ②(人口に関して)[他]～を増やす inneka (innere) (新): (表現)若者を増やす inneka (innere) (新) ③(生物に関して)[他]～を増やす uattere (新): 今後利殖に関して資金を増やす意味でも使う: (表現)家畜を増やす cireska-cikoykip uatte (新): (表現)資金を増やす ciioeiwankeikor (新): [他](合成語の構成要素として)～を増やす atte (石狩): 単独の用例としては未見。"uatte"、"cepattekamuy"等の構成要素として現れる: ④(植物や人間に関して)[他]～を増やす uastere (新)※(沙流): (表現)栗の木を増やす yamni uastere (新): (表現)人間を増やす aynu uastere (新): ⑥(膨張させて)[他]～を増やす sipuskere (新)

ふゆ(冬) ①[名]冬 mata (石狩): (表現)冬になる、なっている mata an (石狩): (表現)冬になると mata an kor (石狩): [0動]冬になる、なっている sirmata (新): [自]冬を待つ matatere (新): [自]冬になるのを待つ sirmatatere (新): ②[場名](一年を夏冬に分けた時の)冬年 matapa (石狩)

ふゆがこい(冬囲い) [名]冬囲い cási (石狩)、[名] sonkaki (八雲)

ブラークリット [名] ブ ラ ー ク リ ッ ト purakrit (新)※(古代インドの地方口語)

フライ (料理)[名]フライ citotop (新): [他]～をフライにする toto (天塩): (表現)魚のフライ citoto cep (新): [他](人)に～をフライにさせる totore (新): [名]フライドエッグ citotonok (新)[名]フライドチキン citotocikap (新): [名]フライドフィッシュ citotocep (新): [名]フライドポテト citotoimo (新)

ブライア [場名](カーボヴェルデ共和国の首都名)ブライア Puraia (新)

ブライド [名] ブ ラ イ ド yayeoripak-kewtum(-u) (新)、[名] yaykooripak-kewtum(-u) (新): 「貴方はブライドが高すぎるようです。」 “Es=yayeoripak-kewtumu yupke kasuy kotom an.”

ブラウンシュガー [名] ブラウンシュガー húretopenota (新)

ブラウントラウト (魚介)[名](タイセイヨウサケ属)ブラウントラウト uparusironesipe (新)、[名] uparussok (新)、[名] turout (新)※(英語)

ブラゴベシエンスク [場名](ロシア連邦極東連

邦管区アムール州の州都名)ブラゴベシエン
スク Buragoveşensuk (新)

ぶらさがる(ぶら下がる) [自]ぶら下がる、下がっている ratki (石狩): [他](場所)でぶら下がる、下がっている eratki (新): [他]〜へとぶら下がる、下がっている koratki (新): [他]〜と共にぶら下がる、下がっている koratki (新): [他]〜からぶら下がる、下がっている oratki (新): [他](原因、手段)でぶら下がる、下がっている oratki (新): [他]瞬間的に垂れ下がる ratkitek (新): [他]〜をぶら下げる ratkire (石狩): 「昔は男でも女でも太い針で耳に穴をあけてそこから耳環をぶら下げたのです。」

“Teeta okkayo ne yakka menoko ne yakka ruwe kem ani kisarpuy kar wa orowa ninkari ratkire ruwe ne .”: [他](人)に〜をぶら下げさせる ratkirere (新): [他]瞬間的に〜をぶら下げる ratkitekka (新)

ブラザビル [場名](コンゴ共和国の首都名)ブラザヴィル Burazavir (新)

ブラジャー [名]ブラジャー tókápumpe (新)

ブラジル [場名](国名)ブラジル連邦共和国 Burazir Ukosineatki Ukotankoremosir (新)※(首都は1960年以降「ブラジリア」): [場名](国名の通称として)ブラジル Burazir (新): [名]ブラジル人、国民 burazirunkur (新): (歴史)[場名](国名)ブラジル帝国 Burazir Ipawetenkekur-kormosir (新)※(1822-89年。首都は「リオデジャネイロ」。クーデターにより共和制に移行): [場名](ブラジル連邦共和国の首都名)ブラジリア Buraziria (新)

プラス [自]プラスになる、である iepirka (新)※(それで儲ける)、[自] purus (新)※(英語): [他]〜をプラスにする iepirkare (新)、[他] puruste (新)

ふらす(降らす) ①(雨や雪に関して)[他]〜を降らす aste (石狩): (表現)雨を降らせる ruyampe aste (石狩): ②(物に関して)[他]〜を降らす ranke (石狩): (表現)獲物を降らす iso ranke (新): [他](雅語的表現として)涙を降らす yaykoranke (石狩): 二粒の大粒の涙、三粒の大粒の涙を降らす tu nukunnupe re nukunnupe yaykoranke (石狩)

プラスチック [名]プラスチック purastik (新)※(英語)

ブラセオジウム (化学)[名]ブラセオジウム puraseodimium (新)※(原子番号59番。元素記号 Pr)

ブラチスラバ [場名](スロバキア共和国の首都名)ブラチスラバ Buratistrava (新)

ブラチナ →「はっきん(白金)①」を見よ

ふらつく [自]ふらつく、ふらふらする tetterke (石狩): [他]〜をふらつかせる、ふらふらさせる tetterkere (新)

ブラック [自]ブラックになる、である burak (新): [他]〜をブラックにする burakka (burakte) (新): [名]ブラック色 burak-iro (新)

ブラックサルシファイ →「フタナミソウ(二並草)」を見よ

ブラックターメリック (植物)[名](ウコン属)ブラックターメリックの茎葉 kunne-ukonkina (新): [名]ブラックターメリックの根 kunne-ukon (新)、[名] burak-turmerik (新)

ブラックバック (動物)[名](ウシ科)ブラックバック亜科 kunne-yukpeko-moapa (新): [名]ブラックバック族 kunne-yukpeko-utar (新): [名]ブラックバック亜族 kunne-yukpeko-moutar (新): [名]ブラックバック属 kunne-yukpeko-cise (新): [名]ブラックバック kunne-yukpeko (新): [名]ガゼル属 gazera-cise (新): [名]サイガ属 etuporo-yukpeko-cise (新): [名]ジェレヌク属 gerenuk-cise (新): [名]スプリングボック属 suprimbok-cise (新): [名]ダマガゼル属 damagazera-cise (新): [名]トムソンガゼル属 tomsongazera-cise (新) [名]オリビ亜族 oribi-moutar (新): [名]チベットガゼル亜族 búungazera-moutar (新): [名]ボック亜族 gurisbok-moutar (新): [名]クリップスプリングラー族 sirarkaeterke-yukpeko-utar (新)

ブラハ [場名](チェコ共和国の首都名)ブラハ Puraha (新)

ぶらぶら ①(宙に吊り下がった物が前後、あるいは左右に揺れる事)[自]ぶらぶらする racinracin (天塩): [他]〜をぶらぶらする raciraci (石狩)、[他] racici (新): [自]足をぶらぶらさせる cikinraciraci (石狩): [自]手をぶらぶらさせる tekraciraci (石狩): [自]乳房をぶらぶらさせる tokapraciraci (石狩): ②(弧を描いて揺れたり回ったりする karikari (石狩): "racinracin"と異なり地表や海面で動く場合にも用いられるので注意が必要。: (表現)尻尾が股間にぶらぶらする sar(-a) ciutur(-u, -ke) ta karikari (新): ③(歩き回る事)[自]ぶらぶらする omanan (複数 payekay、payokay) (石狩): (表現)あてもなくぶらぶらする eoman kunihi ka isam no omanan (複数 payekay、payokay): 「私達はあてもなく町をぶらぶらした。」 “Ci=eoman kunihi ka isam no maciya

orpeka payekay=as .”：④[自]ぶらぶら揺れる sisuyesuye (石狩)：[他]～をぶらぶら揺らす suyesuye (石狩)

プラン [名]プラン、計画 puran (新)※(英語)

ふらん(腐乱) [自]腐乱する hosse (石狩)、[自] horse (沙流)：(表現)腐乱死体 hose araysir (新)：[自]ひどく腐乱する sirkohosse (新)、[自] sirkomunin (石狩)

フランク (歴史)[場名](国名)フランク王国 Furanku-yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(481－843年。ヴェルダン条約で三分割)：[場名](国名)東フランク王国 Cupkaunfuranku-yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(843－962年。神聖ローマ帝国ローマ帝国へ移行)：[場名](国名)中部フランク王国 Noskiunfuranku-yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(843－870年。東フランク王国、西フランク王国、及びカロリング朝イタリア王国に三分合併されて消滅)：[場名]西フランク王国 Cuppokunfuranku-yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(843－987年。フランス王国に移行)：[名]フランク族 furankunekur utar (新)※(ゲルマンの一部族)

フランクフォート [場名](アメリカ合衆国ケンタッキー州の州都名)フランクフォート Furankufotto (新)

フランシウム (化学)[名]フランシウム furankium (新)※(原子番号87番。元素記号 Fr)

フランジナット [名]フランジ seppa (新)※(鍰)：[名]フランジナット seppaun-matnecinoyp (新)

フランジボルト [名]フランジボルト seppaun-pinnecinoyep (新)※(「フランジ付き六角ボルト」とも)

フランス [場名](国名)フランス共和国 Furansu Ukotankoremosir (新)※(フランス革命によって1793年に第一共和国が樹立された。現在の国家は1959年以降の第五共和制。首都は「パリ」)：[場名](国名の通称として)フランス Furansu (新)：[名]フランス人、国民 furansuunkur (新)：[名]フランス語 furansuunkur-itak (新)：(歴史)[場名]フランス共和国臨時政府 Furansu Ukotankoremosir Ietokoyki Mosireyayetunus (新)※(1944－47年。)：[場名](国名)フランス国 Furansu Mosir (新)※(1940－45年。俗に「ヴィシー・フランス」などと呼ばれる)：[場名](国名)フランス帝国 Furansu Ipawetenkekur-kormosir (新)※(1804－14年の「第

一帝政」、1852－70年の「第二帝政」がある)：[場名](国名)フランス王国 Furansu Yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(987－1792年までのカペー朝、ヴァロワ朝、ブルボン朝、及び1814－48年のブルボン朝及びオルレアン朝)

フランスギク(仏蘭西菊) (植物)[名](キク科)フランスギク属 margeritenkina-cise (新)：[名]フランスギクの茎葉 margeritenkina (新)、[名]その花 margeriten (新)：[名]ノースポールギクの茎葉 mosinnoskiatuy-easupaskina-cise (新)、[名]その花 mosinnoskiatuy-easupas (新)※(別名「クリサンセマム・パルドーサム」)：[名]レウカンセマム・コロナリウムの茎葉 nisatcupkiyay-omikeupaskina (新)：[名]レウカンセマム・ヘテロフィルムの茎葉 kimun-margeritenkina (新)

ふり(振り) ①(表現)～する振りをしている 動詞句+pokon an (複数 okay) (石狩)、(表現)動詞句+apkor katun (幌別)、(表現)動詞句+néno katuhu kar (宗谷)、(表現)動詞句+apokon an (複数 okay) (八雲)、(表現)動詞句+ápekor an (複数 okay) (新)※(沙流)：「君達は知らないのに知ったか振りをしているな。」“Es=erampetek korkaes=eramuokay pokon es=okay .”：②(表現)～する振りをする 動詞句+pokon iki (新)：「この虫は驚くと木の細枝の振りをする。」“Tan kikir ramutuy kor níca ne pokon iki .”

ふり(不利) [自]不利である ipokaski (新)：[他]～の点で不利である eipokaski (新)：[他]～の点で(誰か、何か)より不利である epokaski (新)：[助動](～するの)に不利になる、不利である 動詞句+ewen (石狩)

ブリ(鱒) (魚介)[場名](アジ科)ブリモドキ亜科 atuyeipakasnucpe-moapa (新)：[名]ブリモドキ属 atuyeipakasnucpe-cise (新)：[名]ブリモドキ atuyeipakasnucpe (新)：[名]アイブリ属 esuprotkiapa-cise (新)：[名]ツムブリ属 rayoci-esuprotki-cise (新)：[名]ブリ属 esuprotki-cise (新)：[名]ブリ esuprotki (長万部)：[名]カンパチ kampaci (新)※(日本語)：[名]ヒラマサ síporo-esuprotki (新)：[名]ヒレナガカンパチ aspetanne-kampaci (新)

ふりあげる(振り上げる) [他]～を振り上げる rikipuni (石狩)：[他](場所)で～を振り上げる erikipuni (新)：[他](場所)に～を振り上げる korikipuni (新)：[他]～と共に～を振り上げる korikipuni (新)：[他](原因、手段)で～を振り上げる orikipuni (新)：[他](人)に～を振り上げさ

せる rikipunire (新): [他]～を何度も振り上げる rikipumpa (新): [自]刀を振り上げる tamrikipuni (新): [他]～の切先を振り上げる erikipuni (石狩)

フリースラント [場名](オランダ王国の州名) フリースラント州 Furisrandopurovince (新)

フリータウン [場名](シエラレオネ共和国の首都名)フリータウン Furitaun (新)

ブリオニア (植物)[名](ウリ科)ブリオニア属 surkuuripunkar-cise (新): [名]ブリオニア・アルバの茎 retar-surkuuripunkar (新)、[名]その果実 retar-surkuuri (新)※(通称「ホワイトブリオニー」): [名]ブリオニア・ディオイカの茎 hure-surkuuripunkar (新)

ふりおろす(振り下ろす) [他]～を振り下ろす rānasuye (新): [他](場所)で～を振り下ろす eranasuye (新): [他](場所)に～を振り下ろす koranasuye (新): [他]～と共に～を振り下ろす koranasuye (新): [他](原因、手段)で～を振り下ろす oranasuye (新): [他](人)に～を振り下ろさせる rānasuyere (新): [他]何度も～を振り下ろす rānasuyesuye (新): [自]刀を振り下ろす tamranasuye (新)

ふりかえる(振り返る) [自]振り返る hosari (石狩): [他](場所)で振り返る ehosari (新): [他]～の方を振り返る、～を振り返る kohosari (石狩): [他](原因、手段)で振り返る ohosari (新): [他](人)に振り返らせる hosarire (新)

ふりかえる(振替える) (商業)[自]振替える ikottupte (新): [他](場所)で振替える eikottupte (新): [他](人)に振替えさせる ikottuptere (新): [他]～を振替える tupte (新): [他](場所)で～を振替える etuptere (新): [他](人)に～を振替えさせる tuptere (新): [名]振替伝票 ikottupte-surip (新)

ふりかぶる(振り被る) [他]～を自分に振り被る sikaomare (幌別): (表現)自らの頭髮を我は解き解かし、それをもじゃもじゃにし身に振り被った an=kimúyuspe an=pitápita ay=sitósito ay=sikáomare (新)※(幌別)

ふりこ(振子) [名]振子 sisuyeppe (新)

ふりこむ(振込む) [自]振込む ikossanke (複数 ikossapte) (新): [他](場所)で振込む eikossanke (複数 eikossapte) (新): [他](場所)に振込む koikossanke (複数 koikossapte) (新): (表現)～へ振込む ～ekota ikossanke (複数 ikossapte) (新): [他]～と共に振込む koikossanke (複数

koikossapte) (新): (表現)～と共に振込む ～tura(-no) ikossanke (複数 ikossapte) (新): [他](原因、手段)で振込む oikossanke (複数 oikossapte) (新): [他](人)に振り込ませる ikossankere (複数 ikossaptere) (新): [他]～を振り込む sanke (複数 sapte) (新): [他](場所)で～を振り込む esanke (複数 esapte) (新): [他](人)に～を振り込ませる sankere (複数 saptere) (新)

ブリザーブドフラワー [名]ブリザーブドフラワー cipesakka-apappo (新)、[名] cipesakka-nonno (新)

フリジア [場名](地名)フリジア Furisiya (新)※(オランダ、ドイツにまたがる北海南東の海岸部): [名]フリジア人 furisiyaunkur (新): [名]フリジア語 furisiyaunkur-itak (新)

ふりしぼる(振り絞る) ①[自]自分の声を振り絞る yayhaweyupu (新): [自]皆の、互いの力を振り絞る uhaweyupu (新): ②[自]自分の力を振り絞る yaytumuyupu (新)、[自] yaykiroroyupu (新): [自]皆の、互いの力を振り絞る utumuyupu (新)、[自] ukiroryoupu (新)

ブリッジタウン [場名](バルバドスの首都名)ブリッジタウン Burijitaun (新)

ブリティッシュコロロンビア [場名](カナダの州名)ブリティッシュコロロンビア州 Buritis-korombia-purovince (新)※(州都は「ビクトリア」)

ふりまわす(振り回す) [他]～を振り回す suyesuye (石狩): [他](場所)で～を振り回す esuyesuye (新): [他](場所)へ～を振り回す kosuyesuye (新)、[他] esuyesuye (石狩)、[他] esisuyekar (新): [他]～と共に～を振り回す kosuyesuye (新): [他](原因、手段)で～を振り回す osuyesuye (新): [他](人)に～を振り回させる suyesuyere (新): [他]減茶苦茶～を振り回す toykosuyesuye (新)

ふりむく(振り向く) [自]振り向く sikiru (複数 sikirpa) (石狩): [他](場所)で振り向く esikiru (複数 sikirpa) (新): [他]～の方を振り向く kosikiru (複数 kosikirpa) (石狩)、[他] esikiru (複数 esikirpa) (石狩): [他]～と共に振り向く kosikiru (複数 kosikirpa) (新): [他](原因、手段)で振り向く osikiru (複数 osikirpa) (新): [他](人)を振り向かせる sikirure (複数 sikirpare) (新): [自]自分で、一人で振り向く yaykosikiru (複数 yaykosikirpa) (新): [自]皆で、互いに振り向く ukosikiru (複数 ukosikirpa) (新): [自]完全に振り

向く oassikiru (複数 oassikirpa) (新)、
[他] assikiru (複数 assikirpa) (新):
[他] パッと振り向く sikittek (石狩):
[他] パッと(人)を振り向かせる sikittekka
(新)

ブリヤート ①[場名](ロシア連邦シベリア連邦
管区の構成主体名)ブリヤート共和国
Buriatiya Ukotankoremosir (新)※(首都は
「ウラン・ウデ」): [場名](国名の通称とし
て)ブリヤーチア Buriatiya (新): [名]ブ
リヤート語 buriatiyakur (新): [名]ブリ
ヤート語 buriatnekur-itak (新): ②[場
名](ロシア連邦シベリア連邦管区の構成主体
名)アガ・ブリヤート自治管区 Aga-
Buriatiya-sieyayetunusiwor (新)※(チタ州
に属す。首府は「アギンスコエ」): ③[場
名](ロシア連邦シベリア連邦管区の構成主体
名)ウスチオルダ・ブリヤート自治管区
Ustiorda-Buriatiya-sieyayetunusiwor (新)
※(イルクーツク州に属す。首府は「ウスチ・
オルディンスキー」)

ブリャンスク [場名](ロシア連邦中央連邦管区
の構成主体名)ブリャンスク Buriansuk-
purovince (新): [場名](ブリャンスク州の
州都名)ブリャンスク Buriansuk (新)

ブリュッセル [場名](ベルギー王国の首都名)ブ
リュッセル Burusser (新)

ふりょう(不良) ①(人に関して)[名]不良
wempurikorkur (新)、[名] wempurikorpe
(新)、[名](悪) wempurikor-ampe (新):
[自]不良である wempurikor (新): ②(物
に関して)[名]不良品 ciwenkarpe (新)、
[名] wempe (新): [自]不良になる、であ
る wen (石狩)

ふりん(不倫) [名]不倫 hoiyo (石狩)、[名]
oyahokor (新): [自]不倫する hoiyo (石
狩)、[自] oyahokor (新): [他](場所)で不
倫する ehoyyo (新)、[他] eoyahokor
(新): [他]〜と不倫する kohoyyo (新)、
[他] kooyahokor (新): (表現)〜と不倫す
る ~ tura-(no) hoiyo (新): [他](原因)
で不倫する ohoyyo (新)、[他] ooyahokor
(新)

プリンシペ [場名](地名)プリンシペ島
Purinšipe-poysir (新)※(アフリカのギニア
湾に位置するサントメ・プリンシペ共和国領
の島)

プリンスエドワード ①[場名](カナダの州名)ブ
リンズエドワードアイランド州 Purince-
eduardopaysir-purovince (新)※(州都は
「シャーロットタウン」): ②[固名](地名)ブ
リンズエドワード島 Purince-eduaddo-
paysir (新)※(大西洋セントローレンス湾に
位置するカナダ領の島)

プリンター [名]プリンター nokasanke-supop
(新)

ふる(降る) (雨や雪に関して)[自]降る as (石
狩)、[自](雅) ran (石狩): (表現)雨が降る
ruyampe as (石狩): [自](雨や雪が)激しく
降る ruy (石狩)、[自] yupke (石狩):
(表現)雪が激しく降る upas ruy (yupke)
(石狩)

ふる(振る) [他]〜を振る suye (複数 suypa)
(石狩): 複数形は沢山の物「を振る」.:
[他](場所)で〜を振る esuye (複数 esuypa)
(新): [他](場所)へ〜を振る kosuye (複数
kosuypa) (新): [他]〜と共に〜を振る
kosuye (複数 kosuypa) (新): [他](原因、
手段)で〜を振る osuye (複数 osuypa)
(新): [他](人)に〜を振らせる suyere (複
数 suypare) (新): [他]瞬間的に〜を振る
suytekka (新): [他]何度も〜を振る
suyesuye (石狩)

ふるい(篩) [名]篩 ioporep (新)、[名]
cikoiposorep (新)

ふるいおとす(篩い落とす) [自]物を篩い落とす
ituyte (新)、[自] ituytuyte (新): [他]〜
を篩い落とす tuyte (石狩)、[他] tuytuye
(石狩): [他](人)に〜を篩い落とさせる
tuytere (新)、[他] tuytuyere (新)

ブルー [自]ブルーになる、である buru
(新): [他]〜をブルーにする buruka
(burure) (新): [名]ブルー色 buru-iro
(新)

フルーツ [名]フルーツ ikaop-(i) (新)、[名]
furut (新)※(英語)

フルート [名]フルート furute (新)※(英
語): (表現)フルートを奏でる furute
rekte (新)

ブルーバック (動物)[名](ウシ科)ブルーバック
亜科 áoumma-moapa (新): [名]ブルー
バック族 áoumma-utar (新): [名]ブル
ーバック属 áoumma-cise (新): [名]ブル
ーバック áoumma (新): [名]セーブルア
ンテロープ kunne-ummapeko (新):
[名]ローンアンテロープ yayan-ummapeko
(ummapeko) (新): [名]アダックス属
addaksu-cise (新): [名]オリックス属
oriksu-cise (新)

ブルームフォンテン [場名](南アフリカ共和
国の司法首都、及びフリーステイト州の州都
名)ブルームフォンテン Burumfonten
(新)

ブルー (植物)[名](サクラ属)ブルーの茎
purunni (新)、[名] europamomani (新)
※(別名「セイヨウスモモ」): [名]ブルー
の花 purunni-apappo (新)、[名]
europamomani-apappo (新): [名]ブルー

ンの果実 purun (新)、[名] europamoma (新)

ふるえる(震える)①(寒くて)[自]震える uyuyke (石狩): [他]～を震えさせる uyuykere (新): ②(恐ろしくて)[自]震える、震え上がる tususke (石狩): [他]～を震え上がらせる tususkere (新): [他]人を使って～を震え上がらせる tususkeyar (新): [他]～を持つ手が震える komontususke (沙流): ③(何らかの理由で体が震える事に関して)[自]震える tususke (石狩)、[自] herurke (沙流): (表現)(体調が悪く持った)杖が震える kuwa herurke (沙流): [他]～を持つ手が震える komontususke (沙流)

ブルガリア [場名] (国名)ブルガリア共和国 Burgariya Ukotankoremosir (新)※(首都は「ソフィア」): [場名] (国名の通称として)ブルガリア Bulgariya (新): [名]ブルガリア人 burgarkur (新): [名]ブルガリア語 burgarkur-itak (新): (歴史)[場名]ブルガリア帝国 Burgariya Ipawetenkekur-kormosir (新)※(「第一次ブルガリア帝国」Hoskian Burgariya Ipawetenkekur-kormosir (681-1014年): 「第二次ブルガリア帝国」Tuotutanu Burgariya Ipawetenkekur-kormosir (1187-1396年): 「第三次ブルガリア帝国」Reotutanu Burgariya Ipawetenkekur-kormosir (1879-1946年): 第三次ブルガリア帝国には「ブルガリア大公国」Burgariya Sínoduke-kormosir (1879-1908年)、 「ブルガリア王国」Burgariya Yaykomosirkorkur-kormosir (1908-46年)という分け方もある)

ふるかわ(古川) ①[名]川の流れが変わった後、尚痕跡を留めている旧流 huskopet (H): 地名に関する記録から、「A川」の旧流の意味で"huskoA"と呼ぶ他、単に"huskopet"と呼んだ事が分る。: ②[名]古い小川、古川の跡の小川 mem(i) (石狩)

ふるきず(古傷) [名]古傷 tupir(i) (石狩)

ブルキナファソ [場名] (国名)ブルキナファソ国 Burkinafaso Mosir (新)※(首都は「ワガドゥーゲー」): [固名] (国名の通称として)ブルキナファソ Burkinafaso (新): [名]ブルキナファソ人、国民 burkinafaso-unkur (新)

ふるく(古く) ①[自]古くなる、なっている onne (石狩): 今後は骨董品のように「歳月を経て価値を増す」の意味でも用いていく。: [他]～を古くする onneka (onmere) (新): [副]古く onne(-no) (新): [自]古くなる、古い husko (石狩): 地名に関し

ては、村があったり川が流れていたが現在は無くなっていたり、どこかへ移っている事を示して用いられる。: [他]～を古くする huskoka (huskore) (新): [副]古く husko(-no) (新)

ふるさと(故郷) (表現)故郷 an=konrok kotan (石狩)、(表現) an=konrok mosir (石狩): (表現)私の故郷 ku=kor a kotan (新)、(表現) ku=kor a mosir (新)

ブルチコ [場名]ブルチコ行政区 Burciko-iwor (新)※(「ボスニア・ヘルツェゴビナ」の構成地区)

ブルトニウム (化学)[名]ブルトニウム purutonium (新)※(原子番号94番。元素記号 Pu)

ブルネイ [場名] (国名)ブルネイ・ダルUSSアラーム国 Buruney Darussaram Mosir (新)※(首都は「バンダルスリブガワン」): [場名] (国名の通称として)ブルネイ Buruney (新): [名]ブルネイ人、国民 buruney-unkur (新)

ふるぼける(古ぼける) [自]古ぼける、古ぼけている onne (石狩)

ふるほん(古本) [名]古本 onne-kampisos (新): [名]古本屋 onnekampisos-hokcise (新)

ふるまい(振舞い) ①[名]振舞い puri (石狩): (表現)振舞い ki katu (石狩): ②(表現)～するかのようには振舞っている 動詞句+ pokon an (複数 okay) (石狩): 「君は貧乏なくせにお大尽のように振舞ってるな。」

“E=wen korka sinonispa e=ne pokon e=an sirki an na .”: ③(表現)～するかのようには振舞う 動詞句+ pokon iki (新): 「私はすっかり酔っ払ったかのように振舞うと部屋を出た。」“Oar ku=iyoski pokon ku=iki kor tumpu orwa ku=asin .”

フルレ [場名] (地名)フルレ島 Hurhure-poysir (新)※(インド洋に位置するモルディブ領の島)

ブルンジ [場名] (国名)ブルンジ共和国 Burundi Ukotankoremosir (新)※(首都は「ブジュンブラ」): [場名] (国名の通称として)ブルンジ Burundi (新): [名]ブルンジ人、国民 burundiunkur (新)

ブレアデス (宇宙)[名]ブレアデス星団 Pureyades-nociwtopa (新)※(羅語)、[名] Torannenociw (アイヌの星)

ぶれい(無礼) [自]無礼である、無礼に振る舞う somo-yaykatanu (新): [他] (場所)で無礼に振る舞う esomo-yaykatanu (新): [他]～に対して無礼に振る舞う kosomo-yaykatanu (新)、[他] (雅)ekosomo-yaykatanu (沙流): [他]～と共に無礼に振

る舞う kosomo-yaykatanu (新): [他](原因、手段)で無礼に振る舞う osomo-yaykatanu (新): [他](人)に無礼な振る舞いをさせる somo-yaykatanure (新): [自]自分で、一人で無礼に振る舞う yaykosomo-yaykatanu (新): [自]互いに、皆無礼に振る舞う ukosomo-yaykatanu (新): [他](人)に対し人に無礼をはたらかせる kosomo-yaykatanuyar (新): [自]無礼千万である(雅) cisomokurka-koyaykatanu (石狩)、[自](雅) cikosomokurka-koyaykatanu (石狩)

フレーム (銃の部品)[名]フレーム puspetumam(-a) (新)

プレスレット [名]金属製のプレスレット tekunkani (石狩): (表現)プレスレットを外す tekunkani ama (石狩): (表現)プレスレットを付ける tekunkani kor (石狩): [名]木製のプレスレット tekunni (石狩)

フレデリクトン [場名](カナダのニューブランズウィック州の州都名)フレデリクトン Furedarikton (新)

プレトリア [場名](南アフリカ共和国の行政首都)プレトリア Puretoria (新)

ふれる(触れる) [自]人に触れる、ものに触れる ikere (新): [自]人に触れる unkere (新): [他]〜に触れる kere (天塩): [他](場所)で〜に触れる ekere (新): [他]〜と共に〜に触れる kokere (新): [他](原因、手段)で〜に触れる okere (新): [他](人)に〜に触れさせる kerere (新): [他]自分で、一人で〜に触れる yaykokere (新): [他]皆で、互いに〜に触れる ukokere (新): [他]完全に〜に触れる oarkere(arkere) (新): [他]思い切り〜に触れる toykokere (新): [他]人〜に触れさせる kereyar (新): [自]人に自分に触れさせる sikereyar (新): [自]自分で自分に触れる yaykere (新): [自]触れあう ukere (新)

ふれる(振れる) [自]振れる sisuye (新): (表現)針が振れる kem sisuye (新): [自]一瞬振れる、ちょっと振れる sisuytek (新): [自]何度も振れる sisuyesuye (新)

フレロビウム (化学)[名]フレロビウム furerovium (新)※(原子番号114番。元素記号 Fl)

ふろ(風呂) [名]風呂 tompuri (新)、[名]sesekka (美幌)、[名]usew (石狩): "usew"は「白湯」など使用範囲が広いため、今後「温泉」の"tompuri"を風呂に転用する。: [自]風呂に入る tompuri-orun (美幌)、[自]tompuri-osus (新)、[自]sesekka-orun (美幌): (表現)風呂に入る tompuri osus

(幌別): [名]家風呂 ciseoruntompuri (新): (表現)銭湯 ciatayekar tompuri (新)、(表現)sisam sesekka usew (石狩)

プロイセン ①(歴史)[場名](地名)プロイセン Puroysen (新) ※(かつてドイツからポーランド、リトアニアにかけてバルト海沿岸にあった地名。第二次大戦後に消滅。「プロシア」とも呼ばれる): ②(歴史)[場名](国名)プロイセン王国 Puroysen Yaykomosirkorkurkormosir (新)※(1701-1918年。首都はベルリン)。「プロシア王国」とも呼ばれる): [場名](国名)プロイセン公国 Puroysen Dukekormosir (新)※(1525-1701年。ポーランド王の宗主権下にドイツ騎士団領に形成される。首都「ケーニヒスベルク」。プロイセン王国に移行)

ふろうしゃ(浮浪者) [名]浮浪者、嫁がずに他家の厄介になりながら転々とする者 itankieriyap (天塩)

フロート [名]フロート apa (新)、[名]pékankep (新)、[名]pékaotpe (新)

フローレス [場名](小スンダ列島の諸島名)フローレス諸島 Furores-usapoyisir (新)※(太平洋に位置するインドネシア領の島): [場名]フローレス島 Furores-poyisir (新)※(小スンダ列島に属するインドネシア領の島)

プロジェクト [名]プロジェクト purojekto (新)※(英語)

プロトアクチニウム (化学)[名]プロトアクチニウム purotaktinium (新)※(原子番号91番。元素記号 Pa)

プロトバラヌス (植物)[名](コナラ属)プロトバラヌス節 inoskiunkomni-korpe (新): [名]クエルクス・ヴァッキニフォリアの茎 hakkurberi-komni (新)※(ハックルベリーオーク): [名]Q. クリソレピスの茎 konkaniitanki-komni (新): [名]Q. ケドロセンシスの茎 ketrosopoyisirun-komni (新)※(セドロス島榿): [名]Q. トメンテラの茎 cannerpoyisirun-komni (新)※(チャネル島榿): [名]Q. パルメリの茎 parmer-komni (新)※(パーマー榿)

プロパガンダ [名]プロパガンダ puropaganda (新)※(羅語): [自]プロパガンダを行う puropagandaki (新)

プロビデンス [場名](アメリカ合衆国ロードアイランド州の州都名)プロヴィデンス Purovidence (新)

プロペラ [名]プロペラ sakosirayerap (新)※(自分を前に進ませる翼): [名]プロペラ機 sakosirayerap-kossinta (-korsinta) (新)

プロメチウム (化学)[名]プロメチウム puometium (新)※(原子番号61番。元素

記号 P m)

フロリダ ①[場名](アメリカ合衆国の州名)フロリダ州 Furorida-mosir (新)※(州都は「タラハシー」): ②[名](地名)フロリダ半島 Furorida-sirekanray (新)

ブロンズ [名]ブロンズ buronze (新)※(英語)、[名] ipoyehurekani (新): [名]ブロンズ像 buronzeinoka (新): [名]ブロンズ色 buronzeiro (新): [名]ブロンズブルー色 buronzeburueiro (新): [名]ブロンズレッド色 buronzerecero (新)

フロントサイト [名]フロントサイト、照星 cioinonoyetok (新)

ふわく(不惑) (表現)不惑 tuhotne pa (新)

ふわっととぶ(ふわっと飛ぶ) (火の粉や雪 í など)[自]ふわっと飛ぶ parse (石狩)、[自] párase (沙流): [自]ふわっふわっと飛び散る páraseparase (沙流)

ふん(分) (時間の単位)[名]分 pun (新)※(日本語)、[名] minuta (新)※(露語): (表現) 10分 wan pun (新)、(表現) wan minuta (新)

ぶん(分) ①(何かを分けた誰かの)(表現)~(人)分 cikore p ne (新)、(表現) ciukte p ne (新): 「これを二人分下さい。」“Tun cikore p ne tampe en=kore yan .”: (表現)~の分 ~uk kuip (新): 「私の分は何処にあるの?’’ “Ku=uk kunip neyta an?’’: ②(特に食事に関して誰かの)分 imek(-i) (石狩): 「私は出された分を食べてしまったけれど、まだ腹が空いている。」“An=pumpa imek ku=e okere korka na ku=ipe rusuy .”: [後副] ~ (人)分 atarimaye (沙流): (表現)二人分 tun atarimaye (沙流)

ふん(吻) [名](虫の)吻 tannepar(-o) (新)

ふん(糞) [名]糞 si (石狩): [名]糞の塊 sitak (石狩)

ぶん(文) [名]文 itaksay(-e) (新)

ぶんか(文化) [名]文化 puri (新)、[名] kúriture (新)※(露語、英語)

ふんが(憤慨) [自]憤慨する síiruska (新)、[自](雅語) cariruskare (石狩): [他]~について憤慨する síruska (新): [他](場所)で憤慨する esiiruska (新): [他](人)に対して憤慨する kosiiruska (新): [他]~と共に憤慨する kosiiruska (新): [他](人)を憤慨させる síiruskare (新)、[他] cariruskarekar (新)

ぶんかく(分格) (言語)[名]分格 serkerewke (新)

ぶんがく(文学) [名]文学、文学活動 itakoyki (新)、[名] riterature (新)※(英語): [名]文学作品 ciitakoyki-okarpe (新)、[名] cioriterature-okarpe (新)

ぶんかつ(分割) [他]~を分割する usaraye (usare) (石狩): [他](場所)で~を分割する eusaraye (eusare) (新): [他]~と共に~を分割する kousaraye (kousare) (新): [他](原因、手段)で~を分割する ousaraye (ousare) (新): [他](人)に~を分割させる usarayere (usarere) (新): [他]自分で、一人で~を分割する yaykousaraye (yaykousare) (新): [他]皆で、互いに~を分割する ukousaraye (ukousare) (新)

ぶんき(分岐) [名]分岐 ukohopi (ukopi) (新): [他]~と分岐する、~から分岐する kohopi (kopi) (石狩): [他]~から~を分岐させる kohopire (kopire) (新): [自]互いに分岐する ukohopi (ukopi) (石狩): [他]~を分岐させる ukohopire (ukopire) (新): [名]川の分岐点 pétéukopi (石狩): [名]道の分岐点 rúeukopi (新)

ぶんけ(分家) [名]分家の家 poncise (石狩)、[名] sinnaycise (石狩)

ぶんげい(文芸) ①(文学のみに関して)[名]文芸、文芸活動 itakoyki (新)、[名] riterature (新)※(英語): [自]文芸活動をする itakoyki (新): [名]文芸作品 ciitakoyki-okarpe (新)、[名] cioriterature-okarpe (新): ②(文学と芸術に関して)[名]文芸、文芸活動 ikaroyki (新): [自]文芸活動 ikaroyki (新): [名]文芸復興 ikaroyki-kannasiko (新)、[名] kannasiko (新)、[名] renaissance (新)※(仏語)

ぶんげつ(分薬) (植物)[自]分薬する sutoukohopi (sutoukopi) (新)

ふんさい(粉碎) [他]~を粉碎する toykokoneka (toykokonere) (新)、[他] toykoneka (toykonere) (新)、[他] toykoperperpa (新): [他](人)に~を粉碎させる toykokonekare (toykopenere) (新)、[他] toykonekare (toykonere) (新)、[他] toykoperperpare (新)

ぶんし(分子) (1)(化学)[名]分子 cipere-easkaypepo (新)、[名] morekura (新)※(羅語): (2)(数学)[名]分子 cipereikepo (新)

ふんしつ(紛失) [自]紛失する ieohatcir (新): [他]~を紛失する eohatcir (石狩): [他](場所)で~を紛失する eeohatcir (新): [他]~と共に~を紛失する koeohatcir (新): [他](原因、手段)で~を紛失する oeohatcir (新): [他](人)に~を紛失させる eohatcire (石狩): [名]紛失物 cieohatcirpe (新)

ぶんしょ(文書) [名]文書 cinuyep (新)、[名]

cinuyekampi (新)、[名] cionuyekampi (新)※(物事のために書かれた紙)、[名] dokumento (新)※(英語)

ぶんしょう(文章) [名] 文章 itaksay(-e) (新)

ぶんぞりかえる(ぶん反り返る) [自] ふん反り返る *teseske* (石狩)、[自] *sitesusu* (新): [自](場所)でふん反り返る *eteseske* (新): [他](場所)にふん反り返る、～と共にふん反り返る *koteseske* (新): [他](原因、手段)でふん反り返る *oteseske* (新): [他]～をふん反り返らせる *tesusu* (石狩): [他](人)に～をふん反り返らせる *tesusure* (新): [自]自分で、一人でふん反り返る *yaykoteseske* (新)、[自] *yaytesusu* (新): [自]皆で、互いにふん反り返る *ukoteseske* (新)、[自] *utesusu* (新): [自]思いっきりふん反り返らせる *toykoteseske* (新): [自]ふんぞり返って威張る *pakisar-koteseske* (*pakesar-koteseske*) (新): [自]ふんぞり返って大笑いする *minakoteseske* (新): (表現)ふんぞり返って大笑いする *mina teseske* (石狩)

ぶんつう(文通) (表現)文通する *kampi ukoomante* (石狩): (表現)～の間で文通する ～ *utur*(長形 -u、-ke) *ta kampi ukoomante* (新): 「私と君の間で文通した。」 “Kuani newa eani uturke ta kampi an=ukoomante .”

ブンティウス (魚介)[名](バルブス亜科)ブンティウス属 *puntius* (新)※(学名): [名]スマトラ *tunro-puntius* (新)

ふんどし(褌) [名] 褌 *tepa* (石狩)、[名] *cihotki* (天塩): [自]褌を締める *tepakot* (石狩)

プントランド [場名](国家)プントランド・ソマリア国 *Puntorando Somaria Mosir* (新)※(1998年独立を宣言。首都は「ガローウェ」): [名]プントランド人、国民 *puntorando-unkur* (新)

ぶんなぐる(ぶん殴る) [他]～をぶん殴る *toykokikkik* (石狩)

ぶんばい(分配) ①(表現)…に～を分配する …*usare* (*usaraye*) *wa* ～ *kore* (石狩): (表現)～を分配し合う ～*ukowsare* (*ukowsaraye*) *wa ukore* (新)、(表現) *ukosare wa ukore* (新): ②[自]食糧、食事を分配する *ipuni* (石狩)、[自] *iimekkaar* (新): (表現)～に食糧を分配する ～ *ekota ipuni* (新)、(表現) ～ *otta ipuni* (新): [他](人)に食糧を分配する *koipuni* (石狩)、[他] *imekkaar* (石狩): [他](人)に食糧を分配させる *ipunire* (新)、[他] *iimekkare* (石狩): [他](人)に(人)に食糧を分配させる *koipunire* (新)、[他] *imekkare* (新):

[他](食糧)を分配する *eipuni* (新)、[他] *eimekkaar* (天塩): [他](人)に(食糧)を分配する *koeipuni* (*ekoipuni*) (新)、[他] *eimekkaar* (天塩): ③分配し合う → 「分け合う」を見よ

ふんばる [自]ふんばる *siyuppa* (石狩): [他](場所)でふんばる *esiyuppa* (新): [他]～に力を入れてふんばる *kosiyuppa* (石狩): (表現)心をしっかり持ち(耐える) *yaykewtum kosiyuppa* (石狩): 「悪い知らせを聞き私は気を失いそうになったが、心をしっかり持って、自分の家まで帰り着いた。」 “Wen sonko ku=nu wa naani ku=ekunnaot korka ku=yaykewtum ku=kosiyuppa wa ku=kor cise pakno ku=yaysirepare .” : [他]～と共にふんばる *kosiyuppa* (新): [他](原因、手段)でふんばる *osiyuppa* (新): [他](人)にふんばらせる *siyuppare* (新): [自]自分で、一人でふんばる *yaykosiyuppa* (新): [自]皆で、互いにふんばる *ukosiyuppa* (新): [自]すっかりふんばる *oassiyuppa* (*assiyuppa*) (新): [自]ものすごくふんばる *toykosiyuppa* (新)

ぶんぼ(分母) (数学)[名]分母 *cipereike-sinrit(-ci)* (新)

ぶんぼう(文法) (言語)[名]文法 *itak-irenka* (新)、[名]入格 *gurammatika* (新)※(羅語): [名]文法格 *itakirenka-rewke* (新)、[名] *gurammatika-rewke* (新)

ふんまつ(粉末) [名]粉末 *ko* (石狩): [自]粉末になる、である *kóne* (石狩): (表現)粉末状 *kóne kat(-u)* (新): [他]～を粉末にする *kóneka* (*kónere*) (新)

ふんむ(噴霧) [名]噴霧器 *urarpuruspap* (新)、[名] *ciourarpuruspap* (新): [自]噴霧耕栽培する *urarpuruspap-otoyta* (新): [他]～を噴霧耕栽培する *eurarpuruspap-otoyta* (新): [他](人)に～を噴霧耕栽培させる *eurarpuruspap-otoytare* (新)

ぶんめい(文明) [名]文明 *cisimacyanere* (新)、[名] *civirizatio* (新)※(羅語)

ぶんり(分離) [自]分離する *umosmaanu* (新): [他]～を分離する *umosmaanu* (新): (表現)～を分離する *umosma anu* (石狩): [他](場所)で～を分離する *eumosmaanu* (新): [他]～と共に～を分離する *koumosmaanu* (新): [他]～から～を分離する、(原因、手段)で～を分離する *oumosmaanu* (新): [他](人)に～を分離させる *umosmaanure* (新)

ぶんりか(分離果) (植物)[名]分離果 *ciumosmaanu-ikaop(-i)* (新)

ぶんりゅう(分流) [名](特に大きな流れで、本流

から分かれてまた本流に合流する)分流
makumpet (石狩): (表現)分流が本流から
分かれる所 makumpet caro (石狩): (表
現)分流が本流へ合流する所 makumpet
putu (石狩)

ぶるい(分類) [自]分類する isoneka
(isonere) (新): [他]～を分類する
sóneka (sónere) (新): (表現)～に～を分
類する ～ ne sóneka (新): [他](場所)で
～を分類する esoneka (esonere) (新):
[他]～と共に～を分類する kosoneka
(kostonere) (新): [他](原因、手段)で分類
する osoneka (osonere) (新): [他](人)
に～を分類させる sónekare (sónerere)
(新): [他]完全に～を分類する oarsoneka
(oassoneka) (新)、[他] arsoneka
(assoneka) (新): [自]分類される
sisoneka (新): (表現)～に分類される ～
ne sisoneka (新)

ぶるいがく(分類学) [名]分類学 isoneka-
eampehunar (新)、[名] isonere-
eampehunar (新): [名]分類学者
isoneka-eampehunarkur (新)、[名]
isonere-eampehunar (新)

ぶるいぐん(分類群) (分類)[名]分類群
takson (新)※(英語)

へ ①動作の方向、目標を示す「へ」として後置
詞"ene"や"ta"がある。これは場所の概念を持
つ言葉の後ろに「村へ私が行く」"kotan ene
ku=oman = kotan ta ku=oman"と使わ
れる。普通名詞の後ろでは"ta"については普
通名詞の後ろでは「位置名詞+or」の形式が
使われる。これは韻文でない限り"otta"とな
り「私の家へ彼が来る」"ku=kor cise otta ek"
のようになる。また先の「村へ私が行く」も
"kotan otta ku=oman"と言う事もできる。
"ene"は他方言の影響を受けたと考えられる
少数の例を除き"orene"が現れず、石狩方言で
は後置副詞"ekota"が使われる。つまり「君の
家へ私は行く」"e=kor poncise ekota
ku=oman = e=kor cise otta ku=oman"と
なる。: ゆっくり丁寧に発音する時以外、
"tum"や"kasike"の様に母音"e"で終わる語の
後の"ene"は"tumne"、"kasikene"の様に語頭
の母音が脱落し"ne"と発音される。また他の
母音の後や幾つの子音の後では"atuyka
ine"、"sicorpok ine"などと発音されるため
"ine"と表記する人もいるが、その人の発音で
も常に"ine"となる訳でもないため、今後は
"ene"を標準形とする。: ②先の後置詞は動
詞に"e-"や"ko-"という接頭辞付けて表現でき
る。e+oman 「～へ行く」 → 「美唄へ
私は行く」"Pipai ku=eoman"、ko+ahun
「～へ入る」 → 「家の中へ私は入る」"cise

oske ku=koahun"。この辞書ではこの意味で
新語には"ko-"のみ用いる。

へ(屁) [名]屁 opke (石狩): [自]屁をひる
opke (石狩): 「ツルボの鱗茎を食べると
とても屁をひりやすくなるから、アツベツで
はそうした者の尻を女達がツルボの鱗茎で
叩きながら、ツルオの鱗茎のせいだと言う。

“Setatoma an=e kor sonno opkepa=an
kusu Atpet otta opke kur an yakun osoroho
setatoma ani menoko utar kikkik kane
setatoma renka p tan sekor itak .”:
[他](人)に屁をひらせる opkere (新): [間
投](放屁の音)プー put (H)

へいおんせつ(閉音節) [名]閉音節 yayseske-
humik(i) (新)

へいか(閉果) (植物)[名]閉果 ciseske-ikaop(-
i) (新)

へいげん(平原) [名]平原 nup(i) (石狩)、
[名] sepnup(i) (新)

ヘイゲンしょう(平原省) [場名](中華人民共和
国にあった省名)平原省 Pinyuan-
purovince (新)※(1949-52)

へいこう(平衡) [自]平衡する
siupaksinneka (新): [他]～を平衡させる
upaksinneka (新): (表現)平衡状態
siupaksinneka kat(u) (新): [自]平衡状
態を保つ siupaksinneka-katkor (新):
[名]平衡感覚 siupaksinneka-hum(i)
(新): (表現)平衡感覚を失くす
siupaksinneka-hum sak (新): [名]平衡感
覚器 ciosupaksinneka-humnup(i) (新):
[名]平衡石 siupaksinneka-suma (新)

べいじゅ(米寿) (表現)米寿 tupesan pa
ikasma inehotne pa (新)、(表現)
tunesampe ikasma inehotne pa (新)

へいじょう(平常) (表現)平常 sawre kunip
(石狩): (表現)平常になる、である sawre
kunip an (新)、(表現) earikinne sirki an
(新)

へいせい(平静) [自]自分を平静に保つことが
できない yaykurkatustek (新): [他](神
がかりの状態など)で自分を平静に保つこと
ができない eyaykurkatustek (石狩)

へいち(平地) [場名]平地 kocipirkai
(kocipirkahi) (新): [名]川のそばの平地
hurpar(o) (石狩): (表現)川のそばの低い
平地 ram hurpar (石狩): (表現)川のそ
ばの高い平地 ri hurpar (石狩): [名]片
方が山になっている川岸の平地 ninar(i,
-u) (天塩): [名]河原より上の平地
kenas (石狩)

へいや(平野) [名]平野 sepnup(i) (新)

ペイラ (動物)[名](ボック亜族)ペイラ属
beira-cise (新): [名]ペイラ beira (新)

※(英語)

ベイルート [場名](レバノン共和国の首都名)ベイルート Bairut (新)

ペウレ・ウタリのかい(ペウレ・ウタリの会)
[名]ペウレ・ウタリの会 Pewre utari kor Uekarpaus (新)※(略号 PUKU)

ページ [名](書籍の)ページ sos (新): (表現)ページ sine sos (新)

ヘーゼルナッツ [名]ヘーゼルナッツ repun-hastaypaninum (新)、[名] házennut (新)※(セイヨウハシバミの果実)

ペーチカ [名]ペーチカ pecka (新)※(露語)

ベーリング [名](地名)ベーリング海 Béringu-atuy (新): [名](地名)ベーリング海峡 Béringu-uturkeatuy (新): [場名](地名)ベーリング島 Béringu-poysir (新)※(コマンドルスキー諸島に属するロシア連邦領の島): [名](地名)ベーリング地峡 Béringu-sinriwka (新)※(かつてユーラシア大陸とアメリカ大陸を繋いでいた地峡。現在は海峡となっている)

ペールブラウン [自]ペールブラウン色になる、である can-ca-irone (pan-) (新): [他]~をペールブラウン色にする can-ca-ironeka (pan-) (新)、[他] can-ca-ironere (pa-) (新): [名]ペールブラウン色 can-ca-iro (pan-) (新)

ベオグラード [場名](セルビア共和国の首都名)ベオグラード Beogurat (新)

ペカン (植物)[名](クルミ科)ペカン属 hikkori-cise (新)※(カリア属などとも): [名]ペカンの茎 pékanhikkori (新)※(別名「ペカンヒッコリー」)、[名]その果実 pékan (新)、[名]その核 pékankap (新)、[名]pékaysey (新)、[名]その胚乳 pékan-ipe (新)、[名] pékannat (新)※(英語): [名]カリア・アクワティカの茎 petcam-hikkori (新): [名]カリア・オパタの茎 seyekapar-hikkori (新): [名]カリア・オバリスの茎 húre-hikkori (新): [名]カリア・カサイエンスの茎 atuyya-hikkori (新): [名]カリア・グラブラの茎 putapekan-hikkori (新): [名]カリア・コルディフォルミスの茎 siwpekan-hikkori (新): [名]カリア・テクサナの茎 kunne-hikkori (新): [名]カリア・トメントサの茎 retar-hikkori (新): [名]カリアバリダの茎 ota-hikkori (新): [名]カリア・パルメリの茎 mexiko-hikkori (新): [名]カリア・フロリダナの茎 furorida-hikkori (新): [名]カリア・ミリスティキフォルミスの茎 nutmekpekan-hikkori (新): [名]カリア・ラキノイオサの茎 síporopekan-hikkori (新): [名]カリア・ワシントンネンシスの茎 wasinton-

hikkori (新)※(絶滅種)

ベキ(冪) (数学)[名]冪、冪乗 sinecipiskip-suyukotama (新)、[名] sinecipiskipsuyuka (新)

ペキン(北京) [場名](中華人民共和国の首都名)北京 Peycin (新)

ペグ [名]ペグ kácimpe (新)、[名](トンコリの)ペグ kisaru (樺太)

ベクトウさん(白頭山) [名](地名)白頭山 Cambay-nupuri (新)、[名](地名)Bektunupuri (新)※(中華人民共和国と朝鮮民主主義人民共和国の国境に位置する山)

ヘクトグラム [名](重さの単位)ヘクトグラム hektoguram (新)※(単位記号 hg)

ヘクトメートル [名](長さの単位)ヘクトメートル hektometre (新)※(単位記号 hm)

ヘクトリットル [名](体積の単位)ヘクトリットル hektoritre (新)※(単位記号は hl)

へこむ [名]へこみ kot(-ci) (石狩): [自]へこむ、へこんでいる kotne (石狩): [他](場所)でへこむ、へこんでいる ekotne (新): [他]~と共にへこむ、へこんでいる kokotne (新): [他](原因、手段)でへこむ、へこんでいる okotne (新): [自]完全にへこむ、へこんでいる oarkotne (arkotne) (新): [他]~をへこませる kotneka (kotnere) (新)

へさき(舳先) →「せんしゅ(舳先)」を見よ

ペスト (歴史)[場名](ドナウ川東岸にあったハンガリーの都市名)ペスト Pesto (新)※(1873年オーブダ、ブダと合併して「ブダペスト」となる)

ベスパデルス (動物)[名](ヒナコウモリ科)ベスパデルス属 nitayunkapap-cise (新): [名]ベスパデルス・カウルヌス koyka-nitayunkapap (新): [名]V. ダルリングトニ danrinton-nitayunkapap (新): [名]V. ドウグラソルム kimbenrey-nitayunkapap (新): [名]V. トロウグトニ torouton-nitayunkapap (新): [名]V. バベルストッキ mosirmak-nitayunkapap (新): [名]V. フィンライソニ finrayson-nitayunkapap (新): [名]V. プミルス cupka-nitayunkapap (新): [名]V. プルトウルヌス nokan-nitayunkapap (新): [名]V. レグルス koypok-nitayunkapap (新)

ヘスペロクニデ (植物)[名](イラクサ科)ヘスペロクニデ属 karifonnia-metotuniririp-cise (新): [名]ヘスペロクニデ・サンドウィケンシスの茎葉 hawaii-metotuniririp (新): [名]H. テネラの茎葉 karifonnia-metotuniririp (新)

ヘスペロプテヌス (動物)[名](ヒナコウモリ

科)ヘスペロプテヌス属
sunkeonumankapap-cise (新): [名]ヘス
ペロプテヌス・ガスケリ gasker-
sunkeonumankapap (新): [名]H. ティッ
ケリ tikker-kapap (新): [名]H. トメシ
tomas-sunkeonumankapap (新): [名]H.
ドリアエ sunkeonumankapap (新):
[名]H. ブランフォルディ buranfordo-
kapap (新)

ペソ [名](スペインの旧植民地の国で用いられ
る、あるいは用いられた通貨単位)ペソ péso
(新)

へそ(臍) [名]臍 hanku (石狩、天塩)、[名]
hanko (石狩): (表現)平たい円盤の中央に
へそのような盛り上がりのある団子 hanku
(hanko) kor sito (石狩): [名]臍の穴
hankupuy(-e) (石狩、天塩): [名]臍の緒
hankuat(-u) (石狩)、[名] eha (石狩)※
(十勝系の人には"aha"を用いる)

へそくりにする [他]～をへそくりにする
ehomaci (沙流)

へた(下手) [自]下手である aykap (石狩):
[他]～が下手である eaykap (石狩): [助
動]～(する)のが下手である eaykap (石
狩): [名]下手な人 aykapkur (新): (表
現)下手な男 aykap okkayo (okkay) (新):
(表現)下手な女 aykap menoko (新): (表
現)～が下手な人 名詞+eaykap+kur
(新): (表現)彫り物が下手な人 inuye
eaykap kur (新): [名]下手な奴 aykappe
(石狩): (表現)～が下手な奴 名詞+
eaykap+pe (新): (表現)彫り物が下手な
奴 inuye eaykap pe (新): [副]下手に
wenno (石狩)、[副] wen (石狩)、[副]
aykapno (新): (表現)(縫い目が揃わずば
らばらななっている下手な縫い方を描写し)
～を速く縫い、近く縫う ～ tuymaninu
hankeninu (石狩)

へた(蒂) [名]蒂 ikaopso (新)※(果実の座)

ペタグラム [名](重さの単位)ペタグラム
pétaguram (新)※(単位記号"Pg")

ペタバイト (コンピュ)[名](デジタルコンピュー
タが扱う情報量の単位)ペタバイト
pétabait (新)※(単位記号は"PB")

ベタベタ [自]人や物にベタベタくっ付く
ikotuk (新): [自]人にベタベタくっ付く
unkotuk (新): [他]～にベタベタくっ付く
kotuk (新): [他]～を～にベタベタくっ付
ける kotukka (新): [名]ベタベタした物
ikotukpe (新)、[名] unkotuk(-i) (石狩)

べたぼめ(べた褒め) ①[自]人や物をべた褒めす
る itoyko-otuwasi (新)、[自] itoyko-
omonnure (新): [他]～をべた褒めする
toyko-otuwasi (新)、[他] toyko-omonnure

(新): ②(感謝し)[自]人や物をべた褒めする
itoyramoitak (新): ③(容姿に関して)[自]
人をべた褒めする itoykoreka (新): [他]
～をべた褒めする toykoreka (新)

ペタメートル [名](長さの単位)ペタメートル
pétametre (新)※(単位記号"Pm")

ペタリットル [名](体積の単位)ペタリットル
pétaritre (新)※(単位記号"Pl")

ヘチマ(糸瓜) (植物)[名](ウリ科)ヘチマ属
káuripunkar-cise (新): [名]ヘチマの茎
káuripunkar (新)、[名]その果実 káuri
(新)、その繊維 urika (新)、[名]その汁
káuripe (新): [名]トカドヘチマの茎葉
waysikkewkor-kauripunkar (新): [名]ル
ッファ・アエギプティアカの茎葉 vietnam-
kauripunkar (新): [名]ルッファ・オペル
クラタの茎葉 takne-kauripunkar (新)

ペチャペチャ ①[間投](擬声語)ペチャ、ペチャ
(という音) pep (H): [自](一回)ペチャ、
ペチャッと鳴る pepkosanu (新): [自]ペ
チャペチャ、ペチャペチャッと頻りに鳴る
cipeprototo (新)、[自] peprototke (新):
[自]ペチャペチャ、ペチャペチャッと何度も
鳴る pépepatki (新): [自]ペチャペチャ、
ペチャペチャと続けて鳴る pepnatara
(新): [自](瞬間的に)ペチャ、ペチャッと鳴
る peptek (新): ②[間投](擬声語)(柔らか
いものを食べる音)ペチャペチャ peykot
peykot (石狩)※(硬いものを食べる音「ガリ
ガリ」は"satkot satkot")

ぺちゃんこ ①(平坦にする)[自]ぺちゃんこにな
る kapke (新): [他]～をぺちゃんこにす
る kapu (複数 kappa) (石狩): [自]完全
にぺちゃんこになる oarkapke (arkapke)
(新): [他]完全に～をぺちゃんこにする
oarkapu (複数 oarkappa) (新)、[他]
arkapu (複数 arkappa) (新): [自]ぱっと
(少し)ぺちゃんこになる kaptek (石狩):
[他]～をぱっとぺちゃんこにする
kaptekka (新): ②(踏み潰して)[自]ぺち
ゃんこになる teyke (新): [他]～をぺち
ゃんこにする teye (複数 teypa) (石狩):
[自]完全にぺちゃんこになる oatteyke
(attkeyke) (新): [他]完全に～をぺち
ゃんこにする oatteye (複数 oatteypa) (新)、
[他] atteye (複数 atteypa) (新): [自]～
をぱっと(少し)ぺちゃんこにする teytek
(新): ③[他]～をぱっとぺちゃんこにする
teytekka (新): [名]ぺちゃパイ
kaptektotto (新): [自]ぺちゃパイである
tottokaptek (新): ④[名]ぺちゃ鼻
kapteketu (新)、[名] teykeenkor(-i)
(新): [自]ぺちゃ鼻である etukaptek (屈
斜路)、[自] enkotteyke (石狩)

ベツ (唾を吐く音)[間投](擬声語)ベツ top
(石狩): [間投](擬声語)ベツベツ toptop
(新): [自]ベツという、ベツと吐き出す
topse (石狩)

べつ(別) ①(ある人や物以外に)[副]別に
mosma (石狩): (表現)別である、別の
mosma an (複数 okay) (石狩): (表現)別
の人 mosma an kur (石狩): (表現)別の
人達 mosma okay utar (石狩): (表現)別
の物 mosma an pe (石狩): [後副]～とは
別に emosma (石狩): (表現)～とは別で
ある、～とは別の emosma an (複数 okay)
(石狩): (表現)～とは別の人 emosma an
kur (石狩): (表現)～とは別の人達
emosma okay utar (石狩): (表現)～とは
別の物 emosma an pe (石狩): ②(ある
人や物と別々に)[後副]～と別に sinnayno
(天塩)、[後副] sinnay (石狩): (表現)～
と別である sinnayno an (天塩)、(表現)
sinnay an (石狩): ③(他所の)[連体]別の
oya (新): (表現)別の村 oya kotan (石
狩): [位名]～と別の場所 oyak(長形
oyak、-e、-ke) (石狩): 「少しも彼は私
から離れません。」“Ponno ka en=oyak ta
somo an.” (砂沢クラ): (表現)～と別の場
所へ置く oyak ene ama (石狩)、(表現)
oyak ene anu (石狩): (表現)～と別の場所
へ行く oyak ene oman (複数 paye) (石
狩): (表現)(手で寄せて)～と別の場所へ～
をずらす oyak ene rutu (石狩): [副]別
の場所で sinnaytoyne (沙流)※(沙流
"sinnatoyne"より): (表現)別の場所で～に
祈る sinnaytoyne ~ nomi (新)

ベッカリー(動物)[名](イノシシ亜目)ベッカリ
ー科 pékari-apa (新)※(西語): [名]クビ
ワベッカリー属 rekutun-karipnokao-
pekari-cise (新): [名]クビワベッカリー
rekutun-karipnokao-pekari (新): [名]ク
チジロベッカリー paroretar-pekari (新):
[名]チャコベッカリー属 cakoumpekari
(新): [名]チャコベッカリー
cakoumpekari (新)

べっこう(鼈甲) [名]鼈甲 ecinkewikor (新)

ベッコウガキ(鼈甲牡蠣) (魚介)[名](カキ上科)
ベッコウガキ科 perkenopisas-apa (新):
[名]ベッコウガキ perkenopisas (新):
[名]カキツバタ kakitubata (新)※(日本
語)

べったく(別宅) [名](主屋の側に建てられた)
もう一軒の家、別宅 atcise (石狩)

ベツチン [名]ベツチン vervetin (新)※(英
語)

ベツト ①[名]ベツト amset (石狩)、[名](雅
語) sotkiamset (石狩)、[名](雅)

hotkeamset (石狩)、[名](多くは合成語の構
成要素として用いられ)ベツト set (石狩):

②[名]ジュニア pó(-ehotkep) (新)、[名]ジ
ュニアベツト póehotke-amset (新):
[名]シングル sinen(-ehotkep) (新)、[名]シ
ングルベツト sinen-ehotke-amset (新):
[名]セミダブル sépsinen(-ehotkep) (新):
[名]ダブル tún(-ehotkep) (新)、[名]ダブル
ベツト túnehotke-amset (新): [名]クィ
ーン katkemat(-ehotkep) (新): [名]キ
ング nispa(-ehotkep) (新): [名]カリフ
オルニアキング karifonnia-nispa(-
ehotkep) (新): [名]ロング tannep
(tanne-amset) (新): ③[名]医療用ベツト
itemka-amset (新): [名]ウォーターベツ
ト wakkao-amset (新): [名]折りたたみ
式ベツト cikomo-amset (新): [名]介護
用ベツト ikahuye-amset (新): [名]回転
ベツト sikari-amset (新): [名]簡易ベツ
ト cikattek-amset (新): [名]三段ベツト
répukaomare-amset (新): [名]ソファベ
ツト sofa-amset (新): [名]畳ベツト
tatami-amset (新): [名]作り付けベツト
cicisekokar-amset (新): [名]二段ベツト
túpukamare-amset (新): [名]ハリウッド
スタイル hóriwutkatkor(-amset) (新):
[名]ベビーベツト pompe-ampet (新):
[名]ヨーロッパンスタイル europakatkor(-
amset) (新): [名]ロフトベツト cikap-
amset (新)

ベツト [名]ベツト itemka-cikoykip (新)※
(癒し動物)

べつべつ(別々) ①[後副]～と別々に
sinnayno (天塩)、[後副] sinnay (石狩):
(表現)～と別々にいる、暮らす、ある
sinnayno an (天塩)、(表現) sinnay an
(石狩): [副]別々に usinnayno (天塩)、
[副] usinnay (石狩、天塩): (表現)別々に
行く usinnay (usinnayno、usinnay
usinnay) paye (石狩、天塩): ②(分け
て)[副]別々に umosma (石狩): (表現)～
を別々に置く umosma anu (石狩): [他]
別々に分ける usaraye (usare) (石狩)、
[他] usaraye (天塩): (表現)～を別々に
分けて置く ~ usaraye (usare) wa ~
anu (石狩)

へつらう(諂う) [自]諂う panore (B)、[自]
kobi (新)※(日本語): [他](人)に諂う
kopanore (新)、[他] kokobi (新):
[他](人)に諂わせる panorere (新)、[他]
kobire (新): [名]諂う人 panorekur
(新): [名]諂い者 panorep (萱)

べつり(別離) ①(互いに別方向に行く)[自]別離

する ukohopi (ukoopi、ukopi、ukohoppa) (石狩): [他]〜と別離する kohopi (koopi、kopi) (石狩): [後副]〜と別離して ekohopi (ekopi) (石狩): ②(離婚する)[自]別離する uosura (石狩)、[自] uosurpa (天塩): [他]〜と別離する osura (複数 osurpa) (石狩)

へど(反吐) [名]反吐 eatup(i) (石狩): [自]反吐を吐く atu (石狩)

ベトナム ①[場名](国名)ベトナム社会主義共和国 Vietnam Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(首都は「ハノイ」): [場名](国名)ベトナム Vietnam (新): [名]ベトナム人、国民 vietnamunkur (新): [名]ベトナム人(キン族) kinkur (新): [名]ベトナム語 vietnamunkuritik (新): (歴史)[場名](国名)ベトナム民主共和国 Vietnam Urenkasapte Ukotankoremosir (新)※(1945-76年。南ベトナム共和国を合併し現国名に改称。俗称「北ベトナム」): ②(歴史)[場名](国名)南ベトナム共和国 Koypokun Vietnam Ukotankoremosir (新)※(1975-76。ベトナム民主共和国の傀儡国家。首都は「サイゴン」): [場名](国名)ベトナム共和国 Vietnam Ukotankoremosir (新)※(1955-75年。俗称「南ベトナム」。首都は「サイゴン」): [場名](国名)ベトナム国 Vietnam Mosir (新)※(1949-55年。フランスの傀儡国家。首都は「サイゴン」): ③[名]自由ベトナム暫定政府 Yayrenkanu Vietnam Ietokoyki Mosireyaytunuspe (新)※(アメリカ合衆国カリフォルニア州に本拠を置く亡命政権)

ベトベト [自]ベトベト、ベチャベチャになる、なっている péne (新): [他](場所)でベトベト、ベチャベチャになる、なっている epene (新): [他]〜と共にベトベト、ベチャベチャになる、なっている kopene (新): [他](原因、手段)でベトベト、ベチャベチャになる、なっている opene (新): [他](潰したりして)〜をベトベト、ベチャベチャにする péneka (石狩)、[他] pénere (八雲): [自]充分ベトベト、ベチャベチャになる、なっている péneno (pénenu) (新): [自]すっかりベトベト、ベチャベチャになる、なっている oarpene (arpen) (新): [自]ものすごぐベトベト、ベチャベチャになる、なっている toykopene (新)

ペトログラード [場名](サンクトペテルブルグの旧称の一つ)ペトログラード Petrogurat (新)※(ロシア帝国の首都。1914年「サンクトペテルブルク」より改称。1924年に「レニングラード」と改称される)

ペトロザヴォーツク [場名](ロシア連邦共和国のカレリア共和国の首都名)ペトロザヴォーツク Petrozavotku (新)

ペトロバヴロフスク・カムチャツキー[場名](ロシア連邦極東連邦管区カムチャツカ州の州都名)ペトロバヴロフスク・カムチャツキー Petropavurofsuk-kamcatkiy (新)

ベナン [場名](国名)ベナン共和国 Benin Ukotankoremosir (新)※(法律上の首都は「ポルトノボ」): [場名](国名の通称として)ベナン Benin (新): [名]ベナン人、国民 beninunkur (新)

ベに(紅) ①(染料など)[名]紅 ihurekap (新): ②(口紅)[名]紅 cápus-hurekap (pápus-hurekap) (新): ③[自]紅色になる、である ihurekap-irone (新): [他]〜を紅色にする、染める ihurekap-ironeka (-ironere) (新): [名]紅色 ihurekap-iro (新)

ベニザケ(紅鮭) (魚介)[名](サケ属)ベニザケ urup (藻汐草)、[名] húsesipe (新)、[名] nerka (新)※(露語。ヒメマスの降海型)

ベニジウム(植物)[名](キク科)ベニジウム属 venidium-kikukina-cise (新): [名]カンザキジャノメギクの茎葉 níkipirocep-sikkikukina (新)

ベにしょうが(紅生姜) [名]紅生姜 húresioga (新)、[名] cinureka-sioga (cihurere-) (新)

ベニバナ(紅花) ①(植物)[名](キク科)ベニバナ属 ihurekapkina-cise (新): [名]ベニバナの茎葉 ihurekapkina (新)、[名]その花 ihureka-apappo (-nonno) (新): [名]カルサマス・ラノトウスの茎葉 mosinnoskiatuy-ihurekapkina (新): [名]カルサマス・レウコカウロスの茎葉 eras-ihurekapkina (新): ②[名]ベニバナから作る染料、紅 ihurekap (新): [名]紅花油 ihurekap-sum (新)

ベニバナバロギク(紅花檉樓菊) (植物)[名](キク科)ベニバナバロギク属 húrekutune-kikukina-cise (新): [名]ベニバナバロギクの茎葉 húrekutune-kikukina (新): [名]クラツケファルム・ヴィテリヌムの茎葉 sikepepeus-nociwpo-kikukina (新): [名]クラツケファルム・ルベンスの茎葉 áonociwpo-kikukina (新)

ベニモンアゲハ(紅紋揚羽) [名](キシタアゲハ族)ベニモンアゲハ属 húrekeso-kitomarewrew-cise (新): [名]ベニモンアゲハ húrekeso-kitomarewrew (新): [名]セレベスベニモンアゲハ serebes-hurekeso-kitomarewrew (新): [名]ヘクトールベニモンアゲハ hektor-hurekeso-kitomarewrew (新): [名]リリスベニモン

アゲハ riris-hurekeso-kitomarewrew (新)

ベネズエラ [場名] (国名) ベネズエラ・ボリバル共和国 *Venezuera Borivar* Ukotankoremosir (新)※(首都は「カラカス」): [場名] (国名の通称として) ベネズエラ *Venezuera* (新): [名] ベネズエラ人、国民 *venezuera-unkur* (新): (歴史) [場名] (国名) ベネズエラ共和国 *Venezuera* Ukotankoremosir (新)※(1999年に現国名に改称)

ベネツィア ① [場名] (イタリア共和国ベネト州の州都名) ベネツィア *Veneția* (新): (歴史) [場名] (国名) ベネツィア共和国 *Veneția* Ukotankoremosir (新)※(727-1797年): ② [場名] (地名) ベネツィア湾 *Veneția-usor* (新)

へばりつく(へばり付く) [他] ~にへばり付く *kotuk* (石狩): [他] (場所) で~にへばり付く *ekotuk* (新): [他] (原因、手段) で~にへばり付く *okotuk* (新): [他] ~を~にへばり付かせる *kotukka* (石狩): [他] *kotesu* (石狩): [他] (場所) で~を~にへばり付かせる *ekotukka* (新): [他] *ekotesu* (新): [他] (原因、手段) で~を~にへばり付かせる *okotukka* (新): [他] *okotesu* (新)

ベビーシッター [名] ベビーシッター *pakkaykur* (新)

ベビーベット [名] ベビーベット *pompe-ampet* (新)

ヘビウ(蛇鵜) (鳥) [名] (カツオドリ目) ヘビウ科 *tannepurir-apa* (新): ヘビウ属 *tannepurir-cise* (新): [名] アジアヘビウ *azia-tannepurir* (新): [名] アフリカヘビウ *afrika-tannepurir* (新): [名] アメリカヘビウ *amerika-tannepurir* (新): [名] オーストラリアヘビウ *austoraria-tannepurir* (新)

ベビバイト (コンピュ) [名] (コンピュータの容量などの単位) ベビバイト *pébibait* (新)※(単位記号"PiB")

ヘブライ [名] ヘブライ人 *yehudikur* (新): [名] ヘブライ語 *yehudikur-itak* (新): [名] *ivurit* (新): [名] ヘブライ文字 *yehudikur-itakitokpa* (新)

へま [名] へまな奴 *wayasap* (天塩): (表現) へまをやらかす *wayasap neno iki* (新)

ヘミガルス (動物) [名] (ジャコウネコ科) ヘミガルス亜科 *kenas-omawkusmekot-moapa* (新): [名] オーストンヘミガルス *ouston-kenasomawkusmekot* (新)※(オーストンヘミガルス属): [名] キノガーレ *esaman-kenasomawkusmekot* (新)※(キノガーレ

属): [名] クロヘミガルス *kunne-kenasomawkusmekot* (新)※(クロヘミガルス属): [名] タイガーシベット *tunro-kenasomawkusmekot* (新)※(タイガーシベット属)

へや(部屋) [名] 部屋 *tumpu* (石狩): (表現) 仕事部屋 *an=emónrayke tumpu* (新): (表現) 勉強部屋 *an=eyápakasnu tumpu* (新)

へら(簞) [名] 簞 *pera* (石狩)

ヘラアナゴ(簞穴子) (魚介) [名] (アナゴ亜目) ヘラアナゴ科 *perahamo-apa* (新): [名] ヘラアナゴ属 *perahamo-cise* (新): [名] ヘラアナゴ *perahamo* (新): [名] クビナガアナゴ属 *rekucitannehamo-cise* (新): [名] クビナガアナゴ *rekucitannehamo* (新)

ヘラコウモリ(簞蝙蝠) (動物) [名] (コウモリ目) ヘラコウモリ科 *hámetukapap-apa* (新): [名] ヘラコウモリ亜科 *hámetukapap-moapa* (新): [名] ヘラコウモリ族 *hámetukapap-utar* (新): [名] ヘラコウモリ属 *hámetukapap-cise* (新): [名] オオヘラコウモリ *sihametukapap* (新): [名] フィロストムス・エロンガトウス *mohametukapap* (新): [名] P. ディスコル *matekretar-hametukapap* (新): [名] P. ラティフォルウス *guianaun-hametukapap* (新): [名] ビーターズヘラコウモリ属 *ematekretar-hametukapap-cise* (新): [名] ペーターズヘラコウモリ *ematekretar-hametukapap* (新): [名] チスイコウモリモドキ族 *cikemkemkapapkopa-utar* (新): [名] ミクロクテリス族 *kisaraporohametukapap-utar* (新): [名] ミミナガコウモリ族 *ópetukapap-utar* (新): [名] アカフルーツヘラコウモリ亜科 *húre-nikaopehametukapap-moapa* (新): [名] グレープフルーツヘラコウモリ亜科 *antiriaunnikaope-hametukapap-moapa* (新): [名] シタナガコウモリ亜科 *awetannekapap-moapa* (新): [名] タンビヘラコウモリ亜科 *otaknehametukapap-cise* (新): [名] チスイコウモリ亜科 *kemkemkapap-moapa* (新): [名] フィロクテリス亜科 *jamaykaun-apappokapap-moapa* (新)

ヘラサギ(簞鷺) (鳥) [名] (トキ科) ヘラサギ属 *eperanetoki-cise* (新): [名] ヘラサギ *eperanetoki* (新)

ヘラジカ(簞鹿) (動物) [名] (シカ科) ヘラジカ属 *perakirawkorpe-cise* (新): [名] ヘラジカ *perakirawkorpe* (新)※(別名「オオジカ」)

へらす(減らす) ①(物に関して)[他]～を減らす *ponte (ponka)* (新): [他](場所)で～を減らす *eponte (eponka)* (新): [他]～と共に～を減らす *koponte (koponka)* (新): [他](原因、手段)で～を減らす *oponte (oponka)* (新): [他](人)に～を減らさせる *pontere (ponkare)* (新): [他]自分で～を減らす *yaykoponte (yaykoponka)* (新): [他]皆で、互いに～を減らす *ukoponte (ukoponka)* (新): [他]完全に～を減らす *oarponte (oarponka)* (新)、[他] *arponte (arponka)* (新): [他]ものすごく～を減らす *toykoponte (toykoponka)* (新): [他]一気に～を減らす *pontekka* (新): ②(人口に関して)[他]～を減らす、～の人口を減らす *moyoka (moyore)* (新): [他](人)に～を減らさせる、(人)に～の人口を減らさせる *moyokare (moyore)* (新): [他]一気に～を減らす、一気に～の人口を減らす *moyotekka* (新): ③(なくなる事に注目して)[他]～を減らす、減らしてなくす *ninka* (石狩)、[他] *ninte* (新): [他](人)に～を減らす、減らしてなくす *ninkare (nintere)* (新): [他]一気に～を減らす、一気に～を減らしてなくす *nintekka* (新)

へらや(簀矢) [名](魚を獲るため簀状の矢尻を付けた)簀矢 *peraay* (石狩)

ベラルーシ [場名](国名)ベラルーシ共和国 *Belaruši Ukorankoremosir* (新)※(首都は「ミンスク」): [場名](国名の通称として)ベラルーシ *Belaruši* (新): [名]ベラルーシ人、国民 *balarušiunkur* (新): [名]ベラルーシ語 *belarusinekur-itak* (新): (歴史)[場名](国名)ベラルーシア・ソヴィエト社会主義(白ロシア・ソヴィエト社会主義共和国 *Belorušsiya Soviet Ureskaussamun Ukotankorekosir* (新)※(1919-1991年。1922年よりソ連邦の構成国となり、同連邦崩壊後独立)

へり(縁) [位名]～の縁 *párrur*(長形-ke) (石狩、天塩)※(短形は未確認。)、[位名] *páru* (石狩): 「船縁を力一杯踏み!」“*Cip paru siyuppa oterke!*” (砂沢クラ): [位名](*parur*より外側の)～の縁 *cáke* (天塩)

ベリーズ [場名](国名)ベリーズ *Berize* (新)※(首都は「ベルモパン」): [名]ベリーズ人 *berizeunkur* (新)

ヘリウム (化学)[名]ヘリウム *herium* (新)※(原子番号2番。元素記号 *He*)

ペリカリス (植物)[名](キク科)ペリカリス属 *perikariskikukina-cise* (新): [名]シネリアの茎葉 *aneárkar-perikariskikukina*

(新)、[名] *sineraria* (新)※(品種。別名「富貴菊」、「サイネリア」など): [名]ペリカリス・クルエンタの茎葉 *karimpaniapappo-perikareskikukina* (新): [名]ペリカリス・パピラケアの茎葉 *apappotakma-perikariskikukina* (新)

ペリカン (鳥)[場名](新顎上目)ペリカン目 *perikan-kotan* (新): [名]ペリカン科 *perikan-apa* (新): [名]ペリカン属 *perikan-cise* (新)※(英語): [名]アメリカシロペリカン *retar-perikan* (新): [名]カッシュクペリカン *uparus-perikan* (新): [名]コシグロペリカン *seturukunne-perikan* (新): [名]コシベニペリカン *setururuhure-perikan* (新): ニシハイイロペリカン *únaus-perikan* (新): [名]フィリピンペリカン *marmonnokao-perikan* (新): [名]モモイロペリカン *ruhure-perikan* (新): [名]サギ科 *petcakoas-apa* (新): [名]シュモクドリ科 *eakitnecikap-apa* (新): [名]トキ科 *toki-apa* (新): [名]ハシビロコウ科 *sapane-perikan-apa* (新): [名]ハシビロコウ *sapane-perikan* (新): [名]プロトブテルム科 *purotopterum-apa* (新)

ヘリコプター [名]ヘリコプター *kariraporikimpe* (新)※(回転翼で上昇するもの、[名] *herikopter* (新)※(英語): [名]ヘリ空母 *kariraporikimpekotcip* (新): [名]ヘリコプター巡洋艦 *kariraporikimpekor-castumicip* (新)

ベリリウム (化学)[名]ベリリウム *beririum* (新)※(原子番号4番。元素記号 *Be*)

へる(減る) ①(水や雪、金銭などに関して)[自]減る、減っている *pon* (石狩): [他](場所)で減る、減っている *epon* (新): [他]～と共に減る、減っている *kopon* (新): [他](原因、手段)で減る、減っている *opon* (新): [自]充分に減る、減っている *ponno (ponnu)* (新): [自]すっかり減る、減っている *oarpon (arpon)* (新): [自]ものすごく減る、減っている *toykopon* (新): [自]パッと減る *pontek* (新): ②(人口に関して)[自]人口が減る、減っている *moyo* (石狩): [自]パッと減る *moyotek* (新): ③(なくなる事に注目して)減る、減ってなくなる *nin* (石狩、天塩): [自]パッと減る、減ってなくなる *nintek* (新)

ペルー [場名](国名)ペルー共和国 *Peru Ukotankoremosir* (新)※(首都は「リマ」): [場名](国名の通称として)ペルー *Peru* (新): [名]ペルー人、国民 *peruunkur* (新)

ベルギー [場名](国名)ベルギー王国

Bergium Yaykomosirkorkur-kormosir (新)
 ※(首都は「ブリュッセル」): [場名](国名の通称として)ベルギー Bergium (新): [名]ベルギー人、国民 bergiumunkur (新)
 ベルゴロド [場名](ロシア連邦中央連邦管区の構成主体名)ベルゴロド州 Bergorot-purovince (新): [場名](ベルゴロド州の州都名)ベルゴロド Bergorot (新)
 ペルシャ [場名](イランに対する外国からの呼称)ペルシャ Persia (新): [名]ペルシャ人 persiaunkur (新): [名]ペルシャ語 persiaunkur-itak (新)
 ヘルシンキ [場名](フィンランド共和国の首都名)ヘルシンキ Heršinki (新)
 ベルベット [名]ベルベット vervet (新)※(英語)
 ヘルペトスペルムム (植物)[名](ウリ科)ヘルペトスペルムム亜連 ruwesiyoni-uripunkar-moutar (新): [名]ヘルペトスペルムム属 ruwesiyoni-uripunkar-cise (新): [名]ヘルペトスペルムム・ペドゥンクロスムの茎 ruwesiyoni-uripunkar (新)
 ベルベル [名]ベルベル人 amazigukur (新): [名]ベルベル語 amazigukur-itak (新)
 ベルホヤンスク ①[場名](ロシア連邦シベリア連邦管区サハ共和国の都市名)ベルホヤンスク Verxoyansuk (新): ②[場名](地名)ベルホヤンスク山脈 Verxoyansuk-ikinnenupuri (新)
 ペルミ [場名](ロシア連邦沿ヴォルガ連邦管区の構成主体名)ペルミ地方 Permi-sirkes (新)※(2005年12月「ペルミ州」と「コミ・ベルミヤク自治管区」が合併して成立): [場名](ペルミ地方の首府名)ペルミ Permi (新): (歴史)[場名]ペルミ州 Permipurovince (新)
 ヘルメット [名]ヘルメット hermet (新)※(英語): (表現)ヘルメットを被る hermetkor (新)
 ベルモパン [場名](ベリーズの首都名)ベルモパン Bermopan (新)
 ベルリン [場名](ドイツ連邦共和国の首都名)ベルリン Bérurin (新)※(ドイツ語。1949-80年まで東西に分断されていた): [場名]西ベルリン Cuppokun Bérurin (新)※(ドイツ連邦共和国の支配域): [場名]東ベルリン Cupkaun Bérurin (新)※(旧ドイツ民主共和国の首都)
 ベルン [場名](スイス連邦の州名)ベルン州 Bérun-kanton (新): [場名](スイス連邦の首都、及びベルン州の州都名)ベルン Bérun (新)
 ヘレナ [場名](アメリカ合衆国モンタナ州の州

都名)ヘレナ Herena (新)
 ペロプテリクス (動物)[名](サシオコウモリ科)ペロプテリクス属 setakapap-cise (新): [名]ペロプテリクス・カップレリ sisetakapap (新)P. トリニタティス torinidadoun-setakapap (新): [名]P. パリドプテラ ekuadorun-setakapap (新): [名]P. マクロティス mosetakapap (新): [名]P. レウコプテラ rapuretar-setakapap (新)
 へん(変) [副](物事や様子が)変で katkiko (石狩): (表現)変である katkiko an (石狩): (表現)変な夢 katkiko wentarap (石狩): (表現)への恰好が変である、～は恰好が変である ～ katu an (石狩): [名]恰好が変な奴、変な物 katuampe (石狩): [名]変な奴 hemanta (沙流): [名]変な爺さん ókasi (石狩)
 へん(編) [名](文章や法律の)編 ciukaomap (新)※(積み上げられたもの): (表現)第一編 sine ciukaomap (新)
 へんか(変化) ①(何かが別のものに)[他]～に変化する、している ne (新): [他](場所)で～に変化する、している ene (新): [他]～と共に～に変化する、している kone (新): [他](原因、手段)で～に変化する、している one (新): [他]～を～に変化させる néka(nére) (新): [他]瞬間的に～に変化する、している nétek (新): [他]～を瞬間的に変化させる nétekká (新): [他]完全に～に変化する、している oanne (anne) (新): [他]充分～に変化する、している néno(nénu) (新): [他]滅茶苦茶～に変化する、している toykone (新): [他]自分の意志で～に変化する、している yaykone (新): [他]自然に～に変化する、している sikone (新): [他]互いに、皆～に変化する、している ukone (新): ②(変か前の状態を意識しつつ)[自]他のものに変化する uesinnay (天塩): (表現)他のものに変化している uesinnayno an (天塩): [他]～を他のものに変化させる usinnayka (usinnayre) (新): [自]別なものに変化する、している uoyapne (八雲): [他]～を別なものに変化させる uoyapneka (uoyapnere) (新): (表現)別なものに変化している ueoyakno an (石狩): ③(姿形に関して)[自]別の姿形に変化する、している oyakatne (新): [他]～を別の姿形に変化させる katneka (katnere) (新)
 へんかく(変格) (言語)[名]変格 cineprewke (新)※(成るもの格)
 へんかく(変革) [自]物事を変革する iasirpikare (新): [他]～を変革する

asirpikare (新): [他](場所)で～を変革する easirpikare (新): [他]～と共に～を変革する koasirpikare (新): [他](原因、手段)で～を変革する oasirpikare (新): [他](人)に～を変革させる asirpikarere (新): [他]人に～を変革させる asirpikareyar (新): [他]自分で、一人で～を変革する yaykoasirpikare (新): [他]互いに、皆で～を変革する ukoasirpikare (新): [他]完全に～を変革する oarasirpikare (arasirpikare) (新): [他]充分～を変革する asirpikareno (asirpikarenu) (新): [他]大いに～を変革する toykoasirpikare (新): [他](中相)～が変革される ciasirpikare (新)

べんがら(弁柄) [名]弁柄 bengara (新)※ (日本語)

ベンガル [場名](インド亜大陸北東部の地名) ベンガル Bengar (新): [名]ベンガル人 bengarunkur (新): [名]ベンガル語 bengarunkur-itak (新): [名](地名)ベンガル湾 Bengar-usor (新)

ベンガルヤマネコ(ベンガル山猫) (動物)[名](ネコ亜科)ベンガルヤマネコ属 kimunmekot-cise (新): [名]ベンガルヤマネコ kimunmekot (新): [亜種][名]アムールヤマネコ santaun-kimunmekot (新) ※(別名「チョウセンヤマネコ」など): [名]イリオモテヤマネコ iriomoteun-kimunmekot (新): [名]ツシマヤマネコ tusimaun-kimunmekot (新)※(アムールヤマネコの変種): [名]サビイロネコ sipopkeso-kimunmekot (新): [名]スナドリネコ cepkoyki-kimunmekot (新): [名]マレーヤマネコ ekocipirka-kimunmekot (新)

へんかん(返還) [自]返還する ihosipire (複数 ihosippare) (新): [他]～を返還する hosipire (複数 hosippare) (石狩): [他](場所)で～を返還する ehosipire (複数 ehosippare) (新): [他]～に～を返還する kohosipire (複数 kohosippare) (新): [他](手段)で～を返還する ohosipire (複数 ohosippare) (新): [他](人)に～を返還させる hisipirere (複数 hosipparere) (新): [他]完全に～を返還する oarhosipire (複数 oarhosippare) (新)、[他] arhosipire (複数 arhosippare) (新): [他]人に～を返還させる hisipireyar (複数 hosippareyar) (新)

べんき(便器) [名]便器 asinruumpe (新): [名]少便器 okuymauspe (新)、[名]ciookuymauspe (新): [名]大便器 osomauspe (新)、[名]ciosisomauspe (新)

へんきょう(辺境) [場名]辺境 mosirkesor(-o) (新)、[場名] mosirkesorke (新)

べんきょう(勉強) [名]勉強 yaypakasnu (新)、[名]kampinuye (新): [自]勉強する yaypakasnu (石狩)、[自]kampinuye (石狩): [他]～を勉強する eyaypakasnu (新)、[他]ekampinuye (新): [他](場所)で勉強する eyaypakasnu (新)、[他]ekampinuye (新): [他]～と共に勉強する koyaypakasnu (新)、[他]kokampinuye (新): [他](原因、手段)で勉強する oyaypakasnu (新)、[他]okampinuye (新): [他](人)に勉強させる yaypakasnure (新)、[他]kampinuyere (新): [自]自分で、一人で勉強する yaykokampinuye (新): [自]皆で、互いに勉強する ukoyaypakasnu (新)、[自]ukokampinuye (新): [自]互いに教え合って勉強する upakasnu (新): [自]完璧に勉強する oaryaypakasnu (aryaykasinu) (新)、[自]oarkampinuye (arkampinuye) (新): [自]思い切り勉強する toykoyaypakasnu (toykampinuye、rayyaykopakasnu) (新)、[自]toykokampinuye (新)

ペンギン (鳥)[場名](新顎上目)ペンギン目 penguin-kotan (新): [名]ペンギン科 penguin-apa (新): [名]ペンギン目の鳥の総称 penguin (新)※(英語): [名]アデリーペンギン属 aderie-penguin-cise (新): [名]ヒゲペンギン atnokkoyupu-penguin (新): [名]キンメペンギン属 konkanisikkor-penguin-cise (新): [名]コウテイペンギン属 pawetenke-penguin-cise (新): [名]キングペンギン mosirkor-penguin (新): [名]コガタペンギン属 pompenguin (新): フンボルトペンギン属 humborto-penguin-cise (新): [名]ケープペンギン afrika-penguin (新): [名]マカロニペンギン属 konkanirannuma-penguin-cise (新): [名]キマユペンギン aotearoakonkanirannumapenguin (新): [名]ハシブトペンギン tetaniwha-konkanirannuma-penguin (新)※(マオリ語スネアーズ諸島): [名]ロイヤルペンギン eretar-konkanirannuma-penguin (新)

へんけい(変形) [自]変形する、している oyakatne (新)、[自]sioyakatneka (sioyakatnere) (新): (表現)～に変形する、している ~ ne katne (新): [他](場所)で変形する、している eoyakatne (新): [他]～と共に変化する、している kooyakatne (新): [他](原因、手段)で変化

する、している ooyakatne (新): [他]～を变形させる oyakatneka (新)、[他][他] oyakatnere (新): [他]互いに、皆变形する uoyakatneka (uoyakatnere) (新)、[他] ukooyakatne (新)

べんご(弁護) (法)[名] 弁護 itakopunkine (新)、[名] irenka-eikawarine (新): [自] 弁護する itakopunkine (新): [自] 人を弁護する ieitak-opunkine (新)、[自] irenka-eikawarine (新): (表現) 人を弁護する itak ani iepunkine (新)、(表現) itak ani isamake ta an (複数 okay) (新)、(表現) irenka eikawarine (新): [他]～を弁護する eitak-opunkine (新)、[他] irenka-ekawarine (新): (表現)～を弁護する ～ itak ani epunkine (新)、(表現)～ irenka ekawarine (表現): [他](場所)で～を弁護する eeitak-opunkine (新)、[他] eirenka-ekawarine (新): [他]～と共に～を弁護する koeitak-opunkine (新)、[他] koirenka-ekawarine (新): [他]～に関して、～のために～を弁護する oeitak-opunkine (新)、[他] oirenka-ekawarine (新): [他](人)に～を弁護させる eitak-opunkinere (新)、[他] irenka-ekawarinere (新): [名] 弁護士 itakopunkinekur (新) irenka-eikawainekur (新)、[名] ávokat (新)※ (仏語): [名] 弁護団 itakopunkinekur (irenka-eikawainekur, ávokat) utar (新)

ペンザ [場名](ロシア連邦沿ヴォルガ連邦管区の構成主体名)ペンザ州 Penza-purovince (新): [場名](ペンザ州の州都名)ペンザ Penza (新)

べんざ(便座) [名] 便座 asinru-ikum (新)

べんさい(弁済) [他]～を弁済する kar (石狩): [自] 債務を弁済する soataykar (沙流): (表現) 債務を弁済する soatay kar (石狩): [他](場所)で債務を弁済する、(～の時に)債務を弁済する esoataykar (新): [他]～に債務を弁済する kosoataykar (新): [他]～と共に債務を返済する kosoataykar (新): [他](原因、手段)で債務を弁済する osoataykar (新): [他](人)に債務を弁済させる soataykare (新)

べんざいせん(弁財船) [名] 弁財船 pencay (H)

へんじ(返事) ①(名前を呼ばれてはいと応える事)[自]返事する hóse (石狩): [他](場所)で返事する ehose (新): [他](人)に返事する kohose (石狩): [他]～と共に返事する koitasaitak (新): [他](原因、手段)で返事する ohose (新): [他](人)に返事させる hóse (新): ②[自]返事する

itasaitak (石狩): (表現)正しく返事する oupekanosaitak (新): (表現)間違って返事する hayta (uhayta) wa itasaitak (新): (表現)早く返事する tunasno itasaitak (新): (表現)出鱈目に返事する etarka itasaitak (新): 「『はい』と私は返事した。」“< E! >, sekur ku=itasaitak .”: [他]～について返事する eitasaitak (新): [他](場所)で返事する eitasaitak (新): [他](人)に返事する koitasaitak (石狩): [他]～と共に返事する koitasaitak (新): [他](原因、手段)で返事する oitasaitak (新): [他](人)に返事させる itasaitakte (新): [自]咄嗟に返事する itasaitaktek (itasaitatte) (新): [自]自力で、一人で返事する yaykoitasaitak (新): [自]互いに、皆で返事する ukoitasaitak (新): ③(手紙)[自]返事する itasa-kampiomante (新)

べんじょ(便所) →「トイレ」を見よ

ペンシルバニア [場名](アメリカ合衆国の州名)ペンシルヴァニア州 Penśirvania-mosir (新)

へんしん(変身) [自]変身する yaykar (石狩)、[自] yaykarkar (石狩): (表現)～に変身する 名詞+ne+yaykar (あるいは yaykarkar) (石狩): [他](場所)で変身する、～の時に変身する eyaykar (eyaykarkar) (新): [他]～と共に変身する koyaykar (koyakarkar) (新): [他](原因、手段)で変身する oyaykar (oyaykarkar) (新): [他]～を変身させる yaykare (yaykarkare) (新): [他]～に変身する sineka (天塩): [他]～を～に変身させる sinekare (新)

べんぜつ(弁舌) [名] 弁舌 caw (石狩)、[名] paw (石狩): 目下合成語の構成要素としてのみ見られるのみだが、今後単独でも使う。: [自]弁舌に優れる cawetokkor (石狩、天塩)、[自] pawetokkor (石狩): [名] 弁舌に優れた人 cawetokkorkur (石狩)、[名] párunkur (石狩)、[名] pawetokkorkur (石狩): [自]弁が立つ wayasnu (沙流)、[自] wayasno (八雲): [自]弁が立たない wayasap (沙流)

べんそう(便槽) [名] 便槽 ciesianup (ciesiamap) (新)

へんたい(変態) ①(物質や生物の変化)[自]変態する sikar (石狩): (表現)～に変態する 名詞+ne+sikar (石狩): [他](場所)で変身する、～の時に変態する esikar (新): [他]～と共に変態する kosikar (新): [他](原因、手段)で変態する osikar (新): [他]～を変態させる sikare (新): [他]～

に変態する sineka (新): [他]~を~に変態させる sinekare (新): ②(異常者)[名] 変態 hentay (新)※(日本語): (表現)変態行為をする hentay ki (新)[自]変態になる、である hentayne (新): [他]~を変態にする hentayneka (hentayne) (新)

へんたい(編隊) [名]編隊 say(-e) (新): (表現)編隊飛行する say ne hupuni (複数 hoyuppa) wa oman (複数 paye) (新)

ベンチ [名]ベンチ benci (新)※(英語): (表現)ベンチ kasi=an=oorusi p (新)

べんぴ(便秘) [自]便秘する osomakoyaykus (石狩): [他](原因、手段)で便秘する osomakoyaykus (新)

へんよく(片翼) [名]片翼 oattekkup(-i) (新)、[名] attekkup(-i) (新)

べんり(便利) (表現)~は~にとって便利である eiwanke easkay (石狩): 「これは(誰にとっても)便利である。」 “Tampe an=eiwanke easkay .”, 「これは私にとって便利である。」 “Tampe ku=eiwanke easkay .”

べんろん(弁論) (法)[名]弁論 cارانke (新): [自]弁論を行う cارانke (新)

ほ(帆) [名]帆 kaya (石狩)

ほ(歩) [名]歩 apkas (新): (表現)三步歩く re apkas ne apkas (新)

ほ(穂) [名]穂 pus(-i) (沙流)、[名] epuy(-e) (石狩)、[名] epuyke (石狩): [名]草の穂 mumpuy (新)、[名] múnepuy (múnepuyke) (石狩)

ボイジー [場名](アメリカ合衆国アイダホ州の州都名)ボイジー Bóise (新)

ボイラー [名]ボイラー wakkasesekkap (新)

ほいん(母音) [名]母音 ununehum(-i) (新)

ほう ①(感心して)[間投]ほう ho (石狩)、[間投] o (石狩): ②(あきれて)[間投]ほう paw (石狩)、[間投] iyo (沙流)

ほう(方) [位名]~の方、方向、方角 kopak(長形-e) (石狩): (表現)海の方へ atuy kopak ene (石狩)

ほう(棒) ①[名]棒 ni (石狩)、[名] kanni (千歳): [他]~を棒で叩く niunte (沙流)、[他] niesitayki (新)、[他] niokik (新): (表現)棒で~を叩く ni ani sitayki (石狩)、(表現) ni ani kik (石狩): ②(道具の一部として何かを付ける)[名]棒 nit(-ci) (石狩)

ほう(苞) [名]苞 eikokarip(-i) (新)、[名] apappo-ikokarip(-i) (新): [名]苞片 eikokariprap(-u) (新)、[名] apappo-ikokariprap(-u) (新): [名]仏炎苞 isermakus-nipeki(-ne-eikokarip) (新)

ほうう(暴雨) [名]暴雨 kamuyruyampe (石狩)、[名] apto (石狩)

ぼうえい(防衛) [名]防衛 punkine (新)、[名] kik(-i) (沙流): (表現)~の防衛をする kiki kar (沙流): [自]防衛する punkine (新): [自]物を防衛する iepunkine (新)、[自] ikikkar (新): [他]~を防衛する epunkine (石狩)、[他](雅) koepunkine (石狩)、[他] kikkar (沙流): [他](場所)で~を防衛する eepunkine (新)、[他] ekikkar (新): [他]~と共に~を防衛する koepunkine (新)、[他] kokikkar (新): [他](原因、手段)で~を防衛する oepunkine (新)、[他] okikkar (新): [他](人)に~を防衛させる epunkinere (石狩)、[他] kikkare (新): [自]自分を防衛する yayepunkine (新): [他]自分で、一人で~を防衛する yaykoepunkine (新)、[他] yaykokikkar (新): [自]相互に防衛する uepunkine (新): [他]互いに、皆で~を防衛する ukoepunkine (新)、[他]充分に~を防衛する epunkineno (epunkinenu) (新)、[他] kikkanno (kikkannu) (新): [他] ukokikkar (新): [他]完全に~を防衛する oarepunkine (新)、[他] oarkikkar (新): [他]人に~を防衛させる epunkineyar (新): [自]人に自分を防衛させる siepunkineyar (新)

ぼうえき(貿易) [自]貿易する uymam (石狩): (表現)貿易のために出かける uymam kusu oman (複数 paye) (新)、(表現) uymam kusu repa (石狩): (表現)貿易のために来る、貿易のため上陸する uymam kusu yan (複数 yap) (新): (表現)~の貿易を行う kor wa uymam (新): [他](場所)で貿易する euymam (新): [他]~と貿易する kouymam (新): [他](原因、手段)で貿易する、~の貿易をする ouymam (新): [他](人)に貿易させる uymamte (新): [自]自分で、一人で貿易する yaykouymam (新): [自]互いに、皆で貿易する ukouymam (新): [自]盛んに貿易する toykouymam (新): [自]貿易から戻る uymamyanke (石狩): [名]貿易品 cihoki (石狩)、[名] cisoki (石狩)、[名] ciouymampe (新)

ぼうえんきょう(望遠鏡) [名]望遠鏡 cioinkannop (新): (表現)望遠鏡で~を見る cioinkannop ani ~ nukar (新)

ほうか(胞果) (植物)[名]胞果 ukokapkor-ikaop(-i) (新)

ほうかい(崩壊) [自]崩壊する horak (沙流)、[自] orak (石狩、天塩): [他](場所)で崩壊する ehorak (新): [他]~と共に崩壊する kohorak (新): [他](原因、手段)で

崩壊する ohorak (新): [他]〜を崩壊させる horakte (沙流)、[他] orakte (oratte) (石狩): [自]急にどっと崩壊する horakkosanu (新)、[自] orakkosanu (石狩): [自]頻りに崩壊する cihorakrototo (新)、[自] horakrototke (新): [自]続けて崩壊する horaknatara (新): [自]瞬間的に、ちょっと崩壊する horaktek (horattek) (新): [他]瞬間的に〜を崩壊させる horaktekka (horattekka) (新): [他]自分で、一人で〜を崩壊させる yaykohorakte (新): [他]互いに、皆で〜を崩壊させる ukohorakte (新): [自]完全に崩壊する oarhorak (arhorak) (新): [他]完全に〜を崩壊させる oarhorakte (arhorakte) (新): [自]滅茶苦茶に崩壊する toykohorak (新): [他]滅茶苦茶に〜を崩壊させる toykohorakte (新)

ぼうがい(望外) [名] 望外の喜び yaykopuntek (新)

ぼうかん(砲艦) [名] 砲艦 sipuspecip (新): [自] 砲艦外交を行う sipuspecip-ooyamosirkoitak (新): (表現)砲艦外交を行う sipuspecip ani oyamosirkoitak (新): [名] 砲艇 sipuspecippo (新): [名] 特設砲艦 citumicipnere-sipuspecip (新)

ほうき(放棄) [他]〜を放棄する osura (複数 osurpa) (新): [他](場所)で〜を放棄する eosura (複数 eosurpa) (新): [他]〜と共に〜を放棄する koosura (複数 koosurpa) (新): [他](原因、手段)で〜を放棄する oosura (複数 oosurpa) (新): [他](人)に〜を放棄させる osurare (複数 osurpare) (新): [他]完全に〜を放棄する oarosura (複数 oarosurpa) (新)、[他] arosura (複数 arosurpa) (新): [他]人に〜を放棄させる osurayar (複数 osurpayar) (新)

ほうき(箒) [名] 箒 muysaptep (石狩): (表現)箒で掃く muysaptep ani muysapte (新): (表現)箒で(ごみ)を掃く muysaptep ani ~ sapte (nuye) (新)

ほうきぼし(箒星) (宇宙)[名] 箒星 muysaptep-konnociw (新)、[名] muysaptep-nociw (新)、[名] munnuwep-konnociw (アイヌの星)、[名] munnuwep-nociw (アイヌの星)

ぼうぎょ(防御) [名] 防御 kik(i) (沙流): (表現)〜の防御をする kiki kar (沙流): [自]防御する ikikkar (新): [他]〜を防御する kikkar (沙流): [他](場所)で〜を防御する ekikkar (新): [他]〜と共に〜を防御する kokikkar (新): [他](原因、手段)で〜を防御する okikkar (新): [他](人)に〜を防御させる kikkare (新):

[他]自分で、一人で〜を防御する yaykokikkar (新): [他]互いに、皆で〜を防御する ukokikkar (新): [他]完全に〜を防御する oarkikkar (新): [他]充分に〜を防御する kikkanno (kikkannu) (新)

ほうきん(砲金) [名] 砲金 puspekani (新)

ぼうぐ(防具) [名] 防具 ciyayepunkinep (新)

ぼうくう(防空) [自] 防空をする ienkaepunkine (新)、[自] ienkakopunkine (新): [他]〜の防空をする enkaepunkine (新)、[他] enkakopunkine (新): [他]〜に防空をさせる ienkaepunkinere (新)、[他] ienkakopunkinere (新): [名] 特設防空艦 citumicipnere-ienkaepunkinecip (新): [名] 防空巡洋艦 ienkaepunkine-castumicip (新): [名] 防空頭巾 ienkaepunkine-konci (新)

ほうけい(包茎) [自] 包茎である cikaptura (新)、[自] oikaptura (新)※(樺太白浦): [自] 包茎手術をする cikaptuye (新): [他]〜の包茎手術をする cikaputuye (新)

ほうける(呆ける) [自] 呆ける、呆けている oramsak (石狩)

ほうげん(方言) [名] 方言 iposse (石狩)、[名] iporse (八雲)

ぼうご(防護) [自] 防護する ikikkar (新): [他]〜を防護する kikkar (沙流): [他](場所)で〜を防護する ekikkar (新): [他]〜と共に〜を防護する kokikkar (新): [他](原因、手段)で〜を防護する okikkar (新): [他](人)に〜を防護させる kikkare (新): [他]自分で、一人で〜を防護する yaykokikkar (新): [他]互いに、皆で〜を防護する ukokikkar (新): [他]完全に〜を防護する oarkikkar (新): [他]充分に〜を防護する kikkanno (kikkannu) (新): [名] 防護甲板 ikikkar-sikeka (新): [名] 防護巡洋艦 ikikkarsikekakor-kuruyser (新): [名] 防護服 ikikkar-imi (新)

ぼうこう(奉公) (表現)奉公する ussiw ne an=eíwanke (新): [名] 奉公する ussiw (石狩、天塩)

ぼうこう(芳香) [名] 芳香 pirkahura (石狩): [名] 芳香剤 pirkahuranu-kusuri (新)

ぼうこう(暴行) [自] 人に暴行する ikoyki (新): [他]〜に暴行する koyki (石狩): [他](人)を使って〜に暴行させる koykire (新): [他]人を使って〜に暴行させる koykiyar (新)

ぼうこう(膀胱) [名] 膀胱 pise (石狩)

ホウさ(ホウ砂) (鉱物)[名]ホウ砂 boraksu (新)※(羅語)

ほうし(奉仕) [自]奉仕する niwasnu (石狩): [他](場所)で奉仕する eniwasnu (新): [他]~(のため)に奉仕する koniwasnu (石狩): [他]~と共に奉仕する koniwasnu (新): [他](原因、手段)で奉仕する oniwasnu (新): [他](人)を奉仕させる niwasnure (新): [自]自分で、一人で奉仕する、自分で自分に奉仕する yaykoniwasnu (新): [自]皆で、互いに奉仕する ukoniwasnu (新): [自]十分に奉仕する niwasnuno (niwasnuno) (新): [自]完全に奉仕する oanniwasnu (anniwasnu) (新): [自]ものすごく奉仕する toykoniwasnu (新): [自]人に奉仕する ikoniwasnu (新): [他]人を~に奉仕させる koniwasnuyar (新): [自]人を自分に奉仕させる sikoniwasnuyar (新)

ほうし(帽子) [名]帽子 konci (石狩)、[名] ekamup (新): (表現)帽子を被る konci ekamu (石狩)、(表現) konci kor (新): (表現)帽子を脱ぐ konci ama (石狩)、(表現) konci epittekka (幌別)

ほうしゃ(放射) [自]ものを放射する ieusaak (新): [他]~を放射する eusaak (新)(e-usa-ak): [他](場所)で放射する eusaak (新): [他](場所)へ放射する kousaak (新): [他]~と共に放射する kousaak (新): [他](原因、手段)で放射する ousaak (新): [他]~に~を放射させる eusaakte (新): [他](中相)~が放射される cieusaak (新): (表現)放射状 ciesaak kat(-u) (新): (表現)放射線 cieusaak usa kiay (新)

ほうしゃおんどけい(放射温度計) [名]放射温度計 cieakpe-oyamsesekpakarip (新)

ほうしゃこう(放射光) [名]放射光 isermakosan-kiyay (新)

ほうしゃじょうぼり(放射状堀) [名]放射状堀 cieusaakkatne-pecir (新)

ほうしゅう(報酬) [名]報酬 ciukkunip (新): (表現)報酬を受け取る ciukkunip uk(複数 uyna) (新)

ほうじん(法人) (法律)[名]法人 irenkaaynu (新): [名]法人税 irenkaaynu-ikem (新)

ほうすい(紡錘) [名]紡錘 kápit (新): [名]紡錘形 kápit-noa (新)

ボウズイカ(坊主烏賊) (魚介)[名](ダンゴイカ科)ボウズイカ亜科 hesuri-epetpetke-moapa (新): [名]ボウズイカ属 hesuri-epetpetke-cise (新): [名]ボウズイカ hesuri-epetpetke (新): [名]ホッキョクボウズイカ koykakeshesuri-epetpetke

(新): [名]メガボウズイカ megahesuri-epetpetke (新): [名]ヨーロッパボウズイカ europahesuri-epetpetke (新): [名]ワタゾコボウズイカ atuysamhesuri-epetpetke (新): [名]アウストロシア属 austorossia-cie (新): [名]ミナミボウズイカ koykahesuri-epetpetke (新): [名]ムチボウズイカ kamuysormakor-hesuri-epetpetke (新): [名]ヤワラボウズイカ kóbankorhesuri-epetpetke (新): [名]セミロシア属 semirossia-cise (新): [名]タイセイヨウボウズイカ assiatuyhesuri-epetpetke (新): [名]メキシコボウズイカ mexikokesuri-epetpetke (新): [名]ネオロシア属 neorossia-cise (新): [名]ウスバボウズイカ rapuporohesuri-epetpetke (新): [名]キャロルダンゴイカ karorhesuri-epetpetke (新)

ほうせき(宝石) [名]宝石 ikossuma (ikorsuma) (新)

ほうせき(紡績) [名]紡績機 ciokakarpe (新): [場名]紡績工場 kákarusi (新)

ホウセンカ(鳳仙花) (植物)[名](ツリフネソウ属)ホウセンカの茎葉 tinsagu (新)※(琉球語)

ホウそ(ホウ素) (化学)[名]ホウ素 borium (新)※(原子番号5番。元素記号 B)

ほうそう(包装) [自]包装する ikoikari (新)、[自] ikoikarkari (新): [他]~を包装する ikokari (新)、[他] ikokarkari (新): [他]~にものを包装する koikari (新)、[他] koikarkari (新): [他]~に~を包装する kokari (石狩)、[他] kokarkari (石狩): [他](誰か)に~に~を包装させる kokarire (新)、[他] kokarkarire (新): [名]包装機 ikoikari-cimoyep (新): [名]包装紙 cikoikarikampi (新): [名]包装資材 cikoikarip (新)

ほうそう(放送) [名](行為)放送 asurpuni (新)、[名] ikoasurpuni (新): [名]放送、放送される番組 cieasurpunip (新)、[名] ciikoeasurpunip (新): [自]放送する asurpuni (複数 asurpumpa) (新)、[自] ikoasurpuni (複数 ikoasurpumpa) (新): [他]~を放送する easurpuni (複数 easurpumpa) (新)、[他] ikoeasurpuni (複数 ikoeasurpumpa) (新): [他](人)に向けて~を放送する koeasurpuni (複数 koeasurpumpa) (新): [他](場所)で放送する easurpuni (複数 easurpumpa) (新)、[他] ikoeasurpuni (複数 ikoeasurpumpa) (新): [他](人)に向けて放送する、~と共に放送する koasurpuni (複数 koasurpumpa) (新): [他](場所)から放送

する、(原因、手段)で放送する oasurpuni (複数 oasurpumpa) (新)、[他] ikooasurpuni (複数 ikooasurpumpa) (新)：[他](人)に放送させる asurpunire (複数 asurpumpare) (新)、[他] ikoasurpunire (複数 ikoasurpumpare) (新)：[自]自分で、一人で放送する yaykoasurpuni (複数 yaykoasurpumpa) (新)：[自]互いに、皆で放送する ukoasurpuni (複数 ukoasurpumpa) (新)：[他]人に～を放送させる easurpuniyar (複数 easurpumpayar) (新)、[他] ikoasurpuniyar (複数 ikoasurpumpayar) (新)：[場名]放送局 asurpumpausi (新)、[場名] ikoasurpumpausi (新)：[場名]放送会社 asurpumpa-tomisapusi (ikoasurpumpa-tomisapusi) (新)、[場名] asurpumpa-uipereusi (ikoasurpumpa-uipereusi) (新)

ほうそう(疱瘡) ①[名]疱瘡 kamuysiyeye (石狩)、[名] siyeye (石狩)：[名](合成語の構成要素として)疱瘡 pa (石狩、天塩)：[自]疱瘡が流行する páus (H)：②[名]疱瘡神 pákorkamuy (石狩、天塩)、[名] payekaykamuy (石狩)、[名] kamuysiyekorkamuy (石狩)、[名] hósokamuy (石狩)：一般に鳥の姿をして群をなし飛んで来ると言われる。近文には老婆が化したという鳥"toetekamuy"が疱瘡の通り道を曲げて村を守るという伝承がある。

ほうたて(棒立て)[名]棒立て遊び ukoniterke (石狩)、[名] ukoniterkere (石狩)：[自]棒立て遊びをする ukoniterkere (石狩)

ほうだん(宝壇)[名]宝壇、宝列 ioikir(-i) (石狩)：(表現)(雅)～が宝壇の上に置かれる ioikir kurka cianukar (沙流)

ほうち(放置)[自]人や物を放置する iarhoppa (新)：[他]人を放置する unarhoppa (新)：[他]～を放置する árhoppa (新)：[他](場所)に～を放置する earhoppa (新)：[他]～と共に～を放置する koarhoppa (新)：[他](原因、手段)で～を放置する oarhoppa (新)：[他](人)に～を放置させる árhoppare (árhoppaka) (新)

ほうちょう(包丁)[名]包丁 hoyco (沙流)：[名]肉切り包丁 makiri (沙流)：[名]菜切り包丁 epeysep (沙流)、[名] usupa (沙流)：[名]出刃包丁 sísamepirkep (新)、[名] sakayepirkep (新)：[名]鯖裂き epirkep (石狩)：[名]刺身包丁 huypekar-hoyco (新)、[名] huypekarpe (新)：[名]柳葉包丁 susuham-hoyco (新)

ほうちょう(膨張)[自]膨張する、している

pisene (石狩)：[他](場所)で膨張する、している episene (新)：[他](場所)へ膨張する、している kopisene (新)：[他]～と共に膨張する、している kopisene (新)：[他](原因、手段)で膨張する、している opisene (新)：[他]～を膨張させる pisenere (石狩)、[他] piseneka (新)

ほうっとけ(放っておけ)[間投]放っておけ sura (沙流)

ほうっとしている[自]何かに憑かれたようにぼうっととしている kurkamu (天塩)：[自]気が抜けたようにぼうっとしている omawposo (樺太白浦)

ほうてい(法廷)[場名]法廷 saymoni (新)

ほうとう(宝刀)[名]宝刀 ikor (石狩)、[名] ikoremus (新)：[名]宝刀の鍔 ikorseppa (天塩)：(表現)宝器の面、宝刀の鞘彫りを一心に行う tomikanuye sirkanyue koaresirus (石狩)：[名]座右の宝刀 sósamumpe (沙流)

ほうとう(冒頭)[位名]～の冒頭 pa(長形-ke) (石狩)：(表現)伝言の冒頭 sonko pa (石狩)：(法)[名]冒頭陳述 hoski-caranke (新)：[自]冒頭陳述を行う hoski-caranke (新)

ほうとく(冒流)[自]冒流する kamuyiakkereka (kamuyicakkerere) (新)、[自] iicakkereka (iicakkerere) (新)：[他]～を冒流する icakkereka (icakkerere) (新)：[他](場所)で～を冒流する eicakkereka (eicakkerere) (新)：[他]～と共に～を冒流する koicakkereka (koicakkerere) (新)：[他](原因、手段)で～を冒流する oicakkereka (oicakkerere) (新)：[他](人)に～を冒流させる icakkererekare (新)：[他]ひどく～を冒流する toykoicakkereka (toykoicakkerere) (新)：[自]冒流される siicakkereka (siicakkerere) (新)：[他](中相)冒流される ciicakkereka (ciicakkerere) (新)

ほうねん(豊年)[0動]豊年になる、豊年である pápirka (石狩、天塩)

ほうふう(暴風)[名]暴風 kamuyrera (石狩)、[名](雅) kamuykaw (石狩)：(表現)暴風が荒れ狂う、荒れ狂っている kamuyrera yupke (石狩)、(表現) kamuykaw yupke (石狩)：(表現)暴風雨が荒れ狂う、荒れ狂っている kamuyruyampe kamuyrera yupke (石狩)：[名]子が生まれた時の暴風雨 pókauspe (幌別)

ほうふく(報復)[自]報復する imontasa (沙流)：[他](手段)で報復する eimontasa (新)：[他](場所)で報復する eimontasa

(新): [他](人)に報復する koimontasa
 (新): [他]〜と共に報復する koimontasa
 (新): [他]〜の事で報復する omontasa
 (新): [他](人)に報復させる imantasare
 (新): [自]自分で、一人で報復する
 yayeimontasa (沙流)、[自]
 yayimontasare (新): [自]皆で報復する
 ueimontasa (新)、[自] uimontasare
 (新): [自]報復し合う ukoimontasa (新)
ほうふくぜっとう(抱腹絶倒) [自]抱腹絶倒する
 minateseske (石狩): [他]〜に抱腹絶倒する
 emimateseske (新): [他](人)を抱腹絶
 倒させる minateseskere (新)
ほうぶつせん(放物線) [名] 放物線
 ciosurapru(-we) (新): (表現)放物線
 ciosura p oman ru (新)
ほうぼう(方々) [位名] 〃 の 方 々
 oyakoyak(長形-e) (新)※(天塩)
ほうぼう(方法) ①(具体的な)(表現)〃の方法
 動詞句+katu (石狩): 「この扉を開ける
 方法が分からない。」“Tan apusta an=maka
 katu ku=rampetek.”、“お前の方法が悪い。”
 “E=ki katu wen.”: ②(誰かの)[名]方法
 puri (石狩): (表現)私の方法 ku=kor
 puri (石狩)
ほうぼく(放牧) [自] 放牧する
 imintarkoasinke (新): [他]〜を放牧する
 mintarkoasin (新): [他](人)に〜を放牧する
 mintarkoasinkere (新): [名]放牧地
 cireskapmintar (新)、[名] mintar (B)、
 [名] maki (新)※(日本語)
ほうもつ(宝物) [名]宝物 ikor (新): [名]
 宝物庫 ikorpu (石狩)
ほうよう(抱擁) [自]抱擁する temkor (石
 狩): [他]〜と抱擁する kotemkor (新):
 [他](人)に抱擁させる temkore (新): [自]
 抱擁し合う ukotemkor (新)、[自]
 utemkore (新)
ホウライチク(蓬莱竹) (植物)[名](タケ亜科)ホ
 ウライチク属 apeharkika-sitop-cise
 (新): [名]ホウライチクの茎 apeharkika-
 sitop (新)※(火縄・竹。別名「チンチク」、「ド
 ヨウチク」など): [名]セイヒチク
 kapusiwnin-sitop (新): [名]ダイサンチク
 tayšan-sitop (新): [名]ダイフクチク
 pisenesitop (新): [名]パチナダケ
 pacinasitop (新): [名]バンブサ・アルンデ
 イナケア india-ayussitop (新): [名]バン
 ブサ・オメイエンシス omeysitop (新):
 [名]バンブサ・クングイ retarsitop (新):
 [名]バンブサ・シノスピノサ
 kurumakuttar-sitop (新)※(車筒竹): [名]
 バンブサ・トゥルダ india-kampisitop
 (新): [名]バンブサ・トゥルドイデス

haynan-sitop (新)※(海南竹): [名]バンブ
 サ・ドリコクラダ teketannesitop (新):
 [名]バンブサ・ヌタンス marasitop (新)※
 (ヒンディー語): [名]バンブサ・ネパレンシ
 ス neparsitop (新): [名]バンブサ・バシ
 ヒルスタ (新): [名]バンブサ・バリダ
 makarsitop (新語ヒンディー語): [名]バ
 ンブサ・バルコオア indiasitop (新): [名]
 バンブサ・バンボス bambossitop (新):
 [名]バンブサ・ブルメアナ ayussitop (新):
 [名]バンブサ・ベエケヤナ atuhumrarisitop
 (新)※(吐き気を抑える竹): [名]バンブサ・
 ポリュモルファ únaussitop (新): [名]バ
 ンブサ・ラコ timor-kunnesitop (新):
 [名]バンブサ・ロングスピクラタ
 maharsitop (新): [名]ホウオウチク
 kesorapsitop (新)※(ホウライチクの変種):
 [名]リョクチク siwniysitop (新)
ほうらく(崩落) [自]崩落する orak (石狩)、
 [自] horak (沙流): [他](場所)で崩落する
 eorak (新): [他](場所)へ崩落する
 koorak (新): [他]〜と共に崩落する
 koorak (新): [他](原因、手段)で崩落する
 oorak (新): [他]〜を崩落させる orakte
 (oratte) (石狩): [自]急に崩落する
 orakkosanu (石狩)、[自] orakkosampa
 (新): [自]頻りに崩落する ciorakrototo
 (新)、[自] orakrototke (新): [自]続けて
 崩落する oraknatara (新): [自]瞬間的
 に崩落する、ちょっと崩落する oraktek
 (orattek) (新): [他]瞬間的に〜を崩落さ
 せる oraktekka (orattekka) (新): [自]
 酷く崩落する toykoorak (新): [他]酷く
 〜を崩落させる toykoorakte
 (toykooratte) (新)
ほうりだす(放り出す) [自]もの(物事)を放り出
 す iosura (複数 iosurpa) (新): [他]〜を
 放り出す osura (複数 osurpa) (石狩):
 [他](場所)で〜を放り出す eosura (複数
 eosurpa) (新): [他](場所)へ〜を放り出す
 koosura (複数 koosurpa) (新): [他]〜と
 共に〜を放り出す koosura (複数
 koosurpa) (新): [他](原因、手段)で〜を
 放り出す oosura (複数 oosurpa) (新):
 [他](人)に〜を放り出させる osurare (複数
 osurpare) (新)
ほうりつ(法律) [名]法律 irenka (石狩):
 [自]法律違反をする irenkawente (新):
 法律に違反する irenka wente (新):
 [他](場所)で法律違反をする、〜に関して法律
 違反をする eirenkawente (新): [他]〜
 と共に法律違反をする koirenkawente
 (新): [他](原因、手段)により法律違反をす
 る oirenkawente (新): [他](人)に法律違

反させる irenkawentere (新)

ぼうりょく(暴力)(表現)暴力 ikoyki puri (新): [自]人に暴力を振るう ikoyki (新): [他](人)に暴力を振るう koyki (石狩): [他](人)を使って(人)に暴力を振るわせる koykire (新): [自]暴力を振るい合う ukoyki (新): [他]ひどく(人)に暴力を振るう wenkoyki (石狩)、[他] raykoyki (新)、[他] toykoyki (新): [他]人を使って(人)に暴力を振るわせる koykiyar (新): [自]子に暴力を振るう pokoyki (新): [自]女性に暴力を振るう、妻に暴力を振るう matkoyki (新)、[自] menokokoyki (新): [自]怒りにまかせて(人)に暴力を振るう iruskaokoyki (新): [自]酔って(人)に暴力を振るう iyoskiokoyki (ihoskiokoyki) (新)

ほうる(放る) [自]ものを放る iosura (複数 iosurpa) (新): [他]～を放る osura (複数 osurpa) (石狩): [他](場所)で～を放る eosura (複数 eosurpa) (新): [他]～～を放る koosura (複数 koosurpa) (新): [他]～と共に～を放る koosura (複数 koosurpa) (新): [他](原因、手段)で～を放る oosura (複数 oosurpa) (新): [他](人)に～を放らせる osurare (複数 osurpare) (新): [他]瞬間的に～を放る osurtekka (新)

ほうれい(亡霊) [名]亡霊 raykur (石狩)

ほえかかる(吠えかかる) [自]吠えかかる yawyawse (石狩): [他]～に吠えかかる koyawyawse (石狩): [他]～を吠えかからせる yawyawse (新)

ホエジカ(吠鹿) (動物)[名](シカ科)ホエジカ属 kion-cise (新): [名]インドキョン indiaun-kion (新)※(別名「ホエジカ」): [名]キョン kion (新)※(別名「タイワンキョン」): [名]ボルネオキョン bonneoun-kion (新): [名]マエガミホエジカ otopus-kion (新): [名]ムンティアクス・ゴンシャネンシス konšanun-kion (新)※(貢山羌): [名]M. トロンソンネンシス toruonsonun-kion (新): [名]M. フェアエfea-kion (新): [名]M. ブクアングエンシス porokirawkor-kion (新): [名]M. プタオエンシス pútaoun-kion (新): [名]M. プホアテンシス púhoatun-kion (新): [名]M. モンタヌス sumatraun-kion (新)※(スマトラ羌): [名]M. ローセベルトルム rooseverto-kion (新)

ほお(頬) [名]頬 nota (石狩): [名]頬の肉 notakam(i) (石狩): [名]頬骨 kiraypone (天塩)

ホース [名]ホース hapurkuttar(i) (新)、

[名] hóse (新)※(英語)

ホーチミン [場名](ヴェトナム社会主義共和国の都市名)ホーチミン Hócinim (新)

ぼーっと ①[自]ぼーっとした顔つきをしている、ぼーっとしている omawposo (美幌): (表現)ぼーっとした顔つきをしている、ぼーっとしている maw oposo (美幌): ②(憑りつかれたように)[自]ぼーっとしている kurkamu (天塩)、[自] oyakamuykar (新)※(樺太真岡)

ポート・オブ・スペイン [場名](トリニダード・トバゴ共和国の首都名)ポート・オブ・スペイン Potto-ovu-supain (新)

ポートビラ [場名](ヴァヌアツ共和国の首都名)ポートビラ Pottovira (新)

ポートランド [場名](アメリカ合衆国のオレゴン州、及びメイン州の都市名)ポートランド Pottorando (新)

ポートルイス [場名](モーリシャス共和国の首都名)ポートルイス Pottoruis (新)

ホオヒゲコウモリ(頬髭蝙蝠) (動物)[名](ヒナコウモリ亜科)ホオヒゲコウモリ亜科 rékuskapap-moapa (新): [名]ホオヒゲコウモリ属 rékuskapap-cise (新): [名]ホオヒゲコウモリ rékuskapap (新): [名]ウスリホオヒゲコウモリ santaun-rekuskapap (新): [名]エゾホオヒゲコウモリ yaun-morekuskapap (新)※(ヒメホオヒゲコウモリの亜種): [名]カグヤコウモリ nisacisekorkapap (nisatcise-) (新): [名]クロアカコウモリ húrekanierumkisarkapap (新): [名]クロホオヒゲコウモリ kunne-rekuskapap (新): [名]ドウクツホオヒゲコウモリ poruun-rekuskapap (新): [名]ドーベントンコウモリ daubenton-erumkisarkapap (新): [名]トビイロホオヒゲコウモリ cairone-rekuskapap (新): [名]ノレンコウモリ norenkapap (新): [名]ヒマラヤホオヒゲコウモリ himarayaun-rekuskapap (新): [名]ヒメホオヒゲコウモリ morekuskapap (新): [名]ベシュタインホオヒゲコウモリ bestein-rekuskapap (新): [名]ミオティス・アウストラリス austorariaun-erumkisarkapap (新): [名]M. アウストロリパリウス koypokcupkaun-erumkisarkapap (新): [名]M. アウラスケンス sutepiun-rekuskapap (新): [名]M. アウリクルス koypokcuppokun-erumkisarkapap (新): [名]M. アエレニ argentinaun-erumkisarkapap (新): [名]M. アタカメンシス atakamaun-erumkisarkapap (新): [名]M. アドベルスス cikiriporo-erumkisarkapap (新):

[名]M. アテル peter-erumkisarkapap (新): [名]M. アルカソエ nimfe-erumkisarkapap (新): [名]M. アルタルム sícuanun-erumkisarkapap (新)※(四川鼠耳蝙蝠): [名]M. アルベスケンス koypokamerikaunsirokani-erumkisarkapap (新): [名]M. アンナミティクス annamit-erumkisarkapap (新): [名]M. アンネクタンス numausnankapap (新): [名]M. アンヨウアネンシス komoroun-erumkisarkapap (新): [名]M. インスラルム samoau-erumkisarkapap (新): [名]M. ウェルウィッチー werwitci-erumkisarkapap (新): [名]M. エスカレイエ espaniaun-erumkisarkapap (新): [名]M. エボティス tanneerumkisar-kapap (新): [名]M. エマルギナトウス reirokor-erumkisarkapap (新): [名]M. エレガンス ereganto-erumkisarkapap (新): [名]M. オクシオトウス koypokamerikakimun-erumkapap (新): [名]M. オックルトウス arizonaun-erumkisarkapap (新): [名]M. オレイアス síngapuraun-rekuskapap (新): [名]M. キネンシス atuyyaun-erumkisarkapap (新): [名]M. キロエンシス círeun-erumkisarkapap (新): [名]M. キロラブルム cuppokun-cikiripon-erumkisarkapap (新): [名]M. クソルバイ kusorba-erumkisarkapap (新): [名]M. グリセスケンス amerikaun-manaukapap (新): [名]M. ケアイシ numauscikirikor-erumkisarkapap (新): [名]M. ケーニー keen-erumkisarkapap (新): [名]M. ゴウドティ madagašíkaraun-erumkisarkapap (新): [名]M. コパネンシス guatemalaun-erumkisarkapap (新): [名]M. ゴマントンゲンシス gomantonun-erumkisarkapap (新): [名]M. シカリウス manderi-erumkisarkapap (新): [名]M. シムス umaussenkaki-erumkisarkapap (新): [名]M. スカウビ šaup-erumkisarkapap (新): [名]M. スコッティ sukot-erumkisarkapap (新): [名]M. スタルケリ kei-erumkisarkapap (新)※(ケイ島鼠耳蝙蝠): [名]M. セプテントリオナリス amerikakoykaun-kisaratannekapap (新): [名]M. ソダリス indianau-erumkisarkapap (新): [名]M. タイワンエンシス taywanun-erumkisarkapap (新): [名]M. ダシクネメ tósamun-erumkisarkapap (新): [名]M. ディエテリ kók-erumkisarkapap (新)※(コック鼠耳蝙蝠):

[名]M. ドミニケンシス dominikaun-erumkisarkapap (新): [名]M. トリコロール kapeun-erumkisarkapap (新): [名]M. ニグリカンス kunne-erumkisarkapap (新): [名]M. ニパレンシス neparun-erumkisarkapap (新): [名]M. ネソボルス kurasauun-erumkisarkapap (新)※(キュラソー鼠耳蝙蝠): [名]M. ハッセルティー mocikiriporo-erumkisarkapap (新): [名]M. ハヤスタニクス hayastanun-rekuskapap (新): [名]M. ビベシ cépe-erumkisarkapap (新)※(魚喰鼠耳蝙蝠): [名]M. フィンドレイー findorey-erumkisarkapap (新): [名]M. ブカレンシス boxoroun-erumkisarkapap (新): [名]M. プニクス ferten-erumkisarkapap (新): [名]M. プラニケプス mexikoun-erumkisarkapap (新): [名]M. ブランティー buranto-erumkisarkapap (新): [名]M. ブリティー pón-erumkisarkapap (新): [名]M. ベクイニウス peycinun-erumkisarkapap (新): [名]M. ベタクス karahtoun-erumkisarkapap (新)、[名]M. karahtoun-erumkisarkapap (新): [名]M. ペニン斯拉リス yukatanun-erumkisarkapap (新): [名]M. ヘルマニ herman-erumkisarkapap (新): [名]M. ボカギー uparus-erumkisarkapap (新): [名]M. ホルスフィエルデー horsufierdo-erumkisarkapap (新): [名]M. ボムビス cosonun-erumkisarkapap (新): [名]M. ボランス cikiritanne-erumkisarkapap (新): [名]M. マクロタルスス worokompuirone-cikiriporo-erumkisarkapap (新): [名]M. マクロプス cikiriporo-erumkisarkapap (新): [名]M. マルティニクエンシス šuwartu-erumkisarkapap (新)※(シュワルト鼠耳蝙蝠): [名]M. ミオテス europaun-erumkisarkapap (新): [名]M. ムリコラ cisetumamerewsi-erumkisarkapap (新): [名]M. メラノルヒヌス amerikacupkaun-etukunne-erumkisarkapap (新): [名]M. モリシ mosris-erumkisarkapap (新): [名]M. モティバグス bamaun-rekuskapap (新): [名]M. ユマエンシス yumaun-erumkisarkapap (新): [名]M. リッケッティ ríket-erumkisarkapap (新): [名]M. リドレイー rídorey-erumkisarkapap (新): [名]M. リバリウス petcamun-erumkisarkapap (新): [名]M. ルベル húre-erumkisarkapap (新): [名]M. レビス sikerpepeus-erumkisarkapap (新): [名]M. レルビー amerikacupkaun-

cikiripon-erumkisarkapap (新): [名]M. ロッセティ indiacinaun-erumkisarkapap (新): [名]M. ロンギペス kasmirporuun-erumkisarkapap (新): [名]モモジロコウモリ omiretar-erumkisarkapap (新): [名]ヤンバルホオヒゲコウモリ yambaruun-rekusapap (新): [名]キストウゴ属 angoraun-erumkisarkapap-cise (新): [名]キストウゴ・セアブライ angoraun-erumkisarkapap (新): [名]C. レスエウリ resueur-erumkisarkapap (新): [名]ラシオニクテリス属 sirokani-erumkisarkapap-cise (新): [名]ラシオニクテリス・ノクティバガンス sirokani-erumkisarkapap (新)

ボーボー [自]ボーボー燃える passe (parpasse) (新)、[自] parse (parparse) (八雲): (表現)火がボーボー燃える ape passe (parpasse) (新)、(表現) ape parse (parparse) (八雲)

ポーランド [場名] (国名) ポーランド共和国 Porsuka Ukotankoremosir (新)※(首都は「ワルシャワ」): [場名] (国名の通称として) ポーランド Porsuka (新): [名]ポーランド人、国民 porsukaunkur (新): [名]ポーランド人、民族 porsukakur (新): [名]ポーランド語 porsukanekur-itak (新): (歴史)[場名] (国名) ポーランド人民共和国 Porsuka Utarikor Ukotankoremosir (新)※(1952-89年。現国名に改称): [場名] (国名) ポーランド共和国 Porsuka Ukotankoremosir (新)※(1918-52年。改称。): [場名] (国名) ポーランド立憲王国 Rossia kor Porsuka Yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(1815-32年。ウィーン会議後分割されたワルシャワ公国の一部。ロシア帝国皇帝による同君連合。ロシア帝国に併合され消滅): [場名] ポーランド・リトアニア連合 Porsuka-Ritua Ukosineatkip (新): [場名] (国名) ポーランド王国 Porsuka Yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(11世紀-1795年。1596年より「ポーランド・リトアニア連合」体制。ロシア帝国、プロイセン王国、オーストリア大公国の三国に分割され消滅)

ボーリウム (化学)[名]ボーリウム bohrium (新)※(原子番号107番。元素記号 Bh)

ポールフルーツコウモリ (動物)[名] (ケンショウコウモリ亜科) ポールフルーツコウモリ族 pórenikaopekapap-moutar (新): [名] ポールフルーツコウモリ属 pórenikaopekapap-cise (新): [名] ポールフルーツコウモリ póre-nikaopekapap (新): [名] ツェンカーフルーツコウモリ

zenker-nikaopekapap (新): [名] アンギン フルーツコウモリ属 notkewetakne-nikaopekapap-cise (新): [名] アンギン フルーツコウモリ notkewetakne-nikaopekapap (新)

ボールペン [名] ボールペン tamanu-cioinuyep (新)、[名] tama-cioinuyep (新)

ホーローセット [名] ホーローセット hesak-pinnecinoyep (新)※(「芋ねじ」、「止めねじ」、「六角穴付き止めねじ」など)

ほか(他) ①(ある人や物以外に)[副]他に mosma (石狩): (表現)他の mosma an (複数 okay) (石狩): (表現)他の人 mosma an kur (石狩): (表現)他の人達 mosma okay utar (石狩): (表現)他の物 mosma an pe (石狩): [後副]~の他に emosma (emospa) (石狩): (表現)~の他の mosma an (複数 okay) (石狩): (表現)~の他の人 emosma an kur (石狩): (表現)~の他の人達 emosma okay utar (石狩): (表現)~の他の物 emosma an pe (石狩): ②(他所の)[連体]他の oya (新): (表現)他の村 oya kotan (石狩): [位名]~と他の場所 oyak(長形 oyak、-e、-ke) (石狩): (表現)~の他の場所へ置く oyak ene ama (石狩)、(表現) oyak ene anu (石狩): (表現)~の他の場所へ行く oyak ene oman(複数 paye) (石狩): (表現)(手で寄せて)~の他の場所へ~をずらす oyak ene rutu (石狩): [副]他の場所で sinnaytoyne (沙流)※(沙流"sinnatoyne"より): (表現)他の場所で~に祈る sinnaytoyne ~ nomi (新)

ほかい(行器) [名]行器 sintoko (石狩)

ほかげ(帆影) [名]帆影 kayamaw (石狩)、[名] kayakur (沙流): (表現)帆影が近付いてくる kayamaw yan (石狩)

ほからか(朗らか) [自]気分が朗らかである nucaktek (石狩)

ボキボキ [自]ボキボキ、ボキボキ折れる sikekke (新): [他]~をボキボキ折る、ボキボキ折る kekke (石狩): [他]ものすごく~をボキボキ折る、ボキボキ折る toykokekke (新): [他](中相)ボキボキ折れる、ボキボキ折れる cikoekekke (石狩): (表現)(強風が吹き荒れ木々の倒れる様を描写)折りたいものはボキボキ折られ、折れたくないものは根こそぎ飛ばされる kay rusuy pe cikoekekke kay niwkes pe sinrit tura cikohopitare (石狩)

ほきょう(補強) [他]~を補強する ionisuramneka (ionisuramnere) (新)、[他] ionisteka (ionistere) (新): (表現)部分を

補強する serke ioisuramneka (ionisuramnere) (新)、(表現) serke ionisteka (ionistere) (新): (表現) 一部を補強する sineserke ionisuramneka (ionisuramnere) (新)、(表現) sineserke ionisteka (sineserke ionistere) (新): (表現) 片方を補強する asserke ionisuramneka (ionisuramnere) (新)、(表現) asserke ionisuramneka (ionisuramnere) (新): (表現) 両方を補強する userke ionisuramneka (ionisuramnere) (新)、(表現) userke ionisteka (ionistere) (新)、(表現) ukariserke (ureyserke) nisuramneka (ionisuramnere) (新)、(表現) ukariserke (ureyserke) ionisteka (ionistere) (新): (表現) ~の全てを補強する opitta ionisuramneka (ionisuramnere) (新)、(表現) opitta ionisteka (ionistere) (新): (表現) ~の上全体を補強する ka(長形-si、-sike) epitta ionisuramneka (ionisuramnere) (新)、(表現) ka(長形-si、-sike) epitta ionisteka (ionistere) (新): [他](人)に~を補強させる ionisuramnekare (ionisuramnerere) (新)、[他] ionistekare (ionisterere) (新): [他] ~で~を補強する onisuramneka (onistere) (新)、[他] onisteka (onistere) (新)

ボキリ [自]ボキリと折れる、ボキリと折れる kaytek (石狩): [他]~をボキリと折る、ボキリと折る kaytekka (石狩)

ほくい(北緯) [名]北緯 koyka-ahunka (新)

ほくおう(北欧) (表現)(地名)北欧 Koykaun Europa (新): (表現)北欧諸国 Koykaun Europa uyru usamosir (新)

ぼくじゅう(墨汁) [名]墨汁 atuyyapaspe (新)、[名] paspe (新)

ぼくじょう(牧場) ①(家畜家禽問わず)[場名]牧場 iosiknupreskausi (新): [自]牧場を経営する iosiknupreskausikor (新): [名]牧場主 iosiknupreskausikorkur (新): ②(家畜)[場名]牧場 iocikoykipreskausi (新): ③(家禽)[場名]牧場 iocikapreskausi (新)

ボクシング [名]ボクシング teknum-etumikor (新)、[名] moysitu-etumikor (新)※(英語): [自]ボクシングをする teknum-etumikor (新)、[自] moysitu-etumikor (新): [名]ボクサー teknum-etumikorkur (新)、[名] moysitu-etumikorkur (新)

ほぐす(解す) ①(乾物などを手で揉んで)[他]~を解す nuyanuya (石狩): [他](場所)で

~を解す enuyanuya (新): [他]~と共に~を解す konuyanuya (新): [他](原因、手段)で~を解す onuyanuya (新): [他](人)に~を解させる nuyanuyare (新): ②(着物など)[他]~を解す hecawere (石狩)

ほくせい(北西) [連体]北西の koykacuppokun (新): [場名](ロシア連邦の行政区名)北西連邦管区 Koykacuppokun-ukosineatkimosirkor-iwor (新)※(本部は「サントペテルブルク」)

ほくそう(牧草) [名]牧草 cireskapemun (新): [場名]牧草地 cireskapemunusi (新)、[場名] cireskapepusi (新)

ほくそえむ(ほくそ笑む) [自]ほくそ笑む yaykopuntek-kopakisaromina (新): [他]~の事をほくそ笑む eyaykopuntek-kopakisaromina (新)

ほくとしちせい(北斗七星) (宇宙)[名]北斗七星 (大熊座の α , β , γ , δ , ϵ , ζ , η 星) Cinukarkur (アイヌの星)※(春の夕方見える姿を"upsinoka"、初冬の夕方見える姿を"kuttokonoka"と呼んだという。)、[名] Upoponociw (アイヌの星)※(七人の娘達が輪になって踊る姿に託しての呼名という。また、天空上に懸るものを"ramuhawke"「おだやか」、山の上に懸るものを"ramutunas"「気が早い」、あるいは"iranakka"「うるさい」と呼んだという。)、[名] Samaekunnociw (アイヌの星): [名](δ 星を除く)北斗六星 Iwamponnociw (石狩): [名]大熊座の α , β , γ , δ 星 Supnenociw (アイヌの星)

ほくぶ(北部) [連体]北部の koykaun (新)

ほくほくせいのかぜ(北北西の風) [名]北北西の風 otutomus (蝦夷記)

ほくほくとうのかぜ(北北東の風) [名]北北東の風 peskampe (蝦夷記、藻汐草)

ほくよう(牧羊) [名]牧羊犬 hiciciepunkineseta (新): [名]牧羊者 hicicireskakur (新)、[名] hiciciepunkinekur (新)、[名](雅) hicicisikkasmakur (新)

ほぐれる(解れる) [自]解れる hecawe (新): [他](場所)で解れる ehecawe (新): [他]~と共に解れる kohecawe (新): [他](原因、手段)で解れる ohecawe (新): [自]ひどく解れる toykohecawe (新)

ほくろ(黒子) [名]黒子 kunnekes(i) (石狩)、[名] ponkunnekes(i) (石狩)、[名] turkes (天塩)

ほげい(捕鯨) [自]捕鯨する humpekoyki (新): [他](場所)で捕鯨する ehumpekoyki (新): [他]~と共に捕鯨する kohumpekoyki (新): [他](原因、手段)で

捕鯨する ohumpekoyki (新): [他](人)に捕鯨させる humpekoykire (新): [名]捕鯨船 humpekoykicip (新)

ポケット [名]ポケット póket (pokket) (新)※(英語)

ほけん(保健) [名]保健 iwankeepunkine (新)、[名] tótekepunkine (新): [場名]保健所 iwankeepunkineusi (新)、[場名] tótekepunkineusi (新)

ほご(補語) (言語)[名]補語 iturap (新)

ボゴダ [場名](コロンビア共和国の首都名、及びアメリカ合衆国ニュージャージー州の都市名)ボゴダ Bogota (新)

ボコボコ [間投](擬声語)(水が沸騰し泡のたつ音)ボコ、ボコ pop (石狩): [間投](擬声語)ボコボコ、ボコボコ poppop (石狩): [自](沸騰し)ボコボコ、ボコボコいう poppopse (石狩): [自](一回)ボコッという popkosanu (新): [自]ボコボコ頻りにいう popprototke (新)、[自] cipoprototo (新): [自](何度も)ボコボコいう pópopatki (新): [自]ボコボコ鳴り続けている popnatara (新)

ほこり(誇り) [名]誇り ciotuwasip (新): [名]自分の誇り yayotuwasirep (新): [名]皆の誇り ciuotuwasirep (新): (表現)私の誇り ku=otuwasip (新): [自]人や物を誇りに思う iotuwasip (新): [自]人を誇りに思う unotuwasip (新): [他]～を誇りに思う otuwasi (石狩): [他](場所)で～を誇りに思う eotuwasip (新): [他]～に対して～を誇りに思う、～と共に～を誇りに思う kootuwasi (新): [他](原因、手段)で～を誇りに思う ootuwasip (新): [他](人)に～を誇りに思わせる otuwasire (新): [他]自分で、一人で～を誇りに思う yaykootuwasi (新): [他]皆で、互いに～を誇りに思う ukootuwasi (新): [他]完全に～を誇りに思う oarotuwasip (arotuwasip) (新): [他]ひどく～を誇りに思う toykootuwasi (新): [他]人に～を誇りに思わせる otuwasiyar (新): [自]人に自分を誇りに思わせる siotuwasiyar (新): [自]自分で自分を誇りに思う yayotuwasip (新): [他]誇りに思い合う uotuwasip (新): [自]経験、環境など外部の影響で自分を誇りに思う siotuwasip (新)

ほこり(埃) [名]埃 pana (石狩)、[名] pásina (天塩)、[名] pasna (宗谷)、[名] mana (八雲): [名](家の中の"pana"より大きな)埃 koponci (石狩、天塩): [名]家の中の埃 mumpana (沙流)

ほし(星) [名]星 nociw (石狩、天塩)、[名] keta (宗谷): (表現)星影、星の光 nociw

imeru (石狩): (表現)星が流れる nociw hoyupu (石狩)、(表現) nociw iwak (石狩)

ほしい(欲しい) ①(人でも物でも)[他]～が欲しい、欲しいと思う konrusuy (石狩): (表現)何も不自由がない(何も欲しい物が無い) nepka konrusuy pe isam (石狩): (表現)～が欲しい kor rusuy (石狩): ②(人でも物でも好ましくて)[他]～を欲しいと思う eramasuy (erasasu) (石狩): [他](人)に～を欲しいと思わせる eramasuyre (erasasure) (新): ③(物に関して)[自]物が欲しい、欲しいと思う ikoytuma (石狩)、[自] icipaycipa (石狩): [他]～が欲しい、欲しいと思う eikoytupa (石狩)、[他] cipacipa (石狩): [他](人)に～が欲しいと思わせる eikoytupare (新)、[他] cipacipare (新)

ほしうお(干魚) [名]干魚 cinana (石狩)、[名] cicinana (石狩)、[名] satcep (石狩): [名]背開きの干鰯 atat (幌別): [名]背開き干鰯を乾燥させる時のエジヤマハギで作った突っ張り棒 cepmakani (石狩)、[名] cepmakpani (天塩): [名]トバ túpa (石狩): [名]乾燥させたサケの卵 satcipor (石狩): [名]サケの鰾に紐に通し乾しザケの頭を連ねたもの notarapeupusi (石狩)※(犬の餌)

ほしうさ(干草) [名]干草 cisatkemun (新)、[名] satmun (新): [名](犬などの寝床として敷くような)バサバサの乾草 cipuripurimun (石狩)

ほしざお(乾竿) [名]乾竿 kuma (石狩): [自]乾竿を作る kumakar (新): (表現)乾竿を作る kuma kar (石狩): [他]～を干すため乾竿を作る ekumakar (石狩): [名]乾竿の連なり、乾竿の林 kumatay (石狩): [名]魚乾竿の林立、乾竿の林 cepkumatay (沙流): [名]肉乾竿の林立、乾竿の林 kamkumatay (沙流): (表現)[名]魚乾竿の林、肉乾竿の林で屋外を満たす cepkumatay kamkumatay sisoyesikte (sisoyosmare) (沙流)

ほしだな(乾棚) [名]乾棚 san (石狩)

ほしにく(干肉) [名]細長く切った干し肉 kampet(-ci) (石狩): [名]串に刺した干し肉 kamnit (石狩): [名]煮干した肉 cisakankep (石狩)

ボシニャク [名]ボシニャク人 bosniakkur (新)※(「ボスニア・ヘルツェゴヴィナ連邦」の主要民族の一つ): [名]ボシニャク語 bosniakkur-itak (新)※(「ボスニア語」と同じだが定義によってこの呼名が用いられる)

ぼしゅう(募集) [自]人を募集する isonko-

ouekarire (複数 isonko-ouekarpare) (新): [他]～を募集する sonko-ouekarire (複数 sonko-ouekarpare) (新): [他](人)に～を募集させる sonko-ouekarirere (複数 sonko-ouekarparere) (新): [他]人に～を募集させる sonko-ouekarireyar (複数 sonko-ouekarpareyar) (新)

ほす(干す) [自]物を干す isatke (新): [他]～を干す satke (石狩): [他](場所)で～を干す esatke (新): [他]～と共に～を干す kosatke (新): [他](原因、手段)で～を干す osatke (新): [他](人)に～を干させる satkere (新): [他]自分で、一人で～を干す yaykosatke (新): [他]皆で、互いに～を干す ukosatke (新): [他]完全に～を干す oassatke (assatke) (新): [他]ひどく～を干す toykosatke (新): [他]～をからからに干す satsatke (石狩): [自]干せる、干せている sat (石狩)

ホステス ①(宴席の)[名]ホステス isankemat (新)、[名] sakesankemat (新): ②(風俗業の)[名]ホステス ikoikumenoko (新)

ホスト ①(宴席の主人)[名]ホスト isankekur (新)、[名] sakesankekur (新): ②(風俗業の)[名]ホスト ikoiku-okkayo (新)

ポスト (郵便ポスト)[名]ポスト ieikrasupop (新)

ボストン [場名](アメリカ合衆国マサチューセッツ州の州都名)ボストン Boston (新)

ポズナン [場名](ポーランド共和国の都市名)ポズナン Posnani (新): (歴史)[場名](国名)ポズナン大公国 Posnani Sínodukekormosir (新)※(1815-48年。ウィーン会議で分割されたワルシャワ公国の一部。首都は「ポズナン」。プロイセン王国に併合消滅)

ボスニア [場名](国名)ボスニア・ヘルツェゴヴィナ Bosnia newa Xetǵegovina (新)※(「ボスニア・ヘルツェゴヴィナ連邦」、「スルプスカ共和国」、「ブルチコ行政区」より構成される。首都は「サラエヴォ」): [場名](国名)ボスニア・ヘルツェゴヴィナ連邦 Bosnia newa Xetǵegovina Ukosineatkip (新)※(ボシニャク人、クロアチア人主体の「ボスニア・ヘルツェゴヴィナ」の構成国の一つ。首都は「サラエヴォ」): [名]ボスニア語 bosniaunkur-itak (新)※(「ボシニャク語」と同じものだが、定義によって名称が異なる)

ホセア (聖書)[名](人名) Hoşea (新)※(ヘブライ語): [名]ホセア書 Hoşea-kampisós (新)

ぼせん(母船) [名]母船 ununecip (新)

ホソアシナガバチ(細脚長蜂) (昆虫)[名](アイナガバチ亜科)ホソアシナガバチ属 ánekasoya-cise (新): [名]ヒメホソアシナガバチ moanekasoya (新): [名]ムモンホソアシナガバチ sikerpepeus-anekasoya (新)

ほそう(舗装) [自]舗装する ikasikar (新): [他]～を舗装する kasikar (新): [他](人)に～を舗装させる kasikare (新): [他](中相)～が舗装される cikasikar (新): [名]舗装道路 cikasikanru(-we) (新)

ほそえだ(細枝) [名]細枝 ca (石狩): (表現)細枝 áne nitek(-e) (新)、(表現) áne tek(-e) (新)

ホソオアゲハ(細尾揚羽) (昆虫)[名](タイスアゲハ族)ホソオアゲハ属 ánekisaratanne-kitomarewrew-cise (新): [名]ホソオアゲハ ánekisaratanne-kitomarewrew (新)※(別名「ホソオチョウ」)

ホソオナガタイマイ(細尾長タイマイ) (昆虫)[名](アオスジアゲハ族)ホソオナガタイマイ属 ánesaratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]コロンブスオナガタイマイ korumbus-anesaratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]セルビニオナガタイマイ servini-anesaratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]セルビレオナガタイマイ servire-anesaratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]タステスオナガタイマイ anesaratanne-ruun-kitomarewrew (新): [名]ドリカオンオナガタイマイ dorikaon-anesaratanne-ruun-kitomarewrew (新)

ほそく(細く) [自]細くなる、細い áne (石狩): (表現)細い立木 áne cikuni (cikunni) (石狩): [自]充分に細くなる、細い ánenó (ánenu) (新): [自]完全に細くなる、細い oarane (arane) (新): [自]ひどく細くなる、細い toykoane (新): [他]～を細くする áneka (ánere) (新): [他](場所)で～を細くする eaneka (eanere) (新): [他]～と共に～を細くする koaneka (koanere) (新): [他](原因、手段)で～を細くする oaneka (oanere) (新): [他](人)に～を細くさせる ánekare (ánerere) (新): [他]完全に～を細くする oaraneka (aranere) (新): [副]細く áne(-no) (新): [名]細く深いえぐられたような谷川、沢 pínay (石狩)、[名] pinnay (H)

ほそく(捕捉) [他]～を捕捉する uk (複数 uyna) (新): [他](人)に～を捕捉させる ukte (複数 uynare) (新)

ほそく(補足) [自]補足する iiosisikte (新):

[他](人)に補足させる iosisiktere (新):
[他]〜を補足する iosisikte (新): [他]〜
(という内容)で〜を補足する eiosisikte
(新): [他]〜と共に〜を補足する
koiosisikte (新): [他](手段)で〜を補足す
る oiosisikte (新): [他](人)に〜を補足さ
せる iosisiktere (新): [他]〜を補足する
oariosisikte (ariosisikte) (新): [他]人
に〜を補足する iosisikteyar (新)

ほそながくきる(細長く切る) ①[他]〜を細長く
切る、細長く裂く petu (複数 petpa) (石
狩): [他](人)に〜を細長く切らせる、細長く
裂かせる peture (複数形 petpare) (新):
[他]完全に〜を細長く切る oarpetu (複数
oarpetpa) (新)、[他] arpetu (複数
arpetpa) (新): [他]ものすごく〜を細長く
切る toykopetu (複数 toykopetpa) (新):
[他]瞬間的に〜を細長く切る pettekka
(新): [自]細長く切れる petke (新)、[自]
sipetu (複数 sipetpa) (新): [自]瞬間的に
細長く切れる pettek (新)②(細く切ったも
のを更に細かく)[他]〜を細かく切る yasa
(複数 yaspa) (石狩): [他](人)に〜を細か
く切らせる yasare (複数形 yaspare) (新):
[他]完全に〜を細かく切る oaryasa
(複数 oaryaspa) (新)、[他] aryasa (複数
aryaspa) (新): [他]ものすごく〜を細か
く切る toykoyasa (複数 toykoyaspa) (新):
[他]瞬間的に〜を細かく切る yastekka
(新): [自]細かく切れる yaske
(新)、[自] siyasa (複数 siyaspa) (新):
[自]瞬間的に細かく切れる yastek (新)

ほそなわ(細縄) [名]細縄 pontar (石狩)

ホソバイワヨモギ(細葉岩蓬) (植物)[名](ヨモギ
属)ホソバイワヨモギの茎 hamuane-
kamuynoyanit (新): [名]ホソバイワヨモ
ギの葉 hamuane-kamuynoya (新)、[名]
kamuynoya (B)

ホソバジャコウアゲハ(細羽麝香揚羽) [名](キ
シタアゲハ族)ホソバジャコウアゲハ属
peranesarus-muskukitomarewrew-cise
(新): [名]ホソバジャコウアゲハ
peranesarus-muskukitomarewrew (新)※
(篋尾麝香揚羽): [名]アンダマンホソバジャ
コウアゲハ andaman-peranesarus-
muskukitomarewrew-cise (新)

ホソヒラアジ(細平鰺) (魚介)[名](アジ科)ホソ
ヒラアジ属 sikerpepeus-pisoyaji-cise
(新): [名]ホソフヒラアジ sikerpepeus-
pisoyaji (新)

ほそみち(細道) [名]細道 áneru (新)、[名]
toyru (石狩)

ほぞん(保存) [自]物を保存する ianu (新)、
[自] iama (新): [他]〜を保存する anu

(石狩)、[他] ama (石狩): [他](場所)に〜
を保存する eanu (新)、[他] eama (石
狩): [他]〜と共に〜を保存する koanu
(新)、[他] koama (新): [他]〜のために
〜を保存する oanu (新)、[他] oama
(新): [他](人)に〜を保存させる anure
(新)、[他] amare (新): [他]完全に〜を保
存する oaranu (aranu) (新)、[他]
oarama (arama) (新): [他]しっかり〜を
保存する pirkaanu (新)、[他] pirkaama
(新): [他]人により〜を保存させる anuyar
(新)、[他] amayar (新)

ホタテガイ(帆立貝) (魚介)[名](イタヤガイ科)
ホタテガイ属 akketek-cise (新): [名]ホ
タテガイ akketek (石狩)、[名]
cietayseyesey (幌別)、[名] seykoyanke
(礼文華): [名]タカハシホタテ
sorapciakketek (新)※(化石種)

ボタボタ [間投](擬声語)(液体が垂れる音)ボ
タボタ、ボタボタ tawtaw (石狩): [自]
ボタボタという tawtawse (新): [他](場
所)にボタボタという kotawtawse (新)、
[他](雅) ekotawtawse (石狩)、[他](雅)
koetawtawse (石狩)

ホタルイカ(蛍烏賊) (魚介)[名](スルメイカ亜
目)ホタルイカモドキ科 ninninke-
epetpetke-apa (新): [名]ホタルイカモド
キ属 ninninke-epetpetke-cise (新): [名]
ホタルイカモドキ ninninke-epetpetke
(新): [名]オーストラリアホタルイカモドキ
austoraria-ninninke-epetpetke (新):
[名]タイセイヨウホタルイカモドキ
arsiatuyninninke-epetpetke (新): [名]ハ
スメホタルイカモドキ ehewkeruo-
ninninke-epetpetke (新): [名]ハワイホタ
ルイカモドキ hawaii-ninninke-epetpetke
(新): [名]ハンズジホタルイカモドキ
arketuyninninke-epetpetke (新): [名]ヒ
ギンスホタルイカモドキ higin-
ninninke-epetpetke (新): [名]ミナミホタ
ルイカモドキ koypokninninke-epetpetke
(新): [名]モトホタルイカモドキ
ninninke-epetpetke (新): [名]ヤスジホタ
ルイカモドキ ruoayko-ncinninke-
epetpetke (新): [名]ナンヨウホタルイカ
属 koypokninninke-epetpetke-cise (新):
[名]ニセホタルイカ属 ninninke-epetpetke-
nenoampe-cise (新): [名]ホタルイカ属
sininninke-epetpetke-cise (新): [名]ホタ
ルイカ síninninke-epetpetke (新)

ホタルサイコ(蛍紫胡) (植物)[名](ミシマサイ
コ属)ホタルサイコの茎葉 opokaykina
(樺太)※(白浦、真岡)

ホタルブクロ(蛍袋) (植物)[名](キキョウ科)ホ

タルブクロ属 ninninkep-pukuruop-cise
(新): [名]ホタルブクロの茎葉 ninninkep-pukuruop (新): [名]イワギキョウの茎葉 iwaasikneherapnup (新): [名]チシマギキョウの茎葉 numaus-iwaasikneherapnup (新): [名]ヤツシロソウの茎葉 yaʔusiromun (新): (園芸種)[名]風鈴草 réraponkonkomun (新): [名]桃葉桔梗 símomaniamus-asikneherapnup (新)

ボタン(鈕) [名]ボタン epuy(e) (新)、[名]botan (新)※(日本語)

ボタンポルト [名]ボタンポルト karus-pinnecinoyep (新)※(「六角穴付きボタンポルト」、「ボタンキャップ」とも)

ぼたんゆき(牡丹雪) [名]牡丹雪 teyneupas (新): (表現)牡丹雪 teyne upas (石狩)、(表現) hapur upas (蝦夷記)

ほっかい(北海) [名](地名)北海 Koykaun-atuy (新)※(大西洋の一部をなす海)

ほっかいどう(北海道) ① [場名]北海道 Yaunmosir (石狩): ②(日本領としての)[場名]北海道 Hokkaido (新): [場名]北海道議会 Hokkaido-eyaytunususi (新): [名]北海道議会議員 Hokkaido-eyaytunuskur (新): [名]社団法人北海道アイヌ協会 aynuikir-irenkaaynu Hokkaido-Aynu-uekarpau (新)※(略号 AIHAU): [名]社団法人北海道ウタリ協会 aynuikir-irenkaaynu Hokkaido-utari-uekarpau (新)※(社団法人北海道アイヌ協会の1961-2009年までの名称。略称 AIHUU): [場名]北海道立アイヌ民族文化研究センター Hokkaidoasi-Aynuetonosuri-pekerka-noski (新)※(略号 HKAPN)

ぼっき(勃起) ① [自]男性器が勃起する ohepuni (幌別): (表現)男性機が勃起する ciye as (足寄)、(表現) ciye hetari (幌別): [他]~の男性器を勃起させる ohepunire (新): [自]男性器がピンピンに勃起する ohepumpuni (幌別): [他]~の男性器をピンピンに勃起させる ohepumpunire (新): [自]勃起した男性器が躍動する oracinracin (天塩): ②[自]勃起不全になる oray (H)、[自] opanray (沙流)、[自] osoyumpe-wente (沙流)、[自] osoyumpe-keske (沙流)、[自] osoyumpe-ewen (沙流): [他](場所)で、(~の時)に勃起不全になる eoray (新): [他]~に対し勃起不全になる kooray (新): [他](原因、手段)で勃起不全になる ooray (新): [他](人)を勃起不全にする orayke (新)

ぼっきよく(北極) [場名](地名)北極 Koykakes

(新): [名](地名)北極海 Koykakessiatuy

(新): [名]北極圏 koykakesso (新)

ホッキョクイワナ(北極岩魚) (魚介)[名](イワナ属)ホッキョクイワナ koykakes-hurekeso (新)※(別名「アークティックチャー」)

ホッキョククジラ(北極鯨) (動物)[名](セミクジラ科)ホッキョククジラ属 koykakeshumpe-cise (新): [名]ホッキョククジラ koykakeshumpe (新)

ホッキョクグマ(北極熊) (動物)[名](クマ属)ホッキョクグマ koykakesunkamuy (新)※(別名「シロクマ」)

ほっきょくせい(北極星) (宇宙)[名]北極星 koykakesnociw (新): 現在の北極星は「小熊座のα星」だが数千年おきに代わる。現在のものの前には「小熊座β星」が北極星であったし、またこの次には「ケフェウス座のγ星」が北極星となる。

ボック (動物)[名](ブラックバック族)ボック亜族 gurisbok-moutar (新): [名]ボック属 gurisbok-cise (新): [名]ケーブグリスボック koypokun-gurisbok (新): [名]シャープグリスボック koykaun-gurisbok (新): [名]シュティーンボック suteembok (新): [名]ディクディク属 dikdik-cise (新): [名]ベイラ属 beira-cise (新)

ぼっくい(木杭) [名]木杭 nīkuspe (新)

ボックス ①(箱)[名]ボックス supop (石狩)、[名] suop (新)、[名] boksu (新)、※(英語): ②(箱型の建築物)[名]ボックス supopcise (suopcise) (新)、[名] supopkuca (suopkuca) (新): ③[名]ボックスシート supopso (suopso) (新)

ホッケ(鮓) (魚介)[名](アイナメ科)ホッケ属 nispok-cise (新): [名]ホッケ nispok (長万部): [名]キタノホッケ ruosirpok (新)※(「シマホッケ」とも)

ホツチャレ [名](産卵を終えて鱗など真っ白になり鱗が剥がれたようなサケ)ホツチャレ isirucep (石狩)、[名] isiru (石狩)、[名] okiray (天塩): [自](産卵のため溯上したサケが川底や岩石に)腹や鱗を擦って白くなる、ホツチャレになる isiru (石狩): この状態を頭髮などが白くなった人間の年寄りに譬えて"onne"「年をとる」とも表現する。: 「サケが白くなって年取った。」 "Kamuycep isiru wa onne."「サケが白くなって年とった。」(門野トサ)

ぼっとう(没頭) [自]物事に没頭する ikoaresirus (新): [他](雅)~に没頭する koaresirus (石狩)、[他](雅) kokip-sireciw (幌別)、[他](雅) kosineani-nantuyere (沙流)、[他]: (表現)(雅)…が~に没頭する ~ kosineani … enitomomo (沙流): 「…宝

刀の鞘彫り、刀の鞘彫り、こればかりに私は没頭していた…」“…tomika nuye sirka nuye tampe patek an=koaresirus wa oka=an…” (杉村キナラブック) 説話: (表現)(雅)〜は針仕事にばかりに没頭する kemeyki patek nepki ne ~ ki (沙流): [他](人)に〜に没頭させる koaresirusi (新)

ホツとする [自](危機を脱して)ホツとする yaykemusu (石狩)、[自] yaykewehomsu (沙流)

ほっぴょうよう(北氷洋) [名](地名)北氷洋 Koykakessiatuy (新)

ホップ →「カラハナソウ(唐花草)」を見よ

ポップコーン (表現) ポップコーン cipattarka kîmi (新)

ポツポツ [他](雅)〜にポツポツ穴をあけている kopurototke (石狩): 「(目全体から涙が出ているように大粒の涙を沢山流して大泣きする様を描写し)…その女は目元の先、目元の尻にポツポツ穴をあけ、泣いたあげく…」 “…nea menoko u sîkpuy pake u sîkpuy kese kopuyrototke, cis ayne…” (杉村キナラブック) 英雄詞曲

ほつみ(穂摘み) [他]〜を穂摘みする eca (沙流)

ぼつらく(没落) [自]没落する yaywente (天塩): [他]〜を没落させる yaywentere (新)

ボツワナ [場名](国名)ボツワナ共和国 Botswana Ukotankoremosir (新)※(首都は「ハボローネ」): [場名](国名の通称として)ボツワナ Botswana (新): [名]ボツワナ人、国民 botswanaunkur (新)

ほてる(火照る) (表現)〜が火照る ka(長形-si、-sike) sesek (新): 「私は恥ずかしくて顔が火照った。」“Ku=yaysitoma kusu ku=nanu ka sesek human .”

ほど(程) ①(時間的、数量的に近い事を表し)[後副]〜程 pakno (pak) (石狩): (表現)十日程経つ wan to pakno siran (石狩): (表現)魚が100匹程いる cep atuyta pakno okay (石狩): (表現)石が100個程ある suma atuyta pakno an (石狩): ②(比較、比喩を表し)[後副]〜程 pakno (pak) (石狩): (表現)〜程ある pakno an (石狩) (表現)家程あるもの cise pakno an pe (石狩): [他](特定の表現で)〜程ある (石狩): (表現)島程ある家 mosir pak cise (沙流): (表現)テン程ある(大きな)男性器 hoynu pak pe (幌別): (表現)カラスほどある(大きな)(女)性器 paskur pak pe (石狩) 幌別では先のテン程もある男性器と対で女性器の誇張された表現に使われるが、石狩方言では男女の別なくこの表現が使われ

る。: 「あの金持ちの家には野原程ある広い庭がある。」“Ne nispa kor cise sam ta nup pakno an soyunmintar an .”: (表現)〜程の〜はない pakno ~ isam (石狩): 「お前ほどの狩の名人はいない。」“Eani anakne pakno isonkur isam .”, 「お前がいつも私のそばにいてくれてそれ程嬉しい事はないよ。」

“Ramma en=sam ta e=an wa pakno ku=ekiroroan pe isam na .”

ほど(程) ①(時間的、数量的に近い事を表し)[後副]〜程 pakno (pak) (石狩): (表現)十日程経つ wan to pakno siran (石狩): (表現)魚が100匹程いる cep atuyta pakno okay (石狩): (表現)石が100個程ある suma atuyta pakno an (石狩): ②(比較、比喩を表し)[後副]〜程 pakno (pak) (石狩): (表現)〜程ある pakno an (石狩) 沙流方言では“mosir pak cise”「島程ある家」と“pak”だけで「〜程ある」と表現できるが、石狩方言にも今後この用法を取り入れる。: 「あの金持ちの家には野原程ある広い庭がある。」“Ne nispa kor cise sam ta nup pakno an soyunmintar an .”: (表現)〜程の〜はない pakno ~ isam (石狩): 「お前ほどの狩の名人はいない。」“Eani anakne pakno isonkur isam .”, 「お前がいつも私のそばにいてくれてそれ程嬉しい事はないよ。」 “Ramma en=sam ta e=an wa pakno ku=ekiroroan pe isam na .”

ほどう(舗道) [名]舗道 cिकासанру(-we) (新): [名]舗道煉瓦 rúkar-sumatoy (新)、[名] ciorukar-sumatoy (新)

ほどう(歩道) [名]歩道 apkasru(-we) (新)

ボドカメンナヤ・ツングースカ [名](地名)ボドカメンナヤ・ツングースカ川 Pódokamennaya-tunguska-pet (新)※(ロシア連邦領を流れるエニセイ川支流)

ほどく(解く) [他]〜を解く pita (石狩): [他](場所)で〜を解く epita (新): [他]〜と共に〜を解く kopita (新): [他](原因、手段)で〜を解く opita (新): [他](人)に〜を解かせる pitare (新): [他]自分で、一人で〜を解く yaykopita (新): [他]互いに、皆で〜を解く ukopita (新): [他]人に〜を解かせる pitayar (新): [他]〜を全部解く pitata (石狩)、[他] pitapita (石狩): (表現)紐を解く at pitata (新)

ホドグソニア (植物)[名](ウリ科)ホドグソニア 亜連 sùmuripunkar-moutar (新): [名]ホドグソニア属 sùmuripunkar-cise (新): [名]ホドグソニア・ヘテロクリタ茎 sùmuripunkar (新)、[名]その果実 sùmuri (新)、[名]その種子 sùmuripi (新): [名]H. マクロカルパの茎 poro-sumuripunkar

(新)、[名]その果実 poro-sumuri (新)、[名]
その種子 poro-sumuripi (新)

ほどける(解ける)[自]解ける hopita (石狩):
(表現)梁が解ける sakma hopita (石狩)

ポドゴリツァ [場名](モンテネグロ共和国の事
実上の首都名)ポドゴリツァ Pódogorița
(新)

ホトトギス(杜鵑)(鳥)[名](カッコウ属)ホトトギ
ス sisamkakkok (新)

ホトトギスガイ(杜鵑貝) (魚介)[名](イガイ科)
ホトトギスガイ属 sisam-kakkoksey-cise
(新): [名]ホトトギスガイ sisam-
kakkoksey (新): [名]ノジホトトギス
mosisam-kakkoksey (新): [名]ヤマホト
トギス ánesisam-kakkoksey (新)

ほどなく (表現)ほどなく tane tane (沙
流): 「ほどなく彼が来るでしょうから少し
お待ちください。」“Tane tane ek nankor
kusu ponno tere wa i=kore yan .”

ほとんど ①[位名]~のほとんど poroserke
(石狩): 「私は今日の仕事をほとんど終え
た。」“Tanto ku=okere kuni monrayke
poroserke ku=okere .”: ②[副]ほとんど~
(し)かける naani (石狩)、[副] naanipo
(石狩): 「私はほとんど上手くやったのだが、
最後にへまをした。」“Naani (Naanipo)
pirkano ku=kar a p, atkes ta ku=hayta .”

ホニアラ [場名](ソロモン諸島の首都名)ホニ
アラ Honiara (新)

ほにゅう(哺乳) (動物)[名](脊椎動物亜門)哺乳
綱 itononte-yaymoyep-pet (新): [場名]
哺乳類 itononte-yaymoyepso (新): [名]
哺乳瓶 itononte-puturuhka (新)

ほね(骨)[名]骨 pone (石狩): [名](合成語の
構成要素としてのみ)骨 kir-(i) (石狩)、
[名] kew-(e) (石狩): [自]骨が堅くなる、
堅い poneniste (新): [他]~の骨を堅く
する nisteka (nistere) (新): [自]骨が柔
らかくなる、柔らかい poneriten (石狩):
[他]~の骨を柔らかくする poneritenka
(poneritente) (新)

ほねがおれる(骨が折れる)①(骨折する事を表
し)[自]骨が折れる ponekay (新): [他]~
の骨を折る ponekaye (新): [自]自分(の
過失)で自分の骨を折る yayponekaye
(新): ②(苦労する事を表し)[自]骨が折れる、
骨を折る ieraynene (ieraynine) (新):
[他](物事)で骨が折れる、骨を折る
eraynene (eraynine) (石狩): [他]~と共
に~の事で骨が折れる、骨を折る
koeraynene (koeraynine) (新): [他](人)
に~の事で骨を折らせる eraynenere
(erayninere) (新): [他]自分で、一人で~
の事で骨を折る yaykoeraynene

(yaykoeraynine) (新): [他]皆で、互いに
~の事で骨を折る ukoeraynene
(ukoeraynine) (新): [他]すっかり~の事
で骨を折る oareraynene (oareraynine)
(新): [他]ものすごく~の事で骨を折る
toykoeraynene (toykoeraynine) (新):
[他]人に~の事で骨を折らせる
erayneneyar (eraynineyar) (新)

ほねつきにく(骨付き肉) [名]骨付き肉
ponesapa (石狩): (表現)骨付き肉をしゃ
ぶる ponesapa kepepu (石狩)

ほのあかり(火の明かり) [名]火の明かり
apekantompi (石狩)

ほのお(炎) ①[名]炎 nuy (石狩)、[名]
apenipek-(i) (天塩)、[名] apenupek (八
雲): (表現)炎 ape nipeki (石狩): [場
名]炎の上 hoka (石狩): ②[自](床にじわ
じわ燃え広がっていく火を比喩的に表現し
て)炎の犬がじりじり這う honuysetanu
(石狩): 「…炎の犬がじりじり這い家の中が
燃え上がり…」“…honuysetanu cise oske
uhuy wa rikin…” (杉村キナラブック)神謡:
③[他]炎で~を突く nuyetke (石狩):
「…私の片手に太い燃えさしを私はぐいと
掴んでいろいろな物を私は炎で突きそれか
ら家の中から燃えて行き…」“…an=attek
orwa sian apekes an=ristekka hine
usaokaype an=nuyetke orowanopo cise
oske wa uhuy oman…” (杉村キナラブック)神
謡

ほのけむり(火の煙) [名]火の煙 apesupuya
(石狩)

ホノルル [場名](アメリカ合衆国ハワイ州の
州都名)ホノルル Honoruru (新)

ほばく(捕縛) [他]~を捕縛する ateu (石
狩): 「…お前の神なる夫が悪い怪物に捕縛
されたぞ…」“…e=kamuyhoku wenkmiasi
orowa an=ateuk ki na…” (杉村キナラブック)
神謡: [他](人)に~を捕縛させる ateukte
(新)

ほばしら(帆柱) [名]帆柱 kayani (新)

ホビット [名](ファンタジーの亜人種)ホビッ
ト hóbit (新)※(英語)

ほひょう(墓標) [名]墓標 kuwa (石狩)、[場
名] kuwasir (旭川)、[名] raykurtopa
(旭川): 墓標は旭川をはじめ天塩、釧路、塘
路、白糠などでは"sokonni"「エゾニワトコ
の木」で作る。また空知では"sikerpeni"「キワ
ダの木」、天塩では"punkaw"「ハシドイの木」、
"cikupeni"「イヌエンジュの木」で作る。:
[名]墓標に巻く平打ちの紐 paramurir (石
狩): [名]墓標に巻く細紐 mutokiat (空
知)

ボビン [名]ボビン kákuttar (新)

ポプラ (植物)[名](ヤマナラシ属)ポプラの茎
cikurusamun-nupkurunni (新)、[名]
popurus (新)※(ヨーロッパクロポプラの改
良種。別名「セイヨウハコヤナギ」、「イタリ
アポプラ」など)：[名]アメリカポプラの茎
amerika-nupkurunni (新)※(別名「カロリ
ナポプラ」など)：[名]ヨーロッパクロポ
プラの茎 europakunne-nupkurunni (新)

ほほえむ(微笑む)[自]微笑む rumina (石
狩)：[他](人)を微笑ませる ruminare
(hetak)

ほめたたえる(褒め称える)[自]人を褒め称える
iotuwasi (新)：[他]～を褒め称える
otuwasi (新)：[他](場所)で～を褒め称え
る eotuwasi (新)：[他]～と共に～を褒め
称える kootuwasi (新)：[他](原因、手段)
で～を褒め称える ootuwasure (新)：
[他](人)に～を褒め称えさせる otuwasure
(新)：[他]自分で、一人で～を褒め称える
yaykootuwasi (新)：[他]皆で～を褒め称
える ukootuwasi (新)：[他]熱心に～を
褒め称える toykootuwasi (新)

ほめる(褒める) ①[自]人、あるいは物を褒め
る iotuwasi (新)、[自] iomonnure (新)：
[他]～を褒める otuwasi (石狩)、[他]
omonnure (沙流)：[他](人)に～を褒めさ
せる otuwasure (新)、[他] omonnurere
(新)：[自]自分を褒める yayotuwasi (新)、
[自] yayomonnure (新)：[自]褒め合う
uotuwasi (新)、[自] uomonnure (新)：
②(感謝し称賛する)[自]人、あるいは物を褒め
る iramyē (新)：[連他]～を褒める
ramu-ye (ram-ye) (石狩)、[連他] ramu-
oitak (ram-oitak) (天塩)：(表現)私は彼
を褒める ramu=ku=ye (石狩)、(表現)私は
君を褒める e=ram=ku=ye (石狩)：(表
現)～に…を褒めさせる … ramu ~ yere
(新)：[自]褒め合う uramyē (新)：③(容
姿に関して)[自]人やものを褒める ireka
(新)：[他]～を褒める reka (沙流)：
[他](人)に～を褒めさせる rekare (新)：
[自]自分を褒める yayreka (新)：[自]褒
め合う ureka (新)

ホヤ(海鞘) ①[名]ホヤ hoyā (新)※(虻田方
言「マボヤ」)：②(魚介)[名](尾索動物亜門)
ホヤ綱 hoyā-pet (新)：[場名](ホヤ綱)マ
ボヤ目 hoyā-kotan (新)

ぼやく [名]ぼやく yaykocaranke (新)：
[自]ぼやく yaykocaranke (新)：[他]～を
ぼやく eyaykocaranke (新)：[他](人)に
ぼやかせる yaykocaranke (新)

ほら ①[間投](相手の注意を引くための)ほら
tan (石狩)：「ほら、ここの所。」“Tan
teor!”、“ほら、ここに。”“Tan te otta!”

「ほらここにそれがある。」“Tan te ta an.”：
[自]ほらと言う tayse (新)：②[間投](人
に物を手渡す時の)ほら o (石狩)：「ほら、
やるぞ。」“O, e=kore=an na!”：[自]ほら
と言う óse (新)：③[間投](物を投げて渡
す時)ほら ke (石狩)：「ほら、やるぞ。」

“Ke, e=kore=an na!”：[自]ほらと言う
kése (新)：④[間投](相手の行動を促して)
ほら hetak (etak) (石狩)：「ほら、走
れ。」“Hetak, hoyupu!”：[自]ほらと言う
hetakse (etakse) (新)：(表現)ほらほら
hetak hetak (etak etak) (石狩)

ほら(法螺) [名]法螺 sunke (石狩)：[自]法
螺を吹く sunke (石狩)：[名]法螺話
sunketuytak (天塩)：[自]法螺話をする
sunketuytak (新)：(表現)法螺話をする
sunketuytak ki (新)

ホラアナゴ(洞穴子) (魚介)[名](アナゴ亜目)ホ
ラアナゴ科 ohohamo-apa (新)：[名]ホ
ラアナゴ亜科 ohohamo-moapa (新)：
[名]ホラアナゴ属 ohohamo-cise (新)：
[名]ホラアナゴ síohohamo (新)：[名]イ
ラコアナゴ ohohamo (新)※(北海道方言
「オホハモ」より)：[名]ディアストブラン
クス属 diastobranxus-cise (新)：[名]ハ
ブテンケリュス属 haptensexeris-cise (新)：
[名]ヒスティオブランクス属
histiobranxus-cise (新)：[名]コンゴウア
ナゴ亜科 nanuenukarhamo-moapa (新)：
[名]コンゴウアナゴ属 nanuenukarhamo-
cise (新)：[名]コンゴウアナゴ
nanuenukarhamo (新)：[名]リュウキュ
ウホラアナゴ亜科 rucuohohamo-moapa
(新)

ボララス (魚介)[名](ラスボラ亜科)ボララス
属 boraras-cise (新)※(学名)：[名]ボラ
ラス・ウロフタルモイデス
kimatekitokpabo-raras (新)：[名]ボララ
ス・ブリギッタエ mokrapihurekeso-
boraras (新)：[名]ボララス・マクラート
ウス porokunnekeso-boraras (新)：[名]
ボララス・ミクロス sípomboraras (新)：
[名]ボララス・メラー cupraynokao-boraras
(新)

ホリ [名](サケ、マス)の産卵のためホリ ican
(石狩)：[自](サケ、マス)が産卵のためホリ
を掘る icankor (石狩)

ほり(堀) [名]堀 pécir (新)：(表現)堀を～に
巡らせる pécir ~ okarire (新)：(表現)
堀を巡らせた城 pécir an=okarire cási
(新)：[名]内堀 awun pécir (新)：[名]
畝堀 urenka-tumpukor-pecir (新)：[名]
畝状堅堀 urenka-aspecir (新)：[名]片葉
研堀 arasameenke-pecir (新)：[名]空堀

satpecir (新): [名]毛拔堀
 asamenukare-pecir (新): [名]障子堀
 tumpukor-pecir (新): [名]総堀
 ioarokari-pecir (新): [名]外堀 soyun
 pécir (新): [名]堅堀 aspecir (新):
 [名]中堀 noskiun pécir (新): [名]箱堀
 supop-pecir (新): [名]放射状堀
 cieusaakkatne-pecir (新): [名]堀切
 situ-tumpu (新): [名]水堀 wakkao-
 pecir (新): [名]諸薬研堀 uren-
 asameenke-pecir (新): [名]薬研堀
 asameenke-pecir (新): [名]横堀
 samatki-pecir (新): [名]連続堅堀
 uroskire-pecir (新)

ほりきり(堀切) [名]堀切 situ-tumpu (新)

ほりしょうじ(堀障子) [名]堀障子
 pécirotumpukorpe (新)

ほりだす(掘り出す) [他]～を掘り出す pusu
 (複数 puspa) (沙流): (表現)金を掘り出
 す konkani pusu (複数 puspa) (新):
 [他](場所)で～を掘り出す epusu (複数
 epuspa) (新): [他]～と共に～を掘り出す
 kopusu (複数 kopuspa) (新): [他](場所)
 から～を掘り出す、(原因、手段)で掘り出す
 opusu (複数 opuspa) (新): [他](人)に～
 を掘り出させる pusure (複数 puspape)
 (新): [他]自分で、一人で～を掘り出す
 yaykopusu (複数 yaykopuspa) (新): [他]
 皆で、共に～を掘り出す ukopusu (複数
 ukopuspa) (新): [他]完全に～を掘り出す
 oarpusu (複数 oarpuspa) (新)、[他]
 arpusu (複数 arpuspa) (新): [他]思い切
 り～を掘り出す toykopusu (複数
 toykopuspa) (新): [他]人に～を掘り出さ
 せる pusuyar (複数 puspayar) (新):
 [他]～をどんどん掘り出す puspusu (複数
 puspuspa) (沙流)

ポリネシア [場名](地名)ポリネシア Porinesia
 (新)※(オセアニア東部の島々の総称): [名]
 ポリネシア人 porinesiaunkur (新): [名]
 ポリネシア語 porinesiaunkur-itak (新)

ポリバケツ [名]ポリバケツ purastiknitus
 (新)

ポリビア [場名](国名)ポリビア共和国
 Borivia Ukotankoremosir (新)※(首都は
 「ラバス」): [場名](国名の通称として)ポリ
 ビア Borivia (新): [名]ポリビア人
 boriviaunkur (新)

ポリムニア (植物)[名](キク科)ポリムニア属
 kamuyruwe-hamuspe-cise (新): [名]ポリ
 ムニア・カナデンシスの茎葉 kanada-
 kamuyruwe-hamuspe (新)、[名]その葉
 kanada-kamuyruweham (新)

ほりもの(彫り物) [名]彫り物(物) cinuyep

(新): [自]彫り物(行為) inuye (石狩):
 [自]彫り物をする inuye (石狩)

ほりよ(捕虜) [名]捕虜 ciukkur (新)、[名]
 anukkur (新): [自] ciukkunne (新):
 [他]～を捕虜にする ciukkunneka
 (ciukkunnere) (新)

ほる(掘る) ①(ある場所を掘る事)[他](場所)を
 掘る ouri (複数 ourpa) (石狩): (表現)
 木の根元を掘る niousi ouri (石狩): (表
 現)(クマが前足で)地面を掘る sir ouri (石
 狩): (表現)土を掘る、穴を掘る toy ouri
 (石狩): [他](人)に(場所)を掘らせる ourire
 (新): ②(土の中から有用な何かを掘って採
 集する事)[他]を掘る、掘って採る ta (石
 狩): 目的語となるのは従来食用とされる草
 の根などだったが、今後は鉱物などの採掘に
 関してもこの語を用いるものとする。: (表
 現)エゾエンゴサクの塊茎を掘る toma ta
 (石狩): (表現)オオウバユリの鱗茎を掘る
 turep ta (石狩): (表現)金を掘って採る
 konkani ta (新): (表現)ヤブマメの地下果
 実を掘る aha(eha) ta (石狩): [他](人)
 に～を掘らせる táre (新): ③(埋まっ
 ている物を掘り出す事)[他]～を掘る pusu (複
 数 puspa) (沙流): (表現)金を掘る
 konkani pusu (複数 puspa) (新):
 [他](人)に～を掘らせる pusure (複数
 puspape) (新): [他]～をどんどん掘る
 puspusu (複数 puspuspa) (沙流)

ほる(彫る) ①(彫刻に関して)[自]ものを彫る
 inuye (石狩): [他]～を彫る nuye (複数
 nuypa) (石狩): [他](場所)に～を彫る
 nuyekar (石狩): [他]～と共に～を彫る
 konuye (新): [他](原因、手段)で～を彫る
 onuye (新): [他](人)に～を彫らせる
 nuyere (新): ②(船に関して)[他]～を彫る
 ta (石狩): (表現)丸木舟を彫る cip ta
 (石狩): [他]～を彫らせる táre (新)

ボルガ [名](地名)ボルガ川 Vorga-pet (新):
 [場名](地名)ボルガ Vorga (新)

ボルゴグラード [場名](ロシア連邦南部連邦管
 区の構成主体名)ボルゴグラード州
 Borgogurat-purovince (新): [場名](ボル
 ゴグラード州の州都名)ボルゴグラード
 Vorgogurat (新)※(1925-61年「スタ
 ーリングラード」)

ボルト ①[名]ボルト pinnecinoyep (新):
 [名]アイボルト iatte-pinnecinoyep (新)※
 (「つりボルト」とも): [名]寸切りボルト
 tanne-rinnecinoyep (新)※(「長ねじ」、「長
 ねじボルト」、「全ねじ」、「すんぎり」とも):
 [名]蝶ボルト rápus-pinnecinoyep (新)※
 (「蝶ねじ」、「ウイングボルト」とも): [名]
 フランジボルト seppaum-pinnecinoyep

(新)※(「フランジ付き六角ボルト」とも):
 [名]ホーローセット hesak-pinnecinoeyep
 (新)※(「芋ねじ」、「止めねじ」、「六角穴付き
 止めねじ」など): [名]ボタンボルト
 karus-pinnecinoeyep (新)※(「六角穴付きボ
 タンボルト」、「ボタンキャップ」とも): [名]
 Uボルト U-noka-pinnecinoeyep (新)※
 (「U字ボルト」とも): [名]六角ボルト
 yayampinnecinoeyep (新)、[名]
 iwaysikkewkor-pinnep (新): (表現)六角
 ボルト iwaysikkewkor pinnecinoeyep
 (新): [名]六角穴付きボルト koncipinnecinoeyep (新)※(「キャップボルト」、
 「キャップスクリュー」、「ソケットスクリュー」とも): (表現)六角穴付きボルト
 iwaysikkewkor puyo koncikor pinnecinoeyep
 (新): [名]六角穴付き皿ボルト akam-pinnecinoeyep (新)※(「皿キャップ」、「皿ボ
 ルト」とも): (表現)六角穴付き皿ボルト
 iwaysikkewkor puyo akamun pinnecinoeyep
 (新): ②(銃の部品)[名]ボルト
 cimoyekuttar (新)※(「遊筒」とも)
ポルトープランス [場名](ハイチ共和国の首都名)ポルトープランス Potto-o-purince (新)
ポルトガル [場名](国名)ポルトガル共和国
 Pottugar Ukotankoremosir (新)※(首都は「リスボン」): [場名](国名の通称として)ポ
 ルトガル Pottugar (新): [名]ポルトガル
 人、国民 pottugarunkur (新): [名]ポ
 ルトガル語 pottugarunkur-itak (新): (歴
 史)[場名](国名)ポルトガル王国 Pottugar
 Yaykomosirkorkur-kormosir (新) ※(1
 139-1910年。1807-21年まで
 植民地のブラジルのリオ・ジャネイロに遷都、
 亡命。1910年に共和国となる)
ポルトノボ [場名](ペナン共和国の憲法上の首都名)ポルトノボ Potto-novo (新)
ホルミウム (化学)[名]ホルミウム hormium
 (新) ※(原子番号67番。元素記号 Ho)
ほれる(惚れる) ①(異性に関して)[他]~に惚
 れる osikkote (石狩)、[他] kateomare
 (石狩): 「俺はお前に惚れた。」
 “E=osikkote=an!”(門野トサ): ②(異性、
 同性を問わず)[他]~に惚れる、慕う
 osiknuka (osiknoka) (石狩): [他]~に惚
 れる、好意を持つ eramasuy (erasasu)
 (石狩)
ほろきれ(襤褸切れ) [名]襤褸切れ yar(i)
 (石狩)、[名] yarpe (石狩)
ボログダ [場名](ロシア連邦北西連邦管区の
 構成主体名)ボログダ州 Voroguda-
 purovince (新): [場名](ボログダ州の州都
 名)ボログダ Vorouda (新)

ポロニウム (化学)[名]ポロニウム poronium
 (新)※(原子記号84番。元素記号 Po)
ボロネジ ①[場名](ロシア連邦中央連邦管区
 の構成主体名)ボロネジ州 Borones-
 purovince (新): [場名](ボロネジ州の州都
 名)ボロネジ Borones-puroince (新): ②
 [場名](地名)ボロネジ川 Vorones-pet (新)
 ※(ドン川支流)
ほろぶ(滅ぶ) [自]滅ぶ emuke (天塩): (表
 現)滅びてしまう an=wénte wa oariam
 (isam) (新)、(表現) an=kirú wa oarisam
 (isam) (新): (表現)村が滅びてしまう
 kotan yaywente (an=wénte) wa oarisam
 (isam) (石狩)、(表現) kotan oha wa tu
 (八雲)、(表現) kotan orake (幌別)
ほろぼす(滅ぼす) [他]~を滅ぼす wente (石
 狩)、[他] kiru (石狩)、[他] emukere
 (新): [他](場所、時)に~を滅ぼす ewente
 (新)、[他] ekiru (新): [他]~と共に~を
 滅ぼす kowente (新)、[他] kokiru (新):
 [他](原因、手段)で~を滅ぼす owente (新)、
 [他] okiru (新): [他](人)に~を滅ぼさせ
 る wentere (新)、[他] kirure (新)、[他]
 emukerere (新): [他]自分で、一人で~を
 滅ぼす yaykowente (新)、[他]
 yaykokiru (新)、[他] yaykoemukere
 (新): [他]互いに、皆で~を滅ぼす
 ukowente (新)、[他] ukokiru (新)、[他]
 ukoemukere (新): [他]完全に~を滅ぼす
 oarwente (arwente) (新)、[他] oarkiru
 (arkiru) (新)、[他] oareemukere
 (areemukere) (新): [他]人に~を滅ぼさ
 せる wenteyar (新)、[他] kiruyar (新)、
 [他] emukereyar (新): [自]自らを滅ぼ
 す yaywente (新)、[自] yaykiru (複数
 yaykirpa) (新)、[自] yayemukere (新):
 [自]互いを、皆滅ぼす uwente (新)、[自]
 ukirpa (新)、[自] uemukere (新)
ボロボロ ①(物一般に関して)[自]ボロボロに
 なる、なっている onne (石狩): [他](場
 所)でボロボロになる、なっている eonne
 (新): [他]~と共にボロボロになる、なっ
 ている koonne (新): [他](原因、手段)でボ
 ロボロになる、なっている oonne (新):
 [他]~をボロボロにする onneka (onnere)
 (新): [自]すっかりボロボロになる、なっ
 ている oaronne (aronne) (新): [自]ひど
 くボロボロになる、なっている toykoonne
 (新): ②(衣類などに関して)[自]ボロボロに
 なる、なっている yar (石狩): [他](場所)
 でボロボロになる、なっている eyar (新):
 [他]~と共にボロボロになる、なっている
 koyar (新): [他](原因、手段)でボロボロに
 なる、なっている oyar (新): [他]~をボ

ロポロにする yarka (石狩): [自]すっかりポロポロになる、なっている oaryar (aryar) (新): [自]ひどくポロポロになる、なっている toykoyar (新)

ポロポロ ①(木の葉や粒などが落ちる音)[間投](擬声語)ポロリ、ポロリ rap (新): [自](木の葉や粒などが落ちて)ポロリ(ポロリ)という rapse (新): [間投](擬声語)ポロポロ、ポロポロ rapap (石狩): [自]ポロポロ(ポロポロ)という rapapse (新): ②(穂などが落ちる様)[間投](擬態語)ポロポロ curur (沙流): [自](摘まれた穂が)ポロポロ集まってくる uecurusse (uecururse) (新)※(沙流): (表現)手の上にポロポロ集まって来る tek tuyka ta amampus uecurusse (新)※(沙流): ②(表現)目の全体に穴があいたようにポロポロと涙を流して泣く sikpuyake kopuyrototke sikpuykese kopuyrototke cis (石狩)

ホワイト [自]ホワイトになる、である wáit (新): [他]～をホワイトにする wáitka (wáite) (新): [名]ホワイト色 wáit-iro (新)

ホワイトフィッシュ (魚介)[名](コレゴヌス属) ホワイトフィッシュ yayan-upascep (新)

ホワイトホース [場名](カナダのユーコン準州の州都名)ホワイトホース Wáithos (新)

ホワイトボード [名]ホワイトボード retarita (新)

ボン [場名](ドイツ連邦共和国の都市名)ボン Bon (新)

ほん(1)(本) [名]本 kampsisos (H): (表現)本を音読する kampsisos oro-oitak (新)、(表現)私は本を音読する kampsisos oro=ku=oitak (新): (表現)本を黙読する kampsisos nukar (新): [名]絵本 nokaokampsisos (新): [名]刊本 ciiooputuye-kampsisos (新): [名]稀観本 sisakkampsisos (新): [名]写本 citekotupte-kampsisos (新): [名]新刊 asirkampsisos (新): [名]新刊本 asitciutarkoasinke-kampsisos (新)、[名] asitciutarkoasinkep (新): [名]版本 ciniooptuye-kampsisos (新): [名]古本 onnekampsisos (新)

ほん(2)(本) [名](植物の根を数える際に助数詞的に用いられ)～本 tuka (石狩)、[名] tuy (石狩): 「…彼女がエゾノリュウキンカの根を掘ると一本も彼女は残さずに…」 “…puyta kor sine tuy ka somo ama no…” (砂沢クラ)説話

ほん(盆) [名]盆 nima (石狩)

ほんけ(本家) [名]大きな家、母家、本家(の家) porocise (石狩): かつてある程度の人口が

ある村ではこの"porocise"を中心に周囲に分家した老人、子供夫婦の"poncise"(あるいは"sinnaycise")が建てられた。和人による強制労働のため形成された数十軒からなる村を除けば、大抵一村一族であったため、"porocise"が本家という事になる。家の大きさは専ら祭礼、集会などの便利のために、地域差はあったろうが、皇居や武将の城郭のように十分な権力の象徴、あるいは中心と成り得なかった。明治以降アイヌ文化の破壊が進むにつれ、現在では単に「大きな家」という意味でのみ認識されている。旭川では明治40年、アイヌ達が悪辣な和人により郊外の荒地に追い出された時、川村モノクテ翁の"porocise"も破壊された。

ほんけいやく(本契約) [自]本契約する síuesere (新): [他]～について本契約する esiuesere (新): [他](人)に本契約させる síueserere (新)

ほんこん(香港) ①[場名]中華人民共和國香港特別行政區 Tõnhua Utarikor Ukotankoremosir kor Honkon Sisakiwor (新)※(1842年からイギリスの植民地、1997年に中華人民共和國に返還される。): [場名](返還前、あるいは後の地区通称として)香港 Honkon (新): ②[場名](地名)香港島 Honkon-poysir (新)

ほんさい(本妻) [名]本妻 sínomat(i) (石狩)、[名] sinomenoko (石狩): 「妾」は"ponmat"。本妻と妾の間では互いに"an=tusi"「私の綱」と呼び合った事が物語より分る。

ほんしつ(本質) [名]本質 awunru(-we) (新)、[名] ikkew(-e) (新)、[名] ipe (新)、[名] ousia (新)※(希語)

ホンジュラス [場名](国名)ホンジュラス共和国 Honduras Ukotankoremosir (新)※(首都は「テグシガルパ」): [場名](国名の通称として)ホンジュラス Honduras (新): [名]ホンジュラス人、国民 hondurasunkur (新)

ほんち(盆地) [名]盆地 sísírkot(-ci) (新)

ポンド [名](イギリスなどの通貨単位、あるいは質量の単位)ポンド póundo (新)

ほんとう(本当) [副]本当に sonno (石狩)、[副] síno (石狩): (表現)本当に sonno ka (石狩)、(表現) sonno poka (石狩)、(表現) sonno ka ne kusu (石狩): (表現)本当の sonno an (石狩)、(表現) síno an (新): [連体](雅語)本当の sían (sianno) (石狩): [接頭]本当の sí- (石狩)、[接頭] síno- (石狩): [名]本当の事 sonnoampe (石狩)、[名] ampe (石狩、天塩): 「本当なのか。」“Ampe ne ya?”: (表現)本当の事を言えば～ ampe ye yak～ (石狩): [名]

本当の言葉 sonnoitak (天塩)、[名] sinoitak (新): [名] 本当の話 sinooruspe(síoruspe) (新): (表現) 本当の話 sonno (sino) an oruspe (新)

ほんのくぼ(盆の窪) [名] 盆の窪 oksutpinnay(-e) (幌別)

ほんのわずか(ほんの僅か)(表現)ほんの僅かになる、僅かである sonno (sino) pon (石狩)、(表現) sonno (sino) ponno an (新): (表現)ほんの僅かに sonno (sino) ponno (新): [名]ほんの僅かの物 pompepo (石狩)

ボンベイ [場名](インドのマハーラーシュトラ州の州都の旧称)ボンベイ Bombay (新)

ポンペイ [場名](ミクロネシア連邦の州名)ポンペイ州 Pompey-purovince (新): [場名](地名)ポンペイ島 Pompey-poysir (新) ※(カロリン諸島に属するミクロネシア連邦領の島): [名]ポンペイ語 pompeyunkur-itak (新)

ほんぼこりん [名](帽子などに付けたりする飾り)ほんぼこりん tumus (沙流)

ほんみよう(本名)[名]本名 sínore (新)、[名] síre (新)

ホンメダマアナゴ(本目玉穴子)(魚介)[名](アナゴ科)ホンメダマアナゴ亜科 sísikiporo-hamo-moapa (新): [名]ゴテンアナゴ属 sikkesskunne-hamo-cise (新): [名]ニラミアナゴ属 sikkeruru-hamo-cise (新): [名]メダマアナゴ属 sikiporo-hamo-cise (新)

ほんやく(翻訳) [名] 翻訳、翻訳する事 itaktupte (新)、[名] itupte (新): [名] 翻訳、翻訳された物 cituptep (新): [自] 翻訳する itaktupte (新)、[自] itupte (新): [他] ~を翻訳する tupte (新): (表現) ~をアイヌ語から日本語に翻訳する aynuitak orwa sísamitak ekota (= otta) tupte (新): [他] ~に ~を翻訳する kotupte (新): (表現) ~をロシア語に翻訳する nucaitak kotupte (新): [他] ~から ~を翻訳する otupte (新): (表現) ~を日本語から翻訳する sísamitak otupte (新): [他](人)に ~を翻訳させる tuptere (新): [名]翻訳家、翻訳者 itaktuptekur (新)

ぼんやり ①[自]ぼんやりする、ぼんやりしている homar (石狩): 「ぼんやりと赤い」など具体的な色に関しては石狩川筋で "matek-hure" の表現があるが、今後は "matek" を専ら「中間色である」の意味で使っていくため、"homar-hure" と表現するものとする。: [副]ぼんやりと homar (石狩)、[副] homanno (天塩)、[副] homaritarara (天塩): (表現)ぼんやりと homar kane

(石狩): ②[自]ぼんやりしていく cancanke (新): [自]全体がぼんやり薄くなっていく uecancanke (石狩): (表現)(はっきり見えていたものが)霧のように全体がぼんやり薄くなっていく urar sinne uecancanke (石狩): ③(人が)[自]ぼんやりしている omawposo (美幌): (表現)ぼんやりしている maw oposo (美幌): [自](憑りつかれたように)ぼんやりしている kurkamu (天塩)、[自] oyakamuykar (新)※(樺太真岡)

ぼんよう(凡庸) ①(普通の)[連体]凡庸な úse (石狩): (表現)凡庸 á なる úse aynu (石狩): (表現)凡庸な神 umama kamuy (沙流): ②(何も持たぬ、位の低いなどの否定的意味合いを込め)[連体]凡庸でつまらない eru (石狩)

ほんりゅう(本流)[名]本流 sípet (石狩): ある特定の流れを「子」として "pompet"、"ponnay" とする時、「親」である本流を "poropet"、"poronay" と呼ぶ事がある。また本流の最上流について "sí"、"sinoman" を川の名に付して "Sísorapci" 「空知川最上流部」、"Sinomantesew" 「天塩川最上流部」などとも呼ぶ。: [場名](山の方、あるいは川の支流の方に対し)本流の方 sa (石狩)

まあ ①(驚いて)[間投]まあ óyya (石狩)、[間投] ayapo (áyapo) (石狩)、[間投] iyahoy (iyahoy) (釧路)、[間投] iyohay (沙流): ②(呆れて)[間投]まあ paw (石狩)、[間投] ayapo (áyapo) (石狩)、[間投] iyahoy (iyahoy) (釧路)、[間投] ihohay (沙流): ③[間投]まあ、可愛い mam ta (CC): ④(言葉の繋ぎとして)[間投]まあ mo (石狩): ④[副助](自分の発言に対する納得を表し)まあ~(だ)な un (石狩): 「まあそれを体験せずとも良かったな。」 “Ku=eramuskare yakka pirka un .”

マーガレット →英語のマーガレットは「モクシュンギク(木春菊)」を見よ、ドイツ語のマーガレットは「フタンスギク(仏蘭西菊)」を見よ

マアジ(真鯨)(魚介)[名](アジ科)マアジ属 yayanaji-cise (新): [名]マアジ yayanaji (新): [名]アラビアンスカッド arabiya-yayanaji (新): ニューゼalandマアジ nuzirando-yayanaji (新)

マーシャル ①[場名]マーシャル諸島共和国 Mášar-usapoyisir Ukotankoremosir (新)※(首都は「マジェロ」): [場名](国名の通称として)マーシャル Mášar (新): [名]マーシャル人、国民 mášarunkur (新): [名]マーシャル語 mášarunkur-itak (新): ②[場名]マーシャル諸島 Mášar-usapoyisir (新)※(太平洋に位置する島々)

マアナゴ(真穴子)→「クロアナゴ(黒穴子)」を見よ

マーブル [名]マーブル模様 marmonnoka (新)※(大理石・模様)、[名] ikassumanoka (ikarsumanoka) (新)

マーブルキャット (動物)[名](ヒョウ亜科)マーブルキャット属 moniskur-sicape-cise (新)：[名]マーブルキャット moniskur-sicape (moniskussicape) (新)

まい(毎)[接頭](年、日、夜などを表わす名詞に接頭し)毎～ kes- (石狩)：kes+pa(年)→kespa 「毎年」

まいあさ(毎朝) [名・副]朝 keskunnano (新)、[名・副] keskunneywa (新)：(表現)毎朝 keskunnano an kor (新)、(表現) keskunneywa an kor (新)：(表現)毎朝毎朝 keskunnano keskunnano (新)、(表現) keskunneywa keskunneywa (新)

マイクログラム [名](重さの単位)マイクログラム mikroguram (新)※(単位記号"μg")

マイクロメートル [名](長さの単位)マイクロメートル mikrometre (新)※(単位記号は"μm")

マイクロリットル [名](体積の単位)マイクロリットル mikroritre (新)※(単位記号"μl")

マイコープ[場名](ロシア連邦を構成するアデイグ共和国の首都名)マイコープ Maykop (新)

まいじ(毎時)[名]毎時 kesci (新)※(日本語)、[名] kescas (新)※(露語)

まいしゅう(毎週)[名]毎週 keustosay (新)：(表現)毎週 keustosay an kor (新)：(表現)毎週毎週 keustosay keustosay (新)

まいすがた(舞姿)(表現)舞姿 otapkanru (石狩)：(表現)二舞い、三舞い舞い続ける(二つの舞姿、三つの舞姿を重ねる) tu otapkanru re otapkanru uturare (石狩)

まいそう(埋葬) [自]人を埋葬する ietoytuye (新)：[他]～を埋葬する etoytuye (新)：[他](場所)に～を埋葬する eetoytuye (新)：[他]～と共に～を埋葬する koetoytuye (新)：[他](原因、手段)で埋葬する oetoytuye (新)：[他](人)に～を埋葬させる etoytuyere (新)：[名]埋葬後墓地より一番最後に帰る人が死者の帰還を防ぐため道に横たえる1メートル程のエンジュの木、あるいは枝 rúseskep (石狩)

まいたもの(巻いた物) ①(糸や綱を輪に)[名]巻いた物 say(-e) (石狩)：②(毛皮や紙など)[名]巻いた物 sup(-i) (新)

まいつき(毎月) [名]毎月 kescup (新)：(表現)毎月 kescup an kor (新)：(表現)毎月毎月 kescup kescup (新)

まいとし(毎年) [場名・副]毎年 kespa (石狩)：(表現)毎年 kespa an kor (石狩)：(表現)毎年毎年 kespa kespa (石狩)

マイトネリウム (化学)[名]マイトネリウム meitnerium (新)※(原子番号109番。元素記号Mt)

マイナス [自]マイナスになる、である iewen (新)※(それで損する)、[自] mínus (新)※(英語)：[他]～をマイナスにする iewente (新)、[他] mínuste (新)

まいにち(毎日) [場名・副]毎日 kesto (石狩)：毎日 kesto an kor (石狩)、(表現)kesto an to ta (石狩)：毎日毎日 kesto kesto (石狩)

まいばらい(舞祓い) [名](山言葉の禁忌を破った際など、災厄を恐れて受ける)舞祓い rorumpe (天塩)

まいばん(毎晩) ①[名・副]毎晩、毎夕 kesonuman (石狩)："onuman"は日没から普通人が就寝すると常識的に考えられる時間帯までを指す。：(表現)毎晩、毎夕 kestonuman (天塩)：(表現)毎晩 kesonuman an kor (石狩)：②[名・副]毎晩、毎夜 kesukuran (石狩)、[副] kesancikar (沙流)："ukuran"は普通人が就寝してから朝起きると常識的に考えられる時間帯を指す。：(表現)毎晩、毎夜 kesukuran an kor (新)、(表現)kesancikar an kor (沙流)：(表現)毎晩毎晩、毎夜毎夜 kesukuran kesukuran (新)、(表現)kesancikar kesancikar (沙流)

まいびょう(毎秒)[名]毎秒 kespiyo (新)※(日本語)、[名] kessekunda (新)※(露語)

まいふん(毎分) [名]毎分 kespun (新)※(日本語)、[名] kesminuta (新)※(露語)

まいぼつ(埋没) (表現)埋没する sikaseske wa isam (oarism) (新)：(表現)～が埋没させられる～ kasi an=seske wa isam (oarism) (新)：(表現)～が土中に埋没する sitoytumomare wa isam (oarism) (新)

マイルカ(真海豚)(動物)[場名](ハクジラ亜目)マイルカ上科 sitannu-apapa (新)：[名]マイルカ科 sitannu-apa (新)：[名]マイルカ亜科 sitannu-moapa (新)：[名]マイルカ属 sitannu-cise (新)：[名]マイルカ sitannu (新)：[名]ネットイマイルカ arabiya-sitannu (新)※(ハセイルカの亜種とされる事が多い)：[名]ハセイルカ etutanne-sitannu (新)：[名]カマイルカ属 iyokpeaspenu-cise (新)：[名]サラワクイルカ属 sarawaktannu-cise (新)：[名]シワハイルカ属 yómonimakkortannu-cise (新)：[名]スジイルカ属 rúuntannu-cise

(ruuntannu-cise) (新): [名]セミイルカ属 aspesaktannu-cise (新): [名]ハンドウイルカ属 yayantannu-cise (新)※(バンドウイルカ属とも): [名]ゴンドウクジラ亜科 rokom-moapa (新): [名]シャチ亜科 repunkamuy-moapa (ikoykihumpemoapa) (新): [名]セツパリイルカ亜科 seturutuktannu-moapa (新): [名]イッカク科 kitetannu-apa (新): [名]ネズミイルカ科 tuwayuk-apa (新)

まええ(真上) ①[位名](接触した)～の真上 arka(長形-si、-sike) (新): ②[位名](広範囲の)～の真上 arkurka(長形-si、-sike) (石狩): ③[位名]～そすぐ真上 attuyka(長形-si、-sike) (新): ④[位名](離れた)～の真上 arenka(-si、-sike) (新): ⑤[位名]～の峰の真上 armekka(長形-si、-sike) (新): ⑥[位名]～の突き出た真上 attapka(長形-si、-sike) (新): ⑦[位名](斜めになった)～の真上 anrewka(長形-si、-sike) (新)

まうしろ(真後ろ) ①(静止した誰か何かの空間的位置関係を示し)[位名]～の後ろ osmak(長形-e) (石狩)、[位名] arosmak(長形-e) (新): ②(運動する誰か何かの空間的位置関係を示し)[位名]～の後ろ oka(長形-ke) (石狩)、[位名] aroka(長形-ke) (新)

まえ(前) ①(静止した何かの空間的な位置関係、あるいは順序関係を示し)[位名]～の前 kotca(長形-ke) (石狩)※(対義語は"osmak"): 「幣の前で私が祈る言葉でございますよ。」"Nusa kotca ta inonnoitak ku=ki hawe tapan na .": [場名]自分の前 sikotca (新): 「私は自分の前に膳を置いた。」"Otcike sikotca ta ku=ama .": ②(運動する何かの空間的位置関係、あるいは時間的關係を示し)[位名]～の前 etok(長形-o) (石狩)※(対義語は"oka"): 「私が歩いていると、私の前に一匹のカエルが飛び出した。」

"Ku=apkas kane an tek sine pikki en=etok ta saoterke .", 「三日前に私は君に会った。」

"Re to etok ta e=nukar=an .": [場名]自分の前 sietok (石狩): 「私は大きな戸を前にずらし家の中に入った。」"Poro apusta sietok ene ku=rutu wa ku=ahun .": [場名](合成語の構成要素として)前 sa (石狩): ③(時間に関し)[副]前に、以前に teeta (石狩): (表現)前は teeta anakne (石狩): (表現)前から teeta wano (石狩): [連体]前の teeta (石狩): (表現)前の teeta an (石狩): [連体]一つ前の hoski (天塩): (表現)一つ前の hoski an (石狩): [名・副]一昨日 hoskian-numan (石狩): [名]先月 hoskian-cup (石狩)、[名]

hoskicup (天塩)

まえあし(前足) [名](動物の)前足 tek(-e) (石狩)

まえかがみ(前屈み) (表現)体を反らせ、前屈みになって笑う ciotesusu ciorewewe (ciorewerewe) kane mina (新)※(沙流): (表現)笑って体を反らせ、前屈みになる mina kusu ciotesusu cirewewe (cirewerewe) (新)※(沙流)

まえかけ(前掛け) [名]前掛け maytari (石狩): (表現)前掛けをつける maytari kor (石狩): (表現)前掛けを外す maytari ama (石狩)

マエガミジカ(前髪鹿) (動物)[名](シカ科)マエガミジカ属 otopusyuk-cise (新): [名]マエガミジカ otopusyuk (新)

まえにうごかす(前に動かす) [他]～を前に動かす、前に移動させる saoraye (複数 saoraypa) (新)、[他] sanaraye (複数 sanaraypa) (新): [他](場所)で～を前に動かす esaoraye (複数 esaoraypa) (新)、[他] esanaraye (複数 esanaraypa) (新): [他]～と共に～を前に動かす kosaoraye (複数 kosaoraypa) (新)、[他] kosanaraye (複数 kosanaraypa) (新): [他](原因、手段)で～を前に動かす osaoraye (複数 osaoraypa) (新)、[他] osanaraye (複数 osanaraypa) (新): [他](人)に～を前に動かさせる saorayere (複数 saoraypare) (新)、[他] sanarayere (複数 sanaraypare) (新): [他]自分で、一人で～を前に動かす yaykosaoraye (複数 yaykosaoraypa) (新)、[他] yaykosanaraye (複数 yaykosanaraypa) (新): [他]互いに、皆で～を前に動かす ukosaoraye (複数 ukosaoraypa) (新)、[他] ukosanaraye (複数 ukosanaraypa) (新): [他](中相)～が前に動かされる、前に遣られる cisaoraye (新)

まえにでる(前に出る) [自]前に出る hosaoiwe (石狩): [他](場所)で前に出る ehosaoiwe (新): [他]～と共に前に出る kohosaoiwe (新): [他](場所)から前に出る、(原因、手段)で前に出る ohosaoiwe (新): [他]～を前に出す hosaoiwere (新): [他](中相)～が前に出される cihosaoiwere (新)

まえにとびだす(前に飛び出す) ①[自]サッと前に飛び出す saosma (石狩): [他]～をサッと前に飛び出させる saosmare (石狩): (移動する誰か、あるいは何か)の前にサッと飛び出す etok(長形-o) osma (新): ②[自]ボンと跳ねて前に飛び出す saoterke (石狩): (表現)(移動する誰か、あるいは何

か)の前にポンと跳ねて飛び出す etok(長形-
o) oterke (新): [他]~をポンと跳ねて前
に飛び出させる saoterkere (新)

まえにやったとおり(前にやった通り) (表
現)(前述の内容を受け)~(した状態)の通り
arino kane (石狩): 「そこへお前が来たん
だよ。俺は前にやった通りにお前をからかっ
てやろうとしたのだが、俺がお前にからかわ
れたんだなあ。」 “Ekota e=oman na . Arino
kane ku=iki kor e=rara=an kusu ku=iki
korka e=en=rara awan na .”

まえのめり(前のめり) [自]前のめりに倒れる、
躓いて倒れる esitciw (石狩): [自]前の
めりにどっと倒れる murkosanu (沙流):
(表現)(雅)前のめりにどっと倒れ伏す
esitciw sir ko murkosanu (沙流)

まえば(前歯) [名]前歯 etuusnimak(-i) (石
狩): (表現)前歯 kotcake ta an nimk(-i)
(石狩): [自]前歯が抜けている、前歯がない
enimaksak (石狩)

マエモンジャコウアゲハ(前紋麝香揚羽)

[名](キシタアゲハ族)マエモンジャコウアゲ
ハ属 sannokao-muskukitomarewrew-cise
(新): [名]マエモンジャコウアゲハ
sannokao-muskukitomarewrew (新):
[名]アオマエモンジャコウアゲハ
áosannokao-muskukitomarewrew (新):
[名]アカエリトンボジャコウアゲハ
oksutuhure-hankokaciw-
muskukitomarewrew (新): [名]アンキセ
スマエモンジャコウアゲハ anxises-
sannokao-muskukitomarewrew (新):
[名]エルラケスマエモンジャコウアゲハ
enrakes-sannokao-muskukitomarewrew
(新): [名]オオアオマエモンジャコウアゲハ
siaosannokao-muskukitomarewrew (新):
[名]オオシロモンジャコウアゲハ
síretannokao-muskukitomarewrew (新):
[名]オオマエモンジャコウアゲハ
sísannokao-muskukitomarewrew (新):
[名]オオモンマエモンジャコウアゲハ
sannokaporomuskukitomarewrew (新):
[名]オナガナンベイジャコウアゲハ
saratanne-koypokamerika-
muskukitomarewrew (新): [名]キオビナ
ンベイジャコウアゲハ sikerpepeuskutkor-
koypokamerika-muskukitomarewrew
(新): [名]キューバマエモンジャコウアゲハ
kúbasannokao-muskukitomarewrew
(新): [名]シロモンジャコウアゲハ
retannokao-muskukitomarewrew (新):
[名]トガリマエモンジャコウアゲハ
rapueen-sannokao-muskukitomarewrew
(新): [名]トンボジャコウアゲハ

hankokaciw-muskukitomarewrew (新):
[名]ナンベイジャコウアゲハ
kaypokamerika-muskukitomarewrew
(新): [名]ヒメマエモンジャコウアゲハ
mosannokao-muskukitomarewrew (新):
[名]フタエヘリボンジャコウアゲハ maktá-
hurekesikirio-muskukitomarewrew (新):
[名]ベニオビマエモンジャコウアゲハ
húrekutkor-muskukitomarewrew (新):
[名]ホソバマエモンジャコウアゲハ
rapuane-sannokao-muskukitomarewrew
(新)

まおう(魔王) [名]魔王 nitnenetopa (新)、
[名] nitnenetopake (新): [名](特にルシ
フェルを指し)魔王 Satan (新)

マオウ(麻黄) (植物)[名](グネツム目)マオウ科
efedora-apa (新): [名]マオウ属
efedora-cise (新)※(漢方薬「麻黄」。血圧上
昇、瞳孔拡大の成分エフェドリンが発見され
た): [名]シナマオウの茎 yayanefedora
(新)※(別名「マオウ」、「カマオウ」、「ソウマ
オウ」、「デンマオウ」): [名]アイマオウの
茎 noskiefedora-cise (新)※(「チュウマオ
ウ」): [名]キダチマオウの茎 efedora-cise
(新)※(別名「モクゾウマオウ」、「トクサマ
オウ」): [名]フタマタマオウの茎
teketupn-efedora (新)※(別名「ソウスイマ
オウ」): [名]マクカマオウの茎
cikamunikaop-efedora (新): [名]レイコ
ウマオウの茎 rijan-efedora (新)

マオリ [名]マオリ人 maorinekur (新):
[名]マオリ語 maorinekur-itak (新)

まかい(魔界) ①(伝統的な意味で)[場名]魔界
kamuykotan(-u, -i) (石狩): ②(現代の意
味で)[場名]魔界 nitnekamuy-kotan(-u, -i)
(新)、[場名] nitnepkotan(-u, -i) (新)

マカオ [名(場名)]中華人民共和國澳門特別行
政區 Tönhua Utarikor Ukotankoremosir
kor Aomen Sisakiwor (新) ※(旧ポルトガ
ル植民地。1999年に中華人民共和国に変
換された): [名(場名)](返還前、あるいは
後の地区通称として)マカオ Aomen (新)、
[名(場名)] Makao (新)

マガキ(真牡蠣) (魚介)[名](イタボガキ科)マガ
キ属 sípisas-cise (新): [名]マガキ
sípisas (新)、[名] matapisas (新)※(別名
の「ナガエガキ(エゾガキ)」は
tanneseykorpe): [名]イワガキ
sirarpisas (新)、[名] sakpisas (新):
[名]ケガキ numauspisas (新): [名]シカ
メガキ kumamoto-pisas (新): [名]スミ
ノエガキ ariakepisas (新): [名]バージ
ニアガキ virginia-pisas (新)

マガジン [名]マガジン、弾倉 tamapu (新)

マガス [場名](ロシア連邦南部連邦管区イングーシ共和国の首都名)マガス Magas (新)

まかす(負かす) [他]～を負かす annokar (沙流): (表現)すっかり負かされる、一方的に負かされる ar annutara (沙流): [他]～を言葉で言い負かす itakehokuste (石狩): [自]言葉で言い負かされる itakehokus (石狩)

マガダン [場名](ロシア連邦極東連邦管区の構成主体名)マガダン州 Magadan-purovince (新): [場名](マガダン州の州都名)マガダン Magadan (新)

まがる(曲がる) ①(弓なりに)[自]曲がる rewke (石狩): (表現)鼻が曲がる etu rewke (石狩): (表現)(川などが)くねくねと曲がる、曲がりくねる rewke rewke (石狩)、[自] hokayekaye (天塩): (表現)(ヘビ、シャクトリムシが)くねくね曲がって進む rewke rewke oman (複数 paye) (石狩、天塩): [他](場所)で曲がる erewke (新): [他](場所)へ曲がる、～と共に曲がる korewke (新): [他](場所)から曲がる、(原因、手段)で曲がる orewke (新): [自]～の先端が曲がる erewke (新): [自]～の末端が曲がる orewke (新): [自]どんどん曲がる、ぐにやぐにや曲がる rewkerewke (新)、[自] rewrewke (新): [副]弓なりに曲がって rewkeno (新): ②(上の方が傾き)[自]曲がる ehewke (石狩): [自]どんどん曲がる ehewkehewke (新)、[自] ehewhewke (新): [副]傾き曲がって ehewkeno (石狩): (表現)(真っ直ぐ掛けるべきをだらしなく衣服などを曲がって掛ける ehewkeno atte (石狩): ③(下の方が傾き)[自]曲がる ohewke (八雲): [自]どんどん傾き曲がる ohewkehewke (新)、[自] ohewhewke (新): [副]傾き曲がって okewkeno (新): ④(折れ曲がる事)[自]曲がる komke (石狩): (表現)曲がって生えている立木 komke asni (石狩): [自]～の先端が折れ曲がる ekomke (新): [自]～の末端が曲がる okomke (新): [自]どんどん曲がる、ぐにやぐにや曲がる komkekomke (新)、[自] komomke (新): [副]折れ曲がって komkeno (新): ⑤[自]真っ直ぐ伸びず途中から横の方に曲がっている hotku (天塩): [名]真っ直ぐ伸びず途中から横の方に曲がっている木 hotkuni (天塩): ⑤(道に関して)曲がる rewke (石狩)、[自] henoye (複数 henoypa) (幌別)

まき(薪) ①[名]薪 apelikunni (石狩、天塩)、[名] apeni (石狩)、[名] areni (石狩)、[名] kaykuma (kaykima) (石狩)、[名] satni (石狩): ②[場名]薪の燃えさし

apekes (石狩): [場名]燃える薪の燃えていない部分 apearkes (石狩): ③[自]薪採りをする nina (石狩): [自]夕方に薪採りをする osoronina (石狩): [自]薪を背負う nisike (石狩): [自]薪を両手に抱える nitemkor (新)

まきあげる(巻き上げる) [他](竜巻が何か)を巻き上げる noye (複数 noypa) (新): (表現)～を激しく巻き上げる yupkeno noye (複数 noypa) (新): [自](竜巻が)巻き上がる sinoye (石狩): (表現)吹き荒れる風が一斉に巻き上がる tu yupke rera re yupke rera ukohopuni (石狩)

まきがみ(巻紙) [名]巻紙 kampsup(i) (新)

まきげ(巻き毛) [名]巻き毛 komkomse-otop(i) (幌別): (表現)(美女の巻き毛の形容)渦巻きになって(垂れて)行き、草の蔓になって(垂れて)行く morew ne oman kutu ne oman (新)※(知里): (表現)髪と言え、蔓草になって(垂れて)行き、渦巻きになって(垂れて)行き、その髪の先に光輝を結び、髪の面には金の水が滴り流れ、人間であろうか、その麗しきことは? Otop ne manup kutu ne oman morew ne oman, otop etoko ciomeru-kotehitara, otop kurkasi kani wakka ecirir paye, aynu hetap pirka ruwe okay nankora? (新)※(知里)

まきこむ(巻き込む) [他]～を巻き込む cupu (複数 cuppa) (新): [他](場所)で～を巻き込む ecupu (複数 ecuppa) (新): [他](場所)に～を巻き込む kocupu (複数 kocuppa) (石狩): [他]～と共に～を巻き込む kocupu (複数 kocuppa) (新): [他](原因、手段)で～を巻き込む ocupu (複数 ocuppa) (新): [他](人)に～を巻き込ませる cupure (複数 cuppare) (新)

まきとりぼう(巻取棒) [名]厚司織りに使う布の巻取棒 itumamni (石狩)

まきもの(巻物) [名]巻物 sup(i) (新)

まく(巻く) ①(糸など巻いて輪にする)[他]～を巻く saye (石狩): (表現)糸を巻く nuyto saye (石狩): [他](人)に～を巻かせる sayere (新): ②(伸びた綱を輪にする)[他]～を巻く sayekar (沙流): 石狩方言で"sayekar"は「～を数珠繋ぎにする」という意味なので、綱に関しても①を使う。: (表現)蓼麻綱を巻く haytus sayekar (新): [他](人)に～を巻かせる sayekare (新): ③(蓼麻などに関して)[他]～をぐるぐる巻く karkari (石狩): 「この紙をくるくる巻いてこの筒に入れてこの箱の中に入れたらいいのです。」"Tan kampsios es=karikari hine tan kuttar or es=omare hine tan supop oske

es=omare yak pirka ruwe ne .”：[他](人)に～をぐるぐる巻かせる karkarire (新)：[他]すっかり～をぐるぐる巻く oarkarkari (arkarkari) (新)：[他]～に～を巻く、巻いて包む kokari (石狩)：[他]～に～をぐるぐる巻く、巻いて包む kokarkari (石狩)：④(毛皮などに関して)(表現)～をぐるぐる巻く supikar (石狩)：(表現)毛皮を巻く rus supikar (石狩)：⑤(蛇が)[自]とぐろを巻く saykar (石狩)：⑥[自]渦を巻く hopoye (石狩)：(表現)(川瀬の)波が渦を巻く ciw hopoye (石狩)：[他]～を渦を巻かせる hopoyere (新)

まく(撒く) [自]ものを撒く、撒き散らす icari (複数 icarpa) (新)：[他]～を撒く cari (複数 carpa) (石狩)、[他](雅) kocarika (沙流)：(表現)(雅)(敵を傷つけ)～の小さな肉片、大きな肉片を撒き散らす nokan kamnoci rupne kamnoci kocarika (沙流)：[他](場所)に～を撒く kocari (複数 kocarpa) (石狩)：[他](原因、手段)で～を撒く ocari (複数 ocarpa) (新)：[他](人)に～を撒かせる carire (複数 carpare) (新)：[他]自分で、一人で～を撒く yaykocari (複数 yaykocarpa) (新)：[他]皆で、互いに～を撒く ukocarpa (新)：[他]完全に～を撒く oatcari (複数 oatcarpa) (新)、[他] atcari (複数 atcarpa) (新)：[他]思い切り、ひどく～を撒く toykocari (複数 toykocarpa) (新)：[他](中相)～が撒かれる cicari (複数 cicarpa) (新)：[他]人に～を撒かせる cariyar (複数 carpayar) (新)：[自]何度も、あるいは大量のものを撒く icatcari (天塩)：[他](何度も、あるいは大量の何か)を撒く catcari (石狩)：[他](人)に(何度も、あるいは大量の何か)を撒かせる catcarire (石狩)

まく(幕) [名]幕 ciattesenkaki (新)、[名]maku (新)※(日本語)：(表現)幕を開ける ciattesenkaki (maku) maka (新)：(表現)幕を上げる ciattesenkaki (maku) rikinte (rikinke) (新)：(表現)幕を閉じる ciattesenkaki (maku) seske (新)：(表現)幕を引く ciattesenkaki (maku) nimpa (新)：(表現)幕を下す ciattesenkaki (maku) ranke (新)：(表現)～に幕を張り巡らせる ciattesenkaki (maku) okarire (新)

まく(膜) [名]膜 nanukamup(i) (石狩)

マグネシウム (化学)[名]マグネシウム mágunešium (新)※(原子番号12番。元素記号 Mg)

まくら(枕) [名]枕 eninuype (石狩)、[名]

eninumpe (石狩)、[名] mukru (天塩)：[位名]～の枕元 paerupsi(長形-ke) (石狩)※(鹿田シムカニ蠣は位置名詞、砂沢クラ蠣は場所名詞として用いる。)、[位名] erupsi(長形-ke) (沙流)：[他]～を枕にする eninuy (石狩)：[他](人)に～を枕にさせる eninuyte (石狩)

まくらぎ(枕木) ①(鉄道線路の)[名]枕木 eninuypeni (新)、[名] eninumpeni (新)：②(炉の)[名]枕木 eninu (石狩)

マグリブ [名](エジプトより西の北アフリカ)マグリブ Máguribu (新)

マケドニア ①[場名](国名)マケドニア共和国 Makedoniya Ukotankoremosir (新)※(首都は「スコピエ」)：[場名](国名の通称として)マケドニア Makedoniya (新)：[名]マケドニア人、国民 makedoneŋkur (新)：[名]マケドニア語 makedoneŋkur-itak (新)：②[場名](バルカン半島中央部の地域名として)マケドニア Makedonia (新)：③(歴史)[場名]マケドニア王国 Makedonia-yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(紀元前7世紀一同148年)：[名]マケドニア人 makedoniaunkur (新)

まげる(曲げる) ①(弓なりに曲げる事)[他]～を曲げる rewe (複数 rewpa) (石狩)：[他](場所)で～を弓なりに曲げる erewe (複数 erewpa) (新)：[他]～と共に～を曲げる korewe (複数 korewpa) (新)：[他](原因、手段)で～を曲げる orewe (複数形 orewpa) (新)：[他](人)に～を弓なりに曲げさせる rewere (複数 rewpare) (新)：[他]～の先端を曲げる erewe (複数 erewpa) (石狩)：[他]～の末端を曲げる orewe (複数 orewpa) (新)：[他]～をどんどん曲げる rewrewe (複数 rewrewpa) (新)：②(上を傾ける事)[他]～を曲げる ehewe (複数 ehewpa) (石狩)：[他](人)に～を曲げさせる ehewere (複数 ehewpare) (新)：[他]～をどんどん曲げる ehewhewe (複数 ehewhewpa) (新)：③(下を傾ける事)[他]～を曲げる ohewe (複数 ohewpa) (新)：[他](人)に～を曲げさせる ohewere (複数 ohewpare) (新)：[他]～をどんどん曲げる ohewhewe (複数 ohewhewpa) (新)：④(物を折り曲げる、あるいは意見や意志を曲げる事)[他]～を曲げる komo (複数 kompa) (石狩)：[他](場所)で～を曲げる ekomo (複数 ekompa) (新)：[他]～と共に～を曲げる kokomo (複数 kokompa) (新)：[他](原因、手段)で～を曲げる okomo (複数 okompa) (新)：[他](人)に～を曲げさせる komore (複数 kompare) (新)：[他]～の先端を曲げる

ekomo (複数 ekompa) (新): [他]~の末端を曲げる okomo (複数 okompa) (新): [他]~をどんどん曲げる komomo (複数 komompa) (新)

まける(負ける) [自](資質などについて)負ける ipokaski (新)、[自] irapokkari (天塩): [他]~の点で負ける eipokaski (石狩): [他](人)に負ける pokaski (新): [他]~の点で(人)に負ける epokaski (新): [他](資質などについて)(人)を負かす ipokaskire (新)、[自] irapokkarire (新): [他]~の点で(人)を負かす eipokaskire (新)

まご(孫)[名]孫 mitpo (mippo) (石狩、天塩)、[名] nippo (石狩): [名]男の孫 okkay-mitpo (okkay-mippo) (石狩): [名]女の孫 matne-mitpo (matne-mippo) (石狩)

まさか ①(表現)まさか~ない somo suy (石狩)、(表現) somo ka suy (沙流)、(表現) somo ka un suy (沙流): 「まさか彼がそんな風にする筈がない。」“Somo suy neno iki !”, 「まさか私達これを食べたりしないよね?」“Somo suy tampe an=e ruwe ?”: ③(表現)まさか~するとは思わなかったのに…だった somo suy ~ kunak (= kuni) ramu korka (= a p、複数 rok pe) … awan (石狩)、(表現) somo suy ~ pokon yaynu korka (a p、複数形 rok pe) … awan (石狩): awan の複数形は rokokay であるが、石狩方言では雅語表現に非常に稀に現れるのみなどで注意: 「まさか君が来ると私は思わなかったのにやって来た。」“Somo suy e=ek kunak (= kuni) ku=ramu korka (= a p、) e=ek awan (= Somo suy e=ek pokon ku=yaynu korka (= a p、) e=ek awan).”、 「まさか私達がこんな暮らしをしようとは思わなかったのにしていたのだった。」

“Somo suy ene okay=as kunak (= kuni) ci=ramu korka (= rok pe、) okay=as awan (= Somo suy ene okay=as pokon yaynu=as korka (= rok pe、) okay=as awan).”: ②(反語表現として)(表現)まさか~するだろうか、いやない 動詞句+iki (石狩)、(表現) 動詞句+he ki (沙流): 「まさか私が君に嘘をつくだろうか、いやそんな事はしない。」

“E=kosunke=an iki !”

まさぐる(弄る) [他](胸など)を弄る、(汁の具やコウホネなど水の下に沈んでいるもの)を弄って採る haypa (石狩): 「昨日あの娘のおっぱいを弄ってる所へ俺の彼女がやって来た。」“Numan ne menoko totto ku=haypa kane an, ekota ku=kor menoko ek.”、 「ほんとと粗末なお汁が振舞われて椀の中のを弄ってようやく肉を一切れ食べ

たんだよ。」“Sonno ka canan rur enci=kopuni wa itanki or o p ku=haypa ayne kam sine nocipo ku=e ru ne na.”: [他]~を何度も弄る haypahaypa (石狩)

マサチューセッツ [場名](アメリカ合衆国の州名)マサチューセッツ州 Masacuset-mosir (新)※(州都は「ボストン」)

マザマ (動物)[名](シカ科)マザマ属 mazamayuk-cise (mazama-cise) (新): [名]マザマ・アメリカナ hüre-mazama (新): M. クニー kuni-mazama (新): [名]M. ゴウアゾウビラ (新): [名]M. テママ noskiamerikaun-mazama (新): [名]M. ナナ momazama (新): [名]M. ネモリバガ amazonun-mazama (新): [名]M. パンドラ yukatanun-mazama (新)※(ユカタンのマザマ): [名]M. ブリケニー meridaun-mazama (新)※(メリダのマザマ): [名]M. ボロロ bororo-mazama (新): [名]M. ルフィナ ekuadorun-mazama (新)※(エクアドルのマザマ)

まさゆめ(正夢) (表現)正夢である cinitta otta nukar hi néno an (新)

まざる(混ざる) [自]混ざる sipoye (新)、[自] poyke (新): [他](場所)で混ざる esipoye (新): [他]~へ混ざる kosipoye (新): [他]~と混ざる kosipoye (新): [他](原因、手段)で混ざる osipoye (新): [自]完全に混ざる oassipoye (assipoye) (新): [自]混ざり合う ukosipoye (新): [自]完全に混ざり合う oarukosipoye (arukosipoye) (新)

まさる(勝る) [自](資質などについて)勝る ikaun (新): [他]~の点で勝る eikaun (石狩): [他](人)に勝る kaun (新): [他]~の点で(人)に勝る ekaun (新): [後副]~に勝って akkari (akkarino) (石狩): (表現)~に勝っている akkari (akkarino) an (複数 okay) (石狩): 「…彼は物持ちにも勝る物持ちであり…」“…nispa ka akkari an nispa ne…”(杉村キナラブク)説話

ました(真下) ①[位名]~の真下 atcorpok(長形-i、-ike) (新): ②[位名]~の広い範囲の真下 arkurpok(長形-i、-ike) (新): ③[位名]~のくっついて一体化した真下 attuypok(長形-i、-ike) (新): ④[位名]~のすぐ真下 arpossam(長形-a、-ake) (新)、[位名] armompok(長形-i、-ike) (新): ⑤[位名](斜めになった)~の真下 anrewpok(長形-i、-ike) (新)

まして(増して) [後副]~にも増して kasma (石狩): 「…何にも増して恐れ敬う者がいるのだろうか…」“…nep kasma eoripak pe an nankor…”(砂沢クラ)英雄詞曲

マジュロ [場名](マーシャル諸島共和国の首都名)マジュロ Májuro (新): [場名](地名)マジュロ環礁 Májuro-sikarisanguso (新)※(マーシャル諸島共和国の首都が置かれる環礁)

まじわる(交わる) ①(入り乱れ混じり合うという意味で)[自]交わる ukosipoye (新): [他](場所)で交わる eukosipoye (新): [他]〜と交わる kosipoye (新): [他](原因、手段)で交わる oukosipoye (新): [他]〜を交わらせる ukosipoyere (新): ②(交差するという意味で)[自]交わる utasa (複数 utasa) (石狩): [他](場所)で交わる eutasa (複数形 eutasa) (新): [他]〜と交わる tasa (複数 taspa) (石狩)※(複数形は新語): [他](原因、手段)で交わる outasa (複数 outaspa) (新): [他]〜を交わらせる utasare (複数 utaspere) (新): ③(交際するという意味で)[自]人と交わる iemawne (沙流): [他](場所)で人と交わる eiemawne (新): [他]〜と交わる emawne (新): [他](原因、手段)で人と交わる oiemawne (新): [他]〜を人と交わらせる iemawnere (新): [自]交わり合う uemawne (新): ④(性交するという意味で)[自]交わる omohekor (天塩): [他](場所)で交わる eomohekor (新): [他]〜と交わる koomohekor (新): [他](原因、手段)で交わる oomohekor (新): [他](人)を交わらせる omohekore (新): [自]交わり合う ukoomohekor (新)

まじん(魔人) [名]魔人 nitnekamuy (石狩)

ます(枳) [名]枳 masu (新)※(日本語)

まずい(不味い) [自]不味くなる、不味い kérawen (新)、[自] wen (石狩): (表現)不味い食事 wen ipe (石狩): (表現)不味い kéra wen (石狩): [他](原因、手段)で不味くなる、不味い okerawen (新): [他]〜を不味くする kérawente (新): [他](原因、手段)で〜を不味くする okerawente (新)

ますい(麻酔) [自](場所)に麻酔がかかる koinoykosanu (新): (表現)〜の体に麻酔がかかる ~ netopa(-ke) koinoykosanu (新): [他](麻酔薬名)が(場所)にかかる konoykosanu (新): [他](場所)に麻酔をかける koinoykosanure (新): [他](麻酔薬名)を(場所)にかける konoykosanure (新): (表現)局所麻酔 sine serke cikoinoykosanure (新): (表現)全身麻酔 netopa epitta cikoinoykosanure (新): [名](薬)[名]麻酔薬 arkahi-konoykosanu-kusuri (新)

マスカット [場名](オマーン国の首都)マスカッ

ト Muskat (新)

マスカレン [場名](地名)マスカレン諸島 Maskaren-usapoysir (新)※(インド洋に位置するモーリシャス共和国領の島々)

まずしく(貧しく) [自]貧しくなる、貧しい wen (石狩): [副]貧しく wen(-no) (石狩): (表現)貧しく暮らしている wen(-no) an (複数 okay) (石狩): [自]貧しい暮らしをする weysukup (wensukup) (石狩)、[自] wenureska (石狩): [自](人)に貧しい暮らしをさせる weysukupte (新)、[他] wenureskare (新)

ますせき(枳席) [名]枳席 supopso (suopso) (新)

マスノスケ(鱒介)(魚介)[名](サケ属)マスノスケ kunew (長万部): [名]マスノスケの成魚 apekes (天塩)※(別名「キングサーモン」)

マズル [名]マズル、銃口 puspepar(-o) (新)、[名] puspecar(-o) (新)

まぜごはん(混ぜご飯) [名]混ぜご飯 mesi-rataskep (新)、[名] mazegohan (新)※(日本語)、[名] rataskep (十勝)

マセル [場名](レソトの首都名)マセル Máseru (新)

まぜる(混ぜる) [自]ものを混ぜる ipoye (新): [他]〜を混ぜる poye (石狩): 今後単独でも使う: [他](場所)で〜を混ぜる epoye (新): [他]〜に〜を混ぜる kopoye (石狩、天塩)、[他] kokar (天塩): [他](原因、手段)で〜を混ぜる opoye (新): [他](人)に〜を混ぜさせる poyere (新): [自]混ぜ合わせる upoye (新): [他]〜を混ぜ合わせる、〜と〜を混ぜ合わせる ukopoye (石狩、天塩)、[他] ukakuo (石狩): 「私は色々な酒を混ぜ合わせてみた。」

“Usa an sake ku=ukopoye wa inkar.”

「絶対にこの薬とその薬を混ぜるなよ。」

“Tan kusuri taan kusuri ecikki ukopoye ya.”: [他](人)に〜を混ぜ合わせさせる、(人)に〜と〜を混ぜ合わせさせる ukopoyere (新)、[他] ukakuore (新): [他]完全に〜を混ぜ合わせる、完全に〜と〜を混ぜ合わせる oarukopoye (arukopoye) (新)、[他] oarukakuo (arukakuo) (新): [他]人に〜を混ぜ合わせさせる、人に〜と〜を混ぜ合わせさせる ukopoyeyar (新)、[他] ukakuoyar (新)

まそお(真緒) [自]真緒になる、である sisumaohure (新): [他]〜を真緒に染める sisuma-ohureka (-ohurere) (新): [名]真緒色 sisumaohure-iro (新)

また [副]また suy (石狩)、[副] kanna (石狩): (表現)更にまた kanna suy (石狩): (表現)それからまた orowano suy

(石狩): 「またお会いしましょう。」 “Suy unukar=an ro!”: (表現)また逆戻りして、また逆に otopo horka (石狩)、(表現) etopo horka (石狩)

まだ ①[副]まだ na (石狩): 「この魚まだ生だぞ。」 “Tan cep na hu na .”, 「彼はまだ来ない。」 “Na somo ek .”, 「肉まだあるから、どんどん食べてね。」 “Kam na an kusu poronno e yan!”: [副](強調形)まだ naa (石狩): (表現)まだ沢山 na poronno (石狩): (表現)まだまだ na na (石狩): (表現)まだまだ沢山 na na poronno (石狩): ②[副](他より)まだ etakasure (沙流): 「お前は人よりもまだ頑張らねばならぬ。」 “Eani anakne etakasure e=arikiki kuni.”

マダガスカル [場名](国名)マダガスカル共和国 Madagašikara Ukotankoremosir (新)※(首都は「アンタナナリヴォ」): [名](国名の通称)マダガスカル Madagašikara (新): [名]マダガスカル人、国民 madagašikaraunkur (新): [名]マダガスカル語 madagašikara-itak (新): [場名]マダガスカル島 Madagašikara-poysir (新)

マダガスカルマングース (動物)[名](ネコ亜目)マダガスカルマングース科 madagašikaraun-manguste-apa (新)※(エウブレリス科とも): [名]コバマングース属 nimakipon-manguste-cise (新): [名]コバマングース nimakipon-manguste (新): [名]サラノマングース属 saranomanguste-cise (新): [名]サラノマングース sarano-manguste (新): [名]ダレルズ・ボンツィラ cikiriporo-saranomanguste (新): [名]ヒロスジマングース属 sepuomanguste-cise (新): [名]ヒロスジマングース sepruo-manguste (新): [名]オオヒロスジマングース porosepruo-manguste (新): [名]ファナロカ属 fanaroka-cise (新): [名]マダガスカルジャコウネコ fanaroka (新): [名]フォッサ属 fossa-cise (新): [名]フォッサ fossa (新): [名]ジャイアントフォッサ porofossa (新)※(絶滅): [名]ホソスジマングース属 áneruomanguste-cise (新): [名]ホソスジマングース áneruomanguste-cise (新): [名]ワオマングース属 ruosarunmanguste-cise (新)

またぐ(跨ぐ) [他]～を跨ぐ、～を跨ぎ越える kama (石狩): [他](人)に～を跨がせる kamare (新): [他]自分で、一人で～を跨ぐ yaykokama (新): [他]皆で、互いに～を跨ぐ ukokama (新): [他]すっかり～

を跨ぐ oarkama (arkama) (新): [他]人に～を跨がせる kamayar (新): [他]人に自分を跨がせる kamayar (新)

またぐら(股座) [場名]股座 ciutur-u) (石狩): [場名]～の股座 cinuturke (沙流)

マダケ(真竹) (植物)[名](タケ亜科)マダケ属 siwsitop-cise (新): [名]マダケの茎 siwsitop (新)、[名]マダケの筍 siwsitopto (新)、[名]マダケの稈鞘 siwsitopur (新)※(別名「ニガタケ(苦竹)」): [名]オウソウチクの茎 sikerpepeusnaysitop (新): [名]キッコウチクの茎 ecinkesey-sitop (新): [名]クロチクの茎 kunnesitop (新): [名]タイワンマダケの茎 taywan-sitop (新): [名]ハチクの茎 sitop (新)※(クロチクの変種): [名]フユロスタキユス・アトロバギナタの茎 hurapirkasitop (新): [名]フユロスタキユス・スルフレアの茎 konkanisitop (新): [名]フユロスタキユス・バルビフォリアの茎 anci-konkanisitop (新)※(安吉金竹): [名]フユロスタキユス・ビッセッティイの茎 roncon-sitop (新)※(蓉城竹): [名]フユロスタキユス・ビレラの茎 donyan-sitop (新)※(東陽竹): [名]フユロスタキユス・ヘテロキアダの茎 wakkasitop (新): [名]フユロスタキユス・メイエリの茎 meyersitop (新)※(学名): [名]フユロスタキユス・ルプロマルギナタの茎 húruruositop (新): [名]フンリョクチクの茎 siwninkous-sitop (新): [名]ホテイチクの茎 péraynisitop (新): [名]モウソウチクの茎 cienositop (新)

マダコ(真蛸) (魚介)[場名](タコ目)マダコ亜目 siatkorpe-mokotan (新): [場名]マダコ上科 siatkorpe-apa (新): [名]マダコ科 siatkorpe-apa (新): [名]マダコ属 siatkorpe-cise (新): [名]マダコ sísamatkorpe (新): [名]イイダコ amamkoratkorpe (新): [名]イイダコモドキ ciamamkor-atkorpekopa (新): [名]エゾダコ yaunatkorpe (新): [名]エンドウダコ endoatkorpe (新): [名]オオメダコ sikiporoatkorpe (新): [名]クモダコ pisunatkorpe (新): [名]サメハダテナガダコ teke (新): [名]シマダコ ruoatkorpe (新): [名]スナダコ otaatkorpe (新): [名]ゼブラオクトパス mimikatkorpe (新): [名]ツノモチダコ áyusatkorpe (新): [名]テギレダコ teksututuy-atkorpe (新): [名]テナガダコ tekettanne-atkorpe (新)※(別名「アナダコ」): [名]ベニツケダコ húruruoatkorpe (新): [名]マツバダコ tannetekeane-atkorpe (新): [名]マメダコ nokanatkorpe (新): [名]ミズダ

コ siatkorpe (新)※(別名「オオダコ」):
[名]メジロダコ cásikor-atkorpe (新):
ヤナギダコ yayanatkorpe (新): [名]ヨ
ツメダコ inesikkor-atkorpe (新): [名]
ワモンダコ takuatkorpe (新): [名]ヒョ
ウモンダコ属 okokko-atkorpe-cise (新):
[名]: [名]クラゲダコ科 tonruatkorpe-apa
(新): [名]スカシダコ科 inkarposo-
atkorpe-apa (新): [名]テナガヤワラダコ
科 teketannehapur-atkorpe-apa (新):
[名]フクロダコ科 pukuruatkorpe-apa
(新): [場名]アオイガイ上科
seynuakorpe-apa (新): [名]アオイガ
イ科 seynuakorpe-apa (新): [名]アミ
ダコ科 sirkasirasirak-atkorpe-apa (新):
[名]カンテンダコ科 kantenatkorpe-apa
(新): [名]ムラサキダコ科 kiskisenkaki-
atkorpe-apa (新): [名]ムラサキダコ
pewrekinapeus-atkorpe (新)

またしても [副] (雅語。前に起こった事態を受け、
同じ事態が繰り返される事を示し) またして
も、また何時ものように isenramkora (石
狩)、[副] (雅) isenramkorak (沙流): (表
現) (雅) またしても、また何時ものように
isenram sekor (石狩)、[副] (雅) senram
sekor (久保寺より)、[副] (雅) isenram
kusu (久保寺より)

またたく(瞬く) ①(目の開閉する事)→「まば
たく(瞬く)」を見よ: ②(光が明滅する
事) [自]瞬く tom (石狩): [他] (場所)で瞬
く etom (新): [他] ~と共に瞬く kotom
(新): [他] (原因、手段)で瞬く otom (石
狩): [他] ~を瞬かせる tomte (石狩):
[自] 何度も瞬く tomtom (石狩): (表現)
稲妻が瞬く imeru at (石狩)、(表現) (雅)
imeru makkosanu (石狩)、(表現) (雅)
imeru matkosanu (石狩): [名]瞬く光
imeru (石狩): (表現) 星の瞬く光 nociw
imeru (石狩): [自] (雅)瞬く otuytuyke
(石狩): (表現) (何かが美しく輝く描写の常
套句) 二つの瞬く光、三つの瞬く光がパッパッ
と煌めく tu imerukur re imerukur
otuytuyke (石狩)※(通例「imeru」は「稲妻」
と訳される)

またたくまに(瞬く間に) [副] 瞬く間に
tunas(-no) (石狩)、[副] (雅) orotunasno
(石狩): [他] ~を瞬く間に斬る tunastuye
(石狩): [他] ~を瞬く間に殺す
tunasrayke (石狩)

またとない [自] またとない sisak (石狩):
[副] またとなく sisak (石狩): (表現) また
とない良い暮らしをする sisak ureska
(石狩)

またになる(又になる) (表現) ~又になる、なっ

ている 名詞(数詞)+ne (新): [自] 三又に
なる、なっている repne (新)

マダマイカ (魚介) [名] (スルメイカ亜目) マダマ
イカ科 nipekitama-epetpetke-apa (新):
[名] マダマイカ属 nipekitama-epetpetke-
cise (新): [名] マダマイカ nipekitama-
epetpetke (新): [名] ハワイマダマイカ
hawaiiitamanumus-epetpetke (新): [名]
ハウセキイカ ikorsuma-epetpetke (新):
[名] ピュロトウチス属 piroteutis-cise
(新): [名] シンジュイカ tamanumus-
epetpetke (新): ヒガシノシンジュガイ
amerikatamanumus-epetpetke (新):
[名] ミナミノシンジュガイ
koypoktamanumus-epetpetke (新)

まだら(斑) ① [名] 斑 sirki (新): [自] 斑であ
る sirkio (新): [他] ~を斑にする
sirkio (新): ② [名] 小さい斑 keskes
(新): [自] 小さい斑である keskeso (新)

マダラスカンク(斑スカンク) (動物) [名] (スカン
ク科) マダラスカンク属 sirkiosukunku-
cise (新): [名] セイブマダラスカンク
cuppokun-sirkiosukunku (新): [名] トウ
ブマダラスカンク cupkaun-
sirkiosukunku (新): [名] ピグミーマダラ
スカンク mosirkiosukunku (新): [名] ミ
ナミマダラスカンク koypokun-
sirkiosukunku (新)

まち(町) [名] 町 maciya (石狩)

まちがえ(間違え) ① [名] 間違え hayta (石狩)、
[名] uhayta (新): (表現) 間違い hayta
ru (石狩): [自] 間違える、間違っている
uhayta (石狩)、[自] hayta (石狩): (表
現) ~を言い間違える ~ ye uhayta (石
狩): [他・助動] ~を間違える ehayta
(euhayta) (新): [他] (場所)で間違える
ehayta (eutayta) (新): [他] ~と共に間
違える kohayta (kouhayta) (新):
[他] (原因、手段)で間違える ohayta
(ouhayta) (新): [他] ~を間違えさせる
uhaytare (新)、[他] haytare (新): ②
[自] 間違える、間違っている wen (石狩):
「(問いへの回答に関して)間違え!」「Wen!」

まちかまえる(待ち構える) [自] 待ち構える
yóko (石狩): 「君が戻って来るまで私達
は君の家のそばにいて待ち構えていたんだ
よ。」“Es=hosippa pakno es=kor cise sam ta
okay=as wa yoko=as wa okay=as ruwe ne
na .”: [他] (場所)で待ち構える eyoko
(新): [他] ~と共に待ち構える koyoko
(新): [他] (原因、手段)で待ち構える oyoko
(新): [他] (人)に待ち構えさせる yókore
(新): [他] 自分で、一人で~を待ち構える
yaykoyoko (新): [他] 皆で、互いに~を待

ち構える ukoyoko (新): [他]人に～を待ち構えさせる yókoyar (新): [自]人に自分を待ち構えさせる siyokoyar (新): [自]待ち構え合う uyoko (新)

まちぶせ(待ち伏せ) [他]～を(場所)で待ち伏せる oranrani (久保寺)、[他](雅) eoranrani (久保寺): (表現)(雅)人を斬る輩のも、人を殺す輩のみが私の行く道の先、道の後ろに待ち伏せた ituypap patek ironnup patek i=ruetoko i=ruokake eoranrani (久保寺)

マツ(松) ①[名]松の木 sunku (新): ②(植物)[名](裸子植物門)マツ綱 sunku-pet (新): [場名]マツ目 sunku-kotan (新): [名]マツ科 sunku-apa (新): [名]マツ属 totonup-cise (新): [名]アカマツの茎 húretotonup (新)※(別名「メマツ」): [名]アブラマツの茎 sumtotonup (新): [名]アレップマツの茎 mosinnoskiatuy-tonup (新): [名]イタリアカサマツの茎 kasatotonup (新): [名]エキナタマツの茎 ekinata-tonup (新): [名]カザンマツの茎 huašan-tonup (新): [名]カナリーマツの茎 kanaria-tonup (新): [名]カラブリアマツの茎 karaburia-tonup (新): [名]クロマツの茎 kunnetotonup (新)※(別名「オマツ」): [名]ゴヨウマツの茎 sícikaphup (新): [名]コントルタマツの茎 kontorta-tonup (新): [名]サトウマツの茎 numitanne-tonup (新): [名]シモフリマツの茎 hervetika-tonup (新): [名]シロマツの茎 retattotonup (新): [名]ストロブマツの茎 kamiretattotonup (新): [名]スナチマツの茎 otatotonup (新): [名]ダイオウマツの茎 hamutanne-tonup (新): [名]タイワンアカマツの茎 taywan-huretotonup (新): [名]チョウセンゴヨウの茎 kórin-cikaphup (新): [名]テーダマツの茎 nitattotonup (新): [名]ヌママツの茎 tótotonup (新): [名]バージニアマツの茎 virjiniatotonup (新): [名]ハイマツの茎 epitap (美幌): [名]バンクスマツの茎 ontario-tonup (新): [名]ピヌス・アリスタナの茎 ohonnosukup-tonup (新): [名]ピヌス・カリバエアの茎 sumarisar-tonup (新): [名]ピヌス・シビリリカの茎 síbiri-tonup (新): [名]ピヌス・ロンガエヴァの茎 síohonnosukup-tonup (新): [名]フランスカイガンショウの茎 síhure-tonup (新)※([名]「オニマツ」、「カイガンショウ」など): [名]メルクシマツの茎 merkusi-tonup (新): [名]モミハダマツの茎 gurabura-tonup (新): [名]

モンタナマツの茎 mugototonup (新)※(別名「ムゴマツ」など): [名]モンチコラマツの茎 montikora-tonup (新): [名]ヤクタネゴヨウの茎 amami-tonup (新): [名]ヨーロッパアカマツの茎 europa-huretotonup (新)※(別名「オウシュウアカマツ」): [名]ラジャータマツの茎 radiata-tonup (新): [名]リギダマツの茎 amerika-rehamustotonup (新)※(別名「ミツバマツ」など): [名]リュウキュウマツの茎 mácitotonup (新)※(琉球語): [名]レジノーサマツの茎 rešinosa-tonup (新): [名]イスカラマツ属 setakuy-cise (新): [名]カタヤ属 sirokanikuy-cise (新): [名]カラマツ属 kuy-cise (新): [名]ツガ属 tuga-cise (toga-cise) (新): [名]トウヒ属 sunku-cise (新): [名]トガサワラ属 ciługakopa-cise (ciługakopa-cise) (新): [名]ノトツガ属 nototuga-cise (nototoga-cise) (新)※(学名より): [名]ヒマラヤスギ属 totorop-cise (新): [名]モミ属 hup-cise (新): [名]ユサン属 sumhup-cise (新): [名]イチイ科 rarmani-apa (新): [名]イヌガヤ科 anatni-apa (新): [名]イヌマキ科 maki-apa (新)※(日本語。「マキ科」とも): [名]コウヤマキ科 kowyamaki-apa (新)※(日本語): [名]ナンヨウスギ科 koypoksugi-apa (新): [名]ヒノキ科 hinoki-apa (新)

まつ(待つ) [自]人を待つ itere (天塩): [他]～を待つ tére (石狩)、[他] eciwka (十勝)、[他] ehuye (新)※(八雲): 「ちよつと(私を)待ってて!」“Yayruka en=tere!”, “Irukay en=tere!”, “Ponno en=tere!”, 「私は君がそれに気付くのを待っていたんだよ。」“Neampe e=eraman hi ku=tere kane an na.”: [他](場所)で～を待つ etere (新): [他]～と共に～を待つ kotere (新): [他](原因、手段)で～を待つ otere (新): [他](人)に～を待たせる tére (新): [他]自分で、一人で～を待つ yaykotere (新): [他]皆で、互いに～を待つ ukotere (新): [他]ものすごく～を待つ toykotere (raytere, wentere) (新): [他]人に～を待たせる、待ってもらう téreyar (新): [自]人に自分を待たせる、待ってもらう sitereyar (新): [自]お互いに相手を待つ utere (新): [間投]待って hoski (沙流)

マツイカ(松烏賊)(魚介)[名](アカイカ科)マツイカ亜科 ireksu-epetpetke-moapa (新): [名]マツイカ属 ireksu-epetpetke-cise (新)※(学名 illex): [名]アルゼンチンマツイカ arxantinaireksu-epetpetke (新): [名]カナダマツイカ kanadaireksu-

epetpetke (新): [名]トガリマツイカ
 eenireksu-epetpetke (新): [名]ヨーロッパ
 パマツイカ europaireksu-epetpetke (新)
まつえい(末裔) [名]末裔 sani (sanike)
 (石狩): [名](神や偉人の)末裔 sasusir(-i)
 (石狩)、[名] sasusir(-i) (石狩)
まっか(真っ赤) [自]真っ赤になる、である
 húreno (石狩): (表現)真っ赤になる、である
 pirká húre (石狩): [他]～を真っ赤にする
 húrenoka (新)
まっきいろ(真っ黄色) [自]真っ黄色になる、である
 sikepepusno (新)、[自] ipeusno
 (新): [他]～を真っ黄色にする
 sikepepusnoka (新)、[他] ipeusnoka
 (新):
まっくら(真っ暗) [0動]辺りが真っ暗になる、
 真っ暗である sirekurok (石狩): [自](場
 所)が真っ暗になる sirkoekurok (新):
 [自](人)が辺りを真っ暗にする sirekurokte
 (新): [他](人)が(場所)を真っ暗にする
 sirkoekurokte (新): 「私は明かりを消し
 て部屋を真っ暗にした。」“Ratcaku ku=uska
 wa tumpu ku=sirkoekurokte.” [自]真っ暗
 になる、真っ暗である ekurok (石狩):
 [他]～を真っ暗にする ekurokte (新):
 「私は明かりを消して部屋の中を真っ暗に
 した。」“Ratcaku ku=uska wa tumpu oske
 ku=ekurokte.”
まっくら(真っ黒) [自]真っ黒になる、である
 kunnenno (石狩): [他]～を真っ黒にする
 kunnenoka (新)
まつげ(睫毛) [名]睫毛 sikrap(-u) (石狩)
まっこう(抹香) [名]抹香 húrepirkasit
 (新)
マッコウクジラ(抹香鯨) (動物)[場名](ハクジ
 ラ亜目)マッコウクジラ上科 yákihumpe-
 apapa (新): [名]マッコウクジラ科
 yákihumpe-apa (新): [名]マッコウクジ
 ラ属 yákihumpe-cise (新): [名]マッコ
 ウクジラ yákihumpe (礼文華): [名]コ
 マッコウ科 moyakihumpe-apa (新)
マッサージ [自] マッサージする
 itempatempa (新)、[自] imassage (新):
 [他]～をマッサージする tempatempa (石
 狩)、[他] massage (新)※(英語): [他](人)
 に～をマッサージさせる tempatempare
 (新)、[他] massagere (新): [他](人)に自
 分をマッサージさせる yaytempatempare
 (新)、[他] yaymassagere (新)
まっさいちゅう(真最中) ①[位名](名詞、名詞
 句の後に置かれある行為)の真っ最中(まっさ
 いちゅう) noski(長形、-ke) (石狩): (表
 現)酒宴の真最中 iku noski (石狩): ②
 [位名](動詞句の後に置かれある行為)の真最

中 attom(長形-o) (石狩)、[位名]
 attomsam(長形-a) (石狩)※(特に韻文中に
 用いられる)
まっさお(真っ青) ①(純粋に近い青の意味
 で)[自]真っ青になる、である áono (新)、
 [自] áosiwnninno (新): [他]～を真っ青に
 する áonoka (新)、[他] áosiwnninnoka
 (新): ②(顔色が蒼白である事)(表現)顔色が
 真っ青で水に漬けたコンプのようである
 iporo woro kompu an=esikopayar (新)
まっさつ(抹殺) [自] 人を抹殺する
 ioanrayke (ianrayke) (新): [他]～を抹
 殺する oanrayke (anrayke) (新):
 [他](人)に～を抹殺させる oanraykere
 (anraykere) (新)
まっさら [自]まっさらである oarasil
 (arasir) (新)
まっしょうめん(真正面) (名詞、名詞句、人称
 接辞の後に置かれ空間的位置関係を表し)[位
 名]～の真正面 attom(長形-o) (石狩)、[位
 名] attomsam(長形-a) (石狩)※(韻文では
 "attom"とほとんど同じ意味で使われる)
まっしろ(真っ白) [自]真っ白になる、真っ白い
 retanno (新): [他]～を真っ白にする
 retannoka (新)
まっすぐ(真っすぐ) ①(川や道に関して)[自]真
 直ぐになる、真直ぐである ittusne (石狩):
 [副]真っすぐに ittusneno (新): ②(木や
 心などに関して)[自]真っ直ぐである
 oupeka (天塩): [自]真直ぐにする
 oukuriki (天塩)、[自] ioupekare (新):
 [他]～を真直ぐにする eoukuriki (新)、[他]
 oupekare (新): [他](人)に～を真直ぐにさ
 せる oukurikire (新)、[他] oupekarere
 (新): [副]真っすぐに oupekano (新):
 [副](①、②に関して)真っすぐに kuwanno
 (石狩)、[副] herkuwanno (沙流): (表現)
 真直ぐ立っている木 kuwanno as ni (石
 狩): ③(毛髪に関して)[自]真っすぐである
 pépes (石狩): [名](縮れていない)真直ぐ
 な髪 pépesotop(-i) (石狩): こういう髪
 は化物に特有で、醜いとされる。縮れて波打
 つ髪が良いとされるが、あまり縮れすぎてい
 るのも良くないとされる。(表現)(細面で
 顎がしゃくれた醜い顔の描写として)太く真
 っすぐで赤い髪、長い下顎、下顎の途中でぞ
 っくり切り揃えられており、身に着けた飾り
 物で辛うじて少しは見られる pépes otóp
 húre otóp tanne noyap noyap hontomo
 cikoetuypa ikoro kusu ween pirkapo ki
 kane an (知里): [名](縮れていない)真直
 ぐ伸びた髭 pepesrek(-i) (石狩): ④
 [他](場所)に真っすぐ向く、向かう epeka
 (石狩)、[他] ciepakare (石狩): [他]～に

(場所)に真っすぐ向かせる、向かわせる
epekare (石狩)

まったく(全く) (1)①[副]全く oar (石狩):
「私はその事を全く忘れた。」“Neampe oar
ku=oyra (= ku=oaroyra).”: oar+oyra(～
を忘れる)→ oaroyra「全く～を忘れる」、oar
+nin(消える)→ oannin「全く消える」、oar
+sara(露わになる)→ oassara「全く露わに
なる」、oar+tuyma(遠い)→ oattuyma「全
く遠い」: [副](多くは合成語の構成要素と
して)全く ar (石狩): ar+(～を忘れる)
→ aroyra「全く～を忘れる」: [副](専ら合
成語の構成要素として)全く anno (石狩):
[接頭](次の形式で「全く～ない」という意味
の動詞を形成する) o- (石狩): o+名詞+
sak (石狩): ②[副](oarの強調形として)
全く完全に oarar (石狩)、[副] arar (石
狩): (2)①(存在に関して)[自]全くなくなる、
全くない oarisam (石狩): (表現)全くな
くなる、全くない oar isam (石狩): ②
(所有に関して)[他]～が全くなくなる、全くな
い、～を全く持たない oassak (oarsak)
(新): (表現)～が全くなくなる、全くない、
～を全く持たない oar～sak (石狩):
③(表現)全く～ない o+名詞+sak (石狩):
o(全く)+moto(理由)+sak(を持たない)→
omotosak「全く理由がない」

マッチ [名]マッチ cikisaca (新): (表現)
マッチを擦って火をつける cikisaca kisa
(新)

まっちゃ(抹茶) [名]抹茶 kóneca (新)、[名]
sísamca (新): [名](飲料としての)抹茶
kóneca-usew (新)、[名] sísamca-usew
(新)

マツぼっくり(松ぼっくり) [名]松ぼっくり
num(i) (新): [名]エゾマツの松ぼっくり
sunkunum(i) (新): (表現)エゾマツの松
ぼっくり sunku numi (新)

まつやま(松山) [場名]松の生えた山
kunnesir (天塩)、[名] sunku-nupuri
(新)

まつり(祭) [名]祭 inomi (新)、[名]
kamuyomi (新)

まつる(祀る) ①[自]神を丁寧に祀る kamuy-
orepus (新)、[自] iorepus (新): [他](神)
を丁寧に祀る orepus (石狩): [他](人)に
(神)を丁寧に祀らせる orepuste (新): ②
[自]イナウを捧げて祀る inawkar (石狩):
[他](神)にイナウを捧げて祀る einawkar
(石狩)、[他](人)にイナウを捧げて祀らせる
inawkare (新)

まで (空間的、時間的、数量的な境界、限度を
示して)[後副]～まで pakno、(pak) (石狩)、
[後副] orpakno(oropakno) (石狩): 「…

東京まで私は連れて行ってもらい…」“…
Tokio pakno enci=tura…”(砂沢クラ)、「今ま
で私達は話合っていた。」“Tane pakno
ukoytak=as.”、「雪が降ってカンジキを履い
ても膝までであった。」“Upas as wa tesma
an=us yakka kokka orpakno an.”(砂沢ク
ラ)、「村まで私達が戻るなら…」“Kotan
orpakno osippa=an yak…”(砂沢クラ): (表
現)(時間的に)～(する)まで 動詞句+
orpakno(oropakno) (石狩): 「お前が目
を覚ますまで私は彫り物をしていた。」
“E=mos orpakno ku=inuye kane an.”

マテアジ(マテ鯨)(魚介)[名](アジ科)マテアジ属
mateaji-cise (新): [名]マテアジ mateaji
(新)

マディソン[場名](アメリカ合衆国ウィスコン
シン州の州都名)マディソン Mádison (新)

マテバシイ(馬手葉椎)(植物)[名](ブナ科)マテ
バシイ属 sumanisewo-cise (新): [名]マ
テバシイの茎 sísam-sumanisewo (新)、
[名]その果実 sísam-sumanisew (新):
[名]シリブカガシの茎 cúkehepirasa-
sumanisewo (新)、[名]その果実
cúkehepirasa-sumanisew (新): [名]タン
オークの茎 amerika-sumanisewo (新)※
('ノトリカルプス属'とされることもある):
[名]リトカルプス・インドウトゥスの茎
indonešia-sumanisewo (新): [名]リトカ
ルプス・フォルモサヌスの茎 taywan-
sumanisewo (新)

まど(窓)[名]窓 puyar(a) (石狩)、[名]
puraya (石狩)、[名] piyar (天塩)※(今後
"puyar"を標準とする。): (表現)窓を閉める
puyar seske (石狩): [名]窓の框
puyassikrap(i) (新)、[名] puyarsikrap
(沙流): (表現)窓の框の上に puyassikrap
ka ta (新): [名]神窓 rorumpuyar (石
狩): [名]横窓 itomumpuyar (石狩):
[名]小窓 pompuyar (石狩): [名]天窓
rikumpuyar (石狩): [自](建物)の中から
窓を閉める yaykopuyarseske (石狩)

まといつく[他]～にびったりまといついて離れ
ない kokarikari (沙流): (表現)(攻撃す
るため)しなやかな投げ輪のように身を撓め
～にびったりまといついて離れない riten
karip ne kokarikari (沙流)

まとう(纏う)[自](雅)着衣を纏う imup (石
狩): [他](雅)(着物など着衣一般)を纏う
mup (石狩): [他](雅)(着物)を纏う ukote
(石狩): [他](雅)(人)に～を纏わせる
mupte (新)

まどかけ(窓掛) [名]窓の掛け簾、窓掛
puyarorotpe (石狩)、[名] puyaroratpe
(石狩)、[名] piyarotpe (天塩): (表現)(所

属形)その窓掛 puyara ot pe (石狩)

まとまる(纏まる) ①(集まる)[自]まとまる uekari (uekarpa) (石狩): [他]~をまとめる uekarire (複数 uekarpare) (石狩): [他]完全に~をまとめる oaruekarire (複数 oaruekarpare) (新)、[他] aruekarire (複数 aruekarpare) (新): [副]まとまって uekarino (新): [名]まとまり ciuekarirep (新): ②(秩序だつ)[自]一まとまりになる、である sineikinne (石狩): [他]~を一まとめにする sineikinnaka (sineikinnere) (新): [自]完全に一まとまりになる、である oassinekinne (assineikinne) (新): [副]まとまって sineikinne(-no) (新): [名]まとまり iikir(-i) (石狩): ③(一つになる)[自]一つにまとまる sineatki (石狩): [他]~を一つにまとめる sineatkire (新): [自]完全に一つにまとまる oassineatki (assineatki) (新): [副]まとまって sineatkino (新): [名]まとまり cisineatkirep (新): ④[他]~をまとめてきつく縛る suppakar (石狩): 「…一人は私の着用する鎧をまとめてきつく縛って…」 “…sinep anakne an=mi hayokpe suppakar hine…” (杉村キナラブック) 英雄詞曲: [他](場所)で~をまとめてきつく縛る esuppakar (新): [他]~と共に~をまとめてきつく縛る kosuppakar (新): [他](原因、手段)で~をまとめてきつく縛る osuppakar (新): [他](人)に~をまとめてきつく縛らせる suppakare (新): [他]すっかり~をまとめてきつく縛る oassuppakar (assuppakar) (石狩)

まとも [連体]まともな yayan (石狩): [名]まともな人 yayankur (新): [名]まともにも話もできぬ人 cawetoksakkur (石狩)、[名] pawetoksakkur (石狩)

マドリード [場名](スペインの首都) Madorido (新)

マナーマ [場名](バーレーン王国の主都名)マナーマ Manama (新)

まないた(組) [名]組 itatani (石狩)、[名] manayta (静内)

マナグア [場名](ニカラグア共和国の主都名)マナグア Managua (新)

まなつ(真夏) [場名]真夏 saknoski (石狩)

マナティー (動物)[名](海牛目)マナティー科 manatee-apa (新): [名]マナティー属 manatee-cise (新)※(英語): [名]アフリカマナティー afrika-manatee (新): [名]アマゾンマナティー amazon-manatee (新): [名]アメリカマナティー amerika-manatee (新)

まなぶ(学ぶ) ①[自]学ぶ kampinuye (石

狩)、[自] iyukarkar (新): [他]~を学ぶ ekampinuye (石狩)、[他] yúkarkar (新): [他](場所)で学ぶ ekampinuye (eyukarkar) (新): [他]~と共に学ぶ kokampinuye (koiyukarkar) (新): [他](原因、手段)で学ぶ okampinuye (oiyukarkar) (新): [他](人)に学ばせる kampinuyere (iyukarkare) (新): [自]充分学ぶ kampinuyeno (kampinuyenu) (新)、[自] iyukarkanno (iyukarkannu) (新): [自](良)がっちり学ぶ、(悪)がりがり学ぶ toykokampinuye (toykoiyukarkar) (新): [自]しっかり学ぶ pirkakampinuye (pirkaiyukarkar) (新): [自]真剣に学ぶ ramkokampinuye (amkoiyukarkar) (新): [自]完璧に学ぶ earkampinuye (eariyukarkar) (新): [自]ろくに学ばない wenkampinuye (weniyukarkar) (新)、[自] canankampinuye (cananiyukarkar) (新): ②[自]自ら、一人で学ぶ yaypakasnu (新)、[自] yaykokampinuye (新)、[自] yaykoiyukarkar (iyaykoyukarkar) (新): ③[自]互いに、皆で学ぶ upakasnu (新)、[自] ukokampinuye (新)、[自] ukoiyukarkar (iukoyukarkar) (新)

まにあう(間に合う) [自]間に合う ioskoni (複数 ioskompa) (新): [他]~に間に合う oskoni (複数 oskompa) (石狩): [他]~を~に間に合わせる oskonire (複数 oskompare) (新)

まにあわせ(間に合わせ) [自]間に合わせる ietokooyki (新): [副]間に合わせて ietokooykino (新)

マニトバ [場名](カナダの州名)マニトバ州 Manitoba-purovince (新)※(州都は「ウィニペグ」)

マニラ [場名](フィリピン共和国の首都名)マニラ Manira (新)

マニラアサ(マニラ麻) (植物)[名](バショウ属)マニラアサの茎 maynirauni (新): [名]マニラアサの繊維 maynirauniat (新)

マヌルネコ(マヌル猫) (動物)[名](ネコ亜科)マヌルネコ属 mongorun-tukci-cise (新): [名]マヌルネコ mongorun-tukci (新)※(別名「モウコネコ」)

マネー [自]マネー・ロンダリングする ikorhuraye (新)

まねく(招く) ①(招待する事)[自]人を招く、招き入れる iaskeuk (新)、[自] iunapte (新): [連他](人)を招く aske-uk (石狩)、[他] askeuk (石狩)、[他] unapte (石狩): [他](場所)に(人)を招く easkeuk (新)、[他] eunapte (新): [他]~と共に(人)を招く koaskeuk (新)、[他]

kounapte (新): [他](原因、手段)で(人)を招く oaskeuk (新)、[他] ounapte (新): [他](人)に(人)を招かせる askeukte (新)、[他] unaptere (新): [他]自分で、一人で(人)を招く yaykoaskeuk (新)、[他] yaykounapte (新): [他]皆で、互いに(人)を招く ukoaskeuk (新)、[他] ukounapte (新): [自]互いに招き合う、皆を招く uaskeuk (新)、[自] uunapte (新): [他]人に(人)を招かせる askeukar (askeukyar) (新)、[他] unapte (新): [他]人に自分を招かせる siaskeukar (siasikeukyar) (新)、[他] siunaptereyar (新): ②(呼ぶ、呼び寄せる事)[自]招く itak (新): [自]人を招く untak (新): [他]～を招く tak (石狩): [他](人)に～を招かせる takte (新): [他]人に～を招かせる tákar (takyar) (新): [自]人に自分を招かせる sitakar (sitakyar) (新): [名]招かれざる客 yayahunkekur (新): [名](悪)招かれざる客 yayahunkep (新)

マネシアゲハ (昆虫)[名](アゲハチョウ族)マネシアゲハ属 ieyukar-kitomarewrew-cise (新): [名]ウスズミマネシアゲハ firipin-kaparamipmip-eyukarpe (新): [名]オオムラサキマネシアゲハ sipewrekinapeuspe-eyukar-pe (新): [名]カバシタアゲハ asanki-kaparamipmip-eyukarpe (新): [名]キベリアゲハ rapparusikerpepeus-kaparamipmip-eyukarpe (新): [名]クロニセツバメアゲハ kurok-kunnekorkatkemat-eyukar-kitomarewrew (新): [名]ビロードマネシアゲハ numaussenkakimi-kaparamipmip-eyukarpe (新): [名]ベイオビスマネシアゲハ surawesi-kaparamipmip-eyukarpe (新): [名]モエルネリアゲハ ruri-kunnekorkatkemat-eyukar-kitomarewrew (新): [名]ルリニセツバメアゲハ sararetar-kunnekorkatkemat-eyukar-kitomarewrew (新)

マネシタイマイ (昆虫)[名](アオスジアゲハ族)マネシタイマイ属 ieyukar-sirkio-kitomarewrew-cise (新): [名]アリラテスマネシタイマイ ariarates-eyukar-sirkio-kitomarewrew (新): [名]オナガマネシタイマイ saratanne-eyukar-sirkio-kitomarewrew (新): [名]パオンマネシタイマイ faon-eyukar-sirkio-kitomarewrew (新): [名]ハルモディウスマネシタイマイ harmodius-eyukar-sirkio-kitomarewrew (新): [名]プロトダマスマネシタイマイ purotodamas-eyukar-sirkio-kitomarewrew

(新): [名]ヘリコニウスタイマイ pausanias-eyukar-sirkio-kitomarewrew (新): [名]ホソオタイマイ kusinias-eyukar-sirkio-kitomarewrew (新): [名]ルリマネシタイマイ ruri-eyukar-sirkio-kitomarewrew (新)

まねる(真似る) ①(事柄を真似る事)[自]物事を真似る ikoisampa (天塩): [他]～について人を真似る eikoisampa (新)※(沙流)、[他] ikosampa (B)、[他] koikar (B): [他](場所)で～について人を真似る eeikoisampa (新): [他]～について(人)を真似る ekoisampa (新): [他](原因、手段)で～について人を真似る oeikoisampa (新): [他](人)に～について人を真似させる eikoisampare (新): [他]人に(人)を真似させる koisampayar (新): [自]人に自分を真似させる sikoisampayar (新): ②(誰かが言ったりやったりした事をそっくりに真似る事)[自]物事を真似る ieyukar (新): [他]～を真似る eyukar (石狩): [他](場所)で～を真似る eeyukar (新): [他]～に関して(人)を真似る koeyukar (新): [他]～と共に～を真似る真似る koeyukar (新): [他](原因、手段)で～を真似する oeyukar (新): [他]人に～を真似させる eyukare (新): [他]人に～を真似させる eyukarar (新): [自]人に自分を真似させる sikoyukarar (新): (雅語表現として)[他]～を真似る esikopayar (石狩)、[他] ekannayukar (石狩): 「あたかも～の如し」と訳される事も多いが、「(そっくり)真似る」と訳される事もあり、その方が日本語として馴染みのある文句である事がある。: (表現)女々しい真似をしてはいけない moyreaspe an=esikopayar yak wen (石狩): ③[自]物を真似て作る ikoikar (B): [自]～を真似て作る koikar (B)

まの(魔の) [名]魔の棍棒 okokkositu (石狩): [名]魔の酒、(毒入りの)怪しい酒 okokkosake (石狩): 通例"surkusake"「毒の酒」と対で用いられる。

マハーラーシュトラ [場名](インドの州名)マハーラーシュトラ州 Maharaṣṭra-purovince (新)

まばたく(瞬く) [自]瞬く inrappa (幌別)、[自] inraprapu (幌別)、[自] inrapparappa (幌別)、[自] sikrappa (幌別)[自] sikraprapu (幌別): (表現)眩しくて瞬く siki cimimi (幌別)、(表現) siki cimimi siki cupupu (幌別)

マハチカラ [場名](ロシア連邦南部連邦管区ダゲスタン共和国の首都名)マハチカラ Maxackara (新)

まばらい(魔祓い) [自] 魔祓いの行進をする
kewehumsu (石狩)

まひ(麻痺) [自] 麻痺する réne (沙流):
[他](場所)で麻痺する erene (新): [他]~
と共に麻痺する korene (新): [他](原因、
手段)で麻痺する orene (新): [他]~を麻
痺させる rénere (新): [自]完全に麻痺す
る oanrene (anrene) (新)

まひる(真昼) [場名] 真昼 tónoski (石狩)、
[場名] tókarnoski (天塩)、[場名]
tónanoski (天塩): [副]真昼に tónoski
(石狩)

まぶた(瞼) [名] 瞼 sikkap(-u) (石狩): (表
現)瞼を閉じる sikkapu seske (新): (表
現)瞼を開ける sikkapu maka (新): [名]
一重瞼 sinekap(-u) (新): [名]二重瞼
tukap(-u) (石狩)

マブタアジ(鰯) (魚介)[名](アジ科)マブタアジ
属 sikkapkoraji-cise (新): [名]マブタア
ジ sikkapkoraji (新): [名]クロボシヒラ
アジ kunnenociwun-sikkapkoraji (新)

マプト [名](モザンビーク共和国の首都名)マ
プト Maputo (新)

まふゆ(真冬) [場名] 真冬 matanoski (石狩)

まほう(魔法) [名] 魔法 sippaskuma (石
狩): 呪文としては"cisaskuma"、"ponitak"
などがある。: [自](死んでいた者が)魔法の
力で生き返る uesiknu (石狩)

マボヤ(真海鞘) (魚介)[場名](ホヤ綱)マボヤ目
hoya-kotan (新): [名]マボヤ科 hoya-
apa (新): [名]マボヤ hoya (蛇田):
[名]アカボヤ húrehoya (新)

まま (表現)(前述の内容を受け)~(した状態)の
まま ari ene (ene)+動詞句+hi néno (石
狩): (表現)泥まみれのまま ari ene teyaka
us hi néno (ene teyaka us hi néno) (石狩):
(表現)(前述された発言や思考を受けて)~の
まま arino kane (石狩)

ママコノシリヌグイ(継子の尻拭い) (植物)[名]
ママコノシリヌグイの茎葉 ikerekina
(新)※(「ミゾソバ」とぶつかるたね造語)、
[名] unkerekina (幌別)

ままち(継父) [名] 継父 iosanmici (石狩)

ままは(継母) [名] 継母 iosanmenoko (石
狩)、[名] iosankosmat (石狩)

まむかい(真向い) [位名]~の真向い側の座(席)
arassoke (新): (表現)私の向かいの座(席)
に en=arassoke ta (新)

マメ(豆) (植物)[名](バラ目)マメ科
mamekorpe (新): [名]アカシア属(新):
[名]アカハダノキ属、3)アデナンテラ属、4)
イヌエンジュ属、5)イワオウギ属、6)インゲ
ンマメ属、7)ウチワツギナ属、8)ウマゴヤシ
属、9)エニシダ属、10)エノキマメ属、11)

エンドウ属、12)オヤマノエンドウ属、13)
カンゾウ属、14)キングサリ属、15)キンチ
ャクマメ属、16)ギンゴウカン属、17)クサ
ネム属、18)クズイモ属、19)クズ属、20)
クララ属、21)クロバナエンジュ属、22)ク
ロヨナ属、23)ゲンゲ属、24)コウシュンフ
ジマメ属、25)コマツナギ属、26)ササゲ属、
27)ササハギ属、28)シカクマメ属、29)
シタン属、30)シナガワハギ属、31)シバネ
ム属、32)シャジクソウ属、33)スナジマメ
属、34)センダイハギ属、35)ソラマメ属、
36)タシロマメ属、37)タデハギ属、38)
タヌキマメ属、39)タマザキクサフジ属、4
0)タマリンド属、41)タンキリマメ属、4
2)ダイズ属、43)チョウマメ属、44)ツノ
クサメム属、45)ツルサイカチ属、46)デイ
コ属、47)トウアズキ属、48)トビカズラ属、
49)ドクフジ属、50)ナタマメ属、51)ナ
ツフジ属、52)ナハキハギ属、53)ヌスビト
ハギ属、54)ノアズキ属、55)ノササゲ属、
56)ハウチワマメ属、57)ハギカズラ属、5
8)ハギ属、59)ハマセンナ属、60)ハリエ
ニシダ属、61)ハリエンジュ属、62)ヒスイ
カズラ属、63)ヒトツバエニシダ属、64)ヒ
ヨコマメ属、65)ヒラマメ属、66)ピロード
ヒメクズ属、67)フジキ属、68)フジボグサ
属、69)フジ属、70)ホオズキハギ属、71)
ホドイモ属、72)ボウコウマメ属、73)マイ
ハギ属、74)ミヤコグサ属、75)ミヤマトベ
ラ属、76)ムユウジュ属、77)ムラサキセン
ダイハギ属、78)ムレスズメ属、79)モダマ
属、80)ヤハズソウ属、81)ヤブマメ属、8
2)ラッカセイ属、83)レダマ属、84)レン
リソウ属がある。またマメ目の科名としては
マメ科の他にジャケツイバラ科とネムノキ
科がある。)

まめ(肉刺) [名] 肉刺 pop(-i) (新): (表
現)(場所)に肉刺ができる、できている pop o
(新): 「私の踵に肉刺ができた。」

“Ku=kesupi pop o.”: (表現)(場所)に肉
刺をつくる pop omare (新): 「私は掌に
肉刺をつくるほど頑張った。」“Ku=tekkotoro
pop ku=omare pakno ku=arikiki.”:
[自](肉刺が潰れたり床ずれで)糜爛する
ipopo (樺太白浦): (表現)肉刺が潰れる、
潰れて糜爛している pop péne (新):
[自](場所)に肉刺が沢山できる poppopse
(石狩): [他](場所)に肉刺を沢山つくる
kopopopse (新)

マメカミツレ(豆加密列) (植物)[名](キク科)マ
メカミツレ属 pombotan-kikukina-cise
(新): [名]マメカミツレの茎葉 pombotan-
kikukina (新)※(小さい鉦菊): [名]ウシオ
シカギクの茎葉 konkani-pombotan-

kikukina (新)
マメジカ(豆鹿) (動物)[場名](ウシ亜目)マメジカ下目 érumyuk-kotankes (新): [名]マメジカ科 érumyuk-apa (新): [名]マメジカ属 érumyuk-cise (新): [名]オオマメジカ poroerumyuk (新): [名]ジャワマメジカ java-moerumyuk (新): [名]トラグルス・ウィリアムソニ wiriamson-erumyuk (新): [名]T. カンキル moerumyuk (新): [名]T. ニグリカンス piripinas-erumyuk (新): [名]T. ベルシコロル vietnam-erumyuk (新): [名]インドマメジカ属 kesoerumyuk-cise (新): [名]ミズマメジカ属 worunerumyuk-cise (新)
まめたん(豆炭) [名]豆炭 mametan (新)※ (日本語)
まめでんきゅう(豆電球) [名]豆電球 imerunumpo (新)、[名] nokan-imerunum(-i) (新)
まもなく(間もなく) [副]間もなく tanepo (石狩)、[副] tane (石狩)
まもの(魔物) [名]魔物 kamiasi (石狩): [名]悪い魔物 wenkamiasi (石狩): [名]声のみ聞こえる魔物 kayo (天塩)
まもりがみ(守り神) ①(人間一人ひとりに憑き、その人の運命に関わる)[名]守り神 sermak (石狩)[名] kasikamuy(-e) (石狩、天塩)、[名] iturenkamuy(-e) (石狩): [位名]への守り神 sermakorke (石狩): [他]へを守り神とする eyaykasikamuykore (天塩): ②(密かに授かる)守り神 cimumukap-kamuy (空知): 何となく珍しいと思うものをお守りとして持ち歩き大切に使うが、動物や鳥もあれば木、石もあると言う。: ③(先祖代々拝んできた家や村などの)[名]守り神 cinomikamuy (石狩)
まもりひも(守り紐) [名]守り紐 ekaeka (石狩)
まもる(守る) ①[自]守る punkine (新): [自]人、物を守る iepunkine (新): [他]へを守る epunkine (石狩)、[他](雅) koepunkine (石狩): [他](場所)で～を守る eepunkine (新): [他]～と共に～を守る koepunkine (新): [他](原因、手段)で～を守る oepunkine (新): [他](人)に～を守らせる epunkinere (石狩): [自]自分を守る yayepunkine (新): [他]自分で、一人で～を守る yaykoepunkine (新): [自]互いを守り合う uepunkine (新): [他]互いに、皆で～を守る ukoepunkine (新): [他]充分に～を守る epunkineno (epunkinenu) (新): [他]完全に～を守る oarepunkine (新): [他]人に～を守らせる

epunkineyar (新): [自]人に自分を守らせる siepunkineyar (新): ②(神がその靈力で)[他]～を守る nupur (沙流)
まやく(麻薬) [名]麻薬 kinrakusuri (新)
まゆ(眉) [名]眉 rar(-u) (石狩): [自](相手に何らかの動作を促し)眉を上げる rarepuni (石狩): [自]眉を上げる yayrarepuni (石狩): (表現)～の方へ眉を上げて(～の方へ顔を上げて)言うのはこうである ～ ekota yayrarepuni hawe ene an ihi (石狩)
まゆ(繭) [名]繭 seykorposotki (新): (表現)繭を作る seykorposotki kar (新)
マユイガイ(眉貽貝) (魚介)[名](イガイ科)マユイガイ属 rarpaskutto-cise (新): [名]マユイガイ rarpaskutto (新): [名]チデミマユイガイ yoninke-rarpaskutto (新)
まゆげ(眉毛) [名]眉毛 rannuma (石狩): [名](一本一本の)眉毛 rattu (天塩)
まよう(迷う) ①[自]迷う sitturaynu (石狩): [他](場所)で迷う esitturaynu (新): [他]～と共に迷う kositturaynu (新): [他](原因、手段)で迷う ositturaynu (新): [他](人)を迷わせる sitturaynure (新): [自]自分で、一人で迷う yaykositturaynu (新): [自]皆で、互いに迷う ukositturaynu (新): [自]すっかり迷う oassitturaynu (assitturaynu) (新): [自]道に迷う rúturaynu (石狩): [他](人)を道に迷わせる rúturaynure (新): ②(何かをするかどうかに関して)[自]迷う yayramukar (石狩): (表現)～をしようとして迷う、～すべきか迷う 動詞句 + kusu yayramukar (石狩): [他](場所)で迷う eyayramukar (新): [他]～について迷う koyayramukar (新): [他]～と共に迷う koyayramukar (新): [他](原因、手段)で迷う oyayramukar (新): [他](人)を迷わせる yayramukare (新): [自]自分で、一人で迷う yaykoyayramukar (新): [自]皆で、互いに迷う ukoyayramukar (新): [自]すっかり迷う oaryayramukar (aryayramukar) (新): [自]ものすごく迷う toykoyayramukar (新)
まよなか(真夜中) [場名・副]真夜中 annoski (石狩): (表現)真夜中近くまで annoski hanke pakno (石狩)
マヨネーズ(料理) [名]マヨネーズ mayones (新)※(露語)、[名] mayo (新)
マラウイ [場名](国名)マラウイ共和国 Marawi Ukotankoremosir (新)※(首都は「リロンゲ」): [場名](国名の通称として)マラウイ Marawi (新): [名]マラウイ人、国民 marawiunkur (新)

マラカイトグリーン [自]マラカイトグリーン色になる、である maraxite-siwnin (新): [他]~をマラカイトグリーン色にする maraxite-siwninte (新): [名]マラカイトグリーン色 maraxite-siwnin-iro (新)

マラキ (聖書)[名](人名)マラキ Maraxi (新) ※(預言者): [名]マラキ書 Maraxi-kampisos (新)

マラボ [場名](赤道ギニア共和国の首都名)マラボ Marabo (新)

マラリア [名]マラリア okori (石狩)、[名]mararia (新)※(英語): (表現)マラリアにかかる okori (mararia) kor (新): [名]マラリア原虫 okori-motonep (mararia-motonep) (新)

マリ ①[場名](国名)マリ共和国 Mari Ukotankoremosir (新)※(首都は「バマコ」): [場名](国名の通称として)マリ Mari (新): [名]マリ人、国民 mariunkur (新): (歴史)[場名](国名)マリ連邦 Mari Ukosineatkimosir (新)※(1960年。首都は「ダカール」): (歴史)[場名](国名)マリ共和国 Mari Ipawetenkekur-kormosir (新)※(首都は「ニアニ」→「カンガバ」)

マリ・エル [場名](ロシア連邦沿ヴォルガ連邦管区の構成主体名)マリ・エル共和国 Mari Er Ukotankoremosir (新)※(首都は「ヨシユカルオラ」): [名]マリ人 marikur (新)※(旧称「チェレミス人」): [名]マリ語 maritak (新)※(フィン・ウゴル語派フィン・ヴォルガ諸語に属する言語。旧称「チェレミス語」。)

まり(毬) [名]毬 mari (新)※(日本語)

マリアナ [場名](地名)マリアナ諸島 Mariana-usapoysir (新)※(太平洋西部の島々)

マリーゴールド →「コウオウソウ(紅黄草)」を見よ

マリンブルー [自]マリンブルーになる、である atuyisiwnin (新): [他]~をマリンブルーにする atuyisiwninka (atuyisiwninte) (新): (表現)マリンブルー色 atuyisiwnin iro (新)

まる(丸) ①(円形)[名]丸 sikarinoka (石狩): [自]丸くなる、丸い sikari (石狩)、[自]sikannatki (幌別)、[自]sikarinokane (新): [他]~を丸くする sikarire (新)、[他]sikannatkire (新)、[他]sikarinokane (nere) (新): [名]丸い物 sikarip (新): ②(球形)[名]丸くなっているもの ponruampe (石狩)

まるがお(丸顔) [名]丸顔 sikannatki-nan(-u) (新): [自]丸顔である nan-kosikannatki (幌別)、[自]nusikannatki

(新冠):

マルキョク [場名](パラオ共和国の州名)マルキョク州 Markiok-purovince (新): [場名](パラオ共和国の首都名)マルキョク Markiok (新)

まるごと ①(表現)まるごと ikkew tura(-no) (石狩): 「…このカラプト、沖のカラプトをまるごと(境界もろとも)私は買おうと海に出たのだ!…」 “…Tapan Karapto Repunkarapto ikkew tura an=hok rusuy kusu repa=an ruwe ne!…” (杉村キナラブク)英雄詞曲: ②[副]まるごと omukkane(-no) (新)※(白浦): (表現)まるごと~を飲み込む omukkane(-no) ruki (新)※(白浦)

まるさらこねじ(丸皿小ねじ) [名]丸皿小ねじ huptekakam-cinoyepo (新)※(「丸サラ」とも)

マルタ ①[場名](国名)マルタ共和国 Matta Ukotankoremosir (新)※(首都は「バレッタ」): [名]マルタ人、国民 mattaunkur (新): [名]マルタ語 mattaunkur-itak (新): ②[場名](地名)マルタ島 Matta-poysir (新): [名]マルタ島民 matta-poysirunkur (新)

まるた(1)(丸太) [名]丸太 rukum (石狩)、[名]nirukum (石狩)

マルタ(丸太) (魚介)[名](ウグイ属)マルタ tuyehuresupun (礼文華)※(別名「アカハラ」、「マルタウグイ」)

まるば(丸葉) ①[名]丸葉 enukar-ham(-u) (新): [自]丸葉である hamu-enukar (新): ②(特に円形に近い物)[名]丸葉 sikari-ham(-u) (新): [自]丸葉である hamu-sikari (新)

マルバトウキ(丸葉当帰) (植物)[名](セリ科)マルバトウキ属 cipoko-cise (新): [名]マルバトウキの茎葉 cipoko (樺太): [名]乾燥マルバトウキの料理 cikaripe (新間)

マルバノバッコヤナギ [名](船の材料となる柳の通称として)マルバノバッコヤナギ cipnisusu (新)※(天塩)、[名]cipsusu (新)※(十勝)

マルバハルシャギク(丸葉春車菊) (植物)[名](キク科)マルバハルシャギク属 mikecup-kikukina-cise (新)※(ヘレニウム属とも): [名]マルバハルシャギクの茎葉 simikecup-kikukina (新)、[名]その花 simikecupkiku (新)※(別名「ダンゴギク」、「ヘレニウム」): [名]ヘレニウム・アマルムの茎葉 mikecup-kikukina (新): [名]ヘレニウム・ヴィルギニクムの茎葉 virginiamikecup-kikukina (新): [名]ヘレニウム・ビゲロヴィイの茎葉

kimunmikecup-kikukina (新): [名]ヘレニウム・プベルルムの茎葉 sikarimikecup-kikukina (新): [名]ヘレニウム・フレクスースムの茎葉 cupkamikecup-kikukina (新): [名]ヘレニウム・ボランデリの茎葉 pisunmikecup-kikukina (新)

まるみえ(丸見え) [自]丸見えになる、なっている oassara (assara) (新): [他]～を丸見えにする oassarare (assarare) (新): [他](人)に～を丸見えにさせる oassararere (assararere) (新): [自]～の頭、顔、先端が丸見えになる、なっている oaresara (aresara) (新): [自]～の尻、性器、端が丸見えになる、なっている oarosara (arosara) (新)

マレ [場名](モルディヴ共和国の首都)マレ Máre (新)

マレーグマ(マレー熊) (動物)[名](クマ亜科)マレーグマ属 nikaerokeper-cise (新): [名]マレーグマ nikaerok-eper (新)

マレーシア [場名](国名)マレーシア Marayšia (新)※(首都は「クアラルンプール」): [名]マレーシア人、国民 marayšiaunkur (新): [名]マレー人 murayukur (新): [名](マレーシア及びシンガポール共和国の公用語としての)マレー語 marayšia-itak (新): [名](マレー半島で話される言葉として)マレー語 murayu-itak (新): [名](地名)マレー半島 Murayu-sirekanray (新)

まわり(周り) ①[位名]～の周り tuysam(長形-a、-ake) (石狩): [後副]～の周りに okari (石狩): 「私が目覚めると私の周りに小人達が大勢いた。」 “Ku=mos hike en=okari pompon aynu inneno okay .”: ②[場名](ある行為や状況が及ぶ範囲を指し)周り situkari (沙流): (表現)周りが静まり返る attukari cikistekka (沙流): ③[位名]～の周りあちこち piskan(長形-i、-ike) (石狩)

まわる(回る) ①[自]回る sikari (石狩)、[自]kari (石狩): [他](場所)で回る esikari (石狩)、[他] ekari (石狩)、[他] okari (石狩): [他]～と共に回る kosikari (新)、[他] kokari (新): [他](原因、手段)で回る osikari (新)、[他] okari (新): [他]～を回す、(場所)を回らせる sikarire (石狩)、[他] kari (石狩): [他](人)に～を回させる、(人)に(場所)を回らせる karire (新): [自]自分で、一人で回る yaykosikari (新)、[自] yaykokari (新): [他]自分で、一人で～を回す、(場所)を回る yaykosikarire (新)、[他] yaykokari (新): [自]皆で、共に回る ukosikari (新)、[自] ukokari (新): [他]皆で、共に～を回す、(場所)を回

る ukosikarire (新)、[他] ukokari (新): [自]完全に回る oassikari (assikari) (新)、[自] oarkari (arkari) (新): [他]完全に～を回す、(場所)を回る oassikarire (assikarire) (新)、[他] oarkari (arkari) (新): ②[自]ぐるぐる回る sikarikari (石狩)、[自] karikari (石狩)、[自] sikannatki (天塩): [他](場所)でぐるぐる回る esikarikari (新)、[他] ekarikari (新): [他]～と共にぐるぐる回る kosikarikari (新)、[他] kokarikari (新): [他](原因、手段)でぐるぐる回る osikarikari (新)、[他] okarikari (新): [他]～をぐるぐる回す sikarikarire (新)、[他] karikari (新): [他](人)に～をぐるぐる回させる karikarire (新)

マン [場名](アイリッシュ海にある島の名)マン島 Man-poysir (新)※(自治権を持ったイギリスの王室保護領。首都は「ダグラス」): [名]マン島人 man-poysirunkur (新): [名]マン島語 man-poysirunkur-itak (新)

まん(万) ①[名]万人 moiknen (新): [名]十万人 wánmoiknen (新): [名]百万人 atuytamoiknen (新): [名]千万人 wánatuytamoiknen (新): ②[名]万、万四、万個など moik (新): (表現)一万 sine moik (新): (表現)一万一千百十一 sinep ikasma wampe ikasma sine atuyta ikasma sine wánatuyta ikasma sine moik (新): (表現)二万 tu moik (新): [名]十万人 wánmoik (新): (表現)二十万 tu wánmoik (新): [名]百万 atuytamoik (新)、[名] mirion (新)※(英語): [名]千万 wánatuytamoik (新): ③[連体]万の moikne (新)、[連体] moik (新): (表現)一万人の女性 sinemoikne menoko (sinemoik menoko) (新): (表現)一万匹の魚 sinemoikne cep (sinemoik cep) (新): (表現)一万年 sinemoikne pa (sinemoik pa) (新): [連体]十万人の wánmoikne (新)、[連体] wánmoik (新): [連体]百万の atuytamoikne (新)、[連体] atuytamoik (新): [連体]千万の wánatuytamoikne (新)、[連体] wánatuytamoik (新)

マンガン (化学)[名]マンガン manganum (新)※(原子番号25番。元素記号 Mn)

マンガース(動物) [名](ネコ亜目)マンガース科 manguste-apa (新)※(独語): [名]エジプトマンガース属 misruun-manguste-cise (新): [名]ガンビアマンガース属 gambiaun-manguste-cise (新): [名]キイロマンガース属 sikepepeus-manguste-cise (新): [名]キイロマンガース

sikerpepeus-manguste (新): [名]クシマンセ属 kušimanse-cise (新): [名]コビトマングース属 momanguste-cise (新): [名]シロオマングース属 sararetar-manguste-cise (新): [名]シロオマングース sararetar-manguste (新): [名]スリカータ属 surikata-cise (新): [名]スリカータ surikata (新): [名]セラスマングース属 serous-manguste-cise (新): [名]セラスマングース serous-manguste (新): [名]ヌママングース属 petcamun-manguste-cise (新): [名]ヌママングース petcamun-manguste (新): [名]ブウサルグマングース属 dibofski-manguste-cise (新): [名]ブウサルグマングース dibofski-manguste (新): [名]フサオマングース属 tumusnesarkor-manguste-cise (新): [名]メラーマングース属 mérer-manguste-cise (新): [名]メラーマングース mérer-manguste (新): [名]リベリアマングース属 riberiaun-manguste-cise (新): [名]リベリアマングース riberiaun-manguste (新)

まんげつ(満月) [名]満月 sikaricup (天塩): (表現)満月になる、なっている cup noski an (石狩): (表現) kunnecup noski an (新)

マンゴー(菴羅) (植物)[名](ウルシ科)マンゴー属 mangoni-cise (新): [名]マンゴーの茎 mangoni (新): [名]アンゴアの果実 mango (新)

マンゴージンジャー [名](ウコン属)マンゴージンジャーの茎葉 mango-giner-kina (-jinja-) (新): [名]マンゴージンジャーの根 mango-ginger (-jinja) (新)※(英語):

マンシ [名]マンシ人 manšikur (新): [名]マンシ語 manši-itak (新)※(フィン・ウゴル語派ウゴル諸語に属する言語)

まんしつ(満室) [名]満室 siktumpu (新): (表現)満室になる、なっている tumpu sik (新): (表現)満室にする tumpu sikte (新)

マンシュウ(満州) (歴史)[場名](国名)大満州帝国 Poro Manju Epawetenkekur-kormosir (新)※(1934-45年。日本による傀儡国家): [場名](満州族による支配域、あるいは1932-34年までの日本の傀儡国家名) Manjumosir (新): [場名](国名の略称及び地名として)満州 Manju (新): [名]満州人 manjukur (新): [名]満州語 manjukur-itak (新)

まんじょう(満場) (表現)満場 esik utar opitta(-no) (新): (表現) otta okay utar opitta(-no) (新): (表現)満場一致する

esik utar opitta(-no) uesere (新): (表現) otta okay utar opitta(-no) uesere (新): (表現)～が満場の喝采を浴びる esik utar opitta(-no) kiroroan haw otuwasi haw ~ ka ta ratki (新): (表現) otta okay utar opitta(-no) kiroroan haw otuwasi haw ~ ka ta ratki (新): (表現)満場の紳士淑女 esik nispa utar katkemat utar opitta(-no) (新): (表現) otta okay nispa utar katkemat utar opitta(-no) (新)

マンスブレイニング (表現)マンスブレイニング okkay ne ucaskuma (新)

まんせき(満席) [名]満席 sikso (新): (表現)満席になる、なっている so sik (新): (表現)満席にする so sikte (新)

まんぞく(満足) (表現)満足する sampe situri (石狩): 「私は心行くまで食事をして満足した。」“Ku=ipeno wa ku=sampehe turi.”、「私はとても空腹だったので、その団子を一口食べると満足を感じた。」“Sonno ku=iperusuy kusu nea sito sine nocipo ku=e ayke ku=sampe situri pokon ku=yaynu.”: [自]満足する sampesituri (新): [他](場所)で満足する esampesituri (新): [他]～に対して満足する kosampesituri (新): [他]～と共に満足する kosampesituri (新): [他](原因、手段)で、～について満足する osampesituri (新): [他](人)を満足させる sampesituri (新): [自]自分で、一人で満足する yaykosampesituri (新): [自]皆で、共に満足する ukosampesituri (新): [自]完全に満足する oassampesituri (assampeturi) (新): [自]十分に満足する sampesituri (sampiepurinu) (新): [自]減茶苦茶満足する toykosampesituri (新): [自]死ぬほど満足する raysampesituri (raykosampeturi) (新)

マンチェスター [場名](イギリスのイングランド大マンチェスター州の都市名)マンチェスター Manchester (新)

まんちょう(満潮) [名]満潮 pessirar (八雲)

マント [名]マント mandias (新)※(ギリシヤ語): [名]manto (新)※(フランス語)

マンドリル (動物)[名](オナガザル亜科)マンドリル属 mandorirus-cise (新): [名]マンドリル mandorirus (新): [名]ドリル kunnemandorirus (新)

まんなか(真中) ①[位名](空間的、時間的に)～の真中 noski(長形、-ke) (石狩): 「村の真ん中に家が建っている。」“Kotan noski ta cise as kane an.”: ②[場名](空間的に面の、あるいは時間的に)真中 sinnoski (sinnoskike) (新): ②[場名](空間的に線の)真中 rúnoski (rúnoskike) (新)

まんねんゆき(万年雪) [名] 万年雪
osiromaupas (新)、[名] osirkatkiupas
(新): (表現) 万年雪 iwampa riya upas
(新)、(表現) tunoiwampa osiroma upas
(新)、(表現) sonno ohonno osiroma upas
(新)

まんねんれき(万年暦) [名] 万年暦 kessak-
tonukarpe (新)

まんぶく(満腹) [自] 満腹する kironnu (八
雲): [自](人)を満腹させる kironnure
(新): (表現) ~が満腹する、している ~
honi sik (石狩)、(表現) ~ honi pise (石
狩): 「もう私は満腹だ。」“Tane ku=honi
sik.”: (表現) ~を満腹させる ~ honi
sikte (新): 「あなたは私達を満腹あせて
くれました。」“Ci=honi es=sikte.”

まんまえ(真ん前) ①(静止した何かの空間的な
位置関係、あるいは順序関係を示し)[位名]~
の真ん前 arkotca(長形-ke) (新): [場名]
自分の真ん前 assikotca (新): ②(運動す
る何かの空間的位置関係、あるいは時間的関
係を示し)[位名]~の真ん前 aretok(長形-o)
(新): [場名]自分の真ん前 assietok (新)

まんまる(まん丸) [名] まん丸 sísikarinoka
(新)、[名] sísikari (新): [自]まん丸であ
る sísikari (新): (表現) まん丸である
sonno sikari (石狩)、(表現) síno sikari
(天塩): [他]~をまん丸にする sísikarire
(新)

マンモス (動物) [名] ゴウ科マンモス属の動物
の総称、マンモス mammot (新)※(英語)

み(実) ①[名] 実 ikaop(-i) (新)、[名]
epuy(-e) (石狩)、[名] epuyke (石狩)※
("epuy", "epuyke"は実のみならず芽や花広く
意味する。): [自]~に実がなる ipeo (石
狩)、[自] ipeus (石狩): [自]実が入る、入
っている numo (石狩): (表現)実が入る、
入っている mun o (石狩): [自]実が入る、
入っている onne (石狩): [自](オオウバ
ユリ、オニノヤガラ、ヒシの実などに)実が入
る、入っている isa (石狩): [自]実が入ら
ない、入っていない pewre (石狩): 実が
入らない、入っていない somo onne (石狩)、
(表現) somo numo (石狩): ②(木)[名]木
の実 nikaop (nikaop) (石狩)、[名]
níepuy (níepuyke) (石狩): [名]食べられ
る木の実 niharu (石狩): ③(草)[名]草の
実 kinakaop (新)、[名] munkaoop (新):
[名]食べられる草の実 kinaharu (新)

み(箕) [名] 箕 muy (石狩): (表現)箕で~
を簸る muy ani ~ tuyte (tuytuye) (石
狩)、(表現) muy ~ otuyte (otuytuye)
(新): [他]~を箕にかける tuytuye (石
狩): [他](人)に~を箕にかけさせる

tuytuyere (新)

みいる(見入る) [自]見入る sikmaka (新):
[他](場所)で見入る、~に見入る esikmaka
(新): [他]~に見入る kosikmaka (石
狩): [他]~と共に見入る kosikmaka
(新): [他](原因、手段)で見入る osikmaka
(新): [他](人)を見入らせる sikmakare
(sikmakaka) (新): [自]自分で、一人で
見入る yaykosikmaka (新): [他]自分で、
一人で~に見入る yaykoesikmaka (新)、
[他] koyaysikmakare (新): [自]皆で、互
いに見入る ukosikmaka (新): [他]皆で、
互いに~に見入る ukoesikmaka (新)、
[他] kousikmakare (新): [自]すっかり
見入る oassikmaka (assikmaka) (新):
[他]人を~に見入らせる sikmakayar
(新): [自]人を自分に見入らせる
sisikmakayar (新)

みうしなう(見失う) [他]~を見失う turaynu
(石狩): [他](場所)で~を見失う eturaynu
(新): [他]~と共に~を見失う koturaynu
(新): [他](原因、手段)で~を見失う
oturaynu (新): [他](人)に~を見失わせる
turaynure (新): [他]自分で、一人で~を
見失う yaykoturaynu (新): [他]皆で、
共に~を見失う ukoturaynu (新): [他]
人に~を見失わせる turaynuyar (新):
[自]人に自分を見失わせる situraynuyar
(新): [自]自分を見失う yayturaynu
(新): [自]皆を見失う、互いを見失う
uturaynu (新): [自]自分の想いを見失う
yayramuturaynu (新): [自]互いの想い
を見失う uramuturaynu (新)

みうち(身内) [名] 身内 apa (石狩)、[名]
utar(-i) (石狩)

みえる(見える) ①(自然に目に入る事)[自]見
える inkar (石狩): (表現)見える様子(光
景、風景)はこうである inkar ruwe (siri)
ene an hi (ene an ihi, ene oka hi) (石狩):
「私が山頂に立つと、見えた風景はこうであ
る。大きな川が東から平野を流れて、その川
岸にはいくつも戸数の多い村がある様子で
ある。」“Nupuri tapka ta e=as wa e=inkar
ruwe ene an hi: cupka wa poropet nupka
kus wa ne pet sam ta inne kotan okay
siran.”: (表現)~と見えるだろう ~
siran nankor (石狩): 「あなたがどんどん
進んで行って見ると大きな家が立つ様が
堂々として見えるでしょう。」“Es=paye ayne
es=inkar hike poro cise as ru konna
mewnatara siran nankor.”: ②(誰でも見
ようと思えば見る事ができる事)(表現)~が
見える ~ an=nukar (石狩): 「いつでも
その山が見える。」“Hempar ne yakka ne

nupuri an=nukar .”、「誰にでもやつが悪事が見えるさ。」“Nen ne yakka neap kar wempui nukar .”：③(見る事が可能である事)(表現)(表現)目が見える inkar easkay (新)：(表現)～が見える ～ nukar eaykap (新)：④[自](何かに隠れて見えなかった物が)見えるようになる sara (石狩)：[他](何かに隠れて見えなかった物)に見えるようにする sarare (沙流)

みおくる(見送る)[自]人を見送る iokanukar (新)※(八雲)：(表現)人を見送る iosi inkar (天塩)：[他](人)を見送る okanukar (新)※(八雲)：(表現)～を見送る ～ osi inkar (新)：[他](場所)で(人)を見送る eokanukar (新)：[他]～と共に(人)を見送る kookanukar (新)：[他](原因、手段)で(人)を見送る ookanukar (新)：[他](人)に(人)を見送らせる okanukare (新)

みおぼえ(見覚え)①[他]～に見覚えがある amkir (石狩)、[他] kir (石狩)：「あの人の見覚えがあるのだが、名前を忘れてしまったよ。」“Taankur ku=amkir korka rehe ku=oyra na .” = “Taankur ku=kir korka rehe ku=oyra na .”：②[他]～に見覚えがない eramuskare (空知)、[他] erameskari (旭川)、[他] (雅) koeramuskare (koerameskari) (新)：「私は貴方に見覚えがありません。」“Es=eramuskare=an .”

ミカ (聖書)[名](人名)ミカ Mixa (新)※(預言者)：[名]ミカ書 Mixa-kampisos (新)

みがく(磨く)[他]～を磨く sirusiru (石狩)：[他](場所)で～を磨く esirusiru (新)：[他]～と共に～を磨く kosirusiru (新)：[他](原因、手段)で～を磨く osirusiru (新)：[他](人)に～を磨かせる sirusirure (新)：[他]自分で、一人で～を磨く yaykosirusiru (新)：[他]皆で、互いに～を磨く ukosirusiru (新)：[他]すっかり～を磨く oassirusiru (assirusiru) (新)：[他]自分の手で～を磨く yaytekeosirusiru (新)：[他]自分の技能を磨く yaytekesirusiru (新)：[他]皆の、互いの技能を磨く utekesirusiru (新)：[他]自分の性技を磨く yayosirusiru (新)

みかく(味覚)[名]味覚 irakhum(-i) (新)：(表現)味覚が鋭い irakhum(-i) yupke (新)：(表現)味覚が鈍い irakhum(-i) hawke (新)

みかた(味方)[名]味方 téwaankur (石狩)、[名] ikopakunkur (天塩)：[自]味方である ikopakun (新)：[他](場所)で味方である eikopakun (新)：[他]～の味方になる、味方である oikopakun (新)：[他](原因、

手段)で味方である koikopakunkunne (新)：[他]～を味方にする ikopakun (新)：[他]～の味方である、～に味方する kopakeun (kopakun) (新)、[他] kokewtumkor (石狩)：[他]～を～の味方にする kopakeunte (kopakunte) (新)、[他] kokewtumkore (新)：[他]～を自分の味方にする yaypakunte (新)、[他] yaykewtumkore (新)：[自]味方し合う、皆が味方である ukopakun (新)、[自] ukokewtumkor (新)：[他]～を味方し合わせる ukopakunte (新)：[自]味方がいない yaykoppakun (新)

みかづき(三日月)[名]三日月(上弦の月) asitcup (asircup) (石狩)：[名]三日月(下弦の月) nincup (天塩)

ミカドアゲハ(帝揚羽)(昆虫)[名](アオスジアゲハ属)ミカドアゲハ áosirkio-kitomarewrew (新)

みがわり(身代わり)[名]身代わり ciyaytasaep(-i) (新)、[名] kik(-i) (沙流)：[自]身代わりにする iyaytasare (新)：[他]～を身代わりにする yaytasare (新)：[他]～に～を身代わりにさせる yaytasarere (新)

みかんせい(未完成)[自]未完成である eonantek (石狩)：「その秋良い家が建てられ、まだ未完成であつたけれど、そこに私達は住みました。」“Ne cuk pirka cise an=asi, na eonantek korka otta oka=as .” (砂沢クラ)：(表現)まだ～が未完成である na somo ～ kar okere wa an (新)

みぎ(右)①[場名]右 siso (石狩)：[自]右を向く、右に向かう esison (esisoun) (新)、[自] esisone (新)：[副]右に向かって、右に esison (esisoun) (石狩)、[副] esisone (新)：[自]右から向かって来る osison (osisoun) (新)、[自] osisone (新)：[副]右から osison (osisoun) (新)、[副] osisone (新)：②[場名]右側 simoysam (simoysama, simoysamake) (石狩)：[自]右側に向かう esimoyamne (新)：[副]右側に向かつて、右側に esimoyamne (新)：[自]右側から向かって来る osimoyamne (新)：[副]右側から osimoyamne (新)：③[場名]右座 siso (石狩)：伝統的家屋の神窓から見て右、人の出入口から見て左側の座。その家の主人が上座側に、主婦がその下に座る。また、主人の寝室もこちら側に作られる。：[副]右座に向かつて、右座に esison (esisoun) (石狩)、[副] esisonwa (esisounwa) (石狩)、[副] esisonno (esisounno) (新)、[副] esisone (新)：[副]右座から osison (osisoun) (新)

(新)、[副] osisonwa (esisounwa) (新)、
[副] osisonno (esisounno) (新)、[副]
osisone (新): ④[名]右手 simontek(-e)
(石狩): この他"osison ku=tekehe"「私の右
手」という表現もある。

みき(幹) [名]幹 tumam(-a) (石狩)、[名]
sup(-i) (石狩): (表現)〜の幹が真っすぐ
である ~ tumama (supi) oupeka (新):
[名]木の幹 nitumam (石狩)、[名] nísup
(天塩): [場名](雅)その幹の中程の所
suptomorke (石狩): (表現)(強風が吹き荒
れ木々の倒れる様の描写として)折りたいも
のはその幹の中程がバリバリと鳴り続け、折
れたくないものは根こそぎ皆傾いていく
kay rusuy pe suptomorke cikawrototo kay
kopan pe osiritturano ukomewke wa paye
(石狩): [名]幹の中が空洞になっている木
suwatkutanne-cikuni (天塩)

みきりをつける(見切りを付ける) [他]〜に見
切りを付ける teksurare (久保寺)

みぐし(御髪) [名](雅)御髪 kanitop(-i) (石
狩): 本来は女神など高貴な存在の「立派な
髪」の意味で用いられたのだろうが、恐らく
は白人の存在を知ってからと思われるが、言
葉通り「金髪」と意識されていた。: [他](場
所)でみごとな髪(金の髪)の先を地に垂らす
okaniotopi-esitciwre (石狩): 「…神の女
の頭髪そこで御髪(金の髪)の先を地に垂らしたよ泣
きながら座っていたよ…」 “…kamuyemenoko
kimuyotopi okaniotopi-esitciwre na cis kor a
wa an na…” (杉村キナラブック)神謡

ミクロニア [場名] ミクロネシア 連邦
Mikronesia Ukosineatkimosir (新)※(首都
は「パリキール」): [場名](国名の通称とし
て、あるいはオセアニア北西部の島々の総称
として)ミクロネシア Mikronesia (新):
[名]ミクロネシア人 mikronesiaunkur
(新): [名]ポリネシア 諸語
mikronesiaunkur-usaitak (新)

ミクロニクテリス (動物)[名](ヘラコウモリ 亜
科)ミクロニクテリス 族 kisaraporo-
hametukapap-utar (新): [名]ミクロニク
テリス 属 kisaraporo-hametukapap-cise
(新): [名]ミクロニクテリス・ギオパンニア
エ giovanni-kisaraporo-hametukapap
(新): [名]M. スクミットルム şumiṭ-
kisaraporo-hametukapap (新): [名]M.
サンボルニ samborun-kisaraporo-
hametukapap (新): [名]M. ヒルスタ
numaus-kisaraporo-hametukapap (新):
[名]M. ホメジ pinrot-kisaraporo-
hametukapap (新): [名]M. ブロッセティ
burosset-kisaraporo-hametukapap (新):
[名]M. マトセス matses-kisaraporo-

hametukapap (新): [名]M. ミクロティス
yayan-kisaraporo-hametukapap (新):
[名]M. ミヌタ retarpisekapap (新):
[名]M. メガロティス kisaraporo-
hametukapap (新): [名]ミクロミミナガ
コウモリ めが (新): [名]グリフォニクテ
リス 属 reirokor-kisaraporo-
hametukapap-cise (新): [名]グリフォニ
クテリス・シルベストリス reirokoro-
kisaraporo-hametukapap (新): [名]G.
ダビエシ davies-kisaraporo-hametukapap
(新): [名]ベンミミナガコウモリ
benkisaraporo-hametukapap (新): [名]
チビミミナガコウモリ 属 mokisaraporo-
hametukapap-cise (新): [名]チビミミナ
ガコウモリ mokisaraporo-hametukapap
(新): [名]トリニクテリス 属 nikeforo-
kisaraporo-hametukapap-cise (新): [名]
トリニクテリス・ニケフォリ nikeforo-
kisaraporo-hametukapap (新): [名]マク
ロトゥス 属 kisaraporo-hametukapap-cise
(新): [名]カリフォルニアオオミミナガコウ
モリ karifonniaun-kisaraporo-
hametukapap (新): [名]M. ワテルハウシ
ー waterhouse-kisaraporo-hametukapap
(新): [名]ランブロニクテリス 属
rekucinikapirone-kisaraporo-
hametukapap-cise (新): [名]ランブロニ
クテリス・ブラキオティス
rekucinikapirone-kisaraporo-hametukapap
(新)

ミクロラスボラ (魚介)[名](ラスボラ 亜科)ミク
ロラスボラ 属 mikrorasbora-cise (新)※
(学名): [名]ミクロラスボラ・クボタイ
siwnin-mikrorasbora (新): [名]M・ナナ
pewresiwnin-mikrorasbora (新): [名]M・
ルベスケンス ruhure-rasbora (新)

ミクロン [名](長さの単位) mikron (新)※
(記号は"μ")

みけいけん(未経験) [自]物事を未経験である、
未経験で知らない ieramuskare (新)、[自]
ierameskari (新): [他]〜を未経験である、
未経験で知らない eramuskare (石狩)、
[他] erameskari (石狩): [助動]〜を未経
験である、未経験で知らない eramuskare
(石狩)、[助動] erameskari (石狩):
[他](場所)で〜を未経験である、未経験で知
らない eeramuskare (新)、[他]
eerameskari (新): [他]〜と共に〜を未経
験である、未経験で知らない koeramuskare
(新)、[他] koerameskari (新): [他](原因、手段)で〜を未経験である、
未経験で知らない oeramuskare (新)、[他]
oerameskari (新): [他](人)に〜を未経験

にさせる、(人)を～が未経験で知らないようにする eramuskarere (新)、[他] erameskarire (新): [他]自分で～を未経験である、未経験で知らない yaykoeramuskare (新)、[他] yaykoerameskari (新): [他]互いに、皆で～を未経験である、未経験で知らない ukoeramuskare (新)、[他] ukoerameskari (新): [他]全く～を未経験である、未経験で知らない oareramuskarere (areramuskare) (新)、[他] oarerameskari (arerameskari) (新): [他]滅茶苦茶～を未経験である、未経験で知らない toykoeramuskare (新)、[他] toykoerameskari (新): [名]未経験者 ieramuskarekur (新)、[名] ierameskarikur (新): (表現)～未経験者名詞、名詞句+eramuskare (erameskari) (a)kur (新): iomante(イオマンテ)+eramuskare (erameskari) (a)kur → iomante eramuskare (erameskari) (a)kur 「イオマンテ未経験者」:(表現)動詞句+eramuskare (erameskari) (a)kur (新): repunkotan ta omanan(海外旅行する)+eramuskare (erameskari) (a)kur → repunkotan ta omanan eramuskare (erameskari) (a)kur 「海外旅行未経験者」:[名]経験のない事 cieramuskarap (cieramuskarap) (新)、[名] cierameskarap (cierameskariap) (新)、[名] cieramuskarap (新)、[名] cierameskarip (新)

みけねこ(三毛猫) (動物)[名]三毛猫 taytay (樺太)

みけん(眉間) [場名]眉間 rártur(-u) (石狩)、[場名] sikutur(-u) (石狩)

みこころ(御心) [名]御心 kewtum(-u) (石狩)、[名](雅) keytum (空知): (表現)神がそれをなしたる御心 kamuy kar keytum (空知)

みこし(神輿) [名]神輿 mikosi (新)※(日本語): (表現)神輿を担ぐ mikosi eunkoani (新)

ミコシギク(見越し菊) (植物)[名](キク科)ミコシギク属 síkewerikikukina-cise (新): [名]ミコシギクの茎葉 síkewerikikukina (新)※(別名「ホンバセイタカギク」): [名]レウカンテメラ・セロティナの茎葉 europa-síkewerikikukina (新)

みこむ(見込む) [他](人)を見込む、見込んで頼りにする otuwasi (沙流): [他]～の事で(人)を見込む、見込んで頼りにする eotuwasi (沙流): [他](人)に(人)を見込ませる、見込んで頼りにさせる otuwasure

(新)

ミサイル [名]ミサイル cisirepakasnu-cieakpe (新)、[名] missire (新)※(英語): [名]ミサイル巡洋艦 cisirepakasnu-cieakpekor-castumicip (新)、[名] missirekor-castumicip (新)

みさき(岬) ①[名]岬 esannot (石狩): (表現)岬が本当に魚の釣れる場所に顎を向かわせて(突き出して)いる様子である esannot speraysotki konotpiwkire siran (沙流): ②(地名の中で)[名]岬 enrum (石狩、留萌)、[名] síretu (石狩、留萌)、[名] not (石狩、留萌)、[名] esan (石狩)、[名] esausi (天塩): (表現)岬の先端 not etok(長形-o) (沙流)

みさげる(見下げる) [自]人を見下げる ioramsakka (新): [他](人)を見下げる oramsakka (天塩): [他](人)に(人)を見下げさせる oramsakkare (新)

みじかく(短く) ①(長さに関して)[自]短くなる、短い takne (石狩): 長さを実測できるものの他、“tasu takne”「息が短い」という時にも用いられる。:[自]充分短くなる、短い takneno (taknenu) (新): [自]完全に短くなる、短い oattakne (attakne) (新): [自]ものすごく短くなる、短い toykotakne (新): [他]～を短くする takneka (taknere) (新): [他](場所)で～を短くする etakneka (etaknere) (新): [他]～と共に～を短くする kotakneka (kotaknere) (新): [他](原因、手段)で～を短くする otakneka (otaknere) (新): [他](人)に～を短くさせる taknekare (taknerere) (新): [副]短く takne(-no) (新): 「それを短くしたら使い物にならんよ。」

“Taampe takneno an=kar yakne ene an=eiwanke hi ka isam na.”: [名]短さ takneru(-we) (新): ②(時間に関して)[自]短い setak (石狩): [自]十分に短い setakno (setaknu) (新): [自]完全に短い oassetak (assetak) (新): [自]ものすごく短い toykosetak (新): [他]～を短くする setakka (新): [他](場所)で～を短くする esetakka (新): [他]～と共に～を短くする kosetakka (新): [他](原因、手段)で～を短くする osetakka (新): [他](人)に～を短くさせる setakkare (新): [副]短く setakno (石狩): 「もう出かせなければいけないから短く言ってくれ。」“Tane ku=oman kusu ne kusu setakno ye yan!”: [名]短さ setakru(-we) (新)

ミシガン [場名](アメリカ合衆国の州名)ミシガン州 Misigan-mosir (新)※(州都は「ラッピング」)

ミシシッピ ①[場名](アメリカ合衆国の州名)ミシシッピ州 Mississipi-mosir (Mišišipi-mosir) (新)※(州都は「ジャクソン」): ②[名](地名)ミシシッピ川 Mississipi-pet (Mišišipi-pet) (新)

みじたく(身支度) ①[自]身支度をする sipini (複数 sipimpa) (石狩): [他](場所)で身支度する esipini (複数 esipimpa) (新): [他]〜と共に身支度する kosipini (複数 kosipimpa) (新): [他](原因、手段)で身支度する osipini (複数 osipimpa) (新): [他]〜に身支度させる sipinire (複数 sipimpare) (新): [自]自分で、一人で身支度をする yaykosipini (複数 yaykosipimpa) (新): [自]皆で、互いに身支度をする ukosipini (複数 ukosipimpa) (新): [自]すっかり身支度をする oassipini (複数 oassipimpa) (新)、[自] assipini (複数 assipimpa) (新): ②[自]身支度を解く sipita (石狩)、[自] sipitappa (石狩)、[自] sipitapita (石狩): [他]〜に身支度を解かせる sipitare (新)、[他] sipitappare (新)、[他] sipitapitare (新): [自]すっかり身支度を解く oassipita (assipita) (新)、[自] oassipitappa (assipitappa) (新)、[自] oassipitapita (assipitapita) (新)

みしっている(見知っている) [他]〜を見知っている amkir (石狩)、[他] kir (石狩) → 否定形は「みずしらずである(見ず知らずである)」を見よ

ミシマサイコ(三島柴胡) (植物)[名](セリ科)ミシマサイコ属 opokaykina (新): [名]ミシマサイコの茎葉 saykokina (新)、[名]ミシマサイコの根 sayko (新)※(漢方薬「柴胡」): [名]エゾサイコの茎葉 hamuane-konkani-opokaykina (新)※(別名「ホソバノコガネサイコ」): [名]エゾホタルサイコの茎葉 yaunopokaykina (新): [名]オオホタルサイコの茎葉 síopokaykina (新): [名]コガネサイコの茎葉 konkani-opokaykina (新): [名]ツキヌキサイコの茎葉 sisamumpetomte-opokaykina (新)※(別名「ブブレウルム」): ハクサンサイコの茎葉 hakusan-opokaykina (新): [名]ホタルサイコの茎葉 opokaykina (樺太)※(真岡): [名]レブンサイコの茎葉 repunsir-opokaykina (新)

みじゆく(未熟) [自]未熟である pewre (新)、[自] somo onne (新)、[自] hu (新): [名]未熟者 iwattarappe (八雲)

みじろぎ(身じろぎ) (表現)身じろぎせずに somo moy moyke no (石狩): (表現)身じろぎもせずに moy moyke ka somo ki no (石狩): (表現)身じろぎ一つせずに oar

moy moyke ka somo ki no (新)

みじんぎり(みじん切り) ①(肉、魚に関して)[他]〜をみじん切りにする nokantuypa (石狩): (表現)〜をみじん切りにする nokanno tuypa (新): ②(野菜に関して)[他]〜をみじん切りにする nokanhumpa (新): (表現)〜をみじん切りにする nokanno humpahumpa (新)

ミズ (植物)[名](イラクサ科)ミズ属 mincise (新): [名]ミズの茎葉 cimincikopa (新)※(アオミズの変種): [名]アオミズの茎葉 minci (沙流)、[名] mósikina (天塩): [名]アサバソウの茎葉 sirkio-minci (新): [名]オオコケミズの茎葉 porosinrus-minci (新)※(P.ペプロイデスの変種): [名]コケミズの茎葉 sinrus-minci (新)※(P.ペプロイデスの変種): [名]コゴメミズの茎葉 hamupon-minci (新): [名]コミヤマミズの茎葉 ponkimun-minci (新): [名]シマミズの茎葉 arisan-minci (新)※(別名「アリサンミズ」、「ヒメミズ」): [名]ソハヤミズの茎葉 sohay-minci (新): [名]ピレア・インボルクラタの茎葉 yomomke-minci (新): [名]P. グランディフォリアの茎葉 jamaika-minci (新): [名]P. ヌンムラリーフォリアの茎葉 reye-minci (新): [名]P. フォンタナの茎葉 rokki-minci (新)※(ロッキーミズ): [名]P. ペペロミオイデスの茎 yunnan-minci (新)※(雲南ミズ): [名]P. モリスの茎葉 moris-minci (新): [名]P. リオパレンクエンシスの茎葉 rioparenke-minci (新): [名]P. レペンスの茎葉 kunne-minci (新): [名]ミヤコミズの茎葉 cuppoksamorun-minci (新): [名]ミヤマミズの茎葉 kimun-minci (新): [名]メキシコミズの茎葉 mexiko-minci (新): [名]ヤマミズの茎葉 samorunminci (新)

みず(水) [名]水 wakka (石狩): (表現)澄んだ水 peker wakka (石狩): (表現)濁り水 nupur wakka (石狩): (表現)冷たい水 yam wakka (石狩): (表現)ぬるい水 tuwar wakka (石狩): [名](合成語の構成要素として)水 pe (石狩): [自]水が一面を覆う pékamama (石狩): 合成語の構成要素としてのみ現れるが今後単独でも用いる。: (表現)水が一面を覆う wakka sirkamu (新): (表現)水が〜を覆う wakka ~ kamu (新): [名]水の神 wakkauskamuy (石狩): [自]水に溶ける wakkane (新): [自]水に溶けない somo-wakkane (新)

みずあび(水浴び) [自]水浴びする、水遊びする sus (石狩): [他](場所)で水浴びする、水遊びする esus (新): [他]〜と共に水浴びす

る、水遊びする kosus (新): [他](原因、手段)で水浴びする、水遊びする osus (新): [他](人)に水浴びさせる、水遊びさせる suste (沙流): [自]自分で、一人で水浴びする、水遊びする yaykosus (新)、[自] yaysuste (新): [自]皆で、共に水浴びする、水遊びする ukosus (新)、[自] ususte (新)

ミズアブ(水虻) (昆虫)[名](ハエ亜目)ミズアブ下目 worosiraw-kotankes (新)、[名] ミズアブ科 worosiraw-apa (新)※(水にわくアブ): [名]アンティッサ亜科 antissa-moapa (新): [名]キロミュス亜科 xiromis-moapa (新): [名]クリテラリア亜科 kuriteraria-moapa (新): [名]ハラビロミズアブ honisep-worosiraw (新): [名]クリュソクロリナ亜科 xurisoxxrorina-moapa (新): [名]サルグス亜科 sargus-moapa (新): [名]コウカアブ rúkorworosiraw (新): [名]ストラティオミュス亜科 worosiraw-moapa (新): [名]ミズアブ worosiraw (新): [名]ネモティルス亜科 nemoterus-moapa (新): [名]パキュガステル亜科 pakigaster-moapa (新): [名]ネグロミズアブ rapsucikunne-worosiraw (新): [名]パルハドレステティア亜科 parhatrestia-moapa (新): [名]ベリス亜科 beris-moapa (新): [名]エゾホルリミズアブ yaunruri-worosiraw (新): [名]ヘルメティア亜科 hermetia-moapa (新): [名]アメリカミズアブ amerikaworosiraw (新): [名]ラフィオケラ亜科 rafiokera-moapa (新): [名]キアブモドキ科 cinisirawkopa-apa (新): [名]パントフタルムス科 pantoftarmus-apa (新)

みずいらず(水入らず) [自](夫婦などについて)水入らずである oaynusak (石狩): [副]水入らずで oaynusakno (石狩)

みずいろ(水色) [自]水色になる、である wakka-irone (新): [他]〜を水色にする wakka-ironeka (-ironere) (新): [名]水色 wakka-iro (新)

みずうみ(湖) [名]湖 to (石狩): (地理)[名]湖 sito (新): 通常は"to"を用い「池」、「沼」と区別する時 sito を用いるものとする。地名に関しては例えば「琵琶湖」と言う場合 Biwa-sito を地理学的正式な名称とし Biwato を通称とする。但し北海道などのアイヌ語地名については例外もあるものとする。: [場名]湖の底 tóasam(-a) (新)

ミズーリ [場名](アメリカ合衆国の州名)ミズーリ州 Missuri-mosir (Misuri-mosir) (新)※(州都は「ジェファーソンシティ」)

みずかき(水掻) [名]水掻 wakkaoterkep (新)※(水を蹴るもの)

みずがない(水がない) [自]水がない wakkasak (石狩): (表現)水がなくなる、ない wakka isam (石狩): (表現)水が全なくなる、ない wakka oarisam (石狩): [自]水が無くて死ぬ wakkaekot (石狩)

ミズカメムシ(水亀虫) (昆虫)[場名](アメンボ下目)ミズカメムシ上科 péka-hurawenkikir-apa (新): [名]ミズカメムシ科 péka-hurawenkikir-apa (新): [名]ミズカメムシ péka-hurawenkikir (新)

みずがわく(水が湧く) (水が湧くコボ、ゴボなどの音。以下コボで代表させる)[間投]コボ pur (新): [間投]コボコボ purpur (新): [自]コボと音がする purse (pusse) (新): [自]コボコボと音がする purpurse (purpusse) (新): [自](一回)コボと鳴る purkosanu (石狩)、[自] purkosampa (新): [自]コボコボと頻りに鳴る cipunrototo (石狩)、[自] punrototke (新): [自]コボコボと何度も音がする púurutki (新): [自]コボコボと続けて鳴る punnatara (新): [自](瞬間的に)コボと鳴る puttek (新): [自]コボコボと湧く purpurke (石狩)

みずぎわ(水際) ① [場名]海辺 atuysam(atuysama、atuysamake) (石狩)、[場名] russam (russama、russamake) (天塩): ②[場名]湖畔、沿岸 tóya (石狩): ③[場名]川岸 petsam (petsama、petsamake) (石狩)、[場名] petcam (petcama、petcamake) (石狩)、[場名] pettuysam (pettuysama、pettuysamake) (石狩)、[場名] petparurke (石狩)、[場名] petya (石狩): ④[名]水際からそり立っている崖 kipur (H): [名]水際の岩崖 pes(-i) (石狩)

ミズギワカメムシ(水際亀虫) (昆虫)[名](アメンボ下目)ミズギワカメムシ群 tósam-hurawenkikir-topa (新): [名]ミズギワカメムシ科 tósam-hurawenkikir-apa (新): [名]ミズギワカメムシ tósam-hurawenkikir (新): [名]コミズギワカメムシ pontosam-hurawenkikir (新): [名]トゲミズギワカメムシ áyustosam-hurawenkikir (新)

みずくさい(水臭い) [自]水臭い ocamperak (釧路)

みずぐすり(水薬) [名]水薬 wakkakusuri (新)

みずくみ(水汲み) [自]水汲みする wakkata (石狩)、[自] wakkake (静内): (表現)水

汲みする wakka ta (石狩): [他](人)に水汲みさせる wakkatare (石狩)、[他] wakkakere (新): [名]水汲みに降りる道 petaru (石狩): [場名]水汲み場 wakkatausi (石狩)

みずごけ(水苔) (植物)[名]水苔 tópenra (新)

みずさいばい(水栽培) [自]水栽培する wakka-otoyta (新): [他]～を水栽培する ewakka-otoyta (新): [他](人)に～を水栽培させる ewakka-otoytare (新)

みずしぶき(水飛沫) [名]水飛沫 wakkakiskis(-i) (幌別): (表現)水飛沫をあげて wakkakiskis tura(-no) (新): (表現)水飛沫をあげる wakkakiskis carpa (新): (表現)何度も水飛沫をあげる wakkakiskis catcari (新)

みずしらず(見ず知らず) [他]見ず知らずである eramuskare (空知)、[他] erameskari (旭川)、[他](雅) koeramuskare (新)、[他] koerameskari (旭川) → 肯定形は「みしっている(見知っている)」を見よ

みずぞこ(水底) ①[場名]海の底 atuyasam(-a) (石狩): ②[場名]湖、沼の底 tóasam(-a) (新): ③[場名]川の底 pétasam(-a) (新): ④[名]水底の氷雪 raumpe (蝦夷記)、[名] rauspe (蝦夷記)

ミズダコ(水蛸) (魚介)[名](マダコ属)ミズダコ siatkorpe (新)※(別名「オオダコ」、「アマダコ」)

みずたま(水玉) [名]水玉 pétama (新)、[名] wakkatama (新): [名]水玉模様 pésiksik (沙流): (表現)水玉模様の服 pésiksik o anmip (新)

みずたまり(水溜り) [名]水溜り to (石狩)、[名] tópo (B)、[名] wakkaoy (新): (表現)水溜りができる to at (天塩): [名]水溜りが沢山ある所 pépe (知里)

みずっぽく(水っぽく) [自](汁や粥などについて)水っぽくなる、水っぽい pecakaka (石狩)、[自] pecan (石狩)※(対義語は "siratek"): [他]水っぽくする pecakakare (新)、[自] pecanka (pecante) (新): [副]水っぽく pecanno (石狩)

みずてる(見捨てる) [他]～を見捨てる osura (osurpa) (石狩)、[他] sura (石狩): 「一生懸命がんばりますから私を見捨てないで下さい。」"Sonno ku=arikiki kusune kusu somo es=en=osura nankor!": [他]～を見捨てさせる osurare (osurpare) (新)、[他] surare (新): [他]自分で、一人で～を見捨てる yaykoosura (yaykoosurpa) (新)、[他] sura (新): [他]皆で、互いに～を見捨てる ukoosura (ukoosurpa) (新)、[他]

ukosura (新): [他]完全に～を見捨てる oarosura (oarosurpa) (新)、[他] arosura (arosurpa) (新)、[他] oassura (assura) (新): [自]見捨て合う、皆を見捨てる uosurpa (新)、[他] usura (新)

ミズナギドリ(水薙鳥) (鳥)[場名](新顎上目)ミズナギドリ目 notokotcikap-kotan (新): [名]ミズナギドリ科 notokotcikap-apa (新): [名]ミズナギドリ属 notokotcikap-cise (新): [名]アオウミナギドリ属 aonotokotcikap-cise (新): [名]アナドリ属 púyorun-notokotcikap-cise (新): [名]オオミズナギドリ属 sínokototcikap-cise (新): [名]オオフルマカモメ属 síhurman-notokotcikap-cise (新): [名]クジラドリ属 ironnerapus-notokotcikap-cise (新): [名]クロミズナギドリ属 kunne-notokotcikap-cise (新): [名]シラハラミズナギドリ属 honiretannotokotcikap-cise (新): [名]ナンキョクフルマカモメ属 koypokkes-notokotcikap-cise (新): [名]ハイイロミズナギドリ属 únaus-notokotcikap-cise (新): [名]フルマカモメ属 hurman-notokotcikap-cise (新): [名]マダラフルマカモメ属 toysarasirkio-notokotcikap-cise (新): [名]ユキドリ属 upasnotokotcikap-cise (新): [名]モグリウミツバメ科 rarsirwentecikap-cise (新): [名]アホウドリ科 oskampe-apa (新): [名]ウミツバメ科 sirwentecikap-apa (新)

ミズナラ(水柵) (植物)[名](コナラ属)ミズナラの茎 péroni (幌別)、[名] síperoni (石狩)、[名]ミズナラの殻斗 péro-itanki (幌別)、[名]ミズナラの堅果 péro (幌別): [名]フモトミズナラの茎 nupurikes-peroni (新)※(従来独立した種「モンゴリナラ」だが、ミズナラ(コナラの亜種とも)の変種と考えられている): [名]ミズコナラの茎 peronikopoyke-cikappoperoni (新)※(コナラとの雑種): [名]ミズナラガシワの茎 peronikopoyke-sisamperoni (新)※(ナラガシワとの雑種。別名「ナラミズガシワ」): [名]ミヤマナラの茎 metot-peroni (新)※(ミズナラの変種)

みずにかぶ(水に浮かぶ) [自]水に浮かぶ pékanke (石狩)、[自] pékaot (天塩): [他](場所)で水に浮かぶ epekanke (新)、[他] epekaot (新): [他]～と共に水に浮かぶ kopekanke (新)、[他] kopekaot (新): [他](原因、手段)で水に浮かぶ opekanke (新)、[他] opekaot (新): [他]～を水に浮かばせる pékankere (新)、[他] pékaotte (新): [自]完全に水に浮かぶ oarpekanke (arpekanke) (新)、[他]

oarpekaot (arpekanke) (新)

みずにつける(水に漬ける)①[他]～を水に漬ける、浸す woro (石狩): [他](場所)で～を水に漬ける eworo (新): [他]～と共に～を水に漬ける koworo (新): [他](原因、手段)で～を水に漬ける oworo (新): [他](人)に～を水に漬けさせる worore (新): ②[他]～をジャボジャボ水に漬ける pekocopopo (新): [他](魔除けのために人)の頭を水にジャボジャボ漬ける epekocopopo (石狩): ③[他]～を水に漬けて柔らかくする toyre (石狩): [他](場所)で～を水に漬けて柔らかくする etoyre (新): [他]～と共に～を水に漬けて柔らかくする kotoyre (新): [他](原因、手段)で～を水に漬けて柔らかくする otoyre (新)

みずにながされる(水に流される) [自]水に流される wakkamomte (石狩)

みずのうえ(水の上) [場名]水の上 péka (pékasi, pékasike) (八雲)

みずのなか(水の中) (表現)水の中 wakkatum(長形-う、-ke) (石狩): [場名]水の中 wor (新): 石狩、天塩では合成語の構成要素としてしか確認されぬが、今後沙流方言に倣って"wor ta"「水の中に」というように独立した一語としての表現も可とする。: wor (水の中)+o (に～を入れる) → woro 「～を水に漬ける」: [自]水の中に突込む eworun (新): [副]水の中に eworun (石狩): [自]水の中から向かって来る oworun (新): [副]水の中から oworun (新)

ミズヒキ(水引) (植物)[名](タデ科)ミズヒキ属 karpe-cise (新): [名]ミズヒキの茎葉 karpe (新)※(分類辞典の知里説採用): [名]シンミズヒキの茎葉 sisamkarpe (新)

ミズヒマワリ(水向日葵) (植物)[名](キク科)ミズヒマワリ属 petsamseskep-cise (新): [名]ミズヒマワリの茎葉 petsamseskep (新)

みずぼり(水堀) [名]水堀 wakkaop-pecir (新)

みずまし(水増し) [他]～を水増しする sipuskekar (新)、[他] sunke-sipuskere (新): [他](人)に～を水増しさせる sipuskekare (新)、[他] sunke-sipuskerere (新): [他](中相)～が水増しされる cisipuskekar (新)、[他](中相) cisunke-sipuskere (新)

ミズマメジカ(水豆鹿) (動物)[名](マメジカ科)ミズマメジカ属 worun-erumyuk-cise (新): [名]ミズマメジカ worun-erumyuk (新)

ミスミグサ(三角草) (植物)[名](キク科)ミスミ

グサ属 raytaokikukina-cise (新): [名]ミスミグサの茎葉 resikkewkon-raytaokikukina (新)※(別名「イガコウゾリナ」、「ミスミグク」): [名]シロバナイガコウゾリナの茎葉 eretan-raytaokikukina (新)

みずむし(水虫) [自]水虫になる cikiriutuye (石狩)

みずをかきわける(水を掻き分ける)[自](鯨などが)で水を胸で掻き分けて進む mukecasce (新): [自]水を水を掻き分けてすすい進む mukecassecasce (新)、[自] mukecarsecarse (沙流)

みずをきる(水を切る) [自]水を切る peca (沙流): 「背びれの付け根が水をどンドン水を切った。」"Aspe sutuhu peca peca .": [自]水を切り裂きすすい進む heworotuyipa-kocasce (新)、[自] heworotuyipa-kocassecasce (新)※(沙流方言では"carse"): 「魚の群れが水を切り裂きすすい進んだ。」"Cep rupihi heworotuyipa-kocasce ."

みせ(店) [名]店 ihokcise (新)、[名] cieihokcise (新)、[名] san (新)※(棚)、[名] sop (新)※(英語)、[名] mise (新)※(日本語)

みせしめ(見せしめ) [自](罪のない)人を罰して見せしめにする ikotki (沙流): [他](罪のない)～を罰して見せしめにする kotki (沙流)

みせる(見せる) [他](人)に見せる inkare (新): [他]ちらりと(人)に見せる inkattekka (新): [他](人)に～を見せる nukare (石狩): [他](場所)で(人)に～を見せる enukare (新): [他]～と共に(人)に～を見せる konukare (新): [他](原因、手段)で(人)に～を見せる onukare (新): [他](人)に(人)に～を見させる nukarere (新): [他]すっかり(人)に～を見せる oanukare (annukare) (新): [他]ちらりと(人)に～を見せる nukattekka (新): [他](人)に～を見させる toykonukare (新)、[他] wennukare (新): [他]人に～を見せる nukarar (新): [自]人に自分を見せる sinukarar (新): [他]～を見せ合う unukare (石狩): [他](人)に～を見せ合わせる unukarere (新)

みぞ(溝) [名]溝 monay (新)、[名] ankánnay (新)、[名] nay (新)

ミゾカクシ(溝隠) (植物)[名](キキョウ科)ミゾカクシ亜科 toykamumun-moapa (新): [名]ミゾカクシ属 toykamumun-cise (新): [名]ミゾカクシの茎葉 toykamumun (新)※(別名「アゼムシロ」):

[名] サクラダソウの茎葉 angurata-toyakakamumun (新): [名] サワギキョウの茎葉 ruriapapponu-toyakakamumun (新): [名] タチミゾカクシの茎葉 hanke-toyakakamumun (新): [名] ベニバナサワギキョウの茎葉 húreapapponu-toyakakamumun (新): [名] マルバハタケムシロの茎葉 amami-tuykamumun (新): [名] ルリミゾカクシの茎葉 roberia-toyakamumun (新)※(別名「ロベリアソウ」など)

ミゾゴイ(溝五位)(鳥)[名](サギ亜科)ミゾゴイ属 sisampetcaokoas-cise (新): [名] ミゾゴイ sisampetcaokoas (新): [名] ズグロミゾゴイ marayšia-sisampetcaokoas (新)

ミゾコウモリ(溝蝙蝠)(動物)[名](コウモリ目)ミゾコウモリ属 nankasinayekapap-cise (新): [名] ニクテリス・アウリタ andersen-nankasinayekapap (新): [名] N. アルゲ báte-nankasinayekapap (新): [名] N. インテルメディア haykannu-nankasinayekapap (新): [名] N. ウォーディ woot-nankasinayekapap (新): [名] N. ガンビエンシス gambiaun-nankasinayekapap (新): [名] N. グランディス sínankasinayekapap (新): [名] N. セバйка noskicupkaun-nankasinayekapap (新): [名] N. トラガタ marayuun-nankasinayekapap (新): [名] N. ナナ monankasinayekapap (新): [名] N. ヒスピダ numaus-nankasinayekapap (新): [名] N. パリシー parissi-nankasinayekapap (新): [名] N. ビンソニ vinson-nankasinayekapap (新): [名] N. マクロティス kisaraporo-nankasinayekapap (新): [名] N. マダカスカリエンシス madagašíkaraun-nankasinayekapap (新): [名] N. ヤバニカ javaun-nankasinayekapap (新): [名] N. マヨル poro-nankasinayekapap (新)

みそじ(三十路)(表現) wampa ikasma hotne pa (新)、(表現) wampe ikasma hotne pa (新)

ミゾソバ(溝蕎麦)(植物)[名](イヌタデ属)ミゾソバの茎葉 unkerekina (千歳): 本来は同属のイシミカワと区別しないが、今後同じく区別しない足寄の unkeremun をイシミカワに、千歳の unkerekina をミゾソバとする。

みぞれ(霰)[名]霰 pésos (石狩): (表現)霰が降る pésos as (石狩)

みたい[接助](推定を表し)～みたいで kotom (石狩)、[接助] kotomno (沙流): 「私は太ったみたいでこの服が着れない。」

“ Ku=kamus kotom tan amip ku=mi eaykap .”: (表現)(推定を表し)～みたいである 動詞句+kotom an (石狩): 「あの娘また新しい男ができたみたいよ。」“ Ne menoko kann oya okkayo kor kotom an wa .”: (表現)(周囲の状況からの推定を表し)～みたいである 動詞句+kotom siran (石狩): 「また雨が降るみたい。」“ Suy ruyampe as kotom siran .”: (表現)(感覚からの推定を表し)～みたいである 動詞句+kotom human (新): 「私気持ち良くってもう死んじゃうみたい。」“ Sonno ku=yaynumpirka wa tane ku=ray kotom human .”

みだいどころ(御台所)[名]御台所 tonomat (石狩)

みたす(満たす)[他]～を満たす sikte (石狩): [他]～で～を満たす esikte (石狩): [他](場所)に～を満たす kosikte (新)、[他] sikkanere (石狩): [他]～と共に～を満たす kosikte (新): [他](原因、手段)～を満たす osikte (新): [他]自分で、一人で～を満たす yaykosikte (新): [他]皆で、互いに～を満たす ukosikte (新): [他]完全に～を満たす oassikte (assikte) (新): [他]ものすごく～を満たす toykosikte (新): [自]自分の頭を満たす yayesikte (yaypasikte) (新): [自]皆の腹を満たす uesikte (upasikte) (新): [自]自分の心を満たす yayramsikte (新): [自]皆の心を満たす uramsikte (新): [自]自分の性欲を満たす yayosikte (新): [自]皆の性欲を満たす uosikte (新): [自]自分の倉、蓄えを満たす yaypusikte (新): [自]皆の倉、蓄えを満たす upusikte (新): [自]自分の腹を満たす yayhonisikte (新): [自]皆の腹を満たす uhonisikte (新): [自]自分の懷を満たす yaymonisikte (新): [自]皆の懷を満たす umonisikte (新): [自]自分の欲望を満たす yaysampesikte (新): [自]皆の欲望を満たす usampesikte (新)

みち(道)[名]道 ru(-we) (石狩): (表現)ウバユリを採りに行く道 an=ta ru (石狩): (表現)道のわき ru sam(長形-a,ake) (石狩): (表現)道の途中 ru hontom(長形-o) (石狩): [名]人が踏み固めた良い道 kiroru (石狩): [位名](移動する)～の道の行く手 ruetok(長形-o) (石狩): [位名](移動する)～の道の行く後 ruoka(長形-ke) (石狩): [他](場所)へと道をたどる、たどって行く、たどって来る rúkuste (沙流): (表現)～へ道をたどって行く ~ekota ru kari oman(複数 paye) (新)、(表現) ~ekota ru orpeka oman(複数 paye) (新): (表現)～

へ道をたどって来る ～ekota ru kari ek (複数 arki) (新)、(表現) ～ekota ru orpeka ek (複数 arki) (新): (表現) 村の端に道をたどる kotan erupsi(長形-ke) rúkuste (新): [自]道に迷う rúturaynu (石狩): [他](人)を道に迷わせる rúturaynure (新): [自]道を踏み外す rúhayta (天塩): [他](人)に道を踏み外させる rúhaytare (新)

みちしお(満潮) [名]満潮 pessirar (八雲)

みちしるべ(道標) [名]道標 rúsirosi (石狩):

(表現)道標をつける rúsirosi kar (石狩)

みちすじ(道筋) [名]道筋 ru(-we) (石狩):

(表現)～という道筋をたどって行く ～sekor an ru kari oman (複数 paye) (新)

みちびく(導く) [自]人を導く sireipakasnu (新): [他](場所)に人を導く esireipakasnu (新): [他]～と共に人を導く kosireipakasnu (新): [他](原因、手段)で人を導く osireipakasnu (新): [他](人)に導かせる sireipakasnu (新): [他](人)を導く sireipakasnu (新): [他](場所)に(人)を導く esireipakasnu (新): [他](人)に(人)を導かせる sireipakasnu (新): [他]自分で、一人で(人)を導く yaykosireipakasnu (新): [他]互いに、皆で(人)を導く ukosireipakasnu (新): [他](中相)(人)が導かれる cisireipakasnu (新): [他]人に(人)を導かせる、いてもらう sireipakasnu (新): [自]人に自分を導かせる sisireipakasnu (新): [自]自分で自分を導く yaysireipakasnu (新): [自]導き合う usireipakasnu (新): [名]導き手 sireipakasnu (新)

ミチヤナギ(路柳) (植物)[名](タデ科)ミチヤナギ属 rucausmun-cise (新): [名]ミチヤナギの茎葉 rucausmun (様似)※(「別名「ニワヤナギ」漢方薬「扁蓄」): [名]アキノミチヤナギの茎葉 otarucausmun (新)※(別名「ハマミヤマヤナギ」): [名]ヌカボミチヤナギの茎葉 atuyya-rucausmun (新): [名]ハイミチヤナギの茎葉 orepu-rucausmun (新): [名]ヤンバルミチヤナギの茎葉 yambaru-rucausmun (新)

みちる(満ちる) ①[自]満ちる sik (石狩): [他](場所)に満ちる esik (石狩): [他]～と共に満ちる kosik (新): [他](原因、手段)で満ちる osik (新): [自]ものすごく満ちる oassik (assik) (新): [自]ものすごく満ちる toykosik (新)、[自] raysik (新)、[自] weysik (新): ②[他](嗅いなどが)～に充ち溢れる ekustatke (ekussatki) (石狩): 「…家の中に酒の香が満ち溢れたぞ

…」 “…cise oskehe sake hura ekustatke na…” (杉村キナブク)神謡、「…白い霧が家の中に満ち溢れるぞ…」 “…retar urar cise onnay ekussatki na…” (杉村キナブク)神謡

みつ(蜜) ①(甘い汁)[名]蜜 tópenwakka (新): ②(蜂蜜)[名]蜜 soyatope (新)※(八雲)、[名] soyawakka (新)、[名] soyakuy (K): ③(花蜜)[名]蜜 apappowakka (新)、[名] nonnotope (新)※(八雲)、[名] nektar (新)※(英語)

ミツオビアルマジロ(三帯アルマジロ) (動物)[名](アルマジロ科)ミツオビアルマジロ属 rektukorhayokyuk-cise (新): [名]ミツオビアルマジロ burazirun-rektukorhayokyuk (新)、[名] burazirun-rektukorarmadiro (新): [名]マタコミツオビアルマジロ rapurataun-rektukorhayokyuk (新)、[名] rapurataun-rektukorarmadiro (新)

みつか(三日) [場名]三日 reto (石狩)、[場名・副](雅語として“tutko”と対で)三日 rerko (石狩)

みつける(見つける) ①[他]～を見つめる pa (石狩): [他](場所)で～を見つめる epa (新): [他]～と共に～を見つめる kopa (新): [他](原因、手段)で～を見つめる opa (新): [他](人)に～を見つめさせる páre (新): [他]自分で、一人で～を見つめる yaykopa (新): [他]皆で、互いに～を見つめる ukopa (新): [他]完全に～を見つめる oarpa (arpa) (新): [他]人に～を見つめさせる payar (新): [自]人に自分を見つめさせる sipayar (新): [自]自分を見つめる yaypa (新): [自]皆を見つめる、互いを見つめ合う upa (新): ②[他]～が見つからない、～を見つめられない pa eaykap (新): [他](人)に～を見つめられぬようにする turaynure (新)

みつぞろい(三つ揃い) (表現)三つ揃い repne siyuk (新)

みつつ(三つ) [連体]三つの re (石狩): (表現)三つの星 re nociw (新): [名]三つ rep (石狩)、[名] reppis (八雲): (表現)星三つ nociw rep (新)

みつつぼ(蜜壺) [名]蜜壺 tópenwakkapise (新)、[名] soyawakkapise (新)

ミツツボアリ(蜜壺蟻) (昆虫)[名](ヤマアリ亜科)ミツツボアリ属 tópenwakkapise-itunnap-cise (新): [名]ミツツボアリ tópenwakkapise-itunnap (新)

みつば(三つ葉) [名]三つ葉 reham (新):

[自]三つ葉の rehamus (新)
ミツバ(三葉) (植物)[名](セリ科)ミツバ属 micipa-cise (新): [名]ミツバの茎葉 micipa (幌別)
ミツバアリ(三齒蟻) (昆虫)[名](ヤマアリ亜科)ミツバアリ属 renimakkor-itunnap-cise (新): [名]ミツバアリ renimakkor-itunnap (新): [名]ヨツバアリ inenimakkor-itunnap (新): [名]イツツバアリ asiknenimakkor-itunnap (新)
ミツバグサ(三葉草) (植物)[名](セリ科)ミツバグサ属 anisum-cise (新): [名]ミツバグサの茎葉 kiwşuanisum (新): アニスの茎葉 anisum (新)※(学名)、[名]アニスの果実 anisumkaop (新): [名]コウアンボウフウの茎葉 atuyyaaisum (新): [名]タニミツバの茎葉 metotusanisum (新): [名]ツクシボウフウの茎葉 tükusianisum (新)
みつまた(三又) [名]三又 rep (新): [自]三又になる、なっている repne (新): [副]三又に repne (石狩): (表現)三又に分かれる repne ukohopi (ukooi) (石狩): (表現)三又に枝分かれする repne teke ukohopi (ukooi) (石狩)
みつめる(見つめる)①[他]～をじっと見つめる、注目する kosittari (石狩): [他](場所)で～をじっと見つめる ekosittari (新): [他](原因、手段)で～をじっと見つめる okosittari (新): [他](人)に～をじっと見つめさせる kosittarire (新): ②[他]～を一心に見つめる、じっと見つめる sikkotesu (石狩)、[他] osikkote (osikote) (石狩): (女の理想的な平和な日常生活を表現する常套句として)二つの針先、三つの針先を一心に見つめる tu kem ruetok re kem ruetok sikkotesu (石狩)、(表現) tu kem ruetok re kem ruetok osikkote (石狩): [他](場所)で～を一心に見つめる esikkotesu (石狩)、[他] eosikkote (新): [他](原因、手段)で～を一心に見つめる osikkotesu (新)、[他] oosikkote (新): [他](人)に～を一心に見つめさせる sikkotesure (新)、[他] osikkotere (新): ③(表現)～を見つめ返す ekari inkar (石狩): 「私があなたの背中を見つめると貴方は私の方を振り返りじっと見つめ返した。」 “Es=seturuuku=sikkotesu hike en=ekota es=sikiru hine mono en=ekari es=inkar .”
みてもらう(見てもらう) [他](人)に見てもらう inkare (新): [他]ちらりと(人)に見てもらう inkattekka (新): [他](人)に～を見てもらう nukare (石狩): [他](場所)で(人)に～を見てもらう enukare (新):

[他]～と共に(人)に～を見てもらう konukare (新): [他](原因、手段)で(人)に～を見てもらう onukare (新): [他]すっかり(人)に～を見てもらう oanukare (annukare) (新): [他]ちらりと(人)に～を見てもらう nukattekka (新): [他]人(人)に～を見てもらう nukarar (新): [自]人に自分を見てもらう sinukarar (新)
みとおす(見通す) [自]見通す inkarposo (新): [他]～を見通す einkarposo (新): [他](場所)で見通す einkarposo (新): [他]～と共に見通す koinkarposo (新): [他](原因、手段)で見通す oinkarposo (新): [他](人)に見通させる inkarposore (新): [自]自分で、一人で～を見通す yaykoinkarposo (新): [自]皆で、互いに見通す ukoinkarposo (新): [自]完全に見通す oarinkarposo (arinkarposo) (新): [自]サッと見通す inkarpostekka (石狩): [自]ものすごく見通す toykoinkarposo (新): [自]物事を見通す ieinkarposo (新): [自]未来を見通す ietok-einkarposo (新): [連他]～の未来を見通す etoko-einkarposo (etok-einkarposo) (新): [自]自分の未来を見通す sietok-einkarposo (新)
みどり(緑) [自]緑色になる、緑色である sisiwnin (新)、[自] hamsiwnin (新)、[自] siwnin (石狩)※(本来 siwnin だけで良いのだが、今後はっきりと色を区別する時には先の言葉を用いる): [他]～を緑色にする sisiwninka (sisiwninte) (新)、[他] hamsiwninka (hamsiwninte) (新)、[他] siwninka (siwninte) (新): [名]緑色 sisiwnin-iro (新)、[名] siwnin-iro (新)
ミドリガイ(緑貝)(魚介)[名](イガイ科)ミドリガイ属 siwnimpaskutto-cise (新): [名]ミドリガイ siwnimpaskutto (新): [名]ペルナイガイ pennapaskutto (新): [名]モエギイガイ aotearoapaskutto (新)
ミトン [名]ミトン、親指だけ別になった手袋 tekkasi (石狩): (表現)ミトンを外す tekkasi ama (石狩): (表現)ミトンをはめる tekkasi kor (石狩)
みな(皆)[後副](複数いる人や生き物、ある物)の皆 opitta (opittano) (石狩): [接頭]他動詞、あるいはある種の位置名詞、名詞に接頭し、動詞や位置名詞が取り得る目的語の数を減らし皆 u- (石狩): [接頭](自動詞、他動詞に接頭して取り得る目的語の数を減らす)皆で uko (石狩): uko+coprakote (～にキスをする)→ ukocoprakote 「～に皆でキスをする」: (表現) u+自動詞の使役形で「皆が～する」、「皆で～する」という自動

詞を作る (石狩、天塩): u+kira(逃げる)
+re(使役接尾辞) → ukirare 「皆が逃げる」
みながあつまる(皆が集まる) [自] 皆が集まる
ukouekari (石狩)、[自] ukouekarpa
(新): 「今日ポロチセに村人達皆が集まって
話し合いが行われた。」 “Tanto porocise otta
kotan un utar ukouekari wa ukoitak .”
みながあわてる(皆が慌てる) [自] 皆が慌てる、
急ぐ ukimatekka (石狩): [他] ~の事で
皆が慌てる、急ぐ eukimatekka (石狩)
みながおそれる(皆が恐れる) [他] ~を皆が恐れる
usitomare (石狩)、[他] ukositoma
(新)、[他] uhomare (新)
みながおどろく(皆が驚く) [自] 皆が驚く
ukoosserke (新)、[自] ukoosserkepa (石
狩): [他] ~に皆が驚く eukoosserke
(eukoosserkep) (新)
みながかくれる(皆が隠れる) ①[自] 皆で隠れる
ukoyayukao (新): ②(かくれんぼ遊び
で)[自] 皆が隠れる uenuynak (石狩)
みながかたむく(皆が傾く) [自](雅語)(強風によ
って木々が根こそぎ倒れる描写に用いられ)
皆が傾く(傾き倒れる) ukomewke (石狩):
(表現)二つの神風、三つの神風が走り、折れた
いものはその幹の中程がバリバリ鳴り続け、
折れたくないものは根こそぎ皆傾いて行く
tu kamuymaw re kamuymaw cihoyupure
kay rusuy pe suttomorke cikawrototo kay
kopan pe osirtturanano ukomewke wa paye
(石狩)
みながそとにでる(皆が外に出る) ①[自] 皆が
外へ出る uasipte (新)、[自] ukoasip
(新): ②[自] 皆がどっと外へ出る
usoyokuta (石狩): [自] 皆がぱっと外へ出
る usoyosmare (新)、[自] kosoyosma
(新)
みながわらう(皆が笑う) [自] 皆が笑う
uminare (石狩): [他] ~を皆が笑う
euminare (新)
みながわるくおもう(皆が悪く思う) [他] ~につ
いて皆が悪く思う eukowen-eyaykopeker
(石狩)
みなげ(身投げ) (表現)身投げする yayosura
wa yayrayke (新)
みなしご(みなし児) → 「こじ(孤児)」を見よ
みなであいさつする(皆で挨拶する) [他](誰か)
に皆で挨拶する ukoerankarap (新):
[他](誰か)に皆で手を取り合って挨拶する
ukoekap (石狩): [他](女達が同性の誰か)
に皆で手を取り撫でさすって挨拶する
ukoruyruye (ukoruyruwe) (新)
みなでおそれる(皆で恐れる) [他] ~を皆で恐れ
る usitomare (新): [他] ~を皆でとても
恐れる síusitomare (石狩): 「…アオダ

イシヨウの大将であるらしいのが鎌首をも
たげていて若者達は皆でとてもそれを恐れ
た。」 “… kinasutunkur sapaneyke ne kotom
an pe easitarara an wa okkaypo utar
neampe síusitomare.” (杉村キナラブック) 説話
みなでかくれる(皆で隠れる) ①[自] 皆で隠れる
ukoyayukao (新): [副] 皆で隠れて
ukoyayukaono (新): ②(かくれんぼ遊び
で)[自] 皆が隠れる uenuynak (新): [副]
皆が隠れて uenuynakno (新): 皆が隠れ
ている uenuynakno okay (新)
みなでキスをする(皆でキスをする) [他] ~に皆
でキスをする ukocoprakote (石狩)
みなできめる(皆で決める) ①[自] 皆で物事を決
める iukourenkare (新): [他] 皆で~を
決める ukourenkare (新): [他](場所)で
皆で~を決める eukourenkare (新):
[他](原因、手段)で皆で~を決める
oukourenkare (新): [他](人)に皆で~を決
めさせる ukourenkarere (新): [自] 皆で
決める ukoramkor (新): [他] ~を皆で決
める eukoramkor (天塩): ②[自] 皆で落
ち着いて考え心を決める ukokewtum-
ositciwre (新): [他] ~について皆で心を決
める eukokewtum-ositciwre (新):
[他](場所)で皆で心を決める eukokewtum-
ositciwre (新): [他](原因、手段)で皆で心
を決める oukokewtum-ositciwre (新):
[他](人)に皆で心を決めさせる
ukokewtum-ositciwrere (新)
みなでくらす(皆で暮らす) [自] 皆で暮らす
ureska (石狩)、[自] urespa (石狩)
みなでつきまわす(皆で突付きまわす) [他]
~を皆で突付きまわす ukotokpatokpa
(ukotoppatoppa) (石狩)
みなでなく(皆で泣く) [自] 皆で泣く uciste
(新): [他] ~について皆で泣く euciste
(新): [自](人が死に)皆で泣く ukaocis
(石狩)
みなでにげる(皆で逃げる) [自] 皆で逃げる
ukirare (石狩)
みなではしる(皆で走る) [自] 皆で走る、走り回
る uhoyuppare (石狩): [他] ~を皆で走
らせる、走り回らせる ukohoyuppare (新)
みなではねる(皆で跳ねる) [自] 皆で跳ねる、跳ね
回る uterkere (浜益)
みなでよろこぶ(皆で喜ぶ) [自] 皆で喜ぶ
ukiroroante (石狩): [他] ~を皆で喜ぶ
eukiroroante (新)
みなでわけあう(皆で分け合う) [自] ものを皆
で分け合う iukousaraye (iukousare)
(新): [他] ~を皆で分け合う ukousaraye
(ukousare) (石狩)、[他] ukosaraye
(ukosare) (石狩): [他] ~の皆で~を分け

合わせる ukousarayere (ukousarere)
(新)、[他] ukosarayere (ukosarere) (新)

みなと(港) [名]港 tomari (石狩、天塩)

みなみ(南) [場名]南 koypok(-i) (新)※(知里真志保「アイヌ語法概説」より)： [自]南を向く、向かう ekoypokun (新)： [副]南向きに、南に ekoypokun (新)、[副]hekusun (旭川)： [自]南から向かってくる okoypokun (新)： [副]南から okoypokun (新)、[副] hokusun (旭川)： [連体]南の、南に住む、南にある koypokun (新)

みなみアジア(南アジア) [場名][地名]南アジア Koypokun-azia (新)、[場名] Koypokazia (新)

みなみアフリカ(南アフリカ) ①[場名][国名]南アフリカ共和国 Koypokun Afrika Ukotankoremosir (新)※(首都は「プレトリア」)： [場名][国名の通称として]南アフリカ Koypokun Afurika (新)： [名]南アフリカ人、国民 koypokun-afrikaunkur (新)： ②[場名][地名]南アフリカ Koypokun-afrika (新)、[場名] Koypokafrika (新)

みなみアメリカ(南アメリカ) [場名][地名]南アメリカ Koypokun-amerika (新)、[場名] Koypokamerika (新)： [場名][地名]南アメリカ大陸 Koypokun-amerika-sisepmosir (新)、[場名] Koypokamerika-sisepmosir (新)

みなみオセチア(南オセチア) [場名]南オセチア自治州 Koypokun Osetiya-sieyayetunuspurovince (新)： [固名]南オセチア共和国 Koypokun Osetiya Ukotankoremosir (新)※(グルジアの一自治州であるが「南オセチア共和国」を自称し、グルジアからの分離とロシア連邦への加入を主張。現在実質的に独立しているものの、国際的には未承認。首都は「ツヒンワリ」。)。

みなみかいきせん(南回帰線) [場名]南回帰線 koypokun-peketcupsokes(-e) (新)

みなみかぜ(南風) [名]南風 menas (旭川、比布)、[名] okoypokunrera (新)※(旭川には他に「okusunrera」、"sumrera"という言い方がある。尚、「pikata」と同様この語も地域によって意味に違いがあり、沙流では旭川同様に「南風」、八雲で「東風」を指す。また番人円吉蝦夷記にも「東風」とある。)

みなみはんきゅう(南半球) [場名]南半球 cuppokun-sikaricupemko (新)

みなみヨーロッパ(南ヨーロッパ) [場名][地名]南ヨーロッパ Koypokun-europa (新)、[場名] Koypokeuropa (新)

みなもと(源) [位名][川や沢]の源 etok(長形-o) (石狩)、[位名][雅] kuretok(長形-o) (沙流)： (表現)川の源 pet etok(長形-o)

(石狩)： (表現)沢の源 nay etok(長形-o) (石狩)

みならう(見做う) [他]～を見做う koikar (沙流)、[他] koyukar (新)： [他][場所]で～を見做う ekoikar (新)、[他] ekoyukar (新)： [他][原因、手段]で～を見做う、～に関して～を見做う okoikar (新)、[他] okoyukar (新)： [他](人)に～を見做わせる koikare (新)、[他] koyukare (新)： [他]自分で、一人で～を見做う yaykokoikar (新)、[他] yaykokoyukar (新)： [他]皆で、共に～を見做う ukokoikar (新)、[他] ukokoyukar (新)： [他]完全に～を見做う oarkoikar (arkoikar) (新)、[他] oarkoyukar (arkoyukar) (新)： [名]見做い ikoikarkur (新)、[名] ikoyukarkur (新)

みなをわたす(皆を渡す) [自](船で)皆を渡す ukuspa (石狩、天塩)

ミニ [名]ミニ pompe (新)、[名] míni (新)※(英語)： [名]ミニカー míniinekaripkorpe (新)： (表現)ミニカー pon inekaripkorpe (新)： [名]ミニスカート poyyupka (新)、[名] míniyupka (新)

みにくい(醜い) ①[自]醜くなる、醜い wen (石狩)： [他]～を醜くする wente (新)： [連体]醜い siruwen (旭川)： (表現)醜い女 (石狩)： (表現)(細面で顎がしゃくれた醜い顔の描写として)太く真っすぐで赤い髪、長い下顎、下顎の途中でぞっくり切り揃えられており、身に着けた飾り物で辛うじて少しは見られる醜い女 pépes otop húre otop tanne noyap noyap hontomo cikoetuyipa ikoro kusu ween pirkapo ki kane an wen menoko (知里)： ②[自]顔が醜くなる、醜い nanuwen (石狩)： [自]顔が醜い nansak (天塩)、[自](悪) ipokas (石狩、天塩)、[自](悪) epokas (石狩)

みにつける(身に付ける) ①(衣服に関して)[他]～を身に付ける mi (石狩)： [他](人)に～を身に付けさせる míre (石狩)： [他]自分で、一人で～を身に付ける yaykomi (新)： [他]互いに、皆で～を身に付ける ukomi (新)： [他]人に～を身に行けさせる miyar (新)： ②(装身具、手甲)[他]～を身に付ける kor (石狩)： (表現)タマサイを身に付ける tamasay kor (石狩)： [他](人)に～を身に付けさせる kóre (新)： [他]自分で、一人で～を身に付ける yaykokor (新)： [他]互いに、皆で～を身に付ける ukokor (新)： [他]人に～を身に付けさせる kórar (新)： ③(股引、脚絆、靴下、靴などに関して)[他]～を身に付ける us (石狩)： [他](人)に～を身に付け

させる *uste* (新): [他]自分で、一人で～を身に付ける *yaykous* (新): [他]互いに、皆で～を身に付ける *ukous* (新): [他]人に～を身に付けさせる *usyar* (新): ④[間投](擬声語)サラ、サリなど身に付けた物や履物がたてる音 *sas* (石狩): (表現)サラなどという音 *sásúm (= sas hum)* (石狩): (表現)鞘のサリという音がする *tumpa sásúm cirikipuni* (石狩): (表現)その女のサラサラという衣擦れの音がする *maci kor sásúm an* (石狩)

みにまとう(身に纏う) [自](雅)着衣を身に纏う *imup* (石狩): [他](雅)(着衣など着衣一般)を身に纏う *mup* (石狩): [他](雅)(着物)を身に纏う *ukote* (石狩): [名](雅)身に纏いし小袖 *kirkosonte* (石狩)

みね(峰) [名]峰 *sítu* (石狩)、[名] *tu* (石狩): [場名]峰の端 *sítuohonkes (-ohonkese, -ohonkeseke)* (石狩)、[場名] *sítukes (-kese, -keseke)* (石狩)、[場名] *tuohonkes (-ohonkese, -ohonkeseke)* (石狩): [位名](地形や刀)の峰、(何か)の峰状の部分 *mekka*(長形-*kasi*、*-kasike*) (石狩): [他](隠れるため霧)を峰の周りにかける *sítukariotte* (石狩)

ミネアポリス [場名](アメリカ合衆国ミネソタ州の都市名)ミネアポリス *Minneapolis (Minneapolis)* (新)

ミネソタ [場名](アメリカ合衆国の州名)ミネソタ州 *Minnesota-mosir (Minnesota-mosir)* (新)※(州都は「セントポール」)

みの(蓑) [名]蓑 *mino* (新)

みのおきどころ(身の置き所) [自]身の置き所のない思いをする *yaynikorosma* (石狩): [他]～について身の置き所のない思いをする *eyaynikorosma* (石狩): [他](人)に身の置き所のない思いをさせる *yaynikorosmare* (新)

ミノガイ(蓑貝) (魚介)[場名](イタヤガイ目)ミノガイ上科 *minosey-apapa* (新): [名]ミノガイ科 *minosey-apa* (新): [名]ミノガイ属 *minosey-cise* (新): [名]ミノガイ *minosey* (新): [名]オオミノガイ *porominosey* (新): [名]スミスハネガイ *sumitterkesey* (新): [名]ホンミノガイ *síminosey* (新): [名]ロウイロミノガイ *mominesey* (新): [名]オオハネガイ属 *poroterkesey* (新): [名]オオハネガイ *poroterkesey* (新): [名]ミカンオオハネガイ *mikanporoterkesey* (新): [名]モエギオオハネガイ *sikerpepusporoterkesey* (新): [名]ハネガイ属 *terkesey-cise* (新): [名]ハネガイ *terkesey* (新): [名]ウコンハネガイ *ukonterkesey* (新): [名]ユキ

ミノ属 *upasminosey-cise* (新): [名]ユキミノ *upasminosey* (新): [名]ウスユキミノ *kaparupasminosey* (新): [名]フクレユキミノ *putkeupasminosey* (新)

みのしろ(身代) [名]身代 *kik(-i)* (沙流): [自]身代を払う *kikkar* (新): [他]～の身代を払う *ekikkar* (新): [他](人)に～の身代を払わせる *kikkare* (新): [名]身代金 *kikneikor* (新)

みのまわり(身の周り) [他](人)に身の周りの世話をさせる *sukere* (石狩): 「…私は自分の村の娘を一人もらって身の周りの世話をさせて一緒に暮らしていた。」 “…*an=kotanu un menoko sinep an=etun ine ay=sukere wa turano oka=an.*” (杉村キナラブック)説話

みのる(実る) [自]～に実る *ipeo* (石狩)、[自] *ipeus* (石狩): [名]実り *ipeo* (石狩): (表現)実りが良い *ipeo pírka* (石狩): (表現)実りが悪い *ipeo wen* (新): [自]実りがとても悪い *haruecuptek* (沙流)

みはらす(見張らす) [他]～を見晴らす *sikkamare* (石狩): [自]辺りを見晴らす *sissikkamare* (新): (表現)見晴らす *too (tuymano) inkar* (新)

みはる(見張る) ① [自]見張る *inkarus* (新): [他](場所)で見張る *einkarus* (新): [他]～と共に見張る *koinkarus* (新): [他](原因、手段)で見張る *oinkarus* (新): [他](人)に見張らせる *inkaruste* (新): [他]自分で、一人で見張る *yaykoinkarus* (新): [他]皆で見張る、見張り合う *ukoinkarus* (新): [名]見張り *inkaruskur* (新): [場名]見張所 *inkarusi* (新)、[名] *inkaruspe* (新): ② [自]人や事物を見張る *inukarus* (新): [他]～を見張る *nukarus* (新): [他](場所)で～を見張る *enukarus* (新): [他]～と共に～を見張る *konukarus* (新): [他](原因、手段)で～を見張る *onukarus* (新): [他](人)に～を見張らせる *nukaruste* (新): [他]自分で、一人で～を見張る *yaykonukarus* (新): [他]互いに、皆で～を見張る *ukonukarus* (新)

みぼうじん(未亡人) [自]未亡人になる *sopasak* (天塩)

みほん(見本) [名]見本 *ciiorosankep* (新)、[名] *sampure* (新)※(英語): [名]色の見本 *ciiroorosankep* (新): (表現)色の見本 *iro-ciiorosankep (-sampire)* (新)、(表現) *ciiorosankep (sampire) ne iro* (新)

みまう(見舞う) [自]人を見舞う *inonkar* (新)、[自] *unnonkar* (新): [他](人)を見舞う *nonkar* (石狩): [他](人)に(人)を見

舞わせる nonkare (新): [他]人に～を見舞わせる nonkarar (新): [自]人に見舞ってもらう sinonkarar (新)

みまがう(見紛う)[自]見紛うばかりである inantasare (石狩): (表現)～と見紛うばかりである ～ ne inantasare (石狩): 「私の妹の顔の輝き昇る旭と見紛うばかり…」

“… an=kor tures u nannipeki etuku cup ne inantasare …”(杉村キナラブック)英雄詞曲

みまちがえる(見間違える)[他]～と～を見間違える kopa (石狩): 石狩川筋の言葉としては目下合成語の構成要素としてのみ見出されるが、今後単独で用いる。: 「お前は私と私の弟を見間違ったのだろう。」「Ku=akihi e=en=kopa nankor .”: [他]自分を～と見間違える yaykopa (新): [他]互いに～と見間違える ukopa (新): [他]人に～と～を見間違えさせる kopayar (新): [他]人に自分を～と見間違えさせる sikopayar (石狩): 「私は自分が男と見間違えられたら嫌なので女らしい服装をしようとした。」

“Kuani anakne okkayo ku=sikopayar yak wen kusu menoko ki kuni siyuk ku=ki rusuy .”

みまもる(見守る)①[他]～を見守る sikkasma (石狩)、[他] sikkamare (石狩)、[他](雅)kaekasma (石狩): 「…私の兄上殿、カンシャトクがそこにどんな仕事をいたしても神が見守る…ように…」 “…ku=yup-nispake Kansatok konepirawe ki a yakka kamuy sikkasma … kuni …”(砂沢友太郎)祈詞、「…を守護しお見守り下さいませ。」 “…ci-epunkine ci-kaekasima en=kore yan !” 祈詞: ②[他]～を見守り良き運を授ける koinkar (石狩): 「…尊き神よ、我らを見守り良き運を授けたまえ。」 “…pasekamuy, i=koinkar wa en=kore yan !”(杉村満)祈詞

みまわる(見回る)[他]～を見回る nonkar (石狩): [他](場所)で～を見回る enonkar (新): [他]～と共に～を見回る kononkar (新): [他](原因、手段)で～を見回る ononkar (新): [他](人)に～を見回らせる nonkare (新): [他]自分で、一人で～を見回る yaykononkar (新): [他]互いに、皆で～を見回る ukononkar (新): [他]さつと～を見回る nonkattek (新): [他]人に～を見回らせる、見回ってもらう nonkarar (新): [自]人に自分の事を見回らせる、見回ってもらう sinonkarar (新)

みみ(耳)[名]耳 kisar(-a) (石狩): (表現)(獣)の耳が立つ kisar(-a) as (石狩): (表現)(獣が)耳を後方に寝かせる kisar(-a) hatcir (石狩): (表現)耳漏になる、耳から膿が出る kisar(-a) yénu (H): [名](雅)耳

asurpe (石狩): [名](クマなどの)耳 asurpe (天塩): (表現)耳たぶ kisar(-a) saraha (石狩): [名]耳の穴 kisassuy(-e) (石狩)、[名] kisarsuy(-e) (石狩)、[名] kisarpuy(-e) (石狩): “kisarpuy”は耳環を付けるためにあける穴も指す。: [場名]耳の裏 kisarommake (石狩): (表現)耳の縁 kisar(-a) parurke (石狩)

みみあか(耳垢)[名]耳垢 kisarpuy(-e) (天塩)、[名] kisassuy(-e) (新): [名]柔らかい耳垢 kisarunkotuk(-i) (石狩)

ミミイカ(耳烏賊)(魚介)[名](ダンゴイカ亜科)ミミイカ属 kisarepetpetke-cise (新): [名]ミミイカ kisarepetpetke (新): [名]オキナワミミイカ rucukisarepetpetke (新): [名]ニヨリミミイカ rayocikisarepetpetke (新)

ミミイカダマシ(耳烏賊騙)(魚介)[名](コウイカ目)ミミイカダマシ科 cikisar-epetpetkekopa-apa (新): [名]ミミイカダマシ属 cikisar-epetpetkekopa-cise (新): [名]ミミイカダマシ cikisar-epetpetkekopa (新): [名]ゴウシュウミミイカダマシ austeraria-cikisar-epetpetkekopa (新): [名]フィリピンミミイカダマシ firipincikisar-epetpetkekopa (新): [名]セピオロイデア属 sepioroidea-cise (新): [名]タテジマミミイカダマシ ruocikisar-epetpetkekopa (新)

みみうち(耳打ち)[自]人に耳打ちする ikocapis (新)、[自] ikopinupinu (新): [他](人)に耳打ちする kocapis (石狩)、[他] kopinupinu (幌別): (表現)～に耳打ちする ～ kisara eus wa ye (沙流)、(表現)～ kisara tekoma wa pinupinu (八雲): [他]～について(人)に耳打ちする ekocapis (新)、[他] ekopinupinu (新): [他](人)に(人)に耳打ちさせる kocapiste (新)、[他] kopinupinure (新): [他]人に(人)へ耳打ちさせる kocapisar (kocapisyar) (新)、[他] kopinupinuyar (新): [自]人に自分へ耳打ちさせる sikocapisar (sikopisyar) (新)、[他] sikopinupinuyar (新)

ミミガイ(耳貝)(魚介)[名](古腹足目)ミミガイ科 aye-apa (新): [名]ミミガイ kisarsey (kisassey) (新): [名]アカネアワビ amerikaaype (新): [名]イボアナゴ puyunaype (新): [名]エゾアワビ aye (幌別): [名]グリーンリップ siwninaype (新): [名]クロアワビ kunneaype (新): [名]セイヨウトコブシ senegartokobusi (新): [名]トコブシ tokobusi (新): [名]ビクトリアアワビ austerariaaype (新): [名]フクトコブシ koyoktokobusi (新):

[名]マアナゴ *rucuaype* (新): [名]マダカ
アワビ *riktasuyoaype* (新): [名]メガイ
アワビ *moaype* (新)

みみかき(耳かき) [自] 耳 か き を す る
kisassuyke (新)、[自] *kisarpuyke* (新):
[他](人)に耳かきさせる *kisassuykere*
(新)、[他] *kisarpuykere* (新): [名]耳か
き *kisassuykep* (新)、[名] *kisarpuykep*
(新)

みみがきこえない(耳が聞こえない) [自] 耳 が 聞
こえない *aspa* (石狩)

みみがとおい(耳が遠い) [自] 耳 が 遠 くなる、遠
い *inuewen* (天塩)

ミミコウモリ(耳蝙蝠) (植物)[名](コウモリソ
ウ属)ミミコウモリの茎 *kimumpehkutu*
(樺太真岡)

みみコピー(耳コピー) [他] ~ を 耳 コ ピ ー す る
kisaroattupte (新): [他](人)に~を耳コピ
ーさせる *kisaroattuptere* (新)

みみたぶ(耳朶) (表現) 耳 朶 *kisar(-a)*
saraha (石狩): (表現)(耳環など付けるた
め)耳朶に穴をあける *kisarpuy kar* (石狩)

みみつきたらい(耳付き盥) [名] 耳 付 き 盥
kisaruspatci (石狩)

ミミナガコウモリ(耳長蝙蝠) (動物)[名](ヘラコ
ウモリ亜科)ミミナガコウモリ族
ópetukapap-utar (新): [名]ミミナガコウ
モリ属 *ópetukapap-cise* (新): [名]コロ
ンビアミミナガコウモリ *marinkere-*
opetukapap (新): [名]トームズミミナガ
コウモリ *tómes-opetukapap* (新): [名]
フェルナンドミミナガコウモリ
fennandes-opetukapap (新): [名]ロンコ
リナ・イヌシタタ *koykaun-opetukapap*
(新): [名]L. オリノケンシス *orinokoun-*
opetukapap (新): [名]グレーアシナガコ
ウモリ属 *manauscikiriranne-*
hametukapap (新): [名]グレーアシナガ
コウモリ *manauscikiritanne-*
hametukapap (新): [名]ミモン属
bennet-opetukapap-cise (新): [名]ミモ
ン・コエブツケアエ *koopke-opetukapap*
(新): [名]M. コズメラエ *kozumeraun-*
opetukapap (新): [名]M. ペンネッティ
bennet-opetukapap (新): [名]モリグレー
ヘラコウモリ *ruoopetukapap* (新)

みみにする(耳にする) [自] 耳 に す る *inu*
(石狩): (表現)~と耳にする ~ *sekor inu*
(石狩): 「私は~と耳にする」はきっちりし
た文章で"ku=inu kor (hike, ayke) ~ *sekor*
ku=inu"と表現するものとする。

みみもと(耳許) [場名](雅語)耳許 *puysuyka*
(石狩): 「…私の耳許にそいつの声美しく
響き…」"… *ay=puysuyka ta uetununse* …"

(砂沢クラ)英雄詞曲

みみわ(耳輪) [名] 耳 環 *ninkari* (石狩):
(表現)耳環を外す *ninkari ama* (石狩):
(表現)耳輪を付ける *ninkari kor* (石狩):
(表現)耳輪を下げる *ninkari ratkire* (石
狩): [名]日常耳環代わりに着用する赤い絹
布片 *húresarampe* (石狩): [名]日常耳環
代わりに着用する赤い綿布片 *húresenkaki*
(石狩)

みみをかたむける(耳を傾ける) [自] 耳 を 傾 け
る *ikokanu* (石狩): [他](場所)で耳を傾
ける *eikokanu* (新): [他]~と共に耳を
傾ける *koikokanu* (新): [他](原因、手段)
で耳を傾ける *oikokanu* (新): [他](人)に
耳を傾けさせる *ikokanure* (新):
[他](人)の話に耳を傾ける、(話など)に耳を傾
ける *kokanu* (石狩)

みみをすます(耳を澄ます) [自] 人 の 話 に 耳 を 澄
ます *ikokanu* (石狩): [他](人)の話に耳
を澄ます、(人の話など)に耳を澄ます
kokanu (石狩): [他](人)の話に耳を澄ま
させる、(人の話など)に耳を澄まさせる
kokanure (新)

みみをまどわす(耳を惑わす) (表現)~が耳を惑
わす *kisar ~ uhaytare* (新): (表現)~
が…の耳を惑わす … *kisara ~ uhaytare*
(新)

みめよい(見目良い) [自] 見 目 良 い
nanetokkor (石狩)、[自] *siretokkor* (石
狩): [名]見目良い人 *nanetokkorkur*
(新)、[名] *siretokkorkur* (石狩)

ミヤオソウ(鬼臼) (植物)[名](メギ科)ミヤオソウ
属 *surkukasa-cise* (新): [名]ミヤオソウ
の茎葉 *surkukasa* (新): [名]ハスノハグ
サの茎葉 *surku-pekasoyacisehamun*
(新): [名]ヒマラヤハッカクレンの茎葉
himaraya-surkukasa (新): [名]ポドフィ
ルムの茎葉 *amerika-surkukasa* (新)※
(P. ペルタトゥム): [名]P. アウランティ
オカレの茎葉 *yunnan-surkukasa* (新)※
(雲南毒傘): [名]P. ケンギーの茎葉
konkani-surkukasa (新): [名]P. ツァユ
エンシスの茎葉 *bú-surkukasa* (新)※(西
蔵毒傘): [名]P. ディッフオルミスの茎葉
mosurkukasa (新): [名]P. デラヴァイー
の茎葉 *atuyya-surkukasa* (新): [名]P.
ヒスピダの茎葉 *numa-surkukasa* (新):
[名]P. ベイキーの茎葉 *sirokani-*
surkukasa (新): [名]モモイロミヤオソウ
の茎葉 *eruhure-surkukasa* (新)

みやく(脈) [名]手首の脈 *teksampe* (石狩):
[名]足首の脈 *cikissampe* (*cikirsampe*)
(石狩、天塩)

みやくうつ(脈打つ) [自](一回)脈打つ *tokse*

(新): [他](場所)で脈打つ etokse (新):
 [他]〜と共に脈打つ kotokse (新):
 [他](原因、手段)で脈打つ otokse (新):
 [自](何度も)脈打つ toksetokse (石狩)、
 [自] toktokse (新)

みやげ(土産) [名]土産 imoka (石狩)、[名] miyanki (沙流): [自]土産を持って行く imokakor (新): [他]〜へ土産を持って行く koimokakor (新)、[他](雅) ekoimokakor (石狩): 「…神の父上、神の母上達の所へ彼が土産を持って行く筈でございますよ。」 “…kamuy-ona kamuy-unu utar orke ekoimokakor kuni ne wa siran na .” (砂沢トゥアカンノ) 祈詞: [名]遠くの人への土産 itrap (宗谷)

みやこ(都) ①(首都の意味で)[場名]都 sapanekotan (新)、[場名] sapanecioci (新)、[場名] mosinnoski (余市): (表現) 都 numoma kotan (八雲): ②(日本の帝都の意味で)[場名]都 cimayrekamuy-kotan (蝦夷記)

ミヤコザサ(都笹) (植物)[名](ササ属)ミヤコザサの茎葉 siatuy-sam-uras (新)※(太平洋側・笹)

ミヤベイワナ(宮部岩魚) (魚介)[名](イワナ属)ミヤベイワナ tóosorkoma (新)※(オショロコマの亜種)

ミヤマカラスアゲハ(深山鴉揚羽) (昆虫)[名](アゲハチョウ属)ミヤマカラスアゲハ metotum-paskurmarewrew (新)、[名] paskurmarewrew (石狩)

ミヤマザクラ(深山桜) (植物)[名](サクラ属)ミヤマザクラの茎 retarkarimpani (新): [名]ミヤマザクラの花 retarkarimpani-apappo (新)

ミヤマザサ(深山笹) (植物)[名](ササ属)ミヤマザサの茎葉 metotus-uras (新): [名]ウスバザサの茎葉 hamukapar-uras (新)

ミヤマセンキュウ(深山千萐) (植物)[名](セリ科)ミヤマセンキュウ属 umewkina-cise (新): [名]ミヤマセンキュウの茎葉 metotusumewkina (新): [名]カラフトニンジンの茎葉 umewkina (樺太)※(真岡)

ミヤマニガウリ(深山苦瓜) (植物)[名](ウリ科)ミヤマニガウリ属 kimuysiwuripunkar-cise (新): [名]ミヤマニガウリの茎 kimuysiwuripunkar (新)、[名]その果実 kimuysiwuri (新)

ミヤマハンノキ(深山榎の木) (植物)[名](ハンノキ属)ミヤマハンノキの茎 horkewkene (石狩)、[名] kamuykene (天塩)

ミヤマヨメナ(深山嫁菜) (植物)[名](キク科)ミヤマヨメナ属 kimuyyomena-cise (新): [名]ミヤマヨメナの茎葉 kimuyyomena

(新): [名]都忘れの茎葉 miyakooyra (新)※(ミヤマヨメナの品種)

ミャンマー [場名](国名)ミャンマー連邦 Mianma Ukosineatkip (新)※(1989年「ビルマ連邦」より改称。首都は「ネピドー」): [場名](国名の通称として)ミャンマー Mianma (新): [名]ミャンマー国民 mianmaunkur (新): [名]ミャンマー人 mianmakur (新)、ミャンマー語 mianmakur-itak (新)

みゆき(深雪) [名]深雪 poroupas (石狩): (表現)深雪 poro upas (石狩)

ミュビナマケモノ(三指怠者) (動物)[名](ナマケモノ亜目)ミュビナマケモノ科 reaskepetkor-ikimoyrep-apa (新): [名]ミュビナマケモノ属 reaskepetkor-ikimoyrep (新): [名]タテガミナマケモノ otopus-ikimoyrep (新): [名]ノドジロミュビナマケモノ rekuciretanreaskepetkor-ikimoyrep (新): [名]ノドチャミュビナマケモノ rekucicaione-reaskepetkor-ikimoyrep (新)

ミョウガ(茗荷) [名](ショウガ属)ミョウガの茎葉 miogakina (新): [名]ミョウガの若芽 miogaken (新): [名]ミョウガの花穂 mioga (新)※(日本語)

みらい(未来) [位名]〜の未来 etok(長形-o) (新): 「私達の未来に光あれ!」 “I=etoko ta sirpeker nankor na! ”: [場名]自分の未来 sietok (新): 「私達はしっかり自分の未来を見つめたい。」 “Pirkano sietok ene inkar=as rusuy .” : [自]未来を見通す ietok-einkarposo (新): [連他]〜の未来を見通す etoko-einkarposo (etok-einkarposo) (新): [自]自分の未来を見通す sietok-einkarposo (新)

ミリグラム [名](重さの単位)ミリグラム miriguram (新)※(単位は“mg”)

ミリメートル [名](長さの単位)ミリメートル mirimetre (新)※(記号は“mm”)

みりょう(魅了) [自]人を魅了する iueramuuk (新)、[自] iramuuk (新): [他](人)を魅了する ueramuuk (新)、[他] ramuuk (新): [他](場所)で(人)を魅了する eueramuuk (新)、[他] eramuuk (新): [他]〜と共に(人)を魅了する koueramuuk (新)、[他] koramuuk (新): [他]〜で(人)を魅了する、〜に関して(人)を魅了する oueramuuk (新)、[他] oramuuk (新): [他](人)に(人)を魅了させる ueramuukte (新)、[他] ramuukte (新): [自]魅了される siueramuuk (新)、[自] siramuuk (新)

みりよく(魅力) ①[場名]魅力 iueramuuki(-

ke) (新)、[場名] iramuuki(-ke) (新)、[場名] cioieramuuki(-ke) (新)、[場名] cioieramuuki(-ke) (新): (表現)魅力がある iueramuuki(-ke) an (新)、(表現) iramuuki(-ke) an (新)、(表現) cioieramuuki(-ke) kor (新)、(表現) cioieramuuki(-ke) kor (新): (表現)魅力がない iueramuuki(-ke) isam (新)、(表現) iramuuki(-ke) isam (新)、(表現) cioieramuuki(-ke) sak (新)、(表現) cioieramuuki(-ke) sak (新): ②[自]魅力がある iueramuuk (新)、[自] iramuuk (新): [他](人)にとって魅力がある ueramuuk (新)、[他] ramuuk (新): [他](場所)で(人)にとって魅力がある eueramuuk (新)、[他] eramuuk (新): [他]〜と共に(人)にとって魅力がある koueramuuk (新)、[他] koramuuk (新): [他]〜に関して(人)にとって魅力がある oueramuuk (新)、[他] oramuuk (新): [他]〜を(人)にとって魅力あるものにする ueramuukte (新)、[他] ramuukte (新): ③[自]魅力を感じる siueramuuk (新)、[自] siramuuk (新): [他]〜に関して魅力を感じる osiueramuuk (新)、[他] osiramuuk (新): [他](人)に魅力を感じさせる siueramuuk (新)、[他] siramuukte (新)

ミリリットル [名](体積の単位)ミリリットル miriritre (新)※(単位記号"ml")

みる(見る) ①[自]見る inkar (石狩): 「私の方を見なさい。」“En=ekota inkar!”: [他](人)に見せる inkare (新): [他]〜を見る nukar (石狩): [他](場所)で〜を見る enukar (新): [他]〜と共に〜を見る konukar (新): [他](原因、手段)で〜を見る onukar (新): [他](人)に〜を見せる nukare (石狩): [他]一人で〜を見る yaykonukar (新): [他]皆で〜を見る ukonukar (新): [他]充分に〜を見る nukanno (新): [他]ちょっと〜を見る、ちらりと〜を見る nukattek (石狩): [他]思い切り〜を見る toykonukar (新): [他]〜を見まくる toykonukarpa (新): [他]人に〜を見てもらう nukarar (新): [自]人に自分を見てもらう sinukarar (新): ②(視覚的に捉えられる動作に関して)(表現)〜してみる 動詞句(+wa)+(必要な人称接辞を伴い、あるいはなしの) inkar (石狩、天塩)、(表現) 動詞句+wa+(必要な人称接辞、あるいはそれなしの) nukar (石狩): 「そう言うなら私が彼の所に行ってみましょう。」“Hawne ciki ekota ku=oman wa ku=inkar kusune.”、“それを作ってみる。”

“Kar wa nukar!”: ③(味覚、聴覚、嗅覚、触覚で捉えられる動作に関して)(表現)〜してみる 動詞句(+wa)+(必要な人称接辞、あるいはそれなしの) inu (石狩): 「この魚食べて見なさい。」「いただきます。」“Tan cep e wa inu.” “Inu!”、“彼女の髪の毛の匂いを嗅いでみたらとても良い匂いだった。”

“Otopi huraha ku=nu wa inu (ku=inu) kor sonno huraha pirka.”

みわける(見分ける) (表現)〜を見分ける nukar wa eramante (新): (表現)(誰か)に〜を見分けさせる nukare wa eramante (新): [他]〜を見分ける kopisi (石狩): 本来は魔に憑かれたかどうか人を見分ける意味だが今後は一般的な物事や人に関しても用いる。: [他](人)に〜を見分けさせる kopisire (新)

みわたす(見渡す) [他]〜を見渡す sikkamare (石狩): 「…アイヌの領海を私は見渡し外国人の海を眺めやり…」“…yaunkur-atuy ay=sikkamare repunkur-atuy ay=sikkuspare…” (杉村キナブク)神謡: [自]辺りを見渡す sissikkamare (新): (表現)(雅)目は小さな星となり、キラキラ輝いてそこらじゅうを見渡している einkarpe pon nociw ne cieusamkur unuunu (沙流より)

みをおどらせる(身を躍らせる) [自]身を踊らせる yayosura (石狩): 「私は岬の先端から海の上に身を躍らせた。」“Not etoko wa atuyso kurka ta ku=yayosura.”: [他](場所)に身を踊らせる koyayosura (石狩): [他]〜と共に身を躍らせる koyayosura (新): [他](場所)から身を踊らせる、(原因、手段)で身を踊らせる oyayosura (新)

みをかくす(身を隠す) [自]身を隠す yayukao (石狩)、[自] yaynuynak (天塩): [他](場所)に身を隠す eyayukao (新)、[他] eyaynuynak (新): [他]〜と共に身を隠す koyayukao (新)、[他] koyaynuynak (新): [他](原因、手段)で身を隠す oyayukao (新)、[他] oyaynuynak (新): [他](人)に身を隠させる yayukaore (新)、[他] yaynuynakka (yaynuynakte) (新): [自]皆で身を隠す unuynak (新): [自]完全に身を隠す aryayukao (arayukao) (新)、[自] aryaynuynak (araynuyna) (新)

みをくねらせる(身をくねらせる) ①(上下、あるいは左右に意図的に)[自]身をくねらせる yayrewerewe (新)、[自] yayrewewe (新)、[自] yayokayekaye (新): ②[自]思わず身をくねらせる sirewerewe (新)、[自] sirewewe (新)、[自] siokayekaye (新)

みをそりかえらせる(身を反り返らせる) ①(意識的な行為として)[自]身を反り返らせる yaytesu (新): [他]~と共に身を反り返らせる koyaytesu (新): [他](原因、手段)で身を反り返らせる oyaytesu (新): [自]大きく身を反り返らせる yaytesutesu (新)、[自] yaytesusu (新): 「私は矢を避けるため大きく身を逸らした。」“Ay ku=kamakar kusu ku=yaytesutesu .”: ②[自]思わず身を反り返らせる sitesu (新): [他]~と共に思わず身を反り返らせる kositesu (新): [他](原因、手段)で思わず身を反り返らせる ositesu (新): [自]思わず大きく身を反り返らせる sitesutesu (石狩)、[自] sitesusu (新): 「私は思わず大きく身を反らせて大笑いした。」“Ku=sitesutesu wa ruyno ku=mina .”

みをたかくする(身を高くする) [自]身を高くする yayrire (新): [他](場所)で身を高くする eyayrire (新): [他]~に対して身を高くする koyayrire (新): [他]~と共に身を高くする koyayrire (新): [他](原因、手段)で身を高くする oyayrire (新): [他](人)に身を高くさせる yayrirere (新)

みをちぢめる(身を縮める) ①[自]身を縮める siyoni (複数 siyompa) (新): [他](場所)で身を縮める esiyoni (新): [他]~と共に身を縮める kosiyoni (新): [他](原因、手段)で身を縮めさせる osiyoni (新): [他](人)に身を縮めさせる siyonire (新): ②(寒くて)[自]身を縮める、身を縮め小刻みに震える etururu (石狩)

みつをつむ(身を包む) [他]~でわが身を包む eyaykaseske (新): (表現)立派な装束(制服)でわが身を包む kamuysiyuk eyaykaseske (新): [他]~で互いの身を包む eukaseske (新)

みをなげだす(身を投げ出す) [自]身を投げ出す yayosura (石狩): 「私は泣きながらベットに身を投げ出した。」“Ku=cis kane amset ka ta ku=yayosura .”: [他](場所)に身を投げ出す koyayosura (石狩): [他]~と共に身を投げ出す koyayosura (新): [他](場所)から身を投げ出す、(原因、手段)で身を投げ出す oyayosura (新)

みをひくくする(身を低くする) [自]身を低くする yayramka (新)、[自] yayramte (天塩): [他](人)に身を低くさせる yayramkare (新)、[他] yayramtere (新)

みをやすませる(身を休ませる) [自]自らの身を休ませる yaysinire (石狩): [他](場所)に自らの身を休ませる yaykosinire (石狩): [他]~と共に自らの身を休ませる koyaysinire (新): [他](原因、手段)で自ら

の身を休ませる oyaysinire (新)

みをよじらせる(身をよじらせる) [自]身をよじらせる sipicipici (新)

みをよせる(身を寄せる) ①(表現)(場所)に身を寄せる sam(長形-a、-ake) oma (新): (表現)(場所)に重なり合うようにぴったり身を寄せる ka(長形-si、-sike) oma (新): [自]重なる様にぴったり身を寄せ合う ukaoma (石狩): ②(共同体のメンバーとして認められるまで)[自]身を寄せる iorun (新): [他]~に身を寄せる orun (新): [他]~と共に身を寄せる koiorun (新): [他](原因、手段)で身を寄せる oiorun (新): [他](人)に身を寄せさせる iorunte (新): [名]身を寄せる者 iorunkur (沙流)

みんい(民意) (表現)民意 mosirunkur irenka (新)、(表現) kotanunkur irenka (新)

みんかん(民間) [場名]民間 yayankuruni (新)、[場名] yayankurkotan (新): (表現)民間企業 yayankuruni (yayankurkotan) un iepirkausi (iramekarko-iepirkausi、firma、enterpurise) (新): (表現)民間人 yayankuruni (yayankurkotan) un kur (新): (表現)民間信仰 yayankuruni (yayankurkotan) ta an=eisokor pe (新): (表現)民間伝承 yayankuruni (yayankurkotan) ta an=uste p (新)

ミンク (動物)[名](イタチ属)ミンク minku (新)、[名] amerikaun-minku (新)※(英語。別名「アメリカミンク」): [名]ウミベミンク atuysamun-minku (新)※(絶滅): [名]ヨーロッパミンク europaun-minku (新)

ミンククジラ(ミンク鯨) (動物)[名](ナガスクジラ属)ミンククジラ monokorhumpe (新)※(別名「コイワシクジラ」)

みんけい(民警) ①(組織)[名]民警 miritiya (新)※(露語): ②(人)[名]民警 miriñioner (新)※(露語)

みんじ(民事) (法)[場名]民事 yayanike (新): (法)[名]民事訴訟法 yayanike-eyonnuppai renka (新)

みんしゅ(民主) [名]民主政体、民主制 urenkasapte (新)、[名] demokratia (新)※(羅語): [自]民主制を布く urenkasapte (新): [他](場所)で民主制を布く eurenkasapte (新): [他]~と共に民主制を布く kourenkasapte (新): [他](原因、手段)で民主制を布く ourenkasapte (新): [他](人)に民主制を布かせる urenkasaptere (新): [名]民主主義 urenkasaptesamun (新)、[名] demokrasi (新): [名]民主主義者 urenkasaptesamunkur (新): [名]民主党

urenkasamuntopa (新): [場名]民主主義国 urenkasaptemosir (新)

みんすうき(民数記) (聖書)[名]民数記 Utaripiski (新)

ミンスク [場名](ベラルーシ共和国の首都名) ミンスク Minsuk (新)

みんぞく(民族) [名]民族 sieiopoktep (新)、[名] cisieiopoktep (新)※(人がそこに帰属するもの)

ミンダナオ [場名](地名)ミンダナオ島 Mindanao(-poysir) (新)

みんなのとう(みんなの党) [名](日本の政党名) みんなの党 Opitta-topa (新)

みんぼう(民法) (法)[名]民法 yayanirenka (新)

むいか(六日) [場名]六日 iwanto (石狩)

むえんぼとけ(無縁仏) [自]無縁仏になる orukessak (新): [名]無縁仏 orukessakkur (静内)

むおん(無音) [自]無音である humsak (石狩): [他](場所)で無音である ehumsak (新): [他]〜と共に無音である komumsak (新): [他](原因、手段)で無音である ohumsak (新): [他]〜を無音にする humsakka (新)

むかいかぜ(向かい風) [名]向かい風 ekarirera (石狩)

むかいのざ(向かいの座) [位名]〜の向い側の座(席) assoke (石狩): (表現)私の向かいの座(席)に en=assoke ta (石狩)

むかう(向かう) → 「いく(行く)」を見よ

むかえいれる(迎え入れる) [他]〜を迎え入れる unapte (石狩): [他](場所)に〜を迎え入れる eunapte (新): [他]〜と共に〜を迎え入れる kounapte (新): [他](原因、手段)で〜を迎え入れる、(場所)から〜を迎え入れる ounapte (新): [他](人)に〜を迎え入れさせる unaptere (新)

むかえうつ(迎え撃つ) ①(先制攻撃に対して)[自]迎え撃つ iekaritumikor (新): [他]〜を迎え撃つ ekaritumikor (新): [他]〜に〜を迎え撃たせる ekaritumikore (新): ②(敵の接近に対し先制攻撃し)[自]迎え撃つ iekaricorawki (新): [他]〜を迎え撃つ ekaricorawki (新): [他]〜に〜を迎え撃たせる ekaricorawkire (新)

むかえる(迎える) [後副]〜を迎えに ekari (石狩): (表現)〜を迎えに行く ekari oman (複数 paye) (石狩)、(表現) tak kusu oman (複数 paye) (石狩): (表現)〜を迎えに来る ekari ek (複数形 arki) (石狩)、(表現) tak kusu ek (複数 arki) (新): (表現)〜を迎えるため建物の外に出る ekari asin (複数 asip) (新): [自]迎える

iekanok (新): [他]〜を迎える ekanok (沙流): [他](人)に〜を迎えさせる ekanokte (新): [他]自分で、一人で〜を迎える yaykoekanok (新): [他]皆で、共に〜を迎える ukoekanok (新): [連他](お祭りなどのため大切な客)を迎えに行く、来る、出る aske-uk (石狩)、[他] askeuk (石狩)

むかご(零余子) [名]零余子 tamaepuy(-e) (新)

ムカゴイラクサ(球芽刺草) (植物)[名](イラクサ科)ムカゴイラクサ属 pónipisisip-cise (新): [名]ムカゴイラクサの茎葉 pónipisisip (新)、[名]その皮から採る繊維 kápáy (H): [名]ミヤマイラクサの茎葉 cie-pónipisisip (新)、[名]その新芽 aiko (新)※(東北方言): [名]ラポルテア・アエストゥアンスの茎葉 cuppokindia-pónipisisip (新): [名]L. カナデンシスの茎葉 kanada-pónipisisip (新)

むかし(昔) ①[場名]昔 teeta (石狩)、[名] husko (石狩): (表現)昔 husko otta (石狩): (表現)昔から teeta wano (石狩): (表現)昔のように husko néno (石狩): ②[副]昔 teeta (石狩)、[副] husko (石狩)、[副] huskono (石狩)、[副] huskono (石狩): (表現)昔、昔は teeta anakne (石狩): (表現)昔 teeta kane (石狩): (表現)昔あった事 huskono an pe (石狩): ③[連体]昔の teeta (石狩)、[連体] teetaan (石狩): (表現)昔の物持ち、途中からの貧乏人 teeta nispa tomta wenkur (石狩): (表現)昔のやり方、昔の習慣 teetaan puri (石狩): ④[副](雅語。前に起こった事態を受け、同じ事態が繰り返される事を示し)昔ながらに isenramkora (石狩)、[副](雅) isenramkorak (沙流): (表現)(雅)昔ながらに isenram sekor (石狩)、[副](雅) senram sekor (久保寺より)、[副](雅) isenram kusu (久保寺より)

ムカシアリ(昔蟻) (昆虫)[名](アリ科)ムカシアリ亜科 huskoitunnapp-moapa (新): [名]ムカシアリ属 huskoitunnapp-cise (新): [名]キバジュズフシアリ属 síkitetomasay-itunnapp-cise (新): [名]ジュズフシアリ tomasay-itunnapp-cise (新)

ムカシヨモギ(昔蓬) (植物)[名](クク科)ムカシヨモギ属 hopunirusuype-cise (新): [名]ムカシヨモギの茎葉 samorun-hopunirusuype (新)※(別名「ヤナギヨモギ」): [名]アズマギクの茎葉 koykakikukina (新): [名]アポイアズマギクの茎葉 apoy-koykakikukina (新)※(アズマギクの変種): [名]エゾムカシヨモギの

茎葉 yaun-hopunirusuype (新): [名]エリゲロン・アケルの茎葉 hopunirusuype (新)※(中国名「長茎飛蓬」): [名]ケナシムカシヨモギの茎葉 numasak-hopunirusuype (新): [名]シコタンアズマギクの茎葉 sikotan-koykakikukina (新): [名]チシマアズマギクの茎葉 cupka-koykakikukina (新): [名]ニイタカアズマギクの茎葉 taywan-koykakikukina (新): [名]ハルジオンの茎葉 keweram-kanirusamuspe (新)※(別名「ハルジオン」): [名]ヒメジオンの茎葉 kewerikanirusamuspe (新): [名]ヘラバヒメジオンの茎葉 peraham-kanirusamuspe (新): [名]ペラペラヨメナの茎葉 mexiko-kanirusamuspe (新)※(別名「ペラペラハルジオン」): [名]ミヤマアズマギクの茎葉 metot-koypokkikukina (新)※(アズマギクの変種): [名]ミヤマノギクの茎葉 porosir-koykakikukina (新): [名]ヤナギバヒメジオンの茎葉 ukopoye-kanirusamuspe (新): [名]ユウバリアズマギクの茎葉 yuparo-koykakikukina (新)※(ミヤマアズマギクの変種): [名]ヨウシュタカネアズマギクの茎葉 repunrinupuri-koykakikukina (新)

むかつて(向って) [後副]〜に向かつて tasa (石狩): 「私達は声のした方へ向って行った。」 “Haweas hi tasa paye=as.”: [自]向かつて行く yaypekare (新): [他]〜に向かつて行く eyaypekare (石狩)

むかんしん(無関心) [自]無関心である siramsak (新): [他](人)を無関心にする siramsakka (新): [自]人や物事に無関心である ikosiramsak (新): [他]〜に無関心である kosiramsak (新): [他](人)を〜に無関心にする kosiramsakka (新)

むき(無期) [自]無期である、無期限である siutussak (siutursak) (新): [自] hosak (新): [他]〜を無期限にする siutussakka (siutursakka) (新): [他] hosakka (新): [名]無期懲役 siutussak (hosak) r ó o r e m o n r a y k e (róorenepeki) (新)

むきだし(剥き出し) [副]剥き出しに úseno (石狩): (表現)剥き出しになる úseno sipusu (新): (表現)〜を剥き出しにする úseno pusú (新): (表現)剥き出しにされる úseno an=pusú (石狩): 「…今まで私の肉の中に喰い込んでいた下帯であったが、具合よく剥きだしになり…」 “… tane pakno an=kantumu oren wa an pe raunkut ne a wa irammakaka úseno an=pusú …” (杉村キナラブック)説話

ムギツク(麦突) (魚介)[名](コイ科)ムギツク属

kakkokcep-cise (新): [名]ムギツク kakkokcep (新)

むきなおる(向き直る) (背中を向けていたものが)[自]向き直る sikiru (複数 sikirpa) (石狩): 「神を凌ぐが如き人が私の向かいの座に座っていて私に向き直った。」

“Kamuykuskoraciankur en=assoke ta a wa an ine en=ekota sikiru.”: [他](場所)で向き直る esikiru (新): [他]〜へ向き直る kosikiru (石狩): [他] esikiru (石狩): [他]〜を向き直らせる sikirure (複数 sikirpare) (新): [自]パッと向き直る sikittek (石狩): [他]〜をパッと向き直らせる sikittekka (新): [自]人を向き直らせる、人に向き直ってもらう sikiruyar (新)

ムギワラギク(麦葉菊) (植物)[名](キク科)ムギワラギク属 cupkonkaniini-cise (新): [名]ムギワラギクの茎葉 tomcupkonkanini (新): [名]カレープラントの茎葉 karehurakikuni (新): [名]リコリスプラントの茎葉 cupsirokanini (新)

むきをかえる(向きを変える) ①[自]ものの向きを変える ikiru (複数 ikirpa) (新): [他]〜の向きを変える kiru (複数 kirpa) (石狩): [他](場所)で〜の向きを変える ekiru (複数 ekirpa) (新): [他]〜の方へ〜の向きを変える kokiru (複数 kokirpa) (新): [他]〜と共に〜の向きを変える kokiru (複数 kokirpa) (新): [他](原因、手段)で〜の向きを変える okiru (複数 okirpa) (新): [他](人)に〜の向きを変えさせる kirure (複数 kirpare) (新): [自]パッと〜の向きを変える kittek (石狩): [他]パッと〜に〜の向きを変えさせる kittekka (新): [自]人に〜の向きを変えさせる、人に〜の向きを変えてもらう kiruyar (複数 kirpayar) (新): ②[自]自分の向きを変える sikiru (複数 sikirpa) (石狩): [他](場所)で自分の向きを変える esikiru (複数 esikirpa) (新): [他]〜へ自分の向きを変える kosikiru (複数 kosikirpa) (石狩): [他] esikiru (複数 esikirpa) (石狩): [他]〜と共に自分の向きを変える kosikiru (複数 kosikirpa) (新): [他](原因、手段)で自分の向きを変える osikiru (複数 osikirpa) (新): [他](人)に自分の向きを変えさせる sikirure (複数 sikirpare) (新): [自]パッと自分の向きを変える sikittek (石狩): [他]パッと〜に自分の向きを変えさせる sikittekka (新): [自]人に自分の向きを変えさせる、人に自分の向きを変えてもらう sikiruyar (新)

むく(向く) [自]向く sikiru (複数 sikirpa)

(石狩): (表現)への方を向く 名詞、代名詞、人称接辞 + ekota(otta) + sikiru (複数 sikirpa) (石狩)、(表現) 場所名詞、位置名詞 + ekota(otta, ene, ta) + sikiru (複数 sikirpa) (石狩): [他](場所)で向く esikiru (新): [他]への方を向く kosikiru (石狩)、[他] esikiru (石狩): [他]へに向かせる sikirure (複数 sikirpare) (新): [自]パッと向く sikittek (石狩): [他]へにパッと向かせる sikittekka (新): [自]人に向かせる、人に向いてもらう sikiruyar (新)

むく(剥く) [他]へを剥く soso (複数 sospa) (石狩): [他](人)にへを剥かせる sosore (複数形 sospare) (新): [他](場所)でへを剥く esoso (複数 esospa) (新): [他]へと共にへを剥く kososo (複数 kosospa) (新): [他](原因、手段)でへを剥く ososo (複数 osospa) (新): [他](人)にへを剥かせる sosore (複数 sospare) (新): [他]瞬間的にへを剥く sostekka (新): [他]次々にへを剥く sossoso (複数 sossospa) (新): [他]ひどくへを剥く toykososo (複数 toykosospa) (新): [他]人へへを剥かせる sosoyar (複数 sospayar) (新)

むくいる(報いる) [自]人に報いる iattasa (新)、[自] itasa (石狩): [他](場所)で、(時)に人に報いる eiattasa (新)、[他] eitasa (新): [他]への事で人に報いる koiattasa (新)、[他] koitasa (新): [他](何か)で人に報いる oiattasa (新)、[他] oitasa (新): [他](人)に報いる attasa (石狩): [他](場所)で(人)に報いる eattasa (新): [他]への事で(人)に報いる koattasa (新): [他](何か)で人に報いる oattasa (新)

むくげ(尨毛) [自]尨毛が生えている hepur (H): [名]尨毛の犬 hepusseta (新)、[名] hepurseta (H)

ムクノキ(棕の木) (植物)[名](ニレ科)ムクノキ属 muku-cise (新): [名]ムクノキの茎 muku (新)※(日本語。別名「ムクエノキ」): [名]アフアナッセ・フィリップネンシス firipin-muku (新)

むくむ(浮腫む) [自]浮腫む hup (複数 huppa) (石狩): [他]へを浮腫ませる hupte (複数 huppare) (新)

むくろ(骸) [名]骸 kaysey(-e) (石狩)、[名] tukap (天塩): [名](合成語の構成要素として)骸 kew(-e) (石狩): [他]へに骸となる tukapkonne (石狩): 「…お前の佩刀の刃の上に骸と私はなり…」 “…e=mut emusi notak kasike ci-tukapkonne an=ki…” (砂沢クラ)英雄詞曲: [他]へで骸となる ekewne (石狩): 「…誰が作った針入れで彼は骸にな

ったか?…」 “…nen kar kempo ekewne ki ya?…” (杉村キナラブック)神謡

ムクロジ(無患子) (植物)[名](古生花被植物亜綱)

ムクロジ目 ihurayepnep-kotan (新): [名]ムクロジ科 ihurayepnepni-apa (新): [名]ムクロジ属 ihurayepnep-cise (新): [名]ムクロジの茎 ihurayepnepni (新): [名]ムクロジの実 ihurayepnep (新): アカギモドキ属 akakini-cise (新): [名]ガラナ属 guaranani-cise (新): [名]ハウチワノキ属 rapiparpapni-cise (新): [名]フウセンカズラ属 pukurupunkar-cise (新): [名]モクゲンジ属 mokugenji-cise (新): [名]ランブータン属 rambutanncise (新): [名]リュウガン属 rongannicise (新): [名]レイシ属 ricini-cise (新): (2)[名]アエクストキシコン科 aeksutoksikon-apa (新): [名]アワブキ科 kuyuyseni (新): [名]ウルシ科 ussini-apa (新): [名]カエデ科 tópeni-apa (新): [名]ツリフネソウ科 okuymakina-apa (新): [名]ドクウツギ科 surkuni-apa (新): [名]トチノキ科 tocini-apa (新): [名]プレシュネイデラ科 buresneidera-apa (新): [名]メリアントゥス科 meriantus-apa (新)

むけい(無形) ①(平面的な形象やイメージに関して)[自]無形である nokasak (新): ②(立体的な形象や方法に関して)[自]無形である katcak (katsak) (新)

むける(向ける) ①(方向を変える意味で)[他]へを向ける kiru (複数 kirpa) (石狩)※(複数形は新語): [他](場所)でへを向ける ekiru (複数 ekirpa) (新): [他]への方にへを向ける kokiru (複数 kokirpa) (新): [他]へと共にへを向ける kokiru (複数 kokirpa) (新): [他](原因、手段)でへを向ける okiru (複数 okirpa) (新): [他](人)にへを向けさせる kirure (複数 kirpare) (新): ②[他]へを人に向ける itutanure (石狩): [他](人)にへを向ける tutanure (石狩): [他](場所)で(人)にへを向ける etutanure (新): [他]へと共に(人)にへを向ける kotutanure (新): [他](原因、手段)で(人)にへを向ける otutanure (新): [他]へを自分に向ける situtanure (石狩): [他]へを互いに向け合う ututanure (新): [他]人(人)にへを向けさせる tutanureyar (新)

むける(剥ける) [自]剥ける soske (石狩): [他](場所)で剥ける、への時に剥ける esoske (新): [他]へと共に剥ける kososke (新): [他](原因、手段)で剥ける ososke (新): [自]瞬間的に剥ける sostek (新): [自]

次々と剥ける *ssossoske* (新): [自]ひどく剥ける *toykososke* (新)

むげん(無限) [自]無限である *siokeresak* (新)、[自] *sikessak* (新)

むげんかじょ(無限花序) [名]無限花序 *siokeresak-apappoomakat* (*sikessak*) (新): [名]散形花序 *kasane-apappoomakat* (新): [名]散房花序 *pusacari-apappoomakat* (新): [名]集散花序 *usamumpekor-apappoomakat* (新): [名]穗状花序 *pusne-apappoomakat* (新): [名]総状花序 *pusane-apappoomakat* (新): [名]複散形花序 *kasakorpa-apappoomakat* (新)

むげんじごく(無間地獄) [場名]無間地獄 *iwampoknasir* (石狩)

むこ(無辜) [自]無辜である *irenkawentesak* (新): (表現)無辜である *somo irenkawente wa an* (新)

むこ(婿) [名]婿 *koknekur(i)* (石狩)、[名] *kokow(-e)* (天塩)、[名] *kok(-o)* (天塩)

むこう(向こう) ①[代名](話者より遙か遠い場所を示し)向こう、向こうの場所 *toan* (石狩、天塩): (表現)向こうへ、向こうで *toan ta* (石狩、天塩): (表現)向こうへ *toan ene* (石狩、天塩): (表現)向こうから *toan wa (toan wano)* (新): ②[代名] *toaner (toanero)* (新): "te"「ここ」は特定の后置詞などと共に用いられる他単独では用いられず、「ここは」、「ここを」といった表現をする場合"teor"が用いられる。"taan"「そこ、あそこ」にも"taaner"の語形が確認できるが、これも先の"te"、"teor"の関係と同じと推察されるところから"toan"に"toaner"の語形を新たに造った。: ③[副]向こうで *tóni* (石狩): 「可哀想に、若い娘がこんな風に馬鹿にされ、あそこでも私の姉達もそれが分からなかったよ。」"Inunukaski, pewre menoko tampe neno a=wenkuraspa, tóni ka ay=sá-utari ka eramuskare na ." (杉村キナラブック)説話: [副](合成語の構成要素として)向こうに *to* (石狩、天塩): ④[連体](話者より遙か遠いものを指し)向こうの、向こうにある *toan*(複数 *tookay*) (石狩、天塩): ⑤[代名](話者より遙か遠いものを指し)向こうにあるもの *toampe* (石狩、天塩)

むこうがわ(向こう側) ①(水面を挟んだ)[場名]向こう側、向う岸 *ikus (ikuske)* (八雲): [自]向こう側、向こう岸にある、いる *ikusun* (石狩): [名]向こう側にいる人 *ikusunkur* (石狩): [位名]〜の向こう側、向こう岸 *kus*(長形-ke) (石狩、天塩): 海や湖のない上川、空知では定語を伴わぬと「〜の川向

こう」を意味したが、今後は使用地域が広がる事を考慮し古典以外ではその用法を控えるものとする。: [場名]海の向こう側 *atuykus (atuykuske)* (新): (表現)海の向こう側、向こう岸 *atuy kus*(長形-ke) (石狩): [場名]川の向こう側、向こう岸 *petkus (petkuske)* (新): (表現)川の向こう側、向こう岸 *pet kus*(長形-ke) (石狩): [場名]道の向こう側 *rúkus (rúkuske)* (新): (表現)道の向こう側 *ru kus*(長形-ke) (新): [自]向こう岸を向く、向こう側に向かう *ekusun* (新): [副]向こう岸を向いて、向こう岸に *ekusun* (石狩)、[副] *ekusne* (石狩): [連体]向こう岸への *ekusun* (石狩): [自]向こう岸から向かって来る *okusun* (新): [副]向こう岸から *okusun* (石狩)、[副] *okusne* (石狩): [連体]向こう岸からの *okusun* (石狩): ②(山を挟んで)[位名]〜の向こう側 *rer*(長形-ke) (石狩)、[位名] *armoysam* (石狩): [名]向こうの側の土地 *arutur(-u)* (北海道南部): [名]向こう側の土地 *anrur* (H): 太平洋岸のアイヌにとつての日本海岸、日本海岸のアイヌにとつての太平洋岸。

むこうずね(向こう脛) [場名]向こう脛 *nisapmekka(-si, -sike)* (石狩)、[場名] *ucikammekka(-si, -sike)* (石狩): (表現)向こう脛 *nisap(-i)mekka*(長形-si, -sike) (石狩)、(表現) *ucikam(-i)mekka*(長形-si, -sike) (石狩)

むさぼりくらう(貪り食らう) [自]貪り食らう *mawaipe* (沙流)

むし(虫) [名]虫 *kikir* (石狩): (表現)虫を採る *kikir uk*(複数 *uyna*) (新): [名]頭部 *sapa* (新)、[名] *páke* (新): [名]額 *kiputur(-u)* (新): [名]頭楯 *sapa-tamkikhumpe* (新)、[名] *páke-tamkikhumpe* (新): [名]頭頂 *kankitay(-e)* (新)、[名] *pákitay(-e)* (新): [名]口 *par(-o)* (新): [場名]口器 *panneyke* (新): [名]上唇 *orikasipapus(-i)* (新): [名]下唇 *orikasipapus(-i)* (新): [名]唇舌 *parumpe* (新): [名]大腮 *sínokew(-e)* (新): [名]小腮 *monotkew(-e)* (新): [名]小腮枝、小腮鬚 *monotkewrek(-i)* (新): [名]下唇枝、下唇鬚 *orikasi-papusrek(-i)* (新): [名]下咽頭 *oarkutkes(-e)* (新)、[場名] *arkutkes(-e)* (新): [名]吻 *tannepar(-o)* (新): [名]触角 *rek(-i)* (石狩): [名]目 *sik(-i)* (新): [名]複眼 *sikussik(-i)* (新)、[名] *uturasik(-i)* (新): [名]個眼、小眼 *poysik(-i)* (新): [名]単眼 *yayturasik(-i)* (新): [名]胸部 *rerar(-u)* (新): [名]前

胸 sanke-rerar(-u) (新): [名]中胸
 noskiun-rerar(-u) (新): [名]後胸
 makun-rerar(-u) (新): [名]前胸背
 sanke-setur(-u) (新): [名]楯板
 tamkikhumpe (新): [名]前楯板 saun-
 tamkikhumpe (新): [名]小楯板
 pontamkikhumpe (新): [名]側板
 utossamita (新): [名]前側板 saun-
 utossamita (新): [名]後側板 makun-
 utossamita (新): [名]腹部 hon(-i)
 (新): [名]腹板 hónita (新): [名]生殖器
 cipuatter(-i) (新): [名]外部生殖器
 soyun-ciouatter(-i) (新): [名]交尾器
 ciooukotpe (新): [名]把握器
 cioikismap(-i) (新): [名]産卵管
 noksanke-kuttar(-i) (新): [名]尾 sar(-
 a) (新): [名]尾角、尾毛 sáray(-e) (新):
 [名]尾節板 sárunita (新): [名]気管
 sewri (新): [名]気管鰓 sewri-kurki
 (新): [名]気門 hesepar(-o) (新): [名]
 背管 seturokuttar(-i) (新): [名]消化器
 ipenekap (ipenerep) (新): [名]前翅
 sankerap(-u) (新): [名]後翅
 makunrap(-u) (新): [名](甲虫の)翅鞘
 rapsirki (新): [名]フィブラ fibura
 (新): [名]翅垂 rápukotep(-i) (新): [名]
 翅棘 rápay(-e) (新): [名]前縁脈
 parurkeunraprit(-ci) (新): [名]亜前縁脈
 parurkeunraprit-turasip(-i) (新): [名]径
 脈 saunraprit(-ci) (新): [名]中脈
 noskiun-raprit(-ci) (新): [名]中脈分岐
 noskiun-raprit-eukohopi (新): [名]肘脈
 makunraprit(-ci) (新): [名]臀脈
 keseunrapunrit(-ci) (新): [名]中室
 katamsar (新): [名]小室 ponkatamsar
 (新): [名]縁紋 rapparurunkes(-i) (新):
 [名]基室 saun-katamsar (新): [名]肩脈
 ponraprit(-ci) (新): [名]径分脈
 saunraprit-kohopip(-i) (新): [名]脚
 cikir(-i) (石狩): [名]胸脚 reraruncikir(-
 i) (新): [名]前脚 sankecikir(-i) (新):
 [名]中脚 noskiuncikir(-i) (新): [名]後脚
 makuncikir(-i) (新): [名]腹脚
 hónuncikir(-i) (新): [名]尾脚、尾肢
 sáruncikir(-i) (新): [名]腿筋 omkam(-
 i) (新): [名]脛筋 nisapkam(-i) (新):
 [場名]基節窩 cikiruni (cikirunike) (新):
 [名]基節 sútunik(-i) (新): [名]転節
 sikirui(-i) (新): [名]腿節 ómik(-i)
 (新): [名]脛節 nisapik(-i) (新): [名]基
 附節 makun-ureik(-i) (新): [名]跗節
 ureik(-i) (新): [名]性櫛 hokismap(-i)
 (新): [名]端剛毛 sanke-nistenuma
 (新): [名]亜末端剛毛 mosanke-

nistenuma (新): [名]爪 am(-i) (新):
 [名]爪間板、褥盤 ámuturumpe (新):
 [名]卵 nok(-i) (石狩): [名]精孔、卵門
 mapiapa (新): [名]幼虫 kikirpo (新):
 (表現)三齡の幼虫 resuy sikapama a
 kikirpo (新): [名]前蛹 seykorpone-
 etokoykip (新): [名]蛹 seykorpo (新):
 [名]囲蛹 kapseykorpo (新): [名]被蛹
 yaykatun-seykorpo (新): [名]裸蛹
 eruseykorpo (新): [名]繭 seykorposotki
 (新): [名]抜け殻 ohasey(-e) (新)、[名]
 sey(-e) (石狩): [名]成虫 rupnekikir
 (新): [自]孵化する sinokpere (石狩):
 [自]脱皮する sikapama (新): [自]羽化
 する siseypere (沙流)

むじ(無地) [自]無地である sirkisak (新)

むしこぶ(虫瘤) [名]虫瘤 kikittokom (新)、
 [名]kikitakuppe (新)

むしとりあみ(虫取り網) [名]虫取り網
 kikirukya (新)

むしのいき(虫の息) (表現)虫の息である(小鳥
 が喘ぐようである) cikappo tasmak
 sikopayar (幌別)

むしば(虫歯) [名]虫歯 arkanimak(-i)
 (新): [自]虫歯になる nimakiarka (石
 狩): (表現)虫歯になる nimaki arka
 (新): (表現)虫歯を治療する arkanimak(-
 i) temka (新)、(表現) arkanimak(-i)
 pirkare (新)

ムシヒキアブ(虫引虻) (昆虫)[名](ハエ亜目)ム
 シヒキアブ下目 kikirkoykisiraw-kotankes
 (新): [名]ムシヒキアブ上科
 kikirkoykisiraw-apapa (新): [名]ムシ
 ヒキアブ科 kikirkoykisiraw-apa (新):
 [名]ムシヒキアブ亜科 kikirkoykisiraw-
 moapa (新)※(虫を狩るアブ): [名]カラフ
 トムシヒキ karapto-kikirkoykisiraw
 (新): [名]マガリケムシヒキ numarewke-
 kikirkoykisiraw (新): [名]アシナガムシ
 ヒキ亜科 cikiritanne-kikirkoykisiraw-
 moapa (新): [名]サッポロアシナガムシヒ
 キ satporo-cikiriane-kikirkoykisiraw
 (新): [名]イシアブ亜科 suma-
 kikirkoykisiraw-moapa (新): [名]サッポ
 ロイシアブ satporokikirkoykisiraw (新):
 [名]クシヒゲムシヒキ亜科 kirayrekus-
 kikirkoykisiraw-moapa (新): [名]アオメ
 アブ sikisiwnin-kikirkoykisiraw (新):
 [名]シオヤムシヒキ亜科 oretar-
 kikirkoykisiraw-apa (新): [名]ヒゲボソ
 ムシヒキ亜科 rekitanne-kikirkoykisiraw-
 moapa (新): [名]ヒラズムシヒキ亜科
 ekocipirka-kikirkoykisiraw-moapa (新):
 [名]ホソムシヒキ亜科 honiane-

kikirkoykisiraw-moapa (新): [名]メガネムシヒキ亜科 sikpo-kikiresiraw-moapa (新): [名]アピオケラ科 apiokera-apa (新): [名]アピュストミューア科 apistomiia-apa (新): [名]アブシロケファラ科 apsirokefara-apa (新): [名]エヴォコア科 evokoa-apa (新): [名]オドリバエモドキ科 ciimokaoukot-sirawkopa-apa (新): [名]ツリアブ科 yayattesiraw-apa (新): [名]ニトベハラボソツリアブ nitobehoniane-kikirkoykisiraw (新): [名]ツルギアブ科 honieensiraw-apa (新): マドアブ科 puyarsiraw-apa (新): [名]ミュティコムイア科 mitikomii-apa (新): ムシヒキアブモドキ科 cikirkoykisirawkopa-apa (新): [名]オドリバエ上科 imokaoukotsiraw-apapa (新): [名]オドリバエ科 imokaoukotsiraw-apa (新): [名]アシナガバエ科 cikiritanne-imokaoukotsiraw-apa (新): [名]アテレストゥス科 aterestus-apa (新): [名]セダカオドリバエ科 seturutuk-imokaoukotsiraw-apa (新): [名]ツリアブモドキ上科 ciyayattesiraw-apapa (新): [名]ツリアブモドキ科 ciyayattesirawkopa-apa (新): [名]コガシラアブ科 eponsiraw-apa (新)

むしゃくしゃ [名] むしゃくしゃ musakusahum(i) (新): [自]むしゃくしゃする musakusahumnu (新): (表現)私はむしゃくしゃする nekonampe kusu ne ya ku=erampetek korka iruska kewtum ku=komo eaykap no ku=an (新): [他]～についてむしゃくしゃする emusakusahumnu (新)

むしゅうはいゆうびんきょく(無集配郵便局) [名] 無集配郵便局 somoiuekarire-iekrauscise (新)

むしろ(笔る) [自]ものを筆る irise (複数 irispa) (新): [他](毛や草)を筆る rise (複数 erispa) (石狩): (表現)一回、一本の草を筆る mun rise (新): (表現)何度も、複数の草を筆る mun rispa (新): [他](場所)で～を筆る erise (複数 rispa) (新): [他]～と共に～を筆る korise (複数 korispa) (新): [他](場所)から～を筆る、(原因、手段)で～を筆る orise (複数 orispa) (新): [他](人)に～を筆らせる risere (複数 rispare) (新): [他]自分で、一人で～を筆る yaykorise (複数 yaykorispa) (新): [他]互いに、皆で～を筆る ukorise (複数 ukorispa) (新): [他]完全に～を筆る oanrise (複数 oanrispa) (新)、[他] anrise (複数 anrispa) (新): [他]さっと～を筆る

ristekka (新): [他]思い切り、滅茶苦茶～を筆る toykorise (複数 toykorispa) (新): [他](中相)～が筆られる cirise (複数 rispa) (新): [他]人に～を筆らせる riseyar (複数 rispayar) (新): [自]全てを筆る urise (複数 cirispa) (新): [自]自分の頭髪を筆る rise (複数 rispa) (新): [自](喧嘩して)互いに頭髪を筆り合う uerispa (新): [自]自分の体毛を筆る yaynumarise (複数 yaynumarispa) (新): [自]自分の陰毛を筆る yayorise (複数 yayorispa) (新)

むしろ(薙) [名]薙 musiro (石狩): [名]薙小屋 musirokuca (石狩)

むじん(無人) [自]無人である aynusak (新): [他]～を無人にする aynusakka (新): [自]全くの無人である oaraynusak (araynusak) (新)

むす(蒸す) ①[自]ものを蒸す iparirakare (新)、[自] iparirkare (新): [他]～を蒸す páirirakare (新)、[他] páirirkare (新): [他](人)に～を蒸させる páirirakarere (新)、[他] pátirkarere (新): ②(料理に関して)[自]蒸す、蒸し料理をする páiraosuke (新)、[自] párirosuke (新): [他]～を蒸す epariraosuke (新)、[他] eparirosuke (新): [他](人)に蒸させる páiraosukere (新)、[他] párirosukere (新)

むすう(無数) (表現)無数に an=piski (an=piske) eaykap pakno (新): (表現)無数に在る、居る an=piski (an=piske) eaykap pakno poronno an (新)、(表現) an=piski (an=piske) eaykap pakno an (新)

むずかしい(難しい) ①[自]難しい hokampa (石狩)※(対義語は isayka): [他](場所)で難しい ehokampa (新): [他]～と共に難しい kohokampa (新): [他](原因、手段)で難しい ohokampa (新): [他]～を難しくする hokampaka (okampare) (新): [自]随分難しい isaykako (新): ②[他]～が難しくなる、難しい enikne (石狩): [助動]～(することが)難しくなる enikne (石狩): 「彼の腰はだんだん曲がり、立ち上がる事も難しくなった…」 “…nani ikkewe rewke, opuni ka enikne…” (砂沢クラ): [他](人)に～を難しくさせる enikneka (eniknere) (新)

むずがる [自]母親のお腹に次の子が宿ったらしく(赤児)がむずかる husko (天塩)

むすこ(息子) ①(年齢を問わず)[名] po (石狩): [自]息子と親である、息子連れである upokor (石狩): ②(ある程度大きくなった)[名]息子 okkaypo (石狩)※(一人前になっても使える。): ③(一人前になった)[名]息

子 okkayopo (石狩)

むすばれる(結ばれる) ①(紐など細いものを杭など何かに、あるいは紐などで何かを杭などに結ばれる事を表し)[他](中相)～が～に結ばれる cikote(複数 cikotpa) (新): (表現)～が～に結ばれる an=kóte(複数 an=kótpare) (新): ②(紐など細いもの同士が結ばれる事を表し)[他](中相)～が結ばれる eukote (新): (表現)～が結ばれる an=eúkote (新): ③(男女関係について)[自](肉体的に)互いに結ばれる、二人が結ばれる ukor (石狩、天塩)、[自] utomnukar (石狩): [他](肉体的に)～と結ばれる kor (石狩、天塩)、[他] tomnukar (石狩)、[他](雅) etomnukar (石狩)

むすびあわせる(結び合わせる) ①[他](綱や紐などで)～を結び合わせる ukote (新): ②[他](綱や紐などの)先端を結び合わせる eukote (石狩、天塩): [他](綱や紐などの)末端を結び合わせる oukote (新)

むすびぎ(結び木) [名] 結び木 tuskotni (石狩): [名] 結び木の守り神 tuskotnikamuy (石狩)

むすびつける(結び付ける) [他]～に結び付ける kot (石狩): [他]～を～に結び付ける kóte(複数 kotpa) (石狩): [他](人)に～を～に結び付けさせる kótere(複数 kotpare) (新): [他]人に～を～に結び付ける、結び付けてもらう koteyar(複数 kotpayar) (新): [自]互いに結び付ける、結び付き合う ukot (石狩): [他]～を結び付け合う ukote(複数 ukotpa) (石狩): [他](人)に～を結び付け合わせる ukotere(複数 ukotpare) (新): [他]人に～を結び付け合わせる、結び付けてもらう ukoteyar(複数 kotpayar) (新): [他](中相)～が結び付けられる cikot (新): [他](中相)～が～に結び付けられる cikote(複数 cikotpa) (新): [他](中相)～が互いに結び付けられる ciukote(複数 ciukotpa) (新)

むすびめ(結び目) [場名] 結び目 cieukotehi(cieukotei) (新): [名] 糸の結び目 kásinkop (石狩)

むすぶ(結ぶ) ①(紐など細いものを杭など何かに、あるいは紐などで何かを杭などに結ぶ事を表し)[他]～を～に結ぶ kote(複数 kotpa) (石狩): [他](人)に～を～に結ばせる kotere(複数 kotpare) (新): [他]人に～を～に結ばせる、結んでもらう koteyar(複数 kotpayar) (新): ②(紐など細いもの同士を結ぶ事を表し)[他]～を結ぶ eukote (石狩): [他]～を結ばせる eukotere (新): [他]人に～を結ばせる、結んでもらう eukoteyar (新): ③[自]もの

を結んで留める iewopitte (新): [他]～を結んで留める ewopitte (天塩): (表現)(糸が抜けぬよう、その末端を結ぶ事を指し)～を玉止めして…を縫う ～ ewopitte wa … ninu (沙流): [他](人)に～を結んで留めさせる ewopittere (新)

むずむず [自]むずむずする mayayke (石狩、浜益)

むすめ(娘) [名] 娘 matnepo (石狩、天塩)、[名] menokopo (石狩) → 親族関係以外については「わかいおんな(若い女)」を見よ。: [自]娘と親である umatnepokor(沙流): [名]娘と親 umatnepokor utar(沙流)

むせいげん(無制限) (表現)～が無制限である somo cisina no an (新)、(表現) somo an=siná no an (新): (表現)無制限に cisina hi sak no (新)、(表現) cisina hi isam no (新):

むせきつどうぶつ(無脊椎動物) [名] 無脊椎動物 ikkewsak-yaymoyep (新)

むせびなき(むせび泣き) [自]むせび泣く ciscimimse (石狩): (表現)むせび泣きの声があがる ciscimimse yaykohopuni (石狩): (表現)むせび泣きの声をあげる ciscimimse koyaykoyante (石狩)、(表現) ciscimimse yaykoyante (石狩)

むせる(咽る) [自]咽る settekka (石狩): (表現)咽る oyakuttom(-o) iosma (石狩)

むだ(無駄) (表現)無駄である uk pe ka isam (新)、(表現) ciranke p ka isam (新): 「私がどう頑張っても無駄だった。」“Nekon ku=arikiki yakka ku=uk pe (= ciranke p) ka isam .”: (表現)全く無駄である uk pe ka oarisam (新)、(表現) ciranke p ka oarisam (新): [名](悪)無駄飯ぐらい iotuyep (石狩)

むち(鞭) [名] 鞭 múci (十勝)、[名] mutci (沙流)

むち(無知) [自]無知である ioarerampetek(iarerampetek) (新): (表現)全く無知である nep ne yakka oarerampetek(arerampetek) (新): [他]～に関して無知である oarerampetek (arerampetek) (新)

ムチイカ(鞭烏賊) (魚介)[名](スルメイカ亜目)ムチイカ科 múciepetpetke-apa (新): [名]ムチイカ属 múciepetpetke-cise (新): [名]ムチイカ múciepetpetke (新): [名]アメリカムイカ amerika-muciepetpetke (新): [名]オオムチイカ poro-muciepetpetke (新): [名]オキノムチイカ repun-muciepetpetke (新): [名]ヒロビレムチイカ rapusep-muciepetpetke (新):

[名]ホノオムチイカ húre-muciepetpetke (新)

むちゅう(夢中) [自]夢中になる yayeramuskarere (石狩): [他](人)を夢中にさせる yayeramuskarere (新): [他]~に夢中になる eyayemuskarere (新)、[他]koaresirus (石狩): [他](人)を~に夢中にさせる eyayramuskarere (新)、[他]koaresirusi (新): [他]人を~に夢中にさせる eyayramuskarere (新)、[他]koaresirusar (koaresirusyar) (新): [他]人を自分に夢中にさせる sieyayramuskarere (新)、[他]sikoaresirusar (sikoaresirusyar) (新)

むちんじょうしゃ(無賃乗車) (表現)無賃乗車する unruraatay somo kar no anop o (新)、(表現) atay somo kar no anop o (新)

ムツオビアルマジロ(六帯アルマジロ) (動物) [名](アルマジロ科)ムツオビアルマジロ属 iwankutkor-hayokyuk-cise (新): [名]ムツオビアルマジロ iwakutkor-hayokyuk (新)、[名] iwankutkor-armadiro (新)

むっつ(六つ) [名]六つ iwampe (石狩): (表現)星六つ nociw iwampe (新): [連体]六つの iwan (石狩): (表現)六つの星 iwan nociw (新): [副]六つに iwaniwne (新)

むてき(無敵) (表現)無敵である epetturasi p isam (新): 「私は無敵である。」 “En=epetturasi p isam .”

むないた(胸板) [名]胸板 rerar(-u) (石狩)、[場名](雅) ramkotor(-o) (H)

むなぎ(棟木) [名]棟木 kitayomani (石狩): [名]棟木の上に置かれる芯の棟木 kitayrarini (石狩)

むなげ(胸毛) [名]胸毛 rerarusnuma (石狩)、[名] rerannuma (新)

むなびれ(胸鱭) [名]胸鱭 cepmakiri (石狩)

むに(無二) [自]無二である sisak (石狩): [名]無二の宝 sisakpe (石狩): (表現)無二の親友 sisak ukoramupirkakur (新)、(表現) sisak ukokewtumupirkakur (新)、(表現) sisak tokuy (沙流): 「私達は長らく無二の親友である。」 “Sisak ukoramupirkakur ne ukar=as ruwe ne.”: pakno+人を表わす名詞+isam の形で「これ程の~はいない」 ※(これまでの用例では人の長所を褒める時に使われてきたが、今後は「これ程のケチはいない」という悪口にも用いていく): 「これ程の氣の名人はいない。」 “Pakno isonkur isam.”

むね(胸) [名]胸 rerar(-u) (石狩)、[名](雅) penram(-u) (石狩)、[場名](雅) ramkotor(-o) (H): [名]胸の上部 penrerar(-u)

(H): [名]胸の下部 panrerar(-u) (新): [名](合成語の構成要素として)胸 muk

(H): [場名]首の下 rekuttuypok(-i) (石狩): 「…(胸)に手を突っ込んでまざる事を婉曲的に表現して)彼は私の小母の首の下に手を差し込み…」 “… an=kór unarpe rekuttuypoki tekkuspare…」 (砂沢クラ) 婦女詞曲

むねあて(胸当て) [名]胸当て penramkamup (新)

むねひも(胸紐) [名]胸紐(女性の肌着の胸元を締める紐) numat(-ci) (石狩): (表現)(年頃になったばかりの娘が膨らみだした胸元を気にする様子を表し)今年になって遊び胸紐を高くすり上げる tampa ne sinot numaci sirkoraye (石狩)

ムネボソアリ(胸細蟻) (昆虫)[名](フタフシアリ亜科)ムネボソアリ属 penramuane-itunnap-cise (新): [名]ムネボソアリ penramuane-itunnap (新): [名]カドムネボソアリ sikkewkorkukew-penramuane-itunnap (新): [名]チャイロムネボソアリ uparus-penramuane-itunnap (新): [名]ハヤシムネボソアリ属 nitay-penramuane-itunnap-cise (新): [名]ハリナガムネボソアリ kemitanne-penramuane-itunnap (新): [名]ヒメムネボソアリ mopenramuane-itunnap (新)

むねやけ(胸やけ) [自](胃が悪くて)胸やけがする yospe-ekoyki (新)、[自] sampe-ekoyki (沙流): (表現)(胃が悪くて)胸やけがする yospe satsatke (新)、(表現) sampe satsatke (幌別): 「昨日私はは飲み過ぎて胸やけするから油を舐めた。」 “Numan ku=iku ruy awa ku=yospeekoyki (= ku=yospe satsatke) kusu sum ku=kem .”

むのう(無能) [自]無能である otcine (新): [名]無能な人 otcinekur (石狩)、[名] otcine (石狩): (表現)まともに話もできぬ無能な人 pawetok ka sak otcinekur (石狩)

むびょう(無病) [自]無病である siyeyesak (天塩): (表現)無病息災である siyeyesak no tóteknu (新)、(表現) siyeyesak no iwanke (新)、(表現) tasum ka sak siyeye ka sak no oropirkano tótekno an (複数 okay) (新)

むめい(無名) [他](中相)無名である cikoeramunin (石狩): [名]無名の人 cikoeramuninkur (新): (表現)噂に上がらぬ者 asur orke motek kunip (石狩)、(表現)噂にも全く上がらぬ者 tu asur orke re asur orke motek kunip (石狩)

むもう(無毛) ①(体毛に関して)[自]無毛である numasak (石狩): ②(頭髮や陰毛に関して)[自](頭など)全く無毛になる、である tontone (石狩)、[自] kepne (石狩): ③(頭髮に関して)[自]頭が全く無毛になる、である etontone (石狩): [自]頭が無毛になる、ない ekeyrasine (石狩): ④(陰毛に関して)[自]陰部が全く無毛になる、である otontone (石狩)

むやみ(無闇) [副]無闇に etarka (石狩): 「…決してお前は無闇にそれを受け取って食べるなよ。」“… inkannep etarka e=uk wa e=e na .” (杉村キナラブック説話)

むゆうびょう(夢遊病) [自]夢遊病である mokorikire (石狩)

むら(村) [場名]村 kotan(-u) (石狩): (表現)村中 kotan epitta (epittano) (石狩): [場名]村の上手、東側 kotampa (kotampake) (石狩): [場名]村の下手、村はずれ、西側 kotankes (kotankese) (石狩): (表現)大きな村 poro kotan (石狩): (表現)人口の多い村 inne kotan (石狩): (表現)人口が少ない moyo kotan (新): (表現)狭い村 hupne kotan (新): (表現)広い村 sep kotan (十勝): [自]村の外を通る kotaysoykus (石狩): (表現)村の外を通る道を通る kotaysoykus ru ka kus (新): [自]村を治める kotankor (石狩): [他](人)に村を治めさせる kotankore (新): [自]村を造る kotankar (石狩): [他](人)に村を作らせる kotankare (新): (表現)村を破壊する kotan wente (石狩)

むらおさ(村長) [名]村長 kotankorkur (石狩)、[名] kotankonnispa (石狩)

むらがる(群がる) ①[自]群がる uekari (複数 uekarpa) (石狩): [他]～に群がる kouekari (複数 kouekarpa) (天塩): [他]～と共に群がる kouekari (複数 kouekarpa) (石狩): [他](場所)から群がる、(原因、手段)で群がる ouekari (複数 ouekarpa) (新): [他](人)に群がらせる uekarire (複数 uekarpare) (石狩): [他]人を～に群がらせる kouekariyar (複数 kouekarpayar) (新): [自]人を自分に群がらせらせる sikouekariyar (複数 sikouekarpayar) (新): [自]性交、交尾するため群がる hokouekari (複数 hokouekarpa) (新): [他]～と性交、交尾するため群がる okouekari (複数 okouekarpa) (新): ②(特に魚などに関し)[自]群がる ukouekari (石狩)、[自]ukouekari (ukoykari) (石狩)

むらざかい(村境) (表現)村境 kotan utur(長形

-u、-uke、-ke) (新)、(表現) kotan ukoutur(長形-u、-uke、-ke) (新): [場名]村境 sirutur (H): [位名]～の村境 utur(長形-u、-uke、-ke) (新)、[位名]ukoutur(長形-u、-uke、-ke) (新)

むらさき(紫) [自]紫になる、である pewrekinapeus (新)※(ムラサキの汁が付く)、[自] ikinapeus (新): [他]～を紫にする pewrekinapeusi (pewrekinapeuste) (新)、[他] ikinapeusi (ikinapeuste) (新): [名]紫色 pewrekinapeus-iro (新)、[名] ikinapeus-iro (新)

ムラサキバレンギク(紫馬簾菊) (植物)[名](キク科)ムラサキバレンギク属 atuinaw-kikukina-cise (新): [名]ムラサキバレンギクの茎葉 atuinaw-kikukina (新)※(白花の「シロバナバレンギク」は "inawkikukina"): [名]エキナケア・アングスティフォリアの茎葉 hamuane-atuinaw-kikukina (新): [名]エキナケア・パロドクサの茎葉 sikerpepeus-atuinaw-kikukina (新): [名]エキナケア・パリダの茎葉 núpatuinaw-kikukina (新)

むらびと(村人) [名]村人 kotanunkur (石狩): [名]村人達 kotanun-utar(-i) (石狩)、[名] kotanuntar(-i) (石狩)、[名] kotankorutari (石狩)

むらむらする [自]むらむらする pawcikor (新)、[自] pawcihumkor (新): [他](場所)でむらむらする epawcikor (新)、[他] epawcihumkor (新): [他]～に対してむらむらする kopawcikor (新)、[他] kopawcihumkor (新): [他](原因)でむらむらする opawcikor (新)、[他] opawcihumkor (新): [他](人)をむらむらさせる pawcikore (新)、[他] pawcihumkore (新): [名]むらむらする気持ち pawcihum(-i) (新): (表現)むらむらする気持ち pawcikor humi (新): (表現)むらむら興奮して鼓動が高鳴る sampe otta pawci rep (新)

むり(無理) (表現)無理に、無理やり onramu kasu (沙流)

むりじい(無理強い) [自]人に物事を無理強いする iunekoyki (新): [他]人に～を無理強いする unekoyki (新): [他](人)に物事を無理強いする iekoyki (新): [他](人)に～を無理強いする ekoyki (石狩): ※実際の用例では動詞句+ekoyki の形で、例えば "okokkosake surkusake ku an=ekóyki" 「怪しい酒、毒の酒を彼が飲む事が無理強いされて」のように使われる。: [他](人)に人に物事を無理強いさせる iunekoyki (新): [他](人)に人に～を無理強いさせる

unekoykire (新): [他](人)に(人)に物事を無理強いたせる iekoykire (新): [他](人)に(人)に～を無理強いたせる ekoykire (新)

むりしんじゅう(無理心中)(表現)無理心中する irayke wa yayrayke (新)

むりょう(無料) [自]無料である oikorsak (oikossak) (新): [他]～を無料にする oikorsakka (oikossakka) (新): [他](場所)で～を無料にする eoikorsakka (eoikossakka) (新): [他]～と共に～を無料とする kooikorsakka (kooikossakka) (新): [他](原因、手段)で～を無料にする ooikorsakka (ooikossakka) (新): [他](人)に～を無料にさせる oikorsakkare (oikossakkare) (新): [副]無料で oikorsakno (oikossakno) (新)

むりょうたいすう(無量大数) [場名]無量大数 ikikkes (新)※(10の68乗): [場名]十無量大数 wánikikkes (新): [場名]百無量大数 atuytaikikkes (新): [場名]千無量大数 wánatuytaikikkes (新): 以降10の倍数に従った単位は72乗 síikikkes、76乗 moikikikkes、80乗 íkikikkes、84乗 síikikikkes、88乗 moikikikikkes、92乗 íkikikikkes、96乗 síikikikikkes、100乗 moirpa、104乗 írpa、108乗 sírpa、112乗 moirirpa、116乗 írpa、120乗 síirpa、124乗 moiririrpa、128乗 íririrpa、132乗 síiririrpa、136乗 moiriririrpa、140乗 íriririrpa、144乗 síiriririrpa、148乗 moir、152乗 ir、156乗 síir、160乗 moirir、164乗 írir、168乗 síirir、172乗 moiririr、176乗 íririr、180乗 síiririr、184乗 moiriririr、188乗 íriririr、192乗 síiriririr、196乗 moirkes、200乗 írkes、204乗 síirkes、208乗 moirirkes、212乗 írirkes、216乗 síirirkes、220乗 moiriririrkes、224乗 íriririrkes、228乗 síiriririrkes、232乗 moiririririrkes、236乗 íririririrkes、240乗 síiririririrkes、244乗 moikirpa、248乗 ikirpa、252乗 síikirpa、256乗 moikirikirpa、296乗 ikir、344乗 ikirkes、392乗 saypa、440乗 say、488乗 saykes、536乗 sairpa、584乗 sair、632乗 sairkes、680乗 atpa、728乗 at、776乗 atkes、824乗 acirpa など

ムルマンスク [場名](ロシア連邦北西連邦管区の構成主体名)ムルマンスク州 Murmansuk-purovince (新): [場名](ムル

マンスク州の州都名)ムルマンスク Murmansuk (新)

むれ(群) ①(人や動物、鳥の)[名]群 topa (石狩): (表現)鹿の群 yuk topaha (石狩): (表現)群る、群集まる topa at (石狩)、(表現) opa arki (石狩): ②(鯨、渡り鳥などの列をなした)[名]群 say(-e) (石狩): [名]沢山の群、沢山の群 sáyutar(-i) (石狩): (表現)沢山の群々 inne sáyutar (石狩): ③(魚などの列をなした)[名]群 rup(-i) (石狩): ④(鯨、魚の)[名]群 ciwas (沙流): (表現)鯨の群 humpe-ciwas (沙流): (表現)鯨の群 repunkamuy-ciwas (沙流): (表現)海豚の群 tannu-ciwas (沙流)

むれる(群れる) ①[自]群る uekari (複数 uekarpa) (石狩): [他]～に群る kouekari (複数 kouekarpa) (天塩): [他]～と共に群る kouekari (複数 kouekarpa) (石狩): [他](原因、手段)で群る ouekari (複数 ouekarpa) (新): [他](人)に群させる uekarire (複数 uekarpare) (石狩): (表現)群れる、群れて来る topa at (石狩)、(表現) topa arki (石狩): ②(特に魚などに関し)[自]群る ukouekari (石狩)、[自] ukoekari (ukoykari) (石狩): (表現)ニシンが群れる、群れて来る eroki at (地名): (表現)イトウが～に群れる、群れて来る ciray ot (地名)

ムロアジ(室鯨) (魚介)[名](アジ科)ムロアジ属 kusayaaji-cise (新): [名]ムロアジ kusayaaji (新): [名]アカアジ ohureaji (新): [名]オアカムロ ohure-kusayaaji (新): [名]クサヤモロ kusayamoro (新): [名]マルアジ maru (新): [名]モロ moro (新)

ムンバイ [場名](インドのマハーラーシュトラ州の州都名)ムンバイ Mumbai (新)

め(芽) ①(まだ土の中の、あるいは土からピンと針のように出た)[名]芽 ken(-i) (石狩)、[名] kem (天塩): [名](地面から生えた)木の芽 níken (新)、[名] níkem (天塩): ②(土、あるいは枝の先から先端が丸まって出た)[名]芽 epuy(-e) (石狩)、[名] epuyke (石狩): [名](枝先の)木の芽 níepuy (níepuyke) (石狩): [名]草の芽 múnepuy (múnepuyke) (石狩)

め(目) ①(生物の)[名]目 sik(-i) (石狩)、[名](雅) sikpuy(-e) (石狩)、[名](雅) einkarpe (沙流): (表現)(雅)目は小さな星となり、キラキラ輝いてそこらじゅうを見渡している einkarpe pon nociw ne cieusamkur unuunu (沙流より): (表現)(雅)目は強い星となり、かっと見開いて睨んでいる einkarpe tumasnu nociw ne

cieusamkur unuhitar (沙流): [自]目がある
sikkor (新): (表現)目がある sikihi
an (石狩): [自]目がない siksak (石
狩): (表現)目がない sikihi isam (石狩):
[自]目が見えない siknak (石狩): [自]目
が良くなる、良い sikipirka (新): [自]目
が悪くなる、悪い sikiwen (H): ②(網な
どの)[名]目 sik(-i) (石狩)、[名] puy(-e)
(石狩): (表現)目が粗い網 puye rupne
(新): (表現)目の細かい網 puye nokan ya
(puyenokayya) (石狩): (表現)目が大き
い網 siki poro ya (新): (表現)目の小さ
い網 siki pon ya (sikiyoyya) (石狩)

メアジ(目鱈) (魚介)[名](アジ科)メアジ属
sikiporoaji-cise (新): [名]メアジ
sikiporoaji (新)

めい(姪) [名]姪 matkarku (石狩)、[名]
matku (石狩)、[名] matkarkur (石狩):
(表現)私の姪 ku=matkarku (石狩)

めいおうせい(冥王星) (宇宙)[名](太陽系の準
惑星名)冥王星 Puruto (新): ラテン語
"Pluto"より。近年まで九番惑星とされてきた
が、2006年8月の国際天文学連合総会決
議で定義された準惑星に分類された。日本で
は2007年4月の日本学術会議以降「冥王
星型天体」という名称が推奨されており、「冥
王星」や「エリス」がこれに分類されている。
[名]冥王星型天体 Purutokatkon-rikomap
(新)

めいか(名家) [名]名家 sasusysir (石狩)、[名]
sasusir (石狩): [名]名家の女性
sasusysir-menoko (石狩)

めいきゅう(迷宮) [名]迷宮 sitturaynu-cise
(新)、[名] ciesitturaynu-cise (新)

めいきよ(明渠) [名]明渠 cimaka-cikannay
(新)、[名] cimakanay (新)

めいさく(名作) [名]名作 cipirkakarpe
(新)

めいし(名刺) [名]名刺 cioirekireyar (新)、
[名] cioirekirep (新)

めいし(名士) (表現)名士 asur as nispā (新)

めいし(名詞) [名]名詞 réitak (新)、[名] re
(石狩)

めいしよ(名所) [場名]名所 siasurasteusi
(新)、[名] asuruasusi (新)

めいしょう(名所) [名]名称 re (石狩)

めいじん(名人) [名]名人 askaykur (石
狩): (表現)~の名人 名詞+easkaykur
(新)、(表現、表現) 自動詞+nokur (nukur)
(新): péray(釣り)+easkaykur →
pérayeaskaykur、péray(釣る)+nokur
(nukur)→péraynokur (péraynokur)「釣
り名人」: [名]女性名人 askaymat (新)、
[名] askaymenoko (新): (表現)名人芸

askaykur ki p (新)

めいぞく(名族) [名]名族 sasusysir (石狩)、
[名] sasusir (石狩)

めいちゅう(命中) ①(投射射撃などにより)[自]
人や物に命中させる icotca (新): [他]~
に命中させる cotca (石狩): [他](場所)で
~に命中させる ecotca (新): [他]~と共に
~に命中させる kocotca (新): [他](原
因、手段)で~に命中させる ocotca (新):
[他](人)に~に命中させる cotcare (新):
[他]自分で、一人で~に命中させる
yaykocotca (新): [他]互いに、皆で~に命
中させる ukocotca (新): [他]~に思い切
り命中させる toykocotca (石狩): ②[自]
人に命中する untomosma (新): [自]物
に命中する itomosma (新): [他]~に命
中する tomosma (石狩): 「石が私の頭
に命中した。」"Suma ku=sapa osma .":
[連他]~に命中する tomo-osma
(tomo-osma) (石狩): 「君の投げ
た雪玉が私の顔に当たった。」"Upastaktak
eak wa ku=nanu tomo-osma .": [自](複数
のものが)互いに当たる utomosma (新):
(表現) cotca の受け身を用いる(直訳する
と「~に当てられる」): 「彼は突然銃をぶ
っぱなし私に命中した。」"Nisapno tepo ani
toytukan wa enci=cotca .": (表現)動物が
自分の意志で弓などに当たる(受け止める)と
いう雅語的な言い回しで、動物を主語にして
他動詞 yaypekare を用いる。本来は「…彼が
私を射たので私はそれに自ら当たり…」“…
i=cotca kusu an=yaypekare …”と表現され
た: [他]~に物を命中させる itomosmare
(新): [他]~に~を命中させる
tomoosmare (新)

メイド [名]メイド niwasnumat (新)、[名]
ussiw-menoko (新)、[名] máido (新)※
(英語): [名]メイド服 máidomip (新)

めいめい [後副]~とめいめいに sinnayno
(天塩)、[後副] sinnay (石狩): [副]めい
めいに usinnayno (天塩)、[副] usinnay
(石狩): (表現)めいめいに usinnay
usinnay (石狩): 「自分のすべき事を終え
ると私達はめいめいに帰った。」"Ci=ki kunip
ci=okere kor usinnay hosippa=as .": [副]
めいめい遠く離れて iruoyakta (石狩):
「めいめい遠く離れて暮らしていてもメー
ルをやり取りしましょう。」"Iruoyak ta
okay=an yakka imerukampi
an=ukóomante ro!": (表現)めいめい遠く
離れて iruoyakta (石狩)

めいもん(名門) [名]名門 sasusysir (石狩)、
[名] sasusir (石狩)

めいやく(盟約) [名]盟約 pirkawypnu

(新): (表現)盟約を結ぶ pirkawyepnu kar (新)
めいりょう(明瞭) [自]明瞭になる、である
 peker (石狩): [他]~を明瞭にする
 pekerka (pekere) (新)
めいれい(命令) [名] 命令 ipawtenke (ipawetenke) (新)、[名] irenka (石狩): [自]人に命令する ipawtenke (ipawetenke) (石狩): [他](人)に人に命令させる ipawtenkere (ipawetenkere) (新): [他]~について人に命令する eipawtenke (eipawetenke) (新): [他](人)に命令する pawtenke (pawetenke) (石狩)、[他] kaspaohte (幌別): [他]~について(人)に命令する epawtenke (epawetenke) (石狩): [他](人)に(人)に命令させる pawtenkere (pawetenkere) (新): [自]自分に命令する yaypawtenke (yaypawetenke) (新): [他]皆に命令する、命令し合う upawtenke (upawetenke) (新): [他]自分で、一人で(人)に命令する yaykopawtenke (yaykopawetenke) (新): [他]互いに、皆で(人)に命令する ukopawtenke (ukopawetenke) (新): [他]ひどく(人)に命令する toykopawtenke (toykopawetenke) (新)、[他] raypawtenke (raypawetenke) (新)、[他] wempawtenke (wempawetenke) (新): [他](人)に命令しまくる toykopawtenke (toykopawetenke) (新): [他]人に(人)に命令してもらう pawtenkeyar (pawetenkeyar) (新): [他]人に自分に命令してもらう sipawtenkeyar (sipawetenkeyar) (新): [自]命令を下す irenkasanke (石狩): (表現)命令を下す irenka sanke (新): [他](人)に命令を下させる irenkasanke (新): ②[自]よく命令を聞く uitaknu (沙流): [他](人)に命令をよく聞かせる uitaknure (新)
めいろ(迷路) [名]迷路 sitturaynuru (新)、[名] isitturaynururu (新)、[名] rabirintos (新)※(希語)
メイン [場名](アメリカ合衆国の州名)メイン州 Máine-mosir (Méin-mosir) (新)※(州都は「オーガスタ」)
メイン(1) [場名]メインストリート sícikusi (新): [名]メインストリーム sípet (新)
メーザー [名]電磁気学的にマイクロ波を増幅させる装置、メーザー máser (新)※(英語の "maser < microwave amplification by stimulated emission of radiation"より。)
メートル [名](長さの単位)メートル metre (新)※(記号は"m")
めがあう(目が合う) (表現)目が合う uekari

inkar (新): 「私達は目が合った。」"Uekari inkar=as .": (表現)~と目が合う ~
 ekari inkar (石狩): 「お前は私と目が合ったらすぐにそっぽを向いた。」"En=ekari e=inkar tek nani oyak ene e=inkar .","私達の目と目が合って互いに恋がめばえた。"
 "E=ekari ku=inkar en=ekari e=inkar ayne ramasuy kewtum ukorpare ."
メガグラム [名](重さの単位)メガグラム mégaguram (新)※(単位記号"Mg")
めかけ(妾) [名]妾 cipankemat (萱野)、[名] cipantemat (萱野)、[名] ponmaci (石狩): [名](妾である女性から見て他の同じ妾を指し)妾 tus(i) (石狩): (表現)(雅)山の神の娘を私の夫が妾とする kimun menoko i=tuste (久保寺)
めがさえている(目が冴えている) [自]目が冴えている mónak (石狩): [他](人)の目を冴えさせる mónakka (新): [自]完全に目が冴えている oarmonak (armonakka) (新): [自]ギンギンに目が冴えている toykomonak (新)
めがさめている(目が覚めている) ①(眠りから覚めている事)(表現)目が覚めている mos wa an (複数 okay) (石狩)、(表現) yaymososo wa an (複数 okay) (石狩): ②(眠らずにいる事)[自]目が覚めている mónak (石狩)
めがしら(目頭) [場名](雅)目頭 sikpuypake (石狩)
めがね(眼鏡) [名]眼鏡 sikpo (新): (表現)眼鏡をかける sikpo kor (新): (表現)眼鏡を外す sikpo ama (新)
メガネグマ(眼鏡熊) (動物)[名](クマ科)メガネグマ亜科 sikkokoreper-moapa (新): [名]メガネグマ属 sikkokoreper-cise (新): [名]メガネグマ sikkokoreper (新)
メガバイト [名](デジタルコンピュータが扱う情報量の単位)メガバイト mégabait (新)※(単位記号は"MB")
めがみ(女神) [名]女神 kamuymoyremat (石狩)、[名] kamu-menoko (石狩)
メガメートル [名](長さの単位)メガメートル mégametre (新)※(単位記号"Mm")
メガリットル [名](体積の単位)メガリットル mégaritre (新)※(単位記号"MI")
メギ(目木) (植物)[名](キンポウゲ目)メギ科 sikni-apa (新): [名]メギ属 sikni-cise (新): [名]メギの茎 sikni (新)※(別名「コトリトラズ」): [名]オオバメギの茎 hamuporo-sikni (新): [名]クロミノヘビノボラズの茎 taywan-sikni (新): [名]タイワンヘビノボラズの茎 tekehure-sikni (新): [名]テンジクメギの茎 yunnan-

sikni (新)※(雲南目木): [名]ニイタカヘビノボラズの茎 ári-sikni (新)※(阿里目木): [名]ヒロハコガネメギの茎 hamusep-konkani-sikni (新): [名]ヒロハノヘビノボラズの茎 hamusep-sikni (新): [名]ヘビノボラズの茎 somoimu (新): [名]ベルベリス・アグリコラの茎 kunnehure-sikni (新): [名]B. アムレンシスの茎 amur-sikni (新): [名]B. アルピコラの茎 rikta-sikni (新): [名]B. アンフエイエンシスの茎 anhuy-sikni (新)※(安徽目木): [名]B. イリエンシスの茎 íri-sikni (新)※(伊犁目木): [名]B. ウィルソナエの茎 konkaniapappo-sikni (新): [名]B. ガグネパイニーの茎 hupey-siknu (新)※(湖北目木): [名]B. カナデンシスの茎 kanada-sikni (新): [名]B. カンスエンシスの茎 kansu-sikni (新)※(甘肅目木): [名]B. カンディドウラの茎 kóus-siknu (新): [名]B. ギャライカの茎 pamir-sikni (新)※(パミール目木): [名]B. クサントフォロエアの茎 kapusikerpepus-sikni (新): [名]B. [名]B. シッキメンシスの茎 síkkim-sikni (新): [名]B. シビリカの茎 síbiri-sikni (新): [名]B. ダルウィニーの茎 darwin-siki (新)※(ダーウィン目木): [名]B. ディクティオフィラの茎 atuyyahúretamao-sikni (新): [名]B. テイベティカの茎 bú-sikni (新)※(チベット目木): [名]B. ネグリアナの茎 neger-sikni (新)※(ネゲル目木): [名]B. ヒスパニカの茎 espania-sikni (新): [名]B. ヒポケリナの茎 miyamma-sikni (新)※(ミャンマー目木): [名]B. フェンドレリの茎 kororado-sikni (新)※(コロラド目木): [名]B. ブルガリスの茎 europa-sikni (新): [名]B. ヘムスレヤナの茎 rasa-sikni (新)※(ラサ目木): [名]B. ベルクロサの茎 tomtomo-sikni (新)※(疣目木): [名]B. ポイレティエの茎 hamuane-sikni (新): [名]B. ボリヤンタの茎 esikerpepus-sikni (新): [名]B. ミクロカルパの茎 mageran-sikni (新)※(マゼラン目木): [名]B. ミティフォリアの茎 numausham-sikni (新): [名]B. ミヌティフロラの茎 epon-sikni (新): [名]B. ユリアナエの茎 riyahamus-sikni (新)※(漢方薬): [名]B. レコムティエの茎 kí-sikni (新): [名]B. ルドロウイの茎 eporo-sikni (新): [名]ホソバアカメギの茎 hamuanehure-sikni (新): [名]イカリソウ属 kaytekina-cise (新): [名]イヌエンゴサク属 setatomakina-cise (新): [名]ギムノスペルミウム属 gimnospermium-cise (新): [名]サンカヨ

ウ属 nokokorhamunkina-cise (新): [名]タツタソウ属 kásayepmun-cise (新): [名]トガクシソウ属 togakusimun-cise (新): [名]ナンテン属 nanten-cise (新): [名]ナンブソウ属 nambumun-cise (新): [名]ヒイラギナンテン属 icananten-cise (新): [名]パンクバリア属 vankuvaria-cise (新): [名]ボンガルディア属 bongardia-cise (新): [名]ミヤオソウ属 surkukasa-cise (新): [名]ルイヨウボタン属 potanhamusmun-cise (新)

めきき(目利き) [自]目利きである isikinukarpirka (新): [他]~の目利きである sikinukarpirka (新)※("etunupirka"の発想より): [名]目利き isikinukarpirkakur (新)

メキシコ [場名](国名)メキシコ合衆国 Méxiko Ukosineatkimosir (新): [場名](国名の通称として)メキシコ Méxiko (新): [名]メキシコ人、国民 méxikounkur (新): [場名](メキシコ合衆国の首都)メキシコ市 Méxiko-si (新)

めくぎ(目釘) [名]目釘 sikay(-e) (石狩): (表現)目釘を~に通す sikay kus (石狩): (表現)目釘を刺す sikay kar (沙流): (表現)目釘を抜く sikay etaye (複数 etaypa) (新)

めぐすり(目薬) [名]目薬 sikkusuri (新)

めくばせ(目配せ) [自]目配せする rarepuni (石狩)、[自] rareyaka (沙流): [他](場所)で目配せする erarpuni (新): [他](人)に目配せする korarpuni (新): [他](原因、手段)で目配せする orarpuni (新): [他](人)に[自]目配せさせる rarepunire (新): [自]目配せし合う ukorarpuni (新)

めぐむ(恵む) ①(人間同士の行為として)[他]人に~を恵む unkore (複数 unkorpare) (新): [他](人)に物を恵む ikore (複数 ikorpare) (新): [他](人)に~を恵む kore (複数 korpare) (石狩)※(複数形は雅語文体で用いられる。)、[他] epirkare (新): [他](場所)で(人)に~を恵む ekore (複数 ekorpare) (新): [他]~と共に(人)に~を恵む kokore (複数 kokorpare) (新): [他](原因、手段)で(人)に~を恵む okore (複数 okorpare) (新): [他]人に(人)に~を恵ませる、恵んでもらう koreyar (新): [他]人に~を自分に恵ませる、恵んでもらう sikoreyar (新): [他]人に者を自分に恵ませる、恵んでもらう isikoreyar (新): ②(神から人への行為として)[他]~を恵む kasinukar (石狩)、[他](雅) ekasinukar (ekasnukar) (石狩)、[他](雅) koekasinukar (koekasnukar) (石狩):

[他]～に～を恵む ekoinkar (石狩)、[他] ekasinukar (ekasnukar) (石狩)、[他] ekoikasinukar (ekoikasnukar) (石狩)：[他]～と共に～を恵む kokasinukar (kokasnukar) (新)：[他](原因、手段)で(人)に～を恵む okasinukar (okasnukar) (新)：[名]恵み cikasunukarpe (新)、[名] cieunkoinkarpe (新)、[名] cirankep (新)、[名] haru (新)、[名] pirkap (新)

メクラアブ(盲虻)(昆虫)[名](アブ科)メクラアブ síparapucupke (屈斜路)※(差別名称問題で「キンメアブ」、「ハネモンアブ」案未決)

めぐりあう(巡り会う) [自]人や事物と巡り会う ikoykari (ikoykari) (石狩)：[他]～と巡り会う koekari (石狩)：[他](場所)で～と巡り会う ekoekari (ekoykari) (新)：[他](原因、手段)で～と巡り会う okoekari (okoykari) (新)：[他]～を～と巡り合わせる koekarire (新)：[他]自分で、一人で～と巡り会う koyaykoekari (koyaykoykari) (新)：[他]互いに、皆で～と巡り会う koukoekari (koukoykari) (新)：[自]互いに巡り会う ukoekari (ukoykari) (石狩)：[他]～を互いに巡り合わせる ukoekarire (ukoykarire) (新)

めくる(捲る) ①(木の根元などしっかりとくっ付いたものに関して)[他]～を捲る、捲れ上がらせる mewe(複数 mewpa) (石狩)：目下合成語の構成要素としてのみ現れる語だが、今後単独でも用いていく。：(表現)板を捲る ita mewe(複数 mewpa) (新)：[他](場所)で～を捲る emewe(複数 emewpa) (新)：[他]～と共に～を捲る komewe(複数 komewpa) (新)：[他](原因、手段)で～を捲る omewe(複数 omewpa) (新)：[他](人)に～を捲らせる mewere(複数 mewpare) (新)：[他]瞬間的に～を捲る mewtekka (新)：[他]思い切り～を捲る toykomewe(複数 toykomewpa) (新)：②(皮など薄いものや本のページなど層になったものに関して)[他]～を捲る soso(複数 sospa) (石狩)：(表現)ページを捲る sososo(複数 sospa) (新)：[他](場所)で～を捲る esoso(複数 esospa) (新)：[他]～と共に～を捲る kososo(複数 kososo) (新)：[他](原因、手段)で～を捲る ososo(複数 osospa) (新)：[他](人)に～を捲らせる sosore(複数 sospare) (新)：[他]瞬間的に～を捲る sostekka (新)：[他]思い切り～を捲る toykososo(複数 toykosospa) (新)：③(着物の裾などに関して)[他]捲る、捲り上げる ihorkakomo (新)：[他]～を捲る horkakomo (石狩)：[他](場所)で～を捲る ehorkakomo (新)：[他]～に対し

て～を捲る kohorkakomo (新)：[他]～と共に～を捲る kohorkakomo (新)：[他](原因、手段)で～を捲る ohorkakomo (新)：[他](人)に～を捲らせる horkakomore (新)

めぐる(巡る) [自]巡る kari (石狩)：[他](場所)を巡る ekari (新)、[他] okari (石狩)：[他]～と共に巡る kokari (新)：[他](原因、手段)で巡る okari (新)：[他]～に巡らせる、～を巡らせる karire (石狩)：[他](場所)を～に巡らせる、(場所)に～を巡らせる ekarire (新)、[他] okarire (石狩)：[他]～と共に～に巡らせる、～と共に～を巡らせる kokarire (新)：[他](原因、手段)で～に巡らせる、～で～を巡らせる okarire (新)

めくれる(捲れる) ①(木の根元などしっかりと付いたものに関して)[自]捲れる mewke (石狩)、[自] mewmewke (沙流)：[他](場所)で捲れる emewke (新)：[他]～と共に捲れる komewke (新)：[他](原因、手段)で捲れる omewke (新)：[自]瞬間的に捲れる mewtek (新)：[自]ひどく捲れる toykomewke (新)：②(皮など薄いもの、層になったものに関して)[自]捲れる soske (石狩、天塩)：[自](場所)で捲れる esoske (新)：[他]～と共に捲れる kososke (新)：[他](原因、手段)で捲れる ososke (新)：[自]瞬間的に捲れる sostek (新)：[自]ひどく捲れる toykososke (新)：③(着物の裾などに関して)[自]捲れる hekomo (石狩)

メコン [場名](地名)メコン川 Mékon(・pet) (新)

めざす(目指す) [他]～を目指す、目指して行く yaypekare (石狩)、[他] eyaypekare (石狩)：[他](人)に～を目指すさせる、目指して行かせる yaypekarere (新)：[他]皆で、互いに～を目指すして行く ukoyaypekare (新)：[他]人々に～を目指すして行かせる、目指してもらう yaypekareyar (新)：(表現)(場所)を目指すして～する etoko(+後置詞)+移動を表す動詞 (石狩)：(表現)天を目指すして昇る kanto etoko ta rikin(複数 rikip) (新)：[他]～を目指すして行く eyaypekare (石狩)：(表現)～を目指すして行く tom(長形-o、-oke) ene oman(複数 paye) (新)：(表現)～を目指すして来る tom(長形-o、-oke) ene ek(複数 arki) (新)：(表現)自分を目指すして～を来させる sitom ene ekte(複数 arkire) (新)

めざまし(目覚まし) [名]目覚まし時計、目覚まし機能 imososop (新)：(表現)～に目覚まし機能が付いている ～ imososop kor

(新)

めざめる(目覚める) [自]目覚める mos (石狩)、[他] yaymososo (石狩)、[他](雅) koyaymososo (石狩): [他](場所)で目覚める emos (新): [他]~と一緒に目覚める komos (新): [他](原因, 手段)で目覚める omos (新): [他](人)を目覚めさせる mososo (石狩)

めし(飯) ①(炊事された食事)[名]飯 sukeipe (天塩): ②(米飯)[名]飯 mesi (石狩): (表現)(雅)美味しい飯を炊ぐ pirka mesi yaykokarkar (石狩)

めしたき(飯炊き) [自]飯炊きをする suke (石狩): [名]飯炊きをする召使 suke-ussiw (石狩): [名]飯炊き女 suke-menoko (石狩)

めしつかい(召使い) [名]召使い ussiw (石狩、天塩)、[名] sukumi (沙流)

めしびつ(飯櫃) [名]飯櫃 amamhitu (新)、[名] hitu (新)

めしべ(雌蕊) [名]雌蕊 matne-apappoci (新)

めしょうが(芽生姜) [名]芽生姜 keysiyoga (新)、[名] cikenie-sioga (新)

めじり(目尻) [場名]目尻 sikkes(-e) (石狩、天塩)、[場名] siknumkes(-e) (石狩)、[場名] sikohonkes(-i) (石狩)、[場名](雅) sikpuykes(-e) (石狩)

めす(雌) [名]雌 matnep(-i) (新): [自]雌になる、である matnepne (新): [連体]雌の matne (石狩、天塩): 多くの生物では「pinne+生物名」で「雄の~」を表すが、中には熊、鹿など主要な獣や鮭などの魚などのように性別(年齢)による特別な語彙を持つものがあるので注意。: [名]雌熊 matnekamuy (石狩)、[名] kucan (石狩): [名]二歳仔連れの雌熊 riyapkorpe (石狩): [名]雌犬 matneseta (新): [名]雌のサケ、マス os (石狩)

メタカラコウ(雌宝香) (植物)[名](キク科)メタカラコウ属 nuppuyra-cise (新): [名]メタカラコウの茎葉 matne-nuppuyra (新): [名]オオオタカラコウの茎 harihkon (樺太真岡): [名]オタカラコウの茎葉 pinne-nuppuyra (新)※(根は漢方薬「山紫苑」): [名]カイタカラソウの茎葉 kaynuppuyra (新): [名]ダツタンタカラコウの茎葉 šibiri-nuppuyra (新): [名]トウゲブキの茎葉 nuppuyra (新)、[名]その根 nuppuy (新)※(別名「エゾタカラコウ」): [名]ハンカイソウの茎葉 samorun-nuppuyra (新): [名]マルバダケブキの茎葉 nimakipo-nuppuyra (新): [名]ミチノクヤマタバコ(の)の茎葉 micinoku-nuppuyra

(新): [名]モコウコヤマタバコ(の)の茎葉 mongonnuppuyra (新): [名]ヤマタバコ(の)の茎葉 yácinuppuyra (新): [名]リグラリア・ヴォロビエヴィイの茎葉 santa-nuppuyra (新): [名]リグラリア・シュミッティイの茎葉 rošianuppuyra (新): [名]リグラリア・マクロフィラの茎葉 poronuppuyra (新)

メダケ(雌竹) (植物)[名](タケ亜科)メダケ属 matneuras-cise (新): [名]メダケの枝葉 matneuras (新): [名]アオネザサの枝葉 siwnin-sinrituras (新): [名]アズマネザサの枝葉 cupkaus-sinrituras (新): [名]ケネザサの枝葉 numaus-sinrituras (新): [名]シブヤザサの枝葉 sibuya-uras (新): [名]ネザサの枝葉 sinrituras (新)※(アズマネザサの変種)

めだつ(目立つ) ①(自分でそう望んで何らかの行為をし)[自]目立つ iyaykosittarirepa (新): [他](場所)で目立つ eiaykosittarirepa (新): [他](原因、手段)で目立つ oiaykosittarirepa (新): ②(自然に)[自]目立つ isikosittarirepa (新): [他](場所)で目立つ eisikosittarirepa (新): [他](原因、手段)で目立つ oisikosittarirepa (新)

めだま(目玉) [名]目玉 siknum(-i) (石狩)

めちやくちや(滅茶苦茶) [副]滅茶苦茶に wenno (石狩)、[副] wen (石狩): (表現)滅茶苦茶沢山ある sonno poronno an (石狩): (表現)(大風などにより)土が掘り返されてめちやくちやになり、石原が掘り返されてめちやくちやになる cita toy onne piwka onne (石狩): [接頭](動詞に接頭して項の数を変えずある状態や動作が「激しい」事を表し)滅茶苦茶に sirkō- (石狩)、[接頭] toyko- (石狩)、[接頭] toy- (石狩)、[接頭] wen- (石狩)、[接頭] ray- (石狩): 用法の詳細は「ひどく」を見よ。: [自] toykoarikiki (新): [他]~を滅茶苦茶嘔む toykokuykuy (石狩): [他]~をめちやくちやに踏みつける sirkooterke (新)、[他](雅語) esirkooterke (石狩): 「…極悪のコンブイを私は家と共に滅茶苦茶に踏みつけ…」 “… siruwen kosimpuy cise tura an=esirkooterke…” (杉村キナラブック)神謡

メッカ [場名](サウジアラビア王国の都市名)メッカ Makka (新)※(別名"Um-ar-kura")

めつき(鍍金) ①[自]鍍金する ikaniusi (新): [他]~に鍍金する kaniusi (新): 「鉄に鍍金する」 yayankani kaniusi (新): [名]~に~を鍍金する usi (新): 「鉄に亜鉛を鍍金する」 yayankani zinkum usi (新): ②[自]金鍍金する

ikonkaniusi (新)

めつき(目つき) [場名]目つき siktum (石狩): (表現)凶暴な眼つきをする niwen siktum eyaysankere (石狩): (表現)目つきが険しい siktum konna koaycarar (石狩)

メッシーナ [場名](イタリア共和国の都市名)メッシーナ Messina (新): [場名](地名)メッシーナ海峡 Mesšina-uturkeatuy (新)

めつぼう(滅亡) [自]滅亡する emuke (天塩): (表現)滅亡してしまう an=wénte wa oariam (isam) (新)、(表現) an=kirú wa oarisam (isam) (新): (表現)村が滅亡してしまう kotan yaywente (an=wénte) wa oarisam (isam) (石狩)、(表現) kotan oha wa tu (八雲)、(表現) kotan orake (幌別): [他]～を滅亡させる wente (石狩)、[他] kiru (石狩)、[他] emukere (新): [他](場所、時)に～を滅亡させる ewente (新)、[他] ekiru (新): [他]～と共に～を滅亡させる kowente (新)、[他] kokiru (新): [他](原因、手段)で～を滅亡させる owente (新)、[他] okiru (新): [他](人)に～を滅亡させる wentere (新)、[他] kirure (新)、[他] emukerere (新): [他]自分で、一人で～を滅亡させる yaykowente (新)、[他] yaykokiru (新)、[他] yaykoemukere (新): [他]互いに、皆で～を滅亡させる ukowente (新)、[他] ukokiru (新)、[他] ukoemukere (新): [他]完全に～を滅亡させる oarwente (arwente) (新)、[他] oarkiru (arkiru) (新)、[他] oaremukere (aremukere) (新): [他]人に～を滅亡させる wenteyar (新)、[他] kiruyar (新)、[他] emukereyar (新): [自]互いを、皆を滅亡させる uwente (新)、[自] ukipra (新)、[自] uemukere (新)

メディナ [場名](サウジアラビア王国の都市名)メディナ Madina (新)

めとめのあいだ(目と目の間) [場名]目と目の間 sikutur(-u) (石狩): (表現)目と目の間が狭い sikutur(-u) hupne (新): (表現)目と目の間広い sikutur(-u) sep (新)

メナモミ(雌ナモミ) (植物)[名](キク科)メナモミ属 unkerekina-cise (新): [名]メナモミの茎葉 unkerekina (幌別): [名]コメナモミの茎葉 mounkerekina (新): [名]ツクシメナモミの茎葉 orientaris-unkerekina (新)

めねじ(雌螺子) [名]雌ねじ matnecinoyep (新)

めのとどかないところ(目の届かない所) [位名]～の目の届かない所 sempir(長形-i、-

ke) (石狩): 「あんたの旦那、あんたの目の届かないところで悪さをしてるよ。」

“E=kor hoku e=sempiri ta wempuri kor kane an na .”

めのまえ(目の前) ①(ある場所の手前)[位名]～の目の前 tukar(長形-i、-ike) (石狩): 「目的地を目の前にしてお前は引き返すのか?」 “Ku=epeka hi tukarika wa e=hosipiruwe?”: [位名]～のすぐ目の前 attukar(長形-i、-ike) (石狩): ②(移動するすぐ前)[位名]～のすぐ目の前 áretok(長形-o) (石狩): 「私が川沿いに上流に行く」と目の前に大蛇が伸びて横たわっていた。」

“Petturasi ku=oman kor en=aretok ta poro tannep situri wa hotke wa an .”: ③(静止したすぐ前)[位名]～の目の前 arkotca(長形-ke) (新): 「俺の目の前に美しい草原が広がった。」 “En=kotca ta pirka nup hemaknaraye .”: ④(すぐ近く)[位名]～の目の前 teksam(長形-a、-ake) (石狩): 「以前はいつも僕の目の前に君がいた。」

“Teeta en=teksam ta ramma kane e=an .”: ⑤[自]目の前が真っ暗になって気を失う ekunnaot (石狩)

メビバイト (コンピュ)[名](コンピュータの容量などの単位)メビバイト mébibait (新)※(単位記号は“MiB”)

めぶく(芽吹く) [自]芽吹く etuk (石狩)

メフン [場名]メフン、サケの背線部 cepmekka (石狩)

めぼし(目星) [名]目星 may(-e) (H): [自]目星が一つできる máyoma (H): [自]目星が複数できる máyo (H)

めまい(眩暈) [自]眩暈がする siketokererus (石狩)、[自] nutokkari (石狩): [他](場所)で眩暈がする esiketokererus (新)、[他] enutokkari (新): [他]～と共に眩暈がする kosiketokererus (新)、[他] konutokkari (新): [他](原因、手段)で眩暈がする osiketokererus (新)、[他] onutokkari (新): [他](人)に眩暈をさせる siketokereruska (新)、[他] nutokkarire (新)

めやに(目脂) [名]目脂 siknumpe (石狩)、[名] impe (天塩)

メラネシア [場名](地名)メラネシア Meranesia (新)※(オセアニア中部の島々の総称): [名]メラネシア人 meranesiaunkur (新): [名]メラネシア語 meranesiaunkur-itak (新)

メランキウム (植物)[名](ウリ科)メランキウム属 numaus-merompunkar-cise (新): [名]メランキウム・カンペストレの茎 numaus-merompunkar (新)、[名]その果実

numausmeron (新)
メランポディウム (植物)[名](キク科)メランポディウム属 merampodium-kikukinacise (新): [名]メランポディウム・バルドスムの茎葉 parudosum-kikukina (新)※(別名「メランボジューム」)
メリーランド [場名](アメリカ合衆国の州名)メリーランド州 Márirando-mosir (Mérirando-mosir) (新)※(州都は「アナポリス」)
メルボルン [場名](オーストラリア穀ビクトリア州の州都名)メルボルン Merban (新)※(州都は「ランシング」)
メロン (植物)[名](キュウリ属)メロンの茎 merompunkar (新)、[名]メロンの果実 meron (新)※(日本語。アミナシメロンは siksirkisak-meron、ネットメロンは siksirkio-meron): 品種[名]アールスメロンの果実 earismeron (新): [名]アカゲウリの果実 numahuremeron (新)※(モーウイ): [名]カンタロープの果実 kantaroupemeron (新): [名]シロウリの果実 retarmeron (新): [名]スペインメロンの果実 supeinmeron (新): [名]ハネデューメロンの果実 hanidiwmeron (新): [名]ハミウリの果実 hamimeron (新): [名]プリンスメロンの果実 purinsumeron (新): [名]ホームランメロンの果実 hómranmeron (新): [名]マクワウリの果実 makuwa (makuwameron) (新): [名]マスクメロンの果実 muskumeron (新)、[名] mawepirkameron (新): [名]夕張メロンの果実 yúparomeron (新)
めをあける(目を開ける) [自]自分の目を開ける yaysikimaka (新): [他]〜に対し自分の目を開ける koyaysikmaka (新): [他](人)の目を開ける sikimaka (新)
めをガラガラさせる(目をガラガラさせる) [自]目をガラガラさせる、目を爛々と見開き続ける isiskotaknatara (石狩)
めをこらす(目を凝らす) [自]目を凝らす sikmaka (石狩)、[他] sismasanasan (石狩): [他](場所)で目を凝らす esikmaka (新)、[他] esismasanasan (新): [他]〜に対し目を凝らす kosikmaka (石狩)、[他] kosismasanasan (石狩): [他](場所)から目を凝らす osikmaka (新)、[他] osismasanasan (新)
めをさます(目を覚ます) [自]目を覚ます mos (石狩)、[自] yaymososo (石狩)、[他](雅) koyaymososo (石狩): [他](人)の目を覚ます mososo (石狩): [他](人)に(人)の目を覚まさせる mososore (新): [他]人に(人)の目を覚まさせる、覚ましてもら

う mososoyar (新): [自]人に自分の目を覚まさせる、覚ましてもらう simososoyar (新)
めをだす(芽を出す) (地面から)[自]芽を出す etoyposo (石狩)
めをつぶる(目を瞑る) [自]目を瞑る sikkanuus (sikkanus) (石狩)、[自] sikkamuk (沙流): 「彼は上座に行きさつと座ると目を瞑り座っている。」“Apeetok ta oman tek a tek sikkauus wa a wa an.”: [自]目をぎゅっと瞑っている sikiyupupu (沙流)
めをぬすむ(目を盗む) (表現)〜の目を盗む ~ sikuturu tusmak (沙流): 「お前達の目を盗んで私は外出したのだよ。」“Es=sikuturu ku=tusmak wa ku=asin ruwe ne wa.”
めをはわせる(目を這わせる) [自]目を這わせる sikraypare (沙流): [他]〜に目を這わせる kosikraypare (新): [他](原因、手段)で目を這わせる osikraypare (新): [他]ゆっくり目を這わせる ratcisikraypare (新): [他]ねっとり目を這わせる toykosikraypare (新)
めをひく(目を引く) ①(自分でそう望んで何らかの行為をし)[自]人の目を引く iyaykosittarirepa (新): [他](人)の目を引く yaykosittarirepa (新): [他](場所)で(人)の目を引く eyaykosittarirepa (新): [他](原因、手段)で(人)の目を引く oyaykosittarirepa (新): ②(自然に)[自]人の目を引く isikosittarirepa (新): [他](人)の目を引く sikosittarirepa (新): [他](場所)で(人)の目を引く esikosittarirepa (新): [他](原因、手段)で(人)の目を引く osikosittarirepa (新)
めをひらく(目を開く) [自]人の目を開く isikimaka (新): [他](人)の目を開く sikimaka (新): [他](場所)で(人)の目を開く esikimaka (新): [他]〜に対し(人)の目を開く kosikimaka (新): [他]〜と共に(人)の目を開く kosikimaka (新): [他](原因、手段)で(人)の目を開く osikimaka (新): [他](人)に(人)の目を開かせる sikimakare (新): [自]自分の目を開く yaysikimaka (新): [自]互いに目を開く usikimaka (新): [他]人に(人)の目を開かせる sikimakayar (新)
めをふせる(目を伏せる) [自]目を伏せる sissikeranaatte (sirsikeranaatte) (新): [他](場所)へ眼を伏せる sikeranaatte (石狩)
めをまどわせる(目を惑わせる) (表現)〜が目

を惑わせる sik ~ uhaytare (石狩):

(表現)〜が…の目を惑わせる … siki ~
uhaytare (新)

めをまわす(目を回す) [自] 目を回す
nutokkari (石狩): [他](場所)で目を回す
enutokkari (新): [他]〜と共に目を回す
konutokkari (新): [他](原因、手段)で目を
回す onutokkari (新): [他](人)の目を回
させる nutokkarire (新)

めをみひらく(目を見開く) [自] 目を見開く
sismasanasan (石狩): [他]〜に目を見開
く kosismasanasan (石狩): [自]目を
爛々と見開き続ける isiskotaknatara (石
狩)

めをむく(目を剥く) [自](怒って)目を剥く
sikkeruru (新): [他](怒って)〜に目を剥
く kosikkeruru (石狩)

めをやる(目を遣る) [自]目を遣る sikepuni
(石狩): 「私が君に目を遣ると君は座ったま
ま眠っていた。」“E=ekota ku=sikepuni hike
e=a wa e=mokor kane an .”: [他]〜に目
を遣る kosikepuni (新)

めん(面) [名]面 so (石狩): [名]海面
atuyso (石狩): [位名]〜の面 kotor(長形
-o) (石狩): (表現)天の(目に見える)面
kanto kotor (石狩)

めんえき(免疫) [自]免疫がある
siyeyekamakator (新): [名]免疫学
siyeyekamakator-eampehunar (新): [名]
免疫学者 siyeyekamakator-eampehunar
(新): [名]免疫系 siyeyekamakator(-u)
(新): [名]免疫原性 siyeyekamakator-puri
(新): [名]免疫反応 siyeyekama (新):
[自]免疫反応を起こす siyeyekama (新):
[名]免疫不全 siyeyekamakatorwen (新):
[自]免疫不全を起こす siyeyekamakatorwen
(新)

めんぜん(面前) ①(表現)(静止した)〜の面前
nanu kotca(長形-ke) (石狩): ②(表現)(移
動する)〜の面前 nanu etok(長形-o) (石
狩): [位名](雅語)〜の(移動する)面前
siretok(長形-o) (石狩): 「最初の矢を神の
面前に上げる事…」“Hoski ay kamuy siretok
ekorikinte…”(砂沢トゥアカンノ)

メンデレビウム (化学)[名]メンデレビウム
menderevium (新)※(原子番号101番。元
素記号 Md)

めんどうさい(面倒臭い) [自]面倒臭い
inukuri (石狩): [他]〜が面倒臭い
nukuri (石狩): [助動]〜(する)のが面倒臭
い nukuri (石狩): [間投]面倒だなあ
iramsitnere (萱野)

めんどうをみる(面倒を見る) [自]面倒を見る
isikrerotte (新): [他]〜の面倒を見る
sikrerotte (沙流): [他](場所)で〜の面倒

を見る esikrerotte (新): [他]〜と共に〜
の面倒を見る kosikrerotte (新): [他](原
因、手段)で〜の面倒を見る osikrerotte
(新): [他](人)に〜の面倒を見させる
sikrerottene (新): [他]自分で、一人で〜
の面倒を見る yaykosikrerotte (新):
[他]皆で、共に〜の面倒を見る
ukosikrerotte (新)

メントール [名]メントール imemankasum-
orop (新)、[名]mentor (新)※(英語)

めんぷ(綿布) [名]綿布 senkaki (石狩)

メンフィス [場名](アメリカ合衆国テネシー州
の都市名)メンフィス Menfis (新)

めんもく(面目) ① [自]面目を施す
katupirka (新): [他](人)の面目を施す
katupirkare (新): [他](物事)で面目を施
す ekatupirka(ekatpirka) (石狩): [他]
〜に対して面目を施す kokatupirka (新):
[他](物事)で神としての面目を施す
eyaykamuynera (石狩): 「どんな神でも
人が贈った木幣で神としての面目を施す。」

“Nep kamuye ne yakka aynu kar inaw
eyaykamuynera .”: ②[自]面目を失う
katuwen (新): [他](人)の面目を失わせる
katuwenta (新): [他](物事)で面目を失う
ekatuwen (新)

も [副助]も ka (石狩): 沙流方言では韻文
で“kayki”も使われる。また沙流方言では「そ
の上〜も」というニュアンスの“ka”に対し「他
の事柄と共に〜も」のニュアンスの“hem”が
あるが、石狩方言には“hem”が存在せず、使
い分けはない。: 「私も行きます。」“Kuani
ka ku=oman .”, 「この少年には父も母もい
ない。」“Tan okkaypo anakne ona sak unu
sak .”, 「お前以外の女に私が好意を持った
事もないのだよ。」“E=emosma an menoko
ka ku=eramasuy ka somo ki na .”: (表現)
も ne yakka (石狩): 特に空知方言では
“nakka”と発音される事も多い。: 「私もあ
なたも人間です。」“Kuani ne yakka esokay
ne yakka aynu an=ne .”, 「昨日も今日も私
はここにいました。」“Nunan ne yakka
tanto ne yakka te ta ku=an ruwe ne .”, 「私
が金持ならばパリへもロンドンへも行くの
にな。」“Nispa ta ku=ne yakne Paris ene
Rondon ene ku=oman okay .”

も(藻) [名]藻 tópenra (天塩)

もう(1) ①(更にという意味で)[副]もう na
(石狩): 強調形は“naa”: (表現)もう少し
na ponno (石狩): (表現)もう一回 na
assuy (石狩): (表現)もう少ししたなら
na siran ciki(石狩): (表現)もう少しすると
na siran kor (石狩): (表現)もう少しする
と na siran tek (石狩): (表現)(それまで

の文を受け、ある時以来)もう～しない nani somo+動詞句 (石狩): 「母が泣くのを見て、私はもう誰も虐めたりしなかった。」

“Ku=kor totto cis ruwe ku=nukar kusu nani somo sinen poka ku=koyki.”: ②(既にという意味で)[副]もう tane (石狩)、[副]tanepo (石狩): 「あなたはもう食事済んじゃった?」「Es=ipé okere ruwe?»: (表現)もう tane anakne (石狩): 「もう私達は誰も信じない。」“Tane anakne nen ne yakka ku=eisokor kusu ne .”

もう(2)[間投](失望や不満を表し)もう paw (石狩)、[間投] pawpaw (新)、[間投] pawpawpaw (石狩): 「もう! 何だって言うの?」「Paw! Nékon ta?」

もうける(儲ける)①(金銭に関して)[他]～で儲ける、儲けている epirka (石狩): 「私達は新商品で儲けた。」“Asir cihoki ci=epirka .”: [他]～で(人)を儲けさせる epirkare (新): 「この仕事で私を儲けさせてくださいよ。」“Tan irawkitupa en=epirka wa en=kore yan .”: ②(子供に関して)[他]～を儲ける、儲ける kor (石狩): 「私達は男の子も女の子も儲けた。」“Okkaypo ka menokopo ka ci=kor .”

もうげん(妄言)(表現)妄言 etarka itak (新)

もうこはん(蒙古斑)[名]蒙古斑 pókes(-i) (新)※(子瘰): (表現)～の尻に蒙古斑がある ~ osoro pókes oma (新)

もうじゃ(亡者)[名]亡者 raykur (石狩)※(悪口としても用いられる。)

もうじゅう(猛獣)[名]猛獣 niwen-cikoykip (新): (表現)猛獣の檻 niwen-cikoykip o set (新): (表現)猛獣使い niwen-cikoykip eiwanke kur (新)

もうしわけない(申し訳ない)[自]申し訳ないと思う iramunukuri (JK): [他]～について申し訳ないと思う eiramunukuri (新): [他](場所)で申し訳ないと思う eiramunukuri (新): [他]～に対して申し訳ないと思う koiramunukuri (新): [他]～と共に申し訳ないと思う koiramunukuri (新): [他](原因、手段)で申し訳ないと思う oiramunukuri (新): [他](人)に申し訳ないと思わせる iramunukuri (新)

もうすぐ[副]もうすぐ tanepo (石狩)、[副]tane (石狩): 「もうすぐお母さんが帰ってくるわ。」“Tanepo totto hosipi wa .”

もうすこし(もう少し)①(表現)もう少し na ponno (石狩): 「もう少し下さい。」“Na ponno en=kore yan .”: ②[副]もう少しで tanepo (石狩)、[副]tane (石狩): 「も

う少しで出来るからここで待って下さい。」

“Tane ku=kar okere kusu te ta en=tere wa en=kore yan !”: (表現)(平叙文で)もう少ししたら tane ponno siran kor (新): 「もう少ししたら愛ちゃんが来るよ。」“Tane ponno siran kor Ai ek na .”: (表現)(疑問文、命令文で)もう少ししたら tane ponno siran ciki (新): 「君はもう少ししたら帰るんだろ?」「Tane ponno siran ciki e=hosipi ruwe?」、「もう少ししたら出て行ってくれ!」

“Tane ponno siran ciki asin ya !”: ③(表現)もう少しで～(し)そうになる naani (nani) ponko (石狩): 「最近ひどい病気に罹ってもう少しで死んでしまうところだった。」“Naun ku=tasum wa naani ponko ku=ray wa isam .”

もうそう(妄想)[自]妄想する isiramkopa (新): (表現)妄想する etarka yaynu (新): [他]～を妄想する siramkopa (新): (表現)～を妄想する etarka ramu (新): [他](場所)で妄想する esiramkopa (新): [他]～と共に妄想する kosiramkopa (新): [他](原因、手段)で妄想する osiramkopa (新): [他](人)に～を妄想させる siramkopare (新): [他]自分で、一人で～を妄想する yaykosiramkopa (新): [他]互いに、皆で～を妄想する ukosiramkopa (新): [他]～について妄想に耽る toykosiramkopapa (新)

モウソウチク(孟宗竹)(植物)[名](マダケ属)モウソウチクの茎 cienotopto (新): [名]モウソウチクの筍 cienotopto (新)

もうちょう(盲腸)[場名]盲腸 ruwetuyupake (新)

もうどうけん(盲導犬)[名]盲導犬 sikneseta (新)

もうどく(猛毒)[名]猛毒 kereptusse (kerepturse) (石狩)、[名] ayyopikkew (天塩)※(本来は通常用いる矢毒の中でも最強のもの。)

もうふ(毛布)[名]毛布 kiskisenkaki (新)、[名] ketto (沙流)

もうもく(盲目)[自]盲目である siknak (石狩): [他](原因、手段)で盲目である osiknak (新): [他](人)を盲目にする siknakka (新): [自]完全に盲目である oassiknak (assiknak) (新): [自]盲目となる sisiknakka (新)

もうもく(盲目)[自]盲目である siknak (石狩): [他](人)を盲目にする siknakka (新)

もえさし(燃えさし)[場名]燃えさし apekes (石狩)

もえる(燃える)①[自]燃える uhuy (石

狩): [他](場所)で燃える euhuy (新):
 [他]〜と共に燃える kouhuy (新):
 [他](原因、手段)で燃える ouhuy (新):
 [自]完全に燃える oaruhuy (aruhuy)
 (新): [自]パッと燃える uhuytek (新):
 [自]燃え上がる、ボーボー燃える passe
 (parpasse) (新)、[自] parse (parparse)
 (八雲): (表現)燃え上がる uhuy wa rikin
 (石狩): (表現)燃えて行く uhuy wa paye
 (石狩): (表現)燃えてしまう uhuy wa
 isam (石狩): (表現)すっかり燃えてしま
 う uhuy wa oarisam (新): (表現)火が燃
 え上がる、激しく燃える ape passe
 (parpasse) (新)、(表現) ape parse
 (parparse) (八雲)、(表現) ape yupke
 (石狩)、(表現) ape ruy (幌別): [自](床に
 じわじわ燃え広がっていく火を比喩的に表
 現して)炎の尾の犬がじりじり這う
 honuysetanu (石狩): 「…炎の尾の犬がじ
 りじり這い家の中が燃え上がり…」 “…
 honuysetanu cise oske uhuy wa rikin…” (杉
 村キナラブク)神謡: [自]プスプスと燃える
 nisiske (石狩): (表現)(何か)に燃え移る
 ape epeku (石狩)、(表現) ape kotuk (八
 雲): ②(燃やせる)(表現)燃える an=uhúy
 easkay (新): (表現)燃えるゴミ
 an=uhúy easkay mun (新): (表現)燃えな
 いゴミ an=uhúy eaykap mun (新)

もえる(萌える) ①(草木が芽を出す)[自]萌え
 る etuk (石狩): (表現)若草が萌える山
 otta pewre mun etuk nupuri (新): ②(あ
 る人や物への強い感情、欲望)[自]萌える
 moe (新)※(日本語): [他](場所)で萌える
 emoe (新): [他]〜と共に萌える komoe
 (新): [他](原因、手段)で萌える、〜に萌え
 る omoe (新): [他](人)を萌えさせる
 moere (新): [他](中相)〜が(新): [自]人
 を萌えさせる moeyar (新): (表現)萌え
 キャラ ciomoe puri (新): (表現)萌え属
 性 ciomoe iumpuri (新)

モーリシャス ①[場名](国名)モーリシャス共和
 国 Máuritius Ukotankoremosir (新)※(首
 都は「ポートルイス」): [場名](国名の通称
 として)モーリシャス Máuritius (新):
 [名]モーリシャス人、国民 máuritiusunkur
 (新): ②[場名](地名)モーリシャス島
 Máuritius-poysir (新)

モーリタニア [場名](国名)モーリタニア・イス
 ラム共和国 Múritaniya Isram
 Ukotankoremosir (新)※(首都は「ヌアクシ
 ョット」): [場名](国名の通称として)モーリ
 タニア Múritaniya (新): [名]モーリタ
 ニア人、国民 múritaniyaunkur (新)

もがく [自]もがく sipicipici (石狩): [他]

〜をもがさせる sipicipicie (新)

モガディシュ [場名](ソマリア連邦共和国の首
 都)モガディシュ Mukdišo (新)

もく(目)(分類)[場名]目 kotan (新): [場名]
 上目 kotampa (新): [場名]垂目
 mokotan (新): [場名]下目 kotankes
 (新): [場名]小目 ponkotan (新)

もぐ(挽ぐ) ①(木の実などに関して)[他]〜を挽
 ぐ、挽ぎ取る kar (石狩): [他](場所)で〜
 を挽ぐ、挽ぎ取る ekar (新): [他]〜と共
 に〜を挽ぐ、挽ぎ取る kokar (新):
 [他](場所)から〜を挽ぐ、挽ぎ取る okar
 (新): [他](原因、手段)で〜を挽ぐ、挽ぎ取
 る okar (新): [他](人)に〜を挽がせる、
 挽ぎ取らせる káre (新): [他]自分で、一
 人で〜を挽ぐ、挽ぎ取る yaykokar (新):
 [他]互いに、皆で〜を挽ぐ、挽ぎ取る ukokar
 (新): [他]完全に〜を挽ぐ、挽ぎ取る
 oarkar (arkar) (新): [他]人に〜を挽が
 せる、挽いでもらう kárar (新): ②(何か
 の一部を取る事を表し)[他]〜を挽ぐ、挽ぎ取
 る mesu(複数 mespa) (石狩): [他](人)
 に〜を挽がせる、挽ぎ取らせる mesure(複
 数 mespare) (新): [他]瞬間的に〜を挽ぐ、
 挽ぎ取る mestekka (新): [他]人に〜を
 挽がせる、挽ぎ取らせる mesuyar(複数
 mespayar) (新): [自]頭(先端)を挽ぐ、挽
 ぎ取る hemesu(複数 hemespa) (新):
 [他]〜の頭(先端)を挽ぐ、挽ぎ取る emesu
 (複数 emespa) (新): [自]尾(末端、性器)
 を挽ぐ、挽ぎ取る homesu(複数 homespa)
 (新): [他]〜の尾(末端、性器)を挽ぐ、挽ぎ
 取る omesu(複数 omespa) (新): ③(何
 かを切るなどして二つにして落とす事を表
 し)[他]〜を挽ぐ、〜を挽ぎ落とす tuyte
 (石狩): [他](人)に〜を挽がせる、挽ぎ落
 とさせる tuytere (新): [他]瞬間的に〜を
 挽ぐ、挽ぎ落とす tuytekka (新): [自]頭
 (先端)を挽ぐ、挽ぎ落とす hetuyte (新):
 [他]〜の頭(先端)を挽ぐ、挽ぎ落とす etuyte
 (新): [自]尾(末端)を挽ぐ、挽ぎ落とす
 hotuyte (新): [他]〜の尾(末端)を挽ぐ、挽
 ぎ落とす otuyte (新)

モクゲンジ(木患子) (植物)[名](ムクロジ科)モ
 クゲンジ属 mokugenji-cise (新): [名]モ
 クゲンジの茎 mokugenji (新)※(別名「セ
 ンダンバノボダイジュ」): [名]タイワンモ
 クゲンジの茎 taywan-mokugenji (新):
 [名]フクロミモクゲンジの茎
 poromokugenji (新)※(別名「オオモクゲン
 ジ」など)

もくざい(木材) [名]木材 cioikanni (新)、
 [名] ni (石狩)

もくさくえき(木酢液) [名]木酢液

cinisakeokar-supkakepe (新)
もくしつぷ(木質部) [名]木質部 nikam(-i) (天塩)
モクシュンギク(木春菊) (植物)[名](キク科)モクシュンギク属 hasne-margeritenkincise (新): [名]マーガレットの茎葉 hasne-margeritenkincina (新)、[名]その花 hasne-margeriten (新)※(別名「モクシュンギク」)
もくせい(木星) (宇宙)[名](太陽系の五番惑星)木星 Húresikkonnociw (新)、[名] Yúpiter (新)
もくぜん(目前) ①(ある場所の手前)[位名]～の目前 tukar(長形-i、-ike) (石狩): [位名]～のすぐ目前 attukar(長形-i、-ike) (石狩): 「芦別をすぐ目前にして私達は引き返した。」“Aspet attukari wa hosippa=as.”: ②(移動するすぐ前)[位名]～のすぐ目前 áretok(長形-o) (石狩): 「私が歩いて行くと目前に大きな家が見えた。」“Ku=apkas ayne en=aretoko ta ku=inkar hike poro cise an.”: ③(静止したすぐ前)[位名]～の目前 arkotca(長形-ke) (新): 「俺たちの目前にお前は座っていた。」“Un=kotcake ta e=a wa an.”: ④(すぐ近く)[位名]～の目前 teksam(長形-a、-ake) (石狩): 「神居古潭はすぐ目前だ。」“Kamuykotan anak i=teksam an.”
もくぞう(木像) [名]木像 níinoka (新): (表現)木像を造る níinoka kar (新): (表現)木像を彫る níinoka nuye (新)
もくたん(木炭) [名]木炭 nítan (新)
もくてき(目的) ①[名]目的 cikosirepakunip (新)、[名] cikosirepap (新): ②[場名]目的地 cikosirepa-kunihi (新)、[場名] cikosirepahi (新): (表現)目的地 kosirepa kunihi (新)、(表現) ekota sirepa kunihi (新)、(表現) ekota sirepa rusuy hi (新): 「次の目的地はどこですか?」“Tutanu an an=kosirepa kunihi ney ta an?”: ③(言語)[名]目的格 cikosirepakunip-rewke (cikosirepap-rewke) (新): [名]目的語 cikosirepakunip (cikosirepap) (新)、[名] obiekto (新)※(英語)
もくどく(黙読) [自]黙読する inukar (新): [他]～を黙読する nukar (石狩): [他](人)に～を黙読させる nukare (新)
もくねじ(木螺子) [名]木ねじ cinitumkonoyep (新)※(人が木の中へ振る物): (表現)木ねじが回る cinitumkonoyep sinoye (sikari) (新): (表現)木ねじを回す cinittumkonoyep noye (kari) (新語): (表現)木ねじを締める cinitumkonoyep

yupkeka (yupkere) (新): (表現)木ねじを緩める cinitumkonoyep sawreka (sawrere) (新)
もくはん(木版) [名]木版 cioptuyeni (新)、[名] níita (新): [自]木版印刷する nioioputuye (新): [他]～を木版印刷する nioopotuye (新): [他](人)に～を木版印刷させる nioopotuyere (新): [名]木版本 cinioopotuye-kampisos (新)
モクビャッコウ(目白香) (植物)[名](キク科)モクビャッコウ属 sirokanitakma-cise (新): [名]モクビャッコウの茎葉 sirokanitakma (新)
もくひょう(目標) [名]目標 ciepekakunip (新)※(目がけさせられるべきもの)、[名] ciepekap (新)
もくへい(木幣) [名]木幣 inaw (石狩): [名]木幣の頭部に逆削りする削りかけ kokera (石狩): [名]木幣を削る小刀 inawkemakiri (石狩): [名]木幣を削る小刀の先に付ける木片 epi rauspe (石狩): ②[自]木幣を削る、作る inawke (石狩): [他](人)に木幣を削らせる inawkere (新): [自]自分で、一人で木幣を削る yaykoinawke (新): [自]皆で木幣を削る ukoinawke (新): [自](木幣を削るため)小刀を走らせる epi rkephoste (新): [自]自分で、一人で小刀を走らせる yaykoepirkephoste (新): [自]皆で小刀を走らせる ukoepirkephoste (沙流): ③[自]木幣を作って祀る inawkar (石狩): [他](神)に木幣を作って祀る einawkar (石狩): [他](人)に木幣を作って祀らせる inawkare (新): [自]神に木幣を捧げる kamuykoinawpuni (新)、[自] ikoinawpuni (新): [他](神)に木幣を捧げる koinawpuni (石狩)
もくへん(木片) [名]木片 níras(-u) (石狩)、[名] ras(-u) (石狩)、[名] yar(-i) (石狩): [名]小さい木片 níuype (石狩): [名]細かい木片 níkokera (天塩)、[名] kokera (天塩)
モクマオウ(木麻黄) (植物)[場名](古生花被植物 亜綱)モクマオウ目 sipsipnehamusnikotan (新): [名]モクマオウ科 sipsipnehamusni-apa (新): [名]モクマオウ属 sipsipnehamusni-cise (新): [名]モクマオウの茎 sipsipnehamusni (新): [名]カニングムモクマオウの茎 petsamunsipsipnehamusni (新): [名]トクサバモクマオウの茎 pisunsipsipnehamusni (新)※(別名「トキワギョリュウ」): [名]アロカスアリナ属 arokasuarina-cise (新): [名]ギュムノス

トマ属 *gimnostoma-cise* (新): [名]ケウト
トマ属 *keutostoma-cise* (新)

モクモク [間投](煙の立つ様子)モクモク
puypuy (新): [自]モクモクと煙が出る
puypuyse (新): [自]モクモクと頻りに煙
が出る *puyrototke* (新)、[自]
cipuyrototo (新): [自]モクモクと煙が何
度も出る *puyuyatki* (新): [自]モクモク
と煙が出続ける *puynatara* (新)

もくよく(沐浴) [自]沐浴する *sus* (石狩):
[他](場所)で沐浴する *esus* (新): [他]~
と共に沐浴する *kosus* (新): [他](原因、
手段)で沐浴する *osus* (新): [他](人)に沐
浴させる *suste* (沙流)

もぐる(潜る) ①(水中への行動を示し)[自]潜る
horaye(複数) (石狩)、[自] *rar* (天塩)、[自]
rawkuske (沙流)、[自] *rawoahun* (萱):
[他](場所)で潜る *ehoraye* (複数 *ehoraypa*)
(新)、[他] *erar* (新): [他](場所)へ潜る
kohoraye (複数 *kohoraypa*) (石狩)、[他]
korar (新): [他]~と共に潜る *kohoraye*
(複数 *kohoraypa*) (新)、[他] *korar* (新):
[他](原因、手段)で潜る *ohoraye* (複数
ohoraypa) (新)、[他] *orar* (新):
[他](人)に~を潜らせる *horayere* (複数
horaypare) (新)、[他] *rarka* (*ráre*)
(新): [自]自分で、一人で潜る
yaykohoraye (複数 *yaykohoraypa*) (新)、
[自] *yaykorar* (新): [自]皆で潜る
ukohoraypa (新)、[自] *ukorar* (新):
[自]さっと潜る *rawosma* (石狩): [他]~
にさっと潜る *korawosma* (石狩): [他]
~を獲るため水に潜る *rarkar* (石狩):
「私はカニを獲りに海の底に潜った。」

“*Ampayaya ku=rarkar kusu atuyasam ta*
ku=horaye.”=“*Ampayaya ku=rarkar kusu*
atuyasam ku=kohoraye.” [他](人)に~をサ
ッと潜らせる *rawosmare* (新): ②(物の
下や穴の中などに入る事を示し)[自]潜る
ahun (複数 *ahup*) (石狩): [他](場所)へ潜
る *koahun* (複数 *koahup*) (石狩):
[他](人)に潜らせる *ahunke* (複数 *ahupte*)
(石狩): [他](場所)にさっと潜る *osma*
(石狩): [他](人)に(場所)にさっと潜らせる
osmare (新): ③[自]潜行、潜って行く、進
む *rawkuske* (新): [他]~を潜って行か
せる、進ませる *rawkuskere* (新)

もくろう(木蠟) [名]木蠟 *nirow* (新)

もげる(挽げる) ①(何かの一部だったものが
取れる事を示し)[自]挽げる *meske* (石
狩): [他](場所)で挽げる *emeske* (新):
[他]~と共に挽げる *komeske* (新):
[他](場所)から挽げる *omeske* (新):
[他](原因、手段)で挽げる *omeske* (新):

[自]瞬間的に挽げる *mestek* (新): [自]~
の頭(先端)が挽げる *emeske* (新): [自]~の
尾(末端)が挽げる *omeske* (新): ②(花な
ど何かが取れて落ちる事を示し)[自]挽げる、
挽げ落ちる *tuy* (石狩): [他](場所)で挽
げる、挽げ落ちる *etuy* (新): [他]~と共
に挽げる、挽げ落ちる *kotuy* (新): [他]
~から挽げる、挽げ落ちる *otuy* (新):
[他](原因、手段)で挽げる、挽げ落ちる *otuy*
(新): [自]バツと挽げる、挽げ落ちる
tuytek (新): [自]~の頭(先端)が挽げる、
挽げ落ちる *etuy* (新): [自]~の尾(末端)
が挽げる、挽げ落ちる *otuy* (新)

モザンビーク [場名](国名)モザンビーク共和国
Mozambiki Ukotankoremosir (新)※(首都
は「マプト」): [名](国名の略称として)モザ
ンビーク *Mozambiki* (新): [名]モザンビ
ーク人、国民 *mozambikiunkur* (新)

もじ(文字) [名]文字 *itakitokpa* (新)、[名]
monci (新)※(日本語)

もじもじ [他](場所)でもじもじする *eun-*
eun (沙流): 「戸口でもじもじしてないで
中にお入りよ。」“*Apa otta somo e=euneun*
no e=ahun yak pirka wa.”: [他](人)を(場
所)でもじもじさせる *eun-eunte* (新)

もしや → 「ひょっとして」を見よ

もじゃもじゃ ①(乱れて)[自]もじゃもじゃにな
る *sisitosito* (新): [他](毛)をもじゃもじ
やにする *sitosito* (幌別): (表現)(雅)私は
自らの頭髪を我は解き解きし、それをもじゃ
もじゃにし身に振り被った *an=kimýuspe*
an=pitápita ay=sitósito ay=sikáomare
(新)※(幌別): ②(巻き毛で)(表現)(雅)彼の頭
髪はもじゃもじゃしている *sapa otopi*
koencayayke (幌別)

モスクワ ①[場名](ロシア連邦の首都、中央連
邦管区の本部、モスクワ州の州都名)モスクワ
Moskuwa (新): [場名](ロシア連邦の構成
主体名)モスクワ州 *Moskuwa-purovince*
(新): (歴史)[場名](国名)モスクワ公国
Moskuva Dúkekormosir (新)※(「モスクワ
大公国」に移行。): (歴史)[場名](国名)モス
クワ大公国 *Moskuwa Sínodukekormosir*
(新) ※(1362-1721年。「モスクワ・
ルーシ」とも呼ばれる。): ②[名](地名)モス
クワ川 *Moskuwa-pet* (新)

もぞう(模造) [他]~を模造する
eyaynokakar (石狩): [他](人)に~を模造
させる *eyaynokakare* (新): [名]模造品
cieyaynokakarpe (新)

もたせる(持たせる) ①(所有、所持させるの意
味で)[他](人)に(物)を持たせる、(人)に(伴侶や
子など)を持たせる *kóre* (石狩): [他](場
所)で(人)に~を持たせる *ekore* (新):

[他]～と共に(人)に～を持たせる **kokore** (新): [他](原因、手段)で(人)に～を持たせる **ekore** (石狩)、[他] **okore** (新): [他]人に～を持たせる、持ってもらう **korar** (石狩): ②(何処かへ帰る者に与える意味で)[他](人)に～を持たせる **oikus** (石狩)、[他](雅) **eoikus** (石狩): 「…これ以上何も必要ないくらい私に持たせてくれた。」“…**nepka ku=konrusuy pe isam pakno enci=oikus .**”(砂沢クラ)、「…神のお土産、良きお土産を私達は持たせるのでございます。」“…**kamuy imoka pirka imoka ci=oikus sir tapan ne .**”(門野ナンケアイヌ)祈詞、「…私は木幣であれ酒であれ真に尊い神に持たせますよ…」“…**inaw ne ciki sake ne ciki sipasekamuy an=eóikus kusu ne na**…”(杉村キナラブック)神謡: ③(手や腕に持たせるの意味で)[他](人)に～を持たせる **anire** (複数 **ampare**) (新): [他]人に～を持たせる、持ってもらう **aniyar** (複数 **ampayar**) (新)

もたらされる [他]～にもたらされる **koan** (石狩): 「和人により凶事が私にもたらされて…」“**Sisam orowa rorumpe en=koan wa**…”(荒井ランケット)祈詞

もたれる(凭れる) [自]人、物に凭れる **ikaeoma** (新): [連他]～に凭れる **kasi-eoma** (**ka-eoma**) (沙流): 「君は窓に凭れて外を眺めていた。」“**Puyar kasi=e=eoma kane e=an .**”: [自]凭れ合う **ukaeoma** (新): [他](人)を凭れ合わせる **ukaeomare** (新): [自]人を自分に凭れさせる **sikaeomayar** (新)

もち(餅) [名]餅 **moci** (八雲): [名]揚餅 **citotomoci** (新): [名]鏡餅 **inomimoci** (新): [名]切餅 **cicamoci** (新): [名]草餅 **noyamoci** (新): (表現)紅白餅 **húremoci retarmoci** (新): [名]賃餅 **ciatayekar-moci** (新): [名]豆餅 **mame-moci** (新): [名]焼餅 **cimamoci** (新)

もちあげる(持ち上げる) [自]物を持ち上げる **ipuni** (複数 **ipumpa**) (新): [他]～を持ち上げる **puni** (複数 **pumpa**) (石狩): [他](場所)で～を持ち上げる **epuni** (複数 **epumpa**) (新): [他](場所)へ～を持ち上げる **kopuni** (複数 **pumpa**) (新): [他]～と共に～を持ち上げる **kopuni** (複数 **pumpa**) (新): [他](場所)から～を持ち上げる **opuni** (複数 **opumpa**) (新): [他](原因、手段)で～を持ち上げる **opuni** (複数 **opumpa**) (新): [他](人)に～を持ち上げさせる **punire** (複数 **pumpare**) (新): [他]自分で、一人で～を持ち上げる **yaykopuni** (複数 **yaykopumpa**) (新):

[他]互いに、皆で～を持ち上げる **ukopuni** (複数 **ukopumpa**) (新): [他]完全に～を持ち上げる **oarpuni** (複数 **oarpumpa**) (新)、[他] **arpuni** (複数 **arpumpa**) (新): [他]人に～を持ち上げさせる **puniyar** (複数 **pumpayar**) (新): [他]人に自分を持ち上げさせる **sipuniyar** (複数 **sipumpayar**) (新): [他]～を何度も持ち上げる **punipuni** (石狩): [他](掌)を持ち上げる **epuni** (複数形 **epumpa**) (石狩): (丁寧にオンカミする様子の描写として)何度も手を上げ下げしながら **tu pase aske re pase aske epumpa kane** (石狩): [他]～を高く持ち上げる **rikipuni** (石狩): [他](中相)～が高く持上がる **cirikipuni** (石狩)

もちあわ(糯粟) [名]糯粟の種子 **ritenamam** (石狩)

もちいる(用いる) [自]ものを用いる **ieiwanke** (新): [自]人を用いる **uneiwanke** (新): [他]～を用いる **eiwanke** (石狩): [他](場所)で～を用いる **eeiwanke** (新): [他]～と共に～を用いる **koeiwanke** (新): [他](原因、目的)で～を用いる **oeiwanke** (新): [他](人)に～を用いさせる **eiwankere** (新): [他]自分で、一人で～を用いる **yaykoeiwanke** (新): [他]互いに、皆で～を用いる **ukoeiwanke** (新): [他]完全に～を用いる **oareiwanke** (**areiwanke**) (新): [他]充分に～を用いる **eiwankeno** (**eiwankenu**) (新): [他]思い切り、むちゃくちゃ～を用いる、用いまくる **toykoeiwanke** (新): [他](中相)～が用いられる **cieiwanke** (新)

もちかえる(持ち帰る) ①(表現)～を持ち帰る **kor wa hosipi** (複数 **hosippa**) (石狩): [他]～を持ち帰る **kórahosipi** (複数 **kórahosippa**) (新): ②(自分の家に出された料理、あるいはその食べ残り)[他]～を持ち帰る **yaykomekare** (石狩): 今後はハンバーガーなどの注文に際してもこの語を用いていく: 「…旦那様が食べ物も食わずに自分の脇に置いているので、それを持ち帰りたくてそうしているのだろう…」“…**nispa-kamuy e kunip ka e ka somo ki no sisam o an ruwe ne kusu yaykomekare rusuy ene an i ne nankor**…”(杉村キナラブック)説話、「こちらでお召し上がりなさいますか、お持ち帰りなさいますか。」“**Teta es=ipe rusuy ya ? Es=yaykomekare rusuy ya ?**”: [他](人)に～を持ち帰らせる **yaykomekarere** (新)

もちごめ(糯米) [名]糯米 **riteysiamam** (**riten síamam**) (新)

もちはこぶ(持ち運ぶ) [自]物を持ち運ぶ

irura (石狩): [他]～を持ち運ぶ rura (石狩): [他](人)に～を持ち運ばせる rurare (新): [他]人に～を持ち運ばせる rurayar (新)

もちもの(持ち物)(表現)持ち物 kor pe (石狩): (表現)私の持ち物 ku=kor pe (石狩)

もちろん(勿論) [副]勿論 kanakun (十勝)、[副] koncikun (静内)

もつ(持つ) ①(所有、所持する事を表し)[自]物を持つ ikor (新): [他]～を持つ kor (石狩)、[他](雅) ekor (石狩): [他](場所)に～を持つ ekor (新): [他]～と共に～を持つ kokor (新): [他](原因、手段)で～を持つ okor (新): [他]～として～を持つ ekor (石狩): (表現)～として～を持つ ne kor (石狩): 雅語表現において「身体名称の名詞の概念形+ekor+pe」あるいは「同じく名詞の概念形+ne kor+pe」の形式で例えば“nan ekor pe”、“nan ne kor pe”「顔として持つものは」という句の後にその具体的描写がなされる。: [他](人)に～を持たせる kóre (石狩): [他]自分で、一人で～を持つ yaykokor (新): [他]共に、皆で～を持つ ukokor (新): [他]人に～を持たせる、持ってもら korar (石狩): [他](成語の構成要素として)～を持つ nu (石狩、天塩): sik(目)+nu → siknu 「生きる」: [他]～を持たない、～を持っていない sak (石狩): 「私はお金を持ってないよ。」“Icen ku=sak wa .”: [他](人)に～を持たせない sakka (新): ②(手や腕に持つ事を表し)[自]物を持つ iani (複数 iampa) (新): [他]～を持つ ani (複数 ampa) (石狩): [他](場所)に～を持つ eani (複数 eampa) (石狩)、[他] koani (複数 koampa) (石狩): [他]～と共に～を持つ koani (複数 koampa) (新): [他](原因、手段)で～を持つ oani (複数 oampa) (新): [他](人)に～を持たせる anire (複数 ampare) (新): [他]人に～を持たせる、持ってもら aniyar (複数 ampayar) (石狩)

もっかん(木管) [名]木管 suyoni (石狩)、[名] nikuttar(i) (新)

モツゴ(持子)(魚介)[名](コイ科)モツゴ属 moțugo-cise (新)※(日本語より): [名]ウシモツゴ ukoykimotugo (新): [名]シナイモツゴ sinaimotugo (新): [名]モツゴ moțugo (新)

もっこり [名]もっこり pise (石狩): [自]もっこりする pisene (石狩): [他]～をもっこりさせる pisenere (石狩)

もったいない(勿体ない) ①(物惜しみして)[他]～を勿体ないと思う ecikari (石狩): [他](人)に～を勿体ないと思わせる

ecikarire (新): [間投](物惜しみをして発する言葉)勿体ない cikari (石狩): ②(大切に思って)[他]～を勿体ないと思う núnuka (石狩): [他](人)に～を勿体ないと思わせる núnukare (新)

もってあがる(持って上がる)(表現)～を持って上がる kor wa rikin (複数 rikip) (石狩): [他]～を持って上がる kórarikin (複数 kórarikip) (新)

もっていく(持って行く) ①～を持って行く kor wa oman (複数 paye) (石狩): [他]～を持って行く kóroman (複数 kórapaye) (石狩): 複数形として予想される“kórapaye”は目下未確認。: 「アイヌ語教室へあの本を私は持っていった。」“Aynuitak-ekampinuyeusi ekota néa kampsos ku=kor wa ku=oman (=ku=koroman).”: ②(山から麓、浜、上流から下流に)～を持って行く kor wa san (複数 sap) (石狩): [他]～を持って行く kórasan (複数 kórasap) (石狩): 複数形として予想される“kórasap”は目下未確認。: ③(陸へ船などで)～を持って行く kor wa yan (複数 yap) (石狩): [他]～を持って行く kórayan (複数 kórayap) (石狩): 単数形として予想される“kórayan”は目下未確認。: ④[他]①～③までの違いに注目せず、単に何処かにものを持って行く rura (石狩): [他](場所)に～を持って行く korura (石狩): [他](人)に～を持って行かせる rurare (新): [他]人に～を持って行かせる rurayar (新)

もってくだる(持って下る)①(山から浜、山の上から下、川筋に上流から下流、支流から本流に)～を持って下る kor wa san (複数 sap) (石狩): [他]持って下る kórasan (複数 kórasap) (石狩): 複数形として予想される“kórasap”は目下確認されていない。: 「山できれいな石を見つけて気に入ったのでそれを持って下ったのです。」“Kim ta pirka suma an wa ku=nukar wa ku=erasasuy kusu neampe ku=kor wa san (=ku=korasan) ruwe ne .”: ②(高い所から低い所に)～を持って下る kor wa ran (複数 rap) (石狩): [他]～を持って下る kórran (複数 kórrarap) (石狩): 複数形として予想される“kórrarap”は目下確認されていない。

もってくる(持って来る) ①～を持って来る kor wa ek (複数 arki) (石狩): [他]～を持って来る kórek (複数 kórariki) (石狩): 複数形として予想される“kórariki”の形は目下未確認。: 「この本を私は持って来た。」“Tan kampsos ku=kor wa ku=ek (=ku=korek).”: ②(山から麓、浜、上流から

下流に)～を持って来る kor wa san (複数 sap) (石狩) [他]～を持って来る kórasan (複数 kórasap) (石狩): 複数形として予想される"korasap"は目下未確認。: ③(陸地に船などで)～を持って来る kor wa yan (複数 yap) (石狩): [他]～を持って来る kórayan (複数 kórayap) (石狩): 単数形として予想される"korayan"は目下未確認。: ④[他]①～③までの違いに注目せず、単に何処かにもの)～を持って来る rura (石狩): [他](場所)に～を持って来る korura (石狩): [他](人)に～を持って来させる rurare (新): [他]人に～を持って来させる rurayar (新)

もってじょうりくする(持って上陸する) (表現) (船などで)～を持って上陸する kor wa yan (複数 yap) (石狩): [他]～を持って上陸する kórayan (複数 kórayap) (石狩): 単数形として予想される"korayan"は目下未確認。: 「…アイヌ達は…交易するため航海に出て、いろいろなシントコ、米、布、酒、何でも品物と取り換えて持って上陸し(来)た。」「… aynu utar … uymam kusu repa kor usa sintoko, amam, senkaki, tonoto, nep ne yakka cisoki tasare wa kórayap。」(砂沢クラ)

もってでる(持って出る) (表現)～を持って出る kor wa asin (複数 asip) (石狩): [他]～を持って出る kórasin (複数 kórasip) (新)

もってはいる(持って入る)(表現)～を持って入る kor wa ahun (複数 ahup) (石狩): [他]～を持って入る kórahun (複数 kórahup) (石狩): 複数形として予想される"kórahup"は目下確認されていない。

もっと ①[副]もっと na (石狩): 「もっとあるぞ。」「Na an na .」: 強調形「もっと」は"naa"。日本語では「もっと聞かせてください」のように言えるがアイヌ語では"Na poronno en=nure yan !" 「もっと沢山きかせてください!」となるなど文章によって日本語の直訳とならぬので注意。: (表現)もっと 沢山 na poronno (石狩): (表現)もっともっと na na (石狩): (表現)もっともっと 沢山 na na poronno (石狩): ②[副](他より)もっと etakasure (沙流): 「お前は人よりもっと頑張らねばならぬ。」「Eani anakne etakasure e=arikiki kuni .」

もっとも(最も) [副]最も iyotta (石狩): (表現)最も初めに iyotta hoski (石狩): (表現)最も後から、後に iyotta iosi (iosino) (石狩): (表現)最も良くなる、良い iyotta pirka (石狩): (表現)最も悪くなる、悪い iyotta wen (新)

もつれる(縛れる)[自]縛れる sitki (石狩): 目下合成語の構成要素としてのみ現れるが、今後単独でも用いる。: [他](場所)で縛れる esitki (新): [他]～と共に縛れる kositki (新): [他](原因、手段)で縛れる ositki (新): [他]～を縛れさせる sitkire (新)

もてなす ①[自]人をもてなす ikiyannere (新): [他]～をもてなす kiyannere (沙流): [他](場所)で～をもてなす ekiyannere (新): [他]～と共に～をもてなす kokiyannere (新): [他](原因、手段)で～をもてなす okiyannere (新): [他](人)に～をもてなさせる kiyannere (新): [他]自分で、一人で～をもてなす yaykokiyannere (新): [他]互いに、皆で～をもてなす ukokiyannere (新): [他]思い切り～をもてなす toykokiyannere (新): [他](中相)～がもてなされる cikiyannere (新): [他]人に～をもてなさせる、してもらう kiyannereyar (新): [自]自分をもてなさせる sikiyannereyar (新): [自]もてなし合う ukiyannere (新): ②(料理を配膳して)[自]人をもてなす ipuni (石狩)、[自] isapte (沙流): [他]～をもてなす koipuni (石狩)、[他] koisapte (新): [他](人)に～をもてなさせる koipunire (新)、[他] koisaptere (新): [他](中相)～がもてなされる cikoipuni (新)、[他] cikoisapte (新): [他]人に～をもてなさせる、してもらう koipuniyar (新)、[他] koisaptereyar (新): ③(宴席でホストとして)[自]人をもてなす iemarattokor (新): [他]～をもてなす emarattokor (沙流): [他](人)に～をもてなさせる emarattokore (新)

もと(元)①[自]元の husko (石狩): (表現)元の村 husko kotan (石狩): (表現)元の空知川 husko Sorapci (新): ②[副]元の teeta (石狩): 本来口承文芸中の決まった言い回しにしか現れないが、今後人間の過去の職業などについて使うものとする。: (表現)元警察官 teeta emuskorkur (新): (表現)元貧乏人 teeta wenkur (石狩): (表現)元私の夫 teeta ku=hoku (新)

もとおおり(元通り) (表現)元通りにする、元の姿に戻す husko katu kar (石狩): (表現)～を元通りにする、元の姿にする husko katu kokar (石狩): [助動]元のような～になる、戻る etopas (石狩): 「…私が若かった時のように、私が元のように若くなれるかも分からなかった…」 「… pewre=an i neno pewre=an etopas ruwe nakka an=erampetek …」(杉村キナラブク)説話

もとどり(髻)[名]髻 motontori (新)※(日本

語)

もとめる(求める) ①(欲しが、要求する)[自]求める *icipa* (石狩): [他]～を求める *cipa* (石狩): [他](場所)で～を求める *ecipa* (新): [他]～に～を求める、～と共に～を求める *kocipa* (新): [他](原因、手段)で～を求める *ocipa* (新): [他](人)に～を求めさせる *cipare* (新): [他]自分で、一人で～を求める *yaykocipa* (新): [他]互いに、皆で～を求める *ukocipa* (新): [他]充分～を求める *cipano* (*cupanu*) (新): [他]激しく～を求める *toykocipa* (新): [他](中相)～が求められる *cicipa* (新): [自]求め合う、全てを求める *ucipa* (新): [他]何度も～を求める *cipapa* (新): (表現)何度も～を求める *cipacipa* (新): ②(探す)[自]求める *ihunar* (石狩): [他]～を求める *hunar* (石狩): [他](人)に～を求めさせる *hunare* (新): ③(買う)[自]求める *ihok* (石狩): [他]～を求める *hok* (石狩): [他](人)に～を求めさせる *hokte* (新)

もともと(元々) [副]元々 *hoski(-no)* (石狩): 「元々は私達の先祖がここにいたんだぞ。」*“Hoski anakne te ta ci=kor maktaekasi maktahuci okay ruwe ne na .”*: (表現)元々から *hoski wano* (石狩): (表現)元々の *hoski an* (石狩)

もとより(固より) [副]固より *eposokane* (沙流): 「私は体が不自由ですから、固より私はあなたに殺されてしまうでしょうよ。」

“*Ihapinep ku=ne kusu eposokane es=en=rayke nankor na .*”

もどる(戻る) ①[自]戻る *hosipi* (複数 *hosippa*) (石狩)、[自](雅) *iwak* (石狩): [他]～と共に戻る、～を連れて戻る *ehosipi* (複数 *ehosippa*) (新): [他](場所)へ戻る *kohosipi* (複数 *kohosippa*) (石狩)、[他](雅) *koiwak* (石狩): [他](原因、手段)で戻る *ohosipi* (複数 *ohosippa*) (新): [他]～を戻す *hosipire* (複数 *hisippare*) (石狩): 「私は本を読み終えて元あった棚に戻した。」*“Kampisos ku=nukar okere wa san ka ta otta an hi ta ku=hosipire .”*: [他]～に～をを戻す *kohosipire* (複数 *kohosippare*) (石狩): ②(表現)元の姿に戻る *husko katu ne* (石狩)

モナコ [場名](国名)モナコ公国 *Mónako Purincekormosir* (新)※(首都は「モナコ」): [名](国名の略称及び首都名として)モナコ *Mónako* (新): [名]モナコ人、国民 *mónakounkur* (新)

もの(者) [形式名]「者」の意味で動詞句、動詞などの後に用いられ名詞句、名詞などを形成す

る(母音の後) *p*、(子音の後) *pe* (石狩): 「何であれ完全に破壊する者が私だ。」*“Nep ne yakka oar wente p ku=ne .”*、「食事したいのは私です。」*“Ipe rusuy pe ku=ne .”*: *hayta*(足りない)+*p* → *haytap* 「馬鹿者」

もの(物) ①[接頭](動詞などのに接頭し項を一つ減らし)物、物事を、物、物事に *i-* (石狩): *i+eraman*(～を知る) → *ieraman* 「物識りである」: *i+ka*(の上) → *ika* 「物の上」: ②[形式名]「物」、「物事」の意味で動詞句、動詞などの後に用いられ名詞句、名詞などを形成する(母音の後) *p*、(子音の後) *pe* (石狩): 「ここを扱う物を持ってないか?」*“Tan teoro an=pirpa p e=kor ruwe ?”*、「気味が見聞きした物事を全て私に語って下さいよ!」*“E=amkir pe opitta en=koeucaskuma wa en=kore ya !”*: ③(品物)[名]物 *cihoki* (新)、[名] *cisoki* (新): ④(物質)[名]物 *ramatcakpe* (新)、[名] *cioikarpe* (新)、[名] *materia* (新): ⑤(物体)[名]物 *ikew(-e)* (新)、[名] *cioikarkew(-e)* (新)、[名] *cioikarpe-netopa* (-netopake) (新)

ものおき(物置) [名](屋外の)物置 *sem* (沙流): [名](屋内の)物置 *mosem* (石狩)

ものおしみ(物惜しみ) → 「おしむ(惜しむ)①」を見よ

ものおと(物音) ①(音)[名]物音 *hum(-i)* (石狩): (表現)～の物音がする *～humi* (*hum*) *as* (石狩): 「何かが落ちて大きな物音がした。」*“Nepka hatcir wa poro humi as .”*: (表現)～の物音がする、している *～humi* (*hum*) *an* (複数 *okay*) (石狩): 「誰かやって来る物音がしている。」*“Nenka ek humi as .”*: ②(声)[名]物音 *haw(-e)* (石狩): (表現)～の物音がする *～hawe* (*haw*) *as* (石狩): 「突然私の行く手に人がいる物音(話声)がした。」*“Ekuskono i=etoko ta aynu okay hawe as .”*: (表現)～の物音がする *～hawe* (*haw*) *an* (複数 *okay*) (石狩): 「誰か食べている物音がしていた。」*“Sinen ipe hawe an .”*、「人が(話しながら)大勢来る物音がしている。」*“Aynu poronno arki hawe okay .”*

ものがたり(物語) [名]物語 *tuytak* (石狩)、[名] *oruspe* (石狩)、[名] *isoitakki* (浦河)

ものがたる(物語る) [自]物語る *isoitak* (石狩): [他]～について物語る *eisoitak* (石狩): [他](場所)で物語る *eisoitak* (新): [他]～に物語る *koisoitak* (石狩): [他]～と共に物語る *koisoitak* (新): [他](原因、手段)で物語る *oisoitak* (新): [他](人)に物語らせる *isoitakte* (新): [自]自分で、

一人で物語る *yaykoisoitak* (新): [自]互いに、皆で物語る *ukoisoitak* (新): [自]思い切り物語る *toykoisoitak* (新): [他]人に物語らせる、物語ってもらう *isoitakyar* (*isoitakar*) (新)

ものごい(物乞い) [名](行為について)物乞い *iahupkar* (*iaupkar*) (石狩): [名](悪)(人について)物乞い *iahupkarpe* (*iaupkarpe*) (新)、[名](悪) *iahupkar* (*iaupkar*) (石狩): [自]物乞いをする *iahupkar* (*iaupkar*) (石狩): [名]物乞いする人 *iahupkarkur* (*iaupkarkur*) (新)

ものつきうた(物搦歌) [名]物搦歌 *iuta-upopo* (石狩): 祭礼用の団子を作るため粟などを搦いて粉にする時、二人の女性が向かい合い、杵の真中のくびれを握って交互に搦きながら"Hessa o!"と歌う。また周囲の女性も囃子を入れる。

ものほし(物乾) [名]物乾、物乾竿、物乾棚 *kuma* (石狩): 伝統的には魚や肉を乾す施設を指し、それに似たものもこう呼ぶが、今後は衣服を乾すものも"anmip-kuma"、"kuma"などと呼ぶものとする。: [自]物乾竿を作る *kumakar* (新): (表現)物乾竿を作る *kuma kar* (石狩): [他]～を干すため物乾竿を作る *ekumakar* (石狩): [名]物乾竿の連なり、物乾竿の林 *kumatay* (石狩): (表現)物乾竿の林で屋外を満たす *kumatay sisoyesikte* (新)、(表現) *kumatay sisoyosmare* (新)

ものもち(物持ち) [名]物持ち *nispa* (石狩)、[名](雅) *nispake* (石狩): [自]物持ちとなる、である *nispake* (石狩): [他](原因、手段)で物持ちとなる、である *enispake* (天塩): [他]～を物持ちとする *nispanere* (新): [名]大層な物持ち *sinonispa* (石狩)

ものわすれ(物忘れ) [自]物忘れする *ioyra* (H): (表現)よく物忘れする *esaman sonkokor* (石狩)※(直訳すると「川瀬がお使いする」で、誰かがよく物忘れする行為をあげつらうだけではなく、そういう人についても使われる。)川瀬がお使いする: [他]～を物忘れする (石狩): [他](人)に物忘れさせる (新): [名]よく物忘れする人 *ioyrakur* (新): [名]よく物忘れする奴 *esaman* (石狩)、[名] *ioyrap* (H)

もはや(最早) [副]最早 *tane* (石狩): (表現)最早 *tane anakne* (石狩)

もはん(模範) ①(創作に関して)[名]模範 *cikoikar-kunip* (新)、[名] *cikoikarpe* (新): ②(事柄に関して)[名]模範 *ciikosampa-kunip* (新)、[名] *ciikosampap* (新): [名]模範となる人 *cikoisampa-kunikur* (新)、[名] *cikoisampakur* (新):

③(発言、行動に関して)[名]模範 *cieyukar-kunip* (新)、[名] *cieyukarpe* (新): [名]模範となる人 *cikoyukar-kunikur* (新)、[名] *cikoyukarkur* (新)

もふく(喪服) [名]喪服 *siampa-cimip* (石狩)、[名] *yattuy-cimip* (石狩)

モブス (動物)[名](オヒキコウモリ科)モブス属 *marayuun-honimpakapap-cise* (新): [名]モブス・コンディルルス *angoraun-honimpaapap* (新): [名]M. サラシノルム *surawesiun-honimpakapap* (新): [名]M. スプレリ *supurer-honimpakapap* (新): [名]M. トレボリ *torevor-honimpakapap* (新): [名]M. デモンストラトル *mongaraun-honimpakapap* (新): [名]M. ナヌルス *poniwn-honimpakapap* (新): [名]M. ニアンガラエ *niangaraun-honimpakapap* (新): [名]M. ニバイベンテル *honiretar-honimpakapap* (新): [名]M. ブラキブテラ *sierareoneun-honimpakapap* (新): [名]M. ペテルソニ *peterston-honimpakapap* (新): [名]M. ミダス *midas-honimpakapap* (新): [名]M. モブス *marayuun-honimpakapap* (新): [名]M. レウコスティングマ *aren-honimpakapap* (新)

もみ(粃) ①[名]粃 *seynuamam* (新): [名]粃殻 *amamsey(e)* (新): ②[名]粃米 *seynu-siamam* (新)、[名] *siamam* (石狩): (表現)粃米 *sey kor siamam* (新)

モミ(樅) (植物)[名](マツ科)モミ属 *hup-cise* (新): [名]モミの茎 *mómi* (新): [名]アビエス・ヴェヤリイの茎 *vejarihup* (新): [名]アビエス・デレヴァイイの茎 *koypokazia-hup* (新): [名]アビエス・デンサの茎 *bútanhup* (新): [名]アマビルスモミの茎 *amabirishup* (新): [名]アルジュリアモミの茎 *jazairhup* (新): [名]ウラジロモミの茎 *hamsirpokitaretar-hup* (新): [名]オオシラビソの茎 *porosisam-hup* (新): [名]カリフォルニアモミの茎 *karifonniahup* (新): [名]ギリキアモミの茎 *kirikiahup* (新): [名]ギリシアモミの茎 *erashup* (新): [名]グアテマラモミの茎 *guatemala-hup* (新): [名]グランディスモミの茎 *gurandis-hup* (新): [名]コーカサスモミの茎 *kaukasos-hup* (新)※(別名「ノルドマンモミ」): [名]シチリアモミの茎 *íciriahup* (新): [名]シベリアモミの茎 *írihup* (新): [名]シヤスタアカモミの茎 *húrehup* (新)※(カリフォルニアアカモミの変種): [名]ジュウアンモミの茎 *şunhup* (新): [名]シラビソの茎 *sísamhup* (新)※(別名「シラベ」): [名]シ

ロモミの茎 *retarhup* (新): [名]スペインモミの茎 *espania-hup* (新): [名]センセイモミの茎 *şensihup* (新): [名]チョウセンシラビソの茎 *kórinhup* (新): [名]トウシラベの茎 *santahup* (新): [名]ドゥランゴモミの茎 *durango-hup* (新): [名]トドマツの茎 *hup* (石狩): [名]トルコモミの茎 *curkiyehup* (新)※(コーカサスモミの変種): [名]ニイタカトドマツの茎 *taywanhup* (新): [名]ノーブルモミの茎 *purokera-hup* (新)※(学名): [名]ハリスコモミの茎 *xariskohup* (新): [名]バルサムモミの茎 *barsamhup* (新)※(別名「カナダバルサム」): [名]ヒマラヤモミの茎 *himaraya-hup* (新): [名]ブリストルコンモミの茎 *santarucia-hup* (新)※(別名「サントルシアモミ」): [名]ブルガリアモミの茎 *burgariya-hup* (新): [名]フレーザーモミの茎 *furaser-hup* (新): [名]マンジュウモミの茎 *manjuhup* (新): [名]ミヤマバルサムモミの茎 *huppikare-hup* (新): [名]ミンモミの茎 *pewrekinapeus-numohup* (新): [名]メキシコモミの茎 *méxiko-hup* (新)※(「アビエス・ヴェヤリイ」の変種): [名]モロッコモミの茎 *makriphup* (新)※(スペインモミの変種): [名]ヨーロッパモミの茎 *europahup* (新): [名]レリヒオサモミの茎 *rerigiosa-hup* (新): [名]ロッキーマミの茎 *rokkihup* (新)

もみあげ [名]もみあげ *moru* (H)

もみくちや(揉みくちや) [自]揉みくちやになる *toykosinuyanuya* (石狩): [他](両手で)～を揉みくちやにする *toykonuyanuya* (石狩): [他](人)に(両手で)～を揉みくちやにさせる *toykonuyanuyare* (新)

もみじ(紅葉) ①[名](秋に木々が色づく事を指し)紅葉 *húreham* (新): (表現)(和人の習慣で)紅葉狩りをする *húreham nukar kusu oman* (複数 *paye*) (新): ②[名](カエデ類を指し)紅葉 *tópeni* (新)

モミジハグマ(紅葉葉熊) (植物)[名](キク科)モミジハグマ属 *heunnaymun-cise* (新): [名]モミジハグマの茎葉 *samorun-heunnaymun* (新): [名]エンシュウハグマの茎葉 *towtowmi-heunnaymun* (新): [名]オキナワハグマの茎葉 *okinawa-heunnaymun* (新): [名]キッコウハグマの茎葉 *ecinketek-heunnaymun* (新): [名]テイショウソウの茎葉 *nokohamrekirawus-heunnaymun* (新): [名]ナガバハグマの茎葉 *hamutanne-heunnaymun* (新): [名]ホソバハグマの茎葉 *hamuane-heunnaymun* (新): [名]マ

ルバテイショウソウの茎葉 *rekirawus-heunnaymun* (新)

もみほぐす(揉み解す) ①(肩や乳房など)[他]～を揉み解す *tempatempa* (石狩): [他](人)に～を揉み解させる *tempatempare* (新): [他]思い切り～を揉み解す *toyko-tempatempa* (新): [他]人に～を揉み解させる、解してもらう *tempatempayar* (新): ②(両手でばらばらにする事)[他]～を揉み解す *nuyanuya* (石狩): [他](人)に～を揉み解させる *nuyanuyare* (新): [他]人に～を揉み解させる、解してもらう *nuyanuyayar* (新)

もむ(揉む) ①(肩や乳房など)[他]～を揉む *temu* (複数 *tempa*) (新)※(通常何回も繰り返されるので"tempa"が使われる): [他](場所)で～を揉む *etemu* (複数 *etempa*) (新): [他]～と共に～を揉む *kotemu* (複数 *kotempa*) (新): [他](原因、手段)で～を揉む *otemu* (複数 *otempa*) (新): [他](人)に～を揉ませる *temure* (複数 *tempare*) (新): [他]自分で、一人で～を揉む *yaykotemu* (複数 *yaykotempa*) (新): [他]互いに、皆で～を揉む *ukotempa* (新): [他]思い切り～を揉む *toykotempa* (新): [他]～を何度も揉み揉みする *tempatempa* (石狩): (表現)乳をまさぐり揉み揉みする *totto haypahaypa pékapeka* (石狩): ②[他](ぐちゃぐちゃ、粉々にするため両掌でヨモギの葉など)[他]を揉む *nuya* (石狩)※(通常何回も繰り返されるため以下の *nuyanuya* などの語形が用いられる。): [他]～を揉む *nuyanuya* (石狩)、[他] *nuyunuyu* (天塩): [他](人)に～を砕かせる *nuyanuyare* (新): [他]思い切り～を揉む *toykonuyanuya* (石狩): ③(火おこし棒や錐など)[他]～を揉む *kisa* (石狩): [他](人)に～を揉ませる *kisare* (新)

もも(腿) ①[名](人間、動物の)腿 *om(i)* (石狩): [場名]腿の上側 *ommekka(-si, -sike)* (石狩): [場名]腿の裏側 *omtuypok(-i)* (石狩): [場名]腿の内側 *omkotor(-o)* (石狩): [名]腿肉 *omkam(i)* (石狩): ②[名](動物の)腿 *om-cikir(i)* (石狩)

モモ(桃) (植物)[名](サクラ属)モモの茎 *símomani* (新): [名]モモの葉 *símomaniham* (新): [名]モモの果実 *símoma* (新): [名]モモの種 *símomapi* (新): [名]モモの樹皮 *símomanikap* (新)

ももひき(股引) [名]股引 *omompe* (*homompe*) (石狩): (表現)股引を脱ぐ *omompe ama* (石狩): (表現)股引を穿く *omompe us* (石狩)

もやう(舫う) [他]～を舫う *sirkote* (石狩):

(表現)船を舫う cip sirkote (石狩)

もやす(燃やす) [自]物を燃やす iuhuyka (新): [他]～を燃やす uhuyka (石狩): 「…私は樺皮を燃やし…」 “… tat ku=uhuyka …” (砂沢クラ): [他](人)に～を燃やさせる uhuykare (新): [他]完全に～を燃やす oaruhuyka (aruhuyka) (新): [他]パッと～を燃やす uhuytekka (新): [他]思い切り～を燃やす toykouhuyka (新)

もよう(模様) ①(彫刻に関して)[名]模様 noka (石狩): [自]模様を付ける inokakar (新)、[自] noskikar (新): [他]～の模様を付ける nokakar (石狩): [他](場所)に～の模様を付ける enokakar (石狩)、[他] konokakar (新): [他]～と共に～の模様を付ける konokakar (新): [他](原因、手段)で～の模様を付ける onokakar (新): [他](人)に～の模様を付けさせる nokakare (新): ②(刺繍に関して)[名]模様 sirki (石狩): [自]模様を付ける isirkikar (新)、[自] sirkikar (新): [他]～の模様を付ける sirkikar (新): [他](人)に～の模様を付けさせる sirkikare (新)

もらう(貰う) [自]物を貰う iahupkar (iaupkar) (石狩): [他](人あるいは物を貰う ahupkar (石狩)、[他] eunkeray (静内): (表現)私は～を貰う enci=kore (en=kore=an) (石狩): (表現)私達は～を貰う unci=kore (un=kore=an) (石狩): [他](場所)で～を貰う eahupkar (新): [他]～と共に～を貰う koahupkar (新): [他]～から～を貰う oahupkar (新): [他](原因、手段)で～を貰う oahupkar (新): [名]貰い子 ahupkarpo (石狩)、[名] ahupkarekaci (石狩)、[名] isipokorep (天塩): [名]貰い物 ahupkarpe (石狩)

もらす(漏らす) ①(液体に関して)[他]～を漏らす cimimsere (新): [他]物から～を漏らす iokuste (新): [他]～から～を漏らす okuste (新): ②(音声に関して)[他]～を漏らす cimimsere (新): ③(秘密に関して)[他](物事)を漏らす siekuste (新): [他]人に(物事)を漏らさせる unekuste (新)[他](人)に秘密を漏らさせる eikuste (新)[他](人)に(物事)を漏らさせる ekuste (新)

もり(森) [名]森 nitay (石狩): [名](合成語の構成要素として)森 tay (石狩)

もりあがる(盛り上がる) ①[自]盛り上がる tuk (石狩): [自]充分盛り上がる tukno (tuknu) (新): [自]完全に盛り上がる oattuk (attuk) (新): [自]さっと盛り上がる

tuktek (新): [自]ひどく盛り上がる toykotuk (新): [他]～を盛り上げる tukka (石狩): [自]盛り上がる tanas (石狩)※(目下地名の中)にのみ確認される。): ②(表現)～が盛り上がる 名詞、名詞句 + noski kooman (石狩): (表現)宴が盛り上がる iku noski kooman (石狩): (表現)～を盛り上げる 名詞、名詞句 + noski koomante (新): 「君はいつも宴会を盛り上げる。」 “Ramma kane iku noski e=koomante.”

モリイノシシ(森猪) (動物)[名](イノシシ科)モリイノシシ属 nitayorun-nupputa (新): [名]モリイノシシ nitayorun-nupputa (新)

モリブデン (化学)[名]モリブデン moribudenum (新)※(原子番号42番。元素記号 Mo)

もる(漏る) [自](家、桶などが漏る oikus (石狩): (表現)行器が漏る sintoko oikus (石狩): [自](家などが漏る apa (石狩): (表現)家が漏る cise apa (石狩)

モルッカ [場名]モルッカ諸島 Marukusapaysir (新)※(インドネシア領の島々)

モルディブ [場名](国名)モルディブ共和国 Divehi Raajieyge Ukotankoremosir (新)※(首都は「マレ」): [場名](国名の通称として)モルディブ Raajie (新): [名]モルディブ人、モルディブ国民 raajieunkur (新)

モルドバ [場名](国名)モルドバ共和国 Mordova Ukotankoremosir (新)※(首都は「キシナウ」): [場名](国名の通称として)モルドバ Mordova (新): [名]モルドバ人、国民 mordovaunkur (新): [名]モルドヴァ語 mordovaunkur-itak (新): (歴史)[場名](旧ソ連邦の構成国名)モルドバ・ソビエト社会主義共和国 Mordoya Soviet Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1940-191年)

モルドビア [場名](ロシア連邦沿ヴォルガ連邦管区の構成主体名)モルドビア共和国 Mordoviya Ukotankoremosir (新)※(首都は「サランスク」): [場名](国名の通称、あるいは地名として)モルドビア Mordoviya (新): [名]モルドビン人 mordovinkur (新): [名]モルドビン語 mordovinkur-itak (新)※(フィン・ウゴル語派ボルガ・フィン諸語に属する言語)

モルモプテルス (動物)[名](オヒキコウモリ科)モルモプテルス属 mauritiusun-honimpakapap-cise (新): [名]モルモプテルス・アケタブロスス mauritiusun-honimpakapap (新): [名]M. エレリー ereri-honimpakapap (新): [名]M. カリノ

ウスキー karinofsuki-honimpakapap (新): [名]M. ドリアエ sumatraun-honimpakapap (新): [名]M. ノルフォルケンシス norforkuun-honimpakapap (新): [名]M. ベッカリ bekkari-honimpakapap (新): [名]M. プラニケブス koypokun-honimpakapap (新): [名]M. フランコイシモウトウイ reunionun-onimpakapap (新): [名]M. プルドウス inkaun-honimpakapap (新): [名]M. ミストウス kubaun-honimpakapap (新): [名]M. ユグラリス peter-honimpakapap (新): [名]M. ロリアエ roria-honimpakapap (新):

モレウ [名]モレウ文様 morew (石狩)、[名]morew-sirki (石狩): 片側だけのものを "ear-morew"、対になっているものを "uren-morew"、それにシクが付いたものを "sikuren-morew"、モレウに棘のついたものを "áyus-morew"、シクウレンモレウの形だが、渦巻の先にシクを付けず中抜き状のものを "áyusuren-morew"、その曲線部を尖らせ全体を角状にしたものを "sikkewnuuren-morew"、四角の渦巻を "sikkewnu-morew"、また刺繍線の先端部を丸めたものを "morew-etoko" と呼ぶ。

もれる(漏れる) ①(液体に関して)[自](水が)漏れる cimimse (石狩): ②(音声に関して)[他](音声が)漏れる cimimse (新): [自]漏れ聞こえる ikuske (新): [自]高く漏れ聞こえる rikoikuske (沙流): (表現)歌う声が高く漏れ聞こえる sinotcaki haw rikoikuske (沙流): [自]低く漏れ聞こえる raoikuske (新): ③(秘密に関して)[自](物事が)人から漏れる unekus (新): [他]秘密が(人)から漏れる eikus (新): [他](物事が)(人)から漏れる ekus (新)

もろく(脆く) [自]脆くなる、脆い pewan (石狩)、[自] hapur (石狩): [他](場所)で脆くなる、脆い epewan (新)、[他] ehapur (新): [他]〜と共に脆くなる、脆い kopewan (新)、[他] kohapur (新): [他](原因、手段)で脆くなる、脆い opewan (新)、[他] ohapur (新): [他]〜を脆くする pewanka (pewante) (新)、[他] hapurka (hapure) (新): [自]充分に脆くなる、脆い pewanno (pewannu) (新)、[他] hapunno (apunnu) (新): [自]すっかり脆くなる、脆い oarpewan (arpewan) (新)、[他] oarhapur (arhapur) (新): [自]もの凄く脆くなる、脆い toykopewan (新)、[他] toykohapur (新): [副]脆くなる、脆い pewanno (pewan) (新)、[副] hapunno (hapur) (新)

モロッコ [場名](国名)モロッコ王国 Máguribu Yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(首都は「ラバト」): [場名](国名の通称として)モロッコ Máguribu (新): [名]モロッコ人、国民 máguribuunkur (新)

モロックス(動物)[名](オヒキコウモリ科)モロックス属 numaussenkaki-kapap-cise (新): [名]モロックス・アズテクス astekaun-numaussenkaki-kapap (新): [名]M. アルバレジ yukatanun-numaussenkaki-kapap (新): [名]M. クレンティウム bonda-numaussenkaki-kapap (新): [名]M. コイベンシス koibanun-numaussenkaki-kapap (新): [名]M. シナロアエ sínaroaun-numaussenkaki-kapap (新): [名]M. バルネシ barnes-numaussenkaki-kapap (新): [名]M. プレティオスス mirer-numaussenkaki-kapap (新): [名]M. モロックス yayan-numaussenkaki-kapap (新): [名]M. ルフス kunne-numaussenkaki-kapap (新)

モロップス(動物)[名](オヒキコウモリ科)モロップス属 poniwne-esetanekapap-cise (新): [名]スリナムオヒキコウモリ surinameun-esetanekapap (新): [名]モロップス・アエクアトリアヌス ekuadorun-esetanekapap (新): [名]M. テンミンキー poniwne-esetanekapap (新): [名]M. マットグロッセンシス mato-gurossoun-esetanekapap (新)

モロニ [場名](コモロ連合の首都名)モロニ Moroni (新)

もろびと(諸人) (表現)諸人 inne utar (石狩)

もろやげんぼり(諸薬研堀)[名]諸薬研堀 uren-asameenke-pecir (新)

もん(門) ①[名]門 soyeasapa (新)、[名]mon (沙流): [名](昔の町の出入りに設けられた人が中に留まれるような)門 apacise (新): ②(分類)[場名]門 serke (新)

モンキアゲハ(紋黄揚羽) (昆虫)[名](アゲハ属)モンキアゲハ nokao-kitomarewrew (新)

もんく(文句) ①(文章中の語句)[名]文句 itak (石狩): ②(誰かへの言い分、苦情)[名]文句 caranke (新): (表現)文句がある caranke rusuy (新): [自]文句を言う caranke (石狩): [他]〜について文句を言う ecaranke (新): [他](人)に文句を言う kocaranke (石狩): [他](原因、手段)で文句を言う ocaranke (新): [他](人)に文句を言わせる carankere (新): (表現)文句ばかり言う caranke patek ki (新): (表現)〜に文句ばかり言う caranke haw

patek nure (新): [自]文句を言わない
hawsak (新): (表現)文句を言わない
somo hawkor (新): [他]〜について文句を言わない
ehawsak (新): [他](人や物事)に文句を言わない
kohawsak (新): [他](原因、手段)で文句を言わない
ohawsak (新): [他](人)に文句を言わせない
hawsakka (新)、[他] hawsakte (新)

モンクアザラシ(モンク海豹) (動物)[名](アザラシ科)モンクアザラシ属 monaxostukar-cise (新): [名]カリブモンクアザラシ karibeun-monaxostukar (新): [名]チチュウカイモンクアザラシ mosinnoskiatuyun-monaxostukar (新): ハワイモンクアザラシ hawaiiun-monaxostukar (新)

モンゴリナラ (植物)[名](コナラ属)モンゴリナラの茎 túnni (樺太真岡)、[名]その果実 ninum (樺太真岡)

モンゴル ① [場名][国名]モンゴル国 Mongor Mosir (新)※(首都は「ウランバートル」): [場名](国名の通称として)モンゴル Mongor (新): [名]モンゴル人、国民 mongorunkur (新): [名]モンゴル人、民族 mongorkur (新): [名]モンゴル語 mongorkur-itak (新): (歴史)[場名](国名)モンゴル人民共和国 Mongor Utarikor Ukotankoremosir (新): ② [場名](中華人民共和国の自治区名)内モンゴル自治区 Awtaan Mongorkur-sieyayetunusiwor (新)

もんしょう(紋章) [名]紋章 nokasirosi (新)

モンタナ [場名](アメリカ合衆国の州名)モンタナ州 Montana-mosir (新)※(州都は「ヘレナ」)

モンツキヒラアジ(紋付平鯨) (魚介)[名](アジ科)モンツキヒラアジ属 eenukaraji-cise (新): [名]モンツキヒラアジ eenukaraji (新)

モンテネグロ [場名](国名)モンテネグロ Ţunnagora (新)※(首都は「ポドゴリツァ」): [場名](国名の通称として)モンテネグロ Ţunnagora (新): [名]モンテネグロ人、国民 Ţunnagoraunkur (新): [名]モンテネグロ人、民族 Ţunnagoreŧkur (新): [名]モンテネグロ語 Ţunnagoreŧkur-itak (新)

モンテビデオ [場名](ウルグアイ東方共和国の首都名)モンテビデオ Montevideo (新)

モントペリール [場名](アメリカ合衆国ヴァーモント州の州都名)モントペリール Montoperier (新)

モントリオール [場名](カナダの都市名)モントリオール Montorear (新)

モンロビア [場名](リベリア共和国の首都名)モ

ンロビア Monroviya (新)

や(矢) [名]矢 ay(-e) (石狩): [名]鏃 rum (石狩): [名]鏃と矢柄を連結する木 ayna (石狩): [名]矢柄 aysup (石狩): [名]矢柄の紋様 aynuye (石狩): [名]矢筈 aycaro (萱): [名]矢筈紋 aycaro-sirki (新): [名]矢羽 ayrap (石狩): [自]矢を作る aykar (石狩): (表現)矢を作る aykar (石狩): [他]〜に一本の矢を射立てる ayeasi (新): [他]〜に複数の矢を射立てる ayeroski (沙流)

やーい [間投](人を馬鹿にして囃したて)やーいやーい yey yey (沙流)

ヤーコン (植物)[名](キク科)ヤーコンの茎 yákonkina (新): [名]ヤーコンの根 yákon (新)※(英語。属分類はスマランサス属、あるいはポリムニア属)

やいば(刃) ①(切ったりするため刃物の鋭くした部分)[名]刃 notak(-u) (石狩): [場名]刃の上 notakka(-si、-sike) (石狩): ②(刃のあるものの総称)[名](雅)刃 notakkorpe (石狩)、[名](雅) tam (石狩): [自]刃を振るう tamani (石狩): [他]〜に刃を振るう kotamani (石狩)、[他] tamkosuye (石狩): [他]〜に刃を向ける tamkokiru (石狩): 「…神なる君よ、私に刃を向け私を斬って下さいませ!…」 “…kamuynonispa i=tamkokiru i=tuypa kiwa i=korpore yan!…” (杉村キナブク) 英雄詞曲

ヤイユーカラのもり(ヤイユーカラの森) [名]ヤイユーカラの森 yayeyukar-nitay (新) ※(略号 YN)

ヤウンデ [場名](カメルーン共和国の首都)ヤウンデ Yaunde (新)

やえい(野営) [自]野営する kucakar (新): [場名]野営地 ciekucakari (新)

やおおい(矢蔽) [名](仕掛け弓の)矢蔽 aycise (石狩)

やおとしぎ(矢落とし木) [名]矢落とし木 aykikni (石狩): 棒の先に笹の葉をつけた物で、イオマンテの際にクマに刺さって落ちない花矢を払い落としたり、クマをじゃらして喜ばせたりする。今は“takusa”と呼ぶ事も多い。

やかた(館) [名]館 cásioreaspe (石狩)、[名] cásicise (新)

ヤガタムギツク(矢形麦突) (魚介)[名](コイ科)ヤガタムギツク属 şuri (新): [名]ヤガタムギツク şuri (新)※(朝鮮語)

やがて (表現)やがて siran ayne (石狩): 「冬がきて、やがて春になる。」 “Mata an hine siran ayne paykar an .”

やかましい [自]やかましい iranakka

(iranaka) (石狩)、[自] irampotare (天塩)、[自] wenruy (天塩): [間投]やかましい iranakka (iranaka) (石狩)、[間投] tustek (石狩)
やがら(矢柄) [名]矢柄 aysup (石狩): [名] 矢柄の紋様 aynuye (石狩)
やかん(夜間) [名・副]夜間 kunne (石狩): (表現)夜間飛行する kunne hopuni (複数 hopumpa) wa oman (複数 paye) (新)
やかん(薬缶) [名] 薬缶 úsewkarpe (úseykarpe) (新)、[名] yakan (新)※(日本語)
ヤギ(山羊) (動物)[名](ウシ科)ヤギ亜科 yági-moapa (新): [名]ヤギ属 yági-cise (新): [名]ヤギ族 yági-utar (新): [名]ヤギ亜族 yági-moutar (新): [名]ヤギ yayayyagi (新)、[名] cireska-yagi (新)、[名] yági (新): [名]アイベック arpesyagi (新): [名]イベリアアイベック iberia-yagi (新)※(アイベックの亜種とも): [名]カフカスアイベック cuppokkafkas-yagi (新)※(別名「ニシコーカサスツール」): [名]カフカスツール cupkakafkas-yagi (新)※(別名「ヒガシコーカサスツール」): [名]シベリアアイベック síbiri-yagi (新)※(アイベックの亜種とも): [名]ヌビアアイベック arabiyayagi (新)※(アイベックの亜種とも): [名]パサン yayreska-yagi (新)、[名] aigaguros (新)※(希語。別名「ノヤギ」): [名]マーコール cinoyekirawnu-yagi (新)、[名] marxor (新)※(ペルシャ語): [名]ワリアアイベック itioyiya-yagi (新)※(アイベックの亜種とも): [名]シャモア属 europayagi-cise (新): [名]シロイワヤギ属 retariwayagi-cise (新): [名]ターキン属 tákin-cise (新): [名]タール属 tar-cise (新): [名]バーバリーシープ属 otopushicici-cise (新): [名]バーラル属 áohicici-cise (新): [名]ヒツジ属 hicici-cise (新): [名]ジャコウウシ亜族 musku-moutar (新): [名]チルー亜族 ciru-moutar (新): ②[名]雄山羊 pinne-yagi (新): [名]雌山羊 matne-yagi (新): [名]子山羊 yágipo (新)、[名] poyyagi (新): ③(関連語彙)[名]山羊肉 yágikam (新)、[名] yábiharu (新)
やぎぐし(焼串) [名]焼串 imanit (石狩): [名]小魚を挟んで焼くための焼串 ciyasa-imanit (石狩)
やぎざかな(焼魚) [名]焼魚 cimacep (石狩)
やぎしり(焼尻) [場名](地名)焼尻島 Yankesir (新)
やきにく(焼肉) [名]焼肉 cimakam (新): [名]焼肉店、焼肉屋 cimakameus-cise (新)、

[名] ciecimakameus-cise (新): [名]焼肉のたれ cimakam-cirinurpe (新)
やきもち(焼餅) ①(嫉妬)[自]焼餅を焼く uhuy (石狩)、[自] ohurhur (石狩)、[自] inokosike (新): [他](人)に焼餅を焼く kouhuy (新)、[他](雅) nokosike (新): [他](原因、手段)で焼餅を焼く ouhuy (新)、[他] oinokosike (新): [他](人)に焼餅を焼かせる uhuyka (新)、[他] ohurhure (新)、[他] inokosikere (新): [名]焼餅焼く ohurhur (石狩): ②(食品)[名]焼餅 cima-moci (新)
やきもの(焼物) ①(土などを焼いて作る物)[名]焼物 cicirep (新)、[名] ciciokarpe (新): ②(焼いた料理)[名]焼物 cimap (新)、[名] cimaibe (新)
やく(焼く) ①[他](食べ物)を焼く ma (石狩): [他](何か、誰か)を焼く círe (石狩): 和訳した場合まぎらわしい"círe"は何か「に熱を加える」事を示し、文脈に応じて「～を煮る」、「～を焼く」と訳され、また食べ物以外を目的語とするのに対し、"ma"は魚など食料「を火に炙る」事を示す。但し、"cimacep"「薫製のサケ、マス」のように火からかなり距離がある場合や、炉の灰に埋めて焼く場合などにも用いられるので注意が必要。: 「魚を切って焼いて食べよう。」“Cep an=kár wa an=má wa an=é rok !”, “Cep an=kár wa an=círe wa an=é rok !”, 「私がAを焼き殺した。」“Aku=cire wa ku=rayke .”: ②(日焼ける)[自]自分を日に焼く sisikuskare (新): [他](人)を日に焼かせる sikuskare (新): ③(日光で焼け爛れる)[自]自分を日に焼く sisikuscire (新): [他](人)を日に焼かせる sikuscire (新)
やく(約)(時間的、数量的に近い事を表し)[後副]約〜(くらい) pakno (pak) (石狩): (表現)約三日 re to pakno (石狩): (表現)約百個、百匹、百人 atuyta pakno (石狩): (表現)約百匹、百人いる atuyta pakno okay (石狩)
やくいん(役員) [名]役員 yakukorkur (新): [名]役員会 yakukorkur-uekarpa (新): [名]役員会議 yakukorkur-ukoitakkar (新)、[名] yakukorkur-ukoramkor (新): [名]役員報酬 yakukorkur-ukkunip (新)
ヤクト [名]ヤクト人 yakutkur (新)※(「サハ人」の旧称): [名]ヤクト語 yakutkuritak (新)※(「サハ語」の旧称): [場名](サハ共和国のロシア語の通称として)ヤクーチア Yakutiya (新): (歴史)[場名]ヤクト・サハ共和国 Yakutiya-Saxa Ukotankoremosir (新)※(1990-92

年): [場名](ロシア連邦、ソ連邦の構成主体名)ヤクト・ソヴィエト社会主義自治共和国 Yakutiya Sovet Ureskausamun Sieyayetunus-kotankoremosir (新)※(1922-90年)

やくざ ①[名]やくざ yakuza (新)※(日本語): ②(不道德)[自] hoiyo (石狩): (表現)やくざな行い hoiyo sir(i) (石狩)

やくしつ(薬室) (銃の部品)[名]薬室 kusuritumpu (新)

やくしゃ(役者) [名]役者 ieyukannouskur (新)

やくしよく(役職) [名]役職 irawkitupa-yaku (新)、[名] monrayke-yaku (新)

やくぜん(薬膳) [名]薬膳 kusuri-ipe (新)、[名] kusurine-ipe (新)

やくそう(薬草) [名]薬草 kusurikina (新)、[名] kusurinekina (新)、[名] cikohosarikina (新): (表現)薬草で~を治療する kusurikina (kusurinekina、cikohosarikina) ani ~ temka (kasi-oyki) (新): [他](薬草)で病気を治す kohosari (幌別): 「便秘になったらクサノオウで病気を治す。」“Osiun=an ciki otompuykina an=kohosari.”: (表現)薬草で~を治す kusurikina ani ~ pirkare (新)、(表現) kusurikina ~ opirkare (新)

やくそく(約束) [名](行為として)約束 uyepnu (新): [名]約束、約束した事 cieuyepnup (新): [自]約束する uyepnu (石狩): [他]~を約束する euyepnu (新): [他](人)に約束する kouyepnu (新): [他]~と共に約束する kouyepnu (新): [他]~(原因、手段)で約束する ouyepnu (新): [他](人)に約束させる uyepnure (新): [他](人)に~を約束させる euyepnure (新): [他](人)に(人)に対して約束させる kouyepnure (新): [自]互いに約束する ukouyepnu (新)

やくたたず(役立たず) ①(人に関して)[名]役立たず rakasakkur (石狩): [名](悪)役立たず rakasakpe (石狩): ②(物に関して)(表現)役に立たない an=eiiwanke eaykap pe (新)、(表現) cieiiwanke eaykap pe (新)

やくとう(薬湯) [名]薬湯 kusuriyu (新)

やくとく(役得) [名]役得 yakukotpe (新)

やくにたつ(役に立つ) (表現)役に立つ an=eiiwanke easkay (新)、(表現) cieiiwanke easkay (新): (表現)役に立たない an=eiiwanke eaykap (新)、(表現) cieiiwanke eaykap (新)

やくにん(役人) [名]役人 tonon (石狩)、[名] kotankoreykikur (新)

やくびょうがみ(疫病神) [名](人に対する悪口として)疫病神 wenkorkamuy (石狩)

やくみ(薬味) ①(料理)[名]薬味 ipenupurep (新)※(食事の霊力を強める物): [名]スパイス huraakor-iparkarep (新)、[名] huraakor-icarkarep (新)、[名] supais (supice) (新)※(英語): [名]ハーブ huraakor-kina (新)、[名] habu (herbe) (新)※(英語): ②(漢方)[名]薬味 kusurikera (新)、[名] yakumi (新)※(日本語)

やくめ(役目) [名]役目 yaku (石狩): [自]役目がある、役目を持つ yakukor (石狩): (表現)役目を終える yaku okere (新): (表現)役目を果たす pirkano yaku okere (新)

やくよう(薬用) [自]薬用の kusurine (新)

ヤグルマギク(矢車菊) (植物)[名](キク科)ヤグルマギク属 aykarip-kikukina-cise (新): [名]ヤグルマギクの茎葉 aykarip-kikukina (新)※(別名「ヤグルマソウ」): [名]アザミ ヤグルマの茎葉 ancamiaykarip-kikukina (新): [名]イガヤグルマギクの茎葉 raytaaykarip-kikukina (新): [名]イベリアアザミの茎葉 iberiaancami-aykarip-kikukina (新): [名]ウラジロヤグルマギクの茎葉 sirpoki-retaraykarip-kikukina (新): [名]キダチキツネアザミの茎葉 kanokoham-aykarip-kikukina (新): [名]キバナヤグルマソウの茎葉 sikepepeusaykarip-kikukina (新): [名]クロアザミの茎葉 kunneaykarip-kikukina (新): [名]シュコンヤグルマギクの茎葉 montanaaykarip-kikukina (新): [名]ヒレハリギクの茎葉 rapusraytaaykarip-kikukina (新): [名]ピンクダスティミラーの茎葉 sirokaniaykaripkikukina (新): [名]ムラサキイガヤグルマギクの茎葉 pewrekinapeus-raytaaykarip-kikukina (新): [名]ヤグルマアザミの茎葉 cireskapmintarun-aykarip-kikukina (新): [名]ヤマヤグルマギクの茎葉 kimunaykarip-kikukina (新)

やくわり(役割) [名]役割 yaku (新): (表現)役割を分担する yaku usaraye (usare) (新)、(表現) ukousaraye (ukousare) (新)

やけしぬ(焼け死ぬ) ①(自分の過失や自殺で)[自]焼け死ぬ yayuhuyka (石狩): ②(事故や他人の手によって)[自]焼け死ぬ siuhuyka (新)

やけど(火傷) ①(自分の過失によるもの)[自]火傷する yaycire (石狩): ②(自分の過失以外のもの)[自]火傷する sicire (新): [他]~を火傷させる cire (石狩): ③①, ②を

区別せず)[自]火傷する ci (石狩)

やける(焼ける) ①(燃える事)[自]焼ける
uhuy (石狩): 「家が焼けたら大変だ。」

“Cise uhuy yak wen.”: [自]ブスブスと
焼ける nisiske (石狩): ②(火が通る)[自]
焼ける ci (石狩): 本来「火が通る」事を
表すため、状況に応じて「焼ける」、「煮える」
などと訳される事になる。: 「魚が焼けた
よ。」“Cep ci na.”: ③(日焼けする事)[自]
焼ける sikuskar (新): 「お前随分焼けた
なあ。」“Sonno e=sikus siran a!”

やける(妬ける) [自]妬ける uhuy (石狩)、
[自] inokosike (新): [他]～に妬ける
kouhuy (新)、[他]雅 nokosike (石狩)

やげんぼり(薬研堀) [名]薬研堀 asameenke-
pecir (新): [名]片薬研堀 arasameenke-
pecir (新): [名]諸薬研堀 uren-
asameenke-pecir (新)

やさい(野菜) [名]野菜 tóyorun-rataskep
(新): [名]野菜、山菜 rataskep (石狩):
[名]畑で採れる作物 tóyorumpe (石狩)

やさしく(易しく) [自]易しい isayka (天塩)、
[自] casnu (十勝): [他](場所)で易しい
eisayka (新): [他]～と共に易しい
koi sayka (新): [他](原因、手段)で易しい
oisayka (新): [他]～を易しくする
isaykaka (isaykare) (新): [他](場所)で
～を易しくする eisaykaka (eisaykare)
(新): [他]～と共に～を易しくする
koi saykaka (koi saykare) (新): [他](原因、
手段)で～を易しくする oisaykaka
(oisaykare) (新): [他](人)に～を易しく
させる isaykakare (isaykarere) (新):
[自]易しくなる siisaykaka (新): [自]易
しくなる、易しい pirka (石狩): (表現)
易しくなる、易しい isayka p ne (新)、(表
現) isayka hi ne (新)

やさしく(優しく) ①(性格について)[自]優しく
なる、優しい ramupirka (新)、[自]
oskehawke (新)、[自] ramuhawke (石
狩)、[自] hawke (石狩)、[自] ramuhapur
(新): (表現)優しくなる、優しい ramu
pirka (宗谷)、(表現) oske hawke (石狩)、
(表現) kewtumu pirka (沙流)、(表現)
ramu hapur (沙流): [他](場所)で優しく
なる、優しい eramupirka (新): [他]～
に対して優しくなる、優しい koramupirka
(新): [他](原因、手段)で優しくなる、優し
い oramupirka (新): [他]～を優しくす
る ramupirkare (新): [自]自分に優しく
なる、優しい yaykoramupirka (新):
[自]互いに、皆に優しくなる、優しい
ukoramupirka (新): [自]充分優しくなる、
優しい ramupirkano (rampirkanu)

(新): [自]すっかり優しくなる、優しい
oanramupirka (anramupirka) (新): [自]
本当に、とても優しくなる、優しい
siramupirka (新): [自]思い切り優しくな
る、優しい rayramupirka (新)、[自]
toykoramupirka (新): [他]人(人)に優
しくさせる sikoramupirkayar (新):
[自]人を自分に優しくさせる
koramupirkayar (新): [副]優しく
ramupirka(-no) (新)、[副] oskehawke(-
no) (新)、[副] ramuhawke(-no) (新)、
[副] hawke(-no) (石狩)、[副]
ramuhapunno (新): ②(動作につい
て)[副]優しく hawke(-no) (石狩)、[副]
apunno (石狩)、[副] ratcitara (石狩)

やじ(野次) ①[自]馬鹿にして野次を飛ばす
wenkuraspa (石狩): [自]人を馬鹿にして
野次を飛ばす isimemokka (新)、[自] (石
狩): [他](人)を馬鹿にして野次を飛ばす
simemokka (石狩)、[他] kowenkuraspa
(新)、[他] komospa (天塩)、[他] rara
(石狩): ②[自]人を罵って野次を飛ばす
ipawre (石狩)、[自] ikopasrota (石狩):
[他](人)を罵って野次を飛ばす pawre (石
狩)、[他] kopasrota (石狩)

やじうま(野次馬) ①(個人)[名]野次馬 mos
(新)、[名] raykurmos (新): ②(集団)(表
現)野次馬 irarap topa (新)、(表現) mos
takma (新)

やしき(屋敷) [名]屋敷 síporocise (石狩)、
[場名] síporociseuni (新)、[名] yasiki
(新)※(日本語)

やしなう(養う) [自]人を養う iparoyki
(新)、[自] ireska (新)、[自] iresu (複数
irespa) (新): [連他]～を養う paro-oyki
(par-oyki) (石狩)、[他] reska (石狩)、
[他] resu (複数 respa) (石狩): [他](場
所)で～を養う ereska (新): [他]～と共
に～を養う koreska (新): [他](原因、手
段)で～を養う oreska (新): [他]一人で
～を養う yaykoreska (新): [他]皆で、共
に～を養う ukoreska (新): [他]充分に
～を養う reskano (reskanu) (新): [他]
人に～を養わせる、養ってもらう reskayar
(新): [自]人に自分を養わせる、養ってら
う siparoykiyar (新)、[自] sireskayar
(新): [自]自分で自分を養う yayparoyki
(石狩)、[自] yayreska (新)、[自] yayresu
(新): [自]養い合う uparoyki (石狩)、[自]
ureska (石狩)、[自] urespa (H): (表
現)(貧乏で)やっとなを養う、～を人並みに養
わない canan paro-oyki (par-oyki) (石
狩)

やじゅう(野獣) [名]野獣 ciramantep (金)、

[名] kimumpe (萱)
やしょうが(矢生姜) [名] 矢生姜 aysioga (新)、
 [名] ayne-sioga (新)
やしよく(夜食) [名] 夜食 kunneipe (新)、
 [名] annoskiipe (新): [自] 夜食をとる
 kunneipe (新)、[自] annoskiipe (新)
やじり(鐵) [名] 鐵 rum (石狩): [名] 鐵と矢
 柄を連結する木 ayna (石狩)
やすく(安く) [自] (価格が) 安くなる、安い
 hawke (石狩): (表現) ~の価格が安くなる、
 安い ataye hawke (石狩)、(表現) ataye
 wen (石狩)、(表現) ataye pan (新)※(八
 雲): [他](場所)で安くなる、安い ehawke
 (新): [他] ~と共に安くなる、安い
 kohawke (新): [他](原因、手段)で安くな
 る、安い ohawke (新): [自] 充分安くな
 る、安い hawkeno (hawkenu) (新):
 [自] 全く安くなる、安い oarhawke
 (arhawke) (新): [他](価格)を安くする
 hawkere (hawkeka) (新): [他] 思い切り
 (価格)を安くする hawkere (hawkeka)
 (新): [他](人)に(価格)を安くさせる
 hawkerere (hawkekare) (新): [他] 人に
 (価格)を安くさせる hawkereyar
 (hawkekayar) (新): [副] 安く hawke(-
 no) (新)
ヤズディ [名] ヤズディ教 yázidi (新):
 [名] ヤズディ教徒 yázidi-eisokorkur (新)
やすむ(休む) [自] 休む sini (石狩)、[自]
 yaysinire (石狩)※(日本語同様「眠る」事も
 表す): [他](場所)で休む kosini (石狩)、
 [他] esini (新): [他] ~と共に休む
 kosini (新): [他](原因、手段)で休む
 osini (新): [他](人)を休ませる sinire
 (新): [自] 自分で、一人で休む yaykosini
 (新): [自] 互いに、皆で休む ukosini (新):
 [自] 充分休む sinino (sininu) (新): [自]
 休み過ぎる sinikasuy (新): [自] 減茶苦
 茶休む toykosini (新)
やすらかに(安らかに) [副] 安らかに apunno
 (石狩)、[副] apunnopo (石狩)、[副](雅)
 orapunno (石狩)、[副] ratcitara (石狩)
やすり(鑢) [名] 鑢 cioisirup (新)
やせい(野生) [自] 野生である yayreska
 (新): [名] 野生動物 yayreska-cikoykip
 (新)
やせうま(瘦馬) (動物) [名] 瘦馬 sattek-
 umma (新)、[名] kirsak-umma (金)、[名]
 pecan-umma (金)
やせる(痩せる) ①[自] 痩せる sattek (石
 狩): [他](場所)で痩せる esattek (新):
 [他] ~と共に痩せる kosattek (新):
 [他](原因、手段)で痩せる osattek (新):
 [他] ~を痩せさせる sattekka (新): [自]

充分痩せる sattekno (satteknu) (新):
 [自] 完全に痩せる oassattek (assattek)
 (新): [自] もの凄く痩せる raysattek (新)、
 [自] toykosattek (新): ②[自] 痩せて油気
 がない aye (H): [他] ~を痩せさせて油
 気をなくす ayere (ayeka) (新)
ヤダケ(矢竹) (植物) [名] (タケ亜科) ヤダケ属
 ayneuras-cise (新): [名] ヤダケの枝葉
 ayneuras (新): [名] オオバヤダケの枝葉
 hamuporo-ayneuras (新): [名] ヤクシマ
 ダケの枝葉 yaku-ayneuras (新)
やたら(矢鱈) [副] (何らかの事象や人の言動に
 關して) 矢鱈 etarka (石狩): 「今まで矢
 鱈と何でも(獲物が)あったのに。」 “Tane
 pakno etarka nep ne yakka an awa .”
やち(谷地) → 「しっち(湿地)」を見よ
ヤチウグイ(谷地鰻) (魚介) [名] (アブラハヤ属)
 ヤチウグイ tóotuyatki (新)、[名]
 tóceppo (天塩)
ヤチハンノキ(谷地樺の木) (植物) [名] (ハンノキ
 属) ヤチハンノキの茎 nitatkene (石狩)、
 [名] sarkene (石狩)
やちぼうず(谷地坊主) [名] 谷地坊主
 takuppemun (天塩)、[名] takuppe (沙
 流)
ヤチヤナギ(谷地柳) (植物) [名] (ヤマモモ属) ヤ
 チヤナギの茎 makirampani (樺太)、[名]
 cuhturehni (樺太)※(セイヨウヤチヤナギ
 の変種。別名「エゾヤマモモ」): [名] セイ
 ヨウヤチヤナギの茎 repun-makirampani
 (新)
やつ(奴) ①[形式名] 動詞、動詞句、連体詞の後に
 置かれ好ましくない人を表す名詞や名詞句
 を形成する (母音の後) p、(子音の後) pe
 (石狩): sunke(嘘をつく)+p → sunkep
 「嘘つき」: 私を殴った奴 en=kikkik pe
 (新): ②[接尾](接尾辞 -no を伴わない副詞、
 あるいは自動詞に接尾し、常用語で好ましく
 ない人に対する悪口を作る (単数形) -
 ampe、(複数形) -okaype (旭川): ene(あ
 のような+ampe → eneampe 「あんな
 奴」、ene(あのような)+okaype →
 eneokaype 「あんな奴ら」: iyoski(酔っ
 ている)+ampe → iyoskiampe 「酔っ払い」
やつあたり(八つ当たり) ①[自] 八つ当たりす
 る satciw (新): [他] ~の事で八つ当たり
 する esatciw (沙流): [他](人)に~の事で
 八つ当たりする koesatciw (沙流): ②
 (罰したり復讐したり相手に見せつけるため
 その身近の無実の者に行う行為として)[自]
 人に八つ当たりする ikotki (沙流):
 [他](人)に八つ当たりする kotki (沙流)
やつこう(薬効) (表現) 薬効 kusuri
 ikonupur katu (新)

やっつ(八つ) [名]八つ tupesampe (石狩): (表現)団子八つ sito tupesampe (新): (表現)八つに tupesampene (新): ③[連体]八つの tupesan (石狩): (表現)八つの団子 tupesan sito (新)

やづつ(矢筒) [名]矢筒 áyop (石狩)、[名]ikayop (石狩)、[名]pus (沙流): [名]紐付きの矢筒 táruskarop (石狩): [自](矢を取り出し射るため)矢筒を傾ける puskosikirpa (沙流)、[自]pusko-hewehewe (沙流)

ヤツデ(八手) (植物)[名](ウコギ科)ヤツデ属 arwampetkor-hamus-cise (新): [名]ヤツデの茎 arwmpetkor-hamus (新): ヤツデの葉 arwampetkorham (新): [名]タイワンヤツデの茎 taywan-arwampetkor-hamus (新): [名]ムニンヤツデの茎 ogasawara-arwampetkor-hamus (新)

ヤツデイカ(八手烏賊) (魚介)[名](スルメイカ亜目)ヤツデイカ科 tupesantekkor-epetpetke-apa (新): [名]ヤツデイカ属 tupesantekkor-epetpetke-cise (新): [名]ヤツデイカ tupesantekkor-epetpetke (新): [名]キタノヤツデイカ siatuyyupesantekkor-epetpetke (新): [名]タイセイヨウヤツデイカ arsiatuytupesantekkor-epetpetke (新): [名]ダナヤツデイカ danatupesantekkor-epetpetke (新): [名]ヒレビロイカ rapuseptupesantekkor-epetpetke (新): [名]マッコウヤツデイカ humpee-tupesantekkorpe (新)

やっと (表現)やっと ray koraci (沙流)

ヤップ [場名](ミクロネシア連邦の州名)ヤップ州 Yap-purovince (新): [場名](地名)ヤップ島 Yap-poysir (新)※(西太平洋カリン諸島に属するミクロネシア連邦領の島): [名]ヤップ語 yápunkuritak (新)

やつれる(憔悴) (表現)～が栄養失調で憔悴した姿 cepiporo oma siri (石狩)

やど(宿) ①[名]宿 yanto (石狩): ②[自]宿を借りる、宿を取る yantoetun (沙流): (表現)宿を借りる、宿を取る yanto etun (石狩): [他](人)に宿を借りる、宿を取る koyantoetun (沙流): [他](人)に宿を借りさせる、宿を取らせる yantoetunte (新): ③[自]人に宿を貸す iyantokor (新): [他]～に宿を貸す yantokor (石狩)

やとう(雇う) [自]人を雇う uneiwanke (新): [他]～を雇う eiwanke (石狩): [他]～と共に～を雇う koeiwanke (新): [他](原因、手段)で～を雇う oeiwanke (新): [他](誰か)に～を雇わせる eiwankere (新): [他]自分で、一人で～を

雇う yaykoeiwanke (新): [他]互いに、皆に～を雇う ukoeiwanke (新)

やとう(夜盗) [名]夜盗 kunneikkakur (新)、[名]kunneikkap (新): [自]夜盗行為を行う kunneikka (新)

やとう(野盗) ①[名]野盗 mosirka-oikkakur (新)、[名]mosirka-ikkakur (新)、[名]apkasikkakur (新)、[名]mosirka-oikkap (新): [自]野盗行為を行う mosirka-oikka (新): ②(集団として)[名]野盗行為 topattumi (新): (表現)野盗行為を行う topattumi sanke (新)

やどく(矢毒) [名]矢毒 ayyop (天塩)

ヤナ [名](地名)ヤナ川 Yána-pet (新)※(ロシア連邦領シベリアを流れ北極海に注ぐ川)

やな(梁) [名]梁。比較的小さな川に杭を立ててせき止め、一部開いた部分に籠を仕掛ける漁具の一式 uray (石狩): [名]上がり梁 rikincepkoyki-uray (石狩): [名]下り梁 rancepkoyki-uray (石狩): [名]下り梁の川上側へ開ける口の部分 parumpe (天塩): [自](魚を獲るため)築を作る uraykar (石狩): (表現)築を作る uray kar (石狩)

ヤナギ(柳) ①(植物)[場名](古生花被植物亜綱)ヤナギ目 susu-kotan (新): [名]ヤナギ科 susu-apa (新): [名]ヤナギ属 susu-cise (新): [名]ナガバヤナギの茎 susu (H)、[名]yayaysusu (鵲川)※(別名「オノエヤナギ」、「カラフトヤナギ」など): [名]アメリカボッキリヤナギの茎 amerikasakiikke-susu (新): [名]アメリカマルバヤナギの茎 watacarpa-susu (新): [名]イヌコリヤナギの茎 uray-susu (有珠): [名]エゾノカワヤナギの茎 petcamus-susu (新): [名]エゾノキヌヤナギの茎 sirokani-susu (新)※(別名「ウラジロヤナギ」など): [名]エゾノタカネヤナギの茎 rinupuri-susu (新)※(タカネイワヤナギの亜種): [名]エゾマメヤナギの茎 sípompon-susu (新): [名]エゾヤナギの茎 yaun-susu (新): [名]オオキツネヤナギの茎 ekonkani-susu (新)※(別名「キンメヤナギ」など): [名]オオタチヤナギの茎 porosikekke-susu (新): [名]カスビエゾヤナギの茎 rossiya-susu (新): [名]コウライシダレヤナギの茎 kórintekeratki-susu (新): [名]コマイワヤナギの茎 kutun-susu (新): [名]コリヤナギの茎 cisupopokar-susu (新): [名]シダレヤナギの茎 tekeratki-susu (新): [名]シバヤナギの茎 hasne-susu (新)※(別名「イシヤナギ」): [名]ジャヤナギの茎 sikekke-susu (新)※(別名「オオシロヤナギ」): [名]ススヤナギの茎 susuya-susu (新): [名]セイヨウエゾヤナギの茎

repunehure-susu (新): [名]セイヨウキヌ
 ヤナギの茎 repun-susu (新): [名]セイ
 ヨウコリヤナギの茎 repuncisupopokar-
 susu (新): [名]セイヨウシロヤナギの茎
 repunretar-susu (新): [名]セイヨウタチ
 ヤナギの茎 armondonihamus-susu (新):
 [名]セイヨウテリハヤナギの茎
 repunhamurarak-susu (新): [名]タイワ
 ンアカメヤナギの茎 taywanehure-susu
 (新): [名]タカネイワヤナギの茎
 samorunrinupuri-susu (新)※(別名「レンゲ
 イワヤナギ」など): [名]タライカヤナギの
 茎 tarayka-susu (新): [名]チシママメヤ
 ナギの茎 pompon-susu (新): [名]チシマ
 ヤナギの茎 cupka-susu (新): [名]テリ
 ハヤナギの茎 šibirhamurarak-susu
 (新): [名]テンジクヤナギの茎 india-susu
 (新): [名]ネコヤナギの茎 símeraomani
 (símeromay) (新)※(別名「エノコロヤナ
 ギ」): [名]ノヤナギの茎 momeraomani
 (momeromay) (新)※(別名「ヒメヤナギ」):
 [名]バッコヤナギの茎 meraomani
 (meromay) (新)※(別名「ヤマネコヤナギ」
 など): [名]ヒダカミネヤナギの茎
 morinupuri-susu (新)※(タカネイワヤナギ
 の亜種): [名]ペキンヤナギの茎 peycin-
 susu (新): [名]ベルシャバッコヤナギの茎
 misru-susu (新): [名]ボッキリヤナギの
 茎 repuysikekke-susu (新): [名]マルバ
 ヤナギの茎 ehure-susu (新)※(別名「アカ
 メヤナギ」): [名]ミヤマバッコヤナギの茎
 metot-meromay (新): [名]ミヤマヤチヤ
 ナギの茎 metotunnitay-susu (新): [名]
 ミヤマヤナギの茎 metot-susu (新): [名]
 ムラサキヤナギの茎 pewrekinapeus-susu
 (新): [名]ヤマヤナギの茎 kimun-susu
 (新): [名]ユスラバヤナギの茎 kisarus-
 susu (新): [名]ユビソヤナギの茎
 yubiso-susu (新): [名]ヨシノヤナギの茎
 yosino-susu (新): [名]オオバヤナギ属
 toysusu-cise (新): [名]ケショウヤナギ属
 ramparasusu-cise (新): [名]ヤマナラシ
 属 nupkurunni-cise (新)※(ハコヤナギ属
 とも): ②[名]ナガバヤナギの花穂 níseta
 (天塩)、[名] susucoco (幌別)、[名] susupo
 (長万部): [名]バッコヤナギ、ネコヤナギの
 ような花穂 mera (天塩): [名]柳の葉
 susuham (石狩): [名]柳林 susutay
 (石狩)

ヤナギイチゴ(柳莓)(植物)[名](イラクサ科)ヤ
 ナギイチゴ属 hurepsusu-cise (新): [名]
 ヤナギイチゴの茎 hurepsusu (新)、[名]そ
 の果実 susuhurep (新): [名]デブレゲア
 シア・ロンギフォリアの茎 koypok-

hurepsusu (新)

やなぎごうり(柳行李) [名] 柳 行 李
 cisusuokarkori (新)、[名]
 cisusuokarsupop (新): (表現)柳行李
 susu ani an=kar supop (石狩)

ヤナギダコ(柳蛸)(魚介)[名](マダコ属)ヤナギダ
 コ yayanatkorpe (新)

ヤナギタンポポ(柳蒲公英)(植物)[名](キク科)ヤ
 ナギタンポポ属 numasak-susuancami-
 cise (新): [名]ヤナギタンポポの茎葉
 numasak-susuancami (新): [名]コウリン
 タンポポの茎葉 enikapirone-susuancami
 (新)※(別名「エフデグク」): [名]チシマ
 タンポポの茎葉 arpes-susuancami (新):
 [名]ミヤマコウゾリナの茎葉 metotun-
 isepoancami (新)

やなぎばほうちょう(柳葉包丁) [名]柳葉包丁
 susuham-hoyco (新)

やなぐい(梁杭) [名]梁を作るため川に立てる
 杭 urayni (石狩): [名]梁杭の列
 uraytek(-e) (石狩)

やぬし(家主) [名]家主 cisekorkur (石狩)

やね(屋根) [場名]屋根 cisekitay (石狩)、[名]
 cisesoka (天塩): [場名]屋根のてっぺん
 cisekitay (石狩): [名]屋根の骨組となる三
 脚の構造物 ketunni (ketuni) (石狩):
 [場名](屋根の)破風 etupok (石狩): [自]
 屋根に上がる cisekaun (天塩): [名]屋根
 の外側 ciseoson (石狩): [場名]屋根の内
 側 cisekotor (石狩): [自]新築祝いにヨモ
 ギを矢として家の屋根の内側を射る
 cisetukan (石狩): [自]屋根の雪下ろしを
 する cisekaranke (新): [名]屋根の雪下
 ろし具 cisekarankep (石狩)

やねうら(屋根裏) [場名]屋根裏 amaysut
 (amansut) (沙流): [名]屋根裏部屋
 cisekotottumpu (新)

やばこ(矢箱) [名]矢箱 aysupop (石狩)

やはず(矢筈) [名]矢筈 aycaro (萱): [名]
 矢筈紋 aycaro-sirki (新)

やばね(矢羽) [名]矢羽 ayrap (石狩)

やはり [副]やはり irokakusu (沙流)、[副]
 eposokane (沙流): 「やはりお前も知って
 いたのだな。」“Eposokane eani ka e=eraman
 na.”

やばん(野蛮) [自]野蛮である purisak 新語、
 [自] yaban (日本語): [名]野蛮人
 purisakkur (新)、[名] yabankur (新)

ヤヒコザサ(弥彦笹)(植物)[名](ササ属)ヤヒコ
 ザサの茎葉 yahiko-uras (新): [名]オゼ
 ザサの茎葉 oze-uras (新)※(変種): [名]
 シコタンザサの茎葉 sikotan-uras (新)※
 (変種)

ヤブジラミ(藪虱)(植物)[名](セリ科)ヤブジラミ

属 setataykimun-cise (新): [名]ヤブジ
ラミの茎葉 setataykimun (新)、[名]
sitataykimun (美幌)、[名]ヤブジラミの果
実 setatayki (新)、[名] sitatayki (美
幌): [名]オヤブジラミの茎葉 samor-
setataykimun (新): [名]セイヨウヤブジ
ラミ茎葉 europa-setataykimun (新):
[名]タマヤブジラミの茎葉
mosinnoskiatuy-setataykimun (新)

ヤブタバコ(藪煙草) (植物)[名](キク科)ヤブタ
バコ属 cikap-tampakukina-cise (新)※
(ガンクピソウ属とも): [名]ヤブタバコの茎
葉 cikap-tampakukina (新): [名]オオガ
ンクピソウの茎葉 poro-kiserikina (新):
[名]ガンクピソウの茎葉 kiserikina (新)
※(別名「キバナガンクピソウ」): [名]コヤ
ブタバコの茎葉 mocikap-tampakukina
(新): [名]サジガンクピソウの茎葉
parapasuy-kiserikina (新): [名]ノッポロ
ガンクピソウの茎葉 núporun-kiserikina
(新)※(ガンクピソウの変種): [名]ヒメガン
クピソウの茎葉 mokiserikina (新): [名]
ミヤマヤブタバコの茎葉 kimuncikap-
tampakukina (新)

ヤブタバコ(藪田平子) (植物)[名](キク科)ヤ
ブタバコ属 ciepotokisokina-cise (新):
[名]ヤブタバコの茎葉 nitat-
ciepotokisokina (新)※(学名): [名]コオニ
タバコの茎葉 ciepotokisokina (新)※
(別名「タバコ」、「ホトケノザ」)ヤブタバ
コ(藪田平子)

ヤブツルアズキ(藪蔓小豆)(植物)[名](ササゲ属)
ヤブツルアズキの茎葉 cikapantoki-
punkar (新): [名]ヤブツルアズキの種子
cikapantoki (新)

ヤブニンジン(藪人参) (植物)[名](セリ科)ヤブ
ニンジン属 tannetaykimun-cise (新):
[名]ヤブニンジンの茎葉 tannetaykimun
(新)、[名]ヤブニンジンの果実 tannetayki
(新)、[名]ヤブニンジン根 kowhon (新)
※(漢方薬「藪本」)

やぶる(破る) (I)①(二つ、あるいはそれ以上
に)[他]～を破る、割り破る pere (複数
perpa) (石狩): [他](場所)で～を破る
epere (複数 eperpa) (新): [他]～と共に
～を破る kopere (複数 koperpa) (新):
[他](原因、手段)で～を破る opere (複数
operpa) (新): [他](人)に～を破らせる
perere (複数 perpare) (新): [他]自分で、
一人で～を破る yaykopere (複数
yaykoperpa) (新): [他]共に、皆で～を破
る ukopere (複数 ukoperpa) (新): [他]
完全に～を破る oarpere (複数 oarperpa)
(新)、[他] arpere (複数 arperpa) (新):

[他]瞬間的に～を破る pettekka (新):
[他]思い切り～を破る toykopere (複数
toykoperpa) (新): [他]人に～を破らせる
pereyar (複数 perpayar) (新): ②(部分的
に)[他]～を破る soso (複数 sospa) (石
狩): [他](人)に～を破らせる sosore (複数
sospare) (新): [他]瞬間的に～を破る
sostekka (新): [他]思い切り～を破る
toykososo (複数形 toykosospa) (新): ③
[他]～を細長く破る petu (複数 petpa、
peppa) (石狩): [他](人)に～を細長く破ら
せる peture (複数形 petpare、peppare)
(新): [他]瞬間的に～を細長く破る
pettekka (新): ④(③したもの)を更に細長
く破る事を表し[他]～を細長く破る mim
(石狩): [他](人)に～を細長く破らせる
mimte (新): [他]瞬間的に～を細長く破る
mimtek (新): ⑤[他]～を細かく破る
yasa (複数 yaspaspa) (石狩): [他](人)に～を
細かく裂かせる yasare (複数 yaspaspa)
(新): [他]瞬間的に～を細かく破る
yastekka (新): [他]思い切り～を細かく
破る toykoyasa (複数形 toykoyaspa)
(新): (II)(敵)に勝つ事[他](敵)を破る
epetturasi (石狩): [他](人)に(敵)を破らせ
る epetturasire (新): [他](場所)で(敵)を
破る eepetturasi (新): [他]～と共に(敵)
を破る koepetturasi (新): [他](原因、手
段)で(敵)を破る oepetturasi (新): [他]
散々に(敵)を破る toykoepetturasi (新)

ヤブレガサ(破れ傘) (植物)[名](キク科)ヤブレ
ガサ属 yaskekasakina-cise (新): [名]ヤ
ブレガサの茎葉 yaskekasakina (新):
[名]ヒュウガヤブレガサの茎葉 hiwga-
yaskekasakina (新)

やぶれる(破れる) (I)①(二つ、あるいはそれ以
上に)[自]破れる perke (石狩): [他](場
所)で破れる eperke (新): [他]～と共に
破れる koperke (新): [他](原因、手段)で
破れる operke (新): [自]瞬間的に破れる
pettek (新): [自]滅茶苦茶破れる、ボロボ
ロに破れる perkeperke (新)、[自]
perperke (新): ②(部分的に)[自]破れる
soske (石狩): [自]瞬間的に破れる
sostek (新): [自]ひどく破れる
toykososke (新): ③[自]細長く破れる
petke (新)、[自] sipetu (複数形 sipetpa、
sipeppa) (新): [自]瞬間的に細長く裂ける
pettekka (新): ④[自]細かく破れる
yaske (新): [自]瞬間的に細かく破れる
yastek (新): [自]ひどく細かく破れる
toykoyaske (新): (II)(衣服に関して)[自]
破れる tuy (石狩): [名](衣服の)破れ
tuy (石狩): (表現)破れを繕う tuy

utapke (石狩): [自]擦り切れ破れる yar
(石狩): [名]破れた着物 yarcimikunip
(石狩): (Ⅲ)(戦いに関して)(表現)破れる
an=epétturasi (新)

ヤベオオツノシカ(矢部大角鹿) (動物)[名](シカ科)シノメガケロス属 *sinomegakeros-cise* (新)※(絶滅): [名]ヤベオオツノシカ yabe-kirawesiporoyuk (新)※(絶滅)

やぼね(矢骨) [名]矢骨 makanit (石狩)

やま(山) ① [名](地理的概念としての)山 nupuri (石狩): [場名]山の頂 nupurikitay(-ke) (石狩): [場名]山の上手、山の上 nupuripa(-ke) (石狩): [場名]山の中腹 nupurinoksi(-ke) (石狩): [場名]山の下手、山の麓 nupurikes(-e) (石狩): (表現)山の麓の少し下 nupuri ous(長形-ke) (石狩): [場名]山の斜面 sirkotor(-o) (石狩)、[名] hur(-u) (石狩): [場名]山と山の間 sirutur (H): [場名](合成語の構成要素として)山 sir (石狩): [名]平坦な土地に孤立する山 tanasi (石狩): ② [場名](狩猟採集など生活の場としての)山 kim (石狩)、[場名] kimke (石狩): [場名](合成語の構成要素として生活の場としての)山 kip (石狩): [自](猟などをしに)山に行く kimun (石狩): [自](雅)(山菜や薪採りに)山に行く kimoyki (石狩): (表現)オオウバユリの地下茎を掘りに山に行く turepta kusu kim ta oman (複数 paye) (石狩): 薪採りに山に行く nína kusu kim ta oman (複数 paye) (石狩): [自]山を向く、山に向かう ekimun (天塩)、[自] ekimne (石狩)、[自] hemakasi (新): [副]山に向かって、山に ekimun (石狩)、[副] ekimne (石狩)、[副] hemakasi (新): [自]山から向かって来る okimun (新)、[自] okimne (新)、[自] homakasi (新): [副]山から okimun (石狩)、[副] okimne (新)、[副] homakasi (石狩): [連体]山の kimun (石狩): ③(品物や薪などの)[名]山 ikir(-i) (石狩)、[名] toska (沙流)、[名] raytoska (沙流): ④(コンブや草などを積み上げた)[名]山 takma (石狩)

ヤマアザミ(山薊) (植物)[名](アザミ科)ヤマアザミ umma-ancami (幌別)

ヤマアリ(山蟻) (昆虫)[名](アリ科)ヤマアリ亜科 aspaitunnap-moapa (新): [名]ヤマアリ属 aspaitunnap-cise (新): [名]アカヤマアリ húreitunnap (幌別)※(本来は「エゾアカヤマアリ」と区別しないようだが、今後は1種のみを指すものとする): [名]エゾアカヤマアリ niwenitunnap (新)※(石狩方言では「アカヤマアリ」だが今後この種に使用する): [名]クロヤマアリ

kunneitunnap (幌別): [名]ケズネアカヤマアリ numausnisap-hureitunnap (新): [名]ツノアカヤマアリ ekotne-hureitunnap (新): [名]ツヤクロヤマアリ nipekot-kunneitunnap (新): [名]ハヤシクロヤマアリ nitay-kunneitunnap (新): [名]ヤマクロヤマアリ numausnisap-kunneitunnap (新): [名]アシナガキアリ属 cikiritanne-sikerpepeusitunnap-cise (新): [名]アメイロアリ属 ameiroitunnap (新): [名]ウワメアリ属 sikimakun-itunnap-cise (新): [名]オオアリ属 kamuyitunnap-cise (新): [名]ケアリ属 numaitunnap-cise (新): [名]コツブアリ属 nokanitunnap-cise (新): [名]サムライアリ属 kuncikar-itunnap-cise (新): [名]ツムギアリ属 kemeykiitunnap-cise (新): [名]トゲアリ属 áyunitunnap (新): [名]ヒメキアリ属 mosikerpepeus-itunnap-cise (新): [名]ミツバアリ属 renimakkor-itunnap-cise (新): [名]ミツツボアリ属 tópenwakkapise-itunnap-cise (新)

やまい(病) [名]病 siyeye (石狩)、[名] arka (石狩): [名]重い病 tasum(-i) (石狩): [名]病の床 siyeye-sotki (新)、[名] arka-sotki (新): (表現)病の床にある siyeye-sotki (arka-sotki) or oma wa an (複数 okay) (新)

ヤマウルシ(山漆) (植物)[名](ウルシ属)ヤマウルシの茎 ussini (長万部)

やまおく(山奥) [名]山奥 metot (石狩)、[名](雅) iwor (ihor) (石狩): [名]山奥、山奥一体 metotso (metotco) (石狩)、[名] kimuyso (石狩)、[名](雅) iworso (石狩): (表現)山奥で kimuyso ka ta (沙流): (表現)山奥を歩く kimuyso kurka koapkas (石狩): [名]山の奥にある狩小屋 kimunkuca (石狩)

やまかげ(山陰) [位名]～の山陰 rer(長形-ke) (石狩): (表現)～の山陰の川下から rerke opasiwa (石狩)

やまかじ(山火事) [名]山火事 siruhuy (石狩)、[名] nupuriuhuy (新): [0動]山火事になる siruhuy (石狩): (表現)山火事になる nupuri uhuy (石狩)

やまがわ(山側) [位名]～の山側 mak(長形-ke) (石狩)※(長形は沙流方言より): (表現)～の山側に、～の山側で mak ta (石狩): [連体]山側の makun (石狩)

やまぎわ(山際) ① (山裾)[場名]山際 nupurikes(-e) (石狩): (表現)山際 nupuri ohonkes(長形-e、-ke) (石狩)、(表現) nupuri ous(長形-i、-ke) (石狩): ②

- (山稜に接した空)[場名] nupurituyka(-si, -sike) (新): (表現)山際 nupuri tuyka(長形-si, -sike) (新): 「山際が少し明るんだ。」
 “Nupuri tuyka peka ponno sirpeker .”
- やまくずれ(山崩れ)** [自] 山崩れになる toyrututke (石狩)
- やまご(山子)** [名] 山子 yamanko (八雲): (表現)山子をする yamanko ki (八雲): (表現)山子として働く yamanko ne monrayke (新)
- ヤマコウモリ(山蝙蝠)** (動物)[名](ヒナコウモリ科)ヤマコウモリ属 kimunkapap-cise (新): [名]ヤマコウモリ yayan-kimunkapap (新)※(別名「ニホンヤマコウモリ」): [名]コヤマコウモリ samor-kimunkapap (新): [名]ニクタルス・アゾレム azores-kimunkapap (新): [名]N. プランキー atuyya-kimunkapap (新): [名]N. モンタヌス india-kimunkapap (新): [名]N. ラシオブテルス mokimunkapap (新): [名]N. レイスレリ sikimunkapap (新): [名]ヨーロッパヤマコウモリ europa-kimunkapap (新)
- やまごえ(山越え)** (表現)山越えする nupuri oika (新): [名]山越えする道 ioikaru (新): [名]山越えする峠沢 rupespe (地名): [名]熊が山越えする道 onnenay (石狩): [名]鹿が山越えする道 yukturasi (地名)
- やまごや(山小屋)** [名]山小屋 kuca (石狩)、[名] kimunkuca (石狩)
- ヤマザクラ(山桜)** (植物)[名](サクラ属)ヤマザクラの茎 sisam-karimpani (新): [名]ヤマザクラの花 sisam-karimpani-apappo (新)
- やまし(鉾山師)** [名] 鉾山師 inupurihunarkur (新)、[名] inupuripakur (新)
- ヤマゼリ(山芹)** (植物)[名](セリ科)ヤマゼリ属 kímusseri-cise (新): [名]ヤマゼリの茎葉 kímusseri (新): [名]チョウセンオニウドの茎葉 cosonkiokaŋukina (新)、[名]チョウセンオニウドの根 cosonkiokaŋu (新): [名]ニオイウドも茎葉 kiokaŋukina (新)、[名]ニオイウドの根 kiokaŋu (新)※(漢方薬「羌活」): [名]ミヤマゼリの茎葉 metotusseri (新)
- やまつなみ(山津波)** [名]山津波 okimumpe (石狩)、[名] numumke-wakka (天塩)、[名] sinnumumke-wakka (天塩): (表現)山津波が起きる okimumpe an (石狩)
- やまて(山手)** ①[位名]～の山手 mak(長形-ke) (石狩)※(長形は沙流方言より): (表現)～の山手に mak ta (石狩): [連体]山手の、山手にある makun (石狩): [自]山手へ向かう hemakasi (新): [副]山手へ向かって、山手へ hemakasi (新): [自]山手から来る homakasi (新): [副]山手から homakasi (新): ②[位名]～のその山手 imak(長形-ake) (石狩): 「昔は芦原のその山側を人は行き来したそうだ。」
 “Teeta sar imak peka payekay=an yak a=ye .”: [後副]～のその山手に imak (石狩)
- ヤマトイシノミ(大和石蚤)** (昆虫)[名](イシノミ科)ヤマトイシノミ属 yayan-terkeuype-cise (新): [名]ヤマトイシノミ yayan-terkeuype (新): [名]オカジマイシノミ kámus-terkeuype (新): [名]ヒトツモンイシノミ nokao-terkeuype (新)
- ヤマナラシ(山鳴らし)** (植物)[名](ヤナギ科)ヤマナラシ属 nupkurunni-cise (新)※(ハコヤナギ属とも): [名]ヤマナラシの茎 nupkurunni (石狩)※(ヨーロッパヤマナラシの変種。別名「ハコヤナギ」): [名]アメリカヤマナラシの茎 amerika-nupkurunni (新)※(別名「カロリナボブラ」など): [名]オオバヤマナラシの茎 hamuporonimakus-nupkurunni (新): [名]カロリナハコヤナギの茎 karorina-nupkurunni (新): [名]ギンドロの茎 sirokani-kurunni (新)※(別名「ウラジロハコヤナギ」): [名]コトカケヤナギの茎 purattu-kurunni (新)※(ユーフラテス泥木): [名]セイヨウハコヤナギの茎 cikusrusamun-nupkurunni (新)、[名]popurus (新)※(ヨーロッパクロボブラの変種。別名「ボブラ」、「イタリアボブラ」): [名]チョウセンヤマナラシの茎 menemani (樺太): [名]チリメンドロの茎 kórin-kurunni (新): [名]テリハドロノキの茎 hamupon-kurunni (新): [名]ドロノキの茎 kurunni (石狩)、[名] yayni (幌別): [名]ナガバドロの茎 hamutanne-kurunni (新): [名]バルサムボブラの茎 barsam-popurus (新): [名]ヒロハヤマナラシの茎 amerikakunne-nupkurunni (新)※(別名「アメリカクロヤマナラシ」): [名]ヨーロッパクロボブラの茎 europakunne-nupkurunni (新)※(別名「ヨーロッパクロヤマナラシ」): [名]ヨーロッパヤマナラシの茎 europa-nupkurunni (新)
- ヤマネコ(山猫)** [名]山猫 kimun-mekot (新) → 生物としての分類は「ネコ(猫)」を見よ
- やまのいただき(山の頂)** [場名]山の頂 nupurikitay(-ke) (石狩): (表現)山の頂 nupuri kitay(長形-ke) (石狩)

やまのうえ(山の上) [場名]山の上 nupuripa(-ke) (石狩): (表現)山の上手、山の上 nupuri pa(長形-ke) (石狩)

やまのかみ(山の神) [名]山の神(熊神)の中でも最高の神 nupurikorkamuy (石狩)、[名]nupurikorhuci (旭川)※(川村角義 エカシによれば"mosirkorhuci"より位が高く、上川では大雪山ににいるという。): [名]山の神(熊神) kimunkamuy (石狩)、[名]kimerokkamuy (石狩)、[名]metotkorkamuy (石狩)、[名]metotuskamuy (石狩)、[名]okuyukkamuy (旭川)(門野ナンケアイヌ)、[名]mosirkorhuci (旭川)(川村角義)

やまのしゃめん(山の斜面) [場名]山の斜面 sirkotor(-o) (石狩)、[名]hur(-u) (石狩)

やまのちゅうふく(中腹) [場名]山の中腹 nupurinoski(-ke) (石狩): (表現)山の中腹 nupuri noski(長形-、-ke) (石狩)

やまのは(山の端) [場名]山の端 nupurikes(-e) (石狩): (表現)山の端 nupuri kes(長形-e、-eke) (石狩)

やまのはしりね(山の走り根) [名](沢と沢に挟まれた)山の走り根 situ (石狩)、[名]tu (石狩): [場名](沢と沢に挟まれた)山の走り根 端 situohonkes (-ohonkese、-ohonkeseke) (石狩)、[場名] situkes (-ohonkese、-keseke) (石狩)、[場名] tuohonkes (-ohonkese、-ohonkeseke) (石狩)

やまのふもと(山の麓) [場名]山の麓 nupurikes(-e) (石狩): (表現)山の麓 nupuri kes(長形-e、-eke) (石狩): (表現)山の麓の少し下 nupuri ous(長形-i、-ke) (石狩)

ヤマバト(山鳩) ①→「キジバト(雉鳩)」を見よ: ②[自]山鳩色になる、である toytacir-irone (新): [他]～を山鳩色に染める toytacir-ironeka (-ironere) (新): [名]山鳩色 toytacir-iro (新)

ヤマハナグマ(山鼻熊) (動物)[名](アライグマ科)ヤマハナグマ属 kimunnanutanne-ihurayeyuk-cise (新): [名]ヤマハナグマ kimunnanutanne-ihurayeyuk (新)

ヤマハハコ(山母子) (植物)[名](キク科)ヤマハハコ属 sísirusnoyanit (新): [名]ヤマハハコの茎 sísirusnoyanit (新): [名]カラハハコの茎 sirusnoyanit (新)、[名]その葉 sirusnoya (石狩)※(ヤマハハコの亜種): [名]タカネヤハズハハコの茎 rikuyisirus-noyanit (新): [名]ホソバノヤマハハコの茎 ánesirus-noyanit (新): [名]ヤハズハハコの茎 iwasisirus-noyanit (新)

やまびこ(山彦) [名]山彦 nupuri-

eikotuntek (石狩): [自]山彦が相響(とよ)めく nupuri-eikotuntek (石狩): (表現)山彦が答える nupuri-eikotuntek itasaitak (新)

やまびと(山人) ①(山に住む人)[名]山人 kimunkur (新): ②(妖怪)[名]山人 kimunaynu (石狩)

やまへのみち(山への道) [名]山へ行く道 kimunru (石狩)、[名]toyru (石狩)

ヤマボクチ(山火口) (植物)[名](キク科)ヤマボグチ属 kimuyseta-korkoni-cise (新): [名]オヤマボグチの葉柄 sompaseta-korkoni (新)、[名]その葉 sompasetakorham (新)※(別名「ヤマゴボウ」): [名]ダフリアヤマボクチの茎柄 dertoides-kimuyseta-korkoni (新): [名]ハバヤマボクチの茎柄 kimuyseta-korkoni (新)

やまみち(山道) [名]山道 kimkusru (新)

やまむこう(山向こう) [位名]～の山向こう armoysam (石狩)、[位名]rer(長形-ke) (石狩): (表現)～の山向こうの川下から rerke opasiwa (石狩): [名]山向こうの地 arutur(-u) (H 南): [名]山向こうの地 anrur (H): 太平洋岸のアイヌにとっての日本海岸、日本海岸のアイヌにとっての太平洋岸。

ヤマメ(山女) (魚介)[名](サケ属)ヤマメ kikrap (石狩)、[名]icankot (浦河)、[名]pónicaniw (天塩)※(サクラマス陸封型): [名]若いヤマメ kitrapo (常呂): [名]年老いた大きなヤマメ ikoicankot (美幌): [名]黒く大きいヤマメ unukaop (unukao) (石狩): [名]黒い模様のある大きなヤマメ ikoicanorop (美幌): [名]白いヤマメ kikrapuhu (石狩)

ヤマモミジ(山紅葉) (植物)[名](カエデ属)ヤマモミジの茎 iwatopeni (H)

ヤマモモ(山桃) (植物)[名](クルミ目)ヤマモモ科 makirampani-apa (新): [名]ヤマモモ属 makirampani-cise (新): [名]ヤマモモの茎 kimunmomani (新)、[名]その果実 kimunmoma (新)、[名]その樹皮 kimunmomanikap (新)※(別名「楊梅」): [名]セイヨウヤチヤナギの茎 repun-makirampani (新): [名]ミリカ・インドラの茎 húrasak-kimunmomani (新): [名]ミリカ・エスクレンタの茎 kafar-kimunmomani (新): [名]ミリカ・カリフォルニカの茎 karifonnia-kimunmomani (新): [名]ミリカ・クリフェラの茎 row-kimunmomani (新): [名]ミリカ・ハルトウェギイの茎 síera-kimunmomani (新): [名]ミリカ・ファヤの茎 faya-

kimunmomani (新): [名]ミリカ・ペンシルバニカ koypok-kimunmomani (新): [名]ヤチヤナギの茎 makirampani (樺太)、[名] cuhturehni (樺太)※(セイヨウヤチヤナギの変種): [名]カナコミリカ属 kanakimakirampani-cise (新): [名]カナコミリカ・モンティコラの茎 kanakimakirampani (新)※(ニューカレドニア山桃木): [名]コンプトニア属 tópeysorma-sekor-ayep-cise (新): [名]コンプトニア・ペレグリナの茎葉 tópeysorma-sekor-ayep (新)※(甘い羊歯と言われるもの): [名]モレラ属 morera (新)

やまもり(山盛) [名]山盛 sonapi (石狩): (表現)~を山盛にする ~ sonapi(-hi) kar (新): (表現)山盛を~に出す sonapi ~ kopuni (新)

やまりょう(山獵) [自]山獵に行く kimun (石狩)、[自] ekimne (石狩)、[自] ekimun (天塩): [他]~と共に山獵に行く ekimun (新): [他](場所)へ山獵に行く kokimun (石狩): [他](場所)から山獵に行く okimun (新)

ヤマロ・ネネツ [場名](ロシア連邦ウラル連邦管区の構成主体名)ヤマロ・ネネツ自治管区 Yamaro-Nenetsi-eyetunus-iwor (新)※(首府は「サレハドル」)

やまをおりるみち(山を下りる道) [名]山を下りる道 sanru (石狩)

やみ(闇) [名]闇 kunne (石狩)

やみいち(闇市) [場名]闇市 kunne-ieiyokusi (新)、[名] kunne-market (新)

やむ(病む) [自]病む siyeye (石狩)、[自] arka (石狩)

ヤムスクロ [場名](コートジヴォワール共和国の首都名)ヤムスクロ Yamusukro (新)

やめてかえる(止めて帰る) [自]止めて帰る hemaka (天塩): 自動詞か他動詞か不明であるが、今後は自動詞として用いていく。また、方言辞典には他に"hemakaraye"の語形も載せられているが、これは他の意味を持つ石狩川筋の言葉とかぶるため、積極的には用いないものとする。: [他]~を止めて帰る ehemaka (新): [他](人)に~を止めさせ帰す ehemakare (新)

やめる(止める) ①(中断する)[自]止める hontomotuye (沙流)、[自] sini (石狩): [他]~を止める ehontomotuye (新): [他](場所)で止める ehontomotuye (新): [他]~と共に止める kohontomotuye (新): [他](原因、手段)で止める ohontomotuye (新): [他](人)に~を止めさせる ehontomotuyere (新): [他]完全に~を止

める oarehontomotuye (arehontomotuye) (新): [他]人に~を中断させる ehontomotuyeyar (新): ②(実行しない)[自]物事を止める ietuye (新): [他]~を止める etuye (幌別): (表現)~を止める somo kar (天塩): [他](人)に~を止めさせる etuyere (新): [他]完全に~を止める oaretuye (aretuye) (新): [他]人に~を中断させる etuyeyar (新): (表現)行くのを止める somo oman (複数 paye) (八雲)

やら [連体]~やら~やら usa ~ usa ~ (石狩): 「肉やら魚やら野菜やらを私は食べた。」“Usa kam usa cep usa rataskep ku=e.”: [副助]~やら~やら ~ usa ~ usa (石狩): 「肉やら魚やら野菜やらを私は食べた。」“Kam usa cep usa rataskep usa ku=e.”、「私は歩いたり走ったりした。」“Aapkas usa hoyupu usa ku=ki.”

やり(槍) [名]槍 op(i) (石狩)

ヤリイカ(縫烏賊) (魚介)[場名](ツツイカ目)ヤリイカ 垂目 ópepetpetke-mokotan (新): [名]ヤリイカ科 ópepetpetke-apa (新): [名]ヤリイカ属 ópepetpetke-cise (新): [名]ヤリイカ ópepetpetke (新): [名]アジアケンサキイカ azia-ipeepetpetke (新): [名]アフリカヤリイカ afrika-opepetpetke (新): [名]アメリカヤリイカ amerika-opepetpetke (新): [名]アラビアケンサキイカ arabia-ipeepetpetke (新): [名]オナガジンドウイカ etanne-ipeepetpetke (新): [名]カリフォルニアヤリイカ karifornia-opepetpetke (新): [名]カリビマジンドウイカ karibiasisam-epetpetke (新): [名]カリブソケンサキイカ karipson-ipeepetpetke (新): [名]ケンサキイカ ipeepetpetke (新): [名]スリナムジンドウイカ surinamsisam-epetpetke (新): [名]パタゴニアケンサキイカ patagonia-ipeepetpetke (新): [名]ヒカリジンドウイカ nipekisisam-epetpetke (新): [名]ヒラケンサキイカ ruwe-ipeepetpetke (新): [名]フィリピンケンサキイカ (新): [名]ブラジルヤリイカ burazir-opepetpetke (新): [名]ベンガルケンサキイカ bengar-ipeepetpetke (新): [名]ホソジンドウイカ ánesisam-epetpetke (新): [名]ヤセケンサキイカ áne-ipeepetpetke (新): [名]ヨーロッパオオヤリイカ europaporo-opepetpetke (新): [名]ヨーロッパケンサキイカ europa-ipeepetpetke (新): [名]リースケンサキイカ rees-ipeepetpetke (新): [名]ローバーヤリイカ roper-opepetpetke (新): [名]

ロブソンケンサキイカ (新): [名]アオリイカ属 úniham-epetpetke-cise (新): [名]ジンドウイカ属 sísam-epetpetke (新): [名]ピックフォードイカ属 pikfordo-epetpetke-cise (新): [名]バイヤーイカ bayer-epetpetke (新): [名]フクロジンドウイカ属 isikkewsaksisam-epetpetke-cise (新)

やりかた(やり方) ①(具体的な方法)(表現)へのやり方 動詞句+katu (石狩): 「お前の話し方は素晴らしい。」“E=itak katu pirka.”、“私のやり方が悪かった=すいません、ごめんなさい。”“Ku=ki katu wen!”: ②(誰かの方法)[名]やり方 puri (石狩): (表現)私のやり方 ku=kor puri (石狩)

やりづらい [他]～がやりづらい umen (石狩)、[他] koyaykus (石狩): [助動]～(し)づらい umen (石狩)、[助動] koyaykus (石狩)

やりとり(遣り取り) [他](手紙や物などを)遣り取りする ukoomante (石狩): [他](場所)で～を遣り取りする eukoomante (ukoeomante) (新): [他](原因、手段)で～を遣り取りする oukoomante (新)

やる(遣る) ①(行かせる)[他]～を遣る omante (複数 payere) (石狩): 「そこへ私を遣ってください。」“Néani ekota en=omante wa en=kore yan!”: [他](場所)へ～を遣る eomante (複数 epayere) (新): [他]～と共に～を遣る koomante (複数 kopayere) (新): ②(与える)[他](人)に～を遣る、与える kóre (石狩): 「この本をお前に遣るよ。」“Tan kampsis e=kore=an na.”、“娘はお前に遣れん。”“Ku=matnepoho e=kore=an eaykap!”: [他](何らかの理由)で(人)に～を遣る ekore (石狩): [他]人に～を遣る korar (石狩)

ヤレン [場名](ナウル共和国の首都名)ヤレン Yaren (新)

ヤロスラブリ [場名](ロシア連邦中央連邦管区の構成主体名)ヤロスラブリ州 Yaroslavl-purovince (新): [場名](ヤロスラブリ州の州都名)ヤロスラブリ Yaroslavl (新)

やわらかく(柔らかく) ①(硬い物が柔らかく脆くなる事)[自]柔らかくなる、柔らかい hapur (石狩): [他](場所)で柔らかくなる、柔らかい ehapur (新): [他]～と共に柔らかくなる、柔らかい kohapur (新): [他](原因、手段)で柔らかくなる、柔らかい ohapur (新): [他]～を柔らかくする hapurka (hapure) (新): [他](人)に～を柔らかくさせる hapurkare (hapurere) (新): [自]充分柔らかくなる、柔らかい hapunno (hapunnu) (新): [自]すっかり

柔らかくなる、柔らかい oarhapur (arhapur) (新): [他]～をすっかり柔らかくする oarhapurka (arhapure) (新): [自]瞬間的に柔らかくなる haputtekk (新): [他]～を瞬間的に柔らかくする haputtekkka (新): [自]もの凄く柔らかくなる、柔らかい toykohapur (新): [他]～をもの凄く柔らかくする toykohapurka (toykohapure) (新): [副]柔らかく hapunno (新)、[副] hapur (新)②(木や草、人間の身体感情などが柔らかくしなやかになる事)[自]柔らかくなる、柔らかい riten (石狩): [他]～を柔らかくする ritenka (ritente) (新): [他](人)に～を柔らかくさせる ritenkare (ritentere) (新): [自]充分柔らかくなる、柔らかい ritenno (ritennu) (新): [自]すっかり柔らかくなる、柔らかい oanriten (anriten) (新): [他]～をすっかり柔らかくする oanritenka (anritente) (新): [自]瞬間的に柔らかくなる ritentek (新): [他]～を瞬間的に柔らかくする ritentekka (新): [自]もの凄く柔らかくなる、柔らかい toykoriten (新): [他]～をもの凄く柔らかくする toykoritenka (toykoritente) (新): [副]柔らかく riten(no) (新)

やわらげる(和らげる) [自]人(の具合や気分を)和らげる itemka (石狩): [他]～を和らげる temka (石狩): [他](人)に～を和らげさせる temkare (新)

ヤンゴン [場名](ミャンマー連邦の都市名)ヤンゴン Yangon (新)※(1989年に「ラングーン」から改称。2006年まで首都だったが「ネービード」に遷都。)

ゆ(湯) ①(飲用の温水)[名]湯 úsew (石狩)、[名] úsey (天塩): (表現)湯を沸かす úsew sésekka (石狩)、(表現) úsew kar (石狩): (表現)(人)に湯を沸かさせる úsew káre (石狩): (表現)人に湯を沸かさせる úsew kárar (石狩): (表現)湯が沸く úsew sések (石狩)、(表現) úsew cikar (新): ②(温水)[名]湯 sésekwakka (新)、[名] ciseseikka-wakka (新): (表現)湯 ay=séseikka wakka (石狩): ③(温泉)[名]湯 tompuri (石狩)、[名] yu (石狩)

ゆいごん(遺言) [自]遺言する itakhoppa (新): [他]～について遺言する eitakhoppa (新): [他](人)に遺言する koitakhoppa (新): [他](原因、手段)で遺言する oitakhoppa (新): [他](人)に遺言させる itakhoppare (新): [名]遺言状 itakhoppakampi (新)、[名] cioitakhoppakampi (新)

ゆいのう(結納) [名](男の家から)女の家への

結納 menokoatay (天塩): [名]あまり立派でない物での結納 sirosi (天塩)

ゆいのとう(結いの党) [名](日本の政党名)結いの党 Ukote-topa (新)

ゆう(木綿) [名]木綿 yúhu (新)※(日本語)

ゆうが(優雅) [名]優雅さ ratcikatkor (新)、[名] ratcipirka (新)※(従来のアイヌ語では具体的な描写でそれを表し、pirka sama katkor katu などを「その優雅さ」と訳す)、[名] ereganis (eregansu、ereganto) (新)※(英語): [自]優雅になる、である ratcikatkor (新)、[自] ratcipirka (新)、[自] ereganto (新)※(英語)

ゆうかい(誘拐) [自]人を誘拐する aynueikka (新): [他](人)を誘拐する eikka (石狩): [他](人)の元から(人)を誘拐する koeikka (石狩): [他](人)に(人)を誘拐させる eikkare (新): [他]人に(人)を誘拐させる eikkayar (新): [自]人に自分を誘拐させる sieikkayar (新)

ユウガオ(夕顔) (植物)[名](ウリ科)ユウガオ属 piseuri-punkar-cise (新): [名]ユウガオの茎 ciepiseuri-punkar (新)、[名]ユウガオの果実 ciepiseuri (新): [名]ヒョウタンの茎 piseuri-punkar (新)、[名] piseuri (新)※(ユウガオと同種): [名]ラゲナリア・アビシニカの茎 iciopiya-piseuri-punkar (新): [名]ラゲナリア・スファエリカの茎 meron-piseuri-punkar (新): [名]ラゲナリア・ルフアの茎 orangeirone-piseuri-punkar (新): [名]ラゲナリア・ロンギシマの茎 tanne-piseuri-punkar (新)

ゆうかぜ(夕風) [名]夕風 onuman-rera (新)

ゆうがた(夕方) [場名・副](午後3～6時くらいの時間帯として)夕方 tókes (石狩): (表現)夕方になる tókes an (石狩): [名・副](日没前後の時間帯として)夕方 onuman (石狩): (表現)夕方になる onuman an (石狩): [0動]夕方になる、夕方である síronuman (石狩): [自](場所)が夕方になる、夕方である sirkoonuman (新)

ゆうき(勇氣) ①[名]勇氣 rametok (石狩): ②[自]勇氣を持つ、勇氣がある rametokkor (石狩): [他](人)に勇氣を持たせる、出させる rametokkore (新): ③[自]勇氣を失くす、勇氣がない rametoksak (新): [他](人)の勇氣を失わせる rametoksakka (新)

ゆうき(有期) [自]有期である siuturkor (新)、[自] honu (新): [名]有期懲役 siuturkor (honu) róoremonrayke (róorenepki) (新)

ゆうぎ(遊戯) ①[名]遊戯 sinot (新): [場

名]遊技場 sinotusi (新): ②(教育の中で行われるもの)[名]遊戯 sinot (新): (表現)遊戯をする sinot ki (新)

ユウギリソウ(夕霧草) (植物)[名](キキョウ科)ユウギリソウ属 onumanurartmun-cise (新): [名]ユウギリソウの茎葉 onumanurartmun (新)、[名]ユウギリソウの花 onumanurar (新)

ゆうぐれ(夕暮れ)[名・副]夕暮れ onuman (石狩): (表現)夕暮れる、夕暮れている onuman an (石狩): [0動]夕暮れる、夕暮れている síronuman (石狩)

ゆうぐん(友軍) [名]友軍 ikopakun-tumi (新)、[名] yaykopakun-tumi (新)

ゆうけい(有形) ①(平面的な形象やイメージに関して)[自]有形である nokakor (新): ②(立体的な形象や方法に関して)[自]有形である katkor (新)

ゆうげん(有限) [自]有限である siokerekor (新)、[自] sikeskor (新)

ゆうげんかじょ(有限花序) [名]有限花序 siokerkor-apappoomakat (sikeskor-) (新): [名]さそり型花序(巻散花序、かま型花序) iyoppene-apappoomakat (新): [名]集散花序 usamumpekor-apappoomakat (新): [名]複集散花序 usamumpekorpa-apappoomakat (新)

ゆうこ(優弧) (数学)[名]優弧 síkaripserke (新)

ユーゴスラビア (歴史)[場名](国名)ユーゴスラビア連邦共和国 Yúgosraviya Ukosineatki Ukotankoremosir (新)※(1992-2003年。1)セルビア共和国、2)モンテネグロ共和国、3)ボスニア・ヘルツェゴビナ共和国より構成されていたが、1992年に3)が独立、2003年2月5日「セルビア・モンテネグロ」と改称される。): [場名](国名)ユーゴスラビア社会主義連邦共和国 Yúgosraviya Ureskaussamun Ukosineatki Ukotankoremosir (新)※(1963-92年。ユーゴスラビア紛争により1992年に改称される。): [場名](国名)ユーゴスラビア連邦人民共和国 Yúgosraviya Ukosineatki Utarikor Ukotankoremosir (新)※(1945-63年。スロベニア共和国、クロアチア共和国、ボスニア・ヘルツェゴビナ共和国、セルビア共和国、モンテネグロ共和国、マケドニア共和国、ボイボディナ自治州、コソボ自治州より構成されていた。): [場名](国名)ユーゴスラビア王国 Yúgosraviya Yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(1929-45年。1929年にセルビア・クロアチア・スロヴェニア王国より改称される。): [名]ユーゴスラヴィア人

yúgosraviyaunkur (新)

ユーコン [場名]カナダの準州名)ユーコン準州 Yúkon-íosiampurovince (新)※(州都は「ホワイトホース」)

ゆうし(融資) [自]融資する ikormomka (新)、[自] finance (新): [他](場所)で融資する eikormomka (新): [他]～に融資する koikormomka (新): [他]～と共に融資する koikormomka (新): [他](場所)から融資する oikormomka (新): [他](原因、手段)で融資する oikormomka (新): [他](人)に融資させる ikormomkare (新): [自]自分で、一人で融資する yaykoikormomka (新): [自]互いに、皆で融資する ukoikormomka (新): [自]充分融資する ikormomkano (ikormomkanu) (新)

ゆうしゃ(勇者) [名]勇者 rametokkorkur (石狩)、[名] rametok (石狩): (表現)(勇者の口上として)我こそは言葉の遅き者を言葉の前に斬る勇者、言葉の早き者を言葉の途中に斬る勇者であるぞ anokay anak itak moyre kur itak etoko tuye rametok itak tunas kur itak hontomo tuye rametok an=ne ruwe tapan na (石狩): (表現)勇者らしく勇者の顔つきに顔つきがきりりとしている rametok sóne rametok-ipur eipottum-niwnatara (幌別)

ゆうしょく(夕食) [名]夕食 onumanipe (天塩)、[名] síronumanipe (石狩): [自]夕食をとる onumanipe (新)、[自] síronumanipe (石狩)

ゆうじん(友人) [名]友人 tokuy (天塩)、[名] ukopirkakur (新)、[名] ukooske-pirkakur (新)、[名] ukoramu-pirkakur (新): (表現)私の友人 ku=kor tokuy (ku=kottokuy) (天塩)、(表現) ku=kor ukopirkakur (新): (表現)～と友人付き合いをする ukopirkakur ne ~ emawne (tura) (新): (表現)～の友人面をする ~ kor ukopirkakur néno an (新): (表現)～の友人面をされたら嫌だ ~ kor ukopirkakur néno an yak wen (新)、(表現) ~ kor ukopirkakur an=esíkopayar yak wen (新)

ゆうすいだまり(湧水溜り) [名]岩の上の湧水溜り kamuysimpuy(-e) (天塩)

ゆうせい(遊星) →「わくせい(惑星)」を見よ

ゆうせいせいしょく(有性生殖) [名]有性生殖 hopurikor-uate (新)

ゆうせつざい(融雪剤) [名]融雪剤 upasrurekusuri (新)、[名] upasrurep (新)

ゆうたいるい(有袋類) [名]有袋類

pukurukorpe utar (新)

ゆうだち(タ立) [名]タ立 onuman-ruyampe (新): (表現)タ立が降る onuman-ruyampe as (新)

ゆうてい(遊底) (銃の部品)[場名]遊底 cimoyeasam (新)

ゆうとう(優等) [自]有等である askayno (新): [名]優等生 pónaskaynokur (新): (表現)優等生 askayno cipakasnukur (新)

ゆうどう(誘導) [自]人、物を誘導する sireipakasnu (新): [他](場所)に人、物を誘導する esireipakasnu (新): [他]～と共に人、物を誘導する kosireipakasnu (新): [他](原因、手段)で人、物を誘導する osireipakasnu (新): [他](人)に誘導させる sireipakasnu (新): [他]～を誘導する sireipakasnu (新): [他](場所)に～を誘導する esireipakasnu (新): [他](人)に～を誘導させる sireipakasnu (新): [他]自分で、一人で～を誘導する yaykosireipakasnu (新): [他]互いに、皆で～を誘導する ukosireipakasnu (新): [他](中相)～が誘導される cisireipakasnu (新): [他]人に～を誘導させる、してもらう sireipakasnu (新): [自]人に自分を誘導させる sisireipakasnu (新): [自]誘導し合う usireipakasnu (新): [名]誘導弾 cisireipakasnu-cieakpe (新)、[名] missire (新)※(英語)

ゆうとう(遊筒) (銃の部品)[名]遊筒、ボルト cimoyekuttar (新)

ゆうとう(遊蕩) [自]遊蕩する raysinotpa (新)、[自] toykosinotpa (新): (表現)遊蕩三昧に暮らす raysinotpa (toykosinotpa) patek ki kane an (複数 okay) (新)、(表現) kunne rerko noiwan rerko tokam rerko noiwan rerko raysinotpa (toykosinotpa) kor an (複数 okay) (新): [名]遊蕩児 raysinotpap (新)、[名] toykosinotpap (新)

ゆうなぎ(夕風) [名]夕風 onuman-noto (新): (表現)夕風ぐ onuman-noto an (新)

ゆうのう(有能) [自]有能である askayno (新)

ゆうび(優美) [名]優美さ ratcipirka (新)※(従来のアイヌ語では具体的な描写をし、pirka samaなどを「その優美さ」と訳す)、[名] ereganis (eregansu, ereganto) (新)※(英語): [自]優美である ratcipirka (新)※(「優美さ」に同じ)、[自] ereganto (新)※(英語)

ゆうびん(郵便) [名]郵便 ieikra (新)、[名] posto (新)※(英語): [名]郵便為替 icenkampiomante (新): 「私は郵便為替

で1万円送った。」“Icenkampiomanate ani 10,000 (sineik) yen ku=omante.”: [名]郵便為替受取証 icenkampi (石狩): [名]郵便切手 cioieikra-itasakampiyarpo (新): [名]郵便事業 ieikra-irawkitupa (ieikra-urawkitupa) (新): [名]郵便はがき cieikrayar (新): [名]郵便物 cieikrap (新): [名]郵便受け cieikrapsupop (新): [名]郵便ポスト ieikrasupop (新)

ゆうびんきょく(郵便局) [名]郵便局 ieikrauscise (新): [名]簡易郵便局 nokan-ieikracise (新): [名]特定郵便局 cieyaka-ieikrauscise (新): [名]普通郵便局 yayan-ieikrauscise (新): [名]集配郵便局 iuekarire-ieikrauscise (新): [名]無集配郵便局 somoieukarire-ieikrauscise (新): [名]郵便局長 ieikrausciseesapanekur (新): [名]郵便局員 ieikrausciseorunkur (新)

ゆうびんはいたつ(郵便配達) [自]郵便配達する cieikrappumpa (新): [他](人)に郵便配達させる cieikrappumpare (新): [名]郵便配達員 cieikrappumpakur (新)

ユーフラテス (地名)[名]ユーフラテス川 Eufates-pet (新)※(希語)、[名] Furat-pet (新)※(アラビア語)、[名] Purattu-pet (新)※(アッカド語): [場名]ユーフラテス川流域 Eufates (新)、[場名] Furat (新)、[場名] Purattu (新)

ゆうべ(昨夜) [副]昨夜 ukuran (石狩): 「昨夜君を夢に見た。」“Ukuran cinita otta e=nukar=an.”

ゆうべん(雄弁) [場名]雄弁 pawetok (石狩)、[場名] cawetok (石狩): 目下合成語の構成要素としてのみ見られるが、今後単独でも用いていく。: [自]雄弁である pawetokkor (石狩)、[自] cawetokkor (石狩): [名]雄弁家 pawetokkorkur (石狩)、[名] parunkur (石狩)、[名] cawetokkorkur (石狩)

ユーボルト(Uボルト) [名]Uボルト U-noka-pinnecinyep (新)※(「U字ボルト」とも)

ゆうめい(有名) [自]有名になる asuras (石狩)、[自] siasuraste (石狩): (表現)有名になる asur as (沙流): (表現)～が有名になる ～ asuru as (沙流): [他](場所)で有名になる easuras (新): [他]～と共に有名になる koasuras (新): [他]～について有名になる、(原因、手段)で有名になる oasuras (新): [他]～を有名にする asuraste (新): [他](人)に～を有名にさせる asurastere (新): [自]自分で、一人で有名になる yaykoasuras (新): [自]互いに、皆で有名になる ukoasuras (新):

[自]すっかり有名になる oasuras (arasuras) (新)、[自] siasuraste (石狩): [自]超有名になる toykoasuras (新): [他]人に～を有名にさせる、してもらう asurasteyar (新): [自]人に自分を有名にさせる、してもらう siasurasteyar (新): [名]有名人 asuraskur (新)、[名] siasurastekur (新)

ゆうもうもく(有毛目) (動物)[場名](哺乳綱)有毛目 numakorpe-kotan (新): [場名]アライグマ目 itunnapep-mokotan (新): [名]ナマケモノ亜目 ikimoyrep-mokotan (新)

ゆうやく(釉薬) [名]釉薬 cicirepuspe (新)、[名] cicirepkap(-u) (新): [名]釉薬煉瓦 cicirepuspeus-sumatoy (新)、[名] cicirepkapkor-sumatoy (新)

ゆうやけ(夕焼け) [名]夕焼け sirhure (石狩): [0動]夕焼けになる、夕焼けである sirhure (石狩)

ゆうよ(猶予) [他]～を猶予する moyreka (moyrere) (新): [他](人)に～を猶予させる moyrekare (新): [他]人に～を猶予させる moyrekayar (moyrereyar) (新)

ユーラシア [場名](地名)ユーラシア Eurasia (新): [場名](地名)ユーラシア大陸 Eurasia-sisepmosir (新): [場名]アフリカ・ユーラシア大陸 Afrika-Eurasia-sisepmosir (新): [名]ユーラシア諸国 Eurasia uyru usa cikormosir (新)

ゆうり(有利) [自]有利である ikaun (新): [他]～の点で有利である eikaun (新): [他]～の点で(誰か、何か)より有利である ekaun (新): [助動](～するの)に有利になる、有利である epirka (石狩)

ゆうりょう(有料) [他](中相)～が有料である ciatayekar (新): (表現) ciatayekar ru(-we) (新): (表現)有料である ciatayekar kuni (新): (表現)有料道路 ciatayekar kuni ru(-we) (新)

ゆうりょく(有力) [自]有力である tumkor (新)、[自] tumnu (新): [名]有力者 nispa (石狩)、[名] utarpa (utarpake) (石狩)、[名](雅) nispake (石狩): [自]有力者になる nispane (石狩): [他]～で有力者になる enispane (天塩): [他]～を有力者にする nispanere (新): [名]本当の有力者、大変な有力者 sinonispas (石狩)

ゆうりんもく(有鱗目) (動物)[場名](哺乳綱)有鱗目 ramramkorpekotan (新)※(センザンコウ目とも)

ゆうれい(幽霊) [名]幽霊 rayramat(-ci) (石狩)、[名] raykur (石狩)、[名] apapa (石狩)

ユウレイイカ(幽霊烏賊) (魚介)[名](スルメイカ 亜目)ユウレイイカ科 rayramat-epetpetke-apa (新): [名]ユウレイイカ属 rayramat-epetpetke-cise (新): [名]ユウレイイカ rayramat-epetpetke (新): [名]オキユウレイイカ repunrayramat-epetpetke (新): ケーブユウレイイカ káperayramat-epetpetke (新): [名]セイヨウユウレイイカ verni-epetpetke (新): [名]ツクシユウレイイカ tekusipsipepuyke-konrayramat-epetpetke (新): [名]トカゲユウレイイカ assiatuyverani-epetpetke (新): [名]シチクイカ属 huttatu-epetpetke-cise (新): [名]ワカタケイカ pewreuras-epetpetke (新): [名]トックリイカ属 tupusasuy-epetpetke (新): [名]フクロイカ属 pukuru-epetpetke-cise (新): ダーナフクロイカ danapukuru-epetpetke (新)

ユーロ [名](欧州連合中で用いられる通貨単位)ユーロ éuro (新): [名](ユーロ圏の補助通貨単位)ユーロ・セント éuro-sento (新)※(1ユーロは100ユーロ・セント)

ユウロピウム (化学)[名]ユウロピウム éuropium (新)※(原子番号63番。元素記号Eu)

ゆえん(油煙) [名]油煙 upar (石狩)

ゆか(床) [名]床 so (石狩)、[名](雅) amso (沙流): (表現)床の上で、に so ka ta (石狩): (表現)(雅)床に～をぐっと押さえつける amso ka ta ~ sirekatta (沙流): [場名]床土 sóka(-si、-sike) (新): (表現)床上 so ka(長形-si、-sike) (新): [場名]床下 sópok(-i、-ike) (新): (表現)床下 so corpok(長形-i、-ike) (新): [場名]板張りの床 itaso (石狩)

ゆかた(浴衣) [名]浴衣 yukata (新)※(日本語): (表現)浴衣を着る yukata mi (新): (表現)浴衣を脱ぐ yukata ama (新)

ユカタン [名](地名)ユカタン半島 Yúkatan-sirekanray (新)

ユガミウチワ(歪団扇) (植物)[名](桔梗目)ユガミウチワ科 pentafrakma-apa (新): [名]ユガミウチワ属 pentafrakma-cise (新)※(学名): [名]スコルピオンプラントの茎 sukorpiussara-mun (新)、[名]スコルピオンプラントの花 sukorpiussara (新)

ゆがむ(歪む) ①[自](上の方が)歪む ehewke (石狩): [他](場所)で歪む eehewke (新): [他]～と共に歪む koehewke (新): [他](原因、手段)で歪む oehewke (新): [他]～(の上の方)を歪める ehewe (複数 ehewpa) (新): [他](人)に～を歪めさせる ehewere (複数 ehewpare) (新): [自]どん

どん歪む、ぐにゃぐにゃに歪む ehewkehewke (新)、[自] ehewhewke (新): [他]～をどンドン歪める ehewhewe (複数 ehewhewpa) (新): [副]歪んで ehewkeno (石狩): ②[自](下の方が)歪む ohewke (八雲): [他](場所)で歪む eoehewke (新): [他]～と共に歪む kooehewke (新): [他](原因、手段)で歪む ooehewke (新): [他]～(の下の方)を歪める ohewe (複数 ohewpa) (新): [他](人)に～を歪めさせる ohewere (複数 ohewpare) (新): [自]どンドン歪む、ぐにゃぐにゃに歪む ohewkehewke (新)、[自] ohewhewke (新): [他]～をどンドン歪める ohewhewe (複数 ohewhewpa) (新): [副]歪んで ohewkeno (新)

ゆき(雪) [名]雪 upas (石狩): (表現)雪がしまる upas rari (石狩): (表現)雪がしまっておらず、雪の上を歩くとぬかる upas ka wen (石狩): (表現)雪が積もる upas sirari (石狩): (表現)(融ける事に注目し)雪が融ける upas ru (石狩): (表現)雪が融けていく upas ru wa paye (石狩): (表現)(なくなって行く事に注目し)雪が融ける upas nin (石狩): (表現)雪が融けてしまう upas nin wa isam (石狩): (表現)雪がすっかり融けてしまう upas nin wa oarisam (石狩): (表現)雪が這う、吹雪く upas reye (石狩): (表現)雪が降る upas as (石狩): (表現)大雪が降る、降っている、大雪が積もる、積もっている upas poro (石狩): (表現)大雪が降る、降っている upas yupke (石狩)、(表現) upas ruy (石狩): (表現)小雪になる、小雪である、少し雪が積もる、積もっている upas pon (石狩): (表現)大雪、深雪 poro upas (石狩): (表現)小雪 upas pon (石狩): (表現)新雪 asir upas (石狩): (表現)積雪 husko upas (石狩): (表現)短時間にサッと降って積もった雪 kapar upas (石狩): (表現)牡丹雪 teyne upas (石狩)

ゆきおろし(雪下ろし) [自]家の雪下ろしをする cisekaranke (新): [名]家の雪下ろし具 cisekarankep (石狩)

ゆきだるま(雪だるま) [名]雪だるま upas-aynunoka (新): (表現)雪だるまを造る upas-aynunoka kar (新)

ゆきどけ(雪解け) [名]雪解け sinriten (新): [0動]雪解けになる sinriten (石狩): [自](場所)が雪解けになる sirkoriten (新): [自]雪解けでぬかるんでいる upaskopotce (天塩): [名]雪解けのぬかるみ upaskopotcey (天塩): [名]雪解けに土が見えた崖 ikituy (石狩)

ユキノカサ(雪の笠) (魚介)[名](カサガイ科)ユキノカサガイ科 hupsey-apa (新): [名]ユキノカサ hupsey (幌別): [名]アオガイ siwnin-kasasey (新): [名]ウノアシ urirure (新): [名]エゾノハナガサ apappo-kasasey (新): [名]オボロツキコガモ retarkeso-kasasey (新): [名]カスミアオガイ homannokaoma-kasasey (新): [名]カモガイ kopetcaisey (新): [名]クサイロアオガイ húham-kasasey (新): [名]クモリアオガイ ruyampenokaoma-kasasey (新): [名]コウダカアオガイ seyerisiwnin-kasasey (新): [名]コガモガイ mokopetcaisey (新): [名]コモレビコガモガイ sikusnokaoma-kasasey (新): [名]サクラアオガイ húrekasasey (新): [名]サラサシロガイ kutkor-sikariurartsey (kutkossikariurartsey) (新): [名]シロガイ sikariurartsey (新): [名]ツボミガイ epuy-kasasey (新): [名]ベッコウシロガイ ecinkeikor-kasasey (新)

ゆきはね(雪はね) [自]雪はねをする kaske (石狩): [他]～の雪はねをする ekaske (新): [他](手段)で雪はねする okaske (新): [他](人)に～の雪はねをさせる ekaskere (新)

ユキヒョウ(雪豹) (動物)[名](ヒョウ亜科)ユキヒョウ属 upassicape-cise (新): [名]ユキヒョウ upassicape (新)

ゆくて(行く手) [位名]～の行く手 etok (長形-o) (石狩): [位名](移動する)～の道の行く手 ruetok(長形-o) (石狩): [場名]自分の行く手 sietok (石狩): (表現)自分の行く手に目を遣る sietok ene inkar (石狩)、(表現) sietok sikkuspare (石狩)、(表現) sietok sam sikkuspare (沙流)

ゆげ(湯気) [名]湯気 párira (石狩)、[名]par (天塩)、[名] úseypar (天塩)※(天塩で"párir"は「少し出ている湯気」。)、[名]párir (十勝)、[名]pa (八雲): (表現)湯気がたつ párira at (石狩): [自]鍋の中で薬効のある草、木を煮立てて湯気の当たる所へ衣類を被って患部を当て治療する yaysumawkar (石狩): [他]～を湯気で治療する eyaysumawkar (新): [他](人)に湯気で治療させる yaysumawkare (新)

ゆごう(癒合) [自](傷が)癒合する uciw (石狩): [他]～と共に癒合する kouciw (新): [他](原因、手段)で癒合する ouciw (新): [他](傷)を癒合させる uciwre (新)

ゆさぶる(揺さぶる) ①[他]～を揺さぶる suye (複数 suypa) (石狩): [他](人)に～を揺さぶらせる suyere (複数 suypare) (新):

[他]何度も～を揺さぶる suyeyue (新): [他]～を揺さぶって(口の中の食べ物、飲み物など)を呑み込ませる kosuye (石狩): 「…血の酒をそいつは私に飲ませ、それを私が飲みたがらなくて、それでも私の口を押さえ、私を揺すってそれを呑み込ませてそれを呑み込ませて私がそれを少し呑み込み…」 “…kemkasake i=kure, neampe an=ku etoranne no, yakka an=paró kisma, i=kosuye ine ponno an=ruki…” (杉村キナラブック)説話

ユサン(油杉) (植物)[名](マツ科)ユサン属 sumhup-cise (新): [名]ユサンの茎 yayaysumhup (新): [名]タイワンユサンの茎 taywansumhup (新)※(テッケンユサンの変種): [名]テッケンユサンの茎 sísiumhup (新)※(別名「アブラスギ」、「シマモミ」、「ユサン」)、[名]ユサンの球果 sumhupnum (新)、[名]ユサンの根 sumhupsinrit (新): [名]ミナミユサンの茎 koypoksumhup (新)

ユジノサハリンスク [場名](ロシア連邦極東連邦管区サハリン州の州都名)ユジノサハリンスク Yújino-saxarinsuk (新)

ユスラウメ(梅桃) (植物)[名](サクラ属)ユスラウメの茎 repunkarimpani (新): [名]ユスラウメの花 repunkarimpani-apappo (新): [名]ユスラウメの果実 repunkarimpani-hurep (新)

ユズリハ(譲葉) (植物)[名](トウダイグサ科)ユズリハ属 riyahamus (新): [名]ユズリハの茎 síriyahamus (新): [名]ヒメユズリハの茎 moriyahamus (新): [名]エゾユズリハの茎 riyahamus (天塩): [名]エゾユズリハの葉 riyaham (石狩)

ゆずる(譲る) [他]人に～を譲る unkore (新): [他](人)に物を譲る ikore (新): [他]～に～を譲る kóre (新): [他](場所)で～に～を譲る ekore (新): [他]～と共に～に～を譲る kokore (新): [他](原因、手段)で～に～を譲る ekore (石狩)、[他]okore (新): [他]一人で、自分で～に～を譲る yaykokore (新): [他]共に、皆で～に～を譲る ukokore (新): [他]すっかり～に～を譲る oarkore (arkore) (新): [他]人に(人)に～を譲らせる kóreayar (新): [他]人に自分に～を譲らせる sikoreyar (新): [他]～を人に譲らない yaykore (新): [他]～を譲り合う ukore (新)

ゆせいインク(油性インク) [名]油性インク sumoru-paspe (新)、[名] sumorup (新)

ユタ [場名](アメリカ合衆国の州名)ユタ州 Yúta-mosir (新)※(州都は「ソルトレイクシ

ティ」)

ユダ (歴史)[場名](国名)ユダ王国 Yeudi-yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(「南ユダ王国」 Koypokun-Yehudi-yaykomosirkorkur-kormosir"とも。紀元前586滅亡)

ゆたか(豊か) [自]豊かである tomikor (新): [他](原因、手段)で豊かである otomikor (新): [他]～を豊かにする tomikore (新): [他](原因、手段)で～を豊かにする otomikore (新): [他]～を豊かにする tomikore (新): [他]～で～を豊かにする etomikore (新): [連体](雅)豊かな ratci (石狩): (表現)豊かな幸 ratci iso (石狩)

ユダヤ ①[名]ユダヤ人 yehudikur (新)、[名] yehudi (新)※(ヘブライ語より): [名]ユダヤ教 yehudi-eisokori (新): ②[場名](ロシア連邦極東連邦管区の構成主体名)ユダヤ自治州 Yehudi-sieyayetunus-purovince (新)※(首都は「ピロビジャン」)

ゆだん(油断) [自]油断する yaykoeramunin (yaykoeramnin) (石狩)、[自] yaykoeramewnin (沙流): [他]～に関して油断する eyaykoeramunin (eyaykoyramnin) (新): [他](場所)で油断する eyaykoeramunin (yaykoeramnin) (新)、[他]～と共に油断する koyaykoeramunin (koyaykoeramnin) (新)、[他](原因、手段)で油断する oyaykoeramunin (oyaykoeramnin) (新): [他](人)に油断させる yaykoeramuninka (yaykoyramninka) (新)

ゆたんぼ(湯たんぼ) [名]湯たんぼ úsew-urepopkerep-(popkekapp) (新)

ゆったり [自]ゆったりする、している nusimne (新): [他](人)をゆったりさせる nusimneka (nusimnere) (新): [副]ゆったりと nusimneno (沙流)、[副] irammakaka (石狩): 「ゆったり温泉に浸かって休養しようよ。」"Nusimneno tompuri an=osus wa sini=an ro!"

ゆでたまご(茹で玉子) [名]茹で玉子 cisuwe-nok (新)

ゆでぼし(茹で干し) [他](後で乾燥、保存するため)～を(固く)煮る、～を茹で干しする sakanke (石狩): 料理するため柔らかく何か「を煮炊きする」は"suwe"、茹でずにそのまま何か「を干す」事は"satke"と言う。: [名]茹で干しした食品 cisakankep (石狩): [名]茹で干ししたオオウバユリの鱗茎 cisakanke-turep (天塩)

ゆでる(茹でる) ①[自]ものを茹でる isuwe (新): [他]～を茹でる suwe (石狩): (表

現)鍋で～茹でる su ani ~ suwe (石狩): [他](場所)で茹でる esuwe (新): [他]～と共に茹でる kosuwe (新): [他](原因、手段)で茹でる osuwe (新): [他](人)に～を茹でさせる suwere (新): [他]人に～を茹でさせる suweyar (新): ②～を茹でる ci (石狩): 熱を加える事を指すので「～を焼く」も意味する。前後の状況が理解されていない場合、間違いを避けるために"suwe"の方が良い。

ゆび(指) ①[名]手の指 askepet-(ci) (石狩、天塩): [場名]手の指先 askepet-etok-(o) (新): [名](雅、所属形)への指先 santekpeci (石狩): [名](爪の反対側の)手の指先 tekmom-(i) (石狩): [名]手指の関節 askepecikra (石狩)、[名] tékikre (天塩): [場名]手指の股 askepetutur-(u) (石狩): [名]親指 onne-askepet-(ci) (石狩)、[名] poro-askepet-(ci) (天塩)、[名] ruwe-askepet-(ci) (石狩、天塩): [名]人差指 ikem-askepet-(ci) (天塩)、[名] itankikem-askepet-(ci) (石狩、天塩)、[名] súkem-askepet-(ci) (石狩)、[名] yaka-askepet-(ci) (天塩): [名]中指 noskiun-askepet-(ci) (石狩)、[名] noskian-askepet-(ci) (石狩)、[名] noskiketaan-askepet-(ci) (石狩)、[名] sinnoski-askepet-(ci) (天塩)、[名] suke-askepet-(ci) (石狩)、[名] tanne-askepet-(ci) (石狩): [名]薬指 imekani-askepet-(ci) (石狩)、[名] otutanu-askepet-(ci) (天塩)、[名] pón-askepet-tutanu-askepet-(ci) (石狩): [名]小指 pón-askepet-(ci) (石狩、天塩): ②[名]足の指 urepet-(ci) (石狩): ②[場名]足の指先 urepetetok-(o) (石狩): [名]足指の関節 urepecikra (新): [場名]足指の股 urepet-utur-(u) (新)

ユピック [名]ユピック yúpikkur (新)、[名] yúpik (新)※(アラスカの先住民): [名]ユピック語 yúpikkur-itak (新)、[名] yúpik-itak (新)

ユビナガコウモリ(指長蝙蝠) (動物)[名](コウモリ目)ユビナガコウモリ科 askepecitanne-kapap-apa (新): [名]ユビナガコウモリ属 askepecitanne-kapap-cise (新): [名]ユビナガコウモリ cupakun-askepecitanne-kapap (新)※(別名「アジアユビナガコウモリ」): [名]ミニオプテルス・アウストラリス moaskepecitanne-kapap (新): [名] M. アエレニ aeren-askepecitanne-kapap (新): [名] M. アフリカヌス afrikaun-askepecitanne-kapap (新): [名] M. インフラトゥス síaskepecitanne-kapap (新): [名] M. エグリ eger-askepecitanne-kapap

(新): [名]M. オケアネンシス austorašiaun-rapurewke-kapap (新): [名]M. グリッフィスシ guriffit-askepecitanne-kapap (新): [名]M. グリベアウディ guriveaudio-askepecitanne-kapap (新): [名]M. グレニ guren-askepecitanne-kapap (新): [名]M. シュレイベルシー yayan-rapurewke-kapap (新): [名]M. ショルトリドゲイ şortorijjes-askepecitanne-kapap (新): [名]M. トリスティス sirapurewke-kapap (新): [名]M. ナタレンシス natarun-askepecitanne-kapap (新): [名]M. ネウトニ newton-askepecitanne-kapap (新): [名]M. パウルルス piripinasun-askepecitanne-kapap (新): [名]M. プシルス morapurewke-kapap (新): [名]M. ブラキトラゴス kisartamatakne-askepecitanne-kapap (新): [名]M. フラテルクルス moaskepecitanne-kapap (新): [名]M. ペテルソニ peterson-askepecitanne-kapap (新): [名]M. マグナテル cuppokun-askepecitannekapap (新): [名]M. マグレベンシス magribuun-askepecitanne-kapap (新): [名]M. マナビ manaviun-askepecitanne-kapap (新): [名]M. マハファリエンシス mahafariun-askepecitanne-kapap (新): [名]M. マヨリ major-askepecitanne-kapap (新): [名]M. ミノル iyottapon-askepecitanne-kapap (新): [名]M. メディウス haykannu-askepecitanne-kapap (新): [名]M. モサンビクス mozambikiun-askepecitanne-kapap (新): [名]M. ロブステイオル rowayoteun-rapurewke-kapap (新): [名]リュウキュウユビナガコウモリ rucuun-askepecitanne-kapap (新)

ゆびのひきあい(指の引き合い) [名]指を引き合う力競べ ukonkep-uk (天塩)

ユビブトコウモリ(指太蝙蝠) (動物)[名](ヒナコウモリ科)ユビブトコウモリ属 urepeciruwe-kapap-cise (新): [名]ユビブトコウモリ yayan-urepeciruwe-kapap (新): [名]グリスクロプス・ヤバヌス javaun-urepeciruwe-kapap (新)

ゆびわ(指輪) [名]指輪 askepetunkani (幌別)、[名] tekpetunkani (八雲)、[名] empiwa (沙流)、[名] yupiwa (十勝): (表現)指輪を外す askepetunkani ama (新): (表現)指輪をはめる askepetunkani kor (新): [名]結婚指輪 asirpeker-askepetunkani (新): [名]婚約指輪 uyepnu-askepetunkani (新): [名]宝石の

指輪 ikonnesumaun-askepetunkani (新)

ゆみ(弓) [名]弓 ku(-we) (石狩): [自]弓を作る kúkar (石狩): (表現)弓を作る ku kar (石狩): [名]弓矢遊び aksinot (石狩)、[名] aysinot (石狩): [他](弓で)～を射る tukan (石狩): ①[他](矢)で射る eak (石狩): [名]弦 kúka (石狩): [間投](擬声語)(弦の鳴る音)ピシッ caw (H): [自](一回)ピシッと鳴る cawkosanu (新): [自]ピシッピシッと頻りに鳴る cicawrototo (新)、[自] cawratotke (新): [自]ピシッピシッと何度もなる cawawtki (新): [自]ピシッピシッと鳴り続ける cawnatara (新): [自](瞬間的に)ピシッと鳴る cawtek (新)

ゆみなり(弓なり) ①[自]弓なりに曲がる rewke (石狩): [他]～を弓なりに曲げる rewe(複数 rewpa) (石狩): ②[自](木の枝などが)弓なりに曲がる reun (石狩): ③[自](木の枝の先が)弓なりに曲がって垂れ下がっている rewtapapa (石狩)

ゆめ(夢) [名]夢 cinita (石狩)、[名] takar (石狩、天塩)、[名] wentarap (石狩)※(現在 "wentarap"は「悪い夢」の意味となっている): 「夢」には従来「希望」というニュアンスは全くない。しかし今後翻訳文を中心に新しい語義が加えられていくと予想される。: (表現)良い夢 pirka cinita (石狩): (表現)悪い夢 wen cinita (石狩): [自]夢を見る cinita (石狩)、[自] takar (石狩、天塩)、[自] wentarap (石狩、天塩): [他]～を夢に見る ecinita (石狩): [他]～と共に夢を見る kocinita (新): [他](原因、手段)で夢を見る ocinita (新): [他](人)に夢を見せる cinitare (石狩): 従来は神が何かを知らせるために行う事だが、今後新しい語義が加わる事で、「(人)に希望を与える」など人間同士の行為にも多用されると予想される。: [自]良い夢を見る pirkacinita (新): [自]悪い夢を見る wencinita (新)

ユメゴンドウ(夢巨頭) (動物)[名](ゴンドウクジラ亜科)ユメゴンドウ属 cipaokamparokom-cise (新): [名]ユメゴンドウ cipaokampa-rokom (新)※(見つけづらい巨頭鯨)

ゆめのおつげ(夢のお告げ) [名]夢のお告げ cinitaoruspe (石狩): (表現)夢のお告げを聞く cinitaoruspe nu (石狩)

ゆめのせかい(夢の世界) (表現)夢の世界に赴く takar omante (石狩)※(人称接辞は付かない)

ゆめみ(夢見) [自]夢見が悪い mokormem (石狩): [自]夢見がちである cinitanoypa (新)、[自] takannoypa (新)

ゆらいがたり(由来語) [名]由来語、由来譚 ucaskuma (石狩)、[名] upaskuma (石狩): [自]由来語りする ucaskuma (石狩)、[自] upaskuma (石狩): [他]~について由来語りする eucaskuma (石狩)、[他] eupaskuma (新): この意味では専ら合成語の構成要素として用いられ、物語の中では "koucaskuma" と同じ「(人)に由来語りする」の意味で用いられてきたが、今後は専ら「~について由来語りする」の意味で用いていく事とする。: [他](人)に由来語りする koucaskuma (石狩)、[他] koupaskuma (新): [他](原因、手段)で由来語りする oucaskuma (新)、[他] oupaskuma (新): [他](人)に由来語りさせる ucaskumare (新)、[他] upaskumare (新): [自]子供に由来を語って聞かせる poucaskuma (石狩): [他]~について子供に由来を語って聞かせる poeucaskuma (石狩)

ゆらず(揺らす) ①[他]~を揺らす suye (複数 suypa) (石狩): [他](場所)で~を揺らす esuye (複数形 esuypa) (新): [他](場所)へ~を揺らす kosuye (複数 kosuypa) (新): [他]~と共に~を揺らす kosuye (複数 kosuypa) (新): [他](原因、手段)で~を揺らす osuye (複数 osuypa) (新): [他](人)に~を揺らさせる suyere (複数 suypare) (新): [他]瞬間的に~を揺らす suytekkka (新): [他]何度も~を揺らす suyesuye (新): [他]思い切り~を揺らしまくる toykosuyesuye (新): ②(船に関して)[他]~を揺らす atapte (新)

ゆらめく(揺らめく) [自](影や幻が)揺らめく karikari (石狩): [他]~を揺らめかせる karikari (新)

ユリ(百合) (植物)[場名](単子葉(植物)綱)ユリ目 (新): [名]ユリ科 (新): [名]アヤメ科 (新): [名]ウエロジア科 (新): [名]キアナストルム科 (新): [名]キンバイザサ科 (新): [名]ゲオシリス科 (新): [名]コルシア科 (新): [名]ススキノキ科 (新): [名]タシロイモ科 (新): [名]タヌキアヤメ科 (新): [名]ハエモドルム科 (新): [名]ヒガンバナ科 (新): [名]ヒナノシャクジョウ科 (新): [名]ビヤクブ科 (新): [名]ミズアオイ科 (新): [名]ヤマイモ科 (新): [名]リュウゼツラン科 (新)

ユリウス [名]ユリウス暦 Yúriuskar-tonukarpe (新)

ユリオプス (植物)[名](キク科)ユリオプ属 koyopokafrika-kikukina-cise (新): [名]ユリオプス・アクラエウスの茎葉 rikunkoyopokafrika-kikukina (新)、[名]その花 rikunkoyopokafrika-kiku (新): [名]

ユリオプス・クリサンテモイデスの茎葉 marguerite-koyopokafrika-kikukina (新)、[名]その花 marguerite-koyopokafrika-kiku (新)※(別名「ガモレピス」、「マーガレットコスモス」): [名]ユリオプス・クリサンテモイデス・オオストヴァリアの茎葉 oostovaria-koyopokafrika-kikukina (新)、[名]その花 oostovaria-koyopokafrika-kiku (新): [名]ユリオプス・ゴールデンクラッカーの茎葉 situokoyopokafrika-kikukina (新)、[名]その花 situokoyopokafrika-kiku (新): [名]ユリオプス・デージーの茎葉 sirokani-koyopokafrika-kikukina (新)、[名]その花 sirokani-koyopokafrika-kiku (新)

ゆりかご(揺り籠) [名]揺り籠 sinta (石狩)

ユリネア (植物)[名](キク科)ユリネア属 jurineamun-cise (新): [名]ザント・ジルベルシャルテ茎 otajurineamun (新): [名]ユリネア・モンゴリカの茎 mongorun-jurineamun (新)

ゆるく(緩く) ①(縄、紐の結び目、衣服などに関して)[自]緩くなる、緩い sawre (石狩): [他]~を緩める sawreka (石狩)、[他] sawrere (新): [副]緩く sawre(-no) (新): ②(風などに関して)[自]緩くなる、緩い hawke (石狩): [他]~を緩くさせる hawkeka (hawkere) (新): [副] hawke(-no) (石狩)

ゆるす(恕す、許す) ①(過ちに関して)[自]人を恕す isittekka (石狩): [他]~の事で人を恕す eisittekka (新): [他](人)を恕す sittekka (石狩): [他]~の事で(人)を恕す esittekka (新): [他](人)に(人)を恕させる sittekkare (新): [他](人)に~の事で(人)を恕させる esittekkare (新): ②(承認に関して)[自]許す ieese (新): [他](人)に許させる ieessere (新): [他]~を許す eese (新): [他](人)に~を許させる eesere (新)

ゆるむ(緩む) ①[自]緩む sawre (石狩): ②(身に付けている物に関して)[自]緩む siosawsaw (石狩): [他](中相)~が緩む ciosawsaw (新)

ゆるめる(緩める) ①[他]~を緩める sawreka (石狩)、[他] sawrere (新): ②(身に付けている物に関して)[他]~を緩める osawsaw (石狩)

ゆるやか(緩やか) [自]緩やかになる、である hawke (石狩): [他]~を緩やかにする hawkeka (hawkere) (新): [副]緩やかに hawke(-no) (石狩)

ゆれる(揺れる) ①[自]揺れる sisuye (石狩): [他](場所)で揺れる esuye (新): [他]~と共に揺れる kosuye (新):

[他](原因、手段)で揺れる osuye (新):
 [自]一瞬揺れる、ちょっと揺れる suytek
 (新): [自](何度も)揺れる sisuyesuye (石
 狩): [自]ひどく揺れる toykosisuye
 (新): ②(船が)[自]揺れる atap (石狩):
 [自]何度も揺れる atapatap (新): [自]ひ
 どく揺れる toykoatap (新)

ゆわかし(湯沸し)[名]湯沸し úsewkarpe
 (新)、[名] ciousewkarpe (新)

ゆんづる(弦)[名]弦 kúka (石狩)

よ ①(平叙文で言葉の調子をやわらげ、あるいは
 そうしなから相手を意識しつつ念をおし)
 [終助]～よ wa (石狩): 子音 n の後
 に wa が続く場合、言葉の速さによって例え
 ば an wa は anuwa、あるいは amma と
 発音される事がある。: 「昨日私あなたを見
 たよ。」“Numan e=nukar=an wa .”: ②
 (“ikaneypeka”, “inkaneypeka”)の諸形を用い
 た禁止の文や“nankor”, “kusu ne”を用いた文、
 その他の肯定文、否定文で相手に対し叙述の
 内容を念押しし[終助]～よ na (石狩):
 「決して怒らないで下さいよ。」“Ikaneypeka
 es=iruska na .”, 「互いに労り合って暮すん
 だよ。」“Ueyamno es=okay nankor na .”,
 「明日私は札幌に行くつもりですよ。」

“Nisatta Satporo ene ku=oman kusune
 na .”, 「お前が気に入ってるから連れて行く
 んだよ。」“E=eramasuy=an kusu e=tura
 paye=as ruwe ne na .”: ③(強く肯定し、
 あるいは念を押し)[副助]～よ un (石狩):
 「そうだよ。」“Ru un .”, 「本当にそれを知
 らないんだよ。」“Sonno ka ku=erampetek
 un !”: ④(叙述の内容を感情がこもったもの
 として)[終助]～よ na (石狩): 「今日
 はほんとに暑いよ。」“Tanto sonno sissesek
 na .”: ⑤(命令)[終助](同輩や目下の者に対
 する命令文を和らげ、親愛や慈愛の感情を示
 し)～よ ani (石狩): 「早く寝なさいよ。」

“Hempano mokor ani !”: [終助](通常単
 数の同輩や目下の者に対する命令文を和ら
 げ)～よ ya (石狩): 普通の速さで発音さ
 れる時、子音や半母音の後では語頭の“y”が
 よく脱落して“a”となる。: 「これ見ろよ。」

“Tampe nukar ya !”: [終助](複数の相手、
 あるいは単数の目上の者に対する命令文を
 和らげ)～よ yan (石狩): 普通の速さで
 発音される時、子音や半母音の後で語頭の“y”
 がよく脱落して“an”となる。: 「こら子供達、
 早く座れよ。」“Tan ekattar, hempano rok
 yan !”, 「旦那、ちょっと待って下さいよ。」

“Nispa, ponno en=tere wa en=kore
 yan !”: ⑥(勧誘)[終助]～(しよう)よ rok
 (旭川)、[終助] ro (空知)、[終助](雅) na
 (石狩): 「もう出ましょうよ。」“Tane

asip=an rok .”

よ(夜) [0 動]夜が明ける、明けている
 sirpeker (石狩)、[0 動](稀) sirpirattek
 (石狩): [自](場所)の夜が明ける、明けてい
 る sirkopeker (沙流): (表現)夜が近づく
 kunne hanke (新): (表現)夜が更ける
 kunnenoski an (新)、(表現) annoski an
 (新): (表現)夜が長くなる、長い kunne
 tanne (新): (表現)夜が短くなる、短い
 kunne takne (新): [自]夜を明かす
 rewsu (石狩)

よあけ(夜明け) ①(表現)夜明け近く ukuran
 ankes (天塩): [場名]夜明け前 ankes
 (美幌): (表現)夜明けが来る ankes ek
 (石狩): (表現)夜明け直前の闇 kunne
 nisat (八雲): (表現)夜明けの直前に闇が
 深くなる kunne nisat ek (新): [場名]今
 まさに日が昇ろうとして空が明るむ頃、夜明
 けの空の白み、東雲 nisat (石狩): (表現)
 暁 peker nisat (八雲): (表現)夜が明ける、
 空が白む nisat ek (天塩)、(表現) nisat
 rikin (天塩): [名]夜明け sirpeker (石
 狩): [0 動]夜明けになる sirkopeker (石
 狩)、[0 動](稀) sirpirattek (石狩): (表現)
 夜明けの太陽、旭 hetuku cup (石狩)、(表
 現) rikin cup (石狩)

ヨアケオオコウモリ(夜明大蝙蝠) (動
 物)[名](オオコウモリ科)ヨアケオオコウモリ
 属 nisatcaot-sikapap-cise (新): [名]ヨ
 アケオオコウモリ yayan-nisatcaot-
 sikapap (新): [名]セレベスヨアケオオコ
 ウモリ surawesiun-nisatcaot-sikapap
 (新): [名]フィリピンヨアケオオコウモリ
 piripinasun-nisatcaot-sikapap (新): [名]
 ボルネオヨアケオオコウモリ bonneoun-
 nisatcaot-sikapap (新)

よあそび(夜遊び)[自]夜遊びする kunnesinot
 (新)

よあつ(与圧)(表現)～に与圧する
 inumpatum kóre (新): [名]与圧室
 iinumpatumkore-tumpu (新)

よあらし(夜嵐)[名]夜嵐 kunne-kamuyrera
 (新)、[名] kunne-kamuyrera (新)

よあるき(夜歩き)[自]夜歩きする
 kunneapkas (天塩)

よい(宵)[名]宵、宵の口 onuman (新): [名]
 宵、宵の中 aronuman (新)

よい(酔い) ①[自]酔いが醒める nuasnu (石
 狩): [他]～の酔いを醒ます nuasnure
 (新): [自]自分の酔いを醒ます
 yaynuasnure (新): [自]すっかり酔いが醒
 める oannuasnu (annuasnu) (新): ②
 [自]酔いが回る iyoski (ihoski) (石狩):
 [他]～の酔いを回らせる iyoskire

(ihoskire) (新): [自]すっかり酔いが回る
oariyoski (ariyoski) (新)、[自] oarihoski
(arihoski) (新)

よいくらし(良い暮らし) [名] 良い暮らし
pirkasukup (石狩)、[名] pirkaureska
(石狩): [自] 良い暮らしをする
pirkasukup (新)、[自] pirkaureska (石
狩)、[自] ipeepirka (ipepirka) (石狩):
「私達は今はどうにか良い暮らしをしてい
るよ。」“Tane anakne nekonan ipepirka=as
an wa .” (三浦タマイリ)、「私達はとても良
い暮らしをした。」“Sonno pirkan
okay=as .” (砂沢クラ)

よいこと(良い事) [名] 良い事 pirkap (石狩):
[副] 良い事に iisoneka (石狩)、[副]
itammkaka(-no) (石狩): 「良い事にあの
時君が駆けつけてくれた。」“Iisoneka neyta
es=en=koniwasnu .”

よいとし(良い年) ①[0 動](獵や漁に恵まれ)良
い年になる、良い年である pápírka (石狩、
天塩): ②(表現)良い年をして rupne
yakka (新): 「良い年をしてこんな事も知
らないの?」“E=rupne yakka tampe neno
an pe e=erampetek ruwe?”

よいのみようじょう(宵の明星) (宇宙)[名]宵の
明星 Suwaranociw (天塩)、[名]
Aronumannociw (アイヌの星)、[名]
Onumannociw (アイヌの星)

よいん(余韻) [名]余韻 ohumkotpe (新)※
(その尻に音が繋がるもの)、[名] cikasma-
hum(-i) (新): [自]余韻が残る ohumkot
(新)

よう (表現)～するように言う 動詞句+kuni
ye (石狩): 「貴方がその少年の所に行って
彼が努力するよう言ったらいいですよ。」
“Nea okkaypo otta es=paye wa arikiki
kuni es=ye yak pirka ruwe ne wa .”

よう(酔う) [自]酒に酔う iyoski (石狩)、[自]
ihoski (石狩、天塩): [他]～に酔う hoski
(石狩、天塩): 「…神の勇者が怪しい酒、毒
の酒に酔い…」“… kamuyrametok
okokkosake surkusake hoski…”(杉村キナ
ブック)婦女詞曲: [他](場所)で酔う eiyoski
(eihoski) (新): [他]～と共に酔う
koiyoski (koihoski) (新): [他](原因、手
段)で酔う oiyoski (oihoski) (新):
[他](人)を酔わせる iyoskire (ihoskire)
(石狩): [自]自分で一人で酔う
yaykoiyooski (yaykoihoski) (新): [自]互
いに、皆で酔う ukoiiyooski (ukoihoski)
(新): [自]すっかり酔う oariyooski
(oarihoski) (新): [自]ひどく酔う
toyko-iyoooski (toyko-ihoski) (新): [自]
人を～に酔わせる hoskiyar (oskiyar)

(新)

よいい(容易) [自]容易である isayka (天塩)、
[自] casnu (十勝): [他](場所)で容易であ
る eisayka (新): [他]～と共に容易であ
る koiisayka (新): [他](原因、手段)で容
易である oisayka (新): [他]～を容易に
する isaykaka (isaykare) (新): [他](場
所)で～を容易にする eisaykaka
(eisaykare) (新): [他]～と共に～を容易
にする koiisaykaka (koiisaykare) (新):
[他](原因、手段)で～を容易にする
oisaykaka (oisaykare) (新): [他](人)に
～を容易にさせる isaykakare
(isaykarere) (新): [自]容易になる
siisaykaka (新): [自]容易である pirka
(石狩): (表現)容易になる、である isayka
p ne (新)、(表現) isayka hi ne (新)

よいい(用意) [自]用意する sietokoyki (石
狩)、[自] ietokoyki (新): [連他]～の用意
をする etokooyki (石狩)、[他] etokoyki
(石狩)、[他] etokooyki (新): [他](場所)
で～の用意をする eetokoyki (新): [他]
～と共に～の用意をする koetokoyki
(新): [他](原因、手段)で～の用意をする
oetokoyki (新): [他](人)に用意をさせる
sietokoykire (新)、[他] ietokoykire (新):
[他]自分(一人)で～の用意をする
yaykoetokoyki (新): [他]互いに、皆で～
の用意をする ukoetokoyki (新): [他]人
に～の用意させる、してもらう etokoykiyar
(新)

よいいく(養育) →「そだてる(育てる)」を見よ

よいいん(要因) (表現)要因 iorepase moto
(ioani) (新)、(表現) sapane moto (ioani)
(新)、(表現) atpakeun moto (ioani) (新)

ようえき(溶液) [名]溶液 oroierupe (新):
(表現)～溶液 oroieru+名詞 (新): [名]水
溶液 oroieru-wakka (新)

ようえき(養液) [名]養液 isukuptepe (新):
[自]養液栽培する isukuptepe-otoyta
(新): [他]～を養液栽培する eisukuptepe-
otoyta (新): [他](人)に～を養液栽培させ
る eisukuptepe-otoytare (新)

ようえき(徭役) [名]徭役 kunci (新): [自]
徭役させる kuncikar (新)

ようか(八日) [場名]八日 tupesanto (石狩)

ようが(葉芽) (植物)[名]葉芽 hámeput(-e)
(新)

ようかい(妖怪) [名]妖怪 yókay (新)※(日
本語)

ようがく(幼学) [場名]幼学 wampa (新)

ようかく(様格) (言語)[名]様格 inenoampe-
rewke (新)

ようかん(洋館) [名]洋館、洋風建築

húresisampuri-cise (新)
ようかん(羊羹) [名]羊羹 yókan (新)※(日本語)
ようき(容器) [名]容器 oroio map (新)、[名]oroio p (新)
ようぎ(容疑) [他](人)に容疑をかける pepka (pipka) (新): (表現)容疑者 an=pepka kur (an=pipka kur) (新): 「お前は警察に容疑をかけられている。」“Emuskorkur orowa e=pepka=an wa e=an.”: [他](人)に～について容疑をかける epepka (epipka) (新): [自]人に容疑をかける umpepka (umpipka) (新): [他]～について人に容疑をかける eumpepka (石狩)、[他] eumpipka (天塩): [自]人に物事について容疑をかける ielumpepka (ieumpipka) (新)
ようきゅう(要求) [自]要求する icipa (石狩): [他]～を要求する cipa (石狩): [他](場所)で～を要求する ecipa (新): [他]～に～を要求する、～と共に～を要求する kocipa (新): [他](原因、手段)で～を要求する ocipa (新): [他](人)に～を要求させる cipare (新): [他]自分で、一人で～を要求する yaykocipa (新): [他]互いに、皆で～を要求する ukocipa (新): [他]充分～を要求する cipano (cupanu) (新): [他]激しく～を要求する toykocipa (新): [他](中相)～が要求される cicipa (新): [他]人に～を要求させる cipayar (新): [他]何度も～を要求する cipapa (新): (表現)何度も～を要求する cipa cipa (新)
ようこうろ(溶鉱炉) [場名] 溶 鉱 炉 kánisumarureusi (新)
ようこそ [間投]ようこそ iisoneka (石狩): 「ようこそいらっしゃいました。」“Iisoneka es=árki!”、「よく来たね。」“Iisoneka e=ek!”
ようさい(洋裁) [名] 洋 裁 húresisamkemeyki (新): [名]洋裁学校 húresisamkemeyki-eipakasnuusi (新)、[名] kemeyki-gakko (石狩)
ようさい(要塞) [名]砦 siromacasi (新)、[名] cási (新)
ようじ(幼児) [名] 幼 児 pónekatci (pónékaci) (石狩): [名](男女を問わず1～2才くらいの)幼児 sikotey (天塩)
ようし(容姿) [名]容姿 kat(-u) (石狩): [場名]秀でた容姿 siretok (石狩)、[場名]pirkakat(-u) (石狩): [自]美貌を具える siretokkor (石狩)、[自] katupirka (幌別): 内面、つまり「心の美しさを具える」事は“osketokkor”。: [自]容姿が劣る sirkasak (H)
ようし(養子) [名]養子 ahupkarpo (石狩)、

[名] ahupkar-ekatci (新): (表現)養子を迎える po ahupkar (新)、(表現) ekatci ahupkar (新)
ようしき(洋式) (表現) 洋 式 の húresisampuri+名詞 (新): [名]洋式トイレ húresisamruri-ru(-asinru) (新): [名]洋式帆船 húresisampuri-kayacip (新): [名]洋式便器 húresisampuri-asinruumpe (新)
ようしつ(洋室) [名]洋室 húresisampuri-tumpu (新)
ようしつ(溶質) [名]溶質 cirurep (新)
ようしゃ(容赦) [自]容赦する isittekka (石狩): [他](人)に容赦する sittekka (石狩): 「何卒ご容赦下さい。」“En=sittekka wa en=kore yan. Páseitar ku=onkami na.”: [副]容赦して isittekkano (新): (表現)容赦して isittekka tura(-no) (新)、(表現) isittekka kane (新): [副]容赦なく isittekkasakno (新): (表現)容赦無く somo isittekka no (新)
ようじょ(幼女) [名]幼女 operkep (石狩)、[名] pónoperke (石狩)
ようしょ(洋書) (表現)洋書 europa orwa an=kórek kampsos (新)
ようしょ(要所) [名]要所 sírikkew(-e) (新)
ようしょう(幼少) [自]幼少である pon (石狩): (表現)(雅)幼少のみぎりより ponram wano (石狩)
ようしょう(要衝) [名]要衝 sissampe (新)
ようじょうけい(葉状茎) (植物)[名]葉状茎 hamkatkotca (新)※(hamkatkor+ca) = 葉状枝
ようしょく(洋食) [名]洋食 húresisam-ipe (新)
ようしょく(養殖) ① [自] 養 殖 する iosiknupreska (新): [場名]養殖場 iosiknupreskausi (新): ②(魚類)[名]養殖する iocepreska (新): [場名]養殖場 iocepreskausi (新): [名]養殖魚 cireskacep (新): ③(貝類)[名]養殖する ioseyreska (新): [場名]養殖場 ioseyreskausi (新): [名]養殖貝 cireskasey (新)
ようす(様子) ①[名]様子 sirki (石狩): (表現)(～する)様子である sirki an (石狩): [助動](～する)様子である sirki (石狩): (表現)(雅)(～する)様子 sirki sir (石狩): ②[名]様子 kat(-u) (石狩): 物語で様子を描写する時に katu ene an hi (ihi) 「その様子はこうである」という表現の後に具体的な叙述がされる。これは ruwe ene an hi (ihi) で言い換えができる。: ③[形式名]様子 siri (石狩)、[形式名] sir (石狩)、[形

式名] ruwe (石狩)、[形式名] ru (石狩): (表現) (〜する) 様子である siri an (石狩)、(表現) sir an (石狩): 厳密には空知方言で siri、ruwe、旭川方言で sir、ru であるが今後どちらを用いても良いとする。: ④[自](見て)様子を窺う ehewpa (石狩)、[自] sinnukar (新): [自](聞いて)様子を窺う sinnu (新): (表現) (寝ながら隣の様子を窺うため、布団代わりに被った着物の)片袖に頭を突っ込む attusa epaeotke (石狩): ⑤[他]〜の様子を見に行く nonkar (石狩): 「…一度もお前の様子を見に行かなかった私が悪かった…」 “… assuy ka e=nonkar=an somo ki anokay wen=an…” (砂沢クラ) 婦女詞曲

ようすい(用水) [名] 用水 cieiwanke-wakka (新): (表現) 農業用水 toyta kusu cieiwanke wakka (新): [名] 用水路 cieiwanke-wakkaru (新)

ヨウスコウ(揚子江) [場名] (地名) 揚子江 Yantücian (新)、[場名] Yantsupet (新) → [場名] 長江 Cancian(-pet) (新)、[場名] Campet (新)

ヨウスコウカワイルカ(揚子江河豚) (動物) [名] (ハクジラ亜目) ヨウスコウカワイルカ科 campetorun-tannu-apa (新): [名] ヨウスコウカワイルカ属 campetorun-tannu-cise (新); [名] ヨウスコウカワイルカ campetorun-tannu (新)

ヨウソ(ヨウ素) (化学) [名] ヨウ素 iodum (新) ※(原子番号 53 番。元素記号 I)

ようちゅう(幼虫) [名] 幼虫 kikirpo (新): (表現) 四齢の幼虫 ínesuy sipapama a kikirpo (新)

ようつう(腰痛) [自] 腰痛がする ikkewarka (石狩)

ようてん(要点) [名] 要点 ikkew(-e) (石狩): 話の要点 itak ikkewe (石狩)

ようとう(妖刀) [名] 妖刀 ipetam (石狩)

ような ①(類似を表し)(表現) ーのような néno an (複数 okay) (石狩): 「山のような大きなクジラが寄りがった。」 “Nupuri néno an poro humpe yan .”, 「君のような人はいない。」 “Eani néno an kur isam .”, 「大きな雪の山のようなものがあつた。」 “… poro upastak néno an pe an .” (砂沢クラ)、 「こんな地獄のような所で働けない。」 “Tampe néno an hi Poknamosir neno an hi ta ku=monrayke eaykap .”: ②(類似を表し)[接助] ー(する) ような pokon (複数 okay) (石狩): 「その男は友人に話すような口ぶりで語つた。」 “Nean okkayo anakne ukoramupirkakur ekota itak pokon an iposse ani itak .”: ③(推測を表し)(表現) ー

のような kotom an (複数 okay) (石狩): 「今日覚めたばかりのような声でその女性と話した。」 “Tane mos a kotom an haw ani ne menoko itak .”

ように ①. (類似を表し) ①[後副] ーのように néno (石狩): 「以前写真で見たように美しい光景が私の行く手に広がつた。」 “Teeta sasinnoka otta ku=inkar hi néno pirka sirki en=ekota hemakaraye .”, 「若い頃にこのように私は苦労した。」 “Pewre otta tampe néno ku=ikopepka .”, 「(具体的な何かを指し示し) そのようにしなさい。」 “Taampe néno iki !”, 「(先に話題になつていて話し手と聞き手が互いに了解している何かを指し) そのようにしなさい。」 “Néno iki !”: (表現) ーの様である néno an (複数 okay) (石狩): [他](雅) ーの様である esikopayar (石狩): 「…仲間が大勢なので灌木の林の様である…」 “… utari inne kusu ramnitay esikopayar…” (砂沢クラ) 英雄詞曲: ②[接助] ー(する) ように pokon (石狩)、[接助] pekor (空知): 「あんたはいつも犬を罵るように私に話すね。」 “Ramma seta e=kopasrota pokon en=ekota itak hawan .”: [接助] ー(した) ように ápekor (空知): 沙流方言では類似を示しての “pekor” と事実と反した事柄を示す “ápekor” を使い分けるが、石狩方言では “pokon” で全てを表す: 「今、火が燃えていたように思っていたがその火はなくなつていた。」 “Tap ape a apekor ku=yaynu a p ,nea ape isam .”: (表現) ー(する) ようである pokon an (石狩): ③[副助] ーのように kunne (石狩)、[副助] sinne (石狩): 「私のお爺さんの髪も髭も雪のように白い。」 “Ku=kor ekasi otopihi upas kunne (=sinne) retar .”: [接助]: (2). (推測を表し) ①[接助] ー(する) ように kotom (石狩)、[接助] pokon (石狩)、[接助] noyne (空知): 推定の意味での pokon は例文に見られるような特定の表現にのみ使われる: 「私は上手く箱を作れないように思う。」 “Pirkanno supop ku=kar eaykap kotom (=noyne) ku=yaynu .”, 「私は本当の事は言わないように思っていたが言つてしまつていた。」 “Ampe anakne somo ku=ye pokon ku=yaynu ayke ku=ye awan .”: (表現) ー(する) ようである kotom an (複数 okay) (石狩): 「その女性、妊娠しているようだ。」 “Taan menoko husko kotom an .”: ②[形式名] ー(する) ように kunak (石狩)、[形式名] kuni (石狩): 「私はあなたがそれを知つてるように思つて言わなかつたんだからね。」 “Tampe es=eraman kunak (=kuni) ー

ku=ramu kusu somo ku=ye na .”
ようばい(溶媒) [名]溶媒 irurepe (新)
ようひ(羊皮) [名]羊皮 hicicirus (新):
 [名]羊皮紙 hicicikampi (新)
ようふ(養父) [名]養父 iresuona (新)、[名]
 iresuyupo (石狩)
ようふく(洋服) [名]洋服 húresisam-mip
 (新)、[名] húresisam-imi (新)
ようぶん(養分) [名]養分 iresup (新)
ようへい(傭兵) [名]傭兵 cieiwanke-
 tumikorkur (新)
ようぼ(養母) [名]養母 iresuunu (新)、[名]
 iresusapo (石狩)
ようぼう(容貌) [名](全身の容姿、雰囲気を含
 めて)容貌 kat(-u) (石狩): [場名]容貌、
 顔かたち sirka(-si、-sike) (石狩)、[場名]
 nanka(-si、-sike) (H)
ようぼう(要望) [自]要望する icipa (石狩):
 [他]～を要望する cipa (石狩): [他](場
 所)で～を要望する ecipa (新): [他]～に
 ～を要望する、～と共に～を要望する
 kocipa (新): [他](原因、手段)で～を要望
 する ocipa (新): [他](人)に～を要望させ
 る cipare (新): [他]自分で、一人で～を
 要望する yaykocipa (新): [他]互いに、
 皆で～を要望する ukocipa (新): [他](中
 相)～が要望される cicipa (新): [他]人に
 ～を要望させる cipayar (新): [他]何度
 も～を要望する cipapa (新): (表現)何度
 も～を要望する cipa cipa (新)
ようみやく(葉脈) [名]葉脈 hamru(-we) (新)
ようもう(羊毛) [名]羊毛 hicicikiski (新)
ようもう(養毛) [自]養毛する otopreska
 (新): [名]養毛剤 otopreskap (新)、[名]
 otopreska-kusuri (新)
ようりく(揚陸) [自]揚陸する iyanke (複数
 iyapte) (新): [他]～を揚陸する yanke
 (複数 yapte) (石狩): [他](場所)に～を揚
 陸する koyanke (複数 koyapte) (石狩):
 [他]～と共に～を揚陸する koyanke (複数
 koyapte) (新): [他](場所)から～を揚陸す
 る oyanke (複数 oyapte) (新): [他](原
 因、手段)で～を揚陸する oyanke (新語
 oyapte): [他]～をさっと揚陸する
 yantekka (新): [名]揚陸艦 iyankecip
 (新)
ヨエル (聖書)[名](人名)ヨエル Yoer (新):
 [名]ヨエル書 Yoer-kampisos (新)
ヨーロッパ [場名](地名)ヨーロッパ Europa
 (新): [場名]ヨーロッパ大陸 Europa-
 sisepmosir (新): [場名]ヨーロッパ諸国
 Europa uyru usamosir (新): [名]ヨーロ
 ッパ人 europaunkur (新)
ヨーロッパオオヤマネコ(ヨーロッパ大山猫)

(動物)[名](ネコ科オオヤマネコ属)ヨーロッ
 パオオヤマネコ tukci (樺太多加)※(別
 名「オオヤマネコ」、「ユーラシアオオヤマネ
 コ」、「シベリアオオヤマネコ」)
ヨーロッパタイマイ (昆虫)[名](アオスジアゲハ
 族)ヨーロッパタイマイ属 europa-
 simosinruun-kitomarewrew-cise (新):
 [名]ヨーロッパタイマイ europa-
 simosinruun-kitomarewrew (新): [名]イ
 プヒクリデス・フェイカメリイ
 koykaafrika-simosinruun-kitomarewrew
 (新): [名]イプヒクリデス・ボダリリヌス
 europa-simosinruun-kitomarewrew (新)
よか(余暇) (表現)余暇 sini kunihi (新)
よがあける(夜が明ける) [0動]夜が明ける、夜
 が明けている sirpeker (石狩)、[0動](稀)
 sirpirattek (石狩)
よかった(良かった) ①(危機を脱するなどほっ
 として)[自]良かったなあと思う
 yaykemusu (石狩): [他]～について良か
 ったなあと思う yaykemusu (新): [他]
 ～と共に良かったなあと思う yaykemusu
 (新): [他](人)に良かったなあと思わせる
 yaykemusu (新): [自]皆で良かったなあ
 と思う yaykemusu (新): [間投]良かつ
 たね iisoneka (石狩)、[間投] hápap-
 hápap (石狩)、[間投] hápap (石狩): ②
 (表現)良かったなあ pirka ruana (石狩)、
 (表現) pirka a ruana (新)
よぎ(夜着) [名]夜着 hotkekosonte (石狩)
よき(予期) [自]物事を予期する ietokoeicipa
 (新): [他]～を予期する etokoeicipa
 (新): [他](人)に～を予期させる
 etokoeicipare (新): [他](中相)～が予期さ
 れる cietokoeicipa (新)
よきょう(余興) [名]余興 uenewsassar(-a)
 (新)※(楽しみの尾)、[名] uenewsarois(-i)
 (新)、[名] uenewsar-kotpe (新)
よきん(預金) [名]預金 cianuikor (新)、[名]
 ciamaikor (新): [他](金、金額)を預金する
 anu (石狩)、[他] ama (石狩): [自]預金
 する ikoranu (新)、[自] ikorama (新):
 [他](場所)に預金する eikoranu (新)、[他]
 eikorama (新): [他]～と共に預金する
 koikoranu (新)、[他] koikorama (新):
 [他](原因、手段)で預金する、～のため預金す
 る oikoranu (新)、[他] oikorama (新):
 [他](人)に預金させる ikoranure (新)、[他]
 ikoramare (新): [自]自分で、一人で預金
 する ikoranu (新)、[自] ikorama (新):
 [自]皆で貯金する ikoranu (新)、[自]
 ikorama (新): [自]しっかり預金する
 ikoranuno (ikoranunu) (新)、[自]
 ikoramano (ikoramanu) (新): [自]がっ

ちり預金する toykoikoranu (新)、[自] toykoikorama (新): [名] 預金口座 cieikoranuso (新)、[名] cieikoramaso (新): [名] 預金通帳 cianuikorkampisos (新)、[名] ikorkampisos (新)

よく (表現) よく〜 動詞+no (石狩)、(表現) 動詞+nu (天塩): mokor(眠る)+no(nu) → mokonno(mokonnu) 「よく眠る」: [接頭]よく〜 no- (石狩): no+noye(〜を振る) → nonoye 「〜を狙う」、no+nukar(〜を見る) → nonkar 「〜を見回る」

よく(良く) [自] 良くなる、良い pirka (石狩): (表現) とても良くなる、良い sonno pirka (石狩)、(表現) sino pirka (他方言): [他](場所)で良くなる、良い epirka (新): [他]〜と共に良くなる、良い kopirka (新): [他](原因、手段)で良くなる、良い epirka (石狩)、[他] opirka (新): [他]〜を良くする pirkare (新): [自]自分で、一人で良くなる、良い yaykopirka (新): [自]互いに、皆で良くなる、良い ukopirka (新): [自]完全に良くなる、良い oarpirka (arpirka) (新): [自]充分良い pirkano (pirkanu) (新): [自]ひどく良くなる、良い toykopirka (新): [自]ひとりでに良くなる、良い sikopirka (新): (表現)良い irammakaka (irammakakano) an (複数形 okay) (石狩): [自]とても良くなる、良い sipirka (sinopirka) (新): (表現)とても良くなる、良い sonno pirka (石狩): [副]良く pirkano (石狩)、[副](雅) pirka (石狩)、[副] irammakaka(-no) (石狩): (表現)〜が良く分かる pirkano eraman (eramuan) (石狩): (表現)〜を良く見る pirkano nukar (石狩): [副]とても悪く sipirkano (sinopirkano) (新): (表現)とても悪く sonno pirkano (石狩)、(表現) sino pirkano (新): [名](二つ以上のものを比較し、あるいは単に)悪い人、物、事 pirkaike (石狩): [名]良い人 pirkakewtum-korkur (石狩): [名]良い奴 pirkakewtum-korpe (新): [名]良い物、事 pirkap (石狩): (表現)良い行い pirka puri (石狩)、(表現) pirkakar pe (新)

よくあつ(抑圧) [自] 抑圧する irari (複数 irarpa) (新): [他]〜を抑圧する rari (複数 rarpa) (新): [他](場所)で〜を抑圧する erari (複数 erarpa) (新): [他]〜と共に〜を抑圧する korari (複数 korarpa) (新): [他](原因、手段)で抑圧する orari (複数 orarpa) (新): [他](人)に〜を抑圧させる rarire (複数 rarpape) (新)

よくか(翼果) (植物)[名] 翼果 rāpus-ikaop(-i) (新)

よくし(抑止) [自] 抑止する ikisma (新): [他]〜を抑止する kisma (新): [他](場所)で〜を抑止する ekisma (新): [他]〜に対して〜を抑止する kokisma (新): [他]〜と共に〜を抑止する kokisma (新): [他](原因、手段)で〜を抑止する okisma (新): [他](人)に〜抑止させる kismare (新): [他]〜を充分抑止する kismano (kismanu) (新): [他]強く〜を抑止する toykokisma (新): [名] 抑止力 ikismatum (新)、[名] tumikismatum (新)

よくじつ(翌日) [名] 翌日 nisatke (石狩)、[名・副] isimne (沙流): (表現)その翌日になると ne nisatke an kor (石狩)、(表現) isimne an kor (沙流): [場名] 翌日 nisatkeanto (石狩): [自] 翌日になる isimne (沙流): (表現)翌日になると isimne hike (沙流)

よくしゅもく(翼手目) (動物)[場名](哺乳綱)翼手目 raptekkorpe-kotan (新)※(コウモリ目)

よくせい(抑制) [自] 抑制する ikisma (新): [他]〜を抑制する kisma (石狩): [他](場所)で抑制する ekisma (新): [他]〜に対して〜を抑制する kokisma (新): [他]〜と共に〜を抑制する kokisma (新): [他](原因、手段)で〜を抑制する okisma (新): [他](人)に〜を抑制させる kismare (新): [自]自分を抑制する yaykismare (新): [他]ぱつと〜を抑制する kismatek (新): [他]充分〜を抑制する kismano (kismanu) (新): [他]強く〜を抑制する toykokisma (石狩)

よくそう(浴槽) [名] 浴槽 sussintoko (新): (表現)浴槽 sus sintoko (八雲)

ヨクトグラム [名](重さの単位)ヨクトグラム yoktoguram (新)※(単位記号"yg")

ヨクトメートル [名](長さの単位)ヨクトメートル yoktometre (新)※(単位記号"ym")

ヨクトリットル [名](体積の単位)ヨクトリットル yoktoritre (新)※(単位記号"yl")

よくねむる(良く眠る) [自] 良く眠る mokonno (石狩): [他]〜と一緒に良く眠る komokonno (石狩)

よくりゅう(抑留) [自] 人を抑留する isiroreare (新): [他]〜を抑留する siroreare (石狩): [他]〜に〜を抑留する esiroreare (新): [他]〜と共に〜を抑留する kosiroreare (新): [他](原因、手段)で〜を抑留する osiroreare (新): [他](人)に〜を抑留させる sirorearere (新)

よくわらう(よく笑う) [自] よく笑う minamina (石狩)

よけい(余計) [副](他より)余計に etakasure (沙流): 「今日私は余計に働いたので褒められた。」 “Tanto etakasure ku=monrayke kusu en=ram=an=ye .”

よけん(予見) [自] 物事を予見する ietokonukar [自] ietokoeraman (新): [他] ~を予見する etokonukar (新)、[他] etokoeraman (新): [他](人)に~を予知させる etokonukare (新)、[他] etokoeramante (新): [他](中相)~が予見される cietokonukar (新)、[他](中相)cietokoeraman (新)

よげん(予言) [名](行為)予言 ietokoitak (新): (表現)(言葉)予言 an=etókoitak pe (新): [自] 予言する ietokoitak (新): [他] ~について予言する etokoitak (新): [名] 予言者 ietokoitakkur (新)

よげん(預言) [名](行為)預言 kamuyitakkor (新): (表現)(言葉)預言 kamuy unkore itak (新): [自] 預言する kamuyitakkor (新): [他] ~について預言する ekamuyitakkor (新): [他](人)に預言する kokamuyitakkor (新): [名] 預言者 kamuyitakkorkur (新)

よこ(横) ①[位名] ~の横 sam(長形-a、-ake) (石狩、天塩): (表現) ~の横にいる、ある ~ sam(長形-a、-ake) an(複数 okay) (石狩): (表現) ~の横にいる、ある ~ sam(長形-a、-ake) un (石狩): ②[位名] ~のすぐ横 teksam(長形-a、-ake) (石狩)、[位名] tessam(長形-a、-ake) (石狩)、[位名] tékisam(長形-a、-ake) (石狩): ③[位名] ~の横 utossam(長形-a、-ake) (石狩、天塩): 方言辞典によれば、旭川では何か「のくつついた横」、名寄では何か「の少し離れた横」.: ④(表現)横に~を計る ~ tomotuye pakari (天塩)、(表現) samatkino ~ pakari (新)

よこいと(横糸) [名]横糸 ahunka (石狩)

よこぎ(横木) [名](屋根や壁の骨組として細かく渡す)横木 sakma (石狩): これに笹を編み込んで、壁や屋根を作る。

よこぎる(横切る) [他] ~を横切る tomotuye (石狩): [他](場所)へと~を横切る etomotuye (新): [他] ~と共に~を横切る kotomotuye (新): [他](原因、手段)で~を横切る otomotuye (新): [他] ~に~を横切らせる tomotuyere (新): [後副] ~を横切って tomotuye (石狩)

よこぎ(横座) [場名]横座 apeetok (石狩)

よごす(汚す) [自] 人やものを汚す iicakkereka (icakkerere) (新): [他] ~を汚す icakkereka (icakkerere) (新)、[他] icakkere (石狩): [他](場所)で~を汚す

eicakkereka (eicakkerere) (新): [他] ~と共に~を汚す koicakkereka (koicakkerere) (新): [他](原因、手段)で~を汚す oicakkereka (oicakkerere) (新): [他](人)に~を汚させる icakkerekare (新): [他] ~を一瞬で汚す icakkeretekka (新): [自](わざと)自分を汚す yayicakkereka (yayicakkerere) (新): [自] 汚し合う、皆を汚す uicakkereka (uicakkerere) (新): [他] 思い切り~を汚す toykoicakkereka (toykoicakkerere) (新): [自] 汚される siicakkereka (siicakkerere) (新): [他](中相)汚される ciicakkereka (ciicakkerere) (新)

よこす(遣す) [他] ~を遣す ekte (複数 arkire) (石狩): 通常の発音は"ette"であるが、当面文章語としては"ekte"と書くものとする.: [他](場所)に~を遣す eekte (複数 earkire) (新): [他] ~と一緒に~を遣す koekte(複数 koarkire) (新): [他](場所)から~を遣す、(原因、手段)で~を遣す oekte(複数 oarkire) (新)

よこたわる(横たわる) [自]横たわる、横になる hotke (石狩): (表現)横たわっている hotke wa an (石狩): [自](合成語の構成要素として)横たわっている samam (石狩): (表現)横になって眠る hotke wa mokor (石狩): (表現)体を伸ばして横たわる situri wa hotke (石狩): [他](場所)に横たわる ehotke (新): [他] ~と共に横たわる kohotke (新): [他](原因、手段)で横たわる ohotke (新): [他] ~を横たえる hotkere (新): [自] 自分で、一人で横たわる yayhotkere (新)、[自] yaykohotke (新): [自]互いに、皆で横たわる uhotkere (新)、[自] ukohotke (新): [自]すっかり横たわる、横になる oarhotke (arhotke) (新)

よこっぱら(横っ腹) [位名] ~の横っ腹 utossam(長形-a、-ake) (石狩)、[位名] utottom(長形-o、-oke) (沙流): [位名]横っ腹 hon(i) utossam(長形-a、-ake) (石狩): [名]横っ腹の痛み tempoki-sikayus (天塩)

ヨコバイ(横這) (昆虫)[名](アワフキムシ上科)ヨコバイ科 yakipopo-apa (新): [名]ヨコバイ亜科 yakipopo-moapa (新): [名]アオズキンヨコバイ亜科 siwninkoncikor-yakipopo-moapa (新): [名]オオヨコバイ亜科 poro-yakipopo-moapa (新): [名]オサヨコバイ亜科 wossayakipopo-moapa (新): [名]オモナガヨコバイ亜科 nanutanne-yakipopo-moapa (新): [名]シダヨコバイ亜科 sorma-yakipopo-moapa (新): [名]ズキンヨコバイ亜科 koncikor-

yakipopo-moapa (新): [名]ヒメヨコバイ
 亜科 moyakipopo-moapa (新): [名]ヒラ
 タヨコバイ 亜科 para-yakipopo-moapa
 (新): [名]ヒロズヨコバイ 亜科 epara-
 yakipopo-moapa (新): [名]ブチミヤクヨ
 コバイ 亜科 cininuruo-yakipopo-moapa
 (新): [名]ホシヨコバイ 亜科 nociwkeso-
 yakipopo-moapa (新): [名]ミミズク 亜科
 kisarkor-yakipopo-moapa (新)
よこぼり(横堀) [名]横堀 samatki-pecir
 (新)
よこまど(横窓) [名]横窓、伝統的な家屋の採
 光窓 itomumpuyar(-a) (石狩): 石狩川
 では南向きに作るという。
よこむき(横向き) [自]横向きになる samatki
 (石狩): [副]横向きに utossamne(-no)
 (石狩)、[副] samatkino (石狩): (表現)横
 向きに寝る utossamne(-no) hotke (石狩)
よこめ(横目) (表現)横目で sikkes ani (石
 狩): (表現)横目で見る sikkes ani inkar
 (石狩): (表現)横目でギロリと～を睨む
 sikkes ani ~ kosikkeruru (石狩)
よごれる(汚れる) [自]汚れる、汚れている
 icakkere (石狩): [他](場所)で汚れる、汚
 れている eicakkere (新): [他]～と共に
 汚れる、汚れている koicakkere (新):
 [他](原因、手段)で汚れる、汚れている
 oicakkere (新): [自]一瞬で汚れる
 icakkeretek (新): [自](わざと)自分で汚れ
 る yaykoicakkere (新): [自](何らかの外
 的要因で)汚れる sikoicakkere (新): [自]
 互いに、皆汚れる ukoicakkere (新): [自]
 ひどく汚れる、汚れている toykoicakkere
 (新)
ヨシ(芦)(植物)[名](イネ科)ヨシ属 sarki-cise
 (新): [名]ヨシの稈 sarki (石狩)、[名]
 supki (石狩): [場名]ヨシの茂る湿地、芦
 原 sarkiusi (石狩)、[名] sarkitoy (石
 狩)、[名] kinuptoy (石狩)、[名] kinup (石
 狩): [場名]ヨシの茂る土地 sarkiusmosir
 (石狩): [名](構成要素)ヨシ原 sar (石
 狩): [名]ヨシが茂る沢 sarkiusnay (石
 狩): [名]ヨシ原の広がる湖沼 sarkito
 (石狩): [名]ツルヨシ reyesarki (新):
 [名]セイタカヨシ risarki (新)
ヨシゴイ(葦五位)(鳥)[名](サンカノゴイ 亜科)ヨ
 シゴイ属 sarorkoas-cise (新): [名]ヨシ
 ゴイ sarorkoas (新): [名]オオヨシゴイ
 porosarorkoas (新): [名]クロヨシゴイ
 kunnesarorkoas (新): [名]コヨシゴイ
 mosarorkoas (新): [名]シマヨシゴイ
 ruosarorkoas (新): [名]タカサゴクロサギ
 taywankunnesarorkoas (新): [名]ヒメヨ
 シゴイ poyasarorkoas (新): [名]リュウキ

ユウヨシゴイ rucusarorkoas (新)
ヨシュア (聖書)[名](人名)ヨシュア
 Yehoşua (新)、[名] Yesus (新)※(イスラ
 エルの指導者): [名]ヨシュア記 Yehoşua-
 kampsos (新)
ヨシュカル・オラ [場名](ロシア連邦沿ヴォ
 ルガ連邦管区マリ・エル共和国の首都名)ヨシ
 ユカル・オラ Yoşkar-ora (新)
よじょう(余剰) (表現)余剰が出る
 an=kásma (新): 「人員に余剰が出た。」
 “U t a r an=kásma .”: (表現)余剰人
 員 an=kasma utar (新): [名]余剰品
 cikasma (新): [名]余剰価値 ikaoatay
 (新): [名]余剰労働 ikaomonrayke (新)
よじょう(余情) [名]余情 ohumkotpe (新)
 ※(その尻に感情が繋がるもの)、[名]
 cikasma-hum(-i) (新): [自]余韻がある
 ohumkot (新)
よじん(余人) [自]余人を交えぬ oaynusak
 (石狩): [副]余人を交えず oaynusakno
 (石狩)
よそ(他所) [連体]他所の oya (石狩): [位
 名]～の他所 oyak(長形 oyak、-e、-ke)
 (石狩): 「少しも彼は私から離れません。」
 “Ponno ka en=oyak ta somo an .” (砂沢ク
 ラ): (表現)～の他所へ置く oyak ene ama
 (石狩)、(表現) oyak ene anu (石狩): (表
 現)～の他所へ行く oyak ene oman (複数
 paye) (石狩): (表現)(手で寄せて)～の他
 所へ～をずらす oyak ene rutu (石狩):
 [副]他所で sinnaytoyne (沙流)※(沙流
 "sinnatoyne"より): (表現)他所で～に祈る
 sinnaytoyne ~ nomi (新): (表現)他所の
 言い方、違う方言 oya iposse (石狩): (表
 現)他所の村 oya kotan(-u) (石狩): [場
 名]他人の村 anunkotan(-u) (石狩):
 [名]他所の家 anuncise (新): [連体]他所
 の家の atce (石狩): (表現)他所の家の戸
 口 atce apa (石狩): [自](他所から来た男
 が)村の女を妻とする únapakore (石狩):
 [名]他所者 tuymaekkur (天塩)、[名]
 oyakunkur (八雲): [名](悪)他所者 oyap
 (石狩): [場名]他所者の土地、他所者の国
 oyapmosir (石狩)
よそう [自]食事をよそう imekani (石狩)、
 [自] imekanu (石狩): [他](人)に食事を
 よそわせる、よそってもらう imekanire
 (新)、[他] imekanure (新): [他]人に食事
 をよそわせる、よそってもらう imekaniyar
 (新)、[他] imekanuyar (新): [他](人)に
 食事をよそう imekkan (石狩)、[他]
 koimekani (新)、[他] koimekanu (新):
 [他](人)に(人)に食事をよそわせる、よそっ
 てもらう imekkan (新)、[他] koimekani

(新)、[他] koimekanu (新): [他]人に(人)に食事をよそわせる、よそってもらい
imekkarar (新)、[他] koimekaniyar (新)、
[他] koimekanuyar (新): [他]人に自分
に食事をよそわせる、よそってもらい
siimekkarar (新)、[他] sikoimekaniyar
(新)、[他] sikoimekanuyar (新): [名](食
事)のよそい分 imek (石狩): (表現)食べ
物をよそう imek anu (石狩)

よそう(予想) [名](行為)予想 ietokoyaynu
(新): (表現)予想、予想された事
an=eóokoyaynu p (新): [自]予想する
ietokoyaynu (新): [他]～を予想する
etokoyaynu (新): [他](場所)で～を予想す
る eetokoyaynu (新): [他](原因、手段)
で～を予想する oetokoyaynu (新):
[他](人)に～を予想させる etokoyaynure
(新): [他]完全に～を予想する
oaretokoyaynu (aretokoyaynu) (新): (表
現)予想に反して ~ oro+katkiko+~ iki
wa (石狩): 「お前は来ると思っていたが、
予想に反して来なかった。」 “ E=ek sekor,
ku=yaynu korka e=oro katkiko e=iki wa
somo e=ek .”: (表現)～という予想に反し
て ~ sekor ietokoyaynu hi kuttoko ne no
(新): (表現)～に関する予想に反して ~
etokoyaynu hi kuttoko ne no (新)

よそく(予測) [名](行為)予測 ietokoipakari
(新): (表現)予測、予測された事
an=etókoipakari p (新): [自]予測する
ietokoipakari (新): [他]～を予測する
etokoipakari (新): [他](人)に～を予測さ
せる etokoipakarire (新): [他](場所)で
～を予測する eetokoipakari (新):
[他](原因、手段)で～を予測する
oetokoipakari (新): [他](人)に～を予測さ
せる etokoipakarire (新)

ヨタグラム [名](重さの単位)ヨタグラム
yottaguram (新)※(単位記号"Yg")

ヨタバイト (コンピュ)[名](デジタルコンピュ
ータが扱う情報量の単位)ヨタバイト
yottabait (新)※(単位記号は"YB")

ヨタメートル [名](長さの単位)ヨタメー
トル yottametre (新)※(単位記号"Ym")

よだれ(涎) [名]涎 non(-i) (石狩): (表現)
涎を垂らす non cikka (石狩)

よち(予知) [自]物事を予知する
ietokoeraman (新): [他]～を予知する
etokoeraman (新): [他](人)に～を予知さ
せる etokoeramante (新): [他](中相)～
が予知される cietokoeraman (新)

よちょう(予兆) [場名]予兆 ietoko-yaykari
(新)、[名] ietoko-yaykarpe (新): [連自]
～の予兆がある etoko-yaykar (沙流):

「色々考えてみると、あの時地震の前兆で私
達は豊漁だったんだな。」

“ Ku=yaykosiramsuypa ayke neyta
sissimoye etoko-yaykar kusu nukooan=an
awan .”

よっか(四日) [場名]四日 íneto (石狩)

よつつ(四つ) [名](数詞)四つ ínep (石狩):
(表現)星四つ nociw ínep (新): [連体](数
詞)四つの íne (石狩): (表現)四つの星
íne nociw (新): [副]四つに ínepne (新)

ヨツヅノレイヨウ(四角羚羊) (動物)[名](ニルガ
イ族)ヨツヅノレイヨウ属 ínekirawus-
yukpeko-cise (新): [名]ヨツヅノレイヨウ
ínekirawus-yukpeko (新)

よつであみ(四手網) [名]四手網 otasi (石狩)

よっぱらい(酔っ払い) [名](蔑みを込め、悪口
として)酔っ払い iyoskiampe (石狩)

よつんばい(四つん這い) [自]四つん這いにな
る、である ínekinne (新): [他](人)を
四つん這いにさせる ínekinneka
(ínekinne) (新): [副]四つん這いで
ínekinne (石狩): 「…私は上の方へ四つ
ん這いになって逃げました。」 “ …erikasi
ínekinne ku=kira .” (砂沢クラ)

よどおし(夜通し) [副]夜通し rewsí (石狩)、
[副] ánepitta (石狩): (表現)夜通し
kunne rewsí (石狩)、(表現) ánepitta kane
(石狩)

よどみ(淀み) [名](川の)淀み ut (石狩):
[名]淀み川 utnay (石狩、天塩): [名]流れ
もせず水が淀んでいる所で、川底に足がぬか
るような所 keperpe (天塩)

ヨナ (聖書)[名](人名)ヨナ Yona (新)※(預言
者): [名]ヨナ書 Yona-kampisos (新)

よなか(夜中) [場名・副]夜中 kunnenoski
(天塩): [自]夜中にトイレに行く
kunneasin (石狩)

よなが(夜長) (表現)夜長 kunne tanne
(新): (表現)秋の夜長 cuk an kor kunne
tanne hi (新)

よなき(夜泣き) [自]夜泣きする kunnecis
(幌別)

よにん(四人) [名]四人 ínen (石狩): (表
現)女性四人 menoko ínen (新): [連体]
四人の íne (石狩): (表現)四人の女性
íne menoko (新): [自]四人になる、である
ínenne (石狩): [副]四人で ínenne (石
狩): (表現)四人一組です、行動する
ínen-esinepne iki (新): (表現)四人一組で
～する ínen-esinepne ki (新): (表
現)(人)に四人一組で～させる ínen-
esinepne kóre (新): [自]四人一組になる
ínen-esinepne (新): [他](人)を四人一組に
する ínen-esinepneka (ínen-esinepnere)

(新)

よにんべや(四人部屋) [名] 四人部屋
ineneiwanke-tumpu (新)

よばい(夜這) [自]夜這する iokuyra (石狩):
[他]～に夜這する okuyra (新): [他](場
所)で～に夜這する eokuyra (新): [他]～
と共に～に夜這する kookuyra (新):
[他](原因、手段)で～に夜這する ookuyra
(新): [他](人)に～に夜這させる okuyrare
(新)

ヨハネスブルグ [場名](南アフリカ共和国ハウ
テン州の都)ヨハネスブルグ
Yuhanesburxu (新)

よばれもせずに(呼ばれもせずに) [自]呼ばれ
もせずに入る yayahunke (石狩)

よびかける(呼び掛ける) (大声で)[自]呼び掛
ける hawesitayki (石狩): [他]～につい
て呼び掛ける ehawesitayki (新):
[他](場所)で呼び掛ける eawesitayki
(新): [他]～に呼び掛ける kohawesitayki
(新): [他]～と共に呼び掛ける
kohawesitayki (新): [他](原因、手段)で呼
び掛ける ohawesitayki (新): [他](人)に
呼び掛けさせる hawesitaykire (新):
[自]自分で、一人で大声で呼び掛ける
yaykohawsitayki (新): [自]呼びかけ合う、
皆で呼び掛ける ukohawsitayki (新)

よびごえ(呼び声) ①(大声で呼び掛ける)(表現)
呼び声 hawesitayki haw(-e) (新): ②(相
図する)(表現)呼び声 hotuyra haw(-e)
(新): ③(人を呼び招く)(表現)呼び声
untak haw(-e) (新)

よびだす(呼び出す) ①[自]人を呼び出す
untak (新): [他]～を呼び出す tak (石
狩): [他]～の件で～を呼び出す etak
(新): [他](場所)に～を呼び出す kotak
(新): [他]～と共に～を呼び出す kotak
(新): [他](原因、手段)で～を呼び出す
otak (新): [他](誰か)に～を呼び出させる
takte (新): ②[他](神)を呼び出す puspa
(石狩): 「…女というものは…昔からしない
ものが祈詞であると言われるが、私は慌てた
ので神を呼び出したよ…」 “… menoko anak
… teeta wano somo ki p inonnoitak ne yak
a=ye korka kimatek=an kusu kamuy
an=puspa na …” (杉村キナラブック):
[他](神)を言葉で呼び出す itakepuspa (石
狩)

ヨビバイト(コンピュ)[名](コンピュータの容量
などの単位)ヨビバイト yóbibait (新)※
(単位記号"YiB")

よびもどす(呼び戻す) [自]人を呼び戻す
iokatak (新): [他]～を呼び戻す okatak
(沙流): [他]～の件で～を呼び戻す

eokatak (新): [他](場所)に～を呼び戻す
kookatak (新): [他](原因、手段)で～を呼
び戻す ookatak (新): [他](人)に～を呼
び戻させる okatakte (新)

よびよせる(呼び寄せる) [自]人を呼び寄せる
ihotuypakar (新): [他]～を呼び寄せる
hotuypakar (石狩): [他](人)に～を呼び寄
せさせる hotuypakare (新)

よびりん(呼び鈴)[名]呼び鈴 itakkonko (新)
ヨブ(聖書)[名](人名)ヨブ Iyobu (Iyop)
(新): [名]ヨブ記 Iyobu-kampisos (新)

よぶ(呼ぶ) ①(声を出して呼ぶ意味で)[自]呼び
声を上げる ihotuypakar (石狩):
[他](人)を呼ぶ hotuypakar (石狩)※(遠近
の区別なしで②の意味で用いられる事もある。):
「彼を呼んだらすぐすっ飛んで来た。」
“Ku=hotuypakar kor naani tusse, ek .”
(砂沢クラ)、「彼女が札幌にいて妊娠したと手
紙が来たので私が呼んだら…」 “Sapporo ta
an awa honiporo yak kampi ekte kusu
ku=hotuypakar kor …” (砂沢クラ):
[他](場所)で～を呼ぶ ehotuypakar (新):
[他](場所)へ～を呼ぶ kohotuypakar (新):
[他]～と共に～を呼ぶ kohotuypakar
(新): [他](場所)から～を呼ぶ、(原因、手段)
で～を呼ぶ ohotuypakar (新): [他](人)
に～を呼ばせる hotuypakare (新):
[他](名前を呼ぶなどして近くの誰か)を呼ぶ
kayokar (宗谷): ②(招く意味で)[自]人を
呼ぶ untak (新): [他]～を呼ぶ tak
(石狩): [他](人)に～を呼ばせる takte
(新): ③(儀式などに招く意味で)[自]人を呼
ぶ iaskeuk (石狩): [連他]～を呼ぶ
aske-uk (石狩)、[他] askeuk (新):
[他](人)に(人)を呼ばせる askeukte (新):
④(神を招く意味で)[他](神)を呼ぶ puspa
(石狩): [他](人)に(神)を呼ばせる puspare
(新): [他](神)を言葉で呼ぶ itakepuspa
(石狩)

よふけ(夜更け) [場名・副]夜更け annoski
(石狩): (表現)夜更け近くまで annoski
hanke pakno (石狩)

ヨブスマソウ(夜姦草)(植物)[名](コウモリソ
ウ属)ヨブスマソウの茎 wakkakuttar (石
狩)、[名] wakkakukuttar (天塩)、[名]
rekkuttar (千歳)、[名] cirektekuttar (幌
別): [名]ヨブスマソウの葉
wakkakuttarham (新)

よぶん(余分) [副]余分に etakasure (沙
流): 「お前はいつも何でも余分に欲しが
るな。」 “Eani anakne ramma nep ne yakka
etakasure e=kor rusuy na .”

よみがえる(蘇る)[自]蘇る tusa (石狩)、[自]
siknu (石狩): [他](発話者自身が)(人)を蘇

えらせる *siknuka* (石狩): [他](発話者以外が)(人)を蘇えらせる *siknure* (石狩): [他](発話者の行為か他者の行為かを問わず)(人)を蘇えらせる *tusare* (石狩): [他](人)に(人)を蘇えらせる *siknurere* (新)、[他] *tasarere* (新): [名]蘇るべき魂 *tusakamuy* (石狩)、[名] *siknupito* (石狩)

よみがえる(甦る)[自]甦る *yaykatcipi* (石狩): [他](場所)で甦る *eyaykatcipi* (石狩): [他]〜と共に甦る *koyaykatcipi* (新): [他](原因、手段)で甦る *oyaykatcipi* (新): [他]〜を甦らせる *yaykatcipire* (新)

よみこむ(読み込む) ①(書籍に関して)[他]〜を読み込む *nukanno* (新): [他](人)に〜を読み込ませる *nukannore* (新): ②(コンピュータに関して)〜を読み込む → 「ロード」を見よ

よむ(読む) ①(声を出さずに)[自]読む *inukar* (新): [他]〜を読む *nukar* (石狩): 「私は手紙を読む。」“*Kampi ku=nukar* .”: [他](場所)で〜を読む *enukar* (新): [他]〜と共に〜を読む *konukar* (新): [他](原因、手段)で〜を読む *onukar* (新): [他](人)に〜を読ませる *nukare* (新): [他]一人で〜を読む *yaykonukar* (新): [他]皆で〜を読む *ukonukar* (新): ②(声を出して)[自]読む *ioroitak* (新): [連他]〜を読む *oro-óitak* (石狩)、[他] *ororitak* (美幌): 「私は仲間の前で大声を出してその人から来た手紙を読んだ。」“*Ku=utari kotcake ta porohaw ku=sanke kane néakur orwa ek kampi oro=ku=oitak* .”: [他](人)に〜を読ませる *ororitakte* (新)

よめ(嫁)[名]嫁 *kosmat(-ci)* (石狩): 砂沢クラ唄の用例では日本語同様に息子の妻に対し息子の親も用いている。: [自]嫁に行く *matapkar* (石狩): [自]嫁にする *matkor* (石狩): [他]〜を嫁に貰う *kor* (石狩): [他]〜に〜を嫁にやる *kóre* (石狩): [他]人に〜を嫁にやる *kórar* (石狩)

ヨメガカサ(嫁が笠)(魚介)[名](カサガイ目)ヨメガカサガイ科 *ohawkasasey-apa* (新): [名]ヨメガカサ *ohawkasasey* (新): [名]ベッコウガサ *ciekasasey* (新): [名]マツバガイ *sisamkasasey* (新)※(殻に筋の出ないものは「ウシノツメ」)

ヨメナ(嫁菜)(植物)[名](キク科)ヨメナ属 *yomena-cise* (新): [名]ヨメナの茎 *yomena* (新): [名]オオバヨメナの茎 *kimuyyomena* (新): [名]オオユウガギクの茎 *santa-yomena* (新): [名]カントウヨメナの茎 *kantow-yomena* (新): [名]

コヨメナの茎 *poyyomena* (新): [名]ユウガギクの茎 *samorun-yomena* (新)

ヨモギ(蓬)(植物)①[名](キク科)ヨモギ属 *noyanit-cise* (新): [名]ヨモギの茎 *samorun-noyanit* (新): [名]アサギリソウの茎 *kunnanouran-noyanit* (新): [名]イヌヨモギの茎 *setanoyanit* (新): [名]イワヨモギの茎 *nupun-noyanit* (新): [名]エゾハハコヨモギの茎 *nutapkamuyisir-noyanit* (新): [名]エゾヨモギの茎 *noyanit* (幌別)※(別名「オオヨモギ」、「ヤマヨモギ」): [名]エトロフヨモギの茎 *etorop-noyanit* (新): [名]オウシユウヨモギの茎 *europa-noyanit* (新): [名]オトコヨモギの茎 *pinne-noyanit* (新): [名]オニオトコヨモギの茎 *atuyteksamun-noyanit* (新): [名]カワラニンジンの茎 *cieupewina-noyanit* (新): [名]カワラヨモギの茎 *pitarkaun-noyanit* (新): [名]キタダケヨモギの茎 *kitadake-noyanit* (新): [名]クソニンジンの茎 *marariapirkare-noyanit* (新): [名]ケショウヨモギの茎 *sisam-noyanit* (新): [名]サウザンウッドの茎 *imososo-noyanit* (新): [名]サマニヨモギの茎 *kamuy-noyanit* (新): [名]シコタンヨモギの茎 *sikotan-noyanit* (新): [名]シロヨモギの茎 *pisun-noyanit* (新): [名]タカネヨモギの茎 *rikun-noyanit* (新): [名]タラゴンの茎 *estoragon-noyanit* (新)※(ロシア語。別名「エストラゴン」、「フレンチタラゴン」): [名]チシマヨモギの茎 *cupkaun-noyanit* (新): [名]チョウセンヨモギの茎 *kórin-noyanit* (新): [名]ニガヨモギの茎 *sinupun-noyanit* (新): [名]ニシヨモギの茎 *húriba-noyanit* (新)※(琉球語): [名]ハハコヨモギの茎 *iwanoyanit* (新): [名]ハマヨモギの茎 *sukoparia-noyanit* (新)※(学名。別名「フクド」): [名]ヒトツバヨモギの茎 *petsak-noyanit* (*petcak-noyanit*) (新): [名]ヒメヨモギの茎 *cipetpa-noyanit* (新): [名]ヒロハウラジロヨモギの茎 *menasun-noyanit* (新): [名]ヒロハヤマヨモギの茎 *kimunsep-noyanit* (新): [名]ホソバイワヨモギの茎 *hamuanekamuy-noyanit* (新): [名]ミズヨモギの茎 *tuykiinrayke-noyanit* (新): [名]ミヤマオトコヨモギの茎 *metotumpinne-noyanit* (新): [名]ヤブヨモギの茎 *nitat-noyanit* (新): [名]ユキヨモギの茎 *upas-noyanit* (新): [名]ロシアンタルゴン *amerikaestoragon-noyanit* (新): [名]ワタヨモギの茎 *retarkeso-noyanit* (新): ②[名]蓬の茎 *noyanit*

(新): [名]蓬の葉 noya (新)

ヨモギギク(蓬菊)(植物)[名](キク科)ヨモギギク
属 kikuonoyanit-cise (新): [名]ヨモギ
ギクの茎 kikuonoyanit (新)、[名]その花
noyakiku (新)、[名]その葉 kikunoya
(新)※(別名「タンジー」): [名]アカバナジ
ョチュウギクの茎葉 hure-
kikinraykekikukina (新)、[名]その花
hure-kikinraykekiku (新): [名]シロバナ
ムシヨケギクの茎葉 retar-
kikinraykekikukina (新)、[名]その花
retar-kikinraykekiku (新): [名]タナケト
ウム・シビルクムの茎 šibiri-kikuonoyanit
(新): [名]ナツシロギクの茎葉 nupur-
kikunoyanit (新): [名]バルサムギクの茎
barsam-kikunoyanit (新)※(別名「コストマ
リー」、「パイブルリーフ」)

よもぎにんぎょう(蓬人形)①[名](厄除けの)蓬
人形の神 imoskamuy (沙流)、[名]
aynutekekarkamuy (東蝦夷の沙流、千歳、
静内、屈斜路、西蝦夷でも名寄などで尊ばれ
るという): ②[名](人に害を与える)蓬人形
の神 aynutekekarkamuy (石狩)

よもや → 「まさか」を見よ

よもやまばなし(四方山話)[名]四方山話
uepeker (石狩): [自]四方山話をする
uepeker (石狩): [他]〜について四方山話
をする euepeker (新): [他](人)に四方山
話をする koupeker (新): [他](人)に四
方山話をさせる uepekere (新)

より(1)[後副]〜より、〜より以上に、〜より優
れて、〜より勝って akkari (akkarino)
(石狩): 「あの女は私よりも年上らしい。」
“Taan menoko anakne en=akkari ka pa an
kotom an .”, 「和人の町を見物するよりそれ
が私には面白かった。」 “Sisamkotan
ku=nukar akkari ku=ekiroroan .” (砂沢ク
ラ): (表現)〜より優れている、〜より勝っ
ている akkari (akkarino) an (複数形
okay) (石狩): 「私達より優れた人達がし
っかりやってくさるさ。」 “Un=akkari okay
utar irammakaka ki nankor na .”, 「それよ
りいい物をお前にあげる。」 “Taampe akkari
an pe e=kore=an kusu ne .”: [後副](雅)〜
よりも kasma (石狩): (表現)何よりも
nep kasma (石狩): [位名]〜より以上
okka(長形-si、-sike) (石狩): (表現)〜よ
り以上のやり方で okkasi (okkasike) ta
(石狩): 「…そのクマを(普通の)クマを送ら
ねばならぬそれ以上のやり方で人々がしっ
かり送りをし…」 “néwaan kamuy kamuy
hopuni kuni okkasi ta aynu utar pirka
orepusi ki …” (杉村キナラブック)神謡

より(2)→ 「から(1)」を見よ

よりあがる(寄り上がる)[自]寄り上がる
yan (複数 yap) (石狩): 「鯨が寄り上が
ったぞ!」 “Humpe yan na!”: [他]〜を寄
り上げる yanke (複数 yapte) (石狩)

よりそう(寄り添う)[他]〜に寄り添う tura
(石狩): [他]〜を〜に寄り添わせる turare
(石狩): [後副]〜に寄り添って tura(-no)
(石狩)、[後副](雅) koetunankar (石狩)、
[副](雅) koeturenno (沙流): [接頭](動詞、
位置名詞に接頭しその語の項の数を一つ増
やし)〜に寄り添って ko- (石狩): [自]人
に寄り添う itura (石狩): [他]人に寄り
添わせる iturare (新): [副]人に寄り添
って itura(-no) (新): [接頭](動詞、位置
名詞に接頭しその語の項の数を変えず)人に
寄り添って iko- (石狩): [自]互いに寄り
添う、寄り添い合う utura (石狩): [他]
〜を寄り添い合わせる uturare (新):
[副]互いに寄り添って、寄り添い合っ
て utura(-no) (石狩): [接頭](動詞、位置名
詞に接頭しその語の項の数を変えず)互いに寄
り添って、寄り添い合っ
て uko- (石狩)

よりたのむ(依り頼む)[自]依り頼む inene
(新): [他]〜に関して依り頼む einene
(新): [他](人)に依り頼む koinene (石狩)、
[他](雅) ekoinene (石狩): 「…汝の御心
に依り頼んで言いますよ。」 “…a=keytumu
kasi ekoinene ku=ki awe tapan na .” (砂沢
ト° アカンノ)祈詞: [他](原因、手段)で依り
頼む oinene (新)

よる(寄る)①(近寄る事)[自]寄る hanke (石
狩): [他](場所)に寄る ehanke (石狩)、
[他] kohanke (石狩): [他](場所)から寄
る ohanke (新): [他](原因、手段)で寄る
ohanke (新): ②(山から下の方、上流から
下流、山から海、壁際から炉縁などに)[自]寄
る san (複数 sap) (石狩): [他](場所)に
寄る kosan (複数 kosap) (新): [他](場
所)から寄る osan (複数 osap) (新):
[他](原因、手段)で寄る osan (複数 osap)
(新): ③(何処かへ移動する途中に寄る
事)(表現)途中で寄る ruhontom (rutom) ta
+状況に応じて oman (複数 paye)、ek (複
数 arki)、san (複数 sap)、yan (複数 yap)
など (石狩): 「途中私の所に寄って下さい
ね。」 “Ruhontom ta en=ekota arki wa
en=kore yan!»: (表現)途中で〜に寄る
ruhontom (hontom) ta+〜 otta, ekota(位
置名詞、場所名詞の後では ene、ta も可能)
+状況に応じて oman (複数 paye)、ek (複
数 arki)、san (複数 sap)、yan (複数 yap)
など (石狩): 「札幌へ行く途中で貴方の家
に寄るからね。」 “Sapporo ku=oman
ruhontom ta an=kor cise otta ku=oman

kusune na .”：(表現)～の途中で～に寄る hontom (長形 -o) ta+～ otta, ekota (位置名詞、場所名詞の後では ene, ta も可能)+状況に応じて oman (複数 paye), ek (複数 arki), san (複数 sap), yan (複数 yap) など (石狩)：「私達は交易に出かけたが、その途中で私達はある港に寄った。」“Uymam=as kusu repa=as ayke hontomo ta sine tomari ekota yap=as .”

よる(燃る) [他](糸)を燃る eka (石狩)：(表現)糸を燃る ka eka (石狩)：[他](人)に(糸)を燃らせる ekare (新)

よる(夜) ①(一日を昼夜に分けた時の)[名]夜 sirkunne (石狩)、[名] kunne (石狩)：(表現)夜になる kunne an (石狩)：[副]夜に kunne (石狩)：(表現)昼夜 kunne tokam (石狩)：(表現)夜も昼も kunne hene tokam (tokap) hene (石狩)：[完動]夜になる、夜である sirkunne (石狩、天塩)：②(日没から就寝までの時間帯を表し)[名]夜 sironuman (石狩)、[名] onuman (石狩)：(表現)夜になる onuman an (石狩)：[副]夜に onuman (石狩)：[完動]夜になる、夜である sironuman (石狩)：③(人が就寝して朝起きると常識的に考えられる、あるいは二晩三晩と数えられる時間帯を表し)[名]夜 ukuran (石狩)：(表現)三日三晩で re ukuran re to ne (石狩)：[副]夜に ukuran (石狩)：「その夜におじさんが夢を見たら…」“Ne ukuran acapo cinita awa …”(砂沢クラ)：[自]夜にいつまでも眠らない iantasare (幌別)：④(“ukuran”の時間帯に眠らない場合の)[名・副]夜 ancikar (石狩)：(表現)長い夜 tanne ancikar (天塩)：「…何日も何日も、夜の間に私は踊ったあげく…」“…iwan rerkor ancikar utur tapkar=as ayne…”(砂沢クラ)婦女詞曲：⑤(合成語の構成要素として)夜 an (石狩)：an+noski (の真ん中) → annoski 「真夜中」：[名]夜の寒気 taskur (石狩)、[名] kunne-taskur (新)

ヨルダン [場名](国名)ヨルダン・ハシミテ王国 Úrudun Hasimiya Yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(「アンマン」)：[場名](国名の通称として)ヨルダン Úrudun (新)：[名]ヨルダン人、国民 úrudununkur (新)

よれ(燃れ) ①[名](一つの)燃れ yom(-i) (新)：[名](複数の)燃れ燃れ yomyom(-i) (新)：②[他]～を燃れ燃れにする yompa (石狩)：“hankeyompa”、“túymayompa”と対で用いられ、子供などが縫い物をするのが下手なのであちこちに燃れ燃れを作る様を描写する (石狩)：「古ぼけている絹、掌程ある

物を私は近く燃れ燃れを作り、遠く燃れ燃れを作り…」“… u onne wa okay sarampe, tekkotor pakno okay pe an=hánkeyompa, an=túymayompa …”(杉村キナラブック)婦女詞曲：③[自]着物の燃れを直す iukotupu (新)：[他](着物)の燃れを直す ukotupu (石狩)「私はよく着物の燃れを直して帯をしめた。」“Pirkano cimikunip ku=ukotupu wa kut ku=kor .”

よろい(鎧) [名]鎧 hayokpe (石狩)：(表現)鎧を外す hayokpe ama (石狩)：(表現)鎧を身にまとう hayokpe mi (石狩)：(表現)鎧を緩める hayokpe osawsaw (石狩)

ヨロイアジ(鰹鮓)(魚介)[名](アジ科)ヨロイアジ属 hayokpeaji-cise (新)：[名]ヨロイアジ hayokpeaji (新)：[名]カイワリ seyperep (新)

よろいど(鎧戸) [名](窓を蔽う)鎧戸 puyar-oracita (新)

よろこぶ(喜ぶ) ①[自]喜ぶ kiroroan (複数 kiroorokay) (石狩)、[自] sirapi (沙流)：[他]～を喜ぶ ekiroroan (石狩)：[他](場所)で喜ぶ ekiroroan (新)：[他]～と共に喜ぶ kokiroroan (新)：[他](原因、手段)で喜ぶ okiroroan (新)：[他](人)を喜ばせる kiroroante (石狩)：[他](人)に(人)を喜ばせる kiroroantere (新)：[自]自分で一人で喜ぶ yaykiroroante (新)、[自] yaykokiroroan (新)：[自]喜び合う、皆で喜ぶ ukiroroante (石狩)、[自] ukokiroroan (新)：[自]思い切り喜ぶ toykokiroroan (新)、[自] raykiroroan (新)：[他]人に(人)を喜ばせる kiroroanteyar (新)：[他]人に自分を喜ばせる sikiroroanteyar (新)：(表現)喜んで kiroroan kane (石狩)、(表現) kiroroan tura(-no) (石狩)：「私は喜んで家に入った」“Ku=kiroroan kane cise oske ene ku=ahun . (=Kiroroan tura cise oske ene ku=ahun .)”：②[自](予想外、あるいは予想以上の事に)喜ぶ yaykopuntek (石狩)：[他](予想外、あるいは予想以上の物事に)喜ぶ eyaykopuntek (新)：[他](人)を喜ばせる yaykopuntekka (新)：[他](人)に(人)を喜ばせる yaykopuntekkare (新)：[自]喜び合う、皆で喜ぶ uyaykopuntekka (新)、[自] ukoyaykopuntek (新)：[自]思い切り喜ぶ toykoyaykopuntek (新)、[自] rayyaykopuntek (新)：[他]人に(人)を喜ばせる yaykopuntekkayar (新)：[他]人に自分を喜ばせる siyaykopuntekkayar (新)：③[副]喜んで yayrenka (石狩)、[副] yayrenkane (沙流)：「好きな男(ひと)が座っていたので、私は喜んでそばに跳ん

で行って挨拶した。」“Ku=erasasuy okkayo a wa an kusu yayrenka samake ku=osma wa ku=erankarap .”：④[自]("onono"と獲物のあった事を喜ぶ)喜びの声を上げる sikoyayrenka (石狩)： 今後は様々な場合に「喜びの声を上げる」事を指して用いていく。

よろめく [自]よろめく tetterke (石狩)： [他]～をよろめかせる tetterkere (新)

よろよろ [自]よろよろする otopotopo (石狩)

よわく(弱く) ①(壊れ易いという意味で)[自]弱くなる、弱い pewan (石狩)、[自] hapur (石狩)： [他]～を弱くする pewanka (pewante) (新)、[他] hapurka (hapure) (新)： [他](場所)で～を弱くする epewanka (epewante) (新)、[他] ehapurka (ehapure) (新)： [他]～と共に～を弱くする kopewanka (kopewante) (新)、[他] kohapurka (kohapure) (新)： [他](原因、手段)で～を弱くする opewanka (opewante) (新)、[他] ohapurka (ohapure) (新)： [他](人)に～を弱くさせる pewankare (pewantere) (新)、[他] hapurkare (hapurere) (新)： [副]弱く pewan(-no) (新)、[副] hapunno (hapur) (新)： ②(ある動作の程度、あるいは体や心に関して)[自]弱くなる、弱い hawke (石狩)： [他]～を弱くする hawkeka (hawkere) (新)： [他](人)に～を弱くさせる hawkekare (hawkerere) (新)： [副]弱く hawke(-no) (石狩)： ③(綱や紐の結び加減に関して)[自]弱くなる、弱い sawre (石狩)： [他]～を弱くする sawreka (sawrere) (新)： [他](人)に～を弱くさせる sawrekare (sawrerere) (新)： [副]弱く sawre(-no) (新)

よわむし(弱虫) [名]弱虫 ramusakpe (石狩)： (表現)弱虫 cikirasama (ureasama) retar pe (新)

よをあかす(夜を明かす) [自]夜を明かす rews (石狩)

よん(四) ①[名]四、四匹、四個など inep (石狩)： (表現)魚四匹 cep inep (新)： (表現)団子四個 sito inep (新)： [連体]四、四匹、四個の ine (石狩)： (表現)四匹の魚 ine cep (新)： (表現)四個の団子 ine sito (新)： [副]四匹で、四個に inepne (新)： [自](表現)四匹一組です、行動する inep-esinepne iki (新)： (表現)四匹一組で～する inep-esinepne ki (新)： (表現)～に四匹一組で～させる inep-esinepne kire (新)： [自]四匹、四個一組になる inep-esinepne (新)： [他]～を四匹、四個一組に

する inep-esinepneka (inep-esinepnere) (新)： ②[名・副] inesuy (新)

よんこう(四項) (言語)[名]四項 inesupop (新)： [自]四項である inesupopkor (新)： [名]四項動詞 inesupopkor-moykeitak (新)、[名] inesupopkorpe (新)

よんじゅう(四十) ①[名]四十人 tuhotnen (新)： ②[名]四十匹、四十個、四十歳など tuhotnep (新)、[名] tuhot (新)： ③[連体]四十の tuhotne (新)： (表現)四十人の女性 tuhotne menoko (新)： (表現)四十匹の魚 tuhotne cep (新)： (表現)四十年、歳 tuhotne pa (新)

よんぶんのいち(四分の一)(表現)(数学で)四分の一 inepne an=pere p otta an sinep (新)： (表現)(一つのものの)四分の一 pon emko (石狩)

ラース・アルハイマ [場名](アラブ首長国連邦の首長国名)ラース・アルハイマ Ras-arxayma (新)

ラーテル (動物)[名](イタチ科)ラーテル亜科 soyatopempee-saciri-moapa (新)： [名]ラーテル属 soyatopempee-saciri-cise (新)： [名]ラーテル soyatopempee-saciri (新)※(別名「ミツアナグマ」)

ラーゆ(辣油) [名]辣油 parkassum (新)、[名] carkassum (新)

らいうん(雷雲) [名]雷雲 kamuynis (石狩)、[名] kamuyniskur (石狩)、[名] kamuysinis (石狩)

ライオン (動物)[名](ヒョウ属)ライオン réo (新)※(羅語)： 亜種[名]アンゴラライオン angoraun-reo (新)： [名]インドライオン aziaun-reo (新)、[名] yayturairamante-reo (新)： [名]ケープライオン kápeun-reo (新)※(絶滅)： [名]セネガルライオン senegarun-reo (新)： [名]トランスバールライオン toransuvaarun-reo (新)： [名]バーバリライオン síreo (新)： [名]マサイライオン kenia-reo (新)： [名]ヨーロッパライオン europaun-reo (新)※(絶滅)

らいげつ(来月) [名]来月 asinnoekcup (石狩)、[名] ósiekcup (ósekcup) (石狩)

らいこう(来航) [自]来航 orepun (新)： (表現)来航 cipo wa ek (複数 arki) (新)

らいこう(雷光) [名]雷光 imeru (石狩)

らいしゅう(来週) [名]来週 ósiektosay (新)

らいじん(雷神) [名]雷神 kannakamuy (石狩)

ライター [名]ライター cikisap (新)： (表現)ライターで煙草に火を点ける cikisap ani tampaku eapeare (新)： (表現)ライターを点火しようとする cikisap kisa (新)

ライチー →「レイシ(荔枝)」を見よ

らいねん(来年) [場名・副]来年 oyapa (石狩)

らいひん(来賓) [名]来賓 marapto (maratto) (石狩): (表現)来賓の挨拶 marapto ierankarap (新)

ライフリング [名]ライフリング puspenay(-e) (新)

らいほう(来訪) [自]来訪する ek (複数 arki) (石狩): (表現)急に、不意に来訪する ekuskono (ekuskonno) ek (複数 arki) (新): [自]自分の来訪を音をたてて知らせる sihumnuyar (sihumnar) (石狩)

らいめい(雷鳴) [名]雷鳴 kamuyhum (石狩): (表現)雷鳴がする kamuyhum as (石狩): [名]カラカラ稲光を伴う雷鳴 kuttarkamuyhum (石狩): [名]ゴロゴロと重く続く雷鳴 pasekamuyhum (石狩): [自](雷鳴が)バリッとする yaskosanu (石狩)、[自] yaskosampa (沙流): [自](雷鳴が)バリバリとたて続けにする ciyasrototo (新)、[自] yasrototke (沙流): (表現)天が(空が)重く響き渡る kantokotor (niskotor) tununitara (石狩)

ライン ①[名](地名)ライン川 Rénus-pet (新)※(羅語)、[名] Ráin-pet (新)、[名] Réin-pet (新)※(独語): ②[場名](地名)ライン諸島 Ráin-usapoysir (新)、[名] Ríne-usapoysir (新)※(中部太平洋に位置する島々)

ラエフォティス (動物)[名](ヒナコウモリ科)ラエフォティス属 de-winton-kisaratannekapap-cise (新): [名]ウィントンミミナガコウモリ de-winton-kisaratannekapap (新): [名]ナミビアミミナガコウモリ nambiaun-kisaratannekapap (新): [名]ラエフォティス・アンゴレンシス angoraun-kisaratannekapap (新): [名]L. ボツワナエ botwanaun-kisaratannekapap (新)

ラオス [場名](国名)ラオス人民民主主義共和国 Ráo Utarikor Urekasapte Ukotankoremosir (新)※(州都は「ビエンチャン」): [固名](国名の通称として)ラオス Ráo Ukotankoremosir (新): [名]ラオス人、ラオス国民 ráomosirunkur (新): [名]ラーオ族 ráokur (新): [名]ラオス語(ラーオ語) ráoitak (新): [名]ラオス文字(ラーオ文字) ráoitak-itokpa (新)

ラカンカ(羅漢果)(植物)[名](ウリ科)ラカンカ属 rakankapunkar-cise (新): [名]ラカンカの茎 rakankapunkar (新)、[名]ラカンカの果実 rakanka (新)※(日本語)

らくがん(落雁) [名](菓子の名)落雁 arakko (新)※(八雲)

ラクダ(駱駝) (動物)[場名](鯨偶蹄目)ラクダ亜

目 rakuda-mokotan (新): [名]ラクダ科 rakuda-apa (新): [名]ラクダ属 rakuda-cise (新): [名]キヤマ kama (新)※(ヒトコブラクダとラマの雑種): [名]ヒトコブラクダ sinetokomkonrakuda (新): [名]フタコブラクダ tutokomkonrakuda (新): [名]プフト buxto (新)※(ヒトコブラクダとフタコブラクダの雑種): [名]ビクーニャ属 vikunia-cise (新): [名]ラマ属 rama-cise (新)

らくよう(落葉) [自]落葉する hamranke (新): [名]落葉樹 hamrankeni (新): [名]落葉樹林 hamranke-nitay (新): ラクヨウキノコ → 「ハナイグチ(花猪口)」を見よ。

ラクヨウキノコ(落葉茸) (菌類、きのこ)[名](ハナイグチの別名として)ラクヨウキノコ yayankarus (新)

らくらい(落雷) (表現)落雷する kamuy onisposo (石狩)

ラケット [名]ラケット raket (新)※(英語)

ラゴス ①[場名](ナイジェリア連邦共和国の都市名)ラゴス Rágos (新)※(1976年まで首都): ②[場名]ラゴス島 Rágos-poysir (新)※(ラゴス市中心部になっている島の名。)

ラサ(拉薩) [場名](中華人民共和国が実効支配するチベットの首都名)ラサ Rása (新)

ラザホージウム (化学)[名]ラザホージウム ruterfordium (新)※(原子番号104番。元素記号 Rf)

らしい [接助](推定を表し)～らしく kotom (石狩)、[接助] kotomno (沙流): 「私は痩せたらしくこの服がだぶつく。」

“Ku=sattek kotom tan amip sawre kasuy.”: (表現)(推定を表し)～らしい 動詞句+kotom an (石狩): 「彼の妹は頭が良いらしい。」“Kor tures ramuan kotom an.”: (表現)(周囲の状況からの推定を表し)～らしい 動詞句+kotom siran (石狩): 「明日は晴れるらしい。」“Nisatta anakne sirpirka kotom siran.”: (表現)(感覚からの推定を表し)～らしい 動詞句+kotom human (新): 「風邪をひいたらしい。」

“Ku=omkekar a kotom human.”: [他](雅)～らしい kotom (石狩): (表現)(雅)～らしいけれど kotom korkayki (石狩)

ラジウム (化学)[名]ラジウム rádium (新)※(原子番号88番。元素記号 Ra)

ラジオ [名]ラジオ放送 ituymainure (新)、[名] ramatunkisasso-oasurpuni (新)、[名] cinusupop-oasurpuni (新)、[名] radio (新)※(英語): [自]ラジオ放送をする ituymainure (新)、[自] ramatunkisasso-

oasurpuni (複数・oasurpumpa) (新)、[自] cinusupop-oasurpuni (複数・oasurpumpa) (新): [他] ~をラジオ放送する ituymanure (新)、[他] eramutunkisasso-oasurpuni (複数・oasurpumpa) (新)、[他] ecinusupop-oasurpuni (複数・oasurpumpa) (新): [場名] ラジオ会社 ituymainure-tomisapusi (ituymainure-uipereusi) (新)、[場名] ramatunkisasso-oasurpumpa-tomisapusi (-uipereusi) (新)、[場名] cinusupop-oasurpumpa-tomisapusi (-uipereusi) (新): [場名] ラジオ局 ituymainureusi (新)、[場名] ramatunkisasso-oasurpumpausi (新)、[場名] cinusupop-oasurpumpausi (新): [名] ラジオ受信機 ituymainurep (新)、[名] ciotuymainup (新)、[名] ramatunkisasso (ramatunkisarso) (新)、[名] cinusupop (新)、[名] radio (新)※(英語): [名] ラジオ番組 cituymanup (新)

ラスベガス [場名] (アメリカ合衆国ネバダ州の都市名) ラスベガス Rasvegas (新)

ラスボラ ①(魚介)[名](コイ科)ラスボラ亜科 rasbora-moapa (新): [名] ラスボラ属 rasbora-cise (新): [名] アイスボット・ラスボラ pétamanesikinu-rasbora (新): [名] ブルーアイ・ラスボラ sikiaosiwnin-rasbora (新) ※(アイスボット・ラスボラの亜種。): [名] 金線ラスボラ atkocisutuhurekonkani-rasbora (新): [名] シザースティール・ラスボラ oituyekanine-rasbora (新): [名] ラスボラ・アイントベニー mikerasbora (新): [名] ラスボラ・アギリス konkaniruun-rasbora (新): [名] ラスボラ・エレガンス tukunnekeso-rasbora (新): [名] ラスボラ・カロクロマ porokunnekeso-rasbora (新): [名] ラスボラ・スピロセルカ ponoytuyene-rasbora (新): [名] ラスボラ・ダニコニウス kunnerukus-rasbora (新): [名] ラスボラ・バンカネンシス retanrasbora (新): [名] ラスボラ・ブリタニ burittan-rasbora (新): [名] ラスボラ・ルブロードーサリス atkocisutuhure-rasbora (新): [名] レッドライン・ラスボラ húruruun-rasbora (新): ②[名] オイカワ属 oikawa-cise (新): [名] カワバタモロコ属 kinjako-cise (新): [名] カワムツ属 petmuţu-cise (新): [名] スンダダニオ属 sundadanio-cise (新): [名] ダニオ属 danio-cise (新): [名] タニクチス属 taniktis-cise (新): [名] トリゴノスティグマ属 bacinokao-ceppo-cise (新): [名] ハス属 hasu-cise (新): [名]

ヒナモロコ属 hukuoka-rasbora-cise (新): [名] ボララス属 boraras-cise (新): [名] ミクロラスボラ属 mikrorasbora-cise (新)

らたい(裸体) (表現)裸体 atusa sir(-i) (石狩)、[名] atusa netopa(-ke) (新)

らっか(落下) →「おちる(落ちる)」、「おとす(落とす)」を見よ

らっかせい(落花生) (植物)[名] 落花生の果実、種子 kantomame (八雲): [名] 殻と皮を取り去った種子 pinat (新)※(英語)

ラッコ (動物)[名] (カワウソ亜科)ラッコ属 rakko-cise (新): [名] ラッコ rakko (石狩): 亜種 [名] アジアラッコ sirakko (新): [名] アラスカラッコ samorun-rakko (新): [名] カリフォルニアラッコ karifonnianun-rakko (新)

ラッパ(喇叭) [名] ラッパ rappa (新)※(日本語)

ラドガ [場名] (地名)ラドガ湖 Rádoga-to (新)※(フィンランドとの国境に近いロシア連邦領にある湖)

ラトビア [場名] (国名)ラトビア共和国 Ratviya Ukotankoremosir (新)※(首都は「リガ」): [場名] (国名の通称として)ラトビア Ratviya (新): [名] ラトヴィア人、国民 ratviyaunkur (新): [名] ラトヴィア人、民族 ratvieskur (新): [名] ラトヴィア語 ratviesitak (新): (歴史)[場名] (旧ソ連邦の構成国名)ラトビア・ソビエト社会主義共和国 Ratviya Soviet Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1940-1941年)

ラドン (化学)[名] ラドン radon (新)※(原子番号86番。元素記号 Rn)

ラノリン [名] ラノリン ránorin (新)※(ウールオイルを精製したもの。英語)

ラバ(驢馬) (動物)[名] ラバ ummaunukorpe (新)※(雄驢馬と雌馬の雑種。逆は「ケッテイ(駄驢)」)

ラパス [場名] (ボリヴィア共和国の事実上の首都名)ラパス Rapas (新)

ラバト [場名] (モロッコ王国の首都名)ラバト Rabat (新)

ラピスラズリ [名] ラピスラズリ rápisrazuri (新)

ラプテフ [名] (地名)ラプテフ海 Raptefutaratuy (新)※(北極海の一部でロシア連邦領のタミル半島、セベルナヤゼムリヤ諸島、ユーラシア大陸に囲まれた海)

ラブホテル [名] ラブホテル aynumintar (新)

ラプラタ [名] (地名)ラプラタ川 Rápuratapet (新)※(西語)、[名] Puratapet (新)※

(葡語)
ラプラタカワイルカ(ラプラタ河海豚)(動物)
 [名](アマゾンカワイルカ上科)ラプラタカワイルカ科 *rápurata-petoruntannu-apa* (新): [名]ラプラタカワイルカ属 *rápurata-petoruntannu-cise* (新): [名]ラプラタカワイルカ *rápurata-petoruntannu* (新)
ラブラドル [名](地名)ラブラドル半島 *Ráburador-sirekanray* (新)
ラベオ (魚介)[名](コイ科)ラベオ亜科 *rabeo-moapa* (新)※(学名): [名]ラベオ属 *rabeo-cise* (新): [名]エパルゼオリンコス属 *kiyaymokrpnup-cise* (新): [名]ガラ属 *gara-cise* (新): [名]ケンヒー属 *cirhinus-cise* (新): [名]バンガナ属 *bangana-cise* (新)
ラマ (動物)[名](ラクダ科)ラマ属 *ráma-cise* (新): [名]ラマ *ráma* (新): [名]グアナコ *guanako* (新)
ラムート [名](「エヴェン人」の旧称)ラムート人 *ramut* (新): [名](「エヴェン語」の旧称)ラムート語 *ramucitak* (新)
ラモンノキ(ラモンの木) (植物)[名](クワ科)ブロシムム属 *ramonni-cise* (新): [名]ラモンノキの茎 *ramonni* (新)、[名]その果実 *ramonop* (新): [名]その種子 *ramon* (新): [名]ブロシムム・ウティレの茎 *tópe-ramonni* (新)※(乳ラモンの木)
らよう(裸蛹) [名](虫の)裸蛹 *eruseykorpo* (新)
らんかく(乱獲) [自]乱獲する *ietarkakoyki* (新): [他]～を乱獲する *etarkakoyki* (新): [他](人)に～を乱獲させる *etarkakoykire* (新)
らんかん(欄干) [名]欄干 *tek(-e)* (石狩): (表現)橋の欄干 *riwka teke* (新)
らんぎり(乱切り) [自]乱切りにする *etarkatuye* (複数 *etarkatuyypa*) (新)
ラングーン[場名](ミャンマー連邦の都市「ヤンゴン」の旧名)ラングーン *Rangun* (新)※(ビルマ連邦、ビルマ連邦社会主義共和国時代の首都。1989年に「ヤンゴン」と改称)
らんし(卵子) [名]卵子 *nokpo* (新)
ランシュウ(蘭州)[場名](中華人民共和国甘粛省の省都名)蘭州 *Rantow* (新)
ランシング[場名](アメリカ合衆国のミシガン州の州都名)ランシング *Lanšingu* (新)
らんぞう(乱造) [自]物を乱造する *ietarkakar* (新): [他]～を乱造する *etarkakar* (新): [他](人)に～を乱造させる *etarkakare* (新)
ランタン (化学)[名]ランタン *rantanum* (新)※(原子番号57番。元素記号 *La*)

ランプ [名]ランプ *repunratcako* (新)
ランブータン (植物)[名](ムクロジ科)ランブータン属 *rambutanni-cise* (新): [名]ランブータンの茎 *rambutanni* (新): ランブータンの果実 *rambutan* (新): [名]シャオズ(韶子)の茎 *śáoazuni* (新): [名]シャオズの果実 *śáoazu* (新)
らんもん(卵門) [名](虫の卵の)卵門 *mapiapa* (新)
らんらん(爛々) [自](目が)爛々とする *parparse* (新)、[自](雅) *ekoparparse* (石狩)
らんりよくしよく(藍緑色) [名]藍緑色 *atuywakka-iro* (新)
リーグ [名](スポーツ用語として)リーグ *rig* (新)※(英語): [名]リーグ戦 *rig-tumi* (新)、[名] *rig-tounnamento* (新)
リース [名]リース *apappo-sapaumpe* (新)、[名] *nonno-sapaumpe* (新)、[名] *korona* (新)※(羅語"corona")
リードバック (動物)[名](ウシ科)リードバック属 *redunka-cise* (新): [名]リードバック *koypokun-redunka* (新): [名]ボホールリードバック *yayan-redunka* (新): [名]マウンテンリードバック *kimun-redunka* (新): [名]ウォーターバック属 *kóbus-cise* (新)
リーブルビル [場名](ガボン共和国の首都名)リーブルヴィル *Ríburvir* (新)
リーボック (動物)[名](ウシ科)リーボック属 *perea-cise* (新): [名]リーボック *perea* (新)※(学名)、[名] *manaus-yukpeko* (新)※(灰色の羚羊)
リーワード [場名](地名)リーワード諸島 *Ríwardo-usapoysir* (新)
リオデジャネイロ [場名](ブラジル連邦共和国の州名)リオデジャネイロ州 *Ríodejaneyro-mosir* (新): [場名](リオデジャネイロ州の州都名)リオデジャネイロ *Ríodejaneyro* (新)※(ブラジル帝国、及び1960年までのブラジル連邦共和国の首都)
リガ [場名](ラトヴィア共和国の首都)リガ *Rīga* (新)
りかい(理解) [自]物事を理解する *ieraman* (*ieramuan*)(複数 *ieramuokay*) (新): [他]～を理解する *eraman* (*eramuan*)(複数 *eramuokay*) (石狩)※(他動詞だが、単複は主語の数による。但し複数形はほとんど使われなかった。また発音は普通"eraman")、[他](雅語) *koeraman* (*koerauman*) (石狩): [他](場所)で～を理解する *eeraman* (*eeramuan*)(複数 *eeramuokay*) (新): [他]～と共に～を理解する *koeraman* (*koeramuan*)(複数 *koeramuokay*) (新):

[他](原因、手段)で～を理解する oeraman (oeramuan)(複数 oeramuokay) (新): [他](人)に～を理解させる eramante (eramuante)(複数 eramuokayre) (新): [他]自分で、一人で～を理解する eraman (eramuan)(複数 eramuokay) (新): [他]互いに、皆で～を理解する eraman (eramuan)(複数 eramuokay) (新): [他]完全に～を理解する oareraman (oareraman)(複数 oareramuokay) (新): [他] areraman (areraman)(複数 areramuokay) (新): [他]充分に～を理解する eramanno (eramuanno)(複数 eramuokayno) (新): [他] eramannu (eramannu)(複数 eramuokaynu) (新): [他]本当に～を理解する sieraman (sieraman)(複数 sieramuokay) (新): [他]～をもの凄く理解する toykoeraman (toykoeramuan)(複数 toykoeramuokay) (新): [他]ひとりで～を理解する sikoeraman (sikoeramuan)(複数 sikoeramuokay) (新): [他]人に～を理解してもらおう eramayyar (eramuayyar)(複数 eramuokayyar) (新): [自]自分を理解する yayeraman (yayeraman)(複数 yayeramuokay) (新): [自]理解し合う ueraman (ueraman)(複数 ueramuokay) (新): ② [自]物事を理解しない ierampetek (新): [他]～を理解しない erampetek (石狩)、[他](雅語) koerampetek (石狩): [名]理解しない事 yayerampetekkorpe (石狩)、[名] cierampetekpe (新)

りかく(離格) (言語)[名]離格 ciehosip-rewke (新)

りく(陸) [場名]陸 ya (石狩)、[場名] yake (石狩): [自]陸に向く、陸に向かう eyaun (新)、[自] eyasi (新): [副]陸に向く、陸に eyaun (新)、[副] eyasi (石狩): [自]陸から向かってくる oyaun (新): [副]陸から oyaun (新)、[副] eyasiwa (石狩): [他]～を陸にぐっと上げる yaekatta (沙流): [連体]陸の、陸にある yaun (石狩): [連体](雅語として"repo"と対で)陸の、陸にある yao (石狩): (表現)("repo usat"「沖の灰」と対で用いられ)陸の熾 yao usat (石狩)

りくぐん(陸軍) [名]陸軍 mosiruntum (新)

りくせん(陸戦) [名]陸戦 mosirkatumi (新)

りくにあがる(陸に上がる) [自]陸に上がる yan (複数 yap) (石狩): [他](場所)の陸に上がる eyan (複数 eyap) (新)、[他] koyan (複数 koyap) (石狩): [他]～と共に

に陸に上がる koyan (複数 koyan) (新)、[他] turayan (複数 turayap) (新): (表現)～と共に陸に上がる tura wa yan (複数 yap) (石狩)、(表現) tura(-no) yan (複数 yap) (石狩): [他](場所)から陸に上がる oyan (複数 oyap) (新): [他](原因、手段)で陸に上がる oyan (複数 oyap) (新): [自]さっと陸に上がる yantek (新)りくにあがる(陸に上がる)

りくにあげる(陸に上げる) [自]陸に上げる iyanke (複数 iyapte) (新): [他]～を陸に上げる yanke (複数 yapte) (石狩): [他](場所)の陸に～を上げる koyanke (複数 koyapte) (石狩): [他]～と共に～を陸に上げる koyanke (複数 koyapte) (新): [他](場所)から～を陸に上げる oyanke (複数 oyapte) (新): [他](原因、手段)で～を陸に上げる oyanke (新語 oyapte): [他]～をさっと陸に上げる yantekka (新)

りくにのりあげる(陸に乗り上げる) [自](舟)の舳先が陸に乗り上げる eyatomciw (石狩): [他](人)に(船)の舳先を陸に乗り上げさせる eyatomciwre (新): [他](中相)(船)の舳先が陸に乗り上がる cieyatomciwre (新)

りくによせる(陸に寄せる) [他]～を陸に寄せる yaoranke (石狩)、[他] yaoraye (石狩): (表現)(炉辺で炉中の熾を手前に寄せたり向こうにゆったりしながら物思いにふける様を表し)沖の熾を陸に寄せ、陸の熾を沖に寄せる repo usat yaoraye yao usat repoomante (石狩)、(表現) repo usat yaoraye yao usat reporaye (石狩)

りくはんきゅう(陸半球) [場名]陸半球 yausikaricup-emko (新)

りくろ(陸路) [名]陸路 mosinru(-we) (新): [名]陸路の難所 kamuycikusr (蝦夷記)

りこう(利口) [自]利口である ramuan (石狩)、[自] ramkor (天塩): [自]利口になる、である ramuankunne (新)、[自] ramkorkunne (新): [名]利口者 ramuankur (石狩)、[名] ramkorkur (新)

りこう(履行) (表現)契約を履行する uesere eoripak (新)、(表現) uesere sonno (sino) ki (新): (表現)(人)に契約を履行させる uesere eoripakte (新)、(表現) uesere sonno (sino) kiire (新)

りこん(離婚) [自]離婚する uosura (石狩)、[自] uosurpa (天塩): [他]～を離婚させる uosurare (uosurpare) (新): [他]～と離婚する osura (複数 osurpa) (石狩): [他](場所)で～と離婚する eosura (複数 eosurpa) (新): [他]～と共に～と離婚する koosura (複数 koosurpa) (新):

[他](原因、手段)で～と離婚する oosura (複数 oosurpa) (新): [他](人)に～と離婚させる osurare (複数 osurpare) (新): [他]人に～と離婚させる osurayar (複数形 osurpayar) (新)

りし(利子) [名]利子 kuwane-ikor (新)、[名] kuwanep (新)、[名] kuwa (新): (表現)～から利子を取る ～ kuwa kouk (新): (表現)～に利子をつける ～ kuwa etetere (沙流)

りしり(利尻) [場名](地名)利尻島 Rísir (新)
リスボン [場名](ポルトガル共和国の首都名)リスボン Risbon (新)

リズム [名]リズム koyrir (新)、[名] rir (新)※(漣)、[名] ritmos (新)※(希語)

りそく(利息) (表現)～に利息をつける ～ kuwa etetere (沙流)

リチウム (化学)[名]リチウム ritium (新)※(原子番号3番。元素記号 Li)

リッチモンド [場名](アメリカ合衆国バージニア州の州都名)リッチモンド Ricmondo (新)

りつどう(律動) [名]律動 koyrir (新)、[名] rir (新)※(漣)、[名] ritmos (新)※(希語)

リットル [名](体積の単位)リットル ritre (新)※(記号は"l")

りっぱ(立派) ①立派な物の形容に kamuy kosonte 「神の小袖(立派な小袖)」や káni sokkar 「金の敷物(立派な敷物)」のように kamuy 「神」や káni 「金」という言葉で、また什器では kaparpe itanki 「薄物の椀(立派な椀)」のように kaparpe 「薄物」で立派さを表現した。: ②(新しい言葉として)[自]立派になる、である pirka (石狩): [自]立派である sisak (石狩)、[自] attomno (新)※(ar-tomno 完全に・充分に輝く)、[自] attom (新)、[自] toytomno (新)※(toytomno ひどく・充分に輝く)、[自] toytom (新)、[自] toytotomno (新)、[自] derakus (新)※(英語)、[自] gójas (新)※(英語): ③(表現)(英雄に敗れた神がへり下って)～の立派なお背中に～がって守護する kamuyseremake us (石狩): 「…あなたの立派な背中に私がついて守護するつもりですよ…」 “… e=kamuyseremake an=ús kusune na …” (砂沢クラ)英雄詞曲: ④[他](神が)～で立派な神となる eyaykamuyner (石狩): 下の例に見られるように人に敬われ贈り物をされて、神はその国で立場を強める。そしてその礼として贈り物をしてくれた人を守ったり、幸を授けたりしてくれる。名の知られた神だけではなく普段生活する山や川、浦や道などの神へ酒の一滴、イナウの一本でも捧げれば、きっとそ

れらの神々は往古の力を取り戻し、アイヌの生活を守ってくれるだろう。: 「…私の奥方は喜んで神々を招き入れて、私の子供に彼(オタストゥンクル)が贈った色々な酒やら、色々な木幣やらで私は立派な神となった…」 “… an=kór katkemat kiroroan kor kamuy utar ahupte wa an=kor ekatci kore usa sake ne ciki usa inaw ne yakka an=eyaykamuyner …” (杉村キナラブック)神謡: ⑤[名]立派な女性 katkemat (石狩)、[名] moyremat (石狩): ⑥[名]立派な男性 nispa (石狩)、[名] sínonispa (石狩)

りっぽう(立法) (法)[名]立法 irenkakar (新): [自]立法する irenkakar (新): [他]～に関して立法する eirenkakar (新): [他](場所)で立法する、～の時に立法する eirenkakar (新): [他]～と共に立法する koirenkakar (新): [他](原因、手段)で立法する oirenkakar (新): [他](人)に立法させる irenkakare (新)

リトアニア [場名](国名)リトアニア共和国 Rietuva Ukotankoremosir (新)※(1918年独立を宣言し1920年「リトアニア共和国」として独立を達成するも、1940年にソ連邦に併合、1990年に再び独立を宣言、翌1991年9月6日ソ連邦の正式承認により再独立達成。首都は「ビリニユス」): [場名](国名の通称としての)リトアニア Rietuva (新): [名]リトアニア人、国民 rietuvaunkur (新): [名]リトアニア人、民族 ritoviskur (新): [名]リトアニア語 ritovisitak (新): (歴史)[場名](旧ソ連邦の構成国名)リトアニア・ソビエト社会主義共和国 Ritva Soviet Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1940-91年): (歴史)[場名](国名)リトアニア大公国 Rietuva Sínopurince-kormosir (新)※(12-14世紀。1386年以降ポーランド王国と同君連合(ポーランド・リトアニア連合)となる)

りとう(離島) [場名]離島 yaykiremosir (蝦夷記)

リトルロック [場名](アメリカ合衆国アーカンソー州の州都名)リトルロック Ritrerok (新)

りねん(理念) [名]理念 ramat(-ci) (新)

リバモリウム (化学)[名]リバモリウム rivermorium (新)※(原子番号116番。元素記号 Lv)

リビア [場名](国名)大リビア・アラブ社会主義人民ジャマーヒリーヤ国 Poro Ribiya Arabikor Ureskaussamun Utarikor Jamahiriya (新)※(首都は「トリポリ」): [場名](国名の通称として)リビア Ribiya

(新): [名]リビア人、国民 ribiyaunkur
 (新): (歴史)[場名](国名)社会主義人民リビア・アラブ国 Ureskaussamun Utarikor Ribiya Arabikor Mosir (新)※(1977-2004年)。「大リビア・アラブ社会主義人民ジャマーヒリーヤ国」と改称): (歴史)[場名](国名)リビア・アラブ共和国 Ribiya Arabikor Ukotankoremosir (新)※(1969-77年): (歴史)[場名](国名)リビア王国 Ribiya Yayokomosirkorkur-kormosir (新)※(1963-69年。クーデターにより国王退位): (歴史)[場名](国名)リビア連合王国 Ribiya Ukosineatki-mosirkorkur-kormosir (新)※(1951-63年。キレナイカ、トリポリタニア、フェッザーン三州の連合王国として成立。後に連邦制廃止)

リヒテンシュタイン [場名](国名)リヒテンシュタイン公国 Rixtenšutein Purincekormosir (新)※(首都は「ファドゥーツ」): [場名](国名の通称として)リヒテンシュタイン Rixtenšutein (新): [名]リヒテンシュタイン人、国民 rixtenšuteinunkur (新)

リフレイン [名]リフレイン sáke (新)

リベツク [場名](ロシア連邦中央連邦管区の構成主体名)リベツク州 Ripeťuk-purovince (新): [場名](リベツク州の州都名)リベツク Ripeťuk (新)

リベリア [場名](国名)リベリア共和国 Riberia Ukotankoremosir (新)※(首都は「モロンヴィア」): [場名](国名の通称として)リベリア Riberia (新): [名]リベリア人、国民 riberiaunkur (新)

リマ [場名](ペルー共和国の首都名)リマ Ríma (新)

リヤザン [場名](ロシア連邦中央連邦管区の構成主体名)リヤザン州 Riazani-purovince (新): [場名](リヤザン州の州都)リヤザン Riazani (新): (歴史)[場名](国名)リヤザン大公国 Riazani Sínodukekormosir (新)※(首都の「リヤザン」は1237年にモンゴルによって破壊され、「ペレスラブリ・リヤザンスキー」に遷都。1521年モスクワ大公国に併合される)

リヤド [場名](サウジアラビア王国の首都名)リヤド Riyado (新)

リヤル [名](イラン、イエメンなどの通貨単位)リヤル riyar (新)

リャンガンどう(両江道) [場名](朝鮮民主主義人民共和国の行政区名)両江道 Riangan-purovince (新)

りゆう(理由) ①[名]理由 moto (石狩): ②[自]理由がある motokor (新): (表現)理由が生じる、ある moto (motoho) an (新): [他]〜に理由をつける motokore

(新): [他]〜に関して理由がある motokor (motohokor) (新)、[他] emotokor (新): [副]理由があつて motokonno (新): [副]十分に理由があつて omotokonno (新): ③[自]理由を失っている、理由がない motosak (新): (表現)理由を失う、理由がない moto (motoho) isam (新): [他]〜に関して理由を失う、理由がない motosak (motohosak) (新)、[他] emotosak (新): [他]〜に理由を失わせる motosakka (新): [副]理由なしに motosakno (新): [副]全く理由がなく、理由もなく omotosakno (石狩): ④[自]理由を尋ねる uepekennu (石狩)、[自] moto-euepekennu (新): [他]〜について理由を尋ねる euepekennu (新)、[他] moto-euepekennu (motoho-euepekennu) (新)、[他] emoto-euepekennu (新): [他](人)に理由を尋ねる koueppekennu (新)、[他] komoto-euepekennu (新): [他](人)に理由を尋ねさせる moto-euepekennure (新): ⑤[自]理由を述べる motoye (新): [他]〜に関して理由を述べる motoye (motohoye) (新)、[他] emotoye (新): [他](人)に理由を述べる komotoye (新): [他](人)に理由を述べさせる motoyere (新): ⑥[自]理由を述べ知らせる uepeker (石狩)

りゅう(竜) [名]沼にすみ霊力の強い竜蛇 apesamtasomoaye-kamuy (名寄)、[名] rápuskamuy (名寄)、[名] hoyaw (H): [名](外国の昔話に出てくるもの) dóragon (新)

りゅういき(流域) [位名]〜の流域 hontom(長形-o) (石狩): [場名]川の流域 pethontom (pethontomo) (石狩)

りゅうがく(留学) [自]海外留学 repunkotan-eyaypakasnu (新): (表現)海外留学する repunkotan ta yaypakasnu (新): (表現)アメリカに留学する Amerika eyaypakasnu (Amerika ta yaypakasnu) (新)[他](人)を海外留学させる repunkotan-eyaypakasnure (新)

りゅうかぶつ(硫化物) (化学)[名]硫化物 iwawnep (新)

リュウガン(竜眼) (植物)[名](ムクロジ科)リュウガン属 ronganni-cise (新): [名]リュウガンの茎 ronganni (新): [名]リュウガンの果実 rongan (新)

りゅうきゅう(琉球) [場名](地名)琉球 Rucu (新)※(琉球語より): [名]琉球語 rucuunkur-itak (新): [名]琉球方言 rucuunkur-iporse (iposse) (新): (歴史)[場名]琉球王国 Rucu-mosirkorkurkormosir (新)

リュウキュウホラアナゴ(琉球洞穴子) (魚介)[名](ホラアナゴ科)リュウキュウホラアナゴ亜科 rucu-ohohamo-moapa (新): [名]リュウキュウホラアナゴ属 rucu-ohohamo-cise (新): [名]リュウキュウホラアナゴ rucu-ohohamo (新): [名]アサバホラアナゴ属 kapusikkamu-ohohamo (新): [名]アサバホラアナゴ kapusikkamu-ohohamo (新)※(旧称「メクラアナゴ」): [名]アトラクトデندنケリュス属 atraktodenxeriscise (新): [名]スルガアナゴ属 suruga-ohohamo-cise (新): [名]スルガアナゴ suruga-ohohamo (新): [名]テルモビオテス属 termobiotescise (新): [名]ヒレジロアナゴ属 rapiretar-ohohamo (新): [名]ヒレジロアナゴ rapiretar-ohohamo (新): [名]リンケンケリュス属 rinkexeriscise (新)

りゅうげん(流言) [名]流言飛語 pahaw(ε) (沙流)

りゅうこう(流行) ①(風俗、病気を問わず)[自]流行する ukotusse (ukoturuse) (新)※(天塩 "ukoturuse"): (表現)今流行のファッション tane ukotusse kane an fasion (新): [他](場所)で流行する eukotusse (eukoturuse) (新): [他](原因、手段)で流行する oukotusse (oukoturuse) (新): [他]～を流行させる ukotusseka (ukoturuseka) (新)、[他] oukotussere (oukotursere) (新): [自]すっかり流行する oarukotusse (oarukoturuse) (新): ②(病気に関して)[自]流行する sipirasa (石狩): [他]～を流行させる sipirasare (新)

りゅうこうせいかんぼう(流行性感冒) [名]流行性感冒 kamuyomke (幌別)、[名] omke-siyeye (沙流): [自]流行性感冒に罹る kamuyomkekar (新)、[自] omke-siyeye (新)

りゅうざん(流産) [自]流産する iocupposore (新): [他](人)を流産する ocupposore (石狩): [他](人)に(人)を流産させる ocupposorere (新)

りゅうし(粒子) [名]粒子 sínokannum (新)、[名] entopo (新)

りゅうず(竜頭) (鐘の部分名称)[名]竜頭 kamuyasapa (新)、[名] kamuypake (新)

りゅうすい(流水) (表現)流水 mom wakka (新)

りゅうせい(流星) [名]流星 hoyupunociw (天塩)、[名] matkoywak (蝦夷記)

りゅうち(留置) [自]人を留置する isiroreare (新): [他]～を留置する siroreare (新): [他]～に～を留置する esiroreare (新): [他]～と共に～を留置す

る kosioreare (新): [他](原因、手段)で～を留置する osiroreare (新): [他](人)に～を留置させる siroreare (新): [場名]留置所 isiroreareusi (新)

りゅうのう(竜脳) [名]竜脳 bonneor (新)※(英語)

りゅうひょう(流氷) [名]流氷 apu (天塩)

りゅうぼく(流木) ①[名](漂流中、あるいは岸に打ち上がった)流木 momni (石狩)、[名] net(-ci) (石狩): ②[名](岸に打ち上がった)流木 yapni (石狩): ③[名](薪にしたりする)乾いた流木 cini (石狩)

りゅうぼくだまり(流木溜り) ①[名](川や海岸の)流木溜り netcan(-i) (石狩、天塩): 川では魚の隠れ家になるため格好の漁場となった。そのため人口に作ったさしかけを道南部では"net"と呼び、また道東部では"puy"と呼んだという。また海岸に関しては流木が溜る入り江を"niomoy"、同じく港を"niotomari"と呼んだ事が地名より分る。: ②[名](川の)流木溜り emuy (天塩): 知里氏の地名アイヌ語小辞典には「川が塞がる程流木が溜まっている所」、「木が詰まって川が塞がり、それを除かねば舟も通れぬようになっている所」の説明がある。

リューマチ [名]リューマチ ponearka (石狩): [自]リューマチに罹る ponearka (新)

リュブリャナ [場名](スロヴェニア共和国の首都名)リュブリャナ Riuburiana (新)

りょう(漁) [名]漁 cepkoyki (石狩): [自]漁をする cepkoyki (石狩): [他](人)に漁をさせる cepkoykire (新): [自]海に漁に行く repun (石狩): [他](人)を海に漁に行かせる repunke (新)、[他] repunka (repunte) (新): [自]漁のために水辺に滞在する inun (石狩): [名]漁のため水辺に作る仮小屋 inun (石狩)※(婦女詞曲によれば海漁の場合に作る小屋は"kas"。)

りょう(利用) [自]ものを利用する ieiwanke (新): [自]人を利用する uneiwanke (新): [他]～を利用する eiwanke (石狩): [他](場所)で～を利用する eeiwanke (新): [他]～と共に～を利用する koeiwanke (新): [他](原因、目的)で～を利用する oeiwanke (新): [他](人)に～を利用させる eiwankere (新): [他]自分で、一人で～を利用する yaykoeiwanke (新): [他]互いに、皆で～を利用する ukoeiwanke (新): [他]完全に～を利用する oareiwanke (areiwanke) (新): [他]充分に～を利用する eiwankeno (eiwankenu) (新): [他]思い切り、むちゃくちゃ～を利用する、利用しまくる toykoeiwanke (新): [他](中相

～が利用される **cieiwanke** (新): [自]利用し合う **ueiwanke** (新): [名]利用者 **ieiwankekur** (新): (表現)～利用者 名詞 + **eiwankekur** (新): **intennet**(インターネット) + **eiwankekur** → **intennet-eiwankekur** 「インターネット利用者」

りよう(理容) [場名] 理容院、理容所 **sietuypausi** (新): [名] 理容室 **sietuypatumpu** (新): [名] 理容師 **ietuypakur** (新)

りよう(獵) [名] 獵 **iramante** (石狩)、[名] **iraye (irawe)** (石狩): [名] 獵の獲物 **iso** (石狩): [名] (交易品となる) 獵で授かった物 **isokip** (石狩): 「獵で授かった物が沢山あるので交易に行きます。」 **"Isokip poronno an kusu uymam=an kusune ."** (石山キツエ): [自] 獵をする **iramante** (石狩): [自] (特にクマなどの) 獵をする **iraye (irawe)** (石狩): [自] 山に獵に行く **kimun** (石狩): [自] 獵のため山歩きをする **kimuneapkas** (沙流)、[自] **ekimneapkas** (沙流): [名] 獵の神 **isoanikamuy** (旭川): [名] 獵に関わるヘビの神 **hasinawkamuy** (旭川)、[名] **hasinaukkamuy** (旭川): 気が早く、他の神より気付くのが早いという。人により山小屋を作った外に **"situmpekamuy"** と共に祀ったり、穴グマ獵の時には穴の前でこの神と **"mosirkorhuci"** 「山の神」に祈るという。: [名] 獵を司るフクロウの神 **hasinawkamuy** (空知): 旭川と異なりフクロウの神であるが、同じく穴グマ獵の際に穴の前でこの神に祈りクマへの献詞を伝えてもらうという。

りよう(量) [名] 量 **ioeramampe** (新)、[名] **ipakarioeramampe** (新)、[名] **rio** (新)※(日本語)

りようあし(両足) [名] 両足 **urencikir(-i)** (天塩): (表現) 両足 **uekari cikir(-i)** (石狩): (表現) 私の両足 **uekari ku=cikiri** (石狩): 今後は **"ku=uekari-cikiri"** という形も用いる。

りよううん(獵運) [自] 獵運がある、沢山の獲物に恵まれる **isoun (ison)** (石狩): [名] 獵運がある人 **isounkur (isonkur)** (石狩)

りようかた(両肩) [名] 両肩 **urenkukew(-e)** (新)、[名] **urentakup(-i)** (新): (表現) 両肩 **uekari kukew(-e)** (新)、(表現) **uekari takup(-i)** (新)

りようがわ(両側) [位名] ～の両側 **usam** (長形-a、-ake) (石狩): (表現) **uekari utossam** (長形-a、-ake) (石狩、天塩): **"utossam"** は石狩で「～のくっついた横」、天塩で「～に少し離れた横」を意味する。今後は石狩の意味を標準とする。

りようがん(両岸) [名] 両岸が高い崖の川 **naey** (永田地名解): [名] 両岸から崖が迫り川が狭

くなっている所 **nisey-utopoy(-e)** (天塩) **りょうく(獵区、漁区)** [名] 獵区、漁区 **iwor** (石狩): [名] 各家の獵区、漁区 **yaycaroykius** (天塩)

りょうし(漁師) [名] 漁師 **cepkoykikur** (石狩)

りょうし(獵師) [名] 獵師 **iramantekur** (新): [名] 獵の上手な人 **isounkur** (**isonkur**) (石狩): [名] 獵の下手な人 **rakasakkur** (石狩)

りょうじょく(凌辱) (表現) (雅) ～を凌辱する **mat upsooro sut upsooro ci-kokimaypa ~ ekarkar** (幌別): [他] ～を凌辱する **horamuorayke** (新)、[他] **horamuowente** (新)、[他] **rápe (réip)** (新)※(英語)

りょうしん(両親) [名] 両親 **ouske-utar(-i)** (天塩)、[名] **sinrit-utar(-i)** (天塩): (表現) 両親 **ona unu** (石狩): (表現) 私の両親 **ku=ona ku=unu** (**ku=onaha ku=unuhu**) (石狩)

りょうせい(両性) [名] 両性 **uren-hopuri** (新)、[名] **uekari-hopuri** (新): [自] 両性具有する **uren-hopurikor** (新)、[自] **uekari-hopurikor** (新)

リョウセイしょう(遼西省) [場名] (中華人民共和国にあった省名) 遼西省 **Riaosi-purovince** (新)※(1949-54)

りょうせいのく(両生類) [名] 両生類 **tuunikor-siknuputar** (新)

りょうて(両手) ① [名] 両手 **urentek(-e)** (天塩): (表現) 両手 **uekari tek(-e)** (石狩): (表現) 私の両手 **uekari ku=teke** (石狩)※(今後は **ku=uekari-teke** という表現も用いる): ② [自] ものを両手で持つ **iutekeani** (複数 **iutekeampa**) (新): [他] ～を両手で持つ **utekeani** (複数 **utekeampa**) (新): [他] (人) に～を両手で持たせる **utekeanire** (複数 **utekeampare**) (新): ③ [自] 人やものを両手で押さえる、支える **iutekekisma** (新): [他] ～を両手で押さえる、支える **utekekisma** (新): [他] (人) に～を両手で押さえさせる、支えさせる **utekekismare** (新): ④ [自] 人やものを両手で持ち上げる **iutekepuni** (複数 **iutekepumpa**) (新): [他] ～を両手で持ち上げる **utekepuni** (複数 **utekepumpa**) (新): [他] (人) に～を両手で持ち上げさせる **utekepunire** (複数 **utekepumpare**) (新)

りょうど(領土) [名] 領土 **iwor** (石狩)、[名] **mosirkor-iwor** (新): (表現) ～の領土 **~ kor mosir** (石狩)

リョウトウしょう(遼東省) [場名] (中華人民共和国にあった省名) 遼東省 **Riaoton-purovince** (新)※(1949-54)

リョウネいしょう(遼寧省)[場名](中華人民共和國の省名)遼寧省 Riao nin-purovince (新)

りょうば(獵場、漁場)[名]獵場、漁場 iwor (石狩): [名]各家の獵場、漁場 yaycaroykius (天塩)

りょうびん(両鬢)[名]両鬢 urenmoru (新): (表現)両鬢 uekari moru (新)

りょうほう(両方)[自](手、足といった対になったものを修飾し)両方の uekari (石狩、天塩): (表現)私の両手 uekari ku=teke (石狩): (表現)私の両足 uekari ku=cikiri (石狩): 今後は"ku=uekari-teke"などといった形も用いる。(表現)への両側 uekari utossam(長形-a、-ake) (石狩): [接頭]両方の uren- (石狩、天塩): (表現)私の両足 ku=urencikiri (天塩): [場名]両方の部分 userke (新)、[場名] uekariserke (新)、[場名] ureyserke (新)

りょうめ(両目)[名]両目 ureysik(i) (新)、[名] uekarisik(i) (新): (表現)両目 uekari sik(i) (新)

りょうめん(両面)[位名]への両面 ukotor(長形-o、-ke) (新)

りょうやく(良薬)[名]良薬 pirkakusuri (新)

りょうゆう(領有)[他]へを領有する、している kor (石狩): [他](場所)でへを領有する、している ekor (新): [他]へと共にへを領有する、している kokor (新): [他](原因、手段)でへを領有する、している okor (新): [他](人)にへを領有させる kóre (新)

りょうよく(両翼)[名]両翼 urentekcup(i) (新): (表現)両翼 uekari tekkup(i) (新)

りょうり(料理) ①[名](煮炊きしたもの以外を含む全般的な)料理 ipe (石狩): [名]アイヌ料理 aynuipe (石狩): [名]和食 sísamipe (名詞): ②[名](煮炊きした)料理 suke (石狩)、[名] (新): [名]料理する事 suke (石狩): 上手に料理する pirka suke ki (石狩): [自]料理する suke (石狩): [他]へを料理する esuke (新): [他](場所)で料理する esuke (新): [他]へのために料理する kosuke (新): [他]へと共に料理する kosuke (新): [他](原因、手段)で料理する osuke (新): [他](人)に料理させる sukere (新): [自]自分で、一人で料理する yaykosuke (新): [自]共に、皆で料理する ukosuke (新): [自]人に料理させる sukeyar (新): [他]人にへを料理させる esukeyar (新): [場名]料理学校 suke-eipakasnuusi (新): [場名]料理教室 suke-eupakasnuusi (新): [名]料理研究家 suke-yaykopekerkakur (suke-eyaykopekerekur) (新): [名]料理人

oassukekur (assukekur) (新): [名]料理用の衣服 sukeimi (石狩)

りょかん(旅館)[名]旅館 yanto (石狩)

りょきやく(旅客)[名]旅客 payekaykur (payokaykur) (新)、[名] cirurakunikur (cirurakur) (新): [名]旅客機 irurasinta (新): [名]旅客車 aynuosupop (新)

りょくか(緑化)[自]辺りを緑化する sissiwinka (sissiwinte) (新): [他]へを緑化する siwninka (siwninte) (新): [他](人)にへを緑化させる siwninkare (siwnintere) (新)

りょくしょう(緑青) ①緑青 sipop-hurekani (新): ②[自]緑青色になる、である húrekanisiwnin (新): [他]へを緑青色にする húrekanisiwninte (新): [名]緑青色 húrekanisiwnin-iro (新)

りょくち(緑地)[場名]緑地 siwninike (新)

りょくちや(緑茶)[名]緑茶の茶葉 siwninca (新): [名](飲料としての)緑茶 siwninca-usew (新)

リョクトウ(緑豆)(植物)[名](ササゲ属)リョクトウの莖葉 siwninantokikina (新)※(「八重生」とも): [名]リョクトウの種子(豆) siwninantoki (新)

りょこう(旅行)[名]旅行 omanan (新): [自]旅行する omanan (複数 payekay、payokay) (石狩): (表現)世界を旅行する aynumosir peka omanan (複数 payekay、payokay) (新): [他](場所)を旅行する eomanan (複数 epayekay、epayokay) (新): [他](場所)へ旅行する、へと共に旅行する koomanan (複数 kopayekay、kopayokay) (新): [他](原因、手段)で旅行する oomanan (複数 opayekay、opayokay) (新): [他](人)に旅行させる omanante (複数 payekayre、payokayre) (新): [自]自分で、一人で旅行する yaykoomanan (複数形 yaykopayekay、yaykopayokay) (新): [自]皆で旅行する ukopayekay (ukopayokay) (新): [自]旅行し ま く る toykopayekay (toykopayokay) (新)

リラ [名](イタリアなどで用いられた通貨単位)リラ ríra (新)

りりく(離陸)[自]離陸する sirehosi (sireosi) (新): [他](場所)へと離陸する esirehosi (esireosi) (新): [他](場所)から離陸する osirehosi (osireosi) (新): [他]へを離陸させる sirehosi (sireosi) (新): (表現)離陸準備をする sirehosi (sireosi) etokoyki (新)

リレー [自]リレーをする ieucaste (新)、

[自] ieupaste (新): [自]バケツリレーをする nituseucaste (新)、[自] nituseupaste (新)
リロード (PC) [自] リロードする ikannaomare (新)、[自] irirowdo (新): [他] ~をリロードする kannaiomare (新)、[他] rirowdo (新) ※(英語): [他](場所)で~をリロードする eikannaomare (新)、[他] erirowdo (新): [他] ~に~をリロードする kokannaomare (新)、[他] korirowdo (新): [他] ~と共に~をリロードする kokannaomare (新)、[他] korirowdo (新): [他](原因、手段)で~をリロードする okannaomare (新)、[他] orirowdo (新): [他](人)に~をリロードさせる kannaiomarere (新)、[他] rirowdore (新)
リロングウェ [場名](マラウイ共和国の首都名) リロングウェ Rirongue (新)
りん(厘) [名](古い日本の通貨単位) 厘 rin (新) ※(1 銭 = 10 厘)
リン(隣) (化学) [名] リン rin (新) ※(原子番号 15 番。元素記号 P): [名] 黄リン sikepepus-rin (新): [名] 紅リン nupurhure-rin (新): [名] 黒リン kunne-rin (新): [名] 紫リン pewrekinapeus-rin (新): [名] 赤リン hure-rin (新)
りんか(隣家) [名] 隣家 awuncise (石狩): [名] 自分の家の隣 atcise (新)、[名] sisoyuncise (新)
リンカーン [場名](アメリカ合衆国ネブラスカ州の州都名) リンカーン Rinkan (新)
りんき(愠気) [自] 人に愠気する inokosike (新): [他](人)に愠気する nokoske (石狩)、[他] nokoski (釧路)、[他] nukosiki (天塩): [他](人)に(人)に愠気させる nokoskere (新)
りんけい(鱗茎) [名] 鱗茎 ramramnit(-ci) (新): [名] ユリの鱗茎 ninookay (新)
りんこう(燐光) [名](腐った木の発する) 燐光 paskurape (天塩)
りんこう(輪光) [名] 輪光 nipeki-karip (新)、[名] sikari-nipeki (新)
りんじ(臨時) [自] 臨時である ietokooyki (新): [副] 臨時に ietokooykino (新)
りんしょう(輪唱) [名] 輪唱 ukouk (石狩): [他] ~を輪唱する ukouk (複数 ukouyna) (石狩): (表現) 歌を輪唱する upopo ukouk (新): [名] 輪唱する歌 ukouk-upopo (石狩)
りんしょく(吝嗇) [名] 吝嗇 toykoieunara (toykoieunara) (新)、[名] toykoiniskupa (新)、[名] toykoiecikari (新): [名] 吝嗇家 toykoieunarakur (toykoieunarakur) (新)、

[名] toykoiniskupakur (新)、[名] toykoiecikarikur (新)
りんじん(隣人) [名] 隣人 awtaankur (awtankur) (石狩)、[名] áwunkur (八雲): 抽象的な意味にも用いる。: [名] 自分の隣家に住む人 atcisetaankur (天塩)、[名] sisoytaankur (新)
りんせつ(隣接) ①(現実的あるいは心理的に近くになにかがある所) [位名] ~の隣接地 teksam(長形-a、-ake) (石狩)、[位名] tessam(長形-a、-ake) (石狩)、[位名] (雅) tekisama(長形-a、-ake) (石狩): [位名] ~が隣接する所 uteksam(長形-a、-ake) (石狩): [位名] ~が互いに隣接する地 uteksam(長形-a、-ake) (石狩): ②(建物が並んで建っている所) [場名] 隣接した所 usoy (石狩): [自] 隣接している usoyun (石狩): (表現) 隣接した家 usoyun cise (石狩)
りんぱせんしゅ(淋巴腺腫) [名] 淋巴腺腫 nin(-i) (石狩)
りんびょう(淋病) [自] 淋病に罹る oyenu (新): [他](人)を淋病に罹らせる oyenure (新)
リンボク(隣木) (植物) [名] リンボクの茎 ramramusni (新) ※(石炭紀に栄えたシダ類の化石植物)
リンボク(隣木) (植物) [名] (サクラ属) リンボクの茎 hiiragi-kapupitani (新) ※(別名「ヒイラギガン」)
ルアンダ [場名](アンゴラ共和国の首都名) ルアンダ Ruanda (新)
るいじ(類似) [名] 類似、類似点 unenoani (新): [名] 類似品 unenoampe (新): (表現) 類似している uneno an (石狩): (表現) ~に類似している neno an (石狩)
ルイジアナ [場名](アメリカ合衆国の州名) ルイジアナ州 Ruiziana-mosir (新) ※(州都は「バトンルーージュ」)
るいじょう(累乗) (数学) [名] 累乗 sinecipiskip-suyukotama (新)、[名] sinecipiskipsuyka (新)
ルイベ [名] 凍らせた魚のルイベ ruype (石狩)
ルイヨウボタン(類葉牡丹) (植物) [名] (メギ科) ルイヨウボタン属 potanhamusmun-cise (新): [名] ルイヨウボタンの茎葉 potanhamusmun (新): [名] カウロフィルム・ギガンテウムの茎葉 poro-potanhamusmun (新): [名] C. サリクトロイデスの茎葉 amerika-potanhamusmun (新)
ルーセットオオコウモリ(ルーセット大蝙蝠) (動物) [名] (オオコウモリ科) ルーセットオオ

コウモリ亜科 rousette-sikapap-moapa (新): [名]ルーセットオオコウモリ属 rousette-sikapap-cise (新): [名]ルーセットオオコウモリ亜属 rousette-sikapap-mocise [名]: [名]エジプトルーセットオオコウモリ misruun-roussette-sikapap (新): [名]ケナガルーセットオオコウモリ numatanne-roussette-sikapap (新): [名]コモロルーセットオオコウモリ komoroun-roussette-sikapap (新): [名]ジェフロルーセットオオコウモリ geofroy-roussette-sikapap (新): [名]セレベスルーセットオオコウモリ surawesiun-rousettesikapap (新): [名]デマレルーセットオオコウモリ résenaurto-roussette-sikapap (新): [名]マダガスカルルーセットオオコウモリ madagaśikaraun-roussette-sikapap (新): [名]キタセレベスオオコウモリ亜属 koykasurawesiun-sikapap-mocise (新): [名]キタセレベスオオコウモリ koykasurawesiun-sikapap (新): [名]ヨアケオオコウモリ属 nisatcao-sikapap-cise (新)

ルーブル [名](ロシア連邦などの通貨単位)ルーブル rúburi (新)※(1ルーブル=100コペイカ)

ルーマニア [場名](国名)ルーマニア Romania (新)※(首都は「ブカレスト」): [名]ルーマニア人、国民 romuniaunkur (新): [名]ルーマニア人、民族 romunkur (新): [名]ルーマニア語 romunitak (新): (歴史)[場名](国名)ルーマニア社会主義共和国 Romania Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1965-89年): (歴史)[場名](国名)ルーマニア人民共和国 Romania Utarikor Ukotankoremosir (新)※(1947-65年)

ルクセンブルク [場名](国名)ルクセンブルク大公国 Ruksemburuk Sínodukekormosir (新)※(首都は「ルクセンブルグ」): [場名](ルクセンブルク大公国の首都名)ルクセンブルク Ruksemburuk (新): [名]ルクセンブルク人、国民 ruksenburuk-unkur (新): [名]ルクセンブルク語 ruksenmburuk-itak (新)

ルサカ [場名](ザンビア共和国の首都名)ルサカ Rusaka (新)

るす(留守) ①[場名](家などに)人がいない様子、留守 ohasir (石狩)、[場名] ohasirke (十勝): ②(表現)留守にする ohasir hoppa (沙流): [0動]留守になる、留守である síroha (幌別): [自](家などが)留守になる、である ohasinne (石狩): (表現)留守である ohasir an (沙流): [他](家などを)留

守にする ohasinneka (ohasinnere) (新): ③[名]留守番する事 ohasirun (新)、[名] ohasir-punkine (新): [名]留守番する人 ohasirunkur (新)、[名] ohasir-punkinekur (新): [自]留守番をする ohasirun (石狩)、[自] ohasir-punkine (新)、[自] cisehuye (八雲)、[自] sirhuye (八雲)、[自] ihuye (八雲): [他](場所)の留守番をする eohasirun (新): [他]〜と一緒に留守番をする koohasirun (新): [他](原因、手段)で留守番をする oohasirun (新): [他](人)に留守番をさせる ohasirunte (新)、[他] ohasir-epunkinere (新): [自]自分で、一人で留守番をする yaykoohasirun (新): [自]共に、皆で留守番をする ukoohasirun (新)

ルソン [場名](地名)ルソン島 Ruzon-poysir (新)

ルツ (聖書)[名](人名)ルツ Rut (新)※(ダビデの先祖のモアブ人女性): [名]ルツ記 Rut-kampisos (新)

ルテチウム (化学)[名]ルテチウム rutetium (新)※(原子番号71番。元素記号 Lu)

ルテニウム (化学)[名]ルテニウム rutenium (新)※(原子番号44番。元素記号 Ru)

ルヌーラ →「そうはんげつ(爪半月)」を見よ

ルビー [名]ルビー rubi (新)

ルピー [名](インドなどの通貨単位)ルピー rupi (新)

ルビジウム (化学)[名]ルビジウム rubidium (新)※(原子番号37番。元素記号 Rb)

るり(瑠璃) [名]瑠璃 ruri (新)※(日本語): [名]瑠璃色 ruriro (新): [自]瑠璃色になる、である ruriro (新)

ルリヒナギク(瑠璃雛菊) (植物)[名](キク科)ルリヒナギク属 mawkopirka-rapisrazuri-kikukina-cise (新)※(「フェリシア属」、「フェリキア属」とも): [名]ルリヒナギクの茎葉 mawkopirka-rapisrazuri-kikukina (新)、[名]その花 mawkopirka-rapisrazuri (新)※(別名「ブルーデージー」): [名]フェリシア・アモエナの茎葉 momawkopirka-rapisrazuri-kikukina (新): [名]フェリシア・エキナータの茎葉 rápusmawkopirka-rapisrazuri-kikukina (新): [名]フェリシア・フィリフォリアの茎葉 iwamawkopirka-rapisrazuri-kikukina (新): [名]フェリシア・ヘテロフィラの茎葉 simawkopirka-rapisrazuri-kikukina (新)

ルワンダ [場名](国名)ルワンダ共和国 Ruwanda Ukotankoremosir (新)※(首都は「キガリ」): [場名](国名の通称として)ルワンダ Ruwanda (新): [名]ルワンダ人、国民 ruwandaunkur (新): [名]ルワンダ語

ruwanda-itak (新)

ルンディ [名]ルンディ語 rundi-itak (新)

※(バントゥー語群の言語。ブルンジ共和国の公用語)

れい(例) ①(実例)[名]例 ciiosankep (新)、[名] ciiorosankep (新)、[名] eksampure (新)
※(英語): 「アイヌ語には0項動詞があつて、例を一つ挙げれば『sirpirka』というのがある。」 “Aynuitak otta supopsak-moykeitak an wa ciiosankep sinep ku=sanke ciki ≪ sirpirka ≫ sekora an pe an .” : ②(隠語的に)[連体]例の ne (石狩)、[連体] néa (複数 nérok) (石狩)、[連体] néan (複数 néokay) (新): 「例の男達が来てるぞ。」 “Ne (Nérok, Néokay) okkayo utar arki wa okay na .” : [代名]例の場所 néani (石狩): 「明日例の場所で会おう。」 “Nisatta nani ta unukar=an rok !” : [代名] néaner (néanero) (新): 特定の後置詞などと共に用いる以外、主語、あるいは目的語としては“néaner”を用いるものとする。: 「お前の例の場所がとても固くなってるよ。」

“E=neanoro sonno niste wa .” : [代名]例の人 nékur (石狩)、[代名] néakur (石狩)、[代名] néankur (石狩)、[代名](雅) néwaankur (新): [代名]例の人達 néa-utar (石狩)、[代名] nérok-utar (石狩)、[代名] néan-utar (néokay-utar) (新)、[代名](雅) néwaan-utar (néwaokay-utar) (新): [代名]例の物 néap (石狩)、[代名] néampe (新)、[代名](雅) néwaampe (石狩)

れい(齢)(表現)三齢の幼虫 resuy sikapama a kikirpo (新)

れいき(冷氣) [名]冷氣 yammaw(-e) (新)

れいぎ(礼儀) ①[自]礼儀正しい、礼儀正しくする yaykatanu (石狩): [他](場所)で礼儀正しくする eyaykatanu (新): [他]〜に対して礼儀正しくする koyaykatanu (新): [他]〜と共に礼儀正しくする koyaykatanu (新): [他](原因、手段)で礼儀正しくする oyaykatanu (新): [他](人)に礼儀正しくさせる yaykatanure (新): [自]自分で、一人で礼儀正しくする yaykoyaykatanu (新): [自]互いに、皆礼儀正しくする ukoyaykatanu (新): ②[自]礼儀正しくない somoyaykatanu (新): [他](場所)で礼儀正しくない esomoyaykatanu (新): [他]〜に対して礼儀正しくない kosomo-yaykatanu (新): [他]〜と共に礼儀正しくない kosomo-yaykatanu (新): [他](原因、手段)で礼儀正しくない osomo-yaykatanu (新): [他](人)に礼儀正しくさせない somoyaykatanure (新):

[自]自分で、一人で礼儀正しくない yaykosomo-yaykatanu (新): [自]互いに、皆礼儀正しくない ukosomo-yaykatanu (新)

レイキャビーク [場名](アイスランド共和国の首都名)レイキャビーク Reykiavik (新)

レイクトラウト (魚介)[名](イワナ属)レイクトラウト amerikato-hurekeso (新)

れいけん(霊験) ①[自]霊験がある nupur (石狩): [自]霊験あらたかである sínupur (石狩): ②[自]霊験がない pan (石狩)、[自] can (天塩)

れいこん(靈魂) [名]靈魂 ramat(-ci) (石狩)、[名] kamuy (H)、[名](雅) pito (石狩)

れいざん(霊山) [場名]霊山 cinomisir (石狩)

れいし(霊視)(表現)〜の顔の前に…の姿を霊視する ~ nankotcake … esuyekar (石狩)

レイシ(荔枝)(植物)[名](ムクロジ科)レイシ属 ríciní-cuse (新): [名]レイシの茎 ríciní (新): [名]レイシの果実、ライチー rayci (新)、[名] rícinikaop (新)

れいしつぷ(冷湿布) [名]冷湿布 iyamkanimaw (iyamtenimaw) (新): [自]冷湿布をする iyamkanimawkar(iyamte-) (新): [他]〜に、〜を冷湿布する eiyamka-nimawkar (新): [他]〜と共に冷湿布する koyamkanimawkar (新): [他](原因、手段)で冷湿布する oiyamka-nimawkar (新): [他](人)に冷湿布させる iyamka-nimawkare (新)

れいしょう(冷笑)[自]人、物事を冷笑する iminaorara (新): [他]〜を冷笑する minaorara (新): [他]〜と共に〜を冷笑する kominaorara (新)[他](原因、手段)で〜を冷笑する minaorara (新): [他](人)に〜を冷笑させる minaorarare (新): [他]〜を一人で冷笑する yaykominaorara (新): [他]〜と共に、皆で冷笑する ukominaorara (新): [名]冷笑家 iminakorarakur (新)

れいすい(冷水) [名]冷水 yamwakka (石狩)、[名] yammakka (石狩)

れいせい(冷静) ①[自]人を冷静にさせる itomoitak (新): [連他](人)を冷静にさせる tomo-óitak (tom-óitak) (石狩): [他](人)に人を冷静にさせる itomoitakte (新): [自]冷静になる yaytomoitak (石狩): [自]互いに冷静になる、皆で冷静になる utomoitak (新): [自]人に自分を冷静にしてもらう sitomoitakar (sitomoitakyar) (新): ②[自]冷静に判断する、考える

kewtum-ositciwre (石狩): [他]~について冷静に判断する、考える ekewtum-ositciwre (新): [他](人)に冷静に判断させる、考えさせる kewtum-ositciwrere (新): ③[自]冷静さを失う kimatek (石狩)、[自]yaykimatekka (石狩): [他](人)に冷静さを失わせる kimatekka (石狩): [自]互いに、皆で冷静さを失う ukimatekka (新): [自]冷静さを失いわあわあ騒ぐ ukopop (美幌)

れいぞう(冷蔵) [自]物を冷蔵する iyammawkoama (新): [他]~を冷蔵する yammawkoama (新): [他](人)に~を冷蔵させる yammawkoamare (新): [名]冷蔵庫 iyamkasupop (新)、[名]iyamtesupop (新)

れいそうかん(礼装冠) [名]男性用の礼装用冠、サパウンペ sapaumpe (sapampe) (石狩): (表現)礼装冠を頭につける sapaumpe ani sapasina (石狩): (表現)礼装冠を被る sapaumpe kor (石狩): (表現)礼装冠を脱ぐ sapaumpe ama (石狩): [名]イナウル inaur (石狩): 石狩川筋で見ると"sapaumpe"と同じ物を指す場合もあるようだが、現在旭川では"inoka"を付けぬ簡単な作りの物を指して用いられるようである。

れいたい(冷帯) [名]冷帯 sirmeman-sisso (sirmeman-sirso) (新)

れいちょう(霊長)(動物)[名](哺乳綱)霊長目 nupursiknup-kotan (新)※(別名「サル目」): [場名]霊長類 nupursiknupso (nupussiknupso) (新)

レイテ [場名](地名)レイテ島 Reyte-poysir (新)※(ビサヤ諸島に属するフィリピン共和国領の島)

れいてん(礼典) (キリスト教)[名]礼典 ipurkokikunip (新)、[名]ordinanse (新)※(プロテスタント、英語)

れいとう(冷凍) [自]ものを冷凍する irupuska (新): [他]~を冷凍する rupuska (沙流): [他](場所)で~を冷凍する erupuska (新): [他]~と共に~を冷凍する korupuska (新): [他](原因、手段)で~を冷凍する orupuska (新): [他](人)に~を冷凍させる rupuskare (新): [他]完全に~を冷凍する oanrupuska (anrupuska) (新): [他]思い切り~冷凍する toykorupuska (新)、[他]rayrupuska (新): [他]~を急速冷凍する tunasrupuska (新): [他]~を瞬間冷凍する rupustekka (新): [自]全てを冷凍する urupuska (新): [名]冷凍食品 cirupuska-ipe (新)

レイトネリア(植物)[場名](古生花被植物亜科)レイトネリア目 korkusiwni-kotan (新): [名]レイトネリア科 korkusiwni-apa (新): [名]レイトネリア属 korkusiwnicise (新): [名]レイトネリア・フロリダナの茎 korkusiwni (新)※(コルク苦木): [名]ディディメレス科 madagašikarasupopneni-apa (新)

れいはい(礼拝) [自]神を礼拝する inomi (石狩)、[自]kamuynomi (石狩): [他](場所)で神を礼拝する einomi (新): [他]~と共に神を礼拝する koinomi (新): [他](原因、手段)で神を礼拝する oinomi (新): [他](人)に神を礼拝させる inomire (新): [自]自分で、一人で神を礼拝する yaykoinomi (新): [自]共に、皆で神を礼拝する ukoinomi (新): [自]心から神を礼拝する ramkoinomi (新): [他]~を礼拝する nomi (石狩): [他](場所)で~を礼拝する enomi (新): [他](人)に~を礼拝させる nomire (新): [他]人に~を礼拝させる nomiyar (新): [自]人に自分を礼拝させる sinomiyar (新): [場名]礼拝所 inomiusi (新)、[場名]cieinomiysi (新): [名]礼拝堂 inomiscise (新)、[名]cieinomicise (新)

レイヨウ(羚羊)(動物)[名]羚羊 yukpeko (新)、[名]antirope (新)※(仏語。牛科の動物の中でウシ亜科、ヤギ亜科を除いた総称)

れいらく(零落) [自]零落する yaywentere (石狩): [他](人)を零落させる yaywentere (新)

れいりよく(霊力)[名]霊力 nupur (新): [自]霊力が強くなる、強い nupur (石狩): [他]~の霊力を強める nupure (nupurka) (新): [名]霊力が強い人 nupurkur (石狩): (表現)霊力が強い女性 nupur menoko (石狩): [名](雅)霊力が非常に強い者 tusuno (石狩): [場名]霊力が強い所 nupurusi (新): [他]~の霊力を弱める cante (canka) (新)、[他]pante (panka) (新): [自]霊力がない tususak (石狩)

レインコート [名]レインコート kórur (新): 本来は言葉通り素材は蓑の葉だが、今後は関係なく使っていく。: (表現)レインコートを着る kórur mi (新): (表現)レインコートを脱ぐ kórur ama (新)

レーザー [名]電磁気学的に増幅された特殊な平行光線発生装置、レーザー ráser (新)※(英語の "laser < light amplification by stimulated emission of radiation" より。): [名]レーザー光線 rásercupkiay (新)

レーワルデン [場名](オランダ王国フリースラ

ント州の州名)レーワルデン Réwvarden (新)

れきし(歴史) ①(記述された)[名]歴史 cinuyeampe (新)、[名] historia (新)※(羅語): [自]歴史を記す ampenuye (新): [他]〜について歴史を記す eampenuye (新): [他](場所)で歴史を記す eampenuye (新): [他](場所)に歴史を記す koampenuye (新): [他]〜と共に歴史を記す koampenuye (新): [他](原因、手段)で歴史を記す oampenuye (新): [他](人)に歴史を記させる ampenuyere (新): ②(口承された)[名]歴史 ampe-eucaskuma(-eupaskuma) (新)、[名] ucaskuma (upaskuma) (石狩): [自]歴史を語る ampe-eucaskuma(-eupaskuma) (新)、[自] ucaskuma (upaskuma) (石狩): [他]〜について歴史を語る eampe-eucaskuma(-eupaskuma) (新)、[他] eucaskuma (石狩)、[他] eupaskuma (新): [他](人)に歴史を語る koampe-eucaskuma(-eupaskuma) (新)、[他] koucaskuma (石狩)、[他] koupaskuma (新): [他](原因、手段)で歴史を語る oampe-eucaskuma(-eupaskuma) (新)、[他] oucaskuma (oupaskuma) (新): [他](人)に歴史を語らせる ampe-eucaskumare(-eucaskumare) (新)、[他] ucaskumare (upaskumare) (新): [自]子供に歴史を語って聞かせる poucaskuma (石狩): [他]〜について子供に歴史を語って聞かせる poeucaskuma (石狩): ③①、②を含む広義の[名]歴史 huskoampe (新): (表現)歴史を捏造する huskoampe wente (新)

れきせい(瀝青) [名]瀝青 annumpe (新)※(黒膠)、[名] bitumen (新)※(羅語): [名]瀝青油 annumpesum (新)、[名] asfarto (asfatto) (新)、[名] bitumeysum (新)

れきだいし(歴代誌) (聖書)[名]歴代誌 Ciuturuterkerep (新)※(省略された物)、[名] Iwampakampis (新)※(六代誌)、[名] parareipomenon (新)※(希語)、[名] kuronika (新)※(羅語)

れきほう(暦法) [名]暦法 citoonukarpuri (新語)

レシーバー(銃の部品)[名]レシーバー puspetumam(-a) (新)

レジャイナ[場名](カナダのサスカチュワン州の州都名)レジャイナ Rejayna (新)

レソト[場名](国名)レソト王国 Resoto Yaykomosirkorkur-kormosir (新)※(首都は「マセル」): [場名](国名の通称として)レソト Resoto (新): [名]レソト人、国民 resotounkur (新): [名]ソト語 sotoitak

(新)

レタス(植物)[名](アキノノゲシ属)レタスの茎 imokore-hamikkew (新)、[名] retasikkew (新)、[名]レタスの葉 imokoreham (新)、[名] retas (新)※(英語): (品種)[名]カッティングレタスの葉 atuyya-imokoreham (新)、[名] atuyya-retas (新)※(別名「カキヂシャ」): [名]ステムレタスの茎 cieimohore-hamikkew (新)、[名] cierasikkew (新)※(別名「茎チシャ」): [名]立ちレタスの葉 keweri-imokoreham (新)、[名] keweri-retas (新): [名]ヘッドレタスの葉 mukkane-imokoreham (新)、[名] mukkane-retas (新)※(タマチシャ。「サラダナ」は"saratne-retas"): [名]リーフレタスの葉 piraske-imokoreham (新)、[名] piraske-retas (新)※(別名「葉チシャ」。「サニーレタス」は"húre-retas")

れつ(列)[名]列 ikir(-i) (石狩): (表現)開店を待っている人の列 ihokcise simaka hiterewa okay utar ikiri (新): [自]列になる、なっている ikinne (石狩): [他](場所)に列になる、なっている eikinne (石狩): (表現)門前に列をなす soyeasapa kotca eikinne (新): [他]〜と共に列になる、なっている koikinne (新): [他](原因、手段)で列になる、なっている oikinne (新): [他]〜を列にする ikinne (ikinneka) (新): [自]自分で列になる、なっている yaykoikinne (新): [自]共に、皆で列になる、なっている ukoikinne (新): [自]完全に列になる、なっている oarikinne (arikinne) (新): [他](中相)〜が列にさせる ciikinnere (ciikinneka) (新)

れつおうき(列王記)(聖書)[名]列王記 Mosirkorkurutar-kampis (新)

れつかいか(裂開果)(植物)[名]裂開果 makke-ikaop(-i) (新)

れっき(歴)[自]歴とした siroma (沙流): 「私は知らない人でも私達の文化を尊重してくれる人は誰でも、歴とした賓客として迎え入れる。」“Kuani anakne ku=eramuskare kur ne yakka nen ne yakka siroma marapto ne ku=ahunke ruwe ne.”

れっこ(劣弧)(数学)[名]劣弧 mokaripserke (新)

レッサーパンダ(動物)[名](イタチ上科)レッサーパンダ科 mékoteper-apa (新): [名]レッサーパンダ属 mékoteper-cise (新): [名]レッサーパンダ mékoteper (新)

れっしや(列車)[名]列車 ikinneanop (新)、[名] turein (新)※(英語)

レッド[自]レッドになる、である ret (新): [他]〜をレッドにする retka (réte) (新):

[名]レッド色 *ret-iro* (新)
れっとう(列島) [場名]列島 *ikinneapolis-i* (新)
れっぺん(裂片) [名](石や木など何か硬いものの)裂片 *ras(-u)* (石狩): [名](木や布などの)裂片 *yar(-i)* (石狩)
レディ [名]レディ *katkemat* (石狩)、[名] *rádi* (新)、[名] *reydi* (新)※(英語): [名]レディススーツ *katkemat-siyuk* (新): (表現)レディスアンドジェントルメン *nispa utar katkemat utar* (石狩)
レナ [名](地名)レナ川 *Réna-pet* (新)※(ロシア連邦領のシベリアを流れ北海に注ぐ川)
レニウム (化学)[名]レニウム *renium* (新)※(原子番号75番。元素記号 *Re*)
レニングラード [場名](ロシア連邦北西連邦管区の構成主体名)レニングラード州 *Réningurat-purovince* (新)※(州都は「サンクトペテルブルク」): (歴史)[場名](サンクトペテルブルクの旧称)レニングラード *Réningurat* (新)
レバノン ①[場名](国名)レバノン共和国 *Rúbunan Ukotankoremosir* (新)※(首都は「ベイルート」): [場名](国名の通称として)レバノン *Rúbunan (Rupnan)* (新): [名]レバノン人 *rúbunanunkur (rupnanunkur)* (新): ②(植物)[名](ヒマラヤスギ属)レバノンスギの茎 *rúbunantotorop (rupnantotorop)* (新)、[名] *eren* (新)※(ヘブライ語)
レビ (聖書)[名](人名)レビ *Revi* (新)※(ヤコブの三男): [名]レビ族 *Revi-utari* (新): [名]レビ記 *Revi-utari* (新)
レプトクテリス (動物)[名](シタナガコウモリ亜科)レプトクテリス属 *etutanne-hametukapap-cise* (新): [名]レプトニクテリス・イエルパブエナエ *moetutanne-hametukapap* (新): [名]L. クラソアエ *koykaun-etutanne-hametukapap* (新): [名]L. ニバリス *síetutanne-hametukapap* (新)
れぶん(礼文) [場名](地名)礼文島 *Repusir (Repunsir)* (新)
レラのかい(レラの会) [名]レラの会 *rera-uekarpaus* (新)※(略号 *RU*)
れん(連) (生物の分類として)[名]連 *utar(-i)* (新): [名]亜連 *moutar(-i)* (新)
れんあい(恋愛) ①[自]人と恋愛する *iosiknuka (iosiknoka)* (新)、[自] *ikateomare* (新): [他](人)と恋愛する *osiknuka (osiknoka)* (石狩)、[他] *kateomare* (石狩): [他](人)に(人)と恋愛させる *osiknukaka (osiknukare)* (新)、[他] *kateomareka (kateomarere)* (新):

[自]愛し合う *uosiknuka (uosiknoka)* (新)、[自] *ukateomare* (新): ②(浅く)[自]人と恋愛する *ieramasuy (ieramasu)* (新): [他](人)と恋愛する *eramasuy (eramasu)* (石狩): [他](人)に(人)と恋愛させる *eramasuyka (eramasuka)* (新)、[他] *eramasuyre (eramasure)* (新): [自]恋愛する *ueramasuy (ueramasu)* (新): ③(深く)[自]人と恋愛する *iosikkote* (新): [他](人)と恋愛する *osikkote* (石狩): [他](人)に(人)と恋愛させる *osikkoteka (osikkotere)* (新): [自]愛し合う *uosikkote* (新): ④[自]恋愛結婚する *uyayukte* (沙流)

れんおん(連音) (文法)[名]連音 *humiuuous* (新): [自]連音する *humiuuous* (新): [他]～を連音させる *humiuuusi* (新)

れんが(煉瓦) [名]煉瓦 *sumatoy* (新): [名]赤煉瓦 *húre-sumatoy* (新): [名]異形煉瓦 *oyakatkor-sumatoy* (新): [名]空洞煉瓦 *situmsak-sumatoy* (新): [名]珪灰煉瓦 *únaota-sumatoy* (新): [名]軽量煉瓦 *kosne-sumatoy* (新): [名]鉍滓煉瓦 *kánisumasit-sumatoy* (新): [名]セメント煉瓦 *péonistep-sumatoy* (新): [名]耐火煉瓦 *apeko-nisuramne-sumatoy(-nisuwamne-)* (新)、[名] *apekoniste-sumatoy* (新): [名]耐酸煉瓦 *supkakepko-nisuramne-sumatoy(-nisuwamne-)* (新)、[名] *supkakepkoniste-sumatoy* (新): [名]耐酸耐熱煉瓦 *supkakep-sesek-konisuramne-sumatoy(-konisuwamne-)* (新)、[名] *supkakep-sesek-koniste-sumatoy* (新): [名]断熱煉瓦 *seseuketuye-sumatoy* (新): [名]テラコッタ煉瓦 *cinisteka-sumatoy(cinistere-)* (新)、[名] *pirkahure-sumatoy* (新)、[名] *terakotta-sumatoy* (新): [名]日乾煉瓦 *sikusatke-sumatoy* (新): [名]普通煉瓦 *yayan-sumatoy* (新): [名]舗道煉瓦 *rúkar-sumatoy* (新)、[名] *ciorukar-sumatoy* (新): [名]釉薬煉瓦 *cicirepuspeus-sumatoy* (新)、[名] *cicirepkapkor-sumatoy* (新)

れんきゅう(連休) [場名]連休 *uoussinito* (新)、[場名] *uoussinirereko* (新): (表現)連休する *uousno sini* (新): (表現)連休中に *uousno sini rapok* (長形-*i*) *ta* (新)、(表現) *uousno sini rapoki* (新)、(表現) *uousno sini ka* (長形-*si*、*-sike*、*-ske*) *ta* (新)、(表現) *uousno sini kurka* (長形-*si*、*-sike*、*-ske*) *ta* (新)

れんけつ(連結) ①(細い何かでものを繋げる事を表し)[他]～に～を連結する *kóte* (複数

kotpa) (石狩): [他](人)に～に～を連結させる kótere (複数 kotpare) (新): [他](中相)～が～に連結される cikote (複数 cikotpa) (新): [他]人に～に～を連結させる kóteyar (複数 kotpayar) (新): [他]～に連結する kot (石狩): [他]～を互いに連結する ukote (新)、[他] utomkote (石狩): [他](中相)～が互いに連結される ciukote (新)、[他] ciutomkote (新): [自]互いに連結する ukot (石狩): ②(コードなど細い物を繋げる事を表し)[他]～を互いに連結する eukote (石狩): [他](中相)～が互いに連結される cieukote (新)

れんごう(連合) [名]連合 ukosineatki (新)、[名] utekeampa (新)、[名] ukot (新)、[名] federation (新)※(英語)、[名] confederation (新)※(英語): [自]連合する ukosineatki (新)、[自] utekeampa (新)、[自] ukot (新): [他](場所)で連合する eukot (新): [他]～と連合する kosineatki (新): (表現)～と連合する tura(-no) ukosineatki (utekeampa、ukot) (新): [他]～のために、(原因、手段)で連合する oukosineatki (新): [他]～を連合させる ukosineatkire (新)、[他] utekeampare (新)、[他] ukote (新)

れんしゅう(練習) [自]練習する yayramuska (新)※(自分を慣れさせる): [他]～を練習する eyayramuska (新): [他](場所)で練習する eyayramuska (新): [他]～と共に練習する koyayramuska (新): [他](原因、手段)で練習する oyayramuska (新): [他](人)に練習させる yayramuskare (新): [自]自分で、一人で練習する yaykoyayramuska (新): [自]皆で、共に練習する ukoyayramuska (新): [自]充分練習する yayramuskano (yayramuskanu) (新): [自]完璧に練習する oaryayramuska (aryayramuska) (新): [自]練習しまくる toykoyayramuskapa (新)

れんしゅうせん(練習船) [名]練習船 iyayramuskarecip (新): [名]練習空母 iyayramuskare-sintakotcip (新): [名]練習巡洋艦 iyayramuskare-castumicip (新)

れんぞく(連続) ①[自]連続する uous (石狩)、[自] ueus (天塩): [他]～を連続させる uousi (新)、[他] ueusi (新): [他]～に連続する ous (石狩)、[他] eus (天塩): [他]～を～に連続させる ousi (新)、[他] eusi (新): [副]連続する uousno (石狩): (表現)仕事が続いて(沢山)ある monrayke uousno (poronno) an (石狩):

(表現)連続して uepaki ta (石狩): [副](期間を表わす名詞句の後に置かれ、副詞句を形成し)連続して uous (石狩): (表現)三年連続して豊作になる re pa uous pápirka (石狩): ②[他](中相)(歌声などが次々に連続する cieucaste (石狩): [他]("tu otapkan·ru re otapkan·ru"「二つ舞う姿、三つ舞う姿」などの後に用いられ、ある動作を行う姿)を連続する uturare (石狩): [他]("tusuy resuy settok utomkote"「何度もしゃくりあげる」の中である動作)を連続する utomkote (石狩): ③[接尾](擬音、擬態の語根に接尾し、継起態の自動詞を形成し)連続して～する -rototo (石狩): 石狩川筋では"ci+語根+rototo"の形で現れる。: ci+kaw(バリ、ボキという音)+rototo → cikawrototo 「バリバリ、ボキボキと鳴り続ける」: [接尾](自動詞に接尾し継起態を形成し)連続して～する -rotke (石狩): sunke (嘘をつく)+rotke → sunkerotke 「嘘をつきまくる」: [接尾](ある種の語に接尾し、継起態の自動詞を形成し)連続して～する -rototke (石狩): puy (穴?) + rototke → puyrototke 「ポツポツ穴があく」

れんぞくたてぼり(連続堅堀) [名]連続堅堀 uroskire-pecir (新)

れんぞくたてぼり(連続堅堀) [名]連続堅堀 uroskire-pecir (新)

れんたん(練炭) [名]練炭 cikatkattan (新)※("ci-katkar-tan")

レントゲニウム (化学)[名]レントゲニウム rentogenium (新)※(原子番号111番。元素記号 Rg)

れんぼう(連邦) [名]連邦制度 ukosineatkip (新)、[名] federation (新)※(英語): [自]連邦化する、連邦政府の管轄化に入る、入っている ukosineatki (新)、[自] federationne (新): [他]～を連邦化する、～を連邦政府の管轄化に入れる ukosineatkire (新)、[他] federationneka (federationnere) (新): [名]連邦主義 ukosineatkipsamun (新)、[名] federarismu (新)※(英語): [場名]連邦 ukosineatkimosir (新)、[名] ukosineatkip (新)、[場名] federation (新)※(英語)、[名] konfederation (新)※(英語): [固名]ソヴィエト連邦 Soviet Ukosineakimosir (新): [名]連邦政府 ukosineatkimosir-eyaytunuspe (新)、[名] ukosineatkip-eyaytunuspe (新)、[名] federation (新)※(英語): [場名](ロシア連邦の行政単位)連邦管区 ukosineatkimosirkor-iwor (新)、[場名] federationkor-iwor (新)

れんめい(連盟) [名]連盟 ukot (新)、[名] rik (新)※(英語 league より)、[名] federation (新)※(英語): [自]連盟する ukot (新): [他](場所)で連盟する eukot (新): [他](原因、手段)で連盟する oukote (新): [他]〜と〜を連盟させる ukote (新): [他]〜と連盟する kot (新): [自]連盟に加入する、している rikne (新)、[名] federationne (新): [他]〜を連盟に加入させる rikneka (riknere) (新)、[他] federationneka (federationnere) (新)

ろ(炉) ①[名]炉 apeoy (石狩)、[名] apekot (天塩)、[場名](雅) apesam (石狩)、[名] apeso (十勝)、[名] apesokot (幌別)、[名] hoka (八雲): (表現)炉のそば apesam teksam (石狩): [場名](炉を海に見立て)炉の中程、火の燃えている方 rep (石狩): [場名]炉の下座の方の所 apeutur (石狩): [場名](家の中で)炉の方、炉に近い方 sa (石狩): ②(特殊な用途のもの)[名] 炉 apeop (新): iuhuyka(ものを焼却する)+apeop → iuhuykaapeop 「焼却炉」

ろう(蠟) [名]蠟 row (新)※(日本語)

ろうえい(漏洩) [自]漏洩する oikus (新): [他](場所)で漏洩する eoikus (新): [他]〜へ漏洩する kooikus (新): [他](原因、手段)で漏洩する ooikus (新): [他]〜を漏洩させる oikuste (新)

ろうがい(老害) [名]老害 onnep-emukka (新)※(老いぼれがその先を詰まらせる)、[名] onnep-eseske (新)

ろうかい(老獺) [自]老獺である onnekuramkirkor (新): [他]〜について老獺である eonnekuramkirkor (新): [他](場所)で老獺である eonnekuramkirkor (新): [他]〜と共に老獺である koonnekuramkirkor (新): [他](原因、手段)で老獺である oonnekuramkirkor (新): [他](人)を老獺にさせる onnekuramkirkore (新): [自]自分で、一人で老獺である yaykoonnekuramkirkor (新): [自]互いに、皆で老獺である ukoonnekuramkirkor (新): [自]全く老獺である oaronnekuramkirkor (aronnekuramkirkor) (新): [自]充分老獺である onnekuramkirkonno (onnekuramkirkonnu) (新): (表現)老獺さ onnekuramkirkor puri (新)

ろうごく(牢獄) [名]牢獄 ro (帯広): (表現)牢獄から出る ro orwa(-no) asin (複数 asip) (新): (表現)〜を牢獄から出す ro orwa(-no) asinke (複数 asipte) (新): (表現)牢獄から逃げる ro orwa(-no) kira

(新): (表現)牢獄に入る ro otta (ekota) ahun (複数 shup) (新): (表現)〜を牢獄に入れる ro otta (ekota) ahunke (複数 ahupte) (新): (表現)牢獄を破る ro wente (新)

ろうじん(老人) [名]老人 onnekur (石狩): [名]老人達 onneutar (石狩): [名]尊敬を集める年配の男性 ékasi (石狩): [名]非常に年取った老人 onneekasi (石狩)、[名]onneaca (天塩): [名]二人以上いる中の年上の方の老人 onneekasi (石狩)、[名]二人以上いる中の年下の方の老人 pewreekasi (石狩)

ろうすい(漏水) [自]漏水する opekus (八雲)、[自] oikus (石狩): (表現)行器が漏水する sintoko oikus (石狩)

ろうすい(老衰) ①[自]老衰する、している onne (石狩): ②[自]老衰で死ぬ onne (石狩): (表現)老衰で死ぬ onne wa isam (新)

ろうそう(狼爪) [名]狼爪 rikun-am(-i) (新)

ろうそく(蠟燭) [名]蠟燭 rowratcaku (新)、[名](合成語の構成要素) row (新): [名]蠟燭台 erowaspe (新)※(そこに蠟燭が立つもの)、[名] erowratcakuaspe (新)

ろうと(漏斗) [名](イカ、タコの器官)漏斗 conko (新)

ろうどう(労働) [名]労働 monrayke (石狩)、[名] nepki (沙流)、[名](雅語) irawe (石狩)、[名](雅語) irawkitupa (irawkitopa) (石狩)、[名](雅語) urawkitupa (urawkitopa) (石狩): [自]労働する monrayke (石狩)、[自] nepki (沙流)、[自](雅語) irawe (石狩)、[自](雅語) irawkitupa (irawkitopa) (石狩)、[自](雅語) urawkitupa (urawkitopa) (石狩): [他](場所)で労働する emonrayke (新)、[他] enepki (新): [他]〜と共に労働する komonrayke (新)、[他] konepki (新): [他](手段、目的)で労働する omonrayke (新)、[他] onepki (新): [他](人)に労働させる monraykere (新)、[他] nepkire (新): [自]自分で、一人で労働する yaykomonrayke (新)、[自] yaykonepki (新): [自]互いに、皆で労働する ukomonrayke (新)、[自] ukonepki (新): [自]思い切り労働する toykomonrayke (新)、[自] toykonepki (新): [名]労働者 monraykekur (石狩)、[名] nepkikur (新)

ろうとう(郎党) [名]郎党 pakusa (石狩): 本来神に関してのみ用いられるが、今後人に関しても用いる。

ろうどうくみあい(労働組合) [名] 労働組合 monraykekur-uekarpaus (新)、[名] sineatki (新)、[名] únion (新)※(英語): [名] 労働組合員 monraykekur-uekarpausunkur (新)、[名] sineatkiunkur (新)、[名] únionunkur (新)

ろうどく(朗読) [自] 朗読する ioroitak (新): [連他] ~を朗読する oro-óitak (石狩)、[他] oroitak (美幌): [他](人)に~を朗読させる oroitakte (新)

ろうなく(労無く) [副] 労無く oteksakno (新)

ろうなぬし(牢名主) [名] 牢名主 róoruysapa (新)、[名] róorumpake (新)

ろうば(老婆) [名] 年配の女性 rupnemat (石狩): [名] 尊敬を集める年配の女性 húci (石狩): [名] 非常に年取った老婆 onnehuci (石狩): [名] 二人以上いる中の年上の方の老婆 onnehuci (石狩)、[名] 二人以上いる中の年下の方の老婆 pewrehuci (石狩)

ろうばい(狼狽) [自] 狼狽する kimatek (石狩)、[自] yaykimatekka (石狩): [他] ~に狼狽する ekimatek (石狩)、[他] eyaykimatekka (新): [他] ~を狼狽させる kimatekka (石狩): [自] 激しく狼狽する raykimatek (石狩)

ロウバイガイ (魚介)[場名](原鰻亜綱)ロウバイガイ目 kasupsey-kotan (新): [名] ロウバイガイ科 kasupsey-apa (新)※(シワロウバイ科): [名] ロウバイ属 kasupsey-cise (新): [名] ロウバイガイ kasupsey (新)※(別名「チリロウバイガイ」): [名] エレナソデガイ erenakasup (新): [名] カゲロウソデガイ mikep-kasup (新): [名] シャクシロウバイ samor-kasup (新): [名] シワロウバイガイ yomomke-kasup (新): [名] ホンシワロウバイ síyomomke-kasup (新): [名] ミガキソデガイ peker-hurisonte (新): [名] ミガキロウバイ peker-kasup (新): [名] ユビテリア属 jupiteria-cise (新): [名] アラスジソデ nayerawne-hurisonte (新): [名] ゲンロクソデ genroku-hurisonte (新): [名] ナギナタソデガイ属 hurisontesey-cise (新): [名] エゾソデガイ yaunhurisontesey (新): [名] クモリソデガイ somorak-hurisonte (新): [名] スモモソデ moma-hurisonte (新): [名] ツヤソデガイ rarak-hurisonte (新): [名] ナガソデガイ tanne-hurisonte (新): [名] フネソデガイ ciphurisonte (新): [名] フリソデガイ hurisontesey (新): [名] ベッコウキララガイ属 mikep-hurisonte-cise (新): [名] ベ

ッコウキララガイ mikep-hurisonte (新)※(別名「ベッコウソデガイ」): [名] オオベッコウキララガイ poromikep-hurisonte (新): [名] トヤマソデ toyamamikep-hurisonte (新): [名] ハトムギソデガイ科 neironerasey-apa (新): ハトムギソデガイ属 neironerasey-cise (新): [名] ハトムギソデガイ neironerasey (新)※(学名): [名] ソウヨウハトムギソデガイ soyo-neironerasey (新)

ろうらく(籠絡) [自] 籠絡する iparoeiwanke (新): [他](人)を籠絡する paroeiwanke (新): [他](人)に(人)を籠絡させる paroeiwankere (新)

ろろう(朗々) [自] 朗々と神に祈る esara-kamuynomi (沙流)、[自] esara-inomi (新): [自] 朗々と祈詞を唱える esara-inonnoitak (新)、[自] esara-inonno (新)

ろえき(濾液) [名] 濾液 cioposorepe (新)、[名] cieposorepe (新)

ローカルカレンシー [名] ローカルカレンシー kotanikonnep (kotanikor) (新)

ロード (P C)[他] ~をロードする iomare (新)、[他] rowdo (新)※(英語): [他] 場所で~をロードする eiomare (新)、[他] erowdo (新): [他] ~に~をロードする omare (新)、[他] korowdo (新): [他] ~と共に~をロードする koiomare (新)、[他] korowdo (新): [他](原因、手段)で~をロードする oiomare (新)、[他] korowdo (新): [他](人)に~をロードさせる iomarere (新)、[他] rowdore (新)

ロードアイランド [場名](アメリカ合衆国の州名)ロードアイランド州 Rowdepoyssirnewa-Purovidence-usacieaynueytoytasir-mosir (新)、[場名] Rowdeayrando-newa-Purovidence-purantationzu-mosir (新)、[場名] Rowdeayrando-mosir (新)※(州都は「プロヴィデンス」): [場名](アメリカ合衆国ロードアイランド州の島名)ロード島 Rowdepoysir (新)

ローヌ [名] ローヌ川 Róne-pet (新)※(地中海に注ぐフランスの大河)

ローブ [名] ローブ róbe (新)※(英語)

ローマ ①[場名](イタリア共和国の首都名)ローマ Róma (新): ②(歴史)[場名](紀元前753年に中部イタリアに建国されたとの伝説がある都市国家、及びそれ以降の王政、共和制、帝政を経て1453年まで継続した国家を指し)古代ローマ Husko Róma (新): [場名] 王政ローマ Róma Mosirkorkur-kormosir (新)※(紀元前753-同509年): [場名] 共和制ローマ Róma Ukotankoremosir (新)※(紀元前50

9-同27年): [場名]ローマ帝国 Róma Ipawetenkekur-kormosir (新)※(紀元前27-1453年): [場名](東西分裂前の国家を表し)古代ローマ帝国 Husko Róma Ipawetenkekur-kormosir (新)※(紀元前27-395年): [場名]西ローマ帝国 Cuppokun Róma Ipawetenkekur-kormosir (新)※(395-476年): [場名]東ローマ帝国 Cupkaun Róma Ipawetenkekur-kormosir (新)※(395-1453年。「ビザンティン帝国」、「ビザンツ帝国」などとも呼ばれる。首都は「コンスタンチノポリス」): [名]ローマ人 rómaunkur (新): [名]ローマ字 rómaunkur-itakitokpa (新): [名]ローマ数字 rómaunkur-ipiskiitokpa (新)

ローヤルアンテロープ (動物)[名](ウシ科)ローヤルアンテロープ亜科 sípoyyukpeko-moapa (新): [名]ローヤルアンテロープ族 sípoyyukpeko-utar (新): [名]ローヤルアンテロープ属 sípoyyukpeko-cise (新): [名]ローヤルアンテロープ sípoyyukpeko (新)※(極小羚羊。別名「ジャコウアンテロープ」): [名]スニ súni-sípoyyukpeko (新)、[名] súni (新): [名]ペイツローヤルアンテロープ bátes-sípoyyukpeko (新)

ローラシア (動物)[場名](哺乳綱)ローラシア上目 raurašiaumpe-kotampa (新)、[名] raurašiatieria-kotampa (新): [場名]ウマ目 umma-kotan (新)、[場名]奇蹄目 ciusarayeeaykapusiskorpe-kotan (新): [場名]鯨偶蹄目 humpe-ciusarayeeaskayusiskorpe-kotan (新): [場名]コウモリ目 kapap-kotan (新)、[場名]翼手目 raptekkorpe-kotan (新): [場名]センザンコウ目 ramramitunnapep-kotan (新)、[場名]有鱗目 ramramkorpe-kotan (新): [場名]トガリネズミ目 (新): [場名]ネコ目 mekot-kotan (新)、[場名]食肉目 kamep-kotan (新): [場名]ハリネズミ目 (新)

ローリー [場名](アメリカ合衆国ノースカロライナ州の州都名)ローリー Róri (新)

ローレンシウム (化学)[名]ローレンシウム rawrenkium (新)※(原子番号103番。元素記号 Lr)

ろか(濾過) [他]～を濾過する oposore (石狩)、[他] eposore (天塩): [他](場所)で濾過する eoposore (eeposore) (新): [他]～と共に～を濾過する kooposore (koeposore) (新): [他](原因、手段)で～を濾過する ooposore (oeposore) (新): [他](人)に～を濾過させる oposorere (eposorere) (新)

ろかぎ(炉鉤) [名]炉鉤 suat (suwat) (石

狩)

ろく(六) ①[名]六人 iwaniw (石狩): (表現)女性六人 menoko iwaniw (新): [連体]六人の iwan (石狩): (表現)六人の女性 iwan menoko (新): [自]六人になる、である iwaniwne (新): [副]六人で iwaniwne (新): (表現)六人組です、行動する iwaniw-esinepne iki (新): (表現)六人組で～する iwaniw-esinepne ki (新): (表現)(人)に六人組で～させる iwaniw-esinepne kire (新): [自]六人組になる iwaniw-esinepne (新): [他](人)を六人組にする iwaniw-esinepneka (iwaniw-esinepnere) (新): ②[名]六、六匹、六個など iwampe (石狩): [連体]六の iwan (石狩): [副]六匹で、六個に iwampene (新): (表現)六匹一組です、行動する iwampe-esinepne iki (新): (表現)六匹一組で～する iwampe-esinepne ki (新): (表現)～に六匹一組で～させる iwampe-esinepne kire (新): [自]六匹、六個一組になる iwampe-esinepne (新): [他]～を六匹、六個一組にする iwampe-esinepneka (iwampe-esinepnere) (新): ③[名・副]六回 iwaysuy (新)

ろくがつ(六月) [名]六月 toytacup (石狩)、[名] simawta (南空知、栗山)

ろくじゅう(六十) ①[名]六十人 rehotnen (新): ②[名]六十匹、六十個、六十歳など rehotnep (新)、[名] rehot (新): ③[連体]六十の rehotne (新): (表現)六十人の女性 rehotne menoko (新): (表現)六十匹の魚 rehotne cep (新): (表現)六十年、歳 rehotne pa (新)

ろくじゅうしんほう(六十進法) [名]六十進法 rehotnep-oipiski (新): [名]六十進記数法 rehotnep-oipiskioinuye (新): [名]六十進命名法 rehotnep-oipiskiorekor (新)

ろくでなし [名]ろくでなし pawcikor-ampe (石狩): [名]ろくでなし女 pawcikor-menoko (石狩)

ろくにん(六人) [連体]六人の iwan (石狩): (表現)六人の女性 iwan menoko (新): [名]六人 iwaniw (石狩): (表現)女性六人 menoko iwaniw (新): [自]六人になる、である iwaniwne (石狩): [副]六人で iwaniwne (石狩): [自](表現)六人組です、行動する iwaniw-esinepne iki (新): (表現)六人組で～する iwaniw-esinepne ki (新): (表現)(人)に六人組で～させる iwaniw-esinepne kire (新): [自]六人組になる iwaniw-esinepne (新): [他](人)を六人組にする iwaniw-esinepneka (iwaniw-esinepnere) (新)

ろくろ(轆轤) ①[名](傘の装置や陶芸に用いる轆轤台の略として)轆轤 rokuro (新)※(日本語): (表現)轆轤を挽く rokuro karire (新): ②(井戸の装置としての)轆轤 tumkorkarip (tumnurkarip) (新)

ロゲエッサ(動物)[名](ヒナコウモリ科)ロゲエッサ属 rogeessakapap-cise (新): [名]ロゲエッサ・アエネウス yukatanun-rogeessakapap (新): [名]R. アレニ aren-rogeessakapap (新): [名]R. イオ tomas-rogeessakapap (新): [名]R. グラクリス kapar-rogeessakapap (新): [名]R. ゲノワイシ genowayzu-rogeessakapap (新): [名]R. トゥミダ rapukunne-rogeessakapap (新): [名]R. パブラ nayaritun-rogeessakapap (新): [名]R. フッソニ husson-rogeessakapap (新): [名]R. ミヌティラ pompon-rogeessakapap (新): [名]R. ミラ micoakanun-rogeessakapap (新)

ロケット [名]ロケット apeohopunip (新)、[名] roket (新)※(英語)

ろざい(濾材) [名]濾材 cioiuposorep (新)、[名] cioieposorep (新)

ロサンゼルス [場名](アメリカ合衆国カリフォルニア州の都市名)ロサンゼルス Rósangeras (新)

ろし(濾紙) [名]濾紙 cioiuposorekampi (新)、[名] cioieposorekampi (新)

ロシア [場名](国名)ロシア連邦 Rossiya Ukosineatkip (新)※(首都は「モスクワ」): [場名](国名) Rossiya (新)、[場名] Rusa (八雲): [名]ロシア人、国民、民族 ruski (新)、[名]rusaunkur (八雲)、[名] akastoutar (宗谷)、[名] nuca (樺太)、[名] tunipokurarunkur (石狩): [名]ロシア語 ruskiitak (新)、[名] rusaunkur-itak (新): (歴史)[場名](旧ソヴィエト社会主義共和国連邦の構成国の一つ)ロシア・ソヴィエト社会主義連邦共和国 Rossiya Soviet Ukosineatki Ureskaussamun Ukotankoremosir (新)※(1917-1917年。首都「モスクワ」): (歴史)[場名](国名)ロシア帝国 Rossiya Ipawetenkekur-kormosir (新)※(1791-1917年。首都「ペテルブルク(ペトログラート)」)

ロジウム (化学)[名]ロジウム rodium (新)※(原子番号45番。元素記号 Rh)

ろじり(炉尻) [場名]炉尻 apeoykes (石狩)

ロスアザラシ(ロス海豹) (動物)[名](アザラシ科)ロスアザラシ属 rostukar-utar (新): [名]ロスアザラシ rostukar (新)※(英語)

ロズウェル [場名](アメリカ合衆国ニューメキシコ州の都市名 Rozwer (新)

ロストフ ①[場名](ロシア連邦南部連邦管区の構成主体名)ロストフ州 Rostof-purovince (新): [場名](南部連邦管区の本部、及びロストフ州の州都名)ロストフ・ナ・ドヌー Rostof-na-Donu (新): ②[場名](ロシア連邦中央連邦管区ヤロスラブリ州の都市名)ロストフ Rostof (新): ③(歴史)[場名](国名)ロストフ・スズダリ公国 Rostof-Suzdari Dúkekormosir (新)

ろせん(炉せん) [名]炉せん apekiray (石狩)

ろせん(路線) [名](交通機関の)路線 omananru(-we) (新): [名]新規路線 asir-omananru(-we) (新): [名]廃止路線 husko-omananru(-we) (新)

ロゾー [場名](ドミニカ共和国の首都名)ロゾー Rozo (新)

ろだい(炉台) [名]炉台、焚木の木に敷く枕木 up (石狩): "kuca"の中の炉では焚火が炉に沈まぬように枕木を置き、松葉を敷く。更に川砂や土を載せ、樺皮、桂皮で灰を作った後、薪を火尻が入口を向くように燃やしている。

ろっかく(六角) ①[名]六角形 iwaysikkew-konnoka (新): [自]六角形である iwaysikkewkor (新): ②[名]六角ナット yayan-matnecinyep (新)、[名] iwansikkewmatnep (新): (表現)六角ナット iwaysikkewkor matnecinyep (新): [名]六角袋ナット pukuru-matnecinyep (新)、[名] iwaysikkewpukuru (新)※(「袋ナット」「キャップナット」「化粧ナット」とも): (表現)六角袋ナット iwaysikkewkor pukuru-matnecinyep (新): ③[名]六角ボルト yayampinnecinyep (新)、[名] iwaysikkewkor-pinnep (新): (表現)六角ボルト iwaysikkewkor pinnecinyep (新): [名]六角穴付きボルト konci-pinnecinyep (新)※(「キャップボルト」「キャップスクリュー」「ソケットスクリュー」とも): (表現)六角穴付きボルト iwaysikkewkor puyo koncikor pinnecinyep (新): [名]六角穴付き皿ボルト akampinnecinyep (新)※(「皿キャップ」「皿ボルト」とも): (表現)六角穴付き皿ボルト iwaysikkewkor puyo akamun pinnecinyep (新)

ロッキー [名](地名)ロッキー山脈 Rokki-ikinnenupuri (新)

ろっこつ(肋骨) ①[名]肋骨の一本 ut(-ci) (石狩): [名]第一肋骨 tekusi (屈斜路): [名]一番下の肋骨 pónut(-ci) (石狩): [名]熊の太い肋骨 ruweut(-ci) (幌別): [名]熊の細い肋骨 ánenut(-ci) (新): [名]

子熊の肋骨 mót-(ci) (千歳): [名](魚の)
肋骨 téhur (天塩): ②[名]肋骨 utpone
(石狩)、[名](雅) utnit-(ci) (沙流): [名]胴
に付いている肋骨 tekusnit-(ci) (西別):
③[名]肋骨を覆う肉 sére (屈斜路)、[名]
toarkam (屈斜路)、[名] piyekam-(i) (石
狩)※(クマの上半身の肉): [名]肋骨を覆う
脂肪組織 sérekirpo (屈斜路)

ロト (聖書)[名]ロト Róut (新)※(テラの息
子ハランの息子でアブラハムの甥)

ロバ(驢馬) ①(動物)[名](ウマ属)ロバ亜属
rumma-mocise (新): [名]ロバ rumma
(rúmma) (新)、[名] rúciyokip (新)※
(中国語「驢」): [名]アジアノロバ aziaun-
nuprumma (新): [名]アフリカノロバ
afrika-nuprumma (新): [名]キャン
kiyan (新)※(別名「チベットノロバ」、「チベ
ットロバ」): ②[名]雄驢馬 pinne-rumma
(新): [名]雌驢馬 matne-rumma (新):
[名]子驢馬 ponrumma (新): [名]野驢馬
nuprumma (新)

ロバタエ (植物)[名](コナラ亜属)ロバタエ節
húreouk-korpe (新): [名]アカガシワの茎
húre-ouk (新)、[名] koykahure-ouk (新)
※(Q. ルブラ): [名]クエルクス・アグリフ
ォリアの茎 moatuyksamun-komni (新):
[名]Q. アケリフォリアの茎 tópenihamus-
ouk (新): [名]Q. アルカンサナの茎
arkansas-komni (新): [名]Q. イリキフ
ォリアの茎 eper-komni (新): [名]Q. イン
ブリカリアの茎 cisekitayitane-komni
(新): [名]Q. ヴェルティナの茎 kunne-
ouk (新): [名]Q. エモリーの茎 emori-
komni (新): [名]Q. エリブソイダリスの
茎 koypokpin-komni (新): [名]Q. ゲオ
ルギアナの茎 georgia-komni (新): [名]
Q. ケロッギーの茎 karifonniakunne-ouk
(新): [名]Q. コスタリケンシスの茎
kostarika-komni (新): [名]Q. シュマル
ディーの茎 tóhure-ouk (新): [名]Q. テ
クサナの茎 teksas-komni (新): [名]Q.
ニグラの茎 nitat-ouk (新): [名]Q. ヒボ
レウコイデスの茎 sirokanihamus-oak
(新): [名]Q. ファルカタの茎
koypokhure-ouk (新)、[名] espania-
komni (新): [名]Q. フェロスの茎
susuhamus-ouk (新): [名]Q. ブックレイ
ーの茎 teksashure-ouk (新): [名]Q. フ
ンボルツィーの茎 andes-komni (新):
[名]Q. ヘミスファエリカの茎
otadafnehamus-ouk (新)※(砂月桂葉オー
ク): [名]Q. ラウリナの茎 nupuryar-ouk
(新)※(葉効樹皮オーク): [名]Q. ラウリ
フォリアの茎 tódafnehamus-ouk (新)※(沼

月桂葉オーク): [名]Q. ラブラフエンシス
の茎 taramanka-komni (新)※(タラマン
カオーク): [名]Q. ロブスタの茎 robusta-
komni (新): [名]コッキネアの茎
pirkahurehamus-ouk (新)※(Q. コッキネ
ア): [名]チェリーバークオークの茎
pagoda-komni (新)※(Q. パゴダ): [名]ビ
ンオークの茎 pin-komni (新): [名]ブラ
ックジャックオークの茎 burajak-komni
(新)※(Q. マリランディカ)

ロフォストマ (動物)[名](チスイコウモリモド
キ族)ロフォストマ属 orbikni-kisarasikari-
hametukapap-cise (新): [名]カリッカー
マルミコウモリ káríker-kisarasikari-
hametukapap (新): [名]シュルツマルミ
ミヘラコウモリ şurđu-kisarasikari-
hametukapap (新): [名]ミナミマルミ
ミヘラコウモリ orbikni-kisarasikari-
hametukapap (新): [名]ロフォストマ・ア
エクタトリアリス ekuadorun-
kisarasikari-hametukapap (新): L. エ
ボテイス davis-kisarasikari-
hametukapap (新): [名]L. カルコアエ
karko-kisarasikarihametukapap (新):
[名]L. ブラシリエンシス burazirun-
kisarasikari-hametukapap (新): [名]L.
ヤスニ yasuniun-kisarasikari-
hametukapap (新)

ろぶち(炉縁) [名]炉縁 inumpe (石狩):
[場名](炉を海に見立てた時の)炉縁の方 ya
(石狩)、[場名] yáke (石狩)

ろぶつ(濾物) [名]濾物 cioposoresit (新)、
[名] cieposoresit (新)

ロフトベット [名]ロフトベット cikap-amset
(新)

ろぼう(路傍) [場名]路傍 rúsam (rúsama、
rúsamake) (石狩)、[場名] rúteksam
(rúteksama、rúteksamake) (石狩)

ロマンシュ [名]ロマンシュ語 romanşuitak
(新)※(スイス連邦で公用語の一つとされる
ロマンス語系の言語)

ロマンス [名]ロマンス yaykotuyma-
siramhopunire (新)

ROME [場名](トーゴ共和国の首都名)ロメ
Rome (新)

ロリス (動物)[場名](曲鼻猿亜目)ロリス下目
roris-kotankes (新): [名]ロリス科
roris-apa (新): [名]ホソロリス亜科(新):
[名]ホソロリス属 roris-cise (新): [名]ス
ローロリス属 moyreroris-cise (新): [名]
ポッター亜科 perodiktikus-moapa (新):
[名]ポッター属 perodiktikus-cise (新):
[名]アンワティボ属 arkutokebus-cise
(新): [名]ニセポッター属

ciperodiktikuskopa-cise (新): [名]ガラゴ科 garago-moapa (新): [名]ガラゴ属 garago-cise (新): [名]オオガラゴ属 onnegarago-cise (新): [名]ハルヅメガラゴ属 amikemnegarago-cise (新)

ロンゲリック [名](地名)ロンゲリック環礁 Rongerik-sikarisanguso (新): 太平洋のマーシャル諸島に属するマーシャル諸島共和国領の環礁。核実験のため1946年3月アメリカ合衆国によって全ビキニ島民が強制的に移されるも、飲料水、食糧の不足により1948年3月にはクウェゼリン環礁に再び移される。

ロンコフィラ (動物)[名](シタナゴコウモリ亜科)ロンコフィラ族 tukhamun-awetannekapap-utar (新): [名]ロンコフィラ属 tukhamun-awetannekapap-cise (新): [名]ロンコフィラ・オルケシ orkes-awetannekapap (新): [名]L. カデナイ kadena-awetannekapap (新): [名]L. ココアナ cokoun-awetannekapap (新): [名]L. ソマシ tómas-awetannekapap (新): [名]L. デケイセリ dekeser-awetannekapap (新): [名]L. パットニ patton-awetannekapap (新): [名]L. ハンドレイー handorey-awetannekapap (新): [名]L. ヘスペリア cuppokun-awetannekapap (新): [名]L. ボケルマンニ bokerman-awetannekapap (新): [名]L. モルダクス gotman-awetannekapap (新): [名]L. ロブスタ panamaun-awetannekapap (新): [名]クセロニクテリス属 vieyray-awetannekapap-cise (新): [名]クセロニクテリス・ビエイライ vieyra-awetannekapap (新): [名]ブラタリナ属 etutuk-awetannekapap-cise (新): [名]ブラタリナ・ゲノベンシウム etutuk-awetannekapap (新): [名]リオニクテリス属 yámirone-awetannekapap-cise (新): [名]リオニクテリス・スプレリ yámirone-awetannekapap (新)

ろんそう(論争) [他](人)と論争する kocaranke (石狩): (表現)人と論争する tura-(no) caranke (石狩): [他](人)に人と論争させる kocarankere (新): [自]論争する ukocaranke (石狩): [他](人)に論争させる ukocarankere (新): [他]~について論争する eukocaranke (新): [他](人)に~について論争させる eukocarankere (新)

ロンドン [場名](イギリス及びイングランドの首都名)ロンドン Rondon (新)

ろんぱ(論破) [自]論破される itakehokus

(石狩): [自]人を論破する iitakehokuste (新): [他](人)を論破する itakehokuste (石狩): [他]~に関して(人)を論破する eitakehokuste (新): [他](場所)で(人)を論破する eitakehokuste (新): [他]~を共に(人)を論破する koitakehokuste (新): [他](原因、手段)で(人)を論破する oitakehokuste (新): [他]完全に(人)を論破する oaritakehokuste (aritakehokuste) (新): [他]思い切り(人)を論破する toykoitakehokuste (新)

ロンボク [場名]ロンボク島 Rombok-poysir (新)※(小スンダ列島に属するインドネシア共和国領の島名)

わ [終助](平叙文で言葉の調子をやわらげ、あるいはそうしながら相手を意識しつつ念をおし)~わ wa (石狩): 子音 n の後に wa が続く場合、言葉の速さによって例えば an wa は anuwa、あるいは amma と発音される事がある。: 「昨日私あなたを見たわ。」 “Numan es=nukar=an wa.”

わ(輪) ①[名]輪 karip (石狩): ②[名](糸や綱などを)巻いて輪にしたもの say-(e) (石狩)

ワード (コンピュ)[名](コンピュータが扱う情報量の単位)ワード woddo (wordo) (新)※(英語。略号 w): ②[名](コンピュータソフトの名)ワード woddo (wordo) (新)

わあわあ(わあわあ) [自](慌てて)わあわあ騒ぐ ukopop (美幌): [他](人)にわあわあ騒がせる ukopopte (新)

ワイオミング [場名](アメリカ合衆国の州名)ワイオミング州 Waiomingu-mosir (新)※(州都は「シャイアン」)

わいだん(猥談) [自]猥談する hoye (沙流): [他](場所)で猥談する ehoye (新): [他](人)に猥談する kohoye (新): [他]~と共に猥談する kohoye (新): [他](原因、手段)で猥談する ohoye (新): [他](人)に猥談させる hoyere (新): [自]皆で猥談する ukohoye (新)

ワイマール ①[場名](ドイツ連邦共和国チューリンゲン州の都市名)ワイマール Waymar (新): ②(歴史)[場名](1919-33年までのドイツの呼称)ワイマール共和国 Waymar Ukotankoremosir (新): ③(歴史)[名](1919年に制定されたドイツ国憲法の通称)ワイマール憲法 Waymar irenkaikkewe (新)

わいろ(賄賂) [名]賄賂 usempirkuspe (新): [名] wayro (新)※(日本語): (表現)賄賂を受け取る usempirkuspe uk (複数 uyna) (新): (表現)(人)に賄賂を贈る usempirkuspe kóre (新)

わいわい ①[自](楽しく)わいわいやる ukonucaktek (ukonucattek) (石狩): [他](場所)でわいわいやる eukonucaktek (eukonucattek) (新): [他]~とわいわいやる koukonucaktek (koukonucattek) (新): [他](原因、手段)でわいわいやる oukonucaktek (oukonucattek) (新): [他](人)を(楽しく)わいわいさせる ukonucaktekka (ukonucattekka) (新): ②[自]わいわいと声をあげ泣く(沙流): (表現)昼夜私の泣く声は声はわいわい声をあげ泣いていた an=cishawe konna wayse kane hawean kor okay=an (新)

ワオキツネザル(輪尾狐猿)(動物)[名](ミツネザル科)ワオキツネザル属 muririatsarun-sumarisaru (新): [名]ワオキツネザル muririatsarun-sumarisaru (新)※(ムリリアツ尾が付いた狐猿)

ワオマンガース(輪尾マンガース)(動物)[名](マダガスカルマンガース科)ワオマンガース属 ruosarunmanguste-cise (新): [名]ワオマンガース ruosarun-manguste (新)

わかえだ(若枝) [名](その年の内に伸びた)若枝 oirpatuknitek(-e) (天塩)

わかがえる(若返る) [自]若返る、若返っている pewre (新)、[自] upen (新)、[自] kannapewre (新)、[自] kannapewre (新)、[自] suypewre (新)、[自] súyupen (新): (表現)若返る、若返っている kanna pewre (新)、(表現) kanna upen (新)、(表現) suypewre (新)、(表現) suy upen (新): [他](場所)で若返る、若返っている epewre (新)、[他] eupen (新): [他]~と共に若返る、若返っている kopewre (新)、[他] koupun (新): [他](原因、手段)で若返る、若返っている opewre (新)、[他] oupen (新): [他]~を若返らせる pewreka (pewrere) (新)、[他] upenka (upente) (新)、[他] kannapewreka (kannapewrere) (新)、[他] kannapewreka (kannapewrere) (新)、[他] kannapewreka (kannapewrere) (新)、[他] suypewreka (suypewrere) (新)、[他] súyupenka (súyupente) (新)

わかく(若く) [自]若くなる、若い pewre (石狩)、[自] upen (石狩): [他](場所)で若くなる、若い epewre (新)、[他] eupen (新): [他]~と共に若くなる、若い kopewre (新)、[他] koupun (新): [他](原因、手段)で若くなる、若い opewre (新)、[他] oupen (新): [他]~を若くする pewreka (pewrere) (新)、[他] upenka (upente) (新): (表現)若い女性 pewre menoko (石狩): [名]嫁入り前の若い女性 ponmenoko (石狩): [名](15、6~20

才くらいまでの)若い女性 menokopo (天塩)、[名](20~27才くらいの)若い女性 poysukupmat (pon sukupmat) (天塩): [名](品のない言葉として)若いねえちゃん operkep (天塩)、[名] operke (石狩)、[名] oper (石狩): (表現)若いねえちゃんのおっぱい oper tutto (石狩)

ワカサギ(公魚)(魚介)[名]ワカサギ亜科 sirkopop-moapa (新): [名]ワカサギ属 sirkopop-cise (新): [名]ワカサギ sirkopop (知里): [名]チカ tókikar (長万部)、[名] cika (白糠): [名]イシカリワカサギ iskartokikar (新): [名]チシマワカサギ cupkatokikar (新): [名]デルタスメルト deltatokikar (dertatokikar) (新)

わかしゆ(沸かし湯)(表現)沸かし湯 cisesekka (ay=sesékka) tompuri (新)、(表現) cisesekka (ay=sesékka) yu (新)

わかす(沸かす) ①(熱くする意味で)[他]~を沸かす sésekka (石狩)、[他](場所)で沸かす esesekka (新): [他]~と共に沸かす kosesekka (新): [他](原因、手段)で沸かす osesekka (新): [他](人)に~を沸かさせる sésekkare (新): (表現)湯を沸かす wakka sésekka (石狩): (表現)(人)に湯を沸かさせる wakka sésekkare (新): (表現)(飲用する)湯を沸かす úsew kar (石狩): (表現)(人)に(飲用する)湯を沸かさせる úsew káre (石狩): (表現)人に(飲用する)湯を沸かさせる úsew karar (石狩): ②(沸騰させる意味で)[他]~を沸騰させる popte (石狩)

ワガドゥーグー [固名](ブルキナファソ国の首都名)ワガドゥーグー Wagadugu (新)

わがまま(我儘) [自]我儘する irara (石狩)、[自] sikesar (沙流)

わがみをこがす(わが身を焦がす) [他](何らかの激しい思い)にわが身を焦がす eyayramuhuyka (新)

わかむき(若向き) [自]若向きにする、若向きである pewre (石狩): (表現)若向きの衣装入れ pewre ketus (石狩): (表現)若向きである pewrekur kotomka (新): [他]~を若向きにする pewrere (pewreka) (新): (表現)~を若向きにする ~pewrekur kotomka p nere (新)

わかもの(若者) ①(若い男性の意味で)[名]若者 pewrekur (石狩)、[名] upenkur (H): (表現) pewre okkayo (石狩): (男女を問わず)[名]若者 pewrekur (新): 今後は「若い女性」に対してもこの語を使っていく。: [名]若者達 pewreutar(-i) (新)

わからない(分らない) ①[自]ものが分から

ない ierampetek (新): [他]〜が分からない
 erampetek (石狩): 「そのアイヌ語をお前が分からなくて、どうそれが分かる？」

“Ne aynuytak e=erampetek pe, nekon e=eraman?” (門野トサ): [他](場所)で〜が分からない eerampetek (新): [他]〜と共に〜が分からない koerampetek (新): [他](原因)で〜が分からない oerampetek (新): [他](人)に〜を分からなくさせる erampetekka (新): [他]自分で、一人で〜が分からない yaykoerampetek (新): [他]互いに、皆で〜が分からない ukoerampetek (新): [他]全く〜が分からない oarerampetek (arerampetek) (新): [他]物凄く〜が分からない toykoerampetek (新): [他]人に〜を分からなくさせる erampetekar (新): [自]人に自分を分からなくさせる sierampetekar (新): ②[他]〜が分からなくなる turaynu (石狩): 「私達が激しく愛し合いあっている中に快感の嵐が私に押し寄せて、上になるのか仰向けになるのか分からなくなったのだった。」 “Utumam=as ruyno kurkasike en=oske wano yaynumpirka maw ciyaykoyanke wa ene ku=hemesu poka ene ku=kuttesu poka ku=turaynu hawan.”: (表現)どう立つべきか全く分からなくなる ene as kunip attaraye (沙流): [他](人)に〜を分からなくさせる turaynure (新): [他]人に〜を分からなくさせる turaynuyar (新)

わかる(分かる) [自]ものが分かる ieraman (ieramuan) (複数形 ieramuokay) (新): [他]〜が分かる、分かっている eraman (eramuan) (複数形 eramuokay) (石狩)※ (石狩方言では主語が複数形でも単数形が使われる事が圧倒的に多い.): 「そのアイヌ語をお前が分からなくて、どうそれが分かる？」 “Ne aynuytak e=erampetek pe, nekon e=eraman?” (門野トサ): [他](場所)で〜が分かる eeraman (eeramuan) (新): [他]〜と共に〜が分かる koeraman (koeramuan) (新): [他](原因、手段)で〜が分かる oeraman (oeramuan) (新): [他]自分で、一人で〜が分かる yaykoeraman (yaykoeramuan) (新): [他]互いに、皆で〜が分かる ukoeraman (ukoeramuan) (新)、[他] ukoeramuokay (新): [他]完全に〜が分かる oareraman (oareramuan) (新)、[他] areraman (areramuan) (新): [他]もの凄く〜が分かる toykoeraman (toykoeramuan) (新): [他]ひとりだけで〜が分かる sikoeraman (sikoeramuan) (新): [他](中

相)〜が分かる ciesonere (沙流)、[他](中相) cieraman (新): [他]人に〜を分からせる uneramante (uneramuante) (石狩): [他](人)にものを分からせる ieramante (ieramuante) (新): [他]人に〜を分からせる eramante (石狩)、[他] eramuante (新): [他](場所)で(人)に〜を分からせる eeramante (eeramuante) (新): [他]〜と共に(人)に〜を分からせる koeramante (koeramuan) (新): [他](原因、手段)で(人)に〜を分からせる oeramante (oeramuan) (新): [他]人に〜を分からせる、分かってもらう eramayyar (eramuayyar) (新): [自]人に自分を分からせる、分かってもらう sieramayyar (sieramuayyar) (新)

わかれる(分かれる) [自]分かれる ukohopi (ukoopi, ukopi) (石狩): 「あの木は四又に枝が分かれている。」 “Toan ni tekehe inepne ukohopi wa an.”: [他]〜と分かれる、〜から分かれる kohopi (koopii, kopi) (石狩): 「大きな道と分かれ山に向かう細道を私達は歩いた。」 “Poru ru kohopi wa emakasi oman ru orpeka apkas=as.”: [後副]〜と分かれて ekohopi (ekopi) (石狩)

わかれる(別れる) ①(互いに別方向に行く)[自]別れる ukohopi (ukoopi, ukopi, ukohoppa) (石狩): 「何もしに別れるのは悪いから、私はお前に記念にこれをあげるよ。」 “Oroisamno ukohopi=an yak wen kusu e=en=esikarun kunine tampe e=kore=an kusu ne na.”: [他]〜と別れる kohopi (koopii, kopi) (石狩): 「私は貴方と別れた後買物に行った。」 “Es=kohopi=an okake ta ihok kusu ku=oman.”: [後副]〜と別れて ekohopi (ekopi) (石狩): ②(離婚する)[自]別れる uosura (石狩)、[自] uosurpa (天塩): [他]〜と別れる osura (複数 osurpa) (石狩): 「随分前に私は夫と別れた。」 “Somosetakno ku=hoku ku=osura.”、「あの男は何度も結婚したが別れた。」 “Ne okkayo matkorpa korka osurpa.”

わき(脇) ①(接触した横)[位名]〜の脇 utossam (長形-a、-ake) (石狩): 方言辞典によると旭川では何か(のくっ付いた横)、名寄では何か「の少し離れた横」で意味が異なる。: (表現)〜の脇に寄る、くっ付く utossam (長形-a、-ake) un (新): (表現)〜の両脇 uekari utossam (長形-a、-ake) (石狩): ②(接触の有無を問わず)[位名]〜の脇 sam (長形-a、-ake) (石狩): (表現)〜の脇に寄る、行く sam (長形-a、-ake) oman (複

数 paye) (石狩): (表現)への脇に付く、いる、ある sam(長形-a、-ake) un (石狩): [位名]へのすぐ脇 teksam(長形-a、-ake) (石狩)、[位名](雅) tekisam(長形-a、-ake) (石狩): ③(別な場所の意味で)[位名]への脇 oyak(長形-e) (石狩): (表現)脇に寄る、行く oyak(長形-e) ene oman (複数 paye) (石狩): (表現)脇に寄せる、移動させる oyak(長形-e) raye(複数 raypa) (新): (表現)脇に押しずらして寄せる oyak(長形-e) ene rutu (新)

わき(腋) ①[名]腋 hancikoko (石狩)、[名] yatu (石狩): ②[場名]腋の下 yatupok(i) (石狩)、[場名] yatuyok(i) (石狩)、[場名] yarpok(i) (天塩): [場名] hatupok(i) (天塩)、[場名] tempok(i) (石狩): (表現)(英雄が刀を引き抜くために)腋の下がサッとすべる tempok konna carkosanu (石狩)

わきが(腋臭) [名]腋臭 sakusahura (天塩): (表現)腋臭が臭い hancikoko hura at (石狩)、(表現) sakusahura wen (天塩)

わきがわ(脇川) [名]脇川 ut (H)、[名] utnay (H)、[名] utpet (H)※(知里ニシパによれば「沼などから流れ出た細長い川が海まで行かず途中で他の川の横腹に肋骨がくつつつように横かに注いでいるようなのを云う」という。)

わきが(腋毛) [名]腋毛 hancikokonuma (石狩)、[名] yatunuma (石狩)

わきばら(脇腹) [位名]への脇腹 utossam(長形-a、-ake) (石狩)、[位名] utottom(長形-o、-oke) (沙流): [位名]脇腹 hon(i) utossam(長形-a、-ake) (石狩)

わきめ(わき目) [自]物事にわき目もふらず打ち込む ikoaresirus (新): [他]へにわき目もふらず打ち込む koaresirus (石狩)、[他] kosineani-enutomom (沙流): (表現)へが宝器の面を彫刻する、宝刀の鞘を彫刻する、これにばかりわき目もふらず打ち込む tomikanuye sirkanyue tampe patek ~ koaresirus (石狩)、(表現) tomikanuye sirkanyue tampe patek ~ kosineani-enutomom (沙流): (表現)へが針仕事にばかりわき目もふらず打ち込む kemeyki patek ~ kosineani-enutomom (沙流)

わく(沸く) ①(熱くなる意味で)[自]沸く、沸いている sesek (石狩): ②(沸騰する意味で)沸く pop (石狩): (表現)沸いている pop kane an (新)、(表現) pop kor an (石狩): [名]沸きたった泡 poppise (沙流): (表現)泡がぼこぼこ沸きたつ poppise cihetukure (沙流):

わく(湧く) [自](泉水や雲が)湧く purpurke

(石狩): [他]へを湧かせる purpurkere (新)

わくせい(惑星) (宇宙)[名]惑星 omanannociw (新)、[名] puranet (新)※(英語。尚、日本語では「遊星」とも言う)

わけ(訳) ①[名]訳 moto (石狩): (表現)への訳がある moto (motoho) an (新): ②[自]への訳がある moto (motoho) isam (新): [他]へには訳がある motokor (motohokor) (新)、[他] emotokor (新): [副]訳があつて motokonno (新): [副]正当な訳があつて omotokonno (新): [副]訳もなく motosakno (新): [副]全く訳もなく omotosakno (石狩): ③[自]訳を尋ねる uepekennu (石狩)、[自] motoewepekennu (新): [他](人)に訳を尋ねさせる motoewepekennure (新): [他]への訳を尋ねる motoewepekennu (motohoepekennu) (新)、[他] emotowepekennu (新): [他](人)に訳を聞く komotoewepekennu (komotohoepekennu) (新): ④[自]訳を言う motoye (新): [他](人)に訳を言わせる motoyere (新): [他]への訳を言う motoye (motohoye) (新)、[他] emotoye (新): [他](人)に訳を言う komotoye (新): ⑤[自]訳を言つて知らせる、訳を話して聞かせる uepeker (石狩): ⑥[名](特別な)訳 imoto (新): [自]訳ありになる、訳ありである imotokor (新): [他]へに関して訳ありになる、訳ありである eimotokor (新): [副](人に言えぬ)訳あつて imotokonno (新)

わけあう(分け合う) ①[自]物を分け合う iusarayee (iusare) (新)、[他] iukousarayee (iukousare) [他] iukopuni (新): [他]へを分け合う usarayee (usare) (石狩)、[他] ukousarayee (ukousare) (石狩)、[他] ukopuni (新): [他](人)にへを分け合わせる usarayere (usare) (新)、[他] ukousarayere (ukousare) [他] ukopunipe (新): ②[自]食糧を分け合う ukoipuni (石狩)、[自] uimekkar (天塩): [他](食糧)を分け合う ukopuni (新)、[他] ueimekkar (新): [他](人)に食糧を分け合わせる ukoipunire (新)、[他] uimekkare (新): [他](人)に(食糧)を分け合わせる ukopunire (新)、[他] ueimekkare (新)

わけあたえる(分け与える) ①(表現)(複数あるものの中から)…にへを分け与える ~ usarayee (usare) wa … kore (石狩): ②[自]食糧を分け与える iimekkar (新): [他](食糧)を分け与える eimek (石狩): 「…いろいろな山菜でも魚であれ肉であれ

倉の中をいっぱいにして持っているものなので、方々にそれを背負って分け与えて…」

“… usaokay rataskep nakka cep ne ciki kam ne ciki pu or sikte wa kor pe ne kusu piskan ene neampe se wa eimek ayne …” (杉村キナラブック)：[他](人)に食糧を分け与える imekkar (石狩)：[他](人)に(食糧)を分け与える eimekkar (天塩)：[自]分け与え合う uimekkar (天塩)

わけてさげる(分けて下げる) [他](頭髮)を分けて下げる usurare (新)：[他](中相)(頭髮)が分けて下げられる ciusurare (幌別)：(表現)その神髪は絹ともなり頭の頂から分けて下げられ、髪先端は光輝を結ぶ kamuy-otopi sarampe ka ne ekimuykasi ciusurare otopi etoko cioimeru-kote kane (幌別)

わけまえ(分け前) [名](食糧の)分け前 imek (石狩)

わけける(分ける) [自]物を分ける iusaraye (iusare) (新)：[他]～を分ける usaraye (usare) (石狩)：(表現)～を分けて置く ~ usaraye (usare) wa ~ anu (石狩)：[他](場所)で～を分ける eusaraye (eusare) (新)：[他]～に～を分ける kousaraye (kousare) (石狩)：[他]～と共に～を分ける kousaraye (kousare) (新)：[他](手段)で～を分ける ousaraye (ousare) (新)：[他](人)に～を分けさせる usarayere (usarere) (新)：[他]自分で、一人で～を分ける yaykousaraye (yaykousare) (新)：[他]互いに、皆で～を分ける ukousaraye (ukousare) (石狩)：[他]完全に～を分ける oarusaraye (oarusare) (新)

わざ(技) [名]技 itekiekiskaype (新)：(表現)～の技 名詞、人称接辞+teke askay pe (新)

わざ(輪差) [名]輪差、滑り結び sinkop (石狩)

わさい(和裁) [名]和裁 sísamkemeyki (新)

わざと [副]わざと okamkino (石狩)、[副] okamkir (天塩)、[副] okaamkinno (okamkinno) (天塩)：「私はわざと知らんぷりをした。」“Okamkino ku=erampetek pokon ku=an .”

ワジ [名]ワジ wádi (新)※(アラビア語)

わしきトイレ(和式トイレ) [名]和式トイレ sísamru (新)

わしざ(鷲座) (宇宙)[場名]鷲座 Síráp-so (Síráp) (新)：②[名]鷲座のα星(アルタイル) Cikusakur (アイヌの星)：③[名]鷲座のα、β、γ星 Unarpekusanociw (アイヌの星)

わしつ(和室) [名]和室 sísamtumpu (新)

わしや(話者) [名]話者 itakkur (新)：(表現)アイヌ語話者 aynuitak eiwanke kur (新)

わじゅつ(話術) [場名]話術 cawetok (石狩)、[場名] pawetok (石狩)：[自]話術に長けている cawetokkor (石狩)、[自] pawetokkor (石狩)：(表現)話術に長けている cawetok (pawetok) kor (新)：[自]話術に劣っている cawetoksak (石狩)、[自] pawetosak (石狩)：(表現)話術に劣っている cawetok (pawetok) sak (新)

わしよく(和食) [名]和食 sísamipe (新)

わじん(和人) [名]和人 sísam (石狩)、[名] samo (H)、[名] ocinakkari (石狩)：[名]和人女性 kurmat (石狩)：(歴史)[場名]和人地 Samorkotan (H)

ワシントン [場名](アメリカ合衆国の州名)ワシントン州 Wasinton-mosir (新)※(州都は「オリンピック」)：[場名](アメリカ合衆国の首都名)ワシントン D. C. Korumbia-iwor un Wasinton (新)

わずか(僅か) ①(数量的に)[自]僅かになる、である pon (石狩)：[他]～を僅かにする ponte (ponka) (新)：[副]僅かに ponno (石狩)：②(人数的に)[自](人数が)僅かになる、である moyo (石狩)：[他]～を僅かにする moyore (moyoka) (新)：③(時間的に)[自]僅かである setak (石狩)：[他]～を僅かにする setakka (新)：[副]僅かに、僅かの間に setakno (新)

わずらう(煩う) [名]煩い事 aneránakpe (石狩)、[名] cieranakpe (新)：[自]煩う ranak (新)：目下合成語の構成要素としてのみ見られるが、今後単独でも用いていく。：[他]～と共に煩う koranak (新)：[他](原因、手段)で煩う eranak (石狩)：[他](人)を煩わす ranakka (新)：目下合成語の構成要素としてのみ見られるが、今後単独でも用いていく。

わすれる(忘れる) [自]物を忘れする ioyra (H)：[他]～を忘れる oyra (石狩)：[他](場所)で～を忘れる eoyra (新)：[他]～と共に～を忘れる kooyra (新)：[他](原因、手段)で～を忘れる ooyra (新)：[他]～に～を忘れさせる oyrare (新)：[他]自分で、一人で yaykooyra (新)：[他]共に、皆で～を忘れる ukooyra (新)：[他]～をすっかり忘れる oarooyra (新)、[他]～を本当にすっかり忘れる oararooyra (新)：[他]～を忘れた振りをする sioyrare (新)：[他]知らぬ間に～を忘れる cioyrare (新)：[他]～を心から忘れる ramoyrare (沙流)：「あんたの事大嫌いだから、私の事

は忘れて考えないようにしてね。」

“E=kopan=an kusu eciki en=ramoyrare no en=ramkamare ya .”

わせ(早生) [自] 早生である tunassukup (新)、[自] tunassonne (新)、[自] onnekotunas (新)

わた(綿) [名] 綿 wata (新冠) : [名] 綿菓子 watatopempe (新) : [名] 綿帽子 watakonci (新)

ワタカ (魚介)[名](コイ科カワヒラ亜科)ワタカ 属の魚類の総称 wataka (新)※(日本語) : [名]ワタカ wataka (新)

わたし(私) ①[代名]私 kuani (石狩)※(一部の後置副詞や副助詞と共に、あるいは強調としてのみ用いられる) : 「あなたは十勝の方でしたか。私は空知の者です。」

“Tókapciunkur es=ne hawe ! Kuani anakne sorapciunkur ku=ne .”、 「私も彼女のこと好きですよ。」 “ Kuani ka ku=eramasuy wa .” ②[人称](主格)私が ku=(石狩)※(複合人称接辞では =an) : 「私がお前を見る」 e=nukar=an 「私がお前達を見る」 es=nukar=an 「わたしがあなた(あなた方)を見る」 es=nukar=an = i=nukar=an 「私が彼を見る」 ku=nukar : [人称](所有格)私の ku=(石狩) : 「私の顔」 ku=nanu : [人称](目的格)私を、私に en= (石狩) : 「お前が私を見る」 e=en=nukar 「お前達が私を見る」 es=en=nukar 「あなた(あなた達)が私を見る」 es=en=nukar = en=nukar=an 「彼が私を見る」 en=nukar 「私が見られる」 enci=nukar = en=nukar=an

わたし(渡) ①(徒歩渡の) [場名] 渡 cikasuyusi (新)、[場名] cikasuyusike (新) : ②[場名] 渡 ikusausi (新)、[場名] ikusausike (新) : [名] 渡船 ikusacip (新) : [名] 渡守 ikusakur (新)

わたしたち(私達) (1)(除外形、つまり話し相手を含めぬ形)①[代名]私達 ciokay (石狩)、[代名] ciutari (天塩)※((1)(2)で代名詞は一部の後置副詞や副助詞と共に、あるいは強調としてのみ用いられる) : 「私達札幌に行くの。あんたも行かない？」 Ciokay anakne Sapporo ene paye=as . Eani ka e=oman rusuy ?” : ②[人称](自動詞の主格)私達が =as (石狩)、[人称](他動詞の主格) ci= (石狩) : 「私達が座る(自動詞)」 rok=as 「私達がお前を見る」 e=nukar=as 「私達がお前達を見る(他動詞)」 es=nukar=as 「私達があなた(あなた方)を見る」 es=nukar=as = i=nukar=as 「私達が彼を見る」 ci=nukar : [人称](所有格)私達の ci= (石狩) : 「私達の

顔」 ci=nanu : [人称](目的格)私達を、私達に un= (石狩) : 「お前が私達を見る」 e=un=nukar 「お前達が私達を見る」 es=un=nukar 「あなた(あなた方)が私達を見る es=un=nukar = un=nukar=an 「彼が私達を見る」 un=nukar 「私達が見られる」 unci=nukar = un=nukar=an : (2)(包括形、つまり話し相手を含む形)①[代名]私達 anokay (石狩)、[代名] anutar (anutari) (石狩) : 「あの人旭川に行ったそうよ。私達も行きたいね。」 “Neakur Asankar ene oman yak a=ye . Anokay ka paye=an rusuy na .” : ②[人称](自動詞の主格)私達が =an (石狩)、[人称](他動詞の主格) an= (石狩) : 「私達は座る(自動詞)」 rok=an 「私達が彼を見る(他動詞)」 an=nukar : [人称](所有格)私達の an= (石狩) : 「私達の顔」 an=nanu : [人称](目的格)私達を、私達に i= (石狩) : 「彼が私達を見る」 i=nukar 「私達は見られる」 i=nukar=an

わたす(渡す) ①(贈与に関して)[他](人)に物を渡す ikore (新) : [他]～に～を渡す kóre (石狩) : [他](場所)で～に～を渡す ekore (新) : [他]～と共に～に～を渡す kokore (新) : [他](原因、手段)で～に～を渡す ekore (石狩)、[他] okore (新) : [他]自分で、一人で～に～を渡す yaykokore (新) : [他]皆で～に～を渡す ukokore (新) : [他]互いに～を渡す ukore (新) : [他]人に～を渡す korar (石狩) : (表現)～を手渡す tek or ～ omare (天塩) : (表現)…に～を手渡す … teke ～ omare (石狩) : ②(渡し船に関して)[自]人を船で渡す ikusa(複数 ikuspa) (新) : [他](人)を船で渡す kusa(複数 kuspa) (石狩) : [他](場所)で(人)を船で渡す ekusa(複数 ekuspa) (新) : [他]～と共に～を船で渡す kokusa(複数 kokuspa) (新) : [他](原因、手段)で～を船で渡す okusa(複数 okuspa) (新) : [自]皆を船渡す ukuspa (石狩)

わたる(渡る) ①[他](川などの浅瀬)を歩いて渡る kasuy (石狩)、[他] wawa (天塩川下流) : (表現)川の浅瀬を歩いて渡る petkasuy (石狩) : [自]川の浅瀬を歩いて渡る petkasuy (石狩) : ②[他](船で川や海)を渡る tomotuye (石狩) : (表現)海を渡る atuy tomotuye (石狩) : (表現)川を渡る pet tomotuye (石狩) : (表現)道を渡る ru tomotuye (新) : [自]川を渡る pettomotuye (石狩) : ③[他](橋など)を渡る kus (石狩) : (表現)橋を渡る riwka ka((長形-si、-sike) kus (石狩)、(表現)橋を渡る riwka kus (石狩)

ワダン(海菜) (植物)①[名](アゼトウナ属)ワダンの茎葉 wadanmun (新): [名]ワダンの花 wadan (新): ②[名](キク科)ワダンノキ属 wadanni (新): [名]ワダンの茎 wadanni (新)※(「海菜木」): [名]ワダンの花 nikaowadan (新)

わつきくらべ(輪突き比べ) [名](イオマンテで熊を送った後、熊の綱を繋ぐブドウ蔓の輪を結び木に嵌めて行う)輪突き競べ ukokaripkaciw (天塩)

ワッシャー [名]ワッシャー cinoyepso (新)※(雌ねじの座)、[名] wāşer (新)※(英語)

わな(罟) [名]罟 ka (石狩): (表現)罟にかかる ka etara (石狩): (表現)罟を仕掛ける ka áre (石狩): [名]テンなどを獲る罟 ak (石狩): [名]棒を立て輪をつけ、それに首を突っ込んだ兎、狸、狐など、所謂"iyo"に当たる獲物の首を締めて捕る罟 ciareka (石狩)、[名]ウサギがかかると跳ね上がる罟 epitaka (石狩)

わなげ(輪投げ) [自]輪投げをする karippaste (石狩)、[自] ukokaripuk (石狩)

わななく(戦慄く) [自]戦慄く tususke (石狩): [他]～を戦慄かせる tususkere (新)

ワニ(鱷) (動物)[場名](主竜型下綱)ワニ形上目 kurokodir-kotampa (新): [場名]ワニ目 kurokodir-kotan (新): [名]アリゲーター科 arigator-apa (新): [名]クロコダイル属 kurokodir-apa (新): [名]ガビアル属 gaviar-apa (新)

わぬげ(輪抜け) [自]輪抜けをする kariptomeposo (新)

わびる(詫びる) [自]詫びる yayapapu (石狩)、[自] yayunaske (石狩): (表現)詫びを言う yayapapu hi ye (沙流): [他]～について詫びる eyayapapu (新)、[他] eyayunaske (新): [他]～に詫びる koyayapapu (新)、[他] koyayunaske (新): [他] (原因、手段)で詫びる oyayapapu (新)、[他] oyayunaske (新): [自]灰を全身に擦り込んで詫びる yayunausi (石狩)

ワモンアザラシ(輪紋海豹) (動物)[名](ゴマフアザラシ属)ワモンアザラシ konkori (樺太)※(タライカ。別名「フィリアザラシ」)

わら(藁) [名]藁 wara (新)※(日本語)

わらいころげる(笑い転げる) [自]笑い転げる mínateseske (石狩)

わらいさざめく(笑いさざめく) [他](神々が美しい声)の後に笑いさざめく ominausi (石狩): 「…私の声が大海の彼方、海に突っ込み、それから私の声…の片方に二柱の輝く神、三柱の輝く神が群がるやら、その後にヘッと

いう囃しを入れ、その後に笑いさざめいた…」

“… an=hawéhe síatuypenrur, atuyka osma orowano an=haw … arkotorke tu peker kamuy re peker kamuy o hene, ohetceusi, ominausi …”(杉村キナラブック)説話

わらいじょうご(笑い上戸) [名]酔うとひどく陽気になる酒癖 sake-mina (新)、[名] iku-mina (新): [自]笑い上戸である sakeminakar (新)、[自] ikuminakar (新): [名]笑い上戸 sakeminakarkur (新)、[名] ikuminakarkur (新)

わらう(笑う) [自]笑う mína (石狩): [他](人)を笑わせる mínare (石狩): [他](場所)で笑う emina (新): [他]～と共に笑う komina (新): [他]～を笑う emina (石狩): [他](人)を～について笑わせる eminare (新): [自]一人で笑う yaykomina (新)、[自] yayminare (新): [自]笑い合う、皆で笑う ukomina (新)、[自] uminare (新): [自]ひどく笑う toykomina (新): [自](ゲタゲタ、ニコニコ、ニヤニヤ)よく笑う mínamina (石狩): [自]クスクス笑う niknikse (石狩): [自]オイオイ笑う mínaekoyoyse (石狩): [自]蔭で笑う sempiromina (新): [他]蔭で～を笑う esempiromina (新): [他]いつも一人で～を笑う eyayominausi (沙流): (表現)体を反らせ、前屈みになって笑う ciotesusu ciorewewe (ciorewerewe) kane mina (新)※(沙流): (表現)笑って体を反らせ、前屈みになる mina kusu ciotesusu ciorewewe (ciorewerewe) (新)※(沙流): [自](赤子が)眠りながら笑う ehaminare (幌別): [自](赤子が)眠りながら笑ったり手を動かしたりする ehaturasinot (幌別)

わらじ(草鞋) [名]草鞋 waranci (石狩)

わりき(割り木) [名]割り木 ciperpani (八雲)

わりぎ(割木) ①[名]割木 ciperpani (石狩)、[名] niras(-u) (石狩)、[名] ras(-u) (石狩): ②[名]松明を挟む割木 suneusni (石狩)

わる(割る) [他](二つ、あるいはそれ以上に)～を割る pere (複数 perpa) (石狩): 今後計算で「割る」の意味で「名詞(数詞)+ ani + 名詞(数詞)+ an=pere wa + 名詞(数詞)+ ne an」の形式でも用いていく: 「私は板を三つに割った。」“Repne ita ku=pere.”、「四割る二は二である。」“Tup ani inep an=pere wa tup ne an.”: [他](場所)で～を割る epere (複数 eperpare) (新): [他]～と共に～を割る kopere (複数

koperpare) (新): [他](原因、手段)で～を割る opere (複数 operpare) (新): [他](人)に～を割らせる perere (複数 perpare) (新): [他]～を粉々に割る perpere (複数 perperpa) (新): [他]～を(誰か)に粉々に割らせる perpayar (石狩): [他]～を(複数の誰か)に粉々に割らせる perpayarpa (石狩): [他]～を細かく割る yasa (複数形 yaspa) (天塩): (表現)～を細かく割る nokanno pere (複数 perpa) (新)

わるがき(悪餓鬼) [名](悪口として)悪ガキ apapaekatci (石狩)、[名] eneampepo (石狩)

わるく(悪く) [自]悪くなる、悪い wen (石狩): [他](場所)で悪くなる、悪い ewen (新): [他]～に対して悪くなる、悪い kowen (新): [他]～と共に悪くなる、悪い kowen (新): [他](原因、手段)で悪くなる、悪い ewen (石狩)、[他] owen (新): [他]～を悪くする wente (石狩): [自]自分で、一人で悪くなる、悪い yaykowen (新): [自]互いに、皆で悪くなる、悪い ukowen (新): [自]完全に悪くなる、悪い oarwen (arwen) (新): [自]充分悪くなる、悪い wenno (wennu) (新): [自]ひどく悪くなる、悪い toykowen (新): [自]ひとりで悪くなる、悪い siwen (新): [自]とても悪くなる、悪い siwen (sinowen) (新): (表現)とても悪くなる、悪い sonno wen (石狩): [副]悪く wenno (石狩)、[副] wen (石狩): [副]とても悪く siwenno (siwen) (新): (表現)とても悪く sonno wenno (石狩)、(表現) sino wenno (新): [名](二つ以上のものを比較し、あるいは単に)悪い人、物、事 wenike (石狩): [名]悪い奴、悪い物、事 wenampe (石狩): [名]悪い物、事 wempe (石狩): [名](雅)悪い事 rorumpe (石狩): (表現)悪い行い wen puri (石狩)、(表現) wenkar pe (新)

わるくおもう(悪く思う) [自]悪く思う、考える weyyaykokeker (新): [他]～について悪く思う、考える eweyyaykokeker (新): [他](人)に悪く思う、考える weyyaykokekere (weyyaykokekerka) (新)

わるぐち(悪口) ① [名]悪口 wenitak (石狩): [自]悪口を言う wenitak (新): [他](人)に悪口を言わせる wenitakte (新): [自]悪口ばかり言う pawkor (石狩): [他](人)に悪口を言う weyyekar (石狩): [他]～の悪口を言う ohaykekar (石狩): ② (表現) 名詞+ で悪罵の表現を形成 (石狩)※(家系を辱める事から悪口の中でもより怒りを引き起こしたらしい): (表

現)死人の血統め Raykur sani! (石狩): (表現)泥棒の血統め Ikkap sani! (石狩): (表現)難癖つけの血統め Carankep sani! (旭川): (表現)貧乏人の血統め Wempe sani! (石狩): ③ (表現) 自動詞+ ampe (複数 okaype) で悪罵の名詞を形成 (旭川): (表現)馬鹿野郎 Haytaampe! (旭川): (表現)汚い奴め Ickakereampe! (旭川): (表現)酔っ払いめ Iyoskiampe! (旭川)、(表現)酔っ払いめらが Iyoskiokaype! (旭川): ④ (能力、容姿に関するもの)(表現)うすら馬鹿 Ruhayta! (石狩): (表現)人真似しかできない馬鹿野郎 Ikkokka haytakur! (釧路): (表現)馬鹿 Haytakur! (石狩): (表現)馬鹿野郎 Haytap! (浦河)、(表現) Epatay! (沙流)、(表現) Ikkokka! (釧路): (表現)おかしな奴め Hemanta! (沙流): (表現)貧乏人 Wempe! (石狩): (表現)へちゃむくれ Wentotcep! (沙流): (表現)みったくなし Ipokas! (石狩)、(表現) Epokas! (旭川): ⑤ (死に関するもの)(表現)死人 Raykur! (石狩): ⑥ (汚物に関するもの)(表現)糞食らえ Si e! (石狩): ⑦ (性器に関するもの)(表現)あそこの臭い奴め Ohuraruyep! (幌別): (表現)あそこのすえたやつめ Onipopkep! (幌別): (表現)あそこが腐った臭いのする奴め Ohuraep! (幌別): (表現)あそこが腐れてべとべとな奴め Opotcep! (幌別): (表現)てめえのあそこを噛んでな Yayokuykuy! (幌別): (表現)珍宝をくわえやがれ O e! (幌別): (表現)俺の珍宝をくわえやがれ Iyo e! (石狩): (表現)てめえの珍宝でもくわえやがれ Yayoe! (幌別): (表現)俺の珍宝をしゃぶりやがれ Iyo nunnun! (石狩): (表現)俺の珍宝をしゃぶって咽やがれ Iyonunnun iyoseru! (幌別): (表現)てめえの珍宝をしゃぶりやがれ Yayonunnun! (幌別): (表現)てめえの珍宝しゃぶって咽やがれ Yayonunnun yayoseru! (幌別): (表現)俺の珍宝で煙草を吸いやがれ Ku=ciye-etampakuku! (沙流): (表現)俺の珍宝を塩もつけずにあの毛と一緒に噛みやがれ Sippo ka sakno ionuma-kokuykuy! (沙流): (表現)珍宝をむしゃぶり合ってな Uwokekepu! (幌別): (表現)毛虱たかった珍宝むしゃぶり合ってやがれ Rayoki o uwokekepu! (幌別): (表現)おまんこ野郎 Pokihi! (幌別)、(表現) Citoske! (幌別): (表現)どこのおまんこ野郎よ Konep pokihi! (幌別): (表現)私のおまんこ舐めやがれ Iyokemkem! (石狩): (表現)私のおまん

こ舐めて咽やがれ Iyokemkem iyoseru !
(幌別): (表現)おまんこ舐め合ってやがれ
Uwokemkem ! (幌別): (表現)まんかす野
郎 Pokkamtaype ! (新)、(表現)
Pohkantaype ! (樺太真岡): ⑧(動物など
に関するもの)(表現)馬鹿 Tukusis ! (美
幌)※(雨鱒): (表現)忘れっぽい奴
Esaman ! (石狩)※(川獺): ⑨(その他)(表
現)ろくでなし Sitakoy ! (浦河)※(人名)

わるさ(悪さ) ①(人が)[自]人に悪さをする
irara (石狩): [他](人)に悪さをする rara
(石狩): ②(人以外の者が)[自]人に悪さをす
る irammokka (irammoka) (石狩):
[他](人)に悪さをする rammokka (石狩):
(表現)(人)に悪さををする ramu mokka
(石狩)

ワルシャワ [場名](ポーランド共和国の首都名)
ワルシャワ Warszawa (新): (歴史)[場
名](国名)ワルシャワ 公国 Warszawa
Dúkekormosir (新)※(1807-13年。
首都は「ワルシャワ」。1815年ウィーン会
議により分割されて消滅。)

わるだくみ(悪だくみ) [名] 悪 だ く み
wenrenkap(i) (沙流): (表現)悪だくみを
する wenrenkap kar (新): (表現)悪だく
みを(人)に及ぼす wenrenkap kóre (新)

われにかえる(我に帰る) [自] 我 に 返 る
yayesikarun (石狩): [他]~を我に返らせ
る yayesikarunte (石狩)

われもの(割れ物) ①(瀬戸物やガラスなど割れ
やすい物)[名] 割 れ 物 perkenop
(perkenup) (新): 「割れ物注意」
“ Perkenop (= Perkenup) eramuan
yan ! ”: ②(割れてしまった物)(表現)
perke a p (新)、(表現) ciperke a p (新)

われる(割れる) [自] 割 れ る perke (石狩):
[他](場所)で割れる eperke (新): [他]~
と共に割れる koperke (新): [他](原因、
手段)で割れる operke (新): [自]完全に
割れる oarperke (arperke) (新): [自]
割れやすい perkeno (perkenu) (新):
[自]減茶苦茶割れる toykoperke (新):
[自]ひとりでに割れる sipere (新): [自]
ぱっと割れる pettek (新): [自]粉々に割
れる perkeperke (沙流)、[自] perperke
(新): [自]減茶苦茶に割れる toykoperke
(新): [自](一回)ぱっと割れる perkosanu
(石狩)、[自] perkosampa (新): [自]頻り
に割れる cipenrototo (新)、[自]
penrototke (新): [自]割れ続ける
péreratki (新): [自]続けて割れる
pennatara (新)

われをわすれる(我を忘れる) [自] 我 を 忘 れ る
yayeramuskaré (石狩): [他](原因)で我を

忘れる eyayramuskare (新): [他]~に
我を忘れさせる yayeramuskaréka (新)

わん(椀) [名] 椀 itanki (石狩): (表現)(アイ
ヌ式の結婚式で夫婦となる者が)椀に盛られ
た料理の半分ずつを食べる itanki arke e
(石狩)

わん(湾) [名] 湾 usor (石狩)

わんかんせつ(腕関節) [名] 腕 関 節 tékikre
(石狩): [名]腕関節部 tékukot(-ci) (石
狩)

わんきょく(湾曲) [名] 湾 曲 rewke (新):
[自]湾曲する rewke (石狩): [他]湾曲さ
せる rewe (複数 rewpa) (石狩)

わんりょく(腕力) [名] 腕 力 tektum(-i) (新)

を 日本語の「男が女を見る」はアイヌ語で
okkay menoko nukar となる。他動詞の直
接目的語を示す日本語の格助詞「を」に相当
する語はアイヌ語にはない。この「を」は例
えば上の文では nukar に含まれているので、
辞書によって「~を見る」と訳語が載せられ
る。人称接辞では「男を私が見る」 okkayo
ku=nukar、「男が私を見る」 okkayo
en=nukar のように主格と目的格で異なる
ものがある。また次に挙げるように後置副詞
や後置詞が「を」に相当する場合がある。

「崖を下りる」 kut kari ran、「道に行く」
ru kari oman、「~を見る」 ~ ekota
inkar、「森を歩きまわる」 nitay orpeka
omanan、「海上を高速で航行する」
atuyka peka hoyupu、「~の上空を」 ~
enka peka など: [接頭](動詞に接頭しそ
の動詞の項の数を1つ増やし)~を、~につい
て e- (石狩): e + kiroroan (喜ぶ) →
ekiroroan 「~を喜ぶ」

ンジャメナ [場名](チャド共和国の首都名)ンジ
ャメナ Unjaména (新)

Japanese-Ainu Dictionary

Draft Version

Published on December 20, 2022

Edited and Written by Mitsuru Oota

Society for Publication of Oota Mitsuru's Works

Introduction by Itsuji TANGIKU

Published by Center for Ainu and Indigenous Studies, Hokkaido University

Kita 8-jo Nishi 6-chome, Kita-ku, Sapporo, Hokkaido 060-0808, Japan

Printed and bound by Hakuyo Printing Co., Ltd

和愛辞典 草稿版

2022 年 12 月 20 日発行

編著 太田満

整理 太田満遺稿整理保存会

レイアウト・序 丹菊逸治

発行 〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 6 丁目

北海道大学アイヌ・先住民研究センター

印刷・製本 柏楊印刷株式会社

Japanese-Ainu Dictionary

Draft Version

Mitsuru Oota

Center for Ainu & Indigenous Studies, Hokkaido University
Archive Project for Ainu & Indigenous Languages 2022